servicenow

Yokohama ITアセットマネジメント

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

IT 資産管理 5
Software Asset Management 12
ソフトウェア資産管理 の探索 14
ソフトウェア資産管理の構成 186
ソフトウェア資産ワークスペース の使用 192
ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用 274
ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション 319
サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス 322
SaaS ライセンス管理 535
ソフトウェア支出検出 862
ソフトウェア資産管理 管理 873
プラットフォームアナリティクスソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック版 896
ソフトウェア資産管理の参照情報 914
ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist 1058
ハードウェア資産管理 1066
ハードウェア資産管理 の探索 1068
ハードウェア資産管理の構成 1156
ハードウェア資産管理 の使用 1161
ハードウェア資産管理 に関する参照情報 1329
ハードウェア資産管理 Zero Touch Mobility との統合 1379
デバイスアズアサービス 1381
資産管理 1409
資産管理 ワークスペース の探索 1410
エンタープライズ資産管理 1419
エンタープライズ資産管理 の探索 1421
エンタープライズ資産管理の構成 1487
エンタープライズモデルと資産の管理 1495
エンタープライズ資産インベントリと契約の管理 1587
エンタープライズ資産の作業指示の管理 1667
エンタープライズ資産管理要求とフローにサービスカタログを使用する 1693
モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理 1702
エンタープライズ資産の調達 1733
エンタープライズ資産管理 に関する参照情報 1734
クラウドコスト管理 1777
クラウドコスト管理の詳細 1779
クラウドコスト管理の構成 1821
クラウドコスト管理 の使用 1898
クラウドコスト管理の参照情報 1944

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

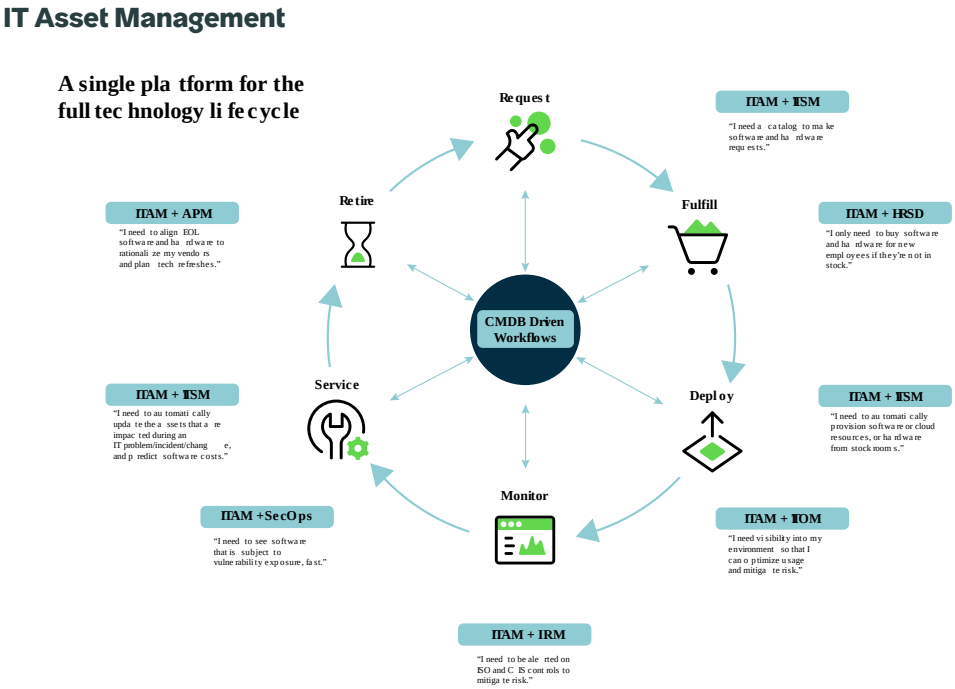
契約管理.....1989
資産契約の概要モジュールの使用.....1990
一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理.....1991
契約更改ワークフロー..... 1994
契約管理 の使用.....2005
条件チェック定義.....2031
ドメインセパレーションと 契約管理.....2033
調達..... 2033
調達のロール.....2034
Procurement のワークフロー.....2034
調達概要モジュールを使用する..... 2035
調達 をアクティブ化する.....2035
サービスカタログ要求でのアイテムの調達..... 2040
調達での資産の注文管理.....2046
資産の受領.....2057
外部調達アプリケーションとの統合..... 2060
ドメインセパレーションと 調達.....2073
製品カタログ..... 2073
製品カタログでインストールされるコンポーネント..... 2074
モデル.....2076
ベンダーカタログアイテム.....2085
製品カタログアイテム..... 2089
モデルカテゴリ..... 2093
ドメインセパレーションと製品カタログ.....2098
IT Asset Management コンテンツ要求プロセス..... 2099
IT 資産管理コンテンツ要求の作成..... 2099
IT Asset Management のライセンス..... 2100
IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションサマリー.....2101
IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示.....2103

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT 資産管理

直感的なワークフローとライフサイクルの可視化により、ソフトウェアライセンス、ハードウェア資産、クラウド資産を管理します。



ソフトウェア、ハードウェア、クラウド資産を管理する

Gartner, Inc. は、組織が年に 3 回以上のソフトウェア監査に直面することが多いと述べています。監査の数と統合資産管理プラットフォームの欠如により、組織はソフトウェア支出を制御および最適化することが難題になる可能性があります。ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して、ソフトウェア資産を管理します。

企業は、所有する資産、資産がどこにあるか、誰が使用しているか、資産の使用頻度、資産の構成時期、資産のコスト、資産がもたらす価値を把握する必要があります。ServiceNow ハードウェア資産管理アプリケーションを使用して、資産資産の可視化を高め、調達から廃棄までの IT ライフサイクルを自動化します。

企業がクラウドに移行すると、クラウドの支出と使用状況が可視化されていないため、コストと提供されるビジネス価値を関連付ける際に課題に直面する可能性があります。ServiceNow クラウドコスト管理アプリケーションを使用して、クラウド資産に関連付けられている使用状況とコストを完全に可視化することで、運用を最適化し、クラウド支出を削減できます。

機能の概要については、ソフトウェア資産管理 または ハードウェア資産管理 の完全な情報カードを表示およびダウンロードしてください。

ソフトウェア資産を正規化する

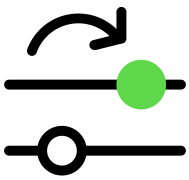
ソフトウェア資産管理コンテンツサービスからの更新により、ソフトウェア資産を自動的に正規化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

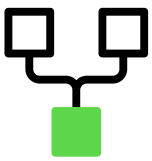
ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを作成またはインポートすることで、ソフトウェア製品の権限を追跡および管理します。



パブリッシャーパックを活用する

特定のソフトウェアパブリッシャーのライセンスメトリクスデータを使用して、ソフトウェア使用状況を正確に追跡します。



SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡する

SaaSアプリケーションおよび SSO プロバイダーと統合して、SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡します。このデータを使用して、コンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化します。

ライセンスポジションを表示してアクションを実行

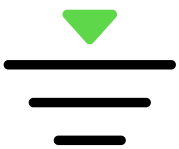
ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) またはライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を表示し、ライセンスコンプライアンスの問題を簡単に修正します。

ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア製品の財務トランザクションデータを追跡および管理して、ソフトウェア支出を最適化します。

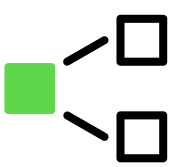
ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードを使用して、ビジネスプロセスを分析および改善します

アクション可能なデータ可視化を備えた統合ダッシュボードを使用して、ビジネスプロセスを分析し、改善領域を特定します。



ハードウェア資産の正規化

広範なハードウェアコンテンツライブラリを活用して、資産のメーカーとモデルのデータを正規化し、重要なライフサイクルの日付を入力して資産一覧の可視性を向上させます。



資産ライフサイクルの自動化

資産ライフサイクルの各段階で利用可能な業界のベストプラクティスに基づいたローコードの規範的ワークフローを使用して、手作業を削減し、サービスデリバリを改善します。資産タスクを使用して、一括在庫注文のワークフローを自動化します。廃棄命令;資産の展開、スワップ、廃止。資産タスクを使用すると、手動入力によってデータが不正確になるリスクを排除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

老朽化したハードウェア資産のリフレッシュ

ライフサイクルの終わりが近づいている老朽化した資産を積極的に追跡して計画することで、交換コストとハードウェアの脆弱性のリスクを軽減できます。

資産インベントリの監査

資産ストックルームおよびその他の資産の場所 (オフィスやデータセンターなど) のスケジュール監査またはアドホック監査を実施します。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約の管理

簡素化された契約更改プロセス内でタスクベースのワークフローを使用して、期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約に対してアクションを実行します。

専用ワークスペースを使用して資産マネージャーの生産性を向上

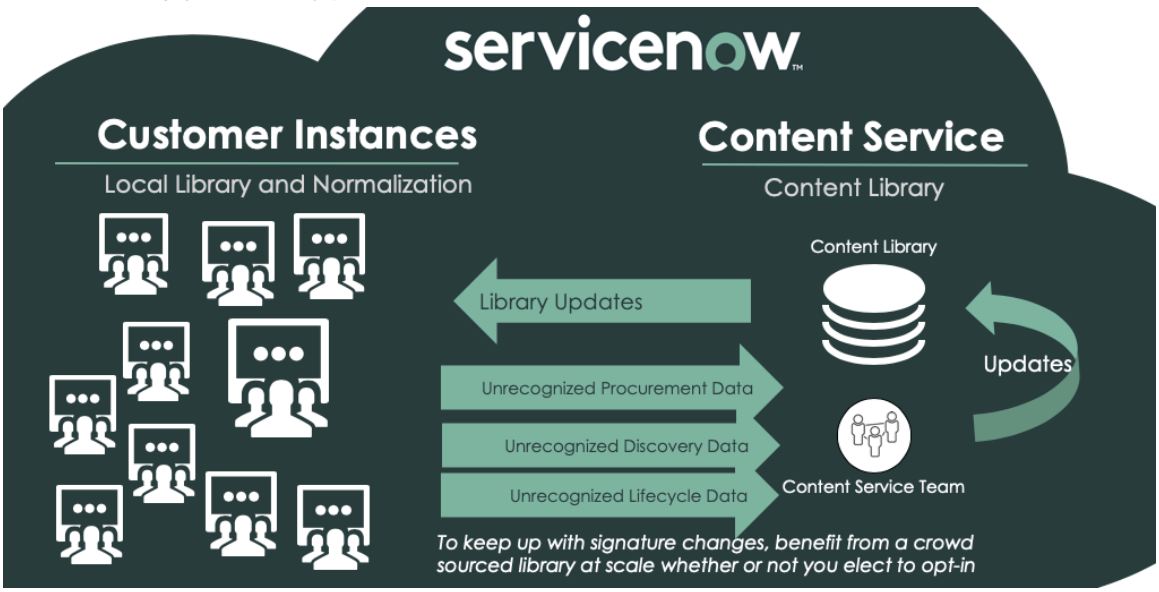
ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産一覧の一元化された単一ペインビューを作成します。資産ライフサイクルのあらゆる段階でハードウェア資産管理 結果を促進する重要なアクションアイテムを可視化します。さらに、重要なアクションに飛び込んで、資産ライフサイクルプロセスから推測を排除します。

クラウド戦略を加速し、コストを削減する

簡素化され、応答性に優れ、直感的なセルフサービスクラウドリソースポータルと非侵入型ポリシーガードレールにより、クラウドの実装を加速します。組織の使用状況に合わせてクラウドリソースのサイズを適正化し、勤務時間外にクラウドリソースを自動的にオフにすることで、コストを削減します。

ソフトウェア資産を正規化する

ソフトウェア資産管理 正常化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ディスカバリーソースを有効にすると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは組織からのソフトウェアインストールデータを正規化します。パブリッシャー名、製品名、ソフトウェアライフサイクルの日付などのコンテンツ更新を毎週実施することで、検出されたデータを正規化し、正確かつ最新の状態に保つことができます。機械学習によって検出されたデータの正規化値を予測することで、正規化レートを向上させることもできます。さらに、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、調査、検証、更新のために、正規化されていないコンテンツを安全かつ匿名で ServiceNow に送信することもできます。

ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを使用して、購入したソフトウェアの権利を追跡および管理します。組織が購入した権限の数、それらの権限のコスト、それらの権限の割り当て先などを決定します。ソフトウェアエンタイトルメントを個別に作成して更新することも、一度に一括でインポートすることもできます。

パブリッシャーパックを活用する

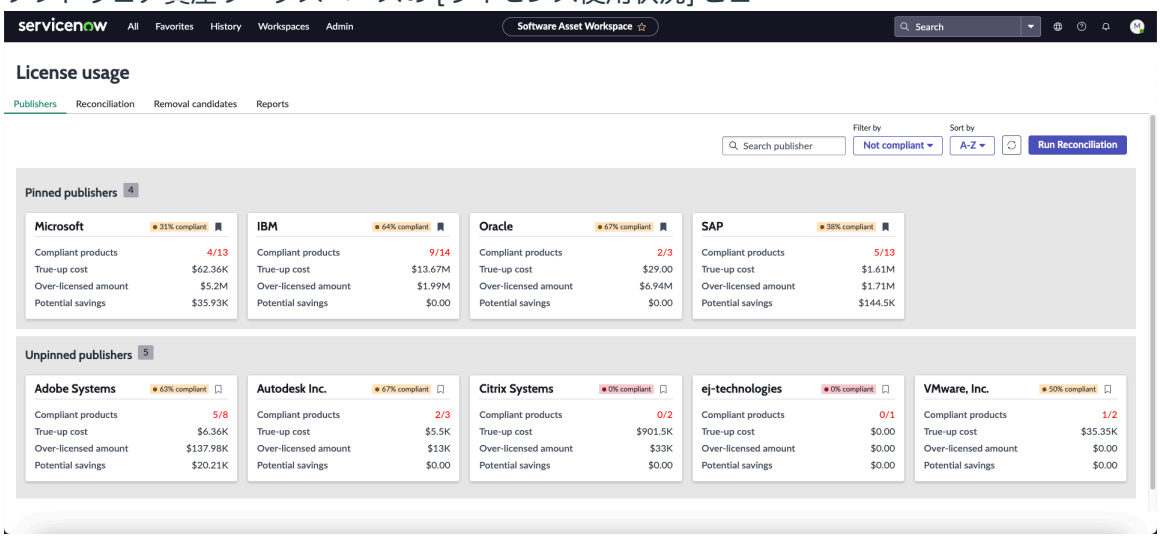
ソフトウェアパブリッシャーは、さまざまなライセンスモデルを使用してソフトウェアライセンスの使用方法を定義しているため、すべてのソフトウェアパブリッシャーでライセンスコンプライアンスを追跡することが難しくなる可能性があります。コンテンツライブラリから利用できる何千ものソフトウェア公開者に加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、 Now Platform と上位のサードパーティソフトウェア公開者の間で機能を拡張する公開者パックが提供されます。公開者パックを使用すると、指定されたソフトウェア公開者のライセンスを追跡および最適化するのに役立つ追加機能にアクセスできます。

SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡する

ソフトウェア資産管理 SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用すると、ServiceNow インスタンスをサードパーティの SaaS アプリケーションや SSO プロバイダーと統合できます。これらの統合により、 SaaS および接続された SSO アプリケーションからサブスクリプション使用状況データをプルして、使用状況を追跡し、コンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化できます。

ライセンスポジションを表示してアクションを実行

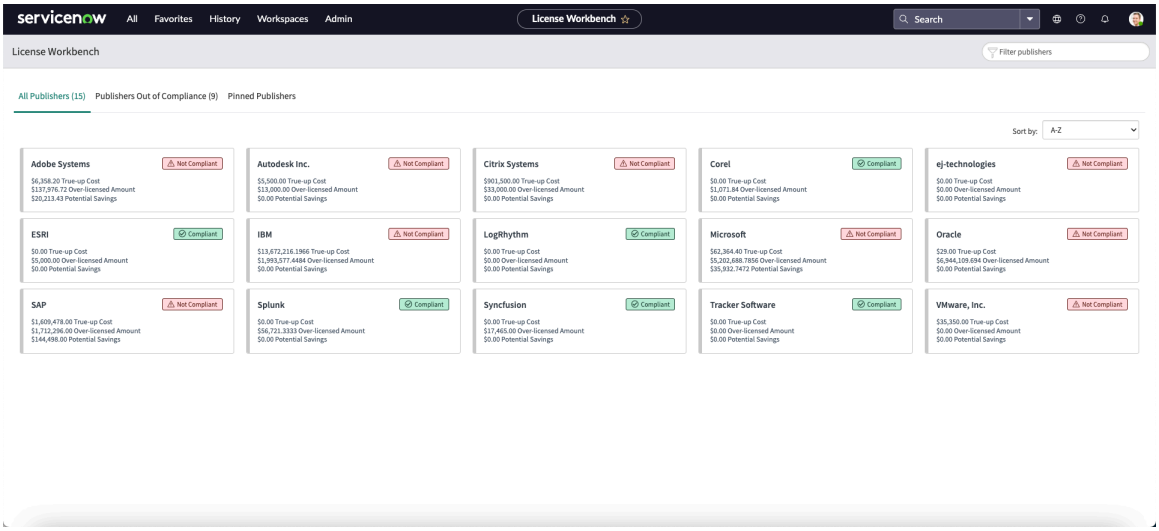
ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス使用状況] ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのライセンスワークベンチ



ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) およびライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) では、すべてのソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスの状況を一元的に表示できます。ライセンスのいずれかがコンプライアンス違反の場合は、指定された製品にドリルダウンして、提案された修復オプションを確認できます。ライセンスを効率的にコンプライアンス状態に戻すためのオプションを選択します。

ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア支出検出 アプリケーションを使用して、インポートされた財務トランザクションデータに基づいてソフトウェア支出を追跡し、最適化します。このデータを使用して、冗長ソフトウェアを特定して対処したり、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化または更新したり、管理されていないソフトウェア製品の管理を開始したりすることができます。

ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードを使用して、ビジネスプロセスを分析および改善します

ソフトウェア資産管理 アプリケーションには、パフォーマンスを追跡してビジネスプロセスを改善するのに役立つ実用的なデータ可視化を備えた事前構成済みのダッシュボードが用意されています。これらのダッシュボードを使用して、ライセンスコンプライアンス、 SaaS および SSO サブスクリプション、エンジニアリングアプリケーション、推奨されるライセンスの最適化、潜在的なコスト削減、正規化の傾向などを可視化します。

ハードウェア資産の正規化

ハードウェア資産管理アプリケーションは、ハードウェアモデルと消耗品モデルの資産データを正規化します。メーカーやデバイスタイプなどのコンテンツ更新を毎週実施することでデータを正規化し、正確かつ最新の状態に保つことができます。また、 ハードウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、調査、検証、更新のために、正規化されていないコンテンツを安全かつ匿名で ServiceNow に送信することもできます。

資産ライフサイクルの自動化

ハードウェア資産管理アプリケーションを使用して、ハードウェア資産の調達から廃棄までのライフサイクル全体を制御します。ハードウェア資産管理アプリケーションは、ハードウェア資産の財務、契約、およびインベントリの詳細を追跡することで、資産ライフサイクルの各ステージを自動化します。資産タスクを、展開、交換、スワップ、または廃止するために提供されます。資産アドミニストレーターは、資産タスクをインシデント、変更、および作業指示に割り当てることができるため、チケット解決の労力を減らし、より迅速なサービスを提供できます。資産タスクは CI と資産レコードを自動的に更新するため、手動入力によってデータが不正確になるリスクを排除できます。

自動翻訳

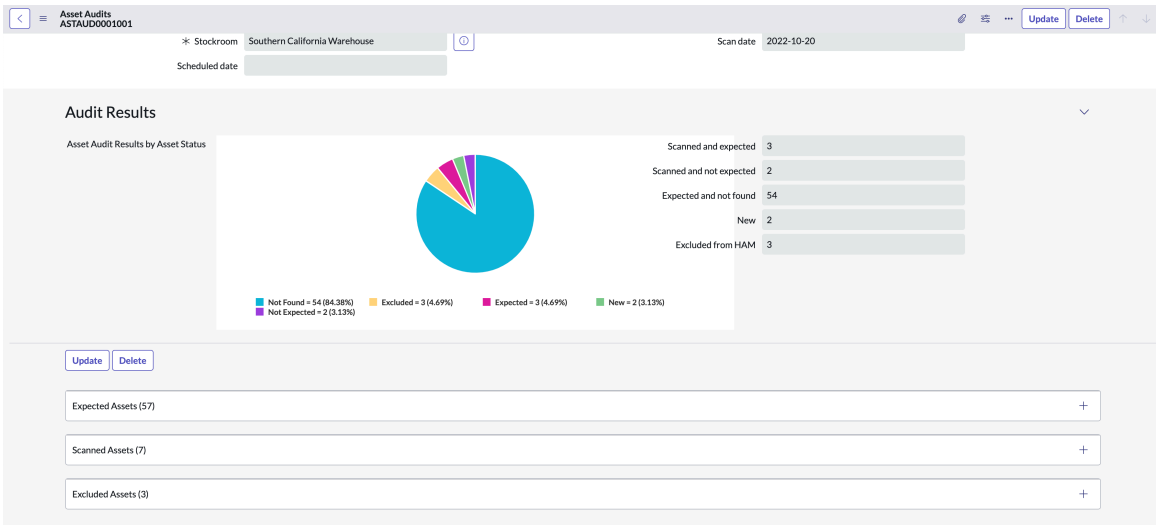
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

老朽化したハードウェア資産のリフレッシュ

ハードウェア資産がライフサイクルの終わりに近づくと、関連するメンテナンスコストと障害リスクが増加し、パフォーマンスが低下します。古いハードウェア資産を、同じまたは異なるハードウェアモデルの新しいハードウェア資産に置き換えることで、ハードウェア資産を最新の状態に保つことができます。

資産インベントリの監査

資産監査フォーム



ハードウェア資産管理アプリケーションを使用すると、ServiceNow モバイルエージェントおよびモバイルスキャン機能を使用して、特定のストックルームや場所の資産インベントリをキャプチャできます。スキャン結果を Now Platform に保存されているデータと比較することで、データ品質とインベントリプロセスのコンプライアンスを向上させることができます。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約の管理

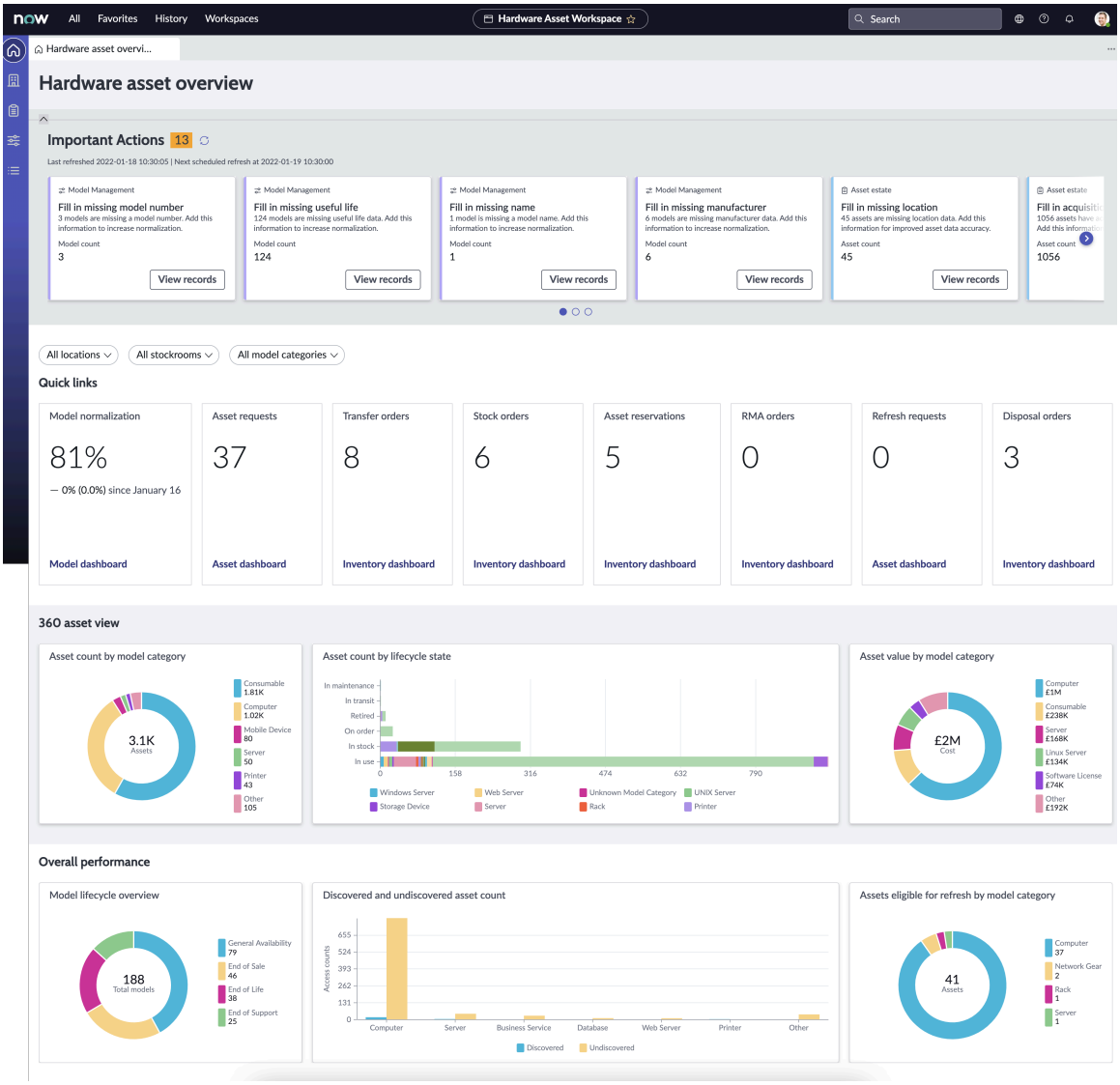
期限切れになるメンテナンス契約とリース契約に対するペナルティ請求を回避するには、期限切れになる前に通知を受け取り、それらの契約に対して措置を講じます。ハードウェア資産ダッシュボードを使用して、期限切れ間近の契約の統合リストを一元的に表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

専用ワークスペースを使用して資産マネージャーの生産性を向上

ハードウェア資産ワークスペースのハードウェア資産の概要



ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産一覧の直感的で一元化されたビューを作成します。ライフサイクルの終わりに近づいているモデルと資産、資産の健全性とステータス、ハードウェアと消耗品モデルの正規化ステータス、発注書 (PO)、在庫注文などを可視化します。ハードウェア資産ワークスペースには、資産ライフサイクルプロセスから推測作業を排除するのに役立つ重要なアクションも含まれています。

クラウド戦略を加速し、コストを削減する

application クラウドコスト管理 アプリケーションを使用すると、クラウド資産に関連付けられているあらゆるコストの分析が可能になります。自動操作または半自動操作を選択して、未使用、過剰にプロビジョニングされたクラウド資産、孤立したクラウド資産などのコスト最適化ターゲットを特定して修正できます。

学習

- IT Asset Management (ITAM) とは
- ソフトウェア資産管理 (SAM) とは
- プロビジョニングとは何ですか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンタープライズSaaSとは?
- SaaSライセンス管理とは?
- バーコード在庫システムとは?
- インベントリ管理とは?
- IT 資産追跡とは
- エンタープライズ資産管理 (EAM) とは?

始めましょう

- 実装スペシャリストと協力して ソフトウェア資産管理 セットアッププロセスを簡素化します。詳細またはデモを表示するには、 Customer Success Center を参照してください。
- ServiceNow ソフトウェア資産管理の基礎トレーニングプログラムおよび認定 にサインアップして、コア ソフトウェア資産管理 機能とリリース固有の機能について学びます。
- ソフトウェア資産管理 (SAM) 入門 コースにサインアップして、ソフトウェア資産管理 アプリケーションの基本的な概念と用語を学習します。
- で要求して クラウドコスト管理 をインストールします。 ServiceNow Store Webサイトにあります
- で要求して デバイスアズアサービス をインストールします。 ServiceNow Store Webサイトにあります

アプリケーションと機能

- ソフトウェア資産管理
- ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist
- Hardware Asset Management (ハードウェア資産管理)
- Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理)
- クラウドコスト管理
- 契約管理
- 調達
- Product Catalog (製品カタログ)
- IT Asset Management コンテンツ要求
- IT Asset Management のライセンス

Software Asset Management

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションは、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を体系的に追跡、評価、および管理します。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

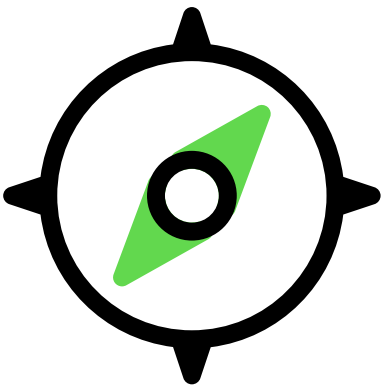
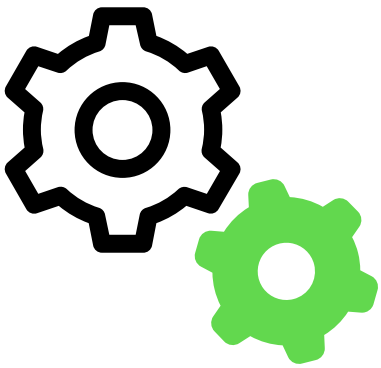
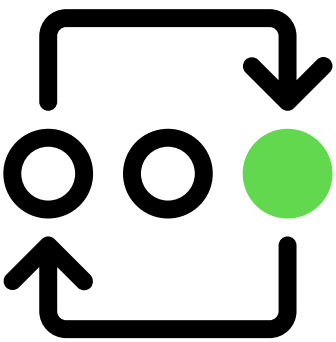
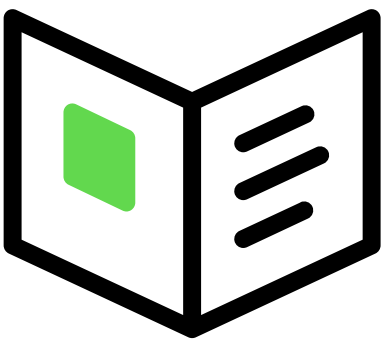
https://player.vimeo.com/video/995307472?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Now Platform Yokohama リリース以降、ソフトウェア資産管理クラシックユーザーインターフェイスに対して限定的なサポートが提供されます。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

資産管理 のITSM ソフトウェア資産管理機能については、「ITSM ソフトウェア資産管理」を参照してください。

探索  ソフトウェア資産管理アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。	構成  機能とコンポーネントを構成します。	使用 直感的で新しいユーザーインターフェイスを使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。
統合  SaaS アプリケーションと統合することで、ソフトウェア資産管理機能を拡張します。	サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス Now Platform とサードパーティソフトウェアアプリケーションの間で機能を拡張するために使用できる公開者パックの詳細を取得します。	参照  フィールド、ロール、ライセンス契約タイプなどのコンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

学習

ソフトウェア資産管理 (SAM) とは

ソフトウェア資産管理 の探索

ソフトウェア資産管理 アプリケーションのユーザーインターフェイスが強化され、よりユーザーフレンドリーで直感的になり、ソフトウェアインストールをより適切に管理できるようになりました。

Now Platform Yokohama リリース以降、ソフトウェア資産管理 クラシックユーザーインターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

ソフトウェア資産ワークスペースの使用

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_samp_master_ws) を含む、新しいすべてのソフトウェア資産管理プロフェッショナルのアクティブ化プラグインをアクティブ化すると利用できます。このプラグインをアクティブ化すると、 Activate all Software Asset Management Professional プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset Workspace プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブになります。新しいプラグインをアクティブ化すると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。

Yokohama より前のリリースでは、古い ソフトウェア資産管理 Professional プラグイン (com.sn_samp_master) を有効にした場合、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化すると、ソフトウェア資産ワークスペースを使用できます。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後は、従来のソフトウェア資産管理アプリケーションに戻すことはできません。

> **注:**
> ソフトウェア資産ワークスペースをアクティブ化すると、ソフトウェア資産ワークスペースに移動された機能のクラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションのメニューが非表示になります。

ソフトウェア資産ワークスペースの構成と使用の詳細については、「ソフトウェア資産管理の構成」および「ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの使用

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションを引き続き使用するには、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする必要があります。

その後でソフトウェア資産ワークスペースを使用することになった場合は、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にする必要があります。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成と使用の詳細については、「ソフトウェア資産管理の構成」および「ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用」を参照してください。

ソフトウェア資産管理クラシックに引き続き存在するメニュー

ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインをアクティブ化した後でも、次のメニューはクラシックフレームワークに残ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産		
ソフトウェア資産デマンド • 新規作成 • デマンド • デマンド要件 アドミニストレーション • カスタム製品 • カスタム品番 • カスタムライセンスのメトリクス • ソフトウェア資産デマンドアクション • 正規化ルールのカスタマイズ • 再利用ルール • ジョブ結果 • コンテンツサービス設定 • プロセッサ定義を更新 • ソフトウェアの移行の結果 • プロパティ • カスタマイズを元に戻す • 非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデル SaaS ライセンス • 認識されないサブスクリプション識別子 • SSO データ連携プロファイル • 直接統合プロファイル SAP コンプライアンスおよび最適化 • SAP 接続 • 接続のセットアップ • インポートスケジュール • 変換履歴		

ソフトウェア資産管理の概要

ソフトウェア資産管理アプリケーションの機能の概要。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 機能は、これらの主な機能で構成されています。

特長エリア	説明
ダッシュボード	これらのダッシュボードには、お使いの環境のソフトウェアインストールの結果が統計とチャート形式で表示されます。 • ソフトウェア資産アナリティクス:概要、ライセンスサマリー、コンプライアンスサマリー、および削除サマリー • 正規化とコンテンツサービス:正規化のトレンドチャート • ソフトウェアパブリッシャーアナリティクス: Citrix、 IBM、 Microsoft、 Oracle、 SAP、 VMware。 **注:** ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードを表示するには、パブリッシャーパックアドオンを有効にする必要があります。 • Office 365 と Adobe Cloud **注:** Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示するには、Publisher Pack アドオンをアクティブ化する必要があります。 • ソフトウェア資産管理:概要、最適化、コンプライアンス分析
ライセンス	インストールされているすべてのソフトウェア製品用に作成されたソフトウェア モデルは、ソフトウェア インストール (使用されているソフトウェア)とエンタイトルメント (所有されているソフトウェア) を結びつけるために使用されます。エンタイトルメントはライセンスの詳細を定義し、ソフトウェア モデルに割り当てられます。 機能には、パブリッシャーの品番のルックアップ、コアおよびプロセッサーごとの共通ライセンスメトリクス、エンタイトルメントディスカバリーマップ、除外リスト、クライアントアクセス、ライセンス変更予測、エンタイトルメントのインポート、およびエンタイトルメントのインポートエラー結果リストが含まれます。
ディスカバリーと標準化	ServiceNow ディスカバリー や Microsoft SCCM (2012 v2 または 2016) などのディスカバリープロセスを使用して、環境にインストールされているソフトウェアを検出できます。 正規化プロセスは、検出された公開者、検出された製品、および検出されたバージョンの値を、正規化された同等物の ServiceNow リポジトリと比較します OOB 正規化ライブラリには、パブリッシャーと製品を除くすべてのコンテンツが含まれています。ソフトウェア製品が [ソフトウェア] ライブラリーに存在しない場合、カスタム製品を作成できます。検出されたソフトウェアは、調整のために手動で正規化することもできます。ソフトウェアディスカバリーモデルは、検出されたソフトウェアインストールと照合されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特長エリア	説明
	機能には、部分的、完全、および公開者の正規化、ライセンスワークベンチ、ライセンスポジションレポート、カスタムパターン正規化ルール、正規化の提案、オンプレミスのカスタマーサポート、およびパターン正規化ルールで正規化ライブラリを更新するためのオプションの ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスが含まれます。 Integration — Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。 **注:** 従来の SCCM プラグインである SCCM 2012 および SCCM 2016 は、今後のリリースで廃止されます。統合を初めて作成する場合は、 Microsoft SCCM サービスグラフコネクタ SG コネクタから開始します。これらのプラグインのいずれかを既に使用している場合は、ServiceNow Store で Migration Readiness Tool for Service Graph Connector for SCCM というタイトルのアプリケーションを使用して、サービスグラフコネクタへの移行を準備します。
照合	調整プロセスは、ディスカバリーとエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを計算します。 削除候補は、ソフトウェア権限の再利用に使用できる未使用のソフトウェアに対して生成されます。 機能には、調整、グループ化、およびコンプライアンスの問題を解決するための修復アクションが含まれます。
最適化	再利用プロセスでは、デバイスからソフトウェアをアンインストールし、それらのソフトウェア権限を再利用することで、非準拠を修正します。再利用プロセスは、 クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) を使用して自動化できます。 機能には、削除候補とワークフロー、再利用ルールの作成、ソフトウェア使用状況リスト、および 調達 統合を使用した発注書の直接作成のサポートが含まれます。詳細については、「 調達の概要 」を参照してください。
ダウングレード権限	ライセンスのダウングレードの概念は、 ソフトウェア資産管理 プラグイン機能に組み込まれています。ダウングレード権限は、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得し、その権利を使用して同じソフトウェアの以前のバージョンをライセンスするプロセスです。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産管理アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産ワークスペース 横向き

ソフトウェア資産ワークスペースは、複数のビューを持つ統一されたメディアです。これらのビューでは、エンタイトルメント、ソフトウェアモデルの作成、調整結果の実行とレビュー、非準拠の修正、ソフトウェア資産の可視化、ダッシュボードを介したアナリティクスへのアクセスを行うことができます。さらに、すべての関連リストの [エクスポート] ボタンを使用して、ソフトウェア資産ワークスペースから資産情報をエクスポートできます。Xanaduより前のバージョンのエクスポート機能を使用するには、ナレッジベース記事KB1709844 を参照してください。

ソフトウェア資産ワークスペースには次のビューが含まれています。

- ソフトウェア資産の概要: ソフトウェア資産ワークスペースのランディングページ。エンタイトルメントを作成し、調整を実行し、主要なメトリクスを表示し、ソフトウェア資産に関する時間制限付きアラートと通知を取得できます。
- ライセンス使用状況:すべての公開者のコンプライアンスステータスの表示、調整結果の確認、使われていないソフトウェアの再利用、レポートの表示と実行を行うことができます。
- ライセンス操作:すべてのエンタイトルメント、ソフトウェアモデル、インポートエンタイトルメントエラー、ディスカバリーモデルを一覧表示します。
- ソフトウェア資産分析: SaaS、検出されたインベントリ、最適化、ライフサイクル管理、クラウドコストシミュレーター、エンジニアリングライセンス、正規化とコンテンツの統合ダッシュボードを表示します。
- での成功ポータルビュー ソフトウェア資産ワークスペース:環境内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションのパフォーマンスを評価します。
- 更新カレンダー:有効期限が近づいているエンタイトルメントと有効期限が近づいている契約、または既に期限切れになっている契約を表示します。
- 重複する使用状況: SaaS および SSO アプリケーションの機能レベルの使用状況を表示します。
- コンテンツルックアップ: ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

ソフトウェア資産の概要

最新の分かりやすいソフトウェア資産概要ビューを使用して、 ソフトウェア資産管理エクスペリエンスを向上させます。ソフトウェア資産の概要は簡素化されて直感的に使用できる環境で、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ソフトウェア資産の概要ビューを使用して、次の操作を行います。

- コンプライアンスの傾向、調整コスト、節減見込み、正規化レートなどの重要な測定基準に関するインサイトを得ます。
- 調整の実行やエンタイトルメントの作成などのルーチンタスクの実行
- アラートと通知を使用して、ソフトウェア資産に関するアクション可能なインサイトを取得します。
- 製品またはパブリッシャーでソートして、結果を絞り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

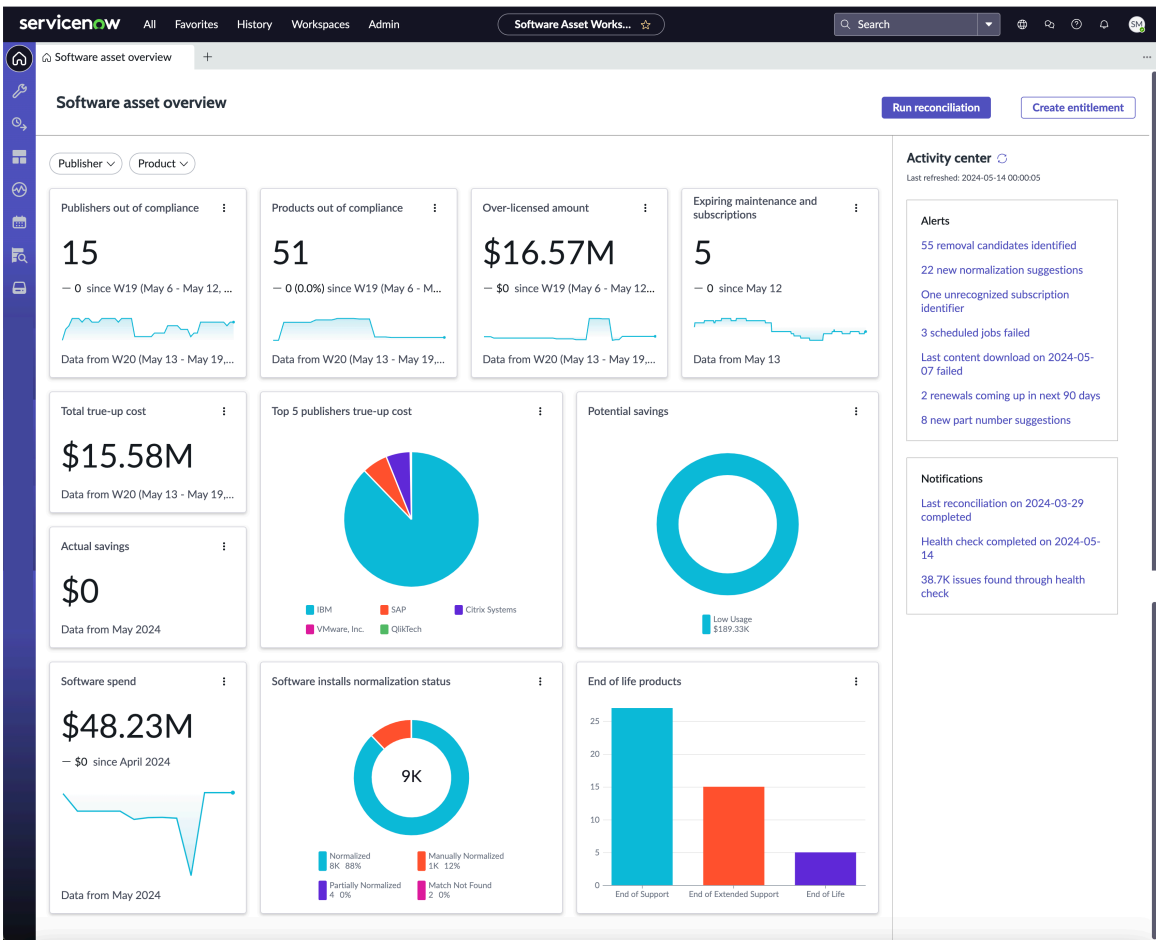
- 公開ステータスでフィルタリングして、 ソフトウェア資産管理の段階的な実装で管理するソフトウェア製品のみに関連するレポートとダッシュボードを表示します。

  注:
  公開ステータスフィルターは、 ServiceNow インスタンスでシステムプロパティ com.snc.samp.manage.published.products が有効になっている場合にのみ表示されます。デフォルトでは、このフィルターは [公開済み] に設定されており、次のレポートには公開済み製品の詳細が表示されます。

  - コンプライアンス違反公開者
  - コンプライアンス違反製品
  - ライセンス供与過剰金額
  - 総調整コスト
  - 上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト
  - ソフトウェア支出

  ただし、このフィルターを 未公開 に設定することで、公開されていない製品に関連するレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開ステータス] フィルターをクリアします。

ソフトウェア資産の概要ビュー



任意のウィジェットを選択すると、詳細情報が表示されます。ウィジェットはすべて、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

結果を絞り込むために、パブリッシャーまたは製品でワークスペースをフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
フィルターで複数の公開者を選択し、[コンプライアンス違反の公開者] ウィジェットを選択すると、すべての非準拠公開者が一覧表示されます。製品についても同様です。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード

レポート	ソース	説明
コンプライアンス違反公開者	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択して、[ライセンス使用状況] ビューに結果を表示します。
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択して、[ライセンス使用状況] ビューに結果を表示します。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果 [samp_product_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA • 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントの詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		注: メンテナンスエンタイトルメントと SA エンタイトルメントは、関連付けられている無期限エンタイトルメントが表示されるため、表示されません。
総調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャーによる権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	上位 5 つのパブリッシャーは、調整コストの順に円グラフで示されています。
節減見込み	製品の結果 [samp_product_result]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ドーナツグラフにカーソルを合わせると、特定の理由の削除候補の数がコストとともに表示されます。削除候補は理由別にグループ化されます。ドーナツグラフ上の理由を選択すると、その具体的な理由を含む削除候補のリストが表示されます。
節減実績	再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントの合計ソフトウェアコスト。
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。 ドーナツグラフで標準化ステータスを選択すると、ディスカバリーモデルのリストと各ディスカバリーモデルのインストール数が表示されます。さらにディスカバリーモデルを選択して、ソフトウェアインストールのリストを表示できます。 このウィジェットのレポートは、次の日次スケジュール済みジョブが実行された後にのみ入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		• SAM:コンテンツライブラリルールを使用してディスカバリーモデルを正規化する • SAM:日次ジョブ 注: このウィジェットに適用できるのは製品フィルターのみです。
提供終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終了が近いソフトウェア製品のライフサイクルのグラフ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

アクティビティセンター

ソフトウェア資産に関するアラートと通知を取得します。これらのアラートと通知は本質的に非同期です。アクティビティセンターには、すぐに注意を払う必要のあるアクションを通知する事前定義された一連のアラートが表示されます。注意が必要なイベントまたはアクティビティに関する通知もアクティビティセンターに表示されます。詳細については、アラートまたは通知を選択してください。

sam_user ロールを持つすべてのユーザーは、sam_admin ロールを必要とする次のアラートを除き、すべてのアラートと通知にアクセスできます。

- スケジュール済みジョブが失敗しました。
- 前回のコンテンツダウンロードが失敗しました。

アクティビティセンターのアラート

アラート	ソース	説明
削除候補を特定	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	アクティブステータスが true で、ステータスが ready である新しい削除候補。 [ライセンス使用状況] ビューで削除候補のリスト全体を表示する場合に選択します。
新しい正規化の提案	正規化の提案 [samp_normalization_suggestions]	ステータスが new の場合に作成された正規化提案レコード。 新しい正規化の提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
認識されないサブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_id]	ソフトウェア モデル列が空の場合、認識されないサブスクリプション ID が識別されます。
新規ソフトウェア要求	要求 [sc_request]	要求ステータスが承認待ちのソフトウェア要求。 クラシック版のソフトウェア資産管理インターフェイスでソフトウェア要求リストを表示する場合に選択します。
前回の調整失敗 (Last reconciliation failure)	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のスケジュール済みジョブが失敗しました。 [ライセンス使用状況] ビューに結果を表示する場合に選択します。 **注:** 調整プロセスのステータスに応じて、前回の調整失敗 (アラート) または前回の調整完了 (通知) が表示されます。調整プロセスが失敗した場合は、アラートが表示されます。調整プロセスが成功した場合、通知が表示されます。
スケジュール済みジョブが失敗しました	ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log]	過去 1 週間以内の前回の実行で失敗したスケジュール済みジョブ。 選択すると、ソフトウェア資産ジョブログが新しいタブで開きます。 **注:** sam_admin ロールを持つユーザーのみが、ソフトウェア資産ジョブの結果テーブルにアクセスできます。
エンタイトルメントのインポートエラー	エンタイトルメントのインポートエラー [samp_entitlement_import]	エラーステータス列の値がオープンになっているエンタイトルメントのインポートエラー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
購入受領書を介して作成された新しいエンタイトルメントインポートエラー	エンタイトルメントのインポートエラー [samp_entitlement_import]	発注書 (PO) に調達統合プロファイルが関連付けられているエンタイトルメントインポートエラーの数。 **注:** このアラートは、 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。
前回のコンテンツダウンロードが失敗しました	資産のジョブ履歴 [asset_job_log]	コンテンツダウンロードの最新のスケジュール済みジョブが失敗しました。 **注:** sam_admin ロールを持つユーザーのみが、資産ジョブログテーブルにアクセスできます。
失敗： <<.xlsx>> のエンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	成功または失敗に基づくエンタイトルメントのインポートステータス。失敗ステータスがアラートとして表示されます。あるいは、完了ステータスのいずれかが次の通知として表示されます。 • 完了：エンタイトルメントのインポート • エラーで完了：エンタイトルメントのインポート
新しい CPE 正規化の提案	CPE 正規化の提案 [sn_samp_vr_cpe_mapping_suggestion]	ステータスが new の場合に作成された CPE 正規化提案レコード。 新しい CPE 正規化提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
90 日以内に予定されている更新の数	• 契約 [ast_contract] • ソフトウェア ライセンス [alm_license]	90 日以内に予定されているソフトウェア契約とエンタイトルメントの更新の数。 アラートを選択すると、現在の日付から 90 日以内に予定されている更新が表示されます。

アクティビティセンターの通知

Notifications	ソース	説明
先週特定された新しい SSO アプリケーション	SSO アプリケーション [samp_sso_application]	Single Sign-on (SSO) ステータスが「切断」で、現在の日付から過去 1 週間以内に作成された新しい SSO アプリケーション。
前回の調整が完了しました	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のスケジュール済みジョブが正常に完了しました。 [ライセンス使用状況] ビューに結果を表示する場合に選択します。
提供終了間近の製品	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	ライフサイクルの終了が近く、インストール数が 0 より大きい製品。
ライブラリに新しい PPN が追加されました	ソフトウェア製品定義 [samp_sw_product_definition]	新しい PPN が、現在の日付と比較して最新のコンテンツバージョンで、コンテンツサービスライブラリーに追加された。
ソフトウェア資産デマンドが承認されました	ソフトウェア資産デマンド [samp_demand]	ソフトウェア資産デマンドを承認されたものでフィルタリングしたリストビュー。
完了：エンタイトルメントのインポート または エラーで完了：エンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	エンタイトルメントのインポートが正常に完了したか、エラーが発生して完了しました。 **注:** エンタイトルメントのインポートに失敗した場合は、アラートとして表示されます。
購入受領書を介して作成された新しいエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	調達統合プロファイルが関連付けられている発注書 (PO) から作成されたエンタイトルメントの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターの通知 (続く)

Notifications	ソース	説明
		注: この通知は、 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。

[ライセンス使用状況] ビュー

ライセンス使用状況ビューを 1 つのプレーンとして使用して、すべてのソフトウェア製品のライセンスポジションの把握、コンプライアンス違反の修正、調整結果の表示、削除候補の表示または追加、 ソフトウェア資産管理 関連レポートの表示を行います。

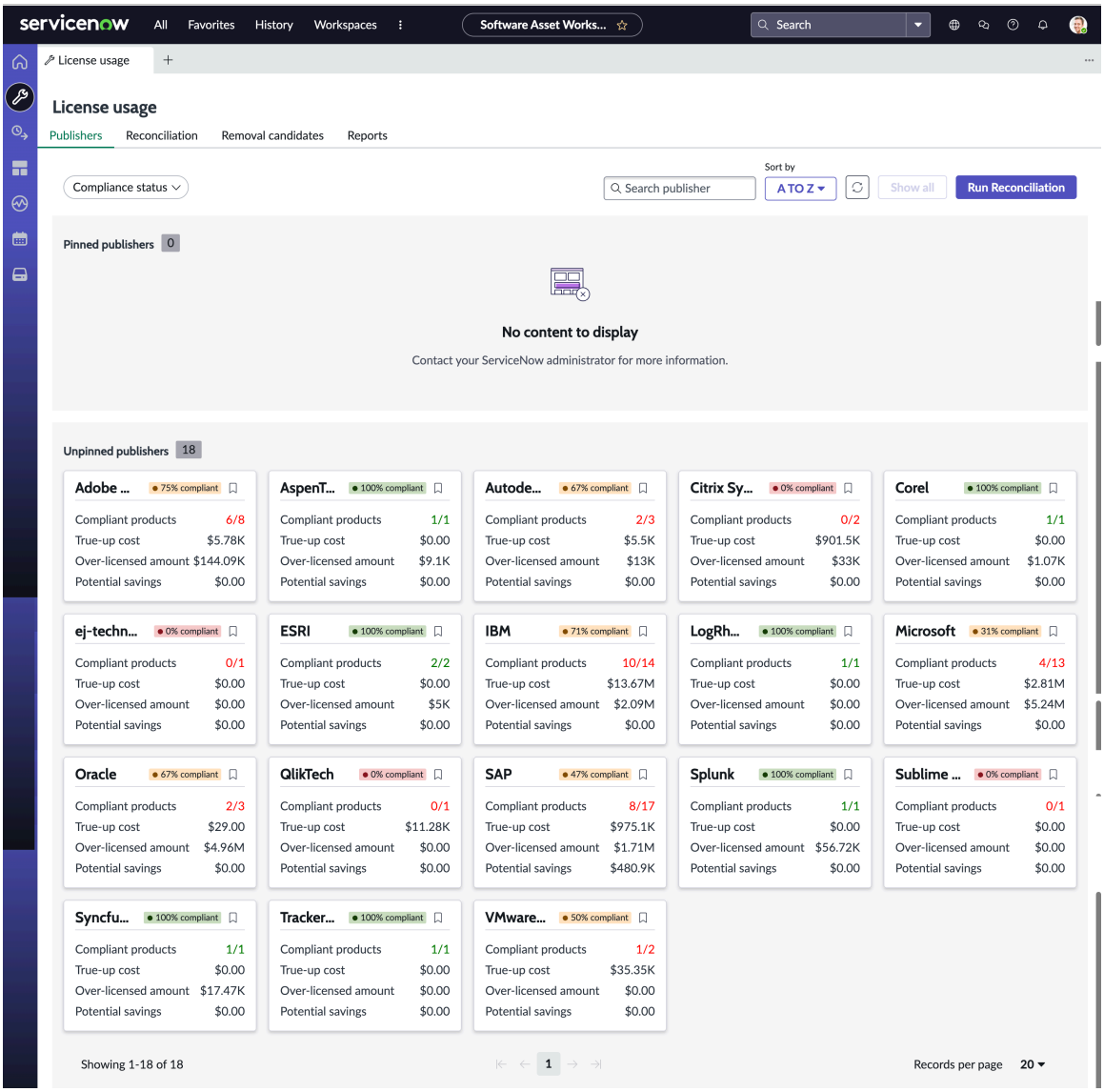
ライセンス使用状況ビューでは、組織のライセンス使用傾向を表示でき、購入したライセンス数に対して必要なライセンス数を傾向分析することで、組織のニーズを予測するのに役立ちます。ソフトウェアの消費が所有する権利の数を超える前に追加の権利を購入することで、ライセンスポジションを管理します。

[ライセンス使用状況] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンス使用状況] ビュー



ライセンス使用状況ビューを使用して、次の操作を行います。

- 公開者を固定する (ユーザー固有、保存済み)。
- ライセンス供与過剰金額や調整コストなど、公開者の主要なメトリクスを表示します。
- ドメインとコンプライアンスステータスによるフィルタリング
- 調整コスト、ライセンス供与過剰金額、見込まれる節減額でソートします。
- 調整を実行し、その結果を表示します。
- 前回の調整実行についての通知
- 新しい削除候補を表示して追加します。
- レポートの表示とエクスポート
- ソフトウェア資産管理 の段階的な実装の一環として公開したソフトウェア製品に固有の公開者カードを表示します。詳細については、「ソフトウェア製品の特定のセットの公開」を参照してください。

> **注:**
> 公開ステータスのフィルターが自動的に適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[パブリッシャー] タブ

すべての公開者のコンプライアンスステータスを表示します。各パブリッシャーカードには、コンプライアンスの割合とともに、コンプライアンスステータスが色分けされて表示されます。製品が準拠すると、色が緑色に変わります。

- 準拠:緑色で示されます。パブリッシャーのすべての製品は準拠しています。
- 非準拠:赤色で示されます。パブリッシャーのすべての製品は準拠していません。

パブリッシャーカードの赤色 、そのパブリッシャーの調整が失敗したことを示します。カードを開いて詳細を確認します。どの製品が失敗したかについて詳しくは、「パブリッシャーの詳細」ページのナビゲーション・ツリーを参照してください。

注:
公開者カードに赤いアイコンが表示されていても、製品の結果が生成される前にエラーが発生した可能性があるため、ナビゲーションツリーに失敗した製品に気付かないことがあります。

固定された公開者が表示され、その後に固定されていない公開者が表示されます。選択した公開者のコンプライアンスを表示するために、簡単にアクセスできるように公開者を固定できます。カードのブックマークアイコンを選択して固定します。パブリッシャーカードを固定するとすぐに、[固定されていないパブリッシャー] セクションから [固定されたパブリッシャー] セクションに移動します。

注:
固定された公開者のリストは、ユーザーごとに保存されます。固定されたパブリッシャーは、固定されたユーザーパブリッシャー [samp_pinned_user_publisher] テーブルに保存されます。

公開ステータスフィルターを使用して、 ソフトウェア資産管理 の段階的な実装で管理するソフトウェア製品に関連する公開者カードを表示します。公開ステータスでフィルタリングすると、[ライセンス使用状況] ビューがわかりにくくなります。

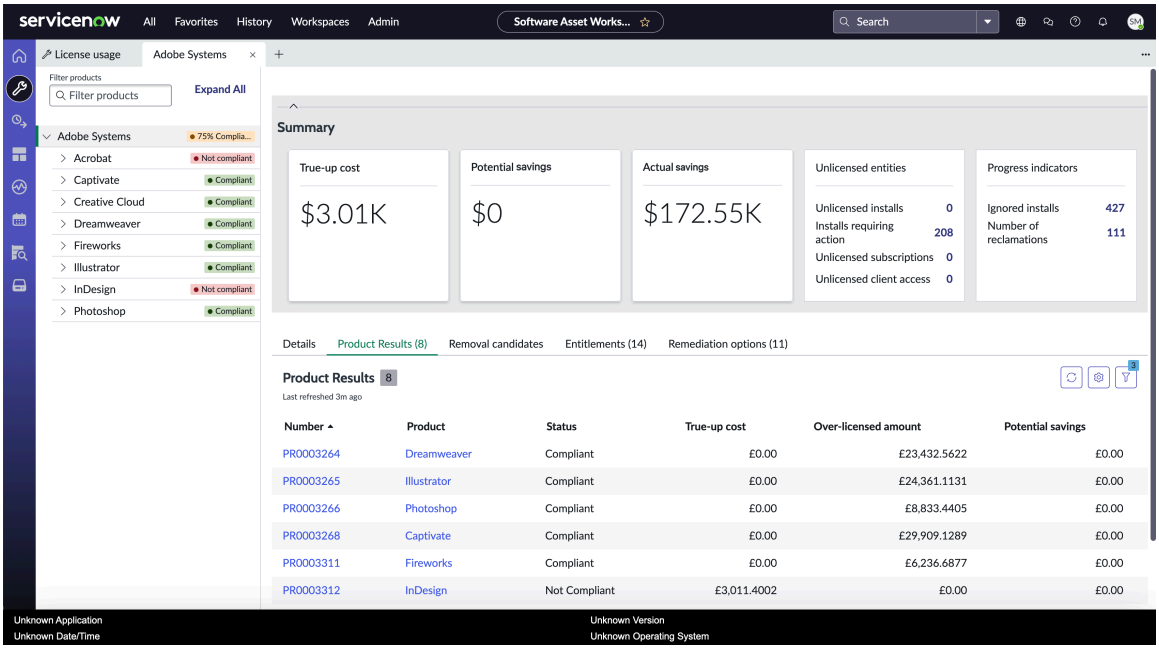
注:
公開ステータスフィルターは、ServiceNowインスタンスでシステムプロパティ`com.snc.samp.manage.published.products`が有効になっている場合に表示されます。デフォルトでは、このフィルターは [公開済み] に設定され、すべての公開者カードに公開済み製品の詳細が表示されます。ただし、このフィルターを [未公開] に設定することで、公開されていない製品に関連するライセンスコンプライアンスレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開ステータス] フィルターをクリアします。

公開者に関するコンプライアンスの詳細を表示するには、公開者カードを選択します。その公開者のコンプライアンスの概要が [公開者の詳細] ページに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーの詳細ページ



パブリッシャーのナビゲーションツリーが、次のいずれかの準拠ステータスで [パブリッシャーの詳細] ページに表示されます。

- 準拠:調整が正常に完了し、インストールとサブスクリプションが準拠していると判断されました。
- 非準拠:調整は正常に完了し、インストールとサブスクリプションが購入したライセンスに準拠していないと判断されました。
- 失敗:調整エラーが発生したため、コンプライアンスを正しく判断できません。製品に障害が発生すると、ソフトウェア モデルの結果など、その製品の下にあるすべてのものも障害が発生します。

ナビゲーションビューには、公開された製品のライセンスコンプライアンスの詳細が表示されます。パブリッシャーの指標テーブルに記載されているレポートまで下にスクロールして、公開済み製品の詳細を表示します。他の未公開製品の詳細とコンプライアンス結果を表示する場合は、[公開済み] ステータスフィルターを [未公開] に設定する必要があります。

ナビゲーションビューでは、ライセンスを使用していないソフトウェアモデルの横に非消費アイコンが表示されます。このようなソフトウェア モデルは常にツリーの下部に配置され、そのソフトウェア モデルの結果は表示されません。

メトリクスの簡単な概要が、その公開者に関連する関連リストとともに表示されます。メトリクスの詳細については、「パブリッシャーメトリクス」表を参照してください。関連リストの詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ナビゲーションツリーでは、次のアクションを実行できます。

- 製品、ソフトウェアモデル、またはライセンスメトリクスにドリルダウンして、最新の調整結果からの計算とコンプライアンス情報を表示します。
- 製品をフィルタリングします (折りたたまれたアイテムを含む、アクティブなフィルタリング)。
- ツリーリンクの展開と折りたたみ。

デフォルトでは、ナビゲーションツリーは折りたたまれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーメトリクス

レポート	ソース	説明
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	必要な最小の権限数 (必要な権限にエンタイトルメントから権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補からの見込み節減額の合計。 レポートを選択すると、削除候補のリストが表示されます。
節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に達成された合計節減額。 レポートを選択すると、削除候補のリストが表示されます。
ライセンスのないエンティティ	ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] Oracle オプション [samp_oracle_options]。 SAP ユーザー [samp_sap_system_user] SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access] エンティティにライセンスがない理由 [samp_entity_unlicensed_reason]	この公開者、製品、およびソフトウェアモデルのライセンスのないエンティティを示します。インジケーターの一部を次に示します。 • ライセンスなしのインストール:いくつかのエンタイトルメントを購入したが、所有している権限が権限を必要とするすべてのエンティティをカバーするのに十分ではないインストールを指します。 • アクションが必要なインストール:CI、エンタイトルメント、ソフトウェアモデルのセットアップに関する問題など、インストールの問題を修正するために実行する必要があるアクションを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
		注: インストールに複数の問題がある場合があります。インストールの問題を完全に解決するには、各問題に対処する必要があります。したがって、進行状況インジケーターに表示される数値とドリルダウン時の詳細が一致しない場合があります。インストールのすべての問題が修正されていることを確認してください。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスのないサブスクリプション。 • ライセンスのないクライアントアクセス:CAL レコードをカバーするエンタイトルメントに対する十分な権限がないために、ライセンスのない CAL レコードを指します。 各カテゴリの横にある番号を選択すると、ライセンスなしステータスの理由や原因など、各インストールの詳細な説明が表示されます。
進捗状況インジケーター	ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] 要求アイテム [sc_req_item] 削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	この公開者、製品、およびソフトウェア モデルに対して既に行われたコンプライアンスの進捗状況を示します。進捗状況インジケーターは公開者ごとに異なります。インジケーターの一部を次に示します。 • 無視されたインストール:調整プロセスから無視されたインストール。 • 削除候補:作成された削除候補の数。 各カテゴリの横にある番号を選択すると、各インストールの詳細な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[調整] タブ

このタブでは、すべての履歴調整結果を次のステータスとともに表示できます。

- 完了:すべての製品とパブリッシャーの調整が正常に完了した場合。
- 失敗:すべての製品と公開者が調整に失敗した場合。
- 一部完了:一部の製品またはパブリッシャーのみが調整を正常に完了した場合。

最新の調整実行の結果が [ライセンス使用状況] ビューに表示されます。詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

[削除候補] タブ

このタブには、すべての削除候補のリストが表示されます。削除候補は、使用されていないソフトウェアインストールを再利用するために使用されます。

削除候補を作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する」を参照してください。

[レポート] タブ

このタブからレポートを作成、表示、および実行できます。このタブでは、次のすべてのベースシステムレポートを使用できます。

- ソフトウェア製品ライフサイクル
- ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション
- Azure BYOL 節減実績レポート
- 非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデル
- Oracle 合意ごとの DB サーバー展開レポート
- Oracle インフラストラクチャレポート
- Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポート
- SaaS 検出レポート

レポートを作成および管理するには、「 ワークスペースでのレポートの作成と管理」を参照してください。

ライセンス操作ビュー

ソフトウェア資産ワークスペース の [ライセンス操作] ビューを使用して、ライセンス、契約、検出、クライアントアクセス、リソース値、ユーザーサブスクリプション、コンテンツの提案、ソフトウェア資産の成功、クラウドコストシミュレーション、SAM の実装、IBM ASP、IBM ILMT V2 統合などのソフトウェア資産の操作を管理します。

[ライセンス操作] ビューにアクセスするには、 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.

ライセンス操作ビューのソフトウェア資産のリストビューには、 **SAM** ワークスペースライセンス操作リストカウント制限 システムプロパティ (*sn_sam_workspace.sam_license_operations_list_count*) で指定された値に基づいて、組織の合計レコード数が表示されます。レコード数のデフォルト値は **5000000** に設定されています。ただし、SAM アドミニストレーターは、必要に応じてシステムプロパティでカウントの値を設定できます。レコードが 500 万件未満の場合は、正確な数が表示されます。500 万を超えるレコードがある場合、カウントは 5,000,000+ と表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス操作ビューには、次のカテゴリが含まれています。

- ライセンス
  - ソフトウェアエンタイトルメント

    ソフトウェアライセンスの期間を記録するソフトウェアエンタイトルメントの詳細を表示します。エンタイトルメントを作成してライセンスの詳細を入力し、購入した権限をユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

  - ソフトウェアモデル

    作成されたソフトウェアモデルの詳細を表示し、ソフトウェアモデルも作成します。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

  - エンタイトルメントのインポート

    インポートされたエンタイトルメントの詳細を表示し、一度にエンタイトルメントもインポートします。詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

  - エンタイトルメントのインポートエラー

    ソフトウェアエンタイトルメントのインポート中に生成されるエンタイトルメントインポートエラーの詳細を表示します。詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーフィールド」を参照してください。

  - ソフトウェアライフサイクル平均

    ソフトウェアのサポート終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) ライフサイクルを計算するための平均を作成します。詳細については、「ワークスペースでの製品ライフサイクルの平均を作成」を参照してください。

  - 消費ルール

    ライセンス消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。このルールは 1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。詳細については、「消費ルールの作成」と「消費ルールをエンタイトルメントにリンク」を参照してください。

  - 製品のインストール条件

    調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルのインストールを考慮に入れた製品のインストール条件を表示します。これらのインストール条件は、ソフトウェア製品とそのすべてのコンポーネントに適用されます。たとえば、 Microsoft Visual Studioを購入した場合は、非本番環境でのみライセンスを使用するための Visual Studio を使用するように製品のインストール条件を設定します。これらの条件は、ダウングレードやエディションを含む、 Visual Studioのすべてのソフトウェアモデルに適用されます。詳細については、「製品のインストール条件の作成」を参照してください。

  - ソフトウェアのインストール

    ディスカバリーモデル、公開者、調整の詳細など、ソフトウェアインストールの詳細を表示します。リストビューには、組織のソフトウェアインストールレコードの合計数も表示されます。詳細については、「ソフトウェア インストール フィールド」を参照してください。

- 契約:ソフトウェア契約

  2 者間の契約をバインドするソフトウェア契約を作成します。 契約を作成する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **Discovery** (ディスカバリー)
  - 検出されたエンジニアリングライセンス

    エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

  - ディスカバリーモデル

    ネットワーク環境でソフトウェアのバージョンが検出されたときに作成されるソフトウェアディスカバリーモデルを表示および更新します。詳細については、「ディスカバリーモデルとソフトウェアのインストール」を参照してください。

  - エンジニアリングライセンスサーバー

    OpenLM または Open iT が ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続しているすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。サーバーの種類、サーバーの名前、サーバーのステータス、最終接続時刻など、ライセンス管理サーバーの詳細も表示されます。

  - ソフトウェア使用

    ソフトウェア使用状況レコードを表示して、再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) 統合からソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。詳細については、「ソフトウェア使用状況の表示または作成」を参照してください。

  - すべての **SAP** エンジン

    各エンジンのライセンスメトリクスに基づいて、 SAP クライアントの毎月のエンジン使用率の測定値を表示します。

  - すべての **SAP** ユーザー

    SAPシステムからプルされたすべての検出済みユーザーと、SAPユーザーロール、SAPユーザーのアクティブなトランザクション、SAPユーザーアクティビティ、SAP Web アクティビティなどの詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースで SAP ユーザーを表示」を参照してください。

  - **SAP** 指名ユーザータイプ

    SAPソフトウェアエンタイトルメントで使用できるカスタム名ユーザータイプを作成します。カスタム名ユーザータイプを作成すると、ユーザーは SAP システムのライセンスを追跡できます。詳細については、「ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成」を参照してください。

  - **SAP** 価格リスト

    カスタム SAP 価格表を作成して、 SAP システムの契約に基づいて SAP ライセンスを追跡および管理できるようにします。詳細については、「ワークスペースでのカスタム SAP 価格表の作成」を参照してください。

  - **SAP USMM** ルール

    SAPクライアントの指名ユーザータイプにロールをマッピングする SAP ユーザーライセンス測定 (USMM) ルールを表示します。詳細については、「SAP USMM ベースの最適化」を参照してください。

  - **SSO** アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示」を参照してください。

- **SSO** グループ

  SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SSO グループの表示」を参照してください。

- **SSO** ユーザー

  グループのメンバーシップを介してではなく、SSO アプリケーションに直接アクセスできるすべてのユーザーの詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SSO ユーザーの表示」を参照してください。

- クライアントアクセス

  ソフトウェアクライアントアクセスレコードの詳細を表示します。クライアントアクセスライセンス (CAL) を使用してサーバーソフトウェアのバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理するためのレコードを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」を参照してください。

- リソース値

  ソフトウェアモデルのリソース値レコードを表示および作成します。詳細については、「リソース値レコードの作成」を参照してください。

- ユーザーサブスクリプション
  - ユーザーサブスクリプション

    SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションの詳細を表示します。ソフトウェアサブスクリプションを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのユーザーサブスクリプションの作成」を参照してください。

  - 直接統合プロファイル

    作成済みの SaaS 統合プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアの使用状況を表示し、古いライセンスを最適化することもできます。サポートされている SaaS アプリケーションと手順については、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。

  - **SSO** データ連携プロファイル

    作成済みの SSO データ連携プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して SSO 統合プロファイルを作成し、ソフトウェアの使用状況を表示し、接続されているすべての SSO アプリケーションのユーザーログインデータを追跡して、未使用のライセンスを再利用することもできます。サポートされている SSO アプリケーションと手順については、「 SSO プロバイダーとの統合」を参照してください。

  - ユーザーのいないサブスクリプション

    ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空のサブスクリプションのリストを表示します。

  - ユーザー解決ルール

    ユーザー解決ルールを作成して、ユーザーサブスクリプションを SaaS アプリケーションから Now Platformのユーザー [sys_user] テーブルにマッピングします。詳細については、「ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **SaaS** 機能の使用状況

  イベント ID、イベント名、前回のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど、ユーザーが実行した各 SaaS と SSO の統合のイベントの詳細を表示します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

- コンテンツの提案
  - 部品番号の提案

    カスタム公開者の品番 (PPN) に関するコンテンツサービスの提案を表示します。詳細については、「カスタムパブリッシャー品番 (PPN)」を参照してください。

  - 正規化の提案

    ディスカバリーモデル用に作成されたコンテンツサービス正規化の提案レコードを表示します。詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

- ソフトウェア資産成功
  - ソフトウェア成熟度

    ソフトウェア資産管理成熟度アイテムの詳細のリストを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功目標

    成功目標を作成して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡し、作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功アクティビティ

    目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成し、作成済みの目標のリストを表示します。詳細については、「の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功カテゴリ

    成功カテゴリを作成して成功目標にカテゴリを追加し、作成済みのカテゴリのリストを表示します。詳細については、「ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。

  - すべてのアクティブな値ビルダータスク

    完全には使用されていないパブリッシャーパックの値ビルダータスクを作成し、作成済みのタスクのリストを表示します。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

  - 自分の値ビルダータスク

    値ビルダータスクを作成し、自分にアサインされたタスクのリストを表示します。詳細については、「値ビルダー」と「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

- クラウドコストシミュレーター:設定

  シミュレーション設定、つまりオンプレミスリソースをクラウド環境に移行するコストを表示します。クラウドコストシミュレーターの設定を作成することもできます。詳細については、「クラウドコストシミュレーション」を参照してください。

- **IBM ASP** 統合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 毎日集計されるピーク使用量

  各製品のエディション、ライセンスメトリクス、ドメイン、および地域に基づいて、 IBM ソフトウェア製品の日次最大サブキャパシティとフルキャパシティ使用量を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用量を毎日集計して表示します」を参照してください。

- 最高水位標の使用量

  各製品のエディションとライセンス メトリックの両方に基づいて、物理ホスト別の IBM ソフトウェア製品の日次最大使用量の内訳を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品の日次使用量が最も多いデバイスを表示します」を参照してください。

- 製品分類

  環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、 IBM コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます。詳細については、「IBMコンポーネントの製品分類を表示する」を参照してください。

- スキャンするデバイス

  IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャー (VMware vCenter Server や IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみ検出された IBM ソフトウェアのライセンスを追跡できます。VM マネージャーの更新について詳しくは、 IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定しますを参照してください。

- デバイス設定

  IBMライセンスの計算の精度を高めるには、IBMソフトウェアがインストールされている物理ホストのメタデータを確認します。正しくないメタデータや古くなったメタデータを更新します。メタデータの更新については、「 IBMホストのメタデータを確認する」を参照してください。

- **IBM ILMT V2** 統合
  - 製品別のピーク消費量

    製品名とディスカバリーモデルに基づいて、 IBM ソフトウェア製品の最大サブキャパシティとフルキャパシティの使用状況を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用量を表示する」を参照してください。

  - デバイス別のピーク消費量の内訳

    検出されたデバイスに基づいて、 IBM ソフトウェア製品の最大サブキャパシティとフルキャパシティ使用量のブレークダウンを物理ホスト別に表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用量をデバイス別に表示する」を参照してください。

  - **ILMT** で検出されたコンピューター

    サーバー名、サーバー ID、サーバータイプ、ハードウェアモデル、ハードウェアシリアル番号、ハードウェアベンダー、合計プロセッサー、 CMDB コンピューターなど、検出されたデバイスの詳細を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品を実行しているデバイスを表示する」を参照してください。

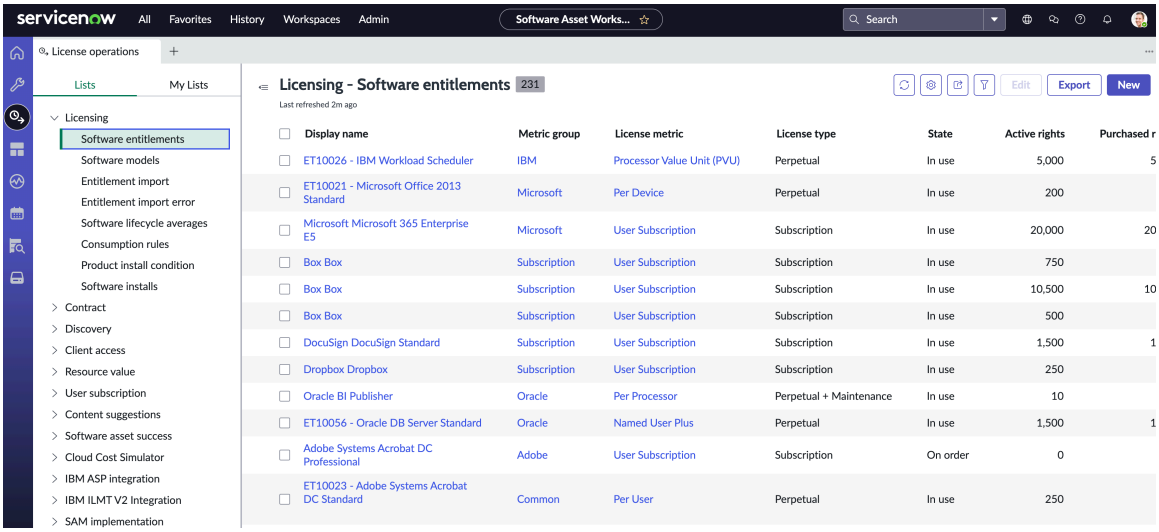
- **SAM** 実装:公開済み製品

  ソフトウェア資産管理の段階的な実装で公開されているソフトウェア製品のリストを表示します。詳細については、「段階的な ソフトウェア資産管理 実装の管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス操作ビュー

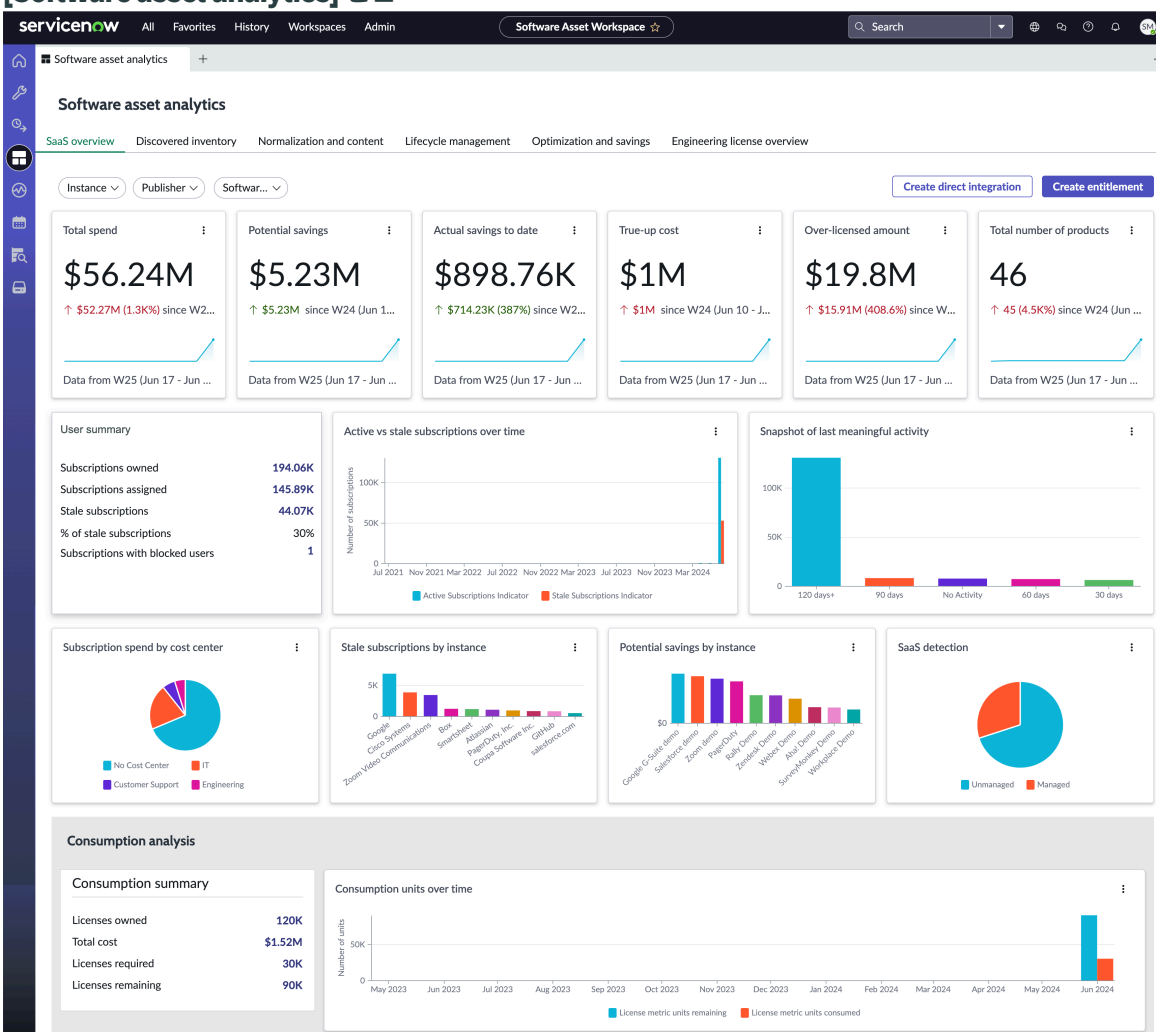


[Software asset analytics] ビュー

ソフトウェア資産ワークスペースのソフトウェア資産アナリティクスビューの統一され簡素化されたダッシュボードを使用すると、パフォーマンスを追跡し、分析を表示できます。

[ソフトウェア資産アナリティクス] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス.

[Software asset analytics] ビュー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産アナリティクスビューには、次のダッシュボードが含まれています。

- SaaS 概要:関連するすべての SaaS アナリティクスを表示し、直接統合プロファイルを作成し、エンタイトルメントを作成し、さまざまな公開者の消費分析と詳細を表示します。
- 検出されたインベントリ:ライセンス可能な検出されたソフトウェアとデバイスを表示します。
- 正規化とコンテンツ:正規化とコンテンツサービスのトレンドチャートを表示します。
- ライフサイクル管理:資産一覧内の提供終了 (EOL) ソフトウェア製品をレビューして追跡します。
- 最適化と節減:ソフトウェア資産のコストを最大化および節約する方法に関するメトリクスを表示します。ダッシュボードには、 Microsoft、 Red Hat、 Adobe、 SAP などのサードパーティ公開者のライセンスの最適化も表示されます。
- エンジニアリングライセンスの概要:すべてのエンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を表示します。
- クラウドコストシミュレーター:クラウド環境ごとに、オンプレミスリソースをクラウドに移行するための推定コストを比較して評価します。

SaaS 概要 ワークスペースのダッシュボード

ソフトウェア資産アナリティクスビューのSaaS概要ダッシュボードに、純粋なSaaS、Microsoft Office 365、およびAdobe Cloudに関するすべてのSaaS関連アナリティクスを表示します。

SaaS概要ダッシュボードで SaaS アプリケーションのサブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンスを分析することで、組織のSaaSコストを最適化します。Microsoft Office 365およびAdobe Cloudに関連するコンプライアンス分析結果を表示することもできます。

注:
SaaS概要ダッシュボードは、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグインをアクティブ化した場合にのみ表示されます。

ダッシュボードは、インスタンス、 publisher、ソフトウェアモデル、またはドメインでフィルタリングできます。任意のレポートを選択すると、詳細が表示されます。

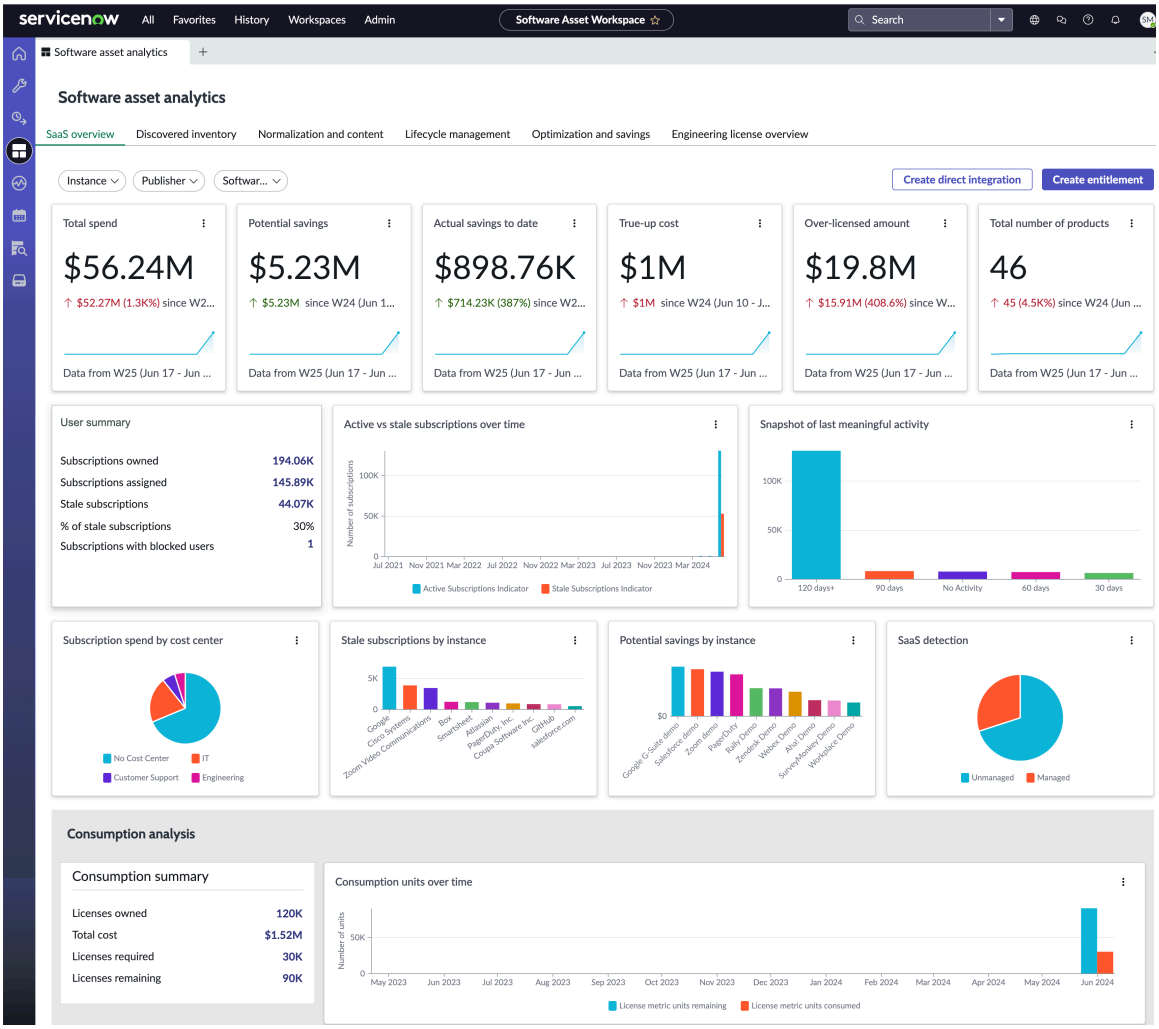
注:
ドメインフィルターは、選択したドメインに基づいて結果を絞り込みます。ドメインフィルターのデフォルト値はグローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトでグローバルに戻ります。ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

- ドメインサポート - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- パフォーマンスアナリティクス - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

SaaS概要ダッシュボードにアクセスするには、次に移動します: ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード



SaaS 概要ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	説明
合計消費量	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの総コスト。
節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
今までの節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間合計節減額。この値は、クローズ済みの完了した再利用候補からの合計節減額として計算されます。
調整コスト	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。このメトリクスは、組織が使用しているすべての権限に対して組織が支払っていることを確認するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SaaS 概要ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
ライセンス供与過剰金額	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
製品の合計数	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	インポートされた金融トランザクションから自動的に検出された製品およびトランザクションに手動で追加された製品を含む、製品の合計数。
ユーザーサマリー 所有しているサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンスタイプがサブスクリプションであるすべてのアクティブなエンタイトルメント。
ユーザーサマリー アサインされたサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	SaaSソフトウェアモデルにアサインされた権限の合計数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権限の数をアサインされた権限の合計数で割って計算されます。
ユーザーサマリー ブロックされたユーザーを含むサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	セキュリティ上の問題のためにアドミンによってアクセスがブロックされたユーザーによって消費されたサブスクリプションの数。 **注:** 現在、ブロックされたユーザーのレポートは Microsoft 365でのみサポートされています。
経時的なアクティブなサブスクリプションと古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	特定の期間におけるアクティブに使用されているサブスクリプションと古いサブスクリプションをグラフで示したものです。
最後の有意義なアクティビティのスナップショット	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	サブスクリプションソフトウェアの使用動作に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェアの使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
		ます。このレポートには、アクティビティがない場合、30 日間、120 日以上、データが表示されます。
コストセンター別のサブスクリプション支出	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの総コスト (コストセンター別)。
インスタンス別の古いサブスクリプション	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプションソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。
インスタンス別の見込み節減額	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に各サブスクリプションプロファイルで節約できる見込みコスト。
SaaS 検出	DEX アプリケーション [samp_dex_application]	SaaSアプリケーションの数、または管理対象および非管理対象のアプリケーションの合計数の割合。 • 管理対象:製品のソフトウェアモデルが存在します。 • 管理対象外:製品のソフトウェアモデルが存在しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
		重要: このチャートを表示するには、次の操作を行う必要があります。 • ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降の ソフトウェア資産管理 -SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。 • デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) [sn_dex] 製品バージョン 2.1.0 以降をインストールします。詳細については、「Install Digital End-User Experience」を参照してください。 詳細については、 SaaS 検出レポート レポートを参照してください。
消費サマリー 合計ユニット	サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメントで購入したソフトウェアユニットの合計数。
消費サマリー 総額	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメントにわたるソフトウェアユニットの総コスト。
消費サマリーの消費単位	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	消費したソフトウェアユニットの数。消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
残りの消費サマリー単位	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	まだ消費されていないソフトウェアユニットの数。
経時的な消費単位	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	一定期間に消費されたソフトウェアユニットの数と消費されなかったソフトウェアユニットの数をグラフで示したものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出されたインベントリダッシュボード

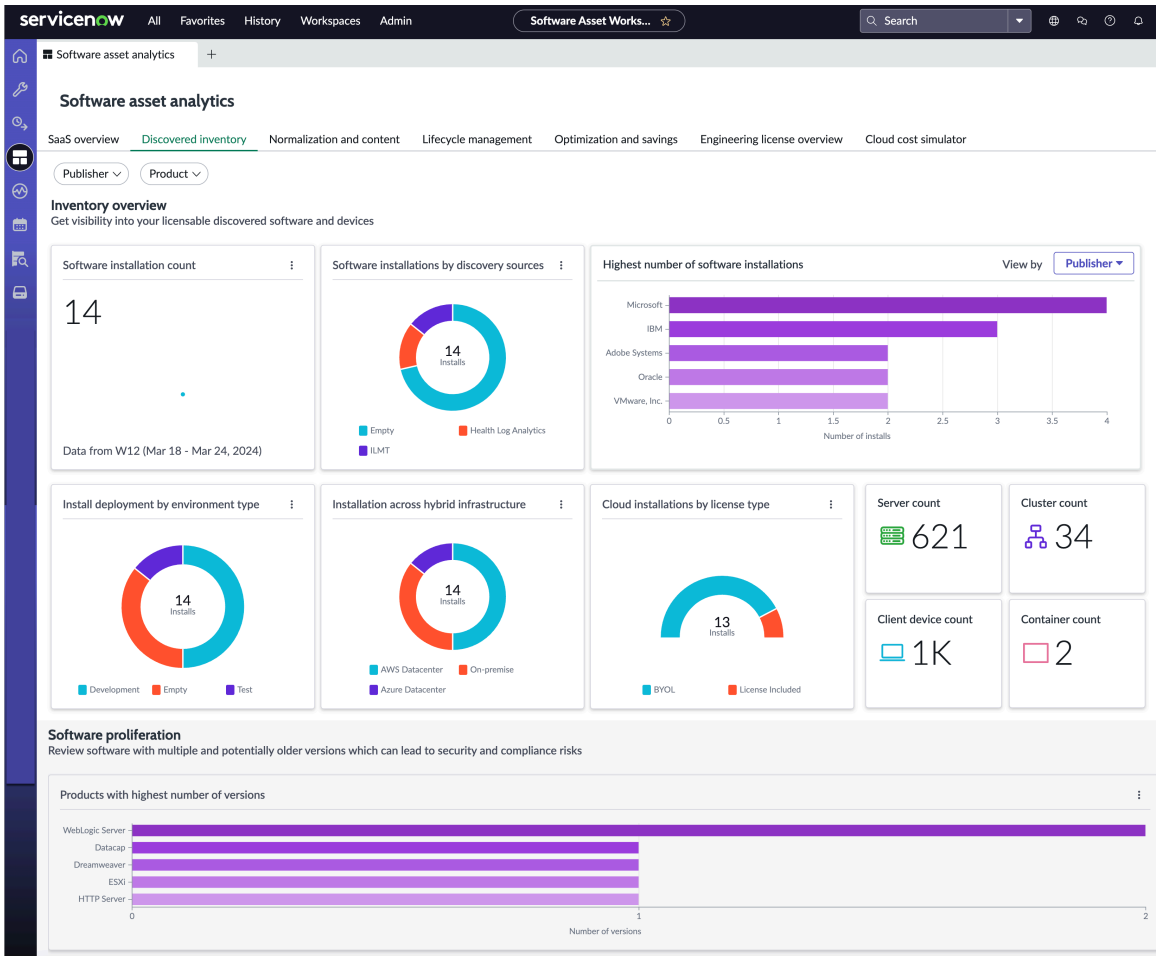
ソフトウェア資産ワークスペースのソフトウェア資産アナリティクスビューの [検出されたインベントリ] ダッシュボードに、ライセンス可能な検出済みソフトウェアとデバイスを表示します。

検出されたインベントリダッシュボードでは、ライセンス可能な検出されたすべてのソフトウェアとデバイスを表示できます。このダッシュボードは、セキュリティとコンプライアンスのリスクにつながる可能性のある、複数の (場合によっては古いバージョンを含む) ソフトウェア製品に関するインサイトも提供します。

公開者または製品に基づいてインストール数をフィルタリングできます。任意のレポートを選択すると、ソフトウェアのインストールに関する詳細情報が表示されます。

[検出されたインベントリ (Discovered inventory)] ダッシュボードにアクセスするには、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > 検出されたインベントリ.

検出されたインベントリダッシュボード



検出されたインベントリダッシュボードメトリクス

レポート	ソース	説明
ソフトウェアインストールカウント	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	正規化されたインストールと正規化されていないインストールの数。正規化されたインストールの詳細については、「正規化ステータス」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

検出されたインベントリダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
ディスカバリーソース別のソフトウェアインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	ディスカバリーソース別にグループ化されたソフトウェアインストールの合計数。
最も多いソフトウェアのインストール数	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	さまざまな製品または公開者のソフトウェアインストールの最大数。インストール数は、公開者別または製品別に表示できます。
環境タイプ別のインストール展開	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	環境のタイプ別にグループ化されたソフトウェア展開の数。
ハイブリッドインフラストラクチャ全体でのインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	インフラストラクチャのタイプ別にグループ化されたインストールの数。
ライセンスタイプ別のクラウドインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	ライセンスタイプ別にグループ化されたクラウドインストールの数。
サーバー数	サーバー [cmdb_ci_server]	検出されたサーバーの数。
クラスター数	クラスター [cmdb_ci_cluster] Windows クラスター [cmdb_ci_win_cluster] UNIX クラスター [cmdb_ci_unix_cluster] VMware vCenter クラスター [cmdb_ci_vcenter_cluster] Hyper-V クラスター [cmdb_ci_hyper_v_cluster] Nutanix クラスター [cmdb_ci_nutanix_cluster]	検出されたクラスターの数。
クライアントデバイス数	コンピューター [cmdb_ci_computer]	検出されたコンピューターの数。
コンテナ数	Docker コンテナ [cmdb_ci_docker_container]	検出された Docker コンテナの数。
バージョン数が最も多い製品	ソフトウェアディスカバリーモデル	バージョン数が最も多いソフトウェア製品 (降順)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出されたインベントリダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
	[cmdb_sam_sw_discovery_model]	

[正規化とコンテンツ] ダッシュボード

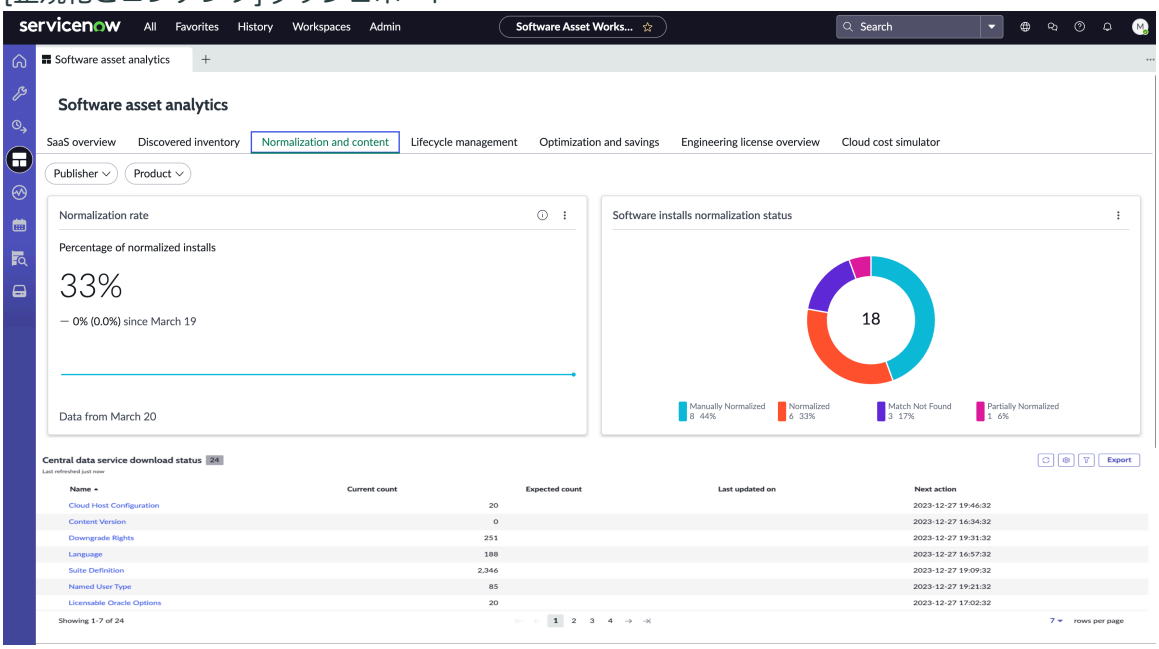
ソフトウェア資産ワークスペースのパフォーマンスアナリティクスと統合されている [正規化とコンテンツ] ダッシュボードで、正規化の傾向図を表示します。

正規化チャートの結果は、 *SAM - Discovery Model Normalization* ジョブの実行時に毎日更新されます。

公開者または製品フィルターを使用して、公開者または製品に基づいてインストール数をフィルタリングできます。

[正規化とコンテンツ] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > 正規化とコンテンツ.

[正規化とコンテンツ] ダッシュボード



正規化とコンテンツダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	説明
正規化されたインストールの割合	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	ソフトウェアインストール全体に対する、完全に正規化されたソフトウェアインストールの割合。 フィルター、パブリッシャー、または製品を使用して、インストールの割合を表示できます。
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化とコンテンツダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
	[cmdb_sam_sw_discovery_model]	ドーナツグラフで標準化ステータスを選択すると、ディスカバリーモデルのリストと各ディスカバリーモデルのインストール数が表示されます。さらにディスカバリーモデルを選択して、ソフトウェアインストールのリストを表示できます。 このウィジェットのレポートは、次の日次スケジュール済みジョブが正常に実行された場合にのみ入力されます。 • *SAM - Normalize discovery models using content library rules* • *SAM - Daily Job*

セントラルデータサービスのダウンロードステータス

[中央データサービスのダウンロードステータス] 関連リストは、 *SAM - Central Data Service Download Status* ジョブの実行時に毎日更新されます。

セントラルデータサービスのダウンロードステータスフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。
最終更新日	データがプルされた最後の日時。
次のアクション	テーブルからデータをプルする次の予定日時。

ライフサイクル管理ダッシュボード

資産内のサポート終了 (EOL) ソフトウェア製品をレビューおよび追跡して、EOL に到達間近または既に EOL に達しているソフトウェア製品に関連するリスクを軽減します。

ライフサイクル管理ダッシュボードには、製品ライフサイクル、現在および過去の EOL 製品ライフサイクル、および今後 18 か月間の今後の EOL 製品ライフサイクルに関するレポートが表示されます。EOL ワークフローのステータスとワークフローアクションを表示することもできます。

注:
ライフサイクル管理ダッシュボードは、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理プロプラグインをアクティブ化した場合にのみ表示されます。

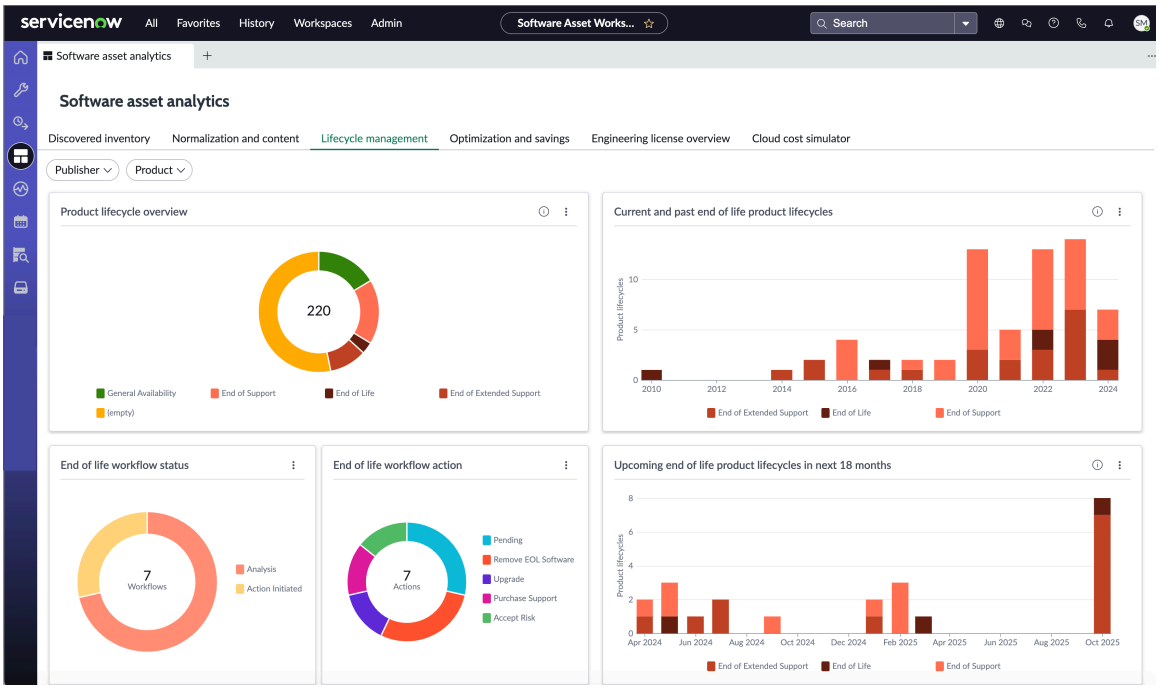
ライフサイクル管理ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

公開者または製品に基づいてダッシュボードレポートをフィルタリングできます。任意のレポートを選択すると、製品ライフサイクルに関する詳細情報が表示されます。

ライフサイクル管理ダッシュボード



ライフサイクル管理ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	説明
製品ライフサイクルの概要	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	環境にインストールされているすべてのソフトウェア製品の製品ライフサイクルの詳細。 ライフサイクルフェーズを選択して、環境内のソフトウェア製品の現在のフェーズを決定します。
現在および過去のサポート終了製品のライフサイクル	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	EOL タイムラインに基づく環境内のソフトウェア製品ライフサイクル。 グラフには、今年と過去 15 年間のデータが表示されます。
サポート終了ワークフローステージ	ソフトウェア EOL 要求 [samp_sw_eol_request]	次のステージでグループ化された EOL ワークフロー: • オープン • 分析 • アクションが開始されました • 完了 • キャンセル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライフサイクル管理ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
サポート終了ワークフローアクション	ソフトウェア EOL 要求 [samp_sw_eol_request]	開始されたアクション別にグループ化された EOL ワークフロー: • 保留中:アクションは保留中です。 • EOL ソフトウェアの削除:EOL ソフトウェア製品を資産インベントリから削除します。 • アップグレード:最新のソフトウェアバージョンまたはサポートされているソフトウェアバージョンにアップグレードします。 • サポートの購入:メンテナンスのための追加サポートを購入します。 • Azure への移行: Microsoft Azure に移行します。このアクションは、 Microsoft 製品でのみ使用できます。 • リスクを受け入れる:EOL ソフトウェアに関連するリスクを受け入れます。 注: このチャートには、[ドラフト] または [キャンセル] ステージの EOL ワークフローは含まれません。
今後 18 か月以内にサポート終了が予定されている製品のライフサイクル	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	今後 18 か月以内に EOL に達する環境内のソフトウェア製品ライフサイクル。

EOL ソフトウェアに関連するリスクを軽減するためのワークフローの管理

製品ライフサイクルを追跡することで、EOL やサポート終了 (EOS)、または延長サポート終了を迎えている、または既に到達しているソフトウェア製品を管理できます。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポートを使用して、EOL ソフトウェア製品に必要なアクションを実行できます。ライフサイクル管理ダッシュボードで [今後 **18** か月以内に予定されているサポート終了製品ライフサイクル] または [現在および過去のサポート終了製品ライフサイクル] レポートを選択すると、レポートが開きます。現在のフェーズがサポート終了、延長サポート終了、または提供終了であるソフトウェア製品に対して EOL 要求を作成できます。詳細については、「ソフトウェア製品のサポート終了ワークフロー要求の作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード

[Optimization and savings (最適化と節減額最)] ダッシュボードを使用して、ソフトウェア資産の実際のコスト削減と潜在的なコスト削減を表示します。さらに、 Microsoft、 Red Hat、 Adobe、SAPなどのサードパーティソフトウェア公開者の推奨ライセンス最適化を表示します。この情報を使用してライセンスをダウングレードしたり再利用したりすると、ライセンスコストを最適化できます。

注:
ドメインフィルターを使用して、選択したドメインに基づいて結果を絞り込むことができます。ドメインフィルターのデフォルト値は グローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトで グローバルに戻ります。

ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

- ドメインサポート - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- パフォーマンスアナリティクス - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

[最適化と節減額 (Optimization and savings dashboard)] にアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > 最適化と節減額.

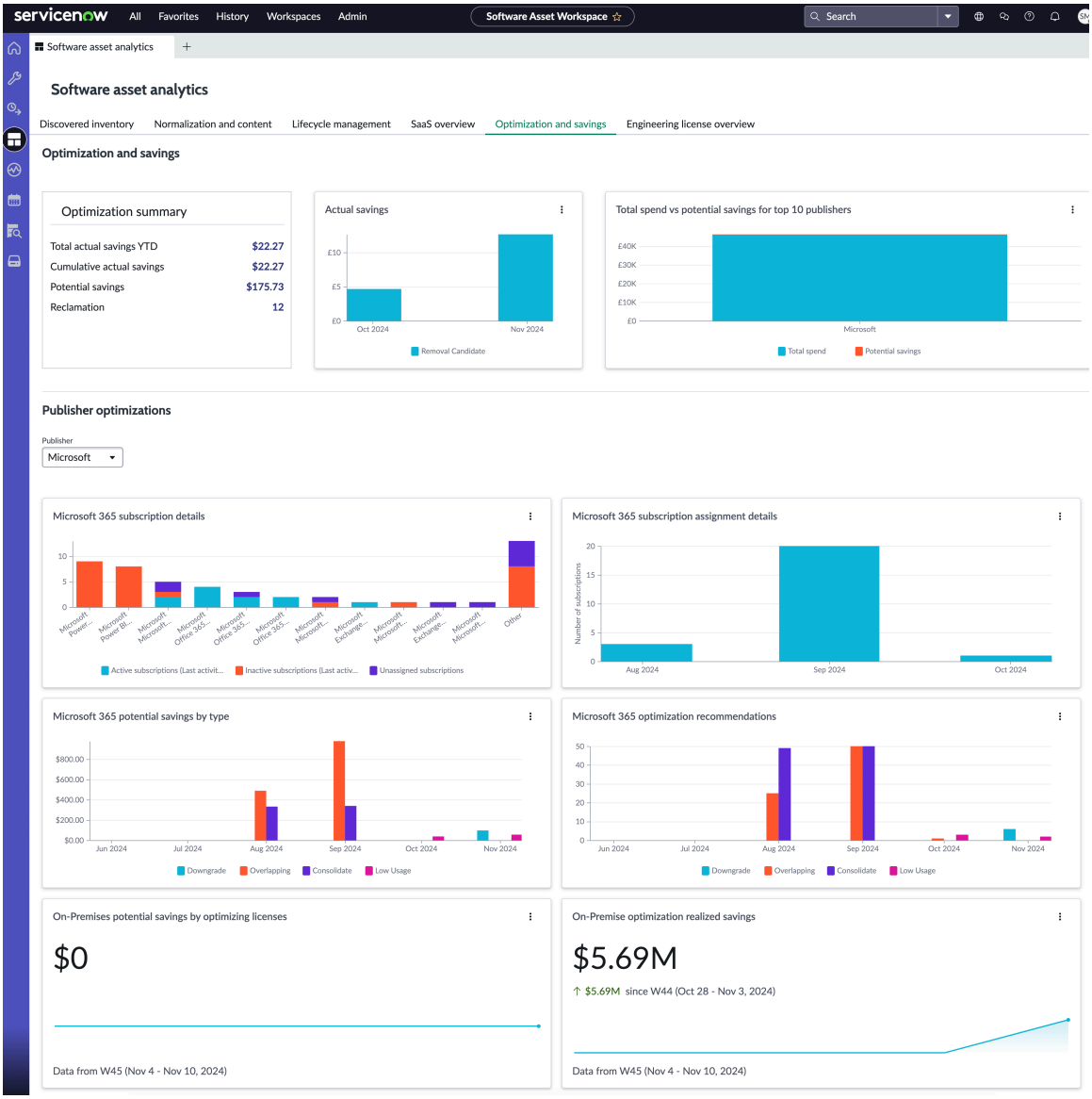
[公開者] ドロップダウンリストから公開者を選択して、公開者のライセンスの最適化を表示します。

- のパブリッシャー最適化 SAP
- のパブリッシャー最適化 Red Hat
- のパブリッシャー最適化 Microsoft
- のパブリッシャー最適化 Adobe

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化と削減コスト] ダッシュボード



最適化と節減額ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	説明
節減実績合計 (年初来)	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが [完了してクローズ] で、今年クローズ済み。
節減実績の累積	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが [完了してクローズ] で、節減見込みの合計。
節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが完了でクローズ、キャンセルしてクローズ、またはスキップしてクローズ、および見込み節減の合計ではない。
再利用	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	[アクティブ] は true です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

最適化と節減額ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済み完全再利用候補とそれに対応する貯蓄の 5 か月間の履歴。
合計支出対節減見込み 上位 10 のパブリッシャー	製品の結果 [samp_product_result] と削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	最高支出額とそれに対応する節減見込み額でソートされた上位10社のパブリッシャーの履歴。

ワークスペースのエンジニアリングライセンスの概要ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品使用状況レポートを表示して、エンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を監視し、インサイトを取得します。

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボードには、AutoCAD や GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

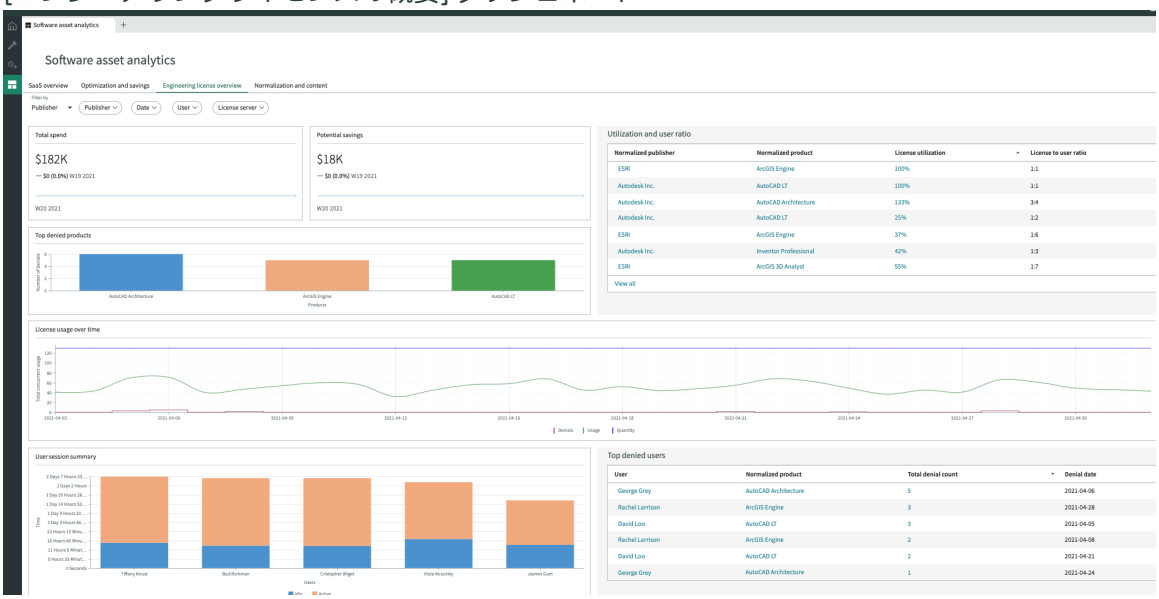
すべてのタブで商品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。日付、ユーザー、またはライセンスサーバーに基づいて結果をさらに絞り込むことができます。

注:
エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品と公開者のみがフィルターに表示されます。プロダクトまたはパブリッシャーが選択されていない場合は、エンジニアリングアプリケーションに属するすべてのプロダクトとパブリッシャーの累積データが表示されます。

すべてのレポートは、毎日、または新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードにアクセスするには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > エンジニアリングライセンスの概要.

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	説明
合計消費量	製品の結果 [samp_product_result]	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。
節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用のピークに達したためにユーザーに拒否されている上位製品。
使用率とユーザー率	エンジニアリングアプリケーションの使用状況とユーザーの比率 [samp_eng_utilization_user_ratio]	正規化された製品と公開者のライセンス使用率と、それらのライセンスを使用するユーザーの数の割合。 • 正規化済みパブリッシャー • 正規化された製品 • ライセンス使用率:権利の数に対する製品のピーク消費の割合。 • ライセンスとユーザーの比率:90日間の権利期間における、このライセンスを使用する権利と、この製品を使用するユーザーの比率。
時間経過によるライセンス使用率	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	利用可能なすべてのライセンスの合計数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用を示します。 • 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ユーザーセッションサマリー	エンジニアリングアプリケーション使用サマリー [samp_eng_app_usage_summary]	ユーザーが製品に費やした時間(アイドル対アクティブ)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードのメトリクス (続く)

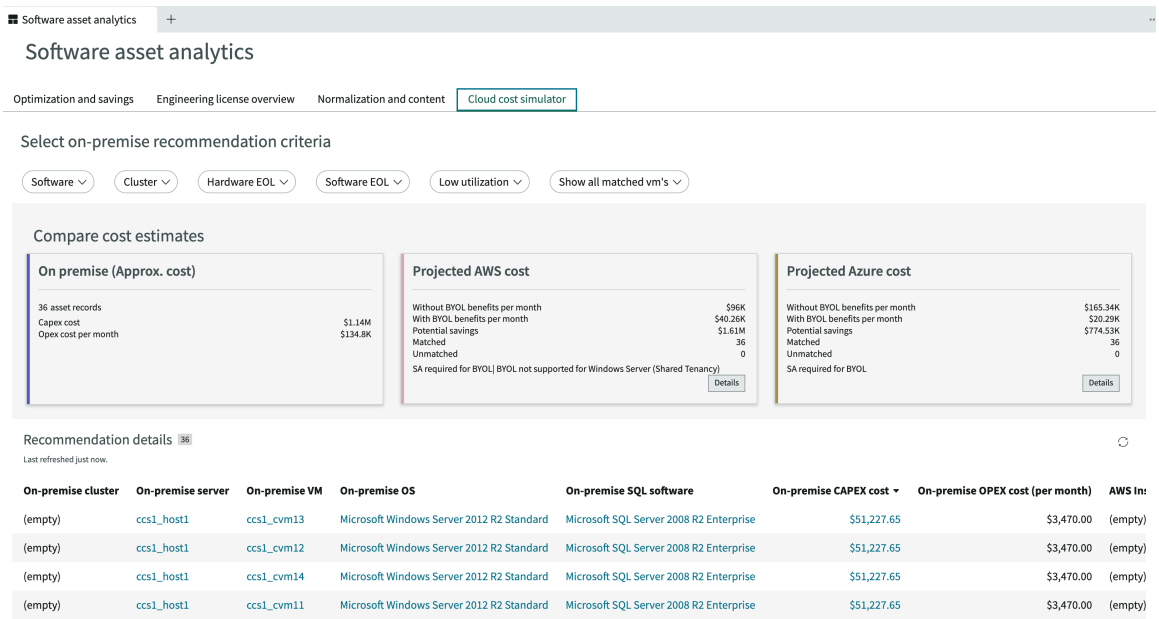
レポート	ソース	説明
		注: [アイドル] は [合計アイドル時間] 列の集計合計で、[アクティブ] は [合計セッション期間] 列の集計合計です。
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品へのライセンスを拒否された上位ユーザー。

クラウドシミュレーターダッシュボード

各クラウド環境について、オンプレミスリソースをクラウドに移行する場合のコスト概算を比較および評価します。

クラウドコストシミュレーターダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > クラウドコストシミュレーター.

クラウドコストシミュレーターダッシュボード



オンプレミスリソースのフィルターを使用して、クラウド移行のコストに関する推奨事項を受け取るための基準を指定します。

- Software (ソフトウェア)
- クラスター
- ハードウェア EOL
- ソフトウェア EOL
- 低使用率
- 一致するすべての VM を表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[最適化と節減額 (Optimization and savings dashboard)] を使用して、フィルターなしで推奨事項を表示することもできます。

推奨事項は、指定した基準に基づいて一覧表示されます。指定した基準を満たす仮想マシンレコードが一覧表示されます。仮想マシンごとに一覧表示されるオンプレミスのコストに加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションには、クラウド上の対応する仮想マシンに最適な価格 (AWS と Microsoft Azure) が自動的に一覧表示されます。

すべてのオンプレミス レコードの総コストを表示し、[コスト見積もりを比較] セクションで AWS と Microsoft Azure の個々のコストを比較できます。

移行先のクラウド環境を決定したら、[変更要求] をクリックしてクラウド移行要求を開始します。

コスト推定の比較

投資コスト	減価償却を含めた後に計算されたハードウェアコスト
月間経費コスト	ソフトウェアエンタイトルメント (Windows Server、SQL Server、ソフトウェアアシュアランス、および拡張セキュリティ更新プログラムのコスト) から計算されます。また、ユーザーが作成した構成アイテム (CI) レートカードからも計算されます。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生なし	インスタンスのコスト (コンピューティングコスト、OS コスト、ソフトウェアコスト) とストレージコスト。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生あり	インスタンスコスト (コンピューティングコスト) とストレージコストのコスト。
節減見込み	すべての推奨事項を適用した場合の合計節減額。
一致	オンプレミスの仮想マシンと一致するクラウド上の仮想マシンの数。
不一致	オンプレミスの仮想マシンと一致しないクラウド上の仮想マシンの数。

での成功ポータルビュー ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース の成功ポータルビューを使用して、成功目標を含む ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションの進捗状況を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティを割り当て、ソフトウェアで健全性チェックを実行し、SAM 機能を最大限に活用し、事前定義された成熟度アイテムで SAM プログラムを成熟させます。

成功ポータルは、次のアクションを実行するのに役立ちます。

- 成功目標を通じた **SAM** アプリケーションの進捗状況の追跡

  成功目標は、ソフトウェアライセンスから得られる価値を分析し、予測された削減額を計算するのに役立ちます。追跡するライセンスの成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「 の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

- 成功目標の進捗状況の追跡

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

目標の成功アクティビティを作成して、目標の達成を追跡します。詳細については、「の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理」を参照してください。

- ソフトウェアの健全性チェックの実行

  健全性チェックを実行して、ライセンス、権限、構成の健全性を確認し、各ソフトウェアスイートを最大限に活用します。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

- **Value builder** (価値ビルダー) タスクを使用したソフトウェアを最新の状態に保つ

  どのソフトウェアアップグレード、パブリッシャーパック、および統合を Value builder (価値ビルダー) タスクを使用して設定する必要があるかについて、概要を把握します。これらのタスクは自動的に作成されますが、必要に応じて独自のタスクを作成することもできます。詳細については、「値ビルダー」を参照してください。

- 事前定義済みの成熟度アイテムを使用して **SAM** プログラムを成熟させる

  プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、実行の各ステージに分類され、組織内で SAM プログラム (プロセスや各種機能などを含む) の価値のリターンを向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標と Value builder (価値ビルダー) タスクにリンクさせて、SAM アプリケーションの経時的な改善を追跡し、レポートできます。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

次の条件が満たされると、メール通知が送信されます。

- 成功目標がグループにアサインされている場合、そのグループに通知が送信されます。
- 成功目標が所有者にアサインされている場合、その所有者に通知が送信されます。
- 成功目標が「Pending Review (レビュー待ち)」としてマークされている場合、所有者に通知が送信されます。
- 成功アクティビティがアサインされている場合、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループに通知が送信されます。

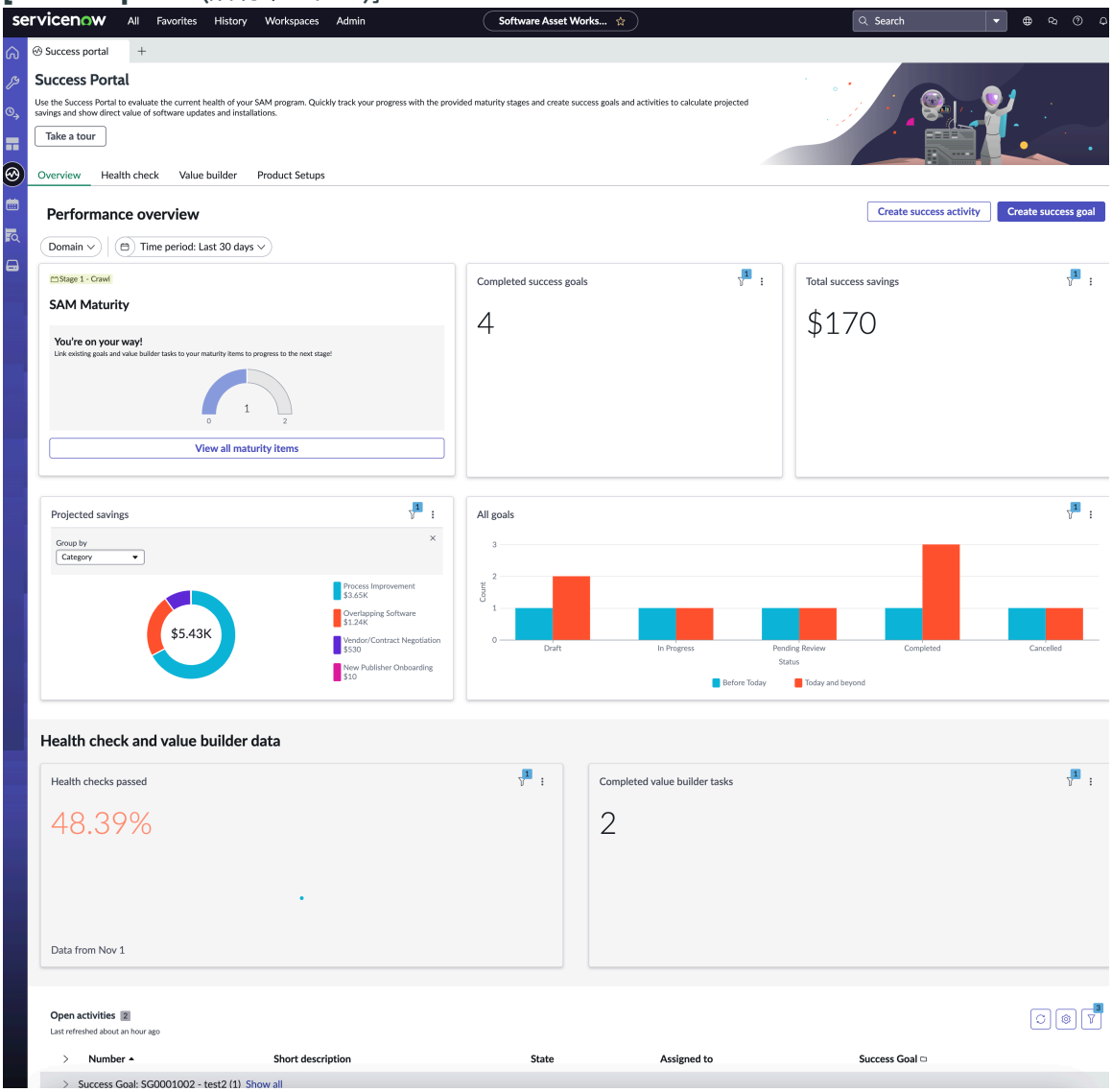
次に移動して、成功ポータルビューにアクセスします: ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.

成功ポータルは、[Performance Analytics - Domain Support (パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポート)] プラグイン (com.snc.pa.domain_support) がアクティブ化されている場合にドメインセパレーションをサポートします。ドメイン別にデータをフィルターするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Success portal (成功ポータル)] ビュー



[Success portal (成功ポータル)] ダッシュボード

ウィジェット	説明
SAM maturity (SAM の成熟度)	SAM プログラムの成熟度の現在のステージ (クロール、ウォーク、ランのステージなど)。 [すべての成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。
Completed success goals (完了した成功目標)	完了した成功目標の合計数。
Total success savings (達成した合計節減額)	完了した成功目標による実際の節減額。
Projected savings (予測された節減額)	成功目標から予測される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
All goals (すべての目標)	次のステータス別にグループ化されたすべての成功目標。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Success portal (成功ポータル)] ダッシュボード (続く)

ウィジェット	説明
	• Draft (ドラフト) • In Progress (処理中) • Pending Review (レビュー待ち) • 完了 • Canceled (キャンセル)
Health check and value builder data (健全性チェックと価値ビルダーデータ)	
Health checks passed (基準を満たした健全性チェック)	成功した健全性チェックの割合。
Completed value builder tasks (完了した価値ビルダーのタスク)	完了した価値ビルダーのタスクの数。
アクティビティを開く	オープン状態の成功目標アクティビティ。

健全性チェック

健全性チェックダッシュボードを使用して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成で実行された健全性スキャンの結果を表示します。

健全性チェックダッシュボードにアクセスするには、次に移動します: ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル > 健全性チェック.

重要:
健全性チェックダッシュボードを表示するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインをアクティブ化し、 ServiceNow Store から ITAM ヘルスチェックアプリケーションがインストールされていることを確認します。このダッシュボードにアクセスして健全性スコアデータを表示するには、scan_user ロールと sam_admin ロールが必要です。

Rome リリースまたはSan Diegoリリースを使用している場合は、フルスキャンを実行してベースシステムスキャンダッシュボードに結果を表示する必要があります。フル スキャンの実行の詳細については、「 フル スキャンの実行 」を参照してください。

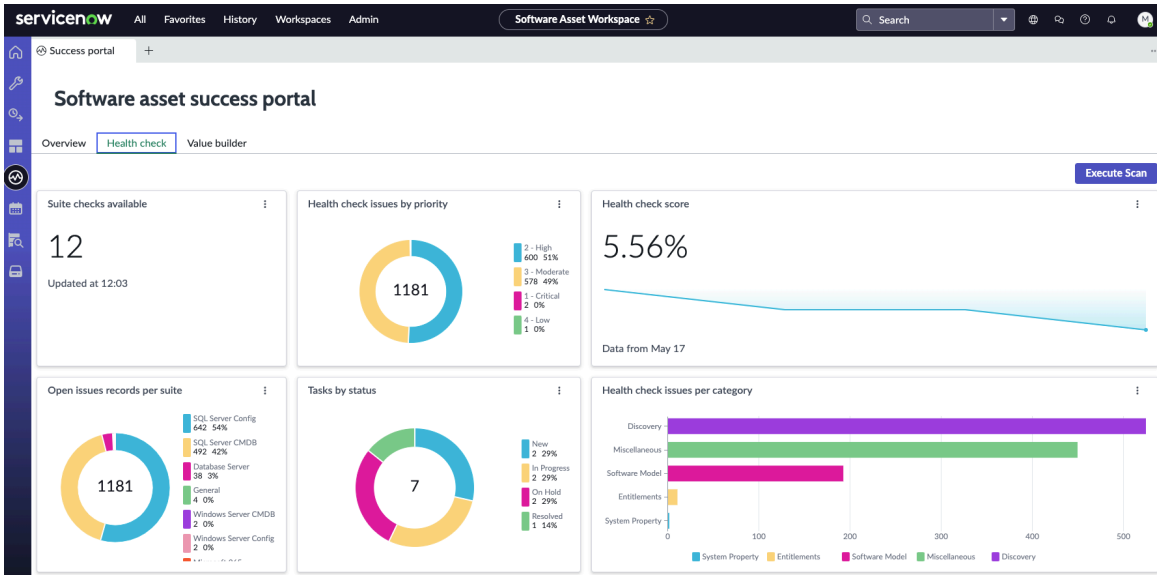
[ドメイン] を選択し、ドメインを選択して健全性チェックの結果を表示します。

[スキャンを実行] を選択して、スイートのスキャンを実行することもできます。スキャン結果を確認して、それに応じて対処します。詳細については、「」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボード



健全性チェックダッシュボードウィジェット

ウィジェット	説明
利用可能なスイートチェック	次のスイートで利用可能なチェックの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB • Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • ジャワ- Oracle • Microsoft 365 • 全般
健全性チェックの問題 (優先度別)	優先度に基づく問題。次から選択できます。 • Low (低) • 中程度 • 高い • クリティカル
健全性チェックスコア	正常に完了した健全性チェックの数を示します。たとえば、健全性チェックを 10 回実行し、健全性チェックに合格したのが 6 回のみの場合、スコアは 60% になります。
スイートごとのオープンな問題レコード	次の各スイートのオープンレコードの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	説明
	• Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • ジャワ- Oracle • Microsoft 365 • 全般
ステータス別のタスク	健全性スコアの結果に関連して作成されたタスクのステータス。 • 新規 • 進行中 • 保留中 • 解決済み
健全性チェックの問題 (カテゴリ別)	健全性チェックスキャンの結果として特定された問題の分類。 • Discovery • ソフトウェアモデル • エンタイトルメント • システムプロパティ • その他

自動翻訳

関連情報

ソフトウェア資産管理 健全性チェック

次の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理

値ビルダー

統合、プレイブック、およびその他のインストールに関するインサイトを取得することで、 ソフトウェア資産管理 アプリケーション機能を最大限に活用します。

値ビルダーの概要

sam_manager ロールは、まだ実装されていない機能や使用されていない機能を特定し、優先順位を付けることができます。

値ビルダー機能を使用して、次のアクションを実行できます。

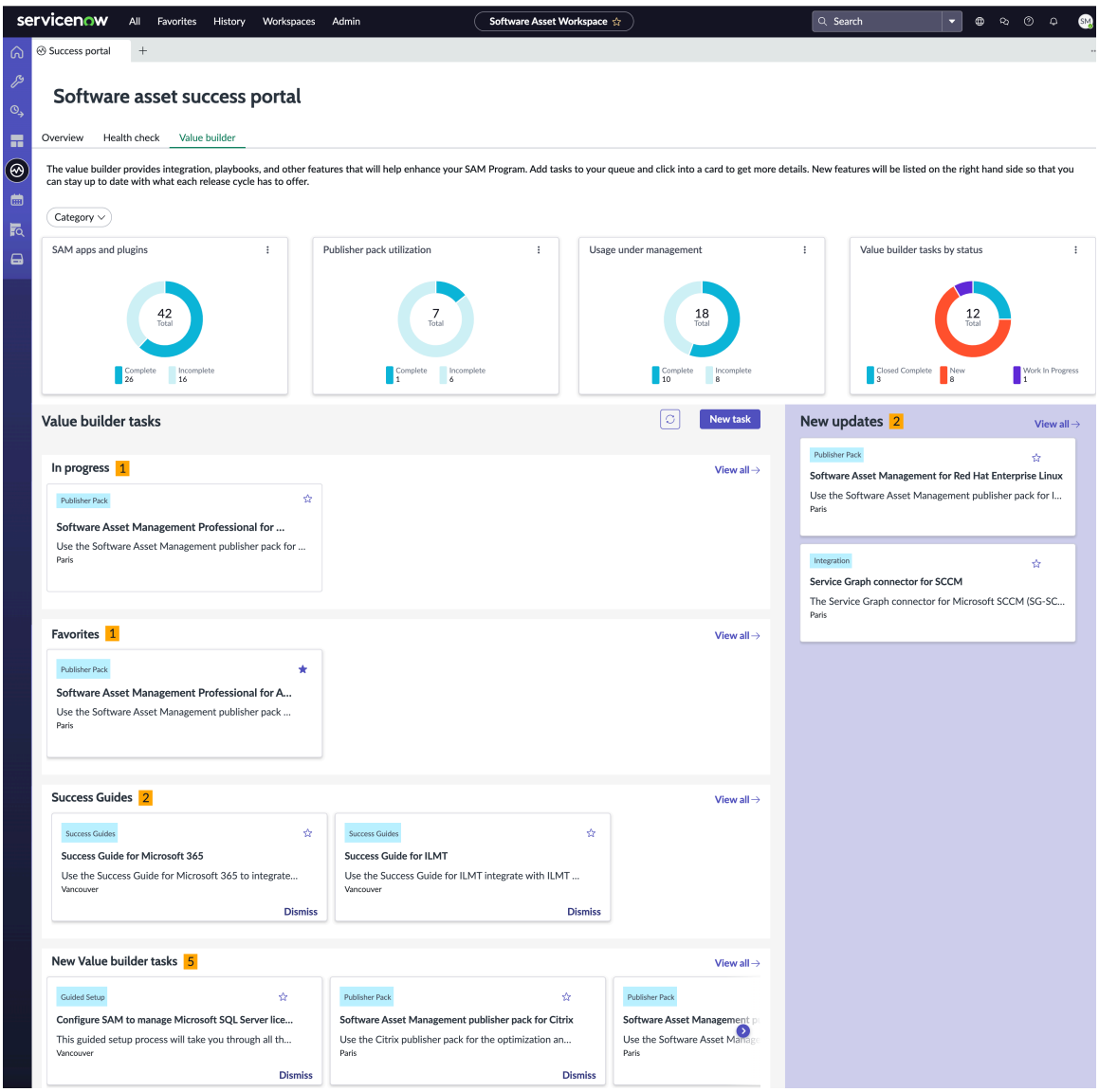
- インスタンスが ソフトウェア資産管理 アプリケーションの価値の最大化にどの程度近づいているかについて説明します。
- パブリッシャーパックが完全に使用されておらず、不完全であると識別された場合に自動的に生成される値ビルダータスクを追跡します。値ビルダータスクを手動で作成することもできます。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドメインまたはカテゴリでデータをフィルタリングすることも、ドメインとカテゴリの両方でフィルタリングすることもできます。フィルターはダッシュボード全体に適用され、選択すると、特定のフィルターに一致するデータのみが表示されます。
- タスクをお気に入りとしてマークすることで、特定のタスクの優先順位を付けたり、可視化を高めたりします。
- 最新の情報を入手し、今後のリリースで利用できる新機能をひと目で把握します。

[Value builder (値ビルダー)] セクションでは、最大 15 のタスクを表示できます。追加のタスクを表示するには、[すべて表示] をクリックします。

値ビルダーダッシュボード



値ビルダーのユースケース

値ビルダーは、sam_user ロールに 4 つのドーナツグラフウィジェットを表示します。各ウィジェットは、インスタンスが ソフトウェア資産管理 機能を完全に使用するまでにどれだけ近づいているかを示します。

たとえば、[Publisher pack utilization] ウィジェットには 5 つの公開者パックが表示されますが、インスタンスで使用されている公開者パックは 4 つのみです。使用されていない追加のパブリッシャーパックに対して値ビルダータスクが自動的に作成され、[新しい値ビルダータスク] セクショ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンに表示されます。このタスクに優先順位を付け、星アイコンをクリックしてこのタスクをお気に入りリストに追加できます。このタスクを処理しない場合は、[却下] をクリックして [新しい値ビルダータスク] セクションから削除できます。

値ビルダーウィジェット

ドーナツグラフウィジェットを選択すると、レコードのリストビューに移動します。たとえば、不完全な公開者パックレコードを表示する場合は、ドーナツグラフウィジェットで不完全な部分を選択します。

次の 2 つのスケジュール済みジョブが実行された後に、すべてのウィジェットが更新され、値ビルダータスクが作成されます。

- *SAM- Update value builder usage*
- *SAM- Value builder content handler*

ウィジェット	ソース	説明
SAM アプリとプラグイン	SAM アプリとプラグイン [samp_sp_apps_and_plugins]	使用可能なすべての ソフトウェア資産管理 プラグインとストアアプリケーション、およびインスタンスにインストールされていないものの数。 [完了] は、インストールされているストアアプリケーションとプラグインを示します。[未完了] は、まだインストールされていないストアアプリケーションとプラグインを示します。
パブリッシャーパックの使用状況	SAM Publisher Pack の使用状況 [samp_sp_publisher_pack_utilization]	使用可能なすべての公開者パックと、実際に使用されているパックの数。 [完了] は、完全に使用されている公開者パックを示します。「未完了 」は、完全には使用されていない公開者パックを示します。 パブリッシャーパックの使用状況は基準によって異なります。パブリッシャーパックレコードの [使用状況の詳細] セクションの 3 つの詳細 (プラグインが有効か、使用状況が見つかったか、エンタイトルメントが作成されたか) の値がすべて true の場合、パブリッシャーパックは完全に使用されていると見なされ、完了するように設定されます。3 つのエンティティのいずれかの値が false の場合、パ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	説明
		ブリッシャーパックは完全には使用されていないと見なされ、不完全に設定されます。値ビルダータスクは、未完了のパブリッシャーパックに対して自動的に作成されます。 使用状況が見つかりましたか? の基準は、パブリッシャーパックごとに異なります。各公開者パックの特定の 使用状況が見つかった場合の 条件の詳細については、「パブリッシャーパックの使用基準」を参照してください。
管理対象の使用率	管理対象の SAM 使用率 [samp_usage_under_management]	すべてのライセンス可能な製品の使用。 ライセンス可能な製品の使用は、基準によって異なります。[使用状況が見つかりましたか?] と [エンタイトルメントが作成されましたか?] の両方の値が true の場合、その製品は使用されていると見なされます。 使用法の基準 が見つかりましたか? 製品ごとに異なります。使用状況が見つかりましたか?が完了していると見なされるには、製品のインスタンスで次のいずれかのエンティティが検出される必要があります。 • ディスカバリーモデル • クライアントアクセスレコード • サブスクリプション
ステータス別の値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	次のステータスにあるすべての値ビルダータスク: • 新規 • **In progress** (処理中) • 審査待ち • 完了してクローズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	説明
		注: [スキップしてクローズ] ステータスの値ビルダータスクは表示されません。
値ビルダーのタスク (処理中)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	現在進行中の値ビルダータスク。
値ビルダータスク (お気に入り)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	お気に入りとしてマークされた値ビルダータスク。 [値ビルダータスク] セクションで、値ビルダータスクの前にある星アイコンをクリックして、お気に入りとしてマークします。
値ビルダータスク (成功ガイド)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	サクセスガイドにアクセスできるようにするための値ビルダータスク。
新しい値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	まだ [新規] ステータスでありお気に入りではないすべての値ビルダータスク。
新規更新	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	今後のリリースの機能のプレビュー。

パブリッシャーパックの使用基準

インスタンスで公開者パックが使用されているかどうかを示す使用基準の説明。

この表は、各パブリッシャーパックが完全に使用されていると識別される *Usage Found* エンティティに使用される基準を示しています。基準は公開者パックごとに異なります。

使用状況の基準 パブリッシャーパックのエンティティが見つかりました

パブリッシャーパック	使用基準	ソーステーブル
Red Hat Enterprise Linux	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
Adobe	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription
Citrix	• ソフトウェアインストール • クライアントアクセス	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_client_access
Microsoft	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription
IBM	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用状況の基準 パブリッシャーパックのエンティティが見つかりました (続く)

パブリッシャーパック	使用基準	ソーステーブル
Oracle	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
SAP	• SAP ユーザー • クライアントアクセス	• samp_sap_system_user • samp_sap_sw_client_access
VMware	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install

成功ガイド

値ビルダータスクの一部である成功ガイドを使用すると、さまざまなセットアップや統合に関連するタスクに関する情報を簡単に見つけることができます。

Sアクセスガイドの指示は 次のことを行うのに役立ちます。

- サブスクリプションライセンスを追跡し、 Microsoft 365の節約機会をプロアクティブに特定します。詳細については、「 Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド」を参照してください。
- Now Platform と IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリの間の接続を構成できるようにすることで、使用状況を追跡してライセンスIBMします。詳細については、「IBM ILMT セットアップ成功ガイド」を参照してください。

Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド

ServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションでMicrosoft 365 SaaSサブスクリプションライセンスを追跡し、Microsoft 365の節約機会を事前に特定します。

> **注:**
> Microsoft Dynamics 365 と Power Apps については、このガイドでは説明していません。詳細については、「Microsoft Dynamics 365 および Power Apps との統合」を参照してください。

Microsoft 365 はサブスクリプションベースの製品であり、さまざまな機能を提供します。詳細については、次を参照してください。 Microsoft 365 FAQ .

Microsoft 365ライセンス

Microsoft 365 は、ハイブリッドサービスとしてのソフトウェア (SaaS) アプリケーションです。Microsoft 365のライセンスは、クラウドからのサブスクリプション情報と、ラップトップ、ワークステーション、仮想システムなどのエンドポイントデバイスへのインストールからのサブスクリプション情報に依存します。

次の情報を収集し、ライセンスを調整する必要があります。

- Microsoft 365Microsoftクラウドからのサブスクリプションユーザー。
- 関連するエンドポイントデバイスからのローカルインストール情報と、インストールを Microsoft クラウドのユーザーサブスクリプションに正しく合わせるための十分な詳細情報。

Microsoft 365 削減機会

複数のソースからデータを収集および分析して、削減の機会を特定 Microsoft 365 できます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、クラウドおよびオンプレミスのインベントリツールとのベースシステム統合により、このプロセスを自動化します。このインストールデータはサブスクリプショ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンプロファイルで正規化されるため、 Microsoft 365 または Office 365 エンタイトルメントを簡単にインポートできます。

調整では、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft に含まれる属性と計算に基づいて、ライセンスコンプライアンスポジションが自動的に生成されます。詳細については、「削減機会の特定」を参照してください。

次の手順に従って、サブスクリプションライセンスを追跡し、 Microsoft 365 の削減機会を特定します。

1. Microsoft 365 統合の作成
2. サブスクリプション、インストール、使用状況データを検証
3. サブスクリプションエンタイトルメント Microsoft 365 インポート
4. 削減機会の特定
5. Microsoft 365 ライセンスの最適化

Microsoft 365 統合の作成

Microsoft 365ユーザーサブスクリプションとインストール使用状況データを比較して、完全なライセンスコンプライアンスポジションを確認します。

始める前に
必要なロール:必要なロールの各ステップでリンクされたトピックに移動します。

次のプラグインを有効にします。

- ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int)
-

ソフトウェア資産管理の要求トピックの手順を完了します。

手順

1. ユーザーサブスクリプションデータのクラウド内の Microsoft 365 と統合します。
   詳細については、「Microsoft 365 統合プロファイルの作成」を参照してください。
2. Power BI サービスのコンテンツと API にアクセスするための Microsoft Power BI を構成します。
   Power BI サービス コンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなどして、 Microsoft 365 サブスクリプションを最適化するのに役立ちます。詳細については、「Power-BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にするEnable service principal authentication for Power-BI read-only APIs」を参照してください。
3. インベントリツールと統合して、使用状況データをインストールします。
   - Microsoft SCCM と統合するには、「Service Graph Connector for Microsoft SCCM」トピックとすべてのサブトピックの手順を完了してください。
   - ServiceNow エージェントクライアントコレクター (ACC) と統合するには、「Agent Client Collector installation」トピックとすべてのサブトピックの手順を完了してください。

     注:
     ServiceNow エージェントクライアントコレクター (ACC) は個別にライセンス供与される IT Operations Management (ITOM) (ITOM) 製品です。詳細については、ServiceNow アカウント担当役員にお問い合わせください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- MAC OS デバイス用の Jamf と統合するには、「Service Graph Connector for Jamf」トピックとすべてのサブトピックの手順を完了してください。
- サードパーティのインベントリツールと統合するには、「ソフトウェア資産接続 トピック」とすべてのサブトピックの手順を完了します。

次のタスク
サブスクリプション、インストール、使用状況データを検証

サブスクリプション、インストール、使用状況データを検証

調整を実行する前に、サブスクリプション、インストール、使用状況データを検証して、レポートの完全性と正確性を確認します。

始める前に
必要なロール:sam_admin、sam_user

手順

1. Microsoft クラウド統合からのユーザーサブスクリプションデータを検証します。

   a. ServiceNow インスタンスにログインします。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Discovery** > ソフトウェアサブスクリプション.
ソフトウェア資産ワークスペース	次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション.

   b. Microsoft 365サブスクリプションレコードの数を確認して、[ユーザーサブスクリプション] テーブルのデータを確認します。
   データのカスタマイズとフィルタリングの詳細については、「Configure user experiences」を参照してください。

   - Microsoft 365サブスクリプションレコードの数が正確でない場合は、SAMP ジョブログ [samp_job_log] の*SAM - Import M365 User Subscriptions*スケジュール済みジョブが正常に完了し、サブスクリプションがプルされていることを確認します。
     - 既存の統合が正常に機能していることを確認します。
     - 他の Microsoft 環境に追加の統合が必要かどうかを判断します。
   - Microsoft 365レコードが正確に表示される場合は、[表示名]、[ユーザープリンシパル名]、[ソフトウェアモデル]、および [サブスクリプション識別子] フィールドの値を確認します。

     注:
     サブスクリプション識別子は、 SaaS アプリケーションを一意に識別します。各識別子は、ディスカバリーマップとソフトウェアモデルに関連付けられており、ソフトウェアインストールをクラウドからの Microsoft 365 サブスクリプションに正規化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェアモデルがサブスクリプション製品定義に従って正しく解決されているかどうかを確認します。
- サブスクリプションレコードの **[User**] フィールドが解決されているかどうかを確認します。解決されない場合は、ユーザーのメールを確認します。メールはユーザープリンシパル名と一致する必要があります。ユーザープリンシパルのユーザー名をsys_userレコードのuser_nameと一致させることもできます。
- サブスクリプション識別子が正しくないか空の場合は、サブスクリプション識別子を管理および解決します。詳細については、「SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子」を参照してください。

2. インベントリツールからのインストールデータと使用状況データを検証します。

注:

製品のインストールが Microsoft 365 ことがわかっているデバイスのサンプル セットを使用して、完全なインベントリ検証のプロキシとして検証スコープを確立します。サンプルサイズは、統合からのインストールデータを検証するために必要なサイズ以下にする必要があります。複数の統合がある場合は、統合ごとに個別のサンプルセットをコンパイルします。

a. インストール Microsoft 365 がリストされているソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	アプリケーションフィルターナビゲーターで、 **cmdb_sam_sw_install.list** を検索して選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	**i.** 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > **Discovery** > ディスカバリーモデル. **ii.** ディスカバリーモデル名を選択します。 **iii.** [ソフトウェア インストール] タブを選択します。

b. [インストール先] 列フィールドを見つけて、検証スコープの一部である 1 つ以上のデバイスにフィルターを適用します。

i. リストをさらにフィルタリングして、デバイスのすべての Microsoft 365 製品のインストールを表示します。

- Microsoft 365レコードの数が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
  - 既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正しく機能していることを確認します。
  - 追加のインベントリツール統合が必要かどうかを判断します。
- Microsoft 365レコードの数が予想よりも多い場合は、既存のディスカバリーツールやインベントリツールが正しく動作していることを確認します。インベントリツールの統合が正常に機能している場合、レコード数が多いことは節減の可能性を示している可能性があります。

ii. 検証スコープ内のデバイスのコンピューターレコードを検証します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [インストール先] 列フィールドでハイパーリンクされたデバイス名を選択します。
2. [名前]、[アサイン先]、[オペレーティングシステム] などのデータ値を確認します。
   - コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
     - 既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正しく機能していることを確認します。
     - データの不足に対して追加のインベントリツール統合が必要かどうかを判断します。
   - コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも多い場合は、既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正しく機能していることを確認してください。インベントリツールの統合が正常に機能している場合、レコード数が多いことは節減の可能性を示している可能性があります。

次のタスク
サブスクリプションエンタイトルメント Microsoft 365 インポート

サブスクリプションエンタイトルメント **Microsoft 365** インポート

Microsoft 365サブスクリプションエンタイトルメントを ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにインポートします。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順
1. できるだけ多くの Microsoft 365 サブスクリプションエンタイトルメントを収集します。
2. エンタイトルメントテンプレートに入力し、 ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにインポートします。

   a. [ソフトウェアエンタイトルメントのインポート] ページを開きます。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	i. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート. ii. [テンプレートファイルのダウンロード **(.xlsx)]** を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	i. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作. ii. [エンタイトルメントの作成] を選択します。 iii. [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメント をインポートする] を選択します。 iv. **[Next** (次へ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
	v. [新しいエンタイトルメントのインポートを作成] ページで、[テンプレートのダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

b. インポートテンプレートを開き、[方向] タブを確認します。

c. 収集したエンタイトルメントのデータをインポートテンプレートに入力します。
インポートテンプレートの詳細については、『 ServiceNow SAM Entitlement Import User Guide (ServiceNow SAM エンタイトルメントのインポートユーザーガイド)』を参照してください。

d. Microsoft 365エンタイトルメントのテンプレートで次の値を使用します。

- メトリクスグループ:Microsoft
- ライセンスメトリクス:ユーザーサブスクリプション

3. テンプレートにエンタイトルメントデータが入力されたら、テンプレートをソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートします。

a. テンプレートをソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートします。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート.
ソフトウェア資産ワークスペース	**i.** 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作. **ii.** [エンタイトルメントの作成] を選択します。 **iii.** [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメント をインポートする] を選択します。 **iv. [Next** (次へ)] を選択します。

b. [ファイルを参照] から完了したテンプレートをインポートするか、ドラッグします。

c. インポートされたソフトウェアの権限を確認し、インポートエラーがあれば解決します。

4. インポートされたエンタイトルメントを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ソフトウェアエンタイトルメントが正しいソフトウェアモデルにリンクされていることを確認します。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
ソフトウェア資産ワークスペース	次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.

b. ソフトウェアエンタイトルメントレコードの表示名を選択します。

c. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドの横にあるプレビュー(ⓘ) を選択します。

d. ディスカバリーマップとスイートコンポーネントが、 Microsoft 365 エンタイトルメントのテンプレートの値と一致していることを確認します。

ディスカバリーマップが一致しない場合は、ソフトウェアモデルフォームで直接追加または編集し、[更新] を選択します。

ヒント:
エンタイトルメントがインポートされた後、 Microsoftの調整プロセス中に追加のサブスクリプション購入が必要になる場合があります。詳細については、「」を参照してください。 Microsoft オンラインサービスの準備エンタイトルメントの作成。

次のタスク
コンプライアンスの調整

コンプライアンスの調整

調整を実行して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. Microsoft 365の調整を実行します。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 照合.
ソフトウェア資産ワークスペース	次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産の概要.

2. [調整の実行] を選択します。

3. ダイアログボックスで、[公開者] フィールドで **[Microsoft]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. **[Continue** (続行)] を選択します。
5. **[Run** (実行)] を選択します。
   自動的に [調整結果] ページに移動します。
6. ステータスと進行状況の値を監視して、完了を確認します。
   [調整結果] ページを更新して、更新された値を表示します。Microsoft 365アプリケーションがインストールされているコンピューターの [アサイン先] の値が空の場合、調整が機能しない可能性があります。インストールデータと使用状況データの検証については、「 サブスクリプション、インストール、使用状況データを検証」を参照してください。

次のタスク
削減機会の特定

削減機会の特定

ServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションで節約の機会を特定し、コストを削減します。

始める前に
必要なロール:sam_admin

このタスクについて
E1、E3、E5 などのエンタープライズサブスクリプションの場合Microsoftライセンス数の最小または下限として機能するコミットレベルを指定できます。つまり、契約期間中にエンタープライズサブスクリプションの数量をコミットレベル以下に減らすことはできません。既存の Microsoft 契約にコミットレベルがある場合は、契約期間の終わりに見込み節減の機会を実現できます。

手順

1. ライセンス供与過剰金額からの節約機会を実現します。

   a. Microsoft 365データに移動します。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 照合 > ライセンスワークベンチ.
ソフトウェア資産ワークスペース	次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況.

   b. Microsoft 365を見つけて選択します。
   Microsoft 365サブスクリプションのライセンスコンプライアンスデータが入力されます。
      i. [利用可能な権限] の値を見つけます。これは、「 使用された権限 - 所有する権利」で計算されます。
      ii. [Over-licensed amount] を見つけます。この金額は 、[Rights available] * [Software entitlement unit cost] で計算されます。この金額は、次の潜在的な節減の機会を示します。
         - 新しい Microsoft 365 サブスクリプションが必要ない場合は、次の契約内調整時に、コミットレベルに違反することなく、ライセンス供与過剰金額を削除できます。
         - コミットレベルで契約内の調整が妨げられる場合は、ライセンス供与過剰金額を使用して新しい契約交渉に通知できます。これは、積極的なコスト削減アプローチになります。

2. ソフトウェアサブスクリプションの最終アクティビティ日から節減の機会を実現します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [ソフトウェアサブスクリプション] または [ユーザーサブスクリプション] ページに移動します。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Discovery** > ソフトウェアサブスクリプション.
ソフトウェア資産ワークスペース	i. 次のように移動する。 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション. ii. ユーザーの表示名を選択します。

b. [前回のアクティビティ] フィールドを追加し、リストをフィルタリングして目的のサブスクリプションを表示します。

> 注:
> アクティビティの最終日は、公開された Microsoft 365 統合プロファイルとインベントリツールから取得されます。サブスクリプションがスイート製品の場合、アクティビティの最終日は、そのスイートコンポーネントからの最新のアクティビティ情報です。必要に応じて、Microsoft クラウドアドミニストレーターとアクティビティの最終日を検証します。

c. [表示名] 列ヘッダーを右クリックし、[棒グラフ] を選択します。

d. [レポートの作成] フォームで、[グループ] を [前回のアクティビティ] に設定し、[実行] を選択します。
詳細については、「Create a report」を参照してください。
レポートの表示方法が自動的に更新され、フィルタリングされたソフトウェアサブスクリプションが最後のアクティビティでグループ化されて棒グラフ形式で表示されます。

e. グラフ内の棒をポイントして追加の詳細を表示し、棒を選択してそれを構成する個々のレコードを表示します。
レポートの使用の詳細については、「 Using reporting」を参照してください。

3. サブスクリプションの詳細、使用状況、および推奨事項タイプに基づく見込まれる節減に基づいて、Microsoft 365の最適化ソフトウェア資産管理推奨事項を検索します。

詳細については、「のパブリッシャー最適化 Microsoft」を参照してください。

タスクの結果

Microsoft 365 数か月以上ユーザーアクティビティを登録していないサブスクリプションは、潜在的な再利用候補です。

次のタスク

いくつかのフォローアップアクションを次に示します。

- 元従業員の ユーザープリンシパル名 を確認します。見つかった場合は、サブスクリプションを再利用します。
- アクティブな従業員に関連付けられたサブスクリプションの場合は、[ソフトウェアインストール (cmdb_sam_sw_install)] テーブルに移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Microsoft 365の [ソフトウェアインストール] リストをフィルタリングし、[最終使用日時] 列を追加します。必要に応じてレポートを作成します。
- ソフトウェアインストールレポートとソフトウェアサブスクリプションレポートを比較します。

Microsoft 365 ライセンスの最適化

使用状況に基づいてMicrosoft 365の最適化ソフトウェア資産管理推奨事項を見つけます。

Microsoft 365 利用可能なサブスクリプションの詳細

Microsoft 365サブスクリプション内のユーザーアクティビティの可視化の向上

レポート	説明
Microsoft 365 サブスクリプションの詳細	ソフトウェアモデルごとにグループ化された、Microsoft 365、Office 365、および Power BI 製品のアクティブ、非アクティブ、および未アサインのユーザーサブスクリプションの詳細の数。 データポイントを選択すると、ソフトウェアモデルのユーザーサブスクリプションの詳細が表示されます。 • [アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が 90 日以内のアクティブなユーザーサブスクリプションが表示されます。 • [非アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が空であるか、90 日より前の非アクティブなサブスクリプションが表示されます。 • [未アサインのサブスクリプション] バーを選択して、アサインされていない利用可能な権限またはユーザー サブスクリプションの数を表示します。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項

レポート	説明
Microsoft 365 最適化の推奨事項	推奨されるダウングレード、二重ライセンス、および統合候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる、月あたりのライセンス数。このレポートには、過去 12 か月間のデータが表示されます。 任意のバーを選択して詳細を表示し、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンスの候補に対処します。 • **[Office 365 E5 から E3 へのダウングレード]** とマークされているバーを選択して、Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。リストか

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項 (続く)

レポート	説明
	ら候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **[Office 365 E3** から **E1** へのダウングレード] とマークされているバーを選択して、Office 365 E3 から Office 365 E1 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **Microsoft 365 E5** から **E3** へのダウングレード としてマークされているバーを選択して、Microsoft 365 E5 から Microsoft 365 E3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • **Microsoft 365 E3** から **F3** へのダウングレード としてマークされているバーを選択して、Microsoft 365 E3 から Microsoft 365 F3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • [統合] とマークされたバーを選択して、統合されたMicrosoft 365の最適化候補のリストを表示します。

推奨タイプに基づく節減見込み

レポート	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスのコスト削減見込み。 **注:** このレポートは、 Microsoft Windows Server ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターの推奨ライセンスの最適化と関連するコスト節減に関する詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、および推奨支出が含まれます。
Microsoft 365 タイプ別の節減見込み	推奨されるダウングレード、ダブル ライセンス、および統合候補に基づく Microsoft 365 および Office 365 ライセンスの月次節減見込み。このレポートには、過去 12 か月間の節減見込みが表示されます。 任意のバーを選択すると、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補の詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨タイプに基づく節減見込み (続く)

レポート	説明
	• [ダウングレード] とマークされたバーを選択すると、以前のバージョンの Microsoft 365 および Office 365 にダウングレードできる候補のリストが表示されます。 • [二重ライセンス ユーザー] としてマークされているバーを選択すると、Microsoft 365とそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility+Security (EMS)、Windows) の両方のサブスクリプションを持つ候補のリストが表示されます。 • [統合] とマークされているバーを選択すると、Microsoft 365統合サブスクリプション再利用候補のリストが表示されます。
Microsoft 365 ポータルで利用可能なサブスクリプションの詳細	サブスクリプションごとに Microsoft ポータルで利用可能なライセンスの数。 棒を選択すると、ソフトウェアモデル、製品、購入した権限、アサインされた権限、利用可能な権限、サブスクリプションプロファイルなど、購入したサブスクリプションの詳細が表示されます。

IBM ILMT セットアップ成功ガイド

この成功ガイドでは、 IBM License Metric Tool (ILMT) または IBM BigFix Inventory と ソフトウェア資産管理 アプリケーションの統合について説明します。

この統合は、次のIBMライセンスメトリクスを使用して、IBM製品のライセンスコンプライアンスをサポートします。

- プロセッサバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU MAPC)

統合では、これらのライセンスメトリクスに必要な IBM 製品使用状況データのみがインポートされます。

注:
この統合では、他のメトリクスでライセンスが付与されている IBM 製品のディスカバリーまたは使用状況データはインポートされません。

この統合で IBM ライセンスコンプライアンスを機能させるには、次の前提条件を満たす必要があります。

- インスタンスで ILMT または BigFix インベントリを設定して実行します。
- IBM使用状況の測定ガイドラインに従ってインスタンスをスキャンするように IBM ILMT エージェントを構成します。
- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、仮想マシン (VM) と物理ホストの両方の構成、およびそれらの関係を検出します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを IBM 製品に分類します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ILMT または BigFix インベントリを介して、 IBM コンポーネントを IBM 製品にバンドルします。
- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションでIBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合を実行するには、次の手順を実行します。

1. ILMT または BigFix インベントリへの接続の作成
2. ILMT 接続の健全性を検証する

ILMT または BigFix インベントリの代替

VMware vSphere環境と IBM LPAR インフラストラクチャの両方でIBMライセンスを追跡および管理するには、IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを、IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合します。これらの統合を使用すると、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合しなくても、IBM ライセンスを直接追跡および管理できます。詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

その他のリソース

- IBMソフトウェア資産管理アプリケーションによるライセンス管理
  - ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック IBM
  - サポートされている IBM ライセンスタイプ
- 無効なコンピューターのシリアル番号を修正します

更新カレンダービュー

ソフトウェア資産ワークスペースの更新カレンダーを使用して、有効期限が近づいているエンタイトルメント、有効期限が近づいている契約、または既に期限切れになっている契約を表示します。

sam_userロールとsam_adminロールは、次の場所に移動して、今後の契約とエンタイトルメントの更新、および期限切れの契約を把握できます ソフトウェア資産ワークスペース > 更新カレンダー.

> **注:**
> 更新カレンダーを表示するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインをアクティブ化します。

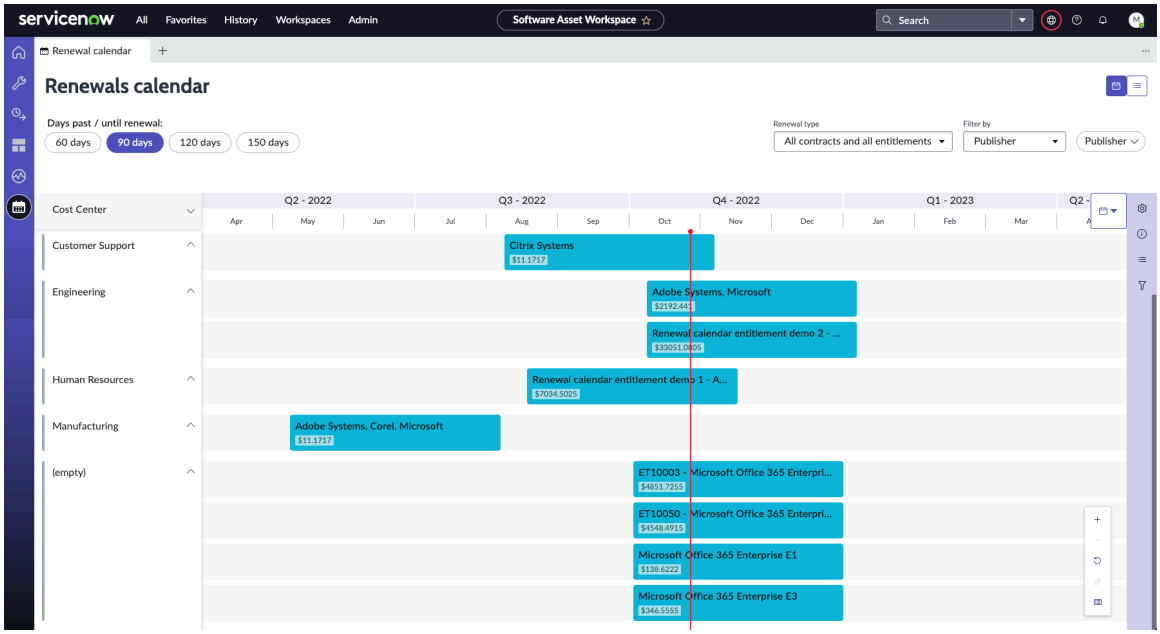
このビューには、次の条件で今後の更新と期限切れの更新が表示されます。

- 契約が有効である必要があります。
- 契約は 90 日以内に期限切れになります。
- 契約の終了日を空にすることはできません。
- 契約のステータスがアクティブまたは期限切れです。
- 契約のサブステートが [レビュー待ち] または [却下された更改] のいずれかです。
- サブスクリプション、ソフトウェアライセンス、メンテナンスなどの契約モデルタイプの契約
- ライセンスタイプが [無期限] または [サブスクリプション] のみのエンタイトルメント。
- 関連付けられた契約のないエンタイトルメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更改 カレンダー ビュー



更新カレンダーでは、次の情報を表示できます。

- 契約とエンタイトルメントのカレンダーとリストビュー
- カレンダービューでの契約とエンタイトルメントの詳細

  更新カレンダーページの右上隅からリストビューに切り替えることができます。

  - 契約
    - 契約名
    - 終了日が近づいている契約の更新開始日
    - 期限切れの契約の更新開始日
    - 契約終了日
    - 総額
  - エンタイトルメント
    - エンタイトルメント名
    - 開始日
    - 終了日

      注:
      無期限エンタイトルメントの終了日は、メンテナンスの有効期限です。

    - 総額

注:
カレンダービューには、次によって計算される更改開始日が表示されます。

```
End date - Days past/until renewal
```

.[経過日数/更新までの日数 (Days past/until renewal)] の値 (60、90、120、150 日など) を選択します。実際の開始日を確認するには、契約とエンタイトルメントレコードを開く必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 左ペインのコストセンターに基づいてグループ化された、今後の契約とエンタイトルメントの更新の数
- 契約バーを選択する際の [契約情報] フォーム

  注:
  このレコードフォームから契約を更新、調整、またはキャンセルできます。

- エンタイトルメントバーを選択する際の [エンタイトルメント情報] フォーム

  注:
  契約更改ワークフローを続行するには、契約を作成または関連付ける必要があります。

- 現在の日付を示す赤い線。カレンダービューの契約バーまたはエンタイトルメントバーには、開始日が現在の日付の 6 か月前、終了日が現在の日付の 6 か月後として表示されます。

次の方法で結果をフィルタリングして絞り込むことができます。

- カレンダービューのタイムスケールに基づく今後の更新
- 経過日数または更新までの日数 (60 日、90 日、120 日、150 日など)
- [すべての契約]、[すべてのエンタイトルメント]、[すべての契約とすべてのエンタイトルメント] などの更新タイプ
- 更新タイプに基づく公開者、製品、契約モデル、およびコストセンターサブフィルター
- ドメイン

  注:
  更新カレンダービューにドメインデータを表示するには、ドメイン拡張インストーラー [com.glide.domain.msp_extensions.installer] プラグインとドメインサポート [com.snc.pa.domain_support] プラグインをインストールする必要があります。

重複する使用状況ビュー

ソフトウェア資産ワークスペース の重複する使用状況ビューを使用して、機能レベルの使用状況に関するインサイトを取得し、SaaS およびシングルサインオン (SSO) アプリケーションを合理化します。

重複する使用状況ビューには、アプリケーションカテゴリ (SaaS または支出検出) に基づいてアプリケーションへの支出を示すレポートが表示されます。ビデオ会議、プロジェクト管理、メールマーケティングなどのソフトウェアアプリケーションの主な機能に基づいて、カテゴリ別にグループ化されたアプリケーションのリストを表示することもできます。このアプリケーションのリストには、次の詳細が含まれています。

- 消費量
- 使用法
- サブスクリプションの合計数
- 再利用候補

に移動し、重複する使用状況ビューにアクセスします ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 重複する使用状況.

注:
重複使用状況ビューを表示するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 統合アプリケーションを要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
重複する使用状況ダッシュボードは、ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) およびドメインサポート (com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合にドメインセパレーションをサポートします。データをフィルタリングするには、[ドメイン] ドロップダウンリストからドメインを選択します。

エンドユーザーとロール

エンド ユーザー	必要なロール	ゴール
SAM アドミン/SAM ユーザー	sam_admin/sam_user	重複する使用状況ダッシュボードを表示します。 **注:** SAM アドミニストレーターまたは SAM ユーザーには、デマンドを作成するための it_demand_userロールが必要です。アプリケーション機能の使用状況ページからデマンドを作成できます。

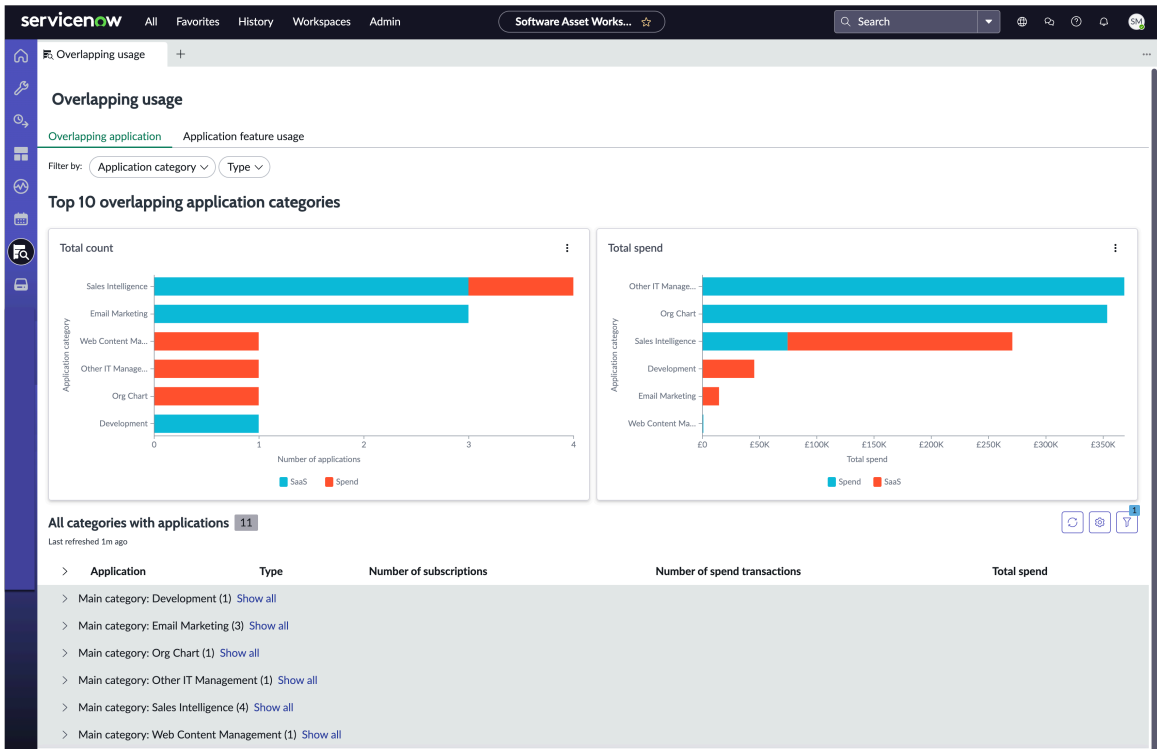
重複するアプリケーション

[重複するアプリケーション] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

- 合計数:支出検出や SaaSなどのアプリケーションカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションの合計数。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのタイプのアプリケーションのリストに移動し、関連するサブスクリプション数、合計支出、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- 総支出: 支出検出や SaaSなど、アプリケーションカテゴリ別にグループ化された重複するソフトウェアアプリケーションの合計支出。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのタイプのアプリケーションのリストに移動し、関連するサブスクリプション数、合計支出、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- アプリケーションを含むすべてのカテゴリ:ソフトウェアアプリケーションの主な機能に基づいてカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションのリスト。各カテゴリの横にある数字は、開発やメールマーケティングなど、そのカテゴリのアプリケーションの数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーション機能の使用方法

[アプリケーション機能の使用状況] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

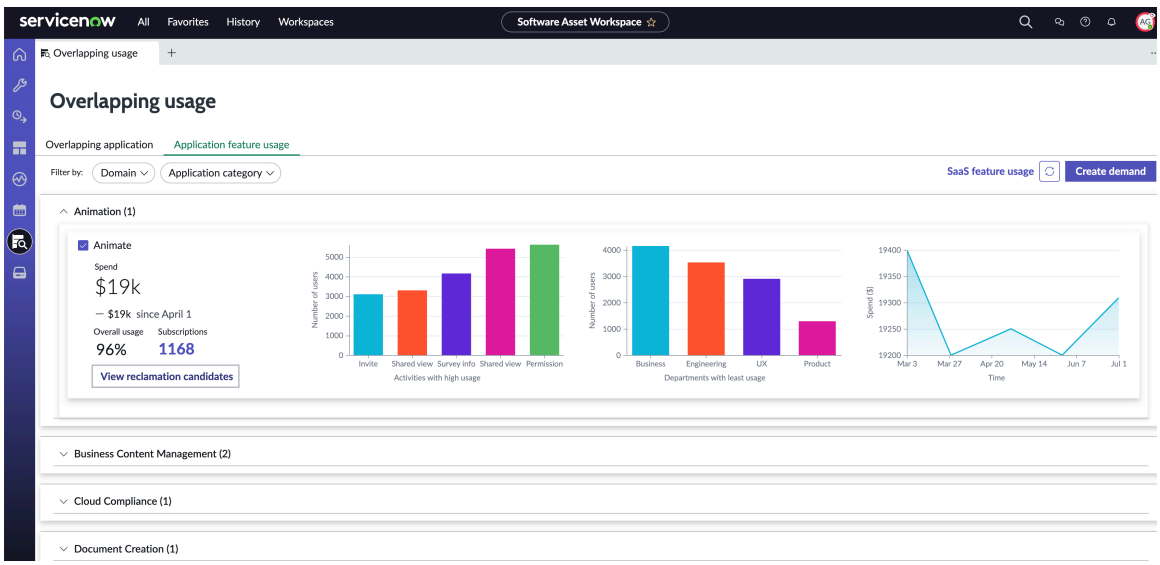
- アプリケーションカテゴリのリストビュー。
- アプリケーションの詳細でわかりやすい機能の使用状況情報。アプリケーションカテゴリを展開すると、そのカテゴリ内の各アプリケーションについて次のデータを表示できます。

属性/チャート	説明
消費量	アプリケーションの合計消費量。
全体的な使用状況	アプリケーションで少なくとも 1 つのイベントを実行したユーザーの割合。
サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。
再利用候補を表示	クローズされていないアプリケーションの再利用候補のリスト。
使用率の高いアクティビティ	ユーザー数に基づく、使用率が最も高かった上位 5 つのアクティビティ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性/チャート	説明
	注: ○ このグラフは、SSO アプリケーションと、最後のログインアクティビティのみがプルされるSaaSアプリケーションの、前回のログインアクティビティを持つユーザーに置き換えられます。 ○ このチャートには、SaaS イベントマッピング (samp_saas_event_mapping) テーブルで利用可能な正規化マッピングを持つすべてのイベントのデータが表示されます。
使用率が最も低い部門	組織内でアプリケーションの使用頻度が最も低い 5 つの部門。使用状況はユーザー数に基づいています。 このデータは、IT アドミニストレーターがこれらの部門内のユーザーにアクセス権が必要かどうかを判断し、代わりにそれらのユーザーのアダプションを促進するために役立ちます。 **注:** このチャートには、特定の部門にアサインされているユーザーのデータのみが表示されます。
支出傾向チャート	アプリケーションの月次支出傾向のグラフ表示。



SaaS 機能の使用状況

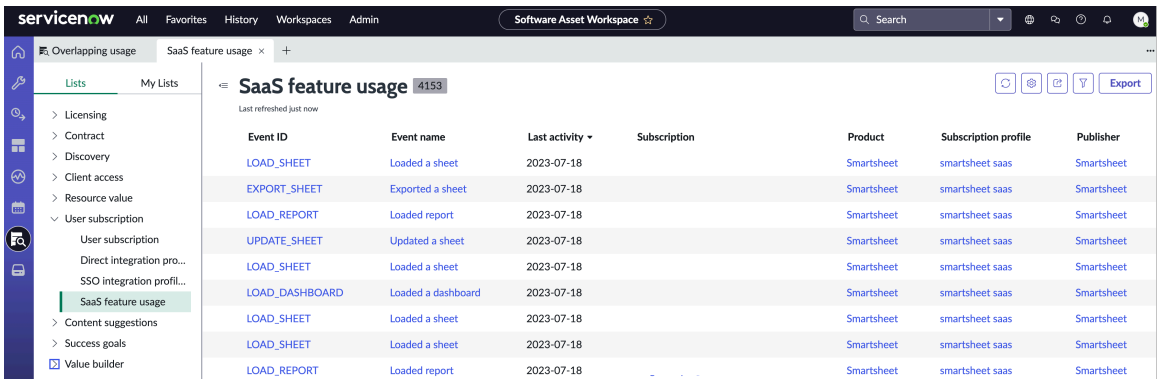
[SaaS 機能の使用状況] ページには、イベント ID、イベント名、前回のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど、各統合のイベント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の詳細が含まれています。**[SaaS** 機能の使用状況] リンクを選択して、[ライセンス操作] ビューの [SaaS機能の使用状況] ページに移動します。

注:
[SaaS 機能の使用状況] ページには、現在の日付から最大 1 年間のイベントの詳細が表示されます。



ソフトウェアアプリケーションの合理化デマンドの創出

デマンドを作成すると、検出された冗長ソフトウェアに対して意味のあるアクションを実行できます。ソフトウェアの中止、ソフトウェア使用量の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行、またはその他のアクションを実行できます。

注:
デマンドを作成するには、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールする必要があります。

[デマンドを作成して ソフトウェアアプリケーションを合理化] を選択します。詳細については、「ソフトウェアアプリケーションの合理化のためのデマンドの作成」を参照してください。

コンテンツルックアップ

コンテンツライブラリポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介して、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを可視化できます。

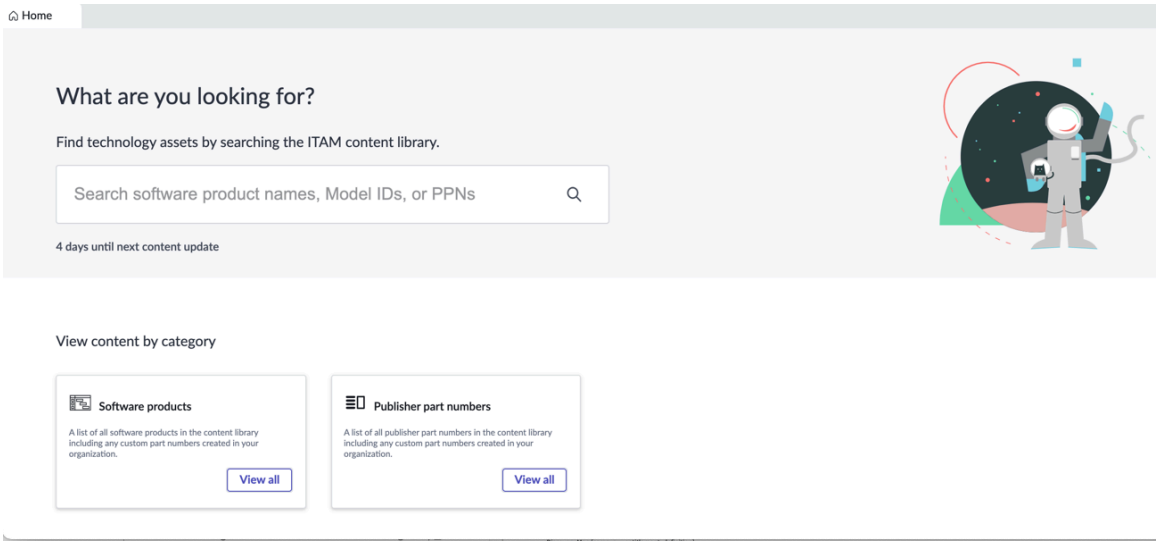
ソフトウェア資産管理コンテンツサービスは、ソフトウェア製品名と、ソフトウェア製品のライフサイクルの日付、ディスカバリーマップ、モデル番号、パブリッシャーの品番 (PPN) などのすべての追加情報のリポジトリです。この情報は、コンテンツサービスのさまざまなテーブルに保存されます。コンテンツサービスの詳細については、「 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。

コンテンツライブラリポータルにアクセスするには、ソフトウェア資産ワークスペースに移動し、ページの左側にあるコンテンツルックアップビューアイコンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツルックアップ



コンテンツライブラリポータルアプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。アプリケーションをインストールしたら、AI 検索 (com.glide.ais) プラグインがアクティブ化されていることを確認します。コンテンツライブラリポータルアプリケーションのインストールの詳細については、「 のコンテンツライブラリポータルのインストール ソフトウェア資産管理」を参照してください。

コンテンツライブラリポータルは AI 検索機能を使用し、次のことを支援します。

- 特定のソフトウェア製品、PPN、またはモデル ID を検索します。
- コンテンツサービスで、ソフトウェア製品、PPN、およびモデル ID の全リストを表示します。
- ソフトウェアバージョン、ソフトウェア製品ライフサイクルなど、ソフトウェア製品に関連する追加の詳細を表示します。
- 次のコンテンツ更新までの残り日数を表示します。

検索バーに検索条件を入力すると、最も関連性の高い一致を含む検索結果が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、コンテンツサービスの情報は次のような複数のテーブルからプルされます。

- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ディスカバリーマップ [samp_sw_entitlement_definition]
- パブリッシャーの品番 [samp_sw_product_definition]

条件に一致する検索結果をクリックすると、製品の詳細ページが関連リストとともに表示されます。製品の詳細ページが読み取り専用モードで開きます。たとえば、 Microsoft SQL Server 2008 Enterprise 製品の結果をクリックすると、ソフトウェアバージョン、ソフトウェアライフサイクルデータ、PPN などの関連リストを含む [SQL Server 2008 Enterprise Microsoft] ページが表示されます。

用の **Now Mobile** アプリ ソフトウェア資産管理

Now Mobile アプリを使用して、自分に割り当てられているハードウェア資産とソフトウェア資産を表示します。

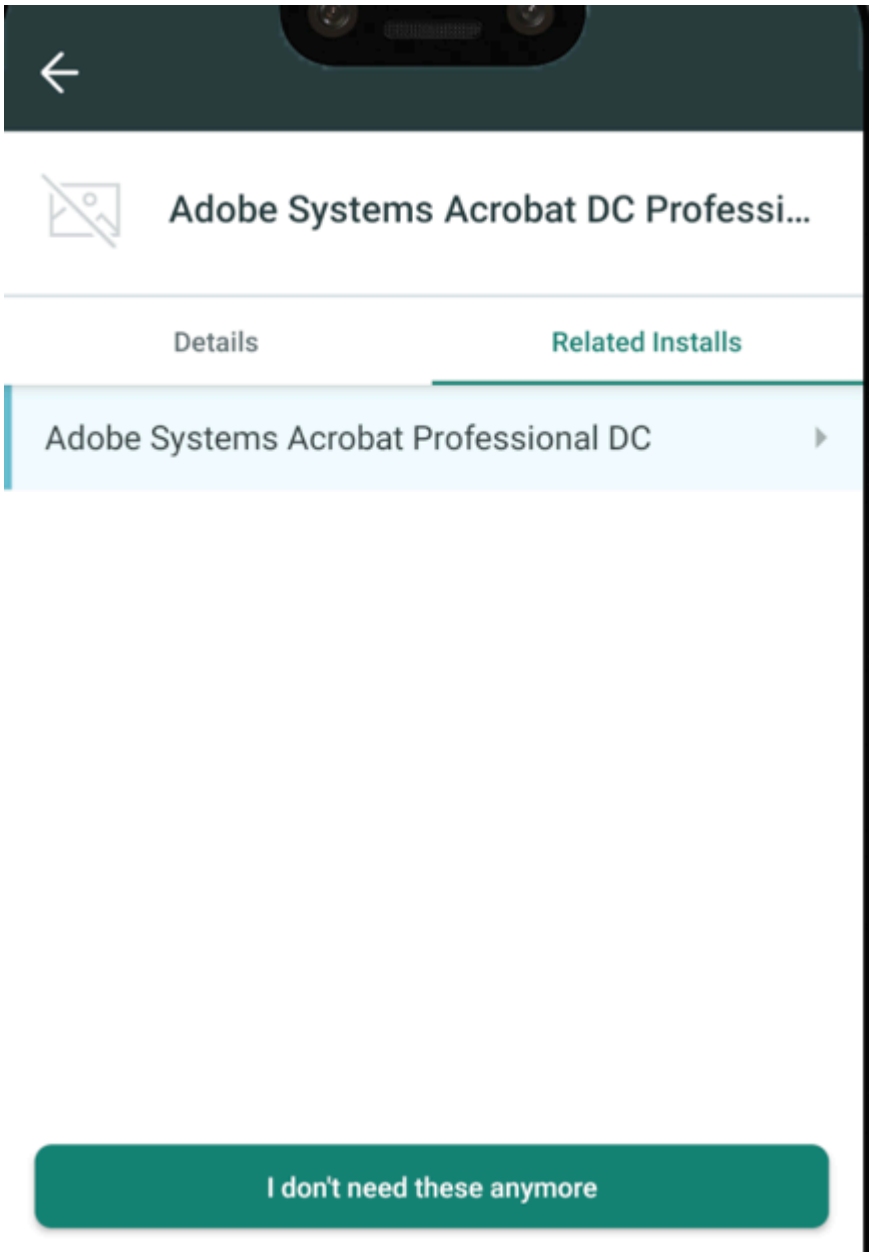
Now Mobile アプリで、次の場所に移動すると、インストールされているソフトウェアとサブスクリプションソフトウェアの両方のリストを表示できます 自分のアイテム > 自分の資産 > **Software** (ソフトウェア). ソフトウェアを最後に使用した日時に関する情報を確認できます。一部のソフトウェアが複数のデバイスにインストールされている場合は、すべてのデバイスを表示することもできま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。Now Mobile アプリは、[ソフトウェアサブスクリプション]、[権限使用者]、[権限要求者] テーブルから資産のリストを取得します。

Now Mobileアプリでの資産の表示



いずれかの資産をタップすると、ビジネスコスト、最後のアクティビティ、その他の情報などの詳細が表示されます。アセットを明け渡す場合は、[これはもう必要ありません] をタップします。ソフトウェア資産マネージャーが削除要求を確認して承認できるように、削除候補が生成されます。

ソフトウェア要求の仮想エージェント

ServiceNow® 仮想エージェントを実装して、従業員が人工知能を利用した事前定義された対話型インターフェイスを介してソフトウェアを要求できるようにすることができます。仮想エージェントは、ソフトウェア要求に自動的に対処するのに役立つため、IT フルフィルメント担当者はより複雑な要求やインシデントに集中できます。

仮想エージェントの実装方法と使用方法については、「仮想エージェント」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

前提条件

ソフトウェア要求に 仮想エージェント を使用する前に、次の前提条件を満たしてください。

- ServiceNow インスタンスで ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化します。

  このプラグインを有効にする方法の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

- ServiceNow インスタンスで Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot) プラグインをアクティブ化します。

  このプラグインをアクティブ化する方法の詳細については、「 仮想エージェントのアクティブ化 」を参照してください。

- ServiceNow Store から ITSM 仮想エージェント Conversations アプリケーションを要求してインストールします。
- ServiceNow Store から 仮想エージェント Conversations アプリケーションITSM NLU要求してインストールします。
- 対応するソフトウェアカタログアイテムのワークフローを **[Procurement Process Flow - Auto allocation enabled]** に設定して、ソフトウェアの自動割り当てを有効にします。ソフトウェアカタログアイテムのワークフローを設定する方法の詳細については、「 カタログアイテムの作成または編集 」を参照してください。

のソフトウェア要求フロー 仮想エージェント

ユーザーがソフトウェアを要求すると、 仮想エージェント ソフトウェアカタログで利用可能なソフトウェアに基づいて適切なオプションを自動的に推奨します。オプションを選択すると、ソフトウェアが要求されているユーザーまたはデバイスを指定するように求められます。次に、 仮想エージェント 要求アイテムを生成し、次のいずれかのワークフローを開始して、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。

- ユーザー割り当てワークフロー:指定されたユーザーに権限を割り当てます。対応するソフトウェアエンタイトルメントがユーザー割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合に、 仮想エージェント このワークフローを開始します。
- デバイス割り当てワークフロー:指定されたデバイスに権限を割り当てます。対応するソフトウェアエンタイトルメントがデバイス割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合に、 仮想エージェント このワークフローを開始します。

注:
権限は、指定されたユーザーまたはデバイスに、最も古いソフトウェアエンタイトルメントを先頭に、ソフトウェアエンタイトルメントの時間的な昇順で割り当てられます。

注:
ソフトウェアエンタイトルメントがユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合、またはソフトウェアにユーザー割り当てベースとデバイス割り当てベースの両方のソフトウェアエンタイトルメントが含まれている場合、 仮想エージェント は最初にユーザー割り当てワークフローを開始します。 仮想エージェント は、すべてのユーザー割り当てが消費された後にのみ、デバイス割り当てワークフローを開始します。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を履行するのに十分な有効な権限と割り当てが含まれている場合、 仮想エージェント 要求を自動的に承認し、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を満たすために十分なアクティブな権限と割り当てが含まれていない場合は、必要な権限を手動で調達する必要があります。これらの権限を調達すると、指定されたユーザーまたはデバイスに自動的に割り当てられます 仮想エージェント 。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

重要:
ソフトウェアを要求および割り当てるには、 ServiceNow® サービスカタログ および 従業員センターでこの同じフローを使用します。サービスカタログの詳細については、「サービスカタログ」を参照してください。従業員センターの詳細については、「従業員センター」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、組織からの正規化されていないソフトウェアインストールデータをServiceNow と共有し、正規化プロセスを改善します。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス は、ソフトウェア認識の継続的な改善をユーザーに提供する IT Asset Management (ITAM) 共有サービスです。正規化されていないソフトウェアインストールデータを ServiceNowと共有することで、独自のソフトウェアインストールフットプリントに基づいてコンテンツを自動的に更新することができます。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスは、コンテンツデータサービス (CDS) インスタンスを介して組織とServiceNow間でデータを転送します。商用展開では、商用データセンターに展開されている CDS インスタンスを介してデータが転送されます。National Security Cloud (NSC) の国防総省 (DOD) Impact Level 5 (IL5) 展開では、データは NSC DOD IL5 データセンターに展開された CDS インスタンスを介して転送されます。

注:
NSC DOD IL5 展開のデータは、 ServiceNow から組織にのみ転送できます。組織からServiceNowに転送することはできません。正規化されていないソフトウェアインストールデータを ServiceNowと共有することはできないため、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに追加するソフトウェア製品のソフトウェアコンテンツ要求を手動で作成する必要があります。ソフトウェア製品が コンテンツライブラリに追加されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、NSC DOD IL5 展開で検出された対応するソフトウェアインストールの正規化を開始できます。ソフトウェアコンテンツ要求の作成方法については、 IT 資産管理コンテンツ要求の作成 を参照してください。

個人を特定できる情報は ServiceNowと共有されません。ただし、以下の ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプの表で説明されているように、カスタムソフトウェア製品の例外に注意してください。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスを使用して共有されるデータは、ServiceNowインスタンスの保護に使用されるのと同じServiceNowプライバシーポリシー、手順、ツール、および技術に従って、セキュリティで保護されたままであり、レビュー後に適切に廃棄されます。ServiceNow と共有するデータタイプの選択は、組織によって構成できます。また、データがパッケージ化されて他の ServiceNow 顧客に出荷されることはありません。

この新しいコンテンツにより、正規化ヒット率が向上し、ソフトウェア資産をより適切に管理できるようになります。デフォルトでは、 コンテンツサービスにオプトインされていません。オプトインの方法については、「 ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

ソフトウェアディスカバリーモデル、カスタムソフトウェア製品、またはカスタム公開者の品番をServiceNowとの共有から除外する場合は、[ソフトウェアディスカバリーモデル]、[カスタムソフトウェア製品]、または [カスタム品番] フォームの [コンテンツサービスから除外] チェックボックスをオンにします。

正規化プロセスは、アクティブな公開者、製品、およびルールに対してのみ機能します。古いルールは使用されません。正規化ライブラリのコンテンツバージョンはいつでも非アクティブ化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェアモデルのライフサイクル、品番とディスカバリーマップ、プロセッサ名、および製品ライセンス例外ルールのデータ共有は、オプトイン後に自動的に有効になります。資産データの種類を共有しない場合は、 コンテンツサービス 設定 ページのデータの種類の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
ソフトウェアディスカバリーモデル	新しいインストールが特定されたときに、ソフトウェアインストールを分類して重複を減らすために作成されるモデル。 次のステータスのソフトウェアディスカバリーモデルのみが転送されます。 • 一致項目は見つかりませんでした • 正規化されたパブリッシャー • 一部正規化済み • 手動で正規化済み • ディスカバリーモデルが正規化されました **注:** ステータスが [正規化済み] で [バージョン] が空のディスカバリーモデルのみが転送されます。 **注:** 機械学習予測の精度を向上させるために、機械学習によって正規化されたソフトウェアディスカバリーモデルが転送されます。	• 検出されたパブリッシャー • 検出された製品 • 検出されたバージョン • 正規化済みパブリッシャー • 正規化された製品 • 正規化されたバージョン • エディション • 言語 • プラットフォーム • ルールテーブル • ルール ID • ML モデルバージョン • ML 正規化ステータス • ML 予測値 **注:** プロパティ com.snc.samp.ml.overrride_ml_model_versi 代替値を指定することで、予測に使用される ML モデルを上書きできます。アドミンと sam_adminにはこのプロパティへの読み取りアクセス権がありますが、読み取りと書き込みの両方のアクセス権があるのはアドミンのみです。
ソフトウェア製品ライフサイクル	外部定義または公開者定義のソフトウェア製品のライフサイクル。 ServiceNowによって作成されず、ライフサイクルタイプが内部ではないソフトウェア製品のライフサイクルのみが転送されます。	• パブリッシャー • 製品 • ライセンス可能なバージョン • エディション • 完全バージョン • ライフサイクルフェーズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
		• フェーズ開始日 • ライフサイクルソース
品番とディスカバリーマップ	ソフトウェア製品のパブリッシャーの品番と対応するバージョンおよびエディションを表すために手動で作成されたカスタム品番とカスタムディスカバリーマップ。	• パブリッシャーの品番 • ライセンスタイプ • パブリッシャー • 製品 • ディスカバリーマップ • バージョン条件 • バージョン • エディション条件 • エディション • プラットフォーム • プラットフォーム条件 • 言語 • 言語条件 • データベースオプション
プロセッサ名	構成アイテム (CI) で特定されるプロセッサー。 デフォルトのプロセッサーファクターにマッピングされているプロセッサーのみが転送されます。	• CPU タイプ • コア数 • 速度
ファイルの署名	CI で検出されたソフトウェアパッケージを識別する署名。ソフトウェアパッケージは、ファイル名やファイルサイズなどのファイルの属性に基づいて検出されます。手動で正規化されたファイル署名のみが転送されます。	• ファイル名 • ファイルサイズ • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • プラットフォーム • 言語
ソフトウェア支出トランザクション	ソフトウェア支出検出用にインポートされたソフトウェア支出トランザクションレコード。	• ベンダー名 • 説明

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
注: ソフトウェア支出検出 がインストールされている場合にのみ表示されます。 ソフトウェア支出トランザクションのデータ共有は、デフォルトでは非アクティブです。	ベンダー名、トランザクションの説明、総勘定元帳口座、および予測結果のみが転送されます。	• GL アカウント • ソフトウェア • パブリッシャー ID • 製品 ID
認識されないサブスクリプション識別子	ソフトウェアモデルが ServiceNow コンテンツで関連付けられていないサブスクリプション識別子。	• サブスクリプション識別子 • ソフトウェアモデル • サブスクリプションの数
共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール	公開者、製品、バージョン、エディション、および ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品の対応する値。	• パブリッシャー • 製品 • バージョン • 完全バージョン • エディション • 言語
製品ライセンス例外ルール	製品、エディション条件、エディション、製品タイプ、および ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品の対応する値。 例外ルールテーブルには、特定の製品エディションにライセンス不可のタグを付けるオプションがあります。	• 製品 • エディション条件 • エディション • 製品タイプ • [Active (アクティブ)]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
	注: 製品にライセンス不可のラベルが貼付されており、その製品のエディションにライセンス可能のタグを付ける場合は、コンテンツサービス チームに要求を送信する必要があります。	**注:** このレコードを使用すると、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_custom_lic_exception_rules] テーブルを使用して独自の例外ルールを追加できます。このテーブルは利用可能で、リバースプッシュ機能があります。この機能を使用すると、製品がライセンス可能であるが、製品の特定のエディションがライセンス不可である場合の例外ルールを作成できます。
カスタムソフトウェア製品	ServiceNow インスタンスに手動で追加されたカスタムソフトウェア製品。 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリにまだ存在しない公開されているソフトウェア製品に対して、カスタムソフトウェア製品を追加できます。詳細な手順については、「ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する」を参照してください。	• パブリッシャー • 製品 • 製品タイプ • 製品分類 • サブスクリプションソフトウェア **警告:** これらの詳細の転送に加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションではインスタンス名と顧客名が転送されます。
機械学習を使用してソフトウェア契約から抽出されたエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメントの詳細は、機械学習を使用してソフトウェア契約から抽出されます。これは、製品、パブリッシャー、エディションの値を予測するための機械学習モデルの改善に役立ちます。さらに、マッピングテーブルにエントリを追加することで、マッピング機能も強化されます。	• パブリッシャーの品番 • 製品の説明 • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • 指名ユーザータイプ • データベースオプション • ライセンスタイプ • ライセンスのメトリクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
		• サブスクリプション期間 • 合意タイプ

オプトアウト

[コンテンツサービス セットアップ] ページからいつでもオプトアウトできます。

オプトアウトすると、会社は正規化プロセスの改善に寄与しなくなります。コンテンツの更新は引き続き受信されますが、更新は、環境および CMDB内に存在する会社固有のソフトウェア インストール フットプリントによって通知されないため、適用が難しくなる可能性があります。

会社はいつでも ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス に再参加できます。

関連情報

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化

のコンテンツ更新 ソフトウェア資産管理

この ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス では、データの正規化に使用できるコンテンツ更新がインスタンスに毎週提供されます。

コンテンツ更新の一環として、次のタイプのコンテンツを更新できます。

- カテゴリ
- ディスカバリーマップ
- 正規化の提案
- 製品分類
- 製品ライセンス例外ルール
- 製品名
- 製品タイプ
- パブリッシャー
- スイート定義
- ソフトウェアモデルのライフサイクル
- ソフトウェア モデルの提案
- カスタムソフトウェア製品の提案
- 共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェアモデルは、コンテンツ更新の一部として公開者の名前が更新されても更新されません。コア会社の参照から表示名が削除されるため、ソフトウェアモデルは更新されません。ただし、製品が別の公開者に移行した場合、製品があるコア会社から別のコア会社に移動するときのコンテンツ更新中にソフトウェアモデルが更新されます。パブリッシャー名は新しいソフトウェアモデルでは更新されますが、既存のソフトウェアモデルでは更新されません。

製品タイプは、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルを使用して、製品のエディションレベルで更新できます。特定のエディションがライセンス不可の場合、例外ルールが製品ライセンス例外ルール [samp_prod_lic_excep_rules] テーブルまたはカスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルで定義されていると、製品タイプが自動的に更新されます。ただし、製品がライセンス不可の場合、ライセンス可能なエディションの例外ルールを作成することはできません。この場合、サポートドキュメントとともに コンテンツサービス チームにケースを作成し、エディションにライセンス可能としてタグ付けする必要があるかどうかを確認する必要があります。

「SAM - 最新のコンテンツ変更を適用」スケジュール済みジョブが実行され、コンテンツ更新が処理されます。コンテンツのダウンロードが完了すると、更新されたコンテンツが対応するターゲット列ステージング列からプルされます。関連するダウンストリームレコードも更新されます。

クエリが実行され、インスタンス内のどのトランザクションデータを新しいコンテンツで更新する必要があるかが識別されます。変更が識別されると、その変更はインスタンスに反映されます。

もう 1 つのスケジュール済みジョブである **SAM -** ソフトウェアモデルのライフサイクルとスイートの作成は、スイートコンポーネントとライフサイクルの変更を実行してソフトウェアモデルに伝播します。コンテンツの変更をソフトウェアモデルに適用しない場合は、ソフトウェアモデルフォームの [自動コンテンツ更新を許可] フラグをクリアできます。デフォルトでは、このフラグは、すべてのソフトウェアモデルに対してコンテンツの自動更新を有効にする場合に選択されています。

注:
コンテンツ更新によってライフサイクルデータが追加された場合、ソフトウェアモデルから削除することはできませんが、非アクティブ化することはできます。コンテンツ更新の一部として追加されたライフサイクルデータは、ソースが **ServiceNow** に設定されます。

非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデルレポートを使用して、非アクティブ化されたディスカバリーマップを指しているソフトウェアモデルを表示します。

ソフトウェアライブラリに加えられた変更を確認するには、SAM コンテンツ監査 [sam_content_audit] テーブルを確認します。

注:
コンテンツの更新は、カスタム製品やカスタムディスカバリーマップには影響しません。

コンテンツを ServiceNow に送信し、コンテンツの更新に含める方法の詳細については、「 ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアモデルは、公開者、バージョン、ディスカバリーマップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアエンタイトルメントは、購入した権限にソフトウェアモデルを関連付けるために使用されます。

ソフトウェアモデル

ソフトウェアモデルは、公開者情報を記録し、プロファイルを作成するために使用されます。複数のエンタイトルメントを 1 つのソフトウェアモデルにリンクできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア モデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model および samp_downgrade_model] テーブルのソフトウェア モデルに関連するすべてのレコードが自動的に削除されます。ダウングレード権限の詳細については、「 ダウングレード権限」を参照してください。

ソフトウェアモデルを手動で作成する方法の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。ソフトウェア モデルの自動作成の詳細については、「 ソフトウェアモデルの自動作成」を参照してください。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポート

Technology Portfolio Management で使用するソフトウェアのライフサイクルフェーズを追跡することもできます。

ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルには、ソフトウェア製品の情報、そのライフサイクルタイプ (内部または外部)、完全バージョン、ライフサイクルフェーズ、フェーズの開始日、およびリスクが保持されます。

ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルの [コンテンツのアクティブ] 列は、ライフサイクルレコードが有効な場合、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスによって値 true に設定されます。テクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) タイムラインにライフサイクルフェーズを表示しない場合は、[アクティブ] 列を false に設定します。たとえば、[ソフトウェア製品ライフサイクル] リストの Oracle DB サーバーソフトウェアモデルの 3 つのレコードとして、[一般提供]、[延長サポート終了]、および [サポート終了] ライフサイクルフェーズを含めることができます。ただし、一般提供フェーズをタイムラインに表示しない場合は、そのライフサイクルフェーズレコードのソフトウェア製品ライフサイクルフォームで [アクティブ] チェックボックスをオフにすることができます。その結果、タイムラインは サポート終了 フェーズから始まります。ソフトウェア製品ライフサイクルに対して、そのライフサイクルフェーズレコードは存在しますが、ライフサイクルデータはタイムラインに表示されなくなります。これは、アクティブなライフサイクルレコードのみが考慮され、TPM タイムラインにプロットされることが理由です。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポートを表示して、提供終了、サポート終了、および延長サポートの終了が近づいている製品について通知されます。に移動してレポートを表示 レポート > 表示/実行. レポートは、スケジュール済みジョブ *`SAM - Generate Data For Software Lifecycle Report`* に基づいています。

ソフトウェアライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecyle] テーブルに記載されているライフサイクルフェーズから、現在および今後のライフサイクルフェーズを計算します。

公開者、製品、バージョン、完全バージョン、エディションが同じレコードの場合、異なるライフサイクルフェーズに対して 1 つのレコードが存在します。これにより、各ライフサイクルフェーズでソフトウェアのインストール数が重複することを回避できます。ソフトウェア インストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルからライフサイクルをエクスポートできます。ソフトウェアインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルの *`Installs associated to lifecycle`* 列を介してライフサイクルにリンクされています。

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルに次の 5 つの新しい列が追加されました。

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの新しい列

新しい列ラベルと名前	説明
現在のフェーズ [current_lifecycle_phase]	現在進行中のライフサイクルフェーズ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの新しい列 (続く)

新しい列ラベルと名前	説明
ライフサイクルの現在のフェーズ開始日 [current_lifecycle_phase_start_date]	現在のライフサイクルフェーズの開始日。
今後のライフサイクルフェーズ [upcoming_lifecycle_phase]	もうすぐやってくるライフサイクルの段階。
今後のライフサイクルフェーズ開始日 [upcoming_lifecycle_phase_start_date]	次のライフサイクルフェーズの開始日。
所有者 [owners]	ソフトウェア モデルの責任者。

注:
ライフサイクルフェーズ列がソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルから削除されました。

ソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアのソフトウェア権限を追跡するには、公開者情報にリンクできるソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

ソフトウェアエンタイトルメントは、ソフトウェアライセンスの条件を記録します。ソフトウェアエンタイトルメントを使用すると、次のことができます。

- ライセンス割り当てを超過した場合は迅速に対処し、不正なソフトウェアを削除するか、ライセンスを追加注文することで準拠ステータスに戻します。
- ライセンスの割り当てが完全に使用されていない場合は、今後購入するライセンスの数を減らします。

たとえば、会社は 100 個のソフトウェアのエンタイトルメントを購入したとします。ソフトウェアエンタイトルメントから、正当にライセンスが割り当てられた 従業員 100 人またはマシンの割り当てが作成されます。マシン 200 台にソフトウェアがインストールされていることをディスカバリーが見つけた場合、ソフトウェア資産管理者はライセンスなしでソフトウェアをインストールした従業員またはマシンを特定し、状況を正しくする必要があります。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントのインポート

一括ソフトウェアエンタイトルメントを一度にインポートできます。

インポートするエンタイトルメントに公開者の品番 (PPN) が指定されている場合、PPN はコンテンツサービスライブラリ内の PPN と照合され、そのデータを使用してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

注:
ソフトウェアエンタイトルメント (製品、パブリッシャー、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語) のインポート中に「 パブリッシャーの品番が見つかりません 」というエラーが発生したが、ディスカバリーマップが見つかった場合は、 カスタムのパブリッシャーの品番 が自動的に作成されます。ディスカバリーマップが見つからない場合は、ディスカバリーマップを作成してパブリッシャーの品番に関連付けることができます。

インポートスプレッドシートに競合する (または欠落している) PPN が含まれている場合、PPN 値は既存の製品定義の値に設定されます (利用可能な場合)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
Microsoft エンタイトルメントのバッチをインポートし、[ライセンス期間] フィールドが [契約社員] に設定されている場合は、開始日と終了日の両方を指定する必要があります。

ステップアップライセンスタイプは、パブリッシャーが Microsoftである場合にのみ使用できます。別の公開者を指定しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

ソフトウェアモデルの自動作成

ソフトウェアモデルがまだ存在しない場合は、ソフトウェアインストール用に自動的に作成されます。

すべてのソフトウェア インストールをソフトウェア モデルに関連付ける必要があります。ソフトウェアモデルに関連付けられると、修正に役立ち、準拠するためにコスト見積りにソフトウェアインストールが含まれるようになります。

ソフトウェアのインストールがどのソフトウェアモデルにも対応していない場合、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

- ライセンス可能な製品のソフトウェアモデルを自動的に作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'licensable' products*を有効にします。
- ライセンスできない製品のソフトウェアモデルを作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'not licensable' products*を有効にします。

注:
上記のプロパティを更新するには、次に移動します: ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロパティ.

調整が実行されると、ソフトウェアインストール用のソフトウェアモデルが存在するかどうかが検索されます。既存のソフトウェアモデルの検索は、バージョン、エディション、言語、プラットフォーム、インストール条件などの属性に基づいて行われます。既存のソフトウェアモデルの属性のすべての条件が一致する場合、ソフトウェアモデルは作成されないため、重複するソフトウェアモデルの作成が回避されます。

ソフトウェア モデルは、一致するものが見つからない場合にのみ作成されます。ソフトウェアモデルは、バージョン間で作成され、利用可能な場合は特定のエディションに対して作成されます。ただし、ソフトウェア モデルが特定のバージョンに対して作成されることはありません。

ディスカバリーマップがソフトウェアモデルに関連付けられるのは、そのソフトウェアモデルのディスカバリーマップが存在する場合のみです。対応するディスカバリーマップがコンテンツサービスライブラリに存在しない場合でも、ディスカバリーマップなしでソフトウェアモデルが作成されます。

ソフトウェア モデルが自動的に作成されるかどうかは、 *Automatically create software models for all 'licensable' products* または *Automatically create software models for all 'not licensable' products* プロパティによって識別できます。[ソフトウェアモデル] リストビューで、歯車アイコンをクリックして [作成されたソース] 列を表示します。このプロパティの値が [システムプロパティ] と表示されている場合は、ソフトウェアモデルがいずれかのプロパティによって自動的に作成されたことを示しています。

カスタムパブリッシャー品番 (PPN)

カスタム PPN とカスタムディスカバリーマップ (DMAP) を ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス PPN および DMAP に置き換えることで、エンタイトルメントとソフトウェアモデルへの変更を伝播します。

注:
発行元の有効な SKU ではない部品番号を使用するカスタム PPN は、置き換えることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンテンツサービスの更新がインスタンスにダウンロードされると、スケジュール済みジョブ *SAM - Find Product Definition Suggestions* が実行されます。スケジュール済みジョブは、すべてのカスタム PPN および DMAP レコードをチェックして、コンテンツサービス上で対応する PPN および DMAP の一致を検索します。カスタム PPN および DMAP の一致が見つかった場合、提案レコードが部品番号の提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに作成されます。提案レコードを表示するには、[部品番号の提案] オプションに移動します。

注:
[カスタム品番] フォームで [コンテンツサービスから除外] オプションを選択して、コンテンツサービスからカスタム PPN を除外した場合、それらのカスタム PPN の提案は表示されません。

注:
提案レコードの表示の詳細については、「 ワークスペースで公開者の品番 (PPN) の提案を表示する 」または「 ソフトウェア資産管理クラシック版でパブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示する」を参照してください。

提案を承認または却下できます。提案を受け入れると、カスタム PPN と DMAP はコンテンツサービス PPN と DMAP に置き換えられます。エンタイトルメントとソフトウェアモデルに対するすべての変更は自動的に反映されます。

コンテンツサービス PPN を伝搬すると、次の変更が行われます。

- 影響を受けるすべてのエンタイトルメントが新しい PPN で更新されます。
- コンテンツサービス DMAP に関連付けられたダウングレード権限がエンタイトルメントにコピーされます。
- コピーされたダウングレード権限により、ユーザーが作成した既存のエントリが上書きされます。
- ライセンスタイプとライセンスメトリクスの値は、PPN に基づいて変更されます (必要な場合)。
- エンタイトルメントは [使用中] ステータスのままです。

コンテンツサービス DMAP の伝播により、次の変更が行われます。

- 関連するソフトウェア モデルが新しい DMAP で更新されます。
- ソフトウェアモデルに影響するフィールド:
  - 簡単な説明、資産追跡戦略/単位、次のバージョン。
  - スイートのコンポーネント/親は、コンテンツサービスの DMAP 値で上書きされます。
  - 追加されたカスタムコンポーネントは、警告に記載されているように削除されます。
  - ライフサイクルは上書きされます (警告メッセージが表示されます)。

ソフトウェア資産管理 移行

ソフトウェア資産管理プラグイン (資産管理 の機能ITSM ソフトウェア資産管理) から ソフトウェア資産管理 アプリケーションに移行して、より強力な機能を活用します。プラグインを有効にすると、顧客による手動操作が必要になります。

プラグインのアクティブ化中に自動変更が実行された後、ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) プラグインから ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインに正常に移行するには、顧客が 手動で手順 を実行する必要があります。

フォームやリストのカスタマイズは、プラグインをアクティブ化した後に顧客が手動で上書きする必要がある場合があります。さらに、ソフトウェアモデル、ソフトウェアエンタイトルメント、ユーザー/デバイス割り当てフォームの特定のフィールドに、プラグインのアクティブ化後に顧客が手動で設定する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動変更

ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインは、次の自動変更を実行します。

- テーブル
  - テーブルラベルの名前が変更されました。

テーブル	元のラベル	新しいラベル
[alm_license]	ソフトウェア ライセンス	ソフトウェアエンタイトルメント
[alm_entitlement_user]	ユーザーエンタイトルメント	ユーザー割り当て
[alm_entitlement_asset]	資産エンタイトルメント	デバイス割り当て

  - 新しいテーブルとスクリプトインクルードを追加します。
  - ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンス キー] フィールド内に任意の文字列値をライセンス キー [samp_sw_license_key] テーブルに追加します。
- フィールド名と値
  - [必須インストール] フィールド

    スイート コンポーネント (ソフトウェア モデルのバンドルのため) を持つソフトウェア モデルの場合、ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルの [必須インストール] フィールド値が新しい [必須] フィールドに移ります。

  - [権限] フィールド

    ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル内のソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス) の [権限] フィールド値が新しい[購入した権限] フィールドに移り、フィールド名が [権限] から [有効な権利] へ変更になります。

  - ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブル) の [ソフトウェアモデル] フィールドが、エンタイトルメント (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) のソフトウェアモデルに自動的に設定されます。
  - 複数の割り当てがない限り、ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) 数量は 1 に設定されます。

    同じユーザーまたはデバイスに対して複数のソフトウェアエンタイトルメント割り当てがある場合、その割り当ては 1 つのレコードに集約され、数量は集計レコードの数に設定されて重複割り当ては許可されなくなります。

- フォームとリスト

  [ソフトウェアモデル]、[エンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)]、[検出モデル]、[ソフトウェアインストール] の各フォームとリストのレイアウトは、新しいアプリケーションに合わせて変更されています。

  > **注:**
  > 各フォームとリストのカスタマイズは、プラグインのアクティブ化後に手動で上書きする必要があります。

- 機能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

無効になった機能

機能	説明
ライセンスとソフトウェア カウンター	SAM ライセンス カウンターを発動させるスケジュール済みジョブが [なし] に変更され、非アクティブとなり、ソフトウェア カウンターが無効となります。
自動一致機能	ディスカバリーモデルと相対するソフトウェアモデルを一致させようとする自動一致機能が無効となります。
ナビゲーションメニュー	ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) プラグインのナビゲーションメニューが非アクティブ化され、名前が変更されます。
ビジネスルール	ディスカバリーモデルに適用される従来のビジネスルールが無効となります。

ソフトウェアインストールに対するソフトウェアモデルの関係

各ソフトウェア インストールをソフトウェア モデルに関連付けると、ライセンス可能なソフトウェアとライセンス不可能なソフトウェアの監査レポートを作成できます。

概要

次のシステムプロパティが有効になっている場合、ソフトウェアモデルはライセンス可能な製品とライセンス不可の製品に対して自動的に作成されます。

- *com.snc.samp.automaticsmrcreation*:ライセンス可能な製品の場合
- *com.snc.samp.automaticsmcreation*:ライセンス不可製品の場合

システムプロパティが有効になっていて、ディスカバリーモデルの一致が存在する場合、一致が汎用であってもソフトウェアモデルは作成されません。システムプロパティが有効になっていない場合、ソフトウェアモデルはディスカバリーモデルとのみ一致します。ソフトウェアモデルは作成されません。

最も具体的なソフトウェアモデルが照合されます。ディスカバリーモデルに特定のソフトウェアモデルが存在しない場合、最も一般的なソフトウェアモデルが照合されます。

照合プロセス中に一致するソフトウェアモデルが見つかったが、インストール条件がある場合、一致とは見なされません。このようなシナリオでは、ソフトウェア モデルはインストール条件なしで自動的に作成されます。

ソフトウェアディスカバリーモデル (cmdb_sam_sw_discovery_model) テーブル内の正規化済み公開者と正規化済み製品のペアごとに、スケジュール済みジョブ *SAM – Discovery Model to Software Model matching* は、公開者と製品が一致するすべてのソフトウェアモデルを取得します。ソフトウェア モデルにインストール条件、サブスクリプション条件、または DB オプションがない場合、正規化済みパブリッシャー、正規化済み製品、正規化済みエディション、正規化済みバージョンの値を持つ一致するディスカバリーモデルが取得されます。一致が見つかると、ソフトウェアモデル参照がソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルのソフトウェアモデル列に配置されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手動で設定されたソフトウェアモデル

スケジュール済みジョブ *SAM - Discovery Model to Software Model matching* 設定するよりも汎用的なソフトウェアモデルを一致させることを選択した場合は、ソフトウェアディスカバリーモデル (cmdb_sam_sw_discovery_model) テーブルのフォームビューで目的のソフトウェアモデルを手動で設定できます。[自動的に一致] 列がオフになります。

ソフトウェア モデルが設定されていて、[自動一致] 列の値が false の場合、スケジュール済みジョブは後続の実行でソフトウェア モデルの値を上書きしません。

サンプル一致

ソフトウェアモデルとディスカバリーモデルの一致の例シナリオを次に示します。

ディスカバリーモデル	ソフトウェアモデル	次と一致
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 エンタープライズ • SQL Server 2019	SQL Server 2019 Enterprise ソフトウェアモデル
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 Enterprise (インストール条件付き) • SQL Server 2019 (Edition は何でも)	SQL Server 2019 ソフトウェア モデル
SQL Server 2019	SQL Server 2019 (インストール条件あり) (Edition は任意)	一致項目は見つかりませんでした システムプロパティが有効になっている場合は、新しいソフトウェアモデルである SQL Server Enterprise (バージョンはすべて) が作成されます。

ソフトウェアライセンスのメトリクス

ライセンスのメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントで設定され、さまざまなメトリクスグループとソフトウェア モデルの組み合わせで調整に使用されます。

それぞれのメトリクスグループには公開者が特定できる一連のライセンスのメトリクスを設けています。

ソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストを表示して、属性値を設定できます。詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。

カスタム ライセンスのメトリクスを追加することもできます。詳細については、「カスタムライセンスの測定基準の追加」を参照してください。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、カスタムライセンス測定基準を強化することができます。そのためには、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルのユニット消費量列とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの必要なライセンス列の間で 1:1 の計算を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Adobe、 Citrix、 IBM (IBM と Red Hat の両方を含む)、 Microsoft、 Oracle、 SAP、および VMware Publisher Pack はアドオンとして利用できます。これらは、公開者のライセンスモデルでライセンスされたソフトウェアを管理する機能を提供します。

SaaS ライセンス管理をインストールすると、サブスクリプションと消費のメトリクスグループが追加されます。

ライセンスメトリクスの説明を表示するには、ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンスメトリクス] フィールドの横にある参照 (ⓘ) アイコンを選択します。

ライセンスのメトリクス

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
Adobe **注:** Adobe ライセンスメトリクスは、 Adobe Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じたデバイスにライセンス付与。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数だけユーザーにライセンスを付与します。 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整を実行すると、ユーザーにアサインされたアクティブな一意のソフトウェアサブスクリプションレコードごとに権利が消費されます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てとサブスクリプションレコードの両方がある場合、権限は 使用中の割り当て 済みと見なされます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てがなく、サブスクリプションレコードがある場合、権限は 使用中未割り当て と見なされます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てはあるものの、サブスクリプションレコードがない場合、権利は [割り当て済み] ではなく、使用中 であると見なされます。 ユーザー割り当てでユーザーに複数の権限が割り当てられている場合、そのユーザーにはソフトウェアモデルに対応する数のサブスクリプションがあります。たとえば、ユーザーには 2 つの権限を持つユーザー割り当てがありますが、ソフトウェアモデルに関連するサブスクリプションレコードは 1 つしかありません。この例では、1 つの権限が [割り当て済み] および使用中 とみなされ、もう 1 つ目の権限は [割り当て済み及び未使用] と見なされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
Citrix **注:** Citrix ライセンスメトリクスは、 Citrix Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。 Citrixデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。アドミンユーザーは、Citrix ライセンスサーバーとの通信のために Citrix Delivery Controller で実行するディスカバリースケジュールを作成する必要があります。 Citrixディスカバリーパターンとテーブルの詳細については、「」を参照してください。	• 同時ユーザー:プログラムにアクセスする同時ユーザーの数をライセンスします。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じたデバイスにライセンス付与。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスが付与されます。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与。 クライアントアクセスレコードを使用してサーバーソフトウェア Citrix 調整している場合、このライセンスメトリクスはサーバーにアクセスしているユーザーにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイスごと:一意のユーザーまたは共有デバイスにライセンスを付与します。ライセンスがユーザーに割り当てられている場合、それらのデバイスへの接続数は無制限です。ライセンスがデバイスに割り当てられている場合、1 台のデバイスに接続できるユーザーの数は無制限です。 Citrixメトリクスグループでエンタイトルメントを作成し、ユーザー/デバイスごとのライセンスメトリクスが指定されている場合、ライセンス算出は、個別のユーザーとデバイスの数に基づいて、関連するすべてのソフトウェアモデルのコンプライアンスをチェックします。 クライアントアクセスレコードを使用してサーバーソフトウェアを調整する場合 Citrix このライセンスメトリクスは、サーバーにアクセスしているユーザーとデバイスにライセンスを付与します。
一般	• コアあたり:物理サーバーまたは仮想マシンのコアにライセンスが付与されます。 `CPU core count * CPU count` • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じたデバイスにライセンス付与。 • 名前付きデバイスごと:ソフトウェアのインストール数について特定のデバイスにライセンス付与。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	注: 割り当てを追加する必要があります。 • 名前付きユーザーごと:ソフトウェアのインストール数について特定のユーザーにライセンス付与。 **注:** 割り当てを追加する必要があります。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスが付与されます。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与。 • ユーザー CAL:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、サーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 • [デバイス CAL]:サーバーへのアクセスに各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、サーバーにアクセスする各デバイスにライセンスが付与されます。 • ユーザー/デバイス CAL (User/Device CAL):サーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 • リソース消費。CAL 調整をサポートする消費ベースのライセンスメトリクス。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルの [ユニット消費] 列とライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] テーブルの [必要なライセンス] 列の間の 1:1 の比率の計算。
同時ライセンス **注:** 同時ライセンスライセンスのメトリクスは、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (sn_samp_eng_app) プラグインが OpenLM と Open iT の統合とともにアクティブ化されている場合にのみ表示されます。	これらのライセンスは、ソフトウェアにアクセスする同時ユーザーまたはデバイスの数に基づいています。 • フローティング:ネットワーク上のユーザーまたはデバイス間でソフトウェアのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときにライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された時間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。 • トークン:ユーザーまたはデバイス間でトークンのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときに、トークンまたはトークンのセットをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にトークンが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された時間にチェックアウトされたトークンの最大数に基づきます。 • ネットワーク:指定された TCP または IP ネットワーク内のユーザーまたはデバイス間でライセンスのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときにライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された時間にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。
消費 **注:** 消費ライセンスのメトリクスは、 SaaS ライセンス管理 がインストールされている場合にのみ表示されます。	SaaS 消費:消費可能なソフトウェア単位の測定単位に基づいて、組織にライセンスを付与します。
CrowdStrike	• 予約済み時間平均センサー:1 クロック時間あたりの一意のアクティブエンドポイントの数をカウントし、28 日間のローリング平均で平均します。予約済みの時間平均センサーライセンスの数は、各時間の開始時にリセットされます。 • センサーサブスクリプション:4 週間連続するエンドポイント数の平均によってライセンス使用率を計算します。週次エンドポイント数は、過去 7 日間に消費されたエンドポイントの合計数に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	注: これらのライセンスメトリクスは、Yokohama パッチ 1、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8、および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 バージョン以降で使用できます。パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、 KB1801232 を参照してください。
IBM **注:** IBM ライセンスメトリクスは、 IBM Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権が付与された各ユーザーにライセンス付与します。 • 認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与された特定のユーザーの数をライセンスします。 • 従業員ユーザー価値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権が付与されている組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 • 外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権が付与されている組織外のユーザーの合計数をライセンスします。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じたデバイスにライセンス付与。 • 名前付きユーザーごと:ソフトウェアのインストール数について特定のユーザーにライセンス付与。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスが付与されます。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与。 • プロセッサ バリュー ユニット (PVU): ライセンスは、プログラムで使用できるプロセッサテクノロジとプロセッサの数に基づいています。フルキャパシティの PVU エンタイトルメントには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサコアのライセンスが必要です。サブキャパシティの PVU エンタイトルメントには、サーバーまたはサーバーグループの全キャパシティよりも少ないライセンスが必要です。 • リソース値単位 (RVU):ライセンスは、製品によって使用または管理されているアクティブ化されたプロセッサコアの数に基づいています。フルキャパシティの RVU エンタイトルメ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	ントには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサコアのライセンスが必要です。サブキャパシティ RVU エンタイトルメントには、サーバーまたはサーバー・グループの全キャパシティーより小さいライセンスが必要です。 • 仮想プロセッサコア (VPC):製品で利用可能な、または製品によって管理される仮想 CPU (vCPU) の数にライセンスを付与します。 **注:** このライセンスメトリクスは、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 ライセンスコンプライアンスアプリケーションIBM要求してインストールした場合にのみ使用できます。
Microsoft **注:** Microsoft ライセンスメトリクスは、Microsoft Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• デバイス CAL:サーバー ソフトウェアへのデバイス クライアント アクセス ライセンスの数をライセンスします。 • コアごと:物理サーバーと仮想マシンをサポートする仮想コアの両方のコアにライセンスが付与され、使用される権限の数に基づいてコスト効率の高いモデルを提示します。ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Enterprise エディションのコア単位の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版で Microsoft Software Assurance のエンタイトルメントを作成する」を参照してください。 **注:** コアあたり (物理コア) およびコアあたり (仮想 OSE) のメトリクスは、New York リリースから廃止されました。[Per Core (Physical Core)] および [Per Core (Virtual OSE)] の測定基準を使用する既存のエンタイトルメントは、[Per Core] に置き換えられます。調整結果に変化が見られる場合があります。 • コアあたり (CAL 付き):物理サーバーにライセンスを付与します。ライセンスの数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。 物理サーバーが ESX サーバーであり、クラスターの一部である場合にのみ、クラスターレベルでのコア単位 (CAL を使用) ライセンス。このライセンスメトリクスは、クラス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	ター内のすべての ESX サーバーのすべてのプロセッサーを使用して、クラスターでライセンスが必要なコアまたはプロセッサーの合計数を決定します。 **注:** クラスタで vMotion または DRS が有効になっている場合、任意の仮想マシンをそのクラスタ内の任意の ESX Server に移動できます。すべての ESX サーバー上のコアのピークキャパシティは、クラスタのライセンス付与に必要な権限に対して考慮されます。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じたデバイスにライセンス付与。 • プロセッサーごと:物理サーバー上の一定数のプロセッサーにライセンスが付与されます。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与。 • サーバー (インスタンスごと):物理サーバーまたは仮想マシンのいずれかにインストールされた一定数のソフトウェアにライセンスが付与されます。 • サーバー (サーバーごと):物理サーバーおよび物理サーバーによってホストされるすべての仮想マシン上のすべてのソフトウェア インストールにライセンスが付与されます。 • ユーザー CAL: サーバー ソフトウェアに対するユーザー クライアント アクセス ライセンスの数をライセンスします。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数だけユーザーにライセンスを付与します。 ユーザー サブスクリプション ライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェア モデルに対して照合が実行されると、ユーザーにアサインされたアクティブな一意のソフトウェア サブスクリプション レコードごとに 1 つの権利が消費されます。
Oracle **注:** Oracle ライセンスメトリクスは、 Oracle Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• 指名ユーザープラス:物理ホストにライセンスを付与します。 クライアント アクセス レコードを使用して、Oracle データベース サーバーや Oracle WebLogic Server などのOracle サーバー ソ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	フトウェアを調整する場合、このライセンスメトリックは、サーバーにアクセスしているユーザーにライセンスを付与します。 • プロセッサーごと:プロセッサーのコア数にライセンス付与します。 注: Oracle [プロセッサあたり] ライセンスメトリクスで、アマゾン ウェブ サービス (AWS) を実行している仮想マシン (VM) を使用している場合は、[ハイパースレッディング] を有効にします。 • 従業員: Oracleの社内ビジネスオペレーションの定義に従って、エージェント、請負業者、およびコンサルタントを通じて直接および間接的に雇用された従業員を含む、フルタイム、パートタイム、および臨時従業員の合計数にライセンスを付与します。 注: 必要なライセンスの数は、 Oracle Java SE Universal を使用する従業員の数ではなく、従業員の総数によって決まります。 注: `com.snc.samp.oracle.reconlevel`プロパティを使用して、VMwareベースのOracleインスタンスの調整計算のアグリゲーションレベルを選択できます。「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。
Red Hat 注: Red Hat ライセンスメトリクスは、 IBM Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• ソケットペアごと:物理ホスト上のソケットペアの数、または物理ホスト上で Red Hat Enterprise Linux サーバーを実行している仮想マシン (VM) ペアの数にライセンスを付与します。 • コアあたり:仮想マシンをサポートする仮想コアと物理サーバーの両方のコアにライセンスが付与されます。また、使用されている権限の数に基づいてコスト効率の高いモデルを提示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
SAP **注:** SAP ライセンスメトリクスは、 SAP Publisher Pack がインストールされている場合にのみ表示されます。	• 指名ユーザー:指名ユーザータイプを割り当てることができる指名ユーザーの数をライセンスします。指名ユーザータイプは、エンタイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 • エンジン測定:エンジン使用量をライセンスします。 • デジタルアクセス:サードパーティアプリケーションまたは非SAP仲介ソフトウェアを介したSAPアプリケーションの間接的な使用を、サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数によってライセンス付与します。 • Full Usage Equivalent (FUE):Cloud Public Edition の指定されたソリューション機能へのアクセスが許可されているユーザーの数 SAP S/4HANA ライセンスします。
サブスクリプション **注:** サブスクリプションライセンスのメトリクスは、 SaaS ライセンス管理 がインストールされている場合にのみ表示されます。	ユーザーサブスクリプション:ユーザー数のライセンス。
VMware **注:** このライセンスメトリクスは、 VMware パブリッシャーパックがインストールされていない限り表示されません。	• アプリケーションインスタンスごと:アプリケーションインスタンスごとのライセンス。 VMware製品 (vCenter Server ソフトウェア) に適用されます。 • デバイスごと:特定のデバイスごとのライセンス。ライセンスは、デバイスから削除した場合にのみ再利用できます。ライセンスされたデバイスでライセンスが使用されている限り、デバイス上のソフトウェアユーザーの数は関係ありません。 Horizon FLEX、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、および Mirage Windows Migration の VMware 製品スイートに適用されます。 • 名前付きユーザーごと:名前付きユーザーごとのライセンス。 Horizon Advanced、Horizon Enterprise、Horizon Suite、Mirage、Horizon Socialcast

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
	on Premise、Workspace (Portal)、Workspace Suite、Horizon Air、Horizon Air Desktop DR、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、vRealize Operations for Horizon、User Environment Manager、vRealize Business の VMware 指定ユーザーに適用されます。 • OSI ごと:ネットワークデバイスやストレージアレイなど、ログを生成する IP アドレスを持つ仮想または物理のサーバーにライセンスを付与します。 VMware製品スイート(vRealize Operations、vRealize Log Insight、vRealize Automation、vRealize Business for Cloud、および vRealize Code Stream)に適用されます。 • プロセッサーごと:サーバーの物理プロセッサー (CPU) にライセンスが付与されます。CPU には、32 コアごとに 1 つのライセンスが必要です。[プロセッサーあたりの最大コア数] メトリクス属性 (デフォルト値が 32) は、プロセッサあたりのエンタイトルメントが VMware のソフトウェアモデルで自動的に作成されます。このメトリクス属性は、調整中にライセンスコンプライアンスを判断するために使用されます。 VMwareスイート製品 (vSphere、vSphere with Operations Management) に適用されます。

無制限のソフトウェアライセンス

無制限のソフトウェアライセンスを使用すると、無制限の割り当てと無制限の権限を持つエンタイトルメントを作成できます。これにより、調整コストなしで任意の数のソフトウェアインストールにライセンスを付与できます。

sam_adminロールまたはsam_userロールでは、無制限の割り当て (ユーザーまたはデバイス割り当て) を許可し、ライセンスメトリクスの結果が非準拠として分類されない無制限ライセンスとしてエンタイトルメントを指定できます。

エンタイトルメントを作成またはインポートするときに、[ソフトウェアエンタイトルメント] ページまたは [エンタイトルメントのインポート] ページで [無制限のライセンス] チェックボックスをオンにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

無制限のライセンスに関する考慮事項

- 調整プロセスでは、ソフトウェアのインストールが一致し、ライセンスされている無制限のライセンスが考慮されます。無制限のライセンスは固定金額ライセンスよりも優先されます
- 無制限のライセンスの場合、ライセンスメトリクスの結果は個別に生成されます。
- 無制限のライセンスの無期限エンタイトルメントは、1 つの無制限のライセンスメンテナンスエンタイトルメントにのみ関連付けることができます。
- 単位コストは総コストと同じです。
- ダウングレード権限は無制限のライセンスでサポートされています。
- [購入済みの権限]、[アクティブな権限]、および [利用可能な割り当て] フィールドは、[ソフトウェアエンタイトルメント] ページの無制限ライセンスに表示されません。

サポートされているライセンスのメトリクスとライセンスタイプ

無制限のライセンスでは、すべてのメトリクスグループで次のライセンスメトリクスがサポートされています。

- ユーザーあたり
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- 指名デバイスあたり
- ユーザーサブスクリプション
- 指名ユーザープラス
- プロセッサあたり

無制限のライセンスでは、次のライセンスタイプがサポートされています。

- 無期限
- メンテナンス/ソフトウェア保証
- 無期限 + メンテナンス/無期限 + ソフトウェアアシュアランス
- サブスクリプション

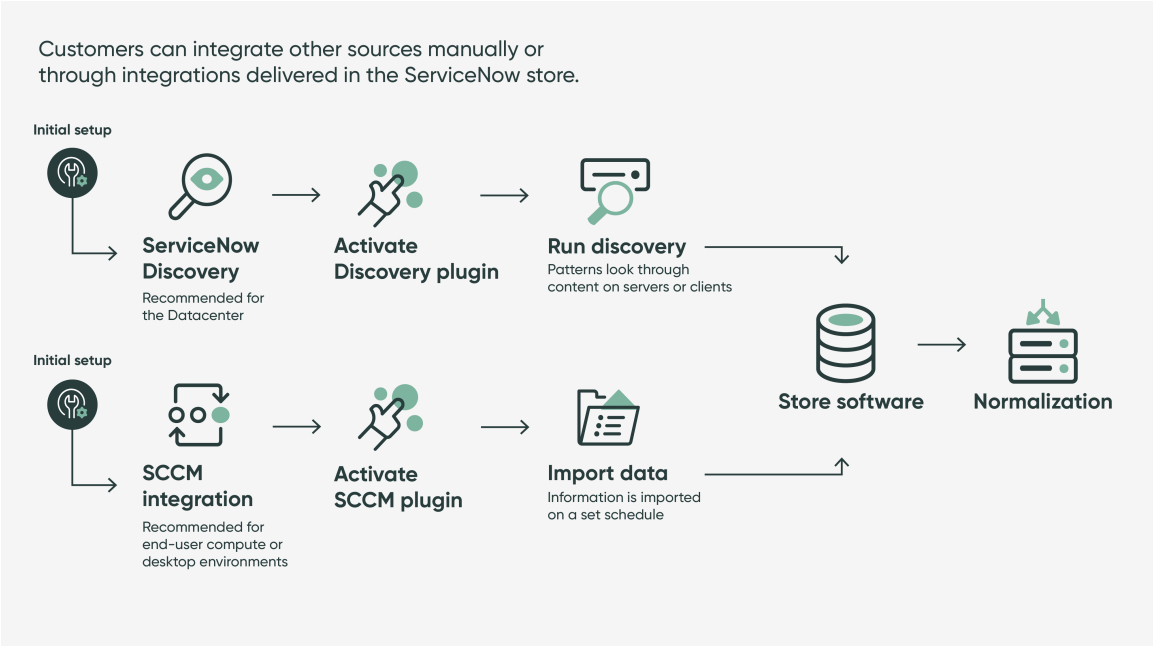
ソフトウェアディスカバリーと標準化

エンタイトルメントをインポートした後、 ServiceNow ディスカバリー または Microsoft SCCM を使用して、環境内のソフトウェアインストールを検出し、そのデータを Now Platformに転送します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow ディスカバリーまたは **Microsoft SCCM** の設定を示すインフォグラフィック



データセンターには ディスカバリーのホーム 、デスクトップ環境には Microsoft SCCM を使用できますが、他のサードパーティのディスカバリーソリューションを CMDB と統合して ソフトウェア資産管理をサポートすることもできます。別のディスカバリーソリューションを統合するには、手動で追加するか、アプリケーションをダウンロードします。 ServiceNow Store . ディスカバリーソースを手動で統合する方法の詳細については、 Customer Success Center を参照してください。

ディスカバリーと SCCM の両方と統合した後のデータ収集の詳細については、「 SCCM またはディスカバリーによるソフトウェアデータの収集 」を参照してください。

ディスカバリー の統合

ServiceNow ディスカバリー は、ソフトウェアインストールテーブルに自動的に入力され、ソフトウェアの正規化と調整を行うために使用されます。

注:
ディスカバリーを使用するには、ディスカバリープラグイン をアクティブ化する必要があります。

ディスカバリー では、作成やカスタマイズできるディスカバリープロセスのパターンを使用します。ベースシステムには、業界標準のネットワークデバイスやアプリケーションのほとんどに対応するさまざまなパターンが含まれています。ソフトウェア資産管理 で使用されるベースシステムパターンの一部を次に示します。

- Citrix XenApp
- Citrix XenDesktop、
- VMware vCenter
- Microsoft SQL Server
- Microsoft Exchange サーバー
- Oracle データベースサーバー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理の他のパターンをカスタマイズすることもできます。詳細については、「パターンの作成または変更」を参照してください。

検出されたソフトウェアは、ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに格納されます。

ソフトウェアインストールレコードが [ソフトウェアインストール] テーブルに書き込まれると、ビジネスルールによって、検出された公開者、製品、バージョンの一意の組み合わせがディスカバリーモデルテーブルに存在するかどうかが検証されます。

- その場合、ディスカバリーモデルの照合が [ソフトウェア インストール] テーブルに設定されます。
- そうでない場合、ディスカバリーモデルテーブルに新規のレコードが作成され、そのディスカバリーモデルの照合が [ソフトウェアインストール] テーブルに設定されます。

ディスカバリー後、正規化が実行されます。

ディスカバリーの詳細については、「ソフトウェア資産管理によるディスカバリー」を参照してください。

SCCM 統合

SCCM を単独で使用することも、 ディスカバリーのホーム とともに使用して、デバイス上のソフトウェアを識別することもできます。

注:
Microsoft SCCM を使用してデスクトップ環境でソフトウェアのインストールを検出することもできますが、他のサードパーティツールを統合することもできます。

Microsoft SCCM 2012 v2 および 2016 プラグインはどちらも ソフトウェア資産管理 で認定されています。Microsoft SCCM を ソフトウェア資産管理 と統合するには、対応する Microsoft SCCM 統合プラグインをインストールする必要があります。

Microsoft SCCM Integration プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグイン

Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用状況 (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

統合 — Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要:
これらの Microsoft SCCM プラグインは、 Tokyo リリースで廃止されます。SCCM を初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタアプリケーションを要求してインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかをすでにアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタストアアプリケーション向け移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM の詳細とインスタンスにデータをインポートする方法については、「Microsoft SCCM ソフトウェア使用」を参照してください。

正規化

正規化プロセスは、検出された公開者、検出された製品、検出されたバージョンとエディションの値を、正規化された同等物の ServiceNow リポジトリと比較します。一致は、ディスカバリーモデルテーブルの対応する正規化フィールド (公開者、製品、バージョン、およびエディション) に追加されます。正規化されたフィールドは、購入したエンタイトルメントを調整し、ライセンスポジションを計算するために使用されます。

たとえば、検出された公開者 Microsoft Corp は、[正規化された公開者] フィールドの Microsoft に正規化できます。

正規化プロセスでは、検出されたフィールドと正規化値の間のパターン一致も検索し、それに応じて正規化フィールドを更新します。

特定のソフトウェアディスカバリーモデルが類似の検出されたフィールド値を共有している場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはワイドネット正規化の原則を使用してそれらを正規化します。これにより、 コンテンツサービス チームが製品ごとに個別の正規化ルールを作成する必要性が軽減されます。

注:
特定のソフトウェア製品のみがワイドネット正規化の対象となります。これらのソフトウェア製品は、 コンテンツサービス チームによって決定されます。

スケジュール済みジョブを実行して、正規化されたコンテンツとパターンの更新を毎日プルしますが、スケジュールジョブの実行頻度は変更できます。正規化ルールが変更されると、該当する正規化および一部正規化された ディスカバリー モデルが更新された値で再正規化されます。

正規化提案機能を使用して手動で正規化されたディスカバリーモデルを正規化する提案を評価します。更新された正規化コンテンツと実際のコンテンツの間に差異がある場合、提案は自動的に識別されます。更新のコンテンツには最新の情報が含まれているため、提供されているコンテンツを使用すると、ソフトウェアのインストールを正確に保つことができます。

この ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス にオプトインすることで、見落とされたソフトウェアディスカバリーモデルや完全に正規化されていないソフトウェアディスカバリーモデルを調査用に ServiceNow することができます。作成された新しいコンテンツとルールは、ソフトウェアの正規化を継続的に改善するために顧客に提供されます。

正規化のメリット

- 正規化により、組織内で検出されたソフトウェアの最終的なリストが作成されます。組織は、ソフトウェア監査の準備状況や IT 運用のために、インストール済みソフトウェアの完全なインベントリを必要としています。正規化を行わないと、組織は同じ発行者に対して複数の名前を使用するという課題に直面し、合理化に多大な労力を要し、実行するレポートの正確性と価値を希薄化します。
- 正規化により、ソフトウェアエンタイトルメントの調整の精度と効率が向上します。ディスカバリーモデルの正規化された値を使用して、取得したソフトウェアエンタイトルメントにマッピングすることで、より正確な調整結果が得られます。これにより、カウントが正確であり、エンタイトルメントレコードと一致していることを確認して、ソフトウェア監査の計画と完了が容易になります。
- 正規化プロセスにより、複数のディスカバリーツールからのインストールデータを標準化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ディスカバリーモデルの正規化の提案

正規化提案は、手動で正規化されたすべてのディスカバリーモデルに対して作成されます。これらの提案を承認または却下できます。

正規化の提案の概要

週次正規化プロセスでは、次の両方のシナリオで正規化の提案が作成されます。

- ディスカバリーモデルのフィールド値が 1 つでもコンテンツサービスで提案された正規化値と異なる場合。
- すべてのディスカバリーモデルのフィールド値が、コンテンツサービスで提案された正規化値と同じである場合。

システムプロパティ *com.snc.samp.auto_accept_normalization_suggestion* が有効になっている場合、提案された正規化値と手動で正規化された値との間に差異がなければ、正規化の提案が自動的に受け入れられます。このプロパティはデフォルトで有効になっています。

注:
ドメインセパレーション環境の場合、個々のドメインは、新しいsys_application_property値レコードを作成することで、独自のドメインに対してこのシステムプロパティを上書きできます。

提案を承認した場合、または提案がシステムプロパティによって自動的に承認された場合は、ディスカバリーモデルのステータスが [正規化済み] に変わり、提案されたすべての値がディスカバリーモデルの正規化フィールドにコピーされます。提案を却下した場合、手動で正規化された値は変更されません。

レコードは、正規化の提案 [samp_normalization_suggestion] テーブルに含まれています。

承認または却下の提案

提案 を受け入れる 場合:

- ディスカバリーモデルの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション]、[プラットフォーム]、および [言語] が正規化ルールの値で更新されます。
- 正規化ステータスが [Manually Normalized] から [Normalized] に変わります。
- 正規化の提案のステータスが [承認済み] に変更されます
- 検出モデルの [Normalization date] は、提案が受け入れられた時点に更新されます。

提案 を却下 した場合:

- ディスカバリーモデルは手動で正規化された値を保持し、[手動で正規化済み] ステータスのままになります。
- 正規化の提案のステータスが [却下] に変わります。

正規化の提案フォーム

フィールド	説明
ディスカバリーモデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェアディスカバリーモデル。
提案ステータス	正規化プロセスの提案された ステータス 。
検出されたパブリッシャー	検出されたソフトウェアの公開者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化の提案フォーム (続く)

フィールド	説明
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
提案された正規化	
推奨パブリッシャー	ソフトウェアの推奨公開者。
推奨製品	ソフトウェアの提案された名前。
推奨バージョン	ソフトウェアの推奨バージョン。
推奨エディション	ソフトウェアの推奨エディション。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアの推奨プラットフォーム。
推奨言語	ソフトウェアの推奨言語。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
エディション	ソフトウェア製品の正規化されたエディション。
プラットフォーム	ソフトウェア製品の正規化されたプラットフォーム。
言語	ソフトウェア製品の正規化された言語。

機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化

機械学習を使用して、認識できない検出済みソフトウェアを正規化することで、リアルタイムで正規化レートを向上させます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、機械学習を使用してディスカバリーモデルの正規化を改善します。機械学習で現在サポートされている予測値は、バージョン、完全バージョン、およびエディションです。

ソフトウェア資産管理 - 機械学習正規化 (com.sn_sam_ml_normalization) プラグインを有効にして、機械学習の正規化をオプトインします。

プラグインが有効になったら、 *Enable ML Normalization for discovered software* (com.snc.samp.enable.ml_normalization) プロパティが選択されていることを確認します。このプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。このプロパティを無効にすると、機械学習の正規化をオプトアウトできます。オプトアウトすると、ディスカバリーモデルの正規化はコンテンツサービスルールに対してのみ行われます。

スケジュール済みジョブ [*SAM:* コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 *(SAM-Normalize Discovery models using content library rules)*] は、毎日トリガーされ、コンテンツルールに基づいてディスカバリーモデルを正規化します。このスケジュール済みジョブは、 ソフトウェア資産管理 機械学習正規化プラグインがアクティブかどうかに関係なく実行されます。このプラグインがアクティブ化されると、部分的に正規化されたディスカバリーモデルが別のスケジュール済みジョブ (機械学習を使用した *SAM* ディスカバリーモデルの正規化 *(SAM-Normalize discovery models using machine learning)*) によって選択されます。スケジュール済みジョブ [*SAM - コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 (SAM-Normalize discovery models using content library rules*)] は、オンデマンドのスケジュール済みジョブである *SAM - 機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

化 *(SAM-Normalize discovery models using machine learning)* を呼び出すように拡張されており、機械学習予測も検証します。

スケジュール済みジョブ [*SAM:*機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化 *(SAM-Normalize discovery models using machine learning)*] が完了すると、ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルの次の機械学習ベースの列に更新された値を表示できます。

- ML 予測値:属性の予測値を示します。
- ML モデルバージョン:属性の予測に使用されたモデルバージョンを示します。
- ML 正規化ステータス:機械学習正規化のステータスを示します。この列の値は次のとおりです。
  - 正規化された ML:ディスカバリーモデルは機械学習によって正規化されています
  - 復元済み:ディスカバリーモデルは機械学習によって正規化されていますが、ユーザーが正規化値を元に戻しました
  - 上書きされたコンテンツ:新しいコンテンツルールによって上書きされた機械学習予測

注:
スケジュール済みジョブである機械学習 を使用した *SAM* 正規化ディスカバリーモデル のステータスは、ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log] テーブルで追跡されます。

コンテンツルールは常に更新されるため、週次スケジュール済みジョブ 「SAM - コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 *(SAM - Normalize discovery models using content library rules)*」は、機械学習によって正規化されたディスカバリーモデルを取得し、最新のコンテンツルールを使用してこれらのモデルの正規化を試みます。機械学習の予測値がコンテンツサービスの予測値と異なる場合、機械学習の予測はコンテンツサービスの値で上書きされます。コンテンツサービス予測値は常に機械学習予測値よりも優先されます。

注:
予測値の正規化ルールの詳細については、「 ライセンス製品の正規化ルール 」および「ライセンスなし製品の正規化ルール」というタイトルの表を参照してください。

正規化値を元に戻すことで、ディスカバリーモデルを手動で正規化できます。ソフトウェアディスカバリーモデルフォームで正規化を元に戻すと、コンテンツと機械学習から取得されたすべての正規化値が削除されます。ディスカバリーモデルのステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に戻ります。

注:
機械学習によって正規化されたディスカバリーモデルを元に戻しても、コンテンツルールは非アクティブ化されません。ただし、ディスカバリーモデルがコンテンツルールによってのみ正規化されている場合、コンテンツルールは非アクティブ化されます。

ライセンス製品の正規化ルール

フィールド	標準化ステータス
すべてのフィールドが正規化されている **注:** すべてのフィールドには、公開者、製品、バージョン、エディション、および完全バージョンが含まれます。	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化されます	正規化されたパブリッシャー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス製品の正規化ルール (続く)

フィールド	標準化ステータス
正規化されていないフィールド (publisher、product、version、edition、full version) がない場合	一致項目は見つかりませんでした
製品とパブリッシャーのみが正規化されます。	一部正規化済み

ライセンスなし製品の正規化ルール

フィールド	標準化ステータス
パブリッシャーと製品のみが正規化されている場合	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化されます	正規化されたパブリッシャー
正規化されていないフィールド (publisher、product、version、edition、full version) がない場合	一致項目は見つかりませんでした

ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート

ソフトウェア スイートは、ソフトウェア公開者が関連するアプリケーションをセットとしてグループ化する方法です。

ソフトウェアスイートの概要

調整中に組織の権限が正しくカウントされるように、スイートを作成してスイートにコンポーネントを追加します。

クライアントソフトウェアスイートの例としては、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access で構成される Microsoft Office スイートがあります。Microsoft Office はスイートの親と見なされ、スイートコンポーネントはスイートの子と見なされます。

より複雑な例は、サーバーソフトウェアで一般的な「スイートのスイート」です。Microsoft コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートには、Windows Server と System Center (スイートでもあります) の 2 つのスイートコンポーネントがあります。

スイートコンポーネントは、各ソフトウェアコンポーネントが個別のライセンスを必要とするのではなく、スイートライセンスを使用して一緒にライセンスされます。したがって、スイート (親) のエンタイトルメントは、それ自体もスイートであるスイートの子を含むすべてのスイートコンポーネントにライセンスを付与します。

ソフトウェアサブスクリプションの場合、ユーザーごとに必要なユーザーサブスクリプションスイートライセンスは 1 つだけです。たとえば、 Microsoft 365 スイートには、Office 365、EMS (Enterprise Mobility Plus Security)、Windows 10 の各コンポーネントが含まれています。1 つの Microsoft 365 ライセンスにより、ユーザーは 1 つ以上のコンポーネントを使用できます。

ソフトウェアスイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルは、スイート (親) とスイート (子) の関係をキャプチャします。

どのソフトウェア モデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は、 Microsoft Office Standard と Microsoft Office Professional の 2 つのスイートのコンポーネントです。1 つのソフトウェア モデルをスイートおよびコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常、ネストされたスイートとして販売されていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スイートコンポーネントやスイートの親などのスイート情報は、ソフトウェアモデルフォームのタブとして表示されます。ソフトウェア モデルがスケジュール済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、ソフトウェア モデル フォームの [スイート コンポーネント] タブに表示されます。

事前定義されたスイート

ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリには、ユーザーエクスペリエンスを簡素化する事前定義されたスイートが含まれています。製品のスイートコンテンツが存在する場合、スイート情報はソフトウェアモデルの [スイートコンポーネント] タブに自動的に入力されます。スイートコンテンツの更新がダウンロードされ、スケジュール済みジョブを介して既存のスイート定義が更新されます。

割り当て

割り当ては、デバイスまたはユーザーにライセンスを適用するために使用されます。スイートのコンテキストでは、割り当てにより、ソフトウェア資産マネージャーはスイートライセンスの代わりに個々のコンポーネントライセンスをユーザー/デバイスに適用できます。

割り当てのユースケース

組織には、 Microsoft 365 E5 (スイート) エンタイトルメントと Windows 10 エンタイトルメントの両方があります。ユーザー A のデバイスには、Windows 10、Word、Excel、および Office 365 のその他のコンポーネントがインストールされています。ユーザー A には Windows 10 エンタイトルメントが割り当てられます。ユーザー A の Windows 10 インストールは、 Microsoft 365 スイートエンタイトルメントではなく Windows 10 エンタイトルメントでライセンスされますが、残りのコンポーネントは Microsoft 365 スイートの一部としてライセンスされます。

ディスカバリーマップ

ディスカバリーマップ (DMAP) は、SAMP コンテンツライブラリで事前定義されたソフトウェアのバリエーションです。ソフトウェア モデルは、発行元、製品、バージョン、エディションを設定することで手動で定義できますが、可能な限り DMAP を使用することをお勧めします。DMAP は、スイートの関係、ダウングレードモデル、ライフサイクル、次のバージョンなど、関連するコンテンツをソフトウェアモデルに自動的に関連付けられます。

ハイブリッドおよびサブスクリプションソフトウェアスイート

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親または子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイートの親のみがサブスクリプションベースである場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイートの親の一部として推測されます。スイート (親) ライセンスのコンプライアンスは、スイート (親) ライセンスを使用して判断できます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプション ベースである場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推定されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。
- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースである場合、子コンポーネントのインスタンスはスイートの親の一部として推測されます。スイート (親) ライセンスのコンプライアンスは、スイート (親) ライセンスを使用して判断できます。たとえば、Microsoft 365 E5 は、Office 365 E5、EMS E5、および Windows 10 サブスクリプションソ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フトウェアを含むサブスクリプションベースのソフトウェアスイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、 Microsoft 365 E5 の親ライセンスに対して調整されます。

ソフトウェアスイートの推論

スイート推定は、ソフトウェアがスイートの一部であるかどうかを判断し、ライセンス供与時に使用する最適または効率的なスイートを推測するために使用されます。

スイート推論フロー

スイート推論のプロセスは、次の 2 つの段階に分けられます。

- スイート構造をビルドします。
- ソフトウェアのインストールまたはサブスクリプションレコードに最適なスイートを推測します。

エンタイトルメント、ソフトウェアモデル、およびスイート関係に基づいてスイート構造がビルドされた後、インストールとサブスクリプションレコードが処理されます。

スイートエンジンの実行後、スイートの一部であるすべてのインストールおよびサブスクリプションレコードの推定スイート列に、最適なスイートの親のソフトウェアモデルへの参照がスタンプされます。ルールのランク付けの詳細については、「 スイート推論ルール」を参照してください。このソフトウェア モデル ライセンスのエンタイトルメントは、それぞれスタンプされたレコードです。

スイートエンジンは、ソフトウェアサブスクリプションレコードのサブスクリプションスイートモデルと推論に優先順位を付けます。次に、オンプレミスのスイートモデルとソフトウェアインストールレコードが推測されます。

スイートの親ライセンスが使用されている場合、個々の子コンポーネントのライセンスは使用されません。

> **注:**
> model_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

システムプロパティ [コンポーネントライセンスを使用してスイートライセンスが不足したときにコンプライアンスを最適化する **(Use component licenses to optimize compliance when suite licenses rund)**] は、Microsoftライセンスメトリクスのデフォルトにより **false** に設定され、スイートコンポーネントとスイートの親ライセンスの両方を使用できます。このプロパティは、Microsoft ライセンスメトリクスにのみ適用されます。

推論オプション

スイート (親) がインストールテーブルで定義されていない場合は、[必須] および [推定オプション] フィールドを使用します。

[必須] フィールドでは、スイートがインストールされていることを推測するためにコンポーネントをインストールする必要があるかどうかを強制します。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、および [必須グループ] です。

[推論オプション] フィールドには、次のオプションが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 番号:スイートにインストールされているコンポーネントの数を指定します。数値は、負でない任意の数値にすることができます。

  注:
  スイートコンポーネントを使用して作成される新しいソフトウェアモデルでは、 デフォルトで [番号] オプションが選択されています。

- パーセント:スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。

  注:
  推定率を使用していたスイートコンポーネントを含む既存のソフトウェアモデルの場合、 デフォルトで [割合] オプションが選択されます。ただし、[番号] オプションを使用することもできます。

システムプロパティ *Use component licenses to optimize compliance when suite licenses run out* が true に設定されている場合、推定数と推定率は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するしきい値を指定します。

推論番号の使用法を説明するために、Microsoft Office の推論番号が 2 であるシナリオを考えてみましょう。Microsoft Word や Microsoft Excel などの 2 つの Microsoft Office コンポーネントがある場合、推論番号は、個々のコンポーネントではなく Microsoft Office ライセンスを利用することを示唆しています。

推定率の使用率を示すために、コアインフラストラクチャスイート (CIS) に Windows Server や System Center などの 2 つのコンポーネントがあり、推定率が 50% であるシナリオを考えてみましょう。この推定率は、個々のコンポーネントの 50% 以上がインストールされている場合に CIS ライセンスを使用することを推奨しています。個々のコンポーネントの 50% 未満がインストールされている場合は、コンポーネントライセンスを使用するのが最適です。

スイート推論ルール

スイート推論ランキングのルールは次のとおりです。

1. ソフトウェア インストールの 1 つがスイート ソフトウェア モデルに属している場合、スイートは推定率を満たす必要なく、直接推測されます。
2. 最初のルールが満たされていない場合、そのデバイスの推定率を満たすスイートは、推定スイート候補と見なすことができます。
3. インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
4. それでも同点の場合は、ダウングレードが低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 はどちらも候補であり、同じ数のコンポーネントがインストールされています。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
5. それでも同点の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

Microsoftライセンスメトリクスのスイート推論ルール

システムプロパティ「 コンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する」に基づく スイートライセンスが不足した場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはスイートライセンスまたはコンポーネントライセンスを使用します。たとえば、コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートと Windows Server の両方がインストールされている場合、どちらにも個別のライセンスがあります。Windows Server のインストールが検出された場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは最初に利用可能な Windows Server ライセンスを使用してライセンスを取得します。すべての Windows Server ライセンスが使用されると、CIS ライセンスが使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

システムプロパティ [スイートライセンスが不足したときにコンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する **(Use component licenses to optimize compliance when suite licenses rund**)] が true に設定されている場合、 Microsoft ライセンスメトリクスのルールランキングは次のようになります。

1. コンポーネントに対して推論できるスイートが複数ある場合は、推定率を満たすスイートが優先されます。
2. インストールされているコンポーネントの数が最も多いスイート候補が優先されます。
3. それでも同点の場合は、ダウングレード権限の低いスイートが選択されます。たとえば、CIS 2019 と CIS 2016 はどちらも候補であり、同じ数のコンポーネントがインストールされています。ただし、CIS 2016 は CIS 2019 のダウングレードであり、ダウングレード権限が少ないため、CIS 2016 が選択されます。
4. 推定率を満たす親スイートが子スイートよりも優先されます。親スイートが推定率を満たさない場合は、子スイートが優先されます。
5. それでも同点の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いコンポーネントが優先されます。

スイート推論のユースケース

たとえば、Microsoft Access で [推定率] を 75% に指定し、[必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていることを推測するには、Microsoft Access を他の 4 つの製品のうち 3 つ (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) と共にインストールする必要があることを指定します。

ソフトウェアスイートの管理

ライセンスを簡素化し、ベンダーからのライセンスコストを削減します。複雑なスイートライセンスを可視化し、コンプライアンスを管理して、これらのライセンスへの支出を最適化します。

調整中に組織の権限が正確にカウントされるように、スイートを作成してスイートにコンポーネントを追加します。

ソフトウェア スイートは、1 つのユニットとして提供される関連ソフトウェアのグループです。例として、PowerPoint、Word、Excel、Outlook、Access を含む Microsoft Office Professional スイートがあります。

サーバー側スイートのもう 1 つの例として、 Microsoft コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートがあります。CIS スイートには、Windows Server ソフトウェアと、Configuration Manager、Operations Manager、およびその他のタイトルを含む System Center スイートを含めることができます。CIS Suite は、 Microsoft サーバーメトリクス (コアあたり、コアあたり (CAL 付き)、インスタンスごと、プロセッサーごと、サーバーごと) でライセンス供与され、調整中に考慮されます。

どのソフトウェア モデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は、 Microsoft Office Standard と Microsoft Office Professional の 2 つのスイートのコンポーネントです。1 つのソフトウェア モデルをスイートやコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常組み込まれたスイートとして販売されておりません。

ソフトウェア モデルがスケジュール済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、[スイート コンポーネント] セクションに表示されます。

スイート (親) がインストール テーブルに定義されていない場合、[推定率] と [必須] フィールドを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 推定率:スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。
- 必須:スイートがインストールされていることを推測するために、特定のコンポーネントをインストールする必要があるかどうかを強制します。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、[必須グループ] です。

> **注:**
> 2 つ以上のソフトウェアコンポーネントが必須グループに含まれている場合は、すべてのソフトウェアコンポーネントがスイートと見なされるように、そのうちの少なくとも 1 つが存在している必要があります。これは、推定率やその他の要件も満たされていることを前提としています。

たとえば、 推定率 を 75% に指定し、Microsoft Access で [必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていることを推測するには、Microsoft Access を他の 4 つの製品のうち 3 つ (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) と共にインストールする必要があることを指定します。

調整中にスイート (親) が検出された場合、子コンポーネントは個々のライセンスにはカウントされません。

> **注:**
> model_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

推論スイートランキングのルールは次のとおりです。

- ソフトウェア インストールの 1 つがスイート ソフトウェア モデルに属している場合、スイートは推定率を満たす必要なく、直接推測されます。
- 上記のルールが満たされない場合、そのデバイスの推定率を満たすスイートは、推定スイート候補と見なすことができます。
- インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
- それでも同点の場合は、ダウングレードが低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 はどちらも候補であり、同じ数のコンポーネントがインストールされています。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
- それでも同点の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親または子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親と子のコンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイートの親のみがサブスクリプションベースである場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイートの親の一部として推測されます。スイート (親) ライセンスのコンプライアンスは、スイート (親) ライセンスを使用して判断できます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプション ベースである場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推定されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースである場合、子コンポーネントのインスタンスはスイートの親の一部として推測されます。スイート (親) ライセンスのコンプライアンスは、スイート (親) ライセンスを使用して判断できます。たとえば、Microsoft 365 E5 は、Office 365 E5、EMS E5、および Windows 10 サブスクリプションソフトウェアで構成されるサブスクリプションベースのソフトウェアスイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、 Microsoft 365 E5 の親ライセンスに対して調整されます。

ディスカバリーモデルとソフトウェアのインストール

ソフトウェアディスカバリーモデルは、環境にインストールされているソフトウェアを識別して正規化するために、ディスカバリー中に自動的に作成されます。

ソフトウェアディスカバリーモデルは、ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されます。新しいディスカバリーモデルが作成されると、正規化プロセスが自動的に実行されます。ディスカバリーモデルは、 名前に「セキュリティ更新プログラム」が含まれるソフトウェアインストールに対しては作成されません。

ソフトウェア モデルとソフトウェアディスカバリーモデルは異なるものです。

- ソフトウェア モデルは、購入済みおよび/または利用可能なソフトウェアの特定のバージョンまたは構成のことです。
- ソフトウェアディスカバリーモデルは、あるバージョンのソフトウェアがネットワーク環境で発見されたときに作成されるモデルです。

1 本のソフトウェア モデルに複数のソフトウェアディスカバリーモデルを関連付けることができます。たとえば、ソフトウェア モデルは次のように定義できます。

- 公開者 = X
- 製品 = Y
- バージョン = 10 から始まる

この製品のインストールが 2 回別々に行われた場合 (バージョン 10.1 とバージョン 10.2)、ディスカバリーモデルが 2 つ作成されます。ディスカバリーモデルの 1 つには検出されたバージョンとして 10.1 が設定され、もう片方のディスカバリーモデルには検出されたバージョンとして 10.2 が設定されています。調整プロセスではどちらもバージョン 10 から始まるという基準を満たしているため、これら 2 つのディスカバリーモデルは両方とも同じソフトウェアモデルに関連付けられます。

ディスカバリーモデル

ソフトウェアディスカバリーモデルを手動で作成することはできません。プライマリーキーという次のフィールドの組み合わせは、新規のソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェアディスカバリーモデルを照合するために使用されます。

プライマリー キー：[公開者]、[表示名]、[バージョン]

注:
バージョン番号の分析するときは完全一致が常に最初に検索されますが、完全一致が見つからない場合はメジャー バージョン番号で検索します。

たとえば、バージョン番号 8.0.4 で一致するものが見つからず、バージョン 8.0 が見つかった場合は、[ソフトウェア モデル] フィールドでバージョン 8.0 を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
正規化されたフィールド値がパッケージまたはパターンの値と異なる場合は、正規化の提案レコードが作成されたことを示す警告アイコンが [正規化ステータス] フィールドの横に示されます。警告アイコンをクリックすると、そのディスカバリーモデルの 正規化提案 レコードが開きます。

異なる値は、ユーザーが設定することも、正規化の提案の変更を受け入れることもできます。新しい値が設定されると、正規化ステータスが [正規化済み] から [手動で正規化済み] に変わります。

特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスが [Manually Normalized (手動で正規化済み)] に変わります。

正規化を元に戻す

必要に応じて、正規化を元に戻すことができます。

正規化を元に戻すと、[正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のステータスを持つディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。正規化されたすべてのフィールドも、元の正規化されていない値にリセットされます。その後、ディスカバリーモデルを手動で正規化するか、次の正規化が自動的に実行されるまで待つことができます。ディスカバリーモデルを手動で正規化する場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、 コンテンツサービス チームからの最新の正規化ルールに基づいて正規化の提案を作成します。これらの提案を承認するか却下するかを選択できます。正規化が自動的に実行されるのを待つと、 コンテンツサービス チームの最新の正規化ルールを使用してディスカバリーモデルが正規化されます。ディスカバリーモデルのステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] に設定され、正規化されたフィールド値が設定されます。

ソフトウェアインストール

[ソフトウェア インストール] リストには、組織にインストールされているソフトウェアが含まれており、ディスカバリーによって入力されます。

インストールしたソフトウェアは ディスカバリー によってソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに配置され、プライマリー キーが作成されます ([公開者]、[表示名]、[バージョン] フィールドを使用)。

ディスカバリー はプライマリーキーを使用して、検出されたソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェアディスカバリーモデルと自動的に照合します。

ファイル署名の正規化

ファイルベースのディスカバリーは、 UNIX または Windows サーバー上のファイルを検索し、インストールされているソフトウェアの識別を強化する確立された一連のルールで処理します。この結果を使用して、セキュリティ目的でネットワークサーバー上の特定のファイルタイプを監視したり、ソフトウェア資産管理 - Professional (SAMP) の ファイル署名の正規化 プラグインでソフトウェアライセンスを管理したりします。

ファイルベースのディスカバリーの詳細については、「 ファイルベースのディスカバリー 」を参照してください。

注:
このページで提供される情報は、 ファイル署名の正規化 (com.snc.file_signature_normalization) プラグインで利用可能な機能のみを対象としています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須のプラグイン

ファイル署名の正規化プラグインは、ファイル情報をインストール済みソフトウェアにマッピングするために必要です。このプラグインを有効にするには、 ソフトウェア資産管理の要求。

ファイルベースのディスカバリー (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインを使用してファイルベースのディスカバリーを有効にし、ファイルの署名をフィルタリングすることもできます。このプラグインは ディスカバリー サブスクリプションに含まれていますが、プラグインのアクティブ化を要求する必要があります。製品と公開者の正規化は、 ソフトウェア資産管理の有無にかかわらず、ファイルベースのディスカバリーで使用できます。

ファイル署名の正規化 の仕組み

ファイル署名の正規化 は、検出されたファイルとその属性 (ファイル名、ファイルサイズ、バージョンなど) を使用して、コンテンツデータサービス (CDS) で一致する署名を検索します。次に、 ファイル署名の正規化 正規化されたソフトウェアインストールレコードを作成します。

定期的にスケジュールされた ディスカバリー ジョブでは、ユーザー環境内のすべての指定されたエンドポイントでファイル情報が検出され、 MID サーバーに送信されます。その後、 MID サーバーからの情報が ServiceNow インスタンスに送り返されます。情報がコンテンツライブラリと照合され、ソフトウェアインストールレコードが作成されます。

検出されたファイル名が CDS 内の事前定義ファイル署名ルールと一致しない場合、不明なファイル・セット レコードが不明なファイル・セット [cmdb_unidentified_file_set] テーブルに作成されます。sam_admin ロールを持つユーザーは、データを手動で正規化するように設定された不明なファイルのカスタムファイル署名ルールを作成できます。

コンテンツサービスにオプトインすると、これらのカスタムファイルの署名が CDS に送信されてさらに分析され、将来の検出のためにコンテンツサービスに含められます。[CDS から除外] 列の値を True に変更することで、一部のカスタム ファイル署名が CDS に送信されないように制限することもできます。

> **注:**
> ソフトウェアディスカバリーモデルは、ソフトウェア モデルディスカバリー [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されています。パターンディスカバリーの正規化とは異なり、 ファイル署名の正規化 によって作成されたディスカバリーモデルは、正規化プロセスを自動的に実行せず、スケジュールされた正規化ジョブ中に無視されます。

ファイル署名の正規化 重複も識別します。同じ構成アイテムで検出されたが、異なるディスカバリーソースから検出されたソフトウェアインストールは、重複と見なされます。識別されたすべてのインストールは、デフォルトで非アクティブとしてマークされます。重複が削除されると、残りのインストールはアクティブとしてマークされ、ディスカバリーモデルは関連するすべてのインストールを取得します。

> **注:**
> デフォルトでは、スケジュール済みジョブは特定の時間に実行されるため、パフォーマンスや安定性の問題を引き起こす可能性のある高負荷は実行されません。これらのスケジュール済みジョブの時間が変更されると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

ファイルベースディスカバリー中に検出されたソフトウェアインストールは、製品名やパブリッシャー名の変更など、ソフトウェアインストール属性の CDS の変更を反映するように更新されます。ステージ製品とステージパブリッシャーは、ファイルセット [samp_file_set] テーブルの新しい列です。

ファイル署名の正規化 ロール

ファイル署名の正規化 は、次のロールを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロール	説明
file_normalization_admin	このロールを持つユーザーは、ファイル属性と不明なファイル情報にアクセスできます。ファイル署名の正規化がサードパーティのソフトウェアインストールディスカバリーソースをサポートしていることを確認するために必要です。

テーブル

ファイル署名の正規化 は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
samp_file_set	ソフトウェア製品にマップするファイルセット。複数のsamp_file_mapレコードが 1 つのsamp_file_setレコードを指すことができます。
samp_file_map	エンドユーザーデバイスによって検出された各ファイルハッシュのファイルマップレコード。ファイルハッシュは、検出されたファイルとその属性に基づいて作成されます。
samp_file_name	エンドユーザーデバイスでの検索に使用されるファイル名。
samp_custom_file_name	エンドユーザーデバイスで検出できる、ユーザーが入力したファイル名。
cmdb_unidentified_file_set	CDS 内の検出されたファイルに対してソフトウェアー致が見つからない場合に作成されるカスタムルール。

製品ライフサイクル

ベンダーが提供するライフサイクルがない場合でも、ライフサイクルカバー範囲を改善するためにソフトウェア資産管理 アプリケーションが提供するさまざまな機能があります。

製品ライフサイクルの概要

すべてのライフサイクルフェーズの可視化を向上させるために、ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルに次の列が追加されました。

- 一般提供開始日
- 一般提供
- サポート終了開始日
- サポート終了ライフサイクル
- 延長サポート終了開始日
- 延長サポート終了ライフサイクル
- サポート終了開始日
- サポート終了ライフサイクル
- ソフトウェアモデル
- 所有者

コンテンツライブラリには、ライフサイクルレポートを作成するために使用できるおおよそのライフサイクル日付とライフサイクルコードが用意されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算済みライフサイクルを使用して、ソフトウェア製品のサポート終了 (EOS)、延長サポート終了 (EOES)、および提供終了 (EOL) ライフサイクルを作成することもできます。さらに、欠落しているライフサイクルを補完するカスタムライフサイクルを作成したり、コンテンツライブラリーから既存のライフサイクルを上書きしたりすることもできます。

概算ライフサイクルとライフサイクルコード

おおよそのライフサイクルは、ライフサイクルの日付がパブリッシャーによって明示的に公開されていない場合に、コンテンツライブラリによって提供されます。ライフサイクルレコードには、実際の日付 (さまざまな概算方法による) や、日付を指定できなかった理由の説明が含まれている場合があります。この説明は、ライフサイクルコードに記録されています。

ソフトウェアライフサイクルコード [software_lifecycle_code] テーブルには、すべての近似コードと各コードの説明が含まれています。ライフサイクルコードの詳細については、「 https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1642485 」を参照してください。

新しい列であるライフサイクルコードがソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに追加されました。この列は、ソフトウェアライフサイクルコード [software_lifecycle_code] テーブルを参照します。列に値が入力されている場合は、レコードがおおよそのライフサイクルであることを示しています。列が空の場合、ライフサイクルレコードにパブリッシャーによって公開された確認済みまたは明示的な日付があることを示します。

概算ライフサイクルは、ソフトウェアライフサイクルレポートの生成の一部としてデフォルトで有効になっています。これは、システムプロパティ *com.snc.samp.use_lifecycle_approximation*で管理されます。このプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

ライフサイクルコード列は、各ライフサイクルフェーズ (GA、EOS、EOES、および EOL) のソフトウェアライフサイクルレポートに追加することもできます。これには、ソフトウェアライフサイクルコードテーブルの列をドット連結することが必要になる場合があります。コードの存在に基づいて、おおよそのライフサイクルフェーズを特定できるはずです。

計算済みライフサイクル

ライフサイクルカバレッジをさらに改善するために、おおよそのライフサイクルを考慮した後でも、EOS、EOES、およびEOLライフサイクルの日付は、GA日から月単位で測定されたソフトウェアライフサイクルの平均に基づいて計算できます。

ソフトウェアライフサイクル平均は、製品レベル、公開者レベル、または業界レベルで定義できます。ソフトウェア資産ワークスペース でのソフトウェアライフサイクル平均の指定の詳細については「ワークスペースでの製品ライフサイクルの平均を作成」を、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアライフサイクル平均の指定については、「」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシック版で製品ライフサイクルの平均を作成する

ServiceNow から提供された一般公開日を上書きするには、カスタム一般公開日を作成します。カスタム GA の日付は、 ServiceNow によって指定された GA の日付よりも常に優先されます。ライフサイクルは、指定した製品またはパブリッシャーの値に基づいて計算されます。ライフサイクルの日付は、完全バージョンではなく、汎用バージョンでのみ定義されます。ソフトウェア資産ワークスペースでのカスタム値の指定の詳細については「ワークスペースでの製品ライフサイクルの平均を作成」を、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの値の指定については「ソフトウェア資産管理クラシック版で製品ライフサイクルの平均を作成する」を参照してください。

ソフトウェアライフサイクル平均は、ソフトウェアライフサイクル平均 [samp_sw_lifecycle_averages] テーブルに格納されます。これらの平均を使用して作成されたライフサイクルレコードのソース列は、計算済みとして定義されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ライフサイクル平均は、sam_user ロールまたは sam_admin ロールで作成できます。

計算済みライフサイクルには、次の前提条件があります。

- ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする必要があります。
- コンテンツサービスによって提供される製品で利用可能な GA 日、または作成したカスタムの GA 日。
- EOS、EOES、および EOL ライフサイクルは、 コンテンツサービス では提供されません。
- 製品は コンテンツサービスによって出荷されます。
- ライフサイクルの日付は、完全バージョンではなく、汎用バージョンでのみ定義されます。

カスタムライフサイクル

おおよそのライフサイクルと計算済みライフサイクルに加えて、ライフサイクルカバレッジをさらに改善するために、カスタムライフサイクルを作成することもできます。カスタムライフサイクルは、選択した製品とバージョンの各ライフサイクルフェーズで定義するレコードです。日付フィールドに直接日付を入力すると、これらの日付がソフトウェアライフサイクルレポートの生成で優先されます。この機能を使用して、コンテンツライブラリによって提供される既存のライフサイクルレコードを上書きすることもできます。

カスタムライフサイクルは、[新規] を選択すると、次の 2 つの場所のいずれかから作成できます。

- ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycleテーブル。
- カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブル。

ソフトウェアのライフサイクルプロセス

スケジュール済みジョブ *SAM - Generate Software Lifecycle Report* 、インストール数がゼロ以外のすべての正規化済みソフトウェア製品のライフサイクルデータを集計します。ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの各レコードには、すべてのライフサイクルフェーズ列と、対応するフェーズ開始日が表示されます (日付が利用可能な場合)。ライフサイクルコードを表示して、レコードがおおよそのライフサイクルであるかどうかを示すこともできます。

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルには、[現在のフェーズ] 列と [今後のフェーズ] 列、および対応する日付も表示されます。これらの列の詳細については、「 ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント」を参照してください。

別のスケジュール済みジョブ *SAM - Create Calculated Software Lifecycles* は、GA 日はあるが EOS、EOES、または EOL の日付がないソフトウェアライフサイクルレポートテーブルのすべてのレコードをチェックし、ソフトウェアライフサイクル平均テーブルで作成した定義に基づいてそれらの計算済みライフサイクルを作成します。

スケジュール済みジョブ *SAM - Create Calculated Software Lifecycles* でライフサイクルを生成する場合は、次の点に注意してください。

- ドメインセパレーションが無効になっている場合は、システムプロパティ [sys_properties] テーブルで *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* システムプロパティを有効にします。
- ドメインセパレーションが有効になっている場合は、アプリケーションプロパティ [sys_application_properties] テーブルを使用して *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* プロパティを有効にします。[アプリケーションのプロパティ] [sys_application_properties] テーブルで、*com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* プロパティを選択して [アプリケーショ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンのプロパティ] ページを開きます。[アプリケーションプロパティ値] まで下にスクロールし、[新規] を選択してレコードを作成します。[アプリケーションプロパティ] フィールドと [ドメイン] フィールドには値が事前に入力されています。[値] フィールドに「**true**」と入力し、[送信] を選択します。また、ドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルで列 *Run asset process [run_asset_process]* の値を true に指定して、調整を有効にする必要があります。

注:
調整は、親ドメインまたは子ドメインに対して有効にできます。親ドメインと子ドメインの両方で有効にすることはできません。

計算されたライフサイクルと作成したライフサイクルは、カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。コンテンツサービスによって作成されたライフサイクルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。

カスタムライフサイクルを作成すると、作成したカスタムライフサイクルが優先されるため、スケジュール済みジョブによって作成された計算済みライフサイクルは次の コンテンツサービス 更新で削除されます。

作成されると、EOS、EOES、および EOL ライフサイクルがソフトウェアモデルページに表示されます。

注:
sam_userまたはsam_adminがソフトウェアモデルの EOS、EOES、または EOL ライフサイクルを削除しても、ライフサイクルはソフトウェアモデルに復元されません。

ダウングレード権限

ライセンスのダウングレードの概念は、 ソフトウェア資産管理 プラグイン機能に組み込まれています。ダウングレード権限は、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得し、その権利を使用して同じソフトウェアの以前のバージョンをライセンスするプロセスです。

ダウングレード権限は、ソフトウェア モデル レベルで追加されます。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスは、ダウングレード権限を生成します。ダウングレード権限は検出マップに対応します。毎週トリガーされるスケジュール済みジョブ *Download software content: Downgrade Rights* 、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスからダウングレード権限を取得し、そのデータをダウングレード権限 [samp_dmap_downgrade_model] テーブルにプッシュします。

別のスケジュール済みジョブ *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* は、[samp_dmap_downgrade_model] テーブルから情報を取得します。このテーブルは、既存のソフトウェアモデルとそれに対応するエンタイトルメントの次のバージョンとダウングレード権限を伝播します。

検出マップに対応するソフトウェアモデルがない場合は、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブルにデータを入力するときに、新しいソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

ソフトウェアモデルに対応する検出マップにダウングレード権限がある場合、[Downgrade Rights] 関連リストには、ソフトウェアのダウングレードバージョンの階層リストが自動的に入力されます。

ダウングレード権限が作成され、ダウングレード権限テーブル [samp_sw_downgrade_model] および [samp_downgrade_model] に保存されると、ダウングレード権限は削除できなくなります。ただし、ダウングレード権限を非アクティブ化することはできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアモデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブル内のソフトウェアモデルに対応するすべてのレコードが自動的に削除されます。

ダウングレード権限は、同じパブリッシャーの製品間でサポートされているため、製品名の変更を効果的に管理するのに役立ちます。製品の名前を変更すると、2 つの製品として扱われます。例えば、製品の名前を Captivate から Illustrator に変更した場合、Captivate と Illustrator はどちらも別個の製品と見なされます。Illustrator から Captivate へのソフトウェアモデルのダウングレード権限は、ソフトウェアモデルフォームまたはソフトウェアエンタイトルメントフォームで手動で追加できます。

ダウングレード権限を重複して作成することはできません。スケジュール済みジョブを使用するか、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントフォームのレイアウトで手動で作成します。ソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントに対して重複するダウングレード権限を作成しようとすると、ダウングレードモデルが存在することを通知するエラーメッセージが表示されます。後続のすべてのフィールドで同じ値を持つ場合、ダウングレード権限は重複していると見なされます。

- 公開者
- 製品
- バージョン条件
- バージョン
- エディション条件
- エディション
- プラットフォーム
- 言語
- ソフトウェアインストール条件
- 指名ユーザータイプ: SAP 製品に対してのみ表示されます。

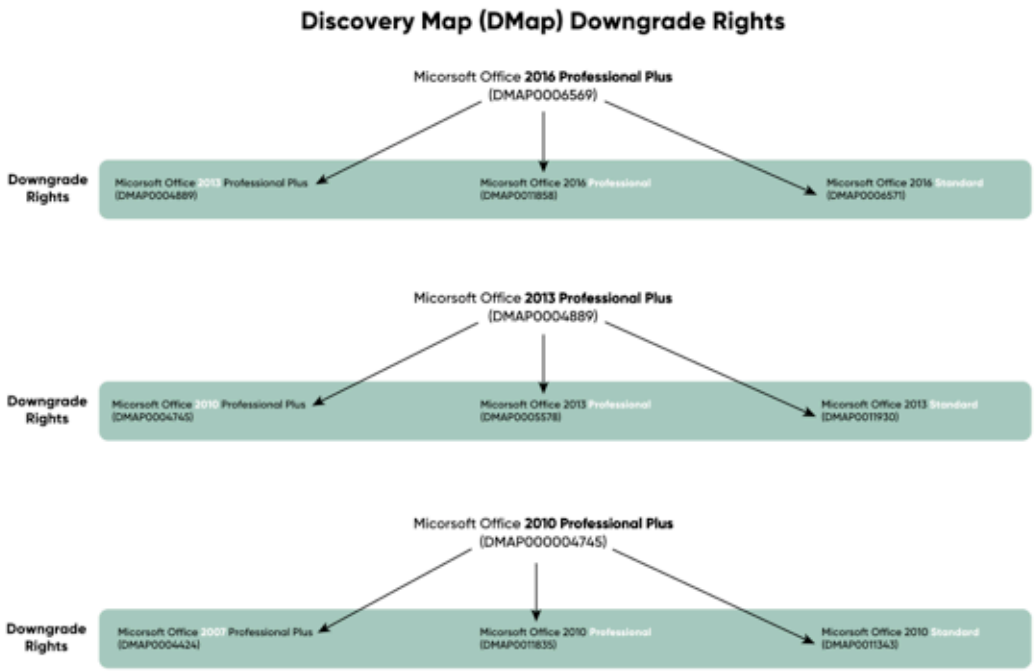
以前の ソフトウェア資産管理プロ リリースから重複するダウングレード権限が既にある場合、重複するダウングレード権限は変更または削除されません。

非アクティブなダウングレード権限に対して重複するダウングレード権限を作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージには、非アクティブなダウングレード権限が存在し、それを再度アクティブ化できることが通知されます。

ダウングレードのサポートは、すべてのライセンスメトリクスで利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソフトウェアライセンスのメンテナンス

ソフトウェアメンテナンスエンタイトルメントを可視化して、これらのライセンスをライフサイクル全体で効果的に管理します。

ソフトウェアメンテナンス費用を次の方法で管理および最適化します。

- 開始日と終了日を指定するメンテナンスエンタイトルメントのインポート、更新、および作成。
- 正確な調整コストを取得します。
- 潜在的な節減額を知ることで、リソースを最大化します。
- 期限切れ間近、未使用、および十分に使用されていないメンテナンスエンタイトルメントを認識します。

期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメントの決定

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、 ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、期限切れが近づいているすべてのメンテナンスエンタイトルメントを追跡するのに役立ちます。エンタイトルメントを追跡するには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > 期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション. この追跡機能により、SAM マネージャーは、期限切れ間近のすべてのメンテナンスエンタイトルメントの全体像を把握し、必要なアクションを実行できます。

メンテナンス対象 **Microsoft**

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) は、ユーザーにアクティブなメンテナンスを提供するために Microsoft 使用するメンテナンスプログラムです。

Microsoft には、最新のソフトウェアバージョンとリリースへのアクセス、クラウド特別権限、ライセンスモビリティなど、いくつかのメリットがあります。これらのメリットの詳細については、Microsoft ドキュメント を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、次の方法で Microsoft 製品のライセンスを取得しながら、これらのメリットを活用します。

- 新しいバージョン権限:SA ユーザーは、 Microsoft 製品の最新バージョンにアクセスできるため、追加コストなしで製品ライセンスをアップグレードできます。また、ソフトウェアのバージョンのみに基づいて対象ライセンスを追跡または再割り当てする必要はありません。 ソフトウェア資産管理プロ は、次のメカニズムを使用してバージョンのサポートを追加します。
  - 新しいバージョンの自動適用:アクティブな SA を持つソフトウェアエンタイトルメントが新しいバージョンのソフトウェアモデルに関連付けられている場合、 ソフトウェア資産管理プロ エンタイトルメントが自動的にアップグレードされ、最新バージョンのソフトウェアモデルに関連付けられます。また、これらの変更は [アップグレード履歴] 関連リストに保存されます。ソフトウェアモデルとバージョンの詳細については、「 ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。
  - ソフトウェアエンタイトルメントの管理: Microsoft は、製品にバージョンが割り当てられていない状態で、SA カバレッジ付きのパブリッシャーの品番 (PPN) を提供します。したがって、すべてのバージョンの Microsoft 製品に SA 特典が正しく割り当てられるリスクがあります。ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ SA 補償の有効期限以前に Microsoft によってリリースされた最新のソフトウェアバージョンを決定し、正しいバージョンのソフトウェアモデルを選択して、エンタイトルメントをそのソフトウェアモデルに関連付けます。また、これらの変更は [アップグレード履歴エンタイトルメント] セクションに保存されます。
- ライセンス モビリティの特典: ライセンス モビリティでは、Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用して、オンプレミス (高密度仮想化環境) またはクラウド環境 (AWS または Azure) でライセンスを柔軟に管理できます。ライセンスモビリティの詳細については、 Microsoft ドキュメント を参照してください。

  ソフトウェア資産管理プロ は、Windows Server や SQL Server などのデータセンター製品の展開中に、ライセンスモビリティの特典を自動的に適用します。自動的に適用されるメリットの一部を次に示します。
  - 仮想マシン (VM) レイヤーごとにライセンスを付与するオプションを提供します: サブスクリプション ライセンスまたは SA 付きのライセンスを使用すると、SQL Server 2022 は VM によってライセンスを取得でき、ライセンスは VM と共に同じサーバー ファーム内の別のサーバーにいつでも移動できます。
  - 無制限の仮想化のサポート: ホストが完全にライセンスされている場合、無制限の数の VM で SQL Server Enterprise Edition ソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。この機能は、コアライセンスモデルにのみ適用されます。
  - AHB および自分のライセンスを使用する (BYOL) のサポートを提供する: SQL Server の AHB は、SA ライセンスまたはサブスクリプション ライセンスで SQL Server ライセンスを使用して、クラウドベースのコンピューティングのみに対して割引料金を支払うことができる Azure の利点です。BYOL サポートの詳細については、「 BYOL サポート」を参照してください。

Microsoft SA の対象である場合は、ソフトウェアの標準バージョンをエンタープライズエディションにアップグレードまたはステップアップすることもできます。[ソフトウェアエンタイトルメント] フォームの [アップグレードされたエンタイトルメント] タブを使用して、アクティブなメンテナンス中のソフトウェアとアップグレードの関連バージョンをリンクします。

ステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプション、無期限、無期限 + ソフトウェアアシュアランス、またはステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントにアップグレードできます。サブスクリプションステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプションライセンスタイプのエンタイトルメントにのみアップグレードできます。

注:
ソフトウェアアシュアランスとの Microsoft オープン価値契約がある場合は、いつでもステップアップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アップグレードされたエンタイトルメントのないステップアップライセンスタイプでは、アクティブな権限が二重にカウントされるため、調整結果が不正確になる可能性があります。

コアあたりのライセンス メトリックの SA を使用する Microsoft SQL Server Enterprise エディションがある場合は、ホスト マシンで無制限の仮想マシンを実行できます。物理コアライセンスの数は関係ありません。たとえば、ホストマシンで 4 つの物理コアのみを実行するためのライセンスがあるとします。その後、ホストマシンで無制限の仮想マシンを実行できます。

発注書 (PO) の受領時にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントで SA がアクティブ化されている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + SA:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + SA] として指定されている場合。
- 無期限:以前のエンタイトルメントに、無期限 + SA と無期限に設定されたライセンスタイプの組み合わせがある場合。

SA エンタイトルメントを使用してソフトウェアにライセンス付与することはできません。SA エンタイトルメントは調整中にカウントされません。無期限ライセンスエンタイトルメントのみが考慮されます。

SA エンタイトルメントには、ライセンスコンプライアンスを判断するために基本エンタイトルメントまたは無期限エンタイトルメントが必要です。したがって、基本エンタイトルメントなしで Microsoft ライセンスステートメント (MLS) からエンタイトルメントをインポートすると、エラーが表示されます。MLS からのエンタイトルメントのインポートについては、「 MLS からのエンタイトルメントのインポート」を参照してください。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースでの Microsoft SA のエンタイトルメントの作成については、「 ワークスペースで Microsoft ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシック版の Microsoft SA でエンタイトルメントを作成する場合、または既存のエンタイトルメントに SA 範囲を追加する場合は、「ソフトウェア資産管理クラシック版で Microsoft Software Assurance のエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

以外のパブリッシャー向けのメンテナンス **Microsoft**

Microsoft 以外のすべての公開者に対して、ソフトウェア ライセンスのメンテナンス ニーズをサポートするメンテナンスエンタイトルメントを作成できます。

メンテナンスエンタイトルメントは、無期限、無期限 + メンテナンス、およびアップグレードのエンタイトルメントに関連付けることができます。メンテナンスエンタイトルメントフォームレイアウトを開き、[アップグレードされたエンタイトルメント] タブを選択して、関連付ける無期限エンタイトルメントを選択します。

注:
メンテナンスエンタイトルメントが無期限エンタイトルメントに関連付けられている場合、メンテナンスエンタイトルメントのコストは調整の実行時に総コストに含まれます。

発注書 (PO) の受け取り中にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントでメンテナンスがアクティブ化されている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + メンテナンス:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + メンテナンス] として指定されている場合。
- 無期限:以前のエンタイトルメントに、無期限 + メンテナンスと無期限に設定されたライセンスタイプの組み合わせがある場合。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成については、「ワークスペースでメンテナンスエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックでのメンテナンスエンタイトルメントの作成については、「クラシック ソフトウェア資産管理 でメンテナンスエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

Microsoft コアごとのライセンスルール

コアごとのライセンス モデルは、SQL ServerやBizTalk Serverなどの多くの Microsoft Server製品で使用されています。これは、ソフトウェアに接続しているユーザーまたはデバイスのカウントが困難な場合 (多くの場合、インターネットに接続されたソフトウェアの場合) に便利です。

そのため、コアごとのライセンス モデルは、 Microsoft SQL Server などのエンタープライズ ソフトウェアで一般的に使用されます。

これらの製品のオンプレミスインストールとクラウドインストールのライセンスルールは別々です。クラウドライセンスルールは、自分のライセンスを使用する (BYOL) に従います。詳細については、「BYOL および BYOS のライセンスルール」を参照してください。

コアごとのライセンスモデルを使用してこれらの製品のオンプレミスインストールにライセンスを付与するには、次の 2 つのオプションを検討してください。

- 物理コアによるライセンス (物理ホストによるライセンスとも呼ばれます)
- 個々の仮想マシンごとのライセンス

注:
クラスターではなく、個々のホストまたは個々の仮想マシンに割り当てることができます。

手動で割り当てることも、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションが最適化基準に基づいて最も費用対効果の高いライセンスオプションを自動的に選択することもできます。必要なコア ライセンスの数は、物理コアに基づいて物理サーバーにライセンスを付与するか、個々の仮想マシンにライセンスを付与するかによって異なります。

割り当ての実行方法の詳細については、「 割り当て管理 」および「 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで自動最適化を実行する方法」を参照してください。「 について、実現されたライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。 Microsoft」を参照してください。

注:
物理コアによるライセンス付与でも、個々の仮想マシンによるライセンス付与でも、どちらのオプションにも、従う必要がある独自の Microsoft ルールのセットが付属しています。詳細については、「 SQL Server 」を参照してください。

これらの製品では、サーバー CAL ライセンス モデルなどの他のライセンス モデルも使用できます。

物理コア別のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2016 年に Microsoft によって導入された物理コアルールによるライセンスをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

物理コアルールによるライセンス

ルール	SQL Server 標準	SQL Server エンタープライズ
適用	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを介してのみライセンス付与が許可されています。	必要なライセンスの数は、ライセンスが付与されたサーバー上の物理コアの数と同じです。 サーバーの物理コアは、 CPU カウント * コア数に等しくなります。
必要な最小ライセンス数	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを介してのみライセンス付与が許可されています。	物理プロセッサあたり 4 ライセンス
仮想化権限	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを介してのみライセンス付与が許可されています。	• ソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスがない場合、物理サーバーに割り当てられたコア ライセンスの数と同じ数の仮想マシンを実行します。 **注:** 仮想マシンを追加するたびに、追加のコア ライセンスが必要になります。 • アクティブなソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスでは、サーバー上のすべての物理コアが完全にライセンスされている場合、仮想マシンの実行数は無制限です。
フェイルオーバー権限	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを介してのみライセンス付与が許可されています。	アクティブなソフトウェア アシュアランスの対象となる SQL Server サブスクリプション ライセンスでライセンスされたサーバー オペレーティング システム環境 (OSE) ごとに、フェールオーバー イベントの前に次のパッシブ レプリカを使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

物理コアルールによるライセンス (続く)

ルール	SQL Server 標準	SQL Server エンタープライズ
		• 別の OSE での高可用性のための 1 つのパッシブフェイルオーバーレプリカ • 別の OSE での災害復旧用の 1 つのパッシブフェイルオーバーレプリカ • Azure 上の 1 つの仮想マシンまたはインスタンスでのディザスター リカバリー用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ
コンポーネントサービスライセンス	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを介してのみライセンス付与が許可されています。	1 つの SQL Server ライセンスのソフトウェア コンポーネントを分離することはできません。SQL Server のいずれかのライセンス済みコンポーネントを実行する OSE には、独自のライセンスが必要です。SQL Server コンポーネントの詳細については、「SQL Server 2022 のエディションとサポートされている機能」を参照してください。

VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Nutanix Acropolis HyperVisor (AHV) などのクラスター仮想化テクノロジに Windows Server や System Center などのMicrosoft製品 (コアごとのライセンス モデルを使用) を展開する場合、物理ホストに必要なライセンスの数は、クラスター内で移行できる可能性のある仮想マシンによって異なります。

すべてのホスト間で仮想マシンのライブ マイグレーションを可能にする VMware vMotion や、クラスタ内のホストに仮想マシンをロックするのに役立つホスト アフィニティなどのテクノロジは、ホスト間での仮想マシンの移動を管理します。クラスター仮想化テクノロジーと ソフトウェア資産管理 アプリケーションでのサポートの詳細については、「クラスターインフラストラクチャの理解」を参照してください。

Microsoftライセンスルールによると、Windows Server などのMicrosoft製品がインストールされている仮想マシンが 1 つのサーバーでホストされているが、別のサーバーに移行できる可能性がある場合、移行先サーバーは、仮想マシンが既に実行されているかのようにライセンスを取得する必要があります。

ヒント:
このオプションに使用できるのは Enterprise エディションのライセンスのみであり、物理ホストで実行できる仮想マシンの数に基づいて物理ホストにライセンスを付与する必要があるため、このライセンス オプションはコストが高くなる可能性があります。

仮想マシンごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2022 年に Microsoft によって導入された個々の仮想マシンルールによるライセンスをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
このライセンス オプションは、コアごとのライセンス モデルを使用する場合に SQL Server Standard Edition で使用できる唯一のオプションです。

個々の仮想マシンごとのライセンスルール

ルール	**SQL Server Standard** および **SQL Server Enterprise**
必要なライセンス数	仮想マシン上の仮想コアの数と等しい サーバー上の仮想コアは、 CPU カウント * コア数 * CPU スレッド数に等しくなります。
必要な最小ライセンス数	仮想マシンあたり 4 ライセンス
ソフトウェアアシュアランスまたはサブスクリプションライセンス **注:** 仮想マシンでライセンスを付与するオプションは、ソフトウェア保証またはサブスクリプションライセンスでのみ使用できます。	Required (必須)
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェア アシュアランスの特典) **注:** ライセンスは、必要に応じて同じサーバー ファーム内で何度でも再割り当てできます。90 日ルールは、別のサーバー ファームまたはクラウド プロバイダーに移行する場合にのみ適用されます。	サポート対象
コンポーネントサービスライセンス	1 つの SQL Server ライセンスのソフトウェア コンポーネントを分離することはできません。SQL Server のいずれかのライセンス済みコンポーネントを実行する OSE には、独自のライセンスが必要です。SQL Server コンポーネントの詳細については、「 SQL Server 2022 のエディションとサポートされている機能 」を参照してください。
フェイルオーバー権限	SQL Server サブスクリプション ライセンスまたはアクティブ ソフトウェア アシュアランスの対象となるライセンスでライセンスされたサーバー OSE ごとに、フェールオーバー イベントの前に次のパッシブ レプリカを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個々の仮想マシンごとのライセンスルール (続く)

ルール	SQL Server Standard および SQL Server Enterprise
	• 別の OSE での高可用性のための 1 つのパッシブフェイルオーバーレプリカ • 別の OSE での災害復旧用の 1 つのパッシブフェイルオーバーレプリカ • Azure 上の 1 つの仮想マシンまたはインスタンスでのディザスター リカバリー用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ

Microsoft コアあたり (CAL あり) のライセンスルール

コアあたり (CAL 付き) メトリクス ライセンス モデルの後には、Windows Server、System Center、Core Infrastructure Server Suite などのさまざまな Microsoft Server 製品が続きます。ライセンスの数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。

これらの製品のオンプレミスインストールとクラウドインストールのライセンスルールは別々です。クラウドライセンスルールは、自分のライセンスを使用する (BYOL) に従います。詳細については、「BYOL および BYOS のライセンスルール」を参照してください。

コアごと (CAL を含む) ライセンスモデルを使用してこれらの製品のオンプレミスインストールにライセンスを付与するには、次の 2 つのオプションを検討してください。

- 物理コアによるライセンス (物理ホストによるライセンスとも呼ばれます)
- 個々の仮想マシンごとのライセンス

注:
クラスターではなく、個々のホストまたは個々の仮想マシンに割り当てることができます。

手動で割り当てることも、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションが最適化基準に基づいて最も費用対効果の高いライセンスオプションを自動的に選択することもできます。割り当ての実行方法の詳細については、「 割り当て管理 」および「 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで自動最適化を実行する方法」を参照してください。「 について、実現されたライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。 Microsoft」を参照してください。

注:
物理コアによるライセンス付与でも、個々の仮想マシンによるライセンス付与でも、どちらのオプションにも、従う必要がある独自の Microsoft ルールのセットが付属しています。詳細については、「 Windows Server Standard、Datacenter、および Essentials 」を参照してください。

物理コア別のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2016 年に Microsoft によって導入された物理コアルールによるライセンスをサポートしています。

物理コアルールによるライセンス

ルール	Windows Server 標準	Windows Server データセンター
必要なライセンス数	ライセンスを付与されたサーバー上の物理コアの数と等しい	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

物理コアルールによるライセンス (続く)

ルール	Windows Server 標準	Windows Server データセンター
	サーバーの物理コアは、 CPU カウント * コア数に等しくなります。	
必要な最小ライセンス数	• 物理プロセッサあたり 8 • サーバーあたり 16 ライセンス	
CAL 要件	サーバーにアクセスするユーザーまたはデバイスには、デバイスまたはユーザー CAL が必要です	
仮想化権限	ホストのすべてのコアにライセンススタッキングのオプションでライセンスが付与されている場合に、2 台の仮想マシンを使用する権限 **注:** 2 つの追加仮想マシンを使用する権限を取得するには、ホストに再度ライセンスを付与する必要があります。	ホストのすべてのコアがライセンスされている場合に無制限の仮想マシンを実行する権限
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェア アシュアランスの特典) **注:** ライセンス モビリティは、Windows Server では使用できません。ライセンスは、90 日ごとにサーバーに再割り当てできます。	サポート対象外	

VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Nutanix AHV などのクラスター仮想化テクノロジに Windows Server や System Center などのMicrosoft製品 (CAL ライセンス モデルを使用したコアを使用) を展開する場合、物理ホストに必要なライセンスの数は、クラスター内で移行できる可能性のある仮想マシンによって異なります。

すべてのホスト間で仮想マシンのライブ マイグレーションを可能にする VMware vMotion や、クラスタ内のホストに仮想マシンをロックするのに役立つホスト アフィニティなどのテクノロジは、ホスト間での仮想マシンの移動を管理します。クラスター仮想化テクノロジーと ソフトウェア資産管理 アプリケーションでのサポートの詳細については、「 クラスターインフラストラクチャの理解」を参照してください。

Microsoftライセンスルールによると、Windows Server などのMicrosoft製品がインストールされている仮想マシンが 1 つのサーバーでホストされているが、別のサーバーに移行できる可能性がある場合、移行先サーバーは、仮想マシンが既に実行されているかのようにライセンスを取得する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

仮想マシンごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2022 年に Microsoft によって導入された個々の仮想マシンルールによるライセンスをサポートしています。

個々の仮想マシンごとのライセンスルール

ルール	**Windows Server Standard** および **Windows Server Data Center**
必要なライセンス数	仮想マシン上の仮想コアの数と等しい サーバー上の仮想コアは、 `CPU カウント * コア数 * CPU スレッド数` に等しくなります。
必要な最小ライセンス数	仮想マシンあたり 8 ライセンス
ソフトウェアアシュアランスまたはサブスクリプションライセンス **注:** 仮想マシンでライセンスを付与するオプションは、ソフトウェア保証またはサブスクリプションライセンスでのみ使用できます。	Required (必須)
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェアアシュアランスの特典) **注:** ライセンスは、必要に応じて同じサーバー ファーム内で何度でも再割り当てできます。90 日ルールは、別のサーバー ファームまたはクラウド プロバイダーに移行する場合にのみ適用されます。	サポート対象

ソフトウェア資産管理 健全性チェック

健全性チェック ServiceNow Store アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 構成の正確で信頼性の高い概要を提供し、存在する可能性のあるエラーを修正するように推奨します。

実装パートナー、SAM マネージャー、サポートアナリストなどの複数のペルソナが健全性チェック アプリケーションを使用して、構成の健全性チェックを判断できます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの展開中の任意の時点で健全性チェックServiceNow Storeアプリケーションを使用して、エラーを特定します。たとえば、エンタイトルメントやソフトウェアモデルが正しくセットアップされていない、 ディスカバリーから見つかったデータ属性の欠落などの構成エラーです。健全性チェックスキャンの実行の詳細については、「 次の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

現在のチェックセットには、次の構成のチェックが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- SQL Server 構成
- SQL Server CMDB
- Windows Server CMDB
- Windows Server 構成
- データベースサーバー: Oracle
- Java - Oracle
- Microsoft 365
- 全般

スケジュール済みジョブ *SAM - Trigger Full Scan* は、 ServiceNow インスタンスのコンテンツサービスの一部として出荷される KPI カテゴリで毎週実行されます。KPI カテゴリは、エンタイトルメントの構成ミス、ダウングレード、割り当て、またはその他の構成の問題に関連している可能性があります。これらの KPI を設定したり、KPI カテゴリを追加したりすることもできます。スケジュール済みジョブは、全体の健全性スキャンを実行して、 ソフトウェア資産管理 構成に存在する可能性のあるエラーがないかチェックします。

健全性チェックに関する通知は、ソフトウェア資産の概要ビューで表示できます。

健全性スキャンが実行された後、健全性チェックダッシュボードに結果が表示されます。ダウンロード可能なレポートの形式で結果を表示すると、それらのレポートは問題の解決に関する推奨事項を提供します。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

関連情報

健全性チェック

次の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理

グローバルエンティティ間のライセンスの調整

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、組織内のさまざまなエンティティ間でエンタイトルメントを共有します。

調整プロセス中のエンタイトルメントの消費を特定のエンティティセットに制限します。これにより、コストセンターはライセンスを購入し、それを他のコストセンターにサービスとして提供し、割り当てを必要とせずにデバイスで実行されているソフトウェアにライセンスを付与することができます。

消費ルールの概要

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できないように制限します。エンタイトルメントに対して消費ルールが定義されておらず、調整プロセスが実行される場合、そのエンタイトルメントの所有者に関係なく、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できます。

消費ルールは、次の調整グループに対して作成できます。

- 会社
- 部門
- 地域
- コストセンター
- 国

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

単一の消費ルールを複数のエンタイトルメントにわたって使用できるため、消費ルールを再利用できます。

ライセンス操作ビューで消費ルールを作成したら、エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで消費ルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。消費ルールをエンタイトルメントにリンクすると、消費は、消費ルールで指定された指定エンティティの少なくとも 1 つに属するユーザーまたはデバイスに制限されます。

[エンタイトルメント消費ルール] 関連リストにアクティブな消費ルールが存在しない場合は、組織内のすべてのユーザーがエンタイトルメントを使用できます。

注:
消費ルールは、 IBM RVU、 IBM UVU、 Workday のライセンスメトリクスではサポートされていません。

グループ化に関係なく、消費ルールが適用され、ライセンスは制限されます。消費ルールをエンタイトルメントにリンクして調整プロセスを実行すると、次のアクションが実行されます。

- グループ化あり:調整結果は、製品の結果、ソフトウェア モデルの結果、およびライセンスのメトリクスの結果の形式で表示されます。すべてグループごとに個別に生成されます。
- グループ化なし:調整結果は、製品の結果、ソフトウェア モデルの結果、ライセンス評価指標の結果の形式で、すべて単一の見出しの下に表示されます。

ライセンス消費ブレークダウン [samp_lmr_consumption_result] テーブルは、ライセンスメトリクスごとに使用された割り当て済みおよび未割り当ての権限を消費ルールごとに報告します。

詳細なレポートは、ライセンス要求元 [samp_licenses_required_by] テーブルの消費ルール列から実行できます。消費ルール列には、そのエンティティによって満たされた消費ルールがスタンプされます。

消費ルールのユースケース

たとえば、営業、HR、マーケティングの 3 つの部門に対して 3 つの個別の消費ルールを作成したとします。

次に、これら 3 つの消費ルールをすべて「ENT A」というエンタイトルメントにリンクします。調整を実行すると、営業、人事、およびマーケティング部門が ENT A を使用できます。ENT A に割り当てる必要はありません。

親と子の階層

消費ルールは、グループの親または子の階層もサポートしています。親会社 A の消費ルールがある場合は、個別のルールを作成せずに、親会社 B と子会社 C を含めることができます。

Enterprise 資産ワークスペースの [新しい消費ルールの作成 *(Create New Consumption Rule)*] ページでは、会社、部門、およびコストセンターの子を消費ルールに含めることができます。これにより、各エンティティの個別の消費ルールを作成し、新しいエンティティが追加、更新、または削除された場合に消費ルールを更新するために必要な労力が軽減されます。

ライセンスプール

消費ルールを使用すると、エンティティのライセンスプールを定義できます。ライセンスプールは、消費ルールで定義されたグループエンティティの権利の予約です。ライセンスプールは、エンタイトルメントごとのエンティティに固有です。ライセンスプールが定義されていない場合、エンティティは権利を消費できますが、保証として確保されるものはありません。

たとえば、使用可能な権利が 100 個あるエンタイトルメントには、ライセンスプールが 50 個の HR 消費ルールを設定できます。これにより、HR コンシューマーに 50 個の権利が確保され、残り

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の 50 個の権利は、HR または消費ルールで定義されたその他のエンティティによって使用されます。

消費ルールと関連するライセンスプールは、エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで確認できます。

ライセンス消費を消費ルール内のエンティティに制限しない場合は、エンタイトルメントページの [無制限消費] チェックボックスを使用できます。このチェックボックスをオンにすると、どのエンティティでも権利を消費できるようになりますが、消費ルール内のエンティティには権利の予約が確保されます。

注:
割り当てと [無制限消費] チェック ボックスの両方で、他のグループがエンタイトルメントにアクセスできます。割り当てのみが優先度を指定します。

割り当て

割り当ては消費ルールよりも優先されます。割り当てを機能させるために消費ルールを作成する必要はありません。たとえば、このエンタイトルメントを使用できるのは HR デバイスのみであるという消費ルールがあるとします。このエンタイトルメントには、営業やマーケティングなど、HR 以外の割り当てを含めることができます。

最初に適用可能な消費ルールが満たされると、割り当ては自動的にライセンスプールにカウントされます。これはデフォルト設定ですが、消費ルールまたはライセンスプールが定義されていない場合でも、割り当ては引き続き優先されます。

ライセンスプール数を超える新しい割り当てが優先されます。消費ルールを満たさない割り当ても優先されます。

Utah より前のリリースからのアップグレード

Yokohama前のリリースからアップグレードする場合、*com.snc.samp.recon.group* および *com.snc.samp.recon.subgroup* プロパティ (ソフトウェア資産管理 プロパティページ) で選択した内容に基づいて、次のアップグレードアクションが実行されます。

- グループ化: 会社、 コストセンター、 地域、 部門、または 国 が選択されています。エンタイトルメントが使用中の場合は、選択されたグループ化エンティティに対して消費ルールが自動的に作成されます。たとえば、[部門] が選択され、サブグループとして [会社] が選択されている場合、グループ「部門」とサブグループ「会社」の両方に対して、1 つの結合された消費ルールが作成されます。調整が実行されると、エンタイトルメントの使用は部門グループと会社サブグループのみに制限されます。

  注:
  エンタイトルメントテーブルで [インストールステータス] 列の値が 1 の場合、エンタイトルメントは使用中と見なされます。

- グループ化しない: [なし] が選択されています。グループ化なしで調整が実行されるため、消費ルールは作成されません。エンタイトルメントは任意のグループで使用できます。

コンプライアンスのためのソフトウェア調整

自動ライセンス調整により、手動計算なしでライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

調整の概要

調整は、指定された頻度で実行されるスケジュール済みジョブです (デフォルトは毎週)。また、特定またはすべての公開者、グループ、サブグループに対してオンデマンドで実行することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

グループおよびサブグループの値には、国、部門、会社、地域、またはコストセンターが含まれます。毎週の調整実行に適用されるデフォルトのグループおよびサブグループの プロパティは 、 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロパティ.

調整が実行されると、ディスカバリーとエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを示す調整結果のリストが作成されます。sam_user ロールを持つユーザーは、調整結果を表示できます。

新しいソフトウェア ライセンスの発注書 (PO) の作成に加えて、ソフトウェア モデルの結果では追加の修復オプションを使用できます。その結果を使用して、割り当てを自動的に作成および削除したり、未割り当てのインストールを削除したり、ライセンスのないインストールを削除したりします。

簡素化されたライセンスワークベンチビューで調整結果を確認し、ライセンスポジションレポートを使用して、各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細を単一のリストに表示します。

カスタマイズされた調整スクリプトインクルードのアップグレードに関する考慮事項

Yokohama リリース以降、すべての調整スクリプトインクルードがファミリリリースからソフトウェア資産管理ストアアプリケーション (com.sn_itam_samp') に移動されます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインまたは Software Asset Management Foundation (com.snc.sams) プラグインをアクティブ化すると、ソフトウェア資産管理ストアアプリケーション (com.sn_itam_samp') が自動的にアクティブ化されます。

Yokohama にアップグレードする際、調整スクリプトインクルードをカスタマイズしていた場合は、カスタマイズを新しいスクリプトインクルードに移行する必要があります。古いスクリプトインクルードは廃止されます。

ソフトウェア調整結果

ソフトウェア調整結果には、検出とエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスが表示されます。sam_user ロールを持つユーザーは、調整結果を表示できます。

ソフトウェア調整が実行されると、購入済みのアクティブな権限の数と比較して、使用されている権限の数に基づいてコンプライアンスが計算されます。調整は、特定の公開者またはすべての公開者に対して毎週またはオンデマンドで実行されます。このプロセスでは、ディスカバリーとエンタイトルメントに関連するソフトウェアのコンプライアンスステータスを表示する調整結果のリストが生成されます。ソフトウェア調整の実行の詳細については、「 ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。

調整結果には次の 3 つの階層があります。

- 製品の結果
- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンス評価指標の結果

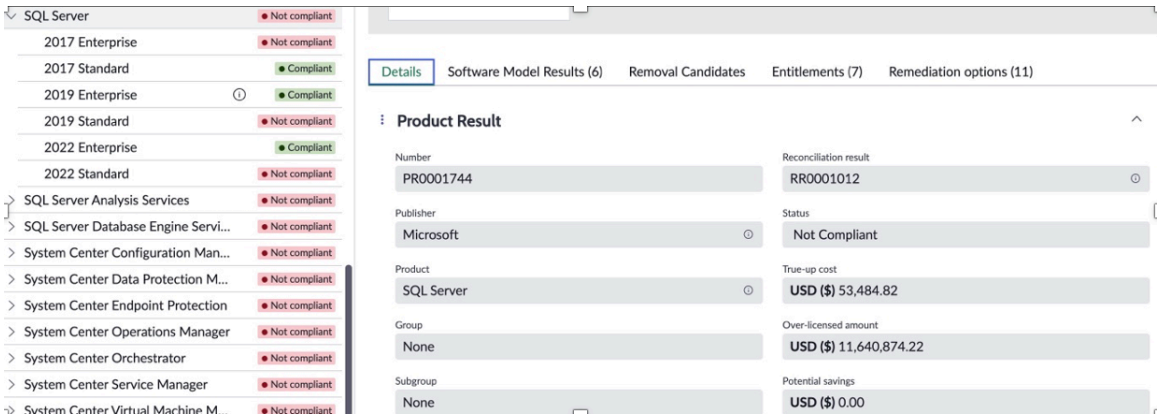
調整結果は、コア UI と ソフトウェア資産ワークスペース の両方を使用して表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
Core UI (コア UI)	1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 照合 > 履歴結果. 2. 調整結果を選択します。 3. [調整結果] フォームで、[製品の結果] レコードを選択して、製品の結果の詳細を表示します。
ソフトウェア資産ワークスペース	1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況. 2. パブリッシャーカードを選択し、製品の結果レコードを選択して、製品の結果の詳細を表示します。

調整結果

製品の結果

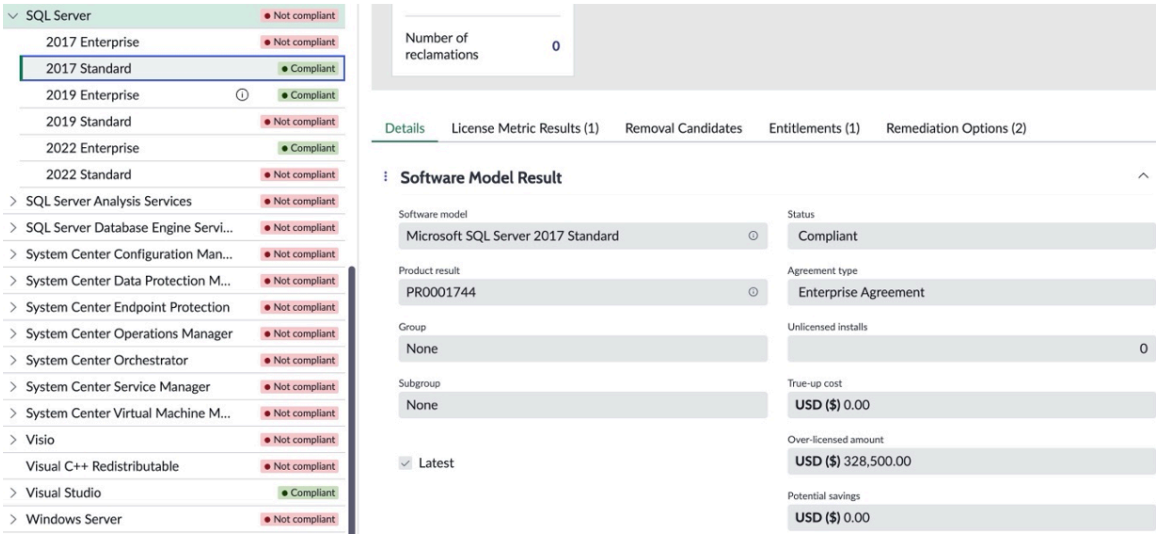


これらの結果は、ソフトウェア製品に関連付けられているすべてのモデルとインストールに関するもので、公開者に固有のものです。ライセンス可能な製品の製品結果は、製品に定義されたソフトウェアモデルがない場合でも、調整後に生成されます。これらの結果により、製品のライセンスコンプライアンスステータスが判断されます。さらに、製品の結果には、調整コスト、ライセンス供与過剰金額、および節減見込みの詳細が表示されます。[製品の結果] レコードを選択すると、次の関連リストが表示されます。

- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザーまたはライセンスなしエンジン)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- 削除候補

ソフトウェアモデルの結果

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

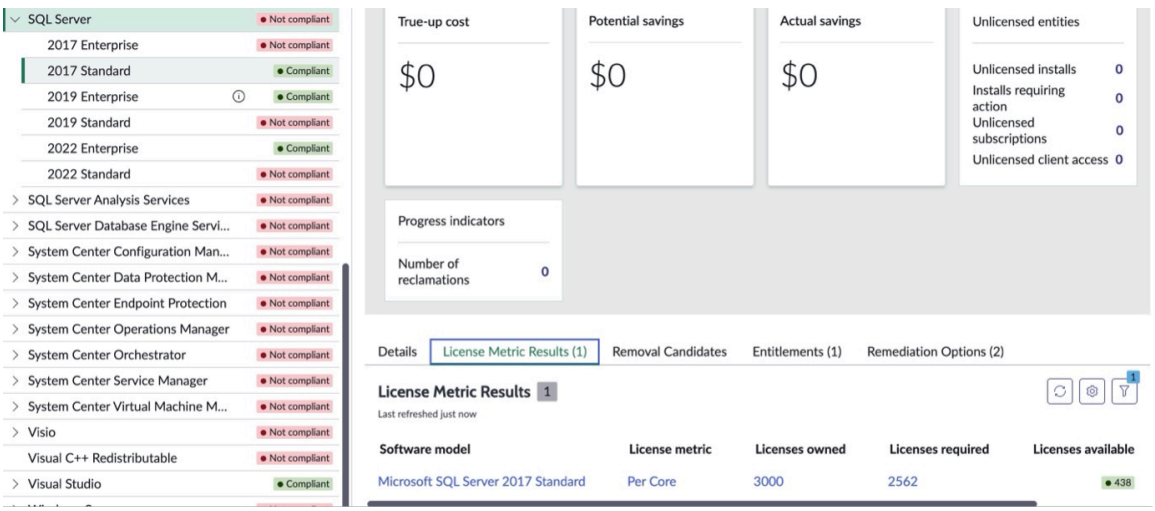


これらの結果は、製品に関連する個々のソフトウェア モデルに対するものです。調整の実行後、ソフトウェアモデルの結果は、製品の結果レコードに関連リストとして表示されます。ソフトウェアモデルの結果レコードは、ソフトウェア製品のソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントが存在する場合にのみ作成されます。ソフトウェアモデルの詳細を選択すると、次の関連リストが表示されます。

- ライセンス評価指標の結果
- 修正オプション
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザー)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- ライセンスなしの消費 (消費ベースのソフトウェアモデル)
- ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)
- 削除候補
- 発注書 (PO) (調達 (com.snc.procurement) プラグインがアクティブな場合のみ)

ソフトウェア モデルの結果に関連するリストと説明の詳細については、「ソフトウェア モデルの結果の表示」を参照してください。

ライセンス評価指標の結果



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの結果は、ソフトウェア モデルに関連付けられた各ライセンスのメトリクスに対するものです。ライセンスメトリクスの結果は、ソフトウェア モデルの結果に関連リストとして表示されます。ライセンスメトリクスの結果の詳細には、所有する権限と使用された権限、およびライセンス割り当てのブレークダウンが含まれているため、コンプライアンスを維持するためのオプションを決定できます。同じソフトウェアに対して複数のライセンスを購入できるため、ソフトウェアモデルに対して複数のライセンスメトリクスの結果が生じる可能性があります。

ソフトウェア モデルの結果フォームから、特定のメトリクスの結果をドリル ダウンできます。ライセンスメトリクスの結果の詳細を選択すると、次の関連リストが表示されます。

- 権限使用者 (このタブは、リソース値単位 (RVU) IBM ライセンスメトリクスには表示されません。)
- ライセンスされたインストール
- 使用されたインストール (SAP:システムユーザー)
- ダウングレード/アップグレード
- ライセンスが付与されたサブスクリプション
- クラウド特別権限 (このタブは、 AWS や Azure などのクラウドプラットフォームにクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。)

ライセンスメトリクスの結果の関連リストと説明の詳細については、「 ソフトウェアモデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。

ソフトウェア調整コストの正確なレポート

ソフトウェア調整コストを正確に報告して、コンプライアンスの問題を回避します。

調整中に調整コストを正確に報告するには、ソフトウェア モデルのライセンス コストまたはライセンスとメンテナンス コストを指定します。ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスのコストを指定しない場合、調整コストの計算には平均ソフトウェアエンタイトルメントコストが使用されます。

注:
Oracleパブリッシャーパックの従業員ライセンスメトリクスでは、1 年間のサブスクリプション期間の調整コストが表示されます。

ライセンスメトリクスを使用してソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成する場合、同じライセンスメトリクスの上書きライセンスコストレコードがまだ存在しなければ、上書きライセンスコストレコードが作成されます。ライセンスコストレコードが [Override License Cost] 関連リストに追加されます。ライセンスコストおよびライセンスとメンテナンスのコストはゼロに設定されています。メンテナンスライセンスが存在する場合は、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを上書きできます。詳細については、「上書きライセンスコストレコードの作成または更新」を参照してください。

ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション

ソフトウェア資産管理ライセンスポジションレポートでは、各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細が単一のリストに表示されます。

お使いの環境のソフトウェアモデルコンプライアンスリストを表示およびエクスポートして、ライセンスポジションを把握できます。

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つは無期限の SA ライセンスタイプで、もう 1 つはサブスクリプションライセンスタイプである場合、2 つのライセンスメトリクスの結果が生成されます。アクティブなメンテナンスが true のライセンスメトリクスの結果と、アクティブなメンテナンスが false のライセンスメトリクスの結果。このようなシナリオでは、2 つのラ

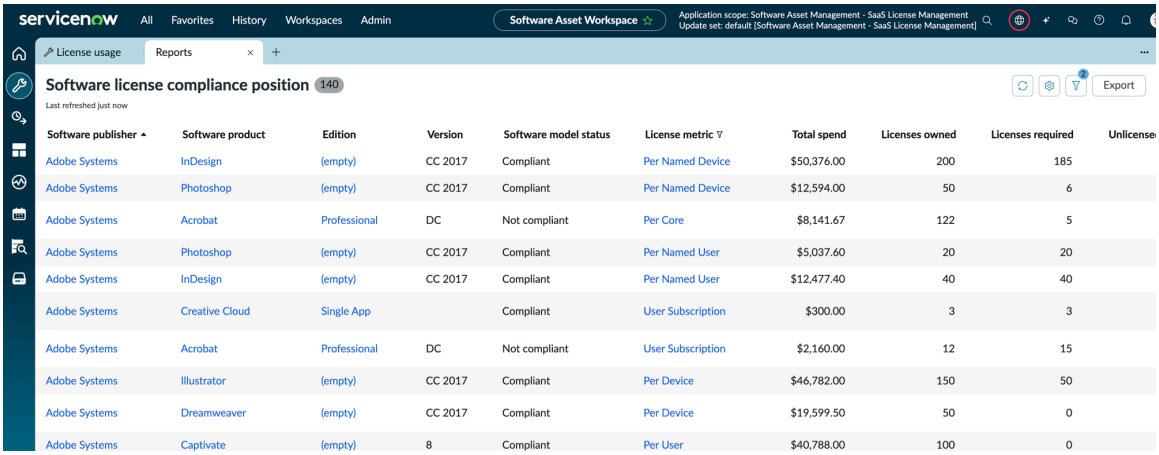
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イセンスポジションレポートが生成されます。1 つはアクティブメンテナンスが true、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false です。

ライセンスなしのインストールがある場合は、単一のライセンスポジションレポートが生成されます。ライセンスなしのサブスクリプションがある場合も、単一のライセンスポジションレポートが生成されます。両方が存在する場合は、2 つのライセンスポジションレポートが生成されます。

ライセンスコンプライアンスポジションレポート



ライセンスポジションレポートリスト

フィールド	説明
ソフトウェアパブリッシャー	ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者。
ソフトウェア製品	ソフトウェアモデルのソフトウェア製品。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ソフトウェアモデルステータス	ソフトウェアモデルのコンプライアンスステータス。 • 準拠 (緑色の点で表示) • 非準拠 (赤い点で表示)
ライセンスのメトリクス	ソフトウェアモデルのライセンスメトリクス。
合計消費量	所有する権利の総コスト。
所有している権利	すべてのアクティブな権限の合計。
使用されている権利	使用中に割り当てられた権限と使用中未割り当ての権限の合計。
必要な権利	ライセンスなしのインストールの数をカバーするために必要な権限。
利用可能な権利	所有している権利の使用量が少ない。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要最小限の権限に基づいて違反を修正するコスト概算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスポジションレポートリスト (続く)

フィールド	説明
節減見込み	未使用のインストールを再利用することによる節減額の概算。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利の合計コスト。
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデル名。

[ライセンスポジションレポート] フォームには、調整が実行されたグループとサブグループを指定する [グループ] および [サブグループ] フィールドも含まれています。

Virtualization Adapter によるライセンスコンプライアンスの判断

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、ライセンスコンプライアンスルールを適用することで、仮想化テクノロジーに展開された複数のソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断します。この機能は、 ソフトウェア資産管理 のベースシステムとともにアクティブ化およびインストールされます。

以下は、 ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter がライセンスコンプライアンスを決定するソフトウェア製品です。

- Microsoft SQL Server
- Windows サーバー
- Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL)
- Oracle データベースサーバー、オプション、WebLogic サーバー

仮想化は、ハードウェア機能をシミュレートし、クラスター環境内の 1 台のサーバーで複数の仮想マシンを実行できる仮想環境を作成するプロセスです。ソフトウェア資産管理 でサポートされている仮想化テクノロジーは次のとおりです。

- VMware
- Microsoft Hyper-V
- Red Hat 仮想化
- Nutanix

ITOM ディスカバリー は、関係アーキテクチャに基づいて仮想化テクノロジーを検出します。 ソフトウェア資産管理 は、検出された関係に依存して、ソフトウェアインストールのライセンスコンプライアンスを判断します。

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、ライセンスコンプライアンスを判断するためにソフトウェア資産管理 が使用するデータベースビューとメタデータビューを使用して、関係アーキテクチャを標準化します。

ソフトウェア資産管理 は、ライセンスルールを適用しながら、仮想化テクノロジーのアーキテクチャを検討します。たとえば、 Microsoft Hyper-V アーキテクチャでは、物理 OSE Windows 仮想 OSE のホストと管理にのみ使用される場合、2 つの仮想 OSE に加えて、ライセンスを付与されたサーバー上の物理 OSE 内のサーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを Server Standard エディションで使用できます。ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、このルール セットを自動的に適用します。

調整後のライセンス権の説明

調整プロセス後に権限がどのように計算され、利用されるかを可視化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

権限説明の概要

ソフトウェア資産管理 アプリケーションがソフトウェア資産のライセンス数を計算する方法を理解します。

次のメトリクスグループについて、ライセンス権限の詳細な説明が提供されています。

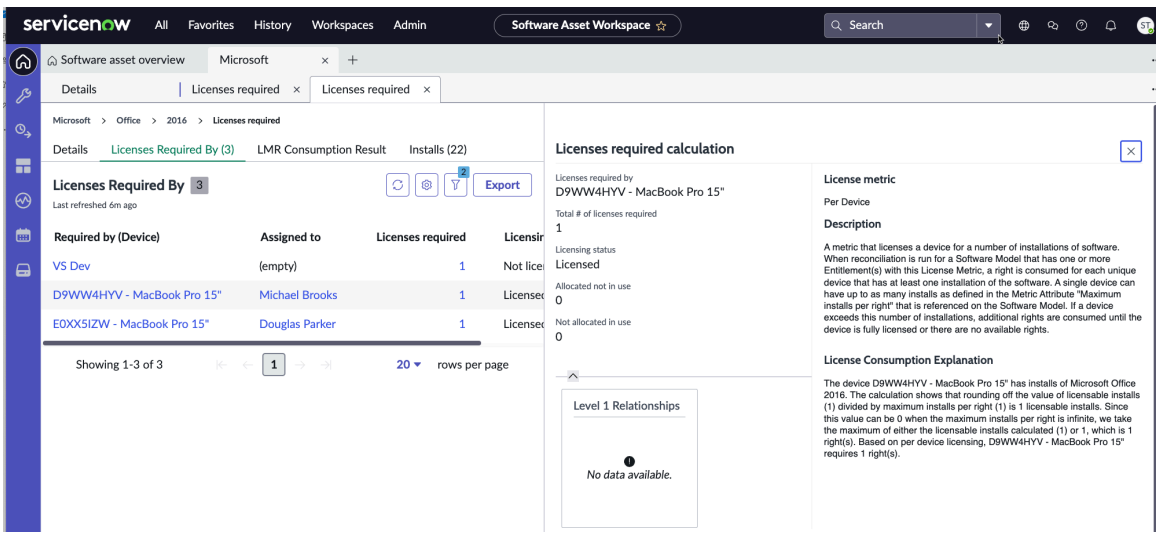
- Microsoft
- IBM
- Red Hat
- VMware
- Oracle
- SAP
- Citrix
- 一般

ライセンス権の説明の表示の詳細については、次を参照してください。 ワークスペースでのライセンスの計算の表示

デバイスごとのライセンスメトリクスのユースケース

次に、デバイスごとのライセンス メトリックのライセンス権限の説明が [ライセンスの要求元 (Licenses Required by)] ページにどのように表示されるかの例を示します。

- MacBook Air 15インチデバイスには、Microsoft Office 2016がインストールされています。
- ライセンス消費の説明:デバイス D9WW4HYV - MacBook Pro 15" には、Microsoft Office 2016 がインストールされています。計算によると、ライセンス可能なインストールの値 (1) を権限あたりの最大インストール数 (1) で割ると、ライセンス可能なインストールが 1 つになります。権限あたりの最大インストール数が無限の場合、この値は 0 になる可能性があるため、計算されたライセンス可能なインストール数 (1) または 1 (権限 1) の最大値を取ります。デバイスごとのライセンスに基づくと、D9WW4HYV - MacBook Pro 15" には 1 つの権利が必要です。



ソフトウェア再利用ルール

再利用ルールは、時間の経過に伴う使用状況を集計し、ソフトウェアが再利用のフラグが付けられる前にソフトウェアユニットを使用する必要がある最小時間数または最新の日付を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア再利用ルールの概要

既に割り当てられているが使用頻度が低い権限、最近十分に使用されていない権限、またはまったく使用されていない権限を把握することで、製品のソフトウェア権限をさらに購入することを回避できます。再利用ルールにより、これらのソフトウェア権限が再利用されるため、これらの権限を解放して他の場所に割り当てることができます。再利用ルールは、ソフトウェアに再利用のフラグが付けられる前にソフトウェア装置を使用する必要がある期間、期間、期間、または最新の日付を指定するように構成されます。

スイート (親) に対して再利用ルールが作成されると、スイート (親) の使用状況とスイート コンポーネントの使用状況が自動的にルールに取り込まれます。

再利用ルールを作成すると、再利用ルールに関連付けられたソフトウェア製品を追加できます。スイートの親である製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、再利用ルールフォームの [ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。同様に、追加されたすべてのソフトウェアスイート製品とコンポーネント製品の製品プロセスも追加され、[製品プロセス] 関連リストに表示されます。

注:
[ソフトウェア製品] 関連リストの製品は、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスのコンテンツの更新に基づいて更新されます。たとえば、スイートコンポーネントがスイートの親に対して追加または削除された場合、その変更は [ソフトウェア製品] 関連リストに反映されます。

スイート (親) が再利用ルールに追加された後は、スイート コンポーネントを編集または削除することはできませんが、スイート (親) は編集または削除できます。スイートの親を削除すると、スイートコンポーネントも製品プロセスとともに自動的に削除されます。スイート (親) を編集すると、編集の変更がスイート コンポーネントと関連する製品プロセスに反映されます。たとえば、スイート (親) を Microsoft Office 365 から Microsoft Word に変更すると、 Microsoft Office 365 すべてのスイートコンポーネントと製品プロセスが削除されます。 Microsoft Word が新しい親になり、Microsoft Word のすべてのスイートコンポーネントと製品プロセスが自動的に追加されます。

フィルター条件

スイートの親レコードにフィルター条件を追加できます。スイートの親に指定したフィルター条件は、親のすべてのスイートコンポーネントに自動的に適用され、スイートコンポーネントレコードのフィルター条件フィールドは編集できなくなります。ただし、スイートの親レコードのフィルター条件は編集できます。[Software Products (ソフトウェア製品)] 関連リストからスイートの親レコードを開き、レコード内でフィルター条件を指定できます。

再利用ルールレベルでフィルター条件を指定することもできます。指定したフィルター条件は、再利用ルールに属するすべての製品に適用されます。フィルター条件は、再利用ルールフォームの [適用先] フィールドの値が [インストール済みソフトウェア] または [サブスクリプションソフトウェア] である場合のみ適用できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールの追加」を参照してください。

へのアップグレード **Yokohama**

過去のリリースから Yokohama にアップグレードする場合、既存の再利用ルールでは一括再利用が自動的に考慮されません。一括再利用を有効にするには、既存の再利用ルールを手動で設定する必要があります。たとえば、既存の再利用ルールで、[ソフトウェアインストール] 関連リストに Microsoft Office 365 がリストされているとします。Yokohamaスイート コンポーネントとその製品プロセスの自動追加をトリガーするには、[ソフトウェア製品] 関連リストからMicrosoft Office 365を削除し、それを同じ再利用ルールに再度追加する必要があります。

Microsoft SCCM ソフトウェア使用

Microsoft SCCM ソフトウェア使用状況プラグインを有効にして、ソフトウェア使用状況データをNow Platformと統合します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア使用状況データを Microsoft SCCM から ソフトウェア資産管理 にインポートするには、次のいずれかの Microsoft SCCM ソフトウェア使用状況プラグインをインストールする必要があります。

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用状況 (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

Integration — Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要:
Microsoft SCCM プラグインは両方とも、Tokyo リリースで廃止されます。SCCM を初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタアプリケーションを要求してインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかをすでにアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタストアアプリケーション向け移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

SCCM 統合プラグインは 、いくつかのコンポーネントをインストールします。

SCCM 使用状況プラグインを有効にして 構成すると、スケジュール済みインポートが毎月実行され、 SCCM ソフトウェア使用状況データがインスタンスに取り込まれます 。使用状況データはソフトウェア使用テーブルにマッピングされます。スケジュール済みジョブ中に、SQL クエリが実行されます。

スケジュール済みインポートは月に 1 回実行されますが、[予定されているデータインポート] フォームの [条件付き] オプションをオフにすることで、オンデマンドでインポートを実行できます。ただし、データは常に前月からプルされるため、次のスケジュール済みインポートまでデータに変更はありません。

注:
SQL ステートメントが実際にデータをプルしないため、レコードが取得されないため、SCCM ソフトウェア使用状況データソースを直接実行することはできません。データソースの有効な SQL ステートメントは、スケジュール済みインポートによって動的に更新されます。したがって、データを ServiceNow インスタンスにプルする必要がある場合は、スケジュール済みインポートを使用します。

SCCM から抽出してインスタンスにインポートできるデータのタイプは 2 種類あります (合計使用量と最終使用日時)。最後に使用されたデータには、前月にソフトウェアが最後に使用された時間のみが表示されます。

合計使用状況データは、ソフトウェアが前月に使用されたときの秒数まで表示されます。これは、インスタンスにインポートされた大量のデータである可能性があります。使用状況レコードは、使用量の合計を月単位で追跡するため、お使いの環境でのソフトウェア使用状況を評価できます。

製品の再利用ルールで指定した内容に応じて、次のいずれかのスケジュール済みインポートが実行され、データがプルされます。

- SAMP 使用状況のインポート
- SAMP 使用状況 2016 のインポート
- SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時
- SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
再利用ルールに関連付けられた製品の使用状況データのみがインポートされます。[再利用ルール] フォームの [再利用タイプ] フィールドは、実行中のスケジュール済みインポートと一致する必要があります。一致しないと、データはインスタンスにプルされません。詳細については、「Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

SCCM からユーザーデータをプルすることもできます。ユーザーデータは、sys_userレコードの user_name フィールドと比較されます。名前が一致しない場合、ユーザーデータはインポートされません。

注:
構成アイテム (CI)、ユーザー、製品、およびパブリッシャーの値は、一致するソフトウェアインストールを識別するために使用されます。

同じ年と月で、同じ CI、ユーザー、製品、またはパブリッシャーの値に対して、重複する使用状況情報を作成することはできません。

ServiceNow インポートセット 機能を使用して、使用状況の情報をインポートすることもできます。

[store-future: BEGIN review]

割り当て管理 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 (SAM) は、利用可能なエンタイトルメントに従ってライセンスエンティティが割り当てられていることを確認する最適なライセンス割り当てを提供します。

たとえば、 ソフトウェア資産管理 は、利用可能な Microsoft SQL Server Standard または Enterprise エンタイトルメントに基づいて、特定のホストまたは仮想マシンに対する最もコスト効率の高いライセンス割り当てを決定します。 ソフトウェア資産管理 は、ライセンスプロセスを簡素化し、最も効率的なライセンスオプションを選択することでコストを最適化するのに役立ちます。割り当て管理により、時間を節約し、コンプライアンスの問題や不要な経費のリスクを軽減します。

ライセンス割り当てを使用すると、組織のライセンス戦略に従って、特定のホスト、仮想マシン、ユーザー、デバイスなどのライセンス割り当てに優先順位を付けることができます。デフォルトのライセンス割り当てを上書きして、独自のニーズを満たすことができます。

割り当てを管理する方法はいくつかありますが、割り当て管理を効果的に使用するのに役立つシナリオをいくつか紹介します。

- 他のライセンスを持つライセンスエンティティへの割り当ての使用

  柔軟なライセンス管理プロセスのために、ソフトウェア資産管理によって割り当てられたライセンスとは異なるライセンスをデバイスまたはユーザーにライセンス付与します。

- 割り当ての作成によるライセンス割り当てのロック

  整合性を維持し、予期しない変更を回避するために、調整が実行されるたびに同じライセンス消費のライセンス割り当てをロックします。

- 不要な割り当ての削除

  不要な割り当ては、効率的なライセンス管理プロセスのために不要になった場合に削除します。

- 割り当てのコピー

  SAM マネージャーは、あるエンタイトルメントから別のエンタイトルメントに割り当てをコピーできます。これにより、複数のエンタイトルメントに同じ割り当て戦略を適用して時間を節約し、一貫性を維持できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 消費ルールの設定

  ライセンスの使用を特定のホストセンターまたは部門に制限する消費ルールを作成します。このアプローチでは、定義されたルールに従ってエンタイトルメントの消費を制限し、ライセンスが最も必要な場所で使用されるようにします。

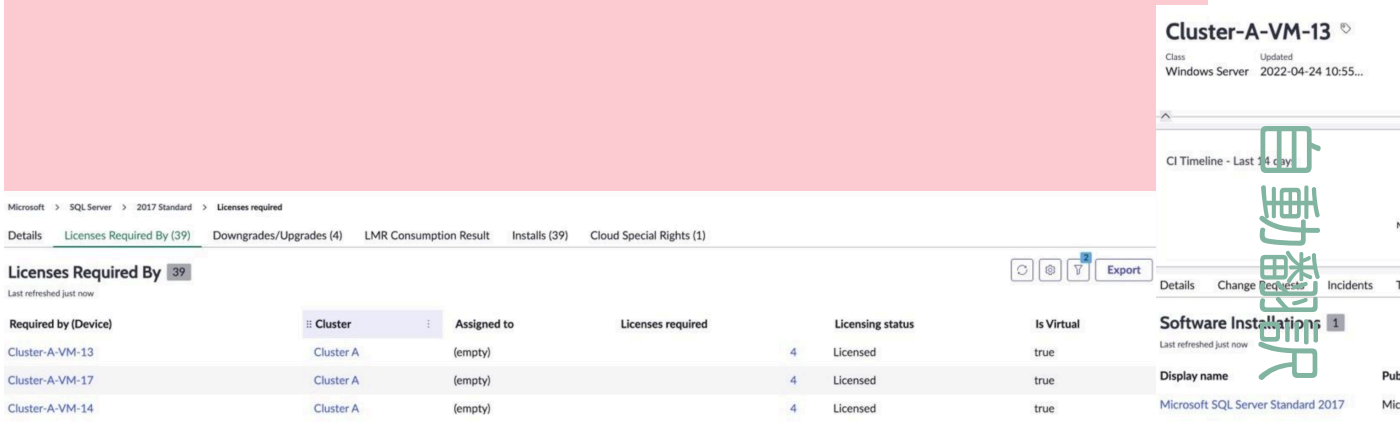
- ライセンス割り当ての上書き

  ライセンスの割り当てソフトウェア資産管理 上書きしハイパーバイザークラスター内のホストまたは仮想 Macine (VM) に割り当てます。

Example: 他のライセンスを持つエンティティのライセンス

たとえば、費用対効果に基づいて、ソフトウェア資産管理 SQL Server Microsoft Standard ライセンスを持つ仮想マシンなどのエンティティに自動的にライセンスMicrosoft付与します。しかし、SAM マネージャーは、組織のライセンス戦略に従って、ライセンスの割り当てを SQL Server Enterprise に変更したいと考えています。

SAM Manager は、特定のエンティティ Cluster A- VM 13 のライセンス消費を分析し、それが SQL Server Standard によって消費されていること、およびこの仮想マシンにインストールされているソフトウェアも SQL Server Standard であることを確認します。



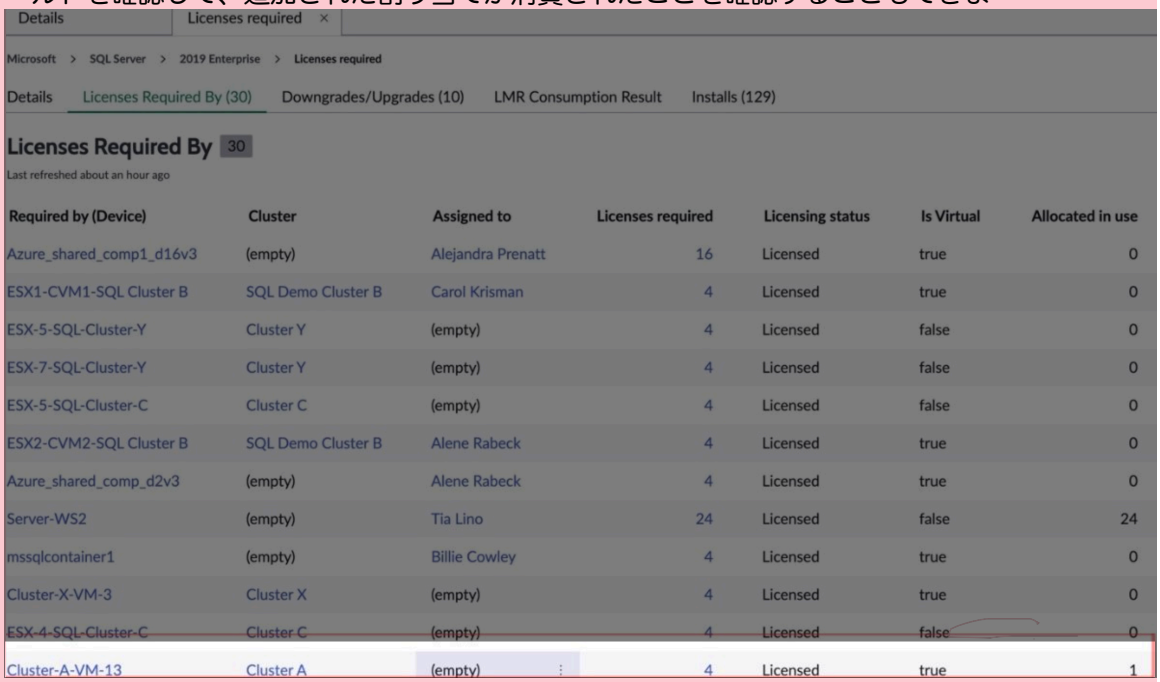
ただし、組織のライセンス戦略に従って、SAM マネージャーはこのエンティティに SQL Server Enterprise ライセンスを割り当てたいと考えています。このシナリオでは、SAM マネージャーまたは SAM アドミニストレーターが SQL Server Enterprise エンタイトルメントに割り当てを追加できます。これにより、SQL Server Enterprise ライセンスがエンティティに割り当てられます。

注:
割り当てるライセンスの数を覚えておく必要はありません。 ソフトウェア資産管理 エンティティに必要なライセンスを自動的に決定します。したがって、SAM マネージャーまたは SAM アドミニストレーターは 1 つのライセンスを割り当てることができます。

調整後、クラスター A-VM 13 は SQL Server Enterprise のライセンスを消費しました。4つの権利が消費され、1つだけが割り当てられました。[割り当て済み及び使用中]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

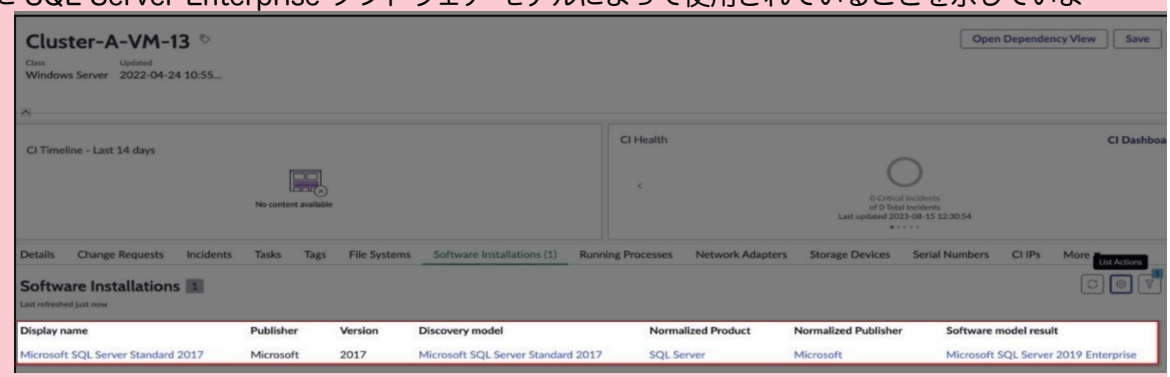
フィールドを確認して、追加された割り当てが消費されたことを確認することもできま



す。

割り当てフィールドの詳細については、「 ソフトウェア モデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。

Cluster A- VM 13 Software のインストール リストでは、インストールされるソフトウェアは SQL Server Standard です。ただし、ソフトウェア モデルの結果は、エンティティが実際に SQL Server Enterprise ソフトウェア モデルによって使用されていることを示していま



す。

特定のエンティティが他のエンティティよりも特定のライセンスを消費することを優先するユースケースは、他の多くのシナリオに拡張できます。たとえば、ソフトウェア スイートを優先して最初にライセンスを消費したり、特定のデバイスに他のライセンス メトリックよりも異なるライセンス メトリックでライセンスを付与したりできます。

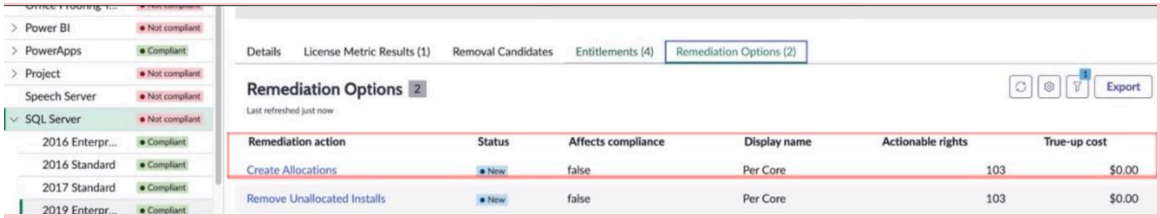
Example: ライセンス割り当てのロック

たとえば、 ソフトウェア資産管理 マネージャーは、 ソフトウェア資産管理 自動によって実行されるライセンス消費の割り当てに満足しているとします。[**Not allocated in use**] フィールドに 次/以下の値がある場合主に 2 つの修正オプションが表示されます。

- 割り当てを作成
- 未割り当てのインストールを削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[割り当ての作成] 修復オプションを使用すると、 ソフトウェア資産管理 マネージャーはすべてのエンティティ (デバイス/ユーザー) または個々のエンティティの割り当てをロックできるため、今後の調整実行時に、ライセンスの使用は以前実行されたとおりに行われます。 詳細については、 (割り当てタスクの作成トピック) を参照してください。割り当ては、修復アクションの実行後に 即時 エンタイトルメントに追加されます。

Example: ホストへのライセンス割り当て の上書き、または

たとえば、SQL Server Enterprise ライセンスがあり、 SAM Pro が仮想レイヤーに割り当てることでライセンスを最適化したとします。ライセンス戦略にホストレイヤーへのライセンスの割り当てが含まれている場合は、このアプローチを調整できます。ホストでのライセンス付与は、将来クラスターに VM を追加することが予想される場合など、特定のシナリオでは 推奨 です。ホスト レベルでのライセンスの管理は簡単です。

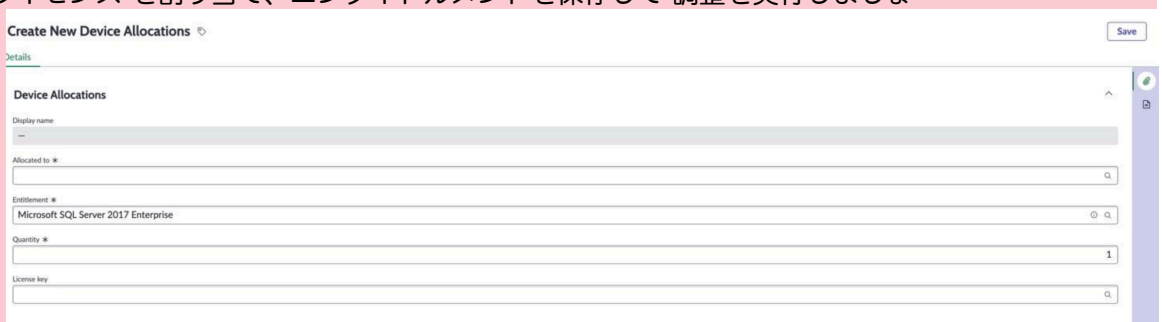
ライセンスの割り当てを 上書き するには、 ソフトウェア資産ワークスペースで [ライセンス操作] に移動し SQL Server の ソフトウェアエンタイトルメント を選択します。たとえば、Microsoft SQL Server 2017 Enterprise ソフトウェアエンタイトルメントを選択します。

[デバイス割り当て] タブ に移動し、[新規] を選択します。

デバイス割り当ての詳細を追加します。詳細については、 デバイス割り当てを参照してください。ホストまたは VM にライセンスを割り当てる場合は、[数量] フィールドで次の操作を行います。

- 正確なコア数が 指定されていない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはライセンスの目的でマシンの実際のコア数を自動的に使用します。
- 実際のマシンよりも少ないコアが入力された場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ライセンスの目的でマシンに存在するコアの正確な数をカウントします。
- 実際のマシンよりも多くのコアが入力された場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは入力した番号を使用します。ただし、余剰分は [ライセンスに使用されていない割り当て済み] としてマークされます。

Microsoft SQL Server 2017 Enterprise Software エンタイトルメントに 1 つの ライセンス を割り当て、エンタイトルメントを保存して 調整を実行しましょう。

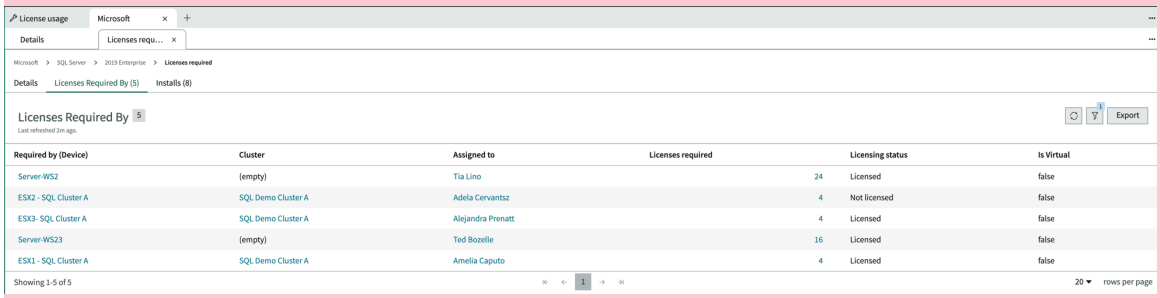


自動翻訳

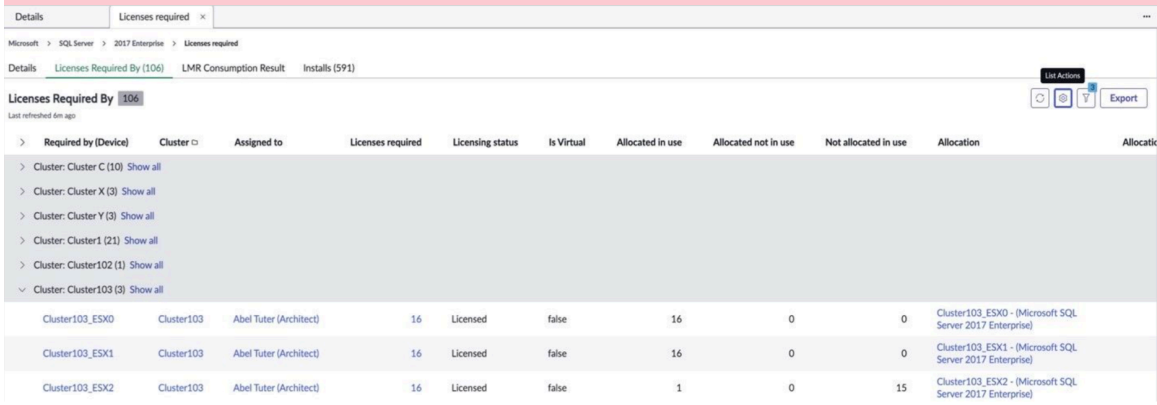
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このクラスター 103 には、それぞれ 16 コアの 3 つのホストがあります。前の例では、1 つのエンタイトルメントについてライセンス割り当てが 1 に調整されました。 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、(実際のコア数に基づいて) 正しいライセンスをホストに割り当てます。

ソフトウェア資産管理マネージャーは、クラスターによるライセンスの使用状況を確認できます。ライセンスの使用状況を確認するには、[ライセンスの使用状況] ページで、SQL Server Enterprise の [ライセンス メトリックの結果] タブに移動します。[ライセンスの要求元] タブを選択します。[仮想] 列の値を false として選択し、ホストレイヤーで ライセンスが付与されている を確認します。



[割り当て済み及び使用中]、[未割り当て及び使用中]、[割り当て] などの列を追加することで、[ライセンスの要求元] テーブルビューをカスタマイズできます。[割り当て済み及び使用中] 列には、ライセンス インストールに割り当てられ、使用されている権限の数が表示されます。詳細については、「ソフトウェア モデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。



ソフトウェア ライセンスを割り当てるときは、公開者がサポートするライセンス ルールに従ってください。

重要:

- Microsoft ライセンス規則によると、ホスト レイヤー ライセンスは SQL Server Standard ではサポートされていません。このレベルでライセンスを割り当てると、 割り当て済みだが使用中ではないと表示されます。
- ライセンスをクラスターに直接割り当てることは避けてください。代わりに、クラスター内のホストまたは VM に割り当てます。クラスターへの割り当て は、割り当て済みと表示されますが、使用中ではありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[End]

ソフトウェアのインストールの最適化と削除

未使用のソフトウェアを再利用したり、許可されていないソフトウェアを削除したりすることで、環境を最適化できます。

ユーザーがインストール済みのソフトウェアを使用していない場合、または使用頻度が低い場合、そのソフトウェアは削除の候補になる可能性があります。削除とは、ソフトウェアをアンインストールし、そのソフトウェアをより頻繁に使用する個人に再割り当てすることを意味します。削除候補は、ソフトウェア インストールを再利用するために使用されます。

ソフトウェア再利用の概要

ソフトウェア再利用は、 ワークフロー および クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) と統合され、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてそれらのソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化します。ワークフロー中、削除候補のステータスはワークフロー内の進行状況に基づいて変化します。

注:
ソフトウェア資産のステータスを [廃止] または [欠損] に変更すると、ソフトウェア資産に関連付けられたインストールが削除され、削除候補は作成されません。

再利用は、スイートベースの製品と、スイートに含まれていない個々の製品に対して実行できます。

スイートベースの製品の場合、一括再利用はユーザーレベルで実行されます。スイートを再利用するための削除候補が 1 つ作成されます。削除候補フォームの [ソフトウェアインストール] 関連リストから、スイートコンポーネントを同じ削除候補に追加できます。表示される見込み節減額はスイート全体に対するものです。スイートコンポーネントを個別に再利用することはできません。ソフトウェア資産ワークスペースでは、スイートコンポーネントを削除候補に一度に 1 つずつ追加できます。ソフトウェア資産管理クラシックフレームワークでは、スイートコンポーネントをすべて一度に追加できます。

個々の製品について、再利用するソフトウェアインストールを指定できます。

削除候補を作成する方法は複数あります。毎月のスケジュール済みジョブである *SAM – Identify new reclamation candidates*は、再利用ルールとソフトウェア使用を使用して削除候補を作成します。さらに、ライセンスなしおよび未割り当てのソフトウェア インストール、および制限付きソフトウェアの修復オプションの使用の一環として、削除候補も作成されます。ソフトウェア モデルが制限付きとしてマークされている場合、そのソフトウェア モデルに関連付けられているすべてのソフトウェアに対して削除候補が作成されます。再利用のフローとプロセスは、これらすべてのユースケースで同じです。

*SAM – Identify new reclamation candidates*スケジュール済みジョブによって削除候補が作成され、これらの削除候補では一括再利用フラグが自動的にオンになります。作成された削除候補は、調整プロセスの結果に基づいています。*SAM – Identify new reclamation candidates*スケジュール済みジョブを実行する前に、少なくとも 1 つの調整プロセスが実行され、成功した結果が得られることを確認してください。これにより、 *SAM – Identify new reclamation candidates* スケジュール済みジョブで削除候補が正確に作成され、適切な見込み節減額を特定できます。

削除候補の各リストで、再利用する個々のレコードを選択するか (再利用)、またはすべての適格な削除候補を再利用する [すべてを再利用] を選択できます。認定候補は、[準備完了] ステータスの候補です。[再利用] または [すべてを再利用] を選択すると、ソフトウェアを削除するワークフローが開始されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

へのアップグレード Yokohama

Yokohama にアップグレードしたときに、[失効待ち] ステータスの既存の削除候補がある場合、その削除候補に対しては何も行われません。その削除候補がスイートの一部であった場合、そのスイート内の他のソフトウェアインストールごとに削除候補が作成されます。ただし、既存の削除候補のステータスが [失効待ち] 以外の場合、それらの削除候補はキャンセルされ、そのスイートの一部であるすべてのソフトウェアインストールに対して 1 つの削除候補が作成されます。削除候補フォームの [アクティビティ] セクションに、各削除候補をクローズする理由が表示されます。

削除候補のグループ化

削除候補は理由に従ってグループ化されます。

- 使用率が低い
- 制限付きソフトウェア
- その他すべての正当化 (ライセンスなし、未割り当てなど)

削除候補の状況

ステータス	説明
要確認	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている自動削除候補の [ユーザー] フィールドが空の場合、削除候補には注意が必要です。 [ユーザー] フィールドに入力すると、ステータスが自動的に [準備完了] に変わります。
準備完了	削除候補が [準備完了] ステータスの場合は、[再利用] を選択してワークフローを進めることができます。
ユーザー待ち	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンの場合、ユーザーには承認または拒否のための削除候補の通知が送信されました。
承認待ち	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている場合、ユーザーは削除候補を承認または拒否できます。ユーザーがソフトウェアのインストールを保持したい場合は、削除を承認または拒否するのはアサイン先グループのメンバーの責任になります。
失効待ち	ワークフローの最後のステップ。[完了してクローズ] を選択して、削除候補のソフトウェア権限を手動で再利用できます。 それ以外の場合は、週次スケジュール済みジョブ (「SAM — 既存の再利用候補の更新」という名前) によって、[失効待ち] ステータスで、[ソフトウェアインストール] フィールドが空の削除候補が [完了してクローズ] ステータスに自動的に更新されます。 削除候補がその他のステータスで、ソフトウェア インストールが空の場合、再利用ワークフ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補の状況 (続く)

ステータス	説明
	ローはキャンセルされ、[スキップしてクローズ] ステータスに更新されます。 ソフトウェアが制限されている削除候補のステータスは自動的に [失効待ち] に設定され、理由は [制限付きソフトウェア] に設定されます。
完了してクローズ	ソフトウェア権限が再利用されました。
スキップしてクローズ	削除候補によって再利用されていないソフトウェア権限。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されたときに、削除候補によってソフトウェア権限が再利用されませんでした。

制限付きソフトウェアの正当性とライセンスなしの理由

ソフトウェアに関して制限付きまたはライセンスなしの理由がある削除候補のワークフローは自動的に実行されます。ユーザーには、不正なソフトウェア使用が通知され、承認を求められません。

- 制限付きソフトウェア:

  無許可のソフトウェア使用

  [出版社]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、会社の所有物での使用が許可されていません。このソフトウェアを再度インストールしないでください。

- 無免許の：

  無許可のソフトウェア使用

  デバイス[デバイス名]にインストールされている[パブリッシャー] [製品]を使用するためのライセンスがありません。適切なプロセスを使用して、ソフトウェアのライセンスを要求します。

制限付きソフトウェアの理由とライセンスなしの理由のワークフロー状態は [失効待ち] に設定され、ディスカバリーでインストールが存在しなくなったことが識別されると、状態は [完了してクローズ] に変更されます。

未割り当ての正当性と使用率の低い正当性

未割り当ての正当性または使用率の低い正当性を持つ削除候補のワークフローは、ユーザーに承認を求めます。

- 未割り当て：

  [出版社]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている [製品] ([デバイス名]) に削除のフラグが付けられました。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がありますか?

- 低使用率:

  [出版社][製品] に再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアを [デバイス名] にインストールする必要がありますか?

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

理由の説明

理由に基づいて削除候補の説明が更新されます。

- 未割り当て：

  [出版社]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている [製品] ([デバイス名]) に削除のフラグが付けられました。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下してください。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアの継続使用の要求がソフトウェアマネージャーの承認のためにルーティングされます。

- 無免許の：

  [出版社]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、それを使用するためのライセンスを所有していないため、削除のフラグが付けられています。適切なプロセスを使用して、このソフトウェアへのアクセスを要求してください。

- 制限付きソフトウェア:

  [出版社]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、会社所有地での使用が許可されていません。

- 低使用率:

  [出版社]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、使用率が低いため、再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下してください。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアの継続使用の要求がマネージャーの承認を得るためルーティングされます。

[再利用アクション] をクリックしたときに、[ユーザーに通知] フィールドが選択され、再利用までの日数が 0 より大きい場合、ステータスは [ユーザー待ち] に設定されます。それ以外の場合、ステータスは [再利用待ち] に設定されます。

ステータスが [ユーザー待ち] に変わると、ユーザーに通知が送信されます。

関連情報

ソフトウェア使用状況の表示または作成

ソフトウェアを再利用

ライセンス使用状況の分析

ソフトウェアのインストールからライセンスの消費までのエンドツーエンドの過程を可視化します。

ライセンス使用状況分析の概要

SAM マネージャーが、ソフトウェアのインストールからライセンス使用までのプロセス全体をマッピングできるようにします。このプロセスには、各インストールに使用されるライセンスの識別と、使用されたインストールと使用されていないインストールの区別が含まれます。

インストールをさらに詳しく把握するには、ノードマップを使用して詳細な数値ブレークダウンを確認します。製品ごとに、インストールレイヤーを調べて製品のバージョンとエディションを確認し、消費ステータスレイヤーを調べて、インストールがライセンス済みか、ライセンスなしか、無視されているか、またはアクションが必要かを判断します。最後に、ソフトウェア モデルの結果を表示するライセンス レイヤーを確認します。

ノードマップのノードはインストール消費ノード [samp_install_consumption_nodes] テーブルに保存され、調整中にノードが生成されます。ノードマップは、[インストールする製品] リストの [ラ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イセンス操作] ビューで表示できます。ノードマップの詳細については、「 インストールのライセンス使用状況の表示」を参照してください。

SAM マネージャーにとってのメリット

- 製品のインストールの合計数が、使用済みインストールと未使用インストールの合計と一致していることを確認します。
- インストールのライセンスステータス (ライセンス済み、ライセンスなし、アクションが必要、無視) を決定します。
- インストールに関連するすべての問題を 1 つのビューで判別します。
- ダウングレードや推論など、適用されるすべての主要なライセンスの概念を決定します。
- 消費率とインストールステータス数を表示して、使用統計を追跡します。

ノードマップに関する考慮事項

ノードマップで留意すべき特別な考慮事項を次に示します。

- グループ化:調整は、グループおよびサブグループで実行できます。ノードマップには、各グループとサブグループがノードとして表示されます。
- ドメインセパレーション:調整は特定のドメインレベルに対して実行でき、ユーザーのドメインに基づいてドメインセパレーションされた情報が表示されます。製品が複数のドメインにまたがる場合、ドメインごとに個別のノードマップが生成されます。その結果、それぞれのドメイン内の各ノードマップを表示でき、同じ調整実行で複数のノードマップを持つ単一の製品になります。

関連情報

インストールのライセンス使用状況の表示

資産再利用のための従業員の退職プロセス

資産を要求、評価、および削除できるワークフローを介して、従業員の退職プロセスを調整します。

ソフトウェア資産管理退職プロセスでは、従業員に割り当てられたすべてのソフトウェアライセンスを返却します。さらに、すべてのソフトウェアインストールがデバイスから削除され、すべてのユーザー割り当てが削除され、SSO、 SAP、および Citrix 製品へのアクセスが取り消されます。

従業員が組織を退職したり、別のロールに異動したりした場合、従業員にアサインされた資産を回収するには、Human Resources 部門と資産マネージャーの間で広範な調整が必要になります。退職カタログ要求を作成すると、必要に応じて、資産を効率的に回収して在庫に補充したり、再アサインしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローが開始されます。

注:
ハードウェア資産管理資産再利用プロセスの詳細については、「資産再利用」を参照してください。

サービスカタログを使用して資産再利用要求を作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクは、sam_user ロールのみがアクセスしたり実行したりできます。すべてのタスクがクローズされると、再利用品目が完了します。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。オフボーディングカタログ要求の作成については、「 資産を再利用するカタログ要求の作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
デバイスにソフトウェアがインストールされており、そのデバイスが [Reclaim Asset] フォームで選択されている場合、[Device Reclamation] タイプのソフトウェア再利用品目が、返却されるデバイスごとに作成されます。[資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合は、[ユーザー再利用] タイプの追加のソフトウェア再利用品目が作成されます。

Windows Server クラスターライセンスの最適化

コストとコンプライアンス基準に基づいて、Windows Server のクラスタリングに使用される権限を最適化します。

Windows Server のインストールは、Standard と Datacenter の 2 つのエディションに分類されます。Windows Server Standard エディションと Datacenter エディションは、物理コアによってライセンスされます。ライセンスは、2 個入りパックと 16 個入りパックで利用できます。Windows Server クラスタリングの最小ライセンス要件は次のとおりです。

- すべての物理コアにライセンスが必要
- プロセッサあたり 8 コアライセンス
- サーバーあたり 16 コアライセンス

クラスターのライセンスは、1 つの物理ホストで実行できる仮想マシン (VM) の最大数を計算することによって決定されます。

Windows Server Standard エディションは、2 つのオペレーティング システム環境 (OSE) または Hyper-V コンテナーのライセンスが付与されています。追加の OSE には追加のライセンスが必要です (物理サーバーは 2 つの OSE ごとにライセンスされ、最低 16 の権利があります)。Windows Server Datacenter エディションは、無制限の OSE に対してライセンス供与されます。

クラスタまたはホストの密度は、アクティブなオペレーティングシステムを 2 で割ることによって決定されます。デフォルト値が 4.59 のシステムプロパティ *com.snc.samp.windowserver.license.threshold* は、ホストまたはクラスター密度をマークするために使用されます。このプロパティは、データセンターライセンスとデータセンター以外のライセンスのコストの比率であり、データセンターライセンスの最適なクラスターサイズを特定します。これらのライセンスの購入コストに基づいて、このプロパティの値を変更できます。低密度クラスターは、低密度から高密度のデータセンター以外のライセンスによってライセンスされます。高密度クラスターは、高密度から低密度のデータセンター ライセンスによってライセンスされます。最適でないライセンスを使用したホストまたはクラスターに対して、最適なライセンスと節減見込みが生成されます。

Windows Standard 権限は、この一覧内で最小から最大の順に使用して、最初に標準一覧に使用されます。低密度ホストまたはクラスタの標準権限を使用した後、残りの低密度ホストまたはクラスタは、残りのデータセンター権限によって高密度から低密度にライセンス供与されます。高密度ホストまたはクラスタのデータセンター権限を使用した後、残りの高密度ホストまたはクラスタは、残りの標準権限によって低密度から高密度にライセンス供与されます。消費するのに十分なデータセンター権限または標準権限がないクラスターは、ライセンスなしとしてマークされます。

各デバイスにインストールされている Windows Server ソフトウェアのライセンスに関する情報を格納するために、ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary] という新しいテーブルが作成されます。

パブリッククラウドに自分のライセンス またはサブスクリプション を使用する

自分のライセンスを使用する (BYOL) サポートにより、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Microsoft および Oracle ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断できます。Bring Your Own Subscription (BYOS) のサポートにより、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断できます。

組織がパブリッククラウドに移行すると、既存のオンプレミス 永久 ライセンスは BYOL を使用してクラウドに引き継がれます。既存のオンプレミスサブスクリプションライセンスも、BYOSを使用してクラウドに引き継がれます。BYOL とBYOSは、組織はインフラストラクチャのコストに対してのみ支払う必要があるため、ライセンスの最適化 改善に役立ちます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、次のように、Microsoft および Oracle ソフトウェア製品用の BYOL と RHELソフトウェア製品用の BYOS をサポートしています。

製品	製品エディション	**BYOL** または **BYOS**	サポートされているクラウドプロバイダー	サポートされているサービスモデル	サポートされているインフラストラクチャタイプ **注:** この列は、Infrastructure as a Service (IaaS) モデルにのみ適用されます。
Microsoft SQL Server	すべてのエディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Microsoft Windows サーバー	すべてのエディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Oracle データベース	• Oracle データベース標準エディション • Oracle データベーススタンダードエディション 1 • Oracle データベーススタン	BYOL	• AWS • Microsoft Azure	• AWS:Infrastructure as a Service (IaaS) および Platform as a Service (PaaS)	共有および専用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	製品エディション	BYOL または BYOS	サポートされているクラウドプロバイダー	サポートされているサービスモデル	サポートされているインフラストラクチャタイプ **注:** この列は、Infrastructure as a Service (IaaS) モデルにのみ適用されます。
	ダードエディション 2 • Oracle Database Enterprise エディション			**注:** AWSでは、IaaS モデルは Amazon Elastic Computing (EC2) Web サービスを指し、PaaS モデルは Amazon Relational Database Service (RDS) を指します。 • Microsoft Azure: サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	
Oracle Weblogic サーバー	• Oracle WebLogic Server Standard Edition • Oracle WebLogic Server Enterprise エディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Red Hat Enterprise Linux Server	すべてのエディション	BYOS	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有しました

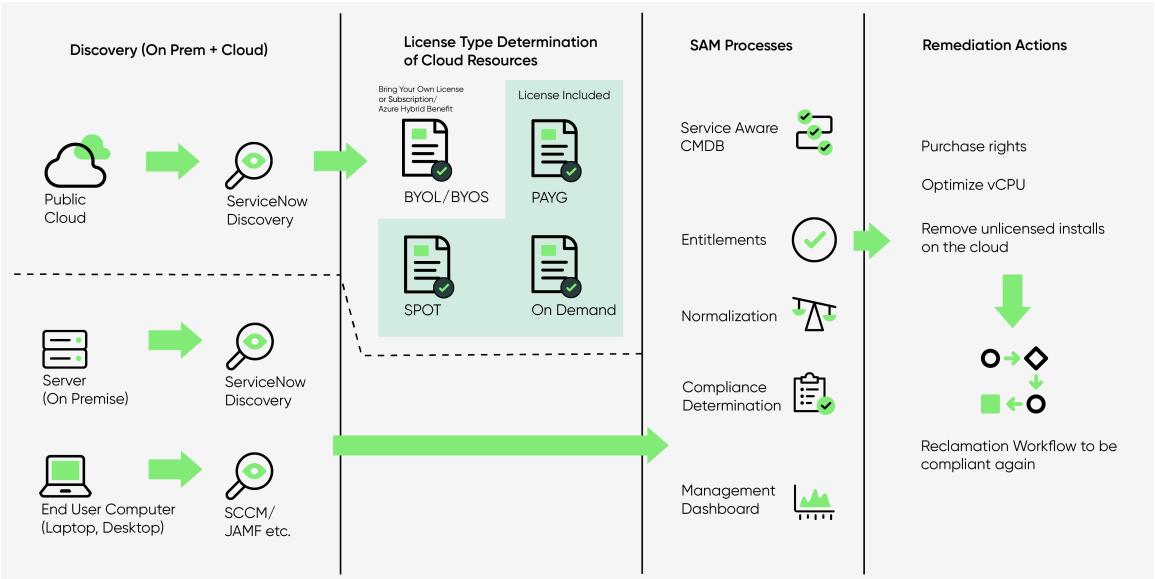
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの BYOL および BYOS のサポート は、次のことに役立ちます。

- AWS、Microsoft Azure、GCP などのオンプレミス環境とクラウド環境全体で、無期限およびサブスクリプションベースのソフトウェアライセンスを自動的に検出します。
- ハイブリッドインフラストラクチャ全体で次のソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断します。
  - Microsoft SQL Server
  - Microsoft Windows サーバー
  - Oracle データベース
  - Oracle WebLogic サーバー
  - Red Hat Enterprise Linux Server
- クラウド特別権限を通じて、二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化など、最適化のための高度なサポートを提供します。
- ソフトウェアがコンプライアンス違反の場合に修復を実行します。

自分のライセンスまたはサブスクリプションの使用フロー



前提条件

ハイブリッド インフラストラクチャ全体のソフトウェアのライセンス コンプライアンスの判断を開始する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

- ServiceNow インスタンスで ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインを有効にします。

  詳細な手順については、「 ディスカバリーの要求 」を参照してください。

- ServiceNow Store から ディスカバリー and サービスマッピング Patterns アプリケーションを要求してインストールします。

  ディスカバリーおよびサービスマッピングパターンの詳細については、「ITOM ヴィジビリティで使用されるディスカバリーパターン」を参照してください。

- クラウド API (CAPI) プローブからパターンベースのディスカバリーにクラウドディスカバリーを移行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細な手順については 、「CAPI からパターンへの移行:CAPI ベースのクラウドディスカバリーからパターンベースのクラウドディスカバリーへの切り替え手順 [KB0827153] 」を参照してください。

- ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールします。

  CMDB CI クラスモデルアプリケーションの詳細については、「CMDB CI クラスモデル」ストアアプリ を参照してください。

- ServiceNow Store から クラウドコスト管理 アプリケーションを要求してインストールします。

  クラウドコスト管理 アプリケーションは、AWS 上の Microsoft SQL Server 展開内のソフトウェアのライセンスタイプを検出するために必要です。クラウドコスト管理アプリケーションの詳細については、「クラウドインサイトアプリケーション」を参照してください。

BYOL および BYOS ディスカバリー

BYOL と BYOS を使用すると、 ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションは、 ディスカバリー パターンと サービスマッピング パターンを使用して、オンプレミス環境とクラウド環境の両方でライセンス可能なソフトウェアを検索して識別します。ディスカバリー アプリケーションは、Amazon AWS クラウド、Microsoft Azure クラウド、およびGoogle Cloudディスカバリーパターンを使用して、クラウド環境のソフトウェアについて次のリソースを検出します。

- クラウドプロバイダー
- 仮想マシンの詳細
- IaaS や PaaS などのサービスモデルタイプ
- 共有または専用など、IaaS のホストインフラストラクチャタイプ
- ライセンスタイプ (BYOL、BYOS、ライセンスが含まれるなど)
- 仮想マシンにインストールされているソフトウェア

> **注:**
> Amazon AWS クラウド、Microsoft Azure クラウド、およびGoogle Cloudディスカバリーパターンは、ディスカバリーおよびサービスマッピングパターンストアアプリケーションに含まれています。Amazon AWS クラウドディスカバリーパターンの詳細については、「パターンを使用した Amazon AWS クラウドコンポーネントのディスカバリー 」を参照してください。Microsoft Azure クラウドディスカバリーパターンの詳細については、「パターンを使用した Microsoft Azure Cloud コンポーネントディスカバリー 」を参照してください。Google Cloudディスカバリーパターンの詳細については、「とGoogle Cloud Platform (GCP) Organization discovery with Patterns 」を参照してください。

検出されたソフトウェアのリソースは、ServiceNowインスタンスのホスト [cmdb_ci_cloud_host] テーブルやサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルなどの対応する構成管理データベース (CMDB)テーブルに入力され、保存されます。

次に、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出されたソフトウェアのライセンスタイプを個別に、または ディスカバリー アプリケーションや クラウドコスト管理 アプリケーションで決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AWS、Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) 上の Microsoft Windows サーバーと Oracle Database では、ソフトウェア資産管理 アプリケーションがライセンスタイプを個別に決定します。
- AWS 上の Microsoft SQL Server の場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはクラウドコスト管理 アプリケーションの請求レコードを使用してライセンスタイプを決定します。
- たとえば、
  - Microsoft SQL Server on Microsoft Azure および Google Cloud Platform (GCP)
  - AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP)Red Hat Enterprise Linux Server、

  ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ディスカバリー アプリケーションを通じて検出されたリソースを使用してライセンスタイプを決定します。
- AWSおよびMicrosoft Azure上の Oracle WebLogic Server では、ライセンス タイプを手動で指定する必要があります。

WebLogic Server を除くすべてのソフトウェア製品Oracle、ライセンス タイプは、自動的に生成されたキーと値のペアを使用して、関連する構成アイテム (CI) に適用されます。キーと値のペアは、 キー値 [cmdb_key_value] テーブルに格納されます。各キーと値のペアは、*<software-product>*_License_Type_automatic 形式のキーと、[**License Included**]、[**BYOL**]、または [**BYOS**] のいずれかの値で構成されます。

Oracle WebLogic Server では、キーと値のペアを作成してライセンス タイプを手動で指定する必要があります。キーと値のペアの キー は Oracle_WebLogic_Server_License_Type で、 値は[ライセンスが含まれる] または [BYOL] のいずれかである必要があります。これらのキーと値のペアを作成すると、指定されたライセンスタイプを関連する CI に適用できます。

注:
ソフトウェア製品のライセンスタイプが手動で指定されていない場合、情報が不十分であるため、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはインストールにライセンスを付与しません。

これらのキーと値のペアを使用して、関連付けられたソフトウェア ライセンスが BYOL、BYOS、または License Included ライセンス モデルを使用しているかどうかを判断できます。BYOLおよびBYOS ライセンスモデルにはAzureハイブリッド特典などのライセンス購入オプションが含まれています。ライセンスが含まれるライセンスモデルには、従量課金制 (PAYG)、スポット、オンデマンドなどのライセンス購入オプションが含まれます。ライセンスが含まれるライセンスモデルでは、クラウドプロバイダーがライセンスの管理を担当します。

注:
Oracle Database の場合、BYOL およびライセンスが含まれるライセンスモデルのサポートは、使用しているクラウドプロバイダーと Oracle Database のバージョンに基づきます。

- AWS RDS (PaaS):BYOL ライセンスモデルは、 Oracle Database Standard Edition、Standard Edition One、Standard Edition 2、および Enterprise Edition でサポートされています。ライセンスが含まれるライセンス モデルは、 Oracle Database Standard Edition 2 でのみサポートされています。
- AWS EC2 (IaaS):BYOL ライセンスモデルのみがサポートされています。
- Microsoft Azure (IaaS):BYOL ライセンスモデルのみがサポートされています。

BYOL および BYOS ライセンスコンプライアンスのソフトウェア調整

検出されたソフトウェアが [BYOL]、[BYOS] 、または [ライセンスが含まれる] としてマークされると、BYOL または BYOS としてマークされたソフトウェアで調整が実行されます。その後、得られた情報を使用して、ハイブリッドインフラストラクチャ全体のソフトウェアコンプライアンスを判断できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BYOL および BYOS ライセンスルールは、クラウドプロバイダーによって同じソフトウェア製品でも異なる場合があります。たとえば、 Windows サーバーには、 AWS と Microsoft Azureで異なるライセンスルールがあります。これらのルールは、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で各ソフトウェア製品の完全なライセンスコンプライアンス状況を判断できるように、既存のオンプレミスルールと組み合わせる必要があります。 Microsoft は、 AWS 対 Microsoft Azure に展開される製品に対して、二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化などの特別な権利を提供します。ライセンスルールの詳細については、「 BYOL および BYOS のライセンスルール」を参照してください。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、これらのルールを自動的に調整し、ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況ビューで表示できる正確なライセンスポジションレポートを提供します。

- Microsoftソフトウェア製品の BYOL ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペース の Microsoft Publisher の概要で確認できます。Microsoft パブリッシャーの概要の詳細については、「の Microsoft のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。
- Oracleソフトウェア製品の BYOL ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペース の Oracle Publisher の概要で確認できます。合意ごとの Oracle DB サーバーの展開レポートでは、合意タイプに基づいて、ハイブリッドインフラストラクチャ全体での Oracle Database サーバーの展開に関する情報を表示することもできます。Oracle パブリッシャーの概要の詳細については、「の Oracle のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。アグリーメントごとの Oracle DB サーバーのデプロイ レポートの詳細については、「 アグリーメントごとの Oracle DB サーバーのデプロイ」レポートを参照してください。
- RHELソフトウェア製品の BYOS ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペースの Red Hat Publisher の概要で確認できます。Red Hat パブリッシャーの概要の詳細については、「の Red Hat のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。

クラウドベースの修正オプション

クラウドインストールの非準拠を修正するために、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションには次の修正オプションがあります。

ライセンスなしのインストールを削除:クラウド

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド修復] オプションは、関連するソフトウェア製品のライセンスのないすべてのクラウドインストールを削除します。

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド 修復] オプションを選択すると、通常の修復ワークフローに従う削除候補が作成されます。削除候補が [失効待ち] ステータスになったら、クラウドプロバイダーからクラウドインストールをアンインストールし、削除候補を完了としてマークできます。

vCPU の最適化

[vCPU の最適化] 修復オプションは、コア数とコアスレッド数に基づいて vCPU サイジングを最適化できます。この修復オプションは、AWS RDS (PaaS) の Oracle Database Per Processor ライセンスにのみ適用されます。プロセッサあたりのライセンスは、 Oracle データベースをインストールまたは実行する vCPU の数に基づいています。

AWSコア数とコアスレッド数の詳細については、「DB インスタンスクラスのプロセッサの設定 」を参照してください。

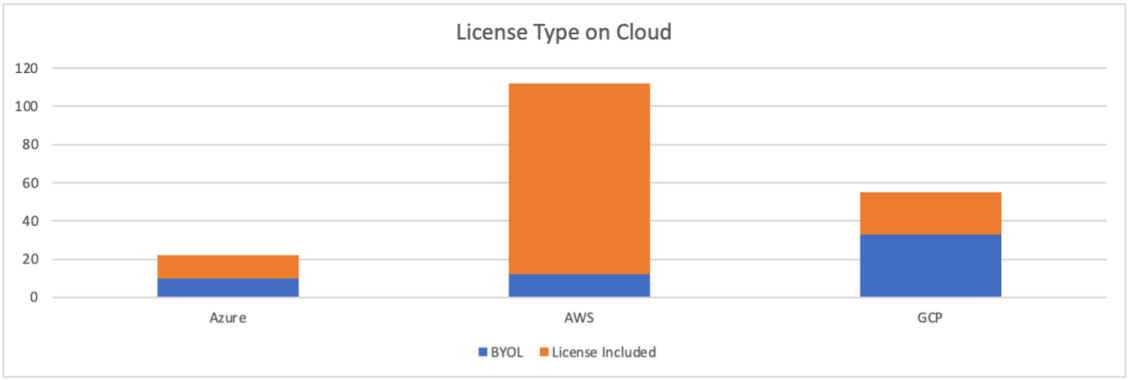
Microsoft Windows および **SQL Server** インフラストラクチャの詳細レポート

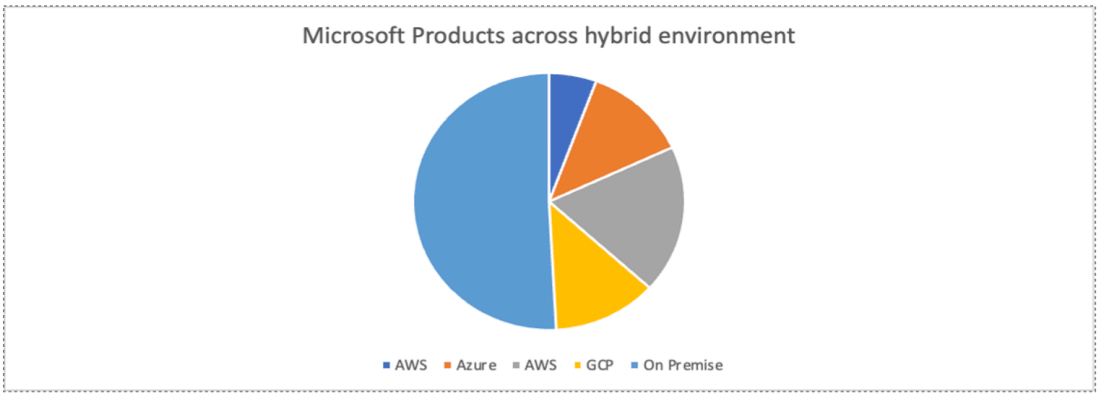
Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポートを使用して、Microsoft Azure、AWS、GCP などのさまざまなクラウド プロバイダーの SQL Server と Windows Server の展開とインフラストラクチャを可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウド上のライセンスタイプ





Azure BYOL 節減実績レポート

Azure BYOL 節減実績レポートを使用すると、Microsoft Azure の Bring Your Own License (BYOL) ライセンス モデルである Azure ハイブリッド特典を使用する場合に、Microsoft Azure での Microsoft SQL Server と Microsoft Windows Server のデプロイの潜在的なコスト削減と実際のコスト削減を可視化できます。

Azure BYOL 節減を実現したレポートは、ServiceNow Store から ServiceNow® クラウドコスト管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ生成されます。「」を参照してください。 クラウドコスト管理 application クラウドコスト管理の詳細については、

注:
このレポートは、ソフトウェア資産ワークスペースでのみ使用できます。このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでは使用できません。

このレポートを表示するには、次の場所に移動してソフトウェア資産ワークスペースを起動します ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース ServiceNowインスタンスでソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動します ライセンス使用状況 > レポート > **Azure BYOL** 節減実績レポート.

Azure BYOL 節減実績レポート

フィールド	説明
仮想マシン	SQL Server または Microsoft Windows Server Microsoftが実行されている Azure 仮想マシン (VM)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Azure BYOL 節減実績レポート (続く)

フィールド	説明
ホストタイプ	Azure VM が実行されている Azure ホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。
場所	Azure ホストが存在する地理的な場所。
vCPU	Azure VM にアサインされている仮想 CPU (vCPU) の数。
ハードウェアタイプ	Azure ホストのハードウェアタイプ。
オペレーティングシステム	Azure で実行されているオペレーティングシステム (OS) のバージョンとエディション。
SQL サーバー	Microsoft Azure VM で実行されている SQL Server のバージョンとエディション。
Windowsサーバー上の AHB	Microsoft Windows サーバーで Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
SQL Server 上の AHB	Microsoft SQL Server で Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
AHB なしの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月間 (720 時間) 実行されていることを前提としています。
AHB ありの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効な場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月間 (720 時間) 実行されていることを前提としています。
実現した標準節減額	Azure ハイブリッド特典を使用することで、1 か月あたりに節約できる VM コスト。この値は、VM が 1 か月間 (720 時間) 実行されていることを前提としています。
AHB なしの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。
AHB ありの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効な場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。
実現した節減実績	Azure ハイブリッド特典を利用することで 1 か月あたりに削減された実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。

BYOL のコアインフラストラクチャスイート **(CIS)** のサポート

オンプレミスの CIS エンタイトルメントを使用して、 AWS や Microsoft Azure などのクラウドプラットフォームで Windows Server インストールのライセンスを取得します。

CIS エンタイトルメントは、クラウド上の Microsoft ライセンス規則に従って Windows Server インストールにライセンスを付与します。CIS を通じて Windows Server をライセンスした場合は、Azure ハイブリッド使用特典を使用できます。ただし、CIS の System Center コンポーネントについては説明しません。

自動翻訳

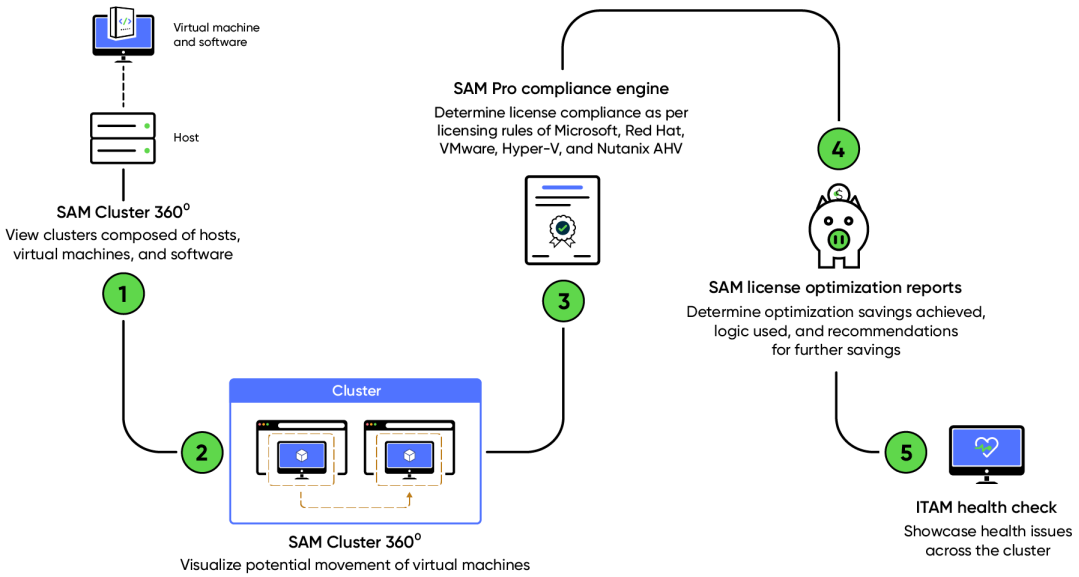
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターインフラストラクチャの理解

ソフトウェア資産管理アプリケーションの 1 つのビューで、クラスター内のすべてのエンティティの全体的かつ戦略的な分析を取得します。

SAM クラスター 360 度機能を使用すると、通常は時間のかかるクラスター分析プロセスが簡素化されます。この機能により、SAM マネージャーは、クラスターのセットアップ、ライセンス、およびクラスターの健全性の問題を視覚的に包括的に把握できるため、戦略的な意思決定を行うことができます。クラスターの各ノードにドリルダウンして、理解を深めます。クラスターの詳細については、「 クラスターセットアップを 360 度で表示」を参照してください。

クラスターの概要



クラスターは、ホストがグループ化されてリソースを共有する仮想化の一種です。このテクノロジは、その上で実行される仮想マシンの高可用性、リソース プール、および負荷分散を提供します。このテクノロジーは、回復力が高く、スケーラブルで効率的な仮想化環境を構築するための基盤を提供します。

各ホストには、複数の仮想マシン (VM) を実行するキャパシティがあり、高可用性、DRS (動的リソース スケジューリング)、ホスト アフィニティなどの機能をサポートするように構成できます。

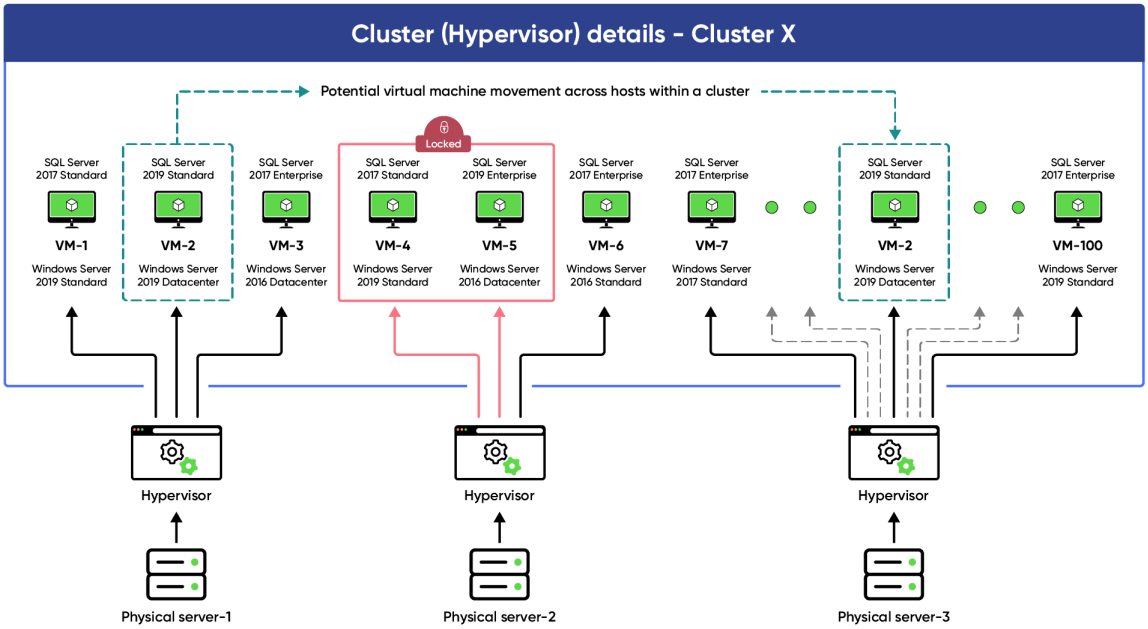
VM は、高可用性や分散リソーススケジューラー (DRS) などの特定の設定に応じて、ホスト間を移動できます。ホスト親和性などの設定により、仮想マシンを特定のホストにロックできます。

VM の数、VM、ホストの移動、クラスター内の VM コアなどの要因が、ライセンスコンプライアンスに影響を与える可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターのセットアップ



SAM クラスター 360 度のメリット

SAM クラスター 360° は、クラスターの包括的かつ戦略的な分析を提供して、クラスター全体のインフラストラクチャの理解、ライセンスコンプライアンス、および健全性チェックをサポートします。

SAM クラスター 360 度機能は、次の概念を表示および分析するのに役立ちます。

- クラスターのコアインフラストラクチャ:ホスト、VM、ソフトウェア、コア、およびプロセッサー。
- 移動する可能性のあるすべてのホストと VM。
- クラスターで実行されているすべてのソフトウェア (ライセンス可能およびライセンス不可)。
- ライセンスを使用するすべてのソフトウェア。

資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用した KPI に対するエグゼクティブインサイト

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、ソフトウェア資産管理アプリケーション、ハードウェア資産管理アプリケーション、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI を単一のダッシュボードで可視化できます。

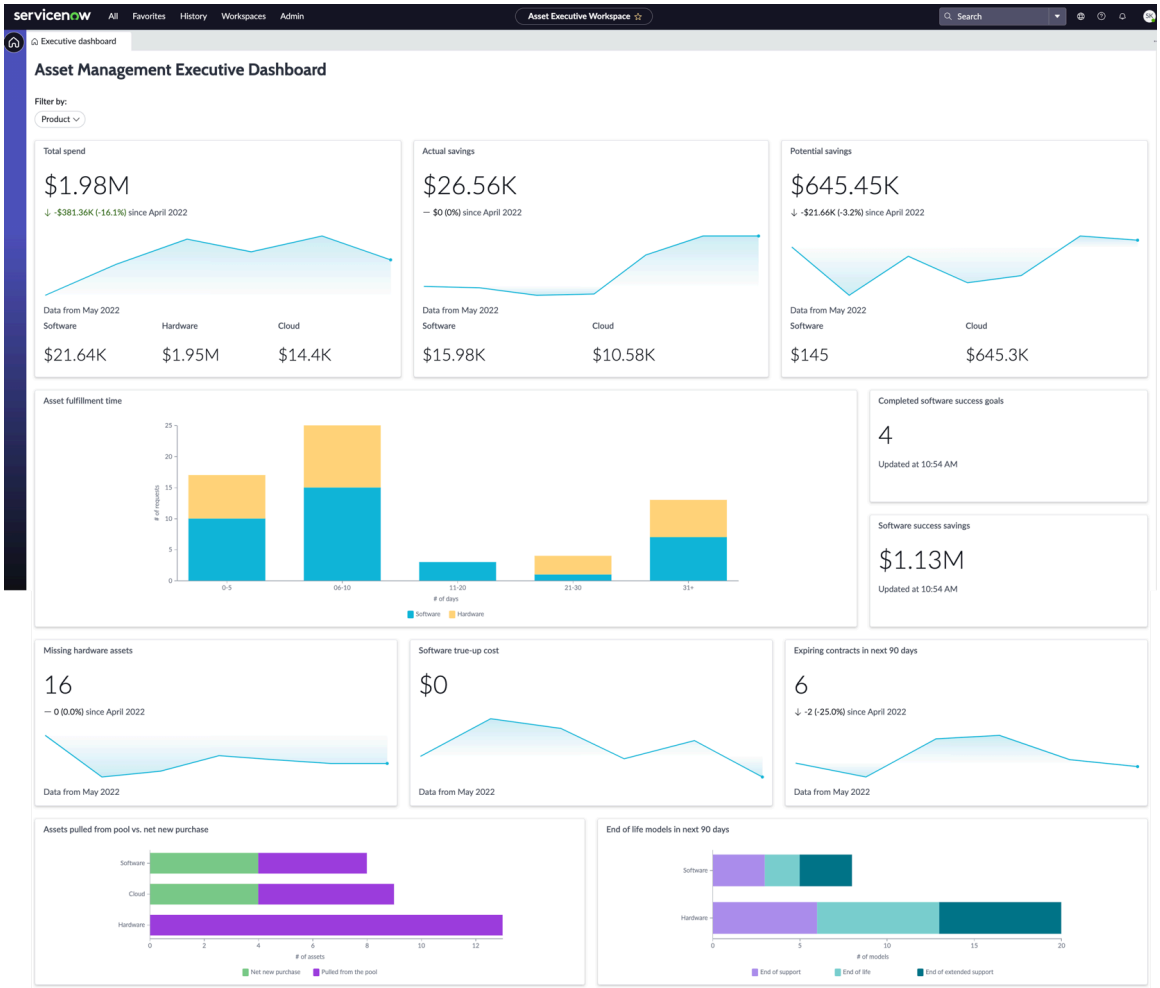
資産管理 エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNow インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションまたは ハードウェア資産管理 アプリケーションが必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、次に移動します: 資産エグゼクティブワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボード



ダッシュボードの結果を製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターはすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に固有であるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、次のいずれかの番号が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン (com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

スケジュール済みジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table* は毎日実行され、ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットをクリックしてリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]。	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、または [輸送中] であるすべてのハードウェア資産の合計コスト。 ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]。	すべてのクラウドリソースのアクティブなコストの合計。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
節減実績	すべての製品の年間合計節減額。この値は、クローズ済みの完了した再利用候補からの合計節減額として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。	適用外です。	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic) (ステータス = 完了)。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。	適用外です。	クラウドのサイズの適正化、クラウドの不使用マシン、クラウド予約、およびクラウド営業時間の月次ベースでの見込み節減の合計。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル: • クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用の推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外です。
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理 アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。 **注:** このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外です。	適用外です。
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。	適用外です。	適用外です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。		
行方不明のハードウェア資産	適用外です。	欠落、紛失、盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル: 不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外です。
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品の結果 [samp_product_result]。	適用外です。	適用外です。
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。	適用外です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が一緒に表示されます。	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	
プールから取得した資産と正味新規購入	インベントリから履行されているソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、調達 (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスでアクティブ化されていることを確認します。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから履行されているハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから使用された資産の数と、発注書を介して調達される新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内にサポート終了になるソフトウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]。	今後 90 日以内にサポート終了になるハードウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外です。

クラウドコストシミュレーション

移行を実行する前に、オンプレミスリソースをクラウド環境に移行するコストをシミュレートします。

必要なプラグイン

クラウドコスト刺激ツールの推奨事項をサポートするには、次のプラグインが必要です。

- クラウドインサイトアプリケーションプラグイン (sn_clin_billing):クラウドインフラストラクチャの詳細とコスト。
- ハードウェア資産管理 (sn_hamp):ハードウェアのライフサイクルの終了用。
- クラウド移行アセスメントアプリケーション (com.sn_cloud_migration):リソース使用率用。

概要

sam_managerロールは、リソースをクラウドに移行するための基準を指定します。たとえば、SQL Server とともにインストールされるすべての仮想マシンや、サポート終了ソフトウェアがインストールされているすべての仮想マシンが必要な場合があります。さらに、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、サポート終了、ソフトウェア、ハードウェア、およびリソースの使用状況に基づいて推奨事項を自動的に提供します。

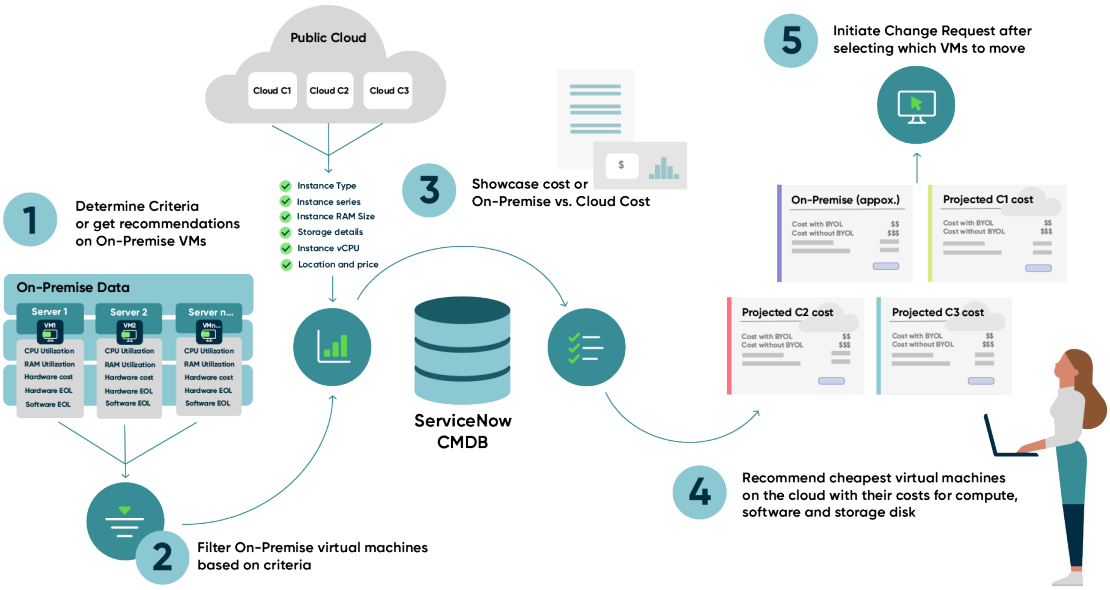
基準または推奨事項に基づいて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは基準に一致する仮想マシンを自動的に選択します。すべてのオンプレミス仮想マシンが識別されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはそれらの仮想マシンをクラウド上の仮想マシン (AWS または Azure) と照合します。

リソースの最適なマッチングが行われ、関連する総コストが提供されます。さまざまなクラウドプロバイダーのコスト:AWS と Azure は、自分のライセンスを使用する (BYOL) のコストの有無にかかわらず言及されています。特定のクラウドプロバイダーへの移行が決定されたら、変更要求を作成して実装を進めることができます。

リソースをクラウドに移行するための推定コストを比較および評価する方法については、「 クラウドシミュレーターダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユースケース

sam_managerロールは、次の考慮事項を考慮しながら、オンプレミスリソースをクラウドに移行するための推奨事項を受け取ることができます。

- ソフトウェアのサポート終了:一部の仮想マシンでは、ソフトウェアがライフサイクルの終わりに近づいている可能性があります。すべてのメリットを考慮して、これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストを計算します。たとえば、 Microsoft Azure は、ライフサイクルの終わりに達した特定の Microsoft 製品に対して、無料の拡張セキュリティ更新プログラムを提供しています。

  注:
  推奨事項は、 Microsoft Azure および AWS 共有 VMware 仮想マシンについてのみ表示され、専用ホストマシンについては表示されません。

- ハードウェアのサポート終了:提供終了フェーズが近づいているハードウェアで実行されている仮想マシンがある場合があります。これらの仮想マシンをクラウドに移動するコストをシミュレートします。

  注:
  ハードウェア資産管理 (sn_hamp) プラグインをアクティブ化して、ハードウェアおよびハードウェアコストのライフサイクル終了に関するデータを取得していることを確認してください。

- リソース使用率:一部のオンプレミス仮想マシンでは、CPU と RAM の使用率が低い場合があります。適切なサイズの仮想マシンを推奨することで、これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストをシミュレートします。たとえば、オンプレミスの 32 vCPU 仮想マシンが 4 つの vCPU のみを使用している場合、クラウド上に 4 vCPU の仮想マシンを使用することが推奨されるため、コスト節減になります。

  注:
  リソース使用率に関するデータを取得するには、クラウド移行アセスメントアプリケーション (com.sn_cloud_migration) プラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

自動翻訳

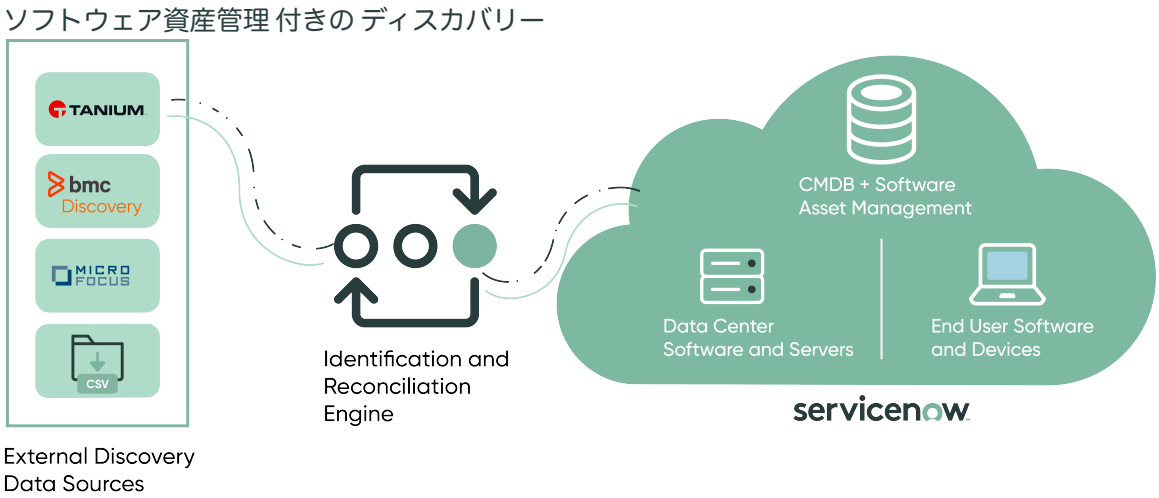
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産接続

サードパーティのディスカバリーソースを使用して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションと統合できるインストール済みソフトウェアデータを検出します。

ディスカバリープロセスは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの不可欠な部分です。ディスカバリープロセスは、組織内のインストール済みソフトウェアがインストールされている場所、デバイスのオーナー、およびデバイスが配置されている場所の検出で構成されます。検出された情報は、CMDB アプリケーションなどの一般的な構成管理データベースに結合されます。

CMDBアプリケーションを使用すると、他のビジネスアプリケーションは検出された情報を使用してさまざまなビジネスニーズをサポートできます。



ServiceNow プラットフォームの識別および調整エンジン (IRE) フレームワークにより、すべてのサードパーティデータと CMDB アプリケーションとの統合が可能になります。

IRE は、複数のソースが同時にデータを取り込むときに、データの調整と重複排除を実行できる一元化されたフレームワークを提供します。IRE は、識別ルール、調整ルール、および IRE のデータソースルールを使用して受信データを処理し、対応する CMDB テーブルにデータを挿入します。これらのルールを拡張して、 ソフトウェア資産管理 テーブルなどの CMDB コアテーブルを拡張するテーブルにデータを挿入できます。IRE の識別ルールには、次の 2 つのタイプがあります。

- 独立:CI ID で [独立] チェックボックスがオンになっている場合、その CI は他の CI に依存していないことを意味します。
- 依存:CI ID で [依存なし] チェックボックスが選択されていない場合、この CI は他の CI に依存していることを意味します。

IRE の詳細については、「 識別および調整エンジン 」を参照してください。

ServiceNowインスタンスに CI をロードする設定はすでにできているはずです。環境内の CI ごとに、ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルには対応する CI ID ルールがあります。サードパーティディスカバリーアプリケーションが実行されると、ソフトウェアは CI で識別されます。サードパーティアプリケーションはペイロードを構築し、IRE REST API エンドポイントを介してペイロードを ServiceNow インスタンスに送信して、 ソフトウェア資産管理 テーブルにデータを挿入または更新します。

インストール済みソフトウェアレコードの作成には、 汎用ペイロード が使用されます。Oracle、VMware、およびCitrixの場合、特定のペイロードは、ソフトウェアのインストールとは別に追加の公開者固有のデータをフィードします。

複数のディスカバリーソースが有効になっていて、すべてのディスカバリーソースの表示名とバージョンなど、ソフトウェアの重要な詳細が一致する場合、インストールレコードは上書きされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

複数のディスカバリーソースでフィールド値が異なる同じソフトウェアが識別された場合、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルにエントリーが作成されます。スケジュールジョブ *SAM- Deduplication install table* が実行され、これらのインストールのすべての正規化値が一致する場合、1 つのレコードのみがアクティブに設定されます。残りのレコードは非アクティブとしてマークされます。

SAM を使用したサードパーティディスカバリーではドメインセパレーションがサポートされていますが、次の考慮事項があります。

- IRE REST API は、REST 呼び出しが行われたときに、ログインしているドメインをスタンプします。
- CI が存在し、ペイロードを実行するドメインにログインします。
- 親ドメインにはログインしないでください。親ドメインにログインすると、既存の CI が更新され、親ドメインに新しい CI が作成されます。
- CI が存在するのと同じドメインからペイロードを送信します。たとえば、ドメイン A からペイロードを送信し、そのペイロードにドメイン B に属する CI がある場合、新しい CI がドメイン A に作成されます。

での ソフトウェア資産管理 の使用 ガバナンス、リスク、コンプライアンス

ソフトウェア資産管理アプリケーションをアプリケーションのガバナンス、リスク、コンプライアンススイートと組み合わせて使用し、コンプライアンス、リスク、および規制の側面を包括的に処理します。

IT 資産管理は、全体的なセキュリティ準備とサイバー防御体制を強化するために、インターネットセキュリティセンター　の CIS コントロールなどのサイバーセキュリティ対策を監視するGRCプログラムに必要な重要な情報を直接提供します。たとえば、CIS Controls 2.2、2.4 では、組織はすべてのソフトウェア資産のインベントリを保持し、それらがベンダーによってサポートされていることを確認する必要があります。この情報は自動的に収集され、 GRC から CIS コントロールインジケーターテンプレートに表示されます。

サイバーセキュリティコントロールアクセラレーターと規制 (CIS コントロール、ISO 27001、27002 など) の詳細については、「 サイバーセキュリティコントロールアクセラレーター 」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 での エージェントクライアントコレクター の使用

エージェントクライアントコレクターアプリケーションを使用して、ソフトウェア資産管理アプリケーションのソフトウェアインベントリと使用状況データを収集します。

エージェントは、ラップトップなどのエンドユーザーマシンに展開されたソフトウェアや、送信データ転送のみを許可する隔離されたネットワークに展開されたマシンを検出するのに役立ちます。ログイン資格情報や IP 範囲を追跡したり、検出スケジュールを作成したりする必要はありません。エージェントは、他のソフトウェアとともに展開イメージを介して展開でき、その後、継続的に検出を実行し、データを ServiceNow インスタンスに送り返します。エージェントクライアントコレクターアプリケーションの詳細については、「Agent Client Collector for Visibility - Content 」を参照してください。

ServiceNow Store から エージェントクライアントコレクター アプリケーションをダウンロードできます。

ソフトウェア資産管理ガイド付きエクスペリエンス

ソフトウェア資産管理 ガイド付きエクスペリエンスアプリケーションは、日常のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップガイダンスを提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プレイブックの概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。各レーンには次が含まれます。

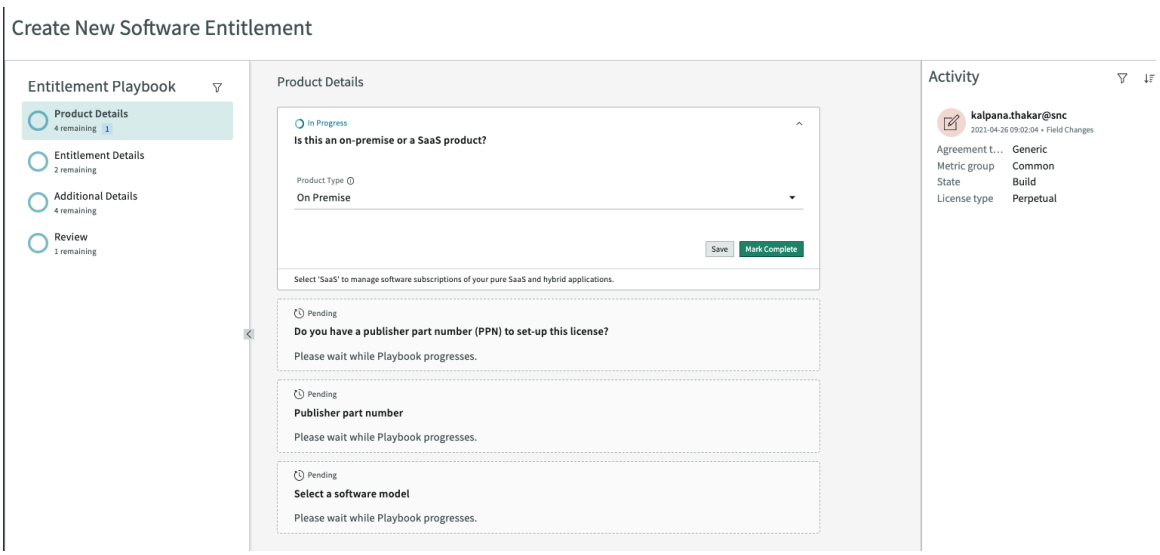
- 実行する必要があるタスクのリスト。
- 各タスクの現在の状況を表示するステータスインジケーター
- ワークフローの現在位置を示すチェックボックス

レーン内のタスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動できます。タスクはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動できます。タスクとレーンを完了し続けると、ステータスはサイドパネルに反映され続けます。プレイブックのアクティビティログには、各タスクに入力したすべてのデータが表示されます。すべてのタスクを完了すると、すべてのレーンに入力した詳細を確認するように求められます。任意のフィールドを編集するか、[完了] を選択してエンタイトルメントの作成プロセスを完了することができます。

Playbook は 3 つの部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業エリア。
- 右側のアクティビティログ。

プレイブックのレイアウト



プレイブックを使用してエンタイトルメントを設定する

ガイド付きウォークスルー Playbook を使用してエンタイトルメントを設定できます。ガイド付きウォークスルー Playbook は、エンタイトルメント作成プロセスの各ステージ (立ち上げから完了まで) をステップバイステップでガイドします。

ソフトウェア資産管理プレイブックにアクセスするには、ServiceNow Store からインストールしてから、ソフトウェア資産ワークスペースのランディングページからプレイブックにアクセスする必要があります。

ガイド付きセットアップの使用

ガイド付きセットアップには一連のタスクがあり、 ServiceNow インスタンスで次の製品またはアプリケーションを構成するために役立ちます。

ソフトウェア資産管理ガイド付きセットアップ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [製品のセットアップ] タブを選択します。
3. [製品の設定] を選択します。
4. [製品のセットアップ] ダイアログボックスで、[セットアップタイプ] ドロップダウンリストから **[SaaS]** または [オンプレミス] を選択します。
   - [SaaS] で、[統合プロファイル] フィールドで設定するSaaSアプリケーションを選択します。
   - [オンプレミス] で、公開者と製品を選択します。
5. **[Next** (次へ)] を選択します。

Microsoft SQL Server ガイド付きセットアップ

> **注:**
> 一度に実行できる Microsoft SQL Server セットアップのインスタンスは 1 つだけです。

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [製品のセットアップ] タブを選択します。
3. [製品のセットアップ] ページで、[Microsoft SQL Server] タイルの [開始] を選択してガイド付きセットアップを起動します。

Microsoft Windows Server ガイド付きセットアップ

> **注:**
> 一度に実行できる Microsoft Windows Server セットアップのインスタンスは 1 つだけです。

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [製品のセットアップ] タブを選択します。
3. [製品のセットアップ] ページで、[Microsoft Windows Server] タイルの [開始する] を選択してガイド付きセットアップを起動します。

Microsoft 365 ガイド付きセットアップ

次のいずれかの方法で 、Microsoft 365 ガイド付きセットアップ に移動します。

- オプション 1
  1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル > 製品のセットアップ.
  2. [製品のセットアップ] タブを選択します。
  3. [製品のセットアップ] ページで、Microsoft 365 タイルで [開始する] を選択してガイド付きセットアップを起動します。
- オプション 2
  1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
  2. [製品のセットアップ] タブを選択します。
  3. [製品の設定] を選択します。
  4. [製品のセットアップ] ダイアログボックスで、[セットアップタイプ] ドロップダウンリストから **[SaaS]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [統合プロファイル] フィールドで **[Microsoft 365]** を選択します。
6. **[Next** (次へ)] を選択します。

関連情報

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Microsoft

SaaS アプリケーションとの統合

ソフトウェア資産管理の構成

組織のニーズに基づいて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションのさまざまな側面を構成します。

構成の概要

システムアドミニストレーターによる ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成では、次のタスクを実行する必要があります。組織のニーズと要件に応じて、一部の構成タスクはオプションです。

タスク		リソース
ソフトウェア資産管理 アプリケーションの要求	Required (必須)	ソフトウェア資産管理の要求
ソフトウェア資産管理の移行用のカスタマイズを上書きする	オプション	ソフトウェア資産管理の移行用のカスタマイズを上書きする
ソフトウェア資産管理用に SCCM を構成します。	オプション	の SCCM の構成 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理の要求

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインには、別のサブスクリプションが必要です。このプラグインにはデモデータが含まれています。環境に応じて、1 つ以上の関連プラグインを要求することを選択できます。

始める前に

アクティベーション後にサブスクリプションを購入したり、デモデータをロードしたりするには、ServiceNow アカウントマネージャーにお問い合わせください。数日以内に、アカウントマネージャーはプラグインを有効にして、組織の本番インスタンスと非本番インスタンスにデモデータをロードできます。

アカウントマネージャーがいない場合、購入後までアクティベーションを延期することを決定する場合、または追加料金なしで非本番インスタンスで製品を評価する場合は、この手順を使用して、ServiceNow Now Support サービスポータルを介してプラグインアクティベーション要求を送信できます。

警告:
ソフトウェア資産管理プラグイン (com.snc.software_asset_management) から ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインにアップグレードすると、ソフトウェア資産管理プラグイン (com.snc.software_asset_management) に戻すことはできません。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
環境に応じて、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを使用して関連するプラグインを要求できます。オプションのプラグインは、 Now Support サービスポータルまたは ServiceNow Store から要求できます。

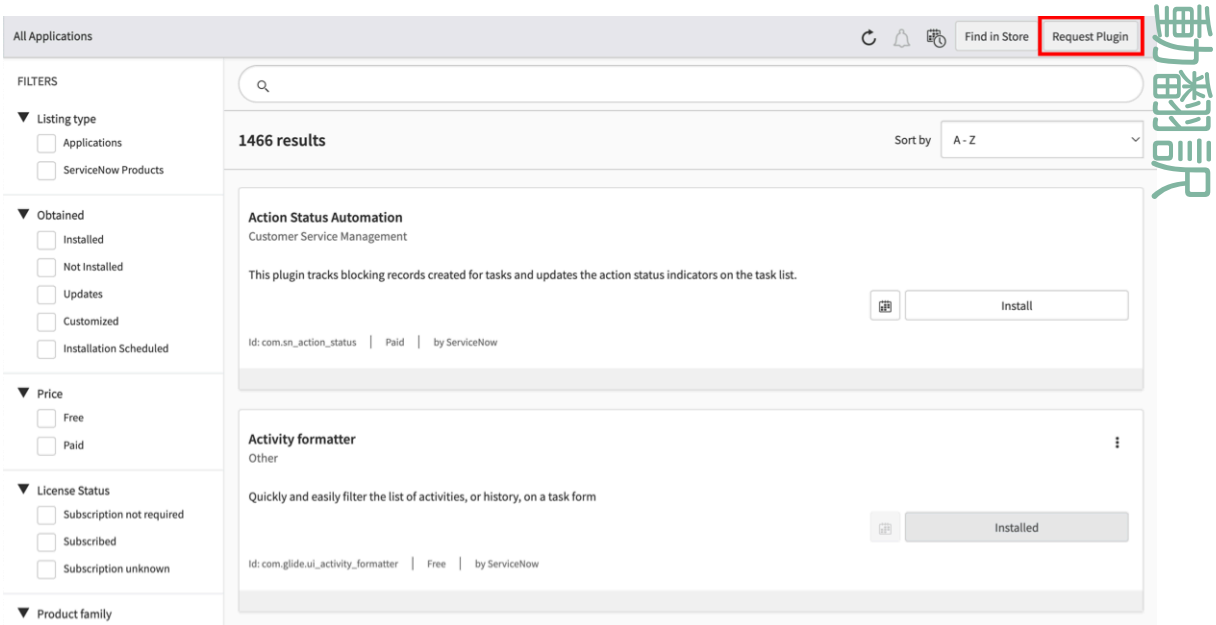
ソフトウェア資産管理プロプラグインのリストについては、「ソフトウェア資産管理プロとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインおよびその他の関連プラグインをアクティブ化できるのは、ServiceNow担当者のみです。プラグインは、アクティブ化後もプラグインリストに表示されません。

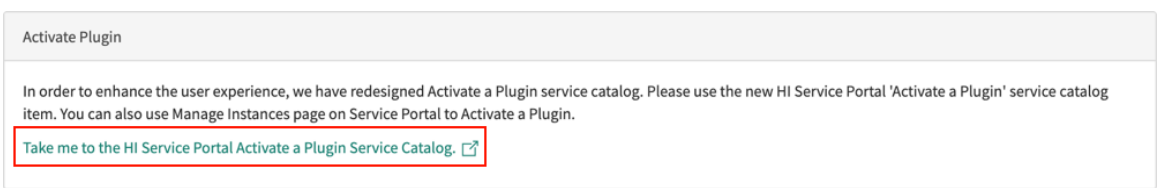
警告:
ソフトウェア資産管理 アプリケーションを初めてインストールした後、または ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン からアップグレードした後は、すべての機能作業のカスタマイズを元に戻す必要があります。ソフトウェア資産管理 アプリケーションの [カスタマイズを元に戻す] モジュールでは、ソフトウェア資産管理に関連するカスタマイズされたファイルを、インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に戻すことができます。「ソフトウェア資産管理カスタマイズを元に戻す」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 注: 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 注: プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/ Comments)]** フィールドに要求を入力します。

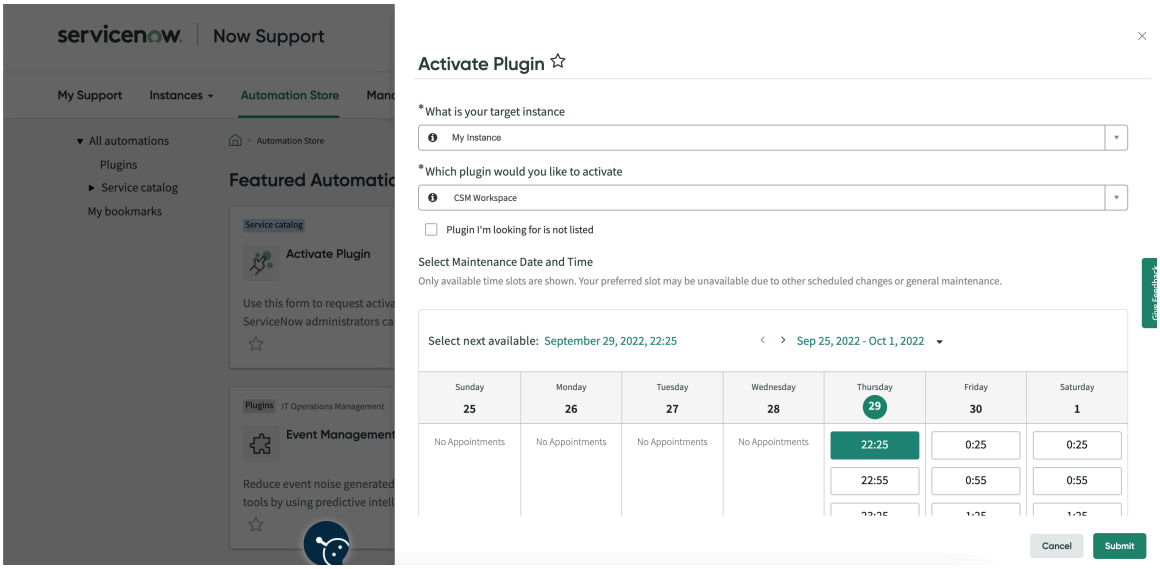
Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



7. [**Submit** (送信)] を選択します。
   プラグインの要求の詳細については、次を参照してください。 のサービスカタログ [KB0751715] 記事からプラグインを要求する Now Support ナレッジベース.

ソフトウェア資産管理の移行用のカスタマイズを上書きする

ソフトウェア資産管理プラグイン (資産管理の ITSM ソフトウェア資産管理機能) からソフトウェア資産管理アプリケーションに移行する場合、カスタマイズされたフォームとリストを正常に移行するために、プラグインのアクティブ化後に顧客がさらにアクションを行う必要があります。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

これらのリストとフォームを移行前にカスタマイズしている場合、プラグインのアクティブ化の最中にとばされている可能性があります。その場合はさらなるアクションを実行する必要があります。

- ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)
- ソフトウェア割り当て (以前はソフトウェアエンタイトルメント)
- ソフトウェア モデル
- ディスカバリーモデル
- ソフトウェアインストール

プラグインのアクティブ化の変更を Upgrade History module で確認して、どの変更が自動的にスキップされたのかを判断し、必要に応じて Resolve a skipped update and set a resolution status できます。

移行によって追加される特定のフィールドも、提供された新機能を利用できるように構成する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム診断 > アップグレード履歴.
2. ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインの有効化のアップグレード履歴に対応するレコードを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグインのアクティブ化を表す [システムアップグレード] リストのレコードには、[元] フィールドに **n/a**という値と [先] フィールドにプラグイン名 (com.snc.samp、com.snc.samp.core、com.snc.sam.core、com.glide.data_services_canonicalization.client、など) が含まれてます。関連するプラグインのリストは、 [アップグレード開始済み] 列でソートをかけてソフトウェア資産管理プラグインのアクティブ化を実行したタイムスタンプに基づいて判断できます。

3. 変更がとばされたソフトウェア資産管理のアップグレード レコードを開きます。
4. [アップグレード詳細] 関連リストで [アップグレード詳細] レコードを開いたら、[競合の解決] をクリックしてベース システムファイルとカスタマイズされたファイルの比較を並べて表示します。
5. フォームやリストのカスタマイズに適用する場合、[ベースシステムに戻る] をクリックしてとばされた変更を上書きし、変更をメモします。
カスタマイズに関するとばされた変更を含んだすべてのアップグレード エントリーに対して、これらの手順を繰り返します。
6. ソフトウェア資産管理アプリケーションで、元のフォームとリストのカスタマイズを手動で再構成します。
7. ソフトウェア資産管理 アプリケーションで、新しいフィールド値 (プラグインのアクティブ化によって実行される自動変更の一部として追加) を設定して、提供される新機能を活用します。

   a. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
      - [製品] 参照フィールドで、ソフトウェア製品を選択します。
      - ディスカバリーマップを選択するか、[マップ ディスカバリー] フィールドをクリアーしてディスカバリー条件を設定し、ソフトウェアモデルに相対するすべてのディスカバリーモデルを見つけます。

   b. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 調整実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスのメトリクスを選択します。
      - 特定の権限の対象となるアップグレードおよびダウングレードのシナリオを定義します。

   c. [ユーザー配分] と [デバイス配分] 関連リスト (以前の [ユーザー/デバイスエンタイトルメント]) で、割り当てられた権限の数が所有している権限数以上でないことを確認します。
   そうなっている場合は、割り当て数が所有している権限の数を超えないように割り当てを削除します。

8. ライセンス キーの管理が必要なエンタイトルメントがある場合は、同じエンタイトルメントに関連付けられた複数のライセンス キーを作成し、これらのライセンス キーをユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。

関連情報

プラグイン

の SCCM の構成 ソフトウェア資産管理

Microsoft SCCM for ソフトウェア資産管理 を設定して、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、使用している環境にあるクライアントソフトウェアを入力し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。また、クライアントソフトウェアディストリビューション用に SCCM を設定して、未使用のソフトウェアや十分に使用されていないソフトウェアを再利用することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_client_sf_dist.csd_admin または admin

ヒント:
SCCM のセットアップ、再利用などについて学習するには、「 ソフトウェア資産管理:再利用と配布のための SCCM 統合 」コースにサインアップしてください。

手順

1. 使用しているバージョンの SCCM の SCCM 統合プラグインを有効にします 。
   - 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2)
   - 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016)

   SCCM からソフトウェア使用状況データをプルする場合は、使用している SCCM のバージョンのソフトウェア使用状況プラグインをアクティブ化します。

   - 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
   - 統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用状況 (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

   重要:
   これらの Microsoft SCCM プラグインは、 Tokyo リリースで廃止されます。SCCM を初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタアプリケーションを要求してインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかをすでにアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタストアアプリケーション向け移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

2. オプション: 未使用のソフトウェアや十分に使用されていないソフトウェアを再利用する場合は、クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) 用に SCCM を設定します。

   a. クライアントソフトウェアディストリビューション (com.snc.orchestration.client_sf_distribution) プラグインを要求します。
   クライアント ソフトウェア ディストリビューションには 、オーケストレーション のサブスクリプションが必要です。

   b. SCCM で、これらのアイテムをまだ作成していないソフトウェアのアプリケーション、インストール コレクション、アンインストール コレクションを作成します。

   (Optional) これらのアイテムを作成した後、インストール コレクションとアンインストール コレクションの両方にアプリケーションを展開できます。詳細な手順については、Microsoft SCCM 製品ドキュメントの「SCCM を使用したアプリケーションの作成と展開 」および「SCCM でコレクションを作成する 」を参照してください。

   ソフトウェアを再利用するには、ソフトウェア用のアプリケーション、インストール コレクション、アンインストール コレクションが存在している必要があります。ソフトウェアを手動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でインストールした場合、または SCCM レガシーパッケージを使用してインストールした場合でも、ソフトウェアを再利用できるように、これらのアイテムを作成する必要があります。

> **注:**
> SCCM の従来のパッケージを使用してソフトウェアをインストールした場合は、Microsoft Package Conversion Manager を使用してアプリケーションを作成できます。

3. MID サーバーをセットアップします。
4. SCCM と Now Platform を構成します。
5. サービスカタログからアプリケーションを提供するには、カタログアイテムを作成します。

次のタスク
SCCM を構成してソフトウェアアプリケーションを検出したら、 再利用ルールを作成して 、未使用のソフトウェアや十分に使用されていないソフトウェアを特定し、 ソフトウェア使用状況を表示し、 ソフトウェアを再利用することができます。

ソフトウェア資産ワークスペース の使用

ソフトウェア資産管理アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

ワークスペースでのエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成し、ライセンスの詳細を入力して、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に
これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントを一度に 1 件ずつ作成するための標準フォームを使用する手順です。エンタイトルメントの作成には、 ガイド付きウォークスルー のステップバイステップのアプローチを使用することもできます。すでにスプレッドシートに入力されたソフトウェアエンタイトルメントの詳細がある場合は、一括インポート 機能を使用してインポートすることもできます 。

エンタイトルメントの作成を開始すると、 ビルド ステータスになります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

SaaS ライセンス管理をインストールした場合、統合プロファイルを作成するとソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されるソフトウェアを追跡します。

SAP Publisher Pack をインストールした場合は、「のエンタイトルメントの作成 SAP」を参照してください。

RHEL および Citrix パブリッシャーパックのエンタイトルメントを作成することもできます。RHEL のエンタイトルメントフォームフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフォーム」を参照してください。

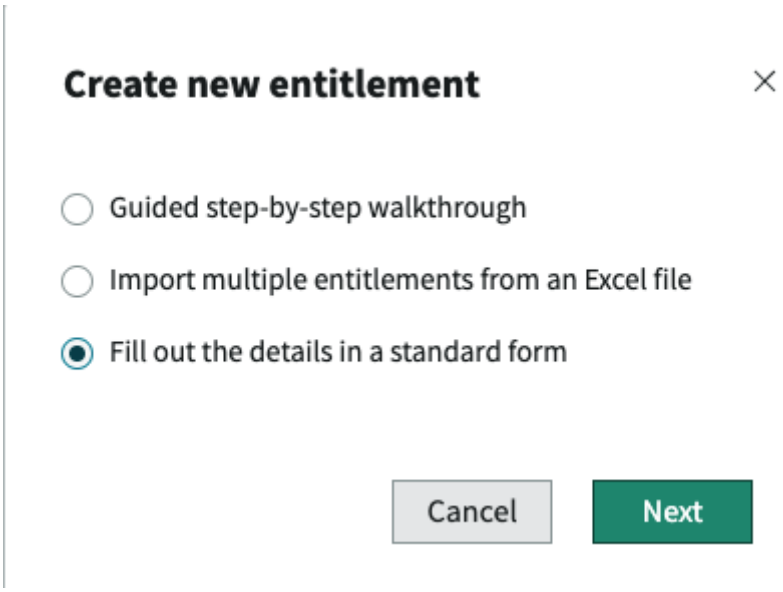
必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [エンタイトルメントの作成] を選択して、[新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作



3. [標準フォームに詳細を入力する] を選択し、[次へ] を選択します。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create new entitlement)] ページで、フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   エンタイトルメントを保存すると、[割り当て]、[一般]、[財務]、および [契約] タブがページに表示されます。これらの関連タブで詳細を追加できるようになりました。
6. 必要な詳細を入力したら、[公開] を選択します。

   エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] から [使用中] に変更されます。エンタイトルメントを調整プロセス用に取得する準備ができました。

   [契約]、[ダウングレード権限]、[経費ライン]、[エンタイトルメント履歴] などの他のタブに詳細を入力することで、新しいエンタイトルメントで追加の構成を実行できます。これらのタブのフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

ワークスペースでメンテナンスエンタイトルメントを作成する

ソフトウェア資産ワークスペースで、 Microsoft 以外のすべての公開者のライセンスの詳細を定義します。メンテナンスエンタイトルメントを作成して、契約やソフトウェアアップグレードの開始日や終了日など、ソフトウェアライセンスのメンテナンスに関するすべてのニーズを管理します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [エンタイトルメントの作成] をクリックして、[新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
3. [標準フォーム] を選択し、[次へ] をクリックします。
   [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成] ページで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドに値が入力されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択されたメトリクスグループが [共通] である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは 、共通 メトリクスグループにのみ適用されます。

5. 必要な詳細を入力したら、[公開] をクリックします。
   メンテナンスエンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] から [使用中] に変更されます。メンテナンスエンタイトルメントを調整プロセス用に取得する準備ができました。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします (E1)。これらの権限のうち 20 件を、メンテナンスエンタイトルメントの 20 件の権限に関連付けます。これで、E1 の無期限エンタイトルメントが自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは、メンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく、購入した権限もない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。

6. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードで追加の構成を実行できます。

   詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントのユーザーまたはデバイス割り当てを追加することはできません。

   a. 資産の購入元のベンダー、請求書番号などの財務に関する情報を [財務] タブに入力します。

   b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約] タブに入力します。

   c. [関連するエンタイトルメント] 関連リストから、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

      i. [関連するエンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [新しい関連エンタイトルメントを作成 (Create New Related Entitlement)] フォームが新しいタブで開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ii. フォームのフィールドに入力します。

新しい関連エンタイトルメントの作成フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限エンタイトルメントをリンクする先のソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

iii. **[Save** (保存)] をクリックします。

無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、メンテナンスエンタイトルメントの [関連エンタイトルメント] 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンスエンタイトルメントに関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス キーを管理し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス キーを指定するには、[ライセンス キー] 関連リストをクリックします

f. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたるコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連して、新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

7. 追加の構成の詳細の入力が完了したら、[保存] をクリックします。

ワークスペースで **Microsoft** ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する

ソフトウェア資産ワークスペースで Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) のライセンスの詳細を定義して、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [エンタイトルメントの作成] をクリックして、[新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
3. [標準フォーム] を選択し、[次へ] をクリックします。
   [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] フォームで必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで **[SA]** を選択します。

   SA エンタイトルメントに付与する権限の数を [アクティブな権限] フィールドに入力する必要があります。

   すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「 クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

   注:
   SA エンタイトルメントのユーザーまたはデバイス割り当てを追加することはできません。

5. [公開] をクリックします。
   エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします (E1)。これらの権限のうち 20 件を SA エンタイトルメントの 20 件の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは SA エンタイトルメント (M1) の 20 個の権限に関連付けられた 20 個のアクティブな権限 (および 50 個の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、もう 1 つは SA 関連付けがなく、購入した権限もない 30 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメント (E2) です。

6. 追加の構成を実行するには、[ソフトウェアエンタイトルメント] リストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

   a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

      i. [関連するエンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [新しい関連エンタイトルメントを作成 (Create New Related Entitlement)] フォームが新しいタブで開きます。

      ii. フォームのフィールドに入力します。

新しい関連エンタイトルメントの作成フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限または SA エンタイトルメントに付与する権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限または SA エンタイトルメントのリンク先のソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限または SA エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

iii. [Save (保存)] をクリックします。

無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、SA エンタイトルメントの [関連エンタイトルメント] 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

リンクされている無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントのいずれかを削除しても、他のエンタイトルメントは削除されません。

エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

b. メンテナンス契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

> **注:**
> この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ使用できます。

ソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが設定されている場合、アクティブな SA を持つエンタイトルメントは新しいバージョンのソフトウェアモデルに更新されます。

関連するエンタイトルメントをリンクした後、無期限エンタイトルメントの権利をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

c. リンクされている、以前関連したすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

> **注:**
> 検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算にエラーがある場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

7. [Update (更新)] をクリックします。

ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート

ソフトウェア資産ワークスペースでは、一度に複数のエンタイトルメントをインポートできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて
エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルの [パブ

自動翻訳

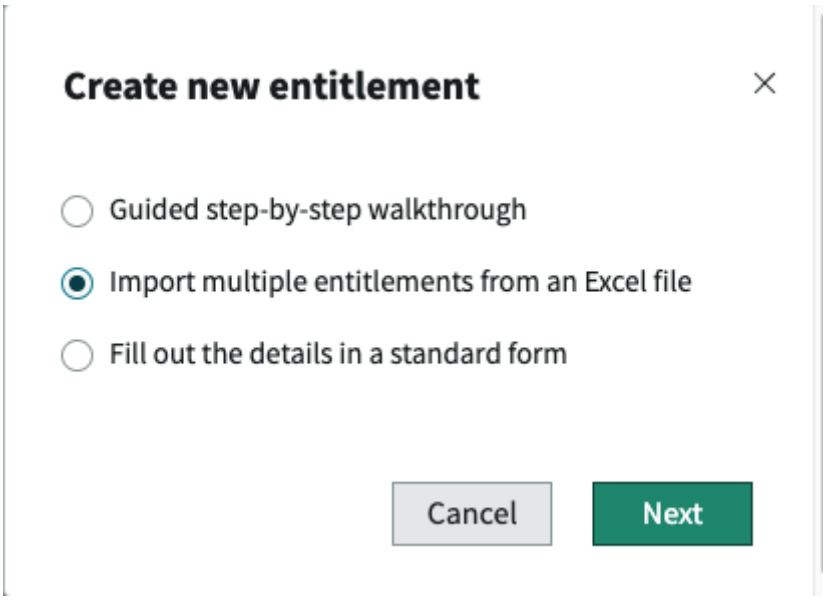
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リッシャーの品番]、[製品]、および [パブリッシャー] 列には、値を選択するためのドロップダウンリストがあります。

ソフトウェア資産の概要ランディングページのアクティビティセンターを活用して、インポートエラーとインポートステータスを表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [エンタイトルメントの作成] を選択します。



3. [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスで、 **[Excel** ファイルから複数のエンタイトルメントをインポートする] を選択し、 [次へ] を選択します。
4. [新しいエンタイトルメントのインポートを作成] ページで、[テンプレートのダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

   ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名はフィールドラベルと正確に一致させる必要があります。エンタイトルメントのインポート時に正しいソフトウェアモデルを見つけるために、[公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション]、[プラットフォーム]、および [言語] に加えて、[インストール条件名] 列も考慮されます。

   ベースシステムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。資産 [alm_asset] またはソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルで作成されたカスタム選択列 (タイプが [選択肢]) もサポートされています。

   注:
   デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列で、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。例: EUR;200。有効な通貨コードは、通貨 [fix_currency] テーブルにリストされているもので、[アクティブ] 列が true に設定されています。

5. テンプレートにエンタイトルメントの詳細を入力し、[ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。この説明は、より具体的な記述に変更できます。

6. [インポート] を選択します。

   後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。

   エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。インポートレコードが処理されると、[ステータス] フィールドに [完了]、[完了 (エラーあり)]、または [失敗] のいずれかの値が表示されます。

7. 確認メッセージ内のリンクを選択して、レコードのステータスを確認します。
   ライセンス操作ビューが表示され、[エンタイトルメントのインポート] ページにエンタイトルメントレコードが表示されます
8. エンタイトルメントレコードを開いて、その詳細を表示します。
9. [エンタイトルメント] タブをクリックして、正常に作成されたエンタイトルメントのリストを表示します。

   注:
   [エンタイトルメント] タブは、[ステータス] フィールドに [完了] または [完了 (エラーあり)] の値が表示されている場合にのみ表示されます。

10. エラーが発生し、ステータスが [エラーありで完了] と表示されている場合は、[インポート エラーの確認] をクリックします。

    次の 2 つのタブを含む [エンタイトルメントインポートエラーのレビュー] ページが開きます。

    - インポートエラー:エラーステータスが [要レビュー] のレコードを表示します。
    - エンタイトルメントを関連付ける:ビルドステータスで基本エンタイトルメントにリンクできるエンタイトルメント (メンテナンスエンタイトルメントなど) を一覧表示します。

11. インポートエラーレコードを選択して、エラーを表示します。
    エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの詳細については、次を参照してください。
    エンタイトルメントのインポートエラーフィールド
12. エラーを修正し、[インポート] を選択します。
    エンタイトルメントが正常に作成されました。エンタイトルメントのダウングレードモデルの検証など、エンタイトルメントのさらなる処理が続行されます。エラーの解決の詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

ガイド付きエクスペリエンス ソフトウェア資産管理 のインストール

日常のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップガイダンスとして、 ソフトウェア資産管理 ガイド付きエクスペリエンス (com.sn_sam_playbook) アプリケーションをインストールします。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .

必要なロール：sam_admin または sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

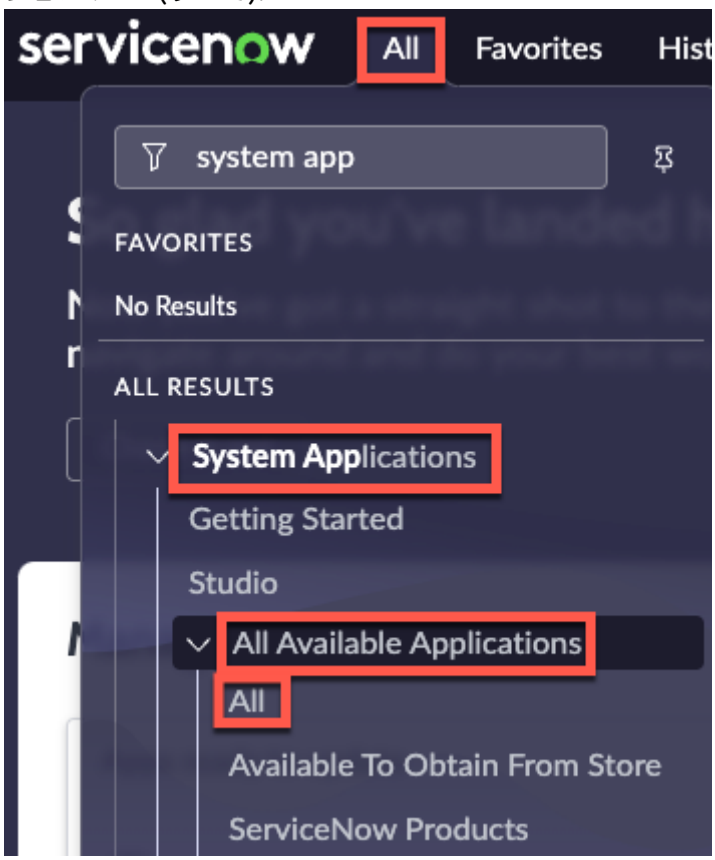
自動翻訳

このタスクについて
次のアイテムは、 ソフトウェア資産管理 ガイド付きエクスペリエンスアプリケーションとともにインストールされます。

- プラグイン
  - ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp)
  - ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)
  - com.glide.playbook_experience.config
- ストアアプリケーション:プレイブックエクスペリエンス (sn_playbook_exp) およびプレイブックエクスペリエンスコンポーネント (now_playbook_exp)
- テーブル

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 ソフトウェア資産管理 ガイド付きエクスペリエンス (com.sn_sam_playbook) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リストに表示されるのは、インストール予定である依存プラグインおよびアプリケーション、現在インストールされている依存プラグインおよびアプリケーション、またはインストールする必要がある依存プラグインおよびアプリケーションです。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 ソフトウェア資産管理 ガイド付きエクスペリエンスアプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

> **重要:**
> インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します

エンタイトルメントを作成するステップバイステップのプロセスについては、ガイド付きウォークスループレイブックを使用します。

始める前に

パブリッシャーの品番の有無にかかわらず、無期限エンタイトルメントを作成できます。SaaS エンタイトルメントを作成して、純粋な SaaS およびハイブリッドアプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを管理することもできます。

ガイド付きウォークスルーでは、エンタイトルメントを作成するプロセス全体を案内します。最初は、エンタイトルメントの作成を開始すると [ビルド] ステータスになります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

エンタイトルメントを作成するプロセスはレーンに整理されています。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了するよう求められるいくつかのタスクがあります。タスクを完了したら、[完了としてマーク] をクリックして次のタスクに移動します。プロセスのいつでも [保存] をクリックして変更を保存し、後でプレイブックに戻ることができます。[キャンセル] をクリックして、エンタイトルメントのセットアップをいつでも中止することもできます。特定のタスクを実行している間、そのタスクのステータスは [処理中] と表示されます。タスクを完了としてマークすると、そのタスクのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動します。

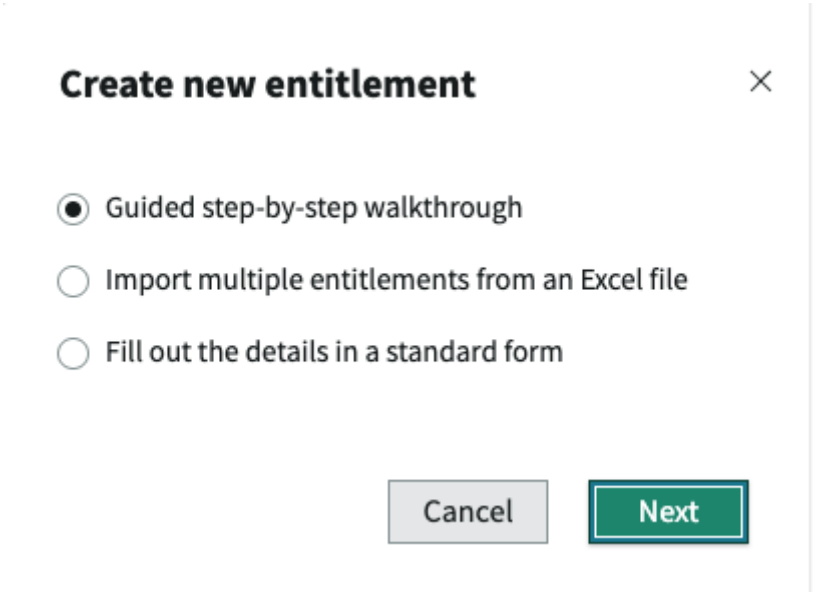
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

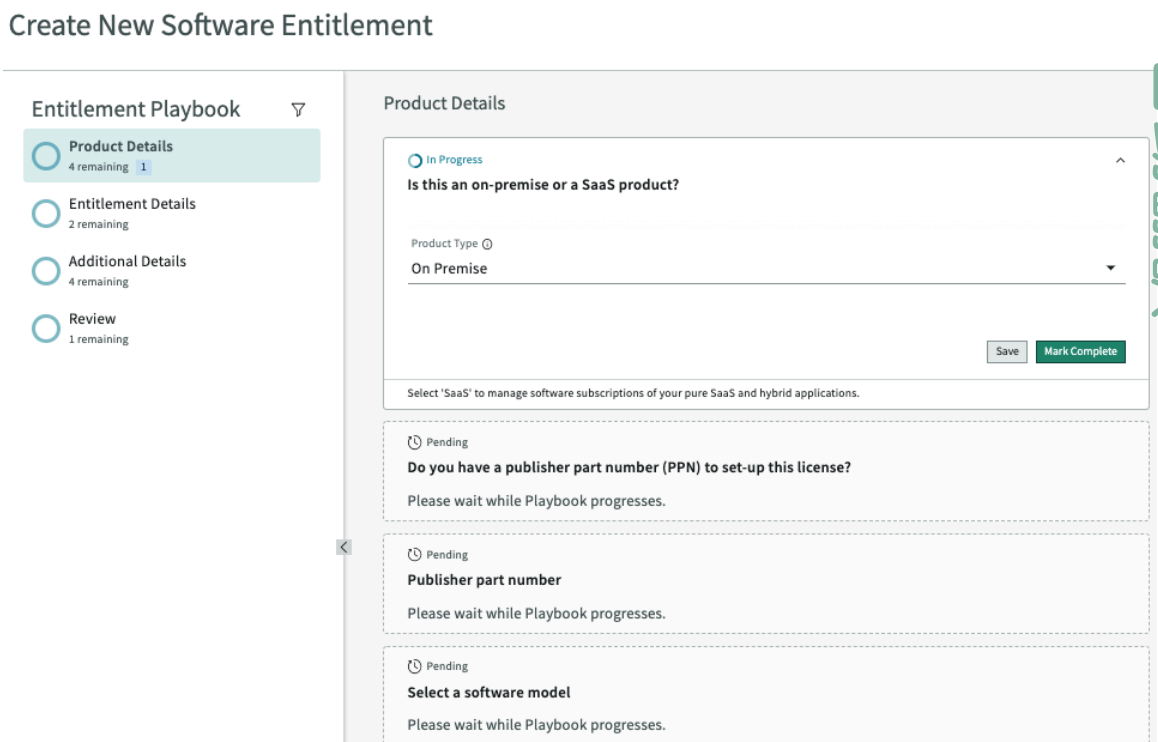
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
[ソフトウェア資産の概要] ページが表示されます。
2. [エンタイトルメントの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ガイド付きのステップバイステップのウォークスルーを選択し、次へ を選択します。
[新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。



4. オンプレミス製品と SaaS 製品のどちらにエンタイトルメントを作成するかを選択します。
   - オンプレミス を選択した場合は、以下のオンプレミスのエンタイトルメントテーブルにリストされているフィールドを入力します。
   - **SaaS** を選択した場合は、以下の SaaS エンタイトルメントテーブルにリストされているフィールドを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (sn_sam_saas_int)SaaS プラグインが有効になっている場合にのみ、オンプレミスまたは SaaS を選択するように求められます。このプラグインが有効になっていない場合、製品タイプは自動的にオンプレミスとして選択されます。

オンプレミスのエンタイトルメント

オンプレミスのエンタイトルメントフィールド	説明
PPN をお持ちですか	エンタイトルメントを設定するための公開者の品番 (PPN) がある場合に選択します。
パブリッシャーの品番	PPN がある場合は入力します。それ以外の場合は、情報メッセージのリンクをクリックしてカスタム PPN を作成し、カスタム品番ページに移動します。

SaaS エンタイトルメント

SaaS エンタイトルメントフィールド	説明
統合プロファイルが設定されている	統合プロファイルが既に設定されている場合は、それを選択します。それ以外の場合は、適切なリンクをクリックして、直接または SSO 統合プロファイルを作成します。 **注:** ソフトウェア使用情報を表示し、古いライセンスを最適化するには、統合プロファイルが必要です。
この SaaS 製品に直接または SSO データ連携プロファイルを使用していますか?	この SaaS 製品に使用するプロファイルのタイプ (ダイレクトまたは SSO) を選択します。
統合プロファイルを選択	指定したプロファイルのタイプに基づいて、統合プロファイルを選択します。

5. エンタイトルメントのソフトウェアモデルを選択します。
[製品の詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[エンタイトルメントの詳細] レーンに移動できます。
6. [エンタイトルメントの詳細] を選択します。
PPN を入力した場合は、メトリクスグループ、合意タイプ、ライセンスタイプが自動的に入力されます。必要に応じて値を変更できます。
7. 資産をライフサイクル全体で追跡するには、[資産タグ] に値を入力します。
8. 調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるライセンス グループの [ライセンスのメトリクス] の値を選択します。
[コアごと] または [コアごと (CAL あり)] を選択した場合は、次のフィールドに値を入力する必要があります。
   a. [ライセンス パックごとの権利] に、Microsoft Core ライセンスまたは CAL ライセンスごとの Microsoft Core ごとに購入した各パックに関連付けられている権限を入力します。
   b. [パックの数] に、Microsoft コアあたりまたは CAL ライセンス付きの Microsoft コアあたりのパックの数を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. 購入した権限の数を [購入した権限] に入力します。
   Microsoft Per Core または Microsoft Per Core with CAL ライセンスタイプを指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力された値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
10. [単位コスト] にソフトウェアのコストを入力します。
    [エンタイトルメントの詳細] レーンのすべてのタスクを完了したら、[その他詳細] レーンに移動できます。
11. [その他の詳細] を選択します。
12. この資産が属する会社の名前を [会社] に入力します。
13. ライセンスが使用されている場所を入力します。
    たとえば、特定のサイト、国、または地域を指定できます。
14. [部門] に、このソフトウェア ライセンスに割り当てられた担当者の部門を入力します。
15. 資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門を [所有者] に入力します。
    資産オーナーは、アドミニストレーターとは別の人物でもかまいません。
16. [ベンダー]、[請求書番号]、[要求明細行]、[購入済み]、[オープン]、[**GL** アカウント]、および [コストセンター] フィールドに、ベンダーの財務詳細を入力します。
17. [リース契約]、[保証の有効期限]、[サポートグループ]、および [サポート担当者] フィールドに契約の詳細を入力します。
    [その他詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[レビュー] レーンに移動できます。
18. [レビュー] を選択して、すべてのレーンに入力したすべての詳細を表示します。
19. 任意のフィールドを編集し、それ以外の場合は [完了] を選択できます。
20. [公開] を選択して、このエンタイトルメントを使用用に公開します。
    エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] から [使用中] に変更されます。エンタイトルメントを調整プロセスに使用する準備ができました。

ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアモデルを作成し、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user、sam_admin または model_manager

このタスクについて

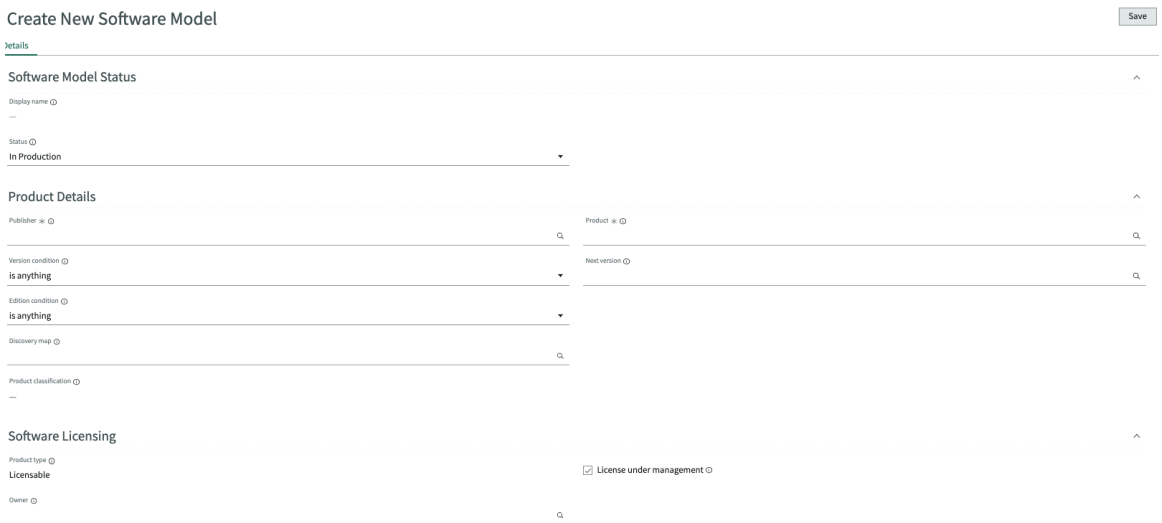
ソフトウェアモデルを手動で作成できます。ただし、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスライブラリを活用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化することができます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成またはインポート中に、公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデルが自動的に作成され (必要な場合)、または既存のソフトウェアモデルにリンクされます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテンツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. 左側のバーで [ライセンス操作] ビューを選択します。
3. [ライセンス] で、ソフトウェア モデルを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



5. [新しいソフトウェアモデルの作成 (Create New Software Model)] ページで、フィールドに詳細を入力します。
「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。
ソフトウェア モデルを保存すると、[全般]、[スイート コンポーネント]、[スイートの親]、および [製品カタログ] タブがページに表示されます。これらの関連タブで詳細を追加できるようになりました。
7. ソフトウェア公開者がスイートに属するかどうかを指定します。
   - ソフトウェア モデルをスイート (親) として指定するには、[スイート (親)] をクリックし、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェア モデルをスイート コンポーネントとして指定するには、[スイート コンポーネント] をクリックし、親スイートを追加します。

   注:
   製品の詳細にディスカバリーマップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、[ソフトウェア製品ライフサイクル] を選択します。
[新規] を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. エンタイトルメントの上書きライセンスコストを表示するには、[ライセンスコストの上書き] を選択します。
10. 属性値を設定するには、[評価指標属性] を選択してフォームに入力します。
属性値を追加すると、この公開者情報が関連付けられているエンタイトルメントの [評価指標グループ] フィールドに自動的に入力されます。メトリクスグループに基づいて、パブリッシャーに関連するライセンスメトリクスのみを使用できます。
11. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] を選択してフォームに入力します。
12. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアントアクセス] を選択し、フォームに入力します。
13. ソフトウェアのダウングレード権限の新しいレコードを作成するには、[ダウングレード権限] をクリックしてフォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ソフトウェアモデルにディスカバリーマップが関連付けられており、そのディスカバリーマップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限が自動的に入力されます。ソフトウェアのダウングレードされたバージョンが階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

14. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

    a. [ソフトウェアカタログに公開] を選択します。
    [ソフトウェアモデル> をソフトウェアカタログに公開 (Publish *<software-model* to Software Catalog) ダイアログボックスが開きます。

    b. ダイアログボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

    c. [**OK**] を選択します。

ワークスペースでのソフトウェア調整の実行

調整はスケジュール済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてソフトウェア資産ワークスペース環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に

調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

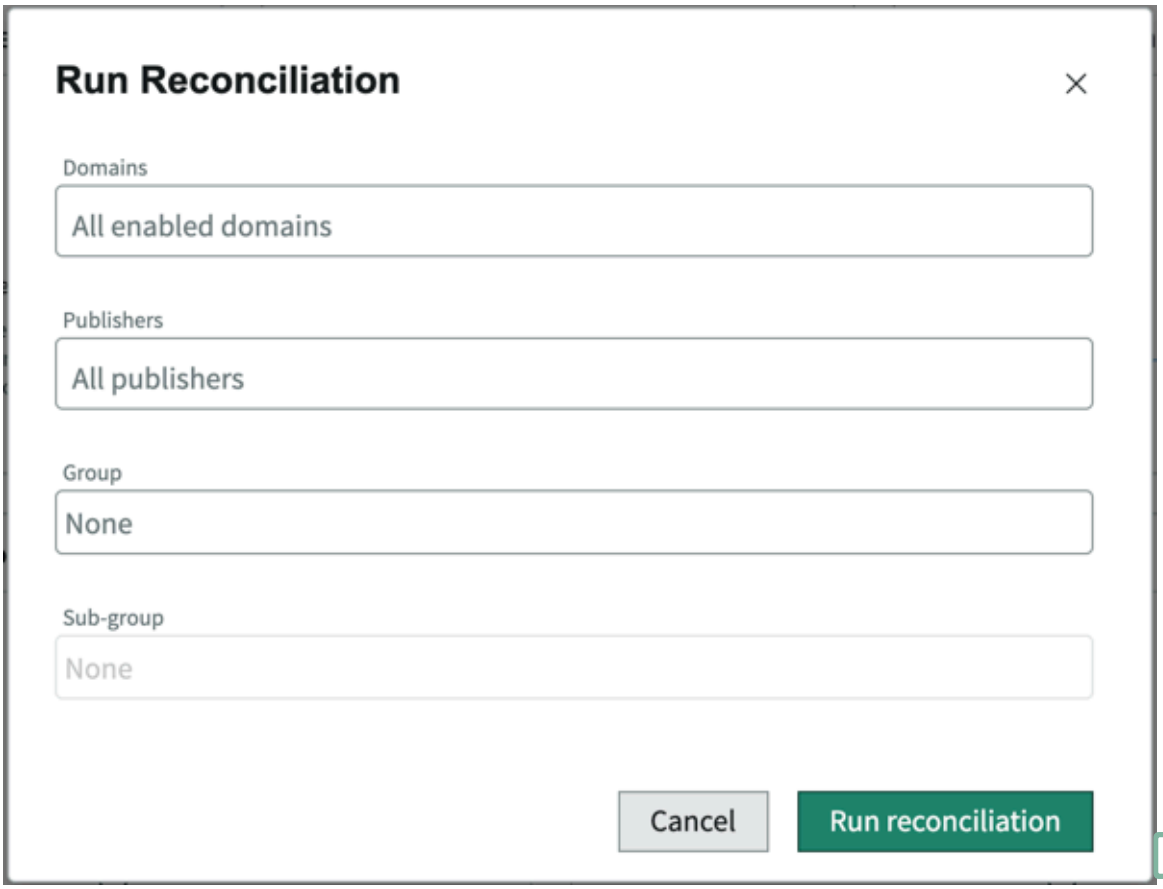
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 次の 2 つの方法のいずれかを使用して、[調整の実行] ダイアログボックスに移動します。
    - ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産の概要 > 照合の実行
    - ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況 > 照合の実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

注:
インスタンスでドメインセパレーションが有効になっている場合は、[調整の実行] ダイアログボックスに [ドメインフィルター] ドロップダウンが表示されます。

2. コンプライアンスを計算する特定の公開者を選択します。
すべての公開者を選択することもできます。
3. 結果をさらに絞り込むには、グループまたはサブグループを選択します。
グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
4. [調整の実行] を選択します。
調整プロセスが完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が [調整] タブに表示されます。

調整結果

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。
ステータス	調整のステータス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 完了 ○ 処理中 ○ 失敗
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
進行状況	調整実行の完了率と進行状況バー。
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 **注:** このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。
更新日時	特定の調整プロセスが完了した日時。

ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから自動的に作成されるか、手動で作成できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

ソフトウェア再利用は ワークフロー および クライアントソフトウェアディストリビューション と統合され、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化します。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。次の手順では、削除候補を手動で作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [ライセンス使用状況] を選択します。
3. [削除候補] タブを選択します。
4. [新規] を選択して、[新しい削除候補の作成] ページを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補に応答する権限を持つソフトウェアマネージャーグループに自動的に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	このタスクの遂行に対して主に責任を負う人物。
[Name (名前)]	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。 **注:** 一括再利用機能を使用している場合、名前を生成するには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。ソフトウェアのインストールが選択されていない場合、名前は生成されず、[名前] フィールドは空です。ソフトウェア インストールを追加し、後でそれらすべてを削除することにした場合、[名前] フィールドは空に戻ります。
説明	タスクが存在する理由と 承認を受け取った場合にユーザーが 何をする必要があるかの説明。
ステータス	削除候補の現在のステータス。 ○ 要確認 ○ 準備完了 ○ ユーザー待ち ○ 承認待ち ○ 失効待ち ○ 完了してクローズ ○ スキップしてクローズ ○ キャンセルしてクローズ
開始日時	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
正当性	削除候補になる理由。 ○ 低使用率 (デフォルト) ○ 未割り当て ○ ライセンスなし ○ 制限付きソフトウェア
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ インストール済みソフトウェア ○ サブスクリプションソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアインストール	再利用されるソフトウェア インストール。
エンジニアリングアプリライセンス 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。
ユーザー	ソフトウェアのインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアのアンインストールの通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、これは必須フィールドになります。
ユーザーサブスクリプション	このサブスクリプションが割り当てられているユーザー。
非アクティブな日数	ユーザーのサブスクリプションが非アクティブであった日数。 このフィールドは、[理由] フィールドの値が [低使用率] で、[ユーザーサブスクリプション] フィールドが空でない場合にのみ表示されます。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 6 で説明したサブステップを参照してください。
構成アイテム (CI)	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。
再利用する権限 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権限がインストールされていて、40 個の権限のみを再利用したいとします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
節減見込み	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の推定削減コスト (未使用の権限 * エンタイトルメントから権限あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに通知、ソフトウェアを削除する許可をメールで要求するためのチェック ボックス。
構成アイテム (CI)	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   削除候補レコードが作成されます。[一括再利用] チェックボックスをオンにすると、削除候補のステータスが [要注意] に変わります。次の手順に進む前に、次のサブステップを実行してソフトウェアインストールを追加してください。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

   a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [新規] を選択します。

   b. ソフトウェアインストールを選択し、[保存] を選択します。
      追加したソフトウェア インストールが [ソフトウェア インストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要注意] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。引き続き [新規] を選択して、ソフトウェアのインストールを追加します。すべてのソフトウェア インストールを削除することにした場合、ステータスは [要確認] に戻り、名前は [名前] フィールドに表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。

7. [再利用] を選択します。

   ソフトウェア インストールが再利用されてシステムから削除されると、[ソフトウェア インストール] 列は空になります。[ソフトウェアのインストール] 関連リストの次のフィールドを参照して、再利用されたソフトウェアのインストール履歴についてのインサイトを得ることができます。

   - 表示名
   - 製品
   - パブリッシャー
   - ソフトウェアモデル

   フォームの任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。
スキップ項目をクローズ	権限を再利用せずに削除候補をクローズします。
削除	削除候補を削除してください。

ユーザーまたはデバイスの割り当てのコピー

ユーザーまたはデバイスの割り当てを 1 つのエンタイトルメントから別のエンタイトルメントにコピーします。

始める前に

ソースエンタイトルメントからターゲットエンタイトルメントに割り当てをコピーして、期限切れのエンタイトルメントを更新するか、新しいメンテナンスを追加します。さらに、別のエンタイトルメントと同じ割り当てを必要とするエンタイトルメントを作成するときに、割り当てをコピーすることもできます。

割り当てのコピー元のエンタイトルメントは、ソースエンタイトルメントと呼ばれます。割り当てのコピー先のエンタイトルメントは、ターゲットエンタイトルメントと呼ばれます。

ユーザー割り当ては、ユーザー割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。同様に、デバイス割り当ては、デバイス割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。ライセンスのメトリクスの詳細については、「 ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。

選択したユーザーまたはデバイスがターゲットエンタイトルメントにすでに割り当てられている場合、その割り当ての数量が増分されます。

割り当てをコピーする前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

- ターゲットエンタイトルメントで十分な割り当てが利用可能。[割り当てのコピー] ボタンは、エンタイトルメントで利用可能な割り当てがゼロより大きい場合にのみ表示されます。コピーされる割り当ての数が、ターゲットエンタイトルメントで使用可能な割り当ての数を超えると、エラーが発生します。
- ターゲットエンタイトルメントが [ビルド]、[使用中]、または [発注済み] ステータスである。
- ターゲットエンタイトルメントで十分な権利が利用可能。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. ユーザーまたはデバイスの割り当てをコピーするターゲットエンタイトルメントを開きます。
3. 適切な割り当て関連リスト ([ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て]) を選択します。
4. [割り当てのコピー] を選択します。
   利用可能な割り当て、ライセンスタイプ、アクティブな権限などのターゲットエンタイトルメントの詳細がページの上部に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [ソースエンタイトルメント] リストから、割り当てのコピー元のエンタイトルメントを選択します。
   ライセンスメトリクス、メトリクスグループなどのソースエンタイトルメントのすべての詳細が [詳細] ページに表示されます。
6. [ソース割り当て] 関連リストを選択し、割り当てを選択します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

   割り当てのコピープロセスが正常に完了すると、[送信] は無効になります。割り当てのコピーが処理中であることを通知するメッセージが表示されます。メッセージ内のリンクをクリックすると、ステータスを確認できます。

   リンクをクリックすると、ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log] テーブルに移動します。[名前] 列を使用して、 *Copy Allocations to < >* というタイトルのジョブログレコードを検索します。山括弧はターゲットエンタイトルメントの表示名を示します。

消費ルールの作成

ライセンス消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > 消費ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しい消費ルールの作成 (Create New Consumption Rule)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しい消費ルールが [消費ルール] リストビューに表示されます。このルールは 1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

消費ルールをエンタイトルメントにリンク

消費ルールを作成したら、そのルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

始める前に
消費ルールは、次のライセンスメトリクスではサポートされていません。

- IBM RVU
- IBM UVU
- Workday
- 従業員

これらのライセンス測定基準では、エンタイトルメントフォームの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストは表示されません。

必要なロール：sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. 消費ルールをリンクするエンタイトルメントを開きます。
3. [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタイトルメント消費ルールの作成 (Create New Entitlement Consumption Rule)] ページが開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。
6. [保存] を選択し、
   消費ルールが [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストに表示されます。

検出されたエンジニアリングライセンスをワークスペースで表示する

ソフトウェア資産ワークスペースで、エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

エンジニアリングアプリケーションのすべての正規化された公開者と製品のリストを表示できます。バージョン、ライセンスの数量、ライセンスのタイプなどの追加情報も表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. [ディスカバリー] リストビューから [検出されたエンジニアリングライセンス] を選択します。
3. レコードをクリックすると、詳細が表示されます。
   これにより、会社のページがクラシックビューで表示されます。

ワークスペースでのエンジニアリングライセンスサーバーの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、OpenLM または Open iT が ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続するライセンス管理サーバーのリストを表示します。

始める前に
サーバーの名前とタイプ、現在のステータス、現在アクティブかどうか、前回の接続時間などの情報が表示されます。

> **注:**
> エンジニアリングライセンスサーバーは、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (com.sn_samp_eng_app) プラグイン が有効になっている場合にのみ表示されます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > エンジニアリングライセンスサーバー.
2. 詳細を表示するライセンスサーバーレコードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する

ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに存在しない公開されているソフトウェア製品のカスタムソフトウェア製品を追加します。カスタムソフトウェア製品を使用すると、まだ ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に含まれていないソフトウェア製品を正規化して考慮に入れることができます。

始める前に

ソフトウェア資産管理 アプリケーションでカスタムソフトウェア製品のコンテンツ要求を送信できるようにする場合は、ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインしてから、カスタムソフトウェア製品 KPI を有効にします。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューのナビゲーションメニューから、次の場所に移動します コンテンツ > カスタムソフトウェア製品.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しいカスタムソフトウェア製品の作成 **(Create New Custom Software Product)]** フォーム

フィールド	説明
公開者	カスタム ソフトウェア製品の公開者。
製品	カスタム ソフトウェア製品の名前。
サブスクリプション ソフトウェア	カスタムソフトウェア製品にサブスクリプションがあるかどうかを示すオプション。
製品タイプ	ソフトウェア製品のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 子:メインのソフトウェア製品のコンポーネント。このソフトウェア製品タイプはライセンスできません。 ○ ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 ○ ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 ○ ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 ○ パッチ:既存のコンピュータープログラムを更新、修正、または改善するソフトウェア製品。 ○ 不明:不明なソフトウェア製品。
製品分類	カスタムソフトウェア製品の国連標準製品とサービスコード® (UNSPSC) 分類。
[Active (アクティブ)]	カスタムソフトウェア製品がアクティブかどうかを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	カスタムソフトウェア製品が ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスと共有されないようにするオプション。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果

カスタムソフトウェア製品は、正規化や調整などの下流プロセスですぐに使用できます。[コンテンツサービスから除外] オプションを有効にしたかオフにしたかに応じて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはカスタムソフトウェア製品を引き続き使用するか、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品の使用を開始できます。

- [コンテンツサービスから除外] オプションを有効にした場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはダウンストリームプロセスでカスタムソフトウェア製品を引き続き使用します。
- [コンテンツサービスから除外] オプションをオフにした場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションは次のように処理されます。
  1. ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、対応するコンテンツ要求を自動的に作成し、コンテンツサービスチームに送信します。
  2. コンテンツサービスチームが要求をレビューして承認すると、ソフトウェア製品がソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに追加されます。
  3. 次回のスケジュール設定済みコンテンツ更新時に、 コンテンツライブラリ 内の新しいソフトウェア製品が ServiceNow インスタンスにプッシュされてから、カスタムソフトウェア製品にマッピングされます。
  4. ソフトウェア資産管理アプリケーションは、カスタムソフトウェア製品をコンテンツライブラリ内のソフトウェア製品と統合できるようにする製品提案を自動的に生成します。この統合により、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照が、 コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品への参照で更新されます。提案を承認するか却下するかを選択できます。
     - 提案を受け入れると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、下流プロセスの コンテンツライブラリ にあるソフトウェア製品の使用を開始します。
     - 提案を却下した場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはダウンストリームプロセスでカスタムソフトウェア製品を引き続き使用します。

     製品の提案の詳細については、「 ワークスペースでのカスタムソフトウェア製品の提案の表示」を参照してください。

ワークスペースでのカスタムソフトウェア製品の提案の表示

カスタムソフトウェア製品を ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品と統合できるようにする製品の提案を表示します。これらのソフトウェア製品を統合することで、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照を、 コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品への参照で更新できます。これらの提案を承認するか却下するかを選択できます。

始める前に

必要なロール：

- sam_admin:製品の提案を承認または却下します。
- sam_user:製品の提案を表示します。

このタスクについて

ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに存在しない公開されているソフトウェア製品に対して、カスタムソフトウェア製品を追加できます。カスタムソフトウェア製品の詳細については、「 ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューのナビゲーションメニューから、次の場所に移動します コンテンツ > カスタムソフトウェア製品の提案.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. カスタムソフトウェア製品のすべての製品提案のリストを表示します。
製品の提案レコードを選択すると、提案の詳細が表示されます。提案を受け入れるか却下するかを選択することもできます。
   - 提案を受け入れると、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照が、 ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品への参照に更新されます。
   - 提案を却下した場合、カスタムソフトウェア製品への参照はすべて同じままになります。

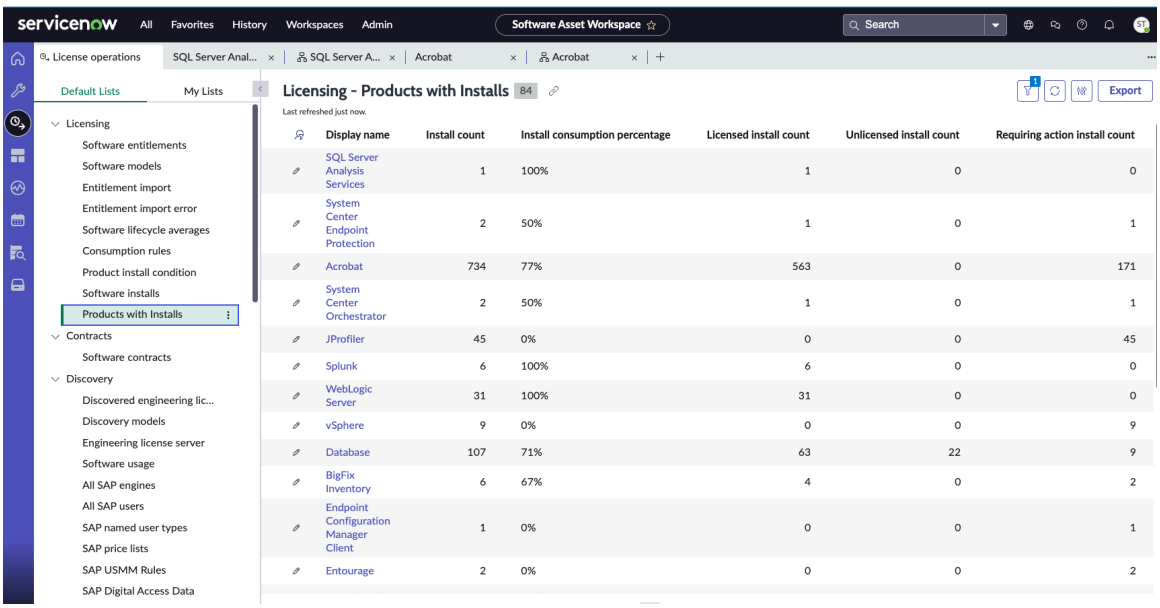
インストールのライセンス使用状況の表示

ソフトウェアインストールを使用されたライセンスに接続し、ライセンス済み、ライセンスなし、無視、アクションが必要などのステータスを特定することで、インストールからライセンスまでのジャーニーを追跡します。

始める前に
必要なロール:sam_manager

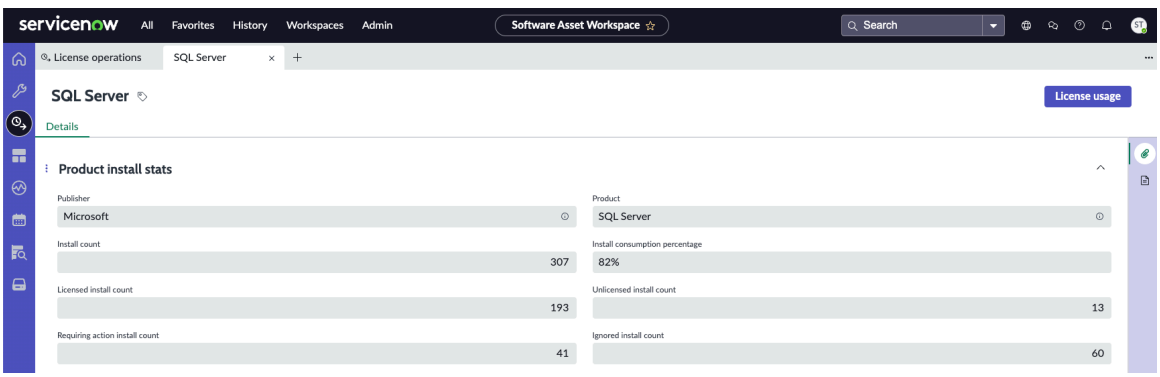
手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > インストール済み製品.



前のページでは、インストールされているすべての製品を紹介し、これらのインストールがどのように使用され、ライセンス付与されているかの概要を示します。

2. 製品を選択して [詳細] ページを開きます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ライセンス使用状況] を選択します。

製品の [ライセンス使用分析] ページが開き、ライセンスの使用状況を示す 4 レベルのノードマップが表示されます。

4. 4 レベルのノードマップを表示して、製品のライセンス使用状況を把握します。
   - ノードマップの最上位レベルが製品を表します。
   - 第 2 レベルには、さまざまな製品バージョンとエディションのノードがあり、各バージョンとエディションの組み合わせには独自のノードがあります。
   - 第 3 レベルのノードは、ライセンス済み、ライセンスなし、アクションが必要、無視など、インストールのライセンスステータスを示します。
   - 第 4 レベルのノードには、使用中のライセンスを示すインストールグループのライセンス結果が表示されます。

   ノードを選択すると、ソフトウェアインストールリストを詳しく調べたり、個々のインストールレコードを調べたりすることができます。

   ノードマップの右上隅には、現在のノードマップを生成した調整番号と、前回の調整実行のタイムスタンプが表示されます。ドメインセパレーション設定を有効にして調整を実行すると、複数のノードマップが表示されます。

5. オプション: ページの右側にある [マップをエクスポート] アイコンを選択して、このノードマップを画像としてダウンロードします。

ワークスペースでの製品ライフサイクルの平均を作成

ソフトウェア資産ワークスペースで平均を作成して、ソフトウェアのサポート終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクルを計算します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
すべての製品とパブリッシャーに対してグローバルで使用できる平均を作成することも、製品またはパブリッシャーに固有の平均を作成することもできます。これらの平均は、製品の計算されたライフサイクルを作成するために使用されます。

`com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles`システムプロパティが有効になっていることを確認します。その他の詳細については、「製品ライフサイクル」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、新しいソフトウェアライフサイクル平均の作成ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプです。次のオプションから選択します。 ○ カスタム業界平均:一般提供 (GA) 日に基づく業界平均を参照します。 ○ 製品:特定の製品を指します。これにはカスタム製品も含まれます。 ○ パブリッシャー:特定のパブリッシャーを指します。これにはカスタムパブリッシャーも含まれます。
表示名	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで値 [製品] を選択した場合にのみ表示されます。
パブリッシャー	このフィールドは、製品を選択すると自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで [公開者] を選択した場合は、公開者を選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均サポート終了期間 (月)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。
[Active (アクティブ)]	ソフトウェアライフサイクルの作成にライフサイクル平均レコードを使用することを示します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

ワークスペースでの正規化の提案の表示

ディスカバリーモデル用に作成された正規化提案レコードをソフトウェア資産ワークスペースで表示します。これらの提案を承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

正規化提案レコードは、正規化提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに保存されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. Discovery リストビューで [正規化の提案] を選択します
3. 正規化の提案レコードを選択して、その詳細を表示します。
   正規化の提案フィールドの詳細については、「 ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。
4. 検出モデルを正しい値で更新する場合は [承認] を選択し、手動で正規化された値を保持する場合は [却下] をクリックします。

   注:
   正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_admin ロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「 ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

ワークスペースでの正規化を元に戻す

ソフトウェア資産ワークスペースでディスカバリーモデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に
ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] のディスカバリーモデル、およびパターンルールを使用して正規化されたディスカバリーモデルは、元に戻すことはできません。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. ディスカバリーモデルレコードを選択します。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
   正規化を元に戻すプロセスが完了すると、フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェアディスカバリーモデルに関連付けられているルールはすべて非アクティブ化されます。

ワークスペースのエディション値を手動で上書き

ソフトウェア インストールのエディションが自動的に検出されない場合は、[ソフトウェア インストール] フォームでエディションを指定すると (既知の場合)、ソフトウェアの調整を正常に実行できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動的に検出されない (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれません) が、エディションがわかっている場合は、手動で正しい値 (Enterprise など) に設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールのディスカバリーモデルが自動的にリセットされます。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

> **注:**
> すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. ディスカバリーモデルを選択します。
3. [ディスカバリーモデル] ページで、ディスカバリーモデルを開きます。
4. [ソフトウェアインストール] タブを選択し、エディション値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。

   > **注:**
   > [エディションの上書き] フィールドはフリーフォームのフィールド (ルックアップリストなし) であり、このフィールドはキーとして使用されるため、入力する値は正確である必要があります。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ソフトウェアインストールは、プライマリーキーの一部としてエディションの値を含む別のディスカバリーモデルに関連付けられています。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

ワークスペースでのソフトウェアモデルの手動正規化

完全に正規化されていない (一部正規化されている、パブリッシャーが正規化されている、または一致項目が見つからない) ソフトウェアディスカバリーモデルを手動で正規化して調整することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. 正規化ステータスが[一部正規化済み]、[正規化済みパブリッシャー]、または [一致項目は見つかりませんでした] のディスカバリーモデルレコードを選択します。
3. ページの右側にある省略記号アイコンを選択します。
4. [正規化] を選択します。
   正規化ステータスが [手動で正規化済み] に変わります。

ソフトウェア製品間の親子関係の作成

ソフトウェア製品間の親子関係を作成および定義して、子製品が親製品からライフサイクル日付を継承できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューのナビゲーションメニューから、次の場所に移動します コンテンツ > 親子関係.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しいソフトウェア製品の親子関係を作成 **(Create New Software Product Parent -Child Relationship)]** フォーム

フィールド	説明
親製品	指定された子製品がライフサイクル日付を継承する親製品。
子製品	指定された親製品からライフサイクル日付を継承する子製品。このフィールドを空のままにすると、一括親子関係が作成され、指定された親製品と同じパブリッシャーのすべての製品がその子と見なされ、ライフサイクルの日付が継承されます。
[Active (アクティブ)]	親子関係がアクティブかどうかを示すオプション。
除外	指定された親製品を使用して定義された既存の一括親子関係から、指定された子製品を除外するオプション。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
子製品に独自のライフサイクル日付がまだない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、指定された子製品のライフサイクル日を指定された親製品のライフサイクルの日付で自動的に更新します。

次のタスク
ライフサイクル管理ダッシュボードで、親と子の両方のソフトウェア製品のライフサイクル日付とその他のライフサイクル情報を表示します。このダッシュボードにアクセスするには、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理. このダッシュボードの詳細については、「 ライフサイクル管理ダッシュボード 」を参照してください。

ソフトウェア製品の輸出分類管理番号 **(ECCN)** マッピングの表示

ソフトウェア製品にマッピングされている ECCN のリストを表示します。この情報を使用して、米国の輸出管理規制の対象となる商品を特定します。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
ECCNは、米国商務省の輸出管理規制の対象となる製品を識別するのに役立つ5文字の英数字キーです。各 ECCN は、製品タイプと対応する技術パラメーターに基づいて、製品の輸出ライセンス要件を定義します。利用可能な ECCN の完全なリストは、輸出管理規則 (EAR) の Part 774 の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Supplement No. 1 として政府印刷局の Web サイトで入手できる Commerce Control List (CCL) で表示できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューのナビゲーションメニューから、次の場所に移動します コンテンツ > ソフトウェア **ECCN** マッピング.
4. ソフトウェア製品にマッピングされている ECCN の完全なリストを表示します。

> **注:**
> ECCN マッピングはキュレーションされ、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに保存されます。ただし、 コンテンツサービス チームは、ECCN とソフトウェア製品の間のマッピングを指示しません。各 ECCN は、特定のソフトウェア発行者によって公開された公式の ECCN 情報、または産業安全保障局 (BIS) によって提供された公式の分類のいずれかにのみ基づいて、適切なソフトウェア製品にマッピングされます。

ソフトウェア使用状況の表示または作成

ソフトウェア使用レコードを表示して、再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft SCCM 統合からソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でソフトウェア使用状況を表示または作成するオプションは非アクティブです。

ソフトウェア使用 [samp_sw_usage] テーブルは、バージョンやエディションレベルではなく、製品レベルまでの使用状況を追跡します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

ソフトウェア使用レコードを手動で作成するには、次の手順に従います。

手順

1. [新しいソフトウェア使用を作成] フォームに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[新しいソフトウェア使用を作成 **(Create New Software Usage)]** フォーム

フィールド	説明
ソフトウェア使用	
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
再利用タイプ	ソフトウェアのインストールで使用される再利用のタイプ。オプションは、[合計使用時間] と [前回の使用日] です。 **注:** [合計使用時間] を選択すると、[使用状況計測データ] フォームセクションが表示されます。[最終使用日] を選択すると、[最終使用日] フォームセクションが表示されます。
構成アイテム	ソフトウェア製品が関連付けられている構成アイテム (CI)。 **注:** [CI ステータス] または [ハードウェアステータス] フィールドが [廃止] または [盗難] に変更されると、CI に関連するインストールは削除されます。
ユーザー	ソフトウェア製品を使用しているユーザーの名前。
使用状況計測データ **注:** このフォームセクションは、 再利用タイプ が [合計使用時間] に設定されている場合にのみ表示されます。	
月	ソフトウェア製品が使用された月。
年	ソフトウェア製品が使用された年。
使用回数	ソフトウェア製品がアクセスされた回数。
合計使用時間 (秒)	ソフトウェア製品が使用された時間 (秒)。
最後に使用されたデータ **注:** このフォームセクションは、 再利用タイプ が [最終使用日] に設定されている場合にのみ表示されます。	
前回の使用時間	ソフトウェア製品が最後に使用された日時。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

ワークスペースでの **SAP** エンジンの表示

各エンジンのライセンスメトリクスに基づいて、 SAP クライアントの毎月のエンジン使用率の測定値を表示します。

始める前に
SAPシステムからプルされたすべての検出済みユーザーを表示することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** エンジン] を選択します。
3. SAPエンジンレコードを選択すると、SAPシステムユーザーとSAPエンジンの使用状況の詳細が表示されます。

ワークスペースで **SAP** ユーザーを表示

ソフトウェア資産ワークスペース内のSAPシステムからプルされたすべての検出済みユーザーを表示します。

始める前に
検出されたユーザー [samp_discovered_user] テーブルは、検出された SAP ユーザーをユーザー [sys_user] テーブルのシステムユーザーレコードにマッピングします。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** ユーザー] を選択します。
3. レコードを選択すると、 SAP ユーザーロール、 SAP ユーザーのアクティブなトランザクション、 SAP ユーザーアクティビティ、 SAP Web アクティビティなどの詳細が表示されます。
   - SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]: SAP ユーザーとそのアサインされたロール。
   - SAP ユーザーのアクティブなトランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]: SAP クライアント上の名前付きユーザーのトランザクションアクティビティに関連するデータ。ユーザートランザクションアクティビティは、SAPクライアントでトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるSAPトランザクションコードに基づいています。たとえば、ME21N トランザクションコードを使用すると、 SAP で発注書を作成できます。
   - SAPユーザーアクティビティ [samp_sap_user_activity]:SAPシステムで費やされた時間や作成または更新されたデータベースレコードの数など、SAPクライアントでのユーザーのアクティビティに関連するデータ。
   - SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]: SAP クライアントで実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ (各接続で送受信されたコールの数やデータ量など)。

ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成

ソフトウェア資産ワークスペースで、 SAP ソフトウェアエンタイトルメントで使用できるカスタム指名ユーザータイプを作成します。カスタム指名ユーザータイプを作成すると、ユーザーは SAP システムに固有のライセンスを追跡できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ServiceNow インスタンスで直接作成したカスタムSAP名前付きユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムで同じ変更を行う必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. **SAP** 指名ユーザータイプを選択します。
3. [新規] を選択し、詳細を入力します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格表。
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示します。
アクセス権を付与	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
Value (値)	指名ユーザータイプに関連付けられた値。この値は数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示します。
[Active (アクティブ)]	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
指名ユーザータイプが [指名ユーザータイプ] リストに追加されます。

ワークスペースでのカスタム **SAP** 価格表の作成

カスタムSAP価格表を作成して、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注:
ServiceNow インスタンスで直接作成したカスタムSAP価格リストは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムで同じ変更を行う必要があります。

手順

1. ソフトウェア資産ワークスペースから、ライセンス操作ビューを開きます。
2. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **Discovery** > **SAP** 価格リスト.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [新規カスタム価格リストの作成] フォームで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいカスタム価格表を作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。
[Active (アクティブ)]	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   SAP価格リストレコードに自動的にリダイレクトされます。
6. オプション: SAP指名ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けます。

   a. SAP 価格リスト レコードの 名前付きユーザー タイプ タブで、新規 を選択します。

   b. [新しいカスタム指名ユーザータイプを作成] フォームで、フィールドに入力します。

新しいカスタム指名ユーザータイプの作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持っているかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
Value (値)	名前付きユーザータイプを識別する英数字値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。調整中は、ランク値が小さいほど優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   d. 追加するカスタム指名ユーザータイプごとに、手順 a ～ c を繰り返します。

ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. **[SSO** アプリケーション] を選択します。
   接続されているすべての SSO アプリケーションと切断されている SSO アプリケーションのリストが表示されます。
3. アプリケーションレコードを選択すると、アプリケーションの SSO アプリケーショングループ、ユーザー、SSO サブスクリプション、再利用候補などの追加の詳細が表示されます。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介してはアクセスできないすべてのユーザー。
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスと、グループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、[SSO サブスクリプション] リストには 1 つのレコードのみとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト	説明
	注: ○ **SSO** アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権を付与する方法を確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザーの名前である場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションを ソフトウェア資産管理 再利用することはできません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 ○ SSO サブスクリプションが SSO アプリケーショングループを介して作成された場合、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空です。SSO アプリケーションユーザーを介してサブスクリプションが作成される場合、[サブスクリプションがアサイン されました] の値には、サブスクリプションがユーザーにアサインされた日付が表示されます。ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードすると、SSO アプリケーショングループで作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプションアサイン値は空になります。
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

ワークスペースでの **SSO** グループの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. **SSO** グループを選択します。
3. グループレコードを選択すると、そのグループ内のユーザーや子グループなどの詳細が表示されます。

ワークスペースでの SSO ユーザーの表示

グループのメンバーシップを介してではなく、ソフトウェア資産ワークスペースで SSO アプリケーションに直接アクセスできるすべてのユーザーの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. **[SSO** ユーザー] を選択します。
3. ユーザーレコードを選択すると、そのユーザーに関連する追加の詳細が表示されます。

ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成

クライアントアクセスライセンス (CAL) を使用して、サーバーソフトウェアの特定のバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理するために、クライアントアクセスレコードを追加します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

> **注:**
> sam_user ロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて
ソフトウェア資産管理 はクライアントアクセスレコードを使用して、次のライセンスメトリクスに基づいてサーバーソフトウェアを調整します。

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
Citrix	• ユーザーあたり • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位 • 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス
CrowdStrike	• 予約済み時間平均センサー • センサーサブスクリプション **注:** これらのライセンスメトリクスは、Yokohama パッチ 1、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8、および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 バージョン以降で使用できます。パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、 KB1801232 を参照してください。

ライセンスのメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [メトリクス属性] 関連リストからアクセスできます。

重要:
対応するソフトウェアモデルの [割り当てに対するクライアントアクセスOracle自動生成] オプションを使用して、ソフトウェア資産管理 アプリケーションで Database Server のクライアントアクセスレコードを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションOracle要求する必要があります。[割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、ソフトウェアモデル フィールドを参照してください。Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、OracleOracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集の要求を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューで、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの [リスト] タブで、 クライアントアクセス > クライアントアクセス.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [新しいクライアントアクセスを作成 (Create New Client Access)] フォームのフィールドに入力します。

[新しいクライアントアクセスを作成 **(Create New Client Access)]** フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	クライアントアクセスレコードの名前。
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連するサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 たとえば、2 人のユーザーが Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメント Microsoft Windows 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたユーザー CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 手順 7 を参照してください。 ○ デバイス **CAL**: 各デバイスを使用してサーバーにアクセスしているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 台のデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたデバイス CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 7 を参照してください。 ○ ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイスの CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスのライセンスに基づいています。 たとえば、2 人のユーザーと 2 台のデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには、2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたユーザー CAL とデバイス CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 7 を参照してください。 ○ 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品にアクセスする各ユーザーにライセンス付与します。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする特定のユーザーの数をライセンスします。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 従業員ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織内のユーザーの合計数をライセンスします。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織外のユーザーの合計数をライセンスします。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 予約済み時間平均センサー:このメトリクスは、1 クロック時間あたりの一意のアクティブエンドポイントの数をカウントし、28 日間のローリング期間で平均します。予約済みの時間平均センサーライセンスの数は、各時間の開始時にリセットされます。 ○ センサーサブスクリプション:このメトリクスは、4 週間連続するエンドポイント数を平均することでライセンス使用率を計算します。週次エンドポイント数は、過去 7 日間に消費されたエンドポイントの合計数に基づいています。 **注:** 予約済み時間平均センサーおよびセンサーサブスクリプションライセンスのメトリクスは、 CrowdStrike にのみ適用され ソフトウェア資産管理 Yokohama パッチ 1 および ソフトウェア資産管理 2.1.0 バージョン以降で使用できます。
WebLogic アプリケーション **注:** このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェア モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザーまたはデバイスにアクセス権が付与されている WebLogic Server アプリケーション。
データベースインスタンス **注:** このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	OracleOracleデータベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンス。
ソース **注:** このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のオプションのいずれかに自動的に設定されます。 ○ **ServiceNow**:クライアントアクセスレコードデータが、毎日またはオンデマンドで実行されるスケジュール済みジョブ [SAM - DB サーバーユーザーとの自動生成クライアントアクセスの同期 (Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] によって自動的に生成されたことを示します。 ○ 内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
カウント	関連するサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Oracle データベースサーバーのクライアントアクセスレコードが自動的に生成される場合、このフィールドは、現在レコードに追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 7 を参照してください。 注: Citrixソフトウェア モデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイス ライセンスの数に基づきます。
PaaS 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスが Amazon Web サービス (AWS) の Amazon Relational Database Service (RDS) によって管理されているかどうかを示すオプション。
コストセンター	関連するサーバーへのアクセス権が付与されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
Department (部門)	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
場所	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
フォームが再ロードされ、[ユーザー] タブと [デバイス] タブが表示されます。
7. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[タイプ] フィールドで選択した CAL タイプに基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアントアクセスレコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスがさまざまなクライアント アクセス レコード間で複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [タイプ] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[認定ユーザー]、[認定ユーザーの値単位]、[従業員ユーザーの値単位]、または [外部ユーザーの値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注:
     Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [ユーザー] タブを選択し、[新規] をクリックします。

[新しいクライアントアクセスユーザーブレークダウンを作成 (Create New Client Access User Breakdown)] フォームが新しいタブで開きます。

b. [ユーザー] フィールドで、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを検索して選択します。

指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザータイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザータイプ] フィールドを変更できます。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーごとに、手順 a-d を繰り返します。

- [種類] フィールドを [デバイス **CAL** またはユーザー/デバイス **CAL (User / Device CAL)**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

  注:
  Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

  a. [デバイス] タブを選択し、[新規] を選択します。

  [新しいクライアントアクセスデバイスブレークダウンを作成 (Create New Client Access Device Breakdown)] フォームが新しいタブで開きます。

  b. [デバイス] フィールドで、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

  指定したデバイスに対して [アクティブ] フィールドと [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

  c. [**Save** (保存)] をクリックする。

  d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

  e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに、手順 a-d を繰り返します。

8. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを付与するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

重要:
この手順は適用できません 関連するソフトウェアモードで [クライアントがアクセスするすべてのインストールのライセンス] オプションを有効にしている場合l。このオプションを有効にすると、ソフトウェアのインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて CI にライセンスが付与されます。このオプションの詳細については、 ソフトウェアモデル フィールド を参照してください。

Windows Server の場合、各サーバーのインストールには、関連付けられたクライアントアクセスレコードのユーザーおよびデバイス CAL 権限とは別にライセンスされる、コアごとの (CAL を含む) 権限が必要です。Oracle Java などの他の製品では、サーバーのインストールに別途ライセンス付与される権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Oracle Java にアクセスしているユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、 ソフトウェア資産管理 を有効にして、対応する Oracle Java インストールにライセンス済みとして自動的にマークを付けることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は CAL ライセンスの一部として Oracle Java インストールにライセンスを付与します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユーザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを ソフトウェア資産管理 判断できるようになります。クライアントアクセスレコード上のすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールもライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールで追加のライセンスは消費されません。

a. **[Devices with Installations]** タブを選択し、[**New**] をクリックします。

b. [新しいクライアントアクセスインストール済みデバイスを作成 (Create New Client Access Installed Device)] フォームの [デバイス] フィールドで、関連するサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。
指定した CI の [アクティブ] フィールドは自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. 関連するサーバーがインストールされている CI ごとに、手順 a-d を繰り返します。

次のタスク
クライアントアクセスレコードを作成すると、関連するサーバーソフトウェア上でスケジュール済みジョブまたはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果は [ライセンス使用状況] ビューで確認できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修復オプションを使用して、サーバー ソフトウェアの非準拠を修正できます。

- **[Purchase Rights]**:必要な権限の数が、指定したサーバーソフトウェアのすべてのクライアントアクセスレコードで所有している権限の数よりも多い場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成:指定されたサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加された無認可のユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当てを削除:十分な権限がない場合に、ライセンスを付与されたユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

リソース値レコードの作成

ライセンス要件を計算するソフトウェアモデルごとにリソース値レコードを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > リソース値.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース値] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	リソース値の名前。
ソフトウェアモデル	リソース値が関連付けられているソフトウェア製品のソフトウェアモデル。
会社	関連するリソース値レコードの会社。
場所	関連付けられたリソース値レコードの物理的な場所。
消費されたユニット	現在消費している関連ソフトウェア製品のリソース値単位の合計数。たとえば、データ保護ソフトウェア製品を使用して 50 テラバイトのデータを保護している場合は、[消費ユニット] フィールドを 50 に設定します。 従業員ライセンスメトリクスを使用する Java SE ソフトウェアモデルの場合、[消費ユニット] フィールドは、ライセンスを消費している従業員の数に設定する必要があります。
Department (部門)	リソース値レコードが割り当てられている部門。
コストセンター	リソース値に対して財務的に責任を負うコストセンター。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

> 注:
> 同じソフトウェアモデルに対して複数のリソース値レコードを作成し、一意の名前を付けることができます。調整を実行する前に、同じソフトウェアモデルを持つすべてのリソース値レコードが考慮されます。

タスクの結果
作成したリソース値レコードが [リソース値] リストビューに表示されます。

ワークスペースでのユーザーサブスクリプションの作成

ソフトウェア資産ワークスペース内のユーザーの SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを作成します。

始める前に
ユーザーサブスクリプションオプションは、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI でユーザーサブスクリプションを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. [新しいソフトウェアサブスクリプションを作成] フォームに移動します。

2. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. フォームのフィールドに入力します。

新しいソフトウェアサブスクリプションを作成

フィールド	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
パブリッシャー	サブスクリプションのパブリッシャー。
製品	サブスクリプションのソフトウェア製品。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
ユーザー	このサブスクリプションが割り当てられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された日付。
非アクティブな日数	ユーザーのサブスクリプションが非アクティブであった日数。 このフィールドは、[前回のアクティビティ] フィールドが空でない場合に [ソフトウェアサブスクリプション] フォームに表示されます。非アクティブ日数は、[前回のアクティビティ] フィールドの値を使用して計算されます。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

- ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント
- ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成
- ワークスペースでのエンタイトルメントの作成

ワークスペースで公開者の品番 **(PPN)** の提案を表示する

ソフトウェア資産ワークスペースで、カスタム PPN および DMAP に対するコンテンツサービスの提案を表示します。

始める前に
PPN 提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN 提案レコードは、部品番号提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール:sam_admin。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
   [パブリッシャーの詳細] ページと [進捗状況インジケーター] セクションに移動して、[ライセンス使用状況] ビューから部品番号の提案を表示することもできます。
2. [コンテンツの提案] リストビューから [部品番号の提案] を選択します。
3. 提案レコードを開いて、[部品番号の提案] ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、[部品番号の提案 (Part number suggestion)] ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨される部品番号の詳細が含まれています。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
4. [承認] または [却下] を選択します。
   - [承認**(Accept)**]:コンテンツ サービス PPN と DMAP は、カスタム PPN と DMAP を置き換えます。影響を受けるエンタイトルメントでは、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルではコンテンツサービス DMAP が置き換えられます。
   - 却下:このレコードのステータスは [却下] に変わり、カスタム PPN を引き続き使用します。

段階的な ソフトウェア資産管理 実装の管理

最初に管理する少数のソフトウェア製品にのみ公開することで、段階的な ソフトウェア資産管理 実装を実行します。ソフトウェア製品を管理する必要がなくなった場合は、それらの製品を公開リストから削除することもできます。

ソフトウェア製品を公開するドメイン固有のプロパティを設定します

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用して、特定のドメインのソフトウェア製品の公開プロパティを設定します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを設定するには、ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール:sam_admin または admin

このタスクについて

com.snc.samp.manage.published.product アプリケーションプロパティを使用すると、ソフトウェア資産管理 の段階的な実装でソフトウェア製品の公開を有効にするドメインを指定できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Software Asset Management** > アドミニストレーション > アプリケーション プロパティ.
2. 利用可能なアプリケーションプロパティのリストから、**com.snc.samp.manage.published.products** を選択します。
3. アプリケーションプロパティ値を作成または更新します。
   - アプリケーションのプロパティ値を作成するには、 [新規] を選択します。
   - 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するには、使用可能な値のリストからそのアプリケーションプロパティ値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
Value (値)	アプリケーションプロパティの値。次のいずれかを指定できます。 ○ プロパティ を有効にする場合は true。 ○ プロパティ を無効にする場合は false。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. アプリケーションプロパティ値を保存します。
   - ○ 既存のアプリケーション プロパティ値を更新するには、 [更新] を選択します。
   - ○ 新しいアプリケーションプロパティ値を保存するには、[送信] を選択します。

次のタスク
ソフトウェア資産管理の段階的な実装の一環として、管理するソフトウェア製品を公開します。詳細については、「ソフトウェア製品の特定のセットの公開」を参照してください。

ソフトウェア製品の特定のセットの公開

ソフトウェア資産管理 の現在の実装フェーズの一部であるライセンス可能なソフトウェア製品についてのみ、それらのソフトウェア製品を公開して報告します。最初に少数のソフトウェア製品のみを公開することで、初期の進行状況を評価し、実装のスコープを徐々に拡大することができます。

始める前に
ソフトウェア製品を公開できるようにするには、ServiceNowインスタンスで *com.snc.samp.manage.published.products* システムプロパティまたは *com.snc.samp.manage.published.products* アプリケーションプロパティを有効にします。

注:
アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、ソフトウェア資産管理に対してドメインセパレーションがアクティブ化されているServiceNowインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するドメイン固有のプロパティを設定します」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
注:
レポートの正確なデータを表示するには、次の状況が発生した場合は常に ソフトウェア調整を実行する必要があります 。

- システムプロパティ *com.snc.samp.manage.published.products* が更新されます。
- ソフトウェア製品が公開されるか、公開済みソフトウェアのリストから削除されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産管理ワークスペース > ライセンス操作.
2. **[SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. [**Add**] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> [追加] オプションが使用できない場合は、*com.snc.samp.manage.published.products* プロパティが有効になっていることを確認してください。

4. [公開済み製品に追加] ダイアログ ボックスで、公開するライセンス可能なソフトウェア製品を選択し、[追加] を選択します。

> **注:**
> スイートの一部であるソフトウェア製品を公開すると、親ソフトウェアスイートとその子ソフトウェアコンポーネントの詳細を含むリンクを含むメッセージが表示されます。詳細を表示し、必要に応じてこれらのソフトウェア製品を公開できます。

タスクの結果

- ソフトウェア製品は、公開者別にグループ化された [公開済み製品] リストに追加されます。
- 製品を公開してソフトウェア調整を実行した後、[ライセンス使用状況] ビューと [ソフトウェア資産の概要] で、公開された製品に固有のレポートのみを表示できます。

公開済みソフトウェア製品を削除

ソフトウェア資産管理実装の一環として管理またはレポートしなくなった公開済みソフトウェア製品を削除します。

始める前に

公開済みソフトウェア製品のリストからソフトウェア製品削除できるようにするには、ServiceNowインスタンスで *com.snc.samp.manage.published.products* システムプロパティまたは *com.snc.samp.manage.published.products* アプリケーションプロパティのいずれかが有効になっていることを確認します。

> **注:**
> アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、ソフトウェア資産管理に対してドメインセパレーションがアクティブ化されているServiceNowインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するドメイン固有のプロパティを設定します」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. **[SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. リストから削除する公開済みソフトウェア製品を選択します。
4. [削除] を選択します。

タスクの結果

削除したソフトウェア製品は、[公開済み製品] リストに表示されなくなります。

製品のインストール条件の作成

調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルに適用される製品インストール条件を ソフトウェア資産ワークスペース に作成します。定義された製品インストール条件を満たすソフトウェア製品のみが調整に含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
製品のインストール条件を作成するには、 ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、「 ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
インストール条件は、ソフトウェア製品をインストールできる場所を定義します。製品のインストール条件には、調整中の製品のすべてのソフトウェアモデルインストールが考慮されます。

注:
ソフトウェア製品スイート全体ではなく、特定のソフトウェアモデルに対してインストール条件を設定する場合は、ソフトウェアインストール条件を追加することを選択できます。ソフトウェアインストール条件の追加の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ライセンス.
2. [製品のインストール条件] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 利用可能な製品のリストから製品を選択します。
5. **[Set Conditions** (条件の設定)] を選択します。
6. フィールド、演算子、および値を含むフィルター条件を追加します。
   次のオプションを使用して、複数のインストール条件をソフトウェア製品に追加できます。
   - または:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。
   - **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。
   - **+** 新しい条件セット:ソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めるように指定できます。
7. **[Set** (設定)] を選択します。
8. インストール条件を正常に設定したら、[保存] を選択します。
   インストール条件は、ソフトウェア製品の完全なスイートに追加されます。作成したインストール条件は、[製品インストール条件] ランディングページで確認できます。

上書きライセンスコストレコードの作成または更新

要件に基づいて、ソフトウェアエンタイトルメントの上書きライセンスコストレコードを作成または更新します。

始める前に
必要なロール:sam_user、sam_admin

このタスクについて
ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの上書きライセンスコスト情報を手動で追加または更新できます。従業員ライセンスメトリクスのエンタイトルメントを作成すると、価格階層 [samp_price_tier] テーブルに存在するデータに基づいて、 Oracle Java の上書きライセンスコストレコードが設定されます。ライセンス契約に従って、既存の上書きライセンスコストレコードを更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できます。階層ベースの価格モデルの詳細については、「 Oracle Java SE Universal の価格設定モデル」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. 上書きライセンスコストを作成または更新するターゲットソフトウェアモデルを選択します。
3. [ライセンスコストの上書き] タブを選択します。
4. [範囲を新規作成/編集] を選択します。
   - [新規] を選択すると、価格階層 [samp_price_tier] テーブルの従業員数範囲に基づいて下限が計算され、前の上限が 1 増えます。たとえば、以前の従業員範囲が 40000 ～ 49999 の場合、新しいレコードの下限は自動的に 50,000 と入力されます。
   - [範囲を編集] を選択すると、既存のすべてのレコードが非アクティブに設定されます。更新が完了したら [アクティブ化] を選択して、ライセンスコスト範囲を上書きできます。
5. フォームのフィールドに入力します。
   [ライセンスコストの上書き] フィールドと説明の詳細については、「 ライセンスコストを上書き」を参照してください。

   注:
   [既定値に復元] を選択すると、変更を既定値に戻すことができます。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

作成または変更したライセンスコスト上書きレコードが 、[ライセンスコストの上書き] リストビューに表示されます。各レコードについて、次の詳細が表示されます。

- 評価指標グループ
- ライセンスのメトリクス
- ライセンスコスト
- ライセンスとメンテナンスのコスト

ソフトウェアを再利用

使用されていない、または使用頻度の低いインストール済みソフトウェアを再利用または削除することで、環境を最適化します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェアの再利用には、ユーザーのソフトウェアを削除するワークフローが含まれます。使用率が低い、統合によって生成された最適化、サブスクリプションの重複など、複数の理由でソフトウェアを再利用できます。再利用プロセスは、タスクを作成して手動で管理することも、 クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD 2.0) 機能を使用して自動的に管理することもできます。

再利用ワークフローの任意の時点で [ワークフローを表示] を選択すると、ワークフローの現在のステージを確認できます。CSD 2.0 の詳細については、以下を参照してください。 Client Software Distribution 2.0 application

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [ライセンス使用状況] を選択します。
3. [削除候補] タブを選択します。
4. 選択して削除候補レコードを開きます。
   [アサイン先] フィールドに値があることを確認します。そうでない場合は、値を選択します。通常、sam admin ロールがワークフローの所有権を取得し、[アサイン先グループ] フィールドにグループがメンションされていることを確認します。[アサイン先グループ] フィールドにグループを指定すると、承認が正しいグループに送られます。アサイン先グループは、ソフトウェアを保持する要求を承認または却下できるユーザーで構成されます。
5. [再利用] を選択します。

   削除候補レコードのステータスが [準備完了] から [ユーザー待ち] に変わります。ソフトウェアライセンスが割り当てられているユーザーにメール通知が送信されます。ユーザーの詳細は、[削除候補] セクションに表示されます。

   再利用ルールレコードで [ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている場合、メール通知が送信されます。[ユーザーに通知する] チェックボックスをオンにしないと、タスクとメールはユーザーに送信されません。

   ユーザーが ITIL ユーザーの場合、メールと承認タスクの両方がユーザーに対して作成されます。ただし、ユーザーが ITIL ユーザーでない場合は、メールのみがユーザーに送信されます。

   このメールには、ソフトウェアが使用されていないため再利用されることが記載されており、次の 2 つのオプションがユーザーに提供されています。

   - はい:ソフトウェアを保持することを示します。
   - いいえ: ソフトウェアを削除することを示します。

6. [はい] または [いいえ] を選択します。

   ユーザーが [はい] を選択すると、次の手順が実行されます。

   a. 削除候補レコードのタスクが作成されます。
   b. アサイン先グループのメンバーがソフトウェア保持の要求を承認する必要があるため、削除候補レコードのステータスが [承認待ち] に変わります。
   c. アサイン先グループのメンバーが要求を承認または却下します。
      - 承認されると、メール内の要求と削除候補レコードが自動的に [スキップしてクローズ] ステータスに移行します。
      - 要求が却下されると、削除候補レコードのステータスが [失効待ち] に変更され、sam admin ロールによって処理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

CSD 2.0 がインストールされていない場合、SAM アドミニストレーターは、ソフトウェアを手動でアンインストールできる個人に要求をアサインできます。CSD 2.0 がインストールされている場合、ソフトウェアは自動的に削除されます。詳細については、CSD 2.0 のドキュメントを参照してください。

使用量の少ないサブスクリプション、統合サブスクリプション、または重複するサブスクリプションに対して Microsoft 365 製品の最適化が生成されている場合は、Microsoft 365 ポータルからサブスクリプションを自動的に削除できます。

統合または API サポートの再利用がある場合、ユーザーはポータルから自動的に削除されます。

- インストールまたはサブスクリプションを手動で削除した場合、sam admin ロールは手動でワークフローを [完了してクローズ] としてマークする必要があります。ただし、プロセスが自動的に発生した場合は、ワークフローレコードが [完了してクローズ] として自動的に更新されます。

ユーザーが [いいえ] を選択すると、次の手順が実行されます。

a. 削除候補レコードのステータスが [失効待ち] に変わります。

b. 上記のメモで説明したシナリオに基づいて、ソフトウェアの削除が行われます。

注:
使用率が低い理由または重複する理由にグループ化されている削除候補の場合、これら 2 つの理由に対して自動再利用が実行されるため、サブスクリプションを手動で削除する必要はありません。正当化の詳細については、 ソフトウェアのインストールの最適化と削除を参照してください。

資産を再利用するカタログ要求の作成

従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときにソフトウェア資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. サービスカタログに移動します。
2. サービスカタログ ページで、ページの右側にある [検索カタログ] フィールドに「資産の再利用」と入力します。
3. [資産の再利用] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[資産の再利用] フォーム

フィールド	説明
要求者	このカタログ要求を作成したユーザー (HR、マネージャー、従業員など) のロール。
要求元	カタログ要求を送信する対象者の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するか。
資産	資産再利用を送信する対象者に割り当てられた資産。
回収日	資産を再利用する期日。今日の日付または将来の日付を入力できます。
回収方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する方法。資産をピックアップし、従業員が資産を持ち込むか、組織に出荷することができます。
訴訟ホールド方法	法的な理由により資産を保留にする必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及したい指示。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
資産再利用要求が作成されます。要求が作成されたら、sam_user要求に記載されているすべてのタスクをクローズする必要があります。詳細については、「資産回収要求のクローズ」を参照してください。

資産回収要求のクローズ

従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときに、資産再利用要求をクローズしてソフトウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール:sam_userまたは資産。

手順

1. 次のように移動する。 インベントリ > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. 実行する要求を開きます。

   [ソフトウェア資産再利用ライン] 関連リストでは、返されるデバイスごとにデバイス再利用品目が作成され、対応する CI レコードがあり、そこにソフトウェアがインストールされており、そのデバイスが [資産の再利用] フォームで選択されています。たとえば、5 台のコンピューターが従業員にアサインされていた場合、コンピューターごとに個別のデバイス再利用品目が作成されます。

   [資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合は、追加のユーザー再利用品目が作成されます。

3. デバイス再利用品目をクリックします。
[ソフトウェア資産再利用ライン (Software Asset Reclamation Line)] ページが開き 、「資産の受領、評価、更新 」というタイトルのソフトウェア資産再利用タスクが作成されます。
4. [受信、評価、更新] タスクをクリックします。
[ソフトウェア資産再利用タスク] ページが開きます。次に、資産を手動で受領し、資産を再配布または再利用できるかどうかを評価してから、資産を更新する必要があります。
5. [アサイン先グループ] フィールドと [アサイン先] フィールドの値を選択します。
6. すべてのタスクが完了したら、[タスクをクローズ] をクリックします。

   品目のステータスが [完了してクローズ] に変更されました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイプがデバイス再利用であるソフトウェア資産再利用品目ごとに、手順 3 ～ 6 を実行します。

> **注:**
> 従業員から資産を受け取ったら、[資産] ページに移動し、[ステータス] フィールドと [アサイン先] フィールドの値を変更します。資産はユーザーに割り当てられていないため、[担当者] フィールドが空であり、[状態] フィールドが [使用中] ステータスになっていないことを確認してください。

更新された資産にデバイス割り当てがある場合、「 デバイスライセンス割り当てを削除 」というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のデバイス割り当てレコードはすべて削除され、タスクは [完了してクローズ] としてマークされます。

更新された資産にソフトウェアインストールレコードがある場合、「 ソフトウェアインストールを削除 」というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のすべてのソフトウェアインストールレコードが削除され、タスクが [完了してクローズ] としてマークされます。

すべてのデバイス再利用タスクが完了し、ユーザー再利用品目が作成されない場合、カタログ要求のステータスは [完了] に変わります。ただし、ユーザー再利用タスクが作成された場合は、次の手順を実行してユーザー再利用品目を完了してクローズする必要があります。

> **注:**
> [資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合は、ユーザー再利用タスクが作成されます。

[資産再利用要求] フォームに記載された再利用日を過ぎると、ユーザー再利用ワークフローが開始されます。すべてのユーザーライセンス割り当てを削除するために、「 ユーザーライセンス割り当ての取り消し 」というタイトルのユーザーライセンス割り当てタスクが自動的に作成されます。完了する必要があるいくつかの手動タスクも作成されます。

7. 次の手動ユーザー再利用タスクを完了します。
   - SSO アクセスを取り消す (従業員が SSO プロバイダープラグインを有効にしていた場合)
   - Citrixアクセスを取り消す (従業員が Citrix プラグインを有効にしている場合)
   - SAPアクセスを取り消す (パブリッシャーパックプラグインが有効になっている場合SAP)
   - ユーザーサブスクリプションを取り消します。タスクを開き、ユーザーサブスクリプションレコードごとに削除候補レコードが作成されていることを確認します。
8. すべてのユーザー再利用タスクがクローズされると、カタログ要求のステータスが [完了] に変わります。

ワークスペースでのレポートの作成と管理

ソフトウェア資産ワークスペースでレポートタイルを作成および管理します。

始める前に

必要なロール:sam_admin または admin

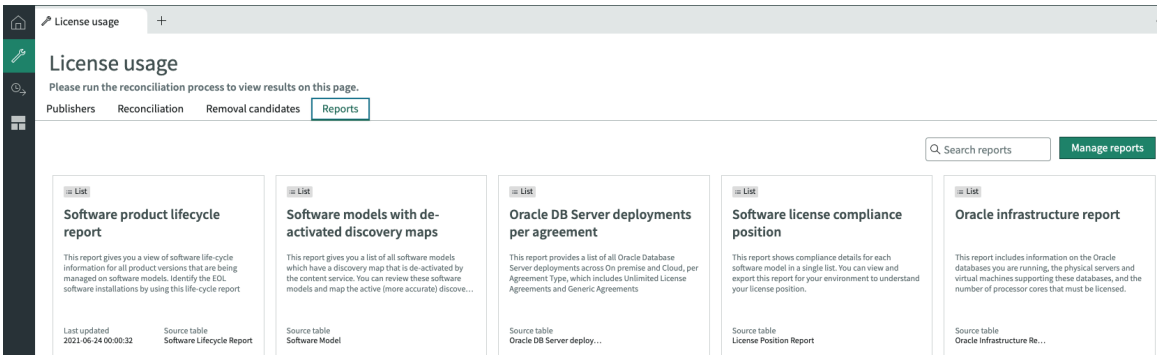
このタスクについて

すべてのベースシステム ソフトウェア資産管理 レポートとカスタム作成されたレポートは、SAM ワークベンチレポート [samp_workbench_report] テーブルに保存されます。デフォルトでは、リストレポートがサポートされています。他のタイプのレポートを作成するには、必要なデータを可視化した UIB ページをソフトウェア資産ワークスペースに作成する必要があります。*`reportSysId`* というパラメーターを UIB ページに渡す必要があります。UIB ページのルートは、ビルド後にレポート タイル作成フォームで利用できます。

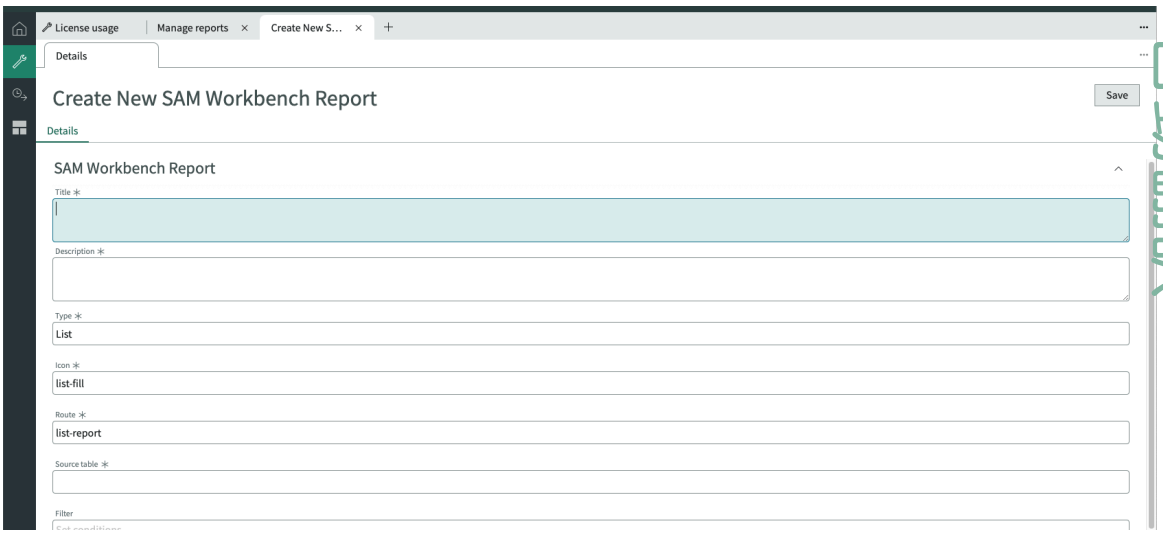
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況.
2. [ライセンス使用状況] ビューで、[レポート] タブを選択します。



3. [レポートの管理] を選択します。
4. [レポート] リスト ビュー ページで、 [新規] を選択します。
[新しい SAM ワークベンチレポートの作成 (Create New SAM Workbench Report)] ページが表示されます。



5. ページに詳細を入力します。

フィールド	説明
Title (役職)	レポートタイルのタイトル。
説明	レポートタイルの簡単な説明。
タイプ	レポートのタイプ。たとえば、リスト、棒、円グラフなどです。デフォルト値は [リスト] です。
アイコン	Now Design System アイコンライブラリの一意のアイコン識別子。例としては、chart-bar-group-fill、chart-pie-fill などがあります。デフォルト値は list-fill です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ルーティング	これは、レポートがクリックされたときに取得されるパスです。これにより、指定したフィルター条件を使用してソーステーブルのリストビューが表示されます。これは、ページが*reportSysId*パラメーターを受け入れる場合、ソフトウェア資産管理アプリケーション内の他のページにルーティングできます。デフォルト値は list-report です。
ソーステーブル	レポートの基になるテーブル。
フィルター (条件を設定)	リストレポートで使用するフィルター。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しいレポートタイルが [レポート] タブに表示されます。新しいレポートタイルを表示するには、[レポート] タブを再ロードする必要がある場合があります。

クラスターセットアップを **360** 度で表示

クラスターセットアップを 360 度見渡して、クラスター全体のライセンス消費を管理します。

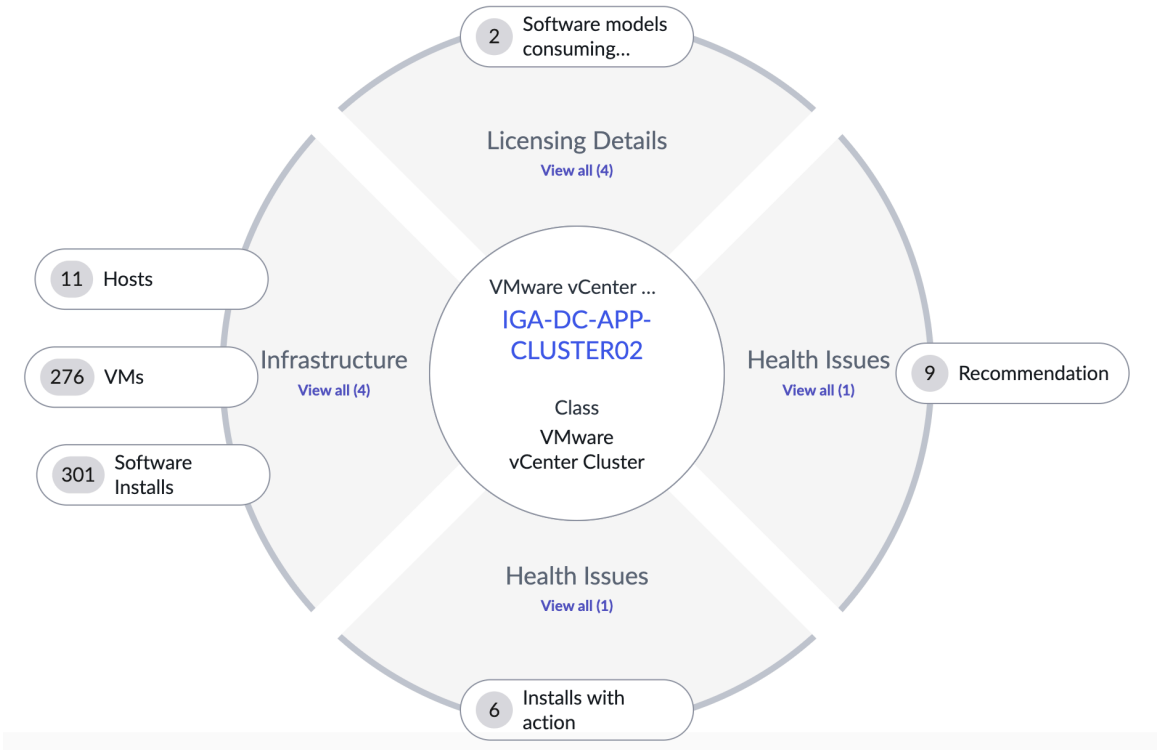
始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況.
2. パブリッシャーカードを選択して、パブリッシャーの詳細ページを開きます。
3. [公開者の詳細] ページで、左側のナビゲーション ツリーからソフトウェア モデルを選択します。
4. [ライセンスメトリクスの結果] タブで、[必要なライセンス] 列の値を選択します。
5. [ライセンスの要求元] ページで、[クラスタ] 列からクラスタを選択します。
   クラスターレコードページが開きます。
6. **[SAM** クラスター **360°]** を選択します。
   クラスターのセットアップが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. クラスターの次の詳細を表示します。

- インフラストラクチャ:クラスター内のホスト、仮想マシン (VM)、ホスト親和性ルール、ソフトウェアインストールなどのエンティティを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。たとえば、[ソフトウェアのインストール] を選択すると、すべてのソフトウェアのインストールが表示されます。ソフトウェアインストールは、正規化済み公開者、正規化済み製品、またはソフトウェアモデルの結果別にグループ化できます。また、SQL Server などの任意のソフトウェア インストールを一覧から選択して、そのクラスター内のすべての SQL Server ソフトウェア インストールを表示することもできます。
- ライセンスの詳細:クラスターでライセンスを消費しているソフトウェアモデル、割り当て、デバイスライセンス消費分析、および無視されたインストールを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。
- 健全性の問題:クラスター内の製品全体の健全性に関するすべての問題を表示します。さらに、調整のために考慮する必要がある注意が必要なインストールを表示します。

360 度ビューでは、エンティティの上部ビューから最下位レベルにドリルダウンして、クラスター全体のライセンス構成と修復アクションをより詳細に把握できます。たとえば、ソフトウェアモデルを選択してドリルダウンし、そのメトリクス属性、上書きライセンスコスト、ダウングレード権限、ソフトウェアエンタイトルメント、およびソフトウェアモデルの結果を表示できます。さらに、ソフトウェアモデルの結果など、これらのエンティティのいずれかを選択して、最小分母を取得できます。

8. [依存関係ビューを開く] を選択して、クラスターのノード間の関係を表示します。
依存関係ビューの詳細については、「 Dependency Views map menus and controls 」を参照してください。

ワークスペースでのライセンスの計算の表示

[ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況] ビューから必要なすべてのライセンスの詳細を表示して、ソフトウェアアプリケーションのライセンスコンプライアンスを評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

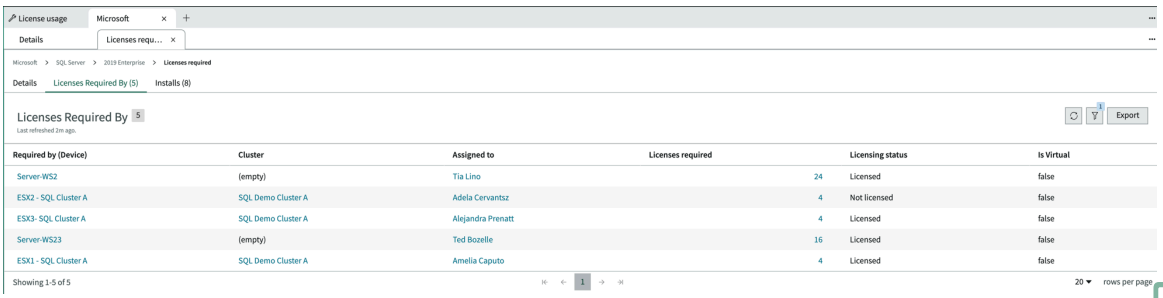
始める前に
必要なロール:sam_adminおよびsam_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況.
2. 左ペインから公開者を選択して、ソフトウェア モデルの概要を表示します。
3. [ライセンス評価指標の結果] タブを選択して、購入済みで必要なライセンスの数を表示します。

   [ライセンスメトリクスの結果] タブのフィールドの詳細については、 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド のライセンスメトリクスの結果テーブルを参照してください。

4. [ライセンスが必要] 列で構成アイテムの値を選択して、必要なライセンスの詳細を表示します。



ライセンスの要求元

フィールド	説明
要求元 (デバイス)	ライセンスを消費するサーバー、クラスターなどの構成アイテムの名前。 選択したパブリッシャーが SAP で製品がSAP S/4HANAの場合、[要求元 (デバイス)] フィールドは [要求元 **(SAP** クラウド使用タイプ)] フィールドに置き換えられます。
クラスター	○ 構成アイテムがいずれかのクラスターの一部である場合は、クラスター名が表示されます。 ○ 構成アイテムがどのクラスターにも含まれていない場合、値は空です。
Assigned to (アサイン先)	特定の構成アイテムに割り当てられたユーザーの名前。
必要なライセンス	構成アイテム (割り当て済み、未割り当て、インストール済み) が使用する権限の合計。
ライセンスステータス	構成アイテムにライセンスがあるかどうかを示します。
仮想	構成アイテムが仮想ホストか物理ホストかを示します。

5. ライセンスで使用されているすべてのダウングレードを表示します。

自動翻訳

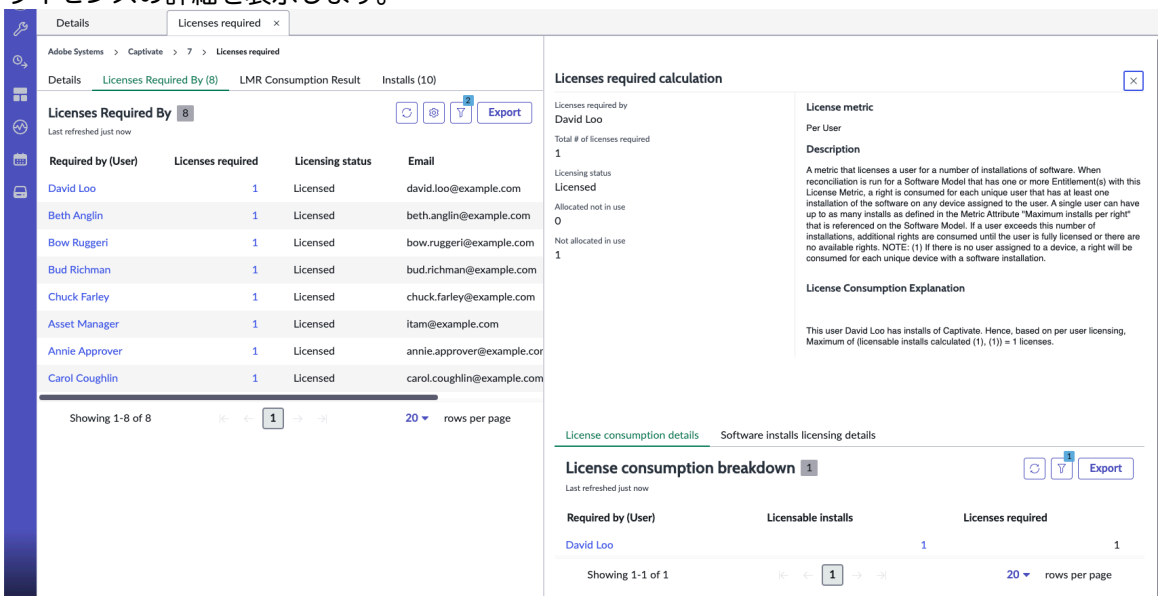
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この関連リストは、指定されたライセンスがソフトウェアのダウングレード バージョンで使用されている場合にのみ表示されます。ダウングレードで権限が使用されていない場合、そのダウングレードはこの関連リストに表示されません。

ダウングレード

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェア モデルの名前。
使用されている権利	ライセンスによって使用されている権利の数。
インストール数	指定されたライセンスのソフトウェア モデルに使用されているインストールの数。

6. [ライセンスの要求元] 関連リストで、[ライセンスが必要] 列でデバイスの値を選択して、必要なライセンスの詳細を表示します。



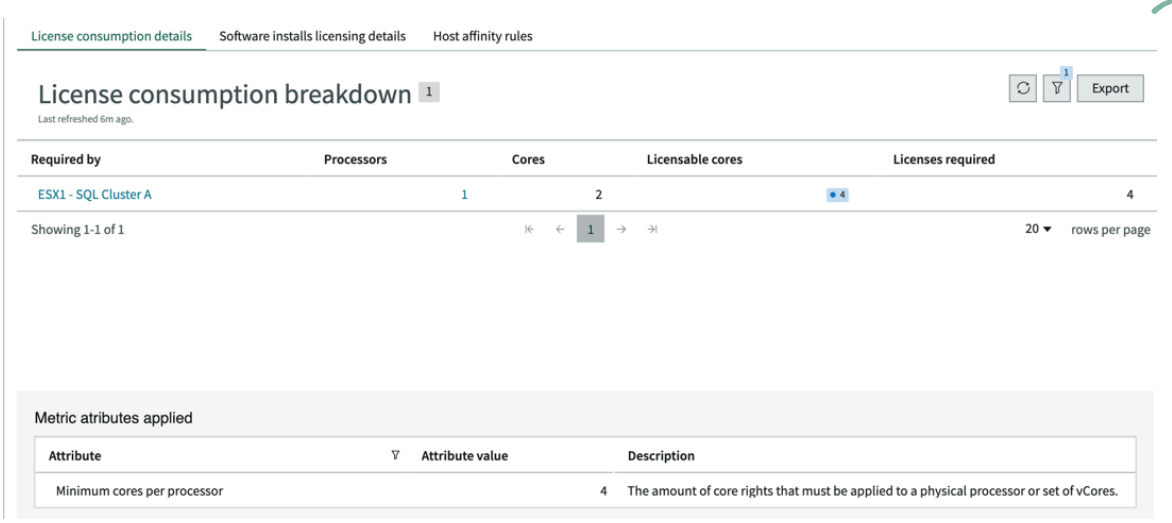
計算が必要なライセンス

フィールド	説明
ライセンスの要求元	計算が表示されるクラスター。
必要なライセンスの合計 #	消費された、または必要なライセンスの合計数。
ライセンスステータス	ライセンスのステータスを表示します。ライセンスは 、すべての権利が使用されたことを意味します。「ライセンスなし」 は、権限が必要であることを意味します。
割り当て済み及び未使用	クラスターに割り当てられた権限ですが、インストールのライセンスには使用されません。値 0 は、クラスターに割り当てがないことを意味します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 割り当て済み、未使用 は、これらの権限が割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないために無駄になっている権限です。
未割り当て及び使用中	ライセンスインストールの権限の数ですが、割り当てられていません。
レベル 1 リレーションシップ	ホストと現在の構成アイテムの関係性。 注: サーバーベースの算出にのみ表示されます。
Dependency View	構成アイテムのインフラストラクチャビューをグラフィカルに表示します。
ライセンスのメトリクス	ライセンスのメトリクスの詳細な説明。
ライセンス消費についての説明	調整後の詳細なライセンス消費サマリー。この概要により、ライセンス権の使用方法、ライセンス計算の背後にある方法論、および消費プロセスの理由を完全に理解できます。

7. [ライセンス消費ブレークダウン] タブを選択して、構成アイテムのインフラストラクチャと適用されたメトリクス属性を表示します。



ライセンス消費のブレークダウン

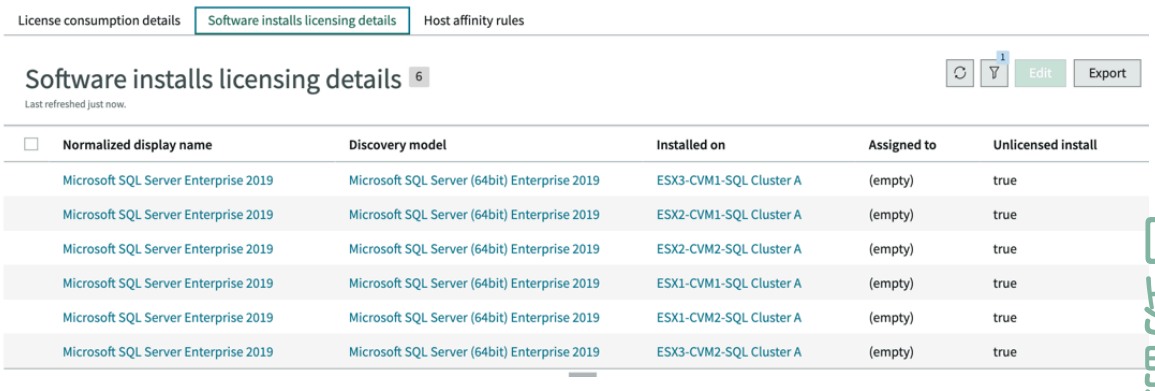
フィールド	説明
要求者	権限を消費する構成アイテムの名前。
プロセッサ	この構成アイテムのプロセッサの数。
コア	このプロセッサーのコア数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンス可能なコア	この構成アイテムのライセンス付与に必要なコア ライセンスの数。
必要なライセンス	この構成アイテムにライセンスを付与するために必要なライセンスの数。
適用されたメトリクス属性	Microsoft などの公開者のソフトウェア製品には、アサインされるライセンスの最小数が必要です。たとえば、 Microsoft SQL Server では、サーバー上のプロセッサごとに少なくとも 4 つのコア ライセンスが必要です。メトリクス属性は、これらのライセンスを自動的にアサインします。

8. [ソフトウェアインストールライセンスの詳細 **(Software installs licensing details)**] を選択して、構成アイテムに関連するライセンスの対象となっているインストールの詳細を表示します。



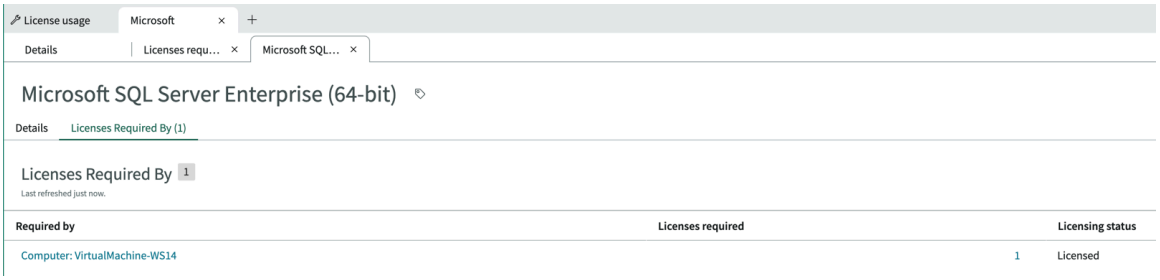
ソフトウェアがライセンスの詳細をインストール

フィールド	説明
正規化された表示名	ソフトウェア製品の正規化された表示名。
ディスカバリーモデル	モデルを分析および分類して重複を減らすことで、所有するソフトウェアを正規化します。
インストール先：	ソフトウェアがインストールされている構成アイテム。
Assigned to (アサイン先)	この構成アイテムに割り当てられたユーザーの名前。
ライセンスなしのインストール	インストールにライセンスが付与されているか、ライセンスされていないかを示します。

自動翻訳

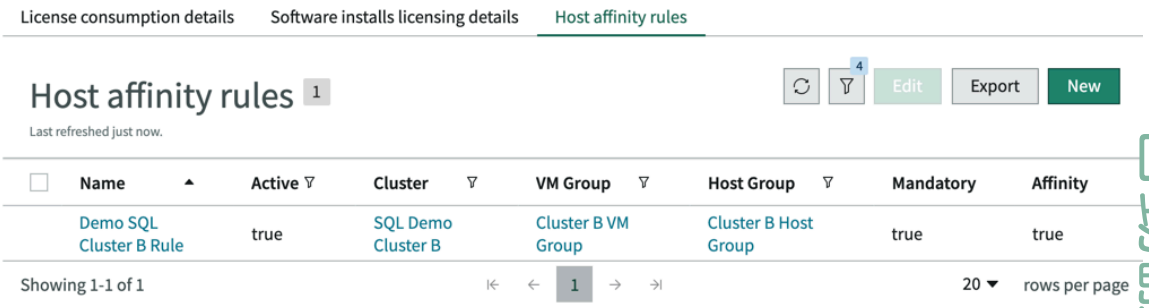
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コアあたりおよびコアあたり (CAL あり) のライセンスメトリクスの正規化された表示名を選択して、クラスター内のさまざまなホストでのインストールのライセンスステータスを表示します。



9. [ホスト親和性ルール] タブを選択して、ライセンス消費の精度を確認し、クラスターに構成されたホスト親和性ルールを表示します。

ホスト親和性ルールは、ライセンスの使用を決定するときに、SQL Server および Windows Server Standard に対して構成できます。これにより、必要なライセンス数を最適化し、必要なライセンス数を大幅に最小化してコストを節減することができます。



ホスト親和性ルール

フィールド	説明
[Name (名前)]	クラスターに構成されたルールの名前。
[Active (アクティブ)]	構成されたルールがアクティブか非アクティブかを示します。
クラスター	ホスト親和性ルールが構成されているクラスターの名前。
VM グループ	仮想マシンのグループの名前。
ホストグループ	ホストのグループの名前。
必須	構成されたルールが必要かどうかを示します。
親和性	仮想マシンがホストグループ上に存在するかどうかを示します。

10. ソフトウェア モデルのスイート コンポーネントを表示します。
このタブは、ソフトウェア モデルがスイートの場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スイートコンポーネント

フィールド	説明
スイート (親)	ソフトウェアが割り当てられるスイート (親)。例：一般的な Microsoft 製品のいくつかの親スイートは、Microsoft Office のバージョンです。
スイート (子)	スイートの子製品。たとえば、Microsoft Word や Microsoft Excel は Microsoft Office の子製品です。
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] にすることができます。

ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド

ライセンス使用状況ビューの [公開者] ページにある公開者の関連リストのフィールドの説明。

製品の結果

フィールド	説明
[Number (番号)]	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。 • 準拠 • 非準拠
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、違反を修正するコスト概算。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェア モデルの結果におけるすべてのライセンス供与過剰金額値の合計。
節減見込み	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補からの見込み節減額の合計。
ライセンスされたインストール	製品にライセンスされているインストールの合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスのないインストールの合計数。

ソフトウェアモデルの結果

フィールド	説明
ソフトウェア モデルの結果	ソフトウェア モデルの名前。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ライセンスなしのインストール	関連するソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、違反を修正するコスト概算。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
節減見込み	再利用候補が再利用された場合に削減されるコスト概算。

ライセンス評価指標の結果

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるライセンスメトリクスの名前。
所有ライセンス	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
必要なライセンス	調整中に使用される権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)。
利用可能なライセンス	調整中に使用されない権限の合計 (所有している権限から使用されている権限を差し引いた権限)。
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。

エンタイトルメント

フィールド	説明
表示名	パブリッシャーの名前。
評価指標グループ	パブリッシャーに固有のメトリクスグループ。
ライセンスのメトリクス	調整実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるメトリクスグループのライセンスメトリクス。
ライセンスタイプ	タイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	以前のバージョンからアップグレードされる権限が決まります。
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 注: エンタープライズ契約がライセンスに付属している場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません
購入済みの権限	購入した権利の数。
総額	

削除候補

フィールド	説明
[Number (番号)]	削除候補番号。
[Name (名前)]	削除候補の名前。
パブリッシャー	パブリッシャーの名前。
製品	製品の名前。
節減見込み	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節減額。
ステータス	削除候補のステータス。 • 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
正当性	削除候補になる理由。 • 低使用率 (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修復オプション

フィールド	説明
修復アクション	コンプライアンスのために実行するアクション。 • 権限購入 • 割り当てを解除 • 割り当てを作成 • 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは使用できません) • ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは使用できません) • ライセンスなしのインストールを削除 - クラウド (クラウドインストールがある場合にのみ利用可能)
ステータス	修復オプションのステータス。 • 新規 (青) • 完了 (緑) • 無効 (赤) • 進行中 (黄) [進行中] ステータスでは、インストールするための削除候補が作成されたことを示します。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響するかどうかを指定します。
表示名	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスのメトリクス。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。

ソフトウェア製品のサポート終了ワークフロー要求の作成

サポート終了 (EOL) に達した、または今後 18 か月以内に EOL に達するソフトウェア製品のインストールに関連するリスクを管理します。EOL 要求を作成し、EOL ソフトウェアに対して必要なアクションを実行できます。

始める前に

必要なロール：

- EOL 要求の作成または変更:sam_admin、itil ユーザー
- EOL 要求の読み取り:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー
- EOL タスクの完了:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェア製品が EOL になったり、サポートが終了したり、延長サポートが終了したりすると、障害のリスクが高まります。EOL に到達間近または既に EOL に達したソフトウェア製品の削除、最新のソフトウェアバージョンへのアップグレード、またはメンテナンスのための追加サポートの購入を選択できます。EOL ワークフローでは、EOL ソフトウェア製品に対して選択したアクションに基づいて、変更要求を完了するプロセスを実行します。EOL ソフトウェアの追加サポートを購入する場合は、発注書 (PO) を作成できます。

> **注:**
> 発注書 (PO) を完了するには、 調達 プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化する必要があります。

EOL ワークフローは、フローデザイナーアプリケーションのソフトウェアのサポート終了フローを使用して完了することもできます。フローのコピーを作成し、作成したコピーをカスタマイズすることで、要件に応じてソフトウェアのサポート終了フローをカスタマイズできます。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理.
2. ライフサイクル管理ダッシュボードで、[今後 **18** か月以内に予定されているサポート終了製品ライフサイクル] レポートまたは [現在および過去のサポート終了製品ライフサイクル] レポートを選択します。

   [提供終了製品] ページには、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecyle] テーブルを使用して計算された現在および今後のライフサイクルフェーズが表示されます。詳細については、「ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント」を参照してください。
3. 現在のフェーズがサポート終了、延長サポート終了、または提供終了のいずれかであるレコードを選択します。
   選択したレコードのソフトウェア製品ライフサイクルレポートが開きます。

   > **注:**
   > ソフトウェア製品ライフサイクルレポートにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況 > レポート.
4. [**EOL** リスクの管理] を選択して、EOL 要求を作成します。

   ソフトウェア EOL 要求フォームの製品詳細は、ソフトウェア製品ライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルから入力されます。
5. ソフトウェア EOL 要求フォームで、フィールドに入力します。
   フィールドと説明の詳細については、「 ソフトウェア EOL 要求フィールド」を参照してください。
6. EOL ワークフローを開始して、EOL ソフトウェアに必要なアクションを実行します。

   a. **[EOL** ワークフローの開始] を選択します。

   b. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブを選択します。

   c. ソフトウェア EOL タスクフォームで、フィールドに入力します。
   フォームフィールドと説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

   d. [ソフトウェア **EOL** サブタスク] タブを選択して、親タスクのサブタスクを完了します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> 親タスクにサブタスクがある場合は、すべてのサブタスクをクローズする必要があります。

e. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブにリストされているすべてのタスクについて、手順 b から d を繰り返します。

- [ソフトウェア **EOL** タスク] タブの [アクション] フィールドで次のいずれかの値を選択すると、変更要求が生成されます。
  - EOL ソフトウェアを削除
  - アップグレード
  - Azure に移動

  EOL ソフトウェア製品の削除の詳細については、「 ソフトウェア製品のサポート終了ワークフロー要求を完了します」を参照してください。変更要求の完了とそれに必要なロールの詳細については、「 Process a change request 」を参照してください。
- [アクション] フィールドで [サポートの購入] を選択し、EOL タスクで **[PO** の自動作成] オプションを選択すると、発注書が作成されます。発注書の完成と必要なロールの詳細については、「 発注明細を作成する」を参照してください。

親タスクを完了すると、[ステージ] フィールドが更新され、タスクのステージが反映されます。さらに、[アクションが開始されました] フィールドが更新され、EOL 要求に対して選択したアクションが反映されます。

> **注:**
> EOL ワークフローは、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択し、[**EOL** 要求のキャンセル] を選択すると、いつでもキャンセルできます。

タスクの結果
変更要求または発注書が完了すると、ワークフロー要求が完了します。

ソフトウェア製品のサポート終了ワークフロー要求を完了します

サポート終了 (EOL) ソフトウェア製品を資産インベントリから削除するために必要なすべてのタスクを実行します。[IT 戦略の決定] タスクで [アクション] フィールドを [**EOL** ソフトウェアの削除] に設定した場合は、次のソフトウェア EOL タスクを実行する必要があります。

始める前に
EOL ソフトウェアの削除を続行する前に、EOL ワークフロー要求を開始する必要があります。詳細については、「ソフトウェア製品のサポート終了ワークフロー要求の作成」を参照してください。

必要なロール:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー

このタスクについて
EOL 要求をクローズするには、ワークフローを完了するために必要なすべてのタスクをクローズして完了する必要があります。次の手順では、[IT 戦略の決定] タスクで [アクション] フィールドを [**EOL** ソフトウェアの削除] に設定した場合に、EOL 要求をクローズする方法について説明します。[IT 戦略の決定 (Decide on IT strategy)] タスクの [アクション] フィールドで、次の可能な値について、同じアプローチを適用して EOL 要求をクローズできます。

- アップグレード
- サポートの購入

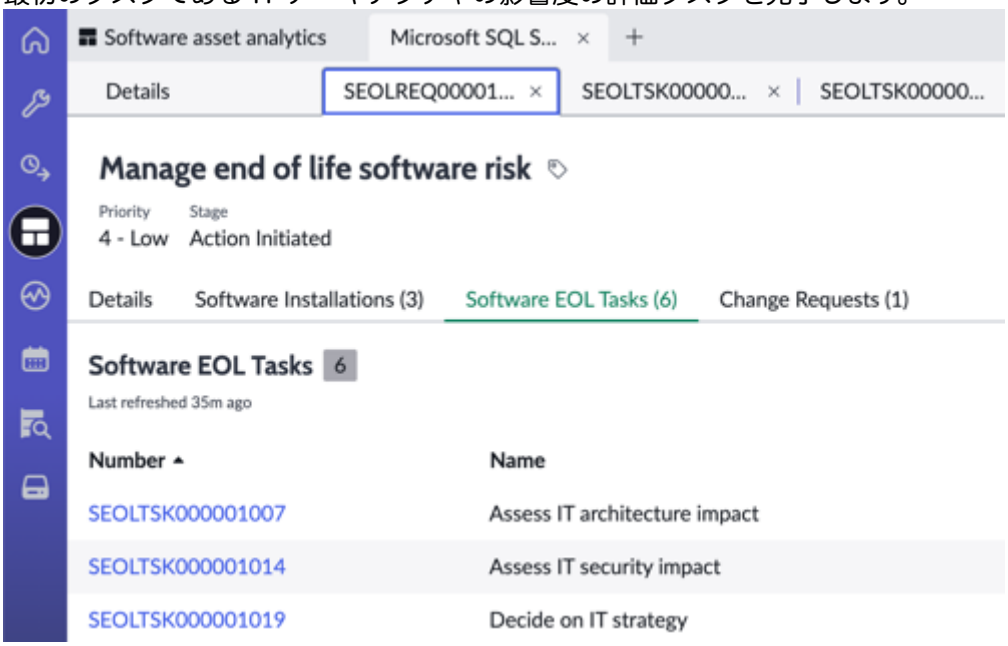
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Azure に移動
- リスクの受け入れ

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産分析 > ライフサイクル管理.
2. ライフサイクル管理ダッシュボードで、[今後 **18** か月以内に予定されているサポート終了製品ライフサイクル **(Upcoming end of life product lifecycle in next 18 months**)] レポートまたは [現在および過去のサポート終了製品ライフサイクル **(End of life product lifecycles**)] レポートを選択して、[サポート終了 (EOL) 製品] ページを開きます。
3. 利用可能な EOL 製品のリストから、EOL ワークフローを完了する製品を選択します。
4. 製品レコードで、[ソフトウェア **EOL** 要求] タブを選択します。
5. 利用可能なソフトウェア EOL 要求のリストから、タスクを完了する要求番号を選択します。
6. 最初のタスクである IT アーキテクチャの影響度の評価タスクを完了します。



   a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT アーキテクチャの影響度の評価] タスクのタスク番号を選択します。

   b. [IT アーキテクチャの影響度の評価] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。フォームフィールドとその説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

   c. [ソフトウェア **EOL** サブタスク] タブを選択して、[IT アーキテクチャの影響度の評価] タスクのサブタスクを完了します。

      注:
      親タスクにサブタスクが含まれている場合は、すべてのサブタスクをクローズする必要があります。すべてのサブタスクをクローズすると、親タスクが自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。また、新しいタスクは、前のタスクを閉じて完了した後にのみ [ソフトウェア **EOL** タスク] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [IT セキュリティの影響度の評価] タスクを完了します。

   a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT セキュリティの影響度の評価] タスクのタスク番号を選択します。

   b. [IT セキュリティの影響度の評価] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
   フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

   c. [ソフトウェア **EOL** サブタスク] タブを選択して、[IT セキュリティの影響度の評価] タスクのサブタスクを完了します。

8. [IT 戦略の決定] タスクを完了します。

   a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT 戦略の決定] タスクのタスク番号を選択します。

   b. [詳細] タブの [アクション] フィールドで **[EOL** ソフトウェアの削除] を選択します。
   フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   [IT 戦略の決定] タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。対応する [ソフトウェア ライセンスの影響度の評価] タスクが、[ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

9. ソフトウェアライセンスの影響度評価タスクを完了します。

   a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[ソフトウェアライセンスの影響度の評価] タスクのタスク番号を選択します。

   b. ソフトウェアライセンスの影響度評価タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
   フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   [ソフトウェアライセンスの影響度の評価] タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。対応する [安全なバックアップの完了] タスクが、[ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

10. 「安全なバックアップを完了」タスクを完了します。

    a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[安全なバックアップの完了] タスクのタスク番号を選択します。

    b. [安全なバックアップを完了] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
    フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[安全なバックアップの完了] タスクは、[完了してクローズ] のステータスで自動的に更新されます。対応する [IT 変更計画を作成] タスクが、[ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

11. [IT 変更計画を作成] タスクを完了します。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT 変更計画を作成] タスクのタスク番号を選択します。

b. [IT 変更計画を作成] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[IT 変更計画を作成] タスクは、[完了してクローズ] ステータスで自動的に更新されます。変更要求が [変更要求] タブに表示されます。

12. 変更要求を選択し、[変更要求] フォームに自動的に入力される値を確認します。
変更要求の完了の詳細については、「 Process a change request 」を参照してください。

タスクの結果
変更要求が完了すると、ワークフロー要求も完了します。

次の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理構成で健全性チェックスキャンを実行し、存在する可能性のあるエラーを修正するための推奨事項を取得します。

始める前に
必要なロール：

- sam_manager
- 実装パートナー
- サポートアナリスト

このタスクについて
健全性チェックスキャンを実行して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの完全な構成または構成の特定の部分の健全性スコアを見つけることができます。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル > 健全性チェック.
2. [健全性チェック] タブを選択します。
3. [スキャンを実行] を選択します。
4. 健全性チェックスキャンを実行するスイートを選択します。
5. [実行] を選択してスキャンを開始します。
選択したスイート内のすべてのチェックが環境全体で実行されます。
6. スキャンが完了したら、[結果の表示] を選択してスキャン結果を表示します。
健全性チェックのすべての問題レコードは、[スキャン結果] ページの [スキャン結果] に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 問題レコードを選択すると、エラーの詳細な説明や解決の詳細など、エラーの詳細が表示されます。
   タスクを作成し、そのタスクを個人にアサインして、推奨事項に対処できます。
8. タスクを作成し、推奨事項に従って行動する個人にタスクをアサインします。
   エラーが修正されたら、スキャンを再度実行して、改善された健全性スコアを確認できます。

関連情報

ソフトウェア資産管理 健全性チェック

健全性チェック

値ビルダータスクの作成

インスタンスで十分に活用されていないパブリッシャーパックの値ビルダータスクを手動で作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
[Publisher Pack の使用状況 (Publisher Pack utilization)] ウィジェットで未完了として示されたすべてのパブリッシャーパックに対して、値ビルダータスクが自動的に作成されます。ただし、値ビルダータスクを手動で作成することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > **Software asset success portal** > 値ビルダー.
2. [新規タスク] をクリックします。
   [新しい SAM 値ビルダータスクの作成 (Create New SAM Value Builder Task)] ページが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. **[Save** (保存)] をクリックします。
   値ビルダータスクが作成され、ステータスのデフォルトは [新規] になります。
5. [開始] をクリックします。
   タスクのステータスが [対応中] に変わります。

のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 (SAM) プログラムの成熟度を表示して各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に
必要なロール:sam_admin、sam_user

注:
sam_userは成熟度アイテムのみを表示できます。sam_adminは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および変更できます。

このタスクについて
SAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分かれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クロール
- ウォーク
- 実行

詳細については、「ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ」を参照してください。

> **注:**
> 必須の成熟度アイテムの成熟度レベルを変更することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、[すべての成熟度アイテムの表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム] ページが開き、SAM プログラムが含まれるステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択すると、その詳細が表示されます。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテム 詳細」を参照して ください。
4. 成熟度アイテムの値ビルダータスクを作成する場合は、[値ビルダータスク] タブを選択します。
   値ビルダータスクの作成の詳細については、「 値ビルダータスクの作成」を参照してください。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンス内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [成功目標を作成] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功目標の詳細」を参照して ください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   成功目標は、[成功目標] リストの下の ライセンス操作ビュー に表示されます。[ライセンス操作] ビューから成功目標をキャンセルまたは削除できます。

関連情報

- の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理
- ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成
- での成功ポータルビュー ソフトウェア資産ワークスペース

の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理

目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成します。

始める前に
必要なロール:sam_adminおよびsam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [成功アクティビティの作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
成功アクティビティは、[成功アクティビティ] リストの [ライセンス操作] ビューに表示されます。

関連情報

の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理

ライセンス操作ビュー

ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成

成功目標カテゴリを作成して、 ソフトウェア資産管理 成功目標にカテゴリを追加します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > 成功目標 > カテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを入力し、[ソフトウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。

タスクの結果
追加したカテゴリは、ソフトウェア資産管理の成功目標を作成する際に [カテゴリ] フィールドにオプションとして表示されます。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

ソフトウェアアプリケーションの合理化のためのデマンドの作成

ソフトウェアサブスクリプションを中止し、ソフトウェア使用量を削減し、ユーザーを承認済みソフトウェアに移行することで、 SaaS および SSO アプリケーションを合理化するデマンドを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

> **注:**
> デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

ソフトウェア資産管理アプリケーションには、すぐに使用できる次のデマンドアクションが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 有効期限が切れた後に中止
- 承認済み製品に移行
- 直ちに中止
- ライセンスの再利用
- 何もしない

このタスクについて

重複する使用状況ビューを使用して、各アプリケーションの機能レベルの使用状況を表示することで、 SaaS および SSO アプリケーションの合理化を推進します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用方法] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドを作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェア資産デマンド

フィールド	説明
名前	デマンドの名前。
[Number (番号)]	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
送信ステータス	デマンドレコードのステージ。 ○ ドラフト ○ 送信済み ○ スクリーニング ○ 認定済み ○ 承認済み
開始日	デマンドの開始日。 デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は 開始予定日に 置き換えられます。 **注:** デマンドまたはプロジェクトの開始予定日を変更すると、関連付けられたコスト計画とリソース計画も変更されます。
期日	要求されたデマンド完了日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は 「終了予定日 」に置き換えられます。
カテゴリ	デマンドのソフトウェアカテゴリ。 ○ 戦略的 ○ オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ。 ○ 拡張 ○ プロジェクト ○ 変更 ○ 欠陥 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
アセスメントが必要	デマンドのアセスメントを有効にするためのオプション。 デフォルトではこのフィールドが選択されています。クリアされている場合、デマンドに対してアセスメントアンケートはトリガーされません。 このフィールドをクリアし、デマンドを [ドラフト] にリセットすると、[アセスメントが必要] フィールドの値はクリアされたものとして保持されます。

自動翻訳

6. オプション: [デマンド要件] タブを選択して、作成済みの要件の詳細を表示します。
   デマンド要件を作成することもできます。詳細については、「デマンド要件の作成」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
デマンドは、[送信ステータス] フィールドを [送信済み] に設定して作成されます。

次のタスク ®
ServiceNow デマンド管理アプリケーションを使用して、デマンドを承認して完了します。詳細については、「Demand Management」を参照してください。

[プロジェクト作成] 関連リンクを選択すると、デマンドのプロジェクトを作成できます。プロジェクトを使用すると、デマンドの達成に必要な作業のステータス、完了率、および期間を追跡できます。プロジェクトタスクを作成して、プロジェクトの完了に必要な作業アイテムを定義することもできます。詳細については、「Project Management」を参照してください。

すべての ソフトウェア資産管理 デマンドを表示するには、次に移動します: ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド.

すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、次に移動します: ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンド要件の作成

SaaS および SSO アプリケーションを合理化するためのデマンド要件を作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

> **注:**
> デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用方法] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドを作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. [デマンド要件] タブを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。
   すべてのフィールドが自動入力されます。
7. フォームのフィールドに入力します。

新規デマンド要件の作成

フィールド	説明
デマンド要件	
[Number (番号)]	デマンド要件の一意の自動生成された識別番号。
ソフトウェア資産デマンド	要件を作成しているソフトウェア資産デマンド。
製品	デマンド要件が作成される製品またはアプリケーション。
メインカテゴリ	アプリケーションのカテゴリ。たとえば、[製品] フィールドで [**Zoom**] を選択した場合、[メインカテゴリ] フィールドは [ビデオ会議] に設定されます。
アクション	デマンドに対して識別されたアクションアイテム。 ○ 有効期限が切れた後に中止 ○ 承認済み製品に移行 ○ 直ちに中止 ○ ライセンスの再利用 ○ 何もしない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	デマンド要件の説明。
メモ	デマンド要件に関する追加のメモ。
消費量情報	
消費量総計	エンタイトルメントに基づくアプリケーションの合計消費量。

8. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

デマンドのデマンド要件が作成されます。作成されたデマンドは、ソフトウェア資産デマンド [samp_demand] テーブルで確認できます。

次のタスク

すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、次に移動します: ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

のコンテンツライブラリポータルのインストール ソフトウェア資産管理

コンテンツライブラリポータルストアアプリケーションをインストールして、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- コンテンツライブラリポータルアプリケーションには、次のプラグインが必要です。コンテンツライブラリポータルアプリケーションをインストールする前に、これらのプラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

  必須の ServiceNow プラグイン

  すべての ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインをアクティブ化

  ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグイン、すべての公開者パックアドオンプラグイン、およびソフトウェア資産管理 UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench) のソフトウェア資産管理プロプラグインを一度にロードします。SaaS ライセンス管理を有効にするには、 ServiceNow Store とは別にソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (sn_sam_saas_int) プラグインを要求する必要があります。

  ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグイン

  ソフトウェア資産管理アプリケーションの新しいユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。

  AI 検索プラグイン (com.glide.ais)

  AI 検索機能をアクティブにします。

自動翻訳

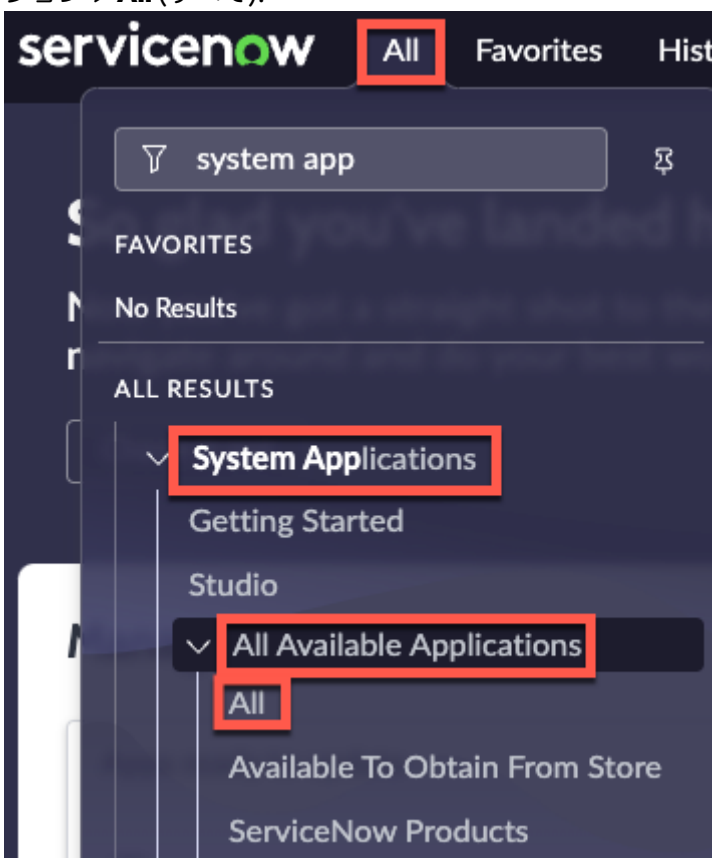
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_samp_master) プラグインがインストールされている場合は、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示できます。ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインの両方をインストールしている場合は、コンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データと ハードウェア資産管理 データの両方を表示できます。ハードウェア資産管理 用のコンテンツルックアップポータルのインストールの詳細については、「ハードウェア資産管理データを表示するためのコンテンツルックアップのインストール」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、コンテンツライブラリポータルアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツライブラリポータルアプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用

クラシック ソフトウェア資産管理 フレームワークを使用して、ライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産管理 アプリケーションクラシックでエンタイトルメントを作成して、ライセンスの詳細を記録し、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントまたはメンテナンスエンタイトルメントを一度に 1 つずつ手動で作成する手順です。すでにスプレッドシートに記録されているソフトウェアエンタイトルメントがある場合は、 インポート できます。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成プロセスを自動化するには、ソフトウェアエンタイトルメントフォームで公開者の品番を指定します。公開者の品番に基づいて、ソフトウェアモデル、メトリクスグループ、合意タイプ、およびソフトウェアライフサイクルデータ (存在する場合) がフォームに自動的に表示されます。

既存のエンタイトルメントをより適切に管理するために、エンタイトルメントの特定のフィールドを編集できます。[購入済みの権限]、[ソフトウェアモデル]、[ライセンスタイプ]、[パックの数]、[パブリッシャーの品番] などのフィールドを編集できます。関連するエンタイトルメント、アップグレード履歴、エンタイトルメント履歴、またはアップグレードされたエンタイトルメントを持つエンタイトルメントは編集できません。

注:
Microsoft 予備エンタイトルメントとソースエンタイトルメントは編集できません。

SaaS ライセンス管理をインストールした場合、統合プロファイルを作成するとソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されるソフトウェアを追跡します。SaaS ライセンスと使用状況の追跡の詳細については、「 SaaS および SSO サブスクリプションの表示」を参照してください。

SAP Publisher Pack をインストールした場合は、「」を参照してください。 のソフトウェア権限を記録 SAP.

Citrix Publisher Pack をインストールした場合は、「」を参照してください。 のソフトウェア権限を記録 Citrix

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力して、ライセンス情報を記録します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

4. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
送信せずにフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードが保持されるため、追加の構成を実行できます。
5. ソフトウェア権限が割り当てられているユーザーとデバイスを指定するには、[ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て] セクションを選択します。
[デバイス割り当て] セクションは、IBM リソース値単位 (RVU) ライセンスメトリクスには表示されません。リソース値単位 (RVU) ライセンスメトリクスは製品レベルでライセンスされるため、権限は個々のデバイスで使用されることはありません。デバイスが割り当てられていた以前のリリースから Yokohama リリースにアップグレードすると、既存のデバイスの再配置は削除されます。
6. ソフトウェアのダウングレード権限を追跡するには、[ダウングレード権限] 関連リスト を選択し、バージョンを指定します。
新しいレコードを作成すると、以前のバージョンのソフトウェアに対するエンタイトルメントを設定できます。たとえば、 Microsoft Office Professional Plus 2016 の権利を購入すると、Office Professional Plus 2013 Microsoft も使用できます)。

   詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。
7. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたるコストを追跡するには、 経費ライン を構成します。
8. ライセンス キーを管理するには、[ライセンス キー] 関連リスト を選択し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス キーを指定します。
9. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストを選択します。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。
10. 自分のエンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連して、新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストを選択します。
11. [**Update** (更新)] を選択します。
エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントリストビューに追加されます。

関連情報

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアライセンスのメトリクス

クラシック ソフトウェア資産管理 でメンテナンスエンタイトルメントを作成する

Microsoft を除くすべての公開者のライセンスの詳細を定義して、契約やソフトウェアのアップグレードの開始日や終了日など、ソフトウェアライセンスのメンテナンスに関するすべてのニーズを管理します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. [**New**] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドに値が入力されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択されたメトリクスグループが [共通] である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは 、共通 メトリクスグループにのみ適用されます。

4. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします (E1)。これらの権限のうち 20 件を、メンテナンスエンタイトルメントの 20 件の権限に関連付けます。これで、E1 の無期限エンタイトルメントが自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは、メンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく、購入した権限もない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。

5. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードで追加の構成を実行します。

   詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントのユーザーまたはデバイス割り当てを追加することはできません。

   a. 資産の購入元のベンダー、請求書番号などの財務に関する情報を [財務] タブに入力します。

   b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約] タブに入力します。

   c. [関連するエンタイトルメント] タブから、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

      i. [関連するエンタイトルメント] タブを選択します。

      ii. [Related Entitlements] リストの [**Related Entitlements**] フィールドで、[**Insert a new row**...] をダブルクリックします。

      iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] (

      iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

      v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] (

      vi. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームヘッダーの [保存] をクリックします。

      無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

      エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンスエンタイトルメントに関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス キーを管理し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス キーを指定するには、[ライセンス キー] 関連リストをクリックします

f. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたるコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連して、新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。

ソフトウェア資産管理クラシック版で **Microsoft Software Assurance** のエンタイトルメントを作成する

Microsoftソフトウェアアシュアランス (SA) のライセンスの詳細を定義して、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.

2. [**New**] をクリックします。

3. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、購入したソフトウェア公開者の権限の詳細を入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

> **注:**
> SA エンタイトルメントに付与する権限の数を [アクティブな権限] フィールドに入力していることを確認してください。SA エンタイトルメントのユーザーまたはデバイス割り当てを追加することはできません。
>
> すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「 クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

4. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします (E1)。これらの権限のうち 20 件を SA エンタイトルメントの 20 件の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは SA エンタイトルメント (M1) の 20 個の権限に関連付けられた 20 個のアクティブな権限 (および 50 個の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、もう 1 つは SA 関連付けがなく、購入した権限もない 30 個のアクティブな権限を持つ無期限エンタイトルメント (E2) です。

5. 追加の構成を実行するには、[ソフトウェアエンタイトルメント] リストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

   a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

      i. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[関連するエンタイトルメント] タブを選択します。

      ii. [Related Entitlements] リストの [**Related Entitlements**] フィールドで、[**Insert a new row**...] をダブルクリックします。

      iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限または SA エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] (

      iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

      v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限または SA エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] (

      vi. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームヘッダーの [保存] をクリックします。

      無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

      リンクされている無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントのいずれかを削除しても、他のエンタイトルメントは削除されません。

      エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

   b. メンテナンス契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

      注:
      この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ使用できます。

      ソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが設定されている場合、アクティブな SA を持つエンタイトルメントは新しいバージョンのソフトウェアモデルに更新されます。

      関連するエンタイトルメントをリンクした後、無期限エンタイトルメントの権利をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. リンクされている、以前関連したすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

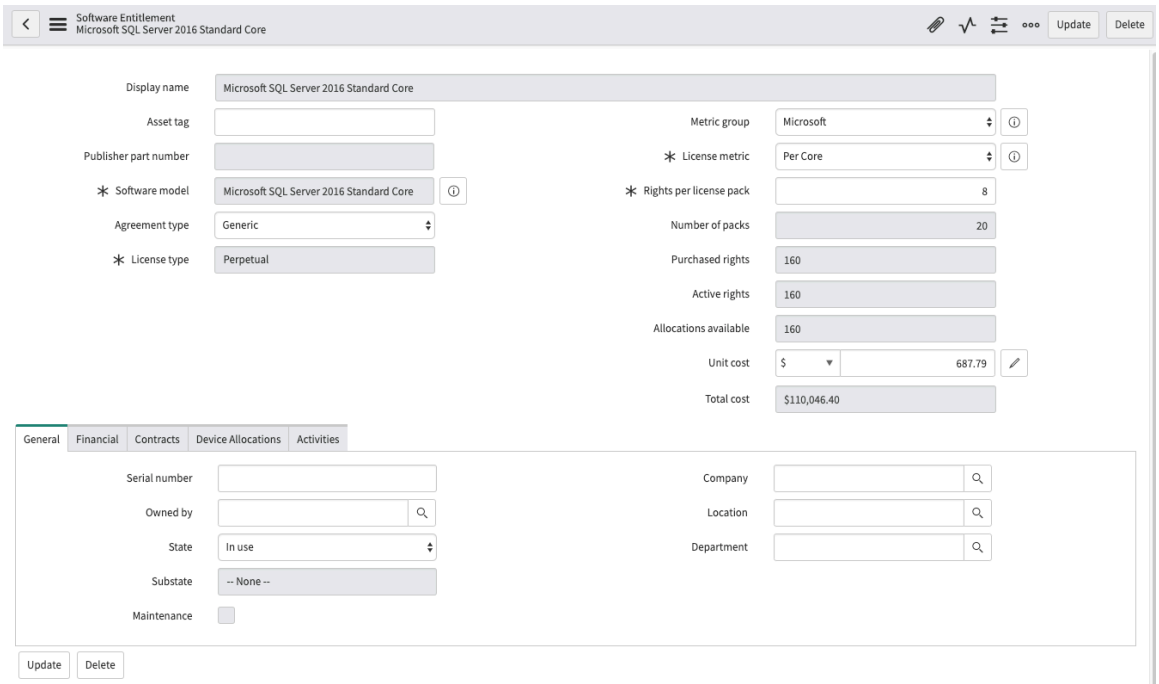
> **注:**
> 検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算にエラーがある場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

6. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果
エンタイトルメントを作成したら、 ライセンス使用状況の表示を開始できます。

Example: Microsoft Software Assurance のソフトウェア権限の記録

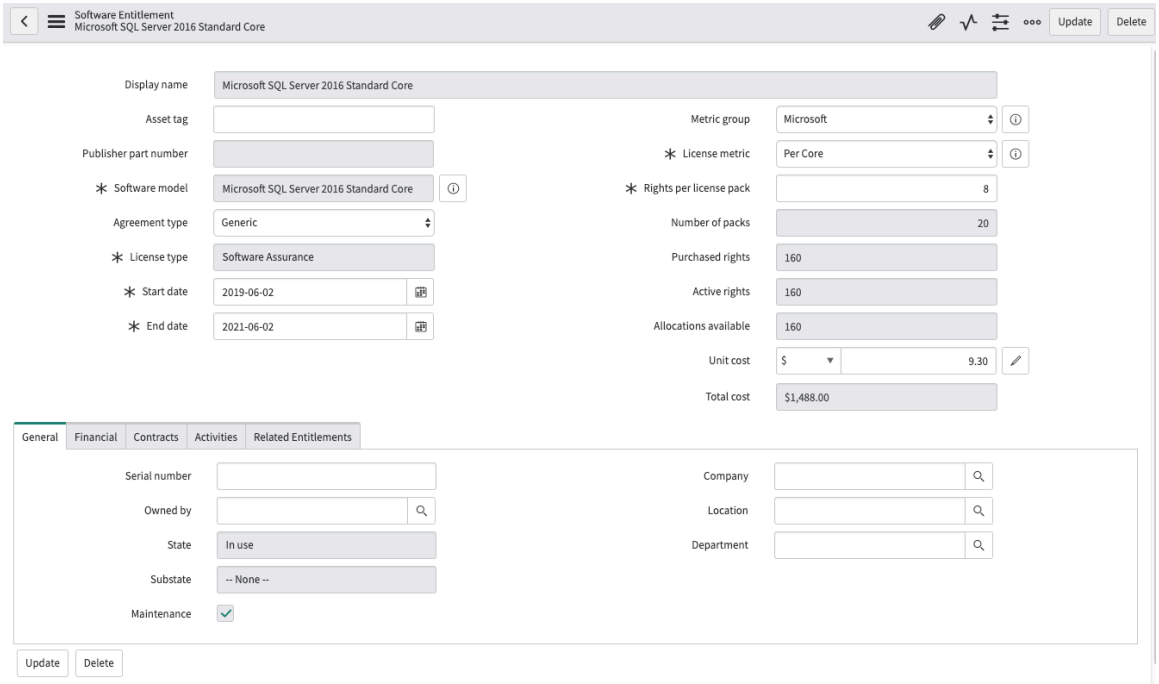
Microsoft SQL Server 2016 の 100 個の権限を購入しました。



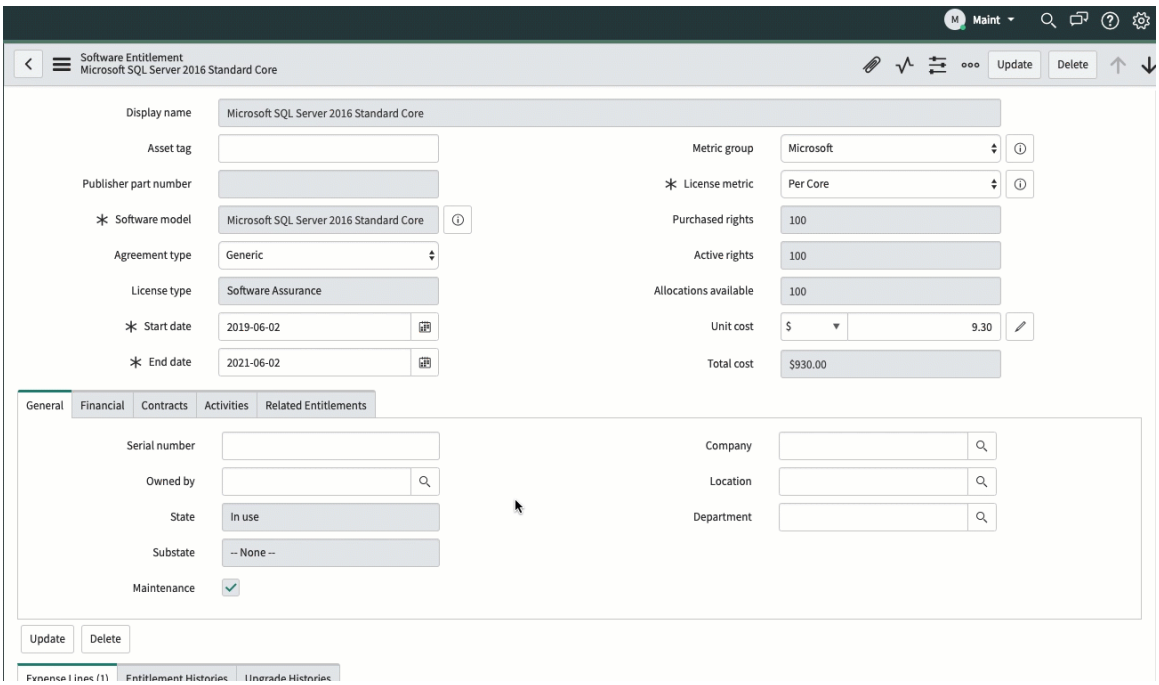
また、 Microsoft SQL Server 2016 ライセンスの SA も購入しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

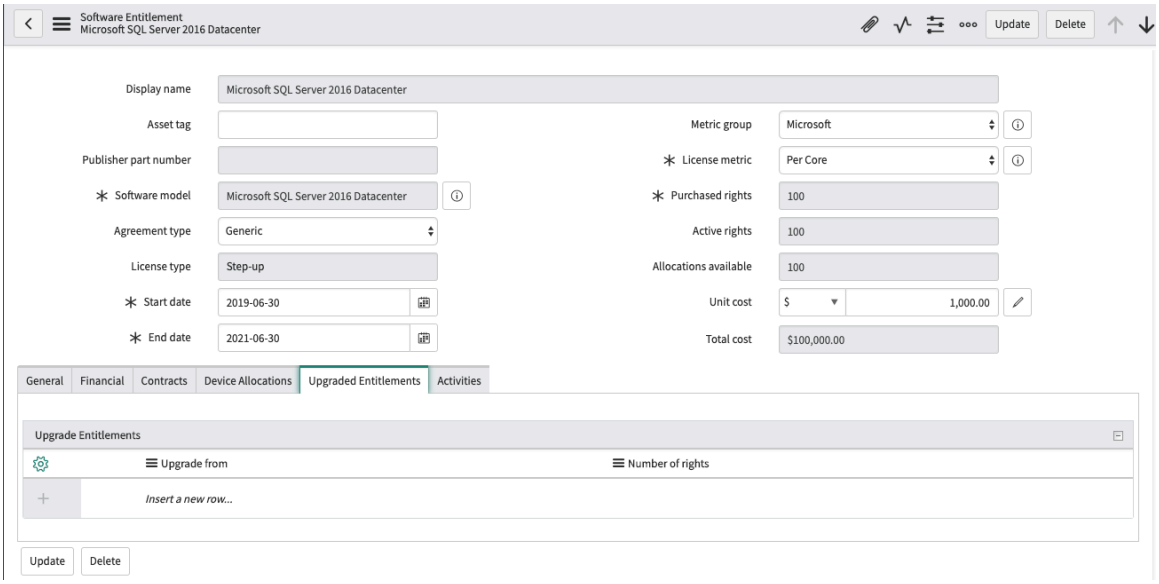


ライセンスを正確に追跡するには、無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントを関連付けます。



アクティブなメンテナンス中は、 Microsoft が SQL Server 2016 データセンターをリリースします。アップグレードされたソフトウェアのエンタイトルメントを作成して、現在のバージョンから新しいリリースにステップアップし、関連するエンタイトルメントをリンクします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの一括インポート

ソフトウェア資産管理クラシックでは、Microsoft Excel スプレッドシートを使用して複数のエンタイトルメントをまとめてインポートできます。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて

エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > エンタイトルメントのインポート.
2. [エンタイトルメントのインポート] ページで、[新規] を選択します。
   新しいエンタイトルメントインポートレコードが開きます。
3. [エンタイトルメントのインポート] ページで、[テンプレートのダウンロード] をクリックしてスプレッドシートテンプレートをダウンロードします (.xlsx)。

   ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名はフィールドラベルと正確に一致させる必要があります。ベースシステムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。ユーザー設定フィールドの作成方法については、「 テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする 」を参照してください。

   デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列で、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。例: EUR;200。有効な通貨コードは、通貨 [fx_currency] テーブルにリストされているもので、[アクティブ] 列が true に設定されています。

4. テンプレートにエンタイトルメントの詳細を入力し、[クリックして追加] を選択し、スプレッドシートを選択してアップロードします。
   ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [インポート] を選択します。
   エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。プロセスが完了すると、ページのフィールドに、処理された行数、成功した行数、エラーのある行数が表示されます。スプレッドシートを添付してインポートすると、後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。
6. 確認メッセージのリンクを選択して、インポートレコードのステータスを表示します。
   [エンタイトルメントのインポート] ページが表示され、すべてのエンタイトルメントのインポートレコードがリストされます。
7. エンタイトルメントのインポートレコードを選択して、[エンタイトルメントのインポート] ページを表示します。
   [エンタイトルメントのインポート] ページには、次の 2 つのタブがあります。
   - エンタイトルメント:正常に作成されたすべてのエンタイトルメントをリストします。
   - エンタイトルメントを関連付ける:ビルドステータスで基本エンタイトルメントにリンクできるエンタイトルメント (メンテナンスエンタイトルメントなど) を一覧表示します。
8. エラーが発生した場合は、[インポートエラーを確認] を選択して [エンタイトルメントのインポートエラー] ページを開きます。
   デフォルトでは、エラーステータスが「**Needs review** (要レビュー)」であるレコードのみがリストに表示されています。[インポートエラーを確認] を表示するには、ページのリロードが必要になる場合があります。
9. インポートエラーレコードを選択して、そのエラーを表示します。
   [エンタイトルメントのインポートエラー (Entitlement Import Errors)] ページが表示されます。エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの詳細については、「 エンタイトルメントのインポートエラーフィールド」を参照してください。
10. エラーを修正し、[インポート] を選択します。
    エンタイトルメントが正常に作成されました。エラーの解決の詳細については、「 エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

クラシック ソフトウェア資産管理 でのソフトウェアモデルの作成

ソフトウェアモデルを作成して、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user または model_manager

このタスクについて

ソフトウェアモデルを手動で作成できます。ただし、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスライブラリを活用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化することができます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成またはインポート中に、公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデルが自動的に作成され (必要な場合)、または既存のソフトウェアモデルにリンクされます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテンツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

注:
model_managerロールを持っている場合は、 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

製品ライフサイクルを通じて、製品バージョン (ライセンス可能、マイナー、ビルド) のライフサイクル情報を表示および追跡します。製品ライフサイクルはソフトウェアモデルに関連付けられています。製品ライフサイクルは、公開者、製品、エディション、エディション条件、バージョン、バージョン条件などの属性に基づいています。ライフサイクル情報は、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルとカスタム製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルで管理されます。

ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードで詳細な製品ライフサイクルレポートを表示し、ソフトウェアインストールにドリルダウンできます。製品ライフサイクルを手動で作成し、ソフトウェアモデルフォームレイアウトの [ソフトウェア製品ライフサイクル] 関連リストで ソフトウェアモデルに関連付けられた製品ライフサイクルを表示することもできます。

注:
重複する製品ライフサイクルを作成できますが、ドメインが異なります。

[すべてのバージョンの製品ライフサイクルを表示] 関連リンクをクリックすると、ソフトウェアモデルフォームレイアウトで製品のすべてのバージョンのライフサイクルを表示できます。

SAP Publisher Pack をインストールした場合は、次を参照してください。 のレコードパブリッシャーの詳細 SAP.

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フォームで、ソフトウェア公開者 の詳細を入力します 。
4. フォームヘッダーを右クリックし、**[Save** (保存)] を選択します。
5. ソフトウェア公開者がスイートに属するかどうかを指定します。
   - ソフトウェア モデルをスイート (親) として指定するには、[スイート (親)] 関連リスト を選択し、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェア モデルをスイート コンポーネントとして指定するには、[スイート コンポーネント] 関連リスト を選択し、親スイートを追加します。

   注:
   製品の詳細にディスカバリーマップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

6. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

   a. [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを選択します。
   [ソフトウェアモデル> をソフトウェアカタログに公開 (Publish <*software-model* to Software Catalog) ダイアログボックスが開きます。

   b. ダイアログボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

   c. [**OK**] を選択します。

7. ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品フィールドに一致するディスカバリーマップを表示するには、[一致するディスカバリーモデルを表示] 関連リンクを選択します。
8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、 ソフトウェア製品ライフサイクルを選択します。
   [新規] を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. 属性値を設定するには、[評価指標属性] 関連リスト を選択してフォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性値を追加すると、この公開者情報が関連付けられているエンタイトルメントの [評価指標グループ] フィールドに自動的に入力されます。メトリクスグループに基づいて、パブリッシャーに関連するライセンスメトリクスのみを使用できます。

10. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] 関連リスト を選択してフォームに入力します。
11. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアントアクセス] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。
12. ソフトウェアのダウングレード権限の新しいレコードを作成するには、[ダウングレード権限] 関連リスト を選択してフォームに入力します。

    注:
    ソフトウェアモデルにディスカバリーマップが関連付けられており、そのディスカバリーマップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限が自動的に入力されます。ソフトウェアのダウングレードされたバージョンが階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

13. [更新] を選択します。

関連情報

サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアモデル フィールド

ソフトウェア資産管理クラシック版で正規化の提案を表示する

ディスカバリーモデルに対して作成された正規化の提案レコードを表示します。これらの提案を承認または却下できます。

始める前に

必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

レコードは正規化提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに含まれています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Discovery** > 正規化の提案 正規化の提案フィールドの詳細については、「 ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

   注:
   実際のフィールド値と異なる推奨フィールド値は、青い点で示されます。

2. [承認] を選択してディスカバリーモデルに提案された変更を行うか、[却下] をクリックして既存の設定を維持します。

   注:
   正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_admin ロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「 ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアジョブの結果の表示

実行された ソフトウェア資産管理 ジョブの結果を表示して、完了を確認することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ジョブ結果には次のものが含まれます。

- ディスカバリーモデルの正規化
- 制限付きインストールの特定
- 新しい再利用候補の特定
- ソフトウェア使用状況のインポート
- 既存の再利用候補を更新
- ソフトウェア資産管理コンテンツサービスのアップロード/ダウンロード

ソフトウェア資産管理すべてのスケジュール済みジョブは、 システム定義 > スケジュール済みジョブ ナビゲーション領域。スケジュール済みジョブ ソフトウェア資産管理 名前は製品名 (SAM) で始まります。

注:
ソフトウェア資産管理スケジュール済みジョブのデフォルトの日付、時刻、および順序は、最適なパフォーマンスが得られるように構成されています。スケジュール済みジョブをデフォルトの実行設定から変更すると、パフォーマンスやデータの可用性にとって最適ではない場合があります。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ジョブ結果.
2. レコードを開いてジョブ結果を表示します。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
[Name (名前)]	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成日時	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

ソフトウェア資産管理クラシック版のソフトウェアディスカバリーモデルの手動正規化

ソフトウェアディスカバリーモデルを編集して、ソフトウェアディスカバリーモデルフォームで完全に正規化されていない (一部正規化されている、パブリッシャーが正規化されている、または一致するものが見つからない) 検出されたソフトウェアを手動で正規化して調整できるようにすることができます。

始める前に
必要なロール：sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェアディスカバリーモデルに自動追加された情報が不完全な場合は、情報が不足しているフィールドを追加してソフトウェアディスカバリーモデルを手動で正規化することができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Discovery** > ディスカバリーモデル をクリックし、正規化ステータスが [一部正規化済み]、[正規化されたパブリッシャー]、または [一致項目は見つかりませんでした] のディスカバリーモデルレコードを開きます。
2. 必要に応じて [公開者]、[製品]、[バージョン] の各フィールドに入力します。
必要に応じて、製品ルックアップリストから カスタム製品 を作成できます。
3. [**Save** (保存)] をクリックする。
正規化のステータスは [手動で正規化] に設定されています。
4. オプション: 正規化を元に戻すには、[正規化を元に戻す] を選択します。

> **注:**
> ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] のディスカバリーモデル、およびパターンルールを使用して正規化されたディスカバリーモデルは、元に戻すことはできません。
>
> (Optional) フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェアディスカバリーモデルに関連付けられたルールはすべて非アクティブ化されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版のエディション値を手動で上書きする

ソフトウェア インストールのエディションが自動検出されない場合、エディションをすでにご存知であれば、ソフトウェア インストール フォームのエディション値を指定できるため、ソフトウェアの調整を正常に実行できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動検出されないが (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれません) エディションをご存知の場合は、手動で正しい値 (たとえば `エンタープライズ`など) に設定できます。

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールのディスカバリーモデルが自動的にリセットされます。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

> **注:**
> すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Discovery** > ソフトウェアインストール をクリックし、エディションの値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。
2. 必要に応じて、[エディションのオーバーライド] フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [エディションのオーバーライド] フィールドはフリーフォームのフィールド (ルックアップリストなし) です。したがってこのフィールドはキーとして使用されるため、入力された値は正確でなければなりません。

3. [**Update** (更新)] を選択します。
   ソフトウェアインストールは、プライマリーキーの一部としてエディションの値を含む異なるディスカバリーモデルに関連付けられています。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

ソフトウェア資産管理クラシックで検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

次のように移動する。 ソフトウェア資産 > **Discovery** > 検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーションのすべての正規化された公開者と製品のリストを表示できます。バージョン、ライセンスの数量、ライセンスのタイプなどの追加情報も表示されます。

ソフトウェアライセンス使用

簡素化されたワークベンチビューで調整結果を確認します。

ライセンスワークベンチでは、購入したアクティブな権限の数に対して消費された権限の数を傾向分析することで、組織のニーズを予測できます。ソフトウェアの使用量が所有している権限の数を超える前に追加の権限を購入することで、コンプライアンスを維持できます。

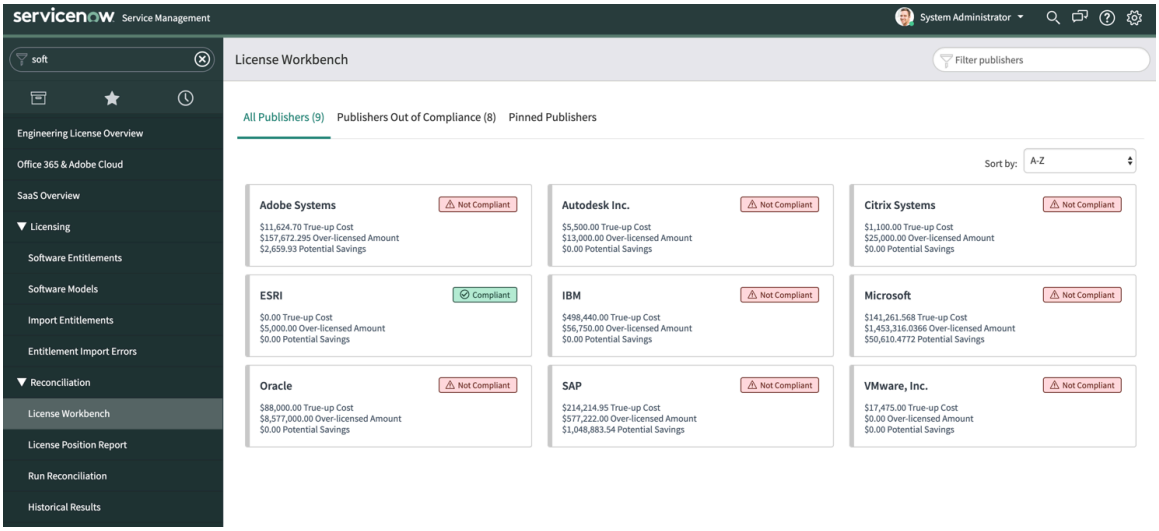
ワークベンチの機能は次のとおりです。

- 色分けされたコンプライアンスバナー
- カードでの財務計算
- パブリッシャーの固定機能 (ユーザー固有、保存済み)
- ソートカード機能
- アクティブなフィルタリング
- [製品の結果] リストへのカードドリルダウン
- キーボードコントロール
- グループおよびサブグループの調整情報 (該当する場合)

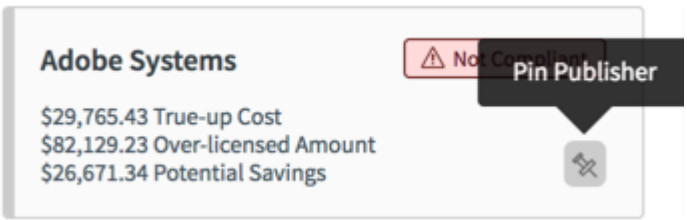
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスワークベンチ



固定された公開者は、[固定された公開者] タブに一覧表示されます。固定された公開者のリスト



は、ユーザーごとに保存されます。

ライセンスワークベンチのタブ

タブ	説明
すべてのパブリッシャー	すべてのパブリッシャーのリスト。
コンプライアンス違反のパブリッシャー	ステータスが準拠していないすべての公開者のリスト。
固定パブリッシャー	グループ化された公開者のユーザー固有の保存済みリスト。

パブリッシャーワークベンチのナビゲーションツリー

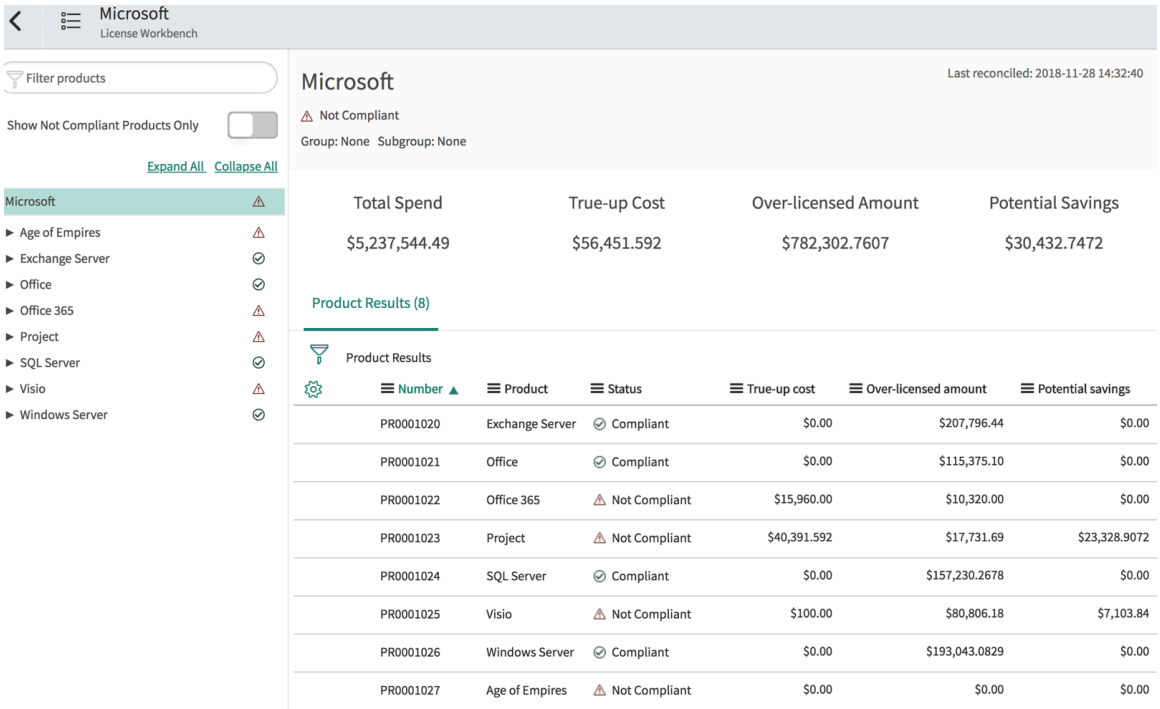
ワークベンチナビゲーションツリーで特定の公開者、製品、ソフトウェアモデル、またはライセンスメトリクスをドリルダウンして、最新の調整結果からの計算およびコンプライアンス情報を表示します。

ナビゲーションツリーの機能は次のとおりです。

- 製品のフィルタリング (折りたたまれたアイテムを含む、アクティブなフィルタリング)
- コンプライアンス切り替えスイッチ
- ツリーリンクの展開と折りたたみ
- ソフトウェア モデル コンプライアンスのアイコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



デフォルトでは、公開者ライセンスの概要ページのナビゲーションツリーは折りたたまれています。展開すると、パブリッシャー別にグループ化されます。

パブリッシャー:製品の結果関連リスト:

- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:ライセンスなしのユーザーまたはライセンスなしのエンジン)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- 削除候補

[ソフトウェアモデルの結果] 関連リスト:

- ライセンス評価指標の結果
- 修正オプション:[権利要求者] タブは、リソース値単位 (RVU) IBM ライセンス測定基準には表示されません。リソース値単位 (RVU) ライセンスメトリクスは製品レベルでライセンスされるため、権限は個々のデバイスで使用されることはありません。

  注:
  修復オプションの詳細については、「 ソフトウェア モデルの結果の表示」を参照してください。

- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザー)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- ライセンスなしの消費 (消費ベースのソフトウェアモデル)
- ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)
- 削除候補
- 発注書 (PO) (調達 (com.snc.procurement) プラグインがアクティブな場合のみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスメトリクスの結果] 関連リスト:

- 権限使用者:リソース値単位 (RVU) IBM ライセンスメトリクスには表示されません。リソース値単位 (RVU) ライセンスメトリクスは、製品レベルでライセンス供与されます。これは、企業内の製品の総消費量に基づいて計算されます。

  注:
  クラウドがインストールされている場合は、[権利使用者] 関連リストに 4 つの追加フィールドが表示されます。

- ライセンスされたインストール
- 使用されたインストール (SAP:システムユーザー)
- ダウングレード/アップグレード
- ライセンスが付与されたサブスクリプション
- クラウド特別権限:このタブは、AWS や Azure などのクラウドプラットフォームにクラウドがインストールされている場合にのみ使用できます。このタブは [権利使用者] タブのサブセットであり、クラウドインストールに関連するフィールドを表示します。[クラウド特別権限] フィールドの詳細については、[権限使用者] タブを参照してください。

レポートの計算

レポート	説明
パブリッシャー、製品、ソフトウェアモデル	
合計消費量	所有する権利の総コスト。
調整コスト	必要な最小の権限数 (必要な権限にエンタイトルメントから権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
合意タイプ	ソフトウェアライセンスタイプ。
ライセンスメトリクスの結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるライセンスメトリクスの名前。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用される権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)。
利用可能な権利	調整中に使用されない権限の合計 (所有している権限から使用されている権限を差し引いた権限)。
従来のライセンス	2019年10月1日より前に購入されたライセンスを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの計算 (続く)

レポート	説明
注: このフィールドは、環境の AWS または Azure に専用ホストがある場合にのみ表示されます。	**注:** Microsoft は、購入日に基づく専用ホストのライセンスルールを更新しました。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な割り当て	• 割り当て済み及び使用中 • 未割り当て、使用中 • 割り当て済み及び未使用 • 未割り当て • 割り当てが必要 **注:** Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) の場合、譲渡不可の権限を持つことができます。譲渡不可能な権利は、追加のデバイスのライセンス供与に使用できないコアパックの残りの権利です。
必要な権利 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	ライセンスなしのインストールを対象範囲とするために必要な権限の数。
ライセンスなしのインストール **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可 SAP ユーザー (SAP のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなし SAP ユーザーの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの計算 (続く)

レポート	説明
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなし Oracle データベースオプションの数。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	必要最低限の権限に基づいて、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。
節減見込み **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストのカスタマイズ] アイコン (リストの を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	削除候補を再利用することで節約できるコスト概算。
ダウングレード権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]) を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンスを取得できる以前のソフトウェアバージョン。

権限使用者

フィールド	説明
使用者	権限を使用するユーザーまたはデバイス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
クラウドプロバイダー	クラウドプロバイダの名前。 **注:** このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
適用された二重使用権	オンプレミスとクラウドで同時に権限を使用できる Microsoft Azure によって提供される同時権限が適用されるかどうかを示します。 **注:** このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
ホストタイプ	クラウド上のホストのタイプ:共有または専用。 **注:** このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
適用されたエディションの柔軟性	Microsoft Azure for Windows Server および SQL Server によって提供されるエディションの柔軟性のメリットが適用されるかどうかを示します。 **注:** エディションの柔軟性のメリットの詳細については、 BYOL および BYOS のライセンスルールを参照してください。 このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
割り当て済み及び使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
割り当てが必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスのメトリクスでのみ使用されます。

ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する

調整はスケジュール済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてお使いの環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 照合 > 照合の実行 をクリックし、コンプライアンスを計算する公開者を選択するか、すべての公開者を選択します。
2. 結果をさらに絞り込むには、必要に応じて [グループ] と [サブグループ] を選択します。
   グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
   調整プロセスは完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が表示されます。

ソフトウェア モデルの結果の表示

調整実行後、[製品の結果] リストからソフトウェアモデルの結果のコンプライアンス情報を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
製品の結果レコードから、ソフトウェアモデルの結果のライセンス測定基準の結果、修復オプション、ライセンスされたインストール、ライセンスなしのインストール、および削除候補の関連リストを表示できます。調達 アプリケーション (com.snc.procurement) がアクティブな場合は、[修正オプション] フォームから直接発注書 (PO) を作成して表示することもできます。その他の修復オプションには、割り当ての自動作成と削除、未割り当てのインストールの削除、ライセンスなしのインストールの削除などがあります。

たとえば、製品の結果のステータスが非準拠を示している場合は、製品の結果をドリル ダウンしてソフトウェア モデルの詳細を表示できます。これらの詳細には、ライセンスなしのインストールの数と、準拠するための調整コストが含まれる場合があります。さらに、ソフトウェア モデルの結果をドリル ダウンして製品のエンタイトルメントに基づたライセンスのメトリクスの結果も表示できます。

ライセンスのメトリクスの結果情報には、所有権と権限の使用、ライセンス割り当てのブレークダウンが含まれているため、準拠するオプションを決定できます。[修復オプション] 関連リストには、ライセンスのメトリクスに基づいて、必要な権限数と権限に対するコストの計算が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ソフトウェア モデルの結果] フォームのダッシュボード フィールド アクション ( ) アイコンを使用すると、所有している権利と使用されている権利のチャートを表示して、追加のライセンスが必要になる時期を予測できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 照合 > 履歴結果 をクリックし、調整結果を選択します。
2. [調整結果] フォームで、[製品の結果] レコードを選択して、製品の結果の詳細を表示します。
3. [ソフトウェアモデルの結果] 関連リストで、レコードを開き、ソフトウェアモデルの結果の詳細を表示します。

ソフトウェア モデルの結果フォーム

フィールド	説明
ソフトウェア モデル	製品に関連付けられているソフトウェア モデル。ソフトウェア モデルの結果を確認するには、ソフトウェア モデルをドリル ダウンします。 ダッシュボードフィールドアクション ( ) アイコンには、ソフトウェアモデルの [所有する権利] と [使用する権利] のグラフが表示されます。
製品の結果	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
最新	このソフトウェア モデルの結果が直近で調整を実行したときのものかどうかを示します。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。 ○ 準拠 ○ 非準拠
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。 ○ 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ○ IBM:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、国際プログラムライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ○ Oracle:汎用無制限レベルアグリーメント (ULA) ○ VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) **注:** 合意タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、 ステータス は準拠です。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な最小の権限数 (必要な権限 x エンタイトルメントから権限当たりの平均価格) に基づいた、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
節減見込み	関連する削除候補で活用されていないライセンスやライセンスの不適切な消費に対処することによって節約できるコスト。
ライセンス評価指標の結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるライセンスメトリクスの名前。 [表示名] を選択して対応するライセンスメトリクスの結果レコードを開くと、ライセンスメトリクスの結果に関するより詳細な情報を表示できます。詳細については、「ソフトウェア モデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)。
利用可能な権利	調整中に使用されなかった権限の合計 (所有している権限から使用されている権限を差し引いた権限)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
従来のライセンス	2019年10月1日より前に購入されたライセンスを示します。このフィールドは、環境が AWS または Azure に専用ホストを持っている場合にのみ表示されます。 **注:** Microsoft は、購入日に基づく専用ホストのライセンスルールを更新しました。
割り当て済み及び使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンス付与に使用できないコアパックの残りの権利。譲渡不可能な権利は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
未割り当て	割り当てられていない権限の数 (インストールされているかどうかに関係なく、所有している権限から割り当て済み権限を差し引いた数)。
割り当てが必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスのメトリクスでのみ使用されます。
必要な権利	ライセンスなしのインストールを対象範囲とするために必要な権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	
ライセンスなしのインストール 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可 SAP ユーザー (SAP のみ) 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなし SAP ユーザーの数。
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ) 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなし Oracle データベースオプションの数。
ライセンスなしのサブスクリプション 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外のライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	必要最低限の権限に基づいて、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。
節減見込み	削除候補を再利用することで節約できるコスト概算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストのカスタマイズ] アイコン (リストの を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	
ダウングレード権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]) を選択して、[ライセンスメトリクスの結果] に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンスを取得できる以前のソフトウェアバージョン。
修正オプション	
修復アクション	コンプライアンス準拠のためのアクション。 ○ 権限購入 ○ 割り当てを解除 ○ 割り当てを作成 ○ 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは使用できません) ○ ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは使用できません) ○ ライセンスなしのインストールを削除 - クラウド (クラウドインストールがある場合にのみ利用可能)。 ○ 実行可能な権限の値が 0 の場合、 修復アクション ボタンは表示されません。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響するかどうかを指定します。
ライセンスのメトリクス	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスのメトリクス。
ソフトウェア モデルの結果	修復オプションに関する特定のソフトウェア モデルの結果。
ステータス	修復オプションのステータス。 ○ 新規 (青) ○ 完了 (緑) ○ 完了 (エラーあり) (黄) ○ 無効 (赤) ○ 進行中 (黄)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[対応中] ステータスは、修復アクションが進行中であることを示します。削除候補を作成している場合、削除候補が作成されるとステータスは 完了 に変わります。
未使用の権限 割り当てられていない権限 必要な権利 再利用可能な権限 ライセンスなしの権限 (表示されているフィールドは、修正アクションタイプに基づいています)	○ [割り当てを解除] アクションには [使用されていない権利] フィールドが表示されます。 ○ [割り当てを作成] アクションには [割り当てられていない権限] フィールドを表示します。 ○ [購入権限] には 、権限が必要な フィールドが表示されます。 ○ [未割り当てのインストールの削除] アクションには [再利用可能な権限] フィールドが表示されます。 ○ [ライセンスなしのインストールの削除] アクションには [ライセンスなしの権限] フィールドが表示されます。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。
発注書 (PO)	発注書 (PO) が作成された場合、修正オプションに関連付けられた発注書 (PO) 番号。
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** この関連リストは、サブスクリプションベースのソフトウェア製品にのみ表示されます。	
表示名	どのエンタイトルメントにも適用されないライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションの名前。
ユーザープリンシパル名	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションが関連付けられているソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションが関連付けられている統合プロファイル。
サブスクリプションタイプ	サブスクリプションのタイプ。
ライセンスなしの消費 **注:** この関連リストは、消費ベースのソフトウェアモデルに対してのみ表示されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアが消費されているソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアが消費されている統合プロファイル。
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの数。
契約開始	ライセンス契約の開始日。
契約終了	ライセンス契約の終了日。
実際の月次消費量	ユーザーが 1 か月あたりに消費する実際のソフトウェアユニット数。
予想される月次消費量	ユーザーが毎月消費すると予想されるソフトウェアユニット数。
コストセンター	ライセンスなしのソフトウェアが消費されている事業部門。
Department (部門)	ライセンスなしのソフトウェアを使用している部門。
場所	ライセンスなしのソフトウェアが使用されている地理的な場所。
会社	ライセンスなしのソフトウェアを使用している会社の名前。

[ライセンスされたインストール] 関連リストには、ライセンスされた ソフトウェア インストール が含まれています。ライセンスされたソフトウェアのインストールに関する詳細情報を表示するには、[表示名] をクリックして、対応するソフトウェアインストールレコードを開きます。ソフトウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、 ソフトウェア インストール フィールド を参照してください。

[ライセンスなしのインストール] 関連リストには、ライセンスされていないソフトウェア インストールが含まれています。ライセンスのないソフトウェアのインストールに関する詳細情報を表示するには、[表示名] をクリックして、対応するソフトウェアインストールレコードを開きます。ソフトウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、 ソフトウェア インストール フィールド を参照してください。

[無認可ユーザー] 関連リストには、無認可の SAP システムユーザー が含まれています。

> **注:**
> この関連リストは、 SAP 公開者に対してのみ表示されます。

[削除候補] 関連リストには、ソフトウェアのインストールに関連する 削除候補 が含まれています。

4. 特定の修正アクションの修正オプションを実行するには、[修正オプション] 関連リストからオプションを選択し、該当するアクションをクリックします。

修復オプションのアクションボタン

修復オプションのアクション	アクション ボタン	結果
ライセンスなしのインストールを削除	すべての削除候補を作成	ライセンスなしのインストールに対して削除候補が作成さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修復オプションのアクション	アクション ボタン	結果
		れると、ステータスは [取り消し待ち] に設定されます。
未割り当てのインストールを削除	すべての削除候補を作成	未割り当てのインストールに対して削除候補が作成されると、ステータスは [準備完了] に設定されます。
割り当てを解除	すべての割り当てを削除	割り当てが削除されると、割り当ての数が調整されます。
割り当てを作成	すべての割り当てを作成	割り当てが作成されると、[未割り当てのインストールの削除] 修復オプションのステータス (同じソフトウェア モデルの結果の同じライセンス評価指標に対して) が [無効] に設定されます。
権限購入	発注書を作成 注: [発注書を作成] ボタンは 発注書 を作成しますが、必要な権限が 0 より大きく、 調達 がアクティブになっている場合にのみ表示されます。 [発注書を作成] ボタンは、発注書の処理が完了するまでアクティブのままになります。したがって、同じアイテムに対して重複する発注書が作成されないようにするには、発注書の処理が完了するまで調整を再度実行してから待ちます。	発注書が作成されると、同じソフトウェア モデルの結果に対する購入権限修復オプションのステータスが [無効] に設定されます。 発注書フィールドの [部品番号]、[メトリクスグループ]、[ライセンスメトリクス]、および [発注数量] には、修復オプションの内容が自動的に入力されます。 発注書フォームに [評価指標グループ] フィールドと [ライセンス評価指標] フィールドが追加され、注文が完了したときにエンタイトルメントを自動的に作成できるようになりました。 ソフトウェアモデルにアクティブな発注明細が少なくとも 1 つ存在する場合は、通知が表示されます。 発注書が作成されると、発注書参照を含む [発注書] フィールドが修正オプションに追加されます。

確認メッセージが表示され、該当するすべての 削除候補 が [削除候補] 関連リストに追加されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版でソフトウェア削除候補を追加する

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから作成されるか、手動で作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
ソフトウェア再利用は ワークフロー および クライアントソフトウェアディストリビューション と統合され、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化します。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 削除候補
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

削除候補フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補に応答する権限を持つソフトウェアマネージャーグループに自動的に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	このタスクの遂行に対して主に責任を負う人物。
[Name (名前)]	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。
説明	タスクが存在する理由と、承認を受け取った場合にユーザーが行う必要があることの説明。
ステータス	削除候補の現在のステータス。 ○ 要確認 ○ 準備完了 ○ ユーザー待ち ○ 承認待ち ○ 失効待ち ○ 完了してクローズ ○ スキップしてクローズ ○ キャンセルしてクローズ
開始日時	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
正当性	削除候補になる理由。 ○ 低使用率 (デフォルト) ○ 未割り当て ○ ライセンスなし ○ 制限付きソフトウェア
削除候補	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。 ○ インストール済みソフトウェア ○ サブスクリプションソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアインストール	再利用されるソフトウェア インストール。
エンジニアリングアプリライセンス 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。
ユーザー	ソフトウェアのインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアのアンインストールの通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、これは必須フィールドになります。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 4 のサブステップを参照してください。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。
再利用する権限 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権限がインストールされていて、40 個の権限のみを再利用したいとします。
節減見込み	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の節減コストの概算 (未使用の権限 * エンタイトルメントから権限あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに通知し、ソフトウェアを削除する許可を電子メールで要求するためのチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
構成アイテム (CI)	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   削除候補レコードが作成されます。[一括再利用] チェックボックスをオンにした場合は、次の手順に進む前に、次のサブ手順を実行してソフトウェアインストールを追加します。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

   a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [編集] を選択します。

   b. [メンバーの編集] ページで、ソフトウェア インストールを [コレクション] ボックスから [ソフトウェア インストール リスト] ボックスに移動します。
   指定したユーザーに割り当てられているソフトウェア インストールのみが [コレクション] ボックスに表示されます。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   追加したソフトウェア インストールが [ソフトウェア インストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要注意] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。続行して [編集] を選択して、ソフトウェアインストールを追加します。すべてのソフトウェア インストールを削除することにした場合、ステータスは [要確認] に戻り、名前は [名前] フィールドに表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。

5. [再利用] を選択します。

   ソフトウェア インストールが再利用されてシステムから削除されると、[ソフトウェア インストール] 列は空になります。[ソフトウェアのインストール] 関連リストの次のフィールドを参照して、再利用されたソフトウェアのインストール履歴についてのインサイトを得ることができます。

   - 表示名
   - 製品
   - パブリッシャー
   - ソフトウェアモデル

   フォームの任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

   アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
スキップ項目をクローズ	権限を再利用せずに削除候補をクローズします。
削除	削除候補を削除してください。

調整と製品の結果

調整結果、製品の結果、およびソフトウェア製品の結果のフィールドの説明。

調整結果

調整結果はナビゲーションパスに一覧表示されます ソフトウェア資産 > 照合 > 履歴結果

調整結果フォーム

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
ステータス	調整のステータス。 • 完了 • 処理中 • 失敗
進捗状況	調整実行の完了率と進行状況バー。
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 **注:** このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。

ソフトウェア製品

製品の結果レコードから、[ソフトウェアモデル]、[ライセンスなしのインストール]、および [削除候補] 関連リストにアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

製品に定義されたソフトウェアモデルがなくても、調整実行後にライセンス付与可能な製品の製品結果が生成されます。

注:
[ソフトウェアモデルの結果] レコードは、製品のソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントが存在する場合にのみ作成されます。

ライセンス可能な製品の場合、デフォルトでエンタイトルメントがないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、または製品の結果リストのオプションに対して、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。`com.snc.samp.automaticsmrcreation`プロパティの設定を変更するには、プロパティを参照してください。必要に応じて、 `com.snc.samp.automaticsmcreation` プロパティを設定して、ライセンスできない製品のソフトウェアモデルを自動的に作成することもできます。

特定のソフトウェア製品の結果に関する詳細情報を表示するには、[製品の結果] リストからエントリを選択します。フィールドの説明については、次の表を参照してください。

[製品の結果] フィールド

フィールド	説明
[Number (番号)]	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。 • 準拠 • 非準拠
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、違反を修正するコスト概算。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェア モデルの結果におけるすべてのライセンス供与過剰金額値の合計。
節減見込み	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補からの見込み節減額の合計。
ライセンスされたインストール	製品にライセンスされているインストールの合計数。
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスのないインストールの合計数。
ソフトウェアモデルの結果	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ソフトウェアモデル	ソフトウェア モデルの名前。
ライセンスなしのインストール	関連するソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最低限の権限に基づいて、違反を修正するコスト概算。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
節減見込み	再利用候補が再利用された場合に削減されるコスト概算。
ライセンスされたインストール	
表示名	ライセンスされたソフトウェア インストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ディスカバリーモデル	インストール済みソフトウェア製品を表すソフトウェアディスカバリーモデル。
インストール先：	製品がインストールされているデバイス。
Assigned to (アサイン先)	製品が割り当てられているユーザー。
ライセンスなしのインストール	
表示名	ライセンスなしのソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
インストール先：	製品がインストールされているデバイス。
Assigned to (アサイン先)	製品が割り当てられているユーザー。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** この関連リストは、ソフトウェア製品がサブスクリプションの場合にのみ表示されます。	
パブリッシャー	ライセンスなしのサブスクリプションに関連付けられたソフトウェア製品の公開者。
製品	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられたソフトウェア製品の名前。
ユーザー	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	関連付けられたユーザーのメールアドレス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられたソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられた統合プロファイル。
無認可ユーザー **注:** この関連リストには SAP システムユーザーが含まれており、 SAP 公開者に対してのみ表示されます。	
表示名	一意の表示名。
ユーザー	SAPシステムのユーザー。
SAP ユーザー ID	SAP SAP システムへのアクセス権を持つユーザーの ID。
メール	SAP ユーザーのメール。
名前	SAPユーザーの姓と名。
ユーザータイプ	SAPシステム内のユーザーのタイプ。 • ダイアログ • システム
ライセンスタイプ	指定された SAP システムのユーザーにアサインされた指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	指定された SAP システムのユーザーにアサインされた正規化された指名ユーザータイプ。
SAP クライアント	SAP ユーザー情報がプルされたクライアント。
削除候補	
[Number (番号)]	削除候補番号。
[Name (名前)]	削除候補の名前。
正当性	削除候補になる理由。 • 低使用率 (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア
製品	製品の名前。
パブリッシャー	パブリッシャーの名前。
ステータス	削除候補のステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
	• 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
節減見込み	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節減額。

ソフトウェア資産管理クラシック版で製品ライフサイクルの平均を作成する

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェア提供終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) ライフサイクルを計算するための平均を作成します。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

すべての製品とパブリッシャーに対してグローバルで使用できる平均を作成することも、製品またはパブリッシャーに固有の平均を作成することもできます。これらの平均は、製品の計算されたライフサイクルを作成するために使用されます。計算済みライフサイクルの詳細については、「 製品ライフサイクル」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、ソフトウェア ライフサイクル平均 ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプです。次のオプションから選択します。 ○ カスタム業界平均:GA 日付に基づく業界平均を参照します。 ○ 製品:特定の製品を指します。これにはカスタム製品も含まれます。 ○ パブリッシャー:特定のパブリッシャーを指します。これにはカスタムパブリッシャーも含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示名	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで [製品] の値を選択した場合にのみ表示されます
パブリッシャー	このフィールドは、製品を選択すると自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで [公開者] を選択した場合は、公開者を選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均サポート終了期間 (月)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。
[Active (アクティブ)]	ソフトウェアライフサイクルの作成にライフサイクル平均レコードを使用することを示します。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加

クライアントアクセスライセンス (CAL) を使用して、サーバーソフトウェアの特定のバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理するために、クライアントアクセスレコードを追加します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

注:
sam_user ロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて

ソフトウェア資産管理 はクライアントアクセスレコードを使用して、次のライセンスメトリクスに基づいてサーバーソフトウェアを調整します。

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
Citrix	• ユーザーあたり • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価指標グループ	ライセンスのメトリクス
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位 • 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス
CrowdStrike	• 予約済み時間平均センサー • センサーサブスクリプション **注:** これらのライセンスメトリクスは、Yokohama パッチ 1、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8、および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 バージョン以降で使用できます。パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、 KB1801232 を参照してください。

ライセンスのメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [メトリクス属性] 関連リストからアクセスできます。

重要:
対応するソフトウェアモデルの [割り当てに対するクライアントアクセスOracle自動生成] オプションを使用して、ソフトウェア資産管理 アプリケーションで Database Server のクライアントアクセスレコードを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションOracle要求する必要があります。[割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、ソフトウェアモデル フィールドを参照してください。Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、OracleOracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集の要求を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > クライアントアクセス をクリックし、 新規 を選択します。
2. [クライアントアクセス] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントアクセスフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	クライアントアクセスレコードの名前。
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連するサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 たとえば、2 人のユーザーが Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメント Microsoft Windows 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたユーザー CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ デバイス **CAL**: 各デバイスを使用してサーバーにアクセスしているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 台のデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたデバイス CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイスの CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスのライセンスに基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、2 人のユーザーと 2 台のデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには、2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられたユーザー CAL とデバイス CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品にアクセスする各ユーザーにライセンス付与します。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする特定のユーザーの数をライセンスします。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 従業員ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織内のユーザーの合計数をライセンスします。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ○ 外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織外のユーザーの合計数をライセンスします。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。
WebLogic アプリケーション **注:** このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェア モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザーまたはデバイスにアクセス権が付与されている WebLogic Server アプリケーション。
データベースインスタンス	OracleOracleデータベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	
ソース **注:** このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のオプションのいずれかに自動的に設定されます。 ○ **ServiceNow**:クライアントアクセスレコードデータが、毎日またはオンデマンドで実行されるスケジュール済みジョブ [SAM - DB サーバーユーザーとの自動生成クライアントアクセスの同期 (Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] によって自動的に生成されたことを示します。 ○ 内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
カウント	関連するサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 Oracleデータベースサーバー または Oracle WebLogic Server に対して自動的に生成されたクライアントアクセスレコードでは、このフィールドは、現在レコードに追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 3 を参照してください。 **注:** Citrixソフトウェア モデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイス ライセンスの数に基づきます。
PaaS **注:** このフィールドは、 Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスが Amazon Web サービス (AWS) の Amazon Relational Database Service (RDS) によって管理されているかどうかを示すオプション。
コストセンター	関連するサーバーへのアクセス権が付与されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
Department (部門)	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
場所	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

3. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[タイプ] フィールドで選択した CAL タイプに基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアントアクセスレコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスがさまざまなクライアント アクセス レコード間で複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [種類] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[認定ユーザー]、[認定ユーザーの値単位]、[従業員ユーザーの値単位]、または [外部ユーザーの値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注:
     Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

     a. [ユーザー] タブを選択します。

     b. [Client Access User Breakdowns] リストの **[User**] フィールドで、[**Insert a new row**...] をダブルクリックします。

     注:
     Oracle Database Server ソフトウェアモデルを使用している場合は、代わりに [クライアントアクセスユーザーブレークダウン] リストの [データベースユーザー] フィールドで [新しい行を挿入...] をダブルクリックします。

     c. プロンプトが表示されたら、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを検索して選択します。

     d. [保存] アイコン (

     指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザータイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザータイプ] フィールドを変更できます。

     e. ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーごとに、手順 b-d を繰り返します。
   - [種類] フィールドを [デバイス **CAL** またはユーザー/デバイス **CAL (User / Device CAL)**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

     注:
     Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

     a. [デバイス] タブを選択します。

     b. [Client Access Device Breakdowns] リストの **[Device**] フィールドで、[**Insert a new row**...] をダブルクリックします。

     c. プロンプトが表示されたら、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [保存] アイコン (

指定したデバイスに対して [アクティブ] フィールドと [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに、手順 b-d を繰り返します。

4. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを付与するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

> **重要:**
> この ステップは、クライアント・アクセス・レコードが Oracle WebLogic Serverソフトウェア・モデルに関連付けられている場合、または関連するソフトウェア・モデルで[クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンス を付与する]オプションを有効にしている場合には適用されません。このオプションを有効にすると、ソフトウェアのインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて CI にライセンスが付与されます。このオプションの詳細については、 ソフトウェアモデル フィールド を参照してください。

Windows Server の場合、各サーバーのインストールには、関連付けられたクライアントアクセスレコードのユーザーおよびデバイス CAL 権限とは別にライセンスされる、コアごとの (CAL を含む) 権限が必要です。Oracle Java などの他の製品では、サーバーのインストールに別途ライセンス付与される権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Oracle Java にアクセスしているユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、 ソフトウェア資産管理 を有効にして、対応する Oracle Java インストールにライセンス済みとして自動的にマークを付けることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は CAL ライセンスの一部として Oracle Java インストールにライセンスを付与します。

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユーザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを ソフトウェア資産管理 判断できるようになります。クライアントアクセスレコード上のすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールがライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールで追加のライセンスは消費されません。

a. **[Devices with Installations]** タブを選択します。

b. [Client Access Installed Devices] リストの **[Device**] フィールドで、[**Insert a new row**...] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、関連するサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。

d. [保存] アイコン (
指定した CI の [アクティブ] フィールドは自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

e. 関連するサーバーがインストールされている CI ごとに、手順 b-d を繰り返します。

5. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
クライアントアクセスレコードを作成すると、関連するサーバーソフトウェア上でスケジュール済みジョブまたはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果はライセンスワークベンチで表示できま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修復オプションを使用して、サーバー ソフトウェアの非準拠を修正できます。

- **[Purchase Rights]**:必要な権限の数が、指定したサーバーソフトウェアのすべてのクライアントアクセスレコードで所有している権限の数よりも多い場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成:指定されたサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加された無認可のユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当てを削除:十分な権限がない場合に、ライセンスを付与されたユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

ソフトウェア資産管理クラシックでのカスタムソフトウェア製品の追加

ソフトウェア製品がソフトウェアライブラリに存在しない場合は、カスタム製品を追加できます。カスタム製品を使用すると、自家製のソフトウェアやまだ [ソフトウェアライブラリー] に含まれていないソフトウェアを標準化してアカウントを作成することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
製品と公開者の組み合わせはディスカバリーモデルの標準化の際に使用されます。カスタム製品が存在する場合は、メッセージが表示されます。

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > カスタム製品をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ソフトウェア製品フォーム

フィールド	説明
公開者	カスタム ソフトウェア製品の公開者。存在しない場合は、 フィールドの ルックアップリストに新規の名前を作成できます。
製品	カスタム ソフトウェア製品の名前。
サブスクリプションソフトウェア	ソフトウェアにサブスクリプションがあることを示すオプション。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。 • 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー：デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能：ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可：ライセンス不可のソフトウェア製品。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• パッチ：既存のコンピューター プログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：未知のソフトウェア製品。
製品分類	正式な UNSPSC 分類
コンテンツサービスから除外	共有されないようにカスタム製品の詳細を除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。
[Active (アクティブ)]	ルールがアクティブであることを示すオプション。

ソフトウェア資産管理クラシック版でパブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示する

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでカスタム PPN および DMAPS のコンテンツサービスの提案を表示します。

始める前に

PPN 提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN 提案レコードは、部品番号提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 部品番号の提案.
2. 提案レコードを開いて、[部品番号の提案] ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、[部品番号の提案 (Part number suggestion)] ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨される部品番号の詳細が含まれています。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
3. [承認] または [却下] を選択します。
   - [承認(**Accept**)]:コンテンツ サービス PPN と DMAP は、カスタム PPN と DMAP を置き換えます。影響を受けるエンタイトルメントでは、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルではコンテンツサービス DMAP が置き換えられます。
   - 却下:このレコードのステータスは [却下] に変わり、カスタム PPN を引き続き使用します。

ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション

ServiceNow プラットフォームでは、ライセンス方法を使用しており、組織は IT Asset Management アプリケーション (ServiceNow ソフトウェア資産管理) の使用に対して課金されます。

ソフトウェア資産管理 ライセンスを使用すると、使用したリソースカテゴリに対して支払うことができます。コストを計算するために、 ソフトウェア資産管理 はサブスクリプションユニットを使

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

用します。サブスクリプションユニットは、定義された比率を使用して管理対象 IT リソースに使用される測定単位です。さまざまなタイプの IT リソースを管理することの顧客価値はさまざまです。サブスクリプションユニットでは、さまざまな IT リソースタイプに対する比率を介して 1 つの単価を適用し、その変化する顧客価値を反映させることができます。管理対象の IT リソースとサブスクリプションユニットの比率の詳細については、 https://www.servicenow.com/products/entitlements-packages.html のサブスクリプションユニットの概要を参照してください。

管理対象 IT リソースタイプ

ServiceNow ソフトウェア資産管理 には、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、SaaS サブスクリプションユーザー、PaaS リソース、および IaaS ストレージの 5 つの IT リソースカテゴリがあります。

- サーバーは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブルで構成アイテム (CI) として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理される物理サーバーまたは仮想サーバーです。
- エンドユーザーコンピューティングデバイスは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブル内の物理または仮想の非サーバー CI であり、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されます。
- SaaS サブスクリプションユーザーは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされ、ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理される SaaS サブスクリプションユーザーテーブル内の一意のユーザープリンシパル名です。
- PaaS リソースは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブルで CI として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されるクラウドベースのプラットフォームサービスです。
- IaaS ストレージは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブルで CI として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されるクラウドベースのインフラストラクチャサービスです。

管理対象の IT リソースにインストールされたソフトウェアがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに示されている場合、サーバーとエンドユーザーコンピューティングデバイスは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されます。

ソフトウェア資産管理ライセンスリソースカテゴリ

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
サーバー	1：1	• cmdb_ci_server • cmdb_ci_win_server • cmdb_ci_linux_server • cmdb_ci_aix_server • cmdb_ci_esx_server • cmdb_ci_solaris_server • cmdb_ci_hyper_v_server • cmdb_ci_hpux_server 上記のクラスまたはcmdb_ci_hardwareから派生し、別の管理対象 IT リソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理ライセンスリソースカテゴリ (続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
		タイプとして定義されていない CMDB クラス。
エンドユーザーコンピューティングデバイス	1:4	• cmdb_ci_computer • cmdb_ci_handheld_computing • cmdb_ci_pc_hardware cmdb_ci_pc_hardware から派生した CMDB クラス。
SaaS サブスクリプションユーザー	1:15	samp_sw_subscription
PaaS リソース	1:3	• cmdb_ci_database • cmdb_ci_cloud_database 上記のクラスの子クラス。
IaaS ストレージ	1:3	cmdb_ci_storage_volume 上記のクラスの子クラス。

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に格納される構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関するこの情報と、組織が購入したサブスクリプションに関する情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションによるサブスクリプションの使用に関する統計を作成します。

始める前に
ライセンス目的で情報を収集および集計するプロセスは、次のインタラクションで構成されています。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

1. IT Asset Management アプリケーションは毎日 CI をカウントし、CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションの日次レポートでは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに報告します。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

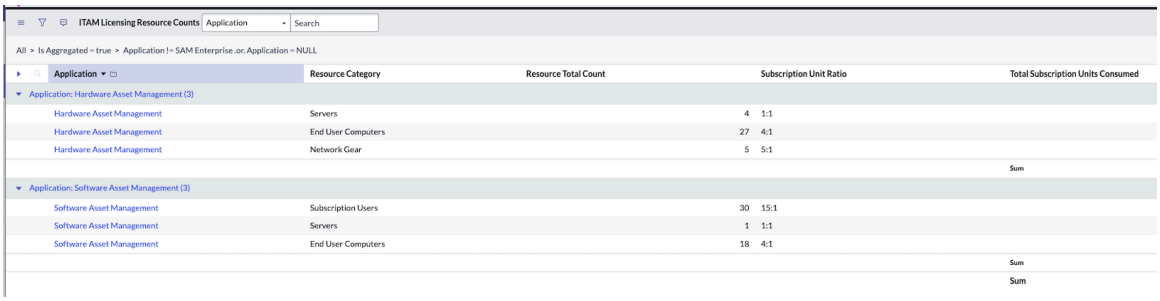
- アドミン
- usage_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. アプリケーションを選択して、特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示します。



各 IT Operations Management (ITOM) アプリケーションで購入した CI 数とサブスクリプションに関する次の情報を個別に (単品) 表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、データベース (3:1)、サブスクリプションユーザー (15:1) の値が事前に定義されています。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ別のサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション率を適用して、この数を計算します。

ライセンスの目的上、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、過去 90 日以内に検出されたソフトウェアインストールがある CI または最後に検出された CI が空である CI のみが考慮されます。さらに、cmdb_ci_hardwareテーブルに追加された列があり、その列名が *`Enter the name of the true/false field added to cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management`* というラベルのプロパティで参照されているすべての CI が除外されます。CI の除外の詳細については、「 CI でのソフトウェア資産の除外」を参照してください。

サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス

ソフトウェア資産管理には、Now Platformとサードパーティソフトウェアアプリケーションの間で機能を拡張するために使用できる公開者パックがいくつかあります。

次の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックプラグインは、アクティブ化のために ServiceNow 担当者に要求できます。これらのプラグインを要求する方法の詳細については、「 ソフトウェア資産管理の要求 」を参照してください。

- Adobe
- Citrix
- IBM (IBM と Red Hat Enterprise Linuxの両方を含む)
- Microsoft
- Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- SAP
- VMware

各公開者には、そのメトリクスグループに固有の 一連のライセンスメトリクス があります。ライセンスのメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントで設定され、調整 (メトリクスグループ、ライセンスメトリクス、ソフトウェア モデルの組み合わせ) に使用されます。

パブリッシャーパックプラグイン

プラグイン	説明
Adobe の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_adobe)	Adobeサブスクリプションソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
Citrix の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_citrix)	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなどの Citrix ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
IBM の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_ibm)	PVU および RVU ライセンスメトリクスを使用して IBM 製品を調整するための追加機能を提供します。 このプラグインは、Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters などのRed Hat Enterprise Linuxソフトウェアを調整するための追加機能も提供します。
Microsoft の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft)	Microsoft SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
Oracle の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)	Oracle DB サーバーなどのOracleソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
SAP の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap)	指定ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整する SAP 追加機能を提供します。
VMware の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_vmware)	vCenter や vSphere などの VMware ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。

パブリッシャーパックダッシュボード

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、次の公開者のコンプライアンス分析結果を表示します。

- Adobe
- Citrix
- IBM
- Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Oracle
- SAP
- VMware

注:
ソフトウェアパブリッシャー概要ダッシュボードのナビゲーションモジュールを表示するには、Publisher Pack アドオンのいずれか (Adobe 以外) を有効にする必要があります。さらに、対応する公開者パックをアクティブ化して、その公開者の [コンプライアンス分析結果] タブを表示する必要があります。

Office 365 および Adobe ダッシュボードで Microsoft Office 365 および Adobe Cloud のコンプライアンス分析結果を表示します。

注:
Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示するにはAdobeソフトウェア資産管理プロ Publisher Pack アドオンをアクティブ化する必要があります。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Adobe**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Adobe を使用して、Adobe 固有のライセンスメトリクスを使用してコンプライアンスを追跡し、Adobe Cloud と統合します。

Adobe ライセンスオプション

Adobe Publisher Pack (com.sn_samp_adobe) は、ソフトウェアエンタイトルメントのAdobe固有のライセンスオプションを追加します。

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)
ライセンスのメトリクス	• デバイスあたり • Per User (ユーザーあたり) • ユーザーサブスクリプション

Adobe固有のライセンスオプションを使用するには、ソフトウェアエンタイトルメントのAdobeメトリクスグループを選択します。

Adobe クラウド統合

Adobe Cloud 統合プロファイルを作成して、コンプライアンスレポート用にサブスクリプションとソフトウェアインストールを比較します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> インストールディスカバリーソースには、 ServiceNow ディスカバリー、 Microsoft SCCM、および ServiceNow CMDB のデータソースとして統合できるその他のサードパーティディスカバリーソースが含まれます。

Adobe Cloud 統合プロファイルの作成方法については、「Adobe Cloud との統合」を参照してください。

Adobe クラウドレポート

Adobe クラウドレポートにアクセスするには、 レポート > 表示/実行 すべてのレポートで Adobeを検索します。

- Adobe インストールのないクラウドユーザー
- 十分に使用されていない Adobe クラウドインストール

ソフトウェア資産管理クラシック版の Office 365 および Adobe クラウドダッシュボードまたはの Adobe システムのパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、Adobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストを表示できます。

Adobe Cloud との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをAdobe Cloudサービスと統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスコンプライアンスを判断します。

Adobe Cloud 統合は、次の Adobe Cloud サービスをサポートしています。

- Adobe Creative Cloud
- Adobe エクスペリエンスクラウド
- Adobe ドキュメントクラウド

> **注:**
> Adobe Cloud統合を作成できるのは、Adobe Creative Cloud エンタープライズ版サブスクリプションプランを使用している場合のみです。Creative Cloud グループ版、教育機関向け、個人向けなど、他のサブスクリプションプランを使用している場合 Adobe 統合を作成することはできません。

Adobe認証を使用して、Adobeサブスクリプションをコンプライアンスレポートの ソフトウェア資産管理 と統合します。Adobe認証の統合と証明書について詳しくは、『Adobe 認証ガイド』を参照してください。

次のいずれかの認証方法を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合できます。

- サービスアカウント (JWT) 認証情報
- OAuth サーバー間認証情報

> **注:**
> すべての新しい Adobe クラウド統合は、OAuth 認証タイプを使用して作成する必要があります。 Adobe は、サービスアカウント (JWT) 認証情報から OAuth サーバー間認証情報に移行しています。詳しくは、 アドビ移行ガイド を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Adobe Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	システムアドミニストレーター	なし

サービスアカウント **(JWT)** 認証情報を使用して**Adobe Cloud**を統合する

サービスアカウント (JWT) 認証情報を使用して、 ServiceNow インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合します。

サービスアカウント **(JWT)** を使用したプロジェクトの作成と **API** の追加

Adobe API にアクセスするためのプロジェクトを Adobe 開発者コンソールで作成し、Adobe サービスアカウント (JWT) を使用して API をプロジェクトに追加します。

始める前に
必要なロール: Adobe クラウドアドミン

手順

1. Adobe 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、 [新しいプロジェクトの作成] を選択して Adobe API にアクセスします。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. Adobe サービスアカウント (JWT) を使用してプロジェクトに API を追加します。
   詳細については、「 サービスアカウント (JWT) を使用してプロジェクトに API を追加する 」を参照してください。

   プロジェクトに API を追加するときは、次の点に注意してください。
   - 統合する Adobe サービスで、[ユーザー管理 **API**] を選択します。このサービスを使用すると、Adobe ユーザー管理 API にアクセスできます。
   - 選択した Adobe サービス内の API にアクセスできるようにするサービスアカウント (JWT) 認証情報を作成する場合は、キーペアを生成するオプションを選択します。このオプションを使用すると、 Adobe 開発者コンソールは、サービスアカウント (JWT) の認証に使用できる公開鍵ペアと秘密鍵ペアの両方を生成します。秘密鍵がデバイスに自動的にダウンロードされます。

   プロジェクトに API を正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。
3. [概要] ページの [サービスアカウント (JWT) (Service Account (JWT)) セクションで、[クライアント **ID**]、[テクニカルアカウント **ID**]、および [組織 **ID**] の各フィールドの値をコピーします。
4. [クライアントシークレットの取得] を選択して、[クライアントシークレット] フィールドの値を表示してコピーします。
   後で使用するために、この情報を安全な場所に保存してください。
5. 次の openssl コマンドを使用して、キーを KEY 形式から PKS 形式に変換します。 `openssl pkcs12 -export -out test1-certificate.pfx -inkey private.key -nocerts`

   前の手順で、キーがデバイスに自動的にダウンロードされました。Adobe Cloud 統合に対応する ServiceNow X.509 証明書を作成するには、キーが PKS 形式である必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キーを変換するには、パスワードを作成する必要があります。このパスワードは、以降のステップでServiceNow統合プロファイルと X.509 証明書を作成するときに、[キーストア] パスワードフィールドと [証明書のパスワード] フィールドで使用します。

> **注:**
> このパスワードは 6 文字以上でなければなりません。

JWT を使用した Adobe Cloud 統合プロファイルの作成

サービスアカウント (JWT) 認証情報を使用してServiceNowインスタンスにAdobe Cloud統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に

必要なロール:次のいずれかのロールを組み合わせて Adobe Cloud JWT 認証情報を使用して統合プロファイルを作成できます。

- admin と sam_admin
- admin および sam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロ for Adobe (com.sn_samp_adobe)
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store から (sn_sam_saas_int) SaaS ライセンス管理

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAdobe Cloud統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

> **注:**
> すべての新しい Adobe 統合は、OAuth 認証タイプを使用して作成する必要があります。詳細については、「 OAuth サーバー間 認証情報を使用してAdobe Cloudを統合する」を参照してください。 Adobe は、サービスアカウント (JWT) 認証情報から OAuth サーバー間認証情報に移行しています。移行の詳細については、次を参照してください。 Adobe 移行ガイド .

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	Adobe 統合プロファイルの名前。
認証タイプ	Adobe Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ○ OAuth 2.0 ○ JWT

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードする前の既存の Adobe Cloud 統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。 ○ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルでは、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。詳細については、「OAuth サーバー間 認証情報を使用してAdobe Cloudを統合する」を参照してください。
クライアント ID	プロジェクトの作成中および API の追加中に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされるクライアント ID。
組織 ID	Adobeプロジェクトの作成中および API の追加中に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされる組織 ID。
テクニカルアカウント ID	Adobeプロジェクトの作成中および API の追加中に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされるテクニカルアカウント ID。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Adobe** サブスクリプションに設定されます。
クライアントシークレット	プロジェクトの作成中および API の追加中に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされるクライアントシークレット。
証明書	ServiceNowAdobe Cloud 統合の X.509 証明書。
証明書パスワード	キーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成する証明書のパスワード。

3. 統合プロファイルに X.509 証明書を追加します。
この証明書は、 Adobe サービスアカウント (JWT) 認証情報のキーに基づいています。
   a. [X.509 証明書] フォームに移動します。
      - コア UI の場合：
        i. [統合プロファイル] フォームで、[証明書] フィールドの横にある検索アイコン (を選択します。
        ii. [X.509 証明書] ダイアログ ボックスで、[新規] を選択します。
      - ソフトウェア資産ワークスペース の場合：
        i. 次のように移動する。 システム定義 > 証明書.
        ii. **[New** (新規)] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[X.509 証明書] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	証明書名。
有効期限通知	証明書の有効期限が近づいたときに通知を送信するオプション。
期限切れ時に通知	証明書の有効期限が切れたときに通知するユーザー。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。
有効期限切れ前に警告	証明書の有効期限の何日前に通知を送信するかを指定します。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。
[Active (アクティブ)]	証明書がアクティブかどうかを示すオプション。
簡単な説明	証明書の簡単な説明。
PEM 証明書	DER 証明書を含む Base-64 でエンコードされた PEM 形式のテキスト。インスタンスは証明書をデコードして、[有効開始日]、[有効期限]、[数日中に期限切れ]、[発行者]、および [件名] フィールドに入力します。
形式	証明書の形式。
タイプ	証明書タイプ。このフィールドを **PKCS12** キーストアに設定します。
有効期限までの日数	証明書の有効期限が切れるまでの残り日数。このフィールドは、自動的に入力されます。
キーストアパスワード	ステップ 3 でキーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成した証明書のパスワード。

c. [X.509 証明書] フォームヘッダーの [添付ファイルを管理] アイコン (を選択して、キー (PKS ファイル) をアップロードします。

d. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルを選択] を選択してキーを見つけて選択します。

ダイアログボックスが閉じ、[X.509 証明書] フォームに戻ります。

e. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択して、証明書を検証します。

f. 証明書が検証されたら、[送信] を選択します。

4. [プロセスの構成] セクションで、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーロールまたは API 権限を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. フォームを再ロードしたら、[**Adobe** 認証情報を検証] 関連リンクを選択して接続を完了します。
7. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

タスクの結果

Adobeサブスクリプションデータは、*SAM - Import Adobe User Subscriptions*スケジュール済みジョブが実行されると、ソフトウェア資産管理アプリケーションにプルされます。サブスクリプションデータがプルされると、 *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* のスケジュール済みジョブが毎月実行され、 Adobe Creative Cloud サブスクリプションが最適化されます。

これら 2 つのジョブを完了すると、次のシナリオが発生します。

- 3 つ以上の(構成可能な)単体プランまたは個々の製品サブスクリプションを統合し Adobe 、インストールされていない場合は Creative Cloud のすべてのアプリを推奨する最適化候補。
- Creative Cloud すべてのアプリがインストールされている場合に、シングルアプリまたはデュアルライセンスを持つ個々の製品サブスクリプションを再利用 Adobe 再利用候補。

  たとえば、ユーザーが Creative Cloud すべてのアプリを Adobe サブスクリプションに登録し、シングルアプリや Adobe Acrobat や Adobe Photoshop などの個々の製品のライセンスも使用するとします。このデュアルライセンスシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、シングルアプリまたは個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨します。

- アクティブに使用されている 3 つ以上の(構成可能な)シングルアプリまたは個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、Creative Cloud のすべてのアプリ Adobe アサインすることを推奨する最適化候補。

  たとえば、ユーザーが Adobe Acrobat、Adobe Illustrator、および Adobe Photoshop に登録していて、これらすべての製品を積極的に使用しているとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は、これらの個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨し、Creative Cloud のすべてのアプリの使用 Adobe 推奨します。

- アクティブに使用されている製品が 3 つ(構成可能)未満の場合に Creative Cloud のすべてのアプリを Adobe 再利用する再利用候補と、シングルアプリまたはアクティブに使用されている個々の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補。

  たとえば、ユーザーが Creative Cloud のすべてのアプリを Adobe サブスクリプションに登録しているが、個々の Creative Cloud 製品を積極的に使用しているのは 3 つ未満であるとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は Adobe Creative Cloud コンプリートアプリのライセンスを再利用し、アクティブに使用されている個々の製品サブスクリプションを割り当てることを推奨します。

次のタスク

に移動してサブスクリプションデータを表示するには **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.*SAM - Import Adobe User Subscriptions*ジョブのステータスを確認するには、次に移動します: **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ジョブ結果.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理クラシック版の Office 365 および Adobe クラウドダッシュボード のAdobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストに関する情報を表示することもできます。

統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアモデル、認識されないサブスクリプション識別子、スケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブの結果、およびソフトウェアサブスクリプションに関する情報を ソフトウェア資産ワークスペースに表示できます。次のように移動する。 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > 直接統合プロファイル.

関連情報

のパブリッシャー最適化 Adobe

OAuth サーバー間 認証情報を使用してAdobe Cloud®を統合する

OAuth サーバー間認証情報を使用して、 ServiceNow インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合します。

OAuth を使用したプロジェクトの作成と API の追加

Adobe API にアクセスするためのプロジェクトを Adobe 開発者コンソールで作成し、OAuth を使用してプロジェクトに API を追加します。

始める前に
必要なロール：Adobe Cloud アドミン

手順

1. Adobe 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、 [新しいプロジェクトの作成] を選択して Adobe API にアクセスします。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. **[API** の追加] を選択して、プロジェクトに API を追加します。
   詳細については、「 OAuth を使用してプロジェクトに API を追加する 」を参照してください。
3. 統合するAdobeサービスのユーザー管理 **API** を選択します。
   このサービスを使用すると、 Adobe ユーザー管理 API にアクセスできます。プロジェクトに API を正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。
4. **[Next** (次へ)] を選択します。
5. [API の構成] フォームで、[認証情報] を展開します。
6. **OAuth** サーバー間認証を選択します。
7. [認証情報名] フィールドに名前を入力すると、正しい API 認証情報を簡単に見つけることができます。 管理コンソール > ユーザー > **API** 認証情報.
   名前は、プロジェクトの後半の OAuth サーバー間認証情報の概要ページで変更することもできます。
8. [構成された **API** の保存] を選択します。
   認証情報の概要ページには、次の値が表示されます。
   - クライアント ID
   - クライアントシークレット
   - スコープ
   - 認証情報名
   - テクニカルアカウント ID

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- テクニカルアカウントメール
- 組織 ID

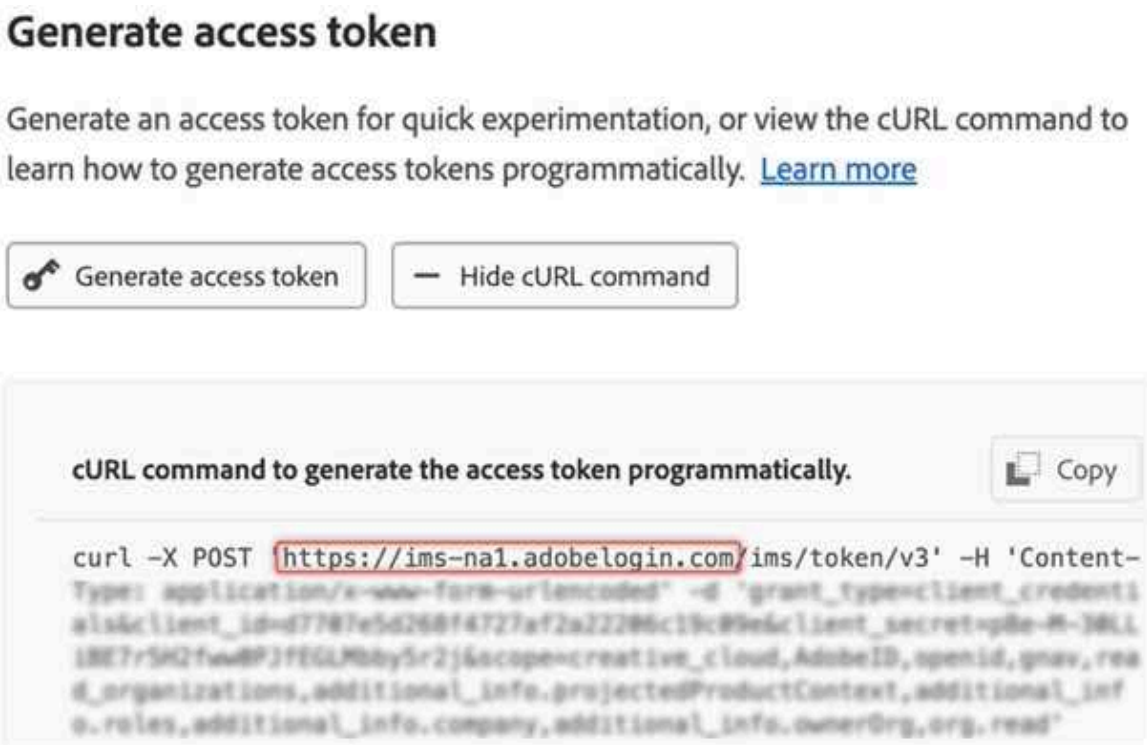
> **注:**
>
> CLIENT ID と ORGANIZATION ID をコピーし、後で使用するために CLIENT SECRET も取得します。

9. Adobe 開発者コンソールから接続 URL (インスタンス) URL を取得し、Adobe Cloudの OAuth トークンを作成して取得します。

   a. [アクセストークンの生成] セクションで、[**cURL** の表示] コマンドを選択します。

   b. 接続 URL をコピーします。

   > **注:**
   >
   > コマンド全体から必要な URL のみをコピーします。
   >
   > たとえば、ここでは接続 URL が強調表示されています。



OAuth を使用した Adobe Cloud 統合プロファイルの作成

OAuth 認証情報を使用して ServiceNow インスタンスに Adobe Cloud 統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に
必要なロール:sam_admin、sam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロ for Adobe (com.sn_samp_adobe)
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store から (sn_sam_saas_int) SaaS ライセンス管理

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAdobe Cloud統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	Adobe Cloud 統合プロファイルの名前。
認証タイプ	Adobe Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ○ OAuth 2.0 ○ JWT 注: ○ ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードする前の既存の Adobe Cloud 統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。詳細については、「サービスアカウント (JWT) 認証情報を使用してAdobe Cloudを統合する」を参照してください。 ○ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルでは、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Adobe サブスクリプションに設定されます。

3. [プロセスの構成] セクションで、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーロールまたは API 権限を表示します。

注:

[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
[接続と資格情報] フィールドがフォームに表示され、自動的に **sn_sam_saas_int** に設定されます。Adobe_OAuth。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビュー(ⓘ) を選択して、「接続および資格情報エイリアス」レコードを開きます。
6. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

接続および認証情報フォームを作成

フィールド	説明
接続名	Adobe Cloud接続の名前です。
接続 URL (インスタンス URL)	接続の URL。このフィールドは自動的に https://<インスタンス名>.adobelogin.com に設定されます。URL を取得する手順の詳細については、 OAuth を使用したプロジェクトの作成と API の追加 のステップ 9 を参照してください。
OAuth クライアント ID	Adobe Cloud OAuth 認証情報の作成時に生成したクライアント ID です。
OAuth クライアントシークレット	Adobe Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。
組織 ID	Adobe CloudAdobe Cloud OAuth 認証情報の作成時に見つけられる組織 ID。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

9. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

タスクの結果

Adobeサブスクリプションデータは、*SAM - Import Adobe User Subscriptions*スケジュール済みジョブが実行されるとソフトウェア資産管理にプルされます。サブスクリプションデータがプルされると、 *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* のスケジュール済みジョブが毎月実行され、 Adobe Creative Cloud サブスクリプションが最適化されます。

このジョブが完了すると、次のようになります。

- 3 つ以上の(構成可能な)単体プランまたは個々の製品サブスクリプションを統合し Adobe 、インストールされていない場合は Creative Cloud のすべてのアプリを推奨する最適化候補。
- Creative Cloud すべてのアプリがインストールされている場合に、シングルアプリまたはデュアルライセンスを持つ個々の製品サブスクリプションを再利用 Adobe 再利用候補。

  たとえば、ユーザーが Creative Cloud すべてのアプリを Adobe サブスクリプションに登録し、シングルアプリや Adobe Acrobat や Adobe Photoshop などの個々の製品のライセンスも使用するとします。このデュアルライセンスシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は、シングルアプリまたは個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨します。

- アクティブに使用されている 3 つ以上の(構成可能な)シングルアプリまたは個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、Creative Cloud のすべてのアプリ Adobe アサインすることを推奨する最適化候補。

  たとえば、ユーザーが Adobe Acrobat、Adobe Illustrator、および Adobe Photoshop に登録していて、これらすべての製品を積極的に使用しているとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、これらの個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨し、Creative Cloud のすべてのアプリの使用 Adobe 推奨します。

- アクティブに使用されている製品が 3 つ(構成可能)未満の場合に Creative Cloud のすべてのアプリを Adobe 再利用する再利用候補と、シングルアプリまたはアクティブに使用されている個々の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補。

  たとえば、ユーザーが Creative Cloud のすべてのアプリを Adobe サブスクリプションに登録しているが、個々の Creative Cloud 製品を積極的に使用しているのは 3 つ未満であるとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは Adobe Creative Cloud コンプリートアプリのライセンスを再利用し、アクティブに使用されている個々の製品サブスクリプションを割り当てることを推奨します。

次のタスク

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

に移動してサブスクリプションデータを表示するには **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.*SAM - Import Adobe User Subscriptions*ジョブのステータスを確認するには、次に移動します: **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ジョブ結果.

ソフトウェア資産管理クラシック版の Office 365 および Adobe クラウドダッシュボード

のAdobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストに関する情報を表示することもできます。

統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアモデル、認識されないサブスクリプション識別子、スケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブの結果、およびソフトウェアサブスクリプションに関する情報を ソフトウェア資産ワークスペースに表示できます。次のように移動する。 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > 直接統合プロファイル.

関連情報

のパブリッシャー最適化 Adobe

ソフトウェア資産管理クラシック版の **Office 365** および **Adobe** クラウドダッシュボード

Microsoft Office 365 および Adobe Cloud License Management に関連するコンプライアンス分析結果を ソフトウェア資産管理 classic で表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規 Yokohama ユーザーは、Office 365 および Adobe ダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

フィルターリストを使用して、 サブスクリプションソフトウェアモデル または サブスクリプションパブリッシャー でフィルタリングできます。

> **注:**
> サブスクリプションパブリッシャーのフィルターリストには、アクティブなサブスクリプションパブリッシャーパックが 1 つしかない場合でも、常に Microsoft と Adobe が含まれます。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Adobe

Adobe I/O 認証統合を使用してAdobeサブスクリプション情報を管理できます。

> **注:**
> Adobeサブスクリプションレポートを表示するには、アドオンAdobeパブリッシャーパック (com.sn_samp_adobe) プラグインをインストールする必要があります。
>
> サブスクリプションソフトウェアとして認識されている Adobe ソフトウェア製品のみが表示されます。コンプライアンス情報を表示するには、Adobe 統合を設定する必要があります。

- アクティブな Adobe ソフトウェアがインストールされていないアクティブなサブスクリプションのリスト

  ユーザーがアクティブなサブスクリプションを持っているが、製品のそれぞれの Adobe スイートが展開されていない場合。

  ユーザー名 |メール ID |サブスクリプション名 |ユーザーにアサインされたデバイスのリスト。

- SCCM 測定データを使用した Adobe インストールの最適化

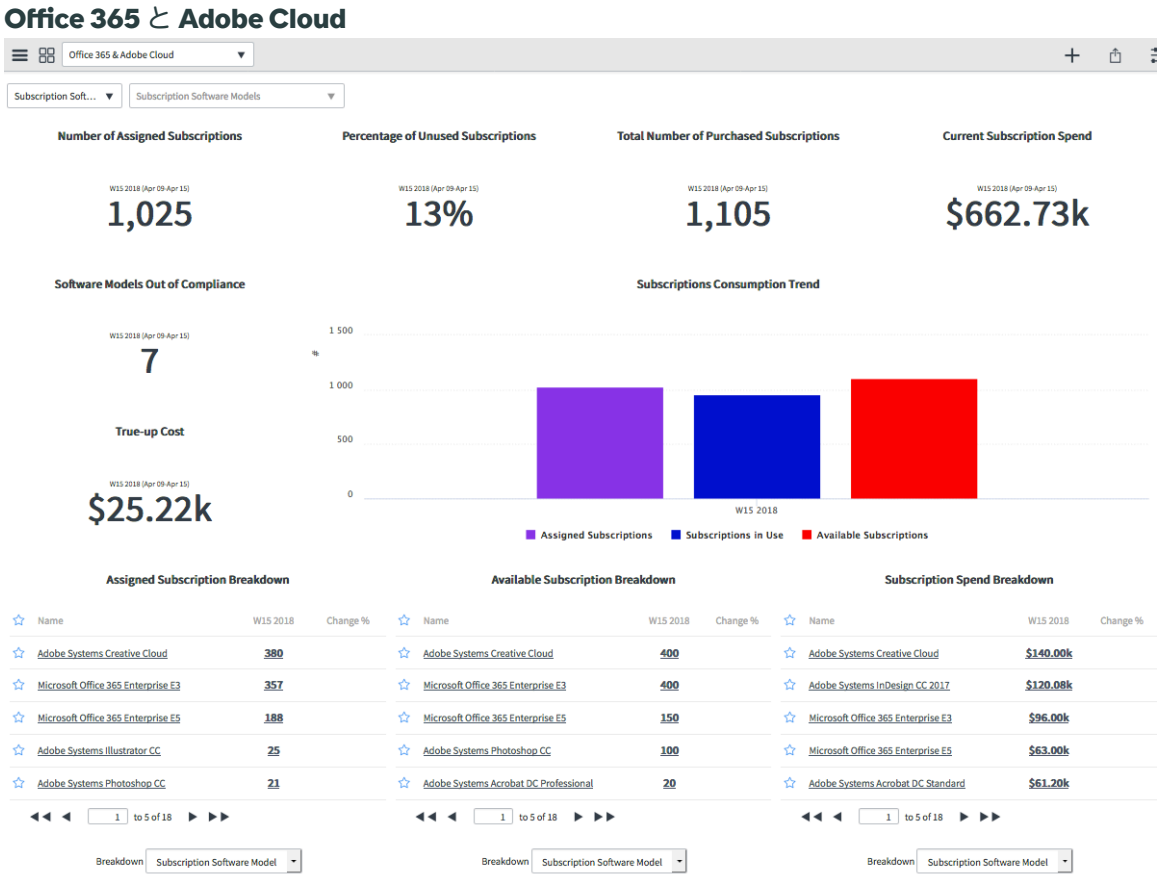
  ユーザーが Adobe サブスクリプションを十分に活用していない場合

  ユーザー名 |メール ID |サブスクリプション名 |サブスクリプションコスト |ユーザーにアサインされているデバイスのリスト | Adobe 製品群一覧 |最終アクセス時刻

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS サブスクリプションレポート

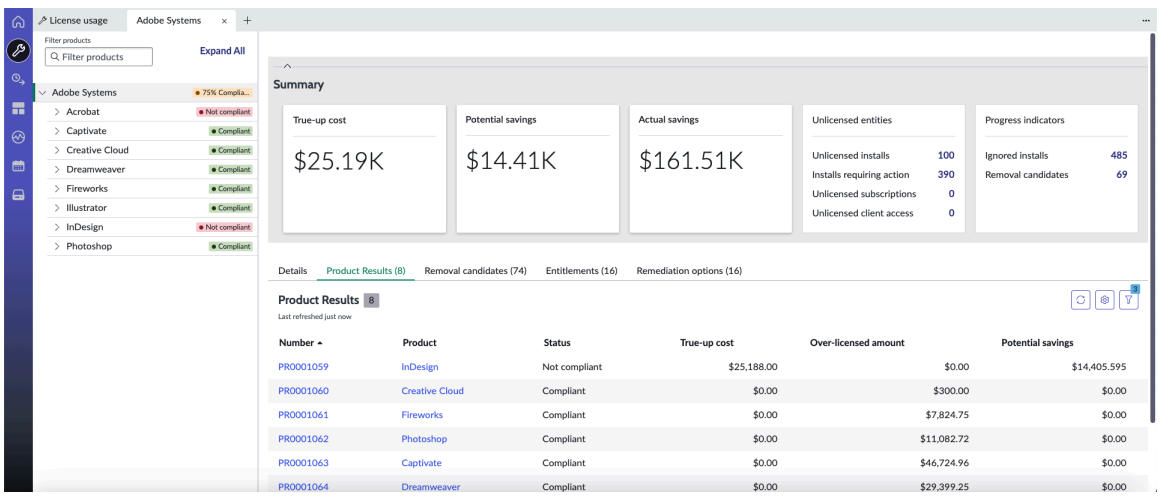


の **Adobe** システムのパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内の Adobe システムの公開者概要で、Adobeに関連するライセンス使用情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Adobe Systems パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、使用可能なソフトウェア発行者のリストから **[Adobe Systems**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、「 Adobe Systems パブリッシャーの概要」の [サマリー] セクションで確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Adobe システムの概要

レポート	説明
調整コスト	Adobeソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	Adobeライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	Adobeライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなし Adobe ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Adobe ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスなしの Adobe サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Adobe サブスクリプションの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Adobe クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Adobe クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Adobe ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: Adobe 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Citrix**

Citrix 製品の最適化と調整には、Citrixパブリッシャーパックを使用します。Citrixユーザーとデバイスのライセンスポジションを追跡して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。

Citrix パブリッシャーパックを使用するには、ソフトウェア資産管理 Professional for Citrix プラグイン (com.sn_samp_citrix) を有効にします。詳細については、「Request Software Asset Management (Software Asset Management の要求)」を参照してください。

Citrixパブリッシャーパックは、仮想アプリケーション製品(旧称XenApp)と仮想デスクトップ製品(旧称XenDesktop)をサポートします。この公開者パックを使用すると、ライセンスを管理し、Citrix 製品のライセンスコンプライアンスを判断できます。仮想アプリケーションとデスクトップを介して配信されるサードパーティアプリケーションを可視化できます。また、これらのアプリケーションにアクセスする可能性のあるユーザーを可視化することもできます。

ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションを使用して、Citrixからデータを収集します。Citrix製品のライセンス消費データは、Citrixライセンスサーバーから収集されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ディスカバリーは OData API を使用して、Citrix Delivery Controller からCitrixファームを介して配信されるサードパーティアプリケーションを識別します。この情報を使用して、ソフトウェアインストールレコードを作成し、これらのアプリケーションのライセンス使用状況を追跡します。これらのアプリケーションを識別するために、アドミニストレーターはCitrixディスカバリーパターンで実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。Citrixディスカバリーパターンとテーブルの詳細については、「Citrix ライセンスサーバーとデリバリーコントローラーの検出 」を参照してください。

Citrix ライセンスモデル

Citrix パブリッシャーパックは、次のCitrixライセンスモデルをサポートしています。

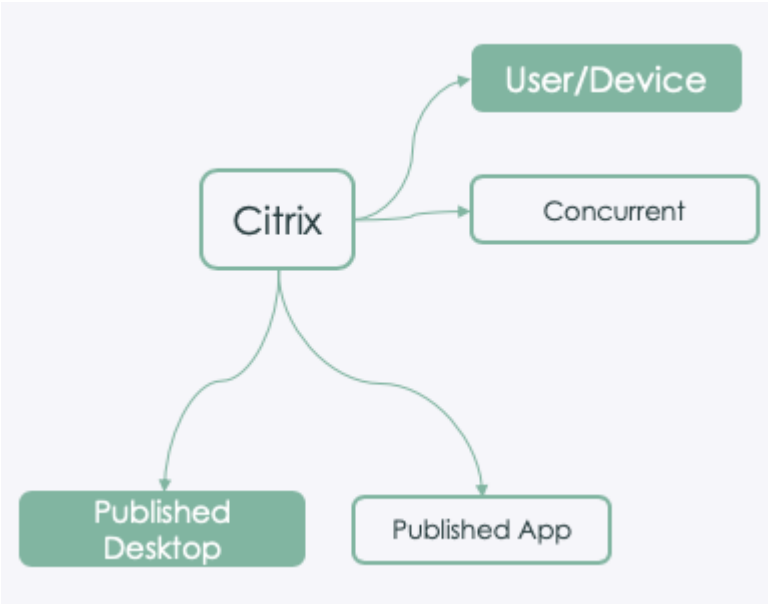
同時ライセンスモデル

同時ライセンスは、アクティブセッション中のみ使用されます。ユーザーがセッションを開始すると、アプリケーションまたはデスクトップは、セッションを実行しているデバイスのライセンスをチェックアウトします。セッションが切断または終了すると、アプリケーションまたはデスクトップはライセンスをチェックインして、他のユーザーやデバイスがライセンスを使用できるようにします。同時ライセンスでは、仮想デスクトップへの 1 つの接続、または任意のユーザーまたはデバイス用の無制限のアプリケーションを使用できます。ライセンスの消費は、使用されているライセンスの数に基づいています。

ユーザー/デバイスのライセンスモデル

ユーザー/デバイスライセンスモデル:ユーザー/デバイスライセンスは、ユーザーまたは共有デバイスのいずれかに割り当てられます。Citrix ライセンスサーバーがユーザーにライセンスを割り当てた場合、そのユーザーは無制限のデバイスから無制限の接続を行うことができます。Citrixライセンスサーバーがデバイスにライセンスを割り当てた場合、そのデバイスから無制限の接続を行うことができるユーザーは無制限です。ライセンスの消費は、ライセンスを使用しているユーザーまたはデバイスに基づきます。

Citrixライセンスのアーキテクチャを次の図に示します。



Citrix仮想化テクノロジーを介して提供されるサードパーティアプリケーションのライセンスは、潜在的なアクセスに基づいています。仮想 Citrix 環境に展開されたアプリケーションまたはデスクトップにアクセスする可能性がある限り、すべてのユーザーまたはデバイスはライセンスを使用できます。デリバリーグループとアプリケーショングループを使用して、これらのアプリケーションとデスクトップへのアクセスを制御できます:

デリバリーグループ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デリバリーグループは、 Citrix アプリケーションまたはデスクトップを使用できるデバイスのコレクションです。各デリバリーグループでは、これらのデバイスにアクセスできるユーザーを指定します。また、デリバリーグループでは、これらのユーザーが使用できるアプリケーションまたはデスクトップを指定します。

アプリケーショングループ

アプリケーショングループは、デリバリーグループまたはデリバリーグループユーザーのサブセット間で共有されるアプリケーションのコレクションです。各アプリケーショングループは、それらのアプリケーションにアクセスできるユーザーまたは Active Directory (AD) グループを指定します。

Citrix展開のガイドラインと推奨事項の詳細については、Citrix 製品のドキュメント を参照してください。この情報を使用して、ユーザーをデリバリーグループレベルとアプリケーショングループレベルのどちらでマッピングするかを決定します。両方のレベルでユーザーをマッピングする場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーショングループレベルでのマッピングのみを考慮します。

Citrixライセンス使用状況データは、Citrix のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードから表示できます。このデータを使用して、未使用または不正なライセンスを再利用することで、ライセンスの位置を最適化します。

のエンタイトルメントの作成 **Citrix**

ソフトウェアエンタイトルメントによってソフトウェアモデルに一致したライセンスの詳細を定義できます。エンタイトルメントを個別に追加することも、スプレッドシートからリストをインポートすることもできます。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin エンタイトルメントをインポートするには、sam_admin ロールが必要です。

重要:
エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペース の両方で作成およびインポートできます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントを作成する前に、 ソフトウェアモデルを作成します。

このタスクについて

利用可能なソフトウェアを管理し、ソフトウェアモデルを使用してソフトウェアインストール (使用されているソフトウェア) とエンタイトルメント (所有されているソフトウェア) を結び付けます。監視するすべてのソフトウェアのソフトウェア モデルを作成します。

注:
model_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント [新規] を選択します。

   すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「 クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	説明
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスのメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。

2. アップグレードまたはダウングレードエンタイトルメントを設定するには、[ソフトウェアエンタイトルメント] リストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。
   ソフトウェアエンタイトルメントの追加設定を完了する方法の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
3. [**Submit** (送信)] を選択します。
   エンタイトルメントがソフトウェアエンタイトルメントリストに追加されます。

次のタスク
ライセンスでソフトウェア調整を実行します。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**Citrix**用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、Citrixのコンプライアンス分析結果を表示します。

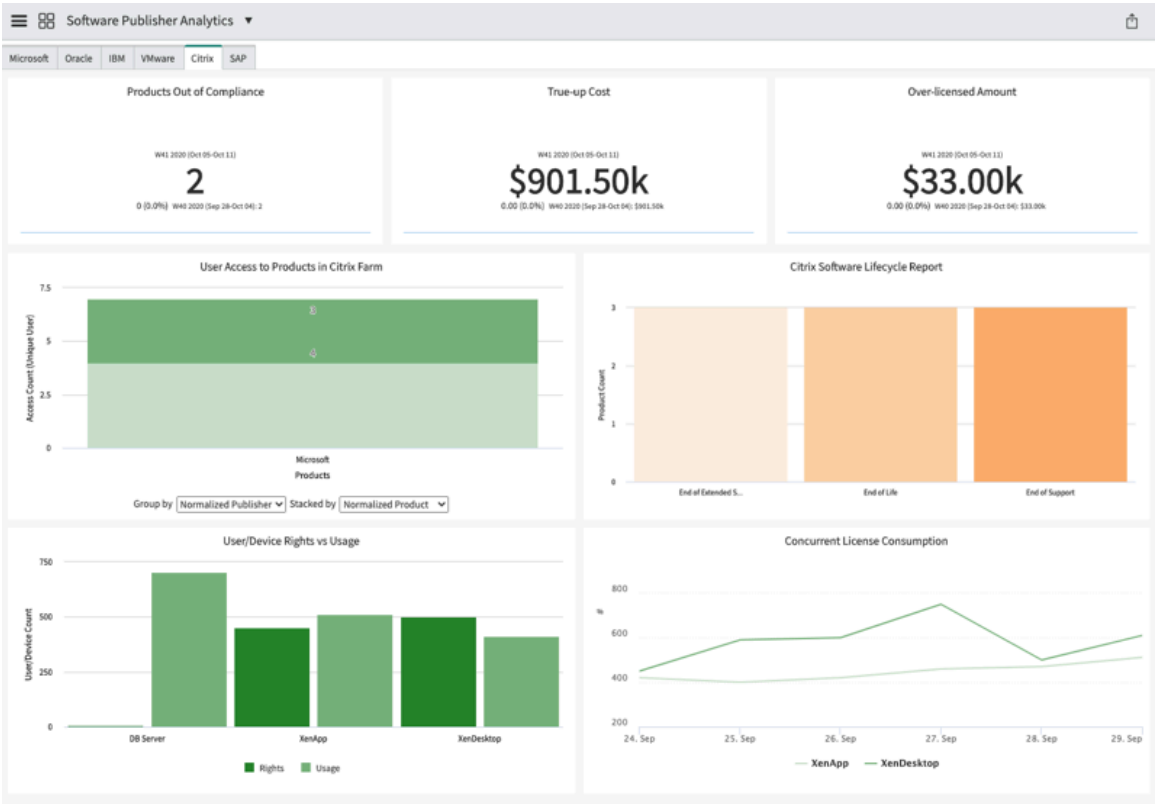
ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > パブリッシャーの概要.

> **注:**
> [Citrixダッシュボード] タブを表示するには、アドオン Citrix Publisher Pack (com.sn_samp_citrix) プラグインをインストールする必要があります。
>
> Citrixデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。ServiceNow ディスカバリーの場合、admin ロールを持つユーザーは、Citrix ライセンスサーバーとの通信のために Citrix Delivery Controller で実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Citrix タブ

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 ライセンスワークベンチで結果を表示するレポートを選択します。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
Citrixファーム内の製品へのユーザーアクセス	ソフトウェアインストール	Citrixファームにアクセスできるユーザーの数
Citrix ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズにある製品の数。
Citrixファームでのユーザー/デバイスの権限と使用ソフトウェアのインストール	ソフトウェアインストール	所有しているユーザー/デバイス権限の数と消費されている権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Citrix タブ (続く)

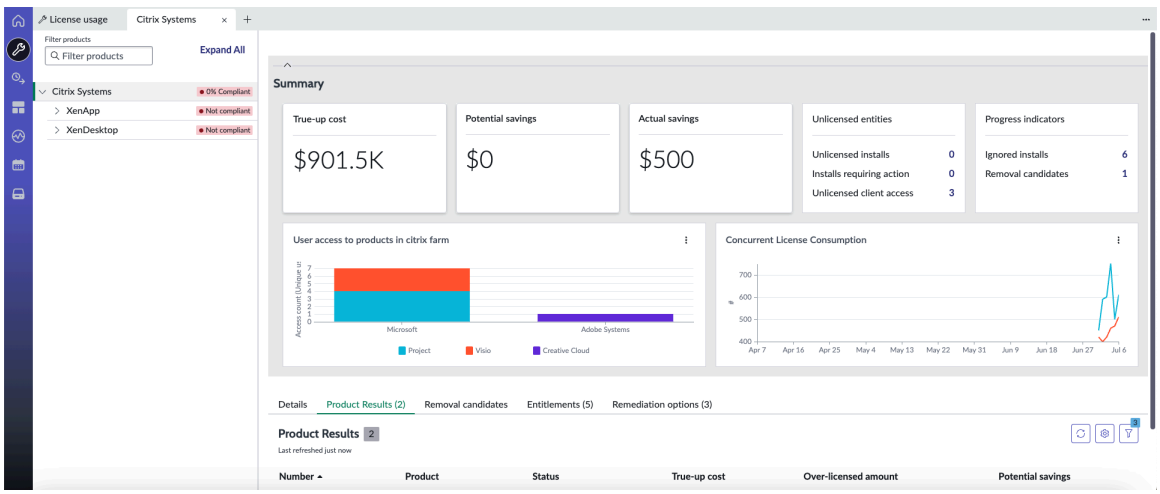
レポート	ソースリスト	説明
同時ライセンス消費の傾向	ライセンス消費履歴	Citrixソフトウェア製品のライセンス消費傾向。各データポイントは、1 日あたりの使用中のライセンスの最大数を表します。 データポイントを選択すると、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データが表示されます。

の Citrix システムのパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内の Citrix システムの公開者概要で、Citrixに関連するライセンス使用情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Citrix Systems パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[Citrix Systems**]を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、「 Citrix Systems パブリッシャーの概要」の [サマリー] セクションで確認できます。

Citrix システムの概要

レポート	説明
調整コスト	Citrixソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	Citrixライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	Citrixライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Citrix システムの概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなし Citrix ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Citrix ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Citrix クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Citrix クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Citrix ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: Citrix 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。
citrix ファーム内の製品へのユーザーアクセス	Citrixファーム内の特定のソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの数。バーを選択すると、指定したソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの完全なリストが表示されます。
同時ライセンス消費	Citrixソフトウェア製品のライセンス消費傾向。各データポイントは、1 日あたりの使用中のライセンスの最大数を表します。 データポイントを選択すると、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データが表示されます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **IBM**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を使用して、IBMソフトウェア製品のライセンスを追跡および最適化します。公開者パックを使用して、 Red Hat Enterprise Linux Server および Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters 製品のライセンスを追跡および最適化することもできます。

IBM パブリッシャーパックを使用するには、ソフトウェア資産管理 Professional for IBM (com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にします。

IBM パブリッシャーパックは、次のライセンスメトリクスをサポートしています。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 指名ユーザーあたり
- プロセッサあたり
- ユーザーあたり
- プロセッサバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサコア

サポートされている IBM ライセンスメトリクスの詳細については、「 ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。

重要:
IBM パブリッシャーパックは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインの一部として利用できます。公開者パックには、 IBM 製品のフルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU ライセンスと RVU ライセンスを追跡および管理するために必要なすべての機能が含まれています。IBM PVU ライセンスを追跡および管理するために、従来の IBM PVU プロセスパックは必要ありません。従来のプロセスパックの詳細については、「 iBM PVU プロセスパック 」を参照してください。

ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールを使用してディスカバリーを実行すると、ディスカバリーツールは環境内のIBMソフトウェアインストールを検索し、関連するデータをServiceNowインスタンスにインポートします。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このデータをIBMソフトウェアエンタイトルメントと比較して、複雑なサーバーライセンスシナリオの製品を含む、IBMソフトウェア製品を自動的に調整します。

調整に使用しているライセンスのメトリクスに基づいて、さまざまなディスカバリーツールと統合できます。

- プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU) またはリソース・バリュー・ユニット (RVU) ライセンス測定基準を使用して IBM ソフトウェア製品を調整するために、ILMT または BigFix Inventory 統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 のいずれかを使用している場合に、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory ディスカバリーツールと統合できます。ServiceNow ディスカバリーアプリケーションをIBM License Compliance for ソフトウェア資産管理と組み合わせて使用する場合は、そのアプリケーションと統合することもできます。
- 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスメトリクスを使用して IBM ソフトウェア製品を調整するために、ILMT または BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用している場合は、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリディスカバリーツールと統合できます。ServiceNow ディスカバリーアプリケーションをIBM License Compliance for ソフトウェア資産管理と組み合わせて使用する場合は、そのアプリケーションと統合することもできます。
- 認定ユーザーや外部ユーザー価値単位などのユーザーベースのライセンスメトリクスを含む、サポートされている他のライセンスメトリクスを使用して IBM ソフトウェア製品を調整するために、他のディスカバリーツールと統合することができます。

ILMT と BigFix インベントリの統合の詳細については、「 IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合」を参照してください。ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。ServiceNow ディスカバリー アプリケーションの詳細については、「ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ 」を参照してください。

サポートされている **IBM** ライセンスタイプ

IBM の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、さまざまなIBMライセンスタイプのライセンスメトリクスを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を使用して、IBMプロセッサーバリューユニット (PVU) ライセンスとリソースバリューユニット (RVU) ライセンスを追跡および管理できます。パブリッシャーパックは、 IBM に固有のライセンスメトリクスを追加して、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるようにします。

注:
IBM PVU および RVU ライセンスは、物理環境と仮想化環境の両方でサポートされています。

プロセッサバリューユニット (PVU) ライセンス

プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU) は、物理ハードウェア環境で使用されるプロセッサー・テクノロジーに基づいて、 IBM ソフトウェア製品のライセンス要件を判別できるようにする測定単位です。各プロセッサーテクノロジーには、プロセッサーベンダー、プロセッサー名、およびモデル番号に基づいて、コアあたりの PVU 値が割り当てられます。PVU ライセンスに必要な権限の数は、コア当たりの適切な PVU の値に、 IBM ソフトウェア製品で使用可能または管理されている物理ハードウェア環境内のアクティブ化されたプロセッサー・コアの数を乗算することによって決定できます。

IBM パブリッシャーパックは、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU ライセンスをサポートしています。フルキャパシティーの PVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品が使用可能または管理している物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサー・コアを考慮する必要があります。サブキャパシティーの PVU ライセンスを使用している場合は、「仮想化キャパシティー・ライセンス・カウントー・ルール」で定義されているように、IBM ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理される特定のアクティブ化されたプロセッサー・コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、PVU ライセンスがデバイスにどのように適用されるかを可視化できます。この情報を使用して、PVU ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティに適用されるかどうかを判断します。使用している IBM 統合のタイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して PVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- IBM パブリッシャーパックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合する場合は、 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > **IBM** ライセンスメトリクスのピーク使用率 をクリックし、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM Peak Consumption [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの [使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。ただし、フルキャパシティの PVU エンタイトルメントが割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

  ILMT および BigFix インベントリについて詳しくは、 IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合を参照してください。

- IBMパブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する場合は、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックし、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。ただし、フルキャパシティの PVU エンタイトルメントが割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「IBMホストのメタデータを確認する」を参照してください。

認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

サポートされているプロセッサーテクノロジーの完全なリストと対応するコアあたりの PVU 値など、IBM PVU ライセンスの詳細については、「プロセッサーバリューユニット (PVU)」を参照してください。

リソース値単位 (RVU) ライセンス

リソース値単位 (RVU) は、 IBM ソフトウェア製品で利用可能な、またはその製品によって管理されているアクティブ化されたプロセッサーコアの数に基づいて、その製品のライセンス要件を決定できるようにする測定単位です。アクティブ化されたプロセッサコアの数は、RVU 階層の数と係数値に直接対応します。

RVU 階層と要素

アクティブ化されたプロセッサコアの数	階層	係数
0 から 2,500	1	1.00
2,501～10,000	2	0.80
10,001～50,000	3	0.60
50,001 から 150,000	4	0.40
150,001 以上	5	0.20

これらの RVU 階層に基づくステップ関数を使用して、RVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、アクティブ化されたプロセッサコアの合計数を 、RVU 階層と係数テーブルに基づいて階層に分割する必要があります。RVU ライセンスは個々のデバイス レベルではなく製品レベルで計算されるため、ライセンスが必要なアクティブ化されたプロセッサ コアの合計数を決定する際には、製品がインストールされているすべてのデバイスを考慮する必要があります。次に、各層内のアクティブ化されたプロセッサーコアの数に、対応する係数値を掛ける必要があります。最後に、結果の数値を合計して、RVU ライセンスに必要な権限の合計数を決定する必要があります。

重要:
すべてのデバイスでアクティブ化されたすべてのプロセッサコアにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのデバイスもライセンスされず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、製品が 100 台のデバイスで合計 150,000 個のアクティブ化されたプロセッサコアにアクセスできるとします。次の計算に基づくと、RVU ライセンスに必要な権利の総数は 72,500 です。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサコアの数	係数	必要な権利の数
1 (0 から 2,500 個のアクティブ化されたプロセッサコア)	2,500	1.00	2,500 x 1.00 = 2,500
2	7,500	0.80	7,500 x 0.80 = 6,000

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサコアの数	係数	必要な権利の数
(2,501～10,000個のアクティブ化されたプロセッサコア)			
3 (10,001 から 50,000 のアクティブ化されたプロセッサコア)	40,000	0.60	40,000 x 0.60 = 24,000
4 (50,001 から 150,000 のアクティブ化されたプロセッサコア)	100,000	0.40	100,000 x 0.40 = 40,000
該当なし	150,000 件(合計)	該当なし	2,500 + 6,000 + 24,000 + 40,000 = 72,500 合計

注:
RVU ライセンスに消費される権限の数は、PVU ライセンスに消費される権利の数とは異なる方法で報告されます。PVU ライセンスの場合、この数は個々のデバイス レベルで報告されます。RVU ライセンスの場合、この数は製品レベルで報告されます。

IBM RVU 階層の詳細については、「リソース値単位 (RVU MAPC)」を参照してください。

IBM パブリッシャーパックは、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の RVU ライセンスをサポートしています。フルキャパシティーの RVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理されている物理ハードウェア環境で、アクティブ化されたすべてのプロセッサー・コアを考慮する必要があります。仮想化環境でのみ使用可能なサブキャパシティー RVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品がインストールされている仮想マシン (VM) で使用されるアクティブ化されたプロセッサー・コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、RVU ライセンスがデバイスにどのように適用されるかを可視化できます。この情報を使用して、RVU ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティに適用されるかどうかを判断します。使用している IBM 統合のタイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して RVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- IBM パブリッシャーパックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合する場合は、 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > **IBM** ライセンスメトリクスのピーク使用率 をクリックし、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM Peak Consumption [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの [使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

  ILMT および BigFix インベントリについて詳しくは、 IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合を参照してください。

- IBMパブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダー (Anglepoint など) と統合する場合は、次に移動します。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックし、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用可能なデバイス設定の詳細については、「IBMホストのメタデータを確認する」を参照してください。

認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

IBM ユーザーベースのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を使用して、承認済みユーザー ライセンスやユーザー バリュー ユニット (UVU) ベースのライセンスなど、IBM ユーザー ベースのライセンスを追跡および管理できます。

サポートされている UVU ベースのライセンスには、認定された UVU、従業員 UVU、および外部 UVU が含まれます。パブリッシャーパックは、 IBM に固有のライセンスメトリクスを追加して、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるようにします。

IBM ユーザーベースのライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーにライセンスを付与できます。クライアントアクセスレコードを使用して関連するIBMソフトウェア製品を調整することで、IBMユーザーベースのライセンスのコンプライアンスを追跡して最適化できます。クライアントアクセスレコードを使用して、 IBM ソフトウェア製品の特定のバージョンへのアクセス権が付与されるユーザーの合計数を指定できます。より詳細な制御のために、その製品へのアクセス権が付与されている特定のユーザーを特定することもできます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、この情報を、対応するソフトウェアエンタイトルメントで定義されているソフトウェア権限および割り当てと比較して、関連するユーザーベースのライセンスが準拠しているかどうかを判断できます。

ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。

認定ユーザーライセンス

認定ユーザーライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする一意のユーザーごとにライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) の数に制限なく、特定の IBM ソフトウェア製品をインストールできます。各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI で、そのソフトウェア製品のインストールに無制限にアクセスできます。

認定ユーザー値単位 (AUVU) ライセンス

認定ユーザー価値単位 (AUVU) ライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする一意のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) の数に制限なく、特定の IBM ソフトウェア製品をインストールできます。各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI で、そのソフトウェア製品のインストールに無制限にアクセスできます。

AUVU ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、AUVU 階層番号と要素値に直接対応します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AUVU 階層と要素

ユーザー数	階層	係数
1 から 20	1	1.00
21 から 50	2	0.83
51 以上	3	0.80

これらの AUVU 階層に基づくステップ関数を使用して、AUVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、 AUVU の階層と係数の表に基づいて、ユーザーの総数を階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を乗算します。最後に、結果の数値を合計して、AUVU ライセンスに必要な権利の総数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社で、150 人の従業員と請負業者に IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与して、今後のプロジェクトで共同作業できるようにするとします。次の計算に基づくと、対応する AUVU ライセンスに必要な権限の総数は 125 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1 ～ 20 ユーザー)	20	1.00	20 x 1.00 = 20
2 (21～50ユーザー)	30	0.83	30 x 0.83 = 24.9
3 (51 人以上のユーザー)	100	0.80	100 x 0.8 = 80
—	150 件(合計)	—	20 + 24.9 + 80 = 124.9 合計 (合計 125 に切り上げ)

従業員ユーザー価値単位 **(EUVU)** ライセンス

従業員ユーザー価値単位 (EUVU) ライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、従業員と契約社員の両方を含めることができます。

EUVU ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、EUVU 階層番号と要素値に直接対応します。

EUVU 階層と要素

ユーザー数	階層	係数
1,000～2,500	1	1.000
2,501 から 5,000	2	0.800

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

EUVU 階層と要素 (続く)

ユーザー数	階層	係数
5,001～10,000	3	0.700
10,001～30,000	4	0.650
30,001から50,000	5	0.550
50,001 から 100,000	6	0.500
100,001 から 300,000	7	0.465
300,001 から 500,000	8	0.400
500,001 から 1,000,000	9	0.360
1,000,001 から 100,000,000	10	0.320

EUVU ライセンスに必要な権限の数は、これらの EUVU 層に基づくステップ関数を使用して決定できます。まず、 EUVU の階層と要素の表に基づいて、ユーザーの総数を層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を乗算します。最後に、結果の数値を合計して、EUVU ライセンスに必要な権利の総数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が 11,000 人の従業員に IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与するとします。対応するEUVUライセンスに必要な権利の総数は、次の計算に基づいて8,650です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000～2,500ユーザー)	2,500	1.000	2,500 x 1.000 = 2,500
2 (2,501 ～ 5,000 ユーザー)	2,500	0.800	2,500 x 0.800 = 2,000
3 (5,001 ～ 10,000 ユーザー)	5,000	0.700	5,000 x 0.700 = 3,500
4 (10,001 ～ 30,000 ユーザー)	1,000	0.650	1,000 x 0.650 = 650
—	11,000 件(合計)	—	2,500 + 2,000 + 3,500 + 650 = 8,650 合計

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部ユーザー価値単位 (XUVU) ライセンス

外部ユーザー価値単位 (XUVU) ライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、サードパーティパートナー、サプライヤー、および請負業者を含めることができます。

XUVU ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、XUVU の階層番号と係数値に直接対応します。

XUVU 階層と要素

ユーザー数	階層	係数
1000～10,000	1	1.00000
10,001～50,000	2	0.87500
50,001 から 100,000	3	0.60000
100,001 から 500,000	4	0.43750
500,001 から 1,000,000	5	0.30000
1,000,001 から 25,000,000	6	0.24375
25,000,001 から 50,000,000	7	0.15000
50,000,001 から 250,000,000	8	0.13750
250,000,001 から 500,000,000	9	0.05000
500,000,001 から 100,000,000,000	10	0.05000

XUVU ライセンスに必要な権限の数は、これらの XUVU 層に基づくステップ関数を使用して決定できます。まず、 XUVU の階層と係数の表に基づいて、ユーザーの総数を層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を乗算します。最後に、結果の数値を合計して、XUVU ライセンスに必要な権利の総数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が 15,000 人のサードパーティパートナーに IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与するとします。次の計算に基づくと、対応する XUVU ライセンスに必要な権利の総数は 14,375 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000～10,000ユーザー)	10,000	1.00000	10,000 x 1.00000 = 10,000
2 (10,001 ～ 50,000 ユーザー)	5,000	0.87500	5,000 x 0.87500 = 4,375
—	15,000 件(合計)	—	10,000 + 4,357 = 14,375 件(合計)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスを追跡および管理できます。バージョン 2 の統合 API を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と統合するときにも、これらのライセンスを追跡および管理できます。

これらの統合により、パブリッシャーパックは IBM の仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスメトリクスを追加して、このライセンスタイプのライセンスを計算できるようにします。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーの統合の詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。ILMT と BigFix インベントリの統合の詳細については、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合」を参照してください。

仮想プロセッサコア (VPC) は、 IBM ソフトウェア製品で利用可能なコア数またはその製品によって管理されるコア数に基づいて、その製品のライセンス要件を決定できるようにする測定単位です。仮想マシン (VM) にライセンスを付与する場合、VPC は VM に割り当てられている仮想コアの数に基づいています。VM 用にパーティション分割されていない物理ホストにライセンスを付与する場合、VPC はホスト上のプロセッサコアの数に基づいています。各 VPC ライセンスには、関連する IBM ソフトウェア製品で使用可能な、または管理されるコアごとに 1 つの権限が必要です。

IBM パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する場合、パブリッシャーパックはフルキャパシティとサブキャパシティの両方の VPC ライセンスをサポートします。ILMT または BigFix インベントリと統合している場合、パブリッシャーパックはサブキャパシティー VPC ライセンスのみをサポートします。フルキャパシティーの VPC ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品で使用可能な、または管理されている物理ホスト上のすべてのプロセッサコアを考慮する必要があります。仮想環境でのみ使用できるサブキャパシティー VPC ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品がインストールされて実行されている VM に割り当てられた仮想コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、VPC ライセンスがデバイスにどのように適用されるかを可視化できます。この情報を使用して、VPC ライセンスが各デバイスのフルキャパシティに適用されるかサブキャパシティに適用されるかを判断します。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合する場合は、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックし、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「IBMホストのメタデータを確認する」を参照してください。

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合

IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリ統合を使用して、IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。この接続を使用して ServiceNow インスタンスにデータをインポートすることで、 IBM ソフトウェア製品のライセンスを追跡および最適化できます。

ILMT と BigFix インベントリの統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 のいずれかを使用して、ILMT または BigFix インベントリと統合できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、これらの API を使用して、ソフトウェアインストールデータやピーク使用率データなどのデータを ILMT または BigFix インベントリから取得します。API のバージョン 1 を使用した ILMT または BigFix Inventory との統合について詳しくは、 v1 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリとの統合を参照してください。API のバージョン 2 を使用した ILMT または BigFix インベントリーとの統合について詳しくは、 v2 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

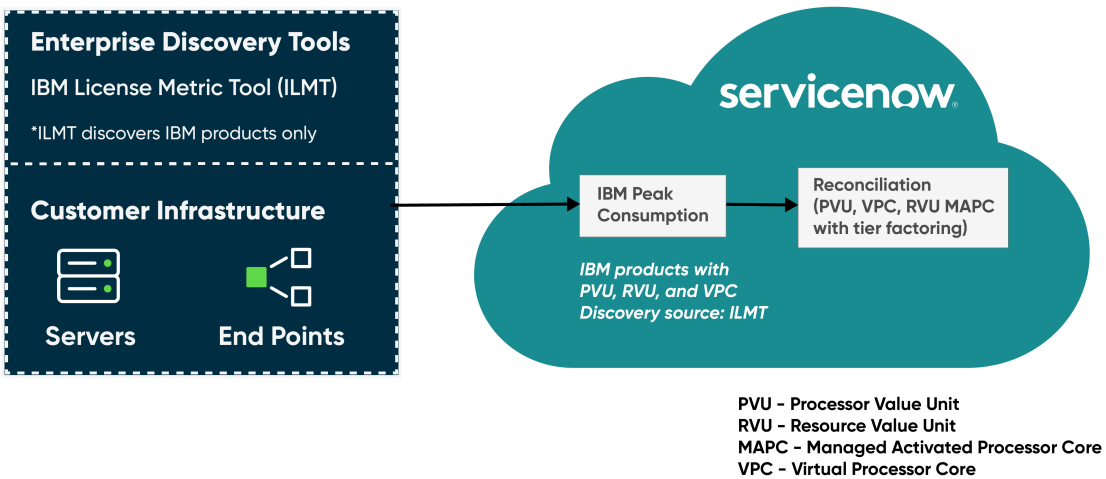
> **重要:**
> ILMT と BigFix インベントリの統合 API のバージョン 1 は、 IBM により廃止されました。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix インベントリ統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。これらの API の廃止の詳細については、「 廃止された REST API 」を参照してください。

v2 API を使用した **IBM License Metric Tool (ILMT)** または **BigFix Inventory** との統合

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合 API のバージョン 2 を使用して、IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。

この接続により、使用状況データを ServiceNow インスタンスにインポートできるため、 IBM ソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティプロセッサーバリューユニット (PVU) とリソースバリューユニット (RVU) ライセンス、およびサブキャパシティ仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスを追跡して最適化できます。

ILMT と BigFix Inventory の統合 API の詳細については、 REST API リソースと HTTP メソッド を参照してください。



ILMT と BigFix インベントリの統合により、HTTP または HTTPS を使用して、1 つ以上の IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。統合を開始すると、IBM サーバー接続を設定するために使用できる IBM Server 接続エイリアスを受け取ります。接続が成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix インベントリで定義した集計期間内のピーク使用量データを取得します。

前提条件

この統合を使用して IBM フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC ライセンスを追跡するには、次の前提条件を満たす必要があります。

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) で ILMT または BigFix インベントリをインストール、セットアップ、および実行します。

> **重要:**
> ILMT を設定するときは、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しく構成されていることを確認して、 ServiceNow インスタンスが対応する CI レコードを 構成管理データベース (CMDB) 内で正確に作成できるようにします。詳細については、 KB0691430 を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.24 以降をインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合は、検出された IBM ソフトウェア製品に対してのみ使用状況データをインポートでき、それらの製品を実行しているホストに対してはインポートできません。

- IBM使用状況測定ガイドラインに準拠して物理ホストまたは VM をスキャンするように IBM ILMT エージェントを構成します。

> **注:**
> IBM使用状況の測定ガイドラインの詳細については、「ライセンス使用の測定」を参照してください。

- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを分類して IBM 製品にバンドルします。
- ServiceNow® Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを要求してインストールします。詳細な手順については、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合のための ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスの要求」を参照してください。
- [(*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) を使用して **ILMT** に接続] ソフトウェア資産管理プロパティを **v2 API** に設定します。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

IBM License Metric Tool (ILMT) と **BigFix Inventory** 統合のための ソフトウェア資産管理 アプリケーションの **IBM** ライセンスコンプライアンスの要求

バージョン 2 の IBM License Metric Tool (ILMT) および BigFix インベントリ統合 API を使用して ILMT または BigFix インベントリと統合している場合は、ServiceNow® Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM License Compliance を要求します。統合を使用して、 IBM ライセンスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 IBM License Compliance for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. 「 **IBM License Compliance for Software Asset Management**」という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 のIBMライセンスコンプライアンス] ページで、[インストールを要求] を選択します。
   [アプリのインストールのServiceNow要求 - IBMソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow [アプリのインストールを要求] **IBM [** ソフトウェア資産管理 のライセンスコンプライアンス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

IBM ライセンスメトリクスツール **(ILMT)** および **BigFix** インベントリ **v2 API** 用変換マップ

ILMT と BigFix インベントリの統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリからデータをインポートする場合、 ServiceNow インスタンスはデフォルトの変換マップを使用してこのデータを ServiceNow テーブルに処理します。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ

デフォルトでは、 Now Platform は、ILMT と BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用してインポートした IBM ライセンス使用状況データを処理するための ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップを提供します。このデータを ServiceNow インスタンスにインポートすると、ソースの ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] テーブルと ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] テーブルに追加されます。ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、次の テーブルマッピング を使用して、これらのソーステーブルのデータを対応するターゲットテーブルにマッピングします。

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップテーブルマッピング

ソーステーブル	ターゲットテーブル
ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] **注:** このテーブルにインポートされたデータは、検出された IBM ソフトウェア製品に対してレポートされます。	ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_product_usage]
ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] **注:** このテーブルにインポートされたデータは、 IBM ソフトウェア製品を実行しているホストに対して報告されます。	サーバーあたりの ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_usage_per_server]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップテーブルマッピング (続く)

ソーステーブル	ターゲットテーブル
注: このテーブルにデータをインポートできるのは、ILMT バージョン 9.2.24 以降を使用している場合のみです。ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合、または BigFix インベントリを使用している場合は、この表にデータをインポートできません。	ILMT で検出されたコンピューター [ilmt_discovered_computer]

データが正常にマッピングされると、対応するターゲットテーブルレコードでデータが更新されます。その後、更新されたターゲットテーブルデータを使用して、 IBM ソフトウェア製品を調整し、コンプライアンスを検証できます。

ILMT および BigFix インベントリデータ処理

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用してデータを 処理 します。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

IBMソフトウェア製品のピーク使用量を表示する

ILMT と BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合している場合は、最大 90 日間の集計期間内に、 IBM ソフトウェア製品のプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) の使用率が最大で表示されます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > 製品別のピーク消費量.
4. ご使用の IBM ソフトウェア製品の最大フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC の使用率を表示します。
   ソフトウェア資産管理アプリケーションには、最大 90 日間の集計期間内に最も多くの使用状況が表示されます。この集計期間は、ILMT または BigFix インベントリで定義できます。

IBMソフトウェア製品のピーク使用量をデバイス別に表示する

ILMT と BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合している場合は、物理ホストまたは仮想マシン (VM) 別に、 IBM ソフトウェア製品の最大フルキャパシティおよびサブキャパシティのプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサコア (VPC) の使用率を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > デバイス別のピーク消費量明細.
4. IBMソフトウェア製品の最大フルキャパシティとサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC の使用率を物理ホストまたは VM 別に表示します。
   ソフトウェア資産管理アプリケーションには、最大 90 日間の集計期間内に最も多くの使用状況が表示されます。この集計期間は、ILMT または BigFix インベントリで定義できます。

IBMソフトウェア製品を実行しているデバイスを表示する

ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合している場合は、 IBM ソフトウェア製品を実行している物理ホストと仮想マシン (VM) の完全なリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > **ILMT** で検出されたコンピューター.
4. IBMソフトウェア製品を実行している物理ホストと VM のリストを表示します。
   構成管理データベース (CMDB) 内のハードウェアモデル、ハードウェアのシリアル番号、対応する構成アイテム (CI) など、各ホストまたは VM に関する詳細情報を表示することもできます。

v1 API を使用した **IBM License Metric Tool (ILMT)** または **BigFix** インベントリとの統合

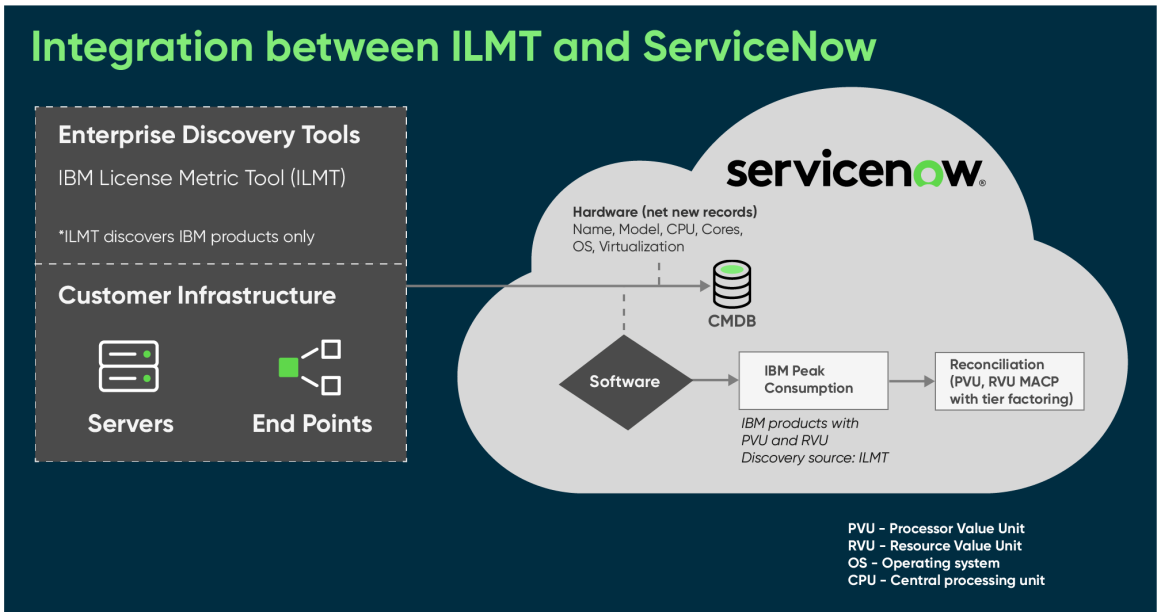
IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合 API のバージョン 1 を使用して、IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。

この接続により、ソフトウェアインストールデータを ServiceNow インスタンスにインポートできるため、 IBM ソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティプロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンスを追跡して最適化できます。

> **重要:**
> ILMT と BigFix インベントリの統合 API のバージョン 1 は、 IBM により廃止されました。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix インベントリ統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。API のバージョン 2 を使用した統合の設定の詳細については、「v2 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合」を参照してください。これらの API の廃止の詳細については、「廃止された REST API」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ILMT と BigFix インベントリの統合により、HTTP または HTTPS を使用して、1 つ以上の IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。ソフトウェア資産管理 Professional for IBM (com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にすると、IBM サーバー接続を設定するために使用できる IBM Server 接続エイリアスを受け取ります。接続が成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix インベントリで定義した集計期間内のソフトウェアインストールの履歴データを取得します。このデータには、製品、コンポーネント、エディション、ホスト、仮想マシン、ライセンス使用状況が含まれます。

注:
ライセンスの使用状況は、コンポーネントの使用ではなく、製品の使用に基づいています。

前提条件

この統合を使用して IBM フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU および RVU ライセンスを追跡するには、次の前提条件を満たす必要があります。

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) で ILMT または BigFix インベントリをインストール、セットアップ、および実行します。

  重要:
  ILMT を設定するときは、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しく構成されていることを確認して、 ServiceNow インスタンスが対応する CI レコードを 構成管理データベース (CMDB) 内で正確に作成できるようにします。詳細については、 KB0691430 を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。
- IBM使用状況測定ガイドラインに準拠して物理ホストまたは VM をスキャンするように IBM ILMT エージェントを構成します。

  注:
  IBM使用状況の測定ガイドラインの詳細については、「ライセンス使用の測定」を参照してください。

- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを分類して IBM 製品にバンドルします。
- [(*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) を使用して **ILMT** に接続] ソフトウェア資産管理プロパティを **v1 API** に設定します。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

IBM v1 API の **License Metric Tool (ILMT)** および **BigFix** インベントリ変換マップ

ILMT と BigFix インベントリの統合 API のバージョン 1 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリからデータをインポートすると、 ServiceNow インスタンスは変換マップを使用してこのデータを ServiceNow テーブルに処理します。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ

デフォルトでは、ILMT および BigFix インベントリ API のバージョン 1 を使用している場合、ServiceNow は ILMT および BigFix インベントリデータに対して次の変換マップを提供します。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
ILMT コンピューター ID V1	コンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system]	コンピューター [cmdb_ci_computer]	仮想マシン (VM) とホストの識別データを処理します。 ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、CMDB IRE API を使用して、コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブル内の各 VM またはホストの構成アイテム (CI) レコードを作成します。VM がホストと同じハードウェアシリアル番号を使用する場合、変換マップはホストのみの CI レコードを作成します。CMDB IRE API の詳細については、「 識別および調整エンジン (IRE)」 を参照してください。 **注:** ServiceNow はピリオド (.) を含むハードウェアシリアル番号をサポートしていません。
ILMT ソフトウェア	ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance]	グローバル [global]	VM とホスト上の各 IBM ソフトウェアコンポーネン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
インスタンス			トと製品のインストールデータを処理します。 ソフトウェア コンポーネントは、VM でインストールまたは実行するソフトウェアの独立した単位です。ソフトウェア コンポーネントを個別に識別することはできますが、ライセンスを付与することはできません。ソフトウェア製品は、ホスト上のソフトウェア・パッケージの単位であり、ソフトウェア・コンポーネントの集合で構成できます。ソフトウェア製品全体のライセンスを取得できます。ソフトウェア・コンポーネントおよび製品の詳細については、 IBM Knowledge Center を参照してください。 ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルに、IBM ソフトウェアコンポーネントと製品のインストールごとにレコードを作成します。 **注:** ソフトウェア製品は実際のソフトウェアインストールではありませんが、変換マップはそれらをインストールとして扱うため、調整とコンプライアンスの目的で各ソフトウェア製品に対するライセンス使用状況を更新および追跡できます。
ILMT ソフトウェアライセ	ライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage]	グローバル [global]	IBMソフトウェア製品のライセンス使用状況データを処理します。このデータを使用して、 IBM ソフト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
ンス使用状況			ウェア製品を調整し、コンプライアンスを検証できます。 **注:** IBMソフトウェア製品のライセンスは仮想マシン (VM) の使用状況ではなく物理ホストの使用状況に基づいているため、ライセンス使用状況データは物理ホストに対してのみ報告されます。 ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、 IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応するレコードのライセンス使用状況データを更新します。対応するレコードが存在しない場合、変換マップは 、バージョン が [報告なし] に設定されたライセンス使用状況データのレコードを作成します。

ILMT および **BigFix** インベントリデータ処理

ILMT および BigFix インベントリの各変換マップは、フィールドマップまたは変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。

ILMT コンピューター ID V1 変換マップ

ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、フィールドマップと変換マップスクリプトの両方を使用して、ソースコンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system] テーブルからターゲットコンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルにデータを処理します。

デフォルトでは、ILMT コンピューター ID V1 変換マップには次のフィールドマップが含まれています。

デフォルトのフィールドマップ

ソースフィールド	ターゲットフィールド	説明
u_ip_address	ip_address	ホストまたは仮想マシンの IP アドレス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デフォルトのフィールドマップ (続く)

ソースフィールド	ターゲットフィールド	説明
u_dns_name	dns_domain	ホストまたは仮想マシンのドメイン名。
u_server_processors	cpu_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU または仮想 CPU (vCPU) の数。
u_host_name	名前	ホストまたは仮想マシンの名前。
u_processor_brand_string	cpu_name	ホストまたは仮想マシン上の CPU または vCPU のブランド名 (IBM など)。
u_server_cores	cpu_core_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU または vCPU コアの数。
[Script]	discovery_source	IBMソフトウェアインストールデータを取得するディスカバリーソース。可能な値は、 ILMT または BigFix インベントリです。
[Script]	virtual	マシンが仮想かどうかを示すオプション。
u_processor_brand	cpu_type	ホストまたは仮想マシンの CPU または vCPU のタイプ (デュアルコア CPU など)。
u_hardware_serial_number	serial_number	ホストを識別するシリアル番号。

フィールドマップの使用に加えて、変換マップは、各行変換の最後に処理するイベントスクリプトである onAfter 変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップ

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、onComplete 変換マップスクリプトを使用して、ソース ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance] テーブルからターゲット IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルへのデータを処理します。onComplete 変換マップスクリプトは、インポートの最後に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップ

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用して、ソースライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage] テーブルからターゲット IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにデータを処理します。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

HTTPS 用の **IBM License Metric Tool (ILMT)** または **BigFix** インベントリ統合のセットアップ

IBMコンプライアンスレポート用に、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリ統合を設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

HTTPS 接続を使用している場合は、次のいずれかの接続タイプを使用できます。

- HTTPSを使用した MID サーバー
- HTTPSが MID サーバー

HTTPSを使用した MID サーバー

MID サーバーとの HTTPS 接続を使用して、コンプライアンスレポートIBMための IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合を設定します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

手順

1. ILMT または BigFix インベントリサーバーにログインし、 管理 > サーバー設定.
2. MID サーバーの証明書をインポートします 。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成します。

HTTPSが MID サーバー

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリの統合を設定して、MID サーバーなしで HTTPS 接続を使用してコンプライアンスレポートをIBMします。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて

注:
ファイアウォールポートは、 ServiceNow インスタンスの IP アドレスに接続できるように開く必要があります。

手順

1. ILMT または BigFix インベントリサーバーにログインし、 管理 > サーバー設定.
2. ServiceNowインスタンスから、 システム定義 > 証明書 をクリックし、 証明書 (信頼ストア証明書、PEM 形式) を作成します。
3. ダウンロードした ILMT または BigFix インベントリサーバー証明書の内容全体を **[PEM** 証明書] フィールド (バナーを含む) に貼り付けます。
4. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
5. IBM 証明書ファイルを使用して Java Key Store ファイルを作成するには、コンピューターでコマンドプロンプトを開き、JRE keytool を含むフォルダーに移動します。
6. 次のコマンドを実行します。

```
keytool -import -trustcacerts -alias <Certificate alias> -file <Certificate file path> -keystore
 IBM_Server.keystore -storetype jks
keytool -list -v -keystore IBM_Server.keystore
```

これらのコマンドは、 IBM_Server.keystore ファイルを生成します。

7. Now Platformに戻り、移動先 システム定義 > 証明書 証明書 (Java Key Store) を作成します。
8. 証明書レコードの添付ファイルとして生成した IBM_Server.keystore ファイルをアップロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
10. 次のように移動する。 システムセキュリティ > プロトコルプロファイル をクリックし、作成した Java Key Store 証明書を使用して新しいプロトコルプロファイルを作成します。

> **注:**
> ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成するときに作成するプロトコルプロファイルを選択する必要があります。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成します。

ILMT または **BigFix** インベントリへの接続の作成

HTTP 接続を使用している場合、または HTTPS の初期構成が完了している場合は、 IBM サーバーと Now Platform の間に接続を確立します。

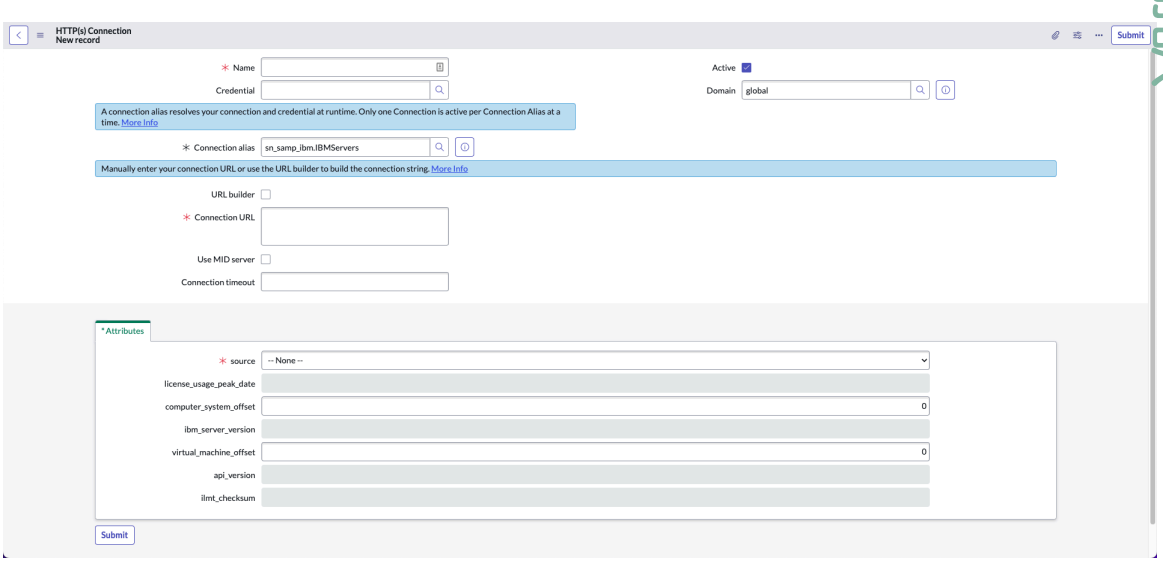
始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

> **注:**
> MID サーバーなしで HTTP または HTTPS 接続を使用している場合は、ServiceNowインスタンスの IP アドレスに接続できるようにファイアウォールポートを開く必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 統合 – **ILMT/BigFix** インベントリ > セットアップ.
2. [接続および資格情報エイリアス] フォームの [接続] 関連タブで、[新規] を選択します。
   [HTTP(S) 接続] フォームが開きます。



3. フォームのフィールドに入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	接続の一意の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

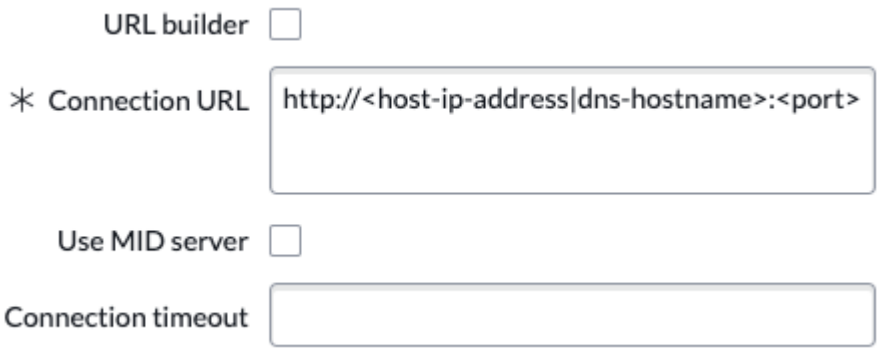
自動翻訳

フィールド	説明
認証情報	接続を確立するために使用される認証情報。ユーザー名とパスワードなどのベーシック認証情報、または API キー認証情報のいずれかを使用できます。 注: ILMT サーバーへのアクセスに使用するものと同じ認証情報を選択します。
接続エイリアス	接続の参照に使用できる接続エイリアス。この接続エイリアスは、実行時に接続と資格情報を解決します。 このフィールドは自動的に **sn_samp_ibm**に設定されます。IBMServers エイリアス。
[Active (アクティブ)]	接続がアクティブであることを示すオプション。
ドメイン	接続が属するドメイン。

4. 接続の URL を指定します。
HTTP 接続と HTTPS 接続のどちらを使用しているかに応じて、次のいずれかのオプションを使用して接続 URL を指定します。

   - **HTTP** 接続: [接続 **URL**] フィールドを使用して HTTP 接続 URL を指定します。

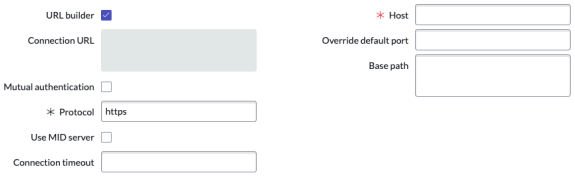
     [接続 **URL**] フィールドに、http://<*host-ip-address*|*dns-hostname*>:<*port*> 形式で URL を入力します。



     注:
     [URL ビルダー] チェックボックスをオンにした場合、[接続 **URL**] フィールドは変更できません。

   - **HTTPS** 接続:URL ビルダーまたは SSL 証明書のいずれかを使用して、HTTPS 接続 URL を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 **URL** オプション	手順
URL ビルダー	**a.** ServiceNowインスタンスが URL ビルダーを使用して接続 URL をビルドできるようにするには、[**URL** ビルダー] チェックボックスをオンにします。 [相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルトポートを上書き]、および [ベースパス] フィールドがフォームに表示されます。  **b.** [プロトコル] フィールドで、接続で使用される基本となるプロトコルを指定します。 このフィールドは自動的に **https** に設定されます。 **c.** [ホスト] フィールドに、接続で使用されるターゲット ホストの URL を入力します。 URL は https://<*host-ip-address*|*dns-hostname*>:<*port*> 形式で入力する必要があります。 **d.** (オプション) **[Override default port**] フィールドに、接続で使用されるターゲット ポートのポート番号を入力します。 ILMT または BigFix インベントリのセットアップに使用したものと同じポート番号を入力する必要があります。 **e.** (オプション) [ベースパス] フィールドに、接続のベースパスを入力します。
SSL 証明書	**a.** IBM サーバーから SSL 証明書を取得します。 **b.** MID サーバー の有無にかかわらず HTTPS 接続を使用しているかどうかに応じて、次のいずれかのオプションを使用して証明書をServiceNowインスタンスに適用します。 ▪ MID サーバーなし: **i.** 新しいタブまたはウィンドウで、証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。 詳細な手順については、 HTTPSが MID サーバー を参照してください。 **ii.** [HTTP(S) 接続] フォームに戻ります。

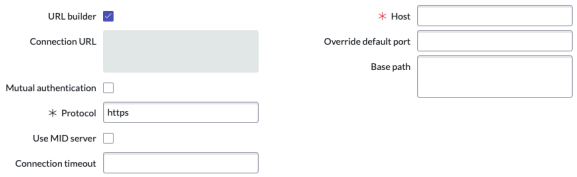
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順

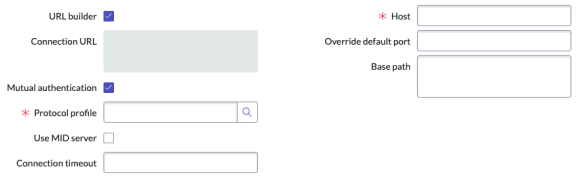
iii. **[URL** ビルダー] チェックボックスをオンにして、ServiceNowインスタンスで接続 URL をビルドできるようにします。

[相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルトポートを上書き]、および [ベースパス] フィールドがフォームに表示されます。



iv. [相互認証] チェックボックスをオンにして、接続の相互認証を有効にします。

[プロトコル] フィールドは、[プロトコルプロファイル] フィールドに置き換えられます。



v. [プロトコルプロファイル] フィールドで、検索アイコン (🔍) を選択し、相互認証に使用する証明書を指定する HTTPS プロトコルプロファイルを見つけて選択します。

HTTPSが MID サーバーで作成したものと同じプロトコルプロファイルを選択する必要があります。

- MID サーバーでは:

i. 新しいタブまたはウィンドウで、証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。

詳細な手順については、 HTTPSを使用した MID サーバー を参照してください。

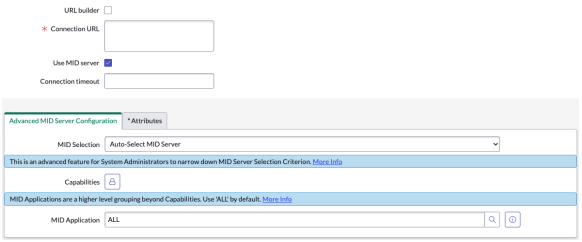
ii. [HTTP(S) 接続] フォームに戻り、[**MID** サーバーを使用] チェックボックスをオンにします。

[**MID** サーバー詳細構成] タブが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順



iii. [**MID** サーバー詳細構成] タブの **[MID** 選択] フィールドで、接続の MID サーバー を選択する方法を指定します。

次のオプションのいずれかを選択します。

- **MID** サーバーの自動選択:接続用に設定されたMID サーバーのリストからMID サーバーを自動的に選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

  このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに [機能] フィールドと **[MID** アプリケーション] フィールドが表示されます。これらのフィールドを使用して、サポートされているMID サーバー機能とアプリケーションに基づいて、利用可能なMID サーバーのリストをフィルタリングできます。

  - MID サーバー機能に基づいてこのリストをフィルタリングするには、[機能] フィールドで [機能のロック解除] アイコン (を選択します。フィールドのロックを解除した後、[リストから参照] アイコン (を選択し、目的の機能を検索して選択します。
  - MID サーバーアプリケーションに基づいてこのリストをフィルタリングするには、[**MID** アプリケーション] フィールドで [リストから参照] アイコン (を選択し、目的のアプリケーションを検索して選択します。

  MID サーバー機能とアプリケーションの詳細については、「MID サーバーの選択」を参照してください。

- 特定の **MID** サーバー:接続の特定の MID サーバー を選択できます。

  このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに **[MID** サーバー] フィールドが表示されます。**[MID** サーバー] フィールドで [リストから参照] アイコン (を選択し、接続に使用するMID サーバーを検索して選択します。

  > **重要:**
  > 接続の特定のMID サーバーを選択するには、指定したMID サーバーを使用するように構成されたアプリケーションの [すべてアプリケーションに含める] チェック ボックスをオフにする必要があります。このチェックボックスの詳細については、「各アプリケーションのデフォルトの MID サーバーの構成」の「MID サーバーの ALL の定義に含めるアプリケーションを選択」セクションを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順
	▪ 特定の **MID** クラスター:接続用の特定の MID サーバー クラスターを選択できます。 このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに **[MID** クラスター] フィールドが表示されます。**[MID** クラスター] フィールドで [リストから参照] アイコン (🔍を選択し、接続に使用する MID サーバー クラスターを検索して選択します。

5. 接続タイムアウトを設定します。
接続タイムアウトを設定するには、次のいずれかのオプションを使用します。

- **glide.http.outbound.max_timeout.enabled** システムプロパティ: Now Platform *glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティを使用すると、RESTMessageV2 および SOAPMessageV2 API が同期呼び出しからの応答を待機する秒数を指定できます。このシステムプロパティを構成するには、新しいタブまたはウィンドウを開き、 システムプロパティ > すべてのプロパティ > **glide.http.outbound.max_timeout.enabled**. このシステムプロパティが **true** に設定されている場合、または ServiceNow インスタンスで使用できない場合、インスタンスはデフォルトのタイムアウト値である 30 秒を使用します。このシステムプロパティが **false** に設定されている場合、 ServiceNow インスタンスはデフォルトのタイムアウト値である 600 秒を使用します。このシステムプロパティの詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

- [接続タイムアウト] フィールド:[HTTP(S) 接続] フォームの [接続タイムアウト] フィールドでは、 ServiceNow インスタンスが所定の接続を確立するために待機する秒数を指定できます。

  重要:
  このオプションは、 San Diego 以降のリリースでのみ適用できます。Rome 以前のリリースでは、*glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティのみを使用して接続タイムアウトを設定する必要があります。

  [接続タイムアウト] フィールドの適用は、*glide.http.outbound.max_timeout.enabled*システムのプロパティ構成によって異なります。システムプロパティが **false** に設定されている場合、 ServiceNow インスタンスは [接続タイムアウト] フィールドで指定された値を優先します。

  注:
  [接続タイムアウト] フィールドが空の場合、ServiceNow インスタンスはデフォルトの接続タイムアウト値の 300 秒を使用します。

  システムプロパティが **true** に設定されている場合、またはシステムプロパティが ServiceNow インスタンスで使用できない場合、インスタンスは [接続タイムアウト] フィールドで指定された値を無視します。代わりに、インスタンスはデフォルトの接続タイムアウト値である 30 秒を使用します。

6. 接続の追加属性を設定します。

[属性] タブを選択し、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[属性] タブ

フィールド	説明
ソース	IBMソフトウェアインストールデータのソース。オプションは、[**ILMT**] と **[BigFix** インベントリ] です。
computer_system_offset	ServiceNowインスタンスが ILMT または BigFix インベントリからコンピューターレコードを再インポートできないようにするオフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれるコンピューターレコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。後続のすべてのインポートでは、指定されたオフセット値から始まる新しいコンピューターレコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべてのコンピューターレコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。
virtual_machine_offset	ServiceNow インスタンスが ILMT または BigFix インベントリから仮想マシン (VM) レコードを再インポートできないようにするオフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれる VM レコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。後続のすべてのインポートでは、指定されたオフセット値から始まる新しい VM レコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべての VM レコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。

7. [**Submit** (送信)] を選択します。
   アクティブな接続情報が表示されます。
8. オプション: ILMT および BigFix インベントリ API のバージョン 1 を使用している場合は、ILMT または BigFix インベントリのスケジュール設定済みデータを手動でインポートします。

   a. 次のように移動する。 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートスケジュール をクリックし、[今すぐ実行] を選択します。

   b. インポートが正常に完了したことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートと変換の両方が正常に完了したことを確認するには、 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > 変換履歴.

  注:
  変換履歴テーブルのすべてのレコードには、 挿入 値 0 が表示されます。

- ライセンス消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、次に移動します: 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > ライセンス消費.
- コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、次の場所に移動します 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > コンピュータ.

ILMT 接続の健全性を検証する

ILMT 接続の健全性を検証して、各接続の成功率を向上させます。その結果を使用して、接続応答時間の調整や無効なハードウェアシリアル番号に関連するエラーの修正など、接続の失敗を解決する方法を評価します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 統合 - **ILMT/BigFix** インベントリ > 接続の健全性.
2. [検証] を選択します。
   [接続の健全性] リストが、各 ILMT 接続の最新ステータスで再ロードされます。
3. [ステータス] フィールドを使用して、各接続のステータスを確認します。
   [ステータス] フィールドが [失敗] に設定されている場合は、対応する [情報] フィールドで、その接続が失敗した理由と、接続を正常に確立するために実行できるアクションの詳細を参照してください。

   たとえば、タイムアウトの問題が原因で接続が失敗した場合、[情報] フィールドには接続がタイムアウトしたことを示します。[情報] フィールドには、接続の再発を防ぐための推奨タイムアウト値も提案されます。

IBM 認定 **SAM** プロバイダー **(IASP)** 統合

VMware vSphere環境と IBM LPAR インフラストラクチャの両方でIBMライセンスを追跡および管理するには、IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを、IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合します。これらの統合を使用すると、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合しなくても、IBM ライセンスを直接追跡および管理できます。

IASPプログラムは、認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと契約しているクライアントが、IBM ライセンスの使用状況を個別に報告できるようにする招待制のライセンス検証プログラムです。IASP プログラムの詳細については、「 IASP 検証 」を参照してください。

IBM パブリッシャーパックは、次の認定ソフトウェア資産管理プロバイダーとの統合をサポートしています。

- Anglepoint (Anglepoint を通じてプラットフォームを昇格)
- Deloitte

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM ライセンスを直接追跡および管理するために必要なコア機能とライセンスメトリクスを提供します。Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow Store から Anglepoint の IBM Licensing for the ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。このアプリケーションを使用すると、AnglepointからIBMソフトウェア情報を保存できます。

必要なアプリケーションをインストールした後、統合している認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログを取得する必要があります。このカタログは、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーごとに個別に管理されており、ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールが環境内で検出されたIBMソフトウェアを識別するために使用できるIBMソフトウェア情報の一元化されたリポジトリです。カタログを取得したら、ServiceNow インスタンスにアップロードする必要があります。

アップロードが正常に完了すると、 ServiceNow ディスカバリー アプリケーションを使用して IBM ソフトウェアのディスカバリーを実行できます。ディスカバリーアプリケーションは、アップロードされたカタログを使用して、環境内で検出されたIBMソフトウェアを識別します。次に、このデータを認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーに送信して、包括的な ソフトウェア分類とバンドルを行います。

検出された IBM ソフトウェアが適切に分類されてバンドルされた後、認定 ソフトウェア資産管理プロバイダーはこのデータを ServiceNow インスタンスに送り返します。その後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、プロセッサバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサコア (VPC) のライセンスメトリクスを使用してこのデータを調整し、 IBM ソフトウェアの使用状況を追跡し、ライセンスコストを最適化できます。PVU および RVU のライセンスメトリクスの詳細については、「 IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスメトリクスの詳細については、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

前提条件

IBMパブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

- ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを要求してインストールします。詳細な手順については、「認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のためのソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの要求」を参照してください。
- **[IBM** ライセンスコンプライアンス **(***com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing***)** での **ServiceNow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーの使用 **(Use ServiceNow Software Asset Management and Discovery for IBM license Compliance** () ソフトウェア資産管理プロパティを有効にします。このプロパティの詳細については、 ソフトウェア資産管理のプロパティを参照してください。
- ServiceNow インスタンスで ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインを有効にします。詳細な手順については、「 ディスカバリーの要求 」を参照してください。
- ServiceNow インスタンスでファイルベースディスカバリー (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインをアクティブ化します。ファイルベースのディスカバリーの詳細については、File-based Discovery を参照してください。
- ServiceNow Store から ディスカバリー and サービスマッピング Patterns アプリケーションを要求してインストールします。ディスカバリーおよびサービスマッピングパターンの詳細については、「ITOM ヴィジビリティで使用されるディスカバリーパターン 」を参照してください。
- 統合にドメインセパレーションを使用する場合は、 ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インを有効にします。詳細な手順については、「ドメインセパレーションプラグイン」を参照してください。

- 認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードします。
- パブリッククラウド環境で IBM ライセンスを追跡および管理する場合は、次のサービスの 1 つ以上を設定して、30 分ごとにクラウドインフラストラクチャの変更で CMDB を自動的にスキャンして更新します。
  - AWS によってホストされるパブリッククラウドの場合は、AWS Config サービスを構成します。詳細な手順については、「Configure the AWS Config service to send event notifications to the ServiceNow instance」を参照してください。
  - Microsoft Azure によってホストされるパブリッククラウドの場合は、Microsoft Azureアラートサービスを構成します。詳細な手順については、「Configure the Microsoft Azure Alert service to auto-update the CMDB」を参照してください。
  - Google Cloud Platform (GCP) でホストされているパブリッククラウドの場合は、Google Stackdriver Logging サービスを構成します。詳細な手順については、「」を参照してください。

IBMパブリッシャーパックを Anglepoint と統合する場合は、次の追加の前提条件も満たす必要があります。

- ServiceNow® Store から Anglepoint の IBM Licensing for the ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理アプリケーションのAnglepointIBMライセンスの要求」を参照してください。
- Anglepoint Elevate プラットフォームを設定します。

認定 **SAM** プロバイダー **(IASP)** 統合でサポートされている仮想化テクノロジーとパブリッククラウドプラットフォーム **IBM**

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合は、VMware vSphere環境および IBM LPAR インフラストラクチャでのIBMライセンスをサポートします。 これらの統合は、AWSMicrosoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) によって所有および管理されているパブリッククラウド環境でのIBMライセンスもサポートしています。

IBMVMware vSphere環境でのライセンス

IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを、IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはVMware vSphereのIBMライセンスルールをサポートします。

VMware vSphere は、仮想マシン (VM) に IBM ソフトウェア製品をインストールして実行できる仮想化プラットフォームです。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、VMware vSphere環境のIBMソフトウェア製品について、フルキャパシティおよびサブキャパシティのプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスの両方をサポートしています。

IBM のライセンスモデル **VMware vSphere**

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
フルキャパシティ	VM に IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する場合は、VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホストで各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。物理 ESXi ホストが複数の仮想マシンを同時に実行している場合でも、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する仮想

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

IBM のライセンスモデル **VMware vSphere** (続く)

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
	マシンの数に関係なく、ホスト上の各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。 基盤となる物理 ESXi ホストのプロセッサコアの合計数を使用して、ライセンスタイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。
サブキャパシティ **注:** サブキャパシティー・ライセンスは、VM の VM マネージャーを構成して指定する場合にのみ使用できます。VM マネージャーについて詳しくは、IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定しますを参照してください。	ライセンス付与が必要なのは、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する VM に割り当てられた仮想コアだけです。 VM 全体でライセンス付与する必要がある仮想コアの合計を使用して、ライセンスタイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。 **注:** デフォルトでは、必要な権限の数は仮想コアの合計を使用して計算されます。仮想コアの合計が、VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホストのプロセッサコアの合計数を超えた場合、必要な権限の数は、代わりにホストのプロセッサコアの合計数を使用して計算されます。 **注:** VM と、その VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホストの両方に IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する場合は、ホストでのインストールのライセンスも必要です。

IBMIBM LPAR インフラストラクチャのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムに参加する権限を持つソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションはIBM論理区画のIBMライセンス・ルールをサポートします。

論理区画 (LPAR) は、オペレーティング・システムをサポートするプロセッサー・ハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力デバイスなど、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレームハードウェアシステム内に複数の LPAR を設定できます。

IBM LPAR インフラストラクチャー内の LPAR および LPAR リソースを検出するには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェアアプライアンスである IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) のServiceNow ディスカバリーパターンが必要です。これらのディスカバリーパターンにアクセスするには、ServiceNow Storeから ディスカバリー および サービスマッピング パターンアプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リケーションを要求してインストールする必要があります。LPAR でディスカバリーを構成する方法の詳細については、「 」を参照してください。

注:
lparstat コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートをプルします。詳しくは、IBM Knowledge Center を参照してください。

ディスカバリーを実行すると、検出された LPAR データが ServiceNow インスタンスの次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに入力され、保存されます。

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM HMC の CMDB クラスを追加または更新します。IBM HMC CMDB クラスの詳細については、「」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IBM LPAR インフラストラクチャ内の IBM ソフトウェア製品について、フルキャパシティおよびサブキャパシティのプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) の両方のライセンスをサポートしています。

IBMIBM LPAR インフラストラクチャのライセンスルール

フルキャパシティライセンス

フルキャパシティーライセンスを使用する場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行している LPAR を実行している基礎となるハードウェアシステム上の各プロセッサーコアにライセンスを付与する必要があります。

基盤となるハードウェアシステムのプロセッサーコアの合計数を使用して、ライセンスタイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

サブキャパシティライセンス

サブキャパシティー・ライセンスを使用する場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する LPAR に割り当てられたプロセッサー・コアのみにライセンスを付与する必要があります。

サブキャパシティー・ライセンスに必要な権限の数は、 IBM ソフトウェア製品に使用しているプロセッサー・プールとライセンスのタイプに基づいて判別できます。

IBM LPAR は、専用プロセッサープールと共有プロセッサープールの両方をサポートします。プロセッサー・コアが 1 つの専用 LPAR にのみ割り当てられる専用プロセッサー・プールを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールまたは実行する LPAR に割り当てられている各専用プロセッサー・コアにライセンスを付与する必要があります。プロセッサー・コアがマイクロ区画間で共用される共用プロセッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サー・プールを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールまたは実行するマイクロ区画間で共用されるプロセッサー・コアにライセンス交付が必要です。LPARタイプに基づいて、マイクロパーティション間でライセンス供与する必要があるプロセッサコアの数を決定できます。

- 上限付き **LPAR**: 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格を持つ CPU リソースの数である最大エンタイトルメント容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティを超えてプロセッサーパワーを使用することはできません。
- 上限なし **LPAR**: 上限なし LPAR は、割り当てられた資格容量よりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り振られる仮想プロセッサー・コアの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能なプロセッサー・コアの最大数によって制限されます。

詳細については、「 サブキャパシティ(仮想化)ライセンス カウント ルール 」を参照してください。

プロセッサープール全体でライセンスが必要なプロセッサーコアの合計を使用して、ライセンスタイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

IBM パブリッククラウド環境でのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはパブリッククラウド環境でIBMライセンスルールをサポートします。

パブリッククラウドは、コンピューティングリソースがサードパーティのクラウドプロバイダーによって所有および管理され、インターネットを介して複数のクライアントによって共有されるクラウドコンピューティングモデルです。クライアントは、各パブリッククラウド内の仮想サーバー上で実行されている仮想マシン (VM) を介して、これらの共有コンピューティングリソースにアクセスできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、パブリッククラウド環境の IBM ソフトウェア製品について、サブキャパシティプロセッサーバリューユニット (PVU) および仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスをサポートしています。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、Amazon Web サービス (AWS)、 Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) が含まれます。

パブリック クラウド環境のサブキャパシティ ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行するクラウドベースの VM に割り当てられている仮想コアにライセンスを付与する必要があります。クラウドベースの VM 全体でライセンスが必要な仮想コアの合計に基づいて、ライセンスに必要な権限の合計数を決定できます。PVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

重要:
パブリック クラウド環境にデプロイされた VM に使用される PVU ライセンスに必要な権限の数を決定するときは、選択したパブリック クラウド環境に関係なく、常に標準の PVU 値である 70 を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM Cloud Paks のライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加が許可されている ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは IBM Cloud Pak のライセンス・ルールをサポートします。

IBM Cloud Pak は、特定のビジネスゴールの達成に役立つIBMソフトウェア製品の事前パッケージ・セットです。例えば、 IBM Cloud Pak for Business Automation には、ビジネス・オペレーションを自動化してパフォーマンスを向上させるさまざまな IBM ソフトウェア製品が含まれています。

各 IBM Cloud Pak は、仮想プロセッサー・コア (VPC) ライセンス・メトリックなど、サポートされている IBM ライセンス・メトリックを使用してバンドルとしてライセンス交付されます。ただし、Cloud Pak 内の各ソフトウェア製品に必要な権限の数に基づいて、Cloud Pak に必要な権限の総数を決定できます。これらのソフトウェア製品は、バンドルプログラムとも呼ばれます。バンドルプログラムに必要な権限の数は、サポートされている IBM ライセンスメトリクス (VPC やリソース値単位 (RVU) などのライセンスメトリクスを使用して計算できます。次に、対応する換算比率を使用して、この数値を、バンドル・プログラムを Cloud Pak の一部としてデプロイするために必要な権限の数に変換する必要があります。デプロイするバンドル・プログラムごとにこの数値を変換した後、変換された数値の合計を使用して、Cloud Pak に必要な権限の総数を判別できます。

次の例では、ユーザーがさまざまなバンドル・プログラムを IBM Cloud Pak for Integration の一部としてデプロイしたいと考えています。

統合のための IBM **Cloud Pak** 内のバンドルされたプログラム	バンドルされたプログラムとクラウドパックの比率	バンドルされたプログラムに必要な権限の数	**Cloud Pak** の一部としてバンドル・プログラムをデプロイするために必要な権限の数
MQ 詳細	2 VPC:1 VPC	40	20
アプリコネクトエンタープライズ	1 VPC:3 VPC	20	60
API コネクト	1 VPC:1 VPC	10	10
データパワー	1 VPC:1 VPC	10	10

各バンドル・プログラムに必要な換算率と権限の数に基づいて、合計 100 の権限を使用して Cloud Pak のライセンスを取得する必要があります。

VPC ライセンスの詳細については、 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス を参照してください。

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合の調整IBM

IBM 調整により、手動計算を必要とせずに、 IBM ライセンスポジションを正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションがプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、または仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンスに必要な権限の数を計算するとき、ライセンスをフルキャパシティーまたはサブキャパシティーのどちらで使用しているかに基づいて、2 つの異なる数を計算します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、この情報を、IBM ソフトウェア製品の日次集計ピーク使用量、および PVU、RVU、または VPC ライセンスの使用タイプとともに使用して、90 日間の IBM ソフトウェア製品の最高水準点 (ピーク使用量) を判別します。

注:
南北アメリカ、EMEA、APAC などの地域ごとに、 IBM ソフトウェア製品の最高水準点を決定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、最高水位標の値を使用してIBMソフトウェア製品を調整し、ライセンスが準拠しているかどうかを判断できるようにします。

> **注:**
> IBM Cloud Pak を調整すると、全体として調整されます。Cloud Pak 内のソフトウェア製品 (バンドル・プログラムとも呼ばれる) は、個別に調整されません。

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合のセットアップ

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する前に、セットアッププロセスを完了します。

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、ServiceNow® Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスを要求してインストールする必要があります。Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow Store から Anglepoint の IBM Licensing for the ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。また、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーから ServiceNow インスタンスにIBMソフトウェアディスカバリーカタログをアップロードする必要もあります。

認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のためのソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの要求

IBM 用ソフトウェア資産管理パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合できるように、ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスをServiceNow Storeから要求します。統合を使用して、 IBM ライセンスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 IBM License Compliance for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. 「 **IBM License Compliance for Software Asset Management**」という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 のIBMライセンスコンプライアンス] ページで、[インストールを要求] を選択します。
   [アプリのインストールのServiceNow要求 - IBMソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求] **IBM [** ソフトウェア資産管理 のライセンスコンプライアンス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

ソフトウェア資産管理アプリケーションのライセンスコンプライアンス**IBM**によって追加されたライセンスメトリクス

ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスは、IBMソフトウェア製品を分類できるようにするライセンスメトリクスを追加します。

これらの追加のライセンスメトリクスは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack をアクティブ化し、ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスをインストールした場合にのみ使用できます。これらは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack のみをアクティブ化した場合には使用できません。

ライセンスメトリクスを使用して、お使いの環境で検出されたソフトウェア製品を調整することもできます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Adobe やMicrosoftなどの公開者固有の評価指標グループを使用して、サポートされているソフトウェア公開者のデフォルトのライセンス評価指標を自動的に追加します。これらのライセンスメトリクスは、対応するソフトウェアエンタイトルメントで設定され、調整に使用されます。既存のメトリクスグループに含まれていない追加のライセンスメトリクスは、調整に使用するためにカスタム ライセンスメトリクスとして追加する必要があります。カスタム ライセンスのメトリクスは、サポートされているライセンスのメトリクスのデフォルトリストにまだ含まれていないソフトウェア ライセンスの計算を追加することで、調整プロセスを変更します。

デフォルトでは、 IBM メトリクスグループには、 IBM 調整のための次のライセンスメトリクスが含まれています。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- プロセッサあたり (CPU カウント)
- ユーザーごと
- プロセッサバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサコア (VPC)

IBM ライセンスコンプライアンスによってソフトウェア資産管理アプリケーションに追加された他のすべてのライセンスメトリクスは、IBMメトリクスグループに含まれません。これらのライセンスメトリクスのいずれかを使用して IBM ソフトウェア製品を調整する場合は、対応するカスタム ライセンスメトリクスを ServiceNow インスタンスに作成する必要があります。カスタム ライセンスのメトリクスを作成する方法の詳細については、 カスタムライセンスの測定基準の追加 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理アプリケーションの**AnglepointIBM**ライセンスの要求

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を Anglepoint と統合する場合は、Anglepoint の IBM Licensing for the ソフトウェア資産管理 アプリケーションをServiceNow Storeから要求します。このアプリケーションは、AnglepointからのIBMソフトウェア情報を保存できるように、ベースソフトウェア資産管理ファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを拡張します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスには、ベースファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを次のように拡張するテーブルディクショナリが含まれています。

ベーステーブル	拡張テーブル
ファイル名 [samp_file_name]	Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
ファイルマップ [samp_file_map]	Anglepoint ファイルマップ [samp_anglepoint_file_map]
ファイルセット [samp_file_set]	Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

拡張テーブルには、Anglepointによって管理されているIBMソフトウェアディスカバリーカタログからのソフトウェア情報が保存されます。このソフトウェア情報をこれらのテーブルに追加するには、Anglepoint Elevate プラットフォームからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードし、ServiceNowインスタンスにアップロードします。ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールは、このソフトウェア情報を使用して、お使いの環境で検出されたIBMソフトウェアを特定できます。IBMソフトウェアディスカバリーカタログの詳細については、IBMソフトウェアディスカバリーカタログをServiceNowインスタンスにアップロードするを参照してください。

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに 「IBM Licensing for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. 「 ソフトウェア資産管理の **IBM** ライセンス」という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 のIBMライセンス] ページで、[インストールの要求] を選択します。[アプリのインストールのServiceNow要求 - ソフトウェア資産管理のIBMライセンス] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求] **IBM [** ソフトウェア資産管理 のライセンス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

IBMソフトウェアディスカバリーカタログを**ServiceNow**インスタンスにアップロードする

IBMソフトウェアディスカバリーカタログをServiceNowインスタンスにアップロードして、ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールが環境内で検出されたIBMソフトウェアを識別できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
IBMソフトウェアディスカバリーカタログは、ディスカバリーツールが検出されたIBMソフトウェアを識別するために使用できるIBMソフトウェア情報の集中リポジトリです。このカタログは、認定ソフトウェア資産管理 プロバイダーごとに個別に管理されています。

手順
1. 統合している認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードします。
2. カタログを ServiceNow インスタンスにアップロードします。
   a. ServiceNowインスタンスから、 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > **IBM** コンテンツのインポート.
   b. [ソフトウェアライブラリーを管理] フォームで、[コンテンツファイルを添付] を選択します。[添付ファイル] ダイアログボックスが開きます。
   c. ダイアログボックスで、[検索するファイルを選択] を選択し、Anglepoint Elevate プラットフォームからダウンロードしたIBMソフトウェアディスカバリーカタログを選択します。
   d. ダイアログボックスを閉じて、[ソフトウェアライブラリーを管理] フォームに戻ります。
   e. [インポート実行] を選択します。

タスクの結果
Anglepointと統合している場合、カタログに含まれるすべてのIBMソフトウェア情報は、次のソフトウェア資産管理テーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
- Anglepoint ファイルマップ [samp_anglepoint_file_map]
- Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

注:
これらのテーブルは、基本のファイル名 [samp_file_name]、ファイル マップ [samp_file_map]、およびファイル セット [samp_file_set] テーブルの拡張です。ベーステーブルを拡張するには、ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスを要求してインストールAnglepoint必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理アプリケーションのAnglepointIBMライセンスの要求」を参照してください。

Anglepoint 統合のための接続の作成

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow インスタンスと Anglepoint Elevate プラットフォームの間に接続を作成して、IBMソフトウェア製品のライセンスデータを転送できます。

Anglepoint 統合のための API ユーザーの作成

Anglepoint 統合で使用される API へのアクセスを許可するユーザーを作成します。これらの API は、ServiceNow インスタンスで利用可能な Anglepoint 統合リソースへの特定のユーザーアクセスを提供します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Anglepoint 統合では、次の API を使用します。

Anglepoint 統合 API

API	API パス	説明
変換 (POST)	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/transform	インストールされている IBM ソフトウェアの情報を処理します。
コンピューターを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/computer	IBMソフトウェアがインストールされている仮想マシン (VM) とホストに関する情報を取得します。
エンタイトルメントを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/entitlement	インストールされている IBM ソフトウェアのエンタイトルメント情報を取得します。
分類を取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を取得します。
分類を投稿	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 組織 > ユーザー をクリックし、 新規 を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

ユーザーフォーム

フィールド	説明
ユーザー ID	ユーザーの一意の識別子。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
名	ユーザーの名前 (名)。
姓	ユーザーの名前 (姓)。
Title (役職)	ユーザーの役職または職務記述書。
Department (部門)	ユーザーが所属する部門。
パスワードのリセット要請	最初のログイン時にアサインされたパスワードの変更をユーザーに要求するオプション。 注: このオプションは無効にする必要があります。
ロックアウト	ユーザーを ServiceNow インスタンスからロックアウトし、すべてのアクティブなセッションを終了するオプション。
[Active (アクティブ)]	ユーザーがアクティブであることを示すオプション。 注: このオプションは有効にする必要があります。
Web サービスへのアクセスのみ	ユーザーを非インタラクティブユーザーとして指定するオプション。非インタラクティブユーザーは、割り当てられた認証情報のみを使用して、JSON、SOAP、WSDL などの API 接続を承認できます。非 インタラクティブユーザーの詳細については、「非インタラクティブセッション」を参照してください。 注: このオプションは有効にする必要があります。
内部統合ユーザー	ユーザーを内部統合ユーザーとして指定するオプション。内部統合ユーザーの詳細については、「 サービスアカウントを内部統合ユーザーとしてマークする 」を参照してください。
メール	ユーザーのメールアドレス。
言語	ユーザーの言語設定。
カレンダー同期	ユーザーが会議への招待と通知を受信するために使用するカレンダー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
日付形式	ユーザーの優先日付形式。
勤務先電話	ユーザーにアサインされている勤務先電話番号。
携帯電話	ユーザーに割り当てられている携帯電話番号。
写真	ユーザーの写真。

3. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   フォームが自動的に再ロードされ、追加のフォームアクション、関連リンク、および関連タブが表示されます。
4. ユーザーのパスワードを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [パスワードを設定] を選択します。
[パスワードを設定] ダイアログボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、「 生成」を選択します。
ServiceNow インスタンスは、ユーザーのパスワードを自動的に生成します。

c. [パスワード] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。

d. **[Save Password** (パスワードを保存)] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的にユーザーフォームに戻ります。

5. ユーザーにロールをアサインします。

a. [ロール] 関連タブで、[編集...] を選択します。

b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストから、次のロールを検索して選択します。
- snc_platform_rest_api_access
- oauth_user
- sn_samp_ibm_lic.sam_ibm_data_integrator

c. [追加] ボタン (を選択して、選択したロールを [コレクション] リストから [ロール] リストに移動します。

d. [**Save** (保存)] をクリックする。
[メンバーの編集] フォームが閉じ、自動的に [ユーザー] フォームに戻ります。

e. 選択したすべてのロールが [ロール] 関連タブに表示されていることを確認します。

Anglepoint 統合のための **API** 認証方法の構成

ServiceNow インスタンスの Anglepoint 統合リソースへのアクセスをユーザーに付与する API 認証方法を構成できます。

Anglepoint 統合で使用される API は、ベーシック認証と OAuth 2.0 認証の両方をサポートしています。ベーシック認証では、標準のユーザー名とパスワードを使用して、 ServiceNow インスタンス上のリソースへのアクセス権をユーザーに付与します。OAuth 2.0 認証では、OAuth トークンを使用して、これらのリソースへのアクセス権をユーザーに付与します。ベーシック認証を構成するには、「 ベーシック認証を使用した REST メッセージの構成 」または 「アウトバウンド SOAP のベーシック認証の有効化 」を参照してください。OAuth 2.0 認証を構成するには、「 Anglepoint 統合のための OAuth 2.0 認証の構成」を参照してください。

Anglepoint 統合のための **OAuth 2.0** 認証の構成

ユーザーが OAuth トークンを使用して API を介して Anglepoint 統合リソースにアクセスできるように、OAuth 2.0 認証を構成します。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ServiceNow インスタンスから OAuth API エンドポイントを作成します。

   Anglepoint Elevate プラットフォームは、OAuth API エンドポイントを使用して、ServiceNow インスタンスの Anglepoint 統合リソースへのアクセスを許可する OAuth トークンを要求します。

   OAuth API エンドポイントの作成方法については、「 クライアントがインスタンスにアクセスするためのエンドポイントの作成 」を参照してください。

   > **重要:**
   > OAuth API エンドポイントを正常に作成したら、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。

2. Anglepoint Elevate プラットフォームから、ServiceNowインスタンスへの API 接続を作成します。

   API 接続を使用すると、 Anglepoint Elevate プラットフォームと ServiceNow インスタンス間でデータを安全に転送できます。

タスクの結果
Anglepoint Elevate プラットフォームは、HTTP POST 要求を使用して、API 接続に指定した認証情報を `https://<servicenow-instance-url>`.service-now.com/oauth_token.do に送信します。ServiceNowインスタンスは、OAuth トークンを生成して Anglepoint Elevate プラットフォームに送信することで要求に応答します。Anglepoint Elevate プラットフォームは、これらのトークンを使用して、ServiceNow インスタンスの Anglepoint 統合リソースにアクセスするための API 要求を行うことができます。

IBMソフトウェア製品のピーク使用量を毎日集計して表示します

各製品のエディション、ライセンスメトリクス、およびリージョンに基づいて、 IBM ソフトウェア製品の日次最高サブキャパシティおよびフルキャパシティのプロセッサバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサコア (VPC) の使用率を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

> **注:**
> IBM Cloud Pak の 1 日あたりの最大使用量は、Cloud Pak 内の個々のソフトウェア製品 (バンドル・プログラムとも呼ばれる) ではなく、Cloud Pak 全体に基づいています。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 毎日集計されるピーク使用量.
4. 対応する [日付] フィールドの値を選択して、特定のIBMソフトウェア製品の使用に関するその他の詳細を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

IBMソフトウェア製品の日次使用量が最も多いデバイスを表示します

各製品のエディションとライセンス メトリックの両方に基づいて、物理ホスト別の IBM ソフトウェア製品の日次最大使用量の内訳を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

注:
IBM Cloud Pak の 1 日あたりの最大使用量は、Cloud Pak 内の個々のソフトウェア製品 (バンドル・プログラムとも呼ばれる) ではなく、Cloud Pak 全体に基づいています。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 最高水位標の使用量.
4. IBMソフトウェア製品の日次使用量が最も多い物理ホストのリストを表示します。

IBMコンポーネントの製品分類を表示する

環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、 IBM コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 製品分類.
4. 環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。
   各製品分類には、分類された製品、製品エディション、製品バージョン、およびアサインされたライセンスメトリクスが含まれます。

IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定します

IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャー (VMware vCenter Server や IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみ検出された IBM ソフトウェアのライセンスを追跡できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ライセンス操作ビューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > スキャンするデバイス.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [IBM ライセンス VM マネージャー] フォームで、フィールドに入力します。

IBM [VM マネージャーのライセンス] フォーム

フィールド	説明
VM マネージャー	IBMライセンスを追跡する VM マネージャー。
タイプ	VM マネージャーのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ **vCenter** ○ **ESX** サーバー ○ **HMC** ○ すべての **AIX** サーバー

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

IBMソフトウェアインストールの重複排除

IBMライセンスを追跡および管理するために、IBM パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダー、IBM License Metric Tool (ILMT)、または BigFix インベントリと統合できます。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダー統合と ILMT または BigFix インベントリ統合を切り替える場合は、エディション、バージョン、言語が同じであるが、異なるソースから検出されたソフトウェアインストールの重複を排除できます。

Anglepoint や ILMT などの複数のソースから同じIBMソフトウェアインストールを検出した場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、そのソフトウェアインストールの検出ごとに個別のソフトウェアインストールレコードを作成します。これらの重複するソフトウェアインストールレコードを解決するには、 *SAM - Deduplicate Install Table* スケジュール済みジョブを実行します。これにより、重複するソフトウェアインストールレコードが 1 つだけアクティブとしてマークされ、調整に含まれるようになります。重複排除の詳細については、 ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決 を参照してください。

デフォルトでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix インベントリによって検出された IBM ソフトウェアインストールを優先します。*SAM - Deduplicate Install Table* スケジュール済みジョブを実行すると、ILMT または BigFix インベントリによって検出されたすべてのIBMソフトウェアインストールのレコードがアクティブとしてマークされ、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介してのみIBMソフトウェアのインストールが検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介して検出されたIBMソフトウェアインストールに優先順位を付けるには、次の場所に移動して、[**IBM** ライセンスコンプライアンスのための **Servicenow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーの使用 **(Use Servicenow Software Asset Management and Discovery for IBM license compliance**)] プロパティ (*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing*) の値を更新できます **All** (すべて) > システムプロパティ > すべてのプロパティ. 利用可能なシステムプロパティのリストから、*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing* プロパティを検索して選択します。システム プロパティ レコードが開いたら、 値 フィールドを true に設定し、 更新 を選択します。その後、*SAM - Deduplicate Install Table*スケジュール済みジョブを実行するたびに、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介して検出されたすべてのIBMソフトウェアインストールのレコードがアク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ティブとしてマークされ、ILMT または BigFix インベントリを介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。IBMソフトウェアのインストールがILMT または BigFix インベントリを介してのみ検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

> **注:**
> **[IBM** ライセンスコンプライアンスのための **Servicenow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーの使用 **(Use Servicenow Software Asset Management and Discovery for IBM license compliance)]** プロパティは、ドメインセパレーションをサポートしています。

特定のドメインの **IBM** 調整を有効にする

IBM 用ソフトウェア資産管理パブリッシャーパックと認定ソフトウェア資産管理プロバイダー間の統合にドメインセパレーションを使用している場合は、特定のドメインに対してのみIBM調整を有効にします。

始める前に
必要なロール:asset または domain_admin

手順

1. ドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルを開きます。 **All** (すべて) > **alm_domain_asset_process_setting_list.do**.
2. 調整を有効にするドメインの [資産プロセスの実行] フィールドをダブルクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、値を **true** に設定し、[保存] アイコン (
4. 調整を有効にするドメインごとに手順 2 と 3 を繰り返します。

> **重要:**
> 親ドメインと子ドメインの両方がある場合は、親ドメインまたは子ドメインのいずれかに対して調整を有効にすることができます。親ドメインと子ドメインの両方で調整を有効にすることはできません。

IBMホストのメタデータを確認する

IBMライセンスの計算の精度を高めるには、IBMソフトウェアがインストールされている物理ホストのメタデータを確認します。正しくないメタデータや古くなったメタデータを更新します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定.
4. 利用可能なすべてのホストのメタデータを確認します。
5. 次のメタデータのいずれかが正しくない場合は、更新します。
   - Core ごとの IBM PVU
   - リージョン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> いずれかの物理ホストのリージョンメタデータが空の場合、[**IBM** デバイスのデフォルトリージョン (*sn_samp_ibm_lic.default_region*)] ソフトウェア資産管理 プロパティは、それらのホストをデフォルトリージョンに自動的に関連付けられます。デフォルトでは、このシステムプロパティは [北米] および [南米] に設定されています。ただし、このシステムプロパティを [ヨーロッパとアフリカ] または [アジアとオーストラリア] に設定することもできます。ライセンス使用量は、リージョンに関連付けられている物理ホストに対してのみ計算できます。このプロパティの詳細については、 ソフトウェア資産管理のプロパティ を参照してください。

- 使用タイプ

> **注:**
> デバイス、PVU コメント、および IBM PVU マッピングメタデータは更新できません。

a. 正しくないメタデータフィールドの値をダブルクリックします。

b. プロンプトが表示されたら、正しい値を入力または選択し、[保存] アイコン ( )
メタデータフィールドが正しい値で更新されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**IBM**用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、IBMに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > パブリッシャーの概要.

> **注:**
> IBMダッシュボードタブを表示するには、アドオン IBM Publisher Pack (com.sn_samp_ibm) プラグインをインストールする必要があります。
>
> コンプライアンス情報を表示するには、IBM License Metric Tool (ILMT) 統合を設定する必要があります。

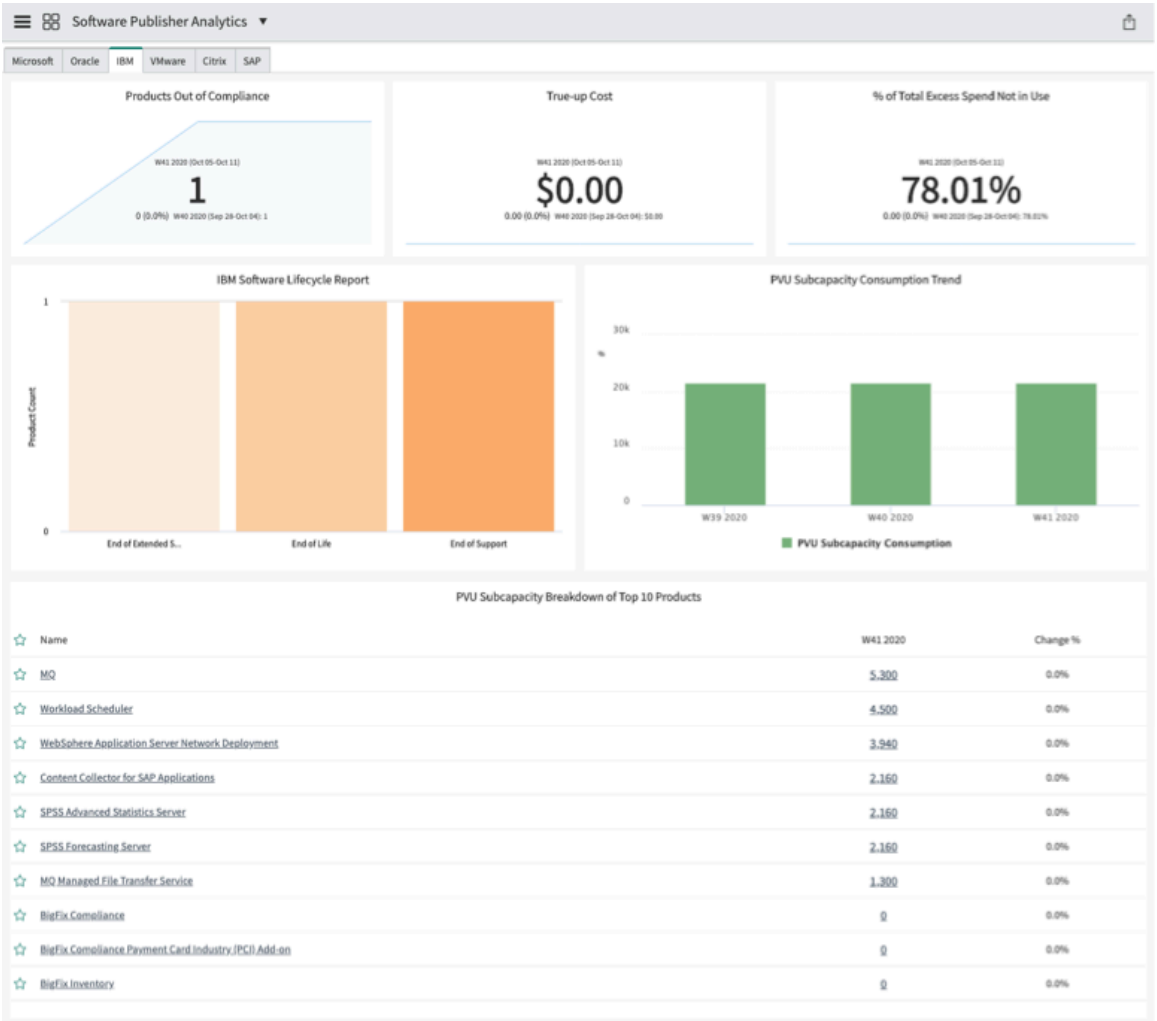
結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

IBM ダッシュボード

IBM Publisher Pack を使用してIBMソフトウェアを管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

IBM タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 ライセンスワークベンチで結果を表示するレポートを選択します。
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
使用されていない超過支出の合計の割合	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンス供与された金額の合計に対するライセンス供与過剰金額の合計。
PVU サブキャパシティ消費傾向	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	すべての製品のピーク消費量の合計の経時的な比較。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM タブ (続く)

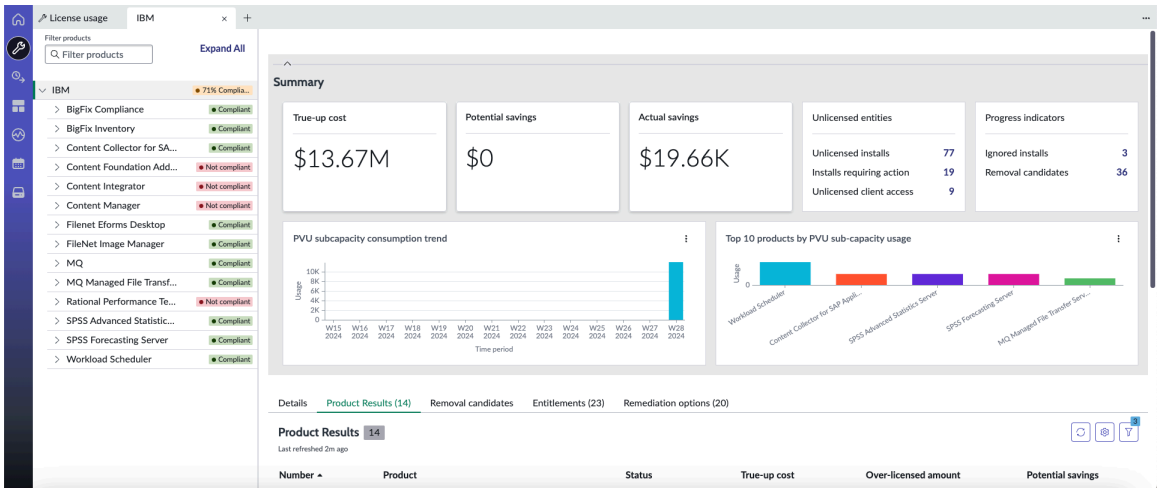
レポート	ソースリスト	説明
IBM ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズにある製品の数。
上位 10 製品の PVU サブキャパシティブレークダウン	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	上位 10 IBM 製品のピーク時の PVU 使用率。

の IBM のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースIBMのパブリッシャーの概要で、IBMに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して IBM パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[IBM**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 IBM パブリッシャーの概要の [サマリー] セクションで確認できます。

IBM 概要

レポート	説明
調整コスト	IBMソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	IBMライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	IBMライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなし IBM ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある IBM ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない IBM クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない IBM クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された IBM ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: IBM 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。
PVU サブキャパシティ消費の傾向	すべての IBM ソフトウェア製品のピーク消費量の合計の経時的な比較。
PVU サブキャパシティ使用率の上位 10 製品	上位 10 件の IBM ソフトウェア製品のピーク時の PVU 使用率。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

Red Hat Enterprise Linux の ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を使用して、Red Hat Enterprise Linux Server製品のライセンスポジションを追跡および最適化します。

に必要なプラグインとアプリケーション **Red Hat Enterprise Linux**

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品のライセンスを管理するには、Now Support サービスポータルから IBM プラグイン (com.sn_samp_ibm) の ソフトウェア資産管理プロ を要求してアクティブ化します。このプラグインを要求して有効にする方法の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

また、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションには、ServiceNowインスタンスにRHELデータを格納するテーブルが含まれており、RHEL調整に必要です。

ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションは、Red Hat Virtualization (RHV) ディスカバリーパターンを使用して RHV コンポーネントを特定します。これらのリソースのディスカバリーを有効にするには、ServiceNow Store から ディスカバリーとサービスマッピングパターン アプリケーションをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポート対象のライセンスタイプ

IBM パブリッシャーパックは、Red Hat Enterprise Linux Server と Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters の両方のライセンスをサポートしています。サポート対象のライセンスメトリクスは、ソケットペアベースとコアベースです。

Red Hat Enterprise Linux ソケットペアベースのライセンス

物理ホスト上のソケットペアまたは仮想マシン (VM) ペアの数に基づく RHEL Server ライセンスを使用して、 RHEL 製品のライセンスを管理します。

ソケットペアベースのライセンスモデルの概要

Red Hat Enterprise Linux Server

Red Hat Enterprise Linux Server は、物理環境、仮想環境、およびハイブリッド環境での Linux ディストリビューションを可能にします。RHELライセンスは、低密度の仮想環境と高密度の仮想環境の両方で使用できますが、低密度の仮想環境の方がコスト効率が高くなります。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、ソフトウェア資産管理のプロパティで定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのしきい値と比較します。値がしきい値よりも低い場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

> **注:**
> **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格が含まれている場合は、 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割ることで、この値を計算できます。

RHEL は、サーバーを展開する環境に応じて異なるライセンスモデルを使用します。

RHEL ライセンスモデル

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
物理	物理ホストへの RHEL サーバーの展開。	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数に基づいています。たとえば、ソケットが 10 個の物理ホストには 5 つの RHEL Server ライセンスが必要です。 シングルソケットホストには個別にライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアの合計数に基づいています。たとえば、クラスタホスト A に 10 個のソケットがあり、クラスタホスト B に 20 個のソケットがある場合、クラスタ全体にライセンスを付与するには、15 個の RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。
仮想 (低密度および高密度)	物理ホストで実行されている VM	ライセンスは、物理ホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づいています。たとえば、 RHEL サーバーを実行している 6 台の VM を持つ物理ホストには、3 つの RHEL	ライセンスは、クラスター内の物理ホスト上の VM ペアの合計数に基づいています。たとえば、クラスタホスト A に 10 台の VM があり、クラスタホスト B に 20 台の VM がある場合、クラスタ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RHEL ライセンスモデル (続く)

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
	への RHEL サーバーの展開。	Server ライセンスが必要です。 RHEL サーバーを実行している単一の VM には、個別にライセンスが付与されている必要があります。	全体にライセンスを付与するには、15 個の RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。
Hybrid (ハイブリッド)	物理ホストおよびそれらのホストで実行されている VM への RHEL サーバーの展開。	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数と、同じホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づいています。たとえば、10 個のソケットを持つ物理ホストと、そのホストで実行されている 20 個の VM で RHEL サーバーを実行できます。この例では、ホストには合計 15 個の RHEL Server ライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアとVMペアの合計数に基づいています。たとえば、クラスターホスト A に 10 個のソケットと 10 個の VM があり、クラスターホスト B に 20 個のソケットと 20 個の VM がある場合は、30 個の RHEL Server ライセンスを使用してクラスター全体にライセンスを付与する必要があります。

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters では、 Red Hat Virtualization や VMware などのハイパーバイザーを使用して、低密度の仮想環境と高密度の仮想環境の両方で Linux ディストリビューションを有効にします。 RHEL for Virtual Datacenters ライセンスは、高密度の仮想環境ではコスト効率が高くなります。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL Server ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、ソフトウェア資産管理のプロパティで定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのしきい値と比較します。値がしきい値よりも低い場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

注:
Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の価格設定が異なる場合、 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割ることで、この値を計算できます。

RHEL for Virtual Datacenters ライセンスは、VM を実行している物理ホスト上のソケットペアの数に基づいています。このライセンスタイプでは、物理ホストから無制限の数の VM にアクセスできるため、 RHEL for Virtual Datacenters サーバーを実行している VM にライセンスを付与する必要はありません。シングルソケットホストには個別にライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスタ内の VM に RHEL for Virtual Datacenters サーバーを展開する場合、ライセンスは、それらの VM を実行しているすべてのホストのソケット ペアの合計数に基づきます。物理ホストからアクセスできる VM の数は無制限であるため、クラスター内でサーバーを実行している VM の合計数に基づいてクラスターにライセンスを付与する必要はありません。たとえば、クラスタホスト A に 10 個のソケットと 20 個の VM があり、クラスタホスト B に 20 個のソケットと 60 個の VM がある場合、クラスタ全体にライセンスを付与するには、15 個の RHEL for Virtual Datacenters ライセンスを使用する必要があります。

ライセンス消費順序

RHEL ServerライセンスとRHEL for Virtual Datacentersライセンスの両方がある場合は、次の順序で消費します。

1. RHEL for Virtual Datacenters ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
2. RHEL Server ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
3. RHEL for Virtual Datacenters 高密度仮想環境内の物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
4. RHEL Server 低密度の仮想環境にある物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
5. RHEL Server 高密度仮想環境内の物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。このライセンスタイプは、高密度の仮想環境で RHEL for Virtual Datacenters ライセンスがなくなった場合にのみ使用します。
6. RHEL for Virtual Datacenters 低密度の仮想環境にある物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。このライセンス タイプは、低密度の仮想環境で RHEL Server ライセンスが不足している場合にのみ使用します。

Red Hat Enterprise Linux コアベースのライセンス

コアあたりの RHEL ライセンスメトリクスを使用して、物理環境と仮想環境の両方でコアベースの RHEL 製品にライセンスを付与します。

コアごとのライセンスモデルの概要

コア単位のライセンス モデルでソフトウェア製品のライセンスを取得するには、各サーバーに適切な数のコア ライセンスを割り当てる必要があります。必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーにライセンスを付与するか、個々の仮想オペレーティングシステム環境 (OSE) にライセンスを付与するかによって異なります。

コア単位モデルでのライセンスには、次の利点があります。

- Red Hat製品のコアパックを追跡します。
- ライセンスパックあたりの権利数と Red Hat コアベースのエンタイトルメントのパック数とともにエンタイトルメントをインポートします。
- ライセンスパックあたりの権利数と、 Red Hat コアベースの製品のパック数を入力できます。
- ライセンスパックあたりの権利数にパック数を掛けて、購入した権限を計算します。
- Red Hatコアベースの製品の調整に基づいて割り当てを作成および削除します。

割り当ては、仮想マシン (VM) またはホストのみに適用できます。このメトリックは、各マシンの物理コアと仮想コアの計算を実行し、使用される権限の数に基づいて最適なライセンス モデルを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計ライセンス要件の計算

合計ライセンス要件は、物理ホストレベルで計算されます。次の表に、合計ライセンス要件のさまざまなユースケースの例を示します。

合計ライセンス要件の計算

環境	説明	ライセンス要件
物理	RHELコアベースの製品を物理マシンに展開する。	ライセンスは、マシン上の物理コアの合計数に基づいています。合計数は、ソケット数にソケットあたりのコア数を掛けることで求めることができます。 たとえば、物理マシンに 2 つのソケットがあり、ソケットあたり 8 つのコアがあるとします。2 に 8 を掛けると、物理コアの合計数は 16 になります。2*8 = 16 したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。
仮想	物理ホスト上で実行される VM への RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、物理ホスト上でサーバーを実行する VM に割り当てられたコアの合計数に基づいています。この数は、物理ホストの最大キャパシティに制限されます。 たとえば、物理ホストにソケットあたり 8 コアの 2 つのソケットと、VM あたり 2 コアの 6 つの VM があるとします。各 VM には、 RHEL コアベースの製品がインストールされています。この場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と、VM に割り当てられたハイパースレッド化されていない物理コアの数の最小値と等しくなります。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると 16 コアに相当し、6 台の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 12 コアになります。2 つの間の最小値は 12 コアです。最小 (2*8 = 16, 2*6 = 12) したがって、必要な権限の総数は 12 コアです。
Hybrid (ハイブリッド)	物理ホストおよびそれらの物理ホストで実行される VM への RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、 RHEL コアベースのアプリケーションがインストールされている物理コアの数に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計ライセンス要件の計算 (続く)

環境	説明	ライセンス要件
		たとえば、物理ホストにソケットあたり 8 コアの 2 つのソケットと、VM あたり 2 コアの 20 個の VM があるとします。RHELコアベースの製品が物理ホストと 20 台の VM すべてにインストールされている。この場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と、仮想マシンに割り当てられたハイパースレッドでない物理コアの数に物理ホストの数を加算した値の最小値です。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると、16 コアになります。この場合、2 コアに 8 コアを掛けると 16 コアに相当し、20 個の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 40 コアになります。16 コアを 40 コアに追加すると、56 コアになります。2 つの間の最小値は 16 コアです。最小 ((2*8) = 16, (2*8 + 2*20) = 56) したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。

自動翻訳

Red Hat Enterprise Linux エンタイトルメント

ソフトウェアエンタイトルメントは、 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品のライセンスの詳細を定義します。個別のエンタイトルメントを作成したり、スプレッドシートからエンタイトルメントのリストをインポートしたりできます。

重要:
エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペース の両方で作成およびインポートできます。次のセクションでは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成してインポートする方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

のエンタイトルメントの作成 **Red Hat Enterprise Linux**

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品の個々のソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	ソフトウェアエンタイトルメントの名前。このフィールドは、[資産タグ] フィールドと [ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に設定されます。
Asset tag (資産タグ)	資産の識別と追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	エンタイトルメントのパブリッシャーの品番 (PPN)。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントを持つソフトウェアモデル。
合意タイプ	ライセンス契約のタイプ。可能な値は次のとおりです。 ○ 汎用 ○ エンタープライズライセンス契約 (ELA)
ライセンスタイプ	ライセンスのタイプ。このフィールドを [サブスクリプション] に設定します。
サブスクリプション期間	サブスクリプションを有効にできる期間。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプションの開始日。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプションの有効期限が切れる日付。サブスクリプションに有効期限がない場合は、日付を選択しないでください。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
評価指標グループ	事前定義されたソフトウェア計算が割り当てられるソフトウェア公開者またはソフトウェア バンドル。**[Red Hat]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Value (値)
ライセンスのメトリクス	メトリクスグループにアサインされている、事前定義されたソフトウェア計算のグループ。 ソフトウェア資産管理 は、調整中にライセンスメトリクスを使用して、特定のソフトウェア製品セットの権限を計算します。ライセンスメトリクスオプションは、[メトリクスグループ] リストから選択したソフトウェア公開者またはソフトウェアバンドルに基づいています。可能な値は次のとおりです。 ○ ソケットペアごと ○ コアあたり
ライセンスパックごとの権利	Red Hat用に購入した各パックに関連付けられた権利の合計数。このフィールドは、[ライセンスメトリクス] フィールドで [コアあたり] が選択されている場合にのみ表示されます。
購入済みの権限	購入した権限の合計数。
アクティブな権限	ユーザーまたはデバイスに割り当てることができる権限の合計数。このフィールドは自動的に設定されます。
利用可能な割り当て	ユーザーまたはデバイスにまだ割り当てていないアクティブな権限の数。このフィールドは自動的に設定されます。
単価	各ソフトウェアの権利のコスト。
総額	購入した権限の合計コスト。このフィールドは、[購入済みの権限] フィールドと [単位コスト] フィールドに基づいて自動的に設定されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

のエンタイトルメントをインポート **Red Hat Enterprise Linux**

スプレッドシートから Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェアエンタイトルメントのリストをインポートします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

重要:
ソフトウェアエンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペース の両方でインポートできます。次の手順は、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法の詳細を示しています。ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ソフトウェアエンタイトルメントインポート用のスプレッドシートテンプレートをダウンロードします。
   a. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
   b. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
   c. **[New** (新規)] を選択します。
   d. [エンタイトルメントのインポート] フォームで、[テンプレートのダウンロード] を選択します。
2. インポートするすべてのソフトウェアエンタイトルメントをスプレッドシートに入力します。
3. ソフトウェアエンタイトルメントを ServiceNow インスタンスにインポートします。
   a. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
   b. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
   c. **[New** (新規)] を選択します。
   d. フォームのフィールドに入力します。

   [エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポート タイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、 標準インポートドキュメント と **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** です。このフィールドを [標準インポートドキュメント] に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[クリックして追加...] を選択し、手順 2 で入力したものと同じスプレッドシートを検索して選択します。
説明	ソフトウェアエンタイトルメントのインポートに関する簡単な説明。

   e. [インポート] を選択します。

タスクの結果
すべてのソフトウェアエンタイトルメントが ServiceNow インスタンスにインポートされます。

の **Red Hat** のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

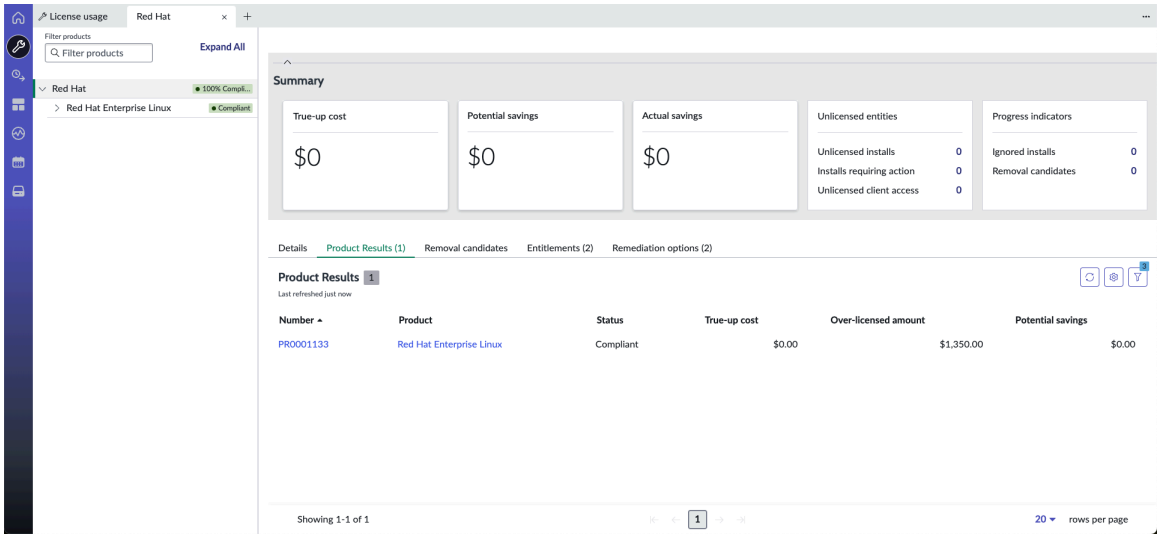
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) に関連するライセンス使用状況情報を、ソフトウェア資産ワークスペースのRed Hat公開者の概要で確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Red Hat パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[Red Hat**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Red Hat パブリッシャーの概要の [サマリー] セクションで確認できます。

Red Hat 概要

レポート	説明
調整コスト	RHELソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	RHELライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	RHELライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなし RHEL ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある RHEL ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない RHEL クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない RHEL クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Red Hat 概要 (続く)

レポート	説明
	• 無視されたインストール:再利用中に無視された RHEL ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: RHEL 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Microsoft**

Microsoft 向け ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、Microsoftライセンスメトリクスを使用してライセンスコンプライアンスの状況を追跡するのに役立ちます。

重要:
パブリッシャーパックを使用するには、 ソフトウェア資産管理 Professional for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft) を有効にします。

Microsoft は、データベースサーバーからサブスクリプションサービスまで、さまざまな製品を提供しています。各 Microsoft 製品は独自のライセンスモデルに従っているため、ライセンスコンプライアンスの状況を追跡するのが難しくなる可能性があります。ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoftを使用すると、Microsoft製品のライセンスコンプライアンス状況を正確に追跡できます。調整では、コンプライアンス違反のライセンスを特定し、修復オプションのリストを提供します。詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

Microsoft ライセンス モデルの詳細については、「Microsoft ライセンス」を参照してください。

ネットワーク上のMicrosoftインストールを識別するServiceNow ディスカバリーを設定します。詳細については、「 ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ」を参照してください。

ライセンスモデル

Microsoft の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、次のライセンスモデルをサポートしています。

- ユーザーあたり
- デバイスあたり
- コアあたり
- コアあたり (CAL を含む)
- ユーザー CAL
- デバイス CAL
- サーバー (インスタンスあたり)
- サーバー (サーバーあたり)
- プロセッサあたり
- ユーザーサブスクリプション
- ソフトウェア保証

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「サポートされている Microsoft ライセンスタイプ」を参照してください。

P+SA ライセンスタイプの PPN にバージョンが割り当てられていない場合、 Microsoft ライセンスステートメント (MLS) からエンタイトルメントをインポートする際に、正確なバージョンのソフトウェアモデルが新しいエンタイトルメントに自動的に設定されます。この自動アクションにより Microsoft 保証特典がエンタイトルメントに正しく適用されます。エンタイトルメントのアップグレード履歴の詳細については、次に移動します: ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント > アップグレード履歴.

*SAMP - Update generic PSA entitlements*修正スクリプトは、既存の P+SA エンタイトルメントを任意のバージョンで特定のバージョンで自動的に更新し、適切なライセンス条件を適用します。

関連情報

- ソフトウェアライセンスのメンテナンス
- Microsoft製品のライセンスメトリクス
- Microsoft コアごとのライセンスルール
- Microsoft コアあたり (CAL あり) のライセンスルール
- Microsoft 365 の統合

Microsoft 365 の統合

Microsoft 365との統合を作成して、コンプライアンスのためにソフトウェアインストールと比較されるサブスクリプション情報をダウンロードします。

Microsoft 365 製品とサービス

Microsoft 365 は、 Microsoft Office 365、 Windows、Enterprise Mobility and Security (EMS) などのさまざまなサブスクリプションソフトウェアとサービスを含むソフトウェア製品のスイートです。 Microsoft 365 と EMS には、他にも多くの製品やサービスが含まれています。

これらの製品の中には、コンピューターにインストールできるものもあれば、インターネット経由でアクセスできるオンラインサービスもあります。

> **注:**
> Microsoft ユーザーは複数のデバイスに Microsoft 365 製品をインストールできますが、ユーザーが一度にサインインできるのは最大 5 台のデバイスのみです。詳細については、「Microsoft 365 でのサインインのしくみ」を参照してください。

Microsoft 365 アドミンセンターには、購入してアクティブ化できる他の多くの製品が含まれています。ただし、これらの製品の一部は、Dynamics 365 など、 Microsoft 365 サブスクリプションに付属していません。

Microsoft 365 サブスクリプションで利用できる製品とサービスの一部を次に示します。

- Microsoft 365
- Microsoft Exchange Online
- エンタープライズモビリティスイート
- Microsoft Office 365
- Microsoft SharePoint Online
- Microsoft Entra ID
- Microsoft Power BI
- Microsoft OneDrive

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Microsoft Teams
- Windows
- Microsoft Intune

重要:
このリストには、 Microsoft 365 サブスクリプションで利用可能なすべての製品とサービスが含まれているわけではありません。

Microsoft 365 サブスクリプションプラン

Microsoft 365 はさまざまなサブスクリプションプランを提供し、それぞれ異なる製品やサービスへのアクセスを提供します。たとえば、Power BI は Office 365 E5 プランに含まれていますが、Office 365 E3 プランには含まれていません。Microsoft 365 Enterprise サブスクリプションの詳細については、「Microosft 365 のプランと価格」を参照してください。サブスクリプション プランごとのすべての製品とサービスの詳細については、「Microsoft 365 ライセンス」を参照してください。

Microsoft 365 との統合の利点

SAM マネージャーは、次のアクションを実行できます。

- Microsoft 365 アドミンセンターで購入したすべてのMicrosoft 365プラン (Microsoft Office 365、Microsoft 365など) のユーザーサブスクリプション情報を取得します。
- ユーザーサブスクリプション、エンタイトルメント、およびソフトウェアインストールを調整することで、 Microsoft 365 サブスクリプションのライセンスコンプライアンスを判断します。
- アクティブ、非アクティブ、未アサインのサブスクリプションを最後のアクティビティ日別に表示します。
- Microsoft 365サブスクリプション内の個々のMicrosoft Office 365ソフトウェア製品のユーザーアクティビティを取得します。詳細については、「Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価」を参照してください。
- Microsoft 365 アドミンポータルからデバイス固有のアクティベーション数の詳細を使用してユーザーアクティビティを取得します。これは、少なくとも 1 つのデバイスでMicrosoftサブスクリプションをアクティブ化したユーザーを特定するのに役立ちます。アクティベーション数は、SAM マネージャーがデスクトップとデバイスの両方でアクティベーションの合計数を正確に判断するのにも役立ちます。
- Microsoft 365 サブスクリプションの自動最適化の推奨事項とワークフローを受け取ります。これらの最適化には、計画のダウングレード、使用率の低さへの対処、重複するライセンスの特定、サブスクリプションの統合などの提案が含まれます。
- 推奨事項に基づいて行動しながら、見込み節減額を判断します。
- 使用率の低いライセンスや重複するサブスクリプションの一部であるライセンスを自動的に削除することで、コストと管理作業を削減します。

関連情報

Microsoft 365 との統合

Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価

のパブリッシャー最適化 Microsoft

サポートされている Microsoft 365 ライセンスタイプ

Microsoft 365統合は、さまざまなMicrosoft 365ライセンスタイプをサポートしています

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

完全な USL

Microsoft 365フル USL は、Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスのすべての機能へのフルアクセスを提供するユーザー サブスクリプション ライセンスです。このライセンスタイプは、次のシナリオで使用できます。

- オンプレミス Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスのライセンスをまだ購入していない場合。
- ソフトウェアアシュアランス (SA) の特典を使用せずに、オンプレミスからクラウドベースのMicrosoft 365サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスに移行する場合Microsoft

SA USL から

Microsoft 365 From SA USL は、SA の特定の特典を維持しながら、無期限のオンプレミス Microsoft ソフトウェア製品またはサービスから対応するクラウドベースの Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスに移行できるようにするユーザー サブスクリプション ライセンスMicrosoft。アクティブな SA 特典があるオンプレミス Microsoft ソフトウェア製品またはサービスの無期限ライセンスを既に購入している場合は、このライセンスタイプを使用できます。Microsoft SA の詳細については、「ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。

アドオン USL

Microsoft 365 アドオン USL は、クラウドベースのMicrosoft 365サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスの機能を、その製品またはサービスの永続的なオンプレミスバージョンをアクティブに使用しながら試用できるようにするユーザーサブスクリプションライセンスです。このライセンスタイプでは、クラウドに完全に移行しなくても、 Microsoft ソフトウェア製品またはサービスのクラウドバージョンを試すことができます。アクティブな SA 特典があるオンプレミス Microsoft ソフトウェア製品またはサービスの無期限ライセンスを既に購入している場合は、このライセンスタイプを使用できます。

ステップアップライセンス

Microsoft 365ステップアップライセンスを使用すると、上位エディションに追加の正規料金を支払うことなく、Microsoft 365サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスの下位エディションを上位エディションにアップグレードできます。このライセンスタイプを使用してソフトウェア製品またはサービスをアップグレードする場合、下位エディションと上位エディションの価格差のみを支払う必要があるため、下位エディションへの初期投資が維持されます。このライセンスタイプは、Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスの下位エディションのライセンスを既に購入している場合に使用できます。ステップアップライセンスの詳細については、「 ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。

ライセンスを予約

Microsoft 365予約ライセンスを使用すると、Microsoft 365 Online Services 製品のライセンス予約オーダーを行うことができます。ライセンス予約オーダーを使用すると、対応する発注書を作成しなくても、 Microsoft 365 Online Services 製品の追加リソースを事前に計画してプロビジョニングできます。すべてのライセンス予約オーダーは、調整または年次オーダープロセス中に実現されます。このライセンスの種類は、 Microsoft 365 Online Services 製品のライセンスを既に購入している場合に使用できます。

Microsoft 365 との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Microsoft 365 サービスと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションとソフトウェア使用状況を追跡して、ライセンスコンプライアンスを判断し、最適化の機会に基づいて行動することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Microsoft 365 アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アプリケーション開発者	• User.Read.All • Organization.Read.All
ユーザーアクティビティのプル	• Power Platform アドミン • アプリケーション開発者	Reports.Read.All
サブスクリプションを再利用	アプリケーション開発者	• GroupMember.ReadWrite.All • LicenseAssignment.ReadWrite.All

Microsoft 365統合の設定

次の手順を実行して Microsoft 365 ライセンスのコンプライアンスと最適化を管理します。

- 前提条件

  Microsoft 365統合を開始する前に、すべての前提条件が満たされていることを確認します。

1. インストール ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft

   ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft) プラグインをインストールして、ソフトウェア資産管理 アプリケーションの Microsoft Publisher パック機能にアクセスします。

2. ITAM Health Check アプリケーションをインストール

   ITAM Health Check アプリケーションをインストールして、ソフトウェア資産管理構成の の概要を把握し、エラーを修正するための推奨事項を受け取ります。

3. インストール ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン

   ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) をインストールして、SaaS アプリケーションおよびシングルサインオン (SSO) アプリケーションとの統合を作成および管理します。これらの統合により、ライセンスの使用状況を追跡し、未使用のライセンスを効果的に再利用できます。

4. インストール Microsoft Entra ID スポーク

   Microsoft Entra ID スポーク (以前の Azure AD スポーク) をインストールして、ライセンスの削除やその他のシナリオで Microsoft 365 アドミンセンターとの自動統合を有効にします。このスポークには 統合ハブ サブスクリプションが必要です。統合ハブ の詳細については、「Integration Hub」を参照してください。

5. から最新のアップデートを受け取る ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスまで毎週定期的に、新しいコンテンツでインスタンスを更新します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、ソフトウェアのインストールとサブスクリプションの正規化を簡素化する自動化されたコンテンツを提供し、ライフサイクル情報、ダウングレード権限、スイート定義などの拡張データを提供します。このデータは、正確なライセンスコンプライアンスと最適化を維持するために不可欠です。

6. 成功目標を作成

   成功目標を作成して、ソフトウェア資産管理アプリケーションでMicrosoft 365の構成セットアップの成功を追跡します。

- ソフトウェア資産管理構成

ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションを構成します。これには、ユーザーアカウントの設定、ライセンスの管理、Microsoft のソフトウェア使用ポリシーへのコンプライアンスの確認が含まれます。

1. へのアプリケーションの登録 Microsoft Entra ID

   Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) にアプリケーションを登録して、Microsoft 365 アドミンセンターでプロビジョニングされたすべてのサブスクリプションを取得できるようにします。

2. Power BI の使用状況を構成して使用状況情報を取得する

   Power BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にして、アプリケーションが Power BI サービスのコンテンツと API にアクセスできるようにします。このアクセスは、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードしたり、Power BI の使用率の低いサブスクリプションを削除したりするなど、 Microsoft 365 サブスクリプションを最適化するのに役立ちます。

3. 匿名ユーザー情報の防止

   デフォルトでは、 Microsoft は Microsoft 365 アドミンセンターで登録者のユーザー名を非表示にし、 ServiceNow ライセンス使用状況を正確に追跡 Microsoft 365 できないようにします。この問題を解決するには、 Microsoft 365 アドミンセンターでこの匿名化機能を無効にします。

4. Microsoft 365 統合プロファイルの設定

   ソフトウェア資産管理アプリケーションでMicrosoft 365統合プロファイルを作成して、ユーザーサブスクリプションデータをインポートし、ライセンスコンプライアンスを判断し、最適化の機会を特定します。複数のテナントを管理する場合は、テナントごとに個別の統合プロファイルを作成します。

5. 政府機関の顧客のデータを取得するように統合プロファイルを構成する

   この Now Platform は Microsoft 365 政府向けプランをサポートしており、政府専用クラウド内で Microsoft 365 サービスのすべての機能を提供します。このセットアップは、組織が米国のセキュリティおよびコンプライアンス標準に準拠するために役立ちます。

6. 次の使用状況を取得するための統合プロファイルの構成 Microsoft 365 コパイロット、Visio Online、Project Online

   Microsoftでは、Microsoft Visio、Microsoft Project、Microsoft Copilot などのMicrosoft 365サブスクリプション製品の使用状況を直接取得するための API は提供されていません。ただし、これらの製品のアクティビティレポートは、 Microsoft 365 アドミンセンターからダウンロードできます。 Microsoft 365 アドミニストレーターはこれらのレポートをダウンロード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できSAM アドミニストレーターは変更せずに ソフトウェア資産管理 アプリケーションの統合プロファイルにレポートを添付できます。ServiceNow内のスケジュール済みジョブは、これらのレポートを処理し、使用率が低い場合に再利用候補を特定します。

7. 再利用ルールの構成

   ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、Microsoft 365の統合プロファイルを作成すると、ベースシステムの再利用ルールが自動的に提供されます。詳細については、「Microsoft 365 統合のための再利用ルール」を参照してください。

8. ユーザー解決ルールの構成

   適切なライセンスコンプライアンスを判断し、正しい最適化の推奨事項を提供するために、Microsoft 365 admin center ユーザーを ServiceNow ユーザー (sys_user) に解決または一致させます。

   重要:
   メールアカウントなど、人間以外のユーザーにライセンスが割り当てられる場合があることに注意してください。このような場合は、ユーザー解決プロセスは不要なためスキップできます。

9. スケジュール済みジョブを実行する

   作成した Microsoft 365 統合プロファイルは、スケジュールに基づいて Microsoft 365 admin center からサブスクリプションと使用状況の情報を自動的に取得します。これらのジョブをオンデマンドで実行し、正常に完了したことを確認できます。

10. ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの設定

    ソフトウェア資産管理 アプリケーションは Microsoft 365 admin center と統合され、割り当てられたサブスクリプションに基づいてソフトウェアモデルを自動的に生成します。これらのモデルには 正確に スイートコンポーネント、ダウングレード、ライフサイクルの詳細が含まれており、コンプライアンスを確認してライセンスを最適化します。これらの自動作成されたソフトウェアモデルの場合は、エンタイトルメントを忘れずに追加してください。以前にパブリッシャー品番を使用してエンタイトルメントを設定していた場合、そのセットアップのソフトウェアモデルがこの統合で使用されるため、重複するモデルが作成されることはありません。

    注:
    実装をスムーズに行うために、ディスカバリーマップ (DMAP) なしでソフトウェアモデルが作成されていないこと、およびパブリッシャー品番 (PPN) なしでエンタイトルメントが作成されていないことを確認します。

11. アドオン、SA から、およびステップアップのエンタイトルメントを設定する

    アドオン ライセンスを、アクティブなソフトウェア アシュアランスを持つ無期限のオフィス レガシ ライセンスに関連付けます。 Microsoft 365 では、フル USL、アドオン USL、SA USL から、ステップアップライセンス、予約済みライセンスなど、さまざまなサブスクリプションタイプを提供しています。これらのライセンスの詳細については、「 サポートされている Microsoft 365 ライセンスタイプ」を参照してください。

12. ライセンス予約のセットアップ

    Microsoft オンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成して、既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加します。

- ソフトウェア資産管理構成の検証

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365ライセンスと使用状況を正確に追跡および管理するために、ソフトウェア資産管理構成を確認および検証します。

1. すべてのサブスクリプションの完全なプルを確認する

   すべてのサブスクリプションレコードが正常にプルされたことを Microsoft 365 アドミニストレーターに確認してください。

2. 健全性チェックを実行

   [**Microsoft 365**]、[**SaaS**]、および [全般] を選択して健全性チェックダッシュボードで健全性チェックを実行し、 Microsoft 365 構成を検証し、各スイートの結果を確認します。

3. 必要なすべてのソフトウェア使用のプルを確認する

   ソフトウェア資産管理アプリケーションが、最後のアクティビティを識別して最適化の機会を決定するために必要な、Microsoft 365登録済みユーザーの使用状況の詳細をプルしたかどうかを確認します。

4. 成功目標を作成

   Microsoft 365ライセンスを管理するための成功目標を作成します。

5. Microsoft 365 および関連製品を 公開済み製品リストに追加する

   Microsoft 365と関連製品を公開製品リストに追加して、読みやすさを向上させ、ソフトウェア資産ワークスペースを整理します。リソースニーズ、作業品質、および構成管理に基づいて進捗状況を評価することで、SAM の取り組みを戦略的にスケーリングします。

6. 照合の実行

   [ソフトウェア資産の概要] ページで調整を実行し、 ソフトウェア資産管理 構成に従ってライセンスが使用されていることを確認します。Microsoft 365ライセンスの使用を確認するには、公開者としてMicrosoftに対してのみ調整を実行する必要があります。

7. ライセンスポジションレポートを確認

   ライセンスポジションレポートで、 Microsoft 365 および関連製品の全体的なコンプライアンス状況を確認します。

8. ライセンスなしのサブスクリプションに対するアクション

   ライセンスのない Microsoft 365 サブスクリプションを特定して対処します。

9. 最適化の推奨事項に基づいて行動する

   ソフトウェア資産管理 は、[ソフトウェア資産アナリティクス] ページで表示できるさまざまな最適化ユースケースをサポートしています。

関連情報

Microsoft 365 の統合

の自動ライセンス削除 Microsoft 365

ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート

Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価

Microsoft Entra IDアプリケーションの登録

Microsoft Entra IDポータルからアプリケーションを登録します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Microsoft Entra ID 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、Microsoft Entra ID ポータルの [アプリの登録] ページ を開きます。
2. グローバルアドミニストレーターの認証情報を使用してログインします。
3. アプリの登録 ページで、 新規登録 を選択します。
4. [アプリケーションを登録] フォームの [名前] セクションで、アプリケーションの名前を入力します。
5. [サポートされているアカウントの種類] セクションで、[任意の組織ディレクトリのアカウント (任意の **Microosft Entra ID - Multitentant)]** を選択します。
6. [登録 **(Register)]** を選択します。
アプリケーションが登録され、新しいアプリケーションの [概要] ページに自動的にリダイレクトされます。
7. [概要] ページで、[アプリケーション (クライアント) **ID]** フィールドと [ディレクトリ (テナント) **ID]** フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. アプリケーションのクライアントシークレットを生成します。

   a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > 証明書とシークレット.
   [証明書とシークレット] ページが開きます。

   b. [クライアントシークレット] セクションで、 [新しいクライアントシークレット] を選択して、アプリケーションのクライアントシークレットを生成します。

   c. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [クライアントシークレットを追加] ダイアログボックス

フィールド	説明
説明	クライアントシークレットの説明。
有効期限	クライアントシークレットの有効期限が切れるまでの期間。オプションは次のとおりです。 ▪ 1 年間で ▪ 2年で ▪ 今後表示しない

   d. [**Add**] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、[証明書とシークレット] ページに戻ります。

   e. [クライアントシークレット] セクションで、新しく生成されたクライアントシークレットの [値] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

9. 保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセスレベルを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > **API** 権限.

b. [API アクセス許可] ページで、 [アクセス許可の追加] を選択します。

c. [API アクセス許可の要求] ダイアログ ボックスで、[**Microsoft API**] タブを選択します。

d. 使用可能な Microsoft API の一覧から、 **[Microsoft Graph]** を選択します。

e. アプリケーションに必要な権限のタイプを選択するように求められたら、[アプリケーションのアクセス許可] を選択します。

f. [権限を選択] で、次の権限のチェックボックスをオンにします。
   - Reports.Read.All
   - User.Read.All
   - Organization.Read.All

g. [権限を追加] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[API 権限] ページに戻ります。

10. アプリケーションにアドミンの同意を付与します。

次のタスク
アプリケーションを正常に登録して設定した後、アプリケーションが Power BI サービス コンテンツと API にアクセスできるようにする必要がある場合は、 Microsoft Azure ポータルにとどまります。

Power-BI 読み取り専用 **API** のサービス プリンシパル認証を有効にする**Enable service principal authentication for Power-BI read-only APIs**

Power BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にすることで、アプリケーションに Power BI サービス コンテンツと API へのアクセス権を付与します。Power BI サービス コンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなどして、 Microsoft 365 サブスクリプションを最適化するのに役立ちます。

始める前に
Microsoft Entra ID 必要なロール:グローバルアドミニストレーター

Power BI 必要なロール:Power Platform アドミン

注:
この構成により、 ServiceNow ソフトウェア資産管理 Web とデスクトップ全体のすべての Power BI Pro デプロイの使用状況情報 (前回の使用時間) を取得できます。 ソフトウェア資産管理 は、 Microsoft 365 サブスクリプションの一部である Power BI デプロイの最後のアクティビティの日付をプルします。

このタスクについて
サービス プリンシパルは、アプリケーションが Power BI サービス コンテンツや API などのセキュリティで保護された Microsoft Entra ID リソースにアクセスできるようにする認証方法です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. サービスプリンシパル認証用のセキュリティグループを作成します。
   セキュリティ グループを使用すると、共有リソースにアクセスできるユーザー、デバイス、グループ、およびサービス プリンシパルを管理できます。サービスプリンシパル認証に既存のセキュリティグループを使用する場合は、 ステップ 2 に進みます。

   a. Microsoft Azureポータルのページヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
   Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

   b. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > グループ. application グループ > すべてのグループ ページが開きます。

   c. [すべてのグループ] ページで、 [新しいグループ] を選択します。

   d. フォームのフィールドに入力します。

   新規グループフォーム

フィールド	説明
グループタイプ	グループタイプ。このフィールドを [セキュリティ] に設定します。
グループ名	グループの名前。
グループのメールアドレス	すべてのグループメンバー間で共有されるメールアドレス。
グループの説明	グループの説明。
メンバーシップタイプ	グループに対してメンバーを追加または削除できる方法。オプションは次のとおりです。 ▪ アサイン済み:メンバーを手動で追加または削除する必要があります。 ▪ 動的ユーザー:定義した動的グループルールに基づいて、メンバーが自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「 Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。 ▪ 動的デバイス:定義した動的グループルールに基づいて、デバイスが自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「 Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。

   e. **[Create** (作成)] を選択します。

   セキュリティグループが作成され、新しいグループの [概要] ページにリダイレクトされます。

2. Microsoft Entra IDアプリケーションの登録 で作成したアプリケーションをセキュリティグループのメンバーとして追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. ステップ 1 でセキュリティグループを作成せず、代わりに既存のセキュリティグループを使用している場合は、既存のセキュリティグループを開きます。
手順 1 でセキュリティグループを作成した場合は、手順 b に進みます。

i. Microsoft Azureポータルのページヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。

Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

ii. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > グループ.

application グループ > すべてのグループ ページが開きます。

iii. 利用可能なグループのリストから、既存のセキュリティグループを見つけて選択します。

セキュリティグループの [概要] ページが開きます。

b. セキュリティグループの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > メンバー.
[メンバー] ページが開きます。

c. [メンバー] ページで、[メンバーの追加] を選択します。
[メンバーを追加] ダイアログボックスが開きます。

d. ダイアログボックスで、 Microsoft Entra IDアプリケーションの登録 で作成したアプリケーションを検索して選択します。

> **重要:**
> アプリケーションには、 Microsoft Azure ポータルから設定された Power BI 管理者アクセス許可があってはなりません。次の手順を使用して、アプリケーションの権限を確認できます。
>
> **i.** グローバルアドミニストレーター、アプリケーションアドミニストレーター、またはクラウドアプリケーションアドミニストレーターの認証情報を使用して、 Microsoft Azure ポータルにログインします。
>
> **ii.** Microsoft Azureポータルのページヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
>
> Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。
>
> **iii.** Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > エンタープライズアプリケーション.
>
> [エンタープライズアプリケーション] ページが開きます。
>
> **iv.** 利用可能なエンタープライズアプリケーションのリストから、アプリケーションを見つけて選択します。
>
> **v.** [権限] を選択します。
>
> **vi.** アプリケーションに Power BI 管理者の同意が必要なアクセス許可が設定されていないことを確認します。

e. [選択] を選択します。
アプリケーションがセキュリティグループのメンバーとして追加されます。

3. セキュリティ グループが読み取り専用の Power BI 管理 API にアクセスできるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 新しいタブまたは Web ブラウザーで、 Power BI を開きます。

b. グローバル管理者または Power BI 管理者の資格情報を使用してログインします。
Power BI ポータルが開きます。

c. Power BI ポータルのページ ヘッダーで、設定 アイコン ( ) を選択し、 [管理ポータル] を選択します。
Power BI 管理ポータルが開きます。

d. 管理ポータルの左側のナビゲーションメニューから、[テナント設定] を選択します。
Power BI テナント設定が開きます。

e. [管理 API 設定] セクションで、 [サービス プリンシパルに読み取り専用の **Power BI** 管理 **API** の使用を許可する] 設定を展開します。

f. トグルボタンを選択して設定を有効にします。

g. プロンプトが表示されたら、 特定のセキュリティグループに設定を適用するオプションを選択します。

h. 対応するテキストボックスに、セキュリティグループの名前を入力します。

i. [適用] を選択します。

Power BI 管理ポータルを使用してこの設定を有効にすると、 Microsoft Azure ポータルから設定したアプリケーションのアクセス許可は無効になります。その後、すべてのアプリケーションのアクセス許可は、Power BI 管理ポータルを使用して設定および管理する必要があります。

Microsoft 365 アドミンセンターでの更新の構成

ServiceNowにインポートするアクティビティに関するMicrosoft 365レポートでは、匿名のユーザー情報を使用しないでください。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. アドミン認証情報を使用して 、Microsoft 365 アドミンセンター にログインします。
2. 次のように移動する。 設定 > サービス > 組織設定 > レポート.
3. [**Display concealed user, group, and site names in all reports**] チェックボックスをオフにします。
匿名ユーザー情報を示す Microsoft 365 レポートの詳細については、「 Microsoft 365 レポートには実際のユーザー名ではなく匿名ユーザー名が表示される 」を参照してください。

Microsoft 365 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Microsoft 365 サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft 365と統合するには、次のプラグインを有効にします。

- ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft) プラグイン
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store からの SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグイン

詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で直接統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow インスタンスを開きます。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. **[Microsoft 365** 統合プロファイル] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: Microsoft 365 integration for <*your-company*>。
クライアント ID	Microsoft Azureポータルに登録したアプリケーションのクライアント ID。コピーしたアプリケーション (クライアント) ID を Microsoft Entra IDアプリケーションの登録 に入力します。
クライアントシークレット	Microsoft Azure ポータルに登録したアプリケーションのクライアントシークレット。Microsoft Entra IDアプリケーションの登録にコピーしたクライアントシークレットを入力します。
テナント名または ID	Microsoft Azureポータルに登録したアプリケーションのグローバル一意識別子 (GUID)。Microsoft Entra IDアプリケーションの登録でコピーしたディレクトリ (テナント) ID を入力します。 **⚠ 警告:** ディレクトリ (テナント) ID を入力するときは、ID に拡張子を追加しないでください。Microsoft Entra IDアプリケーションの登録 でコピーされた ID を正確に入力します。
REST メッセージ	REST Web サービスエンドポイントに要求を送信できるようにするメッセージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Microsoft 365** に設定されます。

5. [プロセスの構成] セクションで、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーロールまたは API 権限を表示します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。クリアすると、この統合プロファイルのアクティビティデータはプルされません。
   - [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。
7. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
   接続が正常に検証されると、統合プロファイルはサブスクリプションとアクティビティデータをダウンロードします。
8. オプション: に移動し、ユーザーサブスクリプションジョブのステータスを確認します ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ジョブ結果.

次のタスク
に移動して、 Microsoft 365 に対して自動的に生成されたすべてのソフトウェアモデルを表示します 統合 - **Microsoft 365** > ソフトウェアモデル. ソフトウェア モデルは、公開者、バージョン、ディスカバリーマップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアモデルは、公開者情報を記録し、プロファイルを作成します。

Microsoft 365の統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアモデル、認識されないサブスクリプション識別子、スケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブの結果、およびソフトウェアサブスクリプションに関する情報をソフトウェア資産ワークスペースに表示できます。次のように移動する。 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > 直接統合プロファイル.

統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認することが重要です。Office 365 に対して自動的に生成されたすべての再利用ルールを表示するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 再利用ルール. 再利用ルールは、Microsoft SCCM 使用状況統合を通じてプルされた Microsoft System Center Configuration Management (SCCM) 使用状況データに基づいて適用されます。これらの再利用ルールの詳細については、「 Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

注:
ServiceNow は、Office 365 のデフォルトの再利用ルールを 1 つ自動的に作成します。[サブスクリプション使用条件] タブの [前回のアクティビティしきい値] フィールドを更新することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

ソフトウェア再利用ルールのレビュー

Microsoft 365 統合のための再利用ルール

ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート

ServiceNowインスタンス**Microsoft 365**サブスクリプション情報を確認して確認します

Microsoft 365 アドミンセンターからプルする正確なソフトウェアサブスクリプション情報を決定し、完全なサブスクリプション情報が正確にServiceNowにプルされているかどうかを確認します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 作成したMicrosoft 365統合プロファイルでフィルタリングして、アドミンセンターからServiceNowにプルする正確なソフトウェアサブスクリプション情報を決定しますMicrosoft 365。
このサブスクリプションには、 Microsoft 365 管理センターで利用可能なすべてのサブスクリプションが含まれています。
2. 完全なサブスクリプション情報が正確にServiceNowにプルされているかどうかをMicrosoft 365アドミンに確認してください。

   注:

   ソフトウェア資産管理は、System Center Configuration Manager (SCCM) 統合と Microsoft 365 統合の組み合わせを使用してMicrosoft 365Microsoft製品の最後のアクティビティの日付をプルします。

3. Microsoft 365サブスクリプションデータがソフトウェア資産管理にプルされない場合は、統合のセットアップを確認してください。

   a. [統合プロファイル] フォームで、[**REST** メッセージ] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択して、REST メッセージレコードを開きます。

   b. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。

   c. [REST メッセージ] フォームで、[**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択します。

      注:
      この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

   d. [OAuth フロー検証] ダイアログボックスで OAuth フローのステータスを表示して、統合が正しく設定されているかどうかを判断します。
      - 「OAuth トークンフローが正常に完了しました」というメッセージが表示された場合、統合は正しく設定されています。
      - OAuth フロー失敗のメッセージが表示された場合は、統合が正しく設定されていません。このメッセージの情報を使用して、統合セットアップのエラーを特定します。

4. Power BI の使用状況が ソフトウェア資産管理 にプルされない場合は、Power BI API 接続の状態を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [統合プロファイル] フォームで、フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) します。

b. **[XML** の表示] を選択します。

c. [**<xml>** > **<samp_sw_subscription_profile>** > **<custom_properties>**で、 *powerBIStatus* プロパティを表示して、Power BI API 接続の状態を判断します。

- *powerBIStatus* プロパティが成功に設定されている場合、Power BI API 接続は成功しています。
- *powerBIStatus* プロパティが **failed** に設定されている場合、Power BI API 接続は成功しませんでした。すべての統合セットアップ手順に正しく従ったことを確認します。統合セットアップのエラーの詳細については、ログを確認することもできます。

5. オプション: ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合、このフィールドを関連するユーザーにマッピングできます。

   (Optional) 詳細については、「ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける」を参照してください。

Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project **Online** の使用状況レポートを **ServiceNow** インスタンスにアップロードします

Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Onlineの使用状況アクティビティ データを監視して、使用率が低いことに基づいて再利用候補を特定します。

始める前に

必要なロール：

- Microsoft 365 アドミンセンターへのアクセス:admin
- ServiceNowインスタンスにレポートを追加します:sam_admin

このタスクについて

Microsoft 365 管理センター から Microsoft Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況レポートをエクスポートし、レポートをServiceNowインスタンスに追加できます。これらの使用状況アクティビティレポートは、使用率が低いことに基づいて潜在的な再利用候補を特定することで、ライセンスの最適化に役立ちます。

手順

1. グローバル管理者の資格情報を使用して 、Microsoft 365 管理センター にログインします。
2. 次のように移動する。 レポート > 使用法.
3. 使用状況レポートをダウンロードします。
   - **Microsoft 365** の **Copilot** を選択し、エクスポート を選択して CSV ファイルをダウンロードします。
   - [プロジェクト] を選択し、[エクスポート] を選択して CSV ファイルをダウンロードします。
   - **Visio** を選択し、エクスポート を選択して CSV ファイルをダウンロードします。

> **重要:**
> ダウンロードしたファイルの名前は変更しないでください。ファイルは、 ServiceNow インスタンスにそのままアップロードする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ナビゲーションメニューから [**ID]** を選択します。
   現在のテナントの Azure ポータルが開きます。
5. [概要] ページで、[テナント **ID**] フィールドの値をコピーします。
   後で使用するためにテナント ID を安全な場所に保存します。
6. Web ブラウザーから、 ServiceNow インスタンスを開きます。
7. フィルターを適用して、使用状況レポートをアップロードする特定のテナント ID の統合プロファイルを開きます。
8. 使用状況レポートを統合プロファイルに追加します。

次のタスク

アップロードした使用アクティビティレポートを監視して、ライセンスの最適化と再利用候補の生成を行うことができます。詳細については、「Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価」を参照してください。

Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価

ソフトウェア使用アクティビティを評価すると、 Microsoft 365 ポータルにあるすべてのサブスクリプションの中から、アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションを見つけることができます。

ライセンス最適化のためのソフトウェア使用アクティビティ

ソフトウェア使用アクティビティとは、ソフトウェア製品がどのように使用されているかを指します。このアクティビティを追跡することで、ライセンスの使用状況を監視し、既存のソフトウェアサブスクリプションを最適化できます。

次の表に、ソフトウェア使用アクティビティ、関連するプラットフォームサポート、およびサポートされている Microsoft 365 製品を収集するためのソースを示します。

ソフトウェア使用アクティビティ収集のソース	プラットフォームサポート	サポートされている Microsoft Office 365 製品
Microsoft Graph 個の API	デスクトップ、Web、モバイル	Outlook、Word、PowerPoint、Excel、OneNo Online、SharePoint Online、Power BI
Microsoft SCCM または ACC-V	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ
JamfmacOSデバイスの場合	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ
Microsoft Office 365 アドミンセンターから ServiceNow インスタンスの使用状況レポートを手動でアップロードする	デスクトップ、Web、モバイル	Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online

注:
Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況は、Microsoft Office 365 管理センターからダウンロードできます。詳細については、「Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況レポートを ServiceNow インスタンスにアップロードします」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

完了したら Microsoft 365 統合では、次のいずれかのテーブルを使用して、使用状況アクティビティ情報を表示できます。

- ソフトウェア使用 [samp_sw_usage]

  [ソフトウェア使用] テーブルで、サブスクリプション内の個々のソフトウェア製品の使用状況データを表示します。このテーブルには、 Microsoft API およびその他のディスカバリーソリューション (SCCM、 Jamf、ACC-V など) から取得された合計使用量と前回のアクティビティが保存されます。ソフトウェア使用フィールドとその説明の詳細については、「 ソフトウェア使用状況の表示または作成」を参照してください。

- Microsoft 365 アプリ使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report]

  各ユーザーの Microsoft 365 アプリ使用状況レポートテーブルで、 Microsoft 365 製品の最後のアクティビティの日付を表示します。このテーブルには、Microsoft API からのみ取得された True または False のMicrosoft 365製品の使用状況データが格納されます。アクティビティの最終日は、Microsoft Outlook、Microsoft Word、Excel Microsoft PowerPoint、OneNote などのMicrosoft 365製品の再利用候補をより正確に判断するのに役立ちます。Microsoft 365アプリ使用フィールドとその説明の詳細については、「Microsoft 365 アプリ使用状況レポート」を参照してください。

これらの使用状況テーブルには、ソフトウェアが最後に使用された日付と、デスクトップ、Web、モバイル、またはプラットフォーム全体で累積的に実行されたアクティビティの種類が含まれます。最後のアクティビティデータは、 Microsoft 365 サブスクリプション内の個々の製品に対して最適化されたプランを選択するのに役立ちます。関連する使用法については、 *`SAM - Collect Microsoft 365 Usage`* スケジュール済みジョブは使用状況データを毎日収集します。

ソフトウェア使用アクティビティに基づいて、ソフトウェアサブスクリプションの最適化に関する推奨事項が生成されます ソフトウェア資産管理 。

Microsoft サブスクリプションのライセンス最適化

ソフトウェア使用アクティビティは、個々の Microsoft 製品と Microsoft 365 スイートサブスクリプションの両方から再利用候補を検出することで、ライセンスの最適化に役立ちます。詳細については、「のパブリッシャー最適化 Microsoft」を参照してください。*`SAM - Collect Microsoft 365 Usage`*スケジュール済みジョブは使用状況データを毎日収集し、*`SAM - Create New Reclamation Candidates for Office 365 Integration`*は使用率の低いサブスクリプション、ダウングレードサブスクリプション、統合サブスクリプション、重複するサブスクリプションの削除候補を毎週生成します。API とディスカバリーソリューションの両方を使用して、再利用候補を決定できます。

- 低使用率のサブスクリプション

  使用率の低い Microsoft 365 または Microsoft Office 365 サブスクリプションとは、割り当てられたライセンスまたはサービスが完全に使用されていないサブスクリプションのことです。

  - Microsoft Teams、Microsoft SharePoint、その他の単一サービスなどの個別のサブスクリプション。
  - Microsoft 365 と Microsoft Office 365 を含むサブスクリプションスイート。

  ソフトウェア資産管理 使用率の低いサブスクリプションを再利用することをお勧めします。

- サブスクリプションをダウングレード

  Microsoft 365 または Microsoft Office 365 サブスクリプションをダウングレードするということは、上位レベルのプランから下位レベルのプランに切り替えることを意味します。このアプローチでは、通常、より多くの機能とサービスを含むプランから、多くの場合、コストを削減しな

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

がら、機能とサービスが少ないプランに移行します。次の表に、ダウングレードの推奨事項が表示されるダウングレードサブスクリプションと条件を示します。

サブスクリプションをダウングレードする条件

条件	サブスクリプションをダウングレード
Power BI を使用していない	○ Microsoft 365 Enterprise E5 から Microsoft 365 Enterprise E3 ○ Microsoft 365 G5 USGOV GCCHIGH から Microsoft 365 E3 USGOV GCCHIGH ○ Microsoft 365G5 for Government が G3 GCC Microsoft 365 ○ Microsoft 365 学生向けのA5 Microsoft 365 学生向けのA3 ○ Microsoft 365A5 for Faculty から A3 for Faculty Microsoft 365
デスクトップを使用しない	○ Microsoft 365 E3 から Microsoft 365 F3 ○ Microsoft Office 365G3 GCC、政府向け G1Microsoft Office 365 ○ Microsoft 365 Enterprise E3 から Microsoft 365 Enterprise E1 ○ Microsoft 365 学生向けのA3 Microsoft 365 学生向けのA1 ○ Microsoft 365 A3 for Faculty Microsoft 365 から A1 for Faculty へ
ユーザーは共有メールボックスです	○ Microsoft 365 Enterprise E3 から Microsoft Exchange Online プラン 2 ○ Microsoft 365 Enterprise E5 から Microsoft Exchange Online プラン 2 ○ Microsoft Office 365 Enterprise E3 から Microsoft Exchange Online プラン 2 ○ Microsoft Office 365 Enterprise E5 から Microsoft Exchange Online プラン 2 **注:** ユーザーが共有メールボックスである場合は、[検出されたユーザー] フォームの [非個人アカウント] フィールドで、ユーザーのタイプを [共有メールボックス] として選択できます。

さらに、サブスクリプションのダウングレード構成 [saas_downgrade_configuration] テーブルのソースエディションとターゲットエディションの詳細を含む、Microsoft 365 および Office 365 のダウングレード候補を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> E3 から E1 への最適化のための Microsoft SCCM や ACC-V などの追加のディスカバリーソリューションから、Microsoft Access と Publisher の使用状況を特定することもできます。この場合、E3 から E1 へのダウングレード候補の生成頻度は、週次ではなく月次になります。

- 統合されるサブスクリプション

  Microsoft 365統合サブスクリプションの統合とは、複数の個別のサブスクリプションを 1 つの統合サブスクリプションに結合することを意味します。このアプローチにより、すべてのライセンスとサービスが単一のアカウントの下に配置されるため、コストを節約し、使用状況を追跡しやすくなり、ライセンスの割り当てを簡素化できます。たとえば、Office 365 Enterprise E5、Windows、EMS サブスクリプションが存在する場合、 ソフトウェア資産管理 は、これらの複数の製品を低コストでカバーするために、 Microsoft 365 Enterprise E5 などの単一のライセンスを使用することをお勧めします。

- 重複するサブスクリプション

  Microsoft 365統合サブスクリプションの重複は、ユーザーまたは組織が、同じまたは類似のサービスを同時に提供する複数のアクティブなサブスクリプションを持っている場合に発生します。たとえば、 Microsoft 365 E3 サブスクリプションと Office 365 E3 サブスクリプションの両方が存在すると、Office アプリケーションや Microsoft 365 E3 に既に含まれる追加サービスへの不要な重複アクセスが発生します。 ソフトウェア資産管理 Office 365 E3 サブスクリプションを再利用し、代わりに Microsoft 365 E3 サブスクリプションを使用することをお勧めします。

さらに、 Microsoft 365 ポータルから自動的に入力されるサブスクリプションのアサイン日は、個々のサブスクリプションの再利用候補を生成するのに役立ちます。Now Platformのレコード作成日の代わりにサブスクリプションのアサイン日を使用すると、Microsoft 365ポータルでの実際の使用に基づいて正しい再利用候補を作成するのに役立ちます。

関連情報

Microsoft 365 との統合

のパブリッシャー最適化 Microsoft

Microsoft 365 統合のための再利用ルール

Microsoft 365 のスケジュール済みジョブ

Microsoft 365コンプライアンスと最適化の結果を評価する

Microsoft 365コンプライアンスと最適化の結果を評価して、実際のコスト削減と潜在的なコスト削減、および推奨されるライセンスの最適化を見つけます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

ソフトウェアコンプライアンスを評価するには、 Microsoft 365 の検出を完了する必要があります。ディスカバリー Microsoft と SCCM の併用の詳細については、「 ディスカバリーと SCCM の連携 」を参照してください。

ソフトウェアの最適化を評価するにはMicrosoft 365Microsoft認定 API と Microsoft SCCM の両方からプランを使用できる必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作.
2. 左側のペインで、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **[New** (新規)] を選択します。
4. コンプライアンスを検証するための正しい公開者の品番 (PPN) を選択して、 Microsoft 365 のエンタイトルメントを作成します。
   エンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

   注:
   ライセンスのメトリクス値が [ユーザーサブスクリプション] であることを確認します。

5. 次のように移動する。 ライセンス使用状況 左ペインにあります。
6. [調整] タブを選択します。
7. [調整の実行] を選択します。
8. コンプライアンス分析の結果を ソフトウェア資産管理クラシック版の Office 365 および Adobe クラウドダッシュボード および SaaS 概要 ワークスペースのダッシュボードで表示します。
   ソフトウェア調整の実行の詳細については、「 ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する 」および「」を参照してください 実行 ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン クラシック版のソフトウェア調整 .
9. ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボードのMicrosoft 365サブスクリプションに最適化されたすべてのプランを表示します。

Microsoft Office 365 Government プランの REST および OAuth エンドポイントの更新

サブスクリプションを使用できるようにServiceNowサブスクリプションプロファイルで REST メッセージおよび OAuth アプリケーションのエンドポイントを変更します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
この Now Platform は、 Microsoft Office 365 政府機関向けプランをサポートしており、セグメント化された政府機関向けクラウドコミュニティで Microsoft 365 サービスのすべての機能を提供し、組織が米国のコンプライアンスおよびセキュリティ標準を満たすことを可能にします。

Microsoft Office 365 Government プランの詳細については、「Office 365 Government 」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.
2. 更新する Microsoft 365 統合プロファイルを選択します。
3. 統合プロファイルレコードで、[**REST** メッセージ] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン ([を選択します。
4. レコードプレビューで、[レコードを開く] を選択します。
   REST メッセージレコードが開きます。
5. Microsoft 365 統合プロファイルの REST メッセージエンドポイントを更新します。

   REST メッセージエンドポイントを使用すると、 Microsoft 365 アプリケーションやサービスから使用状況データを取得できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [**HTTP** メソッド] 関連リストで、必要に応じて REST メッセージエンドポイントを更新します。

Microsoft は、 Microsoft Office 365 Government プランにさまざまなエンドポイントを提供します。使用可能なエンドポイントの詳細については、「 Office 365 U.S. Government GCC High エンドポイント」を参照してください 。

> **重要:**
> 各エンドポイントの URL の .com を .us に変更する必要があります。たとえば、 https://graph.microsoft.com/v1.0/reports を https://graph.microsoft.us/v1.0/reports に変更する必要があります。

b. [**Save** (保存)] をクリックする。

c. **GET PowerBI** 使用状況エンドポイントの OAuth エンティティスコープを更新します。
OAuth エンティティスコープは、保護されたリソースに対してユーザーが持つアクセスのレベルを指定します。

i. **[PowerBI** 使用状況の取得] エンドポイントを選択します。

HTTP メソッドレコードが開きます。

ii. HTTP メソッドレコードの [認証] セクションで、[**OAuth** プロファイル] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン ([ⓘ]を選択します。

iii. レコードプレビューで、[レコードを開く] を選択します。

OAuth エンティティプロファイルレコードが開きます。

iv. OAuth エンティティ プロファイル スコープの一覧で、**PowerBIPermissions** OAuth エンティティ スコープの **OAuth** スコープ フィールドを、Microsoft Power BI に使用しているバックエンド API URL で更新します。

> **注:**
> Microsoft は、Power BI のさまざまなバックエンド API URL をサポートしています。使用可能な URL の詳細については、「 Power BI for US Government 」を参照してください。

v. [**Update** (更新)] を選択します。

OAuth エンティティプロファイルレコードが閉じ、自動的に REST メッセージレコードに戻ります。

6. Microsoft 365 統合プロファイルで OAuth アプリケーションエンドポイントを更新します。
OAuth アプリケーションエンドポイントを使用すると、 ServiceNow インスタンスが Microsoft 365 サブスクリプションデータにアクセスできるようになります。

a. REST メッセージレコードの [認証] セクションで、[**OAuth** プロファイル] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン ([ⓘ]を選択します。

b. レコードプレビューで、[レコードを開く] を選択します。
OAuth エンティティプロファイルレコードが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [OAuth エンティティプロファイルスコープ] リストで、権限 OAuth エンティティスコープの **[OAuth** スコープ] フィールドにリストされている URL の .com を .us に変更します。

d. **[OAuth** プロバイダー] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン (ⓘ)を選択します。

e. レコードプレビューで、[レコードを開く] を選択します。
アプリケーションレジストリレコードが開きます。

f. [トークン **URL**] フィールドの横にある [URL の編集] アイコン (🔒 を選択します。

g. URL で、 .com を .us に変更します。
たとえば、 https://login.microsoftonline.com を https://login.microsoftonline.us に変更します。

h. [URL のロック] アイコン (🔓)

i. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
この統合の接続と認証情報の詳細を再検証します。詳細については、「Microsoft 365 統合プロファイルの作成」を参照してください。

Microsoft 365 のスケジュール済みジョブ

Microsoft 365 統合プロファイルは、スケジュールに従って Microsoft 365 アドミンセンターからサブスクリプションと使用状況の情報を自動的に取得するように設定されます。必要に応じて、次のスケジュール済みジョブを手動で実行してこの情報を取得することもできます。各ジョブは、次のジョブを開始する前に完了する必要があります。

シーケンス	スケジュール済みジョブ	実行頻度	説明
1	SAM:M365 ユーザーサブスクリプションのインポート	週次	各 Microsoft 365 製品のユーザーサブスクリプションデータをソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルにインポートします。
2	SAM:Microsoft 365 の使用状況を収集	日次	ソフトウェア使用 [samp_sw_usage] テーブル内の各 Microsoft 365 製品の使用状況データを収集します。
3	SAM - Office 365 統合の新しい再利用候補を作成	週次	Microsoft 365 および Office 365 の削除候補を生成します。
4	SAM - Microsoft 365 日次ジョブ	日次	サブスクリプションテーブルと 再利用候

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シーケンス	スケジュール済みジョブ	実行頻度	説明
			補 テーブルで利用可能なデータに基づいてチャートを入力します。

関連情報

Microsoft 365 との統合

SA およびアドオンエンタイトルメントからの Microsoft 365 の作成

エンタイトルメントを作成して、 Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品とサービスの [SA から] および [アドオン] のライセンス条件を追跡および管理できます。

Microsoft 365 From SA とアドオン USL の詳細については、「サポートされている Microsoft 365 ライセンスタイプ」を参照してください。

クラシック版の SA およびアドオンエンタイトルメントからの Microsoft 365 の作成 (Create a and Add-on entitlements in ソフトウェア資産管理 classic)

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションで SA からMicrosoft 365またはアドオンエンタイトルメントを作成して、Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品とサービスの SA からまたはアドオンのライセンス期間を追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   重要:
   Microsoft 365 SA またはアドオンエンタイトルメントを作成するには、[ソフトウェアモデル] フィールドをMicrosoft 365ソフトウェアモデルに設定し、[ライセンスタイプ] フィールドを **[SA** から] または [アドオン] に設定します。

   ヒント:
   同じ Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスに対してフル USL とアドオン USL の両方を使用している場合は、対応するエンタイトルメントを異なるソフトウェアモデルに関連付けて、ライセンスの競合を回避します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. フォームが再ロードされたら、[公開] を選択します。
   エンタイトルメントのステータスが [ビルド] から [使用中] に変わり、エンタイトルメントを調整プロセスで使用する準備が整います。
6. [SA から] または [アドオン] エンタイトルメントを、移行元またはアドオン先の対応する Microsoft ソフトウェア製品またはサービスのエンタイトルメントに割り当てます。

   注:
   [SA から] または「アドオン」エンタイトルメントを、対応する複数の Microsoft エンタイトルメントに割り当てることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
デフォルトでは、SA からまたはアドオンエンタイトルメントのソフトウェアモデルには、対応する Microsoft ソフトウェア製品またはサービスがスイートコンポーネントとして含まれています。製品またはサービスがスイートコンポーネントとしてまだ含まれていない場合は、手動で追加できます。詳細な手順については、「クラシック ソフトウェア資産管理 でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

a. [関連するエンタイトルメント] タブを選択します。

b. [関連エンタイトルメント] リストの [関連エンタイトルメント] 列で、[新規行を挿入] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、[SA から] または [アドオン] エンタイトルメントをアサインする対応する Microsoft エンタイトルメントを検索して選択します。

重要:
このエンタイトルメントでは、ユーザーごとまたはデバイスごとのライセンスメトリクスを使用する必要があります。また、別のエンタイトルメントをすでにアサインしたり、アクティブな割り当てを行ったりすることはできません。

注:
対応する Microsoft エンタイトルメントが、指定された [SA から] またはアドオンエンタイトルメントで利用できない場合は、作成できます。

d. [保存] (Enter) アイコン (

e. [関連するエンタイトルメント] リストの [アクティブな権限] 列の対応するフィールドをダブルクリックします。

f. プロンプトが表示されたら、対応する Microsoft エンタイトルメントに付与する From SA またはアドオンの権限の数を入力します。

重要:

- [SA から] 権限の場合は、対応する Microsoft エンタイトルメントに対して購入した権限の合計数を入力する必要があります。たとえば、対応する Microsoft エンタイトルメントに対して 100 個の権限を購入した場合、そのエンタイトルメントに 100 個の From SA 権限を付与する必要があります。
- アドオン権限の場合は、特定のアドオンエンタイトルメントに対して購入した権限の合計数以下の任意の数の権利を入力できます。

g. [保存] (Enter) アイコン (

h. [Software Entitlement] フォームヘッダーで [**Save**] を選択します。

[SA から] または「アドオン」エンタイトルメントが、指定された Microsoft エンタイトルメントにアサインされます。

関連情報

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での **SA** およびアドオンエンタイトルメントからの **Microsoft 365** の作成 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース で SA からMicrosoft 365またはアドオンエンタイトルメントを作成して、Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品とサービスの SA からまたはアドオンのライセンス条件を追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. ソフトウェアエンタイトルメントを作成します。
   - [ソフトウェア資産の概要] から、[エンタイトルメントの作成] を選択します。
   - [ライセンス操作] ビューから、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、[エンタイトルメントの作成] を選択します。
3. [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスで、[標準フォームに詳細を入力する] オプションを選択し、[次へ] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、[新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] フォームに自動的にリダイレクトされます。
4. フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   重要:
   Microsoft 365 SA またはアドオンエンタイトルメントを作成するには、[ソフトウェアモデル] フィールドをMicrosoft 365ソフトウェアモデルに設定し、[ライセンスタイプ] フィールドを **[SA** から] または [アドオン] に設定します。

   ヒント:
   同じ Microsoft 365 サブスクリプションソフトウェア製品またはサービスに対してフル USL とアドオン USL の両方を使用している場合は、対応するエンタイトルメントを異なるソフトウェアモデルに関連付けて、ライセンスの競合を回避します。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   フォームが閉じ、新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードに自動的にリダイレクトされます。
6. ソフトウェアエンタイトルメントレコードで、[公開] を選択します。
   エンタイトルメントのステータスが [ビルド] から [使用中] に変わり、エンタイトルメントを調整プロセスで使用する準備が整います。
7. [SA から] または [アドオン] エンタイトルメントを、移行元またはアドオン先の対応する Microsoft ソフトウェア製品またはサービスのエンタイトルメントに割り当てます。

   注:
   [SA から] または「アドオン」エンタイトルメントを、対応する複数の Microsoft エンタイトルメントに割り当てることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
デフォルトでは、SA からまたはアドオンエンタイトルメントのソフトウェアモデルには、対応する Microsoft ソフトウェア製品またはサービスがスイートコンポーネントとして含まれています。製品またはサービスがスイートコンポーネントとしてまだ含まれていない場合は、手動で追加できます。詳細な手順については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

a. ソフトウェアエンタイトルメントレコードの [関連するエンタイトルメント] タブで、[新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

新しい関連エンタイトルメントを作成

フィールド	説明
ドメイン	対応する Microsoft エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。
ソフトウェアエンタイトルメント	対応する Microsoft エンタイトルメントに割り当てる SA またはアドオンエンタイトルメントから。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	[SA から] または「アドオン」エンタイトルメントをアサインする対応する Microsoft エンタイトルメント。 **重要:** このエンタイトルメントでは、ユーザーごとまたはデバイスごとのライセンスメトリクスを使用する必要があります。また、別のエンタイトルメントをすでにアサインしたり、アクティブな割り当てを行ったりすることはできません。 **注:** 対応する Microsoft エンタイトルメントが、指定された [SA から] またはアドオンエンタイトルメントで利用できない場合は、作成できます。詳細な手順については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
アクティブな権限	対応する Microsoft エンタイトルメントに付与する From SA またはアドオン権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ▪ [SA から] 権限の場合は、対応する Microsoft エンタイトルメントに対して購入した権限の合計数を入力する必要があります。たとえば、対応する Microsoft エンタイトルメントに対して 100 個の権限を購入した場合、そのエンタイトルメントに 100 個の From SA 権限を付与する必要があります。 ▪ アドオン権限の場合は、特定のアドオンエンタイトルメントに対して購入した権限の合計数以下の任意の数の権利を入力できます。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

[SA から] または「アドオン」エンタイトルメントが、指定された Microsoft エンタイトルメントにアサインされます。

関連情報

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

Microsoft オンラインサービスの準備エンタイトルメントの作成

Microsoft オンラインサービス用の予備エンタイトルメントを作成して、既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できます。新しいライセンスの料金は、調整プロセス中に支払うことができます。

ライセンス予約の概要

ライセンス予約を使用すると、発注書 (PO) を必要とせずにオンプレミスの資産をクラウドに移行するためのライセンス予約注文を行うことができます。Microsoftオンラインサービスのみがライセンス予約オーダーの対象となります。

注:
予備エンタイトルメントは、既存の Microsoft エンタイトルメントからのみ作成できます。既存のエンタイトルメントは、次の基準を満たしている必要があります。

- ライセンスタイプ はサブスクリプションです。
- 評価指標グループはMicrosoftです。
- ライセンスメトリクスは ユーザーサブスクリプションです。
- 公開者は 、ソフトウェアモデルの製品の Microsoft です。
- ソフトウェアモデルの製品に対してサブスクリプションソフトウェアが選択されている。

ソフトウェア資産管理クラシック版で **Microsoft** オンラインサービスの準備エンタイトルメントを作成する

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのすべてのMicrosoftオンラインサービスに対して予備のエンタイトルメントを作成して、既存のMicrosoft 365サブスクリプションにライセンスを追加できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、 Microsoft Office 365 エンタイトルメントを選択します。
2. [予備エンタイトルメントを作成] 関連リンクを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。
終了日	ソースエンタイトルメントの終了日の最も早い応当日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存のエンタイトルメントのソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用される既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントが、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっています。

次のタスク
調整を実行して、調整コスト計算に新しい引当金エンタイトルメントを含めます。次のように移動する。 ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud** をクリックして、Office 365 および Adobe Cloud ダッシュボードを表示します。予備エンタイトルメントのコストは調整コストに含まれ、現在のサブスクリプション支出には含まれません。

予備エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンスのスケジュール済みジョブによって、それを置き換える新しいエンタイトルメントが作成されます。

注:
新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されません。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	**Value** (値)
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントかどうかを示すオプション。このオプションは選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいエンタイトルメントレコード (続く)

フィールド	**Value** (値)
購入済みの権限	予備エンタイトルメントと同じ数の購入した権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。
利用可能な割り当て	予備エンタイトルメントと同じ数の割り当てが可能です。
ステータス	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されています。

予備エンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Office 365 および Adobe Cloud ダッシュボードでは、廃止された予備エンタイトルメントのコストが調整コストから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション支出に含まれています。

で **Microsoft** オンラインサービスの準備エンタイトルメントを作成する ソフトウェア資産ワークスペース

既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できるように、ソフトウェア資産ワークスペース内の Microsoft オンラインサービスに対する予備エンタイトルメントを作成します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースで Microsoft オンラインサービスの準備エンタイトルメントを作成するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、「 ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
4. 利用可能なソフトウェアエンタイトルメントのリストから、 Microsoft Office 365 エンタイトルメントを選択します。
   ソフトウェアエンタイトルメントの詳細ページが新しいタブで開きます。
5. [予備エンタイトルメントを作成] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

予備エンタイトルメントレコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
終了日	ソースエンタイトルメントの終了日の最も早い応当日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存のエンタイトルメントのソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用される既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

7. [**Submit** (送信)] を選択します。
8. 要求が正常に送信されたら、[閉じる] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントが、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっています。

次のタスク

調整を実行して、調整コスト計算に新しい引当金エンタイトルメントを含めます。Microsoft Publisher の概要で調整結果を表示します。予備エンタイトルメントのコストは、 調整コスト レポートに含まれています。

予備エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンスのスケジュール済みジョブによって、それを置き換える新しいエンタイトルメントが作成されます。

注:
新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されません。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	**Value** (値)
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントかどうかを示すオプション。このオプションが選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。
購入済みの権限	予備エンタイトルメントと同じ数の購入した権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。
利用可能な割り当て	予約エンタイトルメントと同じ数の割り当てが利用可能であること。
ステータス	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予備エンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Microsoftパブリッシャーの概要では、廃止された予備エンタイトルメントのコストが調整コストレポートから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション支出に含まれています。

の自動ライセンス削除 **Microsoft 365**

ソフトウェア資産管理 は Microsoft 365 使用率が低い候補と重複する候補を特定し、 Microsoft 365 管理センターからライセンスを自動的に削除することで、サブスクリプションの使用を最適化します。このプロアクティブな管理により、コストを合理化し、使用率の低いライセンスや重複するライセンスの効率を高めることができます。

適格な候補

再利用候補が生成された後、次の使用率の低い候補と重複する候補が自動削除の対象と見なされます。

- Microsoft Teams、Microsoft SharePoint、その他の単一サービスなどの個別のサブスクリプションを使用する使用率の低い候補。
- Microsoft 365 や Microsoft Office 365 を含むサブスクリプションスイートを使用した使用率の低い候補。

  注:
  ただし、これらのスイート内のさまざまな製品の使用状況が異なるため、ユーザーに通知され、最終的な削除には SAM マネージャーの承認が必要です。再利用ルールでは、[ユーザーに通知] チェックボックスがデフォルトでオンになっています。ただし、チェックボックスをオフにして承認プロセスをスキップできます。

- 任意のサブスクリプションタイプと候補が重複しています。

前提条件

Microsoft 365 管理センターからライセンスの自動削除を開始する前に、次の前提条件が満たされていることを確認します。

- 次のスポークが設定され、プラグインがインストールされます。
  - Microsoft Entra ID スポーク
  - ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp)
  - ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int)
- Microsoft Entra ID には、ユーザーとグループの情報にアクセスして管理するための次の権限が設定されています。
  - **User.Read.All**
  - **GroupMember.ReadWrite.All**
  - **LicenseAssignment.ReadWrite.All**

シナリオ

ソフトウェア資産管理は、次のシナリオで Microsoft 365 アドミンセンターからMicrosoft 365ライセンスを削除します。

- ライセンスがユーザーに直接割り当てられると、ライセンスは削除されます。
- ライセンスがユーザーに直接割り当てられ、また 1 つ以上のグループを介して割り当てられている場合、ユーザーはグループから削除され、ユーザーに割り当てられた直接ライセンスは削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> グループを通じて複数のライセンスがユーザーに割り当てられても、ユーザーはグループから削除されません。複数のライセンスを持つグループ内のユーザーが使用率が低いと表示され、その後削除された場合、他の重要なライセンスにアクセスできなくなる可能性があります。この問題を解決するには、 Microsoft 365 アドミンに連絡する必要があります。詳細については、 Microsoft Entra ID の「グループのライセンス割り当ての問題を特定して解決 する」を参照してください。

- ライセンスがユーザーに直接割り当てられ、また同じライセンスが 1 つのみを持つ複数のグループを通じて割り当てられている場合、ユーザーはすべてのグループから削除され、ユーザーに割り当てられた直接ライセンスは削除されます。

> **注:**
> 異なるグループから複数のライセンスがユーザーに割り当てられている場合、ユーザーはどのグループからも削除されません。

- ソフトウェア資産管理 が Microsoft 365 アドミンセンターからMicrosoft 365ライセンスを正常に削除すると、再利用ワークフローは自動的に閉じられます。

関連情報

Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価

ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード

Microsoft コンテナー展開での **SQL Server** ライセンス

Microsoft の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack は、Docker コンテナーを使用してオンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開される Microsoft SQL Server 製品のライセンスルールをサポートしています。

コンテナーは、特定のアプリケーションの展開と実行に必要なすべてのコードと依存関係をバンドルした実行可能なソフトウェアパッケージです。コンテナーを使用すると、アプリケーションを再構成することなく、デスクトップ コンピューターやクラウドなどのあらゆるコンピューティング環境で同じアプリケーションを均一にデプロイして実行できます。また、各コンテナーはオペレーティング システム (OS) を仮想化するため、同じコンピューティング環境内に複数の分離されたアプリケーションを迅速かつ簡単にデプロイできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションと連携して、オンプレミス環境とクラウド環境の両方で次の情報を識別します。

- Microsoft SQL Server 製品が展開される Docker コンテナー。
- 各コンテナーの実行を可能にする、対応する Kubernetes クラスター。
- コンテナーが実行されている基になる物理サーバーの OS。
- 各コンテナーを介して展開される SQL Server のバージョンとエディション Microsoft 。
- 各コンテナーにアサインされた仮想プロセッサーコアの数。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、結果のデータを使用して、検出された各コンテナーに対応するソフトウェアインストールレコードを作成します。その後、これらのコンテナー ベースのソフトウェア インストールを調整して、各コンテナーを介してデプロイされる Microsoft SQL Server 製品のライセンス コンプライアンスを追跡および最適化できます。

Dockerコンテナーを介して展開されている Microsoft SQL Server 製品の可視化を高めるには、コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポートを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Dockerディスカバリーの詳細については、「Docker の仮想化」を参照してください。Kubernetesディスカバリーの詳細については、「Kubernetes ディスカバリー」を参照してください。

サポートされているライセンスモデル

Microsoft Publisher Pack は、コンテナーを介して展開される Microsoft SQL Server 製品の次のライセンス モデルをサポートしています。

注:
各ライセンスモデルの詳細については、「 サポートされている Microsoft ライセンスタイプ」を参照してください。

コンテナー展開でサポートされている **Microsoft SQL Server** ライセンスモデル

ライセンスモデル	説明
コアあたり	各コンテナにスタンドアロンデバイスとしてライセンスを付与する必要があります。ライセンスは、各コンテナで検出される仮想 CPU (vCPU) の数に基づいており、コンテナごとにコアごとに最低 4 ライセンスがあります。
サーバー/CAL	サーバー (インスタンスごとまたはサーバーごと) ライセンスを使用して、各コンテナーにライセンスを付与する必要があります。また、これらのコンテナーを実行している基になる物理サーバーにアクセスしている各ユーザーまたはデバイスに、ユーザーまたはデバイスの CAL ライセンスを使用してライセンスを付与する必要があります。 サーバー ライセンスを使用すると、物理サーバーにコンテナー ベースのソフトウェア インストールにライセンスを付与できます。物理サーバーに特定の数のインストールのみにライセンスを付与するには、サーバー (インスタンスごと) ライセンスを使用します。物理サーバー上のすべてのインストールにライセンスを付与するには、サーバー (サーバーごと) ライセンスを使用します。 CAL ライセンスは、コンテナーが実行されている基になる物理サーバーへのアクセスを一定数のユーザーまたはデバイスに許可するクライアント アクセス ライセンスです。 • ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、一定数のユーザーに物理サーバーへのアクセスを許可するには、ユーザー CAL ライセンスを使用します。 • 一定数のデバイスに物理サーバーへのアクセスを許可するには、それらのデバイスを介してサーバーにアクセスしているユーザーの数に関係なく、デバイス CAL ライセンスを使用します。

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

コンテナーに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポートを使用すると、 Docker コンテナーを使用してオンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開されているソフトウェア製品を可視化できます。

注:
このレポートを表示するには、 ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) を有効にし、 ディスカバリーとサービスマッピングパターン 利用できません

[コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品] レポートは、 ソフトウェア資産ワークスペースでのみ使用できます。このレポートを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > ソフト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.ソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品.

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

フィールド	説明
コンテナ名	Docker ソフトウェア製品を展開するコンテナ。
環境	Dockerコンテナーを介してソフトウェア製品を展開するオンプレミス環境またはクラウド環境。
コンテナ ID	Dockerコンテナーの一意の識別子。
サーバー上でホスト	Dockerコンテナーが実行されている物理サーバー。
Kubernetes クラスター	KubernetesDockerコンテナの実行を可能にするクラスター。
仮想 CPU	Dockerコンテナにアサインされている仮想 CPU (vCPU) の数。
インストールされているソフトウェア	Dockerコンテナーを介して展開するソフトウェア製品。

のライセンスを管理 **Microsoft Visual Studio**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft を使用して、Visual Studio サブスクリプションを管理します。ライセンスコンプライアンスを検証し、ライセンスなしのインストールを検出します。割り当てられているが使用されていないサブスクリプションを特定することで、ライセンスコストを削減します。

始める前に

ネットワーク上のMicrosoftソフトウェアインストールを検索するようにServiceNow ディスカバリー を設定します。ディスカバリーを使用すると、購入したライセンスと実際のインストールを比較して、ライセンスコンプライアンス情報を表示できます。

開始する前に、 構成管理データベース (CMDB) で環境を設定する必要があります。開発、本番、またはテスト環境をセットアップすると、 ソフトウェア資産管理プロ ライセンスを正しく適用するのに役立ちます。構成アイテム (CI) の [環境] フィールドを使用する必要があります。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

Visual Studio サブスクリプションを使用すると、開発者は、個別の権利を購入することなく、任意の数のデバイスまたは仮想マシンでほとんどの Microsoft ソフトウェア製品をダウンロード、インストール、構成、および使用できます。ソフトウェアが開発環境またはテスト環境にのみ展開されている場合、個人の権限は必要ありません。Microsoft Publisher Pack を使用して、Visual Studioライセンスを管理し、コンプライアンスリスクを軽減します。

Visual Studio Standard サブスクリプションの利点にアクセスするには、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランスを維持する必要があります。これらの利点により、SQL Server、Windows Server などのさまざまな Microsoft 製品を開発およびテスト目的でのみ使用できます。

まず、 Visual Studio サブスクリプションを追跡するためのソフトウェアモデルとエンタイトルメントを設定します。次に、調整を実行し、ライセンスワークベンチを表示してライセンスコンプライアンスを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Visual Studioサブスクリプションのソフトウェアエンタイトルメントをインポートします。

   重要:
   エンタイトルメントインポートテンプレートの [公開者の品番] 列に入力して、Visual Studio および含まれているすべてのソフトウェア (スイートコンポーネント) のソフトウェアモデルを自動的に作成します。ソフトウェア製品定義テーブル [samp_sw_product_definition] でパブリッシャーの品番を検索できます。[パブリッシャーの品番] フィールドに入力する場合、[パブリッシャー]、[製品]、[バージョン]、[エディション]、[プラットフォーム]、および [言語] は、パブリッシャーの品番によって提供されるため、必要ありません。

   インポートが完了すると、 Visual Studio サブスクリプションのソフトウェアモデルとエンタイトルメントが自動的に作成されます。Visual Studioソフトウェアモデルには、スイートコンポーネントとダウングレード権限が自動的に設定されます。

   ソフトウェアエンタイトルメントを手動で作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

   重要:
   ソフトウェアモデルは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。

2. ダウングレードやエディションを含むすべてのソフトウェアモデルに適用される製品インストール条件を Visual Studio ソフトウェアモデルに追加します。
   インストール条件は、ソフトウェアをインストールできる場所を定義します。Visual Studio、開発環境またはテスト環境以外の場所にソフトウェアをインストールすることは、Microsoftライセンス契約に違反します。インストール条件は調整中に使用されます。調整を実行すると、本番環境、災害復旧、またはその他の環境にインストールされている Microsoft ソフトウェアは、Visual Studio ライセンスの対象になりません。これらの製品は、別の Microsoft ライセンスの対象でない限り、ライセンスなしのインストールと見なされます。

   製品のインストール条件の追加の詳細については、「 製品のインストール条件の作成」を参照してください。

   [製品のインストール条件] フィールドにフィルター条件を追加して、インストールを開発環境またはテスト環境に制限できます。たとえば、「 インストール先」に「dev」が含まれる 、または「インストール先にテストを含む」という条件を使用できます。

3. Visual Studioエンタイトルメントにユーザー割り当てを追加します。
   インポートセットと変換マップを使用して、ユーザー割り当てをインポートできます。ユーザー割り当て [alm_entitlement_user] テーブルにインポートします。変換マップで、[アサイン先] フィールドをユーザーテーブル [sys_user] にマッピングします。エンタイトルメントレコードの [資産タグ] フィールドを使用して、割り当てを正しいエンタイトルメントにリンクします。結合した値の場合は、エンタイトルメントとユーザーの 2 つの属性の結合を使用します。

   詳細については、「 インポートセット 」を参照してください。

   さらに、 Visual Studio ソフトウェアモデルの推定率を変更できます。推定率は、スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。ほとんどの場合、0%になります。また、 Visual Studio コミュニティエディションが無料であることを確認します。エディションレベルで推定率と製品のライセンス性を追加する方法の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
調整を実行して、 Visual Studio ライセンスコンプライアンスを表示します。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録されている購入済みの Visual Studio 権限と、 ディスカバリーによって検出された実際のインストールが比較されます。簡易ワークベンチビューで調整結果を表示するには、次に移動します: ソフトウェア資産 > 照合 > ライセンスワークベンチ. 詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

のコストベースのライセンス最適化 **Microsoft**

Microsoftのコストベースのライセンス最適化は、ハイブリッドインフラストラクチャ全体でMicrosoftソフトウェア製品にライセンスを付与する最適な方法を決定するのに役立ちます。この最適化により、ライセンスコンプライアンスと費用対効果のバランスを自動的に取り、コストを最大限に節約できます。

注:
このライセンスの最適化は、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインに自動的に含まれるため、 Microsoft ソフトウェア権限の割り当てを手動で最適化および管理する必要はありません。ただし、推奨されるライセンスの最適化が組織のライセンス戦略に従っていない場合は、割り当てを手動で管理することを選択できます。手動割り当て管理の詳細については、「 ServiecNow SAM Pro の割り当て管理 」を参照してください。

このライセンス最適化は、次の Microsoft ライセンスタイプでサポートされています。

- Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアごとのライセンス
- Microsoft Windows Server、Microsoft Core Infrastructure Server、および Microsoft System Center のコア単位 (CAL 付き) ライセンス

コアあたりおよびコアあたり (CAL あり) のライセンスの詳細については、 サポートされている Microsoft ライセンスタイプ を参照してください。

ライセンス最適化のメリット

このライセンスの最適化には、次のメリットがあります。

- 現在のソフトウェアエンタイトルメントとインフラストラクチャのセットアップによって既に達成したコスト削減を判断するのに役立ちます。
- 推奨されるライセンスの最適化に従うことで、さらにコストを削減できるかどうかを判断するのに役立ちます。
- 推奨される各ライセンスの最適化についてのインサイトを得て、その背後にある理由を理解し、それに従うか無視するかを判断できるようにします。

ライセンスの最適化について

次のテーブルとビューを使用して、推奨されるライセンスの最適化を表示してインサイトを得ることができます。

- 推奨ライセンスタイプや推奨ライセンス消費レイヤーなど、推奨される各ライセンス最適化の詳細を表示するには、 Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルを使用します。このテーブルの詳細については、 について、実現されたライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。 Microsoft を参照してください。
- 特定の Microsoft クラスターの推奨されるすべてのライセンス最適化を表示するには、SAM クラスター 360 度ビューを使用します。このビューの詳細については、 クラスターインフラストラクチャの理解 を参照してください。
- 推奨されるライセンスの最適化によって達成できる見込みコスト節減を表示するには、 ソフトウェア資産ワークスペースの [最適化と節減額] ダッシュボードの [ライセンスの最適化によるオンプレミスの節減見込み] レポートを使用します。ダッシュボードの詳細については、「 ワークス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ペースの最適化と節減額のダッシュボード 」を参照してください。レポートの詳細については、 のパブリッシャー最適化 Microsoft を参照してください。

- 現在のソフトウェアエンタイトルメントとインフラストラクチャのセットアップで既に達成した実際のコスト削減を表示するには、 ソフトウェア資産ワークスペースの最適化と節減額ダッシュボードでオンプレミス最適化の実現された節減額レポートを使用します。ダッシュボードの詳細については、「 ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード 」を参照してください。レポートの詳細については、 のパブリッシャー最適化 Microsoft を参照してください。

Microsoft コストベースのライセンス最適化の例

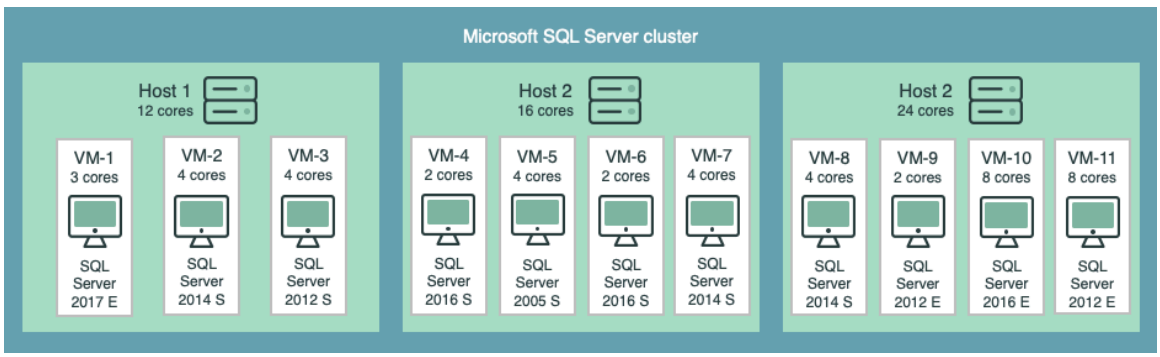
この例では、ソフトウェア資産マネージャーがクラスター展開で Microsoft SQL Server ライセンスを最適化する方法を示します。

この例では、ソフトウェア資産マネージャーが次の Microsoft SQL Server エンタイトルメントを管理しています。

Microsoft SQL Server エンタイトルメント

エンタイトルメント名	ライセンスタイプ	購入した権利の数	コア当たりのコスト
SQL Server エンタープライズライセンス	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き)	1800	$5,000
SQL Server 標準ライセンス	SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き)	600	1300ドル

次のインフラストラクチャは、3 台の物理ホストで構成される VMware クラスターです。各物理ホストには、さまざまなバージョンとエディションの SQL Server を実行している仮想マシン (VM) が含まれています Microsoft 。これらの VM は、クラスター内のすべての物理ホスト間を移動する可能性があります。



使用可能なエンタイトルメントとクラスターインフラストラクチャに基づいて、ソフトウェア資産マネージャーは次のいずれかのオプションを使用してクラスターにライセンスを付与できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスオプション

オプション番号	ライセンスタイプ	ライセンスレイヤー	各ホストまたは **VM** で必要な権限の数	必要な権限の合計数	合計概算コスト
1	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き)	物理ホスト層	• ホスト1:12 の権利 • ホスト2:16 権 • ホスト3:24 の権限	12 権限 (ホスト 1) + 16 権限 (ホスト 2) + 24 権限 (ホスト 3) = 合計 52 権限	52 の権利 X 5000 ドル = 260,000 ドル
2	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き)	仮想レイヤー	• VM-1:4 権限 • VM-2:4 権限 • VM-3:4 権限 • VM-4:4 つの権限 • VM-5:4 権限 • VM-6:4 つの権限 • VM-7:4 権限 • VM-8:4 権限 • VM-9:4 権限 • VM-10:8 権限 • VM-11:8 権限	4 権限 (VM-1) + 4 権限 (VM-2) + 4 権限 (VM-3) + 4 権限 (VM-4) + 4 権限 (VM-5) + 4 権限 (VM-6) + 4 権限 (VM-7) + 4 権限 (VM-8) + 4 権限 (VM-9) + 8 権限 (VM-10) + 8 権限 (VM-11) = 合計 52 権限	52 の権利 X 5000 ドル = 260,000 ドル
3	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き) と SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き) の両方	仮想レイヤー	• SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き):	• SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き): 4 権限 (VM-1) + 4 権限 (VM-9) + 8 権限 (VM-10) + 8 権限 (VM-11) = 合計 24 権限	(24 権利 X 5000 ドル) + (28 権利 X 1300 ドル) = 156,400 ドル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスオプション (続く)

オプション番号	ライセンスタイプ	ライセンスレイヤー	各ホストまたは **VM** で必要な権限の数	必要な権限の合計数	合計概算コスト
			○ VM-1:4 権限 ○ VM-9:4 権限 ○ VM-10:8 権限 ○ VM-11:8 権限 • SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き): ○ VM-2:4 権限 ○ VM-3:4 権限 ○ VM-4:4 つの権限 ○ VM-5:4 権限 ○ VM-6:4 つの権限 ○ VM-7:4 権限 ○ VM-8:4 権限	• SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き): 4 権限 (VM-2) + 4 権限 (VM-3) + 4 権限 (VM-4) + 4 権限 (VM-5) + 4 権限 (VM-6) + 4 権限 (VM-7) + 4 権限 (VM-8) = 合計 28 権限	

ソフトウェア資産マネージャーは、オプション番号 3 がクラスターにとって最もコスト効率の高いライセンス ソリューションであると判断します。このライセンスオプションを使用すると、ソフトウェア資産マネージャーは合計で約 103,600 ドルのコスト削減を実現できます。

について、実現されたライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。

Microsoft

Microsoftソフトウェア製品について、実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。各ライセンスの最適化を深く理解することで、Microsoft 展開全体でコストを最大限に削減できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
Microsoft の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、Microsoftのコストベースのライセンス最適化をサポートしています。これらのライセンスの最適化により、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Microsoft ソフトウェア製品に対して最もコスト効率の高いライセンスソリューションを決定できます。

Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルには、実現されたライセンス最適化と潜在的なライセンス最適化に関する詳細な情報が表示されます。この表が役に立ちます

- Microsoft展開全体に既に実装されているライセンスの最適化に関するインサイトを得る。
- さらに節約できる可能性がある推奨ライセンスの最適化に関するインサイトを得る
- Microsoftライセンス消費をよりよく理解し、
- ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用してMicrosoftライセンスを追跡および管理することで達成したコスト削減を判断します。
- 組織内の他のユーザーと共有できる最適化レポートをダウンロードします。

コストベースのライセンスの最適化の詳細については、「 のコストベースのライセンス最適化 Microsoft」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_ms_optimization_report_list.do」と入力します。
   [Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルが開きます。
3. Microsoftについて、実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースのライセンス最適化を表示します。

   Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルには、推奨ライセンスタイプ、推奨ライセンス消費レイヤー、見込まれるコスト削減と実現されたコスト削減など、実現されたライセンスの最適化と潜在的なライセンスの最適化に関する詳細情報が表示されます。このテーブルの各フィールドの詳細については、「 Microsoft コアライセンス最適化レポートのフィールド」を参照してください。

SQL Server データベースとコンポーネントのライセンス消費 Microsoft の最適化

ITOM ディスカバリー で特定されたコンポーネントのエディションに基づいて、Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントのライセンス使用量を最適化できます。

> **注:**
> ITOM ディスカバリー を通じて Microsoft SQL Server コンポーネントのエディションを特定するには、ServiceNow Store からバージョン 1.7.0 以降の ディスカバリーとサービスマッピングパターン アプリケーションを要求してインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントの両方が、関連する Microsoft SQL Server エディションに対してライセンスを消費します。Microsoft SQL Server コンポーネントの場合、ServiceNow コンテンツ サービス チームは、コンポーネントのエディションに基づいて、各コンポーネントを適切な Microsoft SQL Server エディションに自動的に関連付けられます。データベースとコンポーネントのライセンス使用量を最適化することで、Microsoft SQL Server とそのコンポーネント エディションのライセンスを最適化できます。

ITOM ディスカバリー は、展開全体で Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントを検索して識別します。Microsoft SQL Server コンポーネントを検索して識別するときに、各コンポーネントのエディションも識別します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、識別されたコンポーネントのエディションに基づいて、各コンポーネントのソフトウェアインストールレコードを作成します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Microsoft SQL Server データベースごとにソフトウェアインストールレコードも作成します。これらのソフトウェア インストール レコードを使用して、関連する Microsoft SQL Server のエディションと次の SQL Server ライセンス ルールの両方に基づいて、コンポーネントとデータベースを調整できます Microsoft 。

- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが同じデバイスに配置されている場合は、デバイスで使用するライセンスは 1 つだけです。
- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが異なるデバイスに展開されている場合は、デバイスごとに個別のライセンスを使用する必要があります。

SQL Server コンポーネントエディション Microsoft ディスカバリーの詳細については、「MSSQL サーバーのディスカバリー」を参照してください。

検出されたコンポーネントエディションに基づいて **SQL Server** コンポーネント **Microsoft** 調整する

検出されたコンポーネントのエディションに基づいて SQL Server コンポーネントを調整し Microsoft 適切な Microsoft SQL Server エディションに対してライセンスを最適に使用できます。

SQL Server Standard エディションや Enterprise エディションなど、さまざまな Microsoft SQL Server エディションMicrosoftソフトウェアモデルを作成すると、ServiceNow Content Service チームによって提供されるマッピングに基づいて、Microsoft SQL Server コンポーネントが適切なモデルに自動的に関連付けられます。Microsoft SQL Server ソフトウェアモデルとコンポーネント間のマッピングは、各コンポーネントのエディションに基づいています。コンテンツサービスチームは、検出されたデータを正規化するために使用できるソフトウェアコンテンツの一元化されたリポジトリであるソフトウェアライブラリ内の事前定義されたディスカバリーマップ (DMAP) を通じて、これらのマッピングを提供します。各 DMAP は、ソフトウェアモデルを、ソフトウェアモデルスイートの関係やソフトウェア製品ライフサイクルなどの関連するソフトウェアコンテンツに関連付けます。コンテンツサービスとソフトウェアライブラリの詳細については、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。

子コンポーネントはコンポーネント自体ではなく親ソフトウェアモデルに対してライセンスされるため、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは調整中にソフトウェアモデルスイートを考慮するため、ソフトウェアの権利を正確にカウントしてライセンスを最適化できます。調整はスケジュール済みジョブとして自動的に実行されます。ただし、スケジュール済みジョブ間でオンデマンドで調整を実行することもできます。ソフトウェアモデルスイートの詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用して手動で調整を実行する方法については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースを使用して手動で調整を実行する方法については、「ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoftライセンスステートメント **(MLS)** からの**Microsoft**エンタイトルメントのインポート

MLS からエンタイトルメントをインポートして、 Microsoft ソフトウェアモデルに一致するライセンスの詳細とライセンス契約を自動的に定義できます。

MLS は、各 Microsoft 製品のライセンス情報の包括的なインベントリを含むレポートです。このレポートでは、会社のライセンストランザクション履歴全体を詳細に確認できるため、 Microsoft ライセンスのニーズをより適切に予測できます。

各 MLS には、次の情報が含まれています。

- 組織の概要:MLS タイプと MLS に関連付けられている組織を含む、MLS のスコープ。
- ライセンスのサマリー:使用する資格があるライセンスのサマリー。
- トランザクションサマリー:各ライセンスの詳細なトランザクション情報。
- ライセンス契約:各ライセンスに関連付けられているライセンス契約。
- トランザクションデータ:各ライセンスの追加トランザクション情報。
- よく寄せられる質問と用語集:よくある質問への回答と、一般的な Microsoft 用語の定義。
- ピボットデータ: Microsoftのライセンスポジションを生成するために使用できるデータ。

MLS からライセンス情報をインポートすると、 ソフトウェア資産管理 MLS の [トランザクションデータ] タブのデータのみを使用して、エンタイトルメントとライセンス契約が自動的に作成されます。

クラシック版の **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** から**Microsoft**エンタイトルメントソフトウェア資産管理インポート

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用して、MLS からエンタイトルメントをインポートします。

始める前に

MLS からエンタイトルメントをインポートする前に、 Microsoft から MLS を要求する必要があります。 Microsoft は MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [エンタイトルメントのインポート] フォームで、フィールドに入力します。

[エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、 標準インポートドキュメント と **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** です。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[クリックして追加...] を選択して、Microsoft から要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
説明	ソフトウェアエンタイトルメントのインポートに関する簡単な説明。
契約の自動作成	選択した MLS の親と子の両方の契約の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
インポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。メッセージ内のリンクを選択すると、 ソフトウェア資産ワークスペースで [エンタイトルメントのインポート] リストを開くと、インポートのステータスとエンタイトルメントのインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

   a. エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルから、MLS エンタイトルメントのインポートを選択します。

   b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。
   - インポートステータスに関する追加情報を表示するには、次のフィールドを参照してください。

     インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel 行の数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel 行の数。
エラーのある行数	インポートされた Excel 行の数 (エラーあり)。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	ビルドステータスで、基本エンタイトルメントにリンクできる、インポートされた Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA)、ステップアップ、 SA からまたはアドオン エンタイトルメントの数。

   - インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] 関連リストを選択します。
   - ステップ 4 で契約の自動作成オプションを有効にした場合は、[契約] 関連リストを選択して、自動的に作成された契約のリストを表示します。

     注:
     これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビルドステータスで基本エンタイトルメントにリンクできる、インポートされた Microsoft SA、ステップアップ、 SA からアドオン エンタイトルメントのリストを表示するには、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

  Microsoft SA、ステップアップ、SA から、またはアドオンエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てる方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

7. エンタイトルメントインポートに Microsoft SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオンエンタイトルメントが含まれている場合は、それらのエンタイトルメントを基本エンタイトルメントにアサインします。

   注:
   [SA から] または [アドオン] エンタイトルメントを複数の基本エンタイトルメントに割り当てることができます。

   a. [エンタイトルメントのインポート] レコードで、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

   b. 利用可能な Microsoft SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオン エンタイトルメントのリストから、基本エンタイトルメントに割り当てるエンタイトルメントを選択します。

   c. 対応するソフトウェアエンタイトルメントフォームで、[公開] を選択します。

   d. フォームを再ロードしたら、[関連するエンタイトルメント] タブを選択します。

   e. [関連 エンタイトルメント] リストの [関連エンタイトルメント] 列で、[新規行を挿入] をダブルクリックします。

   f. プロンプトが表示されたら、 Microsoft SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオンエンタイトルメントをアサインする基本エンタイトルメントを検索して選択します。

      重要:
      SA からまたはアドオンのエンタイトルメントの基本エンタイトルメントでは、ユーザーごとまたはデバイスごとのライセンスメトリクスを使用する必要があります。また、別のエンタイトルメントで既にアサインされていることや、アクティブな割り当てがあることもできません。

      注:
      特定の Microsoft SA、ステップアップ、SA から またはアドオン エンタイトルメントに適切な基本エンタイトルメントがない場合は作成できます。

   g. [保存] (Enter) アイコン (

   h. [関連するエンタイトルメント] リストの [アクティブな権限] 列の対応するフィールドをダブルクリックします。

   i. プロンプトが表示されたら、基本エンタイトルメントに付与する Microsoft SA、ステップアップ、 SA から、またはアドオンの権限の数を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> [SA からの権限] には、基本エンタイトルメント用に購入した権限の合計数を入力する必要があります。たとえば、基本エンタイトルメントに対して 100 個の権限を購入した場合は、そのエンタイトルメントに 100 個の From SA 権限を付与する必要があります。アドオン権限の場合は、特定のアドオンエンタイトルメントに対して購入した権限の合計数以下の任意の数の権利を入力できます。

j. [保存] (Enter) アイコン (

k. [Software Entitlement] フォームヘッダーで [**Save**] を選択します。
Microsoft SA、ステップアップ、SA から]、または [アドオンエンタイトルメントが、指定された基本エンタイトルメントに割り当てられます。

l. エンタイトルメントのインポートレコードに戻り、解決するインポートごとに手順 a から k を繰り返します。

8. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

a. [エンタイトルメントのインポート] レコードで、[インポートエラーの確認] を選択します。
[エンタイトルメントのインポートエラー (Entitlement Import Errors)] リストが開きます。

b. [エラーの状態] フィールドで、解決するエラーの [レビューが必要] を選択します。

c. エラーを解決するには、必要に応じて対応する [エンタイトルメントのインポートエラー] フォームを更新します。
[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームフィールドの説明については、「 エンタイトルメントのインポートエラーフィールド」を参照してください。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「 エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

d. [インポート] を選択します。
関連付けられたエンタイトルメントがエラーなしで再インポートされ、[エンタイトルメントのインポート] フォームに自動的に戻ります。

e. 解決するエラーごとに手順 a-d を繰り返します。

の **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** から**Microsoft**エンタイトルメントをインポートします。ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースを使用して MLS からエンタイトルメントをインポートします。

始める前に

MLS からエンタイトルメントをインポートする前に、 Microsoft から MLS を要求する必要があります。 Microsoft は MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開き、ソフトウェア資産の概要が表示されます。

2. [ソフトウェア資産の概要] で、[エンタイトルメントの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスが開きます。

3. ダイアログ ボックスで、 **Excel** ファイルから複数の権利をインポートする を選択し、 次へ を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、新しいタブで [新しいエンタイトルメントのインポートの作成 (Create New Entitlement Import)] フォームが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいエンタイトルメントのインポートを作成 **(Create New Entitlement Import)]** フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	エンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	エンタイトルメントのインポート元のファイル。Microsoft から要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。
説明	エンタイトルメントのインポートの説明。このフィールドは、[ファイル] フィールドで選択したファイルに基づいて自動的に入力されます。
契約の自動作成	選択した MLS の親と子の両方の契約の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
インポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。メッセージ内のリンクを選択して [エンタイトルメントのインポート] リストを開くと、インポートのステータスとエンタイトルメントのインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

a. [エンタイトルメントのインポート] ビューから、MLS エンタイトルメントのインポートを選択します。
対応するエンタイトルメントインポートレコードが開きます。

b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。

- インポートステータスに関する追加情報を表示するには、[詳細] タブの次のフィールドを参照してください。

インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel 行の数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel 行の数。
エラーのある行数	インポートされた Excel 行の数 (エラーあり)。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	ビルドステータスで、基本エンタイトルメントにリンクできる、インポートされた Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA)、ステップアップ、 SA からまたはアドオン エンタイトルメントの数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	Microsoft SA、ステップアップ、SA から、またはアドオンエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てる方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

- インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] タブを選択します。
- ステップ 4 で契約の自動作成オプションを有効にした場合は、[契約] タブで自動的に作成された契約の完全なリストを表示します。

  注:
  これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

7. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

   a. エンタイトルメントのインポートレコードで、[インポートエラーを確認] を選択します。
   対応する [エンタイトルメントのインポートエラーを確認 (Review entitlement import errors)] ビューが開きます。

   b. インポートエラーを解決するには、次のいずれかまたは両方のオプションを使用します。
   - インポートされたエンタイトルメントに関連するエラーを解決します。
     i. [インポートエラー] タブを選択します。
     ii. [エラーの状態] フィールドで、解決するエラーの [レビューが必要] を選択します。

     対応するエンタイトルメントのインポートエラーレコードが新しいタブで開きます。

     iii. エラーを解決するために、必要に応じてレコードを更新します。

     エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの説明については、「エンタイトルメントのインポートエラーフィールド」を参照してください。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

     iv. [インポート] を選択します。

     関連付けられたエンタイトルメントはエラーなしで再インポートされます。

     v. レコードを閉じて、[エンタイトルメントのインポートエラーを確認 (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。

     vi. 解決するエラーごとに手順 i-v を繰り返します。

   - インポートされた Microsoft SA、ステップアップ、 SA から、またはアドオン エンタイトルメントがベースエンタイトルメントに割り当てられていないエラーを解決します。

     注:
     [SA から] または [アドオン] エンタイトルメントを複数の基本エンタイトルメントに割り当てることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. [エンタイトルメントを関連付け] タブを選択します。

ii. 利用可能な Microsoft SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオン エンタイトルメントのリストから、基本エンタイトルメントに割り当てるエンタイトルメントを選択します。

iii. ソフトウェアエンタイトルメントレコードで、[公開] を選択します。

iv. レコードがリロードされたら、[関連するエンタイトルメント] タブを選択し、[新規] を選択します。

v. フォームのフィールドに入力します。

新しい関連エンタイトルメントの作成フォーム

フィールド	説明
ドメイン	基本エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。
ソフトウェアエンタイトルメント	Microsoft 基本エンタイトルメントに割り当てる SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオン エンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	Microsoft SA、ステップアップ、SA から]、または [アドオン エンタイトルメントをアサインする基本エンタイトルメント。 **重要:** SA からまたはアドオンのエンタイトルメントの基本エンタイトルメントでは、ユーザーごとまたはデバイスごとのライセンスメトリクスを使用する必要があります。また、別のエンタイトルメントで既にアサインされていることや、アクティブな割り当てがあることもできません。 **注:** 特定の Microsoft SA、ステップアップ、 SA から]、または [アドオン エンタイトルメントに適切な基本エンタイトルメントがない場合は作成できます。
アクティブな権限	基本エンタイトルメントに付与する Microsoft SA、ステップアップ、 SA からアドオン の権限の数。 **重要:** [SA からの権限] には、基本エンタイトルメント用に購入した権限の合計数を入力する必要があります。たとえば、基本エンタイトルメントに対して 100 個の権限を購入した場合は、そのエンタイトルメントに 100 個の From SA 権限を付与する必要があります。アドオン権限の場合は、特定のアドオンエンタイトルメントに対して購入した権限の合計数以下の任意の数の権利を入力できます。

vi. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

vii. ソフトウェアエンタイトルメントレコードを閉じて、[エンタイトルメントのインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。

viii. 基本エンタイトルメントに割り当てる Microsoft SA、ステップアップ、 SA から 、またはアドオンエンタイトルメントごとに、手順 i ～ vii を繰り返します。

Windows および SQL Server インフラストラクチャレポート

Windows と SQL Server インフラストラクチャ レポートを使用すると、AWS や Microsoft Azure などのオンプレミスおよびパブリック クラウド環境全体で Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server を実行しているすべての物理ホストと仮想マシン (VM) のインフラストラクチャの詳細を可視化できます。

Windows と SQL Server インフラストラクチャ レポートは、ソフトウェア資産ワークスペース クラシック アプリケーションと ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションの両方で使用できます。

このレポートを ソフトウェア資産ワークスペースに表示するには、次に移動します: ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.ソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > **Windows** と **SQL Server** インフラストラクチャ.

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでこのレポートを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートの一覧から、 **Windows** と **SQL Server** のインフラストラクチャの詳細レポートを検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、[実行] を選択します。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャレポート

フィールド	説明
展開タイプ	物理ホストまたは VM が実行されている展開のタイプ。オプションは、[オンプレミス] と [クラウド] です。
クラウドプロバイダー	Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server が展開されているクラウドプロバイダー。オプションは、 **AWS** と **Microsoft Azure** です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
vCenter	VMware 仮想 VMware vSphere 環境で物理ホストまたは VM を管理するために使用している vCenter Server。 **注:** このフィールドは、 VMware 仮想化テクノロジーを使用している場合にのみ適用されます。
クラスター	物理ホストまたは VM が存在するクラスター。
ホスト	物理ホストの場合、このフィールドは Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server がインストールされているホストを識別します。 VM の場合、このフィールドは VM が実行されている物理ホストを識別します。
ホストプロセッサ数	物理ホストに割り当てられている CPU の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャレポート (続く)

フィールド	説明
ホストコア数	物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコアの数。
仮想化技術	物理ホストと VM の展開と管理に使用している仮想化テクノロジー。
仮想サーバー	Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server を実行している VM。 **注:** VM がオンプレミスクラスターに存在する場合、そのクラスター内の任意の物理ホストに移行できます。また、VM とホスト間の親和性ルールを使用して、VM を実行できる物理ホストを指定している場合、VM はそれらのルールで指定された任意の物理ホストに移行できます。これらのシナリオでは、移行先の物理ホストに基づいて、同じ VM が Windows および SQL Server インフラストラクチャ レポートに複数回表示される可能性があります。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
Windows サーバーのインストール	Microsoft Windows 物理ホストまたは VM にインストールされているサーバーのバージョン。 同じホストまたは VM に複数の Microsoft Windows Server バージョンがインストールされている場合、このフィールドには、インストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
SQL Server のインストール	Microsoft 物理ホストまたは VM にインストールされている SQL Server のバージョン。 同じホストまたは VM に複数の Microsoft SQL Server バージョンがインストールされている場合、このフィールドには、インストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
VM プロセッサ数	VM にアサインされている仮想 CPU (vCPU) の数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
VM コア数	VM に割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
VM CPU スレッド数	VM に割り当てられている vCPU 内の各仮想コアを分割するスレッドの数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
クラウドホストタイプ	VM が実行されているクラウドホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャレポート (続く)

フィールド	説明
クラウドライセンスタイプ - Windows サーバー	Microsoft Windows サーバーインストールのクラウドライセンスタイプ。オプションは **[BYOL]** と [ライセンスが含まれる] です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
クラウドライセンスタイプ - SQL Server	Microsoft SQL Server インストールのクラウドライセンスタイプ。オプションは **[BYOL]** と [ライセンスが含まれる] です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。

Microsoftソフトウェア資産管理クラシックのダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションで、SQL Server などのMicrosoftソフトウェアのインストール、コスト、コンプライアンスを表示します。Microsoft 365のサブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンスを表示します。

注:
ダッシュボードを表示するには、アドオン Microsoft Publisher Pack (com.snc.samp.microsoft) プラグインをインストールする必要があります。

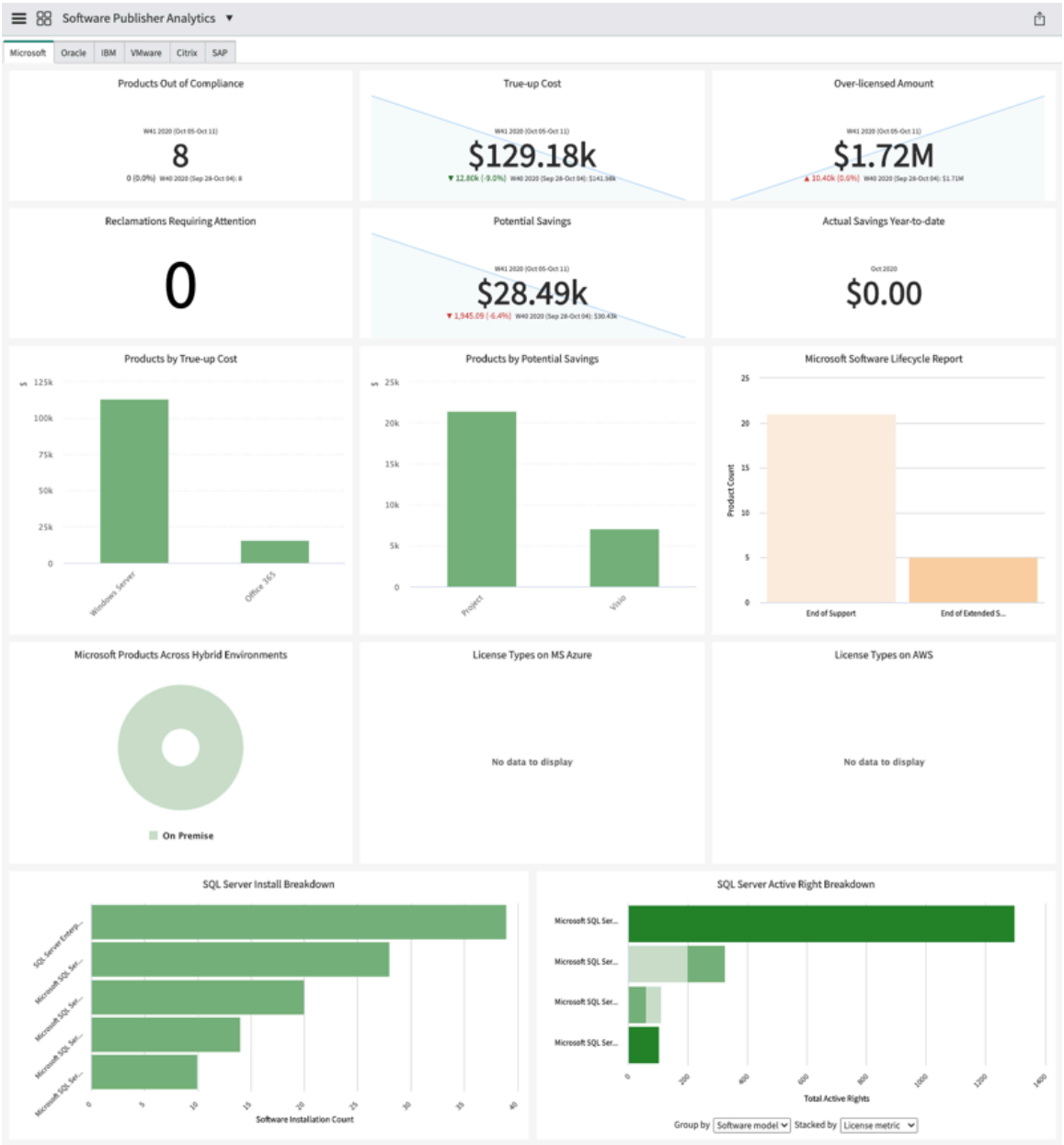
ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード **Microsoft**

Microsoftのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します ソフトウェア資産 > パブリッシャーの概要.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Microsoft タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 ライセンスワークベンチで結果を表示するレポートを選択します。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft タブ (続く)

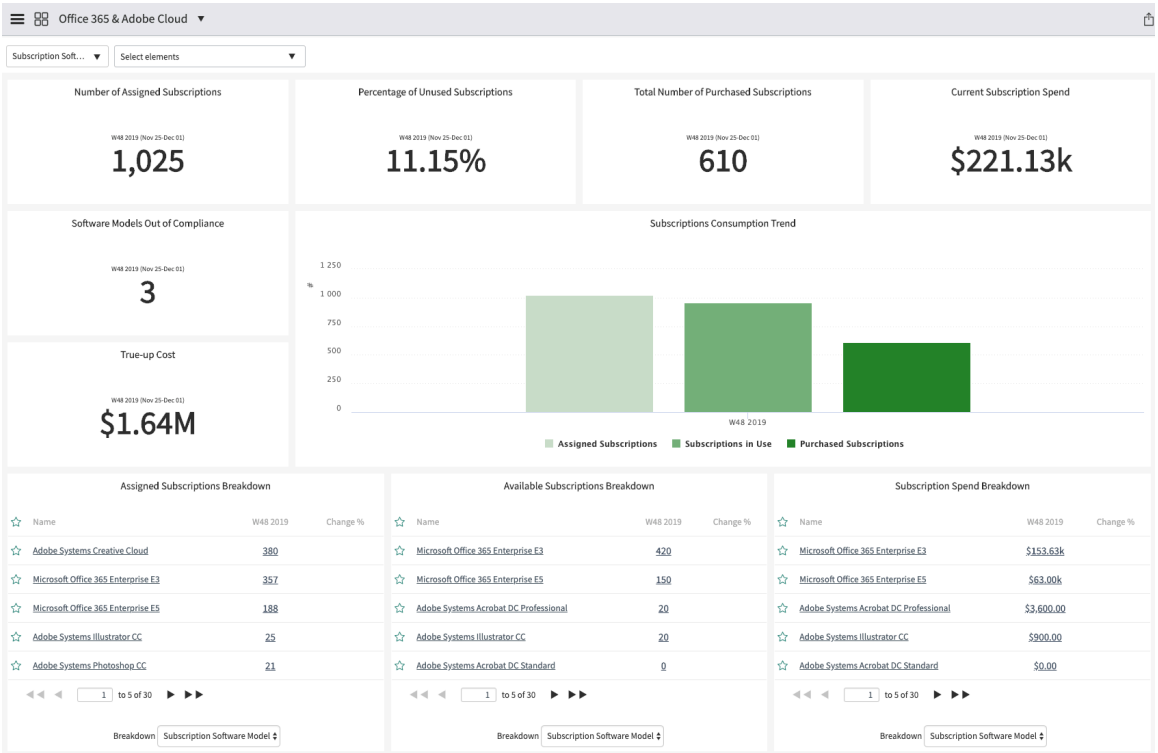
レポート	ソースリスト	説明
注意が必要な再利用	再利用候補	ステータスは要注意です。
節減見込み	再利用候補	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
節減実績の年度累計	再利用候補	[今年クローズ済み]で、[ステータス] が [完了してクローズ] に設定されている。
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大調整コスト。
節減見込み額別の製品	再利用候補	製品別の最大の見込み節減額。
Microsoft ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズにある製品の数。
Microsoft ハイブリッド環境全体の製品	ソフトウェアインストール	オンプレミス環境とクラウド環境全体での Microsoft 製品の配布。
のライセンスタイプ Microsoft Azure	ソフトウェアインストール	Microsoft Azureで使用されるライセンスタイプ。
のライセンスタイプ AWS	ソフトウェアインストール	AWSで使用されるライセンスタイプ。
SQL Server インストールのブレークダウン	ソフトウェアインストール	SQL Server あたりの合計ソフトウェアインストール数。
SQL Server の有効な権限のブレークダウン	ソフトウェアエンタイトルメント	SQL Server ごとのアクティブな権限の合計数。

Office 365 および **Adobe Cloud** ダッシュボード

サブスクリプションソフトウェアとして認識されている Microsoft 365 ソフトウェア製品のみが表示されます。 Microsoft Office 365 の統合 は、コンプライアンス情報を表示するように設定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート	ソースリスト	説明
アサインされたサブスクリプションの数	ソフトウェアサブスクリプション	使用されているサブスクリプションの数の集計 (アクティブなユーザーアカウントなど)。
未使用のサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション	所有する権利に対する利用可能な権限の比率。
購入したサブスクリプションの合計数	ライセンス評価指標の結果	所有している権利の総数。
現在のサブスクリプション支出	ライセンス評価指標の結果	サブスクリプション権利の合計コストの集計。
コンプライアンス違反のソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。 レポートを選択し、 ライセンスワークベンチに結果を表示します。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	最新のソフトウェア モデルの結果における調整コストの合計。
サブスクリプション消費の傾向	ソフトウェアサブスクリプション ライセンス評価指標の結果	アサイン済み、アクティブ、および利用可能なサブスクリプションの傾向。
アサインされたサブスクリプションブレークダウン	ソフトウェアサブスクリプション	ソフトウェアモデル別のアサインされたサブスクリプションのブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

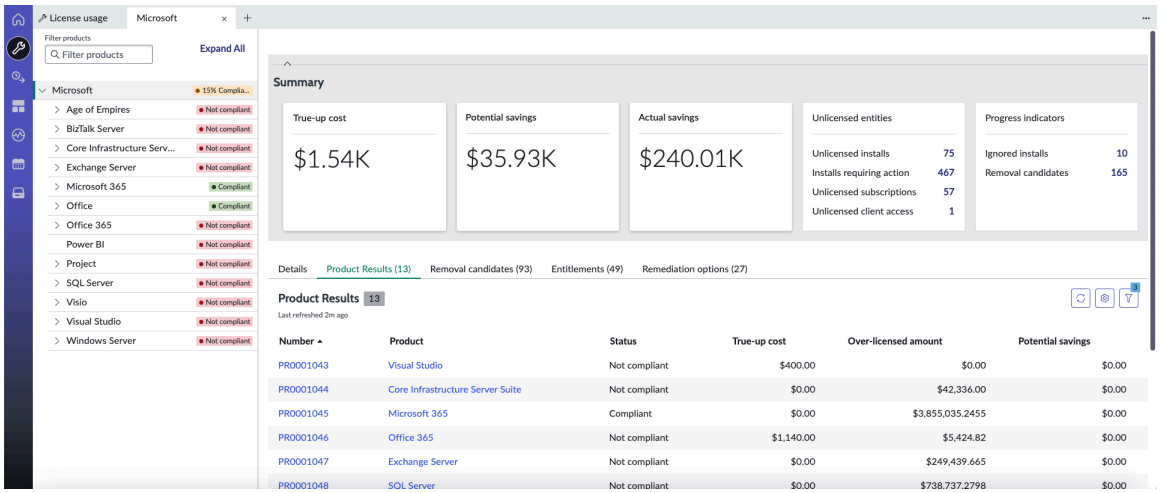
レポート	ソースリスト	説明
使用可能なサブスクリプションブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	ソフトウェアモデル別のアクティブな権限の合計のブレークダウン。
サブスクリプション支出明細	ライセンス評価指標の結果	サブスクリプションの総コストの製品/バージョン/エディション (ソフトウェアモデル) 別のブレークダウン。

の **Microsoft** のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースMicrosoftのパブリッシャーの概要で、Microsoftに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Microsoft パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[Microsoft**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Microsoft パブリッシャーの概要の [サマリー] セクションで確認できます。

Microsoft 概要

レポート	説明
調整コスト	Microsoftソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	Microsoftライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	Microsoftライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなし Microsoft ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Microsoft ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスなしの Microsoft サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Microsoft サブスクリプションの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Microsoft クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Microsoft クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Microsoft ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: Microsoft 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

サポートされている **Microsoft** ライセンスタイプ

Microsoft の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、Microsoftに固有のライセンスメトリクスを追加します。

ライセンスメトリクスは、エンタイトルメントのメトリクスグループとしてMicrosoftが選択されている場合に使用できます。

注:
各 Microsoft 製品でサポートされているライセンスメトリクスの詳細については、「 Microsoft製品のライセンスメトリクス」を参照してください。

ユーザーライセンスごと

ユーザーごとのライセンスは、ソフトウェアへのアクセスに使用するデバイスの数に関係なく、ソフトウェアにアクセスする各ユーザーにライセンスが付与されている場合に使用されます。

ユーザーによるインストールの数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [メトリクス属性] 関連リストで [権限当たりの最大インストール数] を選択します。ユーザーが定義したインストールの数を超えた場合、ユーザーに完全にライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

ユーザーごとのライセンスメトリクスのユーザー割り当てを管理できます。ユーザーには、多数の権限が割り当てられています。すべての割り当てが必要ない場合でも、ユーザーは割り当てられた権限の数を消費します。ユーザーがデバイスに割り当てられていない場合、権利はソフトウェアがインストールされている一意のデバイスごとに消費されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、割り当てられたデバイスにソフトウェアが 1 つ以上インストールされている一意のユーザーごとに権利が消費されます。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

デバイスごとのライセンス

デバイスごとのライセンスは、ソフトウェアにアクセスするユーザーの数に関係なく、ソフトウェアにアクセスするデバイスごとにライセンスが付与される場合に使用されます。

デバイスに搭載できるインストールの数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [メトリクス属性] 関連リストで [権限当たりの最大インストール数] を選択します。デバイスが定義したインストール数を超えた場合、デバイスに完全なライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイスごとのライセンス測定基準に対してデバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。

調整中に、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを含むソフトウェアモデルの場合、1 つ以上のソフトウェアがインストールされている固有のデバイスごとに権限が消費されます。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

コアごとのライセンス

サーバープロセッサーは、サーバーの主要コンポーネントの 1 つです。各サーバープロセッサーにはコアと呼ばれる小さな処理装置が含まれており、プロセッサーのコア数はシステムハードウェアによって異なります。

システムハードウェアはオペレーティングシステム環境 (OSE) で実行され、オペレーティングシステムとシステム上のソフトウェアアプリケーションの間のミドルウェアとして機能します。OSEは、物理的または仮想的な場合があります。使用しているOSEに応じて、プロセッサは物理、仮想、またはその両方の組み合わせになります。

プロセッサが物理 OSE と仮想 OSE のどちらにあるかに関係なく、Microsoft では、SQL Server、Windows Server、またはそれらのコンポーネントを実行するすべてのプロセッサ コアにライセンスが必要です。ただし、必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーのライセンスを取得するか、個々の仮想 OSE のどちらにライセンスを付与するかによって異なります。必要なライセンスの数は、Microsoft が提供するコア要因テーブルに基づいています。

注:
物理サーバと仮想 OSE の両方を含む Microsoft クラスタにライセンスを付与する場合は、コストベースのライセンス最適化を使用して、物理サーバのみ、仮想 OSE のみ、またはその両方の組み合わせのどちらにライセンスを付与する方がコスト効率が高いかを判断できます。これらの最適化の詳細については、 のコストベースのライセンス最適化 Microsoft を参照してください。

物理コアまたは仮想コアベースのライセンスには、コアあたりのライセンスメトリクスを使用します。仮想 OSE にライセンスを付与する場合は、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランス (SA) または Microsoft ソフトウェア サブスクリプション ライセンスのいずれかを使用する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整中に、このライセンスメトリクスを使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して、インストールされているソフトウェアのエディションがチェックされます。ソフトウェアが Enterprise エディションの場合、物理オペレーティングシステム環境 (OSE) または物理サーバーでホストされている仮想マシン (VM) に Enterprise エディションのソフトウェアが少なくとも 1 つインストールされている物理サーバーの正規化されたコア数に基づいて、一定数の権利が消費されます。Enterprise エディションがインストールされている OSE の数が、物理サーバーに適用されているコア権限の数を超えていないことを確認するために、別のチェックが実行されます。OSEの数がコア権の数を超えた場合、追加のOSEごとにコア権利が消費されます。エディションが Enterprise 以外の場合でも、物理 OSE に少なくとも 1 つのインストールがある物理サーバー上のすべてのコアに対して権利が消費されます。違いは追加チェックです。この場合、チェックにより、これらの他のエディションのソフトウェアが物理サーバーにのみインストールされていることを確認します。

仮想環境で他のエディションのソフトウェアが見つかり、他の権利を所有していない場合、調整結果は準拠していません。

デバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。このライセンスのメトリクスでは、すべてのデバイス割り当てを物理サーバーに対して作成する必要があります。ソフトウェアのエディションに関係なく、正規化されたコア数が、ソフトウェアモデルに関連する [プロセッサあたりの最小コア数] メトリクス 属性で指定された値よりも少ない場合は、最小数の権利が消費されます。

コアライセンスごとの Microsoft の詳細については、「 Microsoft コアごとのライセンスルール」を参照してください。

コアごと (CAL 使用時) のライセンス

このライセンスメトリクスのデバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。たとえば、サーバーに対して数量 6 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーに完全なライセンスを付与するために必要なコア権限が 4 つだけの場合、調整中に 6 つの権限が消費されます。追加の 2 つの権限は、調整結果では使用されていない割り当て済みと見なされます。

コアごと (CAL を使用) のライセンスメトリクスでは、物理サーバーまたは仮想マシン (VM) に対してデバイス割り当てを作成できます。VM に対して作成されたデバイス割り当ては、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランス (SA) または Microsoft ソフトウェア サブスクリプション ライセンスを使用してライセンス付与される必要があります。コア数が、ソフトウェアモデルの [プロセッサあたりの最小コア数] または [サーバーあたりの最小コア数] メトリクス属性で指定された値より少ない場合、最小数の権利が消費されます。

注:
物理サーバーと VM の両方を含む Microsoft クラスターでデバイス割り当てにライセンスを付与する場合は、コストベースのライセンス最適化を使用して、物理サーバーのみ、VM のみ、またはその両方の組み合わせにライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断できます。これらの最適化の詳細については、 のコストベースのライセンス最適化 Microsoft を参照してください。

このライセンスメトリクスは、デバイスまたはユーザーの CAL ライセンスメトリクスと一緒に使用する必要があります。これらのライセンスメトリクスを個別に使用して、ソフトウェアエンタイトルメントを作成する必要があります。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーでホストされている仮想マシンに少なくとも 1 つのソフトウェアがインストールされている物理サーバーのコアごとに権利が消費されます。OSE 内のインストール数とアクティブな OSE の数が、ソフトウェアモデルフォームの [評価指標属性] 関連リストで定義した最大数を超えていないことを確認するチェックが実行されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

指定したインストール数と OSE 数を超えた場合、すべてのインストールと OSE にライセンスが付与されるか、使用可能な権限がなくなるまで、物理サーバーまたは VM のコア数または最小コア数に等しいコア権限が消費されます。

コアあたりの Microsoft (CAL 使用時) ライセンスの詳細については、「 Microsoft コアあたり (CAL あり) のライセンスルール」を参照してください。

ユーザー **CAL** ライセンス

ユーザー CAL ライセンスは、ユーザーがサービスへのアクセスに使用するデバイスの数に関係なく、ユーザーがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアント アクセス ライセンス (CAL) です。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、使用された権限の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計ユーザー数と同じです。

デバイス **CAL** ライセンス

デバイス CAL ライセンスは、デバイスからサービスにアクセスするユーザーの数に関係なく、一定数のデバイスがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアント アクセス ライセンス (CAL) です。

調整中、このライセンスメトリクスを使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、使用された権限の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計デバイス数と同じです。

サーバー (インスタンスあたり) ライセンス

サーバー (インスタンスごと) ライセンスは、物理サーバーまたは仮想マシンのいずれかにインストールされた一定数のソフトウェアにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して、OSE に存在するインストール数だけ権利が消費されます。OSE のインストール数が OSE メトリクス属性あたりの最大インストール数で指定された値を超えた場合、物理サーバーまたは仮想マシン上のすべてのインストールにライセンスが付与されるか、権限変数がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てた権限の数がデバイスによって消費されます。たとえば、サーバーに対して数量 2 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーにフル ライセンスを付与するために必要なサーバー (インスタンスあたり) は 1 つだけですが、調整中に 2 つの権利が消費されます。追加の権限は、ライセンスメトリクスの結果で「割り当て済み」、「使用中」としてマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーまたは仮想マシンに対して作成できます。

サーバー (サーバーあたり) ライセンス

サーバー (サーバーごと) ライセンスは、物理サーバーおよび物理サーバーによってホストされるすべての仮想マシン上のすべてのソフトウェア インストールのライセンス付与に使用されます。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、一意の物理サーバーごとに権利が消費されます。このライセンスメトリクスは、ソフトウェアがインストールされている一意の物理サーバーと仮想マシンごとに権利を消費するデバイスごとのライセンスメトリクスとは異なります。

デバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てた権限の数がデバイスによって消費されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。たとえば、サーバーに対して数量 2 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーに完全なライセンスを付与するために必要な権限が 1 つだけの場合、調整中に 2 つの権限が消費されます。追加の権限は、ライセンスメトリクスの結果で「割り当て済み」ではなく「使用中」としてマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

プロセッサあたりのライセンス

プロセッサごとのライセンスは、物理サーバー上の多数のプロセッサにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーでホストされている仮想マシンに少なくとも 1 つのソフトウェアがインストールされている物理サーバー上のプロセッサーに対して権利が消費されます。単一の権利によってライセンスされるプロセッサーの数は、ソフトウェアモデルのメトリクス属性関連リストの 権限あたりの最大プロセッサー 数によって決まります。

OSE でのインストール数とサーバー上の OSE の数が、ソフトウェアモデルの **[OSE** あたりの最大インストール数] および [サーバーあたりの最大アクティブ **OSE** 数メトリクス属性] 関連リストで指定された最大値を超えていないことを確認するための追加のチェックが実行されます。いずれかのメトリクス属性を超えると、すべてのプロセッサー、インストール、OSE にライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。プロセッサごとの権限では、物理サーバーに部分的にライセンスを付与したり、2 つの異なる物理サーバーにソフトウェアをインストールしたりすることはできません。

デバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てた権限の数がデバイスによって消費されます。すべてのデバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

ユーザーサブスクリプションライセンス

ユーザーサブスクリプションは、アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数に対してユーザーにライセンスを付与します。

調整中、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、ソフトウェアモデルに関連付けられた少なくとも 1 つのソフトウェアサブスクリプションレコードを持つ一意のユーザーごとに権利が消費されます。ソフトウェア モデルに対応するソフトウェア インストールもライセンスされます。ただし、ユーザーがソフトウェアをインストールしていてもサブスクリプションレコードがない場合、そのユーザーは権利を消費せず、インストールはライセンスなしになります。

ソフトウェアアシュアランスライセンス

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) は、ユーザーにアクティブなメンテナンスを提供するために Microsoft が使用するメンテナンスプログラムです。詳細については、「ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Oracle**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Oracle を使用して、Oracle製品のライセンスを追跡および最適化します。

Oracleパブリッシャーパックは、次のOracle製品をサポートしています。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Oracle Weblogic サーバー
- Oracle ジャワ

パブリッシャーパックを使用するには、 ソフトウェア資産管理プロ for Oracle プラグイン (com.snc.samp.oracle) を有効にします。

Oracle ライセンス

Oracle Publisher Pack はOracleソフトウェアエンタイトルメントに固有のライセンスオプションを追加します。

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
ライセンスのメトリクス	• 指名ユーザープラス • プロセッサあたり • 従業員
評価指標グループ	Oracle

重要:
ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Oracle Database および WebLogic サーバーの自分のライセンスを使用する (BYOL) をサポートしています。BYOL のサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で Oracle データベースおよび WebLogic サーバーのライセンスを追跡できます。Oracle BYOL のサポートの詳細については、「パブリッククラウドに自分のライセンス またはサブスクリプション を使用する」を参照してください。

Oracle ライセンスメトリクス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Oracle について次のライセンスメトリクスをサポートしています。

指名ユーザープラス

[指名ユーザープラス] ライセンスメトリクスは、次の Oracle 製品にアクセスするすべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック
- Oracle Weblogic サーバー

ユーザーがこれらの Oracle 製品のいずれかにアクセスするデバイスを操作している場合、指名ユーザープラスライセンスメトリクスはユーザーとデバイスの両方にライセン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スを付与します。このライセンスメトリクスは、ユーザーとデバイスを簡単に識別してカウントできる環境で使用します。

> **重要:**
> このライセンスメトリクスを使用するには、対応するクライアントアクセスレコードを作成する必要があります。クライアントアクセスレコードを使用すると、ソフトウェアの特定のバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理できます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、これらのクライアントアクセスレコードの情報を使用してソフトウェアを調整することができます。クライアントアクセスレコードの詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」または「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。

[指名ユーザー プラス] ライセンス メトリックは、ユーザーおよびデバイスがアクセスしている Oracle データベースまたは Oracle WebLogic Server エディションに基づいて、異なるライセンスの最小ライセンスを実装します。

- ユーザーとデバイスが Oracle Database Standard Edition (SE) または Standard Edition One (SE1) にアクセスしている場合は、少なくとも 5 つの名前付きユーザー プラス ライセンスが必要です。
- ユーザーとデバイスが Oracle Database Standard Edition 2 (SE2) にアクセスしている場合は、データベース サーバーごとに少なくとも 10 個の名前付きユーザー プラス ライセンスが必要です。さらに、各 SE2 データベースは、任意の時点で最大 16 個の CPU スレッドを使用できます。
- ユーザーとデバイスが Oracle Database Enterprise Edition (EE) にアクセスしている場合は、プロセッサごとに少なくとも 25 個の名前付きユーザー プラス ライセンス、またはこのデータベース エディションにアクセスしているユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスのメトリクスは、このライセンスの最小値を 2 つの値のうち大きい方に設定します。
- ユーザーとデバイスが WebLogic Server Standard Edition にアクセスする場合 Oracle プロセッサごとに少なくとも 10 個の Named User Plus ライセンスが必要です。
- ユーザとデバイスが Oracle WebLogic Server Enterprise Edition にアクセスする場合、プロセッサ コアごとに少なくとも 10 個の Named User Plus ライセンスが必要です。

最小ライセンスは、次のメトリクス属性を使用して、 Oracle 製品のソフトウェアモデルに自動的に適用されます。

- プロセッサあたりの最小ユーザー 数 (データベース製品Oracle)
- **WebLogic** オンプレミス配置の最小 **NUP** (オンプレミス環境の WebLogic Server 製品Oracle)
- **WebLogic** クラウド・デプロイメントの最小 **NUP** (クラウド環境での WebLogic Server 製品Oracle)

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、メトリクス属性値を使用して、各Oracle製品に必要な権限の数を決定できます。この数を決定するために、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、適切なメトリック属性値に、Oracle 製品がインストールまたは実行されている基礎となる物理サーバのプロセッサ数 (WebLogic Server Standard Edition Oracleおよびすべての Oracle Database Standard Edition) またはプロセッサ コア数 (Oracle WebLogic Server Enterprise Edition および Oracle Database Enterprise Edition) を乗算します。結果の値は、 Oracle 製品にアクセスしているユーザーとデバイスの合計数と比較されます。必要な権限の数は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、20 人のユーザーが、8 つのプロセッサコアを持つ物理サーバー上で実行されている Enterprise Edition (EE) データベースにアクセスしているとします。指名ユーザープラスライセンスメトリクスは、メトリクス属性値に基づく権限の数 (最小ライセンス 25 x 8 CPU コア = 200 権限) がデータベースにアクセスしているユーザーの数 (20 ユーザー) よりも多いため、200 権限を消費します。

プロセッサあたり

プロセッサーごとのライセンスメトリクスは、次の Oracle 製品をインストールまたは実行するサーバープロセッサーにライセンスを与えます。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック
- Oracle Weblogic サーバー
- Oracle ジャワ

物理サーバー、仮想サーバー、パーティション分割されたサーバー、およびクラウドに Oracle 製品をインストールして実行できますが、プロセッサーあたりのライセンスメトリクスでは、基礎となる物理サーバーまたはクラウドサーバーでのみプロセッサーにライセンスが付与されます。

プロセッサあたりのライセンス・メトリックは、プロセッサ・コアの合計数に、Oracle プロセッサ・コア・ファクタ表 で指定されたコア・プロセッサ・ライセンス係数を乗算することにより、Oracle製品に必要な権限の数を計算します。このライセンスメトリクスは、多数のユーザーとデバイスが同じ環境にアクセスしている環境や、インターネットなど、ユーザーを簡単に識別およびカウントできない環境で使用します。

たとえば、Enterprise Edition (EE) データベースを実行している物理サーバーには、それぞれ 4 コアのプロセッサーが 2 つあります。コアプロセッサのライセンス係数が 0.5 の場合、プロセッサあたりのライセンスメトリクスは物理サーバーに対して 4 つの権限を消費します。

2 CPU x 4 CPU コア x 0.5 ライセンス係数 = 4 権利。

[指名ユーザー プラス] または [プロセッサごと] のライセンス メトリクスを使用してデータベースの権限を割り当てると、 ソフトウェア資産管理 は、同じライセンス メトリクスを使用して、関連付けられたデータベース オプションと管理パックの権限を自動的に割り当てます。

クライアント アクセス ライセンス (CAL) レコードを作成して、Oracle データベースまたは WebLogic サーバーにアクセスできるユーザーまたはデバイスの数を指定すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、[指名ユーザー プラス] ライセンスのメトリクスのみを使用してユーザーとデバイスにライセンスを付与します。プロセッサごとのライセンスが使用可能な場合でも、ソフトウェア資産管理 はプロセッサごとのライセンスのメトリクスを使用しません。

従業員

従業員ライセンスメトリクスは、 Oracleの内部ビジネスオペレーションの定義に従って、エージェント、請負業者、およびコンサルタントを通じて直接的および間接的に雇用された従業員を含む、フルタイム、パートタイム、および臨時従業員の合計数にライセンスを付与します。

従業員ライセンスメトリクスは、 Oracle Java SE Universal を使用する従業員の数ではなく、従業員の合計数に必要なライセンスの数を計算します。ライセンスコストは、Oracle によって定義された階層ベースの価格設定モデルを使用して計算されます。価

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

格設定モデルは、価格階層 [samp_price_tier] テーブルに格納されます。詳細については、「Oracle Java SE Universal の価格設定モデル」を参照してください。

さらに、従業員ライセンスメトリクスには、1 年間のサブスクリプション期間の調整コストが表示されます。

従業員ライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整を実行すると、リソース値レコードに記録されている従業員ごとに権利が消費されます。Java SE ソフトウェアモデルのリソース値レコードを作成して、消費されたユニットの値をライセンスを消費する従業員数と同じにすることができます。詳細については、「リソース値レコードの作成」を参照してください。

カスタム層テーブルを使用している場合は、Java SE ソフトウェアモデルに関連付けられた上書きライセンスコストレコードを更新できます。詳細については、「上書きライセンスコストレコードの作成または更新」を参照してください。

Oracle 検証済みのサードパーティベンダーツール

お使いの環境に展開されている Oracle 製品のインストールデータと使用状況データを収集するには、ディスカバリープロセスを使用する必要があります。Oracleサードパーティツールベンダー(3PTV)プログラムへのServiceNowの検証と登録により、ServiceNow ディスカバリーアプリケーションとソフトウェア資産管理アプリケーションの両方がOracleによって検証され、Oracle測定ツールを必要とせずにこのデータを収集してレポートします。Oracle Database、Oracle WebLogic Server、Oracle Fusion Middleware、およびこれらの製品をサポートする基礎となるハードウェアのデータを収集してレポートできます。

契約の更新と監査の際、OracleOracle製品の特定の使用状況データを提供する必要があります。このデータは、Oracle によって提供されるスクリプトを実行することで収集できます。これらのスクリプトは、環境に展開されている Oracle 製品と、それらの製品をサポートする物理および仮想ハードウェアに関するデータを収集します。ただし、このデータを収集して確認するプロセスは非常に時間がかかる場合があります。

ServiceNow ディスカバリーアプリケーションは、Oracle で検証されたディスカバリーパターンとレポートを使用して、スクリプト出力で指定されたものと同じデータを収集します。このデータを定期的に収集してコンプライアンスを追跡し、予期しない監査結果を最小限に抑えることができます。

Oracleディスカバリーの詳細については、「Oracle Global License Advisory Services (GLAS) データコレクション」を参照してください。

注:
ServiceNow ディスカバリーのすべてのメリットにアクセスするには、ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールします。このアプリケーションの詳細については、「 CMDB CI クラスモデルストアアプリ 」を参照してください。

Oracle パーティション環境でのデータベースと WebLogic Server のライセンス

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、ソフトパーティション環境とハードパーティション環境の両方でOracleデータベースとWebLogic ServerのOracleライセンス・ルールをサポートしています。パーティショニングを使用すると、インストールに必要なライセンスの数を減らすことができます。

Oracle ソフトパーティション環境でのデータベースとWebLogic Serverのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、VMware 仮想化テクノロジなど、ソフト パーティション環境での Oracle データベースと WebLogic Server のライセンス ルールをサポートしています。

ソフトパーティション分割を使用すると、OS リソースマネージャーを使用して、環境のオペレーティングシステム (OS) をさまざまな OS タイプと OS バージョンにセグメント化できます。OSリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース・マネージャは、同じOS内のアプリケーションにCPUリソースが割り当てられるセグメントを作成することで、各 Oracle データベースまたは WebLogic サーバーを実行できるプロセッサの数を制限します。Oracleライセンスとソフト・パーティション化の詳細は、Oracleヘルプ・センター を参照してください。

VMware vSphere

VMware vSphere は、仮想マシン (VM) に Oracle データベースまたは WebLogic サーバーをインストールして実行できる仮想化プラットフォームです。VM で Oracle データベースまたは WebLogic サーバーを実行するには、VM を実行している基礎となる物理 ESXi ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。物理 ESXi ホストが複数の VM を同時に実行している場合でも、データベースまたは WebLogic サーバーを実行している VM の数に関係なく、ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

OracleVMware vSphere のライセンスは、各 vSphere バージョンに関連付けられている VMware vMotion 機能に基づいています。VMware vMotion は、サービスを中断することなく仮想マシンを 1 つの物理 ESXi ホストから別のホストに移行できるようにするVMware vSphereテクノロジーです。

Oracle パブリッシャーパックは、VMware vSphere で次のOracleライセンスモデルをサポートしています。

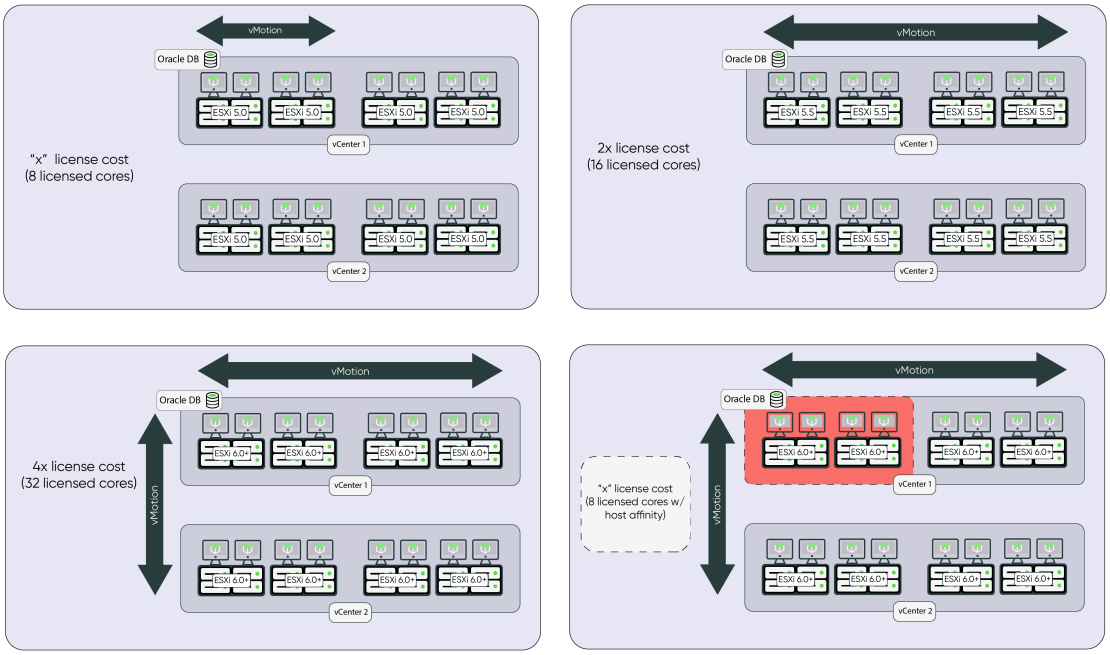
Oracle のライセンスモデル **VMware vSphere**

VMware vSphere バージョン	VMware **vMotion** 機能	ライセンスモデル
VMware vSphere ESXi 5.0 以前	VM は、同じデータセンターの同じ共有ストレージ内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じデータセンターの同じ共有ストレージ内のすべての物理 ESXi ホスト上のプロセッサにライセンスを付与する必要があります。
VMware vSphere ESXi 5.1 から 5.5	仮想マシンは、同じ VMware vCenter Server インスタンス内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じ VMware vCenter Server インスタンス内のすべての物理 ESXi ホストでプロセッサにライセンスを付与する必要があります。
VMware vCenter Server 6.0 以降	仮想マシンは、ネットワーク上の任意の VMware vCenter Server インスタンス内の物理 ESXi ホストに移行できます。移行は、 VMware vSphere vCenter Server 6.0 以降のインスタンスで ESXi 5.1 以降を実行する物理ホストでのみ VMware サポートされます。	ネットワーク上のすべての VMware vCenter Server 6.0 以降のインスタンス内で ESXi 5.1 以降を実行するすべての物理ホストVMware vSphereプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

重要:
ソフトウェア資産管理のプロパティで **VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するために **vCenter** で [ホスト アフィニティを使用する] オプションを有効にすると、VMware vCenter Server インスタンス内のライセンスを調整するときに、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはすべての VM とホストのアフィニティ ルールOracle優先します。このシナリオでは、ライセンスは、VM とホストのアフィニティ ルールで指定されているように、VM が存在できるすべての物理 ESXi ホストの合計に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



VMwareでのOracleライセンスの詳細は、Oracle Certification, Support and Licensing for VMware Environmentsの理解 を参照してください。

Oracle ハードパーティション環境でのデータベースと**WebLogic Server**のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IBM AIX 論理パーティション (LPAR)、Solaris 論理ドメイン (LDOM)、およびSolarisゾーンのOracleハードパーティション化ライセンスルールをサポートしています。

サーバーをハードパーティション分割すると、サーバーは互いに独立して実行される小さなシステムに分割されます。各システムには、独自のプロセッサー、ネットワークリソース、オペレーティングシステム、メモリーなどが含まれています。Oracleライセンスとハードパーティション化の詳細については、Oracle パーティション化ポリシー を参照してください。

IBM LPAR

LPAR は、オペレーティングシステムをサポートするプロセッサーハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力デバイスなど、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレームハードウェアシステム内に複数の LPAR を設定できます。

IBM LPAR インフラストラクチャー内の LPAR および LPAR リソースを検出するには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェアアプライアンスである IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) のServiceNow ディスカバリーパターンが必要です。これらのディスカバリーパターンにアクセスするには、ServiceNow Storeから ディスカバリー および サービスマッピング パターンアプリケーションを要求してインストールする必要があります。LPAR でディスカバリーを構成する方法について詳しくは、 IBM Virtualization and Hardware Management Console ディスカバリーを参照してください。

> **注:**
> `lparstat` コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートをプルします。詳しくは、IBM Knowledge Center を参照してください。

ディスカバリーを実行すると、検出された LPAR データが ServiceNow インスタンスの次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに入力され、保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM HMC の CMDB クラスを追加または更新します。IBM HMC CMDB クラスについて詳しくは、IBM Hardware Management Console (HMC) 拡張クラスを参照してください。

検出された LPAR データが適切な CMDB テーブルに入力されたら、*samp_frame_to_lpar_resource* データベースビューを使用してテーブルを結合し、すべての LPAR データを単一のビューに統合できます。このデータベース・ビューと、IBM LPAR のOracleデータベースおよびWebLogic Serverライセンス・ルールに基づいて、IBM LPARインフラストラクチャ全体のすべてのOracleデータベースおよびWebLogicサーバー・インストールのライセンス・コンプライアンスを識別して判断できます。

OracleIBM LPAR のデータベースおよび **WebLogic Server** ライセンスルール

プロセッサプール	説明	ライセンスルール
専用	プロセッサーは、1 つの専用 LPAR (専用 CPU リソース上にビルドされた LPAR) にのみ割り当てられます。	Oracleデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する専用プロセッサにライセンスを付与する必要があります。 専用LPARに必要な権限の数を決定するには、LPARで Oracle データベース またはWebLogicサーバー を実行しているプロセッサ・コアの合計数に、 Oracle Processorコア係数表 で指定されたコア・プロセッサ・ライセンス係数を乗算します。
共有しました	プロセッサーは、共有 CPU リソース上にビルドされた LPAR であるマイクロパーティション間で共有されます。	Oracleデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する共有プロセッサにライセンスを付与する必要があります。 LPARタイプに基づいて、マイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定できます。 • 上限付き **LPAR**: 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格を持つ CPU リソースの数である最大エンタイトルメント容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティを超えてプロセッサー能力を使用することはできません。 上限付きマイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定するには、 Oracle Processor Core Factor Table で指定されているように、割り当てられたすべての資格付き容量の合計にコア・プロセッサのライセンス係数を乗算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OracleIBM LPAR のデータベースおよび **WebLogic Server** ライセンスルール (続く)

プロセッサプール	説明	ライセンスルール
		• 上限なし **LPAR**: 上限なし LPAR は、割り当てられた資格容量よりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り当てられた仮想プロセッサーの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの最大数によって制限されます。 上限なしマイクロ区画全体で必要な権利の数を決定するには、割り当てられたすべての仮想プロセッサーの合計と、割り当てられたすべての資格を持つ容量の合計を加算します。 ○ 結果の値が共有プロセッサ・プールで使用可能な物理プロセッサ・コアの数よりも小さい場合は、その値に 、Oracle プロセッサ・コア係数 表で指定されているコア・プロセッサのライセンス係数を乗算します。 ○ 結果の値が共有プロセッサ・プールで使用可能な物理プロセッサ・コアの数より大きい場合は、物理プロセッサ・コアの数に、 Oracle プロセッサ・コア係数表 で指定されたコア・プロセッサ・ライセンス係数を乗算します。

データベースビューの詳細については、「 Working with database views for reporting 」を参照してください。

Solaris LDOM または SPARC 用 Oracle VM サーバー

論理ドメイン (LDOM) は、単一のコンピューターシステム内の個別の論理ユニットであり、独自のオペレーティングシステム、リソース、および ID を備えています。別々の論理ドメインでさまざまなアプリケーションを実行し、パフォーマンスとセキュリティ上の理由からそれらの独立性を維持できます。Solaris LDOM は、単一の物理サーバー上に複数の仮想マシン (VM) を作成できるようにする仮想化テクノロジーです。

ServiceNow ディスカバリー アプリケーションは、Solaris LDOM インフラストラクチャパターンと Solaris LDOM 共有ライブラリパターンを使用して、すべての LDOM データを検索します。Solaris LDOM ディスカバリーの詳細については、「Oracle Solaris LDOM discovery 」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Solaris LDOM バージョン 2.0 以降にインストールされている Oracle データベースサーバーと WebLogic Server の、プロセッサあたりおよび指名ユーザープラス (NUP) ライセンスメトリクスのライセンスをサポートしています。Oracle データベースまたは WebLogic サーバーのインストールにライセンスを付与するには、Solaris LDOM 構成を実行する物理サーバーに権限を割り当てる必要があります。Oracle製品のライセンスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス属性」を参照してください。

Solaris ゾーン

Solarisサーバーにグローバルゾーンを設定し、複数のローカルゾーンとハードパーティション化できます。その後、1つ以上のローカル・ゾーンで Oracle データベースまたはWebLogicサーバーを実行できます。Oracleデータベースまたは WebLogic サーバーのインストールにライセンスを付与するには、Solarisゾーン構成全体を実行する物理ホストに権限を割り当てる必要があります。プロセッサごとのライセンス評価指標の場合、権限は物理ホストの最大キャパシティーまでのすべての

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ローカル・ゾーンのコアをカバーする必要があります。NUP ライセンス・メトリックの場合、権限はローカル・ゾーン上のデータベースまたは WebLogic サーバーにアクセスするクライアントを対象としている必要があります。Solarisゾーンディスカバリーの詳細については、以下を参照してください。 Solaris ディスカバリー .

Oracle クラウド環境でのデータベースと**WebLogic Server**のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、クラウド環境の Oracle Database と WebLogic Server のライセンスルールをサポートしています。

重要:
ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Oracle Database および WebLogic サーバーの自分のライセンスを使用する (BYOL) をサポートしています。BYOL のサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で Oracle データベースおよび WebLogic サーバーのライセンスを追跡できます。Oracle BYOL のサポートの詳細については、「パブリッククラウドに自分のライセンス またはサブスクリプション を使用する」を参照してください。

クラウドで Oracle データベースまたはWebLogicサーバをインストールまたは実行する場合は、[指名ユーザプラス]または[プロセッサごと]のライセンスメトリックを使用してライセンスを取得できます。[指名ユーザープラス] ライセンスメトリクスは、 Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーにアクセスするすべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。プロセッサあたりのライセンスメトリクスは、 Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する仮想 CPU (vCPU) にライセンスを付与します。

注:
Oracleプロセッサーコアファクターテーブルは、クラウド環境には適用されません。

Amazon Web サービス (AWS)

Amazon Web サービス (AWS) は、 Oracle データベースと WebLogic サーバーをインストールして実行できるクラウド コンピューティング プラットフォームです。AWS でOracleデータベースを管理するには、Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) または Amazon Relational Database Service (RDS) のいずれかを使用します。ただし、 Oracle WebLogic サーバーを管理するには、Elastic Compute Cloud (EC2) Amazon のみを使用します。Amazon EC2 の詳細については、Amazon Elastic Compute Cloud のドキュメント を参照してください。Amazon RDS の詳細については、Amazon Relational Database Service のドキュメント を参照してください。

AWS 仮想マシンインスタンスでハイパースレッディングを有効にすると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのプロセッサあたりのライセンスが提供されます。ハイパースレッディングを有効にしない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、 Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する vCPU ごとにプロセッサごとに 1 つのライセンスが提供されます。

AWS の Oracle データベースと WebLogic サーバーの詳細については、「AWS Cloud の Oracle Database: クイックスタートリファレンスデプロイ 」を参照してください。

Microsoft Azure

Microsoft Azure は、 Oracle データベースと WebLogic サーバーを作成および実行できるクラウドコンピューティングプラットフォームです。

Microsoft Azure 仮想マシンインスタンスでハイパースレッディングを有効にすると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのプロセッサあたりのライセンスが提供されます。ハイパースレッディングを有効にしない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する vCPU ごとにプロセッサごとに 1 つのライセンスが提供されます。

Microsoft Azure の Oracle データベースと WebLogic サーバーの詳細については、「Microsoft と Oracle でクラウド導入を加速する」を参照してください。

Oracle マルチテナントアーキテクチャでのデータベースライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、マルチテナントアーキテクチャの Oracle データベースのライセンスルールをサポートしています。

Oracleマルチテナントアーキテクチャでは、複数のプラガブルデータベース(PDB)を単一のコンテナデータベース(CDB)に統合できるため、データベース管理が簡素化されます。CDBを使用すると、複数のPDBの追跡、プロビジョニング、クローニング、リソースの管理およびアップグレードを同時に行うことができます。このマルチテナント アーキテクチャは、 Oracle Database バージョン 12c リリース 1 (12.1) 以降でサポートされています。

マルチテナントアーキテクチャで Oracle データベースを実行するには、 Oracle データベースと Oracle マルチテナントオプションの両方のライセンスを購入して管理する必要があります。ほとんどの場合、 Oracle マルチテナントオプションライセンスは、 Oracle データベースライセンスとは別に購入して管理する必要があります。ただし、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - High Performance (DBCS EE-HP)、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - Extreme Performance (DBCS EE-EP)および Oracle Database Exadata Cloud Service (ExaCS)は、データベース・ライセンスにすでに含まれているため、 Oracle マルチテナント・オプションの個別のライセンスは必要ありません。Oracle データベースのライセンスの詳細については、「ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Oracle」を参照してください。

Oracle マルチテナントオプションのライセンス

Oracleマルチテナントオプションは、[指名ユーザープラス] と [プロセッサあたり] の両方のライセンスメトリクスをサポートします。「名前付きユーザー・プラス」ライセンス・メトリックは、ユーザーが作成したPDBにアクセスするすべてのユーザーおよび物理デバイスにライセンスを付与します。プロセッサごとのライセンス測定基準は、ユーザーが作成した PDB を実行しているすべての物理ホスト上のプロセッサコアにライセンス付与します。これらのライセンスメトリクスの詳細については、「 Oracle ライセンスメトリクス」を参照してください。

重要:
Oracle Multitenant option licensing accounts for user-created PDBs only. It does not account for proxy PDBs or seed PDBs.

次の基準に基づいて Oracle データベース・デプロイメントにマルチテナント・オプションのライセンスが必要かどうかを判断できます。

- PDB および CDB の Oracle データベースのバージョンとエディション。
- データベースインストールで実行されている各データベースインスタンス内のユーザー作成 PDB の数。

Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースのエディション	ライセンス要件
12cリリー	Oracle Database	Oracleマルチテナントオプションはサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースのエディション	ライセンス要件
ス1 (12.1)	Standard Edition (SE)	
	Oracle Database Standard Edition One(SE1)	
	Oracle Database Standard Edition 2 (SE2)	
	Oracle データベースエンタープライズエディション (EE)	• すべてのデータベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBがそれぞれ1つしか含まれていない場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスに複数のユーザー作成PDBが含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサごと」のライセンス・メトリックを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンとエディションの Oracle Database は、データベースインスタンスごとに最大 252 のユーザー作成 PDB をサポートします。データベースインスタンスにユーザーが作成した PDB が 252 を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加の PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
12cリリース2 (12.2) および18c	Oracle データベースエンタープライズエディション (EE)	• すべてのデータベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBがそれぞれ1つしか含まれていない場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスに複数のユーザー作成PDBが含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサごと」のライセンス・メトリックを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンとエディションの Oracle Database は、データベースインスタンスごとに最大 252 のユーザー作成 PDB をサポートします。データベースインスタンスにユーザーが作成した PDB が 252 を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加の PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースのエディション	ライセンス要件
	Oracle Database Standard Edition 2 (SE2)	Oracleマルチテナントオプションは、すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ1つのユーザー作成PDBが含まれるデプロイメントでのみサポートされます。ただし、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。
	Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - ハイパフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - エクストリームパフォーマンス (DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ1つのユーザー作成PDBが含まれている場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスに複数のユーザー作成PDBが含まれている場合は、「 Oracle マルチテナント」オプションが使用されます。ただし、このオプションは既に Oracle Database ライセンスに含まれているため、別のライセンスは必要ありません。 **重要:** これらのバージョンとエディションの Oracle Database では、データベースインスタンスごとに最大 4,096 のユーザー作成 PDB がサポートされます。データベースインスタンスに 4,096 を超えるユーザー作成 PDB が含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 は追加の PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
19c以降	Oracle データベースエンタープライズエディション (EE)	• すべてのデータベースインスタンスに、ユーザーが作成した PDB がそれぞれ 3 つ以下の場合、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベースインスタンスにユーザーが作成した PDB が 3 つ以上含まれている場合は、[指名ユーザープラス] または [プロセッサあたり] のいずれかのライセンスメトリクスを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンとエディションの Oracle Database は、データベースインスタンスごとに最大 252 のユーザー作成 PDB をサポートします。データベースインスタンスにユーザーが作成した PDB が 252 を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加の PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
	Oracle Database Standard Edition 2 (SE2)	Oracleマルチテナントオプションは、すべてのデータベースインスタンスにそれぞれ 3 つ以下のユーザー作成 PDB が含まれている展開でのみサポートされます。ただし、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースのエディション	ライセンス要件
	Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - ハイパフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - エクストリームパフォーマンス (DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベースインスタンスに、ユーザーが作成した PDB がそれぞれ 3 つ以下の場合、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベースインスタンスにユーザーが作成した PDB が 3 つ以上含まれている場合は、「 Oracle マルチテナント」オプションが使用されます。ただし、このオプションは既に Oracle Database ライセンスに含まれているため、別のライセンスは必要ありません。 **重要:** これらのバージョンとエディションの Oracle Database では、データベースインスタンスごとに最大 4,096 のユーザー作成 PDB がサポートされます。データベースインスタンスに 4,096 を超えるユーザー作成 PDB が含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 は追加の PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。

Oracle マルチテナントオプションのユースケース

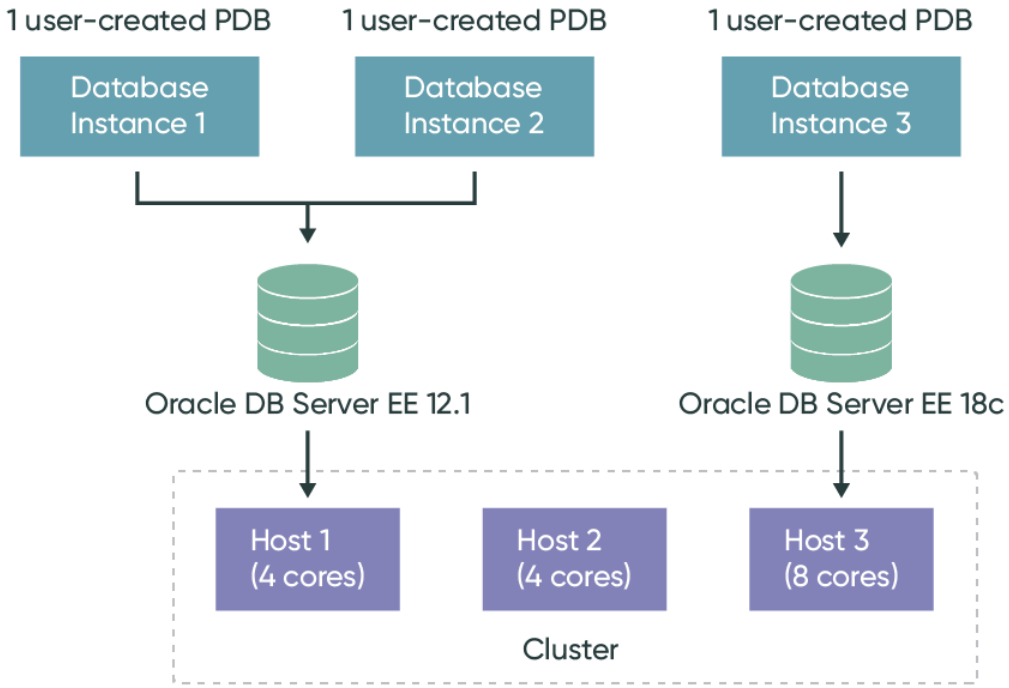
次のユースケースを表示して、 Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件をよりよく理解できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションは使用されていません

Oracle 使用されていないマルチテナントオプションの例



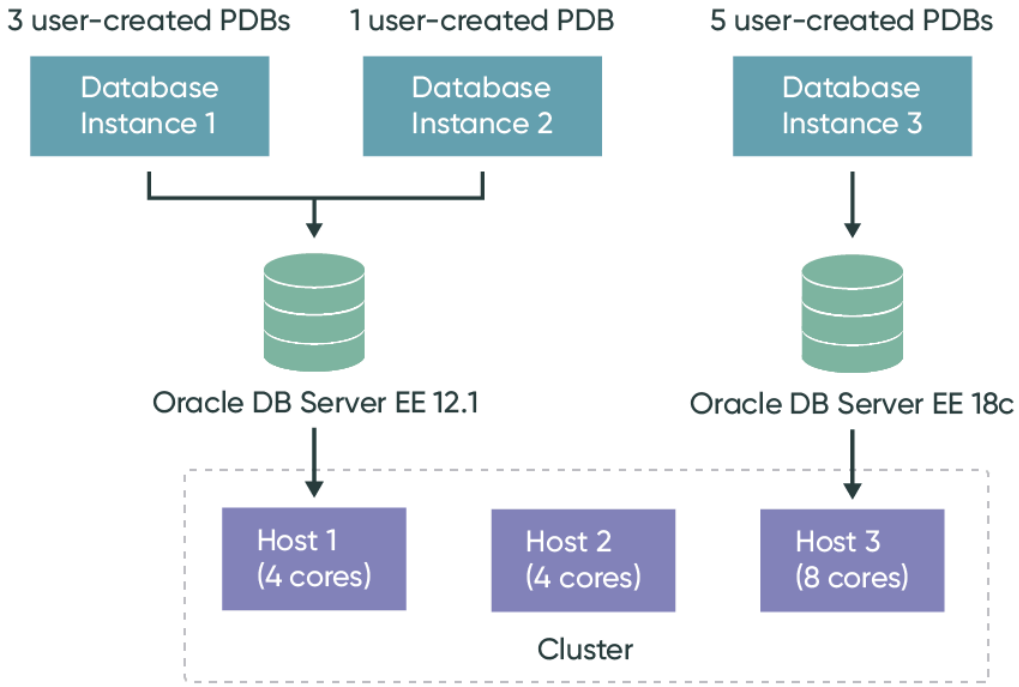
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はデータベース12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されており、それぞれ1つのユーザー作成PDBが含まれています。データベース・インスタンス3はデータベース18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザー作成のPDBも1つ含まれています。どのデータベース・インスタンスも、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を満たすか超えていないため、このオプションはどのデータベース・インスタンスでも使用されません。Oracleマルチテナントオプションの追加ライセンスは、クラスター内のどのホストでも必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションが使用されています

Oracle マルチテナントオプションの使用例



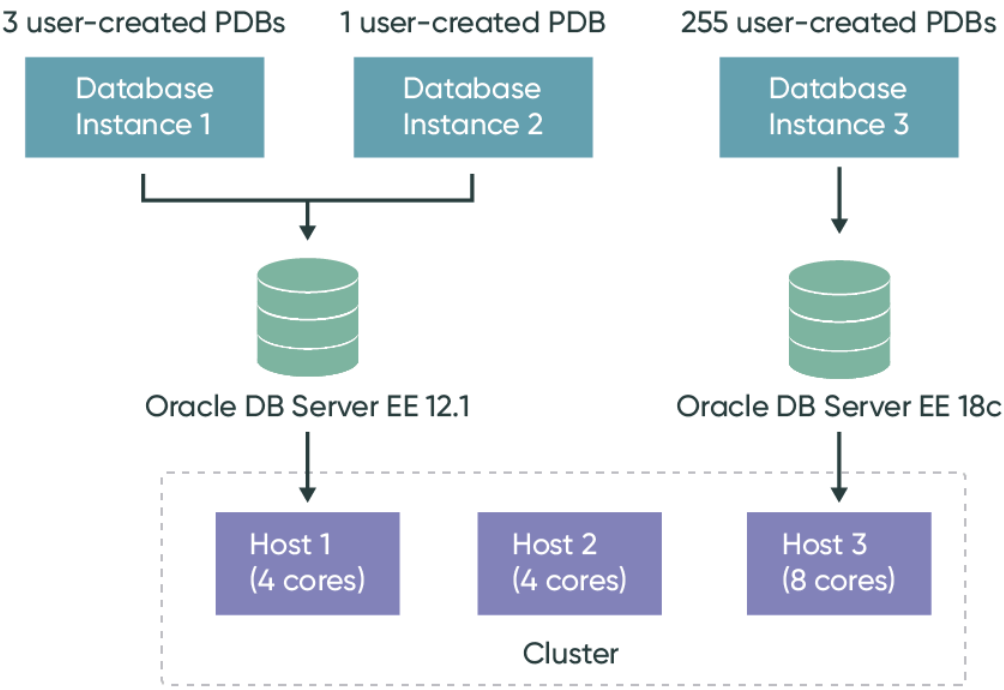
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はデータベース12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はデータベース18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザーが作成した5つのPDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。Oracleマルチテナントオプションの追加ライセンスは、クラスター内のすべてのホストに必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションは使用されていますが、最大 **PDB** 量を超えています

Oracle マルチテナントオプションは使用中だが、最大 **PDB** 量を超えている例



このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はデータベース12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はデータベース18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザーが作成した255個のPDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。Oracleマルチテナントオプションの追加ライセンスは、クラスター内のすべてのホストに必要です。

ただし、データベースインスタンス 3 はコンプライアンス違反と見なされます。Oracle Multitenantオプションのライセンス・ルールに基づいて、Oracle Database 18c Enterprise Editionを実行しているデータベース・インスタンスでサポートされるユーザー作成PDBの最大数は252です。データベース・インスタンス 3 には 255 個のユーザー作成 PDB が含まれているため、ソフトウェア資産管理 は追加の 3 つのユーザー作成 PDB の削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、これらの追加の PDB を削除する必要があります。

Oracle Standard Edition のデータベース ライセンス

Oracle Database Standard Edition は、ソケットの最大容量よりも小さい値のサーバーでライセンスされるため、リスクのないライセンス コンプライアンスを確保できます。

ソケットは、プロセッサーまたは CPU が配置されるスロットです。**cmdb_hardware_product_model**ハードウェアモデルテーブルの検出不能な [ソケット数] フィールドにソケット情報を手動で入力する必要があります。ITOM ディスカバリー は占有されているスロットのみを検出し、調整 ソフトウェア資産管理 、コンプライアンスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database Standard Edition のライセンスルール

エディション	NUP とプロセッサの最大ルール
Oracle DB Standard エディション	サーバーあたり 4 ソケット
Oracle DB Standard Edition 1	サーバーあたり 2 ソケット
Oracle DB Standard Edition 2	サーバーあたり 2 ソケット

Example: Oracle Standard Edition 2 を 2 つ以上のソケットを持つサーバーに展開

次の例は、ライセンスルールに従わない再利用または削除候補に対して表示されるメッセージを示しています。

<サーバー名> にインストールされている Oracle DB Server Standard Edition 2 に、ライセンスなしのインストールのフラグが付けられています。Oracleライセンス・ポリシーに従い、Oracle Database Standard Edition 2は、最大容量が2ソケットのサーバーでのみライセンス供与されます。このサーバーには <no があります。ソケットの数>利用可能なソケットの数。このサーバーからOracle DB Server Standard Edition 2をアンインストールするか、Oracle DB Enterprise Editionにアップグレードすることをお勧めします。このアクションを続行する前に、Oracle データベースアドミニストレーターと協力して影響を評価することをお勧めします。サーバーで使用可能なソケットまたはスロットの最大数は、ハードウェア仕様の一部であることに注意してください。したがって、ハードウェア製品モデル <HW モデル名> でこの情報を更新することをお勧めします。この情報がハードウェアモデルに存在しない場合、すべてのソケットが占有および検出されていると見なされます。

Oracle データベースオプションと管理パック

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Oracle を使用して、Oracle データベース オプションと管理パックのライセンスの位置を追跡できます。ライセンス可能な Oracle オプション [samp_oracle_option_set] テーブルには、ソフトウェアモデルを作成できるデータベースオプションと管理パックの完全なリストが記載されています。

Oracle データベース オプションと管理パックのライセンスは、Oracle データベース サーバーとは別に管理する必要があります。データベースサーバー、データベースオプション、および管理パックごとに個別のソフトウェアモデルとエンタイトルメントが必要なため、 Oracle ライセンスコンプライアンスの状況をより包括的に把握できます。

たとえば、「パーティション化」オプションを使用する Oracle DB Server 12c R1 Enterprise には、2 つの個別のソフトウェアモデルとエンタイトルメントが必要です。

Oracle DB ライセンスの例

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
Oracle DB サーバー 12c R1 Enterprise のライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 エンタープライズ [データベースオプション] フィールドに値が選択されていません。	Oracle DB サーバー 12c R1 Enterprise の購入した権限を記録します。
[パーティショニング] オプションのライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 Enterprise パーティショニング	[パーティショニング] オプションで購入した権限を記録します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle DB ライセンスの例 (続く)

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
	[データベースオプション] フィールドで選択されたパーティショニング。	

Oracle データベース オプションと管理パックの使用状況を追跡および測定するには、ServiceNow Store から Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを要求してインストールOracle。詳細な手順については、「Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集の要求」を参照してください。

重要:
San Diego 以降のリリースで初めて ソフトウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する場合、データベース オプションと管理パックの使用状況を検出して測定するには、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションが必要です。

Rome 以前のリリースで初めて ソフトウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する場合、または ソフトウェア資産管理 アプリケーションの既存のインスタンスを Rome 以前のリリースから San Diego 以降のリリースにアップグレードする場合は、既存のパターンを引き続き使用して、データベース オプションと管理パックの使用状況を検出および測定できます。ただし、グローバルライセンスとアドバイザリーサービスアプリケーションには追加のユースケースに対応する拡張機能が提供されるためServiceNowOracle代わりに Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用することをお勧めします。

アプリケーションをインストールすると、「SAM - Oracle GLAS データからのデータベースオプション使用状況の評価」スケジュール済みジョブが毎週またはオンデマンドで実行され、Oracle環境にインストールされているOracleデータベースオプションと管理パックと管理パック、およびそれらに関連付けられているOracle機能の両方の使用状況データが取得されます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、このデータをOracle調整プロセスに含めて、Oracle データベース サーバーのライセンス コンプライアンスの位置とは別に報告されるデータベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの位置を決定するのに役立ちます。

[store-future: BEGIN review]

注:
[GLAS データからのデータベースオプションの使用状況を評価 (Evaluate database option usage from Oracle GLAS data)] スケジュール済みジョブは、ドメインセパレーションをサポートしています。

[End]

注:
Oracle機能の利用状況データが、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスを判断するのにどのように役立つかの詳細については、「Oracleデータベースオプションと管理パックの機能マッピング」を参照してください。

Oracle データベースオプションと管理パックは、 Oracle データベースサーバーのライフサイクルに従い、[ライセンス使用状況] ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) またはライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) に表示されますソフトウェア資産管理 。ただし、次の修復オプションは、データベース オプションと管理パックでは使用できません。

- 未割り当てのインストールを削除
- ライセンスなしのインストールを削除

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている **Oracle** データベースオプションと管理パック

Oracle の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack では、既存の検出と使用状況の測定パターンを使用するか、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用してデータベース オプションと管理パックの使用状況を追跡および測定するかに基づいて、次のデータベース オプションと管理パックがサポートされます。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
Active Data Guard	要	要
Advanced Compression	要	要
高度なセキュリティ	要	要
Audit Vault とデータベースファイアウォール **注:** Audit Vault and Database Firewallは Oracle 製品ですが、 Oracle パブリッシャ・パックでは、データベースと組み合せて使用する必要があるため、データベース・オプションとして追跡されます。	いいえ	要
変更管理 Pack **注:** データベースが Oracle Database 12c 以降を実行している場合、変更管理パック、Configuration Management Pack for Oracle Database、および Provisioning and Patch Automation Pack for Database は、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database に統合されます。変更管理パックを使用するには、Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のライセンスを取得する必要があります。	要	要
Oracle データベースの構成管理パック	要	要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
注: データベースが Oracle Database 12c 以降を実行している場合、変更管理パック、Configuration Management Pack for Oracle Database、および Provisioning and Patch Automation Pack for Database は、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database に統合されます。Configuration Management Pack for Oracle Database を使用するには、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のライセンスを取得する必要があります。		
コンテンツデータベーススイート 注: Content Database Suite は、 Oracle Database 11g Release 1 以前を実行しているデータベースでのみ使用できます。	いいえ	要
Data Masking Pack	要	いいえ 注: Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Oracle Data Masking and Sub-setting Pack の使用状況を追跡および測定できます。
データマイニング	いいえ	要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
注: データマイニングでは、データベースが Database 11g Release 1 以前 Oracle 実行されている場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースが Oracle Database 11g リリース 2 以降で実行されている場合、データ マイニングはデータベース ライセンスに既に含まれています。		
Database In-Memory	要	要
Database Vault	要	要
Diagnostics Pack	要	要
ラベルセキュリティ	要	要
Multitenant	要	要
OLAP	要	要
OracleOracle データベース用クラウド管理パック	いいえ	要
Oracle データ・マスキングおよびサブセット化パック	いいえ 注: データベース オプションと管理パックに既存の検出パターンと使用状況測定パターンを使用している場合は、代わりにデータ マスク パックの使用状況を追跡および測定できます。	要
Oracle データベースライフサイクル管理パック for Oracle Database	いいえ	要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
注: データベースが Oracle Database 12c 以降を実行している場合、変更管理パック、Configuration Management Pack for Oracle Database、および Provisioning and Patch Automation Pack for Database は、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database に統合されます。3 つのパックすべてにアクセスするには、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のライセンスのみが必要です。		
Oracle 空間とグラフ 注: Oracle Spatial and Graph では、データベースが Oracle Database 11g Release 1 以前を実行している場合にのみ、別途ライセンスが必要です。データベースが Oracle Database 11g Release 2 以降を実行している場合、 Oracle Spatial and Graph はデータベース ライセンスにすでに含まれています。	いいえ 注: データベース オプションと管理パックに既存の検出パターンと使用状況測定パターンを使用している場合は、代わりに空間とグラフの使用状況を追跡および測定できます。	要
Partitioning	要	要
データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック 注: データベースが Oracle Database 12c 以降を実行している場合、変更管理パック、Configuration Management Pack for Oracle Database、および Provisioning and Patch Automation Pack for Database は、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database に統合されます。Provisioning and Patch Automation Pack for Database を使用するには、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のライセンスを取得する必要があります。	要	要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
Real Application Clusters	要	要
Real Application Clusters One Node	要	要
Real Application Testing	要	要
レコードデータベース **注:** レコードデータベースは、 Oracle Database 10g Release 2 以前を実行しているデータベースでのみ使用できます。	いいえ	要
空間とグラフ **注:** Spatial and Graph では、データベースが Oracle Database 11g Release 1 以前を実行している場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースが Oracle Database 11g Release 2 以降を実行している場合、Spatial and Graph はすでにデータベース ライセンスに含まれています。	要	いいえ **注:** Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Oracle Spatial and Graph の使用状況を追跡および測定できます。
合計リコール **注:** Total Recallは、 Oracle Database 11g以前を実行しているデータベースでのみ使用できます。	いいえ	要
Tuning Pack	要	あり

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存のディスカバリーと使用状況の測定パターンでのサポート	**Data Collection for the** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションでサポートされています
注: Tuning Pack は、 Oracle Database Enterprise Edition を実行しているデータベースでのみサポートされます。Database Standard Edition または Express Edition Oracle を実行しているデータベースで Tuning Pack が検出された場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはその Tuning Pack インストールの削除候補を生成します。Oracle への準拠を維持するには、データベースから Tuning Pack をアンインストールするか、データベースを Oracle Databse Enterprise Edition にアップグレードする必要があります。		

Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集の要求

ServiceNow Storeから Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを要求して、Oracleデータベースオプションと管理パックの使用状況を追跡および測定できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services 」と入力し、「検索」を選択します。
4. [Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] という結果を選択します。
5. [グローバル ライセンスとアドバイザリ サービスのデータ収集 (Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services)] ページで、[インストールの要求] を選択します。[Oracle Global Licensing and Advisory Services の ServiceNow Request for App Installation - Data Collection (アプリインストールの要求 - グローバルライセンスとアドバイザリーサービスのコレクション] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストール要求 **- Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

Oracleデータベースオプションと管理パックの機能マッピング

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出されたOracle機能を、関連付けられている Oracle Database オプションと管理パックに自動的にマップします。これらのマッピングは、データベース オプションと管理パックの使用状況と管理パックの使用状況とライセンス コンプライアンスを判断するのに役立ちます。

すべての Oracle Database オプションと管理パックには、 Oracle Database の機能を拡張する一連の機能が含まれています。たとえば、 Oracle Active Data Guardオプションは、自動ブロック修復、グローバルデータサービス、アプリケーション継続性などの機能を使用して、 Oracle データベースのリアルタイムのデータ保護と可用性を提供します。各データベース オプションと管理パックでサポートされている機能の詳細については、 Oracle のドキュメント を参照してください。

ディスカバリーを実行すると、 ServiceNow ディスカバリー アプリケーションは、 Oracle 環境にインストールされているデータベースオプションと管理パック、およびそれらに関連付けられている機能の両方を検索して識別します。このデータは ソフトウェア資産管理 アプリケーションに送信され、そこで正規化と調整を行うことができます。

データが正規化された後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは Oracle Feature Option Mapping [samp_feature_option_mapping] テーブルを使用して、データベース インスタンス レベルで機能を適切なデータベース オプションと管理パックにマップします。[SAM - GLAS データ] スケジュール済みジョブから [SAM - データベースオプションの使用状況を評価 (Evaluate database option usage)] を介して各機能に対して取得した後続の使用状況データは Oracle マッピングされたデータベースオプションと管理パックに適用できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このデータを定義済みのデータベース オプションと管理パックの使用規則と共に使用して、各データベース インスタンスで使用されているデータベース オプションと管理パックを判断します。結果の使用状況情報は、 Oracle 調整プロセスに含まれ、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスを判断するのに役立ちます。

機能のデフォルトマッピングの更新

検出された機能が複数の Oracle データベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、その機能の既定のマッピングを更新することで、機能使用状況データが適用されるデータベース オプションまたは管理パックを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Oracle 機能は、複数のデータベース オプションと管理パックに関連付けることができます。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、各機能を一度に 1 つのデータベース オプションまたは管理パックにのみマップできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出された各機能を、各機能に対して事前定義された既定のマッピングに基づいて、適切なデータベース オプションまたは管理パックに自動的にマップします。その後、各機能の使用状況データをマップされたデータベース オプションと管理パックに適用して、それらが使用されているかどうかを判断できます。

検出された機能のいずれかが複数のデータベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、各機能の使用方法と、関連するデータベース オプションと管理パックに対して購入したエンタイトルメントに基づいて、それらの機能の既定のマッピングを更新できます。これらの機能の既定のマッピングを更新することで、対応する機能使用状況データが適用されるデータベース オプションと管理パックを変更できるため、組織のニーズに基づいてデータベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの位置をより適切に最適化できます。

注:
既定のマッピングは、複数のデータベース オプションと管理パックに関連付けられている機能に対してのみ更新できます。

手順

1. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_option_for_feature_inuse.list」と入力します。
   [使用中の機能のデフォルト] オプションリストが開きます。この一覧には、現在使用中のすべての検出された機能の既定のマッピングが表示され、複数のデータベース オプションまたは管理パックにマップできます。
3. 利用可能な機能のリストから、デフォルトのマッピングを変更する機能を選択します。
4. [使用中の機能のデフォルト オプション] フォームの [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンから、機能をマップするデータベース オプションまたは管理パックを選択します。

   注:
   [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンが自動的にフィルター処理され、選択した機能が関連付けられているデータベース オプションと管理パックのみが表示されます。

5. [**Update** (更新)] を選択します。
   自動的に [使用中の機能のデフォルトオプション (Default option for feature in use)] リストに戻り、新しいデフォルトマッピングが表示されます。

次のタスク
新しいデフォルトマッピングを有効にするには、スケジュール済みジョブ [SAM - GLAS データからデータベースオプション使用率を評価 (Evaluate database option usage from Oracle GLAS data)] を実行する必要があります。ジョブは、オンデマンドで実行することも、次のスケジュール済みジョブを待つこともできます。ジョブが正常に完了すると、指定した機能の使用状況データを、新しくマップされたデータベース オプションまたは管理パックに適用できます。

報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

未報告のデータベース オプションの使用状況レポートを使用すると、未検出のデータベース インスタンスで使用されている Oracle データベース オプションと管理パックを可視化できます。これらのデータベース オプションと管理パックの使用状況を追跡することはできませんが、このレポートは、それらに関連付けられている潜在的なライセンスへの影響を判断するのに役立ちます。

注:
このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでのみ使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このレポートを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートのリストから、[報告されていないデータベースオプションの使用状況] を検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、[実行] を選択します。

Oracle 報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

フィールド	説明
データベース名	データベース オプションまたは管理パックが使用されている未検出のデータベース インスタンス。
データベースオプション	未検出のデータベースインスタンスで使用されているデータベースオプションまたは管理パック。
ホスト	未検出のデータベースインスタンスが実行されている物理ホスト。
サーバー	物理ホストが実行されているサーバー。

Oracle 和解

Oracle 調整により、手動計算を必要とせずに、 Oracle ライセンスポジションを正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

Oracle調整を実行すると、ソフトウェア資産管理は、Oracle製品にアクセスまたは実行している名前付きユーザー、物理デバイス、および物理ホストの **[Rights Used By]** および **[Rights Needed By]** の割り当てを決定します。この情報を使用して、 Oracle 製品のコンプライアンスを維持できます。

注:
物理ホストで行った割り当てはすべて有効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 、これらの割り当てをライセンスワークベンチで [割り当て済み及び使用中] としてマークします。仮想マシン (VM) などの仮想ホストで行った割り当てはすべて無効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 は、これらの割り当てを [割り当て済み及び未使用] としてマークします。

VMware仮想化テクノロジOracleデータベースと WebLogic サーバーのライセンスでは、*`Select the level of aggregation for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware`* プロパティを使用して調整計算の集計レベルを選択できます。*`Use host affinity for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware at the vCenter(s) aggregation level`*プロパティを使用して、ソフトウェア資産管理を有効にして、Oracle調整中に VM とホストの親和性ルールを考慮することもできます。これらのプロパティの詳細については、 ソフトウェア資産管理のプロパティを参照してください。

のドメイン固有の調整プロパティの設定 **Oracle**

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用して、特定のドメインのOracle調整プロパティを設定します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを設定するには、ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ドメインセパレーションアプリケーションのプロパティは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで使用できます。これらのプロパティは既存の ソフトウェア資産管理 プロパティに直接対応し、各プロパティを適用するドメインを指定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションは、次の Oracle 調整プロパティでサポートされています。

- **VMware (***com.snc.samp.oracle.reconlevel***)** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するためのアグリゲーションレベルを選択します
- **Oracle** データベースおよび **WebLogic** サーバー **vCenter** のアグリゲーションレベル **(***com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled***)** での **VMware** 上の **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するには、ホスト親和性を使用します

既存の ソフトウェア資産管理 プロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。ドメインセパレーションアプリケーションのプロパティの詳細については、「 ドメインセパレーションアプリケーションのプロパティ 」を参照してください。

手順

1. ServiceNow® インスタンスから、 **All** (すべて) > **Software Asset Management** > アドミニストレーション > アプリケーション プロパティ.
2. 利用可能なアプリケーションプロパティのリストから、変更するアプリケーションプロパティを選択します。
3. [アプリケーションプロパティ値] 関連リストで、変更するアプリケーションプロパティ値を選択します。

   既存のアプリケーションプロパティ値がない場合、またはアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
アプリケーションプロパティ	アプリケーションプロパティ値が適用されるアプリケーションプロパティの名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
Value (値)	アプリケーションプロパティの値。この値は、対応する ソフトウェア資産管理 プロパティで使用可能な値の 1 つと同じである必要があります。たとえば、*com.snc.samp.oracle.reconlevel* アプリケーションプロパティの値を esx、cluster、または vcenter に設定できます。ソフトウェア資産管理プロパティで使用可能な値の詳細については、ソフトウェア資産管理のプロパティを参照してください。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するか、新しいアプリケーションプロパティ値を追加するかに応じて、[更新] または [送信] を選択します。
   既存のアプリケーションプロパティ値を更新する場合は、[更新] を選択します。新しいアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle インフラストラクチャレポート

Oracleインフラストラクチャレポートを使用して、Oracleインフラストラクチャを可視化できます。このレポートには、実行している Oracle データベースと、これらのデータベースをサポートしている構成アイテムに関する情報が含まれます。

> **注:**
> Oracle Infrastructure レポートはドメインセパレーションされています。

Oracleインフラストラクチャレポートは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでこのレポートを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > レポート > 表示/実行 ServiceNowインスタンスで[レポート] ページの上部にある [すべて] を選択します。使用可能なすべてのレポートのリストから、[**Oracle** インフラストラクチャ] レポートを見つけて選択します。

このレポートを ソフトウェア資産ワークスペースに表示するには、次に移動します: ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース ServiceNowインスタンスでソフトウェア資産ワークスペースの起動後、 ライセンス使用状況 > レポート > **Oracle** インフラストラクチャレポート.

Oracle インフラストラクチャレポート

列	説明
要求元 (デバイス)	サーバー、クラスター、vCenter、データセンターなど、 Oracle データベース、データベースオプション、管理パックがインストールされている構成アイテムです。 エントリを選択すると、その構成アイテムのライセンス要件に関する追加情報が表示されます。詳細については、「[ライセンスの要求元] フォーム」を参照してください。
データベースオプション	Oracle データベースで使用されているデータベース オプションまたは管理パック。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのエディション。
ソフトウェアモデル	Oracle データベース、データベース オプション、または管理パックに関連付けられているソフトウェア モデル。
ライセンス評価指標の結果	調整の実行時に Oracle ライセンスがカウントされるライセンスのメトリクス。オプションは、[**Named User Plus**] と **[Per Processor]** です。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権利の数。
モデル ID	Oracleデータベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされている構成アイテムのモデル ID。
CPU メーカー	構成アイテムで使用される CPU のメーカー。
CPU タイプ	構成アイテムによって使用される CPU のタイプ。
CPU カウント	構成アイテム内の CPU の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle インフラストラクチャレポート (続く)

列	説明
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
Oracle コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコアファクター。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用される CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権限の数。
オペレーティングシステム	Oracleデータベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされている構成アイテムのオペレーティング システム。
ソケット数	マザーボードで利用可能なスロットの数。

[ライセンスの要求元] フォーム

特定の構成アイテムのライセンス要件に関する追加情報を表示するには、Oracleインフラストラクチャレポートの [要求元 (デバイス)] フィールドから構成アイテムを選択します。対応する [ライセンスの要求元] フォームが開き、ライセンスの消費、 Oracle データベースソフトウェアのインストール、 Oracle データベースオプションと管理パック、および選択した構成アイテムに関連付けられているデータベースインスタンスに関する情報を表示できます。

[ライセンスの要求元] フォーム

フィールド	説明
要求者	サーバー、クラスター、vCenter、データセンターなど、 Oracle データベース、データベースオプション、管理パックがインストールされている構成アイテムです。
ライセンス評価指標の結果	調整の実行時に Oracle ライセンスがカウントされるライセンスのメトリクス。オプションは、**[Named User Plus]** と **[Per Processor]** です。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権利の数。
ライセンスステータス	Oracleデータベース、データベースオプション、または管理パックのライセンスステータス。
[ライセンス消費の詳細] 関連リスト	
要求者	Oracleデータベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされている構成アイテム。
モデル ID	構成アイテム (CI) のモデル ID。
プロセッサ名	構成アイテムで実行されているプロセッサーの名前。
プロセッサ	構成アイテムで実行されているプロセッサーの数。
コア	構成アイテム内のコアの合計数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
CPU カウント	構成アイテム内の CPU の数。
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコアファクター。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権利の数。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用される CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権限の数。
オペレーティングシステム	構成アイテム (CI) のオペレーティングシステム。
[オプション] 関連リスト **注:** この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェア モデルが Oracle データベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
インスタンス	Oracleデータベースオプションまたは管理パックに関連するデータにアクセスして管理するデータベースインスタンス。
オプション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベース オプションまたは管理パック。
ライセンス可能	Oracle データベース オプションまたは管理パックがライセンス可能かどうかを示す値。オプションまたは管理パックがライセンス可能な場合、値は自動的に **true** に設定されます。オプションまたは管理パックがライセンス可能でない場合、値は自動的に **false** に設定されます。
現在使用中	Oracle データベース オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況があるかどうかを示す値。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がある場合、値は自動的に [使用中] に設定されます。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がない場合、値は自動的に [未使用] に設定されます。
最初の使用日	Oracle データベース オプションまたは管理パックの使用を最初に開始した日付。
前回の使用日	Oracle データベース オプションまたは管理パックを最後に使用した日付。
インストール関連リスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェア モデルが Oracle Database ソフトウェア インストールに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
表示名	Oracleデータベースソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	インストール済みソフトウェアの公開者。このフィールドは常に **Oracle** に設定されます。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
ディスカバリーモデル	Oracleデータベースソフトウェアのインストールに関連付けられているディスカバリーモデル。
インストール先：	Oracleデータベースソフトウェアがインストールされている構成アイテム。
Assigned to (アサイン先)	Oracleデータベースソフトウェアのインストールに関連付けられているユーザー。
インスタンス関連リスト 注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェア モデルが Oracle Database ソフトウェア インストールに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
[Name (名前)]	Oracleデータベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンスの名前。
環境	データベースインスタンスが存在する環境。
バージョン	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのバージョン。
ベンダー	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのベンダー。このフィールドは常に **Oracle** に設定されます。

Oracle 合意ごとの **DB** サーバー展開レポート

合意ごとの Oracle DB サーバーの展開レポートを使用すると、合意タイプに基づいて、ハイブリッドインフラストラクチャ全体の Oracle Database サーバーの展開を可視化できます。

注:
Oracle DB サーバーのアグリーメントごとの展開レポートは、ソフトウェア資産ワークスペースでのみ使用できます。このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでは利用できません。

このレポートを表示するには、次の場所に移動して ソフトウェア資産ワークスペース を起動します。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース ServiceNowインスタンスでソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > 合意ごとの **Oracle DB** サーバーの展開.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle 合意ごとの **DB** サーバー展開レポート

フィールド	説明
[Name (名前)]	Oracle データベースサーバー展開の名前。
製品	Oracle 展開内で実行されている製品。このフィールドは常に **[DB** サーバー] に設定されます。
バージョン	Oracle サーバーにインストールされている、または実行されているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle サーバーにインストールされている、または実行されているデータベースのエディション。
ライセンスのメトリクス	調整の実行時に Oracle Database ライセンスがカウントされるライセンスメトリクス。オプションは、[**Named User Plus]** と **[Per Processor]** です。
合意タイプ	Oracle データベースサーバー展開の合意タイプ。オプションは、 **ULA** (Unlimited License Agreement)と **Generic**です。
クラウドプロバイダー	Oracle Database サーバーの展開に使用するクラウドプロバイダー。
クラウドサービスタイプ	Oracle Database サーバーの展開に使用するクラウドサービスモデル。オプションは **PaaS** と **IaaS** です。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**Oracle**用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、Oracleに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > パブリッシャーの概要.

> **注:**
> [Oracleダッシュボード] タブを表示するには、アドオン Oracle パブリッシャーパック (com.snc.samp.oracle) プラグインをインストールする必要があります。

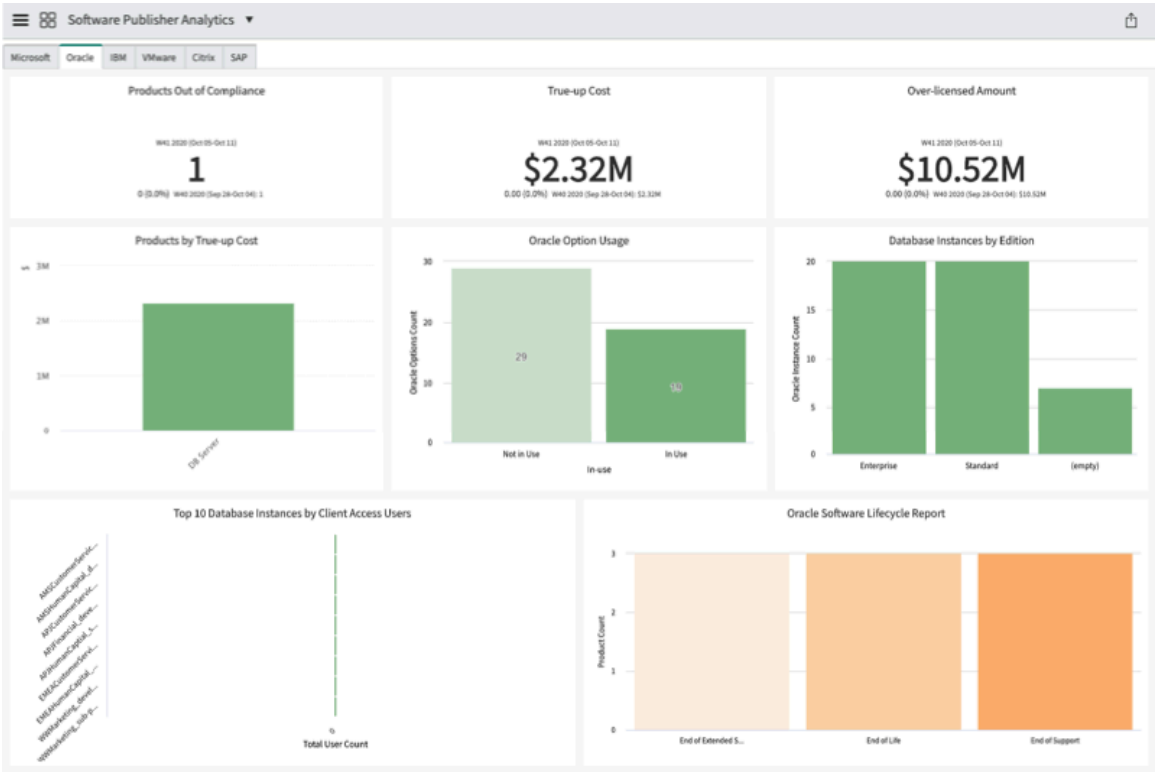
結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Oracle ダッシュボード

Oracleパブリッシャパックを使用して、データベースサーバーなどのOracleサーバーソフトウェアを管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Oracle タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 ライセンスワークベンチで結果を表示するレポートを選択します。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大調整コスト。
Oracle オプションの使用法	Oracle 個のオプション	インストール済み Oracle ライセンスと使用中のライセンス (true と false)。
エディション別のデータベースインスタンス	Oracle インスタンス	データベースエディション別のデータベースインスタンスの合計数。
クライアントアクセスユーザー別の上位 10 個のデータベースインスタンス	クライアントアクセス	クライアントアクセスユーザー数が最も多いデータベースインスタンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle タブ (続く)

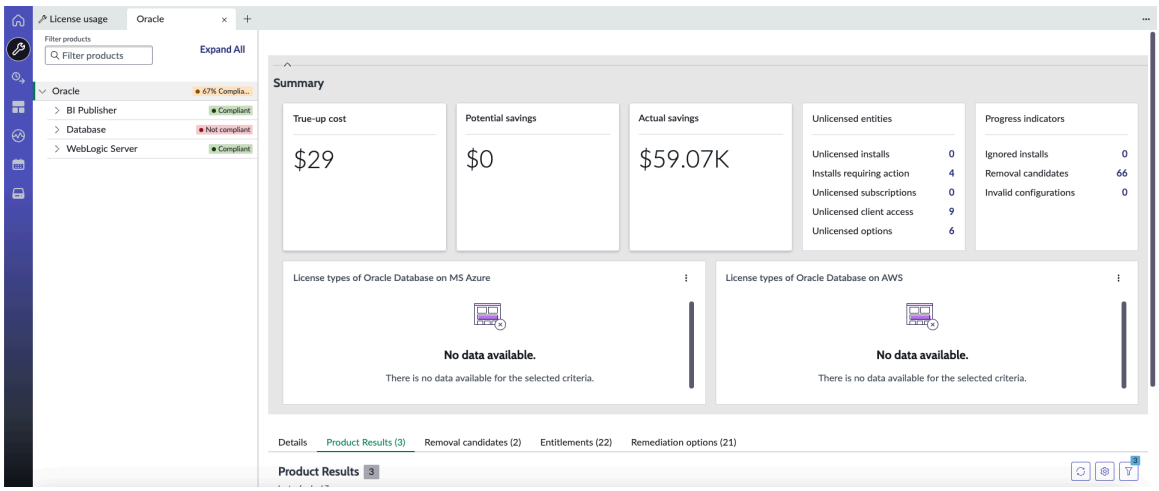
レポート	ソースリスト	説明
Oracle ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズにある製品の数。

の Oracle のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースOracleのパブリッシャーの概要で、Oracleに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Oracle パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[Oracle**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Oracle パブリッシャーの概要の [サマリー] セクションで確認できます。

Oracle 概要

レポート	説明
調整コスト	Oracleソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	Oracleライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	Oracleライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなし Oracle ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Oracle ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスなしの Oracle サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle サブスクリプションの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Oracle クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのオプション: ライセンスのない Oracle データベースオプションと管理パックの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle データベースオプションと管理パックの完全な一覧が表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Oracle ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: Oracle 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。 • 無効な構成:構成が無効な Oracle 削除候補の合計数。番号を選択すると、これらの Oracle 削除候補の完全なリストが表示されます。
MS Azure 上の Oracle データベースのライセンスタイプ	Microsoft Azureクラウド環境で使用している各ライセンスタイプのソフトウェアのインストール数。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。
Oracleデータベースのライセンスタイプ AWS	Oracle Database サーバーの展開に使用するクラウドサービスモデルに基づき、AWSクラウド環境で使用しているライセンスタイプごとのソフトウェアインストールの数。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。クラウドサービスモデルには、PaaS (Platform as a Service) と IaaS (Infrastructure as a Service) があります。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **SAP**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for SAP を使用して、SAPライセンスを管理および最適化します。SAPライセンスコンプライアンスを包括的に可視化し、節減の可能性を明らかにします。

注:
SAP Publisher Pack を使用して、SAP NetWeaver 7.4、SAP_BASIS 740 以降のバージョンのライセンスを管理および最適化できます。

注:
パブリッシャーパックを使用するには、 ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap) をインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポート対象のライセンスタイプ

SAP パブリッシャーパックは、名前付きユーザーのライセンス、エンジン測定、サードパーティのアクセス、およびフル使用と同等のものをサポートしています。

指名ユーザー

SAP 指定ユーザーは、 SAP アプリケーションを使用する組織内のメンバーです。さまざまなタイプの指定ユーザーライセンスを購入し、各ライセンスを指定ユーザーに割り当てることができます。

SAP パブリッシャーパックは、SAP ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4HANA アプリケーションの両方の指定ユーザーライセンスをサポートしています。アプリケーションタイプに基づいて、さまざまな指定ユーザーライセンスタイプがサポートされています。SAP ECC アプリケーションは、Professional、Limited Professional、Employee Self Service など、さまざまな指定ユーザーライセンスタイプをサポートしています。 SAP S/4HANA アプリケーションは、開発者アクセス、プロフェッショナル用のエンタープライズ管理、機能用エンタープライズ管理、生産性用エンタープライズ管理、テクニカル SAP のみをサポートしますエンジンユーザー、およびテクニカルユースの指定ユーザーライセンスタイプ。Now Platform は、SAP ECC アプリケーションと SAP S/4HANA アプリケーションの両方で、すべての指名ユーザータイプをサポートしています。

エンジン (自動化、計算、自己宣言)

SAP エンジンはパッケージとも呼ばれ、追加のライセンスが必要なオプションのアプリケーションです。すべてのエンジンには、エンジンのライセンス使用量を計算するために使用する固有のライセンス測定基準があります。ライセンス測定基準の例には、従業員数や契約数などがあります。

ライセンスの使用状況は、自動 SAP エンジン測定、複数のエンジン測定とインジケーターに基づく計算、または手動の自己申告プロセスのいずれかによって計算されます。

- エンジンが SAP エンジン測定プロセスでサポートされている場合、 ソフトウェア資産管理 そのエンジンのライセンス使用率を自動的に計算します。
- エンジンが複数のエンジン測定値で構成されていることが識別された場合、インジケーターライセンスメトリクスも利用可能であれば、 ソフトウェア資産管理 この値を計算します。
- エンジンが SAP エンジン測定プロセスでサポートされていない場合は、自己宣言プロセスを使用して、そのエンジンのライセンス使用情報を手動で入力する必要があります。SAPエンジンライセンスの使用状況を自己宣言する方法については、「自己宣言 SAP エンジンライセンス使用」を参照してください。

各プロセスでサポートされているエンジンの完全なリストを表示するには、SAPサポートポータルの「エンジンと自己宣言製品の測定」を参照してください。

> **重要:**
> SAPサポートポータルにアクセスするには、SAPサポートポータルのアカウントが必要です。

SAP パブリッシャーパックは、SAP ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方のエンジンライセンスをサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Yokohama リリース以降、SAP Engine 製品で収益ベースのライセンスサポートが有効になります。購入した権利と単位コストに対して、より価値の高い収益ベースの製品を使用できます。収益ベースのライセンスのサポートを有効にする方法の詳細については、ナレッジベースの記事 KB1641524 を参照してください。

デジタルアクセス

Digital Access ライセンスは、システムに直接ログインせずに、ユーザーまたはサードパーティアプリケーションによる SAP システムの間接的な使用に適用されます。SAPシステムを間接的に使用する例をいくつか次に示します。

- サードパーティアプリケーションを使用して SAP システムでアクションを実行する
- サードパーティアプリケーションから SAP システムへのデータ入力
- サードパーティアプリケーションから SAP システム内のデータを表示する

SAPシステムと多くのサードパーティ製品を統合している場合は、デジタルアクセスライセンスを購入することで、指定ユーザーライセンスを不必要に消費しないようにすることができます。このライセンスモデルでは、 SAP アプリケーションの使用は、サードパーティアプリケーションによって作成された事前定義ドキュメントの数によってライセンスされます。事前定義されたドキュメントタイプの詳細は、ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap) プラグインとともにインストールされるSAPドキュメントタイプ [samp_sap_document] テーブルに保存されます。

SAP ドキュメントタイプ

ドキュメント名	ドキュメントの乗数
販売ドキュメント	1
購入ドキュメント	1
請求書ドキュメント	1
製造ドキュメント	1
品目ドキュメント	0.2
品質管理ドキュメント	1
サービスおよびメンテナンスに関するドキュメント	1
財務ドキュメント	0.2
時間管理ドキュメント	1

SAPシステムは、さまざまなユーザーおよびクライアントシステムでサポートされているドキュメントタイプのデジタルアクセスデータを保存します。SAPシステムからServiceNowインスタンスにデジタルアクセスデータをプルするには、次のいずれかのツールがあることを確認します。

- SAP パスポートツール
- SAP 見積もりツール

注:
SAP Digital Access ライセンスを購入すると、これらのツールは追加コストなしでインストールできます。SAPツールの詳細については、SAP ヘルプポータル を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前定義されたドキュメントタイプのいずれかがサードパーティのアプリケーションを介して SAP システムで作成された場合、デジタルアクセスライセンスコストが適用されます。ただし、これらのドキュメントの読み取り、更新、または削除に関連する追加料金は発生しません。

SAPデジタルアクセスソフトウェアモデルの場合、デジタルアクセスの使用状況は次のように計算されます。

1. すべてのユーザーによって各 SAP システムで作成された特定のドキュメントタイプのドキュメントの合計数が計算されます。

   ユーザー A が 5 つの品目ドキュメントを作成し、ユーザー B が 5 つの品目ドキュメントと 10 個の販売ドキュメントを SAP システムで作成したシナリオを考えてみましょう。入出庫伝票の合計数は 10 で、販売伝票は 10 です。

2. ライセンス消費は、特定のドキュメントタイプの合計数にドキュメントの乗数を乗算して計算されます。

   前の手順で説明したシナリオに基づくと、品目ドキュメントによって使用されるライセンスは 2 (10*0.2) であり、販売ドキュメントによって使用されるライセンスは 10 (10*1) です。したがって、消費されるデジタルアクセスライセンスの合計は12です。

> **注:**
> SAP デジタルアクセスソフトウェアモデルは、ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap) プラグインとともにインストールされます。

SAP Digital Access ソフトウェアモデルの調整は、購入した権限と消費したライセンスを比較することによって行われます。

フル使用量相当量 (FUE)

FUE ライセンスは、 SAP S/4HANA Cloud アプリケーションのユーザーに適用されます。FUE は、指定されたソリューション機能へのアクセスが許可されているユーザーの数に付与されます。1 つの FUE を、特定の重み付け係数を持つさまざまな用途タイプに割り当てることができます。

ライセンスの FUE フレームワークは、さまざまなクラウド用途タイプに必要なレベルのアクセスと柔軟性を提供します。FUE ライセンスは、重み付け係数が指定されている 4 つの異なるクラウド用途タイプのいずれかに配布できます。

- セルフサービスでの使用:この FUE は、セルフサービスポータルを介して SAP S/4HANA Cloud アプリケーションを使用しているユーザーに適用され、基本的なビジネスプロセス、データ表示、およびレポート生成へのアクセスを提供します。この使用タイプは、主に事前定義されたセルフサービス機能を介して情報にアクセスしたり、アプリケーションを使用したりするユーザーを対象としています。さらに、使用権、データ消費、および軽量タスクを表示および管理するために使用されます。
- コア使用: この FUE には、セルフサービス使用タイプのすべての権限が含まれ、SAP S/4HANA Cloud アプリケーションへのアクセスを制限する必要があるユーザー向けに設計されています。コアユーザーは、データを表示し、レポートを実行し、基本的なビジネスプロセスを実行できます。この使用タイプは、特定の情報へのアクセスを必要とするユーザーや、包括的な機能を必要とせずに日常的なタスクを実行するユーザーに最適です。
- 高度な使用: この FUE には、コア使用タイプのすべての権限が含まれ、ユーザーに SAP S/4HANA Cloud アプリケーションへのフル アクセスが付与されます。このタイプのアクセス権により、ユーザーはデータの作成と編集、レポートの実行、および利用可能なすべてのビジネスプロセスの使用を行うことができます。主要なビジネス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オペレーションの管理に不可欠な広範な機能を必要とするユーザーに割り当てられます。

- 開発用途: この FUE は、 SAP S/4HANA クラウド ABAP 環境で提供される開発ツールにアクセスするためのライセンスを許可されたユーザーに付与します。

事前定義されたクラウド使用タイプの詳細は、 SAP S/4HANA スポークプラグインとともにインストールされる SAP クラウド使用タイプ [samp_sap_cloud_use_type] テーブルに保存されます。詳細については、「SAPクラウド使用タイプのライセンス計算」を参照してください。

SAP S/4HANA クラウドユーザータイプと重み付け要素

クラウドユーザータイプ	重み付け係数
開発ユーザー	1 FUE = 0.5
上級ユーザー	1 FUE = 1
コアユーザー	1 FUE = 5
セルフサービスユーザー	1 FUE = 30

さまざまなクラウドユーザータイプへの FUE ライセンス割り当ての例:

40 SAP S/4HANA クラウドユーザー(上級使用) = 40 FUE ライセンス

75 SAP S/4HANA クラウドユーザー(コア使用) = 15 FUE ライセンス

セルフサービス用のクラウドユーザー270 SAP S/4HANA = FUEライセンス9

SAP との接続 Now Platform

SAPシステムとServiceNowインスタンスの接続を開始するには、SAP 用の ABAP プログラムを展開します。次に、手順に従って SAP 接続を確立します。

SAP の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、一元化された設計を採用しています。セントラル システムと見なされる SAP クライアントにトランスポート ファイルをインポートすると、クライアントはカスタム プログラムによって選択されたリモート ファンクション コール (RFC) 接続リストを使用して、セントラル システムから RFC を介して他のすべてのクライアントを接続します。次に、データをフェッチしてセントラルシステムのカスタムテーブルに保存します。移送ファイルをインポートするには、 SAP Solution Manager を使用するか、RFC 接続がアクティブ化されている別の SAP クライアントを使用して、データを中央システムにフェッチします。

接続が確立されると、データがSAPシステムから ServiceNow インスタンスにプルされます。プルされるすべてのデータのリストについては、「 SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル」を参照してください。

SAP データは毎週プルされるようにスケジュールされています。ユーザーアクティビティデータ、Web アクティビティデータ、およびエンジン使用率データは毎月プルされます。すべてのユーザーと Web アクティビティは 90 日後に削除されます。SAPライセンスメトリクス測定テーブル [samp_sap_license_metric_measurement] のエンジン使用率測定レコードは、1 年後に削除されます。

SAPデータがNow Platformに入ると、最終的なSAPテーブルに転送される前に、最初にステージングテーブルに保存されます。データ転送が行われるテーブルを編集する場合、または転送ロジックを表示するには、「 変換マップ 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ユーザーアクティビティと Web アクティビティの変換マップは、大量のデータのためにパフォーマンスの問題が発生する可能性があるため、デフォルトでは有効になっていません。ただし、これらの変換マップは手動で有効にすることができます。アクティビティ変換マップを有効にするには、次の場所に移動します: **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > **SAP** 接続 をクリックし、接続を選択します。[構成] セクションで、 [アクティビティのフェッチ] フィールドを **True** に設定し、 [更新] を選択します。

SAPライセンス使用状況とコンプライアンスの表示

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または公開者の概要 (ソフトウェア資産ワークスペース) を使用して、SAPライセンスのコスト、使用状況、コンプライアンスを表示します。ダッシュボードと概要には、 SAP システムでユーザーロールを再割り当てすることでライセンス消費を最適化する方法も示されています。[ソフトウェア資産アナリティクス] ビューで、ライセンスの最適化の詳細を表示できます。詳細については、「のパブリッシャー最適化 SAP」を参照してください。

調整は毎週またはオンデマンドで実行され、すべての SAP 製品のライセンスコンプライアンス状況が決定されます。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録された購入権限と、 SAP システムからプルされた実際の使用状況データが比較されます。ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス使用状況] ビューでSAPの調整結果を表示できます。ライセンス使用状況ビューには、ライセンスのないユーザーとエンジン、利用可能で必要なデジタルアクセスライセンス、およびライセンスポジションを準拠させるための修復オプション、見込まれる節減額などが表示されます。[ライセンス使用状況] ビューの詳細については、「 [ライセンス使用状況] ビュー」を参照してください。

SAPのソフトウェアライセンスコンプライアンスの状況レポートを表示するには、次の場所に移動します ライセンス使用状況 > レポート > ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション ソフトウェア資産ワークスペース。

SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル

テーブルは、 ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグインとともにインストールされます。テーブルには、 SAP システムからプルされたデータが保存されます。

注:
アプリケーションファイルテーブルを使用して、SAP Publisher Pack とともにインストールされているすべてのコンポーネントを表示します。詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

デモ データは SAP Publisher Pack で利用できます。

テーブル

テーブル	説明
指名ユーザータイプロール [samp_named_user_type_has_role]	各指名ユーザータイプにアサインされたロール。
SAP クライアント [samp_sap_client]	Advanced Business Application Programming (ABAP) システムを外部システムに接続するリモートファンクションコール (RFC) 宛先。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > **SAP** クライアント.
SAP 接続 [samp_sap_connection]	SAP システム接続。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
	テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > **SAP** 接続.
SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access]	各エンジンのライセンスメトリクスに基づいた、SAP クライアントの最新のエンジン使用率の測定値。
SAP ライセンスのメトリクス [samp_sap_license_metric]	このテーブルは、 ServiceNow コンテンツサービスによって入力されます。これは、 SAP エンジンによって使用されるすべてのライセンスメトリクスのリストです。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > エンジン. **注:** テーブルは、コンテンツサービスからの新しいデータで定期的に更新されます。現在の SAP ライセンスを反映するために、新しいライセンスメトリクスが追加されたり、既存のライセンスメトリクスが非アクティブ化されたりする場合があります。ライセンスメトリクスが非アクティブ化されたソフトウェアモデルを表示するには、次に移動します **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > **SAP** ライセンス測定基準が非アクティブ化されたソフトウェアモデル.
SAP ライセンスメトリクス測定 [samp_sap_license_metric_measurement]	各エンジンのライセンスメトリクスに基づく、SAP クライアントの毎月のエンジン使用率の測定値。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** エンジン.
SAP ロール [samp_sap_role]	SAPSAPシステムからプルされたロール。
SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	SAPシステムからプルされた検出済みユーザー。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** ユーザー. **注:** 検出されたユーザーテーブル [samp_discovered_user] は、検出された SAP ユーザーをユーザーテーブル [sys_user] のシステムユーザーレコードにマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
SAP ユーザーアクティビティ [samp_sap_user_activity]	SAPシステムで費やされた時間や、作成または更新されたデータベースレコードの数など、SAPクライアントでのユーザーのアクティビティに関連するデータ。
SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]	SAP ユーザーとそのアサインされたロール。
SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]	SAPクライアントで実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ (各接続で送受信されたコールの数やデータ量など)。
SAP ユーザーのアクティブなトランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]	SAPクライアント上の名前付きユーザーのトランザクションアクティビティに関連するデータ。ユーザートランザクションアクティビティは、SAPクライアントでトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるSAPトランザクションコードに基づいています。たとえば、ME21N トランザクションコードを使用すると、 SAP で発注書を作成できます。
SAP USMM ルール [samp_sap_usmm_rule]	USMM は、接続されているすべての SAP アプリケーションからの情報をルールします。

注:
SAPデータのステージングテーブルもインストールされます。

SAP からのデータは、SAP パブリッシャーパックに含まれていないいくつかの追加テーブルにも保存されます。

- 価格リストデータがプルされ、価格リストテーブル [samp_price_list] に保存されます。

  テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > 価格リスト.

- 名前付きユーザータイプがプルされ、名前付きユーザータイプテーブル [samp_named_user_type] に保存されます。

  テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > アドミニストレーション > 指名ユーザータイプ.

- クライアント、ユーザー名、ドキュメントタイプ、ドキュメントタイプ数、測定者などのデジタルアクセスの詳細はSAPシステムからプルされ、SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access] テーブルに保存されます。

  テーブル内のデータを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > **Discovery** > **SAP** デジタルアクセスデータ.

の **ABAP** プログラムの展開 **SAP**

SAPシステムとServiceNowインスタンス間の接続を確立するには、Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラムを展開します。ABAP プログラムを展開すると、SAP と ServiceNow インスタンス間でデータを共有できます。

始める前に
ABAP プログラムにアクセスするには、ServiceNow Store から SAP ABAP for ソフトウェア資産管理 アプリケーションをダウンロードしてください。Yokohamaリリースと互換性のあるアプリケーションバージョンをダウンロードしてください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ABAP プログラムをデプロイするには、 SAP ABAP for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを介して提供されるトランスポートファイルをインポートし、サービス指向アーキテクチャ (SOA) マネージャーでサービスプロバイダーを設定します。

注:
ServiceNow インスタンスをアップグレードする場合は、新しいリリースと互換性のあるバージョンの ABAP プログラムをダウンロードして展開する必要があります。その後、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを再構成する必要があります。

SAP のセットアップ情報については、「 KB0813999 」を参照してください。

SAP とその関連ツールの詳細については、SAP ヘルプポータル を参照してください。

手順

1. SAPシステムで、SAP Transport Management System (STMS) を使用してトランスポートファイルをインポートします。
   a. COFILEファイルとDATAファイルをディレクトリにコピーして展開します。
   b. STMS を起動し、[**Import Overview]** を選択します。
   c. ターゲットシステムをダブルクリックし、 エクストラ > その他の要求 > 追加をクリックし、移送要求番号を入力します。
   d. 要求をハイライト表示し、 要求 > インポート.
   e. [移送要求をインポート] ウィンドウで、[ターゲットクライアント] フィールドにクライアント番号を入力します。
   f. [オプション] タブを選択し、[無効なコンポーネント バージョンを無視する] チェック ボックスをオンにします。
   g. [**OK**] を選択します。
2. SAPシステムで、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを構成します。
   a. SOAマネージャを起動し、 サービス管理 > **Web** サービス構成.
   b. [検索基準] フィールドから [サービス定義] を選択します。
   c. [検索パターン] フィールドにサービス定義の場所を入力します。
   d. [移動 **(Go)]** を選択します。
   e. [検索結果] ウィンドウで、サービス定義行を選択し、[選択の適用] を選択します。
   f. [構成] タブで [作成] を選択します。
   g. 以下のフィールドを入力します。

[SOA 管理] ダイアログボックス

フィールド	説明
サービス名	サービスの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
説明	サービスに関する説明。
新しいバインディング名	バインディングの名前。

h. [設定の適用] を選択します。

i. 選択 プロバイダーセキュリティ > メッセージ認証をクリックし、[ユーザー ID/パスワード] チェックボックスをオンにします。

j. [**Save** (保存)] をクリックする。

k. 選択 概要 > 設計時 **WSDL** ドキュメントを開く.
ブラウザーウィンドウが開き、新しい WSDL が生成されます。

l. [サービス **WSDL** 生成を開く] を選択します。

m. [バインディングの **WSDL URL]** フィールドからリンクをコピーします。

3. RFC 接続を確認します。

次のタスク
ServiceNowインスタンスに戻り、SAP接続を確立します。

SAP接続を確立する

SAP システムに Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラムを展開した後、接続プロファイルを登録して、SAPシステムと ServiceNow インスタンス間の接続を確立します。

始める前に
SAP と ServiceNow インスタンス間の接続を確立する前に、SAP システムネットワークに ServiceNow などの外部アプリケーションからアクセスできるかどうかを確認します。外部接続がブロックされている場合は、 MID サーバーをインストールできます。MID サーバーは、ServiceNowインスタンスと外部アプリケーションまたはデータソース間の通信とデータ移動を可能にします。手順については、「 MID サーバーのインストール 」を参照してください。

既にネットワークに MID サーバー がインストールされていて、 ServiceNow インスタンスに接続されている場合、この SAP 接続で自動的に使用されます。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 接続のセットアップ [新規] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

SAP [接続のセットアップ] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	接続プロファイルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格表。
WSDL	SOA マネージャーからの Web サービス記述言語 (WSDL) URL (IP アドレスを含む)。 SAP システムへの接続に使用されます。 **注:** SAP WSDL 名は変更しないでください。WSDL サービス定義名は /NOW/SAMP で、サービスバインディング名は NOW_SAMP である必要があります。変更できる WSDL 名は、WSDL 生成名のみです。
ユーザー名	SAP システムへの接続に使用されるユーザー名。
Password (パスワード)	SAP システムへの接続に使用するパスワード。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。
   初期接続が確立されます。
4. SAP接続を選択し、レコードのフィールドを確認します。

SAP 接続レコード

フィールド	説明
[Name (名前)]	接続プロファイルの名前。値は [SAP 接続のセットアップ] フォームで生成されます。
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格表。値は [SAP 接続のセットアップ] フォームで生成されます。
USMM ロール最適化を使用	調整中に適用する必要がある USMM ロールベースの最適化を指定するためのチェックボックス。
前回の実行	SAP接続に対してデータが最後にプルされた日時。
SOAP メッセージ	SAP WSDL 情報を含む SOAP メッセージ。
Credential alias (認証情報エイリアス)	接続の認証情報が含まれている接続エイリアス。接続エイリアスにより、実行時に接続と資格情報が解決されます。
[Active (アクティブ)]	SAP接続がアクティブであることを示すオプション。
ユーザーマッピング	
SAP ユーザーフィールド	SAP 対応する ServiceNow ユーザーにマッピングされているさまざまなクライアント間のユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーフィールド	ServiceNow ユーザーフィールド。 注: データのプル後に [ユーザーマッピング] フィールドの値を変更すると、検出されたユーザーとシステムユーザーの間のマッピングが失われます。検出されたユーザーと [権限使用者] フィールドおよび [権限要求者] フィールドとの間のマッピングも失われます。
構成	
ロールのフェッチ	ロールデータの SAP から取得するデータを制御します。
エンジン使用率のフェッチ	エンジン使用率データの SAP から取得するデータを制御します。
アクティビティのフェッチ	ユーザーアクティビティと Web アクティビティデータの SAP から取得するデータを制御します。
ユーザートランザクションをフェッチ	ユーザートランザクションアクティビティデータの SAP から取得するデータを制御します。

5. [SAP 認証情報] 関連リストで、接続の作成に使用した認証情報を表示します。

   注:
   特定の SAP 接続に対してアクティブにする必要がある認証情報レコードは 1 つだけです。認証情報に関連付けられているロールを確認するには、 SAP Basis アドミニストレーターにお問い合わせください。アドミニストレーターは、 SAP ユーザー ID 認証情報にそれぞれのロールを割り当てます。

6. SAP接続をテストするには、最新バージョンの ABAP プログラムを実行している場合は、[**SAP** 接続とバージョンのテスト **(Test SAP Connection and Version)**] 関連リンクを選択します。

   注:
   ServiceNowインスタンスをアップグレードする場合は、新しいバージョンのABAPプログラムをダウンロードしてデプロイし、SOAマネージャを使用してサービスプロバイダを再構成する必要があります。

7. SAPデータをカスタムテーブルに再度収集するように要求をカスタム ABAP プログラムに送信するには、[**SAP** でデータをリフレッシュ] 関連リンクを選択します。
8. プルした SAP データが破損しており、現在のデータを確認する必要がある場合は、[すべての **SAP** データを **ServiceNow** にプル] 関連リンクを選択します。
   SAP データは定期的にプルされるようにスケジュールされています。
9. **[SAP** クライアント] 関連リストでSAPクライアントを表示します。
   SAPクライアントは、スケジュール済みジョブ中にSAPデータがプルされると生成されます。
10. [**Update** (更新)] を選択します。

タスクの結果
これで、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの作成を開始できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

のエンタイトルメントの作成 **SAP**

ソフトウェアエンタイトルメントを作成して、 SAP 製品のライセンス情報を記録します。エンタイトルメントは個別に作成することも、スプレッドシートからインポートすることもできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

注:
エンタイトルメントをインポートするには、sam_admin ロールが必要です。

重要:
エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成およびインポートできます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントの作成の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントのインポートの詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

このタスクについて
次の手順では、 SAPに固有の情報について説明します。ソフトウェアエンタイトルメントの作成に関する一般的な手順については、「 クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント [新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

注:
次の表には、 SAP ソフトウェアエンタイトルメントに固有の情報のみが表示されます。すべてのソフトウェアエンタイトルメントフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	**Value** (値)
評価指標グループ	SAP
ライセンスのメトリクス	次のいずれかの値を選択します ○ [名前付きユーザー]:特定の名前付きユーザータイプをアサインできる名前付きユーザーの数にライセンスを付与します。指名ユーザータイプは、エンタイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 ○ エンジン測定: SAP エンジンの使用量をライセンスします。 ○ デジタルアクセス:サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数に基づいて、サードパーティアプリケーションまたは非SAP仲介ソフトウェアを介し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Value (値)
	てSAPアプリケーションの間接的な使用をライセンス供与すること ○ フル使用量相当: SAP S/4HANA Cloud Public Edition の指定されたソリューション機能へのアクセスが許可されているユーザーの数にライセンスを付与します。FUE(Full Usage Equivalent)は、特定の計量係数を持つさまざまなユーザータイプに割り当てることができます。 [ライセンスメトリクス] フィールドで [フル使用量相当] を選択すると、ライセンスタイプが自動的に [サブスクリプション] に設定されます。 使用状況のタイプは、ソフトウェアモデルの **SAP** ライセンスメトリクス フィールドによって定義されます。 ライセンスのメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
4. フォームが再ロードされたら、[公開] を選択します。

のソフトウェアモデルの作成 **SAP**

SAP製品情報を記録するソフトウェアモデルを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_user

> **重要:**
> ソフトウェアモデルは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでのソフトウェアモデルの作成について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェアモデルは、 SAP システムからプルされたエンジンとライセンスメトリクスに対して自動的に作成されます。必要に応じて、 SAP 製品の追加のソフトウェアモデルを手動で作成できます。

次の手順では、 SAPに固有の情報について説明します。ソフトウェア モデルの作成に関する一般的な手順については、「 クラシック ソフトウェア資産管理 でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル [新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
SAPソフトウェアモデルに固有のフィールドのみを以下に示します。すべてのソフトウェアモデル フィールドの詳細については、「 ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。

ソフトウェア モデル フォーム

フィールド	説明
指名ユーザータイプ	SAP 名前付きユーザータイプ。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
価格リスト	指名ユーザータイプに対応するソフトウェアグループ。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
SAP ライセンスのメトリクス	エンジンのライセンス消費量を計算するために使用されるライセンスメトリクス。ライセンスのメトリクスの例としては、従業員数や契約数があります。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドからSAPエンジンが選択されている場合にのみ表示されます。
関連	一部の SAP エンジンには、追加のライセンスは必要ありません。エンジンに追加のライセンスが必要な場合は、このチェックボックスをオンにします。[関連がある] が false に設定されているソフトウェアモデルは、調整によって常に準拠していると見なされます。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドからSAPエンジンが選択されている場合にのみ表示されます。
しきい値	一部の SAP エンジンでは、ライセンスポジションが準拠しなくなる前に、一定量のライセンスなしの使用が許可されます。しきい値は、許可される使用を定義するもので、各エンジンとライセンスのメトリクスに固有です。エンジンの使用量がライセンス金額を超えているが、しきい値を下回っている場合でも、ソフトウェア モデルは調整によって準拠していると見なされます。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドからSAPエンジンが選択されている場合にのみ表示されます。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ソフトウェアエンタイトルメントを作成して 、ソフトウェアモデルのライセンスを記録します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム SAP 名前付きユーザータイプの作成

カスタムSAP指名ユーザータイプを作成して、SAPシステムに固有の指名ユーザータイプに基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に

必要なロール：sam_admin

重要:
カスタム SAP 名前付きユーザータイプは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでカスタム指名SAPユーザータイプを作成するには、次の手順に従います。ソフトウェア資産ワークスペースでカスタム指名ユーザータイプを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成」を参照してください。

このタスクについて

注:
ServiceNow インスタンスで直接作成したカスタムSAP名前付きユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムで同じ変更を行う必要があります。

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_named_user_type_list.do」と入力します。
   [指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格表。
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
Value (値)	指名ユーザータイプに関連付けられた値。この値は数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

名前付きユーザータイプが名前付きユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
カスタム指名ユーザーを追加したら、フォームでカスタム指名ユーザーを指定するソフトウェアモデルを作成します。

指名ユーザータイプへのロールのマップ

指名ユーザータイプにロールをマッピングすることで、 SAP ライセンスを最適化できます。調整中に、検出されたユーザーロールとそれにアサインされた名前付きユーザータイプがこれらのロールと比較され、より低い名前付きユーザータイプを指定できるユーザーが識別されます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_named_user_type_list.do」と入力します。
   [指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. ロールをマップする指名ユーザータイプを選択します。
4. **[SAP** ロール] 関連リストで、[編集...] を選択します。
5. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、指名ユーザータイプにマップするロールを検索して選択します。
6. [追加] アイコン (を選択して、選択したロールを [SAP ロールリスト] に移動します。
7. 指名ユーザータイプにマッピングするロールごとに手順 5 と 6 を繰り返します。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

カスタム **SAP** 価格表の作成

カスタムSAP価格表を作成して、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注:
ServiceNow インスタンスで直接作成したカスタムSAP名前付きユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムで同じ変更を行う必要があります。

重要:
カスタム SAP 価格表は、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでカスタムSAP価格表を作成するには、次の手順に従います。ソフトウェア資産ワークスペースでカスタムSAP価格表を作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのカスタム SAP 価格表の作成」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_price_list_list.do」と入力します。
   価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. フォームのフィールドに入力します。

[カスタム価格リスト] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。
[Active (アクティブ)]	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
自動的に価格リスト [samp_price_list] テーブルに戻ります。
6. オプション: SAP指名ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けます。

a. 価格リスト [samp_price_list] テーブルから、作成したカスタム SAP 価格リストを選択します。
[カスタム価格リスト] レコードが開きます。

b. [名前付きユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

c. フォームのフィールドに入力します。

[カスタム指名ユーザータイプを作成] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持っているかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
Value (値)	名前付きユーザータイプを識別する英数字値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。調整中は、ランク値が小さいほど優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

d. [**Submit** (送信)] を選択します。

e. 追加するカスタム指名ユーザータイプごとに、手順 a ～ c を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム SAP 指名ユーザータイプのインポート

カスタムSAP指名ユーザータイプをServiceNow インスタンスにインポートして、SAPシステムに固有の指名ユーザータイプに基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. KB1299127 に移動して、カスタムSAP名前付きユーザータイプを ServiceNow インスタンスにインポートするために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_nut.xlsx) をダウンロードします。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 指名ユーザータイプをスプレッドシートに入力します。[クライアント]、[システム]、[指名ユーザータイプ値]、および [指名ユーザータイプ名] フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリに必須です。
3. ServiceNowインスタンスから、SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルを開きます。

   注:
   ServiceNowインスタンスのアプリケーションスコープは、**SAP** 向けソフトウェア資産管理プロに設定する必要があります。

   a. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターで、「 imp_samp_sap_custom_nut_list.do」と入力します。SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルが開きます。

4. テーブルヘッダーを右クリックし、[インポート] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[カスタム指名ユーザータイプ] フォーム **SAP** 外部データのインポート

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに新しいデータを挿入するか既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するための Excel テンプレートを作成しますか？	SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルにデータを挿入または更新するために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。このオプションは、ステップ 1 でスプレッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ有効にしてください。
ステップ 1:データを入力するための Excel テンプレートファイルを作成する **注:** このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?)]** オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
すべてのフィールドをテンプレートに含める	利用可能なすべてのフィールドを Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートに含めるオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Excel テンプレートを作成	Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。
ステップ 2:テンプレートファイルのアップロード	
Excel テンプレートファイル	Microsoft カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに挿入または更新する名前付きユーザータイプを含む Excel スプレッドシート SAP 。

6. [アップロード] を選択します。
7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータをプレビュー] を選択します。
[Imp Tmpl Samp Sap Custom Nuts] ページが開きます。
8. 正しい数のカスタム SAP 名前付きユーザータイプがアップロードされたことを確認し、[インポートの完了] を選択します。
カスタム SAP の名前付きユーザータイプが ServiceNow® インスタンスにインポートされます。名前付きユーザータイプは、名前付きユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

カスタム SAP 価格表のインポート

カスタムSAP価格表をServiceNow® インスタンスにインポートして、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. KB1299127 に移動して、カスタムSAP価格リストデータを ServiceNow インスタンスにインポートするために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_price_list.xlsx) をダウンロードします。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 価格リストデータをスプレッドシートに入力します。
[クライアント]、[システム]、および [価格表の値] フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリで必須です。

   注:
   データをインポートするカスタム SAP 価格リストごとに、個別のスプレッドシートを入力する必要があります。

3. ServiceNowインスタンスから、SAPカスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルを開きます。

   注:
   ServiceNowインスタンスのアプリケーションスコープは、**SAP** 向けソフトウェア資産管理プロに設定する必要があります。

   a. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターで、「 imp_samp_sap_custom_price_list_list.do」と入力します。
   SAPカスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルが開きます。

4. テーブルヘッダーを右クリックし、[インポート] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. フォームのフィールドに入力します。

カスタム価格リストデータフォームへの外部データのインポート**SAP**

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	SAPカスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルの新しいデータを挿入するか既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するための Excel テンプレートを作成しますか？	カスタム価格リストデータ [SAP カスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルにデータを挿入または更新するために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。このオプションは、ステップ 1 でスプレッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ有効にしてください。
ステップ 1:データを入力するための Excel テンプレートファイルを作成する **注:** このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?)]** オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
すべてのフィールドをテンプレートに含める	利用可能なすべてのフィールドを Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートに含めるオプション。
Excel テンプレートを作成	Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。
ステップ 2:テンプレートファイルのアップロード	
Excel テンプレートファイル	MicrosoftSAPカスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルに挿入または更新するデータを含む Excel スプレッドシート。

6. [アップロード] を選択します。
7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータをプレビュー] を選択します。
[Imp Tmpl Imp Samp Sap カスタム価格リスト (Imp Tmpl Samp Sap Custom Price Lists)] ページが開きます。
8. カスタム SAP 価格表に対して正しい数のエントリがアップロードされたことを確認し、[インポートの完了] を選択します。
カスタム SAP 価格リストのデータが ServiceNow インスタンスにインポートされます。価格リストが価格リスト [samp_price_list] テーブルに追加されます。
9. オプション: カスタム SAP 価格表を追加 SAP 指名ユーザータイプに関連付けます。
デフォルトでは、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、カスタム SAP 価格表を、インポートされた Microsoft Excel スプレッドシートで指定したSAP名前付きユーザータイプに自動的に関連付けます。ただし、カスタム指名ユーザータイプを追加することで、価格リストを他の SAP 名前付きユーザータイプに関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

b. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_price_list_list.do」と入力します。
価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。

c. カスタム SAP 価格表を選択します。
価格リストレコードが開きます。

d. [名前付きユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

e. フォームのフィールドに入力します。

カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持っているかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
Value (値)	名前付きユーザータイプを識別する英数字値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。調整中は、ランク値が小さいほど優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

f. [**Submit** (送信)] を選択します。

g. 追加するカスタム指名ユーザータイプごとに、手順 d から f を繰り返します。

SAP USMM ベースの最適化

SAPクライアントの指名ユーザータイプにロールをマッピングする SAP ユーザーライセンス測定 (USMM) ルールを使用して、ライセンスを最適化します。

SAP USMM のルールは、システムクライアントごとに指名ユーザータイプにロールをマッピングします。これらのルールを名前付きユーザー ライセンスに適用する場合、 Now Platform は USMM ルールをプルし、すべての情報を SAP USMM ルール [samp_sap_usmm_rule] テーブルに保存します。スケジュール済みジョブ *SAM - SAP USMM Based Optimization* は毎週実行され、検出されたユーザーのシステムクライアントの USMM ルールに従ってライセンスを最大化します。この最適化された指名ユーザータイプは、SAP システムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルの [USMM 指名ユーザータイプ] 列に入力されます。詳細については、「SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル」を参照してください。

SAP接続レコードの **[USMM** ロール最適化を使用] チェックボックスをオンにして USMM ルールをオプトインすると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは調整中に最適化された USMM 指

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名ユーザータイプを優先します。SAPシステムと ServiceNow インスタンス間の接続を確立するための接続プロファイルの作成の詳細については、「SAP接続を確立する」を参照してください。

指名ユーザータイプのユーザートランザクションアクティビティ

SAPユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAP指名ユーザータイプのライセンスの最適化を決定します。

ユーザートランザクションアクティビティは、ユーザーが SAP クライアントで実行するトランザクションまたはタスクです。これらのアクティビティは、 SAP トランザクションコード (t コード) に基づいており、これらのトランザクションまたはタスクを識別して実行するためのショートカットです。SAPのスケジュール済みジョブを実行すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、SAPユーザーによってアクティブに使用されたSAPトランザクションコードを取得します。

SAP名前付きユーザータイプの再利用ルールを作成するときに、トランザクションコードと、割り当てられた指定ユーザーライセンスを保持するためにユーザーがアクティブにする必要があるトランザクションコードの最小数を指定できます。調整中、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、これらのトランザクションコードを名前付きユーザータイプの検出されたユーザートランザクションコードと比較します。結果のデータは、 SAP のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードの [トランザクションに基づくライセンス最適化のユーザー (Users for Transaction Based License Optimization)] レポートで確認できます。この情報を使用して、ライセンスをダウングレードしたり、未使用のライセンスを再利用したりして、指定ユーザーライセンスの位置を最適化します。このレポートの詳細については、 ソフトウェア資産管理クラシック版のSAP用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード を参照してください。

SAPユーザーのアクティブなトランザクションコードを表示する

SAPユーザーによってアクティブに使用されたSAPトランザクションコード (t コード) を表示します。このリストは再利用ルールと比較され、ユーザーに最適化されたライセンスがアサインされているかどうかが判断されます。

始める前に
必要なロール：admin

> **重要:**
> これらの SAP トランザクションコードは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでこれらのトランザクションコードを表示する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでこれらのトランザクションコードを表示する方法の詳細については、「 ワークスペースで SAP ユーザーを表示」を参照してください。

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_sap_system_user_list.do」と入力します。
   SAPシステムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルが開きます。
3. アクティブなSAPトランザクションコードを表示するSAPユーザーを選択します。
4. SAPシステムユーザーレコードで、[**SAP** ユーザーのアクティブなトランザクション] 関連タブを選択して、特定のユーザーに対して検出されたSAPトランザクションコードの完全なリストを表示します。

自己宣言 **SAP** エンジンライセンス使用

自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告できます。この情報を使用して、 SAP ライセンスコンプライアンスの状況をより包括的に可視化し、ライセンスコストを最適化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの**SAP**エンジンライセンス使用の自己宣言

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用して、自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己宣言します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて
特定のエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、SAPサポートポータルのエンジンおよび自己申告製品の測定 を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるすべてのエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

重要:
SAPサポートポータルにアクセスするには、SAPサポートポータルのアカウントが必要です。

手順

1. SAPエンジンのソフトウェアモデルを作成します。
   詳細な手順については、 のソフトウェアモデルの作成 SAP を参照してください。

   注:

   [ソフトウェアモデル] フォームで、[公開者] フィールドを [SAP] に設定する必要があります。フォームが再ロードされ、 SAPに適用可能なソフトウェア モデル フィールドのみが表示されます。

   さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用状況を自己宣言する SAP エンジンに設定する必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
   詳細な手順については、 のエンタイトルメントの作成 SAP を参照してください。

   注:
   [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドを ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

3. クライアントアクセスレコードを作成して、 SAP エンジンのライセンス使用を指定します。

   a. ServiceNowインスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターで、「 samp_sw_client_access_list.do」と入力します。
   クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルが開きます。

   c. **[New** (新規)] を選択します。

   d. [クライアントアクセス] フォームの [名前] フィールドに、クライアントアクセスレコードの名前を入力します。

   e. [ソフトウェアモデル] フィールドで、次に [リストから参照] アイコン ([を選択し、SAPエンジンのソフトウェアモデルを見つけて選択します。

      注:
      手順 1 で作成したものと同じソフトウェア モデルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. [使用状況] フィールドにエンジン ライセンスの使用状況の値を入力します。

このライセンス使用値は、エンジンに関連付けられているライセンスメトリクスに基づいています。たとえば、 SAP E-Recruiting エンジンのライセンスメトリクスは 従業員です。200 人の従業員が SAP E-Recruiting ライセンスを使用している場合は、[使用状況] フィールドにライセンス使用値として 200 を入力する必要があります。

各SAPエンジンに関連付けられているライセンスメトリックの詳細については、「エンジンおよび自己宣言製品の測定」を参照してください。

g. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
SAP エンジンのライセンス使用状況を自己宣言すると、ServiceNow インスタンスで実行される次のSAP調整に自動的に含まれます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

での **SAP** エンジンライセンス使用の自己宣言 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて
特定のエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、SAPサポートポータルのエンジンおよび自己申告製品の測定を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるすべてのエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

重要:
SAPサポートポータルにアクセスするには、SAPサポートポータルのアカウントが必要です。

手順

1. SAPエンジンのソフトウェアモデルを作成します。
詳細な手順については、 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成 を参照してください。

注:

[新規ソフトウェアモデルの作成] フォームで、[公開者] フィールドを [SAP] に設定する必要があります。フォームが再ロードされ、 SAPに適用可能なソフトウェア モデル フィールドのみが表示されます。

さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用状況を自己宣言する SAP エンジンに設定する必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
次のいずれかのオプションを使用してエンタイトルメントを作成できます。

- ソフトウェア資産の概要の [エンタイトルメントを作成] ボタン。

このオプションを使用してエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [新規ソフトウェアエンタイトルメントを作成] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドを ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

- ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブ。

  このオプションを使用してエンタイトルメントを作成するには、 手順 1 で作成したソフトウェアモデルのレコードを開きます。ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブで [新規] を選択し、対応する [新規ソフトウェアエンタイトルメントの作成] フォームのフィールドに入力します。

  各フィールドの詳細については、 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド を参照してください。

  > **注:**
  > [ソフトウェアモデル] フィールドは、自動的に入力されます。

3. SAPエンジンのライセンス使用を指定します。

   a. 手順 1 で作成したソフトウェア モデルのレコードを開きます。

   b. **[SAP** エンジンの使用状況] タブで、 [新規] を選択します。

   c. [新しい SAP エンジンの使用状況を作成 (Create new SAP Engine Usage)] フォームで、フィールドに入力します。

   [新しい **SAP** エンジンの使用状況を作成 **(Create New SAP Engine Usage)]** フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	SAP エンジンのライセンス使用状況を識別および追跡するために使用される名前。
ソフトウェアモデル	SAPエンジンが関連付けられているソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
SAP クライアント	SAPSAPエンジンがインストールまたは実行されているクライアント。
使用法	SAP エンジンのライセンス使用。 この値は、エンジンに関連付けられているライセンスメトリクスに基づいています。たとえば、 SAP E-Recruiting エンジンのライセンスメトリクスは 従業員です。200 人の従業員が SAP E-Recruiting ライセンスを使用している場合は、[使用状況] フィールドにライセンス使用値として 200 を入力する必要があります。各SAPエンジンに関連付けられているライセンスメトリックの詳細については、「エンジンおよび自己宣言製品の測定」を参照してください。

   d. [**Save** (保存)] をクリックする。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
SAP エンジンのライセンス使用状況を自己宣言すると、ServiceNow インスタンスで実行される次のSAP調整に自動的に含まれます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**SAP**用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、SAPのライセンスコンプライアンスの状況を表示します。

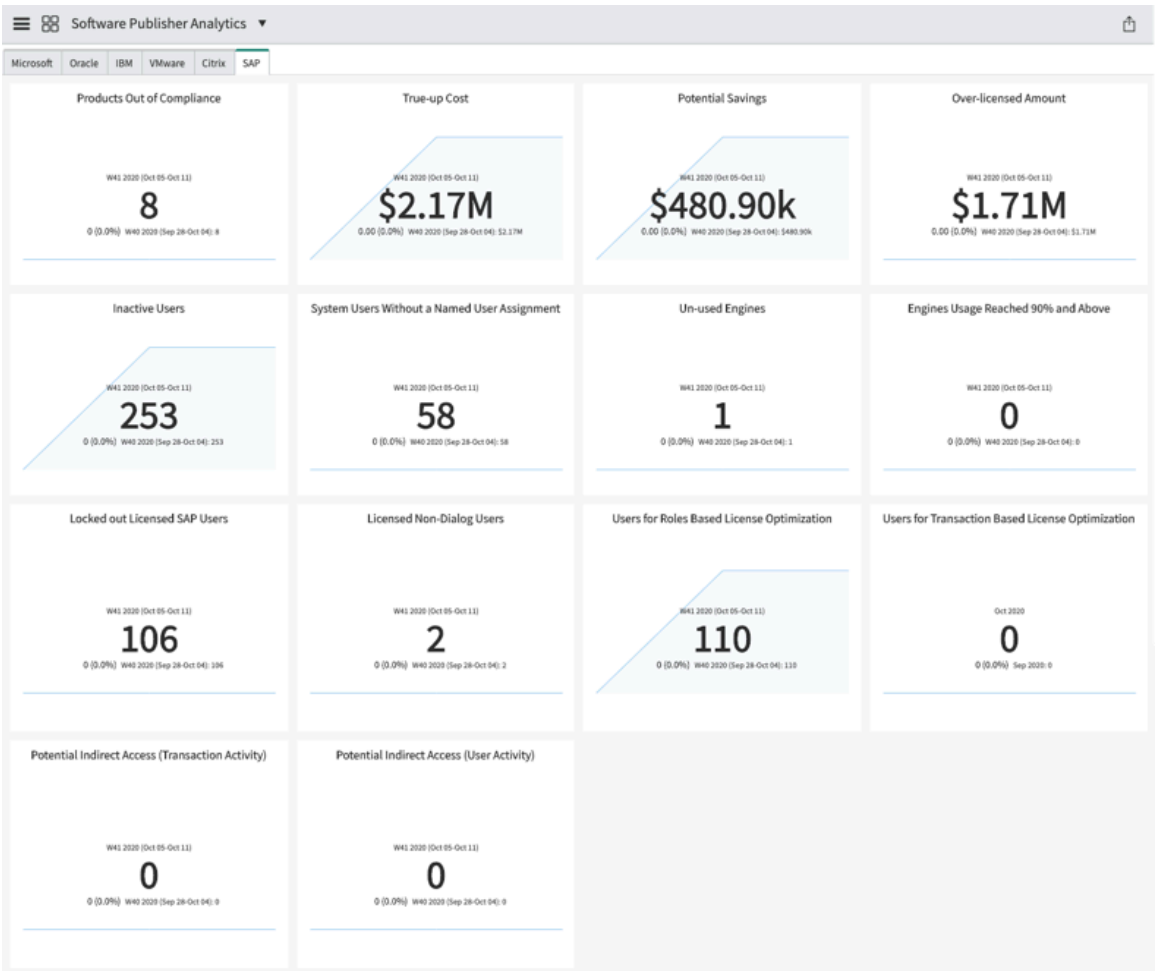
ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 概要.

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAM ユーザー:ダッシュボードを表示して、ライセンス SAP コンプライアンスと見込まれる節減を追跡できます。	sam_user

SAP ダッシュボード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	エンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。コストには、名前付きユーザータイプとエンジンが含まれます。
節減見込み	ソフトウェアモデルの結果	削除候補が再利用された場合に節約される金額。この節減額は、名前付きユーザータイプとエンジンを対象としています。
ライセンス供与過剰金額	ソフトウェアモデルの結果	所有しているが、使用されていないライセンスのコスト。コストには、名前付きユーザータイプとエンジンが含まれます。
非アクティブなユーザー	SAP システムユーザー	SAP 90 日以上前にログインしたユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システムユーザー	SAP 指名ユーザーがアサインされていないユーザー。
未使用エンジン	ライセンス評価指標の結果	使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントを持つ SAP エンジンの数。
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	ライセンス評価指標の結果	使用率が 90% 以上に達した SAP エンジンの数。
ロックアウトされたライセンス SAP ユーザー	SAP システムユーザー	ライセンスを消費している SAP ロックされたユーザー。
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システムユーザー	SAP 名前付きユーザーが割り当てられている非ダイアログユーザー。
ロールに基づくライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	ライセンス消費を最適化するためにロールを変更できる SAP ユーザーの数。
トランザクションに基づくライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	ソフトウェア資産管理 がユーザートランザクションベースのライセンス最適化を検出したSAPユーザーの数。 レポートを選択すると、最適化できるユーザーのリストが表示されます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	SAP システムユーザー	ユーザートランザクションアクティビティに基づく、SAPシステムへの間接的なアクセス権を持つSAPユーザーの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP タブ (続く)

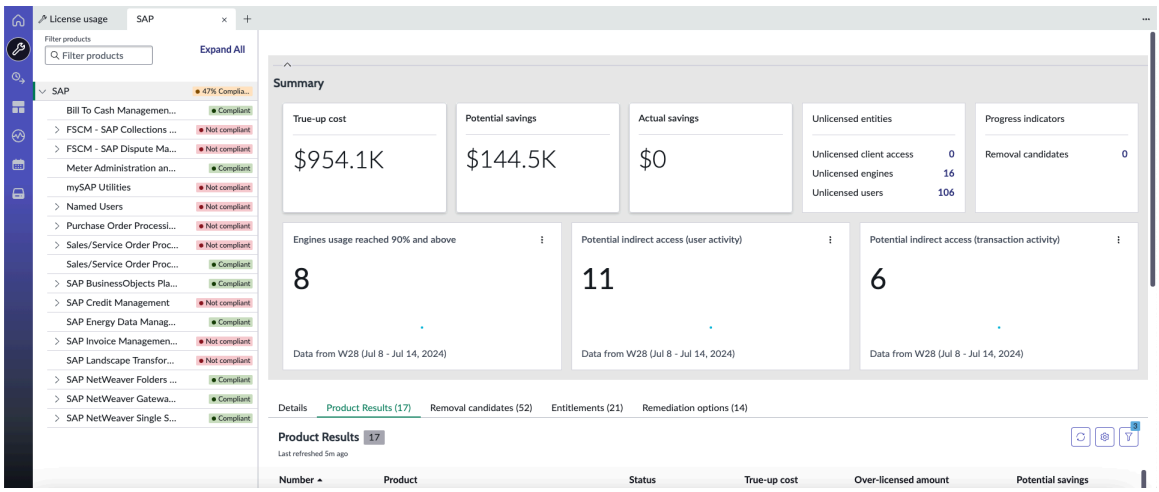
レポート	ソースリスト	説明
		ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAP システムユーザー	SAP システムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピーク数、およびステップに基づくスコアが与えられます。

の SAP のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースSAPのパブリッシャーの概要で、SAPに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して SAP パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[SAP**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 SAP パブリッシャーの概要の [サマリー] セクションで確認できます。

SAP 概要

レポート	説明
調整コスト	SAPソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
節減見込み	SAPライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	SAPライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SAP 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない SAP クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない SAP クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのエンジン:ライセンスのない SAP エンジンの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない SAP エンジンの完全なリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 SAP ユーザーの合計数。番号を選択すると、無認可 SAP ユーザーの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、SAP削除候補の合計数を表示する削除候補インジケーターが含まれます。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	使用率が 90% 以上に達した SAP エンジンの合計数。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAP システムに間接的にアクセスできる SAP ユーザーの合計数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピーク数、およびステップに基づくスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	ユーザートランザクションアクティビティに基づく、SAP システムへの間接的なアクセス権を持つSAPユーザーの合計数。 ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **VMware**

VMware の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを使用して、ソフトウェアエンタイトルメントとソフトウェアモデルを作成し、VMware 固有のライセンスメトリクスを使用してライセンスポジションを追跡します。

注:
ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for VMware のすべてのメリットにアクセスするには、VMware コンテンツパック (com.sn_samp_vmware) プラグインを有効にします。

VMware は、仮想化およびクラウドコンピューティングソフトウェアです。 VMware 仮想化には、2 種類のハイパーバイザーと、仮想化を最適化するために使用できる追加の製品が用意されています。

ほとんどの VMware 製品機能はライセンスキーを使用してアクセスされるため、ライセンスコンプライアンスの管理が困難になる可能性があります。VMware 向け ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを使用すると、ライセンスコンプライアンスの状況を追跡して、ソフトウェア支出を最適化し、監査リスクを軽減できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VMwareデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。詳細については、「ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントフォームを使用して、VMware用に購入したソフトウェア権限を追跡します。フォームの [ライセンス キー] 関連リストを使用して、ソフトウェアのライセンス キー情報を保存することもできます。VMwareでサポートされているさまざまなライセンス契約タイプの詳細については、「ライセンス契約タイプ」を参照してください。

ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス使用状況] ビューを使用して、VMwareライセンスコンプライアンスを表示します。VMwareソフトウェアがコンプライアンス違反の場合、[ライセンス使用状況] ビューには、ライセンスをコンプライアンスに戻す方法に関する修正の提案が表示されます。詳細については、「[ライセンス使用状況] ビュー」を参照してください。

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または公開者の概要 (ソフトウェア資産ワークスペース) のいずれかを使用して、VMwareに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版のVMware用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード」を参照してください。公開者の概要の詳細については、「の VMware, Inc. のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**VMware**用ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、VMwareに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > パブリッシャーの概要.

注:
[VMwareダッシュボード] タブを表示するには、アドオン VMware パブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

VMware ダッシュボード

VMware vCenter ソフトウェアからの情報が検出され、VMware調整に使用されます。 ディスカバリーはこれらのプローブを使用して、次のテーブルに入力します。

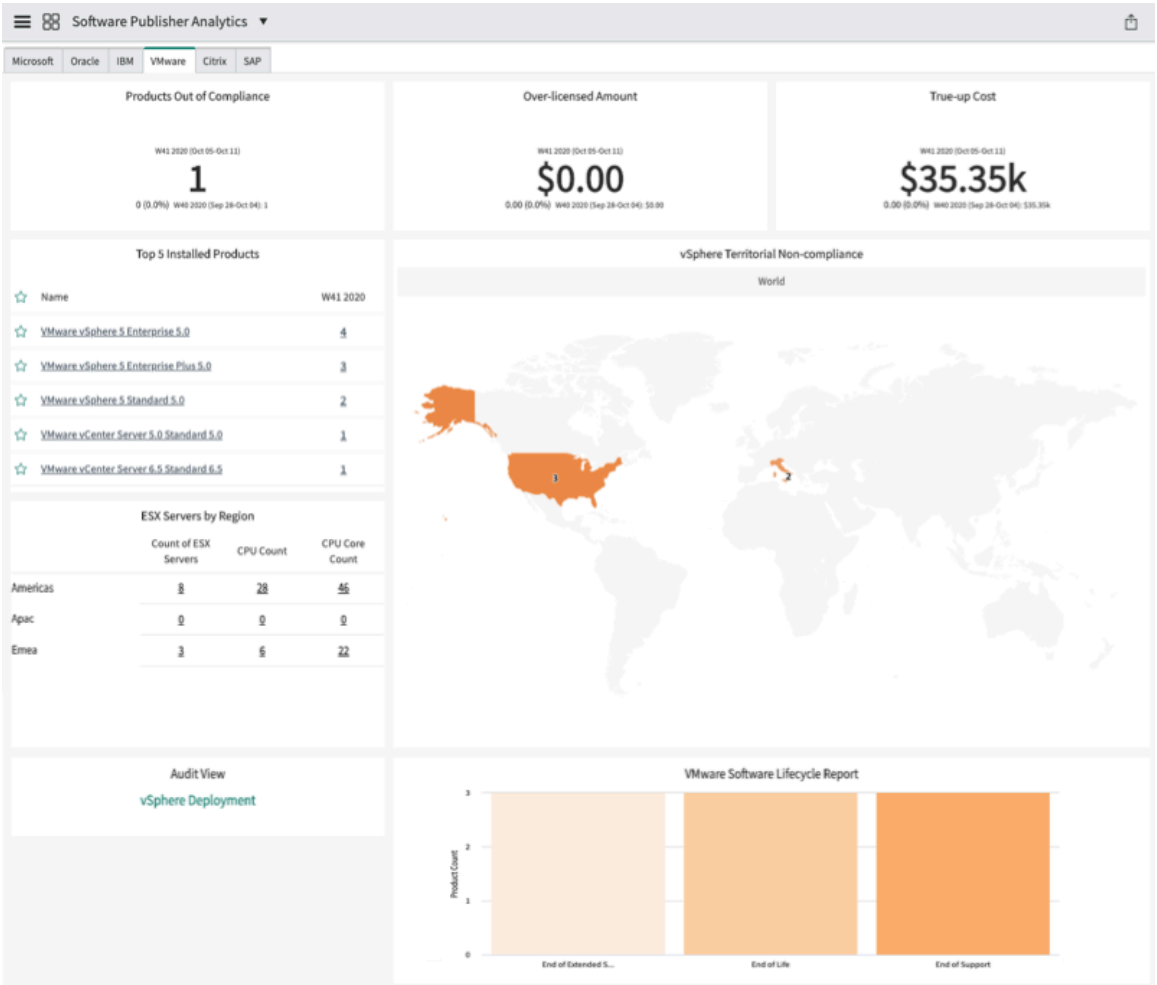
- vCenter プローブ VMware - vCenter ESX ホストライセンス
- VMware検出されたライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルと検出されたライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルVMware

詳細については、次を参照してください。 での vCenter ディスカバリー ソフトウェア資産管理.

注:
[VMwareダッシュボード] タブを表示するには、アドオン VMware パブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



VMware タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用に結果を表示します。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
インストールされた上位 5 製品	ソフトウェアインストール	インストールされている上位 5 つの VMware 製品の数。
vSphere のテリトリー非準拠	VMware 検出されたライセンスキーの消費	VMware vCenter 展開のコンプライアンス。フィルタリングする場所をドリルダウンします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VMware タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
リージョン別の ESX サーバー	ESX サーバー	場所、ESX 数、CPU 数、およびコア数。
監査ビュー	VMware 検出されたライセンスキーの消費	VMware vSphere 展開:製品、ライセンスキー、使用者、アサイン先、場所、CPU コア数、CPU 数、vCenter 参照、評価の有効期限、およびソフトウェアのインストール。
VMware ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアのライフサイクルの各フェーズにある製品の数。

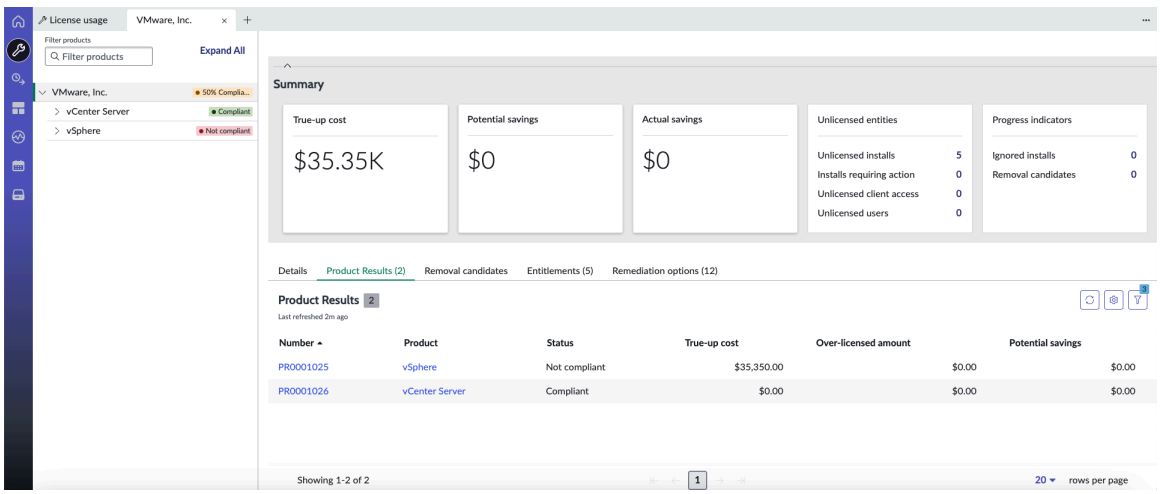
[vSphere 展開] 関連リンクには、[検出されたライセンス キーの消費VMware] リストが表示されます。

の VMware, Inc. のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースの VMware, Inc. のパブリッシャー概要で、VMwareに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して VMware, Inc. パブリッシャーの概要にアクセスします ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **VMware, Inc.** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、「 VMware, Inc. パブリッシャーの概要」の [サマリー] セクションで確認できます。

VMware, Inc. の概要

レポート	説明
調整コスト	VMwareソフトウェアエンタイトルメントの権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

VMware, Inc. の概要 (続く)

レポート	説明
節減見込み	VMwareライセンスの見込まれるコスト削減。
節減実績	VMwareライセンスの実際のコスト削減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティのサマリー。 このサマリーには、次の情報が含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなし VMware ソフトウェアのインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスなし VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある VMware ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない VMware クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない VMware クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 VMware ユーザーの合計数。番号を選択すると、無認可 VMware ユーザーの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況のサマリー。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された VMware ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補: VMware 削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

発行元の概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況パブリッシャーフィールド」を参照してください。

エンジニアリングライセンス管理

エンジニアリングアプリケーションのライセンスポジションと使用状況を可視化して、監査リスク、ライセンスの非効率的な使用、不正確な予測を排除し、拒否を防止します。

エンジニアリングライセンス管理の概要については、この短いビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1011366881?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

注:
エンジニアリングアプリケーションで ソフトウェア資産管理プロ のすべてのメリットにアクセスするには、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications プラグイン (com.sn_samp_eng_app) を要求します。詳細については、「ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

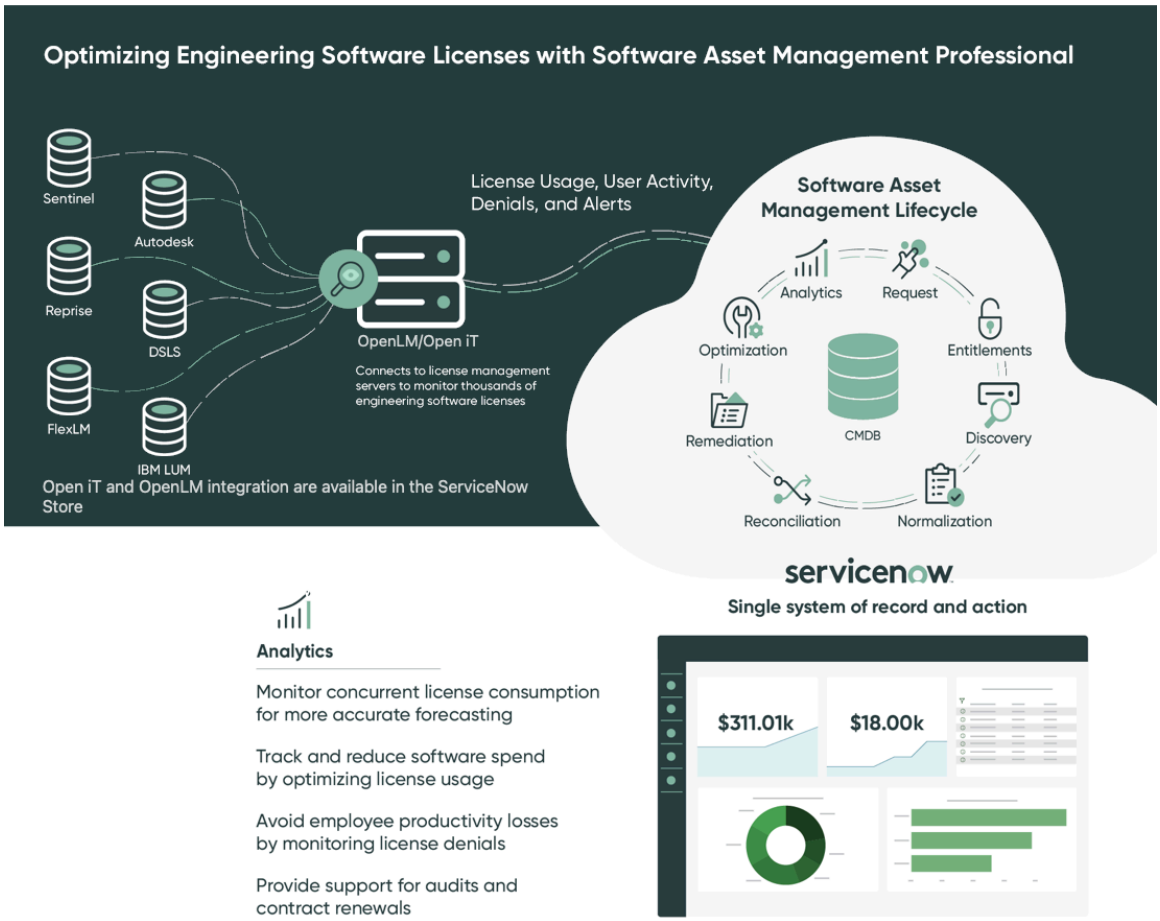
エンジニアリングアプリケーションとは、航空宇宙、石油およびガス、建設などの業界におけるソフトウェア製品の分類を指します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同時ライセンスを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上の任意のコンピューターまたは仮想マシンからソフトウェア アプリケーションへのアクセスを共有できます。ネットワークにインストールされているライセンス管理サーバーは、共有ライセンスのプールの配布を管理します。

複数のライセンス管理サーバーを持つことができます。エンジニアリングアプリケーションごとに 1 つ。共有プール内の同時ライセンスの数によって、特定の時間にソフトウェアアプリケーションを使用できるユーザーの数が決まります。アプリケーションを使用する場合、そのアプリケーションは適切なライセンス管理サーバーに要求を送信して、ライセンスが利用可能かどうかを判断します。ライセンスが利用可能な場合、アプリケーションが起動し、使用可能なライセンスの数が 1 つ減ります。ユーザーがアプリケーションを終了すると、ライセンスはプールに戻ります。

次の図は、OpenLM と Open iT が ServiceNow インスタンスを操作する方法を示しています。



ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、フローティングライセンス、ネットワークライセンス、およびトークンライセンスの 3 種類のライセンスをサポートしています。これらのライセンスの詳細については、「 ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。

ServiceNowインスタンスは、OpenLM および Open iT と統合して、ライセンス管理サーバーからデータを収集します。OpenLMとOpen iTは、IBM License Use Management(LUM)、Sentinel Technologies、Bentley Systems、Inc.などのさまざまなライセンス管理サーバーと統合するソフトウェアライセンス監視および管理ツールです。OpenLM と Open iT はどちらも、各ライセンス管理サーバーに接続し、ServiceNow Store アプリケーションを介してデータを統合し、ServiceNowインスタンスにデータを取り込みます。

ServiceNow Storeアプリケーションをダウンロードし、ガイド付きセットアップでアプリケーションを設定すると、OpenLMとOpen iTの両方が、これらのいずれかに接続されているすべてのライセンス管理サーバーからのデータ収集をトリガーします。ライセンスの使用状況、拒否、ユーザーアクティビティ、アラートなどのデータは、OpenLM と Open iT によってライセンス管理サーバーか

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ら収集され、 ServiceNow インスタンスに転送されます。データは正規化および調整されてレポートが生成されます。エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボード (ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション) またはワークスペースのエンジニアリングライセンスの概要ダッシュボード (ソフトウェア資産ワークスペース) では、エンジニアリングソフトウェアの合計支出、最も拒否された製品、経時的なライセンス使用状況、およびその他の多くのレポートを確認できます。

重要:
OpenLM のセットアップと構成の詳細については、ServiceNow Store の「OpenLM アダプタの統合」ページの「サポートリンクとドキュメント」セクションを参照してください。

Open iT のセットアップと構成の詳細については、ServiceNow Store の Open iT LicenseAnalyzer ページを参照してください。

SaaS ライセンス管理

ServiceNow SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用してSaaSと SSO の使用状況データを表示し、コンプライアンスを管理し、ライセンスを最適化します。

- SaaS アプリケーションとの直接統合を作成および管理します。サポートされている統合のリストについては、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。
- SSO プロバイダーとの統合を作成して、接続されているすべてのアプリケーションのサブスクリプションの使用状況を表示します。
  - Microsoft Entra ID
  - Okta
- SaaS ライセンス管理概要ダッシュボードで、SaaSおよび SSO サブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンス情報を表示します。
- アクティビティなしに制限されているユーザーサブスクリプションを再利用します。

次の順序で統合して、 SaaS と SSO の使用状況データを ServiceNow ソフトウェア資産管理 取り込みます。

1. 直接統合
2. シングルサインオン (SSO) 統合
3. とのカスタム統合のビルド SaaS ライセンス接続

注:
Microsoft Office 365およびAdobe Cloudのライセンスの管理については、「Microsoft 365 の統合とソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobe」を参照してください。

SaaS ライセンス管理の要求

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求して、SaaS アプリケーションおよびシングルサインオン (SSO) アプリケーションとの統合を作成および管理できるようにします。これらの統合を使用して、ライセンスの使用状況を追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

始める前に
ServiceNow instance で ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) を有効にします。ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) を要求してアクティブ化する方法の詳細については、「ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求する必要があります。

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 」と入力し、[検索] を選択します。
4. [ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] ページで、[インストールの要求] を選択します。
6. [アプリのインストール ServiceNow 要求 - ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求] **- [** ソフトウェア資産管理 **] - [SaaS** ライセンス管理 **]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	プラグインをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	プラグインを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、プラグインのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってプラグインをインストールします。

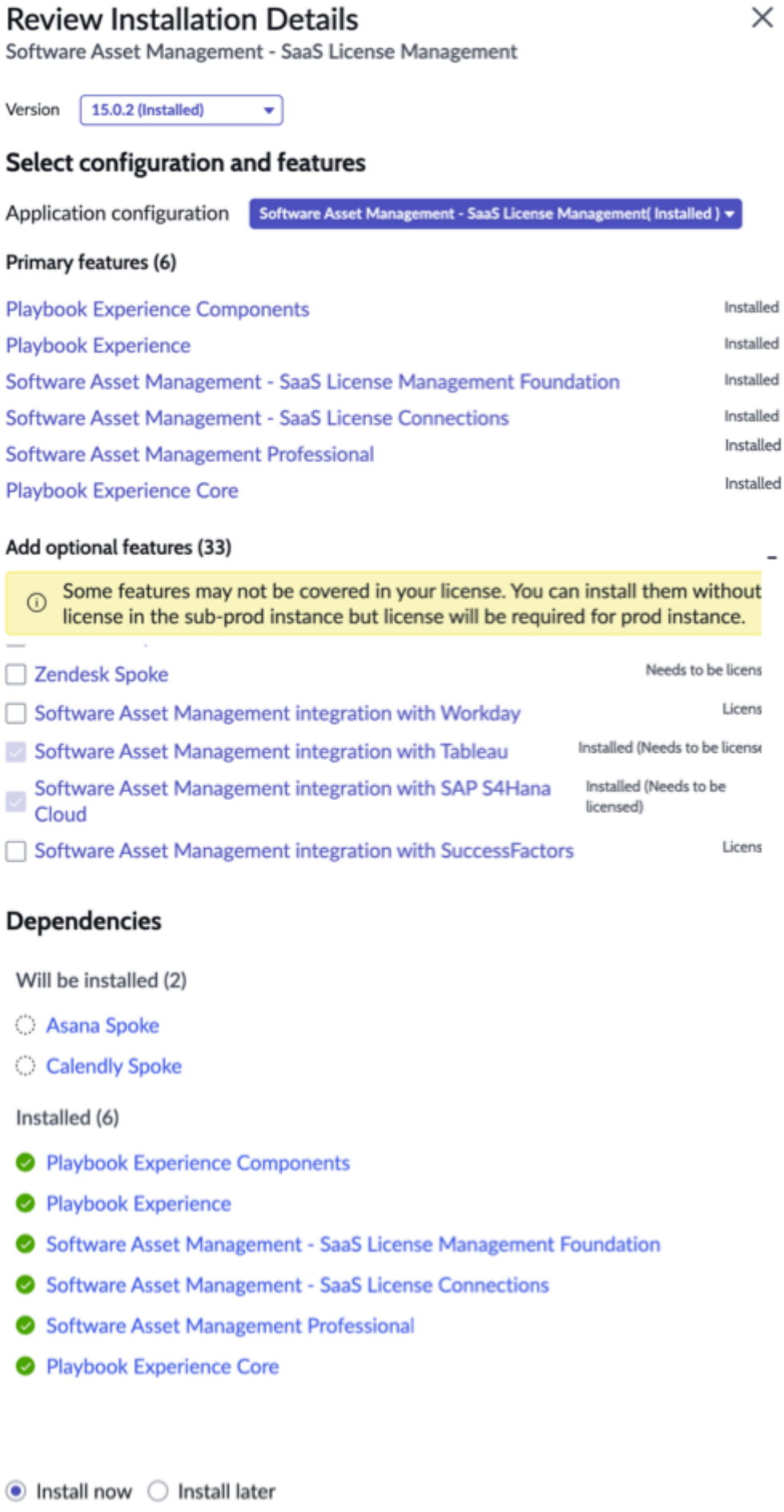
次のように移動する。 **All** (すべて) > アドミンセンター > アプリケーションマネージャー. [アプリケーションマネージャー] ページで、「 ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理」を検索して選択します。

アプリケーションをインストールして使用する準備ができたら、Application Manager ページで [オプション機能のインストール] を選択して、必要なSaaSアプリケーションを選択できます。

[インストールの詳細を確認] ダイアログボックスで選択できる主な機能とオプション機能のリストが表示されます。オプション機能を選択していない場合は、このアプリケーションの基本システム機能を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション機能を選択したら、[インストール] を選択します。[今すぐインストール] または [後でインストール] を選択すると、インストールプロセスを開始またはスケジュールできます。インストールの進行状況を表示すると、インストールの完了後に成功メッセージが表示されます。

SaaS ライセンス管理とともにインストールされる内容

ユーザーロールとテーブルは SaaS ライセンス管理 とともにインストールされます。デモデータは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインで利用できます。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_integrator	sam_user ロールを継承し、SaaS 統合プロファイルを作成および管理することもできます。

テーブル

テーブル	説明
カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition]	SaaS および SSO アプリケーション用にカスタマイズされたソフトウェアモデルを作成および更新できます。
カスタムサブスクリプション統合 [samp_sw_custom_subscription_integration]	カスタム統合プロファイルの SaaS プロバイダーと SSO プロバイダーのリスト。
製品プロファイルタイプ [samp_sw_product_profile_type]	ソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブル内の統合プロファイルタイプと製品間のマッピングを提供します。
SAM サブスクリプションスクリプトルート [sam_saas_script_route]	利用可能な統合を別々のスコープ対象アプリから登録するために、指定された統合タイプを実装するスクリプトインクルードとスコープを格納します。
SSO アプリケーション [samp_sso_application]	すべての SSO 統合のすべての SSO アプリケーションのリスト。
SSO アプリケーショングループ [m2m_sso_group_application]	接続された SSO アプリケーションと、それらにアクセスできるディレクトリグループとの間のマッピングを提供します。
SSO アプリケーションロール [samp_sso_application_role]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO ユーザーとグループのリスト。
SSO アプリケーションユーザー [m2m_sso_user_application]	接続された SSO アプリケーションと、そのアプリケーションにアクセスできるディレクトリユーザーとの間のマッピングを提供します。
SSO 統合プロファイル [samp_sso_integration_profile]	すべての SSO 統合プロファイルのリスト。
SSO サブスクリプション [samp_sso_subscription]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO サブスクリプションのリスト。
サブスクリプション消費 サマリー [sam_saas_consumption_summary]	消費単位、月次消費量、契約日を含む消費サマリー情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
サブスクリプション統合 [samp_sw_subscription_integration]	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。
サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition]	SaaS ライセンス管理 はこのテーブルを使用して、SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。ソフトウェアモデルは、このテーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して自動的に作成されます。
サブスクリプション使用率サマリー [samp_subscription_usage_summary]	ソフトウェア使用状況の概要情報 (所有している権限、アサインされた権限、古い権限、利用可能な権限、コストなど)。
認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_identifier]	ソフトウェアモデルに関連付けられていないサブスクリプション識別子のリスト。

SaaS ライセンス管理 大企業向けのセットアップ

大企業向けの SaaS ライセンス管理 を設定して、 ServiceNow インスタンス内のすべての SaaS 使用状況データを表示できることを確認します。

一部の大企業では、統合プロファイルを作成する前に *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* システムプロパティを更新する必要があります。会社で次のいずれかの条件が満たされている場合、アドミンはこのプロパティを更新する必要があります。

- SaaS アプリケーションのユーザーサブスクリプションが 50,000 を超える場合 (次のサブスクリプションを除く) Adobe Cloud AND Microsoft 365.
- Adobe CloudとMicrosoft 365を合わせたユーザーサブスクリプションが 50,000 を超える場合。

com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source システムプロパティを、2 つのグループのサブスクリプション間でより大きな値になるように更新します。たとえば、 SaaS アプリケーションの ユーザーサブスクリプションが合計で 60,000 件あり、次のもののユーザーサブスクリプションが 25,000 件あるとします Adobe Cloud AND Microsoft 365 結合して、プロパティを 60,000 に更新します。

注:
com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source プロパティの使用方法の詳細については、「データ コレクターのプロパティ」を参照してください。

SaaS概要ダッシュボード

SaaS概要ダッシュボードを使用して、SaaSアプリケーションと SSO プロバイダーのサブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンスを分析することで、組織が SaaS および SSO ライセンスに費やす金額を最適化します。

重要:
SaaS概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で使用できます。このトピックでは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションの SaaS 概要ダッシュボードについて説明します。ソフトウェア資産ワークスペースの SaaS 概要ダッシュボードの詳細については、「 SaaS 概要 ワークスペースのダッシュボード」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

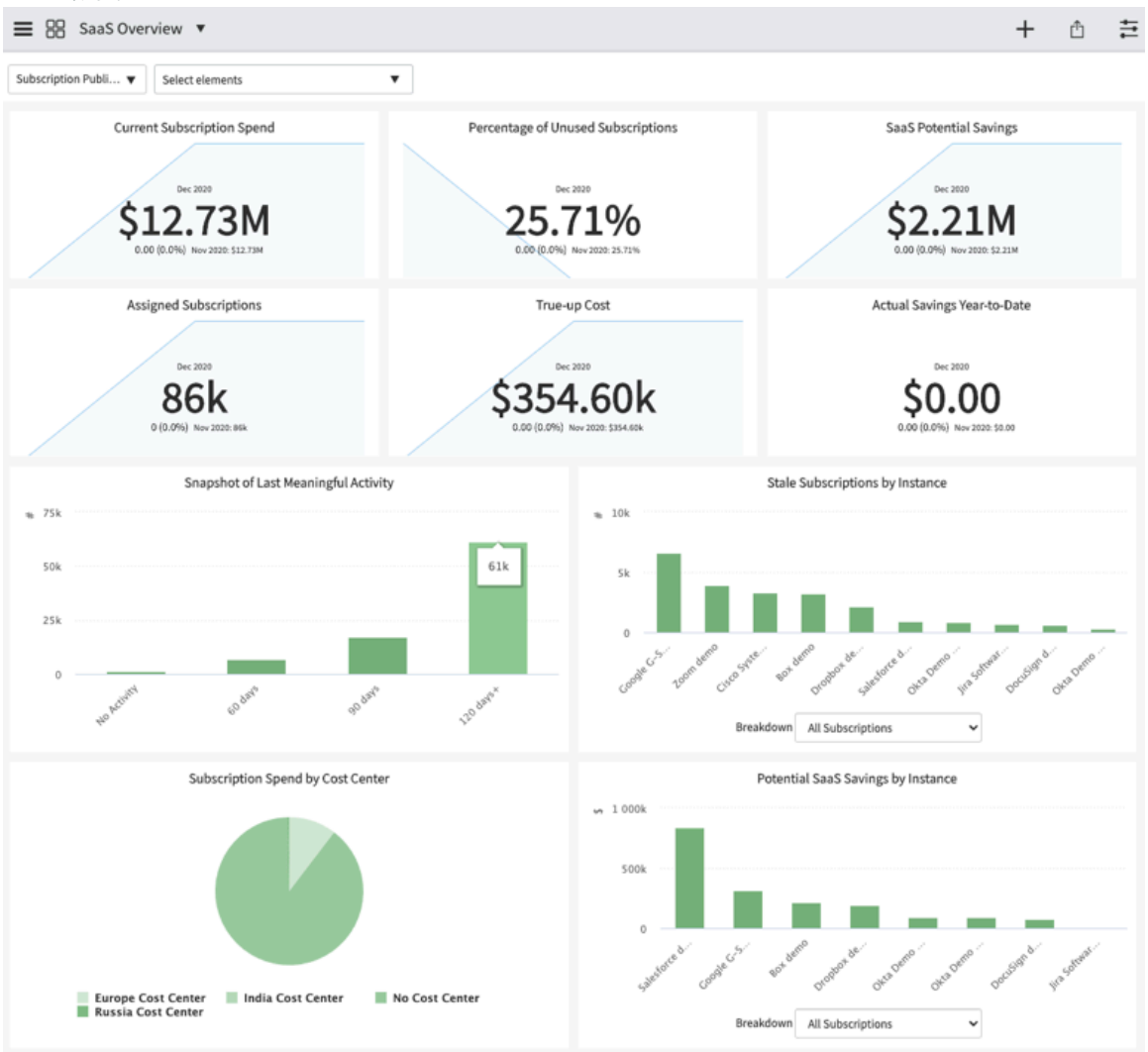
自動翻訳

Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規Yokohamaユーザーは、エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

SaaS概要ダッシュボードには、SaaSおよび SSO アプリケーションに関連付けられている使用状況、コスト、および見込まれる節減額に関する情報が表示されます。このダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > 概要. ソフトウェアモデルまたは公開者でダッシュボードをフィルタリングできます。レポートをクリックすると、詳細が表示されます。

注:
Microsoft Office 365およびAdobe Cloudに関する組織のソフトウェア使用状況とコンプライアンスを表示するには、次の場所に移動します **SaaS** ライセンス > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

SaaS概要ダッシュボード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaSの概要レポート

レポート	説明
現在のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの総コスト。
未使用のサブスクリプションの割合	再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権限の数 (再利用ルールで定義されたアクティビティしきい値内にアクティビティがないか、またはまったくないサブスクリプション) の数を、割り当てられた権限の合計数で割って計算されます。
SaaS 節減見込み	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
アサインされたサブスクリプション	アサインされたサブスクリプションの合計数。
調整コスト	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。このメトリクスは、組織が使用しているすべての権限に対して組織が支払っていることを確認するのに役立ちます。
節減実績の年度累計	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間合計節減額。この値は、クローズ済みの完了した再利用候補からの合計節減額として計算されます。
最後の有意義なアクティビティのスナップショット	サブスクリプションソフトウェアの使用動作に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェアの使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定します。このレポートには、過去 30 日間、30 ～ 60 日間、60 ～ 90 日間、90 ～ 120 日間のデータが表示されます。
インスタンス別の古いサブスクリプション	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプションソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。 [ブレークダウン] リストからオプションを選択することで、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。SaaS サブスクリプションプロファイルと SSO サブスクリプションプロファイルの両方の古いサブスクリプションを表示するには、[すべてのサブスクリプション] を選択します。SaaSサブスクリプションプロファイルのみの古いサブスクリプションを表示するには、[**SSO** を除くサブスクリプション] を選択します。
コストセンター別のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの総コスト (コストセンター別)。
インスタンス別の見込み	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に各サブスクリプションプロファイルで節約できる見込みコスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaSの概要レポート (続く)

レポート	説明
SaaS 節減額	[ブレークダウン] リストからオプションを選択することで、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。SaaS サブスクリプションプロファイルと SSO サブスクリプションプロファイルの両方の節減見込みを表示するには、[すべてのサブスクリプション] を選択します。SaaSサブスクリプションプロファイルのみの見込み節減額を表示するには、[**SSO** を除くサブスクリプション] を選択します。

SaaS アプリケーションとの統合

統合プロファイルを作成して、ソフトウェア使用情報を表示し、古いライセンスを最適化します。

SaaS統合プロファイルは、ソフトウェアベンダーから会社のソフトウェア使用情報をプルします。この情報には、すべてのユーザーのリストが含まれており、最近ソフトウェアを使用していないユーザーを特定します。

次の SaaS アプリケーションの統合プロファイルを作成できます。

- Adobe Workfront
- Aha!
- Asana
- Box
- Calendly
- Cisco Webex
- Confluence Cloud
- CrowdStrike
- DocuSign
- Dropbox
- Google Workspace
- GitHub
- GoTo
- Jira Software (ソフトウェア)
- Looker
- Microsoft Dynamics 365 および Power Apps
- Miro
- monday.com
- PagerDuty
- Rally
- Roadmunk
- Salesforce CRM
- Salesforce Marketing Cloud
- SAP Ariba

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- SAP S/4HANA パブリッククラウド
- Slack
- SmartRecruiters
- Smartsheet
- SAP SuccessFactors
- SurveyMonkey
- Tableau Cloud
- Trello
- Workday
- Workplace from Facebook
- Zendesk
- Zoom

Adobe Cloud と Microsoft Office 365 の統合を作成することもできます。詳細については、「Microsoft 365 の統合」と「ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobe」を参照してください。

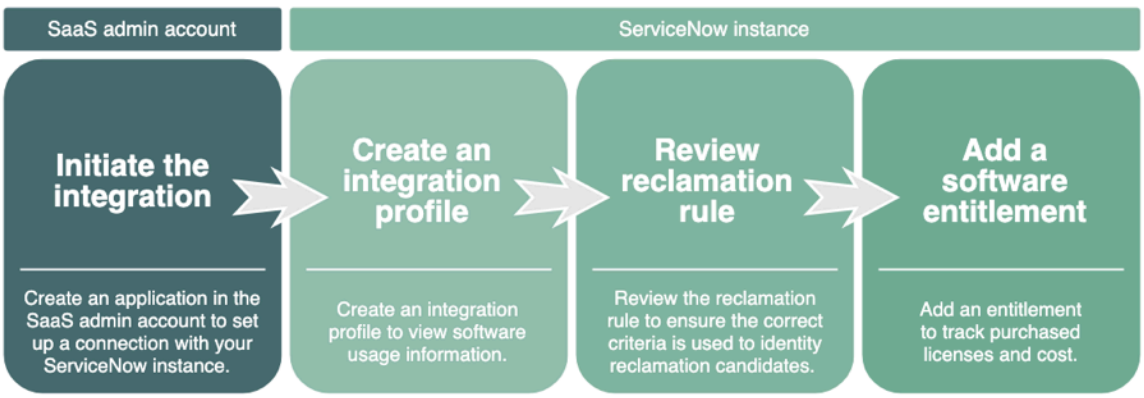
このリストにない SaaS アプリケーションと統合する場合は、カスタム統合プロファイルを作成できます。詳細については、「カスタム統合プロファイルの作成」を参照してください。

注:

SaaS統合により、ソフトウェアモデルとソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用 ルールを常に確認し、 必要な基準を使用して再利用候補が特定されていることを確認します。

再利用ルールを確認した後、購入したライセンスとコストを追跡するための ソフトウェアエンタイトルメントを作成します 。

SaaS のアプリケーションとの統合



このプロセスに従うと、未使用のライセンスの再利用を開始して、会社のソフトウェアコストを削減する準備が整います。

Adobe Workfront との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Adobe Workfront アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Adobe Workfront アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミニストレーター	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミニストレーター	なし
サブスクリプションを再利用	アドミニストレーター	なし

Workfront API キーの生成

WorkfrontAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

始める前に
Workfront 必要なロール:administrator

手順

1. Web ブラウザーから、Adobe Workfront を開きます。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
   Adobe Workfront インスタンスが開きます。
3. Adobe Workfrontインスタンスのページヘッダーで、[メインメニュー]を選択し、[セットアップ] を選択します。
4. [セットアップ] ページの左側のナビゲーションメニューから、 システム > 顧客情報.
   [顧客情報] ページが開きます。
5. [API キー設定] セクションで、**[API** キーの生成] を選択します。
   Adobe Workfront は自動的に API キーを生成し、[ユーザーの API キー (Your User's API Key)] の下に表示します。
6. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。
7. 同じセクションで、[作成後、API キー の有効期限が切れます **(After creation, API keys expire)]** リストから API キーの有効期限が切れる期間を選択します。
   デフォルトの期間は 1 か月です。

   注:
   この期間はいつでも変更できます。期間を変更するたびに、変更を加えた瞬間から新たに選択された期間が開始されます。

Workfront接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Workfront アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Workfront 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Workfront接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。 https://<*domain-name*>.my.workfront.com と入力します。ここで、<*domain-name*> は会社のサブドメインです。
認証情報	
API キー	Workfront アプリケーションの API キー。 Workfront API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

Workfront 統合プロファイルの作成

Workfront 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Workfrontアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
Workfront統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[Workfront** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkfront統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Workfront 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workfront** サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *`SAM - Refresh <displayname> Activity`* は作成されません。

   c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** サブスクリプションの再利用 **(Workfront Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_workfront_spoke** に設定されます。Workfront。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

   注:
   統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。

   - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
   - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
   - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

8. オプション: メモリを最適化し、 Workfront フローのパフォーマンスの問題を回避するために、フローエンジンのレポートレベルをオフにすることができます。
   a. 次のように移動する。 システムプロパティ > すべてのプロパティ.
   b. *com.snc.process_flow.reporting.level* システムプロパティを選択します。
   c. [システムプロパティ] ページで、[値] を [オフ] に設定します。
   d. [**Update** (更新)] を選択します。
9. オプション: 実行の詳細のアイテム数を減らします。
   a. 次のように移動する。 システムプロパティ > すべてのプロパティ.
   b. *com.snc.process_flow.reporting.datastream.item.lastn* システムプロパティを選択します。
   c. [システムプロパティ] ページで、[値] を 10 に設定します。
   d. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Aha! との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Aha! サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Aha!サービスの詳細については、「Aha! プロダクトマネジメントガイド 。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Aha! アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

Aha! OAuth2 アプリケーションの作成

Aha! API にアクセスするための Aha! OAuth2 アプリケーションを作成します。

始める前に
Aha! 必要なロール：admin

手順

1. [OAuth2 認証 (OAuth2 Authentication)] に移動します。
2. アドミン認証情報を使用して Aha! サイトにログインします。
3. [個人設定] ページで、[開発者] を選択します。
4. **[OAuth** アプリケーション] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[OAuth** アプリケーションの登録] を選択します。
6. [新しい OAuth アプリケーションの登録 (Register new OAuth application)] フォームの [リダイレクト URL] に「https://*instance*/oauth_redirect.do」と入力します。*instance* は ServiceNow インスタンスの名前です。
7. **[Create** (作成)] を選択します。
   [OAuth アプリケーション **(OAuth applications)]** タブに、クライアント ID とクライアントシークレットキーが表示されます。
8. [クライアント ID] と [クライアントシークレット] フィールドの値を書き留めます。

Aha! の **ServiceNow** インスタンスのセットアップ

ServiceNow インスタンスを設定して、Aha! クライアント ID とクライアントシークレットキーを追加します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 接続と認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
   接続および資格情報エイリアスのページが表示され、アプリのリストが表示されます。
3. Aha! の接続および認証情報レコードを見つけて開きます。
4. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
5. [接続の作成および認証情報の追加 (Create Connection and add Credential)] フォームで、詳細を入力します。

接続の作成および認証情報の追加 **(Create Connection and add Credential)** フォーム

フィールド	説明
接続名	データ連携プロファイルの名前
接続 URL	Aha! の接続 URL。
OAuth クライアント ID	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 キー。
OAuth クライアントシークレット	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 クライアントシークレットキー。
OAuth リダイレクト URL	ServiceNow リダイレクト URL

6. **[OAuth** トークンを構成して取得] を選択し、[承認] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

Aha!統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Aha! サービスのライセンスを最適化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Aha! 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
Aha! スポークApplication Manager ページでオプション機能をインストールする際の、この統合のチェックボックス。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAha!統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Aha 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Aha!** サブスクリプション。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **Aha!** サブスクリプションのダウンロード。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **Aha!** サブスクリプションを再利用。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_aha_spoke** に設定されます。Aha_。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Asana との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Asana アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

注:
この統合は、組織レベルでのみすべての Asana 計画をサポートします。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Asana アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	デフォルト
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	デフォルト
サブスクリプションを再利用	アドミン	デフォルト

Asana OAuth 2.0 アプリケーションの登録

Asana API 1.0 にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信する Asana OAuth アプリケーションを登録します。

始める前に
Asana 必要なロール：admin

手順

1. Asana アカウントにログインします。
2. ユーザーのプロファイルアイコンを選択します。
3. [設定 **(Settings)]** を選択します。
4. [アプリ] タブを選択します。
5. [開発者コンソールを表示] リンクを選択して、開発者コンソールウィンドウに移動します。
6. **[+** 新しいアプリを作成 **(+ Create new app)]** を選択します。
7. 「 新しいアプリを作成 」ページで、アプリケーションの名前を入力し、「 **Asana** と別のツールを連携 」チェックボックスをオンにします。
8. 「Asana **API** 利用規約に同意する」チェックボックスを選択し、「アプリを作成」を選択します。
9. オプション: アプリケーションに関する基本情報を入力します。
10. **[OAuth]** を選択します。
11. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。
12. [リダイレクト **URL]** フィールドで、**[+** リダイレクト **URL** を追加 **(+ Add redirect URL)]** を選択します。
13. 「https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。<instance> は ServiceNow インスタンスの名前です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Asana統合プロファイルの作成

Asana統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Asanaソリューションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

必要なロール:admin または sam_integrator

重要:
Application Manager ページでオプション機能をインストールする際には、この連携の **Asana** スポークチェックボックスを選択する必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Asanaデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Asana サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. 「サブスクリプションのダウンロードサブフロー」セクションで、「 サブフロー 」フィールドが 「Asana サブスクリプションをダウンロード」に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 「アクティビティサブフローを計算」セクションで、「 サブフロー 」フィールドが 「Asana ユーザーアクティビティの更新」に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

注:
ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. 「サブスクリプションの再利用サブフロー」セクションで、「 サブフロー 」フィールドが 「Asana サブスクリプションの再利用」に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_asana_spoke** に設定されます。アサナ。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
7. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続名	Asana接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に https://app.asana.com に設定されます。
クライアント ID	OAuth アプリケーションの登録時に作成したクライアント ID Asana 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
クライアントシークレット	OAuth アプリケーションの登録時に作成したクライアントシークレットAsana
OAuth リダイレクト URL	このフィールドは自動的に https://<instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do に入力されます。ここで、instance name は ServiceNow インスタンスの名前です。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. [接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。
11. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
12. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Box との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Box サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Box アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ユーザー管理権限を持つ共同アドミン	ユーザーの管理
ユーザーアクティビティのプル	新しいレポートの実行と既存のレポートへのアクセス権限を持つ共同アドミン	エンタープライズプロパティの管理
サブスクリプションを再利用	• ユーザー管理権限を持つ共同アドミン • ユーザーのコンテンツの表示権限を持つ共同管理者	• ユーザーの管理 • に保存されているすべてのファイルとフォルダーを読み取ります Box • に保存されているすべてのファイルとフォルダーを書き込みます Box

Boxサービスの詳細については、Boxコミュニティ を参照してください。

Boxアプリケーションの作成

Box プラットフォームでアプリケーションを作成します。

始める前に

Box 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Box Developer Console に移動し、アカウントにサインインします。
2. [自分のアプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。
3. [カスタムアプリ **(Custom App)]** を選択します。
4. [認証方法] ページで、[標準 **OAuth 2.0** (ユーザー認証)] を選択します。
5. アプリケーション名を入力し、[アプリの作成] を選択します。
6. [構成] ページで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

次の手順で、これらの値をコピーして ServiceNow インスタンスに貼り付ける必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> クライアント ID とクライアントシークレットは機密扱いです。それらを共有しないでください。

7. リダイレクト URI として「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。*インスタンス*はServiceNowインスタンスの名前です。
8. 次のアプリケーションスコープのチェックボックスをオンにします。
   - に保存されているすべてのファイルとフォルダーの読み取りと書き込み Box
   - ユーザーの管理
   - エンタープライズプロパティの管理

   これらのスコープにより、統合でユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得して、未使用のサブスクリプションを再利用できます。
9. [変更内容を保存] を選択します。

Box 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Box サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Box統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でBox統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Box 統合
クライアント ID	SaaS アドミンアカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	Value (値)
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Box* [サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを確認できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果を表示できるようになるまでに数時間かかる場合があります。

3. [プロセスの構成] セクションで、各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Events* は作成されません。

     [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

     注:
     ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

     この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. ポップアップウィンドウで、 Box アドミンアカウントを選択し、[許可] を選択します。

   注:
   ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したアカウントとは別のアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンにファイルを転送する場合は、いつでも [**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

7. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

8. 接続が検証されたら、[公開] を選択します。
9. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

   注:
   統合プロファイルが検証され、スケジュール済みジョブが作成された後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。

   - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
   - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
   - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Events* ジョブが削除されます。

タスクの結果

現在の日付の 1 年前まで、個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Calendly との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Calendly サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Calendly アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

Calendly OAuth アプリケーションの作成

公開アプリケーションを Calendly サービスに登録し、OAuth 2.0 を使用して Calendly API にアクセスできるようにします。

始める前に
Calendly 必要なロール：admin

Calendly 開発者にサインアップするには、Google または GitHub アカウントが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. Calendly 開発者ポータル に移動します。
   - Calendly 開発者アカウントを既にお持ちの場合は、認証情報を使用してサインインし、手順 3 に進みます。
   - Calendly開発者アカウントのアカウントがない場合は、手順 2 を完了します。
2. オプション: Calendly Developer Site ページの右上隅にある [サインアップ] を選択して、GitHub または Google アカウントを使用して Calendly 開発者アカウントにサインアップします。
   このアカウントは Calendly Google ユーザーアカウントに関連付けられていません。
3. 次のように移動する。 アカウント > 自分のアプリ をクリックして OAuth アプリケーションを作成します。
4. [新しいアプリの作成] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

OAuth アプリの作成フォーム

フィールド	説明
アプリの名前	アプリケーションの名前。
アプリの種類	Web やネイティブなどのアプリケーションタイプ。
環境タイプ	サンドボックスや本番など、アプリケーションを関連付ける環境タイプ。
リダイレクト URI	ServiceNow リダイレクト URL 例: https://app.example.com/auth。

6. [保存して続行] を選択します。

次のタスク
クライアント ID とクライアントシークレットをコピーします。

重要:

クライアントシークレットに再度アクセスすることはできないため、これらの値をコピーする必要があります。

Calendly 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Calendly サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
Calendly統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [**Calendly** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でCalendly統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Calendly 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[Calendly** サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [Download Subscription Subflow] セクションで、[**Subflow**] フィールドが **[Calendly Download Subscriptions**] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Calendly** でユーザーアクティビティを更新] に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Calendly** サブスクリプションの再利用 **(Calendly Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_calendly_spoke** に設定されます。カレンドリー。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。

7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	Calendly API のベース URL このフィールドは自動的に `https://api.calendly.com` に設定されます。
OAuth クライアント ID	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドはインスタンス名に基づいて自動的に入力されます。

8. [OAuth トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. [アプリを認証] ダイアログボックスで、 Calendly アカウントにログインします。
ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
10. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。
11. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
12. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

との統合 **Cisco Webex**

ソフトウェア資産管理アプリケーションをCisco Webexアプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

サポートされている Cisco Webex アプリケーションは次のとおりです。

- Webex 会議
- Webex チーム
- Webex 訓練
- Webex イベント
- Webex サポートセッション

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Cisco Webexアプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	読み取り専用アドミン	• spark-admin:licenses_read • spark-admin:people_read
ユーザーアクティビティのプル	• コンプライアンス責任者 • フルアドミン	• spark-compliance:events_read • meeting:admin_schedule_read
サブスクリプションを再利用	フルアドミン	• spark-admin:people_read • spark-admin:people_write

Webex Meetings OAuth アプリケーションの作成

Cisco Webex for Developers で OAuth 連携アプリケーションを作成します。

始める前に
Webex 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Webex認証情報を使用して、Webex 開発者ポータル にログインします。
2. プロファイル アイコンを選択し、[マイ **Webex** アプリ] を選択します。
3. 次のように移動する。 新しいアプリを作成 > 統合を選択 > 統合を作成.
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しい統合 **(New Integration)**] フォーム

フィールド	**Value** (値)
この統合ではモバイル SDK を使用しますか?	いいえ
統合名	Webexに表示される統合の名前。たとえば、ServiceNowデータ連携です。
連絡先メール	アドミニストレーターのメールアドレス。
アイコン	[自分のアプリ] ページに表示されるアイコン。独自のアプリケーションアイコンをアップロードするか、デフォルトのアイコンのリストから 1 つを選択します。
説明	統合の説明。たとえば、統合の機能とそのメリットなどです。
リダイレクト URI	OAuth 権限許可フローの完了時にリダイレクトされる URI。https://<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do。 ここで、instance は ServiceNow インスタンスの名前です。
スコープ	統合 API にアクセスするには、 **meeting:admin_schedule_read** スコープを選択する必要があります。

5. [統合を追加] を選択します。
6. 後で使用するために表示される **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレット をコピーして保存します。

Webex Teams OAuth アプリケーションの作成

Cisco Webex for Developers で OAuth 統合アプリケーションを作成します。

始める前に
Webex 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Cisco Webex for Developers に移動してログインします。
2. プロファイル アイコンの下で、[マイ **Webex** アプリ] を選択します。
3. 次のように移動する。 新しいアプリを作成 > 統合を選択 > 統合を作成.
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しい統合 **(New Integration)**] フォーム

フィールド	**Value** (値)
この統合ではモバイル SDK を使用しますか?	いいえ
統合名	Webexに表示される統合の名前。たとえば、ServiceNowデータ連携です。
連絡先メール	アドミニストレーターのメールアドレス。
アイコン	[自分のアプリ] ページに表示されるアイコン。独自のアプリケーションアイコンをアップロードするか、デフォルトのアイコンのリストから 1 つを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
説明	統合の説明。たとえば、統合の機能とそのメリットなどです。
リダイレクト URI	OAuth 権限許可フローの完了時にリダイレクトされる URI。https://<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do。 ここで、instance は ServiceNow インスタンスの名前です。
スコープ	統合 API にアクセスするには、次のスコープを選択する必要があります。 ○ spark-admin:licenses_read ○ spark-admin:organizations_read ○ spark-admin:people_read ○ spark-admin:people_write ○ spark-admin:roles_read ○ spark-compliance:events_read ○ meeting:admin_schedule_read

5. [統合を追加] を選択します。
6. 後で使用するために表示される **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレット をコピーして保存します。

Webex 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Cisco Webex アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Webex統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から Cisco Webex Meetings および Webex Teams スポークアプリを要求してください。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の **[Cisco Webex Teams** スポーク] および **[Cisco Webex Meetings** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWebex統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	プロファイルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	たとえば、Webexデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に Webex サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Cisco Webex** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティサブフローの計算 (Calculate Activity Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Cisco Webex** 更新ユーザー アクティビティ **(Cisco Webex Update User Activity)]** に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

   [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用(Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー**(Subflow**)] フィールドが **[Cisco Webex** サブスクリプションの再利用**(Cisco Webex Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. [サブスクリプションのダウンロード] サブフローで、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
6. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
7. フォームに、Webex Teams OAuth アプリケーションの作成時に保存した **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレットを入力します。
他のすべてのフィールドはそのままにします。
8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

9. プロンプトが表示されたら、 Webex メールアドレスとパスワードを使用してログインします。
10. 接続が正常に作成されたら、 Webex 統合プロファイルに移動します。
11. [アクティビティを計算] サブフローで、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
12. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
13. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

接続 URL	<subdomain> を、組織用に構成された Webex Meeting サイト ドメインに置き換えます。 Webex アドミンポータルにログインして、 管理 > 会議 > サイト. [サイト名] 列の <subdomain> は、サイト名の <subdomain>.webex.com の一部です。
Webex 管理ユーザー名	Webexにログインするためのユーザー名またはメールアドレス。

14. Webex 会議 OAuth アプリケーションの作成時に保存した **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレットの値を入力します。
15. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。

16. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

17. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
18. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Confluence Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Confluence Cloud アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

現在、この統合はプロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Confluence Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	Confluence 製品のユーザーロール	• ユーザーグループの読み取り (read:confluence-groups) • 読み込みユーザー (read:confluence-user)
ユーザーアクティビティのプル	Confluence 製品のユーザーロール	Confluence コンテンツとスペースのサマリーを検索 (search:confluence)
サブスクリプションを再利用	サイトアドミン	• ユーザーグループの読み取り (read:confluence-groups) • ユーザーグループの作成、削除、更新 (write:confluence-groups)

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションを作成して、Confluence Cloud API へのアクセスを有効にします。

始める前に
Atlassian 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、Atlassian Developer portal を開きます。
2. サイトアドミンアカウントにログインします。
3. ポータルのページヘッダーで、プロファイルアイコンを選択し、[開発者コンソール] を選択します。
   Atlassian 開発者コンソールの [自分のアプリケーション (My apps)] ページが開きます。
4. [アプリを作成] メニューを選択し、[**OAuth 2.0 (3LO)** 統合] を選択します。
   [新しい OAuth 2.0 (3LO) データ連携を作成 (Create a new OAuth 2.0 (3LO) integration)] ページが開きます。
5. [名前] フィールドに OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. **[Atlassian** の開発者規約に拘束されることに同意する] チェック ボックスを選択し、[作成] を選択します。
7. アプリケーションの認証設定を構成します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[認証 **(Authorizatio)]** を選択します。

   b. [OAuth 2.0 (3LO) 認証タイプ] で [構成] を選択します。
   [アプリの OAuth 2.0 認証コード許可 (3LO) (OAuth 2.0 authorization code grants (3LO) for apps)] ページが開きます。

   c. [コールバック **URL]** フィールドで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
   https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。

   d. [変更内容を保存] を選択します。

8. アプリケーションの API スコープを構成します。
   API スコープは、アプリケーションが Atlassian API に対して保持する必要がるアクセスのレベルを指定します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[権限 **(Permissions)]** を選択します。

   b. 使用可能な API の一覧から Confluence API を見つけて、 追加 を選択します。
   [追加] アクションボタンが自動的に [構成] アクションボタンに変わります。

   c. [**Configure**] を選択します。
   [Confluence API] ページが開きます。

   d. Confluence API の次のスコープを追加します。
      - Confluence コンテンツとスペースのサマリーの検索
      - ユーザーグループの読み取り
      - ユーザーグループの作成、削除、更新
      - ユーザーの読み取り

9. アプリケーションにアサインされているクライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[設定] を選択します。

   b. [認証の詳細] セクションで、[クライアント **ID]** と [シークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Confluence Cloudインスタンスのクラウド **ID** 値を取得する

Confluence Cloudクラウドインスタンスのクラウド ID の値を取得します。この値は、ServiceNow インスタンスの接続レコードを構成するときに必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Confluence Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Atlassian Administration にログインします。
2. 必要な組織に対して [選択] ボタンを選択します。
3. [製品] タブを選択します。
4. [製品] ページで、Confluence 製品行の [製品の管理] を選択します。

   新しいウィンドウでは、URL は次の形式です: https://admin.atlassian.com/o/<orgID>/products/conf/<Cloud-Id>。
5. 後で使用するためにクラウド ID の値をコピーします。

Confluence Cloud 統合プロファイルの作成

Confluence Cloud 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Confluence Cloudアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
Confluence Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

Atlassian 必要なロール:サイトアドミン

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator、sn_confluence_spoke.confluence_cloud_admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[Confluence Cloud** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でConfluence Cloud統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Confluence Cloud 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Value** (値)
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Confluence Cloud** サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティ サブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** ユーザー アクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

      [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

      注:
      ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

      この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   c. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、すべてのプロセスが選択されている場合に自動的に **sn_conflunce_spoke.confluence_subscription_activity_reclaim** に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
接続 URL	Confluence Cloudの API URL。このフィールドは自動的に https://api.atlassian.com に設定されます。 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 バージョン 15.0.9 以降の場合は、Confluence Cloud インスタンスの URL を https://api.atlassian.com/ex/confluence/<Cloud-ID 形式で指定します。クラウド ID の値の取得の詳細については、「 Confluence Cloudインスタンスのクラウド ID 値を取得する」を参照してください。
OAuth クライアント ID	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

9. ダイアログボックスが表示されたら、 Confluence Cloud アプリケーションに権限を付与します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。
10. Confluence 製品にアクセスできるグループを指定します。
ServiceNowインスタンスでこれらのグループを指定すると、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

   a. 新しいタブで、 Atlassian 管理ポータル を開きます。

   b. site_admin ロールで admin アカウントにログインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. 必要な組織に対して [選択] ボタンを選択します。

d. [製品] タブを選択します。

e. [製品] ページで、Confluence 製品行の [製品の管理] を選択します。

f. Confluence 製品にアクセスできるグループのリストを表示します。
後で使用するために、この情報をメモします。

g. ServiceNowインスタンスに戻り、次に移動します: **Confluence Cloud** > **Confluence** グループ.

h. Confluence グループ フォームで、[グループの追加] 関連リンクを選択します。
[Confluence グループを追加 (Add Confluence Groups)] ダイアログボックスが開きます。

i. 統合プロファイルで設定された接続と資格情報を選択します。

j. [利用可能] リストで、Confluence 製品にアクセスできるグループを選択します。

ヒント:
[利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。Confluence 製品にアクセスできるグループのみを選択します。

k. 右矢印ボタンを選択して、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

l. [**OK**] を選択します。

11. 統合プロファイルに戻り、統合プロファイルを選択します。
12. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。
13. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
14. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

注:
統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。

- 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
- [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
- 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

CrowdStrike との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをCrowdStrikeと統合すると、アクティブなホストセンサー情報を表示しCrowdStrikeライセンスコンプライアンスを確認できます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	CrowdStrike アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
ダウンロード消費	Falcon アドミン	読み取り権限を持つセンサー使用スコープ

このプロセスは、 Yokohama パッチ 1、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8、および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 以降のバージョンに適用されます。パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、 KB1801232 を参照してください。

CrowdStrike OAuth アプリケーションの登録

CrowdStrike OAuth アプリケーションを登録して CrowdStrike API にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に
CrowdStrike 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「CrowdStrike スポーク 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

CrowdStrike 必要なロール:Falcon アドミン

重要:

- センサー使用 API を使用するには、API クライアントに読み取りアクセス許可を持つセンサー使用スコープが割り当てられている必要があります。
- アカウントチームに連絡して、次の機能フラグを有効にしてください。
  - 時間ごとの使用状況データ機能フラグ:顧客識別 (CID) で時間ごとの使用状況データを表示するには、このフラグを有効にする必要があります。
  - 集計された使用状況データ機能フラグ:マルチ CID (非フライトコントロール) アカウントで集計された使用状況データを取得するには、このフラグを有効にする必要があります。

手順

1. アドミン認証情報を使用して [Falcon] にログインします。
2. 次のように移動する。 サポート > **API** クライアントとキー.
3. [新しい **API** クライアントを追加 **(Add new API Client)]** を選択します。
4. クライアント名と説明を入力します。
5. [センサー使用] スコープの [読み取り] チェックボックスをオンにします。
6. [追加] を選択します。
   API クライアント作成画面が表示されます。
7. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

CrowdStrike接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、CrowdStrike アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 接続と認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. CrowdStrike接続を見つけて、[新しい接続および資格情報の作成] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	**Value** (値)
接続情報	
接続名	CrowdStrike接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に https://api.crowdstrike.com に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	各 CrowdStrike クラウドには異なるベース URL があります。統合がホストされているクラウドに対応するベース URL を使用します。 ○ **US-1**: https://api.crowdstrike.com ○ **US-2**: https://api.us-2.crowdstrike.com ○ **EU-1**: https://api.eu-1.crowdstrike.com ○ **US-GOV-1**: https://api.laggar.gcw.crowdstrike.com ○ **US-GOV-2**: https://api.us-gov-2.crowdstrike.mil
認証情報	
OAuth クライアント ID	CrowdStrike API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	CrowdStrike API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

OAuth トークンが正常に生成されました。

CrowdStrike 統合プロファイルの作成

CrowdStrike 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、CrowdStrikeアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**CrowdStrike** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でCrowdStrike統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8 および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 ストアアプリケーションがインストールされている Yokohama パッチ 1 にアップグレードする場合は、既存の CrowdStrike 統合プロファイルのエンタイトルメントを削除する必要があります。次に、ライセンスメトリクスに基づいて、Falcon Endpoint Protection や Falcon Discover などのさまざまな CrowdStrike 製品の新しいエンタイトルメントを作成します。これらのメトリクスには、 CrowdStrike ライセンスメトリクスグループの下にある予約済み時間平均センサーとセンサーサブスクリプションが含まれます。

- 既存の CrowdStrike プロファイルが [ドラフト] ステータスである場合は、新しい統合プロファイルを作成し、既存の統合プロファイルを削除します。
- 既存の CrowdStrike プロファイルのいずれかが [公開済み] ステータスの場合、ステータスは [ドラフト] に変わります。

パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、 KB1801232 を参照してください。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、CrowdStrikeデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に CrowdStrike サブスクリプションに設定されます。

3. プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
[ダウンロード消費] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限」テーブルを参照してください。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_crowdstrk_spoke** に設定されます。CrowdStrike。

5. [**CrowdStrike** 製品作業負荷マッピング] タブを選択して、作業負荷製品マッピングを続行します。

   a. [CrowdStrike Product Workload Mappings] ページで、 [新規] を選択します。

   > **注:**
   > 次の手順に進む前に、ソフトウェアモデルを作成する必要があります。

   b. フォームのフィールドに入力します。

CrowdStrike [製品作業負荷マッピング] フォーム

フィールド	説明
統合プロファイル	このフィールドは、作業負荷マッピングが作成される統合プロファイルに自動的に設定されます。
作業負荷	エンドポイントは、コンピューター、サーバー、ラップトップ、デスクトップコンピューター、モバイル、携帯電話、コンテナ、ポッド、仮想マシンイメージなどの物理デバイスまたは仮想デバイスです。 エンドポイントは、ワークロードと呼ばれることもあります。 たとえば ▪ コンテナ ▪ public_cloud_with_containers ▪ servers_without_containers ▪ chrome_os
ソフトウェアモデル	公開者、バージョン、ディスカバリーマップを含む、ソフトウェアのプロファイル。
ライセンスのメトリクス	選択したソフトウェアモデルのライセンスメトリクス。 ▪ 予約済み時間平均センサー:このメトリクスは、1 クロック時間あたりの一意のアクティブエンドポイントの数をカウントし、28 日間のローリング期間で平均します。予約済みの時間平均センサーライセンスの数は、各時間の開始時にリセットされます。 ▪ センサーサブスクリプション:このメトリクスは、4 週間連続するエンドポイント数を平均することでライセンス使用率を計算し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ます。週次エンドポイント数は、過去 7 日間に消費されたエンドポイントの合計数に基づいています。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

6. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
CrowdStrike製品作業負荷マッピングを作成する前に、接続を検証することもできます。

> **重要:**
> プロファイルを公開する前に、作業負荷製品マッピングを指定する必要があります。

7. 接続が検証され、ワークロード製品マッピングが提供されたら、 [発行] を選択します。
8. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク
一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

CrowdStrikeソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

DocuSign との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを DocuSign サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

DocuSign 再販業者を通じて行われた購入は、 DocuSign 標準の請求システムに反映されません。そのため、 ServiceNow利用可能なエンベロープ消費の API を介して値は返されません。

> **注:**
> DocuSign は、ユーザー API から **lastLogin** フィールドを削除しました。そのため、ユーザーの最後のアクティビティは、この統合の一部として追跡されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

DocuSignサービスについて詳しくは、DocuSign開発者サイト を参照してください。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	DocuSign アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	スコープなし
サブスクリプションを再利用	アドミン	スコープなし

DocuSignアプリケーションの登録

DocuSign アドミンポータルから DocuSign アプリケーションを登録します。

始める前に
DocuSign 必要なロール：admin

手順

1. DocuSignデモ (非本番) アカウントにログインします。
2. プロファイル画像を選択します。
3. [自分のアプリとキー] を選択します。
   - 以前の統合の API 統合キーを既に本番環境で使用する準備ができている場合は、 ステップ 33 に進みます。
   - クライアントシークレットが保存されていない場合は、新しいシークレットを生成する必要があります。
4. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
5. [アプリと統合キー] セクションで、[アプリと統合キーの追加] を選択します。
6. [統合キーを追加] フォームで、[アプリ名] フィールドに名前を入力し、[アプリの作成] を選択します。
7. [追加設定] セクションの [リダイレクト **URI]** フィールドで [**URI** の追加] を選択します。
8. https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback を追加します。
9. もう一度 **[URI** の追加] を選択し、https:// *ServiceNow instance.service-now.com/ oauth_redirect.do* を追加します。
10. [秘密キーの追加] を選択します。
    後で Postman アプリで使用するために統合キー (クライアント ID) と秘密キー (クライアントシークレット) を安全な場所に保存し、統合キー (クライアント ID) を ServiceNow インスタンスに保存します。
11. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. 最新バージョンの Postman アプリ をダウンロードし、ログインをスキップします。
13. 選択 新しいコレクション をクリックし、コレクションに名前を付けます。
14. [認証] タブを選択します。
15. [タイプ] リストメニューから **[OAuth 2.0]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

16. 名前を入力し、[構成オプション] タブのフィールドに入力してトークンを作成します。

フィールド	値
コールバック URL	https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback
認証 URL	https://account-d.docusign.com/oauth/auth
アクセストークン URL	https://account-d.docusign.com/oauth/token
クライアント ID	ステップ 10 で作成したDocuSignデモ口座の統合キー。
クライアントシークレット	DocuSignデモアカウントの秘密キーステップ 10。

17. [新しいアクセス トークンの取得] を選択します。
DocuSignにリダイレクトされます。
18. [承認] を選択します。
19. アクセストークンが収集され、認証が完了したら、後で使用するためにアクセストークンをコピーします。
20. [新しい要求] を選択して、アカウント ID の GET 要求を作成します。
21. [GET] フィールドに URL を https://account-d.docusign.com/oauth/userinfo として入力します。
22. [ヘッダー] タブで、[キー] の下の [認証] を選択し、[値] にベアラー <認証中にコピーしたアクセス トークン> を入力します。
23. [送信] を選択し、要求が完了したことを確認します。
アカウント ID が応答本文に表示されます。
24. GET 要求を複製します。
[ヘッダー] の下にある認証キーと値をコピーします。
25. GET フィールドの URL を https://demo.docusign.net/restapi/v2/accounts/<account-id>/users として更新します。
ここで、 *account-id* は前の要求から保存した ID です。
26. [**20** 回送信] を選択して、20 回の API 呼び出しを行います。
DocuSign アドミンポータルからアプリケーションを登録するには、最低 20 回の API 呼び出しを呼び出す必要があります。
27. DocuSign アドミンポータルの [アプリと統合キー **(Apps and Integration Keys)**] に移動します。
28. 選択 アクション > **API** ダッシュボードの表示 アプリケーションの横にある。
29. DocuSign が 20 件の API 呼び出しをすべて登録するまで数分待ちます。
30. 次のように移動する。 統合 > アプリとキー をクリックし、[レビューのため送信] を選択します。
5～20分後、アプリケーションのレビューが完了します。アプリケーションを本番アカウントに昇格させることができます。
31. 選択 アクション > **Start-Go-Live** レビュー をクリックして、アプリケーションを本番アカウントに昇格させます。
32. 統合キーを管理する適格な本番アカウントを選択します。
33. DocuSign本番コンテンツアカウントにログインします。
34. プロファイル画像を選択します。
35. [管理者に移動] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

36. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
    ServiceNow インスタンスの統合プロファイルに使用する API アカウント ID を見つけます。
37. アプリケーションの横で、 アクション > 編集.
38. **[URI** を追加] を選択し、https:// *ServiceNow instance.service-now.com/ oauth_redirect.do* を追加します。
39. [秘密キーの追加] を選択します。
    本番アカウントの秘密キー (クライアントシークレット) を安全な場所に保存して、 ServiceNow インスタンスで使用できるようにします。
40. [**Save** (保存)] をクリックする。

DocuSign 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 DocuSign サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

DocuSign統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でDocuSign統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:DocuSign 統合
クライアント ID	SaaS アドミンアカウントでステップ 10 で作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
テクニカルアカウント ID	DocuSign 本番アカウントからの API アカウント ID。
インスタンス URL	DocuSign 本番アカウントへのアクセスに使用するログインページの URL。このフィールドは自動的に **https://account.docusign.com** に設定されます。
クライアントシークレット	手順 39 で作成したクライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 自動的に **DocuSign** サブスクリプションに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

タスクの結果
現在の日付の 1 年前まで、個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Dropbox との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Dropbox サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Dropbox サービスの詳細については、「Dropbox Business ユーザーおよび管理者ガイド 」を参照してください。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Dropbox アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	セキュリティ管理者	• members.read • team_data.member
ユーザーアクティビティのプル	セキュリティ管理者	• events.read • team_data.member
サブスクリプションを再利用	セキュリティ管理者	• team_info.read • members.write • members.delete

ユーザーサブスクリプションの **Dropbox** アプリケーションの作成

DBX Platform for Developers でアプリケーションを作成します。

始める前に
Dropbox 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Dropbox デベロッパー アプリ に移動し、アカウントにログインします。
2. [自分のアプリ] ページで、[アプリの作成] を選択します。
3. スコープ指定アクセス API を選択します。
4. **Full Dropbox** へのアクセスの種類を指定します。
5. アプリケーションの名前を入力し、[アプリの作成] を選択します。
6. [権限] タブを選択します。
7. 次の権限のチェックボックスをオンにします。
   - team_info.read
   - members.write
   - members.delete
   - groups.read
   - events.read
   - team_data.member
8. [送信] を選択して変更を保存します。
9. [設定] タブに移動します。
10. アプリキーとアプリシークレットを取得します。
    次の手順で、これらの値をコピーして、 ServiceNow インスタンスの [クライアント ID] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドに貼り付ける必要があります。

    注:
    アプリキー (クライアント ID) とアプリシークレット (クライアントシークレット) は機密です。共有しないでください。

11. リダイレクト URI として「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。ここで、instance はServiceNowインスタンスの名前です。
12. [ブランディング] タブをクリックし、[変更を保存] をクリックします。

Dropbox 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Dropbox サービスのライセンスを最適化します。

始める前に
Dropbox統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でDropbox統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 権限が [チームメンバーファイルアクセス] に設定されたアプリケーションからの情報を使用して、 ServiceNow インスタンスに戻り、統合プロファイルを作成します。
2. 統合プロファイルに移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:DropBox 統合
クライアント ID	SaaS アドミンアカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **DropBox** サブスクリプションに設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。 この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. [プロセスの構成] セクションで、各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

- [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
- [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Events* は作成されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

- [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

5. すべての必須フィールドに入力したら 、[送信] を選択します。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
6. 統合プロファイルフォームで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

7. Dropboxアプリケーションに移動します。
   - Dropbox アプリケーションにすでにログインしている場合は、[許可] を選択します。
   - Dropbox アプリケーションにログインしていない場合は、アドミン認証情報でログインしてから、次の手順に進みます。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したアカウントとは別のアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンへのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも [**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

8. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

> **注:**
> 統合プロファイルが検証され、スケジュール済みジョブが作成された後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Events* ジョブが削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Google Workspace との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Google Workspace サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Google Workspaceサービスの詳細については、次を参照してください。 Google Workspace アドミンヘルプ .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Google Workspace アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン API 権限:ユーザー読み取り	• [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly • [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.domain.readonly • [エンタープライズライセンスマネージャー API] https://www.googleapis.com/auth/apps.licensing
ユーザーアクティビティのプル	アドミン API 権限:ユーザー読み取り	• [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly • [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.reports.usage.readonly
サブスクリプションを再利用	スーパーアドミニストレーター	• [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly • [People SDK API] https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email • [People SDK API] https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile • [アドミン SDK API] https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer.readonly

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Google Workspace プロジェクトの作成

Google API コンソールで新しいプロジェクトを作成します。

始める前に
Google Workspace 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Google API Console にログインします 。
2. 選択 プロジェクトを選択してください > 新規プロジェクト.
3. プロジェクト名にプロジェクトの名前を入力し、組織と場所を選択します。
4. **[Create** (作成)] を選択します。
5. 左側のナビゲーションメニューで OAuth 同意画面を選択します。
6. [ユーザータイプ] を [内部] として選択し、[作成] を選択します。
7. アプリ名を入力し、[アプリ情報] セクションで [ユーザー サポート メール] を選択します。
8. [承認済みドメイン] で、[ドメインの追加] ボタンを選択し、 service-now.com を追加します。
9. [開発者の連絡先情報] セクションにメールアドレスを入力します。
10. [保存して続行] を選択してスコープを追加します。
11. [スコープ] ページで、[スコープの追加または削除] ボタンを選択します。
12. [スコープを手動で追加] セクションで、次のスコープをテキストエリアに貼り付けて入力します。
    - https://www.googleapis.com/auth/apps.licensing
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.domain.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.reports.usage.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile
    - https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email
13. [テーブルに追加] を選択し、[更新] を選択します。
14. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
15. 左側のナビゲーションメニューで [認証情報] を選択し、[認証情報の作成] を選択します。
16. **[OAuth** クライアント **ID**] を選択します。
17. 図のようにフォームに入力し、[作成] を選択します。

フィールド	**Value** (値)
アプリケーションタイプ	Web アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
注: このフィールドの値を選択すると、残りのフィールドが表示されます。	
[Name (名前)]	任意の名前
許可された JavaScript 作成元	https:// *instance.service-now.com*、 ここで *instance* は ServiceNow インスタンスの名前です
許可されたリダイレクト URI	https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*。 ここで、instance は ServiceNow インスタンスの名前です

18. [**OK**] を選択します。
これで、 ServiceNow インスタンスで使用するクライアント ID とクライアントシークレットを表示できます。

    注:
    クライアント ID とクライアントシークレットは機密扱いです。それらを共有しないでください。

19. 左側のナビゲーションメニューで [ライブラリ] を選択します。
次の API を検索して有効にします。
    - エンタープライズライセンスマネージャー API
    - アドミン SDK
    - Google ユーザー API

Google Workspace 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Google Workspace サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Google Workspace統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でGoogle Workspace統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例: *Google Workspace* 統合
クライアント ID	SaaS アドミンアカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Google Workspace* [サブスクリプション] に設定されます。

3. [プロセスの構成] セクションで、各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Events* は作成されません。

     [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

     注:
     ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

     この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   - [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. すべての必須フィールドに入力したら 、[送信] を選択します。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. ポップアップウィンドウで、 Google アドミンアカウントを選択し、[許可] を選択します。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したアカウントとは別のアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンへのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも [**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

7. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

> **注:**
> 統合プロファイルが検証され、スケジュール済みジョブが作成された後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Events* ジョブが削除されます。

タスクの結果

現在の日付の 1 年前まで、個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

GitHub との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをGitHubリポジトリホスティングサービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合により、 GitHub Enterprise Cloud アプリケーションと GitHub Enterprise Server アプリケーションの両方のライセンス情報を取得して分析できます。

- GitHub Enterprise Cloud との統合
- GitHub Enterprise Server との統合

GitHub Enterprise Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを GitHub Enterprise Cloud アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用するのに役立ちます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	GitHub **Enterprise Cloud** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	組織オーナー	read:org
ユーザーアクティビティのプル	組織オーナー	• read:org • repo
サブスクリプションを再利用	組織オーナー	write:org

GitHub Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成する

GitHub Enterprise Cloud API へのアクセスに使用できるトークンを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
GitHub 必要なロール:組織オーナー

認証に使用するユーザー アカウントは、所属している組織内のすべてのリポジトリを読み取ることができる必要があります。

このタスクについて
GitHub リポジトリホスティングサービスは、個人用アクセストークンを使用して、ユーザーに GitHub API へのアクセス権を付与します。個人アクセストークンは、API 要求を許可することで、OAuth アクセストークンと同様に機能します。個人アクセストークンを生成して GitHub Enterprise Cloud API リクエストを承認することで、 GitHub Enterprise Cloud API にアクセスできるようになります。

手順

1. Web ブラウザーから GitHub を開きます。
2. GitHub アカウントにサインインします。
3. GitHubページのヘッダーで、プロファイル写真を選択し、[設定] を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーションペインで、[個人用アクセストークン] を選択します。
6. [トークン (クラシック)] を選択します。
7. [個人用アクセス トークン] ページで、 [新しいトークンの生成] を選択します。
8. [新しいトークンの生成 (クラシック)] を選択します。
9. 続行する前にパスワードの確認を求められた場合は、 GitHub パスワードを入力し、[パスワードの確認] を選択します。
10. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。
11. トークンに有効期限を指定するには、[有効期限] ドロップダウンメニューを選択してデフォルト値を選択するか、カレンダーピッカーを使用します。
12. [スコープを選択] フォームセクションで、repo、write:org、read:org OAuth スコープを有効にします。
    OAuth スコープは、保護されたリソースに対してアプリケーションが持つアクセスレベルを制限します。リポジトリの OAuth スコープを使用すると、プライベート リポジトリを完全に制御できます。write:org および read:org OAuth スコープを使用すると、すべてのチーム、プロジェクト、メンバーシップを含む組織全体を管理できます。GitHub OAuth スコープの詳細については、「OAuth アプリのスコープ」を参照してください。

    a. リポジトリのチェックボックスをオンにして、リポジトリの OAuth スコープを有効にします。
       この OAuth スコープを有効にすると、repo:status、repo_deployment、public_repo、repo:invite、および security_events OAuth スコープが自動的に有効になります。

    b. write:org および read:org OAuth スコープを有効にします。

13. [トークンの生成] を選択します。
    個人アクセストークンが生成されます。
14. アクセストークンをコピーし、後で使用するために安全な場所に保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. トークンを使用して、SAML シングルサインオンを使用する組織が所有するリソースにアクセスするには、トークンを承認します。
詳細については、「SAML シングルサインオンで使用する個人アクセストークンの承認」を参照してください。

GitHub Enterprise Cloud 接続を作成

GitHub Enterprise Cloud アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。

始める前に
ServiceNow インスタンスと GitHub Enterprise Cloud アプリケーションの間の通信にMID サーバーを使用する場合は、まずインスタンスにMID サーバーを設定する必要があります。詳細な手順については、「MID サーバー」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
[フローデザイナー] タブが作成されます。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. GitHub 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧で GitHub を見つけて、 構成 を選択します。
5. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHub接続の名前です。
接続 URL	GitHub API エンドポイントの URL。 https://api.github.com を入力します。
MID サーバー の使用	ServiceNow インスタンスが GitHub Enterprise Cloud アプリケーションとの通信にMID サーバーを使用できるようにするオプション。 ○ インスタンスで MID サーバーが必要な場合は、このフィールドを true に設定します。 ○ インスタンスで MID サーバーが必要ない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに MID サーバー が設定されている必要があります。詳細な手順については、「MID サーバー」を参照してください。
API キー	GitHub Enterprise Cloud API へのアクセスを可能にする個人アクセストークン。 ○ インストールされている GitHub スポークバージョンが 2.2.5 以降の場合は、「<api-key>」と入力します。 ○ インストールされている GitHub スポークバージョンが 2.2.5 より前の場合は、「Bearer <api-key>」と入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	<api-key> は、で生成した個人アクセストークンです GitHub Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成する

6. [接続を設定] を選択します。

GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルの作成

GitHub Enterprise Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GitHub Enterprise Cloud アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の [**GitHub** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で GitHub Cloud 統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:GitHub クラウド統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **github_cloud_subscription** に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [Download Subscription Subflow] セクションで、[**Subflow**] フィールドが **[GitHub Cloud Download Subscriptions]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

ソフトウェア資産管理 は、メンバー、外部コラボレーター、保留中の招待、保留中の外部コラボレーターをプルして、GitHub Enterprise Cloud サブスクリプションの完全なビューを提供します。

> **重要:**
> 処理待ちの外部コラボレーターをプルするには、*sn_sam_saas_int.pull_pending_collaborator_github* システムプロパティを有効にします。リポジトリの数が多いほど、API トランザクションの数が増加します。

b. [アクティビティサブフローの計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[GitHub** クラウドのユーザー アクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **ヒント:**
> このサブフローでパフォーマンスの問題を回避するには、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドを現在の日付の最大 7 日前に設定することをお勧めします。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[GitHub** クラウドサブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_github_spoke** に設定されます。GitHub。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

GitHub Enterprise Server との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを GitHub Enterprise Server アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	GitHub **Enterprise Server** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	サイトアドミニストレーター	site_admin
サブスクリプションを再利用	サイトアドミニストレーター	site_admin

GitHub Enterprise Server の **API** アクセストークンの生成

GitHub Enterprise Server API へのアクセスに使用できるトークンを生成します。

始める前に
GitHub 必要なロール:サイトアドミニストレーター

このタスクについて
GitHub リポジトリホスティングサービスは、個人用アクセストークンを使用して、ユーザーに GitHub API へのアクセス権を付与します。個人アクセストークンは、API 要求を許可することで、OAuth アクセストークンと同様に機能します。個人アクセストークンを生成して GitHub Enterprise Server API 要求を許可することで、 GitHub Enterprise Server API にアクセスできるようになります。

手順

1. Web ブラウザーから、 GitHub Enterprise Server インスタンスを開きます。
2. GitHub アカウントにサインインします。
3. GitHubページのヘッダーで、プロファイル写真を選択し、[設定] を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーションペインで、[個人用アクセストークン] を選択します。
6. [個人用アクセス トークン] ページで、 [新しいトークンの生成] を選択します。
7. 続行する前にパスワードの確認を求められた場合は、 GitHub パスワードを入力し、[パスワードの確認] を選択します。
8. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。
9. [スコープを選択] フォームセクションで、[**site_admin**] チェックボックスをオンにして、site_admin OAuth スコープを有効にします。
   OAuth スコープは、保護されたリソースに対してアプリケーションが持つアクセスレベルを制限します。site_admin OAuth スコープを使用すると、Enterprise ユーザー、組織、リポジトリを管理できます。
10. [トークンの生成] を選択します。
    個人アクセストークンが生成されます。
11. アクセストークンをコピーし、後で使用するために安全な場所に保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GitHub Enterprise Server 接続の作成

GitHub Enterprise Server アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。

始める前に
ServiceNow インスタンスと GitHub Enterprise Server アプリケーションの間の通信にMID サーバーを使用する場合は、まずインスタンスでMID サーバーを設定する必要があります。詳細な手順については、「 MID サーバー 」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. GitHub Server 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧から GitHub Server を見つけて、 構成 を選択します。
5. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHub サーバー接続の名前。
接続 URL	GitHubインスタンスの URL です。
MID サーバーの使用	ServiceNow インスタンスが GitHub Enterprise Server アプリケーションとの通信にMID サーバーを使用できるようにするオプション。 ○ インスタンスで MID サーバーが必要な場合は、このフィールドを `true` に設定します。 ○ インスタンスで MID サーバーが必要ない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに MID サーバー が設定されている必要があります。詳細な手順については、「 MID サーバー 」を参照してください。
API キー	GitHub Enterprise Server API へのアクセスを可能にする個人用アクセストークン。`<api-key>` と入力します。`<api-key>` は GitHub Enterprise Server の API アクセストークンの生成 で生成した個人用アクセストークンです。

6. [接続を設定] を選択します。

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルの作成

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GitHub Enterprise Server アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
GitHub Enterprise Server 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の [**GitHub** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で GitHub Server 統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:GitHub サーバー統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **github_server_subscription** に設定されます。

3. [プロセスの構成] セクションで、各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

> **注:**
> 必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

○ [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

○ > **注:**
> [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

- [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_github_spoke** に設定されます。GitHub_Server。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続が検証されたら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

GoTo との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをGoToアプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

この統合により、次の GoTo アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- GoToMeeting (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、再利用候補)
- GoToWebinar (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、再利用候補)
- GoToConnect (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、再利用候補)
- GoToTraining (ユーザーサブスクリプションのみ)
- GoToAssist (ユーザーサブスクリプションのみ)
- OpenVoice (ユーザーサブスクリプションのみ)

この情報を使用して、 GoTo ライセンスポジションを管理および最適化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	GoTo アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	LogMeIn 開発者アカウントと管理者ロール	• プロファイル • アドミンセンター
ユーザーアクティビティのプル	LogMeIn 開発者アカウントと管理者ロール	• プロファイル • アドミンセンター • GoToConnect
サブスクリプションを再利用	LogMeIn 開発者アカウントと管理者ロール	アドミンセンター

GoToOAuth クライアントを作成

GoToAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に
GoTo 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザから、[GoTo 開発者センター] を開きます。
2. LogMeIn 開発者アカウントを使用してサインインします。
   LogMeIn 開発者アカウントをまだ設定していない場合は、詳細な手順について「ログインする方法または開発者アカウントを作成する方法」を参照してください。
3. LogMeIn 開発者のホームページから、**[OAuth** クライアント] タブを選択します。
4. [クライアントの作成] を選択します。
5. [クライアントを作成] フォームの [詳細] タブで、クライアントの詳細を入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントのオプションの説明です。
リダイレクト URL	GoTo アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのリダイレクト URL。https://<*instance-url*>/oauth_redirect.do と入力します。<*instance-url*> はServiceNowインスタンスの URL です。

6. **[Next** (次へ)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [スコープ] タブで、OAuth クライアントがGoToユーザーとアプリケーションに対して持つアクセス権のレベルを指定します。

[スコープ] タブ

フィールド	説明
プロフィール	認証されたユーザーのユーザー情報を取得および変更するための OAuth スコープです。[ユーザー情報を取得] スコープは自動的に有効になります。[ユーザーの詳細を変更] スコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
GoToMeeting、GoToWebinar、または GoToTraining	GoToMeeting、GoToWebinar、および GoToTraining アプリケーションのセッションを作成、開始、および変更するための OAuth スコープ。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。 **注:** SaaS ライセンス管理 GoTo 統合では、GoToTraining アプリケーションのライセンス管理はサポートされていません。
GoToAssist Remote Support またはサービスデスク	GoToAssist Remote Support およびサービスデスクアプリケーションのセッションを作成、開始、および変更するための OAuth スコープ。このチェック ボックスをオフのままにします。 **注:** SaaS ライセンス管理 GoTo統合では、GoToAssist アプリケーションのライセンス管理はサポートされていません。
SCIM	クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用してユーザー管理を自動化するための OAuth スコープです。このチェック ボックスをオフのままにします。
アドミンセンター	GoTo アドミンセンターで LogMeIn ユーザーを管理するための OAuth スコープです。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
GoToConnect	GoToConnectを使用して電話やその他の電話サービスを開始するための OAuth スコープ。GoToConnectライセンスが有効になっている場合は、次のチェックボックスをオンにします。 ○ PBX の電話回線の通話履歴にアクセスする [cr.v1.read] ○ 電話回線の情報を取得する [users.v1.lines.read]

8. [**Save** (保存)] をクリックする。
9. [認証情報] タブで、[クライアント **ID**] と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. チェックボックスをオンにして、クライアントシークレットが保存されていることを確認します。
11. **[Done** (完了)] を選択します。

GoTo接続を作成

GoToアプリケーションとServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. GoTo 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧で GoTo を見つけて、 構成 を選択します。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GoTo接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
名前	GoTo認証情報の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
OAuth クライアント ID	GoToOAuth クライアントに割り当てられているクライアント ID です。
OAuth クライアントシークレット	GoToOAuth クライアントに割り当てられているクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	GoTo アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのリダイレクト URL。このフィールドは、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを設定して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

7. [アプリを承認] ダイアログ ボックスで、[許可] を選択します。
   OAuth アクセストークンは、GoTo接続を許可するために使用できるようになります。
8. GoToConnectライセンスが有効になっている場合は、[接続] タブに移動します。
9. GoToConnect の接続を見つけて、[詳細を表示] を選択します。
10. [**OAuth** トークンの取得] を選択して、 GoToConnect のトークンを生成します。

    注:
    この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

GoTo 統合プロファイルの作成

GoTo 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GoToアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
GoTo統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [**GoTo** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でGoTo統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 GoTo 統合などです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に [GoTo サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

> **注:**
> 詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[GoTo** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

このサブフローは、サポートされているすべての GoTo アプリケーションに使用されます。

> **注:**
> [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローの計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティの更新に移動] に設定されていることを確認します。

このサブフローは、 GoToMeeting および GoToWebinar アプリケーションにのみ使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[GoTo** サブスクリプションの再利用 **(GoTo Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

このサブフローは、 GoToMeeting および GoToWebinar アプリケーションにのみ使用されます。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_goto_spoke** に設定されます。移動。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。

7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Jiraソフトウェアクラウドとの統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを Atlassian Jira Software Cloud と統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

注:
現在、この統合はプロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

- インストールされている Jira スポークのバージョンが 4.1.0 以降の場合、次のいずれかの方法を使用して、 Jira を ServiceNow インスタンスと統合できます。
  - ベーシック認証の使用
  - OAuth 認証の使用
- インストールされている Jira スポークバージョンが 4.1.0 より前の場合は、ベーシック認証の使用方法で Jira を ServiceNow インスタンスと統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Jira **Software Cloud** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アクセス権限 Jira	• read:application-role:jira • read:group:jira • read:user:jira • read:アバター:jira
ユーザーアクティビティのプル	• Jiraグローバル権限の管理 • 問題を含むプロジェクトのプロジェクト参照権限。 問題レベルのセキュリティが構成されている場合は、問題を表示するための問題レベルのセキュリティ権限。	• read:user:jira • read:issue-details:jira • read:audit-log:jira • read:アバター:jira • read:field-configuration:jira • read:issue-meta:jira
サブスクリプションを再利用	サイト管理者、つまり site-admin グループのメンバー	• read:group:jira • write:group:jira

ベーシック認証の使用

API キーを使用して ソフトウェア資産管理 アプリケーションと Jira を統合し、 ServiceNow 要求を認証します。

ServiceNow インスタンスを複数の Jira インスタンスと統合できます。この統合に対して、接続および資格情報エイリアスレコードを作成し、Jira インスタンスごとに接続レコードを作成します。

Jira アカウント **API** トークンを作成する

Jira で API トークンを作成して、要求を認証します。

始める前に
Jira 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. [Atlassian API トークン] に移動します。
2. **[API** トークンの作成] を選択します。
3. API トークンの名前を入力し、 [作成] を選択します。
4. API トークンをコピーして保存します。
   トークンは後で使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

接続および認証情報レコードの構成

デフォルトの接続および資格情報エイリアスレコードを構成し、ServiceNow からの要求を認証します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続 **&** 資格情報エイリアス.
2. スポークに付属している Jira のエイリアスレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続 URL	https://<provider-domain-name>.atlassian.net 形式のJiraインスタンスの URL。
ユーザー名	ユーザーのメールアドレスを入力します。
API キー	Jira用に生成した API トークンを入力します。

5. **[Create** (作成)] を選択します。

OAuth 認証の使用

OAuth を使用して ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Jira アカウントと統合し、ServiceNow 要求を認証します。

Jira アカウントでの **OAuth 2.0** 統合の作成

Atlassian 開発者コンソールで OAuth 2.0 統合を作成して、要求を認証します。

始める前に
Jira 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Atlassian 開発者コンソール にログインします。
2. [自分のアプリ] で、 [作成] を選択し、 **[OAuth 2.0** 統合] を選択します。
3. フォームで、統合の名前を入力し、[作成] を選択します。

   統合が作成され、アプリ ID の値が表示されます。
4. [認証] を選択します。

   a. [アクション] の下の [追加] を選択します。

   b. [コールバック **URL**] には、ServiceNowインスタンスの URL を https://<ServiceNow-Instance-Name>.service-now.com/oauth_redirect.do の形式で入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

例: https://example.service-now.com/oauth_redirect.do。

c. [変更内容を保存] を選択します。

5. [設定 **(Settings)]** を選択します。
6. [認証の詳細] で、[クライアント ID] と [クライアントシークレット] の値をコピーします。
7. 選択 権限 > **Jira API** > 構成.
8. [詳細なスコープ] タブを選択します。
9. [スコープの編集] を選択して、次のスコープを追加します。
   - read:application-role:jira
   - read:group:jira
   - read:user:jira
   - read:アバター:jira
   - read:audit-log:jira
   - read:issue-details:jira
   - read:field-configuration:jira
   - read:issue-meta:jira
   - write:group:jira

   要件に応じて他のスコープを構成できます。

Jiraインスタンスのクラウド **ID** 値を取得する

Jiraクラウドインスタンスのクラウド ID の値を取得します。この値は、ServiceNow インスタンスの接続レコードを構成するときに必要です。

始める前に
Jira 必要なロール：admin

手順

1. Atlassian Administration にログインします 。
2. 必要な組織に対して [選択] ボタンを選択します。
3. [製品] タブを選択します。
4. 製品 ページで、Jira 製品行の 製品の管理を選択します。

   新しいウィンドウでは、URL は次の形式です: https://admin.atlassian.com/o/<orgID>/products/jira-software/<Cloud-Id>。

5. 後で使用するためにクラウド ID の値をコピーします。

Jiraソフトウェアクラウド統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Atlassian Jira Software Cloud のライセンスを最適化します。

始める前に
Jira統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルが Jira ユーザーアクティビティの更新サブフローを介してユーザーアクティビティを取得および更新できるようにするには、 *com.glide.transform.json.max-partial-length* システムプロパティ の値を32768 に設定します。

Atlassian 必要なロール:サイトアドミン

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[Jira** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でJira統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	任意の名前。たとえば、Jiraデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	Jira 予約。このフィールドは、自動的に入力されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Jira** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Jira** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Jira** サブスクリプションの再利用 **(Jira Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_jira_spoke** に設定されます。Jira。

5. Jira製品へのアクセス権を持つグループを指定します。
ServiceNowインスタンスでこれらのグループを指定すると、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

a. 新しいタブで、 Atlassian 管理ポータル を開きます。

b. サイトアドミンアカウントにログインします。

c. 必要な組織に対して [選択] ボタンを選択します。

d. [製品] タブを選択します。

e. 製品 ページで、Jira 製品行の 製品の管理を選択します。

f. Jiraソフトウェアにアクセスできるグループのリストを表示します。
後で使用するために、この情報をメモします。

g. ServiceNowインスタンスに戻り、次に移動します: **Jira** > **Jira** グループ.

h. [グループ Jira] フォームで、[グループの追加] 関連リンクを選択します。
[Jira グループを追加] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. [利用可能] リストで、 Jira 製品にアクセスできるグループを選択します。

ヒント:
[利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。Jira製品にアクセスできるグループのみを選択します。

j. 右矢印ボタンを選択して、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

k. [**OK**] を選択します。

6. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

7. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
8. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

注:
統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。

- 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
- [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
- 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Looker との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをLookerと統合すると、Google Cloud アプリケーションを使用してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Box アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	see_users権限を持つユーザー	なし
ユーザーアクティビティのプル	see_users権限を持つユーザー	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

LookerAPI キー設定を構成

LookerAPI キーを管理および取得するための API キー設定を構成します。

始める前に
Looker 必要なロール：admin

手順

1. Looker (https://<instancename>.looker.com/) インスタンスにログインします。
2. 歯車アイコンを選択して、[アドミン設定 (Admin settings)] を開きます。
3. 選択 ユーザー > アドミンユーザーアカウントを開く.
4. [プロファイル] タブで **[API3** キーを編集 **(Edit API3 Keys)]** を選択します。
5. [新しい**API3** キー **(New API3 Key)]** を選択します。
6. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Looker接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Looker アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 接続と認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. Looker接続を見つけて、[新しい接続および資格情報の作成] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	**Value** (値)
接続情報	
接続名	Looker接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に https://<instance name>.looker.com に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Looker API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Looker API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

Looker 統合プロファイルの作成

Looker統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Lookerソリューションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [**Looker** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でLooker統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Lookerデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Looker サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Looker** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Looker** サブスクリプションの再利用 **(Looker Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_looker_spoke** に設定されます。見物人。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Microsoft Dynamics 365 および **Power Apps** との統合

ServiceNow インスタンスを Microsoft Dynamics 365 および Power Apps サービスと統合すると、ソフトウェア サブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

この統合により、すべての Microsoft Dynamics 365 および Power Apps 製品のユーザーサブスクリプションの詳細が取得されます。さらに、 ソフトウェア資産管理 はユーザーサブスクリプションベースのモデルを使用して製品のライセンスコンプライアンスを提供します。

最適化のために、 ソフトウェア資産管理 はアクティビティの最終日を自動的に追跡し、次のアプリケーションの使用率が低いことを特定します。

- Dynamics 365 for Sales (Professional、Premium、Enterprise)
- Dynamics 365 for Customer Service (Professional、Enterprise、Enterprise for Government、Professional Attach to Qualifying Dynamics、Sales and Customer Service Enterprise)
- Dynamics 365 for チーム メンバー
- Microsoft Relationship Sales (MRS)

Microsoft 365 サービスの詳細については、「Microsoft 365 についてよく寄せられる質問」を参照してください。

重要:

必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Microsoft **Dynamics 365** および **Power Apps** アプリケーションで必要なユーザー ロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	• グローバルアドミニストレーター • Dynamics 365 アドミニストレーター	• Organization.Read.All • User.Read.All • user_impersonation
ユーザーアクティビティのプル	Dynamics 365 アドミニストレーター	user_impersonation

Microsoft AzureActive Directory を設定

Microsoft AzureActive Directory (AD) を設定します。

始める前に
必要なロール：Microsoft 管理センターのグローバル管理者および Dynamics 365 管理者

手順

1. Microsoft Azureアプリの登録ページを開き、アドミンアカウントを使用してログインします。
2. **[+** 新規登録] を選択します。
   [アプリケーションの登録] ページが表示されます。
3. [名前] フィールドに、登録するアプリケーションの名前を入力します。
4. [サポートされているアカウントの種類] で、必要な組織ディレクトリーを持つアカウントを選択します。
5. [登録 **(Register)]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 登録したアプリケーションを開き、[概要] セクションに移動します。
7. アプリケーション (クライアント) ID とアプリケーション (テナント) ID を収集します。
8. [証明書とシークレット (Certificates and secrets)] セクションに移動します。
9. クライアントシークレットを作成します。
10. クライアントシークレットキーを収集します。
クライアントシークレットキーは、 ServiceNow インスタンスを構成するときに必要です。
11. [API アクセス許可] で、 **[+** アクセス許可の追加] を選択し、 [組織が使用する **API**] を選択します。
12. [Microsoft Graph] を選択し、次の [委任されたアクセス許可] を追加します。
    - Organization.Read.All
    - User.Read.All
    - Offline_access
13. Dynamics CRM を選択し、次のアクセス許可を追加します。
user_impersonation
14. [同意を付与する] で、[管理者の同意を付与する] を選択します。
15. [認証] セクションの [リダイレクト URI] で、ServiceNowインスタンスのリダイレクト URI を入力します。

Microsoft Dynamics 365 と **Power Apps** の設定

Microsoft Dynamics 365 と Power Apps のシステム レベルの設定を行います。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 「https://admin.powerplatform.microsoft.com/」に進みます。
2. [環境] で、Dynamics アクティビティを引き出す環境を選択します。
3. 上部のリボンから [設定] を選択します。
4. [監査とログ] を選択します。
5. 次のチェックボックスをオンにします。
    - 監査を開始
    - ログアクセス
    - ログを読み取る
6. [追加の監査設定] を選択します。
7. [設定] リストから [監査] を選択します。
8. [グローバル監査設定] を選択します。
9. 次のチェックボックスをオンにします。
    - 監査を開始
    - ユーザーアクセスを監査
    - 監査の読み込みを開始
    - 共通エンティティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 営業エンティティ
- カスタマーサービスエンティティ

10. [**OK**] を選択します。

Microsoft Dynamics 365 と **Power Apps** の **ServiceNow** インスタンスを設定する

Microsoft Dynamics 365 および Power Apps のServiceNowインスタンスを設定して、ソフトウェア サブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_integrator

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の [**Microsoft Dynamics 365** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI で Microsoft Dynamics 365 と Power Apps の統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. [表示名] フィールドに任意の名前を入力します。
3. [アクティビティサブフローを計算] タブの [ユーザーアクティビティの分析元] フィールドで、アクティビティをプルする日付を選択します。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [**Download Subscription Subflow**] タブの [**Connection & Credential**] フィールドの横にあるプレビュー (ⓘ) アイコンを選択します。
6. [認証情報を入力してください **(Please Enter the Credential Information**)] セクションで、Microsoft AzureActive Directory を設定 から受け取った値を入力します。
   a. [テナント **ID**] フィールドにテナント ID を入力します。
   b. [**OAuth** クライアント **ID**] フィールドに、OAuth クライアント ID を入力します。
   c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。
7. [**OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> この手順は、 Microsoft 管理センターでグローバル管理者ロールを持つユーザーが実行する必要があります。

8. Microsoft 365アカウントへのログインを求められたら、Microsoft 365認証情報を入力してMicrosoft 365アカウントにログインします。
9. [アクティビティサブフローを計算] タブの [接続と資格情報] フィールドの横にある [プレビュー] (ⓘ) アイコンを選択します。
10. [新しい接続および資格情報エイリアスの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. [接続と資格情報を作成] ウィンドウで、次の手順を実行します。

    a. [接続 **URL**] フィールドに、接続 URL を入力します。
    接続 URL をフェッチするには、Microsoft アドミンポータルにログインし、 アドミンセンター > すべてのアドミンセンター > **Dynamics 365** アプリの選択 > 環境. 統合する環境を選択します。環境 URL は接続 URL です。

    b. **[OAuth** クライアント **ID**] フィールドに、OAuth クライアント ID を入力します。

    c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。

12. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

    重要:
    この手順は、 Microsoft 管理センターで Dynamics 365 管理者ロールを持つユーザーが実行する必要があります。

13. 統合プロファイルに戻ります。
14. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

15. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
16. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

    注:
    統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
    - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
    - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
    - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Microsoft Dynamics 365サブスクリプションの最適化

評価 Microsoft Dynamics 365サブスクリプションヘルプのソフトウェア使用アクティビティ ライセンスの使用状況を監視し、ライセンス割り当てを最適化し、アサインされたライセンスのコストを削減できる可能性があります。ソフトウェア使用アクティビティとは、ソフトウェア製品がどのように使用されているかを指します。

ソフトウェア使用アクティビティと発生コストに基づいて、 ソフトウェア資産管理 は以下を含むソフトウェアサブスクリプションの最適化の推奨事項を生成します。

- 低使用率のサブスクリプション

  ソフトウェア資産管理 使用率の低いサブスクリプションを再利用することをお勧めします。たとえば、アクティビティの最終日が現在の日付の 60 日前 前 の場合、そのサブスクリプションは使用率が低いサブスクリプション と見なされます。

- 統合されるサブスクリプション

  ユーザーがさまざまなMicrosoft Dynamics 365アプリケーションに対して複数の基本ライセンスを持っている場合、ソフトウェア資産管理サブスクリプションを統合してライセンスを最適化することをお勧めします。このアプローチでは、基本ライセンスを 1 つ購入し、残りをアタッチライセンスとして取得することで、Microsoft のライセンス条項への準拠を確保しながら、費用対効果を高めることができます。

  たとえば、Dynamics 365 Commerce、Dynamics 365 Finance、および Dynamics 365 Human Resources の基本ライセンス サブスクリプションをユーザーに対して購入した場合、ソフトウェア資産管理 は Dynamics 365 Commerce を基本ライセンスとして使用し、Dynamics 365 Finance と Dynamics 365 Human Resources を基本ライセンスに添付 ライセンスとして使用することをお勧めします。詳細については、 Dynamics 365 ライセンス ガイドを Dynamics 365 の価格の概要ページから ダウンロードできます。

Microsoft Dynamics 365 および Power Apps との統合統合が完了すると、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルで使用アクティビティ情報を確認できます。

関連情報

再利用のルール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Miro Enterprise との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Miro Enterprise アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Miro Enterprise アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	会社アドミン	organizations:read
ユーザーアクティビティのプル	会社アドミン	organizations:read
サブスクリプションを再利用	会社アドミン	なし

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成して、MiroAPI へのアクセスを有効にします。

始める前に
Miro 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Miro プラットフォーム を開きます。
2. 組織内にチームを作成していない場合、または偽のデータを使用して OAuth 2.0 アプリケーションをビルドしてテストする場合は、開発者チームを取得します 。
3. Miroプラットフォームのページヘッダーで、[アプリ] を選択します。
   サインアップページが開きます。
4. 会社アドミンの認証情報を使用してサインインします。
   デフォルトの組織プロファイルが開きます。
5. 左側のナビゲーションペインの上部にある組織プロファイルアイコンを選択して、OAuth 2.0 アプリケーションをビルドする組織を選択します。
   選択された組織のプロファイルが開きます。
6. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [プロファイル設定] を選択します。
7. プロファイル設定の [API、SDK、および埋め込み **(API, SDK & Embed)]** タブを選択します。
8. [アプリ] セクションで、[使用条件に同意します] チェック ボックスをオンにし、[新しいアプリの作成] を選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[新規アプリを作成 **(Create new app)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
アプリ名	OAuth 2.0 アプリケーションの名前
説明	OAuth 2.0 アプリケーションの簡単な説明

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. OAuth 2.0 アプリケーションをビルドするチームを選択します。
11. [アプリを作成] を選択します。
    新しく作成したアプリの設定が開きます。
12. アプリの <*app-name*> セクションで、[クライアント **ID**] と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
    後で使用できるように安全な場所に保存してください。
13. リダイレクト URL セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力し、 追加 を選択します。
    https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. OAuth スコープセクションで、**organizations:read** OAuth スコープを有効にします。
    OAuth スコープは、アプリケーションが保護されたリソースに対して持つアクセスのレベルを指定します。organizations:read OAuth スコープを使用すると、アプリケーションで組織および組織メンバーに関する情報を読み取ることができます。

次のタスク
組織プロファイルを開いたままにして、Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にできるようにします。詳細については、「Miro Enterpriseアカウントで SCIM を有効化」を参照してください。

Miro Enterpriseアカウントで **SCIM** を有効化

Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にして、MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークンを生成できるようにします。

始める前に
Miro 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Miro組織プロファイルの左側のナビゲーション ウィンドウで、 [セキュリティ] を選択します。
2. セキュリティのページで、**SSO/SAML** を有効にするオプションを選択します。
3. SSO/SAML を有効にした後、**SCIM** プロビジョニングを有効にするオプションを選択します。
   Miroは、API アクセストークンを自動的に生成し **[API** トークン] フィールドに表示します。
4. オプション: [**SCIM** でプロビジョニングされたユーザーにメール通知を送信する] チェックボックスをオンにすると、SCIM を使用してプロビジョニングされたすべてのユーザーにメール通知を送信 Miro 。
5. **[API** トークン] フィールドに API アクセストークンをコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Miro Enterprise接続を作成

Miro EnterpriseアプリケーションとServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [統合] タブを選択し、「 Miro」を検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. Miro Enterprise 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. Miro Enterprise接続の詳細から、[構成] を選択します。
5. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro Enterprise接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> このステップは、Miro の会社アドミニストレーターロールを持つServiceNowアドミンが実行する必要があります。

7. [Miro OAuth 認証] ダイアログ ボックスで、 Miro Enterprise OAuth 2.0 アプリケーションをビルドしたチームを見つけて、[インストール] を選択します。

> **注:**
> 別の ServiceNow インスタンスが同じ認証情報を使用している場合は、再インストールを求められます。

OAuth アクセストークンは、Miro Enterprise接続を許可するために使用できるようになります。

Miro EnterpriseSCIM 接続を作成

Miro EnterpriseSCIM とServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [統合] タブを選択し、「 Miro」を検索します。
3. Miro Enterprise SCIM 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. Miro Enterprise SCIM 接続の詳細から、[構成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro EnterpriseSCIM 接続の名前このフィールドは、自動的に入力されます。
認証情報	
API トークン	MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークン 生成してコピーした同じ API アクセストークンをMiro Enterpriseアカウントで SCIM を有効化に入力します。

6. [接続を作成] を選択します。

Miro Enterprise 統合プロファイルの作成

Miro Enterprise 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Miro Enterprise アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
Miro Enterprise統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[Miro** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でMiro Enterprise統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: Miro Enterprise 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Miro Enterprise** サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Miro** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Miro** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. すべての必須フィールドに入力したら、[保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続が検証されたら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

monday.com との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをmonday.comと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	monday.com アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	メンバー	users:read
ユーザーアクティビティのプル	メンバー	users:read

mondayOAuth2 アプリケーションを作成

mondayOAuth2 アプリケーションを作成して、monday.comAPI へのアクセスを許可します。

始める前に

monday.com 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

このタスクについて

mondayアプリケーションを使用すると、既存のmonday.com作業のオペレーティングシステム (作業 OS) の上にワークフロー、ユーザーエクスペリエンス、および製品をビルドできます。OAuth2 を使用するように monday アプリケーションを構成すると、ユーザーデータの読み取りと変更ができるように、 monday.com API へのアクセスが許可されます。

手順

1. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. プロファイルアイコンを選択し、[開発者] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[自分のアプリケーション] ページが開きます。

4. [アプリの作成] を選択します。
   新しいアプリケーションの [基本情報] ページが開きます。
5. [情報を表示] セクションで、フィールドに入力します。

情報を表示

フィールド	説明
名前	mondayアプリケーションの名前
簡単な説明	アプリケーションの説明

6. オプション: 同じセクションで、自動生成されたアイコンを選択し、アイコン画像を選択して、独自のアプリケーションアイコンを追加します。
   [アプリの色] を選択し、プリセット色またはカスタム色を選択して、アイコンの色を変更することもできます。独自のアプリケーションアイコンを追加しない場合、またはアイコンの色を選択しない場合、アプリケーションは自動生成されたアイコンとデフォルトのアイコンの色を使用します。
7. [アプリの認証情報] セクションで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. [アプリの保存] を選択します。
9. 新しいアプリケーションの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 全般 > **OAuth**.
   [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] のページの [スコープ] タブが開きます。
10. [スコープ] セクションで、 **users:read** OAuth スコープのチェックボックスをオンにして、アプリケーションがさまざまなタイプのユーザーデータにアクセスしたり使用したりする方法を指定します。
11. [機能を保存] を選択します。
12. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページの [リダイレクト **URL]** タブを選択します。
13. [リダイレクト URL] セクションで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
    https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. [機能を保存] を選択します。

monday.com 統合プロファイルの作成

monday.com 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、mondayアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

monday.com統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [スポーク **monday.com**] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でmonday.com統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: monday.com 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **monday.com** サブスクリプションに設定されます。

3. 必要なユーザーロールまたは API 権限を表示して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。
必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限」テーブルを参照してください。
4. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード **monday.com**] に設定されていることを確認します。

注:

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_monday_com_spok** に設定されます。月曜日。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
8. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	monday.comAPI のベース URL このフィールドは自動的に https://api.monday.com/ に設定されます。
OAuth クライアント ID	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、mondayOAuth2 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

10. [アプリの承認] ダイアログ ボックスで、monday アプリケーションの作成に使用したのと同じmonday.com資格情報を使用してサインインします。
11. [許可] を選択します。
    ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
12. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
13. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
14. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

PagerDuty との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを PagerDuty アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	PagerDuty アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	• OAuth アプリの作成:マネージャー • トークン生成:オブザーバー	• スコープ付き OAuth:users:read • クラシックユーザー OAuth:読み取り
ユーザーアクティビティのプル	• OAuth アプリの作成:マネージャー • トークン生成:オブザーバー	• スコープ付き OAuth:oncalls:read • クラシックユーザー OAuth:読み取り
サブスクリプションを再利用	OAuth アプリとトークン生成の作成:グローバルアドミン	• スコープ付き OAuth:users:write • クラシックユーザー OAuth:読み取り/書き込み

PagerDutyアプリケーションの作成

ServiceNow インスタンスと統合する PagerDuty アプリケーションを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
PagerDuty 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. ウェブブラウザから PagerDuty を開きます。
2. PagerDuty アカウントにログインします。
3. 開発者モードにアクセスします。
   - 開発者アカウントでログインしている場合は、開発者モードに自動的にアクセスできます。
   - 顧客アカウントでログインしている場合は、開発者モードに手動でアクセスする必要があります。

   a. ページヘッダーで、メニューアイコン ( ) を選択します。

   b. [開発者モード] を選択します。
   開発者モードの [自分のアプリ] ページにリダイレクトされます。

4. [自分のアプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。
5. [アプリをビルド] フォームで、フィールドに入力します。

[アプリのビルド] フォーム

フィールド	説明
アプリ名	PagerDuty アプリケーションの名前。たとえば、ServiceNow Integration とします。
簡単な説明	アプリケーションの簡単な説明。
カテゴリ	アプリケーションカテゴリ。[カテゴリ] リストから **[API Management**] を選択します。
すべての PagerDuty ユーザー向けに公開アプリを公開できるようにしたいと考えています。すべての PagerDuty ユーザーとアプリエコシステムに対してアプリを公開する予定ですか?	すべての PagerDuty ユーザーにアプリケーションを公開して公開できるようにするオプション。このフィールドはオプションです。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   PagerDuty がアプリケーションを登録し、[自分のアプリ] ページに戻ります。
7. オプション: 追加のアプリケーション設定を構成します。

   a. [自分のアプリ] ページで、 PagerDuty アプリケーションを選択します。
   アプリケーション設定ページが開きます。

   b. [アプリの **Web** サイトの **URL**] フィールドに、ユーザーがアプリケーションの詳細を知ることができる Web サイトの URL を入力します。

   c. [アイコン **URL**] フィールドに、アプリケーションアイコンとして使用するホスト画像ファイルの URL を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アイコンは 50 x 50 ピクセルにする必要があります。

d. [**Save** (保存)] をクリックする。

PagerDuty アプリケーションに **OAuth 2.0** 機能を追加する

PagerDuty アプリケーションを作成したら、OAuth 2.0 機能を追加して、ユーザーログイン時にユーザー固有のデータを管理PagerDutyアクセスすることをアプリケーションに許可します。

始める前に
PagerDuty 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. PagerDuty アカウントの [自分のアプリ] ページで、PagerDutyアプリケーションを選択します。
   アプリケーション設定ページが開きます。
2. [機能] セクションで、 [OAuth 2] を見つけて [追加] を選択します。
   [OAuth 2] ページが開きます。
3. [OAuth 2 機能の追加 (Add OAuth 2 Functionality)] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を [リダイレクト **URL**] フィールドに入力します。
   https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do と入力します。ここで <*instance-name*> はServiceNowインスタンスの名前です。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [トークン] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
6. [スコープ] セクションで、[スコープ指定 **OAuth** (**Scoped OAuth)]** または [クラシックユーザー **OAuth (Classic User OAuth**)] を選択します。
   権限スコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

PagerDuty 統合プロファイルの作成

PagerDuty 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、PagerDutyアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
PagerDuty統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の **[PagerDuty** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でPagerDuty統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:PagerDuty 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に [*PagerDuty* サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [Download Subscription Subflow] セクションで、[**Subflow**] フィールドが **[PagerDuty Download Subscriptions]** に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローの計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[PagerDuty** ユーザー アクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

注:
ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[PagerDuty** サブスクリプションの再利用 **(PagerDuty Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_pagerduty_spoke** に設定されます。PagerDutyです。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。例:PagerDuty Connection
OAuth クライアント ID	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do と入力します。ここで <*instance-name*> はServiceNowインスタンスの名前です。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

   [PagerDuty アカウント] ページにリダイレクトされます。
9. PagerDutyアプリケーションの作成に使用したものと同じPagerDutyアカウントを選択します。
10. アカウントを使用するための承認 <*pagerduty-app-name*> を求められたら、[承認] を選択します。
    ServiceNow インスタンスは PagerDuty の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
13. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Rally との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Broadcom Rally アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Rally アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ワークスペースアドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	ワークスペースアドミン	なし
サブスクリプションを再利用	ワークスペースアドミン	なし

Rally OAuth アプリケーションの登録

Rally OAuth アプリケーションを登録して Rally API 2.0 にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に
Rally 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「 Rally スポーク 」を参照してください。

Rally 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. アドミン認証情報を使用して [CA Agile Central] にログインします。
2. 選択 **OAUTH** クライアント > 新しいクライアントを作成.
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[OAuth クライアントの作成 **(Create Oauth Client)]** ダイアログボックス

フィールド	値
アプリケーション名	アプリケーションの名前を入力します。
コールバック URL	アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのコールバック URL。 たとえば、[https://<instance_url>/oauth_redirect.do]。

4. [次へ] を選択します。
5. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Rally接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Rally アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 接続と認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. Rally接続を見つけて、[新しい接続および資格情報の作成] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	**Value** (値)
接続情報	
接続名	Rally接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に https://rally1.rallydev.com/slm/webservice に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Rally API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Rally API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

Rally 統合プロファイルの作成

Rally統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Rallyソリューションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

必要なロール:admin または sam_integrator

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[Rally** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でRally統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Rallyデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Rally サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [Download Subscription Subflow] セクションで、[**Subflow**] フィールドが **[Rally Download Subscriptions**] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Rally** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_rally_spoke** に設定されます。ラリー。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Roadmunk との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Roadmunk アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Roadmunk アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アカウントアドミン	スコープなし
ユーザーアクティビティのプル	アカウントアドミン	スコープなし
サブスクリプションを再利用	アカウントアドミン	スコープなし

RoadmunkAPI アクセストークンを生成

RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークンを生成します。

始める前に
Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

手順

1. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。
2. アカウントアドミン認証情報を使用してログインします。
3. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンを選択し、[アカウント設定] を選択します。
4. アカウント設定のページヘッダーで、[統合] タブを選択します。
5. [既存の統合] で、[統合の追加] を選択します。
6. 構成するデータ連携を選択するプロンプトが表示されたら、**[API** トークン] を選択します。
7. [Roadmunk API トークン] フォームの [アプリケーション名] フィールドに API アクセストークンの名前を入力します。
8. **[API** トークンの作成] を選択します。
   API アクセストークンが生成され、[API トークンの作成済み (API Token Created)] ダイアログボックスが開きます。
9. [作成された API トークン] ダイアログボックスで、[クリップボードにコピー] を選択して API アクセストークンをコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Roadmunk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Roadmunk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. [接続] タブを選択します。
3. Roadmunk 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Roadmunk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続URL	接続の URL です。このフィールドは自動的に **[https://app-gateway.roadmunk.com]** に設定されます。**[app]** は接続が作成されるデフォルトの地理的リージョン (北米) です。 デフォルトの アプリ (北米) リージョン外で接続を作成する場合は、リージョンの値を **EU** (ヨーロッパ) または **APAC** (アジア太平洋リージョン) に変更できます。
認証情報	
API トークン	RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークン。 RoadmunkAPI アクセストークンを生成で生成したものと同じ API アクセストークンを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

Roadmunk 統合プロファイルの作成

Roadmunk 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Roadmunkアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Roadmunk統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の **[Roadmunk** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でRoadmunk統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Roadmunk 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Roadmunk** サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

   [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

      注:
      ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** サブスクリプションの再利用 **(Roadmunk Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_roadmunk_spoke** に設定されます。ロードマンク。

5. オプション: 統合プロファイルがRoadmunkサブスクリプションのリストに非アクティブなユーザーを含めないようにするには、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローを有効にして、RoadmunkアカウントのアクティブなユーザーのみをダウンロードするようにRoadmunkします。
   デフォルトでは、[Roadmunk サブスクリプションをダウンロード] サブフローは、アクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、 Roadmunk アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードします。

   a. 新しいタブまたはウィンドウで、 Roadmunk を開きます。

   b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
   Roadmunkダッシュボードが開きます。

   c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンを選択し、[アカウント設定] を選択します。
   アカウント設定が開きます。

   d. アカウント設定のページ ヘッダーで、[レポート] タブを選択します。

   e. 使用可能な Roadmunk レポートの一覧から、 [ユーザー **CSV** のダウンロード] を選択します。
   Roadmunkユーザーレポートは.csv形式でダウンロードされます。

   f. [統合プロファイル] フォームに戻ります。

   g. フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン (

   h. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルを選択] を選択して、手順 e でダウンロードした Roadmunk ユーザー レポートを見つけて選択します。

   i. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて [統合プロファイル] フォームに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
Roadmunkサブスクリプションのリストから非アクティブなユーザーを継続的に削除するには、定期的に最新バージョンのRoadmunkユーザーレポートをダウンロードして添付してください。

6. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

7. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
8. **[Publish** (公開)] を選択します。
9. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

注:
統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。

- 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
- [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
- 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Salesforce CRM との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSalesforceカスタマーリレーションシップマネジメント (CRM) サービスと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

注:

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、プレイブックを使用してServiceNowインスタンスSaaSSalesforce CRMと統合します。プレイブックを使用して Salesforce CRM 統合プロファイルを作成する方法の詳細については、「 Salesforce CRM 統合の作成」を参照してください。

サポートされている Salesforce CRM サービスは次のとおりです

- Salesforce Sales Cloud
- Salesforce Service Cloud
- Salesforce プラットホーム
- Salesforce 顧客コミュニティ
- Salesforce パートナーコミュニティ
- Salesforce 会社のコミュニティ
- Salesforce 冗言

クラシック Salesforce Lightning 組織と Salesforce Lightning 組織の両方がサポートされています。

注:
カスタムライセンスメトリクスを使用して、支払いをしているがユーザーサブスクリプションベースではない他のサービスのエンタイトルメントを追跡できます。カスタム ライセンスのメトリクスを作成する方法の詳細については、 カスタムライセンスの測定基準の追加 を参照してください。

統合の接続に使用する Salesforce アカウントには、 Salesforce ユーザーライセンスと次のユーザーアクセス権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Salesforce CRM アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	次の権限を持つユーザー: • セットアップと構成の表示 • アプリケーションのカスタマイズ • 接続済みアプリを管理 • API が有効	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)
ユーザーアクティビティのプル	次の権限を持つユーザー: • セットアップと構成の表示 • アプリケーションのカスタマイズ • 接続済みアプリを管理 • API が有効	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)
サブスクリプションを再利用	アドミン権限を持つユーザー	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)
ダウンロード消費	次の権限を持つユーザー: • セットアップと構成の表示 • アプリケーションのカスタマイズ • 接続済みアプリを管理 • API が有効	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)

Salesforce CRM サービスについての詳細は、Salesforce 開発者向けドキュメント を参照してください。

Salesforceアプリケーションの登録

Salesforce アドミンポータルからアプリケーションを登録します。

始める前に
Salesforce 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Salesforce にログインし、クラシック環境に切り替えます。
2. [セットアップ] を選択します。
3. 左側のナビゲーションメニューから、 構築 > 作成/挿入 > アプリ.
4. [接続済みアプリ] セクションで、 [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい接続アプリフォーム

フィールド	説明
接続済みアプリ名	アプリケーションの名前。
API 名	API の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
連絡先メール	アプリケーションに関連付けるメールアドレス。
OAuth 設定の有効化	OAuth 設定を有効にするオプション。
コールバック URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
選択した OAuth スコープ	アクセストークンに付与されるアクセスの量を決定する OAuth スコープ。次の値が必要です。 ○ データ **(api)** へのアクセスと管理 ○ いつでも代理で要求を実行 **(refresh_token, offline_access)**

6. [リフレッシュトークンは取り消すまで有効です] としてリフレッシュトークンポリシー値が設定されていることを確認します。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
8. 新しいアプリのページで、[コンシューマーキー] フィールドと [コンシューマーシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。コンシューマーキー (クライアント ID) とコンシューマーシークレット (クライアントシークレット) は機密です。それらを共有しないでください。

Salesforce CRM 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Salesforce CRM サービスのライセンスを最適化します。

注:
Salesforce CRM統合はグローバルスコープでのみ作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最初の **Salesforce CRM** 統合プロファイルを作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する最初の Salesforce 組織の統合プロファイルを作成します。

始める前に

Salesforce CRM統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Salesforce CRM** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce CRM統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、プレイブックを使用してServiceNowインスタンスSaaSSalesforce CRMと統合します。プレイブックを使用して Salesforce CRM 統合プロファイルを作成する方法の詳細については、「Salesforce CRM 統合の作成」を参照してください。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

   統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前 この統合プロファイルを作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。例:SFDC Org1。 **ヒント:** レポート時に見やすくするために、この名前は短くしてください。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 自動的に **Salesforce CRM** サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

c. [**Download Consumption Subflow** (ダウンロード消費サブフロー)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce CRM Download Consumption (Salesforce CRM** ダウンロード消費)] に設定されていることを確認します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

注:
Salesforce CRM統合では、ユーザーレコードからの前回のユーザーログインに関する情報が使用されるため、[アクティビティを計算] サブフローは必要ありません。

インスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。特定の消費ベースの Salesforce CRM アプリケーションの消費数を表示できます。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開き、子エイリアスを構成します。
6. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
8. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。 この接続と資格情報の作成対象である Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。例:SFDC Org1。
接続 URL (インスタンス URL)	Salesforce にログインした後に表示される URL、または Salesforce のカスタムドメイン URL。
OAuth クライアント ID	Salesforce アプリケーションにアサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
OAuth クライアントシークレット	Salesforce アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Salesforceアプリケーションの登録」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

10. [OAuth2] ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの作成に使用したのと同じ Salesforce admin アカウントにログインします。

    ヒント:
    ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

    ServiceNow インスタンスは Salesforce の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。

    [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sforce_v2_spoke** に設定されます。Salesforce。

11. に移動して統合プロファイルに戻ります **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
12. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

13. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
14. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、 ServiceNow インスタンスは Salesforce CRM サービスからのデータの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、このプロセスは通常、数分で完了します。100 ～ 5,000 人のユーザーを抱える組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15 分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

追加の **Salesforce CRM** 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する追加の Salesforce 組織ごとに統合プロファイルを作成します。

始める前に

Salesforce CRM 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Salesforce CRM** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce CRM統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	この統合プロファイルを作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。例:SFDC Org2。 ヒント: レポート時に見やすくするために、この名前は短くしてください。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **Salesforce CRM** に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

   c. [**Download Consumption Subflow** (ダウンロード消費サブフロー)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce CRM Download Consumption (Salesforce CRM** ダウンロード消費)] に設定されていることを確認します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

   注:
   [アクティビティを計算] サブフローは、ユーザーレコードからの前回のユーザーログインに関する情報を使用するため、 Salesforce CRM 統合には必要ありません。

   インスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。特定の消費ベースの Salesforce CRM アプリケーションの消費数を表示できます。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. 下のリンクを選択します 子エイリアス > **parentalias=*** を使用して子エイリアスを追加します。

   b. **[New** (新規)] を選択します。
   子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

   f. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。 この接続と資格情報の作成対象である Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。例:SFDC Org2。
接続 URL (インスタンス URL)	この統合を介して接続している Salesforce インスタンスの URL。
OAuth クライアント ID	Salesforce アプリケーションにアサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	Salesforce アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Salesforceアプリケーションの登録」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

   g. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

   h. [OAuth2] ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの登録に使用したのと同じ Salesforce admin アカウントにログインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

ServiceNow インスタンスによって Salesforce の OAuth トークンが作成され、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sforce_v2_spoke** に設定されます。Salesforce。

8. に移動して統合プロファイルに戻ります **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
9. [統合プロファイル] フォームの [接続および資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンを選択して、 ステップ 8 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。
10. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

11. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
12. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

タスクの結果
統合プロファイルを公開すると、 ServiceNow インスタンスは Salesforce CRM サービスからのデータの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、このプロセスは通常、数分で完了します。100 ～ 5,000 人のユーザーがいる組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15 分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Salesforce Marketing Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Salesforce Marketing Cloud サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

次のいずれかの認証方法を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Salesforce Marketing Cloud と統合します。

- ベーシック認証
- OAuth 2.0

ベーシック認証を使用した **Salesforce Marketing Cloud** の統合

ベーシック認証を使用して、 ServiceNow インスタンスを Salesforce Marketing Cloud と統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Salesforce Marketing Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	• 管理者> Web サービス API >アクセス>メール • 管理>ユーザー>ビュー	なし
ユーザーアクティビティのプル	• 管理者> Web サービス API >アクセス>メール • 管理>ユーザー>ビュー	なし
サブスクリプションを再利用	• 管理者> Web サービス API >アクセス>メール • 管理>ユーザー>ビュー • アドミニストレーション> ユーザー > 更新	なし
ダウンロード消費	• 管理者> Web サービス API >アクセス>メール • データ拡張>ビュー>メール >登録者 • データエクステンション> データ管理>メール>登録者	なし

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーを作成します。SOAP API を使用すると、Salesforce Marketing Cloud データ拡張からレコードを取得し、Salesforce Marketing Cloud ユーザーに関する情報を取得できます。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:ユーザーとロールを作成する権限を持つ admin ユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:

Web サービスを使用するには、 セットアップホーム > 設定 > **Security** > セキュリティ設定. [ユーザー名およびログイン] セクションで、[**Web** サービスのユーザー名とパスワードの有効化] チェックボックスをオンにします。

データエクステンションにアクセスするには、データエクステンションと同じ事業部門に API ユーザーを直接作成する必要があります。

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、プロファイルアイコンを選択し、[セットアップ] を選択します。
4. Salesforce Marketing Cloud ユーザーの作成

   a. 次のように移動する。 アドミニストレーション > ユーザー > ユーザー.

   b. **[Create** (作成)] を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

[全般設定] フォーム

フィールド	説明
名前	ユーザーの名前。
返信先メールアドレス	メールメッセージの送信と返信を行うメールアドレス。Salesforce Marketing Cloud は、パスワードを忘れた場合の要求もこのメールアドレスに送信します。 メールアドレスを入力したら、[確認] を選択してメールアドレスを確認します。
[送信者名 (From Name)] ドロップダウンに追加	メールアドレスがメールに入力される前に、ドメイン検証プロセスを通じて返信メールアドレスを送信するオプション。
通知メールアドレス	Salesforce Marketing Cloud通知の送信先のメールアドレス。
ユーザー名	ユーザーのユーザー名。
外部キー	API 呼び出し中にユーザーを一意に識別するキー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
カルチャーコード	このユーザーの Salesforce Marketing Cloud ユーザーインターフェイスで使用される言語。
API ユーザー	ユーザーが Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるかどうかを示すオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
一時パスワード	初回ログイン時に使用する一時パスワード。初回ログイン時に、このパスワードを変更するように求められます。
パスワードを検証	一時パスワードを検証するフィールド。

d. [**Save** (保存)] をクリックする。

5. 割り当てられたユーザーが Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスし、ユーザーとデータ拡張を管理できるようにするユーザーロールを作成します。

a. 次のように移動する。 アドミニストレーション > ユーザー > ロール.

b. **[Create** (作成)] を選択します。

c. フォームのフィールドに入力します。

プロパティフォーム

フィールド	説明
名前	ユーザーロールの名前。
外部キー	ユーザーロールを一意に識別するキー。
説明	ユーザーロールの説明

d. [権限] フォームセクションで、 メール > 登録者 > データ拡張 権限カテゴリを選択し、[データの表示] および [管理] アクセス権限の [許可] チェック ボックスをオンにします。

e. 展開 メール > アドミン > **API** アクセス 権限カテゴリを選択し、Web サービス API アクセス権限の [許可] チェック ボックスをオンにします。

f. 展開 アドミニストレーション > ユーザー 権限カテゴリを選択し、次のアクセス権限の [許可] チェックボックスをオンにします。

- ビュー
- 更新
- 無効化

g. [**Save** (保存)] をクリックする。

6. Salesforce Marketing Cloud ユーザーにユーザーロールを割り当てます。

a. 次のように移動する。 アドミニストレーション > ユーザー > ユーザー.

b. 利用可能なユーザーのリストから、ステップ 4 で作成したユーザーのチェックボックスをオンにします。

c. [ロールの管理] を選択します。
選択したユーザーの [ロール] フォームが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [ロール] フォームセクションで、[ロールの編集] を選択します。

e. 利用可能なロールのリストが表示されたら、ステップ 5 で作成したユーザーロールのチェックボックスをオンにします。

f. [**Save** (保存)] をクリックする。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

連絡先数レポートを作成して、 Salesforce Marketing Cloud アカウントの請求可能な連絡先の合計数を取得して表示します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門プロファイルアイコンを選択し、次に最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストから、 **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。
5. [レポートカタログ] セクションで、[カタログの表示] を選択します。
6. [レポート カタログ] から [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
   [レポートを作成] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、[日付範囲] リストからデータを取得して表示する期間を選択します。
   デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

   ヒント:
   レポート生成時のパフォーマンスの問題を回避するには、この値を [過去 **7** 日間] に設定する必要があります。

8. [**Submit** (送信)] を選択します。
   Salesforce Marketing Cloudインスタンスによってレポートが生成され、[結果:連絡先数] ページに結果が表示されます。
9. [結果: 取引先担当者数] ページで、[保存] を選択します。
   [レポートを保存] ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。

    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、[概要] タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。

    b. レポートのリストから、新しく作成した連絡先数レポートを開きます。

    c. [スケジュールオプション] セクションで、[編集] を選択します。

    d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

    [スケジュールオプションを編集] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを構成します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配信オプション	
形式	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)** を選択します。
場所	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **FTP** のレポートを保存する ように設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名:レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。 レポート名に日付と時刻を含める場合は、 Reportname_YYYYMMDD_HHMMSS 形式で追加します。 **注:** 後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。 ▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりにレポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP** の場所: Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。**[ExactTarget** 拡張 **FTP]** を選択して、レポートが SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポートフォルダーに保存されます。

    e. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

連絡先数レポートのデータエクステンションの作成

連絡先数レポートデータを Salesforce Marketing Cloud インスタンスに保存するデータエクステンションを作成します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

データ拡張は、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNowインスタンスがSalesforce Marketing Cloudサービスに接続すると、このデータ拡張からデータが取得されます。

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。
2. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。
   Contact Builder アプリが開きます。
3. [データ拡張] タブを選択します。
4. ポップアップ ダイアログ ボックスで、 開始 を選択し、 作成 を選択します。
   [新しいデータ拡張を作成] ダイアログボックスが開きます。
5. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データエクステンションを作成する方法。 [新規から作成] を選択します。
[Name (名前)]	データ拡張の名前。
外部キー	データ拡張を一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
説明	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。 このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
場所	データ拡張を保存する場所。 このフィールドは自動的に データ拡張に設定されます。別の場所を選択するには、[場所の変更] を選択します。
送信可能ですか?	データ拡張を登録者に送信できるかどうかを示すオプション。

6. **[Next** (次へ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [データ保持ポリシー (Data Retention Policy)] ステップで、[保持設定 **(Retention Setting**)] フィールドを [オフ] に設定します。
8. **[Next** (次へ)] を選択します。
9. [属性] ステップで、データ拡張に含める属性を追加します。
   属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。

   Salesforce Marketing Cloud 統合では、次の連絡先数のレポート列の属性が必要です。

   属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データ拡張のすべてのレコードに対する一意の識別子を属性に含めるオプション。 このオプションは、Count_Date属性に対して有効にする必要があります。
[Name (名前)]	属性の名前。 この名前は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
Required (必須)	属性にデータ拡張の各レコードの値が必要かどうかを示すオプション。
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 [フラグ] 属性で、デフォルト値を `1` に設定します。 **注:** プライマリキーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

[Name (名前)]	データタイプ
Count_Date	テキスト
Total_Distinct_Contacts_Count	テキスト
Total_Distinct_Email_Addresses1	テキスト
Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count	テキスト
フラグ	テキスト

注:
属性を追加することができます。名前は統合属性と同じである必要があります。詳細については、「ベーシック認証を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」または「OAuth 2.0 を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」を参照してください。

他のすべての連絡先数のレポート列の属性はオプションです。追加する各属性のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. **[Complete** (完了)] を選択します。
11. [作成されたデータエクステンション] ダイアログボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションの連絡先数レポートデータをインポートする自動化をビルドする

レポートの生成後に連絡先数レポートデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。
2. **Journey Builder** アプリアイコンを選択し、[**Automation Studio**] を選択します。
   オートメーションスタジオアプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
   新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグして、自動化スケジュールを作成します。
5. 自動化のスケジュールを定義します。

   a. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 構成 を選択します。

   b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールを定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日付。
開始時間	自動化の実行を開始する時刻。
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行されるように自動化を構成します。 選択したのと同じ頻度を選択します での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud. ヒント: レポートが生成された同じ日に実行するように自動化を構成する場合は、レポートの生成を完了するのに十分な時間を確保できる開始時間を選択します。ServiceNow では、レポートの開始時刻から 2 時間以上後に開始することをお勧めします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
終了	自動化スケジュールが終了するまで自動化を実行できる回数。 自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [なし] に設定します。 このフィールドは、[繰り返し] から [なし **(1** 回実行)] が選択されている場合にのみ表示されるわけではありません。

c. **[Done** (完了)] を選択します。

6. サーバー側 JavaScript が必要なすべてのアクティビティを実行するスクリプトアクティビティを追加します。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

b. スクリプトアクティビティステップで [選択] を選択します。
[スクリプトアクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいスクリプトアクティビティの作成] を選択します。
[新しいスクリプトアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。別の場所を選択する には、[選択...] を選択します。 このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。
説明	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバー側 JavaScript をコピーして、[サーバー側 JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows = Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1']);
</script>
```

*`*<data-extension-name>*`*は、連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータ拡張のファイル名と完全に一致する必要があります。

f. [構文を検証] を選択して、サーバー側の JavaScript 構文が有効であることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [概要] ステップで、スクリプトアクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. データ抽出アクティビティを追加して、SFTP レポートフォルダーから SFTP インポートフォルダーに連絡先数レポートをコピーします。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいデータ抽出アクティビティの作成] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
ファイル命名パターン	データの抽出元である連絡先数レポートのファイル名です。 この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud年に作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と正確に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出メソッド。 このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. **[Next** (次へ)] を選択します。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先の場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	レポートを入力フォルダーから出力フォルダーに移動する代わりにコピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

8. [ファイルのインポート] アクティビティを追加して、連絡先数レポートデータをデータエクステンションにインポートします。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データのコピー] または [インポート] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
[データのコピーまたはインポート] アクティビティは、自動化ワークフローの 3 番目のステップになります。

b. [データのコピーまたはインポート] アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データのコピーまたはインポートを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいコピーを作成] または [定義をインポート] を選択します。
[新しいコピーまたはインポート定義を作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	インポートファイルアクティビティの名前。
説明	ファイルインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
に通知メールを送信	インポート完了時に通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが成功すると、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** 通知メールには、インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、無効なフィールド数 の検証エラーが含まれています。これらの空の行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

e. **[Next** (次へ)] を選択します。

f. [ソース] ステップで、[データソース] ヘッダーの [ファイルの場所] を選択し、フィールドに入力します。

[ファイルのインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。**[ExactTarget** 拡張 **FTP]** を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。 レポート名に日付と時刻を含める場合は、[日付変数] フィールドと [時間変数] フィールドを選択して、Reportname_YYYYMMDD_HHMMSS形式で追加します。 この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud年に作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と正確に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時の表示形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには、 カンマ を選択します。 二重引用符を使用して各レコードを区切ることができるようにする場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。
不適切なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [宛先] ステップで、 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションを検索して選択します。

i. **[Next** (次へ)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

j. [マッピング] ステップで、[データアクション] ヘッダーの [追加および更新] オプションと [序数でマッピング] オプションを選択します。

k. プロンプトが表示されたら、[インポートファイルには列ヘッダーがあります] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマップします。

> 注:
> **Flag** 属性はマップ解除したままにしておきます。

l. **[Next** (次へ)] を選択します。

m. [レビュー] ステップで、ファイルのインポートアクティビティ構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存 **(Save Automation)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
[Name (名前)]	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
場所	自動化を保存する場所。

11. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. ワークフローキャンバスの開始ソースセクションで、 アクティブを選択します。
13. [スケジュールのアクティブ化の確認 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

連絡先数のレポートデータを手動で取得する

連絡先数レポート、データ拡張、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール済みレポートと自動化ジョブの間のレポートデータを取得できます。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて
Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、定義したスケジュールに基づいてレポートジョブと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数のレポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

   a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。

   b. アナリティクスビルダーアプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。

   c. レポートのリストから、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートを選択します。

   d. **[Run** (実行)] を選択します。
   Salesforce Marketing Cloud インスタンスによってレポートが生成され、結果が [結果:<*report-name*> ページに表示されます。

   e. [結果: <*report-name*> ページで、[結果のダウンロード] アイコン ( ) を選択します。

   f. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [結果をダウンロード] ダイアログボックス

フィールド	説明
ファイル名	レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
形式	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)** を選択します。

   g. [**Save** (保存)] をクリックする。

   h. システムにファイルを保存します。

2. データエクステンションにファイルをインポートします。

   a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。

   b. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。

   c. 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成時に作成した、最近作成したデータエクステンションを開きます。

   d. [インポート] を選択します。

   e. [データのインポート確認] ダイアログボックスで、[データ拡張にインポート] を選択し、[**OK]** を選択します。

   f. [データ拡張にインポート] ステップで、前のステップ 1 でダウンロードしたファイルを選択します。

   g. [区切り文字] をカンマとして選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

h. [インポートタイプ] で [追加および更新] を選択します。

i. [インポートオプション] で、[不正なデータを含むインポートファイルに含まれる行をスキップする] を選択します。

j. **[Next** (次へ)] を選択します。

k. [マッピングの構成] ダイアログボックスで、[手動でマッピング] を選択します。

l. 使用可能なデータ拡張列をインポートされたレポート列と照合し、[フラグ] 列を空のままにします。

m. **[Next** (次へ)] を選択します。

n. [レビューおよび作成] ダイアログボックスで、インポートが完了したときに通知するメール ID を入力し、[完了] を選択します。

o. [実行の確認] ダイアログ ボックスで、[完了] を選択します。

タスクの結果
最新の連絡先数レポートデータがデータ拡張にインポートされます。

ベーシック認証を使用した **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

ベーシック認証を使用して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Salesforce Marketing Cloud サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ヒント:
追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合をビルドします。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Salesforce Marketing Cloud** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ○ 基本認証:この値を選択します。 ○ OAuth 2.0 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで 基本認証 に設定されています。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 この値は、 自動的に **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

   c. [Download Consumption (消費サブフローをダウンロード)] セクションで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption (Salesforce Marketing Cloud** 連絡先の消費をダウンロード)] に設定されていることを確認します。
   [**Download Consumption**] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。ライセンス消費をダウンロードしない場合は、このチェックボックスをオフにすることができます。

4. [統合属性] セクションで、要件に基づいて属性を追加または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。

> **注:**
> 属性名は、 Salesforce Marketing Cloud インスタンスのレポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「連絡先数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sforce_mc_spoke** に設定されます。SalesforceMarketingCloud。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
8. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報を入力してください	
接続名	接続の名前。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報を入力してください	
ユーザー名プロファイル名	認証情報の名前。
ユーザー名	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのユーザー名。Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成 で作成したユーザーのユーザー名を入力します。
Password (パスワード)	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのパスワード。Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成 で作成したユーザーのパスワードを入力します。
後処理に使用する補足情報を入力してください	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションの名前と正確に一致する必要があります。

9. **[Create** (作成)] を選択します。
10. [接続および資格情報エイリアス] フォームヘッダーで、[戻る] ボタンを選択して [統合プロファイル] フォームに戻ります。
11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続を検証すると、Download Subscriptions API と Download Consumption API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
13. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

OAuth 2.0 を使用した **Salesforce Marketing Cloud** の統合

OAuth 2.0 を使用して、 ServiceNow インスタンスを Salesforce Marketing Cloud サービスと統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Salesforce Marketing Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ユーザー	ユーザー:読み取り
ユーザーアクティビティのプル	ユーザー	ユーザー:読み取り
サブスクリプションを再利用	ユーザー	ユーザー:書き込み
ダウンロード消費	ユーザー	データ拡張: 読み取り、書き込み

Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 認証情報の作成

Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 認証情報を作成します。

このタスクについて
認証情報は、 Salesforce Marketing Cloud スポークアプリケーションスコープで作成する必要があります。

始める前に
必要なロール：Salesforce Marketing Cloud アドミン

手順

1. Salesforce Marketing Cloud テナントにログインします。
2. 次のように移動する。 セットアップホーム > プラットフォームツール > アプリ > インストール済みパッケージ.
3. [新規] を選択してパッケージを作成します。
4. [新しいパッケージの詳細] ダイアログボックスで、[名前] フィールドと [説明] フィールドに入力します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. [コンポーネントを追加] 選択します。
7. **[API** 統合] を選択して、Salesforce Marketing Cloud API をアプリケーションと統合します。
8. [次へ] を選択します。
9. 統合タイプとして [サーバー間 **(Server-to-Server)]** を選択します。
10. **[Next** (次へ)] を選択します。
11. 統合の次のスコープを選択します。
    - ユーザー:読み取り
    - ユーザー:書き込み
    - データ拡張: 読み取り、書き込み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. [**Save** (保存)] をクリックする。
クライアント ID、クライアントシークレット、および SOAP ベース URI が構成サマリーに表示されます。の [コンポーネント] セクションに移動します。 セットアップ > インストール済みパッケージ > 詳細 をクリックして、クライアント ID、クライアントシークレット、および SOAP ベース URI を表示します。後で使用できるように値をコピーします。

> **注:**
> 注意: SOAP ベース URI を ServiceNow インスタンスで渡すときに、SOAP ベース URI に /Service.asmx を追加する必要があります。

13. [アクセス] タブを選択し、事業部門が有効になっていることを確認します。

事業部門が非アクティブな場合は、それを選択して有効にし、[保存] を選択します。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

連絡先数レポートを作成して、 Salesforce Marketing Cloud アカウントの請求可能な連絡先の合計数を取得して表示します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門プロファイルアイコンを選択し、次に最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストから、 **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
レポートアプリの概要が開きます。
5. [レポートカタログ] セクションで、[カタログの表示] を選択します。
6. [レポート カタログ] から [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
[レポートを作成] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、[日付範囲] リストからデータを取得して表示する期間を選択します。
デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

> **ヒント:**
> レポート生成時のパフォーマンスの問題を回避するには、この値を [過去 **7** 日間] に設定する必要があります。

8. [**Submit** (送信)] を選択します。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスによってレポートが生成され、[結果:連絡先数] ページに結果が表示されます。
9. [結果: 取引先担当者数] ページで、[保存] を選択します。
[レポートを保存] ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

11. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。

    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、[概要] タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。

    b. レポートのリストから、新しく作成した連絡先数レポートを開きます。

    c. [スケジュールオプション] セクションで、[編集] を選択します。

    d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールオプションを編集] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを構成します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配信オプション	
形式	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)** を選択します。
場所	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **FTP** のレポートを保存する ように設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名:レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。 レポート名に日付と時刻を含める場合は、 Reportname_YYYYMMDD_HHMMSS 形式で追加します。 **注:** 後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりにレポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP** の場所: Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。**[ExactTarget** 拡張 **FTP]** を選択して、レポートが SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポートフォルダーに保存されます。

e. [**Save** (保存)] をクリックする。

連絡先数レポートのデータエクステンションの作成

連絡先数レポートデータを Salesforce Marketing Cloud インスタンスに保存するデータエクステンションを作成します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

データ拡張は、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNowインスタンスがSalesforce Marketing Cloudサービスに接続すると、このデータ拡張からデータが取得されます。

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。
2. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。
   Contact Builder アプリが開きます。
3. [データ拡張] タブを選択します。
4. ポップアップ ダイアログ ボックスで、 開始 を選択し、 作成 を選択します。
   [新しいデータ拡張を作成] ダイアログボックスが開きます。
5. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データエクステンションを作成する方法。 [新規から作成] を選択します。
[Name (名前)]	データ拡張の名前。
外部キー	データ拡張を一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
説明	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
場所	データ拡張を保存する場所。 このフィールドは自動的に データ拡張に設定されます。別の場所を選択するには、[場所の変更] を選択します。
送信可能ですか?	データ拡張を登録者に送信できるかどうかを示すオプション。

6. **[Next** (次へ)] を選択します。
7. [データ保持ポリシー (Data Retention Policy)] ステップで、[保持設定 **(Retention Setting**)] フィールドを [オフ] に設定します。
8. **[Next** (次へ)] を選択します。
9. [属性] ステップで、データ拡張に含める属性を追加します。
   属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。

   Salesforce Marketing Cloud 統合では、次の連絡先数のレポート列の属性が必要です。

   属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データ拡張のすべてのレコードに対する一意の識別子を属性に含めるオプション。 このオプションは、Count_Date属性に対して有効にする必要があります。
[Name (名前)]	属性の名前。 この名前は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
Required (必須)	属性にデータ拡張の各レコードの値が必要かどうかを示すオプション。
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 [フラグ] 属性で、デフォルト値を `1` に設定します。 **注:** プライマリキーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

[Name (名前)]	データタイプ
Count_Date	テキスト
Total_Distinct_Contacts_Count	テキスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[Name (名前)]	データタイプ
Total_Distinct_Email_Addresses1	テキスト
Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count	テキスト
フラグ	テキスト

注:
属性を追加することができます。名前は統合属性と同じである必要があります。詳細については、「ベーシック認証を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」または「OAuth 2.0 を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」を参照してください。

他のすべての連絡先数のレポート列の属性はオプションです。追加する各属性のフィールドに入力します。

10. **[Complete** (完了)] を選択します。
11. [作成されたデータエクステンション] ダイアログボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションの連絡先数レポートデータをインポートする自動化をビルドする

レポートの生成後に連絡先数レポートデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。
2. **Journey Builder** アプリアイコンを選択し、[**Automation Studio**] を選択します。
オートメーションスタジオアプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグして、自動化スケジュールを作成します。
5. 自動化のスケジュールを定義します。
   a. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 構成 を選択します。
   b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールを定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日付。
開始時間	自動化の実行を開始する時刻。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行されるように自動化を構成します。 選択したのと同じ頻度を選択します での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud. ヒント: レポートが生成された同じ日に実行するように自動化を構成する場合は、レポートの生成を完了するのに十分な時間を確保できる開始時間を選択します。ServiceNow では、レポートの開始時刻から 2 時間以上後に開始することをお勧めします。
終了	自動化スケジュールが終了するまで自動化を実行できる回数。 自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [なし] に設定します。 このフィールドは、[繰り返し] から [なし **(1** 回実行)] が選択されている場合にのみ表示されるわけではありません。

c. **[Done** (完了)] を選択します。

6. サーバー側 JavaScript が必要なすべてのアクティビティを実行するスクリプトアクティビティを追加します。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

b. スクリプトアクティビティステップで [選択] を選択します。
[スクリプトアクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいスクリプトアクティビティの作成] を選択します。
[新しいスクリプトアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。別の場所を選択する には、[選択...] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。
説明	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバー側 JavaScript をコピーして、[サーバー側 JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows = Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1']);
</script>
```

<data-extension-name> は、連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータ拡張のファイル名と完全に一致する必要があります。

f. [構文を検証] を選択して、サーバー側の JavaScript 構文が有効であることを確認します。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [概要] ステップで、スクリプトアクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. データ抽出アクティビティを追加して、SFTP レポートフォルダーから SFTP インポートフォルダーに連絡先数レポートをコピーします。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいデータ抽出アクティビティの作成] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイル命名パターン	データの抽出元である連絡先数レポートのファイル名です。 この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud年に作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と正確に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出メソッド。 このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. **[Next** (次へ)] を選択します。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先の場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	レポートを入力フォルダーから出力フォルダーに移動する代わりにコピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

8. [ファイルのインポート] アクティビティを追加して、連絡先数レポートデータをデータエクステンションにインポートします。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データのコピー] または [インポート] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
[データのコピーまたはインポート] アクティビティは、自動化ワークフローの 3 番目のステップになります。

b. [データのコピーまたはインポート] アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データのコピーまたはインポートを選択] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [新しいコピーを作成] または [定義をインポート] を選択します。
[新しいコピーまたはインポート定義を作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	インポートファイルアクティビティの名前。
説明	ファイルインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。 任意のキーを入力できます。
に通知メールを送信	インポート完了時に通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが成功すると、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** 通知メールには、インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、無効なフィールド数 の検証エラーが含まれています。これらの空の行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

e. **[Next** (次へ)] を選択します。

f. [ソース] ステップで、[データソース] ヘッダーの [ファイルの場所] を選択し、フィールドに入力します。

[ファイルのインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。**[ExactTarget** 拡張 **FTP]** を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。 レポート名に日付と時刻を含める場合は、[日付変数] フィールドと [時間変数] フィールドを選択して、Reportname_YYYYMMDD_HHMMSS形式で追加します。 この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud年に作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と正確に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時の表示形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには、 カンマ を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	二重引用符を使用して各レコードを区切ることができるようにする場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。
不適切なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. **[Next** (次へ)] を選択します。

h. [宛先] ステップで、 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションを検索して選択します。

i. **[Next** (次へ)] を選択します。

j. [マッピング] ステップで、[データアクション] ヘッダーの [追加および更新] オプションと [序数でマッピング] オプションを選択します。

k. プロンプトが表示されたら、[インポートファイルには列ヘッダーがあります] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマップします。

> 注:
> **Flag** 属性はマップ解除したままにしておきます。

l. **[Next** (次へ)] を選択します。

m. [レビュー] ステップで、ファイルのインポートアクティビティ構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存 **(Save Automation)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
[Name (名前)]	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
場所	自動化を保存する場所。

11. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. ワークフローキャンバスの開始ソースセクションで、 アクティブを選択します。
13. [スケジュールのアクティブ化の確認 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

連絡先数のレポートデータを手動で取得する

連絡先数レポート、データ拡張、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール済みレポートと自動化ジョブの間のレポートデータを取得できます。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、定義したスケジュールに基づいてレポートジョブと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数のレポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

   a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。

   b. アナリティクスビルダーアプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。

   c. レポートのリストから、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートを選択します。

   d. **[Run** (実行)] を選択します。
   Salesforce Marketing Cloud インスタンスによってレポートが生成され、結果が [結果:<*report-name*> ページに表示されます。

   e. [結果: <*report-name*> ページで、[結果のダウンロード] アイコン ( ) を選択します。

   f. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [結果をダウンロード] ダイアログボックス

フィールド	説明
ファイル名	レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
形式	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)** を選択します。

   g. [**Save** (保存)] をクリックする。

   h. システムにファイルを保存します。

2. データエクステンションにファイルをインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで Salesforce アイコンにカーソルを合わせると、利用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストが表示されます。

b. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。

c. 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成時に作成した、最近作成したデータエクステンションを開きます。

d. [インポート] を選択します。

e. [データのインポート確認] ダイアログボックスで、[データ拡張にインポート] を選択し、[**OK]** を選択します。

f. [データ拡張にインポート] ステップで、前のステップ 1 でダウンロードしたファイルを選択します。

g. [区切り文字] をカンマとして選択します。

h. [インポートタイプ] で [追加および更新] を選択します。

i. [インポートオプション] で、[不正なデータを含むインポートファイルに含まれる行をスキップする] を選択します。

j. **[Next** (次へ)] を選択します。

k. [マッピングの構成] ダイアログボックスで、[手動でマッピング] を選択します。

l. 使用可能なデータ拡張列をインポートされたレポート列と照合し、[フラグ] 列を空のままにします。

m. **[Next** (次へ)] を選択します。

n. [レビューおよび作成] ダイアログボックスで、インポートが完了したときに通知するメール ID を入力し、[完了] を選択します。

o. [実行の確認] ダイアログ ボックスで、[完了] を選択します。

タスクの結果

最新の連絡先数レポートデータがデータ拡張にインポートされます。

OAuth 2.0 を使用した **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

OAuth 2.0 を使用して Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Salesforce Marketing Cloud サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ヒント:
追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合をビルドします。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spoke。Salesforce マーケティングクラウドアドミン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Salesforce Marketing Cloud** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI で Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ○ 基本認証 ○ OAuth 2.0:この値を選択します。 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで 基本認証 に設定されています。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 自動的に **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが [**Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

c. [Download Consumption (消費サブフローをダウンロード)] セクションで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption (Salesforce Marketing Cloud** 連絡先の消費をダウンロード)] に設定されていることを確認します。

4. [統合属性] セクションで、要件に基づいて属性を追加または削除します。
カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。

> **注:**
> 属性名は、 Salesforce Marketing Cloud インスタンスのレポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「連絡先数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sforce_mc_spoke** に設定されます。SalesforceMarketingCloudSOAPConnection。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。

8. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：SFMC SOAP 接続。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	の作成中に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報.
OAuth クライアントシークレット	Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。
後処理に使用される追加情報	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションの名前と正確に一致する必要があります。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

10. [**Save** (保存)] をクリックする。
11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Download Consumption API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。
12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

追加の **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する追加 Salesforce Marketing Cloud ごとに統合プロファイルを作成します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を ServiceNow Store

必要なロール:sam_integrator または admin

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spoke。Salesforce マーケティングクラウドアドミン

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Salesforce Marketing Cloud** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ○ 基本認証 ○ OAuth 2.0:この値を選択します。 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで 基本認証 に設定されています。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 自動的に **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

   c. [Download Consumption (消費サブフローをダウンロード)] セクションで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption (Salesforce Marketing Cloud** 連絡先の消費をダウンロード)] に設定されていることを確認します。
      [**Download Consumption**] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。ライセンス消費をダウンロードしない場合は、このチェックボックスをオフにすることができます。

4. [統合属性] セクションで、要件に基づいて属性を追加または削除します。
   カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。

   注:
   属性名は、 Salesforce Marketing Cloud インスタンスのレポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「連絡先数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sforce_mc_spoke** に設定されます。SalesforceMarketingCloudSOAPConnection。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビュー(ⓘ) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
   作成する最初の Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce Marketing Cloud

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

a. 下のリンクを選択します 子エイリアス > **parentalias=***** を使用して子エイリアスを追加します。

b. **[New** (新規)] を選択します。
子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：SFMC SOAP 接続。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	の作成中に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報.
OAuth クライアントシークレット	Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。
後処理に使用される追加情報	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 連絡先数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションの名前と正確に一致する必要があります。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続を検証すると、Download Subscriptions API と Download Consumption API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SAP Ariba との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを SAP Ariba アプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要:

この統合は、ユーザーサブスクリプションの詳細を取得し、最終ログイン日を追跡して、次の SAP Ariba アプリケーションの使用率が低いことを特定します。

- Ariba ソーシング
- Ariba サプライヤーパフォーマンス管理
- Ariba 契約管理

ライセンスを消費している SAP Ariba ユーザーのレポートをダウンロード

SAP Ariba統合プロファイルを設定する前に、現在SAP Aribaライセンスを使用しているすべてのユーザーのレポートを生成してダウンロードします。

始める前に
必要なロール：SAP Ariba アドミン

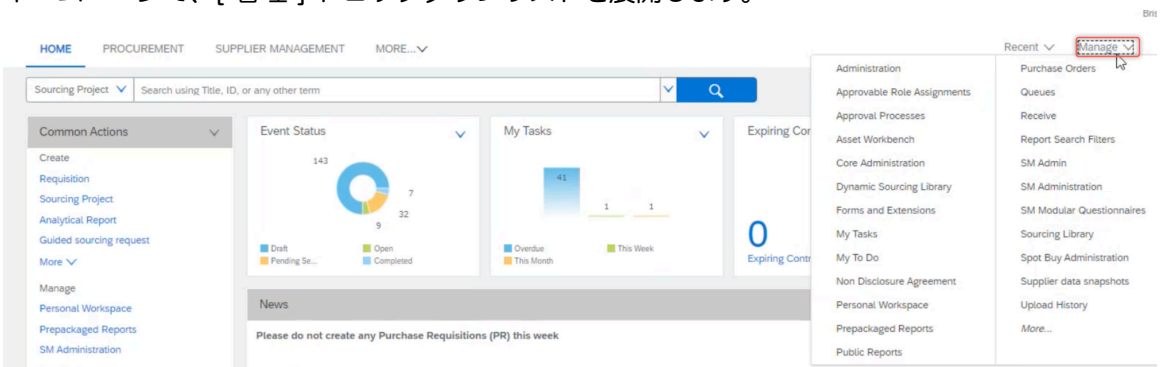
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
SAP Ariba 統合プロファイルを設定するには、次のSAP Aribaレポートが必要です。

- ソーシング:ユーザー名と権限
- 契約使用状況レポート
- プロジェクトを作成しているユーザーの数
- サプライヤーパフォーマンス管理 (SPM) プロジェクトレポート

手順

1. アドミン認証情報を使用して SAP Ariba ポータル にログインします。
2. ホームページで、[管理] ドロップダウンリストを展開します。



3. [パッケージ化されたレポート] を選択します。

> ヒント:
> このメニュー項目が [管理] ドロップダウン リストのすぐ下にない場合は、[その他] を選択し、[レポート] セクションから [パッケージ化されたレポート] を選択します。

4. 調達 - ユーザー名と権限、契約使用状況レポート、およびプロジェクトを作成するユーザーの数レポートをダウンロードします。

   a. [事前パッケージされたレポート] ページで、[システムとベンチマークの使用状況レポート] を検索して選択し、[開く] を選択します。

   b. [システムとベンチマークの使用状況レポート] ページで、[システムの使用状況レポート] を選択し、[開く] を選択します。
   システム使用状況レポートのリストが表示されます。ここで、契約使用状況レポートとソーシング使用状況レポートを確認できます。

   c. 調達 - ユーザー名および権限レポートを保存してエクスポートします。

      i. [システム使用状況レポート] ページで、[調達使用状況レポート] ドロップダウンリストを展開します。

      [調達ユーザーと権限] レポートが表示されます。

      ii. 下にスクロールして **[Sourcing-User Names and Permissions**] を選択し、[**Open**] を選択します。

      ソーシング - ユーザー名および権限レポートが表示されます。

      iii. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソーシング - ユーザー名および権限レポートはデフォルトのレポートであるため、編集しないでください。

iv. [レポートの保存] ページで、[現在のプロジェクト] フィールドを [パーソナル ワークスペース] として選択します。

> **重要:**
> レポートの保存時にファイル名を変更するには、 Sourcing-User Names and Permissions の形式で名前を指定します。必要に応じて、プリフィックスまたはサフィックスを含めることができます。

v. [**Save** (保存)] をクリックする。

vi. [エクスポート] を選択して、保存したレポートを.csv形式でシステムにエクスポートします。

d. 契約使用状況レポートを保存してエクスポートします。

i. システム使用状況レポート ページで、 すべての契約ワークスペース を検索して選択し、 開く を選択します。

ii. [すべての契約ワークスペース] ページで、[編集] を選択して、要件に従ってレポートをフィルタリングします。

生成するレポートの日付範囲を選択できます。

iii. ピボットレイアウトステップを選択して、レポートの [一般契約ワークスペース] リストからフィールドまたは階層を追加します。

たとえば、[ユーザータイプ] フィールドデータを [詳細フィールド] に追加する場合は、それを選択して長押し (または右クリック) し、[詳細フィールド] を選択します。必要なデータを [行フィールド]、[列フィールド]、または [詳細フィールド] に追加できます。

iv. 必須フィールドを追加したら、[次へ] を選択します。

> **重要:**
> [すべての所有者 **-** ユーザー **ID**] フィールドがレポートに含まれていない場合は、レポートを追加する必要があります。

v. [Done (完了)] を選択します。

[ピボットテーブル] タブの [詳細ビュー] セクションには、追加したフィールドが表形式で表示されます。

> **ヒント:**
> 選択したフィールドが表示されない場合は、 詳細ビュー 形式を選択していることを確認してください。

vi. [保存] を選択します。

vii. [レポートの保存] ページで、[現在のプロジェクト] フィールドを [パーソナル ワークスペース] として選択します。

> **重要:**
> レポートの保存時にファイル名を変更するには、 契約使用状況レポートの形式で名前を指定します。必要に応じて、プリフィックスまたはサフィックスを含めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

viii. [**Save** (保存)] をクリックする。

ix. [エクスポート] を選択して、保存したレポートを.csv形式でシステムにエクスポートします。

e. [プロジェクトを作成するユーザーの数] レポートを保存してエクスポートします。

i. [システム使用状況レポート] ページで、[調達使用状況レポート] ドロップダウン リストを展開し、[開く] を選択します。

システム使用状況レポートが表示されます。

ii. [ソーシング使用状況レポート] を展開し、下にスクロールします。

プロジェクトを作成しているユーザーの数を表示できます。

iii. [プロジェクトを作成するユーザーの数] を選択し、[開く] を選択します。

iv. [プロジェクトを作成するユーザーの数] ページで、[編集] を選択して要件に従ってレポートをフィルター処理します。

生成するレポートの日付範囲を選択できます。

v. ピボットレイアウトステップを選択して、レポートの [調達プロジェクト] リストからフィールドまたは階層を追加します。

たとえば、[開始日] フィールドのデータを追加する場合は、それを選択して長押し (または右クリック) し、[行フィールド] を選択します。必要なデータを [行フィールド]、[列フィールド]、または [詳細フィールド] に追加できます。

vi. 必須フィールドを追加したら、[次へ] を選択します。

> **重要:**
> [すべての所有者 - ユーザー **ID**] フィールドがレポートに含まれていない場合は、レポートを追加する必要があります。

vii. **[Done** (完了)] を選択します。

[ピボットテーブル] タブの [詳細ビュー] セクションには、追加したフィールドが表形式で表示されます。

> **ヒント:**
> 選択したフィールドが表示されない場合は、 詳細ビュー 形式を選択していることを確認してください。

viii. [保存] を選択します。

ix. [レポートの保存] ページで、[現在のプロジェクト] フィールドを [パーソナル ワークスペース] として選択します。

> **重要:**
> レポートの保存時にファイル名を変更するには、 プロジェクトを作成するユーザーの数という形式で名前を指定します。必要に応じて、プリフィックスまたはサフィックスを含めることができます。

x. [**Save** (保存)] をクリックする。

xi. [エクスポート] を選択して、保存したレポートを.csv形式でシステムにエクスポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. SPM プロジェクトレポートを保存してエクスポートします。

a. 事前パッケージ済みレポート ページで、 仕入先パフォーマンス管理レポート を検索して選択し、 開く を選択します。

b. 仕入先パフォーマンス管理レポート ページで、 **SPM** プロジェクト レポート を選択し、 開く を選択します。

c. レポートが必要な日付範囲を選択し、[レポートの表示] を選択します。

> ヒント:
> 選択したフィールドが表示されない場合は、 詳細ビュー 形式を選択していることを確認してください。

d. [編集] を選択して、要件に従ってレポートをフィルタリングします。

e. ピボットレイアウトステップを選択して、レポートの SPM プロジェクトリストからフィールドまたは階層を追加します。
たとえば、[列フィールド] にカレンダーデータが必要な場合は、それを選択して長押し (または右クリック) し、[列フィールド] を選択します。必要なデータを [行フィールド]、[列フィールド]、または [詳細フィールド] に追加できます。

f. 必須フィールドを追加したら、[次へ] を選択します。

> 重要:
> [すべての所有者 - ユーザー **ID**] フィールドがレポートに含まれていない場合は、レポートを追加する必要があります。

g. **[Done** (完了)] を選択します。
[ピボットテーブル] タブの [詳細ビュー] セクションには、追加したフィールドが表形式で表示されます。

> ヒント:
> 選択したフィールドが表示されない場合は、 詳細ビュー 形式を選択していることを確認してください。

h. [保存] を選択します。

i. [レポートの保存] ページで、[現在のプロジェクト] フィールドを [パーソナル ワークスペース] として選択します。

> 重要:
> レポートの保存時にファイル名を変更するには、 名前を SPM プロジェクトレポート形式で入力します。必要に応じて、プリフィックスまたはサフィックスを含めることができます。

j. [**Save** (保存)] をクリックする。

k. [エクスポート] を選択して、保存したレポートを.csv形式でシステムにエクスポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP Ariba統合プロファイルの作成

SAP Ariba統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SAP Aribaアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

統合プロファイルを公開するには、アプリケーションスコープを [グローバル] に変更します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSAP Ariba統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Ariba 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Ariba サブスクリプションに設定されます。

3. 必要なユーザーロールまたは API 権限を表示して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが**[SAP Ariba** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

5. 統合プロファイルを保存したら、[添付] アイコン ( ) を選択して添付ファイルをアップロードします。

6. [添付ファイル] ペインで、アップロードする .csv 形式のファイルを 1 つずつ、またはまとめてドラッグまたは選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
最新のデータを表示するには、 SAP Ariba レポートを定期的にアップロードします。

ファイルが正常にアップロードされると、アップロードされたデータがサブスクリプションステージング [samp_subscription_staging] テーブルに入力されます。

7. **[Publish** (公開)] を選択します。
統合プロファイルが公開されると、プロファイルに添付されているファイルは自動的に削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SAP S/4HANA Cloud Public Edition との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSAP S/4HANAパブリッククラウドアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

から次のアプリケーションを要求してインストールする必要があります。 ServiceNow Store には以下も含まれています。

- SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int)
- ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap)
- SAP S/4HANA スポークプラグイン (sn_s4_hana_cld_spk)
- ソフトウェア資産管理SAP S/4HANAプラグインとの統合 (sn_sam_s4hanacloud)

必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	SAP S/4HANA アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ビジネスユーザー	users:read

SAP S/4HANAパブリッククラウドの通信システムとユーザーの作成

通信システムと受信ユーザーを作成して、 SAP S/4HANA パブリッククラウド API へのアクセスを有効にし、ベーシック認証用のユーザー名とパスワードを受信します。

始める前に
SAP S/4HANA Public Cloud Integration Hub スポークがアクティブである必要があります。詳細については、「SAP S4 HANA Public Cloud Spoke 」を参照してください。

SAP S/4HANA 必要なロール:ビジネスユーザー

手順

1. ビジネスユーザーの認証情報を使用して、 SAP Fiori ランチパッドにログインします。
2. Communication Management カタログから、 **Communication Systems** アプリケーションを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [新しい通信システム] ウィンドウで、[システム **ID**] フィールドに一意のシステム ID を入力します。
   たとえば、SAP S/4HANA Cloud ソースシステムなどです。
5. [システム名] フィールドにコミュニケーションシステムの一意の名前を入力します。
   例: Integration_System_SNOW。
6. **[Create** (作成)] を選択します。
   作成したシステム ID とシステム名は、[全般] タブの対応するフィールドに表示されます。
7. [技術データ] セクションで、[ホスト名] フィールドに SAP S/4HANA Cloud ソースシステムのホスト名を入力します。
   例:localhost。
8. [受信通信のユーザー **(Users for Inbound Communication**)] タブを選択します。
9. **[+**] ボタンを選択して、受信通信ユーザーを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [新しいインバウンド通信ユーザー(New Inbound Communication User)] ウィンドウで、[認証方法**(Authentication Method)**] フィールドで [ユーザー名とパスワード(User **Name and Password**)] を選択します。
11. [新規ユーザー] を選択します。
12. [コミュニケーションユーザーを作成] ウィンドウで、[ユーザー名]、[説明]、 および [パスワード] フィールドに適切な値を入力します。
13. **[Create** (作成)] を選択します。
    [新しいインバウンド通信ユーザー (New Inbound Communication User)] ウィンドウにリダイレクトされます。
14. [**OK**] を選択します。
    新しいユーザーが受信通信のユーザーのリストに表示されます。

    > **重要:**
    > 受信通信のみに使用している場合でも、送信通信にユーザーを必要とする通信の取り決めがいくつかあります。[発信通信のユーザー (Users for Outbound Communication)] タブで、発信通信用のダミーユーザーを作成できます。

15. [**Save** (保存)] をクリックする。

SAP S/4HANAパブリッククラウドのコミュニケーションの取り決めを作成

SAP S/4HANAパブリッククラウド API にアクセスできるように、通信の取り決めを作成します。

始める前に
SAP S/4HANA 必要なロール:ビジネスユーザー

手順

1. ビジネスユーザーの認証情報を使用して、 SAP Fiori ランチパッドにログインします。
2. コミュニケーション管理カタログから、 コミュニケーションの取り決め アプリケーションを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [新しい連絡の取り決め] ウィンドウで、通信シナリオとして **[SAP_COM_0889**] を選択します。
   特定の API の通信シナリオについては、次を参照してください。 SAP S/4HANA パブリッククラウド API .
5. [手配名] フィールドに一意の連絡手配名を入力します。
6. **[Create** (作成)] を選択します。
7. [共通データ] セクションの [通信システム] フィールドで、前に作成した通信システムを選択します。
   例: Integration_System_SNOW。

   選択した通信システムの [ユーザー名] フィールドと通信シナリオに関連付けられた [認証方法] フィールドが自動的に入力されます。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

OData API のベーシック認証情報レコードを作成する

SAP S/4HANA パブリッククラウドで OData API の認証情報レコードを作成します。SAP S/4HANAパブリッククラウドスポーク接続および資格情報エイリアスでは、これらの認証情報を使用して、S/4HANA パブリッククラウドでアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   「作成する認証情報のタイプは?」というメッセージが表示されます。
3. [基本認証情報] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

基本認証情報フォーム

フィールド	説明
名前	レコードを一意に識別する名前です。例:SAP S4 HANA クラウド認証情報。
ユーザー名	認証情報レコードのユーザー名。
Password (パスワード)	認証情報レコードのパスワード。
[Active (アクティブ)]	認証情報レコードがアクティブであることを示すオプション。
順序	この認証情報に適用する順番。例:100。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
SAP S/4HANA パブリッククラウドで OData API を使用してアクションを許可する認証情報レコードが作成されます。

OData API のベーシック認証接続レコードを作成する

SAP S/4HANA パブリッククラウドで OData API の接続レコードを作成します。SAP S/4HANA パブリッククラウドスポーク接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して S/4HANA パブリッククラウドでアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. **SAP S4 HANA Cloud** のレコードを選択します。
3. [接続] タブから、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	レコードを一意に識別する名前です。例:SAP S4 HANA Cloud。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認証情報	OData API 用に作成した認証情報レコード。例:SAP S4 HANA クラウド認証情報。
接続エイリアス	SAP S/4HANAエイリアスの名前。
URL ビルダー	選択すると、接続 URL がビルドされます。
接続 URL	SAP S/4HANA パブリッククラウドサービスのルート URL を次の形式で指定します: https://<S4Hana_Instance_Name>/odata/v4。例: https://demo.s4hana.cloud.sap。
MID サーバーを使用	接続で MID サーバーを使用するかどうかを指定します。
接続タイムアウト	接続のタイムアウト値 (ミリ秒単位)。
[Active (アクティブ)]	接続レコードがアクティブであることを示すオプション。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
SAP S/4HANA パブリッククラウドに OData API の接続レコードが作成されます。

SAP S/4HANA統合プロファイルの作成

SAP S/4HANA統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SAP S/4HANAアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

統合プロファイルを公開するには、アプリケーションスコープを [グローバル] に変更します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**SAP S4Hana Cloud** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSAP S/4HANA統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイル

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:SAP S/4HANA Cloud。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **SAP S4Hana** クラウドサブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、SaaS ライセンスを最適化します。
必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限」テーブルを参照してください。
4. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SAP S4Hana** パブリッククラウドサブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

   注:
   [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_s4_hana_cld_spk** に設定されます。SAP_S4_HANA_Cloud。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
8. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	SAP S/4HANAパブリッククラウドインスタンスに接続するための URL。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザー名	SAP S/4HANAパブリッククラウドインスタンスにログインするためのユーザー名。
Password (パスワード)	SAP S/4HANAパブリッククラウドインスタンスにログインするためのパスワード。

10. **[Create** (作成)] を選択します。
11. [統合プロファイル] フォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
12. **[Publish** (公開)] を選択します。
13. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。
    統合プロファイルが公開されると、[直接統合プロファイル] リストに表示されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデルとソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

SAP SuccessFactors との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを SAP SuccessFactors アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:

から次のアプリケーションを要求してインストールする必要があります。 ServiceNow Store には以下も含まれています。

- SaaS ライセンス管理
- SuccessFactors スポーク
- ソフトウェア資産管理とSuccessFactorsとの統合

- インストールされている SAP SuccessFactors スポークバージョンが 3.1.5 以前の場合は、次の手順を実行します。
  1. のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors
  2. SAP SuccessFactors接続を作成
  3. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インストールされている SAP SuccessFactors スポークバージョンが 4.0.0 以降の場合は、次の手順を実行します。
  1. への OAuth アプリケーションの登録 SuccessFactors
  2. ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード
  3. OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録
  4. SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成
  5. OData API の認証情報レコードの作成
  6. OData API の接続レコードを作成する
  7. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	SAP SuccessFactors アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

のベーシック認証の設定 **SAP SuccessFactors**

ベーシック認証を設定して、 SAP SuccessFactors API にアクセスできるようにします。

始める前に
SAP SuccessFactors 必要なロール：admin

手順

1. アドミン認証情報を使用して SAP SuccessFactors インスタンスにログインします。
2. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > アドミンセンター.
3. API アクセス権限を割り当てるグループを作成します。

ヒント:
アドミンユーザーは自動的に SuccessFactors API にアクセスできるため、このグループにはアドミン以外のユーザーのみを含めます。

   a. 管理センターの [ツール検索] フィールドで、[アクセス許可グループの管理] を検索して選択します。

   b. [権限グループ] ダイアログ ボックスで、[グループ名] フィールドに権限グループの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [グループ メンバーの選択] セクションで、このアクセス許可グループに含めるユーザーまたはユーザー グループをユーザー プールに追加して指定します。

人プールを使用すると、アクセス許可グループに含める、または除外するユーザーまたはユーザー グループのセットを指定できます。すべてのユーザーとユーザー グループを 1 つのユーザー プールに含めることも、異なるユーザー プールにグループ化することもできます。たとえば、組織内の部門またはオフィスの場所ごとに異なるユーザープールを作成できます。

ユーザーまたはユーザー グループをユーザー プールに追加するには、 ユーザー名などの識別カテゴリを選択し、対応するテキスト ボックスに各ユーザーまたはユーザー グループを入力します。各エントリはカンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つの People プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[**Add another People Pool**] をクリックして、People プールを追加することもできます。

d. オプション: [グループからこれらのユーザーを除外する] セクションで、このアクセス許可グループから除外するユーザーまたはユーザー グループを People プールに追加して指定します。

(Optional) ユーザーまたはユーザー グループをユーザー プールに追加するには、 ユーザー名などの識別カテゴリを選択し、対応するテキスト ボックスに各ユーザーまたはユーザー グループを入力します。各エントリはカンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つの People プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[**Add another People Pool**] をクリックして、People プールを追加することもできます。

e. **[Done** (完了)] を選択します。

4. グループの API アクセス権限を構成します。

a. アドミンセンターの [ツール検索] フィールドで、[権限ロールの管理] を検索して選択します。

b. [新規作成] を選択します。

c. [権限ロールの詳細] フォームの [ロール名] フィールドに権限ロールの名前を入力します。

d. オプション: [説明] フィールドに権限ロールの説明を入力します。

e. [権限の設定] で、[権限] を選択します。

f. [権限の設定] ダイアログ ボックスで、左側のナビゲーション ウィンドウから [統合ツールの管理] を選択します。

g. [アドミニストレーターがベーシック認証を介して **OData API** にアクセスすることを許可する] チェックボックスをオンにします。

h. 左側のナビゲーションペインから [従業員セントラル **API (Employee Central API**)] を選択します。

i. [従業員セントラル **HRIS OData API** (編集可能)] チェックボックスをオンにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

j. **[Done** (完了)] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[権限ロールの詳細] フォームに戻ります。

k. [このロールの付与先] タブで [追加...] を選択し、手順 4 で作成したアクセス許可グループを検索して選択します。
この権限グループを追加すると、関連付けられたユーザーとユーザーグループは、この権限ロールで有効になっている API にアクセスできるようになります。

l. [変更内容を保存] を選択します。

SAP SuccessFactors接続を作成

SAP SuccessFactors OData API と ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. SuccessFactors_OData接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 利用可能な接続のリストから、[SuccessFactors_OData] を検索して選択します。
5. [**Configure**] を選択します。
6. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	SuccessFactors_OData接続の名前。
接続 URL	SAP SuccessFactors インスタンスの OData API URL。
ユーザー名	SAP SuccessFactors アドミンアカウントのユーザー名。のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors で SAP SuccessFactors インスタンスへのログインに使用したのと同じユーザー名を入力します。
Password (パスワード)	SAP SuccessFactors アドミンアカウントのパスワード。のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors で SAP SuccessFactors インスタンスへのログインに使用したものと同じパスワードを入力します。

7. [接続を設定] を選択します。

への **OAuth** アプリケーションの登録 **SuccessFactors**

keystore.jks ファイルと keystore.cer ファイルを生成してSAPマスターデータサービスからのアウトバウンド通信のクライアント証明書の認証を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、JKS 証明書を作成します。
   - 「 秘密鍵と証明書チェーンを使用した Java Keystore (JKS) の作成 」トピックの手順に従います SAP ヘルプポータル.
   - Java JDK 8 と Open SSL をインストールし、ターミナルで次のコマンドを実行します。
     a. `openssl genrsa -out private.key 2048`

        private.keyファイルが生成されます。

     b. `openssl rsa -in private.key -pubout -out public.key`

        キーペアタイプから公開鍵を抽出します。

     c. `openssl req -new -x509 -key private.key -out publickey.cer -days 365`

        識別名 (DN) の詳細を入力します。publickey.cerファイルが生成されます。

     d. `openssl pkcs12 -export -in publickey.cer -inkey private.key -out successfactors.p12 -name "successfactors"`

        パスワードの入力を求められます。successfactors.p12 ファイルは、ステップ a とステップ b で作成した秘密鍵と公開鍵を使用して生成されます。

     e. `keytool -importkeystore -srckeystore successfactors.p12 -srcstoretype pkcs12 -destkeystore successfactors.jks`

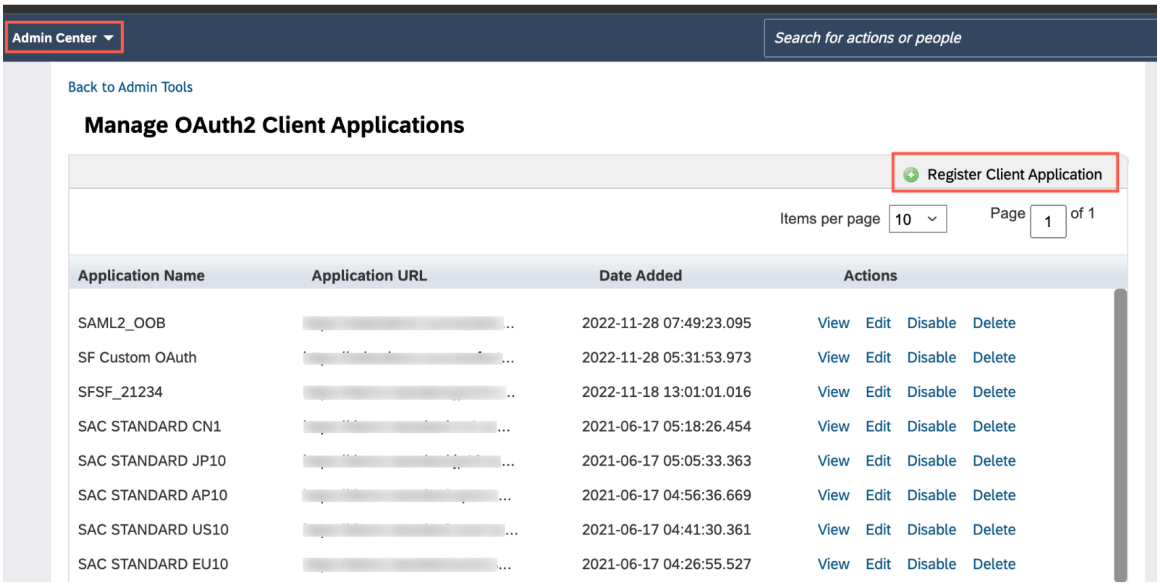
        宛先ファイルとソースファイルのパスワードの入力を求められます。successfactors.jks ファイルは、手順 c で作成した successfactors.p12 ファイルを使用して作成されます。

     > **注:**
     > 手順 c と d で同じパスワードを入力したことを確認します。たとえば、ステップ c で `パスワードを123456` として入力した場合、ステップ d でもパスワードとして `123456` を入力する必要があります。

2. アドミニストレーターとして SuccessFactors アカウントにログインします。
3. [管理センター] に移動し、[会社の設定] を選択します。
4. **[OAuth2** クライアントアプリケーションの管理] を選択します。
5. [クライアントアプリケーションの登録] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. **[X.509** 証明書] フィールドに、ヘッダーなしで publickey.cer ファイル (公開鍵) の内容を入力します。
7. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
API キーが生成され、表示されます。

次のタスク
生成された API キーをコピーし、後で使用するために値を記録します。

ServiceNow インスタンスへの **JKS** 証明書のアップロード

ServiceNow インスタンスに JKS 証明書をアップロードして、アウトバウンド通信のクライアント証明書の認証を有効にします。

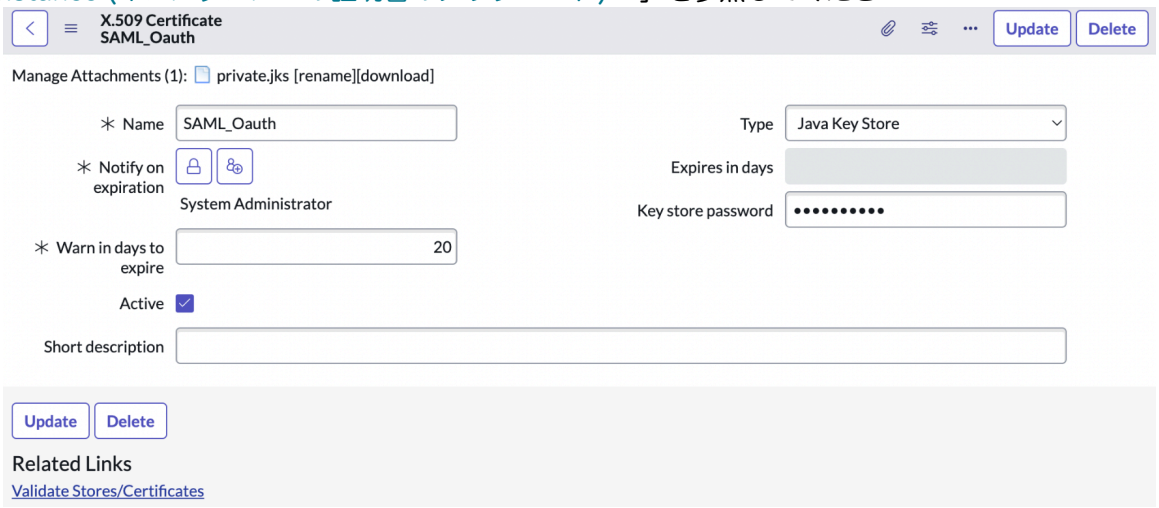
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アドミニストレーターとして ServiceNow インスタンスにログインします。
2. JKS 証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。
   JKS 証明書をアップロードする手順については、「Upload a certificate to an instance (インスタンスへの証明書のアップロード)」を参照してくださ



い。

OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録

クライアントアプリケーションの構成中に生成された API キーを使用して、アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録します。

始める前に
アプリケーションスコープを SuccessFactors スポークに変更します。

必要なロール：admin

手順

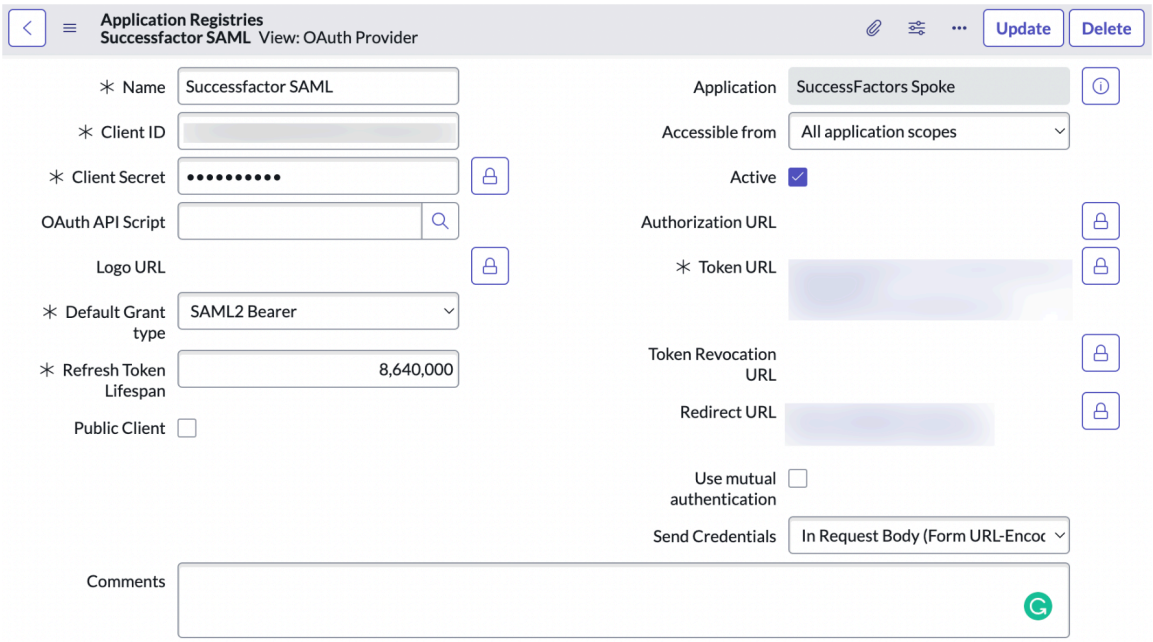
1. ServiceNowインスタンスで、 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	証明書を識別する一意の名前。 例：SuccessFactors SAML。
クライアント ID	OAuth クライアントアプリケーションを SuccessFactors に登録した後、コピーした API キーの値。
クライアントシークレット	**注:** アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録する場合、クライアントシークレットは必要ありません。このフィールドには任意の値を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用するデフォルトの権限許可タイプです。**[SAML2** ベアラー] を選択します。
トークン URL	次の形式の会社 ID を含む SuccessFactors OAuth サーバー エンドポイント URL：https://<SuccessFactors_Instance_Name>/oauth/token?company_id=<Company_ID>。 例：https://example.successfactors.eu/oauth/token?company_id=SFCPART123456。



4. [**Submit** (送信)] を選択します。

SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成

SAML2 アサーションレコードを作成し、SAML2 アサーションを生成して、プロバイダーとアクセストークンのアサーションを交換します。

始める前に

アプリケーションスコープを SuccessFactors スポークに変更します。

必要なロール：admin

手順

1. インスタンスに SAML2 アサーションプロデューサーレコードを作成します。

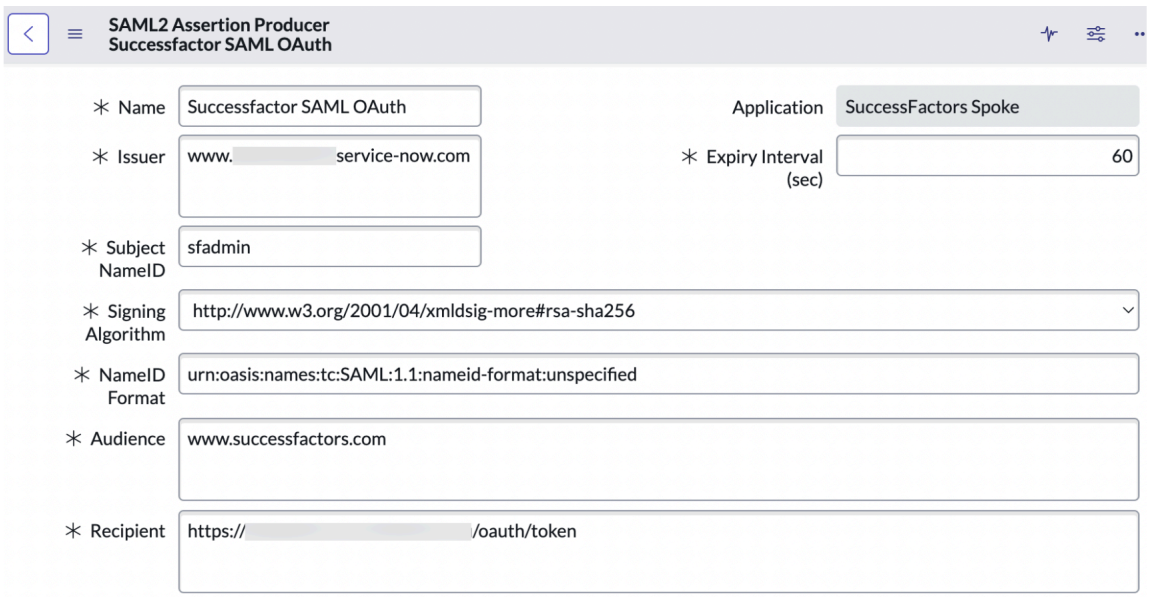
   a. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

   b. **[New** (新規)] を選択します。

   c. フォームに、これらの値を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションプロデューサーレコードを一意に識別する名前です。例：Successfactor SAML OAuth。
Issuer	アサーション発行エンティティの一意の識別子。ServiceNow インスタンスの URL を指定します。
件名 NameID	SuccessFactors インスタンスにログインするためのユーザー名。例：sfadmin。
対象者	アサーションの対象者。値「www.successfactors.com」を入力します。
受信者	アサーションの対象受信者。https://<SuccessFactors-Instance-Name>/oauth/token の形式で URL を入力します。



d. フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。

e. **[SAML2** アサーションキーストア] タブで、[新規] を選択します。

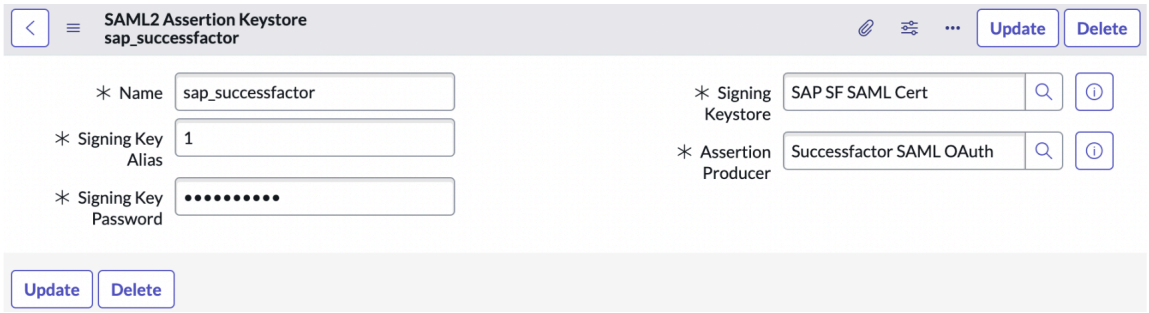
f. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションキーストアレコードを識別する一意の名前です。例:successfactors。
署名キーエイリアス	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのエイリアス。例:successfactors。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
署名キーパスワード	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのパスワード。
署名キーストア	必要な X.509 証明書レコード。以前に作成した X.509 証明書レコードを選択します。詳しくは、「ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード」を参照してください。



g. [**Submit** (送信)] を選択します。

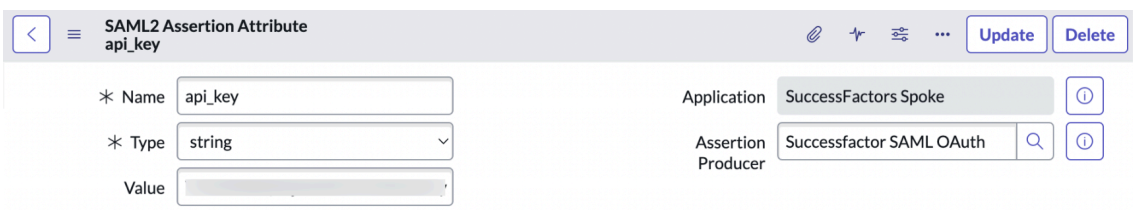
h. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

i. 作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML OAuth**。

j. **[SAML2** アサーション属性] タブで、[新規] を選択します。

k. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーション属性レコードを識別する名前です。「api_key」と入力します。
タイプ	[値] フィールドのタイプ。文字列を選択します。
Value (値)	OAuth クライアントアプリケーションが SuccessFactors で作成された後に生成された API キー。



l. [**Submit** (送信)] を選択します。

2. SAML2 アサーションプロデューサーをアプリケーションレジストリーレコードに関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

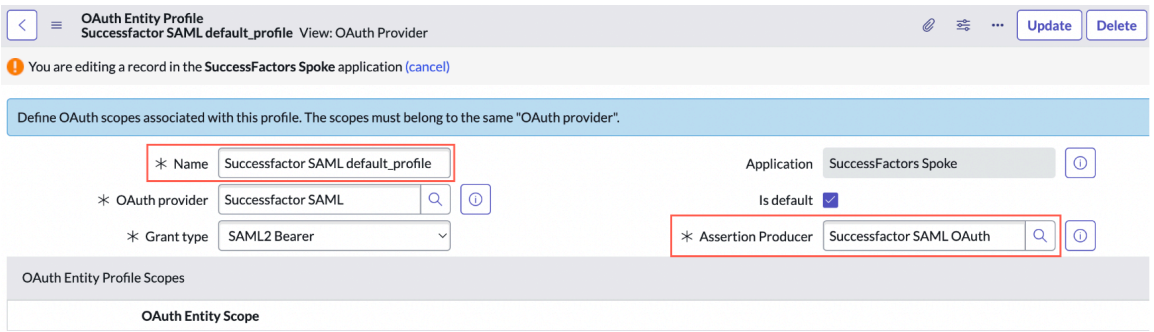
自動翻訳

a. 次のように移動する。 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.

b. 作成したアプリケーションレジストリーレコードを開きます。
例：**SuccessFactors OAuth Reg**。アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。

c. **[OAuth** エンティティプロファイル] タブで、デフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML default_profile**。

d. [アサーションプロデューサー] フィールドで、作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを選択します。
例：**Successfactor SAML**



OAuth。

e. [**Update** (更新)] を選択します。

OData API の認証情報レコードの作成

SuccessFactors で OData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.

2. [**New**] をクリックします。
「作成する認証情報のタイプは？」というメッセージが表示されます。

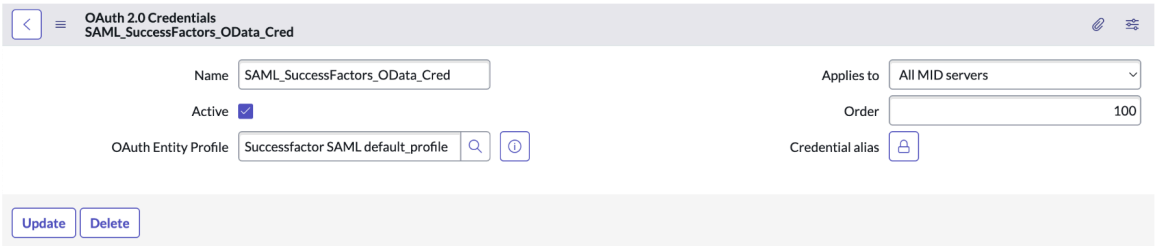
3. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
空の OAuth 2.0 認証情報フォームが表示されます。

4. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	必要な値
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。たとえば、「SAML_SuccessFactors_OData_Cred」と入力します。
OAuth エンティティ プロファイル	作成した OAuth アプリケーションレジストリーに関連付けられている OAuth エンティティプロファイルレコード。例：Successfactor SAML default_profile。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	必要な値
	アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。
有効	認証情報レコードをアクティブに使用するオプション。
順番	この認証情報を適用する順番。たとえば、「100」と入力します。



5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
OData API を使用してアクションを許可する認証情報レコードが作成されます。

OData API の接続レコードを作成する

SuccessFactors で OData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続 **&** 資格情報エイリアス.
2. **[SuccessFactors OData]** のレコードを開きます。
   例：**SuccessFactors_OData**。
3. [接続] タブで、[新規] をクリックします。
   空の HTTP(s) 接続フォームが表示されます。
4. フォームに、これらの値を入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。 例： SAML_SuccessFactors_OData_Conn。
認証情報	OData API 用に作成された認証情報レコードです。 例：SAML_SuccessFactors_OData_Cred。
接続 URL	https://<SuccessFactors_Instance_Name>/odata/v2 形式の SuccessFactors サービスルート URL。例: https://apisalesdemo2.successfactors.eu/odata/v2。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	接続レコードを積極的に使用にするオプションです。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
SuccessFactorsの OData API の接続レコードが作成されます。

SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

SAP SuccessFactors統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SAP SuccessFactorsアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

アプリケーションスコープを グローバルに変更します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**SuccessFactors** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI で SuccessFactors 統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例: SuccessFactors 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に SuccessFactors サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SuccessFactors** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SuccessFactors:**ユーザーアクティビティを更新] に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SuccessFactors** サブスクリプションの再利用 **(SuccessFactors Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_successfactors** に設定されます。SuccessFactors_OData。

5. SAP SuccessFactorsユーザーログインレポートを生成し、統合プロファイルに追加します。このレポートは、 SAP SuccessFactors ユーザーの最後のアクティビティの日付を取得するために必要です。ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルで SAP SuccessFactors ユーザーの前回のアクティビティの日付を更新するたびに、このレポートの最新バージョンを生成して追加する必要があります。

a. アドミン認証情報を使用して SAP SuccessFactors インスタンスにログインします。

b. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > アドミンセンター.

c. 管理センターのページ ヘッダーで、[レポート] を選択します。

d. [新規] を選択してレポートを作成します。

e. 作成するレポートのタイプを選択するように求められたら、 レポート - テーブル > 選択.

f. [データをどのように構造化しますか?] で、 [単一ドメイン] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [どのようなデータから始めますか?] で、[ログインデータ] を選択します。

h. [選択] をクリックします。
[ログインデータを作成中] レポートページが開きます。

i. [一般情報] タブで、フィールドに入力します。

[一般情報] タブ

フィールド	説明
ドメイン	データの取得元のドメイン。このフィールドは自動的に [ログインデータ] に設定されます。
レポート名	レポートの名前。
説明	レポートの説明。
レポートの優先度	レポートの優先度。
スタイリングを削除	このチェックボックスをオフにします。

j. [人] タブで、[基準の絞り込み] を選択します。

k. [チームを定義] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[チームを定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
チームマネージャー	このレポートを作成するチームのマネージャー。ログインユーザーを選択します。
チームレポートタイプ	チームに対して作成するレポートのタイプ。[その他のフィルター] を選択します。このレポートタイプを選択すると、レポートに含めるユーザーグループをフィルタリングするレポートスコープを定義できます。詳細については、 ステップ 14 を参照してください。
非アクティブなユーザーを含める	非アクティブなすべてのチームメンバーをレポートに含めるオプション。このオプションは未選択のままにします。

l. [**OK**] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[人] タブに戻ります。

m. オプション: [人] タブの [レポートスコープの定義] セクションで、[部門]、[部門]、および [場所] レポートスコープを選択して、レポートに含めるユーザーグループのフィルター基準を定義します。
デフォルトでは、これらのレポートスコープのすべてのフィルター基準が有効になっています。

n. [列] タブで、[**+** 列の選択] を選択して、レポートに含めるデータ列を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要に応じて、列をソート、グループ化、または再配置できます。

o. [前回のログイン] と [ユーザー **Sys ID**] チェックボックスをオンにして、レポートの最初の列が [前回のログイン] で、2 番目の列が [ユーザー Sys ID] になるようにします。

p. オプション: [構成] タブで、データ列にデータを日付のみで表示するか、日付と時刻の形式で表示するかを指定します。
該当するデータ列ごとに、[日付] (日付のみ) または [タイムスタンプ] (日付と時刻) を選択します。各データ列の形式を選択したら、 **[OK]** を選択します。

q. [フィルター] タブで、レポートに表示されるデータを絞り込むためのフィルターを選択します。

r. 選択 絞り込みクライテリア > 従業員ログインの詳細 > 前回のログイン.
[前回のログインを定義] フィルターを含むポップアップが表示されます。

s. [ルール別 > ルールを追加 学習します。

t. ドロップダウンリストから、[次の値を超える] オプションを選択します。

u. レポートを生成する日付を入力します。
ファイルサイズを許容範囲内に保つために、2 週間以内の日付を選択する必要があります。

v. フィルターを選択した後、[完了] を選択します。

w. [生成] を選択します。

x. 生成されたレポートの [ダウンロード] セクションで、[**Excel**] を選択してレポートを Excel ファイルとしてエクスポートします。

> 注:
> Excel ファイルは 5 MB を超えることはできません。

y. SAP SuccessFactors統合プロファイルフォームに戻ります。

z. [統合プロファイル] フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン (

aa. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルを選択] を選択して、ユーザー ログイン レポートを見つけて選択します。

ab. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて統合プロファイルフォームに戻ります。

6. フォームを再ロードした後、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

7. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
8. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。

- 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
- [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
- 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

デフォルトでは、アクティビティジョブは 1 時間ごとに実行され、クリーンアップの一環として統合プロファイルに添付されているファイルが削除されます。ファイルが見つからない場合、アクティビティジョブは新しい添付ファイルがないことを示すことができません。ジョブの失敗は、既に更新されている最後のアクティビティには影響しません。

ファイルを毎日 1 回または週に 1 回添付する場合は、それに応じて *SAM - Refresh Success Factors Activity* スケジュール済みジョブの実行時間を更新できます。ファイルを添付するたびに、オンデマンドでこのジョブを実行することもできます。

SAP SuccessFactorsにはアクティビティデータをプルするための API がないため、ジョブを実行するたびにファイルを添付する必要があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Slack との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを Slack アプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

ServiceNow Slack 統合は Slack Enterprise Grid プランをサポートしています。このプランでは、組織全体で複数のワークスペースを接続できます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

プロセス	Slack アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	組織所有者	admin
ユーザーアクティビティのプル	組織所有者	admin
サブスクリプションの再利用	組織所有者	admin

Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成

Slack Enterprise Grid アプリケーションを作成して、組織全体の複数のワークスペースを管理および接続します。

始める前に
必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. Slack認証情報を使用してサインインします。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. Slackプラットフォームのページヘッダーで、[アプリ] を選択します。
5. [アプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。
6. 最初から選択します。
   [アプリに名前を付けてワークスペースを選択] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、[アプリ名] フィールドにアプリケーション名を入力します。
8. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションが属するワークスペースを選択します。
9. [アプリの作成] を選択します。
   Slack プラットフォームによってアプリケーションが作成され、ユーザーは [基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。
10. [基本情報] ページで、[アプリの認証情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
    後で使用できるように安全な場所に保存してください。
11. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] を選択します。
12. [OAuth と権限] ページで、アプリケーションと Slack API 間のインタラクションを有効にする権限を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

i. [新しいリダイレクト **URL** を追加] を選択します。

ii. プロンプトが表示されたら、「 https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>は ServiceNow インスタンスの名前です。

iii. [**Add**] を選択します。

iv. [**URL** の保存] を選択します。

b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アドミン OAuth スコープをアプリケーションに追加します。

OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスレベルを制限します。Slack OAuth スコープの詳細については、「OAuth 権限スコープ 」を参照してください。

i. **[OAuth** スコープの追加] を選択します。

ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから [アドミン] を選択します。

この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できます。

注:
OAuth スコープの [説明] フィールドは自動的に入力されます。

13. アプリケーションをアクティブ化します。

a. 左側のナビゲーションペインから、 設定 > 配布を管理.

b. [他のワークスペースとアプリを共有する] で、[ハードコードされた情報の削除] セクションを展開します。

c. アプリケーションに OAuth トークンなどのハードコードされた情報が含まれていないことを確認します。

d. 検証後、[ハードコーディングされた情報を確認して削除しました] チェック ボックスをオンにします。

e. 他のすべてのセクションを完了していることを確認します。

f. [パブリック配布のアクティブ化] を選択します。

Slackワークスペースアプリケーションの作成

ユーザーアクティビティを追跡する各ワークスペースで Slack アプリケーションを作成します。

始める前に
必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. Slack認証情報を使用してサインインします。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. Slackプラットフォームのページヘッダーで、[アプリ] を選択します。
5. [アプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 最初から選択します。
[アプリに名前を付けてワークスペースを選択] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、[アプリ名] フィールドにアプリケーション名を入力します。
8. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションが属するワークスペースを選択します。
9. [アプリの作成] を選択します。
Slack プラットフォームによってアプリケーションが作成され、ユーザーは [基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。
10. [基本情報] ページで、[アプリの認証情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
11. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] を選択します。
12. [OAuth と権限] ページで、アプリケーションと Slack API 間のやり取りを有効にする権限を設定します。

    a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

       i. [新しいリダイレクト **URL** を追加] を選択します。

       ii. プロンプトが表示されたら、「 https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>は ServiceNow インスタンスの名前です。

       iii. [**Add**] を選択します。

       iv. [**URL** の保存] を選択します。

    b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アドミン OAuth スコープをアプリケーションに追加します。

       OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスレベルを制限します。Slack OAuth スコープの詳細については、「OAuth 権限スコープ」を参照してください。

       i. **[OAuth** スコープの追加] を選択します。

       ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから [アドミン] を選択します。

       この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できます。

       注:
       OAuth スコープの [説明] フィールドは自動的に入力されます。

13. OAuth & Permissions ページの OAuth Tokens & Redirect URLs セクションで、 **Install App to Workspace** を選択します。
14. [許可] を選択します。
Slack 指定されたワークスペースのアプリケーションを作成します。
15. アプリケーションを作成するワークスペースごとに、手順 4 ～ 13 を繰り返します。

Slack Enterprise 接続の作成

Slack Enterprise Grid アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。この接続により、インスタンスはアプリケーションからユーザーデータを取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   ワークフロースタジオが新しいタブで開きます。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. Slack Enterprise 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧から Slack Enterprise を見つけて、 構成 を選択します。
5. [接続の設定] ダイアログボックスで、次のフィールドを入力または確認します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	Slack Enterprise 接続の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
[Name (名前)]	Slack Enterprise 認証情報の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
OAuth クライアント ID	Slack Enterprise Grid アプリケーションに割り当てられているクライアント ID です。Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成でコピーしたものと同じクライアント ID を入力します。
OAuth クライアントシークレット	Slack Enterprise Grid アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレットです。Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成でコピーしたものと同じクライアントシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	Slack Enterprise Grid アプリケーションのリダイレクト URL です。このフィールドは、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを設定して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

7. [アプリを認証する]ダイアログボックスで、右上の一覧でEnterprise Gridワークスペースが利用可能かどうかを確認します。
8. Enterprise Gridワークスペースが利用可能な場合は、Enterprise Gridワークスペースを選択します。
9. Enterprise Grid ワークスペースが利用できない場合は、

   a. [別のワークスペースの追加] を選択します。

   b. Enterprise Grid ワークスペースの URL を入力します。

   c. **[Continue** (続行)] を選択します。
   [アプリを認証] ダイアログボックスにリダイレクトされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [許可] を選択します。
OAuth アクセストークンは、Enterprise 接続を許可するために使用できるようになります。

Slackワークスペース接続の作成

Slackワークスペースと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。この接続により、インスタンスはワークスペースからユーザーデータを取得できます。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
Slackワークスペースごとに個別の接続を作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   ワークフロースタジオが新しいタブで開きます。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. Slack Enterprise 接続の [接続を追加] を選択します。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、次のフィールドを入力または確認します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	Slackワークスペース接続の名前。例:Slack-Workspace-1。
[Name (名前)]	Slackワークスペース認証情報の名前。例:Slack-Workspace-1。
OAuth クライアント ID	Slackワークスペースアプリケーションにアサインされているクライアント ID。Slackワークスペースアプリケーションの作成でコピーしたものと同じクライアント ID を入力します。
OAuth クライアントシークレット	Slackワークスペースアプリケーションにアサインしたクライアントシークレット。Slackワークスペースアプリケーションの作成でコピーしたものと同じクライアントシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	Slackワークスペースアプリケーションのリダイレクト URL。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. [アプリを承認] ダイアログ ボックスで、[許可] を選択します。
   OAuth アクセストークンは、 Slack ワークスペース接続を許可するために使用できるようになります。
7. 接続するワークスペースごとに手順 3 ～ 6 を繰り返します。
8. ServiceNowインスタンスに戻り、Slackワークスペース接続をインスタンスに関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 次のように移動する。 **Slack** > **Slack** ワークスペーストークン.

b. **[New** (新規)] を選択します。

c. [Slack ワークスペーストークン] フォームで、次のフィールドに入力します。

Slack ワークスペーストークンフォーム

フィールド	**Value** (値)
接続エイリアス	Slackワークスペース接続の名前。ステップ 4 で入力したものと同じ接続名を入力します。
ワークスペース名	Slackアプリケーションが属するワークスペースの名前。
Slack アプリ	Slackワークスペースアプリケーションの名前。Slackワークスペースアプリケーションの作成に入力したものと同じアプリケーション名を入力します。

d. [**Submit** (送信)] を選択します。

e. インスタンスに関連付ける各ワークスペース接続について、手順 a ～ d を繰り返します。

Slack 統合プロファイルの作成

Slack 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Slackアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Slack統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の **[Slack** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSlack統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Slack` 統合。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Value** (値)
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に *Slack* [エンタープライズサブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Slack** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Slack** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

注:
ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Slack** サブスクリプションの再利用 **(Slack Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_slack_ah_v2** に設定されます。Slack_Enterprise。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. ダイアログボックスで、 **[OK]** を選択します。

   注:
   統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
   - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
   - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
   - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

8. オプション: メモリを最適化し、 Workfront フローのパフォーマンスの問題を回避するために、フローエンジンのレポートレベルをオフにすることができます。
   a. 次のように移動する。 システムプロパティ > すべてのプロパティ.
   b. *com.snc.process_flow.reporting.level* システムプロパティを選択します。
   c. [システムプロパティ] ページで、[値] を [オフ] に設定します。
   d. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SmartRecruiters との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを SmartRecruiters アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、古いユーザーを非アクティブ化できます。再利用フローでは、ユーザーのアクセスのみが非アクティブ化されます。再利用フローは、ユーザー数に基づいて価格設定されないため SmartRecruiters サブスクリプションコストには影響しません。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

プロセス	SmartRecruiters アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

SmartRecruiters API キーの生成

SmartRecruitersAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

始める前に
SmartRecruiters 必要なロール：admin

手順

1. アドミン認証情報を使用して SmartRecruiters アカウントにログインし、API キーを生成します。
2. SmartRecruitersポータルのページ ヘッダーで、プロファイル アイコンを選択し、設定/管理者を選択します。
3. 会社の設定で、管理セクションを見つけ、[アプリと統合] を選択します。
4. [認証情報] タブを選択し、[新しい認証情報] を選択します。
5. アプリケーションに対して生成する認証情報のタイプを選択するように求められたら、**[API** キー] を選択します。
6. **[Next** (次へ)] を選択します。
7. [認証情報名] フィールドに API キーの名前を入力します。
8. [説明] フィールドに API キーの説明を入力します。
9. [生成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SmartRecruitersで API キーが自動的に生成され、表示されます。

10. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。

SmartRecruiters接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、SmartRecruiters アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
2. フローデザイナーで、[接続] タブを選択します。
3. SmartRecruiters 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	SmartRecruiters接続の名前です。 このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL です。 このフィールドは、自動的に https://api.smartrecruiters.com に設定されます。
認証情報	
API キー	SmartRecruiters アプリケーションの API キー。 SmartRecruiters API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

SmartRecruiters 統合プロファイルの作成

SmartRecruiters 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアのサブスクリプションと使用状況を追跡します。SmartRecruitersへのアクセスが不要になったユーザーを特定し、そのアクセスを無効にします。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の **[SmartRecruiters** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSmartRecruiters統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:SmartRecruiters 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、 自動的に **[SmartRecruiters** サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションサブフローをダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SmartRecruiters** サブスクリプションをダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローの計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SmartRecruiters** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

注:
[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *`SAM - Refresh <displayname> Activity`* は作成されません。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

注:
ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローを再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SmartRecruiters** サブスクリプションの再利用 **(SmartRecruiters Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_smartrec_spoke** に設定されます。SmartRecruiters。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Smartsheet との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Smartsheet アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Smartsheet アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

Smartsheet API アクセストークンを作成する

Smartsheet API 要求を認証するための API アクセストークンを作成します。

始める前に
Smartsheet 必要なロール：admin

手順

1. ウェブブラウザから Smartsheet を開きます。
2. Smartsheet認証情報を使用してログインします。
3. Smartsheet ページのヘッダーで、アカウントアイコン (を選択し、**Apps & Integrations** を選択します。
4. [個人設定] ダイアログボックスで、[**API** アクセス] を選択します。
5. [API アクセストークンの管理] で、[新しいアクセストークンの生成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. プロンプトが表示されたら、 **[API** アクセストークン名] フィールドに API アクセストークンの名前を入力し、 **[OK]** を選択します。
   Smartsheet は API アクセストークンを自動的に生成して表示します。セキュリティ上の理由から、この API アクセストークンは 1 回のみ表示されます。
7. API アクセストークンをコピーし、後で使用するために安全な場所に保存します。
8. [**OK**] を選択します。

Smartsheet 統合プロファイルの作成

Smartsheet 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Smartsheetアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Smartsheet統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の **[Smartsheet** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSmartsheet統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前 例:Smartsheet 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Smartsheet** サブスクリプションに設定されます。

3. 必要なユーザーロールまたは API 権限を表示して、セキュリティリスクを最小限に抑え、SaaS ライセンスを最適化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

[ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *`SAM - Refresh <displayname> Events`* は作成されません。

> **重要:**
> 詳細なイベントトラッキングを有効にするには、 Smartsheet からイベントレポートアドオンを調達します。

[ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. すべての必須フィールドに入力したら、[保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Smartsheet サブスクリプションをダウンロード]、[Smartsheet ユーザーアクティビティを更新]、および [サブスクリプションを再利用 Smartsheet] サブフローを使用して、 Smartsheet アプリケーションからユーザーデータを取得します。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_smrtsheet_spoke** に設定されます。Smartsheet。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
API キー	Smartsheet アプリケーションの API キー。 API キーを `api-access-token` 形式で入力します。ここで *<api-access-token>* は Smartsheet で作成した API アクセストークンです。

8. **[Create** (作成)] を選択します。
自動的に統合プロファイルに戻ります。
9. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
10. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
11. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *`SAM - Refresh <displayname> Activity`* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SurveyMonkey との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSurveyMonkeyアプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、SurveyMonkey Enterprise プランと Enterprise Platinum プランのみがサポートされます。これらのプランでのみ API サポートが利用できるためです。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	SurveyMonkey アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	アドミン	• グループを表示 • ユーザーを表示
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	グループを表示

プライベート SurveyMonkey アプリケーションの作成

組織内のサーベイを作成、追跡、および分析するためのプライベート SurveyMonkey アプリケーションを作成します。

始める前に

SurveyMonkey 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

このタスクについて

注:

レート制限の問題を回避するには、ServiceNowインスタンスごとにプライベートSurveyMonkeyアプリケーションを作成します。

手順

1. Web ブラウザから、 SurveyMonkey API 開発者ポータル を開きます。
2. アドミン認証情報を使用してサインインします。
3. API 開発者ポータルのページ ヘッダーで、 [自分のアプリ] を選択します。
4. [自分のアプリ] ページで、[新しいアプリの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [アプリの作成 (APP CREATION)] ダイアログボックスで、[アプリのニックネーム **(App Nickname**)] フィールドにアプリケーションの名前を入力します。
6. [アプリの種類の選択] セクションで、[限定公開アプリ] を選択します。
7. [アプリの作成] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、新しく作成されたアプリケーションの概要が開きます。
8. アプリケーション概要の [詳細] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [シークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
9. [設定] タブを選択して、アプリケーションの設定に移動します。
10. アプリケーション設定の [設定] セクションで、[**OAuth** リダイレクト **URL**] フィールドに、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
11. [変更を送信] を選択します。
12. アプリケーション設定の [スコープ] セクションで、[グループを表示] スコープと [ユーザーを表示] スコープを選択して、アプリケーションがグループおよびユーザー情報にアクセスできるようにします。
13. [スコープの更新] を選択します。
14. アプリケーション設定の上部にある [デプロイ] を選択します。

SurveyMonkey 統合プロファイルの作成

SurveyMonkey 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SurveyMonkeyアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

SurveyMonkey統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**SurveyMonkey** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSurveyMonkey統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: SurveyMonkey 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **SurveyMonkey** サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションサブフローのダウンロード]セクションで、[サブフロー]フィールドが **[SurveyMonkey**サブスクリプションのダウンロード]に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティサブフローの計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[SurveyMonkey** ユーザー アクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

   [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

      注:
      ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_sv_monkey_spoke.surveyMonkey** に設定されます。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報を作成] 関連リンクを選択します。
7. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
OAuth クライアント ID	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、[プライベート SurveyMonkey アプリケーションの作成] で指定した OAuth リダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

9. [アプリの承認] ダイアログ ボックスで、SurveyMonkey アプリケーションの作成に使用したのと同じSurveyMonkey資格情報を使用してサインインします。
10. [許可] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
13. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Tableau Cloud との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをTableau Cloudアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、古いライセンスを再利用することができます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Tableau Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	サイトアドミニストレーター	なし
ユーザーアクティビティのプル	サイトアドミニストレーター	なし
サブスクリプションを再利用	サイトアドミニストレーター	なし

Tableau Cloudアプリケーションの登録

Tableau Cloud アドミンポータルから Tableau Cloud アプリケーションを登録します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- Tableau スポークを有効にします。詳細については、「Tableau spoke」を参照してください。
- Tableau Cloud 必要なロール:サイトアドミニストレーター

手順

次のいずれかの認証タイプを使用して、Tableau CloudでServiceNowインスタンス要求を検証します。

- 個人アクセストークン (PAT)
- JSON Web トークン (JWT)

a. PAT 認証タイプを使用して、Tableau Cloud でServiceNowインスタンス要求を検証します。

i. アドミン認証情報を使用して、Tableau Cloud アカウントにログインします。

ii. [プロファイル] アイコンを選択します。

iii. [マイアカウント設定 **(My Account Settings)]** を選択します。

iv. プロファイルページの [個人アクセストークン] セクションまで下にスクロールし 。

v. [テキスト] フィールドに、トークン名を入力します。

たとえば、「Test 1」などを入力します。

vi. [トークンを作成 **(Create token)]** を選択します。

個人用アクセストークンは、トークン名とシークレットを使用して生成されます。

vii. 個人用アクセストークンをコピーするには、**[Copy Secret** (シークレットをコピー)] を選択します。

> **重要:**
>
> 個人用アクセストークンは、安全な場所でシークレットな状態を維持してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

b. JWT 認証タイプを使用して、Tableau CloudでServiceNowインスタンス要求を検証します。

i. アドミン認証情報を使用して、Tableau Cloud アカウントにログインします。

ii. [プロファイル] アイコンを選択します。

iii. 左ペインで、[設定] を選択します。

iv. [接続済みアプリ **(Connected Apps)]** タブを選択します。

v. [接続済みアプリ (Connected Apps)] ページで、[新規接続済みアプリ **(New Connected Apps)]** ドロップダウンリストから [直接信頼 **(Direct Trust)]** オプションを選択します。

vi. [接続済みアプリを作成 **(Create Connected App)]** ダイアログボックスで、接続済みアプリ名、アクセスレベル、およびドメイン許可リストの詳細を入力します。

vii. [作成] を選択します。

作成した接続済みアプリが [接続済みアプリ (Connected Apps)] ページに表示されます。デフォルトでは、接続済みアプリは非アクティブです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

viii. 接続済みアプリを有効にするには、Connected App 名の横にある省略記号アイコン (••• を選択し、 [有効にする] を選択します。

接続済みアプリのステータスが [有効] と表示されます。

ix. 接続済みアプリ名を選択します。

シークレット ID とシークレット値は、安全な場所で保管してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

x. クライアント ID をコピーするには、[クライアント **ID** をコピー **(Copy Client ID)]** を選択します。

クライアント ID は安全な場所で保管してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

Tableau Cloud 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Tableau Cloud サービスのライセンスを最適化します。

始める前に
Tableau Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Tableau** のソフトウェア資産管理統合] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Tableau 統合などです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Tableau Cloud サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Tableau Cloud** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Tableau Cloud** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_tableau_spoke** に設定されます。TableauCloud

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( )を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
7. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続情報を入力してください	
接続名	接続の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [*Tableau Cloud*接続] に設定されます。
接続 URL	Tableau Cloud がインストールされたサーバーへの接続に使用される URL。
コンテンツの URL	サインインするためのサイトの永続的な名前。コンテンツの URL は、ブラウザのアドレスバーの Tableau コンテンツの URL パスで、Tableau サーバー URL の後に表示されます。 mySite は、この例 http://<server or cloud URL>/#/site/mySite/explore のコンテンツ URL です。
資格情報を入力してください 認証タイプとして、[個人アクセストークン (PAT)] または [JSON Web トークン (JWT)] を選択します。選択した認証タイプに応じてフィールドが変わります。	
PAT 認証タイプのフィールド	
トークン名	PAT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときに指定したトークン名。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
トークンシークレット	PAT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたトークンシークレット。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
有効期限の間隔 (秒)	生成された個人用アクセストークン (PAT) の有効期間。 デフォルト値：14400 秒 **重要:** このフィールドの値は変更しないでください。
JWT 認証タイプのフィールド	
シークレット ID	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたシークレット ID。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
シークレット値	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたシークレット値。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
ユーザー名	ユーザー名、つまり認証された Tableau Cloud ユーザーのメールアドレス。
クライアント ID	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたクライアント ID。
有効期限の間隔 (秒)	生成された JSON Web トークン (JWT) の有効期間。 デフォルト値：3600 秒 **重要:** このフィールドの値は変更しないでください。

9. **[Create** (作成)] を選択します。
10. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。
11. **[Publish** (公開)] を選択します。
12. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Trello との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Trello サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Trello サービスの詳細については、「Trello 開発者ガイド」を参照してください。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Trello アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	製品アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	製品アドミン	なし
サブスクリプションを再利用	製品アドミン	なし

TrelloAPI キーとトークンを生成

TrelloAPI キーとトークンを生成して、Trelloポータルにアクセスします。

始める前に

Trello 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

管理ユーザーアカウントと Atlassian アドミンアクセス権があることを検証します。

手順

1. Trello に移動します。
2. エンタープライズアドミニストレーターとしてログインします。
3. 開発者 API キー に移動します。
4. 開発者 API キーのページにある個人キーから API キーをコピーします。
5. 次のリンクで、{YourAPIKey} を前の手順でコピーした API キーに置き換え、リンクを開きます。
   `https://trello.com/1/authorize?expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key={YourAPIKey}`

   たとえば、API キーが 123xyz の場合は、次のリンクを開きます：`https://trello.com/1/authorize?expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key=123xyz`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MyPersonalToken ページが表示され、アカウントへのアクセス権を与えるかどうかを尋ねられます。

6. [許可] を選択します。
API トークンが生成されます。この API トークンをコピーして安全に保管してください。

Trello 接続の作成

ServiceNow インスタンスを設定し、Trello API キーと API トークンを追加します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
3. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
4. Trello 接続エイリアスを見つけて [詳細を表示 **(View Details)]** を選択します。
5. Trello スポークを構成します。
   - スポークを初めて構成する場合は、[構成] をクリックします。
   - スポークを初めて構成するのでない場合は、[編集] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

接続フォームを編集

フィールド	説明
接続名	接続レコードを識別する名前です。
接続 URL	URL を「https://api.trello.com/」と入力します。
API キー	Trello ポータルからコピーした API キー。
API トークン	Trelloポータルからコピーした API トークンです。

7. [接続を設定] を選択します。

Trello 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Trello サービスのライセンスを最適化します。

始める前に
Trello統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator および sn_trello_spoke.trello_admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [**Trello** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でTrello統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。
フォームでは、次のフィールドが自動的に入力されます。

Trello 統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Trello 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	このフィールドは、自動的に **Trello Enterprise** サブスクリプションに設定されます。

3. 必要なユーザーロールまたは API 権限を表示して、セキュリティリスクを最小限に抑え、SaaS ライセンスを最適化します。

注:
詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

a. [サブスクリプション サブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Trello** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

b. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Trello** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

注:
[サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

[接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_trello_spoke** に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. **[Publish** (公開)] を選択します。
7. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、[**OK**] を選択します

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Workday との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをWorkdayアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

この統合により、次の Workday アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

- Workday 人材管理
- Workday ファイナンシャルマネジメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Workday アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ワーカーデータを持つユーザー:パブリックワーカーレポート ドメインセキュリティポリシー	なし

での権限の構成 **Workday**

Workday 統合を正常に設定するには、「Workday」でこの手順を実行します。

始める前に
必要なロール:セキュリティアドミン、統合アドミン、統合監査人などのロールを持ち、統合システムユーザーを作成し、必要なセキュリティポリシーをアサインできるユーザー。

手順

1. データ連携システムユーザーを登録します。

注:
アカウント情報の詳細を入力するときは、[**UI** セッションを許可しない] チェックボックスをオンにする必要があります。

2. セキュリティグループを作成し、統合システムユーザーに割り当てます。

a. [アクション] で、 セキュリティグループ > セキュリティグループのドメイン権限の管理 をクリックし、次の権限を指定します。

ドメインセキュリティ方針の権限

運用	ドメインセキュリティ方針	機能エリア
取得のみ	ワーカーデータ：パブリックワーカーレポート	人員配置

注:
セキュリティグループに対してドメインセキュリティポリシーがアクティブ化されていることを確認します。

3. [store-future: BEGIN review] ワーカーデータ: パブリックワーカーレポートドメインセキュリティポリシーにグループを割り当てるには、[セキュリティ保護可能アイテムのセキュリティの表示] ページに移動します。
このページには、[ワーカーを取得] に関連するすべてのタスクが表示されます。

a. [ワーカーを取得 **(Web** サービス)] **(Web** サービスタスク) タスクを選択します。

b. [セキュリティを表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[取得] に設定された [必要な権限] の値と、[ドメインセキュリティ] テーブルで [セキュリティポリシー]、[ドメイン]、[機能エリア]、[許可されたセキュリティグループ] などの詳細を表示できます。

c. [ワーカーデータ:パブリックワーカーレポート] セキュリティポリシーの [ドメイン] 列で検索アイコンの横にある を選択します。
ドメイン、監査、統合 ID、レポートなどのアクションのリストを表示できます。

d. [ドメイン] を選択し、[セキュリティ ポリシーのアクセス許可の編集] を選択します。

e. [ ] ページで、[統合権限] セクションまで下にスクロールします。

f. [Add] アイコンをクリックします。

g. 必要なセキュリティグループを追加し、 [取得] を選択します。

ユーザーがセキュリティグループに追加されます。
[End]

タスクの結果
この統合システムユーザーの新しい認証情報は、 ServiceNow インスタンスで接続を構成するために使用されます。

Workday 統合プロファイルの作成

Workday 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Workdayアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
必要なロール:admin、sam_admin、sam_integrator

最新の Workday HR スポークをインストールします。最新バージョンの詳細については、Workday HR Spoke の「スポークバージョン」セクションを参照してください。

> **重要:**
> Application Manager ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の **[Workday** との資産管理統合 **(oftware Asset Management integration with Workday)]** チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkday統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
統合プロファイル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Workday 統合などです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workday** サブスクリプション] に設定されます。
接続のセットアップ	
接続の詳細	○ 接続の詳細が存在する場合、このフィールドは既に入力されています。 ○ 接続の詳細が存在しない場合は、作成する必要があります。
SOAP ユーザー名	データ連携システムユーザーのユーザー名 作成中 での権限の構成 Workday.
SOAP パスワード	統合システムユーザーのパスワードが作成されました: での権限の構成 Workday.

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   [サブスクリプションサブフローのダウンロード] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workday** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。[サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. 接続の詳細が存在しない場合は、接続の詳細を作成します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   接続の詳細

フィールド	説明
ベース URL	Workdayhttps://<workday_host_url>/ccx/service/<workday_tenant_name> の形式のテナント名を含む SOAP API URL。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン	SOAP API バージョン (v33.2 など)。
Web サービスタイプ	**SOAP** に設定する必要があります。

c. [**Submit** (送信)] を選択します。
レコードが作成され、[接続の詳細] フィールドに追加されます。

d. オプション: 新しい統合プロファイルを選択し、[接続の詳細] フィールドのルックアップを選択して、接続の詳細を確認します。

6. これらの認証情報が自動的に入力されていない場合は、SOAP ユーザー名とパスワードを作成します。

注:

SOAP ユーザー名とパスワードを作成または更新できるのは、アドミンロールのみです。

a. [SOAP セキュリティポリシー] フォームで、[**WS-Security** ユーザー名プロファイル] フィールドのルックアップを選択します。

b. **[New** (新規)] を選択します。

c. [WS-Security ユーザー名プロファイル (送信) (WS-Security Username Profiles (Outbound))] フォームで、統合プロファイルの名前、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

d. [**Submit** (送信)] を選択します。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

8. **[FSE** ワーカー計算] タブで、[アクティブ] の値を **true** に設定し、FSE の割合を入力して、契約の対象となる作業者カテゴリを有効にします。

9. オプション: 作業者カテゴリが契約に一覧表示されているが、[FSE 作業者計算] タブで使用できない場合は、新しい作業者カテゴリを追加します。

a. **FSE** ワーカー計算 タブで、新規 を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

Workday FSE ワーカー計算

フィールド	説明
ワーカーカテゴリ	契約にリストされているワーカーカテゴリ。
FSE パーセンテージ	追加したワーカーカテゴリの FSE の割合。FSE (Full Service Equivalent) は、サブスクリプションを計算する方法です。
統合プロファイル	作成した Workday 統合プロファイル。
[Active (アクティブ)]	ワーカーカテゴリをアクティブにするオプション。

c. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 新しく作成されたワーカーカテゴリのマッピングを定義します。

    a. 作業者カテゴリ タブを選択し、新規 を選択します。

    b. フォームのフィールドに入力します。

    Workday ワーカーカテゴリ

フィールド	説明
ワーカータイプ	ワーカーのタイプ (従業員または派遣社員)。
従業員/派遣就業者タイプ	従業員または派遣就業者のタイプ。
時刻タイプ	作業者が常勤か非常勤かを示します。
ワーカーカテゴリ	作成したワーカーカテゴリ。
統合プロファイル	作成した Workday 統合プロファイル。
[Active (アクティブ)]	マッピングを有効にするオプション。

    c. [**Submit** (送信)] を選択します。

11. 契約で定義されているモジュールのリストを有効にします。
    a. [モジュール] タブを選択します。
    b. モジュールレコードを開きます。
    c. [アクティブ] フィールドを **True** に設定します。
    d. [**Save** (保存)] をクリックする。
12. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
13. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
14. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

タスクの結果
Workday 統合プロファイルが公開されます。

Workplace from Facebook との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを Workplace from Facebook アプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Workplace from Facebook アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	システム管理者	• グループメンバーシップの読み取り • 仕事用プロファイルの管理
ユーザーアクティビティのプル	システム管理者	• グループの読み取り • グループメンバーシップの読み取り • グループコンテンツの読み取り • すべてのメッセージを読む • ナレッジライブラリーコンテンツの読み取り
サブスクリプションを再利用	システム管理者	ユーザーアカウントのプロビジョニング

自動翻訳

Workplace from Facebook 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Workplace from Facebook アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Workplace from Facebook統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の **[Workplace from Facebook** スポーク] スポークチェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkplace from Facebook統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前 たとえば、Workplace from Facebookデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に Workplace from Facebook サブスクリプションに設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. [Download Subscription Subflow] セクションで、[**Subflow**] フィールドが **[Workplace From Facebook Download Subscriptions]** に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [アクティビティサブフローを計算] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace From Facebook** ユーザーアクティビティの更新] に設定されていることを確認します。

      注:
      [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Activity* は作成されません。

   [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

c. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace From Facebook** サブスクリプションの再利用 **(Workplace From Facebook Reclaim Subscription)]** に設定されていることを確認します。

> **注:**
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_fb_wp_spoke** に設定されます。FB_Workplace_Alias。

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューを選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[接続] リストの [認証情報] 列の下にある**FB_Workplace_Credentials**を選択します。
7. **[Workplace from Facebook** 認証情報] フォームで、[**Workplace** にインストール] を選択します。

   Workplaceのサインアップ/サインイン ページにリダイレクトされます。

8. 認証情報を使用して Workplace from Facebook アカウントにログインします。

   [**ServiceNow** スポークを **Workplace** に追加 **(Add ServiceNow Spoke to Workplace**)] ポップアップウィンドウが表示されます。

9. [職場に追加] を選択します。
10. **[Done** (完了)] を選択します。

    ServiceNowインスタンスにリダイレクトされ、関連するフィールドが更新されます。

11. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

    接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

12. 接続を確認したら、[公開] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

> **注:**
> 統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証してから統合プロファイルを再公開する必要があります。
>
> - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
> - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
> - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Activity* ジョブが削除されます。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Zendesk との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Zendesk アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Zendesk アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ライトエージェント	なし
ユーザーアクティビティのプル	ライトエージェント	なし
サブスクリプションを再利用	アドミン	なし

ZendeskOAuth クライアントを作成

ZendeskAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に
Zendesk 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、Zendesk を開きます。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. Zendesk エージェントワークスペースの左側のナビゲーションメニューで、管理アイコン (⚙) を選択します。
4. [アドミン] ページからアドミンセンターに移動し、[アドミン] メニューから アプリと統合 > **API**. [Zendesk API] ページが開きます。
5. **[OAuth** クライアント] タブを選択し、[**OAuth** クライアントの追加] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

[新しい **OAuth** クライアントの作成] フォーム

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントの簡単な説明。
会社	OAuth クライアントが Zendesk API を介してデータへのアクセスを許可する会社の名前。会社名は、 Zendesk API 要求の認証時に表示されます。 このフィールドは、 Zendesk アカウントが関連付けられている会社に基づいて自動的に入力されます。ただし、会社名は必要に応じて変更できます。
ロゴ	Zendesk API 要求の認証時に表示されるロゴ。 緑色の四角形を選択して、表示するロゴを見つけて選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
一意の識別子	OAuth クライアントの一意の識別子。このフィールドは、[クライアント名] フィールドで指定した OAuth クライアント名に基づいて自動的に入力されます。ただし、必要に応じて一意の識別子を変更できます。 **注:** 一意の識別子は Zendesk コードでのみ使用されます。
クライアントの種類	このフィールドは [機密] に設定する必要があります。機密認証クライアントは、資格情報を安全に保つことができる安全なサーバー上で実行されます。
リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
8. ダイアログ ボックスで、[**OK]** を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、フォームが再ロードされます。
9. [シークレット] フィールドから値をコピーします。
   後で使用するためにシークレット値を安全な場所に保存します。

Zendesk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Zendesk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. **[Connections** (接続)] タブを選択します。
3. Zendesk接続を見つけて、[構成] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Zendesk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。 https://<subdomain>.zendesk.com と入力します。<*subdomain*> は組織のサブドメインです。
認証情報	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
OAuth クライアント ID	Zendesk OAuth クライアントの一意の識別子。 ZendeskOAuth クライアントを作成 で指定したものと同じ一意の識別子を入力します。
OAuth クライアントシークレット	ZendeskOAuth クライアントに割り当てられているシークレット。 ZendeskOAuth クライアントを作成 でコピーしたものと同じシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、ZendeskOAuth クライアントを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. [Zendesk OAuth 認証] ダイアログ ボックスで、[承認] を選択します。
OAuth アクセストークンは、Zendesk接続を許可するために使用できるようになります。

Zendesk 統合プロファイルの作成

Zendesk 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Zendeskアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
Zendesk統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

> **重要:**
> [Application Manager] ページでオプション機能をインストールする際には、この統合の [**Zendesk** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でZendesk統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Zendesk 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[Zendesk** サブスクリプション] に設定されます。

3. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

   a. 「サブスクリプションサブフローのダウンロード」セクションで、「 サブフロー 」フィールドが 「Zendeskサブスクリプションのダウンロード」に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   b. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] セクションで、[サブフロー] フィールドが **[Zendesk** サブスクリプションの再利用 **(Zendesk Reclaim Subscription)**] に設定されていることを確認します。

      注:
      [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。

   [接続と資格情報] フィールドが表示され、自動的に **sn_zendesk_spoke** に設定されます。Zendesk。

5. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

6. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
7. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Zoom との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Zoom サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

この統合により、次の Zoom アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- Zoom 会議の通常のアカウント (マスター/マスターサブアカウントではない)
- Zoom ウェビナーのレギュラーアカウント (マスター/マスターサブアカウントではない)

Zoomの詳細については、Zoom 開発者向けドキュメント を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Zoom アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションをダウンロード	ユーザー情報の表示または編集 (例:ユーザーへのライセンスとグループのアサイン):表示	• user:read:list_users:admin • user:read:settings:admin
ユーザーアクティビティのプル	アカウントの詳細な使用状況レポートを表示します。 表示	• meeting:read:list_meetings:admin • webinar:read:list_webinars:admin
サブスクリプションを再利用	ユーザー情報の表示または編集 (例:ユーザーへのライセンスとグループのアサイン): 編集	• user:update:settings:admin • user:update:user:admin • user:delete:user:admin

Zoomアプリケーションの作成

Zoom App Marketplace でアプリケーションを作成します。

始める前に
Zoom 必要なロール:開発者向け Zoom:編集

手順

1. [Zoom アプリマーケットプレイス (Zoom App Marketplace)] に移動し、アカウントにサインインします。
2. 選択 開発 > アプリをビルド.
3. [基本情報] ページの [アプリの管理方法を選択してください] セクションで、[管理者が管理] オプションを選択します。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [アプリの認証情報] セクションで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。後で使用するためにこれらの値をコピーして安全な場所に保存します。

   注:
   クライアント ID とクライアントシークレットは機密扱いです。それらを共有しないでください。

6. **[OAuth** リダイレクト **URL**] フィールドと **[OAuth** 許可リスト] フィールドに「https://*instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。インスタンスはServiceNowインスタンスの名前です。
7. 左側のナビゲーションメニューの [スコープ] タブを選択します。
8. 次のスコープを追加して統合を有効にし、ユーザーのリストを取得し、ユーザーのミーティングとウェビナーのアクティビティを追跡し、未使用のサブスクリプションを再利用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- user:read:list_users:admin
- user:read:settings:admin
- meeting:read:list_meetings:admin
- webinar:read:list_webinars:admin
- user:update:settings:admin
- user:update:user:admin
- user:delete:user:admin

Zoom 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Zoom サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Zoom統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でZoom統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	Value (値)
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Zoom 統合
クライアント ID	手順 6 で SaaS アドミンアカウント作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	手順 6 で SaaS アドミンアカウント作成したクライアント ID に関連するパスワード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Value (値)
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Zoom* [サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 30 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを確認できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果を表示できるようになるまでに数時間かかる場合があります。

3. [プロセスの構成] セクションで、各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。これをクリアすると、アクティビティのスケジュール済みジョブ *SAM - Refresh <displayname> Events* は作成されません。

     [ユーザーアクティビティを分析] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する開始日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルを作成したときから個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

     注:
     ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

     この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
   - [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   ServiceNowインスタンスでドラフトの統合プロファイルが作成されます。
5. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

6. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。

   接続を検証すると、Download Subscriptions API と Calculate Activity API は検証されますが、Reclaim Subscriptions API は検証されません。

   > **注:**
   > 統合プロファイルが検証され、スケジュール済みジョブが作成された後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。
   >
   > - 統合プロファイルフォームの [ステータス] フィールドが [ドラフト] に変わります。
   > - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
   > - 現在の *SAM - Refresh <displayname> Events* ジョブが削除されます。

タスクの結果
現在の日付の 1 年前まで、個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスでソフトウェアモデル、再利用ルール、ソフトウェアサブスクリプションが自動的に作成され、毎日更新されます。

一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定する場合は、子エイリアスを作成して、統合プロファイルごとに異なる構成と設定を管理します。詳細については、「子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する」を参照してください。

ユーザーサブスクリプションを再利用するために、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。

- ソフトウェア資産管理コア UI でのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SSO プロバイダーとの統合

シングルサインオン (SSO) プロバイダーと統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示します。

すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。接続されているすべてのアプリケーションのユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。使用状況データを活用して将来のライセンスのニーズを予測し、更新時に未使用のライセンスを削減します。

Microsoft Entra ID との統合

ServiceNow インスタンスを Microsoft Entra ID と統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Microsoft Entra ID アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
• ユーザーのダウンロード • ダウンロードグループ • グループメンバーシップのダウンロード	アプリケーション開発者	• User.Read.All • GroupMember.Read.All • Application.Read.All
アプリケーションのダウンロード	アプリケーション開発者	• User.Read.All • GroupMember.Read.All • Application.Read.All
• コネクトアプリケーション • 接続されているアプリケーションを更新	• グローバルリーダー/レポートリーダー/セキュリティ/アドミニストレーター/セキュリティオペレーター/セキュリティリーダー • アプリケーション開発者	• AuditLog.Read.All • User.Read.All • GroupMember.Read.All • Application.Read.All
サブスクリプションを再利用	ユーザーアドミニストレーター	User.ReadWrite.All

Microsoft Entra ID アプリケーションの作成

Microsoft Entra IDポータルでアプリを作成して、Now Platformと統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
Microsoft Entra ID 必要なロール: 「最小ユーザー権限 」テーブルを参照してください。

手順

1. Azureポータルから、Microsoft Entra IDにアクセスします。
2. Microsoft Entra IDアプリケーションを作成します。
「」を参照してください。 作成 Microsoft Entra ID application アプリケーションの登録と構成の詳細な手順については、

   a. [リダイレクト **URI**] フィールドに「`https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。ここで `<instance-name>` はServiceNowインスタンスの名前です。

   b. アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID を記録して、アプリをサードパーティ OAuth プロバイダーとして ServiceNow インスタンスに登録します。

   c. クライアントシークレットを作成して値を記録し、サードパーティ OAuth プロバイダーとして ServiceNow インスタンスでアプリを登録します。

   d. Microsoft Graph API にアクセスするための権限を追加します。

権限	タイプ
AuditLog.Read.All	委任
User.Read.All	委任
User.ReadWrite.All	委任
GroupMember.Read.All	委任
Application.Read.All	委任

   詳細については、「Web API にアクセスするための権限の追加」を参照してください。

   e. アプリケーションに管理者の同意を付与します。
   詳細については 、「API 権限と管理者の同意 UI について」を参照してください。

Microsoft Entra ID 統合プロファイルの作成

ServiceNow インスタンスに Microsoft Entra ID 統合プロファイルを作成します。

始める前に
Microsoft Entra ID統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときに、この統合の [**Microsoft Entra ID** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 のバージョン 7.0.0 および Microsoft Entra ID スポークのバージョン 3.1.0 以降では、ServiceNow インスタンスは、作成する Microsoft Entra ID 統合プロファイルごとに個別の Entra ID 接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスは複数の独立した Microsoft Entra ID 統合プロファイルをサポートできます。

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でMicrosoft Entra ID統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに統合プロファイルの名前を入力します。

   残りのフィールドは、フォームを送信すると自動的に入力されます。

   注:
   SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。ディレクトリ統合は、SSO 統合に関連付けられている SSO アプリケーション、ユーザー、およびグループデータをプルします。詳細については、「SSO サブスクリプション情報の表示」を参照してください。

   既に Microsoft Entra ID ディレクトリ統合がある場合、SSO 統合では既存のディレクトリ統合が使用されます。それ以外の場合は、 Microsoft Entra ID ディレクトリ統合が自動的に作成されます。

3. [プロセスの構成] セクションで、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーロールまたは API 権限を表示します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   - [アプリケーション、ユーザー、およびグループをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。
   - [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。オフにすると、接続されたアプリケーションの最後のアクティビティはプルされません。
   - [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   [接続と資格情報] フィールドが表示されます。
5. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

   注:
   ソフトウェア資産ワークスペース をインストールしている場合は、[接続と資格情報] レコードを開き、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	**Value** (値)
認証 URL	https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/authorize、ここで<directory-id> は Azure ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。
トークン URL	https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/token、ここで<directory-id> は Azure ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。
トークン URL の取り消し (Revoke token URL)	https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/revoke、ここで<directory-id> は Azure ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。
OAuth クライアント ID	Azureポータルで作成したアプリケーションのアプリケーション (クライアント) ID。
OAuth クライアントシークレット	Azureポータルで作成したアプリケーションのクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do (<instance-name> は ServiceNow インスタンスの名前です。この値は、自動的に入力されます。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
Azureポータルにリダイレクトされます。この手順を実行するために必要なロールについては、「最小ユーザー権限 」テーブルを参照してください。
8. ポップアップウィンドウで、 Microsoft Entra ID アドミン認証情報を使用してアカウントにサインインします。
9. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
10. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
11. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。
統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。
    - [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
    - 接続されたアプリケーションのユーザーの最後のアクティビティはプルされなくなりました。

スケジュール済みジョブとディレクトリジョブは、すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。詳細については、「SSO サブスクリプション情報の表示」を参照してください。統合プロファイルの [スケジュール済みジョブの結果] 関連リストと [ディレクトリジョブの結果] 関連リストにジョブのステータスを表示します。ソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して自動的に作成されます。

タスクの結果

統合プロファイルを公開してアプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前までに個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO アプリを接続

シングルサインオン (SSO) アプリを接続して、アプリへのアクセス権を持つすべてのユーザーとグループを表示します。ユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に

必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注:
Microsoft Entra IDの場合、アプリケーション設定ページの [アサインが必要] トグルボタンは、ユーザーによるアプリケーションのアクセスを制御します。

- この切り替えボタンを [はい] に設定する場合は、このアプリケーションを Microsoft Entra ID ユーザーおよび関連するアプリケーションおよびサービスに割り当てる必要があります。アプリケーションをアサインすると、 Microsoft Entra ID ユーザー、関連付けられたアプリケーション、およびサービスがそのアプリケーションにアクセスできるようになります。
- このトグルボタンを [いいえ] に設定すると、すべてのユーザーがアプリケーションにログインできます。関連するアプリケーションとサービスも、このサービスへのアクセストークンを取得できます。

SaaS ライセンス管理 は、特定のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合により、最も堅牢な使用状況データが得られます。利用可能な直接統合のリストについては、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。アプリを直接統合している場合、SSO 統合で同じアプリを接続すると、 ServiceNow インスタンスに重複サブスクリプションレコードが作成されます。SSO アプリを接続した後でそのアプリの直接統合を作成することにした場合は、直接統合を作成する前にアプリを切断します。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI内の SSO アプリケーションに移動するオプションは非アクティブです。

手順

1. アプリケーションに移動します。
2. 接続するアプリケーションを選択します。
   ソフトウェア資産ワークスペースには、[**SSO** アプリケーション] タブを選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合、アプリのソフトウェアモデルを追加します。
   アプリを接続するには、アプリに接続する前にソフトウェアモデルが必要です。ソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリに対して自動的に作成されます。他のすべてのアプリでは、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. [前回のアクティビティの分析元] フィールドの日付を選択します。

   個々のユーザーとアプリケーションのログインデータの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。デフォルト値は 30 日です。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを確認できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果を表示できるようになるまでに時間がかかる場合があります。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. **[Connect** (接続)] を選択します。

ヒント:
[SSO アプリケーション] リストから複数のアプリを同時に接続することもできます。

コア UIインターフェイスで、リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。一覧の一番下にある [選択した行のアクション] ドロップダウン メニューを選択し、[接続] を選択します。一部のアプリにソフトウェアモデルがない場合、 コネクト アクションには、一部のアプリが接続されているわけではないことが表示されます。たとえば、[コネクト] **(1/4)** は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されていることを示した。ソフトウェアモデルを追加して、残りのアプリを接続します。

タスクの結果
SSO アプリケーションが接続すると、 ServiceNow インスタンスによってユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールが自動的に作成され、毎日更新されます。

- [割り当てが必要] トグルボタンが [はい] に設定されている場合、サブスクリプションは関連付けられた Microsoft Entra ID ユーザーに対してのみ作成されます。
- [割り当てが必要] トグルボタンが [いいえ] に設定されている場合、サブスクリプションはすべての Microsoft Entra ID ユーザーに対して作成されます。

次のタスク
ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たすように、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

Okta との統合

ServiceNow インスタンスを Okta と統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

責任を担います。	Okta アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
ユーザーのダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	okta.users.read
• ダウンロードグループ • グループメンバーシップのダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	okta.groups.read
アプリケーションのダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	• okta.apps.read • okta.logs.read
コネクトアプリケーション	読み取り専用アドミニストレーター	okta.logs.read
接続されているアプリケーションを更新	読み取り専用アドミニストレーター	• okta.apps.read • okta.logs.read
サブスクリプションを再利用	アプリケーションアドミニストレーター	okta.apps.manage

自動翻訳

Okta アプリケーションの作成

Now Platformと統合できるOktaアプリケーションを作成します。

始める前に
Okta 必要なロール: 「最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

Okta OAuth スコープの詳細については、「Okta admin ロールとスコープとサポートされているエンドポイント の詳細については、「管理者ロールと権限 」を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、 Okta 管理コンソール にログインします。
2. OAuth 2.0 機能を備えた Okta アプリケーションを作成します。

   詳細な手順については、「 Okta 用の OAuth 2.0 アプリを作成する 」を参照してください。

   Oktaアプリケーションを作成するときは、次の点に注意してください。

   - [ログインリダイレクト **URI**] フィールドと [ログアウトリダイレクト **URI**] フィールドに「https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。*<instance-name>* はServiceNowインスタンスの名前です。
   - [クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。
   - Okta OAuth 2.0 アプリケーションに次のスコープを付与します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- okta.groups.read
- okta.apps.read
- okta.users.read
- okta.logs.read
- okta.apps.manage

○ Okta ポータルの [ユーザーの代理として動作するクライアント **(Client acting on behalf of a user)**] 権限許可タイプの下にある [トークンをリフレッシュ **(Refresh Token)**] チェックボックスをオンにします。

Okta統合プロファイルの作成

ServiceNow インスタンスに Okta 統合プロファイルを作成します。

始める前に
Okta 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

重要:
[Application Manager] ページでオプション機能をインストールするときは、この統合の [**Okta** スポーク] チェックボックスをオンにする必要があります。必要な SaaS アプリケーションの選択の詳細については、「 SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて

注:
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 のバージョン 7.0.0 および Okta スポークのバージョン 4.1.2 以降では、ServiceNow インスタンスは、作成する Okta 統合プロファイルごとに個別のOkta接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスで複数の独立した Okta 統合プロファイルをサポートできます。

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でOkta統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

SSO 統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Okta 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ディレクトリデータ統合	組織の Active Directory ユーザー、グループ、およびグループメンバーシップをプルするために使用されるディレクトリ統合プロファイルへの参照。 ○ Oktaのディレクトリ統合レコードが存在する場合は、既存のレコードを選択できます。 ○ Oktaのディレクトリ統合レコードが存在しない場合、このフォームを保存または送信すると新しいレコードが作成されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Okta** に設定されます。
接続と認証情報	ディレクトリと SSO の統合で使用される接続および資格情報エイリアスへの参照。 ○ ディレクトリ統合レコードが存在し、それをディレクトリ統合フィールドで選択した場合、このフィールドは自動的にディレクトリ統合レコードの接続および資格情報エイリアスに設定されます。 ○ ディレクトリ統合値が存在しない場合、このフィールドは自動的に入力されます。
Okta のサブスクリプションを作成	直接統合プロファイルを作成して、この統合プロファイルの公開後に Okta サブスクリプションを表示するオプション。 デフォルト値：False

3. [プロセスの構成] セクションで、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化するために必要なユーザーロールまたは API 権限を表示します。

   注:
   必要なロールとスコープの詳細については、「 最小限のユーザー権限 」テーブルを参照してください。

   ○ [アプリケーション、ユーザー、およびグループをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

   ○ [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。オフにすると、接続されたアプリケーションの最後のアクティビティはプルされません。

   ○ [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   [接続と資格情報] フィールドは自動的に **sn_okta_spoke.okta_apps_users_groups_activity_and_reclaim** に設定されます。
5. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスを開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。例:Okta 接続。
接続 URL	接続の URL。https://<*yourOktaDomain*>.comを入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
認証 URL	OAuth 認証エンドポイントの URL。「https://<*yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/authorize」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
トークン URL	アクセストークンを取得して更新する OAuth エンドポイントの URL。「https://<*yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/token」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイントの URL。「https://<*yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/revoke」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
OAuth クライアント ID	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは自動的に **https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do** に設定されます。ここで <*instance-name*> は ServiceNow インスタンスの名前です。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注:
   この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」表を参照してください。

8. Okta ポータルのログイン ダイアログ ボックスで、Okta資格情報を入力し、サインイン を選択します。

   注:
   スーパーアドミン、アプリケーションアドミニストレーター、API アクセス管理アドミニストレーターのロールと同じ認証情報を使用してサインインする必要があります。

   ダイアログボックスが閉じ、自動的に SSO 統合プロファイルフォームに戻ります。

9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. 統合プロファイルフォームで、[接続を検証] を選択して、この統合の接続と資格情報の詳細を確認します。
11. 接続を確認したら、[公開] を選択します。
12. 公開の確認 ダイアログ ボックスで、 **OK** を選択します。
    統合プロファイルの公開後に [ダウンロードアクティビティ] チェックボックスをオフにすると、次のイベントが発生するため、接続を再検証する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [接続を検証] ボタンがフォームに表示されます。
- 接続されたアプリケーションのユーザーの最後のアクティビティはプルされなくなりました。

タスクの結果
スケジュール済みジョブとディレクトリジョブの両方で、 Okta アプリケーションに関連付けられているすべてのアプリケーション、ユーザー、グループ、およびソフトウェアサブスクリプションのリストがダウンロードされます。統合プロファイルの [スケジュール済みジョブの結果] タブと [ディレクトリジョブの結果] タブでジョブのステータスを表示します。 ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product定義] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を持つアプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。

次のタスク
[**Okta** サブスクリプションを作成] チェックボックスをオンにし、この統合プロファイルが公開されると、 Okta の直接統合プロファイルが作成されます。情報メッセージの [直接統合プロファイル] リンクを選択すると、直接統合プロファイルに移動できます。

直接統合プロファイルに移動した後、[ソフトウェアサブスクリプション] タブを選択してOktaサブスクリプションを表示できます。詳細については、「Okta SSO 直接統合プロファイル」を参照してください。

⚠ 警告:

OAuth トークンの有効期限が切れると、 Okta 統合プロファイルに、新しい OAuth トークンを取得する必要があることを示すエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ内のリンクを選択して、新しい OAuth トークンを取得します。

Okta 統合プロファイルの接続レコードに関連付けられている OAuth 2.0 認証情報レコードは削除しないでください。OAuth 2.0 認証情報レコードを削除すると、現在の OAuth トークンの有効期限が切れた後は、新しい OAuth トークンを取得できなくなります。

統合プロファイルを公開してアプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前までに個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

Okta SSO 直接統合プロファイル

OktaSSO 直接統合プロファイルは、Okta SSO 統合の設定中にOktaユーザーのサブスクリプションを作成することで、Oktaユーザーライセンスを管理するのに役立ちます。

OKTA SSO 直接統合プロファイル

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前
ステータス	統合プロファイルのステータス。 このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Okta** サブスクリプションに設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OKTA SSO 直接統合プロファイル (続く)

フィールド	説明
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Okta Download Subscriptions]** に設定されます。

SSO アプリケーションの接続

SSO アプリケーションを接続して、そのアプリケーションにアクセスできるすべてのユーザーとグループを監視します。ユーザーのログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用することもできます。

始める前に

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ServiceNow SaaS ライセンス管理 は、一部のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合は、最も包括的な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。

アプリケーションの直接統合を既に作成している場合、SSO 統合で同じアプリケーションを接続すると、 ServiceNow インスタンスに重複するサブスクリプションレコードが作成されます。直接統合のみを使用してください。SSO 統合でアプリケーションを接続した後でそのアプリケーションの直接統合を作成する場合は、直接統合を作成する前にアプリケーションを切断します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 接続するアプリケーションを選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合、アプリケーションのソフトウェアモデルを追加します。
   アプリケーションを接続するには、そのアプリケーションをソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。 ServiceNow ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を持つアプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。他のすべてのアプリケーションでは、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。詳細な手順については、「クラシック ソフトウェア資産管理 でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. [最後のアクティビティを分析] フィールドで、最後のアクティビティを分析する日付を選択します。

   個々のユーザーとアプリケーションのログインデータの分析は、現在の日付から、または最大 60 日前から開始できます。デフォルト値は 30 日です。現在の日付より前の日付を選択した場合、分析するデータの量が多いため、結果が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

   [前回のアクティビティを分析] フィールドに値を送信すると、そのフィールドは読み取り専用になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Connect** (接続)] を選択します。

> ヒント:
> 複数のアプリケーションを同時に接続するには、接続する各アプリケーションのチェックボックスを SSO アプリケーションリストでオンにします。選択した行メニューで [アクション] を選択し、[接続] を選択します。ソフトウェア モデルに関連付けられていないアプリケーションがある場合、[接続] メニュー項目の名前が更新され、一部のアプリケーションのみが接続されることを示します。たとえば、[コネクト **(1/4)]** メニュー項目は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されることを示します。残りのアプリケーションにソフトウェアモデルを追加して、接続を続行します。

次のタスク
SSO アプリケーションが接続すると、 ServiceNow インスタンスによってユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールが自動的に作成され、毎日更新されます。Okta 開発者コンソールからユーザー、アプリケーション、グループ、またはグループメンバーシップを削除すると、変更がServiceNowインスタンスに反映されます。

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューし、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用済みソフトウェアを所有ソフトウェアに対して追跡します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します」を参照してください。

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシック版でソフトウェア調整を実行する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェア調整の実行」を参照してください。

SaaS統合のプレイブック

SaaSプレイブックには、SaaS アプリケーションを統合するためのステップバイステップのガイダンスが記載されています。統合プロセスの開始から完了までの各段階を段階的に説明します。

SaaSプレイブックには、以下で構成される複数のレーンが含まれています。

- レーン内で実行する必要があるタスクのリスト
- 各タスクの現在のステータスを表示するステータスインジケーター

タスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動します。タスクはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。

レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動します。タスクとレーンを完了し続けると、ステータスが左側のパネルに反映されます。すべてのタスクが完了したら、すべてのレーンに入力した詳細を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プレイブックとやり取りする

Salesforce CRM 統合の作成

ServiceNowインスタンスをSalesforceカスタマーリレーションシップマネジメント (CRM) サービスと統合し、ガイド付きウォークスループレイブックを使用してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:Salesforce admin、sam_admin

- グローバルスコープでのみ Salesforce CRM 統合を作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産ワークスペース > ソフトウェア資産アナリティクス.
2. [直接統合を作成] を選択します。
3. サポートされている統合のリストで、[**Salesforce CRM**] を選択します。
4. Salesforce アドミンポータルから Salesforce アプリケーションを登録します。
   詳細については、「Salesforceアプリケーションの登録」を参照してください。
   a. 左側のペインで **[Salesforce** アプリケーションの登録] を選択します。
   b. Salesforce アプリケーションでタスクを完了します。
      各手順を完了したら、各チェックボックスをオンにします。
   c. **[Mark Complete** (完了としてマーク)] を選択します。
5. 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化します。
   a. 左側のペインで [プロファイルの詳細] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

プロファイルの詳細

フィールド	説明
表示名	プロファイルを作成する組織を一意に識別する統合プロファイルの名前。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に Salesforce CRM に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サブスクリプションサブフローをダウンロード	値は **[Salesforce CRM** サブスクリプションをダウンロード] に設定する必要があります。
サブスクリプションサブフローを再利用	値は **[Salesforce CRM** サブスクリプションを再利用] に設定する必要があります。

c. データを保存します。

- 統合を続行せずにデータを保存するには、 [保存] を選択します。
- データを保存して統合を続行するには、[完了としてマーク] を選択します。

6. ServiceNow クラシックインターフェイスで接続と資格情報を作成します。

a. 左側のペインで [接続と資格情報] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

c. [Continue (続行)] を選択します。

d. [新しい接続および資格情報の作成] リンクを選択します。

e. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続名	この接続と資格情報を作成する Salesforce 組織を一意に識別する接続の名前。
接続 URL (インスタンス URL)	Salesforce にログインした後に表示される URL。Salesforce のカスタムドメイン URL です。
OAuth クライアント ID	Salesforce アプリケーションにアサインされたクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	Salesforce アプリケーションに割り当てられたクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、ステップ 4 で Salesforce アプリケーションを登録したときに指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

f. [OAuth トークンを作成して取得] を選択します。

g. OAuth2 認証ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの作成に使用したのと同じ Salesforce アドミンアカウントにログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow インスタンスが Salesforce の OAuth トークンを作成します。

h. [Mark Complete (完了としてマーク)] を選択します。

統合プロファイルでは、「 Salesforce CRM サブスクリプションのダウンロード」サブフローと「 Salesforce CRM サブスクリプションの再利用」サブフローを使用して、 Salesforce CRM サービスからユーザーデータを取得します。

7. オプション: 子エイリアスと追加の統合プロファイルを作成します。

(Optional) 子エイリアスは、この追加の統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別します。

作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

> **注:**
> アプリケーションスコープは **Salesforce** スポークに設定する必要があります。

a. 左側のペインで [他の **Salesforce** 組織に接続 (省略可能)] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
表示は、子エイリアスを設定できる ServiceNow クラシック インターフェイスにリダイレクトされます。

c. [子エイリアス] タブで、[新規] を選択します。

d. [接続および資格情報エイリアス] フォームに子エイリアスの名前を入力します。

e. [**Submit** (送信)] を選択します。
フォームを再ロードすると、新しく作成された子エイリアスが [子エイリアス] リストに表示されます。

f. 複数の接続を作成するには、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
親接続を作成する場合と同じ手順に従います。

g. 手順を完了したら [完了としてマーク] を選択し、プレイブックビューのすべてのチェックボックスをオンにします。

8. 統合プロファイルを公開する前に、必須フィールドを確認します。

a. 左側のウィンドウで [レビューと公開] を選択します。

b. 統合プロファイルの詳細を確認します。

c. オプション: [接続と資格情報] フィールドで、プレビューアイコン (ⓘ)を選択し、 ステップ 7 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、追加の統合プロファイルが子エイリアスに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. 各プロセスの [ベンダー構成] フィールドで指定された必要なユーザーロールまたは API 権限を確認して、セキュリティリスクを最小限に抑え、 SaaS ライセンスを最適化します。

> 注:
> 詳細については、「 最小限のユーザーアクセス許可 」テーブルを参照してください。

i. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

> 注:
> [サブスクリプションをダウンロード] チェックボックスはデフォルトでオンになっており、オフにすることはできません。

ii. [サブスクリプションサブフローの再利用] セクションで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。

> 注:
> [サブスクリプションを再利用] チェックボックスはデフォルトでオンになっています。サブスクリプションを再利用しない場合は、このチェックボックスをオフにします。これをクリアすると、削除候補は作成されますが、サブスクリプションの再利用サブフローがトリガーされないか、再利用プロセスが開始されません。

e. [**Save** (保存)] をクリックする。

f. [接続を検証] を選択します。

9. [公開] を選択して統合プロファイルを公開します。
10. オプション: すべてのスケジュール済みジョブの結果のステータスが [完了] であるかどうかを確認します。

タスクの結果
統合が正常に公開されると、レコードページにリダイレクトされます。統合プロファイル、関連するソフトウェアモデル、トリガーされたスケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブの結果、および認識されないサブスクリプション識別子の詳細を表示できます。

SaaS ライセンス接続

カスタム統合を作成すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションを、SaaS ライセンス管理 に既存の統合がない SaaS アプリケーションに接続するのに役立ちます。

ローコードフレームワークは、 ServiceNow® 統合ハブ および ServiceNow® フローデザイナーを使用して、 SaaS プロバイダーの API エンドポイントに接続します。次のアクションを実行できます。

- すべてのユーザーのリストをダウンロードし、意味のある使用状況データを表示し、未使用のサブスクリプションを再利用して SaaS 支出を最適化します。
- ソフトウェア資産管理ソフトウェアモデルとレポートを使用して、カスタムSaaS接続をベースシステムのSaaS接続とともに管理します。

カスタム統合

統合ハブ Starter、Standard、Professional、または Enterprise をインストールして、カスタム統合を作成します。統合ハブの詳細については、「統合ハブの要求」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

非本番インスタンスに 統合ハブ プラグインをインストールするのは無料です。統合ハブがインストールされている非本番インスタンスでカスタム統合をビルドし、更新セットを使用して本番環境に取り込むことができます。更新セットの詳細については、「 システムアップデートセット 」を参照してください。これにより、本番環境に配置する前にカスタム統合を検証でき、 統合ハブ サブスクリプションに対して課金されることはありません。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションライセンスメトリクスを使用する SaaS アプリケーションに対してのみ、カスタム統合を作成できます。DocuSignエンベロープなどの他のライセンスメトリクスはサポートされていません。

一部の SaaS アプリケーションには、カスタム統合の作成に使用できる既存の 統合ハブ スポークがあります。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがある場合は、ステップをスキップしてカスタムスポークを作成します。既存のスポークを使用する場合は、そのデータストリームアクションの一部を使用できます。独自のアクションを作成する前に、スポークに含まれるアクションを確認してください。統合ハブスポークを持つアプリケーションのリストについては、「統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。

SaaS License Connections とのカスタム統合をビルドするには、さまざまな値を追跡する必要があります。SaaS ライセンス接続ワークシート を使用して、SaaS API を調査し、データストリームアクションを構築して、必要なすべての情報があることを確認してください。

カスタムスポークの作成

SaaS ライセンス管理 でカスタム統合を設定するには、SaaS アプリケーションに接続するためのスポークを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

- ServiceNow® スタジオを使用してスポークを作成します。スタジオの詳細については、「ServiceNow Studio 」を参照してください。
- 統合している SaaS アプリケーションのスポークが存在する場合は、スポークを作成する代わりに既存のスポークを使用できます。ServiceNow® 統合ハブスポークを持つアプリケーションのリストについては、「統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > スタジオ.
2. [アプリケーションの作成] を選択します。
3. 統合する SaaS アプリケーションの名前と説明を含む名前をアプリに付けます。
   [スコープ] フィールドの自動入力された値を保持します。
4. **[Create** (作成)] を選択します。
5. 次のロールを追加し、[続行] を選択します。
   - admin (アドミン)
   - sam_developer
   - delegated_developer
6. クラシック形式を選択し、[続行] を選択します。
7. [**Done with tables**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. セッションを閉じてアプリを作成するには、 **[X]** を選択します。

ヒント:
ページを更新して、作成したスポークアプリがアプリのリストに表示されます。

次のタスク
カスタム統合のビルドを続行するときは、スポークを使用して次のアイテムを保存します。

- 接続および資格情報エイリアス
- ユーザーとユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクション
- ユーザーを再利用するアクション

ServiceNow Storeでカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、スポークを使用してサブフローも保存します。

カスタム統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 SaaS アプリケーションの古いライセンスを最適化します。詳細については、「カスタム統合プロファイルの作成」を参照してください。

カスタム統合プロファイルの作成

カスタム統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 SaaS アプリケーションの古いライセンスを最適化します。

始める前に
ServiceNow インスタンスでカスタム統合プロファイルを作成する前に、SaaSアプリケーションアドミニストレーターまたは開発者アカウントで認証方法を設定します。たとえば、OAuth アプリケーションや API トークンを作成します。

- OAuth アプリケーションを作成する場合は、適切なスコープが有効になっていることを確認してください。アプリには、ユーザーの読み取り、ユーザーアクティビティの読み取り、ユーザーの変更または削除を行うためのスコープが必要です。これらのスコープにより、統合でユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得して、未使用のサブスクリプションを再利用できます。OAuth アプリケーションのクライアント ID とクライアントシークレットを記録します。これらの値を ServiceNow インスタンスに入力します。
- API トークンを作成する場合は、API トークンの値を記録します。この値を ServiceNow インスタンスに入力します。

必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UIでカスタム統合プロファイルを作成するオプションは非アクティブです。

手順

1. カスタム統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム統合プロファイルフォーム

フィールド	**Value** (値)
表示名	カスタム統合プロファイルの名前。 たとえば、統合する SaaS アプリケーションの名前などです。
接続と認証情報	**a.** ルックアップアイコン ( ) を選択します。 **b. [New** (新規)] を選択します。 **c.** [接続および資格情報エイリアス] フォームで、次のフィールドに入力します。 ▪ 名前:任意の名前。たとえば、 *app*_alias の場合、 *app* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。 ▪ アプリケーション:SaaS アプリケーションに接続するためのスポーク。このスポークは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。アプリケーションは、システム設定の開発者セクションで変更できます。 設定 。 ▪ タイプ: 接続と認証情報。 ▪ 接続タイプ: **HTTP**。 ▪ 複数のアクティブな接続をサポート:選択されていません。 ▪ デフォルトの再試行ポリシー: デフォルトの **HTTP** 再試行ポリシー。 ▪ 構成テンプレート:OAuth 認証コード権限許可タイプを使用している場合は、**OAuth** 認証コード。API トークンを使用している場合は、 **API** キーを使用したベーシック認証。別の認証方法を使用している場合は、構成テンプレートを作成します。詳細については、「 構成テンプレートの作成 」および「 OAuth JWT ベアラー権限許可タイプのテンプレートの構成 」を参照してください。 **d.** [**Submit** (送信)] を選択します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。オプションは [ドラフト] と [公開] です。この値は、自動的に入力されます。
プロファイルタイプ	カスタム統合。この値は、自動的に入力されます。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
4. プレビューアイコン ( ) を選択し、[レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- OAuth 認証コード構成テンプレートを使用している場合は、フィールドに入力します。

  接続と資格情報フォームを作成

フィールド	**Value** (値)
接続 URL	API のベース URL。
認証 URL	OAuth 認証コードのエンドポイントです。
トークン URL	アクセストークンを取得して更新するための OAuth エンドポイント。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイント。
OAuth リダイレクト URL	https:// *`instance.service-now.com/oauth_redirect.do`*、ここで *`instance`* はServiceNowインスタンスの名前です。
リフレッシュトークンの有効期間	**8640000**.
OAuth クライアント ID	SaaSアプリケーションアドミニストレーターまたは開発者アカウントで作成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	SaaSアプリケーションアドミニストレーターまたは開発者アカウントで作成したクライアントシークレット。
OAuth スコープ	SaaS アプリケーションアドミンまたは開発者アカウントで OAuth アプリケーションに対して有効にしたスコープ。

- API キーを使用した基本認証構成テンプレートを使用している場合は、フィールドに入力します。

  接続と資格情報フォームを作成

フィールド	**Value** (値)
接続 URL	SaaS アカウントの URL。
ユーザー名	SaaSアプリケーションアドミニストレーターまたは開発者アカウントで API トークンを作成したアドミンユーザーのメールアドレス。
API キー	SaaSアプリケーションアドミニストレーターまたは開発者アカウントで作成された API トークン。

- 別の認証方法を使用している場合、使用可能なフィールドは作成した構成テンプレートによって決まります。

6. [作成 して統合のアクセス権を付与 (Create and grant access for the integration)] を選択します。

   ヒント:
   新しいブラウザータブで SaaS アプリケーションアドミンアカウントにログインし、統合が正しいアカウントに接続されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 接続に成功すると、接続および資格情報エイリアスレコードの [接続] 関連リストに接続レコードが作成されます。
- 接続に失敗した場合は、接続の試行中に作成された接続レコード、認証情報レコード、およびアプリケーションレジストリレコードを削除する必要があります。
  a. 接続レコードを削除するには、次に移動します: 接続 **&** 認証情報 > 接続 をクリックし、SaaS アプリケーションのレコードを削除します。
  b. 認証情報レコードを削除するには、次に移動します: 接続 **&** 認証情報 > 認証情報 をクリックし、 SaaS アプリケーションのレコードを削除します。
  c. アプリケーションレジストリレコードを削除するには、次の場所に移動します システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー をクリックし、 SaaS アプリケーションのレコードを削除します。
  d. SaaSアプリケーションの接続および資格情報エイリアスレコードに戻り、「新しい接続および資格情報の作成」関連リンクを選択して、接続を再試行します。

次のタスク
ユーザーを取得するデータストリームアクションの作成SaaS関連アナリティクスを表示します
SaaS 概要ダッシュボード.

調整は、サブスクリプションでもスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

ユーザーを取得するデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーサブスクリプションのリストを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に
既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、そのスポークに、ユーザーのリストを作成する代わりに使用できるユーザーのリストを取得するデータストリームアクションがあるかどうかを確認してください。データストリームアクションの詳細については、「 データストリームアクション 」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [データストリーム] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。 たとえば、「 `ユーザーを取得` 」などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。 このスポークアプリは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. 使用している API が要求に対してユーザー認証を必要とする場合は、[アクションアウトライン] で [入力] を選択し、認証の入力を追加します。
   一般的なユーザー認証入力の例は、 アドミンユーザー ID と サイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。 API がアクセストークンを必要とする場合、 認証情報の値 変数は後で自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

   完了したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。
7. [アクションアウトライン] で [要求] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

   [要求] フォーム

フィールド	**Value** (値)
データをどのように取得しますか。	**REST** ステップまたは **SOAP** ステップのいずれかを選択します。 どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。
各要求の前にスクリプトを実行	選択されていません。

9. [アクションアウトライン] で ページネーションセットアップステップ を選択します。
10. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

    オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用してページネーション構成をプリロードします。

    注:
    予約済みの getNextPage 変数の値は、結果の別のページを要求するかどうかを決定します。getNextPage 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

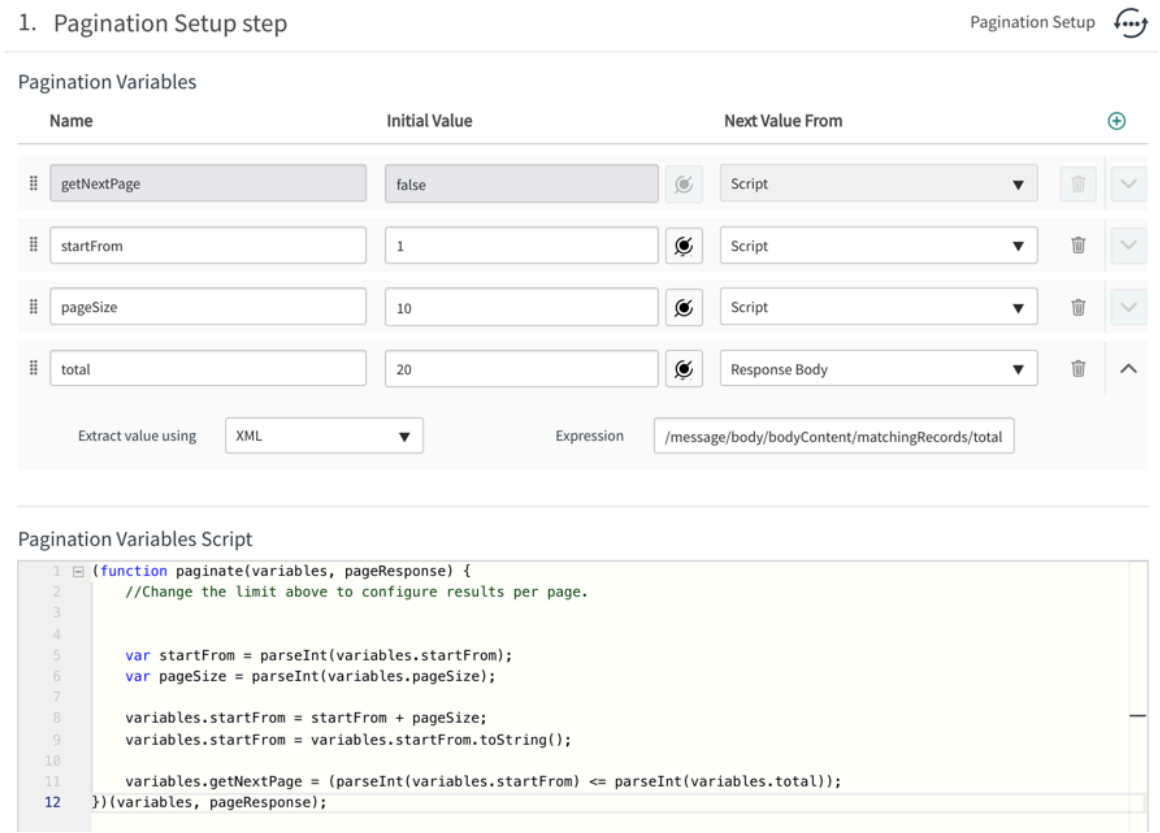
11. ページネーション変数を更新するページネーション変数スクリプトを記述します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

次の画像は、ページネーションセットアップステップの完了例を示しています。この例は、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される [ユーザーを取得] Webex データストリームアクションからのものです。



注:
ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数式演算を実行するには、値を整数に変換して必要な操作を実行し、文字列に変換する必要があります。

12. データを受信するアクションアウトラインで **SOAP** ステップ または **REST** ステップ を選択します。
    - **SOAP** ステップを選択した場合は、詳細を入力します。

SOAP ステップフォーム

フィールド	**Value** (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポ	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Value (値)
イント	この値は、エイリアスにリンクされた HTTPS 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	すべてのユーザーのリストを取得する API 要求。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択します。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージを記述する方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、ページネーションセットアップステップからすべてのユーザーと変数のリストを取得する要求を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex サブスクリプションのダウンロード」サブフローで使用される「ユーザーを取得」データストリームアクションを参照してください。

- **[REST ステップ]** を選択した場合は、詳細を入力します。

REST ステップフォーム

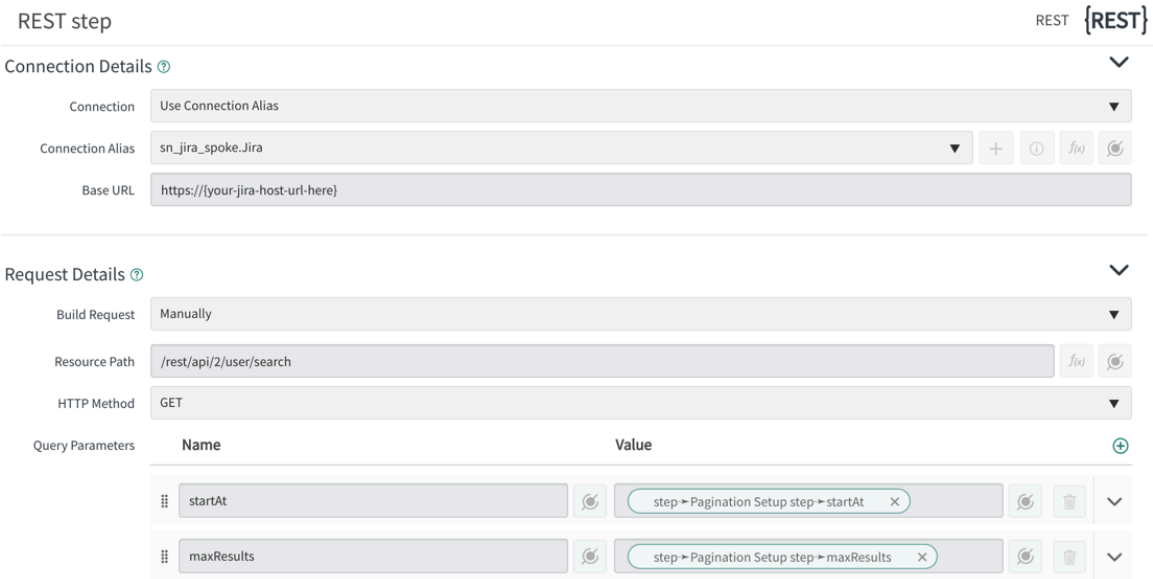
フィールド	Value (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。これは、エイリアスにリンクされている HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動。
リソースパス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスを構築する方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
クエリーパラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。ページネーションセットアップステップで作成した変数として値を設定します。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、[Jira サブスクリプションのダウンロード] サブフローで使用される [Jiraユーザーを取得] データストリームアクションからのものです。



13. [アクションアウトライン] で [解析] を選択します。

14. フォームのフィールドに入力します。

解析フォーム

フィールド	**Value** (値)
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

15. [アクションアウトライン] で [スプリッターステップ] を選択します。

16. フォームのフィールドに入力します。

スプリッターステップ

フィールド	**Value** (値)
ソースフォーマット	API 応答によって返された形式に応じて、 **XML** または **JSON** を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内のユーザー要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ○ XML アイテムパスの例: `/message/body/user` ○ JSON アイテムパスの例: `$.data.user`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

17. [Action Outline (アクションアウトライン)] で **[Outputs** (出力)] を選択します。
18. [出力の作成] を選択し、次のように変数を編集します。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	**Required** (必須)
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

19. 応答メッセージで返されたユーザーの子要素に基づいて、 *`targetObject`* の子アイテムを追加します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
 <body>
  <user>
   <userID>12345</userID>
   <email>email@email.com</email>
   <firstName>Jane</firstName>
   <lastName>Doe</lastName>
   <lastLoginTime>08/13/2019 20:08:16</lastLoginTime>
   <active>TRUE</active>
  </user>
  <user>
   ...
  </user>
 </body>
</message>
```

この応答に対して、次のように子アイテムを追加します。

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	**Required** (必須)
userID	userID	文字列	いいえ
メール	メール	文字列	いいえ
firstName	firstName	文字列	いいえ
lastName	lastName	文字列	いいえ
前回のログイン時刻	前回のログイン時刻	文字列	いいえ
アクティブ	アクティブ	True/False	いいえ

20. [アクションアウトライン] で [スクリプトパーサーステップ] を選択します。
21. 応答内のユーザー要素ごとに *`targetObject`* 出力オブジェクトを作成し、各ユーザーの子要素を *`targetObject`* 子アイテムにマップします。

パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

> **注:**
> これらの例は、ユーザー取得要求への応答に通常含まれる要素のタイプを示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントの要素名を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

XML 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
    outputs.targetObject.userID = xmlDoc.getNodeText('/user/userID');
    outputs.targetObject.email = xmlDoc.getNodeText('/user/email');
    outputs.targetObject.firstName = xmlDoc.getNodeText('/user/firstName');
    outputs.targetObject.lastName = xmlDoc.getNodeText('/user/lastName');
    outputs.targetObject.lastLoginTime = xmlDoc.getNodeText('/user/lastLoginTime');
    outputs.targetObject.active = xmlDoc.getNodeText('/user/active');
})(inputs, outputs)
```

JSON 応答を解析するサンプルスクリプト。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
    outputs.targetObject.userID = record.userID;
    outputs.targetObject.email = record.email;
    outputs.targetObject.firstName = record.firstName;
    outputs.targetObject.lastName = record.lastName;
    outputs.targetObject.lastLoginTime = record.lastLoginTime;
    outputs.targetObject.active = record.active;
})(inputs, outputs)
```

22. データストリームアクションをテストするには、 [テスト] を選択します。

a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).

b. データストリームアクションにエラーがある場合は、正しいエンドポイントを使用していること、および API 要求と応答が想定どおりに構造化されていることを確認してください。

23. データストリームアクションが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] を選択します。

次のタスク

ユーザーを取得するためのサブフローの作成.

ユーザーを取得するためのサブフローの作成

サブフローを作成して、ユーザーのリストをソフトウェアサブスクリプションテーブルに追加します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを取得するデータストリームアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーを取得するためのサブフローの例については、「 Jira サブスクリプションのダウンロード」および「 Webex サブスクリプションのダウンロード」サブフローを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.
2. 新規 を選択し、サブフロー を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サブフロープロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。 たとえば、 アプリケーション ダウンロードサブスクリプションの場合、 アプリケーションは 統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理
アクセス可能	[すべてのアプリケーションスコープ] を選択します。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なしを選択します。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. 統合プロファイル入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration プロファイル	要

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンを選択し、[アクション] を選択して新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

> **注:**
> インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データストリームアクションは、ユーザーサブスクリプションのリストに含めたくないユーザーを返す場合があります。フィルタリングを実行して一部のユーザーを除外する場合は、If フローロジックを [ユーザーを取得] データストリームアクションの子として追加します。

必要なフィルタリングの量 (ある場合) は、統合するアプリケーションによって異なります。たとえば、ユーザー targetObject に *active* プロパティがある場合は、値が **true** であることを確認する条件を追加して、サブフローが非アクティブ化されたユーザーをダウンロードしないことを確認できます。Jira のサブスクリプションのダウンロードサブフローで使用されるフィルタリングの例としては、アカウントタイプをアプリにして、サブフローが実際のユーザーではないアカウントを返さないようにすることはできません。

必要なフィルタリングの条件を If フローロジックに追加します。

- If フローロジックを使用してユーザーをフィルタリングする場合は、ソフトウェア資産管理スポークから *Upsert user subscription using subscription identifier* アクションをフローロジックの子として追加します。
- ユーザーをフィルタリングしない場合は、 *Upsert user subscription using subscription identifier* アクションをユーザー取得データストリームアクションの子として追加します。このアクションにより、 SaaS アプリケーションのユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加されます。サブスクリプションが既にテーブルにある場合、このアクションによりサブスクリプションレコードが更新されます。

10. 統合に適用可能な入力事項を入力します。

データパネルの値を使用して、アクションの入力を入力します。SaaS API への要求がすべての入力のデータを返さない場合があります。

ユーザーサブスクリプションアクションをアップサート

フィールド	**Value** (値)
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject のユーザー ID またはアカウント ID。 これは通常、人間が判読できない数値の値です。この値は一意である必要があります。
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。 メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できる必要があります。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
前回のアクティビティ	ユーザー targetObject からの最新のアクティビティの日付。たとえば、前回のログイン時刻などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Value (値)
外部作成済み	ユーザー targetObject からのアカウント作成日。 この値は、より適切な再利用候補を作成するのに役立ちます。新しいユーザーにはまだアクティビティがない可能性があります。ユーザーアカウントが作成されたことがレコードに示されている場合、そのユーザーは未使用のアカウントではなく新しいアカウントであるため、再利用候補は作成されません。
識別子	統合を識別する一意の識別子。 サブスクリプションのソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する識別子を使用して自動的に作成されます。 識別子が存在しない場合は、識別子を構成します。詳細については、「識別子の設定」を参照してください。
追加の属性	これは、以前に言及されていないソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの他のフィールドを更新するために使用されます。

11. サブフローをテストするには、[テスト] を選択します。

a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).

注:
ユーザーを取得するためのデータストリームアクションは、ユーザーの複数ページを正常に取得する必要があります。データストリームアクションがすべてのユーザーを取得することを確認するまで、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルに書き込まないでください。確認するには、データストリームを消費し、結果をログに記録するサブフローを作成します。

12. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] を選択します。

ヒント:
公開後もサブフローを編集できます。

識別子の設定

統合を識別する識別子が存在しない場合は構成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. ソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブルに製品が存在しない場合は、カスタム製品を作成します。

a. [New (新規)] を選択します。

b. form のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
パブリッシャー	カスタム製品のパブリッシャー。
製品	カスタム製品の名前。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。
製品分類	正式な UNSPSC 分類
サブスクリプションソフトウェア	製品がサブスクリプションベースの製品であることを示すオプション。
インストールを無視	製品タイプがライセンス可能であることを示すオプション。 このチェックボックスは、[製品タイプ] で [ライセンス可能] を選択し、[サブスクリプションソフトウェア] が [true] に設定されている場合にのみ表示されます。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。 このチェックボックスをオンにしないでください。
[Active (アクティブ)]	この製品が使用されているかどうかを示すオプション。

c. [**Submit** (送信)] を選択します。

2. ディスカバリーマップ [samp_custom_sw_entitlement_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタムディスカバリーマップを作成します。

a. [New (新規)] を選択します。

b. form のフィールドに入力します。

フィールド	説明
製品	現在のソフトウェア製品名。ステップ 1 で作成したカスタム製品。
バージョン条件	[バージョン] フィールドの条件修飾子: ▪ 次の値で始まる ▪ 次の値に等しい ▪ は何でも デフォルトは [は何でも] になります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	バージョン条件値が [次で始まる] か [次の値に等しい (=)] の場合は必須となります。
エディション条件	[エディション] フィールドの条件修飾子: ▪ 次の値で始まる ▪ 次の値に等しい ▪ は何でも デフォルトは [は何でも] になります。
エディション	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
プラットフォーム	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
言語	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。

c. [**Submit** (送信)] を選択します。

3. カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタムサブスクリプション製品定義を作成します。

a. [New (新規)] を選択します。

b. form のフィールドに入力します。

フィールド	説明
識別子	カスタム製品に関連付けられているサブスクリプション識別子。
サブスクリプション統合	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。 このシナリオでは、[カスタム統合] を選択します。
エンタイトルメント定義	ステップ 2 で作成したカスタムディスカバリーマップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	識別子が使用されるかどうかを示すチェックボックス。

c. [**Submit** (送信)] を選択します。

ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーアクティビティを作成する代わりに使用できるユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションがあるかどうかを確認してください。

データストリームアクションの詳細については、「データストリームアクション」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

ユーザーアクティビティを監視して、会社が支払っているが使用されていないソフトウェアサブスクリプションを見つけます。これらの未使用のサブスクリプションを再利用して、会社のソフトウェア経費を削減できます。
データストリームアクションを作成する前に、意味のあるユーザーアクティビティを定義する方法を決定します。有意義なアクティビティは、ユーザーアクションの組み合わせにすることができます。ユーザーアクティビティメトリクスごとに個別のデータストリームアクションを作成します。たとえば、ベースシステム Webex Meetings 統合では、有意義なアクティビティを会議の開催として定義します。1 つのデータストリームアクションを使用して、すべてのユーザーに対して最後にホストされた会議の日付を取得します。Webex Meetings 統合に有意義なアクティビティとしてログインを含める場合は、すべてのユーザーの最新のログイン時間を取得する 2 番目のデータストリームアクションを作成します。

ユーザーを取得するデータストリームアクションは、前回のログイン時間などのユーザーアクティビティメトリクスを返す場合があります。この場合、追加のユーザーアクティビティメトリクスを定義する場合を除き、ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションやユーザーアクティビティを取得するサブフローを作成する必要はありません。ユーザーを取得するサブフローで、このユーザーアクティビティメトリクスが [ユーザーサブスクリプションをアップサート] アクションの最後のアクティビティ入力として設定されていることを確認してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[データ ストリーム] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。たとえば、「ユーザーアクティビティの取得」などです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
アクセス可能	[すべてのアプリケーションスコープ] を選択します。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なしを選択します。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。このスポークアプリは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. [アクションアウトライン] の [入力] セクションで、[入力の作成] をクリックします。
6. 過去の検索時間の入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	要

7. 使用している API が要求に対してユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。
一般的なユーザー認証入力の例は、アドミンユーザー ID とサイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については 選択した API のドキュメントを参照してください。API がアクセストークンを必要とする場合、 認証情報の値 変数は後で自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

   完了したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。
8. [アクションアウトライン] で [要求] をクリックします。
9. フォームのフィールドに入力します。

[要求] フォーム

フィールド	**Value** (値)
データをどのように取得しますか。	**REST** ステップまたは **SOAP** ステップのいずれかを選択します。選択は、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。
各要求の前にスクリプトを実行	選択されていません。

10. [アクションアウトライン] で [ページネーションセットアップ] ステップ をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

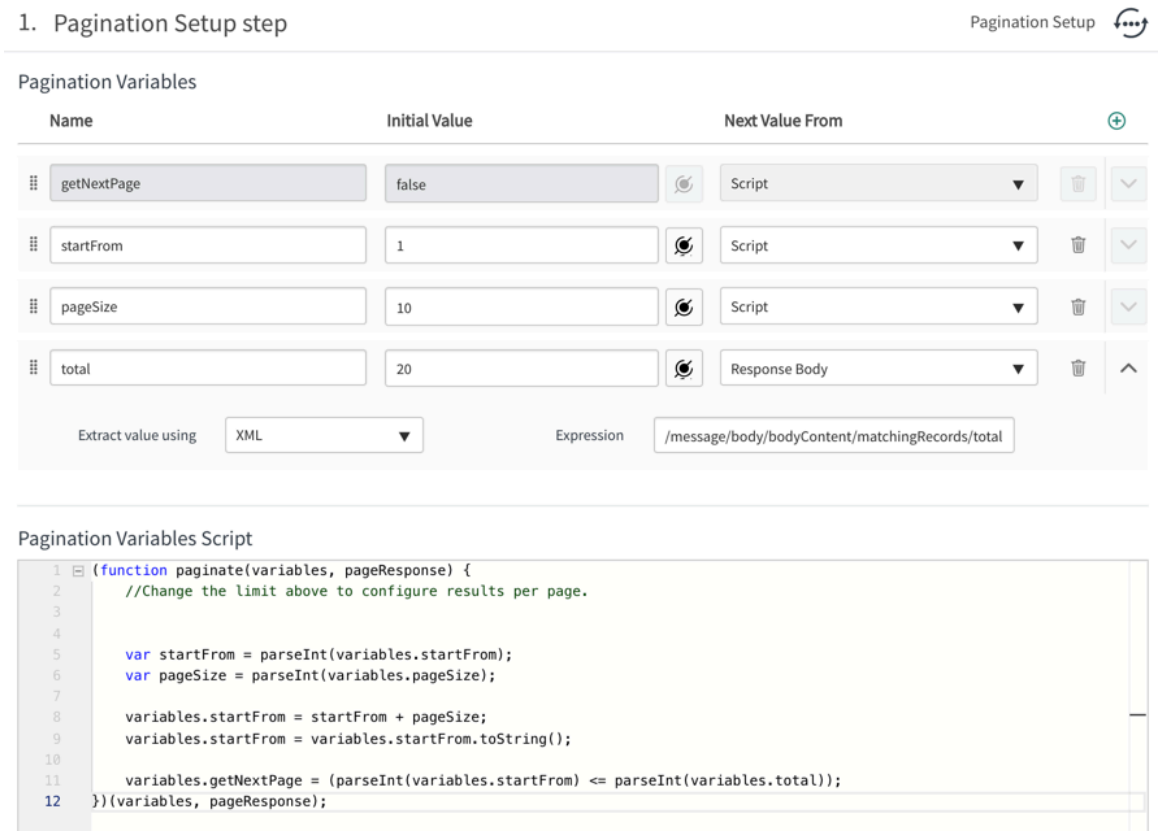
    オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用してページネーション構成をプリロードします。

    > **注:**
    > 予約済みの getNextPage 変数の値は、結果の別のページを要求するかどうかを決定します。getNextPage 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

12. ページネーション変数を更新するページネーション変数スクリプトを記述します。

    スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

    次の画像は、ページネーションセットアップ手順の完成した例を示しています。この例は、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される [ユーザーを取得] Webex データストリームアクションからのものです。



    > **注:**
    > ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数学演算を実行するには、値を整数に変換し、必要な演算を実行してから、文字列に変換します。

13. データの取得方法として選択したオプションに応じて、[アクションアウトライン] で **[SOAP** ステップ] または **[REST** ステップ] をクリックします。
14. **[SOAP]** を選択した場合は、詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP ステップフォーム

フィールド	**Value** (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。これは、エイリアスにリンクされている HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	有意義なユーザーアクティビティのリストを取得するための API 要求。たとえば、ベースシステム Webex Meetings 統合では、意味のあるユーザーアクティビティを会議の開催として定義し、 LstsummaryMeeting 要求を使用してすべての会議のリストを取得するようにします。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択します。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージを記述する方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、有意義なユーザーアクティビティのリストを取得する要求、[過去の検索時間] 入力として設定された開始日、およびページネーションセットアップステップからの変数を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex ユーザーアクティビティの更新」サブフローで使用される「ユーザーアクティビティを取得」データストリームアクションを参照してください。

15. **REST** を選択した場合は、詳細を入力します。

REST ステップフォーム

フィールド	**Value** (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。

自動翻訳

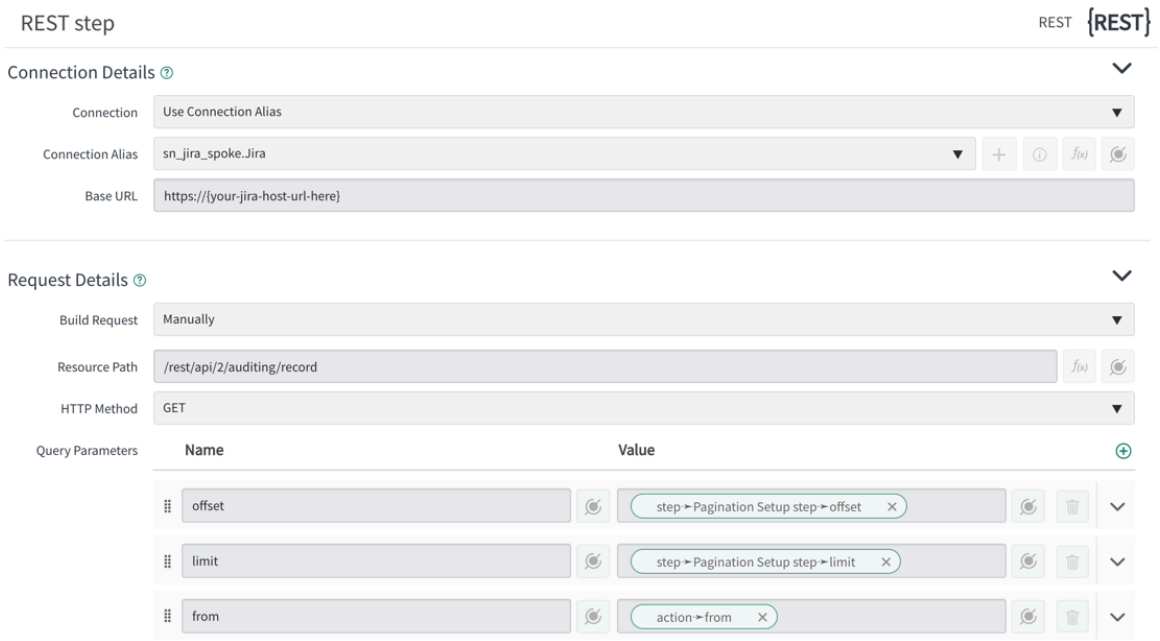
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。これは、エイリアスにリンクされている HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動。
リソースパス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API の ドキュメント を参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。
クエリーパラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。ページネーションセットアップステップで作成した変数として値を設定します。 開始日に別のパラメーターを追加して、要求が開始日から現在の日付までの結果を返すようにします。値を [過去の検索時間] 入力として設定します。 **注:** 過去の検索時間の入力日付/時刻変数が、使用している API に対して正しい形式になっていることを確認してください。文字列などの別のデータタイプに再フォーマットまたは変換する必要がある場合は、アクション前処理スクリプトステップで行うことができます。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、[ユーザーアクティビティの更新] サブフローで使用される [監査ログ Jira ストリームを取得] アクションからのものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



16. [アクションアウトライン] で [解析] をクリックします。
17. フォームのフィールドに入力します。

解析フォーム

フィールド	**Value** (値)
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

18. [アクションアウトライン] で [スプリッターステップ] をクリックします。
19. フォームのフィールドに入力します。

スプリッターステップフォーム

フィールド	**Value** (値)
ソースフォーマット	API 応答によって返された形式に応じて、 **XML** または **JSON** を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内の意味のあるアクティビティ要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ○ XML アイテムパスの例: `/message/body/meeting` ○ JSON アイテムパスの例: `$.data.meeting`

20. アクションアウトラインの [出力] をクリックします。
21. [出力の作成] をクリックし、次のように変数を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	必須
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

22. *targetObject* の子アイテムを追加して、ユーザーのメールと有意義なアクティビティの日付を保存します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
 <body>
  <meeting>
   <meetingID>12345</meetingID>
   <startDate>08/13/2019 20:08:16</startDate>
   <hostEmail>email@email.com</hostEmail>
  </meeting>
  <meeting>
   ...
  </meeting>
 </body>
</message>
```

この応答に対して、次のように子アイテムを追加します。

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	必須
メール	メール	文字列	いいえ
last_activity	last_activity	文字列	いいえ

23. [アクションアウトライン] で、[スクリプトパーサーステップ] をクリックします。
24. 応答内の意味のあるアクティビティ要素ごとに *targetObject* 出力オブジェクトを作成し、アクティビティの日付とユーザーの各メールを *targetObject* 子アイテムにマップします。

パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

> **注:**
> これらの例は、応答に含めることができる要素のタイプを示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントの要素名を使用します。

XML 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
   var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
   outputs.targetObject.email = xmlDoc.getNodeText('/meeting/hostEmail');
   outputs.targetObject.last_activity = xmlDoc.getNodeText('/meeting/startDate');
})(inputs, outputs)
```

JSON 応答を解析するサンプルスクリプト。

```
(function parse(inputs, outputs) {
   var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
   outputs.targetObject.email = record.hostEmail;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    outputs.targetObject.last_activity = record.startDate;
})(inputs, outputs)
```

25. データストリームアクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).

b. データストリームアクションにエラーがある場合は、正しいエンドポイントを使用していること、および API 要求と応答が想定どおりに構造化されていることを確認してください。

26. データストリームアクションが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローの作成

サブフローを作成して、 SaaS アプリケーションでの各ユーザーの最新のアクティビティでソフトウェアサブスクリプションテーブルを更新します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローの例については、「 Jira ユーザーアクティビティの更新」および「 Webex ユーザーアクティビティの更新」サブフローを参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

サブフロープロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。たとえば、「 アプリケーション 更新ユーザーアクティビティ」の場合、アプリケーションは 統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	**Software Asset Management - SaaS License Management** **注:** サブフローを ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 アプリケーションに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションに保存すると、 ServiceNow 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。ServiceNow Storeでカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. 統合プロファイル入力と過去の検索時間入力を追加します。

   入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration プロファイル	要
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	要

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンをクリックし、[アクション] をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

   注:
   インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームの [過去の検索時間入力] アクションに渡す値として、[過去の検索時間サブフロー] 入力を追加します。
10. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。
11. ソフトウェア資産管理スポークから*Update User Activity If Later Using User*アクションをユーザーアクティビティデータストリーム取得アクションの子として追加します。
12. [データ] パネルの値を使用して、アクションを完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[後で行う場合にユーザーアクティビティを更新] アクション

フィールド	**Value** (値)
最終アクティビティ	targetObject からの最新のアクティビティの日付。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject のユーザー ID またはアカウント ID。この ID は通常、人間が判読できない数値です。この値は一意である必要があります。
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できる必要があります。

13. 複数のデータストリームアクションを使用して複数のタイプのユーザーアクティビティを取得する場合は、手順 6 ～ 12 を繰り返して、各データストリームアクションをサブフローに追加します。
14. [テスト] をクリックしてサブフローをテストします。
    a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
    システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).
15. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
公開後もサブフローを編集できます。

ユーザーを削除するアクションの作成

SaaS アプリケーションでユーザーアカウントを非アクティブ化または削除するアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーを作成する代わりに使用できるユーザーを削除するアクションがあるかどうかを確認します。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

このアクションは、未使用のサブスクリプションを再利用して会社のソフトウェア経費を削減するために使用されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[アクション] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。たとえば、[ユーザーを削除] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。これは、既存の 統合ハブスポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. [アクションアウトライン] の [入力] セクションで、[入力の作成] をクリックします。
6. ユーザー ID 入力を追加します。

   このようにして、アクションは削除するユーザーのユーザー ID を取得します。

   入力

ラベル	名前	タイプ	必須
User ID (ユーザー ID)	userID	文字列	要

7. 使用している API が要求に対してユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。
   一般的なユーザー認証入力の例は、アドミンユーザー ID とサイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API でアクセストークンが必要な場合は、 認証情報の値 変数が後で自動的に作成されるため、入力として追加する必要はありません。

   サブフローで完了したアクションを使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

8. **SOAP** ステップまたは **REST** ステップをアクションアウトラインに追加します。
   どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
9. **[SOAP**] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

   SOAP ステップフォーム

フィールド	**Value** (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	Value (値)
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。これは、エイリアスにリンクされている HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	ユーザーを削除または非アクティブ化する API 要求。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択します。
SOAP エンベロープ	ユーザーを削除するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージを記述する方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、ユーザーを削除する要求とユーザー ID 入力を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex サブスクリプションの再利用」サブフローで使用される「ユーザーを削除」アクションを参照してください。

10. **[REST]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

フィールド	Value (値)
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルの作成時に作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って、 接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。これは、エイリアスにリンクされている HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
リソースパス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスを構築する方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	削除。
クエリーパラメーター	ユーザー ID のパラメーターを追加します。ユーザー ID 入力として値を設定します。

11. エラー処理のために スクリプトステップ をアクションアウトラインに追加します。

    a. [必須ランタイム] フィールドで [インスタンス] を選択します。

    b. 入力変数を作成します。

    Input Variables (入力変数)

名前	**Value** (値)
応答	SOAP または REST ステップからの応答本文出力
status_code	SOAP または REST ステップからのステータスコード出力

    c. 出力変数を作成します。

    出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
ステータス	ステータス	選択肢	要
error_message	error_message	文字列	要

    d. [スクリプト] フィールドに、ステータスとエラーメッセージの出力に値を割り当てるスクリプトを記述します。

    - **status_code**入力を使用して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーがある場合はステータス出力を [エラー] に設定し、エラーがない場合は [成功] に設定します。
    - エラーが発生した場合は、 応答 入力を使用してエラーの種類に関する情報を取得します。エラーメッセージ 出力を エラーの説明に設定して、ユーザーが何が問題だったのかを理解できるようにします。

12. [アクションアウトライン] で、[出力] をクリックします。
13. 出力変数を作成します。

    出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
ステータス	ステータス	選択肢	いいえ
エラーメッセージ	error_message	文字列	いいえ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

14. 出力変数に値を割り当てます。

出力変数

ラベル	**Value** (値)
ステータス	スクリプトステップのステータス出力変数
エラーメッセージ	スクリプトステップの出力変数**error_message**

15. アクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).

b. アクションにエラーがある場合は、正しいエンドポイントを使用していること、および API 要求が想定どおりに構造化されていることを確認してください。

注:
テストするときは、このアクションによってユーザーが非アクティブ化されることに注意してください。準本番環境でこのアクションをテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

16. アクションが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーを再利用するサブフローの作成

ユーザーサブスクリプションを再利用するためのサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーを削除するアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを削除するアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーを再利用するサブフローの例については、「 Jira サブスクリプションの再利用」および「 Webex サブスクリプションの再利用」サブフローを参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Flow Designer** (フローデザイナー) > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

サブフロープロパティフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	任意の名前。たとえば、「 アプリケーション 再利用サブスクリプション」の場合、 アプリケーションは 統合する SaaS アプリケーションの名前です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
アプリケーション	ソフトウェア資産管理 - **SaaS** ライセンス管理統合。 **注:** ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合アプリケーションにサブフローを保存すると、ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションに保存すると、 ServiceNow 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。ServiceNow Storeでカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	任意の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. 統合プロファイル入力とユーザーサブスクリプション入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration プロファイル	要
ユーザーサブスクリプション	user_subscription	Reference.Software サブスクリプション	要

5. エラーメッセージ出力とステータス出力を追加します。

出力

ラベル	名前	タイプ
エラーメッセージ	error_message	文字列
ステータス	status	文字列

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンをクリックし、[アクション] をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストで、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを削除するには、アクションを選択します。

   a. ユーザー **ID** 入力として渡す値を定義します。
   使用する値は使用する API によって異なりますが、通常は、このサブフローの [ユーザーサブスクリプション] 入力の [外部ユーザー **ID**] または [ユーザープリンシパル名] フィールドになります。

   b. アクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

9. [ユーザーを削除] アクションでエラーが返されるかどうかを確認するには、If フローロジックを追加します。
10. 子フローロジックを追加してサブフロー出力を割り当てます。

サブフロー出力のアサイン

[Name (名前)]	データ
エラーメッセージ	[ユーザーを削除] アクションからのエラーメッセージ出力
ステータス	失敗

11. [ユーザーを削除] アクションでエラーが返されない場合は、If ロジックと同じレベルで Else フローロジックを追加します。
12. 子フローロジックを追加してサブフロー出力を割り当てます。

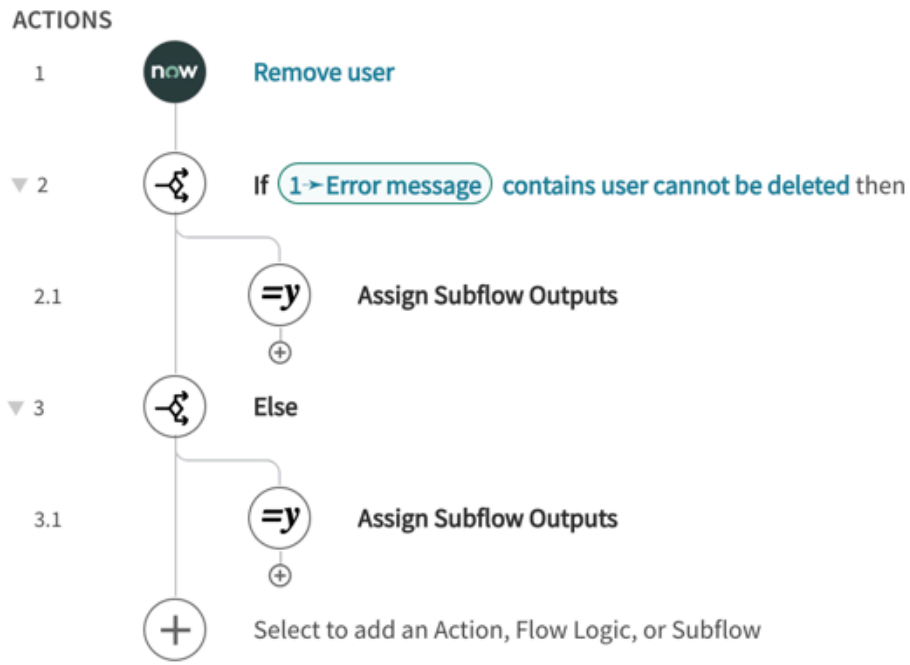
サブフロー出力のアサイン

[Name (名前)]	データ
ステータス	正常終了

次の画像は、ユーザーサブスクリプションを再利用するためのサブフローの完成した例を示しています。表示されている例は、「 Webex サブスクリプションの再利用」サブフローです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



13. サブフローをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. テスト結果とシステムログを表示して、エラーの詳細を確認します。
システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて).

> **注:**
> テストするときは、このサブフローによってユーザーが非アクティブ化されることに注意してください。このサブフローを準本番環境でテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

14. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

> **ヒント:**
> 公開後もサブフローを編集できます。

ライセンス消費を取得するためのサブフローの作成

サブフローを作成して、ライセンス消費データを サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary] テーブルに追加します。

始める前に

このサブフローは、カスタム統合を含む、 SaaS ライセンス接続フレームワークを使用するすべての統合に適用されます。

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
フローデザイナーが新しいタブで起動します。

2. フローデザイナーのホームページで、[新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。
[サブフローのプロパティ] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[サブフローのプロパティ] ダイアログボックス

フィールド	**Value** (値)
サブフロー名	サブフローの名前。たとえば、[Download License Consumption] などです。
説明	サブフローの説明。
アプリケーション	サブフローを適用するアプリケーションスコープ。このフィールドを [ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理統合] に設定します。 **注:** サブフローをソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合アプリケーションスコープに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれ ® ます。他のアプリケーションスコープにサブフローを保存すると、 ServiceNow 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。ServiceNow Storeでカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリケーションスコープを選択します。
アクセス可能	サブフローにアクセスできるアプリケーションスコープ。このフィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
カテゴリ	サブフローカテゴリ。このフィールドは空のままにします。
保護	サブフローの読み取り専用保護。このフィールドを [なし] に設定します。
サブロー注釈	サブフローピッカーのサブフロータイトルの下に表示されるメッセージ。このフィールドは空のままにします。
実行方法	フローをシステムユーザーとして実行するか、セッションを開始するユーザーとして実行するかを指定するオプション。このフィールドを [セッションを開始するユーザー] に設定します。
ロールを使用して実行	このサブフローを実行するロール。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
フローデザイナーによってドラフトサブフローが作成され、サブフロー設定ページにリダイレクトされます。
5. サブフロー構成ページから、統合プロファイル入力を追加します。
   a. [入力] および [出力] で、プラスアイコン (+) をクリックして、サブフローの入力を追加します。
   b. [入力] セクションで、プラスアイコン (+) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. プロンプトが表示されたら、統合プロファイルの入力について次の情報を入力します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration プロファイル	要

d. [完了] をクリックします。

6. ライセンス消費データを取得するためのデータストリームアクションを追加します。
   a. [アクション] で、プラスアイコン (+) をクリックし、[アクション] を選択して新しいアクションを追加します。
   b. プロンプトが表示されたら、[インストールされたスポーク] のリストから グローバル スポークを選択します。
   c. [デフォルトアクション] のリストから、[**<saas-application>** 消費の取得] を選択します。
   d. [完了] をクリックします。
7. 消費をアップサートアクションを <saas-application> 消費を取得アクションの子として追加します。
   消費をアップサートアクションは、ライセンス消費データを ServiceNow インスタンスの消費サマリーテーブルにアップロードします。
   a. 「<saas-application>消費を取得」アクションで、プラスアイコン(+)をクリックし、「 アクション」を選択します。
   b. プロンプトが表示されたら、[インストールされたスポーク] のリストから [ソフトウェア資産管理] を選択します。
   c. [デフォルトアクション] のリストから、[消費をアップサート] を選択します。
   [消費をアップサート] アクションの入力が表示されます。
   d. 製品 [ソフトウェア製品] リストから、統合で接続しているソフトウェア製品を検索して選択します。
   この値は、ソフトウェア製品 (samp_sw_product) テーブルへの参照である必要があります。製品がテーブルに存在しない場合は、 カスタムソフトウェア製品を追加します。
   e. [データ] パネルの値を使用して、残りのアクション入力を入力します。
   SaaS API への要求がすべての入力のデータを返さない場合があります。統合に適用可能な入力事項を入力します。

消費アクション入力をアップサート

フィールド	**Value** (値)
バージョン	SaaSアプリケーションのバージョン。
エディション	Standard または Enterprise などの SaaS アプリケーションのエディション。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
合計ユニット	ソフトウェア製品のすべてのアクティブなエンタイトルメントで購入したソフトウェアユニットの合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの合計数。
契約開始	契約の開始日。
契約終了	契約の終了日。

f. [完了] をクリックします。

8. [テスト] をクリックして、サブフローが正しく機能していることを確認します。
テスト結果とシステムログを表示して、サブフローのエラーに関する詳細を確認します。システムログを表示するには、次に移動します: システムログ > システムログ > **All** (すべて) ServiceNowインスタンスで。

9. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
公開後もサブフローを編集できます。

次のタスク
SaaS アプリケーションのサブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンスなどのアナリティクスを SaaS 概要 ワークスペースのダッシュボードで表示します。

カスタム統合プロファイルの公開

カスタム統合プロファイルを公開して、カスタム統合を完了します。

始める前に
統合プロファイルに追加する前に、すべてのアクションとサブフローが ServiceNow® ワークフロースタジオ で公開されていることを確認してください。

必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > すべての統合プロファイル をクリックし、作成したカスタム統合プロファイルを選択します。

2. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションのダウンロード] サブフローを選択します。

3. [公開] をクリックします。
SaaS アプリケーションのソフトウェアモデルが自動的に作成されます。SaaS アプリケーションのユーザーサブスクリプションをソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加する、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローをすぐに実行するようにスケジュール済みジョブが作成されます。

4. [アクティビティサブフローを計算] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [ユーザーアクティビティを更新] サブフローを選択します。

注:
ユーザーサブスクリプションを取得するスケジュール済みジョブは、[ユーザーアクティビティの更新] サブフローを追加する前に終了する必要があります。

5. [ユーザーアクティビティの分析元] フィールドの値を選択します。
データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを確認できるため、リアルタ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果を表示できるようになるまでに数時間かかる場合があります。

この値は、ユーザーアクティビティを取得するサブフローの 過去の検索時間 入力として渡されます。

6. [サブスクリプションの再利用サブフロー] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションの再利用] サブフローを選択します。
7. **[Save** (保存)] をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、再利用ルールと古いユーザー再利用候補が自動的に作成されます。ユーザーサブスクリプションと再利用候補は毎日更新されます。

自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認して、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認することが重要です。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。詳細については、「クラシック ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

カスタム統合のためのストアアプリの作成

カスタム統合アプリケーションを ServiceNow Store で公開して、他のユーザーが使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
他のユーザーが ServiceNow Storeからダウンロードしたときにカスタム統合が正しく機能するように、次の手順を完了する必要があります。

手順
1. カスタム統合アプリケーションで修正スクリプトを作成します。
   アプリケーションを使用して新しい統合プロファイルが作成されると、作成したサブフローと接続エイリアスが、この修正スクリプトによってプロファイルに自動的にリンクされます。

   a. 次のように移動する。 システムアプリケーション > スタジオ.

   b. カスタム統合アプリケーションを選択します。

   c. [Studio へようこそ] ページで、[**+** 新規作成] をクリックします。
      [アプリケーションファイルを作成] ダイアログボックスが開きます。

   d. ダイアログボックスで、[修復スクリプト] を検索して選択します。

   e. [作成] をクリックします。

   f. [修正スクリプト] フォームで、次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修正スクリプトフォーム

フィールド	値
[Name (名前)]	修正スクリプトの名前。例:カスタム統合修正スクリプト。
読み込み不能	修正スクリプトの実行時に顧客アップデート [sys_update_xml] レコードを作成するオプション。このオプションは選択しないでください。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
前	アプリケーションをインストールまたはアップグレードする前に修正スクリプトを実行できるようにするオプション。このオプションは選択しないでください。
説明	修正スクリプトの説明。

g. [スクリプト] フィールドに次のスクリプトを入力します。
サブフローと接続エイリアスについて、例の ID を実際の ID に置き換えます。ID は各アイテムの URL で確認できます。

```
new global.CustomIntegrationProfileUtils().createCustomIntegration({
 name: 'Name', // choose a name for the integration
 downloadSubscriptionSubflow: '3a23e189a1400010fa9bed1383c83d38', //replace example id
 updateActivitySubflow: '77a66d23e5500010fa9bc9581d0c0f47', //replace example id
 reclamationSubflow: 'e62b672e39400010fa9b4845e477fe02', //replace example id
 connectionAlias: '629ad2bfdb1893005963ff041d961971' //replace example id
});
```

注:
更新アクティビティと再利用サブフローは必須ではありません。アクティビティを更新するためのサブフローを含めない場合、サブスクリプションのダウンロードサブフローにユーザーアクティビティが含まれていない限り、統合はユーザーアクティビティを取得しません。再利用サブフローを含めない場合、統合は SaaS ユーザーサブスクリプションを非アクティブ化できません。

h. [**Submit** (送信)] を選択します。

2. クロススコープ特権レコードを作成します。
このレコードにより、作成した修正スクリプトが CustomIntegrationProfileUtils() スクリプトインクルードにアクセスできるようになります。

a. 次のように移動する。 システムアプリケーション > アプリケーションのクロススコープアクセス.

b. [**New**] をクリックします。

c. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クロススコープ権限

フィールド	値
ソーススコープ	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。 別のアプリケーションを選択するには、ServiceNow インスタンスのバナーフレームにある [設定]) アイコンをクリックします。[システム設定] ダイアログ ボックスで、[開発者] タブを選択し、[アプリケーション] ドロップダウン リストからアプリケーションを選択します。
ターゲットスコープ	リソースの要求元のアプリケーション。検索) をクリックし、 グローバル アプリケーションを見つけて選択します。
ターゲット名	スクリプトインクルードの名前です。このフィールドを CustomIntegrationProfileUtils に設定します。
ターゲットタイプ	要求のタイプ。[スクリプトインクルード] を選択します。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
操作	スクリプトがターゲットスコープに対して実行する操作。**[API** の実行] を選択します。
ステータス	このクロススコープ特権レコードの認証。[許可] を選択します。

d. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
カスタム統合アプリケーションを ServiceNow Storeで公開する前に、アクションとサブフローがアクティブで、公開されていて、アプリケーションに保存されていることを確認してください。

SaaS および SSO サブスクリプションの表示

SaaS およびシングルサインオン (SSO) アプリケーションのすべてのサブスクリプションのリストを表示します。

重要:
SaaS と SSO のサブスクリプションは、ソフトウェア資産管理 コア UI と ソフトウェア資産ワークスペース の両方で表示できます。このトピックでは、 ソフトウェア資産管理 コア UI アプリケーションでのサブスクリプションの表示について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでサブスクリプションを表示する方法の詳細については、「SaaS 概要 ワークスペースのダッシュボード」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべての SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプションを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.

ソフトウェアサブスクリプションリスト

列	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションの直接統合プロファイル。サブスクリプションが SSO 統合からのものである場合、このフィールドは空です。
サブスクリプションタイプ	サブスクリプションをソフトウェアサブスクリプションまたは SSO サブスクリプションとして分類します。

注:
[サブスクリプションがアサインされました] 列を追加して、ユーザーにアプリへのアクセス権が付与された日付を表示できます。SSO サブスクリプションで、ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリにアクセスできる場合、このフィールドは空です。

ソフトウェアモデルの [ソフトウェアサブスクリプション] 関連リストで、アプリケーションのすべてのサブスクリプションを表示することもできます。

SSO サブスクリプション情報の表示

SSO 統合に関連付けられているシングルサインオン (SSO) アプリケーション、SSO ユーザー、および SSO グループに関する情報を表示できます。

重要:
SSO アプリケーション、ユーザー、およびグループに関する情報は、 ソフトウェア資産管理コア UI と ソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。次のセクションでは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでこの情報を表示する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでこの情報を表示する方法の詳細については、「ライセンス操作ビュー」を参照してください。

SSO データ連携情報の表示

SSO 統合のアプリケーション、ユーザー、およびグループを表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > **SSO** データ連携プロファイル をクリックし、プロファイルを選択します。関連リストは、統合に関する情報を提供します。

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト

リスト	説明
SSO アプリケーション	すべての SSO アプリケーション。
ディレクトリユーザー	すべての SSO ユーザー。
ディレクトリグループ	すべての SSO グループ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト (続く)

リスト	説明
スケジュール済みジョブ	*SAM - SSO <sso-provider> download applications* すべての SSO アプリをダウンロードするスケジュール済みジョブ。このジョブは、SSO データ連携プロファイルが公開されると実行され、その後毎日実行されます。 *SAM - SSO <sso-provider> update connected applications*スケジュール済みジョブは、SSO アプリのユーザー、グループ、サブスクリプションをダウンロードします。ジョブは毎日実行され、アプリが接続されるたびに実行されます。
スケジュール済みジョブの結果	スケジュール済みジョブのステータス。
ディレクトのリジョブ	すべてのユーザーのグループメンバーシップをダウンロードする *<sso-provider> - Download Group Membership* ディレクトリジョブ。このジョブは、SSO データ連携プロファイルが公開されると実行され、その後毎日実行されます。 *<sso-provider> - Download Users*ディレクトリジョブは、すべてのユーザーをダウンロードします。このジョブは、SSO データ連携プロファイルが公開されると実行され、その後毎日実行されます。 *<sso-provider> - Download Groups*ディレクトリジョブは、すべてのユーザーのすべてのグループをダウンロードします。このジョブは、SSO データ連携プロファイルが公開されると実行され、その後毎日実行されます。 **注:** Entra ID スポーク 4.3 バージョンにアップグレードするMicrosoft、既存の Microsoft Entra ID SSO またはディレクトリ統合に対して*Microsoft Azure AD - Download Group Membership*ディレクトリジョブが実行されなくなります。このディレクトリジョブは、新しい Microsoft Entra ID SSO またはディレクトリ統合用にも作成されません。代わりに、*Microsoft Azure AD - Download Groups* ディレクトリジョブは、Microsoft Entra ID で構成されているすべてのグループとグループメンバーシップをダウンロードします。
ディレクトのリジョブ結果	ディレクトリジョブのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO アプリケーション情報の表示

アプリケーションのユーザー、グループ、および再利用候補を表示するには、次に移動します: **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション をクリックし、アプリケーションを選択します。関連リストには、アプリケーションの情報が表示されます。ソフトウェア資産ワークスペースで SSO アプリケーション情報を表示するには、「ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示」を参照してください。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介してはアクセスできないすべてのユーザー。
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスと、グループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、[SSO サブスクリプション] リストには 1 つのレコードのみとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO アプリケーション (続く)

リスト	説明
	注: • **SSO** アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権を付与する方法を確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザーの名前である場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションを ソフトウェア資産管理 再利用することはできません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 • SSO サブスクリプションが SSO アプリケーショングループを介して作成された場合、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空です。SSO アプリケーションユーザーを介してサブスクリプションが作成される場合、[サブスクリプションがアサイン されました] の値には、サブスクリプションがユーザーにアサインされた日付が表示されます。ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードすると、SSO アプリケーショングループで作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプションアサイン値は空になります。
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

SSO プロバイダーとのデータ同期

Azure AD ポータルまたは Okta 開発者コンソールでユーザー、グループ、またはアプリを削除すると、日次スケジュール済みジョブの実行時に、 ソフトウェア資産管理 内の対応するレコードが削除されます。Azure AD ポータルまたは Okta 開発者コンソールでアプリケーションへのユーザーのアクセス権を、グループから削除して直接的または間接的に取り消すと、対応するユーザーサブスクリプションレコードは、日次スケジュール済みジョブの実行時に削除されます。

ソフトウェア再利用ルールのレビュー

再利用ルールを使用して、アクティビティがない、またはまったくないユーザーサブスクリプションをキャンセルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
直接統合プロファイルを作成するか、SSO アプリケーションに接続すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認することが重要です。各アプリケーションの再利用ルールの詳細については、「 再利用のルール 」および「 Microsoft 365 統合のための再利用ルール」を参照してください。

SSO サブスクリプションの場合、再利用ルールはユーザーログインをチェックします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 再利用ルール をクリックし、統合プロファイルに対応する再利用ルールを選択します。
2. フォームのフィールドを確認します。

再利用ルールフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。
追加のディスカバリーソースからの使用状況を含める	このフィールドは、 Microsoft 365 および Office 365 の再利用ルールを確認している場合にのみ表示されます。詳細については、「Microsoft 365 統合のための再利用ルール」を参照してください。 選択すると、E3 から E1 への最適化のための Microsoft SCCM や ACC-V などの追加のディスカバリーソリューションからの Microsoft Access と Publisher の使用状況が考慮されます。
ユーザーへの通知	ユーザーがアカウントの維持要求で応答しない限り、アカウントが再利用されることをメールでユーザーに通知するためのオプション。ユーザーがライセンスを保持したい場合、ライセンスの削除を承認または却下するのはマネージャーの責任になります。
自動再利用までの日数	指定された日数内にユーザーからの応答がない場合、アカウントは再利用されます。 **注:** このフィールドは、[ユーザーに通知] が選択されている場合に表示されます。
サブスクリプション使用条件	
前回のアクティビティしきい値	ユーザーアカウントが再利用候補リストに追加されるまでの、意味のあるアクティビティがない場合の時間制限。デフォルト値は、直接統合の場合は 60 日、SSO アプリケーションの場合は 30 日です。

3. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
再利用ルールによって特定された再利用候補を表示し、ユーザーサブスクリプションの再利用を開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

SaaS アプリケーションとの統合

再利用のルール

Microsoft 365 統合のための再利用ルール

ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減できます。

ユーザーサブスクリプションを再利用するプロセスは、 ServiceNow® ソフトウェア資産管理 でソフトウェアライセンスを再利用するプロセスと似ています。ユーザーサブスクリプションは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で再利用できます。

ユーザーサブスクリプションを再利用する場合は、次の削除候補状況を使用して、関連する削除候補のステータスを判断できます。

削除候補の状況

ステータス	説明
要確認	削除候補には注意が必要です。 [ユーザーに通知] オプションが有効になっている自動削除候補で [ユーザー] フィールドが空の場合、ステータスは [要注意] に設定されます。[ユーザー] フィールドに値が入力されると、ステータスは自動的に [準備完了] に変わります。 再利用に失敗した場合に、ステータスを [要注意] に設定することもできます。エラーを解決すると、ステータスは自動的に [準備完了] に変わります。
準備完了	削除候補を再利用する準備ができました。[再利用] をクリックして、再利用ワークフローを進めます。
ユーザー待ち	削除要求を承認または拒否するためのメール通知がユーザーに送信されました。このステータスは、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
承認待ち	ユーザーは削除要求を承認または拒否する必要があります。ユーザーがサブスクリプションを維持したい場合は、マネージャーが削除の承認または拒否の責任を負います。このステータスは、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
失効待ち	削除候補は再利用を待っています。 [完了してクローズ] をクリックすると、削除候補のユーザーサブスクリプションを手動で再利用できます。または、週次スケジュール済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補の状況 (続く)

ステータス	説明
	ジョブ「 **SAM -** 既存の再利用候補の更新」 を使用してユーザーサブスクリプションを再利用することもできます。スケジュール済みジョブが実行されると、[失効待ち] ステータスで [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空の削除候補は、[完了してクローズ] ステータスに自動的に更新されます。 他のステータスにある削除候補の [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空の場合、再利用ワークフローはキャンセルされ、ステータスは自動的に [スキップしてクローズ] に変わります。 ソフトウェアが制限されている削除候補のステータスは、自動的に [失効待ち] に設定されます。理由は [制限付きソフトウェア] に設定されています。
完了してクローズ	ユーザーサブスクリプションが再利用されました。
スキップしてクローズ	ユーザーサブスクリプションは削除候補によって再利用されていません。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されたため、ユーザーサブスクリプションは削除候補によって再利用されていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
アカウントが再利用されたときにユーザーがファイルにアクセスできなくなることがないようにします。再利用ルールで [ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっていない限り、ユーザーはアカウントの再利用を停止することはできません。

- Adobe Workfrontアカウントを再利用すると、Workfrontアプリケーションへのユーザーのアクセス権が削除されます。ユーザーはサインインを許可されなくなります。
- Aha!アカウントを再利用すると、アカウントが無効になり、Aha!ポータルにログインできなくなります。
- Asanaアカウントを再利用すると、ユーザーアカウントが削除されます。ユーザーは、Asana プロジェクトまたはワークスペースにアクセスできなくなります。ユーザーが作成したコンテンツには引き続き他のユーザーがアクセスでき、アドミニストレーターは Asana ダッシュボードからタスクを再アサインできます。
- Boxアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した Box アドミンアカウントのフォルダーに移動されます。
- Calendlyアカウントを再利用すると、そのアカウントが組織から削除されます。
- Cisco Webexサブスクリプションを再利用すると、特定の製品へのユーザーのアクセス権が削除されます。ユーザーは、他のすべての Cisco Webex 製品と割り当てられた無料ライセンスに引き続きアクセスできます。
- Confluence Cloudアカウントを再利用すると、関連付けられているすべての Confluence グループからユーザーが削除されます。ユーザーは Confluence サイトにアクセスできなくなりましたが、他のユーザーは作成したすべてのコンテンツに引き続きアクセスできます。
- Dropboxアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した Dropbox アドミンアカウントのフォルダーに移動されます。作成されたフォルダーの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。
- DocuSignアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。DocuSignアドミンは、DocuSign アドミンポータルからユーザーのファイルにアクセスできます。
- Google Workspaceアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、 Google ドライブから統合を認証した Google Workspace アドミンアカウントのフォルダーに移動されます。作成されたフォルダーの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。アカウントが再利用されると、すべてのメール メッセージが削除されます。メール メッセージを転送するには、アカウントを再利用する前に Google データ移行サービスを使用します。
- GitHub Enterprise Server アカウントを再利用すると、アカウントが一時停止されます。ユーザーが作成したすべての問題、コメント、リポジトリ、Gist、およびその他のデータは保持されます。

  GitHub Enterprise Cloud アカウントを再利用すると、すべてのエンタープライズ組織からアカウントが削除されます。再利用から 3 か月以内にユーザメンバーシップを復元すると、Organization リポジトリのプライベートフォークへのユーザのアクセス権が復元されます。
- GoToユーザーアカウントから製品ライセンスを再利用すると、その製品へのユーザーのアクセス権が削除されます。ライセンスがないと、ユーザーは製品にサインインできません。ユーザーアカウントからすべての製品ライセンスを再利用すると、アカウントは自動的に一時停止されます。停止中のユーザーはアカウントに残りますが、どの製品にもログインできません。
- Jiraアカウントを再利用すると、関連付けられているすべてのJiraグループからユーザーが削除されます。ユーザーは Jira サイトにアクセスできなくなりますが、他のユーザーは作成したすべてのコンテンツに引き続きアクセスできます。
- Lookerアカウントを再利用すると、Lookerへのユーザーのアクセス権が失われます。アクティブなアカウントがないと、ユーザーは Looker ポータルにサインインできません。ユーザーの使用履歴と個人コンテンツは保持されます。
- Microsoft Entra ID SSO アプリケーションサブスクリプションを再利用すると、アプリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、および ServiceNow アプリケーション名は、米国および/または他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理クラシック版でユーザーサブスクリプションを再利用する

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します。

始める前に
必要なロール：sam_user

重要:
SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkeyアドミンポータルを使用して、SurveyMonkeyチームから直接ユーザーを再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版ソフトウェア資産管理 SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

重要:
SaaS ライセンス管理 monday.com 統合は、Now Platform による再利用をサポートしていません。monday.comユーザーサブスクリプションを再利用するには、monday.comアカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版ソフトウェア資産管理 monday.comユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

重要:
SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合は、Now Platform による再利用をサポートしていません。Roadmunkユーザーサブスクリプションを再利用するには、Roadmunkアカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版ソフトウェア資産管理 Roadmunkユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > 削除候補 > 再利用候補.
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でソフトウェア削除候補を追加するを参照してください。
3. ユーザーサブスクリプションを再利用します。
   - すべてのユーザーサブスクリプションを再利用するには、[すべて再利用] をクリックします。

     注:
     すべてのユーザーサブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でも、サブスクリプションが必要な場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 一連のユーザーサブスクリプションを再利用するには、検索フィルター条件を指定し、[すべて再利用] をクリックします。例えば、検索リストから「製品」を選択し、「*InDesign」と入力すると、Adobe InDesign のすべてのユーザーサブスクリプションを再利用できます。

- 個々のユーザーサブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームで [再利用] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスは [完了してクローズ] に設定されます。再利用に失敗した場合、ステータスは [要注意] に設定されます。画面上部にエラーメッセージが表示され、エラーの解決方法の詳細が示されます。

クラシック版ソフトウェア資産管理**SurveyMonkey**ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の SurveyMonkey サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 が SurveyMonkey 統合の削除候補を作成したら、関連付けられたユーザーをSurveyMonkeyチームから直接削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

手順

1. SurveyMonkey統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

   b. [統合プロファイル] リストから SurveyMonkey 統合プロファイルを選択します。

   c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

   d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。後で使用するためにこの情報を保存します。

2. 関連付けられたユーザーを SurveyMonkey チームから削除します。
   ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、関連付けられたユーザーをSurveyMonkeyチームから再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. Webブラウザから SurveyMonkey を開きます。

b. アドミン認証情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーションメニューで、[ユーザーの管理] を選択します。
[ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチームのユーザーの完全なリストを確認できます。

d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。
関連付けられたユーザー名に基づいて、削除するユーザーを特定できます。ユーザー名は、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応します。

e. プロンプトが表示されたら、[アカウントを再アサイン] または [アカウントを削除] を選択します。
[アカウントを再アサイン] を選択して、ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動します。[アカウントを削除] を選択して、ユーザーを完全に非アクティブ化します。

f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから SurveyMonkey 統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェア モデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、手順 2 でSurveyMonkeyチームから削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、自動的に [ソフトウェアモデル] フォームに戻ります。

g. SurveyMonkeyチームから削除した各ユーザーについて、手順 d から f を繰り返します。

クラシック版ソフトウェア資産管理**monday.com**ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の monday.com サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
monday.com 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 monday.com 統合では、Now Platformによる再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 がmonday.com統合の削除候補を作成したら、monday.com アカウントで関連付けられたユーザーを非アクティブにすることで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

手順

1. monday.com統合の削除候補を特定します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから monday.com 統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。後で使用するためにこの情報を保存します。

2. monday.comアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、monday.comアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

b. アドミン認証情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーションメニューの下部にあるプロファイルアイコンを選択し、[アドミン] を選択します。
[アドミン] セクションが開きます。

d. [管理] セクションで、[ユーザー] を選択します。
[ユーザー] サブセクションの [ユーザー] タブが開きます。このタブには、 monday.com アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) を選択します。
関連付けられたユーザー名またはメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを特定できます。ユーザー名またはメールアドレスは、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応します。

f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーを非アクティブ化] を選択します。

g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。
   a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > 直接統合プロファイル.
   b. [統合プロファイル] リストから monday.com 統合プロファイルを選択します。
   c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。
   d. [ソフトウェア モデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。
   e. 利用可能な削除候補のリストから、 手順 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。
   f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] を選択して削除候補のステータスを更新します。
   g. [削除候補] タブを閉じます。
4. monday.comポータルからのユーザーの削除を確認します。
   a. *Refresh Monday.com subscriptions* スケジュール済みジョブを実行します。
   b. ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルでユーザーの削除を確認します。

クラシック版ソフトウェア資産管理**Roadmunk**ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の Roadmunk サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 がRoadmunk統合の削除候補を作成したら、Roadmunk アカウントで関連付けられたユーザーを非アクティブにすることで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

手順

1. Roadmunk統合の削除候補を特定します。
   a. ServiceNowインスタンスから、 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.
   b. [統合プロファイル] リストから Roadmunk 統合プロファイルを選択します。
   c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。
   d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存します。

2. Roadmunkアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、Roadmunkアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
Roadmunk ダッシュボードが開きます。

c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
アカウント設定が開きます。

d. アカウント設定のページ ヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
このタブには、協力者、レビュー担当者、非アクティブなユーザーなど、 Roadmunk アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。
各ユーザーに関連付けられているメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを決定できます。メールアドレスは、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応しています。

f. **[Save** (保存)] をクリックします。

ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブユーザーのリストに追加されます。

注:
デフォルトでは、ServiceNow SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合内の Roadmunk Download Subscriptions サブフローは、アクティブユーザーと非アクティブユーザーの両方を含む、Roadmunk アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードします。アカウントのアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、Roadmunkユーザーレポートをダウンロードして、ServiceNowインスタンスのRoadmunk統合プロファイルに添付する必要があります。詳細な手順については、 Roadmunk 統合プロファイルの作成 のステップ 7 を参照してください。

3. オプション: Roadmunkアカウントから非アクティブ化されたユーザーを削除します。
非アクティブ化されたユーザーが組織またはチームの一員ではなくなった場合は、 Roadmunk アカウントからそのユーザーを削除できます。

警告:
ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

a. Roadmunk アカウント設定の同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
非アクティブなユーザーのリストが開きます。

b. 削除するユーザーの [削除] アイコン ( ) をクリックします。
削除確認ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。
ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

> **注:**
> アカウントから削除されたことについてユーザーには通知されません。ユーザーがメンションしたコメントまたはユーザーによって作成されたコメントは、ユーザーが削除されたことを示すように更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、任意のアカウントアドミンが管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで再び Roadmunk に招待された場合は、これらのロードマップを手動でユーザーに再アサインする必要があります。

d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > アドミニストレーション > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから Roadmunk 統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェア モデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 手順 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、自動的に [ソフトウェアモデル] フォームに戻ります。

g. Roadmunkアカウントで非アクティブ化したユーザーごとに、手順 d から f を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでのユーザーサブスクリプションの再利用

ソフトウェア資産ワークスペースで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

必要なロール：sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkeyアドミンポータルを使用して、SurveyMonkeyチームから直接ユーザーを再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの SurveyMonkey ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

重要:
SaaS ライセンス管理 monday.com 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。monday.comユーザーサブスクリプションを再利用するには、monday.comアカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの monday.com ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

重要:
SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合は、Now Platform による再利用をサポートしていません。Roadmunkユーザーサブスクリプションを再利用するには、Roadmunkアカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの Roadmunk ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

自動翻訳

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細については、ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する を参照してください。
3. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。
4. [ライセンス使用状況] ビューで、[削除候補] タブを選択します。
5. ユーザーサブスクリプションを再利用します。
   - すべてのユーザーサブスクリプションを再利用するには、[すべて再利用] をクリックします。

     注:
     すべてのユーザーサブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でも、サブスクリプションが必要な場合があります。

   - 個々のユーザーサブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームで [再利用] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスは [完了

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

してクローズ] に設定されます。再利用に失敗した場合、ステータスは [要注意] に設定されます。画面上部にエラーメッセージが表示され、エラーの解決方法の詳細が示されます。

ソフトウェア資産ワークスペースでの **SurveyMonkey** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の SurveyMonkey サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 が SurveyMonkey 統合の削除候補を作成したら、関連付けられたユーザーをSurveyMonkeyチームから直接削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

手順

1. SurveyMonkey統合の削除候補を特定します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**] を選択します。
SurveyMonkeyパブリッシャーの概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存します。

2. 関連付けられたユーザーを SurveyMonkey チームから削除します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、関連付けられたユーザーをSurveyMonkeyチームから再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Webブラウザから SurveyMonkey を開きます。

b. アドミン認証情報を使用してログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 左側のナビゲーションメニューで、[ユーザーの管理] を選択します。
[ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチームのユーザーの完全なリストを確認できます。

d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。

e. プロンプトが表示されたら、[アカウントを再アサイン] または [アカウントを削除] を選択します。
[アカウントを再アサイン] を選択して、ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動します。[アカウントを削除] を選択して、ユーザーを完全に非アクティブ化します。

f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**] を選択します。
SurveyMonkeyパブリッシャーの概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、手順 2 でSurveyMonkeyチームから削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

g. [削除候補] フォームのタブを閉じます。

h. SurveyMonkeyチームから削除した各ユーザーについて、手順 e から g を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでの **monday.com** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の monday.com サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

monday.com 必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 monday.com 統合では、Now Platformによる再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 がmonday.com統合の削除候補を作成したら、monday.com アカウントで関連付けられたユーザーを非アクティブにすることで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

手順

1. monday.com統合の削除候補を特定します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[monday.com Ltd.**] を選択します。
monday.com Ltd. の公開者概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存します。

2. monday.comアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、monday.comアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

b. アドミン認証情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーションメニューの下部にあるプロファイルアイコンを選択し、[アドミン] を選択します。
[アドミン] セクションが開きます。

d. [管理] セクションで、[ユーザー] を選択します。
[ユーザー] サブセクションの [ユーザー] タブが開きます。このタブには、 monday.com アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) を選択します。

f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーを非アクティブ化] を選択します。

g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[monday.com Ltd.**] を選択します。
   monday.com Ltd. の公開者概要が開きます。

   d. [削除候補] 関連リストを選択します。

   e. 利用可能な削除候補のリストから、 手順 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

   f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] を選択して削除候補のステータスを更新します。

   g. [削除候補] タブを閉じます。

4. monday.comポータルからのユーザーの削除を確認します。
   a. *Refresh Monday.com subscriptions* スケジュール済みジョブを実行します。
   b. ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルでユーザーの削除を確認します。

自動翻訳

ソフトウェア資産ワークスペースでの **Roadmunk** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の Roadmunk サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理の要求 を参照してください。

Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合では、Now Platform による再利用はサポートされていません。ソフトウェア資産管理 がRoadmunk統合の削除候補を作成したら、Roadmunk アカウントで関連付けられたユーザーを非アクティブにすることで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Roadmunk統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[Roadmunk**] を選択します。
   Roadmunkパブリッシャーの概要が開きます。

   d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
   後で使用するためにこの情報を保存します。

2. Roadmunkアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
   ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、Roadmunkアカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

   a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

   b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
   Roadmunk ダッシュボードが開きます。

   c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
   アカウント設定が開きます。

   d. アカウント設定のページ ヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
   このタブには、協力者、レビュー担当者、非アクティブなユーザーなど、 Roadmunk アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

   e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。

   f. **[Save** (保存)] をクリックします。

   ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブユーザーのリストに追加されます。

   > **注:**
   > デフォルトでは、ServiceNow SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合内の Roadmunk Download Subscriptions サブフローは、アクティブユーザーと非アクティブユーザーの両方を含む、Roadmunk アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードします。アカウントのアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、Roadmunkユーザーレポートをダウンロードして、ServiceNowインスタンスのRoadmunk統合プロファイルに添付する必要があります。詳細な手順については、 Roadmunk 統合プロファイルの作成 のステップ 7 を参照してください。

3. オプション: Roadmunkアカウントから非アクティブ化されたユーザーを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

非アクティブ化されたユーザーが組織またはチームの一員ではなくなった場合は、 Roadmunk アカウントからそのユーザーを削除できます。

> ⚠ 警告:
> ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

a. Roadmunk アカウント設定の同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
非アクティブなユーザーのリストが開きます。

b. 削除するユーザーの [削除] アイコン (をクリックします。
削除確認ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。
ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

> ℹ 注:
> アカウントから削除されたことについてユーザーには通知されません。ユーザーがメンションしたコメントまたはユーザーによって作成されたコメントは、ユーザーが削除されたことを示すように更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、任意のアカウントアドミンが管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで再び Roadmunk に招待された場合は、これらのロードマップを手動でユーザーに再アサインする必要があります。

d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産ワークスペース.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで開きます。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[Roadmunk**] を選択します。
Roadmunkパブリッシャーの概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 手順 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

g. [削除候補] フォームのタブを閉じます。

h. 非アクティブ化した Roadmunk ユーザーごとに、手順 e ～ g を繰り返します。

子エイリアスを作成して複数の統合プロファイルを設定する

子エイリアスを作成して、一意の接続を持つ複数の統合プロファイルを設定し、統合プロファイルごとに異なる構成を管理します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_integrator

手順

1. 統合プロファイルを作成します。
   統合プロファイルの作成の詳細については、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。
2. 統合プロファイルの接続および資格情報レコードセットを開きます。
   エイリアスの [親エイリアス] フィールドが空の場合、エイリアスは親です。フィールドが入力されている場合、エイリアスは [親エイリアス] フィールドで指定されたエイリアスの子です。
   - レコードが親エイリアスである場合は、[子エイリアス] タブを選択します。
   - レコードが子エイリアスである場合は、[親エイリアス] レコードを選択し、[子エイリアス] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。

   ヒント:
   [新規] ボタンが表示されない場合は、アプリケーションスコープからエイリアスのそれぞれのアプリケーションにスコープを変更します。

4. [接続および資格情報エイリアス] ページを再ロードします。
5. 開いた新しい子エイリアスフォームで、エイリアスの任意の名前を入力します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。
7. 作成した子エイリアスレコードを開き、[**Create New Connection & Credential**] を選択します。
8. 親統合の場合と同じ方法で、接続と認証情報を構成します。
9. 接続を構成したら、統合プロファイルに戻り、[接続と資格情報] フィールドで新しく作成した子エイリアスを選択します。
10. [統合プロファイルを保存し て公開する] を選択します。

ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける

ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合、 Now Platform 内のユーザー [sys_user] テーブルの関連するユーザーにフィールドをマッピングします。

始める前に
ServiceNow 必要なロール:sam_admin または sam_integrator

重要:
sam_userユーザー解決ルールを表示できますが、作成することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス操作ビューの [ユーザーのいないサブスクリプション] ページで、未解決のサブスクリプションのリストを確認します。サブスクリプションの [ユーザープリンシパル名] の値をメモし、この値がユーザー [sys_user] テーブルのエントリと一致するかどうかを確認します。一致するものが見つからない場合は、それに応じてルールを設定します。

このタスクについて

SaaS 統合では、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルに、自動ジョブと統合によって入力されたフィールドを含むサブスクリプションレコードが作成されます。デフォルトでは、[ユーザー] フィールドは、[ユーザープリンシパル名] 列の値をユーザー [sys_user] テーブルの [メール] フィールドと [ユーザー **ID**] フィールドと照合することによって解決されます。ユーザーデータが解決されないときにユーザーデータを正確にマッピングするには、ユーザー解決ルールを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション.
2. [ユーザー解決ルール] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「ユーザー解決ルールのフィールド」を参照して ください。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

ユーザー解決ルールが正しく構成され、[サブスクリプションのダウンロード] ジョブ *SAM - Refresh <profile name> Subscriptions* が正常に実行された場合、ターゲットにした未解決のサブスクリプションは、 ライセンス操作ビュー の [ユーザーのいないサブスクリプション] ページから消去されます。

SSO アプリの切断

SSO アプリケーションを切断して、アプリのサブスクリプション情報の表示を停止するか、アプリの直接統合を作成する前に停止します。

始める前に

必要なロール:sam_integrator

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 は、特定のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合により、最も堅牢な使用状況データが得られます。利用可能な直接統合のリストについては、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。接続済みの SSO アプリがあって、それを直接統合に置き換える場合は、アプリのサブスクリプションレコードが重複して作成されないように、直接統合を作成する前にアプリを切断します。

アプリの接続が切断されると、そのアプリのすべての SSO サブスクリプションが削除され、オープンな再利用候補はすべて [スキップしてクローズ] に設定されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 切断するアプリケーションをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [切断] をクリックします。

ヒント:
[SSO アプリケーション] リストから複数のアプリを一度に切断することもできます。リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。リストの一番下にある [選択した行のアクション] ドロップダウン メニューをクリックし、[切断] をクリックします。

統合プロファイルを削除する

会社が SaaS アプリケーションまたは SSO プロバイダーの使用を停止した場合は、統合プロファイルを削除できます。

統合プロファイルを削除するには、統合プロファイルレコードに移動して [削除] をクリックします。統合プロファイルを削除するには、sam_integrator ロールが必要です。

直接統合

直接統合プロファイルを削除すると、統合のすべてのサブスクリプション、スケジュール済みジョブ、および消費サマリーも削除されます。オープン再利用候補は [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合

SSO 統合プロファイルを削除すると、統合のすべての SSO アプリケーション、サブスクリプション、およびスケジュール済みジョブも削除されます。オープン再利用候補は [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。SSO 統合プロファイルを削除しても、ディレクトリ統合 (ディレクトリジョブ、ディレクトリユーザー、ディレクトリグループを含む) は削除されません。ディレクトリ統合を削除する前に、 新規雇用オンボーディング用の Microsoft Azure AD 統合 などの追加の接続でディレクトリ統合が使用されていないことを確認してください。ディレクトリ統合を削除するには、sn_remote_dir_sync.admin ロールが必要です。

SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子

SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用して、SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子を表示、管理、および解決します。

サブスクリプション識別子は、 SaaS および SSO アプリケーションを一意に識別します。各サブスクリプション識別子は、お使いの環境にインストールされているソフトウェアの正規化に役立つディスカバリーマップとソフトウェアモデルに関連付けられています。この情報を使用して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスポジションを把握できます。

更新されたサブスクリプション識別子の管理

Now Platformによって検出された更新されたサブスクリプション識別子を管理することで、SaaSと SSO ライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
SaaSまたは SSO プロバイダーが既存のサブスクリプション識別子を更新すると、Now Platformは自動的に変更を検出し、毎週のコンテンツ更新を通じて ServiceNow インスタンスにプッシュします。変更には、製品名、エディション、バージョン、プラットフォーム、および言語が含まれます。インスタンスはこの情報を使用して、既存のソフトウェアモデルのサブスクリプション識別子を更新

自動翻訳

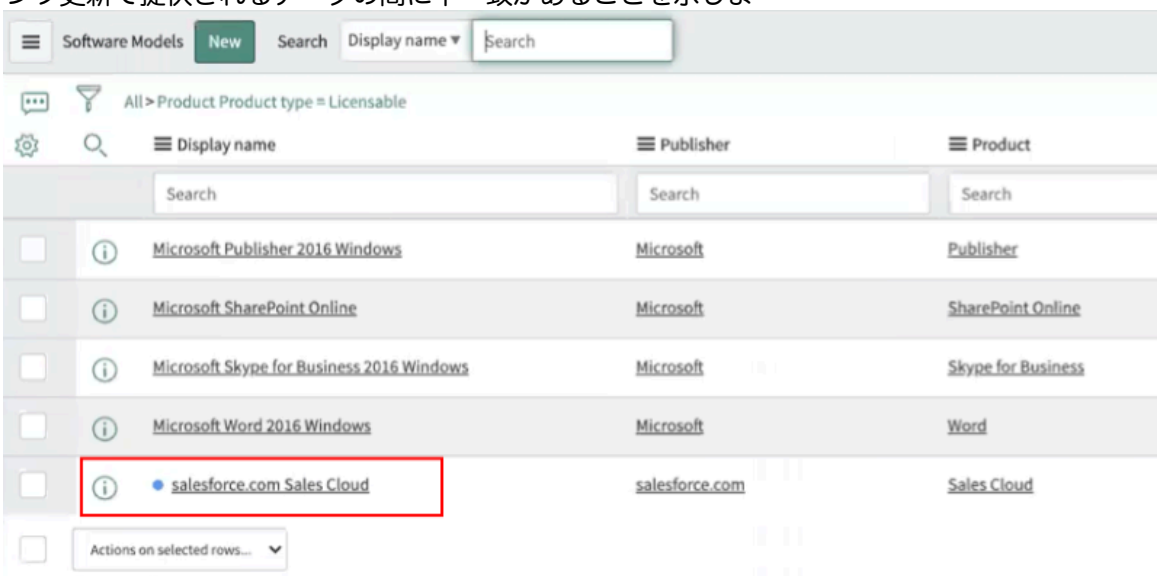
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。これにより、同じサブスクリプションソフトウェアに対して複数のソフトウェアモデルが作成されることを回避できます。

サブスクリプション識別子は、関連付けられたソフトウェア モデル タイプに応じて、自動または手動で更新されます。サブスクリプション識別子が自動生成されたソフトウェアモデルに関連付けられている場合は、自動的に更新されます。サブスクリプション識別子がカスタマイズされたソフトウェアモデルに関連付けられている場合は、ソフトウェアモデルの提案を使用して手動で更新する必要があります。ソフトウェア モデルの提案では、既存のサブスクリプション識別子の変更を識別します。この情報を使用して、最新のサブスクリプション識別子に基づいてカスタマイズされたソフトウェアモデルを更新する必要があるかどうかを判断できます。たとえば、 SaaS プロバイダーがアプリケーションの製品名を更新した場合、ソフトウェア モデルの提案は製品名の現在の値と更新された値の両方を識別します。変更が正しい場合は、ソフトウェア モデルの提案を受け入れて、ソフトウェア モデルを最新の製品名に更新できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **SaaS** ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. ドットでマークされたソフトウェア モデルを選択します。
   ドットは、関連付けられたサブスクリプション識別子と、最新のコンテンツ更新で提供されるデータの間に不一致があることを示します。



3. [ソフトウェア モデル] フォームで、[表示名] フィールドの横にある警告(⚠) をクリックして、ソフトウェア モデルの提案を開きます。
   [ソフトウェア モデルの提案] ダイアログ ボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、[提案されたディスカバリーマップ] フィールドを表示して、ソフトウェアモデルが更新されたサブスクリプション識別子のディスカバリーマップを使用していることを確認します。
   このフィールドは読み取り専用です。ただし、プレビューアイコン (ⓘ) をクリックすると、ディスカバリーマップに関する追加情報を表示できます。
5. サブスクリプション識別子の変更を確認します。

   [ソフトウェア モデルの提案] ダイアログ ボックスには、すべてのサブスクリプション識別子フィールドの現在の値と更新された値の両方が表示されます。これらのフィールドは読み取り専用ですが、値を比較してサブスクリプション識別子がどのように変更されたかを把握できます。この情報を使用して、変更が正しく、ソフトウェアモデルに適用する必要があるかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブスクリプション識別子フィールド

フィールド	説明
推奨パブリッシャー	更新されたソフトウェアパブリッシャー。
パブリッシャー	現在のソフトウェア公開者。
推奨製品	更新されたソフトウェア製品名。
製品	現在のソフトウェア製品名。
[提案されたバージョン]の条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値とディスカバリーモデルの [バージョン] フィールドの値を比較するために使用できる更新された修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
バージョン条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値とディスカバリーモデルの [バージョン] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨バージョン	更新されたソフトウェアバージョン。
バージョン	現在のソフトウェアバージョン。
提案されたエディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値とディスカバリーモデルの [エディション] フィールドの値を比較するために使用できる更新された修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
エディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値とディスカバリーモデルの [エディション] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨エディション	更新されたソフトウェアのエディション。
エディション	現在のソフトウェアのエディション。
提案されたプラットフォーム条件	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値とディスカバリーモデルの [プラットフォーム] フィールドの値を比較するために使用できる更新された修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プラットフォーム条件	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値とディスカバリーモデルの [プラットフォーム] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できるプラットフォームが更新されました。
プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できる現在のプラットフォーム。
推奨言語の条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値とディスカバリーモデルの [言語] フィールドの値を比較するために使用できる更新された修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
言語条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値とディスカバリーモデルの [言語] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスでは 、[は何でも] や [は何でも] などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨言語	ソフトウェアを実行する言語が更新されました。
言語	ソフトウェアを実行している現在の言語。

6. 変更を承認または却下します。
   - 変更が正しい場合は、[承認] をクリックして、提案されたフィールド値でソフトウェアモデルを更新します。
   - 変更が正しくない場合は、[却下] をクリックして提案されたフィールド値を無視します。ソフトウェア モデルでは、既存のサブスクリプション識別子が引き続き使用されます。

   自動的に [ソフトウェア モデル] フォームに戻ります。
7. [更新] をクリックして変更を保存し、ソフトウェア モデルの提案をクリアします。

認識されないサブスクリプション識別子を解決する

Now Platformによって検出された認識されないサブスクリプション識別子を解決することで、サブスクリプションソフトウェアの正確なライセンスポジションを維持します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ソフトウェアモデルに関連付けられていない場合、サブスクリプション識別子は Now Platform を認識不能としてマークします。認識されないサブスクリプション識別子をソフトウェア モデルに関連付けることで、関連付けられたサブスクリプション ソフトウェアのサブスクリプションの使用状況を追跡できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: ソフトウェア資産管理コンテンツサービスにオプトインして、認識されないサブスクリプション識別子をServiceNowコンテンツチームに送り返します。
   ソフトウェア資産管理コンテンツサービスにオプトインするときは、認識されないサブスクリプション識別子 KPI が有効になっていることを確認します。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化」を参照してください。
2. 次のように移動する。 **SaaS** ライセンス > 認識されないサブスクリプション識別子.
3. 認識されないサブスクリプション識別子を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

認識されないサブスクリプション識別子フォーム

フィールド	**Value** (値)
サブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソフトウェアモデル	サブスクリプション識別子に関連付けるソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられた直接統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
サブスクリプションの数	サブスクリプション識別子に関連付けられているサブスクリプションの数。このフィールドは、自動的に入力されます。
コンテンツサービスから除外	ServiceNowインスタンスが認識できないサブスクリプション識別子をServiceNowコンテンツチームに送り返さないようにするオプション。このオプションは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスをオプトインした場合にのみ適用されます。

5. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果
サブスクリプション識別子が指定されたソフトウェア モデルに関連付けられると、関連するすべてのソフトウェア サブスクリプションがそのソフトウェア モデルで自動的に更新されます。

認識されないサブスクリプション識別子データを ServiceNowと共有することを選択した場合、ServiceNow インスタンスは認識されないサブスクリプション識別子を ServiceNow コンテンツチームに送り返します。コンテンツチームは、この情報を使用して、正規化プロセスをさらに調査し、改善することができます。

ソフトウェア支出検出

ServiceNow ソフトウェア支出検出 アプリケーションを使用して、インポートされた財務データからソフトウェア支出を追跡、分析、および最適化します。

ソフトウェア支出検出を使用してソフトウェア支出を最適化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 同様の機能を備えたソフトウェア製品を統合することで、ビジネスプロセスを簡素化し、コストを削減します。
- 各部門で購入したすべてのソフトウェアを表示して、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化します。
- ソフトウェア資産管理でソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、管理されていないソフトウェアの管理を開始します。

ソフトウェア支出検出の要求

ソフトウェア支出を追跡、分析、最適化するための ソフトウェア支出検出 を要求します。ソフトウェア支出検出にアクセスするには、ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインを有効にします。このプラグインにはデモデータが含まれています。

始める前に

ソフトウェア支出検出を要求する前に、ソフトウェア支出検出法務契約に署名する必要があります。ソフトウェア支出検出法務契約の詳細については、ServiceNowアカウント担当者にお問い合わせください。

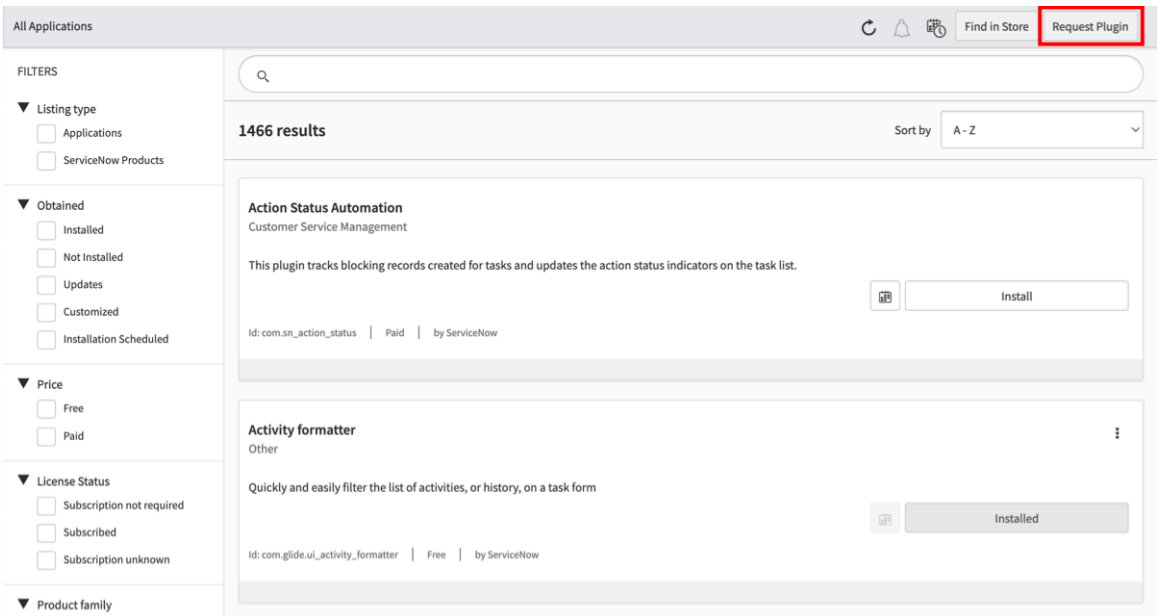
ソフトウェア支出検出を使用するには、ServiceNowインスタンスで ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。ソフトウェア資産管理プロ の有効化に関する詳細については、「ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

> **注:**
> ソフトウェア支出検出 は、独自の ServiceNow インスタンスをホストしているオンプレミスユーザーにはサポートされていません。

必要なロール：admin

手順

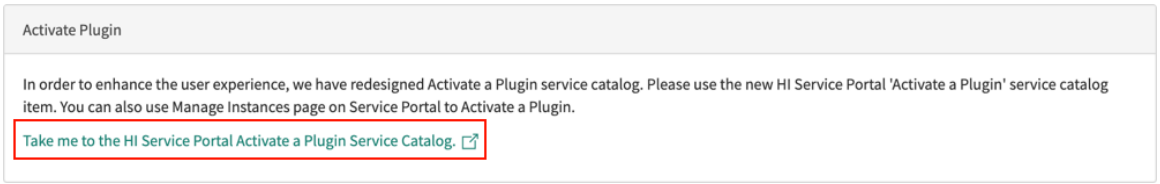
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 **注:** 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/ Comments)]** フィールドに要求を入力します。

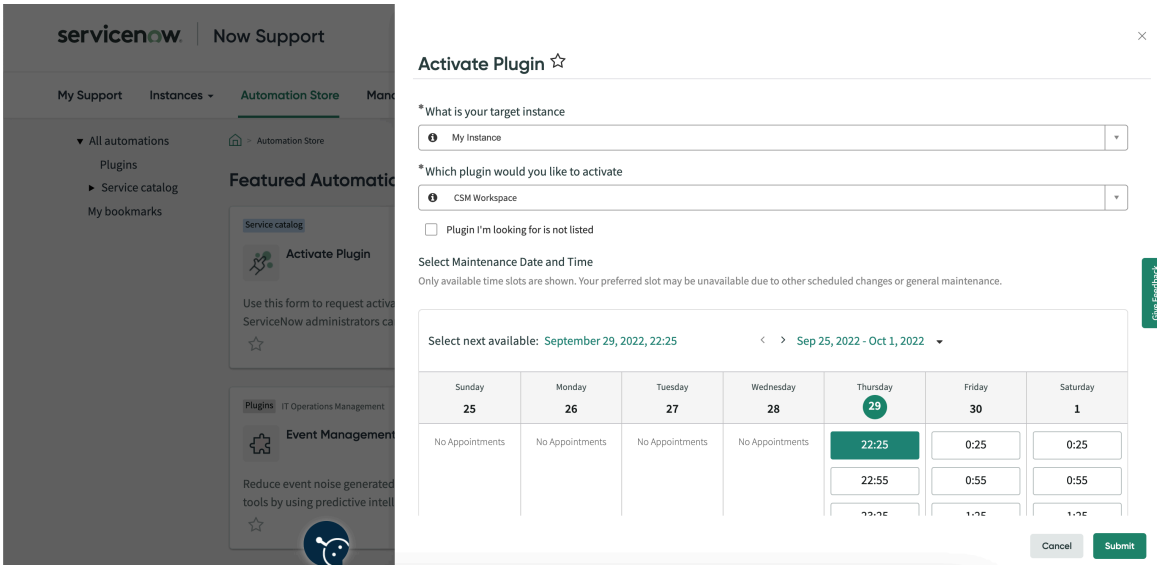
Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



7. [**Submit** (送信)] を選択します。
   プラグインの要求の詳細については、次を参照してください。 のサービスカタログ [KB0751715] 記事からプラグインを要求する Now Support ナレッジベース.

ソフトウェア支出検出の概要ダッシュボード

ソフトウェア支出検出概要ダッシュボードで、アップロードされた財務データからすべてのソフトウェア支出を表示します。

ソフトウェア支出検出ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア支出検出 > 概要.

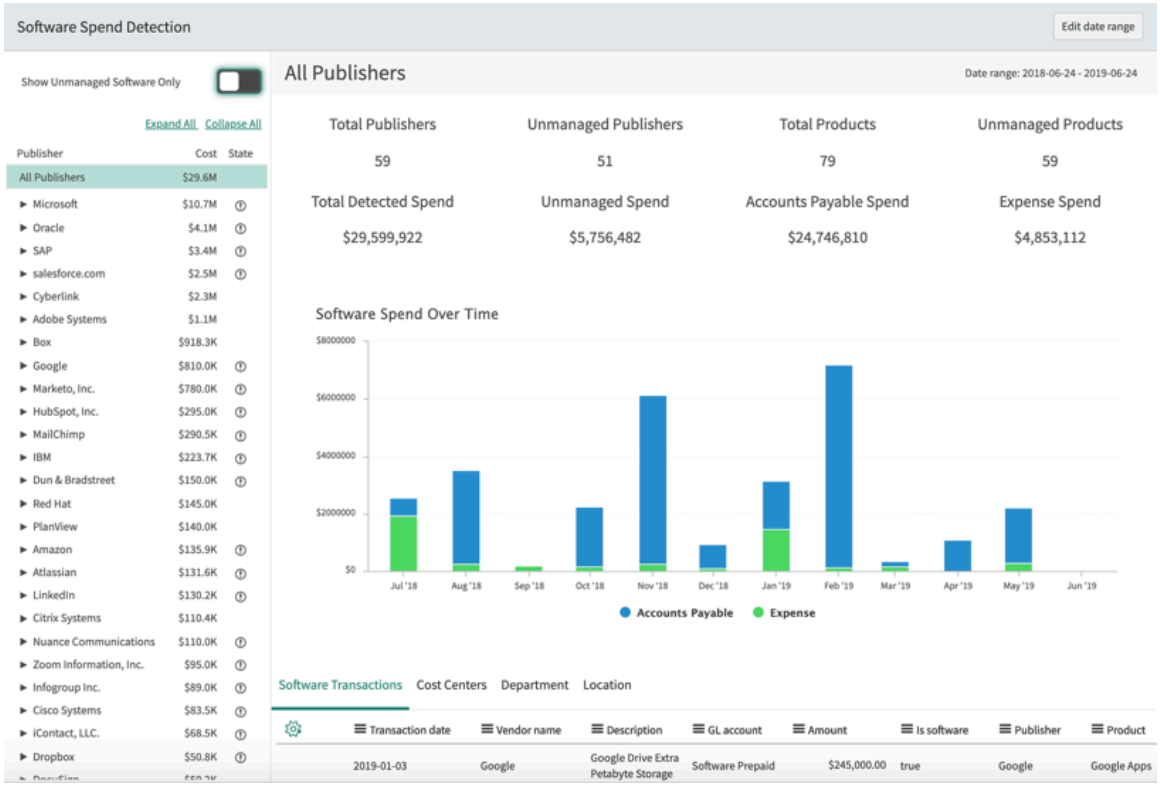
左側のメニューバーでパブリッシャーを展開して、その製品を表示します。パブリッシャーまたは製品を選択すると、それらのトランザクションのみが表示されます。[日付範囲を編集] を選択して、トランザクションを日付でフィルタリングします。デフォルトでは、ダッシュボードには過去 1 年以内のすべてのトランザクションが表示されます。カーソルを [経時的なソフトウェア支出] グラフの上に移動すると、正確な支出額が表示されます。ダッシュボードの下部にあるタブを使用して、コストセンター、部門、または場所別にグループ化されたトランザクションを表示することもできます。

ダッシュボードの URL を共有すると、現在選択しているサイト運営者、商品、日付範囲が表示されます。適用されたフィルターを表示するには、URL 受信者が ServiceNow インスタンスにすでにログインしている必要があります。

> **注:**
> ソフトウェアパブリッシャーのラベルが付いていないトランザクションは、ダッシュボードに含まれません。公開者とこれらのトランザクションを手動で更新して、ダッシュボードに追加できます。詳細については、「トランザクションを手動で更新する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター	説明
合計パブリッシャー	パブリッシャーの合計数。これには、インポートされた金融トランザクションから自動的に検出されたパブリッシャーと、トランザクションに手動で追加されたパブリッシャーが含まれます。
管理対象外パブリッシャー	管理対象外製品を所有している公開者の数。
製品合計	製品の合計数。これには、インポートされた金融トランザクションから自動的に検出された製品と、トランザクションに手動で追加された製品が含まれます。
管理対象外製品	ソフトウェアモデルのない製品の数。
合計検出支出	ソフトウェアに費やした合計金額。この値は、未払金支出と経費支出を足したものと等しくなります。
管理対象外支出	パブリッシャーと製品が識別されているが、製品のソフトウェアモデルがないトランザクションの合計支出額。ソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、これらの製品の追跡を開始し、管理対象外の支出を管理対象の支出に変換できます。
買掛金支出	タイプが [Accounts Payable] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、会計システムまたは調達システムからのものです。
経費支出	タイプが [Expense] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードからのものです。
経時的なソフ	毎月ソフトウェアに費やされた金額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	説明
トウェア支出	

コンテンツサービスへのオプトイン

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、ServiceNowコンテンツサービスチームと財務トランザクションデータを共有することで、ソフトウェア支出検出でより正確な予測を取得できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、財務トランザクションデータのコピーが ServiceNowに安全に送信されることに同意したことになります。データは、ソフトウェア支出検出 にデータをインポートする際に、サイト運営者と商品の将来の予測を改善するためにのみ使用されます。コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスに既にオプトインしている場合でも、[コンテンツサービス設定] ページの [ソフトウェア支出トランザクション] トグルボタンを選択して、ソフトウェア支出検出のデータ共有を手動で有効にする必要があります。ソフトウェア支出トランザクションデータ共有はデフォルトで無効になっています。

データを ソフトウェア支出検出 にインポートした後でオプトインすると、以前のインポートのデータと将来のインポートのデータが共有されます。

> **注:**
> オプトイン機能を非表示にする場合は、admin ロールを持つユーザーが glide.samp.spend_detection_opt_in.enabled システムプロパティを `false` に設定できます。この値を `false` に設定すると、ソフトウェア支出トランザクションの共有をオンにするために使用されるトグルボタンが非表示になります。また、既にオプトインしているときにこのプロパティが `false` に設定されている場合、トランザクションデータは共有されなくなります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア支出検出 > アドミニストレーション > コンテンツサービス設定.
2. チェックボックスをオンにしてオプトイン契約に同意し、[オプトイン] を選択します。

   > **注:**
   > 既に ソフトウェア資産管理 からコンテンツサービスにオプトインしている場合、オプトイン画面は表示されません。

   ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェアモデルのライフサイクル、品番とディスカバリーマップ、プロセッサー名 KPI のデータ共有は、オプトイン後に自動的に有効になります。一部の KPI のデータを共有しない場合は、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択して、共有を個別に無効にします。コンテンツサービス KPI の詳細については、「 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。
3. ソフトウェア支出トランザクション データの共有を有効にするには、ソフトウェア支出トランザクション の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
[コンテンツサービスのセットアップ] ページに戻って、各 KPI のデータ共有設定を調整できます。[ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから会社をオプトアウトしたい] を選択すると、完全にオプトアウトできます。オプトアウトした後は、いつでもオプトインし直すことができます。

のコンテンツサービス ソフトウェア支出検出

ソフトウェア支出トランザクションの ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインすると、ServiceNowコンテンツサービスチームと財務トランザクションデータを共有することで、ソフトウェア支出検出でより正確な予測を取得できます。

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、財務トランザクションデータのコピーが ServiceNow コンテンツサービスチームに安全に送信されることに同意したことになります。 ServiceNow は、 ソフトウェア支出検出 にデータをインポートする際に、公開者と製品の将来の予測を改善するためにのみ、ユーザーのデータを使用します。 ServiceNow は、顧客インスタンスを保護するのと同じポリシーを使用してすべてのデータを保護します。

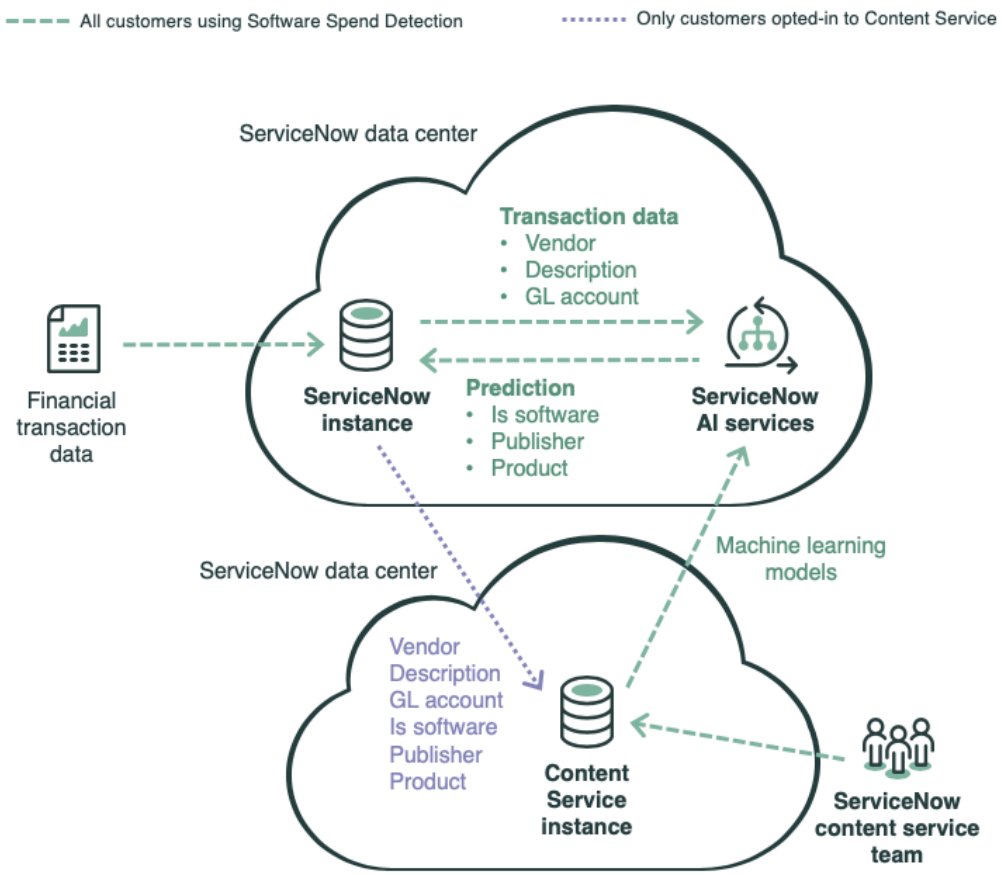
オプトインすると、次のデータが ServiceNowと共有されます。

- ベンダー名
- トランザクションの説明
- GL アカウント
- 予測結果 (パブリッシャー ID、製品 ID、ソフトウェア)

データは匿名でコンテンツサービスチームに送信されます。お客様のデータは、会社名やインスタンス名などの識別可能な情報にリンクされません。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および **[GL** アカウント] フィールドに、会社名や従業員の名前などの識別可能な情報が含まれていないことを確認する必要があります。

ServiceNowコンテンツサービスチームは、これらのデータポイントを使用して、ServiceNow人工知能 (AI) サービスで使用される機械学習モデルを改善します。AI サービスは、すべての ServiceNow データセンター内に存在する一連の Web サービスです。すべての ソフトウェア支出検出 ユーザーが ServiceNow AI サービスの継続的な改善の恩恵を受けますが、コンテンツサービスにオプトインしているユーザーが最もメリットを得ます。ServiceNow AI Services は、以前は識別できなかったトランザクション内のソフトウェア製品とパブリッシャーを識別する方法を学習 ソフトウェア支出検出 。この学習により、今後のインポートのための機能が向上します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。オプトアウトすると、今後のインポートのデータは ServiceNow コンテンツサービスチームに送信されませんが、以前に共有したデータは削除されません。コンテンツサービスに参加するが、一部のトランザクションを ServiceNowとの共有から除外する場合は、それらのトランザクションレコードの [コンテンツサービスから除外] チェックボックスをオンにします。

財務トランザクションのインポート

財務トランザクションデータの Microsoft Excel スプレッドシートをインポートして、ソフトウェア支出の管理を開始します。

始める前に

必要なロール：sam_spend_import または sam_admin

注:
sam_user ロールを持つユーザーは、[インポートされたすべてのトランザクション] ページの上部にある [新規] を選択して、トランザクションレコードを手動で作成できます。

このタスクについて

インポートされたデータには、会社のすべての財務トランザクションデータを含めることができます。 ソフトウェア支出検出 は、各トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを自動的に判断します。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および **[GL** アカウント] フィールドに、会社名や従業員の名前などの識別可能な情報が含まれていないことを確認してください。インポートする前に、データに必要な変更を加えます。インポートされたすべての財務トランザクションデータフィールドは、インスタンスにロードされると読み取り専用になります。

多数のトランザクションをインポートする場合、インポートに数時間かかる場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ソフトウェア支出検出 は現在、英語のトランザクションデータのみをサポートしています。他の言語のデータを使用して人工知能 ServiceNow トレーニングを支援する場合は、ServiceNow IT Asset Management 製品チームにお問い合わせください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア支出検出 > アドミニストレーション > トランザクションをインポート.
2. [テンプレートファイルのダウンロード **(.xlsx)]** を選択します。
3. 財務データをテンプレートファイルにコピーします。
必須フィールドは、[トランザクション日付]、[ベンダー名 または 説明]、および [タイプ] です。最も堅牢な結果を得るには、できるだけ多くのフィールドに入力します。

ソフトウェア支出トランザクションインポートテンプレート

フィールド	説明
トランザクション日付	必須。トランザクション日付。
ベンダー名	トランザクションに関連付けられた会社。会社名や従業員の名前など、識別可能な情報を含めないでください。ベンダー名または説明の少なくとも 1 つを指定します。
説明	購入の説明。会社名や従業員の名前など、識別可能な情報を含めないでください。ベンダー名または説明の少なくとも 1 つを指定します。
GL アカウント	総勘定元帳アカウントまたは経費カテゴリ。会社名や従業員の名前など、識別可能な情報を含めないでください。オプション。
金額	トランザクション金額。オプション。
タイプ	必須。買掛金または経費を選択します。買掛金取引は、会計システムまたは調達システムから行われます。経費トランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードから取得されます。
場所	場所。オプション。
コストセンター	コストセンター。オプション。
Department (部門)	部門オプション。
ソース	トランザクションの発生元システムの名前。オプション。
タイプ詳細	[タイプ] フィールドの説明。買掛金の場合、例としてベンダー請求書または請求書支払があります。経費の場合、例としてクレジットカード購入や従業員払い戻しなどがあります。オプション。
外部 ID	ソースシステム内のトランザクションの ID。オプション。
従業員 ID	従業員 ID。オプション。
従業員名	従業員名です。オプション。
従業員メール	従業員のメール。オプション。

4. 完了したファイルをアップロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 次のように移動する。 ソフトウェア支出検出 > アドミニストレーション > トランザクションインポート結果 をクリックして、インポートに関する情報を表示し、インポートエラーを解決します。インポートが完了すると、ソフトウェア支出検出 はトランザクションとソフトウェア公開者および製品の照合を開始します。またソフトウェア支出検出、すべてのトランザクションの [ソフトウェア可能性]、**[**製品の信頼性]、および [パブリッシャーの信頼性] フィールドに **0** から **1** の値を割り当てます。たとえば、パブリッシャーの信頼度の値が **.85** の場合、ソフトウェア支出検出が正しいパブリッシャーとトランザクションと一致したことが 85% 確実であることを意味します。照合プロセスが完了すると、[ソフトウェア支出検出] の [概要]、[重複するソフトウェア]、および [ソフトウェア支出トランザクション] モジュールでデータを表示できます。

次のタスク

次のように移動する。 ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション ソフトウェア支出検出ソフトウェアパブリッシャーおよび製品と照合できなかったトランザクションを表示します。これらのトランザクションを手動で更新して、公開者と製品を追加できます。将来のインポートの照合を改善するための コンテンツサービスへのオプトイン 。

必要に応じて、インポートからすべてのトランザクションを一括削除することができます。次のように移動する。 ソフトウェア支出検出 > アドミニストレーション > トランザクションインポート結果をクリックし、インポートレコードを選択して、[削除] を選択します。

トランザクションを手動で更新する

ソフトウェア製品とパブリッシャーで自動的にラベル付けされなかったインポート済みソフトウェアトランザクションを手動で更新して、すべてのソフトウェア支出を追跡します。

始める前に

必要なロール：sam_user

このタスクについて

場合によっては、トランザクション ソフトウェア支出検出 ソフトウェア発行者や製品を照合できない場合があります。ソフトウェア支出検出パブリッシャーを識別できるが、製品を識別できない場合、ソフトウェア支出検出ダッシュボードのそのパブリッシャーの製品リストでトランザクションは [非正規化] に分類されます。トランザクション金額は、そのパブリッシャーの合計コストに加算されます。ソフトウェア支出検出公開者を特定できない場合、トランザクションは [非正規化トランザクション] に追加され、ソフトウェア支出検出ダッシュボードから除外されます。トランザクション金額は、ダッシュボードに表示されるいずれの支出金額にも含まれません。

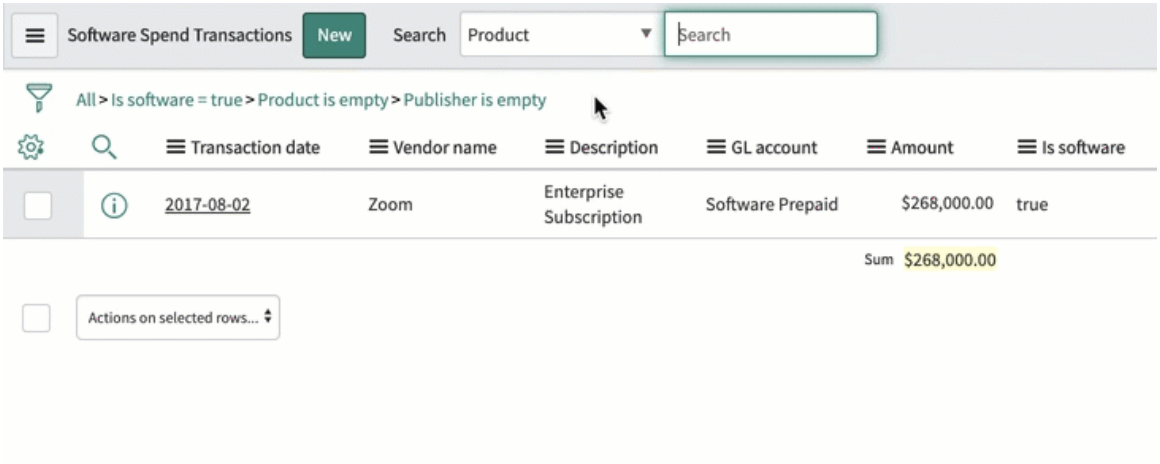
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション.

> **注:**
> デフォルトでは、このリストには、 ソフトウェア支出検出によってソフトウェアとして識別されたトランザクションのみが表示されます。ソフトウェアとして識別されないトランザクションを含めるには、フィルター条件 [ソフトウェアである] **= true** を削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



2. トランザクション日付を選択します。
3. [公開者] フィールドと [製品] フィールドの値を選択します。

   注:
   このフォームから直接ソフトウェアの公開者と製品を作成するには、フィールドの横にある [リストから参照] アイコン (を選択し、[新規] を選択します。

4. トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを示すには、[ソフトウェアである] チェックボックスをオフまたはオンにします。
5. [**Update** (更新)] を選択します。
   トランザクションが正規化されていないトランザクションのリストから削除され、 ソフトウェア支出検出 ダッシュボードに追加されます。

ソフトウェア支出検出とともにインストールされる内容

ユーザーロールとテーブルは ソフトウェア支出検出 とともにインストールされます。ソフトウェア支出検出 のデモデータが利用可能です。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_spend_import	財務トランザクションデータを ソフトウェア支出検出 にインポートするために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービスのセットアップを除くすべてのモジュールをソフトウェア支出検出で表示できます。このロールを持つユーザーは、 ソフトウェア資産管理を表示できません。

テーブル

テーブル	説明
ソフトウェア支出トランザクション [sam_spend_transaction]	財務取引データ。
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [sam_spend_transaction_import]	インポートされた行数とインポートエラーを示すインポートサマリーテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [imp_sam_spend_transaction]	財務トランザクションデータインポートのステージングテーブル。
重複するソフトウェア構成 [sam_sw_overlap_configuration]	重複するソフトウェアダッシュボードに表示されるレポートのリスト。
重複するソフトウェアの概要 [sam_sw_overlap_summary]	支出トランザクションのあるソフトウェア製品のリスト。

ソフトウェア資産管理 管理

ソフトウェア資産管理 管理タスクには、カスタム品番レコードとカスタムライセンスメトリクスの追加が含まれます。プロセッサー定義を更新し、ソフトウェアインストールを移行することもできます。 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスを有効にでき、移行手順も含まれています。

管理タスクを構成するには、sam_admin ロールが必要です。ただし、sam_user ロールは構成を表示して読み取ることができます。

ソフトウェア資産管理 ジョブの結果には、ディスカバリーモデルの正規化ジョブとソフトウェア使用状況インポートジョブのステータスが表示されます。

ソフトウェア資産ジョブ結果レコードがナビゲーションパスに一覧表示されます **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ジョブ結果 (フィールドの説明については表を参照)。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
[Name (名前)]	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成日時	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスへの参加を選択します。いつでもオプトアウトできます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注:
National Security Cloud (NSC) 国防総省 (DOD) 影響レベル 5 (IL5) 展開を管理している場合は、ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに参加することを選択した場合でも、正規化されていないソフトウェアインストールデータを ServiceNow と共有することはできません。ソフトウェア製品が ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに存在しない場合は、そのソフトウェアのコンテンツ要求を手動で作成できます。詳細な手順については、「IT 資産管理コンテンツ要求の作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > コンテンツサービス設定.
2. [オプトイン契約] を選択して契約を読みます。
3. 契約を読んだ後、[完了] を選択します。
4. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] チェックボックスをオンにして、[オプトイン] を選択します。
   オプトインすると、ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、品番とディスカバリーマップ、プロセッサー名、製品ライセンス例外ルールの各 KPI が自動的に有効になります。カスタムソフトウェア製品 KPI は自動的に無効になります。
5. KPI を有効または無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。
6. オプトアウトするには、[ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから会社をオプトアウトしたい **(I would like to opt my company out of the Software Asset Management Content Service Program**)] を選択し、[オプトアウト] を選択します。
   ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、品番とディスカバリーマップ、プロセッサー名、製品ライセンス例外ルール、およびカスタムソフトウェア製品が無効になり、一意の正規化コンテンツが ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに提供されなくなります。

関連情報

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス

CI でのソフトウェア資産の除外

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成アイテムのサブセットにインストールされているソフトウェア資産を管理できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
たとえば、お客様のデバイスの一部が第三者からリースされている場合、お客様はそれらのデバイス上のソフトウェアのライセンスコンプライアンスについて責任を負いません。または、特定の場所 (ニューヨーク オフィスなど) のデバイスにのみインストールされているソフトウェアを管理することから始めることもできます。その後、他の場所にあるデバイスでのソフトウェアの管理に拡張できます。除外するデバイスを ソフトウェア資産管理 アプリケーションに伝えます。これらのデバイスにインストールされているソフトウェアは、ライセンスコンプライアンスの計算から除外されます。

手順

1. ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルに、true/false 列を追加します (例:SAM [u_exclude_from_sam から除外]。
2. アプリケーションにインストールされているソフトウェアを管理しないデバイスの [SAM から除外] 列の値を true に設定します。

   注:
   [SAM から除外] 列のデフォルト値は false です。デフォルトでは、システムはすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアを管理します。

3. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロパティ をクリックし、プロパティの横のフィールドに列名 [u_exclude_from_sam] を入力します 。選択した

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デバイスにインストールされているソフトウェアをソフトウェア資産管理から除外するために **cmdb_ci_hardware**テーブルに追加された **true/false** フィールドの名前を入力します。
列名は必ず角かっこなしで入力してください。
スケジュール済みジョブ (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、[SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスにインストールされているソフトウェアはアプリケーションから除外されます。

4. アプリケーションで以前に除外したデバイスへのソフトウェアインストールの管理を開始するには、デバイスの [SAM から除外] 列の値を false に設定します。
スケジュール済みジョブ (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、システムはこれらのデバイスでソフトウェアインストールの管理を開始します。
5. 以前に除外されたすべてのデバイスでソフトウェア インストールの管理を開始するには、次の手順を実行します。

   a. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロパティ.

   b. プロパティから列名 [u_exclude_from_sam] を削除

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   スケジュール済みジョブ (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、システムは以前に除外されたすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアの管理を開始します。

エンジニアリングライセンスサーバー

OpenLM または Open iT が ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続しているすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。

に移動すると、すべてのライセンス管理サーバーに関する情報を表示できます **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > エンジニアリングライセンスサーバー.

サーバーの名前、サーバーの現在のステータス、前回の接続時間などの情報が、 エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバーの フォームレイアウトに表示されます。

ソフトウェアパターン正規化ルールの追加

パターン正規化ルールを追加して、共通のパターンに基づいて環境内の特定のソフトウェア製品を正規化することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注:
カスタム製品と公開者のパターン正規化ルールを作成する場合は、最初にカスタム製品レコードとカスタム会社レコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 正規化ルールのカスタマイズ をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[パターン正規化ルール] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	パターン正規化ルールの一意の名前を指定します。
検出されたパブリッシャーは次を含む	[ソフトウェア公開者] フィールドで検索するテキストを指定します。
検出された製品は次を含む	製品フィールドで検索するテキストを指定します。
[Active (アクティブ)]	ルールをアクティブ化するオプション。
検出されたパブリッシャーが空	[公開者] フィールドが空の製品を含むオプション (ルールは公開者が不明なディスカバリーモデルに適用されます)。
正規化された属性	
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の正規化された名前を指定します。
製品	製品の正規化された名前を指定します。
エディション	製品のエディションを指定します。
製品タイプ	製品タイプを選択します。 ○ 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 ○ ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 ○ ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 ○ ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 ○ パッチ:既存のコンピュータープログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。
バージョン	製品のバージョンを指定します。
プラットフォーム	プラットフォームを選択します。 ○ Windows ○ macOS ○ UNIX
言語	言語を選択します。 ○ オランダ語 ○ 英語

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ フランス語 ○ ドイツ語 ○ イタリア語 ○ スペイン語

2. ルールが作成された後、適用可能なディスカバリーモデルが遅延なく正規化されるようにルールを適用するには、[ルールを適用] 関連リンクをクリックします。

ソフトウェア再利用ルールの追加

再利用ルールを追加して、使用状況レコードをアグリゲートし、使用されていないソフトウェアを特定します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

再利用ルールで [ユーザーに通知する] オプションを選択した場合、ユーザーは再利用プロセス中に承認を得て応答する機会があります。指定された期間に応答がない場合、ソフトウェア権限は自動的に再利用されます。ユーザーがソフトウェアのインストールを引き続き続行したい場合は、削除を承認または拒否するのはマネージャーの責任になります。

SCCM 製品の再利用ルールの作成については、「 Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 再利用ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> 再利用ルールが作成された後、[ソフトウェア製品] リストのソフトウェアメンバーを編集できます。

再利用ルールフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。
再利用タイプ	再利用ルールのタイプ。可能な値は次のとおりです。 ○ 合計使用時間 (デフォルト) ○ 前回の使用日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 同時使用のピーク ([適用先] リストから [エンジニアリング アプリ ライセンス] を選択した場合にのみ表示されます) ○ アクティブなトランザクションコード ([適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます)
指名ユーザータイプ	SAP 名前付きユーザータイプ。このフィールドは、[適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、 SAP パブリッシャーにのみ適用されます。
再利用候補を作成	選択すると、このルールに関連付けられているすべてのソフトウェア製品の使用状況に加えて、この再利用ルールの削除候補が作成されます。 デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。このチェックボックスをオフにすると、ソフトウェア製品の使用は引き続き取り込まれますが、このルールの削除候補は作成されません。
アクティビティを含めない	選択すると、デバイスにインストールされているものの、使用状況テーブルに使用状況レコードがないソフトウェア製品も、次のルールに基づいて再利用されます。 ○ 再利用ルールの期間内に、選択した製品 (少なくとも 1 つの使用状況レコード) で使用できます。 ○ [最終使用日] 再利用タイプの場合、インストールは [最終使用日] の値よりも後に作成する必要があります。 ○ 再利用タイプが [合計使用時間] の場合、インストール日は [使用率の集計] の値よりも後の日付にする必要があります。
アサイン先グループ	特定の再利用ルールによって作成された削除候補を管理するアサイン先グループ。このルールに基づいて削除候補が作成されるたびに、再利用ルールに記載されているアサイン先グループが削除候補にコピーされます。 デフォルトでは、 値 [ソフトウェアマネージャー] が選択されています。他のグループを選択するか、グループ [sys_user_group] テーブルからグループを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ユーザーへの通知	ハードウェアにアサインされているユーザーに、ソフトウェアの削除権限を要求していることを、ソフトウェアがインストールされていることに通知するオプション。
自動再利用までの日数	このフィールドは、[ユーザーに通知] を選択した場合に表示されます。削除候補が承認され、ユーザーから応答がない場合、このフィールドに記載されている日数が経過すると、ソフトウェア製品は失効します。
ソフトウェアインストール条件/サブスクリプション条件	[適用先] フィールドで [インストール済みソフトウェア] を選択すると、[ソフトウェア インストール条件] フィールドが表示されます。 [サブスクリプション条件] フィールドは、[適用先] フィールドで [サブスクリプションソフトウェア] を選択した場合に表示されます。
使用状況計測データ	
このセクションは、[再利用タイプ] フィールドから [合計使用時間]、[ピーク同時使用時間]、または [アクティブなトランザクションコード] を選択した場合にのみ表示されます。	
次のアグリゲート使用率	使用状況情報が集計される期間。可能な値は次のとおりです。 ○ 先月 ○ 過去 2 か月間 ○ 過去 3 か月間 ○ 過去 6 か月間 ([適用先] リストから [インストール済みソフトウェア] を選択した場合にのみ使用可能)
合計使用時間	再利用を回避するためにソフトウェアを使用する必要がある時間。
使用率	ライセンス使用率。たとえば、60% を指定し、利用した権限が 60% 未満の場合、残りの 40% の権限に対して再利用候補が自動的に作成されます。このフィールドは、[適用先] リストから [エンジニアリングアプリライセンス] を選択した場合にのみ使用できます。
必要な最小トランザクションコード	名前付きユーザーが再利用を回避するためにアクティブにする必要がある SAP トランザクションコードの最小数。[SAP トランザクションコード] 関連リストで、適用可能なトランザクションコードを指定できます。このリストは、再利用ルールを送信した後に表示されます。 このフィールドは、 SAP パブリッシャーにのみ適用されます。このフィールドは、[適用先]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	リストから **[SAP** 指名ユーザー] が選択されている場合にのみ使用できます。
最後に使用されたデータ	
このセクションは、[再利用タイプ] フィールドで [前回の使用日] を選択した場合にのみ表示されます。	
次より前の最終使用日時	再利用されるまで未使用のソフトウェアを保持する時間。 ○ 1 か月前 ○ 2 か月前 ○ 3 か月前 ○ 6 か月前 ○ 9 か月前 ○ 1 年前

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

   再利用ルールが作成されたら、ソフトウェア製品を再利用ルールに追加します。カスタムソフトウェア製品を追加することもできます。

   さらに、スイート (親) であるソフトウェア製品にフィルター条件を指定できます。カスタムソフトウェア製品の追加の詳細については、「 ソフトウェア資産管理クラシックでのカスタムソフトウェア製品の追加」を参照してください。フィルター条件の詳細については、 ソフトウェア再利用ルールを参照してください。

5. [ソフトウェア製品] 関連リストで [編集] を選択して、ソフトウェア製品を追加します。

   スイートの親でもある製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、[ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。[親] フィールドはすべてのスイートコンポーネントに対して自動的に入力されますが、スイートの親に対しては空です。

   また、製品が関連リストに追加されると、製品プロセス関連リストと、親製品およびスイート製品の製品プロセス (システムに既に存在する場合) が表示されます。

6. ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、カスタム製品プロセスを追加できます。

   a. [製品プロセス] 関連リストで [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

      注:
      [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスのあるソフトウェア製品を選択した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
製品	ソフトウェア製品。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイル名	ソフトウェア製品のファイル名。ファイル名は、SCCM 使用でデータをプルするために必要です。
プラットフォーム	ソフトウェア製品のプラットフォーム。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

> **注:**
> [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスを持つソフトウェア製品が選択されている場合にのみ表示されます。

7. [適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合は、再利用を防ぐためにアクティブにする必要がある SAP トランザクションコードを指定します。

> **注:**
> この手順は、 SAP 公開者にのみ適用されます。

再利用を防ぐために、指定されたすべてのトランザクションコードをアクティブにする必要はありません。アクティブにする必要があるトランザクションコードの最小数は、[必要な最小トランザクションコード] フィールドの値に基づきます。

a. [SAP トランザクションコード] 関連リストから、[編集...] を選択します。

b. [メンバーの編集] フォームで、[コレクション] リストまたは [SAP トランザクションコード] リストからトランザクションコードを選択します。
[コレクション] リストには、使用可能なすべてのトランザクションコードが表示されます。SAPトランザクションコードリストには、再利用を防ぐためにアクティブにする必要があるトランザクションコードのみが表示されます。

c. 左右の矢印アイコンを選択して、リスト間でトランザクションコードを移動します。

d. [**Save** (保存)] をクリックする。

カスタムファイルルールを作成して、ファイルセットを手動で定義します

カスタムルールを作成して、ファイルセットを手動で定義し、SAM API によって認識されないデータを正規化します。カスタムルールを作成すると、カスタムファイルセットを ファイル署名の正規化 で検出し、ソフトウェアレコードを生成できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ファイル署名の正規化 は、構成アイテムのファイル属性に基づいてソフトウェア インストール パッケージを識別します。その後、入力は SAM API に送信されます。ファイル署名の正規化ルールに関連付けられていないファイルプロパティが検出された場合は、データを手動で正規化し、入力を API に送信してソフトウェアインストールレコードを作成できます。

> **注:**
> コンテンツサービスライブラリで検出されたファイル署名ルールは、カスタムファイル署名ルールよりも優先されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > カスタム ファイル正規化ルール をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

不明なファイルセットフォーム

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。 **注:** パブリッシャーは、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェア ディスカバリー モデルフォームで提供されているものと同じルックアップリスト。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 **注:** ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブルの関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。 バージョン条件値が [次の値で始まる] または [次の値に等しい] の場合は必須です。
エディション	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。 エディション条件値が [次の値で始まる] または [次の値に等しい] の場合は必須です。
プラットフォーム	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、Windows、macOS、UNIXに対して [任意] です。
言語	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
コンテンツサービスから除外	コンテンツサービスライブラリに含まれないようにファイルセットルールを除外するオプション。
ファイル名	システムに存在するソフトウェアのインストールに関連付けられたファイルの名前。
ファイルサイズ	ファイル名ファイルのサイズ (バイト単位)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイル バージョン	ファイル名ファイルのバージョン。

2. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
カスタムルールが [不明なファイルセット] リストに追加されます。

ソフトウェア資産管理のサードパーティディスカバリーソースの構成

ソフトウェア資産管理のサードパーティディスカバリーソースを設定して、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、ご使用の環境で見つかったソフトウェアを入力します。

始める前に
サードパーティのディスカバリーソースで ソフトウェア資産管理 アプリケーションの機能を使用するには、ServiceNow インスタンスに存在する CMDB アプリケーションと関連テーブルに入力する必要があります。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IRE API を使用して、ソフトウェア資産管理テーブルへの入力を支援します。IRE API は構成アイテム (CI) 識別子に依存するため、SAM テーブルには IRE サポートのための CI との関係が必要です。IRE API の詳細については、「 識別および調整エンジン 」を参照してください。

必要なロール:sam_developer

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. [サードパーティのデータソース統合フレームワーク [com.snc.samp.ire.datasource.integration] を使用する場合は、スケジュール済みジョブを有効にします 。
3. ディスカバリーソースを実行して、CI 上のソフトウェアを特定します。
   CI はペイロードのビルドに使用されます。
4. IRE REST API を使用して、ペイロードを ServiceNow インスタンスに送信します。

   サンプルペイロードの詳細については、「 汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード」を参照してください。

   ペイロードで CI のsys_class_nameを送信し、挿入または更新操作の実行時に CI が再分類されないようにします。

   ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、表示名、公開者、およびバージョンを含むエントリが作成されます。コンテンツサービスに対して調整が実行され、そのソフトウェアのディスカバリーモデルが識別されます。ディスカバリーモデルが存在しない場合は、ソフトウェアのディスカバリーモデルが自動的に作成されます。ソフトウェア資産管理アプリケーションの使用を開始できます。

ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決

複数のディスカバリーソースを実行しているときに、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成される重複するソフトウェアインストールレコードを解決します。

始める前に
必要なロール:sam_developer

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
同じ構成アイテムで検出されたが、異なるディスカバリーソースから検出されたソフトウェアインストールは、重複と見なされます。CI で複数のディスカバリーソースを実行している場合、異なるディスカバリーソースからの重複ソフトウェアインストールレコードがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。これらの重複エントリを解決するには、スケジュール済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. [はい] を選択して、[サードパーティのデータソース統合フレームワーク [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを使用する場合は、スケジュール済みジョブを有効にします 。
3. スケジュール済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行します。
   重複排除ロジックに基づいて、1 つのソフトウェアインストールレコードのみが true とマークされ、他の重複レコードは false とマークされます。ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルで、重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true になっています。
4. ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。
   重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true に設定されます。ソフトウェアインストールレコードの残りの重複エントリは false に設定されます。

アンインストールされたソフトウェアをソフトウェアインストールテーブルから削除

ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからインストールを削除します。

始める前に
ディスカバリープロセスが実行され、CI からアンインストールされるソフトウェアインストールを特定したら、CMDB アプリケーションのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからそれらのインストールを削除します。

ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから複数のソフトウェアインストールレコードを削除するスクリプトを作成します。テーブル API を使用してソフトウェアインストールテーブルをクエリし、CI のインストールリストを取得できます。

必要なロール:sam_developer

このタスクについて
Oracle、VMware、Citrix などの特定の公開者のソフトウェアインストールレコードを削除することもできます。

手順

1. REST テーブル API *api/now/table/cmdb_sam_sw_install?sysparm_query=installed_on%3D28c9c3b8c0a8000b009b2d941d7e3ee9* を使用して、特定の CI のソフトウェアインストールのリストを照会して識別します。
   REST エンドポイント API の詳細については、「 Table API-GET」 を参照してください。

   a. テーブル名、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、およびクエリパラメーターを指定します。
      クエリパラメーターには、CI の sys_id、または削除操作を実行する公開者、バージョン、製品など、カンマで区切られたフィールドのリストを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. クエリパラメーターを入力したら、要求を送信します。
その特定の CI のすべてのソフトウェアインストールのリストが JSON 形式で応答を受け取ります。応答内のすべてのソフトウェアインストールのsys_idを表示できます。

2. 応答に基づいて、CI で削除されるソフトウェアインストールのsys_idsを特定します。
Delete API を介して渡す必要があるのは、これらのソフトウェアインストールのsys_idsだけです。

3. 削除 API の使用 `request.setEndpoint('http://xyz/api/now/table/cmdb_sam_sw_install/728e87dafd841010fa9bea491bfdc1ff'); request.setHttpMethod('DELETE');` ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからソフトウェアのインストールを削除します。
URL の xyz は、 ServiceNow インスタンスを参照します。

a. テーブル名、ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、および CI で削除するソフトウェア インストールのsys_idsを指定します。

b. 要求を送信します。
ソフトウェアインストールがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから削除されます。

Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成

Microsoft SCCM データをインポートするには、使用状況情報が必要な製品の再利用ルールを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ソフトウェア製品には、SCCM の使用でデータをプルするために必要な、ファイル名で構成される製品プロセスが必要です。ソフトウェア製品を再利用ルールに追加すると、ソフトウェア製品に関連付けられたすべての製品プロセスが [製品プロセス] 関連リストに表示されます。製品プロセスは、ソフトウェア製品プロセス [samp_sw_product_process] テーブルに保存されます。

ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、フォームでカスタムプロセスを作成できます。製品プロセスは、カスタム製品プロセス [samp_custom_product_process] テーブルに保存されます。

一部のソフトウェア製品には製品プロセスが含まれていない場合がありますが、コンテンツライブラリの更新を通じて新しい製品プロセスが毎週追加されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > 再利用ルール [新規] を選択します。

2. [再利用ルール] フォームで、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

再利用ルールフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	再利用ルールを作成する製品の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
適用先	再利用ルールが適用されるソフトウェアのタイプ。 ○ インストール済みソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
再利用タイプ	SCCM からプルされたデータのタイプ。 ○ 合計使用時間 ○ 前回の使用日
ユーザーへの通知	ソフトウェアの削除許可をメールで要求する、ソフトウェアに割り当てられたユーザーに通知するためのチェック ボックス。

3. [再利用タイプ] フィールドで [合計使用時間] を選択した場合は、[使用状況計測データ] セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
次のアグリゲート使用率	使用状況情報をアグリゲートする期間。 ○ 先月 ○ 過去 2 か月間 ○ 過去 3 か月間 ○ 過去 6 か月間
合計使用時間	再利用されないようにするためにソフトウェアを使用する必要がある時間。

4. [再利用タイプ] フィールドで [最終使用日] を選択した場合は、[最終使用日] セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
次より前の最終使用日時	再利用されるまでにユーザーが未使用のソフトウェアを保持できる時間。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. [ソフトウェア製品] 関連リストで、再利用ルールに対応する製品が存在しない場合は、次の手順を実行します。
   a. **[New** (新規)] を選択します。
   b. [カスタムソフトウェア製品] フォームで、 詳細を入力して 製品情報を追加します。
   c. [**Submit** (送信)] を選択します。
   d. 再利用ルールフォームで、[ソフトウェア製品] 関連リストの [編集] を選択します。
7. [ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] を選択します。
8. [カスタムソフトウェア製品] フォームで、作成した製品を選択します。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 選択したソフトウェア製品に製品プロセスが関連付けられていない場合は、次の手順を実行します。

    a. ソフトウェア製品を適用した後、再利用ルールフォームに表示されるバナーのリンクを選択します。

    b. [カスタム製品プロセス] フォームで詳細を入力して、製品にプロセスを追加します。

    カスタム製品プロセスフォーム

フィールド	説明
製品	製品の名前。
ファイル名	製品に関連付けられたファイルの名前。
プラットフォーム	製品のプラットフォーム。

    c. **[Submit** (送信)] を選択する

Example: Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成

Microsoft SCCM から Microsoft Excel の合計使用状況データをプルする再利用ルールを作成します。

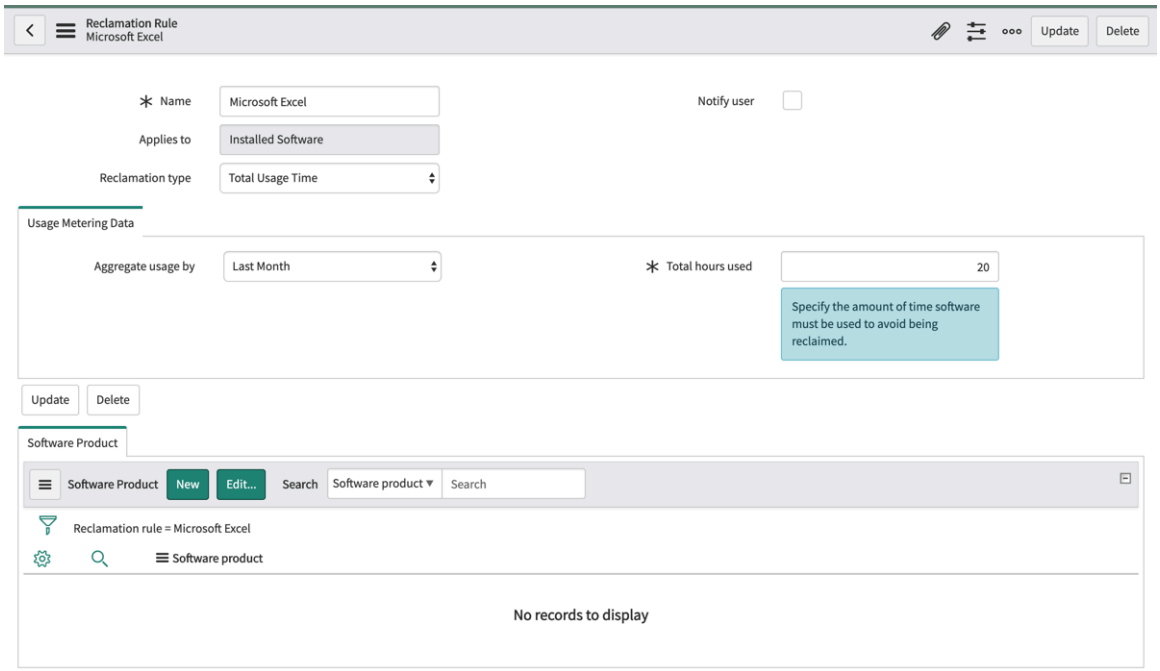
再利用ルールの作成を開始するには、[再利用ルール] フォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	Microsoft Excel
適用先	インストール済みソフトウェア
再利用タイプ	合計使用時間
使用状況計測データ	
次のアグリゲート使用率	先月
合計使用時間	20

[Save (保存)] をクリックします。

自動翻訳

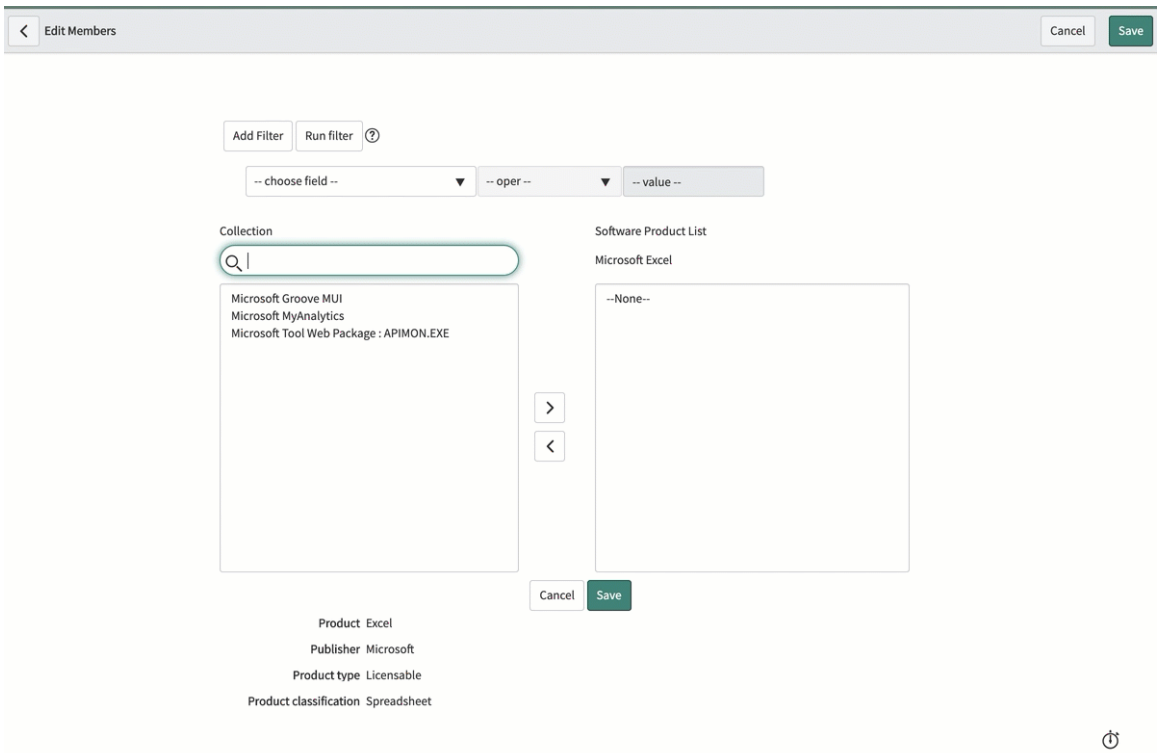
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Microsoft Excel のソフトウェア製品は既に存在するため、製品を再利用ルールに関連付ける必要があります。

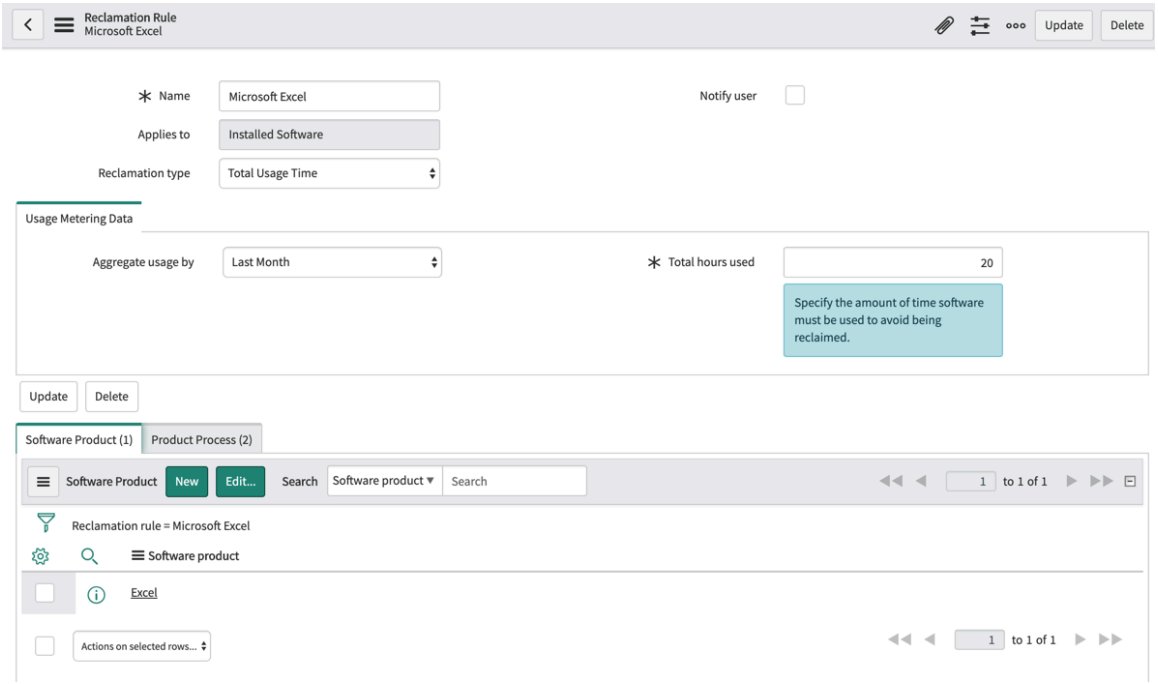
[ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] をクリックします。

[メンバーの編集] フォームで、[コレクション] 列の [Excel] に移動し、[Excel] を選択します。[ソフトウェア製品リスト] 列に追加します。

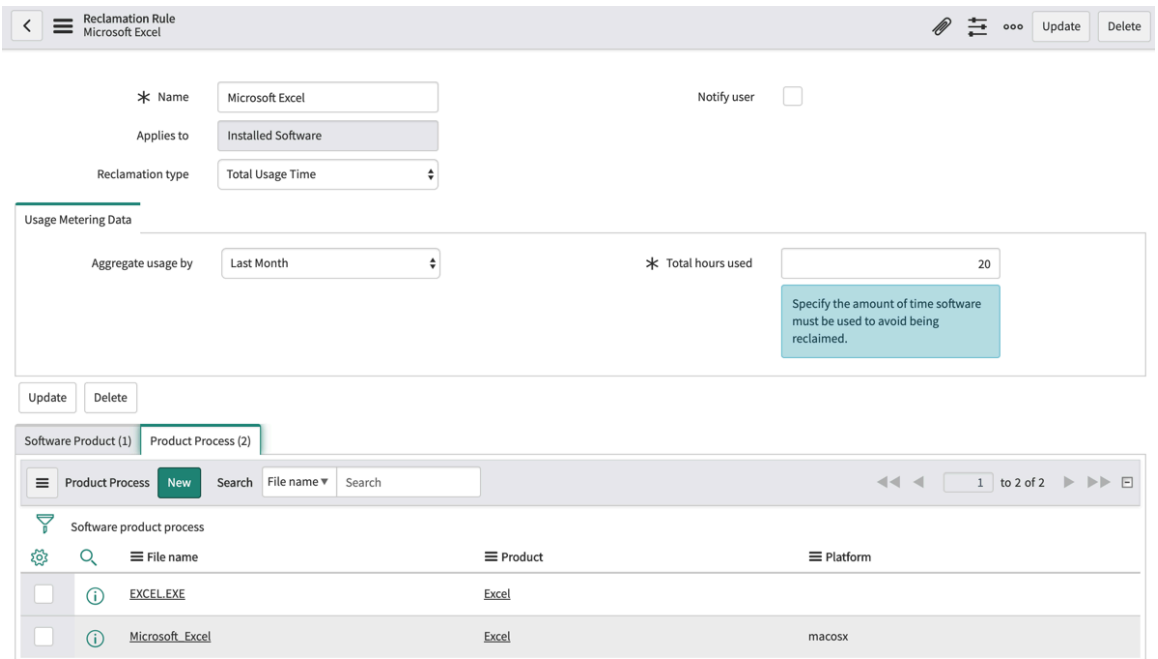


[Save (保存)] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Excel には 2 つの製品プロセスがあります。[製品プロセス] 関連リストをクリックして、製品プロセスを表示します。



[再利用ルール] フォームで、[保存] をクリックします。

次のタスク

再利用ルールが再利用ルールリストに追加され、次の月次インポートスケジュール中に製品のデータが SCCM からインポートされます。

カスタム品番を追加する

カスタム部品番号を追加して、部品番号がソフトウェアライブラリに存在しない場合に発生するエンタイトルメントインポートエラーを解決できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > カスタム品番 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[カスタム部品番号] フォーム

フィールド	説明
パブリッシャーの品番	メーカーの製品コード。
エンタイトルメント定義	品番に関連付けられたディスカバリーマップ。 • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • 言語 • プラットフォーム
ライセンスタイプ	ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 • 完全 • アップグレード
ライセンスのメトリクス	ソフトウェア権限の消費方法を決定するために調整中に使用されるライセンスのメトリクス。
コンテンツサービスから除外	共有されないようにカスタム製品の詳細を除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。

カスタムライセンスの測定基準の追加

カスタム ライセンスのメトリクスを追加して、デフォルトの調整プロセスを変更することができます。

始める前に

必要なロール：

- カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するため： sam_developer
- カスタム測定基準スクリプトを読み込むため：sam_admin

カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するために必要なロール： sam_developer

このタスクについて

カスタムライセンスのメトリクスを作成すると、事前定義されたライセンスのメトリクスリストに含まれていない特定のソフトウェア計算を定義できます。調整があまり知られていないソフトウェア公開者の特定のソフトウェア製品やバンドルに対するユーザーまたはデバイスごとの権限を計算できるようになるため、カスタム ライセンスのメトリクスは便利です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、認識できないバンドルの一部である製品のインストール数を過度にカウントしないように、カスタムメトリクスを作成することができます。

リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルの [消費されたユニット] 列とライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] テーブルの [必要なライセンス] 列の間で 1 対 1 の計算を行うことで、カスタムライセンスメトリクス機能を拡張できます。カスタムライセンス測定基準スクリプトで独自の計算を作成し、独自のロジックを記述してカスタムライセンス測定基準をさらにカスタマイズできます。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルへのリソース値の追加については、「カスタム ライセンスのメトリクスのリソース値を指定します」を参照してください。

カスタム メトリクスは、カスタム ライセンスのメトリクスのプロパティを使用して無効化することができます。この機能はデフォルトで有効になっています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > カスタムライセンスのメトリクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ライセンスのメトリクスフォーム

フィールド	説明
ライセンスのメトリクス	カスタム ライセンスのメトリクスの名前。この名前は、ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンスのメトリクス] フィールドとソフトウェア モデルのライセンスのメトリクスの結果に表示されます。
テーブルソース	このカスタム ライセンスのメトリクスがソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに属するか、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルに属するかを指定します。 **注:** 指定されたテーブルがリソース値テーブルの場合、[調整順序 - 割り当て済み]、[調整 順序 - 未割り当て]、および [割り当てタイプ] フィールドは表示されません。さらに、計算スクリプトには、リソース値に関連するサンプル スクリプトが表示されます。
評価指標グループ	カスタム ライセンスのメトリクス。
割り当てタイプ	ライセンスのメトリクスの割り当てタイプ。デバイスごとまたはユーザーごと。 ○ デバイス ○ ユーザー
説明	カスタム ライセンスのメトリクスの説明。
調整順序 - 割り当て済み	割り当てられたライセンスの調整メトリクスの優先順位。下位の値が優先されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
調整順序 - 未割り当て	未割り当てライセンスの調整メトリクスの優先順位。下位の値が優先されます。
計算	
計算スクリプト	ライセンスのメトリクスの計算方法はスクリプトです。調整スクリプトを指定します。

2. [**Submit** (送信)] を選択します。

カスタム ライセンスのメトリクスサンプルスクリプト

カスタム ライセンスのメトリクススクリプトの例を次に示します。

注:
この例はデモのみを目的としており、実際のコンプライアンス シナリオで使用することを意図したものではありません。

```
<script><![CDATA[getRightsForDevice();
function getRightsForDevice(){
var rightsForDevice = -1;
 var deviceRecord = new GlideRecord('cmdb_ci_computer');
 if(deviceRecord.get(entity)){
  rightsForDevice = deviceRecord.getValue('disk_space');
 }
 return rightsForDevice;
}]]></script>
```

カスタム ライセンスのメトリクスのリソース値を指定します

リソース値に基づいてカスタム ライセンスのメトリクスを作成する場合は、ライセンス要件を計算するソフトウェア製品ごとにリソース値を指定します。

始める前に
必要なロール：sam_user

手順

1. リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを開きます。
   - ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューから、 リソース値 > リソース値.
   - ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用している場合は、次に移動します: **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > リソース値.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[リソース値] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	リソース値の名前。
ソフトウェアモデル	リソース値が関連付けられているソフトウェア製品のソフトウェアモデル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
会社	関連するソフトウェア製品の会社。
場所	関連するソフトウェア製品の物理的な場所。
消費されたユニット	関連するソフトウェア製品のうち、現在消費しているリソース値単位の合計数。たとえば、データ保護ソフトウェア製品を使用して 50 テラバイトのデータを保護している場合は、[消費ユニット] フィールドを 50 に設定します。
Department (部門)	関連付けられたソフトウェア製品がアサインされている部門。
コストセンター	関連するソフトウェア製品に対して財務的に責任を負うコストセンター。

4. リソース値を保存します。
   - ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[保存] を選択します。
   - ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用している場合は、[送信] を選択します。

タスクの結果

後続の調整が実行されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、[消費されたユニット] フィールドの値と [ライセンスメトリクスの結果] [samp_license_metric_result] テーブルの対応する [必要なライセンス] フィールドの値を比較することで、関連するソフトウェア製品のライセンスコンプライアンス状況を判断します。

プロセッサ定義を更新

ソフトウェア資産管理を有効にした後、プロセッサー定義を更新して、CMDB内のサーバーのプロセッサーを正規化します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェア資産管理を有効にした後、および調整を実行する前にプロセッサー定義を更新します。プロセッサー定義を更新すると、CPU タイプ (検出されたプロセッサーの名前) を正しいプロセッサー定義にマッピングできます。

初めて実行する場合は、プロセッサー定義の更新に時間がかかることがあります。続行する前に、このタスクを完了するのに十分な時間を確保してください。

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロセッサ定義を更新 をクリックし、[続行] を選択します。
[プロセッサー定義] リストが表示されます。

ソフトウェア インストールの移行

ディスカバリーを使用している場合は、ソフトウェア資産管理 アプリケーションのインストール後にこのスクリプトを実行して、以前に検出されたソフトウェアインストールレコードを [cmdb_software_instance] テーブルから [cmdb_sam_sw_install] テーブルにコピーします。このテーブルは、ソフトウェア資産管理 アプリケーションがソフトウェアインストールレコードを保存するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ディスカバリー を実行していて、以前に ソフトウェア資産管理 のバージョンを使用したことがある場合は、このスクリプトを実行する必要はありません。

[ソフトウェア インストールの移行] スクリプトを実行の際は、プロセスが完了するのに十分な時間が必要となります。

手順

次のように移動する。 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ソフトウェア インストールの移行 をクリックし、[続行] を選択します。
[ソフトウェア インストール] リストが表示されます。データがすでに移行されている場合は、メッセージが表示されます。

ソフトウェア資産管理カスタマイズを元に戻す

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを初めてインストールした後、または ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン からアップグレードした後は、すべての機能作業のカスタマイズを元に戻す必要があります。ソフトウェア資産管理 アプリケーションの [カスタマイズを元に戻す] モジュールでは、ソフトウェア資産管理に関連するカスタマイズされたファイルを、インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に戻すことができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
[カスタマイズを元に戻す] モジュールには、[ソフトウェア資産でスキップされたファイル] リストが表示されます。ソフトウェア資産管理に関連するすべてのカスタマイズと構成は、ベースアプリケーションバージョンに戻すことができます。

機能を確実に機能させるには、次の操作を行った後にカスタマイズを元に戻す必要があります。

- ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインの新規インストール
- ソフトウェア資産管理 Foundation (com.snc.sams) プラグインからのアップグレード

を使用してカスタマイズを元に戻すこともできます システム診断 > アップグレード履歴 航法。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > カスタマイズを元に戻す をクリックして [ソフトウェア資産をスキップしたファイル] リストを表示します。
2. [**Revert**] を選択すると、処理が [スキップ] のすべてのファイルがベースアプリケーションバージョンに戻ります。
3. カスタマイズの概要で、スキップされたすべてのファイルの性質が [復元済み] であることを確認します。
   アップグレードの詳細 [sys_upgrade_history_log] テーブルでスキップされたすべてのファイルの性質と、更新バージョン [sys_update_version] テーブルで現在の OOB バージョンを確認することもできます。

ソフトウェアライブラリーを管理

[ソフトウェアライブラリを管理] モジュールを使用して、ソフトウェアライブラリデータをオンプレミスインスタンス (ソフトウェアライブラリの自動更新を受信するクラウドにないインスタンス) に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手動でアップロードします。ソフトウェア資産管理コンテンツサービスに参加するために、正規化コンテンツをエクスポートすることもできます。

始める前に
必要なロール:admin (モジュールを有効にする)、sam_admin (ソフトウェアライブラリーを管理する)
[ソフトウェアライブラリを管理] モジュールを有効にして、ソフトウェアライブラリコンテンツのインポートまたはエクスポートを管理するには、次の場所に移動します。 システム定義 > モジュール.
[ソフトウェアライブラリーを管理] モジュールの [アクティブ] 列が true に設定されていることを確認します。

このタスクについて
[ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールを ソフトウェア資産管理 管理ナビゲーションに表示するには、システム定義モジュールを使用して有効化する必要があります。

ソフトウェアライブラリのコンテンツデータは zip ファイルで提供されます。zip ファイルには、パフォーマンスを向上させるための一貫したファイルサイズのファイルが含まれています。インポート中、バックグラウンドプロセス中にデータテーブルが XML ファイルのコンテンツで正常に更新されます。

ワーカーは、1つ以上のバックグラウンドスレッドで何らかの作業を実行するオブジェクトです。複数の XML ファイルを同時にインポートするには、ワーカーが使用されます。同時に実行されるワーカーの数を変更するには、次の 2 つのシステムプロパティを、使用されているワーカーの数で更新します。

- glide.sys.schedulers
- com.snc.samp.recon.max_ワーカー

1 GB を超える添付ファイルをアップロードするには、コンテンツの zip ファイルのサイズを反映するように *com.glide.attachment.max_size* システムプロパティを更新する必要があります。

参加するためにデータをエクスポートすることもできます ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 正規化サービスの向上に貢献します。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > ソフトウェアライブラリーを管理.
2. ソフトウェアライブラリコンテンツファイルをインポートするには:
   a. [ソフトウェア ライブラリ コンテンツ ファイルをインポート] を選択します。
   b. [コンテンツ ファイルを添付] を選択して、ソフトウェア ライブラリ コンテンツ (.zip) ファイルを選択します。
   c. [インポート実行] を選択します。
   [ファイルをインポート] 関連リストで、処理されたファイルの数とまだ処理中のファイルの数を確認して、インポートの進行状況を追跡します。[ファイルのインポート] 関連リスト内のすべてのデータは、SAMP インポートファイル [samp_import_file] テーブルに保存されます。インポートプロセスのより大まかなビューについては、資産ジョブログ [asset_job_log] テーブルを表示することもできます。
3. 正規化コンテンツをエクスポートするには:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [コンテンツサービスオプトイン:正規化コンテンツのエクスポート **(Content Service Opt-In: Export Normalization Content)**] を選択します。

b. [エクスポートの実行] を選択します。

c. エクスポートの状態が [ダウンロードの準備完了] になったら、 [更新] を選択します。

d. 開くか保存する添付ファイルを選択します。

プラットフォームアナリティクスソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック版

この プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注:
ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - ソフトウェア資産管理 クラシック は、ServiceNow がインスタンスでソフトウェア資産プロをアクティブ化すると自動的に有効になります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクス ソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、ドメインセパレーションが有効になっている場合のみ効果があります。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス と統合されたソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードで、調整コストとライセンス、コンプライアンス、および削除のサマリーの傾向図を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規Yokohamaユーザーは、ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

[ソフトウェア資産アナリティクス] ダッシュボードタブにアクセスするには、 ソフトウェア資産 > 概要. レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットを追加および移動します。

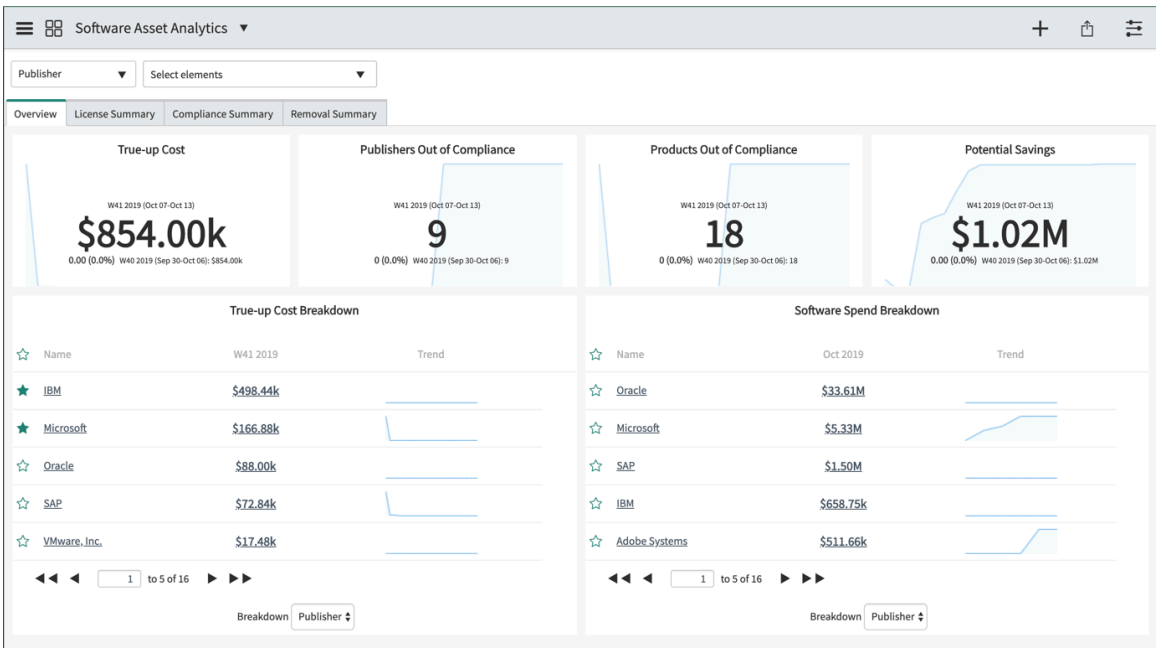
[概要]、[ライセンスサマリー]、および [コンプライアンスサマリー] タブは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。[削除サマリー] タブの結果は毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

グラフには、追跡されているソフトウェアに関する重要な統計情報が表示されます。概要と最適化では、公開者と製品でフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

注:
概要ダッシュボードにデータが表示されない場合は、*glide.cms.enable.responsive_grid_layout* システムプロパティが true に設定されていることを確認してください。

概要

ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボード



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ

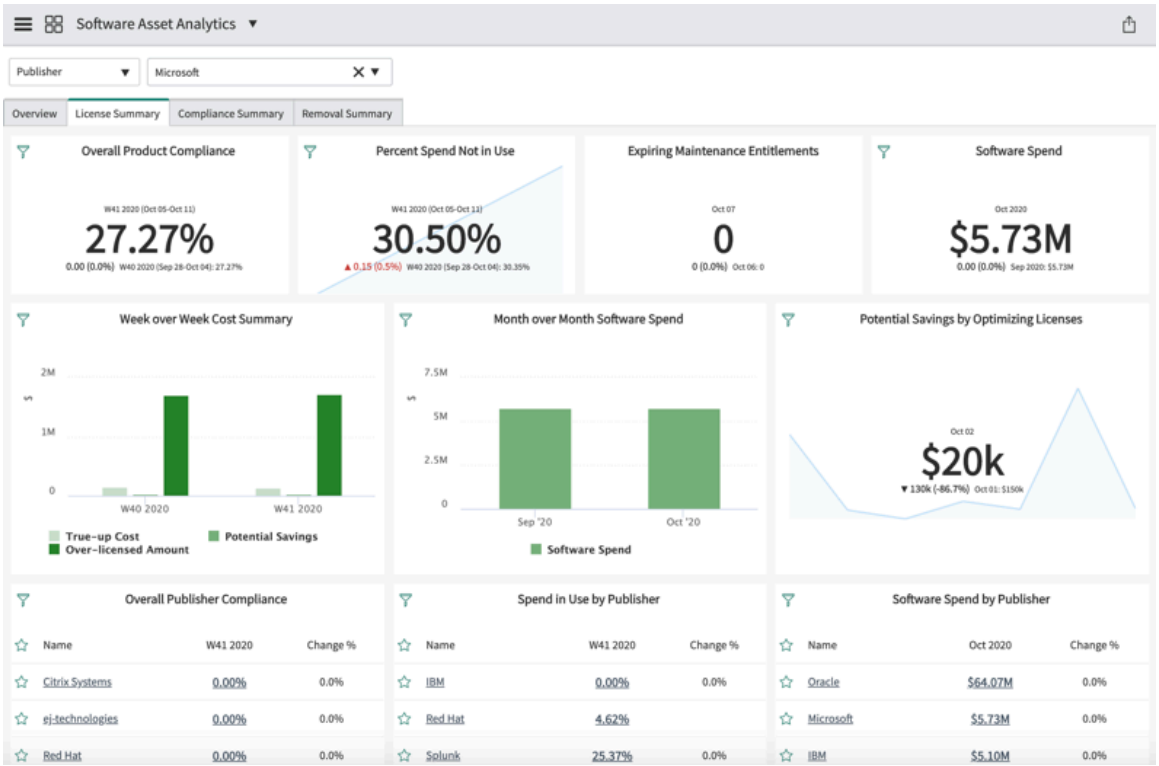
レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用に結果を表示します。
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用に結果を表示します。
節減見込み	製品の結果	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コスト明細	製品の結果	公開者による権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
ソフトウェア支出ブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	パブリッシャーによって廃止されていないすべてのエンタイトルメントの合計ソフトウェアコスト。
サポート終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終わりに近づいているソフトウェア製品ライフサイクルのヒートマップ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのサマリー

[ライセンスのサマリー] タブ



[ライセンスのサマリー] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
製品全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	準拠製品の合計割合。
使用されていない支出の割合	製品の結果とライセンスメトリクスの結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	使用されていないソフトウェア支出の割合 (ライセンス供与過剰金額と節減見込み)。
期限切れが間近のメンテナンスエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスのサマリー] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
		• 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントの詳細が表示されます。 **注:** メンテナンスおよび SA エンタイトルメントは、関連付けられた無期限エンタイトルメントが表示されるため、表示されません。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの総コスト。
前週比コストの概要	製品の結果とライセンスメトリクスの結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	調整コスト、節減見込み、および一連の週のライセンス供与過剰金額。
前月比ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	一連の月の合計ソフトウェア支出。
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスのコスト削減見込み。 **注:** このレポートは、Microsoft Windows Server およびオンプレミス Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターの推奨ライセンスの最適化と関連するコスト節減に関する詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、および推奨支出が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスのサマリー] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
パブリッシャー全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャー別の製品の準拠率。
パブリッシャー別の使用中の支出	製品の結果とライセンスメトリクスの結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	パブリッシャーが使用している支出 = [[合計支出] — [ライセンス供与過剰金額] — [見込まれる節減額]] / 合計支出。
パブリッシャー別のソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	公開者別の合計ソフトウェア支出。

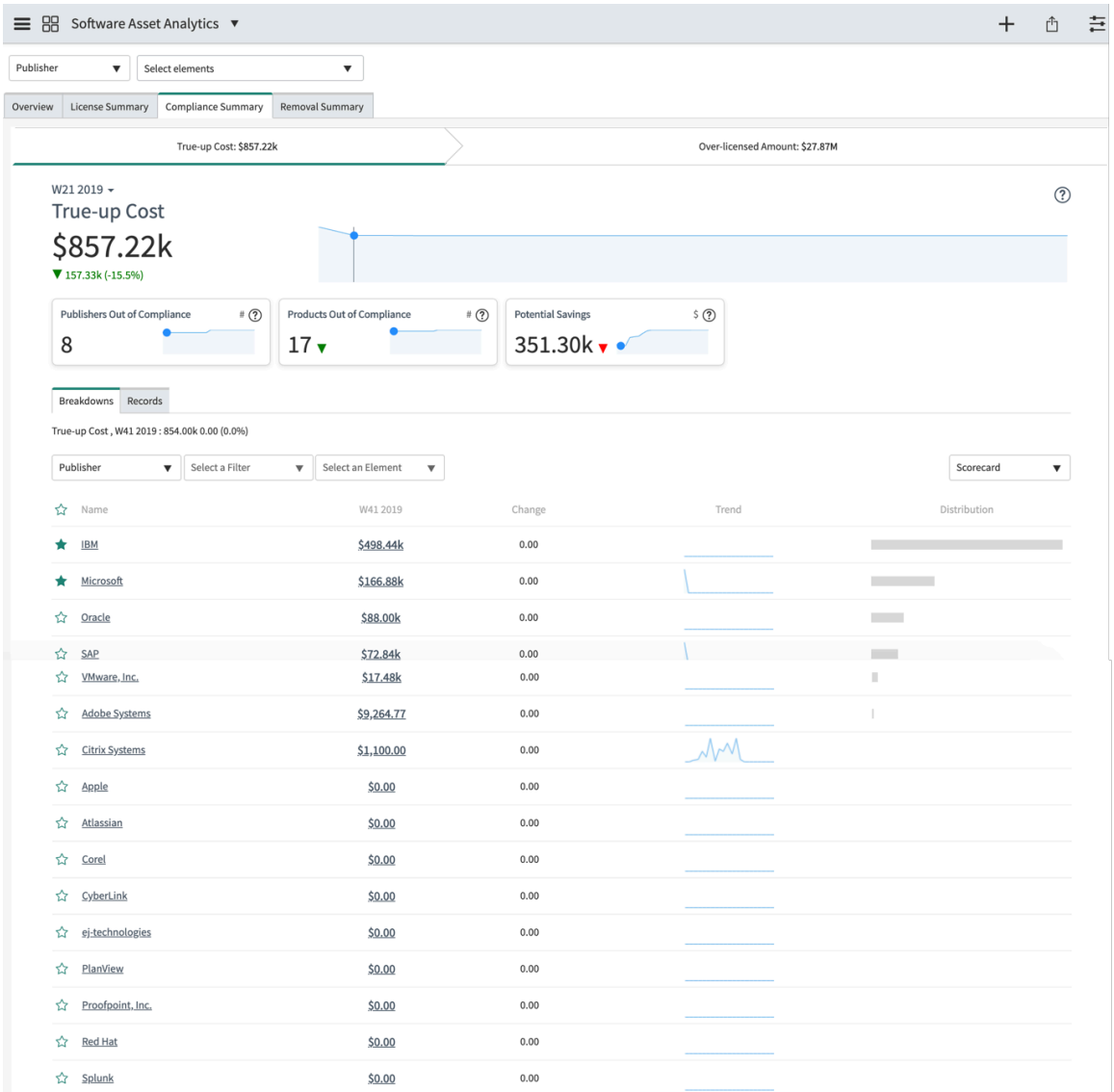
コンプライアンスのサマリー

コンプライアンスサマリーは、パフォーマンスアナリティクスを使用した時系列データで構成され、経時的なコンプライアンスの傾向を示します。コンプライアンス分析データのソースは、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンスサマリー] タブ



コンプライアンスの傾向:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細リストを表示します。ブレークダウンには、公開者、製品、スコアカードが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスの傾向:調整コスト (続く)

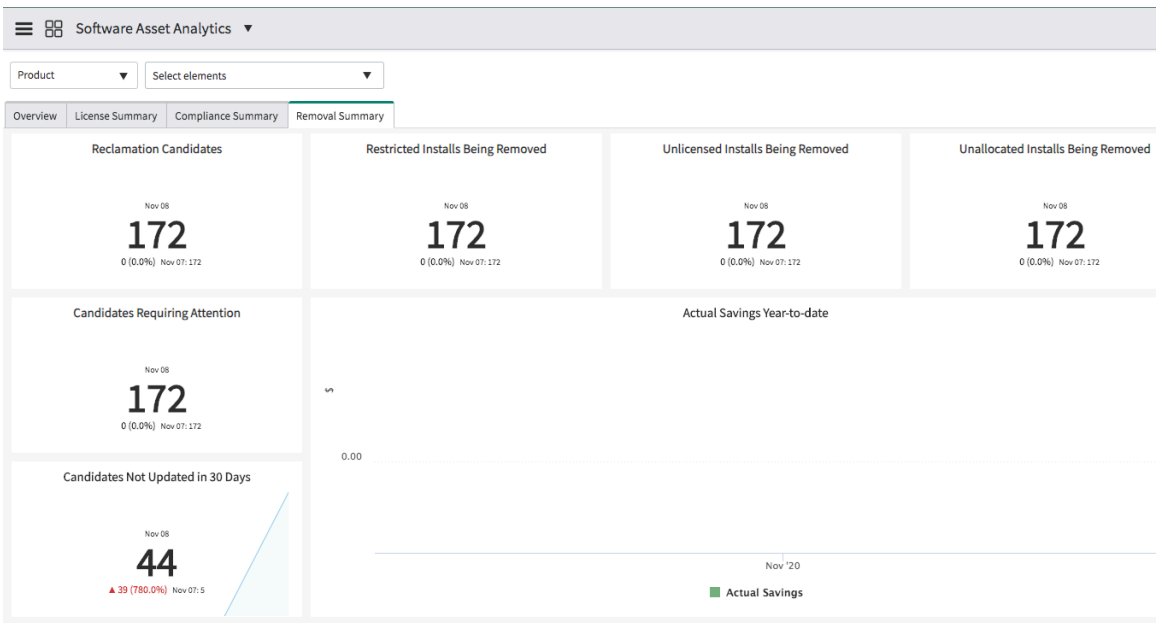
レポート	説明
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細リストを表示します。

コンプライアンスの傾向:ライセンス供与過剰金額

レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰パブリッシャー	使用されていないソフトウェア権限を少なくとも 1 つ持つ公開者の数。
ライセンス供与過剰製品	使用されていないソフトウェア権限が少なくとも 1 つある製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細リストを表示します。ブレークダウンには、公開者、製品、スコアカードが含まれます。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細リストを表示します。

削除サマリー

削除サマリーデータのソースは再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。



[削除サマリー] タブ

レポート	説明
再利用候補	使用理由が低いアクティブな削除候補の合計数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[削除サマリー] タブ (続く)

レポート	説明
	レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除される制限付きインストール	ソフトウェアの制限理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除されるライセンスなしのインストール	正当な理由がないアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除される未割り当てインストール	正当な理由が未割り当てであるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
注意が必要な候補	要注意ステータスの削除候補の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
30 日間更新されていない候補	更新日の値が 30 日より古い削除候補の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
節減実績の年度累計	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
削除候補ブレークダウン	さまざまなブレークダウン (ステータス、パブリッシャー、製品、理由、最終更新日) のアクティブな削除候補。

ソフトウェア資産管理 ダッシュボード

調整コスト、最適化結果、コンプライアンスの傾向図を ソフトウェア資産管理 ダッシュボードに表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規Yokohamaユーザーは、ソフトウェア資産管理ダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

[ソフトウェア資産管理 ダッシュボード] タブにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 概要 をクリックし、ダッシュボードリストから [ソフトウェア資産管理] を選択します。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットを追加および移動します。

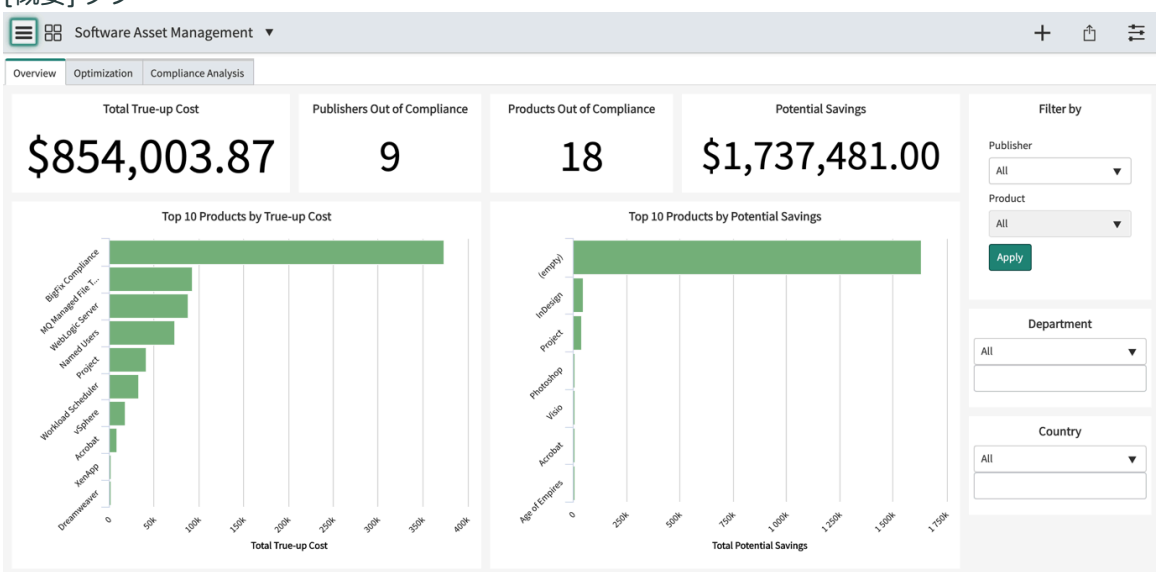
結果は毎日、または新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。各結果の [リフレッシュ] アイコンを選択して更新できます。PNG または JPG 形式でグラフを保存することもできます。

グラフには、追跡対象のソフトウェアに関する重要な統計情報が表示されます。[概要] タブと [最適化] タブでは、公開者、製品、部門、国別にフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

概要

概要データのソースは 製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

[概要] タブ



[概要] タブ

レポート	説明
総調整コスト	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

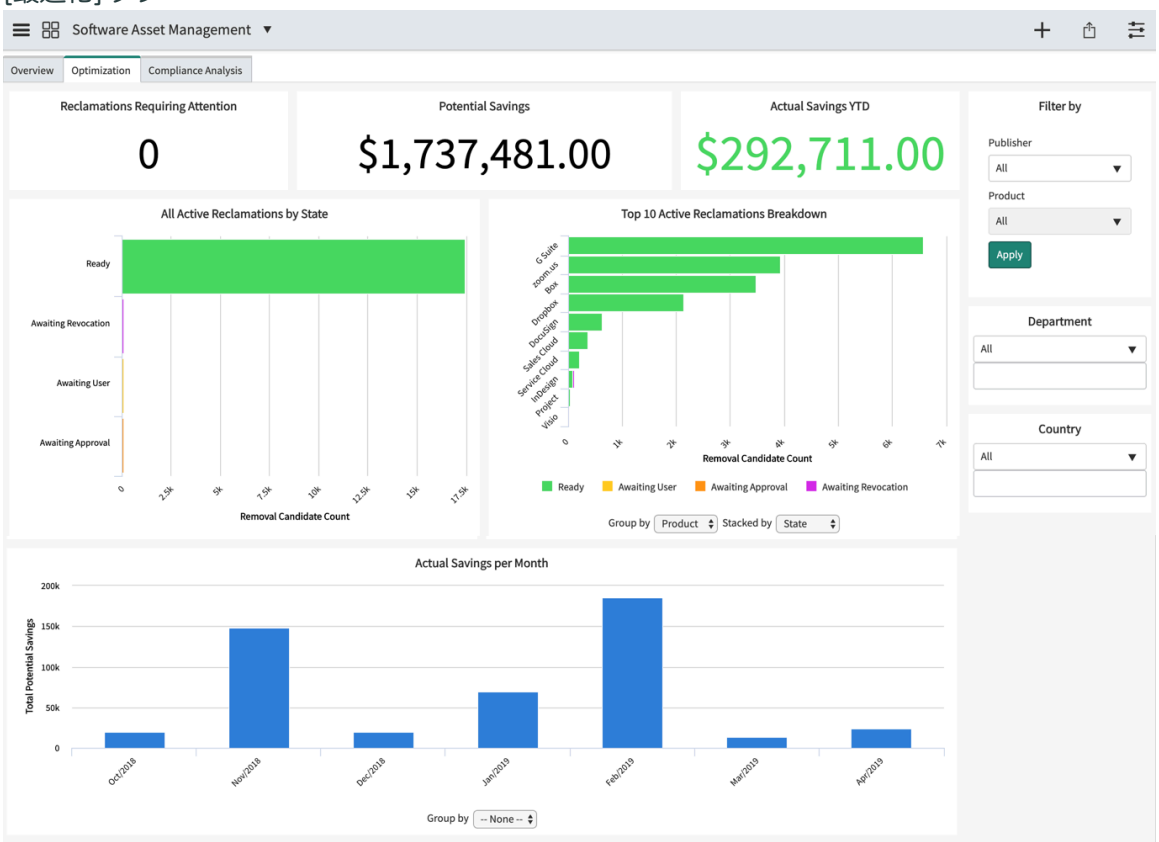
[概要] タブ (続く)

レポート	説明
	レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コストごとの上位 10 製品	上位 10 製品は、調整コストの順にグラフ化されています。
節減見込み額別の上位 10 製品	上位 10 個の製品は、節減見込みの順にグラフ化されています。

最適化

最適化データのソースは再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。

[最適化] タブ



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化] タブ

レポート	説明
注意が必要な再利用	ステータスは要確認です
節減見込み	• 作成日が [今年] または [アクティブ] が true または • 今年クローズし、かつ昨年オープンした
節減実績 (年初来)	今年クローズ済み、かつステータスが完了することでクローズ
ステータス別のすべてのアクティブな再利用	アクティブ = true
上位 10 件のアクティブな再利用のブレークダウン	アクティブ = true
1 か月あたりの節減実績	ステータスが完了してクローズ AND 過去 12 か月間にクローズ

削除候補 ステータスのカラーキー:

色	ステータス
赤	要確認
緑	準備完了
黄	使用待ち
オレンジ	承認待ち
紫	失効待ち
青	完了してクローズ

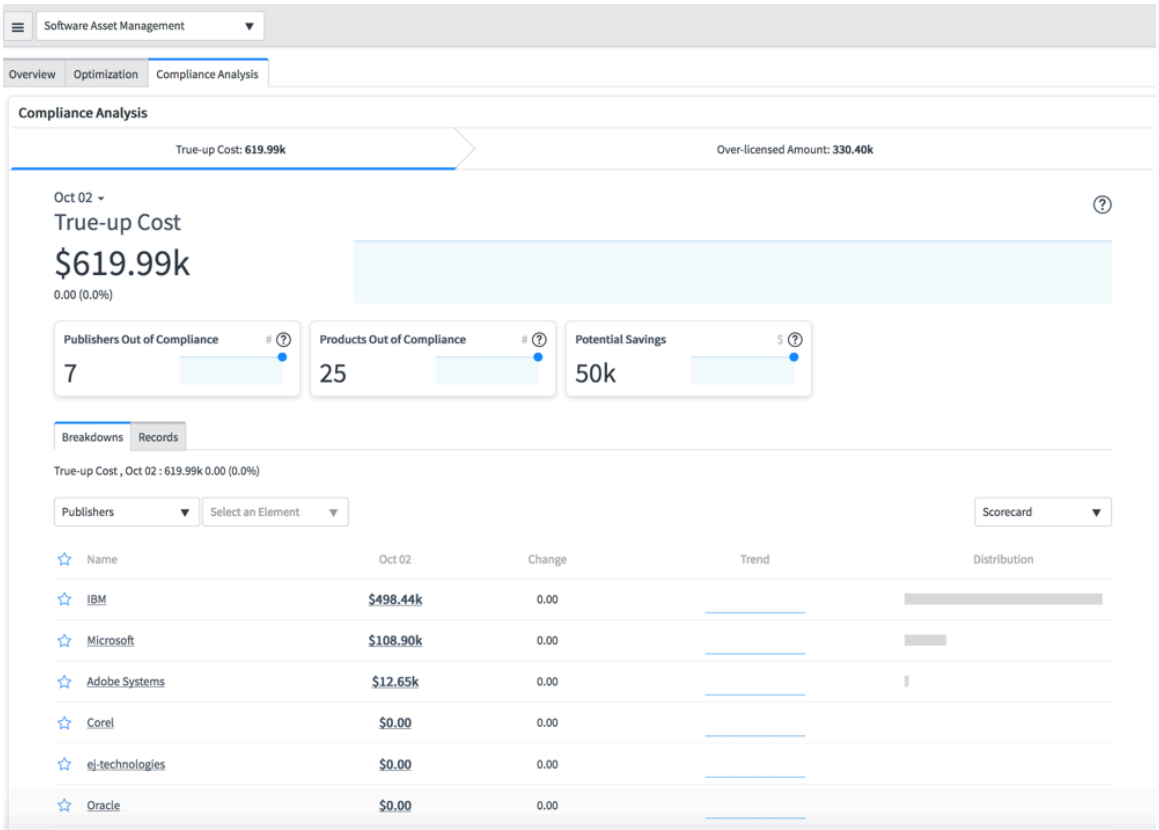
自動翻訳

コンプライアンス分析

コンプライアンス分析は、 パフォーマンスアナリティクス を使用して経時的なコンプライアンスの傾向を示す時系列データで構成されます。コンプライアンス分析データは、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンス分析] タブ



コンプライアンス分析:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細リストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細リストを表示します。

コンプライアンス分析:ライセンス供与過剰金額

レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰パブリッシャー	使用されていないソフトウェア権限を少なくとも 1 つ持つ公開者の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンス分析:ライセンス供与過剰金額 (続く)

レポート	説明
ライセンス供与過剰製品	使用されていないソフトウェア権限が少なくとも 1 つある製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細リストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細リストを表示します。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

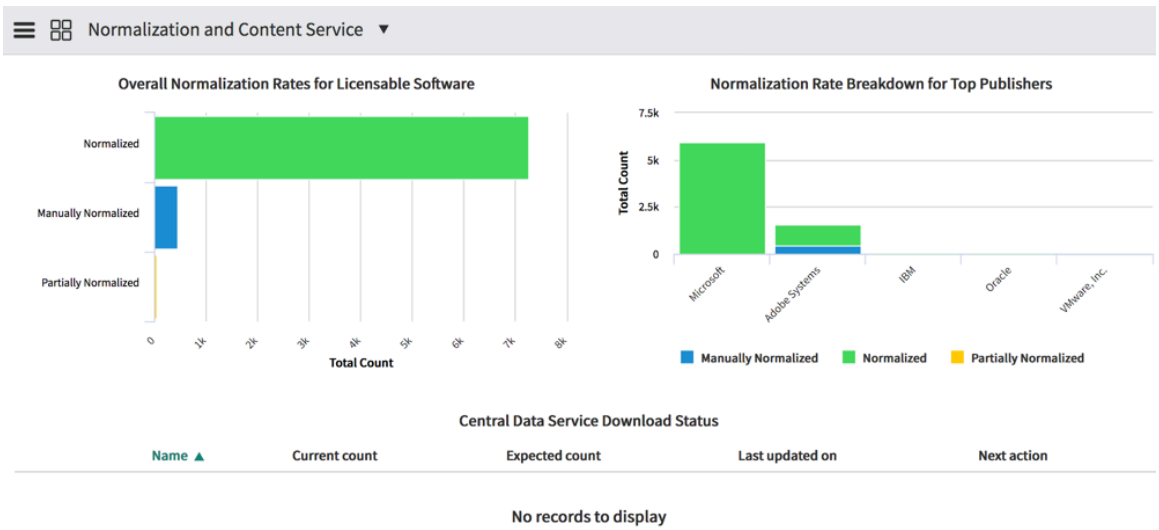
パフォーマンスアナリティクス と統合された [正規化とコンテンツサービス] ダッシュボードで正規化の傾向図を表示します。

注:
Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化するか、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規Yokohamaユーザーは、正規化とコンテンツサービスダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

[正規化およびコンテンツサービス] ダッシュボードタブにアクセスするには、 ソフトウェア資産 > 概要 をクリックし、ダッシュボードリストから [正規化とコンテンツサービス] を選択します。別のソフトウェア資産管理 ダッシュボードのダッシュボードリストからアクセスすることもできます。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットを追加および移動します。

正規化チャートの結果は、 **SAM -** ディスカバリーモデル正規化 ジョブの実行時に毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

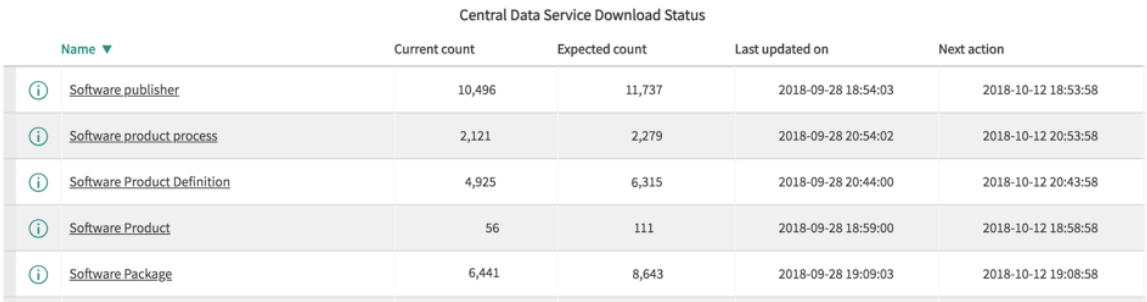
自動翻訳

レポート	ソースリスト	説明
ライセンス可能なソフトウェアの全体的な正規化レート	ソフトウェアインストール正規化レート	すべてのライセンス可能な製品の全体的な正規化ステータス数。
トップパブリッシャーの正規化レートのブレークダウン	トップパブリッシャーのソフトウェアインストール正規化レート	Microsoft、 Oracle、 IBM、 VMware、 Citrix、 SAP、および Adobe の上位パブリッシャーごとのライセンス可能な正規化ステータスの数。

[セントラルデータサービスのダウンロードステータス] 関連リスト

[セントラルデータサービスのダウンロードステータス (Central Data Service Download Status)] 関連リストは、 **SAM –** セントラルデータサービスのダウンロードステータス ジョブの実行時に毎日更新されます。

[セントラルデータサービスのダウンロードステータス] 関連リスト



フィールド	説明
[Name (名前)]	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。
最終更新日	データがプルされた最後の日時。
次のアクション	データをプルする次の予定日時。

[Engineering License Overview] ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品使用状況レポートを表示して、エンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を監視し、インサイトを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Yokohama前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Yokohama にアップグレードした新規Yokohamaユーザーは、エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードを使用できなくなります。Yokohama より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Yokohama へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

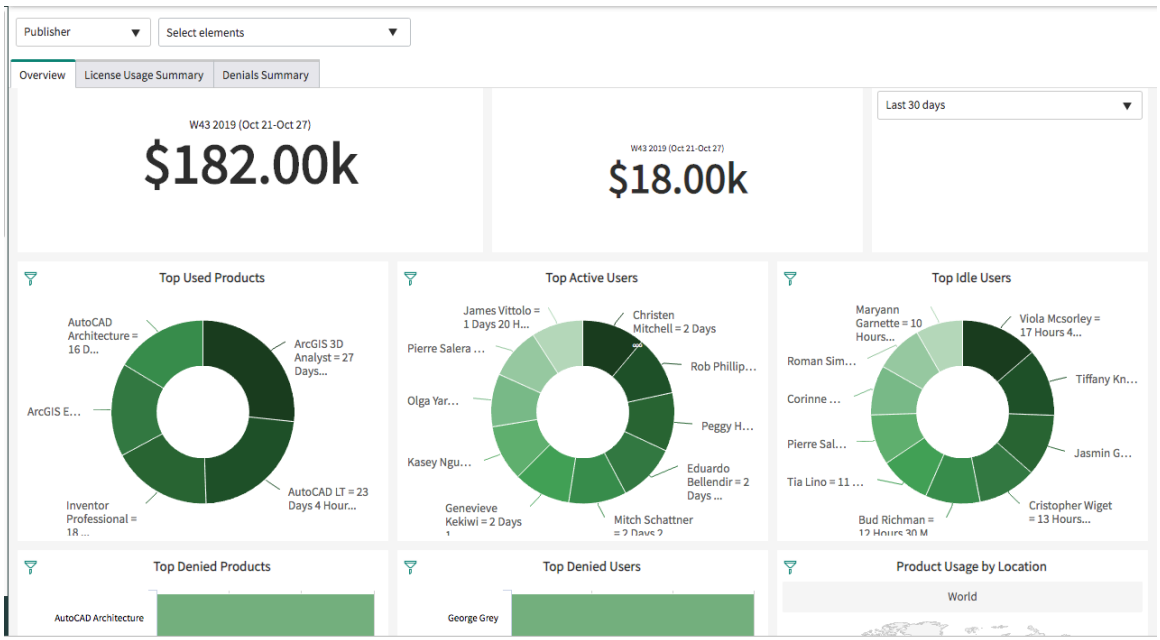
[Engineering License Overview] ダッシュボードには、AutoCAD、GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

Engineering License Overview ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > エンジニアリングライセンスの概要.

すべてのタブで商品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品と公開者のみがフィルターに表示されます。製品または公開者が選択されていない場合、タブには、エンジニアリングアプリケーションに属するすべての製品と公開者の累積データが表示されます。

[概要]、[ライセンス使用状況の概要]、および [拒否の概要] タブは、毎日、または新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフを PNG または JPG 形式で保存して、ローカルで表示したり共有したりできます。

[概要] タブ



このタブには、すべてのエンジニアリングアプリケーションのメトリクスの概要が表示されます。このタブでは、さまざまな日付オプションで結果をフィルタリングできます。

注:
日付フィルターは、 現在の支出 と 節減見込みには適用されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

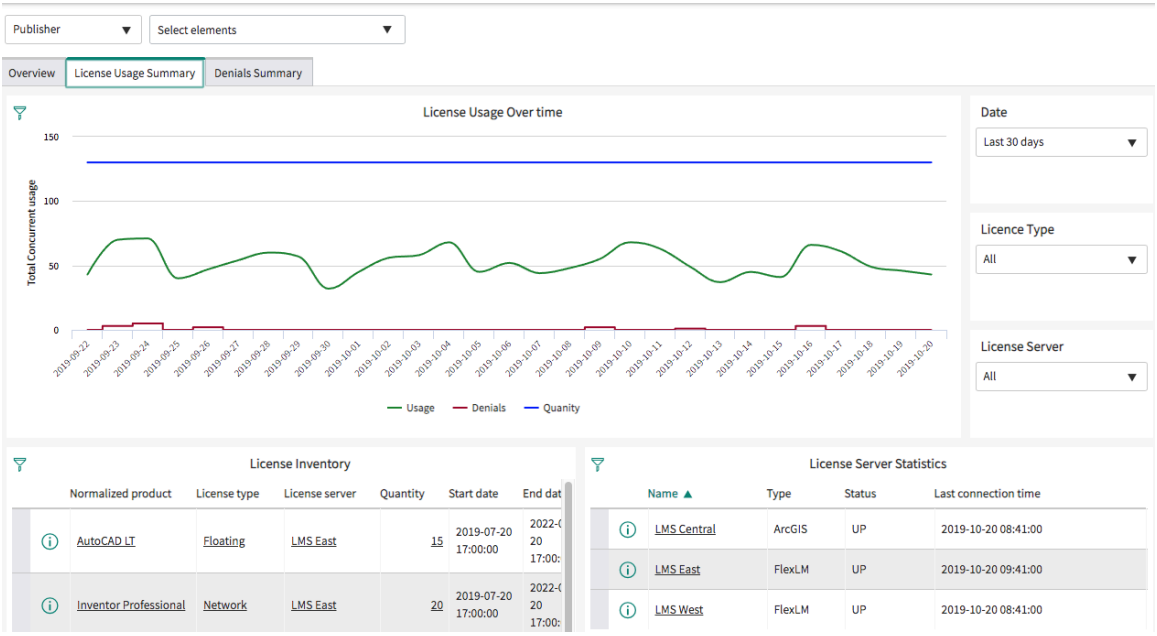
[概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
現在の消費量	製品の結果 [samp_product_result]	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。
節減見込み	ライセンスダッシュボードインベントリ [license_dashboard_inventory]	ライセンスが潜在的に活用されていない場合、または十分に活用されていない場合に節約されるコスト。コストを最適化するために、これらのライセンスを再割り当てするか、ライセンスを返却してコストを節約することができます。
上位使用製品	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	現在使用されている上位製品。製品ごとに使用されている日数と時間も表示されます。
上位アクティブユーザー	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	現在製品を使用している上位ユーザー。ユーザーごとに使用されている日数と時間も表示されます。
上位アイドルユーザー	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	ライセンスを要求したが、そのライセンスを使用していない上位ユーザー。ユーザーごとの非アクティブな日数と時間も表示されます。
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用のピークに達したためにユーザーに拒否されている上位製品。
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品へのライセンスを拒否された上位ユーザー。
場所別の製品使用率	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	場所別に製品を使用しているユーザーの数に基づきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンス使用率のサマリー] タブ



このタブでは、ライセンスタイプ (フローティング、ネットワーク、またはトークン) に基づいてデータを表示できます。このタブのデータは、日付、ライセンスタイプ、およびライセンス管理サーバーでフィルタリングできます。

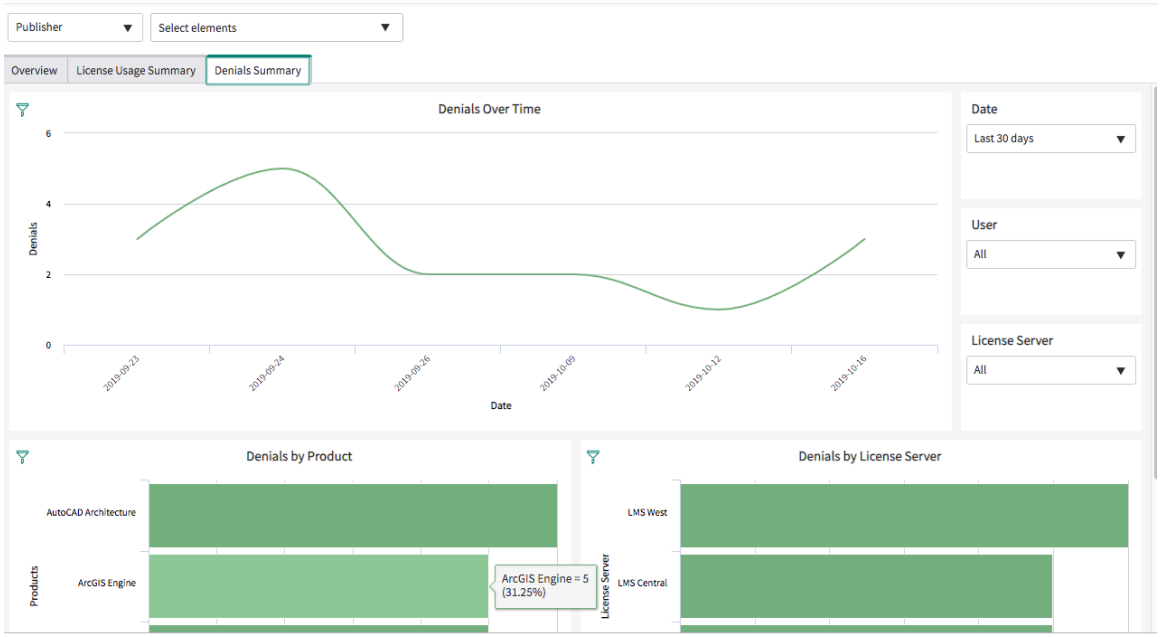
[ライセンス使用率のサマリー] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
ライセンス使用時間外	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	利用可能なすべてのライセンスの合計数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用を示します。 • 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ライセンスインベントリ	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license]	製品またはパブリッシャーで利用可能なすべてのライセンス。
ライセンスサーバーの統計情報	エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバー [samp_end_app_license_server]	OpenLM または Open iT が接続するすべてのライセンス管理サーバー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[拒否の概要] タブ



このタブのデータは、日付、ユーザー、またはユーザーグループでフィルタリングできます。

[拒否の概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
時間の経過に伴う拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	一定期間にわたる製品の拒否。
製品別の拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	ユーザーに対して最も拒否された製品。
ライセンスサーバーによる拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品へのライセンスを最も拒否されたライセンスサーバー。

ソフトウェア資産管理の参照情報

ソフトウェア資産管理 のフォームへの入力に役立つ説明を参照してください。

ソフトウェア資産管理プロとともにインストールされるコンポーネント

ロール、プラグイン、およびスケジュール済みジョブは、 ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。デモデータはこのアプリケーションで利用できます。

インストールされるスケジュール済みジョブ

ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされたスケジュール済みジョブのリストを表示するには、ServiceNowインスタンスに移動して [すべて] を選択し、アプリケーションナビゲーターに「スケジュール済みジョブ」と入力します。[スケジュール済みジョブ] ページで [フィルターを表示/非表示] を選択し、条件ビルダーでフィルター条件 [名前が SAM で始まる] を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール

次のロールが ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされます。

ソフトウェア資産管理プロ ロール

ロール名	説明	ロールを含む
ソフトウェア資産管理アドミニストレーター [sam_admin]	このロールは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションへのフルアクセス権があります。このロールは、エンタイトルメントのインポート、再利用ルールの管理、調整の実行、カスタム製品とパターン正規化ルールの作成、コンテンツサービスの設定、およびその他の管理機能に必要です。	• sam_user • sam_spend_import • asset • model_manager • contract_manager 注: sam_spend_import ロールは ソフトウェア支出検出 とともにインストールされます。it_demand_user ロールは 、PPM Standard とともに自動的にインストールされなくなりました。
ソフトウェア資産管理ユーザー [sam_user]	このロールは、管理を除くすべての ソフトウェア資産管理 機能にアクセスできます。 ソフトウェア支出検出がインストールされている場合、このロールは、財務トランザクションデータのインポートとコンテンツサービスのセットアップを除くすべてのソフトウェア支出検出機能にアクセスできます。	• pa_viewer • cmdb_read • report_user • sn_remote_dir_sync.reader
ソフトウェア資産管理開発者 [sam_developer]	プラットフォーム上でスクリプトを記述できます。sys_admin に付与される script-writing 権限に相当します。このロールを持つユーザーは、アドミニストレーター ServiceNow トレーニングを受ける必要があります。	sam_admin
SaaS ライセンス管理統合アドミニストレーター [sam_integrator]	SaaS 統合プロファイルを作成および管理するために必要なロール。	• sam_user • connection_admin • flow_operator
ソフトウェア支出検出ユーザーをインポート [sam_spend_import]	財務トランザクションデータを ソフトウェア支出検出 にインポートするために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービスのセットアップを除くすべての ソフトウェア支出検出 機能にアクセスできます。このロールを持つユーザーは、追加のロールが付与され	pa_viewer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ ロール (続く)

ロール名	説明	ロールを含む
	ていないと ソフトウェア資産管理 を表示できません。	

インストール済みプラグイン

次のプラグインが ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされます。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン

プラグイン	場所	説明
Software Asset Workspace を含むすべてのソフトウェア資産管理プロプラグインをアクティブ化します com.sn_samp_master_ws	Now Support サービスポータル	サブスクリプションが必要です。ソフトウェアディスカバリー情報を正規化し、エンタイトルメントとインストールを調整し、使われていないソフトウェアを再利用する機能を提供します。パブリッシャー製品を調整するための追加機能を提供します。次のプラグインをワンステップでロードします。 • ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグイン • ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)
すべての ソフトウェア資産管理プロ プラグインを有効にする (com.sn_samp_master)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、Yokohamaより前のリリース用です。次の ソフトウェア資産管理プロ プラグインをワンステップでロードします。 • ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグイン • すべてのパブリッシャーパックアドオンプラグイン • ソフトウェア資産管理 UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	場所	説明
		注: SaaS ライセンス管理を有効にするには、ServiceNow Storeとは別に ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインを要求する必要があります。このプラグインを要求して有効にする方法については、SaaS ライセンス管理の要求 を参照してください。
ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、Yokohamaより前のリリース用です。ソフトウェア資産管理アプリケーションの新しいユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。
統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 ソフトウェア使用 (com.snc.samp_usage_sccm)	Now Support サービスポータル	Microsoft SCCM (System Center Configuration Manager) 2012 v2 からソフトウェア使用状況データを収集するために必要です。 まだ有効でない場合は、Integration — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグインが自動的に有効になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	場所	説明
		重要: このプラグインは、Tokyo リリースで廃止されます。SCCM を初めて統合する場合は、代わりに ServiceNow Store から Microsoft SCCM 用のサービスグラフコネクタアプリケーションを要求してインストールします。ServiceNow インスタンスでこのプラグインを既にアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタストアアプリケーション向け移行準備ツールを使用して、サービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ」を参照してください。
統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用 (com.snc.samp.usage_sccm_2016)	Now Support サービスポータル	Microsoft SCCM (System Center Configuration Manager) 2016 からソフトウェア使用状況データを収集するために必要です。 まだアクティブでない場合は、Integration — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグインを自動的にアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	場所	説明
		重要: このプラグインは、Tokyo リリースで廃止されます。SCCM を初めて統合する場合は、代わりに ServiceNow Store から Microsoft SCCM 用のサービスグラフコネクタアプリケーションを要求してインストールします。ServiceNow インスタンスでこのプラグインを既にアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタストアアプリケーション向け移行準備ツールを使用して、サービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ」を参照してください。
オーケストレーション - クライアントソフトウェアディストリビューション (com.snc.orchestration.client_sf_distribution)	Now Support サービスポータル	デバイス上のソフトウェアのインストールおよびアンインストール機能を有効にする ServiceNow オーケストレーション アプリケーションをアクティブ化するために必要です。 **注:** ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを購入したユーザーには、ソフトウェアアンインストール機能 (ソフトウェア再利用とも呼ばれる) のライセンスが付与されます。ソフトウェアインストール機能には追加のライセンスが必要です。
ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int)	ServiceNow Store ServiceNow Storeからこのプラグインを要求してアクティブ	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。SaaS製品のライセンスを管理するための統合を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	場所	説明
	化する方法については、SaaS ライセンス管理の要求を参照してください。	
ソフトウェア資産管理 — 支出検出 (com.sn_sam_spend)	Now Support サービスポータル	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。財務トランザクションデータからソフトウェア支出を検出するコア機能を提供します。
ファイル署名の正規化 (com.snc.file_signature_normalization)	Now Support サービスポータル	インストール済みソフトウェアレコードを作成するときに、検出されたファイルの署名を正規化するために必要です。このプラグインは、ファイルベースディスカバリーでも有効になります。
モバイル従業員エクスペリエンス 自分の資産 (com.glide.mobile-employee.myassets)	Now Support サービスポータル	エンドユーザーが割り当てられた資産をモバイルデバイスで表示し、これらの資産のサービスを要求するインシデントを作成するために必要な機能を提供します。
IT Asset Management Mobile (com.sn_itam_mobile)	Now Support サービスポータル	受領担当者が購入した資産をモバイルデバイスで受け取る機能を提供します。
パブリッシャーパックアドオンプラグイン		
Adobe の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_adobe)	Now Support サービスポータル	Adobeサブスクリプションソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
Citrix の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_citrix)	Now Support サービスポータル	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなどの Citrix ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
IBM の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_ibm)	Now Support サービスポータル	PVU および RVU ライセンスメトリクスを使用して IBM 製品を調整するための追加機能を提供します。 このプラグインは、Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters などのRed Hat Enterprise

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	場所	説明
		Linuxソフトウェアを調整するための追加機能も提供します。
Microsoft の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft)	Now Support サービスポータル	Microsoft SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
Oracle の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)	Now Support サービスポータル	Oracle DB サーバーなどのOracleソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
SAP の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap)	Now Support サービスポータル	指定ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整する SAP 追加機能を提供します。
VMware の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_vmware)	Now Support サービスポータル	vCenter や vSphere などの VMware ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ エンジニアリングアプリケーション向け (com.sn_samp_eng_app)	Now Support サービスポータル	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。AutoCAD などのエンジニアリングアプリケーションを調整するための追加機能を提供します。

ライセンス契約タイプ

ライセンス契約の種類によって、製品の使用権が決まります。

合意タイプ

パブリッシャーパックの合意タイプ。

パブリッシャーパック	合意タイプ
Adobe	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)
Citrix	汎用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーパック	合意タイプ
一般	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
カスタム	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
IBM	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • 国際プログラムライセンス契約 (IPLA):ライセンスへの影響はありません。 • IBM 顧客契約 (ICA):ライセンスへの影響はありません。 • IBM 無制限ライセンス契約 (IULA)
Microsoft	• 汎用 • エンタープライズ契約 • エンタープライズ登録 • エンタープライズサブスクリプション契約 • Microsoft 製品およびサービス契約 • オープンライセンス • オープン値 • オープン値サブスクリプション • 登録を選択 • ライセンスを選択 • プラスを選択
Oracle	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
VMware	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • エンタープライズ購入プログラム (EPP):ライセンスへの影響はありません。 • Volume Purchasing Program (VPP): ライセンスへの影響はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理のプロパティ

グループ化や調整のデバッグなど、デフォルトの調整プロパティを設定できます。

これらのプロパティは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで使用できます。

これらのプロパティにアクセスするには、 **All** (すべて) > ソフトウェア資産 > アドミニストレーション > プロパティ.

ソフトウェア資産管理 のプロパティ

プロパティ	説明
照合の週次実行のデフォルトグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.group	調整中に権限とソフトウェア インストールをグループ化する方法を決定します。 値 (デフォルトは [なし]): • 会社 • コストセンター • 国 • 部門 • 地域 調整グループ [samp_group] テーブルには、これらの各グループ値のマッピングのリストが格納されます。
SAM ワークスペースライセンス操作リスト数の制限 sn_sam_workspace.sam_license_operations_list_count	ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス操作] ビューにソフトウェア資産レコードの数を表示するしきい値制限を設定できます。SAM アドミニストレーターは、必要に応じてしきい値の値を設定できます。 値は **5,000,000** に設定されます。レコードが 500 万件未満の場合は、ソフトウェアインストールレコードの正確な数が表示されます。500 万を超えるレコードがある場合、カウントは 5000000+ と表示されます。
照合の週次実行のデフォルトサブグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.subgroup	調整中の権限とソフトウェア インストールのセカンダリ グループを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	[なし] を除き、グループとサブグループの値は異なる必要があります。 値 (デフォルトは [なし]): • 会社 • コストセンター • 国 • 部門 • 地域 調整グループ [samp_group] テーブルには、これらの各サブグループ値のマッピングのリストが格納されます。
利用可能なすべてのカスタム ライセンスの測定基準とともに照合を実行する com.snc.samp.recon.enablecustommetrics	調整の実行時にカスタム ライセンスのメトリクスを有効にします。 カスタム ライセンスのメトリクスが設定されている場合、このプロパティが[いいえ] に設定されていたら適用されません。デフォルトは [はい] です。
調整結果のデバッグを有効にします。デバッグを有効にすると、パフォーマンスに影響することに注意してください。 com.snc.samp.debug	調整結果のデバッグを有効にして、結果のトラブルシューティングを行います。デフォルトは [いいえ] です。 さらに、このプロパティは、オンプレミスインポートデバッグのログ記録もトリガーします。
すべての「ライセンス可能」製品のソフトウェアモデルを自動的に作成します com.snc.samp.automaticsmrcreation	[製品の結果] リスト内のエンタイトルメントのないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、またはオプション (ライセンス可能な製品の) ソフトウェアモデルを非準拠状態で自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルと結果は、ライセンスポジションレポートにライセン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	スなしの数を表示するために使用されます。 **注:** ソフトウェア モデルの自動作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの自動作成」を参照してください。
Oracleデータベースと WebLogic サーバーのライセンスを調整するためのアグリゲーションレベルを選択します。VMware com.snc.samp.oracle.reconlevel **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Oracle を有効にしている場合にのみ使用できます。 **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用したドメインセパレーションをサポートします。詳細については、「のドメイン固有の調整プロパティの設定 Oracle」を参照してください。	Oracle データベースと WebLogic Server ライセンスをVMware仮想化テクノロジーで調整するために使用されるアグリゲーションのレベル。ソフトウェア資産管理 は次のアグリゲーションレベルをサポートしています。 • **ESX**: **ESX** アグリゲーションレベルでは、ESX ホスト上のすべてのプロセッサーコアが考慮されます。 • **ESX** クラスター (デフォルト値): **ESX** クラスター アグリゲーションレベルでは、クラスター内のすべての ESX サーバー上のすべてのプロセッサーが考慮されます。 • **vCenter**: **vCenter** アグリゲーションレベルでは、すべての ESX サーバーのすべてのプロセッサコアが考慮されます。 このアグリゲーションレベルを選択した場合、ライセンス計算は、VMware 仮想環境で使用している ESXi バージョンに基づきます。サポートされている ESXi バージョンの詳細については、 Oracle ソフトパーティション環境でのデー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	タベースとWebLogic Serverのライセンス を参照してください。
vCenter のアグリゲーションレベルでVMwareOracleデータベースと WebLogic サーバーのライセンスを調整するには、ホスト親和性を使用します com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Oracle を有効にしている場合にのみ使用できます。 **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用してドメインセパレーションをサポートします。詳細については、「のドメイン固有の調整プロパティの設定 Oracle」を参照してください。	ソフトウェア資産管理 アプリケーションが、VMware vCenter Server インスタンス内の Oracle Database と WebLogic Server のライセンスを調整するときに、VM とホストの親和性ルールを考慮できるようにします。このプロパティは、「**VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するためのアグリゲーションレベルを選択してください」プロパティで **vCenter** に対するOracle調整のアグリゲーションレベルを設定した場合にのみ適用できます。 VM とホストの親和性ルールを使用すると、仮想マシンを実行できる物理 ESXi ホストを指定できます。Oracleライセンス契約でVMとホストのアフィニティ・ルールが規定されている場合は、OracleデータベースおよびWebLogicサーバーにライセンスを付与するときにこれらのルールを考慮することで、ライセンス義務を軽減できます。
すべての「ライセンス不可」製品のソフトウェアモデルを自動的に作成します com.snc.samp.automaticsmcreation	[製品の結果] リストにある (ライセンスできない製品の) ライセンスなしのインストールに対して、非準拠状態のソフトウェアモデルを自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルは、アプリケーションポートフォリオ管理によって使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	デフォルトは [いいえ] です。
選択したデバイスにインストールされているソフトウェアをソフトウェア資産管理から除外するにはcmdb_ci_hardwareテーブルに追加された true/false フィールドの名前を入力します com.snc.samp.exclude_device_flag	列名「exclude_from_sam」を入力したときに [SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスにインストールされたソフトウェアを (ソフトウェア資産管理アプリケーションから) 除外します。
Citrix環境で公開されているアプリケーションについて、調整中に考慮するライセンス期間 (日数) を入力します com.snc.samp.citrix.app.license.period 注: このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Citrix を有効にしている場合にのみ使用できます。	調整中に考慮される Citrix アプリケーションのライセンス期間 (日数) を示します。デフォルトは 90 日です。
エンジニアリングアプリケーションのピーク使用量を考慮する期間 (日数) を入力します。 com.snc.samp.eng.app.peak.usage.period	エンジニアリングアプリケーションがピーク使用量と見なされる期間 (日数) を示します。 デフォルト値は 30 日で、sam_admin ロールを持つユーザーのみがこのフィールドを更新できます。
調整のために同時に実行するスケジュール済みジョブの数を入力します。 com.snc.samp.recon.max_ワーカー	調整と並行して実行されるスケジュール済みジョブの数を示します。複数のスケジュール済みジョブが、異なる公開者の調整を同時に実行します。
インスタンスでワイドネット正規化が有効になっているかどうかを示します。有効にすると、通常のパッケージ正規化ルールによって完全に正規化されていないディスカバリーモデルにワイドネット正規化ルール/パターンが適用されます com.snc.samp.wide_net_normalization.enabled	ディスカバリーモデルでワイドネット正規化を実行できるようにします。このプロパティはデフォルトで有効になっています。ワイドネット正規化は、コンテンツルールを使用して正規化できなかったディスカバリーモデルでのみ実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	admin ロールを持つユーザーのみがプロパティを変更できます。
検出されたソフトウェアの ML 正規化を有効にします。 com.snc.samp.enable.ml_normalization	ディスカバリーモデルで機械学習の正規化を実行できるようにします。このプロパティはデフォルトで有効になっています。機械学習の正規化は、コンテンツルールを使用して正規化できなかったディスカバリーモデルに対してのみ実行されます。 admin ロールを持つユーザーのみがプロパティを変更できます。
Cloud からプルされた請求処理データを古いと見なすしきい値期間 (日数) を入力します。これは、ライセンスタイプの信頼性に影響します。 com.snc.samp.sam_ci_billing_threshold	クラウドインサイトからプルされた請求処理データが古いと見なされるまでのしきい値期間を日数に基づいて示します。クラウドインサイトは、AWS にインストールされている SQL Server のライセンスタイプを決定するために使用されます。 デフォルト値は 30 日で、このプロパティはデフォルトで有効になっています。
Red Hat Enterprise Linux Server 仮想データセンターのライセンスコスト最適化しきい値 **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を有効にしている場合にのみ使用できます。	RHEL展開にRHEL ServerライセンスとRHEL for Virtual Datacentersライセンスのどちらを使用するかを決定します。 デフォルトのしきい値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の価格設定が異なる場合、 RHEL for Virtual Datacenters サブスク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	リプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割ることで、この値を計算できます。 このしきい値を使用して、RHEL展開に最適なライセンスの種類を決定する方法の詳細については、Red Hat Enterprise Linux の ソフトウェア資産管理を参照してください。
Microsoft データセンター向け Windows Server のライセンスコスト最適化しきい値 com.snc.samp.windowserver.license.threshold **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft を有効にしている場合にのみ使用できます。	Microsoft Windows Server Datacenter Edition ライセンスと Windows Server Standard Edition ライセンスのコスト比に基づいてMicrosoftMicrosoftWindows Server クラスター内の物理ホストまたは仮想マシン (VM) にライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトのコスト比率の値は 4.59 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、 Microsoft Windows Server Datacenter Edition ライセンスの平均価格を、Microsoft Windows Server Standard Edition ライセンスの平均価格で割ることで、この値を変更できます。
IBMライセンスコンプライアンスのためのServiceNow ソフトウェア資産管理とディスカバリーの使用 com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing	ソフトウェア資産管理 アプリケーションが、IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションのデータを使

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
注: このプロパティは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack をアクティブ化し、ソフトウェア資産管理アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスをインストールした場合にのみ使用できます。アプリケーションのインストール方法の詳細については、「 認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のためのソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの要求」を参照してください。	用してIBMライセンスを調整できるようにします。
IBM デバイスのデフォルトリージョン sn_samp_ibm_lic.default_region 注: このプロパティは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 Publisher Pack をアクティブ化し、ソフトウェア資産管理アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスをインストールした場合にのみ使用できます。アプリケーションのインストール方法の詳細については、「 認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のためのソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの要求」を参照してください。	物理ホストがまだリージョンに関連付けられていない場合は、自動的にデフォルトリージョンに関連付けます。 IBM ライセンス使用量は、リージョンに関連付けられている物理ホストに対してのみ計算できます。 デフォルト値は [北米] と [南米] です。
次を使用して ILMT に接続： sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version 注: このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を有効にしている場合にのみ使用できます。	IBM サーバーと Now Platform プラットフォーム間の接続を作成するために使用する IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリ統合 API のバージョンを示します。
ソフトウェアアシュアランスを備えた Microsoft SQL Server Enterprise のコストに対する、ソフトウェア Microsoft アシュアランスを備えた SQL Server Enterprise のエンタイトルメントコストの比率 com.snc.samp.sqlserver.standard_sa.to.enterprise_sa.cost.ratio 注: このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft を有効にしている場合にのみ使用できます。	ソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Standard Edition ライセンスとソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Enterprise Edition ライセンスのコスト比に基づいてMicrosoftMicrosoft SQL Server クラスター内の物理ホストまたは仮想マシン (VM) にライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかMicrosoft判断します。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトのコスト比率値は 0.25 です。エンタイトル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	メントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Standard Edition ライセンスの価格を、ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Enterprise Edition ライセンスの価格で割ることで、この値を変更できます。
Microsoftソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのエンタイトルメントコストと、Microsoft非ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのコストの比率 com.snc.samp.ms.sa.to.nonsa.cost.ratio **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft を有効にしている場合にのみ使用できます。	Microsoft SQL Server クラスターで Microsoft ソフトウェア アシュアランスの有無にかかわらずライセンスを使用する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフトウェア アシュアランス付きとソフトウェア アシュアランスなしの Microsoft SQL Server ライセンスのコスト比率に基づいてこの決定を行います。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトのコスト比率の値は 1.25 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server ライセンスの価格を、ソフトウェア アシュアランスのない Microsoft SQL Server ライセンスの価格で割ることで、この値を変更できます。
com.snc.samp.use_lifecycle_approximation	ライフサイクルレポートを生成するときに、おおよそのライフサイクルの日付を含めるかどうかを決定します。このプロパティはデ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	フォルトで有効になっています。 このプロパティを選択すると、パブリッシャー提供の一般提供日、公開情報、および業界平均に基づいてビルドされた近似ロジックに基づいて、ライフサイクル日付を自動生成できます。
com.snc.samp.manage.published.products	ソフトウェア製品をフェーズ的な ソフトウェア資産管理 実装で公開し、公開されたソフトウェア製品を削除することもできます。このプロパティのデフォルト値は **false** です。このプロパティの値を **true** に設定すると、ソフトウェア資産管理の段階的な実装で管理するソフトウェア製品に関連するレポートとダッシュボードのみを、次の ソフトウェア資産ワークスペース ビューで表示できます。 • ソフトウェア資産の概要 • [ライセンス使用状況] ビュー

Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグインとともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネントが、 Microsoft SCCM ソフトウェア使用状況プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

SCCM Software Usage プラグインとともにインストール

	SCCM 2012 v2	SCCM 2016
Data source (データソース)	• SAMP 使用率 (合計使用量) • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 (前回使用日時)	• 2016 年の SAMP 使用量 (合計使用量) • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用 (最終使用)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM Software Usage プラグインとともにインストール (続く)

	SCCM 2012 v2	SCCM 2016
インポートスケジュール	• SAMP 使用状況のインポート • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時	• SAMP 使用状況 2016 のインポート • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時
変換マップ	• SAMP 使用状況インポート (合計使用状況) • SAMP 最後に使用されたデータインポート (前回使用) (onComplete 変換スクリプトは変換マップに関連付けられています)	• 2016 年の SAMP 使用状況インポート (合計使用量) • SAMP 最終使用データ 2016 年インポート (最終使用) (onComplete 変換スクリプトは変換マップに関連付けられています)
スクリプトインクルード	SAMPUsageUtil	SAMPUsage2016Util

Integration — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグインを有効にしている場合は、 統合 **– Microsoft SCCM 2012 v2** > インポートスケジュール.

SCCM 2012 v2 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用量	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況のインポート [imp_samp_usage_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2012v2_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

Integration — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグインを有効にしている場合は、 統合 **– Microsoft SCCM 2016** > インポートスケジュール.

SCCM 2016 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用量	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況 2016 インポート [imp_samp_usage_2016_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2016_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAPクラウド使用タイプのライセンス計算

SAP S/4HANAクラウド使用タイプとその重み付け係数を使用して、SAP S/4HANA クラウドアプリケーションのさまざまなタイプのユーザーに対する FUE (Full Usage Equivalent) ライセンスを計算します。

FUE ライセンスは、特定の重み付け係数を使用してさまざまなクラウド用途タイプに割り当てることができます。FUE ライセンスの詳細については、「 ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック SAP」を参照してください。

重み付け係数は、クラウド使用タイプに関連付けられた数値として定義でき、FUE ライセンスの計算に使用されます。次の表は、さまざまなクラウド使用タイプの重み付け要因を示しています。

SAP クラウド使用タイプと重み付け要因

SAP クラウド使用タイプ	SAP クラウド使用タイプ名	加重係数
詳細	高度な使用のためのクラウド	1
Core	コア使用のためのクラウド	5
セルフサービス	セルフサービス用のクラウド	30
開発者	クラウド、開発者アクセス	0.5

ディスカバリーモデルのフィールド

ディスカバリーモデルフォームと関連リストのフィールドの説明。

ディスカバリーモデルフォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているディスカバリーモデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス] : • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした • 手動で正規化済み • 新規 **注:** 正規化の提案レコードが存在する場合は、[正規化ステータス] フィールドの横に警告アイコンが表示されます。 警告アイコンをクリックすると、ディスカバリーモデルの 正規化提案 レコードが開きます。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
検出されたパブリッシャー	検出されたソフトウェアの公開者。
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
コメント	
製品タイプ	• 子:メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピュータープログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、ディスカバリーモデルの標準化ステータスが に更新されます。 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェアディスカバリーモデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	言語は次のとおりです。 • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア資産管理コンテンツサービスへの転送からソフトウェアディスカバリーモデルの詳細を除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 **注:** このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合に、カスタム製品に対してのみ表示されます。

[追加情報] セクション

フィールド	説明
製品タイプ	• 子:メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピュータープログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、ディスカバリーモデルの標準化ステータスが に更新されます。 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェアディスカバリーモデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	言語は次のとおりです。 • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア資産管理コンテンツサービスへの転送からソフトウェアディスカバリーモデルの詳細を除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 **注:** このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合に、カスタム製品に対してのみ表示されます。

ソフトウェアインストール関連リスト

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているソフトウェア インストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の名前。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
インストール先：	ソフトウェアがインストールされているハードウェアの名前。

ソフトウェア インストール フィールド

ソフトウェアインストールフォームと関連リストのフィールドの説明。

ソフトウェアインストールのリストビューには、 **SAM** ワークスペースライセンス操作リストカウント制限 システムプロパティ (*sn_sam_workspace.sam_license_operations_list_count*) で指定された値に基づいて、組織のソフトウェアインストールレコードの合計数が表示されます。レコード数のデフォルト値は **5000000** に設定されています。ただし、SAM アドミニストレーターは、必要に応じてシステムプロパティでカウントの値を設定できます。レコードが 500 万件未満の場合は、正確な数が表示されます。500 万を超えるレコードがある場合、カウントは 5,000,000+ と表示されます。このシステムのプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

注:
このトピックでは、ソフトウェア インストール フォームで使用できるフィールドについて説明します。ソフトウェア インストール フォームとソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルの両方で使用できるすべてのフィールドの詳細については、「 ソフトウェア インストール テーブル属性のレビュー 」を参照してください。

ソフトウェア インストール フォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているソフトウェア インストールの名前。検出された製品名とエディションを組み合わせることができます。
ディスカバリーモデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェアディスカバリーモデル。
公開者	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
エディションのオーバーライド	ソフトウェアのエディション設定の上書き。 Office 365 サブスクリプションの場合、このフィールドはソフトウェアサブスクリプションレコードから設定されます。 ソフトウェアのエディションが検出されなかった場合、ディションをすでにご存知であればこのフィールドを編集してエディションの設定を行えるため、調整を正常に実行できます。
[インストール] タブ	
製品 ID **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	メーカーによって割り当てられた製品の一意の ID 検出で見つけられます。
インストール場所	ソフトウェアがインストールされるパス。
インストール日	ソフトウェアがインストールされた日付。
リビジョン **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	ソフトウェアのリビジョン。
インスタンスキー	ソフトウェアのインスタンス化に対する一意の ID ソフトウェアのインストール時に自動的に生成されます。
インストール先	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
アンインストール文字列	ソフトウェアのアンインストールに使用する識別子。
ISO シリアル番号	ソフトウェアの ISO 番号。
[調整] タブ	
エンタイトルメント **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[調整] タブには空の値で表示されます。	このインストールで使用されるエンタイトルメント。
推定スイート	このインストールが属する推定スイートモデル。
スイートから省略	調整中にソフトウェアインストールをスイートのコンポーネントとしてカウントしない場合はチェックボックスを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化ステータス

ディスカバリーモデルの正規化ステータスの説明。

ディスカバリーモデルが正規化されると、バージョンと完全バージョンに正規化されます。ただし、ディスカバリーモデルが部分的に正規化されているか、パブリッシャーが正規化されている場合、ディスカバリーモデルは完全バージョンに更新されません。ディスカバリーモデルが手動で正規化されている場合は、バージョンと完全バージョンに正規化するかどうかを決定できます。

正規化ステータスには、次の 6 種類の異なる結果があります。

ステータス	説明
正規化済み	ディスカバリーモデルは、公開者、製品、バージョンのフィールドに基づいて完全に正規化されます。編集可能なフィールドはありません。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスは [手動で正規化] に変わります。 [公開者] フィールドと [製品] フィールドのみが検出されたが、製品タイプが [ライセンス不可]、[子]、[ドライバー]、または [パッチ] である場合、ステータスは [正規化済み] になります。
一部正規化済み	ディスカバリーモデルは、公開者と製品のフィールドのみに基づいて部分的に正規化されています。この場合、[バージョン] フィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスが [手動で正規化] に変更されます。
正規化されたパブリッシャー	[パブリッシャー] フィールドのみに基づいて部分的に正規化されたディスカバリーモデル。この場合、[バージョン] フィールドと [製品] フィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスが [手動で正規化] に変更されます。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスで、ディスカバリーモデルの 3 つのキーフィールドのいずれともソフトウェアライブラリー内のルールと一致させることができませんでした。この場合、すべてのキーフィールドが編集可能であり、情報が追加されると、正規化ステータスが [手動で正規化] に変更されます。 ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合、[一致項目は見つかりませんでした] ステータスが発生する可能性があります。 たとえば、組織が組織に固有のカスタムソフトウェアを作成した場合などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
手動で正規化済み	ディスカバリーモデルは、[新規]、[一致項目は見つかりませんでした]、[一部正規化済み]、または [パブリッシャー正規化済み] ディスカバリーモデルのキーフィールドが手動で入力されたときに手動で正規化されます。
新規	ソフトウェアディスカバリーモデルではまだ正規化プロセスが実行されていません。

Microsoft製品のライセンスメトリクス

Microsoft製品で使用できるライセンスメトリクスの詳細な説明。

Microsoft 製品と ソフトウェア資産管理 ライセンスメトリクス

製品	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
Windows サーバー **注:** Windows Server の従来のバージョンについては、「Windows Server の従来のバージョン」表を参照してください。	データセンター/標準	• コアあたり • CAL ライセンス	• コアあたり (CAL を含む) • ユーザー/デバイス CAL for CAL ライセンス
Microsoft システムセンター	データセンター/標準	• サーバー - コアベースのライセンスを使用 (サーバー管理ライセンス) • クライアント - クライアント管理ライセンスを使用	• サーバー ML:コアあたり (CAL あり) • クライアント ML:ユーザー/デバイス
Microsoft Exchange サーバー	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバー (インスタンスあたり) サーバーライセンスの場合 • ユーザー/デバイス CAL for CAL ライセンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
Microsoft Project Server	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバー (インスタンスあたり) サーバーライセンスの場合 • ユーザー/デバイス CAL for CAL ライセンス
Microsoft SharePoint サーバー	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバー (インスタンスあたり) サーバーライセンスの場合 • ユーザー/デバイス CAL for CAL ライセンス
Microsoft SQL Server **注:** SQL Server の従来のバージョンについては、「SQL Server の従来のバージョン」の表を参照してください。	標準/エンタープライズ	• コアあたり • サーバー/CAL	• コアライセンスの場合:コアあたり • サーバー/CAL の場合: ○ サーバー (インスタンスあたり) サーバーライセンスの場合 ▪ Standard Edition、WebEdition、Business Intelligence Edition のサーバーライセンスに Server (インスタンスごと) を使用 ▪ Enterprise Edition のレガシーバージョン 1 でサーバー (サーバーあたり) を使用

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
			注: SQL Server Enterprise は、通常、コアごとのライセンス モデルのみを使用してライセンスされます。ただし、ソフトウェア アシュアランスがある場合は、従来のサーバー/CAL ライセンス モデルに従うこともできます。ServiceNow では、ServiceNow ソフトウェア資産管理 でサーバー (サーバーあたり) ライセンス メトリクスを使用することをお勧めします。 ○ ユーザー/デバイス CAL for CAL ライセンス
Microsoft Office 365	エンタープライズ E3/E5/E1	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
Microsoft Office	Professional/ Standard	デバイスあたり	デバイスあたり
Windows 10	エンタープライズ プロフェッショナル	デバイスあたり	デバイスあたり
Microsoft Dynamics CRM 365 サーバー (オンプレミス)		サーバー/CAL	ユーザー/デバイス CAL を作成するだけで済みます。サーバーライセンスは必要ありません。
Microsoft Dynamics 365 Operations Server (オンプレミス) ERP		サーバー/CAL	• ユーザー/デバイス CAL を作成する必要があります。 • サーバーライセンスの場合、サーバー(インスタンスあたり)
Microsoft 365	エンタープライズ E3/E5/F3	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
コアインフラストラクチャスイート	データセンター/標準	コアあたり	コアあたり (CAL を含む)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2003-2008 R2	Standard	サーバー	サーバー (インスタンスあたり) + ユーザー / デバイス CAL の追加	最小:NA 仮想化:ライセンスごとに 1 つの VM。 単一の Standard Edition ライセンス サーバでは、サーバ上の物理または仮想 OSE でソフトウェアの 1 つのインスタンスを実行できます。実行中のインスタンスごとに Standard Edition ライセンスを割り当てる必要があります。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:2 プロセッサ 仮想化:無制限 サーバー内のすべての物理プロセッサーに対して DataCenter Edition のライセンスが付与されている場合、サーバーは物理 OSE と仮想 OSE の無制限の数の Windows Server インスタンスの両方で実行できます。
2012-2012 R2	Standard	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:2 プロセッサ。 仮想化:完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:2 プロセッサ。 仮想化:無制限。
2016-2019	Standard	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL を含む) + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサーあたり 8 コア。 仮想化:完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
	データセンター	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL を含む) + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサーあたり 8 コア。 仮想化:無制限。

SQL Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2005 年	Standard	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL 使用の場合:サーバーライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL です。 • プロセッサあたり	サーバー ライセンス規則 (Workgroup、Standard、または Enterprise Edition の場合) は、SQL Server ソフトウェアまたはそのコンポーネント (Analysis Services など) が実行されているすべてのオペレーティング システム環境に対して必要です。 プロセッサ ライセンスは、SQL Server またはそのコンポーネント (Analysis Services など) を実行している各オペレーティング システム環境にインストールされている各プロセッサに必要です。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL 使用の場合:サーバーライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL です。 • プロセッサあたり	Enterprise Edition の場合のみ：コンピュータ内のすべてのプロセッサがライセンスされている場合、同じコンピュータ上の無制限の数の仮想運用環境で SQL Server 2002 のインスタンスを無制限に実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2008-2008 R2	Standard	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL 使用の場合:サーバーライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL です。 • プロセッサあたり	• サーバー/CAL : これらのエディションの各サーバー ライセンスでは、1 つの OSE または仮想マシン (VM) でソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。追加の OSE または VM でソフトウェアを実行するには、追加のサーバー ライセンスが必要です。 • プロセッサー ライセンス: SQL Server を実行できる OSE の数。物理 OSE のみ。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバーライセンスにはサーバー(サーバーあたり)を使用し、CALライセンスにはユーザー/デバイス CAL を使用します。 • プロセッサあたり	• サーバー/CAL : Enterprise エディションの各サーバー ライセンスでは、最大 4 つの OSE または VM でソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。 • プロセッサー ライセンス: SQL Server を実行できる OSE の数。ライセンスあたり最大 4 つの OSE
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり	プロセッサライセンス:SQL Serverを実行できるOSEの数: 無制限。Datacenter エディションでは、サーバー上のすべての物理プロセッサにライセンスが付与され、少なくとも 2 つのプロセッサ ライセンスがサーバーに割り当てられている必要があります。
2012-2016	Standard	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合:サーバーライセンスにはサーバー (インスタンスごと) を使用し、CAL ライセンスにはユーザー/デバイス	コアベースのライセンス: 1. サーバー内の物理コアの合計数をカウントします。コア数に適切なコアファクターを掛けて、サーバーに必要なライセンスの合計数を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
			CAL を使用します • コアあたり	注: 使用されるコア要因は、展開されているプロセッサーのタイプによって異なり、物理サーバー上の物理プロセッサーごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。 **2.** コア単位モデルを使用して個々の VM にライセンスを付与するには、VM ごとに最低 4 コア ライセンスを条件として、VM に割り当てられた仮想コア (または仮想プロセッサ、仮想 CPU、仮想スレッド) ごとにコア ライセンスを購入する必要があります。 ライセンスの目的上、仮想コアはハードウェア スレッドにマップされます。個々の VM にライセンスを付与する場合、コア要因は適用されません。
	エンタープライズ	コアあたり 1	コアあたり	上記と同じです。
2016-2019	Standard	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合:サーバーライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL • コアライセンスの場合:コアあたり	• サーバー/CAL : SQL Server ソフトウェアを実行している各サーバーには、サーバーライセンスが必要です。 • コアあたり:サーバー上の物理プロセッサーごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。
	エンタープライズ	コアあたり 1	コアあたり	上記と同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				注: ソフトウェア アシュアランス付きの (Server/CAL) サーバー ライセンスを備えた SQL Server Enterprise エディションを既に使用している場合は、引き続き Server +CAL ライセンス モデルを使用します。ライセンスメトリクスをサーバーライセンスのサーバー (サーバーあたり) として、CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL として使用します。SQL Server Enterprise の新規購入は、コアごとのライセンス モデルのみに基づきます。

BYOL および **BYOS** のライセンスルール

パブリッククラウド環境の Microsoft 製品および Oracle 製品の Bring Your Own License (BYOL) ライセンスルールを表示します。さらに、パブリッククラウド環境の Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品の Bring Your Own Subscription (BYOS) ライセンスルールを表示します。ライセンスルールは、異なるクラウドプロバイダー間の共有ホストまたは専用ホストに存在する仮想マシンで異なる場合があります。

Microsoft Windows Server および **Microsoft SQL Server** のライセンスルール

注:
次の表は、 Windows Server と SQL Server BYOL のルールのサブセットのみを示しています。ライセンス ルールの完全な一覧については、 Windows Server と SQL Server の公式 Web サイトを参照してください。

Windows サーバーライセンスルール

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
AWSWindowsサーバー向け	共有ホスト	Windows Server にはライセンスモビリティ権限がないため、BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
	専用ホスト	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされています。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した Windows DC の無制限の仮想化。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされています。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した Windows DC の無制限の仮想化。
Microsoft AzureWindowsサーバー向け	共有ホスト	• BYOL は、Microsoft Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用してサポートされています。 • 実行中の仮想マシン上のすべてのコアをカバーするのに十分な適格なコア ライセンスを割り当てる必要があります。 • AHB を使用するには、最低 8 つのコアライセンスが割り当てられます。 • Windows DC では、同時使用権または二重使用権を使用できます。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
		注: Microsoft Windows Server Data Center には、 Windows Server ライセンスをデータ センター内の Microsoft Azure サーバーとライセンス サーバー上で同時に利用できるデュアルユース権のオプションが用意されています。この機能 Azure ハイブリッド特典は、Microsoft Azureでのみ利用できます。詳細については、「 Windows Server の Azure ハイブリッド特典 」を参照してください。 • エディションの柔軟性: Windows Standard では DC Windows ライセンスを取得できます。	
	専用ホスト	• BYOL は、Microsoft Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用してサポートされています。 • 仮想マシンまたは利用可能なコア別のライセンス。Windows DC のみ。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされています。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計に対するライセンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
		• 利用可能なコアをライセンスする場合、Windows DC の無制限の仮想化。 • Windows DC では、仮想マシンに対してのみ同時使用権または二重使用権が許可されます。 **注:** Microsoft Windows Server Data Center には、 Windows Server ライセンスをデータ センター内の Microsoft Azure サーバーとライセンス サーバー上で同時に利用できるデュアルユース権のオプションが用意されています。この機能 Azure ハイブリッド特典は、Microsoft Azureでのみ利用できます。詳細については、「 Windows Server の Azure ハイブリッド特典 」を参照してください。	• 2019 年 10 月 1 日より前に購入した Windows DC の無制限の仮想化。
GCPWindowsサーバー向け	共有ホスト	Windows Server にはライセンスモビリティ権限がないため、BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンスルール

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
AWS SQL Server向け	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権によってサポートされています。 • ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンごとに最低 4 コア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限を介してサポートされています。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise) (2019 年 10 月 1 日より前に購入した場合)。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされています。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計数によるライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した Windows DC の無制限の仮想化。
Microsoft Azure SQL Server向け	共有ホスト	• BYOL は、Microsoft Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用してサポートされています。 • エディションの柔軟性: オンプレミスの 1 つの SQL Enterprise ライセンスで 4 つの SQL Server Standard コアをカバーできます。同様に、オンプレミスの 4 つの SQL Server Standard ライセンスで 1 つの SQL Server Enterprise をカバーできます。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダー	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランスあり	ソフトウェア保証なし
		• ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンごとに最低 4 コア。	
	専用ホスト	• BYOL は、Microsoft Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用してサポートされています。 • 仮想マシンまたは使用可能なコア別のライセンス (SQL Server Enterprise)。 • 仮想マシンまたは合計コア数 (SQL Server Standard) 別のライセンス。 • 無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise) (使用可能なコアのライセンスがある場合)。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされています。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計数によるライセンス。
GCP SQL Server向け	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権によってサポートされています。 • ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンごとに最低 4 コア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

Oracle データベースと **Oracle WebLogic Server** のライセンス規則

注:
次の表は、 Oracle データベースおよび Oracle WebLogic Server BYOLのルールのサブセットのみを示しています。ライセンス ルールの完全なリストについては、 Oracle Database および Oracle WebLogic Server の公式 Web サイトを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
特に指定しない限り、ライセンスルールは AWS と Microsoft Azure の両方で同じです。

Oracle データベースライセンスルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサごとのライセンス	ライセンスは、 Oracle データベースがインストールされている、または実行されている vCPU の数に基づいています。インストールまたは実行されている Oracle Database のバージョンに基づいて、さまざまなライセンスルールが適用されます。 **注:** Oracleプロセッサーコアファクターテーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle Database Standard Edition、Standard Edition One、および Standard Edition 2 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、10 個の vCPU で実行されている Oracle データベースには、合計 3 つのライセンスが必要です。 Oracle Database Enterprise エディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、 Oracle データベースをインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、 Oracle データベースをインストールまたは実行する vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。
指定ユーザーライセンス	Oracle データベースにアクセスするすべてのユーザーまたは物理デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。 ユーザーとデバイスがアクセスしている Oracle Database のエディションに基づいて、異なるライセンスの最小ライセンスが適用されます。 Oracle Database Standard Edition および Standard Edition One これらのデータベース エディションには、ライセンスの最小ライセンスはありません。 Oracle データベーススタンダードエディション 2 8 個の vCPU ごとに最低 10 個のライセンスが必要です。 Oracle Database Enterprise エディション vCPU あたり最低 25 ライセンス、またはこのデータベース エディションにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。
Oracle データベース オプションと管理パックのライセンス	データベース オプションと管理パックは、データベース サーバーとは別にライセンスを取得する必要があります。 次のデータベース オプションと管理パックは、クラウド環境ではサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle データベースライセンスルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
	• Oracle 実際のアプリケーションクラスター (RAC) • Oracle データマイニング • Oracle 変更管理パック • Oracle データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック
Oracle Active Data Guard のデータベースオプションライセンス	Oracle Enterprise Edition データベースで Oracle Active Data Guard オプションを使用している場合、そのデータベースに関連付けられているプライマリ・データベース・インスタンスとリード・レプリカには、それぞれ 1 つの Oracle Database Enterprise Edition ライセンスと 1 つの Oracle Active Data Guard ライセンスが必要です。 **注:** Active Data Guardオプションは、 Oracle Database Enterprise Edition でのみ使用できます。
無制限のライセンス契約 (ULA) ライセンス	無制限のライセンス契約 (ULA) を通じて取得されたライセンスは、認可されたクラウド環境でサポートされています。ただし、これらのライセンスの認証は、ULA期間の終了時には必要ありません。
高可用性 (マルチ AZ) ライセンス	高可用性 (マルチ AZ) デプロイでは、スタンバイ Oracle データベースインスタンスを考慮できるように、シングル AZ 配置の 2 倍の数のライセンスが必要です。

これらの Oracle Database ライセンス規則に加えて、クラウドで Oracle デプロイを設定する場合は、次の vCPU サイズの制限を考慮してください。これらのサイズ制限は、クラウドインスタンスでサポートされるライセンスの最大数を決定するのに役立ちます。

注:
vCPU サイズの制限は、 AWS と Microsoft Azure

vCPU サイズの制限

Oracle データベースのエディション	**vCPU** サイズの制限
Oracle データベース標準エディション	Oracle Database Standard Edition は、最大 16 個の vCPU を持つクラウドインスタンスでのみサポートされます。
Oracle Database Standard Edition One および Standard Edition 2	Oracle Database Standard Edition One および Standard Edition 2 は、最大 8 つの vCPU を持つクラウドインスタンスでのみサポートされます。
Oracle Database Enterprise エディション	Oracle Database Enterprise Editionは、vCPU数に関係なく、すべてのクラウド・インスタンスでサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle WebLogic Server ライセンスのルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサごとのライセンス	ライセンスは、 Oracle WebLogic サーバーがインストールまたは実行されている vCPU の数に基づいています。インストールまたは実行されている Oracle WebLogic Server のバージョンに基づいて、異なるライセンス ルールが適用されます。 **注:** Oracleプロセッサーコアファクターテーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle WebLogic Server Standard Edition 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、7 つの vCPU で実行されている Oracle WebLogic サーバーには、合計 2 つのライセンスが必要です。 Oracle WebLogic Server Enterprise エディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、 Oracle WebLogic Server をインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、Oracle WebLogic サーバーをインストールまたは実行する vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。
指定ユーザーライセンス	Oracle WebLogic サーバーにアクセスするすべてのユーザーまたは物理デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。 ユーザおよびデバイスがアクセスしている WebLogic Server の Oracle エディションに基づいて、異なるライセンスの最小ライセンスが適用されます。 Oracle WebLogic Server Standard Edition 8 個の vCPU ごとに最低 10 個のライセンス、またはこのバージョンの WebLogic Server にアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。 Oracle WebLogic Server Enterprise エディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、2 つの vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。 ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。 ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

のライセンスルール **Red Hat Enterprise Linux Server**

Red Hat Enterprise Linux Serverをインストールして実行するクラウドベースの仮想マシン (VM) 2 台ごとに、1 つのオンプレミスサブスクリプション ライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このルールは、 Red Hat Enterprise Linux Server BYOS のライセンスルールの 1 つにすぎません。ライセンスルールの完全なリストについては、 Red Hat Enterprise Linux の公式 Web サイトを参照してください。

ソフトウェアモデル フィールド

ソフトウェアモデルフォームと関連リストのフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントに正しい PPN を入力すると、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。スイートコンポーネント、スイートの親、ソフトウェア製品ライフサイクル、メトリクス属性、ダウングレード権限、すべてのバージョンの製品ライフサイクルなどのソフトウェアモデル フォームのタブは、自動的に入力されます。ただし、要件に基づいてソフトウェア モデルの詳細を手動で追加または更新できます。

詳細

このリストには、モデルのステータス、製品の詳細、ライセンス、条件、製品カタログ情報など、ソフトウェア モデルの詳細が表示されます。

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。システム プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* は、ソフトウェア モデル表示名の生成方法を制御します。admin ロールを持つユーザーがこのプロパティを設定できます。 デフォルトの形式は、公開者 + 製品 + バージョン + エディション + プラットフォーム + 言語です。 [プラットフォーム] フィールドまたは [言語] フィールドが [任意] に設定されていない場合は、値が追加されます。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
製品詳細	
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。 **注:** パブリッシャーは、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェアディスカバリーモデル フォームで提供されているものと同じルックアップリストです。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 **注:** ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブルの間の関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。 公開者と製品が存在しない場合は、 ソフトウェア資産管理クラシックでのカスタムソフトウェア製品の追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン条件	[バージョン] フィールドの条件修飾子。 • で始まる • 次の値に等しい • すべての値 デフォルトは [任意] です。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション条件	[エディション] フィールドの条件修飾子。 • で始まる • 次の値に等しい • すべての値 デフォルトは [任意] です。
エディション	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ディスカバリーマップ	ソフトウェアモデルにマッピングするソフトウェアディスカバリーモデルを決定する一連の条件。購入した権限は、条件を満たすソフトウェアディスカバリーモデルにのみ適用されます。この照合は調整にとって重要です。 事前定義されたスイートを持つディスカバリーモデルは、[定義済みスイート **(Suite defined**)] フィールドに示されます。値が [はい] の場合は、ディスカバリーモデルがスイートの親であることを示します。 提供されているディスカバリーマップを使用することも、代わりに条件情報を直接指定することもできます。sam_adminロールを持つユーザーは、カスタムディスカバリーマップの作成を選択できます。 ディスカバリーマップを選択すると、「 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されます。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 以上存在し、次のいずれかの条件が満たされた場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 既存のソフトウェアモデルのディスカバリーマップを変更すると、警告メッセージが表示されます。警告メッセージは、ソフトウェア モデルおよび関連するエンタイトルメントのダウングレード権限も変更されることを通知します。たとえば、ソフトウェアモデルのディスカバリーマップを DMAP1 から DMAP2 に変更してソフトウェアモデルを保存すると、DMAP1 に関連付けられたすべてのダウングレード権限がソフトウェアモデルから削除され、DMAP2 に関連付けられたダウングレード権限が設定されます。ただし、ソフトウェアエンタイトルメントフォームレイアウトの [合意タイプ] フィールドの値が [汎用] の場合、そのエンタイトルメントのダウングレード権限は変更されません。 [一致するディスカバリーモデルを表示] 関連リンクを選択することで、どのディスカバリーモデルがソフトウェアモデルにマッピングされているかを確認できます。 [公開者] フィールドと [製品] フィールドが空の場合、値はディスカバリーマップに従って自動的に入力されます。
次のバージョン	製品の次のバージョンを表す、同じメーカーの別のソフトウェアモデルへの参照。 次のバージョンはディスカバリーマップで定義され、コンテンツサービスの一部です。次のバージョンは、次の 2 つの方法のいずれかでソフトウェア モデルに入力されます。 • ソフトウェアモデルを作成するか、ソフトウェアモデルのディスカバリーマップを更新する場合は、[保存] を選択したときにビジネスルールがトリガーされます。ディスカバリーマップに次のバージョンが定義されている場合、次のバージョンが入力されます。 • コンテンツサービスに、既存のソフトウェアモデルの関連するディスカバリーマップに次のバージョンが指定されている場合、スケジュールジョブ *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* の実行時に次のバージョンが入力されます。 **注:** 次のバージョンは、 *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* スケジュール済みジョブが毎週実行された後にのみ設定されます。 ただし、[次のバージョン] フィールドに値を入力した場合、その値は上書きされません。
製品分類	国連標準製品とサービスコード (UNSPSC) の公式分類。 このリリースから、コンテンツサービスライブラリから入手できる包括的な UNSPSC コードセットにより、製品分類が強化されました。UNSPSC コードの更新は、毎週のコンテンツサービスライブラリの更新からも入手できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアライセンス	
製品タイプ	製品タイプの値には、 子、 ドライバー、 ライセンス可能、 ライセンス不可、 パッチ、 不明が含まれます。 **注:** 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェア製品のみが考慮されます。
管理下のライセンス	指定したソフトウェアのライセンスを管理することを示すオプション。このオプションをオフにすると、ソフトウェアモデルは調整結果に含まれなくなります。 このオプションはデフォルトで選択されています。また、アップグレードされたすべてのソフトウェアモデルに対しても選択されます。 アップグレードし、このオプションが選択されているソフトウェアモデルがある場合は、一括更新を実行し、調整結果に含めないソフトウェアモデルから [管理下のライセンス] オプションをクリアできます。調整を再度実行すると、オプションがまだ選択されているソフトウェアモデルのみが結果に表示されます。
Owner (オーナー)	モデルの責任者。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
条件	
条件名	ソフトウェア モデルに定義する条件の名前。
ソフトウェアインストール条件	調整中に特定のソフトウェアのインストールのみを考慮する条件。指定されたソフトウェアインストール条件を満たすソフトウェアインストールのみが調整に含まれます。たとえば、Microsoft Visual Studioを購入した場合は、非本番環境でライセンスを使用する場合にのみ Visual Studio を使用するためのソフトウェアインストール条件を設定します。また、[Visual Studio] の下にあるコンポーネントモデルごとに個別のソフトウェアインストール条件を作成する必要があります。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェア インストール条件を満たすソフトウェア インストールが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、複数のソフトウェアインストール条件を単一のソフトウェアモデルに追加できます。 • フィルター条件の追加:ソフトウェアインストールが調整に含めるために満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節を追加:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のソフトウェアインストール条件を追加できます。 • または:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。 • **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:ソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めるように指定できます。
サブスクリプション条件 **注:** このフィールドは、ソフトウェアサブスクリプションとオンプレミスソフトウェアインストールの両方を含むハイブリッドソフトウェアモデルを含む、サブスクリプションベースのソフトウェアモデルでのみ表示されます。	調整中にサブスクリプションのグループのみを考慮する条件。指定されたサブスクリプション条件を満たすサブスクリプションのみが調整に含まれます。たとえば、特定の地理的な場所または事業部門からのサブスクリプションのみを調整するようにサブスクリプション条件を設定できます。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェア条件を満たすサブスクリプションが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェアモデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • フィルター条件の追加:サブスクリプションが調整に含まれるために満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節を追加:サブスクリプションが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。 ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェアモデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • または:サブスクリプションが満たすことができる任意の条件を調整に含めるように指定できます。 • **and**:サブスクリプションが調整に含まれるために満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:サブスクリプションが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めるように指定できます。 **警告:** すぐに利用可能なソフトウェアモデルにサブスクリプション条件を追加することはできません。ソフトウェアモデルを作成して、関連付けられたサブスクリプションソフトウェアのサブスクリプション条件を定義する必要があります。
全般	
簡単な説明	モデルの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プラットフォーム	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、Windows、macOS、UNIXに対して [任意] です。
言語	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
資産追跡戦略	モデルに対する資産の追跡方法の上書きを許可します。
資産トラッキング単位	資産の測定単位。
コスト	ソフトウェアの単一の費用。
認定	このソフトウェア モデルに関連付けられた製品が TRM によって承認されているか未承認であるかを示します。 エンタープライズアーキテクトが製品を TRM ライブラリに追加すると、製品には承認済みまたは未承認のフラグが付けられます。承認済み製品のソフトウェア モデルが作成されると、このチェック ボックスが自動的にオンになります。 未承認の製品のソフトウェア モデルを作成すると、ソフトウェア モデルは制限付きとして指定されます。調整プロセスでは、未承認の製品に関連付けられているソフトウェア インストールが削除候補として識別されます。 既存のソフトウェアモデルに対してアプリケーションポートフォリオ管理 - TRM (com.snc.apm_trm) プラグインを有効にした場合、製品が承認されているかどうかに応じて、このチェックボックスが選択される場合とオフになる場合があります。
制限付きソフトウェア	ソフトウェアを制限するオプション。 制限付きソフトウェアは、環境にインストールしてはいけないソフトウェア (不適切なソフトウェアや脆弱性のあるソフトウェアなど) を識別します。 削除候補が存在しない場合、制限付きソフトウェアの削除候補を作成するスケジュール済みジョブが夜間に実行されます。
クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスを付与	ソフトウェアのインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて、ソフトウェアがインストールされている構成アイテム (CI) にライセンスを付与するオプション。権限が不十分であるために関連付けられたクライアントアクセス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドは、Oracle DB サーバーソフトウェア モデルを除き、クライアントアクセスレコードに関連付けられているソフトウェアモデルにのみ表示されます。	レコードのいずれかにライセンスがない場合、すべての CI にライセンスがないままになります。 このオプションを無効にすると、クライアントアクセスレコードに追加された CI のみにライセンスが付与されます。CI をクライアントアクセスレコードに追加する方法の詳細については、 ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加 を参照してください。 CI をクライアントアクセスレコードに追加した後でこのオプションを有効にすると、それらの CI はレコードから削除され、その後ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいてライセンスが付与されます。
データベースオプション 注: このフィールドは、 Oracle Database ソフトウェアモデルにのみ表示されます。	Oracle データベースオプションまたは管理パック。各オプションまたはパックには、個別のソフトウェアモデルが必要です。データベースオプションは、ソフトウェアモデルの識別子です。 このフィールドは、次の条件を満たすソフトウェア モデルを作成するときに表示されます。 • 公開者は**Oracle** です。 • 製品は**DB**サーバーです。
データベースオプションの条件 注: このフィールドは、[データベース オプション] フィールドで指定されているように、データベース オプションまたは管理パックに関連付けられているOracleデータベース ソフトウェア モデルにのみ表示されます。	調整中に Oracle データベースオプションまたは管理パックのサブセットのみを考慮する条件。指定したデータベース オプションの条件を満たすデータベース オプションまたは管理パックのみが調整に含まれます。 注: [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したデータベース オプションの条件を満たすデータベース オプションまたは管理パックが代わりに調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、複数のデータベースオプション条件を単一のソフトウェアモデルに追加できます。 • フィルター条件の追加: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **"OR"** 句の追加: データベース オプションまたは管理パックが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。 ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、複数のデータベースオプション条件を単一のソフトウェアモデルに追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• または: データベース オプションまたは管理パックが満たすことができる条件を調整に含めるように指定できます。 • **and**: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット: データベース オプションまたは管理パックが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めるように指定できます。
サブスクリプションに適用	このソフトウェアモデルをサブスクリプションベースのソフトウェアスイートにのみ適用するオプション。このオプションを有効にしない場合、このソフトウェア モデルは、ソフトウェアがインストールされているソフトウェア スイートにのみ適用できます。
割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成します。 **注:** このフィールドは Oracle データベースサーバーのソフトウェアモデルでのみ表示されます。 **重要:** このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションOracle要求する必要があります。Data Collection for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、OracleOracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集の要求を参照してください。	データベースサーバーのクライアントアクセスレコードを自動的に生成 Oracle 管理するオプション。このオプションを有効にすると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、最新の Oracle Database Server Named User Plus エンタイトルメント、関連する権限が割り当てられているユーザーとデバイス、およびこれらのユーザーとデバイスでサポートされている Oracle データベースインスタンスに基づいて、クライアントアクセスレコードを生成および管理します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、サポートされているデータベースインスタンスごとに個別のクライアントアクセスレコードを生成します。 ソフトウェア資産管理 アプリケーションが Oracle Database Server のクライアントアクセスレコードを自動的に生成した後でこのオプションを無効にすると、それらのクライアントアクセスレコードは自動的に管理および更新されなくなります。これらのクライアントアクセスレコードを手動で管理および更新して、正確かつ最新の状態に保つ必要があります。 このオプションを有効にし、 Oracle データベース サーバーの既存のクライアント アクセス レコードが既に存在する場合は、自動的に生成されたすべてのクライアント アクセス レコードが管理され、再度自動的に更新されます。ただし、手動で生成されたすべてのクライアントアクセスレコードは引き続き管理および更新する必要があります。
製品カタログ	
カタログアイテム	製品カタログやサービスカタログに表示されるモデルに関する情報。 この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。
説明	製品カタログに表示されるソフトウェア モデルの説明。
画像	ソフトウェアロゴの画像を追加することができます。ソフトウェアモデルが公開されている場合、このロゴはサービスカタログに表示されます。
アクティビティ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示タスクに関するメモ。

スイートコンポーネント

このリストには、ソフトウェアスイートコンポーネントの詳細が表示されます。ソフトウェアコンポーネントは、ソフトウェアスイートの親のスイートの子です。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

フィールド	説明
自動コンテンツ更新を許可	毎週のコンテンツ更新を通じて、更新されたスイート定義をインスタンスに自動的に送信する ServiceNow を有効にするオプション。
スイート (子)	製品またはスイートの製品 (子)。たとえば、 Microsoft Word と Microsoft Excel は Microsoft Office の子製品です。
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] にすることができます。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つまたは複数のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在することを示す関係。したがって、スイート (親) とスイート コンポーネント間の関係性が想定されました。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。
スイートコンテンツ使用率	
推論オプション: 数値 と パーセント	番号:スイートにインストールされているコンポーネントの数を指定します。コンポーネント数以下の数値を指定してください。 **注:** スイートコンポーネントを使用して作成される新しいソフトウェアモデルでは、デフォルトで [番号] オプションが選択されています。 パーセント:スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。 **注:** 推定率を使用していたスイートコンポーネントを含む既存のソフトウェアモデルの場合、 デフォルトで [割合] オプションが選択されます。ただし、[番号] オプションを使用することもできます。 システムプロパティ *Use component licenses to optimize compliance when suite licenses run out* が true に設定されている場合、推定率は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するしきい値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
自動コンテンツ更新を許可	ソフトウェアモデルのコンテンツの自動変更を有効にするオプション。

スイート (親)

このリストには、ソフトウェアスイートの親の詳細が表示されます。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

	説明
スイート (親)	ソフトウェアが割り当てられるスイート (親)。たとえば、いくつかの一般的な Microsoft 製品の親スイートは、 Microsoft Office のバージョンです。
スイート (子)	
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] にすることができます。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つ以上のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在することを示す関係。したがって、スイート親とスイートコンポーネント間の関係が想定されました。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。

ソフトウェア製品ライフサイクル

このリストには、ソフトウェア製品バージョンのライフサイクル情報が表示されます。詳細については、 ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント の「ソフトウェア製品ライフサイクルレポート」セクションを参照してください。

フィールド	説明
パブリッシャー	パブリッシャーの名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン
エディション	ソフトウェアのエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • 公開者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Risk	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度、提供終了フェーズは高い場合があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • やや複雑 • なし
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。 • プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード 注: [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。 • サポート終了:ソフトウェアが発行元によって拡張されなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftのメインストリームサポート終了日に対応します。 • 延長サポートの終了:パブリッシャーがソフトウェアのサポートまたはアップデートを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftの延長サポート終了日に対応します。 • 提供終了:ソフトウェアが発行元によって製造されなくなる日付。 注: この値は、メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、Microsoft には適用されません。詳細については、「 固定ライフサイクルポリシー 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	ソフトウェアのリスクを評価する際にライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 **注:** デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。
ソース	ライフサイクルのソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されます。自動的に作成された場合、このフィールドは ServiceNow に設定されます。
説明	ソフトウェア製品ライフサイクルの説明。

ソフトウェアエンタイトルメント

このリストには、ソフトウェアライセンスのエンタイトルメント期間が表示されます。詳細については、 ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント の「ソフトウェアエンタイトルメント」セクションを参照してください。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェア モデルの表示名に基づいて自動的に生成された名前。
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。詳細については、「ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。
評価指標グループ	[ソフトウェアモデル] フィールドに基づくメトリクスグループ。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。
ライセンスタイプ	タイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限が決まります。 さまざまなライセンスタイプは次のとおりです。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • サブスクリプション • ステップアップ • サブスクリプションステップアップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与された権利の数。
購入済みの権限	このエンタイトルメントに対して購入した権利の数。
総額	単位コストから計算されたエンタイトルメントの合計コスト。

ライセンスコストを上書き

このリストには、ソフトウェアエンタイトルメントの上書きライセンスコスト情報が表示されます。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメントが属するソフトウェアモデル。
評価指標グループ	ソフトウェアエンタイトルメントが属するメトリクスグループ。
ライセンスのメトリクス	ソフトウェアエンタイトルメントに指定されたライセンスのメトリクス。
ライセンスコスト	ライセンスのコスト。
ライセンスとメンテナンスのコスト	メンテナンスライセンスのコストと組み合わされたライセンスのコスト。 調整中に調整コストを上書きするには、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスのコストを指定します。[ライセンスコスト] または [ライセンスとメンテナンスのコスト] フィールドに値が指定されていない場合、ソフトウェアエンタイトルメントのコストが調整コストの計算に使用されます。 **注:** SaaSライセンスの場合、ライセンスコストのみが適用されます。ライセンスとメンテナンスの費用は適用されません。
[ライセンスメトリクス] フィールドで選択した値が [従業員] の場合、次のフィールドが表示されます。	
[Active (アクティブ)]	調整コストの計算でライセンス コストを考慮するかどうかを示します。
下限	ライセンスが必要な従業員の最小数。
上限	ライセンスが必要な従業員の最大数。

ソフトウェアモデルの結果

このリストには、ライセンスメトリクスの結果に関連付けられたソフトウェア モデルの結果が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。可能な値は [準拠] と [非準拠] です。 [ステータス] フィールドを選択して、対応するソフトウェアモデルの結果レコードを開きます。ここで、ソフトウェアモデルの結果に関するより詳細な情報を表示できます。ソフトウェア モデルの結果フォームの各フィールドの詳細については、 ソフトウェア モデルの結果の表示 を参照してください。
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。 • 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) • IBM:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、国際プログラムライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA) • Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) • Oracle:汎用無制限レベルアグリーメント (ULA) • VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) **注:** 合意タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、ステータス は準拠です。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な最小の権限数 (必要な権限 x エンタイトルメントから権限当たりの平均価格) に基づいた、ライセンスのないインストールを修正するコスト概算。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
節減見込み	
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。

評価指標属性

このリストには、ソフトウェアモデルのメトリクス属性情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェア モデル	評価指標属性に関連付けられたソフトウェア モデル。
評価指標グループ	ソフトウェアメトリクスのグループ化。 ソフトウェアが適用されるオプションの公開者パックがインストールされている場合は、それらのオプションが表示されます。それ以外の場合、メトリクスグループの値は [共通] です。
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にカウントされるソフトウェア ライセンスのメトリクス (ユーザーごと、デバイスごとなど)。
説明	ライセンスのメトリクス値に基づいた属性タイプの説明。
属性	エンタイトルメントライセンスのメトリクスを調整するための属性タイプ。各属性タイプの詳細については、「 ソフトウェアライセンスメトリクス属性」を参照してください。
属性値	属性の値 (整数)。
属性値は制限されていない	属性を無制限に設定するオプション。

ベンダーカタログアイテム

このリストには、ベンダーに関連付けられたソフトウェアモデルの詳細が表示されます。詳細については、「ベンダーカタログアイテム」を参照してください。

フィールド	説明
名前	カタログアイテムの名前。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
Short Description (簡単な説明)	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	このベンダーの製品とサービスの全体的なランキングを表示します。

クライアントアクセス

このリストには、クライアントアクセスライセンス (CAL) を使用して特定のバージョンのサーバーソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスのクライアントアクセスレコードの詳細が表示されます。

フィールド	説明
[Name (名前)]	クライアントアクセスレコードの名前。名前を選択して対応するクライアントアクセスレコードを開くと、関連付けられたクライアントアクセスライセンス (CAL) が割り当てられているユーザーやデバイス、関連付けられたサーバーソフトウェアが

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	インストールされている構成アイテム (CI) など、レコードに関する詳細情報を表示できます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
カウント	関連するサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 **注:** Citrixソフトウェア モデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイス ライセンスの数に基づきます。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。 • ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連するサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 • デバイス **CAL**: 各デバイスを使用してサーバーにアクセスしているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイスの CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスのライセンスに基づいています。 • 予約済み時間平均センサー:このメトリクスは、1 クロック時間あたりの一意のアクティブエンドポイントの数をカウントし、28 日間のローリング期間で平均します。予約済みの時間平均センサーライセンスの数は、各時間の開始時にリセットされます。 • センサーサブスクリプション:このメトリクスは、4 週間連続するエンドポイント数を平均することでライセンス使用率を計算します。週次エンドポイント数は、過去 7 日間に消費されたエンドポイントの合計数に基づいています。 **注:** 予約済み時間平均センサーおよびセンサーサブスクリプションライセンスのメトリクスは、 CrowdStrike にのみ適用され、 Yokohama パッチ 1、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) 15.0.8、および ソフトウェア資産管理 (sn_itam_samp) 2.1.0 バージョン以降で使用できます。パッチ 1 より前の Yokohama バージョンを使用している場合は、KB1801232 を参照してください。
コストセンター	関連するサーバーへのアクセス権が付与されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Department (部門)	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
場所	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連するサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

ソフトウェアサブスクリプション

このリストには、ソフトウェアアプリケーションで利用可能なサブスクリプションが表示されます。

フィールド	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された最後の日付。
非アクティブな日数	ユーザーのサブスクリプションが非アクティブであった日数。 このフィールドは、[前回のアクティビティ] フィールドが空でない場合に [ソフトウェアサブスクリプション] フォームに表示されます。非アクティブ日数は、[前回のアクティビティ] フィールドの値を使用して計算されます。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられているプロファイル。

ダウングレード権限

このリストには、ソフトウェア モデルのダウングレード権限情報が表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

フィールド	説明
親ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの親 (または最上位の階層)。
ソフトウェアモデル	ダウングレード権限に関連付けられたソフトウェアモデル。選択した親ソフトウェアモデルに基づいて、関連するソフトウェアモデルがリストに表示されます。たとえば、親ソフトウェア モデルとして SQL Server 2012 Standard Microsoft を選択すると、 Microsoft に関連するソフトウェア モデルのみが一覧に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース	ダウングレード権限のソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されます。自動的に作成された場合、このフィールドは ServiceNow に設定されます。
[Active (アクティブ)]	ソフトウェア モデルのダウングレード権限がアクティブかどうかを示すオプション。必要に応じて、ダウングレード権限を非アクティブ化できます。アクティブなダウングレード権限のみがフィールドに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェア モデルのダウングレード権限を非アクティブ化すると、ダウングレード権限のソースに関係なく、関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に変更が反映されます。ソフトウェア モデルのダウングレード権限を無効にして、ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を有効にしたままにすることはできません。 ダウングレードを右に非アクティブ化するには、フィールドをダブルクリックしてトグルボタンを表示し、 **false**を選択してから、保存アイコン( )を選択します。 • **false**:ソフトウェアモデルと関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。 • **true**:ソフトウェアモデルと関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を再アクティブ化します。

一致するディスカバリーモデル

このリストには、ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品フィールドに一致するディスカバリーマップが表示されます。

フィールド	説明
表示名	ディスカバリーモデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス]： • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 手動で正規化済み • 新規
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。

すべてのバージョンの製品ライフサイクル

このリストには、ソフトウェア製品のすべてのバージョンのライフサイクルが表示されます。

フィールド	説明
パブリッシャー	パブリッシャーの名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
エディション	ソフトウェアのエディション。
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。 • プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード **注:** [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。 • 提供終了:ソフトウェアが発行元によって製造されなくなる日付。 **注:** この値は、メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、Microsoft には適用されません。詳細については、「固定ライフサイクルポリシー」を参照してください。 • サポート終了:ソフトウェアが発行元によって拡張されなくなる日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftのメインストリームサポート終了日に対応します。 • 延長サポートの終了:パブリッシャーがソフトウェアのサポートまたはアップデートを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftの延長サポート終了日に対応します。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • パブリッシャー
ソース	ライフサイクルのソース。 • レコードを手動で作成した場合、この値は [内部] に設定されます。 • レコードが自動的に作成される場合、フィールドは [ServiceNow] に設定されます。
説明	ソフトウェア製品のライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
Risk	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度、提供終了フェーズは高い場合があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
[Active (アクティブ)]	ソフトウェアのリスクを評価するときにライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 注: デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。

ソフトウェアライセンスメトリクス属性

ソフトウェア ライセンスのメトリクス属性と関連リストのフィールドの説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メトリクス属性

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの数。	指名デバイスあたり	一般
プロセッサあたりの最小コア数	8	誤り	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用する必要があるコア権限の数。 ライセンス可能なコア = プロセッサ * 最大 (プロセッサあたりの最小コア数、コア)	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
VM あたりの最小コア数	8	誤り	仮想マシン (VM) に適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	誤り	物理サーバーでソフトウェアを実行するために許可されるオペレーティングシステム環境 (OSE) の最大数。 必要なライセンス = (ライセンス可能な OSE/サーバーあたりの最大アクティブ OSE) * ライセンス可能なコア	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
サーバーあたりの最小コア数	16	誤り	物理サーバーに適用する必要があるコア権限の数。 ライセンス可能なコア = Max (プロセッサ * 最大 (プロセッサあたりの最小コ	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			ア数、コア数)、サーバーあたりの最小コア数)		
OSE あたりの最大インストール数	1	誤り	サーバーの OSE の 1 つ内で許可されているインストールの最大数。 必要なライセンス = (OSE あたりのライセンス可能なインストール数/OSE あたりの最大インストール数) * ライセンス可能なコア	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
プロセッサあたりの最小コア数	1	誤り	物理プロセッサーに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	一般
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	誤り	OracleDatabase Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2 では、Microsoft Azure や AWS などのOracle認可されたクラウド環境に展開されるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、Microsoft AzureやAWSなどの認可されたクラウド環境Oracleデプロイ先のインスタンスのサイズに	プロセッサあたり	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			上限はありません。		
サーバーあたりの最大ソケット数	2	誤り	Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2は、ソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンス供与されます。	プロセッサあたり	Oracle
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	指名ユーザーあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	指名ユーザーあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	指名ユーザーあたり	一般
権限あたりの最大 VM 数	2	誤り	RHEL Serverの場合、これは各サブスクリプションがライセンスを取得できる物理ホスト上で実行されている VM の数です。ホストで実行されている単一の VM には、1 つのサブスクリプションが必要です。 RHEL for Virtual Datacentersの場合、物理ホス	ソケットペアごと	Red Hat

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			ト上のソケットペアごとに 1 つのサブスクリプションでライセンスを付与できる VM の数です。		
権限あたりの最大ソケット数	2	誤り	各サブスクリプションがライセンスを取得できる物理ホスト上のソケットの数。単一ソケットホストには 1 つのサブスクリプションが必要です。	ソケットペアごと	Red Hat
権限あたりの最大プロセッサ数	2	誤り	各権利がライセンス供与できる物理プロセッサの最大数。 必要なライセンス = プロセッサ/権限あたりの最大プロセッサ数	プロセッサあたり	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	誤り	物理サーバー上でソフトウェアの実行が許可される OSE の最大数。 必要なライセンス = ライセンス可能な OSE/サーバーあたりの最大アクティブ OSE	プロセッサあたり	Microsoft
OSE あたりの最大インストール数	1	誤り	サーバーの OSE の 1 つ内で許可されるインストールの最大数。 必要なライセンス = OSE あたりのライセンス可能なインストー	プロセッサあたり	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			ル数/OSE あたりの最大インストール数		
OSE あたりの最大インストール数	1	誤り	サーバーの OSE の 1 つ内で許可されるインストールの最大数。 必要なライセンス = OSE ごとのライセンス可能なインストール	サーバー (インスタンスあたり)	Microsoft
権限あたりの最大インストール数	1	誤り	各権限がライセンスできる最大インストール数。	アプリケーションインスタンスあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	OSI あたり	VMware
最小 NUP	5	誤り	Named User Plus (NUP) によってライセンス供与される場合、 Oracle Database Standard Edition と Oracle Database Standard Edition One の両方に、それぞれ最低 5 つの NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
WebLogic オンプレミス展開の最小 NUP	10	誤り	プロセッサーにアクセスするプログラムに対してライセンスを付与する必要があるユーザーの最小数。この属性は、オンプレミスにデプロイされた WebLogic Standard および WebLogic	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			Enterprise OracleOracle NUP ライセンスメトリクスとエンタイトルメントを調整するために使用されます。WebLogic Standard の場合、属性は占有されているソケットをカウントし、WebLogic Enterprise の場合、属性はプロセッサ コアをカウントします。		
サーバーあたりの最大ソケット数	2	誤り	Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2は、ソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンス供与されます。	指名ユーザープラス	Oracle
プロセッサあたりの最小ユーザー数	25	誤り	物理プロセッサーへのアクセスが許可されているユーザーの最小数。このメトリクス属性は、オンプレミスおよび認可されたクラウド環境 (Microsoft Azure や AWS など) Oracle両方に適用されます。	指名ユーザープラス	Oracle
クラウド上の最小 NUP	10	誤り	NUP によってライセンス	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			されている場合、Oracle Database Standard Edition 2 では、Microsoft Azure や AWS などの認可されたクラウド環境で、8 個の vCPU あたり最低 10 個の NUP ライセンスOracle必要です。		
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	誤り	OracleDatabase Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2 では、Microsoft Azure や AWS などのOracle認可されたクラウド環境に展開されるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、Microsoft AzureやAWSなどの認可されたクラウド環境Oracleデプロイ先のインスタンスのサイズに上限はありません。	指名ユーザープラス	Oracle
WebLogic クラウド展開の最小 NUP	10	誤り	vCPU にアクセスするプログラムに対してライセンスが必要なユーザーの最小数。この属性は、AWS Cloud や Azure Cloud	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			などの認可されたクラウド環境での Oracle WebLogic Standard および WebLogic Enterprise OracleのOracle NUP ライセンスメトリクスとエンタイトルメントを調整するために使用されます。Standard エディションの場合、 AWS または Azure Cloud のいずれかで 8 つの vCPU ごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。Enterprise Edition の場合、ハイパースレッディングが有効になっている場合は 2 vCPU あたり 10 NUP ライセンスが必要であり、ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、vCPU ごとに 10 NUP ライセンスが必要です。		
サーバーごとの最小 NUP	10	誤り	NUP によってライセンスされている場合、 Oracle Database Standard Edition 2 にはサーバーごとに最低 10 NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU ごとに 1 つのライセンス	プロセッサあたり	IBM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			が必要で、最大 CPU あたりの物理コア数までです。CPU の物理コアが最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)		
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU ごとに 1 つのライセンスが必要で、最大 CPU あたりの物理コア数までです。CPU の物理コアが最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	Citrix
プロセッサあたりの最大コア数	32	誤り	2020 年 4 月 2 日より、VMware には最大 32 個の物理コアに対して 1 つのライセンスが必要です。CPU のコア数が 32 を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	VMware

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU ごとに 1 つのライセンスが必要で、最大 CPU あたりの物理コア数までです。CPU の物理コアが最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	一般
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	Adobe
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	Citrix
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	一般
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	デバイスあたり	VMware
VM あたりの最小コア数	4	誤り	仮想マシンに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	Microsoft
プロセッサあたりの最小コア数	4	誤り	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用	コアあたり	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンスのメトリクス	評価指標グループ
			する必要があるコア権限の数。		
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	ユーザーあたり	Adobe
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	ユーザーあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	ユーザーあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	ユーザーあたり	Citrix
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスできる最大インストール数。	ユーザーあたり	一般

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアエンタイトルメントフォームと関連リストのフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

注:
Yokohama リリースから、ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルと [ライセンスコストの上書き] [samp_override_license_cost] テーブルに [データベースオプション] 列は存在しなくなりました。Yokohama リリースより前にフォームビューをカスタマイズしてデータベースオプション列を含めた場合は、ソフトウェアエンタイトルメントフォームに [データベース] オプションが表示されます。

ソフトウェアエンタイトルメントのリストビューには、 **SAM** ワークスペースライセンス操作リストカウント制限 システムプロパティ (*sn_sam_workspace.sam_license_operations_list_count*) で指定された値に基づいて、組織のソフトウェアエンタイトルメントレコードの合計数が表示されます。レコード数のデフォルト値は **5000000** に設定されています。ただし、SAM アドミニストレーターは、必要に応じてシステムプロパティでカウントの値を設定できます。レコードが 500 万件未満の場合は、正確な数が表示されます。500 万を超えるレコードがある場合、カウントは 5,000,000+ と表示されます。このシステムのプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェア モデルの表示名に基づいて自動的に生成された名前。
	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Asset tag (資産タグ)	
パブリッシャーの品番	既に購入されている可能性があるソフトウェアの [ソフトウェア製品定義] ルックアップリストからの公開者の品番 (PPN)。 このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。 パブリッシャーの品番を選択すると、「 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 以上存在し、次のいずれかの条件が満たされた場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません **注:** 公開者の品番にソフトウェアモデルが存在する場合、[ソフトウェアモデル] フィールドは自動的に入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェア モデルが自動的に作成されます。同じディスカバリーマップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェアモデル。 **注:** パブリッシャーの品番がソフトウェアモデルのパブリッシャーと製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。 このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。
合意タイプ	選択した合意タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 合意タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあっても ステータス は準拠です。
ライセンスタイプ	タイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限が決まります。 さまざまなライセンスタイプは次のとおりです。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • サブスクリプション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• ステップアップ • サブスクリプションステップアップ • アドオン • SA から **注:** Yokohama リリースにアップグレードし、コンテンツ更新が実行された後、コンテンツ更新によって特定の PPN のライセンスタイプがステップアップからサブスクリプションステップアップに変更されると、その PPN に関連付けられているすべてのエンタイトルメントがサブスクリプションステップアップエンタイトルメントに更新されます。 SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [サブスクリプション] です。
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。 **注:** このフィールドが [消費] または [サブスクリプション] に設定されている場合、[ライセンス タイプ] フィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定されます。
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 詳細については、「ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。 **注:** • SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 • SaaS 消費の場合、ライセンスメトリクスの結果 (samp_license_metric_result) の支出は、現在のサブスクリプション期間に対してのみ計算されます。これはエンタイトルメントの総コストではありません。たとえば、購入済みの権限が 100 で、単位コストが $1、ライセンスの種類が [サブスクリプション]、[サブスクリプション期間] が [月単位] で、[開始日] と [終了日] が 2 か月に設定されている場合、合計コストは $200 になります。ただし、消費は現在のサブスクリプション期間と調整されているため、[ライセンスメトリクスの結果] の支出は $100 と表示されます。
無制限のライセンス	作成中のエンタイトルメントが無制限のライセンスであることを示します。
サブスクリプション期間	ソフトウェアサブスクリプションの請求頻度。オプションは、[月次]、[四半期ごと]、[年次]、および [サブスクリプション期間全体] です。[サブスクリプション期間全体] オプションは、サブスクリプションの全期間を通じて、後にのみ支払う必要があることを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[月次]、[四半期ごと]、または [年ごと] を選択した場合は、サブスクリプションが有効な期間を [開始日] フィールドと [終了日] フィールドに指定する必要があります。[サブスクリプション期間全体] を選択した場合は、[開始日] フィールドのみが必須です。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[サブスクリプションステップアップ]、[アドオン]、または **[SA** から] を選択した場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、SA サービス、 アドオン機能、または SA サービスから の開始日。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップアップ]、[サブスクリプションステップアップ]、[アドオン]、または **[SA** から] を選択した場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、SA サービス、 アドオン機能、または SA サービスからの終了日。 ライセンスタイプとしてソフトウェアアシュアランスが指定されていた場合、終了日に達するとメンテナンスフラグがクリアされ、ステータスは廃止になります。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップアップ]、[サブスクリプションステップアップ]、[アドオン]、または **[SA** から] を選択した場合にのみ表示されます。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数 既存のエンタイトルメントでこのフィールドを編集できます。このフィールドの値を変更すると、[購入済みの権限] フィールドが自動的に更新されます。
購入済みの権限	購入している権限の数。 既存のエンタイトルメントでこのフィールドを編集できます。このフィールドの値を変更すると、経費ラインアイテムが自動的に更新されます。 **注:** CAL ライセンスタイプで [コアあたり Microsoft] または [コアあたり Microsoft] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力された値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。 Yokohama リリースから、SAP Engine 製品のこのフィールドで収益ベースのライセンスサポートが有効になります。このサポートにより、より付加価値の高い収益ベースの SAP エンジン製品を使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 **注:** エンタープライズ契約がライセンスに付属している場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません。
利用可能な割り当て	エンタイトルメントに対して作成されていないユーザーまたはデバイス割り当ての数。 利用可能な割り当て = (アクティブな権限の数) - (すべての割り当て量の合計)。
単価	ソフトウェアの単位コスト。 **注:** での総コストと節減額の計算に必要です ソフトウェア資産管理 ダッシュボードです Yokohama リリースから、SAP Engine 製品のこのフィールドで収益ベースのライセンスサポートが有効になります。このサポートにより、より付加価値の高い収益ベースの SAP エンジン製品を使用できます。
総額	単位コストから計算されたエンタイトルメントの合計コスト。
合計ユニット	このエンタイトルメントのために購入したソフトウェアユニットの合計数。 このフィールドは、[メトリクスグループ] フィールドが [消費] に設定されている場合にのみ表示されます。
無制限消費	選択すると、ライセンス消費は消費ルールにリストされているエンティティに限定されません。どのエンティティも権限を消費できますが、消費ルールのエンティティには権限が予約されています。予約された権限は、ライセンスプール列から取得されます。 **注:** このチェックボックスは、既存のすべての消費ルールにライセンスプールがある場合にのみ選択できます。新しい消費ルールでは、プールも定義する必要があります。

[全般] タブ

フィールド	説明
シリアル番号	資産識別のために割り当てられた唯一の番号。
所有者	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産オーナーは、アドミニストレーターとは別の人物でもかまいません。
ステータス	資産の現在の状態。値には、[注文済み]、[在庫あり]、[輸送中]、[使用中]、[消費済み]、[メンテナンス中]、[廃止]、[欠損]、[ビルド] が含まれます。 **注:** エンタイトルメントの作成を開始すると、初期ステータスは [ビルド] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	状態が [廃止] の場合、[アクティブな権限] フィールドは **0** に設定されます。 サブスクリプションライセンス期間のエンタイトルメントの場合、[ステータス] フィールドは [開始日] フィールドと [終了日] フィールドに基づいて自動的に更新されます。
Substate (サブステート)	ソフトウェア ライセンス ステージの詳細。使用可能なサブステートの設定は、[状態] フィールドで選択した状態によって異なります。 たとえば、[廃止] 状態を選択した場合、使用可能なサブステート オプションは [廃棄済み]、[販売済み]、[寄付]、および [ベンダー クレジット] です。
アクティブ メンテナンス	エンタイトルメントでサブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブ化されているかどうかを示します。エンタイトルメントにアクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている場合、このチェックボックスは自動的に選択されます。エンタイトルメントで最初にサブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブ化されていて、サブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブでなくなった場合、このチェックボックスは自動的にオフになります。 以前のリリースから Yokohama リリースにアップグレードする場合、アクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている既存のエンタイトルメントに対しては、このチェックボックスが自動的にオンになります。
会社	この資産が属する会社。
場所	ライセンスが使用される場所。たとえば、サイト、国、地域を指定できます。
Department (部門)	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

[財務] タブ

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元である会社。
請求書番号	資産に関する請求が提出された請求書。
要求アイテム	資産にリンクされた要求アイテム。
購入日	エンタイトルメントが購入された日付。この日付は、 Microsoft が AWS および Microsoft Azure上の専用ホストのライセンスルールを更新したため、調整が実行されるときに考慮されます。 **注:** 購入日は、エンタイトルメントをインポートするときにも表示されます。
開始日時	要求がオープンされた日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
GL アカウント	資産に関連付けられた総勘定元帳アカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

[契約] タブ

ソフトウェアエンタイトルメントをインポートするときは、ダウンロード可能なテンプレートの [契約番号] 列を使用して、契約をエンタイトルメントにリンクします。契約番号は参照フィールドであるため、システムは最初に既存の契約との一致を検索するため、既存の契約番号を入力します。一致する契約番号が見つからない場合は、エンタイトルメントのインポートエラーが生成されます。

エラーから契約を作成し、エンタイトルメントの作成と、[契約] 関連リストのエンタイトルメントフォームでの契約の表示を可能にする必要があります。契約作成プロセスをスキップしてエンタイトルメントを作成することもできますが、契約は不要です。

フィールド	説明
リース契約	資産に適用される契約。
保証の有効期限	保証の有効期限。
サポートグループ	資産に関連するインシデントをサポートするグループ。
サポート担当者	資産に関連するインシデントをサポートする個人。

[ユーザー割り当て] タブ

注:
このタブは、[ユーザーごと] や [ユーザー CAL] などのユーザーベースのライセンスメトリクスを使用している場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
アサイン条件	調整中にユーザー割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすユーザー割り当てのみが調整に含まれます。
Assigned to (アサイン先)	関連付けられた権限が割り当てられているユーザー。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用してサーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各ユーザーの名前が表示されます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションで CAL をユーザーに割り当てる方法の詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースで CAL をユーザーに割り当てる方法の詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数量	ユーザーに割り当てられている権限の数。
ライセンスキー	ユーザーに割り当てられた一意のライセンスキー。

[デバイス割り当て] タブ

注:
このタブは、[デバイスごと] や [デバイス CAL (Device CAL)] など、デバイスベースのライセンスメトリクスを使用している場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
エンタイトルメント条件	調整中にデバイス割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすデバイス割り当てのみが調整に含まれます。
Assigned to (アサイン先)	関連付けられた権利が割り当てられているデバイス。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用してサーバー ソフトウェアにアクセスしているデバイスを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各デバイスの名前が表示されます。ソフトウェア資産管理クラシック アプリケーションで CAL をデバイスに割り当てる方法の詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースで CAL をデバイスに割り当てる方法の詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
数量	デバイスに割り当てられている権限の数。
ライセンスキー	デバイスに割り当てられた一意のライセンスキー。

[関連エンタイトルメント] タブ

注:
このタブは、ソフトウェアエンタイトルメントが関連するエンタイトルメントにリンクされている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
関連エンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメントにリンクする関連エンタイトルメント。
ライセンスタイプ	関連するエンタイトルメントに関連付けられているライセンスタイプ。
アクティブな権限	関連するエンタイトルメントに付与する権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント **注:** このフィールドは、ソフトウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションには表示されません。	関連するエンタイトルメントをリンクする先のソフトウェアエンタイトルメント。

[アップグレードされたエンタイトルメント] タブ

フィールド	説明
エンタイトルメント元	権限がアップグレードしたエンタイトルメント。複数のアップグレードされたエンタイトルメントがサポートされています。 ソフトウェアの特定のバージョンに対する以前の所有権を新しいバージョンにアップグレードできます (たとえば、 Microsoft Office Professional Plus 2013 から Microsoft Office Professional Plus 2016 へ)。 **注:** このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [アップグレード] が選択されている場合に使用できます。 アップグレード元のエンタイトルメントの権限は、新しいエンタイトルメントに移動されるため、アップグレード時に非アクティブ化されます。
権利の数	アップグレードする権限の数。

[アクティビティ] タブ

フィールド	説明
作業メモ	資産の作業メモ。

ダウングレード権限関連リスト

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	ダウングレードが関連付けられているソフトウェアエンタイトルメント。
ソフトウェアモデル	ダウングレード右に対応するソフトウェアモデル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限がアクティブかどうかを示します。必要に応じて、ダウングレード権限を非アクティブ化できます。アクティブなダウングレード権限のみがリストに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェア モデルのダウングレード権限を非アクティブ化すると、変更は関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に伝播されます。ダウングレード権限のソースに関係なく。 ダウングレード権限を非アクティブ化するには、フィールドをダブルクリックしてトグルボタンを表示します。[false] を選択し、[保存] アイコン ( ) を選択します。 • false:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。 • true:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。
順序	ダウングレードの順序。必要に応じて、このフィールドを編集できます。
開始日	ダウングレードの開始日。
終了日	ダウングレードの終了日。

エンタイトルメント消費ルール

注:
このタブは、 Workdayを除くすべての公開者に表示されます。さらに、このタブは、以下を除くすべてのライセンスメトリクスに対して表示されます。

- リソース値単位 (RVU)
- リソース値単位 (RVU) フルキャパシティ
- リソース値単位 (RVU) サブキャパシティ
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- 従業員

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	消費がリンクされているソフトウェアエンタイトルメント。
消費ルール	エンタイトルメントにリンクされた消費ルール。
ライセンスプール	消費ルールに関連付けられたライセンスプール。ライセンスプールの詳細については、「グローバルエンティティ間のライセンスの調整」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスキー関連リスト

フィールド	説明
割当済み	ライセンス キーが割り当てられたことを示すオプション。
ライセンスキー	ライセンス キーの値。エンタイトルメントに対して一意である必要があります。
ソフトウェアエンタイトルメント	ライセンス キーに関連付けられたソフトウェアエンタイトルメント。

ソフトウェア モデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フィールド

ソフトウェア モデルの結果 ライセンスメトリクスの結果フォームと関連リストのフィールドの説明。このフォームには、ソフトウェア モデルの結果にある [ライセンスメトリクスの結果] 関連リストからアクセスできます。

[ライセンスメトリクスの結果] フォーム

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つは無期限の SA ライセンスタイプで、もう 1 つはサブスクリプションライセンスタイプである場合、2 つのライセンスメトリクスの結果が生成されます。アクティブなメンテナンスが true のライセンスメトリクスの結果と、アクティブなメンテナンスが false のライセンスメトリクスの結果。このようなシナリオでは、2 つのライセンスポジションレポートが生成されます。1 つはアクティブメンテナンスが true、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false です。

フィールド	説明
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされるライセンスメトリクスの名前。
ソフトウェア モデルの結果	ライセンスメトリクスの結果に関連付けられたソフトウェア モデルの結果。
グループ	調整が実行されたグループ。
サブグループ	調整が実行されたサブグループ。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
利用可能な権利	調整中に使用されなかった権限の合計 (所有する権利 — 使用する権利)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な配分	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
未割り当て	割り当てられていない権限の数 (所有している権利 - インストールされているかどうかに関係なく割り当てられています)。
割り当てが必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスのメトリクスでのみ使用されます。

[権限使用者] 関連リスト

フィールド	説明
使用者	権限を使用しているユーザーまたはデバイス。 **注:** 権限がクライアントアクセスレコードに関連付けられている場合、[使用者] フィールドには、それらの権限を使用している各クライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、関連付けられた権限を使用しているユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
割り当て済み及び	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
使用中	
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンス付与に使用できないコアパックの残りの権利。譲渡不可能な権利は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
割り当てが必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスのメトリクスでのみ使用されます。

[権利要求者] 関連リスト

フィールド	説明
権限要求者	権限を必要とする無認可のユーザーまたはデバイス。 **注:** 関連付けられたクライアントアクセスレコードの無認可ユーザーまたはデバイスを対象として権限が必要な場合、[必要な権限] フィールドには、これらの追加の権限を必要とするクライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、権限を必要とする無認可ユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
必要な権利	無認可のユーザーまたはデバイスを対象とするために必要な権利の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスされたインストール関連リスト

注:
この関連リストは、 SAP ライセンスメトリクスでは使用できません。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
ディスカバリーモデル	インストール済みソフトウェアのソフトウェアディスカバリーモデル
インストール先：	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
Assigned to (アサイン先)	ソフトウェアが割り当てられているユーザーまたはデバイス。

ダウングレード/アップグレード関連リスト

注:
この関連リストは、 SAP ライセンスメトリクスでは使用できません。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	アップグレードまたはダウングレードに使用できるソフトウェアモデル。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
割り当て済み及び使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
割り当てが必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスのメトリクスでのみ使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP システムユーザー関連リスト

注:
この関連リストは、 SAP 指定ユーザーライセンスメトリクスでのみ使用できます。

フィールド	説明
表示名	SAP ユーザー ID と SAP クライアントを含む識別子。
ユーザー	SAPユーザーのフルネーム。
SAP ユーザー ID	SAPユーザーの一意の識別子。
メール	SAPユーザーのメールアドレス。
名	SAPユーザーの名。
姓	SAPユーザーの姓。
ユーザータイプ	SAPユーザーのタイプ。
ライセンスタイプ	SAPユーザーにアサインされた指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	SAPユーザーの正規化された指名ユーザータイプ。
最適化された指名ユーザータイプ	SAPユーザーの最適化された指名ユーザータイプ。
SAP クライアント	SAPユーザーが属する組織サブユニット。

[ライセンスが付与されたサブスクリプション] 関連リスト

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアサブスクリプションの公開者と製品を含む識別子。
ユーザー	サブスクリプションユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションソフトウェアのソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションソフトウェアの直接統合プロファイル。
サブスクリプションタイプ	サブスクリプションのタイプ。

エンタイトルメントのインポートエラーフィールド

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームと関連リストのフィールドの説明。

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォーム

フィールド	説明
エラーステータス	エンタイトルメントのステータス。エラーレコードには、次の 2 つのステータスのいずれかがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 手動で修正:エラーレコード内のすべてのエラーが修正され、エンタイトルメントが正常に作成されたとき。 • 要レビュー:エラーレコードが作成され、エラーを確認して修正する必要があります。
理由	インポートされたエンタイトルメントをエンタイトルメントリストに追加できなかった理由。
Asset tag (資産タグ)	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	既に購入されている可能性があるソフトウェアの [ソフトウェア製品定義] ルックアップリストからの公開者の品番。 パブリッシャーの品番を選択すると、「 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 以上存在し、次のいずれかの条件が満たされた場合にのみ表示されます。 • どのスイートコンポーネントにもソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルは存在しません **注:** 公開者の品番にソフトウェアモデルが存在する場合、[ソフトウェアモデル] フィールドは自動的に入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェア モデルが自動的に作成されます。同じディスカバリーマップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェアモデル。 **注:** 公開者の品番がソフトウェアモデルの公開者と製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。
ライセンスタイプ	ライセンスタイプ。ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 タイプが [アップグレード] の場合、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストが表示されます。アップグレードライセンスタイプは、アップグレードするエンタイトルメントを指定するために使用されます。 このフィールドはフォームが送信された後に読み取り専用となります。 **注:** SaaSエンタイトルメントの場合は、デフォルト値 (フル) のままにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。
ライセンスのメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 詳細については、「ソフトウェアライセンスのメトリクス」を参照してください。 **注:** Envelopes ライセンスメトリクスは、 DocuSign エンタイトルメントにのみ使用します。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
購入済みの権限	購入する権限の数。 **注:** CAL ライセンスタイプで [コアあたり Microsoft] または [コアあたり Microsoft] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力された値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
合意タイプ	選択した合意タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 合意タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあっても ステータス は準拠です。 • 汎用:ダウングレード権限は自動的には入力されません。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 汎用 から他のタイプ (**CLP** など) に変更すると、ダウングレード権限が自動的に入力されます。 • [汎用:ダウングレード権限] 以外の合意タイプは自動的に入力されます。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 、汎用 以外の合意タイプ (**ELTA** など) から 汎用に変更しても、既に設定されているダウングレード権限は削除も非アクティブ化もされません。
購入済みの権限	購入する権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Oracle オプション	エンタイトルメントに関連する Oracle オプション。
契約番号	エンタイトルメントの契約番号。

参照ソフトウェア関連リスト

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア公開者の名前。
製品	製品の名前。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
言語	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。
プラットフォーム	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。

[全般] 関連リスト

フィールド	説明
オーナー	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産オーナーは、アドミニストレーターとは別の人物でもかまいません。
発注書番号	発注書 (PO) 番号。
会社	この資産が属する会社。
場所	ライセンスが使用される場所。例：特定の場所、国、地域などです。
部門	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

財務関連リスト

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元である会社。
単価	ソフトウェアの単位コスト。 **注:** での総コストと節減額の計算に必要です ソフトウェア資産管理 ダッシュボードです

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
GL アカウント	資産に関連付けられた総勘定元帳アカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

エンタイトルメントのインポートエラーアクション

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームアクションの説明。

エンタイトルメントのインポートエラーアクション

アクション	説明
インポート	エンタイトルメントインポートのエラーレコードを保存するオプション。レコードを保存すると、[Entitlement Import Error] フォームが表示されたままになるため、アクション間で簡単にフォームを保存できます。 保存時に、すべての値が再評価され、フォームが更新されます。 たとえば、公開者の品番とソフトウェアモデルの両方のフィールドがない場合、既知の公開者の品番を追加してフォームを保存すると、[ソフトウェアモデル] フィールドが自動的に入力されます。 **注:** フォームは保存するたびに再評価されるため、1 つのエンタイトルメントに変更を加えると、別のエンタイトルメントで 重複エントリなどのエラーが発生する可能性があります。 すべての必須フィールドに入力してフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードが作成され、エラーステータスが [修正済み] に変更されます。
PPN を作成	カスタムソフトウェアの品番。 ソフトウェア資産管理ワークスペースアプリケーションを使用してエンタイトルメントをインポートする場合、[**PPN** を作成] を選択すると、[カスタム品番] リストビューページが表示されます。新規 を選択して、新しい発行者の品番を作成します。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用してエンタイトルメントをインポートする場合、[**PPN** を作成] を選択すると、[パブリッシャー品番の検出マップを作成] ダイアログボックスが表示されます。[**Product**] フィールドで製品名を選択し、[**Submit]** を選択して、パブリッシャーの品番に自動的に関連付けられるカスタム検出マップを作成します。
重複するエンタイトルメントを作成します	エンタイトルメントレコードが重複すると、インポートエラーが発生します。[重複するエンタイトルメントを作成] を選択してエラーを上書きし、重複レコードのエンタイトルメントを作成します。 **注:** このアクションは、エンタイトルメントが既に存在していて、重複するエンタイトルメントが作成されている場合にのみ表示されます。
削除	エラーを削除するオプション。エンタイトルメントレコードは作成されません。このアクションは、[エンタイトルメントのインポートエラー (Entitlement Import Errors)]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	リストで 選択した行のアクション を使用して、一括更新として実行することもできます。

のパブリッシャー最適化 SAP

SAP のライセンスの最適化を表示するには、[公開者] ドロップダウンリストから **[SAP]** を選択します。

> **重要:**
> *SAPの推奨ライセンス最適化を表示するには、ServiceNowインスタンスで ソフトウェア資産管理プロ for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap) を有効にする必要があります。*

レポート	ソース	説明
非アクティブなユーザー	SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	90 日以上前に最後にログインした SAP システムユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーがアサインされていない SAP システムユーザー。
ロックアウトされたライセンス済み SAP ユーザー	SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー。
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーがアサインされている SAP 非ダイアログユーザー。
未使用エンジン	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントがある SAP エンジンの数。
クライアント/システムごとのデジタル アクセス使用状況	SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access]	SAPクライアント別にグループ化された、消費されたデジタルアクセスライセンスの合計数。
ドキュメントタイプ別のデジタルアクセス使用状況	SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access]	消費されたデジタルアクセスライセンスの合計数。作成されたドキュメントタイプ別にグループ化されます。
SAP S/4HANA 使用タイプ別のクラウド使用率	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	SAP S/4HANAパブリッククラウドでのSAPクラウド使用タイプ別のユーザー数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のパブリッシャー最適化 **Red Hat**

[公開者] ドロップダウンリストから **[Red Hat]** を選択して、Red Hat のライセンスの最適化を表示します。

> **重要:**
> ***Red Hat***に推奨されるライセンスの最適化を表示するには、***ServiceNow®***インスタンスで ***IBM*** プラグイン ***(com.sn_samp_ibm)*** の ソフトウェア資産管理プロ ***for*** ソフトウェア資産管理プロ を有効にする必要があります。

レポート	ソース	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスのコスト削減見込み。 **注:** このレポートは、オンプレミスの Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターの推奨ライセンスの最適化と関連するコスト節減に関する詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、および推奨支出が含まれます。

のパブリッシャー最適化 **Microsoft**

[公開者] ドロップダウン リストから **[Microsoft]** を選択して、Microsoft のライセンスの最適化を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
*Microsoft*に推奨されるライセンスの最適化を表示するには、*ServiceNow*® インスタンスで *Microsoft* プラグイン *(com.snc.samp.microsoft)* ソフトウェア資産管理プロアクティブ化する必要があります。*Microsoft 365* サブスクリプションの推奨ライセンス最適化を表示するには、*ServiceNow Store* から ソフトウェア資産管理 - *SaaS* ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。

レポート	ソース	説明
Microsoft 365 サブスクリプションの詳細 注: このレポートは、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	• アクティブなサブスクリプションと非アクティブなサブスクリプション:ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] • 未アサインのサブスクリプション:購入したサブスクリプションの詳細 [samp_purchased_subscription_details]	ソフトウェアモデル別にグループ化された、 Microsoft 365 製品のアクティブ、非アクティブ、および未アサインのユーザーサブスクリプションの詳細の数。 データポイントを選択すると、ソフトウェアモデルのユーザーサブスクリプションの詳細が表示されます。 • [アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が 90 日以内のアクティブなユーザーサブスクリプションが表示されます。 • [非アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が空であるか、90 日より前の非アクティブなサブスクリプションが表示されます。 • [未アサインのサブスクリプション] バーを選択して、アサインされていない利用可能な権限またはユーザー サブスクリプションの数を表示します。
Microsoft 365 サブスクリプションアサインの詳細	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	アサインされた Microsoft 365 サブスクリプションの数。このレポートには、過去 6 か月間にアサインされたサブスクリプションが表示されます。 データポイントを選択すると、公開者、製品、ユーザー、ユーザープリンシパル名、ソフトウェアモデル、サブスクリプションプロファイルなど、アサ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	説明
		インされたサブスクリプションの詳細が表示されます。
Microsoft 365 タイプ別の節減見込み **注:** このレポートは、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	推奨されるダウングレード、重複] 統合、および使用率の低い候補に基づく、 Microsoft 365 ライセンスの月次節減見込み。このレポートには、過去 6 か月間の見込み節減額が表示されます。 任意のバーを選択すると、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補の詳細が表示されます。 • [低使用率] バーを選択してMicrosoft 365使用率の低い再利用候補のリストを表示します。候補を選択すると、詳細、ソフトウェアインストール、再利用するサブスクリプション、およびアサインするサブスクリプションが表示されます。 • ダウングレード バーを選択して、以前のバージョンの Microsoft 365 および Office 365 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。候補を選択すると、詳細、ソフトウェアインストール、再利用するサブスクリプション、およびアサインするサブスクリプションが表示されます。 • 重複するバーを選択して、重複する再利用候補Microsoft 365リストを表示します。候補を選択して詳細、再利用するサブスクリプション、およびアサインするサブスクリプションを表示します。 • [統合] バーを選択して、Microsoft 365統合サブスクリプション再利用候補のリストを表示します。候補を選択して詳細、再利用するサブスクリプション、およびアサインするサブスクリプションを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	説明
Microsoft 365 最適化の推奨事項 **注:** このレポートは、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	推奨されるダウングレード、重複、統合、および使用率の低い候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる、毎月のライセンス数。このレポートには、過去 6 か月間のデータが表示されます。 • [低使用率] バーを選択して、使用率が低いことに基づいて再利用できるMicrosoft 365候補のリストを表示します。 • ダウングレード: ダウングレード バーを選択すると、ダウングレード可能な Microsoft 365 候補と Office 365 候補のリストが表示されます。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • 重複:重複するバーを選択すると、重複する再利用候補 Microsoft 365 のリストが表示されます。リストから候補を選択して、関連するライセンスを再利用します。 • 統合:統合バーを選択すると、統合された Microsoft 365 最適化候補のリストが表示されます。リストから候補を選択して、関連するライセンスを再利用します。
ライセンスの最適化によるオンプレミスの節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストとクラスターのライセンスのコスト削減見込み。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	説明
		注: このレポートは、次の Microsoft ライセンスタイプでのみ使用できます。 • Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアごとのライセンス • Microsoft Windows Server、Microsoft Core Infrastructure Server、および Microsoft System Center のコア単位 (CAL 付き) ライセンス レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターの推奨ライセンスの最適化と関連するコスト節減に関する詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、および推奨支出が含まれます。
オンプレミス最適化により節減を実現	Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report]	推奨されるライセンスの最適化に基づいて、物理ホストとクラスターのライセンスで達成したコスト削減。 注: このレポートは、次の Microsoft ライセンスタイプでのみ使用できます。 • Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアごとのライセンス • Microsoft Windows Server、Microsoft Core Infrastructure Server、および Microsoft System Center のコア単位 (CAL 付き) ライセンス レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターで達成したコスト削減の詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価
- Microsoft 365 統合のための再利用ルール
- Microsoft 365 の統合

のパブリッシャー最適化 **Adobe**

[パブリッシャー] ドロップダウンリストから [**Adobe**] を選択して、Adobe のライセンスの最適化を表示します。

> **重要:**
> ***Adobe***に推奨されるライセンスの最適化を表示するには、***ServiceNow***インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ ***for Adobe*** プラグイン ***(com.sn_samp_adobe)*** を有効にする必要があります。さらに、***ServiceNow Store*** から ソフトウェア資産管理 - ***SaaS*** ライセンス管理 統合アプリケーションを要求してインストールする必要があります。

レポート	ソース	説明
Creative Cloud のサブスクリプションごとのユーザーアクティビティ	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	有意義なアクティビティを含む、月あたりのユーザーサブスクリプションの数。このレポートには、過去 12 か月間のすべての Adobe Creative Cloud コンプリートプランのデータが表示されます。 任意のデータポイントを選択すると、特定のサブスクリプションタイプの有意義なアクティビティを含むユーザーサブスクリプションの前回のアクティビティ日が表示されます。
タイプ別の Creative Cloud 節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	使用量が少ない、二重ライセンスのユーザー、および統合されたサブスクリプションに基づく、 Adobe Creative Cloud コンプリートアプリのライセンスの月次節減見込み。このレポートには、過去 12 か月間の節減見込みが表示されます。 • 低使用率: Adobe Creative Cloud アプリケーションが 60 日以上使用されていません。 • 二重ライセンスユーザー:Creative Cloud のすべてのアプリと個々の Adobe Creative Cloud アプリケーションの両方を通じてサブス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	説明
		クリプションAdobeを持つユーザー。 • 統合サブスクリプション:複数の個別の Adobe アプリケーション(デフォルトでは 3 つを超える)を持ち、これらすべてのサブスクリプションが 1 つの Creative Cloud コンプリートプランサブスクリプションに統合され Adobe ユーザー。
非アクティブなユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	ユーザーステータスに基づく、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブル内の非アクティブなユーザーサブスクリプションの数。
未解決のユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	ServiceNowインスタンスのユーザー [sys_user] テーブルにレコードを持たないユーザーの数。

関連情報

Adobe Cloud との統合

Microsoft コアライセンス最適化レポートのフィールド

Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルのフィールドの説明。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル

フィールド	説明
製品	Microsoft ライセンスを最適化しているソフトウェア製品。
クラスター/ホストタイプ	推奨されるライセンスの最適化がクラスターまたはスタンドアロン物理ホストのどちらに適用されるかを示します。
仮想化技術	クラスター内またはスタンドアロン物理ホストで仮想マシン (VM) を実行するために使用している仮想化テクノロジー。
クラスター/ホスト参照	推奨されるライセンス最適化が適用されるクラスターまたはスタンドアロン物理ホスト。
ホスト親和性	クラスターにホスト親和性ルールが構成されているかどうかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル (続く)

フィールド	説明
が構成済み	**注:** ホスト親和性ルールはクラスターにのみ適用されます。[クラスター/ホストタイプ] フィールドが [クラスター] に設定されている場合、このフィールドは **true** または **false** のいずれかに設定できます。[クラスター/ホストタイプ] フィールドが [スタンドアロンホスト] に設定されている場合、このフィールドは自動的に **false** に設定されます。
ホスト数	物理ホストの数。[クラスタ/ホストタイプ] フィールドが [スタンドアロンホスト] に設定されている場合、このフィールドは **1** に設定されます。[クラスタ/ホストタイプ] フィールドが [クラスタ] に設定されている場合、このフィールドはクラスタ内の物理ホストの合計数に設定されます。
ホストコア	物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコアの数。[クラスタ/ホスト タイプ] フィールドが [スタンドアロン ホスト] に設定されている場合、このフィールドは、スタンドアロン物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数に設定されます。[クラスター/ホストタイプ] フィールドが [クラスター] に設定されている場合、このフィールドはクラスター内の物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数に設定されます。
VM 数	クラスター内またはスタンドアロン物理ホスト上の VM の数。
VM コア	VM に割り当てられている各仮想 CPU (vCPU) 内の仮想コアの数。[クラスタ/ホストタイプ] フィールドが [スタンドアロン ホスト] に設定されている場合、このフィールドは、スタンドアロン物理ホスト上の仮想マシンに割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数に設定されます。[クラスタ/ホストタイプ] フィールドが [クラスタ] に設定されている場合、このフィールドは、クラスタ内の仮想マシンに割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数に設定されます。
ソフトウェアがインストールされている VM の数	Microsoftソフトウェア製品がインストールされている VM の数。
ホストコアライセンスが必要	クラスター内の物理ホストまたはスタンドアロン物理ホストのいずれかにライセンスを付与するために必要な権限の数。
VM コアライセンスが必要	クラスター内またはスタンドアロン物理ホスト上の VM にライセンスを付与するために必要な権限の数。
現在のライセンス消費	現在使用しているライセンスのタイプと権限の合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル (続く)

フィールド	説明
現在のライセンス消費層	現在権限を消費しているレイヤー。オプションは、[物理]、[仮想]、および [物理/仮想] です。
推奨ライセンス消費	消費することが推奨されるライセンスのタイプと権限の合計数。
推奨ライセンス消費層	権限の消費が推奨されるレイヤー。オプションは、[物理]、[仮想]、および [物理/仮想] です。
従来のライセンス消費	ライセンスの最適化を適用せずに権限を消費する保守的な方法。たとえば、 Microsoft Windows Server Data Center の権限や、ホスト レイヤーで SQL Server Enterprise ライセンス Microsoft 権限を使用できます。
従来のライセンス費用	従来のライセンス消費に基づく合計ライセンスコスト。
推奨ライセンス費用	推奨されるライセンス消費およびライセンス消費レイヤーに基づく合計ライセンスコスト。
現在のライセンス費用	現在のライセンス消費とライセンス消費レイヤーに基づく合計ライセンスコスト。
推奨ライセンスを適用	推奨されるライセンスの最適化がクラスターまたはスタンドアロン物理ホストに実装されているかどうかを示します。
ライセンスステータス	クラスターまたはスタンドアロン物理ホストのライセンスステータス。オプションは 、[ライセンス済み] と [ライセンスなし] です。
割り当てあり	クラスターまたはスタンドアロン物理ホストに割り当てるのに十分な権限があるかどうかを示します。
推奨事項の詳細	推奨されるライセンスの最適化の概要。
最適化達成の削減額	推奨されるライセンスの最適化を実装することでコストを削減できたかどうかを示します。
最適化により	推奨されるライセンスの最適化を実装することで節約した金額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル (続く)

フィールド	説明
節減を実現	
節減見込み	推奨されるライセンスの最適化を実装することで節約できる金額。

成熟度アイテム 詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

フィールド	説明
[Name (名前)]	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • 責任を担います。 • エンドユーザー • SaaS • データセンター • Cloud (クラウド)
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細については、「 の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。
ステータス	成熟度アイテムの現在のステージ。 • 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行
推奨される成熟度レベル	SAM アプリケーションの価値リターンを改善するための推奨成熟度レベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

フィールド	説明
	• クロール • ウォーク • 実行
開始日	成熟度アイテムの開始日。
完了日	成熟度アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ

ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、ランの 3 つのステージに分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	説明
クロール	新しいソフトウェア資産管理プログラムの実装や開発など、ソフトウェア資産管理ジャーニーを開始します。この段階では、健全な構成管理データベース (CMDB) を確立し、データを検出するツールを特定し、プロセスとロールを確立できます。ライセンスが複雑ではないエンドユーザーコンピューティングまたは SaaS 統合に集中できます。
ウォーク	ソフトウェア資産管理プログラムのロードマップで実行するためのプロセス、手順、ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。データセンター環境でのより複雑なライセンスモデルへの移行、自分のライセンスを使用する (BYOL) ユースケース、および追加の SaaS 公開者。ソフトウェアの計測と再利用を通じて追加のガバナンスとコスト管理を検討し、重複するソフトウェアを特定し、コンプライアンス結果を通じてソフトウェア資産を適正化できます。
実行	ソフトウェア資産の一元的な追跡とシステム管理のために、成熟し、標準化され、自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。購入プロセスでは、新しいカタログアイテムに標準のカタログとオンボーディングプロセスを使用します。自動化されたオンデマンドメカニズム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度ステージ (続く)

ステージ	説明
	を通じてエンドユーザーにソフトウェアを提供し、ソフトウェア支出を適正化します。また、プロセスを評価し、 ソフトウェア資産管理 目標を定期的に設定する必要があります。

SAM 成功目標の詳細

SAM 成功目標の詳細のフィールドは、インスタンス内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

SAM 成功目標の詳細

フィールド	説明
[Number (番号)]	成功目標の一意の識別子。
Title (役職)	成功目標のタイトル。
ステータス	成功目標のステータス。デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。
ベンダー	成功目標に関連付けられたベンダーまたは公開者。
目標タイプ	目標の測定基準を定義します。 • 預金 • カウント
ゴールの説明	成功目標の詳細な説明。
グループ	目標をアサインするグループ。
Owner (オーナー)	目標がアサインされているグループのユーザー。
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
開始実績日	成功目標の実際の開始日。
終了実績日	成功目標の実際の終了日。
予測された削減額	成功目標から予想される節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減] に設定した場合にのみ表示されます。
節減実績	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減] に設定した場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM 成功目標の詳細 (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際の数。 このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかの説明。

関連情報

の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理

汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティのディスカバリーソースによって収集されたディスカバリーデータを ServiceNow インスタンスのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力するサンプルペイロード。

Microsoft、IBM などの公開者のソフトウェアインストールレコードを作成するためのサンプルペイロードは次のとおりです。Oracle、VMware、および Citrix の場合は、特殊なペイロードが使用されます。

このサンプル ペイロードでは、インストール済みソフトウェア、Microsoft Word 2016、および関連 CI の情報を渡して、インストール場所 (コンピューター CI「SAMILMT8」上) を通知します。cmdb_sam_sw_installテーブルで列名を検索し、ペイロードで列と値のペアを渡すことで情報を送信できます。たとえば、このペイロードでは、公開者、バージョン、display_nameの列を送信しています。エディション列などの追加情報を送信することもできます。

注:
CI ID ルールの詳細については、「識別子ルール」を参照してください。

```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_computer',
             'related': [{
                         className:'cmdb_sam_sw_install',
                         values: {
                           'publisher':'Microsoft',
                           'version':'2016',
                           'display_name':'Word'
                           }
                       }
                   ],
               'values': {'name':'SAMILMT8'}
                       }]
          }
```

要素	**Value** (値)	説明
className	cmdb_ci_computer	CI のクラス名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Value (値)	説明
className	cmdb_sam_sw_install	CI を作成する CMDB アプリケーションの関連テーブルの名前。
publisher	Microsoft	テーブルでこのエントリが作成されているパブリッシャーの名前。
バージョン	2016 年	テーブル内でこのエントリーが作成されるソフトウェアのバージョン。
名前	単語	テーブル内のこのエントリの表示名。
名前	SAMILMT8	CI の一意の識別子。

Oracle ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティのディスカバリーソースからのソフトウェアインストールレコードを Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルに入力する Oracle パブリッシャーパックのサンプルペイロード。

ディスカバリーソースを介して Oracle ソフトウェアのインストールを検出した後、Oracle インスタンスと、Oracle インスタンスに関連付けられた Oracle オプションを含むペイロードを送信します。

注:
[プロパティ] ページで、[サードパーティのデータソース統合フレームワーク [com.snc.samp.ire.datasource.integration] を使用する場合は、必ず [スケジュール済みジョブを有効にする] プロパティを選択してください。

スケジュールジョブ [SAM - ソフトウェア資産接続] が実行されると、ソフトウェアインストールが null のレコードが検索され、Oracle インスタンステーブルのソフトウェアインストールフィールドに値が入力されて、インスタンスに関連付けられたソフトウェアインストールレコードが作成されます。

Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルに Oracle のソフトウェアインストールレコードを作成するためのサンプルペイロードは次のとおりです。サンプル入力には、CI とこれらの CI 間に存在する関係のリストが含まれています。ペイロードには、標準エディションの Oracle データベース サーバー、Dev development 1969 があることが示されています。Oracle データベースサーバーでは、Armstrong、Aldrin、Collins などの多くの Oracle オプションが有効になっており、Linux サーバー上で実行されます。

```
{
 'items': [
  {
   'className': 'cmdb_ci_db_ora_instance',
   'related': [
    {
     'className': 'samp_oracle_options',
     'values': {
      "option": "Armstrong",
      "currently_used": "true"
     }
    },
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      {
       'className': 'samp_oracle_options',
       'values': {
        "option": "Aldrin",
        "currently_used": "true"
       }
      },
      {
       'className': 'samp_oracle_options',
       'values': {
        "option": "Collins",
        "currently_used": "true"
       }
      }
     ],
     'values': {
      'name': 'Dev development 1969',
      'edition': 'Standard',
      'sid': '1-2-569',
      'version': '11.2'
     }
    },
    {
     'className': 'cmdb_ci_linux_server',
     'values': {
      'name': 'CI DATAI 6-002',
      'mac_address': '4653XYZAA',
      'ip_address': '10.10.10.8',
      'asset_tag': 'HWR0003',
      'assigned_to': 'a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a',
      'cpu_count': '16',
      'cpu_manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
      'manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
      'os': 'Linux Red Hat',
      'os_version': '2.6.9-22.0.1.ELsmp',
      'ram': '2014'
     }
    }
  ],
  'relations': [
    {
     'type': 'Runs on::Runs',
     'parent': 0,
     'child': 1
    }
  ]
}
```

要素	**Value** (値)	説明
className	cmdb_ci_db_ora_instance	関連する Oracle インスタンステーブルの名前。
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプションテーブルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Value (値)	説明
オプション	アームスト ロング	Oracle データベースオプションの名前。
currently_used	true	アームストロングオプションが現在有効になっていることを示します。
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプションテーブルの名前。
オプション	アルドリン	Oracle データベースオプションの名前
currently_used	true	[オルドリン] オプションが現在有効であることを示します。
名前	開発 69	Oracle データベースサーバーの名前
エディション	standard	Oracle データベースサーバーのエディション
sid	1-2-569	Oracle Sys ID
バージョン	11.2	Oracle データベースサーバーのバージョン
className	cmdb_ci_linux_server	関連する Linux サーバーテーブルの名前。
MAC アドレス	4653XYZAA	Linux サーバーのインターフェイスの MAC アドレス。

VMware ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティのディスカバリーソースからのソフトウェアインストールレコードを使用して VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルに入力する VMware パブリッシャーパックのサンプルペイロード。

検出ソースを介してソフトウェアのインストールを検出した後、IRE REST API エンドポイントを介してペイロードを ServiceNow インスタンスに送信し、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

> **注:**
> [プロパティ] ページで、[サードパーティのデータソース統合フレームワーク [com.snc.samp.ire.datasource.integration] を使用する場合は、必ず [スケジュール済みジョブを有効にする] プロパティを選択してください。

1. ペイロードを送信して、VMware 検出ライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルにライセンスキーを作成します。
2. ペイロードの応答本文から、新しいライセンスキーの sys ID をコピーし、後で使用するためにテキストエディターに貼り付けます。
3. 拡張 IRE API を使用して、新しいライセンスキーを使用する CI の Sys ID をクエリします。
4. 応答本文から CI の sys ID をコピーし、後で使用するためにテキストエディターに貼り付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ライセンスキーの sys ID と CI の sys ID を含むペイロードを送信します。
6. スケジュールジョブ「SAM:ソフトウェア使用状況の更新」を実行して、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

```
Request Body
{ 'items': [
            {'className':'cmdb_ci_vcenter',
          'related': [
                    {
                    className:'samp_vmware_license_key',
                     values:{
                      'cost_unit':'cpuPackage',
                              'edition':'esxEnterprisePlus.vram',
                              'features':'autodeploy,das,dpvmotion',
                              'license_key':'SYDOJ-28J5Q-78X48-0NC24-REKAR',
                              'product_name':'VMware vSphere 5 Enterprise Plus',
                              'product_version':'5.0',
                              'rights_owned':'8',
                              'rights_used':'6'
                       }
                    }

                   ],
          'values': {
             'name':'VCenter Ref 1A'
              }
          },
          {
            'className':'cmdb_ci_win_server',
             'values': {'name':'VirtualMachine-WS2'
                     }
                }
          ],
          'relations':[{
              'type':'Runs on::Runs',
              'parent':0,
              'child':1
            }]
        }

Response Body
{
  "result": {
    "items": [
      {
        "className": "cmdb_ci_vcenter",
        "operation": "INSERT",
        "sysId": "8fb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93a",
        "relatedSysIds": [
          "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
        ],
        "relatedItems": [
          {
            "className": "samp_vmware_license_key",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "sysId": "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f",
      "markers": [],
      "inputIndices": [
       {
        "mainIndex": 0,
        "subIndex": 0
       }
      ]
     }
    ],
    "additionalRelatedItems": [],
    "identifierEntrySysId": "Unknown",
    "identificationAttempts": [
     {
      "attributes": [
       "name"
      ],
      "identifierName": "VMWare VCenter Ref CI",
      "attemptResult": "NO_MATCH",
      "searchOnTable": "cmdb_ci_vcenter",
      "hybridEntryCiAttributes": []
     }
    ],
    "errorCount": 0,
    "markers": [],
    "inputIndices": [
     0
    ]
   },
   {
    "className": "cmdb_ci_win_server",
    "operation": "UPDATE",
    "sysId": "30ccb31ddbe7720087b9fd441d961992",
    "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
    "identificationAttempts": [
     {
      "attributes": [
       "serial_number",
       "serial_number_type"
      ],
      "identifierName": "Hardware Rule",
      "attemptResult": "SKIPPED",
      "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
      "hybridEntryCiAttributes": []
     },
     {
      "attributes": [
       "serial_number"
      ],
      "identifierName": "Hardware Rule",
      "attemptResult": "SKIPPED",
      "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
      "hybridEntryCiAttributes": []
     },
     {
      "attributes": [
       "name"
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "43b47793e7cc10107aea07d8d2f6a940",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
 }
}
```


From this we get the samp_vmware_license_key sys id


```
"relatedSysIds": [
        "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
      ]
```


-- Obtaining the CI sys id (POST)

role: sam_admin

https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/identifyreconcile/queryEnhanced?sysparm_data_source=ServiceNow

Request Body


```
{ 'items': [ {'className':'cmdb_ci_win_server', 'values': {'name':'Server-WS11'} }]}
```


Response Body


```
{
 "result": {
  "items": [
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "UPDATE",
      "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "errorCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
 }
}
```


where "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da" is the sys id of the ci/used_by

// create usage table
POST
https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/table/samp_vmware_license_key_usage?sysparm_fields=sys_id


```
{"license_key":"cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f","rights_used":"1","used_by":"99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da"}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	Value (値)	説明
className	cmdb_ci_vcenter	テーブル関連 [samp_vmware_license_key] テーブルの名前
className	samp_vmware_license_key	ライセンスキーが作成されるテーブルの名前。
className	cmdb_ci_win_server	Windows サーバーテーブルの名前
名前	VirtualMachine-WS2	Windows サーバー仮想マシンの名前。

Citrix ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティディスカバリーソースからのソフトウェアインストールレコードをソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw__install] テーブルに入力する Citrix Publisher パックのサンプルペイロード。

Citrix Publisher Pack は、仮想アプリケーションと仮想デスクトップの 2 つの製品をサポートしています。これらの製品では、Citrixは同時ライセンスとユーザー/デバイスライセンスをサポートしています。

注:
ライセンスのメトリクスの詳細については、「 ソフトウェア ライセンスのメトリクス」を参照してください。

IRE API は、Citrix ソフトウェア インストール レコードを作成するために 2 つの CI ID ルールに依存しています。Citrix ライセンスサーバーの [cmdb_ci_appl_license_server] 識別子が CAL エントリーに入力され、Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子がソフトウェアインストールレコードを作成します。

CAL エントリーは、調整中にエンタイトルメントで購入した権限と比較し、Citrix 製品の正しいライセンスポジションを取得するために使用されます。Citrix ライセンスサーバー識別子は、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルに関する情報を提供します。ライセンスエンタイトルメントに基づいて、これら 2 つのテーブルのいずれかに入力する必要があります。

ペイロードを送信して、samp_concurrent_license_consumptionまたはsamp_user_device_license_consumptionテーブルに入力します。ペイロード内のテーブルの主要な属性を必ずメンションしてください。

- samp_concurrent_license_consumption:product_codeと番号
- samp_user_device_license_consumption:product_code、コンシューマー、および consumer_type

注:
2 つのテーブルはどちらも親 CI テーブル cmdb_ci_appl_license_server の関連エントリであるため、1 つのペイロードで渡されます。ペイロードで、テーブルと CI 親テーブルの間の関係を指定します。

ペイロードを送信すると、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルにエントリが作成されます。次に、スケジュール済みジョブ「SAM:Citrix CAL エントリーの作成」を実行して、クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルを更新します。クライアントアクセスレコードは、ユーザー/デバイス数とともに製品ごとに作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ペイロードを正常に処理した後に実行するスケジュールジョブ [SAM- Citrix CAL エントリーを作成 (SAM- Create Citrix CAL entries)] が設定されていることを確認します。

Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子を使用して、ペイロードを送信し、7 つの Citrix テーブルすべてに入力します。ペイロードの 7 つのテーブルの主要な属性を必ずメンションしてください。

注:
Citrix Delivery Controller 識別子の [関連エントリ] をクリックして、Citrix テーブルのキー属性 (基準属性) を検索します。

テーブルにエントリが作成されたら、スケジュール済みジョブ [SAM - Citrix ソフトウェアインストールの作成 (SAM- Create Citrix Software installs)] を実行します。Citrix ソフトウェアのインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。

```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_appl_license_server',
            'related': [
                        {
                        'className':'samp_concurrent_license_consumption',
                         'values':{
                          'product_code':'MW2ZPSE0001',
                          'in_use_count':511,
                          'overdraft':11,
                          'pooled_available':0,
                          'total_count':500
                           }
                        },
                        {
                         'className':'samp_user_device_license_consumption',
                         'values':{
                          'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                          'consumer':'consumer1',
                          'consumer_type':'user'

                           }
                        },
                         {
                         'className':'samp_user_device_license_consumption',
                          'values':{
                           'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                           'consumer':'Device1',
                           'consumer_type':'device'
                           }
                        },
                         {
                         'className':'samp_user_device_license_consumption',
                          'values':{
                          'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                           'consumer':'consumer2',
                           'consumer_type':'user'
                           }
                        },
                         {
                         'className':'samp_user_device_license_consumption',
                          'values':{
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                'consumer':'consumer3',
                'consumer_type':'user'
                }
            },
            {
             'className':'samp_user_device_license_consumption',
              'values':{
              'product_code':'XDT_PLT_CCS',
               'consumer':'consumer4',
               'consumer_type':'user'
                }
            },
            {
             'className':'samp_user_device_license_consumption',
              'values':{
              'product_code':'MW2ZPSE0001',
               'consumer':'consumer5',
               'consumer_type':'user'
                }
            },
             {
             'className':'samp_user_device_license_consumption',
              'values':{
               'product_code':'MW2ZPSE0001',
               'consumer':'Device1',
               'consumer_type':'device'
                }
            }
          ],
    'values': {
       'name': 'ACME License Server 2',
       'tcp_port': 22,
        'install_directory': 'Documents'
       }
    },
    {
     'className':'cmdb_ci_win_server',
     'values': {'name':'samlabvm450'}
         }
    ],
    'relations':[{
        'type':'Runs on::Runs',
        'parent':0,
        'child':1
      }]
  }
```

BYOL のサンプルペイロード

BYOL ライセンスモデルによって収集されたディスカバリーデータを ServiceNow インスタンスのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力するサンプルペイロード。

BYOL がサードパーティの検出ソースとしてソフトウェア資産接続と連携するには、特定のエンティティを設定する必要があります。これらのエンティティ間の関係は、BYOL がソフトウェア資産接続でスムーズに機能するために重要です。たとえば、クラウドホストの入力に必要な一部の値は、AWS と Azureで異なります。オブジェクト ID とホストの名前は AWS と Azure の両方で必要で

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すが、 AWSの場合は CPU コア数が必要であり、 Azureの場合はホストタイプの値が必要です。エンティティとその関係の詳細については、「 BYOL のエンティティ と BYOL のエンティティ間の関係」を参照してください。

この例では、クラウドサービスアカウントが最上位のエンティティです。[BYOL のエンティティ] テーブルにリストされている他のすべてのエンティティは、クラウドサービスアカウントの依存エンティティです。エンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、親エンティティとそのエンティティとその親の関係を同じペイロードでメンションする必要があります。たとえば、クラウドサービスアカウントに AWS データセンターを作成する場合は、クラウドサービスアカウントがインスタンスに既に存在する場合でも、同じペイロードにクラウドサービスアカウントエンティティを含める必要があります。同様に、ソフトウェア インストールを作成するときは、ソフトウェア インストールのすべての依存エンティティを階層全体ですべて同じペイロードに含める必要があります。

BYOL のエンティティ

エンティティ	必須項目
クラウドサービスアカウント [cmdb_ci_cloud_service_account]	account_id:一意の識別子
AWS データセンター [cmdb_ci_aws_datacenter]	object_id:一意の識別子
Azure データセンター [cmdb_ci_azure_datacenter]	object_id:一意の識別子
クラウドホスト [cmdb_ci_cloud_host] 注: 共有 VM には必要ありません。	• object_id:一意の識別子 • 名前:ホストの名前 • host_type: Azure のホストタイプ。たとえば、DSv3-Type1 (Azure ホストのみ) です。 • cpu_core-count:ホストの合計 CPU コア数 (AWS ホストのみ)。
仮想マシンインスタンス [cmdb_ci_vm_instance]	object_id:一意の識別子
コンピューター [cmdb_ci_computer]	• 名前:仮想マシンの名前 • cpu_count:仮想マシンの CPU 数 • cpu_core_count:仮想マシンの CPU コア数 • cpu_core_thread:仮想マシンの CPU コアスレッド数 • 仮想 – コンピューターが VM かどうかを示します (常に true に設定)
ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install]	• publisher • バージョン • display_name

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティ	必須項目
注: ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] は、コンピューター [cmdb_ci_computer] の関連エントリです。	• cloud_license_type:クラウドインストールのライセンスタイプ (BYOL またはライセンスが含まれる) • cloud_license_type_source:クラウドライセンスタイプの入力元ソース。[ソフトウェア資産接続] の値は [third_party_integration] に設定されます。

BYOL のエンティティ間の関係

エンティティ関係	タイプ	親	子
AWS/Azure データセンター – クラウドサービスアカウント	Hosted on::Hosts	AWS/Azure データセンター	クラウドサービスアカウント
AWS/Azure データセンター – クラウドホスト	Hosted on::Hosts	クラウドホスト	AWS/Azure データセンター
AWS/Azure データセンター – 仮想マシンインスタンス	Hosted on::Hosts	仮想マシンインスタンス	AWS/Azure データセンター
クラウドホスト:仮想マシンインスタンス	Runs on::Runs	仮想マシンインスタンス	クラウドホスト
コンピューター - 仮想マシンインスタンス	Virtualized by::Virtualizes	コンピュータ	仮想マシンインスタンス

専用 VM のコンピューターとインストールのサンプルペイロード (AWS と Azure で同様)

このサンプル ペイロードでは、専用のコンピューター レコードが渡されています。このコンピューターレコードには、すべてのソフトウェアインストールを含む関連アレイがあります。VM インスタンスはコンピューターレコードに対応します。クラウドホストは、仮想マシンが常駐し、クラウドサービスアカウントで AWS データセンターが作成される専用ホストです。複数の専用仮想マシンがある場合は、専用仮想マシンごとに 1 つの REST API を送信できます。たとえば、50 個の専用 VM がある場合は、それぞれが同じペイロードを持つ 50 個の REST API 呼び出しを送信する必要があります。専用 VM 上のすべてのソフトウェアインストールは、関連するアレイ内の単一のペイロードで送信できます。

```
var payload = {

 'items': [{

  'className': 'cmdb_ci_computer',

  'values': {

   'name': 'Comp - Dedicated AWS - 1',

   'cpu_count': 1,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    'cpu_core_count': 4,
    'cpu_core_thread': 1,
    'virtual': true
  },
  'related': [{
    'className': 'cmdb_sam_sw_install',
    'values': {
      'publisher': 'Microsoft',
      'display_name': 'SQL Server',
      'version': '2017',
      'cloud_license_type': 'BYOL',
      'cloud_license_type_source': 'third_party_integration'
    }
  }]
}, {
  'className': 'cmdb_ci_vm_instance',
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_vm_dedicated',
    'name': 'VM Dedicated AWS - 1',
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_cloud_host',
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_host',
    'name': 'AWS Dedicated Host - 1',
    'cpu_core_count': 32
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_aws_datacenter',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_dc',
    'name': 'AWS DataCenter - 1'
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_cloud_service_account',
  'values': {
    'account_id': 'sample_account_id_aws_service_account',
    'name': 'Cloud Service Account AWS - 1'
  }
}],
'relations': [{
    'type': 'Virtualized by::Virtualizes',
    'parent': 0,
    'child': 1
  }, {
    'type': 'Runs on::Runs',
    'parent': 1,
    'child': 2
  },
  {
    'type': 'Hosted on::Hosts',
    'parent': 2,
    'child': 3
  }, {
    'type': 'Hosted on::Hosts',
    'parent': 3,
    'child': 4
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ]
}

 var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
gs.info("Input: " + input.toString());
var options = {
  "partial_payloads": false,
  "deduplicate_payloads": true
};
var output = SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCIEnhanced('ServiceNow',
 input, options);
gs.print("Output:" + output);
```

SAM 成功アクティビティ

SAM 成功アクティビティフォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

SAM 成功アクティビティ

フィールド	説明
[Number (番号)]	成功アクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。 次のオプションから選択します。 • 保留 • オープン • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
アサイン先グループ	このアクティビティが割り当てられているグループ。
Assigned to (アサイン先)	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
説明	成功アクティビティの詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM 成功アクティビティ (続く)

フィールド	説明
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

SaaS 検出レポート

SaaS検出レポートを使用して、ブラウザー経由でアクセスされ、ServiceNow® デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) 製品内で構成されたすべてのSaaSアプリケーションを検出して管理します。このレポートでは、有料であるか無料であるかを問わず、SaaS アプリケーションを管理できます。

重要:
SaaS検出レポートを表示するには、次の操作を行う必要があります。

- ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降の ソフトウェア資産管理 -SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。
- デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) [sn_dex] 製品バージョン 2.1.0 以降をインストールします。

このレポートは、これらのアプリケーションにアクセスするすべてのユーザー、これらのアプリケーションの使用状況、および各アプリケーションが使用されてきた期間を表示することで、シャドー IT の支出をより効果的に管理するのに役立ちます。

注:
デフォルトでは、 SaaS 検出レポートには過去 90 日間のデータが表示されます。

このレポートを表示するには、次に移動します: ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス使用状況 > レポート.

ドメインサポート - ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) およびパフォーマンスアナリティクス - ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合、 SaaS 検出レポートにはドメインセパレーションデータが含まれます。

SaaS 検出

フィールド	説明
製品	検出されている SaaS アプリケーションの名前。
パブリッシャー	SaaS アプリケーションのパブリッシャー。 公開者は、ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルへの参照です。
監視対象	DEXが製品を監視しているかどうかを示します。 この値は DEX テーブルから参照されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 検出 (続く)

フィールド	説明
	• 製品が DEX アプリケーションによって監視されている場合、[監視対象] 列の値は true と表示されます。 • 製品が DEX アプリケーションによって監視されていない場合、[監視対象] 列の値は false と表示されます。
管理対象	製品が管理対象か管理対象外かを示します。 • 製品のソフトウェアモデルが存在する場合、[管理対象] 列の値は true と表示されます。 • 製品のソフトウェアモデルが存在しない場合、[管理対象] 列の値は false と表示されます。
URL	SaaS アプリケーションの URL または複数の URL。
合計ユーザー	製品にアクセスしたユーザーの合計数。 この列の値を選択すると、[ユーザー使用状況データ] テーブルにユーザーに関する詳細情報が表示されます。
前回アクセス時刻	ユーザーが最後に製品にアクセスした時刻。
合計アクセス時間	ユーザーが製品にアクセスした合計時間。

ユーザー使用状況データ

フィールド	説明
検出済みユーザー	検出済みユーザー [samp_discovered_user] テーブルから参照されるユーザー。
ユーザー	アプリケーションにアクセスするユーザー。
デバイス	ユーザーがアプリケーションにアクセスしたデバイスまたは CI。
コストセンター	組織内のユーザーの割り当てコストセンター。
Department (部門)	組織内のユーザーの部門。
合計アクセス時間	ユーザーがアプリケーションにアクセスした合計時間。
前回アクセス時刻	ユーザーが前回アプリケーションにアクセスした時刻。

再利用のルール

再利用ルールでは、サブスクリプションを使用する必要がある最小量を定義します。サブスクリプションに指定された制限時間内にアクティビティがない場合は、再利用候補のリストに追加されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。ユーザーアクティビティは、直接統合ごとに異なる方法で定義されます。リストされているアクションのうち、制限時間内に実行する必要があるアクションは 1 つだけであり、すべてではありません。

直接統合	アクティビティ
Adobe Cloud	すべてのユーザーアクティビティ
Aha!	ユーザーログイン **注:** 分析期間は 60 日間です。
Asana	• 作成されたタスク • タスク完了 • 作成されたサブタスク • サブタスクが完了しました • タスクまたはサブタスクのアサイン • プロジェクト間でのタスクまたはサブタスクの移動 • タスクまたはサブタスクにコメントが追加されました • ストーリーが作成されました
Box	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含む任意のファイルアクティビティ
Calendly	イベントのスケジュール
Confluence Cloud	スペース、ページ、ブログ投稿、コメント、または添付ファイルを作成または更新します
Dropbox	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含む任意のファイルアクティビティ
Google Workspace	Google ドライブおよび Google ドキュメント 作成、編集、削除、アップロード、ダウンロード、同期などのファイルアクティビティ Gmail 読み取り、作成、編集、送信、削除などのメールアクティビティ
GitHub	• コミットコメントを作成 • Git 分岐またはタグを作成する • Git 分岐またはタグの削除 • リポジトリをフォークする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• Wiki ページの作成または更新 • 作成、編集、削除などの問題コメントアクティビティ • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、ラベル付け、ラベル付け解除などの問題アクティビティ • コラボレーターのアクセス権限の編集など、リポジトリコラボレーターのアクティビティ • プライベートリポジトリをパブリックにする • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、レビュー、ラベル付け解除、同期などのプル要求アクティビティ • 任意のプル要求レビューコメントアクティビティ • 少なくとも 1 つのコミットをリポジトリ分岐またはタグにプッシュする • 公開や編集などのリリースアクティビティ • スポンサーシップリストアクティビティ • リポジトリにスターを付ける
GoTo	GoToMeeting 会議を開催 GoToWebinar ウェビナーまたは会議を開催する GoToConnect GoToConnect回線を使用して通話を行う
Jira Software (ソフトウェア)	• 問題を作成する • 問題にコメントする • 問題のコメントを更新する • 次のカテゴリのアクティビティ: ○ 監査 ○ プロジェクトの変更 ○ 権限の変更 ○ ワークフローの変更 ○ 通知の変更 ○ カスタムフィールドの変更 ○ Advanced Roadmaps の変更
Looker	ユーザーの前回のログイン
Microsoft 365	すべてのユーザーアクティビティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Microsoft Dynamics 365 と Power Apps	Dynamics 365 で次のレコードを作成または更新します。 • 共通エンティティ ○ アカウント ○ 連絡先 ○ ゴール ○ 製品 ○ ユーザー ○ 電話 ○ タスク ○ レター ○ メール ○ 予約 ○ ファックス ○ カスタムアクティビティ • 販売関連エンティティ ○ 競合 ○ 機会 ○ 請求書 ○ 順序 ○ 見積もり ○ アカウント ○ msdyn_relationshipinsightsunifiedconfig ○ msdyn_relationshipanalyticsmetadata ○ リード • カスタマーサービスエンティティ ○ ケース ○ 契約 ○ キュー ○ サービスエンティティアクティビティ ○ インシデント
Miro	ボードへのアクセスまたは更新
monday.com	• メモの作成、追加または削除、ユーザーの追加または削除、削除などのボードアクティビティ • 追加、編集、複製、削除などのアイテムアクティビティ • ユーザーの前回のログイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
PagerDuty	オンコールスケジュールを使用する
Rally	• ユーザーの前回のログイン • 前回のアクティビティ時間
Roadmunk	• ユーザーログイン • アイデアやフィードバックにコメントを追加 • フィードバックの作成または更新 • ロードマップをアーカイブまたは復元
• Salesforce CRM • Salesforce Marketing Cloud	ユーザーログイン
SAP Ariba	ユーザーの前回のログイン
SAP SuccessFactors	ユーザーログイン
Slack エンタープライズ	ユーザーログイン
SmartRecruiters	ジョブや求人広告の作成などのユーザーアクティビティ。
Smartsheet	ユーザーの前回のアクティビティ アクティビティのリストについては、「イベントレポートリファレンス」を参照してください。
SurveyMonkey	• ユーザーのログインまたはログアウト • グループ名の更新 • メンバーを追加または削除する • グループメンバータイプを更新 • 招待を作成または再送信 • 権限を作成または更新する • 共有ビューの作成または更新 • エクスポートを作成またはダウンロード • 回答者の更新または削除 • 権限許可情報の作成または削除 • 作成、削除、コピー、更新、転送などのサーベイ情報アクティビティ • 作成、削除、更新などのコレクター情報アクティビティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Tableau Cloud	ユーザーログイン
Trello	ユーザーログイン **注:** 分析期間は 60 日間です。
Webex	Webex 訓練 トレーニングを開催 Webex イベント イベントのホスト Webex サポートセッション サポート セッションのホスト Webex 会議 会議を開催 Webex チーム • メッセージの送信または更新 • ファイルをアップロードします • チームスペースメンバーシップを作成または更新
Workfront	• プロジェクトの作成または更新 • タスクの作成または更新 • 問題を作成または更新 • ポートフォリオの作成または更新 • プログラムの作成または更新 • レポートの作成または更新 • フィルターを作成または更新 • ドキュメントを作成または更新 • テンプレートを作成または更新 • 経費の作成または更新
Workplace from Facebook	• Workplace グループで投稿を作成、更新、または表示します。 • Workplaceグループの投稿にコメントします。 • 職場でメッセージを送信します。 • 職場ナレッジライブラリカテゴリを作成または更新します。 • 職場ナレッジライブラリカテゴリにコメントします。 • Workplace コミュニティで公開イベントを作成します。
Zendesk	ユーザーログイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Zoom	• 会議を開催 • ウェビナーを開催する

関連情報

SaaS アプリケーションとの統合

Microsoft 365 統合のための再利用ルール

Microsoft 365統合の再利用ルールは、サブスクリプションの最小使用しきい値を設定します。サブスクリプションが指定された期間非アクティブのままである場合、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを潜在的な再利用候補としてマークします。

再利用のルール	正当性	説明
• Power BI • Exchange Online • SharePoint オンライン • OneDrive for Business • チーム • プロジェクトオンライン • Visio Online • Microsoft 365 コパイロット	使用率が低い	これらの個々のサブスクリプションの使用率が低いことを示している場合、 ソフトウェア資産管理 使用率の低いサブスクリプションを再利用することをお勧めします。
オフィス 365	• 使用率が低い • ダウングレード	• 使用率が低い たとえば、Office 365 の個々のサブスクリプションまたはサブスクリプション スイートの使用率が低いことを示している場合、 ソフトウェア資産管理 使用率の低いサブスクリプションを再利用することをお勧めします。 • ダウングレード たとえば、Power BI の高度な機能を含む Office 365 E5 サブスクリプションが使用されていない場合は ソフトウェア資産管理 、ダウングレードされた Office 365 E3 サブスクリプションに切り替えることをお勧めします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再利用のルール	正当性	説明
Microsoft 365	• 使用率が低い • ダウングレード • 重複 • 統合 **注:** 重複するユースケースと統合ユースケースは、すべての Microsoft 365 統合サブスクリプションに適用されます。	• 使用率が低い たとえば、 Microsoft 365 個々のサブスクリプションまたはサブスクリプションスイートの使用率が低い場合、ソフトウェア資産管理 使用率の低いサブスクリプションを再利用することをお勧めします。 • ダウングレード たとえば、Power BI の高度な機能を含む Microsoft 365 E5 サブスクリプションが使用されていない場合は ソフトウェア資産管理 、ダウングレードされた Microsoft 365 E3 サブスクリプションに切り替えることをお勧めします。 • 重複 たとえば、 Microsoft 365 E3 サブスクリプションと Office 365 E3 サブスクリプションの両方が存在すると、Office アプリケーションや Microsoft 365 E3 に既に含まれる追加サービスへの不要な重複アクセスが発生します。 ソフトウェア資産管理 Office 365 E3 サブスクリプションを再利用し、代わりに Microsoft 365 E3 サブスクリプションを使用することをお勧めします。 • 統合 **(Consolidate)** たとえば、Office 365 Enterprise E5、Windows、EMS サブスクリプションが存在する場合、 ソフトウェア資産管理 は、これらの複数の製品を低コストでカバーするために、Microsoft 365 Enterprise E5 などの単一のライセンスを使用することをお勧めします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- ソフトウェア再利用ルールのレビュー
- Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価
- のパブリッシャー最適化 Microsoft
- Microsoft 365 との統合

Microsoft 365 アプリ使用状況レポート

Microsoft 365製品の最終アクティビティ日を検索して、再利用候補を決定します。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report] テーブルの各フィールドの値は、 Microsoft Graph API を使用して入力されます。アクティビティの最終日は、サポートされている Microsoft 365 製品 (Microsoft Outlook、Word、PowerPoint、Excel、Teams、OneNote など) の再利用候補をより正確に判断するのに役立ちます。

Microsoft 365 アプリ使用状況レポート

フィールド	説明
ユーザープリンシパル名	ユーザーのメールアドレス。
アクティビティの最終日	ソフトウェア製品が最後に使用された日付。
最後のアクティブ化された日付	ソフトウェア製品のライセンスがユーザーに対して最後にアクティブ化された日付。
レポート期間	ユーザーアカウントが再利用候補のリストに追加されるまでに、意味のあるアクティビティがない日数。デフォルト値は 30 日です。
レポート更新日	レポートの最終更新日。
Windows	値が True または False の Windows の使用を示します。
Mac	値が True または False の macOS の使用を示します。
Excel (Mac)	値が True または False の Microsoft Excel on macOS の使用を示します。
PowerPoint (Mac)	値が True または False のmacOSでMicrosoftPowerPointが使用されたことを示します。
Outlook (Mac)	値が True または False のmacOSでのMicrosoft Outlookの使用を示します。
Word (Mac)	値が True または False のmacOSでのMicrosoft Wordの使用を示します。
OneNote (Mac)	値が True または False の macOS でのMicrosoft OneNote の使用を示します。
Teams (Mac)	値が True または False のmacOSでのMicrosoft Teamsの使用を示します。
Excel (Windows)	値が True または False のWindowsでMicrosoftPowerPointが使用されたことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 アプリ使用状況レポート (続く)

フィールド	説明
PowerPoint (Windows)	値が True または False のWindowsでMicrosoftPowerPointが使用されたことを示します。
Outlook (Windows)	値が True または False のWindowsでのMicrosoft Outlookの使用を示します。
Word (Windows)	値が True または False のWindowsでのMicrosoft Wordの使用を示します。
OneNote (Windows)	値が True または False の Windows でのMicrosoft OneNote の使用を示します。
Teams (Windows)	値が True または False のWindowsでのMicrosoft Teamsの使用を示します。

サブスクリプションのダウングレード構成

SaaS アプリケーションのさまざまなダウングレード構成を決定し、条件に基づいてダウングレード順序を表示します。

サブスクリプションのダウングレード構成

フィールド	説明
表示名	サポートされているダウングレード構成の名前。
ソースサブスクリプション識別子	現在使用されている SaaS アプリケーションのサブスクリプション識別子。
宛先サブスクリプション識別子	ダウングレードできる SaaS アプリケーションのサブスクリプション識別子。
条件	SaaSアプリケーションのダウングレード条件を定義しました。
[Active (アクティブ)]	ダウングレード構成がアクティブかどうかを示します。

Oracle Java SE Universal の価格設定モデル

従業員あたりの階層ベースの月額サブスクリプション価格は、組織で直接的または間接的に働いている従業員数に基づいています。

価格階層 [samp_price_tier] テーブルは、Java SE ソフトウェアモデルの従業員ライセンスメトリクスをサポートしており、読み取り専用の値が含まれています。このテーブルは、 ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインに付属しています。

このテーブルは、 Oracle Java の上書きライセンスコストレコードを入力します。カスタム階層テーブルを使用している場合は、 Oracle Java ソフトウェアモデルに関連付けられた上書きライセンスコストレコードを更新できます。詳細については、「上書きライセンスコストレコードの作成または更新」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

価格階層テーブル

従業員数	従業員あたりの月額サブスクリプションコスト
1–999	15ドル
1,000-2,999	12ドル
3,000-9,999	$10.50
10,000-19,999	8.25ドル
20,000-29,999	$6.25
30,000-39,999	$5.70
40,000-49,999	$5.25

ソフトウェア **EOL** 要求フィールド

ソフトウェア EOL 要求フォームを使用して、EOL に達している、または EOL に達した資産内のソフトウェア製品に対するソフトウェアのサポート終了 (EOL) 要求を作成します。

ソフトウェア **EOL** 要求フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	EOL 要求の一意の識別子。
会社	ソフトウェア製品の公開者の名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
エディション	ソフトウェアのエディション。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
正当性	ソフトウェアで EOL 要求を開始する理由。
ステージ	ソフトウェア EOL 要求のステージ。デフォルトのステージは [ドラフト] です。可能な値には次のようなものがあります。 • ドラフト • オープン • 分析 • アクションが開始されました • 完了 • キャンセル
アクションが開始されました	EOL リスクを管理するために実行されるアクション。可能な値には次のようなものがあります。 • 保留 • EOL ソフトウェアを削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• アップグレード • サポートの購入 • Azure に移行 • リスクの受け入れ
バージョンタイプ	バージョンタイプの値は次のとおりです。 • バージョン (ビルドバージョン) • フルバージョン (メインバージョン) **注:** ソフトウェア製品の 1 つのバージョンまたはフルバージョンのいずれかについて、EOL リスクを管理できます。
優先度	ソフトウェア EOL 要求の優先度。
アサイン先グループ	ソフトウェア EOL 要求を完了するために個人が選択されるグループ。
アサイン先	ソフトウェア EOL 要求を完了するためにアサインされ、 アサイン先グループから選択された個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	EOL ワークフロータスクの解決方法に関する情報。

[ソフトウェア **EOL** タスク] タブ

フィールド	説明
[Number (番号)]	ソフトウェア EOL タスクの一意の識別子。
[Name (名前)]	ソフトウェア EOL タスクの名前。
ソフトウェア EOL 要求	ソフトウェア EOL 要求の識別子。
親	親タスクの識別子。
ステータス	ソフトウェア EOL タスクのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
アクション	IT 戦略を決定した後に実行できるアクションを示します。可能な値には次のようなものがあります。 • EOL ソフトウェアの削除:EOL ソフトウェア製品を資産インベントリから削除します。 • アップグレード:最新のソフトウェアバージョンまたはサポートされているソフトウェアバージョンにアップグレードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• サポートの購入:メンテナンスのための追加サポートを購入します。 • Azure への移行: Microsoft Azure に移行します。このアクションは、 Microsoft 製品でのみ使用できます。 • リスクを受け入れる:EOL ソフトウェアに関連するリスクを受け入れます。 このフィールドは、[名前] フィールドで選択した値が **[IT** 戦略の決定] の場合にのみ表示されます。
優先度	ソフトウェア EOL タスクの優先度。
アサイン先グループ	ソフトウェア EOL タスクを完了するために個人が選択されるグループ。
Assigned to (アサイン先)	ソフトウェア EOL タスクを完了するためにアサインされ、 アサイン先グループから選択された個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	EOL タスクに関する追加情報。
作業メモ	ソフトウェア EOL タスクの解決方法に関する情報。

ユーザーデバイスのライセンス消費フィールド

SAM マネージャーは、[ユーザーデバイスライセンス消費 (User Device License Consumption)] テーブルで Microsoft Windows Server のクライアントアクセスライセンス (CAL) の使用状況の詳細を表示し、CAL レコードを作成できます。

ユーザーデバイスのライセンス消費 [samp_user_device_license_consumption] テーブルには、Windows Server の CAL 使用状況ログデータが入力されます。データは ServiceNow ディスカバリー からアクセスされます。

CAL の Microsoft 使用状況アクセス ログの詳細については、「Microsoft ユーザー アクセス ログ」を参照してください。

Microsoft特定のライセンスメトリクスの詳細については、「サポートされている Microsoft 365 ライセンスタイプ」を参照してください。

ユーザーデバイスのライセンス消費テーブルは、構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの子テーブルです。

[ユーザーデバイスライセンス消費] フォーム

フィールド	説明
ドメイン	データが属するドメイン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユーザーデバイスライセンス消費] フォーム (続く)

フィールド	説明
コンシューマー	ロールまたはサービスへのアクセスに使用されるクライアントデバイスのユーザー ID または IP アドレス。
ライセンスカテゴリ	CAL の機能カテゴリ。このフィールドは、ライセンスが CAL タイプの場合にのみ入力されます。たとえば、 Microsoft は、ユーザー CAL、デバイス CAL、およびコアあたり (CAL あり) のライセンスメトリクスをサポートしています。
パブリッシャー	ライセンス消費レコードのパブリッシャー。
コンシューマータイプ	コンシューマーライセンスのタイプ:ユーザーまたはデバイス
製品名	ライセンス消費レコードが作成される製品の名前。
アクティビティカウント	特定のユーザーまたはデバイスがロールまたはサービスにアクセスする回数。
ソース	ライセンス消費の CI レコード。
ディスカバリーソース	ライセンス消費が評価されるディスカバリーソース。
製品コード	ライセンス消費レコードが作成される製品のコード。

ユーザー解決ルールのフィールド

[ユーザー解決ルール] ページのフィールドは、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドを Now Platform内のユーザー [sys_user] テーブルの関連付けられたユーザーにマッピングするルールを作成するのに役立ちます。

ユーザー解決ルール

フィールド	説明
表示名	ユーザー解決ルールの名前。
[Active (アクティブ)]	ユーザー解決ルールを有効にするためのオプション。 このチェックボックスをオフにすると、このルールはユーザーサブスクリプションの解決に適用されません。
カテゴリ	ユーザー解決ルールが適用される統合プロファイルのカテゴリ。 • **SaaS** • **SSO**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー解決ルール (続く)

フィールド	説明
	デフォルトでは、このフィールド値は **[SaaS]** に設定されています。
ソーステーブル	サブスクリプションレコードを含むテーブル。 ソフトウェアサブスクリプション **[samp_sw_subscription]** を選択します。 このフィールドは、 **SaaS** が [カテゴリ] から選択されている場合にのみ表示されます。
ルックアップテーブル	このフィールドは自動的に [ユーザー] に設定されます。
適用先	ユーザー解決ルールが適用される 1 つまたは複数の統合プロファイル。 このフィールドは、 **SaaS** が [カテゴリ] から選択されている場合にのみ表示されます。
ソースフィールド	ユーザープリンシパル名や外部ユーザー ID など、ユーザー [sys_user] テーブルに対するルックアップに使用されるソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブル内のフィールド。 他の列に十分なデータが含まれていない場合があるため、 ユーザープリンシパル名 または 外部ユーザー **ID** のいずれかを選択します。 このフィールドは、 **SaaS** が [カテゴリ] から選択されている場合にのみ表示されます。
ルックアップフィールド	ソースフィールド値を照合するフィールド。 たとえば、[ソース] フィールドで[ユーザープリンシパル名] を選択し、[ルックアップ] フィールドで[メール] を選択した場合、ソフトウェア資産管理これら 2 つのフィールドの照合を試みます。完全に一致する必要があります。そうでない場合は、[検索] フィールドの値を [ユーザー **ID**] に変更できます。
入力に変換を適用	ソースフィールド値に変換を適用するオプション。 • なし: [ソース] フィールド の値は [ルックアップ] フィールド の値と正確に一致します。 • ドメインの削除:[ルックアップ] フィールドで[メール] を選択した場合、メールアドレスの最初の部分(@記号の前)は、ユーザーIDまたは名前であり、ソースフィールドの値と一致します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー解決ルール (続く)

フィールド	説明
	• ドメインを置き換える:[ルックアップ] フィールドで[メール] を選択し、ドメイン名、つまりメールアドレスの 2 番目の部分 (@ 記号の後) を置き換える場合。たとえば、example.com を exampletest.com に置き換えます。 • スクリプトを実行:このオプションは、スクリプトを更新するためにアドミニストレーターのみが使用できます。
新しいドメイン	[検索] フィールドで[メール] が選択されているときに @ 記号の後に追加する新しいドメイン。 このフィールドは、[入力に変換を適用] で [ドメインを置換] が選択されている場合にのみ表示されます。
スクリプト	**重要:** このフィールドは、アドミンのみが使用できます。 ドメインを置換または削除した後もマッピングが失敗する場合、またはロジックが複雑な場合は、スクリプトを更新して目的の結果を得ることができます。

関連情報

ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける

ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理

ドメインセパレーションは ソフトウェア資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：拡張

- **Basic** および **Standard** レベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

概要

製品でのドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはソフトウェアおよびハードウェア資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できます。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理する大規模な組織にも適しています。

ソフトウェア資産管理におけるドメインセパレーションの仕組み

SAM では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 段階で行われます。Paris リリース以降、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

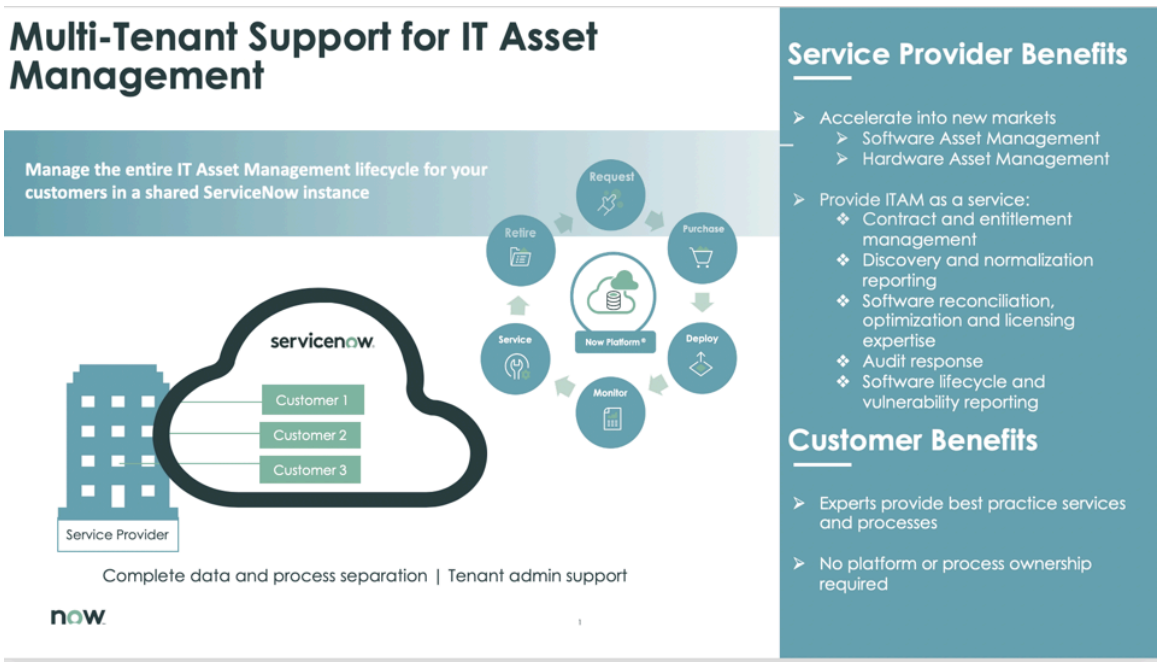
sam_integratorロールを持つすべてのユーザーは、SaaS 統合プロファイルを作成および変更できます。このロールを持つユーザーは OAuth アプリケーションレジストリにもアクセスできるため (現在はドメインセパレーションされておらず、すべてのドメインにわたるレコードが表示されます)、この sam_integrator ロールは注意してアサインする必要があります。ユーザーはサービスプロバイダー組織に属し、高い権限基準を満たしている必要があります。

ドメインセパレーションのログを表示するには、「 `asset.log_level` 」というタイトルのシステムプロパティを作成し、その値を `debug`、 `trace` 、または `info` に設定する必要があります。設定した値に基づいて、AssetManagementBaseJobscheduled ジョブを拡張するスケジュール済みジョブが実行されると、ログが表示されます。

ドメインセパレーションされたインスタンスでは、コンテンツデータサービス (CDS) は、 グローバルとして設定されたドメインを使用してインスタンスにデータを入力する必要があります。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードをカスタマイズしない ことをお勧めします 。



必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- SAMP (com.sn_samp_master)
- HAMP (ストアアプリ)

サポートされているその他のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- 調達 (com.snc.procurement)
- コスト管理 (com.snc.cost_management)
- 契約管理 (com.snc.contract_management)

詳細については、「ドメインセパレーションの説明」、「クエリとドメインアクセスを含む」、および「デフォルトドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ドメインセパレーションとライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポートを実行する際に考慮すべき、特定のドメインセパレーションの側面があります。

ソフトウェア資産管理の概要

ドメインセパレーション環境でのソフトウェアライフサイクルレポートは、サービスプロバイダー (SP) がお客様の環境におけるコンプライアンスを管理するレベルで生成されます。通常、調整の実行レベルは、そのようなコンプライアンスを示すものであり、ソフトウェアライフサイクルレポートは同じレベルで生成されます。

次の表に、調整の動作を示します。この例では：

- SP は、Cisco のソフトウェア資産管理 (SAM) プログラムを Cisco の企業レベルで管理しています。つまり、ライフサイクルレポートは Cisco の企業レベルで実行する必要があります。
- SP は、ウォルマートの各部門 (米国およびメキシコ) の SAM プログラムを管理しています。つまり、ライフサイクルレポートはウォルマートの部門レベルで実行する必要があります。

SP 階層は次のとおりです。

- Cisco 社
  - Cisco 米国
  - Cisco メキシコ
- ウォルマート社
  - ウォルマート米国
  - ウォルマートメキシコ

ドメイン設定 (調整/正規化)	コンプライアンスレポート	ライフサイクルレポートレベル
TOP/Cisco	True	はい
TOP/Cisco/米国	False	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメイン設定 (調整/正規化)	コンプライアンスレポート	ライフサイクルレポートレベル
TOP/Cisco/メキシコ	False	
TOP/Cisco/ドイツ	False	
TOP/ウォルマート	False	
TOP/ウォルマート/米国	True	はい
TOP/ウォルマート/メキシコ	True	はい

SP が Cisco 社および Cisco メキシコ向けにソフトウェアモデルを設定している場合、Cisco の企業レベルで Cisco のコンプライアンスを管理することを意図している場合でも、ライフサイクルレポートに同じインストール数の重複するライフサイクルレコードが表示されることがあります。

ライフサイクルレポート

モデルドメイン		日付		ソフトウェア モデル	ドメイン
Cisco	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
Cisco メキシコ	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
ウォルマート 米国	SQL Server 2012	2014	5		
ウォルマート メキシコ	SQL Server 2012	2014	20		

ソフトウェアライフサイクルの詳細については、以下を参照してください。 でのソフトウェアモデルの作成 ソフトウェア資産管理 クラシック . ドメインセパレーションパスのセットアップの詳細については、「ドメインセパレーションのセットアップと管理」を参照してください。

ソフトウェア資産管理のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、ソフトウェア資産管理 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ソフトウェア資産管理 クイックスタートテストでは、ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) をアクティブ化する必要があります。一部のクイックスタートテストでは、以下の追加プラグインをアクティブ化する必要があります。

- ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com sn_sam_spend)
- ソフトウェア資産管理プロ - Microsoft 向け (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理プロ - SAP 向け (com.sn_samp_sap)
- Oracle 用の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)
- ソフトウェア資産管理 - SaaSライセンス管理統合(sn_sam_saas_int)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - 新しく公開された PPN およびコンテンツへのカスタム PPN/DMAP のマッピング	カスタム公開者の部品番号 (PPN) が新しい ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス PPN に置き換えられたことを検証します。	San Diego
SAM：Oracle PaaS BYOL	• PaaS デバイスに関する情報を格納する新しいサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルの追加を検証します。 • Amazon Web サービス (AWS) PaaS 環境の Oracle データベースサーバーのライセンスコンプライアンスを検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインと CMDB CI クラスモデルストアアプリケーションが必要です。	Rome
SAM：ソフトウェアモデルのソフトウェア製品ライフサイクルレコード	ソフトウェアモデルフォームの [ソフトウェアライフサイクル] タブにレコードが表示されていることを確認します。 **注:** デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Quebec
SAM：BYOL	• ソフトウェアエンタイトルメントフォームの購入日を検証 • ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] およびライセンスの位置レポート [samp_license_position_report] テーブルに、新しく追加された列 legacy_license の追加を検証します。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	• ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、新しく追加された列、cloud_license_type および cloud_license_type_source を検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	
SAM - CIS スイートを検証	ダウングレード権限で、コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートの調整を検証します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - PerCoreForMSCluster	Microsoft の調整機能をクラスターのコアごとに検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - アップグレード/ダウングレードを Microsoft Publisher の調整中に検証	アップグレードとダウングレードの権限を、Microsoft 製品の調整中に検証します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SaaS アプリケーションを統合するデマンドを生成	SaaS アプリケーションでデマンドの生成と送信を検証します。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: ソフトウェア資産管理 - Spend Detection (com.sn_sam_spend) プラグインと PPM standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが必要です。	
SAM - SAP エンジンのソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	製品が SAP エンジンである場合、ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントの各フォームが変更されたことを確認します。 注: SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	Paris
SAM：ソフトウェアモデルのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアモデルフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパック検証	ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパックの新しいフィールドの機能を検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェア支出トランザクション	ソフトウェア消費トランザクションの作成を検証します。	Orlando

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインが必要です。	
SAM：ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	ユーザーがソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM：ソフトウェアのインストールとディスカバリーモデル	ユーザーがソフトウェアのインストールとディスカバリーのモデルを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM - カスタム PPN を使用するソフトウェアエンタイトルメントの作成	カスタムソフトウェア製品、カスタム製品のカスタム DMAP、カスタム DMAP のカスタム部品番号、カスタム部品番号を使用するソフトウェアエンタイトルメントを作成して、ソフトウェアモデルが自動で作成されていることを確認します。	New York
SAM - SAP の名前付きユーザーのソフトウェアモデルチェック	公開者が SAP で製品が名前付きユーザーである場合に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS のソフトウェアモデルチェック	SaaS 製品が選択された際に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS ソフトウェア製品のフィールドを検証	[サブスクリプションソフトウェア] と [インストールを無視] フィールドがソフトウェア	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	製品フォームに存在することをテストします。 **注:** ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	

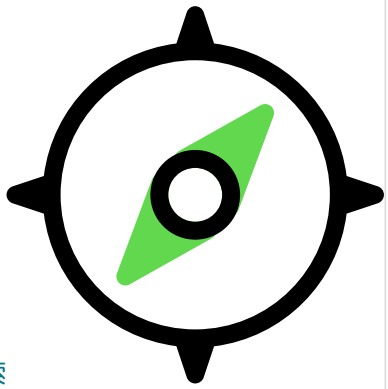
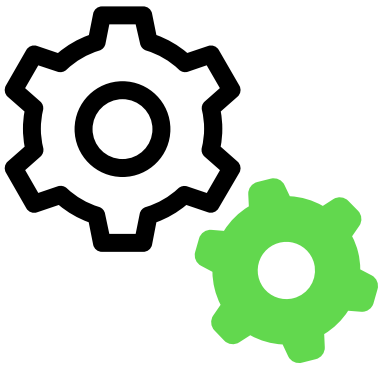
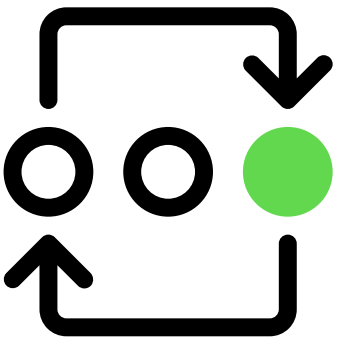
関連情報

クイックスタートテスト

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist アプリケーションを使用して、ソフトウェア展開、ライセンスコンプライアンス、構成の健全性、および最適化に関する公開者のサマリーを生成します。

開始するには

探索	構成	使用中
		
SAM の Now Assist の詳細	SAM の Now Assist アプリケーションを構成して開始します	SAM 向け Now Assist が提供する生成 AI 機能を使用します

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- AI とインテリジェンスの ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは 法的要求や法務に関する事項に関する情報 (関連フィールド情報、コメント、作業メモを含む)。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ 」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、を参照してください。 Now Assist ドキュメント .

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist の探索

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist アプリケーションを使用すると、ソフトウェア資産管理マネージャーは生成 AI を使用してパブリッシャーの詳細を要約し、パブリッシャー資産に関するインサイトを得ることができます。

SAM の Now Assistの概要

ソフトウェア資産管理マネージャーが利用できる生成 AI 機能は、公開者の詳細の包括的なサマリーを提供するため、公開者コンプライアンスの詳細を理解しやすくなります。

SAM の Now Assist スキル

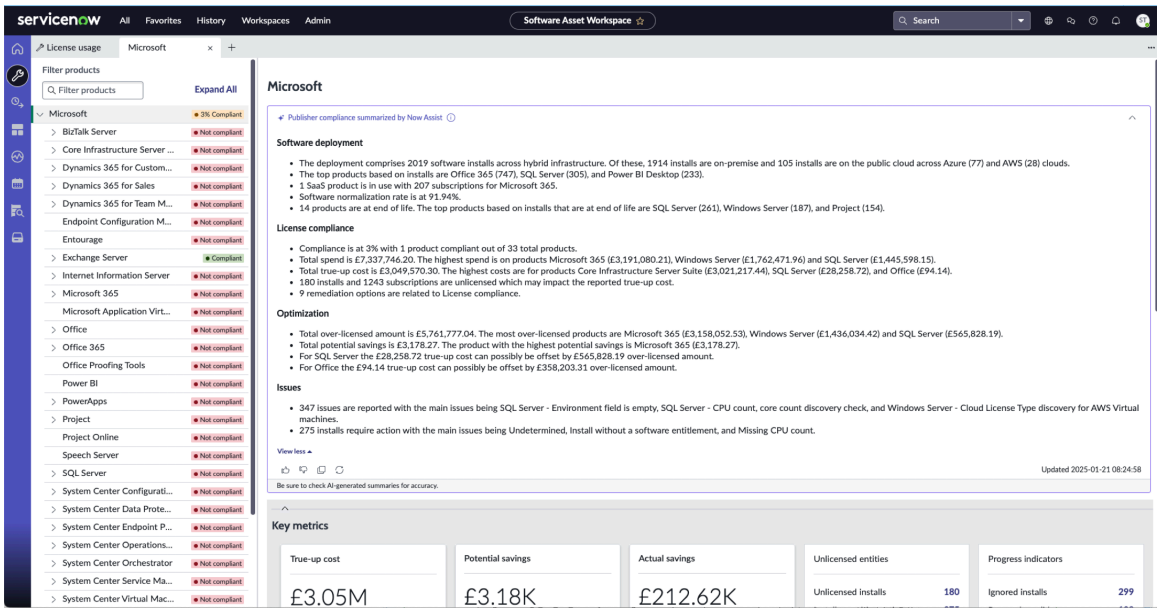
SAM の Now Assist アプリケーションには生成 AI が含まれており、組織のソフトウェア資産内の公開者の AI ベースのサマリーをソフトウェア資産管理マネージャーに提供します。

パブリッシャーコンプライアンスの要約

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア展開、ライセンスコンプライアンス、最適化、および構成の健全性に焦点を当てて、パブリッシャーの概要に関するインサイトを提供します。簡素化されたプロセスでは、ソフトウェア資産に関する重要な情報が強調表示されるため、ライセンスの管理と公開者契約の遵守が容易になります。



ソフトウェア資産管理 **(SAM)** 向け **Now Assist** に関するサポート情報

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist アプリケーションに関連する重要な情報の簡単な概要を把握できます。

サポート対象のバージョン

SAM の Now Assist は、Yokohama リリース以降でサポートされています。

サポート対象のユーザーインターフェイス

SAM の Now Assistアプリケーションには、次の表に示すスキルが含まれています。

SAM の **Now Assist** のサポート対象のインターフェイス

インターフェイス	機能
ソフトウェア資産ワークスペース	パブリッシャーコンプライアンスの要約

ライセンスの要件

SAM の Now Assistアプリケーションには、ソフトウェア資産管理プロ Plus または ソフトウェア資産管理 Enterprise Plus のライセンスが必要です。

サポート対象の言語

SAM の Now Assist アプリケーションは、次の言語をサポートしています。

- アラビア語
- チェコ語
- ドイツ語
- スペイン語

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィンランド語
- フランス系カナダ人
- フランス語
- ヘブライ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- オランダ語
- ブラジル系ポルトガル語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スウェーデン語
- タイ語
- トルコ語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語

自動翻訳

アプリケーション情報

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assistストアアプリ (sn_now_assist_sam) を有効にして、パブリッシャーコンプライアンスの要約スキルを使用します。

このストアアプリには、次の依存関係があります。

- ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp)
- ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)
- Now Assist for Platform (sn_genai_platform)

以下の順序でプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロ
- ソフトウェア資産ワークスペース
- Now Assist for Platform
- ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist

ソフトウェア資産管理 **(SAM)** 向け **Now Assist** の構成

admin ロールを持っている場合は、公開者のサマリーを生成するように ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist アプリケーションを構成できます。これらのサマリーでは、ソフトウェア展開、ライセンスコンプライアンス、最適化、および構成の健全性に関連する情報が強調されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

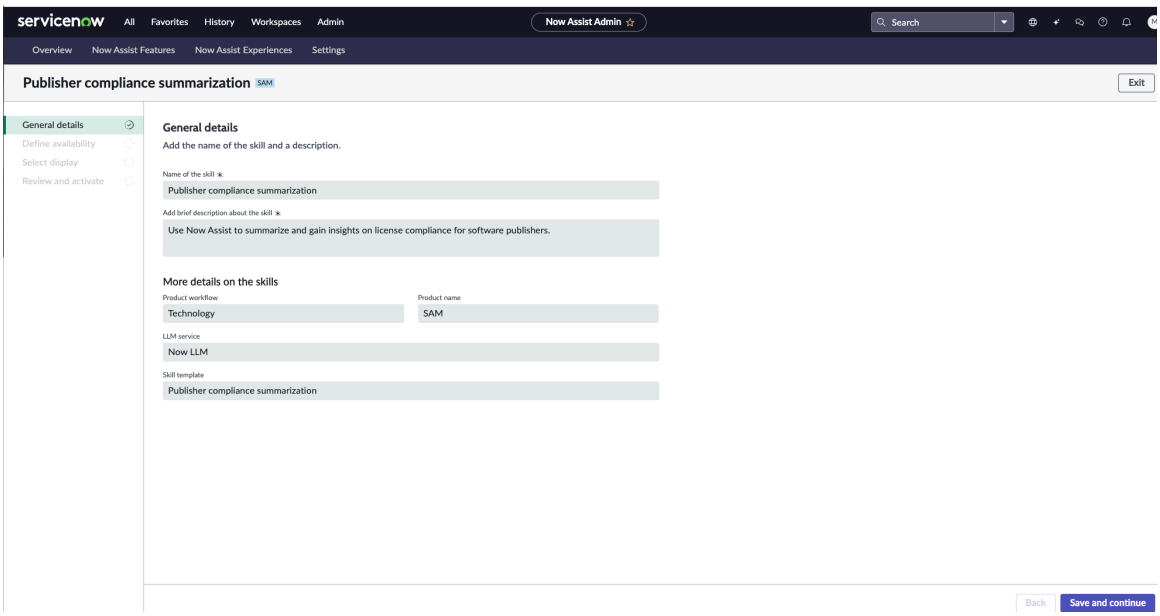
始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Now Assist アドミン コンソールを使用して、SAM の Now Assist を構成します。このコンソールには、プラグインのインストールと生成 AI スキルの構成に必要なものがすべて含まれています。詳細については、「Now Assist Admin console」を参照してください。

手順

1. ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist プラグイン (sn_now_assist_sam) をインストールします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能 をクリックして、Now Assist アドミン コンソールの [機能] タブにアクセスします。
3. [テクノロジー] ワークフローグループで **[SAM]** を選択します。
4. [SAM のスキルを Now Assist] ページで、[詳細を表示] を選択します。
5. [ソフトウェア ライセンス分析] ページで、[スキルのアクティブ化] を選択します。

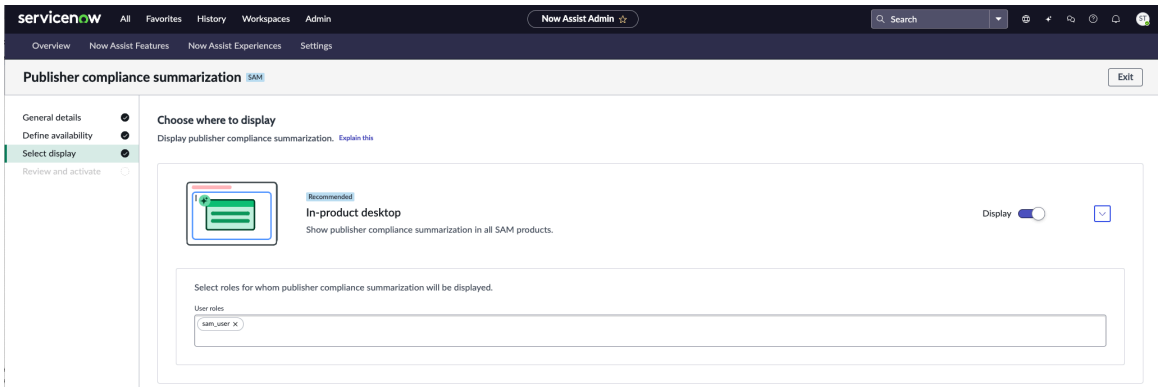
   [公開者コンプライアンスの要約] ページが開き、[一般的な詳細] セクションが強調表示されます。



6. [一般的な詳細] セクションで、[保存して続行] を選択します。
   [一般的な詳細] セクションの設定は読み取り専用です。
7. [可用性を定義] セクションでは、次のページに進むか、スキル機能の可用性条件を指定できます。
8. [表示の選択] セクションで、[表示] を選択します。

自動翻訳

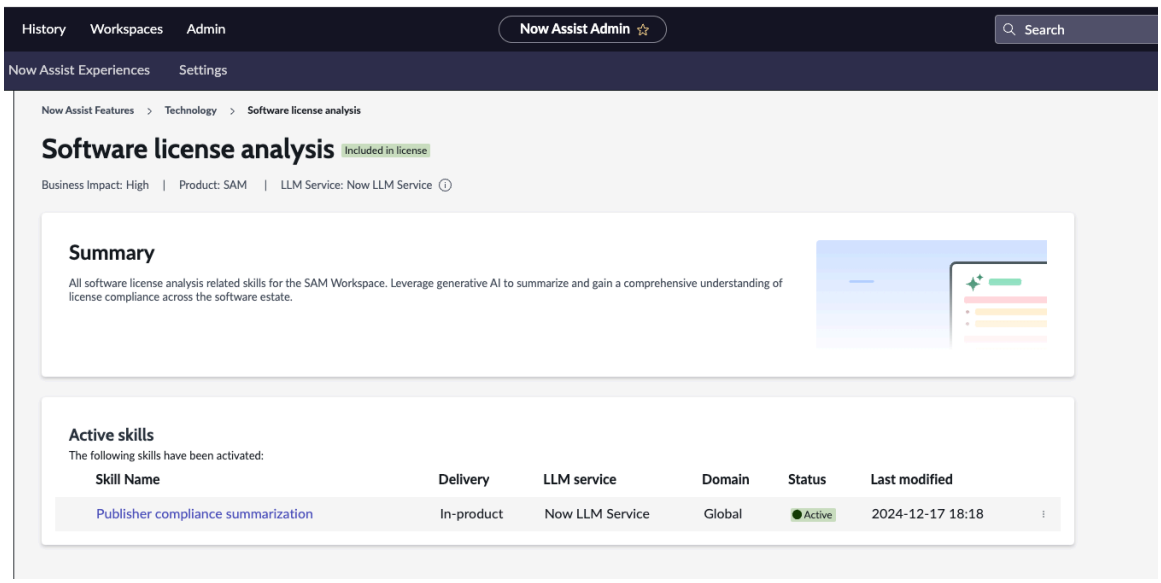
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択すると、パブリッシャーコンプライアンスの要約スキルがフォームとワークスペースに表示されます。

sam_user ロールは、公開者の概要を表示するためのデフォルトのロールです。必要に応じて、ロールを追加できます。

9. [保存して続行] を選択します。
10. [レビューしてアクティブ化] セクションで、選択内容を確認し、[アクティブ化] を選択します。「正常にアクティブ化されました」というメッセージボックスが開き、パブリッシャーコンプライアンス要約スキルがアクティブ化されます。
11. [ソフトウェア ライセンス分析に戻る] を選択して、[ソフトウェア ライセンス分析] ページを開きます。



これで、 ソフトウェア資産ワークスペースでパブリッシャーコンプライアンスの要約スキルを使用する準備ができました。スキルの使用の詳細については、 を使用したパブリッシャーのコンプライアンスサマリーの生成 ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assistを参照してください。

ソフトウェア資産管理 **(SAM)** 向け **Now Assist** のスキルの入力とトリガー

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist のスキルの入力とトリガーの概要を簡単に説明します。スキルの入力またはトリガーを構成することで、スキルをいつどのように使用するかを決定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM の Now Assist スキルとトリガーの概要

選択したスキルに応じて、入力またはトリガーを設定できます。これらの設定により、スキルがいつどのように使用されるかが決まります。入力は、公開者サマリーの生成に使用されるテーブルやフィールドなど、スキルに使用されるデータを識別します。トリガーは、システムが公開者サマリーを生成したときなどにアクションを開始します。

パブリッシャーコンプライアンス要約スキル

パブリッシャーコンプライアンスの要約スキルの場合は、パブリッシャーコンプライアンスサマリーが生成されるタイミングを決定するトリガーを選択します。公開者のコンプライアンスの概要の表示方法を制御するプロパティを選択することもできます。公開者のコンプライアンスの概要を表示するには、SAM の Now Assistの構成中に [表示する場所を選択 (Choose where to display)] ページで [表示] トグルボタンを選択する必要があります。[表示] トグル ボタンの詳細については、「ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist の構成」を参照してください。

次の表に、公開者のコンプライアンスの概要が生成されるタイミングと、公開者のコンプライアンスの概要を表示する方法を決定するトリガーを示します。

パブリッシャーコンプライアンスの要約スキルのトリガー

トリガー	説明
ユーザーがトリガーした	エージェントが [公開者の詳細 (Publisher details)] ページで [要約を作成 **(Summarize**)] を選択してスキルを手動でトリガーしたときに生成される公開者コンプライアンスサマリー。

次の表に、公開者コンプライアンスの要約スキルの入力を示します。

パブリッシャーコンプライアンスの要約スキルの入力

入力	説明
調整結果	検出とエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータス。
ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	環境にインストールされているすべてのソフトウェア製品の製品ライフサイクルの詳細。
ダッシュボード	ダッシュボードには、検出されたインベントリ、正規化とコンテンツ、および健全性チェックが含まれます。

ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist の使用

ソフトウェア資産管理マネージャーロールを持っている場合は、ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist アプリケーションを使用して、すべての公開者のさまざまな領域にわたるインサイトをすばやく取得できます。

公開者の概要には、通常、次の情報が含まれますが、これらに限定されません。

- ソフトウェア展開: パブリッシャーのインストール数 (またはサブスクリプション、 SAP 指名ユーザータイプ、エンジン測定指標、デジタルアクセスドキュメントタイプ)、正規化率、インストール数 (またはサブスクリプション、 SAP 名前付きユーザータイプ、エンジン測定メトリクス、デジタルアクセスドキュメントタイプ)、およびサポート終了間近の製品の数。
- ライセンスコンプライアンス:準拠製品のコンプライアンスの割合と数、支出が最も高い上位製品の合計支出、調整コストが最も高い上位製品を含む非準拠製品の総調整コスト、ライセンスなしの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インストール (またはサブスクリプション、 SAP 名前付きユーザータイプ、エンジン測定メトリクス、デジタルアクセスドキュメントタイプ)、およびライセンスコンプライアンスに関連する修正オプションの数。

- 最適化: ライセンス供与過剰金額が最も高い商品の合計超過ライセンス金額。また、製品の調整コストを、ライセンス供与過剰金額または見込まれる節減額で相殺できるかどうかの詳細も含まれます。
- 問題:(健全性チェックを介して) 報告された問題の数と、アクションが必要なインストールの数 (該当する場合)。

を使用したパブリッシャーのコンプライアンスサマリーの生成 ソフトウェア資産管理 **(SAM)** 向け **Now Assist**

ソフトウェア展開、ライセンスコンプライアンス、構成の健全性、および最適化をカバーする公開者向けの包括的なサマリーを生成します。詳細な公開者の概要は、公開者資産に関するインサイトを得るのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：sam_user

このタスクについて

SAM の Now Assist は、調整結果、製品ライフサイクルレポート、および検出されたインベントリ、正規化とコンテンツ、健全性チェックなどのダッシュボードを使用して、パブリッシャーサマリーを生成します。

手順

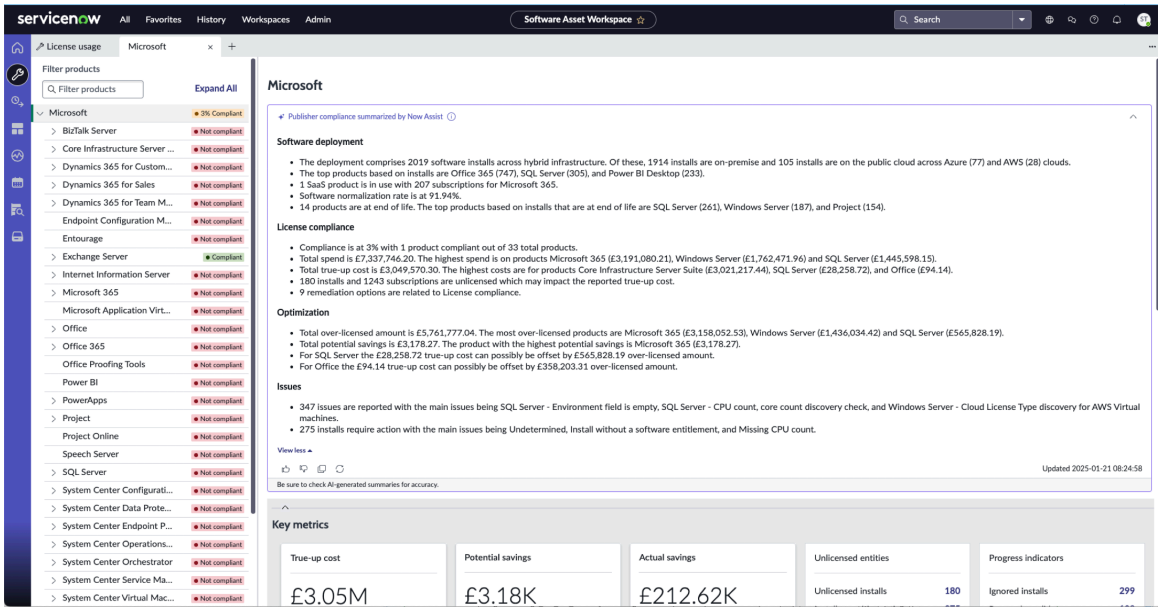
1. 次のように移動する。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース.
2. [ライセンス使用状況] ビューを選択します。
3. パブリッシャーを選択すると、そのサマリーが表示されます。
4. 公開者の詳細ページで、 要約 を選択します。

   SAM の Now Assistアプリケーションは、選択した公開者のサマリーの生成を開始します。サマリーがまとめられると、サマリーの結果が別のセクションに表示されます。

   生成後、パブリッシャーの概要は自動的に保存されません。概要を生成した [公開者の詳細] タブを閉じたり、ページを再読み込みしたりすると、公開者の概要は利用できません。要約を再生成するには、 要約 を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. オプション: 生成されたサマリーに対して、次のアクションを実行できます。

ハードウェア資産管理

ServiceNow® ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションは、ライセンス取得可能なアプリケーションであり、アクティブ化されたときには、IT 資産を維持するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

ハードウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

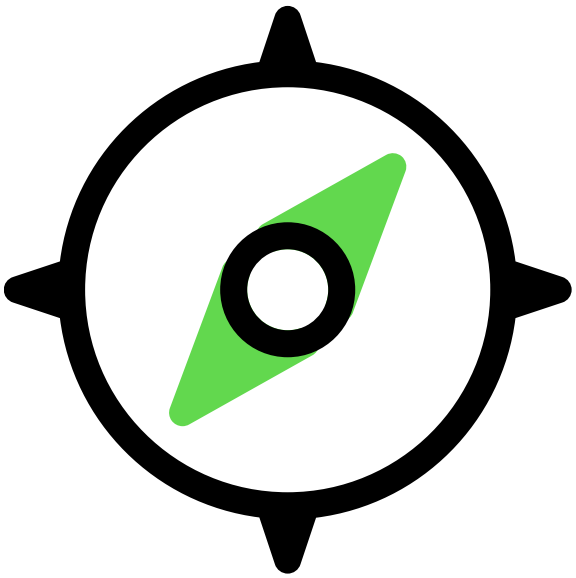
https://player.vimeo.com/video/995199429?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

注: ServiceNow® Now Platform Washington DC リリース以降、ハードウェア資産管理 コア UI インターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。詳細については、「KB1584544」、「ハードウェア資産ワークスペース」および「Next Experience UI」を参照してください。

自動翻訳

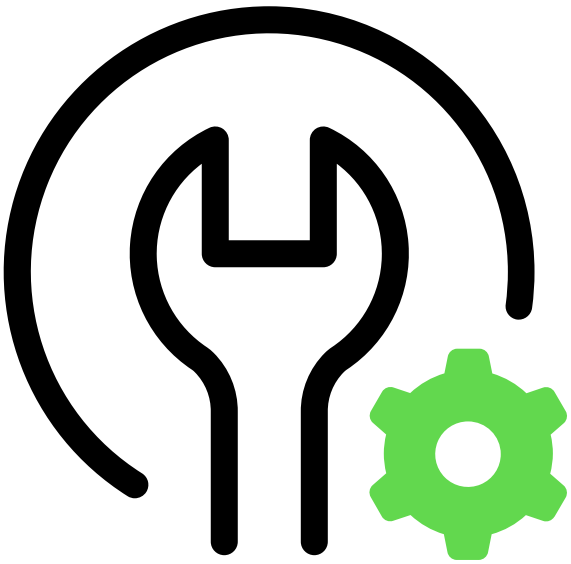
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



ハードウェア資産管理 アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

構成

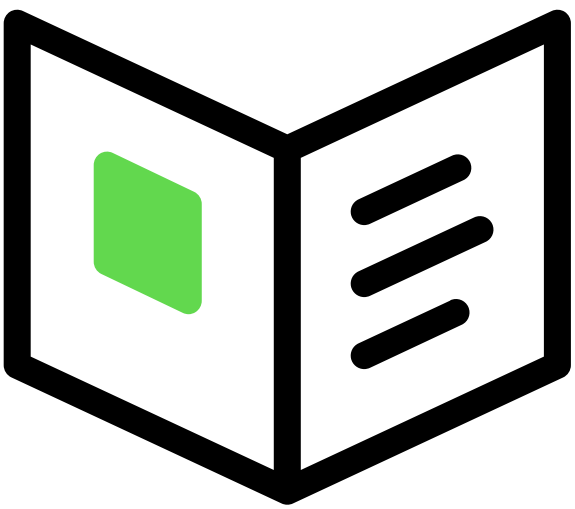


ハードウェア資産管理サポートプラグインをアクティブ化し、ロールをアサインします。

使用

ハードウェア資産管理を使用して、ハードウェア資産を効率的に管理します。

参照



アクション可能なデータを可視化することで、ビジネスプロセスとプラクティスを改善します。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スノート情報については、「ServiceNow Store のバージョン履歴リリースノート」を参照してください。

学習内容

ハードウェア資産管理とは？

ハードウェア資産管理 の探索

組織内のさまざまなユーザーにもたらすメリットを確認して、 ハードウェア資産管理 の詳細を確認します。

ハードウェア資産管理の概要

ハードウェア資産管理 を使用すると、ハードウェアや消耗品など、組織のすべての資産のエンドツーエンドのライフサイクルを追跡および管理できます。規範的なワークフローとタスクを使用して、資産ライフサイクルのすべてのステージを簡素化できます。資産のタグ付け、所有権の割り当て、および場所の追跡により、資産損失のリスクが軽減されます。また、未承認 ハードウェア資産管理 のハードウェア資産を特定し、組織の確立されたポリシーと規制に確実に準拠することもできます。

ハードウェア資産管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
ハードウェア資産一覧の直感的で一元化された一元化されたビューを通じて、資産のライフサイクルを管理し、資産レコードを正確かつ最新の状態に保ちます。これにより、重要な ハードウェア資産管理 の優先順位とアクティビティに誘導されます。	ハードウェア資産ワークスペース	重役/アプリケーションオーナー/資産マネージャー/インベントリユーザー
モバイルデバイスを活用して資産をストックルームに受け入れ、オンサイト監査を実施して正確な在庫チェックを行います。	モバイル資産スキャン	資産マネージャー/資産アドミニストレーター/インベントリアドミニストレーター
ハードウェア資産管理のビルド済みおよびガイド付きワークフローを使用して、資産のライフサイクルを簡素化します。	資産ライフサイクルの自動化	資産マネージャー/資産アドミニストレーター
返品、交換、または修理する資産の返品自動化 (RMA) プロセスを自動化します。	返品許可	資産マネージャー/インベントリ管理者
複雑な資産グループを単一の親レコードとして管理します。	アセットバンドル	資産マネージャー/資産アドミニストレーター
離職する従業員に割り当てられた資産を再利用するプロセスを自動化します。	資産再利用	従業員/資産マネージャー/インベントリアドミニストレーター
慈善団体への資産の寄付をワークフローで管理します。	資産寄付	従業員/資産マネージャー/インベントリマネージャー
資産をパレットにリンクし、通路およびスペースレベルで資産を追跡することで、より正確に倉庫を運用します。	在庫用パレット	資産マネージャー/インベントリ管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
すべての貸与資産の要求を処理し、貸与資産のタイムリーな準備と展開を確実に行います。	貸与資産	従業員/インベントリアドミニストレーター
従業員のハードウェア資産リフレッシュ要求の注文、資産タグ付け、および配送を自動化します。	ゼロタッチでリフレッシュ	従業員/資産マネージャー/インベントリアドミニストレーター
APIを介して配送業者への接続を作成して、出荷を追跡します。	配送業者統合	アドミン/資産アドミニストレーター/インベントリアドミニストレーター
ハードウェア資産レコードを受領前に自動化して作成します。	事前出荷通知 (ASN)	管理者
組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、TRM ライフサイクルフェーズを定義します。	を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理	エンタープライズアーキテクト/アプリケーションオーナー
修理フローを使用して、倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を迅速に修理します。	修理フロー	資産マネージャー
ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。	のインベントリピッキング ハードウェア資産管理	インベントリユーザー
最小限の介入でハードウェア資産要求を実行できるようにします。	ゼロタッチ要求フロー	従業員/外部プロバイダー/カタログアドミニストレーター
資産証明書を使用して、場所に関係なく必要なハードウェア資産のリモート資産監査を実行します。	資産 証明書	資産マネージャー/インベントリユーザー/従業員

ガイド付きセットアップ による ハードウェア資産管理 の実装

ハードウェア資産管理 ガイド付きセットアップには、ServiceNow インスタンスでハードウェア資産管理を構成するのに役立つ一連のタスクが用意されています。ガイド付きセットアップを開くにはハードウェア資産管理 アプリケーション > **Guided Setup**.ガイド付きセットアップインターフェイスの使用の詳細については、「ガイド付きセットアップの使用」を参照してください。

ハードウェア資産管理サブスクリプション

ServiceNow プラットフォームでは、ライセンス方法を使用しており、組織は IT Asset Management アプリケーションの使用に対して課金されます - ServiceNow ハードウェア資産管理。

注:
から ハードウェア資産管理 をインストールする必要があります ServiceNow Store により、タスクを自動化し、作業を簡素化できます。

次の規範的なワークフローまたは機能を使用して、資産データを最大限に活用して時間とリソースを節約します。

- ハードウェア資産ワークスペース
- ハードウェア資産ダッシュボード

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ハードウェアモデル正規化
- コンテンツルックアップポータル
- 資産ライフサイクルの自動化
  - ハードウェア資産のリフレッシュ
  - ハードウェア廃棄
  - 貸与資産のオーダーまたは資産予約
  - 返品許可
  - 資産リースの有効期限
  - リース資産の返却
  - アセットバンドル
  - 事前出荷通知 (ASN)
  - 資産寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
- 展開、スワップ、廃止などの自動化された資産タスク
- モバイル
  - 資産インベントリ監査
  - 資産廃棄スキャン
- 資産統合 - 配送業者
- パレット資産
- 資産管理エグゼクティブダッシュボード
- 契約管理と更新
- ハードウェア資産ダッシュボード
- コンテンツルックアップポータル
- HAM ガイド付きセットアップ
- Zebra RFID統合
- サービスの場所
- 倉庫の流通チャネルサポート
- ハードウェア資産のインドアマッピング機能
- ハードウェア資産管理成熟度
- Asset Total Cost of Ownership (資産総所有コスト)
- との資産保証の統合 Lenovo
- 修理フロー
- インベントリピッキング
- ゼロタッチ要求フロー
- 資産 証明書

Core 資産管理 の次のベースシステム機能は、 ServiceNow IT Service Management (ITSM) および カスタマーサービス管理 (CSM) (CSM) 製品で提供されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産とモデルのレコード
- 倉庫
- 転送注文
- 発注書
- 契約
- モバイル資産の受領
- モバイル - 自分の資産

詳細については、「Asset Management」と「ハードウェア資産管理サブスクリプションの管理」を参照してください。

ハードウェア資産管理ライセンス

ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスでは、使用する ハードウェア資産管理 リソースカテゴリを選択できます。使用しないカテゴリではなく、使用するカテゴリに対してのみ支払うことで、お金を節約できます。

オプトインされたリソースカテゴリのみがサブスクリプションユニットにカウントされます。

注:
デフォルトでは、特定のリソースカテゴリでは、関連付けられたモデルの正規化機能と、関連付けられた資産の資産アクションは機能しません。正規化機能と資産アクションを使用する場合は、そのリソースカテゴリをオプトインする必要があります。

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウトの詳細については、「 HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト」を参照してください。

モデルカテゴリの使用状況に基づいて、 ServiceNow HAM ライセンスはリソースカテゴリに分類されます。リソースカテゴリにはさまざまなタイプがあります。資産が異なれば、カテゴリも異なります。正しい必須カテゴリを選択していることを確認してください。資産 [alm_asset] テーブルで表される資産で、サーバー、エンドユーザーコンピューター、ネットワーク機器、モバイルデバイスなどの各管理対象 IT リソースタイプの基準を満たすものは、サブスクリプションユニットに対する資産数の事前定義された比率に基づいてサブスクリプションユニットにカウントされます。

注:
HAMのリソースカテゴリは、特定のエンタイトルメントに関連付けられています。たとえば、コンピューターリソースカテゴリは、コンピューターエンタイトルメントが HAM ライセンスで利用可能な場合にのみ表示されます。オンプレミス ServiceNow インスタンスでは、エンタイトルメントはダウンロードされません。ただし、`sn_ham_active_entitlements` システムプロパティを使用して、HAMエンタイトルメントの詳細を保存できます。アクセス権を持つエンタイトルメントのカンマ区切りリストで、このシステムプロパティを更新できます。

HAM ライセンスリソースカテゴリ

サブスクリプションユニット率とは、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、エンドユーザーコンピューターのサブスクリプションユニット比率が ***4:1*** の場合、4 つの資産には ***1*** つのライセンスユニットが必要です。1 ライセンスが ***100*** ドルの場合、4 つのコンピューター資産は ***100*** ドル、8 つのコンピューター資産は ***200*** ドルです。

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
エンドユーザーコンピューター	4：1	コンピューター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM ライセンスリソースカテゴリ

サブスクリプションユニット率とは、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、エンドユーザーコンピューターのサブスクリプションユニット比率が ***4:1*** の場合、4 つの資産には ***1*** つのライセンスユニットが必要です。1 ライセンスが ***100*** ドルの場合、4 つのコンピューター資産は ***100*** ドル、8 つのコンピューター資産は ***200*** ドルです。

(続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
サーバー	1：1	次のようなサーバー: • AIX サーバー • ESX サーバー • HPUX サーバー • Linux サーバー • Netware サーバー • OS/X サーバー • サーバー • Solaris サーバー • UNIX サーバー • Windows サーバー
ネットワーク機器	5：1	• ネットワーク機器 • IP スイッチ • IP ルーター
モバイルデバイス	10：1	モバイルデバイス
Telecom Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)	1：1	• カード • ネットワークインターフェイス • 論理接続 • 物理接続 • 電気通信機器
未分類のハードウェア	1：1	Hardware (ハードウェア)
監視	15:1	監視
ストレージ	3:1	ストレージデバイス
プリンター	10：1	プリンター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
未分類のハードウェア、モニター、ストレージ、およびプリンターは、 ハードウェア資産管理ライセンスバージョン 5.0 にアップグレードした場合にのみ、バージョン 10.1.0 以降で使用できます HAM 。

通信事業ネットワークインベントリのハードウェア資産管理機能にアクセスするには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションをインストールし、テレコムネットワークインベントリリソースカテゴリにオプトインする必要があります。詳細については、「Telecommunications Network Inventory integration with Hardware Asset Management」を参照してください。

HAM カスタムモデルカテゴリのライセンス

HAM には、いくつかのモデルカテゴリがすぐに利用できます。作成するモデルカテゴリはすべてカスタムモデルカテゴリと見なされます。Washington DC 以降のリリースでリリースされたハードウェア資産管理ライセンスにアップグレードすると、カスタムモデルカテゴリを持つ資産は、次のいずれかの条件が当てはまる場合にのみ、ハードウェア資産管理機能とワークフローにアクセスできます。

- 資産のカスタムモデルカテゴリは、オプトインされたモデルカテゴリの階層に属します。
- カスタムモデルカテゴリの親モデルカテゴリは、ライセンス可能で、オプトインされたソースカテゴリに関連付けられます。

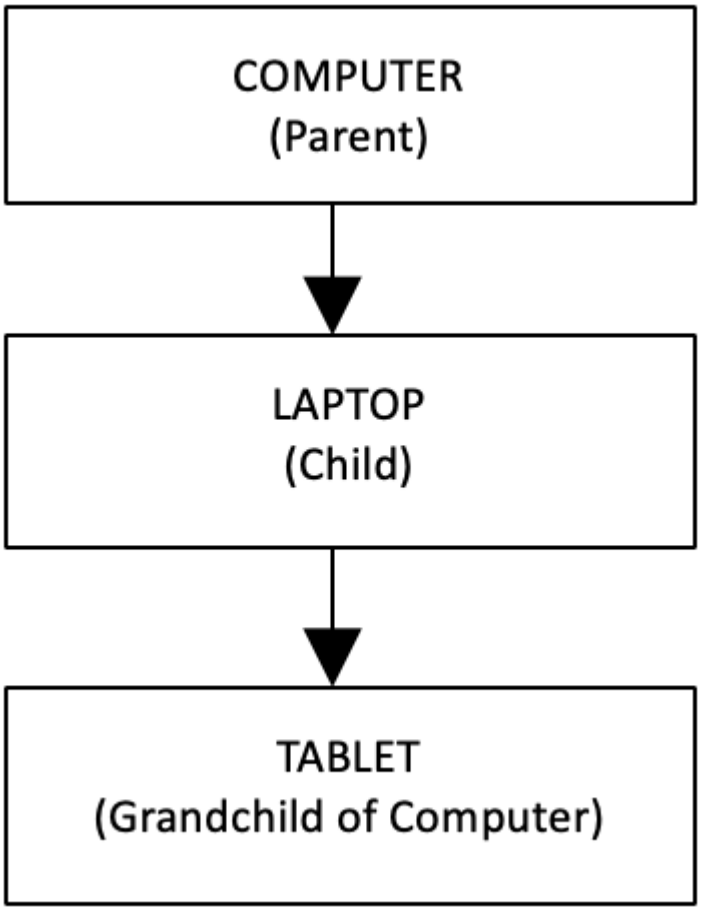
注:
ハードウェア資産管理ライセンスバージョン 4 より前にリリースされたHAMライセンスバージョンを使用している場合、デフォルトでは、オプトインされたライセンス可能なリソースカテゴリに関連付けられていなくても、カスタムモデルカテゴリを持つ資産はハードウェア資産管理機能とワークフローにアクセスできます。また、カスタムモデルカテゴリは、サブスクリプションユニットにカウントされません。

sn_hamp.enable_custom_category_licensing システムプロパティを使用して、カスタムモデルカテゴリのHAMライセンスを有効にすることができます。デフォルトでは、このシステムプロパティの値は **false** に設定されています。*sn_hamp.enable_custom_category_licensing* システムプロパティを **true** に設定すると、カスタムモデルカテゴリの親がオプトインされたライセンス可能なカテゴリでない限り、カスタムモデルカテゴリ資産はHAMワークフローから除外されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルカテゴリの階層の例



この例では、コンピューターモデルカテゴリは、カスタムモデルカテゴリのノートパソコンとタブレットに関連付けられています。カスタムモデルカテゴリについては、次の点に注意してください。

- コンピューターを選択すると、ノートパソコンとタブレットの両方が、エンドユーザーコンピューターリソースカテゴリのサブスクリプションユニットにカウントされます。また、これらのカスタムモデルカテゴリは、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローにアクセスできます。
- コンピューターをオプトアウトすると、ラップトップとタブレットの両方がオプトアウトされ、これらのカスタムモデルカテゴリは ハードウェア資産管理 機能やワークフローにアクセスできなくなります。

注:
ライセンス可能なリソースカテゴリに属し、親モデルカテゴリを持つモデルカテゴリは、関連するリソースカテゴリの下でのみライセンス供与されます。たとえば、ライセンス可能なモニターリソースカテゴリに関連付けられ、親としてコンピューターを持つモニターモデルカテゴリは、モニターの下でのみライセンスされます。

次のモデルカテゴリの資産は、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローへのアクセスから除外されます。

- オプトアウトされたリソースカテゴリの子であるモデルカテゴリ。
- プリンターやストレージデバイスなどのモデルカテゴリの子である任意のモデルカテゴリ。 この除外は、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.0.0 にのみ存在します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プリンター、消耗品、ストレージデバイスなどの既存のモデルカテゴリは、バージョン 10.0.0 以前でのみハードウェア資産管理引き続きハードウェア資産管理機能にアクセスします。

バージョン 10.1.0 以降 ハードウェア資産管理 プリンター、モニター、ストレージ、未分類のハードウェアなどのリソースカテゴリはライセンスされ、ライセンスバージョン 5.0 にアップグレードした場合にのみ使用できます HAM 。ハードウェア資産管理機能にアクセスするには、これらのリソースカテゴリをオプトインする必要があります。これらのリソースカテゴリをオプトインすると、すべての子モデルカテゴリも HAM 機能とワークフローにアクセスできるようになります。

HAM ライセンスバージョン 5.0 にアップグレードすると、以前のバージョンで作成されたプリンター、モニター、ストレージデバイス、および未分類のハードウェア資産は、デフォルトではハードウェア資産管理機能にアクセスできなくなります。これらのリソースカテゴリを明示的にオプトインする必要があります。

- 親カテゴリを持たないその他のカスタムモデルカテゴリ。

ハードウェア資産管理ソリューションのための**Licensing**フレームワーク

改善されたHAMライセンスフレームワークを使用して、すべてのハードウェア資産管理ソリューションについて、組織で購入および消費されたサブスクリプションユニットを管理します。ServiceNowインスタンスで複数のハードウェア資産管理ソリューションが有効になっている場合、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリは、1 つのソリューションでのみライセンス供与されます。

Zero Touch Mobility とのハードウェア資産管理統合や 通信事業ネットワークインベントリ ハードウェア資産管理 Integration with Zero Touch Mobility などのライセンスのソリューションは、ServiceNowインスタンスにハードウェア資産管理をインストールします。

各 ハードウェア資産管理 ソリューションは、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローを利用できるいくつかのデフォルトのリソースカテゴリをサポートしています。

Hardware Asset Management (ハードウェア資産管理) ソリューションのリソースカテゴリ

アプリケーション/ソリューション	サポートされるリソースカテゴリ
ハードウェア資産管理 Zero Touch Mobility との統合	モバイルデバイス
ハードウェア資産管理と通信事業ネットワークインベントリとの統合	• Telecom Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ) • サーバー • ネットワーク機器
ハードウェア資産管理	• エンドユーザーコンピューター • モバイルデバイス • サーバー • ネットワーク機器 • プリンター • モニター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Hardware Asset Management (ハードウェア資産管理) ソリューションのリソースカテゴリ (続く)

アプリケーション/ソリューション	サポートされるリソースカテゴリ
	• ストレージ • 未分類のハードウェア

HAM ライセンスは、各リソースカテゴリに定義されたサブスクリプションユニット率に基づいています。使用するリソースカテゴリのみをオプトインして支払うことができます。詳細については、「ハードウェア資産管理ライセンス」を参照してください。

ハードウェア資産管理ソリューションのライセンスの優先順位付け

重要:
HAMライセンスの優先順位付け機能は、ハードウェア資産管理バージョン 10.1.0 以降で使用できます

ServiceNowインスタンスですべてのハードウェア資産管理ソリューションを有効にし、すべてのリソースカテゴリをオプトインする場合は、次の点を考慮してください

- リソースカテゴリは、 HAM ライセンスフレームワークで定義されているアプリケーションの優先度に基づいて、1 つのアプリケーションでのみライセンスされます。
- アプリケーションの優先順位は、ライセンスコストに基づいて設定され、次の順序になります。
  1. ハードウェア資産管理 Zero Touch Mobility との統合
  2. ハードウェア資産管理と通信事業ネットワークインベントリとの統合
  3. ハードウェア資産管理
- モバイルデバイスは、Zero Touch Mobility との ハードウェア資産管理 統合の下でライセンスされています。
- テレコムネットワークインベントリ、サーバー、およびネットワーク機器は、通信事業ネットワークインベントリ との ハードウェア資産管理 統合の下でライセンスされます。
- エンドユーザーコンピューターは、 ハードウェア資産管理 でライセンスされます。

HAM ソリューションのライセンスモデル

リソースのカテゴリ	サブスクリプションユニット率	HAM **Zero Touch Mobility** との統合	HAMと通信事業ネットワークインベントリとの統合	ハードウェア資産管理	ライセンス条件
モバイル	10：1	インストール日時	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	Zero Touch Mobility (ゼロタッチモビリティ)
サーバー	1：1	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ
ネットワーク機器	5：1	リソースカテゴリは利	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM ソリューションのライセンスモデル (続く)

リソースのカテゴリ	サブスクリプションユニット率	HAM **Zero Touch Mobility** との統合	HAMと通信事業ネットワークインベントリとの統合	ハードウェア資産管理	ライセンス条件
		用できません			
Telecom Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)	1：1	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ
エンドユーザーコンピューター	4：1	リソースカテゴリは利用できません	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	ハードウェア資産管理

ITAM ライセンスレポートを使用して、 ハードウェア資産管理 アプリケーションとソリューションのサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** ハードウェア資産の**HAM**ライセンスからの除外

OT 資産管理 (OTAM) アプリケーションのライセンスモデルでは、OT ハードウェア資産にライセンスを付与するために、いくつかのデフォルトのハードウェアリソースカテゴリがサポートされています。OT ハードウェア資産の詳細については、「 OT 資産 ワークスペース」を参照してください。これらの OTAM ハードウェアリソースカテゴリには、同等のライセンスリソースカテゴリ HAM があります。

リソースカテゴリの比較

HAM リソースカテゴリ	同等の **OTAM** ハードウェアリソースカテゴリ
サーバー	OT サーバー
ネットワーク機器	OT ネットワーク機器
ストレージ	OT ストレージ
エンドユーザーコンピューター	OT エンドユーザーコンピューター
モバイルデバイス	OT モバイルデバイス
監視	OT 監視
プリンター	OT プリンター
未分類のハードウェア	OT 未分類のハードウェア

すべての ハードウェア資産管理 ソリューションを OT 資産管理 アプリケーションとともにアクティブ化し、リソースカテゴリ HAM オプトインする場合は、次の点を考慮してください。

- **OT** エンティティフラグが **false** に設定されている非 OT ハードウェア資産は、HAMライセンスのリソースカテゴリでのみライセンス供与されます。
- **OT** エンティティフラグが **true** に設定されている OT ハードウェア資産は、OT 資産管理 アプリケーションのハードウェアリソースカテゴリでのみライセンス供与されます。詳細については、「OT 資産管理ライセンス」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- HAM ワークフローは、OT ハードウェア資産と非 OT ハードウェア資産の両方をサポートしています。
- OT 資産管理 ワークフローは OT ハードウェア資産のみをサポートします。

関連情報

ハードウェア資産管理 Zero Touch Mobility との統合

Telecommunications Network Inventory integration with Hardware Asset Management

ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産 ワークスペース は、ハードウェア資産を管理するための ハードウェア資産管理 アプリケーションの直感的で簡素化されたユーザーインターフェイスです。

注:

ハードウェア資産ワークスペースを使用するには、資産管理 ワークスペース (sn_itam_workspace) プラグインをハードウェア資産管理 (sn_hamp) とともにアクティブ化する必要があります。

ハードウェア資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、正規化とストックルームのダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

ハードウェア資産ワークスペースには次のビューが含まれています。

- ハードウェア資産の概要:重要なアクションとアクティブなタスクへのクイックリンクを表示します。また、モデルタイプ、ライフサイクルステータス、および資産価値別に資産のスナップショットの資産一覧の 360 度ビューを取得します。
- 資産分析:資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。
- DaaS プロバイダービュー: デバイスアズアサービス (DaaS) プロバイダーの顧客の資産を管理します。

  注:
  ハードウェア資産管理 このビューにアクセスするには、 デバイスアズアサービス (com.sn_daas_ham) をインストールする必要があります。

- インベントリ:インベントリタスクを実行できる資産インベントリとストックルーム全体の詳細を表示します。
- 資産一覧:資産機能を表示し、正確なハードウェアと消耗品の記録を維持します。
- モデル管理:ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル全体で管理されているさまざまなタイプのモデルの詳細を表示します。
- のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理: ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているハードウェア製品に関連するデータを表示します。
- 調達ビュー:進行中のすべての調達アクティビティの詳細を表示および管理します。
- 契約管理:すべてのハードウェアおよびソフトウェア契約を表示および管理します。
- 成功ポータル:成功目標とともに ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションの進捗状況を追跡し、目標の成功を追跡するためのアクティビティを割り当て、事前定義された成熟度アイテムで HAM プログラムを成熟させます。
- 資産運用:インベントリ、出荷、調達、ハードウェア資産の正規化、契約、ゼロタッチでリフレッシュ、成功目標に関連する資産運用を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要

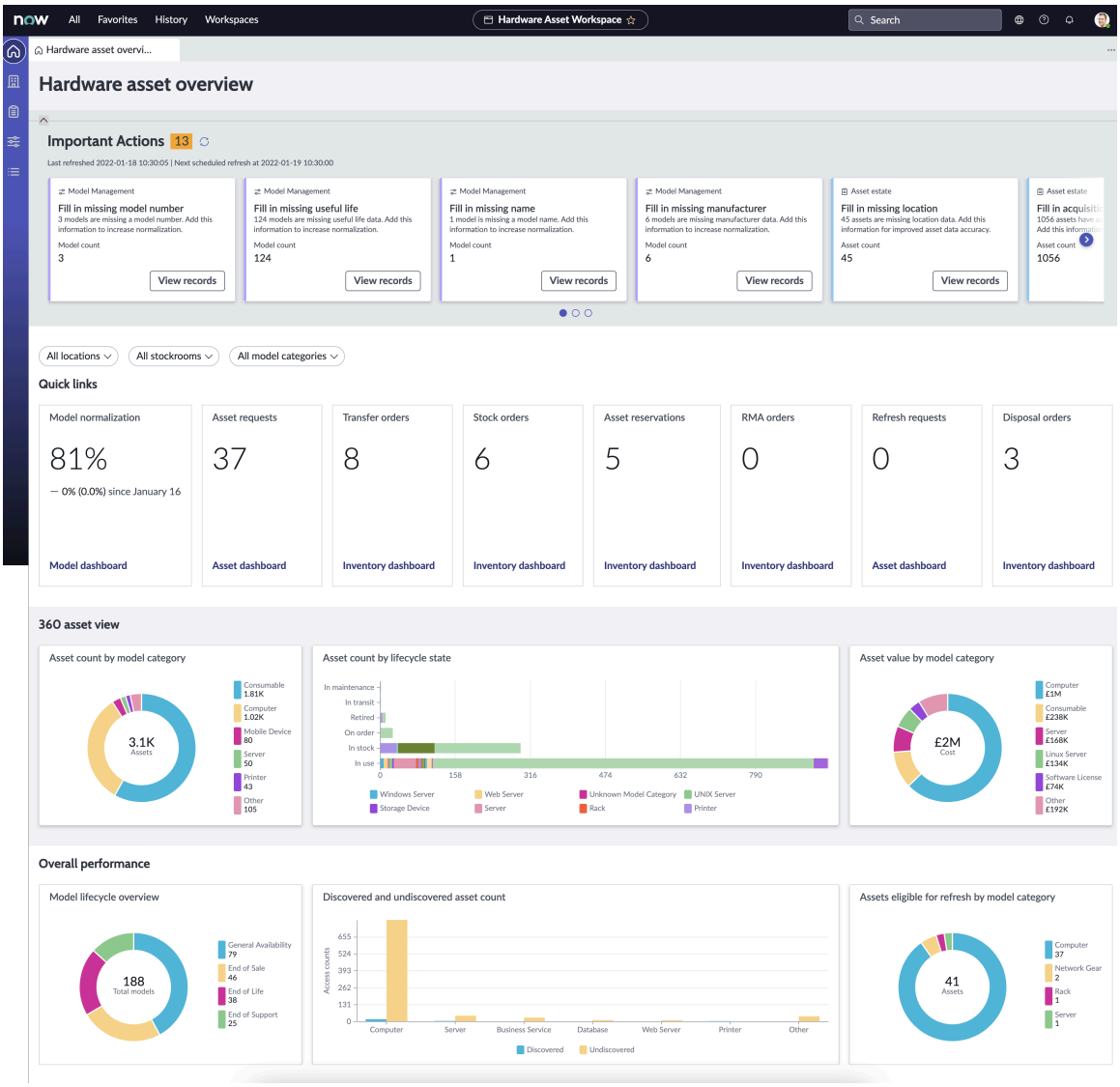
最新化された分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、 ハードウェア資産管理 エクスペリエンスを向上させます。ハードウェア資産の概要は、簡素化された直感的な環境であり、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次の操作を行います。

- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、またはメーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- モデル正規化、資産要求、転送注文、在庫注文、資産予約、RMA オーダー、リフレッシュ要求、廃棄注文などの資産機能に関する特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリとライフサイクルステータス別の資産数、およびモデルカテゴリ別の資産価値を表示する 360 度資産ビューセクションを表示します。
- すべての資産のモデルライフサイクルの概要、検出済み資産と未検出資産数、およびモデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する全体的なパフォーマンスセクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。場所、倉庫、およびモデルのカテゴリリストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

ハードウェア資産の概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クイックリンク

ウィジェットまたは チャート	説明
モデル正規化	正規化されたハードウェアおよび消耗品モデルの割合。
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	アクティブな転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫注文アイテムの数。
資産の予約	アクティブな貸与資産のオーダーの数。
返品許可 (RMA) 注文	オープン RMA 注文の数。
更新要求	オープンなハードウェア資産の更新注文要求の数。
廃棄注文	オープンなハードウェア廃棄注文の数。

360 度資産ビュー

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
ライフサイクルステータス別の資産数	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルライフサイクルの概要	サポート終了、提供終了、一般提供、販売終了などのライフサイクルフェーズ別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産と未検出資産の数の比較。未検出の資産とは、まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産のことです。
モデルカテゴリ別の更新対象資産	既に期限切れになっている資産、または現在の日付が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

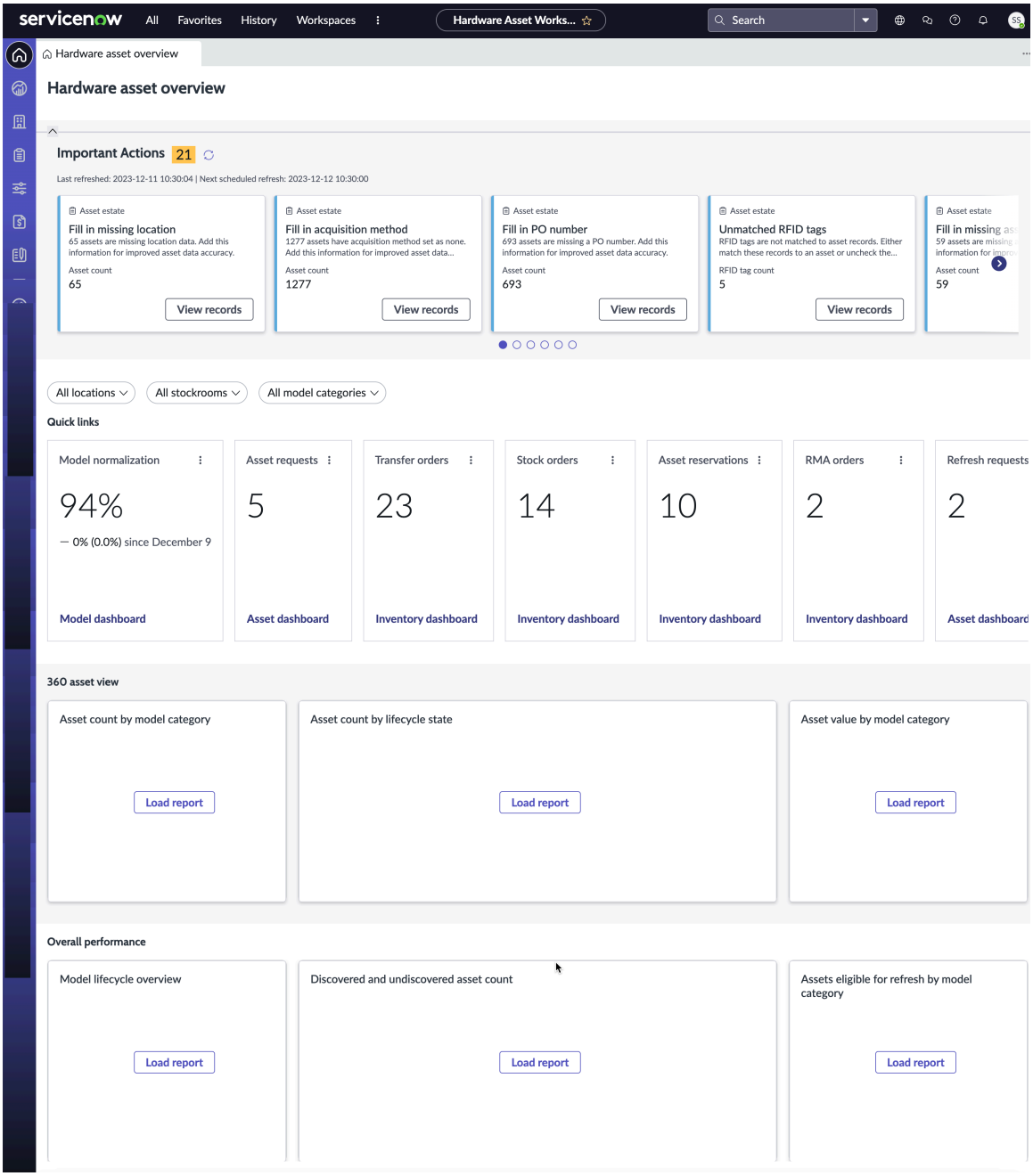
大量の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドで大量の資産レコードをフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。このアプローチにより、[ハードウェア資産の概要] ページのロード時間を短縮できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、レポートをページと同時にロードするオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNow インスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合、[レポートのロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



関連情報

ハードウェア資産管理の分析およびレポート作成ソリューション

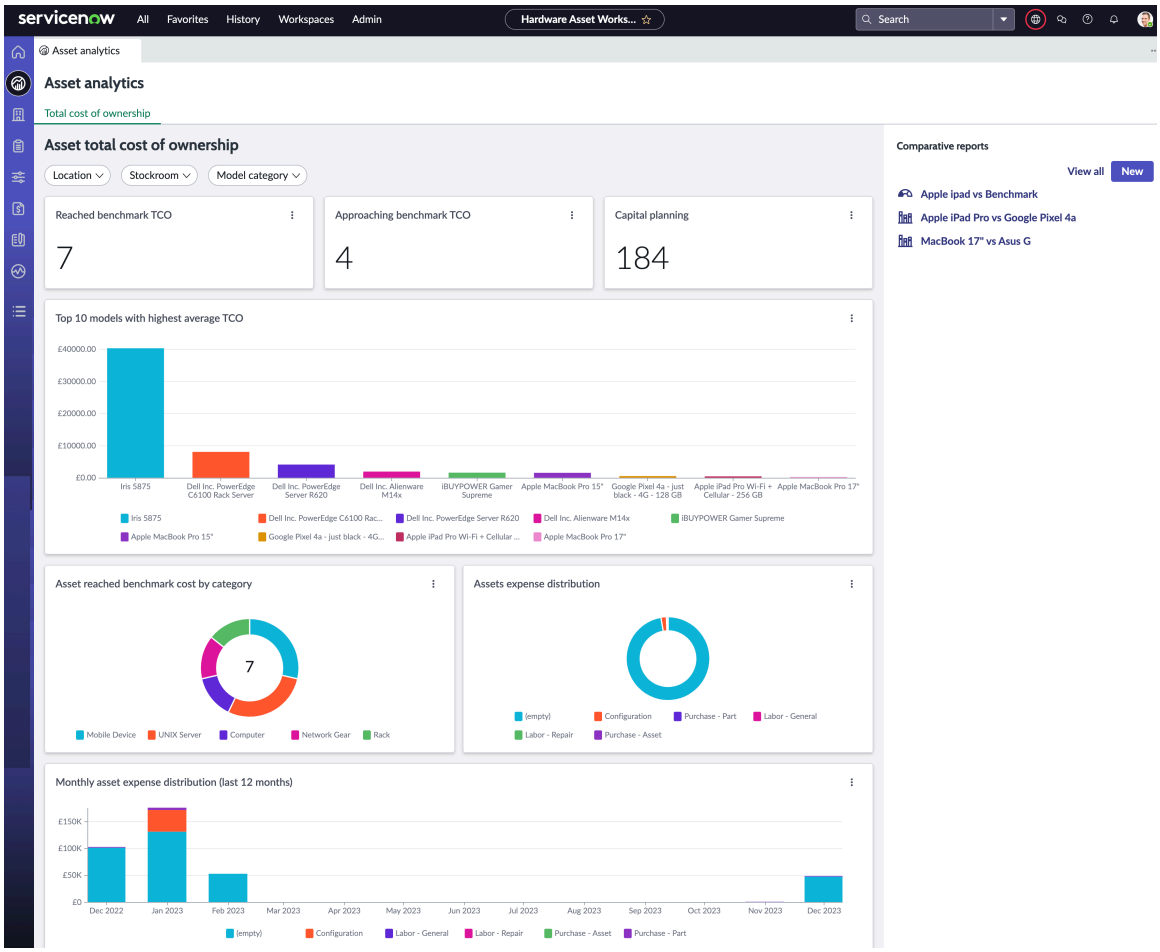
[資産アナリティクス] ビュー

資産アナリティクスビューを使用して、すべてのハードウェア資産、その全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細ビューを取得します。

資産の TCO の詳細については、「 の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
資産アナリティクスビューは ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で使用できます。



場所、倉庫、モデルカテゴリを選択することで、結果をフィルタリングして絞り込むことができます。

注:

ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) およびドメインサポート (com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合、TCO レポートではドメインセパレーションがサポートされます。

資産総所有コスト **(TCO)**

フィールド	説明
ベンチマーク TCO に到達した資産	TCO がベンチマークコスト以上の資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいている資産	TCO がベンチマークしきい値以上で、ベンチマークコストを下回る資産の数。 TCO ベンチマークしきい値のパーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、ベンチマークを 1000 ドルに設定し、資産コストが 750 ドルに達した場合、その

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産総所有コスト **(TCO)** (続く)

フィールド	説明
	資産はベンチマーク TCO に近づいていると見なされます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_perc* を使用して、ベンチマークしきい値のパーセンテージを更新します。 ハードウェア資産フィールド値の詳細については、「 資産レコードフィールド」を参照してください。
資本計画	資産ライフサイクルが 60 日を超え、廃止されていない資産の数。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	12 か月間の平均資産 TCO が最も高い上位 10 モデル。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	モデルカテゴリに基づく、資産 TCO がベンチマークコストに達した資産の数。
資産経費分配	人件費、配送料、購入費などの経費カテゴリに基づく、資産に発生するコスト。
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	過去 12 か月間の資産の初期コストと運用コストの月次。

比較レポート

このセクションには、最近作成された TCO レポートが表示されます。

[比較レポート] セクションで [新規] を選択してレポートを作成することもできます。詳細については、「での TCO レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

DaaS プロバイダービュー

ハードウェア資産ワークスペース の DaaS プロバイダービューは、デバイスアズアサービス アプリケーションの直感的なインターフェイスであり、DaaSプロバイダーの顧客の資産を管理します。

注:
DaaSプロバイダービューにアクセスするには、次のプラグインをアクティブ化する必要があります。

- ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp)
- ハードウェア資産ワークスペース (sn_itam_workspace)
- ハードウェア資産管理 for デバイスアズアサービス (com.sn_daas_ham)

DaaS機能の詳細については、「デバイスアズアサービス」を参照してください。

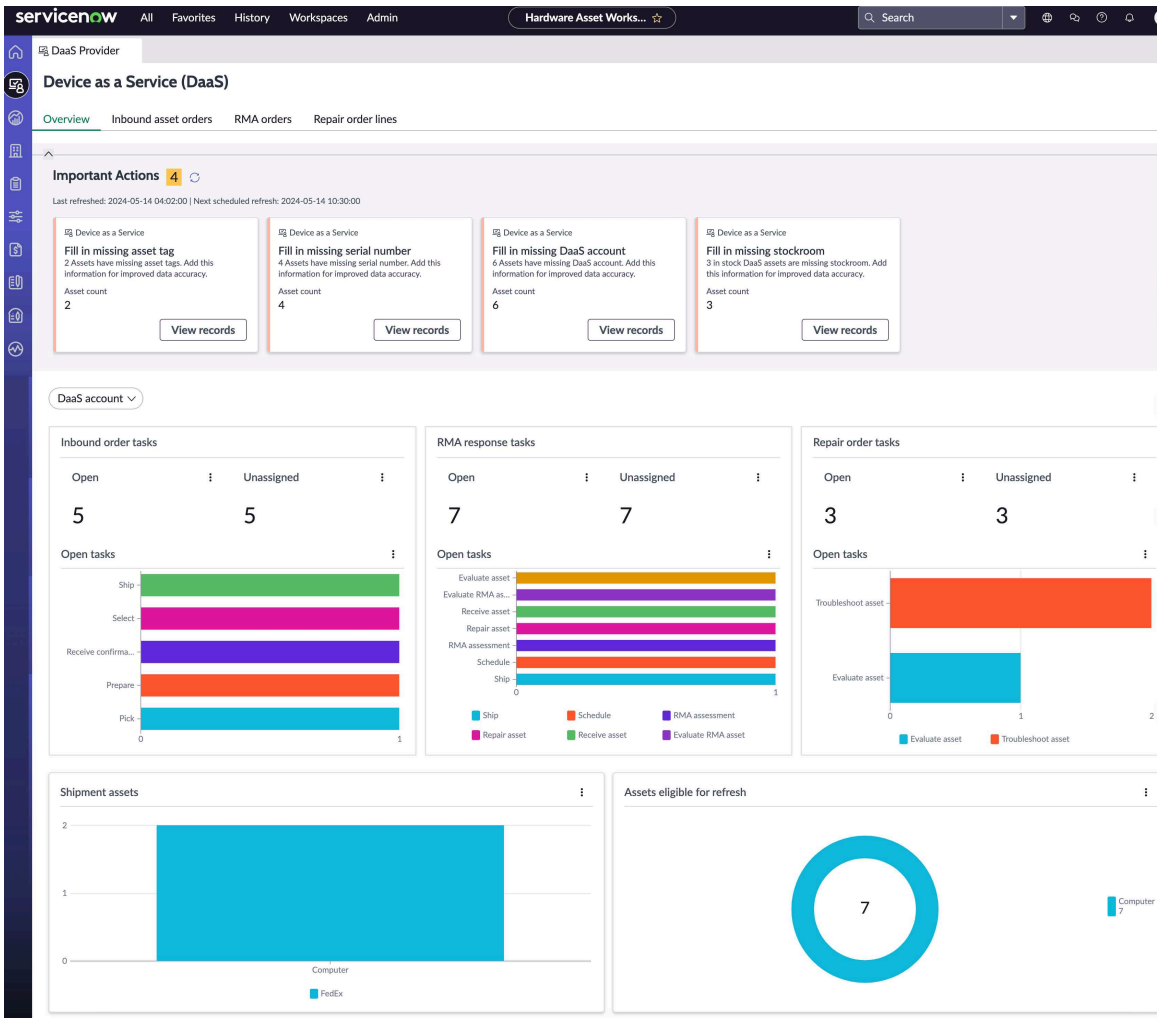
DaaSプロバイダービューを使用して、以下を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- シリアル番号、倉庫、 DaaS 勘定科目が欠落している資産などの不一致に対処します。
- オープンまたは未アサインのタスク、出荷ステータス、更新対象となる資産の数などのレコードを表示する DaaS アカウントを選択します。
- 顧客のDaaS資産の入庫資産注文、RMA 応答注文、および修理注文明細行を作成および管理します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、 DaaS 資産またはアカウント専用としてマークされている資産に対して適切なアクションを実行します。



ウィジェット/チャート	説明
重要なアクション	
未記入の資産タグを入力	資産タグが欠落している資産に対して実行されるアクション。
未記入のシリアル番号を入力	シリアル番号が欠落している資産に対して実行されるアクション。
未記入の DaaS アカウントを入力	DaaSアカウントが欠落している資産に対して実行されるアクション。
未記入の倉庫を入力	倉庫情報が欠落している資産に対して実行されるアクション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット/チャート	説明
DaaS アカウント	データが参照されている DaaS プロバイダーの顧客。
受信注文タスク	• オープンタスク:受信資産注文フローの各ステージのオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:受信資産注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 受信注文フローには、次のステージが含まれています。 • 選択 • 集荷 • 準備 • 配送 • 確認の受領 詳細については、「DaaS資産の受信資産注文の管理」を参照してください。
RMA 応答タスク	• オープンタスク:RMA 応答注文フローの各ステージのオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:RMA 応答注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 RMA 応答注文フローには、次のステージが含まれています。 • 資産の評価 • 出荷のスケジュール • 確認の受領 • 資産の修復 • 更新のスケジュール 詳細については、「DaaS資産の RMA 応答注文の管理」を参照してください。
修復注文タスク	• オープンタスク:修理注文フローの各ステージのオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:修理注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 修理注文フローには、次のステージが含まれています。
出荷資産	RMA 応答注文または受信資産注文フローのオープン出荷タスク。
更新対象となる資産	更新日を過ぎた更新対象資産の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー

ハードウェア資産ワークスペースのインベントリビューを使用して、資産監査や廃棄注文などのインベントリ機能を表示し、インベントリ関連のアクションを実行します。

次のタブを使用して、インベントリ機能を表示し、適切なアクションを実行します。

- 概要:在庫からのオープンなハードウェア要求の数、RMA 要求ライン、オープンな転送注文など、さまざまなインベントリデータを表示します。
- すべてのストックルーム:ストックルームを表示、作成、管理します。
- 資産監査:資産ストックルームおよびオフィスやデータセンターなどの他の場所に対して、スケジュール設定された監査またはブラインド監査を実行します。
- 廃棄注文:ライフサイクルの終わりに達した、または機能しなくなったハードウェア資産または消耗資産の廃棄注文を作成および管理します。
- 貸与資産のオーダー:すべての貸与資産のオーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文: すべての RMA 注文を表示して、適切な操作を実行します。
- **RMA** 品目:すべての RMA 品目を表示し、適切なアクションを実行します。
- 転送注文:転送注文を作成し、既存の転送注文を表示して、適切なアクションを実行します。
- 寄付オーダー:資産寄付オーダーのリストを表示します。
- 修理注文:ストックルームで資産の修理のために送信された修理注文のリストを表示します。修理注文を登録することもできます。

インベントリの資産監査を作成するには、 新しい資産監査 を選択します。詳細については、「インベントリを監査する」を参照してください。

注:
インベントリビューにアクセスするには、資産ロールまたはinventory_adminロールが必要です。

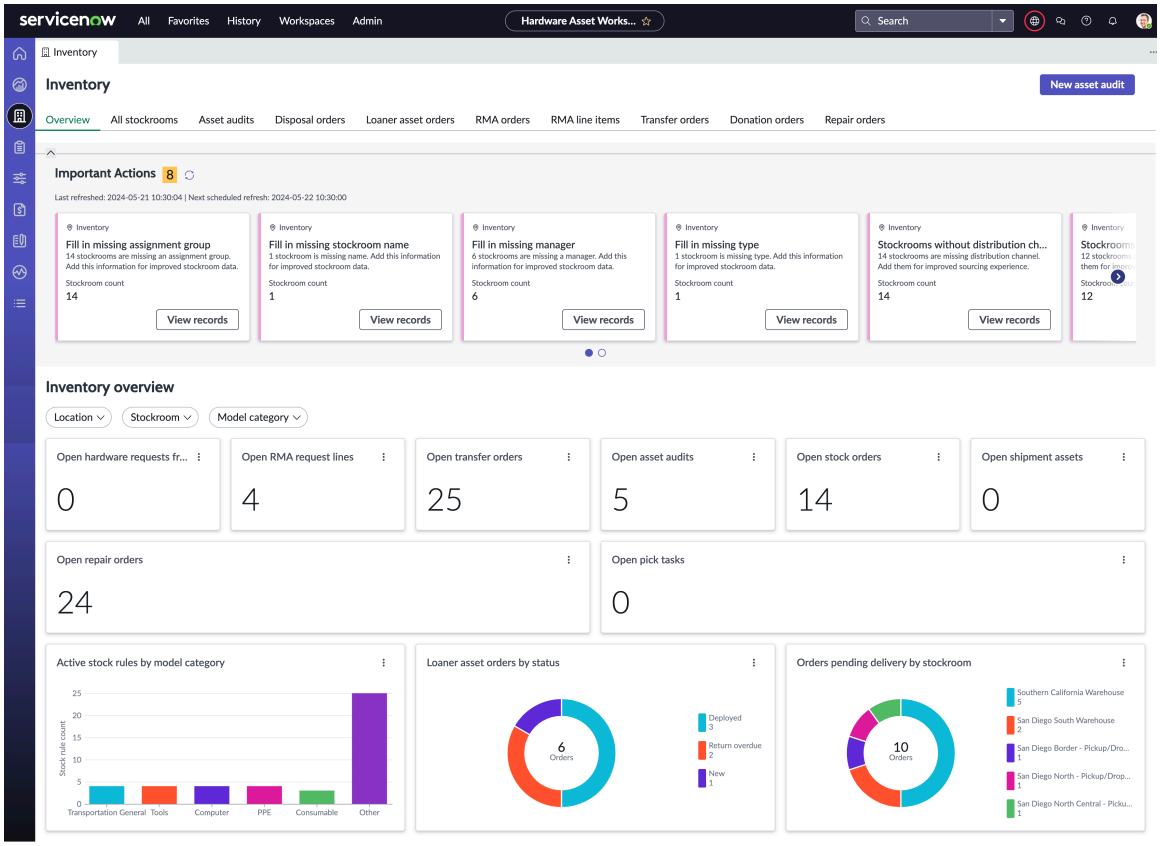
[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなインベントリデータをウィジェットとして統合表示します。また、資産監査や廃棄注文に関する不完全な情報などの不一致に対処するためのリンクを使用して、アクションに関する通知を表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



ウィジェットまたはチャートを選択して詳細を表示し 必要なアクションを実行します。ドメイン、場所、ストックルーム、モデルカテゴリのリストを使用して、結果を絞り込むこともできます。ドメインフィルターは、ドメインセパレーションが有効になっている場合にのみ使用できます。

インベントリの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	既に配送され、今年作成された調達タイプの転送注文の数。
RMA 要求ラインを開く	オープン中の RMA 要求ラインの数。
オープン中の転送注文	キャンセル済みまたは未配送の転送注文の数。
オープン中の資産監査	現在新規または進行中の資産監査の数。
オープン中の在庫注文	不完全またはキャンセルされた在庫注文の数
倉庫別の配送保留中の注文	未受領またはキャンセルされた発注書 (PO) の数。
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。
ステータス別の貸与資産注文	期限切れの返品、展開、新規などのステータス別にグループ化された貸与資産のオーダーの数。

サービスの場所、流通チャネル、および出荷に関連する次の重要なアクションカードを使用して、アクションが必要な品目のリストを表示できます。

自動翻訳

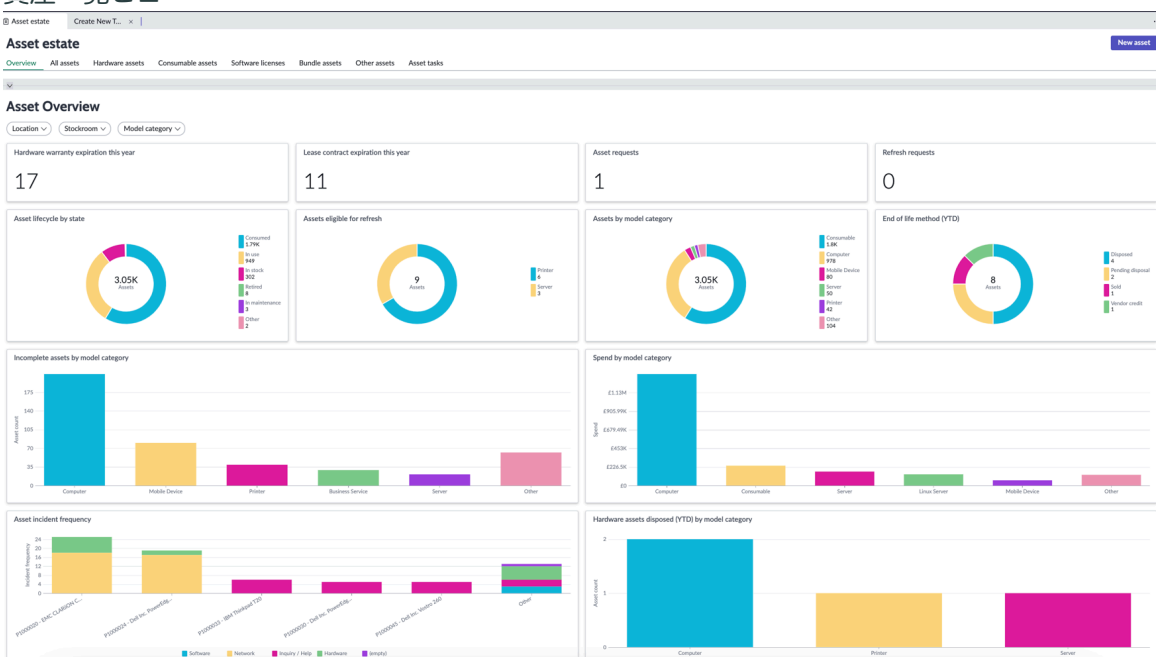
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービスの場所がない倉庫:どのサービスの場所にも関連付けられていない倉庫のリスト。サービスの場所へのサポートの提供から除外されているストックルームは、リストに表示されません。
- 流通チャネルがない倉庫:どの流通チャネルにも関連付けられていない倉庫のリスト。流通チャネルから除外されたストックルームは、リストに表示されません。
- 古い納品プラン: 統合配送業者からの追跡情報で更新されなかった納品のリスト。
- 出荷データの不一致:配送業者ステータスが「配送済み」、ステージが「輸送中」の出荷レコードのリスト。
- 配送業者統合失敗:3 回連続して接続に失敗した統合プロファイルのリスト。
- マッピングされていない配送業者プロファイル:配送業者に関連付けられていない統合プロファイルのリスト。

資産一覧ビュー

ハードウェア資産ワークスペースの資産一覧ビューを使用して、期限切れ間近の資産、期限切れ間近のリース契約などの資産機能と通知を表示し、適切なアクションを実行します。

資産一覧ビュー



注:
[ソフトウェアライセンス] タブは、 ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合は非表示になります。このソフトウェア ライセンス タブは、 ソフトウェア資産ワークスペース で表示できます。

資産の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアおよび消耗資産の数。
今年のリース契約有効期限	今年期限切れになるリース契約モデルの数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
更新要求	更新処理待ちの資産の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクル状況別にグループ化された資産の数。
更新対象となる資産	サポート終了間近で更新の対象となる資産。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバー などのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
提供終了方法 (年初来)	今年の日付までに廃止される資産。
モデルカテゴリ別の不完全資産	発注書番号、発注明細、または受領明細のない資産モデル。
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
資産インシデントの頻度	頻繁にインシデントが報告されている資産です。
モデルカテゴリ別の廃棄されたハードウェア資産 (年初来)	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。

ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産を作成するには、「 新規資産」を選択します。詳細については、「割り当て済み資産を作成する」を参照してください。

資産一覧ビューにレポートをロード

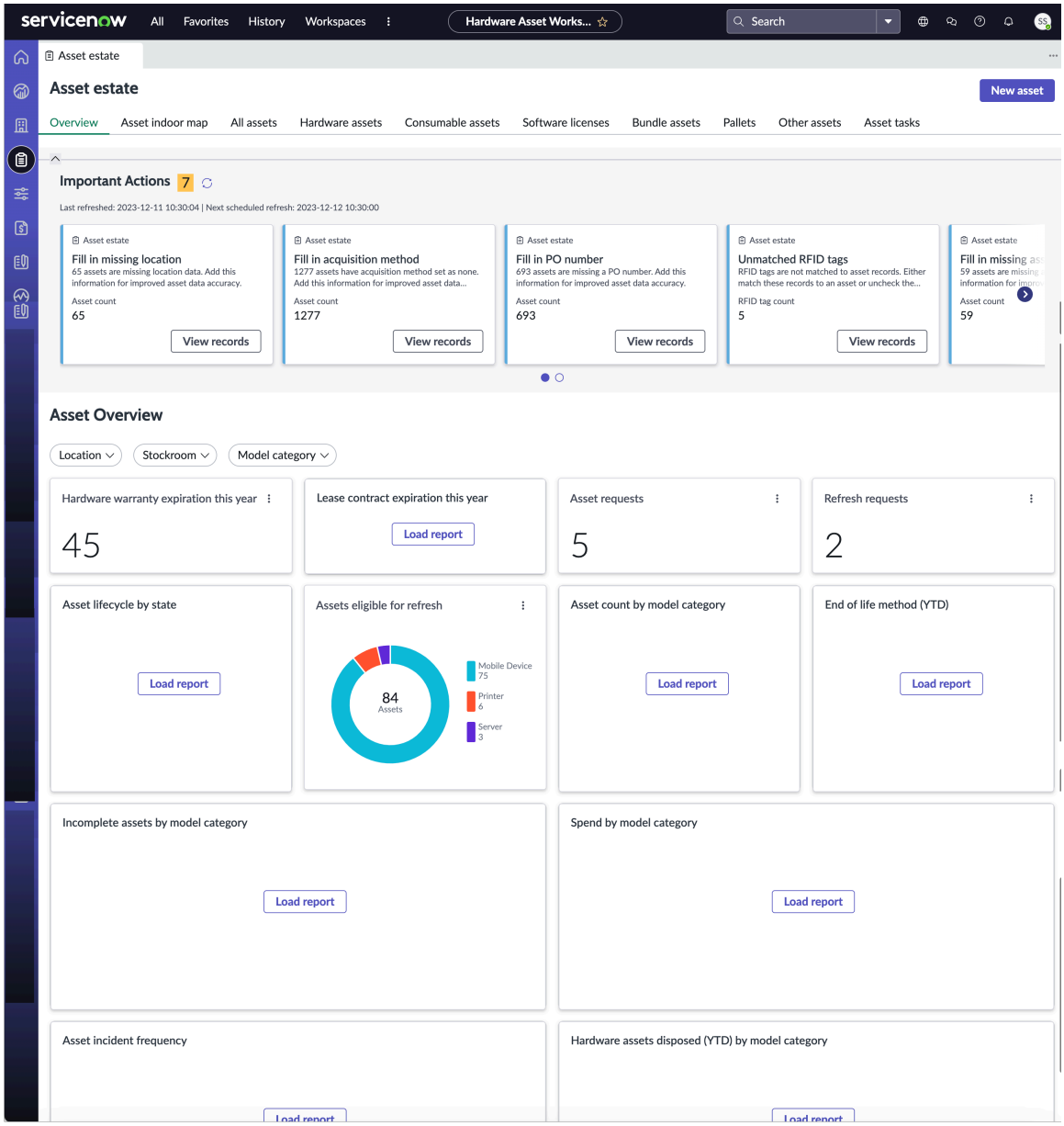
大量の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドで大量の資産レコードをフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。この方法により、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ*sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、レポートをページと同時にロードするオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティを有効にすると、[レポートをロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビューにレポートをロード



モデル管理ビュー

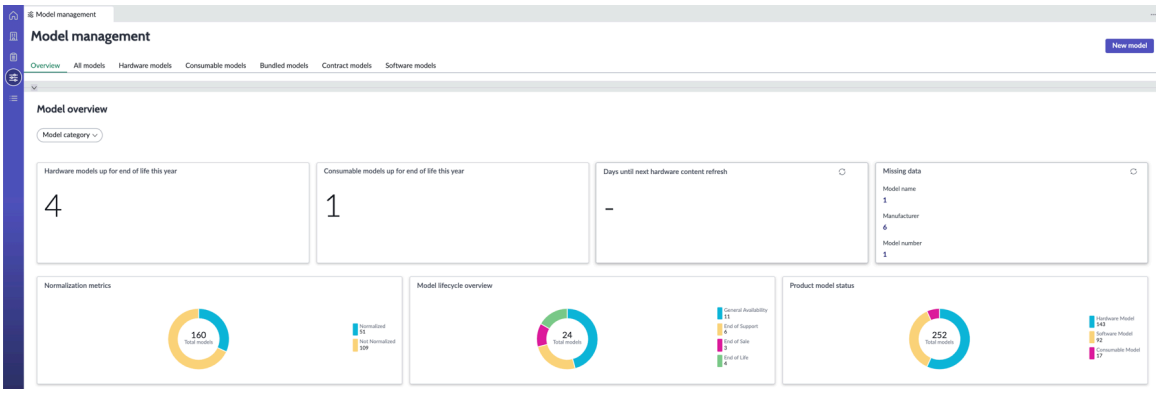
ハードウェア資産ワークスペースのモデル管理ビューを使用して、モデルを作成または編集したり、提供終了間近のハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連機能を表示したり、適切なアクションを実行したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル管理ビュー

[モデル管理] ビューの [次のハードウェアコンテンツ更新までの日数] を除くすべてのレポートは、選択したモデルカテゴリに基づいてフィルタリングされます。



注:
[ソフトウェアモデル] タブは、 ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合は非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

モデルの概要

ウィジェットまたは チャート	説明
今年サポート終了が迫っているハードウェアモデル	サポート終了フェーズの開始日が今年であるハードウェアモデルの数。
今年サポート終了が迫っている消耗品モデル	サポート終了フェーズの開始日が今年である消耗品モデルの数。
次のハードウェアコンテンツ更新までの日数	ハードウェア資産管理によって次のハードウェアコンテンツの更新が実行されるまでの日数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
正規化メトリクス	正規化されたモデルと正規化されなかったモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づいた、ハードウェア、消耗品、ソフトウェアモデルの現在の数。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理

IT Asset Managementコンテンツルックアップポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介して、ハードウェア資産管理コンテンツサービスに保存されているデータを可視化できます。

ハードウェア資産管理 Professional (sn_hamp) をインストールすると、コンテンツルックアップポータルで次の操作を実行できます。

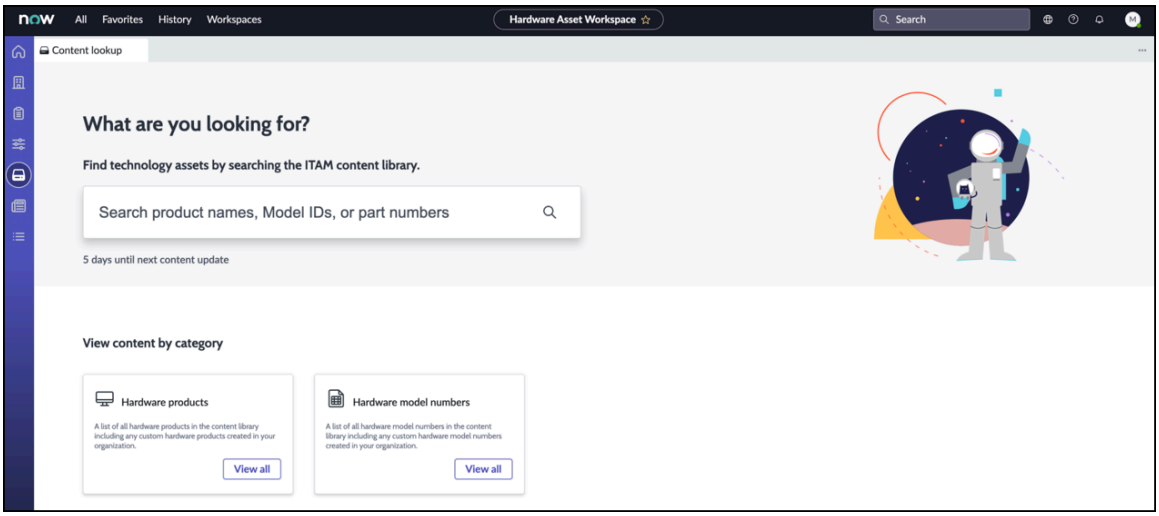
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ハードウェア製品またはモデル番号を検索する
- コンテンツサービスでハードウェア製品とモデル番号のリスト全体を表示する
- 次のコンテンツ更新までの累積残り日数を表示する

コンテンツルックアップのインストールの詳細については、「 ハードウェア資産管理データを表示するためのコンテンツルックアップのインストール」を参照してください。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理



検索バーに条件を入力すると、最も関連性の高い一致を含む検索結果が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、コンテンツサービスの情報は次のテーブルから取得されます。

- ハードウェア製品 [sn_hamp_hw_product]
- ハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_hw_product_model]

条件に一致する検索結果を選択して、コンテンツレコードと関連リストの詳細を表示します。コンテンツレコードページが読み取り専用モードで開きます。

ハードウェア資産管理データを表示するためのコンテンツルックアップのインストール

IT Asset Management コンテンツルックアップ (sn_itam_contlookup) アプリケーションをインストールして、ハードウェア資産管理コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

始める前に

- ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) をインストールします。
- AI 検索 (com.glide.ais) プラグインを有効にします。

必要なロール：asset

このタスクについて

ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインがインストールされている場合は、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスに保存されているデータを表示できます。ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインの両方をインストールしている場合は、 IT Asset Management コンテンツルックアップ (sn_itam_contlookup) アプリケーションで両方のコンテンツデータを表示できます。ソフトウェアやハードウェアなどのコンテンツタイプに基づいて検索結果をフィルタリングすることもできます。ソフトウェア資産管理のコンテンツルックアップポータルのインストールの詳細

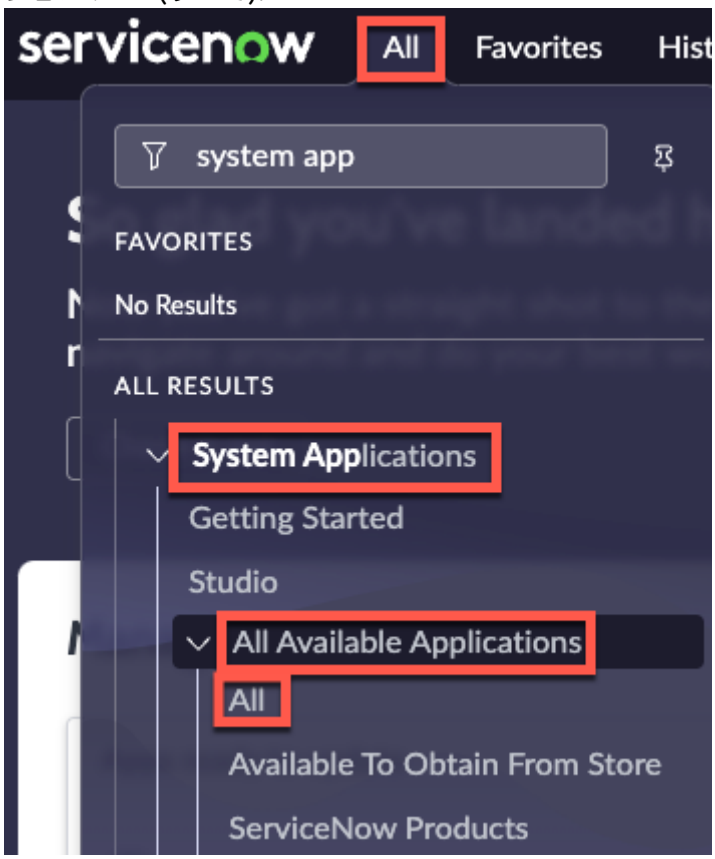
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

については、「ソフトウェア資産管理のコンテンツルックアップポータルのインストール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準、検索バー、および製品タブを使用して、 IT Asset Management コンテンツルックアップ (sn_itam_contlookup) アプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求します。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。
4. [インストール] を選択します。

調達ビュー

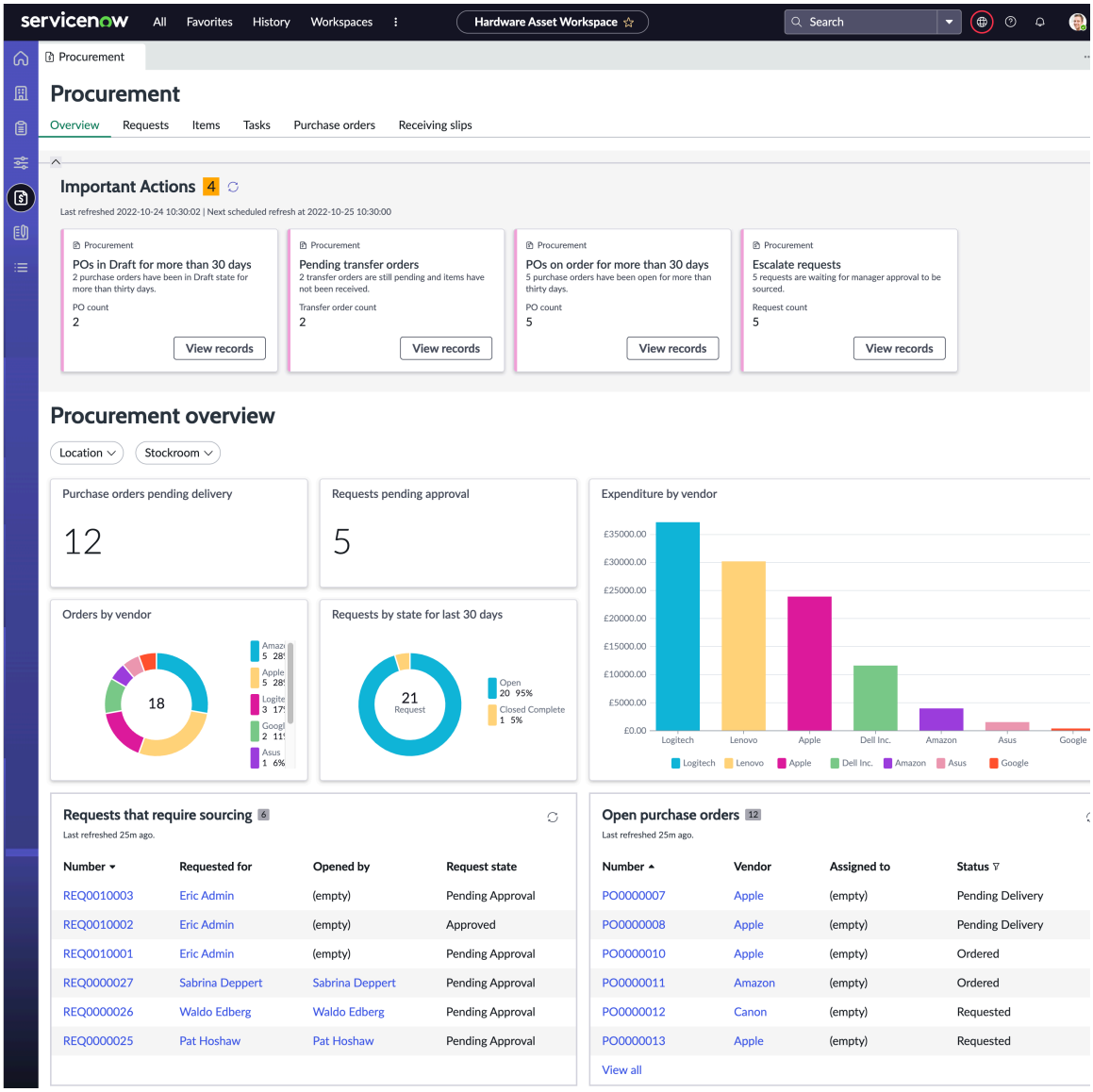
ハードウェア資産ワークスペースの [調達] ビューを使用して、調達要求、発注書、調達タスク、受領伝票などの調達関連の詳細を表示および管理します。

調達ビューでは、未解決の要求、保留中の発注書と転送注文、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達ビュー



ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。場所、ストックルーム、およびドメインフィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (プラグイン com.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にしている場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求の状態が承認待ちである、調達可能でアクティブな要求の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調達の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。
ベンダー別の注文	注文済み、保留中の配送、またはベンダーが受領済みの発注書。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された要求が状態別にグループ化されます。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書	要求済み、注文済み、または未配送の発注書のリスト。

関連情報

調達

契約管理ビュー

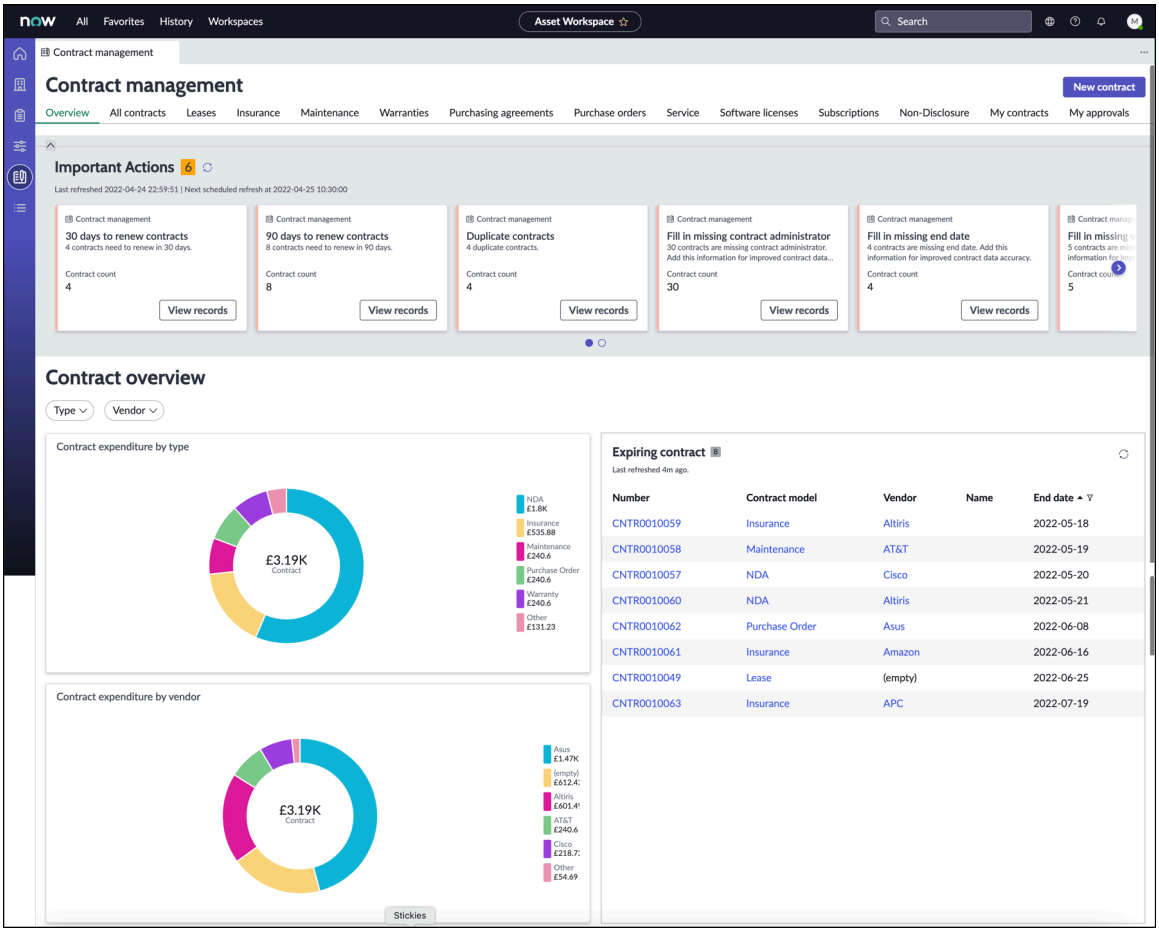
ハードウェア資産ワークスペースの [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件の記述など、契約の詳細を表示および管理します。

[契約管理] ビューには、契約を管理するための重要なアクション、タイプとベンダー別の契約支出、および期限切れが間近の契約のリストが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理ビュー



契約を作成するには、 新しい契約 を選択します。詳細については、「契約を作成する」を参照してください。

関連情報

契約管理

契約更改ワークフロー

での成功ポータルビュー ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペース の成功ポータルビューを使用して、成功目標を含む ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションの進捗状況を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティをアサインし、事前定義された成熟度アイテムで HAM プログラムを成熟させます。

成功ポータルは、次のアクションを実行するのに役立ちます。

- 成功目標を通じて **HAM** アプリケーションの進捗状況を追跡する

  成功目標は、ハードウェア資産から得られる価値を分析し、予測された削減額を計算するのに役立ちます。追跡する資産の成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「 ハードウェア資産管理の成功目標の作成」を参照してください。

- 成功目標の進捗状況の追跡

  目標の成功アクティビティを作成して、目標の達成を追跡します。詳細については、「HAM 成功目標の成功アクティビティを作成する」を参照してください。

- 事前定義済みの成熟度アイテムを使用して **HAM** プログラムを成熟させる

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、実行の各ステージに分類され、組織で HAM アプリケーションの価値を向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標にリンクし、HAM アプリケーションを効率的に使用できます。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。

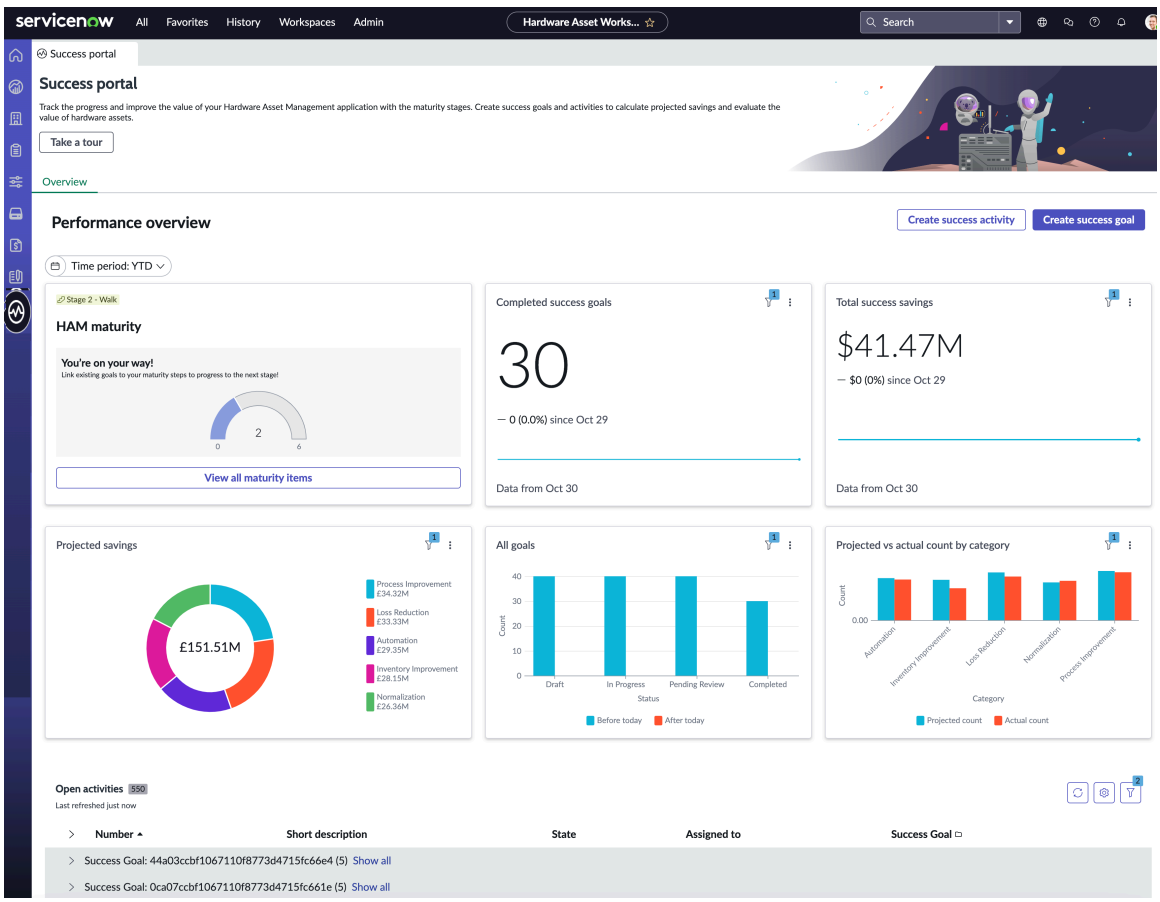
重要:
HAM 成熟度プログラムは、 ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で利用できます。

次の条件が満たされると、メール通知が送信されます。

- 成功目標がグループにアサインされている場合、そのグループに通知が送信されます。
- 成功目標が所有者にアサインされている場合、その所有者に通知が送信されます。
- 成功目標が「Pending Review (レビュー待ち)」としてマークされている場合、所有者に通知が送信されます。
- 成功アクティビティがアサインされている場合、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループに通知が送信されます。

次の場所に移動して、成功ポータルにアクセスします。 ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.

成功ポータルは、[Performance Analytics - Domain Support (パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポート)] プラグイン (com.snc.pa.domain_support) がアクティブ化されている場合にドメインセパレーションをサポートします。ドメイン別にデータをフィルターするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。



結果を絞り込むには、期間でフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Success portal (成功ポータル)] ダッシュボード

ウィジェット	説明
HAM 成熟度	クロール、ウォーク、ランステージなど、HAM プログラム成熟度の現在のステージ。 [すべての成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。
Completed success goals (完了した成功目標)	完了した成功目標の合計数。
Total success savings (達成した合計節減額)	完了した成功目標による実際の節減額。
Projected savings (予測された節減額)	成功目標から予測される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
All goals (すべての目標)	次のいずれかのステータスで成功目標の完全なリスト: • ドラフト • In Progress (処理中) • Pending Review (レビュー待ち)
カテゴリ別の予測数と実際の数	予測された成功目標と実際の成功目標の比較は、ステータスが [ドラフト]、[処理中]、または [レビュー待ち] の場合にカウントされます。
アクティビティを開く	オープン状態の成功目標アクティビティ。

重要:
[HAM 成熟度]、[成功した削減の合計]、**[**予測された削減]、および [すべての目標] フィールドは、ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で使用できます。

資産運用ビュー

ハードウェア資産ワークスペースの資産運用ビューを使用して、在庫ルール、在庫注文、調達調達要求、すべての契約更改要求、契約更改品目、カスタム製品、カスタムモデルなどの資産運用関連の機能を表示し、適切なアクションを実行します。

資産運用ビューには、次のリストが含まれています。

- インベントリ
  - ストックルームタイプ:ストックルームのタイプを表示します。詳細については、「新規のストックルーム タイプを作成する」を参照してください。
  - 在庫ルール:ストックルームに関連付けられた在庫ルールを表示します。詳細については、「在庫ルールを作成する」を参照してください。
  - 在庫注文:在庫に関連付けられた在庫注文を表示します。
- 出荷

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

  - 出荷:さまざまなソースまたはフローからの出荷を表示および追跡します。詳細については、「ハードウェア資産の出荷詳細の表示」を参照してください。
  - 出荷資産:出荷に含まれる資産のリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産の出荷詳細の表示」を参照してください。
  - 配送業者:配送業者のリストを作成および表示します。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。
  - 配送業者統合プロファイル:出荷配送業者に関連付けられている配送業者統合プロファイルのリストを表示します。詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。
- 調達要求:調達要求を表示および追跡します。詳細については、「サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。
- ハードウェア資産正規化
  - カスタム製品: 資産管理 コンテンツサービスに表示されていないカスタム製品の詳細を表示します。詳細については、「カスタム製品を追加」を参照してください。
  - カスタムモデル:カスタムモデルの詳細を表示します。詳細については、「ハードウェアまたは消耗品モデルの作成」を参照してください。
  - 計算済みライフサイクルテンプレート:ハードウェアと消耗品モデルに適用できるライフサイクルテンプレートと式を表示および作成します。詳細については、「計算済みライフサイクルテンプレートを使用したハードウェアモデルのライフサイクルの管理」を参照してください。
- 契約更新
  - すべての契約更改要求:すべての契約更改要求の詳細を表示します。
  - 契約更新品目:契約更新要求に関連付けられているすべての品目の詳細を表示します。

  詳細については、「契約更改ワークフロー」を参照してください。
- TCO 構成
  - タスクレートカード:タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義し、作成されたタスクレートカードの詳細を表示します。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
  - 賃金レートカード:タスクの作業時間を記録し、レートをタスクに関連付けて、作成された賃金レートカードの詳細を表示します。詳細については、「での賃金レードカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
- ゼロタッチ
  - 資産要求:ゼロタッチ要求フローを通じて送信された従業員のハードウェア資産要求のリストを表示します。詳細については、「ゼロタッチ要求フローを使用したハードウェア資産要求の管理」を参照してください。
  - プロバイダー統合プロファイル:プロバイダー統合プロファイルを作成して、プロバイダーからのスクラッチパッドの更新をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換します。詳細については、「プロバイダー統合プロファイルの作成」を参照してください。
- ゼロタッチでリフレッシュ
  - 要求:従業員のゼロタッチでリフレッシュ要求のリストを表示します。詳細については、「ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理」を参照してください。
  - リフレッシュモデル:構成された置換モデルでリフレッシュモデルのリストを作成して表示します。詳細については、「リフレッシュモデルの代替モデルの構成」を参照してください。
- 証明書

自動翻訳

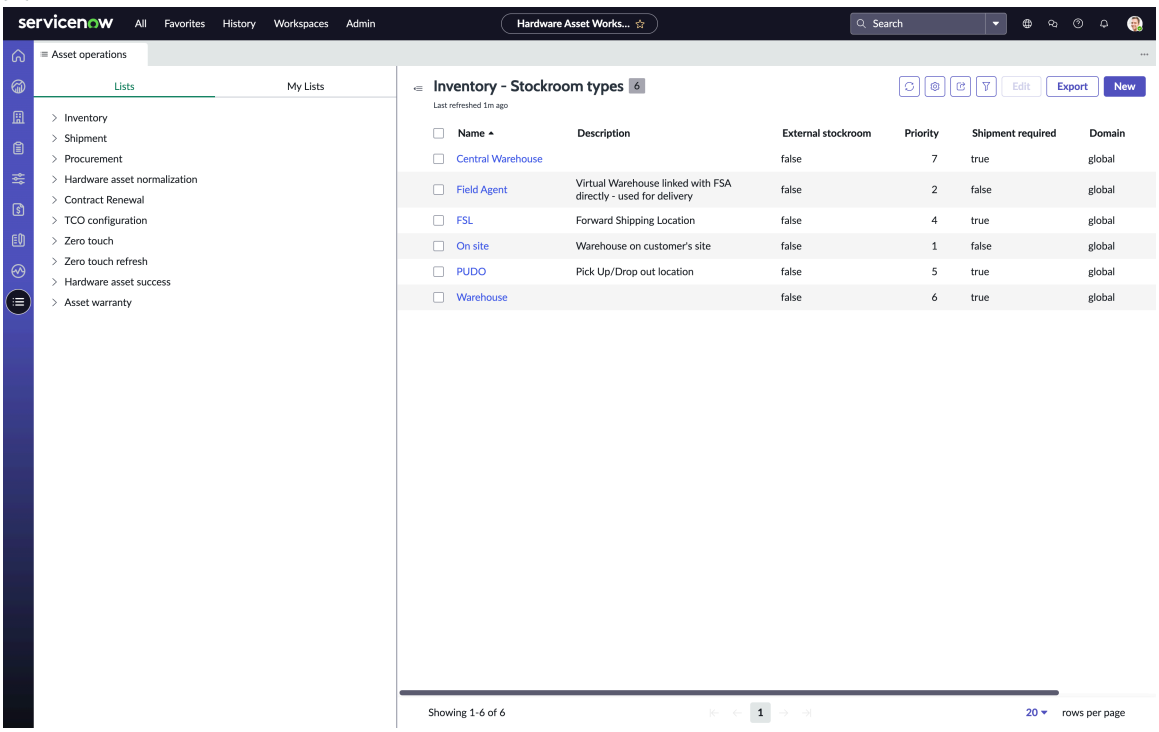
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 証明書:資産証明書要求のリストを表示します。詳細については、「インベントリビューでの資産証明書の作成」を参照してください。
- スケジュール:繰り返しの証明書要求を作成する証明書スケジュールのリストを表示します。詳細については、「証明書スケジュールのキャンセル」を参照してください。

- ハードウェア資産成功
  - 成功目標:ハードウェア資産管理の成功目標を作成し、作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産管理の成功目標の作成」を参照してください。
  - 成功アクティビティ:ハードウェア資産管理の成功アクティビティを作成し、作成された成功アクティビティのリストを表示します。詳細については、「HAM 成功目標の成功アクティビティを作成する」を参照してください。
  - 成功カテゴリ:成功目標のカテゴリを作成し、カテゴリのリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。
  - ハードウェアの成熟度:ハードウェア資産の成功を促進するのに役立つアイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。
- 資産保証: Lenovo ハードウェア資産の保証の詳細を表示します。詳細については、「Lenovo資産の保証の詳細を追跡する」を参照してください。

[自分のリスト] タブからカスタムリストビューを作成して、簡単にアクセスすることもできます。

資産運用



関連情報

- インベントリビュー
- 要求アイテムソース
- ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 のモバイル版アプリ

ServiceNow Mobile アプリおよび ServiceNow Agent アプリを使用して資産を管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow エージェントアプリ

ServiceNow エージェントアプリを使用して、資産の作成、資産の検索、および発注書からの資産の受領を行います。

資産の作成

ServiceNow エージェントアプリを使用して、資産をスキャンして資産レコードを作成します。

始める前に
ServiceNow エージェント アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

必要なロール：asset

ServiceNow エージェント アプリで調達機能を取得するには、調達 プラグイン (com.snc.procurement) をインストールする必要があります。

自動翻訳

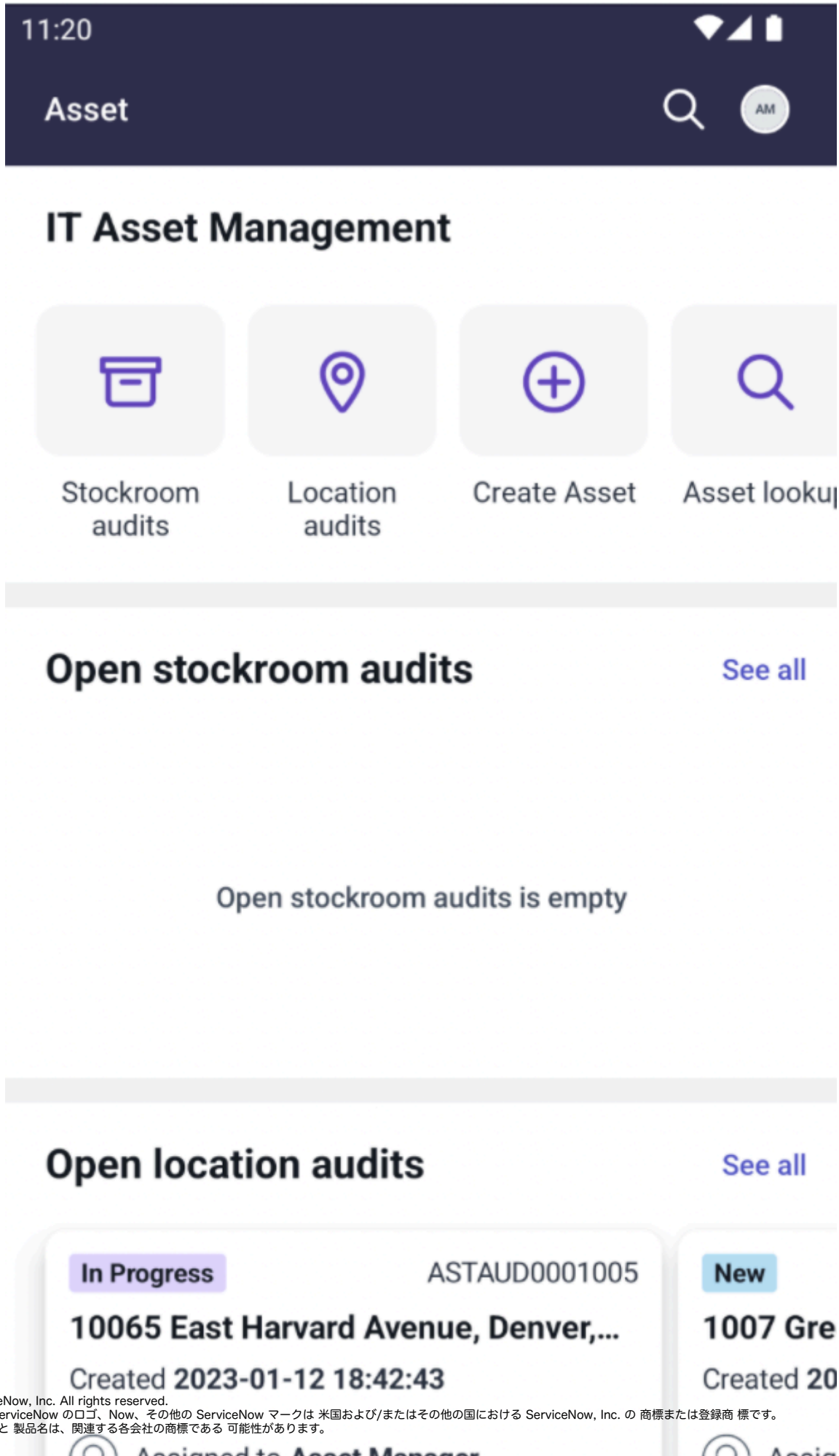
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [資産] に移動し、[資産を作成] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 資産のシリアル番号または資産タグをスキャンし、[検索] をタップします。
   資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。この情報は、資産レコードが重複して作成されないようにするためです。
3. オプション: 既存の資産を更新するには、資産を選択して [資産を更新] をタップします。
4. 既存の資産レコードが見つからない場合は、右上のアクションアイコンをタップし、[資産を作成] を選択します。
5. [資産管理番号]、[シリアル番号]、[モデル] (ソフトウェア以外)、[倉庫]、[ステータス]、[サブステート] フィールドの値をスキャンまたは入力します。
6. [送信] をタップして資産を作成します。

資産ルックアップ

資産をスキャンして、ServiceNow インスタンス内の資産レコードを検索します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. [資産] に移動し、[資産ルックアップ] をタップします。
2. 資産管理番号をスキャンし、[検索] をタップします。
3. 資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。
   既存の資産を選択して更新するか、それに関連するインシデントを作成することができます。

発注書からの資産の受領

注文からすべての資産を受領したことを確認するために、発注書 (PO) から資産をスキャンします。

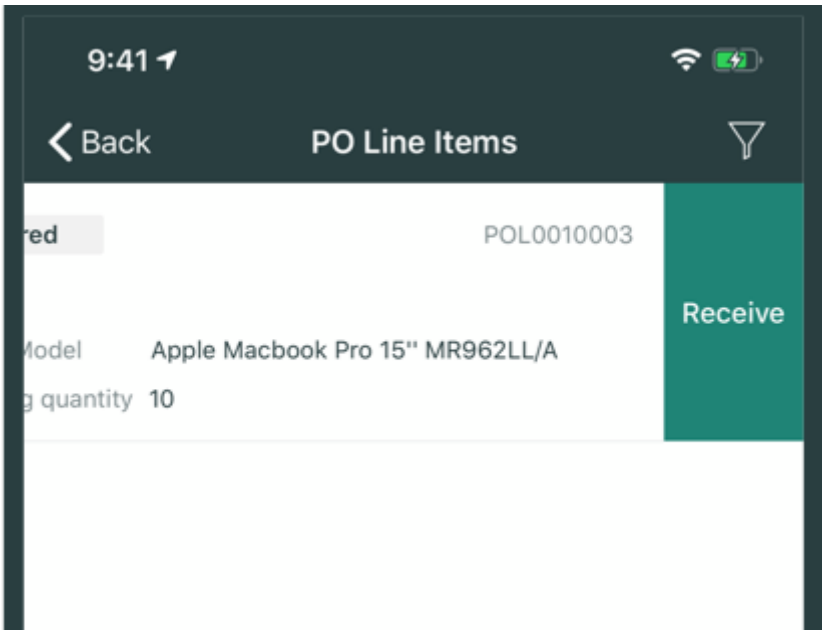
始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [調達] に移動し、[次の **30** 日間の **PO**] をタップします。
2. 発注書を選択します。
3. [関連リスト] をタップします。
4. 注文した [**PO** 明細] 資産をタップし、[受領] をスワイプして資産を受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 単一の購入品のみを受領するだけでよい場合、[受領] フォームで資産タグまたはシリアル番号のいずれかの QR コードをスキャンします。
6. 複数の購入品を受領する必要がある場合、すべての購入品をスキャンするまで、[受領] フォームで [次のアイテムをスキャン] をタップします。
7. [送信] をタップします。

タスクの結果
発注書 (PO) が受領済みとしてマークされます。

資産を検証して廃棄のために切り離す

ServiceNow エージェント アプリを使用して、資産をスキャン、検証し、廃棄のために切り離します。

始める前に
ServiceNow エージェント アプリを使用して資産を検証するには、廃棄注文がハードウェア資産管理インスタンスに存在することを確認します。

必要なロール：asset

このタスクについて
資産の廃棄注文が開始された後、 ServiceNow エージェント アプリを使用して資産をスキャン、検証、および切り離します。資産を手動で検証して切り離す必要はありません。

アプリでは、オフラインでも同じ機能を使用できます。詳細については、「 オフラインモード 」を参照してください。

手順

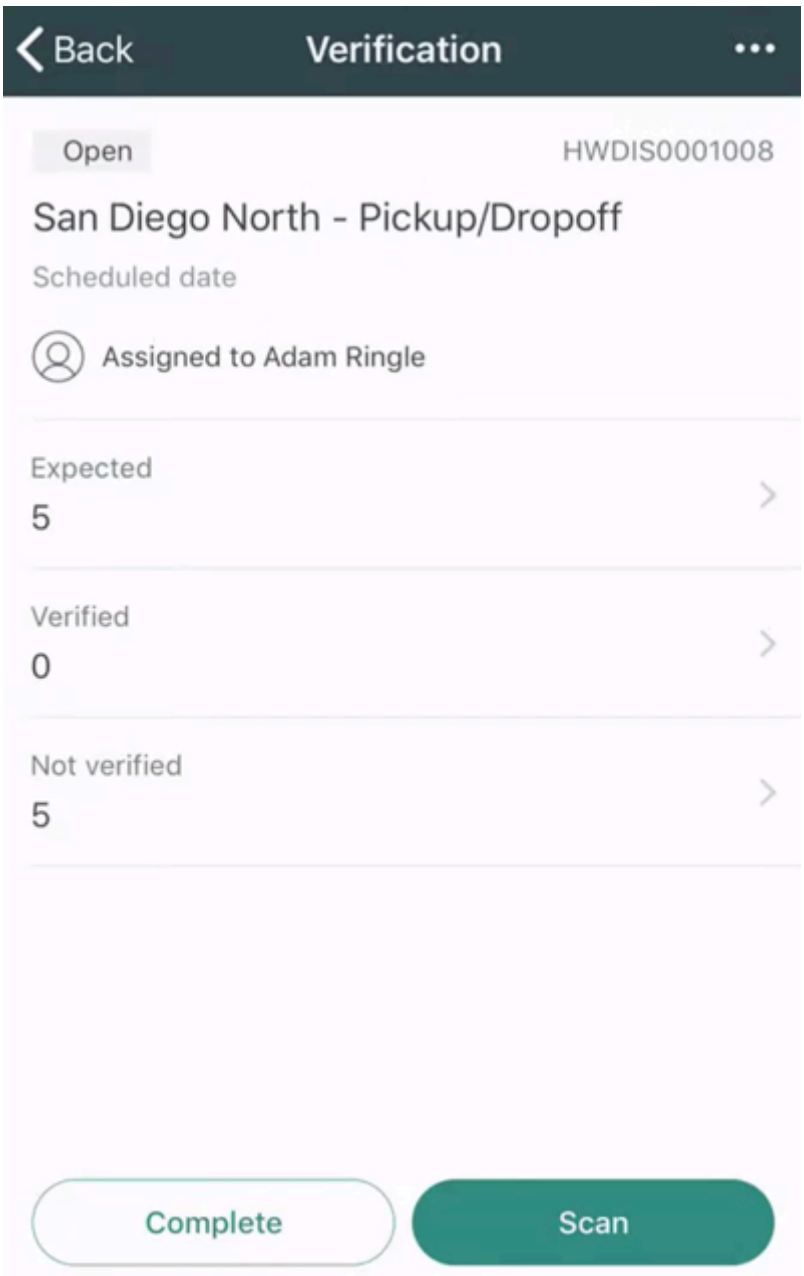
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > 資産廃棄.
   [検証] タブには検証タスクのリストが表示され、[出発] タブには出発タスクのリストが表示されます。これらのタスクは、廃棄のために特定の資産の場所に存在する資産用です。
2. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして検証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 検証タスクを左にスワイプします。
- 確認タスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。

複数の資産をまとめてスキャンできます。検証タスクを開くと、検証タスクに、検証済み、未検証、または検証予定の資産の数が表示されます。[予定]、[検証済み]、または [未検証] をクリックして、それぞれのタイプの資産を表示します。

期待される資産、検証済みの資産、検証されていない資産を表示する [検証] タブの例を次に示します。



3. タップ レビュー > 送信.
   ポップアップメッセージが表示され、スキャンされた資産の検証が成功したことが示されます。検証済み資産と未検証資産のリストが更新されます。
4. すべての資産をスキャンしたら、[完了] をタップして検証タスクを閉じます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキャン対象の資産がまだ残っている場合に [完了] をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。

5. ハードウェア資産管理インスタンスを使用して、ベンダーの詳細と予定日を入力します。
「廃棄注文の作成」を参照してください。
ハードウェア資産管理インスタンスからベンダーの詳細を入力して [集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、[切り離し] タブに処理する切り離しタスクのリストが表示されます。
6. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして切り離します。
   - 切り離しタスクを左にスワイプします。
   - 切り離しタスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。
   複数の資産をまとめてスキャンできます。切り離しタスクを開くと、切り離された資産、切り離されていない資産、または切り離しが予定されている資産の数が切り離しタスクに表示されます。[予定]、[切り離し済み]、または [切り離されていません] をクリックして、それぞれのタイプの資産を表示します。
7. タップ レビュー > 送信.
ポップアップウィンドウが表示され、スキャンされた資産の正常な出発が表示されます。切り離された資産と切り離されていない資産のリストが更新されます。
8. すべての資産をスキャンしたら、[完了] をタップして切り離しタスクをクローズします。
スキャン対象の資産がまだ残っている場合に [完了] をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。

Now Mobile アプリ

Now Mobile アプリを使用して、自分にアサインされた資産の表示、資産に関する問題の報告、新しい資産のリモートでの受け取りが可能です。インシデントを作成し、資産に関する問題を IT 部門に報告します。

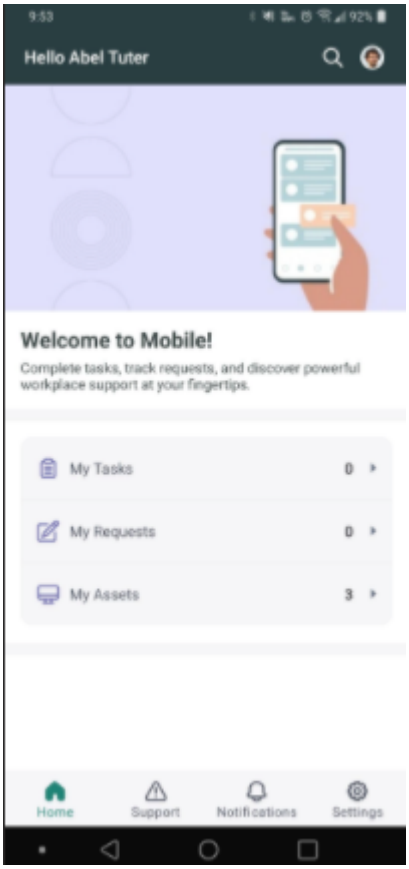
Now Mobile アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

Now Mobile アプリは、タスクと要求に対してさまざまなサービスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Mobile アプリ



自分に割り当てられているすべての資産を表示するには、次に移動します: 自分のアイテム > 自分の資産 > **Hardware** (ハードウェア). このタブには、[ステータス (State)] フィールドが [輸送中] または [使用中] に設定され、[サブステータス (Sub-state)] が [予約済み] に設定され、[予約先 (Reserved to)] フィールドが自分の名前に設定されている資産が表示されます。使用中の資産のインシデントを作成できます。

社外にいるときに、輸送中の資産をリモートで受け取ることができます。資産を受領したことを IT 部門に自動的に通知できるように、資産タグの QR コードをスキャンします。

資産管理エグゼクティブダッシュボード

資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用すると、単一のダッシュボードでハードウェア資産管理、ソフトウェア資産管理、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI を可視化できます。

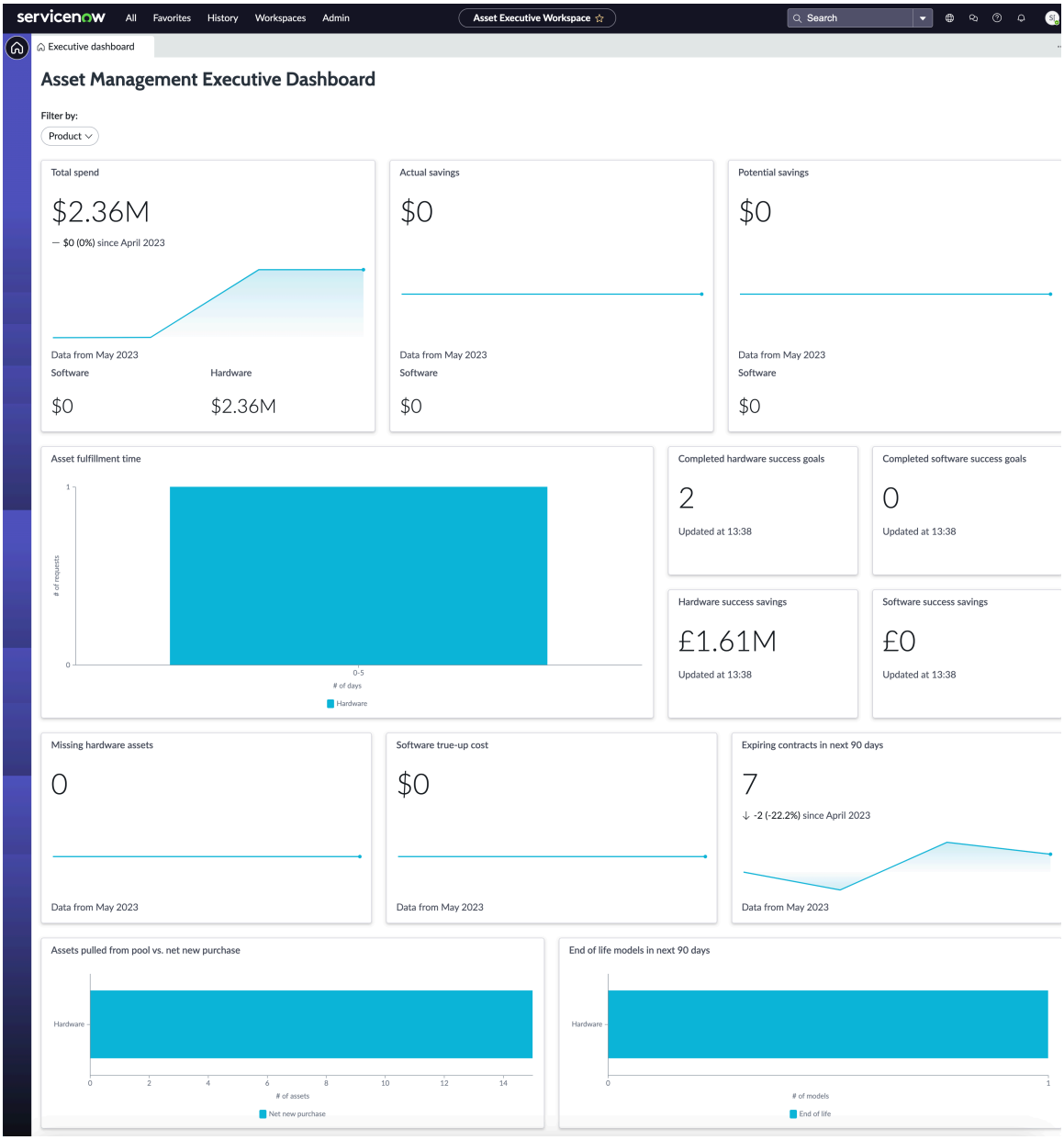
資産管理エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNowインスタンスにソフトウェア資産管理またはハードウェア資産管理が必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、次に移動します: 資産エグゼクティブワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボード



ダッシュボードの結果を製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターはすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、次のいずれかの数字が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン (com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table* は毎日実行され、ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]。	ステータスが「在庫あり」、「使用中」、「メンテナンス中」、または「輸送中」であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]。	すべてのクラウドリソースのアクティブなコストの合計。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
節減実績	すべての製品の年間合計節減額。この値は、クローズ済みの完了した再利用候補からの合計節減額として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。	該当なし	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic (ステータス = 完了)。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。	該当なし	クラウドのサイズの適正化、クラウドの不使用マシン、クラウド予約、およびクラウド営業時間の月次ベースでの見込み節減の合計。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
			• クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用の推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	該当なし
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理 アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。 **注:** このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	該当なし	該当なし
ハードウェア成功目標が完了しました	該当なし	ハードウェア資産管理 アプリケーショ	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
		ンで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	該当なし	該当なし
ハードウェアの成功削減	該当なし	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal]	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
		注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	
行方不明のハードウェア資産	該当なし	欠落、紛失、盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル:不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	該当なし
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品の結果 [samp_product_result]。	該当なし	該当なし
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が一緒に表示されます。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理とハードウェア資産管理の両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
プールから取得した資産と正味新規購入	インベントリから履行されているソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 **注:** このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、調達 (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスでアクティブ化されていることを確認します。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから履行されているハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから使用された資産の数と、発注書を介して調達される新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内にサポート終了になるソフトウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]。	今後 90 日以内にサポート終了になるハードウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	該当なし

持続可能な IT ダッシュボード

持続可能な ITダッシュボードは、IT 資産の環境への影響を追跡するのに役立ち、組織のハードウェア資産の持続可能性への影響を簡単に測定するためのさまざまな情報が表示されます。

持続可能な ITダッシュボードを表示するには、持続可能な ITプラグイン (sn_esg_sustain) をインストールする必要があります。持続可能な IT プラグインのアクティブ化の詳細については、「Activate the Sustainable IT plugin」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の 持続可能な IT ダッシュボードデータの詳細については、「 Sustainable IT dashboard 」を参照してください。

ハードウェア資産管理 のアナリティクスおよびレポート作成ソリューション

この プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注:
ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化 」を参照してください。

このアナリティクスおよびレポートソリューションを使用するには、 ハードウェア資産管理 でパフォーマンスアナリティクスを使用する資格が必要です。パフォーマンスアナリティクスのエンタイトルメントの詳細については、次を参照してください。パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

この標準提供のパフォーマンスアナリティクスソリューションは、 ServiceNow Store から入手できます。このソリューションを有効にするには、アドミンは システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索.ServiceNow Storeのランディングページが開いたら、「 ハードウェア資産管理 」を検索します。ソリューションが見つかったら、ストアの指示に従ってください。ServiceNow Store には、独自のドキュメントが用意されています。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクス ソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、ドメインセパレーションが有効になっている場合のみ効果があります。

パフォーマンスアナリティクス のダッシュボード ハードウェア資産管理

重要:
コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードにアクセスできるのは、以前のリリースから Xanadu にアップグレードした場合のみです。Xanadu リリース以降、ハードウェア資産管理 の新しいユーザーはコア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードを使用できません。

ハードウェア資産管理で利用可能なパフォーマンスアナリティクスダッシュボードは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ハードウェア資産ダッシュボード
- ハードウェア正規化ダッシュボード
- 自分の資産
- 調達の概要
- 資産契約の概要
- 資産の概要

Xanadu リリース以降、コア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードに関する次の点に注意してください。

- [調達の概要] と [資産契約の概要] モジュールのリンクは ハードウェア資産ワークスペース にリダイレクトされます。
- 資産の概要ダッシュボードと自分の資産 コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの次のネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードバージョンを使用できます。
  - アナリティクスの概要:このダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します 資産 > アナリティクス概要.
  - 自分の資産アナリティクス:このダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。セルフサービス > 自分の資産のアナリティクス.

注:
Xanadu にアップグレードすると、コア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとハードウェア資産管理 のネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードの両方を表示できます。コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードをネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードに移行する際、ダッシュボードの重複を避けるために、自動移行はデフォルトで無効になっています。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

ハードウェア資産ダッシュボード

ハードウェア資産ダッシュボードで、資産のライフサイクル全体にわたるハードウェア、消耗品モデル、および資産の主要なメトリクスを表示します。

重要:
ハードウェア資産ダッシュボードにアクセスできるのは、以前のリリースから Xanadu にアップグレードした場合のみです。Xanadu リリース以降、ハードウェア資産管理 の新規ユーザーはハードウェア資産ダッシュボードを使用できません。

ハードウェア資産ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 資産 > ハードウェア資産ダッシュボード.

ハードウェア資産ダッシュボードのすべてのタブの結果はリアルタイムで更新されます。ライフサイクルの概要セクションにデータを表示するレポートのみが、スケジュール済みジョブに基づいて毎日更新されます。チャートを PNG または JPEG 形式で保存して、ローカルで共有または表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	メリット
資産マネージャーは、資産のライフサイクル全体を通じてデータのパターンを把握する必要があります。	資産	調達ニーズ、インベントリ、提供終了ステータスなどの資産に関する重要なインサイトを提供するレポートを表示します。また、ハードウェアモデルと消耗品モデルの正規化ステータスとライフサイクルの概要を表示することもできます。

[資産の健全性] タブ

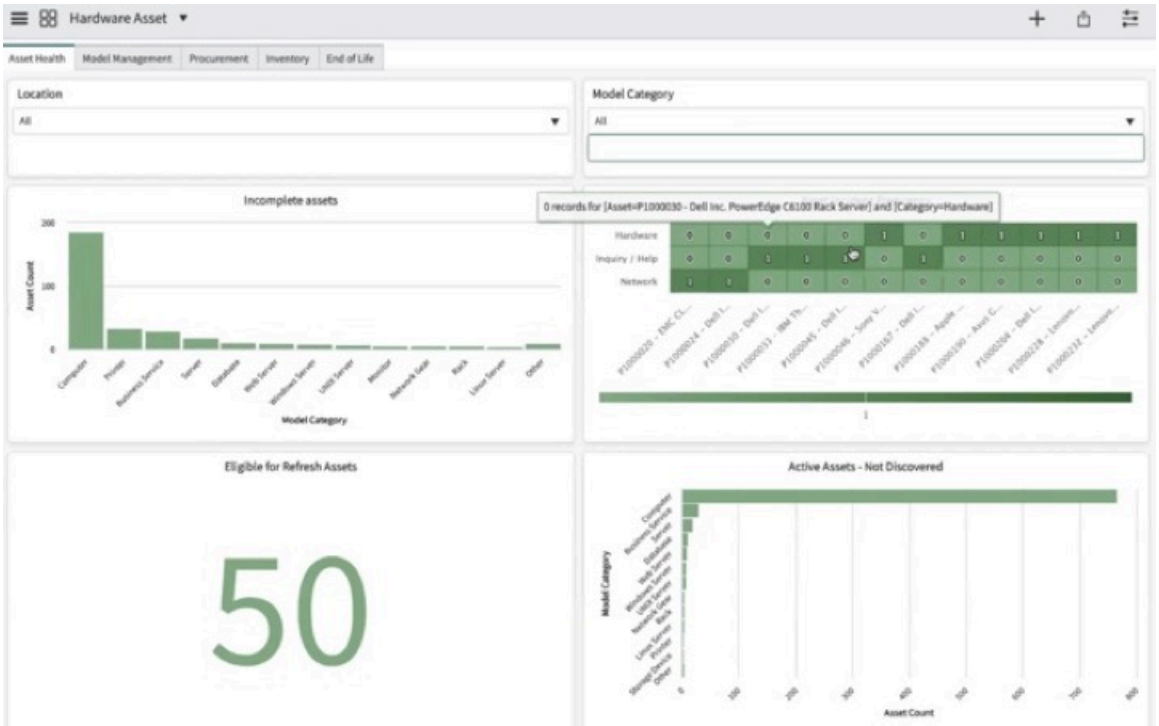
このタブには、購入情報が欠落している、欠落している 1 か月以上検出されていない、廃止が予定されている、またはほとんどのインシデントが報告されているハードウェアと消耗品モデルの概要が表示されます。場所とモデルカテゴリのフィルターを使用して、特定の場所とモデルの資産健全性レポートをそれぞれ表示します。

レポート	ソーステーブル	説明
Incomplete Assets (不完全な資産)	資産 [alm_asset]	発注書番号、発注明細、または受領明細のない資産モデル。
リフレッシュ対象資産	ハードウェア [alm_hardware]	サポート終了間近で、更新の対象となる資産。
資産インシデントの頻度	Incident (インシデント) [incident]	頻繁にインシデントが報告されている資産です。
アクティブな資産 - 未検出	資産 [alm_asset]	まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産の健全性] タブ



[モデル管理] タブ

このタブには、提供終了間近のハードウェアと消耗品モデルの概要が表示されます。また、コンテンツサービスライブラリの正規化ステータス、ライフサイクルの概要、および情報を表示することもできます。月次、四半期ごと、または年ごとに提供終了ステータスを表示することで、モデルを効果的に管理できます。

レポート	ソーステーブル	説明
提供終了が迫っているハードウェアモデル	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	ハードウェアモデルのサポート終了の初期フェーズ。サポート終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。 **注:** アクティブで、モデルステータスが本番環境で、ライフサイクルタイプがパブリッシャーであるハードウェアモデルのライフサイクルレコードのみが、 今月、 今四半期、または 今年に表示されます。
正規化ステータス	ハードウェア製品モデル [cmdb_hardware_product_model]	すべてのハードウェアモデルの正規化ステータス。正規化されたハードウェアモデルと正規化されなかったモデルの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

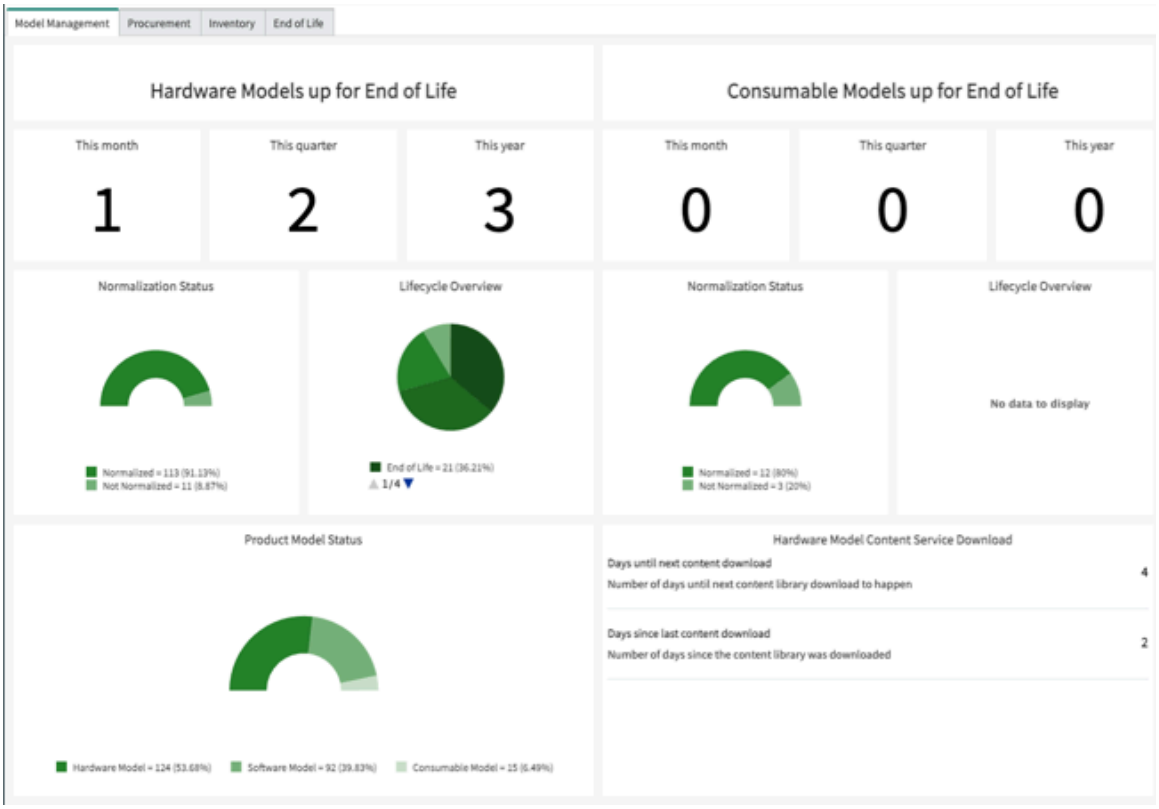
レポート	ソーステーブル	説明
		さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス (手動で正規化済み、正規化されたメーカー、または一部正規化済み) を表示できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス (新規および一致項目は見つかりませんでした) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージに存在するハードウェアモデルの数 (一般提供、サポート終了、延長サポート終了、および販売終了)。
製品寿命が迫っている消耗品モデル	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	消耗品モデルのサポート終了の開始フェーズ。サポート終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。 **注:** 現在アクティブで、モデルステータスが本番環境で、ライフサイクルタイプがパブリッシャーである消耗品モデルのライフサイクルレコードのみが、 今月、 今四半期、または 今年に表示されます。
正規化ステータス	消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	すべての消耗品モデルの標準化ステータス。正規化された消耗品モデルと正規化されなかった消耗品モデルの数を表示できます。 さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス (手動で正規化済み、正規化されたメーカー、または一部正規化済み) を表示できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス (新規および一致項目は見つかりませんでした) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージに存在する消耗品モデル (一般提

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		供、サポート終了、延長サポート終了、販売終了)。
製品モデルのステータス	製品モデル [cmdb_モデル]	モデルのステータスに基づいた、ハードウェア、消耗品、ソフトウェアモデルの現在の数。モデルをドリルダウンして、そのモデルのステータスを表示します。たとえば、チャート上のハードウェアモデルをクリックすると、すべてのハードウェアモデルのステータス ([本番中]、[廃止済み]、または [販売済み]) が表示されます。
ハードウェアモデルコンテンツサービスのダウンロード	CDS テーブル [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの日数と、次のダウンロードが行われるまでの残り日数。

[モデル管理] タブ



[調達] タブ

このタブには、世界中に配送が保留中のハードウェア資産の発注書 (PO) が表示されます。まだ調達されていない発注書 (PO) と、仕入先ごとの発注書 (PO) のコストに関する情報を表示することもできます。このタブでは、場所と年で結果をフィルタリングできます。

自動翻訳

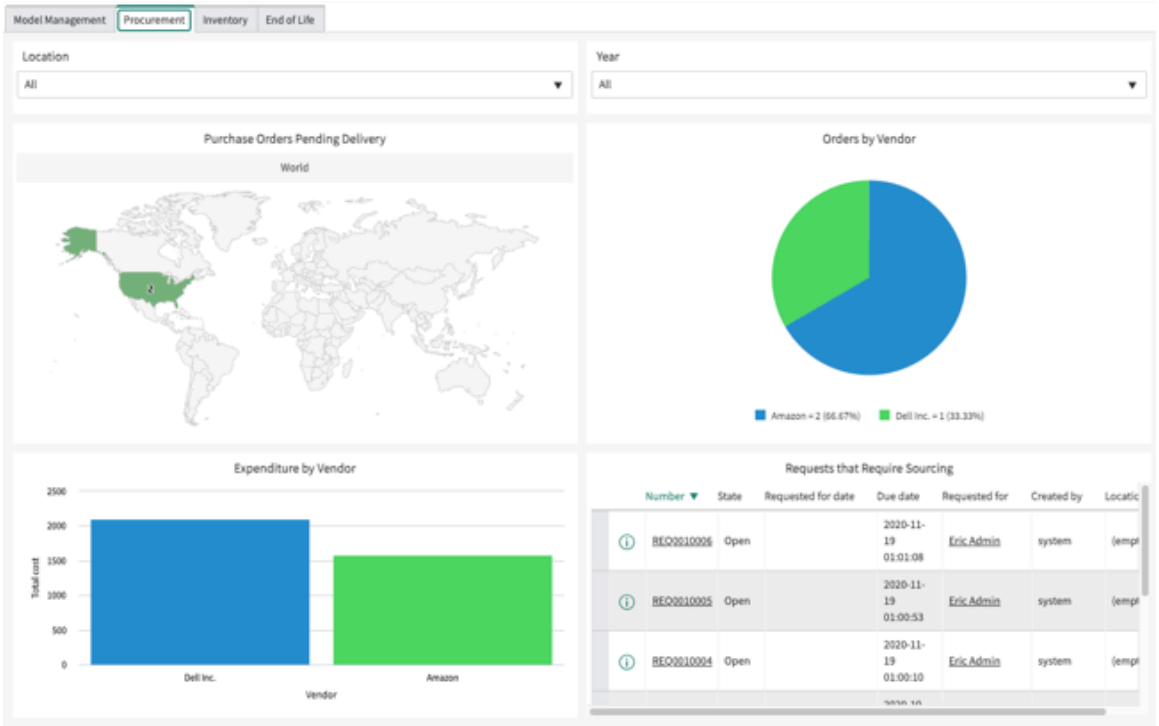
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
配送待ちの発注書 (PO)	発注書 [proc_po]	まだ受領またはキャンセルされていない発注書 (PO) ステータスが [注文済み] または [保留中の配送] の発注書 (PO) のみが表示されます。 **注:** asset、procurement_user、inventory_adm または contract_manager ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の支出	発注書 [proc_po]	インベントリを調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが [注文済み]、[配送待ち]、または [受領済み] の発注書 (PO) のみが表示されます。 **注:** asset、procurement_user、inventory_adm または contract_manager ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の注文	発注書 [proc_po]	注文済み、配送待ち、または受領済みの発注書 (PO) **注:** asset、procurement_user、inventory_adm または contract_manager ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
調達が必要な要求	要求 [sc_request]	まだ対応されていない要求。発注書 (PO) または転送注文のいずれかがまだ開始されていない要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[調達] タブ



[インベントリ] タブ

このタブには、未処理の在庫注文に関するデータが表示されます。また、アクティブな在庫ルール、オープン中の転送注文、および在庫から調達された要求に関する情報を表示することもできます。このタブでは、場所と倉庫別に結果をフィルタリングできます。

レポート	ソーステーブル	説明
在庫からのハードウェア要求の履行 (年初来)	転送注文 [alm_transfer_order]	今年の在庫から調達された要求。 **注:** inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
オープンな在庫注文	要求アイテム [sc_req_item]	まだ履行されていないすべての在庫注文。オープンな在庫注文は、地理的に数値データとして表示できます。
アクティブな在庫ルール	在庫ルール [alm_stock_rule]	モデルカテゴリ別にグループ化されたアクティブな在庫ルールの数。アクティブな在庫ルールがあるアイテムのモデルがしきい値を下回ると、新しい注文が行われます。
オープンな転送注文	転送注文 [alm_transfer_order]	転送注文がまだ配送されていないか、キャンセルされています。

自動翻訳

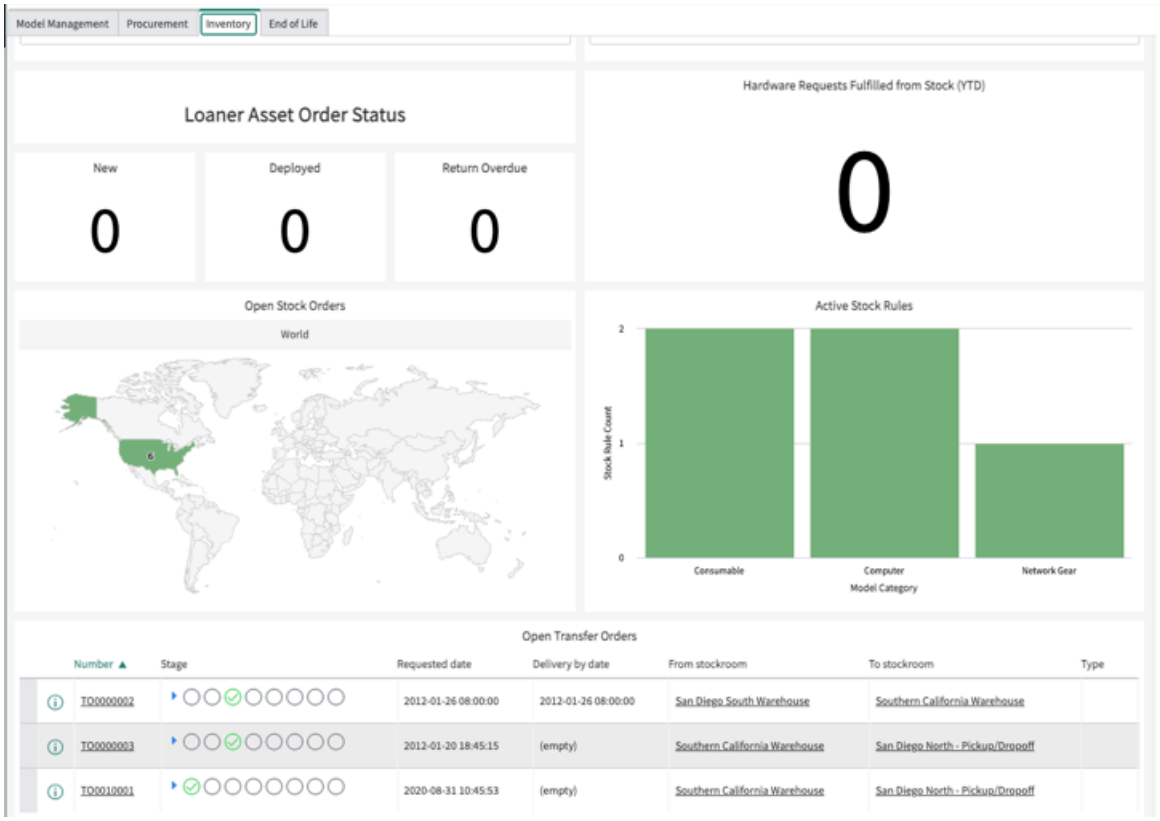
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
監査資産を開く	資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	現在新規または進行中の監査。 注: 資産ロールまたは inventory_user ロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。
監査によって発見された新しいハードウェア資産	資産 [alm_asset]	前年に実施された監査で資産が属するカテゴリの分布。
貸与資産のオーダーステータス	貸与資産のオーダー [sn_hamp_loaner_asset_order]	新規、展開済み、および返品期限切れの貸与資産のオーダー数。
オープン中の RMA 要求ライン	RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line]	すべてのオープン中の RMA 要求ラインのリスト。 注: asset、itil、または inventory_user ロールは、RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line] レポートにのみアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インベントリ] タブ



[提供終了] タブ

このタブを表示して、提供終了段階が近づいている資産と資産の廃棄ステータスを監視します。このタブでは、場所、倉庫、モデルカテゴリ別に結果をフィルタリングできます。モデルカテゴリフィルターは、 ハードウェア資産の廃棄ステータスには適用されません。

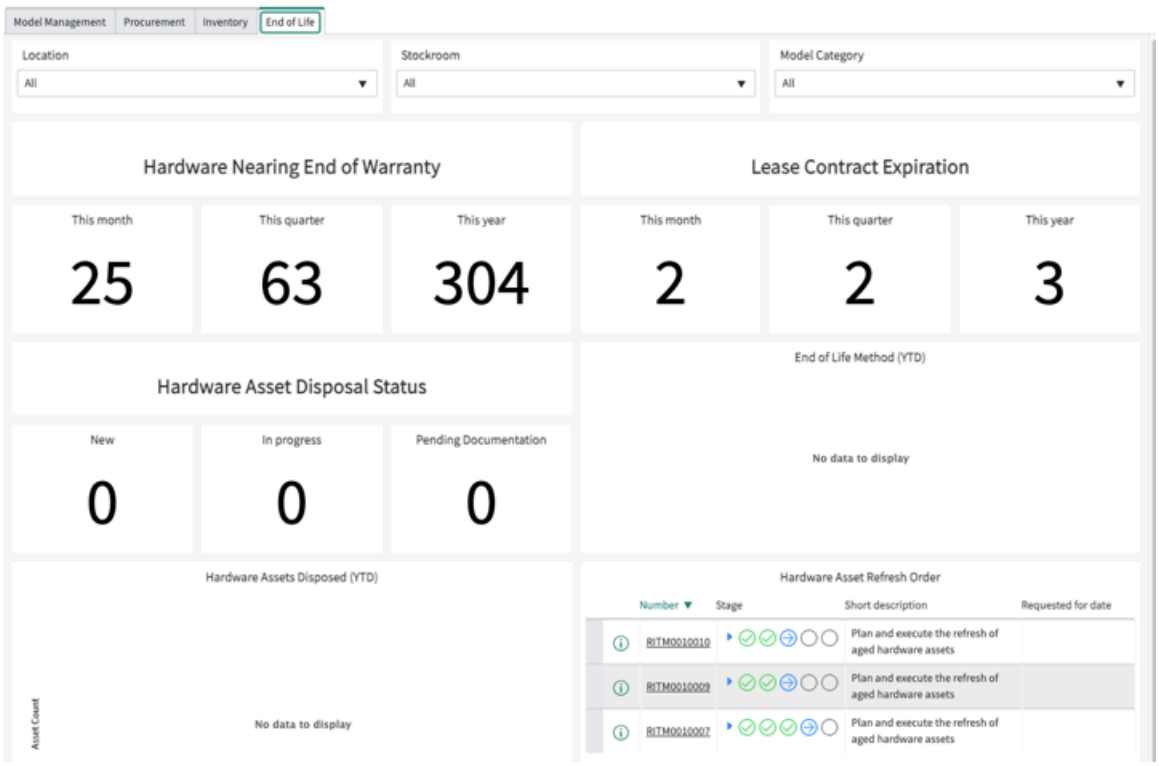
レポート	ソーステーブル	説明
保証終了間近のハードウェア	資産 [alm_asset]	保証有効期限が当月、四半期、または年に該当するハードウェアおよび消耗資産。 **注:** 次のステータスの資産のみが表示されます。 • 在庫あり • 輸送中 • 使用中 • メンテナンス中 • 消費
ハードウェア資産廃棄ステータス	ハードウェア廃棄注文 [hamp_hardware_disposal]	ハードウェア資産の廃棄のために作成された要求のステータス。新しい要求の数が [新規] に表示されます。現在スケジュール、輸送、および確認の各ステージにあるすべてのハー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		ドウェア廃棄要求の数が [処理中] に表示されます。[処理待ちのドキュメント] には、ドキュメントステージにあるすべての廃棄要求が表示されます。
ハードウェア資産の廃棄 (年初来)	資産 [alm_asset]	今年廃棄されたモデルカテゴリに基づくハードウェア資産と消耗資産。
提供終了方法 (年初来)	資産 [alm_asset]	廃止されたハードウェア資産と消耗資産の数 (サブステートに基づく)。廃止ステータスのハードウェア資産には、多くのサブステート (廃棄済み、なし、販売済み、ベンダークレジット、廃棄待ち) があります。
Lease Contract Expiration (リース契約有効期限)	契約 [ast_contract]	リース有効期限が現在の月、四半期、または年に該当するハードウェア資産と消耗資産。アクティブな契約のみが表示されます。
Hardware Asset Refresh Order (ハードウェア資産の更新注文)	要求アイテム [sc_req_item]	注文されたハードウェア資産のリフレッシュのリスト。

[提供終了] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産と構成アイテムの管理

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状況とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *Update CI fields on change* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *Update Asset fields on change* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注:
資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

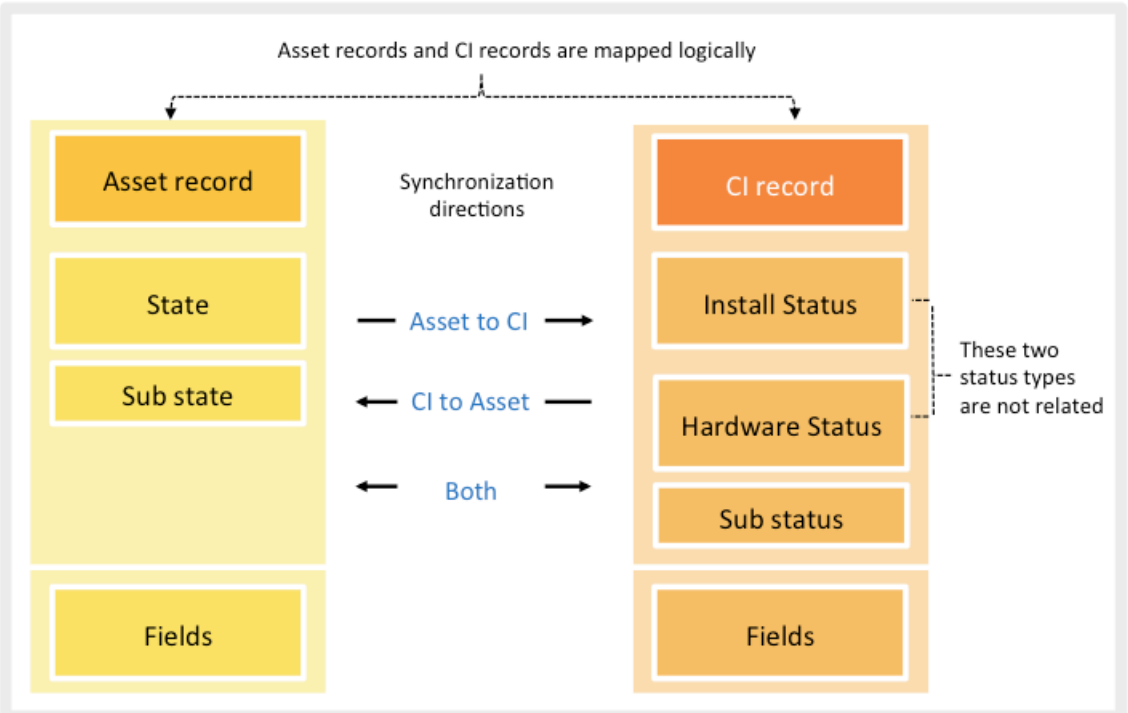
資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

注:
資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 資産ステータスと CI ステータスは 1 対 1 でマッピングされません。むしろ、もう一方のテーブルで最も論理的に対応するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 廃棄待ち] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストールステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。
- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のインストールステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産の状態およびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェアステータスが変更されても CI のインストールステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

同期されるフィールドのリストは次のとおりです。

- 資産タグ
- Assigned (割り当て日付)
- Assigned to (アサイン先)
- Checked in (チェックイン日時)
- Checked out (チェックアウト日時)
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- Delivery date (配送日)
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Install date (インストール日)
- Invoice number (請求書番号)
- Justification (理由)
- Lease ID (リース ID)
- 場所
- MAC アドレス
- 管理担当者
- モデル (CI の model_id)
- 注文日
- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- PO number (発注書番号)
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

自動翻訳

資産、CI、および **IBI** の同期

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) を関連付けます。資産と IBI 間の同期は、CSDM ライフサイクルステージフィールドとステータスフィールドを介して行われます。

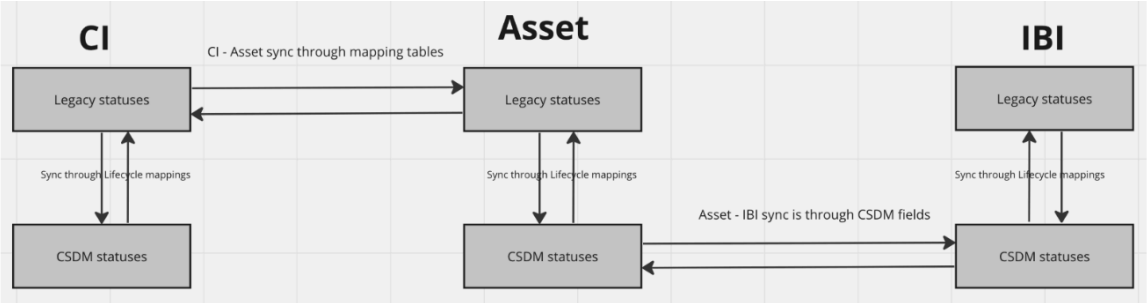
CSDM (csdm.lifecycle.migration.activated) プラグインが ServiceNow インスタンスでアクティブ化されている場合、資産と CI 間の CSDM ライフサイクルフィールドの同期は、*csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated* システムプロパティによって異なります。Xanadu リリースにアップグレードする場合、このシステムプロパティはデフォルトで **false** に設定されます。資産と CI 間の同期は、次のいずれかの方法で行われます。

- システムプロパティが **false** に設定されている場合、CSDM ライフサイクルフィールドの同期は、従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドを介して行われます。
- システムプロパティが **true** に設定されている場合、CSDM ライフサイクルステージフィールドと [ステータス] フィールドが直接同期されます。

注:
ServiceNow インスタンスで CSDM (csdm.lifecycle.migration.activated) プラグインを初めてアクティブ化し、資産または CI にカスタムステータスとサブステートがある場合は、必ず、従来のフィールドと CSDM ライフサイクルフィールド間のマッピングを設定してください。詳細については、「Enabling CSDM life-cycle sync between legacy fields and related assets」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated システムプロパティが **false** に設定されている場合の資産、CI、および **IBI** の同期



資産から IBI および CI への更新の同期

資産の [ステータス] フィールドまたは [サブステート] フィールドに加えられた更新は、関連する IBI および CI と同期されます。たとえば、資産の [ステータス] フィールドが [使用中] に更新されると、次のように同期が行われます。

- 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] は [運用] と [使用中] に設定され、これらのフィールド値は IBI 資産の [ステージ] フィールドおよび [ステータス] フィールドと同期されます。
- CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [インストール済み] および [使用中] に変わります。

IBI から資産および CI への更新の同期

IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドに加えられた更新は、CSDM フィールドを介して、資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、関連する CI と同期されます。たとえば、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [欠陥品] および [在庫あり] に更新されると、次のように同期が行われます。

1. 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] が [在庫あり] および [欠陥品] に変わります。これらのフィールド値は、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。
2. その後、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは、関連する CI の対応するフィールドと同期されます。

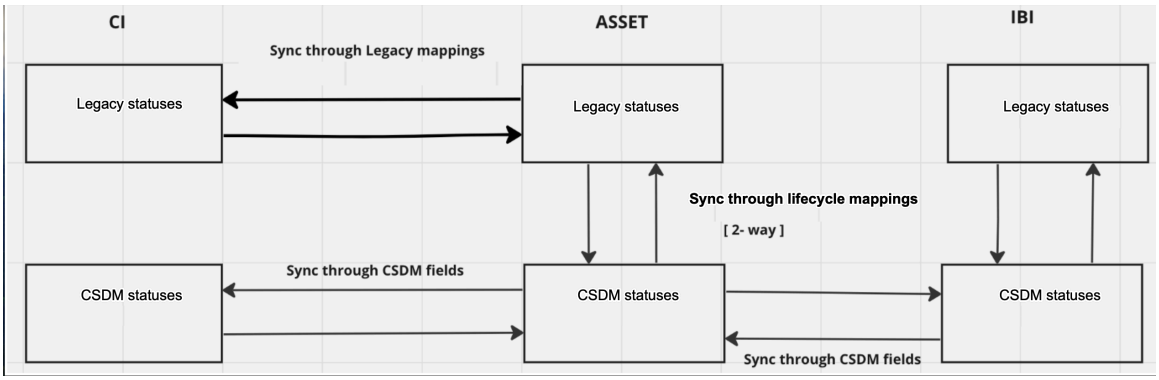
CI から資産および IBI への更新の同期

CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドに加えられた更新は、資産の対応するフィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、CSDM フィールドを介して、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドと同期されます。たとえば、CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [廃止] と [寄贈済み] に更新されると、資産の対応するフィールドが変更されます。資産からの変更は IBI 資産と同期され、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [提供終了] および [廃止] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated システムプロパティが **true** に設定されている場合の資産、CI、および **IBI** の同期



資産から CI および IBI への更新の同期

資産の従来の [ステータス] と [サブステート] フィールドに加えられた更新は、資産と CI の間で次のように同期されます。

- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドは、資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドに対応する値で更新されます。
- その後、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは、関連する CI の対応する従来のフィールドと直接同期されます。
- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドは、関連する CI の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。

ただし、資産から IBI への更新の同期は、CSDM ライフサイクルフィールドを介してのみ行われます。

IBI から資産および CI への更新の同期

IBI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドに加えられた更新は、次のように同期されます。

- 資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは CSDM フィールドを介して同期されます。
- 資産の従来のフィールドは、関連する CI の従来のフィールドと同期されます。
- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドは、関連する CI の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。

CI から資産および IBI への更新の同期

CI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドに加えられた更新は、次のように同期されます。

- CI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドは、資産の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。
- 資産の従来のフィールドは、CSDM フィールドに対応する値で更新されます。
- その後、資産の従来のフィールドは、CI の対応するフィールドと同期されます。
- IBI の従来のフィールドは、CSDM ライフサイクルフィールドを介して資産と同期されます。

MAC アドレスによる資産と CI の同期

資産と CI 間の同期は、シリアル番号に加えて資産 [alm_asset] テーブルの **MAC** アドレス (mac_addr) フィールドを使用して実現できます。CI には複数の MAC アドレスを含めることがで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

きます。ネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルには、すべての MAC アドレスが格納され、CI [cmdb_ci] テーブルへの参照フィールドもあります。したがって、MAC アドレスと CI の関係は維持されます。

資産から CI への同期

資産が MAC アドレスを使用して作成されると、次のように同期が行われます。

1. CI が作成されます。
2. 対応する MAC アドレスのレコードが、CI への参照とともにネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルに作成されます。

資産の MAC アドレスが更新されても、ネットワークアダプター [cmdb_ci_network_adapter] テーブルの既存のレコードは更新されません。代わりに、ネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルに新しいレコードが作成されます。

CI から資産への同期

CI が MAC アドレスを使用して作成されると、次のように同期が行われます。

1. 資産が作成されます。
2. CI の MAC アドレスが資産にコピーされます。

既存の CI がある場合、資産に MAC アドレスがまだない場合のみ、関連する資産が MAC アドレスで更新されます。

CI 名の生成に関するルール

CI 名は、次の条件に基づく形式に従います。

条件と **CI** 名

条件	**CI** 名フォーマット
資産にシリアル番号があります	シリアル番号とモデル名をハイフンで区切って連結したもの。例:SN123 - DemoModel
資産にシリアル番号と MAC アドレスがある	シリアル番号とモデル名をハイフンで区切って連結したもの。例:SN123 - DemoModel
資産にはシリアル番号はないが、MAC アドレスはある	MAC アドレスとモデル名をハイフンで区切って連結したもの。例:88-22-33-66-888-AB - DemoModel。
資産にシリアル番号と MAC アドレスがありません	モデル名

シリアル番号または **MAC** アドレスフィールドが更新されるたびに、CI 名は次の条件でのみ同期されます。

- CI 名が手動で更新されない。
- ディスカバリー ソースは *SNassetmanagement* です。これは、CI が資産から作成されることを意味します。
- CI 名は CMDB によって変更されていません。

資産および **CI** の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create asset delayed sync* スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、次に移動します: 資産 > アドミニストレーション > 資産作成キュー. エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

注:
Orlando 以前から Yokohama にアップグレードした場合は、このプロパティのデフォルト値は **[false]** です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

注:
このプロパティは、ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスに適用されます。

IRE を使用して作成された CI は、「`シリアル番号 - モデル名`」の形式の名前になり、ソースは SNAssetManagement です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要です。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
Orlando 以前から Yokohama にアップグレードした場合、このプロパティのデフォルト値は false です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

その他の資産と CI システムプロパティ

sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping

資産フィールドと CI フィールドは、関連するマッピングテーブルで定義されたマッピングに基づいて同期されます。資産または CI の更新時にこれらのマッピングをフェッチすると、パフォーマンスに影響します。*sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping* システムプロパティを使用すると、次のマッピングをキャッシュできます。

- 資産フィールドと CI フィールド
- 資産ステータスと CI インストールステータス
- 資産ステータスと CI ハードウェアステータス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

マッピングテーブルに変更がない限り、これらのキャッシュされたマッピングは同期中にフェッチされ、システムパフォーマンスが向上します。

の製品インスタンス機能 ハードウェア資産管理

製品インスタンス機能を使用して、すべてのアプリケーション、プロセス、ワークフロー、およびユーザーインタラクションに沿って製品を一貫して表すことができます。プロダクト表現に加えられた変更は、自動的に同期されます。

製品インスタンス機能を使用すると、 IT Asset Management では資産として、 カスタマーサービス管理 (CSM) ではインストールベースアイテム (IBI)、 構成管理データベース (CMDB) では構成アイテムとして追跡されるあらゆる製品について、共通の表現を持つことができます。製品インスタンスは、特定のモデルカテゴリの資産に関連付けられています。

注:
製品インスタンスは現在、医療デバイスのモデルカテゴリでのみ有効です。

モデルカテゴリの製品インスタンス識別子 **(PID)** 構成

製品インスタンス識別子 (PID) は、製品インスタンスの一意の識別子であり、資産、CI、IBI をリンクします。

PID は、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで定義されている次のアイテムに基づいて生成されます。

- PID 構成
- 各構成にアサインされた注文

注:
PID 構成は読み取り専用です。

PID 生成については次の点に注意してください。

- PID 構成のパラメーターで指定されたフィールドが空の場合、PID は生成されず、資産は作成されません。
- 注文中または事前割り当て済みステータスにある、シリアル番号のない資産には、PID は生成されません。
- PID は、資産、CI、または IBI のシリアル番号の更新など、PID 設定パラメーターで指定されたフィールドに変更が加えられるたびに再計算され、再生成されます。

注:
PID は、資産 [alm_asset]、構成アイテム [cmdb_CI]、およびインストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルの [product_instance_id] フィールドに格納されます。

医療機器モデルカテゴリの場合、PID 構成のデフォルトパラメーターは、テーブルの [シリアル番号]、[親]、および [モデルコンポーネント **ID**] フィールドに基づいています。PID を生成する際には、アイテムのシリアル番号に基づく PID 構成が最優先されます。ただし、シリアル番号が存在しない場合は、親コンポーネント ID フィールドとモデルコンポーネント ID フィールドに基づくパラメーターが PID の生成で検討されます。既存のシリアル番号を指定すると、生成される PID は既存の PID の重複となるため、資産は作成されません。

注:
親資産が更新されたときに子資産の PID 再計算を有効にするには、システムプロパティ *`sn_itam_enable_pid_recalculation_for_child_asset`* を true に設定します。デフォルト値は false です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産、CI、および IBI 間の PID 同期

資産、CI、および IBI 間の PID の同期は、次の状況で行われます。

- 資産、CI、または IBI の PID のいずれかのフィールドが更新されます
- 資産、CI、または IBI の値は、PID 設定パラメーターのフィールドで指定された値です。

資産の作成または更新

関連するモデルカテゴリの PID 構成に基づいて、PID 構成パラメーターに含まれるフィールドの値を指定して資産を作成すると、次のアクションが発生します。

1. 指定したフィールド値に基づいて、資産の PID が生成されます。
2. 資産が作成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

資産の PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、PID が再計算され、新しいフィールド値に基づいて再生成されます。その後、資産の更新された PID は、関連する CI と同期されます。

CI の作成または更新

CI を作成すると、その CI の資産が作成されたときにのみ PID が生成されます。その後、資産の PID が CI と同期されます。

CI の PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、次のアクションが発生します。

1. フィールド値が CI から資産にコピーされます。
2. 資産の PID が再計算され、再生成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

IBI の作成または更新

PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを指定して IBI を作成すると、資産と関連する CI が作成されます。PID はインストールベースアイテムで生成され、資産とその関連 CI と同期されます。

PID 構成パラメーターの一部である IBI のフィールドに更新が加えられると、PID が再生成され、同期されます。

資産ライフサイクルの自動化

ライフサイクル全体を通じて資産レコードの更新を自動化し、資産の精度を手動で維持する手間を省きます。

資産は、購入時から廃棄時まで更新および追跡する必要があります。自動化プロセスは、資産を要求した時点から始まり、資産に在庫があるかどうか、または購入する必要があるかどうかを判断します。在庫がある場合、資産は転送注文ワークフローを介して転送されます。資産を購入する必要がある場合は、発注書ワークフローがトリガーされます。自動化されたワークフローにより、各資産レコードまたは関連する構成アイテム (CI) を手動で更新する必要がなくなります。ワークフローが完了すると、資産レコードまたは CI が自動的に更新されます。

注:
自動ワークフローは、除外された資産に対してはトリガーされません。除外された資産の資産レコードまたは CI を手動で更新する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストックルームのハードウェア資産の 一括在庫注文を作成できます 。必要なモデルと正確な数量を指定できます。アイテムが調達または転送されると、ワークフローは完了です。

ハードウェア資産と消 耗資産の廃棄注文を作成することもできます 。このワークフローでは、5 つの資産廃棄タスクをガイドします。これらのタスクには、処分された資産の計画、スケジューリング、検証、切り離し、および最終確認が含まれます。タスクをクローズするとタスクが完了し、ワークフロー内の次のタスクが作成されます。

たとえば、[検証] は資産廃棄ワークフローの最初のタスクです。検証タスクを完了して閉じると、[集荷のスケジュール] タスクが自動的に作成されます。このプロセスは、資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。詳細については、「ハードウェア廃棄注文ステージ」を参照してください。

資産タスク

資産タスクは、資産の展開、交換、スワップ、または廃止操作のために提供されます。これらのタスクは、これらの操作の完了時に CI/資産レコードを自動的に更新します。

インシデント、変更要求、またはフィールドサービス作業指示を介して資産を展開、交換、または廃止する場合、CI/資産レコードは CI/資産の関連レコードとともに自動的に更新されます。たとえば、サーバーを廃止するための変更チケットがあるとします。変更が実装されると、 変更管理 アプリケーションは資産の廃止イベントをトリガーします。廃止タスクがトリガーされ、以下が更新されます。

- CI
- 関連資産レコード
- ソフトウェア割り当て
- メンテナンス契約

レコードを更新するための手動操作の必要性を減らすことで、データの精度が向上します。

インシデントによって資産が廃止またはスワップされると、資産の場所に基づいて [ストックルーム] フィールドに値が入力されます。資産の場所にストックルームがない場合、[ストックルーム] フィールドには値が入力されません。ただし、資産の場所がサービスの場所の一部として複数のストックルームでサポートされている場合は、優先度に基づいてサポート倉庫の詳細が [ストックルーム] フィールドに自動的に入力されます。サービスの場所の詳細については、「 ストックルームとサービスの場所の関連付け」を参照してください。

次の表に、各アプリケーションで使用できる資産タスクを示します。

アプリケーション	資産タスク
インシデント管理	• 更新/修復 • Swap (スワップ) • 廃止

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション	資産タスク
	注: デフォルトでは、インシデントをクローズするには資産アクションが必要です。インシデントのクローズに資産アクションを適用しない場合は、システムプロパティ *sn_hamp.enable_asset_action_validation_inciden* の値を **false** に設定できます。詳細については、Now Supportナレッジベースの記事「HAMP のインストール後にインシデントまたは変更要求を解決できない - 必須フィールド資産アクション [KB1695540]」を参照してください。
変更管理	• 展開 • 廃止 注: デフォルトでは、変更要求をクローズするには資産アクションが必要です。変更要求のクローズに資産アクションを適用しない場合は、システムプロパティ *sn_hamp.enable_asset_action_validation_change_* の値を **false** に設定できます。詳細については、Now Supportナレッジベースの記事「HAMP のインストール後にインシデントまたは変更要求を解決できない - 必須フィールド資産アクション [KB1695540]」を参照してください。
フィールドサービス管理 (FSM)	展開

ハードウェア資産管理 ライセンスの除外

ライセンスされた ハードウェア資産管理 機能を使用して資産に対してのみ支払いを行い、ライセンスされた機能を使用しない資産は除外します。

ハードウェア資産機能は、ハードウェア資産レコードと消耗資産レコードに制限されています。ハードウェア資産管理ライセンス機能を使用するが、少数の資産を除外する場合は、資産レベルの除外を使用します。資産の除外の詳細については、「 資産を除外」を参照してください。

オプトインしていないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリにオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト」を参照してください。

除外された資産は、次の HAM フローおよびタスクでは選択して使用できません。

- 貸与
- 廃棄
- リフレッシュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リース
- バンドル
- 返品許可 (RMA)
- Audit (監査)
- RFID
- 資産ライフサイクルの自動化
- パレット
- 寄付

注:
資産で開始されたワークフローは、資産が途中で除外済みとしてマークされていても完了できます。

ハードウェアモデル正規化

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ハードウェアと消耗品モデルの詳細 (メーカー、製品、モデル、デバイスタイプなど) を正規化できます。モデルのデータは、 ハードウェアモデル正規化 コンテンツサービスのデータと比較されます。

ハードウェアモデル正規化 (com.sn_hwnorm) プラグインは、 ハードウェア資産管理 [sn_hamp] プラグインを有効にすると有効になります。

ハードウェアと消耗品モデルを正規化するプロセスの詳細については、「 ハードウェアと消耗品モデルを正規化する」を参照してください。

注:
このドキュメントは ハードウェアモデル正規化用です。資産管理の詳細については、資産管理のドキュメント を参照してください。

スケジュール済みジョブ

ハードウェアと消耗品モデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツでモデルレコードを手動で更新するか、データをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスと比較することができます。

スケジュール済みジョブ [*HAM- Hardware Normalization*] を毎日実行します。このジョブでは、モデルの追加、削除、結合は行われず、[モデル名]、[メーカー]、[モデル番号] などの元のフィールドは変更されません。[正規化済み製品]、[正規化済みメーカー]、[正規化済みモデル] などの既存のモデルの正規化関連フィールドのみが更新されます。

ハードウェアモデル正規化コンテンツサービスからのコンテンツがNow Platformにプルされます。資産ジョブログ (asset_job_log) テーブルを使用して、スケジュール済みジョブのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルの [正規化を元に戻す] を選択することで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻り、ルールは非アクティブ化されます。スケジュール済みジョブが実行されると、アクティブなルールでモデルが処理され、ステータスが更新されます。正規化を元に戻す方法の詳細については、「 ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
デフォルトでは、オプトアウトされた HAM リソースカテゴリに関連付けられたモデルカテゴリに属するハードウェアモデルは、 HAM ワークフローから除外されます。したがって、そのようなハードウェアモデルは ハードウェアモデル正規化を通過しません。ただし、OT 資産管理 アプリケーションが ServiceNow インスタンスでアクティブ化されると、少なくとも 1 つのオペレーショナルテクノロジー (OT) 資産を持つオプトアウトされた HAM リソースカテゴリのハードウェアモデルもハードウェアモデル正規化されます。資産の **OT** エンティティ フラグは、OT 資産かどうかを示します。OT 資産の詳細については、「 OT 資産 ワークスペース」を参照してください。

OT 資産を含むハードウェアモデルの正規化ステータスを元に戻すこともできます。

スケジュール済みジョブは、ハードウェアと消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを特定し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれます。

- ハードウェア製品の全体的な標準化ステータス
- 消耗品の全体的な正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデル正規化ステータス

関連情報

ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ

利用可能なディシジョンテーブルを使用して、一部の ハードウェア資産管理 機能のフローをカスタマイズします。

要件に適した ワークフロースタジオ を使用してフローを作成することもできます。その後、すぐに利用可能なディシジョンテーブルで新しく作成したフローを使用して、既存のフローをカスタマイズできます。たとえば、ハードウェア更新モジュールでは、既存のフローを削除したり、新しいフローや条件を追加したりできます。

関連するディシジョンテーブルのエントリを更新して 新しいフローをトリガーします。詳細については、「HAM フローに関連するディシジョンテーブルを更新」を参照してください。

すぐに利用可能な意思決定テーブルのリストと更新可能な関連 ハードウェア資産管理 機能については、「 ハードウェア資産管理フローのディシジョンテーブル」を参照してください。

返品許可

返品承認(RMA)は、購入者が欠陥のある製品を返品または交換できるようにする購入者と販売者の間の契約です。資産 RMA オーダーカタログアイテムには、RMA プロセスを簡素化するための規範的なフローがあります。

RMA 要求には RMA 要求ラインがあります。RMA 要求が送信されると、選択された資産と消耗品ごとに RMA 要求ラインが作成されます。ハードウェア資産ダッシュボードで、すべてのオープン中の RMA 要求ラインのリストを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

返品承認のワークフロー

フローデザイナーアプリケーションは、すべての RMA 要求ラインに対して RMA タスクを作成します。RMA 要求は、RMA タスクを通じて完了します。RMA 要求ラインごとにアセスメントタスクが作成されます。アセスメントタスクは、欠陥のある資産を評価するために使用されます。RMA タ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スクのステータスが更新されると、RMA 要求ラインフォームの [ステージ] フィールドがデフォルトで更新されます。

欠陥のある製品を受け取った場合、または保証期間内に製品に欠陥が生じた場合は、資産 RMA 注文を要求できます。ベンダーとの契約に基づいて、欠陥のある資産をオンサイトまたはオフサイトで修理することを決定できます。[アセスメントタスク] フォームで [オフサイト修理] を選択すると、フローデザイナーが資産 RMA オフサイトフローをトリガーします。資産 RMA オフサイトフローでは、RMA プロセスを完了するために次の RMA タスクが生成されます。

- 出荷
- ベンダー RMA の決定
- 受領

[アセスメント] タスクで [オンサイト修理] を選択すると、フローデザイナーが資産 RMA オンサイトフローをトリガーします。資産 RMA オンサイトフローでは、RMA プロセスを完了するための RMA タスク (オンサイト修理タスク) が生成されます。

オンサイト修理を試みた後、欠陥のある資産を修理できなかった場合は、製品をオフサイト修理に送ることができます。欠陥のある製品をオフサイト修理のために送付する場合は、資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、資産 RMA オフサイトフロー RMA タスクを通じて RMA プロセスが完了します。

どの RMA 要求ラインに対してもクローズされたアセスメントタスクがない限り、RMA 要求をキャンセルできます。RMA 要求がキャンセルされると、関連するすべての RMA 要求ラインと RMA タスクがキャンセルされます。既存の RMA の一部である資産の RMA を送信すると、既存の RMA 要求の RMA 要求ラインは自動的にキャンセルされます。RMA タスクがキャンセルされると、関連する RMA 要求ラインもキャンセルされます。インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、アセスメントタスク、内部修理タスク、または出荷タスクをキャンセルできます。

関連情報

RMA 要求の管理

Zebraテクノロジー**RFID**システムの統合

Zebra テクノロジーの無線 IC 識別 (RFID) システムを ServiceNow インスタンスと統合すると、ハードウェア資産の場所を自動的に識別、追跡、管理できます。

Zebra テクノロジー RFID システムとの資産統合が成功すると、ゾーングループ、ゾーン、資産にマッピングされた場所などの RFID タグ情報を表示できます。RFID 情報は、資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされます。資産管理テーブルの詳細については、「資産管理とともにインストールされる内容」を参照してください。

注:
資産が除外されている場合、RFID 情報は資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされません。資産の除外の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

ZebraテクノロジーRFIDシステムのデータは、定期的に ServiceNow にインポートされます。RFID システムのデータ変更は、 ServiceNow インスタンスで更新されます。

RFID 資産 [rfid_asset] テーブルには、資産の RFID 情報が格納されます。RFID 情報の表示の詳細については、「資産のRFID情報の表示」を参照してください。

アセットバンドル

アセットバンドルは、既にインベントリにある資産のグループを単一のエンティティとしてバンドルするのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセットバンドルは、消耗品資産とハードウェア資産で構成されます。

開発者アセットバンドルの例

コンポーネント	モデルカテゴリ
Apple MacBook W9576XA	ハードウェア資産
サムスンのモニター B2156C	ハードウェア資産
ロジクールマウスPB567VT	消耗 品
Apple キーボードMT65021R	消耗 品

アセットバンドルはバンドルされたモデルに基づいています。バンドルされたモデルは、モデルをグループ化したものです。バンドルされたモデルの詳細については、「 バンドルされたモデル」を参照してください。

ストックルームの既存の資産を使用してアセットバンドルを作成します。[在庫あり] ステータスと [利用可能] サブステータスの資産のみがアセットバンドルに追加されます。資産を除外する場合は、バンドルから資産を削除する必要があります。資産の除外の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。アセットバンドルの一部である資産は、個別の資産として使用することはできません。アセットバンドルに関連付けられている CI はありません。

アセットバンドルは、資産ライフサイクル全体を通過します。アセットバンドルの作成から、ユーザーへのバンドルの割り当て、資産の修理が必要な場合のメンテナンス状態への移行、そして目的が達成されたときにバンドルを最終的に廃止することまで。

アセットバンドルはストックルーム間で転送できます。ただし、バンドル内の個々の資産をストックルーム間で転送することはできません。バンドル内の資産は廃棄できません。アセットバンドルが廃止されると、資産はバンドルとの関連付けが解除され、個別に廃棄できます。アセットバンドルを削除すると、そのバンドルに属するすべての資産が倉庫に移動されます。

アセットバンドルに属する資産をスワップできます。バンドルのステータスが [メンテナンス中] または [在庫あり] でサブステート が [修理待ち] の場合、資産をスワップできます。

アセットバンドルを廃止し、バンドルに属するすべての資産をリリースすることができます。リリースされた資産はストックルームに戻され、バンドルを削除することができます。

バンドルに属する資産は、ソーシング、転送注文、および廃棄注文のフローから除外されます。

アセットバンドルの作成の詳細については、「 インベントリからアセットバンドルを管理する」を参照してください。

資産再利用

資産再利用カタログアイテムは、資産管理モジュールと HR モジュールを統合して、資産を効率的に再利用できるようにします。

従業員が退職するか別のロールに異動した場合、従業員にアサインされていた資産の再利用は手間のかかる作業であり、HR プロフェッショナルと資産マネージャーの間で多くの調整を行う必要があります。[資産の再利用] カタログアイテムには、ハードウェア資産を効率的に再利用してインベントリに保管したり、必要に応じて再アサインしたり、修理に送ったり、廃棄したりするための規範的なワークフローがあります。

HR プロフェッショナル、マネージャー、または従業員は、[Reclaim Asset (資産の再利用)] カタログアイテムを使用して資産の再利用要求を送信できます。マネージャーは、報告メンバーの資産回収要求を送信できます。HR 担当者は、組織内の任意の従業員に対して資産再利用要求を送信できます。HR 担当者とマネージャー以外の従業員は、自分自身の資産再利用要求を送信できます。詳細については、「資産回収要求の送信」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
アセットバンドル および パレット再利用することはできません。

サービスカタログ を使用して資産の再利用要求を作成すると、資産再利用要求が作成されます。退職する従業員にアサインされたハードウェアまたは消耗品ごとに、[資産の再利用] サービスカタログで選択した資産に対してハードウェア資産再利用ラインが作成されます。各ハードウェア資産再利用ラインは、次のハードウェア資産再利用タスクによってクローズされます。

- [資産の再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、納品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産の受領
- Evaluate

ハードウェア資産再利用ラインにはステージフィールドもあり、ハードウェア資産再利用タスクをクローズすると、次のように変更されます。

- 準備完了
- 受領を保留中
- 評価を保留中
- 完了

詳細については、「資産回収要求のクローズ」を参照してください。

[ハードウェア資産再利用サブフロー] ディシジョンテーブルを使用すると、ハードウェア資産と消耗資産のカスタム再利用サブフローをトリガーできます。ディシジョンテーブルで指定した資産に関連する条件に基づいて、対応するサブフローがトリガーされ、再利用プロセスが完了します。

サービスカタログ要求を使用するには、SAM Professional または HAM Professional をインストールする必要があります。SAM Professional のみをインストールしている場合は、 サービスカタログにアクセスできますが、トリガーされるのはソフトウェア資産再利用フローのみです。

資産寄付

資産寄付オーダーを使用して、組織の在庫内のハードウェアと消耗資産を慈善団体に簡単に寄贈することができます。

資産寄付フローは、資産寄付プロセスのさまざまな段階を処理します。資産寄付注文を送信すると、資産マネージャーが資産寄付注文をレビューし、承認された場合は寄付を処理します。資産寄付プロセスは、慈善団体が資産の引き渡しを確認した時点で完了します。

注:
除外された資産を寄付することはできません。除外された資産の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

資産の寄付の詳細については、「 慈善団体に資産を寄付する」を参照してください。

割当済み資産

割当済み資産は、所有権はベンダーにありながらも、ジャストインタイム調達を実現するため顧客のストックルームに保管することが同意されているものである場合が多いです。

割当済み資産は物理的に存在しますが、まだ財務上の負債ではありません。たとえば、割り当てる準備が整ったコンピューター 100 台のパレットが、割当済み資産となり得ます。資産を割り当てると構成アイテムが生成され (カテゴリによって必要な場合)、資産を割り当てることができます。割り当て済み資産は、すでに使用されている別の資産のコンポーネントとすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、プリインストール済みや割り当て済みのサーバーを本番サーバーの横にあるサーバーラックに設置はできますが、割り当て済みのサーバーは電源をオンにした後にしか財務上の責任が発生しません。事前割り当てオプションは資産にのみ使用でき、消耗品やライセンスには使用できません。割り当て済み資産はバンドルで構成することはできません。

注:
保証はアイテムが設置されるまで有効になりません。したがって資産が割り当てられアサインされるまでは保証されません。

割り当て済み資産を作成し、割り当て済み資産レコードから資産を割り当てることができます。また、割り当て済み資産を分割して別のストックルームに移動できるグループを作成することもできます。詳細については、「割り当て済み資産の管理」を参照してください。

パレット資産

パレット資産クラスを使用して、在庫内の資産をグループとして追跡および管理します。資産のグループを場所間で簡単に移動したり、グループとして廃棄したりできます。

パレットは、モデルカテゴリがパレットの資産です。パレットは、パレットに含まれる資産の親です。事前定義されたパレットタイプは、パレット、ビン、ボックス、およびコンテナです。

注:
パレット資産クラスとそれに関連する UI オプションは、ハードウェア資産管理プロフェッショナルプラグイン (com.sn_hamp) でのみ使用できます。

[Asset estate (資産一覧)] ビューでパレット資産を作成し、ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、およびその他のパレット資産をパレットに追加できます。

パレット資産は経費ラインに関連付けられていません。

パレット [alm_pallet] テーブルには、パレット資産に関する情報が保存されます。ストックルーム内のパレットの場所は、資産 [alm_asset] テーブルの [通路] 列と [スペース] 列で示されます。

在庫管理にパレット資産を使用する予定がある場合は、次の点に注意してください。

- ソフトウェア、エンタープライズ、および除外された資産をパレットに追加することはできません。

  注:
  除外された資産の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

- すでに親資産に関連付けられている資産を追加することはできません。
- パレット資産を資産バンドルの一部にすることはできません。

パレット資産の詳細については、「 パレット資産で在庫を管理」を参照してください。

貸与資産

貸与資産または消耗品が短期間だけ必要なときに要求します。

貸与オーダー要求は、次のステージで完了します。

- タスクの準備:要求されたユーザーに貸与資産を引き渡す前に、必要なソフトウェアをインストールするなどして、貸与資産を準備します。デフォルトでは、準備タスクは開始日の 2 日前に作成されます。この設定を変更するには、[貸与資産要求] カタログアイテムの [貸与資産変数の準備に必要な日数] を変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
貸 与資産変数の準備に必要な日数 は、貸与資産を要求するときにカタログフォームに表示されません。この変数を見つけるには、カタログアイテムモジュールに移動します。この変数の値を変更できるのは、catalog_admin ロールを持つユーザーのみです。

- 展開タスク:貸与資産を要求されたユーザーに渡すか、ユーザーのマシンに貸与資産をインストールします。展開タスクは、準備タスクがクローズされた後に作成されます。
- 再利用タスク:一定期間後に貸与資産を再利用します。再利用タスクは、返却日の 1 日前に作成されます。

注:

在庫ルールの処理中、貸与資産は倉庫数にカウントされません。

除外された貸与資産を割り当てることはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

関連情報

貸与資産の管理

貸与資産の予約

順番待ちリストに載っている貸与オーダーにより、貸与資産の将来の需要を可視化できます。

利用可能な貸与資産を使用すると、貸与オーダーを発注したユーザーが最初に貸与資産を取得します。貸与資産は、準備開始日に日次スケジュール済みジョブによって自動的にユーザーに割り当てられます。ストックルームに貸与資産がない場合、すべての貸与オーダーが順番待ちリストに含まれます。貸与の順番待ちリスト注文モジュールには、すべての順番待ち貸与オーダーが表示されます。新しい貸与資産がストックルームに追加された場合、または確認済みの貸与オーダーがキャンセルされた場合、順番待ちリストの貸与オーダーは、送信された順に確認されます。前に送信された貸与オーダーは、後から送信されたオーダーよりも優先されます。

インベントリアドミニストレーターが順番待ちリストの貸与オーダーを確認する場合は、[貸与資産のオーダー] フォームの [順番待ちリスト] ボックスをオフにし、[資産] フィールドで資産を選択します。確認済みの貸与注文を順番待ちリストに移動する場合は、[順番待ちリスト] ボックスをオンにして、[資産] 項目から [資産] を削除します。貸与資産は、任意の場所から、次のいずれかの状況とサブステートでアサインできます。

- 在庫あり
- 利用可能
- インストール待ち
- 予約済み
- 使用中

注:
除外された貸与資産を選択することはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

倉庫

ストックルームは、資産が割り当てられる場所です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールに従ってアドミニストレーターに通知するか、自動的に一方のストックルームから他方のストックルームにインベントリを移動することができます。

ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別に独立したエンティティです。

在庫ルール

在庫ルールは、あるストックルーム内のある資産のインベントリが指定されたしきい値に達すると、特定の数量が別のストックルームから移転されるか、またはベンダーに注文すべきかを定義します。

たとえば、特定のモデルのキーボードがあるストックルームでインベントリ数 10 台になった場合、在庫ルールの設定に従って、別のストックルームからキーボード 50 台を転送するための転送注文が自動的に作成されます。在庫ルールでは、ストックルームに複数のモデル資産が存在する可能性があるため、基準に適合するすべての資産を確認し、合計数を表示することができるようになっています。

再補充オプションは 2 通りあります。

- 倉庫マネージャー (ストックルームレコード上の [マネージャー] フィールドで指定されているユーザー) にメールを送信して、ベンダーへの注文を促すことができます。倉庫マネージャー用のタスクが自動的に作成されるか、または、調達がアクティブな場合は、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。
- 転送注文を自動的に作成して、別のストックルームからアイテムを補充することができます。

在庫ルールランナージョブ

在庫ルールランナージョブは毎日実行され、ストックルームの在庫が在庫ルールで設定されたしきい値に達しているかどうかを確認します。その後、ジョブはインベントリを補充するタスクまたはワークフローをトリガーします。このジョブは、倉庫マネージャーのタスクを作成し、メール通知も送信します。

重要:
補充が進行中の場合、システムでは重複したメールメッセージや重複した転送注文は作成されません。迅速に行動することが重要です。

デフォルトでは、**false** に設定されている*glide.sc.checkout.twostep*システムプロパティにより、アイテムがサービスカタログカートに追加されたときに要求が自動的に送信されます。また、この設定のシステムプロパティでは、在庫ルールランナージョブによって、タスク、発注書 (PO)、転送注文、および サービスカタログ 要求の作成がトリガーされます。

glide.sc.checkout.twostep システムプロパティの値が **true** に設定されている場合、*CartJS* API はアイテムをカートに追加しますが、要求は自動的に送信されません。代わりに、要求の送信には追加のアクションを実行する必要があり、在庫ルールランナージョブの自動フローに影響します。

pending_delivery_flagは、在庫ルールが履行待ちか配送待ちかを示すために使用されます。pending_delivery_flagは、次のいずれかの値に設定できます。

- このフラグが **true** に設定されている場合、在庫ルールは進行中であり、システムは同じアイテムに対して重複するタスクや注文を生成しません。
- このフラグが **false** に設定されている場合、システムは在庫ルールを再処理し、タスクと注文の登録を再度トリガーします。

注:
在庫ルールが処理されたときにpending_delivery_flagが false に更新され、在庫ルールランナージョブが冗長性なしで実行できるようにしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

在庫ルールタイプと ServiceNow インスタンスで有効化されているプラグインに基づいて、在庫ルールランナージョブは発注書、転送注文、 サービスカタログ 要求、またはタスクを作成します。

重要:

調達プラグインと ハードウェア資産管理 アプリケーションがアクティブ化されていない場合、在庫ルールランナージョブは、発注書または サービスカタログ 要求の代わりにタスクを作成します。このタスクにより、倉庫マネージャーは在庫を補充するために必要なアクションを実行するように求められます。

在庫ルールランナーのジョブ動作

在庫ルールタイプ	作成された注文/要求
倉庫	ストックルームのインベントリが在庫ルールで設定されたしきい値に達すると、転送注文が自動的に作成されます。 転送注文は、別のストックルームからインベントリを補充するために作成されます。 **注:** 転送注文が既に進行中の場合、追加の転送注文は作成されません。
ベンダー	調達プラグイン (com.snc.procurement) を有効にすると、発注書 (PO) と対応する発注明細が作成されます。 発注書 (PO) と発注明細は、ストックルームの在庫が定義されたしきい値に達し、ベンダーから直接補充する必要がある場合に作成されます。 **注:** 発注書 (PO) と発注明細にアクセスするには、procurement_user ロールが必要です。
ベンダーまたは サービスカタログ	ハードウェア資産管理アプリケーションがインストールされ、在庫ルールが [ベンダー] または [サービスカタログ] に設定されている場合は、次の点に注意してください。 • 在庫ルールランナージョブは、発注書を作成する代わりに サービスカタログ 要求を送信します。 • サービスカタログ要求は、サービスカタログを介して在庫補充のために自動的に送信されます。アイテムが サービスカタログ カートに追加され、倉庫マネージャーがレビューして承認できるようになります。 • pending_delivery_flagは、 サービスカタログ 要求のステータスを追跡するために使用されます。このフラグは、 サービスカタログ 要求が正しく処理され、アクションの重複を回避することを保証します。

関連情報

在庫ルールを作成する

Lenovo との統合による資産保証の詳細の確認

Lenovo資産保証フローでは、Lenovo保証 API に接続することで、ハードウェア資産の保証情報を取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Lenovo との統合には次の要件があります。

- ハードウェア資産管理アプリケーション (sn_hamp) をアクティブ化する必要があります。
- ServiceNow Store から ServiceNow インスタンスにインストールされた Lenovo スポーク (sn_lenovo_spoke)。詳細については、「Lenovo Spoke」を参照してください。
- Lenovo保証 API に接続するためにLenovoされたクライアント ID。

  注:
  クライアント ID をお持ちでない場合は、組織の Lenovo 営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

- Lenovo接続。この接続がない場合は、 Lenovo [sn_lenovo_spoke] を使用して作成する必要があります。Lenovo] 接続および資格情報エイリアス。詳細については、「Lenovo保証 API に接続する」を参照してください。

注:
Lenovo Warranty API の入力フィールドと応答フィールドの詳細については、Lenovo WebAPI ドキュメントの「保証」トピックを参照してください。

Lenovo から資産保証の詳細を取得するプロセスは次のとおりです。

1. 毎週実行される [資産保証情報のダウンロード - Lenovo] スケジュール済みジョブは、Lenovoとしてメーカーのすべてのハードウェア資産をフェッチする Lenovo 資産保証フローを呼び出します。

   注:
   [資産保証情報のダウンロード - Lenovo] スケジュール済みジョブと Lenovo 資産保証フローは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) アプリケーションとともにインストールされます。

2. 次に、 Lenovo 資産保証フローは、 Lenovo スポークアプリケーションに存在する資産保証のダウンロードアクションを呼び出し、1000 件のシリアル番号をバッチで渡します。
3. [資産保証をダウンロード] アクションは、シリアル番号とクライアント ID を渡して、ServiceNow インスタンスを Lenovo 保証 API に接続します。このアクションにより、渡されたすべてのシリアル番号の保証情報もダウンロードされます。
4. Lenovo資産保証フローのプロセス保証情報アクションは、Lenovo保証 API からの応答を使用して、資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルの資産保証レコードを作成または更新します。

   資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルには、資産保証の詳細が保存されます。このテーブルには、 Lenovo API 応答に対応するフィールドがあります。テーブルのフィールドには次のようなものがあります。

   - 外部保証 **ID**:資産の保証レコードを識別し、保証情報を更新します。
   - アクティブ:Lenovo API 応答の [保証] フィールド値に基づくブールフィールド。
   - ステータス:保証が有効かどうかを示します。このフィールドは、[アクティブ] フィールドの値に基づいて入力されます。
   - 開始日 と 終了日:保証期間を示します。

注:
除外された資産の保証レコードはフェッチされません。

資産には複数の保証を関連付けることができます。保証情報は、資産フォームの [資産保証] タブを使用して表示できます。資産運用ビューの [資産保証] リストを使用して、すべての資産保証レコー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドを一元的に表示することもできます。詳細については、「Lenovo資産の保証の詳細を追跡する」を参照してください。

関連情報

からの資産保証の詳細の受領 Lenovo

ゼロタッチでリフレッシュ

ゼロタッチでリフレッシュフローを使用すると、ローカルストックルームで新しい資産を管理することなく、外部ベンダーを介した従業員のハードウェアリフレッシュ要求を実行できます。

資産更新プロセスのさまざまなステージは次のとおりです。

1. 組織の従業員がハードウェア資産のリフレッシュ要求を送信します。

   ゼロタッチでリフレッシュ要求が承認されると、要求確認タスクが作成されます。プロバイダーが要求を確認すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変わります。

2. プロバイダーは新しい資産を従業員に出荷します。

   > **注:**
   > プロバイダーは、 資産管理 アプリケーションを使用してゼロタッチでリフレッシュ要求を実行できます。

   次のタスクが作成されます。

   a. 出荷の要求:このタスクは、プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を確認すると作成されます。プロバイダーが新しい資産を出荷すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変わります。

      プロバイダーが資産を出荷すると、次のようになります。

      - プロバイダーによって指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。
      - 従業員がゼロタッチでリフレッシュ要求で選択したリフレッシュ方法に基づいて、出荷される新しい交換用資産の詳細を含むメール通知が次のように送信されます。
        - 資産が従業員に出荷されると、資産ロールを持つすべてのユーザーにメール通知が送信されます。
        - 資産がストックルームに出荷されると、asset ロールを持つすべてのユーザーと、従業員が新しい資産を集荷する、選択したストックルームのストックルームマネージャーにもメール通知が送信されます。
      - プロバイダーが要求で指定した追跡番号と配送業者の詳細に基づいて、交換用資産と古い資産の出荷に対して一意の出荷レコードが作成されます。両方の出荷に同じ追跡番号が指定されている場合、単一の出荷レコードが作成されます。ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、出荷レコードと関連資産を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産の出荷詳細の表示」を参照してください。

   b. 集荷準備完了:このタスクは、プロバイダーが新しい資産をストックルームに出荷し、そこから従業員が資産を集荷する、集荷リフレッシュメソッドに対してのみ作成されます。

   c. 資産の受領:このタスクは次のように作成されます。

      - 配送リフレッシュメソッドの場合、プロバイダーが従業員に資産を出荷するタイミング。
      - ピックアップリフレッシュメソッドの場合、ピックアップ準備完了タスクがクローズされたとき。

   d. 返品資産の受領:このタスクは、プロバイダーが新しい資産を出荷するときに作成されます。

3. 従業員は新しい資産の受領を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 従業員は、プロバイダーが発送したラベル付きの箱に入れてストックルームに古い資産を返却します。
5. インベントリマネージャーは、古い資産が受領されたことを確認し、評価します。

> **注:**
> ゼロタッチでリフレッシュフローは外部プロバイダーからのサポートを必要とし、 インサイトと統合するように事前設定されています。

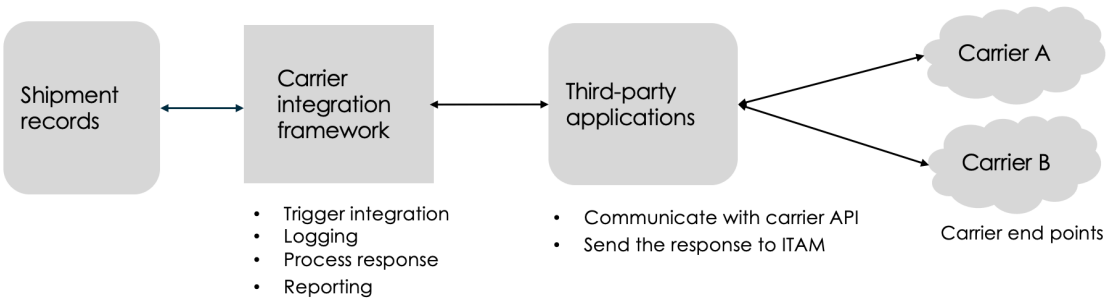
ゼロタッチでリフレッシュフローには次の要件があります。

- 従業員の組織とプロバイダーは同じ ServiceNow クラウド上にある必要があります。
- サービスブリッジ アプリケーションは、プロバイダーと従業員の組織のServiceNowインスタンスで構成する必要があります。

詳細については、「資産の リフレッシュ の管理 ゼロタッチリフレッシュを使用」を参照してください。

サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理

IT Asset Managementアプリケーションが提供する統合フレームワークを使用して、ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションと統合することで、シップメントのステータスをリアルタイムで確認できます。



サードパーティのキャリアアプリケーションとの統合の要件

> **重要:**
> IT Asset Managementアプリケーションは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合するための統合フレームワークのみを提供します。統合をシームレスに機能させるには、実装チームが次の要件に注意する必要があります。

1. 基本クラス ITAMShipmentIntegration スクリプトから拡張されたスクリプトインクルードを作成します。

   詳細については、「サードパーティのキャリアアプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成」を参照してください。

2. 認証情報を使用している場合は、認証情報テーブルまたは Password2 フィールドを含むテーブルを使用し、顧客がアプリケーションにアクセスできるように KMF アクセスマップポリシーを指定します。

   詳細については、「Password2 encryption with the Key Management Framework (KMF) 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. アプリケーション名、API、および接続の詳細を配送業者統合プロファイル [sn_itam_carrier_int_profile] テーブルに追加します。

   詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。

> **注:**
> アプリケーションの一部として統合を作成する場合は、スクリプトインクルードを作成する前に次のステップを完了します。
>
> 1. アプリケーションを作成する。
> 2. 別のスコープに属する任意のアプリケーションからアプリケーションにアクセスできるようにします。詳細については、「サードパーティのキャリアアプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成」を参照してください。

詳細については、「統合フレームワークを使用した出荷の追跡」を参照してください。

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

資産には、初期資本コストや運用コストなど、ライフサイクル全体を通じてコストが発生します。資産総所有コスト (TCO) は、資産マネージャーが資産の総所有コスト (TCO) を把握、分析、および追跡するのに役立ちます。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。

> **重要:**
> 資産総所有コスト (TCO) 機能にアクセスするには ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降をインストールする必要があります。

TCO のメリット

- 資産階層全体で発生した経費を追跡および分析します。
- 資産および資産モデルに対して資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。
- TCO レポートを作成し、事前定義されたレポートを使用して、資産のファイナンシャルプランを改善します。

TCO 計算

資産で発生したコストは、経費ラインとして作成されます。経費ラインには、経費ラインの合計金額、またはすべての子資産の初期資本コストと総経費を含む、資産で発生したコストの履歴が表示されます。

TCO は、資産のライフタイム中に発生したすべての経費の合計です。

- 資産レコードが作成されるときの初期コストには、作成される経費ラインからの購入コストが含まれます。コストを更新すると、経費ラインレコードが更新されます。
- シリアル化された資産の場合、資本コストは 1 回のみ追加され、残りは運用コストと見なされます。作成された経費ラインは、総コストに追加されます。
- 子資産の場合、
  - 子資産でコストが発生した場合、同じコストが親資産の TCO に追加されます。
  - 子資産が削除されても、子資産の経費ラインは保持され、親の TCO は影響を受けません。
  - 子資産がスワップされると、運用コスト用に 1 つの経費ラインが作成されます。
- レートカードによって作成された経費ラインは、資産の TCO に追加されます。
- ハードウェア資産に影響するインシデントには、すでにタスクレートカードが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レートカード、経費ライン、および経費カテゴリ

レートカードは、資本、人件費、材料費、契約コストを追跡するのに役立ち、生成された経費ラインはこれらのコストを追跡します。タスクごとに ハードウェア資産管理 そのタスクの作業時間がキャプチャされます。タスクがクローズされた後、 ハードウェア資産管理 はタスクの作業時間に基づいて経費ラインを作成します。これらの経費ライン金額は、資産の総コストに追加されます。経費カテゴリは、経費ラインに関連付けられます。経費ラインは、[ハードウェア資産の詳細] フォームの [経費ライン] タブに表示されます。

ハードウェア資産管理 アプリケーションは、次のレートカードをサポートしています。

- タスクレートカード
- 賃金レートカード

注:
賃金レードカードは作成された経費ラインの一部であり、タスクの作業時間を記録するタスクレードカードに賃金レードカード情報を含めている場合に有効です。

タスクの時間をキャプチャ

各タスクには、そのユーザーの作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

タスクの開始、タイマーの開始、一時停止、再開、および保存を行うことができます。次のシナリオでは、[作業時間] タブに新しいレコードエントリが作成されます。

- [開始] を選択して作業を開始し、[保存] を選択します。
- [タイマーの開始] を選択して、タスクの時間の記録を開始します。
- [一時停止] を選択して、記録を一時停止します。
- [再開] を選択して記録を再開します。

タイマーは、タスクをクローズしたときにのみ停止します。タスクに費やされた合計時間を求めるには、すべてのレコードエントリを合計してから賃金レートを乗算して、タスクの合計コストを求めます。

[時間を記録] を選択して、タスクに手動で時間を追加できます。

TCO を操作する

TCO により、次のアクションを実行できます。

- 経費ラインを作成して、ハードウェア資産の初期コストと運用コストを追跡します。
- 次のワークフロータスクの TCO と、ワークフロー内の個々のタスクの作業時間を追跡および計算します。
  - 廃棄
  - 寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
  - 契約更新

    注:
    契約コストの場合、契約レートカードで資産の割り当てと配賦オプションが使用され、契約コストが均等に配賦されます。契約レートカードの対象となる資産に資産を追加する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 返品許可 (RMA)
- リース
- 貸与
- ハードウェア資産のリフレッシュ
- 資産再利用

注:

レートカードは、 ハードウェア資産管理 ワークフローに含まれています。これらのレートカードをアクティブ化するには、タスクレートカードフォームの [アクティブ] チェックボックスをオンにします。

- ハードウェアモデルの TCO ベンチマークを追跡します。TCO ベンチマークコストを指定した後、TCO ベンチマークしきい値は次の式を使用して計算されます。

  ```
  TCO benchmark cost * TCO benchmark threshold percentage
  ```

  ここで、TCO ベンチマークしきい値のパーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
- レポートを作成し、資産グループの TCO を比較します。TCO ダッシュボードとレポートの詳細については、「 [資産アナリティクス] ビュー」を参照してください。
- リアルタイムまたはオフラインの TCO レポートの場合は、耐用年数にわたって資産の TCO を正規化し、さまざまなモデルと資産の正規化された TCO を比較します。
  - 資産の耐用年数が資産寿命と同じかそれ以上の場合、正規化された TCO (月あたりの TCO) は次の式を使用して計算されます。

    ```
    (Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)
    ```

  - 資産の有効年限が資産寿命よりも短い場合、正規化された TCO (月あたりの TCO) は次の式を使用して計算されます。

    ```
    (Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life
    ```

注:
次の資産と消耗品の TCO は計算も追跡もされません。

- バンドル資産
- パレット資産
- 個々の消耗品

  消耗品を子資産として使用していた場合、その経費ラインは親資産に追加されます。

- 除外された資産
- オプトアウトされたモデルカテゴリの一部である資産。

を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理

ハードウェア製品をオンボーディングし、ハードウェア資産管理アプリケーションとともにテクノロジー参照モデルアプリケーションポートフォリオ管理 (TRM) を使用して、テクノロジー参照モデル (TRM) ライフサイクルを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テクノロジー参照モデルを使用すると、組織内での使用承認に関する情報を含むハードウェア製品のリストを管理できます。TRM ライブラリは、エンタープライズアーキテクトが管理し、アプリケーションオーナーが使用します。TRM の詳細については、「 Technology Reference Model 」を参照してください。TRM を使用すると、アプリケーションオーナーは、組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、 TRM ライフサイクルフェーズを定義できます。

各ハードウェア製品モデルは、開始日と終了日を持つ一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。ハードウェア資産管理アプリケーションを使用すると、製品に関連するすべてのハードウェアモデルの TRM ライフサイクルフェーズを可視化できます。

との **TRM** 情報の同期 ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理 の [HAM - TRM 情報の同期 (HAM - Sync TRM information)] スケジュール済みジョブは毎日実行され、正規化された製品モデルの TRM フェーズやライフサイクルなどの情報を TRM からフェッチします。その後、ジョブは TRM の詳細を ハードウェア資産管理 アプリケーションに送信します。スケジュール済みジョブが毎日実行されると、TRM フェーズに加えられた更新はすべて ハードウェア資産管理と同期されます。

ハードウェア資産ワークスペース の [モデル管理] ビューでは、ハードウェア製品モデルに関する以下の TRM 関連情報を表示できます。

- ハードウェア製品モデルの [詳細] タブにある **[TRM** 製品フェーズ] フィールドを使用した TRM フェーズ。
- ハードウェア製品モデルの **[TRM** 製品ライフサイクル] 関連タブを使用した TRM ライフサイクル情報

ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修正するための修理フロー

修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修正し、修理された資産をさまざまな ハードウェア資産管理 ワークフローで使用できるようにします。

修理フローを使用することで、組織は破損した資産または保証期間外の資産を内部で修理できます。修復された資産は、検証後に再び使用できます。欠陥資産の修理に関与する外部ベンダーは存在しません。

資産アドミニストレーターは、修理注文を送信することで、ストックルームにある欠陥のある資産または修理待ちの資産の修理を要求できます。詳細については、「ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求します」を参照してください。修理注文を送信すると、修理フローがトリガーされます。修理注文には、資産の修理タスクに関連付けられた修理注文明細行があります。資産技術者は、 ハードウェア資産ワークスペース 内で、または モバイルエージェント アプリケーションを使用して修復タスクを完了します。修理フローは、修理された資産が評価された後に完了します。詳細については、「のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 ハードウェア資産ワークスペース」および「モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修復タスクの管理」を参照してください。

修理フローのステージ

1. トラブルシューティング:欠陥資産を評価し、以下を評価するステージ:
   - 資産に関する問題
   - 必要な部品
   - 欠陥資産を修復する手順

   この段階で、資産技術者は資産が修理可能か、再展開可能か、または修理不可能かを確認します。資産が修理可能な場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 修理:欠陥資産の修理を確認するステージ。このタスクでは、資産を修理、再展開、または修復不能としてマークします。

   資産が修復された場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

3. 評価:修理済み資産の品質管理チェックを実行するステージ。評価結果に基づいて、資産は再展開または廃棄されます。修復フローは資産評価後に完了します。

のインベントリピッキング ハードウェア資産管理

大規模なストックルームで作業するインベントリユーザーは、インベントリピッキング機能を使用して、ストックルーム内の資産を簡単にピッキングし、技術者による資産ピッキングを容易にします。

在庫集荷機能には、次の ハードウェア資産管理 ワークフローでの資産集荷タスクの追加が含まれます。

- Standard Hardware Asset Request (標準ハードウェア資産要求)
- ハードウェア更新要求
- 調達ワークフロー

注:
資産集荷タスクは、資産要求、更新要求、または調達要求の調達に使用されるストックルームに対して明示的に有効になっている場合にのみ使用できます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にする ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

資産集荷タスクを使用すると、ストックルーム内の任意の通路やスペースから資産を集荷できます。その後、集荷した資産をストックルーム内の指定した場所にドロップできます。資産集荷タスクを完了すると、資産技術者はアサインされた要求を実行するために資産を集荷できます。

資産集荷タスクの詳細については、「 ハードウェア資産管理ワークフローのためにストックルーム内のピッキングハードウェア資産を管理する と モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の集荷タスクの管理」を参照してください。

ゼロタッチ要求フロー

ゼロタッチ要求フローを使用して、最小限の介入で外部プロバイダーを通じて従業員のハードウェア要求を実行します。

ゼロタッチ要求フローの要件

ゼロタッチ要求フローには、次の基本要件があります。

1. 組織とプロバイダーが ServiceNow クラウド上にある必要があります。
2. ServiceNow サービスブリッジ アプリケーションは、ServiceNow インスタンスで構成する必要があります。
3. プロバイダーは、リモートカタログアイテムまたはリモートレコードプロデューサーを公開している必要があります。

ゼロタッチ要求のワークフロー

1. 組織の従業員が、ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムのカタログ要求を送信します。

   カタログ要求は、 要求ステータス が [承認待ち] で作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 承認者はカタログ要求をレビューし、次のいずれかのタスクを実行します。
   - カタログ要求を却下します。 要求ステータス が [却下してクローズ] に変わり、要求アイテムの [ステージ] が [未完了でクローズ] に変更されます。
   - カタログ要求を承認します。 要求ステータス が [承認済み] に変わり、要求アイテムの ステージ が [確認待ち] に変更されます。

     注:
     リモートレコードプロデューサーへのアクセス権がない要求者がカタログ要求を送信すると、要求されたアイテムは [未完了でクローズ] としてマークされます。

3. カタログ要求が承認されると、要求に次の変更が加えられます。
   a. 要求は、カタログアイテムマッピングで構成されたリモートレコードプロデューサーに基づいてプロバイダーに送信されます。
   b. 組織のServiceNowインスタンスで、要求されたアイテムのステージが [確認待ち] に変わります。
4. プロバイダーは、注文を確認するスクラッチパッドの更新を ServiceNow インスタンスに送信します。要求アイテムの [ステージ] が [出荷待ち] に変わります。
5. プロバイダーは資産を従業員に出荷し、出荷の詳細を含むスクラッチパッドの更新を ServiceNow インスタンスに送信します。

   プロバイダーが資産を出荷するときに、次のイベントが発生します。
   - プロバイダーによって指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。

     注:
     次のシナリオでは、必要なアクションを実行するためのメール通知が資産アドミニストレーターに送信されます。
     - プロバイダーから提供されたシリアル番号を持つ資産レコードが、 ServiceNow インスタンスに存在します。
     - プロバイダーから提供されたモデル番号が、お使いの ServiceNow インスタンスで利用できません。
     - 出荷される資産は消耗品です。
   - プロバイダーがスクラッチパッドの更新で指定した追跡番号と配送業者の詳細に基づいて、出荷に対して一意の出荷レコードが作成されます。ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、出荷レコードと関連資産を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産の出荷詳細の表示」を参照してください。

   アセットバンドルを出荷する場合、プロバイダーは資産全体を 1 回の出荷で出荷するか、一部を複数回の出荷で出荷するかを選択できます。資産が完全に出荷された場合にのみ、要求アイテムの [ステージ] が [受領待ち] に変わります。
6. 従業員はモバイルデバイスで資産の受領を確認します。要求アイテムのステージが [完了] に変更されます。

   注:
   モバイルデバイスで消耗資産の受領を確認できません。資産アドミニストレーターは、受信したメール通知に基づいて必要なアクションを実行し、従業員に代わって確認を行います。

ゼロタッチ要求フローを使用したハードウェア資産要求の作成と実行の詳細については、「 ゼロタッチ要求フローを使用したハードウェア資産要求の管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産 証明書

資産証明書を使用して、従業員に割り当てられているすべてのシリアル化されたハードウェア資産の正確な詳細を維持します。

資産証明書 オフィス所在地での資産の可用性には依存しません。したがって、ハイブリッドおよびリモートワークモデルをサポートする組織は、資産が遠隔地に分散している場合でも、使用中の資産を監査できます。資産証明書を使用して資産を監査することで、資産データの正確性を達成し、資産使用率を向上させ、リスクを軽減できます。

資産マネージャーまたはインベントリアドミニストレーターは、1 回限りの資産証明書を作成することも、繰り返し資産証明書を作成する証明書スケジュールを作成することもできます。従業員から直接確認を受け取ることで、従業員に割り当てられているシリアル化されたハードウェア資産がまだ使用されているかどうかを検証できます。

資産証明書のメリット

- 場所に関係なく、必要なハードウェア資産のリモート資産監査を実行する機能。詳細については、「インベントリビューでの資産証明書の作成」を参照してください。
- 繰り返し資産証明書を作成するスケジュールを設定するオプション。詳細については、「資産証明書スケジュールの作成」を参照してください。
- 直感的で分かりやすい 従業員センター ポータル。従業員がアサインされたハードウェア資産の所有権を確認し、ハードウェアと消耗品資産に関連する問題を提起することもできます。詳細については、以下を参照してください。
  - 従業員センターポータルでアサインされた資産を確認する
  - 従業員センターポータルで資産に関連する問題を提起する
- 資産マネージャーとインベントリアドミニストレーターが資産証明書のステータスを監視し、必要なアクションを実行できる包括的なレポート。詳細については、以下を参照してください。
  - でオープンな資産証明書を表示する ハードウェア資産ワークスペース
  - シリアル化されたハードウェア資産の証明書の表示

要件と制限事項

資産証明書は、次の ServiceNow Store アプリケーション に依存しています。

- 従業員センター (sn_ex_sp)
- 従業員プロファイル (sn_employee)

詳細については、「Employee Center」と「Employee profile」を参照してください。

資産証明書を使用して資産を監査する場合は、次の点を考慮してください。

- オプトインされたリソースカテゴリに属するシリアル化されたハードウェア資産は、証明のみできます。除外されたハードウェア資産は証明できません。
- 消耗品、バンドル、およびパレットは証明できません。
- 証明書は、 HAM ソリューションのリソースカテゴリに属する資産は、オプトインされている場合にのみサポートされます。
  - ハードウェア資産管理 との統合 通信事業ネットワークインベントリ:サーバー、ネットワーク機器、および通信ネットワークインベントリ (TNI) リソースカテゴリの資産のみを証明できます。
  - ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合:モバイルデバイスリソースカテゴリの資産のみを証明できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産証明書ワークフロー

1. 資産マネージャーまたはインベントリアドミニストレーターは、資産と資産のモデルカテゴリがアサインされた従業員を選択して、1 回限りの資産証明書を作成します。

   資産証明書 [sn_itam_common_asset_attestation] テーブルに証明書レコードが作成されます。また、証明する資産の詳細が資産の証明書 [sn_itam_common_attestation_asset_m2m] テーブルに追加されます。

2. 従業員センターポータルへのリンクを含むメール通知が、アサインされた資産の所有権の確認を担当する従業員に送信されます。
3. 従業員は資産の詳細を確認し、 従業員センター ポータルで資産の所有権を承認または拒否します。

   資産証明書レコードのステータスが更新されます。

資産証明書スケジュールのワークフロー

1. 資産マネージャーまたはインベントリアドミニストレーターは、証明書スケジュールを作成して繰り返し証明書を作成します。

   資産証明書スケジュール [sn_itam_common_attestation_schedule] テーブルに証明書スケジュールレコードが作成されます。

2. *ITAM Common- Asset attestation*日次ジョブは毎日実行され、すべての資産証明書スケジュールをチェックします。この日次ジョブは、証明書スケジュールで指定された頻度に基づいて資産証明書を作成します。

資産証明書の詳細については、「 資産証明書を使用したハードウェア資産の監査」を参照してください。

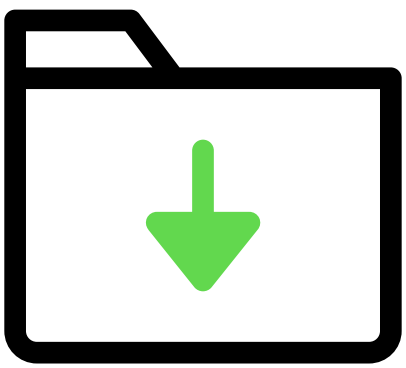
ハードウェア資産管理の構成

資産データを一元化して正確なインベントリとインサイトを取得し、ワークフローで IT ライフサイクルを自動化し、資産コストとリスクを削減するように ハードウェア資産管理 を構成します。

構成の概要

ハードウェア資産管理の構成プロセスの概要は次のとおりです。

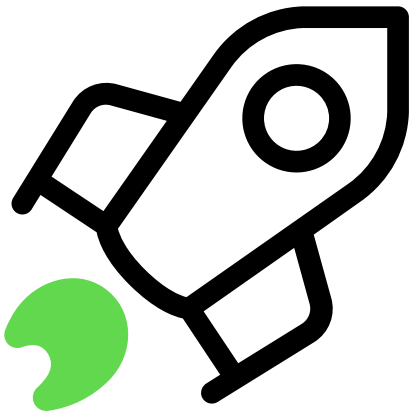
ハードウェア資産管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
	ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを入手します。	ハードウェア資産管理 のインストール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
ハードウェア資産管理 のインストール		
 ハードウェア資産管理 の使用	ハードウェア資産管理を使用してハードウェアと消耗資産を管理し、資産のコストとリスクを削減します。	ハードウェア資産管理 の使用

ハードウェア資産管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp) をインストールできます。 アプリケーションには、デモデータが含まれています。関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。

始める前に

依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeのハードウェア資産管理 アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール:ham_admin

このタスクについて

ハードウェア資産管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- スケジュール済みジョブ
- テーブル

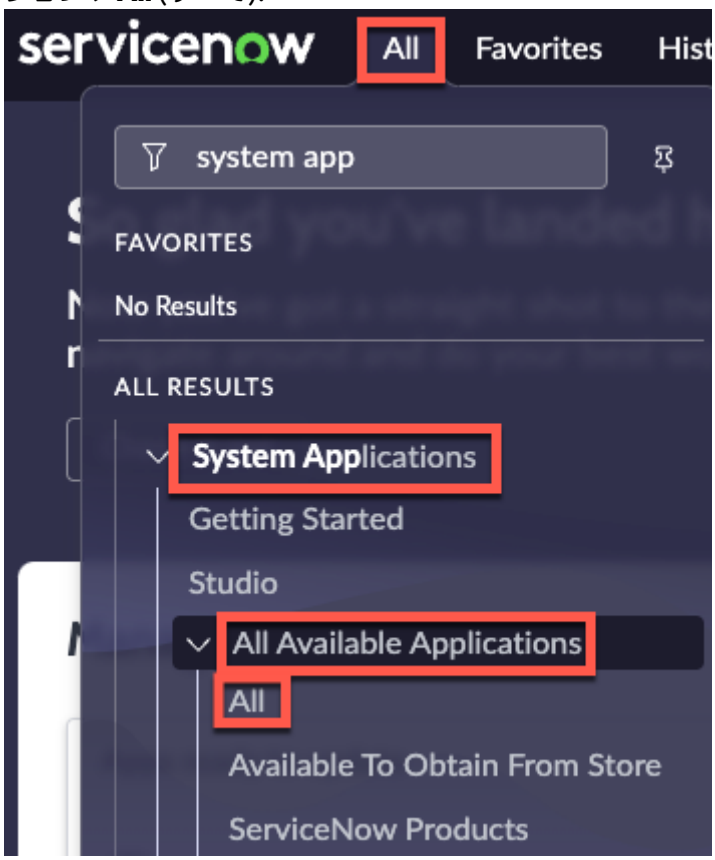
詳細については、「ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSDM ガイドラインをハードウェア資産管理に適用する

ハードウェア資産管理CSDMテーブルを管理 (データを提供) します。ハードウェア資産管理 は、他のアプリケーションが生成するCSDMテーブルのデータも使用します。したがって、いくつかのServiceNow 製品は、 ハードウェア資産管理の恩恵を受け、価値を付加します。

CSDMデータフレームワークの実装

CSDM は、ServiceNow 製品とアプリケーションをセットアップするときに従うデータフレームワークです。CMDB で構成アイテム (CI) と CI 間の関係を定義する場合は、CSDM のガイドラインに従います。このプロセスにより、データが適切な CMDB テーブルに存在することが保証され、Now Platform アプリケーションから最大限の価値を引き出すことができます。

CSDM標準的で一貫性のある用語と定義のセットを使用すると、ライフサイクルの移行を通じて資産を効果的に追跡するのに役立ちます。

注:
ハードウェア資産管理CSDMを設定するには、「Implementing the CSDM framework in stages」を参照してください。

CSDMガイドラインに準拠したテーブル 管理担当者ハードウェア資産管理

1. 製品モデルテーブル [cmdb_model]: 資産管理 アプリケーションは、このテーブルを管理し、データを提供します。
2. 資産テーブル [alm_asset]:資産の詳細を含むこのテーブルは、 資産管理 アプリケーションで管理されます。

CSDM によって使用されるテーブル ハードウェア資産管理

構成アイテムテーブル [cmdb_ci]: CMDB このテーブルを管理します。ハードウェア資産管理 アプリケーションは、このテーブルの構成アイテム (CI) データを参照します。

CSDM のライフサイクルマッピング ハードウェア資産管理

ベースシステムには、ライフサイクルマッピング値を格納するライフサイクルマッピング [life_cycle_mapping] テーブルが含まれています。マッピングレコードは、資産や製品モデルなどのクラスの従来のライフサイクルフィールド値を CSDM [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドにマッピングする方法を指定します。資産 [alm_asset] テーブルと製品モデル [cmdb_model] テーブルのマッピングの詳細は、ライフサイクルマッピングテーブルで取得できます。

ハードウェア資産管理と **CSDM** の製品モデルテーブルの **[cmdb_model]** マッピング

[製品モデルステータス] フィールド	**CSDM** ライフサイクルステージフィールドとライフサイクルステージステータスフィールド
廃止	提供終了 |引退
構築	デザイン |建てる
販売済み	提供終了 |販売
In Production (本番環境)	運用 |使用中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理と **CSDM** の資産テーブル **[alm_asset]** マッピング

資産ステータスおよびサブステートフィールド	**CSDM** ライフサイクルステージフィールドとライフサイクルステージステータスフィールド
廃止 |RMA	提供終了 |RMA
廃止	提供終了 |引退
廃止 |ベンダークレジット	提供終了 |ベンダークレジット
在庫あり |引っ込み思案	インベントリ |引っ込み思案
在庫あり |訴訟ホールド	インベントリ |訴訟ホールド
在庫あり |転送待ち	展開 |転送待ち
盗難紛失 |ロスト	盗難紛失 |ロスト
在庫あり |再販待ち	運用終了 |再販待ち
廃止 |再販待ち	運用終了 |再販待ち
廃止 |リース返却	提供終了 |リース返却
盗難紛失 |盗まれた	盗難紛失 |盗まれた
廃止 |寄付	提供終了 |寄付
輸送中 |利用できる	展開 |輸送中
輸送中 |寄付待ち	運用終了 |輸送中
輸送中	展開 |輸送中
輸送中 |事前割り当て済み	購入 |事前割り当て済み
構築	デザイン |建てる
使用中	運用 |使用中
輸送中 |再販待ち	運用終了 |輸送中
廃止 |販売	提供終了 |販売
廃止 |買い上げる	提供終了 |買い上げる
輸送中 |不完全な	欠陥品 |輸送中
在庫あり	インベントリ |利用できる
廃止 |破棄	提供終了 |破棄
在庫あり |インストール待ち	展開 |在庫あり
在庫あり |評価を保留中	運用終了 |評価を保留中
在庫あり |保留	運用終了 |保留中
在庫あり |廃棄待ち	運用終了 |廃棄待ち
発注済み	購入 |発注済み
使用中 |履行待ち	運用 |履行待ち
廃止 | 使用停止	提供終了 |廃れた
在庫あり |試験	展開 | テスト
メンテナンス中	運用 |メンテナンス中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理と **CSDM** の資産テーブル **[alm_asset]** マッピング (続く)

資産ステータスおよびサブステートフィールド	**CSDM** ライフサイクルステージフィールドとライフサイクルステージステータスフィールド
廃止 |廃棄待ち	運用終了 |廃棄待ち
使用中 |サポート終了	運用 |サポート終了
在庫あり |修理待ち	インベントリ |修理待ち
在庫あり |不完全な	欠陥品 |在庫あり
在庫あり |利用できる	インベントリ |利用できる
輸送中 |廃棄待ち	運用終了 |輸送中
輸送中 |インストール待ち	展開 |輸送中
在庫あり |事前割り当て済み	インベントリ |事前割り当て済み
輸送中 |引っ込み思案	展開 |引っ込み思案
在庫あり |返品保留	運用終了 |返品保留
使用中 |廃止待ち	運用 | 廃止待ち
在庫あり |検疫	インベントリ |検疫
欠損	盗難紛失 |ロスト
在庫あり |保留中の証明書	運用終了 |保留中の証明書
在庫あり |寄付待ち	運用終了 |寄付待ち

CSDM フォームのライフサイクルフィールド

従来のフィールドと CSDM ライフサイクルフィールド間の同期は、製品モデルと資産の両方で双方向です。ただし、フォームの CSDM フィールドの可用性については、次の点に注意してください。

- モデルフォームには、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドの両方が表示されます。
- 資産フォームでは、 CSDM ライフサイクルフィールドは表示されません。

資産と **CI** 間の **CSDM** ライフサイクルフィールドの同期

Xanadu前のリリースでCSDMするようにオプトインした場合、資産と CI 間のCSDMライフサイクルフィールドの同期は、従来のフィールドを通じて行われます。ただし、 Xanadu にアップグレードするときに、資産と CI の間で CSDM ライフサイクルフィールドを直接同期するように選択することもできます。

Xanadu リリース以降、CSDM にオプトインすると、資産と CI の間でライフサイクルフィールドが直接同期されます。

ライフサイクルフィールドの同期の詳細については、「 How life-cycle values for Asset, CI, and IBI are synced 」を参照してください。

ハードウェア資産管理 の使用

ハードウェア資産管理アプリケーションを使用して、ハードウェアと消耗資産を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア正規化の操作

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ユーザーはハードウェアと消耗品モデルの詳細 (メーカー、製品、モデル、デバイスタイプなど) を正規化できます。モデルのデータは、 ハードウェアモデル正規化 コンテンツサービスのデータと比較されます。

ハードウェアモデル正規化 プラグインを有効にすると、Normalization Data Services Client (com.glide.data_services_canonicalization.client) プラグインも有効になります。

注:
このドキュメントは ハードウェアモデル正規化用です。資産管理の詳細については、資産管理のドキュメント を参照してください。

スケジュール済みジョブ

ハードウェアと消耗品モデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツでモデルレコードを手動で更新するか、データをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスと比較することができます。

スケジュール済みジョブ [*HAM- Hardware Normalization*] を毎日実行します。このジョブでは、モデルの追加、削除、結合は行われず、モデル名、メーカー、モデル番号などの元のフィールドも変更されません。[正規化済み製品]、[正規化済みメーカー]、[正規化済みモデル] などの既存のモデルの正規化関連フィールドのみが更新されます。

ハードウェアモデル正規化コンテンツサービスからのコンテンツがNow Platformにプルされます。資産ジョブログ (asset_job_log) テーブルを使用して、スケジュール済みジョブのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルの [正規化を元に戻す]をクリックすることで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻り、ルールは非アクティブ化されます。スケジュール済みジョブが実行されると、アクティブなルールでモデルが処理され、ステータスが更新されます。

スケジュール済みジョブは、ハードウェアと消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを特定し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれます。

- ハードウェア製品の全体的な標準化ステータス
- 消耗品の全体的な正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデル正規化ステータス

関連情報

ハードウェアモデル正規化

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、組織のハードウェアと消耗品モデルのデータを ServiceNowと共有することで、正規化プロセスを改善します。

始める前に
必要なロール：

- ham_admin:ドメインセパレーションされていないインスタンスの場合
- ham_adminプラスdomain_admin:ドメインセパレーションインスタンスの場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスにオプトインすると、データが ServiceNow と安全に共有され、コンテンツサービスリポジトリが構築されます。コンテンツサービスに追加すると、より多くのモデルを自動的に正規化できます。これらの更新は毎週行われます。

コンテンツの更新は、ハードウェアおよび消耗品モデル、ライフサイクル、およびハードウェア 資産管理 コンテンツサービスに返送されたカスタムハードウェア製品モデルのデータに基づいています。

コンテンツサービスによって取得されるデータはすべて、 ServiceNow プライバシーポリシーに従って匿名で安全なままに保たれます。データはレビュー後、適切に廃棄されます。

手順

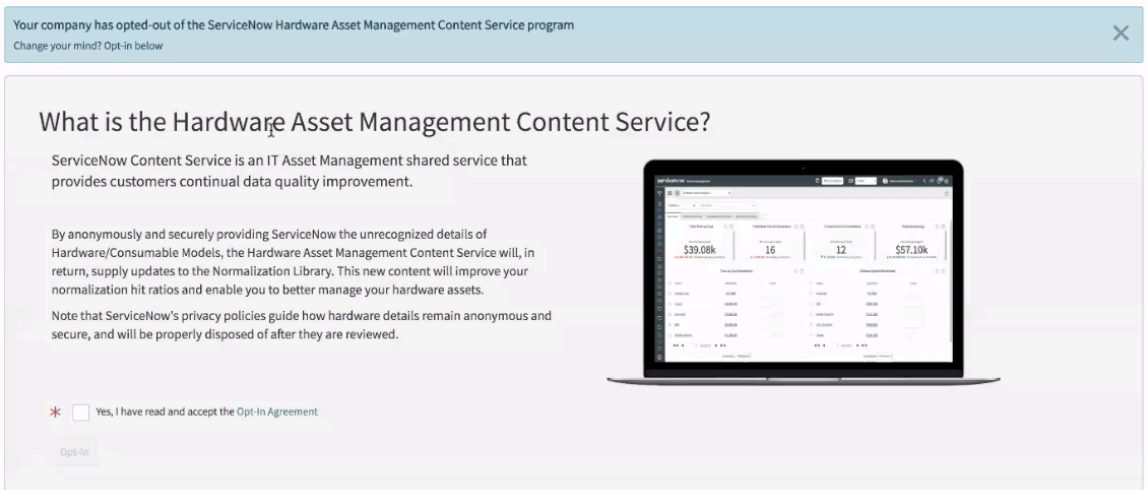
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > **Hardware Model Normalization** > コンテンツサービス設定.
2. ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約を読みます。
3. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] を選択します。
4. [オプトイン] をクリックします。
5. 除外するハードウェアモデル、消耗品モデル、またはライフサイクルデータがある場合は、[コンテンツサービス設定] フォームでオプションを切り替えます。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。

Example: ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

組織で Hardware 資産管理 Content Service を有効にすることが決定されました。

コンテンツサービスセットアップモジュールに移動し、ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約を確認します。

ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約



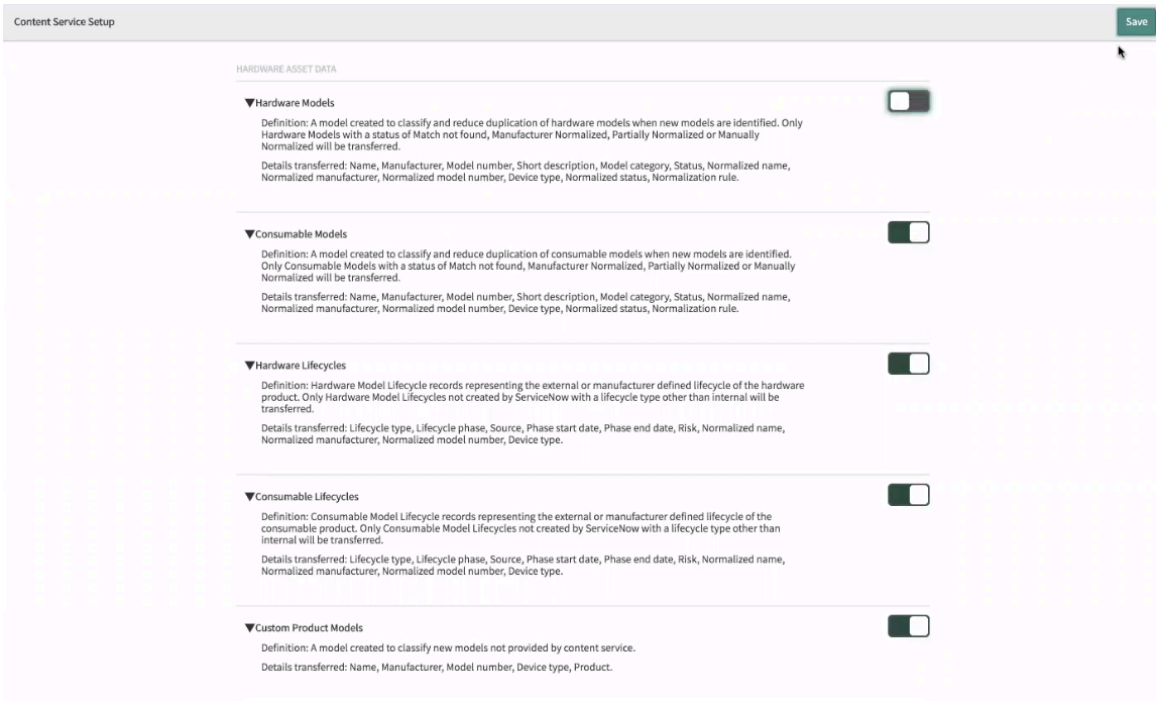
[はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] を選択して、[コンテンツサービスのセットアップ] ページを表示します。

ハードウェアモデルデータを Hardware 資産管理 Content Service に送信しないことを決定しました。[ハードウェアモデル] の横にあるボタンを切り替えて、ハードウェアモデル資産データの送信をオプトアウトします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツサービス設定

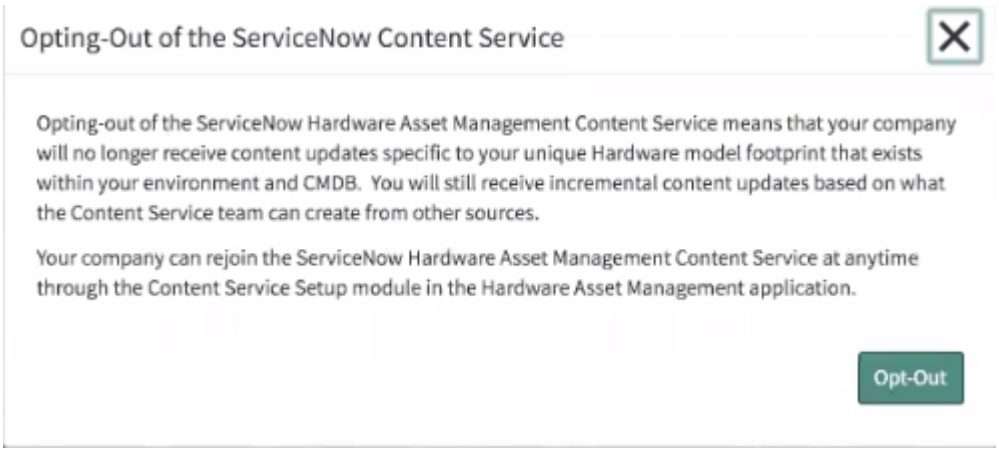


[Save (保存)] をクリックします。

組織は、データを送信しないと判断し、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスからオプトアウトしたいと考えています。データの送信を停止するには、すべてのボタンをオフに切り替えます。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスの使用をオプトアウトすることを確認するメッセージが表示されます。

ServiceNow コンテンツサービスからオプトアウト中



[オプト アウト] をクリックします。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービス契約に戻ると、いつでもオプトインし直すことができます。

コンテンツデータのインポートとエクスポート

コンテンツデータを ServiceNow ハードウェア資産管理 コンテンツサービスにインポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、[ハードウェアライブラリの管理] モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：

- ham_admin
- domain_admin (ドメインセパレーションが有効になっている場合)

手順

1. [モジュール] に移動し、[ハードウェアライブラリの管理] を検索します。
2. [ハードウェアライブラリを管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしてモジュールをアクティブ化します。
3. [保存] をクリックして、フォームレイアウトを更新します。
4. [ハードウェアライブラリを管理] モジュールに移動します。
5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。

   a. [ハードウェアライブラリコンテンツのインポート] をクリックします。

   b. [コンテンツ ファイルを添付] をクリックし、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。

   c. [インポート実行] をクリックします。
   データがインポートされると、コンテンツ更新スケジュールジョブ *`HAM - Apply latest content changes`* がトリガーされ、コンテンツ更新が処理されます。

6. コンテンツをエクスポートして、完全に正規化されていないカスタムデータまたはハードウェアモデルを ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

   a. 「コンテンツ・サービス・オプト・イン: ハードウェア正規化コンテンツのエクスポート」をクリックします。

   b. ServiceNowコンテンツサービスとのデータ共有をまだオプトインしていない場合は、[オプトイン] をクリックして [ハードウェアライブラリの管理] ページを更新します。

   c. [エクスポートを実行] をクリックします。

   d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
   zip ファイルが作成され、[ハードウェアライブラリを管理] ページの上部に表示されます。エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

   e. この zip ファイルをダウンロードして、ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

ハードウェアまたは消耗品モデルの作成

ハードウェアと消耗資産の追跡を開始するには、ハードウェアまたは消耗品モデルを作成します。次に、ライフサイクル情報を追加して、モデルのライフサイクルフェーズを追跡します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル
   - 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル
2. [**New**] をクリックします。
3. ハードウェアモデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

   a. [ハードウェアモデル] フォームで、[消耗品モデルフィールド] セクションをクリックします。

   b. **[Save** (保存)] をクリックします。

   c. 資産に情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   d. 単位情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   e. 互換性のあるモデルをリンクするには、 互換性 をクリックし、[互換性の追加] をクリックします。

   f. モデル代替を追加するには、 代替 をクリックし、[代替を追加] をクリックします。

   g. ハードウェアモデルを手動で正規化するには、[正規化] セクションをクリックします。

   h. 構成アイテムを追加するには、 構成アイテムをクリックします。

   i. モデルを製品カタログに追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   j. モデルをハードウェアカタログに公開するには、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクをクリックします。

   k. 関連資産を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   l. モデル コンポーネントを追加するには、 モデルコンポーネントをクリックします。

   m. ベンダー情報をモデルに追加するには、 ベンダーカタログアイテム をクリックして [新規] をクリックします。

   n. ライフサイクル情報を追加するには、 ハードウェアモデルのライフサイクルをクリックし、[新規] をクリックします。
   ソース、ライフサイクルタイプ、ライフサイクルフェーズ、およびソースが同じライフサイクルが存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。

   > **注:**
   > 追加したライフサイクルは削除できますが、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから作成されたライフサイクルは削除できません。

4. 消耗品モデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [消耗品モデル] フォームで、 詳細を入力します。

b. **[Save** (保存)] をクリックします。

c. 消耗資産に情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

d. モデルを製品カタログに追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

e. ベンダー情報をモデルに追加するには、[ベンダーアイテム] 関連リストをクリックします。

f. ライフサイクル情報を追加するには、[消耗品モデルのライフサイクル] 関連リスト をクリックし、[新規] をクリックします。
ソース、ライフサイクルタイプ、ライフサイクルフェーズ、およびソースが同じライフサイクルが存在する場合は、エラーメッセージが表示されます。

> **注:**
> 追加したライフサイクルは削除できますが、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから作成されたライフサイクルは削除できません

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
モデルは、[ハードウェアモデル] または [消耗品モデル] リストに表示されます。

> **注:**
> このモデルをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから除外する場合は、[コンテンツサービスから除外] オプションを選択します。

Example: ハードウェアモデルを作成する

ThinkPad T43を購入し、資産の追跡を開始する必要があります。

資産の追跡を開始するには、ハードウェアフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
メーカー	Lenovo
[Name (名前)]	ThinkPad T43(シンクパッド T43)

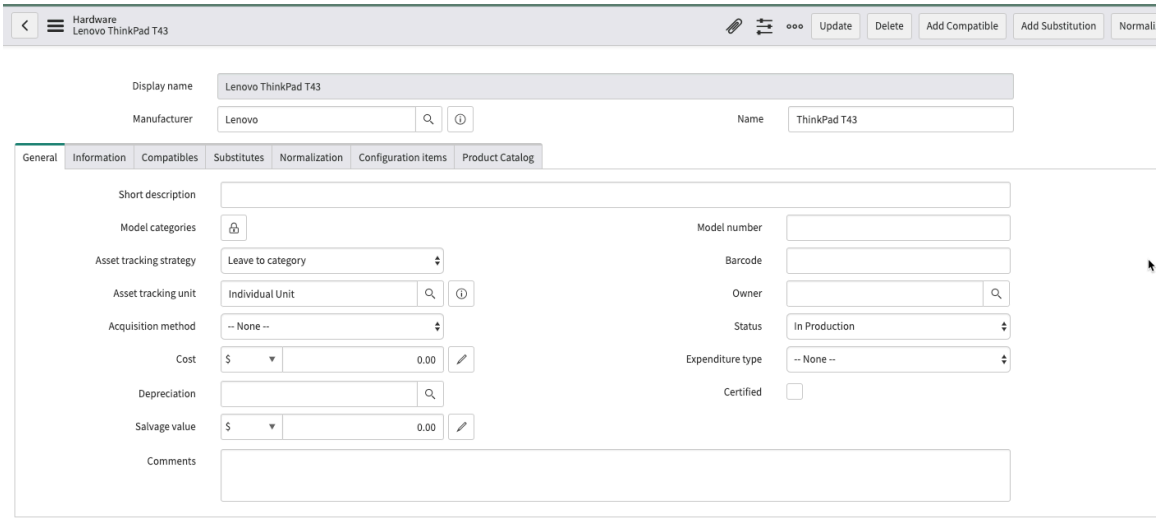
[Save (保存)] をクリックします。

[表示名] フィールドは、メーカーの名前とハードウェアの名前で更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアフォーム



現在、Lenovo ThinkPad T43は一般発売されています。ライフサイクルステータスを追加して、資産のフェーズを正確に追跡します。

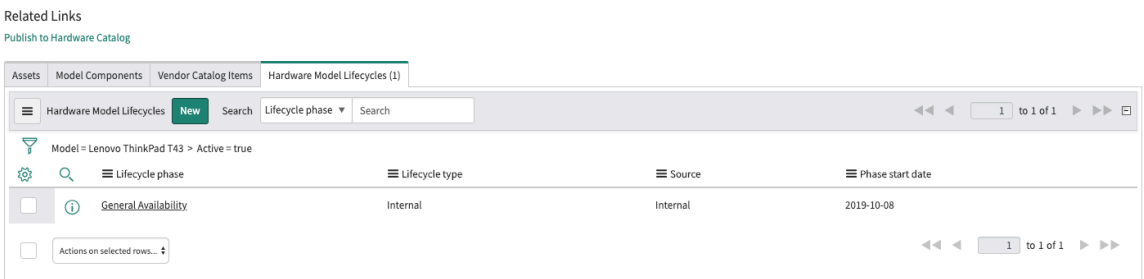
[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。ハードウェアモデルのライフサイクルフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフサイクルタイプ	一般提供
フェーズ開始日	2019-10-08
フェーズ終了日	2019-10-31

[**Submit** (送信)] を選択します。

ライフサイクルがレコードに追加されます。

ハードウェアモデルのライフサイクル



一般提供フェーズが終了すると、ThinkPad T43は製造中止となります。ライフサイクルを正確に追跡するために、提供終了情報を資産に追加します。

[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。ハードウェアモデルのライフサイクルフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフサイクルタイプ	サポート終了
フェーズ開始日	2019-11-01

自動翻訳

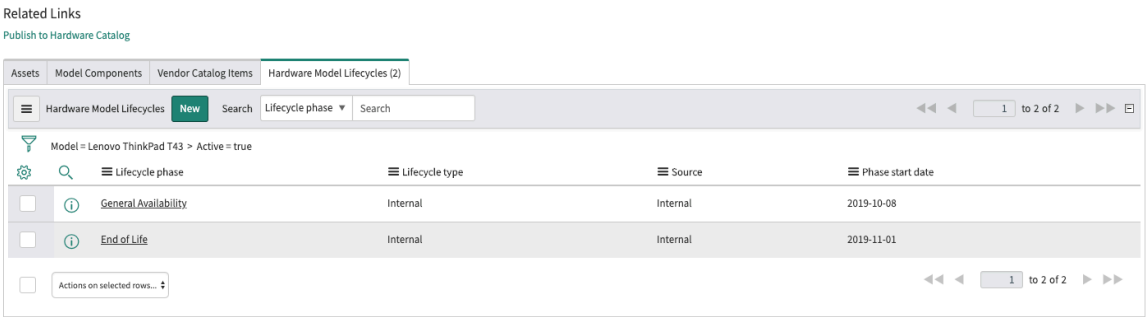
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フェーズ終了日	2019-11-30

[**Submit** (送信)] を選択します。

サポート終了ライフサイクルがレコードに追加され、両方のライフサイクルフェーズが [ハードウェアモデルのライフサイクル] 関連リストに表示されます。

[ハードウェアモデルライフサイクル] リストのライフサイクルフェーズ



次のタスク

ハードウェアまたは消耗品モデルを追加した後に、 データを正規化できます。

ハードウェアと消耗品モデルを正規化する

ハードウェアモデルと消耗品モデルを作成した後、モデルの情報を正規化します。

始める前に

必要なロール:admin、asset、または model_manager

このタスクについて

注:

- ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合は、スケジュールジョブから追加されたライフサイクル値を上書きすることも、独自のライフサイクルを手動で追加することもできます。
- モデルを完全に正規化するには、メーカーの詳細とモデル番号、およびオプションでモデル名を追加する必要があります。
- [デバイスタイプ] フィールドを更新すると、正規化ステータスが更新されます。

手順

1. ハードウェアまたは消耗品モデルを作成します。
   情報が利用可能な場合、モデルがハードウェア正規化コンテンツサービスのデータと比較され、モデルが正規化されます。

   注:
   ハードウェアまたは消耗品モデルがハードウェア資産管理コンテンツサービスに対して正規化されている場合、該当するライフサイクルがコンテンツサービスに存在していれば、ライフサイクルが追加されます。

2. モデルの正規化ステータスが [一部正規化済み] または [正規化済みパブリッシャー] の場合は、モデルを手動で正規化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

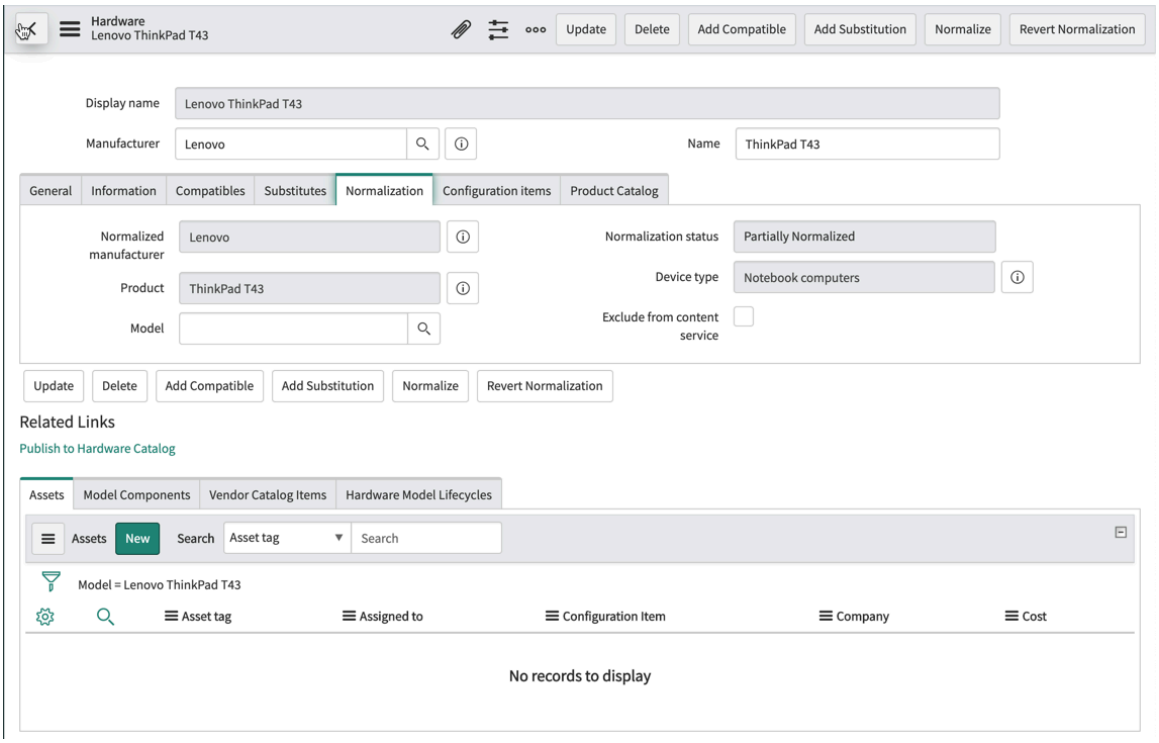
3. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [正規化ステータス] フィールドが更新されました。

Example: ハードウェアモデルの正規化

Lenovo ThinkPad T43 のハードウェアモデルを作成し、資産情報を組織全体で一貫性を持たせたいと考えました。

[正規化] セクションを選択して、モデルの正規化ステータスを確認します。

標準化ステータス



モデルの名前がないため、正規化ステータスは [一部正規化済み] に設定されます。

[モデル] フィールドに「2687DTU」と入力します。

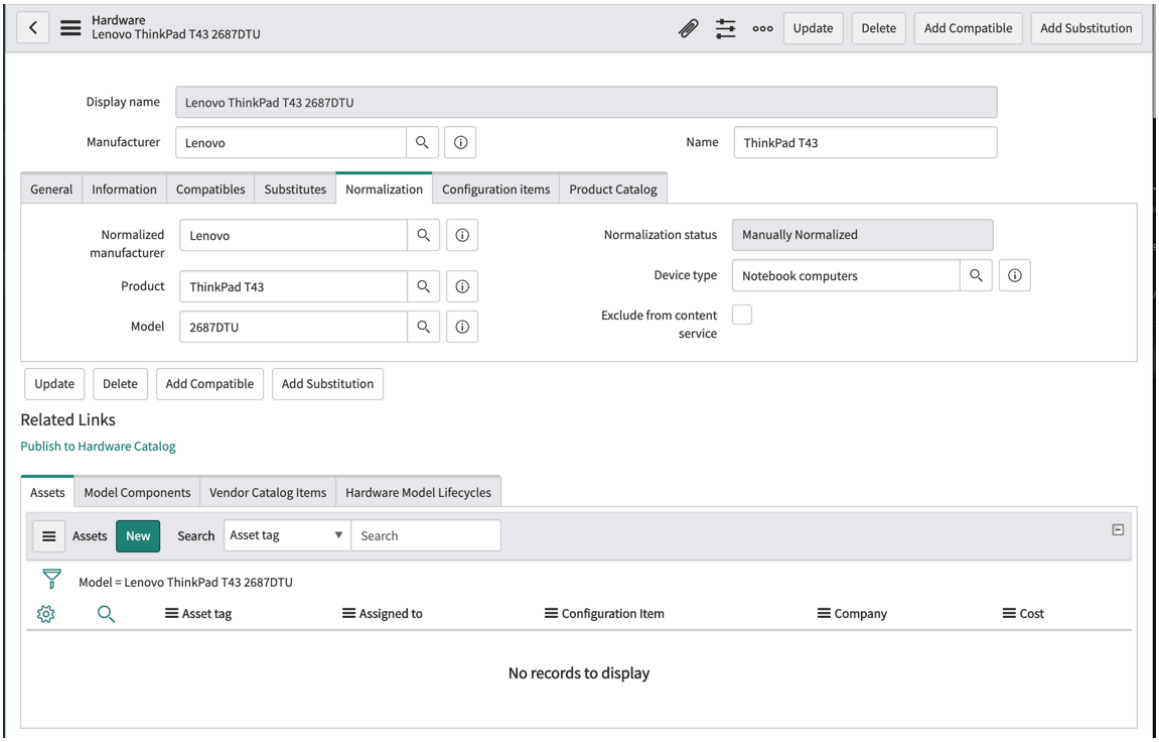
[**Save** (保存)] をクリックする。

[**Normalization Status**] フィールドに は **[Manually Normalized]** と表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手動で正規化されたステータス



ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す

ハードウェア資産ワークスペースでハードウェアモデルと消耗品モデルの正規化を元に戻します。

始める前に

必要なロール:asset ロールまたは model_admin ロール (ドメインセパレーションなし)、asset または model_admin and domain_admin (ドメインセパレーションあり) を持つユーザー

> **注:**
> model_admin ロールは、 OT 資産管理 アプリケーションが ServiceNow インスタンスでアクティブ化されている場合にのみ使用できます。このロールでは、OT ハードウェアモデルの正規化ステータスを元に戻すことができます。OT 資産の詳細については、「 OT 資産 ワークスペース」を参照してください。model_adminロールには、mode_managerサブロールが含まれます。

このタスクについて

ステータスが [完全正規化済み]、[一部正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [手動で正規化済み] のハードウェアモデルと消耗品モデルは元に戻すことができます。

手順

1. 正規化されたハードウェアまたは消耗品レコードに移動します。
2. 既に正規化されているハードウェアまたは消耗品モデルレコードを選択します。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
4. 確認メッセージ ボックスで **[OK**] を選択します。

タスクの結果

正規化を元に戻すプロセスが完了すると、次の変更が行われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。
- フィールドは元の値にリセットされ、モデルに関連付けられたルールはすべて非アクティブ化されます。
- ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すが実行されます。
- 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールを再アクティブ化することはできません。これは 1 回限りの手順です。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションは、[正規化] オプションに置き換えられます。

カスタム製品を追加

資産管理コンテンツサービスにまだ表示されていない製品がある場合は、カスタム製品を作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > カスタム製品.
2. [**New**] をクリックします。

フィールド	説明
[Name (名前)]	カスタム製品の名前。
メーカー	メーカーの名前。
説明	製品の説明。
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
[Active (アクティブ)]	製品がアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

カスタムハードウェアモデルの追加

資産管理コンテンツサービスにまだ表示されていないハードウェアモデルがある場合は、カスタムモデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > カスタムモデル.
2. [**New**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムハードウェアモデルライブラリフォーム

フィールド	説明
モデル番号	ハードウェアモデルに関連付けられている番号。
製品	製品の名前。
説明	ハードウェアモデルの説明。
[Name (名前)]	モデルの名前。
[Active (アクティブ)]	モデルがアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	モデルがコンテンツサービスに送信されないことを示すオプション。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

資産と CI の操作

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状況とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *`Update CI fields on change`* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *`Update Asset fields on change`* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注:
資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

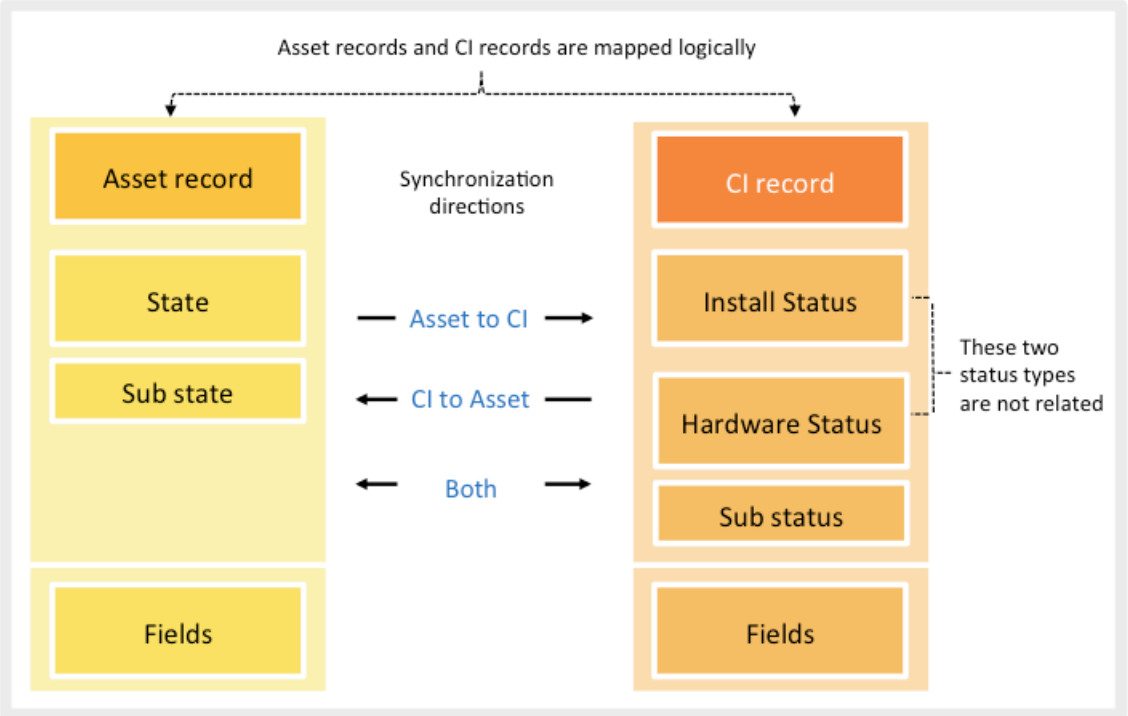
注:
資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

- 資産の状態と CI のステータスは 1 対 1 でマッピングされません。他方のテーブルにおいて最も論理的に一致するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 保留中の廃棄] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストール ステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。
- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のアクティブステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産の状態およびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェア ステータスが変更されても CI のインストール ステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

同期されるフィールドは以下の通りです。

- 資産管理番号
- Assigned (割り当て日付)
- Assigned to (アサイン先)
- Checked in (チェックイン日時)
- Checked out (チェックアウト日時)
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- Delivery date (配送日)
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント
- Install date (インストール日)
- Invoice number (請求書番号)
- Justification (理由)
- Lease ID (リース ID)
- Location (ロケーション)
- Managed by (管理担当者)
- Model (モデル)
- 注文日
- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- PO number (発注書番号)
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産および CI の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create asset delayed sync* スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、次に移動します: 資産 > アドミニストレーション > 資産作成キュー. エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

> **注:**
> このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Yokohama にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

> **注:**
> ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスも IRE を使用して資産から作成されますが、このプロパティではコントロールされません。

IRE を使用して作成された CI は、「シリアル番号 - モデル名」の形式の名前になり、ソースは SNAssetManagement です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要です。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Yokohama にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

割り当て済み資産を作成する

コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 資産を作成します。

2. [資産レコードフィールド (Asset record fields)] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「資産レコードフィールド」を参照して ください。

3. 資産フォームを送信または保存します。

資産の廃止

資産はいつでも廃止できます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産の状態を [廃止] に変更すると、[サブステート] フィールドがアクティブになります。資産を廃止すると、関連する CI のステータスも [廃止] に変わります。サブステートの選択は必須ではありませんが、追跡とレポート作成に役立ちます。

> **注:**
> 資産のステータスを [廃止] から [使用中] などの他の値に手動で変更すると、資産は再びアクティブになります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [状態] で、[廃止] を選択します。
3. オプション: [サブステート] で、[廃棄済み]、[販売済み]、[寄贈済み]、[ベンダー クレジット] のいずれかを選択します。
4. [更新] をクリックします。

資産の削除

資産はいつでも削除できます。

始める前に

> **注:**
> アセットバンドルの一部となっている資産は削除できません。

必要なロール：asset

このタスクについて
資産とコンポーネントが完全に削除される前に確認を承認する必要があります。CI と資産がリンクされている場合、どちらかを削除すると両方とも削除されます。

資産の削除は、エラーのクリーンアップのためにだけ行ってください。追跡目的として未使用の資産を管理するには、資産の状態を [廃止済み] に変更することが正しい方法です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. 資産の [名前] の左側にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。

資産フィールドと **CI** フィールドをマッピングする

資産フィールドと CI フィールドをマッピングすると、双方向で同期を行います。資産レコードや CI レコードの変更は、論理的にマッピングされたレコードに更新されます。ベース インスタンスで提供されるカスタム マッピングとマッピングを同期できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

注:
以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に `AssetAndCISynchronizer` スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

このタスクについて
条件付きでフィールドをマッピングさせて同期を行うことができます。たとえば、[事業所] フィールドについて、ソフトウェア資産ではなくハードウェア資産についてのみマッピングすることが可能です。そうすることで [事業所] フィールドは、資産の更新時にはハードウェア資産のみ同期を行います。

注:
資産値がハードウェア [alm_hardware] テーブルにのみ存在し、資産 [alm_asset] テーブルには存在しない場合、資産フィールドと CI フィールドをマッピングすることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > 資産 **- CI** フィールドマッピング をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [資産フィールド] リストから、フィールドを選択します。
   このリストは alm_asset テーブルを参照しています。
3. cmdb_ci テーブルを参照する [構成アイテムフィールド] リストから、論理的に関連付けられたフィールドを選択します。
4. マッピングの条件を作成するには、[詳細表示] 関連リンクをクリックします。
   - 資産フィールドと CI フィールドを同期させるための条件を指定するには、[資産マッピング条件] ビルダーを使用します。
   - CI フィールドを資産フィールドと同期するための条件を指定するには、[構成アイテム マッピング条件] ビルダーを使用します。
5. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

資産状態と **CI** インストール ステータスをマッピングする

資産の [状態] フィールドと [サブステート] フィールドを **[CI** インストールステータス] フィールドにマッピングします。**[CI** インストールステータス] フィールドの [サブステータス] フィールドは、ハードウェア CI には使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:**
> 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に `AssetAndCISynchronizer` スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

このタスクについて
資産同期では、ハードウェア資産が更新されても、このフィールドは更新されません。マッピング作成時に、同期方向を資産から CI へと設定できますが、CI から資産へは設定できません。ハードウェア以外の CI クラスの場合は、双方向の同期を設定できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > 資産 **- CI** インストールステータスマッピング.
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状況の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
7. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
8. [送信] をクリックします。

資産状態と CI ハードウェアステータスをマッピングする

資産の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドを CI の [ハードウェアステータス] フィールドにマッピングします。ハードウェア CI で [サブステータス] フィールドを使用しないでください。資産が更新されても CI 同期ではそのフィールドが更新されないからです。マッピング作成時に、資産、CI、双方からのいずれかの同期方向を設定できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:**
> 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に `AssetAndCISynchronizer` スクリプトをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成します。

このタスクについて
CI の [インストールステータス] フィールドと [ハードウェアステータス] フィールドは、互いに独立しており、双方に相互関係はありません。[ハードウェアステータス] フィールドを変更しても、CI の [インストールステータス] フィールドは変更されません。その逆も同様です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > アドミニストレーション > 資産 **- CI** ハードウェアステータスマッピング.
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状状況の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. オプション: 可能な場合、[構成アイテム] リストからサブステートを選択します。
   CI ステータスの中にはサブステータスがないものがあります。
7. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
8. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
9. [送信] をクリックします。

消耗品のライフ サイクル

消耗品は、個々にではなく同じモデルのグループとして追跡される資産です。

消耗品のグループには、以下の特色が 1 つ以上あります。

- 同じ場所
- 同じ状態
- 通常は付属品または部品として同じ資産によって消費

一般的な消耗資産には、マウス、キーボード、鉛筆などがあります。ServiceNow のベース システムには、[消耗品] モデル カテゴリが含まれています。モデル操作の最初の手順は、モデル カテゴリ内に各消耗資産のモデルを作成することです。モニター、キーボード、マウスなどのアイテムは、消耗品として追跡されることがよくあります。消耗品は事前に割り当てできません。

消耗資産は、消耗品 [alm_consumable] テーブルに格納されます。他の資産とは若干異なるライフサイクルに従います。

消耗品のステージ

消耗品のライフサイクルのステージは次の通りです。

- 発注済み
- 在庫あり
- 輸送中
- 消費済み
- メンテナンス中
- 廃止
- 欠損

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消耗資産を表示する

消耗品は同じモデルのグループとして追跡されますが、消耗品モデル レコードで個々の消耗品を表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル.
2. 消耗品モデル レコードを開きます。
3. [消耗品] 関連リストで個々の消耗品を表示します。

消耗資産を作成する

資産を同じモデルのグループとして追跡するためには消耗品を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > 消耗品 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカテゴリ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が表すアイテムの量
全般	
状態	資産の状態
親タスク	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションから選択します。 ○ 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ○ 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
アクティビティ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] をクリックします。

消耗資産を消費する

消耗資産を消費するには、状態が [在庫あり] であること、またサブステートが [利用可能] となっている必要があります。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > 消耗品.
2. 状態が [在庫あり]、サブステートが [利用可能] となっている消耗資産の [表示名] をクリックします。
3. [消費] をクリックします。
4. 消費する [数量] を入力します。
5. [資産] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

   Example
   たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。
6. [ユーザー] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
   [消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

消耗資産を倉庫に返却する

消費済みステータスで、ライフサイクルを完了した消耗資産を在庫ステータスに戻します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、itil_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > 消耗品.
2. 消耗品レコードで、[廃止] をクリックします。
   [廃止] は、消耗型資産が現在消費済み状態にある場合にのみ表示されます。
3. [資産の廃止] ダイアログボックスで、ストックルームを選択します。
   数量は、消耗資産の消費数量に基づいて入力されます。
4. 廃止する消耗資産の数量に基づいて [数量] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消耗資産の全数量を廃止するか、数量の一部のみを廃止するかを選択できます。

5. サブステートを選択し、「 **OK**」をクリックします。
消耗品レコードに戻ります。廃止した資産の数を示すメッセージがフォームレイアウトの上部に表示されます。

消耗型資産を廃棄

ストックルームで不要になった消耗資産を廃棄します。

始める前に

必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列には、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > 消耗品.
2. ページの右上にある消耗品レコードで、[廃棄対象としてマーク] をクリックします。
[廃棄対象としてマーク] は、在庫ステータスで廃棄対象としてマークされていない消耗資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄予定] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分的な数量を入力します。
部分的な数量を入力すると、サブステートが [保留中の廃棄] の新しい消耗品レコードが作成されます。合計数量を入力すると、消耗品のレコードサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
消耗資産を廃棄対象としてマークすると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

   注:
   廃棄注文には、廃棄対象としてマークされた消耗品のみが含まれます。消耗品を廃棄対象としてマークすると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

4. [廃棄からキャンセル] をクリックして、消耗資産の廃棄をキャンセルします。
消耗品の [廃棄予定] 列が true に設定され、[廃棄番号] フィールドが空白の場合、[廃棄のキャンセル] が表示されます。
5. [廃棄からキャンセル] ダイアログ ボックスで、ストックルームを選択します。
ストックルームが既に選択されている場合、[ストックルーム] フィールドは読み取り専用です。
6. サブステートを選択し、「 **OK**」をクリックします。
[廃棄予定] 列が false に設定されます。この消耗品レコードを廃棄レコードに追加すると、予定資産レコードは削除されます。

インベントリからアセットバンドルを管理する

インベントリ内の既存の資産からアセットバンドルを作成し、資産のグループを単一のエンティティとして追跡、予約、または展開します。

始める前に

アセットバンドルは資産のグループであり、消耗品資産とハードウェア資産で構成されます。[在庫あり] ステータスと [利用可能な] サブステータスの資産のみがアセットバンドルに追加されます。アセットバンドルの一部である資産は、個別の資産として使用することはできません。

注:
アセットバンドルの詳細については、「 アセットバンドル」を参照してください。

必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > バンドル資産.
2. [**New**] をクリックします。
   モデルカテゴリのデフォルトは [バンドル] で、ステータスのデフォルトは [ビルド] です。ビルドステータスは、 バンドル モデルカテゴリにのみ関連付けられています。ビルドステータスは資産に対して有効ではありません。
3. バンドルフォームレイアウトで、[モデル] リストから製品モデルを選択します。
4. [ストックルーム] フィールドで、バンドルの資産を調達するストックルームを選択します。
5. [資産の自動割り当て] をクリックしてバンドルに資産を自動的に追加するか、[資産を選択] をクリックして特定の資産を選択します。
   - 資産の自動選択:アセットバンドルに資産を自動的に追加します。資産は、アセットバンドルで指定されたストックルームから追加されます。

     注:
     資産は、バンドルの一部であるすべての資産が利用可能な場合にのみ割り当てられます。除外された資産は自動選択の対象とは見なされません。資産の除外の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

   - 資産を選択:アセットバンドルに含める資産を選択し、「 資産を追加」をクリックします。

     注:

     除外された資産を選択することはできません。資産の除外の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。表示される資産は、アセットバンドルで指定されたストックルームに限定されます。

   資産がバンドルに割り当てられると、その資産は [資産] 関連リストに表示され、[資産の自動割り当て] と [資産を選択] はバンドルフォームレイアウトに表示されなくなります。
6. **[Save** (保存)] をクリックします。
   アセットバンドルが作成されます。バンドルされたモデルのコストは、アセットバンドルとアセットバンドルの経費ラインにスタンプされます。コストは、バンドルされたモデルのすべてのモデルコンポーネントの累積コストではありません。
7. [資産を置換] をクリックすると、アセットバンドルから資産をスワップできます。
   アセットバンドルに属する資産は、バンドルのステータスが [メンテナンス中] または [在庫あり] (サブステート **:**修理待ち) の場合にスワップできます。

   a. [資産を置換] ダイアログボックスで、スワップする資産を選択します。

   b. 現在の資産をスワップする資産を選択します。

   c. [置換] をクリックします。
      スワップされた資産はストックルームに戻されます。

8. [削除] をクリックすると、アセットバンドルを削除できます。
   バンドルを削除するには、アセットバンドルから資産の関連付けを解除する必要があります。すべての資産がバンドルからリリースされたら、バンドルを削除できます。

   a. **[State]** フィールドで、[**Retired**] を選択します。

   b. **[Save** (保存)] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [資産のリリース] 関連リンクをクリックします

d. 確認ダイアログ ボックスで、[資産のリリース] をクリックします。
すべての資産がアセットバンドルから関連付け解除され、ストックルームに移動されます。

e. [削除] をクリックします。
アセットバンドルが削除されます。

資産クラスによるさまざまな資産の管理

デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェアライセンス、消耗品、バンドル、ソフトウェアエンタイトルメント、施設です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

提供されている一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、新規の資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。新規の資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスの管理は、困難な場合があります。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

資産クラスを作成する

資産クラスを作成するには、新しいテーブルの定義、相対するアプリケーションとモジュールの作成の後、新規/既存のモデルカテゴリに新規の資産クラスを追加する必要があります。デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

始める前に
必要なロール：資産または category_manager

このタスクについて
一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスを維持することは困難です。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル 、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

モデル カテゴリにモデルが含まれていることを確認します。既存のテーブルを拡張するには、テーブルフォームを使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > テーブルと列 > テーブルの作成 をクリックし、[テーブル] フォームのフィールドに新しいテーブルの情報を入力します。

フィールド	説明
ラベル	ローカライズ可能な、テーブルの表示名。 たとえば、車関係のカスタム資産クラスには「車両」という名前を付けて追跡できます。
名前	後で変更できないテーブルの内部名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、「車両」資産クラスには alm_u_vehicle という名前を付けることができます。
拡張テーブル	新しいテーブルがフィールドを継承するテーブル。 資産 (alm_asset) テーブルを拡張して、カスタム資産クラスを作成できます。
アプリケーション	レコードを使用するアプリケーション。
モジュールを作成	モジュールを作成するためのチェックボックス。
モバイルモジュールを作成	モバイルモジュールを作成するためのチェックボックス。
モジュールをメニューに追加	モジュールが表示するメニュー。
新規メニュー名	新規メニュー名。

2. [**Submit** (送信)] を選択します。
3. 新しいアプリケーションに移動します (例: 資産 > 車両) をクリックし、[新規] をクリックします。
4. [モデル]、[モデル カテゴリ]、[数量] を含むようにフォームを設定します。
5. モデル カテゴリを作成し、作成した資産クラスを [資産クラス]フィールドに追加します。
6. モデルを作成し、モデルカテゴリに追加します。

次のタスク
モデル カテゴリ (新規の資産クラスに関連付けられている) とモデルが作成されたので、モデルを資産として管理します。たとえば、バンドル内のモデルを使用します。

ライセンス資産を作成する

組織のソフトウェア ライセンス資産を管理できます。

始める前に
必要なロール：sam

このタスクについて
例には、デスクトップソフトウェアプログラムとエンタープライズライセンスの単体コピーを使用して、複数のコンピューターにソフトウェアプログラムをインストールするライセンスが含まれています。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ライセンス資産 をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [権利] フィールドに、このライセンスによって付与される資格の数を入力します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明の通り、フォームに入力します。

資産状況とサブステートを設定する

資産状況とサブステートを使用して、詳細レベルで資産を正確に追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
優れた資産情報は、レポート作成、資産管理、コスト削減に役立ちます。たとえば、[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドを使用して欠損アイテムを記録することで、レポートを実行して情報を分析することができます。この情報を使用してコストを削減することができます。

ヒント:
ステータス値は変更しないでください。ステータス値がサポートされていて、プロセスによって定義されている場合は、サブステートを変更できます。

一部のサブステート値は、複数のステータスで使用できます。たとえば、[廃棄待ち **(Pending disposal)]** サブステートは、[在庫あり **(In stock)]**、[輸送中 **(In transit)]**、および [廃止 **(Retired)]** ステータスで使用できます。[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドの組み合わせにより、正しい資産追跡情報が提供されます。たとえば、[在庫あり] で [廃棄待ち] の資産は、その資産が使用されておらず、ストックルームで廃棄待ちであることを示します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. 資産を選択します。
3. [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドを編集します。

資産状況とサブステートの定義

状況	使用可能なサブステート	メモ
注文済み	なし	資産は注文されていますが受領されていません。
在庫あり	○ 利用可能:資産は使用可能です。 ○ 予約済み:資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。 ○ 欠陥:資産に欠陥があるか、動作不能です。 ○ 修理待ち:欠陥のある資産は、ベンダーによって修理対象としてマークされます。 ○ インストール待ち:資産はまだインストールされていません。 ○ 廃棄待ち:ストックルームで不要になったため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ○ 転送待ち:資産は転送注文による転送が計画されています。	資産はストックルームに保管されます。サブステートは、資産を使用できるかどうかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
	○ 事前割り当て済み:資産を割り当てる準備はできていますが、ユーザーに割り当てられるまでは財務的負債ではありません。 ○ 保留中:資産は何かを待機しているため、使用する準備ができていません。たとえば、必要なドキュメントが処理待ちです。 ○ 訴訟ホールド:何らかの法的な理由により、資産が保留になっています。 ○ 隔離:資産はストックルームに隔離された状態で保持されます。 ○ 履行待ち：資産は機能していますが、請求やサインオフなどのビジネス条件を待機しています。 ○ 保留中の証明書:資産は廃棄のための証明書を待っています。 ○ 返品保留:リースされた資産はまだ返却されていません。 ○ テスト:資産はテストフェーズにあり、まだ運用されていません。 ○ サポート終了:インシデントまたは契約によるサポートが資産に提供されなくなります。 ○ 廃止待ち:資産の提供が終了し、販売、廃棄、または寄付が可能です。 ○ 再販待ち:資産は再販を待っています。 ○ 評価待ち:資産はまだ評価されていないか、使用できるかどうかを確認するための評価が行われていません。	
輸送中	○ 利用可能:資産は使用可能です。 ○ 予約済み:資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。	資産は輸送中です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
	○ 欠陥:資産に欠陥があるか、動作不能です。 ○ インストール待ち:資産はまだインストールされていません。 ○ 廃棄待ち:ストックルームで不要になったため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ○ 寄付待ち:ストックルームで不要になったため、資産は寄付対象としてマークされています。 ○ 事前割り当て済み:資産を割り当てる準備はできていますが、ユーザーに割り当てられるまでは財務的負債ではありません。 ○ 再販待ち:資産は再販を待っています。	
使用中	○ 履行待ち：資産は機能していますが、請求やサインオフなどのビジネス条件を待機しています。 ○ サポート終了：資産にはサポートサービスが提供されません。 ○ 廃止待ち:資産は使用されていないため、廃止のマークが付けられています。 ○ なし	資産は使用されています。このオプションは、非消耗品のみで使用できます。
メンテナンス中	なし	資産は修理中かメンテナンス中です。
廃止	○ 廃棄済み:資産は提供終了に達したため廃棄されました。 ○ 廃棄待ち:提供終了が近づいているため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ○ 販売済み:資産は販売済みです。 ○ 寄付済み:資産は、資産寄付オーダーを通じて慈善団体に寄付されます。	資産がライフサイクルの終わりに達したときに、資産を廃止ステータスに設定します。誤って作成された資産レコードのみを削除してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
	○ ベンダークレジット:古い欠陥のある資産は、返品承認 (RMA) を通じて交換用資産としてベンダーに返却されます。 ○ リース返却:リースされたハードウェア資産は、契約の有効期限が切れる前に返却されます。 ○ 使用停止:資産は使用停止になっているため、廃棄する必要があります。 ○ RMA:欠陥のある資産は、返品承認 (RMA) を通じてベンダーに返却されるか、ベンダーによって交換されます。 ○ 買収:リースされたハードウェア資産は、契約の有効期限が切れる前に購入されます。 ○ 再販待ち:資産は再販を待っています。	
欠損	○ 紛失 ○ 盗難	欠損または紛失された資産
ビルド	なし	資産は準備中です。このステータスは、アセットバンドルの作成時に使用されます。 **注:** ハードウェアと消耗品にはビルドステータスがありません。

自動翻訳

資産に減価償却を追加する

減価償却は、時間の経過とともに資産の価値が減少することです。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

減価償却のスケジュールをハードウェア資産に追加することができます。資産レコードで指定された情報に基づいて、 Now Platform は [減価償却の計算] スケジュール済みジョブを使用して減価償却額を計算します。次のシステムプロパティは、減価償却額を計算するために [減価償却を計算] スケジュール済みジョブをトリガーするタイミングを決定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- *sn_itam_depreciation_job_last_run* システムプロパティには、[減価償却の計算] スケジュール済みジョブが最後に実行された日付が保存されます。
- *sn_itam_trigger_depreciation_job_after_days* システムプロパティは、[減価償却の計算] スケジュール済みジョブをトリガーする頻度 (日数) を決定します。

> **注:**
> デフォルトでは、このシステムプロパティは **7** に設定されています。したがって、[減価償却を計算] スケジュール済みジョブが毎週実行され、減価償却額が計算されます。

Now Platformでは、[コスト]、[減価償却]、[減価償却開始日] フィールドに基づいて、読み取り専用の [残余日数] と [残余価値] フィールドを計算します。たとえば、資産の [コスト] が 1000.00 USD で減価償却方式として [定額法] が選択され、丸 2 年が経過した場合、[残余価値] は 500.00 USD になります。

資産が [使用中] ステータスの場合、資産フォームに廃止の有効日が入力されます。

固定資産や減価償却の詳細については、「固定資産に減価償却を使用する」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > ハードウェア資産.
2. 資産を選択します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明のとおり、[減価償却費]、[減価償却開始日]、[残存価額]、[固定資産対象] の各フィールドを入力します。
   以下の点についても考慮します。
   - 減価償却開始日が将来の場合、減価償却は 0 になり、現在の残存価値は元の購入価格になります。有効日に達するまで、システムは減価償却費の計算を開始しません。
   - 残存価額は資産の原価以下でなければなりません。原価以上の残存価額を入力すると、警告メッセージが表示され、レコードを保存できなくなります。
4. ヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。
5. [減価償却を計算] を選択します。
   [残余日数]、[残余価値]、[減価償却額] フィールドが自動的に計算されます。

> **重要:**
> [減価償却を計算] スケジュール済みジョブは、減価償却額を毎週計算します。スケジュール済みジョブの次回実行日より前にこのステップを実行すると、最近計算された減価償却額が表示されます。

パレット資産で在庫を管理

パレット資産を使用して在庫を効果的に管理します。

パレット資産を作成

ハードウェア資産ワークスペースの資産一覧ビューからパレット資産を作成して、インベントリ内の資産を追跡および管理します。

始める前に
パレット資産のモデルを作成する必要があります。詳細については、「 モデル 」を参照してください。

必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
パレット資産の作成中は、資産フォームの [詳細]、[廃棄]、[アクティビティ]、および [監査] セクションのみが表示されます。監査関連のフィールドは資産フォームに表示されますが、パレット資産の監査を実施することはできません。通路とスペースの詳細を指定して、ストックルーム内のパレットの正確な位置を示すことができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [新しい資産] を選択します。
3. ダイアログ ボックスで、資産タイプとして パレット を選択し、 作成 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

パレット資産の詳細セクション

フィールド	説明
表示名	パレット資産の作成時に設定された [資産タグ] フィールドと [モデル] フィールドの値に基づくパレット資産の名前。たとえば、[モデル] が [3Com 木製パレット] である [資産タグ] が [PAL0000001] のパレットの表示名は、「PAL0000001 - 3Com 木製パレット」となります。
モデルカテゴリ	パレット資産のモデルグループ化。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [パレット] に設定されます。
[Number (番号)]	パレット資産に対して自動生成された一意の番号。
モデル	パレット資産の製品モデル。
数量	パレット資産が表すアイテムの数。このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
Asset tag (資産タグ)	パレット資産に添付されたタグからの英数字の追跡情報。
パレットタイプ	パレットのタイプ。使用可能な値： ○ パレット ○ 受信箱 ○ ボックス ○ コンテナ ○ その他
ステータス	パレット資産の現在のステータス。使用可能な値： ○ 在庫あり ○ 輸送中 ○ 廃止 ○ 欠損
Substate (サブステート)	[利用可能] や [予約済み] など、資産の現在状況の補足[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変わります。
倉庫	倉庫の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予約利用者	パレットを予約するユーザーの名前。
通路	ストックルーム内のパレットの通路の詳細。このフィールドは、[ステータス] フィールドで [在庫あり] または [ビルド] が選択されている場合にのみ表示されます。
場所	ストックルームの物理的な場所。
スペース	通路内のパレットのスペースの詳細。このフィールドは、[ステータス] フィールドで [在庫あり] または [ビルド] が選択されている場合にのみ表示されます。
親	パレット資産の親資産。
コメント	オプションの追加情報。

廃棄セクション

フィールド	説明
廃棄注文番号	このフィールドは、資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号に自動的に設定されます。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
予定使用終了日	資産が廃止される予定日。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃止日	資産が実際に廃止される日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーからの注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
更新要求ライン	ハードウェア資産のリフレッシュフローによって資産が古い資産として識別された場合のリフレッシュ要求ライン番号。
廃棄日	資産廃棄プロセスが完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
受領企業	資産の廃止時に資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金のレポート時に適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ] セクション

フィールド	説明
作業メモ	資産に関する補足情報。 作業メモは、次の状況で自動的に更新されます。 ○ 資産レコードの [ステータス]、[サブステート]、または [予約済み] フィールドを更新します。これらのフィールドに対する更新は、[作業メモ] フィールドに自動的に記録されます。 ○ 資産が転送注文によって受領されたときこれらの作業メモは、資産のライフサイクルを追跡するのに役立ちます。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
作成したパレットが [パレット] タブに表示されるリストに追加されます。

資産をパレットに追加

ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、その他のパレット資産を在庫パレットに追加して、ストックルーム内の資産をグループとして追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産をパレットに追加できるのは、次の条件がある場合のみです。

- 資産がパレットと同じストックルームに属しているか、[ストックルーム] フィールドに値が設定されていない場合。
- パレット の [ステータス] フィールドの値が [在庫あり] です。
- 資産の [ステータス] フィールドの値は次のいずれかです。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - 輸送中
  - 廃止
- 資産は別の親資産に関連付けられていません。

  既存の親子の関連付けを削除してから資産をパレットに追加するか、パレットを親として資産に直接追加します。

他の資産の親である資産がパレットに追加されると、そのすべての子資産も追加されます。ただし、子資産の親フィールドはパレットの詳細に置き換えられません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 資産を追加するパレットを選択します。
4. [資産] タブを選択します。
5. ベース資産、ハードウェア資産、バンドル資産をパレットに追加します。

   a. [資産の追加] を選択します。

   b. [資産を追加] ダイアログボックスで、追加する資産を選択します。
   フィルターを使用して、利用可能な資産のリストを絞り込むことができます。

   c. [**Add**] を選択します。

   パレットに追加した資産は、[資産] タブに表示されるリストに追加されます。資産のステータス、サブステート、場所、ストックルーム、通路、スペースの詳細がパレットと同期されます。

   注:
   割当済み資産のサブステートのみがパレットと同期されません。詳細については、「 割り当て済み資産の作成」を参照してください。

6. 消耗資産をパレットに追加します。
   a. [消耗品の追加] を選択します。
   b. [消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスで、使用可能な消耗品のリストから消耗品を選択するか、検索します。
   c. [数量] フィールドで、選択した消耗品の使用可能な最大数量のデフォルトのフィールド値を受け入れるか、追加する消耗品の数に変更します。
   d. [**Add**] を選択します。
   パレットに追加した消耗資産は、[資産] タブに表示されるリストに追加されます。

パレットから資産を削除

パレットを使用して資産を追跡および管理する必要がない場合は、パレットに含まれる資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産をパレットから削除すると、資産間の親子の関連付けが解除されます。

[ステータス] フィールドの値が [在庫あり] のパレットからのみ資産を削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 資産を削除するパレットを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [パレットの詳細] フォームで、[資産] タブを選択します。
5. パレットから削除する資産を選択し、[削除] を選択します。

タスクの結果
パレットから取り除いた資産は、[資産] タブに表示されなくなります。

パレット資産を削除

資産が関連付けられていない場合は、パレット資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
パレットは空の場合にのみ削除できます。パレットを削除する前に、資産をすべて削除してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 削除するパレットを選択します。
4. [保存] ボタンの横にあるその他のアクションアイコン (•••) をクリックし、[削除] を選択します。

タスクの結果
削除したパレットは、[パレット] タブに表示されなくなります。

インベントリ管理にパレット資産を使用する

資産を含むパレットを追加して、転送注文や廃棄注文を行い、インベントリを効果的に管理できます。

あるストックルームから別のストックルームへのパレットの移動

転送注文を使用して、在庫のあるパレットをその中に含まれている資産とともに 1 つのストックルームから別のストックルームに移動します。パレットに含まれている資産のみを移動すると、[フルフィルメントの準備完了] タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。転送注文を使用して空のパレットを移動することもできます。

転送注文ワークフローの一部としてパレットで実行する更新は、パレットに含まれる資産に適用されます。

転送注文の一部として受領した資産のすべてまたは一部に問題がある場合は、パレットを資産とともに返品できます。パレットに含まれる個々の資産を返品することはできません。

詳細については、 資産管理の転送注文を参照してください。

パレットの廃棄

ライフサイクルの終わりに達している、または廃棄注文を使用して機能していない資産を含むパレットを廃棄します。パレットを廃棄指示に追加すると、パレット内の資産と子資産も追加されます。ただし、パレット内のアセットバンドルは含まれません。

パレットまたはその資産を廃棄する際の廃棄注文ワークフローは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産を含むパレットの廃棄:検証済みパレットとその資産が廃棄されます。
- 資産のみを破棄し、パレットを保持する:資産は検証後にパレットから削除されます。
- 一部の資産のみを含むパレットを廃棄し、残りの資産を保持する:検証または廃棄されなかった資産は、パレットから自動的に削除されます。

詳細については、「廃棄注文の作成」を参照してください。

パレットからの資産の消費

注:
パレットの資産がワークフローの一部として消費されると、資産は自動的にパレットから削除されます。

パレットに含まれる資産は、次のワークフローの一部として消費することもできます。

- 返品の自動化 (RMA):パレットの資産が RMA に追加されると、資産はすぐにパレットから削除されます。

  注:
  オフサイトでの交換または修理を伴う RMA 要求では、パレットにある資産は、受領タスクフォームの [交換用資産] フィールドに表示されません。

- 資産のローカル在庫 :パレットの資産がローカル在庫の一部として消費されると、[割り当てられた資産を確認] タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- 貸与:パレットの資産が貸与資産として消費されると、貸与オーダーの準備タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- リース資産の返却:パレットからリース資産が返却されると、出荷タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- ITSM からのスワップおよび展開タスク:ITSM から資産の展開アクションがトリガーされると、展開する必要がある資産がパレットから削除されます。スワップアクションが ITSM からトリガーされると、欠陥のある資産の交換であるパレット内の資産がパレットから削除されます。

固定資産の作成

固定資産とは、複数の資産を保持できるコンテナーです。固定資産は通常、ファイナンス部門か会計業務部門によって会社レベルで追跡されますが、ハードウェアやソフトウェアなどの IT 資産が含まれる場合があります。

コストアプリケーションの [固定資産] オプションには、固定資産レコードに関連する IT 資産が表示されます。このリンクは、IT が企業資産システムとの調整を維持するのに役立ちます。financial_mgmt_admin ロールと financial_mgmt_user ロールを持つユーザーは、固定資産を作成できます。固定資産を作成して資産を追加した後、残存価額を自動的に計算させることができます。

固定資産を作成するには：

1. 次のように移動する。 コスト > 固定資産.
2. **[New]** をクリックします。
3. 固定資産の名前を入力します。
4. [送信] をクリックします。

固定資産に資産を追加するには：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 次のように移動する。 コスト > 固定資産.
2. 固定資産をクリックします。
3. [対象資産] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [コレクション] リストで、資産をダブルクリックして [対象資産リスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

すべての固定資産の残存価額を合計するには：

1. 次のように移動する。 コスト > 固定資産.
2. 固定資産をクリックします。
3. [合計残余価値] をクリックします。

ServiceNow プラットフォームでは、個々の資産レコードの [財務] セクションと [減価償却] セクションの情報に基づいて、[残存価額]、[総コスト]、[減価償却費合計] を計算します。

固定資産に減価償却を使用する

選択した減価償却スケジュールを使用して、固定資産の減価償却を計算することができます。固定資産の減価償却の計算は、IT 部門が会社の固定資産システムと調整して正確な評価額と帳簿価額のレポートを作成するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_admin または financial_mgmt

このタスクについて

新規の減価償却スケジュールを作成するには、減価償却の [カテゴリ] で [定率減価償却] または [定額法] を選択します。この 2 種類のカテゴリは資産のライフ サイクルにおける減価総額は同じですが、異なるスケジュールで実行します。

- [定率減価償却]：会計期間の早い時期の資産を後の機関よりも多く減価償却します。
- [定額法]：各会計期間に均一の金額で資産を減価償却します。

次の例では、資産 10,000.00 USD の 5 年間にわたる減価償却後の価値を、異なる 2 種類の方法で表しています。

固定資産に減価償却を使用する

年	定率法	定額法
1	5000.00 USD	8000.00 USD
2	2500.00 USD	6000.00 USD
3	1250.00 USD	$4000.00
4	625.00 USD	2000.00 USD
5	$0	$0

手順

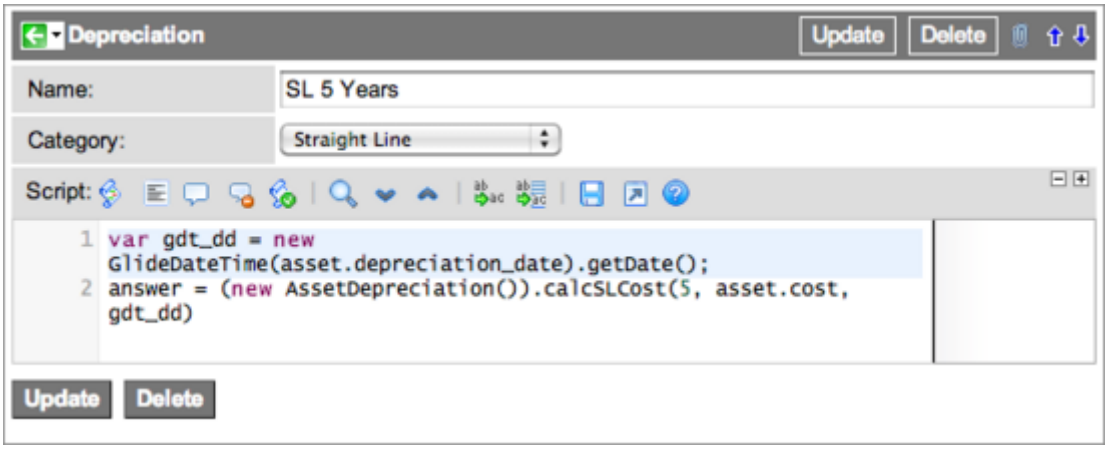
1. 減価償却スケジュールを表示するには、次に移動します: ファイナンシャルマネジメント > 減価償却 をクリックし、[カテゴリ] をクリックします。
2. 新規の減価償却スケジュールを作成するには、[新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [名前] を入力します。
4. [カテゴリー] を選択します。
5. 減価償却額を計算するための [スクリプト] を追加します。

減価償却スケジュールスクリプトの例



6. [送信] をクリックします。
   減価償却スケジュールは、資産レコードの [減価償却] フィールドで利用できるようになりました。

割り当て済み資産の管理

割当済み資産を管理します。割当済み資産とは、ベンダーが現在も所有しているものの、ジャストインタイム調達のために顧客のストックルームに保管することに合意した資産です。

割当済み資産を作成する

物理的に存在するが、財務上の責任のない割り当て済み資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産 をクリックし、レコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

   注:
   カテゴリでは [事前割り当てを許可] オプションを選択する必要があります。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テゴリ	
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が示すアイテムの数
全般	
状態	資産の状態
倉庫	資産のストックルームこのフィールドは、[状態] フィールドが [在庫あり] に設定されている場合のみ使用可能です。
親	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 ○ 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ○ 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] を選択します。

割当済み資産の割り当て

資産は、割当済み資産レコードから割り当てられます。新規の資産レコードが作成され、元の割当済み資産レコードの[数量] が減少します。

始める前に
必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
資産を割り当てることで財務上の責任が発生します。すべての割当済み資産が割り当てられると、割当済み資産レコードが資産リストから削除されます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。
3. 割り当てる資産を含む行の参照アイコンを選択します。
4. フォームの下部にある [割り当て] を選択します。

> **注:**
> *glide.asset.create_ci_with_ire* プロパティが「true」に設定されている場合、[割り当て] をクリックするとフォームが表示されます。フォームで、[資産管理番号]、[シリアル番号]、および [予約目的] フィールドを入力し、[**OK**] をクリックします。

タスクの結果
システムが割当済み資産と同じモデルかつ親情報が記録されている新規の資産レコードを作成し、そこに移動します。新規の資産の [数量] が 1 となり、割当済み資産の [数量] がその分減少します。

割当済み資産を分割する

割当済み資産を分割して、別のストックルームに移動できるグループを作成することができます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
例として、事前割り当て済みのコンピューター 100 台のグループがストックルーム A にあります。これを各 50 台 の 2 グループに分割し、うち 1 グループをストックルーム B に移動します。2 箇所のストックルームからコンピューターを割り当てます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。
3. 分割する資産が含まれる行の参照アイコンを選択します。
4. [分割] を選択します。
5. [分割予定数量] を入力し、**[OK]** を選択します。
   割り当て済み資産は 2 つのグループに分割され、各レコードの [数量] フィールドはそれぞれのグループが抱える数量を示します。

貸与資産の管理

貸与資産または消耗品を短期間要求します。貸与資産タスクを使用して、展開と再利用のために貸与資産または消耗品を準備することもできます。貸与資産または消耗品を特定の期間展開し、返却日に回収します。

貸与資産の要求

一時または貸与の資産または消耗品を要求し、短期間使用します。

始める前に
必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

貸与資産を要求するときは、開始日が提出日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

このタスクについて

特定の期間の貸与資産を要求します。自分自身、組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーのために要求できます。資産がインストールされる前は、いつでも貸与資産の要求をキャンセルできます。
選択したい場所で製品が現時点で利用できない場合でも、貸与オーダーを送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、 資産ライフサイクル カテゴリは [サービスカタログ] ページにありません。このカテゴリを追加するには、アドミン認証情報でログインし、検索カタログバーの横にあるコンテンツを追加アイコン (を選択して、[資産のライフサイクル] を選択します。
2. [**Loaner Asset Request**] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   貸与資産の要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している人物。自分自身、組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社のユーザーの場合] が選択されている場合にのみ表示されます。
場所	要求された資産を提供する場所。 指定した場所が複数のストックルームのサービスロケーションである場合、[モデル] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能なモデルに加えて、これらすべてのストックルームで利用可能な貸与資産モデルのリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「 ストックルームとサービスの場所の関連付け」を参照してください。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

   開始日と返却日を入力した後、選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与オーダーを送信すると、貸与オーダーは順番待ちリストになります。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   貸与オーダーが正常に行われたか、順番待ちリストでオーダーが行われたかを示すメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
要求を表示するには、次に移動します: セルフサービス > 自分の要求.Now Mobile アプリを使用して注文を表示することもできます。

貸与資産を受領する前に、[キャンセル] を選択して貸与資産の要求をキャンセルできます。貸与資産を受け取った後、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定された 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開と再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。貸与資産または消耗品を特定の期間展開し、返却日に回収します。

始める前に
資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は、貸与資産として使用するために予約されています。[資産機能] フィールドが [貸与] 以外に設定されている資産を使用することはできません。貸与資産として使用できるのは、ハードウェア、バンドル、消耗品のみです。

[資産] フォームの [貸与資産のオーダー] 関連リストには、その資産が過去および現在に提供したすべての貸与オーダーが表示されます。消耗品がストックルームにない場合は、現在機能している貸与資産のオーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて
貸与資産のオーダーモジュールを使用して、ユーザーから要求された貸与資産のオーダーを表示して完了します。

ハードウェア資産ダッシュボードには、[新規]、[展開済み]、または [返却] の期限切れ状況にあるすべての貸与資産のオーダーの統合ビューが表示されます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

注:

Loaner Asset Request フローのカスタマイズに使用できる意思決定テーブルがすぐに利用できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 貸与 > 貸与資産のオーダー.
2. 貸与資産のオーダーレコードを開きます。
3. [貸与資産タスク] 関連リストで、準備タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

タスクフォームを準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。 貸与資産要求フォームの [場所] フィールド値が複数のストックルームのサービスロケーションである場合、[資産] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能な貸与資産に加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	えて、これらすべてのストックルームで利用可能な貸与資産のリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「ストックルームとサービスの場所の関連付け」を参照してください。 **注:** 貸与資産の要求を履行するには、指定された場所で利用可能なストックルームが優先されます。指定された場所をサポートする倉庫は、その場所に倉庫がない場合にのみ考慮されます。
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクをアサインされた人物。

5. 展開のためにハードウェア資産を物理的に準備したら、[タスクをクローズ] を選択して [準備] タスクをクローズします。
   準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストの下に展開タスクが作成されます。
   資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - [予約目的] フィールドには、貸与資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サブステートが [インストール待ち] に変わります。
6. 展開タスクを開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

   展開タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクをアサインされた人物。

8. ハードウェア資産を展開します。
9. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に設定します。
10. 展開タスクをクローズするには、[タスクをクローズ] を選択します。

    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
    - 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドが Null に変更されます。
    - [アサイン先] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
    - サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[管理担当者] フィールドには資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。

    消耗品の場合、ステータスは [消費済み] に変わります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

返却日の 2 日前に、資産を要求したユーザーに、再利用に関するメール通知が送信されます。返却日の 1 日前に、[貸与資産タスク] 関連リストの下に再利用タスクが作成されます。

11. 再利用タスクを開きます。
12. フォームのフィールドに入力します。

[再利用タスク] フォーム

フィールド	説明
倉庫	返却された資産が保管されている倉庫。貸与資産を受領した場所とは異なる倉庫を入力した場合は、最初の倉庫からの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	再利用タスクを実行するタスクをアサインされた人物。
資産返却済み	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクをクローズすることはできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産の状態は 在庫あり に変わり、サブステートは 修理待ち に変わります。

13. 再利用タスクをクローズするには、[タスクをクローズ] を選択します。
14. 返却日より前にユーザーが資産を返却する場合は、次の手順を実行します。
    a. [再利用] を選択します。
    b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。
    c. 再利用タスクをクローズします。
    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が発生します。
    - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
    - サブステートが [利用可能] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドは、[再利用タスク] フォームで選択された値に自動的に設定されます。
    - 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられている場合、サブステートは [予約済み] に変更され、貸与オーダーの詳細が反映されます。

慈善団体に資産を寄付する

資産の寄付フローを使用して、組織のハードウェアと消耗品資産を慈善団体に寄付します。

資産寄付オーダーの作成

サービスカタログ要求を作成して、組織内にある在庫のあるハードウェアと消耗資産を慈善団体に寄付します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、資産ライフサイクルカテゴリは [サービスカタログ] ページにありません。このカテゴリを追加するには、[検索カタログ] バーの横にある [コンテンツ] を選択し、[資産のライフサイクル] を選択します。

   注:
   サービスカタログにカテゴリを追加するには、admin ロールが必要です。

2. [資産ライフサイクル] ページで、[資産寄付オーダー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   [資産寄付の要求] フォーム

フィールド	説明
慈善団体	資産を寄付する慈善団体の名前。 慈善団体のリストは、名前、市区町村、都道府県、国、または電話の詳細に基づいてフィルタリングできます。
説明	寄付する資産の名前と数量。 たとえば、「 2台のDell PCの寄付をお願いします」などです。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

   資産寄付オーダーが正常に送信されました。

5. オプション: に移動し、資産寄付オーダーのステータスを表示します **All** (すべて) > セルフサービス > 自分の要求.

資産寄付オーダーの承認または却下

資産マネージャーは、資産寄付オーダーを確認し、承認または却下します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 契約 > 自分の承認.
2. [要求済み] ステータスの資産寄付オーダーレコードを選択します。
3. 資産寄付オーダーを承認または却下します。
   - 注文を承認するには、[承認] を選択します。

     注文 のステータス が [承認済み] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 注文を却下するには、[拒否] を選択し、[コメント] フィールドに拒否の理由を入力します。

  注文 のステータス が [却下] に変わります。

資産寄付オーダーの処理

資産寄付オーダーを処理して資産を準備し、慈善団体に送信します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産寄付オーダーは、ワークフローの輸送ステージに達するまでキャンセルできます。資産寄付オーダーが [確認] ステージに達した後は、キャンセルできません。

> **注:**
> 資産寄付オーダーは ハードウェア資産ワークスペース でのみ処理でき、コア UI では処理できません ハードウェア資産管理 。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [寄付オーダー] タブを開きます。
   資産寄付オーダーのリストが表示されます。
3. [スケジュール] ステージにある資産寄付オーダーを選択します。
4. 資産寄付オーダーに資産を追加します。

   a. [予定資産] タブを開きます。

   b. [**Add**] を選択します。

   c. 資産の追加 ポップアップ ウィンドウで、状態が 在庫あり で、サブステートが 保留中の寄付 であるドメインの一部である資産を選択し、 追加 を選択します。
   フィルターを使用して目的の資産を検索します。
   追加した資産は [予定資産] タブに表示されます。

5. 寄付する資産を準備し、資産の集荷日を入力します。

   a. [資産寄付タスク] タブを開きます。

   b. [資産を準備し、予定日を指定する] タスクを選択します。

   c. [予定資産] 関連リストで、準備する資産を選択し、[準備] を選択します。

   > **注:**
   > ニーズと寄付する資産のタイプに基づいて、資産準備タスクのサブフローを構成できます。たとえば、データのワイプが必要なデータストレージ資産や、寄贈前にパッケージ化する必要があるハードウェア資産に対して、資産準備タスクを構成できます。

   予定資産のステージが [準備済み] に変更されます。

   d. [スケジュールの詳細] フォームの [予定日] フィールドで、集荷の日付を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、[寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクが資産寄付タスクとして作成されます。

6. 送信する資産を選択します。

a. [寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクを開きます。

b. [予定資産] 関連リストで、ストックルームから送信する資産を選択し、[切り離す] を選択します。
予定資産のステージが [準備済み] から [輸送中] に変わります。資産のステータスが [輸送中] に変わり、[サブステート] が [寄付待ち] に変わります。

7. 資産を集荷するベンダーの名前と出荷追跡の詳細を入力します。

a. [Details (詳細)] タブを開きます。

b. [スケジュールの詳細] フォームで、以下を指定します。

i. [集荷連絡先名] フィールドに、寄付する資産を集荷するベンダーの名前を入力します。

ii. (オプション) [配送業者] フィールドで、配送業者を選択します。

iii. (オプション) 追跡番号 フィールドに、出荷の追跡番号を入力します。

注:
[配送業者] フィールドと [追跡番号] フィールドは、ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューの [出荷] リストから出荷を追跡するために使用されます。詳細については、「ハードウェア資産の出荷詳細の表示」を参照してください。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。慈善団体からの確認タスクは、資産寄付タスクの下に作成されます。

8. 資産の寄付を確認します。

a. [慈善団体からの確認] タスクを選択します。

b. [予定資産] 関連リストで資産を選択し、[寄付の確認] を選択します。
資産のステージが [完了] に変わります。資産のステータスが [廃止] に変わり、サブステートが [寄贈済み] に変わります。

9. 慈善団体からの寄付ドキュメントを資産寄付オーダーレコードに添付します。

a. [慈善団体からの確認] タスクを選択します。

b. [詳細] 関連リストで、添付ファイルアイコン ( ) を選択します。

c. ドキュメントを選択します。

d. [寄付の証明書] リストで、[はい] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産寄付オーダーのステータスが [完了] に設定されます。

e. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
すべての資産寄付タスクが [完了してクローズ] ステータスになり、[資産寄付オーダー] ステージが [完了] に変わります。

資産を寄付するための慈善団体を追加する

慈善団体を慈善団体 [sn_itam_common_charity_org] テーブルに追加して、資産の寄付に使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 寄付オーダー > 慈善団体.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 慈善団体の場所と連絡先の詳細を入力します。
   [名前] フィールドと [郵便番号] フィールドは必須です。
4. フォームの残りのフィールドに入力します。

慈善団体の新規レコードフォーム

フィールド	説明
ID	慈善団体にアサインする一意の識別子。[ID] フィールドは必須です。
[Active (アクティブ)]	慈善団体レコードをアクティブとしてマークするオプション。
ドメイン	慈善団体レコードのドメイン。 デフォルトドメインが利用できない場合、慈善団体レコードは自動的にグローバルドメインに設定されます。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
追加した慈善団体レコードが慈善団体リストに追加されます。

資産を除外

ハードウェア資産管理ライセンス機能を使用しない資産を除外します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧 > ハードウェア資産.
2. 除外するハードウェア資産を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 資産フォームで、[**HAM** 機能から除外] チェックボックスをオンにします。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
資産はライセンス供与された ハードウェア資産管理 機能の使用から除外されます。

事前出荷通知を使用

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産の輸送中の資産レコードを自動化して作成します。

始める前に
ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらいます。次に、更新されたテンプレートを ServiceNow インスタンスにアップロードします。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、 ServiceNow インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください。

ASN テンプレートの出荷先住所は、場所 [cmn_location] テーブルの出荷先住所と一致する必要があります。

ASN テンプレートの配送業者は、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで使用できる必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて
資産レコードを手動で作成すると時間がかかり、レコードでエラーが発生する可能性があります。ASN を使用して、資産の輸送中の資産レコードを自動化および作成します。ASN テンプレートのトラッキング番号は、輸送中の資産の追跡に役立ちます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **[Orders** (注文)] > 出荷通知のインポート.
2. [テンプレートのインポート] ページで、[テンプレートファイルのダウンロード **(.xlsx)]** リンクを選択して、ASN テンプレートをダウンロードします。
   ASN テンプレートには、次のようなフィールドがあります。
   - シリアル番号:資産の一意の識別子。
   - 資産タグ:資産の追跡のために組織によって割り当てられた英数字タグ。
   - ベンダー:資産の購入元のベンダー。
   - 発注書番号:発注書 (PO) に関連付けられた番号。

     注:
     これはベンダーの発注書番号ではありません。

   - モデル ID:製品モデルのモデル番号。
   - SVC 契約終了日:資産の保証有効期限。
   - 配送業者:配送業者の名前。
3. ASN テンプレートをメールなどで資産ベンダーに送信します。
   ベンダーは、配送される各資産の詳細でテンプレートを更新する必要があります。ベンダーは、列ヘッダーに基づいて各列に値を入力できます。たとえば、「追跡番号」列に 「TrackASN1」、キャリア列に 「CarrierABC 」と入力します。その後、ベンダーは更新されたテンプレートをあなたと共有します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ベンダーから更新された ASN テンプレートを受信したら、[ファイルの参照] を選択し、更新された ASN テンプレートを選択します。
5. [アップロード] を選択します。
   アップロードには時間がかかる場合があります。インポートプロセスは非同期であるため、インポートプロセスが完了し、すべての資産が作成されるまで待ちます。
6. 次のいずれかの方法で、テンプレートのインポートステータスを確認します。
   - 次のように移動する。 調達 > **[Orders** (注文)] > インポートステータス.
   - インポートセットレコードを直接開くには、メッセージバーで [インポートの進行状況をここに表示] を表示するリンクを選択します。

   [インポートセット] ページには、インポートセットレコードのリストが表示されます。
7. テンプレートのインポートステータスを示すインポートセットレコードを選択します。
   資産レコードが正常に作成されたかどうかがインポートセットレコードに表示されます。インポートが成功しなかった場合は、次の操作を行います。
   a. インポートセットレコードで、[インポートセット行] タブを選択します。
   b. エラーを理解するには、[コメント] フィールドを確認します。
   c. 更新されたテンプレートのインポートを再試行してください。

組織管理を使用

組織管理アプリケーションを使用すると、ユーザーの更新やベンダーの追加などの資産管理タスクを簡単に実行できます。

ベンダーとメーカーの管理やロケーションの管理が含まれます。

新規のベンダーまたはメーカーを作成する

新規のベンダーを作成することができます。これは組織が購入する資産またはサービスを販売する会社です。また、新しいメーカーを作成することもできます。これは、組織が購入する資産をビルドする会社です。

始める前に

必要なロール：user_admin と asset

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - 組織 > ベンダー
   - 組織 > メーカー
   - 組織 > 会社
2. [新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
3. フォームに入力し、[メーカー] または [ベンダー] を選択します。

   注:
   会社は、ベンダーとメーカーの両方と見なすことができます。

4. [送信] をクリックします。

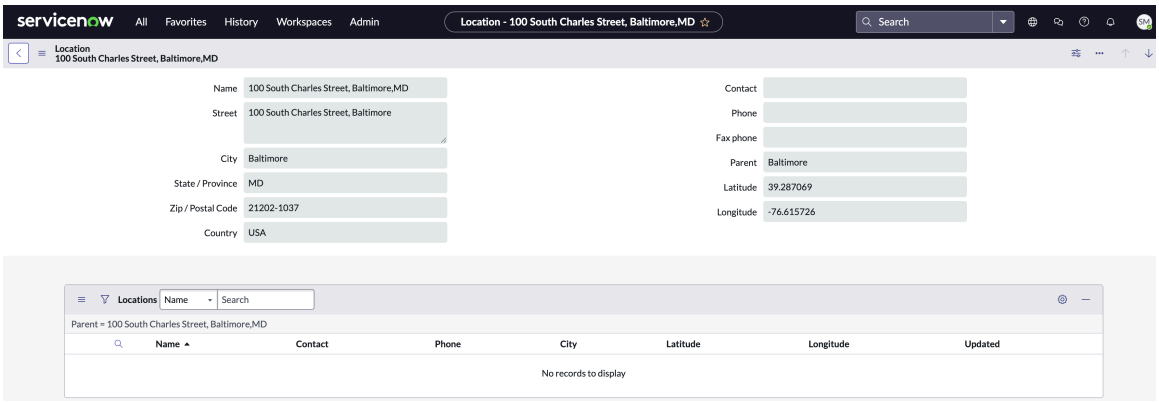
モジュール

[場所] モジュールは、[場所] テーブル [cmn_location] の [資産] ビューです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

場所の物理的な詳細に加えて、[資産] ビューにはストックルームの指定とその場所にある構成アイテム (CI) のリストが含まれます。

資産の場所



RMA 要求の管理

RMA 要求を送信して返品承認 (RMA) プロセスを開始し、ベンダーとの RMA プロセスを開始します。欠陥のある資産を修理または交換することができます。

欠陥のある資産の RMA 要求を送信したら、さまざまなタスクを実行して、資産の修理または交換を完了する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を入力する必要があります。行を閉じるには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その後、欠陥のある資産はオフサイト修理またはオンサイト修理に送られます。これらのタスクがすべて完了すると、明細行はクローズされます。

RMA 要求を送信する

返品承認 (RMA) 要求を送信して、ベンダーとの RMA プロセスを開始します。欠陥のある資産を修理または交換することができます。

始める前に
必要なロール:asset and inventory user

asset、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産返品許可 **(RMA)** 注文.
2. 欠陥のある資産または消耗品の RMA 要求を開始するには、[追加] をクリックします。
3. [行を追加] フォームの [資産] フィールドで、RMA 要求を開始する欠陥資産または消耗品を選択します。
   資産と消耗品の複数の行を選択できます。除外された資産を選択することはできません。資産の除外の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
   消耗品を選択すると、[資産] フィールドの横に [数量] フィールドが表示されます。[数量] フィールドに、RMA を開始する欠陥のある消耗品の数を入力します。
4. 選択した資産または消耗品を追加するには、「 追加」をクリックします。
5. RMA 要求を送信するには、[送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
RMA 要求が作成されます。RMA 要求番号を含む確認メッセージが表示されます。

RMA 要求のクローズ

欠陥のある資産の RMA 要求を送信したら、さまざまなタスクを実行して、資産の修理または交換を完了する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を入力する必要があります。行を閉じるには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その後、欠陥のある資産はオフサイト修理またはオンサイト修理に送られます。これらのタスクがすべて完了すると、明細行はクローズされます。

次の手順では、タスクをクローズして 1 つの行を閉じる方法について説明します。すべての要求ラインに対してこれらの手順を繰り返す必要があります。

RMA 要求のアセスメントタスクをクローズする

欠陥のある資産を修理または交換できるように、RMA 要求のアセスメントタスクをクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

asset、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 返品許可 > すべての **RMA** 要求.
   [RMA 要求] ページが表示され、RMA 要求のリストが表示されます。
2. クローズする RMA 要求を開きます。
3. [RMA 要求ライン] 関連リストで、RMA 要求ラインを開きます。
4. [資産 RMA タスク] 関連リストで、アセスメントタスクを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

アセスメントタスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
倉庫	欠陥のある資産または消耗品の倉庫。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
RMA アクション	RMA で実行するアクション。資産は、オンサイトまたはオフサイトでベンダーの場所で修理できます。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ オンサイト ○ オフサイト タスクをクローズする前に、このフィールドを更新する必要があります。

6. [タスクをクローズ] をクリックします。
[資産] フォームで、欠陥のある資産の状態が [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [修理待ち] に変わります。

欠陥のある資産がアセットバンドルの一部である場合、アセスメントタスクをクローズすると、バンドルのステータスが [在庫あり] および [修理待ち] に変わります。バンドルから複数の RMA 要求がある場合、すべての RMA 要求がクローズされるまで、バンドルのステータスは [在庫あり] および [修理待ち] のままになります。

タスクの結果
[RMA アクション] フィールドから [オンサイト] と [オフサイト] のどちらを選択したかに基づいて、資産 RMA オンサイトフローまたは資産 RMA オフサイトフローのいずれかがトリガーされ、関連する RMA タスクを生成して RMA プロセスを完了します。

オフサイト修理または交換に関する **RMA** 要求をクローズする

ベンダーの場所で欠陥のある資産が修理または交換される RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

このタスクについて
[アセスメントタスク] フォームの **[RMA]** アクションフィールドから [オフサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストの下に出荷タスクが生成されます。出荷タスクと他の RMA タスクを 1 つずつクローズして、RMA プロセスを完了します。

インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、資産 RMA オフサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。RMA 要求ラインをキャンセルするには、出荷タスクがクローズされる前にキャンセルする必要があります。

手順

1. [RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、出荷タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

出荷タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	出荷タスクのステータス。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配送 業者	修理または交換のためにベンダーの場所に資産を出荷する配送業者の名前。 このフィールドは、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。
出荷日	資産が出荷される日付。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
追跡番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。

3. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[資産] フォームで、資産のステータスが [輸送中] に変わります。[RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストに、ベンダー RMA 意思決定タスクが生成されます。
4. [RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、ベンダー RMA 意思決定タスクを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ベンダー **RMA** 意思決定タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	ベンダー RMA 意思決定タスクのステータス。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
ベンダーのアクション	ベンダーが欠陥のある資産をどのように処理するか。選択肢は次のとおりです。 ○ 修理 ○ 置換 タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。

6. ベンダーが欠陥のある資産をどのように処理したいかに基づいて、次のいずれかを実行します。
   - ベンダーが欠陥のある資産を修復する場合は、[ベンダーアクション] フィールドから [修理] を選択します。
   - ベンダーが欠陥のある資産を新しい資産と交換する場合は、[ベンダーアクション] フィールドから [置換] を選択します。
7. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストに、受領タスクが生成されます。
8. [RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、[受領] タスクを開きます。
9. フォームのフィールドに入力します。

受領タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	受領タスクのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
資産受領済み	修理済み資産または新しい資産を受領したかどうかに関する情報。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
交換用資産	欠陥のある資産の交換として受領した新しい資産。このオプションは、ベンダー RMA 意思決定タスクの [ベンダーアクション] フィールドで [置換] が選択されている場合にのみ表示されます。

10. 修理済み資産を受領した場合は、次の手順を実行します。

    a. [資産受領済み] リストから [はい] を選択します。

    b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    [資産] フォームで、資産の状態が [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

11. 欠陥のある資産の交換として新しい資産を受領した場合は、次の手順を実行します。

    a. [資産受領済み] リストから [はい] を選択します。

    b. 新しい資産を資産フォームの資産 [alm_asset] テーブルに追加し、受領タスクフォームに戻ります。

    c. [交換用資産] フィールドで、新しい資産を選択します。

    d. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    資産フォームで、新しい資産の状態が [在庫あり] で、サブステートが [利用可能] になります。資産フォームの [財務] セクションの下にある [取得方法] フィールドには、RMA 交換が表示されます。

    資産フォームで、古い欠陥のある資産の状態が [廃止] に変更され、サブステートが [仕入先貸方] に変更されます。

    ベンダーがバンドルの一部であった資産を別のモデルに置き換える場合、新しい資産を選択すると警告が表示されます。新しいモデルをバンドルに追加することはできません。受領タスクをクローズすると、欠陥のある資産がバンドルから削除されます。バンドルのステータスが [ビルド] に、新しい資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] にそれぞれ変更されます。

タスクの結果
RMA プロセスが完了しました。

オンサイト修理で **RMA** 要求をクローズする

不具合のある資産をオンサイトで修理する RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

このタスクについて
[アセスメント] フォームの **[RMA]** アクションフィールドで [オンサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストの下にオンサイト修理タスクが生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産がオンサイトで正常に修理された場合は、オンサイト修理タスクをクローズします。欠陥のある資産の RMA プロセスが完了します。

資産をオンサイトで修理できなかった場合は、資産をオフサイト修理に送ることができます。欠陥のある資産をオフサイト修理のために送ると、資産 RMA オフサイトフローによって必要な RMA タスクがトリガーされ、RMA プロセスが完了します。

インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、修理確認タスクがクローズされるまで、資産 RMA オンサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。

手順

1. [RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、オンサイト修理タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

オンサイト修理タスクフォーム

フィールド	説明
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
修復の確認	資産がオンサイトで正常に修復されたかどうかの確認。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
アクションの変更	オンサイトで修理できなかったため、欠陥のある資産をオフサイト修理のために送信するオプション。このオプションは、[修理の確認] フィールドで [いいえ] を選択した場合にのみ表示されます。

3. 欠陥のある資産がオンサイトで正常に修復された場合は、次の手順を実行します。
   a. [修理の確認] リストから [はい] を選択します。
   b. **[Close task]** をクリックします。
   [資産] フォームで、資産の状態が [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。RMA プロセスが完了しました。
4. 欠陥のある資産をオンサイトで修理できず、オフサイト修理に出す場合は、次の手順を実行します。
   a. [修理の確認] リストから [いいえ] を選択します。
   b. [アクションの変更] リストから、[オフサイト] を選択します。
   c. **[Close task]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、出荷タスクが生成されます。詳細については、「オフサイト修理または交換に関する RMA 要求をクローズする」を参照してください。

[資産] フォームで、資産の状態が [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。

インベントリ在庫注文要求の作成

インベントリインベントリ注文要求を作成して、ストックルームの新しいハードウェアを一括注文できるようにします。要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローに従って、注文の要求、調達、受領のプロセスに進みます。

始める前に

必要なロール:インベントリユーザー

このタスクについて

在庫注文は、ストックルームの在庫を補充するためのカタログ要求です。

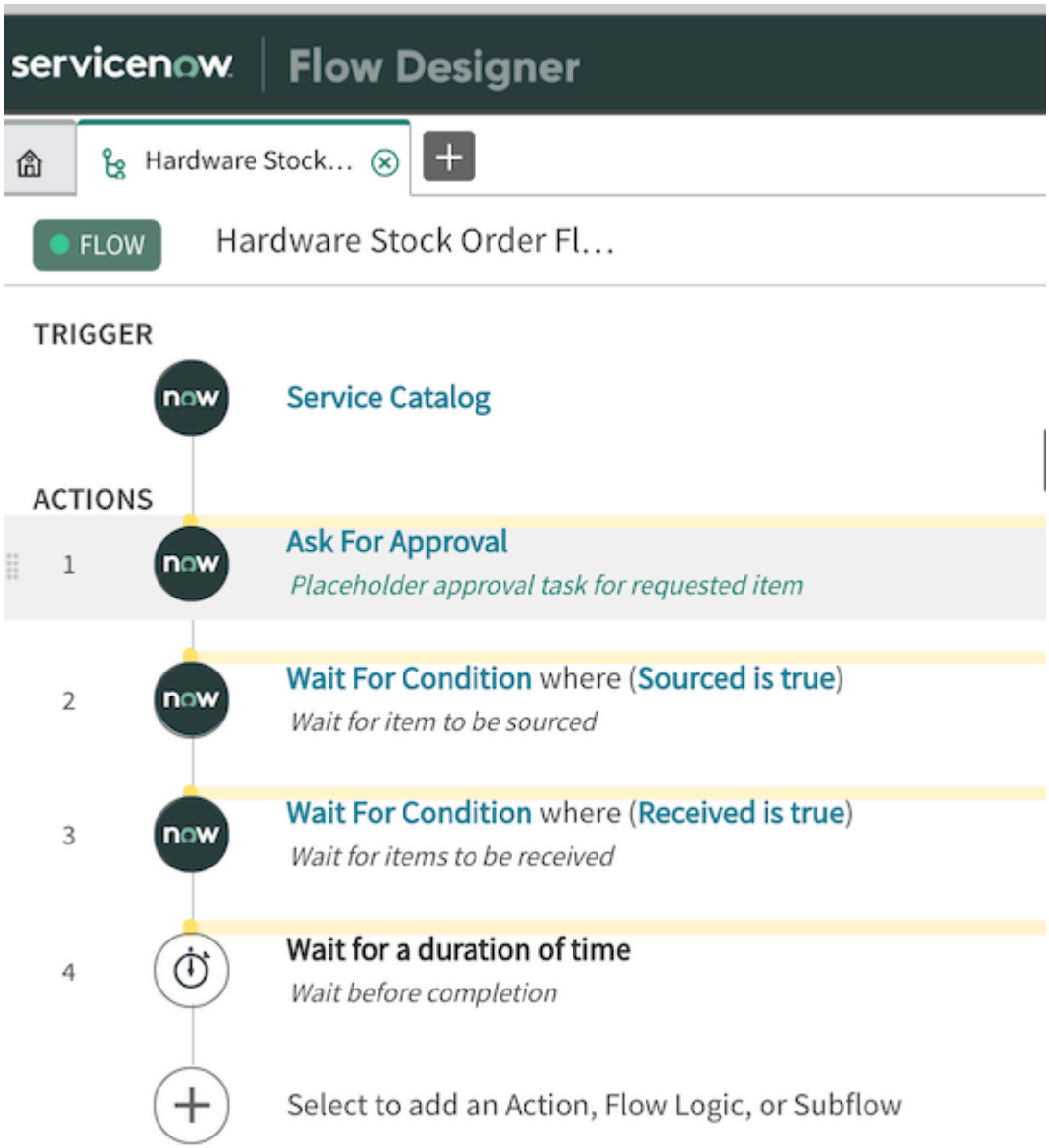
ハードウェアインベントリの在庫注文要求を手動で作成できます。ただし、在庫ルールのしきい値に違反すると、在庫ルールトリガーから在庫注文要求が自動的に作成されます。

在庫注文要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローがトリガーされます。ワークフロースタジオ アプリケーションは、注文の要求、調達、受領のプロセス全体をガイドするハードウェア在庫注文フローを作成するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Hardware Stock Order Flow (ハードウェア在庫注文フロー)



必要なロール：inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 在庫注文の送信.
2. フォームのフィールドに入力します。

[ハードウェアインベントリ在庫注文] フォーム

フィールド	説明
モデル	注文する新しいハードウェア。
数量	注文する新しいハードウェアの数量。
倉庫	新しいハードウェアを保管する倉庫。
コメント	注文要求に固有の詳細。

3. [**Order Now**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[注文ステータス] フォームには、すべての注文の詳細が表示されます。既存のサービスカタログ要求ワークフローは、要求に必要なすべての承認を処理します。これで、要求を調達できます。

4. 要求番号をクリックして要求を開きます。
   要求アイテムの価格は、モデルの価格です。要求の価格は、要求アイテムの数量に要求アイテムの価格を掛けて計算されます。[要求アイテム] 関連リストに表示される要求アイテムの価格は、数量によって計算されたモデルの価格です。

   要求アイテムの価格はモデルの価格であり、要求の価格は要求アイテムの数量 * 要求アイテムの価格として計算されます。

   要求が承認されると、カタログ タスクが作成されます。
5. [カタログタスク] をクリックし、カタログタスクを開きます。
6. [ソース要求] をクリックします。
   [ソース要求] フォームレイアウトには、モデル名、調達するアイテムの数量、および在庫のあるハードウェアの合計数量が一覧表示されます。
7. [転送注文を追加] または [発注書を追加] をクリックして、転送注文または発注書を介して要求を調達します。

   [合計在庫] に記載されている数量には、配送先のストックルームで利用可能な在庫は含まれません。

   要求されたアイテムがどのストックルームでも利用できない場合、[転送注文の追加] は無効になります。要求アイテムに対して利用可能なベンダーがいない場合、[発注書 **(PO)]** の追加 は無効になります。

   発注書 **(PO)** の追加を有効にするには、次のいずれかを実行します。

   - [ベンダーアイテム] に移動して、指定されたベンダーを追加します。
   - ベンダーの詳細を含む要求されたモデルのカタログアイテムを追加します。

資産管理 の転送注文

転送注文は、会社のストックルーム間で資産を移動します。

資産管理 アプリケーションを使用すると、資産アドミニストレーターは会社のストックルーム間で資産を移動するための転送注文を作成できます。

消耗資産と非消耗資産は、次のように転送することができます。

- 消耗品の資産は数量 1 個からの転送が可能です。消耗部品はシステムによって定性的に追跡されます。
- 非消耗資産は、数量 1 を単体のエンティティとして転送する必要があります。非消耗部品はシステムで定義された資産に相対します。

重要:
フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションがServiceNowインスタンスでも有効化されている場合、このアプリケーションのワークフローが転送注文を処理します。詳細については、「Move an asset through the transfer process」を参照してください。

転送注文ライン

転送注文ラインはインベントリの下の新しいモジュールで、そのサブモジュールとしてテンプレートタスクとテンプレートサブタスクがあります。転送注文 ラインでは、複数の資産を一度のオーダーで移動させることができます。出荷準備中などのアクションは、転送注文ラインレベルで行えます。割当済み資産も転送注文ラインに含めることができますが、全数量での転送しか行えません。ビジネスルールで、2 つの異なる転送注文で同じ資産が同時に転送されることを防いでいます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
転送注文と転送注文ラインのワークフローは、調達プラグインから資産管理プラグインに移動しました。転送注文ラインワークフローは、特定のレコードで一致するワークフローまたは実行中のワークフローがない場合にのみ実行されます。

転送注文ラインのタスク

資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。転送注文ラインタスクは、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。転送注文ラインタスクは、転送注文の完了に必要なサービスレベルと期間を追跡するのにも役立ちます。

デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。必要に応じて、独自のカスタマイズされたテンプレートタスクを作成することもできます。詳細については、「カスタマイズされたテンプレートタスクの作成」を参照してください。転送注文ラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送注文ラインタスクとして転送注文ラインに追加されます。選択した資産に一致するカスタマイズされたテンプレートタスクが見つからない場合、デフォルトテンプレートタスクが転送注文ラインタスクとして追加されます。

転送注文ラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、[フルフィルメントの準備完了] タスクをクローズすると、このタスクのステータスが [完了してクローズ] として表示され、次のステージ (出荷準備完了) のために新しいタスクが開きます。このプロセスは、転送注文ラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送注文ラインが [フルフィルメントの準備完了] から [出荷準備] に移動すると、その資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移動します。

注:

転送注文ラインタスクをスキップして [スキップしてクローズ] を選択した場合、その資産は自動更新されません。資産が受領または配送されたら、手動で更新できます。

以前のリリースからニューヨークリリースにアップグレードする場合に、まだ処理中のオープンな転送注文ラインが残っていると、その転送注文ラインに関連付けられたすべての転送注文ラインタスクが同時に作成され、転送注文ラインフォームレイアウトに表示されます。転送注文ラインのステージに基づいて、まだ処理する必要があるタスクがオープンされます。既に完了している他のすべてのタスクがクローズされます。オーダーに基づいて、後の転送注文ラインタスクをクローズすると、現在オープンになっているそれ以前のすべてのタスクが自動的に [スキップしてクローズ] になります。

転送注文ラインのサブタスク

プロセスの詳細度と効率をさらに高めるには、各転送注文ラインタスクにサブタスクを作成することもできます。各転送注文ラインタスクには複数のサブタスクを含めることができます。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。特定の転送注文ラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送注文ラインタスクに自動的に追加されます。すべてのサブタスクがクローズされると、その転送注文ラインタスクは自動的にクローズされます。詳細については、「テンプレートサブタスクの作成」を参照してください。

転送注文を使用して資産を転送する

転送注文プロセスを通じて資産を移動して、ある場所から別の場所に資産を転送します。転送注文を作成して、初期の [ドラフト] ステータスから最終の [受領] ステータスに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 転送注文 > 転送注文を作成.
2. [配送元の倉庫] リストで、アイテムの配送元にする倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストで、アイテムの配送先にする倉庫を選択します。

   注:
   [配送元の倉庫] フィールドと [配送先の倉庫] フィールドの両方に同じ倉庫を選択した場合、転送注文ラインが追加されたときに転送注文が [ドラフト] から [受領済み] に自動的に移動します。

4. [配送期日] 日付ピッカーから配送の日付と時刻を選択します。
5. [送信] を選択します。
6. その転送注文を開きます。
7. [転送注文ライン] の横にある [新規] をクリックします。
8. 転送注文ラインのモデルを選択します。
9. モデルが消耗品の場合は、[要求された数量] で数量を指定します。
10. [送信] をクリックします。
    転送注文ラインを作成すると、転送注文とすべての転送注文ラインはドラフトステージとなります。転送注文や転送注文ラインがドラフトステージである間は、削除可能です。

    注:
    資産が [ドラフト] に設定された転送注文の一部だと、資産レコードは予約済みであることを表示する更新が行われます。資産が予約済みとなっている間は、その資産の要求や転送を行うことができなくなります。

    資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。転送注文ラインタスクを使用すると、転送注文ラインのさまざまなステージに進むことができます。各転送注文ラインタスクは、転送プロセスの特定のステージを表します。タスクをクローズすると、新しいタスクが作成され、転送プロセスは次のステージに進みます。
11. 転送注文ラインタスクを開いて、[タスクをクローズ] をクリックします。
    転送注文ラインタスクが完了し、新しい転送注文ラインタスクがオープンになります。

次のタスク
最後のステージ (受領済み) に達するまで、各タスクをクローズしていきます。[受領済み] ステージのタスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了してクローズされます。すべての転送注文ラインと転送注文は、[配送済み] とマークされます。

転送注文ラインタスクのサマリー

資産が転送プロセスを経て移動するとき、転送注文のステージは常に個々の転送注文ラインタスクに基づきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送注文ラインのタスク

転送注文ラインのステージ	説明
ドラフト	転送注文ラインが作成されたとき。
要求済み	このタスクが転送注文ラインに対して最初に作成されます。
出荷準備	[要求済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。このタスクでは、出荷の転送注文ラインの準備について処理します。[配送業者]、[ベンダー]、[トラッキング番号]、[出荷日] などの出荷トラッキングフィールドの値を指定します。
輸送中	[出荷準備中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
受領済み	[輸送中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
配送済み	[受領済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。[配送済み] タスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了します。

転送注文を削除する

転送注文がまだドラフトステージの場合のみ、転送注文を削除できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。inventory_user、資産、およびprocurement_userロールに対して、 調達 (com.snc.procurement) プラグインをインストールする必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ管理 > 転送注文 > 転送注文
2. 転送注文の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択した行メニューの [アクション] から、[削除] を選択します。

関連情報

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文 ラインを削除する

転送注文ラインがまだドラフトステージの場合のみ、転送注文ラインを削除できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。inventory_user、資産、およびprocurement_userロールに対して、 調達 (com.snc.procurement) プラグインをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 転送注文を開きます。
2. 転送注文 ラインの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択した行メニューの [アクション] から、[削除] を選択します。

   また、転送注文や転送注文ラインが [要求済み] または [出荷準備中] ステージにある間にキャンセルすることもできます。すべてのラインがキャンセルされると、転送注文は自動的にキャンセルされます。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文が受領されたときに、すべてまたは一部のアイテムに問題がある場合は、その転送注文を返品できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

このタスクについて

返品する前に、転送注文内のアイテムを受領する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ管理 > 転送注文.
2. [受領済み] ステージにある転送注文を選択します。
3. 返品するアイテムの転送注文ラインの [番号] をクリックします。
4. [返品] をクリックします。
5. 返品する数量を入力します。
6. 返品理由を入力します。
7. 不良のあるアイテムを返すには、[不良品] チェック ボックスを選択します。

   欠陥品は配送元の倉庫に返却されますが、使用可能在庫としては追加されません。代わりに [欠陥品] という別のカテゴリで追跡され、要求や転送ができなくなります。

8. **[OK]** をクリックします。
9. [更新] をクリックします。

   新規の転送注文 ラインが自動的に登録されます。

   相対する新規の転送注文 (親) も新規の転送注文 ラインとともに自動作成されます。

10. 消耗品を返品する場合は転送注文ラインレコードに移動し、モデル名をクリックしてモデルレコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル レコードには、どのストックルームにモデルが含まれているかが表示されます。欠陥品モデルが 1 件リストアップされています。

> **注:**
> 欠陥品モデルはまだ配送先のストックルームにあります。欠陥品モデルは配送元の倉庫に戻されなければいけません。

11. 新規の転送注文を通常の転送注文 プロセスを通して移動します。
アイテムは配送元のストックルームに自動的に戻されます。返品された転送注文ラインアイテムは、後で配送することはできません。

    元が同じオーダーで受領した別個の欠陥品モデルを返品する場合は、2 件の不良品返品が 1 件のラインアイテムに結合されます。

資産管理 の転送注文の作成

ある場所から別の場所に資産を転送するために、転送注文を作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ管理 > 転送注文 > 転送注文を作成.
2. [配送元の倉庫] リストをクリックして、出荷するアイテムの配送元の倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストをクリックして、アイテムを出荷する先の倉庫を選択します。
4. [送信] をクリックします。
転送注文が作成されると、転送注文ラインを作成して転送注文を構成するアイテムを指定できます。「転送注文 ラインを作成する」を参照してください。

転送注文 ラインを作成する

転送注文 ラインは、転送注文を構成する詳細なアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
転送注文には、1 件以上の転送注文 ラインを含めることができます。1 件の転送注文に含められた転送注文 ラインはすべて配送元と配送先が同じ場所になります。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは資産名とモデル名で識別されます。転送注文 ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。バンドルモデルも転送することができます。

手順

転送注文を作成した後、[転送注文 ライン] 関連リストで [新規] をクリックし、必要に応じてフィールドに入力します。

フィールド	説明
番号	転送注文ラインを識別する内部個別番号

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
転送注文	転送注文ラインが属する転送注文
モデル	転送注文ラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送注文ラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送注文の現在のステージ転送注文 ラインは、転送注文が [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送注文 ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送注文ラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

自動翻訳

カスタマイズされたテンプレートタスクの作成

カスタマイズされたテンプレートタスクを作成して、特定のタスクワークフローを転送注文ラインに設定します。デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。デフォルトのテンプレートタスクを変更または削除することはできません。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

テンプレートタスクを使用すると、転送注文ラインのさまざまなステージに進むことができます。カスタムテンプレートタスクは、カスタムテンプレートタスク [alm_custom_template_task] テーブルに保存されます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。たとえば、アプリケーションモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクを作成すると、そのアプリケーションモデルカテゴリに対する転送注文ラインが作成されるたびに、そのアプリケーションモデルカテゴリに関連付けられたテンプレートタスクが転送注文ラインタスクとして使用されます。カスタマイズされたテンプレートタスクを作成するときは、転送注文ラインワークフローのコピーを作成し、適宜ワークフローを更新します。たとえば、5 つのタスクのうち 4 つのタスクのみが必要な場合は、ワークフローから追加のタスクを削除できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
同じモデルカテゴリ、同じ順序番号、および同じステージに基づいている 2 つのテンプレートタスクを作成することはできません。モデルカテゴリ、順番、およびステージは、テンプレートタスクごとに一意である必要があります。たとえば、アプリケーションモデルのカテゴリ、順序番号が 200、ステージが [要求済み] の場合、[出荷準備] のテンプレートタスクを 2 つ作成することはできません。例で説明したように同一のテンプレートタスクを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 転送注文ライン > テンプレートタスク.
資産管理アプリケーションで利用可能な、すべてのデフォルトテンプレートタスクがリストされます。
2. [新規] をクリックします。
また、デフォルトテンプレートタスクをコピーして、テンプレートタスクをカスタマイズすることもできます。[デフォルトテンプレートをコピー] をクリックして、モデルカテゴリを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します (表を参照)。

フィールド	説明
タスク名	テンプレートタスクの名前
モデルカテゴリ	このテンプレートタスクが基づいているモデルカテゴリ。
順序	転送注文ラインにテンプレートタスクが追加される順番。
簡単な説明	このテンプレートタスクについての簡単な説明。
次のステージ	このテンプレートタスクが実行されるステージ。

4. [送信] をクリックします。

テンプレートサブタスクの作成

テンプレートサブタスクを作成して、転送注文ラインタスクを詳細化します。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
作成したテンプレートサブタスクは、テンプレートサブタスク [alm_template_subtask] テーブルに保存されます。転送注文ラインタスクが作成されたときに、その転送注文ラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送注文ラインタスクに自動的に追加されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 転送注文ライン > テンプレートサブタスク.
2. [新規] をクリックしてフォームフィールドに入力します (表を参照)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	サブタスクの簡単な説明。
サブタスク名	サブタスクの名前。
タスク	このサブタスクが関連付けられているタスク。

3. [送信] をクリックします。

転送注文 ラインの資産の追跡

転送注文 ラインにアクションが発生すると、影響を受ける資産の在庫情報や状況が更新されます。消耗品と非消耗品は別々に追跡されます。

資産が転送注文 ラインに含まれている場合、以下が行われます：

- 資産フォームのサブステートフィールドが転送注文ラインのステータスを反映して変更される
- 資産フォームの [有効期間] オプションが自動的に選択され、その資産がある転送注文の一部であり複数の転送注文に追加できないことが示される。
- その資産が利用可能な資産のプールから削除され、[在庫あり] [保留中の転送] の状態に変更される。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文 ラインの非消耗資産を追跡する

非消耗品の転送注文 ラインのステージが変更されると、資産のサブステートに影響を与えます。

転送注文 ラインのステージ	資産のサブステートへの影響
ドラフト	資産の移動先 在庫あり > 転送待ち (現在のストックルームから) 資産が消耗品であれば数量を編集できます。
要求済み	資産は 在庫あり > 転送待ち.
出荷準備	資産は 在庫あり > 転送待ち.
輸送中	資産の移動先 輸送中 > 予約済み.
提供	資産の移動先 在庫あり > 予約済み.
受領済み	資産の移動先 在庫あり > 利用可能 (宛先ストックルーム内)

関連情報

転送注文を削除する

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送注文 ラインの消耗資産を追跡する

消耗品が転送注文 ラインに追加されると、消耗品の在庫は 2 件のレコードに分割され、転送注文は新しく登録された在庫ラインにリンクされます。

例：

1. ストックルーム A にはキーボードが10 台あります。
2. TOL1 という転送注文 ラインで、ストックルーム A からストックルーム B までキーボードを 3 台転送します。
3. A のキーボード 10 台の在庫は 2 つのレコードに分割されます。 在庫あり > 利用可能 3つが 在庫あり > 転送待ち.
4. ストックルーム A からストックルーム B にキーボード 2 台を転送する TOL2 という転送注文 ラインが含まれた別の転送注文が作成されます。
5. 残りの7つのキーボードは、さらに2つのラインに分割されます:5 在庫あり > 利用可能 と 2 つ 在庫あり > 転送待ち.

   注:
   3人 在庫あり > 転送待ち そして2つ 在庫あり > 転送待ち は、同じ転送注文ラインの一部ではなく、必ずしも同じ人物からのものではないため、結合されません。

6. キーボード 2 台のオーダー TOL2 がドラフトから要求済み、出荷準備に移行すると、キーボード 3 台のオーダーの TOL1 は残ります 在庫あり > 転送待ち.
7. キーボード 3 台の TOL1 が「 輸送中」 ステージに移動すると、キーボード 3 台が 輸送中 > 予約済み ステージ。キーボード 2 台のオーダー TOL2 でも同じことが起こります。
8. TOL1 が 受信されると、キーボード 3 台が 在庫あり > 利用可能 倉庫Bで。
9. ストックルーム B で TOL2 が受領されると、キーボード 2 台は 在庫あり > 利用可能 3 つのキーボードと結合されます 在庫あり > 利用可能 Bで。
10. 最後に、ストックルーム B にはキーボード 5 台が 在庫あり > 利用可能.

関連情報

- 転送注文を削除する
- 転送注文 ラインを削除する
- 転送注文で受領したアイテムを返品する

廃棄注文の作成

ハードウェアまたは消耗資産の廃棄注文を作成します。ライフサイクルの終わりに達した資産または機能しなくなった資産に対して、廃棄注文を作成することができます。

始める前に

注:
ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

消耗品を廃棄注文に追加するには、 廃棄対象としてマーク を選択します。これにより、[廃棄予定] フィールドが **true** に設定されます。詳細については、「消耗型資産を廃棄」を参照してください。

ワークフロースタジオ アプリケーションを使用してハードウェア資産廃棄フローを作成し、ハードウェア廃棄注文プロセス全体を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェアの廃棄注文は、完了までにさまざまなステージを経ます。各ステージは、ハードウェア廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージを移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを終了します。最後のタスクを完了すると、ハードウェア廃棄注文は完了です。ハードウェア廃棄注文のステージの詳細については、「ハードウェア廃棄注文ステージ」を参照してください。

廃棄注文は、ワークフローの輸送ステージに達するまでキャンセルできます。廃棄注文が確認ステージに入った後は、その注文をキャンセルすることはできません。ドラフト、スケジューリング、または輸送ステージにあるタスクをキャンセルするには、[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択してタスクをクローズします。

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリビュー.

2. フォームのフィールドに入力します。

新しいハードウェア廃棄注文の作成フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産の廃棄元の倉庫。
ベンダー	資産の廃棄先のベンダー。
場所	資産が廃棄されるストックルームの場所。ストックルームを選択すると、場所が自動的に表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに関連付けられている場所がない場合、ストックルームフィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所の倉庫リストから倉庫を選択できます。
Assigned to (アサイン先)	資産の廃棄担当者。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
廃棄注文が作成され、ハードウェア資産の廃棄ワークフローがトリガーされます。
4. [ハードウェア廃棄注文集荷の詳細] フォームの [集荷の詳細] セクションで、フィールドに入力します。

ピックアップの詳細セクション

フィールド	説明
予定日	資産を廃棄する日付。
集荷連絡先	廃棄する資産をピックアップするベンダーのユーザーの名前。
集荷の詳細	ピックアップの詳細。
追加情報	追加する場合の任意のメッセージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [予定資産] タブを選択します。
6. [**Add**] を選択します。
7. 利用可能な資産のリストから、廃棄する資産を選択します。
   選択した資産が [予定資産] タブに表示されます。また、[資産の検証] タスクはハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
8. [資産の検証] タスクを選択します。
9. 検証する資産を選択し、[検証] を選択します。
   除外された資産を選択することはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
   資産のステータスが [廃止] に変更され、サブステートが [廃棄待ち] に変更されます。スケジュール済み集荷タスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
10. [スケジュールの詳細] セクションをベンダー、ベンダー注文 ID、予定日、およびピックアップ連絡先名の詳細で更新し、[タスクをクローズ] を選択します。
    資産の切り離しタスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
11. 資産の出荷タスクの [スケジュールの詳細] セクションで、[出荷先]、[配送業者]、および [追跡番号] フィールドに詳細を指定します。
12. [**Save** (保存)] をクリックする。
13. [資産の切り離し] タスクで、[予定資産] タブを選択します。
14. 切り離す資産を選択し、[切り離す] を選択します。

    注:
    切り離されていない予定資産は自動的にキャンセルされます。

    資産のステータスが [輸送中] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。ベンダー確認タスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
15. 仕入先確認タスクを選択し、 タスクのクローズ を選択します。
    ステージが [ドキュメント] に変わります。廃棄ドキュメントタスクがハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
16. 廃棄ドキュメントタスクを選択し、次の操作を行います。

    a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。

    b. [廃棄証明書] リストで、[はい] を選択します。

    廃棄ドキュメントを注文に添付し、フィールドを はい に設定して、廃棄注文を 完了 にクローズする必要があります。

17. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    - すべてのハードウェア廃棄タスクが完了し、ハードウェア廃棄注文のステージが [完了] に変わります。
    - 資産フォームの [廃棄] セクションの [廃棄日] フィールドが入力されます。
    - 廃棄された資産に関連付けられているメンテナンス契約については、[契約] タブの [削除日] フィールドに値が入力され、廃棄された資産は契約の一部ではなくなります。
    - 廃棄された資産に関連付けられているエンタイトルメントもすべて削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産要求フローの使用

ハードウェア資産要求フローを使用して、 サービスカタログ アプリケーションからハードウェアカタログアイテムを要求、調達、および展開します。

始める前に

必要なロール：

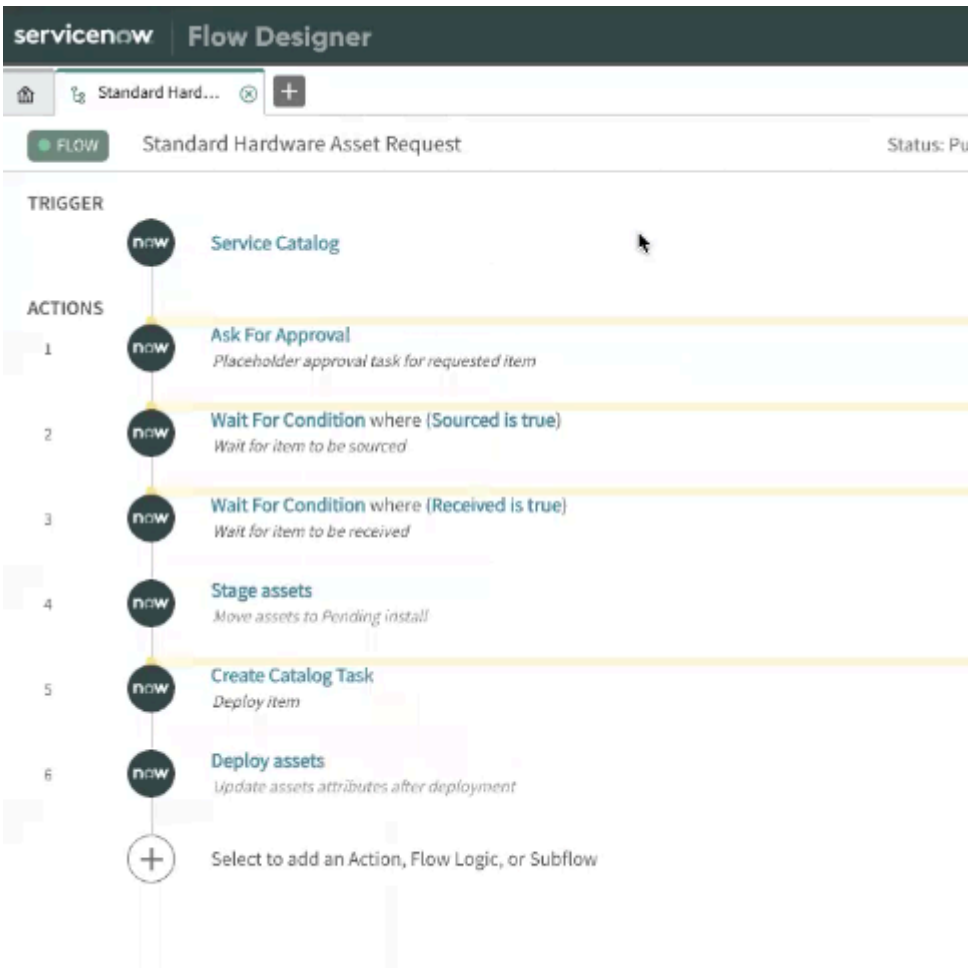
- catalog_admin
- procurement_admin

このタスクについて

サービスカタログ アプリケーションからハードウェアカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準ハードウェア資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

ワークフロースタジオ アプリケーションは、ハードウェアカタログアイテムの調達、調達、および展開のプロセスを示す標準ハードウェア資産要求フローを作成するために使用されます。フローがさまざまなステージを進むにつれて、資産の詳細が自動的に更新されます。標準ハードウェア資産要求フローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

標準ハードウェア資産要求フロー



手順

1. catalog_adminロールの認証情報を使用してログインし、次の場所に移動します。 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. ハードウェアカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準ハードウェア資産要求] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フロー] フィールドが表示されない場合は、メニューアイコンを右クリックして 構成 > フォームレイアウト.

3. [保存] を選択します。
これで、標準ハードウェア資産要求フローがハードウェアカタログアイテムに関連付けられました。
4. サービスカタログに移動し、 ハードウェアを選択します。
5. リストからカタログアイテムを選択します。
6. [場所] フィールドで、資産を展開する場所を指定します。
デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されています。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することができます。

> **注:**
> このフィールドは、 ハードウェア資産管理 8.0.0 にアップグレードした後にハードウェアモデルから公開されるハードウェアカタログアイテムでのみ使用できます。

7. [数量] フィールドで、資産の数量を指定し、[今すぐ注文] を選択します。
8. procurement_adminロールの認証情報を使用してログインし、新しい要求を開きます。
9. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを 選択 します。
10. [要求アイテム] フォームレイアウトで、[フローコンテキスト] 関連リンクを選択して、標準ハードウェア資産要求フローの現在のステージを表示します。
11. [カタログタスク] 関連リストを選択して要求の調達タスクを表示します。
12. カタログタスクを開き、 ソース要求を選択します。
13. [ソース要求] フォームレイアウトで、[転送注文を追加] または [発注書を追加] を選択して、転送注文または発注書を介して要求を調達します。
カタログアイテムを調達した後 資産集荷タスクが有効になっているストックルームから資産が調達されている場合にのみ、要求されたアイテムに対して資産集荷タスクが作成されます。それ以外の場合は資産集荷タスクのない要求アイテムに対してDeploymentタスク が作成されます。 詳細については、「」を参照してくださいでストックルームの資産集荷タスクを有効にする ハードウェア資産ワークスペース。
14. [要求アイテム] 関連リストを選択し、要求アイテムを選択します。
15. [カタログタスク] 関連リストを選択します。
    - ソースストックルームに対して集荷タスクが有効になっている場合は、最初に資産集荷タスクを完了してから、展開タスクを完了します。
    - 集荷タスクが有効になっていない場合は、展開タスクを完了します。
16. モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の集荷タスクの管理」を参照してください。
要求アイテムの展開タスクが作成されます。
17. 展開タスクをクローズします。
標準ハードウェア資産要求フローで、資産の展開に関連付けられているアクションが完了します。 資産の [**State** (ステータス)]、[**Assigned** (割り当て済み)]、[**Installed** (インストール済み)]、[**Location** (場所)]、[**Assigned to** (アサイン先)] フィールドが更新されます。 資産に関連付けられている CI も更新されます。

インベントリを監査する

資産ストックルームおよびその他の場所 (オフィスやデータセンターなど) に対して、スケジュール設定された監査またはブラインド監査を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：asset

資産ロールまたはinventory_userロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。

- Hardware Asset Management (ハードウェア資産管理)
- ServiceNow エージェントアプリ

このタスクについて
Now Platform アプリまたは ServiceNow エージェント アプリで監査を作成できます。Now Platformを使用してスケジュール済み監査を作成し、ServiceNow エージェント アプリをブラインド監査に作成します。資産のスキャンの詳細については、「 ServiceNow エージェントアプリを使用して資産をスキャンする」を参照してください。

手順

1. 監査を作成します。

2. [新規資産監査の作成] フォームで、フィールドに入力します。

[新規資産監査の作成 **(Create New Asset Audits)]** フォーム

フィールド	説明
監査番号	監査参照番号。
Assigned to (アサイン先)	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値は次のとおりです ○ 場所 ○ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
倉庫	監査を実行する場所。
スキャン日	資産をスキャンする日付。
予定日	監査を実行する予定日。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
[監査結果] セクションが有効になり、監査結果の詳細が表示されます。
4. オプション: Now Platform監査結果を表示します。

   a. 次のように移動する。 資産監査 > 資産監査.

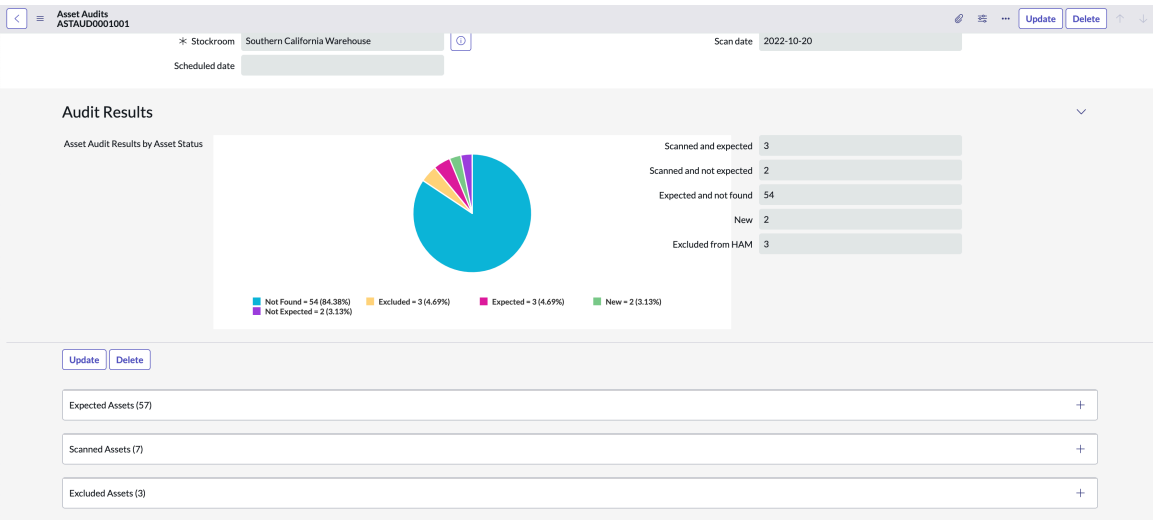
   b. 監査を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional) 資産監査フォームと監査結果を表示できます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

資産監査フォーム



次のタスク
ServiceNow エージェントアプリを使用して資産をスキャンする.

監査結果の表示

インベントリを監査した後、監査結果を表示します。[監査結果] セクションが有効になり、監査結果の詳細が表示されます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 資産監査 > 資産監査 進みます。
2. 監査番号を選択します。

   資産監査フォームと監査結果を表示できます。監査結果には、資産ストックルームやその他の場所のスケジュール済み監査またはブラインド監査が完了したときの資産のステータスが表示されます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

監査結果

監査結果には、資産ストックルームやその他の場所のスケジュール済み監査またはブラインド監査が完了したときの資産のステータスが表示されます。

監査結果

フィールド	説明
スキャン済みおよび予定	スキャンされた予定資産の数。
スキャン済みおよび予定外	スキャンされたが想定されていなかった資産の数。
予定および未検出	スキャンされなかった予定資産の数。
新規	スキャンされたが、 ServiceNow インスタンスにレコードがない資産の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査結果 (続く)

フィールド	説明
HAM から除外	ハードウェア資産管理ライセンス機能の使用から除外された資産の数。

次の関連リストには資産情報が表示されます。

- 予定資産:監査対象の ストックルーム または場所に割り当てられているすべての資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。
- スキャンされた資産:監査中にスキャンされたすべての資産を表示します。リストは、モバイルアプリからスキャンが送信されるたびに更新されます。
- 除外された資産:除外されたすべてのハードウェア資産と エンタープライズ資産管理 資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。

ServiceNow エージェントアプリを使用して資産をスキャンする

ServiceNow エージェント アプリを使用して資産をスキャンします。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 作成した監査を選択し、[スキャン] を選択します。
   [資産タグ] フィールドに資産タグを手動で入力することもできます。資産タグを入力したら、**Enter** キーまたは **Return** キーを押します。
2. 資産のスキャンが完了したら、[レビュー] を選択します。

   必要に応じて、[Review (レビュー)] ページで資産を削除できます。ただし、 ハードウェア資産管理 誤って 2 回スキャンした資産の重複は自動的に削除されます。
3. [**Submit** (送信)] を選択します。
4. 資産のスキャンが完了したら監査を完了としてマークし、エージェントモバイルアプリのように監査をマークします。

   それ以外の場合は、監査に戻り、スキャンを続行します。

   注:

   監査の進行中は、新しいスキャンを必要なだけ何度でも開始できます。監査を完了 としてマークすると、それ以上資産をスキャンすることはできません。

ハードウェア資産のリフレッシュを要求

ハードウェア更新要求フローを使用して、ライフサイクルの終わりが近づいている老朽化したハードウェア資産を追跡します。新しいハードウェア資産と交換します。

始める前に
必要なロール:Inventory_user

このタスクについて
ハードウェア資産が古くなると、メンテナンスコストと障害のリスクが増加し、パフォーマンスが低下します。すべての古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の同じモデルに置き換えるか、異なるモデルで置き換えるかを選択できます。ハードウェア資産のリフレッシュ要求が承認されると、ハードウェア資産のリフレッシュフローによってソーシングが実行され、ハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。ハードウェア資産のリフレッシュラインフローでは、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

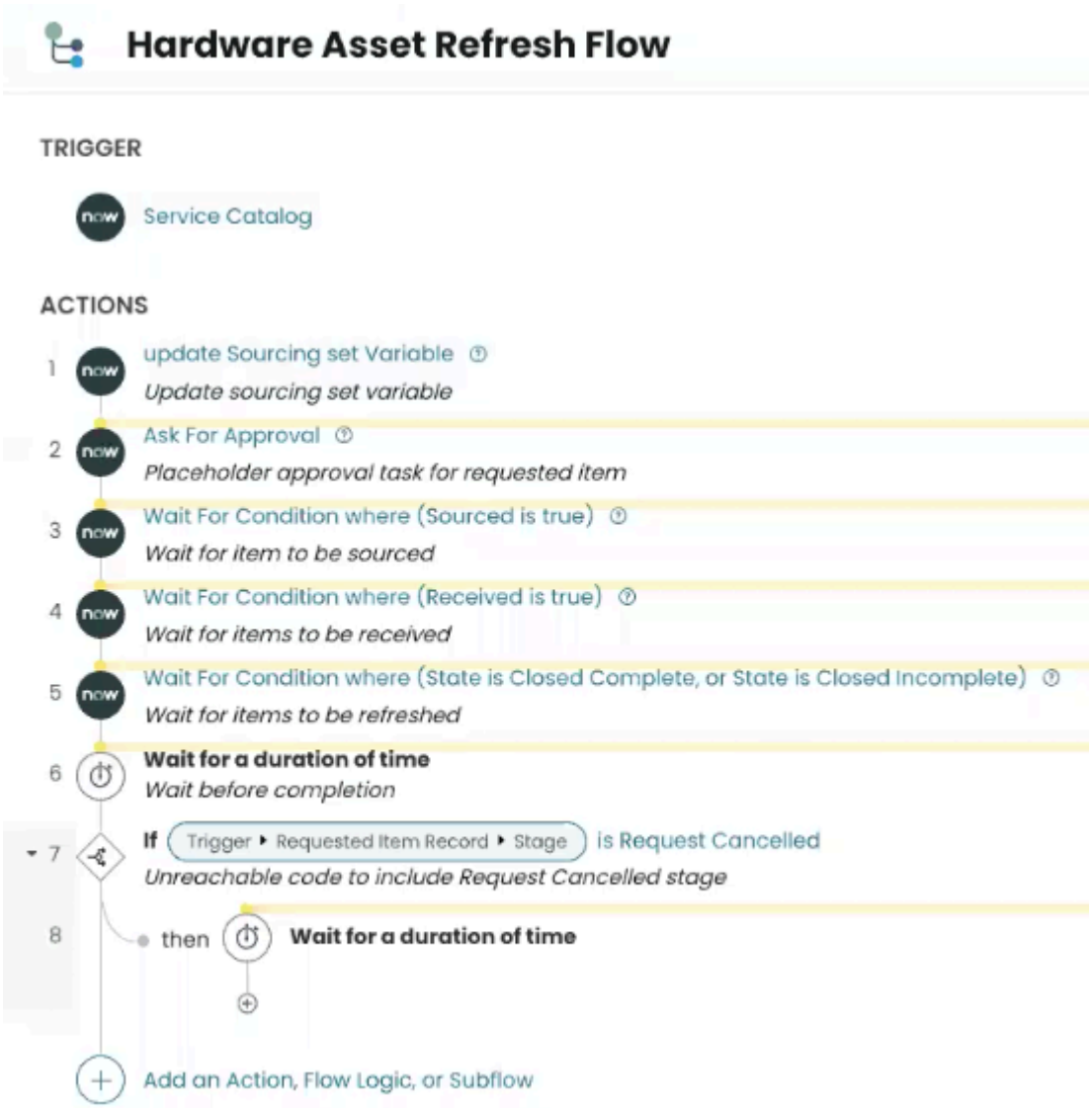
自動翻訳

リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送のスケジュール設定、展開、および古い資産の再利用のステップをガイドします。

フローデザイナーアプリケーションは、ハードウェア資産のリフレッシュフローとハードウェア資産のリフレッシュラインフローを作成するために使用されます。ハードウェア資産のリフレッシュモジュールをカスタマイズする際は、ハードウェア資産のリフレッシュフローの [調達セット変数の更新] ステップを削除またはカスタマイズしないでください。

注:
ハードウェア [alm_hardware] テーブルの [更新対象] フィールドを使用して、ハードウェアモデルが更新対象であるかどうかを確認できます。「SAM - 資産リフレッシュ適格性の計算」スケジュール済みジョブは毎週実行され、`SAMRefreshEligibityCalculator`スクリプトインクルードで `Process` メソッドを呼び出します。スクリプトインクルードは、[useful_life] フィールド (月単位) が指定されている資産のハードウェア製品モデルレコードをフェッチします。資産レコードが作成された日付が [useful_life] フィールドと比較され、資産が耐用年数内にあるかどうかが判断されます。有効年限期間にない資産については、[更新対象] フラグが true に設定されます。

Hardware Asset Refresh Flow (ハードウェア資産のリフレッシュフロー)



[カタログアイテム] フォームでハードウェア資産のリフレッシュカタログアイテムをカスタマイズする際は、次の変数を削除または変更しないでください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア資産のリフレッシュカタログアイテムフォーム

カタログアイテムのタブ	変数
変数	リフレッシュのタイプ
	責任を担います。
変数セット	ハードウェア資産管理プロセスセット
	ハードウェア資産管理ソーシングセット

注:
ハードウェア資産のリフレッシュラインフローをカスタマイズするために使用できるディシジョンテーブルがすぐに利用できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、 資産ライフサイクル カテゴリは [サービスカタログ] ページにありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツを追加アイコン (+) を選択し、[資産のライフサイクル] を選択します。
2. ハードウェア資産リフレッシュオーダーを開きます。
3. 古いハードウェア資産をすべて新しいハードウェア資産の同じモデルに置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新の種類] リスト フィールドから、[単一モデル] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   ハードウェア資産のリフレッシュフォーム

フィールド	説明
交換用モデル	古いハードウェア資産を置き換える新しいハードウェア資産モデル。
場所	新しい資産を展開する場所。 デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されています。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することができます。
資産	置き換える古いハードウェア資産。フィルターを使用して、置き換えるハードウェア資産を検索できます。

4. 古いハードウェア資産を別のモデルの新しいハードウェア資産に置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新の種類] フィールドから [マルチモデル] を選択します。

   b. [**Add**] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. 使用する新しいハードウェア資産ごとに、ハードウェアモデルを入力する行を追加します。

注:

50 行を作成できます。

交換する同じ古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

5. **[Order Now** (今すぐ注文)] を選択します。
除外された資産は表示できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

タスクの結果
古い資産がリフレッシュされるように設定されます。[ハードウェア] テーブルで、古い資産の [廃棄] 関連リストに、[リフレッシュ要求ライン] フィールドが入力されます。

[注文ステータス] ページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいハードウェア資産を調達し、古いハードウェア資産を交換するための要求が作成されます。[要求] フォームには、すべての新しいハードウェア資産モデルの合計価格が表示されます。

ハードウェア資産のリフレッシュラインタスクを使用して古い資産を交換する

新しいハードウェア資産を調達して、古いハードウェア資産を置き換えます。

始める前に
必要なロール：

- ソーシングのproc_user。
- 資産と itil をリフレッシュラインタスクに使用します。

このタスクについて
ハードウェア資産を更新する場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。ハードウェア資産のリフレッシュラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクをクローズして次のタスクに進み、リフレッシュを完了して、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、次のステージで資産の更新が完了します。

- 資産タスクの準備:要求者に渡す前に、新しい資産を準備します。たとえば、必要なソフトウェアをすべてインストールします。
- リフレッシュタスクのスケジュール:資産を要求者に引き渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産の展開:必要に応じて、資産を要求者に渡すか、要求者の場所に資産をインストールします。
- 古い資産の再利用:古い資産を収集します。

手順

1. ハードウェア資産のリフレッシュ要求を選択します。
ハードウェア資産の更新要求が承認されると、次のイベントが発生します。
   - 新しい資産を調達するためにソース要求フローがトリガーされます。
   - [カタログタスク] タブで、新しいハードウェア資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
2. 要求のソースアイテム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求のアイテムは、ローカル在庫を消費するか、発注書 (PO) または転送注文を通じて調達できます。

品目の調達の詳細については、「 サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。

新しい資産が受領されると、次のイベントが発生します。

- 資産に対してハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。
- [ハードウェア資産のリフレッシュライン] タブは、要求アイテムフォームの [資産タスク] タブの横に表示されます。
- 資産集荷タスクは、要求されたアイテムが資産集荷タスクが有効になっているローカルストックルームから消費される場合にのみ、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。それ以外の場合は、集荷タスクなしで 資産の準備タスク が直接作成されます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にする ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

3. [ハードウェア資産のリフレッシュライン] タブを選択します。
4. ハードウェア資産のリフレッシュラインを選択します。
5. [リフレッシュラインタスク] タブを選択します。
6. モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を検索して集荷します」を参照してください。
7. 資産を準備します。
   a. [資産の準備] タスクを選択します。
   b. [資産] フィールドで、交換するハードウェア資産を選択します。
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   d. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - リフレッシュタスクのスケジュールは、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
   - 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - サブステートが [予約済み] に変わります。
   - [予約目的] フィールドに要求者の詳細が入力されます。
8. [リフレッシュのスケジュール] タスクを完了します。
   a. [リフレッシュのスケジュール] タスクを選択します。
   b. [スケジュール済み展開日] フィールドで、新しい資産を展開する日付を選択します。
   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - [新しい資産を展開] タスクが [リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
   - 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [インストール待ち] に変わります。
9. [新しい資産を展開] タスクを完了します。
   a. [新しい資産の展開] タスクを選択します。
   b. [再利用] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。
      - 古い資産を収集した場合は、[はい] を選択します。
      - 古い資産を収集しなかった場合は、[いいえ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[場所] フィールドには、新しい資産を展開する場所が表示されます。

c. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:**
> [再利用] リストから [はい] を選択すると、[古い資産の再利用] タスクもデフォルトでクローズされます。

- [古い資産の再利用] タスクは、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。
- 割り当ては、古い資産から交換用資産に転送されます。

10. 古い資産の再利用を完了します。

a. [古い資産を再利用] タスクを選択します。

b. [再利用] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、[はい] を選択します。
- 古い資産を収集しなかった場合は、[いいえ] を選択します。

c. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:**
> ハードウェア資産のリフレッシュラインをキャンセルするには 、[キャンセル] を選択するか、[リフレッシュライン] タスクで [ステータス] フィールドを [未完了でクローズ] に変更します。

タスクの結果

古いハードウェア資産が再利用されると、ハードウェアフォームに次の変更が加えられます。

- 古い資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理する

リース契約の有効期限フローを使用して、リースされたハードウェア資産の契約が期限切れになる前に何をすべきかを決定します。有効期限が近づいているリース契約に関する通知を受け取ります。

始める前に

必要なロール：contract_manager

このタスクについて

リース契約の有効期限が近づくと、契約管理者と事業主に有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前に通知します。これらの通知を早期に受け取ることで、行動するための十分な時間を確保し、ペナルティの支払いを回避することができます。に移動すると、メール通知をカスタマイズできます システム通知 > **i** > 通知 > リース契約のしきい値違反.

ハードウェア資産ダッシュボードで期限切れになる資産契約の統合リストを、月、四半期、および年の形式で表示できます。詳細については、「 ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

ハードウェア資産管理 ライセンスがアクティブ化されると、資産がカバーされているアクティブなリース契約に対して [**UI** の更新] ボタンが表示されません。

資産が複数のリース契約に関連付けられている場合、資産レコードの [リース契約] フィールドには、最後に関連付けられた契約が反映されます。

リース契約の有効期限フロー、リース資産の買収フロー、リース資産の延長フロー、およびリース資産の返却フローをカスタマイズするために使用できる意思決定テーブルがすぐに利用できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

リース契約の有効期限フローで可能なリースアクションは、リース資産の買い取り、リース契約の延長、資産または別の類似製品の返却です。

注:
対象資産の場合、[削除日] フィールドが過去の場合、資産のステータスは自動的に [キャンセル] に設定され、リースアクションを実行できません。

手順

1. 次のように移動する。 契約 > 契約 > リース.
   [リース] ページが開きます。リース契約のリストが表示されます。
2. 関連するアクティブなリース契約を開き、[リース有効期限プロセスを開始 **(Begin Lease expiration process**)] 関連リンクをクリックします。

   注:

   [リース期限切れプロセスの開始 **(Begin Lease expriation Process**)] 関連リンクは、少なくとも 1 つの資産が対象であるアクティブな契約でのみ表示されます。

   除外されたリース資産に対して、買収、返却、延長などのリースアクションを選択することはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

   [リース資産] 関連リストには、リース契約の対象となるすべてのハードウェア資産が表示されます。

   リース契約の対象となる各資産レコードで、計画タスクが生成されます。計画タスクは、契約アドミニストレーターに自動的にアサインされます。

3. [リース資産] 関連リストで、次のいずれかを実行してリースアクションを実行します。
   - レコードを開いてから、計画タスクを開きます。計画タスクで、[リースアクション] リストからリースアクションを選択します。
   - 資産を開きます。[対象資産] フォームで、[リースアクション] リストから必要なリースアクションを選択します。
   - 資産のリストで、資産の [リース アクション] フィールドをダブルクリックし、リース アクションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一連のタスクが作成されます。計画タスクを開く以外の方法でリースアクションを選択すると、計画タスクのステータスが自動的に [クローズ済み] に移行します。

> **注:**
> デフォルトでは、計画タスクは契約に基づく最初の 1000 件の資産に対してのみ作成されます。1000 を超える資産の計画タスクを作成する場合は、資産プロパティ (asset_property.list) テーブルの *com.sn_hamp.flow.lease_contract_expiration.max_results* キーのデフォルト値 (1000) を変更できます。資産ロールを持つユーザーのみがこのプロパティを変更できます。

タスクの結果
選択したアクションに基づいて、対応するワークフローがトリガーされ、関連する契約資産タスクが作成されます。1 つのタスクをクローズして次のタスクに移動します。

次のタスク
選択したリースアクションに基づいて、次のいずれかを実行します。

- リースされたハードウェア資産を返却する.
- リースされたハードウェア資産を買い取る。
- リース契約の延長。

リースされたハードウェア資産を返却する

契約が期限切れになる前にハードウェア資産を返却し、違約金の支払いを回避してください。

始める前に
必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて
リース資産の返却を選択すると、リース資産の返却プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

手順

1. リースレコードを開きます。
2. [リース資産] 関連リストを選択します。
3. 資産を選択します。
4. [契約資産タスク] タブで、計画タスクを選択します。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リースアクション] リストから [返却] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理するに記載されているいずれかの方法に従います。
   収集タスクは、[契約資産タスク] 関連リストの下に生成されます。
7. 収集タスクを選択します。
8. 資産を正常に収集した場合は、次の操作を行います。
   a. [アセットコレクション] タブを選択します。
   b. [収集された資産] フィールドを [はい] に設定します。
   c. [ストックルーム] フィールドに、資産が保管されているストックルームを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産は [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移動されます。

9. ユーザーからアセットを収集していない場合は、次の手順を実行します。

   a. [収集された資産] フィールドを [いいえ] に更新します。
   [アクションの変更] フィールドが [資産コレクション] タブの下に表示されます。

   b. ユーザーからリース資産を回収できず、リース資産を買い取る場合は、[アクションの変更] リストから [買い取り] を選択します。
   買収プロセスを処理するために、さらに買収関連タスクが作成されます。「リースされたハードウェア資産を買い取る」を参照してください。

   c. ユーザーからリース資産を回収できず、リース契約を延長する場合は、[アクションの変更] リストから [拡張] を選択します。
   リース延長プロセスを処理するために、さらに延長関連のタスクが作成されます。「リース契約の延長」を参照してください。

   d. ユーザーからリース資産を回収できず、リース者が別の同様の資産を返却することに同意する場合は、次の手順を実行します。

      i. [アクションの変更] リストから [類似の返却] を選択します。

      元の資産では、[**Like-kind exchange**] フィールドに値が入力され、資産が [Missing] ステータスに移行します。

      ii. [類似の返却済み資産] フィールドから、リースに返却する資産を選択します。

      iii. [ストックルーム] フィールドから、返品する類似の資産を含むストックルームを選択します。

      返品プロセスを処理するために、同様の資産に対してさらに返品関連タスクが作成されます。

      ハードウェアフォームでは、次の変更が行われます。

      - 資産が [欠損] ステータスに移行します。
      - 類似の資産は [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移動されます。

10. [収集タスク] フォームで、タスクをクローズします。
    返品確認中に、決済が必要な場合は、 決済 フィールドを はい に更新し、 決済金額 フィールドを決済原価で更新できます。これを行うと、返品決済タスクと発注書が生成されます。発注書が 受領済 ステータスに移行すると、決済タスクは自動的にクローズされます。
    収集タスクが終了すると、資産のデバイス割り当てを削除する準備タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、準備タスクを開きます。
12. フォームで、[ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。
    準備タスクが終了すると、出荷の詳細を更新する出荷タスクが作成されます。
13. [契約資産タスク] 関連リストで、出荷タスクを開きます。
14. [配送業者]、[出荷日]、および [追跡番号] フィールドを更新します。
15. 出荷タスクをクローズします。
    返却確認タスクが作成されます。[ハードウェア] フォームで、リース資産が [輸送中] ステータスと [なし] サブステートに移行します。
16. [契約資産タスク] 関連リストで、返却確認タスクを開き、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に設定します。

b. [返却確認] フィールドを [はい] に設定します。

タスクの結果

返却確認タスクは、契約アドミニストレーターに自動的にアサインされます。必要に応じて、他のユーザーに割り当てることができます。

リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産は [廃止] ステータスと [リース返却] サブステートに移行します。

リースされたハードウェア資産を買い取る

契約が期限切れになる前にリースされたハードウェア資産を買い取り、ペナルティの支払いを回避します。

始める前に

必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて

リース資産の買い取りを選択すると、リース資産の購入プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注:
買収タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書 (PO) が調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 契約 > 契約 > リース.
2. [リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] 関連リストで、計画タスクを開きます。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リースアクション] リストから [買い取り] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理するに記載されているいずれかの方法に従います。

   発注書 (PO) と発注明細が作成されます。発注書フォームで、[詳細] セクションの **[PO** タイプ] フィールドが [リース買い取り] に設定されています。発注書 (PO) は、発注書 (PO) の明細品目に関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ注文できます。

   発注書 (PO) を受け取った後、買収のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

   契約のリース買い取り発注書 (PO) が [要求済み] ステータスであり、同じ契約の対象となる一部の資産が [買い取りリース] アクションで更新されると、対象となる資産の発注明細が発注書 (PO) に追加されます。新しい発注書 (PO) が作成されるのは、リース買い取りの既存の発注書 (PO) が [要求済み] ステータスでない場合のみです。

   買収情報を更新する買収タスクが作成されます。
7. [契約資産タスク] 関連リストで、買収タスクを開きます。
8. [買収の詳細] タブで、次の操作を行います。

   a. [買収日] フィールドを資産を購入する日付で更新します。

   b. [買収金額] フィールドを資産の購入金額で更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 必要に応じてフィールドに入力します。
10. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。

    発注明細の コスト フィールドを更新すると、 買収金額 フィールドに同じ金額が自動的に入力されます。買収タスクがクローズされるまで、発注明細の [コスト] フィールドを変更できます。

    確認プロセスを処理するために買収確認タスクが作成されます。

11. [契約資産タスク] 関連リストで、買収確認タスクを開き、次の操作を行います。
    a. 必須フィールドに入力します。
    b. [買収] 確認フィールドを[はい] に更新します。
    c. [**State**] フィールドを **[Closed and Complete]** に変更します。

    [買収確認タスク] フォームから [買収金額] フィールドを変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

    買収確認タスクをクローズするには、発注書 (PO) が [受領済み] ステータスである必要があります。

タスクの結果
買収が確認されると、[財務] タブの資産レコードに次の変更が加えられます。

- [コスト] フィールドが買収金額に更新されます。
- 取得方法 フィールドが 購買 に変更されます。

リース契約の延長

契約が切れる前にリース契約を延長し、違約金の支払いを回避してください。

始める前に
必要なロール:itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin、

このタスクについて
資産のリース契約の延長を選択すると、契約延長プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注:
拡張タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書を調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 契約 > 契約 > リース.
2. [関連リンク] セクションで、[リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] タブで、計画タスクを開きます。
5. [リースアクション] リストから [拡張] を選択します。
6. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理するに記載されているいずれかの方法に従います。

   発注書 (PO) と発注明細が作成されます。発注明細の **PO** タイプ フィールドは自動的に 拡張 に設定されます。発注書 (PO) は、発注明細のアイテムに関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ注文できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注書が作成されると、契約延長のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

拡張プロセスを処理する拡張タスクが作成されます。

7. [契約資産タスク] 関連リストで、拡張タスクを開きます。
8. [拡張の詳細] タブで、[拡張開始日] フィールドと [拡張終了日] フィールドを更新します。
9. [拡張コスト] フィールドを、対象資産のリース契約を延長する金額で更新します。
   発注明細は同じ金額で自動的に更新されます。
10. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。
    確認プロセスを処理するために、延長確認タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、延長確認タスクを開きます。
    延長確認タスクから延長金額を変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

    注:
    延長確認タスクをクローズするには、発注書 (PO) が [受領済み] ステータスである必要があります。

12. 延長確認 フィールドを はい に設定します。
13. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。

タスクの結果
新しい契約が作成され、開始日と終了日が拡張の開始日と終了日に設定されます。

ハードウェア資産の再利用

ハードウェア資産を効率的に回収し、インベントリに保管、再アサイン、修理に出す、または必要に応じて廃棄します。

資産回収要求の送信

[資産の再利用] カタログアイテムを使用して、従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときにハードウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール:すべての従業員が資産回収要求を送信できます。

このタスクについて
アセットバンドルとパレットは再利用できません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産回収.
2. [資産の再利用] フォームで、フィールドに入力します。

[資産の再利用] フォーム

フィールド	説明
要求者	HR 担当者、マネージャー、従業員など、資産再利用を送信する人物のロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [マネージャー] を選択すると、マネージャーに報告するすべての従業員が [要求元] フィールドに表示されます。 ○ [従業員] を選択すると、[要求元] は読み取り専用になります。
要求元	資産再利用を送信する対象者。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するか。
資産	資産再利用を送信する担当者に割り当てられたハードウェア資産。
回収方法	退職する従業員からハードウェア資産を回収する方法。資産をピックアップすることも、従業員が組織に持ち込むか配送することもできます。
訴訟ホールド方法	何らかの法的な理由でハードウェア資産を保留にする必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及したい場合は、任意の指示。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。
   資産再利用要求が作成されます。

自動翻訳

資産回収要求のクローズ

従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときに、ハードウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール: inventory_user または inventory_admin

このタスクについて
再利用資産ごとに、ハードウェア資産再利用ラインが作成されます。ハードウェア資産再利用ラインごとに、最大 3 つのハードウェア資産再利用タスクが作成されます。

ハードウェア資産再利用ラインをクローズするには、ハードウェア資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべてのハードウェア資産再利用ラインがクローズされると 資産再利用要求はクローズされます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. クローズする資産再利用要求を開き、ハードウェア資産再利用ラインを開きます。
   資産再利用要求の送信時に選択した 再利用方法に基づいて、ハードウェア資産再利用ラインに [納品スケジュール]、[ピックアップのスケジュール]、または [出荷タスクのスケジュール] が作成されます。
   [ハードウェア資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドに [準備完了] と表示されます。
3. ハードウェア資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷タスクのスケジュールフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	出荷スケジュールタスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
倉庫	再利用資産が保存される場所この フィールドは必須です。
出荷 carrier	資産をストックルームに出荷する配送業者の名前。 この フィールドは必須であり、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。
追跡番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。この フィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷される日付。この フィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[ハードウェア資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが [準備完了] から [保留中の受領] に変わります。
資産受領タスクがハードウェア資産再利用ラインに作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産受領タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	資産受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
資産は再利用されていますか？	資産を受領場合は、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスは必須です。
受領済み数量	受領した消耗品の数。このフィールドは必須であり、消耗品に対してハードウェア資産再利用ラインが作成されている場合にのみ表示されます。
作業メモ	メンションする追加情報。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ハードウェア資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが [受領処理待ち] から [評価処理待ち] に変わります。

資産が受領された後、資産フォームで次の変更が行われます。

- 資産レコードの [アサイン先] フィールドが空になります。
- 資産の状態が [在庫あり] に、 [サブステート] が [修理待ち] に変更されます。

9. フォームのフィールドに入力します。

資産評価タスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。このドロップダウンリストは必須であり利用可能な値は次のとおりです。 ○ 再展開可能 ○ 修復が必要 ○ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の State および [Substate] が次のように変更されます。

評価ステータス値	資産ステータスとサブステート	
	ステータス	Substate (サブステート)
再展開可能	在庫あり	利用可能
修復が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	廃棄待ち

[ハードウェア資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが 、[評価処理待ち] から [完了] に変わります。

注:
すべてのハードウェア資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

資産の**RFID**情報の表示

資産の無線 IC 識別 (RFID) 情報を表示して、重要な資産を簡単に管理および特定します。

始める前に

必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

RFID 情報を表示するハードウェア資産に移動します。

注:
除外された資産の RFID タグフィールドが存在しません。

フィールド	説明
RFID タグ	RFID システム内の RFID タグの一意の識別子。
サイト名	RFID システムで定義されているサイトの名前。
タイプ	RFID システムで定義されているリソースタイプ。
ゾーングループ	RFID システムで定義されているゾーングループ。
シリアル番号	RFID システムで定義されている一意の識別子。
ゾーングループ滞留	データインポートのタイムスタンプを基準として、資産が現在のゾーングループにとどまっている時間の長さ。
タグソース	RFID データのアプリケーションソース。
ゾーン	RFID システムで定義されているゾーン。
前回の点滅時間	前回 RFID タグがスキャンされた時刻。
ゾーン滞留	データインポートのタイムスタンプと比較した、資産が現在のゾーンにとどまっている期間。
前回の点滅経過時間	データインポートのタイムスタンプと比較した、RFID システムで資産がスキャンされた期間。
Grid-x、Grid-y、Grid-z	RFID システムで定義されている物理的な場所。
ステータス	RFID 情報とリソースの照合のステータス。
[Active (アクティブ)]	RFID 情報を資産 [alm_asset] テーブルにマッピングするオプション。このオプションはデフォルトで選択されています。

注:

アクティビティ履歴は、RFID タグとゾーンについてのみキャプチャされます。

関連情報

Zebraテクノロジー RFIDシステムの統合

計算済みライフサイクルテンプレートを使用したハードウェアモデルのライフサイクルの管理

計算済みライフサイクルテンプレートを作成し、これらのテンプレートをモデルに関連付けることで、ハードウェアモデルのライフサイクル全体を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での計算済みライフサイクルテンプレートの作成 ハードウェア資産ワークスペース

計算済みライフサイクルテンプレートを作成して、ハードウェアモデルのライフサイクル全体を効率的に管理します。

始める前に

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Asset Operations** (資産運用).
2. [ハードウェア資産の正規化] リストから、[計算済みライフサイクルテンプレート] を選択します。

   既存の計算済みライフサイクルテンプレートのリストが表示されます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   [計算済みライフサイクルテンプレートを新規作成] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	計算済みライフサイクルテンプレートの名前。
説明	テンプレートに関する簡単な情報。
[Active (アクティブ)]	計算済みライフサイクルテンプレートが使用可能であることを示すオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [計算済みライフサイクル式] タブに、次のライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式のリストが表示されます。
   - 拡張サポート終了
   - サポート終了
   - 販売終了
   - サポート終了
   - 一般提供終了
6. ライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式を定義します。
   a. 計算済みライフサイクル式を選択します。
   b. [フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに、ライフサイクルフェーズの開始日と終了日を計算する月数を入力します。
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   計算済みライフサイクル式は、[フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに入力した値で更新されます。

次のタスク

計算済みライフサイクルテンプレートへのハードウェアモデルの関連付け.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算済みライフサイクルテンプレートへのハードウェアモデルの関連付け

ハードウェアモデルを計算済みライフサイクルテンプレートに関連付けて、モデルのライフサイクルの詳細を自動的に入力します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > モデル管理.
2. [すべてのモデル] タブを選択します。
3. 計算済みライフサイクルテンプレートに関連付けるモデルを選択します。
4. [モデル] フォームの [モデルの詳細] セクションで、テンプレートの詳細を入力します。
   a. [計算済みライフサイクルテンプレート] フィールドで、モデルに適用する計算済みライフサイクルテンプレートを選択します。
   b. [計算済みライフサイクル開始日] で、選択した計算済みライフサイクルテンプレートで定義された各ライフサイクルフェーズの [フェーズ開始日] と [フェーズ終了日] を計算する日付を選択します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
フェーズ開始日、フェーズ終了日、ソースなどの詳細を含むライフサイクルフェーズのリストが [モデルライフサイクル] タブに表示されます。

からの資産保証の詳細の受領 **Lenovo**

Lenovo Warranty API に接続し、ハードウェア資産の保証の詳細を取得します。

関連情報

Lenovo との統合による資産保証の詳細の確認

Lenovo保証 **API** に接続する

Lenovo保証 API に接続するための接続と資格情報を作成し、ハードウェア資産の保証情報をダウンロードします。

始める前に
Lenovo から提供されたクライアント ID が必要です。お持ちでない場合は、組織の Lenovo 営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続 **&** 資格情報エイリアス.
2. [*Lenovo*] を選択します。
3. [関連リンク] セクションから、[接続と資格情報の新規作成 **(Create New Connection and Credential)]** をクリックします。
4. オプション: [接続名] フィールドで、Lenovo保証 API への接続のデフォルト接続名を変更します。
   デフォルトでは、このフィールドは **[Lenovo** 接続 **(Lenovo Connection)]** に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> [接続 URL] フィールドに指定されているデフォルトの URL は変更しないでください。

5. [クライアント **ID**] フィールドに、Lenovo から提供されたクライアント ID を入力します。
6. [作成] を選択します。

タスクの結果
Lenovo の接続が正常に作成され、[接続] タブに一覧表示されます。

Lenovo資産の保証の詳細を追跡する

ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで一元的な場所から、Lenovoハードウェア資産の保証の詳細を表示および追跡します。

始める前に
必要なロール：asset

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [資産保証] リストから、[資産保証] を選択します。
   - 資産がまだ保証期間内かどうかを確認するには、[ステータス] 列を確認します。
   - 有効期限が近づいている保証を追跡するには、資産レコードの [終了日] 列と資産の状態を確認します。
3. オプション: 保証レコードを選択すると、詳細が表示されます。

倉庫の管理

適切な在庫ルール、サービスの場所、流通チャネルを使用して、ストックルームの資産を管理します。

詳細については、「倉庫」および「在庫ルール」を参照してください。

reate a stockroom

資産に場所を割り当てるストックルームを作成します。

始める前に
必要なロール：資産または inventory_user

このタスクについて
ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別のスタンドアロンエンティティです。特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールに従って 資産アドミニストレーターに通知したり ある倉庫から別の倉庫に在庫を自動的に移動したりできます。

手順
1. ストックルームを作成します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規ストックルームを作成] フォーム

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。
場所	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	フィールド エージェントやオンサイトなどストックルームの種類。
マネージャー	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。

3. [保存] を選択します。

タスクの結果
ストックルームが [すべてのストックルーム] タブに表示されるリストに追加されます。

資産を含むストックルームを削除する

ストックルームを削除することができます。ストックルームに資産がある場合は、まずストックルームから資産を削除する必要があります。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > すべての資産.
2. リストをカスタマイズして [ストックルーム] 列を追加します。
3. 削除するストックルームの資産のみ表示するには、リストをフィルタリングします。
4. すべての資産レコードに対してストックルームを変更または削除します。
5. 削除するストックルームから資産を削除したら、「資産のないストックルームを削除する」手順に進みます。

資産のないストックルームを削除する

資産のないストックルームは削除することができます。

始める前に
未完了の転送注文を削除してから、ストックルームを削除する必要があります。

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 在庫 > 倉庫.
2. ストックルーム名の横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [アクション] リストで、[削除] を選択します。

> **注:**
> ストックルームを削除すると、転送注文履歴が削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新規のストックルーム タイプを作成する

ベース システムに含まれていないストックルーム タイプが必要な場合は、カスタムストックルーム タイプを作成することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
ベース インスタンスで提供されているストックルーム タイプの優先度レベルを確認して、作成する新規のストックルーム タイプに正確な優先度レベルを割り当てるようにします。また、ベース システムに含まれるストックルーム タイプを変更することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 在庫 > 倉庫タイプ をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。
外部のストックルーム	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているかどうか (チェックボックスが選択されている) を示します。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
値	ストックルーム タイプの内部識別子です。

2. [送信] をクリックします。

倉庫の詳細の表示

ハードウェア、消耗品、バンドル、パレット、貸与、エンタープライズ、およびその他の資産が置かれているストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、ストックルームを選択します。
4. [詳細] タブでストックルームの詳細を表示します。
   ストックルームに関する次の詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オープン倉庫タスクカードを介して倉庫に関連付けられたすべてのオープンタスク。カードを選択すると、タスクレコードのリストが表示されます。
- ストックルームのアクティブな在庫ルール。コンテキストサイドバーの在庫ルールカードは、在庫がしきい値を下回っているかどうか、およびモデルが販売終了に達したかどうかを知るのに役立ちます。
- ストックルームが利用可能な時間は、[業務時間] フィールドに表示されます。
- 指定された住所に基づくストックルームの場所がインタラクティブマップに表示されます。ストックルームに関連付けられているすべてのサービスの場所と流通チャネルを表示するには、[全画面表示の切り替え] を選択します。

5. [タスクタイムライン] タブで、すべてのスケジュール済みストックルームタスクのタイムラインと、それらのタスクに関連付けられた入荷、出荷、および作業アクティビティを表示します。
6. オプション: [タスクタイムライン] タブで、タイムラインビューとタイムラインの長さを調整します。
   - 右上の [カレンダー] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、指定した期間でビューをカレンダービューに設定します。
     - 日
     - 作業週
     - 週
     - 月
   - 右上の [タイムライン] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、指定した期間のタイムラインビューにビューを設定します。
     - 日
     - 週
     - **4** 週間
7. 資産タイプに対応するタブを選択して、ストックルームのサービスの場所と流通チャネル、およびストックルーム内のさまざまなタイプの資産の詳細を表示します。

> **注:**
> エンタープライズ資産に関連するタブは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションが ServiceNow インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。エンタープライズ資産を選択すると、 エンタープライズ資産ワークスペース内の対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。エンタープライズ資産にアクセスできる場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースにもアクセスできます。詳細については、「エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

ストックルームとサービスの場所の関連付け

ストックルームを複数のサービス場所に関連付けることで、ローカルストックルームから消費する調達要求を効果的に管理します。単一のストックルームを使用して複数の場所にサービスを提供することで、貸与資産のワークフローと自動化された資産タスクを最適化します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:

場所カバー範囲の提供から除外されているストックルームにサービスの場所を追加することはできません。詳細については、「 サービスの場所からストックルームを除外する」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. サービスの場所に関連付ける倉庫を選択します。
4. [サービスの場所] タブを選択します。
5. [**Add**] を選択します。
6. [サービスの場所を追加] ダイアログ ボックスで、ストックルームがサポートするアクティブな場所を選択し、[追加] を選択します。

   親場所を追加すると、そのすべての子場所もストックルームでサポートされます。たとえば、サンフランシスコという都市を追加すると、ストックルームはサンフランシスコ内のすべての場所をサポートします。

   注:
   [アクティブ] チェックボックスがオフの場合、ストックルームはその場所またはその子の場所をサポートしていないため、その場所をストックルームに追加できません。

タスクの結果

選択した場所が [サービスの場所] タブに表示されるリストに追加されます。

関連情報

ローカルストックルームからのソース要求

貸与資産の要求

要求から転送注文を作成する

資産ライフサイクルの自動化

サービスの場所を削除

関連付けられたストックルームがそれらの場所をサポートしていない場合は、それらの場所を削除します。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. サポートされている場所を削除する倉庫を選択します。
4. [サービスの場所] タブで、削除する場所を選択し、[削除] を選択します。

タスクの結果

削除された場所は、[サービスの場所] リストに表示されなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスの場所からストックルームを除外する

[インベントリ] ビューの [サービスの場所がない倉庫] の重要なアクションカードに倉庫が表示されないように、サービス場所から倉庫を除外します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

> **注:**
> 既にサービスの場所が関連付けられているストックルームを除外することはできません。最初に関連するサービスの場所を削除してから、そのストックルームをサービスの場所から除外する必要があります。詳細については、「サービスの場所を削除」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能な倉庫のリストから、サービス場所から除外する倉庫を選択します。
4. [サービスの場所から除外] チェックボックスをオンにします。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 倉庫がサービスの場所をサポートしていない場合でも、ストックルームは [サービスの場所がない] の重要なアクションカードには表示されません。
- [サービスの場所] タブには、ストックルームにサービスの場所を追加するための [追加] オプションは表示されません。

倉庫を流通チャネルにリンクする

地理的に関連する 2 つのストックルームをリンクして流通チャネルを作成し、資産の流通をより効率的にします。各チャネルに優先注文をアサインして、ストックルームに資産を調達することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
倉庫には、以下の機能を持つ流通チャネルを設定できます。

- 受信:流通チャネルは、リンクされたストックルームから資産を調達するために使用されます。
- アウトバウンド:流通チャネルは、リンクされたストックルームに資産を転送するために使用されます。

> **注:**
>
> 流通チャネルを介した資産の調達をサポートしていないストックルームには、流通チャネルを作成できません。詳細については、「 流通チャネルからのストックルームの除外」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 流通チャネルを作成する倉庫を選択します。
4. [流通チャネル] タブを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

新しい倉庫流通チャネルの作成フォーム

フィールド	説明
ベース倉庫	流通チャネルを作成する倉庫の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
チャネル倉庫	資産を調達するための流通チャネルを作成するために、ベースストックルームにリンクするストックルームの名前。
ランク	資産を調達するための流通チャネルに与えられる優先順位の数値。
関数	流通チャネルの機能。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [受信] に設定されます。
[Active (アクティブ)]	ベースストックルームに資産を調達するための流通チャネルがアクティブかどうかを示すオプション。 注: [アクティブ] チェックボックスをオフにすると、そのチャネルストックルームのベースストックルームの送信機能も自動的に非アクティブになります。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返して、このベースストックルームに別の流通チャネルを作成します。

タスクの結果

- 流通チャネルが [流通チャネル] タブに表示されるリストに追加されます。
- ベース倉庫は、チャネル倉庫のアウトバウンド流通チャネルとして追加されます。ベースストックルームの [機能] フィールドが [アウトバウンド] に設定されている。

関連情報

要求から転送注文を作成する

ローカルストックルームからのソース要求

流通チャネルからのストックルームの除外

[インベントリ] ビューの [流通チャネルがない倉庫] の重要なアクションカードに倉庫が表示されないように、流通チャネルからストックルームを除外します。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

注:
既に流通チャネルにリンクされているストックルームを除外することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能な倉庫のリストから、流通チャネルから除外する倉庫を選択します。
4. [流通チャネルから除外] チェックボックスをオンにします。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 配送チャネルにリンクされていない場合でも、配送チャネルがない倉庫の重要なアクションカードに、倉庫は表示されません。
- [流通チャネル] タブには、ストックルームの流通チャネルを作成するための [新規] オプションは表示されません。

在庫ルールを作成する

在庫ルールを作成すると、特定の倉庫にある特定の資産の在庫が指定されたしきい値に達したときの処理を制御できます。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インベントリ > 在庫 > 在庫ルール をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フィールド	説明
モデル	ルールが適用される製品モデル。
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストックルーム内のインベントリ数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 **注:** ハードウェアまたはソフトウェアモデルの在庫ルールがしきい値の制限に達した場合、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫オーダー要求が自動的に作成されます。
再補充オプション	追加供給が来るべき場所。 調達がアクティブでない場合、補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。 ○ 倉庫：他の倉庫から資産を取得するための転送注文を作成します。 ○ ベンダー：ベンダーに注文するため倉庫マネージャーにメールを送信します。メール通知に加えて、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: 転送注文、発注書 (PO)、または発注明細が作成されたら、迅速に対応することが重要です。これらのアクションでは、メール通知やリマインダーは送信されません。
アクティブ	自動的に補充するための在庫ルールを有効にするオプション。
倉庫	資産の現在の物理的な場所。
オーダーサイズ	転送注文またはベンダー購入の最小注文数量。アイテムがしきい値以上に再補充されるために必要なオーダーサイズの最小倍数をServiceNowで計算します。 たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送注文を作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベンダーから補充する場合は、注文サイズの倍数として ServiceNow がアイテムの必要注文数の合計を示したメールを倉庫マネージャーに送信します。

2. [送信] を選択します。

関連情報

在庫ルール

統合フレームワークを使用した出荷の追跡

IT Asset Managementアプリケーションによって提供される統合フレームワークを介して、ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者のアプリケーションと統合することで、出荷をリアルタイムで追跡します。

サードパーティのキャリアアプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成

ServiceNowインスタンスと統合するには、サードパーティの配送業者アプリケーションに、顧客のServiceNowインスタンスから出荷追跡番号を受信して配送業者関連の詳細で応答するように、ServiceNowインスタンスで基本クラス ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードが必要です。

スクリプトインクルードを作成するときは、次の点を考慮してください。

- アプリケーションリソースレコードの次の設定を調整して、 資産管理 共通アプリケーションスコープからスクリプトインクルードにアクセスできることを確認します。
  - [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
  - [申請者アクセス] フィールドを [なし] に設定して、申請者のアクセスが制限されていないことを確認します。
- 追跡番号に基づいて顧客の ServiceNow インスタンスと通信するためのコードは、`fetchShipmentInfo` 関数内に含める必要があります。
- 顧客の ServiceNow インスタンスとの接続を検証するために API がテストモードで呼び出された場合、 `fetchShipmentInfo` メソッドからの返される応答は、次のように HTTP 応答コードと応答メッセージを含む JSON オブジェクトである必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
}
```

- テストモードでない場合は、出荷を照会し、次の応答形式で *processResponse* メソッドを呼び出します。

```
[
{
trackingNumber: '',
deliveryDate: '',
pickupDate: '',
packageStatus: ''.
statusDetail: '',
trackingURL: '',
parcelWeight: '',
deliveryServicesCost: '',
currency: ''
}
]
```

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードのサンプルコード

IT Asset Management アプリケーションによって提供されるデフォルトの **processResponse** 関数を使用した **ITAMShipmentIntegration** スクリプトインクルードのサンプル

Script

```
var DemoFedexAPI = Class.create();
DemoFedexAPI.prototype = Object.extendsObject(sn_itam_common.ITAMShipmentIntegration, {
    initialize: function() {
    },

    // trackingNumbers: Array of shipment tracking numbers
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        var returnObj = {
            httpResponseCode: 0,
            httpResponseMessage: ''
        };
        // Mode = test indicates just check connectivity to API
        // If mode is test, just check the connection
        // Else get the status for the input tracking numbers
        if (mode != 'test') {
            // Make a call to the carrier API - pass the "trackingNumbers"
            // If there are no errors, returnObj.httpResponseCode should be 200, else, set it to the returned error code
            // In case of any error message being returned from API, copy it to returnObj.httpResponseMessage
            // If call is successful, make sure response is in the format as below:
            // array of JSON, where each JSON would have below keys with corresponding values
            // trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
            // Then invoke the default function to update shipments
            this.processResponse(responseArray);
        } else {
            // Check the connection to carrier API and return response
            // If connection is successful, returnObj.httpResponseCode should be 200, else set it to the returned error code
        }
        return returnObj;
    },

    type: 'DemoFedexAPI'
});
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム **processResponse** 関数を使用した **ITAMShipmentIntegration** スクリプトインクルードのサンプル

Script

```
var DemoUPSAPI = Class.create();
DemoUPSAPI.prototype = Object.extendsObject(sn_itam_common.ITAMShipmentIntegration, {
    initialize: function() {
    },

    // trackingNumbers: Array of shipment tracking numbers
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        var returnObj = {
            httpResponseCode: 0,
            httpResponseMessage: ''
        };
        // Mode = test indicates just check connectivity to API
        // If mode is test, just check the connection
        // Else get the status for the input tracking numbers
        if (mode != 'test') {
            // Make a call to the carrier API - pass the "trackingNumbers"
            // If there are no errors, returnObj.httpResponseCode should be 200, else, set it to the returned error code
            // In case of any error message being returned from API, copy it to returnObj.httpResponseMessage
            // If call is successful, make sure response is in the format as below:
            // array of JSON, where each JSON would have below keys with corresponding values
            // trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
            // Then invoke the default function to update shipments
            // In case there is a need for handling shipment updates, implement processResponse function like below
            this.processResponse(responseArray);
        } else {
            // Check the connection to carrier API and return response
            // If connection is successful, returnObj.httpResponseCode should be 200, else set it to the returned error code
        }
        return returnObj;
    },

    processResponse: function () {
        // Custom logic for updating shipment records
        // Query shipment table for each tracking number and then update the values from response onto the corresponding columns
    },

    type: 'DemoUPSAPI'
});
```

fetchShipmentInfo 関数

fetchShipmentInfo 関数は、顧客の ServiceNow インスタンスから追跡番号を受け取り、配送会社 API を呼び出して、すべての追跡番号の出荷の詳細を取得します。この機能内で、顧客が追跡番号に基づいて配送業者 API と通信できるようにするビジネスロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API から受信した応答を処理し、後処理関数を呼び出します。

processResponse 関数

processResponse 関数は、配送業者 API からの応答を受信し、配送業者関連の次の詳細情報で出荷レコードを更新します。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

デフォルトの *processResponse* 関数を使用するか、カスタムロジックを定義して出荷レコードを更新することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNowインスタンスと配送業者アプリケーションの接続

配送業者を統合プロファイルに関連付けて、 ServiceNow インスタンスを配送業者アプリケーションに接続します。

始める前に
統合プロファイルに関連付ける配送業者に配送業者レコードがあることを確認してください。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。

必要なロール:admin または domain_admin

このタスクについて
出荷配送業者は、1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、配送業者 **integration profiles** を選択します。
3. 出荷配送業者に関連付ける 配送業者 統合プロファイルを選択します。

   注:
   サードパーティの配送業者アプリケーションは、配送業者統合プロファイルリストにレコードを自動的に挿入します。配送業者に関連付けられた統合プロファイルがリストにない場合は、配送業者との統合の前提条件が満たされていることを確認してください。詳細については、「サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理」を参照してください。

4. 配送業者 タブを選択します。
5. 出荷配送業者を 配送業者 統合プロファイルに関連付けます。

   a. [**Add**] を選択します。

   b. 配送業者の追加 ダイアログ ボックスで、配送業者を選択し、追加 を選択します。

      注:
      関連付ける予定の配送業者がリストにない場合は、すでに統合プロファイルに関連付けられている可能性があります。

タスクの結果
出荷配送業者がプロファイルに関連付けられ、配送業者の詳細が [配送業者] タブに表示されます。

統合プロファイルからの配送業者の削除

統合プロファイルに関連付けられなくなった配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 出荷 リストから、配送業者統合プロファイル を選択します。
3. 関連付けられている配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 配送業者 タブを選択し、削除する配送業者を選択します。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果
出荷配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなりました。

配送業者統合プロファイルの作成

ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションに接続するために使用するAPI と接続の詳細を指定して、配送業者の配送業者統合プロファイルを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 出荷 リストから、配送業者統合プロファイル を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

配送業者統合プロファイルの詳細フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ連携プロファイルの名前
接続の詳細	顧客の認証情報を格納する接続および認証情報エイリアステーブルへの参照。 **注:** キャリア API に接続するために認証されるように、[接続および認証情報エイリアス] テーブルで認証情報を更新する必要があります。
API	統合ビジネスロジックを持つスクリプトの名前。
ジョブ	配送業者 API を呼び出して出荷の詳細を取得するスケジュール済みジョブの名前。 このジョブは、毎日実行されるジョブ「ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷」ジョブによって自動的に作成されます。
[Active (アクティブ)]	統合プロファイルのステータスを示すオプション。 **注:** 統合プロファイルの非アクティブ化はできますが、統合プロファイルを削除することはできません。統合プロファイルが非アクティブ化されると、配送業者 API を呼び出す関連ジョブが自動的に非アクティブ化されます。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
配送業者統合プロファイルが作成され、配送業者統合プロファイルリストに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

配送業者統合プロファイルの詳細の表示

ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションに接続するために使用される配送業者 API の詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:admin、domain_admin、asset、または inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 出荷 リストから、配送業者統合プロファイル を選択します。
   サードパーティの配送業者アプリケーションは、配送業者統合プロファイルリストにレコードを自動的に挿入します。 配送業者統合プロファイルを作成することもできます。
3. 配送業者の配送業者統合プロファイルを選択します。

配送業者統合プロファイルの詳細フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データ連携プロファイルの名前
接続の詳細	顧客の認証情報を格納する接続および認証情報エイリアステーブルへの参照。 **注:** キャリア API に接続するために認証されるように、[接続および認証情報エイリアス] テーブルで認証情報を更新する必要があります。
API	統合ビジネスロジックを持つスクリプトの名前。
ジョブ	配送業者 API を呼び出して出荷の詳細を取得するスケジュール済みジョブの名前。 このジョブは、毎日実行されるジョブ「ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷ジョブ」によって作成されます。
[Active (アクティブ)]	統合プロファイルのステータスを示すオプション。 **注:** admin または domain_admin ロールを持つユーザーのみが統合プロファイルを非アクティブ化できますが、統合プロファイルを削除することはできません。統合プロファイルが非アクティブ化されると、配送業者 API を呼び出す関連ジョブが自動的に非アクティブ化されます。

配送業者 **API** との統合のテスト

キャリア API との接続を確認して、無効な認証情報、誤った追跡の詳細、統合スクリプトインクルードの問題などの接続の問題に対処します。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、配送業者 **integration profiles** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. テストする 配送業者 統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。

タスクの結果
接続の成功または失敗を示すメッセージが表示されます。

配送業者レコードの作成

配送業者を統合プロファイルに関連付けるために使用する配送業者レコードを作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 出荷 リストから、配送業者 を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 配送業者の連絡先の詳細を入力します。
5. フォームの残りのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	配送業者の名前。このフィールドは必須です。
会社	配送業者のコア会社。
統合プロファイル	サードパーティキャリアのアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。
ステータス	配送業者のステータス。 このフィールドはデフォルトで [アクティブ] に設定されています。
最大待機日数	配送業者が荷物の配送に要する最大日数。 デフォルトでは、このフィールドは 90 に設定されています。この値は変更できます。 **注:** このフィールドは、デフォルトではフォームに表示されません。 このフィールドをフォームに表示するように選択できます。 指定された最大待機日数の間、統合プロファイルジョブが実行された後に配送業者によって更新されない出荷レコードは、ITAM:プロセス統合プロファイルおよび古い出荷ジョブによって古い出荷としてマークされます。
メモ	配送業者に関する追加情報。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
出荷配送業者レコードが作成され、配送業者リストに追加されます。

ハードウェア資産の出荷詳細の表示

すべてのハードウェア資産の出荷の詳細を ハードウェア資産ワークスペース内の 1 か所に表示します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

このタスクについて
出荷リストには、さまざまなフローの出荷タスクによって開始されたすべての出荷レコードが表示されます。詳細については、「出荷レコードを作成するタスククローズ」を参照してください。

出荷レコードは、フローまたはプロセスの出荷タスクがクローズされるたびに自動的に作成されます。

注:

出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルには、[通貨]、[配送サービスコスト]、および [小包の重量] フィールドもあります。ただし、これらのフィールドは出荷フォームには表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 出荷レコードを選択して、出荷の詳細を表示します。

出荷詳細フォーム

フィールド	説明
出荷番号	出荷レコードに対して自動生成された一意の識別子。
追跡番号	シップメントの一意の配送業者追跡番号。 複数の注文または品目が同じ貨物に属している場合、同じ追跡番号を持つことができます。また、同じ注文に属する複数の品目が、異なる納品の一部である場合、異なる追跡番号を持つことができます。
ステージ	出荷レコードのステージ。 出荷は、次のいずれかのステージになります。 ○ ドラフト ○ 発注済み ○ 準備 ○ 輸送中 ○ 配送済み ○ キャンセル済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	出荷に複数の注文がある場合、注文の出荷資産が配送されると、出荷レコードの [ステージ] が [配送済み] に変更されます。
出荷元	資産の配送元の場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷先	資産の配送先の場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷者	資産を出荷したユーザーの名前。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷日	資産が出荷される日付。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。 この日付は、ソースの出荷タスクがクローズされた日付に対応します。
受領日	資産が受領された日付。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領される注文の対応するフィールドが入力されます。 この日付は、ソースの受信タスクがクローズされた日付に対応します。
受領者	資産の送付先の名前。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領される注文の対応するフィールドが入力されます。
キャリア	配送業者レコードへの参照。
配送業者ステータス	出荷のステータス。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者の集荷日	配送業者が資産を集荷した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配送業者配送済み	配送業者が資産を配送した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者リンク	配送業者が提供する、シップメントを追跡するためのリンク。
出荷ステータス	出荷レコードが古いかどうかを示すオプション。このオプションは読み取り専用です。

出荷ステータス

追跡番号が間違っている、輸送中の荷物の紛失、無効な接続の詳細など、さまざまな理由で遅延している納品は、古い納品とみなされます。

「ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷」ジョブを毎日実行して、古い出荷がないかチェックします。統合プロファイルジョブが配送業者の最大待機日数にわたって実行された後でも配送業者によって更新されない出荷レコードは、古い出荷としてマークされます。

古いとマークされた出荷レコードの追跡番号は、それ以上の追跡のために配送業者に送信されません。出荷が遅れている理由がわかっている場合は、追跡を続行することを決定できます。詳細については、「遅延出荷の追跡を継続」を参照してください。

注:
在庫ビューの古い出荷の重要なアクションカードを使用して、統合配送業者からの追跡情報で更新されなかった納品のリストを表示できます。詳細については、「インベントリビュー」を参照してください。

遅延出荷の追跡を継続

遅延の理由がわかっている場合は、遅延した古いハードウェア資産の出荷の追跡を続行します。

始める前に

必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [出荷の詳細] フォームで、[古いものを無視] チェック ボックスをオンにします。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- [出荷の詳細] フォームの [出荷ステータス] チェック ボックスは自動的にクリアされます。
- この貨物の追跡番号は追跡のために配送業者に送信され、この出荷レコードが再度古いとマークされることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の出荷を追跡する

配送されておらず、配送業者がアクティブな統合プロファイルに関連付けられているハードウェア資産の出荷の進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [今すぐ追跡] を選択します。

タスクの結果
[出荷の詳細] フォームの次のフィールドには、配送業者から受け取った追跡の詳細が表示されます。

- 配送業者ステータス
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日

インドアマップを使用して資産の場所を追跡する

インドアマップを使用して、組織内の消耗品、ハードウェア、バンドル、およびパレット資産を特定して追跡します。インドアマップは、敷地、建物、フロア、および場所内の資産の場所を視覚化できるインタラクティブなインターフェイスを提供します。

始める前に
ハードウェア資産ワークスペース でインドアマップを使用できるようにするには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow® Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

  注:
  インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、 インドアマッピング for Assets アプリケーションをインストールした後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「Add or repair demo data for applications and plugins」を参照してください。

- ServiceNowインスタンスで*com.sn_ham.indoormap.enabled*資産パラメーターを **true** に設定します。
- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「Configure Indoor Mapping」を参照してください。

  注:
  ハードウェア資産管理 ライセンスのエンタイトルメントを使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD または Raster ファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスターファイルを使用するには、 ワークプレイスサービスデリバリ権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 場所データの同期: ハードウェア資産管理 アプリケーションは、次のインドアマッピングの場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地内にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは目的地点のいずれかを表します。場所は、エリア、部屋、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

  注:
  インドアマップで資産を ハードウェア資産ワークスペースに表示するには、場所 [cmn_location] テーブルの 場所 または 部屋 タイプの場所に資産をアサインする必要があります。

  ハードウェア資産管理 アプリケーション内で新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。

  Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「Synchronize Indoor Mapping map data with CMN location」を参照してください。

必要なロール：admin または asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。
3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、選択したフロアの資産を表示します。
4. オプション: [インドアマップ] ページの右下隅にある表示オプションを選択すると、選択したフロア上の資産とその場所が特定の形式で表示されます。
   - 資産の場所をインタラクティブマップに表示するには、[マップのみを表示] を選択します。
   - 資産のインタラクティブマップとリストビューの両方を表示するには、[マップとリストを表示] を選択します。
   - 資産のリストビューのみを表示するには、[リストのみを表示] を選択します。
5. オプション: インタラクティブマップを表示している場合は、マップ上の場所を選択して、フロア上の選択した場所にある資産のリストを表示します。
6. オプション: 部門、ユーザー、モデルカテゴリ、あるいはこれらの値の組み合わせに基づいて資産の場所を表示します。
   a. マップのコンテキストサイドバーにある [フィルター] タブアイコンを選択します。
   b. [フィルター基準] ダイアログボックスで、[部門]、[ユーザー]、または [モデル] カテゴリ フィルターの値を選択します。

のパフォーマンスの評価 ハードウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンス内の ハードウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡します。成功目標の成功目標カテゴリを作成し、成功アクティビティを作成して目標の成功を追跡することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理の成功目標の作成

成功目標を作成して、インスタンス内のハードウェア資産管理アプリケーションの成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標
2. [成功目標を作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功目標の詳細」を参照して ください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   成功目標をキャンセルする場合は、成功目標番号を選択して [目標をキャンセル] を選択します。

タスクの結果
作成した成功目標は、[資産運用] ビューの [成功目標] ページに表示されます。

HAM 成功目標の成功アクティビティを作成する

成功アクティビティを作成して、作成した目標の成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:ham_admin、資産 (目標の所有者)

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功アクティビティ
2. [成功アクティビティを作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
作成した成功アクティビティは、[資産運用] ビューの [成功アクティビティ] ページに表示されます。

ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成

成功目標カテゴリを作成して、 ハードウェア資産管理 成功目標に関連付けます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 次のように移動する。 ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標 > カテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを 入力 して、[ハードウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
追加したカテゴリは、ハードウェア資産管理の成功目標を作成する際に [カテゴリ] フィールドにオプションとして表示されます。詳細については、「ハードウェア資産管理の成功目標の作成」を参照してください。

のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理 (HAM) プログラムの成熟度を表示して各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に
必要なロール：asset

> **注:**
> 資産ロールは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を変更することもできます。

このタスクについて
HAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分けられます。

- クロール
- ウォーク
- 実行

詳細については、「ハードウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ」を参照してください。

> **注:**
> 必須の成熟度アイテムの成熟度レベルを変更することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、[すべての成熟度アイテムの表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム] ページが開き、HAM プログラムが含まれるステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択すると、その詳細が表示されます。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテムの詳細」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。

資産の リフレッシュ の管理 ゼロタッチリフレッシュを使用

従業員が ServiceNow インスタンスでゼロタッチでリフレッシュフローを使用して、外部ベンダーを通じてハードウェアの更新を要求できるようにします。このプロセスにより、新しい資産のローカルインベントリを維持する必要がなくなります。

サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュするための構成

ゼロタッチでリフレッシュのフローでは、 サービスブリッジ アプリケーションを使用してプロバイダーを ServiceNow インスタンスに接続し、資産リフレッシュ要求を管理します。従業員とプロバイダーは、それぞれの環境で要求を処理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ

プロバイダーは、次のセットアップタスクを実行して、ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝える必要があります。

1. 。
2. 。
3. リモートタスクのアサインをトリガーする.

サービスブリッジ 従業員リクエストのセットアップ

次のセットアップを実行して、ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細をプロバイダーと連絡します。

1. 顧客向けのサービスブリッジをインストールします。
2. プロバイダーによって公開されたリモートタスク定義をアクティブ化します。

リモートタスクのアサインをトリガーする

資産プロバイダーは、顧客がゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝えるためのリモートタスクのアサインをトリガーするリモートタスク定義を作成します。

始める前に

プロバイダーとして、プロバイダーレコードを作成しておく必要があります。詳細については、「」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求の詳細は、リモートタスク定義の受信フィールドを介して、顧客の ServiceNow インスタンスから受け取ります。ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求に加えられた更新は、リモートタスク定義の送信フィールドを介して顧客の ServiceNow インスタンスに送信されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスブリッジ > プロバイダー > リモートタスク定義.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「 リモートタスク定義フォーム」を参照してください。

4. [プロバイダー] テーブルと [顧客テーブル] フィールドの値をゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに設定します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. この新しいリモートタスク定義レコードを選択します。
7. 受信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに顧客のインスタンスからデータを受信できます。

   a. 受信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとにフィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある受信フィールドの必要な詳細については、「 リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 送信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに、顧客のインスタンスにデータを送信できます。

   a. 送信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとにフィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある送信フィールドの必要な詳細については、「 リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド」を参照してください。

9. このリモートタスク定義を使用できる顧客を指定する顧客基準を設定します。
10. **[Publish** (公開)] を選択します。

> **注:**
> 後でこのリモートタスク定義を編集する必要がある場合は、それにアクセスして [編集] を選択します。

タスクの結果

インスタンスにリモートタスク定義レコードが作成され、レコードの [ステータス] フィールドが [公開済み] に設定されます。このレコードは顧客のインスタンスとも同期され、顧客のインスタンスでのアクティブ化が保留中です。

リモートタスク定義のアクティブ化

プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を実行できるように、プロバイダーがインスタンスで公開したリモートタスク定義をアクティブ化します。

始める前に

サービスブリッジアプリケーションをインスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「 顧客向けサービスブリッジのインストール」を参照してください。

ServiceNow インスタンスでリモートタスク定義をアクティブ化する前に、プロバイダーがそれを作成して公開する必要があります。詳細については、「リモートタスクのアサインをトリガーする」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスブリッジ > カスタマー > リモートタスク定義.
2. リモートタスク定義レコードを選択します。
3. [リモートタスク定義] フォームの [簡易トリガー] セクションで、トリガー条件を [モデルが空でない] に設定します。
   [モデル] フィールドの値を持つレコードがゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに追加されると、リモートタスクが自動的に作成されます。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [受信フィールド] タブ、[送信フィールド] タブ、および [リモートタスク変数] タブでデータを確認します。
   プロバイダーがこれらの値を定義します。リモートタスクを作成すると、プロバイダーは受信フィールドを介してリモートタスクデータを受信し、送信フィールドを介してリモートタスクデータで応答します。
6. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。
7. ポップアップウィンドウで、受信変数と送信変数のマッピングを確認し、**[OK]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リフレッシュモデルの代替モデルの構成

更新されるハードウェア資産モデルの交換用モデルを構成します。設定すると、従業員は [ゼロタッチでリフレッシュ] フォームでハードウェア資産の代替モデルを選択できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [ゼロタッチでリフレッシュ] ボックスの一覧で、[モデルの更新] を選択します。
3. リフレッシュモデルを作成します。
   a. [モデルの更新] ページで、 [新規] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

[新しいゼロタッチでリフレッシュモデルを作成] フォーム

フィールド	説明
モデル	リフレッシュ中のモデル。
場所	交換用モデルが有効な場所。 **注:** 国の代替モデルを構成することは、最も効率的なセットアップです。ただし、州や市区町村など、より具体的な場所に対して代替モデルを構成することはできます。
[Active (アクティブ)]	置換ルールがアクティブかどうかを示すオプション。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
4. リフレッシュモデルの代替モデルを追加します。
   a. [交換用モデル] タブで、[追加] を選択します。
   b. [交換用モデル **(Replacement Model)**] ダイアログボックスで、リフレッシュ資産モデルの交換用として追加するモデルを選択し、[追加] を選択します。
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
アサインされた交換モデルを含むリフレッシュモデルは、[リフレッシュモデル] リストに含まれています。

ゼロタッチでリフレッシュを使用して ハードウェア資産のリフレッシュを要求する

ゼロタッチでリフレッシュを使用して、所有するハードウェア資産をプロバイダーに直接新しい資産に置き換えるように要求します。

始める前に
必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   サービスカタログで資産ライフサイクルカテゴリが利用できない場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
2. [資産ライフサイクル] ページで、[ゼロタッチでリフレッシュ] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ゼロタッチでリフレッシュフォーム

フィールド	説明
資産	更新したい、所有しているハードウェア資産。 更新の対象とならない資産を選択すると、承認が要求されることを示すメッセージが表示されます。その後、承認要求が資産アドミニストレーターに自動的に送信されます。
交換用モデル	ハードウェア資産を置き換える資産モデル。 リストには、選択したハードウェア資産のモデルと資産の場所に基づいたリフレッシュモデルが表示されます。資産の場所が資産レコードで指定されていない場合は、要求者の場所が考慮されます。

4. 交換用資産の送付先を決定します。
5. ゼロタッチでリフレッシュフォームの下部にある確認チェックボックスをオンにして、出荷先の選択を確定します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。
7. オプション: に移動すると、ゼロタッチでリフレッシュ要求のステータスが表示されます。 **All** (すべて) > セルフサービス > 自分の要求.

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュ要求が正常に送信されました。

ゼロタッチでリフレッシュの実行要求を実行する

プロバイダーは、ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を通じて要求された交換用資産を要求者に出荷します。

始める前に
ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュするための構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user

このタスクについて
従業員が顧客の ServiceNow® インスタンスでゼロタッチでリフレッシュ要求を送信すると、対応するゼロタッチでリフレッシュの実行要求が ServiceNow インスタンスに作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ゼロタッチでリフレッシュの実行要求.
3. [要求済み] ステータスの要求を選択します。
4. ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求フォームの詳細を確認します。

   [顧客要求番号] フィールドには、対応するゼロタッチでリフレッシュ要求番号が表示されます。[出荷の詳細] タブと [返品出荷の詳細] タブのフィールドには、ゼロタッチでリフレッシュ要求で指定された詳細が入力されます。

5. ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を確認します。
   a. [状態] フィールドで、[注文が確認されました] を選択します。
   b. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. 交換用資産を要求者またはストックルームに出荷します。
   a. [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドに資産情報を入力します。
   b. 出荷の詳細 タブで、追跡番号 と 配送業者 フィールドに値を入力します。
   c. 返品出荷の詳細タブで、追跡番号と配送業者のフィールドに値を入力します。
   d. [状態] フィールドで、[出荷済み] を選択します。
   e. [**Save** (保存)] をクリックする。
   f. 出荷には、従業員が倉庫用に作成された住所ラベル付きの古い資産を返却するために使用できるボックスを含めます。
   g. 要求者または要求者が資産を集荷できるストックルームの場所に新しい資産を出荷します。

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求で指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員にアサインされます。

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理してプロバイダーから資産を受け取り、ゼロタッチでリフレッシュフローを完了します。

始める前に
ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュするための構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user。

このタスクについて
プロバイダーが資産を出荷した後、次のアクションが発生すると、ゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。

1. 従業員は、交換用資産が受領されたことを確認します。
2. インベントリマネージャーまたは資産マネージャーは、受領した古い資産を確認して評価します。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ゼロタッチでリフレッシュ] リストから、[要求] を選択します。
4. 処理する要求を選択します。
5. [ゼロタッチでリフレッシュタスク] タブを選択します。
6. ストックルームマネージャーは、新しい資産の集荷準備ができたことを従業員に通知します。
   a. [集荷準備完了] タスクを選択します。
   b. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - 資産がストックルームに到着し、集荷の準備ができていることを従業員に通知するメールメッセージが送信されます。
   - 資産受領タスクが作成されます。
7. [資産の受領] タスクがクローズされていることを確認します。
   - 従業員が交換用資産の受領をオンラインで確認した場合、タスクは自動的にクローズされます。

     詳細については、モバイルデバイスでの資産の受領の確認 または コア UI から資産の受領を確認 を参照してください。
   - 資産がストックルームで集荷されたが、従業員がオンラインで受領確認を行っていない場合、admin ロールまたは asset ロールを持つユーザーは、タスクにアクセスして [タスクをクローズ] を選択することで、従業員に代わってこのタスクをクローズできます。
8. 古い資産がストックルームに戻されたことを確認します。
   a. [返却資産を受領] タスクを選択します。
   b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - [資産の受領] タスクがクローズされます。
   - 資産評価タスクが作成されます。
9. 古い資産を評価し、適切なステータスを選択します。
   a. 資産評価タスクを選択します。
   b. [評価] ステータスで、資産を再利用、修理、または廃棄準備完了としてマークします。
      - 再利用のために資産をマークするには、[再展開可能] を選択します。

        資産のステータスとサブステートが [在庫あり] および [利用可能] に設定されます。
      - 資産を修理対象としてマークするには、[修理が必要] を選択します。

        このオプションは、 返品許可 (RMA) フローを開始します。

        資産の状態とサブステートが [在庫あり] および [修理待ち] に設定されます。
      - 資産を廃棄準備完了としてマークするには、 廃棄対象 を選択します。

        資産の状態とサブステートが [在庫あり] および [廃棄待ち] に設定されます。
   c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。ゼロタッチでリフレッシュ要求のステージとステータスが [完了してクローズ] および [完了] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルデバイスでの資産の受領の確認

従業員は、モバイルデバイスでゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

この確認にモバイルデバイスを使用するには、iOS または Android モバイルデバイスに ServiceNow モバイル アプリがインストールされている必要があります。

必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 自分のアイテム > 自分の資産.
2. 資産をタップします。
3. [配送済み資産をスキャン] をタップします。
4. 資産タグ情報を入力します。
   - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
   - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 資産のステータスが [使用中] に変わります。
- ゼロタッチでリフレッシュ要求の資産の受領タスクのステータスが [クローズ済み] に変更されます。

コア **UI** から資産の受領を確認

従業員は、 ServiceNow インスタンスのコア UI を通じて、ゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > セルフサービス > 自分の要求.
2. [ゼロタッチでリフレッシュ] 要求を選択します。
3. [ゼロタッチでリフレッシュタスク] タブで、[資産の受領] タスクを選択します。
4. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュ要求の資産の受領タスクのステータスが [クローズ済み] に変更されます。

資産の総所有コスト **(TCO)** の構成

ハードウェア資産管理ワークフローの各タスクのレートカードを作成して、資産の総所有コスト (TCO) を構成します。

レートカードは、タスクのコストまたはタスクに費やされた時間をキャプチャします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース

タスクレートカードを作成して、タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義します。

始める前に

必要なロール:asset_admin

ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にします。詳細については、「Activate Cost Management」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規タスクレートカードを作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	レートカードの目的。
作業時間を使用	関連するタスク作業時間エントリに基づいてタスクコストを計算するルールを強制するためのオプション。 デフォルトでは、各タスクの定額料金が [タスクレート] フィールドで定義されます。
テーブル	レートカードが適用されるタスクのタイプ。
[Active (アクティブ)]	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
タスクレート	タスクのレート (通貨リスト付き)。 新しい通貨を追加するには、[編集] リンクを使用します。
デフォルトの賃金レート	ワーカーが賃金レードカードを持っていない場合に作業時間エントリに適用されるデフォルトの時給。 このフィールドは、[作業時間を使用] が選択されている場合にのみ表示されます。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順序。 複数のタスクレードカードを同じタスクに適用する場合、順序が最も低いものが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

タスクのタスクレードカードが定義されると、経費ラインが [作業時間を使用] の値によって作成されます。タスクレードカードの [作業時間を使用] フィールドを選択すると、ユーザーと賃金レートに対して作成された作業時間レコードが経費ラインの計算に使用されます。詳細については、「Process task rate cards」を参照してください。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

資産運用ビュー

での賃金レードカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース

賃金レードカードを作成してタスクの作業時間を記録し、レートをタスクに関連付けます。

始める前に

必要なロール:asset_admin

ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にします。詳細については、「Activate Cost Management」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードを作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	レートカードの目的。
[Active (アクティブ)]	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
時間単価	ワーカーが定義された条件を満たす場合にタスク作業時間エントリに適用される時給を識別します。
順序	賃金レートカードが同じタスクに適用される順序。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	同じタスクに複数の賃金レードカードが適用される場合は、順序が最も低いものが使用されます。
条件を設定	[作業時間を使用] オプションがこのレートカードに適用されるかどうかを決定するフィルター。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。 このフィールドでは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

賃金レートカードを含む複数の HAM ワークフローで作業している場合は、記録されたすべてのタスクに同じ値が使用されます。ただし、賃金レードカードは含まれず、タスクレードカードに記載されているデフォルトの賃金レートが使用されます。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

関連情報

- の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理
- [資産アナリティクス] ビュー
- 資産運用ビュー

での **TCO** レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース

独自の総所有コスト (TCO) レポートを作成して、複数の資産の実際の TCO または予測された TCO を比較したり、実際の資産 TCO または予測された資産 TCO をハードウェアモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産アナリティクス.
2. 比較レポート セクションで、 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

TCO レポート

フィールド	説明
[Name (名前)]	TCO レポートの名前。
タイプ	TCO レポートのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ TCO の比較:複数の資産のコストが比較されます。 ○ TCO とベンチマークの比較:資産コストはベンチマークコストと比較されます。
レポートテーブル	ハードウェア資産管理、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。

総原価費目	○ 実績 TCO:選択した資産の TCO 値。
	▪ [実績 TCO] と [リアルタイムレポート] の両方のチェックボックスがオンになっている場合、生成される TCO レポートは [リアルタイムレポート] の選択に基づいてリアルタイムでオフラインになります。
	▪ 実績 TCO のみが選択されている場合、生成される TCO レポートはオフラインになります。
	○ 予測 TCO:この値は次の計算式から参照され、生成されるレポートはオフラインのみです。
	▪ 資産の耐用年数が資産寿命と同じかそれ以上の場合、予測 TCO (提供終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Useful life`
	ここで、正規化済み TCO (TCO/月) は
	`(Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)`
	.
	▪ 資産の有効年限が資産寿命よりも短い場合、予測 TCO (提供終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Asset life`
	ここで、正規化済み TCO (TCO/月) は
	`(Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life`
	.

説明	レポートの簡潔で意味のある説明。
ベンチマークを表示	レポートでベンチマークコストを示すオプション。 このフィールドは、[タイプ] が **TCO** 比較として選択されている場合にのみ表示されます。
ベンチマークモデル	ベンチマークコストを示す資産モデル。 [タイプ] フィールドで [TCO 比較] が選択されている場合、このフィールドは [ベンチマーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を表示] チェックボックスがオンの場合にのみ表示されます。
リアルタイムレポート	レポートにリアルタイムデータを生成するためのオプション。
ワークスペース	作業中のワークスペース。 デフォルト:HAM

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
TCO レポートが生成され、総所有コスト (TCO) ダッシュボードの [比較レポート] セクションに表示されます。

TCO レポートソースの作成

TCO レポートの総所有コスト (TCO) レポートソースを作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順
1. 次のように移動する。 ハードウェア資産ワークスペース > 資産アナリティクス.
2. [比較レポート] セクションから、レポートソースを作成するレポートを開きます。
   比較レポートを作成することもできます。詳細については、「での TCO レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
3. [レポートソース] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースを作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	レポートソースの名前。
[Active (アクティブ)]	レポートソースがアクティブかどうかを示すオプション。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** レポートに対して、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを設定できます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、別のレポートソースを無効にする必要があります。
レポートテーブル	ハードウェア資産管理、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
条件を設定	特定の条件を持つ資産を選択するためのフィルター。
説明	レポートソースの簡潔で意味のある説明。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
新しいレポートソースが **[TCO** レポートソース] タブの TCO レポートソースのリストに追加されます。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

ハードウェア資産管理サブスクリプションの管理

使用するハードウェア資産管理リソースカテゴリのみを選択することで、ハードウェア資産管理ライセンスコストを節約できます。

ハードウェア資産管理ライセンスの詳細については、「ハードウェア資産管理サブスクリプション」を参照してください。

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト

HAM サブスクリプションの一部である ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスリソースカテゴリをオプトインします。使用するリソースカテゴリを購入してオプトインすることも、オプトアウトして使用しないカテゴリの料金を支払わないこともできます。

始める前に
必要なロール:admin または HAM admin

このタスクについて
この手順は 1 回限りのアクティビティです。HAM 1.0 または 2.0 バージョンからアップグレードする場合、すべてのリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。例外は、モバイルデバイスリソースカテゴリです。

新規ユーザーの場合は、HAM サブスクリプションの一部であるすべてのリソースカテゴリを手動でオプトインします。

重要:
モバイルデバイスリソースカテゴリには、HAM モバイルデバイスライセンスエンタイトルメントでのみアクセスできます。リソースカテゴリは、非本番インスタンスのエンタイトルメントに関係なく使用できます。ただし、本番インスタンスでは、リソースカテゴリは関連付けられたエンタイトルメントでのみ使用できます。

オプトインしていないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリにオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

注:
インスタンスにデモデータをロードすると、すべての HAM ライセンスリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。オプトインしないリソースカテゴリの選択を解除する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > **Hardware Model Normalization** > **HAM** リソースのカテゴリ.
2. リソースカテゴリを開きます。
   各リソースカテゴリには、それに関連付けられているモデルカテゴリが一覧表示されます。
3. リソースカテゴリをオプトインまたはオプトアウトするには、次のいずれかを実行します。
   - リソースカテゴリをオプトインする場合は、[オプトイン] を選択します。
   - リソースカテゴリからオプトアウトする場合は、 [オプトアウト] を選択します。
   ポップアップメッセージが表示され、オプトインするかオプトアウトするかを尋ねられます。
4. [**OK**] をクリックします。

タスクの結果
リソースカテゴリがオプトインまたはオプトアウトされている。1 回限りの実行ジョブの実行では、次の更新が実行されます。

- オプトインまたはオプトアウトされたリソースカテゴリに属するモデルカテゴリを持つモデルの [ライセンスのオプトイン] 列を設定します。
- これらのモデルの資産に除外フラグを設定します。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
- 正規化ジョブは、リソースカテゴリに関連付けられているモデルに対してトリガーされます。

ハードウェア資産管理 アプリケーションのライセンスレポートの表示

ITAM ライセンスレポートを使用して、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、ネットワークデバイス、モバイルデバイス、テレコムネットワークインベントリなどの管理対象 IT リソースタイプについて、組織で購入および消費したサブスクリプションの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：admin、usage_admin

このタスクについて

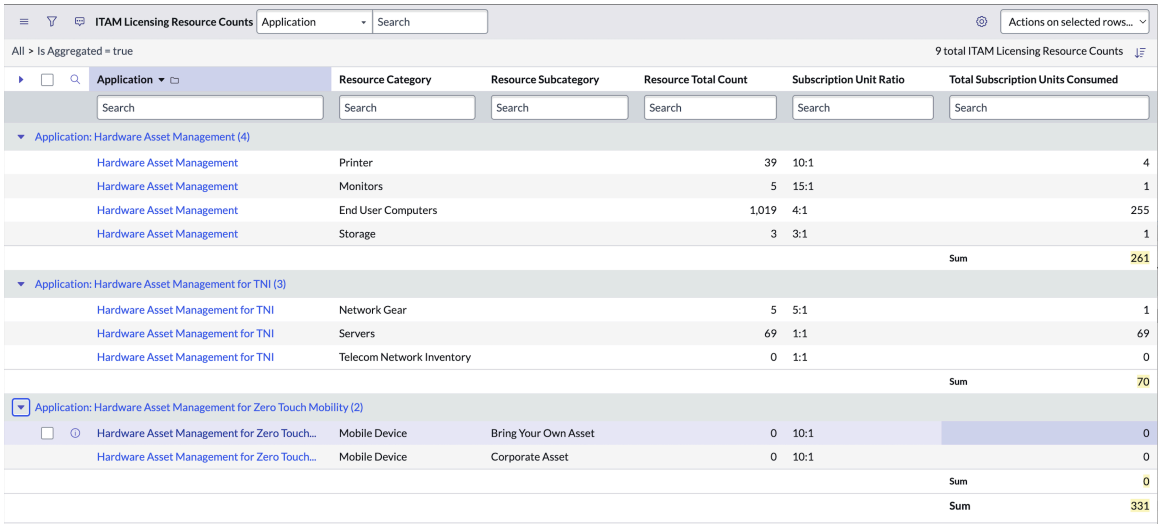
注:
管理対象 IT リソースタイプのライセンス数の計算は毎月行われます。ライセンス消費に対する変更は、月次のライセンス数の計算後にのみ ITAM ライセンスレポートに反映されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. ハードウェア資産管理アプリケーションを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ServiceNowインスタンスでアクティブ化されているすべてのハードウェア資産管理アプリケーションのサブスクリプションの詳細が表示されます。

すべてのハードウェア資産管理アプリケーションに対してオプトインしたリソースカテゴリに対して購入したサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- アプリケーション: ServiceNow インスタンスでアクティブ化されているアプリケーションの名前。ITAM ライセンスレポートは、アプリケーション別にグループ化されています。
- リソースカテゴリ: ハードウェア資産管理 アプリケーションで利用可能な管理対象 IT リソースタイプ。リソースタイプには次のものが含まれます。
  - サーバー
  - エンドユーザーコンピューター
  - ネットワーク機器
  - モバイルデバイス
  - Telecom Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)
  - プリンター
  - モニター
  - ストレージ
  - 未分類のハードウェア

  次の点に注意してください。
  - プリンター、モニター、ストレージ、および未分類のハードウェアは、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.1.0 以降で使用できます。
  - ServiceNowインスタンスで複数のハードウェア資産管理ソリューションが有効になっている場合、アクティブ化されたソリューションで利用可能なオプトインされたリソースカテゴリは、ソリューションでのみライセンス供与されます。詳細については、「ハードウェア資産管理ソリューションのためのLicensingフレームワーク」を参照してください。
- リソースサブカテゴリ:リソースカテゴリのサブカテゴリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- リソースサブカテゴリは、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.1.0 以降で使用できます。
- 取得方法に基づいて、次のリソースサブカテゴリは、ServiceNowインスタンスでゼロタッチモビリティとのハードウェア資産管理統合が有効になっている場合にのみモバイルデバイスで使用できます。
  - 自分の資産を使用する
  - 企業資産

- リソース合計数:リソースカテゴリとモデルカテゴリ別にグループ化された管理対象 IT リソースの資産数。
- サブスクリプションユニット率:サブスクリプションを必要とするリソースカテゴリの資産の数を決定する事前定義された比率。たとえば、エンドユーザーコンピューターに対して定義された 4:1 の比率は、そのリソースカテゴリの 4 つの資産ごとに 1 つのサブスクリプションユニットが必要であることを意味します。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で消費されたリソースカテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各リソースカテゴリのリソース合計数にサブスクリプションユニット率を適用することで、この数を計算します。

ゼロタッチ要求フローを使用したハードウェア資産要求の管理

ゼロタッチ要求フローを使用して、外部プロバイダーを通じて従業員のハードウェア資産要求を実行します。

プロバイダーに必要なセットアップ

プロバイダーは、ゼロタッチ要求フローを通じて受け取った要求を実行するために、次のタスクを完了する必要があります。

1. の完了 サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ.
2. コンシューマーに更新を送信するようにスクラッチパッドを構成します。

注:
ゼロタッチ要求フローの前提条件を完了すると、プロバイダーはプロバイダータスクを履行できます。詳細については、「プロバイダータスクの実行」を参照してください。

サービスカタログ要求に必要なセットアップ

外部プロバイダーを通じてカタログ要求を実行できるように、次のタスクを完了していることを確認してください。

1. の完了 サービスブリッジ サービスカタログ要求のセットアップ.
2. ゼロタッチ要求フローの サービスカタログ アイテムの管理。
3. プロバイダー統合プロファイルの作成.

注:
このタスクは、プロバイダーから受信したスクラッチパッドの更新がゼロタッチ要求フローに必要な形式でない場合にのみ実行する必要があります。プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するためのスクリプトインクルードも作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員のゼロタッチ要求フロータスク

1. ゼロタッチ要求フローによるハードウェア資産の要求.
2. ゼロタッチ要求フローを通じて受領した資産の受領を確認。

ゼロタッチ要求フローの サービスブリッジ の構成

ゼロタッチ要求フローでは、 サービスブリッジ アプリケーションを使用してプロバイダーを ServiceNow インスタンスに接続し、 サービスカタログを通じて送信されたハードウェア資産要求を管理します。

サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ

プロバイダーは、要求の詳細について組織に連絡するために、次のタスクを実行する必要があります。

1. Install Service Bridge for Providers .
2. Register a Service Bridge consumer .
3. リモートカタログにリモートレコードプロデューサーを作成して公開 します。

サービスブリッジ サービスカタログ要求のセットアップ

プロバイダーからカタログ要求の更新を受信するには、次の手順を実行します。

1. Install Service Bridge for Consumers .
2. プロバイダーによって公開されたリモートレコードプロデューサーをアクティブ化します 。

スクラッチパッドを使用して要求実行タスクを完了

プロバイダーは、 サービスブリッジ アプリケーションのスクラッチパッド機能を使用して、要求実行タスクの実行中にコンシューマーの ServiceNow インスタンスに更新を送信します。

ゼロタッチ要求フローでは、確認タスクと出荷タスクを正常に完了したときに、スクラッチパッドの更新をコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信する必要があります。送信した更新に基づいて、コンシューマーの ServiceNow インスタンスでゼロタッチフローが進行します。

PSBScratchpadUtil API には、タスクに固有のコードを含める必要があります。詳細については、「Using the Scratchpad for Service Bridge tasks 」を参照してください。要求実行フローのタスクに関連付けられたスクラッチパッドコードが次の形式であることを確認します。

要求確認のサンプルコード

```
var scratchPadJSON = {
  "orderStatus": "confirmed"
};
var value = JSON.stringify(scratchPadJSON);
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_provider_task");
rtGR.get(<ProviderTaskID>);
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "confirmation", value);
}
```

プロバイダータスクを確認すると、注文ステータスが [確認済み] のスクラッチパッド更新がコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出荷用のサンプルコード

```
var scratchPadJSON = {
"orderStatus": "partially_shipped / fully_shipped"
"orderLineItems" :
 [{
   "status": "shipped",
   "trackingNumber": "123",
   "carrier": "C1",
   "modelNumber": 'MD322LL/A',
   "assetTag": 'P1000177',
   "serialNumber": 'P1000177'
 },{
   "status": "shipped",
   "trackingNumber": "123",
   "carrier": "C1",
   "modelNumber": 'MD322LL/A',
   "assetTag": 'P1000178',
   "serialNumber": 'P1000178'
 }
]
};
```

要求されたアイテムを出荷して出荷を確認すると、次の詳細を含むスクラッチパッドの更新がコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信されます。

- 注文ステータス:プロバイダーが要求で資産をどのように出荷したかに応じて、注文ステータスは次の値になります。
  - **partially_shipped**:要求の 資産 は複数の出荷で出荷されます。
  - **fully_shipped**: 要求内のすべての資産が出荷されます。
    たとえば、 要求者が 5 つの資産を要求したとします。1 回の出荷で 3 つの資産のみを出荷する場合は、 注文ステータス を **partially_shipped** として渡す必要があります。残りの 2 つの資産を出荷するときは、 **Order** ステータス を **fully_shipped** として渡す必要があります。
- お問い合わせ伝票番号: すべての納品には固有のお問い合わせ伝票番号が付いています。
- 配送業者:プロバイダーが資産を配送するために使用した配送業者の名前。
- モデル番号:出荷される資産の一意のモデル番号。
- 資産タグ:出荷される資産の一意の資産タグ。
- シリアル番号:資産のシリアル番号。

注:
消耗型資産の出荷更新には、資産タグとシリアル番号の詳細は含まれません。複数の出荷がある場合は、出荷内の資産の情報をコンシューマーのServiceNowインスタンスに送信する必要があります1 回のみ。

ゼロタッチ要求フローの サービスカタログ アイテムの管理

カタログアドミニストレーターは、外部プロバイダーがハードウェア資産要求を実行できるようにサービスカタログ アイテムを構成します。

ゼロタッチ要求フローを通じてカタログ要求を実行できるようにするには、次のタスクを完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ゼロタッチ要求フローへのカタログアイテムの関連付け.
2. ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成します。
3. カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け。

ゼロタッチ要求フローへのカタログアイテムの関連付け

外部プロバイダーを通じてカタログアイテムのすべての要求を満たすために、カタログアイテムのフローをゼロタッチ要求フローに設定します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > カタログ定義 > アイテムの管理.
2. カタログアイテムを選択します。
3. [カタログ] フォームで、[フロー] フィールドで [ゼロタッチ要求] を選択します。
4. [**Update** (更新)] を選択します。

次のタスク
ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成します。

ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成します

カタログアイテムの変数を作成し、プロバイダーが変数の詳細に基づいてそのアイテムの要求を実行できるようにします。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
プロバイダーがカタログ要求を正確に履行できるようにするには、プロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けられた変数と同様の変数を作成する必要があります。たとえば、リモートレコードプロデューサーにサイズと色の変数がある場合は、カタログアイテムに対して同じ変数セットを作成する必要があります。詳細については、「リモートレコードプロデューサーの変数の表示」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > カタログ定義 > アイテムの管理.
2. カタログアイテムを選択します。
3. カタログフォームで、[変数] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フォームフィールドの詳細については、「 サービスカタログ 変数フォームフィールド」を参照してください。

   重要:
   プロバイダーが 1 回の要求で複数の数量の資産をサポートしている場合は、[非表示] チェックボックスをオンにして、カタログアイテムの等価数量変数を非表示にします。このアプローチにより、カタログ要求で複数の数量フィールドを回避することができます。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
変数は、そのカタログアイテムの サービスカタログ 要求に表示されます。

次のタスク
カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け.

カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け

サービスカタログアイテムをプロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けて、履行のために注文の詳細をプロバイダーに送信します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 資産 > **HAM** ゼロタッチ > カタログアイテムマッピング.
2. フォームのフィールドに入力します。

[カタログアイテムマッピング] フォーム

フィールド	説明
カタログアイテム	リモートレコードプロデューサーに関連付けるサービスカタログアイテム。
リモートレコードプロデューサー	外部プロバイダーのリモートレコードプロデューサー。
複数数量をサポート	プロバイダーのリモートレコードプロデューサーがカタログアイテムに対して複数の数量をサポートしていることを示すオプション。
数量変数	カタログアイテムに定義された変数のリストから数量をキャプチャする変数。 このフィールドは、[複数数量サポート] チェックボックスがオンの場合にのみ編集可能です。
[Active (アクティブ)]	カタログアイテムマッピングが使用可能であることを示すオプション。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

リモートレコードプロデューサーの変数の表示

プロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けられた変数を表示します。 変数は、プロバイダーが履行するためにカタログ要求に含める必要がある詳細を識別するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスブリッジコンシューマー > プロバイダー接続.
2. プロバイダー接続を選択します。
3. [リモートレコードプロデューサー] タブを選択します。
4. リモートレコードプロデューサーを選択します。
5. [変数] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択したリモートレコードプロデューサーの variable が [変数] タブに一覧表示されます。

ゼロタッチ要求フローによるハードウェア資産の要求

サービスカタログから資産を注文することで、ゼロタッチ要求フローを介して外部プロバイダーにハードウェア資産を直接要求します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > **Hardware** (ハードウェア).
2. カタログ要求で、必要な詳細を入力します。
   カタログ要求フォームに表示されるフィールドは、カタログアイテムとプロバイダーによって異なります。プロバイダーは、要求を実行するためにこれらのフィールド値を必要とします。
3. [このアイテムを注文] セクション の [数量] フィールドで、注文する品目の数量を選択します。

   注:
   プロバイダーが 1 回の要求で複数の資産をサポートしている場合、数量の詳細を入力するための追加の フィールド は、 Catalog Administrator がカタログアイテムの同等の数量変数を非表示にしていない場合にのみカタログ要求に表示されます。ただし、[このアイテムを注文] セクションで選択した数量は要求に対して考慮されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
ハードウェアカタログ要求が正常に送信されました。

プロバイダータスクの実行

プロバイダーは、ゼロタッチ要求フローを通じて要求された資産を要求者に配送します。

始める前に

1. ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「ゼロタッチ要求フローの サービスブリッジ の構成」を参照してください。
2. スクラッチパッドは、要求実行フローに関連する確認タスクと出荷タスク用に構成されている必要があります。詳細については、「スクラッチパッドを使用して要求実行タスクを完了」を参照してください。

必要なロール: ロールは プロバイダー固有です

このタスクについて
従業員がコンシューマーの ServiceNow® インスタンスでゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムを注文すると、対応するプロバイダータスクが ServiceNow® インスタンスに作成されます。プロバイダータスクは、 ServiceNow® インスタンスで要求実行フローをトリガーします。プロバイダータスクが履行フローのさまざまなステージを移動すると、情報はスクラッチパッドの更新を介してコンシューマーのインスタンスに送信されます。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスブリッジプロバイダー > オープンレコード > プロバイダータスク.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 受信ステータスのプロバイダータスクを選択します。
4. プロバイダータスクフォームで詳細を確認します。
   [変数] セクションには、要求者が サービスカタログ 要求で提供した詳細が表示されます。
5. コンシューマーの ServiceNow インスタンスにスクラッチパッドの更新を送信して、プロバイダータスクを確認します。
6. プロバイダータスクで要求された資産を出荷し、出荷の詳細を含むスクラッチパッドの更新をコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信します。
   スクラッチパッドには、次の出荷の詳細が含まれています。
   - 注文 status:注文ステータスは **fully_shipped** または **partially_shipped** のいずれかです。
   - 追跡番号: 貨物の一意の追跡番号。
   - モデル番号:出荷される資産の一意のモデル番号。
   - 資産タグ:出荷される資産の一意の資産タグ。
   - シリアル番号:資産のシリアル番号。

タスクの結果
スクラッチパッドで指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が要求者に割り当てられます。

ゼロタッチ要求フローを通じて受領した資産の受領を確認

従業員は、モバイルデバイスでゼロタッチ要求フローを通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に
この確認応答にモバイルデバイスを使用するには、iOSまたはAndroidモバイルデバイスに ServiceNow モバイル アプリがインストールされている必要があります。

必要なロール: 資産のユーザー。

このタスクについて
ハードウェア資産の受領は、モバイルデバイスでのみ確認できます。消耗資産の受領を確認するには、 Asset Managerにお問い合わせください。

手順
1. 次のように移動する。 自分のアイテム > 自分の資産.
2. 資産 をタップします。
3. [配送済み資産をスキャン] をタップします。
4. 資産タグ情報を入力します。
   - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
   - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
- 資産のステータスが [使用中] に変わります。
- カタログ要求の要求アイテムの ステージ が [完了] に変更されます。

プロバイダー統合プロファイルの作成

プロバイダー統合プロファイルを作成して、プロバイダーから送信されたスクラッチパッド更新の任意の形式をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat* のスクリプトインクルードが必要です。詳細については、「プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するスクリプトインクルードを作成」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [ゼロタッチ] リストから、[プロバイダー統合プロファイル] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいプロバイダー統合プロファイルを作成 **(Create New Provider Integration Profile)**] フォーム

フィールド	説明
プロバイダー	外部プロバイダーの名前。
API	プロバイダーによって送信されたスクラッチパッドの更新を必要な形式に変換するためのビジネスロジックが含まれるスクリプトインクルードの名前。
[Active (アクティブ)]	プロバイダー統合プロファイルのステータスを示すオプション 。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
プロバイダー統合プロファイルが作成され、[プロバイダー統合プロファイル] リストに追加されます。

プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するスクリプトインクルードを作成

プロバイダーから送信されたスクラッチパッドの更新をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換するには、メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat* を含むスクリプトインクルードが必要です。

ゼロタッチ要求フローの確認ステージと出荷ステージでは、プロバイダーはスクラッチパッドの更新を特定の形式で ServiceNow インスタンスに送信するのが理想的です。詳細については、「スクラッチパッドを使用して要求実行タスクを完了」を参照してください。ただし、プロバイダーのスクラッチパッドの更新が必要な形式でない場合は、メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat* でスクリプトインクルードを使用して変換できます。

スクリプトインクルードを作成するときは、次の点を考慮してください。

- スクリプトインクルードには、アプリケーションリソースレコードの次の設定を調整することで、資産管理 共通アプリケーションスコープからアクセスできます。
  - [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
  - [申請者アクセス] フィールドを [なし] に設定して、申請者のアクセスが制限されていないことを確認します。
- メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat* を次の形式で定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
/*** Input to the following method is scratchpad value of type JSON ***/
transformScratchPadToHAMZTRFormat: function (input) {
// Logic to transform the input to the expected format
// This method should return a value of type JSON with expected format
}
```

ゼロタッチ要求フローを通じて送信されたハードウェア資産要求の表示

ゼロタッチ要求フローを通じて送信された従業員のハードウェア資産要求のリストを資産運用ビューに表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [ゼロタッチ] リストから [資産要求] を選択します。
   資産要求のリストが表示されます。要求アイテム、数量、ステージなどの要求の詳細を取得できます。
3. 詳細を表示する資産要求を選択します。

のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 ハードウェア資産ワークスペース

修理フローを使用して倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を修理することで、インベントリを最適化します。

修理フローでは、資産マネージャーがストックルームの欠陥資産の修理を要求します。資産技術者は、資産のトラブルシューティング、修理、および評価を行います。評価された資産は、使用または廃棄されます。修理フローのステージの詳細については、「 ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修正するための修理フロー」を参照してください。

ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求します

資産マネージャーは、修理注文を作成することで、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修理することができます。

次のいずれかのオプションを使用して、欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求できます。

- を使用したハードウェア資産の修理の要求 サービスカタログ
- [インベントリ] ビューでのハードウェア資産の修理注文の作成
- 修理オプションを使用してハードウェア資産の修理を要求する

注:

修理注文を作成するときは、次の点を考慮してください。

- 次の資産の修理を要求することはできません。
  - 消耗品
  - 他のワークフローの一部である資産
- 親資産を修理注文に追加している場合にのみ、子資産の修理を要求できます。ただし、パレット内の資産は修理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用したハードウェア資産の修理の要求 サービスカタログ

ストックルームで欠陥があるか修理待ちのハードウェア資産を修理する サービスカタログ 要求を送信します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
単一のカタログ要求を使用して、ストックルームにある複数の欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産修復.
2. フォームのフィールドに入力します。

資産の倉庫修理要求フォーム

フィールド	説明
期日	欠陥資産を修復する日付。
倉庫	修復する資産がある倉庫。

3. 修復する資産を選択します。
   a. 資産を編集アイコン (アイコン) を選択します。
   b. リストから資産を選択します。
      要求に 1 つ以上の資産を追加できます。
   c. [ロック] アイコン ( ) を選択します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
- 修理要求が正常に送信されました。
- 修理注文は [ドラフト] ステージで作成されます。
- 修復注文の各資産は、 トラブルシューティング ステージにある修復注文明細行に関連付けられています。

[インベントリ] ビューでのハードウェア資産の修理注文の作成

ハードウェア資産ワークスペースの [インベントリ] ビューで修理注文を作成して、欠陥のあるハードウェア資産または修理待ちのハードウェア資産の修理を要求します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
在庫ビューから修理注文を作成する場合、修理する資産の修理注文明細行を明示的に作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修理注文を作成します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   注:
   次のフィールドはオプションです。
   - **Assignment group** (アサイン先グループ)
   - アサイン先
   - 期日
   - 作業メモ

   新しい修理注文を作成フォーム

フィールド	説明
倉庫	修復する資産がある倉庫。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	修復注文をアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	修理注文の主たる責任者であるアサイン先グループの人物。
期日	欠陥のあるハードウェア資産を修復する必要がある日付。
作業メモ	修復注文に関するメモ。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   ○ [ドラフト] ステージの修復オーダーが作成されます。
   ○ [修復注文ライン] タブが、修復注文の [詳細] タブの横に表示されます。
4. 修復注文に修復注文ラインを追加します。

   a. [修理注文明細行] タブを選択します。

   b. [**Add**] を選択します。

   c. [資産の追加] ダイアログ ボックスで、資産を選択し、 [追加] を選択します。

   注:
   パレット資産の子資産を修理注文に追加できます。修復オーダーに追加した資産は、パレットから自動的に削除されます。

   追加した資産ごとに、 トラブルシューティング ステージにある修復注文明細行が作成されます。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修理オプションを使用してハードウェア資産の修理を要求する

資産フォームのオプションを使用して、ストックルームの欠陥のあるハードウェア資産の修理を直接要求します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Asset Estate** (資産一覧).
2. [すべての資産] タブを選択します。
3. [ステータス] が [在庫あり] で、[サブステート] が [欠陥 品] または [修理待ち] の資産を選択します。
4. 資産フォームで [その他のオプション] アイコン (•••) を選択します。
5. [修理]を選択します。

タスクの結果
[トラブルシューティング] ステージの修理注文明細を含む修復注文が作成されます。

での修理注文の履行 ハードウェア資産ワークスペース

修理注文ラインに関連付けられたオープンな修復資産タスクをすべて完了することで、修理注文を履行します。

修理オーダには、その修復オーダによって修理する資産の数に応じて、1 つ以上の修復オーダラインを含めることができます。修理注文は、すべての修理注文ラインが完了したときにのみ履行されます。

技術者は、修理注文を履行するために、各修復注文ラインに関連付けられた次のタスクを完了する必要があります。

1. 資産のトラブルシューティング
2. 資産の修復
3. 資産の評価

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産修復タスクを処理することもできます。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修復タスクの管理」を参照してください。

で自分のストックルームのオープン修理注文を表示する ハードウェア資産ワークスペース

ストックルームのオープンな修理注文を表示して、アクションが必要な修理注文ラインと修理タスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール: asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オープンストックルームタスク] セクションの [オープンな修復オーダー] カードには、オープンな修復オーダーの数が表示されます。

4. [修復オーダーを開く] カードを選択します。

タスクの結果

ストックルームのオープンな修理注文のリストが表示されます。

で修理が要求された資産のトラブルシューティング ハードウェア資産ワークスペース

トラブルシューティングタスクを完了して、欠陥のある資産の問題を評価します。観察事項に基づいて、資産を修理可能、再展開可能、または廃棄する必要があるかどうかを確認できます。

始める前に

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージにある修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [トラブルシューティング] ステージで [オープン] ステータスの修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産のトラブルシューティング タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、トラブルシューティングタスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業した時間のエントリが、資産のトラブルシューティングタスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [トラブルシューティング結果] フィールドでトラブルシューティングの結果を選択します。
    - 資産が修理可能な場合は、[修理可能] を選択します。
    - 資産が修復不可能な場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- トラブルシューティングの結果を 修復不能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産の状態が [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- トラブルシューティングの結果を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

- トラブルシューティングの結果を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理オーダラインのステージが 修理 に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。
  3. 資産修復タスクが作成されました。

次のタスク
で資産修復タスクを完了 ハードウェア資産ワークスペース.

で資産修復タスクを完了 ハードウェア資産ワークスペース

欠陥のある資産の修理を完了し、資産が修理済み、修復不可能、または再展開可能かどうかを確認します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産の修復タスクを完了する修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [修理] ステージにある修理注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産修復 タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、資産の修復タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産修復タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [修復結果] フィールドで修復結果を選択します。
    - 資産が修理済みの場合は、[修理済み] を選択します。
    - 資産を修復できなかった場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- [修理結果] を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [修復結果] を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- [修理結果] を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文明細行のステージが [評価] に変わります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [評価待ち] に変わります。
  3. 資産評価タスクが作成されました。

次のタスク
で修復済み資産を評価する ハードウェア資産ワークスペース.

で修復済み資産を評価する ハードウェア資産ワークスペース

修理された資産を評価し、資産が再展開可能か廃棄する必要があるかを確認します。修理フローは、修理された資産が評価された後に完了します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修復済み資産を評価する修理注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [評価] ステージで [オープン] ステータスの修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の評価] タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、[資産の評価] タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産評価タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [評価結果] フィールドで評価結果を選択します。
    - 資産が修理されて再展開可能な場合は、[再展開可能] を選択します。
    - 資産を使用できず、廃棄する必要がある場合は、 廃棄対象 を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- [評価結果] を [廃棄対象] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [評価結果] を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

での資産修復タスクの一括クローズ ハードウェア資産ワークスペース

複数の修理タスクを一度に完了してクローズし、複数の修復注文ラインを含む修復注文を処理します。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

一括クローズできるのは、[オープン] ステータスの類似の資産修復タスクのみです。ただし、タスク結果が同じでない類似の修理タスクを一括でクローズすることはできません。たとえば、片方のタスクに修理可能な資産があり、もう片方のタスクに修理不可能な資産がある場合、2 つの資産のトラブルシューティングタスクを一括でクローズすることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産修復タスクを完了する、オープンな修復注文ラインが複数ある修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 完了する修復注文ラインを選択します。
6. クローズする修復タスクを選択します。
7. [詳細] フォームで、タスクの結果を選択します。
   - 資産のトラブルシューティングタスクを完了する場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 修理可能
     - 修復不能
     - 再展開可能
   - 資産修復タスクを完了する場合は、[修復結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 修復
     - 修復不能
     - 再展開可能
   - 資産評価タスクを完了する場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 再展開可能
     - 廃棄対象

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. [一括クローズ] を選択します。
    類似の修理タスクを含む [資産を選択] ダイアログボックスが表示されます。
11. クローズするタスクを選択し、[タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
選択したすべての修復タスクが同じタスク結果と作業メモでクローズされます。

で修理注文をキャンセルする ハードウェア資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文をキャンセルします。

始める前に
必要なロール：asset

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージにある修復オーダーを選択します。
4. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果
- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変わります。
- 完了しなかった修復注文ラインのステージとステータスが [キャンセル] および [未完了でクローズ] に変更されます。

で修理注文ラインをキャンセルする ハードウェア資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文ラインをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
キャンセルできるのは、完了ステージにない修復注文ラインのみです。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージにある修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. キャンセルする修復注文ラインを選択します。
6. [キャンセル] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 修復注文ラインのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- オープンだった関連する修復資産タスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- 修復注文のステージが キャンセル に変わるのは、トラブルシューティング、修理、評価、または 完了 ステージにある他の修復注文明細行がない場合のみです。

での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペース資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価の各タスクにかかった時間を管理および記録します。資産の修復タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

修理タスクにかかった時間を自動で記録 ハードウェア資産ワークスペース

タスクを完了するまで休憩を取らずに修理タスクを完了するまでにかかった時間を記録します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
[オープン] ステータスの資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価タスクの作業時間を記録できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 処理している修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業している修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 作業時間を記録する資産修復タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. **[Start Timer]** を選択します。
10. タスクでの作業が完了したら、[詳細] フォームでタスクの結果を選択します。
    - 資産のトラブルシューティングタスクを完了した場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修理可能
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産修復タスクを完了した場合は、[修復結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修復
      - 修復不能
      - 再展開可能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産評価タスクを完了した場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 再展開可能
  - 廃棄対象

11. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
12. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

タスク完了時に作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、資産修復タスクの [作業時間] タブに作成されます。

で修復タスクにかかった時間を手動で記録する ハードウェア資産ワークスペース

資産修復タスクの作業時間のエントリを ハードウェア資産ワークスペースに手動で作成します。

始める前に

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 処理している修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業している修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 時間を手動で記録するタスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. [時間を記録] を選択します。
10. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。
    a. [日]、[時間]、および [分] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。
    b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
11. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

[作業時間] フォームが保存され、タイムカードが資産修復タスクの [作業時間] タブに追加されます。

での修理タスクの一時停止 ハードウェア資産ワークスペース

作業を続行しない場合は、修理タスクの中断を ハードウェア資産ワークスペース に記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に

「対応中」ステータスの資産修復タスクを一時停止することができます。タスクを一時停止するオプションは、資産修復タスクに対して次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
2. [タイマーの開始] を選択して、時刻の記録を開始します。

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 処理している修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業している修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 一時停止するタスクを選択します。
8. [作業の一時停止] を選択します。
   [作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります
9. 活動を再開する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリが [作業時間] タブに作成されます。

ハードウェア資産管理ワークフローのためにストックルーム内のピッキングハードウェア資産を管理する

ストックルームに対して資産集荷タスクを明示的に有効にし、資産の場所の詳細を指定して、ストックルーム内の資産ピッキングを容易にします。

でストックルームの資産集荷タスクを有効にする ハードウェア資産ワークスペース

ストックルームの資産集荷タスクを有効にして、タスクが標準ハードウェア資産要求、ハードウェア資産更新要求、および調達ワークフローに自動的に追加されるようにします。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能な倉庫のリストから、資産集荷タスクを有効にする倉庫を選択します。
4. [ストックルームの詳細] フォームで、[必要なタスクを選択] チェックボックスをオンにします。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

で倉庫に通路とスペースを追加する ハードウェア資産ワークスペース

ストックルームの通路とスペースの詳細を追加して、そのストックルーム内の資産の詳細な場所の詳細を提供します。通路とスペースの詳細により、ストックルーム内の資産を検索してピッキングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
スペースはストックルームの通路に関連付けられています。スペースを追加できるのは、少なくとも 1 つの通路をストックルームに追加した後のみです。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。
4. [通路とスペース] タブを選択します。
   そのストックルーム内の既存の通路とスペースのリストが表示されます。
5. 選択したストックルームに通路を追加します。

   a. [通路を追加] を選択します。

      [通路を追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドに、通路の一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。例: aisle_0001。

   c. オプション: 通路をさらに追加するには、[追加] アイコン (＋]) を選択し、[通路] フィールドに通路の一意の識別子を入力します。

   d. [**OK**] を選択します。

   通路が [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
6. ストックルームの通路にスペースを追加します。

   a. [スペースの追加] を選択します。
      [スペースを追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドで、スペースを追加する通路を選択します。

   c. [スペース] フィールドに、スペースの一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。例: space_0001。

   d. オプション: スペースを追加するには、[追加] アイコン (＋]) を選択し、[スペース] フィールドにスペースの一意の識別子を入力します。

   e. [**OK**] を選択します。

   - スペースが [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
   - スペースの表示名は、[通路] フィールドと [スペース] フィールドに基づいて自動的に設定されます。たとえば、通路がaisle_001でスペースがspace_001スペースの表示名は「 **aisle_001 - space_001**」です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

倉庫のハードウェア資産集荷タスクのオープンを表示する

ストックルームのオープンハードウェア資産集荷タスクを表示して、アクションが必要なタスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。
   [オープンストックルームタスク] セクションの [オープンな集荷タスク] カードには、オープンな集荷タスクの数が表示されます。
4. [オープンな集荷タスク] カードを選択します。

タスクの結果
ストックルームのオープンな資産集荷タスクのリストが表示されます。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされたすべてのハードウェア資産の集荷タスクを管理します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の集荷タスクの管理」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、修理タスクや資産集荷タスクなどのハードウェア資産タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修復タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産に関連するすべての修理タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの表示

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産のトラブルシューティング、資産の修復、および資産の評価タスクを表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. [すべて表示] を選択して、自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。
4. オプション: フィールド値でタスクをフィルタリングします。
   a. フィルターアイコン( )をタップします。
   b. タスクをフィルターするためのフィールド (期日、 資産、 場所、または 優先度) に値を入力します。
5. オプション: タスクをソートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. フィルターアイコン( )をタップします。

b. [並べ替え] をタップします。

c. タスクをソートするためのフィールドを選択します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の修復タスクの作業を開始する

自分にアサインされた修理タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで指定します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
次のタスクタイプに属する修理タスクを処理できます。

- 資産のトラブルシューティングタスク
- 資産修復タスク
- 資産評価タスク

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する修復タスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果
[詳細] タブで、[作業を開始] リンクが [タイマーの開始]、[時間を記録]、および [自動的に閉じる] に変わります。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の修復タスクに取り組んだ時間を記録する.

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の修復タスクに取り組んだ時間を記録する

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価の各タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修復タスクの一時停止

作業を続行しない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ハードウェア資産の修復タスクの中断を記録します。

始める前に
修復タスクの作業を開始したら、[詳細] タブの [開始タイマー] をタップして時刻の記録を開始します。

必要なロール：asset

このタスクについて
タスクの作業を再開すると、タスクを再開できます。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 一時停止するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[一時停止] をタップします。
   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、[再開] をタップします。

タスクの結果
修復タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

モバイルエージェントアプリケーションを使用してハードウェア資産の修復タスクにかかった時間を手動で記録する

ハードウェア資産の修復タスクにかかった時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに追加のコメントを入力します。

始める前に
[詳細] タブの [作業を開始] をタップして、修復タスクの作業を開始したことを示していることを確認してください。

必要なロール：asset

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。

3. 時間を記録したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録したい修理タスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクの作業期間を入力します。
   b. オプション: [作業時間コメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果

[時間を記録] フォームが保存され、タイムカードが [関連] タブの [作業時間] セクションに追加されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修復タスクのクローズ

アサインされたハードウェア資産の修復タスクを完了し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクをクローズ済みとしてマークします。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

次のタスクタイプに属する任意のタスクをクローズできます。

- 資産タスクのトラブルシューティング
- 資産修復タスク
- 資産タスクの評価

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. クローズするタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. クローズする修復タスクをタップします。
6. 修復タスクの [詳細] タブで、[閉じる] をタップします。
7. 修理タスク入力フォーム画面で、タスクの結果を入力します。
8. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
9. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果
修理タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の集荷タスクの管理

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分にアサインされたハードウェア資産の集荷タスクを処理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産集荷タスクの作業を開始する

自分にアサインされた資産集荷タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで指定します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する資産集荷タスクをタップします。
   [詳細] タブの次のフィールドに表示される詳細を使用して、割り当てられた資産集荷タスクの作業を開始します。
   - 資産:選択する必要がある資産。
   - ストックルーム:資産をピッキングするストックルーム。
   - 集荷場所:資産を集荷するストックルーム内の通路とスペース。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果
[詳細] タブで、[作業を開始] リンクが [タイマーの開始]、[資産の検索、スキャン] に自動的に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
アサインされた資産集荷タスクを完了します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を検索して集荷します」を参照してください。

モバイルエージェントアプリケーションを使用してハードウェア資産集荷タスクの作業時間を記録する

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ハードウェア資産の集荷タスクにかかった時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。

モバイルエージェントアプリケーションを使用したハードウェア資産集荷タスクの一時停止

作業を続行しない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産集荷タスクの中断を記録します。

始める前に
ハードウェア資産の集荷タスクの作業を開始したら、[詳細] タブの [タイマーの開始] をタップして、時間の記録を開始してください。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて
タスクを一時停止した後、作業を再開したときに再開できます。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 一時停止するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止する資産集荷タスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[一時停止] をタップします。

   注:
   [一時停止] オプションは、[タイマーの開始] をタップした後にのみ表示されます。

   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、[再開] をタップします。

タスクの結果
資産集荷タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を検索して集荷します

インドアマップを使用して、ストックルームの特定の通路とスペースに配置されたハードウェア資産を特定します。資産を見つけたら、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産を選び出し、ストックルーム内の別の場所に持ち込みます。

始める前に

ServiceNow Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

必要なロール：inventory_user

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 作業を開始した資産集荷タスクをタップします。
6. ストックルームでハードウェア資産を見つけるには、[詳細] タブで [検索] をタップします。
   - ストックルーム内のハードウェア資産の正確な場所がマップに表示されます。
   - [方向を取得] オプションが表示されます。
7. ストックルーム内の資産の場所への道順を取得します。
   a. [お問い合わせ] をタップします。
   b. マップ上の開始場所を選択します。
   c. [保存] をタップします。
   - マップに次の詳細が表示されます。
     - 開始場所から資産の場所までのパス
     - 資産の場所に到着するまでに必要なおおよその時間
   - [ステップを表示] と [資産をスキャン] オプションが表示されます。
8. オプション: 資産の場所までの経路を表示するには、[歩数を表示] をタップします。
9. 資産の場所に到達したら、資産を選択します。
10. 資産集荷タスクを完了します。
    a. [資産をスキャン] をタップします。
    b. 資産タグ情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
- 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。

c. オプション: [納品場所] フィールドで、集荷した資産を納品するストックルーム内のスペースを選択します。

d. **[Close complete** (完了してクローズ)] を選択します。

- 資産集荷タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。
- 資産の [場所] フィールドは、納品場所を指定した場合にのみ、納品場所で更新されます。
- ハードウェア資産要求フローとハードウェア更新要求フローは次のステージに進みます。

資産証明書を使用したハードウェア資産の監査

従業員に割り当てられたハードウェア資産を監査し、従業員が割り当てられた資産を使用しているかどうかを検証することで、資産の使用率を向上させます。

資産マネージャーまたはインベントリアドミニストレーターは、次のいずれかの方法で資産証明書を作成できます。

- インベントリビューでの資産証明書の作成.
- 資産証明書スケジュールの作成.
- ハードウェア資産の証明書を作成する

従業員は、次のことを行う必要があります。 で自分にアサインされた資産を確認する 従業員センター portal.

詳細については、「資産 証明書」を参照してください。

インベントリビューでの資産証明書の作成

資産証明書を作成して、従業員に割り当てられたシリアル化されたハードウェア資産がまだ使用されているかどうかを検証します。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

このタスクについて
単一の資産証明書には、複数の従業員が関与する証明書を含めることができます。また、従業員に複数の資産を割り当てることもできます。したがって、資産証明書には複数のユーザーと資産が関係している可能性があります。

オプトインされたリソースカテゴリに属するシリアル化されたハードウェア資産のみ証明書を要求できます。消耗品、バンドル、およびパレットは証明できません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.

2. [資産証明書] タブを選択します。

3. **[New** (新規)] を選択します。

4. ダイアログボックスの [証明書モード] で、[**1** 回] を選択します。

5. **[Create** (作成)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. フォームのフィールドに入力します。

新しい証明書を作成フォーム

フィールド	説明
資産の詳細	
証明書番号	資産証明書の一意の識別子。
要求者	資産証明書を作成するユーザー。
送信日	資産証明書が送信された日付。
スケジュール	証明書を作成した証明書スケジュール。 **注:** このフィールドは、1 回限りの資産証明書要求の場合は空です。
ステータス	資産証明書のステータス。
モデルカテゴリ	証明書が要求されている資産のモデルカテゴリ。 **注:** 複数のモデルカテゴリを選択できます。ただし、選択できるのは、オプトインされていてライセンスを必要としないリソースカテゴリに属するモデルカテゴリのみです。
ユーザー基準	
フィルター	資産確認が必要な社員を選択する条件を設定します。たとえば、開発部門に属する従業員を選択する場合は、 部門 フィールドを 開発 に設定し、 設定 を選択します。
作業メモ	
作業メモ	資産証明書に関連するコメント。

注:
フォームの次のフィールドは自動的に入力されます。

- 証明書番号
- 要求者
- 送信日
- スケジュール
- 状況

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 資産を確認する必要がある従業員に、従業員センターポータルの [自分の資産] ページへのリンクを含むメール通知が送信されます。
- 資産証明書は [処理中] ステータスで作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- [資産] タブには、従業員が確認する資産のリストが表示されます。
- [ユーザー] タブには、割り当てられた資産を確認する必要がある従業員のリストが表示されます。
- 除外済み [資産] タブには、オプトアウトされ、資産証明書の一部ではない資産が表示されます。

次のタスク
でオープンな資産証明書を表示する ハードウェア資産ワークスペース.

資産証明書スケジュールの作成

証明書スケジュールを作成して、指定した頻度に基づいて繰り返し資産証明書が作成されるようにします。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

このタスクについて
*ITAM Common- Asset attestation*日次ジョブは毎日実行され、作成されたすべての証明書スケジュールをチェックします。証明書スケジュールで指定された頻度に基づいて、ジョブは資産証明書を作成します。

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [資産証明書] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. ダイアログ ボックスの [証明書モード] で、[繰り返し] を選択します。
5. **[Create** (作成)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

新しい資産証明書スケジュールフォームを作成

フィールド	説明
証明書スケジュールの詳細	
スケジュール番号	証明書スケジュールの一意の識別子。
スケジュール名	資産証明書スケジュールの名前。
頻度 (日数)	資産証明書スケジュールで資産証明書を作成する必要がある頻度 (日数)。
ステータス	資産証明書スケジュールのステータス。
スケジュー	資産証明書を作成するために証明書スケジュールを初めて処理する必要がある日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ル開始日	注: スケジュール開始日は少なくとも現在の日付で、過去の日付 はできません 。
スケジュール終了日	資産証明書を作成するために証明書スケジュールを最後に処理する必要がある日付。 注: スケジュール終了日はスケジュール開始日より後にする必要があります。
要求者	証明書スケジュールを作成しているユーザー。
次回実行予定	次回証明書スケジュールの実行が予定されている日付。 このフィールドは、資産証明書スケジュールが正常に処理されて資産証明書が作成された後にのみ自動的に更新されます。また、このフィールドは [頻度 (日数)] フィールドの値に基づいて入力されます。たとえば、[スケジュール開始日] が 2024-01-01 に設定され、[頻度] が 10 に設定されている場合、次のイベントが発生します。 **a.** 資産証明書は 2024-01-01 に最初に作成されます。 **b.** [次回実行予定] フィールドは自動的に 2024-01-11 に設定されます。
モデルカテゴリ	証明書スケジュールが作成される資産のモデルカテゴリ。 注: 複数のモデルカテゴリを選択できます。ただし、選択できるのは、オプトインされていてライセンスを必要としないリソースカテゴリに属するモデルカテゴリのみです。
ユーザー基準	
フィルター	資産証明書要求を通じて資産を確認する必要がある従業員を選択する条件を設定します。たとえば、開発部門に属する従業員を選択する場合は、 部門 フィールドを 開発 に設定し、 設定 を選択します。
作業メモ	
作業メモ	資産証明書スケジュールに関連するコメント。

注:
フォームの次のフィールドは自動的に入力されます。

- スケジュール番号
- 状況
- 要求者
- 次回のスケジュール実行

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 資産証明書スケジュールは [準備完了] ステータスで作成されます。
- 要求が作成された後、[証明書] タブに証明書要求の詳細のリストが表示されます。
- 従業員センターポータルの [自分の資産] ページへのリンクを含むメール通知が、スケジュールされた証明書 日付 に資産を確認する必要がある従業員に送信されます。

次のタスク

でオープンな資産証明書を表示する ハードウェア資産ワークスペース.

ハードウェア資産の証明書を作成する

特定のシリアル化されたハードウェア資産の証明書を作成して検証します。

始める前に

必須ロール：資産または inventory_admin

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Asset Estate** (資産一覧).
2. [ハードウェア資産] タブを選択します。
3. 証明する資産を選択します。
4. 資産フォームで [その他のオプション] アイコン (•••) を選択します。
5. [証明書の作成] を選択します。
   資産の証明書が作成されます。
6. オプション: 資産証明書レコードの詳細を表示します。
   a. [資産運用] ビューに移動します。
   b. [証明書] リストから [証明書] を選択します。
   c. 証明書レコードを選択します 。

従業員センターポータルでアサインされた資産を確認する

従業員は、 従業員センター ポータルで自分にアサインされたシリアル化されたハードウェア資産の所有権を確認または拒否します。

始める前に

必要なロール:従業員としてログインします。

従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーに [自分の資産] オプションを表示するには、従業員センターメニューレコードの [追加オプション、JSON 形式] フィールドで **[enable_assets]** オプションの値を **true** に設定する必要があります。詳細については、「Enable or disable global header options」を参照してください。

注:
[自分の資産] オプションでは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 従業員センターポータルで自分にアサインされている資産を表示します。
   - 受信したメール通知の [資産を確認] リンクを選択します。

     リンクをクリックすると、従業員センターポータルの [自分の資産] ページが開きます。
   - 従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーで [自分の資産] を選択します。

     注:
     [自分の資産] オプションに表示される数字は、確認する必要がある資産の数を示します。
   - 従業員プロファイルから資産のリストを表示します。
     a. 従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーで [プロファイル] を選択します。
     b. [資産] タブを選択します。

   このページには、自分にアサインされたすべてのハードウェア資産と消耗資産が表示されます。ただし、確認できるのはオプトインされたシリアル化されたハードウェア資産のみです。
2. 確認するハードウェア資産で、[資産を確認] を選択します。
   資産の次の詳細を表示できます。
   - 表示名
   - Asset tag (資産タグ)
   - シリアル番号
   - 資産機能

   注:
   空のフィールドは、[資産を確認] ページに表示されません。
3. 「 この 資産?」という質問に対する回答を選択して、資産の所有権を確認または拒否します。
   - 資産があることを確認するには、[はい] を選択します。
   - 資産がないことを確認するには、[いいえ] を選択します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 資産 に [資産を確認] オプションは表示されなくなりました。
- 資産証明書フォームの資産の [証明書日] フィールドは、資産を確認した実際の日付で更新されます。
- その証明書に他のユーザーや資産が含まれていない場合にのみ、資産証明書の [ステータス] フィールドが [対応中] から [完了してクローズ] に変更されます。
- 資産証明書フォームの資産の [ステータス] フィールドは、確認に基づいて更新されます。
  - [はい] を選択すると、[ステータス] フィールドが [オープン] から [はい] に変わります。
  - [いいえ] を選択した場合、[ステータス] フィールドが [オープン] から [いいえ] に変わります。また、アドミニストレーターは調査を開始して資産を見つけることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Employee Center

従業員センターポータルで資産に関連する問題を提起する

従業員センターポータルで問題を報告して、資産に関連する問題を解決して解決します。

始める前に
必要なロール:従業員としてログインします。

従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーに [自分の資産] オプションを表示するには、従業員センターメニューレコードの [追加オプション、JSON 形式] フィールドで **[enable_assets]** オプションの値を **true** に設定する必要があります。詳細については、「Enable or disable global header options」を参照してください。

> **注:**
> [自分の資産] オプションでは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。

手順

1. 従業員センターポータルで自分にアサインされている資産を表示します。
   - 従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーで [自分の資産] を選択します。
   - 従業員プロファイルから資産のリストを表示します。
     a. 従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーで [プロファイル] を選択します。
     b. [資産] タブを選択します。

   このページには、自分に割り当てられているすべてのハードウェア資産と消耗資産が表示されます。
2. 問題を報告する資産の [問題を提起] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

問題を提起フォーム

フィールド	説明
場所	資産の場所の詳細。
影響を受けるのは誰ですか？	資産に関する問題の影響を受けるユーザーの名前。デフォルトでは、このフィールドにはログインユーザーの名前が自動的に入力されます。ただし、他のユーザーの代わりに問題を提起することはできます。
緊急度	問題に付与する優先度。デフォルトでは、このフィールドは **[3-** 低] に設定されています。その他の利用可能な値は次のとおりです。 ○ **1 -** 高 ○ **2 - Medium**
簡単な説明	資産に関連する問題に関する簡単な情報。このフィールドは必須です。
優先連絡方法	優先される通信モード。利用可能な連絡方法は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ メール ○ 電話 ○ セルフサービス ○ ウォークイン ○ チャットの ○ 仮想エージェント

4. オプション: [添付ファイルを追加] アイコン ( ) を選択して、問題に関連するドキュメントを添付します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
要求が正常に送信されました。

次のタスク
送信された要求を表示および追跡するには、従業員センターポータルのグローバルヘッダーナビゲーションバーで [自分の要求] を選択します。

シリアル化されたハードウェア資産の証明書の表示

シリアル化されたハードウェア資産に関連付けられたすべての証明書レコードを表示して、以前の資産証明書のステータスを確認します。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [ハードウェア資産] タブを選択します。
3. 証明書のリストを表示する資産を選択します。
4. 資産フォームのコンテキストサイドバーから、AssetLifeCycle アイコン ( ) を選択します。
すべての資産ライフサイクルイベントが表示されます。
5. 証明書カードで、レコードの表示 を選択します。
その資産に対して作成されたすべての証明書のリストが、次の詳細とともに表示されます。
   - 証明書番号
   - ステータス
   - ユーザー
   - 証明書日付

でオープンな資産証明書を表示する ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペースで従業員からのアクションを待機しているすべての資産証明書の詳細を取得します。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.
2. [概要] タブを選択します。
   [インベントリの概要] セクションの [オープン資産証明書] カードには、オープン中の証明書の数が表示されます。
3. [オープン状態の資産証明書] を選択して、従業員からのアクションが必要な証明書のリストを表示します。

タスクの結果
[ステータス] が [オープン] の資産証明書のリストが表示されます。

資産証明書のキャンセル

シリアル化された資産の所有権を検証する必要がなくなった場合は、資産証明書をキャンセルします。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

このタスクについて
[対応中] ステータスの資産証明書はキャンセルのみできます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [証明書] リストから [証明書] を選択します。
   [処理中]、[完了してクローズ]、または [キャンセル] ステータスのすべての資産証明書のリストが表示されます。
3. [処理中] ステータスの証明書レコードを選択します。
4. [証明書をキャンセル] を選択します。
5. [確認] ダイアログボックスで [はい] を選択します。

タスクの結果

- 資産証明書のステータスが [キャンセル] に変わります。
- 従業員の変更によって確認されていない資産証明書の [オープン] から [キャンセル] への資産のステータス。

証明書スケジュールのキャンセル

繰り返しの資産証明書を作成する必要がなくなった場合は、証明書スケジュールをキャンセルします。

始める前に
必須ロール：資産または inventory_admin

このタスクについて
[準備完了] または [処理中] ステータスの資産証明書スケジュールのみキャンセルできます。証明書スケジュールをキャンセルしても、[対応中] ステータスの関連する資産証明書はキャンセルされません。ただし、新しい資産証明書は作成されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [証明書] リストから [スケジュール] を選択します。
   [準備完了]、[処理中]、[完了してクローズ]、または [キャンセル] ステータスのすべての証明書スケジュールのリストが表示されます。
3. [準備完了] または [処理中] ステータスの証明書スケジュールレコードを選択します。
4. [スケジュールのキャンセル] を選択します。
5. [確認] ダイアログボックスで、[はい] を選択します。

タスクの結果
証明書スケジュールのステータスが [キャンセル] に変わります。

HAM フローに関連するディシジョンテーブルを更新

関連する ハードウェア資産管理 (HAM) フローのディシジョンテーブルを更新して、新規またはカスタマイズされた HAM フローをトリガーします。

始める前に
必要なロール：admin、decision_table_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > ディシジョンテーブル.
2. 更新するディシジョンテーブルを開きます。
3. フローページで、[ディシジョンテーブル] セクションの [追加] アイコン ( ) を選択します。
4. **[Add condition column** (条件列の追加)] を選択します。
5. [新しい条件列 (NEW CONDITION COLUMN)] ダイアログボックスで、フローをトリガーする条件に従って条件を入力します。
6. **[Done** (完了)] を選択します。
   新しい行が作成され、条件が [ディシジョンテーブル] セクションに表示されます。
7. [フロー] 列で、作成したフローを選択します。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。
9. 意思決定 (sys_decision_question) テーブルに移動し、更新した更新済みディシジョンテーブルを検索します。
10. [順序] フィールドを 100 未満の値で更新します。

ハードウェア資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、ハードウェア資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと ハードウェア資産管理

ドメインセパレーションは ハードウェア資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：拡張

- **Basic** および **Standard** レベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

製品でのドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはソフトウェアおよびハードウェア資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できます。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理する大規模な組織にも適しています。

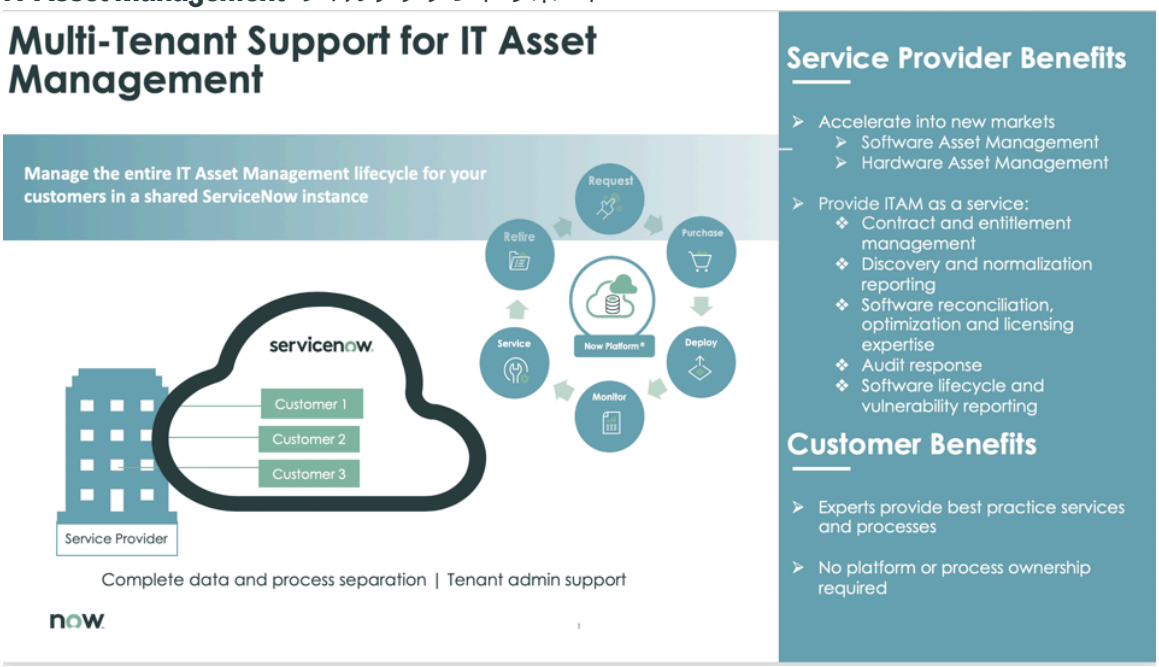
ハードウェア資産管理におけるドメインセパレーションの仕組み

HAM では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用されるシステムプロパティは 2 つあります。Paris リリースでは、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードをカスタマイズしない ことをお勧めします 。

IT Asset Management のマルチテナントサポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – Domain Support (com.snc.pa.domain_support)
- HAMP (ストアアプリ)

詳細については、「ドメインセパレーションの説明」、「クエリとドメインアクセスを含む」、および「デフォルトドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

資産管理 プロセスの例

資産を管理するための最良の方法は、ビジネスニーズとビジネスの編成方法によって異なります。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

これらの手順は、資産管理 を開始するにあたり実施できるプロセスの一例です。

手順

1. システム内の資産を明確にします。

   資産管理の重要な要素は、所有物に対する初期または継続的な棚卸しや検出です。ServiceNowプラットフォームは、資産検出を行うための以下のオプションを提供します。

   - 独立した強力なディスカバリーツール。
   - SMS、Tally NetCensus、LanDesk など、すでに展開しているディスカバリーテクノロジーの使用を希望する組織には、ServiceNowが Web サービスを介して各テクノロジーへの統合をサポートできます。スキャン済みデータを 構成管理データベース (CMDB) に直接マップできます。

2. CMDB の情報をクリーンアップします。
   過去の情報や無効な情報を削除します。残りのすべての情報が正確かつ完全であることを確認し、必要な情報を追加します。
3. コンピューター、サーバー、プリンター、ソフトウェアなど資産モデルのカテゴリを作成します。
4. 資産モデルを作成します。
   モデルとは、MacBook Pro 17" など、特定のバージョンや資産のさまざまな構成のことです。
5. ハードウェア、消耗品、ソフトウェア ライセンスなど個々の資産を作成します。
   ディスカバリーツールを使用した場合、すでに多くの資産が正確に特定されているはずです。
6. ソフトウェア ライセンスのカウント、在庫のある資産の表示、資産状況とサブステートの設定、未割り当てのソフトウェアの分析によって、資産を管理します。

ハードウェア資産管理 のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、 ハードウェア資産管理 (HAM) が変わらず正常に動作するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理クイックスタートテストは、ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションを ServiceNow Store からインストールするときに利用できます 。

ハードウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
HAM - ハードウェア正規化	正規化されたメーカー、製品、およびモデルに基づいて、さまざまな正規化ステータス値を検証します。	Orlando
HAM - ハードウェア資産処分ワークフロー	資産処分ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産展開の自動化ワークフロー	資産展開ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産スワップワークフローの自動化	資産の交換/スワップワークフローを検証します。 注: デモデータが必要です。	Paris
HAM - 標準ハードウェア資産要求フロー	ハードウェア資産管理 アプリケーションの一部である標準ハードウェア資産要求フローを検証します。	Paris
HAM - ハードウェア資産のリフレッシュフロー	資産リフレッシュワークフローを検証します。	Quebec
HAM - 貸与資産の割り当てフロー	貸与資産ワークフローを検証します。	Quebec
HAM - リース契約資産有効期限	リース契約資産有効期限のエンドツーエンドワークフローを検証し、リース契約の対象となる資産の返却または延長を実行します。	Quebec
HAM - 資産 RMA フロー	インベントリユーザーで資産返品許可 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM：資産 RMA フロー (SP)	サービスポータルからの資産返品承認 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM - リース資産の返却	インベントリアドミンユーザーで貸与資産割り当てワークフローを検証します。	Rome
HAM - 契約更改フロー	契約マネージャーユーザーとの契約更改フローを検証します。	Tokyo

関連情報

クイックスタートテスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ストックルーム タイプ

ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。

ストックルーム タイプには大きな特徴が 2 点あります。

- 優先順位：部品を調達するストックルームの順序。たとえば、個人用のストックルーム (優先度 2) に必要な部品がある場合、個人用のストックルームは配達が必要ないため、セントラルストックルーム (優先度 7) よりも優先されます。
- 出荷が必要：部品が既定のタイプのストックルームから調達されている場合、転送注文を作成する必要があるかどうかをシステムに通知します。たとえば、個人用のストックルームの部品は出荷が必要ではないため、転送注文は必要ありません。

ベース システムで定義されているストックルーム タイプ

値	名前	優先度	出荷が必要	説明	コメント
on_site	現地	1	False	顧客サイトのストックルーム。	ユーザーに近く、出荷は必要ありません。
field_agent	フィールドエージェント	2	False	フィールドサービスエージェント (Field Service Agent, FSA) に直接リンクした、配送に使用される仮想の個人用ストックルーム。	部品は配送済みで FSA にあることをシステムに示すために使用されます。
fsl	FSL	4	True	即時出荷場所。	部品が通常一晩の配送で出荷できる小さなストックルームです。
pudo	PUDO	5	True	回収/納品場所	このタイプは「バイボックス」と呼ばれることもあります。新しい部品や返品部品を受け取れる郵便箱 (主要顧客サイトの近くにあることが多い) にすることができます。
stockroom	倉庫	6	True		地域のストックルーム。
central_stockroom	中央倉庫	7	true		通常ほとんどの部品が出荷される大規模施設であるセントラルストックルーム。

モデル管理とともにインストール

いくつかのタイプのコンポーネントがモデル管理とともにインストールされています。

デモ データはモデル管理で利用できます。

モデル管理とともにインストールされるビジネスルール

モデル管理では、多数のビジネスルールを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
ライセンス タイプがなければアクションを中止	[cmdb_software_product_model]	ライセンス タイプ (カウンターで処理できないライセンス タイプ グループではない) が選択されていることを確認します。
display_name の計算	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかのフィールド値が変更されたときに [表示名] フィールドを設定します：[メーカー]、[名前]、[バージョン]、[エディション]。表示名は、*glide.cmdb_model.display_name.shorten* プロパティが **true** に設定されているか、**false** に設定されているかに応じて異なります。
日付検証	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[開始日] が[終了日] より前であることを確認します。
CI ルールの適用	[cmdb_model_category]	消耗品またはソフトウェア ライセンスとして資産を追跡するカテゴリに CI クラスがないことを確認します。
作成時に親としてフラグを立てる	[cmdb_m2m_model_component]	コンポーネントをバンドルとして持つモデルにフラグを立てます。
ライセンス タイプ - フル ネーム	[cmdb_sw_license_calculation]	ライセンス タイプのフル ネームを計算します。
ライセンスの検証	ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	ソフトウェアのアップグレードとダウングレードが重複しないように、また同一のライセンスで重複したアップグレードやダウングレードが発生しないようにします。また、[アップグレード (親)] と[ダウングレード (子)] フィールドの両方が必須であり、[ライセンス] フィールドが空欄でない場合、[アップグレード (親)] または [ダウングレード (子)] のどちらかは license.model と等しくなければならないことを確認します。
cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	CI クラスが作成後に変更されないようにします。
挿入時に cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	選択した CI クラスにすでに別のカテゴリが存在する場合、カテゴリの作成を禁止します。
契約の保護	[cmdb_model_category]	[契約モデル カテゴリ] レコードの変更を防止します。
親のメイン コンポーネントのリンク設定	[cmdb_m2m_model_component]	バンドル コンポーネントがメイン コンポーネントとして選択されている場合、バンドルからコンポーネントへの読み取り専用の参照を設定します。
前回削除時に親のフラグを解除する	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルから最後のコンポーネントが削除される際、モデルからバンドルのフラグを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
モデル カテゴリのアップデート	cmdb_ci	モデルが CI のモデル カテゴリに関連付けられていない場合、関連付けられているモデルのモデル カテゴリを更新します。
作成前にレコードを検証	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルにコンポーネントの追加を試みる際、バンドル内にコンポーネントが存在しないことを確認します。

モデル管理でインストールされたクライアントスクリプト

モデル管理には多数のクライアントスクリプトが含まれています。

名前	テーブル	説明
ライセンスに合致しないモデルのクリアー	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[ライセンス] フィールドがライセンスに変更され、アップグレードまたはダウングレードのいずれのフィールドもライセンス モデルに一致しない場合、[アップグレード (親)] と [ダウングレード (子)] フィールドをクリアーします。
資産クラスに基づく制約	[cmdb_model_category]	カテゴリの資産クラスに基づいてバンドル オプションを有効/無効にします。
必要に応じてセクションを非表示にする	[cmdb_model]	特定のモデルとの関連に応じてセクションを表示/非表示にします。
model_category の変更	[cmdb_model]	同じモデル (クライアント部分) によって参照される複数のカテゴリ間でのクラスの互換性を確認します。
ライセンスからダウングレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	アップグレードが選択されたときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにダウングレード (子) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみダウングレードの設定を行います。
ライセンスからアップグレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	ダウングレードが選択されているときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにアップグレード (親) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみアップグレードの設定を行います。

モデル管理でインストールされたプロパティ

モデル管理には、プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* が含まれます。

名前	説明
glide.cmdb_model.display_name.shorten	**[True]** に設定すると、メーカー名の重複を排除してモデルの表示名を短くします。メーカーに**Spotify** と設定され、名前が**Spotify Premium** と設定されたモデルについて考慮してみましょう。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[表示名] フィールドはプロパティの設定に基づいて次のように設定されます。 • False：表示名は「Spotify Spotify Premium」となる • True：表示名は「Spotify Premium」となる ソフトウェアモデルであれば、エディションとバージョンが指定されていれば名前にも含まれます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：False • 場所：システム プロパティ [sys_properties] テーブル

モデル管理とともにインストールされたスクリプトインクルード

モデル管理にはスクリプトインクルードが含まれています。

名前	説明
ModelAndCategoryFilters	クラスに基づいてモデルやモデル カテゴリの参照修飾子を絞り込みます。
ModelCategoryCheck	同じモデルによって参照される複数のカテゴリー間のクラスの互換性を確保します。

モデル管理とともにインストールされたテーブル

モデル管理には多数のテーブルが含まれています。

テーブル	説明
アプリケーション モデル [cmdb_application_product_model]	ソフトウェア アプリケーション製品の記述に使用されるモデルを格納します。
消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	消耗品モデルについて説明します。
契約モデル [cmdb_contract_product_model]	すべての契約モデルを格納します。
減価償却 [cmdb_depreciation]	資産の原価償却パターンを格納します。
ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	ハードウェア製品のモデルについて説明します。
モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	資産、消耗品、製品バンドル、構成アイテムのグループを定義します。
モデルの互換性 [cmdb_m2m_model_compatibility]	互いに互換性を持つ 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
モデル コンポーネント [cmdb_m2m_model_component]	バンドルを形成することを示す 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
製品モデル [cmdb_model]	あらゆる種類の製品モデルについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソフトウェア ライセンス計算 [cmdb_sw_license_calculation]	よく使用されるソフトウェア ライセンス パターンを定義します。
ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	ソフトウェア製品モデルについて説明します。
ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model	ソフトウェア スイートの要素を定義する 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	あるモデルに対してライセンス供与されていることにより、他のモデルにも権限が付与されることを示す 2 つのモデル間の多対多の関係が格納されます。

モデル管理とともにインストールされた **UI** ポリシー

モデル管理には UI ポリシーが含まれています。

名前	テーブル	説明
未確認を非表示にする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[資産クラス] と **[CI** クラス] フィールドが空欄出ない場合、**[CI** 検証を強制] フィールドが表示されます。
[契約] と [作業] のフィールドをロックする [契約] のフィールドをロックする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[名前] が [契約]、[作業オーダー]、[作業タスク] のいずれかである場合、モデル カテゴリー フォームのすべてのフィールドを読み取り専用に設定します。
モデル カテゴリの保護	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかの値が含まれている場合、[モデル カテゴリー] フィールドを必須かつ読み取り専用にします：ソフトウェア ライセンス、契約、作業オーダー、作業タスク。
Oracle であれば表示をオプションにする	ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	選択した [メーカー] の名前が **Oracle** から始まる場合、[オプションです] フィールドが表示されます。

モデル管理とともにインストールされたユーザーロール

モデル管理にはユーザーロールが含まれます。

ロール	ロールを含む	説明
category_manager	モデルマネージャー	モデル カテゴリの作成、編集、削除を行えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	ロールを含む	説明
model_manager	なし	新規の CMDB モデルを作成できます。モデル マネージャー ロールは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品のいずれかではないベースモデルやモデル拡張を制御できます。ハードウェア モデルと消耗品モデルは、資産マネージャー (asset) ロールによって制御されます。ソフトウェア モデルは、ソフトウェア資産マネージャー (sam) ロールによって制御されます。

資産管理とともにインストールされる内容

資産管理には、いくつかのテーブル、ユーザーロール、UI ポリシー、スクリプトインクルード、クライアントスクリプト、ビジネスルールがインストールされています。

デモ データは資産管理で利用できます。デモデータは、ユーザー、資産、個々の倉庫などの情報を提供します。

テーブル

資産管理 には以下のテーブルが含まれます。

資産管理 テーブル

テーブル	説明
資産 [alm_asset]	資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
資産エンタイトルメント [alm_entitlement_asset]	ServiceNowで [資産エンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。
消耗品 [alm_consumable]	消耗資産 (以前は部品と呼ばれていたもの) に関するデータを格納します。
デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	ユーザーとデフォルトのストックルームとの関係を格納します。
固定資産 [alm_fixed_assets]	複数の資産を保持できるコンテナーである固定資産を格納します。
固定資産と資産 [m2m_fixed_asset_to_asset]	固定資産と資産の間の関連を格納します。
ハードウェア [alm_hardware]	ハードウェア資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	ユーザーやマシンがソフトウェアライセンスを使用することを許可するエンタイトルメントを格納します。
ソフトウェアライセンス [alm_license]	ソフトウェアライセンス資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
在庫ルール [alm_stock_rule]	指定した資産が設定したしきい値を下回ったときに、在庫を転送したり通知メールを資産アドミニストレーターに送信したりします。
ストックルーム [alm_stockroom]	ストックルームに関する情報を格納します。
ストックルーム モデル [alm_m2m_stockroom_model]	ストックルームに保管されたすべてのモデルを追跡します。このテーブルには自動的に値が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 テーブル (続く)

テーブル	説明
ストックルーム タイプ [alm_stockroom_type]	ストックルーム タイプに関する一般情報を格納します。
転送注文 [alm_transfer_order]	状態やストックルームを含む転送注文に関するデータが含まれています。 注: inventory_user、asset、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。
転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文で出荷される個々の資産に関するデータが含まれています。
ユーザーエンタイトルメント [alm_entitlement_user]	ServiceNowで [ユーザーエンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。

ユーザーロール

資産管理 には、次のユーザーロールが含まれます。

資産管理 ユーザーロール

ロール	含まれるロール	タスク
asset (資産マネージャー)	• カテゴリマネージャー • 契約マネージャー • 財務管理ユーザー • インベントリユーザー • 調達ユーザー	• ハードウェアと消耗資産 ([alm_hardware] と [alm_consumable]) を管理します。 • 資産マネージャーは、自動的に作成や更新される資産レコードの編集を行えませんが、必要に応じて資産レコードの読み取りや削除はできます。 • 要求を作成します。 • 在庫情報の作成と削除を行います。 • 要求、発注書 (PO)、および基本システムカタログタスクにアクセスします。
inventory_admin	インベントリユーザー	• 在庫情報の作成と削除を行います。 • 在庫ルール、倉庫、倉庫タイプを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ユーザーロール (続く)

ロール	含まれるロール	タスク
inventory_user	なし	• 在庫情報にアクセスします。 • 転送注文を作成および管理します。
sam	• 契約マネージャー • モデルマネージャー • 財務管理ユーザー	• ソフトウェアライセンスを作成、編集、変更、管理します。 • ディスカバリーモデルとソフトウェアインストールの [ソフトウェアモデル] フィールドを編集します。 • モデルを承認します。ソフトウェア資産管理アプリケーションのフルコントロールが行えます。 • ソフトウェア資産管理 IBM PVU プロセスパック (有効の場合) を制御します。

UI ポリシー

資産管理 には、次の UI ポリシーが含まれます。

資産管理 UI ポリシー

名前	テーブル	説明
資産管理番号とシリアル番号を非表示にする	[alm_asset]	資産が割り当てられていて数量が 1 より大きい場合、資産管理番号を非表示にします。
ストックルーム再補充のストックルーム (親) を表示/非表示	[alm_stock_rule]	[再補充] オプションフィールドが [ストックルーム] に設定されている場合のみ、[ストックルーム (親)] フィールドが表示されます。
[割り当て先] と [担当者] を必須にします。	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドと [担当者] フィールドを必須にします。
サブステータスを必須でない場合読み取り専用にする	[alm_asset]	[状態] が [注文済み]、[使用中]、[消費済み]、[メンテナンス中] のいずれかの場合、[サブステータス] を読み取り専用に設定します。
モデル バンドル フィールドを UI ポリシー条件の目的で非表示だが存在する	[alm_asset]	モデル バンドル フィールドを非表示にします。UI ポリシーとクライアントスクリプトでのみ使用するページには存在します。
事前割り当ての制約	[alm_asset]	資産が割り当てられる際、不要なフィールドや関連リストを非表示にします。
モデルとカテゴリ資産を認定し、バンドルではない場合のみ、数量は読み取り専用です。	[alm_asset]	消耗品、ソフトウェア、事前に割り当てられていない資産の [数量] フィールドを読み取り専用に設定します。モデルまたはモデル カテゴリフィールドが空欄の場合、数量は読み取り専用です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 **UI** ポリシー (続く)

名前	テーブル	説明
「担当者」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかではない場合、[担当者] フィールドが表示されます。
「予約目的」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかの場合、[予約目的] フィールドが表示されます。
「ストックルーム」を表示	[alm_asset]	次のいずれかの条件に該当する場合、[ストックルーム] フィールドを表示します。 • [ステータス] フィールドが [在庫あり] で、サブステートが [割り当て済み] ではない。 • サブステートが [割り当て済み] で、親が空欄。

スクリプトインクルード

資産管理 には、次のスクリプトインクルードが含まれます。

資産管理 のスクリプトインクルード

名前	説明
AssetandCI	資産レコードと CI レコードの関係を作成、管理するためのコード。
AssetAndCisynchronizer	資産レコードと CI レコードの同期コード。
AssetUtils	資産管理のためのユーティリティ機能。また、ライセンスがマージ可能かどうかを確認し、要件が満たされた場合にライセンスをマージします。
AssetUtilsAJAX	資産管理のための AJAX ベースのユーティリティ機能。クライアント サイドの UI アクションから AssetUtils スクリプトインクルードを呼び出します。
消耗品	消耗品を変更 (たとえば、消費、分割、結合) するためのコード。
FixedAssetUtils	固定資産の積上げ型原価計算の方法。
PortalFilters	[自分の資産] ポータルで使用されるフィルター。
PreAllocatedAssets	事前に割り当てられた資産を変更するコード。
StockRuleFilters	在庫ルールの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
StockRuleTransfer	在庫ルールが発動されるときの転送注文の作成コード。
TransferOrderDateTimeAjax	転送注文の日付の比較ユーティリティ。
TransferOrderFilters	転送注文の参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderFinder	転送注文 ラインの情報を挿入する適切な転送注文を検索。
TransferOrderHelper	転送注文に複数の転送注文 ラインがあるかどうかをチェックする機能。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 のスクリプトインクルード (続く)

名前	説明
TransferOrderLineFilters	転送注文 ラインの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderReceiver	転送注文 ラインを受領するコード。
TransferOrderReturn	転送注文 ラインを返品するコード。
TransferOrderStageHandler	転送注文のステージと転送注文 ラインのステージを変更するためのコード。
TransferOrderStageHelper	転送注文と転送注文 ラインの数値的なステージを取得するヘルパーメソッド。

クライアントスクリプト

資産管理 には、次のクライアントスクリプトが含まれます。

資産管理 クライアントスクリプト

名前	テーブル	説明
サブ状態を修正する	[alm_asset]	[状態] フィールドが変更されたときに、[サブステータス] フィールドを更新します。
数量がマイナスになっていないことを確認する	[alm_asset]	1 より小さい値に設定すると、[数量] フィールドがクリアーされます。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_consumable]	消耗品資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラー メッセージも表示します。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_license]	ライセンス資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラーメッセージも表示します。
allocated_toの無効化	[alm_entitlement]	[担当者] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [割り当て先] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [担当者] フィールドを必須にする。
assigned_toの無効化	[alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [担当者] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [割り当て先] フィールドを必須にする。
残存価額は原価よりも低く	[alm_asset]	資産の原価よりも高い残存価額が入力された場合に警告を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 クライアントスクリプト (続く)

名前	テーブル	説明
なければならない		
[資産] の [コスト] を設定する	[alm_asset]	[モデル] フィールドが設定されている場合は、[コスト] フィールドに値を入力します。
担当者から Loc/CC/Dep/Com を設定する	[alm_asset]	[アサイン先] フィールドが設定されている際、[場所]、[コストセンター]、[部門]、[会社] フィールドに値を入力します。
ストックルームから [場所] を設定する	[alm_asset]	[ストックルーム] フィールドが設定されている際、[事業所] フィールドに入力します。
[ストックルーム] から [配送元の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送元ストックルーム] フィールドが設定されている際、[配送元の場所] フィールドに値を入力します。
資産に基いた [モデル] と [数量] を更新する	[alm_transfer_order_line]	[資産] フィールドが設定されている際、[モデル] フィールドに値を入力します。資産が割り当て済み資産の場合、このクライアント スクリプトを [数量] フィールドにも入力します。
[ストックルーム] から [配送先の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送先ストックルーム] フィールドが設定されている場合は、[配送先の場所] フィールドに値を入力します。
ロードとモデル チェンジの UI を更新する	[alm_transfer_order_line]	転送注文ラインフォームがロードされる際、およびモデルが選択される際、チェックを実行してユーザーインターフェイスが更新されます。
[配送期日] を検証する	[alm_transfer_order]	納期が未来日付であることを検証します。
在庫を確認する	[alm_transfer_order_line]	要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。
在庫を確認する (ストックルーム)	[alm_transfer_order_line]	[配送元のストックルーム] の値が変更された際、要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。

ビジネスルール

資産管理 には、次のビジネスルールが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール

名前	テーブル	説明
権限よりもライセンスを割り当てる	ソフトウェアライセンス [alm_license]	割り当てられたライセンスの数が権限の総数よりも多い場合は、ライセンスの作成や更新を防ぎます。
資産の廃止	資産 [alm_asset]	[担当者]、[ストックルーム]、[予約済み] の各フィールドをクリアーして、資産を廃止した時点の日付を設定します。
TOL 状態を自動的に変更する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫である場合、このビジネスルールは： • 転送注文 ラインの [状態] を [配送済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [予約済み] に設定します。 転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫でない場合、このビジネスルールは： • 転送注文の [ステージ] を [受領済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [保留中の転送] に設定します。
[挿入] にバンドル コンポーネントをビルドする	資産 [alm_asset]	作成された資産のモデルがバンドルの場合、バンドルに関連するコンポーネントの資産を作成します。
更新時に [担当者] をクリアーする	資産 [alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫有り]、[輸送中] のいずれかに変更された場合は、[担当者] フィールドをクリアーします。
事前割り当てに関係のないフィールドをクリアーする	資産 [alm_asset]	割り当て済み資産とは関係のないフィールドの値をクリアーします。
挿入時に [資産] を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	資産のない新規の構成アイテムが作成された際、相対する資産を作成します。
モデルの変更時に資産を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	[モデル ID] フィールドが変更された際に新しく関連した資産を作成します。
挿入時にCI を作成する	資産 [alm_asset]	構成アイテムのない新規の資産が作成された際に相対する構成アイテムを作成します。
[ストックルーム モデル関係] を作成する	資産 [alm_asset]	資産が作成または更新された際、[倉庫モデル] テーブルにモデルを保持する倉庫を示すレコードを作成します (存在しない場合)。
すべての転送注文ラインを削除する	転送注文 [alm_transfer_order]	転送注文が削除されると、すべての関連する転送注文 ラインが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
エンタイトルメントが権限を超えないようにする	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントが作成される際、関連するライセンスのエンタイトルメント総数がライセンスによって与えられた権限の数を超えないことを確認します。
GenerateAssets	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	スケジュール設定済みスクリプト ジョブを実行して、構成アイテムのために資産を作成します。
親から継承する情報	資産 [alm_asset]	新しい親を資産に割り当てる際、資産に親の値を割り当てます。
ベンダー向けの管理されたストックルーム	在庫ルール [alm_stock_rule]	ベンダー補充の在庫ルールによって倉庫が選択され、その倉庫に使用可能なメールアドレスを持つアドミニストレーターがいることを確認します。
割り当て先または担当者の権限	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドか [担当者] フィールドのいずれかの値を必須にします。
レコードを結合する	消耗品 [alm_consumable]	一致するフィールドを持ち [輸送中] ではない消耗品を、合計数を含んだ 1 つのレコードに結合します。
挿入と滞留時に資産を無効化する	構成アイテム [cmdb_ci]	フィールドに CI を持つ資産が含まれている場合、挿入時に [資産] フィールドをクリアします。
挿入と滞留時に CI を無効化する	資産 [alm_asset]	既存の CI に対して挿入が実行される場合、資産フィールドを無効にして CI の新規資産を作成します。
フィールドに予約済み	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインに関連する要求ラインがある場合、このビジネスルールによって関連する資産の [予約目的] フィールドに要求ラインからの適切な情報を入力します。
資産/消耗品の状態を移動させる	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインが別のステータスに移動する際、現在の転送ステータスを反映するように相対する資産を変更します。
TOL キャンセル/削除時の資産を解放する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	[ドラフト] 状況の転送注文 ラインがキャンセルまたは削除されたときに、相対する資産を在庫に戻し、部品要件を取り消します。
TOL のキャンセルを [配送先] へロールアップする	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文 ラインがキャンセルされたことを相対する転送注文に通知します。
処分価額は原価よりも低くなければならない	資産 [alm_asset]	残存価額がコストよりも多い場合は、資産レコードの保存を防止します。
事前割り当ての健全性チェック	資産 [alm_asset]	事前割り当て条件を満たしていない場合、割り当て済み資産の作成または更新を防止します。
クラスを設定する	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントがアサインされている、または割り当てられているかによって、このエンタイトルメントのクラスを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
転送注文タイプの設定	転送注文 [alm_transfer_order]	関連するサービスオーダータスクまたは作業指示タスクがあるかどうかによって、転送注文のタイプを設定します。
モデル カテゴリを同期する	製品モデル [cmdb_model]	モデルカテゴリが変更されると、このビジネスルールによって、モデルに関連付けられた構成アイテムに対してこれまで存在していない場合に資産を作成します。
転送注文在庫ルール	転送注文 [alm_transfer_order]	転送注文に複数の転送注文 ラインが含まれている場合、[配送元のストックルーム] フィールドが変更されないようにします。
予約済みからアサイン済みへの変更	資産 [alm_asset]	資産が適切な状態にあるときに、[担当者] フィールドに [予約済み] フィールドの値を入力します。
情報をコンポーネントに細分化する	資産 [alm_asset]	資産レコードの変更を反映するために、資産のコンポーネントを更新します。
変更時に資産フィールドを更新	構成アイテム [cmdb_ci]	構成アイテムフォームでの変更によって、相対する資産フォームで同じ更新がトリガーされるようにフィールドを同期し、一貫性のあるレポートを確実に作成します。資産フォームでステータスを更新する必要があります。
変更時に CI フィールドを更新	資産 [alm_asset]	フィールドを同期させ、資産フォームで行った変更が相対する構成アイテム フォームで同じ更新を発動させて一貫性のあるレポートを確実に作成します。
必要に応じて場所を更新する	資産 [alm_asset]	資産が新しいストックルームに設定されている場合、または新しいユーザーに割り当てられている場合は、資産の場所を更新します。
フィールド エージェントタイプの検証	ストックルーム [alm_stockroom]	作業管理またはフィールドサービス管理 (FSM) がアクティブ化されていない段階で [フィールドエージェント] タイプの倉庫が作成されないようにします。ユーザー 1 人につき個人のストックルームは 1 つしか使用できません。
TOL を検証し使用可能かどうかを確認する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインの変更を検証し、指定の倉庫で転送される資産の在庫状況を確認します。
転送注文を検証する	転送注文 [alm_transfer_order]	[配送期日] が現在よりも早い日付で設定されていないことを確認します。
一意のユーザーを検証する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	同一のユーザーで複数のレコードを作成しないようにします。
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
フィールド エージェントでないことを確認する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	選択したデフォルトの倉庫が [フィールドエージェント] タイプでないことを確認します。

ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) が、 sn_hamp プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロールタイトル	説明	含まれるロール
ham_admin	コンテンツサービスのオプトイン機能を含む、ハードウェア資産管理 アプリケーションの各機能へのフルアクセスを付与します。このロールはハードウェア資産管理に使用されます。	• inventory_admin • catalog_manager • report_user • sn_hamp.ham_user • 資産 • procurement_admin
sn_hamp.ham_user	ハードウェア資産とレポートを管理します。	資産

インストールされるスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
HAM - コンテンツアップロード	正規化されたハードウェアモデルを公開します。
HAM:日次ジョブ	各モデルカテゴリのハードウェアと消耗品モデルの数、モデルのアクティブなライフサイクルフェーズを計算し、クライアントスケジュールのプル時間を設定します。
HAM - ハードウェアライフサイクル	ハードウェアライフサイクルを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
HAM - ハードウェア正規化	ハードウェアと消耗品のモデルを正規化します。
HAM:貸与資産のオーダー割り当て	資産を貸与資産のオーダーに割り当てます。
HAM:ライセンスデータを入力	ライセンスの詳細を入力します。
HAMP - コンテンツファイルマネージャー	ジョブは [ハードウェアライブラリを管理] からトリガーされます。
1 年以上経過した資産または 1 万件を超える資産を持つ資産監査の消去	古い資産監査レコードまたは 10,000 件を超える資産を含む資産監査を削除します。
[PA ハム]日次収集ジョブ	さまざまなパラメーターのスコアを収集する日次ジョブ。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
バンドル [alm_bundle]	バンドル資産の詳細。
資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	資産監査の詳細。
ハードウェア資産再利用ライン [sn_hamp_asset_reclaim_line]	再利用資産ごとに作成されたハードウェア資産再利用ラインの詳細。
ハードウェア資産再利用タスク [sn_hamp_asset_reclaim_task]	各ハードウェア資産再利用ラインに対して作成されたタスクの詳細。
資産 RMA タスク [sn_hamp_asset_rma_task]	RMA 資産タスクレコードのリスト。
ハードウェア資産構成 [sn_hamp_configuration]	ハードウェア資産管理の構成レコード。
HAM コンテンツ監査 [sn_hamp_content_audit]	変更されたコンテンツ値の詳細。
カスタムデバイスタイプ	カスタムハードウェアデバイスタイプレコードのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_hamp_custom_hw_device_type]	
カスタムハードウェアメーカー [sn_hamp_custom_hw_manufacturer]	カスタムハードウェアデバイスのメーカーレコードリスト。
カスタムハードウェア製品 [sn_hamp_custom_hw_product]	カスタムハードウェア製品レコードのリスト。
カスタムハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_custom_hw_prod_model]	カスタムハードウェアモデルライブラリレコードのリスト。
ハードウェア廃棄注文 [sn_hamp_hardware_disposal]	ハードウェア廃棄注文レコードリスト。
ハードウェア廃棄タスク [sn_hamp_hw_asset_disposal_task]	ハードウェア廃棄注文フローに関連するタスクの詳細。
デバイスタイプ [sn_hamp_hw_device_type]	ハードウェアデバイスタイプレコードのリスト。 **重要:** このテーブルのレコードは変更しないでください。
ハードウェアメーカー [sn_hamp_hw_manufacturer]	ハードウェアデバイスのメーカーレコードリスト。
ハードウェア正規化マップ [sn_hamp_hw_normalization_map]	ハードウェア製品やハードウェア製品モデル ID などの製品の詳細。
ハードウェア製品 [sn_hamp_hw_product]	製品の名前やデバイスのタイプなどの製品の詳細。
ハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_hw_product_model]	製品やモデル番号などの製品の詳細。
ハードウェア資産のリフレッシュライン [sn_hamp_hw_refresh_line]	ハードウェア資産のリフレッシュラインの詳細 (ステージ、要求アイテム、交換用モデル、交換用資産など)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
リフレッシュラインタスク [sn_hamp_hw_refresh_line_task]	ハードウェア資産のリフレッシュラインに関連付けられたリフレッシュラインタスクの詳細。
インポートステージング [sn_hamp_import_template]	資産とモデルレコードをインポートするためのテンプレート。
ハードウェアライフサイクル定義 [sn_hamp_lifecycle_definition]	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連する日付。
貸与資産のオーダー [sn_hamp_loaner_asset_order]	貸与資産のオーダーレコードリスト。
貸与資産タスク [sn_hamp_loaner_asset_task]	貸与資産のオーダータスクレコードのリスト。
スキャン済み資産に対する監査 [sn_hamp_m2m_audit_asset]	スキャンされた資産の監査レコードのリスト。
予定資産 [sn_hamp_m2m_hw_asset_disposal]	ハードウェア資産廃棄注文に含まれる資産の詳細。
交換用モデル [sn_hamp_m2m_ztr_replacement_model]	ゼロタッチでリフレッシュモデルの置換レコードのリスト。
ハードウェアライブラリを管理 [sn_hamp_manage_hw_library]	ハードウェアライブラリコンテンツインポートレコードのリスト。
モデルカテゴリ正規化のサマリー [sn_hamp_model_ctg_norm_summary]	モデルカテゴリの正規化のサマリー。
HAM リソースのカテゴリ [sn_hamp_resource_category]	各リソースカテゴリのサブスクリプションユニット率とその他のライセンス関連の詳細。
RMA 要求 [sn_hamp_rma_request]	RMA 要求レコードのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line]	RAM 要求の RMA 要求ラインレコードのリスト。
HAM 成功アクティビティ [sn_hamp_success_activity]	HAM 成功アクティビティレコードのリスト。
HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal]	HAM 成功目標レコードのリスト。
ゼロタッチでリフレッシュモデル [sn_hamp_ztr_refresh_model]	ゼロタッチでリフレッシュフローのリフレッシュモデルレコードの詳細。
ゼロタッチでリフレッシュ要求 [sn_hamp_ztr_request]	ゼロタッチでリフレッシュ要求レコードのリスト。
ゼロタッチでリフレッシュタスク [sn_hamp_ztr_task]	ゼロタッチでリフレッシュフローに関連付けられたタスクの詳細。
RFID 資産 [rfid_asset]	資産の RFID 情報を保存します。

自動翻訳

資産レコードフィールド

[ハードウェア資産の詳細] フォームのフィールドは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設の資産を作成するのに役立ちます。

フィールド	説明
表示名	レコードリストに表示される資産の名前。このフィールドは、[資産タグ] と [モデル] フィールドに基づいて資産を作成した時点で自動設定されます。
モデルカテゴリ	資産のモデルグループ化。資産は、選択したモデルカテゴリに基づいて構成アイテムにリンクされます。
モデル	資産の特定の製品モデル
構成アイテム	資産を作成すると、CI は自動的に作成されます。参照アイコンをポイントすると、資産レコードから継承された構成アイテムの詳細が表示されます。CI 値は次のように入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• デフォルトでは、CI 値は [モデル] フィールドに基づいています。 • 資産のモデルカテゴリが CI に関連付けられていて、[シリアル番号] フィールドが空でない場合、CI 値は [シリアル番号] および [モデル] フィールドの値に基づきます。 • 資産が [注文済み] ステータスで作成された場合、CI 値は [モデル] フィールドに基づきます。
数量	この資産が表すアイテムの数。これらのポイントの 1 つ以上が true でない限り、資産の数量は 1 になります。 • 資産が消耗品の場合、消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 資産が事前割り当て済みの場合、[モデルカテゴリ] と [モデル] の値が定義され、かつ [サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。
全般 資産の各タイプに対して、フィールドがすべて使用できるとは限りません。	
資産タグ	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
状況	注文済みや使用中など、資産の現在の状態。
Assigned to (アサイン先)	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは、[ステータス] が [使用中] の場合に表示されます。
倉庫	倉庫の名前。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。
通路とスペース	ストックルーム内の資産の通路とスペースの詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
管理担当者	資産を維持管理している人物。このフィールドは、[オーナー] フィールドと別の人物にすることも可能です。
オーナー	資産の財務的所有権を有している人物。このフィールドは、[管理担当者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
親	資産の親資産。たとえば、モニターや周辺機器の親資産をワークステーションにすることができます。親リンクが定義されると、割り当てに関連するフィールドと、子資産のステータスが読み取り専用に設定され、親の割り当てフィールドとステータスフィールドに基づいて自動入力されます。詳細については、「Bundled models」を参照してください。
資産機能	資産の機能。 使用可能な値は次のとおりです。 • プライマリ • セカンダリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 共有しました • 貸与 • アセットバンドル
クラス	資産グループ (例：ベース、ハードウェア、ライセンス、消耗品)。
コメント	資産に関する有用な情報。
シリアル番号	この資産のシリアル番号。
サブステート	資産の現在のサブステート。使用可能なサブステートの設定は、選択した [state (状態)] によって異なります。たとえば廃止状態には、サブステート オプション (廃棄済み、販売済み、寄贈済み、ベンダー クレジット) が含まれています。
ロケーション	資産の現在の物理的な場所。 **注:** ロケーションは、場所、フロア、建物、または敷地に設定できます。ロケーションを敷地以外のオプションに設定すると、資産フォームに [場所階層] セクションが表示されます。ロケーション階層には、指定されたロケーションとその親ロケーションの間の階層関係が表示されます。 次の基準を満たしている場合、資産フォームには、資産のリアルタイムロケーションを示すインタラクティブマップが表示されます。 • 場所が特定の場所に設定されます。 • 資産のインドアマッピング (com.sn_ima) アプリケーションを使用してインドアマップにアクセスします。このアプリケーションは、ハードウェア資産管理 とともに ServiceNow インスタンスにインストールされます。このアプリケーションは、 ServiceNow Store から明示的にインストールすることもできます。 • ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターが **true** に設定されている。 デフォルトでは、場所マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのコンテキストサイドバーにある場所マップ (。 除外された資産の場所マップは表示されません。
Department (部門)	この資産が属する部門。
会社	この資産が属する会社または組織。
アサイン日時	資産がユーザーにアサインされた日付。
インストール日時	資産が導入された日付。
場所階層 [場所階層] セクションは、ハードウェア、消耗品、バンドル、およびパレット資産でのみ使用できます。このセクションは、次の条件でのみ表示されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
• ServiceNow インスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターが **true** に設定されている場合 • 敷地以外の場所を選択した場合	
フロア	[ロケーション] フィールドで指定された場所があるフロア。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
建物/構造	フロアが属する建物。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所またはフロアを選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
敷地	建物がある敷地。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所、フロアまたは建物を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
財務 [財務] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、および施設資産に対してのみ利用できます。	
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
請求書番号	資産に関する請求が記載されている請求書。
コスト	資産が購入された価格。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。調達の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
開始日時	要求されたアイテムレコードが開かれた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
GL アカウント	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を持つグループ。
取得方法	資産を取得する方法。ベースシステムの選択肢は、 購入、 リース、 レンタル、自分の 資産の使用 、 ローンです。 調達の発注書 (PO) により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
支出タイプ	支出の種類。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
更新対象	
資産 TCO	資産の総所有コスト。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。 資産 TCO の詳細については、「 の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理」を参照してください。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルの事前定義されたベンチマークコスト。 **注:** このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達していることを識別する資産モデルコストのしきい値。ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1000 ドルに設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、ベンチマークしきい値を更新します。このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
TCO ベンチマークステータス	資産 TCO のステータス。 • 到達: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークコスト 値以上である場合、TCO ベンチマークステータスは [到達] と表示されます。 • 近づいています: 資産の **TCO**値が **TCO** ベンチマークコストを 下回り、 **TCO** ベンチマークしきい値 より大きい場合、TCO ベンチマークステータスは [近づいています] と表示されます。 • 未達: 資産の **TCO** 値が **TCO** ベンチマークしきい値 より小さい場合、TCO ベンチマークステータスは [近づいている] と表示されます。
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するためにベンダーが割り当てた注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
予定使用終了日	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
減価償却 [減価償却] セクションは、ハードウェアと施設資産でのみ利用できます。	
減価償却	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
減価償却開始日	指定された減価償却方法の開始日。
残存価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
経過日数	残余価値が計算された日付。
残余価値	資産の残余価値。
減価償却額	資産の減価償却済みの金額
契約 [契約] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、または施設資産でのみ利用できます。	
リース契約	資産に適用されているリース契約。
保証の有効期限	資産の保証期限。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リース有効期限	契約が期限切れになる日付。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
リース期間 (月)	リース契約が有効な期間 (月単位)。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
月次リース支払	契約に対して毎月支払う金額。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
サポートグループ	資産をカバーする契約を管理するグループ。
同種交換	リースに持ち込んだ資産ではなく、契約ベンダーに返却する類似の資産。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
サポート担当者	資産をカバーする契約を管理する人物。
アクティビティ	
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[アドミン]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。これらのフィールドの列はデフォルトで監査され、更新はすべて作業メモに記録されます。 • ハードウェア資産とソフトウェア資産の作業メモは、発注書 (PO) と転送注文による資産の受領の際に更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。
監査	
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行したユーザー。
証明書	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
証明書番号	資産証明書要求の一意の識別子。
外部審査者	資産を確認した従業員。
前回の証明書日付	資産が最後に証明された日付。
前回の証明書状況	資産の前回の証明書ステータス。 このフィールドには、次のいずれかの値を指定できます。 • はい:従業員が資産の所有権を確認しました。 • いいえ:従業員が資産の所有権を拒否した • キャンセル済み:従業員が資産を確認する前に資産証明書がキャンセルされました。 • 未完了でクローズ:従業員によってまだ確認されていない証明書が既にある資産に対して証明書が作成されると、既存の証明書は未完了でクローズされます。
モバイル [モバイル] セクションは、モバイルデバイスモデルカテゴリでのみ使用できます。 **注:** このセクションは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。	
配送業者	配送会社の名前。
所有権	資産の所有権。使用可能な値： • 従業員 • 企業
IMEI	モバイルデバイスを追跡するための一意の番号。
事前登録 ID	前回の監査を実行したユーザー。
MAC アドレス	モバイルデバイスの MAC アドレス。 **重要:** Yokohama リリース以降、このフィールドの値は、ハードウェア [mac_addr] テーブルの MAC アドレス [mac_address] フィールドではなく、資産 [alm_asset] テーブルの MAC アドレス [alm_hardware] フィールドに基づいて入力されます。 また、ハードウェア [alm_hardware] テーブルの MAC アドレス [mac_address] フィールドは、 Yokohama リリースで廃止されました。
登録 ID	現在の監査を実行するユーザー。
電話番号	モバイルデバイスに関連付けられた電話番号。
登録名	モバイルデバイスの登録名。
プラットフォーム	モバイルデバイスのプラットフォーム。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• Android • iOS • Windows • ChromeOS • その他
登録ステータス	デバイスの現在の登録ステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 登録済み • 登録解除 • 期限切れ • 登録待ち • 登録解除待ち
購入日	モバイルデバイスが購入された日付。
登録日	初回の登録日。
アップグレード対象日	モバイルデバイスがアップグレードの対象となる日付。
前回の登録	前回登録した日付。
サービス契約	モバイルデバイスに関連付けられた契約番号。
有効化されたデバイス	モバイルデバイスのアクティベーションステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • はい：モバイルデバイスはアクティブ化されています。 • いいえ：モバイルデバイスはアクティブ化されていません。
DaaS 注: このセクションは、DaaSアプリケーション (com.sn_daas_ham) のハードウェア資産管理がインストールされている場合にのみ表示されます。	
DaaS 資産	資産を DaaS 資産として選択するオプション。
DaaS アカウント	DaaS資産が関連付けられているアカウント。
関連リンク	
減価償却を計算	選択すると減価償却額と残存価額を計算します。
資産のみを削除	選択すると資産が削除され、関連付けられている CI は残ります。
関連リスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産	作成した資産に関連付けられている資産。
経費ライン	資産に関連付けられた経費ライン。
RMA	資産に関連付けられた返品承認。

消耗品モデルフィールド

[消耗品モデル] フォームと関連リストのフィールドの説明。

[消耗品] セクション

フィールド	説明
表示名	資産の名前とメーカーに依存するモデルの名前。
モデルカテゴリ	資産のモデルカテゴリ。カテゴリのタイプは、資産が CI にリンクされているかどうかによって異なります。
ステータス	資産の現在の状態。
Substate (サブステート)	資産の現在のサブステート。
倉庫	資産が在庫にある場合、資産が置かれている倉庫の名前。
数量	資産の数。

ベンダーカタログアイテム関連リスト

フィールド	説明
[Name (名前)]	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられた製品モデル。
在庫切れ	製品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	割引が適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク
Short Description (簡単な説明)	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテム。
UPC	製品のユニバーサルプロダクトコード (UPC)。
説明	製品の説明。
画像	製品の写真。
[Active (アクティブ)]	製品がアクティブかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
情報	
仕様	ベンダーからの製品仕様。
機能	ベンダーが提供する製品機能。

[消耗品モデルのライフサイクル] 関連リスト

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 • **End of Life** (提供終了)
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
説明	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
Risk	ライフサイクルに関連するリスク。
[Active (アクティブ)]	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示すオプション。

ハードウェアモデルの詳細

ハードウェアモデルの詳細と関連リストのフィールドの説明を確認します。

詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの表示名。表示名は、[メーカー] フィールドと [名前] フィールドから生成されます。
メーカー	モデルのメーカーの名前。
簡単な説明	モデルの説明。
モデルカテゴリ	モデルを関連付けることができるモデルカテゴリです。モデルカテゴリは、構成アイテム (CI) と資産を作成するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産追跡戦略	モデルの資産追跡。
耐用寿命 (月数)	ハードウェアモデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。
取得方法	資産または CI を調達した方法。
コスト	個々のモデルのコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
残存価額	モデルの残余価値の推定値。
[Name (名前)]	モデルの名前。
モデル番号	モデルを識別する番号。この番号は、社内で定義することも、モデルのメーカーが定義することもできます。
バーコード	モデルを識別するバーコード。
Owner (オーナー)	モデルの責任者。
ステータス	製品モデルから継承されているハードウェアモデルのステータス。
Life Cycle Stage (ライフサイクルステージ)	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体におけるステージ。 このフィールドは、共通サービスデータモデル (CSDM) にオプトインした場合にのみ表示されます。
Life Cycle Stage Status (ライフサイクルステージステータス)	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体のステータス。 このフィールドは、共通サービスデータモデル (CSDM) をオプトインした場合にのみ表示されます。
支出タイプ	支出の種類。
認定	モデルの使用が認定されているかどうかを示すオプション。
計算済みライフサイクルテンプレート	ライフサイクル日付を計算するために適用されたテンプレート。
計算済みライフサイクル開始日	テンプレートを適用し、テンプレートで定義された各フェーズの最終日を導出する日付。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルのベンチマークコスト。
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達していることを識別する資産モデルコストのしきい値。 ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1000 ドルに設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、しきい値のパーセンテージを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
危険物	資産モデルに危険物が含まれているかどうかを示すオプション。
コメント	モデルに関するコメント。
正規化	
正規化されたメーカー	モデルメーカーの正規化された名前。
製品	製品の正規化された名前。
モデル	モデルの正規化された名前。
標準化ステータス	モデルの正規化ステータス。
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
コンテンツサービスから除外	正規化情報をコンテンツサービスから除外するかどうかを示すオプション。
ディメンション	
高さ	コンテンツサービスから入力されたモデルの高さ。
幅	コンテンツサービスから入力されるモデルの幅。
奥行	コンテンツサービスから入力されたモデルの奥行。
電力	コンテンツサービスから入力されたモデルの電力定格。
重み付け	コンテンツサービスから入力されたモデルの重量。
Environmental Social Governance (ESG)	
エネルギースター	コンテンツサービスから入力されたモデルの Energy Star 認定ステータス。
EPEAT 準拠	コンテンツサービスから入力されたモデルの電子製品環境アセスメント (EPEAT) 準拠のステータス。
EPEAT レベル	コンテンツサービスから入力されたモデルの EPEAT レベル (ゴールド、シルバー、またはブロンズ)。
その他詳細	
メーカー保証	コンテンツサービスから入力されたモデルのメーカー保証条件。
機能	コンテンツサービスによって入力された製品の概要、仕様、またはモデルの属性。
情報	
電力	電源に接続するためのワット数要件。
高さ (U)	ラック単位でのモデルの高さ。
フローレート (cfm)	モデルの流量 (立法フィート/分)。
音響出力 (ベル)	モデルの音響出力 (ベル)。
重量 (ポンド)	モデルの重量 (ポンド)。
予想ライフタイム CO2e	モデルの寿命にわたって消費された二酸化炭素換算量(CO_2e)。
エネルギー使用	このモデルによって消費されるエネルギー。
Energy Star	環境保護庁(EPA)によるEnergy Star認定を受けるための要件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品カタログ	
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。

互換性

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
モデル	ハードウェアモデルレコードと互換性のあるハードウェアモデルの名前。

代替

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
代替	ハードウェアモデルの代わりに使用できるハードウェアモデルの名前。
ドメイン	ハードウェアモデルレコードのドメイン。

資産

[資産] タブのフィールドの詳細については、「 割り当て済み資産を作成する」を参照してください。

構成アイテム

フィールド	説明
[Name (名前)]	CI の名前。この名前は、多くの場合、ドメイン名システム (DNS) またはコンピューターのホスト名です。
メーカー	メーカーの名前。
場所	メーカーの所在地。
説明	CI の説明。
クラス	資産クラスのタイプ。

モデルコンポーネント

フィールド	説明
メインコンポーネントである	このコンポーネントが他のコンポーネントがアタッチされているコンポーネントであるかどうかを示すオプション。
コンポーネント	資産の作成時に子コンポーネントがインスタンス化されるモデル。
コンポーネントのモデルカテゴリ	資産の作成時に子コンポーネントがインスタンス化されるモデルカテゴリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンポーネントのパラメーター	コンポーネントパラメーターの要件。 • 必須 • オプション
メインコンポーネント	モデルが抽象モデルの場合のバンドルの名前。 **注:** このフィールドは、抽象モデルが定義されている場合にのみ使用されます。

ベンダーカタログアイテム

フィールド	説明
[Name (名前)]	ベンダーカタログアイテムの名前。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
Short Description (簡単な説明)	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	「価値あるパートナー」や「戦術的サプライヤー」など、このベンダーの製品とサービスの全体的なランキングを表示します。 ランクは、ベンダーパフォーマンスに対する組織の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。

ハードウェアモデルのライフサイクル

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • **End of Life** (提供終了)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース	ハードウェアモデルのソース。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフサイクルフェーズの終了日。
Risk	ライフサイクルに関連付けられたリスク。
[Active (アクティブ)]	ハードウェアモデルのライフサイクルがアクティブかどうかを示すオプション。
説明	ハードウェアモデルの説明。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェアの廃棄注文は、完了する前に廃棄プロセスのさまざまなステージを経ます。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変更されます。

ハードウェア廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセス内の次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、集荷スケジュールタスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスクである資産の出発が作成されます。このプロセスは、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文は完了です。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェア廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	ハードウェア廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	ハードウェア資産廃棄注文のスケジュールの詳細。
輸送	資産の出荷	検証済み資産を切り離す準備ができました。
確認	ベンダー確認	ハードウェアの廃棄注文がベンダーによって確認されました。
Documentation (ドキュメント)	廃棄書類	廃棄レコードの文書が添付されます。
完了	なし	ハードウェア廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄オーダは、輸送段階までのみ取り消すことができます。

一緒にインストールされるコンポーネント ハードウェアモデル正規化

テーブルを含む、いくつかのタイプのコンポーネントが、ハードウェアモデル正規化プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
このアプリケーションとともにインストールされている他のすべてのコンポーネントを表示するには、「アプリケーションファイル」テーブルを参照してください。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
デバイスタイプ	コンピューター、プリンター、モニターなどのデバイスのタイプ
ハードウェアライフサイクル定義	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連する日付
ハードウェアメーカー	ハードウェアメーカーの名前
ハードウェアモデルライブラリ	製品の名前とモデル番号
ハードウェア正規化マップ	ハードウェア製品およびハードウェア製品モデルの ID
ハードウェア製品	製品の名前とデバイスの種類 (Apple Mac や Lenovo プリンタなど)

HAM 成功目標の詳細

[HAM 成功目標の詳細] フォームのフィールドは、インスタンス内の ハードウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

HAM 成功目標 詳細 フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	成功目標の一意の識別子。
ステータス	成功目標のステータス。 デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
Title (役職)	成功目標のタイトル。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。 次のオプションから選択します。 • 自動化 • インベントリの改善 • 損失削減 • 正規化 • プロセス改善 • ベンダー/契約交渉
ベンダー	成功目標に関連付けられたベンダーまたは公開者。
目標タイプ	目標の測定基準を定義します。 • 預金 • カウント
ゴールの説明	成功目標の詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM 成功目標 詳細 フォーム (続く)

フィールド	説明
グループ	目標をアサインするグループ。
Owner (オーナー)	目標がアサインされているアサイン先グループのユーザー。
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
開始実績日	成功目標の実際の開始日。
終了実績日	成功目標の実際の終了日。
予測された削減額	成功目標から予想される節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] が [節減] として選択されている場合にのみ表示されます。
節減実績	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] が [節減] として選択されている場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際の数。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかの説明。

HAM 成功アクティビティ

[HAM 成功アクティビティ] フォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

HAM 成功 アクティビティ フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	成功アクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。 次のオプションから選択します。 • オープン • 保留 • 対応中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM 成功 アクティビティ フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
アサイン先グループ	このアクティビティが割り当てられているグループ。
Assigned to (アサイン先)	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
説明	成功アクティビティの詳細な説明。
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

成熟度アイテムの詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

フィールド	説明
[Name (名前)]	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • 責任を担います。 • エンドユーザー
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細についてはハードウェア資産管理の成功目標の作成を参照してください。
ステータス	成熟度アイテムの現在のステージ。 • 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

フィールド	説明
推奨される成熟度レベル	HAM アプリケーションの価値収益率を向上させるために推奨される成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行
開始日	成熟度アイテムの開始日。
完了日	成熟度アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

ハードウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ

ハードウェア資産管理 (HAM) プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、ランの 3 つのステージ など に分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	説明
クロール	新しい HAM プログラムの実装や開発など、HAM ジャーニーを開始します。この段階でモデルの定義、ストックルームの作成、データ検出ツールの特定、プロセスとロールの確立を行うことができます。正規化プロセスを設定してモデルを正規化し、資産ライフサイクルの日付または時刻を取得できます。
ウォーク	ハードウェア資産管理プログラムのロードマップに従って実行するためのプロセス、手順、ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。HAM ワークフローを使用した、より複雑なプロセスの自動化に移行します。
実行	この段階では、一元化されたハードウェア資産追跡とシステム管理のための成熟した高度で自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。ゼロタッチリフレッシュ、アセットバンドル、モバイルクラス、契約更改ワークフローなどの高度な機能を使用します。また、プロセスを評価し、HAM 目標を定期的に設定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷レコードを作成するタスククローズ

出荷タスクがクローズされると、出荷レコードが自動的に作成されます。出荷タスクで追跡番号と配送業者を指定することで、出荷を簡単に追跡できます。

出荷元

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
資産寄付	[寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクがクローズされました。	慈善団体からの確認タスクがクローズされます。
資産廃棄	資産の切り離しタスクがクローズされます。	ベンダー確認タスクがクローズされます。 **注:** このタスクがクローズされるまで、追跡番号を変更できます。追跡番号を指定しない場合、追跡番号として仕入先注文 ID を使用して出荷レコードが作成されます。
発注書 (PO)	• 配送前にハードウェア資産を作成:ハードウェア資産レコードが自動的に作成されるとき。 • 事前出荷通知:インポートファイルで指定された一意の追跡番号ごとに資産がインポートされる場合。 **注:** インポートファイルの行に指定された出荷配送業者が配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで利用できない場合、その行はインポートされません。また、出荷レコードも作成されません。次のいずれかを実行し、ファイルを再インポートする必要があります。 ○ 配送業者は、配送業者リストに含まれている必要があります。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。 ○ sn_hamp.enable_shipping_carrier_validation_asn システムプロパティの値を **false**に設定する必要があります。 • 資産を受領する:資産が受領されたとき。 **注:** 出荷レコードは [配送済み] ステージで作成されます。	発注書 (PO) が受領されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷元 (続く)

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
転送注文	転送注文品目の出荷タスクがクローズされます。	転送注文ラインアイテムが配送されます。 **注:** 転送注文ラインアイテムが「輸送中」ステージになるまで、追跡番号を変更できます。
リース有効期限	返却リースアクションの出荷タスクがクローズされます。	返却確認タスクがクローズされました。
返品許可 (RMA)	1. オフサイト返品アクションの出荷タスクがクローズされます。 2. ベンダー RMA の決定タスクがクローズされます。	1. ベンダー RMA の決定タスクがクローズされました。 2. 受領タスクがクローズされます。
資産再利用	出荷回収方法の出荷スケジュールタスクがクローズされます。	[資産の受領] タスクがクローズされます。
ゼロタッチでリフレッシュ	[出荷要求] タスクがクローズされます。	ユーザー資産受領タスクがクローズされました。

自動翻訳

リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド

ゼロタッチでリフレッシュフローに必要なリモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド。

受信フィールド値

フィールドごとに、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] になります。

ターゲットフィールドの値は、ソースフィールドの値と同じです。ソースフィールドの値は、要求者の ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドが同期されるプロバイダーのインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期条件] の値が [挿入] の場合、リモートタスクが最初に挿入されたときにのみ、リモートタスクの親レコードのターゲットフィールドが更新されます。

受信フィールド

フィールドラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
顧客要求番号	customer_request_number	40	顧客要求番号

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

受信フィールド (続く)

フィールドラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
モデル	モデル	255	モデル
ステータス	状況	40	ステータス
[Name (名前)]	名前	151	[Name (名前)]
メール	メール	100	メール
モバイル	mobile	40	モバイル
番地	番地	255	番地 (street)
市区町村	市区町村	40	市区町村 (city)
都道府県	state_loc	40	都道府県 (state_loc)
Country (国)	国	40	国 (country)
郵便番号	zip	40	郵便番号
リターン名	return_name	151	名前 (return_name)
番地を返す	return_street	255	番地 (return_street)
市区町村を返す	return_city	40	市区町村 (return_city)
都道府県を返す	return_state_loc	40	都道府県 (return_state_loc)
国を返す	return_country	40	国 (return_country)
郵便番号を返す	return_zip	40	郵便番号 (return_zip)

送信フィールド値

フィールドごとに、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] になります。

ターゲットフィールドの値は、ソースフィールドの値と同じです。[ソース] フィールドの値は、プロバイダーの ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドが同期される要求者のインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期条件] の値は [挿入] および [更新] で、リモートタスクが更新されるたびにリモートタスクの親レコードのターゲットフィールドを更新します。

送信フィールド

フィールドラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
シリアル番号	serial_number	100	シリアル番号
Asset tag (資産タグ)	asset_tag	40	Asset tag (資産タグ)
ステータス	状況	40	ステータス
追跡番号	tracking_number	40	追跡番号 (tracking_number)
キャリア	配送業者	80	配送業者 (carrier)
トラッキング番号を返す	return_tracking_number	40	追跡番号 (return_tracking_number)
返品配送業者	return_carrier	80	(return_carrier)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理フローのディシジョンテーブル

これらのすぐに利用可能なディシジョンテーブルは、一部の ハードウェア資産管理 機能のフローをカスタマイズするのに役立ちます。

Decision tables (ディシジョンテーブル)

ハードウェア資産管理の機能	**Decision tables** (ディシジョンテーブル)
ハードウェア資産のリフレッシュ	Hardware Asset Refresh Line Flow (ハードウェア資産のリフレッシュラインフロー)
Lease Contract Expiration (リース契約有効期限)	リース契約有効期限フロー
Leased Asset Buyout (リース資産の買収)	リース資産の買収フロー
Leased Asset Extension (リース資産の延長)	リース資産の拡張フロー
Leased Asset Return (リース資産の返却)	リース資産の返却フロー
貸与資産要求	Leased Asset Return (貸与資産要求フロー)
ローカルストックルームからのソース要求	資産ローカル注文サブフロー **注:** [資産ローカル注文サブフロー] ディシジョンテーブルは、 ハードウェア資産管理 プラグインと 調達 プラグインの両方で使用できます。
再利用	資産再利用フロー
ハードウェア再利用フロー	ハードウェア資産再利用フロー、ハードウェア資産再利用ラインフロー
RMA 要求	資産 RMA フロー
RMA オンサイト修理	資産 RMA オンサイトフロー
RMA オフサイト修理	資産 RMA オフサイトフロー
契約更新要求	契約更改フロー
契約更新タスク	契約更改タスクのフロー

サービスカタログ 変数フォームフィールド

変数のフィールドは、カタログアイテムの変数を定義するのに役立ちます。

フィールド	説明
アプリケーション	アプリケーションがこの変数を使用できることを示す読み取り専用フィールド。
タイプ	作成する変数タイプ。
カタログアイテム	変数に関連付けられたカタログアイテムです。
順序	カタログアイテムページで変数が配置される順序。変数は、最も小さい順序値が一番上にあり、最も大きい順序値が一番下になるように編成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	変数を使用可能にするためのオプションです。
必須	カタログアイテムの注文に必要な変数をマークするオプション。
読み込み専用	変数を読み取り専用にするオプション。
非表示	変数を非表示にするオプション。
[質問] タブ	
質問	カタログアイテムを注文するときに尋ねる質問。
[Name (名前)]	質問を識別するための名前。 **注:** このフィールドが空の場合、その値は [質問] フィールドに基づいて自動的に入力されます。
ツールヒント	変数にカーソルを合わせたときに表示されるツールヒントのテキスト。質問の目的を説明する簡単なメモを入力します。
サンプルテキスト	値を入力する前に質問フィールドに表示されるヒント。次の変数に適用されます。 • IP アドレス • メール • URL • 1 行テキスト • ワイドな 1 行テキスト • 複数行テキスト • 日付 • 日付/時刻
注釈	
ヘルプ表示	変数の追加ヘルプと指示を提供するオプション。
ヘルプタグ	ヘルプテキストを表示するタグ。たとえば、「詳細情報」などです。
ヘルプテキスト	サービスカタログ変数のヘルプ情報です。
説明	ヘルプ情報をサポートするためにリッチテキストの書式設定または画像の追加が必要な情報です。
タイプ仕様 このセクションのフィールドは、変数タイプごとに異なります。	
変数の幅	カタログアイテムページの変数の幅です。画面サイズの何パーセントに及ぶかを指定します。
[追加要求] の有効化	複数のユーザーに対してカタログアイテム要求を送信できるようにするオプション。このオプションを選択すると、[追加要求元] フィールドが 要求元 変数とともにカタログアイテムに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[追加要求] を使用するロール	複数のユーザーにカタログアイテム要求を送信できるロールを指定するオプション。
選択肢の表示方向	リストが配置される方向。 • [交差]：選択肢を水平に配置します。 • [下]：選択肢を垂直に配置します。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数に表示されます。
選択肢フィールド	変数のオプションを設定するためのテーブルフィールドです。フィールドに選択肢が定義されていない場合、変数によってテーブルからフィールド関連の個々の値がロードされます。 このフィールドは、選択ボックス変数に表示されます。
選択肢テーブル	[選択肢フィールド] に値を設定するためのテーブルです。 このフィールドは、選択ボックス変数に表示されます。
第一選択肢を選択しない	カタログアイテム ページで変数のすべてのオプションをクリアするためのチェックボックスです。 このチェックボックスをオンにした場合、変数の第一選択肢がデフォルト選択されます。このフィールドは、複数選択肢変数および数値スケール変数に表示されます。
ダイナミック参照修飾子	ダイナミック修飾子です。参照フィールドに対してクエリを実行する動的フィルターを選択します。 このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [ダイナミック] に設定されている場合の参照変数に表示されます。
なしを含む	選択肢のリストに [なし] オプションを含めるためのチェックボックスです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップ、選択ボックスのルックアップ、複数選択肢、および選択ボックスの変数に表示されます。
レイアウト	コンテナのレイアウト。 このフィールドは、コンテナ開始変数に表示されます。
リストテーブル	リストコレクタの値を含む表です。 このテーブルには表示列を指定する必要があります。詳細について このフィールドは、リストコレクター変数に表示されます。
テーブルからルックアップ	ユーザーが選択する値を取得するテーブルです。このテーブルの値は、[ルックアップ値フィールド] に入力されます。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップ値フィールド	変数のオプションを設定するルックアップテーブルのフィールドです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップラベルフィールド	オプションの表示に値を使用するルックアップテーブルのフィールドのカンマ区切りリストです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップ価格フィールド	注文されるアイテムの価格の変更に値を使用するルックアップテーブルのフィールドです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
繰り返し発生する料金のルックアップ用フィールド	注文されるアイテムの繰り返し発生料金の変更に値を使用するルックアップテーブルのフィールドです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
マクロ	カタログアイテムに挿入する UI マクロです。 このフィールドは、マクロ、ラベル付きマクロ、および UI ページの変数に表示されます。
サマリーマクロ	[マクロ] および [ラベル付きマクロ] タイプの変数にのみ適用されます。
ウィジェット	これは、マクロ、およびラベル付きマクロタイプの変数にのみ適用されます。
選択した場合、価格	アイテムの価格です。 このフィールドは、チェックボックス変数に表示されます。
定期的な価格 (選択した場合)	アイテムの複数の注文を要求した場合にアイテムに対して増加する価格。 このフィールドは、チェックボックス変数に表示されます。
参照	変数の参照テーブル。このテーブルには表示列を指定する必要があります。 このフィールドは、参照変数に表示されます。
参照修飾子	フィールドで使用可能なデータを制限する修飾子。参照修飾子と高度な修飾子をサポートします。 このフィールドは、リストコレクター、複数選択肢をルックアップ、選択ボックスをルックアップ、参照、および要求元変数に表示されます。このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [動的] に設定されている場合、参照変数にも表示されます。
参照修飾子の条件	条件をビルドするためのオプションです。 このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [簡易] に設定されている場合の参照変数に表示されます。
スケール最大値	変数に使用可能なオプションのスケールで最も大きい値です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、数値スケール変数に表示されます。
スケール最小値	変数に使用可能なオプションのスケールで最も小さい値です。 このフィールドは、数値スケール変数に表示されます。
一意の値のみ	フィールドに一意の値を要求するためのチェックボックスです。このチェックボックスをオンにした場合、2 つのレコードでそのフィールドの値を同じにすることはできません。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップ、選択ボックスのルックアップ、および選択ボックスの変数に表示されます。
確認を使用	ユーザーにデータを再入力して各自のエントリを確認するように求めるためのチェックボックスです。 このフィールドは、マスクされた変数に表示されます。
暗号化を使用	回答を暗号化形式でデータベースに保存するためのチェックボックスです。暗号化されない場合、回答はプレーンテキスト形式で保存されます。 このフィールドは、マスクされた変数に表示されます。
参照修飾子を使用	使用する修飾子のタイプです。 このフィールドは、参照変数に表示されます。
検証用の正規表現	変数値を検証する正規表現です。 このフィールドは、1 行テキストとワイドな 1 行テキストの変数タイプに対してのみ表示されます。
変数の属性	変数の動作と制限を定義する属性。
デフォルト値	
デフォルト値	変数のデフォルト値です。
自動入力	
依存質問	カタログアイテムの参照タイプ変数。このフィールドは、変数の自動入力に使用されます。
参照	変数を自動入力するための参照フィールド。
権限 このタブに読み込み、書き込み、または作成アクションのロールが指定されていない場合は、カタログ アイテムにアクセスできるすべてのユーザーが、ロールに関係なくこれらのアクションを実行できます。 次のロールのいずれにも一致しないロールを持つユーザーは、スクリプティングを使用しても変数値を設定できません。 これらのロールは、ラベル、ブレーク、コンテナ分割、コンテナ終了、マクロ、ラベル付きマクロ、および UI ページの変数では使用できません。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
読み込みロール	カタログアイテムまたはレコードプロデューサーの要求前後に変数を表示できるロールです。このフィールドで指定されたロールを持つユーザーのみが変数を表示できます。
書き込みロール	カタログアイテムを要求した後に変数エディターで変数を編集できるロールです。ユーザーがこのフィールドに指定されたロールを持っていない場合、変数は変数エディターで読み取り専用になります。
作成ロール	カタログアイテムまたはレコードプロデューサーの要求前に変数の値を作成できるロールです。ユーザーが指定されたロールを持っていない場合、カタログアイテムまたはレコードプロデューサーを要求する前に変数が読み取り専用になります。
可用性	
各所に表示	これを選択した場合、変数がアイテムフォームに表示され (アイテムを注文する前)、変数エディター (アイテムを注文した後)、およびアイテムの買い物かごビューに表示されます。
バンドルに表示	選択した場合、アイテムがバンドルに追加されたときに変数が表示されます。
ガイドに表示	選択した場合、変数は注文ガイドに追加されたとき、または注文ガイドに含まれているカタログアイテムに追加されたときに表示されます。 **注:** 注文ガイドにあるアイテムおよび変数が多すぎる場合は、注文ガイドのロードパフォーマンスを改善するために、できるだけ多くのアイテムでこのチェックボックスをオフにすることを検討してください。
サマリーに表示	選択すると、カタログアイテムの変数サマライザーに変数が表示されます。

ハードウェア資産管理 Zero Touch Mobility との統合

ServiceNow® ハードウェア資産管理 は Samsung SDS Zero Touch Mobility と統合され、モバイルデバイスのライフサイクル全体を管理します。

ゼロタッチモビリティとの ハードウェア資産管理 統合の利点は次のとおりです。

- 次のような日常的なモバイルデバイス管理タスクの自動ワークフローを活用して、単一のプラットフォームでモバイル資産を展開、管理、監視します。
  - 新しいデバイスのオンボーディング
  - 登録解除中のデバイス
  - 新しい注文、アップグレード、またはセルフサービスオプションによる交換の要求
- 組織全体の可視化とコラボレーションを向上させる統合ソリューションを使用して、モバイルデバイスのライフサイクルを管理およびレポートします。
- すべてのモバイルデバイスのコストと使用率を最適化します。

要件と制限事項

ハードウェア資産管理とゼロタッチモビリティソリューションの統合の要件と制限は次のとおりです。

- このソリューションは、 ハードウェア資産管理 (sn_hamp) アプリケーションに依存します。
- [モバイルデバイス] リソースカテゴリのみを使用できます。このリソースカテゴリは自動的にオプトインされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産の取得方法に基づいて、次のリソースサブカテゴリをモバイルデバイスで使用できます。

- 自分の資産を使用する
- 企業資産

- このソリューションでは、モバイルデバイスのみにライセンスが付与されます。ITAM ライセンスレポートを使用してサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

  注:
  ServiceNow インスタンスでハードウェア資産管理が明示的にアクティブ化されている場合でも、モバイルデバイスのライセンスは、ゼロタッチモビリティソリューションとのハードウェア資産管理統合の [モバイルデバイス] リソースカテゴリでのみ付与されます。詳細については、「ハードウェア資産管理ソリューションのためのLicensingフレームワーク」を参照してください。

- 次の ハードウェア資産管理 機能は使用できません。
  - Hardware Model Normalization
  - コンテンツのアップロードとダウンロード
  - パフォーマンスアナリティクスダッシュボード
  - 資産エグゼクティブダッシュボード
  - 成功ポータル

  注:
  HAM ガイド付きセットアップ が利用可能です。ただし、セットアップの実行に必須ではありません。

ハードウェア資産管理ワークフローと機能の詳細については、「ハードウェア資産管理サブスクリプション」を参照してください。

サポートされているハードウェア資産管理機能

次の ハードウェア資産管理 機能は制限なしで利用できます。

- 在庫注文
- 詳細な出荷通知
- 標準資産要求フロー
- 配送業者統合
- 高度なインベントリと配送
- 資産再利用

次の ハードウェア資産管理 機能は、可用性が制限されています。

- HAM ワークフロー:モバイルデバイス以外のデバイスは、 HAM ワークフローから除外されます。
- リース有効期限フロー:モバイルデバイス以外のデバイスはこのフローから除外されます。
- ハードウェア資産ワークスペース:資産の正規化に関連するレポートとダッシュボードは利用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ハードウェア資産管理 の探索

デバイスアズアサービス

デバイスアズアサービス (DaaS) 機能は、サブスクリプションモデルを介してDaaSプロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。

DaaSの概要

https://player.vimeo.com/video/985181543?h=c47ec1ec8f&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

プロバイダー中心のビューとタスクを通じて DaaS オファリングを単一のプラットフォームで管理することは、プロバイダーと顧客の双方に大きなメリットをもたらします。 DaaS プロバイダーは、調達から廃棄まで資産のインベントリを管理して、 DaaS オファリングをサポートできます。DaaSに関連するすべての活動と情報を1つのプラットフォームに統合することで、DaaSプロバイダーは業務を合理化し、効率を向上させることができます。詳細については、「DaaS プロバイダービュー」を参照してください。

DaaS のメリット

ベネフィット	ユーザー
DaaSプロバイダーの顧客に対して希望するサブスクリプションレベルを計画します。	DaaS 資産マネージャー
DaaS資産の調達プロセスを自動化します。	DaaS 資産マネージャー
在庫レベルを管理し、顧客の要求に応じて出荷する資産を準備します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
顧客サイトで資産を受領して集荷します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
コンプライアンスおよびレポートの目的で、資産レコードの監査を実施します。	DaaS 資産マネージャー
資産の問題を監視し、修理または交換を実行してサービス機能を復元します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
事前定義されたスケジュールに従って、使用可能な寿命の終わりに資産を体系的に更新、廃止、および廃棄します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー

DaaSの構成

デバイスアズアサービス (DaaS) の機能を計画および構成します。

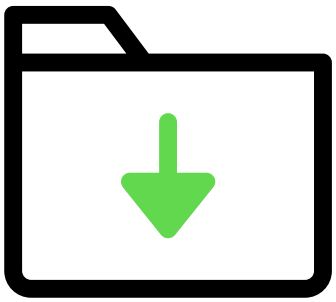
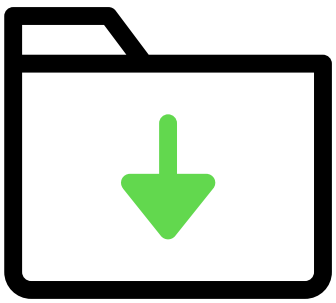
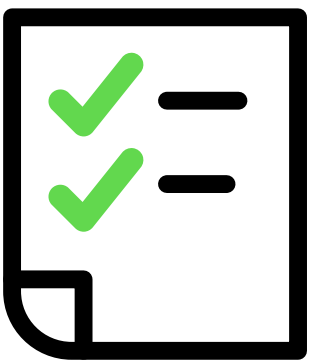
構成の概要

ここでは、 DaaS 機能を構成するプロセスの概要を説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

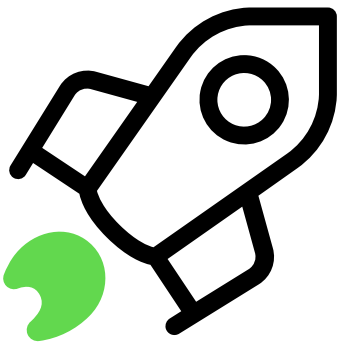
DaaS の ハードウェア資産管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
 ハードウェア資産管理 のインストール	ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを入手します。	ハードウェア資産管理 のインストール
 のインストールハードウェア資産管理DaaS	ServiceNow Store からDaaSアプリケーション のハードウェア資産管理を入手します。	ハードウェア資産管理 for DaaS のインストール
 資産を DaaS 資産としてマーク	[ハードウェア資産の詳細] フォームで資産を DaaS 資産としてマークします。	資産レコードフィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DaaS の ハードウェア資産管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
DaaSプロバイダービューの詳細ハードウェア資産ワークスペース	DaaS資産を管理するには、ハードウェア資産ワークスペースの直感的なDaaSプロバイダービューを確認します。	DaaS プロバイダービュー
 DaaSに対する ハードウェア資産管理 の使用	ハードウェア資産管理 for DaaS を使用して、DaaSプロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。	• DaaS資産の受信資産注文の管理 • DaaS資産の RMA 応答注文の管理

ハードウェア資産管理 **for DaaS** のインストール

admin ロールをお持ちであれば、DaaS アプリケーション (com.sn_daas_ham) のハードウェア資産管理をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

次のアイテムは、 ハードウェア資産管理 for DaaS とともにインストールされます。

自動翻訳

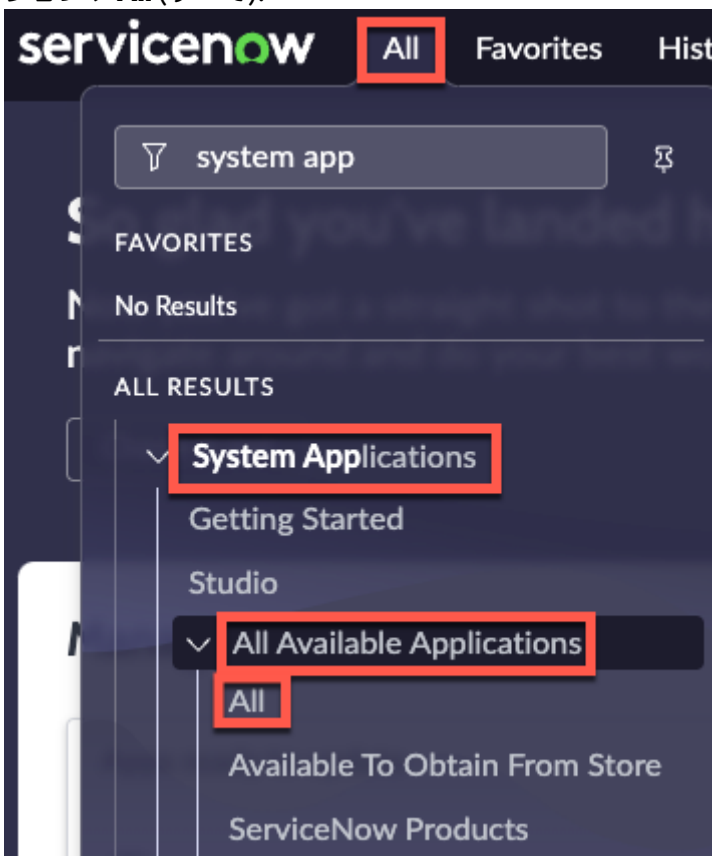
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

詳細については、「ハードウェア資産管理 for DaaSと一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用してDaaSアプリケーション (com.sn_daas_ham) のハードウェア資産管理を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、利用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

重要:
インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

DaaS資産の受信資産注文の管理

ハードウェア資産の要求に続いて、 DaaS プロバイダーインターフェイスで注文を作成することで、受信資産の注文がこの要求に関連付けられます。

受信資産注文ワークフローで次のタスクを完了すると、資産注文が正常に 完了されます。

1. 受信資産注文の作成
2. 入庫資産注文明細行の作成
3. 資産を選択
4. 選択した資産を選択
5. 取得した資産を準備する
6. 準備した資産の出荷
7. 出荷済み資産の受領

受信資産注文の作成

受信資産注文を作成して、顧客要求を資産注文に関連付けます。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

このタスクについて

入庫資産注文が完了と見なされるには、そのすべての入庫資産注文明細行が [完了] ステージに到達する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新規受信資産注文の作成フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	受信資産オーダーの一意の番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
外部要求参照	ソースを追跡するのに役立つ、顧客提供の資産要求の参照。 たとえば、顧客がメールで資産を要求したとします。ここでは、外部要求参照が xyz@gmail.com になります。
DaaS アカウント	顧客の関連付け DaaS アカウント。
配送先	資産の指定配送先。
ステータス	受信資産注文のステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
要求元	資産が要求されている DaaS アカウントに関連付けられている顧客の名前。
予定配送日	指定された配送先住所に送られる資産の予定配送日。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 一意の番号の入庫資産オーダーが作成されます。
- [受信資産注文明細行] タブが作成されます。

次のタスク

入庫資産注文明細行の作成

入庫資産注文明細行の作成

受信資産注文のすべての資産に対して受信資産注文明細行を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

このタスクについて

入庫資産注文明細行が完了と見なされるには、そのすべてのタスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] である必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. フォームのフィールドに入力します。

新しい受信資産注文ラインの作成フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	受信資産注文ラインの一意の番号。
受信資産注文	このオーダー番号明細に関連付けられている受信資産オーダーの一意の番号。
モデル	DaaSプロバイダーによって要求された資産のモデル。
数量	資産の数量。 このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
ステージ	受信資産注文のステータス。 このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	入庫資産注文明細行の作業を担当する個人。
資産	モデルに一致するように選択された資産。 このフィールドは、資産選択タスクで資産を選択すると自動的に入力されます。

8. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 要求された資産に対して、一意の番号を持つ入庫資産オーダー明細が作成されます。
- [ステージ] フィールドが [選択] に設定されます。
- [資産タスク] タブが作成され、タスクタイプが [資産選択タスク] の一意の資産タスク番号が表示されます。

次のタスク

DaaS プロバイダーによって指定されたモデルに一致する DaaS 資産を選択します。

資産を選択

資産選択タスクを使用して、DaaSプロバイダーによって指定されたモデルに一致するDaaS資産を選択します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. 入庫資産注文明細番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [資産選択タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

資産タスクの詳細フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産選択タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
倉庫	資産が割り当てられている指定の倉庫。
モデル	このフィールドには、入庫資産オーダーラインの作成時に指定されたモデルの詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「入庫資産注文明細行の作成」を参照してください。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [選択] に設定されます。
ステータス	資産選択タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産選択タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産選択タスクの作業を担当する個人。
資産	次の条件の 1 つ以上を満たす DaaS 資産のリスト:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ステータスが「在庫あり」でサブステートが「利用可能」の資産 ○ アカウントは、受信資産の注文の作成時に **[DaaS** アカウント] フィールドで選択されます。 ○ 受信資産の注文の作成中は **DaaS** アカウントフィールドが空です。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
[Work notes (Private) (作業メモ (プライベート))]	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産選択タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが [資産集荷タスク] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- 資産選択タスクの [ステータス] フィールドは [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の ステージ フィールドは ピッキング に設定されます。

次のタスク

選択した資産を選択

選択した資産を選択

資産集荷タスクを使用して、選択した資産を集荷します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. 入庫資産注文明細番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [資産集荷タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産集荷タスクの一意の番号。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [選択] に設定されます。
資産注文	このタスクに関連付けられた受信資産の注文番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
倉庫	資産が割り当てられている指定の倉庫。
資産	資産選択タスクで選択されている資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
ステータス	資産集荷タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産集荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産集荷タスクの作業を担当する個人。
期日	このタスクの完了予定日。
返品場所	資産を配送する必要がある場所。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
[Work notes (Private) (作業メモ (プライベート))]	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産集荷タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが [資産準備タスク] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- 資産集荷タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の [ステージ] フィールドは [準備] に設定されます。

次のタスク

資産準備タスクを使用して、取得した資産を準備します。

取得した資産を準備する

チェックリストを調べて取得した資産を準備し、資産準備タスクを使用して欠陥がないかチェックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager および inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. 入庫資産注文明細番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. タスクタイプが [資産準備タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

フォームの準備

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産準備タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
倉庫	資産が割り当てられている指定の倉庫。
モデル	このフィールドには、入庫資産オーダーラインの作成時に指定されたモデルの詳細が自動的に入力されます。詳細については、「入庫資産注文明細行の作成」を参照してください。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [準備] に設定されます。
ステータス	資産準備タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産準備タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産準備タスクの作業を担当する個人。
資産	資産選択タスクで選択されている資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
簡単な説明	タスクの短い説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	タスクの詳細な説明です。
[Work notes (Private) (作業メモ (プライベート))]	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産準備タスクが完了してリストを更新すると、別のタスクが作成され、タスクタイプが 資産出荷タスクである一意の資産タスク番号が表示されます。
- 資産準備タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の [ステージ] フィールドは [出荷] に設定されます。

次のタスク
準備した資産の出荷

準備した資産の出荷

準備した資産を出荷し、資産出荷タスクを使用して出荷の詳細をキャプチャします。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager および inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. 入庫資産注文明細番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. タスクタイプが [資産出荷タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

出荷フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産出荷タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産	資産選択タスクで選択されている資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
配送業者	顧客への資産の出荷を担当する組織。 例:FedEx。
配送元	資産を出荷する元の場所。
出荷日	資産を顧客に配送するための出荷日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [配送] に設定されます。
ステータス	資産出荷タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産出荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産出荷タスクの作業を担当する個人。
追跡番号	資産の出荷の追跡番号または参照番号。
配送先	資産の出荷先。
出荷注文	出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルで作成された出荷レコードへの参照。 このフィールドは、資産出荷タスクがクローズされると自動的に入力されます。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
[Work notes (Private) (作業メモ (プライベート))]	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産出荷タスクが完了してリストを更新すると、別のタスクが作成され、タスクタイプが [受領タスク] の一意の資産タスク番号が表示されます。
- 資産出荷タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の ステージ フィールドは、 確認の受領 に設定されます。

次のタスク

出荷済み資産の受領

出荷済み資産の受領

資産の出荷が完了したら、受領タスクを使用して資産の受領を確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. [入庫資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産のオーダー番号を選択します。
5. [入庫資産注文明細行] タブを選択します。
6. 入庫資産注文明細番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [受領タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

確認フォームを受信

フィールド	説明
[Number (番号)]	受領タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
資産	資産選択タスクで選択されている資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
資産受領済み	資産の受領を確認するオプション。 値: ○ はい:資産は顧客によって受領されます。 ○ いいえ:資産は顧客によって受領されません。 注: このタスクをクローズするには、[はい] を選択する必要があります。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [確認の受信] に設定されます。
ステータス	受領タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	確認の受領タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	受領タスクの作業を担当する個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
[Work notes (Private) (作業メモ (プライベート))]	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 受領タスクの [ステータス] フィールドは [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の ステージ フィールドが 完了 に設定されます。
- 入庫資産オーダーの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。

DaaS資産の RMA 応答注文の管理

ハードウェア資産の返品または交換の要求に続いて、 DaaS プロバイダーインターフェイスで RMA 応答オーダーを作成することにより、返品承認 (RMA) オーダーがこの要求に関連付けられます。

RMA 注文ワークフローで次のタスクを完了すると、RMA 応答注文が正常に完了します。

1. RMA 応答注文を作成する
2. RMA 応答注文ラインを作成する
3. RMA 資産を評価する
4. 顧客サイト訪問のスケジュール または DaaSプロバイダーへの資産の配送

> **注:**
> 顧客サイトへの訪問をスケジュールする場合、または RMA 資産を評価するために DaaS プロバイダーに資産を出荷するときに選択した値に応じて、次の手順を実行します。

RMA 応答注文を作成する

返品許可 (RMA) 応答注文を作成して、資産の RMA 要求を関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

このタスクについて
RMA 応答注文が完了と見なされるには、そのすべての RMA 応答注文明細行が [完了] ステージに到達する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **RMA** 応答フォームの作成

[Number (番号)]	RMA 応答オーダーの一意の番号。
外部 RMA 番号	ソースを追跡するのに役立つ、RMA 要求に対する顧客提供の参照。
DaaS アカウント	顧客の関連付け DaaS アカウント。
連絡先メール	RMA 要求を開始した顧客のメール。
配送先	RMA 要求に関連付けられている顧客の住所。
ステータス	RMA 応答注文のステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
要求元	資産が要求されている DaaS アカウントに関連付けられた顧客の名前。
作成者	指定された配送先住所に送られる資産の予定配送日。
顧客携帯電話番号	RMA 要求を開始した顧客の携帯電話番号。
デバイスの場所	現在動作しているデバイスの物理的な所在。
RMA の理由	顧客によって提供された RMA 要求の作成理由。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 一意の番号で RMA 応答オーダーが作成されます。
- **[RMA** 応答注文ライン **(RMA response order lines**)] タブが表示されます。

次のタスク

RMA 応答注文ラインを作成する.

RMA 応答注文ラインを作成する

RMA 応答注文のすべての資産に対して、返品承認 (RMA) 応答注文明細行を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

このタスクについて

RMA 応答注文ラインが完了と見なされるには、そのすべてのタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] である必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. **[New** (新規)] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しい **RMA** 応答注文明細行フォームの作成

フィールド	説明
[Number (番号)]	RMA 応答注文明細行の一意の番号。
親	この注文番号行に関連付けられている RMA 応答注文の一意の番号。
モデル	顧客が RMA 要求を開始した資産のモデル。
数量	資産の数量。 このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
ステージ	RMA 応答注文ラインのステータス。 このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	RMA 応答注文ラインの作業を担当する個人。
資産	使用中で、顧客にアサインされている資産のリスト。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. **[Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- 一意の番号を持つ RMA 応答注文明細行が作成されます。
- [ステージ] フィールドが [評価] に設定されます。
- [資産タスク] タブが作成され、タスクタイプが **RMA** アセスメントである一意の資産タスク番号が表示されます。

次のタスク
RMA 資産を評価する.

RMA 資産を評価する

オンサイトまたはオフサイトのアセスメント手順を使用して、返品承認 (RMA) 資産を評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが **RMA** アセスメントである資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

RMA アセスメントフォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	RMA アセスメントタスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
資産	関連する RMA 応答注文明細行の作成時に選択された資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
アセスメントアクション	RMA 資産について従うべきアセスメント手順。 ○ 現地: DaaS プロバイダーの担当者が顧客の施設を訪問し、資産を評価します。 ○ オフサイト:資産は評価のために DaaS プロバイダーサイトに到着します。 ○ 拒否:RMA 要求は却下されました。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に RMA アセスメントに設定されます。
ステータス	RMA アセスメントタスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	RMA アセスメントタスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Assigned to (アサイン先)	RMA アセスメントタスクの作業を担当する個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[アセスメントアクション] フィールドで選択した値に従って変更されます。
  - [オンサイト] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [スケジュール] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは スケジュール に設定されます。
  - [オフサイト] を選択すると、リストを更新した後にタスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 出荷 に設定されます。
  - 拒否 を選択すると、RMA 応答注文明細行は 完了してクローズ に設定されます。オープン中の RMA 応答注文明細がない場合、RMA 応答注文はクローズされます。
- RMA アセスメントタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。

次のタスク

顧客サイト訪問のスケジュール または DaaSプロバイダーへの資産の配送

顧客サイト訪問のスケジュール

DaaSプロバイダー担当者の顧客の場所への訪問をスケジュールします。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが [スケジュール] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールタスクフォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	スケジュールタスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
予定日	DaaSプロバイダーの担当者が顧客の場所を訪問する予定日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [スケジュール] に設定されます。
ステータス	スケジュールタスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	スケジュールタスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	スケジュールタスクの作業を担当するユーザー。
資産	RMA 応答注文明細行の作成時に選択された資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- スケジュールタスクが完了してリストを更新すると、タスクが作成され、タスクタイプが **RMA** 資産の評価である一意の資産タスク番号が表示されます。
- スケジュールタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- 入庫資産注文明細行の ステージ フィールドは 評価 に設定されます。

次のタスク

RMA 資産を評価する

RMA 資産を評価する

顧客の場所で予定された日に返品許可 (RMA) 資産を評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが **[RMA** 資産の評価 **(Evaluate RMA asset)]** である資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

[RMA 資産を評価] フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	RMA 資産評価タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
ステータス	RMA 資産評価タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	RMA 資産評価タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
評価結果	○ 修理可能:資産を修理できます。 ○ 交換:資産は修復できず、古い資産は DaaS プロバイダーに返却されます。同じモデルの新しい資産を要求するために、新しい受信資産オーダーが作成されます。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [RMA 資産を評価 (Evaluate RMA asset)] に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	RMA 資産評価タスクの作業を担当する個人。
資産	RMA 応答注文明細行の作成時に選択された資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
簡単な説明	タスクの短い説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[評価結果] フィールドで選択した値に従って変更されます。
  - [修理可能] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [資産の修理] である一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 修理 に設定されます。
  - [置換] を選択すると、リストを更新した後に、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 、入荷出荷 に設定されます。新しい受信資産オーダーが作成されます。
- [RMA 資産を評価] タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。

次のタスク

RMA 資産を修理する または DaaSプロバイダーへの資産の配送

RMA 資産を修理する

返品許可 (RMA) 資産が修理済みか、修理不可能と見なされたかを示します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが [資産の修復] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

資産フォームを修復

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産の修復タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
ステータス	資産修復タスクのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産の修復タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [資産を修理] に設定されます。
倉庫	このフィールドには、受領タスクで指定した倉庫の詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「資産の受領」を参照してください。 **注:** このフィールドには、オンサイトアセスメントフローの情報は含まれません。アセスメントアクションの選択の詳細については、「 RMA 資産を評価する」を参照してください。
期日	このタスクの完了予定日。
Assigned to (アサイン先)	資産の修復タスクの作業を担当する個人。
修復結果	返品承認 (RMA) 資産が修理済みか、修理不可能と見なされたかを示します。 ○ 修復済み ○ 修復不能
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスクの完了結果は、[修理結果] フィールドで選択した値に従って変更されます。
  - [修理済み] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [資産の評価] である一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 品質チェック に設定されます。
  - [修復不能] を選択すると、リストを更新した後にタスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 、入荷出荷 に設定されます。新しい受信資産オーダーが作成されます。
- 資産修復タスクの [ステータス] フィールドは [完了してクローズ] に設定されます。

次のタスク

修復済み資産を評価 または DaaSプロバイダーへの資産の配送

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

修復済み資産を評価

修復された資産のステータスを評価し、評価結果を再展開可能または廃棄対象として指定します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが [資産の評価 **(Evaluate asset)]** の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

資産評価フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産評価タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
ステータス	資産評価タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産の評価タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
評価結果	資産を再展開するか廃棄する必要があるかを示します。 ○ 再展開可能:資産は正常に機能しています。 ○ 廃棄対象: 資産は特定の品質チェックに合格していないため、顧客に返却できません。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [資産の評価 (Evaluate asset)] に設定されます。
倉庫	このフィールドには、受領タスクで指定した倉庫の詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「資産の受領」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドには、オンサイトアセスメントフローの情報は含まれません。アセスメントアクションの選択の詳細については、「RMA 資産を評価する」を参照してください。
期日	このタスクの完了予定日。
Assigned to (アサイン先)	資産の修復タスクの作業を担当する個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
タスク完了の結果は、[評価結果] フィールドで選択した値に従って変更されます。

- [再展開可能] を選択すると、評価タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドが 完了 に設定されます。
- [廃棄対象] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 、入荷出荷 に設定されます。新しい受信資産オーダーが作成されます。

次のタスク
DaaSプロバイダーへの資産の配送

DaaSプロバイダーへの資産の配送

資産を DaaS プロバイダーに返却し、出荷タスクを使用して出荷の詳細を記録します。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが [出荷] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産タスクの詳細フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	出荷タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
資産	関連する RMA 応答注文明細行の作成時に選択された資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
配送業者	DaaSプロバイダーへの資産の出荷を担当する組織。例:FedEx。
配送元	資産を出荷する元の場所。
出荷日	DaaSプロバイダーに資産を配送する出荷日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [配送] に設定されます。
ステータス	出荷タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	出荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	船タスクの作業を担当する個人。
追跡番号	資産の出荷の追跡番号または参照番号。
配送先	資産の出荷先。
出荷注文	出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルで作成された出荷レコードへの参照。 このフィールドは、出荷タスクがクローズされると自動的に入力されます。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 出荷タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが 資産の受領である一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- 出荷情報を含む [出荷資産] タブが表示されます。
- 出荷タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- RMA 応答注文明細行の ステージ フィールドは 受領 に設定されます。

次のタスク

資産の受領

資産の受領

DaaSプロバイダーへの資産の出荷が完了したら、受領タスクを使用して資産の受領を確認します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からの DaaS アプリケーションハードウェア資産管理のインストール ServiceNow Store.
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store.

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **DaaS** プロバイダービューを選択します。
3. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
4. RMA オーダー番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文明細] タブを選択します。
6. タスクタイプが [資産の受領] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

[資産を受領] フォーム

フィールド	説明
[Number (番号)]	資産受領タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文明細番号。
期日	このタスクの完了予定日。
資産	関連する RMA 応答注文明細行の作成時に選択された資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
資産受領済み	資産の受領を確認するオプション。 値:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ はい:資産は DaaS プロバイダーによって受領されます。 ○ いいえ:資産は DaaS プロバイダーによって受領されません。 **注:** このタスクをクローズするには、[はい] を選択する必要があります。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [確認の受信] に設定されます。
ステータス	受領タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	確認の受領タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	受領タスクの作業を担当する個人。
倉庫	タスクの短い説明。
簡単な説明	タスクの詳細な説明です。
説明	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。
作業メモ	受領タスクの一意の番号。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[資産受領 済み] フィールドで選択した値に応じて変更されます。
  - 資産のオンサイト評価で [はい] を選択すると、受領タスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。入庫資産注文明細行の ステージ フィールドが 完了 に設定されます。入庫資産オーダーの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
  - 資産のオフサイトアセスメントで [はい] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが **[RMA** 資産を評価 **(Evaluate RMA asset**)] である一意の資産タスク番号が表示されます。入庫資産注文明細行の ステージ フィールドは 評価 に設定されます。
- 資産受領タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。

次のタスク

RMA 資産を評価する

DaaS リファレンス

参照トピックは、サービスとしての資産 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア資産管理 **for DaaS**と一緒にインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、DaaS 用ハードウェア資産管理 (com.sn_daas_ham) プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
DaaS マネージャー [sn_daas_ham.daas_asset_manager]	• 受信資産の注文や返品許可 (RMA) 注文などの重要なアクション、レポート、要求へのアクセスと実行を含む、 DaaSのあらゆる側面を管理します。 • 資産を DaaS 資産としてマークします。	資産マネージャー [asset]

インストールされるテーブル

テーブル	説明
RMA 応答 [sn_daas_common_rma_response_order]	複数の注文明細がある返品承認 (RMA) 要求に関する情報 (発信元アカウントや配送先などの詳細を含む)。
RMA 応答注文ライン [sn_daas_common_rma_response_orderline]	RMA の作成に関連付けられたモデルと資産の情報。
受信資産注文 [sn_itam_common_inbound_asset_order]	発信元アカウントや配送先など、複数の注文明細を含む資産要求に関する情報。
受信資産注文明細行 [sn_itam_common_inbound_asset_orderline]	資産が要求されているモデルに関する情報。

資産管理

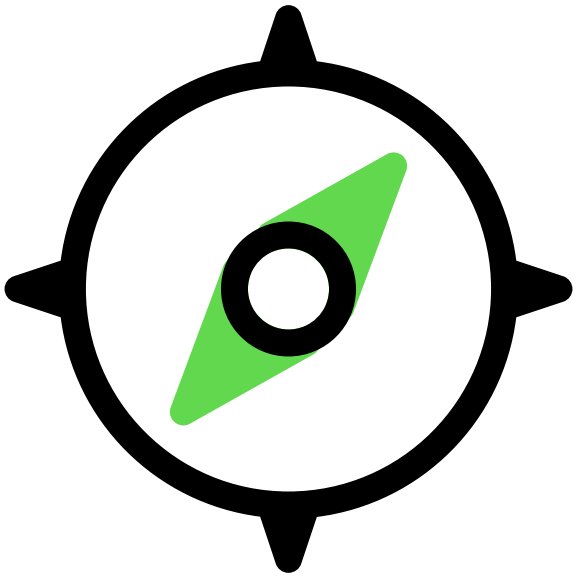
資産管理 アプリケーションで、情報テクノロジー資産の物理的、技術的、契約上、財務上の側面を統合します。資産管理 は、会社の財産の財務追跡に重点を置いています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

探索



資産管理アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- で質問や回答をする 資産管理 ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

資産管理 ワークスペース の探索

資産管理アプリケーションのユーザーインターフェイスが強化され、より使いやすく直感的になり、ハードウェアのインストールをより適切に管理できるようになりました。

資産 ワークスペース と呼ばれる資産管理新しいユーザーインターフェイスを使用することも、クラシック資産管理を引き続き使用することもできます。

資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

Vancouver リリースから新しく資産管理アプリケーションを使用している場合、資産管理 ワークスペースはデフォルトでインストールされます。

注:
アセット ワークスペース は、デフォルトでは zBoot ServiceNow インスタンスにのみインストールされ、最新バージョンにアップグレードされた ServiceNow インスタンスにはインストールされません。ハードウェア資産管理 アプリケーションがアクティブ化されると、資産ワークスペースがハードウェア資産ワークスペースに置き換わります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ワークスペース の使用

資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、ストックルームのダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- ハードウェア資産の概要
- インベントリビュー
- 資産一覧ビュー
- モデル管理ビュー
- 契約管理ビュー

Vancouver リリースにアップグレードする場合、資産ワークスペースを使用するには、資産管理 ワークスペース (sn_itam_workspace) プラグインをアクティブ化する必要があります。

注:
資産管理 ワークスペースに移行した後も、資産管理 クラシックを使用できます。詳細については、「Asset Management」を参照してください。

ハードウェア資産の概要

最新化された分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、資産管理エクスペリエンスを向上させます。ハードウェア資産の概要は、簡素化された直感的な環境であり、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次の操作を行います。

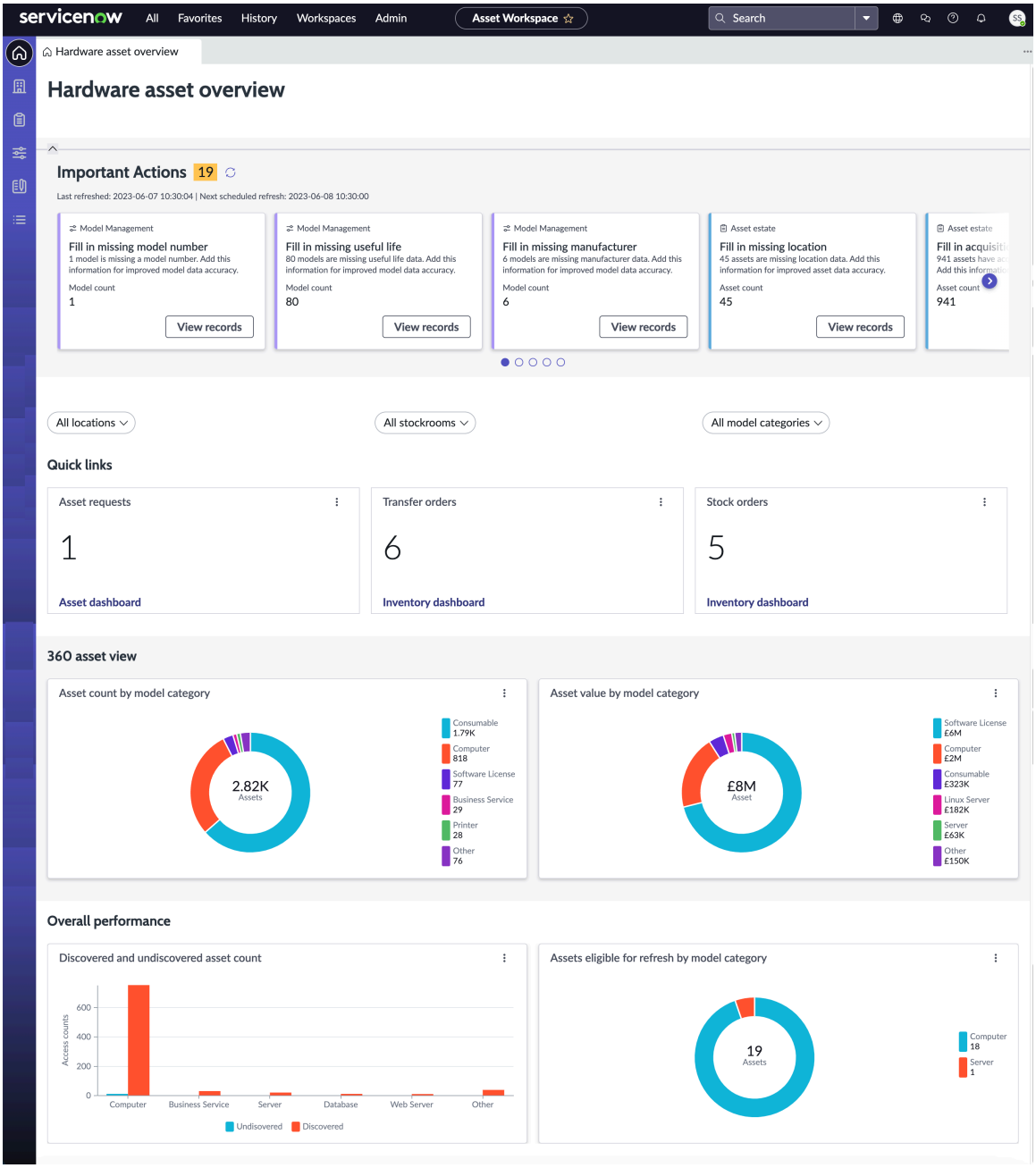
- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、またはメーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- 資産要求、転送注文、在庫注文などの資産機能に関する特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリ別の資産数とモデルカテゴリ別の資産価値を表示する 360 度資産ビューセクションを表示します。
- 検出済みおよび未検出の資産数とモデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する全体的なパフォーマンスセクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。場所、倉庫、およびモデルのカテゴリリストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要



クイックリンク

ウィジェットまたはチャート	説明
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	アクティブな転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫注文アイテムの数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度資産ビュー

ウィジェットまたはチャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたはチャート	説明
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産と未検出資産の数の比較。未検出の資産とは、まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産のことです。
モデルカテゴリ別の更新対象資産	既に期限切れになっている資産、または現在の日付が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

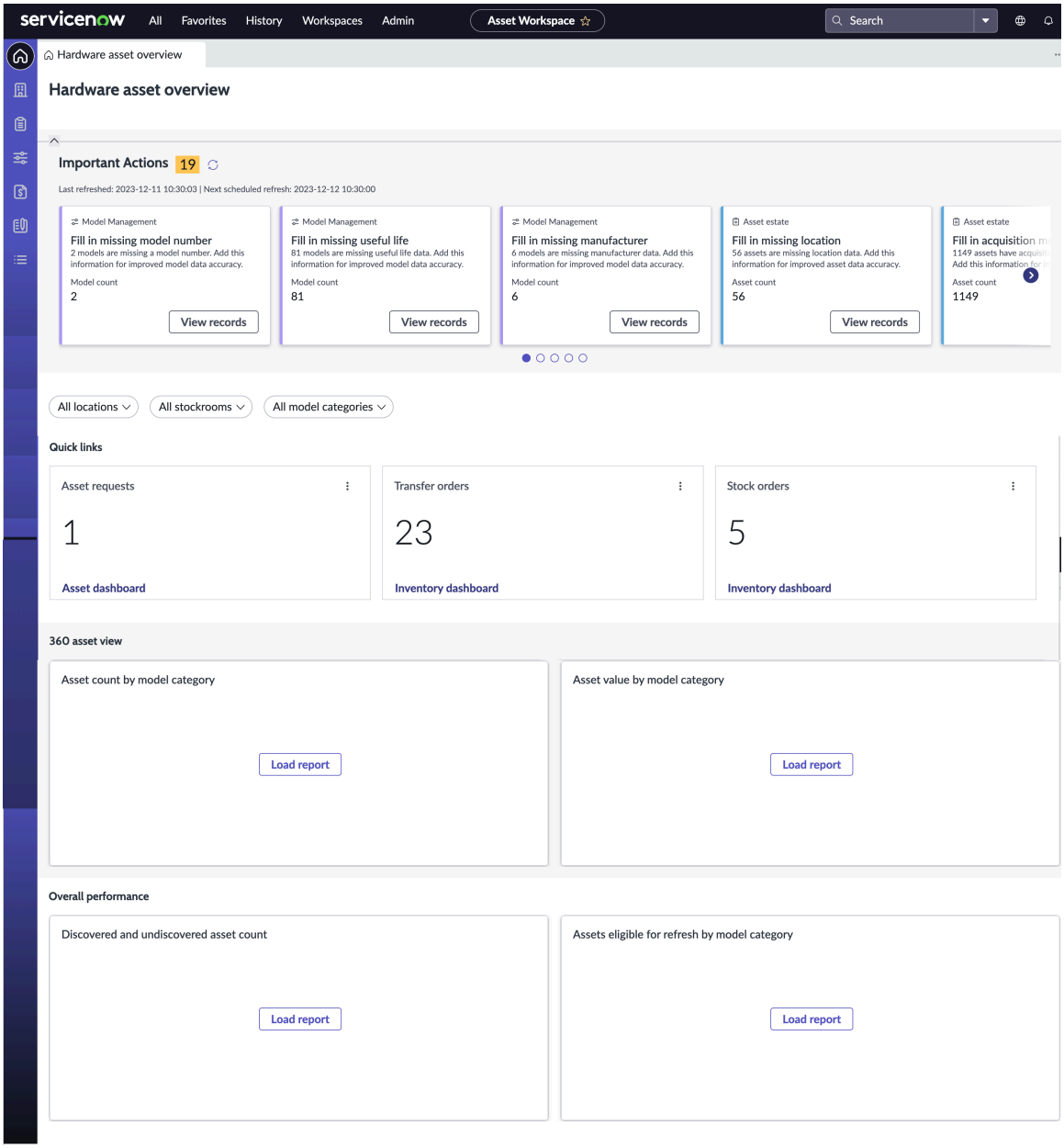
大量の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドで大量の資産レコードをフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。このアプローチにより、[ハードウェア資産の概要] ページのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、レポートをページと同時にロードするオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNow インスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合、[レポートのロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



インベントリビュー

資産ワークスペースのインベントリビューを使用して、ストックルームや転送注文などのインベントリ関連機能を表示および管理します。

インベントリビューでは、アサイン先グループ、ストックルーム名、マネージャー、タイプなど、不足しているストックルームの詳細を入力するアクションにアクセスできます。

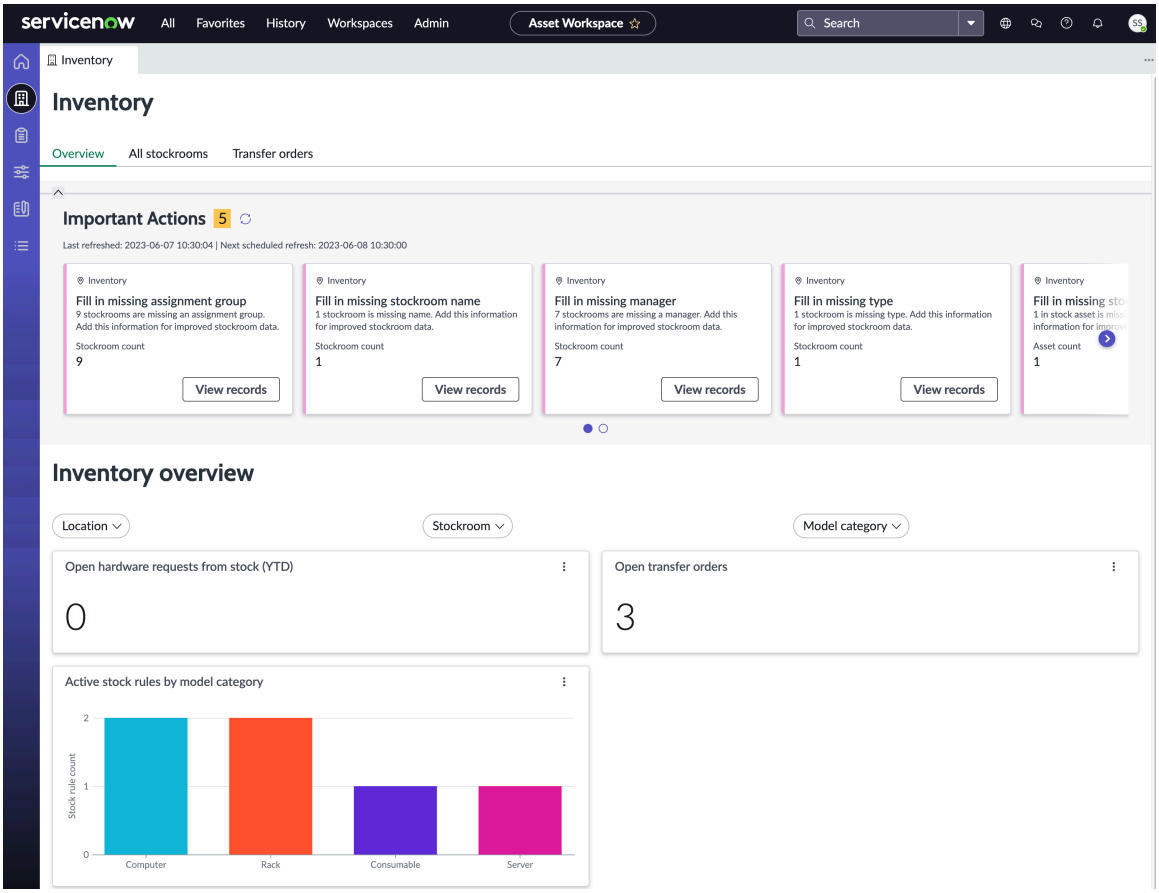
ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。場所、倉庫、モデルカテゴリ、およびドメインフィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (プラグイン com.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にしている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



インベントリの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	既に配送され、今年作成された調達タイプの転送注文の数。
オープン中の転送注文	キャンセル済みまたは未配送の転送注文の数。
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。

資産一覧ビュー

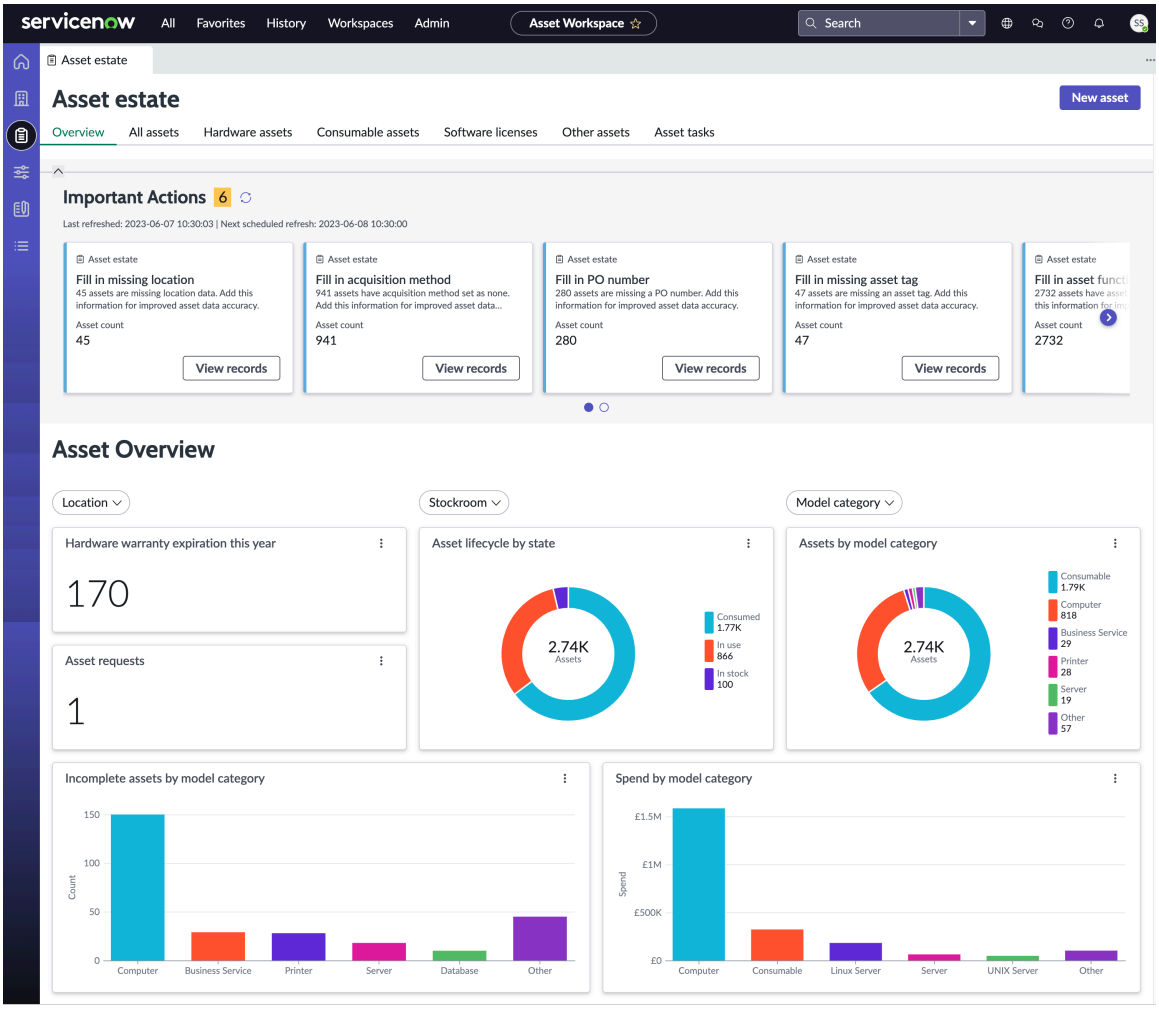
資産ワークスペースの資産一覧ビューを使用して、資産を作成、表示、変更し、資産機能と通知を管理します。

注:
ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) またはソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合は、[ソフトウェアライセンス] タブは非表示になります。このソフトウェアライセンスタブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビュー



資産の概要

チャートまたはウィジェット	説明
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアおよび消耗資産の数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバー などのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
モデルカテゴリ別の不完全資産	発注書番号、発注明細、または受領明細のない資産モデル。
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

資産一覧ビューにレポートをロード

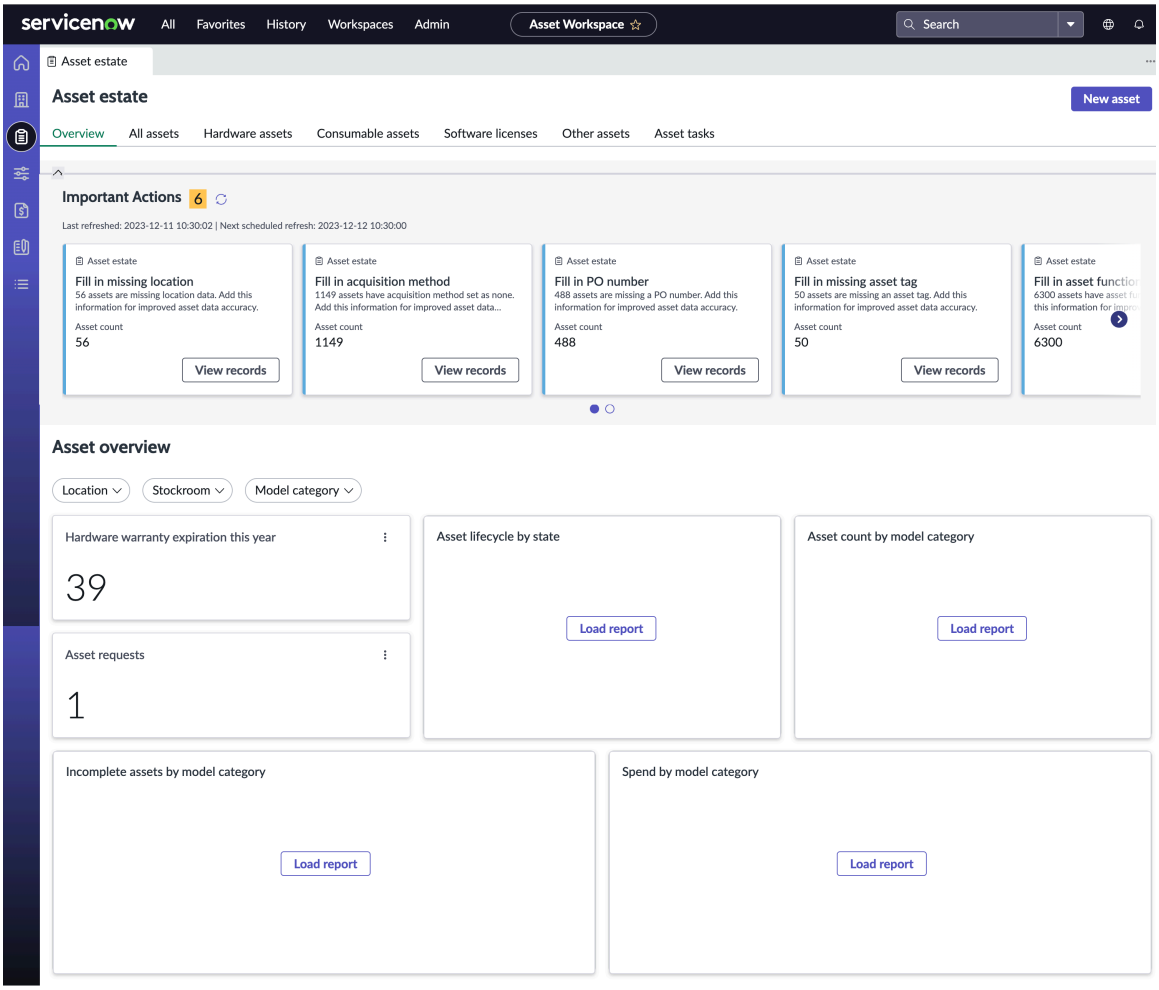
大量の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドで大量の資産レコードをフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。この方法により、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ*sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、レポートをページと同時にロードするオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティを有効にすると、[レポートをロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

資産一覧ビューにレポートをロード



インストールベースアイテム (IBI) 資産をレポートから除外する

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

デフォルトでは、資産一覧ビューのレポートと重要なアクションには、資産 [alm_asset] テーブルのすべての資産が含まれます。ただし、レポートおよび重要なアクションカードから IBI 資産をフィルタリングすることはできます。IBI 資産をフィルタリングするために必要な構成の詳細については、Now Supportナレッジベースの記事「Sold products exclusion from the reports and Important Actions of Asset Workspace [KB1584331] (販売済み製品のレポートからの除外」および「資産ワークスペースの重要なアクション」 [] を参照してください)

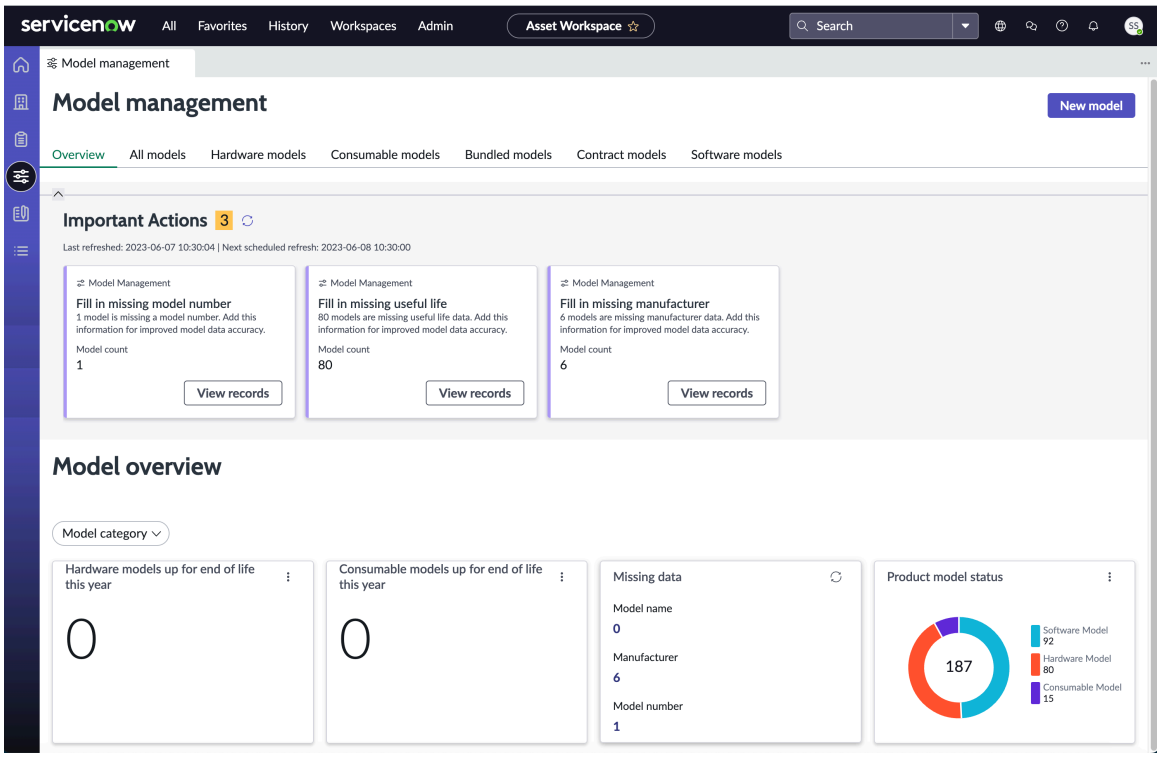
モデル管理ビュー

資産ワークスペースの [モデル管理] ビューを使用して、モデルの作成または変更を行ったり、提供終了間近のハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連機能を表示および管理したりします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) またはソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合は、[ソフトウェアモデル] タブは非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

モデル管理ビュー



モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年サポート終了が迫っているハードウェアモデル	サポート終了フェーズの開始日が今年であるハードウェアモデルの数。
今年サポート終了が迫っている消耗品モデル	サポート終了フェーズの開始日が今年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づいた、ハードウェア、消耗品、ソフトウェアモデルの現在の数。

契約管理ビュー

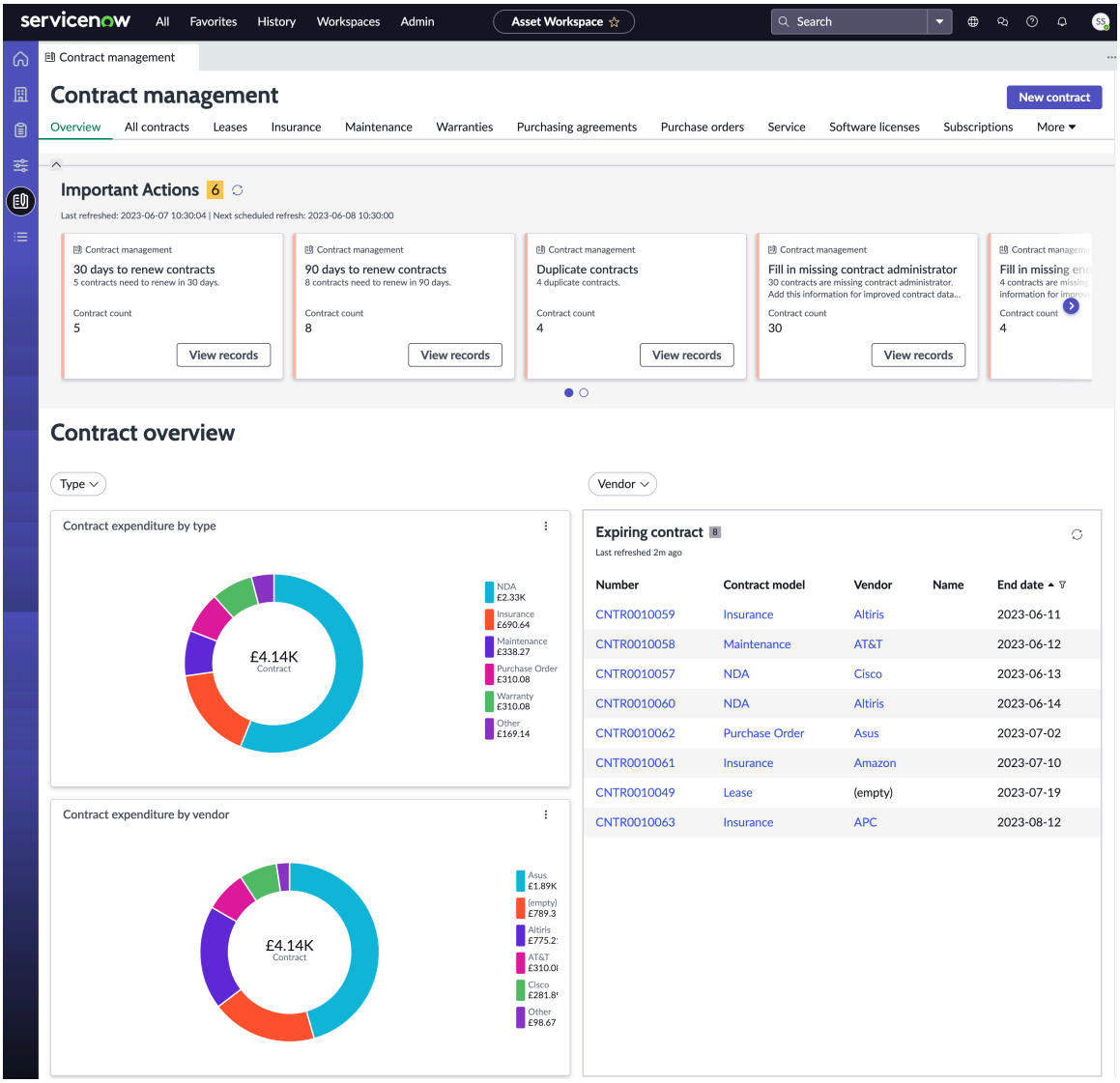
資産ワークスペースの [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件の文言など、契約の詳細を表示および管理します。

[契約管理] ビューには、契約を管理するための重要なアクション、タイプとベンダー別の契約支出、および期限切れ間近の契約のリストが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理ビュー



エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 は、企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理するビジネスアプリケーションです。

エンタープライズ資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

エンタープライズ資産管理アプリケーションの概要

エンタープライズ資産管理アプリケーションは、資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、資産の使用可能寿命を最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

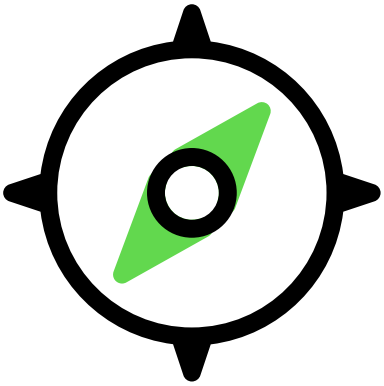
また、 エンタープライズ資産管理 TechBytesポッドキャストは、 ServiceNow コミュニティ .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

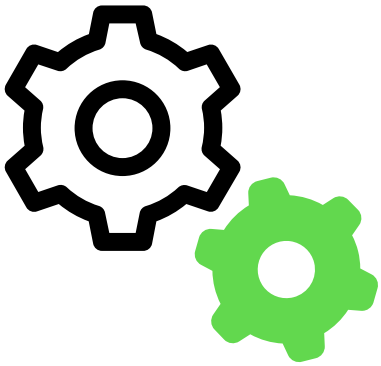
始めましょう

探索



エンタープライズ資産管理アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

構成



特定のニーズを満たすようにエンタープライズ資産管理アプリケーションを構成します。

管理

エンタープライズモデルと資産を作成および管理します。

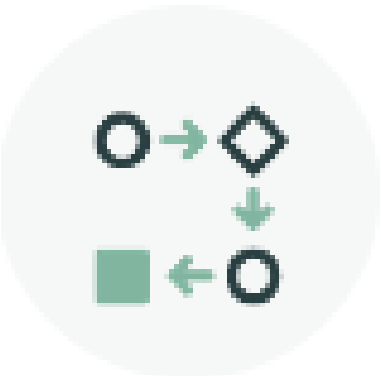
調達

エンタープライズ資産インベントリと契約を作成および管理します。

ディスパッチ

エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

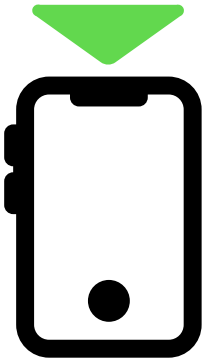
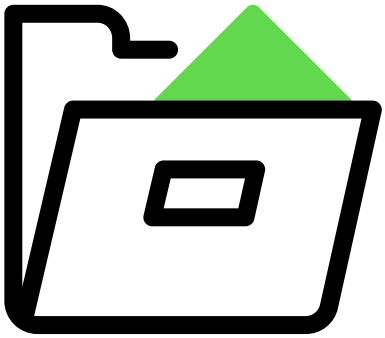
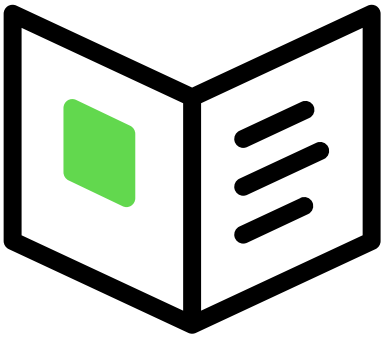
ワークフロー



サービスカタログアプリケーションを使用して、ワークフローのカタログ要求を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエクスペリエンス	取得	参照
		
モバイルアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産と資産タスクを作成および管理します。	調達アプリケーションを使用して、要求されたエンタープライズ資産を調達および受領します。	ロール、フィールドの説明、ドメインセパレーション、および用語の詳細を取得します。

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow Community でエンタープライズ資産管理に関する質問や他のリソースを調べる
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

エンタープライズ資産管理 の探索

エンタープライズ資産管理アプリケーションを使用して、ダウンタイムの短縮、資産使用率の向上、資産寿命の延長を実現し、資産集約型組織の運用コストを削減することで、資産の品質とパフォーマンスを最適化します。

エンタープライズ資産管理の概要

エンタープライズ資産管理は、規範的なワークフローを使用して、物理的なビジネス資産のライフサイクル全体を自動化します。エンタープライズ資産管理を使用すると、計画から廃棄まで資産を追跡して管理することで、エンタープライズ資産の収益率を最大化し、投資コストと運用コストを管理し、リスクを軽減できます。

エンタープライズ資産管理ユーザー

ユーザー	説明
エンタープライズアドミニストレーター	作業には、戦略的イニシアチブの計画、資本計画の管理、資産リターンの最適化が含まれます。
エンタープライズ資産マネージャー	作業には、ダウンタイムの短縮、資産寿命の延長、在庫の合理化が含まれます。
エンタープライズ技術者	作業には、生産性の向上と応答時間の改善が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー	説明
医療資産マネージャー	エンタープライズ資産マネージャーが実行するタスクに似ていますが、特に医療セクター内です。
医療技術者	エンタープライズ資産技術者が実行するタスクに似ていますが、特に医療セクター内です。
施設資産管理者	エンタープライズ資産マネージャーが実行するタスクに似ていますが、特に施設管理セクター内です。
施設技術者	エンタープライズ資産技術者が実行するタスクに似ていますが、特に施設管理セクター内です。
オペレーショナルテクノロジー資産マネージャー	エンタープライズ資産マネージャーが実行するタスクに似ていますが、特に運用テクノロジーセクター内です。
オペレーショナルテクノロジー資産技術者	エンタープライズ資産技術者が実行するタスクに似ていますが、特に施設管理セクター内です。

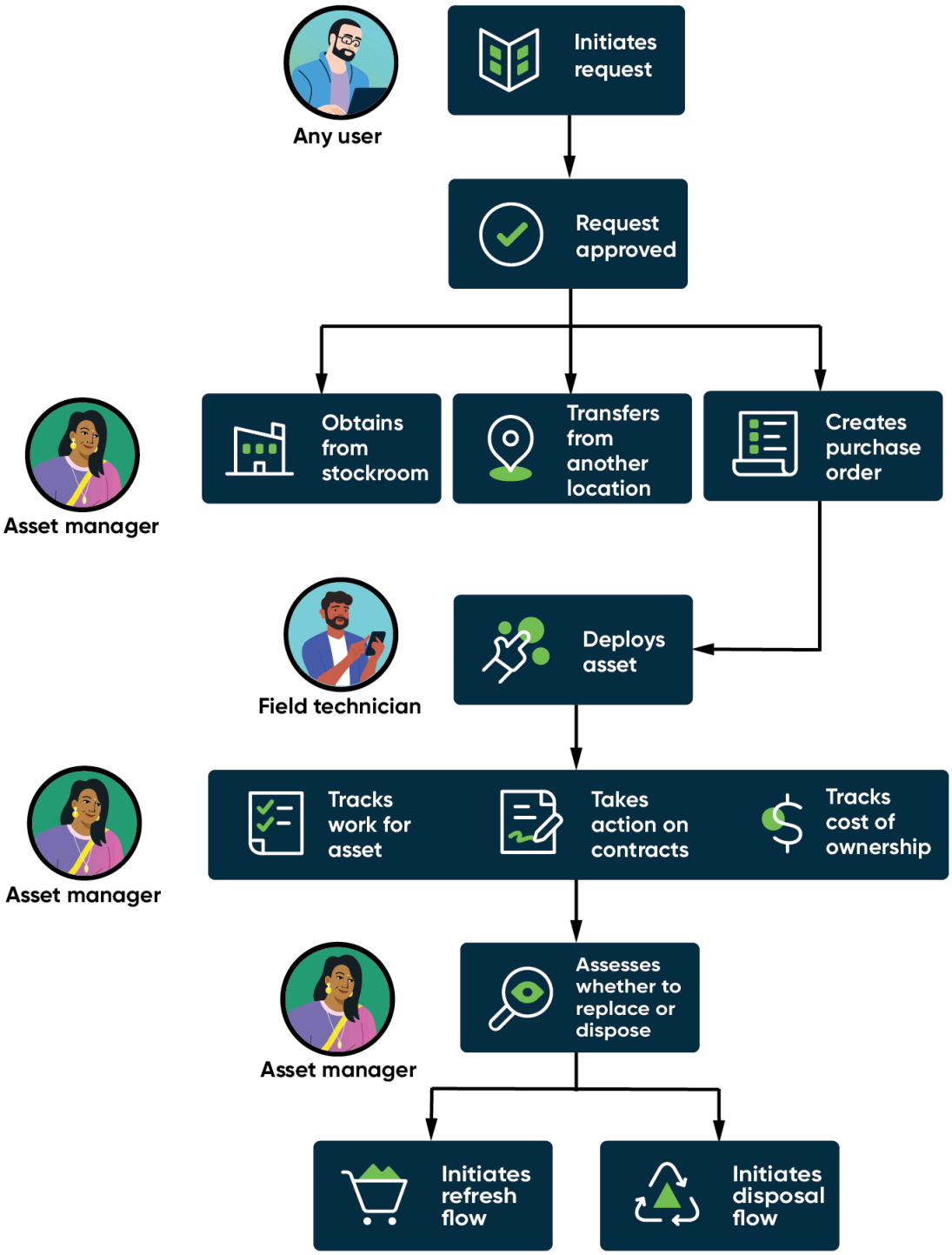
エンタープライズ資産管理ワークフロー

次の図は、エンタープライズ資産管理ワークフローに関連するタスクを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産管理を使用するさまざまなユーザーを示すワークフロー



自動翻訳

1. 任意のロールのユーザーが、サービスカタログアプリケーションを使用して資産の要求を開始します
2. 要求が作成され、承認のために送信されます。
3. 承認後、資産アドミニストレーターは要求された資産を調達するプロセスを開始します。
4. 資産マネージャーは、ストックルームから資産をローカルで調達するか、別の場所から転送するか、または新しい発注書を作成するかを評価します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 資産アドミニストレーターは、資産を調達するための新しい発注書を作成することにしました。
6. 発注書 (PO) を受領すると、フィールド技術者は資産を展開します。
7. 資産アドミニストレーターは、作業指示書と作業指示書タスクを使用して資産の作業を追跡および管理します。
8. さらに、資産アドミニストレーターは資産の契約を作成し、有効期限が近づいている契約または既に期限切れになっている契約に対してアクションを実行して管理できます。
9. 資産アドミニストレーターは、資産の総所有コストを追跡することもできます。
10. 資産の耐用年数の終わりが近づくと、資産アドミニストレーターは資産を交換するか廃棄するかを評価します。
11. この決定に基づいて、資産マネージャーは資産のリフレッシュフローまたは廃棄フローのいずれかを開始します。

エンタープライズ資産管理のメリット

ベネフィット	機能	ユーザー
ダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のすべての側面を可視化します。	エンタープライズ資産ワークスペース	• エンタープライズアドミニストレーター • エンタープライズ資産マネージャー
医療および施設業界向けに独自にカスタマイズしたワークスペースを使用します。	医療および施設業界向けの構成可能なワークスペース	• 医療資産マネージャー (医療資産ワークスペース) • 医療資産技術者 (医療資産ワークスペース) • 施設資産マネージャー (施設資産ワークスペース) • 施設資産技術者 (施設資産ワークスペース) • エンタープライズアドミニストレーター • システムアドミニストレーター
資産の所有と管理の包括的なコスト分析により、資産価値を最大化します。	の資産総所有コスト (TCO) エンタープライズ資産管理	エンタープライズ資産マネージャー
個別のエンタープライズ資産およびリニア資産を追跡、管理、維持します。	エンタープライズ資産管理のリニア資産	エンタープライズ資産マネージャー
プレイブックを使用して単一および複数の資産をオンボーディングします。	エンタープライズ資産管理向けプレイブック	エンタープライズ資産マネージャー
再利用ワークフローを使用して、エンタープライズ資産のオ	エンタープライズ資産再利用	エンタープライズ資産マネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベネフィット	機能	ユーザー
フボーディングプロセスを簡素化します。		
リスクレベル別に資産を評価し、色分けされたヒートマップを生成します。	リスクスコアリング	エンタープライズアドミニストレーター
作業指示書を使用して、エンタープライズ資産の作業を追跡および管理します。	エンタープライズ資産の作業指示の管理	エンタープライズ資産マネージャー
エンタープライズ資産契約を作成および管理します。	エンタープライズ資産の契約の作成と管理	• エンタープライズアドミニストレーター • エンタープライズ資産マネージャー
修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を迅速に修理します。	修理フロー	エンタープライズ資産マネージャー
ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。	のインベントリピッキング エンタープライズ資産管理	インベントリユーザー
納品タスクを作成することで、個人のストックルームにある資産を簡単に返却できます。	返品タスク	• エンタープライズ資産技術者 • エンタープライズ資産マネージャー

自動翻訳

次に探索する内容

エンタープライズ資産管理 アプリケーションの構成と使用の詳細については、次のトピックを参照してください。

- エンタープライズ資産管理の構成
- エンタープライズモデルと資産の管理
- エンタープライズ資産インベントリと契約の管理
- エンタープライズ資産の作業指示の管理
- エンタープライズ資産管理要求とフローにサービスカタログを使用する

エンタープライズ資産ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースを使用して、すべての資産の包括的なビューを取得し、効率的に管理します。

エンタープライズ資産ワークスペースの状況

Enterprise 資産ワークスペースは、複数のビューを備えた統合メディアです。ビューを使用すると、すべての資産、モデル、ストックルーム、ストックルームタイプを可視化できます。転送注文、廃棄注文などの複数のワークフローを作成することもできます。また、ダッシュボードを介してアナリティクスにアクセスすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ある環境から別の環境に変更を移動するたびに、資産のプロパティテーブルの *Enterprise Asset Classes* プロパティと *Enterprise Model Classes* プロパティを更新セットに含めます。更新セットの詳細については、「 更新セットの転送 」を参照してください。

Enterprise 資産ワークスペースに移動するには、次の 2 つの方法があります。

- ネクストエクスペリエンス UI フレームワークがインスタンスでオンになっている場合: [ワークスペース]、[**Enterprise** 資産ワークスペース] の順に選択します。
- インスタンスで ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク がオフになっている場合: 左側のナビゲーションバーで、「 Enterprise 資産ワークスペース」と入力します。新しいタブで Enterprise 資産ワークスペースメニューを開く場合に選択します。

Enterprise 資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- のエンタープライズ資産の概要 エンタープライズ資産ワークスペース
- Enterprise 資産ワークスペースの資産アナリティクスの概要
- エンタープライズ資産ワークスペースのインベントリの概要
- エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要
- エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要
- の正規化の概要 エンタープライズ資産管理
- Enterprise 資産ワークスペースの契約とリースの管理の概要

インライン編集

レコードを開いてフォームのフィールドを変更するのではなく、 ServiceNow インスタンスでインライン編集を有効にして、フィールドを直接変更できるようにします。インライン編集の有効化の詳細については、「 インライン編集の有効化」を参照してください。

> **注:**
> ServiceNowインスタンスでインライン編集を有効にすると、すべてのServiceNowアプリケーションで有効になります。

のエンタープライズ資産の概要 エンタープライズ資産ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースのランディングページとして Enterprise 資産の概要を使用して、主要なメトリクスに関するインサイトを取得します。

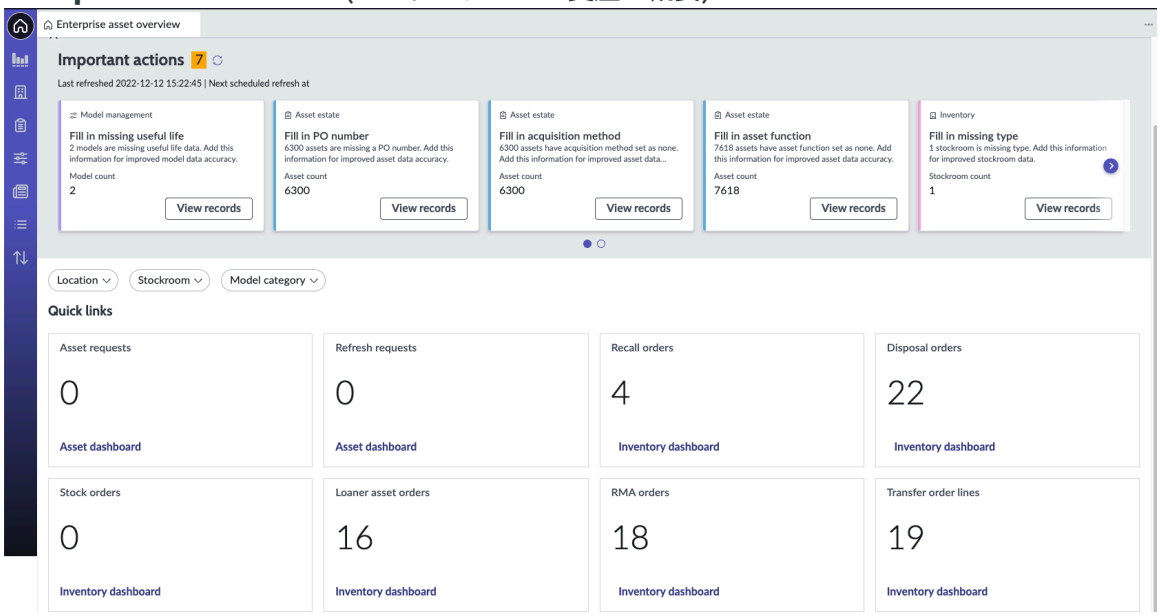
Enterprise 資産概要ダッシュボードを使用して、次のタスクを実行します。

- 不足している製造データ、モデル番号、または資産タグ情報の入力など、即時の対応が必要な重要なアクションアイテムを特定して対処します。
- 資産要求、転送注文、在庫注文、資産更新要求、廃棄注文、および返品許可 (RMA) 注文を検索して追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise asset overview (エンタープライズ資産の概要)



詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、関連するウィジェットを選択します。場所、倉庫、モデルカテゴリ、および分類フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。[分類] フィルターの詳細については、「 分類コード」を参照してください。

ダッシュボードのクイックリンク

ウィジェット	説明
資産要求	アイテムのモデルが消耗品モデルまたはエンタープライズモデルである要求アイテムの数。
転送注文ライン	アクティブな転送注文ラインの数。
在庫注文	要求されたインベントリ在庫注文アイテムの数
更新要求	オープン中の資産の注文更新要求の数。
リコール注文	オープン中のリコール注文の数。
廃棄注文	オープン中の廃棄注文の数。
貸与資産の注文	要求された貸与資産のオーダーの数。
返品許可 (RMA) 注文	オープンな返品承認 (RMA) 注文の数。

Enterprise 資産ワークスペースの資産アナリティクスの概要

[資産アナリティクス] ビューを使用すると、すべての資産、その全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細ビューを取得できます。

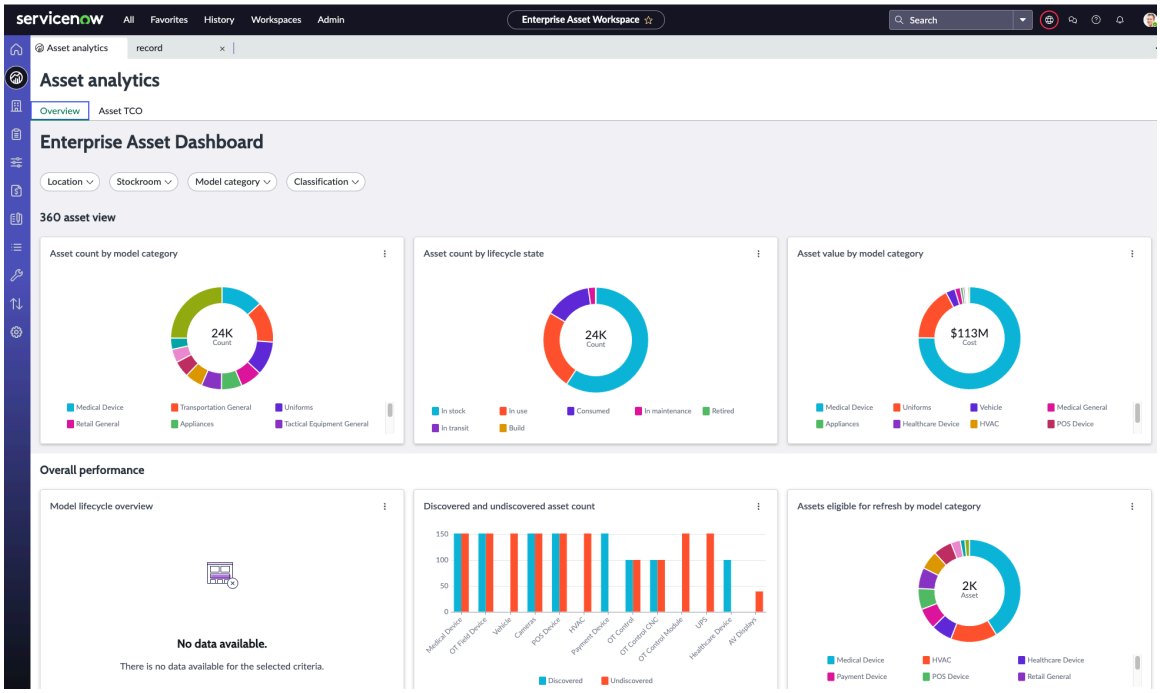
エンタープライズ資産ダッシュボード

エンタープライズ資産ダッシュボードを使用して、すべてのエンタープライズ資産に関する包括的な情報を取得します。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、および分類に基づいてデータをフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



360 度資産ビュー

ウィジェット	説明
モデルカテゴリ別の資産数	医療全般、医療診断などのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
ライフサイクルステータス別の資産数	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	車両、カメラ、フィールドデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェット	説明
モデルライフサイクルの概要	ライフサイクルフェーズ (一般提供、 提供終了、 サポート終了、 販売終了など) 別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産と未検出資産の数の比較。
モデルカテゴリ別の更新可能資産	既に期限切れになっている資産、または現在の日付が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

資産 TCO

このタブには、TCO の詳細ビューが表示され、TCO ベンチマークに関する資産のリアルタイムステータスを示す主要なメトリクスが表示されます。

新しい比較レポートを作成したり、既存の比較レポートを表示したりすることができます。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、および分類に基づいてデータをフィルタリングできます。

自動翻訳

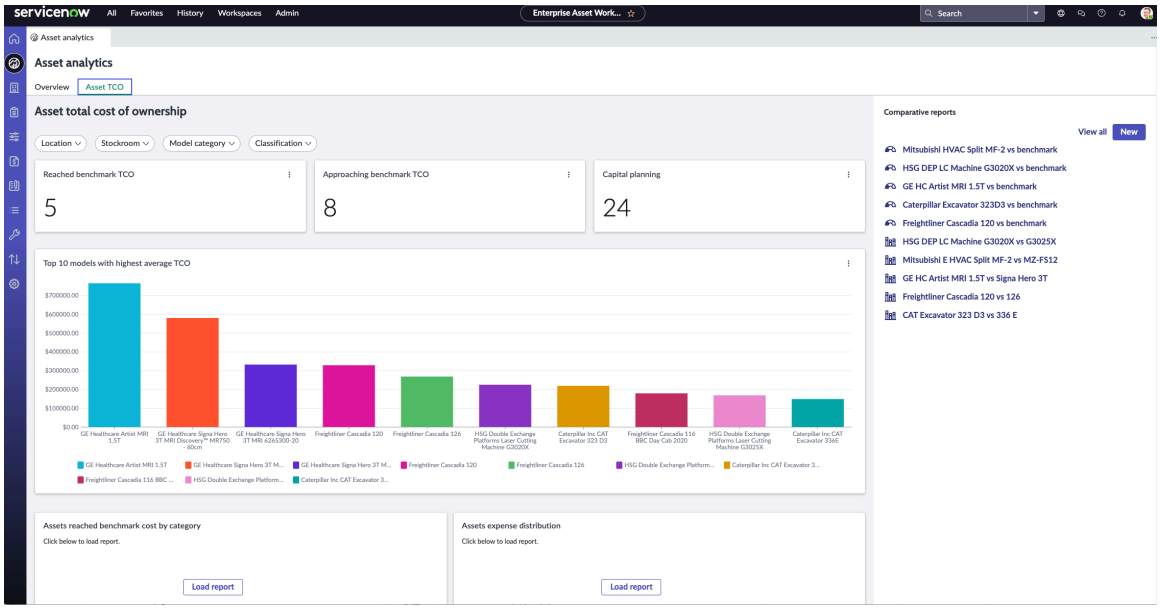
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての比較レポートのリストを表示するには、[すべて表示] を選択します。オフラインレポート (原価費目が 実績 **TCO** または 予測 **TCO** のいずれか) を除き、少なくとも 1 つのアクティブなレポートソースを持つレポートのみが表示されます。オフライン レポートのデータ ソースを更新するには、レポートを開き、 更新ジョブの実行 を選択します。このボタンは、オフラインレポートにのみ表示されます。このジョブが完了すると、最新の収集日が更新されます。

注:
オフラインレポートは、最新の収集日が入力されるまで比較レポートのリストに表示されません。

新規 を選択して、TCO レポートを作成できます。

レポートアイコンを選択してレポートを直接開くか、レポート名を選択してレポートフォームを開きます。



ウィジェット	説明
ベンチマーク TCO に到達した資産	ベンチマーク TCO に達した資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいている資産	ベンチマーク TCO に近づいている資産の数
資本計画	資本計画のための資産の数。資本計画の資産は、廃止されておらず、現在のライフサイクルフェーズが true である資産です。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	平均 TCO が最も高い上位 10 モデルを示す棒グラフ。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	ベンチマークコストに達したカテゴリ別の資産の数。
資産経費分配	次の原価費タイプに基づく資産経費配分: • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • Software (ソフトウェア) • 契約：リース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	説明
	• 契約： 保証 • 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理 • 労働 ：一般 • 再販価値
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	次の原価費目の基準に基づく、過去 12 か月間の資産の分布。 • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • Software (ソフトウェア) • 契約：リース • 契約： 保証 • 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理 • 労働 ：一般 • 再販価値

自動翻訳

エンタープライズ資産ワークスペースのインベントリの概要

Enterprise 資産ワークスペースのインベントリビューを使用して、インベントリしきい値を最適化し、再注文プロセスを自動化します。ワークフローを作成し、インベントリの詳細情報を表示できます。

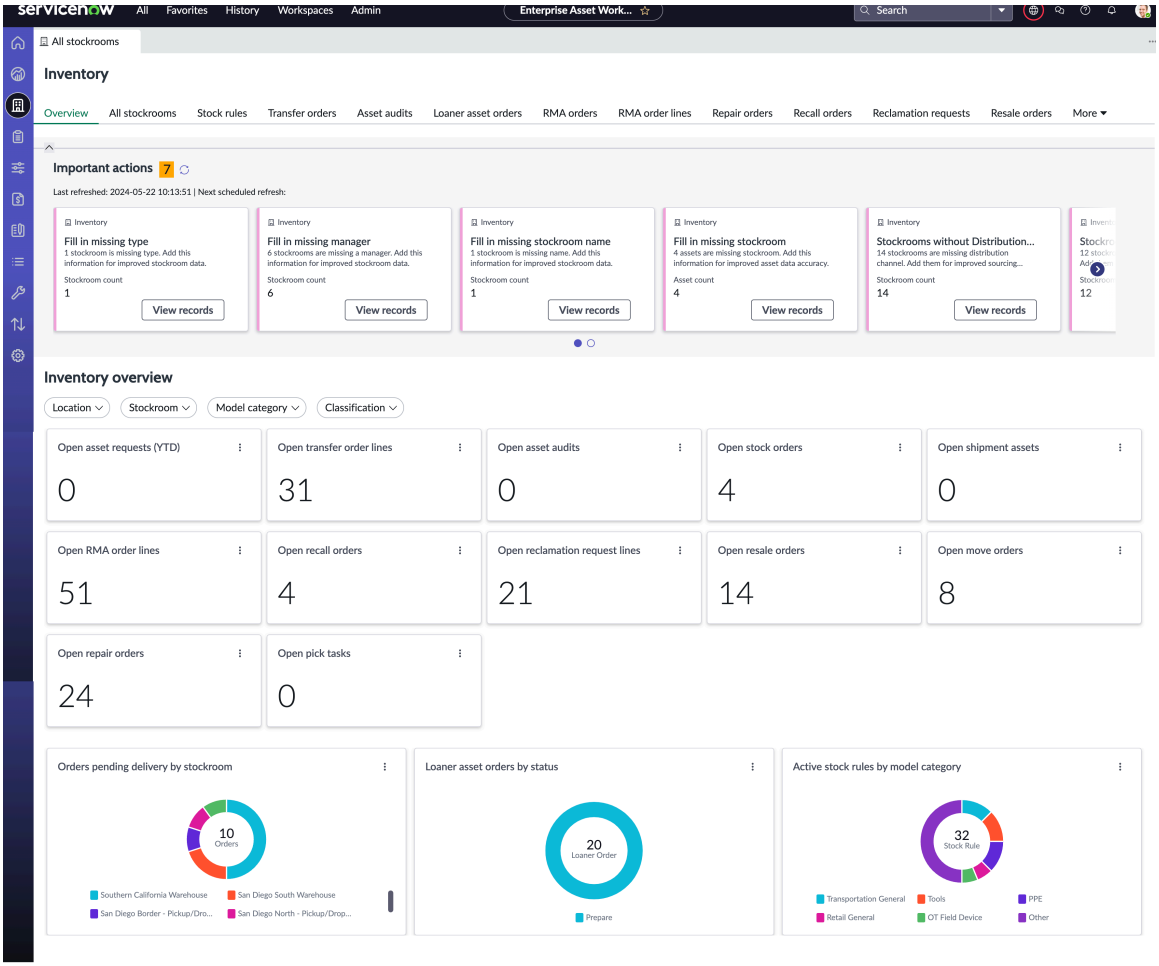
不足している倉庫タイプや倉庫名の入力など、緊急のインベントリ関連のアクションアイテムを処理します。

[Inventory] ビューにアクセスするには、 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。場所、倉庫、およびモデルカテゴリのフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

インベントリビュー



在庫を表示するには、次のタブを使用します。

- 概要:オープン中の転送注文ライン、オープン中の資産監査、ステータス別の貸与資産の注文など、すべてのインベントリデータを把握します。
- すべてのストックルーム:新しいストックルームを作成し、インベントリが保管されているストックルームを表示します。
- ストックルームタイプ:新しい倉庫タイプを作成し、インベントリで利用可能なさまざまなタイプの倉庫を表示します。
- 在庫ルール:新しい在庫ルールを作成し、既存の在庫ルールのリストを表示します。
- 資産監査:新しい資産監査レコードを作成し、既存の資産監査レコードを表示します。
- 廃棄注文:ライフサイクルの終わりに達した資産または機能しなくなった資産の廃棄注文ワークフローを作成します。
- 貸与資産のオーダー:すべての貸与資産のオーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文:欠陥資産のすべての返品承認 (RMA) 注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文明細:RMA 注文内のすべての返品承認 (RMA) 注文明細を表示し、適切なアクションを実行します。
- 転送注文:ストックルーム間で資産を移動するための転送注文ワークフローを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 取り消しオーダー:資産ベンダーによって取り消された資産の取り消しオーダーワークフローを作成します。
- 再利用要求:すべての再利用要求を表示して履行します。
- 再販オーダー:すべての資産再販要求を表示して履行します。
- 移動オーダー:ある場所から別の場所に移動する必要がある資産の移動オーダーを作成および表示します。
- 修理注文:ストックルームで資産の修理のために送信された修理注文のリストを表示します。修理注文を登録することもできます。

エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要

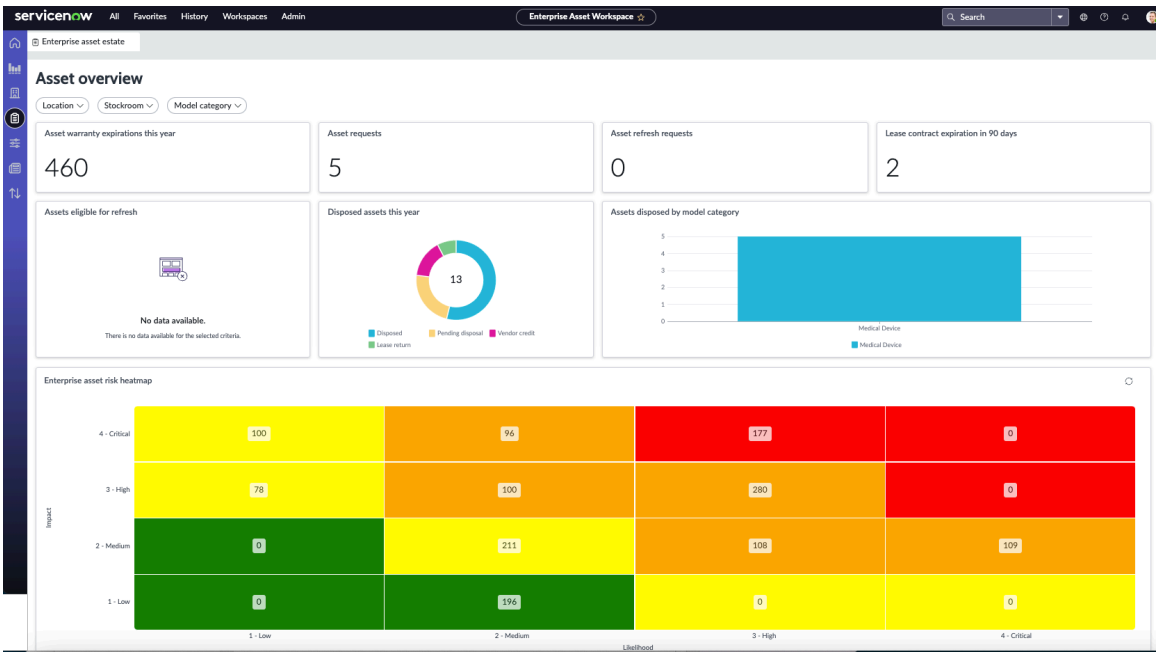
Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧ビューを使用して、資産を作成および管理します。ステータス別の資産ライフサイクル、今年の廃棄された資産、資産要求などの詳細を表示することもできます。

不足している資産タグや資産機能を入力するなど、緊急の資産関連のアクションアイテムを処理します。

Enterprise 資産一覧ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。場所、倉庫、およびモデルカテゴリのフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

エンタープライズ資産一覧ビュー



エンタープライズ資産一覧の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年有効期限が切れる資産保証	今年期限切れになる資産の数。
資産要求	カタログ内のエンタープライズ要求と消耗品要求の数。
資産リフレッシュ要求	更新処理待ちの資産の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズ資産一覧の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
90 日でリース契約終了	契約は 90 日後に期限切れになります。
更新対象となる資産	サポート終了間近で更新の対象となる資産。
今年の廃棄資産	今年廃棄された資産。
モデルカテゴリ別の廃棄資産	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。
エンタープライズ資産リスクヒートマップ	可能性と影響度の値を持つ資産数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンドスコアレコードが固定されていることを確認します。

の調達概要 エンタープライズ資産ワークスペース

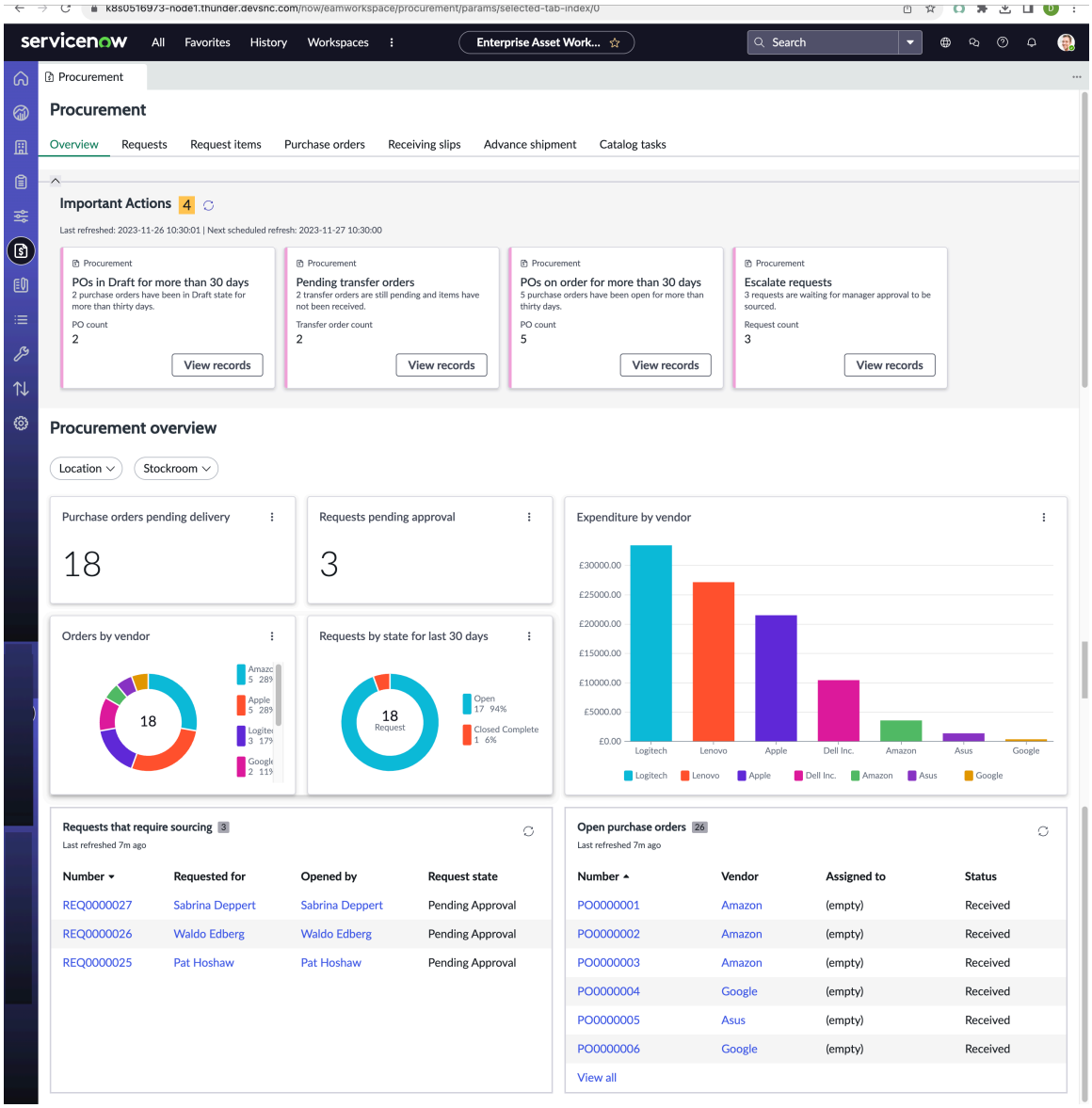
エンタープライズ資産ワークスペースを通じて、調達要求、発注書、調達タスク、受領伝票などの調達関連の詳細を表示および管理します。

エンタープライズ資産ワークスペースの調達ビューでは、未解決の要求、保留中の発注書 (PO) と転送注文、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達ビュー



ウィジェットまたはチャートを選択すると、より具体的な詳細が表示されます。場所、ストックルーム、およびドメインのフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (プラグイン com.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にしている場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求ステータスが [承認待ち] の調達可能でアクティブな要求の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調達の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。
ベンダー別の注文	注文済み、配送待ち、または個々のベンダーが受領した発注書 (PO) の数。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された要求をステータス別にグループ化したもの。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書 (PO)	要求または注文された発注書 (PO) またはまだ配送されていない発注書 (PO) のリスト。

エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise モデル管理ビューを使用して、Enterprise モデルを作成および管理します。モデルライフサイクルの概要、モデルステータス、提供終了が迫っているエンタープライズモデルなどの詳細も確認できます。

不足しているモデル番号や製造名の入力など、緊急のモデル関連のアクションアイテムに対処します。

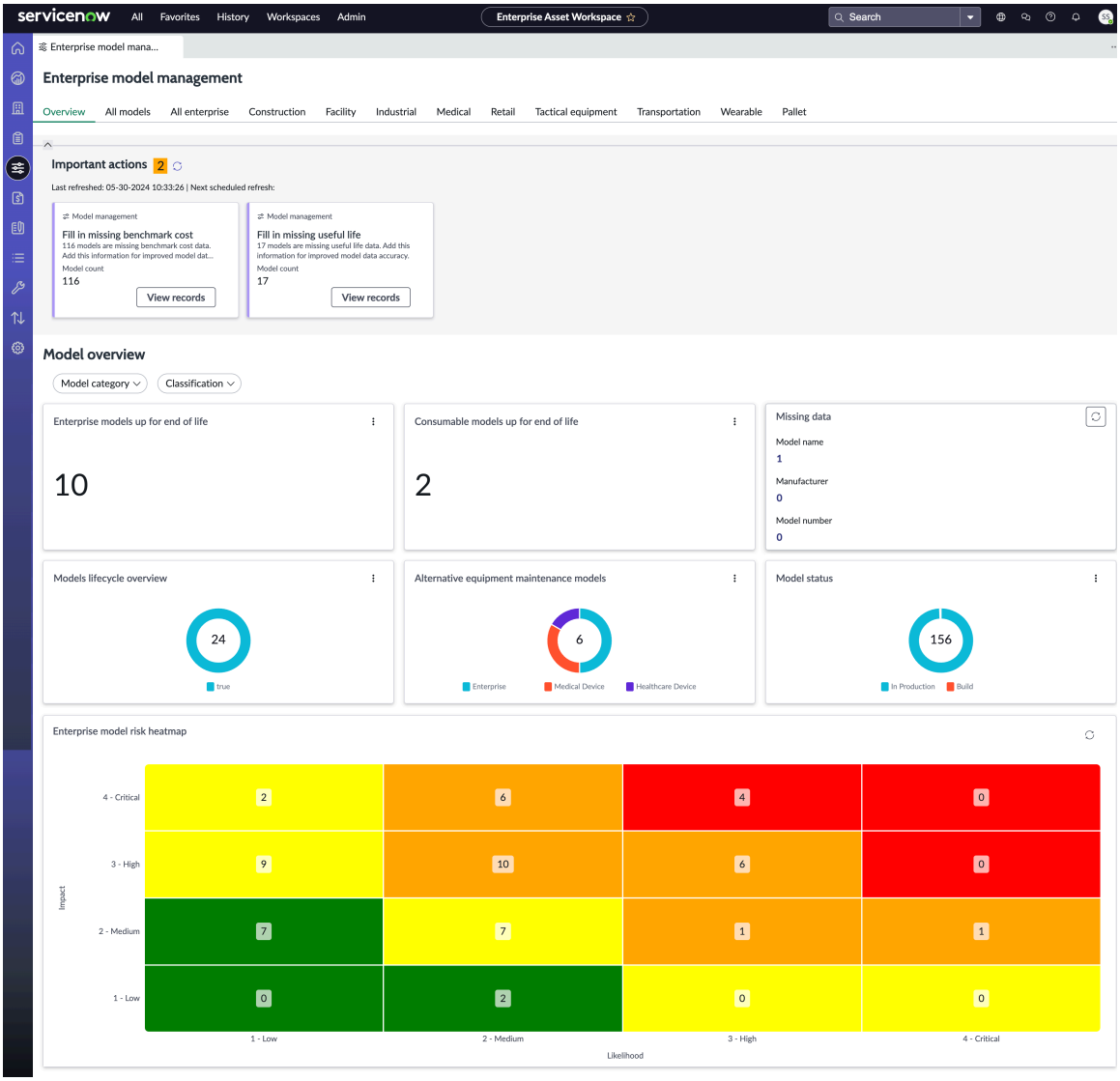
Enterprise モデル管理ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。モデルカテゴリフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズモデル管理ビュー



モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年提供終了が迫っているエンタープライズモデル	サポート終了フェーズの開始日が今年であるエンタープライズモデルの数。
今年サポート終了が迫っている消耗品モデル	サポート終了フェーズの開始日が今年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
代替機器のメンテナンスモデル	代替機器のメンテナンスが有効になっており、モデルカテゴリ別にグループ化されているモデルの数。
モデルステータス	モデルのステータスに基づくモデルの現在の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
エンタープライズモデルリスクヒートマップ	可能性と影響度の値が設定されているモデルの数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンドスコアレコードが固定されていることを確認します。 **注:** リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアが固定されていない場合、ヒートマップはドラフトモードでレンダリングされ、モデルレコードにリスク値がありません。これらのベクトルの 1 つだけがフリーズされている場合、ヒートマップはレンダリングされません。3 つのベクトルがすべて固定されている場合、ヒートマップは本番モードでレンダリングされ、リスク値がモデルレコードに入力されます。

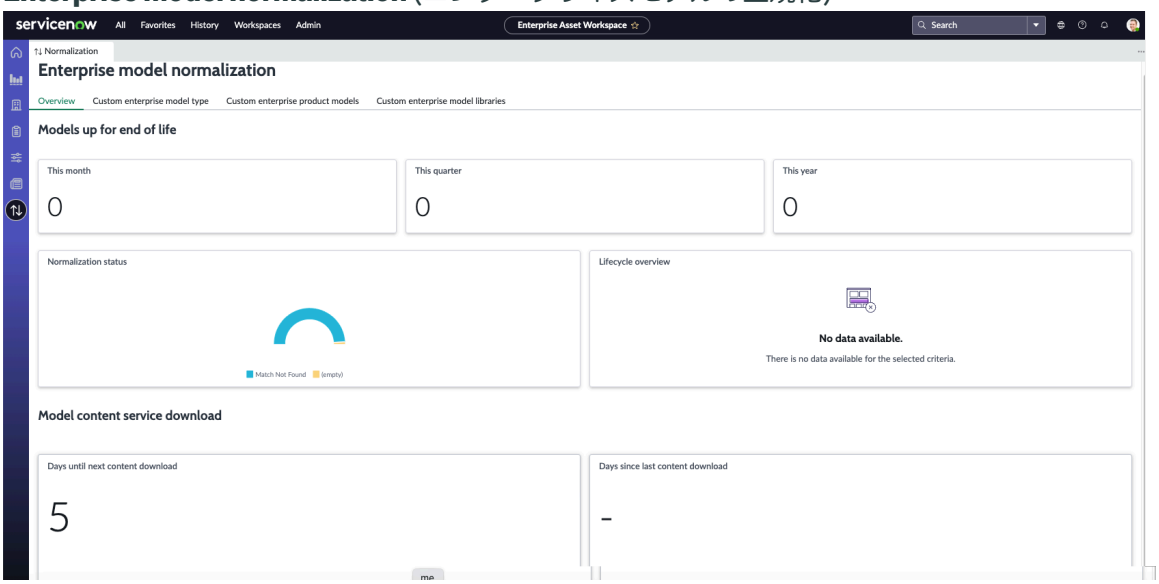
の正規化の概要 エンタープライズ資産管理

Enterprise 資産ワークスペースの [正規化] ビューを使用して、正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要などの正規化に関連する情報を表示します。

このビューから、カスタムエンタープライズモデルタイプ、製品モデル、およびモデルライブラリを作成することもできます。

[正規化] ビューにアクセスするには、 エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.

Enterprise model normalization (エンタープライズモデルの正規化)



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化ウィジェット

ウィジェット	ソース	説明
製品寿命が迫っている企業モデル	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	エンタープライズモデルのサポート終了の初期フェーズ。サポート終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるエンタープライズモデルの数を表示します。 **注:** アクティブで、モデルステータスが本番環境で、ライフサイクルタイプがパブリッシャーであるエンタープライズモデルのライフサイクルレコードのみが、今月、今四半期、または今年に表示されます
標準化ステータス		すべてのエンタープライズモデルの正規化ステータス。正規化されたエンタープライズモデルと正規化されなかったモデルの数を表示します。正規化ステータスの詳細については、「エンタープライズモデルの正規化ステータス」を参照してください。
ライフサイクルの概要	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージに存在するエンタープライズモデルの数 (一般提供、サポート終了、延長サポート終了、および販売終了)。 **注:** アクティブなエンタープライズモデルのライフサイクルレコードのみがこのウィジェットに表示されます。
エンタープライズモデルコンテンツサービスのダウンロード • 次のコンテンツのダウンロードまでの日数 • 前回のコンテンツダウンロードからの経過日数	データサービスのダウンロードスケジュール [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの日数と、次のダウンロードが行われるまでの残り日数。

自動翻訳

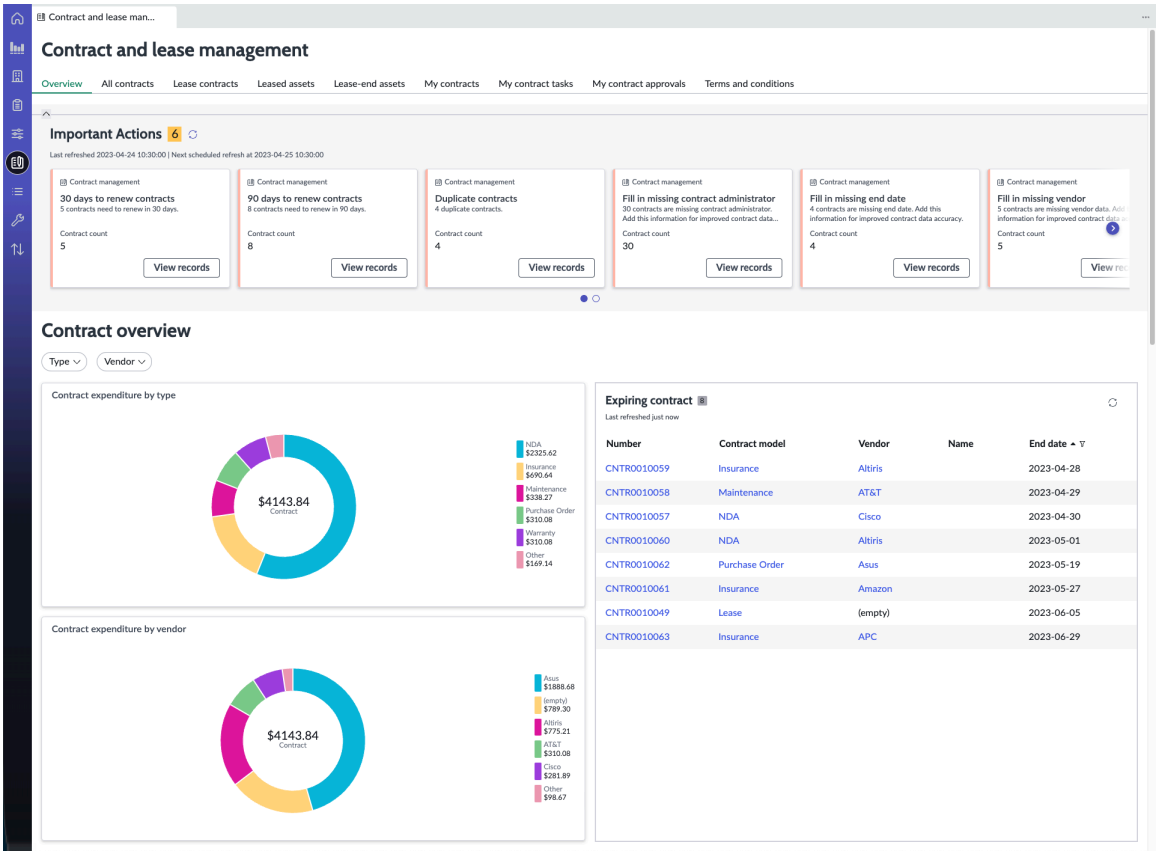
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースの契約とリースの管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [契約と リースの管理] ビューを使用して、エンタープライズ資産契約を作成および管理します。

[契約とリースの管理] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Contract and lease management** (契約とリース管理).

契約とリースの管理ビュー



エンタープライズ資産契約を表示および管理するには、次のタブを使用します。

- 概要:タイプ別の契約支出、ベンダー別の契約支出、期限切れが間近の契約など、すべての契約データを把握します。ドメイン、タイプ、ベンダーのフィルターを使用して、このデータを絞り込むことができます。

  さらに、エンタープライズ資産契約のすべての重要なアクションを表示します。
- すべての契約:エンタープライズ資産の契約を作成および表示します。サポートされている契約タイプには、リース、保険、メンテナンス、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプションなどがあります。
- リース契約:リースされたエンタープライズ資産の契約を作成および表示します。
- リース資産:組織全体のすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。
- リースエンド資産:リース終了プロセスが開始された契約に関連付けられているすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。ステータスが [完了] でないリースエンタープライズ資産に対してアクションを実行します。
- 自分の契約:管理しているすべてのエンタープライズ資産契約を表示します。
- 自分の契約タスク:管理している契約に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのオープンタスクを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自分の契約承認:承認待ちのすべてのエンタープライズ資産の契約および契約更新要求を表示します。
- 契約条件:エンタープライズ資産契約の契約条件を作成および表示します。

契約の詳細については、「 契約管理」を参照してください。

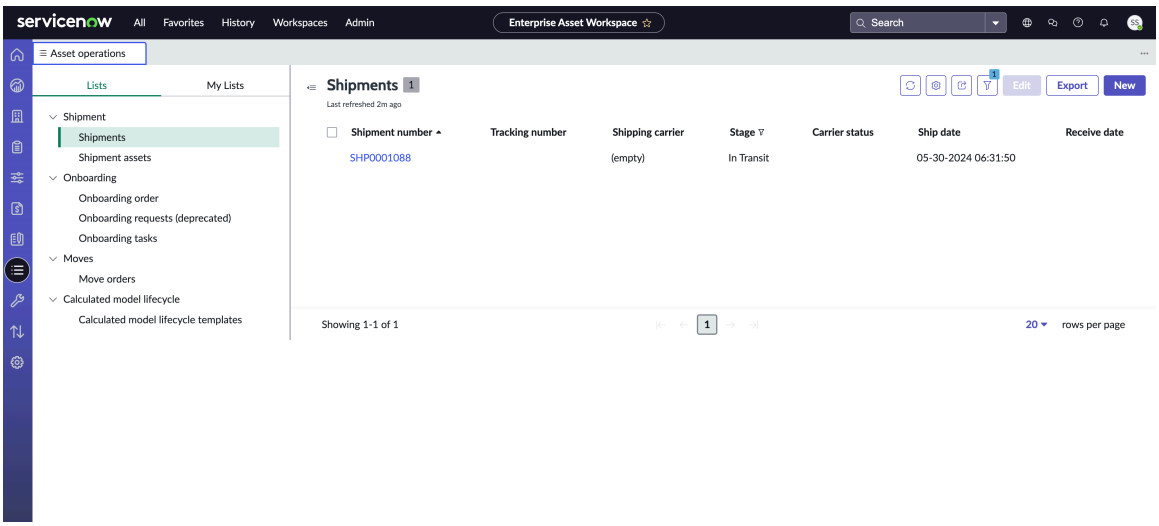
エンタープライズ資産ワークスペースの資産運用の概要

Enterprise 資産ワークスペースの資産運用ビューを使用して 、出荷、 サービスカタログ要求、要求アイテム、カタログタスク、契約更新要求を追跡および管理します。

資産運用ビューを使用して、次のタスクを実行します。

- 出荷の表示と作成
- 出荷通知の作成
- オンボーディング要求とタスクの表示
- 移動オーダーを作成および表示します。
- オンボーディング注文を作成して、一度に複数のエンタープライズ資産をオンボーディングします。詳細については、「での複数のエンタープライズ資産のオンボーディング エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
- エンタープライズモデルの計算済みモデルライフサイクルテンプレートを作成します。詳細については、「計算済みライフサイクルテンプレートを使用したエンタープライズモデルのライフサイクルの管理」を参照してください。

資産運用ビュー



サービスカタログ アプリケーションで要求を作成すると、Enterprise 資産ワークスペースから要求、要求されたアイテム、カタログタスクを表示し、要求を調達できます。

注:
ハードウェア資産とエンタープライズ資産に対して作成されたすべての要求が、[要求 リスト] セクションに一覧表示されます。同様に、ハードウェア資産とエンタープライズ資産に対して作成されたすべてのカタログタスクが [カタログタスク] リストセクションに一覧表示されます。[要求アイテム] リストセクションには、エンタープライズ資産に関連する要求アイテムのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産ワークスペースの作業管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの作業管理ビューを使用して、メンテナンス計画、作業指示、および作業指示タスクを作成および管理します。

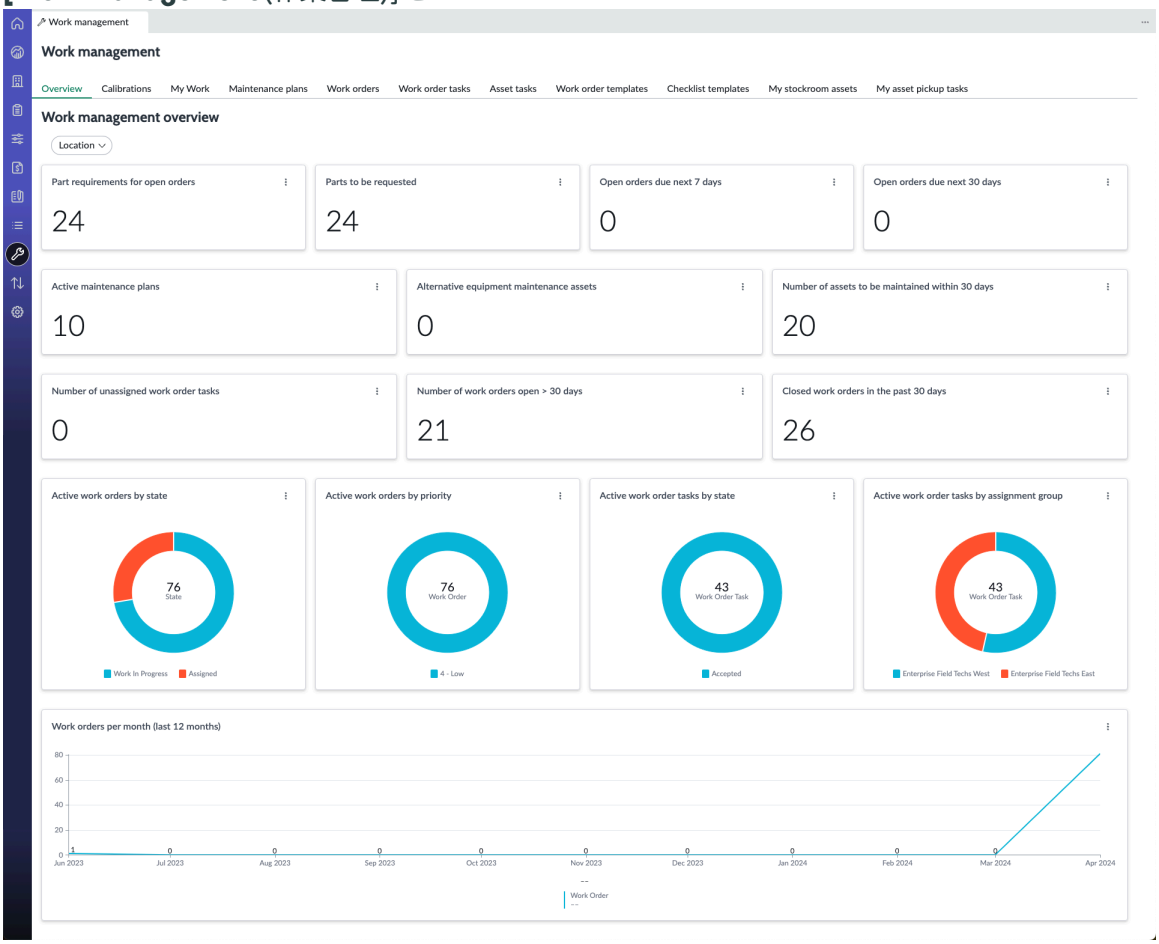
重要:
[作業管理] ビューにアクセスして使用する前に、必要に応じて フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集します。詳細な手順については、「作業管理ビューの フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集する」を参照してください。

[作業管理] ビューにアクセスするには、 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).

注:
システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager)、およびエージェント (wm_agent) ロールを持つユーザーのみが [作業管理] ビューにアクセスできます。

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、いずれかのウィジェットをクリックします。場所フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

[Work management (作業管理)] ビュー



次のタブを使用して、作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を表示および管理します。

注:
[作業管理] ビューに表示されるタブは、アサインされたロールによって異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 概要:未解決の注文の部品要件、ステータス別のアクティブな作業指示、月あたりの作業指示、アクティブなメンテナンス計画など、すべての作業指示データを把握します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- キャリブレーション:すべてのキャリブレーションイベントや検証待ちのキャリブレーションなど、すべてのキャリブレーションデータを垣間見ることができます。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分の作業:作業指示に関連付けられているすべての未解決の要求とタスクを表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- メンテナンス計画:エンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成および表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 作業指示書:エンタープライズ資産で実行する計画作業またはアドホック作業の作業指示書を作成および表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 作業指示タスク:作業指示に関連付けられているすべての作業指示タスクを表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 資産タスク:作業指示に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのタスクを表示します。

  注:
  このタブは、 エンタープライズ技術者 (enterprise_asset_technician またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

- 作業指示書テンプレート:作業指示書のテンプレートを作成および表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- チェックリストテンプレート:作業指示書のチェックリストテンプレートを作成および表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分のストックルーム資産:ストックルーム内で利用可能なエンタープライズ資産を表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分の資産集荷タスク:作業指示に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのスケジュール設定済み集荷タスクを表示します。

  注:
  このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

エンタープライズ資産ワークスペースのアドミンセンターの概要

Enterprise 資産ワークスペースのアドミンセンタービューを使用して、すべての構成および管理タスクを実行します。

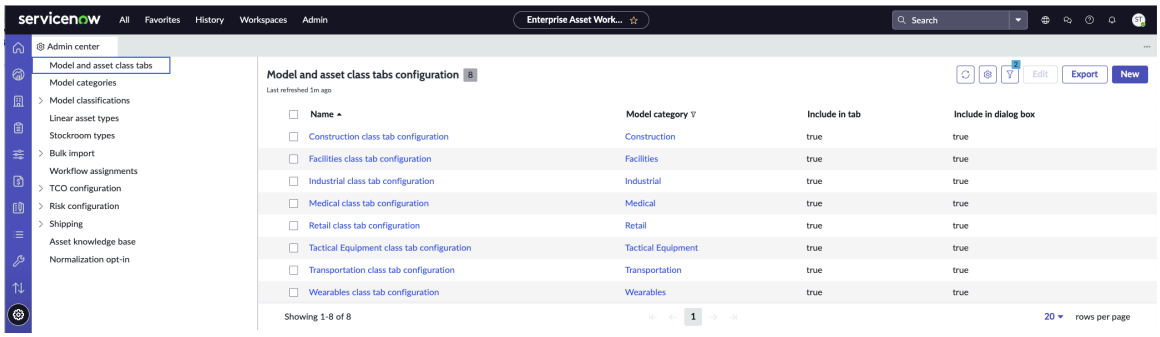
エンタープライズアドミン [sn_eam.enterprise_admin] ロールとエンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールのみが、アドミンセンタービューで操作を表示および実行できます。

アドミンセンターを使用して、次のタスクを実行します。

- モデルタブと資産タブの構成
- モデル カテゴリを作成する
- 分類コードの作成とインポート
- 分類コードのソースの作成
- リニア資産タイプの作成
- ストックルームタイプの作成
- エンタープライズモデルと資産のインポート
- ワークフローアサイン
- タスクレートカードと賃金レートカードを作成および表示
- リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアの構成値を作成
- 配送業者を作成
- サードパーティの配送業者との統合
- ナレッジ記事の作成
- エンタープライズ資産管理へのオプトイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション

展開されたモデルと資産クラスのストアアプリケーションは、エンタープライズモデルクラス、サービスモデルの子クラス、 API モデルカテゴリ、 および 構成管理データベース (CMDB) クラス階層内のすぐに利用可能なモデルクラスと資産クラスを拡張するエンタープライズ資産クラスを追加します。これらの拡張には、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係が含まれます。

注:
このアプリケーションは、 Rome 以降のファミリリリースと互換性があります。

CMDBの詳細については、「構成管理データベース (CMDB)」を参照してください。

展開されたモデルおよび資産クラスは、 CMDB モデルおよび資産クラスの拡張に加えて、モデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、これらのクラスとモデルカテゴリを使用して、エンタープライズ資産の追跡と管理に使用できる資産レコードとモデルレコードを作成します。ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールでも、これらのクラスとモデルカテゴリを使用して、検出された CI の資産レコードとモデルレコードを作成できます。モデル カテゴリの詳細については、 モデルカテゴリ を参照してください。

展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションでは、API およびマネージド API モデルのカテゴリも追加されます。これにより、 構成管理データベース (CMDB) アプリケーションはアプリケーションモデルを作成し、API およびマネージド API CMDB CI クラスに関連付けることができます。API CMDB CI クラスは、コンピュータープログラムが相互に通信できるようにする一連の定義とプロトコルである API (アプリケーションプログラミングインターフェイス) の分類を提供します。マネージド API CMDB CI クラスは、ゲートウェイまたは管理サービス (Amazon API ゲートウェイなど) を介して検出される API の分類を提供します。アプリケーションモデルをこれらの CMDB CI クラスに関連付けることで、 構成管理データベース (CMDB) アプリケーションは API のバージョンに依存しない表現を作成できます。これらの表現により、レポートおよび分析中に各 API のより包括的なビューを提供できます。API およびマネージド API CMDB CI クラスの詳細については、「 API extension classes 」を参照してください。

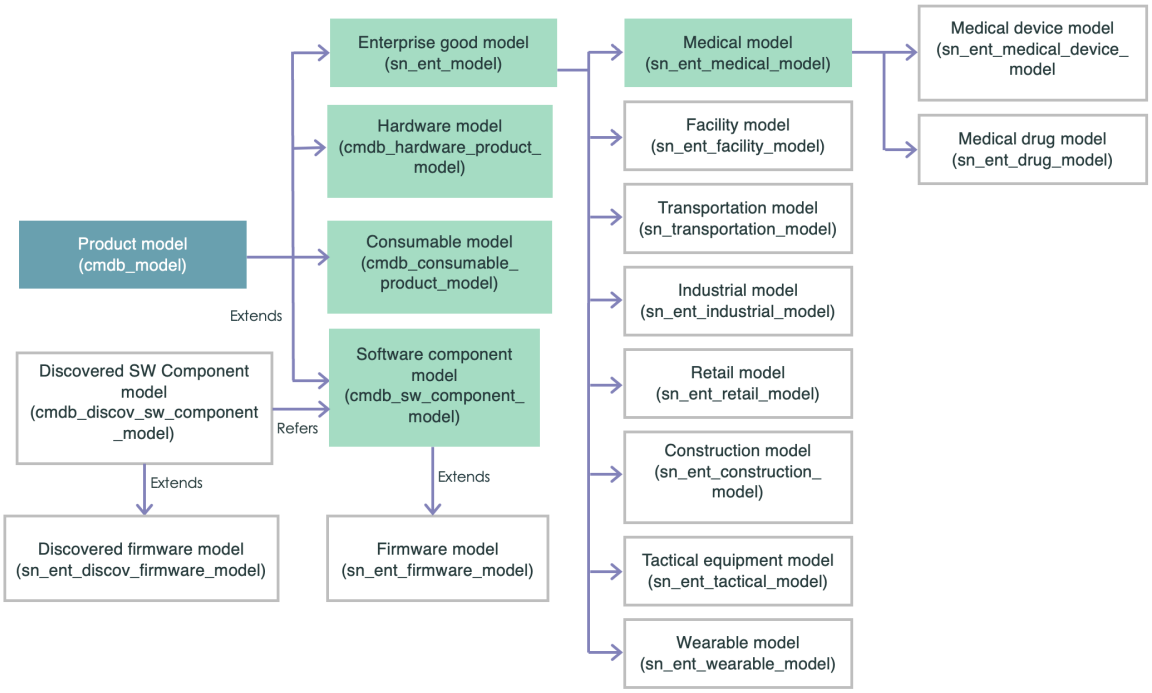
アプリケーションによって追加されたエンタープライズモデルクラス

拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションは、Enterprise good model [sn_ent_model] クラス、ファームウェアモデル [sn_ent_firmware_model] クラス、および基本製品モデル [cmdb_model] クラスを拡張する検出されたファームウェアモデル [sn_ent_discov_firmware_model] クラスを追加します。エンタープライズ優良モデル [sn_ent_model] クラスには、さまざまなエンタープライズ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルタイプの分類が含まれており、次の業界ベースの子クラスに分類されます



Enterprise 優良モデル子クラス

Enterprise 優良モデルの子クラス	説明
医療モデル [sn_ent_medical_model]	ER 医療カートキットや ECG 電極などの医療ベースのエンタープライズモデルを分類します。
医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model]	血圧モニターや MRI 患者テーブルなど、医療機器ベースのエンタープライズモデルを分類します。 **注:** バージョン 1.2.0 以降の拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションにアップグレードすると、アプリケーションは自動的に [医療デバイスカテゴリの更新] 修正スクリプトを実行して、医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] クラスを既存の医療デバイスモデルカテゴリに関連付けます。ただし、医療デバイスモデルカテゴリの既存のエンタープライズモデルを、医療モデル [sn_ent_medical_model] クラスから医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] クラスに手動で再分類する必要がある場合があります。詳細な手順については、 KB1182183 を参照してください。 資産、CI、および IBI クラスをリンクする一意の共通識別子である製品インスタンス識別子 (PID) は、医療機器モデルカテゴリの資産に対して生成されます。PID は、医療デバイスモデルカテゴリに適用可能な PID 構成に基づいて生成されます。 製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルには、PID 構成が保存されます。デフォルトでは、次の構成を使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 優良モデル子クラス (続く)

Enterprise 優良モデルの子クラス	説明
	• **PID:** 資産 [alm_asset] テーブルのシリアル番号フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含むシリアル番号。 • **PID:** 資産 [alm_asset] テーブルの [親] および [モデルコンポーネント ID] フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含む親。 多くの PID 構成が医療機器モデルカテゴリに関連付けられている場合、PID の生成時に優先度が最も高い構成が最初に考慮されます。PID:シリアル番号構成には、ほとんどの場合、最高の優先度が与えられます。
医療薬物モデル [sn_ent_drug_model]	アモキシシリンやプリロセックなどの医薬品ベースのエンタープライズモデルを分類します。
設備モデル [sn_ent_facility_model]	HVAC 分割システムやワイヤーシェルフなどの施設ベースのエンタープライズモデルを分類します。
輸送モデル [sn_ent_transportation_model]	ディスクブレーキローターフロントや燃料電池車など、輸送ベースのエンタープライズモデルを分類します。
産業用モデル [sn_ent_industrial_model]	CNCフライス盤やレーザー切断機などの産業ベースのエンタープライズモデルを分類します。
小売モデル [sn_ent_retail_model]	小売カウンタースケールや 80mm サーマルレシートプリンターなどの小売ベースのエンタープライズモデルを分類します。
戦術的装置モデル [sn_ent_tactical_model]	K19 プレートキャリアやトリプルマグポーチなどの戦術装備品ベースのエンタープライズモデルを分類します。
構成モデル [sn_ent_construction_model]	掘削機や六角ブレーカーハンマーキットなどの建設ベースのエンタープライズモデルを分類します。
ウェアラブルモデル [sn_ent_wearable_model]	N95マスクや高視認性安全ベストなどのウェアラブル資産ベースのエンタープライズモデルを分類します。

ファームウェアモデルおよび検出されたファームウェアモデルクラス

展開されたモデルと資産クラスアプリケーションは、ファームウェアモデル [sn_ent_firmware_model] クラスと検出されたファームウェアモデル [sn_ent_discov_firmware_model] クラスを追加します。これらのファームウェアモデルクラステーブルは、 CMDB CI Data Foundation アプリケーションがインストールするテーブルを拡張します。

CMDB CI クラスモデルアプリケーションとともに追加されたファームウェアインストール [cmdb_firmware_install] テーブルには、資産に埋め込まれたファームウェアに基づくインストール

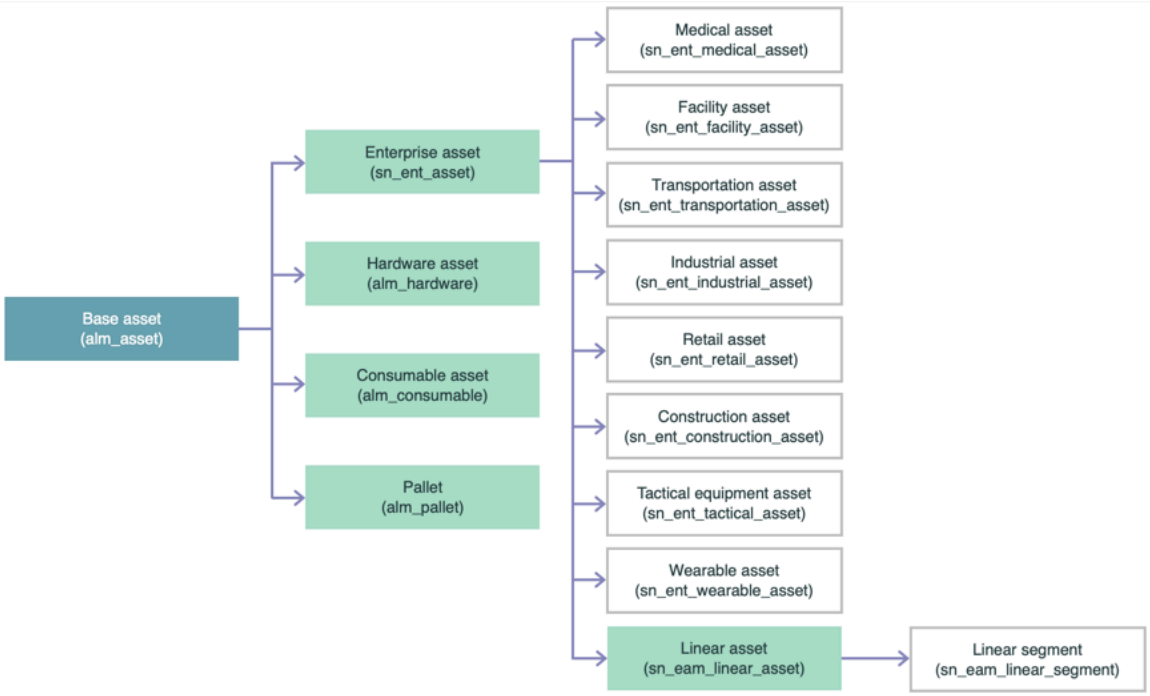
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レコードが保存されます。[ファームウェアインストール] テーブルのレコードに基づいて、[検出されたファームウェアモデル] テーブルと [ファームウェアモデル] テーブルにファームウェアの詳細が保存されます。

アプリケーションによって追加されたエンタープライズ資産クラス

展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションは、ベース資産 [sn_ent_asset] クラスを拡張するエンタープライズ資産 [alm_base] クラスを追加します。エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスには、さまざまなエンタープライズ資産タイプの分類が含まれており、次の業界ベースの子クラスに分類されます



エンタープライズ資産の子クラス

エンタープライズ資産の子クラス	説明
医療資産 [sn_ent_medical_asset]	病院のベッドや X 線装置などの医療ベースのエンタープライズ資産を分類します。
設備資産 [sn_ent_facility_asset]	コーヒーメーカーや HVAC システムなど、施設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
輸送資産 [sn_ent_transportation_asset]	飛行機やブレーキパッドなど、輸送ベースのエンタープライズ資産を分類します。
産業用資産 [sn_ent_industrial_asset]	フォークリフトや鋳造機などの産業用エンタープライズ資産を分類します。
小売業資産 [sn_ent_retail_asset]	陳列ケースや洋服ラックなどの小売ベースのエンタープライズ資産を分類します。
戦術的装置資産	ハイドレーションキャリアやタクティカルプレートキャリアなど、戦術装備品ベースのエンタープライズ資産を分類します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産の子クラス (続く)

エンタープライズ資産の子クラス	説明
[sn_ent_tactical_asset]	
構成資産 [sn_ent_construction_asset]	スレッジハンマーや手のこぎりなどの建設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
ウェアラブル資産 [sn_ent_wearable_asset]	ヘルメットやユニフォームなどのウェアラブルエンタープライズ資産を分類します。

アプリケーションによって追加されたサービスモデルクラス

拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションは、次の子クラスを基本サービスモデル [cmdb_service_product_model] クラスに追加します。これらの子クラスは、さまざまなサービスモデルタイプの分類を提供します。

サービスモデルの子クラス

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
カードサービスモデル [sn_ent_card_service_model]	sn_ent.card_service_model_viewer	クレジットカードやギフトカードなど、銀行や金融機関からのカードオファリングに基づくサービスモデルを分類します。
振込モデル [sn_ent_deposit_account_model]	sn_ent.deposit_account_model_viewer	普通預金口座や当座預金口座など、銀行や金融機関が提供する預金口座に基づくサービスモデルを分類します。
ローンモデル [sn_ent_loan_account_model]	sn_ent.loan_account_model_viewer	個人ローンや住宅ローンなど、銀行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		や金融機関が提供するローンオプションに基づくサービスモデルを分類します。
与信限度額モデル [sn_ent_line_of_credit_model]	sn_ent.line_of_credit_model_viewer	普通預金口座や当座預金口座の当座貸越など、銀行や金融機関が提供する与信限度額に基づくサービスモデルを分類します。
ファイナンシャルサービスモデル [sn_ent_financial_services_model]	sn_ent.financial_services_model_viewer	銀行や金融機関が提供する金融サービス (セーフロッカーやワイヤーサービスなど) に基づくサービスモデルを分類します。
投資モデル [sn_ent_investment_model]	sn_ent.investment_model_viewer	投資信託や退職後の計画など、銀行や金融機関が提供する資産管理オプションに基づくサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		モデルを分類します。
個人保険商品モデル [sn_ent_b2c_ins_policy_model]	sn_ent.b2c_ins_policy_model_viewer	個人自動車保険の補償および支払いプランなど、保険会社が提供する個人保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
企業保険商品モデル [sn_ent_b2b_ins_policy_model]	sn_ent.b2b_ins_policy_model_viewer	営利損害保険の補償および支払い計画など、保険会社が提供する企業保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
団体生命保険商品モデル [sn_ent_group_life_ins_policy_model]	sn_ent.group_life_ins_policy_model_viewer	団体定期生命保険の補償および支払いプランなど、保険会社が提供する団体生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
個人生命商品モデル [sn_ent_indiv_life_ins_policy_model]	sn_ent.indiv_life_ins_policy_model_viewer	個人生命保険の補償および支払

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		いプランなど、保険会社が提供する個人生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
医療保険モデル [sn_ent_medical_insurance_model]	sn_ent_medical_insurance_model_viewer	健康保険プランや、メディケアやメディケイドなどの政府保険プログラムを含む医療保険モデルを分類します。
福利厚生モデル [sn_ent_social_benefit_model]	sn_ent.social_benefit_model_viewer	社会保障や栄養補助プログラム (SNAP) など、社会保険プログラムやミーンズテスト支援プログラムに基づくサービスモデルを分類します。

このアプリケーションによって追加される契約モデルクラス

契約モデルクラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
モデルを許可 [sn_ent_permit_model]	contract_manager	許可モデルは、契約モデルテーブルの拡張であり、発行されたライセンスと許可をモデル化するために使用され、受領者に特定のアクティビティを実行した

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約モデルクラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		り、特定のリソースを利用したりすることができます。

拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションの要求

拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションを ServiceNow Storeから要求する必要があります。

アクセスしてください ServiceNow Store Web サイトを使用して、利用可能なすべてのアプリケーションを表示し、ストアに要求を送信する方法を確認できます。リリースされたすべてのアプリケーションのリリースノート情報については、次を参照してください。 ServiceNow Store バージョン履歴リリースノート.

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 Expanded Model and Asset Classes 」と入力し、[**Search**] をクリックします。
4. [展開されたモデルクラスと資産クラス] という結果を選択します。
5. [展開されたモデルと資産クラス] ページで、[インストールの要求] をクリックします。

   [アプリのインストールの ServiceNow 要求 - 拡張モデルと資産クラス] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow アプリのインストール要求 - [展開されたモデルと資産クラス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] をクリックして、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. **[Request** (要求)] をクリックします。
8. **[Close** (終了)] をクリックします。

要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。その後、メールの指示に従ってアプリケーションをインストールできます。

アプリケーションの正常なインストールの確認

展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションを要求してインストールした後、すべてのエンタープライズモデルと資産クラスが CMDB クラス階層に正常に追加されていることを確認します。

1. ServiceNowインスタンスから、 **All** (すべて) > 構成 > **CI** クラスマネージャー.
2. [階層] をクリックして CI クラスリストを表示し、CMDB クラス階層内のすべてのクラスを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. すべてのエンタープライズモデルと資産クラスがリストに追加されていることを確認します。
4. (オプション)クラスを選択して、対応するクラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を確認します。

> ⚠ 警告:
> 拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションをアンインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションの整合性が失われ、予期しない動作が発生する可能性があります。

OT 資産管理

オペレーショナルテクノロジー(OT) 資産管理は、オペレーショナルテクノロジー (OT) および運用機器 (OE) 資産を管理するためのエンタープライズ資産管理ソリューションスイート内の特殊なオファリングです。OT 資産管理を使用すると、OT および OE 資産のライフサイクルを効果的に管理できます。

OT 資産管理 は、 オペレーショナルテクノロジーの産業用モデルカテゴリの資産の管理に役立つライセンス可能なアプリケーションです。OT 資産管理 (com.sn_otam) アプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスにインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションもインストールされます。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

OT 資産管理 アプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーに関連するロールをサポートするエンタープライズ資産管理 の機能、特徴、およびワークフローを提供します。

OT 資産管理ライセンス

ServiceNow® プラットフォームでは、ライセンス方法を使用しており、組織では OT 資産管理 アプリケーションの使用料が課金されます。このライセンスモデルでは、産業用モデル およびハードウェア モデルカテゴリのすべての資産がサブスクリプションユニット率に基づいて課金されます。

ServiceNow® OT 資産管理ライセンスはリソースカテゴリに基づいています。リソースカテゴリは、関連するモデルカテゴリのグループです。OT 資産管理 アプリケーションは、いくつかのデフォルトのリソースカテゴリをサポートしています。これらのリソースカテゴリにより、産業用モデルカテゴリおよびハードウェア モデルカテゴリの資産が、 OT 資産管理 アプリケーションの機能とワークフローを使用できるようになります。産業用モデル およびハードウェア モデルカテゴリの資産は、サブスクリプションユニットに対する資産数の事前定義された比率に基づいて、サブスクリプションユニットにカウントされます。

ライセンス可能な産業用モデル カテゴリまたはハードウェア モデルカテゴリを親とするカスタムモデルカテゴリを作成すると、カスタムモデルカテゴリは親モデルカテゴリのリソースカテゴリに自動的に関連付けられます。リソースカテゴリに基づいて、これらのカスタムモデルカテゴリの資産にライセンスが付与され、サブスクリプションユニットにカウントされます。

> ℹ 注:
> OT 資産管理 アプリケーションが ServiceNow インスタンスでアクティブ化されると、すべての OT 資産管理ライセンスリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。

OT 資産管理 ライセンスリソースカテゴリ

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
未分類の OT	1：1	• 産業 • 産業全般

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OT 資産管理 ライセンスリソースカテゴリ (続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
OT 監督システム	1：1	• OT 監督 • OT 監督 EWS • OT 監督履歴担当者 • OT 監督 HMI • OT 監督 OPC • OT 監督 SCADA
OT コントロールシステム	3:1	• OT コントロール • OT コントロール 3D プリンター • OT コントロール CNC • OT コントロール DCS • OT コントロール DPU • OT コントロール IED • OT コントロールモジュール • OT コントロール PLC • OT コントロール RTU • OT コントロール SCADA • OT コントロールサーバー
OT フィールドデバイス	10：1	• OT フィールドアクチュエーター • OT フィールドデバイス • OT フィールドドライブ • OT フィールドロボット • OT フィールドセンサー
産業用消耗品	25:1	前述のモデルカテゴリのいずれかを使用して作成された消耗資産。
運用機器	1：1	該当なし
ハードウェアリソースカテゴリ		
OT サーバー	1：1	名前に サーバー を含み、alm_assetクラスまたはalm_hardwareクラスに属するモデルカテゴリ。例： • AIX サーバー • ESX サーバー • HPUX サーバー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OT 資産管理 ライセンスリソースカテゴリ (続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
		• Linux サーバー • Netware サーバー • OS/X サーバー • Solaris サーバー • UNIX サーバー • Windows サーバー
OT ネットワーク機器	5：1	• IP ルーター • IP スイッチ • ネットワーク機器
OT ストレージ	3:1	ストレージデバイス
OT エンドユーザーコンピューター	4：1	コンピューター
OT モバイルデバイス	10：1	モバイルデバイス
OT 監視	15:1	監視
OT プリンター	10：1	プリンター
OT 未分類のハードウェア	1：1	Hardware (ハードウェア)

サブスクリプションユニット率とは、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、産業用消耗品のサブスクリプションユニット比率が 25:1 の場合、25 の資産には 1 単位のライセンスが必要です。1 ライセンスのコストが 100 ドルの場合、25 の産業用消耗品の価格は 100 ドルで、50 の産業用消耗品の価格は 200 ドルです。

ITAM ライセンスレポートを使用して、 OT 資産管理 アプリケーションのサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「OT 資産管理 アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

OT 資産管理 ライセンスの **OT** ハードウェア資産

OT 資産管理ライセンスモデルには、OT ハードウェア資産にライセンスを付与するためのデフォルトのハードウェアリソースカテゴリがいくつか含まれています。

OT 資産管理ライセンスモデルでは、**OT** エンティティフラグが **true** に設定されているハードウェア資産のみがライセンスされ、OT 資産管理ライセンスのハードウェアリソースカテゴリのサブスクリプションユニットにカウントされます。OT 資産管理ワークフローは OT ハードウェア資産をサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
OT エンティティフラグが **false** に設定されている非 OT ハードウェア資産は、アプリケーションをインストールしていても、OT 資産管理 アプリケーションの機能とワークフローを使用できません。OT 以外のハードウェア資産は、 OT 資産管理 ではライセンスされません。

ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスモデルには、OT 資産管理 のハードウェアリソースカテゴリに相当するデフォルトのリソースカテゴリが含まれています。

リソースカテゴリの比較

OTAM ハードウェアリソースカテゴリ	同等の **HAM** リソースカテゴリ
OT サーバー	サーバー
OT ネットワーク機器	ネットワーク機器
OT ストレージ	ストレージ
OT エンドユーザーコンピューター	エンドユーザーコンピューター
OT モバイルデバイス	モバイルデバイス
OT 監視	監視
OT プリンター	プリンター
OT 未分類のハードウェア	未分類のハードウェア

OT 資産管理とハードウェア資産管理の両方のアプリケーションまたはライセンスされたHAMソリューションがアクティブ化され、HAMリソースカテゴリがオプトインされている場合は、次の点を考慮してください。

- OT ハードウェア資産は、 OT 資産管理 ライセンスのハードウェアリソースカテゴリでのみライセンス供与されます。
- OT 以外のハードウェア資産は、 HAM ライセンスのリソースカテゴリでのみライセンス供与されます。
- OT 資産管理 ワークフローは OT ハードウェア資産のみをサポートします。
- HAM ワークフローは、OT ハードウェア資産と非 OT ハードウェア資産の両方をサポートしています。

ハードウェア資産のライセンスの詳細については、「 ハードウェア資産管理ソリューションのためのLicensingフレームワーク」を参照してください。

OT 資産管理 アプリケーションのライセンスレポートの表示

ITAM ライセンスレポートを使用して、組織が OT 資産管理 アプリケーションに対して消費したサブスクリプションの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

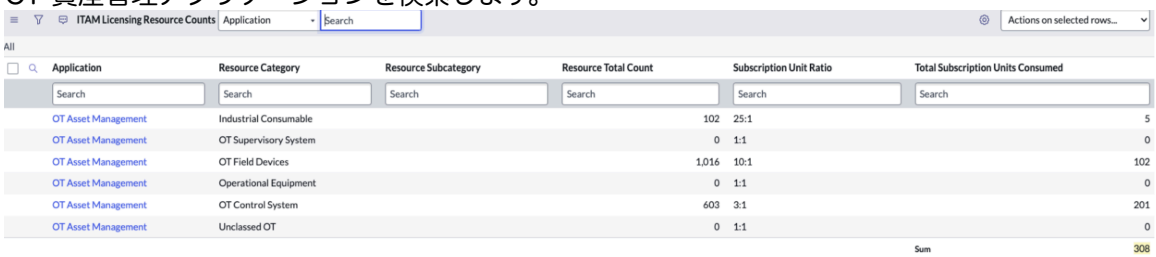
このタスクについて
EAM ライセンスデータの入力ジョブは毎週日曜日に実行され、ITAM ライセンスレポートが入力されます。ライセンス消費に対する変更は、週次のライセンス数の計算後にのみ ITAM ライセンスレポートに反映されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. OT 資産管理アプリケーションを検索します。



Application	Resource Category	Resource Subcategory	Resource Total Count	Subscription Unit Ratio	Total Subscription Units Consumed
Search	Search	Search	Search	Search	Search
OT Asset Management	Industrial Consumable		102	25:1	5
OT Asset Management	OT Supervisory System		0	1:1	0
OT Asset Management	OT Field Devices		1,016	10:1	102
OT Asset Management	Operational Equipment		0	1:1	0
OT Asset Management	OT Control System		603	3:1	201
OT Asset Management	Unclassed OT		0	1:1	0
				Sum	308

OT 資産管理 アプリケーションのリソースカテゴリで消費されたサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- アプリケーション: ServiceNow インスタンスでアクティブ化されているアプリケーションの名前。ITAM ライセンスレポートは、アプリケーションごとにグループ化できます。
- リソースカテゴリ: OT 資産管理 アプリケーションで利用可能なマネージド OT リソースタイプ。リソースタイプには次のものが含まれます。
  - 未分類の OT
  - OT 監督システム
  - OT コントロールシステム
  - OT フィールドデバイス
  - 産業用消耗品
  - 運用機器
  - OT サーバー
  - OT ネットワーク機器
  - OT ストレージ
  - OT エンドユーザーコンピューター
  - OT モバイルデバイス
  - OT 監視
  - OT プリンター
  - OT 未分類のハードウェア
- リソースサブカテゴリ:リソースカテゴリのサブカテゴリ。
- リソース合計数:リソースカテゴリとモデルカテゴリ別にグループ化された管理対象 OT リソースの資産数。
- サブスクリプションユニット率:サブスクリプションを必要とするリソースカテゴリの資産の数を決定する事前定義された比率。たとえば、産業用消耗品に定義された比率が 25:1 ということは、そのリソースカテゴリの資産 25 個ごとに 1 つのサブスクリプションユニットが必要であることを意味します。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で消費されたリソースカテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各リソースカテゴリのリソース合計数にサブスクリプションユニット率を適用することで、この数を計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OT 資産 ワークスペース

OT 資産 ワークスペース は、オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産と運用機器 (OE) 資産を管理するための OT 資産管理 アプリケーションの直感的で簡素化されたユーザーインターフェイスです。

OT 資産 ワークスペース の概要

OT 資産 ワークスペース は、OT および OE 資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスに関するダッシュボードなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

OT 資産 ワークスペース ロール

ロールのタイトル	含まれるロール	説明
OT 資産マネージャー [sn_otam.ot_asset_manager]	• model_manager • model_admin	このロールは、OT 資産 ワークスペース へのフルアクセス権があります。 **注:** このロールがエンタープライズアドミン (sn_eam.enterprise_admin) ロールの一部である場合、エンタープライズアドミンロールにも OT ワークスペースへの完全なアクセス権があります。
OT 技術者 sn_otam.ot_asset_technician	• sn_eam.asset_technician • sn_eam.enterprise_mobile_user • canvas_user	このロールは、OT ハードウェア資産のライフサイクルの一環としてタスクを実行し、OT ハードウェア資産レコードを更新するユーザー向けです。

OT 資産 ワークスペース ビュー

OT 資産 ワークスペースで利用可能なさまざまなビューを活用して、資産を効率的に管理します。

次の表に、OT 資産 ワークスペース を構成するすべてのビュー、各ビューの簡単な説明、および各ビューに存在するタブまたはリストを示します。

ビューの名前	ビューの説明	ビュー内のタブ/リスト
OT 資産の概要	重要なアクションとアクティブなタスクへのクイックリンクを表示します。	このビューにはタブがありません。
資産アナリティクス	資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。	概要 と 資産 **TCO**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビューの名前	ビューの説明	ビュー内のタブ/リスト
インベントリ	インベントリタスクを実行できる資産インベントリとストックルーム全体の詳細を表示します。	概要、 すべての倉庫、在庫ルール、 転送注文、 資産監査、貸与資産の注文、 **RMA** オーダー、 **RMA** ライン注文、修理オーダー、 取り消しオーダー、 回収要求、 再販オーダー、 廃棄注文。
OT 資産一覧	資産機能を表示し、正確なハードウェアと消耗品の記録を維持します。	概要、 すべての資産、 すべてのエンタープライズ、 産業用、ハードウェア、 消耗品、 およびパレット。
OT モデル管理	管理されているさまざまなタイプの OT モデルの詳細を表示します。	概要、 すべてのモデル、 すべてのエンタープライズ、 産業用、 ハードウェア、 ファームウェア、検出されたファームウェア、および パレット。
調達	進行中のすべての調達アクティビティの詳細を表示および管理します。	概要、 要求、 要求アイテム、発注書 **(PO)**、 受領伝票、 事前出荷、 およびカタログタスク。
Contract and lease management (契約とリース管理)	すべての資産契約を表示および管理します。	概要、すべての契約、リース契約、リース資産、リースエンド資産、更新、更新ライン、自分の契約、自分の契約タスク、自分の契約承認、契約条件。
資産運用	出荷、オンボーディング、移動オーダー、および計算されたモデルライフサイクルに関連する資産運用を表示します。	出荷、 オンボーディング、 移動、 および計算済みモデルライフサイクル。
Work management (作業管理)	メンテナンス計画、作業指示書、および作業指示書タスクを作成および管理します。	概要、 キャリブレーション、自分の作業、 メンテナンス計画、 作業指示、 作業指示タスク、 資産タスク、 作業指示テンプレート、 チェックリストテンプレート、 自分のストックルーム資産、および 自分の資産集荷タスク。
OT モデル正規化	モデルの正規化に関連する情報を表示します。	概要、 カスタム **OT** モデルタイプ、 カスタム **OT** 製品モデル、 カスタム **OT** モデルライブラリ、 カスタムファームウェア **UNSPSC**、 カスタムファームウェア製品、 カスタムファーム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビューの名前	ビューの説明	ビュー内のタブ/リスト
		ウェアバージョン、および カスタムファームウェア **CPE** 注: [カスタムファームウェア **UNSPSC**]、[カスタムファームウェア製品]、[カスタムファームウェアバージョン]、および [カスタムファームウェア **CPE**] タブは、[OT 資産] ワークスペースでのみ使用できます。これらのタブの詳細については、次のトピックを参照してください。 • オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のファームウェアのカスタム国連標準製品とサービスコード (UNSPSC) 分類を作成します • オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェア製品の作成 • オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェアバージョンの作成 • オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のファームウェアのカスタム共通プラットフォーム一覧 (CPE) マッピングを作成します
Admin center (アドミンセンター)	TCO 構成に関連する構成と管理タスクを実行します。	モデルタブと資産タブ、モデルカテゴリ、モデル分類、ストックルームタイプ、一括インポート、クラスアクセスへのロール、ワークフローのアサイン、キャリブレーション構成、**TCO** 構成、リスク構成、その他の構成、出荷、資産ナレッジベース、および正規化のオプトイン。 OT 資産マネージャーおよび OT 資産技術者は、[**TCO** 構

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビューの名前	ビューの説明	ビュー内のタブ/リスト
		成] リストの [タスクレードカード] オプションと [賃金レードカード] オプションのみを変更できます。

OT 資産のハードウェアモデルと OT ハードウェア資産 ワークスペース

OT マネージャーは、OT 資産 ワークスペースでハードウェアモデルと OT ハードウェア資産を作成できます。OT モデル管理ビューと OT 資産一覧ビューの [ハードウェア] タブには、すべてのカテゴリのハードウェアモデルと OT ハードウェア資産が一覧表示されます。

OT モデル管理ビューの [公開] ボタンを使用して、ハードウェアモデルをエンタープライズカタログに複数回公開できます。[公開] ボタンは、その特定のハードウェアモデルのアクティブなエンタープライズカタログアイテムがまだ存在しない場合にのみ表示されます。

注:
OT 資産マネージャー (sn_otam.ot_asset_manager) とエンタープライズアドミン (sn_eam.enterprise_admin) のみがハードウェアモデルを公開できます。

ハードウェアモデルと OT ハードウェア資産は、次の エンタープライズ資産管理 フローにも統合されます。

- 資産要求
- 資産の更新
- 在庫注文
- 単一および複数の資産のオンボーディング
- 返品許可 (RMA)
- 修復
- 廃棄

さらに、OT ハードウェア資産のメンテナンス計画と作業指示を生成できます。

すべての OT ハードウェア資産は、自動的に OT エンティティとしてタグ付けされます。OT ハードウェア資産が転送注文を介して既存のストックルームから、またはローカルストックルームから調達される場合、資産は自動的に OT エンティティとしてタグ付けされます。同様に、発注書を介して調達された OT ハードウェア資産の受領プロセス中に、資産は自動的に OT エンティティとしてタグ付けされます。**OT** エンティティフィールドは、OT 資産一覧ビューの [ハードウェア資産] フォームに表示され、すべての OT ハードウェア資産に対してデフォルトで選択されています。

OT 資産の消耗品 ワークスペース

消耗品は、ハードウェアモデル、OT ハードウェア資産、および産業用資産の OT 資産 ワークスペース で作成できます。

- ハードウェアモデルの場合:ハードウェアモデルの作成中に、[資産追跡戦略] ドロップダウンから [消耗資産を作成] を選択して、消耗品を作成します。選択すると、指定されたハードウェアモデルのすべての OT ハードウェア資産が消耗品になります。消耗品が作成されると、ハードウェアモデルフォームに [互換性]、[代替]、[消耗品]、[ベンダーカタログアイテム]、[消耗品モデルライフサイクル]、[スキル]、[ナレッジ]、[アプリケーション] の関連リストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- OT ハードウェア資産の場合:[タイプ] ドロップダウンで [ハードウェア資産] を選択して、OT 資産一覧ビューの [消耗品] タブで消耗品を作成します。
- 産業用資産の場合:[タイプ] ドロップダウンで [産業用資産] を選択し、OT 資産一覧ビューの [消耗品] タブで消耗品を作成します。

OT 資産 ワークスペース で作成したすべての消耗品モデルには、消耗品モデルカテゴリがあります。

関連情報

OT 資産ワークスペースのロール

エンタープライズ資産ワークスペース

オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産の資産と構成アイテム (CI) の同期

資産の MAC アドレスとネットワークアダプター CI を使用して、OT 資産の資産と CI 間の同期を維持します。

資産と CI 間の同期は、[シリアル番号] フィールドを使用して行われます。ただし、OT 資産には必ずしもシリアル番号がある必要はなく、MAC アドレスに関連付けられています。したがって、OT 資産の資産 - CI 同期には、serial 番号に加えて資産 [alm_asset] テーブルの**MAC address** (mac_addr) フィールドが含まれます。

CI には複数の MAC アドレスを含めることができます。ネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルには、すべての MAC アドレスが格納され、CI [cmdb_ci] テーブルへの参照フィールドもあります。したがって、MAC アドレスと CI の関係は維持されます。

資産から CI への同期

資産が MAC アドレスを使用して作成されると、次のように同期が行われます。

1. CI が作成されます。
2. 対応する MAC アドレスのレコードが、CI への参照とともにネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルに作成されます。

資産の MAC アドレスが更新されても、ネットワークアダプター [cmdb_ci_network_adapter] テーブルの既存のレコードは更新されません。代わりに、ネットワークアダプタ [cmdb_ci_network_adapter] テーブルに新しいレコードが作成されます。

CI から資産への同期

CI が MAC アドレスを使用して作成されると、次のように同期が行われます。

1. 資産が作成されます。
2. CI の MAC アドレスが資産にコピーされます。

既存の CI がある場合、資産に MAC アドレスがまだない場合のみ、関連する資産が MAC アドレスで更新されます。

CI 名の生成に関するルール

CI 名は、次の条件に基づく形式に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件と **CI** 名

条件	**CI** 名フォーマット
資産にシリアル番号があります	シリアル番号とモデル名をハイフンで区切って連結したもの。 例:SN123 - DemoModel
資産にシリアル番号と MAC アドレスがある	シリアル番号とモデル名をハイフンで区切って連結したもの。 例:SN123 - DemoModel
資産にはシリアル番号はないが、MAC アドレスはある	MAC アドレスとモデル名をハイフンで区切って連結したもの。 例:88-22-33-66-888-AB - DemoModel。
資産にシリアル番号と MAC アドレスがありません	モデル名

シリアル番号または **MAC** アドレスフィールドが更新されるたびに、CI 名は次の条件でのみ同期されます。

- CI 名が手動で更新されない。
- ディスカバリー ソースは *SNassetmanagement* です。これは、CI が資産から作成されることを意味します。
- CI 名は CMDB によって変更されていません。

資産と **CI** 間の **OT** エンティティ同期

CI [cmdb_ci] テーブルには **OT** エンティティ [cmdb_ot_entity] フィールドがあります。また、資産 [alm_asset] には対応する **OT** エンティティ [ot_entity] フィールドがあります。OT エンティティの同期は次のように行われます。

- CI の OT エンティティ参照セットを使用して CI が作成されると、資産 [alm_asset] テーブルの**OT** エンティティ [ot_entity] フィールドは **true** に設定されます。
- OT エンティティが **true** に設定された資産が作成されると、対応する CI と OT エンティティが CMDB 側に作成されます。次に、OT エンティティ参照が CI に設定されます。

重要:
CI が OT エンティティとしてマークされた後は、OT 以外のエンティティに戻すことはできません。

医療向け エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーションはライセンス可能なアプリケーションで、アクティベーション時に医療固有のモデル、資産、およびワークフローを管理できます。

エンタープライズ資産管理 for Healthcare (com.sn_eamhc) アプリケーションは ServiceNow Store で利用できます。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスにインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションもインストールされます。詳細については、「エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともにインストールされる内容」を参照してください。

このアプリケーションは、医療関連のロールと資産モデルをサポートする エンタープライズ資産管理 の機能、特徴、およびワークフローを提供します。

関連情報

エンタープライズ資産管理 の探索

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

医療および施設業界向けの構成可能なワークスペース

構成可能なワークスペースを使用して、医療および施設の資産とモデルを作成および管理します。

医療および施設業界向けの構成可能なワークスペースの概要

構成可能なワークスペースは、特に医療および施設業界で機能する次のアプリケーションで使用できます。

- 医療向け エンタープライズ資産管理
- エンタープライズ資産管理 施設向け

構成可能なワークスペースでは、業界に関連する資産やモデルを操作する際にパーソナライズされたエクスペリエンスが得られます。次の表は、アプリケーション、対応するワークスペース、および各ワークスペースを使用する利点を示しています。

アプリケーション	構成可能ワークスペース	メリット
医療向け エンタープライズ資産管理	医療資産ワークスペース	医療資産とモデルを作成および管理します。
エンタープライズ資産管理 施設向け	施設資産ワークスペース	施設の資産とモデルを作成および管理します。

注:
正規化プロセスは エンタープライズ資産ワークスペース でのみ実行され、特定のワークスペース内の医療モデルや施設モデルでは実行されません。

医療資産マネージャーまたは医療資産技術者としてログインしている場合、デフォルトでは、 医療資産一覧 ビューには医療資産カテゴリ、医療 モデル管理 ビューには医療モデルカテゴリのみが表示されます。同様に、施設資産マネージャーまたは施設資産技術者としてログインしている場合は、施設資産一覧 ビューに施設資産カテゴリ、施設 モデル管理 ビューに施設モデルカテゴリのみが表示されます。

特定のワークスペースにログインしている場合は、業界に固有ではなく、Enterprise アドミニストレーターまたはシステムアドミニストレーターロールによって追加された他の資産やモデルカテゴリが表示される場合があります。たとえば、医療資産マネージャーまたは医療資産技術者としてログインしている場合、建設、輸送、施設などの他の資産やモデルカテゴリが表示されることがあります。ただし、これらのカテゴリは読み取り専用であるため、作成または変更することはできません。

ワークスペースのロール

アクセスできるワークスペースは、 ServiceNow インスタンスへのログインに使用しているロールによって異なります。表示できるのは、自分がアクセス権を持つワークスペースのみです。

ワークスペースへのアクセスに必要なロール

ワークスペース	必要なロール
医療資産ワークスペース	• 医療資産マネージャー (sn_eamhc.medical_asset_manager) • 医療資産技術者 (sn_eamhc.medical_asset_technician)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークスペースへのアクセスに必要なロール (続く)

ワークスペース	必要なロール
	• エンタープライズ管理者 [sn_eam.enterprise_admin] • システムアドミニストレーター [sys_admin}
施設資産ワークスペース	• 施設資産マネージャー (sn_eamhc.facility_asset_manager) • 施設資産技術者 (sn_eamhc.facility_asset_technician) • エンタープライズアドミン (sn_eam.enterprise_admin) • システムアドミニストレーター (sys_admin)
医療資産ワークスペースと施設資産ワークスペース	• 医療資産マネージャー (sn_eamhc.medical_asset_manager) および施設資産マネージャー (sn_eamhc.facility_asset_manager) • 医療資産技術者 (sn_eamhc.medical_asset_technician) および施設資産技術者 (sn_eamhc.facility_asset_technician) • エンタープライズアドミン (sn_eam.enterprise_admin) • システムアドミニストレーター (sys_admin)
医療資産ワークスペース、施設資産ワークスペース、および Enterprise 資産ワークスペース	• エンタープライズアドミン (sn_eam.enterprise_admin) • システムアドミニストレーター (sys_admin)

アドミンセンターへのアクセス

医療資産ワークスペースと施設資産ワークスペースのアドミンセンターで構成を変更できるのは、エンタープライズアドミンロールとシステムアドミニストレーターロールのみです。

医療資産マネージャー、医療資産技術者、施設資産マネージャー、または施設資産技術者は、[**TCO** 構成] リストの [タスクレートカード] オプションと [賃金レートカード] オプションを除き、アドミンセンターで変更を加えることはできません。

構成可能なワークスペースでのロールからクラスへのマッピング

構成可能なワークスペースでは、ロールは、特定の各ロールのデフォルトのシード済みクラスに加えて、クラスにアクセスできます。

構成可能な各ワークスペースに新しいロールが割り当てられます。新しいロールは、次のアプリケーションとその指定されたワークスペースに基づいています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーション	指定されたワークスペース	ロール
医療向け エンタープライズ資産管理	医療資産ワークスペース	• sn_eamhc.medical_asset_manager • sn_eamhc.medical_asset_technician
エンタープライズ資産管理 施設向け	施設資産ワークスペース	• sn_eamfam.facility_asset_manager • sn_eamfam.facility_asset_technician
オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産管理	OT 資産ワークスペース	• sn_otam.ot_asset_manage • sn_otam.ot_asset_technician

クラスのデフォルト構成は、対応するモデルカテゴリにマップするロールごとにシードされます。

次のマッピングは、医療、施設、および OT 技術者のロールにシードされるデフォルト構成です。

注:
マネージャーロールには、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare、 エンタープライズ資産管理 for Facilities、および オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産管理 アプリケーションのそれぞれの技術者ロールが含まれます。

ロールからクラスへのアクセス

エンタープライズロール	シード済みモデルカテゴリ	ロールのシード済みエンタープライズクラス
医療技術者 sn_eamfam.facility_asset_technician	医療	sn_ent_medical_model sn_ent_medical_device_model sn_ent_medical_asset
施設技術者 sn_eamhc.medical_asset_technician	施設	sn_ent_facility_model sn_ent_facility_asset
OT 技術者 sn_otam.ot_asset_technician	産業用, ハードウェア	sn_ent_industrial_asset sn_ent_industrial_model、alm_hardware cmdb_hardware_product_model sn_ent_firmware_model sn_ent_discov_firmware_model

[ロールからクラスへのアクセス] テーブルには、各ロールがデフォルトでアクセスできるさまざまなクラスが表示されます。たとえば、施設技術者ロールは、施設クラス sn_ent_facility_model および sn_ent_facility_asset にアクセスできます。施設技術者が施設資産ワークスペースにログインすると、施設モデルカテゴリに関連するモデルと資産にのみ自動的にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マッピングに基づいて、ロールはそれぞれの資産クラスとモデルクラスにアクセスできます。ロールはさらに、それらのクラスに関連するワークフロータスクと作業指示書にアクセスできます。また、ワークスペース内のすべてのダッシュボードで、自分のクラスに関連する情報のみを表示できます。たとえば、医療資産マネージャーロールは、アクセス構成により、医療資産に対してのみ廃棄注文を開始できます。同様に、施設技術者ロールは、施設資産に対して作成された廃棄タスクのみを処理できます。

エンタープライズアドミニストレーター (sn_eam.enterprise_admin) ロールは、デフォルト構成を変更して、ロールにクラスを追加できます。したがって、医療資産ワークスペース、施設資産ワークスペース、および OT ワークスペースのロールを構成して、さまざまなモデルカテゴリの追加クラスにアクセスできます。たとえば、医療技術者ロールは施設クラスにアクセスできます。同様に、施設技術者ロールは輸送クラスにアクセスできます。ロールにクラスを追加する方法の詳細については、「 エンタープライズロールをエンタープライズクラスにマップする」を参照してください。

注:
構成可能なワークスペースには、特定のワークスペースに関連する情報を表示するソフトフィルターがあります。そのフィルターを削除すると、すべてのクラスの資産とモデルを表示できますが、他のクラスでは読み取りアクセスのみを使用できます。

モバイルエージェント のアプリケーション エンタープライズ資産管理

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を作成、更新、および表示できます。また、このアプリケーションを使用して、在庫監査のためにエンタープライズ資産をスキャンしたり、資産廃棄の検証や切り離しを実行したりすることもできます。

ServiceNow モバイルエージェントアプリケーションは、iOSデバイスとAndroidデバイスの両方でサポートされています。アプリケーションは、 Apple App Store または Google Play ストア からダウンロードできます。

モバイルエージェント アプリケーションの詳細については、「モバイルエージェントアプリ」を参照してください。

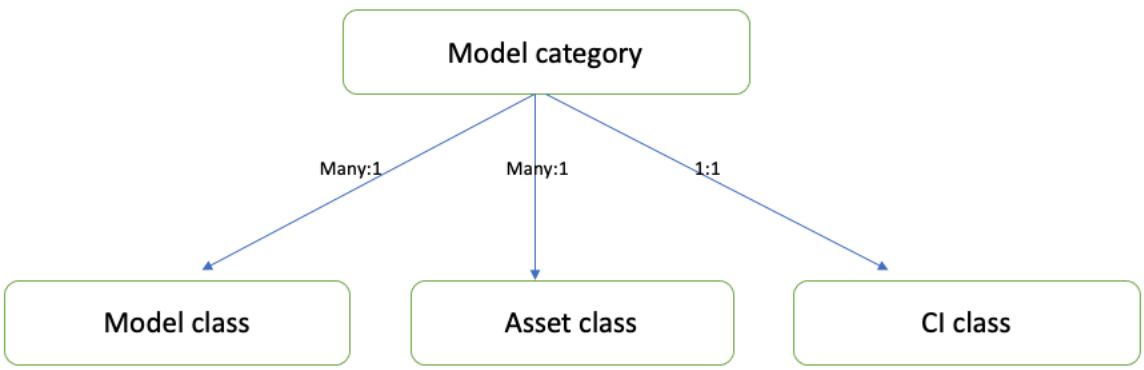
関連情報

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理

モデルカテゴリ

モデルカテゴリは、エンタープライズ資産管理 アプリケーションの資産クラス、製品モデルクラス、および構成管理データベース (CMDB)構成アイテム (CI) クラス間の関係を定義します。

各モデル カテゴリは、モデル クラス、資産クラス、および既存の CMDB CI クラスに対応するサブカテゴリに分類されます。複数のモデル カテゴリを 1 つのモデル クラスと 1 つの資産クラスに割り当てることができます。CI クラスは、単一のモデルカテゴリにのみアサインすることができます。ただし、CI クラスをモデルカテゴリに割り当てることは必須ではありません。



さまざまなベースモデルカテゴリから選択できます。最上位モデルのカテゴリは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 医療
- 施設
- 交通機関
- 産業
- 小売業
- 建設
- 戦術装備品
- ウェアラブル

利用可能なモデル カテゴリとそれに対応する CMDB CI、資産、およびモデル クラスの完全なリストについては、「 エンタープライズモデルカテゴリと対応するクラス」を参照してください。

注:
最上位モデルカテゴリ内の既存のサブカテゴリを使用しない場合は、独自の サブカテゴリ 作成できます。詳細な手順については、「モデル カテゴリを作成する」を参照してください。

警告:
ServiceNow 既存の最上位モデルカテゴリのみを使用することを強くお勧めします。

のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産は、エンタープライズ資産のメンテナンスを追跡するのに役立ちます。

マルチコンポーネントモデル

1 つ以上のモデルコンポーネントに関連付けられた エンタープライズ資産管理 モデルは、マルチコンポーネントモデルとして定義されます。

モデルコンポーネントは、消耗品モデルまたはエンタープライズモデルにすることができます。同じモデルをマルチコンポーネントモデルのモデルコンポーネントとして複数回リストできます。たとえば、消耗品モデル コンポーネント A は、マルチコンポーネント モデルに対して 3 回繰り返すことができます。

すべてのモデルコンポーネントには、マルチコンポーネントモデルとの次の 3 つの関係があり、それぞれに true または false の値があります。

- 必須:値が true の場合、マルチコンポーネントモデルが機能するためにモデルコンポーネントが不可欠であり、完全に削除することはできません。
- ホットスワップ可能:値が true の場合、マルチコンポーネントモデルの動作中にモデルコンポーネントをスワップできます
- 修理可能:値が true の場合、モデルコンポーネントを修理できます。

モデル コンポーネントとマルチコンポーネント モデルとの関係は相互に排他的です。たとえば、マルチコンポーネントモデルが 2 つのモデルコンポーネント A で構成されている場合、各モデルコンポーネント A はマルチコンポーネントモデルと独自の関係を持つことができます。

マルチコンポーネントモデルには、事前に組み立てられたモデルとユーザーによって組み立てられたモデルの 2 種類があります。

事前に組み立てられたマルチコンポーネントモデルまたはユーザーが組み立てたマルチコンポーネントモデルを単純なモデルに変更するには、モデルが [ビルド] ステータスのままで、すべてのモデル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンポーネントの関連付けを解除します。モデルレコードを保存すると、マルチコンポーネントモデルがシンプルなモデルに変更され、モデルコンポーネントへのすべての関連付けが削除されます。

マルチコンポーネント資産

マルチコンポーネント資産は、マルチコンポーネントモデルから作成されます。

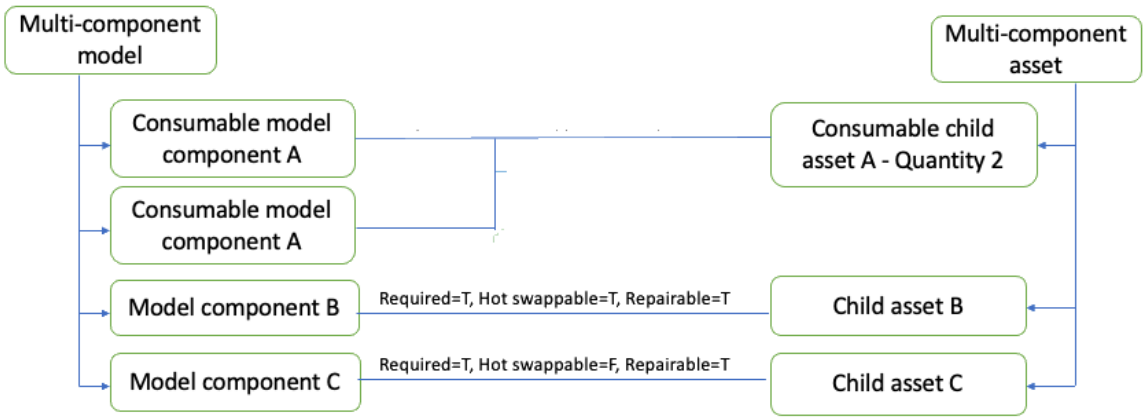
消耗品モデル コンポーネントがマルチコンポーネント モデルに複数回リストされている場合、[必須]、[ホットスワップ可能]、または [修理可能] フィールドが同じかどうかに関係なく、それらは単一のレコードに結合されます。

資産には、消耗資産とシリアル化資産の 2 種類があります。

エンタープライズモデルコンポーネントの場合、モデルコンポーネントに基づいてシリアル化された子資産が作成されます。たとえば、子資産 B は、モデルコンポーネント B 用に作成された子資産です。

マルチコンポーネントモデルで定義されたモデルコンポーネント関係が拡張され、子資産レコードに表示されます。子資産のスワップは、同じモデルコンポーネントでのみ実行できます。子資産を別のモデルコンポーネントとスワップすることはできません。

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産の関係



事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産

事前に組み立てられたマルチコンポーネントモデルとユーザーが組み立てたマルチコンポーネントモデルに関連付けられた資産は、それぞれ事前に組み立てられたマルチコンポーネント資産とユーザーによって組み立てられたマルチコンポーネント資産と呼ばれます。

- 事前に組み立てられた資産:親資産が作成されると、子資産が自動的に作成されます。子資産は、親資産が作成されたのと同じストックルームに作成されます。子資産は、ストックルーム、ステータス、サブステータスなどの親資産のプロパティを継承します。子資産の作成時に資産タグまたはシリアルタグは添付されません。モデルコンポーネントで定義されていなくても、子資産やアドオンを追加できます。アドオン資産が追加されると、[資産タイプ] フィールドに [事前に組立 (アドオンあり)] という値が表示されます。
- ユーザー組立資産:親資産のストックルームにある資産を使用して資産を組み立てます。
  - 資産レコードの [組み立て] ボタンを使用して、資産を自分で組み立てます。詳細については、「ユーザー組立資産の資産を選択」を参照してください。
  - [自動組立] ボタンを使用して資産を自動的に組み立て、ストックルームから資産を自動的に選択して資産を親資産に関連付けるプロセスをトリガーします。必要な数量の資産がス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トックルームにない場合は、エラーが表示され、資産を自動的に組み立てることができません。**[Assemble]** ボタンを使用して、資産を自分で組み立てます。

- 親資産からすべての子資産とアドオン資産を解放します。資産のリリースの詳細については、「親資産からの資産のリリース」を参照してください。

次のいずれかの状況にあるマルチコンポーネント資産の子資産をスワップできます。

- 使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり 欠陥品
- 在庫あり 修理待ち

注:
資産のスワップの詳細については、「 親マルチコンポーネント資産の資産をスワップ」を参照してください。

エンタープライズモデルの複数のモデルコンポーネント

数量を指定することで、複数のモデルコンポーネントを Enterprise モデルに一度に追加できます。[モデル コンポーネントの追加] ダイアログの [数量] フィールドでは、1 つのエンタープライズ モデルに対して複数のシリアル化されたコンポーネントと消耗品コンポーネントを作成できます。

- シリアル化されたコンポーネントの場合: [モデル コンポーネントの追加] ダイアログ ボックスの各行は、数量に基づいて複数のモデル コンポーネントに分割されます。たとえば、[数量] フィールドの行の値が 10 の場合、10 個のモデルコンポーネントレコードが作成されます。
- 消耗品コンポーネントの場合:1 行に 1 つのモデル コンポーネントが作成されます。たとえば、数量フィールドの行の値が 10 の場合、数量が 10 のモデルコンポーネントレコードのみが 1 件作成されます。

消耗品の子モデルの場合、コンポーネントごとに 1 つの子資産が作成され、その数量はコンポーネントの数量と等しくなります。シリアル化された子モデルの場合、資産はコンポーネントごとに作成されます。

資産を作成しても、消耗資産は結合されません。消耗資産は数量を持つ個別の資産です。たとえば、モデルコンポーネント A のレコードの数量値が 2 で、モデルコンポーネント B のレコードの数量値が 3 であるとします。したがって、2 つの資産が作成されます。1 つの資産レコードには数量 2 が含まれ、もう 1 つの資産レコードには数量 3 が含まれます。

ただし、消耗品のアドオン資産はモデルコンポーネントにリンクされていないため、結合されます。たとえば、モデル A に消耗品モデル C のコンポーネントが 2 つあるとします。そのモデルから複合資産を作成すると、同じモデル C から 2 つの子資産が作成されます。

消耗品コンポーネントのコンポーネント番号の使用

消耗品には資産タグやシリアル番号がないため、モデルコンポーネントフォームの [コンポーネント番号] フィールドは、子消耗品を識別して追跡するのに役立ちます。消耗品コンポーネントレコードを作成するときは、 必ず [コンポーネント番号] フィールドに値を入力してください。

消耗コンポーネントの場合、コンポーネント番号はプリフィックスとして子資産の表示名に伝播されます。

シリアル化されたコンポーネントのコンポーネント番号の使用

シリアル化されたコンポーネントの場合、コンポーネント番号の入力はオプションです。[数量] フィールドに入力した値が 1 の場合、コンポーネント番号を指定できます。[数量] フィールドに複

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

数の値を入力すると、[コンポーネント番号] フィールドは無効になります。ただし、構成品目番号はシステムによって自動的に生成されます。必要に応じて、モデルコンポーネントフォームに移動してコンポーネント番号を変更できます。

シリアル番号付きコンポーネントの場合、資産管理番号が指定されていない場合、コンポーネント番号が資産管理番号として伝播されます。後で資産管理番号を追加することを決定すると、コンポーネント番号は資産管理番号によって上書きされます。

エンタープライズモデルと資産の一括インポート

サブフローを使用して、複数のタイプのエンタープライズモデルと資産を ServiceNow インスタンスに一度にインポートします。既存のモデルと資産に対して一括更新を実行することもできます。

一括インポートの概要

エンタープライズ資産ワークスペースを使用して、すべてのエンタープライズモデルと資産を別のデータベースから ServiceNow インスタンスに一括転送します。

スプレッドシート (.xlsx) の形式でテンプレートをダウンロードして、インポートレコードを作成します。テンプレートをアップロードする前に、すべての必須フィールドに有効な値を入力したことを確認してください。テンプレートをインポートレコードに添付し、[インポート] を選択してインポートプロセスを開始します。

[インポート] を選択すると、EAM 一括インポートサブフローがトリガーされます。スケジュール済みジョブが開始され、スプレッドシート内のデータが適切なステージングテーブルにコピーされます。ステージングテーブルが検証され、 ServiceNow インスタンスにレコードが作成されます。

モード

モードとは、処理するインポートのタイプを指します。モデルと資産のインポートのみを行うモードと、モデルと資産の両方をインポートするための複合モードがあります。次の利用可能なモードから選択できます。

- モデルを作成
- モデルを更新
- 割り当て済み資産を作成する
- 資産を更新
- モデルと資産を作成
- モデルと資産を更新

テンプレート

インポートレコードで選択したモードに基づいて、対応するテンプレートをダウンロードできます。

注:
インポートプロセスを効果的に実行するには、すべての必須フィールドに有効な値を入力してください。すべての必須フィールドのリストについては、「 一括インポートスプレッドシートの必須フィールド」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モードとテンプレート

モード	対応するテンプレート
• モデルを作成 • モデルを更新	モデルテンプレート
• 割り当て済み資産を作成する • 資産を更新	資産テンプレート
• モデルと資産を作成 • モデルと資産を更新	モデルおよび資産テンプレート

注:
Yokohama リリース以降、**MAC** アドレスフィールドは、次の一括インポートモードのダウンロードテンプレートで使用できます。

- 割り当て済み資産を作成する
- 資産を更新
- モデルと資産を作成

インポートが正常に完了すると、テンプレートに指定した MAC アドレスが資産 [alm_asset] テーブルの **MAC** アドレス [mac_addr] フィールドに追加されます。

テンプレートをカスタマイズして列を追加できます。列を追加するには、次の変更を行います。

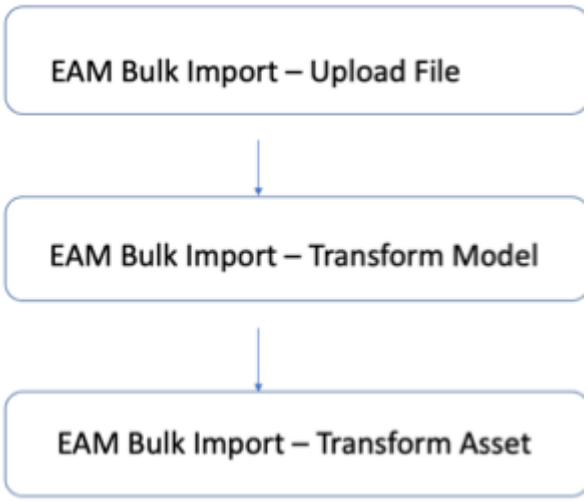
1. ステージングテーブルに新しい列を追加します。
2. データベースビューテーブル [sn_eam_import_template] のリストビューを変更して、スプレッドシートに表示する列を含めます。インスタンスのナビゲーションバーのフィルターフィールドに文字列 sn_eam_import_template.list を入力します。
3. モデルまたは資産の変換マップにフィールドマッピングを追加します。

スケジュール済みジョブ

次のスケジュール済みジョブは、EAM 一括インポートサブフローの一部として実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スケジュール済みジョブは、選択したモードに基づいて実行されます。

EAM 一括インポート - ファイルのアップロードジョブは、すべてのモードで実行されます。[モデルを作成] モードまたは [モデルを更新] モードでは、[EAM 一括インポート - 資産の変換 (EAM Bulk Import - Transform Asset)] は実行されません。同様に、[資産を作成] モードまたは [資産を更新] モードでは、EAM 一括インポート - 変換モデルは実行されません。

たとえば、[モデルと資産を作成] モードを選択した場合、スケジュール済みジョブはスプレッドシートから 3 つのステージングテーブルにデータを *EAM Bulk Import - Upload file* アップロードします。次に、スケジュール済みジョブ *EAM Bulk Import - Transform Model* 、モデルとモデルコンポーネント変換マップを実行します。モデル変換マップが完了すると、 *EAM Bulk Import -Transform Asset* スケジュール済みジョブによって資産変換マップが実行されます。

ステージングテーブル

スプレッドシートに入力したデータは、次の 1 つ以上のステージングテーブルにコピーされます。

- モデルインポートステージング [sn_eam_model_import_row]
- モデルコンポーネントのインポートステージング [sn_eam_mc_import_row]
- 資産インポートステージング [sn_eam_asset_import_row]

エンタープライズ資産管理 正常化

エンタープライズ資産管理正規化プロセスを使用すると、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプデータを正規化できます。

正規化の概要

正規化プロセスは、検出されたメーカー、検出されたモデル、検出されたモデルタイプ、および検出されたモデル番号の値を、エンタープライズ資産管理コンテンツサービス内の正規化された同等物のServiceNowリポジトリと比較します。

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化コンテンツでモデルレコードを手動で更新するか、データを エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスと比較できます。

正規化のスケジュール済みジョブ

正規化プロセス中に実行されるスケジュール済みジョブは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スケジュール済みジョブ	説明
EAM:日次ジョブ	エンタープライズ資産管理コンテンツサービスによってデータがプルされる時刻を設定します。このジョブは、正規化プロセスが初めて開始されたときに一度だけ実行されます。 モデルがライフサイクルの終了日を過ぎた場合、このジョブによって、モデルレコードの [エンタープライズモデルライフサイクル] タブの [コンテンツライフサイクルフェーズ] チェックボックスが有効になります。
EAM:コンテンツアップロード	次のカスタムテーブルに追加したコンテンツをエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにアップロードする日次ジョブ。 • カスタムエンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type] • カスタムエンタープライズメーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer • カスタムエンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model] • カスタムエンタープライズモデルライブラリー [sn_eam_cd_custom_model_library] **注:** このジョブは、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合にのみ実行されます。
EAM:エンタープライズライフサイクル	新規作成または削除されたライフサイクルに関する情報でモデルレコードを更新します。
EAM:正規化	正規化されていないすべてのモデルを正規化します。
EAM:最新のコンテンツ変更を適用	コンテンツテーブルの変更を エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに更新します。

エンタープライズ資産管理正規化とともにインストールされるテーブル

いくつかの正規化テーブルは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
カスタムエンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type]	カスタムエンタープライズモデルタイプレコードを保存します。
カスタムエンタープライズメーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer]	カスタムエンタープライズメーカーレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
カスタムエンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model]	カスタムエンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
カスタムエンタープライズモデルライブラリー [sn_eam_cd_custom_model_library]	エンタープライズモデルライブラリレコードを保存します。
エンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_model_type]	エンタープライズモデルタイプのレコードを保存します。
エンタープライズメーカー [sn_eam_cd_manufacturer]	エンタープライズモデルのメーカーレコードを保存します。
エンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_product_model]	エンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
エンタープライズモデルライブラリー [sn_eam_cd_model_library]	エンタープライズモデルライブラリレコードを保存します。
エンタープライズライフサイクルの定義 [sn_eam_cd_lifecycle_definition]	エンタープライズモデルのライフサイクルフェーズと関連する日付を保存します。
EAM コンテンツ監査 [sn_eam_content_audit]	変更されたコンテンツ値を保存します。
エンタープライズライブラリーの管理 [sn_eam_manage_cd_library]	インポートおよびエクスポートされたコンテンツデータを格納します。
エンタープライズ資産構成 [sn_eam_configuration]	オプトインおよびオプトアウトのデータを保存します。

リスクスコアリング

可能性と影響度の 2 つのベクトルに基づいて、エンタープライズモデルレコードのリスクスコアを計算します。

モデルに関連付けられた資産は、モデルのリスクスコア値を継承します。ただし、モデルで指定されたリスクスコア値とは異なる資産のリスクスコアを定義することで、モデルリスクスコアを上書きできます。

に移動して、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションのリスクモジュールにアクセスします 資産 > エンタープライズリスク構成. 次のモジュールを使用して、可能性、影響度、およびスコアの構成値を入力します。

- リスクの可能性
- リスクの影響度
- リスクスコア

注:
可能性、影響度、およびスコアの値の設定の詳細については、「 リスクの可能性の構成値を作成」、「 リスク影響度の構成値を作成」、または「 リスクスコアの構成値を作成」を参照してください。

リスクモジュールで値を設定して固定すると、ヒートマップが エンタープライズ資産ワークスペースの次のビューに表示されます。

- エンタープライズ資産一覧ビュー:資産スコアのヒートマップ
- エンタープライズモデル管理ビュー:モデルリスクスコアのヒートマップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルが [ビルド] ステージになく、モデルのリスクスコアを更新した場合、モデルフォームの [リスクを更新] ボタンを使用して、更新された値を関連する資産に伝播できます。このボタンをクリックすると、 *EAM - Update model risk values to asset* スケジュール済みジョブが実行され、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

注:
モデルが [ビルド] ステージの場合、[リスクを更新] ボタンは表示されません。

Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理

ServiceNowインスタンスをサードパーティのZebra MotionWorks場所ソリューションと統合して、エンタープライズ資産のリアルタイムの無線自動識別 (RFID) 場所データをインポートして表示できます。

RFID は、無線周波数を使用して資産の場所と識別データを転送する資産追跡技術です。このデータは、RFIDタグを介して保存および転送されます。RFIDタグは、各資産に取り付けられたり、各資産に埋め込まれたりする小さなデバイスです。各RFIDタグは、次のコンポーネントで構成されています。

- 関連する資産の場所と識別データを転送できるように、無線周波数を送受信するアンテナ。アンテナは、RFID タグをスキャンするたびにこれらの無線周波数を送受信します。
- 関連する資産の場所と識別データを保存する独自のマイクロチップまたは集積回路 (IC)。
- 他の2つのコンポーネントを一緒に保持する基板。

Zebra MotionWorks ロケーションソリューションは、RFIDテクノロジーを使用して、資産と在庫のリアルタイムの場所を自動的に追跡します。ServiceNow インスタンスをZebra MotionWorks場所ソリューションと統合すると、この RFID 場所データがインスタンスにインポートされるため、エンタープライズ資産を識別して追跡できます。Zebra MotionWorksロケーションソリューションが検出したデータ変更は、ServiceNowインスタンスで自動的に更新されます。

Zebra MotionWorksの詳細については、Zebra MotionWorks Location Solutions の Web サイト を参照してください。

Zebra MotionWorks場所ソリューションからの RFID 場所データのインポート

Zebra MotionWorks場所ソリューションから RFID 場所データをインポートすると、データは関連付けられているエンタープライズ資産に基づいて RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加されます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションでは、この RFID 場所データをインポートするエンタープライズ資産ごとに個別のテーブルエントリが自動的に作成されます。

RFID の場所データが RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加されると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは RFID リソースデータ変換マップを使用して処理し、このデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマップします。ただし、RFID の場所データは、シリアル番号を含むエンタープライズ資産についてのみ RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマッピングできます。

マッピングが成功したら、 *RFID Asset Mapping Job* スケジュール済みジョブを毎日またはオンデマンドで実行し、結果のデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルにマッピングできます。ただし、このデータマッピングは、資産 [alm_asset] テーブル内に対応する資産レコードが存在することに依存します。

- データをマッピングするエンタープライズ資産に対応する資産レコードが既に存在する場合、そのエンタープライズ資産の RFID 場所データが変更されるたびに自動的に更新されます。さらに、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルのエンタープライズ資産 のステータスが [新規] から [一致] に変わります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 対応する資産レコードがまだ存在しない場合、そのエンタープライズ資産のデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルにマップすることはできません。RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルで、エンタープライズ資産 のステータス が [新規] から [不一致] に変更されます。

  エンタープライズ資産一覧ビューの [概要] タブに表示される [不一致 **RFID** タグ] の重要なアクションを使用して、これらの不一致エンタープライズ資産を表示してアクションを実行できます。Enterprise 資産一覧ビューの詳細については、「 エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要」を参照してください。

資産レコードは、Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧ビュー で表示できます。各資産レコードに含まれる RFID フィールドの詳細については、「 エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。

注:
1 つ以上の子エンタープライズ資産を持つ親エンタープライズ資産の RFID 場所データをインポートする場合、それらの子エンタープライズ資産の RFID 場所データは、関連付けられている RFID タグに基づきます。

- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれている場合、その資産の RFID 場所データはその RFID タグに基づきます。
- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれていない場合、その資産の RFID 場所データは親エンタープライズ資産の RFID タグに基づきます。親エンタープライズ資産を削除すると、子エンタープライズ資産のすべての RFID 場所データがクリアされます。

エンタープライズ資産再利用

再利用ワークフローを使用して従業員の退職プロセスを調整し、エンタープライズ資産の要求、評価、および再利用を可能にします。

従業員が組織を離れるか別のロールに移動する場合、従業員に割り当てられた資産を取得するには、ヒューマンリソース (HR) 部門とエンタープライズ資産アドミニストレーターの間で広範な調整が必要になります。退職サービスカタログ要求を作成できます。これにより、規範的なワークフローが開始され、資産を効率的に回収してインベントリに補充したり、再アサインしたり、修理に送ったり、必要に応じて廃棄したりできます。

資産再利用要求は、 サービスカタログ アプリケーションを使用して作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクは、sam_user ロールのみがアクセスして実行できます。すべてのタスクがクローズされると、回収品目は完了です。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。

注:
サービスカタログ アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を再利用するには、エンタープライズ資産管理 アプリケーションをインストールする必要があります。

サービスカタログアプリケーションを使用して 資産の再利用要求を作成すると 、資産再利用要求が作成されます。退職する従業員に割り当てられたエンタープライズ資産ごとに、[資産サービスカタログの再利用] で選択した資産のエンタープライズ資産再利用ラインが作成されます。各エンタープライズ資産再利用ラインは、次のエンタープライズ資産再利用タスクによってクローズされます。

- [資産の再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、納品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産の受領
- Evaluate

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産再利用ラインにはステージフィールドもあり 、エンタープライズ資産再利用タスクをクローズ すると、次のように変更されます。

- 保留
- 評価を保留中
- 完了

分類コード

分類コードを使用してエンタープライズモデルを整理および分類し、効果的に使用します。

分類コードの概要

分類コードを作成して、エンタープライズモデルの可視化と効率を向上させます。

分類コードはモデルに割り当てられ、モデル カテゴリに基づいており、各コードにはソースがあります。

分類コードは、1 つ以上のモデルカテゴリに基づくことができます。たとえば、施設モデルカテゴリはコード A に割り当てられ、医療モデルカテゴリはコード B に割り当てられます。作成する各モデルにコードを割り当てることができます。施設モデルを作成するときに、そのモデルに分類コード A を割り当てることができます。同様に、医療モデルを作成するときに、そのモデルにコード B を割り当てることができます。

ソースは、特定の業界の分類システムです。たとえば、OmniClassは建設セクターの分類システムです。一部のソースには、親子関係を持つ階層構造があります。このような階層システムでは、コードごとに親は 1 つだけです。データインフラストラクチャによって、ソースが階層構造に準拠しているかどうかが決まります。

モデル間の親子関係を使用して、分類コードに基づいてモデルと資産を除外します。分類コードに基づいてダッシュボードのレポートをフィルタリングできます。

次の場所に移動して、 エンタープライズ資産ワークスペース で分類コードを作成および編集できます エンタープライズモデル管理ビュー > 分類.

分類コードが作成されると、そのコードの先祖リストが自動的に生成されます。既存のコードの親が更新されると、そのコードとそのすべての子の先祖リストが更新されます。

分類コードを使用してフィルター

次の エンタープライズ資産ワークスペース ビューで分類コードに基づいてモデルをフィルタリングできます。

- Enterprise asset overview (エンタープライズ資産の概要)
- エンタープライズ資産ダッシュボード
- インベントリ
- Enterprise model management (エンタープライズモデル管理)
- Enterprise asset estate (エンタープライズ資産一覧)

[分類] フィルターでコードを選択してフィルターを適用すると、そのコードに一致するすべてのモデルとそのすべての先祖のレポートが表示されます。

使用されるロール

分類コードを操作するには、次のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールのタイトル	含まれるロール	説明
分類マネージャー [sn_eam.enterprise_classification_manager]	sn_eam.enterprise_admin	このロールは、分類コードテーブルに完全にアクセスできます。このロールでは、分類コードの作成、編集および表示を行うことができます。
モデルマネージャー [model_manager]	sn_eam.enterprise_asset_manager	このロールでは、分類コードの表示のみを行うことができます。

エンタープライズ資産管理向けプレイブック

プレイブックは、重要な情報を含む資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

プレイブックの概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。プレイブックのワークフローは、通常、 Exploring playbooks を使用して作成されます。プレイブックの各レーンには次のものが含まれます。

- レビューするアクティビティのリスト。
- 各アクティビティの現在のステータスを表示するステータスインジケーター。
- ワークフローのどこにいるかを示すチェックマーク。

レーン内のアクティビティを完了としてマークすると、次のアクティビティに移動します。アクティビティはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。アクティビティとレーンを完了し続けると、ステータスが左側のパネルに反映され続けます。プレイブックの右側にある [アクティビティログ] には、各アクティビティに入力したすべてのデータが表示されます。

プレイブックのレイアウト

プレイブックは次の部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業エリア。

で利用可能なプレイブック エンタープライズ資産管理

次のプレイブックを使用します さまざまなエンタープライズ資産管理ワークフローを完了する

- 資産オンボーディング プレイブック:単一の資産をオンボーディングできます。
- マルチ資産オンボーディング プレイブック:一度に複数の資産をオンボーディングできます。
- キャリブレーションイベント プレイブック: 作業指示書の一部として実行している資産のキャリブレーションを追跡および管理できます。

資産オンボーディングプレイブック

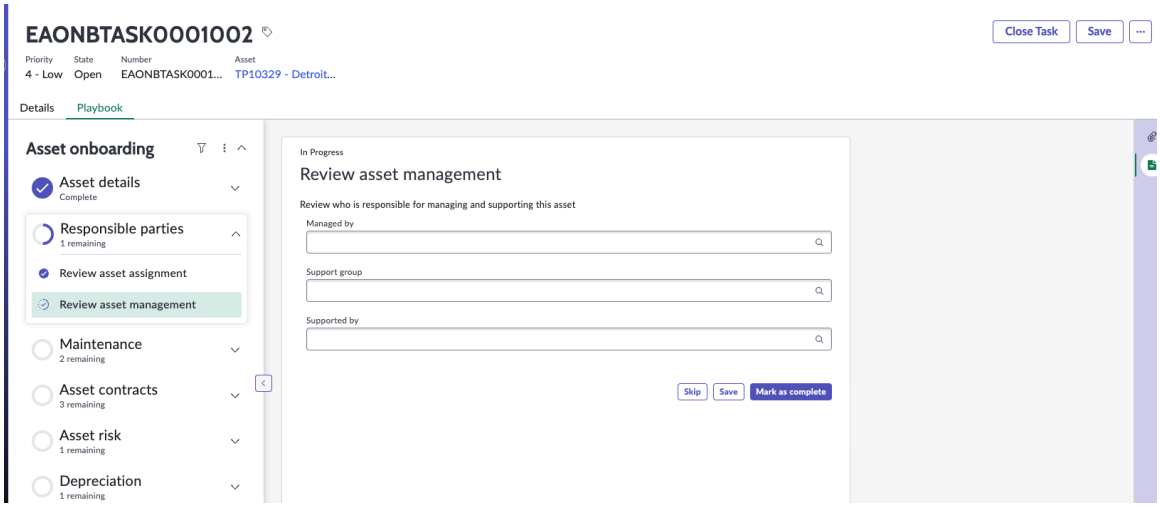
資産オンボーディングプレイブックは、プロセスの各ステップでコンテキストを提供し、資産の重要な情報を入力するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各資産にはオンボーディングプロセスを 1 つだけ含めることができ、オンボーディングプロセスごとにプロセスを追跡するオンボーディングタスクがあります。

資産オンボーディングタスク [sn_itam_common_asset_onboarding_task] テーブルは、資産オンボーディングプロセスを追跡します。



マルチ資産オンボーディングプレイブック

マルチ資産オンボーディングプレイブックでは、単一モデルの複数の資産を一度にオンボーディングできます。

エンタープライズ資産技術者は、次のいずれかのタスクを実行して、複数の資産をオンボーディングできます。

- カタログ要求を作成します。
- でオンボーディング注文を作成する エンタープライズ資産ワークスペース.

カタログ要求またはオンボーディング注文が送信されると、資産オンボーディングタスクが作成されます。エンタープライズ資産マネージャーは、タスクに関連付けられたプレイブックを使用して、資産のオンボーディングタスクを完了できます。オンボーディングタスクが完了すると、カタログ要求と要求アイテムのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

マルチ資産オンボーディングプレイブックには、スキップすることも完了としてマークすることもできる一連のアクティビティがあります。プレイブックの展開アクティビティを使用すると、エンタープライズ資産マネージャーは次の詳細を指定して展開タスクを作成できます。

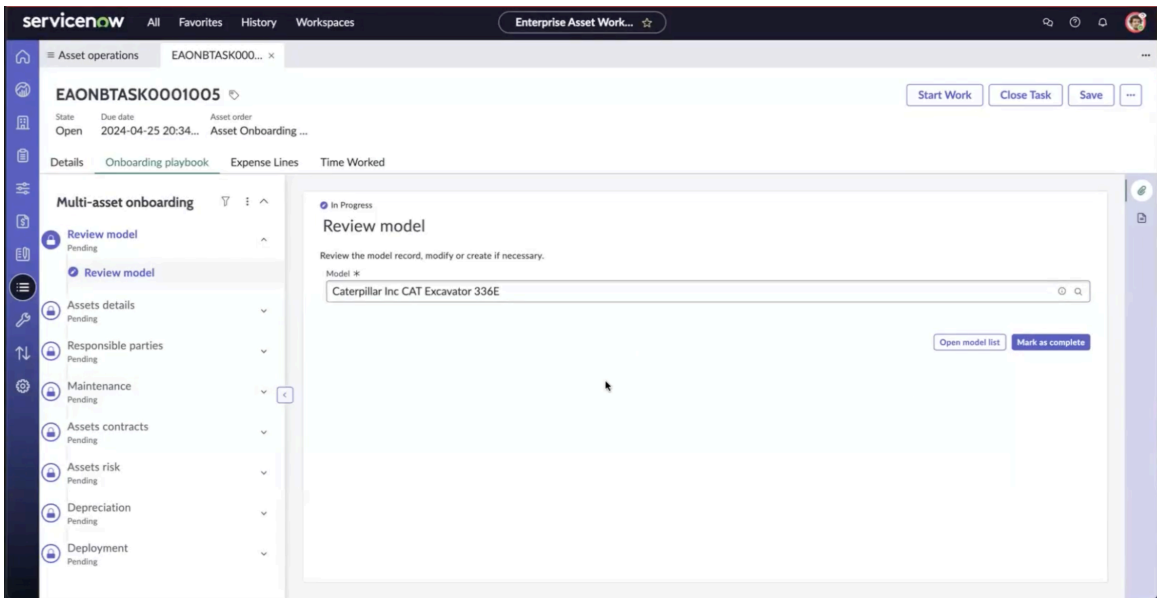
- 資産が割り当てられている人物
- 資産を展開する場所

注:
展開アクティビティは、マルチ資産オンボーディングプレイブックで先行するすべてのアクティビティを確認した後にのみ作業できます。

マルチ資産オンボーディングの展開タスクは、エンタープライズ資産展開タスクとして作成するか、enterprise_adminロールを使用して *com.sn_eam.default_deployment_task* 資産プロパティを構成する作業指示書タスクとして作成できます。デフォルトでは、この資産プロパティの [値] フィールドは **sn_eam_deploy_asset_task** に設定され、エンタープライズ資産展開タスクが作成されます。ただし、[値] フィールドを **[wm_task]** に設定することで、作業指示タスクを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

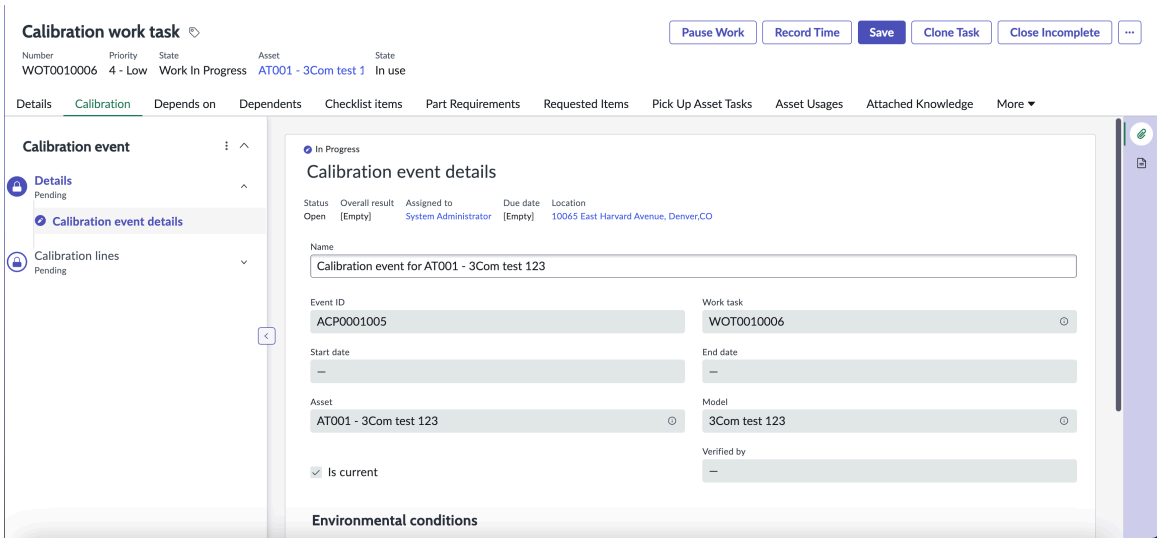
マルチアセットプレイブックの使用の詳細については、「マルチ資産オンボーディングプロセスの作成」を参照してください。



キャリブレーションイベント プレイブック

キャリブレーションイベント プレイブック を使用すると、作業指示書の一部として実行している資産のキャリブレーションを追跡および管理できます。この プレイブック は、作業タイプがキャリブレーションであるすべての作業指示タスクで使用できます。

ServiceNowインスタンスでキャリブレーションイベントプレイブックを使用する方法の詳細については、「エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズします」を参照してください。ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションでのキャリブレーションイベントプレイブックの使用の詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行」を参照してください。



エンタープライズ資産管理のリニア資産

リニア資産を使用して資産管理ポートフォリオを拡大し、リニア資産を作成して管理することで分散を促進します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リニア資産の概要

リニア資産は、道路、鉄道、パイプライン、送電線、電気通信ネットワークなどの物理的な長さまたは寸法を持つ資産です。これらの資産は、多くの場合、線形トポロジによって特徴付けられます。つまり、開始点と終了点が定義されており、相互接続されたセグメントまたはノードのシーケンスとして表すことができます。

リニア資産にセグメントを作成し、離散資産をリニア資産に関連付け、重複資産、継続資産、交差資産などのリニア資産間の関係を検索できます。リニア資産に使用される用語の詳細については、「リニア資産の用語」を参照してください。

地理的 (地理) マップを使用して、リニア資産とセグメントを作成および管理できます。Geo マップは エンタープライズ資産管理 に統合されます。

リニア資産のサポート範囲

リニア資産は、次の考慮事項に留意してサポートされます。

- ジオポイントによってモデル化されたリニア資産のサポート。
- 小数点以下 7 桁までの符号付き 10 進数ジオポイントのサポート。例:[37.3800091, -121.9635865]。
- 最大 1000 個のリニア資産をサポートします。
- 各リニア資産のサポートは、最大 1,000 個のジオポイント、500 個のマーカー、および 500 個のセグメントまで拡張されます。
- リニア資産で毎月最大 1000 件の作業指示をサポートします。

リニア資産の **Geo** マップ

ジオマップは、地表または特定の地域を視覚的に表現したもので、地形、水域、都市、道路、その他の地理的要素などのさまざまな特徴を表示します。

sn-geo-map は、リニア資産のマップ可視化をサポートするために使用される UI コンポーネントです。

エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] は、Geo マップにアクセスできます。

Geo マップは、ワークスペースで次のアクションを実行するのに役立ちます。

- リニア資産を描画して座標を定義します。
- セグメントの開始マーカーと終了マーカーをピックアップします。
- 個別資産のマーカーをピックアップします。
- 個別資産、重複資産、交差資産、継続資産、セグメントなどの関連資産を表示します。

ジオマップアイコンを使用してマップ上の地理座標ポイントを接続する方法の詳細については、この短いビデオ「 マップ上の地理座標ポイントを接続する 」をご覧ください

エンタープライズ資産管理のナレッジ記事

エンタープライズモデルに関するナレッジ記事を作成して添付します。

エンタープライズ資産ワークスペース またはナレッジ管理アプリケーションを使用して、以下の記事を作成します。エンタープライズ資産管理 利用できませんトラブルシューティング、構成などのテーマで記事を作成できます。ナレッジ記事の作成については、「<<link to creating knowledge article>>」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールは記事を作成でき、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事を表示できます。

記事を作成して公開した後、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事をエンタープライズモデルに添付できます。

インスタンスで記事を検索または表示するには、ナビゲーションバーに「Enterprise Asset Knowledge Base」と入力します。Enterprise 資産ナレッジベースのすべての記事がリストされます。

資産フォームの [モデルナレッジ] 関連リストで、資産のモデルナレッジ記事を表示することもできます。作業指示書フォームと作業指示書タスクフォームには、[部品ナレッジ] 関連リストもあります。

の資産総所有コスト (TCO) エンタープライズ資産管理

資産マネージャーは、資産の総所有コスト (TCO) を把握して、資産の総コストに関するインサイトを得て、資本計画を実現したいと考えています。

資産の有効期間中に、初期資本コスト、新しい部品の購入に関連するコスト、人件費、契約コストなどのコストが資産で発生します。資産のTCOは、これらすべての費用の合計です。

TCO のメリット

- 資産階層全体で調達、メンテナンス、修理、廃棄などの経費を追跡および分析します。
- ライフサイクル全体を通じて、資産関連の費用の可視性と制御が向上します。
- 類似の資産および資産モデルに対して資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。

TCO 計算

TCO は、資産のライフタイム中に発生したすべての経費の合計です。資産の TCO は、資産に対して作成されたすべての経費ラインの金額を合算することによって計算されます。資産の総コストは、経費ラインが追加されるたびに更新されます。

TCO を計算する際の考慮事項:

- 初期 TCO には、資産レコードの作成時に作成された経費ラインから得られる購入コストが含まれます。
- 新しい資産レコードが作成されると、資産レコードのコストフィールドを使用して新しい経費ラインが作成されます。
- コストフィールドが更新されると、既存の経費ラインレコードも更新されます。
- 単純な資産と複合資産の場合、TCO は資産に関連付けられているすべての経費ラインを集計して計算されます。資産に新しい経費ラインが追加されるたびに、更新された合計が TCO に自動的に反映されます。
- シリアル化された資産の場合、資産 TCO は、その資産のすべての経費ラインの合計です。
- 複合資産の場合、子で発生したコストも親資産の TCO に追加されます。
- 子資産がスワップされると、運用コストである経費ラインが 1 つ作成されます。新しい子資産の投資コストも親 TCO に追加されます。スワップ資産の **[last_used**] フィールドに値が入力され、このフィールドはそれ以降に作成された経費ラインをクエリするために使用されます。スワップアウトされた資産の **[last_used**] フィールドは、ストックルームに戻るときに入力されます。
- 子資産のコストは複合資産の親資産コストの一部であるため、子資産の経費ラインは空です。
- 子資産が削除されても、その経費ラインは保持され、親 TCO は影響を受けません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザー組立資産の場合、親と子の両方に経費ラインがあり、子経費ラインが親にロールアップされ、金額が親 TCO に追加されます。
- 複数階層の資産の場合、子資産で作成された経費ラインは、階層内のすべての親間の多対多の関係によって参照されます。
- 消耗品は結合および分割に設定され、経費ラインも結合および分割されます。タスクレートカードによって作成された経費ラインは TCO に追加されます。計算は単純な資産に適用されます。消耗品が子資産として使用される場合、その経費ラインは親にロールアップされます。個々の消耗品の TCO は追跡されません。
- 資産の転売によって得られる価値は、TCO に負のコストとして加算されます。毎月のリース支払があるリース資産の場合は、毎月のリース開始日に経費ラインを作成します。
- 経費ラインの [資産] フィールドには、タスクレコードからの資産参照が入力されます。
- 作業指示書タスクまたはインシデントのクローズ後に作成された経費ラインの [資産] フィールドには、作業指示書タスクまたはインシデントの資産参照から値が設定されます。

TCO ベンチマークとしきい値

TCO ベンチマークコストを指定した後、TCO ベンチマークに TCO ベンチマークしきい値の割合を乗算することによって、TCO ベンチマークしきい値が自動的に計算されます。*asset_tco_benchmark_threshold_percentage* システムプロパティの割合を変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

モデルフォームの [財務] セクションで **[TCO** ベンチマークしきい値] フィールドの値を変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

TCO ベンチマークを更新すると、TCO ベンチマークしきい値が再計算されます。

レートカード、経費ライン、および経費カテゴリ

エンタープライズ資産管理 アプリケーションでは、作業時間レコードを自動的に合計し、レートカードを掛けて総コストを計算します。レートカードは、すべてのワークフローのタスクごとに作成されます。レートカードは、タスク単位または消費時間に基づいてコストをキャプチャします。エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、次のレートカードをサポートしています。

- タスクレートカード:タスクによってキャプチャされたコスト。
- 賃金レートカード:時間単位で消費された時間によってキャプチャされたコスト。賃金レートは、ユーザーレベルで定義できます。

注:
レートカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

デフォルトでは、タスクレートカードが使用されます。賃金レートカードを使用するように変更するには、タスクレートレコードを開き、[作業時間を使用] フィールドを選択します。

タスクがクローズされると、キャプチャされたタスク作業時間に基づいて経費ラインが作成されます。経費カテゴリは、経費ラインに関連付けられます。経費ラインの金額は、資産の総コストに追加されます。経費ラインは、資産の [経費ライン] 関連リストの下に表示されます。

タスクの時間のキャプチャ

各タスクには、作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

以下の説明に従って、タスクを開始、時間を記録し、一時停止、再開、およびクローズすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. [作業を開始] を選択して作業を開始します。これにより、タスクのステータスが [オープン] から [対応中] に移行します。次に、[開始タイマー] または [時間を記録] を選択して、時間をキャプチャできます。
   - 開始タイマー:時間を自動的にキャプチャします。このボタンを選択すると、タイマーが初期化されます。
   - 時間の記録: [時間を記録] ダイアログ ボックスで時間、分、秒の時間を手動で入力し、[保存] を選択して時間レコードをキャプチャします。
2. 作業を一時停止するには、[作業の一時停止] を選択します。作業を一時停止すると、タイマーが停止し、[作業時間] タブにタスク作業レコードが自動的に作成されます。作業を一時停止するたびに、タスク作業レコードが作成されます。作業を一時停止する回数に基づいて、複数のタスク作業レコードが作成されます。
3. [再開] を選択して作業を再開し、タイマーを再開します。[タスクをクローズ] を選択してタスクをクローズすることもできます。

[タスクをクローズ] を選択すると、その時刻とタスクがクローズされます。タスクに費やされたすべての時間を求めるために、そのタスクに対して作成されたすべてのタスク作業レコードエントリが合計され、賃金レートが乗算されて、タスクの総コストが算出されます。

TCO レポート

TCO レポートには 2 つのタイプがあります。TCO の比較と TCO 対ベンチマーク。TCO 比較レポートは、経費カテゴリ別に積み重ねられます。

TCO の正規化

TCO の正規化とは、耐用年数と資産寿命にわたるコストの平均化を指します。正規化された計算は、オフラインのみの予測 TCO レポートに対するものです。

ドメインセパレーション

TCO レポートはドメインセパレーションをサポートしています。

アップグレードに関する考慮事項

Yokohama にアップグレードする場合は、スケジュール済みジョブ **Enterprise** 資産の **TCO** アップグレードが実行された後に、次の更新が行われます。

- タスクレコードの [資産] フィールドは、 ソース **ID** フィールドに記載されているソーステーブルを使用して、すべての経費ラインに入力されます。ソーステーブルは、経費ラインの作成元を定義します。タスク、構成アイテム、契約、または購入資産に対して作成されるかどうか。スケジュール済みジョブ [エンタープライズ資産の **TCO** アップグレード] が実行されると、すべてのタスクレコードが検索され、タスクレコードからタスクに対応する経費ラインに資産参照が入力されます。同様に、同じスケジュール済みジョブがすべての構成アイテム (CI) を検索し、CI から対応する経費ラインに資産参照を入力します。
- Yokohama で導入された [経費カテゴリ] フィールドは、経費ラインのソースに基づいて入力されます。タスクには複数の経費カテゴリがあります。たとえば、購入資産と契約資産に対して作成された経費ラインには、異なる経費カテゴリがあります。同様に、CI にもさまざまな経費カテゴリがあります。
- 資産レコード内の次の 3 つのフィールドが入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- cmn_asset_tco:このフィールドは、資産レコードの [財務] セクションに表示されます。
- cmn_end_of_useful_life: 資産の詳細 の横にある縦の省略記号を選択し、 **XML** の表示 を選択して、資産レコードでこのフィールドを表示します。
- cmn_first_used: 資産の詳細 の横にある縦の省略記号を選択して資産レコードでこのフィールドを表示し、 **XML** の表示 を選択します。

- 単純な資産で作成された経費ラインは、最大 asset_tco 件まで追加されます。
- 事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産の場合、資産で作成された経費ラインも親 TCO にロールアップされます。

関連情報

エンタープライズ資産の総所有コスト (TCO) の構成

ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修正するための修復フロー

修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修理し、修理された資産をさまざまな エンタープライズ資産管理 ワークフローで使用できるようにします。

修理フローを使用することで、組織は破損した資産または保証期間外の資産を内部で修理できます。修復された資産は、検証後に再び使用できます。欠陥資産の修理に関与する外部ベンダーは存在しません。

資産アドミニストレーターは、修理注文を送信することで、ストックルームにある欠陥のある資産または修理待ちの資産の修理を要求できます。詳細については、「欠陥のあるエンタープライズ資産の修復を要求」を参照してください。修理注文を送信すると、修理フローがトリガーされます。修理注文には、資産の修理タスクに関連付けられた修理注文明細行があります。資産技術者は、修理注文に関連付けられた修復タスクを完了します。修理フローは、修理された資産が評価された後に完了します。詳細については、「のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース」と「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクの管理」を参照してください。

修理フローのステージ

1. トラブルシューティング:欠陥資産を評価し、以下を評価するステージ:
   - 資産に関する問題
   - 必要な部品
   - 欠陥資産を修復する手順

   この段階で、資産技術者は資産が修理可能か、再展開可能か、または修理不可能かを確認します。資産が修理可能な場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。
2. 修理:欠陥資産の修理を確認するステージ。このタスクでは、資産を修理、再展開、または修復不能としてマークします。

   資産が修復された場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。
3. 評価:修理済み資産の品質管理チェックを実行するステージ。評価結果に基づいて、資産は再展開または廃棄されます。修復フローは資産評価後に完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のインベントリピッキング エンタープライズ資産管理

大規模なストックルームで作業するインベントリユーザーは、インベントリピッキング機能を使用して、ストックルーム内の資産を簡単にピッキングし、技術者による資産ピッキングを容易にします。

在庫集荷機能には、次の エンタープライズ資産管理 ワークフローでの資産集荷タスクの追加が含まれます。

- 標準エンタープライズ資産要求
- エンタープライズリフレッシュ要求
- 調達ワークフロー

注:
資産集荷タスクは、資産要求、更新要求、または調達要求の調達に使用されるストックルームに対して明示的に有効になっている場合にのみ使用できます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にする エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

資産集荷タスクを使用すると、ストックルーム内の任意の通路やスペースから資産を集荷できます。その後、集荷した資産をストックルーム内の指定した場所にドロップできます。資産集荷タスクを完了すると、資産技術者はアサインされた要求を実行するために資産を集荷できます。

資産集荷タスクの詳細については、「 エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産のピッキングを管理する と モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。

エンタープライズ資産管理の構成

エンタープライズ接続済み資産と非接続資産のライフサイクルを管理するように エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成します。

構成の概要

システムアドミニストレーターによる エンタープライズ資産管理 アプリケーションの構成では、次のタスクを実行する必要があります。組織のニーズと要件に応じて、一部の構成タスクはオプションです。

エンタープライズ資産管理構成

タスク	必須/オプション	リソース
エンタープライズ資産管理アプリケーションのインストール	エンタープライズ資産管理アプリケーションを使用するために必要です。	エンタープライズ資産管理 のインストール エンタープライズ資産ワークスペース
エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン	オプション。このタスクにより、組織は正規化されていないエンタープライズモデルデータを ServiceNow と共有して、正規化プロセスを改善できます。	エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン エンタープライズ資産管理 正常化
医療向けエンタープライズ資産管理アプリケーションのインストール	オプション。このアプリケーションは、ヘルスケア関連のロールと資産モデルをサポート	医療向け エンタープライズ資産管理 のインストール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産管理構成 (続く)

タスク	必須/オプション	リソース
	する エンタープライズ資産管理 の機能、特徴、およびワークフローを提供します	医療向け エンタープライズ資産管理
OT Asset Management アプリケーションのインストール	オプション。このアプリケーションは、 オペレーショナルテクノロジーの産業用モデルカテゴリの資産を管理するのに役立ちます。	OT 資産管理 のインストール OT 資産管理 のインストール

エンタープライズ資産管理 のインストール

エンタープライズ資産を追跡および管理できるように、ServiceNow® Storeからエンタープライズ資産管理アプリケーションを要求します。

始める前に

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

次のプラグインとアプリケーションは、 ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションとともに自動的にインストールされます。

[Name (名前)]	説明
プラグイン	
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。資産管理の詳細については、「 資産管理 」を参照してください。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を実行できるように、要求された資産を調達および受信する機能を提供します。調達の詳細については、 エンタープライズ資産の調達 を参照してください。
フィールドサービス管理 (FSM) (com.snc.work_management)	作業指示および関連タスクを管理する機能を提供します。フィールドサービス管理 (FSM)の詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM)」を参照してください。
エンタープライズ資産管理 Core (com.sn_eam_core)	エンタープライズ資産管理 アプリケーションの正規化などのコア機能を提供します。
資産管理ワークスペース - 推奨事項プラグイン (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースでユーザーに実用的な推奨事項を提供します。
SM 計画済みメンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。計画済みメンテナンスの詳細については、「 計画済みメンテナンス 」を参照してください。
物理資産 (com.sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を揃えるマーカー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	説明
資産のインドアマッピング com.sn_ima	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。
アプリケーション	
展開されたモデルと資産クラス	CMDBクラス階層内ですぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。このアプリケーションの詳細については、 展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション を参照してください。
CMDBCI Class Model	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、依存関係など、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。このアプリケーションの詳細については、「 CMDB CI クラスモデルストアアプリ 」を参照してください。
Asset Management Common	資産再利用を要求するカタログアイテムなど、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、および エンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
GRC:リスクヒートマップ	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。リスクヒートマップの詳細については、「 クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ 」または リスクワークスペースの「高度なリスクアセスメントのオペレーショナルリスクヒートマップ 」を参照してください。

手順

1. Web ブラウザから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに 「エンタープライズ資産管理 」と入力し、[検索] を選択します。
4. [**ServiceNow Enterprise Asset Management**] という結果を選択します。
5. ServiceNow エンタープライズ資産管理 ページで、 [インストールの要求] を選択します。
   [アプリのインストールの ServiceNow 要求 - ServiceNow エンタープライズ資産管理] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求 **- ServiceNow** エンタープライズ資産管理 **]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[インスタンスを検証] を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [要求] を選択します。
8. **[Close** (クローズ)] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

医療向け エンタープライズ資産管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーション (com.sn_eamhc) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

必要なロール： sys_admin

このタスクについて
次のアイテムは、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともにインストールされます。

- ストアアプリケーション
- ロール
- プラグイン

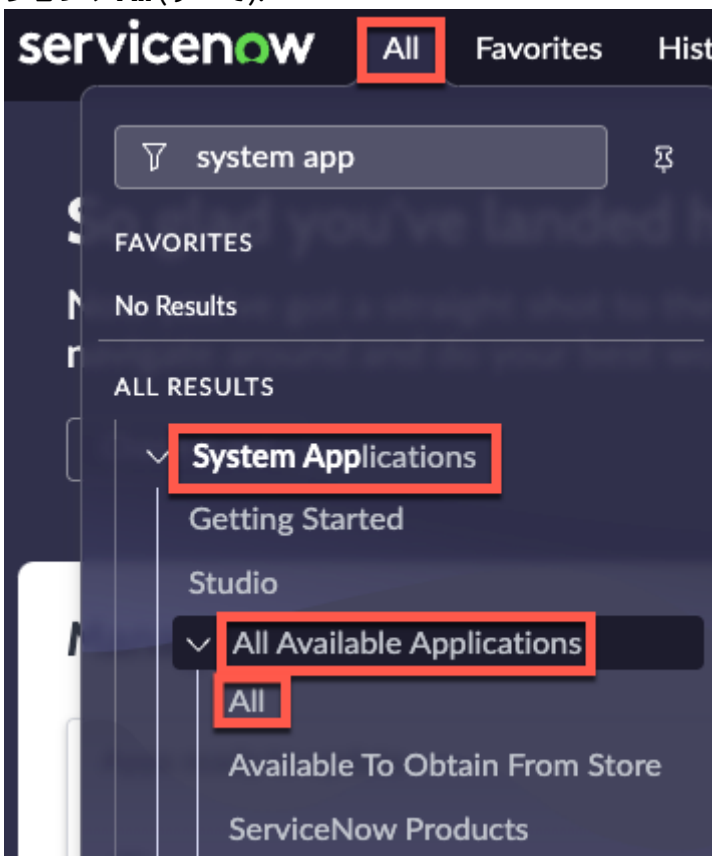
詳細については、「エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともにインストールされる内容」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーション (com.sn_eamhc) アプリケーション (com.sn_eamhc) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OT 資産管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 OT 資産管理 アプリケーション (com.sn_otam) をインストールできます。 このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

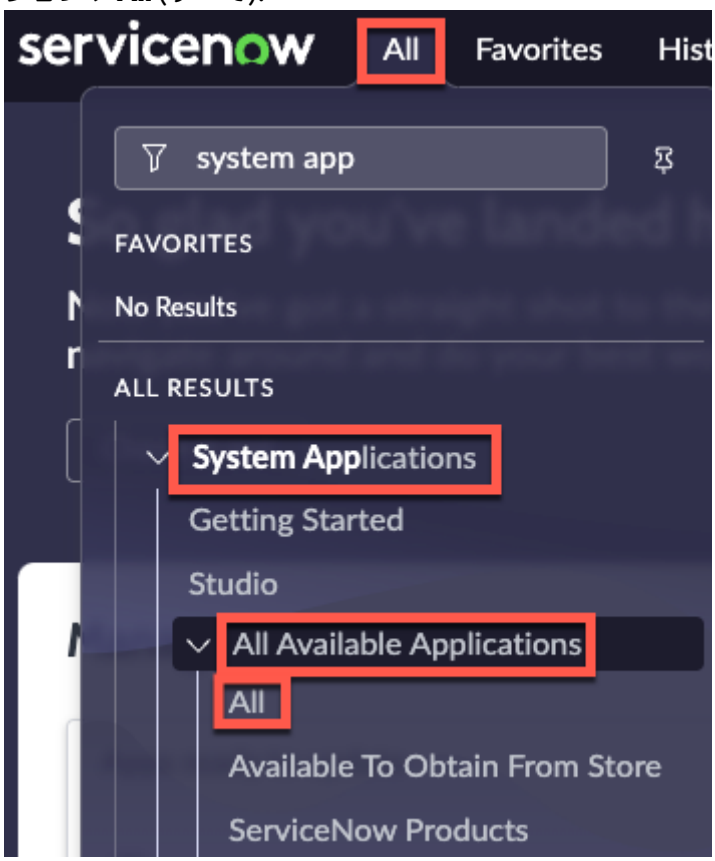
OT 資産管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール

詳細については、「OT Asset Management とともにインストール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、OT 資産管理アプリケーション (com.sn_otam) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン

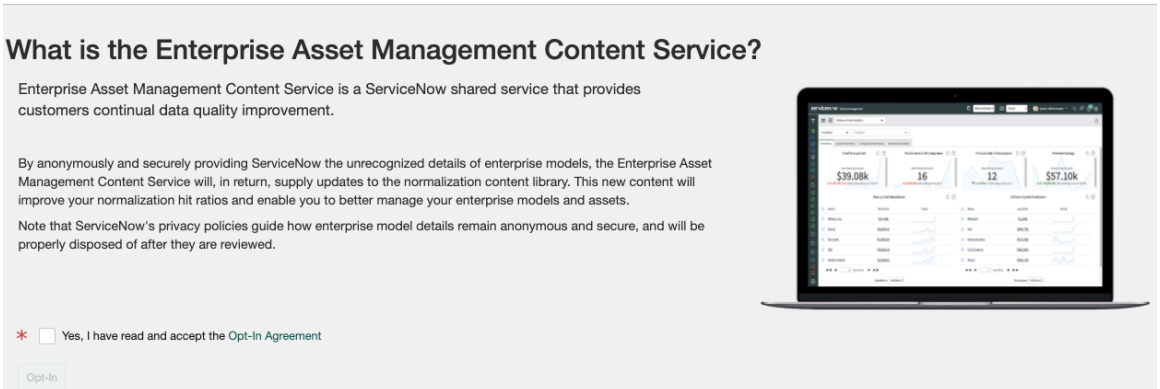
エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、組織からの正規化されていないエンタープライズモデルデータをServiceNowと共有し、正規化プロセスを改善します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

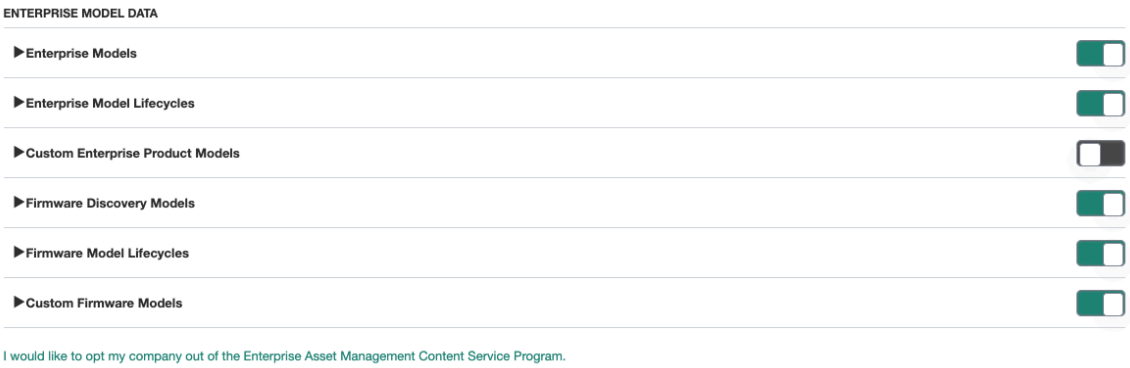
1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > 正規化のオプトイン.



2. [オプトイン契約] を選択して契約を読み、[はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] チェック ボックスをオンにします。
3. **[Opt-In** (オプトイン)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



オプトインすると、エンタープライズモデル、エンタープライズモデルライフサイクル、ファームウェアディスカバリーモデル、ファームウェアモデルライフサイクル、およびカスタムファームウェアモデル KPI が自動的に有効になります。カスタムエンタープライズ製品モデル KPI は自動的に無効になります。

4. KPI を無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。
5. オプトアウトするには、[エンタープライズ資産管理コンテンツサービスプログラムから会社をオプトアウト したい] を選択し、[オプトアウト] を選択します。
   オプトアウトすると、エンタープライズモデル、エンタープライズモデルライフサイクル、カスタムエンタープライズ製品モデル、 ファームウェアディスカバリーモデル、ファームウェアモデルライフサイクル、およびカスタムファームウェアモデル KPI が無効になり、会社は正規化プロセスの改善に寄与しなくなります。引き続き、 コンテンツサービス チームが他のソースから作成できる内容に基づいたコンテンツの増分更新を受け取ります。会社はいつでも エンタープライズ資産管理 コンテンツサービス に再参加できます。

エンタープライズロールをエンタープライズクラスにマップする

個々のエンタープライズロールを追加のエンタープライズクラスにマッピングすることで、モデルカテゴリへの追加のアクセス権を取得します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

エンタープライズロールをエンタープライズクラスにマップするには、まずクラスへのロールアクセス権を付与してから、それらのクラスに関連付けられたタブを指定されたワークスペースで公開する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. クラスアクセスに対するロールを選択
3. 構成するロールレコードを選択します。
   それぞれのクラスアクセスルールページが開きます。たとえば、施設資産技術者エンタープライズクラスアクセスルールレコードを選択すると、[施設資産技術者エンタープライズクラスアクセスルール] ページが開きます。
4. [追加のモデルカテゴリ] リストからモデルカテゴリを選択します。
   モデルカテゴリに関連するクラスは、 クラス名に表示されます。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これで、ロールが選択したクラスに割り当てられました。次に、アドミンセンターの [モデル] タブと [資産] タブに移動して、これらのクラスに関連するモデルと資産のタブを公開する必要があります。

6. アドミンセンターで [モデル] タブと [資産] タブを選択します。
7. ロールに割り当てたモデルカテゴリ名を選択して、クラスタブの構成ページを開きます。
8. [タブに含める] と [ダイアログ ボックスに含める] を選択します。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。
   追加のクラスにロールアクセスが付与され、それらのクラスに関連付けられたモデルと資産のタブが特定のワークスペースに自動的に表示されます。さらに、すべてのダッシュボードは、設定したクラスに関連するデータで更新されます。

エンタープライズモデルと資産の管理

エンタープライズモデルと資産をライフサイクル全体で作成および管理します。

資産とモデル管理の概要

次のタスクを実行して、エンタープライズモデルと資産を作成および管理します。

タスク	必要なロール	リソース
マルチコンポーネントモデルと資産の作成	• sn_eam.enterprise_admin • sn_eam.enterprise_asset_manager	• マルチコンポーネントモデルの作成 • マルチコンポーネント資産の作成
エンタープライズモデルと資産の作成	• sn_eam.enterprise_admin • sn_eam.enterprise_asset_manager	• エンタープライズモデルの作成 • エンタープライズ資産の作成
エンタープライズモデルコンポーネントの作成	• sn_eam.enterprise_admin • sn_eam.enterprise_asset_manager	エンタープライズモデルコンポーネントの作成
分類コードの作成とインポート	• sn_eam.enterprise_admin (分類コードの作成用) • sn_eam.enterprise_asset_manager (分類コードのインポート用)	• 分類コードの作成 • 分類コードをインポート
エンタープライズモデルと資産へのキャリブレーション属性の追加またはクローン作成	• sn_eam.enterprise_admin • sn_eam.enterprise_asset_manager	• エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加 • エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性のクローン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	必要なロール	リソース
		• エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 • エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性のクローン作成
リニア資産とリニア資産タイプの作成	sn_eam.enterprise_asset_manager	• リニア資産を作成 • リニア資産タイプの作成
パレット資産を作成	• sn_eam.enterprise_asset_manager • sn_eam.enterprise_asset_technician	でのパレット資産の作成 エンタープライズ資産ワークスペース
資産の TCO を構成	sn_eam.enterprise_asset_manager	エンタープライズ資産の総所有コスト (TCO) の構成
資産オンボーディングプロセスとマルチ資産オンボーディングプロセスを作成します。	sn_eam.enterprise_asset_manager	• 資産オンボーディングプロセスの作成 • マルチ資産オンボーディングプロセスの作成
インドアマップを使用した資産の追跡	• sn_eam.enterprise_admin • sn_eam.enterprise_asset_manager	でインドアマップを使用して資産を追跡する エンタープライズ資産ワークスペース
エンタープライズ資産の出荷の管理	sn_eam.enterprise_admin	エンタープライズ資産の出荷の管理
エンタープライズ資産の移動オーダーの管理	sn_eam.enterprise_asset_manager	エンタープライズ資産移動オーダーの管理
リスクスコアを管理	sn_eam.enterprise_admin	エンタープライズ資産管理でのリスクスコアの管理
Enterprise モデルを正規化	sn_eam.enterprise_admin	エンタープライズモデルの正規化
インシデントの管理	itil	エンタープライズ資産管理でのインシデントの管理
ナレッジ記事の作成	sn_eam.enterprise_admin	のナレッジ記事の作成 エンタープライズ資産管理

エンタープライズモデルの作成と管理

エンタープライズモデルを作成および管理して、エンタープライズ資産を追跡します。

マルチコンポーネントモデルの作成

マルチコンポーネントモデルを作成して、同じ製品モデルに基づいて複数のモデルコンポーネントを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
マルチコンポーネントモデルの詳細については、「 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. に移動してモデルを作成 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
   事前に組み立てられたモデルまたはユーザーによって組み立てられたモデルを作成できます。モデルの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルの作成」を参照してください。
2. モデルを作成したら、モデルコンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルコンポーネントの作成」を参照してください。
3. モデルコンポーネントをモデルに追加したら、モデルのステータスを [本番] に変更します。
4. [エンタープライズ資産カタログに公開] を選択して、モデルをカタログに公開します。

エンタープライズモデルの作成

最上位 エンタープライズ資産管理 モデルカテゴリに基づいてモデルを作成します。モデルを使用して資産を管理および追跡します。

始める前に
次のいずれかの エンタープライズ資産管理 モデルカテゴリに基づいてモデルを作成できます。

- 建設
- 医療
- 交通機関
- 産業
- 施設
- 小売業
- 戦術装備品
- ウェアラブル
- パレット

注:
モデルの資産戦略追跡が消耗資産を作成するように設定されている場合、エンタープライズ資産管理 アプリケーションのモデルから作成された消耗品のみを使用できます。

注:
エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ優良モデル [sn_ent_facility_model] クラスの施設モデル [sn_ent_model] 子クラスに該当する施設モデルのみをサポートします。アプリケーションは、施設モデル [cmdb_facility_product_model] テーブルにリストされている施設モデルをサポートしていません。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
2. 作成するモデルタイプのタブを選択します。
   - 利用可能なすべてのエンタープライズモデルタイプの [すべてのエンタープライズ] タブを選択します。
   - 施設、産業、医療、小売、輸送など、特定のエンタープライズモデルタイプのタブを選択します。
   - パレット モデルの すべてのモデル タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
   パレット モデルを作成する場合は、 新しいパレット モデル を選択します。

   [すべてのモデル] タブ以外のタブで [新規] を選択すると、ダイアログ ボックスが開き、作成する新しいモデルのタイプとカテゴリを指定するように求められます。手順 4 に進み、ダイアログ ボックスのフィールドに入力します。

   すべてのモデル タブ で 新しいパレット モデル を選択すると、新しい製品モデルの作成 ページに自動的にリダイレクトされます。手順 6 に進み、ページのフィールドに入力します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ **注:** このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブで [新規] を選択した場合にのみ表示されます。	作成するモデルのタイプ。次のオプションから選択します。 ○ エンタープライズ優良モデル ○ 構成モデル ○ 施設モデル ○ 産業用モデル ○ 医療モデル ○ 小売業モデル ○ 輸送モデル ○ 戦術装備品モデル ○ ウェアラブルモデル
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。

5. **[Create** (作成)] を選択します。
   [新しい製品モデルを作成] ページが表示されます。モデルはデフォルトで [ビルド] ステータスになっており、モデルカテゴリは選択したカテゴリに設定された読み取り専用フィールドです。ステータスは、モデル レコードを保存した後にのみ変更できます。
6. フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「のモデルフィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルは、[モデルコンポーネント]、[資産]、[エンタープライズモデルライフサイクル]、[互換性]、[代替]、**[**ベンダーカタログアイテム] などの関連タブとともに作成されます。関連タブに詳細を入力することで、モデルで追加の構成を実行できます。

8. モデルの構成が完了したら、モデルのステータスを [本番] に変更します。
9. [エンタープライズ資産カタログに公開] を選択して、モデルをサービスカタログに公開します。[エンタープライズ資産カタログに公開] は、モデルのステータスを [生産中] に変更した場合にのみ表示されます。
   エンタープライズモデルは、sn_eam.enterprise_admin ロールのみが削除できます。
10. モデルのリスクスコアを更新し、更新されたスコアを関連する資産にも反映する場合は、[リスクを更新] を選択できます。
    *EAM - Update model risk values to asset*スケジュール済みジョブが完了すると、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

エンタープライズモデルコンポーネントの作成

モデル コンポーネントを作成してモデルに追加します。1 つ以上のモデル コンポーネントで構成されるモデルは、マルチコンポーネント モデルです。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

コンポーネントのモデルカテゴリは、モデルのモデルカテゴリと異なる場合があります。モデルコンポーネントに別のモデルカテゴリを選択できます。モデルコンポーネントをモデルに追加できるのは、モデルが [ビルド] ステータスの場合のみです。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. モデルコンポーネントを作成するすべての エンタープライズ タブまたは特定のモデルタブを選択します。
3. モデルを選択してモデルレコードを開きます。
   [新しいモデルコンポーネントを作成] ページが開きます。
4. [モデル コンポーネント] タブを選択し、[新規] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産管理のモデルフィールド」を参照してください。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しく作成されたモデルコンポーネントは [モデルコンポーネント] タブに表示され、モデルが [ビルド] ステータスであっても、デフォルトでは [本番] ステータスになっています。

モデル カテゴリを作成する

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのモデルカテゴリを作成できます。

始める前に

さまざまなベースモデルカテゴリが既に選択可能です。

モデルカテゴリを作成するときは、次の点にご注意ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。cmdb_ci クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデル カテゴリで資産クラスを選択すると、モデル カテゴリに関連付けられているすべての CI の資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > モデルカテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいモデルカテゴリを作成] ページが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。

モデルカテゴリ フィールド

フィールド	説明
[Name (名前)]	サービスカタログポータルでのこのモデルカテゴリの表示名。
親カテゴリ	このカテゴリの親として選択した既存のカテゴリ。
UNSPSC コード	製品カテゴリの国連標準製品およびサービスコード。
写真またはアイコン	サービスカタログポータルのモデルカテゴリの視覚的表現。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルト オプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスはモデルカテゴリに後で追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェア ライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェア ライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドが読み取り専用になりま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。CI クラスを指定してから [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ○ 資産：個別に追跡できるアイテム。 ○ 消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ○ ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ○ ソフトウェア ライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドルで許可	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前にアドミニストレーターが新しい CI をレビューおよび検証できます。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
モデルカテゴリが作成されます。[製品モデル] タブに詳細を入力すると、モデルカテゴリで追加の構成を実行できます。

Enterprise モデルの代替モデルの追加

Enterprise モデルレコードで、Enterprise モデルの代わりに使用できる関連モデルを指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise モデル管理ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは [建設] などの特定のモデル カテゴリのタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズモデルのリストから、代替モデルを追加するエンタープライズモデルを選択します。
4. Enterprise モデルレコードの [代替] タブで、指定された Enterprise モデルの代替モデルを追加します。
   a. [代替] タブで、[追加] を選択します。
   b. [代替モデルを追加] ダイアログ ボックスで、代替モデルとして追加する各モデルのチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ダイアログボックスには、特定のエンタープライズモデルと同じ資産追跡戦略を持ち、[ビルドのステータス] を持たないエンタープライズモデルのみが表示されます。

c. [**Add**] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[代替] タブに戻ります。

d. [代替] タブで、[リストを更新] アイコン ( )を選択して、新しく追加された代替モデルのリストを入力します。

分類コードの作成

分類コードを作成し、エンタープライズモデルとモデルカテゴリに割り当てることで、エンタープライズモデルの効率を高めます。

始める前に

各分類コードは、1 つまたは複数のモデルカテゴリに割り当てられます。分類コードは、エンタープライズモデル分類 [sn_ent_model_classification] テーブルに格納されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理) > 分類.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
分類	レコードの保存後に自動的に生成される分類コードレコードの表示名。 表示名は、分類コード、その説明、およびソースを連結したものです。
コード	分類コード。 データインフラストラクチャに基づいて、コードは階層構造に準拠する場合があります。
説明	分類コードの説明。
親	分類コードの親。親を選択すると、親コードに割り当てられたモデル カテゴリが [モデル カテゴリ] フィールドに自動的に入力されます。ただし、このフィールドは編集可能です。自動的に入力されるモデルカテゴリを削除することも、別のモデルカテゴリを追加することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース	分類コードの基になるソースシステム。たとえば、OmniClass は建設業界の分類システムです。
モデルカテゴリ	コードに割り当てられたモードカテゴリ。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   分類コードの表示名が生成され、[分類] フィールドに表示されます。表示名は、コード、説明、およびソースを表します。新しい分類コードレコードは、[分類] リストビューページで確認できます。

分類コードのソースの作成

分類コードに割り当てることができるソースを作成します。

始める前に

ソースは、特定の業界の分類システムです。ソースの詳細については、「 分類コード」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [分類] で [ソースの作成] を選択し、 [新規] を選択します。
3. [新しいエンタープライズモデル分類ソースの作成 (Create New Enterprise model classification source)] ページで、[ソース] フィールドにソースの名前を入力します。
4. [説明] フィールドにソースの説明を入力します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   ソースが [ソースを作成] ページに表示されます。

分類コードをインポート

複数の分類コードを一度にインポートして、 ServiceNow インスタンスに移動します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > モデル分類 > インポート.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [新しいエンタープライズ分類インポートの作成 (Create New Enterprise Classification Import)] ページで、[インポート] フィールドにインポートの名前を入力します。
4. [テンプレートをダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
5. スプレッドシートに詳細を入力します。
   スプレッドシートの [コード] 列または [説明] 列のいずれかに必ず入力してください。[モデルカテゴリ] 列に複数のモデルカテゴリを指定するには、カンマを使用します。
6. [ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします (.xlsx)。
7. [インポート] を選択して、スプレッドシートで検証チェックを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [処理待ち]、[アップロード中]、[変換中] に変わります。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)]、または [失敗] のいずれかに変わります。インポートプロセスの詳細は、[エンタープライズ分類インポート] セクションと [分類インポート結果] セクションに表示されます。

8. [分類インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受け取ったエラーを表示します。
9. エラーが発生したレコードを開きます。
10. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加

調整属性をエンタープライズモデルに追加して、関連するエンタープライズ資産にライフサイクル全体にわたって必要な調整を指定および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

キャリブレーション属性は、エンタープライズモデルレベルまたは個々のエンタープライズ資産レベルで追加できます。または、エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない一般的なキャリブレーション属性を作成することもできます。個々のエンタープライズ資産にキャリブレーション属性を追加する方法の詳細については、 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加を参照してください。一般的なキャリブレーション属性の作成方法の詳細については、 キャリブレーション属性ライブラリを作成を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから Enterprise モデル管理ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは [建設] などの特定のモデル カテゴリのタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズモデルのリストから、キャリブレーション属性を追加するエンタープライズモデルを選択します。
4. Enterprise モデル レコードの [キャリブレーション属性] タブで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しいキャリブレーション属性の作成フォーム

フィールド	説明
属性の詳細	
[Name (名前)]	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要性を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトのキャリブレーションカテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。
[Active (アクティブ)]	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	キャリブレーション属性がエンタープライズモデルに適用される順序。Enterpriseモデルに複数のキャリブレーション属性が含まれている場合は、数値が最も小さい属性が最初にモデルに適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 精度 **%** フルスケール:精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、許容限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ○ 精度 **%** ポイント:精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに基づいて比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別のポイントで精度を測定すると、公差限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール **注:** このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 **%** フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	精度を測定できる完全な測定範囲。
単位	精度を測定するために使用している測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が満たす必要がある精度の割合。
解決	検出および測定できる、識別可能な最小値の変化。解像度が高いほど、値の変更がより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一連の要件とガイドライン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: エンタープライズ資産ワークスペースのアドミンセンタービューで品質基準を手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションの品質基準の作成」を参照してください。
計測	
計測モデル	キャリブレーションの実行に使用する必要がある機器のモデル。
指示	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一般的な指示または機器の設定。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
7. 精度を測定できるポイントを指定します。

重要:
各エンタープライズ資産の測定範囲内に 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性をアクティブに設定することはできません。

a. キャリブレーション属性レコードで、 キャリブレーションポイントの追加 を選択します。
[キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

フィールド	説明
ポイント名	点の名前。
予想値	精度を測定する対象のポイント値。
順序	ポイントを使用して精度を測定する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性に点を追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([+ を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. [**OK**] を選択します。

ダイアログボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーションポイント] タブにポイントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
関連するエンタープライズ資産に対して行われた調整を追跡する作業指示書を作成します。これらの作業指示書では、作業タイプが [キャリブレーション] のタスクで作業指示書テンプレートを使用する必要があります。作業指示の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業指示の管理」を参照してください。

エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性のクローン

既存のキャリブレーション属性をエンタープライズモデルにクローンして、同様の設定のキャリブレーション属性を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから Enterprise モデル管理ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは [建設] などの特定のモデル カテゴリのタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズモデルのリストから、キャリブレーション属性のクローン先またはクローン元のエンタープライズモデルを選択します。
4. Enterprise モデルレコードの [キャリブレーション属性] タブで、次のいずれかのオプションを使用してキャリブレーション属性をクローンします。
   - このEnterpriseモデルから別のEnterpriseモデルにキャリブレーション属性を複製するには、次の手順を使用します。
     a. 利用可能なキャリブレーション属性のリストから、クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。
     b. [モデルへのクローン] を選択します。
     c. [モデルの選択] ダイアログ ボックスで、[アクティブとしてクローン] チェック ボックスをオンにして、クローン作成されたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。
     d. キャリブレーション属性のクローン先のエンタープライズモデルのチェックボックスをオンにします。
     e. [クローン] を選択します。

        キャリブレーション属性が選択したエンタープライズモデルにクローンされます。

        注:
        選択したエンタープライズモデルに同じ名前の別のキャリブレーション属性が既に含まれている場合、この属性は名前に数値サフィックスを付けてクローン作成されます。

   - 別のエンタープライズモデルからこのエンタープライズモデルにキャリブレーション属性をクローンする場合、またはキャリブレーション属性ライブラリからこのエンタープライズモデルに共通のキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順に従います。
     a. [クローン元] を選択します。
     b. [クローンする属性を選択] ダイアログボックスで、[アクティブとしてクローン] チェックボックスをオンにして、クローンされたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。

d. [クローン] を選択します。

キャリブレーション属性がエンタープライズモデルにクローン作成され、使用可能なキャリブレーション属性のリストに表示されます。

> **注:**
> Enterpriseモデルに同じ名前の別のキャリブレーション属性がすでに含まれている場合、この属性は名前に数値サフィックスを付けてクローン作成されます。

でのエンタープライズモデル階層の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

事前に組み立てられたエンタープライズモデルとユーザーが組み立てたエンタープライズモデルの階層の詳細をツリー形式で エンタープライズ資産ワークスペースに表示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
[モデル階層] オプションは、親に関連付けられているモデル、またはモデル コンポーネントを持つモデルに対してのみ表示されます。シンプルモデル、消耗品モデル、ハードウェアモデルのモデル階層は表示されません。モデルの親階層の詳細は表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > モデル管理.
2. 事前に組み立てられたモデルまたはユーザーによって組み立てられたモデルを選択します。
3. コンテキストサイドバーで階層アイコン ( ) を選択します。
   モデル階層はツリー状形式で表示されます。選択したモデルのすべてのモデルコンポーネントが表示されます。

   モデル階層には、次の詳細が表示されます。

   - モデル右側の数字は、そのモデルに関連付けられたモデルコンポーネントの合計数を示します。
   - 数量は消耗品モデルについてのみ表示されます。
   - コンポーネント番号は、モデル コンポーネントにプリフィックスとして追加されます。

計算済みライフサイクルテンプレートを使用したエンタープライズモデルのライフサイクルの管理

計算済みライフサイクルテンプレートを作成し、これらのテンプレートをモデルに関連付けることで、エンタープライズモデルのライフサイクル全体を管理します。

での計算済みモデルライフサイクルテンプレートの作成 エンタープライズ資産ワークスペース

計算済みモデルライフサイクルテンプレートを作成して、モデルのライフサイクル全体を効率的に管理します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Asset Operations** (資産運用).
2. [計算済みモデルライフサイクル] リストから、[計算済みモデルライフサイクルテンプレート] を選択します。
   既存の計算済みモデルライフサイクルテンプレートのリストが表示されます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[計算済みライフサイクルテンプレートを新規作成] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	計算済みライフサイクルテンプレートの名前。
説明	テンプレートに関する簡単な情報。
[Active (アクティブ)]	計算済みライフサイクルテンプレートが使用可能であることを示すオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   [計算済みライフサイクル式] タブに、次のライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式のリストが表示されます。
   - 拡張サポート終了
   - **End of Life** (提供終了)
   - 販売終了
   - サポート終了
   - 一般提供終了
6. ライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式を定義します。
   a. 計算済みライフサイクル式を選択します。
   b. [フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに、ライフサイクルフェーズの開始日と終了日を計算する月数を入力します。
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   計算済みライフサイクル式は、[フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに入力した値で更新されます。

次のタスク
計算済みモデルライフサイクルテンプレートをエンタープライズモデルに関連付けます。詳細については、「計算済みモデルライフサイクルテンプレートへのエンタープライズモデルの関連付け」を参照してください。

計算済みモデルライフサイクルテンプレートへのエンタープライズモデルの関連付け

エンタープライズモデルを計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付けて、モデルのライフサイクルの詳細を自動的に入力します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択します。
3. 計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付けるモデルを選択します。
4. [モデル] フォームの [モデルの詳細] セクションで、テンプレートの詳細を入力します。
   a. [計算済みライフサイクルテンプレート] フィールドで、モデルに適用する計算済みモデルライフサイクルテンプレートを選択します。
   b. [計算済みライフサイクル開始日] で、選択した計算済みライフサイクルテンプレートで定義された各ライフサイクルフェーズの [フェーズ開始日] と [フェーズ終了日] を計算する日付を選択します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
ライフサイクルフェーズのリストと、フェーズ開始日、フェーズ終了日、ソースなどの詳細が **Enterprise** モデルの [ライフサイクル] タブに表示されます。

エンタープライズ資産の作成と管理

ライフサイクル全体を通じてエンタープライズ資産を作成および管理します。

マルチコンポーネント資産の作成

マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成して、資産を追跡および管理します。

始める前に
マルチコンポーネントモデルの詳細については、「 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理」を参照してください。

必要なロール：

- sn_eam.enterprise_admin
- sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. に移動してモデルを作成 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
   モデルの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルの作成」を参照してください。
2. モデルを作成したら、モデルコンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルコンポーネントの作成」を参照してください。
3. マルチコンポーネントモデルから資産を作成します。

   事前に組み立てられた資産またはユーザーが組み立てた資産を作成できます。

   資産の作成の詳細については、「 エンタープライズ資産の作成」を参照してください。資産を作成すると、子資産が自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ユーザー組立資産を作成する場合は、資産レコードを開きます。

b. 資産を組み立てるには、この 2 つのいずれかを選択します。
   - 組立:親資産のストックルームに存在する資産を選択できます。資産を選択したら、[組み立て] を選択します。資産の組立の詳細については、次を参照してください。
   - 自動アセンブル:ストックルームから資産を自動的に選択し、それらの資産を親資産に関連付けるプロセスをトリガーします。必要な数量の資産が利用できない場合は、エラーが表示されます。

c. すべての子資産をリリースする場合は、 すべての資産をリリースを選択します。

   このプロセスでは、すべての子資産が親資産からリリースされ、親ストックルームにアサインされます。

   リリースされた資産は [在庫あり] ステータスに移行します。[すべての資産をリリース] は、資産が親資産に関連付けられている場合にのみ画面に表示されます。

4. 子資産をスワップするには、[詳細] タブで **[SWAP]** を選択します。
   資産を交換するには、マルチコンポーネント資産が [メンテナンス中] ステータスである必要があります。複数の子資産を、任意のストックルームで同じモデルの他の資産と一度に交換できます。モデルは、[在庫あり] ステータスと [利用可能] サブステータスである必要があります。

エンタープライズ資産の作成

エンタープライズ資産管理アプリケーションで特定のモデルカテゴリの資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エンタープライズ資産クラスには、製品モデルクラスおよびモデルカテゴリと 1 対 1 のマッピングがあります。エンタープライズ資産クラスは、該当する場合、既存の CI クラスにマッピングされます。

資産には、消耗資産とシリアル化資産の 2 種類があります。消耗資産に資産タグやシリアル番号はありません。

注:
このトピックでは、エンタープライズ、建設、施設、産業、医療、小売、戦術装備品、輸送、ウェアラブル資産の作成方法について詳しく説明します。パレット資産の作成方法の詳細については、「 でのパレット資産の作成 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択して、すべてのエンタープライズ資産管理モデルから選択するか、[施設]、[工業]、[医療]、[小売]、[輸送]、[消耗品] などの特定の資産タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	作成する資産のタイプ。次のオプションから選択します。 ○ エンタープライズ資産 ○ 建設資産 ○ 施設資産 **注:** エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスの施設資産 [sn_ent_facility_asset] 子クラスに該当する施設資産のみをサポートします。アプリケーションは、施設 [alm_facility] テーブルにリストされている施設資産をサポートしていません。 ○ 産業用資産 ○ 医療資産 ○ 小売業資産 ○ 輸送資産 ○ 戦術装備品資産 ○ ウェアラブル資産 **注:** このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブから [新規] を選択した場合にのみ表示されます。
モデルカテゴリ	資産が属するモデルカテゴリ。選択したモデルカテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。

5. **[Create** (作成)] を選択します。
   [新しい資産を作成] ページが表示されます。デフォルトでは、資産は [ビルド] ステータスです。ステータスは、資産レコードを保存した後にのみ変更できます。
6. [新しい資産を作成] ページで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   資産は、この資産の構成アイテム (CI) とともに作成されます。新しく作成された資産の子資産が自動的に作成されます。[子資産]、[契約]、[経費ライン]、[すべての関連タスク] などの他のタブに詳細を入力することで、資産に対して追加の構成を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[すべての関連タスク] タブには、資産に関連付けられた廃棄タスク、再販タスク、取り消しタスク、作業指示タスク、移動タスクなどの関連タスクのリストが表示されます。取り消しタスクと、子資産に関連付けられた作業指示タスクも [すべての関連タスク] タブに表示されます。

事前に組み立てられた産業用資産の場合、MAC アドレスフィールドも [子資産] タブに表示されます。

8. 資産で追加の構成を実行した後、資産のステータスを [使用中] に変更できます。
資産を削除できるのは、sn_eam.enterprise_admin ロールだけです。

リニア資産を作成

リニア資産を作成して、 エンタープライズ資産管理 ポートフォリオを多様化します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
リニア資産が作成され、[リニア資産] リストに表示されます。リニアセグメント、秘匿資産、関連リニア資産、契約、経費ラインなどの他の関連リストに詳細を入力することで、リニア資産で追加の構成を実行できます。

リニア資産タイプの作成

リニア資産タイプを作成してリニア資産を分類します。

始める前に
次の事前定義されたリニア資産タイプは、既にベースシステムに含まれています。

- 鉄道
- 道路
- 下水道
- 歩道
- ユーティリティケーブル
- トレイル

カスタマイズされたリニア資産タイプを作成するには、次の手順に従います。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産タイプ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [名前] フィールドにリニア資産タイプの名前を入力します。
4. [親] リストからリニア資産タイプの親を選択します。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しいリニア資産タイプが [リニア資産タイプ] 関連リストに表示されます。関連リストに表示されない場合は、ページの右側にある [リストを更新] アイコンを選択します。

リニア資産のセグメントを作成

リニア資産のセグメントを作成し、セグメントに作業指示をアサインします。セグメントのメンテナンス計画を作成することもできます。

始める前に
リニアセグメントはリニア資産の一部です。直線セグメントを作成する場合は、次のフィールドのいずれか 2 つに値を入力する必要があり、3 番目のフィールドの値が自動的に入力されます。たとえば、開始マーカーと終了マーカーを入力すると、[長さ] フィールドが自動的に入力されます。同様に、開始マーカーと長さを入力すると、[終了マーカー] フィールドに入力されます。

- 開始マーカー
- 終了マーカー
- 長さ

マップ上に開始マーカーまたは終了マーカーを入力する場合、マーカーはリニア資産ラインから 10 フィート以内にある必要があります。この値は、asset_property *com.eam.linear_segment_marker_boundary*の値を変更することでカスタマイズできます。

作業指示書とメンテナンス計画の作成の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業指示書を作成する と エンタープライズ資産のメンテナンス計画の作成」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. セグメントを追加するリニア資産レコードを開きます。
3. [線形セグメント] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   線形セグメントが [線形セグメント] 関連リストに表示されます。

個別資産とリニア資産の関連付け

後でリニア資産からこれらの資産を照会して検索するために、個別資産をリニア資産に関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. 個別資産を関連付けるリニア資産レコードを開きます。
3. [個別資産] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

リニア資産の関係性を検索

重複する資産、継続する資産、交差する資産など、リニア資産間の関係を見つけることができます。

始める前に
リニア資産間の関係を見つけて、それらを相互に関連付けることができます。たとえば、指定されたリニア資産のすべての交差リニア資産を検索するために、リニア資産を交差する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。同様に、指定されたリニア資産の重複するすべてのリニア資産を検索するために、リニア資産を重複する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。リニア資産間の関係が見つかると、関連するリニア資産のレコードが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. 他のリニア資産との関係を検索するリニア資産レコードを開きます。
3. [リレーションシップを検索] を選択します。
   確認メッセージボックスが表示されます。
4. 確認メッセージ ボックスで [リレーションシップの検索] を選択します。
   このリニア資産と他のリニア資産との関係の検索が実行されます。関係が識別されるとメッセージが表示され、関係が見つかった場合は [関連リニア資産] 関連リストにレコードが作成されます。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. [関連リニア資産] 関連リストを選択して、識別された関係を表示します。
   レコードごとに、継続、重複、交差など、リニア資産との関係の種類が言及されます。

でのパレット資産の作成 エンタープライズ資産ワークスペース

パレット資産を作成して、エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、バンドル資産、消耗資産を輸送および保管できるパレットを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. すべての資産 タブで、新しいパレット資産 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[新規パレットの作成] フォーム

フィールド	説明
パレット詳細	
ベンダー	パレットの購入元のベンダー。パレットが調達発注書から自動的に作成された場合、[仕入先] フィールドは自動的に発注書で指定された同じ仕入先に設定されます。
モデル	パレットが関連付けられているパレットモデル。
Asset tag (資産タグ)	組織が追跡目的でパレットに割り当てる英数字の値。
ステータス	パレットの現在のステータス。 このフィールドは自動的に [在庫あり] に設定されます。ただし、このフィールドを次のいずれかのオプションに設定することもできます。 ○ **In transit** (輸送中) ○ 廃止 ○ 欠損
倉庫	パレットが置かれている倉庫。
通路とスペース	パレットが置かれている倉庫の通路とスペース。
親	パレットの親資産。
コメント	パレットに適用するメッセージ。
パレットタイプ	パレットのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ パレット ○ 受信箱 ○ ボックス ○ コンテナ ○ その他
Substate (サブステート)	[利用可能] や [予約済み] など、パレットの現在のサブステート。[サブステート] フィールドで使用できるオプションは、[ステータス] フィールドで選択したオプションに基づいて変更されます。
予約利用者	パレットが予約されているユーザー。
場所	パレットの物理的な場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 場所を特定の場所に設定し、ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、すべてのフィールドに入力してこのフォームを保存した後に生成されるパレット資産レコードには、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。 関連付けられた作業指示タスクまたはストックルームレコードからレコードを開いた場合でも、このマップはパレット資産レコードに含まれています。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、パレット資産レコードのサイドバーにある場所マップアイコン (
廃棄	
廃棄ベンダー	パレットの廃棄注文を実行するために割り当てられた仕入先。
ベンダー廃棄注文ID	廃棄ベンダーによって廃棄注文に割り当てられた ID 番号。
廃棄日	廃棄注文が完了した日付。
再販価値	パレットを再販できる推定価格。
予定使用終了日	パレットを廃止する日付。
使用終了日	パレットを廃止した実際の日付。
受領企業	廃止後にパレットを受け取る組織。
再販価格	パレットが廃止されたときの値。
アクティビティ	
作業メモ	パレットに関連する作業メモ。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

のパレットに資産を追加する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、バンドル資産、または消耗資産をパレットに追加して、それらをグループとして追跡および管理できるようにします。

始める前に

ハードウェア資産、ベース資産、またはバンドル資産をパレットに追加するには、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化します。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

資産をパレットに追加できるのは、次の条件がある場合のみです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- パレット資産レコードの [状態] フィールドが [在庫あり] に設定されます。
- 資産レコードの [ステータス] フィールドは、次のいずれかのオプションに設定されます。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - **In transit** (輸送中)
- 資産レコードの [ストックルーム] フィールドが空であるか、パレットと同じストックルームに設定されています。
- 資産が別の親資産に関連付けられていない。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. すべての資産 タブで、資産を追加するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 資産をパレットに追加します。
   - エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、またはバンドル資産をパレットに追加するには、次の手順を実行します。

     a. [資産の追加] を選択します。

     [資産を追加] ダイアログボックスが開きます。

     b. ダイアログボックスで、パレットに追加するすべての資産のチェックボックスをオンにします。

     c. [**Add**] を選択します。
   - 消耗資産をパレットに追加するには、次の手順に従います。

     a. [消耗品の追加] を選択します。

     [消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスが開きます。

     b. [消耗品] フィールドで、パレットに追加する消耗資産を検索して選択します。

     c. [数量] フィールドで、パレットに追加する消耗資産の数量を指定します。

     d. [**Add**] を選択します。

タスクの結果

資産は、パレット資産レコードの [資産] タブに追加されます。

のパレットから資産を削除する エンタープライズ資産ワークスペース

パレットの一部として追跡および管理する必要がなくなったエンタープライズ、ハードウェア、ベース、バンドル、または消耗品資産を削除します。

始める前に

ハードウェア資産、ベース資産、またはバンドル資産をパレットから削除するには、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化します。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. すべての資産 タブで、資産を削除するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 利用可能な資産のリストから、パレットから削除する各資産のチェックボックスをオンにします。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果

資産は [資産] タブに表示されなくなります。

でのパレット資産を使用した資産インベントリの管理 エンタープライズ資産ワークスペース

転送注文、廃棄注文、再販注文、およびさまざまな消費ワークフローで、パレットとそのパレット内に含まれる資産を使用して、資産在庫を管理できます。

倉庫間でのパレットの移動

転送注文を使用して、在庫のあるパレットを 1 つのストックルームから別のストックルームに移動できます。資産を含むパレットを移動する場合、それらの資産も同じ転送注文の一部として移動します。パレット内に含まれている資産のみを移動する場合、[フルフィルメントの準備完了] タスクがクローズされた後に、それらの資産は対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

転送注文の詳細については、「 Enterprise 資産ワークスペースでの転送注文の作成」を参照してください。

パレットの廃棄

パレットがライフサイクルの終わりに近づいているか、機能しなくなった場合は、廃棄注文を使用して廃棄できます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用してパレットとその資産を廃棄することを選択できます。

注:
パレット内に含まれているエンタープライズ資産とエンタープライズベースの消耗品資産のみを廃棄できます。パレットにハードウェア、バンドル、またはハードウェアベースの消耗資産が含まれている場合、それらの資産は自動的に [無効] ステータスで更新され、廃棄注文の一部として処理することはできません。

- パレットとそのパレットに含まれるすべての資産の両方を廃棄します。
- パレットと、そのパレット内に含まれる特定の資産の両方を廃棄します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットは廃棄しますが、そのパレットに含まれるすべての資産は保持します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットを保持しますが、そのパレットに含まれるすべての資産を廃棄します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットを保持しますが、そのパレットに含まれる特定の資産のみを廃棄します。廃棄した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

廃棄注文の詳細については、「 Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレットの再販

無駄を減らし、コストを節約するために、再販オーダーを使用して、使用しなくなったパレットを再販することができます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用してパレットとその資産を再販することを選択できます。

> **注:**
> パレット内に含まれるハードウェア資産、アセットバンドル、および非エンタープライズ消耗品資産を再販することはできません。

- パレットとそのパレットに含まれるすべての資産の両方を再販します。
- パレットとそのパレットに含まれる特定の資産のみを再販します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを再販しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産を保持します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットを保持しますが、そのパレット内にあるすべての資産を再販します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットを保持しますが、そのパレットに含まれる特定の資産のみを再販します。再販した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

再販オーダーの詳細については、 資産再販フローの作成を参照してください。

パレット内の資産の消費

パレット内に含まれる資産は、さまざまな資産ワークフローを通じて消費できます。

返品許可 (RMA) フロー

返品承認(RMA)は、買い手と売り手の間の契約であり、買い手は指定された保証期間内に欠陥品を返品、交換、または修理を要求できます。パレット内の資産に欠陥がある場合は、RMA 注文を使用して交換または修理を開始できます。RMA オーダーに含める資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

RMA オーダーの詳細については、「 欠陥のあるエンタープライズ資産に対する返品許可 (RMA) の要求」を参照してください。

ローカル注文サブフロー

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、資産要求を調達して実行できます。パレット内の資産が資産要求の一部として調達され、ローカルで消費された場合、[エンタープライズ資産確認] タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

ローカルストックルームからの資産調達の詳細については、「 Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求」を参照してください。

貸与要求フロー

資産を短期間のみ使用する必要がある場合は、貸与要求を使用してその資産の貸与を要求できます。パレット内の資産が貸し出されると、貸与要求の準備タスクがクローズされた後に、対応するパレット資産レコードから削除されます。

資産の貸し出しの詳細については、「 Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求」を参照してください。

リース資産の返却フロー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リース資産の契約の有効期限が近づいている場合は、違約金が発生する前にリース資産を資産ベンダーに返却することができます。パレット内のリース資産が資産ベンダーに返却されると、資産の出荷タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

リース資産の返却の詳細については、「 リースされたエンタープライズ資産の返却」を参照してください。

IT Service Management 資産管理アプリケーションからのスワップタスク

ServiceNow® 資産管理アプリケーションを使用すると、資産の追跡と管理ができます。アプリケーションを使用してパレット内の資産をスワップすると、その資産はスワップ後に対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

資産管理 アプリケーションの詳細については、「Asset Management」を参照してください。

不明なエンタープライズモデルを持つエンタープライズ資産を更新する

エンタープライズ資産が不明なエンタープライズモデルに関連付けられている場合は、既知のエンタープライズモデルで更新して、正確に分類および追跡できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

注:
エンタープライズモデルは、シリアル化されたエンタープライズ資産およびマルチコンポーネントエンタープライズ資産についてのみ更新できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは特定のエンタープライズ資産タイプ (医療など) のタブを選択します。
3. 利用可能なエンタープライズ資産のリストから、[モデル] フィールドが [不明なモデル] に設定されているエンタープライズ資産を選択します。
   資産レコードが開きます。資産レコードフィールドはすべて読み取り専用です。
4. 資産レコードで、 更新 を選択します。
   変更するエンタープライズ資産のタイプは?ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

どのタイプのエンタープライズ資産に変更しますか?ダイアログボックス

フィールド	説明
タイプ	エンタープライズ資産を分類する Enterprise 資産タイプ。
モデルカテゴリ	エンタープライズ資産を属させるエンタープライズモデルカテゴリ。エンタープライズ資産は、選択したエンタープライズモデルカテゴリに基づいて、対応する構成アイテム (CI) にリンクできます。
モデル	エンタープライズ資産を関連付けるエンタープライズモデル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [**Update** (更新)] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的に資産レコードに戻ります。更新が成功すると、資産レコードフィールドが編集可能になります。

> **注:**
> 選択したエンタープライズ資産タイプ、エンタープライズモデルカテゴリ、およびエンタープライズモデルによってエンタープライズ資産がユーザー組立マルチコンポーネント資産に更新されると、資産レコードの [ステータス] フィールドが自動的に [ビルド] に変更されます。[組み立て] ボタンと [自動組立] ボタンも資産レコードに表示されます。これらのボタンを使用して、エンタープライズ資産の組立プロセスを開始できます。ユーザー組立マルチコンポーネント資産の詳細については、「 ユーザー組立資産の資産を選択」を参照してください。

親マルチコンポーネント資産の資産をスワップ

マルチコンポーネント資産の一部である子資産をスワップします。一度にスワップアウトできる子資産は 1 つだけです。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて

次のステータスの資産をスワップできます。

- 子資産がホットスワップ可能な場合のみ使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり (サブステート:欠陥品または修理待ち)

スワップ機能は、マルチコンポーネント資産の親資産に対してのみ使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. マルチコンポーネントレコードを選択します。
3. [資産] タブを選択し、親資産を選択します。
4. [スワップ] を選択します。
5. [資産をスワップ] ダイアログボックスで、詳細を入力します。

   a. [スワップアウトする資産] フィールドで、スワップする子資産を選択します。
   [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドが表示されます。これらのフィールドは、資産 [alm_asset] テーブルで詳細が利用可能な場合にのみ自動的に入力されます。それ以外の場合は、これらのフィールドに詳細を手動で入力して、スワップアクションを続行する必要があります。

   > **注:**
   > 消耗品の [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドは表示されません。

   b. [資産スワップの倉庫を選択] フィールドで、資産とスワップする資産を選択する倉庫を選択します。

   c. 代替モデルに基づく資産を表示するには、[代替モデルに基づいて資産を含める] チェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

代替モデルの資産は、次の基準を満たす場合にのみ [交換用資産] フィールドに表示されます。

- 資産機能が貸与されていないか、資産機能が空です。
- ステータスまたはサブステートが [在庫あり] または [利用可能] である。
- 潜在的な交換資産の [親] フィールドが空です。
- [ストックルーム] は、[ストックルーム] フィールドに入力された値と同じです。

代替モデルの基準を満たす資産が [交換用資産] フィールドに表示されない場合は、検索クエリがキーストロークごとに更新されるため、モデル名を検索します。

d. [交換用資産] フィールドで、スワップする資産を選択します。
選択したストックルームで利用可能な類似の資産からのみ選択できます。

e. 数量 フィールドに、スワップする資産の数量を入力します。
このフィールドには、スワップする資産の数量が自動的に入力されます。ただし、このフィールドの値は、資産が消耗品の場合にのみ変更できます。他のすべての資産の場合、このフィールドは読み取り専用フィールドです。消耗品の実際の数量を超えてスワップすることはできません。たとえば、消耗品が 5 個ある場合は、5 個未満を交換するか、5 個すべての消耗品を交換できます。

f. [**OK**] を選択します。

タスクの結果

- 資産が正常にスワップされ、新しい資産は親資産の [ステータス] と [ステータス] を継承します。
- スワップアウトされた資産のステータスが [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [修理待ち] に変わります。資産が消耗品の場合、ステータスが [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [廃棄待ち] に変わります。
- スワップアウトされた資産の倉庫は、[資産スワップの倉庫を選択] フィールドで選択した倉庫に変更されます。

自動翻訳

ユーザー組立資産の資産を選択

親資産のストックルームから資産を選択して、ユーザー組立資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. ユーザー組立モデルを開き、[資産] タブから資産レコードを開きます。

2. [アセンブリ] を選択して [資産の選択] ダイアログ ボックスを開きます。

3. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデルコンポーネント	マルチコンポーネントモデルに関連付けられたモデルコンポーネント。
数量	モデルコンポーネントの数量。
資産	親ストックルームの資産。消耗資産の場合、ストックルーム内の資産の数量も記載されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクション	対応するモデルコンポーネントが必須かどうかを示します。有効な十字は、モデルコンポーネントを削除できることを示します。無効な十字は、これが必須のモデルコンポーネントであることを示します。モデル コンポーネントを削除すると、[モデル コンポーネントをさらに選択] ドロップダウン ボックスが表示され、削除したモデル コンポーネントを復元できます。

4. [組み立て] を選択します。
   選択した資産が親資産に追加されます。これらの資産は [子資産] タブで確認できます。すべての消耗資産は、個々のレコードではなく、単一のレコードとして表示されます。

親資産からの資産のリリース

親資産に関連付ける必要がなくなった子資産を解放します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
ユーザー組立、組立済み、または 1 つの資産から一度にリリースできる子資産は 1 つだけです。

不要な資産、または次のいずれかの状況にあるアドオン資産をリリースできます。

- 使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり (サブステートが [廃棄待ち])
- 在庫あり (サブステートが修理待ち)

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. 資産をリリースする親資産レコードを選択します。
3. [資産のリリース] を選択します。
4. [資産のリリース] ダイアログボックスで、詳細を入力します。

   a. [リリースする資産] フィールドで、リリースする子資産を選択します。
   [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドが表示されます。これらのフィールドは、資産 [alm_asset] テーブルで詳細が利用可能な場合にのみ自動的に入力されます。それ以外の場合は、これらのフィールドに詳細を手動で入力して、[リリース] アクションを続行する必要があります。

   > **注:**
   > 消耗品の [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドは表示されません。

   b. [リリース済み資産の倉庫を選択] フィールドで、子資産をリリースする倉庫を選択します。

   c. 数量 フィールドに、スワップする資産の数量を入力します。
   このフィールドには、スワップする資産の数量が自動的に入力されます。ただし、このフィールドの値は、資産が消耗品の場合にのみ変更できます。他のすべての資産の場合、このフィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は読み取り専用フィールドです。消耗品の実際の数量を超えてスワップすることはできません。たとえば、消耗品が 5 個ある場合は、5 個未満を交換するか、5 個すべての消耗品を交換できます。

タスクの結果

- リリースした資産は [子資産] タブに表示されません。
- リリースされた資産の状態が 在庫あり に変わり、サブステートが 廃棄待ち に変更されます。

追加の子資産を作成

資産がモデルコンポーネントで定義されていない場合でも、モデルの追加の子資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. [エンタープライズ資産ワークスペース] に移動し、[エンタープライズ資産一覧] または [エンタープライズモデル管理] のいずれかを選択して、[子資産] 関連リストタブにアクセスします。
2. [追加] を選択して、ストックルームから資産を選択します。
   [追加] は、資産が次のいずれかの状況にある場合にのみ表示されます。
   - ビルド中
   - 使用中
   - メンテナンス中
   - 在庫あり 欠陥品
   - 在庫あり 修理待ち
3. [追加する子資産を選択] ダイアログボックスでストックルームと資産を選択します。
4. [**Add**] を選択します。

エンタープライズ資産の総所有コスト **(TCO)** の構成

資産を追跡するための総所有コスト (TCO) を構成します。

TCO の構成には、次の手順が含まれます。

- タスクレートカードを作成して、タスクタイプごとのコストをキャプチャします。
- 賃金レードカードを作成して、時間単位で消費される時間ごとにコストをキャプチャします。
- TCO レポートを作成して、資産の実際の TCO または予測された TCO と TCO レポートソースを比較します。
- TCO レポートにソースを追加するには、TCO レポートソースを作成します。
- クローズ済みタスクの経費明細を作成します。

エンタープライズ資産ワークスペースでの **TCO** レポートの作成

TCO レポートを作成して、資産の実際の TCO または予測された TCO を比較したり、実際の資産または予測された資産の TCO をエンタープライズモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産アナリティクス > 資産 **TCO**.
2. ページの右側にある 新規を選択します。
3. [**Save** (保存)] をクリックする。
   レポートが作成され、[TCO レポートソース] 関連リストが表示されます。これで、レポートソースを追加できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースでの **TCO** レポートソースの作成

TCO レポートソースを作成して、レポートソースを TCO レポートに追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産アナリティクス > 資産 **TCO**.
2. [比較レポート] セクションから、レポートソースを作成するレポートを開きます。
3. [TCO レポートソース] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースを作成

フィールド	説明
[Name (名前)]	レポートソースの名前
[Active (アクティブ)]	レポートソースがアクティブかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** TCO 比較レポートには、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを含めることができます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、レポートソースを無効にする必要があります。 TCO 比較レポートでは、任意の時点で最大 4 つのアクティブなレポートソースを使用できます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、既存のレポートソースを無効にする必要があります。 TCO とベンチマークのレポートでは、有効なレポートソースを 1 つのみ使用できます。
レポートテーブル	このレポートの基になるテーブル。
条件を設定	フィルターを指定して、特定の条件を持つ資産を選択します。
説明	レポートソースの説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しいレポートソースが [TCO レポートソース] タブに追加されます。

でのタスクレートカードの作成 エンタープライズ資産ワークスペース

タスクレートカードを作成して、 エンタープライズ資産ワークスペース内のタスクタイプごとのコストをキャプチャします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
タスクレートカードはベースシステムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトのタスクレートカードの他のすべてのフィールドは編集可能です。ベースシステムタスクのレートカードは削除できません。次の手順では、タスクレートカードを作成します。

タスクレートカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規タスクレートカードを作成

フィールド	説明
[Number (番号)]	タスクレートカードごとに自動的に作成される一意の番号。
[Name (名前)]	タスクレートカードの名前。
テーブル	このレートカードが作成されるテーブル。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順序。 複数のタスクレードカードを同じタスクに適用する場合、順序が最も低いものが使用されます。
サマリータイプ	タスクレートカードに関連するサマリーを選択します。
[Active (アクティブ)]	タスクレートカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	タスクレートカードの簡単な説明。
作業時間を使用	デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。これは、タスクレートがコストのキャプチャに使用されることを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	作業時間に基づいてコストが取得される賃金レートオプションを使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。
タスクレート	タスクのレートと通貨コード。
デフォルトの賃金レート	ワーカーが賃金レードカードを持っていない場合に作業時間エントリに適用する時給。 このフィールドは、[作業時間を使用] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。
説明	タスクレートカードの詳細な説明。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   タスクレードカードが作成されると、[作業時間を使用] フィールドの値に基づいて経費ラインが作成されます。

Enterprise 資産ワークスペースでのクローズ済みタスクの経費明細の作成

タスクのコストを計算するために、元々経費ラインがなかった、以前にクローズしたタスクの経費ラインを自動的に作成します。

始める前に
タスクレートカードを使用していない場合、経費ラインは作成されません。Yokohama にアップグレードすると、クローズしたすべてのタスクの経費ラインを一括で自動的に作成できます。これは、タスクレート値が入力されたアクティブなタスクレードカードで実行される 1 回限りのプロセスです。タスクの作業時間レコードが存在しない場合、作業時間を使用しても経費ラインは作成されません。

注:
タスクレートカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

重複する経費ラインの作成を回避するには、次の要素に留意してください。

- タスクレードカードを設定します。
- 各タスクレートカード内の条件を設定します。
- 各タスクに使用する量を指定します。
- 同じタスクと条件に対して複数のタスクレードカードを作成するような、重複するタスクレードカードを作成しないでください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. [タスクの経費ラインを作成] を選択します。
   確認メッセージボックスが開きます。
3. [経費ラインの作成] を選択します。
   バックグラウンドジョブ [履歴タスクの資産共通経費明細 **(Asset Common Expense Lines for Historical tasks**)] は 1 回のみ実行され、経費ラインのないクローズ済みタスクを検索して、それらのクローズ済みタスクすべての経費ラインを作成します。経費ラインが作成されると、[タスクの経費ラインを作成] ボタンは表示されなくなります。

Enterprise 資産ワークスペースでの賃金レートカードの作成

時間単位で消費される時間別にコストをキャプチャする賃金レートカードを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
賃金レードカードはベースシステムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトの賃金レードカードの他のすべてのフィールドは編集可能です。ベースシステムの賃金レートカードは削除できません。次の手順では、賃金レートカードを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードを作成

フィールド	説明
[Number (番号)]	賃金レートカードごとに自動的に作成される一意の番号。
[Name (名前)]	賃金レートカードの名前。
レートコード	各賃金レートカードのコード。
レートタイプ	標準レートタイプ。独自のレートタイプを追加できます。
[Active (アクティブ)]	賃金レードカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	賃金レートカードの簡単な説明。
時間単価	通貨コードと時間当たりのコスト。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドでは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	賃金レートカードの詳細な説明。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   賃金レードカードが作成されると、[作業時間を使用] フィールドの値に基づいて経費ラインが作成されます。

エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加

エンタープライズ資産にキャリブレーション属性を追加して、資産ライフサイクル全体にわたって必要なキャリブレーションを指定および管理します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
個々のエンタープライズ資産レベルまたはエンタープライズモデルレベルでキャリブレーション属性を追加できます。または、エンタープライズ資産またはエンタープライズモデルに関連付けられていない一般的なキャリブレーション属性を作成することもできます。エンタープライズモデルにキャリブレーション属性を追加する方法の詳細については、「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。一般的なキャリブレーション属性の作成方法の詳細については、 キャリブレーション属性ライブラリを作成を参照してください。

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または施設資産などの特定のエンタープライズ資産カテゴリのタブを選択します。
3. 利用可能なエンタープライズ資産のリストから、キャリブレーション属性を追加するエンタープライズ資産を選択します。
4. エンタープライズ資産レコードの [キャリブレーション属性] タブで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しいキャリブレーション属性の作成フォーム

フィールド	説明
属性の詳細	
[Name (名前)]	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要性を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。 **注:** エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトのキャリブレーションカテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	キャリブレーション属性がエンタープライズ資産に適用される順序。エンタープライズ資産に複数のキャリブレーション属性が含まれている場合は、数値が最も小さい属性が最初に資産に適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 精度 **%** フルスケール:精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、許容限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ○ 精度 **%** ポイント:精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに基づいて比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別のポイントで精度を測定すると、公差限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール **注:** このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 **%** フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	精度を測定できる完全な測定範囲。
単位	精度を測定するために使用している測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が満たす必要がある精度の割合。
解決	検出および測定できる、識別可能な最小値の変化。解像度が高いほど、値の変更がより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一連の要件とガイドライン。 **注:** エンタープライズ資産ワークスペースのアドミンセンタービューで品質基準を手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションの品質基準の作成」を参照してください。
計測	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計測モデル	キャリブレーションの実行に使用する必要がある機器のモデル。
指示	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一般的な指示または機器の設定。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。
フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
7. 精度を測定できるポイントを指定します。

> **重要:**
> エンタープライズ資産の測定範囲内に 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性をアクティブに設定することはできません。

a. キャリブレーション属性レコードで、 キャリブレーションポイントの追加 を選択します。
[キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

フィールド	説明
ポイント名	点の名前。
予想値	精度を測定する対象のポイント値。
順序	ポイントを使用して精度を測定する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性に点を追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([+ を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. [**OK**] を選択します。

ダイアログボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーションポイント] タブにポイントが表示されます。

8. オプション: エンタープライズ資産にエンタープライズモデルレベルのキャリブレーション属性も含まれている場合は、このエンタープライズ資産レベル属性を有効にして、既存のエンタープライズモデルレベル属性を上書きします。

a. キャリブレーション属性レコードで、[詳細] タブを選択します。

b. [詳細] タブの [識別] セクションで、[上書き] フィールドの横にある [レコードの検索] アイコン (
[上書き] ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. ダイアログボックスで、上書きする Enterprise モデルレベルの属性を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的にキャリブレーション属性レコードに戻ります。

d. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズモデルレベルの属性は、エンタープライズ資産レコードの [キャリブレーション属性] タブから削除されます。

次のタスク

エンタープライズ資産に対して行われた調整を追跡する作業指示を作成します。これらの作業指示書では、作業タイプが [キャリブレーション] のタスクで作業指示書テンプレートを使用する必要があります。作業指示の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業指示の管理」を参照してください。

エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性のクローン作成

既存のキャリブレーション属性をエンタープライズ資産にクローンして、同様の設定のキャリブレーション属性を追加します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または施設資産などの特定のエンタープライズ資産カテゴリのタブを選択します。
3. 利用可能なエンタープライズ資産のリストから、キャリブレーション属性のクローンを作成するエンタープライズ資産を選択します。
4. エンタープライズ資産レコードの [キャリブレーション属性] タブで、次のいずれかのオプションを使用してキャリブレーション属性をクローンします。
   - このエンタープライズ資産から別のエンタープライズ資産にキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順に従います。
     a. 利用可能なキャリブレーション属性のリストから、クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。
     b. [資産へのクローン] を選択します。
     c. [資産を選択] ダイアログ ボックスで、[アクティブとしてクローン を作成] チェック ボックスをオンにして、クローン作成されたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。
     d. キャリブレーション属性のクローン先のエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。
     e. [クローン] を選択します。
     キャリブレーション属性が選択したエンタープライズ資産にクローンされます。
   - 別のエンタープライズ資産からこのエンタープライズ資産にキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [クローン元] を選択します。

b. [クローンする属性を選択] ダイアログボックスで、[アクティブとしてクローン] チェックボックスをオンにして、クローンされたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。

c. クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。

d. [クローン] を選択します。

キャリブレーション属性がエンタープライズ資産にクローン作成され、使用可能なキャリブレーション属性のリストに表示されます。

エンタープライズ資産キャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成

エンタープライズ資産で実行する必要がある調整のタイプを示す調整カテゴリを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときは、実行する必要があるキャリブレーションのタイプを示すキャリブレーションカテゴリを選択する必要があります。エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトのキャリブレーションカテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。

キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、アドミンセンタービューを開きます。
2. アドミンセンタービューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > カテゴリ.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規カテゴリの作成] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	キャリブレーションカテゴリの名前。
説明	キャリブレーションカテゴリの詳細な説明。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

キャリブレーションカテゴリは、キャリブレーション属性で使用できます。

Enterprise 資産ワークスペースでの消耗型資産の作成

Enterprise 資産ワークスペースで消耗品を作成して、Enterprise 資産を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > 消耗品.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [タイプ] と[モデル カテゴリ] ドロップダウンから、消耗品のタイプとモデル カテゴリを選択します。
4. **[Create** (作成)] を選択します。
5. [新しい消耗品を作成] ページに詳細を入力します。

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデル	資産の製品モデル
モデルカテゴリ	資産のモデルカテゴリ。
親	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
数量	資産が表すアイテムの量
全般	
状態	資産の状態デフォルトのステータスは [ビルド] に設定されています。
Substate (サブステート)	資産のサブステート
資産機能	資産の使用目的。
廃棄予定	資産が廃棄される予定かどうかを示します。
倉庫	資産が置かれているストックルーム。
場所	資産の場所
通路とスペース	資産が置かれているストックルームの通路とスペース。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションから選択します。 ○ 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ○ 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
Assigned to (アサイン先)	資産が割り当てられている人物
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。
再販価値	廃棄資産を再販できるコスト概算。
予定使用終了日	資産の廃止予定日。
再販価格	廃止時の資産の価値。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

6. [保存] を選択します。
   消耗資産が作成され、[消耗資産] リストに表示されます。

Enterprise 資産ワークスペースでの消耗型資産の使用

消耗資産を使用するには、それらが [在庫あり] ステータスと [利用可能] サブステートであることを確認します。

始める前に

> **注:**
> モデルの資産戦略追跡が消耗資産を作成するように設定されている場合、エンタープライズ資産管理 アプリケーションのモデルから作成された消耗品のみを使用できます。

必要なロール：asset

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > 消耗品資産.
2. ステータスが [在庫あり] でサブステートが [利用可能] の消耗資産を選択します。
3. [消費] を選択します。
   [消費] ダイアログボックスが表示されます。
4. [数量] フィールドに消費する数量を入力します。
5. [資産リスト] で、ルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。

6. [ユーザー] リストで、ルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. [**OK**] を選択します。
[消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

エンタープライズ資産キャリブレーションの品質基準の作成

品質基準を作成して、エンタープライズ資産のキャリブレーションを実行する際に従う必要がある要件とガイドラインを示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときに、品質基準を適用して、関連するキャリブレーション中に従う必要がある一連の要件とガイドラインを示すことができます。品質基準に従うことで、展開全体で一貫性があり、信頼性が高く、正確なキャリブレーションを実現できます。

キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、アドミンセンタービューを開きます。
2. アドミンセンタービューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > 品質基準.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい品質基準の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	品質基準の名前。
簡単な説明	品質基準の簡単な説明。
有効期限開始	品質基準が有効になる日付。
有効期間終了日時	品質基準が無効になる日付。
説明	品質基準の詳細な説明。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
品質基準は、校正属性に適用できます。

エンタープライズ資産キャリブレーションのサービス頻度の作成

サービス頻度を作成して、エンタープライズ資産のキャリブレーションを実行する必要がある頻度を指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときは、関連するキャリブレーションを実行する必要がある頻度を指定する必要があります。

キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、アドミンセンタービューを開きます。
2. アドミンセンタービューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > サービス頻度.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規サービス頻度の作成 **(Create New Service Frequency)]** フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	サービス頻度の名前。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
サービス頻度タイプ	頻度のタイプ。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
サービス頻度は、キャリブレーション属性で使用できます。

キャリブレーション属性ライブラリを作成

エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない一般的なキャリブレーション属性のライブラリを作成します。これらの属性を使用して、一般的に使用されるキャリブレーションの詳細と要件を定義します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない一般的なキャリブレーション属性を作成できます。これらのキャリブレーション属性は、利用可能な任意のエンタープライズモデルにクローンできます。特定のエンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産のキャリブレーション属性を作成することもできます。特定のエンタープライズ モデルのキャリブレーション属性を作成する方法の詳細については、「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の追加」を参照してください。特定のエンタープライズ資産のキャリブレーション属性を作成する方法の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、アドミンセンタービューを開きます。
2. アドミンセンタービューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション > 属性ライブラリ.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しいキャリブレーション属性の作成フォーム

フィールド	説明
属性の詳細	
[Name (名前)]	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要性を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。 **注:** エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトのキャリブレーションカテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。
[Active (アクティブ)]	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	キャリブレーション属性が Enterprise モデルにクローン作成された後に Enterprise モデルに適用される順序。Enterpriseモデルに複数のキャリブレーション属性が含まれている場合は、数値が最も小さい属性が最初にモデルに適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 精度 **%** フルスケール:精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、許容限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ○ 精度 **%** ポイント:精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づいています。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに基づいて比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別のポイントで精度を測定すると、公差限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール 注: このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 **%** フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	精度を測定できる完全な測定範囲。
単位	精度を測定するために使用している測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が満たす必要がある精度の割合。
解決	検出および測定できる、識別可能な最小値の変化。解像度が高いほど、値の変更がより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一連の要件とガイドライン。 注: エンタープライズ資産ワークスペースのアドミンセンタービューで品質基準を手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産キャリブレーションの品質基準の作成」を参照してください。
計測	
計測モデル	キャリブレーションの実行に使用する必要がある機器のモデル。
指示	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一般的な指示または機器の設定。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
6. 精度を測定できるポイントを指定します。

   重要:
   各エンタープライズ資産の測定範囲内に 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性をアクティブに設定することはできません。

   a. キャリブレーション属性レコードで、 キャリブレーションポイントの追加 を選択します。
      [キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

   b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

フィールド	説明
ポイント名	点の名前。
予想値	精度を測定する対象のポイント値。
順序	ポイントを使用して精度を測定する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性に点を追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([+ を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. [**OK**] を選択します。

ダイアログボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーションポイント] タブにポイントが表示されます。

次のタスク
該当するすべてのエンタープライズモデルにキャリブレーション属性をクローンします。詳細な手順については、「エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性のクローン」を参照してください。

消耗型資産を **Enterprise** 資産ワークスペースで廃棄する

ストックルームで不要になった消耗資産を廃棄します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列には、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されます。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > 消耗品資産.
2. 消耗型資産レコードを開き、[廃棄対象としてマーク] を選択します。
[廃棄対象としてマーク] は、在庫ステータスで廃棄対象としてマークされていない消耗資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄対象としてマーク] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分的な数量を入力します。
部分的な数量を入力すると、サブステートが [保留中の廃棄] の新しい消耗品レコードが作成されます。合計数量を入力すると、消耗品のレコードサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
消耗資産を廃棄対象としてマークすると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

> **注:**
> 廃棄注文には、廃棄対象としてマークされた消耗品のみが含まれます。消耗品を廃棄対象としてマークすると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産オンボーディングプロセスの作成

資産オンボーディングプロセスを作成して、資産の重要な情報を入力するプロセスを順を追って説明します。

始める前に

資産オンボーディングプロセスは、プロセスを完了するためのインタラクティブなユーザーインターフェイスを提供するプレイブックエクスペリエンスです。資産オンボーディングプロセスは、オンボーディングタスクが作成された後にトリガーされます。オンボーディングタスクは、資産要求フローから自動的に作成することも、資産レコードから手動で作成することもできます。資産オンボーディングプレイブックの概要については、「 エンタープライズ資産管理向けプレイブック」を参照してください。

オンボーディングは、事前に組み立てられたシンプルな資産でのみ使用できます。また、オンボーディングできるのは親の組み立て済み資産のみです。子の組み立て済み資産ではありません

資産オンボーディングプロセスはレーン別に整理されています。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了するよう求められるいくつかのアクティビティが含まれています。タスクをスキップ、保存、または完了するには、次のボタンを使用します。

- スキップ:次のアクティビティに移動します。
- 保存:情報は保存されますが、アクティビティは完了しません。
- 完了としてマーク:情報が保存され、アクティビティが完了し、次のレーンに移動します。

注:
オンボーディングタスクは、すべてのアクティビティをスキップした後、またはすべてのアクティビティを完了としてマークした後にのみクローズできます。

特定のアクティビティを実行している間、そのアクティビティのステータスは [処理中] と表示されます。アクティビティを完了としてマークすると、そのアクティビティのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。

オンボーディングタスクをトリガーする [資産のオンボーディング] ボタンは、資産が次の表に示すような次のいずれかのステータスまたはサブステートにある場合にのみ表示されます。

ステータス	サブステート
• 構築 • 使用中 • 在庫あり • メンテナンス中	• 利用可能 • 予約済み • インストール待ち • 転送待ち

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. オンボーディングプロセスを作成する資産レコードを開きます。
3. [資産のオンボーディング] を選択します。
   資産オンボーディングタスクが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [オンボーディングプレイブック] 関連リストのタブを選択します。
   資産オンボーディングページが開きます。
5. [資産の詳細] レーンで詳細を確認するか、詳細を入力します。

   注:
   事前に組み立てられた産業用資産をオンボーディングする場合は、[**MAC** アドレス] フィールドが [資産の詳細] に含まれます。また、[資産の詳細] の下の [子資産] アクティビティは、事前に組み立てられた産業用資産に対してのみ表示されます。

   OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化すると、[資産の詳細] アクティビティに、事前に組み立てられた産業用資産とハードウェア資産の **MAC** アドレスフィールドが表示されます。

6. [スキップ]、[保存]、または [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
7. 最後のレーンに到達するまで、確認するか、レーンの詳細を入力します。
8. すべてのレーンに [スキップ] または [完了] のステータスが表示されたら、[タスクをクローズ] を選択して資産オンボーディングプロセスを完了します。
   資産が正常にオンボーディングされました。

自動作成されたオンボーディングタスクの表示

自動的に作成された資産オンボーディングタスクを表示します。

始める前に
資産のオンボーディングタスクは、資産要求フローで資産を受領した後に自動的に作成されます。オンボーディングタスクにより、資産のオンボーディングプロセスがトリガーされます。調達された資産ごとに、個別のオンボーディングタスクが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順
1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用 > 調達 > **Requests** (要求).
2. 要求を開きます。
3. [要求アイテム] タブを選択し、要求アイテムを開きます。
4. [資産タスク] タブを選択します。
   オンボーディングタスクと資産展開タスクがリストされます。
5. オンボーディングタスクを開きます。

でインドアマップを使用して資産を追跡する エンタープライズ資産ワークスペース

インドアマップを使用して、組織全体に展開されているエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットを検索して追跡します。各インドアマップは、敷地、建物、フロア、および場所内の資産の位置を視覚化できるインタラクティブなインターフェイスで構成されています。

始める前に
エンタープライズ資産ワークスペース でインドアマップを使用できるようにするには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow® Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新された エンタープライズ資産管理 SKU (PROD21613) を使用して 2023 年 11 月 3 日以降に エンタープライズ資産管理 ライセンスを取得した場合は、インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションをインストールできます。

> **注:**
> インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、 インドアマッピング for Assets アプリケーションをインストールした後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「Add or repair demo data for applications and plugins」を参照してください。

- ServiceNowインスタンスで*com.sn_eam.indoormap.enabled*資産パラメーターを **true** に設定します。
- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「Configure Indoor Mapping」を参照してください。

> **注:**
> エンタープライズ資産管理 ライセンスのエンタイトルメントを使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD または Raster ファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスターファイルを使用するには、 ワークプレイスサービスデリバリ アプリケーションのエンタイトルメントが必要です。

- 場所データの同期: エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、次のインドアマッピングの場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地内にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは目的地点のいずれかを表します。場所は、エリア、部屋、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

> **注:**
> インドアマップで資産を エンタープライズ資産ワークスペースに表示するには、場所 [cmn_location] テーブルの 場所 または 部屋 タイプの場所に資産をアサインする必要があります。

エンタープライズ資産管理 アプリケーション内で新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「Synchronize Indoor Mapping map data with CMN location」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。
   このタブにはインタラクティブマップがあり、特定のフロアまたは場所内の各エンタープライズ資産、消耗品資産、およびパレットの場所をリアルタイムで表示できます。
3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、マップを特定のフロアに設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、マップには、組織全体で利用可能なすべての敷地の概要が表示されます。このデフォルトのマップビューには、資産の場所は表示されません。資産の場所を表示するには、マップをそれらの資産が配置されているフロアに設定する必要があります。マップを特定のフロアに設定するには、[敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターで適切な値を選択します。

4. オプション: マップに場所を表示する資産を指定します。
デフォルトでは、マップには、組織全体に展開されているすべてのエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットの場所が表示されます。マップに特定の資産の場所のみを表示するには、次の手順に従います。

   a. マップのサイドバーにある [フィルター] タブアイコン ([を選択します。

   b. [フィルター基準] ウィンドウで、次のいずれかのフィルターを使用して、場所を表示する資産を絞り込みます。
      - 部門:資産が属する部門。
      - ユーザー:資産が属するユーザー。
      - モデルカテゴリ:資産のモデルカテゴリ。
      - 分類:資産モデルに割り当てられている分類コード。

5. オプション: 資産の場所を表示する形式を変更するには、[資産インドアマップ] タブの右下隅にある表示オプションを選択します。
[資産インドアマップ] タブは、次の表示オプションをサポートしています。
   - マップのみを表示 (デフォルトの表示オプション):指定したフロア内の資産の場所を示すインタラクティブマップを表示します。
   - リストのみを表示:指定したフロア内にある資産のリストを表示します。
   - マップとリストを表示:インタラクティブマップと資産のリストの両方を表示します。

6. インタラクティブマップまたは資産のリストを使用して、指定したフロアまたはそのフロア内の資産の場所をリアルタイムで表示します。
マップまたはリストから資産を選択すると、その資産に関する追加の詳細が表示されます。

自動翻訳

での資産階層の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

マルチコンポーネント資産の階層の詳細をツリー形式の エンタープライズ資産ワークスペース に表示します。

始める前に
必要なロール: sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
資産階層オプションは、親資産に関連付けられている資産、または子資産を持つ資産に対してのみ表示されます。

資産階層には、親資産に関連付けられた 消耗資産が表示されます。

注:
資産階層は、リニア資産とパレットには適用されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. 資産レコードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. コンテキストサイドバーで [資産階層] アイコン ( ) を選択します。
   - 資産階層はツリー状に表示されます。

     デフォルトのビューには、最大 3 つの子資産が表示されます。資産右側の数字は、子資産の合計数を示します。その数が 3 より大きい場合は、[すべて展開] または [さらに表示] を選択して、すべてを表示します。

   - 階層が表示される資産は、資産階層ツリーでハイライト表示されます。

ワークスペースでのエンタープライズモデルと資産のインポート

Enterprise 資産ワークスペースで複数の Enterprise モデルと資産を一度にインポートします。

始める前に
エンタープライズモデルと、シンプル、事前に組み立てられた資産、ユーザーが組み立てた資産、消耗品など、さまざまなタイプの資産をインポートできます。インポートのエラーとステータスを表示することもできます。

エンタープライズモデルと資産インポートレコードは、エンタープライズ一括インポート [sn_eam_bulk_import] テーブルに保存されます。

フローデザイナーアプリケーションは、EAM 一括インポートサブフローを開始するために使用され、エンタープライズモデルと資産のインポートを支援します。フローがさまざまなステージを進むにつれて、インポートの詳細が自動的に更新されます。EAM 一括インポートフローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [一括インポート] でいずれかのインポートアクションを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタープライズ一括インポートの作成 (Create New Enterprise Bulk Import)] ページが開きます。
4. [名前] フィールドにインポートプロセスの一意の名前を入力します。
5. [モード] フィールドでインポートのモードを選択します。
6. [テンプレートをダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
   選択したモードに基づいて、スプレッドシートを使用できます。テンプレートは、モデル用、資産用、およびモデルと資産用の組み合わせテンプレートで使用できます。
7. スプレッドシートのすべての必須フィールドに詳細を入力します。
   テンプレートのすべての必須列に値を入力しないと、インポートが失敗し、テンプレートの形式を確認するように求めるエラーメッセージが表示されます。必須フィールドの詳細については、「一括インポートスプレッドシートの必須フィールド」を参照してください。
8. [ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします (.xlsx)。
9. [インポート] を選択して、スプレッドシートで検証チェックを実行します。
   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [処理待ち]、[アップロード中]、[変換中] に変わります。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、**[**完了 (エラーあり)]、または [失敗] のいずれかに変わります。モデルと資産のインポートプロセスの結果に関する詳細は、[モデルインポート結果] セクションと [資産インポート結果] セクションで確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [モデルインポートステージング]、[モデルコンポーネントインポートステージング]、または [資産インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受け取ったエラーを表示します。
11. エラーが発生したレコードを開きます。
12. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

でのモデルタブと資産タブの構成 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産管理アドミニストレーターがモデルタブと資産タブを構成して、エンタープライズモデル管理ビューとエンタープライズ資産一覧ビューでこれらのタブを表示または非表示にすることができます。

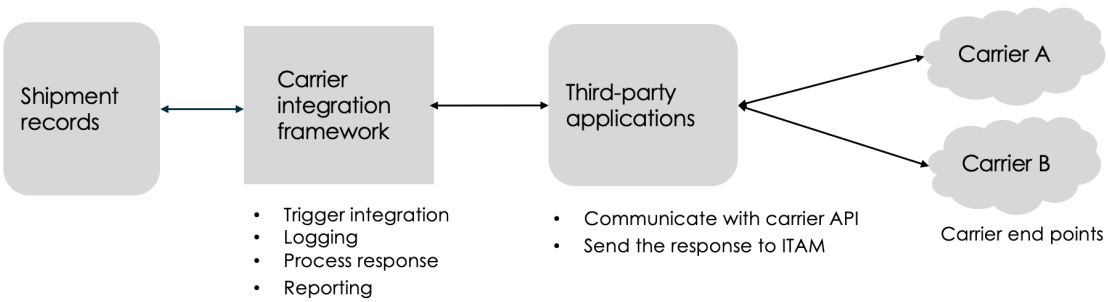
始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [モデルと資産クラスのタブ構成] ページで [新規] を選択します。
   [新しいモデルと資産構成を作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   作成したモデルと資産タブのエントリが、[モデルと資産クラスのタブ構成] ページに表示されます。

エンタープライズ資産の出荷の管理

IT Asset Management統合フレームワークを使用してエンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合することで、エンタープライズ資産の出荷をリアルタイムで追跡および管理します。



前提条件

エンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの出荷配送業者と統合する前に、出荷配送業者は次の前提条件を満たす必要があります。

- サードパーティアプリケーションでクロススコープアクセスを有効にします。
- ベース ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成して、サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細をリアルタイムで取得できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スクリプトインクルードは、 IT Asset Management アプリケーションスコープで使用できる必要があります。ただし、[申請者アクセス] は制限されておらず、[すべてのアプリケーションスコープ] で [アクセス可能] フィールドを使用できる必要があります。
- 追跡番号に基づいて配送業者 API との通信を可能にするには、ビジネスロジックを fetchShipmentinfo 関数内に実装する必要があります。配送業者 API は、サードパーティアプリケーションに接続して納品の詳細を取得するために必要です。
- fetchShipmentinfo 関数は、次の HTTP 応答コードとメッセージを含む JSON オブジェクトを返す必要があります。

```
{
httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
}
```

- スクリプトインクルードがテストモードの場合、出荷配送業者は配送業者 API を呼び出して、サードパーティアプリケーションへの接続を検証します。その後、出荷配送業者は、応答を検証して返すか、出荷を照会し、次の応答形式を使用してprocessResponse関数を呼び出すことができます。

```
[
{
trackingNumber: '',
deliveryDate: '',
pickupDate: '',
packageStatus: ''.
statusDetail: '',
trackingURL: '',
parcelWeight: '',
deliveryServicesCost: '',
currency: ''
}
 ]
```

出荷配送業者が processResponse 関数を呼び出す場合は、関数の完了後に応答を返す必要があります。

- 適切な名前、キャリア API の詳細、および接続の詳細を使用して統合プロファイルを作成します。この統合プロファイルを使用すると、サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細を取得できます。
- サードパーティアプリケーションが ServiceNow 認証情報 [discovery_credentials] テーブルまたは Password2 フィールドを持つその他の ServiceNow テーブルを使用する場合は、それらのテーブルへのアクセスを可能にする KMF アクセスマップポリシーを指定します。KMF アクセスマップポリシーの詳細については、「 Password2 encryption with the Key Management Framework (KMF) 」を参照してください。

配送業者がこれらの前提条件を満たした後、次の追加の前提条件を完了する必要があります。

- 統合プロファイルに接続および資格情報エイリアスを介した接続の詳細が含まれている場合は、必要に応じてそれらの詳細を更新して、キャリア API を正常に認証して接続できるようにします。
- 出荷配送業者を統合プロファイルに関連付けます。

での事前出荷通知の使用 エンタープライズ資産管理

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産の輸送中のエンタープライズ資産レコードを自動化して作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらいます。更新したテンプレートを ServiceNow インスタンスにアップロードします。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、 ServiceNow インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
エンタープライズ資産レコードを手動で作成すると時間がかかり、エラーが発生する可能性があります。ASNを使用して、貨物が紛失または置き忘れるリスクを減らし、在庫の精度を高めます。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用 > 出荷通知.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   新規出荷通知のアップロードの作成ページが表示されます。
3. [名前] フィールドに ASN の一意の名前を入力します。
4. [ファイルの添付] を選択して、スプレッドシート (.xlxs) をアップロードします。
   スプレッドシートは、ダウンロードテンプレートの形式である必要があります。サンプルスプレッドシートがない場合は、[テンプレートのダウンロード] を選択してサンプルスプレッドシートをダウンロードし、スプレッドシートに詳細を入力してから、[ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。スプレッドシートで 、[出荷日]、[注文日]、および [保証終了日] フィールドの形式が 月/日/年であることを確認します。

   注:
   Yokohamaリリース以降、事前出荷通知のダウンロードテンプレートには**MAC**アドレスフィールドが含まれています。インポートが正常に完了すると、テンプレートに指定した MAC アドレスが資産 [alm_asset] テーブルの **MAC** アドレス [mac_addr] フィールドに追加されます。

   アップロードには時間がかかる場合があります。ファイルがアップロードされると、スプレッドシートの名前が [ファイル] フィールドに表示されます。
5. [インポート] を選択して、スプレッドシートで検証チェックを実行します。

   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [処理待ち]、[行を抽出中] および [インポート中] に移動します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、**[**完了 (エラーあり)]、または [失敗] のいずれかに変わります。

   [出荷アップロード結果]セクションが表示され、インポートプロセスに関する情報が表示されます。挿入、無視、またはスキップされたレコードの数などの情報。
6. [出荷通知のアップロードステージング] 関連リンクを選択して、受信したエラーを表示し、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示します。
7. エラーが発生した場合は、[出荷通知のアップロードステージング] 関連リンクでレコードを選択します。
8. [エラー] セクションまで下にスクロールし、[コメント] フィールドでエラーを表示します。
9. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。
   シリアル化された資産には重複するエンタープライズインポートレコードは作成されませんが、消耗品には重複するエントリがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースでの配送業者レコードの作成

Enterprise 資産ワークスペースに配送業者レコードを作成して、配送業者と統合プロファイルに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [出荷] リストから [配送業者] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティキャリアのアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「でサードパーティの配送業者の統合プロファイルを表示する エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
ステータス	配送業者のステータス。 このフィールドはデフォルトで [アクティブ] に設定されています。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者の Web サイト。
会社	配送業者の会社名。
メモ	配送業者に関する追加情報。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
配送業者レコードが作成され、[配送業者] リストに追加されます。

サードパーティの配送業者統合のスクリプトインクルード

エンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合する前に、その配送業者は基本の ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成する必要があります。このスクリプトを拡張することで、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続し、出荷の詳細をリアルタイムで取得できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードの構造

```
var ITAMShipmentIntegration = Class.create();
ITAMShipmentIntegration.prototype = {
    initialize: function() {
    },

    /**
     * Encapsulates communication with end point and fetching tracking info
     * If used in test mode, only response details would be returned
     * Else this API should invoke processResponse with the shipment details and return response code, message
     *
     * @param {array of string} trackingNumbers Shipment tracking numbers
     * @param {string} mode Can be 'test' or empty string
     */
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        // Communicate with API
        // Process the response
        // If mode === 'test' return response
        // Else Invoke post processing function and then return response
        /**
         * Expected response format to be passed to processResponse: array of objects
         * where each object corresponds to a single shipment
         *
         * Expected response format to be returned: JSON object with keys - httpResponseCode, httpResponseMessage
         * httpResponseCode - response code
         * httpResponseMessage - detailed message
         */
    },

    /**
     * Encapsulates to update shipment records with the response received
     *
     * @param {array of objects} response Response from API
     * Expected response format: array of JSON, where each JSON would have values with below keys
     * trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
     */
    processResponse: function (response) {
        // Update shipment records
        if (!gs.nil(response)) {
            var mappingObj = sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_RESPONSE_COL_MAPPING;
            response.forEach(function(recordObj) {
                var shipmentRecord = new global.GlideQuery(sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_TABLE)
                    .where('tracking_number', recordObj.trackingNumber)
                    .where('stage', '!=', 'cancelled')
                    .toGlideRecord();
                shipmentRecord.query();
                while (shipmentRecord.next()) {
                    for (col in mappingObj) {
                        var value = recordObj[mappingObj[col]];
                        if (gs.nil(value)) {
                            shipmentRecord.setValue(col, null);
                        } else {
                            shipmentRecord.setValue(col, value);
                        }
                    }
                    shipmentRecord.update();
                }
            });
        }
    },

    type: 'ITAMShipmentIntegration'
```

fetchShipmentInfo 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の fetchShipmentInfo 関数は、ServiceNow インスタンスからトラッキング番号を取得し、配送業者 API を呼び出してそれらのトラッキング番号の出荷の詳細をフェッチします。追跡番号に基づいて配送業者 API との通信を有効にするには、出荷配送業者が fetchShipmentInfo 関数内で対応するビジネス ロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API からの応答を処理し、processResponse 関数を開始します。

processResponse 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の processResponse 関数は、配送業者 API から応答を取得し、次の配送業者の詳細で出荷レコードを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

重要:
IT Asset Managementアプリケーションは、この関数内のビジネスロジックを自動的に定義します。ビジネスロジックは変更しないでください。

でサードパーティの配送業者と統合する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合して、エンタープライズ資産の出荷のステータスをリアルタイムで追跡できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 出荷 > 配送業者.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティの配送業者アプリケーションへの接続に使用している統合プロファイル。 **注:** 統合プロファイルは、各配送業者によって自動的に作成されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。
会社	配送業者の会社名 (FedEx や UPS など)。
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でサードパーティの配送業者の統合プロファイルを表示する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、サードパーティの出荷配送業者の統合プロファイルを表示します。これらの統合プロファイルを使用すると、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続して、エンタープライズ資産の出荷の詳細を取得できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [出荷] リストから [配送業者統合] を選択します。
3. 統合プロファイルの完全なリストを表示します。
   統合プロファイルを選択すると、接続の詳細、関連する配送業者、出荷の詳細をフェッチするためのスケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブのログなど、追加の詳細が表示されます。

でサードパーティの配送業者と統合プロファイルを関連付ける エンタープライズ資産ワークスペース

サードパーティの出荷配送業者を統合プロファイルに関連付けて、その出荷配送業者に正常に接続できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

各配送業者は、一度に 1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。統合プロファイルのいずれかが出荷配送業者にまだ関連付けられていない場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースの インベントリ ビューで マップされていない配送業者プロファイル の重要なアクションを使用して、それらの統合プロファイルを表示してアクションを実行できます。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 出荷配送業者を関連付ける統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 配送業者を統合プロファイルに関連付けます。
   - 既存の出荷配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。

     a. [**Add**] を選択します。

     [配送業者を追加] ダイアログボックスが開きます。

     b. ダイアログボックスで、統合プロファイルに関連付ける出荷の配送業者を検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> このダイアログボックスには、統合プロファイルにまだ関連付けられていない出荷の配送業者のみが表示されます。

c. [**Add**] を選択します。

- 新しい配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。

a. **[New** (新規)] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	配送業者への接続に使用している統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。
会社	配送業者の会社名 (FedEx や UPS など)。
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
出荷の配送業者は統合プロファイルに関連付けられています。

の統合プロファイルからサードパーティの配送業者を削除する エンタープライズ資産ワークスペース

統合プロファイルに関連付ける必要がなくなったサードパーティの配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 削除する配送業者のチェック ボックスをオンにします。
6. [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
出荷配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなりました。

でサードパーティの配送業者の統合プロファイルをテストする エンタープライズ資産ワークスペース

発生する接続の問題を軽減できるように、サードパーティの配送業者の統合プロファイルをテストします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. テストする統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。
   接続が成功したかどうかを示すメッセージが表示されます。

   注:
   統合プロファイルが 3 回以上連続して接続に失敗した場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースの [インベントリ] ビューで [配送業者統合の失敗] の重要なアクションを使用して、対応する接続の問題を表示して対処できます。

エンタープライズ資産の出荷の表示と追加

[出荷] リストを使用して、すべてのアクティブなエンタープライズ資産の出荷を一元的に表示します。既存の出荷がリストに表示されない場合は、手動で追加できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

注:
sn_eam.enterprise_admin ロールのみが出荷を手動で追加できます。

このタスクについて
転送注文、発注書、移動注文、返品承認 (RMA) 注文、廃棄注文、再販注文、取り消しオーダー、回収要求、事前出荷通知 (ASN)、およびリース契約の出荷を表示および追加できます。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、次の場所に移動します 出荷 > 出荷.
3. アクティブなエンタープライズ資産の出荷の完全なリストを表示します。
   出荷を選択すると、出荷元や関連するエンタープライズ資産など、追加の出荷の詳細が表示されます。
4. 既存のエンタープライズ資産の出荷がリストに表示されない場合は、手動で追加します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規出荷の作成フォーム

フィールド	説明
配送業者	エンタープライズ資産の配送に使用された配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日時。
出荷元	エンタープライズ資産の配送元の地理的な場所。
受領日	貨物を受領した日時。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
出荷者	エンタープライズ資産を出荷したユーザー。
出荷先	エンタープライズ資産の配送先の地理的な場所。
受領者	出荷を受領したユーザー。
古いチェックを無視	シップメントの古いチェックを無視するオプション。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

マルチ資産オンボーディングプロセスの作成

マルチ資産オンボーディングプレイブックを作成して、一度に複数の資産をオンボーディングします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エンタープライズ資産技術者がオンボーディング注文を送信します。エンタープライズ資産マネージャーは、オンボーディングプレイブックを使用して、オンボーディング注文に関連付けられたマルチ資産オンボーディングタスクで作業できます。

プレイブックでインライン編集を直接実行できます。この機能を使用すると、レコードを開いてフォームの値を更新する代わりに、レコードの値を直接変更できます。

オンボーディングタスクをクローズするには、プレイブックのすべてのアクティビティを完了するか、スキップする必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから、[オンボーディングタスク] を選択します。
3. マルチ資産オンボーディングプロセスを作成するオンボーディングタスクレコードを選択します。
4. [オンボーディングプレイブック] タブを選択します。
   マルチ資産オンボーディングプレイブックが表示されます。
5. [モデルの詳細のレビュー **(Review model details**)] レーンで詳細を確認するか、詳細を入力します。
6. [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
   [モデルのレビュー] レーンに詳細を入力し終えると、他のすべての資産のレビューアクティビティのロックが解除されます。
7. 最後のレーン (展開) に到達するまで、すべてのレーンで確認または詳細の入力を続けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 展開アクティビティを確認し、完了またはスキップします。
   - 展開タスクを作成します。
     a. [場所] フィールドで、資産を展開する場所を選択します。

        注:
        このフィールドは、資産を展開するために必要です。

     b. [アサイン先] フィールドで、資産をアサインするユーザーを選択します。

        注:
        デフォルトでは、このフィールドには、[資産のレビュー] アサインアクティビティを実行したときに [予約目的] フィールドで選択した値が自動的に入力されます。

     c. [展開タスクの作成 **(Create deploy task**)] フィールドで **[true**] を選択します。

     d. **[Mark as Complete** (完了としてマーク)] を選択します。

     エンタープライズアドミニストレーターによって設定された *com.sn_eam.default_deployment_task* 資産プロパティの値に基づいて、次のいずれかの展開タスクが作成されます。

     - 値が **sn_eam_deploy_asset_task** に設定されている場合、展開する必要がある資産ごとにエンタープライズ資産展開タスクが作成されます。展開タスクは、[資産を展開] タスク タブに一覧表示されます。
     - 値が **wm_task** に設定されている場合、展開する必要がある資産ごとに作業指示タスクが作成されます。展開タスクは [作業指示タスク] タブに一覧表示されます。

     作成された展開タスクでは、[資産管理のレビュー] アクティビティの実行時に [サポートグループ] フィールドと [サポート担当者] フィールドで選択した値が [アサイン先グループ] フィールドと [アサイン先] フィールドに自動入力されます。

     注:
     作業指示タスクは、エンタープライズフィールド技術者サポートグループにのみアサインできます。

   - [スキップ] を選択して、展開アクティビティをスキップします。

   資産技術者は、アサインされた展開タスクを完了します。詳細については、「エンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズします」と「エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズします」を参照してください。
9. すべてのレーンのステータスが [スキップ] または [完了] になったら、[タスクをクローズ] を選択してマルチ資産オンボーディングプロセスを完了します。
   資産が正常にオンボーディングされました。オンボーディングタスクが完了し、要求と要求されたアイテムのステータスが [完了してクローズ] に変更されます。

エンタープライズ資産移動オーダーの管理

移動オーダーを使用して、使用中または消費済みのエンタープライズ資産をある場所から別の場所に移動できます。

移動オーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションにより、オーダーに含めるエンタープライズ資産ごとにエンタープライズ移動明細レコードが自動的に生成されます。これらのレコードにより、移動オーダー内の各エンタープライズ資産の移動を個別に追跡および管理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

移動オーダー内のエンタープライズ移動ラインレコードごとに、特定のエンタープライズ資産の移動方法を示す必要があります。エンタープライズ資産をサードパーティの配送業者を通じて出荷するか、エンタープライズ資産を出荷せずに現地に移動するかを選択できます。選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了してエンタープライズ資産を移動し、エンタープライズ移動明細レコードを [完了] ステータスで更新する必要があります。移動オーダー内のすべてのエンタープライズ移動明細レコードが [完了] ステータスになると、その移動オーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産移動オーダーの送信

エンタープライズ資産移動オーダーは、エンタープライズ資産ワークスペースのServiceNow® サービスカタログビューまたはインベントリビューから送信できます。

からエンタープライズ資産移動オーダーを送信する サービスカタログ

ServiceNow® サービスカタログを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager またはエンドユーザー

注:
sn_eam.enterprise_asset_manager ロールは、展開内の任意のエンタープライズ資産の移動オーダーを送信できます。エンドユーザーロールは、アサインされたエンタープライズ資産に対してのみ移動オーダーを送信できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. 利用可能なエンタープライズ資産ライフサイクルカタログアイテムのリストから、[資産移動オーダー] を選択します。
3. 資産移動オーダーフォームを開始するカタログアイテムで、フィールドに入力します。

資産移動オーダーフォームを開始するカタログアイテム

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信先のユーザー。このフィールドにユーザーを指定すると、そのユーザーにのみ割り当てられるエンタープライズ資産を移動オーダーに含めることができます。
アサイン先グループ	移動オーダーを割り当てるグループ。
Assigned to (アサイン先)	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
移動先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
資産	移動オーダーに含めるエンタープライズ資産。[移動元の場所] フィールドで指定された場所に存在する任意のエンタープライズ資産から選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。
メモ/特別な指示	移動オーダーに関する追加のメモまたは指示。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

[資産運用] ビューからエンタープライズ資産移動オーダーを送信する

エンタープライズ資産ワークスペースの [資産運用] ビューを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [新しい移動オーダーを作成] フォームで、フィールドに入力します。

新しい移動オーダーフォームを作成

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信先のユーザー。このフィールドにユーザーを指定すると、そのユーザーにのみ割り当てられるエンタープライズ資産を移動オーダーに含めることができます。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。
アサイン先グループ	移動オーダーを割り当てるグループ。
Assigned to (アサイン先)	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
移動先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
補足情報	移動オーダーに関する追加情報。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   フォームが閉じ、新しい移動オーダーレコードに自動的にリダイレクトされます。

次のタスク

エンタープライズ資産を移動オーダーに追加します。詳細な手順については、「移動オーダーへのエンタープライズ資産の追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動オーダーへのエンタープライズ資産の追加

移動オーダーに含めるエンタープライズ資産を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を追加する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダーレコードで、[エンタープライズ移動ライン **(Enterprise move lines**)] タブを選択します。
4. [**Add**] を選択します。
   [資産を追加] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、移動オーダーに含めるすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   移動オーダーの [移動元の場所] フィールドで指定された場所に存在する任意のエンタープライズ資産から選択できます。

   注:
   子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。

6. [**Add**] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産が移動オーダーに追加されます。

移動オーダーからエンタープライズ資産を削除する

移動オーダーに含めなくなったエンタープライズ資産を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を削除する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダーレコードで、[エンタープライズ移動ライン **(Enterprise move lines**)] タブを選択します。
4. エンタープライズ移動ラインのリストから、削除するすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   注:
   各エンタープライズ移動ラインは、特定のエンタープライズ資産に対応しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーから削除されます。

5. [削除] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産は、自動的に [キャンセル済み] ステータスで更新されます。対応するエンタープライズ移動ラインに関連付けられているすべてのエンタープライズ移動タスクも、[未完了でクローズ] ステータスで更新されます。

エンタープライズ資産移動オーダーの完了

移動する使用中または消費済みのエンタープライズ資産の移動オーダーを送信した後、オーダーを完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

移動オーダーに含まれるエンタープライズ資産ごとに、必要なタスクセットを完了する必要があります。エンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズ移動ラインが [完了] ステータスで更新されます。すべてのエンタープライズ移動ラインのステータスが 完了 になると、移動オーダーは完了です。

移動するエンタープライズ資産の準備タスクの完了

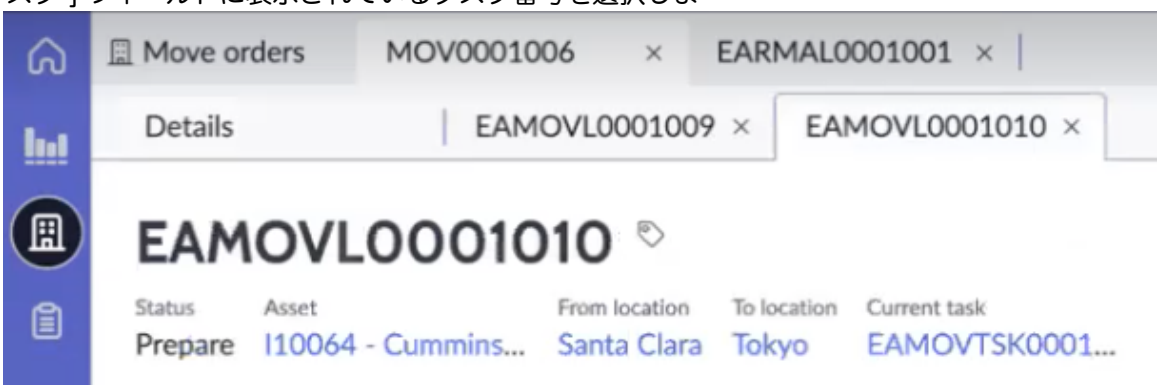
場所間での資産の移動を進められるように、エンタープライズ資産の準備タスクを完了します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダーレコードで、[エンタープライズ移動ライン **(Enterprise move lines**)] タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動ラインレコードが開きます。
5. [エンタープライズ移動タスク] タブで、[準備タスク] のタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[準備タスク] が開きます。

6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了が予定されている日時。
優先度	タスクの優先度。
移動タイプ	エンタープライズ資産の移動のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ ローカル移動:エンタープライズ資産を出荷せずに別の場所に移動するオプション。 ○ 出荷:エンタープライズ資産を別の場所に出荷するオプション。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

7. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
準備タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。

[移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定すると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動ラインに対応するローカル移動タスクを自動的に生成します。移動タイプ フィールドを 出荷 に設定すると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動ラインに対応する出荷タスクを自動的に生成します。

次のタスク
[移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定した場合は、エンタープライズ資産のローカル移動を完了に進んで移動を完了します。

移動タイプ フィールドを 出荷 に設定した場合は、移動するエンタープライズ資産の出荷を完了 に進んで出荷を完了します。

エンタープライズ資産のローカル移動を完了

エンタープライズ資産を出荷せずに移動するために必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動ラインで [移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に
ローカル移動を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

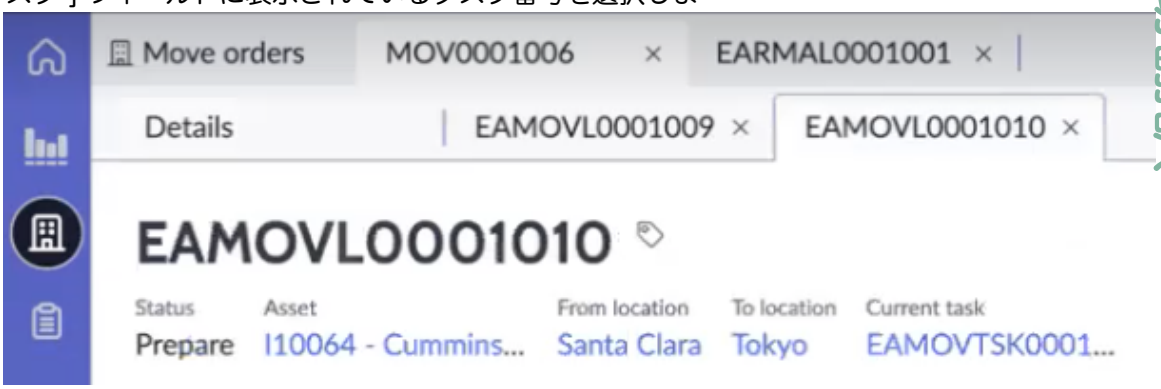
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダーレコードで、[エンタープライズ移動ライン **(Enterprise move lines**)] タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動ラインレコードが開きます。
5. エンタープライズ移動ラインのローカル移動タスクを完了してクローズします。

   デフォルトでは、このローカル移動タスクは、特定のエンタープライズ移動ラインに関連付けられているエンタープライズ資産にのみ適用されます。移動オーダー内の追加のエンタープライズ資産に同じローカル移動タスクを適用する場合は、それらの資産をタスクに含めることができます。

   このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を出荷せずにターゲットの場所に移動する必要があります。

   a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、ローカル移動タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



      ローカル移動タスクが開きます。

   b. ローカル移動タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了が予定されている日時。
優先度	タスクの優先度。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. タスクをクローズします。
   - 移動オーダーに追加のエンタープライズ資産を含めずにタスクをクローズするには、[**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - 移動オーダーから追加のエンタープライズ資産を含めた後にタスクをクローズするには、次の手順に従います。

     i. [さらに資産を含める] を選択します。

     [資産を選択] ダイアログボックスが開きます。

     ii. ダイアログボックスで、含める追加のエンタープライズ資産ごとにチェックボックスをオンにします。

     iii. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

ローカル移動タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。

タスクの結果
エンタープライズ移動ラインは、自動的に [完了] ステータスで更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれている残りのエンタープライズ資産をすべて移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインのステータスが 完了 になると、移動オーダーが完了します。

移動するエンタープライズ資産の出荷を完了

エンタープライズ資産の出荷に必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動ラインで移動タイプ フィールドを 出荷 に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に
出荷を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダーレコードで、[エンタープライズ移動ライン **(Enterprise move lines**)] タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動ラインレコードが開きます。
5. エンタープライズ移動ラインの出荷タスクを完了してクローズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産をターゲット場所に出荷する必要があります。

a. エンタープライズ移動タスクタブで、出荷タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。

出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了が予定されている日時。
優先度	タスクの優先度。
出荷の詳細	
配送業者	エンタープライズ資産の配送に使用された配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

出荷タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動ラインに対応する受領タスクを自動的に生成します。

6. エンタープライズ移動ラインの受領タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産をターゲット場所で受領する必要があります。

a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、受領タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。

受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了が予定されている日時。
優先度	タスクの優先度。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

受領タスクは自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。

タスクの結果
エンタープライズ移動ラインは、自動的に [完了] ステータスで更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれている残りのエンタープライズ資産をすべて移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインのステータスが 完了 になると、移動オーダーが完了します。

エンタープライズ資産管理でのリスクスコアの管理

詳細な情報については後ほど説明します。

リスクの可能性の構成値を作成

リスク可能性モジュールを使用して、可能性ベクトルの構成値を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスクの可能性.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [エンタープライズリスクの可能性の構成] ページにラベルを入力します。
   [値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   [表示名] フィールドは自動的に入力され、値とラベルが連結されます。たとえば、値が 1、ラベルが「低」の場合、[表示名] フィールドは [1-Low] と表示されます。
5. 構成値をさらに追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   可能性レコードは、最低で 3 つ、最高で 10 である必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 設定レコードを追加したら、[フリーズ] を選択します。
7. 警告メッセージボックスで **[OK**] を選択して、設定レコードのフリーズを続行します。

> **注:**
> [固定] を選択した後は、可能性の設定レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスク影響度の構成値を作成

リスク影響度モジュールを使用して、影響度ベクトルの構成値を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスク影響度.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [エンタープライズリスク影響度の構成] ページにラベルを入力します。
   [値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   [表示名] フィールドは自動的に入力され、値とラベルが連結されます。たとえば、値が 1、ラベルが「低」の場合、[表示名] フィールドは [1-Low] と表示されます。
5. 構成値をさらに追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   最小で 3 つ、最大で 10 の影響度レコードが必要です。
6. 設定レコードを追加したら、[フリーズ] を選択します。
7. 警告メッセージボックスで **[OK**] を選択して、設定レコードのフリーズを続行します。

> **注:**
> [固定] を選択した後は、影響の構成レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスクスコアの構成値を作成

リスクスコアモジュールを使用して、リスクスコアバンドの構成値を作成します。

始める前に
リスクスコアの構成値を作成する前に、[リスクの可能性] モジュールと [リスクの影響度] モジュールで、2 つのベクトル ([可能性] と [影響]) の構成値がそれぞれ追加および固定されていることを確認してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスクスコア.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームの詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   他のフィールドに基づいて、[バンド名] フィールドが自動的に入力されます。
5. リスクスコアバンドをさらに追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   スコアバンドレコードは最低でも 2 つ、最高で 4 つ必要です。
6. リスク範囲全体を追加した後に [フリーズ] を選択します。
   レコードを編集するには、[固定を解除] を選択します。

での複数のエンタープライズ資産のオンボーディング エンタープライズ資産ワークスペース

[資産運用] ビューでオンボーディング注文を作成して、複数のエンタープライズ資産を一度にオンボーディングします。

エンタープライズ資産技術者は、次のアクションを実行してエンタープライズ資産のオンボーディングを開始する必要があります。

1. オンボーディング注文を作成します。
2. オンボーディングする資産の詳細を追加し、オンボーディング注文を送信します。

エンタープライズ資産マネージャーは、要求された資産をオンボーディングするために、オンボーディングプレイブックにリストされているアクティビティを確認して完了します。詳細については、「マルチ資産オンボーディングプロセスの作成」を参照してください。

でのエンタープライズ資産のオンボーディング注文の作成 エンタープライズ資産ワークスペース

[資産運用] ビューでオンボーディング注文を作成して、複数のエンタープライズ資産のオンボーディングを開始します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから、[オンボーディング注文] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規資産オンボーディングの作成 **(Create New Asset Onboarding)]** フォーム

フィールド	説明
要求元	資産が要求された人物。 このフィールドはオプションです。
倉庫	オンボーディングされた資産が保管される倉庫。 このフィールドは必須です。 **注:** ストックルームを選択すると、[ロケーション] フィールドにストックルームの場所が自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期日	資産オンボーディングを完了させる期日。 このフィールドはオプションです。

5. 既存のモデルと新しいモデルの資産のどちらをオンボーディングするかを決定します。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- ドラフトステージのオンボーディング注文が作成され、[オンボーディング注文] リストに表示されます。
- オンボーディング注文に [資産の詳細を追加] オプションが表示されます。

次のタスク

オンボーディング注文に資産の詳細を追加します。詳細については、「オンボーディング注文へのエンタープライズ資産の詳細の追加」を参照してください。

オンボーディング注文へのエンタープライズ資産の詳細の追加

オンボーディング注文を通じてオンボーディングするエンタープライズ資産の詳細を指定します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから、[オンボーディング注文] を選択します。
3. 資産の詳細を追加するオンボーディング注文を選択します。
4. [資産の詳細を追加] を選択します。
5. [資産を追加] ダイアログボックスで、資産の詳細を入力します。
   シリアル番号フィールドは必須です。次のフィールドに値を入力することもできます。
   - **Asset tag** (資産タグ)
   - **RFID** タグ
   - **MAC** アドレス
   - **Additional info** (補足情報)
6. オンボーディングする資産ごとに、[行を追加] アイコン (＋ を選択し、資産の詳細を入力します。
7. [**OK**] を選択します。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。
   オンボーディング注文に追加した資産は、[オンボーディング資産] タブに表示されます。
9. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- オンボーディング注文のステージが [レビュー] に変わります。
- マルチ資産オンボーディングタスクが作成され、[資産タスクのオンボーディング] タブに表示されます。

エンタープライズモデルの正規化

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化プロセスにより、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプデータを正規化できます。

特定のモデルタイプ、ライブラリ、または製品モデルが エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスで利用できない場合は、カスタムエンタープライズモデルタイプ、カスタムエンタープライズモデルライブラリ、またはカスタムエンタープライズ製品モデルを作成するオプションがあります。オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産管理アプリケーションを使用している場合は、顧客宅内機器 (CPE) のカスタム国連標準製品サービスコード (UNSPSC) ファームウェア分類、カスタムファームウェア製品、カスタムファームウェアバージョン、およびカスタムファームウェアマッピングを作成することもできます。

のコンテンツデータのインポートとエクスポート エンタープライズ資産管理

コンテンツデータを ServiceNow エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにインポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、[エンタープライズライブラリーの管理] モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > モジュール > エンタープライズライブラリーの管理.
2. [エンタープライズライブラリーの管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしてモジュールをアクティブ化します。
3. [保存] を選択し、フォームレイアウトを更新します。
4. [エンタープライズライブラリーの管理] モジュールに移動します。
5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。
   a. [エンタープライズ ライブラリ コンテンツのインポート] を選択します。
   b. [コンテンツファイルを添付] を選択し、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。
   c. [インポート実行] を選択します。
   データがインポートされると、コンテンツ更新スケジュールジョブ *`EAM - Apply latest content changes`* がトリガーされ、コンテンツ更新が処理されます。
6. コンテンツをエクスポートして、完全に正規化されていないカスタムデータまたはエンタープライズモデルを ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [コンテンツサービスオプトイン:エンタープライズ正規化コンテンツのエクスポート] を選択します。

b. ServiceNowコンテンツサービスとのデータ共有をまだオプトインしていない場合は、オプトインを選択し、[エンタープライズライブラリの管理] ページを更新します。
オプトインの詳細については、「 エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン」を参照してください。

c. [エクスポートの実行] を選択します。

d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
zip ファイルが作成され、[エンタープライズライブラリーの管理] ページの上部に表示されます。エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

e. この zip ファイルをダウンロードして、 ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

カスタムエンタープライズモデルタイプを作成

エンタープライズ資産管理コンテンツサービスにまだ表示されていないエンタープライズモデルタイプがある場合は、カスタムモデルタイプを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズモデルタイプ] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	エンタープライズモデルタイプの表示名。
UNSPSC 商品 ID	モデルタイプの国連標準製品とサービスのコード。
説明	エンタープライズモデルタイプの詳細な説明。
[Active (アクティブ)]	モデルがアクティブであることを示します。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
モデルタイプが作成されたら、モデルタイプを正規化します。

カスタムエンタープライズモデルライブラリを作成

エンタープライズ資産管理 Content Service にまだ表示されていないエンタープライズモデルライブラリがある場合は、カスタムモデルライブラリを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズモデルライブラリ] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデル番号	モデルに番号を割り当てます。
モデル名	モデルの名前。
説明	モデルの詳細な説明。
[Active (アクティブ)]	モデルがアクティブであることを示します。
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、モデルライブラリの詳細が エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに転送されないようにするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
モデルライブラリが作成されたら、モデルライブラリを正規化します。

カスタムエンタープライズ製品モデルの作成

エンタープライズ資産管理コンテンツサービスにまだ表示されていない製品モデルがある場合は、カスタム製品モデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズ製品モデル **(Custom enterprise product models)**] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデル名	エンタープライズ製品モデルの名前。
メーカー	エンタープライズ製品モデルのメーカーの名前。
モデルタイプ	モデルタイプ。
説明	製品モデルの詳細な説明。
[Active (アクティブ)]	モデルがアクティブであることを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、製品モデルの詳細がエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに転送されないようにするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   製品モデルが作成されたら、製品モデルを正規化します。

正規化を元に戻す

エンタープライズ資産ワークスペースでエンタープライズモデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
ステータスが [完全正規化済み]、[一部正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [手動で正規化済み] のエンタープライズモデルは元に戻すことができます。モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. 既に正規化されているエンタープライズモデルレコードを開きます。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
4. 確認メッセージ ボックスで **[OK**] を選択します。

   正規化を元に戻すプロセスが完了すると、次の変更が行われます。
   - フィールドは元の値にリセットされ、Enterprise モデルに関連付けられたルールはすべて非アクティブ化されます。
   - ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すが実行されます。
   - 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールを再アクティブ化することはできません。これは 1 回限りの手順です。
   - モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションは、[正規化] オプションに置き換えられます。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のファームウェアの正規化

OT 資産に組み込まれているファームウェアのパブリッシャー、製品、およびバージョンを標準化するには、関連するファームウェアディスカバリーモデルの対応するデータを正規化する必要があります。この情報を標準化することで、ファームウェアをより正確かつ効率的に追跡および管理できます。

注:
この情報は、 OT 資産管理 アプリケーションでのみ標準化することができます。アプリケーションの詳細については、 OT 資産管理 を参照してください。

この情報の標準化を開始するには、 ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールを使用して、OT 資産の展開全体ですべてのファームウェアインストールを検出する必要があります。検出された各ファームウェアのインストールは、対応するファームウェアディスカ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

バリーモデルに関連付けられており、検出されたファームウェアパブリッシャー、検出されたファームウェア製品、および検出されたファームウェアバージョンに関する情報を提供します。ディスカバリープロセスが完了すると、関連するファームウェアディスカバリーモデルで正規化が実行され、検出されたファームウェアパブリッシャー、検出されたファームウェア製品、および検出されたファームウェアバージョンが、 エンタープライズ資産管理 コンテンツライブラリ内の正規化された同等のものと照合されます。検出された各ファームウェアのインストールは、関連付けられたファームウェアディスカバリーモデルに最も一致する正規化されたファームウェアパブリッシャー、ファームウェア製品、およびファームウェアバージョンを含むファームウェアモデルで更新されます。

特定の国連標準製品とサービスコード (UNSPSC) ファームウェア分類、ファームウェア製品、ファームウェア バージョン、または顧客宅内機器 (CPE) ファームウェア マッピングが エンタープライズ資産管理 コンテンツライブラリ で使用できない場合は、カスタム UNSPSC ファームウェア分類、カスタム ファームウェア製品、カスタム ファームウェア バージョン、またはカスタム CPE ファームウェア マッピングを作成できます。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のファームウェアのコンテンツデータのインポートとエクスポート

オンプレミスの OT 資産に埋め込まれているファームウェアのコンテンツデータをインポートおよびエクスポートします。このデータを コンテンツサービス チームと共有することで、正規化プロセスの改善に役立てることができます。

始める前に

重要:
このファームウェアコンテンツデータは、OT 資産ワークスペースでのみインポートおよびエクスポートできます。OT 資産ワークスペースを使用するには、ServiceNow インスタンスに OT 資産管理 アプリケーションをインストールします。詳細な手順については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

重要:
このファームウェアコンテンツデータをインポートおよびエクスポートするには、ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.onprem_content_import_export* システムプロパティを true に設定します。さらに、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービス にオプトインし、カスタムファームウェアモデル KPI が有効になっていることを確認します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **OT** 資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. ファームウェアコンテンツデータを ServiceNow インスタンスにインポートします。
   a. アドミンセンタービューのナビゲーションメニューから、 ライブラリを管理 > ファームウェアコンテンツのインポート.
   b. [インポート] ページのサイドバーにある [添付ファイル] アイコン ( )を選択します。
   c. [添付ファイル] ウィンドウで、[ファイルを選択] を選択します。
   d. プロンプトが表示されたら、ファームウェアコンテンツデータを含む zip ファイルを検索して選択します。
   e. [ファイルのアップロード] ダイアログ ボックスで、[アップロード] を選択します。
   f. ダイアログボックスが閉じたら、[インポート] ページで [インポートを実行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツデータが正常にインポートされると、 OT 資産管理 アプリケーションは *EAM - Apply latest content changes* スケジュール済みジョブを自動的にトリガーして、対応するコンテンツ更新を処理します。これを使用してファームウェアを正規化できます。

3. ServiceNowインスタンスからファームウェアコンテンツデータをエクスポートします。
ファームウェアコンテンツデータをエクスポートすることで、カスタムまたは部分的に正規化されたファームウェアを コンテンツサービス チームと共有できます。さらに、ファームウェアバージョン、ファームウェアモデル、およびファームウェアライフサイクルのデータを共有することもできます。

   a. アドミンセンタービューのナビゲーションメニューから、 ライブラリを管理 > ファームウェアコンテンツのエクスポート.

   b. [エクスポートの実行] を選択します。
   OT 資産管理 アプリケーションは、すべてのファームウェアコンテンツデータを 1 つの zip ファイルに圧縮します。zip ファイルをダウンロードする準備ができると、ページが自動的に再ロードされます。

   c. [エクスポート] ページのサイドバーにある [添付ファイル] アイコン (を選択します。

   d. [添付ファイル] ウィンドウで、ダウンロードする zip ファイルの [アクション] アイコン (を選択します。

   e. zip ファイルをダウンロードして、 コンテンツサービス チームに送信します。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のファームウェアのカスタム国連標準製品とサービスコード **(UNSPSC)** 分類を作成します

OT 資産に埋め込まれているファームウェアの UNSPSC 分類がまだエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに表示されていない場合カスタムの UNSPSC 分類を作成します。

始める前に

重要:
カスタム UNSPSC 分類は OT 資産ワークスペースを使用してのみ作成できます 。OT 資産ワークスペースを使用するには、ServiceNow インスタンスに OT 資産管理 アプリケーションをインストールします。詳細な手順については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

UNSPSCは、製品とサービスを分類するためのグローバルなマルチセクター標準です。これには、ニーズに関連するグループ化レベルで製品とサービスを分類できる 5 レベルの階層コードセットが含まれています。UNSPSC を使用して、産業用およびハードウェアベースの OT 資産に組み込まれているファームウェアを分類できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **OT** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムファームウェア **UNSPSC**] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいカスタム **UNSPSC** ファームウェア分類フォームの作成

フィールド	説明
UNSPSC 商品 ID	OT 資産に埋め込まれているファームウェアを識別する 8 桁の数値コード。
UNSPSC タイトル	UNSPSC 分類のタイトル。
UNSPSC の説明	UNSPSC 分類の説明。
[Active (アクティブ)]	UNSPSC 分類がアクティブかどうかを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	UNSPSC 分類が エンタープライズ資産管理 コンテンツサービス と共有されないようにするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のカスタムファームウェア製品の作成

OT 資産に埋め込まれているファームウェア製品が既にエンタープライズ資産管理 コンテンツサービス表されていない場合はカスタムファームウェア製品を作成します。

始める前に

重要:
カスタムファームウェア製品は OT 資産ワークスペースを使用してのみ作成できます 。OT 資産ワークスペースを使用するには、ServiceNow インスタンスに OT 資産管理 アプリケーションをインストールします。詳細な手順については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **OT** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムファームウェア製品] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新規カスタムファームウェア製品フォームの作成

フィールド	説明
メーカー	ファームウェア製品のメーカー。
製品	ファームウェア製品の名前。
UNSPSC 分類	ファームウェア製品を識別する 8 桁の数値コード。
説明	ファームウェア製品の説明。
[Active (アクティブ)]	ファームウェア製品がアクティブかどうかを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	ファームウェア製品を エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスとの共有から除外するオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
カスタムファームウェア製品が作成されます。既存のファームウェアの発行元がカスタム ファームウェア製品と同じ製造元を使用している場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはそのファームウェアの発行元をカスタム ファームウェア製品に自動的に関連付けられます。それ以外の場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、カスタム ファームウェア製品に関連付けるカスタム ファームウェア パブリッシャーを作成します。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のカスタムファームウェアバージョンの作成

OT 資産に埋め込まれているファームウェアのバージョンがエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにまだ表されていない場合はカスタムファームウェアバージョンを作成します。

始める前に

重要:
カスタムファームウェアバージョンは、 OT 資産ワークスペース 使用してのみ作成できます。OT 資産ワークスペースを使用するには、ServiceNow インスタンスに OT 資産管理 アプリケーションをインストールします。詳細な手順については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **OT** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムファームウェアバージョン] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規カスタムファームウェア製品バージョンを作成 **(Create New Custom firmware product version)]** フォーム

フィールド	説明
バージョン	ファームウェアバージョン。
製品	ファームウェアバージョンが適用されるファームウェア製品。
次のバージョンが利用可能	次のファームウェアバージョンが現在利用可能かどうかを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	ファームウェアバージョンがアクティブかどうかを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	ファームウェアバージョンが エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスと共有されないようにするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産のファームウェアのカスタム共通プラットフォーム一覧 **(CPE)** マッピングを作成します

OT 資産に埋め込まれているファームウェアの CPE マッピングエンタープライズ資産管理 コンテンツサービス にまだ表されていない場合は、カスタム CPE マッピングを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:
カスタム CPE マッピング は OT 資産ワークスペースを使用 使用してのみ作成できます。OT 資産ワークスペースを使用するには、ServiceNow インスタンスに OT 資産管理 アプリケーションをインストールします。詳細な手順については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
CPE は、情報技術 (IT) システム、ソフトウェア、およびパッケージを脆弱性情報データベース (NVD) 内の対応する脆弱性管理データにマッピングできるようにする標準化された命名スキームです。これらのマッピングを使用して、IT インフラストラクチャ全体の潜在的な脆弱性を特定して軽減できます。すべての正式な CPE 名は、米国国立標準技術研究所 (NIST) がホストおよび管理する CPE 製品辞書に記載されています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **OT** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムファームウェア **CPE**] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しいカスタムファームウェア **CPE** マッピングの作成フォーム

フィールド	説明
ファームウェア製品	NVD の脆弱性管理データにマッピングするファームウェア製品。
ファームウェアバージョン	NVD の脆弱性管理データにマッピングするファームウェア製品のバージョン。
CPE パブリッシャー	CPE 製品ディクショナリにリストされているファームウェア製品のパブリッシャー。
CPE 製品	CPE 製品ディクショナリにリストされているファームウェア製品の名前。
CPE バージョン	CPE 製品ディクショナリにリストされているファームウェア製品のバージョン。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産で検出されたファームウェアモデルの表示

ディスカバリー ツールが オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産で検出したすべてのファームウェアモデルの詳細を取得します。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
検出されたファームウェアモデル [sn_ent_discov_firmware_model] テーブルには、OT 資産で検出されたファームウェアモデルの詳細が保存されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [検出されたファームウェア] タブを選択します。
   検出されたすべてのインストール済みファームウェアモデルのリストが、次の詳細とともに表示されます。
   - 検出されたメーカー:ファームウェアのメーカーの名前。
   - 検出されたモデル:OT 資産で検出されたファームウェアモデル。
   - 検出されたモデル番号:検出されたファームウェアモデルのモデル番号。
   - 検出されたバージョン:検出されたファームウェアモデルのバージョン番号。
   - 正規化ステータス:検出されたファームウェアモデルの正規化のステータス。このフィールドには、次のいずれかの値を指定できます。
     - 新規:検出されたファームウェアモデルはまだ正規化プロセスを実行していません。
     - 一致項目が見つかりませんでした:正規化プロセスは、検出されたファームウェアモデルのどのフィールドとも一致しませんでした。このステータスは、ファームウェアモデルの正規化ルールが存在しない場合にも発生する可能性があります。
     - 手動で正規化済み:ファームウェアモデルは手動で正規化されます。
     - 正規化済み:検出されたファームウェアモデルはバックグラウンドジョブ によって正規化され、ファームウェアモデル [sn_ent_firmware_model] テーブルにファームウェアモデルが作成されます。ファームウェアモデルは、パブリッシャー、製品、モデル、モデル番号、およびバージョンが利用可能な場合にのみ正規化されます。
     - 一部正規化済み:正規化プロセスは、少なくとも製品の値と一致する可能性があります。
     - 正規化されたパブリッシャー:正規化プロセスはパブリッシャーの値とのみ一致しました。
   - 正規化されたファームウェアモデル:検出されたファームウェアモデルが正規化された後に作成されたファームウェアモデル。

     重要:
     ファームウェアモデルは、検出されたファームウェアモデルが正規化されているか、製品とバージョンの詳細を指定して手動で正規化されている場合にのみ作成されます。

   - 更新日時:検出されたファームウェアモデルが最後に更新された日時。
3. 詳細を表示するレコードを選択します。
   フォームの [詳細] セクションと [正規化] セクションに、検出されたファームウェアモデルに関連する情報が表示されます。

オペレーショナルテクノロジー **(OT)** 資産に組み込まれているファームウェアのファームウェアモデルを作成します

OT 資産に組み込まれているファームウェアのファームウェアモデルがまだ エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに表示されていない場合は、そのモデルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、 OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

ファームウェア製品とファームウェアバージョンの詳細は、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスで確認できます。そうでない場合は、ファームウェアモデルのファームウェア製品とファームウェアバージョンを作成することもできます。詳細については、「オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェア製品の作成」と「オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェアバージョンの作成」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [ファームウェア] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規ファームウェアモデルの作成 **(Create New Firmware model)]** フォーム

フィールド	説明
表示名	ファームウェアモデルの名前。このフィールドには、[公開者]、[製品]、および [バージョン] フィールドに基づく値が自動的に入力されます。
パブリッシャー	ファームウェアモデルのメーカー。
製品	ファームウェア製品の名前。このフィールドは必須です。
バージョン	ファームウェアのバージョン。このフィールドは必須です。
次のバージョンが利用可能	次のファームウェアバージョンが利用可能かどうかを示すオプション。
手動作成	ファームウェアバージョンを手動で作成することを示すオプション。チェックボックスは自動的にオンになります。

5. **[Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

- ファームウェアモデルが作成され、[ファームウェア] タブに一覧表示されます。
- ファームウェアモデルレコードには、次の関連リストが表示されます。
  - 検出されたファームウェア
  - ファームウェアのインストール
  - ファームウェアモデルのライフサイクル
  - ナレッジ
- ファームウェアモデルに関連付けられたライフサイクルフェーズは、そのファームウェアバージョンにファームウェアライフサイクル定義 [sn_itam_firmware_lifecycle_def] テーブルで定義されたライフサイクルがある場合にのみ 、[ファームウェアモデルライフサイクル] タブに一覧表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産に組み込まれたファームウェアを手動で正規化する

検出されたファームウェアモデルを手動で正規化することで、OT 資産に組み込まれているファームウェアのパブリッシャー、製品、バージョンの詳細を標準化します。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、 OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

正規化する検出されたファームウェアモデルのファームウェア製品とファームウェアバージョンの詳細が、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスで利用可能である必要があります。そうでない場合は、ファームウェアモデルのファームウェア製品とファームウェアバージョンを作成することもできます。詳細については、「オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェア製品の作成」と「オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産のカスタムファームウェアバージョンの作成」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [検出されたファームウェア] タブを選択します。
3. 正規化する検出されたファームウェアモデルを選択します。
4. フォームの [正規化] セクションに詳細を入力します。

[正規化] セクション

フィールド	説明
正規化済みパブリッシャー	ファームウェアメーカーの名前。
正規化された製品	ファームウェア製品の名前。
正規化されたバージョン	検出されたファームウェアのバージョン。
コンテンツサービスから除外	ファームウェアモデルの詳細が エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスと共有されないようにするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

[正規化] ステータスが [手動で正規化] に変わります。

ファームウェアモデルの正規化を元に戻す

OT 資産ワークスペースのファームウェアモデルの正規化を元に戻します。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、 OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
正規化ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、[正規化済みパブリッシャー]、または [手動で正規化済み] のファームウェアモデルの正規化は元に戻すことができます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [検出されたファームウェア] タブを選択します。
3. 正規化を元に戻す正規化された検出済みファームウェアモデルを選択します。
4. [正規化を元に戻す] を選択します。

タスクの結果
正規化を元に戻すプロセスが完了すると、次の変更が行われます。

- ファームウェアモデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが「一致項目は見つかりませんでした」に変わります。
- ファームウェアモデルに関連付けられた正規化ルールが無効になります。非アクティブ化されたルールは、それ以上ファームウェアモデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールを再アクティブ化することはできません。これは 1 回限りの手順です。
- 正規化ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すが実行されます。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションは、[正規化] オプションに置き換えられます。

ファームウェアモデルのナレッジ記事の作成

役に立つ関連ナレッジ記事を OT 資産ワークスペースのファームウェアモデルに添付します。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、 OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [ファームウェア] タブを選択します。
3. ナレッジ記事を添付するファームウェアモデルを選択します。
4. [ナレッジ] タブを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. [新規ナレッジを作成] フォームで、[ナレッジ] フィールドに追加するナレッジ記事を選択します。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

のナレッジ記事の作成 エンタープライズ資産管理

Knowledge Management

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファームウェアモデルの ライフサイクル 定義を作成します

OT 資産ワークスペースにライフサイクル情報を追加して、ファームウェアモデルの完全なライフサイクルを管理します。

始める前に

重要:
OT 資産ワークスペースにアクセスするには、 OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化する必要があります。詳細については、「OT 資産管理 のインストール」を参照してください。

必要なロール:sn_otam.ot_asset_manager

このタスクについて

注:
ファームウェアバージョンのライフサイクルフェーズが エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスで定義されている場合、そのファームウェアモデルレコードのライフサイクルフェーズの詳細が自動的に入力されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **OT** 資産ワークスペース > **OT** モデル管理.
2. [ファームウェア] タブを選択します。
3. ライフサイクルの詳細を追加するファームウェアモデルを選択します。
4. [ファームウェアモデルのライフサイクル] タブを選択します。
5. **[New** (新規)] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

新規ファームウェアモデルライフサイクルフォームの作成

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。このフィールドは読み取り専用です。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。使用可能な値： ○ 内部 **注:** 内部ライフサイクルタイプの場合、リバースプッシュ中にライフサイクル情報は ServiceNow インスタンスと共有されません。 ○ 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。使用可能な値： ○ 一般提供 ○ 販売終了 ○ サポート終了 ○ 拡張サポート終了 ○ サポート終了
ソース	ファームウェアモデルのソース。
Risk	ライフサイクルに関連付けられたリスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	ファームウェアモデルの説明。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。このフィールドは必須です。
フェーズ終了日	ライフサイクルフェーズの終了日。
ライフサイクルの現在のフェーズ	ファームウェアモデルの現在のライフサイクルであるかどうかを示すオプション。
[Active (アクティブ)]	ファームウェアモデルのライフサイクルがアクティブかどうかを示すオプション。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
ライフサイクルフェーズは、[ファームウェアモデルのライフサイクル] タブに一覧表示されます。

のナレッジ記事の作成 エンタープライズ資産管理

ナレッジベース内のナレッジ記事を作成および編集して、組織全体で情報を共有します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > 資産ナレッジベース.
2. 資産ナレッジベースページで 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、 Knowledge Management アプリケーションを参照してください
4. [保存] を選択して記事を作成します。

エンタープライズ資産管理でのインシデントの管理

インシデントマネージャーまたは itil ロールを持つユーザーは、エンタープライズ資産の IT インシデントを作成、更新、解決することで、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成します

エンタープライズ資産管理インシデントを作成

インシデントレコードを作成して、予想される エンタープライズ資産管理 運用標準からの逸脱を文書化します。

始める前に
必要なロール：itil

エンタープライズ資産管理インシデントレコードを作成するには、該当するすべてのインシデント管理プラグインをServiceNowインスタンスにインストールする必要があります。インシデント管理プラグインの完全なリストについては、「インシデント管理プラグイン」を参照してください。

このタスクについて
この手順では、ITIL エージェントがインシデントフォームに入力して エンタープライズ資産管理 インシデントを文書化および追跡する方法について説明します。インシデントの作成と管理の詳細については、「 インシデント管理 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. インシデントを作成します。
   インシデントが作成されると、インシデントリストに自動的にリダイレクトされます。
2. 利用可能なインシデントのリストから、前のステップで作成したインシデントを選択します。
3. インシデントレコードのフォームヘッダーで、[他のアクション] メニューアイコン (を選択し、 ビュー > エンタープライズ資産.
   このオプションでは、インシデントレコードを エンタープライズ資産管理 インシデントフォームビューに設定します。ビューには、 エンタープライズ資産管理に固有の追加フィールドが含まれています。
4. エンタープライズ資産管理インシデントフォームビューでフォームを再ロードした後、このインシデントの影響を受ける資産を指定します。

   a. [資産] フィールドで [リストから参照] アイコン (を選択します。

   b. [資産] ポップアップウィンドウで、このインシデントの影響を受ける資産を検索して選択します。
   ポップアップウィンドウが閉じ、自動的にインシデントフォームに戻ります。

   c. フォーム ヘッダーで、[他のアクション] メニュー アイコン (を選択し、[保存] を選択します。

   フォームを再ロードすると、選択した資産に基づいて、[構成アイテム] フィールドと [影響を受ける資産] 関連リストが自動的に更新されます。

   注:
   消耗資産を選択した場合、[構成アイテム] フィールドは空のままです。

   重要:
   マルチコンポーネント資産を選択した場合、[影響を受ける資産] 関連リストには親資産のみが表示されます。このインシデントの影響を受ける各子資産を手動で追加する必要があります。詳細については、 手順 5 を参照してください。

5. 前のステップでマルチコンポーネント資産を選択した場合は、このインシデントの影響を受ける子資産を指定します。

   a. [影響を受ける資産] 関連リストで、[編集] を選択します。

   b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、このインシデントの影響を受ける子資産を検索して選択します。

      注:
      デフォルトでは、[メンバーの編集] フォームは自動的に検索フィルターを実行して、コレクションリストに関連する子資産のみを表示します。

   c. [追加] アイコン (を選択して、選択した子資産を [影響を受ける資産] リストに移動します。

   d. このインシデントの影響を受ける子資産ごとに手順 b と c を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

e. [**Save** (保存)] をクリックする。

f. インシデントフォームに戻ったら、[更新] を選択します。

次のタスク
インシデントを解決してクローズします。

エンタープライズ資産管理インシデントを解決してクローズする

インシデントを解決してクローズできるように、 エンタープライズ資産管理 インシデントの影響を受ける資産に対してアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：itil

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インシデント > **All** (すべて).
2. 利用可能なインシデントのリストから、解決してクローズするインシデント エンタープライズ資産管理 を選択します。
3. インシデントの影響を受ける資産に対して実行するアクションを指定します。

a. [インシデント] フォームで、[影響を受ける資産] 関連リストを選択します。

b. 影響を受ける資産のリストから、アクションを実行する資産の [資産アクション] フィールドをダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、資産に対して実行するアクションを選択します。

d. [保存] アイコン (

e. 資産のスワップを選択した場合は、既存の資産のスワップに使用する資産を指定します。

i. 対応する [スワップされた資産] フィールドをダブルクリックします。

ii. プロンプトが表示されたら、[リストから参照] アイコン (を選択し、既存の資産をスワップする資産を検索して選択します。

iii. [保存] アイコン (

f. 消耗資産に対してアクションを実行する場合は、アクションを実行する利用可能な資産の数を指定します。
利用可能なすべての資産または利用可能な資産の一部に対してアクションを実行できます。

i. 対応する [消耗品の量] フィールドをダブルクリックします。

ii. プロンプトが表示されたら、アクションを実行する利用可能な資産の数を入力します。

iii. [保存] アイコン (

> **重要:**
> [消耗品の量] フィールドには、更新された値が自動的に表示されません。更新された値を表示するには、[影響を受ける資産] 関連リストを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 前のステップで指定したアクションに基づいて、影響を受ける資産に対して更新/修理、スワップ、廃止、またはアクションを実行しません。
5. 影響を受ける資産に対して必要なすべてのアクションの実行が完了したら、インシデントの解決方法の詳細を入力します。

   a. インシデントフォームに戻ります。

   b. [解決情報] タブで、フィールドに入力します。

[Resolution Information (解決情報)] タブ

フィールド	説明
ナレッジ	インシデントのクローズ時にナレッジ記事を自動的に作成するオプション。
解決コード	インシデントの解決方法を指定する解決カテゴリ。
解決メモ	インシデントの解決方法の説明。
解決者	インシデントを解決したユーザー。
解決済み	インシデントが解決された日時。

6. フォームヘッダーで [解決] を選択します。
   インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、[インシデント] リストに自動的にリダイレクトされます。資産に子資産があり、[資産] アクション ボックスに示されているように廃止ステータスであった場合、資産の種類に応じて子資産がリリースされます。

廃止ステータスの資産のタイプに基づく子資産のリリース

資産のタイプ	アクション
シンプル	何もしない
シンプル (アドオンあり)	すべての子資産が廃棄待ちステータスにリリースされます。
ユーザー組立	すべての子資産が廃棄待ちステータスにリリースされます。
ユーザー組立 (アドオンあり)	すべての子資産が廃棄待ちステータスにリリースされます。
事前に組立	何もしない
事前に組立 (アドオンあり)	すべてのアドオン資産が廃棄待ちステータスにリリースされます。

   インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、[インシデント] リストに自動的にリダイレクトされます。
7. 利用可能なインシデントのリストから、解決したインシデントを選択します。
8. フォームヘッダーで、[インシデントのクローズ] を選択します。
   インシデントがクローズされます。

エンタープライズ資産インベントリと契約の管理

エンタープライズ資産インベントリと契約を作成および管理します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズインベントリと契約の管理の概要

次のタスクを実行して、エンタープライズ資産インベントリと契約を作成および管理します。

タスク	必要なロール	リソース
倉庫の作成と表示		• エンタープライズ資産の倉庫を作成 • での倉庫の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース
ストックルーム内の資産集荷を管理する		エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産のピッキングを管理する
エンタープライズ資産インベントリの監査		エンタープライズ資産インベントリの監査
廃棄注文または転送注文を作成する		• Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成 • Enterprise 資産ワークスペースでの転送注文の作成
貸与資産の要求		Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求
欠陥のある資産の RMA を要求する		欠陥のあるエンタープライズ資産に対する返品許可 (RMA) の要求
取り消されたエンタープライズ資産の管理		取り消されたエンタープライズ資産の管理
エンタープライズ資産回収要求をクローズする		エンタープライズ資産回収要求をクローズする
欠陥資産の修理の管理		のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース
リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する		リースされたエンタープライズ資産の契約の作成
期限切れ間近の契約の管理		リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約の管理

- ストックルームを作成してストックルームに資産をアサインする
- カスタム在庫ルールを作成して、倉庫を資産で自動的に補充する
- ある場所から別の場所に資産を転送する転送注文を作成します。
- ライフサイクルの終わりに達した資産または機能しなくなった資産の廃棄注文を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストックルームを作成して、資産をストックルームにアサインします。

エンタープライズ資産インベントリの作成と管理

インベントリを効率的に管理することで、エンタープライズ資産を追跡します。

リース、保険、メンテナンス、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約など、エンタープライズ資産のさまざまなタイプの契約を作成できます。

契約は、2 人以上の当事者間の相互義務を定義する法的拘束力のある合意です。これらの義務には、契約の開始日と終了日、契約条件、更新情報、金銭的条件、対象となるユーザーまたは資産が含まれます。

エンタープライズ資産の保険契約、メンテナンス契約、保証契約、購入契約、機密保持契約、契約条件、およびサービス契約を作成する方法の詳細については、「 契約を作成する」を参照してください。 リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する方法の詳細については、「 リースされたエンタープライズ資産の契約の作成」を参照してください。

エンタープライズ資産の倉庫を作成

エンタープライズ資産管理アプリケーションでストックルームを作成し、そこに資産を割り当てます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > すべての倉庫.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいストックルームを作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルームの表示名と識別子。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。
管理者	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。
場所	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	ストックルームのタイプ。次のオプションから選択します。 ○ 中央倉庫 ○ フィールド エージェント ○ FSL ○ 現地 ○ PUDO ○ 倉庫
業務時間	ストックルームの営業時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	ストックルームの説明。
流通チャネルから除外	すべてのストックルーム流通チャネルからストックルームを除外するオプション。これにより、ストックルームがリンクされ、資産の調達と転送がより効率的になります。
サービスの場所から除外	作業指示書または作業指示書タスクを完了するすべてのサービス場所からストックルームを除外するオプション。
外部	この倉庫が内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しく作成されたストックルームが [すべてのストックルーム] タブに表示されます。

のストックルームに流通チャネルを追加する エンタープライズ資産ワークスペース

流通チャネルをストックルームに追加して、そのストックルームを他の地理的に関連するストックルームにリンクできるようにします。ストックルームをリンクすることで、それらのストックルーム間での資産の調達と転送を効率的に行うことができます。リンクされた各ストックルームにランクをアサインして、資産を調達して転送できるストックルームの順序を指定することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブで、流通チャネルを追加する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルームレコードの [流通チャネル] タブで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい倉庫流通チャネルの作成フォーム

フィールド	説明
チャネル倉庫	流通チャネルの一部としてリンクする倉庫。
ランク	リンクするストックルームのランク。流通チャネルに複数のリンクされたストックルームが含まれている場合、このランクは、資産を調達して転送できるリンクされたストックルームの順序に直接対応します。1 や 5 などの数値を入力します。数値が小さいほど、リンクされたストックルームのオーダー内でストックルームが高くなります。
[Active (アクティブ)]	リンクされたストックルームが流通チャネル内でアクティブかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. 流通チャネルの一部としてリンクする各倉庫について、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

Enterprise 資産ワークスペースのストックルームにサービスの場所を追加する

ストックルームにサービスの場所を追加して、地理的に離れた複数の場所で資産を調達、展開、廃止できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
デフォルトでは、指定されたストックルームの場所内でのみ、ストックルームの資産を調達、展開、および廃止できます。ストックルームにサービスの場所を追加することで、さまざまな場所でその資産を調達、展開、廃止できます。

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブで、サービスの場所を追加する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルーム レコードの [サービスの場所] タブで、[追加] を選択します。
   [サービスの場所を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、ストックルームに追加するすべてのサービス場所のチェックボックスをオンにします。
5. [**Add**] を選択します。

での倉庫の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームレコードを使用して、エンタープライズ、ハードウェア、消耗品、バンドル、貸与、およびその他の資産が存在するストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
次のストックルームレコードタブは、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化している場合にのみ使用できます。

- ハードウェア
- バンドル
- ソフトウェアライセンス
- その他の資産
- ハードウェア貸与プール
- ハードウェア資産監査

アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterptrise_asset_manager、または enterprise_asset_technician

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 利用可能な倉庫のリストから、追加の詳細を表示する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
4. ストックルームレコードタブを使用して、ストックルームに関する追加の詳細を表示します。

倉庫レコードタブ

タブ	説明
詳細	オープンなストックルームタスクや一般的なストックルームの詳細など、ストックルームの詳細な概要を取得します。 オープンストックルームタスクカードには、ストックルームに関連付けられているすべてのオープン中の注文、監査、および要求が表示されます。カードを選択すると、対応する注文、監査、または要求レコードのリストが表示されます。オープンな ハードウェア資産管理 注文、監査、または要求のカードを選択すると、ハードウェア資産ワークスペースでリストが開きます。 さらに、インタラクティブマップを使用して、指定された倉庫の住所に基づいて倉庫の場所を表示します。マップを展開すると、サポートされているすべてのサービスの場所と、ストックルーム流通チャネルの一部としてリンクされているすべてのストックルームが表示されます。
タスクタイムライン	すべてのストックルームタスクのタイムラインを表示します。各ストックルームタスクは、作成日、予定日、開始日または返却日、または出荷日のいずれかに基づいてタイムラインに追加されます。タスクを選択して、対応するタスクレコードを開きます。ハードウェア資産管理タスクを選択すると、レコードがハードウェア資産ワークスペースで開きます。 タブの右上隅にあるタイムライン形式フィルターを使用して、タイムラインを表示する形式と期間を変更します。タイムラインは、カレンダー形式またはタイムライン形式で表示できます。カレンダー形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。 ○ 日 ○ 作業週 ○ 週 ○ 月 タイムライン形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。 ○ 日 ○ 週 ○ **4** 週間
Hardware (ハードウェア)	ストックルームに存在するハードウェア資産を作成および表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ハードウェア資産を作成している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。
企業資産	ストックルームにあるエンタープライズ資産を作成および表示します。
消耗品	ストックルームに存在する消耗資産を作成および表示します。
バンドル **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームに存在するアセットバンドルを作成および表示します。 アセットバンドルを作成している場合、または既存のアセットバンドルを選択している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
パレット	ストックルームにあるパレット資産を作成および表示します。
ソフトウェアライセンス **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるソフトウェア ライセンスを作成および表示します。 ソフトウェアライセンスを作成する場合、または既存のソフトウェアライセンスを選択する場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
その他の資産 **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームに存在する他のすべてのタイプの資産を作成および表示します。 資産を作成する場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
ハードウェア貸与プール 注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームに存在するすべてのハードウェア貸与資産を表示します。 貸与資産を選択すると、ハードウェア資産ワークスペースの対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。
エンタープライズ貸与プール	ストックルームに存在するすべてのエンタープライズ貸与資産を表示します。
サービスの場所	ストックルームでサポートされているすべてのサービスの場所を表示します。
流通チャネル	エンタープライズ資産を調達して転送できるすべてのリンクされたストックルームのリストとランキングを作成および表示します。流通チャネルの詳細については、「 のストックルームに流通チャネルを追加する エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
ハードウェア資産監査 注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ハードウェア資産インベントリの監査を作成および表示します。 監査を作成している場合、または既存の監査を選択している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
エンタープライズ資産の監査	エンタープライズ資産インベントリの監査を作成および表示します。

5. ストックルームに設定されているアクティブな在庫ルールをすべて表示します。

   a. ストックルームレコードのサイドバーから、[在庫ルール] アイコン (

   b. 各在庫ルールを表示して、利用可能な在庫が指定されたしきい値内にあるかどうかを判断します。
   対応するモデルが販売終了に達したかどうかを判断することもできます。

エンタープライズ資産の新しい在庫ルールを作成

ベースシステムの在庫ルールがニーズを満たさない場合は、カスタム在庫ルールを作成して、ストックルームに資産を自動的に補充することができます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
在庫ルールは、特定のストックルーム内の特定の資産のインベントリが指定されたしきい値に達したときの動作を制御します。資産が指定された数量を下回ると、在庫ルールによってエンタープライズ在庫注文要求が自動的に作成されます。エンタープライズ在庫注文要求が作成されると、エンタープライズマネージャーはそのオーダーを調達して受領するプロセスを実行します。

しきい値制限に達したエンタープライズモデルに対して在庫ルールが作成されると、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫注文要求が自動的に作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 在庫ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新規在庫ルールを作成] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

モデル	ルールが適用される製品モデル。
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストックルーム内のインベントリ数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 **注:** しきい値制限に達したエンタープライズモデルに対して在庫ルールが作成されると、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫注文要求が自動的に作成されます。
補充オプション	追加供給が来るべき場所。 調達がアクティブでない場合、再補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。 ○ ストックルーム：他のストックルームから資産を取得するための転送注文を作成します。 ○ ベンダー：ベンダーに注文するため倉庫アドミニストレーターにメールを送信します。メール通知に加えて、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。
倉庫	資産の現在の物理的な場所。
注文サイズ	倉庫への転送またはベンダー購入の最小注文数量。ServiceNow では、しきい値を超えてアイテムを補充するために必要な注文サイズの最小倍数を計算します。たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送注文を作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	ダーから補充する場合は、注文サイズの倍数として、注文するアイテムの合計数を示すメールが倉庫マネージャーに送信されます。
[Active (アクティブ)]	この在庫ルールが有効かどうか (チェック ボックスが選択されているかどうか) 。このチェック ボックスを未選択にすると、在庫ルールによる自動再補充が行われなくなります。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しく作成された在庫ルールが [在庫ルール] タブに表示されます。

エンタープライズ資産のストックルーム タイプを作成する

ベースシステムのストックルーム タイプがニーズを満たさない場合は、Enterprise 資産ワークスペースでカスタム ストックルーム タイプを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。ストックルーム タイプの詳細については、 ストックルーム タイプを参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 倉庫タイプ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
Value (値)	ストックルーム タイプの内部識別子です。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
外部倉庫	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しく作成されたストックルーム タイプが [ストックルーム タイプ] タブに表示されます。

エンタープライズ資産インベントリの監査

エンタープライズ資産インベントリを監査して、資産がどこにあり、現在のステータスを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
モバイルエージェント のアプリケーション エンタープライズ資産管理を使用して資産タグをスキャンするか、手動で入力することができます。資産がスキャンされても、その資産タグがデータベースに存在しない場合、デフォルトでは、その資産は不明なモデルレコードにマッピングされます。不明なモデルレコードは、エンタープライズ資産ワークスペースの [モデル管理] ビューの [すべてのエンタープライズモデル] タブに表示されます。資産マネージャーは、この資産を適切なモデルに手動で関連付けます。不明なモデルを変更、更新、削除することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 資産監査.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタープライズ資産監査の作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

エンタープライズ資産監査

フィールド	説明
監査番号	監査参照番号。
Assigned to (アサイン先)	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値は次のとおりです ○ 場所 ○ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
場所 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する場所。
子所在地を含む 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	監査に子の場所を含めるオプション。
倉庫 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [ストックルーム] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する倉庫。
予定日	監査を実行する日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スキャン日	資産をスキャンする日付。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   資産監査インベントリレコードが作成され、[予定資産] タブと [スキャン済み資産] タブが表示されます。[監査結果] セクションが有効になり、監査が完了すると監査結果の詳細が表示されます。

監査結果

想定通り	スキャンされた予定資産の数。
想定外 (場所修正済み)	スキャンされたが想定されていなかった資産の数。
欠損	スキャンされなかった予定資産の数。
新規	スキャンされたが、 ServiceNow インスタンスにレコードがない資産の数。

Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成

ライフサイクルの終わりに達した資産または機能しなくなった資産の廃棄注文を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エンタープライズモデル またはパレット モデルに関連付けられている資産のみを、エンタープライズ廃棄注文を使用して廃棄できます。 単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。および子を持つパレット資産をエンタープライズ廃棄注文に追加します。

注:
マルチコンポーネント資産または子を持つパレット資産を廃棄指示に追加する場合、親資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

フローデザイナーアプリケーションを使用して廃棄フローを作成し、資産廃棄注文プロセス全体を実行します。

廃棄注文は、完了までにさまざまなステージを経ます。各ステージは廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージを移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを終了します。最後のタスクを完了すると、廃棄注文は完了です。廃棄注文のステージの詳細については、「廃棄注文のステージ」を参照してください。

注:
廃棄注文は、ワークフローの輸送ステージに達するまでキャンセルできます。廃棄注文が確認ステージに入ると、その注文をキャンセルすることはできません。ドラフト、スケジューリング、または輸送ステージにあるタスクをキャンセルするには、[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択してタスクをクローズします。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 廃棄注文.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタープライズ廃棄注文を作成] ページが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
[Number (番号)]	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産の廃棄元の倉庫。
場所	資産が廃棄されるストックルームの場所。ストックルームを選択すると、場所が自動的に表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに関連付けられている場所がない場合、ストックルームフィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所の倉庫リストから倉庫を選択できます。
Assigned to (アサイン先)	資産の廃棄担当者。
ステージ	廃棄注文の現在のステージ。
ベンダー	資産の廃棄先のベンダー。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   新しい廃棄注文が作成され、廃棄注文ワークフローがトリガーされます。
5. [ピックアップの詳細] フォームで、フィールドに入力します。

ピックアップの詳細フォーム

フィールド	説明
予定日	資産を廃棄する日付。
集荷連絡先	廃棄する資産をピックアップするベンダーのユーザーの名前。
集荷の詳細	ピックアップの詳細。
追加情報	追加する任意のメッセージ。

6. [廃棄可能資産] タブを開きます。
7. [追加] を選択して、破棄する資産を選択します。
8. 廃棄する資産を選択し、[追加] を選択します。
   非ターミナルステータスの資産のみがリストに表示されます。非ターミナルステータスとは、資産が別のステータスに移行できるステータスのことです。
   [エンタープライズ廃棄タスク] タブに、[資産の検証] タスクが作成されます。
9. [エンタープライズ廃棄タスク] タブを開き、[資産の検証] タスクを選択します。
10. [エンタープライズ廃棄タスク] ページで、廃棄する資産を選択し、[検証] を選択します。
    資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
11. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [資産の検証] タスクを完了してクローズした後は、他の資産を廃棄注文に追加することはできません。

ドラフトステージが完了し、スケジュールステージが進行中です。ワークフローの次のタスクである [集荷のスケジュール] が自動的に作成され、[エンタープライズ廃棄タスク] タブに表示されます。

12. [集荷のスケジュール] タスクを選択し、[ベンダー] フィールドと [予定日] フィールドに必要な値を入力します。
13. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [輸送] に変わり、資産の切り離しタスクが作成されます。
14. 資産の出発タスクを選択し、[ベンダー注文 **ID**] フィールドと [ピックアップ連絡先名] フィールドに必要な値を入力します。
15. 廃棄する資産を選択し、[選択した行のアクション] ピッカーで [切り離す] を選択します。
    資産のステータスが [輸送中] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
16. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
17. 仕入先確認タスクを選択し、 タスクのクローズ を選択します。
    ステージがドキュメントに変わり、廃棄ドキュメントタスクが作成されます。
18. 廃棄ドキュメントタスクを選択し、次の操作を行います。

    a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。

    b. 廃棄する資産を選択します。

    > **注:**
    > 廃棄注文にマルチコンポーネント資産または子を持つパレット資産が含まれている場合、このタスクに到達すると、それらの資産内の親子関係は適用されなくなります。親資産に加えた変更は、その子資産に自動的に適用されなくなります。親資産か子資産かに関係なく、廃棄する各資産を個別に選択する必要があります。

    c. [廃棄] を選択します。
    資産のステータスが [廃止] に変更され、サブステータスが [廃棄済み] に変更されます。

    d. [廃棄証明書] リストで、[はい] を選択します。

19. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    すべてのエンタープライズ廃棄タスクが完了し、エンタープライズ廃棄注文ステージが [完了] に変更されます。

Enterprise 資産ワークスペースでの転送注文の作成

ある場所から別の場所に資産を転送する転送注文を エンタープライズ資産管理 で作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 転送注文.
2. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[新規転送注文を作成] ページが開きます。

3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
[Number (番号)]	転送注文の番号
ステージ	転送注文の現在のステージ
配送元の倉庫	資産の出荷元の倉庫。
配送先の倉庫	資産が配送されるストックルーム。
移動元の場所	資産の配送元のストックルームの場所。
移動先の場所	資産が配送されるストックルームの場所。
要求日	転送注文が作成された日付。
配送期日	
納品	

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
転送注文が作成され、[転送注文ライン] タブが表示されます。転送注文ラインを作成して、転送注文を構成する品目を指定できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースでの転送注文ラインの作成

エンタープライズ資産管理で転送注文ラインを作成して、転送注文を構成するアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
転送注文には、1 件以上の転送注文 ラインを含めることができます。1 つの転送注文で、すべての転送注文 ラインの 配送元場所 と 移動先場所が同じになります。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは、資産名とモデル名で識別されます。転送注文 ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースの転送注文に移動します。
2. 転送注文で、[転送注文ライン] タブを選択します
[転送注文ライン] ページが表示されます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	転送注文ラインを識別する内部個別番号
転送注文	転送注文ラインが属する転送注文

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
モデル	転送注文ラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送注文ラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送注文の現在のステージ転送注文 ラインは、転送注文が [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送注文 ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送注文ラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
   転送注文ラインが作成され、[転送注文ラインタスク] タブが表示されます。転送注文ラインタスクは、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。

Enterprise 資産ワークスペースでの転送注文ラインタスクのクローズ

転送注文ラインタスクをクローズして、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。デフォルトテンプレートタスクは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションで使用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。

転送注文ラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリのテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送注文ラインタスクとして転送注文ラインに追加されます。

転送注文ラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、 要求された タスクをクローズすると、このタスクのステータスが [完了してクローズ] と表示され、次のステージである 出荷準備のために新しいタスクがオープンされます。このプロ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セスは、転送注文ラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送注文 ラインが [要求済み] から [出荷準備] に移動すると、資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移行します。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースの転送注文ラインレコードに移動します。
2. [転送注文ラインタスク] タブを選択します。
   転送注文ラインのタスクは次のとおりです。
   - 要求：
   - 出荷準備
   - 輸送中
   - 受領済み
   - 配送済み
3. 要求されたタスクを開きます。
4. このタスクをクローズするには、[タスクをクローズ] を選択します。
   要求されたタスクをクローズすると、プロセスの次のタスクである シップメント準備 タスクが作成されます。
5. 配送済みタスクをクローズするまで、プロセスの次のタスクを開き続けます。
   [配送済み] タスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了します。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求

一時資産または貸与資産または消耗品を要求し、指定された期間使用します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて
自分自身、組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーのために、孤立資産を要求できます。資産がインストールされる前は、いつでも貸与資産の要求をキャンセルできます。選択したい場所で製品が現時点で利用できない場合でも、貸与オーダーを送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

貸与資産を要求するときは、開始日が提出日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

手順

1. 次のように移動する。 サービスカタログ.
2. エンタープライズ資産ライフサイクルカタログを選択します。
   システム_adminロールは、エンタープライズ資産ライフサイクルカタログを追加する必要があります。詳細については、サービスカタログのドキュメントを参照してください。
3. **[Enterprise Asset Loaner Request]** を選択します。
   [エンタープライズ資産貸与要求] ページが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

貸与資産の要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している対象者。自分自身、組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社のユーザーの場合] が選択されている場合にのみ表示されます。
場所	要求された資産を提供する必要がある場所。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

開始日と返却日を入力した後、選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与オーダーを送信すると、貸与オーダーは順番待ちリストになります。順番待ちリストの貸与オーダーの詳細については、「 貸与資産の引当」を参照してください。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
貸与オーダーが正常に行われたか、順番待ちリストでオーダーが行われたかを示すメッセージが表示されます。

次のタスク
要求を表示するには、次に移動します: セルフサービス > 自分の要求.

貸与資産を受領する前に、[キャンセル] を選択して貸与資産の要求をキャンセルできます。貸与資産を受け取った後、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定された 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開と再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。貸与資産または消耗品を特定の期間展開し、返却日に回収します。

始める前に
資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は、貸与資産として使用するために予約されています。[資産機能] フィールドが **Loaner** 以外に設定されている資産は使用できません。

インベントリビューの貸与資産のオーダータブには、その資産が過去および現在に提供したすべての貸与オーダーが表示されます。消耗品の場合、消耗品がストックルームにない場合は、現在機能している貸与資産のオーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 貸与資産のオーダー.
2. エンタープライズ貸与資産の注文を開きます。
3. [貸与資産タスク] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [準備タスク] を選択し、詳細を入力します。

タスクフォームを準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクをアサインされた人物。

5. 必要な詳細を入力したら、[タスクをクローズ] を選択して準備タスクをクローズします。
準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストの下に展開タスクが作成されます。
資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が発生します。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - [予約目的] フィールドには、貸与資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サブステートが [インストール待ち] に変わります。
6. 展開タスクを開き、フォームに詳細を入力します。

展開タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクをアサインされた人物。

7. [タスクをクローズ] を選択して、展開タスクをクローズします。

   資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が発生します。
   - 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
   - [ストックルーム] フィールドが Null に変更されます。
   - [アサイン先] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[管理担当者] フィールドには資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。

   消耗品の場合、ステータスは [消費済み] に変わります。

   返却日の 2 日前に、資産をオープンまたは要求したユーザーに、再利用に関するメール通知が送信されます。返却日の 1 日前に、[貸与資産タスク] タブに再利用タスクが作成されます。

8. 再利用タスクを開きます。
9. フォームで、詳細を入力します。

[再利用タスク] フォーム

フィールド	説明
倉庫	返却された資産が保管される倉庫。貸与資産を受領した場所とは異なる倉庫を入力した場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	合は、最初の倉庫からの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	再利用タスクを実行するタスクをアサインされた人物。
資産返却済み	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクをクローズすることはできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産のステータスは [在庫あり] に変わり、サブステートは [修理待ち] に変わります。

10. 再利用タスクをクローズするには、[タスクをクローズ] を選択します。
11. 返却日より前にユーザーが資産を返却する場合は、次の手順を実行します。
    a. [再利用] を選択します。
    b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。
    c. 再利用タスクをクローズします。
    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が発生します。
    - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
    - サブステートが [利用可能] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドは、[再利用タスク] フォームで選択された値に自動的に設定されます。
    - 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられている場合、サブステートは [予約済み] に変更され、貸与オーダーの詳細が反映されます。

欠陥のあるエンタープライズ資産に対する返品許可 (RMA) の要求

返品承認(RMA)は、買い手と売り手の間の契約であり、買い手は指定された保証期間内に欠陥品を返品、交換、または修理を要求できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用して、RMA 注文を送信して、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理できます。

返品承認フロー

欠陥のあるエンタープライズ資産に対して RMA オーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによって、注文に追加された欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに RMA オーダー明細が自動的に生成されます。その後、これらの RMA オーダー明細を使用して、これらの各エンタープライズ資産の RMA プロセスを個別に追跡および管理できます。

注:
RMA オーダーは、シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ送信できます。

RMA 注文内のすべての RMA 注文明細行について、準備タスクを完了して、特定のエンタープライズ資産に対する RMA プロセスをどのように進めるかを示す必要があります。資産ベンダーと合意した条件に基づいて、次のことを選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- オンサイトでRMAプロセスを完了し、
- 資産ベンダーとの RMA プロセスをオフサイトで完了し、
- または、指定されたエンタープライズ資産の RMA を拒否します。

RMA プロセスをオンサイトで完了することを選択した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産のみを修復できます。対応する RMA オーダー明細を [完了] ステージに移行するには、必要なすべてのオンサイト修理タスクを完了する必要があります。資産ベンダーとの RMA プロセスをオフサイトで完了することを選択した場合は、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理することができます。対応する RMA オーダー明細行を完了ステージに移動できるように、資産ベンダーと協力して必要なすべてのオフサイト交換または修理タスクを完了する必要があります。RMA を却下することを選択した場合、RMA 注文明細行はそれ以上のアクションを必要とせずに、自動的に [完了] ステージに移動します。RMA 注文内のすべての RMA 注文明細行が [完了] ステージに達すると、注文はクローズされます。

返品承認のキャンセル

RMA 注文内のいずれかの RMA 注文明細の準備タスクを完了していない場合は、RMA 注文全体をキャンセルできます。注文がキャンセルされると、関連するすべての RMA オーダー明細とタスクもキャンセルされます。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 **(RMA)** 注文を送信する

返品許可 (RMA) 注文を送信して、欠陥のあるエンタープライズ資産の交換または修理を開始します。

始める前に

必要なロール：資産または inventory_user

このタスクについて

注:
RMA オーダーは、シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ送信できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. 利用可能なエンタープライズ資産ライフサイクルカタログアイテムのリストから、[エンタープライズ **RMA** オーダー] を選択します。
3. [エンタープライズ RMA オーダー] フォームの [エンタープライズ RMA 資産] リストで、[追加] を選択します。
   [行を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. オプション: [ストックルーム] フィールドで、欠陥のあるエンタープライズ資産が置かれているストックルームを検索して選択します。

   (Optional) ストックルームを選択すると、[エンタープライズ資産] フィールドで検索して選択できるエンタープライズ資産のリストを絞り込むことができます (手順 5)。

   ストックルームを選択しない場合、このフィールドは [エンタープライズ資産] フィールドで選択したエンタープライズ資産に基づいて自動的に入力されます (ステップ 5)。
5. [エンタープライズ資産] フィールドで、この RMA オーダーで交換または修理する欠陥のあるエンタープライズ資産を検索して選択します。
6. [**Add**] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダイアログボックスが閉じ、欠陥のあるエンタープライズ資産がエンタープライズ RMA 資産のリストに追加されます。

7. この RMA オーダーで交換または修復する欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに、ステップ 3 ～ 6 を繰り返します。

   注:
   単一の RMA オーダーに最大 50 のエンタープライズ資産を追加できます。

8. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
RMA オーダーが正常に発注されると、 サービスカタログ ホームページに自動的にリダイレクトされます。RMA オーダー番号が記載された確認メッセージが表示されます。これを使用して、RMA オーダーの追跡と管理を行うことができます。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 **(RMA)** 注文のクローズ

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 (RMA) 注文を送信したら、注文をクローズするためのさまざまなタスクを完了する必要があります。

RMA 注文内の RMA 注文明細行ごとに、必要なタスクセットを個別に完了する必要があります。RMA オーダー明細に必要なすべてのタスクを完了すると、[完了] ステージに移行します。RMA 注文内のすべての RMA オーダー明細が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

RMA オーダー明細の準備タスクを完了

RMA オーダー明細の準備タスクを完了して、所定のエンタープライズ資産の交換または修復を続行できるようにします。または、RMA を却下して、特定のエンタープライズ資産に対するアクションの実行を回避することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

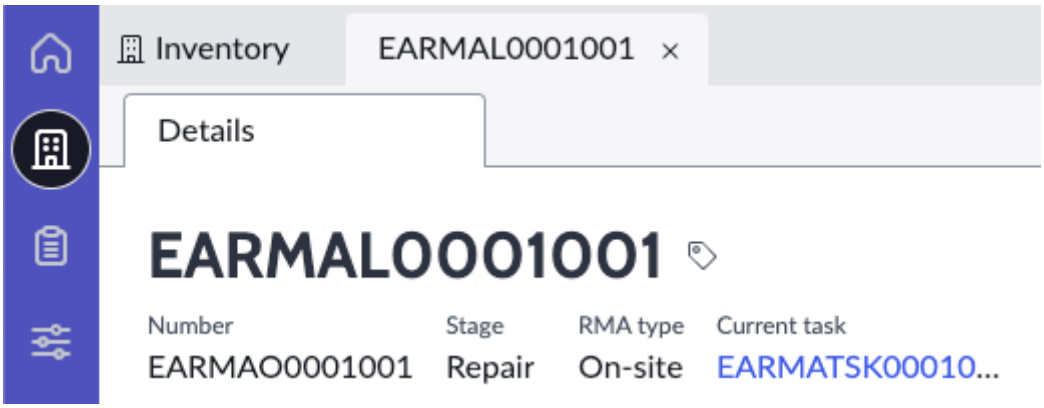
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューに移動します。
2. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。
4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、交換、修理、またはアクションを実行しないエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダー明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

または、RMA 注文明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



[準備タスク] が開きます。

6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
倉庫	欠陥のあるエンタープライズ資産が置かれている倉庫。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー	欠陥のあるエンタープライズ資産のベンダー。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA タイプ	欠陥のあるエンタープライズ資産に対する RMA プロセスの進め方を示すオプション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ オンサイト:オンサイトで RMA プロセスを完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理できます。 ○ オフサイト:資産ベンダーとの RMA プロセスをオフサイトで完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーがオフサイトで交換または修理できます。 ○ 却下:欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を却下するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産に対するアクションの実行を回避できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

7. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
準備タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

次のタスク
[RMA タイプ] フィールドを [オンサイト] または [オフサイト] に設定した場合は、後続のすべての交換または修理タスクを完了して、RMA 注文明細行を [完了] ステージに移動します。**[RMA** タイプ] フィールドを [却下] に設定した場合、RMA 注文明細行は自動的に [完了] ステージに移動し、それ以上のアクションは必要ありません。

オンサイト修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了します

オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行して、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるようにします。この一連のタスクは、オンサイト修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に
オンサイトで欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを続行する前に、関連する RMA オーダー明細の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA オーダー明細の準備タスクを完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

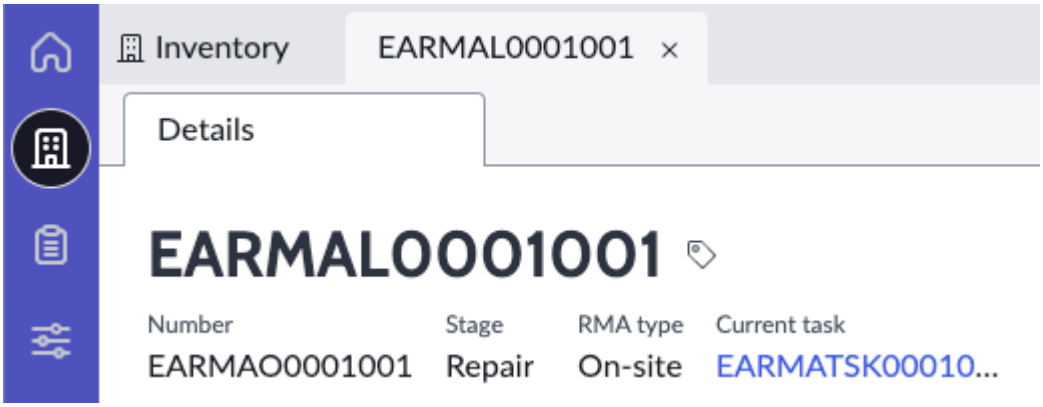
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。
4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、修復するエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダー明細のオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理するか、資産ベンダーとともに RMA プロセスをオフサイトに移動するか、オンサイト修理要求を却下する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. RMA 注文明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA 注文明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



オンサイト修復タスクが開きます。

b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ▪ 修理:欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで正常に修理したことを示すオプション。 ▪ オフサイト:資産ベンダーとともに RMA プロセスをオフサイトに移動することを示すオプション。欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修復できない場合は、このオプションを選択します。 ▪ 却下:オンサイト修理要求を却下したことを示すオプション。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
メモ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

オンサイト修理タスクは、更新されたステータスが [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

[RMA 決定] フィールドを [オフサイト] に設定した場合は、オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了しますに進み、オフサイトで RMA プロセスを続行します。

タスクの結果

欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修復すると、RMA オーダーラインは [完了] ステージに移動します。対応する資産レコードで、[ステータス] フィールドが [在庫あり] に、[サブステート] フィールドが [利用可能] に変わります。

RMA プロセスをオフサイトに移動した場合、RMA 注文明細行の **[RMA** 明細行タスク] タブに出荷タスクが自動的に入力されます。その後、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送して、残りの交換または修復タスクをオフサイトで完了できるようにする必要があります。欠陥のあるエンタープライズ資産をオフサイトで交換または修復する方法の詳細については、 オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了します を参照してください。

オンサイト修理要求を却下した場合、RMA オーダー明細行は [完了] ステージに移動します。ただし、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスおよび [修理待ち] サブステートのままになります。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

次のタスク

RMA 注文内の残りの RMA 注文明細の RMA プロセスを完了します。すべての RMA オーダー明細が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了します

資産ベンダーと協力してオフサイト交換または修理に必要なすべてのタスクを実行し、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるようにします。この一連のタスクは、オフサイトでの交換または修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に

オフサイトで欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを続行する前に、関連する RMA オーダー明細の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA オーダー明細の準備タスクを完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. **[RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。

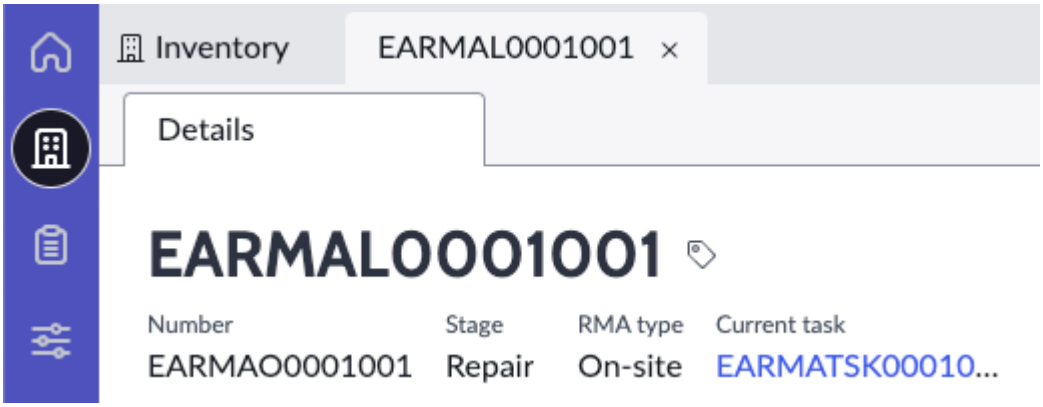
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、交換または修復するエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダー明細の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

   a. RMA 注文明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA 注文明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

   [詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
出荷	
キャリア	欠陥のあるエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	欠陥のあるエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

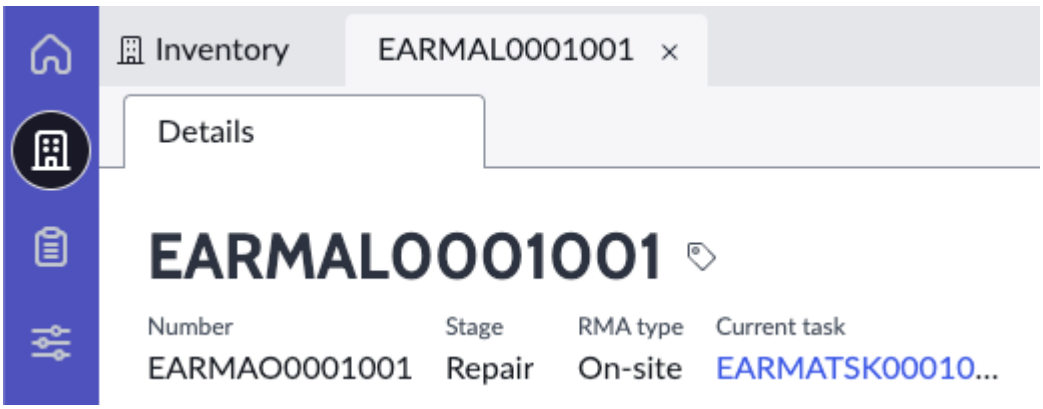
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

6. RMA オーダー明細のベンダー RMA 意思決定タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは欠陥のあるエンタープライズ資産を修復するか、欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換するか、または RMA を却下する必要があります。

   a. RMA オーダー明細レコードの **RMA** 明細タスク タブで、 ベンダー **RMA** 意思決定 タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA 注文明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   ベンダー RMA の決定タスクが開きます。

   b. ベンダー RMA 意思決定タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ▪ 修理:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理したことを示すオプション。 ▪ 置換:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しく機能している資産と交換していることを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	▪ 却下:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を拒否したことを示すオプション。 このオプションを選択すると、[**RMA** の決定] フィールドの下に [却下理由] フィールドが表示されます。[却下理由] フィールドで、資産仕入先が RMA を却下した理由を指定します。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

ベンダー RMA の決定タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にクローズされます。

7. RMA オーダー明細の受領タスクを完了してクローズします。

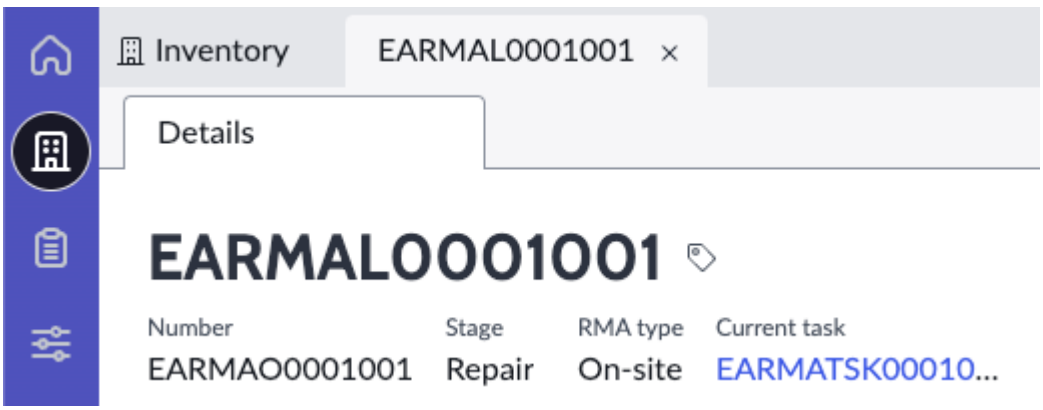
このタスクを正常に完了してクローズするには、新規、修理済み、または却下済みのエンタープライズ資産を資産ベンダーから受領する必要があります。

欠陥のあるエンタープライズ資産の交換として新しいエンタープライズ資産を受領する場合は、新しいエンタープライズ資産の資産レコードも作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産の作成」を参照してください。

> **注:**
> 新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、[ステータス] フィールドを [在庫あり] に設定する必要があります。また、取得方法 フィールドが **RMA** 交換 に設定されていることも確認する必要があります。

a. RMA オーダー明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA 注文明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
受領	
資産受領済み	資産ベンダーから新規、修理済み、または却下済みのエンタープライズ資産を受領したかどうかを示すオプション。 受領タスクを完了してクローズするには、このフィールドを [はい] に設定する必要があります。
交換用資産倉庫 注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しいものと交換した場合にのみ表示されます。	新しいエンタープライズ資産が置かれているストックルーム。
交換用資産 注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しいものと交換した場合にのみ表示されます。	欠陥のあるエンタープライズ資産を置き換えた新しいエンタープライズ資産。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

受領タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

タスクの結果

RMA オーダー明細は [完了] ステージに移動します。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しいものに正常に交換した場合、RMA オーダー明細の [詳細] タブは、資産の名前、モデル、ストックルームなど、新しいエンタープライズ資産に関する情報で自動的に更新されます。さらに、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

欠陥のあるエンタープライズ資産を自動的に廃止し、対応する資産レコードの [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] および [ベンダークレジット] に変更されます。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修復すると、対応する資産レコードの [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドが [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

資産ベンダーが RMA を拒否した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスおよび [修理待ち] サブステートのままになります。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

次のタスク

RMA 注文内の残りの RMA 注文明細の RMA プロセスを完了します。すべての RMA オーダー明細が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

取り消されたエンタープライズ資産の管理

取り消しオーダーを使用して、資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産を追跡してアクションを実行できます。リコールされたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を選択できます。または、リコールされたエンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

取り消しフロー

取り消しオーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションにより、注文に含めたエンタープライズ資産ごとにエンタープライズ取り消し済み資産レコードが自動的に生成されます。これらのレコードを使用して、これらの各エンタープライズ資産の取り消しプロセスを追跡および管理できます。

各取り消しオーダー内で、対応する取り消し通知で資産ベンダーが推奨する修正オプションに基づいて、特定のエンタープライズ資産の取り消しプロセスを進める方法を示す必要があります。次のいずれかを選択できます。

- オンサイトまたはオフサイトでエンタープライズ資産を修復し、
- Enterprise 資産を新しい資産に置き換える
- エンタープライズ資産を廃止し、
- または、エンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示を提供します。

選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了して資産を修正し、対応するエンタープライズ取り消し済み資産レコードを [完了] ステージに移行する必要があります。取り消しオーダー内のすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーの送信

取り消しオーダーを送信して、資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を開始します。リコールされたエンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

注:
1 つの取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めることができます。ただし、すべてのエンタープライズ資産が同じモデルに関連付けられている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブで、新規 を選択します。
3. [新しいエンタープライズ取り消しオーダーを作成] フォームで、フィールドに入力します。

新しいエンタープライズ取り消しオーダーを作成フォーム

フィールド	説明
リコールソース	エンタープライズ資産取り消しのソース。
修復	対応するリコール通知で資産ベンダーが推奨する修復オプションに基づいて、リコールされたエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 修復:リコールされたエンタープライズ資産を修復するオプション。 ○ 交換:リコールされたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換えるオプション。 ○ 廃止:リコールされたエンタープライズ資産を廃止するオプション。 ○ 表記:リコールされたエンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供するオプション。 このオプションを選択すると、[シリアル番号] フィールドの下に [取り消し修復手順] フィールドが表示されます。[取り消し修復手順 **(Recall remediation instructions**)] フィールドに、追加の手順を入力します。
モデル	取り消されたエンタープライズ資産が関連付けられているモデル。
シリアル番号	リコールされた各エンタープライズ資産を識別するシリアル番号。このフィールドはオプションです。 この取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して、関連するすべてのシリアル番号を入力します。 ○ シリアル番号範囲 (SN001-SN010 など) ○ 個々のシリアル番号のカンマ区切りリスト (SN020、SN038、SN054 など) ○ シリアル番号範囲と個々のシリアル番号の両方をカンマで区切ったリスト (SN001-SN010、SN202、SN038、SN100-SN110 など) シリアル番号を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 **注:** リコールオーダにシリアル番号を指定する場合、同じオーダに車両識別番号 (VIN) を指定することはできません。
場所	取り消されたエンタープライズ資産が存在する場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リコール通知番号	資産ベンダーによって送信されたリコール通知の識別番号。
処置期日	[修正] フィールドで選択したアクションを完了する必要がある日付。
VIN	リコールされた各エンタープライズ資産を識別する車両識別番号 (VIN)。このフィールドはオプションであり、自動車やモペットなどの自動車エンタープライズ資産にのみ適用されます。 このリコールオーダーに複数の自動車エンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して、関連するすべての VIN を入力します。 ○ 3VWSB81H8WM210368-3VWSB81H8WM210370などのVIN範囲 ○ 個々の VIN のカンマ区切りリスト (1B7HF13ZX1J572139 など) JH4KA8150MC012098 ○ VIN範囲と個々のVINの両方をカンマで区切ったリスト (4JGAB54E81A277648-4JGAB54E81A277650, 1GNDX03E03D188446, KM8SC73E94U774838 VIN を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 **注:** 取り消しオーダーに VIN を指定すると、同じオーダーにシリアル番号を指定することはできません。
子所在地を含む	[場所] フィールドで指定した場所の子の場所を含めるオプション。
追加情報	取り消しオーダーに関する追加情報。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
[リコールプロセスの開始] を選択して、指定したエンタープライズ資産に対する適切なリコールプロセスを続行します。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーの完了

資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しオーダーを出した後、注文を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

取り消されたエンタープライズ資産ごとに必要なタスクセットを個別に完了するか、同じタスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサインされたユーザーを共有するすべての取り消し済みエンタープライズ資産に対して必要なタスクセットを一括更新して完了することができます。取り消されたエンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズの取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。取り消しオーダー内のすべてのエン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターブライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、リコールオーダーは完了します。

取り消し済みエンタープライズ資産の準備タスクの完了

取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了して、所定のエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を続行できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

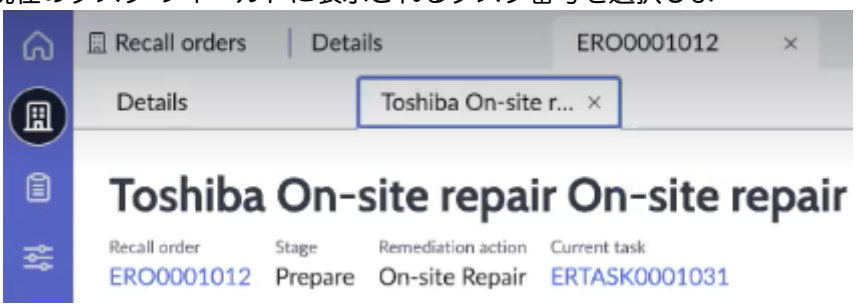
このタスクについて

> **重要:**
> 準備タスクは、[修正] フィールドが [修理]、[交換]、または [廃止] に設定されている取り消しオーダーにのみ適用されます。[修復] フィールドが [表記] に設定されている場合は、代わりに [表記] タスクに直接進むことができます。記譜法タスクの詳細については、 取り消し済みエンタープライズ資産の表記タスクを完了 を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、交換、修理、または廃止するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備タスク] が開きます。
6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
倉庫	取り消されたエンタープライズ資産の倉庫。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、次の条件でのみ編集可能です。 ○ 関連する取り消しオーダーの [修正] フィールドが [修理] に設定されます。さらに、この準備タスクの [修復アクション] フィールドは [オフサイト修理] に設定されます。 ○ 関連する取り消しオーダーの [修正] フィールドが [廃止] に設定されます。 **重要:** 取り消されたエンタープライズ資産がまだストックルームに移動されていない場合は、資産の廃止またはオフサイト修理を続行する前に、使用可能なストックルームに移動する必要があります。
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを進める方法を示すオプション。 **注:** このフィールドは、関連する取り消しオーダーの [修正] フィールドが [修理] に設定されている場合にのみ編集可能です。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	このタスクの完了予定日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

7. 準備タスクを閉じます。

   指定されたエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産の準備タスクをクローズすることができます。

   指定したエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズする場合は、[タスクをクローズ] を選択します。

   複数のエンタープライズ資産の準備タスクを一括更新してクローズする場合は、 [さらに資産を含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、準備タスクをクローズします。「 **Close Task** 」を選択してダイアログ・ボックスを閉じ、「Prepare task」に戻ります。

   重要:
   タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ、準備タスクを一括更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
準備タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

オンサイト修理を続行する場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は、[メンテナンス中] ステータスに更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

オフサイト修理を続行する場合、ステータスが [使用中] または [メンテナンス中] のいずれかのエンタープライズ資産は、[在庫あり] ステータス、[サブステート] が [修理待ち] に更新されます。

資産の置換を続行する場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は、[メンテナンス中] のステータスに更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] で更新されます。

資産廃止を続行する場合、エンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスとサブステートが [廃棄待ち] で更新されます。

次のタスク
後続のすべての交換、修理、または廃止タスクを完了します。

取り消し済みエンタープライズ資産の表記タスクを完了

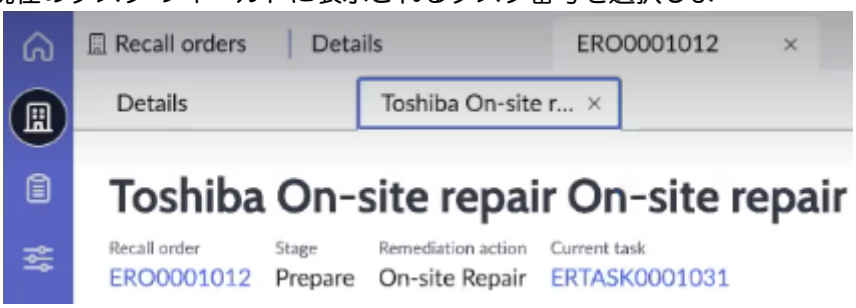
取り消されたエンタープライズ資産の表記タスクを完了して、資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの エンタープライズ取り消し済み資産 タブで、追加の操作手順を提供するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの エンタープライズ取り消しタスク タブで、 表記タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   「表記」タスクが開きます。
6. 記譜法タスクを閉じます。

   指定されたエンタープライズ資産のみの表記タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産の表記タスクをクローズすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定されたエンタープライズ資産のみの表記タスクをクローズする場合は、 **Close Task** を選択します。

複数のエンタープライズ資産の表記タスクを一括更新してクローズする場合は、 資産を増やす を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、表記タスクをクローズします。[**Close Task**] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Notation] タスクに戻ります。

重要:
表記タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびユーザーにアサインされたものが同じエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

オンサイト修理によるエンタープライズ資産のリコールプロセスの完了

資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるように、オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行します。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産のオンサイトでの修理を続行する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消し済みエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

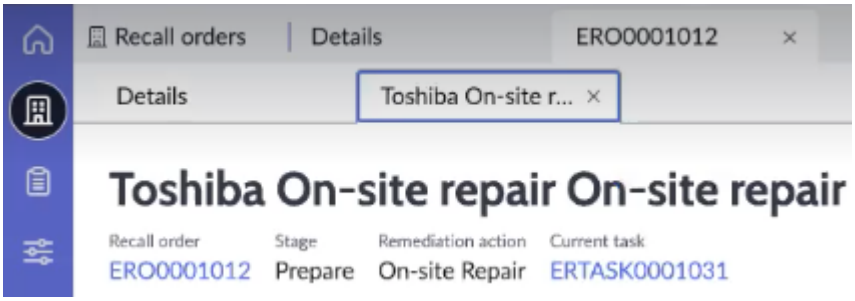
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、修復するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リコールされたエンタープライズ資産をオンサイトで修理する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの エンタープライズ取り消しタスク タブで、 オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



オンサイト修理タスクが開きます。

b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを進める方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オンサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	オンサイト修理を実行する予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. オンサイト修理タスクをクローズします。

指定されたエンタープライズ資産のみのオンサイト修理タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクをクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみのオンサイト修理タスクをクローズする場合は、「 タスクのクローズ」を選択します。

複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、オンサイト修理タスクをクローズします。[**Close Task**] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[On-site Repair] タスクに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> オンサイト修理タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

オンサイト修理タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードのステータスフィールドとサブステートフィールドが [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

オフサイト修理によるエンタープライズ資産のリコールプロセスの完了

資産ベンダーと協力してオフサイト修理に必要なすべてのタスクを実行し、ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるようにします。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産をオフサイトで修理する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消し済みエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

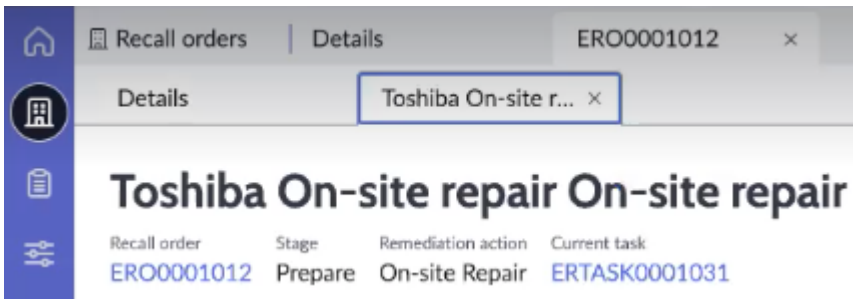
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、修復するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する予定の日時。
出荷	
キャリア	リコールされたエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	リコールされたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. 出荷タスクをクローズします。

指定されたエンタープライズ資産のみの出荷タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産の出荷タスクをクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの出荷タスクをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産の出荷タスクを一括更新してクローズする場合は、 資産を増やすを選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、出荷タスクをクローズします。**[Close Task]** を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Off-site Repair] タスクに戻ります。

> **重要:**
> 出荷タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびユーザーにアサインされたものが同じエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

出荷タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

d. 出荷タスクを閉じて、エンタープライズの取り消し済み資産レコードに戻ります。

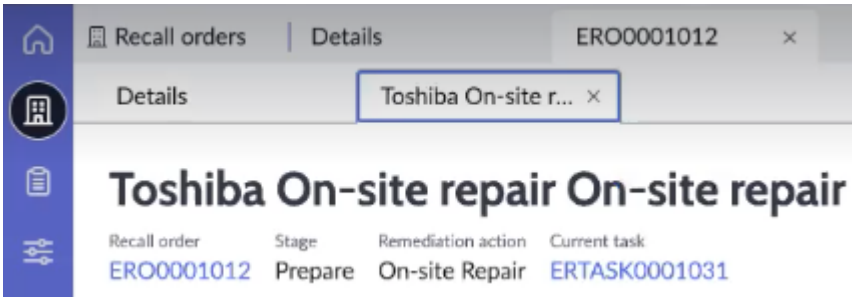
6. 取り消し済みエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーが取り消されたエンタープライズ資産を修復する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの エンタープライズリコールタスク タブで、 オフサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



オフサイト修復タスクが開きます。

b. オフサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを進める方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オフサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	資産ベンダーがオフサイト修理を実行する予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. オフサイト修理タスクをクローズします。

指定したエンタープライズ資産のみのオフサイト修理タスクをクローズすることも、一括更新して複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクをクローズすることもできます。

指定したエンタープライズ資産のみのオフサイト修理タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズを選択します。

複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、オフサイト修理タスクをクローズします。**[Close Task]** を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Off-site Repair] タスクに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> オフサイト修理タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

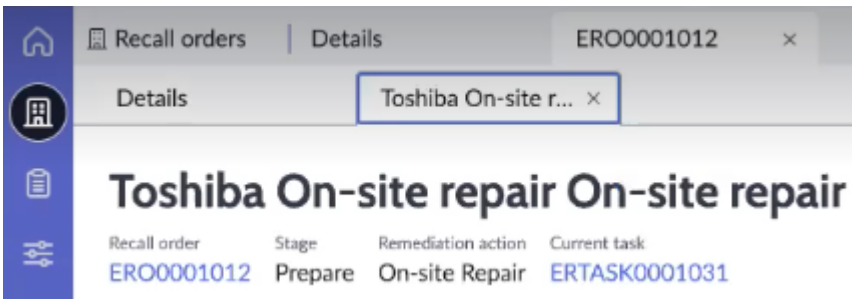
オフサイト修理タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

d. オフサイト修理タスクを閉じて、エンタープライズの取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消されたエンタープライズ資産の受領タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから修理済みのエンタープライズ資産を受け取る必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	修復されたエンタープライズ資産の受領予定日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. 受領タスクを閉じます。

指定されたエンタープライズ資産のみの受領タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産の受領タスクをクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの受領タスクをクローズする場合は、「 タスクのクローズ」を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のエンタープライズ資産の受領タスクを一括更新してクローズする場合は、 [さらに資産を含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、受領タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Receive] タスクに戻ります。

> **重要:**
> 受領タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産の場合のみです。

受領タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

タスクの結果

エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードのステータスフィールドとサブステートフィールドが [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

次のタスク

取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

資産交換によるエンタープライズ資産のリコールプロセスの完了

資産ベンダーと協力して、ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるように、資産の交換に必要なすべてのタスクを実行します。

始める前に

リコールされたエンタープライズ資産の交換を続行する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消し済みエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、交換するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消し済みエンタープライズ資産の新規受領タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから新しいエンタープライズ資産を受け取る必要があります。さらに、新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産の作成」を参照してください。

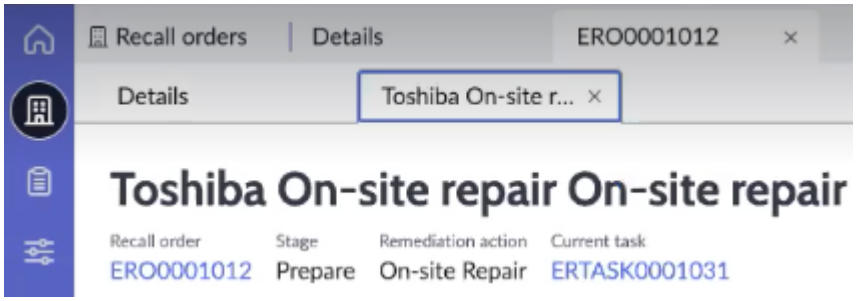
   > **注:**
   > 新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、[ステータス] フィールドを [在庫あり] に設定する必要があります。また、取得方法 フィールドが リコール交換 に設定されていることも確認する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[新規受領] タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[新規受信] タスクが開きます。

b. 新規受信タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	新しいエンタープライズ資産の受領予定日時。
交換用資産	
交換用資産	リコールされたエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[新規受信] タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

d. [新規の受領] タスクを閉じて、エンタープライズの取り消し済み資産レコードに戻ります。

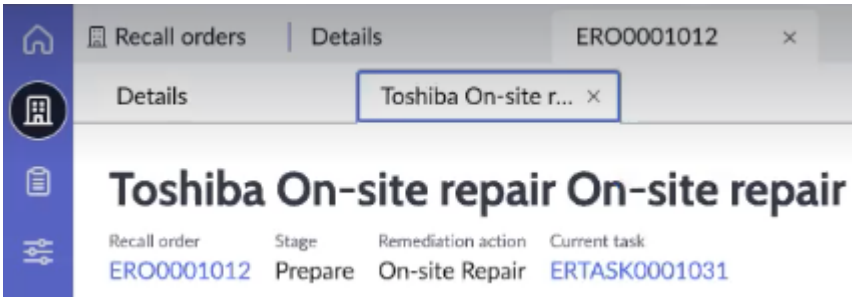
6. 取り消されたエンタープライズ資産の交換タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、リコールされたエンタープライズ資産を新しい資産と交換する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 置換 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[置換] タスクが開きます。

b. 置換タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	リコールされたエンタープライズ資産を新しい資産と交換する予定の日時。
交換用資産	
交換用資産	リコールされたエンタープライズ資産に置き換わった新しい資産。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [置換] タスクを閉じます。

指定されたエンタープライズ資産のみの置換タスクをクローズするか、一括更新して複数のエンタープライズ資産の置換タスクをクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの置換タスクをクローズする場合は、[タスクをクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産の置換タスクを一括更新してクローズする場合は、[さらに資産を含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、置換タスクをクローズします。[**Close Task**] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Replace task] (タスクを置換) に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ、置換タスクを一括更新できます。

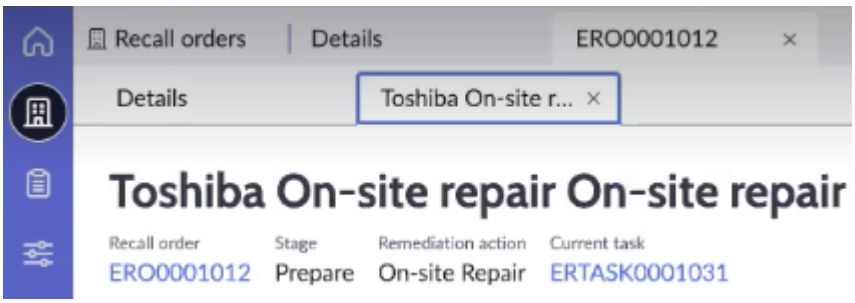
置換タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

d. [置換] タスクを閉じて、エンタープライズの取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消し済みエンタープライズ資産の [Ship Old] タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[古い出荷] タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[元のものを出荷] タスクが開きます。

b. [元の出荷] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する予定の日時。
出荷	
キャリア	リコールされたエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	リコールされたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [元の出荷] タスクをクローズします。

指定されたエンタープライズ資産のみの [旧出荷 (Ship Old)] タスクをクローズすることも、一括更新して複数のエンタープライズ資産の [旧出荷 (Ship Old)] タスクをクローズすることもできます。

指定したエンタープライズ資産のみの「元の出荷」タスクをクローズする場合は、「 タスクをクローズ」を選択します。

複数のエンタープライズ資産の [古い出荷] タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、元の出荷タスクをクローズします。[**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Ship Old (古いものを出荷)] タスクに戻ります。

> **重要:**
> タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ、[元の出荷] タスクを一括更新できます。

[古いものを出荷] タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、取り消されたエンタープライズ資産を自動的に廃止し、対応する資産レコードのステータスフィールドとサブステートフィールドを [廃止] および [ベンダークレジット] に変更します。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

資産廃止を通じて、エンタープライズ資産のリコールプロセスを完了します

資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるように、資産の廃止に必要なすべてのタスクを実行します。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産の廃止を続行する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消し済みエンタープライズ資産の準備タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[インベントリ] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 使用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、廃止するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の廃止タスクを完了してクローズします。

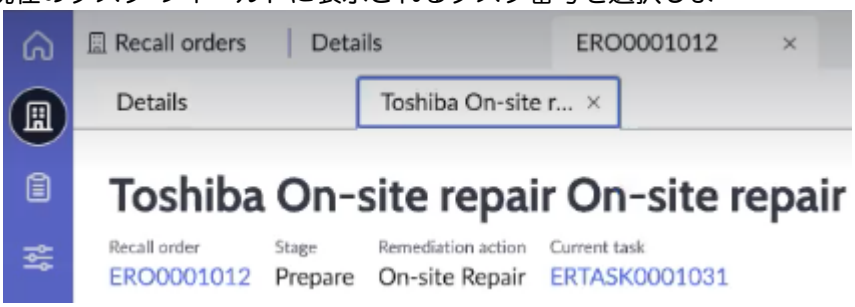
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を廃止し、使用可能なストックルームに移動する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 廃止 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコード ヘッダーの 現在のタスク フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



廃止タスクが開きます。

b. 廃止タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	エンタープライズ資産を廃止する予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. 廃止タスクをクローズします。

指定されたエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズすることも、一括更新して複数のエンタープライズ資産の廃止タスクをクローズすることもできます。

指定したエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズする場合は、[タスクをクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産の廃止タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、廃止タスクをクローズします。[タスクをクローズ] を選択してダイアログボックスを閉じ、[廃止] タスクに戻ります。

重要:
タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ、廃止タスクを一括更新できます。

廃止タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にリロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードのステータスフィールドとサブステートフィールドが [廃止] および [廃棄待ち] に変わります。

次のタスク
廃棄注文を使用して取り消されたエンタープライズ資産を廃棄することにより、資産の廃止を完了します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成」を参照してください。

取り消されたエンタープライズ資産を正常に廃棄した後、取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できます。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

エンタープライズ資産回収要求をクローズする

従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときに、資産再利用要求をクローズして、エンタープライズ資産を効率的に再利用します。

始める前に
再利用資産ごとに、エンタープライズ資産再利用ラインが作成されます。エンタープライズ資産再利用ラインをクローズするには、エンタープライズ資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべてのエンタープライズ資産再利用ラインがクローズされると、資産再利用要求はクローズされます。

必要なロール:sn_eam.enterptrise_asset_manager または sn_eam.enterptrise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ > 回収要求.
2. [資産再利用要求] ページで、履行する要求を開き、[エンタープライズ資産再利用ライン] 関連リストを選択します。

   資産再利用要求の送信時にユーザーが選択した回収方法に基づいて、エンタープライズ資産再利用ラインに [納品スケジュール]、[ピックアップのスケジュール]、または [出荷タスクのスケジュール] が作成されます。

3. エンタープライズ資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド名	説明
[Number (番号)]	タスクにアサインされた番号。
タスク名	タスクの名前。
資産	資産番号と資産の簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。
返品倉庫	再利用資産が保管される場所。
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	出荷スケジュールタスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド名	説明
受領済み数量	受領した消耗品の数。
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明です。
キャリア	資産をストックルームに出荷する配送業者の名前。このフィールドは必須です。
追跡番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。このフィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷される日付。このフィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   [エンタープライズ資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが [準備完了] から [受領処理待ち] に変わります。
   エンタープライズ資産再利用ラインに資産受領タスクが作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. [資産受領タスク] フォームで、フィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
[Number (番号)]	タスクにアサインされた番号。
タスク名	タスクの名前。
資産	資産番号と資産の簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。
返品倉庫	
アサイン先グループ	資産受領タスクがアサインされているグループ。
受領済み数量	受領した消耗品の数。このフィールドは、消耗品に対してハードウェア資産再利用ラインが作成された場合のみ表示され、必須フィールドです。
Assigned to (アサイン先)	資産受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	メンションする追加情報。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

   [エンタープライズ資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが [受領保留中] から [評価待ち] に変わります。

   資産が受領された後、資産フォームで次の変更が行われます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 資産レコードの [アサイン先] フィールドが空になります。
- 資産の状態が [在庫あり] に、サブステートが[修理待ち] に変更されます。

9. 資産評価タスクを開きます。
10. [資産評価タスク] フォームで、フィールドに入力します。

資産評価タスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。これは必須のドロップダウンリストで、値は次のとおりです。 ○ 再展開可能 ○ 修復が必要 ○ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

11. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の [ステータス] と [サブステート] が次のように変更されます。

評価ステータス値	資産ステータス	資産サブステート
再展開可能	在庫あり	利用可能
修復が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	廃棄待ち

[エンタープライズ資産再利用ライン] フォームの [ステージ] フィールドが 、[評価処理待ち] から [完了] に変わります。

注:
すべてのエンタープライズ資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース

修理フローを使用して欠陥のあるエンタープライズ資産を修理することで、インベントリを最適化します。

修理フローでは、資産マネージャーがストックルームの欠陥資産の修理を要求します。資産技術者は、資産のトラブルシューティング、修理、および評価を行います。評価された資産は、使用または廃棄されます。修理フローのステージの詳細については、「 ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修正するための修復フロー」を参照してください。

欠陥のあるエンタープライズ資産の修復を要求

エンタープライズ資産マネージャーは、修理注文を作成することで、欠陥のあるエンタープライズ資産を修理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のいずれかのオプションを使用して、欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求できます。

- を使用したエンタープライズ資産の修復の要求 サービスカタログ
- インベントリビューでエンタープライズ資産の修理注文を作成する
- 修理オプションを使用してエンタープライズ資産の修理を要求する

注:

修理注文を作成するときは、次の点を考慮してください。

- 次の資産の修理を要求することはできません。
  - 消耗品
  - 他のワークフローの一部である資産
- 親資産を修理注文に追加している場合にのみ、子資産の修理を要求できます。ただし、パレット内の資産は修理できます。

を使用したエンタープライズ資産の修復の要求 サービスカタログ

ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産または修理待ちのエンタープライズ資産を修理する サービスカタログ 要求を送信します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

このタスクについて

単一のカタログ要求を使用して、ストックルーム内の複数の欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル > 資産修復.
2. フォームのフィールドに入力します。

   資産の倉庫修復を要求

フィールド	説明
期日	欠陥資産を修復する日付。
倉庫	修復する資産がある倉庫。

3. 修復する資産を選択します。
   a. 資産を編集アイコン (アイコン) を選択します。
   b. リストから資産を選択します。
   要求に 1 つ以上の資産を追加できます。
   c. [ロック] アイコン ( ) を選択します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 修理要求が正常に送信されました。
- 修理注文は [ドラフト] ステージで作成されます。
- 修復注文の各資産は、 トラブルシューティング ステージにある修復注文明細行に関連付けられています。

インベントリビューでエンタープライズ資産の修理注文を作成する

エンタープライズ資産ワークスペースの [インベントリ] ビューで修理注文を作成して、欠陥のあるエンタープライズ資産または修理待ちのエンタープライズ資産の修理を要求します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

このタスクについて

在庫ビューから修理注文を作成する場合、修理する資産の修理注文明細行を明示的に作成する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修理注文を作成します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   > 注:
   > 次のフィールドはオプションです。
   > - **Assignment group** (アサイン先グループ)
   > - アサイン先
   > - 期日
   > - 作業メモ

   新しい修理注文を作成フォーム

フィールド	説明
倉庫	修復する資産がある倉庫。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	修復注文をアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	修理注文の主たる責任者であるアサイン先グループの人物。
期日	欠陥のあるエンタープライズ資産を修復する必要がある日付。
作業メモ	修復注文に関するメモ。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ドラフト] ステージの修復オーダーが作成されます。
- [修復注文ライン] タブが、修復注文の [詳細] タブの横に表示されます。

4. 修復注文に修復注文ラインを追加します。

   a. [修理注文明細行] タブを選択します。

   b. [**Add**] を選択します。

   c. [資産の追加] ダイアログ ボックスで、資産を選択し、 [追加] を選択します。

   > **注:**
   > パレット資産の子資産を修理注文に追加できます。修復オーダーに追加した資産は、パレットから自動的に削除されます。

   追加した資産ごとに、 トラブルシューティング ステージにある修復注文明細行が作成されます。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

修理オプションを使用してエンタープライズ資産の修理を要求する

資産フォームから直接、ストックルームにある欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Asset Estate** (資産一覧).
2. [すべての資産] タブを選択します。
3. ステータスが [在庫あり] で、サブステートが [欠陥 品] または [修理待ち] である資産を選択します。
4. [資産] フォームで [その他の •••) を選択します。
5. [修理]を選択します。

タスクの結果

[トラブルシューティング] ステージの修理注文明細を含む修復注文が作成されます。

での修理注文の履行 エンタープライズ資産ワークスペース

修理注文ラインに関連付けられたオープンな修復資産タスクをすべて完了することで、修理注文を履行します。

修理オーダには、その修復オーダによって修理する資産の数に応じて、1 つ以上の修復オーダラインを含めることができます。修理注文は、すべての修理注文ラインが完了したときにのみ履行されます。

技術者は、修理注文を履行するために、各修復注文ラインに関連付けられた次のタスクを完了する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 資産のトラブルシューティング
2. 資産の修復
3. 資産の評価

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産修復タスクを処理することもできます。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクの管理」を参照してください。

で自分のストックルームのオープン修理注文を表示する エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームのオープンな修理注文を表示して、アクションが必要な修理注文ラインと修理タスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician および sn_eamenterprise_asset_manager

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。
   [オープンストックルームタスク] セクションの [オープンな修復オーダー] カードには、オープンな修復オーダーの数が表示されます。
4. [修復オーダーを開く] カードを選択します。

タスクの結果
ストックルームのオープンな修理注文のリストが表示されます。

で修理が要求された資産のトラブルシューティング エンタープライズ資産ワークスペース

トラブルシューティングタスクを完了して、欠陥のある資産の問題を評価します。観察事項に基づいて、資産を修理可能、再展開可能、または廃棄する必要があるかどうかを確認できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順
1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージにある修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [トラブルシューティング] ステージで [オープン] ステータスの修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産のトラブルシューティング タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、トラブルシューティングタスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業した時間のエントリが、資産のトラブルシューティングタスクの [作業時間] タブに作成されます。

10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [トラブルシューティング結果] フィールドでトラブルシューティングの結果を選択します。
    - 資産が修理可能な場合は、[修理可能] を選択します。
    - 資産が修復不可能な場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- トラブルシューティングの結果を 修復不能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産の状態が [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- トラブルシューティングの結果を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- トラブルシューティングの結果を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理オーダラインのステージが 修理 に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。
  3. 資産修復タスクが作成されました。

次のタスク

で資産修復タスクを完了 エンタープライズ資産ワークスペース.

で資産修復タスクを完了 エンタープライズ資産ワークスペース

資産の修理を完了し、資産が修理済み、修理不可能、または再展開可能かどうかを確認します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産の修復タスクを完了する修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [修理] ステージにある修理注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産修復 タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、資産の修復タスクの作業を開始したことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。

9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
作業時間のエントリは、資産修復タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [修復結果] フィールドで修復結果を選択します。
    - 資産が修理済みの場合は、[修理済み] を選択します。
    - 資産を修復できなかった場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [修理結果] を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [修復結果] を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- [修理結果] を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文明細行のステージが [評価] に変わります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [評価待ち] に変わります。
  3. 資産評価タスクが作成されました。

次のタスク

で修復済み資産を評価する エンタープライズ資産ワークスペース.

で修復済み資産を評価する エンタープライズ資産ワークスペース

修理された資産を評価し、資産が再展開可能か廃棄する必要があるかを確認します。修理フローは、修理された資産が評価された後に完了します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修復済み資産を評価する修理注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [評価] ステージで [オープン] ステータスの修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の評価] タスクを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [作業を開始] を選択して、[資産の評価] タスクの作業を開始したことを示します。
[作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
タイマーを使用するか、手動で時間を記録することができます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
作業時間のエントリは、資産評価タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [**Details** (詳細)] タブを選択します。
11. [評価結果] フィールドで評価結果を選択します。
    - 資産が修理されて再展開可能な場合は、[再展開可能] を選択します。
    - 資産を使用できず、廃棄する必要がある場合は、 廃棄対象 を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [評価結果] を [廃棄対象] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [評価結果] を再 展開可能に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復注文と修復注文ラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

での資産修復タスクの一括クローズ エンタープライズ資産ワークスペース

複数の修理タスクを一度に完了してクローズし、複数の修復注文ラインを含む修復注文を処理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

一括クローズできるのは、[オープン] ステータスの類似の資産修復タスクのみです。ただし、タスク結果が同じでない類似の修理タスクを一括でクローズすることはできません。たとえば、片方のタスクに修理可能な資産があり、もう片方のタスクに修理不可能な資産がある場合、2 つの資産のトラブルシューティングタスクを一括でクローズすることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産修復タスクを完了する、オープンな修復注文ラインが複数ある修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 完了する修復注文ラインを選択します。
6. クローズする修復タスクを選択します。
7. [詳細] フォームで、タスクの結果を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産のトラブルシューティングタスクを完了する場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 修理可能
  - 修復不能
  - 再展開可能
- 資産修復タスクを完了する場合は、[修復結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 修復
  - 修復不能
  - 再展開可能
- 資産評価タスクを完了する場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 再展開可能
  - 廃棄対象

8. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
9. [**Save** (保存)] をクリックする。
10. [一括クローズ] を選択します。
    類似の修理タスクを含む [資産を選択] ダイアログボックスが表示されます。
11. クローズするタスクを選択し、[タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果

選択したすべての修復タスクが同じタスク結果と作業メモでクローズされます。

で修理注文をキャンセルする エンタープライズ資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文をキャンセルします。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージにある修復オーダーを選択します。
4. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変わります。
- 完了しなかった修復注文ラインのステージとステータスが [キャンセル] および [未完了でクローズ] に変更されます。

で修理注文ラインをキャンセルする エンタープライズ資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文ラインをキャンセルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. キャンセルする修復注文ラインを選択します。
   完了ステージにない修復注文ラインはキャンセルできます。
6. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- 修復注文ラインのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- オープンだった関連する修復資産タスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- 修復注文のステージが キャンセル に変わるのは、トラブルシューティング、修理、評価、または完了 ステージにある他の修復注文明細行がない場合のみです。

での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペース資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価の各タスクにかかった時間を管理および記録します。資産の修復タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

修理タスクにかかった時間を自動で記録 エンタープライズ資産ワークスペース

タスクを完了するまで休憩を取らずに修理タスクを完了するまでにかかった時間を記録します。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

このタスクについて
[オープン] ステータスの資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価タスクの作業時間を記録できます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 処理している修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業している修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 作業時間を記録する資産修復タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. **[Start Timer]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

10. タスクでの作業が完了したら、[詳細] フォームでタスクの結果を選択します。
    - 資産のトラブルシューティングタスクを完了した場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修理可能
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産修復タスクを完了した場合は、[修復結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修復
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産評価タスクを完了した場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 再展開可能
      - 廃棄対象
11. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
12. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

タスク完了時に作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、資産修復タスクの [作業時間] タブに作成されます。

で修復タスクにかかった時間を手動で記録する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースで手動で修復タスクに取り組んだ時間のエントリを作成します。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 処理している修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業している修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 時間を手動で記録するタスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. [時間を記録] を選択します。
10. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [日]、[時間]、および [分] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。

b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。

11. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

[作業時間] フォームが保存され、タイムカードが資産修復タスクの [作業時間] タブに追加されます。

での修理タスクの一時停止 エンタープライズ資産ワークスペース

作業を続行しない場合は、修理タスクの中断を エンタープライズ資産ワークスペース に記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に

「対応中」ステータスの資産修復タスクを一時停止することができます。タスクを一時停止するオプションは、資産修復タスクに対して次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。

2. [タイマーの開始] を選択して、時刻の記録を開始します。

必要なロール:asset_technician

始める前に

必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリ.

2. [修理注文] タブを選択します。

3. 処理している修復オーダーを選択します。

4. [修理注文明細行] タブを選択します。

5. 作業している修復注文ラインを選択します。

6. [資産タスクの修復] タブを選択します。

7. 一時停止するタスクを選択します。

8. [作業の一時停止] を選択します。
[作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります。

9. 活動を再開する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果

タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリが [作業時間] タブに作成されます。

エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産のピッキングを管理する

ストックルームに対して資産集荷タスクを明示的に有効にし、資産の場所の詳細を指定して、ストックルーム内の資産ピッキングを容易にします。

でストックルームの資産集荷タスクを有効にする エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームの資産集荷タスクを有効にして、タスクが標準エンタープライズ資産要求、エンタープライズ資産リフレッシュ要求、および調達ワークフローに自動的に追加されるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能な倉庫のリストから、資産集荷タスクを有効にする倉庫を選択します。
4. [ストックルームの詳細] フォームで、[必要なタスクを選択] チェックボックスをオンにします。
5. [**Save** (保存)] をクリックする。

で倉庫に通路とスペースを追加する エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームの通路とスペースの詳細を追加して、そのストックルーム内の資産の詳細な場所の詳細を提供します。通路とスペースの詳細により、ストックルーム内の資産を検索してピッキングできます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
スペースはストックルームの通路に関連付けられています。スペースを追加できるのは、少なくとも 1 つの通路をストックルームに追加した後のみです。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。
4. [通路とスペース] タブを選択します。
   そのストックルーム内の既存の通路とスペースのリストが表示されます。
5. 選択したストックルームに通路を追加します。

   a. [通路を追加] を選択します。

      [通路を追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドに、通路の一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。例: `aisle_0001`。

   c. オプション: 通路をさらに追加するには、[追加] アイコン (+]) を選択し、[通路] フィールドに通路の一意の識別子を入力します。

   d. [**OK**] を選択します。

   通路が [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
6. ストックルームの通路にスペースを追加します。

   a. [スペースの追加] を選択します。
      [スペースを追加] ダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [通路] フィールドで、スペースを追加する通路を選択します。

c. [スペース] フィールドに、スペースの一意の識別子を入力します。

このフィールドには任意の文字列値を入力できます。例: space_0001。

d. オプション: スペースを追加するには、[追加] アイコン (+]) を選択し、[スペース] フィールドにスペースの一意の識別子を入力します。

e. [**OK**] を選択します。

- スペースが [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
- スペースの表示名は、[通路] フィールドと [スペース] フィールドに基づいて自動的に設定されます。たとえば、通路がaisle_001でスペースがspace_001スペースの表示名は「**aisle_001 - space_001**」です。

倉庫のオープンエンタープライズ資産集荷タスクを表示する

ストックルームのオープン資産集荷タスクを表示して、アクションが必要なタスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > インベントリ.
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. ストックルームを選択します。
   [オープンストックルームタスク] セクションの [オープンな集荷タスク] カードには、オープンな集荷タスクの数が表示されます。
4. [オープンな集荷タスク] カードを選択します。

タスクの結果
ストックルームのオープンな資産集荷タスクのリストが表示されます。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされたすべてのエンタープライズ資産集荷タスクを管理します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。

エンタープライズ資産の契約の作成と管理

エンタープライズ資産の契約を作成し、有効期限が近づいている契約または既に期限切れになっている契約に対してアクションを実行して管理します。

有効期限が近づいている、またはすでに期限切れになっている特定のエンタープライズ資産契約に対してアクションを実行できます。

メンテナンス契約または保証契約の有効期限が近づいている場合、または既に期限切れになっている場合は、契約更改ワークフローを使用して契約を更新できます。期限切れ間近のメンテナンスおよび保証契約の更新の詳細については、「 契約更改ワークフロー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース契約の有効期限が近づいている場合、または既に期限切れになっている場合は、次のいずれかを選択できます。

- 関連するエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し、
- 関連するエンタープライズ資産を買い取り、資産インベントリに永続的に追加できるようにします。
- または契約を延長します。

期限切れ間近のリース契約の管理の詳細については、「 リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約の管理」を参照してください。

リースされたエンタープライズ資産の契約の作成

契約を作成して、エンタープライズ資産のリースの詳細を定義します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

次の手順では、リースされたエンタープライズ資産に対してのみ契約を作成する方法について説明します。他のタイプの契約を作成する方法については、「 契約管理 」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース契約 タブで、新規 を選択します。
3. [新規契約を作成] フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの詳細については、 の契約フィールド エンタープライズ資産管理 を参照してください。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。
   リース契約の新しい契約レコードが作成されます。
5. リース契約の契約条件を作成します。
   リース契約の契約条件を作成する前に、契約条件レコードを作成して契約に追加する必要があります。契約条件レコードの作成方法の詳細については、「 契約条件レコードの作成 」を参照してください。契約に契約条件レコードを追加する方法の詳細については、「 契約に契約条件を追加する 」を参照してください。
   a. リース契約レコードヘッダーで、[その他のアクション] アイコン (•••
   b. プロンプトが表示されたら、[契約条件の作成] を選択します。
   リース契約の契約条件が作成され、リース契約レコードの [契約履歴] タブに追加されます。[契約履歴] タブで、[契約開始] フィールドで日付を選択すると、リース契約の完全な契約条件を表示できます。
6. リース契約の対象となるすべてのエンタープライズ資産を追加します。

   注:
   マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成した場合、親資産のみをリース契約に追加できます。関連付けられた子資産をリース契約に追加することはできません。マルチコンポーネント資産の詳細については、 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理 を参照してください。

   a. リース契約レコードの対象 資産 タブで、 追加 を選択します。
   [資産を追加] ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ダイアログボックスで、リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

> **注:**
> ダイアログボックスには、別のアクティブなリース契約の対象になっていないエンタープライズ資産のみが表示されます。

c. [**Add**] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[対象資産 **(Assets Covered**)] タブが自動的に再ロードされ、追加したすべてのエンタープライズ資産のリストが表示されます。

7. リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のコストを追跡する経費ラインを作成します。

a. リース契約レコードの 経費ライン タブで、 新規 を選択します。

b. [新しい経費ラインを作成] フォームで、フィールドに入力します。

各フィールドの詳細については、 の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理 を参照してください。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。
選択したエンタープライズ資産の新しい経費ラインレコードが作成されます。

d. 経費ラインレコードを閉じて、リース契約レコードの [経費ライン] タブに戻ります。

e. 作成する経費ラインごとに手順 a から d を繰り返します。

8. リース契約に関連付ける子契約を作成します。

a. リース契約レコードの 子契約 タブで、 新規 を選択します。

b. [新規契約を作成] フォームの [契約モデル] フィールドで、作成する契約のタイプを検索して選択します。

c. リース契約の構成に使用したのと同じ手順 (手順 3 ～ 7) に従って、子契約を構成します。

d. [レビューのため送信] を選択します。
子契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーにレビュー通知が送信されます。子契約を確認した後、ユーザーはそれを承認または却下できます。

e. 作成するすべての子契約について、手順 a から d を繰り返します。

9. [レビューのため送信] を選択します。
リース契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーにレビュー通知が送信されます。リース契約を確認した後、ユーザーは契約を承認または却下できます。

リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約の管理

[契約とリースの管理] ビューを使用して、契約の終了が近づいているリースエンタープライズ資産を追跡し、アクションを実行できます。リースされたエンタープライズ資産の返却、リースされたエンタープライズ資産の買収、またはリース契約の延長を選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リース管理フロー

特定のエンタープライズ資産のリース契約の有効期限が近づくと、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションから、契約の有効期限が間もなく切れることを通知する通知が自動的に送信されます。この有効期限通知のタイミング、コンテンツ、および受信者をカスタマイズするには、次の場所に移動します。 システム通知 > メール > 通知 次に、利用可能なメール通知のリストから [契約しきい値に違反し ました] を選択します。

いずれかのリース契約の有効期限通知を受信したら、その契約のリース終了プロセスを開始できます。

注:
リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが、 サブステート が [期限切れ] でないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。[期限切れ間近のサブステート] は、その契約のリース終了プロセスがすでに開始されていることを示します。

リース終了プロセスが開始されると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによって計画タスクが自動的に生成されます。計画タスクは、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定するために完了する必要があります。次のいずれかを選択できます。

- エンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し、
- エンタープライズ資産を買い取り、資産インベントリに永続的に追加できるようにします。
- またはリース契約を延長します。

選択したアクションに基づいて、後続のすべてのタスクを実行してリース終了プロセスを完了し、リース契約を期限切れ間近のサブステートから移動する必要があります。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスを開始する

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスを開始して、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長を行うことができます。

始める前に

重要:
リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが、 サブステート が [期限切れ] でないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。[期限切れ間近のサブステート] は、その契約のリース終了プロセスがすでに開始されていることを示します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. [リース契約] タブで、契約を返却、買い取り、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコードヘッダーで、 リース終了プロセスの開始 を選択します。
4. 契約のリース終了プロセスを開始することを確認するメッセージが表示されたら、[**OK]** を選択します。

タスクの結果

指定されたリース契約のリース終了プロセスが開始されます。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはリース契約の計画タスクを自動的に生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定できるようにします。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクの完了」を参照してください。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクの完了

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長を進めることができます。

始める前に
期限切れ間近のリース契約の計画タスクを生成するには、その契約のリース終了プロセスを開始する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスを開始する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

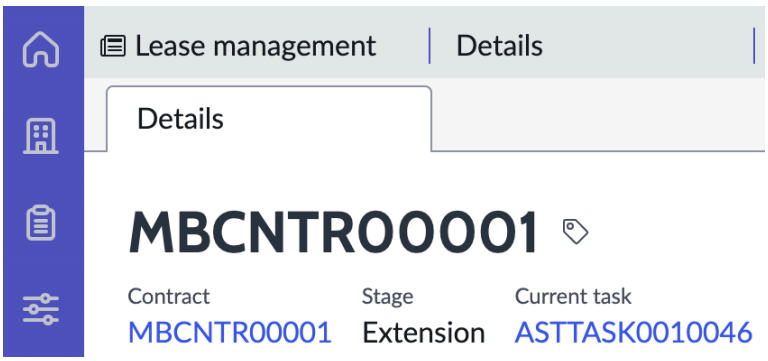
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. [リースエンド資産] タブで、契約を返却、買い取り、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。

   注:
   計画ステージにあるリース契約を選択する必要があります。

   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 計画 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   [計画立案] タスクが開きます。
4. 計画タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	計画タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
リースアクション	関連付けられたエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 戻る ○ 拡張 **注:** このオプションを選択すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによって、リース契約延長の発注書 (PO) と発注明細が自動的に作成されます。 ○ 買収 **注:** このオプションを選択すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによってエンタープライズ資産買収の発注書 (PO) と発注明細が自動的に作成されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

5. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
計画タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

次のタスク
[リースアクション] フィールドで選択したアクションに基づいて、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長に必要なすべてのタスクを完了します。

リースされたエンタープライズ資産の返却

対応するリース契約が期限切れになる前に、リースされたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
リースされたエンタープライズ資産の返却に進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

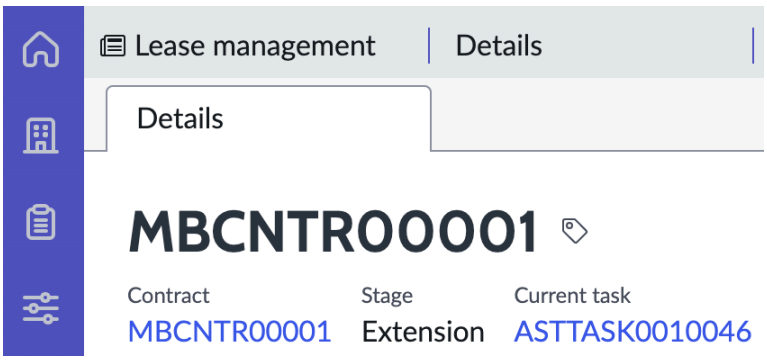
注:
sn_eam.enterprise_asset_technician ロールは、収集、準備、および出荷のタスクも実行できます。ただし、このロールは、エンタープライズ資産の概要で利用可能な リース終了タスク クイック リンクカードを介してのみ、これらのタスクを実行できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. [リースエンド資産] タブで、返却するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の収集タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、返却するエンタープライズ資産を収集する必要があります。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 収集 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   収集タスクが開きます。

   b. 収集タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	収集タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
資産の収集	
収集された資産	関連するエンタープライズ資産が返却のために収集されたかどうかを示すオプション。 [はい] を選択すると、[ストックルーム] フィールドが [収集された資産] フィールドの横に表示されます。[ストックルーム] フィールドで、関連付けられたエンタープライズ資産の収集元のストックルームを検索して選択します。 [いいえ] を選択すると、[収集された資産] フィールドの横に [アクションの変更] フィールドが表示されます。[アクションの変更] フィールドで、リース アクションを エンタープライズ資産の買い取りまたはリース契約の延長 に変更するオプションを選択します。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
収集タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

[収集された資産] フィールドを [はい] に設定すると、関連付けられたエンタープライズ資産の資産レコードの [サブステート] フィールドが [転送待ち] に変わります。

[収集された資産] フィールドを [いいえ] に設定した場合は、次のいずれかのオプションに進みます。

- リースアクションをエンタープライズ資産の買い取りに変更した場合は、「 リースされたエンタープライズ資産を買い取る」に進みます。
- リースアクションをリース契約延長に変更した場合は、「 エンタープライズ資産のリース契約の延長」に進みます。

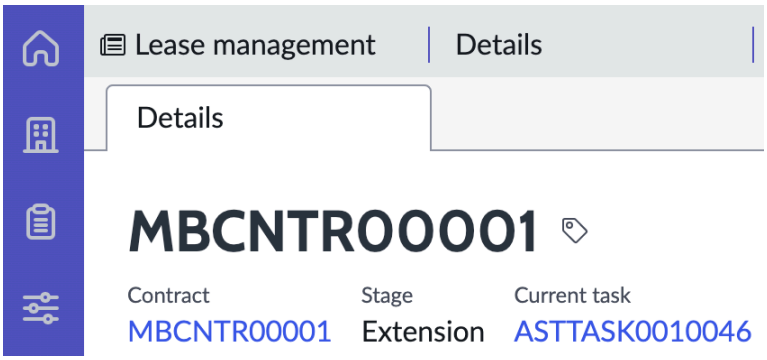
4. リース契約の準備タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を返却する準備をする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



準備タスクが開きます。

b. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	準備タスクを識別して追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
準備タスクが自動的にクローズされ、[完了してクローズ] の更新ステータスになります。

5. リース契約の出荷タスクを完了してクローズします。

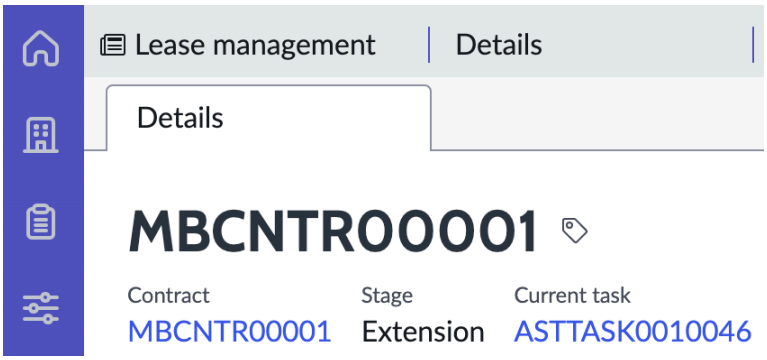
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	出荷タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
出荷	
キャリア	関連するエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	関連するエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できる追跡番号。
メモ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

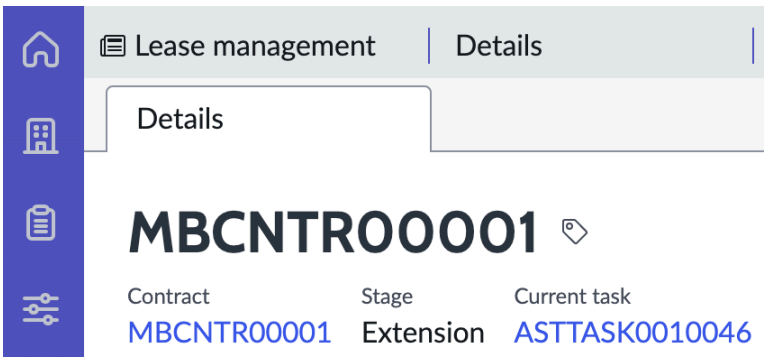
c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
出荷タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

関連付けられたエンタープライズ資産の資産レコードで、[ステータス] フィールドが [輸送中] に変わります。

6. リース契約の返却確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、返却されたエンタープライズ資産を資産ベンダーが受領したかどうかを確認する必要があります。資産ベンダーは、返却されたエンタープライズ資産に対して受け取る決済支払いについても通知する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 返却確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



返却確認タスクが開きます。

b. 返却確認タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	返却確認タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
返信の詳細	
返却確認	関連付けられたエンタープライズ資産が正常に返却されたかどうかを示すオプション。 返却確認タスクを完了するには、このフィールドを [はい] に設定する必要があります。
決済	返したエンタープライズ資産の決済支払いを受け取るかどうかを示すオプション。 はい を選択すると、決済金額 フィールドが 決済 フィールドの下に表示されます。決済金額 フィールドに、決済支払いから受け取る合計金額を入力します。エンタープライズ資産管理 アプリケーションはこの情報を使用して、決済支払いの発注書と発注明細を自動的に作成できます。 **注:** [決済金額] フィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
返却確認タスクが自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

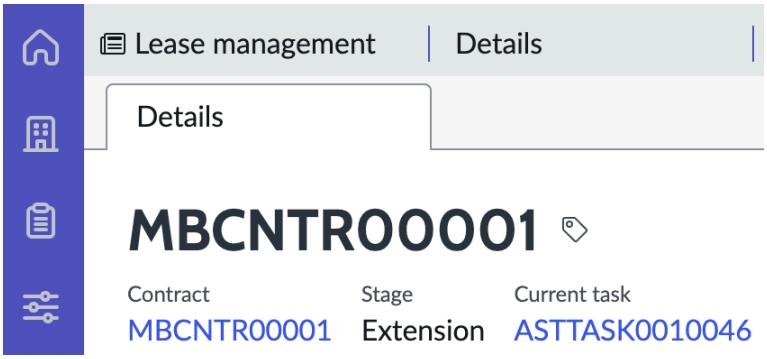
7. 返却確認タスクの 決済 フィールドを はい に設定した場合は、対応する返品決済タスクを完了して終了します。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーが決済支払いで指定された金額を払い戻す必要があります。

a. リース契約レコードの 契約資産タスク タブで、 返却決済 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



返却決済タスクが開きます。

> **注:**
> [ステータス] フィールドを除き、返却決済タスクの編集可能なすべてのフィールドは、返却確認タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前入力されています。[発注書] フィールドと [発注明細] フィールドには、ステップ 7 で決済支払いに対してエンタープライズ資産管理アプリケーションが自動的に作成した発注書と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [詳細を返す] セクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ]を選択します。
発注書レコードが開きます。

c. [注文] を選択します。

d. ページが再読み込みされたら、[受信] を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードのステータスは [受領済み] になります。

e. 返品決済タスクに戻るには、発注書レコードをクローズします。

f. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
返却決済タスクは、更新されたステータスが [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

タスクの結果

リースされたエンタープライズ資産を正常に返却すると、対応する資産レコードの [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] および [リース返却] に変わります。

リースされたエンタープライズ資産を買い取る

対応するリース契約の有効期限が切れる前に、リースされたエンタープライズ資産を買い取ります。

始める前に

リースされたエンタープライズ資産の買い取りに進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクの完了」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。

2. [リースエンド資産] タブで、買い取るエンタープライズ資産のリース契約を選択します。

自動翻訳

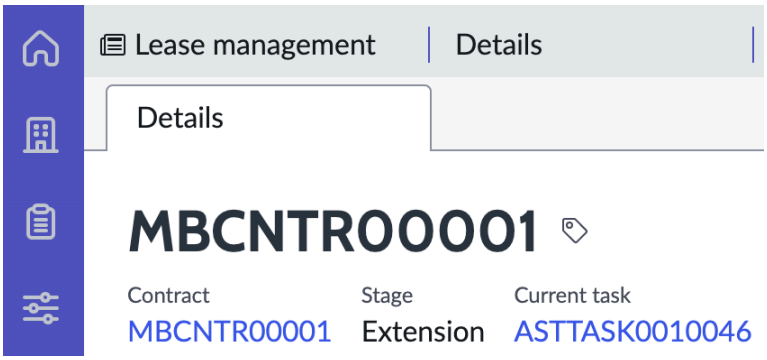
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース契約レコードが開きます。

3. リース契約の買収タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーに買収日と金額を確認する必要があります。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   買収タスクが開きます。

   b. 買収タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	買収タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
買収の詳細	
買収日	関連するエンタープライズ資産を買い取る日付。
買収金額	関連するエンタープライズ資産を買い取るためのコスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

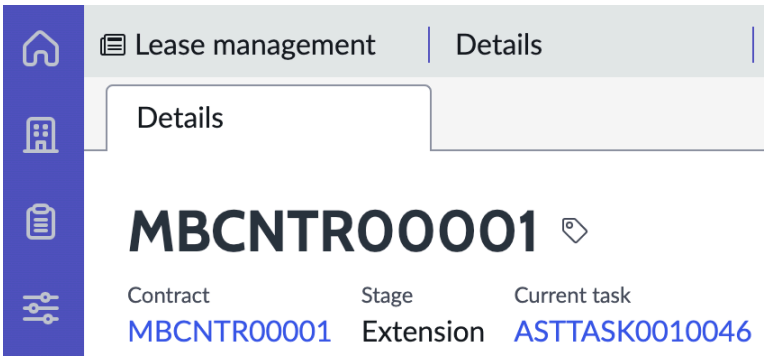
フィールド	説明
	注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
買収タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

4. リース契約の買収確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、確定済み買収日までに確定済み買収金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



買収確認タスクが開きます。

注:
[ステータス] フィールドと追加の買収確認フィールドを除き、買収確認タスクの編集可能なすべてのフィールドは、買収タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前入力されます。[発注書] フィールドと [発注明細] フィールドには、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションが 計画タスクでエンタープライズ資産買収のために自動的に作成した発注書と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [買収の詳細] セクションで、[買収の確認] フィールドを [はい] に設定します。
このフィールドは、エンタープライズ資産を正常に買い取ったかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ]を選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、[受信] を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードのステータスは [受領済み] になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

f. 発注書レコードを閉じて、買収確認タスクに戻ります。

g. [買収] 確認タスクで、[**Close Task**] を選択します。
買収確認タスクが自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

タスクの結果
エンタープライズ資産を正常に買い取ると、リース契約レコードの [削除日] フィールドは、すべての買い取りタスクを完了した日付で自動的に更新されます。この日付を過ぎると、このリース契約レコードを使用してエンタープライズ資産を追跡することはできなくなります。

エンタープライズ資産のリース契約の延長

期限切れになる前に、エンタープライズ資産のリース契約を延長します。

始める前に
リース契約の延長を続行する前に、関連する計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクの完了」を参照してください。

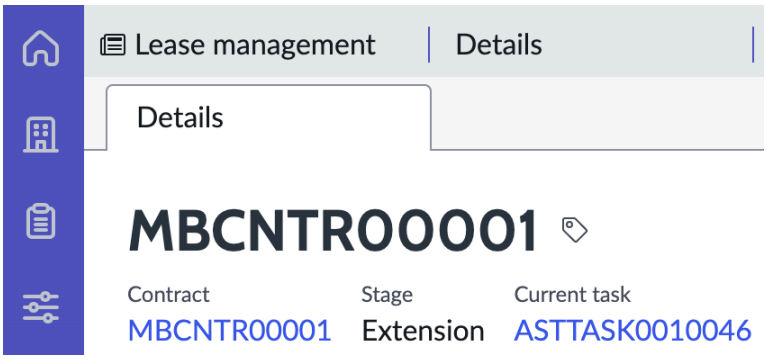
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. [リースエンド資産] タブで、延長するリース契約を選択します。
リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の拡張タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、リース契約延長の詳細を資産ベンダーに確認する必要があります。これらの詳細には、リース契約延長の開始日、終了日、およびコストが含まれます。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 拡張 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



拡張タスクが開きます。

b. 拡張タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
[Number (番号)]	拡張タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされるグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明です。
拡張の詳細	
拡張開始日	リース契約の延長を開始する日付。
拡張終了日	リース契約の延長を終了する日付。
拡張コスト	リース契約を延長するためのコスト。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、タスクに関するメモ。

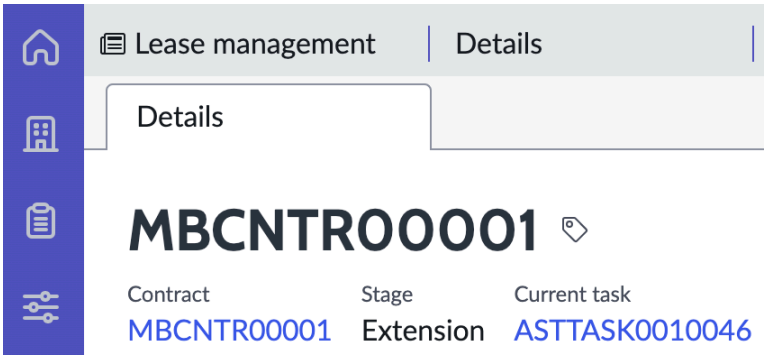
c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
拡張タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスは [完了してクローズ] になります。

4. リース契約の延長確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、拡張コストで指定された金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 延長確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



延長確認タスクが開きます。

> **注:**
> [ステータス] フィールドと追加の延長確認フィールドを除き、延長確認タスクの編集可能なすべてのフィールドは、延長タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前入力されています。[発注書] フィールドと [発注明細] フィールドには、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションが 計画タスクでリース契約延長に対して自動的に作成した発注書と発注明細が事前に入力されています。

b. 詳細 タブの 延長の詳細 セクションで、延長確認 フィールドを はい に設定します。
このフィールドは、リース契約が正常に延長されたかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ]を選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、[受信] を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードのステータスは [受領済み] になります。

f. 発注書レコードを閉じて、拡張確認タスクに戻ります。

g. 延長確認タスクで、 タスクをクローズ を選択します。
延長確認タスクが自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

タスクの結果
リース契約を正常に延長すると、リース契約レコードの [有効期限] フィールドが [期限切れ] に変更されます。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、延長リース契約の新しいレコード **EXT_<*expired-lease-contract*>** を作成します。新しいリース契約レコードは、元のリース契約レコードでカバーされていたものと同じエンタープライズ資産をすべて対象としています。

エンタープライズ資産の作業指示の管理

エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

作業指示の管理の概要

次のタスクを実行して、エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	必要なロール	リソース
エンタープライズ資産の作業計画を作成する		エンタープライズ資産の作業計画を作成する
エンタープライズ資産のメンテナンス計画の作成		エンタープライズ資産のメンテナンス計画の作成
エンタープライズ資産の作業指示を作成する		エンタープライズ資産の作業指示書を作成する
エンタープライズ資産の作業指示と作業タスクを通じて作業を管理します		エンタープライズ資産の作業の管理
エンタープライズ資産のテンプレートの作成		エンタープライズ資産管理作業指示のテンプレートを作成
返品タスクを使用してエンタープライズ資産の配送を管理する		による個人のストックルームでのエンタープライズ資産の配送返品タスク

作業管理ビューの フィールドサービス管理 **(FSM)** 構成を編集する

必要に応じて フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集して、Enterprise 資産ワークスペースの作業管理ビューにアクセスして使用できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

フィールドサービス管理 (FSM)構成の詳細については、「グローバルドメイン構成」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > フィールドサービス > アドミニストレーション > 構成.
2. [ビジネスプロセス] タブで次の構成を編集します。

[ビジネスプロセス] タブ

構成	設定
ライフサイクル	
プロセスライフサイクル	この構成をタスク主導型に設定します (サブタスクが必要です)。
新しいリクエストに対して承認が必要	この構成を無効にします。
新しい要求には資格が必要	この構成を無効にします。
アサイン済みタスクにエージェントの承認または却下が必要	この構成を無効にします。
エージェントの移動時間の追跡	この構成を無効にします。
要求とタスクの終了またはキャンセル時に作業メモが必須	この構成を有効にします。
タスク作業メモを要求へコピー	この構成を無効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成	設定
ドラフトステータスの作業指示テンプレートを適用	この構成を有効にします。
カタログと要求の作成	
受信メールによって要求を作成または更新	この構成を無効にします。
カタログとフォーム、またはフォームのみを使用して要求を作成	この構成を 通常のフォームのみに設定します。
テンプレートによる専用のカタログアイテムの作成	この構成を無効にします。

3. [アサイン] タブで次の構成を編集します。

[アサイン] タブ

構成	設定
アサイン方法	
タスクのアサイン方法	この構成は 手動で設定します。
ディスパッチキューとグループのカバー範囲	
ディスパッチキューの使用	この構成を無効にします。
アサイン先グループのカバー範囲に基づく要求またはタスクのアサイン	この構成を無効にします。
アサイン先グループの製品モデルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
アサイン先グループのスキルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
スケジュール	
エージェントまたはタスクのスケジューリングを使用	この構成を無効にします。
エージェントの自動選択にタスクのタイムゾーンを考慮	この構成を無効にします。
優先度割り当ての有効化	この構成を無効にします。
追加のファクター	
エージェントの自動選択にエージェントの場所を考慮	この構成を無効にします。
タスクに対するエージェント自動選択がスキルの所持を要求	この構成を [なし] に設定します。
自動選択がリクエスト内のすべてのタスクに同じエージェントのアサインを試行	この構成を無効にします。

4. [アドオン] タブで次の構成を編集します。

[アドオン] タブ

構成	設定
部品要件	
エージェントに必要な部品要件	この構成を有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成	設定
エージェント倉庫の在庫部品を確保	この構成を無効にします。
オープンの転送注文をキャンセル	この構成を無効にします。
関連モデルを編集	この構成を無効にします。
Documentation (ドキュメント)	
専用ナレッジベースの有効化	この構成を無効にします。
ドキュメント管理の有効化	この構成を無効にします。
タスクアクティビティの有効化	この構成を無効にします。
関連タスクテーブル	
関連タスクテーブルを編集	この設定は空のままにします。
マップ	
マップの有効化	この構成を無効にします。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズ資産の作業計画を作成する

作業計画を作成および管理して、アクティビティに対して作業を実行する方法とタイミングを指定します。

このタスクについて

作業計画管理アプリケーションの機能を使用して、 エンタープライズ資産ワークスペース内から作業計画を作成します。これにより、マネージャーは将来の作業指示書を作成して技術者に割り当てることができるため、技術者はそれに応じて作業をレビューおよび計画できます。

> **注:**
> Planned Work Management プラグイン [sn_fsm_planned_wm] プラグインがアクティブ化されていることを確認します。

作業計画は、計画の実行をスケジュールできる期間を決定する有効な開始日と終了日で構成されます。各作業計画には、作業計画を適用するレコードが少なくとも 1 つ以上関連付けられている必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_fsm_planned_wm.planned_work_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. メンテナンス計画 タブで、新規 を選択して ターゲット資産テーブルの選択 ポップアップウィンドウを開きます。
3. [計画タイプ] リストから [作業計画] を選択します。
4. [資産テーブル] リストからテーブルを選択します。
   デフォルトでは、Enterprise 資産テーブルが選択されています。
5. **[Create** (作成)] を選択します。
6. [新規作業計画を作成] ページで、詳細を入力します。
   すべての作業計画フィールドの詳細については、「 の作業計画フィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

   ページが閉じ、新しい作業計画レコードに自動的にリダイレクトされます。

   計画作業スケジュール、計画作業レコード、および作業指示を作成することで、作業計画をさらに構成できます。

   [メンテナンス計画] タブのリストビューで、すべての作業計画レコードを表示できます。すべての作業計画レコードには **WP** のプリフィックスが付きます。

作業計画の計画作業スケジュールを作成します

計画作業スケジュールを作成して、作業計画を実行するタイミングとスケジュールの実行頻度を指定します。1 つ以上の計画作業スケジュールを 1 つの作業計画に適用できます。

始める前に

計画作業スケジュールを作成する前に、 作業計画が作成されていることを確認してください。

必要なロール：sn_fsm_planned_wm.planned_work_admin

手順

1. 作業計画レコードの **[Planned Work Schedules**] タブで、[**New**] を選択します。
2. [新しい計画作業スケジュールを作成] フォームで、フィールドに入力します。

   計画作業スケジュールフィールドの詳細については、「 エンタープライズ資産管理の作業計画スケジュールフィールド」を参照してください。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
   フォームが閉じ、新しい計画作業指示スケジュールレコードに自動的にリダイレクトされます。
4. [その他のアクション] 省略記号アイコンを選択し、[フィルターされたレコードにスケジュールを関連付け] を選択して、作業計画が適用される資産にスケジュールを関連付けます。
   エンタープライズ資産が計画作業計画スケジュールに関連付けられたことを示す確認メッセージが表示されます。計画作業計画スケジュール・レコードまたは作業計画レコードの 「計画作業レコード 」 タブを使用して、関連付けが成功したことを確認できます。
5. 計画作業スケジュールテンプレートを作業計画スケジュールに適用します。
   計画作業スケジュールテンプレートを使用すると、計画作業スケジュールが実行されるたびに、エンタープライズ資産管理 アプリケーションで情報を自動的に入力し、適切な要求とタスクを生成し、作業計画の部品要件を作成できます。

   a. 作業計画スケジュールレコードの [計画作業スケジュールテンプレート] タブで、[新規] を選択します。

      [新しい計画作業スケジュールテンプレートを作成] フォームが開きます。

   b. フォームのフィールドに入力します。

      [新規計画作業スケジュールテンプレートを作成] フォーム

フィールド	説明
モデル	作業指示テンプレートのモデル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
スケジュール	作業指示テンプレートを適用する計画作業スケジュール。このフィールドは、自動的に入力されます。
テーブル	この計画スケジュールの対応する作業計画に関連付けられているテーブル。 このフィールドは、作業計画用に選択されたテーブル名に自動的に設定されます。
条件	計画されたスケジュールに基づいて作業指示を作成するために使用する作業指示書テンプレートを決定するフィルター条件。
メモ	テンプレートに関する作業メモ。

c. [**Save** (保存)] をクリックする。

d. フォームを閉じて、計画作業計画スケジュールレコードに戻ります。

6. 計画作業計画スケジュールレコードで、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択し、[オンデマンドで実行] を選択して、各資産の作業指示書を作成します。
作業指示は資産ごとに作成されます。作業指示書は [作業指示書] タブで確認できます。

エンタープライズ資産のメンテナンス計画の作成

メンテナンス計画を作成して、エンタープライズ資産、リニア資産、およびリニアセグメントの定期メンテナンスを管理およびスケジュールします。メンテナンスは、オンデマンドで実行することも、一連の特定の基準に基づいて実行することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. メンテナンス計画 タブで、新規 を選択します。
3. [計画タイプ] リストから [メンテナンス計画] を選択します。
4. [資産テーブル] リストからテーブルを選択します。
デフォルトでは、Enterprise 資産テーブルが選択されています。
5. **[Create** (作成)] を選択します。
6. [新しいメンテナンス計画を作成] ページで、詳細を入力します。
すべてのメンテナンス計画フィールドの詳細については、「 のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。

   ページが閉じ、新しいメンテナンス計画レコードに自動的にリダイレクトされます。

   メンテナンススケジュール、作業指示、および作業指示タスクを作成することで、メンテナンス計画をさらに構成できます。[メンテナンス計画] タブのリストビューで、すべてのメンテナンス計画レコードを表示できます。すべてのメンテナンス計画レコードには 、MPというプリフィックスが付きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メンテナンス スケジュールの作成

メンテナンススケジュールを作成し、時間間隔やフィールド値などの基準を使用してメンテナンスを実行する時刻を指定し、作業指示テンプレートをスケジュールに適用します。1 つのメンテナンス計画に 1 つ以上のメンテナンススケジュールを適用できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. メンテナンス計画レコードの メンテナンススケジュール タブで、 新規 を選択します。
2. [新しいメンテナンススケジュールを作成] フォームで、フィールドに入力します。

   各フィールドの詳細については、 のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理 を参照してください。

3. [**Save** (保存)] をクリックする。
   フォームが閉じ、新しいメンテナンススケジュールレコードに自動的にリダイレクトされます。
4. メンテナンススケジュールに作業指示書テンプレートを適用します。
   作業指示書テンプレートを使用すると、定期メンテナンスが実行されるたびに、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションで情報を自動的に入力し、適切な要求とタスクを生成し、作業指示書の部品要件を作成できます。

   a. メンテナンススケジュールレコードの [スケジュールテンプレート] タブで、[新規] を選択します。

      [新規スケジュールテンプレートを作成] フォームが開きます。

   b. フォームのフィールドに入力します。

      [新規スケジュールテンプレートを作成] フォーム

フィールド	説明
モデル	作業指示テンプレートのモデル。
スケジュール	作業指示テンプレートを適用するメンテナンススケジュール。このフィールドは、自動的に入力されます。

   c. [**Save** (保存)] をクリックする。

   d. フォームを閉じて、メンテナンススケジュールレコードに戻ります。
5. メンテナンススケジュールレコードで、 その他のオプション 省略記号アイコンを選択し、 レコードの関連付け を選択して、メンテナンス計画が適用されるエンタープライズ資産にメンテナンススケジュールを関連付けます。
   エンタープライズ資産がメンテナンススケジュールに関連付けられたことを示す確認メッセージが表示されます。メンテナンススケジュールレコードまたはメンテナンス計画レコードのいずれかの [メンテナンス計画レコード] タブを使用して、関連付けが成功したことを確認できます。

タスクの結果

メンテナンスは、メンテナンス計画に設定したスケジュールに基づいて自動的に実行されます。メンテナンススケジュールレコードで [オンデマンドで実行] を選択して、メンテナンスをオンデマンドで実行することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産がまだ既存の作業指示に関連付けられていない場合、メンテナンスが実行されるたびに、メンテナンス計画が適用されるすべてのエンタープライズ資産に対応する作業指示書が エンタープライズ資産管理 アプリケーションで自動的に作成されます。これらの作業指示書を使用して、指定されたエンタープライズ資産で実行する必要があるすべての作業を追跡および管理できます。作業指示の詳細については、 エンタープライズ資産の作業の管理 を参照してください。

エンタープライズ資産の作業指示書を作成する

作業指示書を作成して、エンタープライズ資産、リニア資産、またはリニアセグメントの作業を追跡および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. 作業指示書 タブで、新規 を選択します。

   注:

   エンタープライズ資産のメンテナンスを管理およびスケジュールするためのメンテナンス計画を作成した場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、メンテナンス計画が適用される資産ごとに対応する作業指示書を自動的に作成します。

   メンテナンス計画の詳細については、 エンタープライズ資産のメンテナンス計画の作成 を参照してください。

3. [新規作業指示書を作成] フォームのフィールドに入力します。

[新規作業指示を作成] フォーム

フィールド	説明
作業指示	
会社	作業指示を作成する会社。
契約	関連するエンタープライズ資産のリースの詳細を定義する契約。
資産	この作業指示書を通じて作業を管理する資産。 **注:** このフィールドからリニア資産とリニアセグメントを選択することもできます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。
開始マーカー	リニア資産またはリニア資産の始点。 **注:** このフィールドは、[資産] フィールドで [リニア資産] または [リニアセグメント] を選択した場合にのみ表示されます。
終了マーカー	リニア資産またはリニアセグメントの終点。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、[資産] フィールドから [リニア資産] または [リニアセグメント] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	作業指示の優先度。
Template (テンプレート)	この作業指示に適用する作業指示書テンプレート。作業指示書テンプレートを使用すると、作業指示書の情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、部品要件を作成できます。作業指示書テンプレートの詳細については、「 エンタープライズ資産管理作業指示のテンプレートを作成 」を参照してください。 ドラフト状況の作業指示書にテンプレートを適用し、テンプレートから生成された作業指示書タスクと部品要件を表示するには、sn_eam.enterprise_asset_manager ロールで、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの [ドラフトステータスの作業指示書テンプレートを適用] フィールドが有効になっていることを確認する必要があります。これを行うには、 **All** (すべて) > フィールドサービス > アドミニストレーション > 構成 をクリックし、[ビジネスプロセス] タブの [ドラフトステータスの作業指示書テンプレートを適用] フィールドを有効にします。
クローズ済み	作業指示書がクローズされて完了する日時。
簡単な説明	作業指示の簡潔な説明。
説明	作業指示の詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示書に関するメモ。
スケジュール	
期日	作業指示書を完了する必要がある日時。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
作業指示書はドラフト状況で作成されます。作業指示に関連する作業指示タスクと部品要件は、[作業指示タスク] タブと [部品要件] タブに自動的に表示されます。
5. 作業指示書タスクを追加するには、[作業指示書タスク] タブで [新規] を選択します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示書の作業指示書タスクの作成」を参照してください。
6. 作業指示書または関連する作業指示書タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムを追跡するには、チェックリストを作成します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクのチェックリストを作成します」を参照してください。
7. 作業指示に関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、部品要件を作成します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する」を参照してください。
8. 関連する作業指示タスクの上流または下流のタスク依存関係を指定します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示タスクの依存関係の作成」を参照してください。
9. [作業準備完了] を選択して、指定された作業指示の作業を開始します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
アサインされたエージェントと協力して、作業指示書の後続のすべてのタスクを完了し、クローズします。

エンタープライズ資産管理作業指示書の作業指示書タスクの作成

作業指示書タスクを作成して、 エンタープライズ資産管理 作業指示書の個々のタスクを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. [作業指示書] タブで、作業指示書タスクを追加する作業指示書を選択します。
   作業指示レコードが開きます。
3. [作業指示タスク] タブで、[新規] を選択します。
4. [新規作業指示タスクを作成] フォームのフィールドに入力します。

新しい作業指示タスクの作成

フィールド	説明
作業指示タスク	
アサイン先グループ	作業指示タスクがアサインされているエージェントグループ。
Assigned to (アサイン先)	作業指示タスクがアサインされているエージェント。
作業タイプ	アサインされたエージェントが関連するエンタープライズ資産に対して実行する必要がある作業のタイプ。オプションは、[障害対応]、[インストール]、[計画済みメンテナンス]、および [キャリブレーション] です。
資産	アサインされたエージェントが作業を実行しているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
簡単な説明	作業指示タスクの簡単な説明。
説明	作業指示タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示タスクに関するメモ。
スケジュール	
期間開始日時	作業指示タスクの予定開始日時。
期間終了日時	作業指示タスクの完了予定日時。
予定作業期間	作業指示タスクの完了にかかる時間を見積もります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
実際の作業開始	作業指示タスクの実際の開始日時。
実際の作業終了	作業指示タスクの実際の完了日時。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクのチェックリストを作成します

作業指示または作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. チェックリストを作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、[作業指示書] タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、チェックリストを作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、チェックリストを作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードで、[チェックリストアイテム] タブを選択します。
4. チェックリストを作成するには、次のいずれかのオプションを使用します。
   - 個々のチェックリストアイテムを追加してチェックリストを作成します。
     a. **[New** (新規)] を選択します。
     b. [新規チェックリストアイテムを作成] フォームで、フィールドに入力します。

新しいチェックリストアイテムの作成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	チェックリストアイテムの名前。
順序	チェックリストアイテムを完了する必要がある順序。たとえば、値 1 は、指定されたチェックリストアイテムがチェックリスト内で最初に完了する必要があるアイテムであることを示します。
チェックリスト	チェックリストアイテムが含まれているチェックリスト。
完了	チェックリストアイテムが完了しているかどうかを示すオプション。

     c. [**Save** (保存)] をクリックする。
     d. チェックリストに追加するすべてのチェックリストアイテムについて、手順 a ～ c を繰り返します。
   - チェックリストテンプレートを適用してチェックリストを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [テンプレートを適用] を選択します。

[テンプレートを適用] ダイアログボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、作業指示または作業指示タスクに適用するチェックリストテンプレートを選択します。

c. [**OK**] を選択します。

ダイアログボックスが閉じ、[チェックリストアイテム] タブに戻ります。

d. [リストを更新] アイコン (を選択して、選択したチェックリストテンプレートに基づいて追加されたチェックリストアイテムのリストを入力します。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品が欠落している場合は、欠落している資産または部品を追跡および検証するために部品要件を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

注:
wm_agent ロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. 部品要件を作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、[作業指示書] タブを選択します。利用可能な作業指示のリストから、部品要求を作成する作業指示を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスク レコードの 部品要件 タブで、 新規 を選択します。
4. 「新規部品要件を作成」フォームで、フィールドに入力します。

[新規部品要件の作成 **(Create New Part Requirement)]** フォーム

フィールド	説明
モデル	不足している資産または部品のエンタープライズモデル。
サービス注文タスク	部品要件が関連付けられている作業指示タスク。
必要数量	必要な資産または部品の数量。 **注:** このフィールドは、消耗資産と部品にのみ適用されます。
期日	不足している資産または部品を調達して配送する必要がある日時。
簡単な説明	部品要件の簡単な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
必須	不足している資産または部品が必要かどうかを示すオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

部品要件を作成するマルチコンポーネント資産の子孫モデルを選択

マルチコンポーネント資産を含む作業指示および作業指示タスクの場合は、子孫モデルを選択して部品要件レコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

> **注:**
> wm_agent ロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. 部品要件を作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、[作業指示書] タブを選択します。利用可能な作業指示のリストから、部品要求を作成する作業指示を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードの 部品要件 タブで、 資産に追加 を選択します。
   「部品要件を追加」(Add parts requirement) ダイアログボックスが開きます。
4. [サービス注文タスク] フィールドで作業指示タスクを選択します。
   [サービス注文タスク] フィールドは、作業指示書フォームから [部品要件の追加] ダイアログボックスにアクセスした場合にのみ表示されます。
5. モデルを選択します。
6. [**OK**] を選択します。
   新しい部品要件レコードが作成され、[部品要件] ページに表示されます。

エンタープライズ資産管理作業指示タスクの依存関係の作成

作業指示タスクでアップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係が必要な場合は、それらを作業指示タスクに追加します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. [作業指示タスク] タブで、依存関係を作成する作業指示タスクを選択します。
   作業指示タスクが開きます。
3. 次のいずれかのタブを選択して、アップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係を作成します。
   - アップストリームタスクの依存関係を作成するには、[依存先] タブを選択します。
   - ダウンストリームタスクの依存関係を作成するには、[依存] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [新規サービス注文タスク依存関係を作成 (Create New Service Order Task Dependency)] フォームの [上流タスク] または [下流タスク] フィールドで、依存関係として追加するタスクを検索して選択します。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

エンタープライズ資産の作業の管理

作業指示書と作業指示タスクを使用して、エンタープライズ資産とリニア資産の作業を追跡および管理できます。作業指示でサポートされている資産アクションには、資産の展開、スワップ、削除、およびキャリブレーションが含まれます。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品を調達する

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、カタログ要求を使用して調達します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

> **重要:**
> sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent ロールのいずれかを使用してカタログ要求を作成できますが、これらの要求の調達に使用できるのは sn_eam.enterprise_asset_manager ロールのみです。

このタスクについて
不足している資産または部品は、作業指示書または作業指示書タスクの [部品要件] タブを使用して確認できます。部品要件の詳細については、「 エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する」を参照してください。

すべての部品要件を調達する代わりに、調達する部品要件を指定できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. 部品を調達する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、[作業指示書] タブを選択します。利用可能な作業指示のリストから、部品を調達する作業指示を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品を調達する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードで、[ソース部品要求] を選択します。
   「ソース部品要求」(Source parts request) ダイアログボックスが開きます。まだ要求されていないすべての部品要件モデルがリストされ、デフォルトで選択されます。
4. [要求数量] フィールドに要求する数量を入力します。
   入力する数量は、所要数量より多くてもかまいません。
5. [**OK**] を選択します。
   選択した部品要件に対してのみ対応するカタログ要求が作成されたことを示す確認メッセージが表示されます。
6. Enterprise 資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[資産運用] ビューを開きます。
7. [資産運用] ビューの [リスト] タブで、 調達 > **Requests** (要求).
8. 調達する必要がある資産または部品の要求を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カタログ要求レコードが開きます。調達する必要がある資産または部品は、カタログ要求レコードの [要求アイテム] タブを使用して検証できます。

9. カタログ要求レコードの [カタログタスク] タブで、ソース要求アイテムカタログタスクのタスク番号を選択します。
[ソース要求アイテム] カタログタスクが開きます。
10. [ソース要求] を選択します。
対応するソース要求に自動的にリダイレクトされます。
11. 次の 1 つ以上のオプションを使用して、必要な資産または部品を調達します。

    注:
    ソース要求には、調達する必要があるすべての資産と部品が表示されます。ただし、各資産と部品を個別に調達する必要があります。

    - ローカルストック:ローカルストックルームから資産または部品を消費するオプション。

      このオプションを使用するには、[ローカルストック] ウィジェットの [消費] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の消費の詳細を指定します。

    - 転送可能在庫:利用可能なストックルーム間で、または要求者が資産や部品を受領できる場所に資産や部品を転送するためのオプション。

      このオプションを使用するには、譲渡可能な株式ウィジェットの [転送] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の転送の詳細を指定します。

    - ベンダー購入:サポートされている資産ベンダーから追加の資産または部品を購入するオプション。

      このオプションを使用するには、仕入先購入ウィジェットの [購入] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の購入の詳細を指定します。

12. [**Submit** (送信)] を選択します。
[ソース要求] ダイアログボックスが開きます。
13. ダイアログボックスで、 **[OK]** を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的にカタログ要求レコードに戻ります。

シリアル化されたエンタープライズ資産の資産確認タスクを完了してクローズします

作業指示書がシリアル化されたエンタープライズ資産に関連付けられている場合は、その資産の [資産を確認] タスクを完了してクローズします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エージェントがエンタープライズ資産に対して作業を実行するには、その前に指定のストックルームから集荷する必要があります。エージェントにシリアル化されたエンタープライズ資産の作業を実行させる場合は、最初に資産確認タスクを使用して、どの資産をピックアップする必要があるかを確認する必要があります。他のすべてのエンタープライズ資産タイプについては、[資産を確認] タスクをスキップして、[集荷] タスクに直接進みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. 資産タスク タブで、作業指示書に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産の確認タスク を選択します。
   [確認] タスクが開きます。
3. 確認タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
資産	作業指示に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産。
モデル	シリアル化されたエンタープライズ資産のモデル。
ステータス	確認タスクのステータス。
倉庫	シリアル化されたエンタープライズ資産が置かれている倉庫。
簡単な説明	確認タスクの簡単な説明。
説明	確認タスクの詳細な説明。

4. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
[確認] タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ資産の後続の集荷タスクを生成します。

次のタスク
関連する作業指示書にアサインされたエージェントは、集荷タスクを完了してクローズする必要があります。

エンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズします

アサインされた作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

このタスクについて
エンタープライズ資産での作業を開始する前に、指定されたストックルームから集荷する必要があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. [自分の資産集荷タスク] タブで、集荷されたエンタープライズ資産を選択します。
   集荷タスクが開きます。
3. 集荷タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
資産	ピックアップされたエンタープライズ資産。
Assigned to (アサイン先)	集荷タスクがアサインされている人物。
ステータス	集荷タスクのステータス。
数量 注: このフィールドは、消耗型エンタープライズ資産にのみ適用されます。	集荷されたエンタープライズ資産の数量。
簡単な説明	集荷タスクの簡単な説明。
説明	集荷タスクの詳細な説明。

4. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
集荷タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。

次のタスク
作業指示書をクローズできるように、エンタープライズ資産に必要なすべての作業を完了します。

エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズします

関連付けられたエンタープライズ資産に必要なすべての作業を完了して、アサインされた作業指示書をクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

このタスクについて
エンタープライズ資産で作業する場合、必要な資産または部品を展開、スワップ、または削除することを選択できます。同様に、秘匿資産をリニア資産に展開したり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産をスワップしたり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除したりできます。エンタープライズ資産のキャリブレーションを選択することもできます。資産のすべての作業が完了したら、関連する作業指示書をクローズできます。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. [作業指示タスク] タブで、完了してクローズする作業指示の作業指示タスクを選択します。
   作業指示タスクが開きます。
3. [作業を開始] を選択します。
   作業指示タスクが、更新された [対応中] ステータスでリロードされます。
4. 作業指示タスクに必要なすべての作業を完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 必要な資産または部品を展開、スワップ、または削除する場合は、次の手順を使用します。

  a. [資産使用率] タブを選択します。

  b. 関連するエンタープライズ資産に必要な資産または部品に対して実行するアクションを選択します。

使用可能なアクション

アクション	説明
資産を削除	資産または部品を削除するオプション。リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除することもできます。 **注:** [使用中]、[メンテナンス中]、および [消費済みのみ] のステータスを持つ資産または部品を削除できます。 このオプションを選択すると、[資産を削除] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、削除する資産または部品を選択し、[**OK]** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、[資産使用率] タブが再ロードされて、パーソナルストックルームに割り当てられている、削除された資産または部品が表示されます。後続のすべての廃棄タスクを実行して、削除を完了します。
資産をスワップ	資産または部品を交換するオプション。リニア資産に関連付けられた秘匿資産を別の個別資産と交換することもできます このオプションを選択すると、[資産をスワップ] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、スワップする資産または部品と、スワップする交換用資産または部品の両方を選択します。[**OK**] を選択します。ダイアログボックスが閉じると、[アセット使用状況 **(Asset Usages)]** タブが再ロードされ、アセットとパーツの両方が表示されます。 **注:** 既存の資産または部品を、次の基準を満たす交換用資産または部品と交換できます。 ▪ 対応する資産レコードの [状態] フィールドが [在庫あり] に設定されます。 資産または部品が、ホットスワップ可能なモデル コンポーネントを持つマルチコンポーネント Enterprise モデルに関連付けられている場合は、このフィールドを [使用中] に設定することもできます。 ▪ 資産または部品は、[資産使用率] タブに表示されるか、個人のストックルームにあります。 ▪ 資産または部品が、既存の資産または部品と同じエンタープライズモデルか、既存の資産または部品によってサポートされている代替エンタープライズモデルのいずれかに関連付けられています。代替エンタープライズモデルの詳細については、「 Enterprise モデルの代替モデルの追加」を参照してください。
資産を展開	資産または部品を展開するオプション。秘匿資産をリニア資産に展開することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	注: [資産使用率] タブに表示され、ステータスが [未使用] の資産または部品を展開できます。また、状態が [在庫あり] で、サブステートが [利用可能] または [予約済み] の資産または部品をパーソナル倉庫から展開することもできます。 このオプションを選択すると、[資産を展開] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、展開する資産または部品を選択します。消耗資産または部品を選択する場合は、展開する数量も指定する必要があります。必要に応じて、資産または部品を特定のユーザーに割り当てたり、資産または部品を別の資産または部品の子として追加したりすることができます。すべての必須フィールドに入力したら、[**OK]** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、[資産使用率] タブが再ロードされ、配置された資産または部品が表示されます。 [資産の展開] ダイアログ ボックスで、個別資産をリニア資産に配置する場合は、まずストックルームから個別資産を選択し、その資産を配置する場所について次のいずれかのオプションを選択する必要があります。 ▪ 離散資産に追加:選択した資産を個別資産の子資産として追加します。追加する秘匿資産を選択します。 ▪ 既存の場所に追加:既存の場所を選択します。 ▪ 新しい場所に追加:場所ピッカーを使用して、Geo マップ上の新しい場所をマークします。

c. 展開、スワップ、または削除するすべての資産または部品について、手順 b を繰り返します。

○ 関連するエンタープライズ資産を調整する場合は、次の手順を使用します。

a. [キャリブレーション] タブを選択します。

キャリブレーションイベント プレイブック が開きます。

注:
プレイブックのサイドパネルの各レーンは、キャリブレーションイベントワークフローの一部として完了する必要があるアクティビティを表します。

b. 詳細レーンの作業領域で、フィールドに入力します。

詳細レーン

フィールド	説明
[Name (名前)]	キャリブレーションイベントの名前。
温度	キャリブレーションを実行する環境の温度。
体温の単位	環境温度の測定に使用している温度の単位。
湿度 (%)	キャリブレーションを実行する環境の相対湿度レベル。

c. [Mark as Complete (完了としてマーク)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[詳細] レーンが [完了] としてマークされ、自動的に [キャリブレーションライン] レーンに進みます。

d. [キャリブレーションライン] レーンの作業領域で、完了またはスキップするキャリブレーションラインを選択します。

各キャリブレーションラインは、関連するエンタープライズ資産のキャリブレーション属性に対応しています。キャリブレーション属性に精度を測定できる複数のポイントが含まれている場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはポイントごとに個別のキャリブレーションラインを作成します。必要に応じて、各キャリブレーションラインを完了するかスキップするかを選択できます。キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

e. キャリブレーションラインレコードで、次のいずれかのオプションを使用して、キャリブレーションラインを完了またはスキップします。

- キャリブレーションラインを完了するには、フィールドに入力し、[送信] を選択します。

キャリブレーションラインフィールド

フィールド	説明
詳細	
計測	キャリブレーションの実行に使用している機器。対応するキャリブレーション属性の [モデル計測]フィールドで計測モデルを指定した場合、このフィールドのオプションは、指定した計測モデルに基づいてフィルタリングされます。
キャリブレーション日	キャリブレーションを実行する日時。このフィールドは、[詳細] レーンが完了としてマークされた日時に基づいて自動的に入力されます。必要に応じて、このフィールドを上書きできます。
読み込み	
予想値	精度を測定する値。このフィールドは、キャリブレーション属性で指定した予想値に基づいて自動的に入力されます。
値を検出	キャリブレーション前に測定する値。
値残存	キャリブレーション後に測定する値。

- キャリブレーションラインをスキップするには、[スキップ]を選択します。

キャリブレーションラインレコードが閉じ、自動的に プレイブックに戻ります。

f. [キャリブレーションライン] レーンのキャリブレーションラインごとに手順 d と e を繰り返します。

g. [Mark as Complete (完了としてマーク)] を選択します。

レーンは [完了] としてマークされます。

5. 必要な作業をすべて完了したら、作業指示書タスクで 完了 してクローズ を選択します。
作業指示書タスクと関連する作業指示書の両方のステータスが [対応中] から [完了してクローズ] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業指示タスクの一括クローズ

複数の作業指示タスクを一度にクローズします。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 作業管理.
2. [作業指示タスク] タブを選択します。
   ログインしている技術者のアサイン先グループにアサインされているすべての作業指示タスクが一覧表示されます。
3. [タスクの一括クローズ] を選択します。
   ログインしている技術者がクローズできるすべての作業指示タスクが一覧表示されます。
4. クローズする作業指示タスクのチェックボックスをオンにします。
5. [詳細を追加して閉じる] を選択します。
   [タスクを一括クローズ] ダイアログボックスが開きます。
6. [タスクを一括クローズ] ダイアログに詳細を入力します。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   選択した作業指示タスクがクローズされます。

エンタープライズ資産管理作業指示のテンプレートを作成

作業指示書テンプレートを作成して、情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、作業指示書の資産要件または部品要件を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
作業指示書テンプレートは、 ServiceNow® フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの一部であるフィールドサービスカタログに追加されます。フィールドサービスカタログにアクセスするには、 **All** (すべて) > フィールドサービス > カタログとナレッジ.フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM)」を参照してください。

> **注:**
> ServiceNow Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求してインストールすると、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションが自動的にアクティブ化されます。詳細については、「エンタープライズ資産管理 のインストール」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. 作業指示書テンプレート タブで、新規 を選択します。
   [作業指示テンプレート] フォームが新しいブラウザータブで開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業指示テンプレートフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	作業指示テンプレートの名前。
Short Description (簡単な説明)	作業指示テンプレートの簡単な説明。
説明	作業指示書テンプレートの詳細な説明。
チェックリストテンプレート	作業指示書の一部として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。
ワークフロー 注: このフィールドは、[名前] フィールドの横にある [追加] アイコン (+) を選択した場合にのみ表示されます。	このテンプレートが適用される作業指示書のワークフロー。

4. 必要なタスクを作業指示書テンプレートに追加します。

a. [タスクを追加] を選択します。

b. [タスク情報] フォームのフィールドに入力します。

タスク情報フォーム

フィールド	説明
タスクタイプ	作成するタスクのタイプ。このフィールドは自動的に [作業指示タスク] に設定されます。
[Name (名前)]	タスクの名前。
説明	タスクの詳細な説明です。
部品と数量	タスクを完了するために必要な資産または部品。消耗資産または部品を選択する場合は、タスクの完了に必要な数量も指定する必要があります。1 つのタスクに複数の資産または部品を追加できます。 注: タスクの完了に必要なすべての資産または部品について、[必須] チェックボックスをオンにします。
ディスパッチグループ	タスクがアサインされているエージェントのグループ。
依存先	このタスクを開始する前に完了する必要があるその他のタスク。
チェックリストテンプレート	タスクの一環として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業タイプ	エージェントがタスクを完了するために実行する必要がある作業のタイプ。オプションには、[障害修理]、[キャリブレーション]、[インストール]、および [計画済みメンテナンス] が含まれます。

c. 作業指示書テンプレートに追加する追加タスクごとに、手順 a と b を繰り返します。

5. 関連するナレッジベース記事を作業指示書テンプレートに添付します。
作業指示書テンプレートが、有用な参照情報を含むナレッジベース記事に関連している場合は、記事をテンプレートに添付します。

a. [モデルナレッジ] 関連リストで、[新規] を選択します。

b. [モデルナレッジ] フォームで、[ナレッジ] フィールドの [リストから参照] アイコン (を選択し、作業指示テンプレートに添付するナレッジベース記事を検索して選択します。

c. [モデルナレッジ] フォームヘッダーで [送信] を選択します。

d. 作業指示テンプレートに添付するナレッジベース記事ごとに、手順 a から c を繰り返します。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。
[テンプレートを公開] ダイアログボックスが開きます。

7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[テンプレートを公開] ダイアログボックス

フィールド	説明
カテゴリ	作業指示テンプレートをアサインするフィールドサービスカタログカテゴリ。
可用性	作業指示テンプレートでサポートされているフィールドサービスカタログ形式。オプションは、 デスクトップのみ、 モバイルのみ、および デスクトップとモバイルです。

8. [Publish (公開)] を選択します。

タスクの結果
作業指示書テンプレートがフィールドサービスカタログに追加されます。

エンタープライズ資産管理作業指示のチェックリストテンプレートを作成します

作業指示テンプレートとして追加される、作業指示のチェックリストテンプレートを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
既存のチェックリストテンプレートからコピーし、チェックリストアイテムを編集して追加することも、テンプレートを作成することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 作業管理 > チェックリストテンプレート.

2. [New (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [チェックリストテンプレートを作成 **(Create checklist template**)] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

4. [**OK**] を選択します。

タスクの結果

チェックリストテンプレートが作成され、[チェックリストテンプレート] リストに表示されます。
チェックリストテンプレートの作成後は編集できず、他のアプリケーションでも使用できます。

による個人のストックルームでのエンタープライズ資産の配送 返品タスク

エンタープライズ資産技術者は、納品タスクを作成して、個人のストックルームにあるエンタープライズ資産の他のストックルームへの配送を管理します。宛先ストックルームの資産マネージャーは、納品された資産を受け取り、資産を検証して、受領タスクと納品タスクを完了します。

予約されておらず、 エンタープライズ資産管理 ワークフローに含まれていないエンタープライズ資産を返品できます。

資産をストックルームに配送するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. 納品タスクを作成します。
2. 宛先ストックルームで資産をドロップオフします。

送信した納品タスクは、宛先ストックルームの資産アドミニストレーターが次のタスクを完了した場合にのみ完了します。

1. 受領した資産を検証します。
2. 受領タスクを閉じます。

エンタープライズ資産の返品タスクの作成

自分のパーソナルストックルームにあるエンタープライズ資産を他のストックルームに返却する納品タスクを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [自分のストックルーム資産] タブを選択します。
   パーソナルストックルームにあるエンタープライズ資産のリストが表示されます。
3. [納品のスケジュール] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい納品タスクの作成フォーム

フィールド	説明
倉庫	資産を納品する倉庫。 このフィールドは必須です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配送期日	宛先ストックルームに資産を配送する期日。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	納品タスクをアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	納品タスクの主な担当者であるアサイン先グループの担当者。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
[オープン] ステータスの納品タスクが作成され、[資産タスク] タブに表示されます。

次のタスク
ストックルームでのエンタープライズ資産の納品.

ストックルームでのエンタープライズ資産の納品

エンタープライズ資産を納品タスクに追加し、必要なストックルームに資産を配送します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、エンタープライズ資産を追加する返品タスクを選択します。
4. [資産の返品 **(Drop off Assets**)] タブを選択します。
5. [**Add**] を選択します。
6. [資産の追加] ダイアログ ボックスで、資産を選択して [追加] を選択します。
   追加できるのは、個人のストックルームにあり、予約されておらず、どのワークフローにも含まれていないエンタープライズ資産のみです。

   納品タスクに追加された資産は、[資産の返品 (Return off Assets)] タブに一覧表示されます。
7. 必要なストックルームに資産を納品します。
8. [納品] を選択します。

タスクの結果

- 受領タスクが作成され、資産を納品したストックルームの資産アドミニストレーターにアサインされます。
- 納品タスクのステータスが [対応中] に変わります。

返品タスクを通じて受領したエンタープライズ資産を確認する

資産マネージャーは、ストックルームに配送されたエンタープライズ資産を受領したことを確認し、受領タスクを完了します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、受領した資産を検証する受領タスクを選択します。
4. [資産の返品 **(Drop off Assets**)] タブを選択します。
   ストックルームに納品された資産のリストが表示されます。

   注:
   資産が検証される前に、[資産受領 済み] フラグが **false** に設定されます。

5. 資産を選択します。
6. [検証] を選択します。
   - [資産受領済み] フラグが **true** に変更されます。
   - 受領日は、資産を検証した日付で更新されます。
7. すべての資産を検証したら、 タスクをクローズ を選択します。

タスクの結果
受領タスクとその返品タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

エンタープライズ資産の返品タスクと受領タスクの作業時間を記録

エンタープライズ資産ワークスペースでの資産の返品タスクと受領タスクの作業時間を管理および記録します。 タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

返品タスクまたは受領タスクの作業時間を手動で記録

エンタープライズ資産ワークスペースで、返品タスクまたは受領タスクの作業時間のエントリを手動で作成します。

始める前に
必要なロール：

- 納品タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_technician
- 受領タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、時間を手動で記録するタスクを選択します。
4. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーの開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
5. [時間を記録] を選択します。
6. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [日]、[時間]、および [分] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。

b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

[作業時間] フォームが保存され、タイムカードがタスクの [作業時間] タブに追加されます。

エンタープライズ資産の返品タスクまたは受領タスクの一時停止

作業を続行しない場合は、ドロップオフタスクまたは受領タスクの休憩を エンタープライズ資産ワークスペース に記録します。

始める前に

[対応中] ステータスの納品または受領タスクを一時停止できます。タスクを一時停止するオプションは、次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。

2. [タイマーの開始] を選択して、時刻の記録を開始します。

必要なロール：

- 納品タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_technician
- 受領タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

タスクの作業を再開すると、タスクを再開できます。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).

2. [資産タスク] タブを選択します。

3. 資産タスクのリストから、一時停止するタスクを選択します。

4. [作業の一時停止] を選択します。
[作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります。

5. 活動を再開する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果

タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリが [作業時間] タブに作成されます。

エンタープライズ資産管理要求とフローにサービスカタログを使用する

サービスカタログアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産管理アプリケーションのカタログ要求を作成します。

サービスカタログの使用の概要

サービスカタログを使用して、 エンタープライズ資産管理 フローのカタログ要求を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	必要なロール	リソース
エンタープライズ要求フローのカタログアイテムの展開、ソース、および要求		エンタープライズ資産要求フローの使用
エンタープライズ資産リフレッシュフローを使用した資産の追跡と置換		エンタープライズ資産のリフレッシュの要求
資産再販フローを使用して資産を再販します。		資産再販フローの作成
一度に複数の資産をオンボーディング		複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求を作成する
エンタープライズ資産の再利用		エンタープライズ資産を再利用するカタログ要求の作成

エンタープライズ資産要求フローの使用

エンタープライズ資産要求フローを使用して、 サービスカタログ アプリケーションからカタログアイテムを要求、調達、および展開します。

始める前に

エンタープライズ資産を要求する前に、エンタープライズ資産ワークスペースでその資産のモデルを作成し、そのモデルを サービスカタログ アプリケーションに公開済みであることを確認してください。

必要なロール：

- catalog_admin
- procurement_admin
- sn_eam.enterptrise_asset_manager
- sys_admin

このタスクについて

サービスカタログ アプリケーションからエンタープライズカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準のエンタープライズ資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

ワークフロースタジオ アプリケーションを使用して標準エンタープライズ資産要求フローを作成し、エンタープライズカタログアイテムの調達、調達、および展開のプロセスを順を追って説明します。フローがさまざまなステージを進むにつれて、資産の詳細が自動的に更新されます。標準エンタープライズ資産要求フローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

手順

1. catalog_adminロールの認証情報を使用してログインし、次の場所に移動します。 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. エンタープライズカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準エンタープライズ資産要求] を選択します。
   [フロー] フィールドが表示されていない場合は、メニューアイコンを右クリックして 構成 > フォームレイアウト.
3. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これで、標準のエンタープライズ資産要求フローがエンタープライズカタログアイテムに関連付けられました。

4. サービスカタログアプリケーションに移動します。
5. sys _admin ロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産 カタログを追加します。
エンタープライズ資産カタログは、デフォルトではサービスカタログページ上にありません。このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツを追加アイコン コンテンツアイコン) を選択し、[エンタープライズ資産] を選択します
6. sn_eam.enterptrise_asset_manager ロールの認証情報でログインし、 **Enterprise** 資産 カタログを選択します。
[エンタープライズ資産] ページが開きます。
7. リストからカタログアイテムを選択します。
カタログアイテムページが開きます。
8. [場所] フィールドで、カタログアイテムを展開する場所を選択します。
9. **[Order Now** (今すぐ注文)] を選択します。
10. procurement_adminロールの認証情報を使用してログインし、新しい要求を開きます。
11. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを選択します。
12. [カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
13. カタログタスクを開き、[ソース要求] を選択します。
14. [ソース要求] フォームレイアウトで、[転送注文を追加] または [発注書を追加] を選択して、転送注文または発注書を介して要求を調達します。
カタログアイテムを調達した後 資産集荷タスクが有効になっているストックルームから資産が調達されている場合にのみ、要求されたアイテムに対して資産集荷タスクが作成されます。それ以外の場合は資産集荷タスクのない要求アイテムの展開タスクが作成されます。 詳細については、「」を参照してくださいでストックルームの資産集荷タスクを有効にする ハードウェア資産ワークスペース。
15. [要求アイテム] 関連リストを選択し、要求アイテムを選択します。
16. [カタログタスク] 関連リストを選択します。
    - ソースストックルームに対して集荷タスクが有効になっている場合は、最初に資産集荷タスクを完了してから、展開タスクを完了します。
    - 集荷タスクが有効になっていない場合は、展開タスクを完了します。
17. モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。
要求アイテムの展開タスクが作成されます。
18. [アサイン先] フィールドに値を入力し、[資産の展開] を選択します。
シリアル化された資産の場合は、[使用中] 状態としてマークされます。消耗資産の場合は、[消費済み] ステータスとしてマークされます。[標準エンタープライズ資産要求] フローで、資産の展開に関連付けられているアクションが完了しました。

エンタープライズ資産のリフレッシュの要求

エンタープライズ資産のリフレッシュフローを使用して、ライフサイクルの終わりが近づいている資産を追跡し、新しい資産に置き換えます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
資産が古くなると、メンテナンスコストと故障のリスクが増加し、パフォーマンスが低下します。古い資産を新しい資産の同じモデルまたは異なるモデルに置き換えることを選択できます。エンタープライズ資産のリフレッシュ要求が承認されると、エンタープライズ資産のリフレッシュフローに従ってソーシングが実行され、エンタープライズ資産リフレッシュラインフローがトリガーされます。エンタープライズ資産リフレッシュラインフローでは、リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送のスケジュール設定、展開、および古い資産の再利用のステップを実行します。

ワークフロースタジオ アプリケーションは、エンタープライズ資産リフレッシュフローとエンタープライズ資産リフレッシュラインフローを作成するために使用されます。

手順

1. サービスカタログアプリケーションに移動します。
2. システム_adminロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産ライフサイクル カタログを追加します。
   エンタープライズ資産ライフサイクルカタログは、デフォルトではサービスカタログページ上にありません。このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にある [コンテンツを追加] ( ) を選択し、[エンタープライズ資産ライフサイクル] を選択します。
3. sn_eam.enterptrise_asset_manager ロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産ライフサイクル カタログを選択します。
   [エンタープライズ資産ライフサイクル] ページが開きます。
4. 次のように移動する。 サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
   エンタープライズ資産ライフサイクルカタログは、デフォルトではサービスカタログページ上にありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツを追加アイコン ( ) を選択し、[エンタープライズ資産ライフサイクル] を選択します。
5. エンタープライズ資産リフレッシュ注文を開きます。
6. 古いエンタープライズ資産をすべて新しいエンタープライズ資産の同じモデルに置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新の種類] リスト フィールドから [単一モデル] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

[エンタープライズ資産リフレッシュ] フォーム

フィールド	説明
場所	古いエンタープライズ資産の物理的な場所。
交換用モデル	古いエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産モデル。 **注:** 単一モデルおよび複数モデルの更新注文の場合、OT マネージャーは、OTAM ワークスペースで更新注文が作成された後でも交換用モデルを編集できます
資産	置き換える古いエンタープライズ資産。フィルターを使用して、置き換えるエンタープライズ資産を検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
利用可能	[資産] ページの [更新対象] チェックボックスがオンになっている資産のみが表示されます。サポート終了が近づいているすべての資産を表示するには、 条件「更新対象が false」を実行します。 注: [更新対象] チェックボックスの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。

7. 古いハードウェア資産を別のモデルの新しいハードウェア資産に置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [リフレッシュのタイプ] フィールドから [マルチモデル] を選択します。

   b. [**Add**] を選択します。

   c. 使用する新しいエンタープライズ資産ごとに、エンタープライズモデルを入力する行を追加します。

      注:
      50 行を作成できます。置き換える同じ古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

8. **[Order Now** (今すぐ注文)] を選択します。
   注文ステータスページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいエンタープライズ資産を調達し、古いエンタープライズ資産を交換する要求が作成されます。[要求] フォームには、すべての新しいエンタープライズ資産モデルの合計価格が表示されます。

古いエンタープライズ資産の交換

新しいエンタープライズ資産を調達して、古いエンタープライズ資産を置き換えます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
エンタープライズ資産を更新する場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。エンタープライズ資産リフレッシュラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクをクローズして次のタスクに進み、リフレッシュを完了して、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、次のステージで資産のリフレッシュが完了します。

- 資産タスクの準備:ユーザーに渡す前に、新しい資産を準備します。たとえば、必要なソフトウェアをすべてインストールします。
- リフレッシュタスクのスケジュール:資産を要求者に引き渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産の展開:必要に応じて、資産を要求者に渡すか、要求者の場所に資産をインストールします。
- 古い資産の再利用:古い資産を収集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ハードウェア資産のリフレッシュ要求を選択します。
   エンタープライズ資産のリフレッシュ要求が承認されると、次のイベントが発生します。
   - 新しい資産を調達するためにソース要求フローがトリガーされます。
   - [カタログタスク] タブで、新しいエンタープライズ資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
2. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを開きます。
   エンタープライズ資産要求が承認されると、ソース要求フローがトリガーされます。[カタログタスク] 関連リストの下に、新しいエンタープライズ資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
3. 要求のソースアイテム。
   要求のアイテムは、ローカル在庫を消費するか、発注書 (PO) または転送注文を通じて調達できます。

   品目の調達の詳細については、「 サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。

   新しい資産が受領されると、次のイベントが発生します。
   - エンタープライズ資産リフレッシュラインフローが資産に対してトリガーされます。
   - [エンタープライズ資産リフレッシュライン] タブは、要求アイテムフォームの [資産タスク] タブの横に表示されます。
   - 資産集荷タスクは、要求されたアイテムが資産集荷タスクが有効になっているローカルストックルームから消費される場合にのみ、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。それ以外の場合は、集荷タスクなしで 資産の準備タスク が直接作成されます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にする エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
4. [エンタープライズ資産リフレッシュライン] タブを選択します。
5. エンタープライズ資産リフレッシュラインを選択します。
6. [リフレッシュラインタスク] タブを選択します。
7. モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
   この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のエンタープライズ資産を検索して集荷します」を参照してください。
8. 資産を準備します。
   a. [資産の準備] タスクを選択します。
   b. [資産] フィールドで、置き換えるエンタープライズ資産を選択します。
   c. [**Save** (保存)] をクリックする。
   d. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - リフレッシュタスクのスケジュールは、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
   - 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - サブステートが [予約済み] に変わります。
   - [予約目的] フィールドに要求者の詳細が入力されます。
9. [リフレッシュのスケジュール] タスクを完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [リフレッシュのスケジュール] タスクを選択します。

b. [スケジュール済み展開日] フィールドで、新しい資産を展開する日付を選択します。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

- [新しい資産を展開] タスクが [リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [インストール待ち] に変わります。

10. [新しい資産を展開] タスクを完了します。

a. [新しい資産の展開] タスクを選択します。

b. [再利用] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、[はい] を選択します。
- 古い資産を収集しなかった場合は、[いいえ] を選択します。

c. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:**
> [再利用] リストから [はい] を選択すると、[古い資産の再利用] タスクもデフォルトでクローズされます。

- [古い資産の再利用] タスクは、[リフレッシュラインタスク] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。
- 割り当ては、古い資産から交換用資産に転送されます。

11. 古い資産の再利用を完了します。

a. [古い資産を再利用] タスクを選択します。

b. [再利用] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、[はい] を選択します。
- 古い資産を収集しなかった場合は、[いいえ] を選択します。

c. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:**
> エンタープライズ資産のリフレッシュラインをキャンセルするには 、[キャンセル] を選択するか、[リフレッシュライン] タスクで [ステータス] フィールドを [未完了でクローズ] に変更します。

タスクの結果
古いエンタープライズ資産が再利用されると、資産フォームに次の変更が加えられます。

- 古い資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

資産再販フローの作成

廃棄を減らしコストを節約するために、再販する資産の資産再販フローを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
資産ベンダーは、どの資産が再販可能か、およびそれらの価値を確認する必要があります。

非ターミナル状態 (資産が別の状態に移行できる状態) の資産のみが、エンタープライズ再販オーダーを通じて再販できます。各資産は、エンタープライズモデルまたはパレットモデルのいずれかにも関連付けられている必要があります。単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。および子を持つパレット資産をエンタープライズ再販注文に追加します。

注:
子を持つパレット資産を再販オーダーに追加する場合、パレット資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

手順

1. に移動します サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. [エンタープライズ再販オーダー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. 資産を追加し、注文を送信します。
   資産再販要求が送信されたら、Enterprise 資産ワークスペースに移動して要求を履行できます。
5. 次のように移動する。 インベントリ > 再販注文.
6. 次に、各タスクを実行します。
7. [資産の検証] を選択して資産を選択し、検証します。
   資産の検証タスクを完了する前に、廃棄注文の資産を追加または削除できます。消耗品の数量を編集することもできます。
8. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
   ワークフローの次のタスクである集荷のスケジュールが自動的に作成され、[エンタープライズ資産再販タスク] タブに表示されます
9. [集荷をスケジュール] を選択して、ストックルームから資産を集荷できるタイミングとベンダーの詳細を指定します
10. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [輸送中] に変わり、資産の切り離しタスクが作成されます。
11. 資産の切り離しタスクを選択し、再販のために出発する各資産と集荷連絡先の詳細を選択します。
12. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
13. 資産が受領されたことをベンダーが確認したら、[ベンダー確認] タスクを選択します。
14. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージがドキュメントに変わり、再販ドキュメントタスクが作成されます。

複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求を作成する

単一のモデルで複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
カタログ要求を送信するには、少なくとも 1 つの資産が必要です。各カタログ要求には、最大 50 個の資産を含めることができます。

手順

1. 次のように移動する。 サービスポータル > 要求 > エンタープライズ資産のライフサイクル.
   サービスカタログから エンタープライズ資産ライフサイクル に移動することもできます。
2. [資産オンボーディング] を選択します。
   [資産オンボーディング] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   カタログ要求が送信されると、要求されたアイテムが作成されます。マルチ資産プレイブックをトリガーする要求アイテムに関連付けられた資産オンボーディングタスクも作成されます。

次のタスク
enterprise_asset_managerロールは、 エンタープライズ資産ワークスペースからマルチアセットプレイブックを起動できます。

エンタープライズ資産を再利用するカタログ要求の作成

従業員が組織を離れるときや別のロールに移動するときに、エンタープライズ資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:組織内の任意の従業員。

手順

1. サービスカタログアプリケーションに移動します。
2. [サービスカタログ] ページで、ページの右側にある [検索カタログ] フィールドに「 資産の再利用 」と入力します。
3. [資産の再利用] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[資産の再利用] フォーム

フィールド	説明
要求者	この要求を作成しているユーザーのロール。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 人事 ○ マネージャー ○ ユーザー ○ 資産マネージャー (要求がenterprise_asset マネージャーロールまたは資産ロールによって作成されている場合のみ)
要求元	カタログ要求を送信する対象者の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 要求がenterprise_asset_managerロールによって作成されている場合、このフィールドは必須ではありません。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するか。
資産	資産再利用を送信する対象者に割り当てられた資産。
回収日	資産を再利用する期日。今日の日付または将来の日付を入力できます。
回収方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する方法。資産をピックアップし、従業員が資産を持ち込むか、組織に出荷することができます。
訴訟ホールド方法	法的な理由により資産を保留にする必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及したい指示。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
   エンタープライズ資産再利用要求が作成されます。要求が作成されると、enterprise_asset_technicianロールは Enterprise 資産ワークスペースに移動して再利用ラインを表示し、タスクを完了します。詳細については、「エンタープライズ資産回収要求をクローズする」を参照してください。

自動翻訳

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産、資産タスク、および作業指示タスクを作成および管理します。

モバイルエージェントアプリケーションの概要

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、次のタスクを実行します。

タスク	必要なロール	リソース
エンタープライズ資産の作成とルックアップ		• モバイルエージェント アプリケーションでのエンタープライズ資産の作成 • モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を検索
ストックルームと場所のインベントリ監査のためのエンタープライズ資産のスキャン		• モバイルエージェント アプリケーションを使用したストックルームのインベントリ監査

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	必要なロール	リソース
		のためのエンタープライズ資産のスキャン • モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の場所インベントリ監査のスキャン
廃棄プロセスの一環としてエンタープライズ資産を検証して切り離す		モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を検証して廃棄のために切り離します
作業指示タスクと資産タスクの管理		モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産管理タスクの管理
エンタープライズ資産の修理の管理		モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクの管理
自分にアサインされた資産集荷タスクを管理します。		モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理

モバイルエージェント アプリケーションでのエンタープライズ資産の作成

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、シリアル化されたエンタープライズ資産またはマルチコンポーネントのエンタープライズ資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

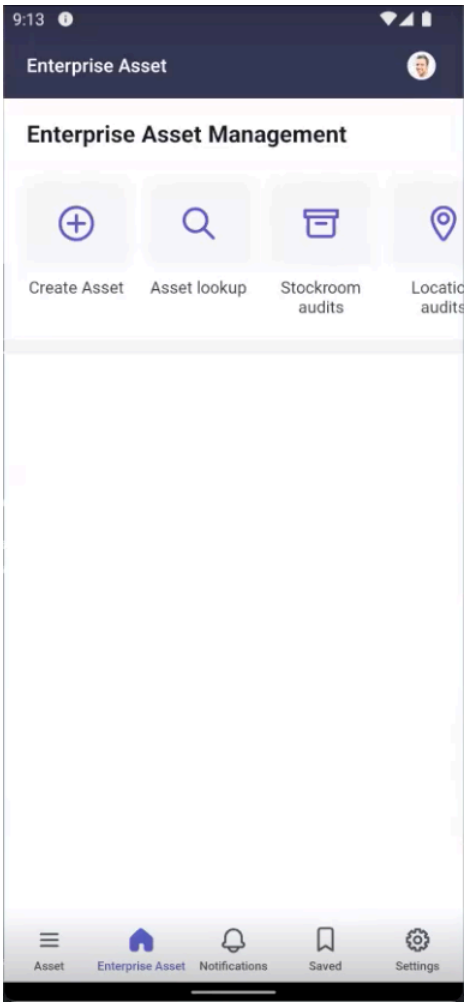
重要:
モバイルエージェント アプリケーションを使用して作成したエンタープライズ資産は、構成管理データベース (CMDB)クラス階層内のエンタープライズ優品モデル [sn_ent_model] クラスによって分類されたエンタープライズモデルにのみ関連付けることができます。エンタープライズモデルクラスの詳細については、 展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション を参照してください。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
   エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [資産を作成] をタップします。
   [シリアル番号] 画面が開きます。
4. オプション: エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンまたは入力して、資産がすでに存在するかどうかを確認します。
   この検証をスキップする場合は、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに直接進みます。その後、 ステップ 5 に進み、資産タグに基づいて資産の存在を検証するか、ステップ 6 に進み、両方の検証をスキップして資産作成プロセスを続行できます。

   a. モバイルデバイスのカメラを使用してシリアル番号をスキャンします。
      シリアル番号フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

   b. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。
      - エンタープライズ資産がすでに存在する場合は、対応する資産レコードで資産の詳細を確認します。

        i. エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面に戻ります。

        ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

        [資産ルックアップ] 画面が開きます。

        iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

iv. (Optional) **[Submit** (送信)] をタップします。

v. (Optional) 対応する資産レコードのリストから、資産の詳細を検証する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を検証します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

5. オプション: エンタープライズ資産に資産タグが含まれている場合は、資産タグをスキャンするか、資産タグ値を入力して、資産が既に存在するかどうかを確認します。
この検証をスキップする場合は、 ステップ 6 に直接進み、資産作成プロセスを続行します。

a. [資産を作成] フォームで、[資産タグ] フィールドをタップします。

b. モバイルデバイスのカメラを使用して資産タグをスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

c. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。

- エンタープライズ資産がすでに存在する場合は、対応する資産レコードで資産の詳細を確認します。

i. エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面に戻ります。

ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

iv. (Optional) **[Submit** (送信)] をタップします。

対応する資産レコードのリストが開きます。

v. (Optional) 資産の詳細を検証する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を検証します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

6. [Create Asset] フォームで [**Submit]** をタップします。
エンタープライズ資産の完全なリストが開きます。

7. 画面右上のその他のオプションメニューをタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. メニューが開いたら、「 アセットを作成」をタップします。
   [資産タグ] 画面が開きます。
9. エンタープライズ資産に資産タグが含まれているかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。
   - エンタープライズ資産に資産タグが含まれている場合は、モバイルデバイスのカメラを使用してタグをスキャンします。[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。資産タグを正常にスキャンするか、資産タグ値を入力したら、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして [資産を作成] フォームに進みます。[資産を作成] フォームの [資産タグ] フィールドは、スキャンまたは入力した資産タグ値で自動的に更新されます。
   - エンタープライズ資産に資産タグが含まれていない場合は、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして資産タグのスキャンをスキップし、[資産を作成] フォームに直接進みます。
10. エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンまたは入力します。

    a. [Create Asset] フォームで、[**Serial Number**] フィールドをタップします。
    [シリアル番号] 画面が開きます。

    b. モバイルデバイスのカメラを使用してシリアル番号をスキャンします。
    シリアル番号フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

    c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに戻ります。
    [資産を作成] フォームの [シリアル番号] フィールドは、スキャンまたは入力したシリアル番号で自動的に更新されます。

11. エンタープライズ資産をエンタープライズモデルに関連付けます。

    a. [資産を作成] フォームで、[モデル] フィールドをタップします。
    [モデル] 画面が開きます。

    b. 利用可能なエンタープライズモデルのリストから、エンタープライズ資産を関連付けるモデルを選択します。
    画面が閉じ、[資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [モデル] フィールドは、選択したエンタープライズモデルで自動的に更新されます。
12. エンタープライズ資産のステータスを指定します。

    a. [Create Asset] フォームで、[**State**] フィールドをタップします。
    [ステータス] 画面が開きます。

    b. 使用可能な状況のリストから、エンタープライズ資産の現在の状況を選択します。
    画面が閉じ、[資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [ステータス] フィールドは、選択したステータスで自動的に更新されます。この選択したステータスに基づいて、[資産を作成] フォームに追加のフィールドが表示されます。
13. ステップ 11 で指定したエンタープライズ資産ステータスに基づいて、[資産を作成] フォームに表示される追加フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. **[Submit** (送信)] をタップします。
フォームが閉じ、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面に自動的に戻ります。

タスクの結果
エンタープライズ資産は、対応する構成アイテム (CI) とともに作成されます。

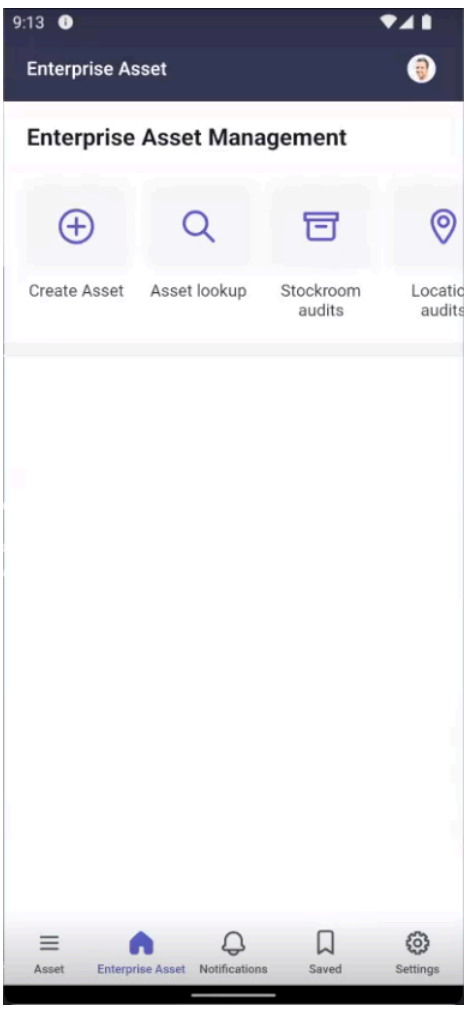
モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を検索

エンタープライズ資産の詳細を表示または更新できるように、 ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産レコードを検索します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が開きます。



3. [資産ルックアップ] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

4. モバイルデバイスのカメラを使用して、検索するエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
   [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。
5. **[Submit** (送信)] をタップします。
   対応する資産レコードのリストが開きます。
6. 表示または更新する資産レコードをタップします。
   資産レコードが開きます。
7. 必要に応じて、資産の詳細を表示または更新します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したストックルームのインベントリ監査のためのエンタープライズ資産のスキャン

ServiceNow® モバイルエージェントアプリケーションを使用して、ストックルームインベントリ監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンした後、 ServiceNow インスタンスで監査を完了できます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産の所在と現在のステータスを把握します。

始める前に

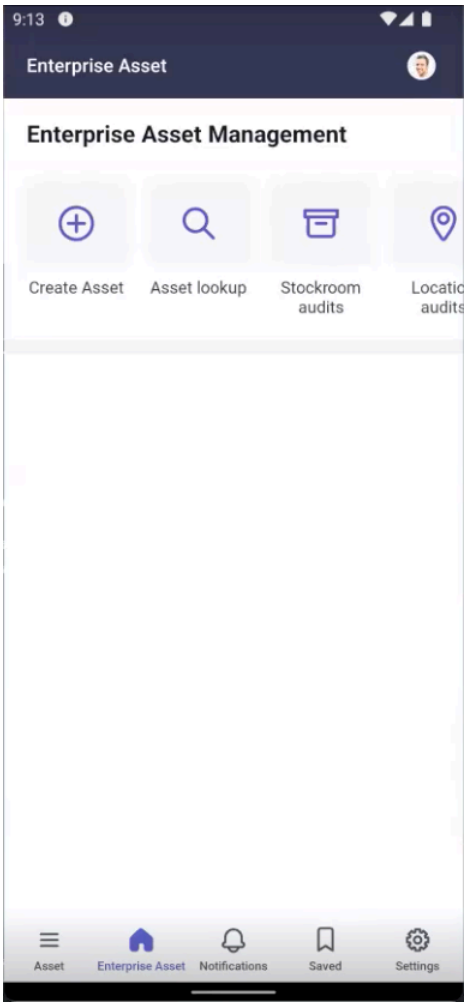
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
   エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [ストックルームの監査] をタップします。
   [ストックルームの監査] 画面が開き、オープンおよび完了したすべての監査を表示できます。
4. 目的のストックルーム監査がまだ存在しない場合は、新しいストックルーム監査を開きます。

   a. 画面右上のその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しい倉庫の監査] をタップします。
      [新しいストックルームの監査] 画面が開きます。

   c. 監査する倉庫を選択します。

   d. **[Submit** (送信)] をタップします。
      自動的に [ストックルームの監査] 画面に戻り、新しいストックルームの監査が [オープン] タブに表示されます。

5. [オープン] タブで、完了させたい倉庫の監査をタップします。
   倉庫の監査レコードが開きます。
6. ストックルーム監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
7. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

8. モバイルデバイスのキーボードにある Enter キーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
9. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、手順 7 と 8 を繰り返します。
10. 目的のすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン (をタップします。
11. **[Submit** (送信)] をタップします。
[資産スキャン] 画面が閉じ、自動的にストックルームの監査レコードに戻ります。ストックルーム監査レコードの [詳細] タブで、スキャンしたエンタープライズ資産または資産タグ値を入力したエンタープライズ資産に基づいて、[予定]、**[**予定外]、[場所が修正されました]、[欠損]、[新規] フィールドが更新されます。
12. 画面右上のその他のオプションメニューをタップします。
13. メニューが開いたら、「 完了」をタップします。

次のタスク

ServiceNowインスタンスのインベントリ監査を完了します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産インベントリの監査」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の場所インベントリ監査のスキャン

ServiceNow® モバイルエージェントアプリケーションを使用して、場所インベントリ監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンした後、ServiceNow インスタンスで監査を完了できます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産の所在と現在のステータスを把握します。

始める前に

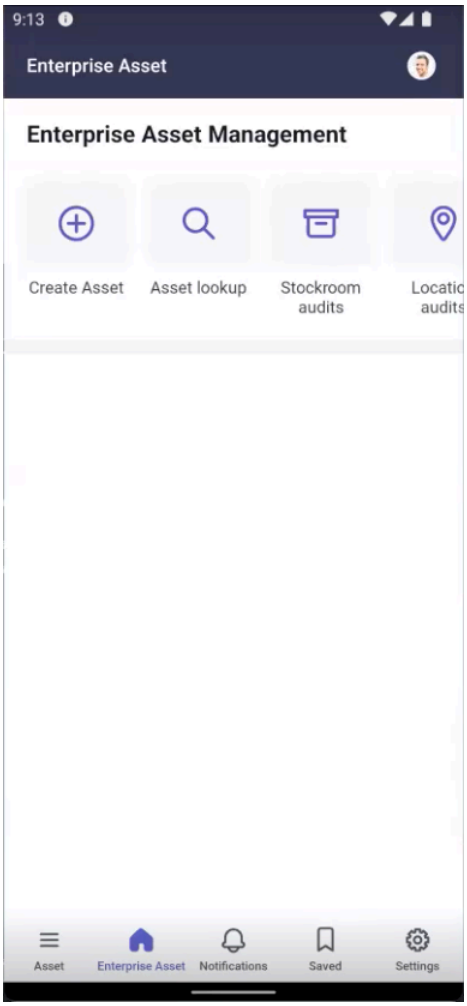
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [位置情報の監査] をタップします。
   [場所の監査] 画面が開き、オープンおよび完了したすべての監査を表示できます。
4. 目的の場所の監査がまだ存在しない場合は、新しい場所の監査を開きます。

   a. 画面右上のその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しいロケーション監査] をタップします。
      [新しい場所の監査] 画面が開きます。

   c. [場所] フィールドで監査する場所を選択します。

   d. 選択した場所の子の場所も監査する場合は、[子の場所を含める] オプションを有効にします。

      注:
      このオプションを有効にすると、次の資産も監査に含めることができます。
      - ユーザーが組み立てたエンタープライズ資産の子資産
      - 事前に組み立てられたシンプルなエンタープライズ資産のアドオン資産
      - パレット内に保管されている資産

   e. **[Submit** (送信)] をタップします。
      自動的に [場所の監査] 画面に戻り、新しい場所の監査が [開く] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [開く] タブで、完了する場所の監査をタップします。
   場所監査レコードが開きます。
6. 場所の監査レコードの [詳細] タブで、[監査の開始] をタップします。
7. 場所の監査レコードの左上隅にある戻る矢印をタップして、[場所の監査] 画面に戻ります。
8. [場所の監査] 画面の [開く] タブで、開始した場所の監査をタップします。
   場所監査レコードが開きます。
9. 場所監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
10. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
    [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。
11. モバイルデバイスのキーボードにある Enter キーをタップします。
    エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
12. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、手順 7 と 8 を繰り返します。
13. 目的のすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
    リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン (をタップします。
14. **[Submit** (送信)] をタップします。
    [資産スキャン] 画面が閉じ、自動的に場所の監査レコードに戻ります。場所監査レコードの [詳細] タブで、スキャンしたエンタープライズ資産または資産タグ値を入力したエンタープライズ資産に基づいて、[予定]、**[**予定外]、および [場所が修正されました]、[欠落]、および [新規] フィールドが更新されます。
15. 画面右上のその他のオプションメニューをタップします。
16. メニューが開いたら、「 完了」をタップします。

次のタスク

ServiceNowインスタンスのインベントリ監査を完了します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産インベントリの監査」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を検証して廃棄のために切り離します

ServiceNow® モバイルエージェントアプリケーションを使用して、廃棄するエンタープライズ資産の検証と切り離しを完了します。

始める前に

エンタープライズ資産の検証または切り離しを完了する前に、その資産の廃棄注文を登録します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

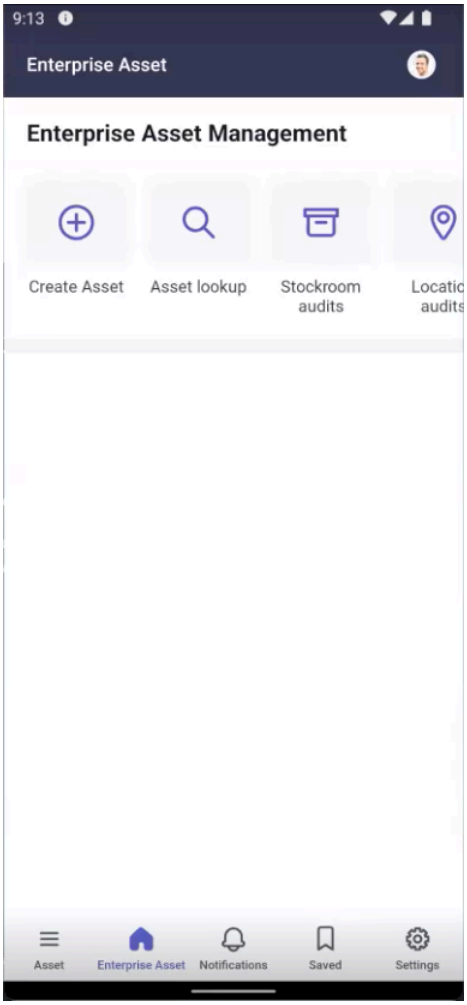
手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が開きます。



3. [資産廃棄] をタップします。
   [資産廃棄] 画面が開き、エンタープライズ資産廃棄注文のすべての未処理の検証タスクと切り離しタスクを表示できます。
4. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産に検証が必要な場合は、その廃棄注文の検証タスクを完了します。

   a. [検証] タブで、完了する検証タスクをタップします。
      [検証] 画面が開きます。

   b. [未検証] フィールドをタップすると、この検証タスクによる検証が必要なエンタープライズ資産の完全なリストが表示されます。

   c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[検証] 画面に戻ります。

   d. [スキャン] をタップします。
      [資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面が開きます。

   e. モバイルデバイスのカメラを使用して、検証するエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
      [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. モバイルデバイスのキーボードにある Enter キーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面の [レビュー **(Review**)] タブに自動的に追加されます。

g. 検証するすべてのエンタープライズ資産について、手順 e と f を繰り返します。

h. 目的のすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン (をタップします。

i. **[Submit** (送信)] をタップします。
[資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面が閉じ、自動的に [検証] 画面に戻ります。[検証] 画面で、スキャンしたエンタープライズ資産または資産タグ値を入力したエンタープライズ資産に基づいて、[予定]、**[**検証済み]、および [未検証] フィールドが更新されます。

j. [完了] をタップします。
[検証] 画面が閉じ、自動的に [資産廃棄] 画面に戻ります。

5. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産を切り離す必要がある場合は、その廃棄注文の切り離しタスクを完了します。

a. [切り離し] タブで、完了したい切り離しタスクをタップします。
[切り離し (Departures)] 画面が開きます。

b. [切り離されていません] フィールドをタップすると、この切り離しタスクによる切り離しが必要なエンタープライズ資産の完全なリストが表示されます。

c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップすると、[切り離し] 画面に戻ります。

d. [スキャン] をタップします。
[資産のスキャンと切り離し] 画面が開きます。

e. モバイルデバイスのカメラを使用して、切り離すエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

f. モバイルデバイスのキーボードにある Enter キーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産のスキャンと切り離し (Scan and depart assets)] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。

g. 切り離すすべてのエンタープライズ資産について、手順 e と f を繰り返します。

h. 目的のすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン (をタップします。

i. **[Submit** (送信)] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産のスキャンと切り離し (Scan and depart assets)] 画面が閉じ、自動的に [切り離し (Departures)] 画面に戻ります。[切り離し (Departures)] 画面の [予定]、[切り離し済み **(Departed)**]、および [未切り離し **(Not departed**)] フィールドは、スキャンしたエンタープライズ資産または資産タグ値を入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。

j. [ピックアップ連絡先名] フィールドをタップします。
[連絡先名をピックアップ (Pick up contact name)] 画面が開きます。

k. [ピックアップ連絡先名] フィールドに、切り離しのためにエンタープライズ資産をピックアップするユーザーの名前を入力します。

l. [Submit (送信)] をタップします。
[ピックアップ連絡先名] 画面が閉じ、自動的に [切り離し] 画面に戻ります。[出発] 画面で、[ピックアップ連絡先名] フィールドが入力した名前で更新されます。

m. [完了] をタップします。
[切り離し] 画面が閉じ、自動的に [資産廃棄] 画面に戻ります。

次のタスク

ServiceNowインスタンスの残りの廃棄注文タスクを完了します。エンタープライズ資産廃棄注文タスクの詳細については、 エンタープライズ資産廃棄注文ステージ を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産管理タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、すべての作業指示タスクと資産タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したタスクの表示

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスク、資産タスク、および資産修復タスクを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。

2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。

3. [すべて表示] を選択して、自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。

4. オプション: フィールド値でタスクをフィルタリングします。

a. フィルターアイコン( )をタップします。

b. タスクをフィルターするためのフィールド (期日、 資産、 場所、または 優先度) に値を入力します。

5. オプション: タスクをソートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. フィルターアイコン( )をタップします。

b. [並べ替え] をタップします。

c. タスクをソートするためのフィールドを選択します。

モバイルエージェントアプリケーションを使用したグループタスクの自分へのアサイン

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、アサイン先グループにアサインされたタスクから作業する要求タスク。

始める前に

必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   マイタスクアプリケーションのホーム画面が開き、[マイグループタスク] リンクと、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. [自分のグループ タスク] をタップして、グループに割り当てられたタスクのリストを表示します。
4. 自分にアサインするタスクをタップし、[自分にアサイン] をタップします。

タスクの結果

アサインされたタスクが [自分のタスク] リストに表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクの処理を開始する

自分にアサインされたタスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで示します。タスクの作業を開始すると、開始時間が自動的に記録されます。

始める前に

必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 開始するタスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果

- [詳細] タブで、[作業を開始] リンクが自動的に [作業を完了] に変わります。
- [その他のアクション] アイコン (•••) と [作業の 一時停止] および [時間を記録] オプションが画面の右上隅に表示されます。
- 開始時間は自動的に記録されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクの作業時間を記録する

作業指示タスクと資産タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したタスクの一時停止

作業を続行しない場合は、作業指示タスクまたは資産タスクの中断を モバイルエージェント アプリケーションで記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に

タスクの作業を開始したときにタイムカードが自動的に作成されるようにするには、*work.management.allow.auto.timecard* システムプロパティを有効にする必要があります。

必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 一時停止するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. 画面の右上隅にあるその他のアクションアイコン(•••)をタップし、[作業の一時停止]をタップします。
   [詳細] タブで、[完了してクローズ] オプションが [作業の再開] に変わります。
7. アクティビティを再度作業する準備ができたら、[作業を再開] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリが [作業時間] タイムカードに作成されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したタスクの作業時間を手動で記録する

作業指示タスクまたは資産タスクの作業時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに追加のコメントを入力します。

始める前に
必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
作業指示書タスクまたは進行中の資産タスクの時間を記録できます。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示されていない場合は [すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録するタスクレコードをタップします。
6. その他のアクションアイコン (•••)または [詳細] タブから [時間を記録] に移動します。
   - 画面の右上隅にあるその他のアクションアイコン(•••)をタップし、[時間を記録]をタップします。
   - [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業日] フィールドに日付を指定します。
      デフォルトでは、このフィールドは現在の日付に設定されています。
   b. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクの作業期間を入力します。
   c. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果
[作業時間] フォームが保存され、タイムカードが [作業時間] リストに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクの部品を調達する要求を開始します

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、作業指示タスクに関連付けられたエンタープライズ資産の不足している部分を調達する要求を開始します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

このタスクについて

モバイルエージェントアプリケーションで作業指示タスクに関連付けられた部品要件を処理できますが、部品要件を作成することはできません。

ソーシングワークフローは、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してのみ開始できます。ソーシングフローは、 エンタープライズ資産ワークスペースでのみ完了できます。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. ソース部品要求を作成するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 不足している部品の調達を要求するタスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [部品要件] セクションには、作業指示タスクに関連付けられた最初のいくつかの部品要件レコードのリストが表示されます。
7. ソース部品要求を作成する部品が表示されていない場合は [すべて表示] をタップします。
8. オプション: 調達する部品の必要数量を更新します。
   a. 部品要件レコードをタップします。
   b. [部品要件] フォームで、[必要数量] フィールドに数量を入力します。
   c. **[Submit** (送信)] をタップします。
9. [部品の調達要求] をタップします。

タスクの結果

- 部品を調達するためのカタログ要求が作成されます。
- 部品要件レコードのステータスが「未リクエスト」(Not Requested) から「要求済み」(Requested) に変わります。
- [要求アイテム] リストに、オープン中の作業指示部品要求が自動的に作成されます。

次のタスク

エンタープライズ資産ワークスペースで要求された部品の調達を完了する必要があります。詳細については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品を調達する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用した資産集荷タスクのクローズ

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、アサインされた作業指示書の指定されたストックルームから集荷したエンタープライズ資産の資産集荷タスクを完了してクローズします。

始める前に
資産集荷タスクのステータスは [対応中] である必要があります。

必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. クローズするタスクが表示されていない場合は[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 関連する資産の集荷タスクをクローズする作業指示タスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [資産集荷タスク] セクションには、自分にアサインされた作業指示タスクに関連付けられたタスクのリストの最初のいくつかの資産集荷タスクが表示されます。
7. 完了したいタスクが表示されていない場合は[すべて表示] をタップします。
8. 完了する [資産の集荷] タスクをタップし、[完了してクローズ] をタップします。

タスクの結果

- [資産の集荷] タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。
- [資産使用率] セクションに、ステータスが [未使用] および [在庫あり] のレコードが作成されます。

> **注:**
> 消耗資産の場合、ステータスが [消費済み] に変わります。

次のタスク
作業指示に関連付けられたエンタープライズ資産に対して必要な資産アクションを実行します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産に必要な資産または部品を展開、削除、またはスワップします。このアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を調整することもできます。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 作業するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. アクションを実行する作業指示タスクをタップします。
6. 作業指示タスクに必要なすべての作業を完了します。
   - 必要な資産または部品を展開、スワップ、または削除する場合は、次の手順を使用します。

     a. 作業指示タスクの [部品] タブをタップします。

     デフォルトでは、[資産使用率] リストには、作業指示タスクに関連付けられている最初のいくつかの資産と部品のみが表示されます。アクションを実行するアセットまたはパーツが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。

     b. [資産使用率] リストで、資産または部品に対して実行するアクションを選択します。

     注:
     表示されている資産または部品をフィルタリングする場合は、フィルターアイコン ( ) をタップし、「 数量」、「 ステータス」、「 サブステート」、または 「表示名 」フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。

     使用可能なアクション

アクション	説明
資産または部品の展開	資産または部品のステータスは [未使用] である必要があります。 また、状態が [在庫あり] で、サブステートが [利用可能] または [予約済み] の資産または部品をパーソナル倉庫から展開することもできます。 **i.** 資産を選択します。 **ii.** [展開] をタップします。 **iii.** [資産を展開] 画面で、展開する資産をタップします。 **iv.** [資産の展開の実行] 画面の [数量] フィールドで、展開する部品の数量を選択します。 **v.** [資産に追加] をタップし、資産リストから必要な資産を選択して、資産または部品を別の資産または部品の子として追加します。 **vi.** 資産または部品を特定のユーザーにアサインするには、「 ユーザーにアサイン 」をタップし、ユーザーのリストからユーザーを選択します。 **vii.** [展開] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	[資産使用率] リストが再ロードされ、展開された資産または部品が [ステータス] が [使用済み] で [ステータス] が [使用中] に表示されます。消耗資産のステータスが [消費済み] に変わります。
資産または部品を削除する	資産または部品は、[使用中]、[メンテナンス中]、または [消費済み] の状態である必要があります。 **i.** 資産または部品を選択します。 **ii.** [削除] をタップします。 **iii.** [資産を削除] 画面で、削除する資産または部品をタップします。 **iv.** [削除] をタップします。 [資産使用率] セクションが再ロードされて、削除された資産または部品が表示されます。この部品は、[ステータス] が [削除済み] で [ステータス] が [在庫あり] になります。
資産または部品を交換部品とスワップする	**i.** [スワップ] をタップします。 **ii.** [スワップする資産を選択] 画面で、スワップする資産または部品をタップします。 **iii.** [資産をスワップ] 画面の [資産をスワップイン] フィールドで、スワップインする交換部品を資産リストから選択します。 **注:** 交換部品の状態が [在庫あり] で、サブステートが [利用可能] である必要があります。 [資産使用率] リストがリロードされ、更新された資産ステータスが表示されます。 ▪ スワップアウト資産のステータスは [削除済み] です。 ▪ スワップイン資産のステータスは [使用済み] です。

○ 関連するエンタープライズ資産を調整する場合は、次の手順を使用します。

a. 作業指示タスクの [調整] をタップします。

キャリブレーションイベントプレイブックが開きます。

注: プレイブックの各レーンは、キャリブレーションイベントワークフローの一部として完了する必要があるアクティビティを表します。

b. キャリブレーションイベントプレイブックを展開します。

c. [詳細] レーンを展開し、[キャリブレーションイベントの詳細] をタップします。

d. [キャリブレーションイベントの詳細] 画面で、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キャリブレーションイベントの詳細画面

フィールド	説明
[Name (名前)]	キャリブレーションイベントの名前。
環境条件	
温度	キャリブレーションを実行する環境の温度。
体温の単位	環境温度の測定に使用している温度の単位。
湿度 (%)	キャリブレーションを実行する環境の相対湿度レベル。

e. [完了としてマーク] をタップします。

[詳細] レーンが [完了] としてマークされ、自動的に [キャリブレーションライン] レーンに進みます。

f. [キャリブレーションライン] 画面で、完了またはスキップするキャリブレーションラインを選択します。

各キャリブレーションラインは、関連するエンタープライズ資産のキャリブレーション属性に対応しています。キャリブレーション属性に精度を測定できる複数のポイントが含まれている場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはポイントごとに個別のキャリブレーションラインを作成します。必要に応じて、各キャリブレーションラインを完了するかスキップするかを選択できます。キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

g. キャリブレーションラインレコードで、次のいずれかのオプションを使用して、キャリブレーションラインを完了またはスキップします。

- キャリブレーションラインを完了するには、[編集]をタップします。[キャリブレーションラインの編集] 画面で、フィールドに入力し、[送信] をタップします。

  キャリブレーションライン画面の編集

フィールド	説明
計測	キャリブレーションの実行に使用している機器。対応するキャリブレーション属性の [モデル計測]フィールドで計測モデルを指定した場合、このフィールドのオプションは、指定した計測モデルに基づいてフィルタリングされます。
予想値	精度を測定する値。このフィールドは、キャリブレーション属性で指定した予想値に基づいて自動的に入力されます。
値を検出	キャリブレーション前に測定する値。
値残存	キャリブレーション後に測定する値。
コメント	キャリブレーションに関する追加コメント。

- キャリブレーションラインをスキップするには、「 スキップ」をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. [キャリブレーションライン] 画面に戻ります。

i. 各キャリブレーションラインについて手順fからhを繰り返します。

j. [完了としてマーク] をタップします。

[キャリブレーションライン] レーンが [完了] としてマークされます。

次のタスク
エンタープライズ資産に関連付けられた作業指示書をクローズします。詳細については、「モバイル エージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の作業指示書のクローズ」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の作業指示書のクローズ

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、関連する資産に必要なすべての作業を完了としてマークすることで、アサインされた作業指示書をクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。

2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。

3. クローズするタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。

4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。

- タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
- タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

5. クローズする作業指示タスクをタップします。

6. 作業指示タスクの 「詳細 」タブで、「完了してクローズ」をタップします。

7. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。

8. **[Done** (完了)] をタップします。

9. **[Submit** (送信)] をタップします。

タスクの結果
作業指示タスクのステータスが [対応中] から [完了してクローズ] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用した作業指示タスクのチェックリストの作成

モバイルエージェント アプリケーションを使用して作業指示または作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストを作成して、作業指示タスクを管理します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. チェックリストを作成するタスクが表示されない場合は、「**all**を参照してください」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. チェックリストを作成する作業指示タスクをタップします。
6. [関連] タブをタップします。
   [関連] タブの [チェックリスト] セクションには、作業指示タスクの既存のチェックリストが表示されます。完了としてマークされたチェックリストがリストの下部に表示されます。
7. [チェックリスト] セクションで、[項目を追加] をタップします。
8. [チェックリストを追加] 画面の [名前] フィールドにチェックリストの名前を入力します。
9. [順序] フィールドに、チェックリストアイテムを完了する順序を入力します。
   たとえば、値 1 は、指定されたチェックリストアイテムが最初に完了する必要があるアイテムであることを示します。
10. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果
チェックリストは、[チェックリスト] セクションに指定された順序で表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションで作業指示タスクに関連するナレッジ記事を表示する

モバイルエージェント アプリケーションで作業指示タスクに添付された、役に立つおよび関連のナレッジ記事を表示します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 必要なタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ナレッジ記事を表示する作業指示タスクをタップします。
6. [関連] タブをタップします。
7. 関連するナレッジ記事を表示します。
   - 作業指示タスクに関連するナレッジ記事を表示するには、[添付されたナレッジ] セクションの記事リンクをタップします。
   - 作業指示タスクに関連するナレッジ記事を表示するには、[部品ナレッジ] セクションの記事リンクをタップします。

   選択した記事が表示されます。

> **注:**
> 記事を評価したり、記事を役に立ったまたは役に立たなかったとマークしたり、記事にコメントを投稿したりして、ナレッジ記事に関するフィードバックを提供できます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクに関する作業メモを作成します

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクの詳細を含むメモをタスクレコードに追加します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   自分のタスクアプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 作業メモを追加するタスクが表示されない場合は [すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 作業メモを追加する作業指示タスクをタップします。
6. [アクティビティ] タブをタップします。
   作業指示タスクに関連するすべての作業メモが一覧表示されます。
7. [作成] をタップします。
8. [作成] 画面で、作業指示タスクに関連するコメントを入力します。
9. [投稿] をタップします。

タスクの結果
投稿された作業メモは、作業指示タスクレコードの [アクティビティ] タブに表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産に関連するすべての修復タスクを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産修復タスクの作業を開始する

自分にアサインされた修理タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて
次のタスクタイプに属する修理タスクを処理できます。

- 資産のトラブルシューティングタスク
- 資産修復タスク
- 資産評価タスク

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する修復タスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果
[詳細] タブで、[作業を開始] リンクが [タイマーの開始]、[時間を記録]、および [自動的に閉じる] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産修復タスクの作業時間を記録する

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、資産のトラブルシューティング、資産の修復、資産の評価の各タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクの一時停止

作業を続行しない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産の修復タスクの中断を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に
修復タスクの作業を開始したら、[詳細] タブの [タイマーの開始] をタップして、時刻の記録を開始してください。

必要なロール:asset_technician

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 一時停止するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[一時停止] をタップします。
   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、[再開] をタップします。

タスクの結果
修復タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産修復タスクの作業時間を手動で記録する

エンタープライズ資産修復タスクの作業時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに追加のコメントを入力します。

始める前に
[詳細] タブの [作業を開始] をタップして、修復タスクの作業を開始したことを示していることを確認してください。

必要なロール:asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録したい修理タスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクの作業期間を入力します。

b. オプション: [作業時間コメント] フィールドに追加情報を入力します。

8. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果
[時間を記録] フォームが保存され、タイムカードが [関連] タブの [作業時間] セクションに追加されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修復タスクのクローズ

アサインされたエンタープライズ資産修復タスクを完了し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクをクローズ済みとしてマークします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて
次のタスクタイプに属する任意のタスクをクローズできます。

- 資産タスクのトラブルシューティング
- 資産修復タスク
- 資産タスクの評価

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. クローズするタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え基準] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. クローズする修復タスクをタップします。
6. 修復タスクの [詳細] タブで、[閉じる] をタップします。
7. 修理タスク入力フォーム画面で、タスクの結果を入力します。
8. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
9. [完了] をタップし、[送信] をタップします。

タスクの結果
修理タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産集荷タスクを処理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産集荷タスクの作業を開始する

自分にアサインされた資産集荷タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで指定します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する資産集荷タスクをタップします。
   [詳細] タブの次のフィールドに表示される詳細を使用して、割り当てられた資産集荷タスクの作業を開始します。
   - 資産:選択する必要がある資産。
   - ストックルーム:資産をピッキングするストックルーム。
   - 集荷場所:資産を集荷するストックルーム内の通路とスペース。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果

[詳細] タブで、[作業を開始] リンクが [タイマーの開始]、[資産の検索、スキャン] に自動的に変更されます。

次のタスク

自分にアサインされた資産集荷タスクを完了します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のエンタープライズ資産を検索して集荷します」を参照してください。

モバイルエージェントアプリケーションを使用してエンタープライズ資産集荷タスクの作業時間を記録する

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産集荷タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの一時停止

作業を続行しない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産集荷タスクからの中断を記録します。

始める前に
エンタープライズ資産集荷タスクの作業を開始したら、[詳細] タブの [タイマーの開始] をタップして時間の記録を開始します。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて
タスクを一時停止した後、作業を再開したときに再開できます。作業が中断されても、タスクの完了にかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 一時停止するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止する資産集荷タスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[一時停止] をタップします。

   注:
   [一時停止] オプションは、[タイマーの開始] をタップした後にのみ表示されます。

   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、[再開] をタップします。

タスクの結果
資産集荷タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のエンタープライズ資産を検索して集荷します

インドアマップを使用して、ストックルームの特定の通路とスペースに配置されているエンタープライズ資産を特定します。資産を見つけたら、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産を選び出し、ストックルーム内の別の場所に持ち込みます。

始める前に
ServiceNow Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面の下部にあるナビゲーションバーで、[自分のタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクのみが表示されます。
3. 開始するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 作業を開始した資産集荷タスクをタップします。
6. ストックルーム内のエンタープライズ資産を見つけるには、[詳細] タブで [検索] をタップします。
   - ストックルーム内のエンタープライズ資産の正確な場所がマップに表示されます。
   - [方向を取得] オプションが表示されます。
7. ストックルーム内の資産の場所への道順を取得します。
   a. [お問い合わせ] をタップします。
   b. マップ上の開始場所を選択します。
   c. [保存] をタップします。
   - マップに次の詳細が表示されます。
     - 開始場所から資産の場所までのパス
     - 資産の場所に到着するまでに必要なおおよその時間
   - [ステップを表示] と [資産をスキャン] オプションが表示されます。
8. オプション: 資産の場所までの経路を表示するには、[歩数を表示] をタップします。
9. 資産の場所に到達したら、資産を選択します。
10. 資産集荷タスクを完了します。
    a. [資産をスキャン] をタップします。
    b. 資産タグ情報を入力します。
       - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
       - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
    c. オプション: [納品場所] フィールドで、集荷した資産を納品するストックルーム内のスペースを選択します。
    d. **[Close complete** (完了してクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産集荷タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。
- 資産の [場所] フィールドは、納品場所を指定した場合にのみ、納品場所で更新されます。
- エンタープライズ資産要求フローとエンタープライズリフレッシュ要求フローは、次のステージに進みます。

エンタープライズ資産の調達

ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して、要求されたエンタープライズ資産を調達および受信し、サービスカタログ要求を満たすことができます。

エンタープライズ資産調達の概要

調達アプリケーションを使用すると、次のことができます

- サービスカタログ要求の追跡と管理
- 発注書の作成と管理、
- 転送注文の作成と管理
- 資産を受け取ります。

資産調達の詳細については、 調達 を参照してください。

Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求

サービスカタログ アプリケーションで要求を作成し、Enterprise 資産ワークスペースからその要求を調達できます。

始める前に
ローカルストックルームで在庫が利用可能な場合は、要求者のローカルストックルームの資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームで在庫が利用できない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成できます。

必要なロール:proc_user

手順

1. 次のように移動する。 エンタープライズ資産ワークスペース > 調達 > カタログタスク.
2. 要求の調達タスクを開き、[ソース要求] を選択します。
3. [ソーシング] ページで、次の 3 つのオプションのいずれかを選択します。
   - 消費:在庫がローカルストックルームで利用可能な場合。

     ソースストックルームに対して資産集荷タスクが有効になっている場合、タスクはエンタープライズ資産リフレッシュ要求フローとエンタープライズ資産要求フローに追加されます。

   - 転送:ローカルストックルームで在庫が入手できず、転送注文で要求を調達する場合。

     注:
     転送注文を作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、アドミニストレーターが glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer プロパティをオンにする必要があります。

   - 購入:ローカルストックルームで在庫がなく、発注書 (PO) を使用して要求を調達する場合。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 選択したオプションに基づいて、必須フィールドに入力します。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。
   転送または購入を選択した場合は、転送注文ラインまたは発注書 (PO) ラインのタスクが作成されます。要求を開いてタスクを表示できます。

エンタープライズ資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、エンタープライズ資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと エンタープライズ資産管理

ドメインセパレーションは エンタープライズ資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

製品のドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはエンタープライズ資産管理用のマネージドサービスを顧客に提供できます。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理する大規模な組織にも適しています。

エンタープライズ資産管理におけるドメインセパレーションの仕組み

エンタープライズ資産管理では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用されるシステムプロパティは 2 つあります。Tokyo リリースでは、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードをカスタマイズしない ことをお勧めします 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – Domain Support (com.snc.pa.domain_support)
- 作業管理 (com.snc.work_management)

サポートされているその他のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- 調達 (com.snc.procurement)

詳細については、「ドメインセパレーションの説明」、「クエリとドメインアクセスを含む」、および「デフォルトドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) ロール

次のロールは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成して使用し、資産、部品、およびそれらの階層関係のライフサイクルを管理するのに役立ちます。

ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) ロール

自動翻訳

ロールのタイトル	含まれるロール	説明
エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager]	• sn_eam.enterprise_asset_technician • inventory_user • contract_manager • category_manager • procurement_user • wm_initiator • cmdb_query_builder • cmdb_read • plan_maint_admin • wm_task_initiator	このロールは、管理機能を除く 機能にアクセスできます。
エンタープライズアドミン [sn_eam.enterprise_admin]	• inventory_admin • catalog_manager • report_user	このロールは、 エンタープライ 資産ワークスペースへのフルアク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールのタイトル	含まれるロール	説明
	• sn_eam.enterprise_asset_manager • 資産 • procurement_admin • sn_ent.classification_manager • sn_otam.ot_asset_manager	
エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician]	• sn_eam.enterprise_mobile_user • sn_eam.enterprise_asset_editor	このロールは、資産ライフサイク し、資産レコードを更新するユー エンタープライズ資産タスクにア • 準備タスクを除くすべての RM • すべての取り消しタスク • すべての廃棄タスク • 準備タスクを除くすべての貸与 • エンタープライズ資産監査 • リース終了の集荷、準備、出荷
エンタープライズモバイルユーザー [sn_eam.enterprise_mobile_user]	なし	このロールには、モバイルアプリ たり、モバイルアプリケーション アクセス権があります。
エージェント [wm_agent]	なし	このロールは、エンタープライズ する作業指示および作業指示タス です。 **注:** wm_agentロールには、Ent 産ワークスペースにログイン enterprise_asset_manage その他のロールなどの追加の ます。

自動翻訳

OT 資産ワークスペースのロール

次のロールは、OT 資産管理アプリケーションの管理に役立ちます。

OT 資産 ワークスペース へのアクセスは、アサインされたロールによって異なります。

- OT 資産マネージャー [sn_otam.ot_asset_manager]:OT 資産 ワークスペース へのフルアクセス権を付与します。
- OT 資産技術者 [sn_otam.ot_asset_technician]:OT 資産 ワークスペース への制限付きアクセス権を付与します。

エンタープライズ資産の資産フィールド

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべての資産フィールドの詳細な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示される資産の名前。[資産管理番号] と [モデル] フィールドに基づいて資産が作成された時に自動設定されます。
モデル	資産の特定の製品モデル **注:** 消耗資産を作成する場合は、次の基準を満たす任意の製品モデルを選択できます。 • モデルタイプが [消耗品] に設定されている。 • 製品モデルは、Enterprise good model [sn_ent_model] クラスまたはその子クラスのいずれかに分類されます。
モデルカテゴリ	資産のモデルグループ化。選択したモデル カテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。
親	資産の親資産。親リンクの定義時には、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となり、親の割り当てと状態フィールドに基づいて自動入力されます。
資産タイプ	マルチコンポーネント資産のタイプ。マルチコンポーネント資産のタイプは次のとおりです。 • 事前に組立 • ユーザー組立 • シンプル • シンプル (アドオンあり) • 事前に組立 (アドオンあり) • ユーザー組立 (アドオンあり)
Asset tag (資産タグ)	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
構成アイテム (CI)	この資産が作成されると自動的に作成される CI。このフィールドに表示される名前は、 [シリアル番号] および [モデル] に基づいています。参照アイコンをポイントすると、資産レコードから継承された構成アイテムの詳細が表示されます。
シリアル番号	この資産のシリアル番号。
ステータス	資産の現在のステータス。デフォルトでは、新しく作成された資産は [ビルド] ステータスです。資産とそのコンポーネントを設定したら、モデルのステータスを変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
	その他のステータスオプションは次のとおりです。 • 発注済み • 在庫あり • **In transit** (輸送中) • 使用中 • メインテナンス中 • 廃止 • 欠損
Substate (サブステート)	[利用可能] や [予約済み] など、資産の現在状況の補足[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変更されます。
資産機能	プライマリ、セカンダリ、共有、貸与など、資産が使用される機能。
倉庫 **注:** このフィールドは、[ステータス] フィールドを [在庫あり] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が置かれている倉庫。
通路とスペース	ストックルーム内の資産の通路とスペースの詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。
予約利用者 **注:** このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] または [輸送中] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が予約されているユーザー。
数量	この資産が表わすアイテム数。以下のポイントが 1 つ以上該当しない限り、資産の数量は常に 1 となります。 • 消耗品であること。消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 事前割り当て済みであること。モデル カテゴリーとモデルが定義されていて、[サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
更新対象	資産が更新対象かどうかを示します。[インストール済み] フィールドの日付が過去の日付の場合、このチェックボックスが表示されます。このチェックボックスは、モデルの [有効年限 (月数)] フィールドで指定された数の 2 か月前に自動的にオンになります。 「EAM:資産リフレッシュ適格性を計算」週次スケジュール済みジョブが実行されると、リフレッシュの対象となるすべての資産が計算されます。
場所	資産の現在の物理的な場所。 **注:** ロケーションを特定の建物、フロア、または場所に設定し、ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、資産が現在配置されている敷地、建物または構造、フロアを含む最大 3 レベルの対応するロケーション階層を自動的に入力します。場所階層は、指定された場所と対応する親の場所との間の階層関係を示します。すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードの [場所階層] セクションで、場所階層を表示できます。 **注:** 場所を特定の場所に設定し、ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードに、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。関連付けられた作業指示タスクまたはストックルームレコードからレコードを開いた場合でも、このマップは資産レコードに含まれています。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのサイドバーにある場所マップアイコン (を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
Assigned to (アサイン先)	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは資産状態が使用中の場合に表示されます。
アサイン日時	資産をユーザーに割り当てた日付。
管理担当者	資産を維持管理している人物。[所有者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
インストール日時	[担当者] フィールドに記載されている人物に資産が割り当てられた日付。
オーナー	資産の財務的所有権を有している人物。[管理者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
保証の有効期限	保証期限の日付。
会社	この資産が属する会社または組織。
Department (部門)	この資産が属する部門。
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイムの無線周波数識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、 Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理 を参照してください。 **注:** この資産が別の資産の子であり、独自の RFID タグが含まれていない場合、[**RFID** タグ] フィールドには親資産の RFID タグが入力されます。親資産を削除すると、この資産の **RFID** タグ フィールドがクリアされます。
MAC アドレス	資産の MAC アドレス。 **重要:** Yokohama リリース以降、このフィールドの値は資産 [alm_asset] テーブルの **MAC** アドレス [mac_addr] フィールドに基づいて入力されます。ハードウェア [mac_address] テーブルの **MAC** アドレス [alm_hardware] フィールドは廃止されました。 このフィールドは、消耗品とパレットの資産フォームには表示されません。
コメント	追加するメッセージ (存在する場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

財務フォーム

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。Procurement の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
オープン	要求されたアイテム レコードが開かれた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
請求書番号	請求書の番号。
GL アカウント	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
コスト	資産を購入した価格。
コストセンター	資産に関する請求が行われたコストセンター。
取得方法	資産の取得方法。ベースシステムの選択肢は、[購入]、[リース]、[レンタル]、[ローン]、および **[RMA** 交換] です。 Procurement の発注書により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
発注書番号	資産に関する請求の根拠となる発注書 (PO)

[減価償却] フォーム

フィールド	説明
減価償却	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
経過日数	減価償却有効日付から経過した日数
減価償却開始日	指定された減価償却方法が開始される日付。
残余価値	減価償却方法が適用された [コスト] フィールドの値
残存価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
減価償却額	資産の減価償却済みの金額

リース契約

フィールド	説明
リース契約	資産に適用されているリース契約。
リース有効期限	リース契約が切れる日付
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月単位)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース契約 (続く)

フィールド	説明
月次リース支払	リース契約に対して毎月支払う必要がある金額。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。

廃棄フォーム

フィールド	説明
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー
予定使用終了日	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。

資産監査

フィールド	説明
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行したユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注:
この資産が別の資産の子である場合、これらの ***RFID*** フォームセクションフィールドにマッピングされ、入力される ***RFID*** 場所データは、資産が関連付けられている ***RFID*** タグに基づいています。

- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれている場合、すべての ***RFID*** 場所データはその ***RFID*** タグに基づきます。
- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれていない場合、すべての ***RFID*** 場所データは親資産の ***RFID*** タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産のすべての ***RFID*** フォームセクションフィールドからすべての ***RFID*** 場所データがクリアされます。

フィールド	説明
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイムの無線周波数識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、「 Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理」を参照してください。
タイプ	資産に関連付けられている RFID タグのタイプ。
タグソース	RFID タグを介して保存および転送される資産の RFID 場所データのソース。
シリアル番号	資産のシリアル番号。
前回の点滅時間	RFID タグが最後にスキャンされた時刻。
前回の点滅経過時間	RFID タグが最後にスキャンされてから経過した時間。
緯度	資産の緯度価値。
経度	資産の縦断的価値。
[Active (アクティブ)]	RFID タグがアクティブかどうかを示すオプション。RFID 場所データは、このオプションを選択した場合にのみ資産にマッピングできます。
サイト名	資産が配置されているサイトの名前。
ゾーングループ	資産が属する問い合わせゾーングループ。
ゾーングループ滞留	資産が指定された問い合わせゾーングループに属している時間。
ゾーン	資産が置かれている問い合わせゾーン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注:
この資産が別の資産の子である場合、これらの *RFID* フォームセクションフィールドにマッピングされ、入力される *RFID* 場所データは、資産が関連付けられている *RFID* タグに基づいています。

- この資産に独自の *RFID* タグが含まれている場合、すべての *RFID* 場所データはその *RFID* タグに基づきます。
- この資産に独自の *RFID* タグが含まれていない場合、すべての *RFID* 場所データは親資産の *RFID* タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産のすべての *RFID* フォームセクションフィールドからすべての *RFID* 場所データがクリアされます。

(続く)

フィールド	説明
ゾーン滞留	指定された問い合わせゾーンに資産が存在する時間。
グリッド x	指定された RFID グリッド内の資産の X 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。
グリッド y	指定された RFID グリッド内の資産の Y 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。
グリッド z	指定された RFID グリッド内の資産の Z 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。
ステータス	RFID 場所データの資産へのマッピングのステータス。データが資産に正常にマッピングされた場合、このフィールドは [一致] に設定されます。データが資産にマッピングされていない場合、このフィールドは [不一致] に設定されます。 重要: RFID 場所データは、[RFID フォーム] セクションで [アクティブ] オプションを選択した場合にのみ資産にマッピングできます。 ヒント: RFID ステータスが [不一致] の資産レコードを表示し、アクションを実行するには、Enterprise 資産一覧ビューの [概要] タブに表示される [不一致 **RFID** タグ] の重要なアクションを使用します。Enterprise 資産一覧ビューの詳細については、「エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要」を参照してください。

アクティビティ

フィールド	説明
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[アドミン]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。フィールドの列はデフォルトで監査されており、どの更新も作業メモに記録されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクティビティ (続く)

フィールド	説明
	• 作業メモは、発注書 (PO) と転送注文によって資産が受領されたときに更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。

エンタープライズモデルカテゴリと対応するクラス

エンタープライズモデルカテゴリとそれに対応する 構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI)、資産、およびモデルクラス。

医療モデルカテゴリ

医療モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
医療全般	N/A (該当なし)	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
医療用デバイス	cmdb_ci_hc_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
医療デバイス	cmdb_ci_med_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
患者モニタリング	cmdb_ci_med_patient_monitoring	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
患者インプラント	cmdb_ci_med_patient_implant	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
手術器具	cmdb_ci_med_surgical_instrument	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
Clinical Devices (臨床機器)	cmdb_ci_med_clinical_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
ラボ設備	cmdb_ci_med_lab_equipment	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
画像診断	cmdb_ci_med_diagnostic_imaging	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
治療用デバイス	cmdb_ci_med_therapeutic_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
歯科用機器	cmdb_ci_med_dental	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

施設モデルカテゴリ

施設モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
施設全般	cmdb_ci_facibility_hardware	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
電気関係	cmdb_ci_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
自動転送スイッチ	cmdb_ci_ats_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
発電機	cmdb_ci_generator_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
UPS	cmdb_ci_ups_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
HVAC	cmdb_ci_hvac	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
燃料タンク	cmdb_ci_fuel_tank	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
構造	cmdb_ci_building_facility	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
配管	N/A (該当なし)	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
Security	cmdb_ci_security	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
カメラ	cmdb_ci_ip_camera	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
AV ディスプレイ	cmdb_ci_display	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
AV 機器	cmdb_ci_multimedia	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
機器	N/A (該当なし)	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
家具および備品	N/A (該当なし)	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model

輸送モデルカテゴリ

輸送モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
運輸全般	cmdb_ci_transport	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
航空機	cmdb_ci_aircraft	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
配送	cmdb_ci_ship	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
トレーニング	cmdb_ci_train	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
車両	cmdb_ci_vehicle	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

産業用モデルカテゴリ

産業用モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
産業全般	cmdb_ci_ot	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール	cmdb_ci_ot_control	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール CNC	cmdb_ci_ot_cnc	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール DCS	cmdb_ci_ot_dcs	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール DPU	cmdb_ci_ot_dpu	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール IED	cmdb_ci_ot_ied	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール 3D プリンター	cmdb_ci_ot_industrial_3d_printer	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール OPC サーバー	cmdb_ci_ot_opc_server	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロールモジュール	cmdb_ci_ot_control_module	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール PLC	cmdb_ci_ot_plc	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

産業用モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス (続く)

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
OT コントロール RTU	cmdb_ci_ot_rtu	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール SCADA	cmdb_ci_ot_scada_server	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドデバイス	cmdb_ci_ot_field_device	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドアクチュエーター	cmdb_ci_ot_industrial_actuator	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドドライブ	cmdb_ci_ot_industrial_drive	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドロボット	cmdb_ci_ot_industrial_robot	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドセンサー	cmdb_ci_ot_industrial_sensor	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT品質検査管理システム	cmdb_ci_ot_qics	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督	cmdb_ci_ot_supervisory	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 EWS	cmdb_ci_ot_ews	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督履歴担当者	cmdb_ci_ot_historian	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 HMI	cmdb_ci_ot_hmi	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

産業用モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス (続く)

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
OT 監督 OPC	cmdb_ci_ot_opc_client	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 SCADA	cmdb_ci_ot_scada_client	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督システム	cmdb_ci_ot_supervisory	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
運用機器	cmdb_ci_oe	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model

小売モデルカテゴリ

小売業モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
小売業全般	N/A (該当なし)	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model
支払デバイス	cmdb_ci_payment	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model
POS デバイス	cmdb_ci_pos	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model

建設モデルカテゴリ

構築モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
建設全般	N/A (該当なし)	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
建設機械	N/A (該当なし)	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
ツール	N/A (該当なし)	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
テストツール	N/A (該当なし)	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model

戦術装備品モデルカテゴリ

戦術装備品モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
戦術将軍	N/A (該当なし)	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
タクティカルギア	N/A (該当なし)	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
兵器	N/A (該当なし)	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
フォレンジック用品	N/A (該当なし)	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
弾薬	N/A (該当なし)	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウェアラブルモデルカテゴリ

ウェアラブルモデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
ウェアラブル全般	N/A (該当なし)	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model
PPE	N/A (該当なし)	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model
制服	N/A (該当なし)	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model

一括インポートスプレッドシートの必須フィールド

Enterprise 資産ワークスペースでの一括インポート用のモデル、資産、およびモデルと資産テンプレートの必須フィールドのリスト。

モデルテンプレートの必須フィールド

フィールド/列	モデルの作成に必須	モデルの更新に必須
インデックス **注:** 行番号を表すことで、特定の行を識別できます。ただし、これは手動で入力する必要があります。	要	要
メーカー	要	要
モデル名	要	要
モデル番号	要	要
モデルカテゴリ	要	いいえ
モデルタイプ	要	いいえ
親モデルの製造元	要 **注:** 単一モデルには適用されません。	いいえ
親モデルの名前	要 **注:** 単一モデルには適用されません。	いいえ
親モデルの番号	要 **注:** 単一モデルには適用されません。	いいえ
コンポーネント番号	要	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	モデルの作成に必須	モデルの更新に必須
	注: 単一モデルには適用されません。	
コンポーネント数量	要 注: 単一モデルには適用されません。	いいえ
Required (必須)	要 注: 単一モデルには適用されません。	いいえ
ホットスワップ可能	要 注: 単一モデルには適用されません。	いいえ
修理可能	要 注: 単一モデルには適用されません。	いいえ

自動翻訳

資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	資産の作成に必須	資産の更新に必須
インデックス 注: 行番号を表すことで、特定の行を識別できます。ただし、これは手動で入力する必要があります。	要	要
メーカー	要	要
モデル名	要	要
モデル番号	要	要
親モデルの製造元	要 注: 単一の資産には適用されません。	要

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	資産の作成に必須	資産の更新に必須
親モデルの名前	要 注: 単一の資産には適用されません。	要
親モデルの番号	要 注: 単一の資産には適用されません。	要
コンポーネント番号	要 注: 単一の資産には適用されません。	要
Asset tag (資産タグ)	要	要
Serial Number (シリアル番号)	要	いいえ
親資産	要 注: 単一の資産には適用されません。	いいえ
数量	要	いいえ
ステータス	要	いいえ
サブステータス	要	いいえ
倉庫	要	いいえ
場所	要	いいえ

モデルおよび資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
インデックス 注: 行番号を表すことで、特定の行を識別できます。ただし、これは手動で入力する必要があります。	要	要
メーカー	要	要
モデル名	要	要
モデル番号	要	要
モデルカテゴリ	要	要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
モデルタイプ	要	要
親モデルの製造元	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	要
親モデルの名前	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	要
親モデルの番号	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	要
コンポーネント番号	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
コンポーネント数量	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
Required (必須)	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
ホットスワップ可能	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
修理可能	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
Asset tag (資産タグ)	要	要
シリアル番号	要	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
親資産	要 注: 単一モデルおよび単一資産には適用されません。	いいえ
数量	要	いいえ
ステータス	要	いいえ
サブステータス	要	いいえ
倉庫	要	いいえ
場所	要	いいえ
	はい	いいえ

エンタープライズモデルの正規化ステータス

エンタープライズモデルの正規化ステータスの説明。

ステータス	説明
新規	モデルが作成され、まだ正規化プロセスが実行されていません。
正規化済み	正規化後、正規化されたメーカー、製品、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプの値が入力されます。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。
一部正規化済み	正規化後、正規化されたメーカー、製品、およびモデルタイプの値が入力され、モデル番号は空白になります。
Manufacturer Normalized (正規化されたメーカー)	正規化後、正規化されたメーカーの値が入力され、残りの列は正規化後に空白になります。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスは、モデルのどのフィールドとも一致させることができませんでした。 ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合、[一致項目は見つかりませんでした] ステータスが発生する可能性があります。

のモデルフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべてのモデルフィールドの詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルをビルドした会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。これは読み込み専用フィールドです。
モデルタイプ **注:** パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	マルチコンポーネントモデルのタイプ。選択できるオプションは次のとおりです。 • シンプル • 消耗品 • 事前に組立 • ユーザー組立
資産追跡戦略 **注:** パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	資産の追跡に使用されるプロセス。オプションは、[カテゴリに残す]、[消耗型資産を作成]、[資産を作成しない] です。
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。オプションは 、個別ユニットと 固定料金です。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。デフォルトでは、新しく作成されたモデルは [ビルド] ステータスです。モデルとそのコンポーネントを定義したら、モデルのステータスを変更できます。その他のステータスオプションは、[生産中]、[廃止]、および [販売済み] です。
画像	モデルを表す画像。画像を選択して添付するには、[画像を添付] リンクを選択します。画像を添付すると、リンクが [画像を表示] に変わります。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計算済みライフサイクルテンプレート	ライフサイクル日付を計算するためのライフサイクルテンプレート。このテンプレートはモデルにアサインできます
計算済みライフサイクル開始日	選択した計算済みライフサイクルテンプレートで定義された各ライフサイクルフェーズのフェーズ開始日とフェーズ終了日が計算される開始日。

財務

フィールド	説明
コスト	モデルの単一のコスト。
TCO ベンチマークコスト	モデルの TCO ベンチマークコストを指定します。
TCO ベンチマークしきい値	TCO ベンチマークしきい値は、コストがベンチマークに近づいていることをアラートで通知する TCO ベンチマークコストの割合です。デフォルトでは、この割合は 75% です。たとえば、TCO ベンチマークコストが 100 ドルの場合、TCO ベンチマークしきい値は 75 ドルです。 TCO ベンチマークコストを設定すると、このフィールドは自動的に計算されます。 *asset_tco_benchmark_threshold_percentage* システムプロパティで割合を変更できます。
平均資産 TCO	レポートソース内のすべての資産の平均資産 TCO 値を示します。たとえば、レポートソースに 10 個の資産があり、すべての資産のすべての資産 TCO 値の合計が 100,000 の場合、平均資産 TCO は 10,000 になります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費:運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

障害リスク

[可能性] フィールドと [影響度] フィールドの値は、リスクの可能性とリスクの影響度の設定レコードが固定されている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
障害の可能性	リスクスコアの可能性の値。 リスクの可能性に対して作成した構成値は、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは value-label の形式で表示されます。たとえば、「 1-Low 」の場合、1 は値、Low はラベルです。詳細については、「リスクの可能性の構成値を作成」を参照してください。
障害の影響	リスクスコアの影響度の値。 リスク影響度に対して作成した構成値は、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは value-label の形式で表示されます。たとえば、 2-Medium の場合、2 は値で、Medium はラベルです。詳細については、「リスク影響度の構成値を作成」を参照してください。
障害リスクスコア	リスクスコアは、可能性と影響度の値に基づいて自動的に入力されます。

正規化

フィールド	説明
正規化されたメーカー	正規化されたメーカー名。
正規化されたモデル名	モデルの正規化された名前。
正規化されたモデル番号	モデルの正規化された数値。
標準化ステータス	モデルの現在の正規化ステータス。
正規化されたモデルタイプ	モデルの正規化されたタイプ。
コンテンツサービスとの共有から除外	特定のコンテンツを エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスと共有しないようにするオプション。このオプションは、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合にのみ適用されます。

製品カタログ

注:
[製品カタログ] フィールドは、消耗品モデルでのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。
画像	製品モデルを示す写真。

[モデルコンポーネント] タブ

このタブを使用して、モデルコンポーネントを作成します。マルチコンポーネントモデルを作成するには、1 つ以上のモデルコンポーネントが必要です。

注:
[モデルコンポーネント] タブは、モデルがマルチコンポーネントモデルの場合にのみ表示されます。[モデル] ページの [マルチコンポーネント] フィールドに [事前に組立] または [ユーザー組立] の 2 つの値のいずれかがある場合、[モデル コンポーネント] タブが表示されます。[マルチコンポーネント] フィールドの値が [適用外] の場合、[モデルコンポーネント] タブは表示されません。

フィールド	説明
コンポーネントのモデルカテゴリ	コンポーネントのモデルカテゴリ。
コンポーネント	モデルのコンポーネント。選択したモデルカテゴリに属するモデルコンポーネントのみがこのリストに表示されます。
Required (必須)	このチェックボックスがオンになっている場合、複合モデルが機能するにはモデルコンポーネントが必要であり、完全に削除することはできません。
ホットスワップ可能	デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。マルチコンポーネントモデルが動作している間にモデルコンポーネントをスワップできることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。
修理可能	モデルコンポーネントを修理できることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

[エンタープライズモデルライフサイクル] タブ

このタブを使用して、エンタープライズモデルのライフサイクル情報を指定します。

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• サポート終了 • 拡張サポート終了 • **End of Life** (提供終了)
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
説明	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
Risk	ライフサイクルに関連するリスク。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
[Active (アクティブ)]	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示します。

[ベンダーカタログアイテム] タブ

注:
[ベンダーカタログアイテム] タブは、消耗品モデルに対してのみ表示されます。

フィールド	説明
[Name (名前)]	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられた製品モデル。
在庫切れ	製品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	割引が適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク
Short Description (簡単な説明)	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテム。
UPC	製品のユニバーサルプロダクトコード (UPC)。
説明	製品の説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
画像	製品の写真。
[Active (アクティブ)]	製品がアクティブかどうかを示すオプション。
情報	
仕様	ベンダーからの製品仕様。
機能	ベンダーが提供する製品機能。

の契約フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべての契約フィールドの詳細な説明。

契約

フィールド	説明
ベンダー	リース契約に関連付けられているベンダー。
契約番号	リース契約の識別と追跡に使用される一意の番号。この番号はベンダーから取得できます。
[Name (名前)]	リース契約の名前。
親契約	リース契約が関連付けられている親契約。
開始日	リース契約が開始される日付。
終了日	リース契約が終了する日付。
契約管理者	リース契約を管理し、ベンダーとやり取りするユーザー。
承認者	リース契約を承認または却下するユーザー。
事業上の所有者	ビジネスの観点からリース契約を管理するユーザー。
説明	リース契約の説明。

財務

フィールド	説明
請求書の支払期限	リース契約の支払いを行う方法とタイミングを説明する条件。
支払いスケジュール	各リース契約の支払いを行う必要がある頻度。
支払額	リース契約の支払ごとに支払う必要がある金額。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
適用可能な税	リース契約に適用される税金。次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 免除:リース契約は非課税です。 • 売上: 売上税はリース契約に適用されます。
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月単位)。
ベンダーアカウント	各リース契約の支払い先となるベンダー アカウント。
発注書 (PO)	リース契約に関連付けられている発注書 (PO)
コストセンター	リース契約に対して財務的に責任を負うコストセンター。
レートカードあり	リース契約に関連する契約レートカードがあるかどうかを示すオプション。契約の詳細なコスト情報を提供します。 契約レート カードの詳細については、「契約レートカードを作成する」を参照してください。

のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべてのメンテナンス計画フィールドの詳細な説明。

メンテナンス計画

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	メンテナンス計画がアクティブかどうかを示すオプション。
[Name (名前)]	メンテナンス計画の名前。
簡単な説明	メンテナンス計画の簡単な説明。

ターゲット資産

フィールド	説明
テーブル	メンテナンス計画を適用するエンタープライズ資産を一覧表示するターゲット エンタープライズ資産管理 テーブル。デフォルトのテーブルは **Enterprise** 資産です。
フィルター条件	メンテナンス計画をエンタープライズ資産の特定のサブセットにのみ適用できるようにするフィルター条件。 次のオプションを使用して、1 つのメンテナンス計画に複数のフィルター条件を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• または:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる条件を指定できます。 • **AND**:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
新しい一致レコードに適用	ターゲット エンタープライズ資産管理 テーブルに追加され、指定されたフィルター条件を満たす後続のエンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するオプション。
メンテナンス上書きポリシー	既にメンテナンス中のエンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用する場合に実行するアクションを指定するポリシー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 放置する:新しいメンテナンス計画のタスクの作成および既存のメンテナンス計画に関連付けられているタスクの削除を防止します。 • [既存をキャンセル]:既存のメンテナンス計画に関連付けられているすべてのタスクを削除します。 • 既存に追加:新しいタスクと既存のアクティブなタスクの両方を新しいメンテナンス計画に追加します。

のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべてのメンテナンススケジュールフィールドの詳細な説明。

メンテナンススケジュール

フィールド	説明
[Name (名前)]	メンテナンススケジュールの名前。
簡単な説明	メンテナンススケジュールの簡単な説明。
トリガー	メンテナンスを実行するために満たす必要がある条件のタイプを指定するトリガー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 期間:時間に基づいてメンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • メーター **(Meter)**:特定のエンタープライズ資産フィールドの値に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 条件:フィルター条件に基づいて実行するメンテナンスをトリガーします。このオプションを選択すると、[条件の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• スクリプト:高度なスクリプト基準に基づいて実行するメンテナンスをトリガーします。このオプションを選択すると、[スクリプトの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 期間またはメーター:時間または特定のエンタープライズ資産フィールド値のいずれか早い方に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームと [メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。
[Active (アクティブ)]	メンテナンススケジュールがアクティブかどうかを示すオプション。

期間の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [期間]、[期間]、または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
トリガータイプ	メンテナンスを実行する頻度。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 間隔:指定された時間間隔でメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[日]、[時間]、[分]、および [秒] フィールドが表示され、メンテナンスが再度実行されるまでに経過する必要がある時間を指定できます。 • 週次:週に 1 回メンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[期限曜日 **(Due day of week**)] フィールドと [期限時間 **(Due time**)] フィールドが表示され、メンテナンスを毎週実行する日時を指定できます。 • 月次:月に 1 回、特定の日にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of month** (期限日)] フィールドと [**Due time** (期限時刻)] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する日時を指定できます。 • 年次:年に 1 回、特定の日時にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[期限日]、および [期限時刻] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、日付、および時刻を指定できます。 • 月の週:月に 1 回、月の特定の週にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[月の期限の週] および [期限時間] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する週と時間を指定できます。 • 年内の月、週、曜日:年に 1 回、特定の日、週、月にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[月の期限の週]、[期限曜日]、および [期限時刻] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、週、日、および時刻を指定できます。
リードタイム	定期メンテナンス作業に必要な日数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

測定の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [メーター]、[期間]、または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィールド	メンテナンスの実行をトリガーするために照合するエンタープライズ資産フィールド。
各	メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が一致する必要があるフィールド値。

条件の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [条件] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィルター条件	メンテナンスの実行をトリガーするフィルター条件 次のオプションを使用して、トリガーに複数のフィルター条件を追加できます。 • または:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる条件を指定できます。 • **and**:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

スクリプトの詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [スクリプト] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
スクリプト	メンテナンスの実行をトリガーする詳細基準を指定するスクリプト。

の作業計画フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべての作業計画フィールドの詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業計画

フィールド	説明
[Number (番号)]	作業計画の一意の番号。
[Name (名前)]	作業計画の名前
簡単な説明	作業計画の簡潔な説明。
有効開始	作業計画がアクティブになる有効な開始日。
有効終了	有効終了日は、作業計画がアクティブ化されるまでです。
[Active (アクティブ)]	作業計画が使用可能かどうかを示すオプション。
作業指示を予測	この作業計画が今後の作業指示の見積もりと生成に適用可能かどうかを指定するオプション。 このオプションが選択されている場合、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択すると、[作業指示書を生成] オプションを表示できます。これにより、資産ごとにスケジュールの作業指示が生成されます。

条件

フィールド	説明
テーブル	作業計画が関連付けられているターゲット エンタープライズ資産管理 テーブル。デフォルトのテーブルは **Enterprise** 資産です。
カテゴリ	作業計画が相手先ブランド供給スケジューリング (OEM) または代替設備スケジューリング (AEM) のいずれかのカテゴリに適用可能かどうかを判断します。
新しい一致レコードに適用	ターゲット エンタープライズ資産管理 テーブルに追加され、指定されたフィルター条件を満たす後続のエンタープライズ資産に作業計画を適用するオプション。
メンテナンス上書きポリシー	すでに進行中のスケジュールの発生に基づいて作業計画を実行する場合の処理方法を指定します。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 放置する:新しい作業計画のタスクの作成および既存の作業計画に関連付けられているタスクの削除を防止します。 • [既存をキャンセル]:プランに関連付けられている既存のタスクを削除し、それらを置き換えるタスクを作成します。 • 既存に追加:計画の特定のスケジュールの発生について、既存のアクティブなタスクを新しいタスクで置き換えることができます。
フィルター条件	エンタープライズ資産の特定のサブセットに作業計画を適用できるようにするフィルター条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	次のオプションを使用して、1 つの作業計画に複数のフィルター条件を追加できます。 • または:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる条件を指定できます。 • **AND**:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

エンタープライズ資産管理の作業計画スケジュールフィールド

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのすべての作業計画スケジュールフィールドの詳細な説明。

計画作業スケジュール

フィールド	説明
[Name (名前)]	作業計画スケジュールの名前。
簡単な説明	作業計画スケジュールの簡単な説明。
トリガー	作業計画を実行するために満たす必要がある条件のタイプを指定するトリガー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 期間: 時間に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 測定: 特定のエンタープライズ資産フィールド値に基づいて実行する作業計画をトリガーします。このオプションを選択すると、[メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 条件:フィルター条件に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[条件の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • スクリプト:高度なスクリプト基準に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[スクリプトの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 期間またはメーター: 時間または特定のエンタープライズ資産フィールド値のいずれか早い方に基づいて実行する作業計画をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームと [メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。
[Active (アクティブ)]	作業計画スケジュールがアクティブかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

期間の詳細

注:
このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [期間] または [期間] または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
トリガータイプ	作業計画を実行する頻度。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 間隔:指定された時間間隔で作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[日]、[時間]、[分]、および [秒] フィールドが表示され、作業計画が再度実行されるまでに経過する必要がある時間を指定できます。 • 週次:作業計画を週に 1 回実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of week**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、作業計画を毎週実行する日時を指定できます。 • 複数の曜日:作業計画を週に複数回実行します。[複数の曜日 **(Multiple days of week)**] を選択すると、[期限曜日 (Due days of week)] フィールドが表示され、計画された作業を実行する曜日を指定できます。 • 月次:月に 1 回、特定の日に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of month** (期限日)] フィールドと [**Due time** (期限時間)] フィールドが表示され、作業計画を毎月実行する日時を指定できます。 • 年次:年に 1 回、特定の日時に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[期限日]、および [期限時刻] フィールドが表示され、作業計画を毎年実行する月、日付、時刻を指定できます。 • 月の週:月に 1 回、月の特定の週に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[月の期限の週] および [期限時間] フィールドが表示され、作業計画を毎月実行する週と時間を指定できます。 • 年内の月、週、曜日:年に 1 回、特定の日、週、月に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[月の期限の週]、[期限曜日]、および [期限時間] フィールドが表示され、作業計画を毎年実行する月、週、日、および時刻を指定できます。
リードタイム	スケジュール済み作業計画に必要な日数。
計算間隔を保持	作業指示が完了したときから間隔の計算を再開するオプション。 このチェックボックスは、[トリガータイプ] で [間隔]、[月次]、または [年次] が選択され、[月次タイプ] フィールドと [年次タイプ] フィールドで [固定] が選択されている場合に表示されます。

測定の詳細

注:
このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [メーター]、[期間]、または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フィールド	作業計画の実行をトリガーするために照合するエンタープライズ資産フィールド。
各	作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が一致する必要があるフィールド値。
計算された測定を保持	[間隔] フィールドで定義された値に基づいてメーターの計算を再開するオプション。

条件の詳細

注:
このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [条件] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィルター条件	作業計画の実行をトリガーするフィルター条件 次のオプションを使用して、トリガーに複数のフィルター条件を追加できます。 • または: 作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる条件を指定できます。 • **and**: 作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット: 作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

スクリプトの詳細

注:
このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [スクリプト] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
スクリプト	実行する作業計画をトリガーする詳細基準を指定するスクリプト。

有効性の詳細

フィールド	説明
計画スケジュールの開始日時	計画作業スケジュールが開始日を決定する基準となるオプション。 • 日付 • フィールド値 • スケジュール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効開始日	計画作業の作業がスケジュールされている有効な開始日。
有効開始日の参照	計画作業の開始日を決定するために使用するフィールド値。有効開始日の参照には、作業計画の条件を作成するために選択されたテーブルのフィールドのリストが表示されます。たとえば、プリンター [cmdb_ci_printer] などです。 このフィールドは、[計画スケジュールの開始基準] で [フィールド値] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	作業計画の開始日の計算に使用するスケジュールの名前。 このフィールドは、[スケジュールの開始基準] で [スケジュール] が選択されている場合にのみ表示されます。
計画スケジュールの終了基準	計画作業スケジュールの終了日を決定します。 • 日付 • フィールド値 • 頻度

の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての経費ラインフィールドの詳細な説明。

経費ライン

フィールド	説明
[Number (番号)]	経費ラインの識別と追跡に使用される一意の番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
日付	経費ラインを作成する日付。このフィールドは自動的に現在の日付に設定されます。
継承	経費ラインが親経費ラインから継承されているかどうかを示すオプション。 このオプションを有効にすると、[継承] フィールドの下に [親] フィールドが表示されます。[親] フィールドで、この経費ラインの継承元である親経費ラインを検索して選択します。次のフィールドは親経費ラインから継承され、変更できなくなります。 • **Source ID** (ソース **ID**) • 資産 • 契約 • ユーザー • 構成アイテム • タスク • コスト センター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース ID	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。選択したエンタープライズ資産に基づいて、[ソースフォーム] セクションの対応するフィールドが自動的に入力されます。
金額	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産のコスト。エンタープライズ資産に対する貸方を受け取ったことを示すには、負の数を入力します。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
処理日	経費ラインが処理される日時。
ステータス	経費ラインのステータス。
サマリータイプ	経費ラインカテゴリ。次のオプションのいずれかを選択します。 • ビジネスの成長:ビジネスの成長を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。 • ビジネス運営:ビジネスの運営に使用されるエンタープライズ資産の経費明細。 • ビジネスの変革:ビジネスの変革を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費明細。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。

ソース

フィールド	説明
資産	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。
固定資産	選択したエンタープライズ資産を含む固定資産。 固定資産は、1 つ以上の個別の資産を保持するコンテナーです。[資産] フィールドで選択したエンタープライズ資産が固定資産に含まれている場合、[固定資産] フィールドは自動的に入力されます。
契約	選択したエンタープライズ資産が関連付けられている契約。
ユーザー	選択したエンタープライズ資産が割り当てられているユーザー。
構成アイテム (CI)	経費ラインに関連付けられている構成アイテム (CI)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスク。
コストセンター	選択したエンタープライズ資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産廃棄注文ステージ

エンタープライズ資産の廃棄注文は、完了する前に廃棄プロセスのさまざまなステージを通過します。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変更されます。

資産廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセス内の次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、集荷スケジュールタスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスクである資産の出発が作成されます。このプロセスは、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文は完了です。

エンタープライズ資産廃棄注文ステージ

エンタープライズ廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	資産廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	資産廃棄注文のスケジュールの詳細。
輸送	資産の出荷	検証済み資産を切り離す準備ができました。
確認	ベンダー確認	資産廃棄注文はベンダーによって確認されます。
Documentation (ドキュメント)	廃棄書類	廃棄レコードの文書が添付されます。
完了	なし	資産廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄オーダは、輸送段階までのみ取り消すことができます。

リニア資産の用語

エンタープライズ資産管理 アプリケーションでリニア資産に一般的に使用される用語。

リニア資産の用語とその説明

期間	説明
リニア資産	道路、鉄道、パイプライン、送電線など、物理的な長さまたは寸法を持つ資産。 リニア資産には一連のジオポイントがあります。少なくとも始点と終点があり、異なる属性を持つセグメントがあること。
位置情報	ジオポイント (グラフィック座標) は、一連の数値を使用して地表上の位置を表す方法です。 ジオポイントは緯度、経度、高度で構成され、マップ上で視覚化できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションでは、ジオポイント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

期間	説明
	の緯度と経度は WGS 84 で定義された座標形式を参照し、符号付き 10 進度を使用します。
ルーティング	リニア資産のジオポイントがルートを形成します。ルートはマップ上にプロットして視覚化できます。
境界幅	リニア資産の最大幅。cmn_locationがルーティング中かどうかを検証するために使用されます。
マーカー	リニア資産の上または近くを特定できるポイント位置。マーカーは、マップ上で視覚化できるようにジオポイントを含める必要があります。ジオポイントがリニア資産のルート上にある場合、それはオンルートマーカーです。
セグメント	特定の属性を持つリニア資産のセクション。セグメントは、始点と終点、または始点と長さで構成されます。
個別資産	個別資産は、エンタープライズ資産および消耗品です。個別資産は、リニア資産に関連付けられ、リニア資産の一部として管理することができます。
重複資産	2 つ以上のリニア資産が境界幅内に近接しているリニア資産の関係。たとえば、北行きの高速道路と南行きの高速道路などです。リニア資産は北向きの高速道路に対して定義され、別のリニア資産は南向きの高速道路に対して定義できます。
資産の交差	リニア資産が交点を持つリニア資産の関係。たとえば、2 つ以上の道路が互いに合流または交差する交差する道路などです。
資産を続行	開始マーカーと終了マーカーがあるリニア資産のリニア資産の関係。たとえば、特定のポイントを過ぎると別の高速道路に変わる高速道路などです。

エンタープライズ資産管理 **for Healthcare** とともにインストールされる内容

ユーザーロールのコンポーネント、プラグイン、およびアプリケーションは、com.sn_eamhc プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
医療資産マネージャー	で医療固有のモデルと資産を	sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
[sn_eamhc.medical_asset_manager]	管理する エンタープライズ資産ワークスペース	
医療資産技術者 [sn_eamhc.medical_asset_technician]	医療固有の資産に関連するタスクを実行します。	sn_eam.enterprise_asset_technician

インストール済みプラグイン

[Name (名前)]	説明
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を実行できるように、要求された資産を調達および受信する機能を提供します。
エンタープライズモデルの正規化 (com.sn_eam_core)	正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を提供します。
資産管理 ワークスペース:推奨事項 (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースでユーザーに実用的な推奨事項を提供します。
SM 計画済みメンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。
作業管理 (com.snc.work_management)	作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を管理する機能を提供します。
Performance Analytics (パフォーマンスアナリティクス) (com.snc.pa)	アクション可能なデータ表示方法を含むダッシュボードを提供し、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。
プレイブックエクスペリエンス (com.glide.playbook_experience.config)	重要な情報を含む資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
プレイブック for App Engine (com.glide.pad.license)	プロセスの簡素化されたタスク指向のビューを提供します。
コスト管理 (com.snc.cost_management)	ビジネスコストを計画および管理するためのオプションを提供します。

インストールされているアプリケーション

[Name (名前)]	説明
ServiceNow エンタープライズ資産管理 (com.sn_eam)	エンタープライズの接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	説明
展開されたモデルクラスと資産クラス (com.sn_ent)	CMDB クラス階層内ですぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。
CMDB CI クラスモデル (com.sn_cmdb_ci_class)	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、依存関係など、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。
資産管理 共通 (com.sn_itam_common)	資産の再利用を要求するカタログアイテムなど、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、およびエンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
物理資産 (sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を揃えるマーカー。
リスクヒートマップ (com.sn_risk_heatmap)	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。
Geo Map コンポーネント (com.sn_geo_map)	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。

OT Asset Management とともにインストール

ユーザーロールのコンポーネント、プラグイン、およびアプリケーションは、com.sn_otam プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
OT 資産マネージャー [sn_otam.ot_asset_manager]	OT 資産ワークスペースでオペレーショナルテクノロジー固有のモデルと資産を管理します。	sn_eam.asset_manager
OT 資産技術者 [sn_otam.ot_asset_technician]	OT 資産ワークスペースでオペレーショナルテクノロジー固有の資産に関連するタスクを実行します。	sn_eam.asset_technician

インストール済みプラグイン

[Name (名前)]	説明
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を実行できるように、要求された資産を調達および受信する機能を提供します。
エンタープライズモデルの正規化 (com.sn_eam_core)	正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を提供します。
資産管理 ワークスペース:推奨事項 (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースでユーザーに実用的な推奨事項を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	説明
SM 計画済みメンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。
作業管理 (com.snc.work_management)	作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を管理する機能を提供します。
パフォーマンスアナリティクス (com.snc.pa)	アクション可能なデータ表示方法を含むダッシュボードを提供し、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。
プレイブックエクスペリエンス (com.glide.playbook_experience.config)	重要な情報を含む資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
プレイブック for App Engine (com.glide.pad.license)	プロセスの簡素化されたタスク指向のビューを提供します。
コスト管理 (com.snc.cost_management)	ビジネスコストを計画および管理するためのオプションを提供します。

インストールされているアプリケーション

[Name (名前)]	説明
エンタープライズ資産管理 (com.sn_eam)	接続されたエンタープライズ資産と接続されていないエンタープライズ資産のライフサイクル全体を管理します。
展開されたモデルクラスと資産クラス (com.sn_ent)	CMDB クラス階層内ですぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。
CMDB CI クラスモデル (com.sn_cmdb_ci_class)	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、依存関係など、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。
ハードウェア資産管理 (sn_hamp)	高度なワークフロー、自動化、モバイル機能を提供し、ハードウェアや消耗資産など、組織資産のライフサイクル全体を管理できるようにします。
資産管理 共通 (com.sn_itam_common)	資産再利用を要求するカタログアイテムなど、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、および エンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
物理資産 (sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を揃えるマーカー。
リスクヒートマップ (com.sn_risk_heatmap)	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。
Geo Map コンポーネント (com.sn_geo_map)	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。

ファームウェアモデルの正規化とともにインストールされるスケジュール済みジョブとテーブル

ファームウェア正規化の詳細を保存する オペレーショナルテクノロジー (OT) 資産およびテーブルに埋め込まれたファームウェアモデルの正規化中に実行されるスケジュール済みジョブは、 OT 資産管理 アプリケーションとともにインストールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ファームウェア正規化のスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
ファームウェアコンテンツのアップロード	• ファームウェアテーブルから CDS クライアントステージング [cds_client_staging] テーブルにデータをアップロードします。 • コンテンツデータサービス (CDS) がすべてのデータをプルしていない場合は、アップロードをスキップします。 • ファームウェア構成 [sn_itam_firmware_configuration] テーブルを使用して、コンテンツをプッシュするファームウェアテーブルを特定します。 • 最新のプル後に正規化が実行されていない場合は、アップロードをスキップします。
ファームウェアコンテンツファイルマネージャー	オンプレミスのコンテンツのインポートおよびエクスポートアクション中にトリガーされます。
ファームウェア – 日次ジョブ	• コンテンツデータサービス (CDS) によってデータがプルされる時刻を設定します。 • モデルライフサイクルの現在のライフサイクルフェーズを設定します。
ファームウェア – 最新のコンテンツ変更を適用する	コンテンツのプル後のコンテンツテーブルの変更を処理します。
ファームウェア - ライフサイクルの生成	最近更新されたコンテンツライフサイクルの詳細でファームウェアモデルレコードを更新します。これは毎週のジョブです。
ファームウェア正規化	新しくダウンロードしたコンテンツを使用してファームウェアモデルを正規化します。

ファームウェアモデル正規化とともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
ファームウェアモデルの正規化 [sn_itam_firmware_model_norm]	ファームウェアモデルの正規化を実行するために使用される正規化ルールとハッシュを保存します。
ファームウェア製品 [sn_itam_firmware_product]	ファームウェア製品レコードを保存します。
カスタムファームウェア製品 [sn_itam_cust_firmware_product]	カスタムファームウェア製品レコードを保存します。
ファームウェア製品バージョン [sn_itam_firmware_product_version]	ファームウェア製品バージョンレコードを保存します。
カスタムファームウェア製品バージョン [sn_itam_cust_firmware_product_version]	カスタムファームウェア製品のバージョンレコードを保存します。
ファームウェアパブリッシャー [sn_itam_firmware_publisher]	ファームウェアのパブリッシャーレコードを保存します。
カスタムファームウェアパブリッシャー [sn_itam_cust_firmware_publisher]	カスタムファームウェアパブリッシャーレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファームウェアモデル正規化とともにインストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
ファームウェアライフサイクル定義 [sn_itam_firmware_lifecycle_def]	ファームウェアモデルのライフサイクルフェーズを保存します。また、各ライフサイクルフェーズの開始日と終了日も保存されます。
ファームウェアモデルのライフサイクル [sn_itam_firmware_model_lifecycle]	ファームウェアモデルのライフサイクル定義を保存します。
ファームウェア正規化マップ [sn_itam_firmware_norm_mapping]	検出されたファームウェアモデルを正規化するために使用されるハッシュ値を保存します。
ファームウェア CPE マッピング [sn_itam_firmware_cpe_mapping]	ファームウェアと CPE 間のマッピングの詳細を保存します。
カスタムファームウェア CPE マッピング [sn_itam_cust_firmware_cpe_mapping]	カスタムファームウェアと CPE マッピングの詳細を保存します。
ファームウェアコンテンツ監査 [sn_itam_firmware_content_audit]	変更されたコンテンツ値を保存します。
ファームウェアライブラリを管理 [sn_itam_firmware_manage_library]	インポートおよびエクスポートされたコンテンツデータを格納します。
ファームウェア構成 [sn_itam_firmware_configuration]	オプトインおよびオプトアウトのデータを保存します。

クラウドコスト管理

ServiceNow® クラウドコスト管理 アプリケーション (旧称 Cloud Insights) を使用すると、クラウドの使用状況とコストを可視化してコントロールできます。すべてのクラウドリソースを検出し、コストセンター、ビジネスサービス、およびその他のエンティティ別にクラウド支出を分類し、クラウド支出削減方法の推奨事項を提供し、反復的なコスト最適化タスクを自動化できます。

概要

クラウドコスト管理アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

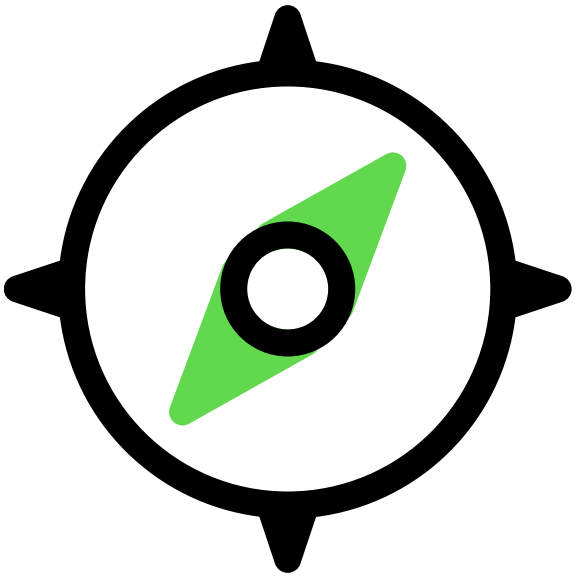
重要:
クラウドコスト管理 バージョン 8.0.0 以前では廃止フェーズ中です (詳細については、 廃止プロセス を参照)。これらのバージョンは、新しい展開のダウンロードとインストールのために ServiceNow Store では使用できませんが、既存の展開では引き続きサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

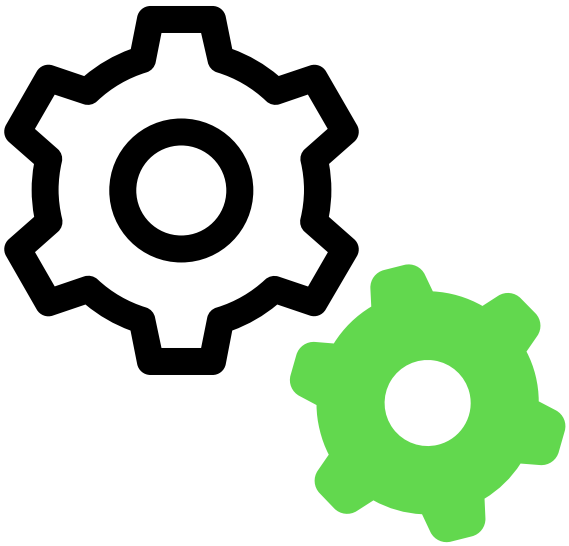
始めましょう

探索



クラウドコスト管理 アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

構成

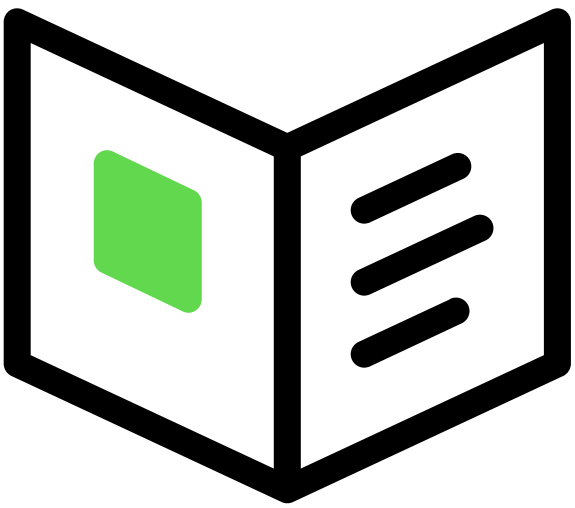


サポートプラグインや機能をアクティブ化 クラウドコスト管理 、追加のセットアップアクティビティを有効にするためのロールをアサインします。

使用中

クラウドタスクを自動化することで、手動プロセスを自動化および簡素化します。

参照



クラウドコスト管理 のロール、ドメインセパレーション、およびサービスカテゴリに関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- で質問や回答をする クラウドコスト管理 ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

クラウドコスト管理の詳細

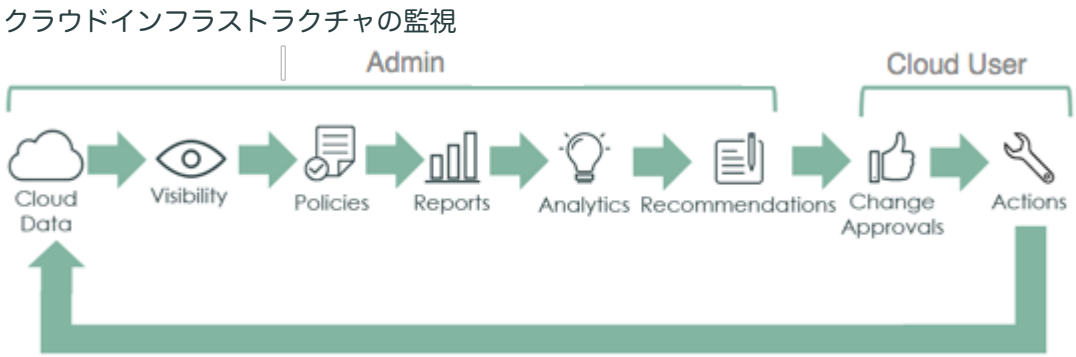
サンプルワークフローを使用した クラウドコスト管理 の詳細と、それが組織内のさまざまなユーザーにもたらすメリットについて説明します。

クラウドコスト管理の概要

クラウドコスト管理 は、クラウド資産に関連するあらゆるコストを分析するのに役立つため、コストを節約して運用を最適化する機会を特定して対処できます。

クラウドコスト管理ワークフロー

クラウドコスト管理 クラウドインフラストラクチャを継続的に監視してコストを分析することで、リソースを特定してそれに基づいて行動し、コストを節約して運用を最適化できます。



クラウドコスト管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
直感的で簡素化されたユーザーインターフェイスを通じて、クラウドの消費量と使用状況を完全に可視化することで、クラウドのコストと使用状況を最適化します。	クラウドコスト管理 ワークスペース	エグゼクティブ/FinOps 実践者/クラウドマネージャー/クラウドアドミニストレーター
使用状況に合わせてクラウドリソースのサイズを正しく設定することでクラウドコストを削減する方法に関する推奨事項を自動的に取得することで、クラウドリソースのサイズを適正化します。	リソースのサイズの適正化	クラウドアドミニストレーター/アプリケーションオーナー
オンデマンド支払いプランをクラウドリソースの予約プランに変換することでコストを削減します。	予約または節減プラン	クラウドアドミニストレーター/アプリケーションオーナー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
支出の多い領域と取り残されたクラウド資産を分析することで、コスト最適化のターゲットを特定します。	未使用のリソース	クラウドアドミニストレーター/アプリケーションオーナー
通常の作業時間外に使用されていないクラウドリソースを特定して、使用していないリソースを無効にし、自動的にオンとオフを切り替えます。	営業時間	クラウドアドミニストレーター/アプリケーションオーナー
予算を割り当て	クラウド予算	FinOps 実践者/クラウドアドミニストレーター
クラウド最適化タスクを既存の変更管理プロセスに統合することで、最適化承認を自動化します。	Change Management	FinOps 実践者/クラウドアドミニストレーター

クラウドコスト管理ワークスペース

クラウドコスト管理アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスであるクラウドコスト管理ワークスペースを使用して、クラウドリソースに関連付けられているあらゆるコストを分析します。コストを節減し、運用を最適化する機会を特定して対応できます。

クラウドコスト管理ワークスペースは、複数のビューを持つ統一されたメディアです。ビューを使用すると、クラウドリソースのコスト、支出、予算を分析し、さまざまなダッシュボードを通じて IT 部門がビジネスアプリケーションとサービスをどのようにサポートしているかについてのインサイトを得ることができます。

クラウドコスト管理ワークスペースには次のビューが含まれています。

- クラウドコスト管理の概要:この簡素化された概要ページの クラウドコスト管理ワークスペース を使用して、クラウドリソースに関するインサイトを取得します。
- 予算ビュー:クラウドリソースの予算コンプライアンスを積極的に理解することで、クラウド支出を削減します。
- 支出ビュー:クラウドリソースへの支出を分析して把握します。
- [操作] ビュー:推奨事項、コスト使用タグ、およびアドミン関連の操作を表示および管理します。
- 管理ビュー:ガイド付きエクスペリエンスを通じて クラウドコスト管理 をインストール、セットアップ、構成します。

注:
ロールに基づいてレポートとデータを表示できます。詳細については、「クラウドコスト管理ロール」を参照してください。

クラウドコスト管理の概要

最新化された分かりやすい クラウドコスト管理 の概要を使用して、エクスペリエンスを向上させます。この簡素化された概要ページは、複雑さを軽減することで、 クラウドコスト管理 アプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

重要:
insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

クラウドコスト管理の概要を使用して、次のことを行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

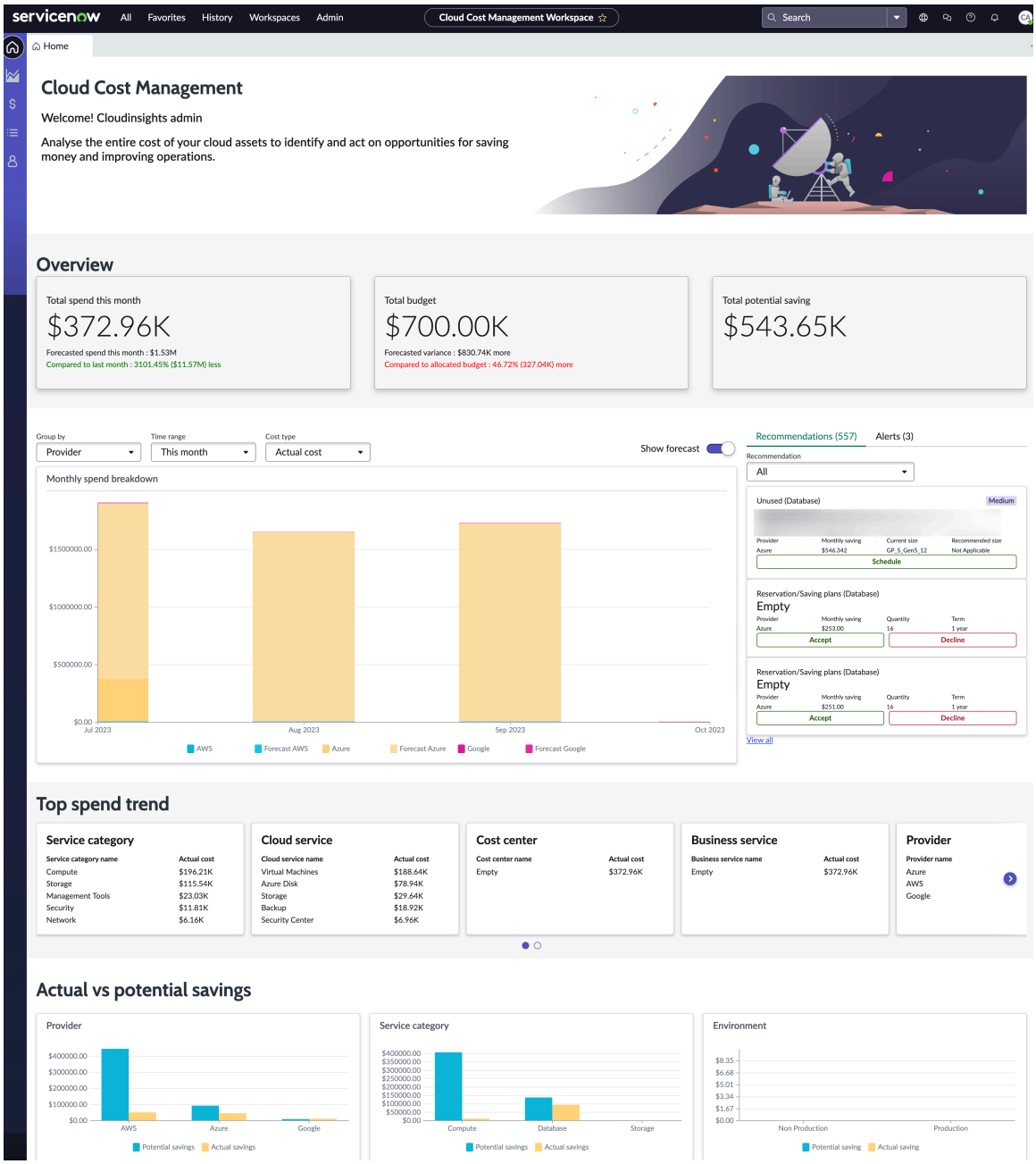
- 過去 30 日間のクラウドリソースまたはサービスアカウントへの支出状況を把握します。
- クラウドリソースの総予算や潜在的な節減額などの主要な指標に関するインサイトを得られます。
- 支出の内訳を分析し、結果をプロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別にグループ化します。また、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの過去の月、実績コスト、償却コストで結果を並べ替えたり、将来のコストを非表示または表示したりすることもできます。

  注:
  プロバイダーまたはサービスアカウントだけでグループ化した予測を表示できます。

- プロバイダー、サービスカテゴリ、クラウドサービスに基づいてクラウド支出分析を表示します。
- サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、プロバイダー別にグループ化された上位の支出傾向に関する情報を取得します。
- 潜在的な節減額と実績節減額を表示して、節減の内訳を把握します。
- アラートと推奨事項を通じて、クラウドリソースに関する実用的な洞察を得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



概要

レポート	説明
今月の合計支出	過去 30 日間のサービスアカウントまたはクラウドリソースへの支出実績。 [今月の支出予測額] には、すべてのクラウド資産の将来の支出合計が表示されます。 [先月と比較] のパーセンテージには、当月と先月の支出差が表示されます。
予算合計	現在の日付が予算の開始日と終了日の間にあるサービスアカウントまたはクラウドアセットの合計予算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要 (続く)

レポート	説明
	予算オーナーの場合、作成されたポリシーの予算のみが表示されます。 [予測差異額] には、クラウドリソースへの支出に基づく予算金額が表示されます。 `Forecasted spend this month - Total budget` .
合計節減見込み額	未実行のすべての推奨事項に基づくクラウド資産の合計節減額。
月間支出のブレークダウン	プロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別にグループ化した月間支出のブレークダウン。結果は、時間範囲とコストの種類別に並べ替えることができます。[予測を表示] 切り替えスイッチを使用して、将来のコストを表示または非表示にします。 月間支出ブレークダウンバーを選択すると、支出アナリティクスページに移動します。詳細については、「支出分析」を参照してください。

上位の支出傾向

レポート	説明
上位の支出傾向	サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、およびプロバイダー別にグループ化された支出傾向または実際のコスト。

実際の節減と節減見込み

レポート	説明
プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された実際の節減と節減見込み	プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された実際の節減と節減見込み。 **注:** 環境別にグループ化された実際の節減と見込み節減のチャートを表示するには、タグカテゴリを [本番] および [非本番] として作成する必要があります。タグカテゴリの作成の詳細については、「タグカテゴリの作成と更新」を参照してください。 節減見込みは、推奨事項によって最適化できるクラウドリソースの合計支出を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実際の節減と節減見込み (続く)

レポート	説明
	実際の節減額は、推奨事項に従ってクラウドリソースを最適化することで達成される合計節減額を示します。

アラート

注:
[クラウドコスト管理 の概要] ページに表示されるアラートは、過去 *1* 週間分のものです。

アラート	説明
前回の <プロバイダー> 請求処理ダウンロードジョブが失敗しました	支払者アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存する請求ダウンロードジョブが失敗しました。
前回の <プロバイダー> の価格シートのダウンロードジョブに失敗しました	クラウドプロバイダーのプライスシートデータをダウンロードして保存するプライスシートダウンロードジョブが失敗しました。
スケジュール済みジョブが失敗しました	クラウドプロバイダーのプロセスを自動化する 1 つ以上のスケジュール済みジョブが失敗しました。
<番号>拒否された推奨事項	拒否された推奨事項の数です。潜在的な節減額を示します。
<番号> 失敗した推奨事項	失敗した推奨事項の数です。クラウドリソースの潜在的な節減額を示します。

推奨事項

推奨	説明
All (すべて)	クラウドコスト管理 がクラウド資産に提供するすべての推奨事項を表示します。
営業時間	Business hours 推奨事項は、電源をオフにすべきときに実行されているリソースを特定するのに役立ちます。
予約/節減プラン	予約と節減の推奨事項は、予約プランまたは節減プランで費用を節減できるリソースを特定するのに役立ちます。 予約と節減の推奨事項の承認または拒否ができます。
Rightsizing	Rightsizing 推奨事項は、過剰にプロビジョニングされたリソースや十分に使用されていないリソースを実行してコストを無駄にしているユーザー、ユーザーグループ、または場所を特定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨事項 (続く)

推奨	説明
	サイズ適正化プロセスをスケジュールし、サイズ適正化による潜在的な節減額のうち通知をトリガーする額を指定できます。
未使用	未使用推奨事項は、未使用のリソースを特定するのに役立ちます。 未使用マシンの電源オフまたは終了のスケジュールを設定できます。

支出分析

[支出アナリティクス] ページでは、指定した時間範囲またはコストタイプにおけるクラウド、Kubernetes、および共有リソースの支出を表示することで、クラウドコストを可視化できます。

重要:
insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

[支出アナリティクス] ページを使用して、以下を表示します。

- クラウド支出アナリティクス
- Kubernetes 支出分析
- 共有コスト分析

注:
ネストされたタグ値のリソースの消費量を表示することはできません。`{"name":"test","created-by":"xyz","prod":"false","shared_resource":"false"}` など。

クラウド支出アナリティクス

[クラウド支出分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間のクラウドリソースへの現在の支出を把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、クラウド支出分析をグループ化します。
  - プロバイダー
  - 購入オプション
  - リージョン
  - サービスアカウント
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
- クラウド利用の結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。

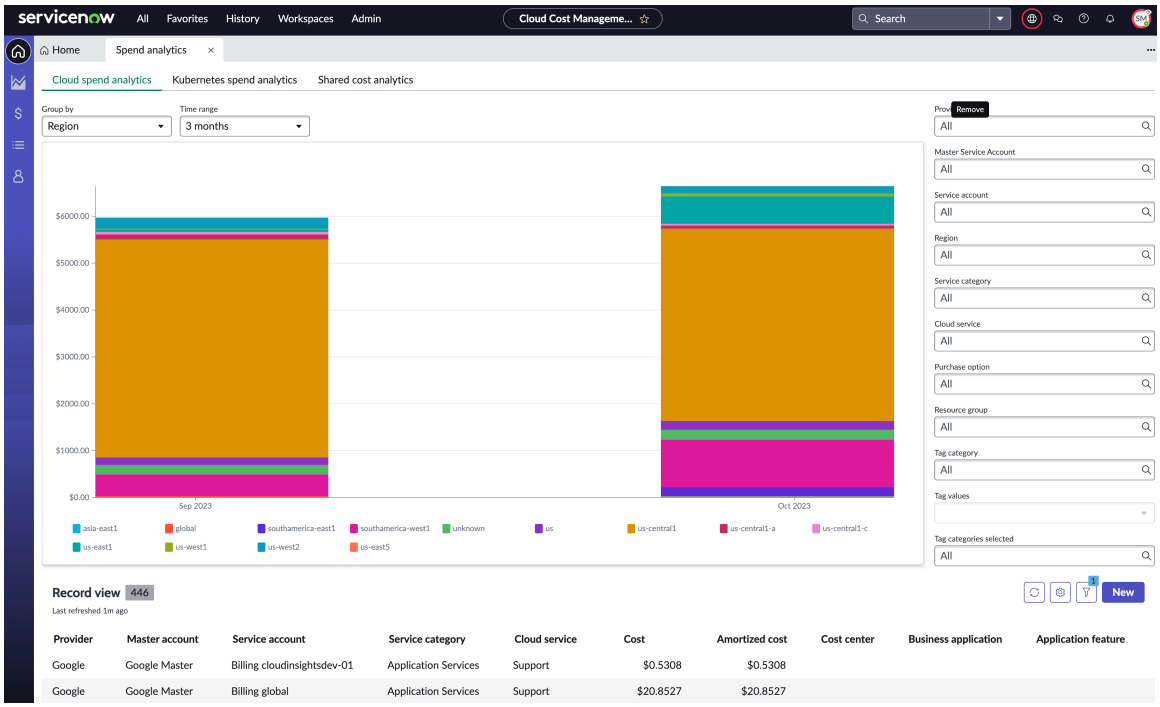
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより正確に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - リージョン
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ

    注:
    タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました



Kubernetes 支出分析

[Kubernetes 支出分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間で、クラウド上のKubernetesに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、 Kubernetes 支出分析をグループ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Kubernetes クラスター
- Kubernetes Namespace
- タグカテゴリ

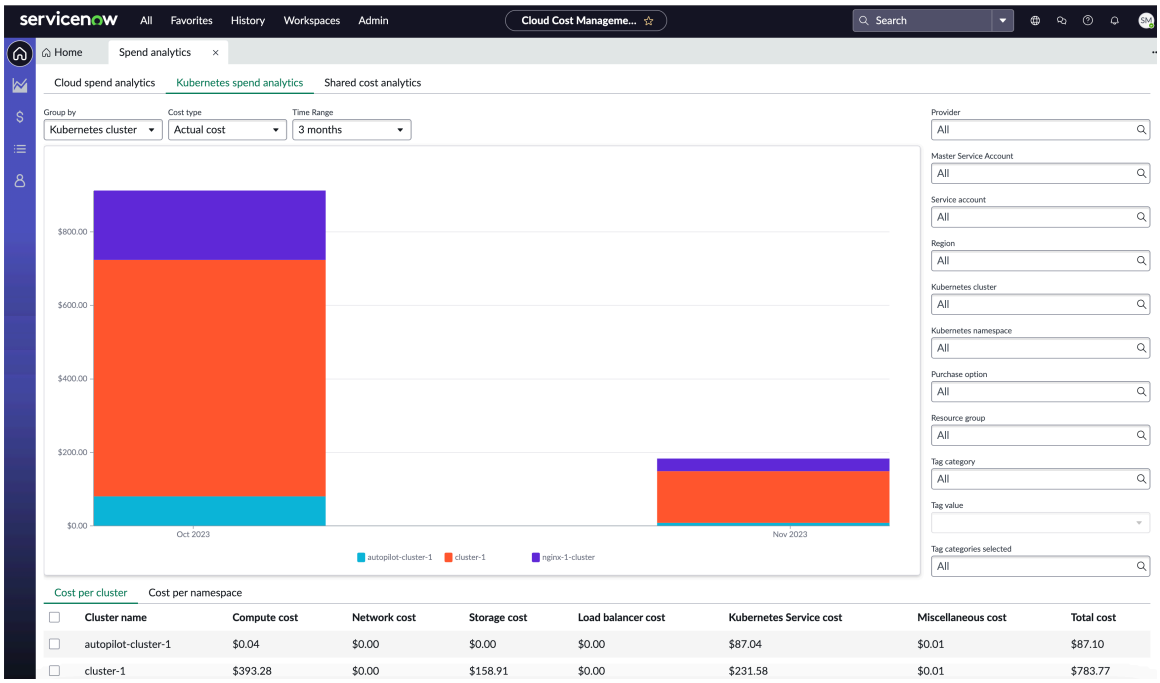
- 原価費目を [実績原価] または [償却原価] として選択します。
  - 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスの料金を支払います。
  - 償却原価: 組織は、請求期間全体にわたる前払いおよび毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。
- Kubernetes消費量の結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより正確に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - リージョン
  - Kubernetes クラスター
  - Kubernetes Namespace
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ

    注:
    タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「 タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました
- Kubernetesクラスターあたりのコストと Kubernetes名前空間あたりのコストの詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



共有コスト分析

[共有コスト分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、共有クラウドリソースに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、共有コスト分析をグループ化します。
  - プロバイダー
  - 購入オプション
  - リージョン
  - サービスアカウント
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
- [原価費目] を [実績コスト] または [償却原価] として選択します。
  - 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスの料金を支払います。
  - 償却原価: 組織は、請求期間全体にわたる前払いおよび毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。
- 共有リソースのコスト結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより正確に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - リージョン

自動翻訳

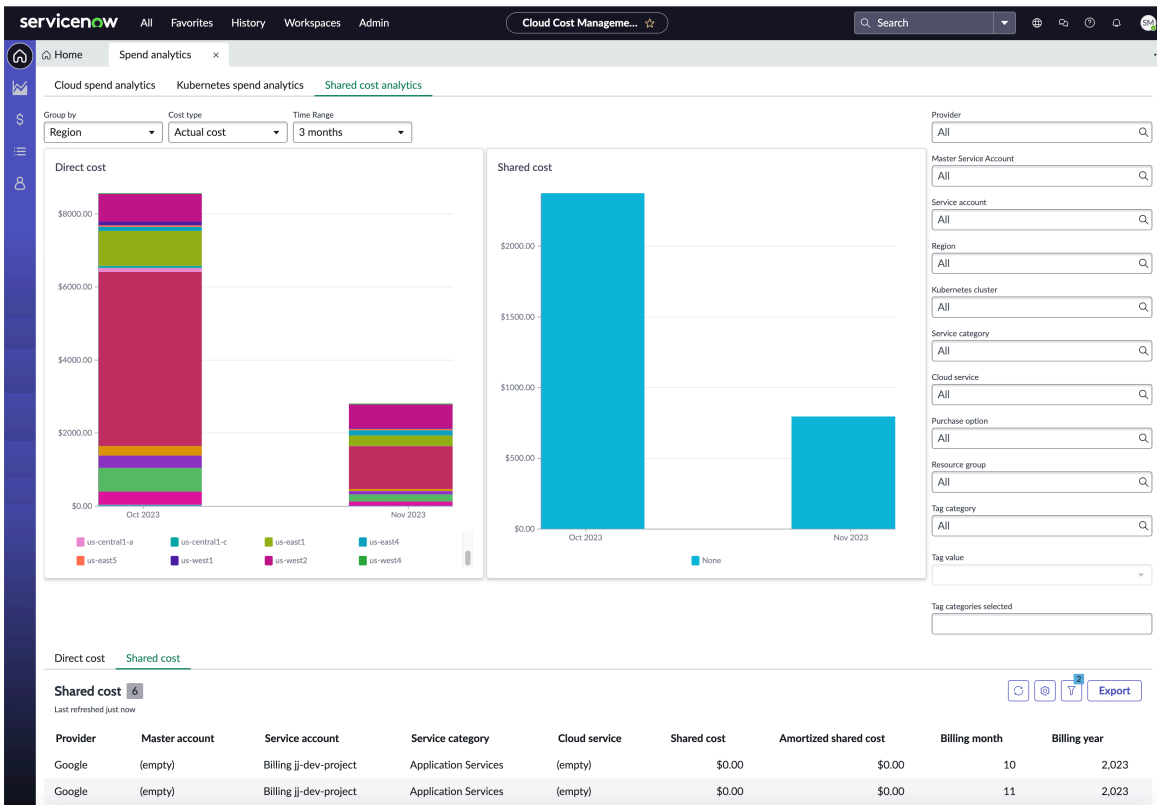
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービスカテゴリ
- クラウドサービス
- 購入オプション
- リソースグループ
- タグカテゴリ

  注:
  タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

- タグ値
- タグカテゴリが選択されました

- クラウドリソースの直接コストと共有コストの詳細を表示します。



関連情報

- のクラウドサービスカテゴリ クラウドコスト管理
- タグとタグカテゴリ
- タグカテゴリの作成と更新
- 共有コスト割り当てポリシーの作成または更新

予算ビュー

グループおよびサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウド支出を削減できます。

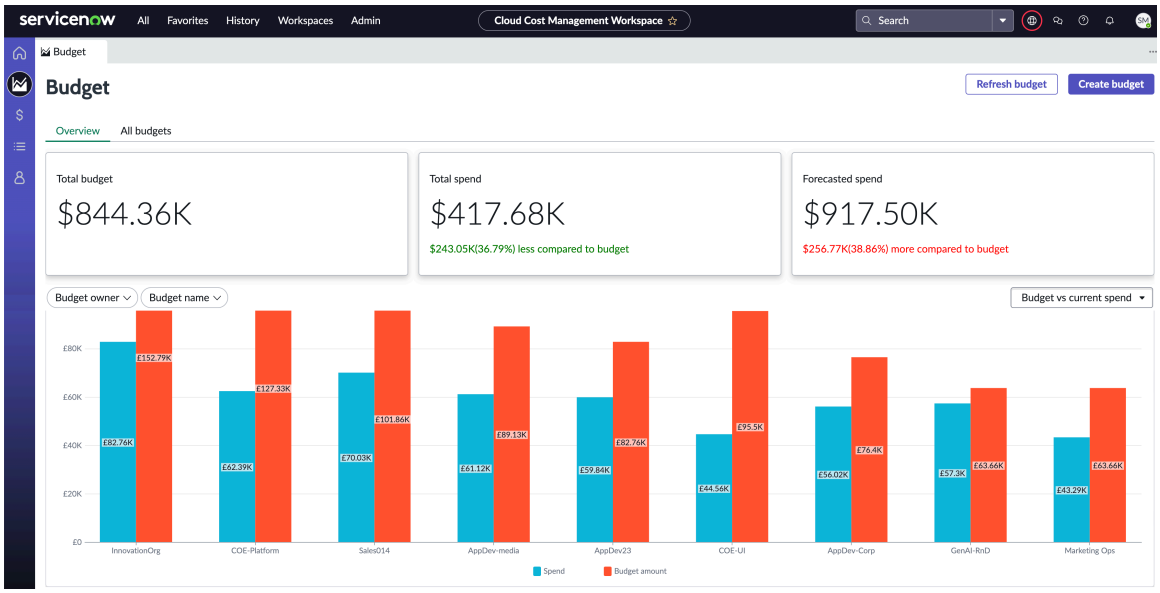
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要:
insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

予算ビューを使用して、次の操作を行います。

- クラウド資産の合計予算と支出を表示します。
- 将来の支出を分析し、予算内か超過かを把握します。
- クラウド支出を管理し、カスタム予算計画を定義して監視できます。
- 予算ポリシーを作成および管理します。詳細については、「予算ポリシーの作成または更新」を参照してください。



予算の概要

レポート	説明
予算合計	当期のクラウド資産の有効な予算。
合計消費量	当月のクラウド資産の合計消費量。 現在の支出が予算内であるか、予算を超えているかどうかを示します。
支出予測	クラウドリソースの合計消費量に基づく支出予測。 予測消費量が予算内であるか、予算を超えているかどうかを示します。
予算と支出	予算と、各予算ポリシーの現在または予測支出との比較。 次の方法でデータをフィルタリングできます。 • 予算所有者 • 予算名

自動翻訳

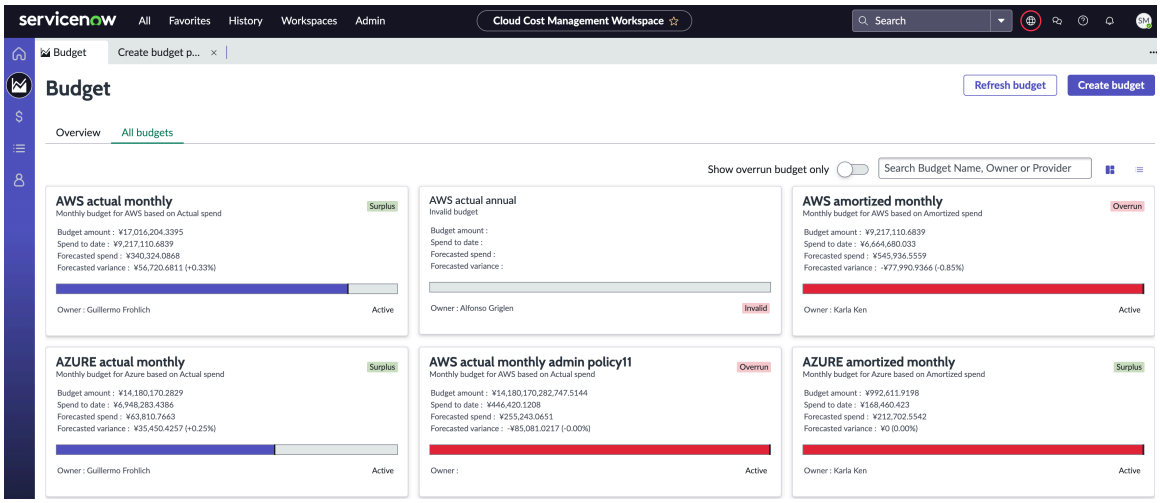
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算の概要 (続く)

レポート	説明
	• 予算と現在の支出 • 予算と予測支出額

すべての予算

予算ポリシーを作成または変更すると、ポリシーが [すべての予算] ページに表示されます。予算超過、余剰、無効な予算などの予算の詳細を検索してください。**[Show overrun budget only** (超過予算のみを表示)] 切り替えボタンを切り替えることで、超過予算のみを表示することができます。予算を名前、オーナー、またはプロバイダーで検索します



支出ビュー

クラウドコスト管理ワークスペースの支出ビューを使用して、正確なコストレポートを作成します。

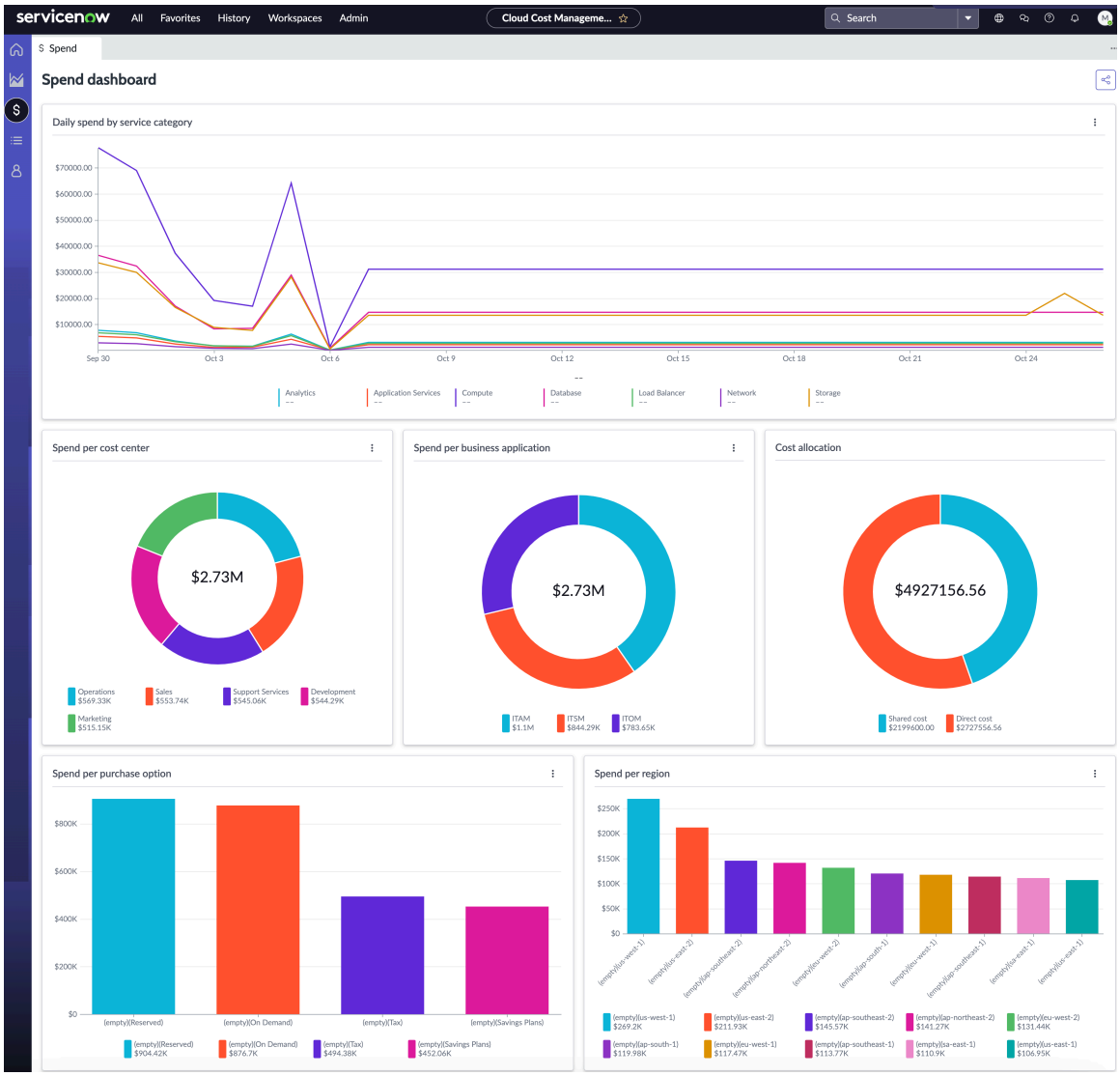
重要:
insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

支出ビューを使用して、さまざまなカテゴリ別にグループ化された資産の支出を分析および把握します。

- サービスカテゴリ別の日次支出
- コストセンターあたりの支出
- 購入オプションあたりの支出
- ビジネスアプリケーションあたりの支出
- コスト割り当て、共有コストと直接コストの表示
- リージョンあたりの支出

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[操作] ビュー

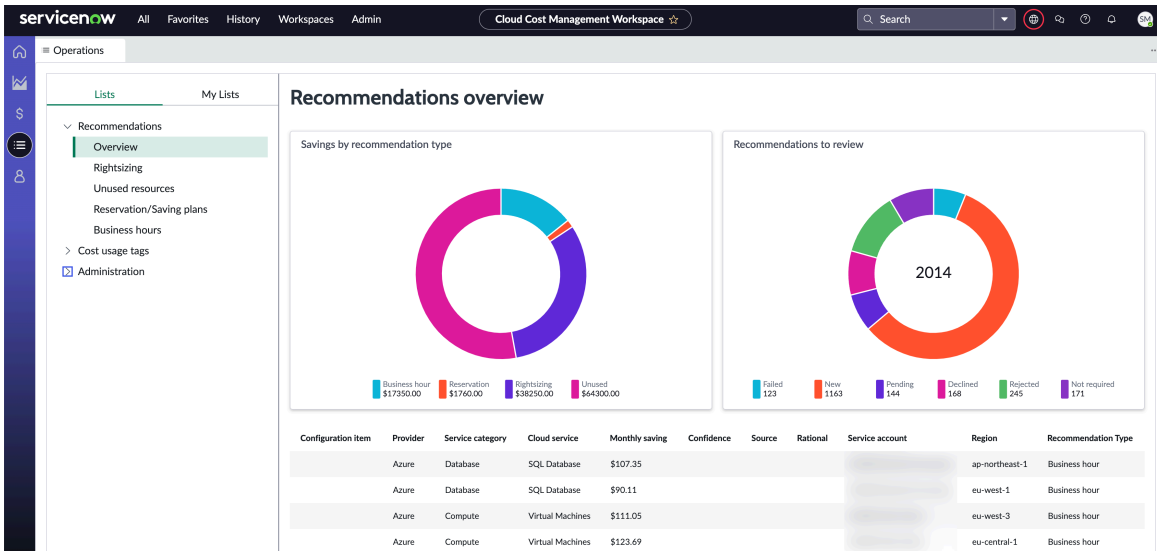
クラウドコスト管理ワークスペースの [操作] ビューを使用して、推奨事項、コスト使用タグ、および管理関連の操作を表示および管理します。

重要:
insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

[操作] ビューにアクセスするには、 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[操作] ビューでは、[リスト] タブで各カテゴリを展開すると、次のタスクを実行できます。

- 概要:推奨事項タイプ別の合計節減額と、レビューする推奨事項の数をステータス別にグループ化して表示します。
- 推奨事項:クラウド資産の節減額を、サイズの適正化、未使用のリソース、予約/節減プラン、営業時間などの推奨事項タイプ別に表示します。推奨事項タイプを選択して詳細なレポートを表示し、それに応じて対処します。
  - サイズの適正化:サービスカテゴリ別の見込み節減額の合計、変更グループ別の見込み節減額の合計、サイズの適正化のためにスケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗、および除外済みのリソースの数を表示します。リソースのサイズを適正化するためにリソースを除外またはスケジュールしたり、適切なサイズ設定を構成したり、サービスカテゴリメトリクスを作成したりすることもできます。詳細については、「Rightsizing でリソースのサイズを適正化する」を参照してください。
  - 未使用のリソース:サービスカテゴリ別の見込み節減額の合計、変更グループ別の見込み節減額の合計、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済み、除外済みの未使用リソースの数を表示します。また、未使用のリソースを除外またはスケジュール設定して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定し、未使用の設定を構成して、未使用の推奨事項を作成することもできます。詳細については、「未使用のリソースの管理」を参照してください。
  - 予約/節減計画:予約にかかる初期コスト、全体的な RI 使用率、サービスカテゴリ別の節減見込みを表示します。リザーブドインスタンスの推奨事項を承認または拒否できます。詳細については、「予約プランによるリソースコストの削減」を参照してください。
  - 営業時間:サービスカテゴリ別の見込み節減額の合計、変更グループ別の見込み節減額の合計、営業時間外の消費量に対する営業時間、およびスケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済みで、営業時間ポリシーから除外されているリソースの数を表示します。ポリシーからリソースを除外することもできます。詳細については、「Business hours でリソースの使用率を向上」を参照してください。
- コスト使用タグ:リソース使用を特定のビジネスエンティティに関連付けます。詳細については、「タグとタグカテゴリ」を参照してください。
  - タグカテゴリ:タグカテゴリを作成および更新します。
  - タグ名:タグカテゴリのタグ名を作成します。
    詳細については、「タグカテゴリの作成と更新」を参照してください。
- 管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービスアカウント: AWS、 Azure、および Google 用のサービスアカウントを作成して、アカウントの認証情報とアクセス情報を保存します。
  - AWSサービスアカウントの追加
  - Microsoft Azure行政サービスアカウントの追加
  - Google Cloudサービスアカウントの追加
- 認証情報: AWS、 Azure、および Google アカウントにアクセスするための認証情報を作成します。
  - AWS請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する
  - Microsoft Azure請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する
  - Google Cloud 請求および使用状況データへのアクセスを設定する
- 請求処理ダウンロードジョブ: AWS、 Azure、および Googleの請求処理データをダウンロードするジョブを表示、管理、スケジュール設定します。
  - AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
  - Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
  - Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
- 価格シートのダウンロードジョブ: AWS、 Azure、 Googleの価格シートをダウンロードするジョブを表示、管理、スケジュール設定します。
  - AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します
  - Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します
  - Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します
- 営業時間スケジュール:営業時間のスケジュールを作成します。詳細については、「営業時間スケジュールを作成する」を参照してください。
- 未アサインリソース:未アサインリソースのリストと、プロバイダー、リージョン、CMDB CI、サービスアカウントとカテゴリ、SyS ID などのリソースの詳細を表示します。
- グローバルな除外:特定のリソースのコストデータがレポートに表示されないようにするために、リソースを除外します。詳細については、「すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外」を参照してください。
- ジョブ実行:次のジョブ実行の詳細を表示します。
  - 請求処理ダウンロード (Billing Downloads)
  - 価格シートのダウンロード
  - 消費量
  - 予算
  - サイズ適正化/未使用
  - 営業時間
  - アサイン解除済み
  - 予約プラン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アカウントから所有者へのマッピング:サービスアカウントの所有権を設定または更新します。詳細については、「insights_owner へのサービスアカウントのアサイン」と「insights_owner 権限の更新または再アサイン」を参照してください。
- **Insights** 所有者の表示:Insights 所有者のリストを表示し、クラウドサービスアカウントも作成します。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。
- **AWS** 価格割引:各サービスアカウントのプロバイダー割引率を表示および指定します。詳細については、「サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、レート割引を指定します」を参照してください。
- **AWS Gov** アカウントマッピング:リンクされたサービスアカウントへの AWS Gov アカウントのマッピングを作成します。詳細については、「AWS Gov アカウントマッピングの作成」を参照してください。
- 共有コスト割り当てポリシー:さまざまな割り当てタイプの共有コスト割り当てポリシーを作成、更新、表示して、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門に分割します。詳細については、「共有コスト割り当てポリシーの作成または更新」を参照してください。

- ツール - メトリックベースと支出データの比較: メトリックベース (Clotho) データと Amazon Web サービス (AWS)、 Azure、 Google Cloud Platform (GCP) の支出データを比較し、請求に関する問題を簡単に診断してトラブルシューティング クラウドコスト管理 。詳細については、「メトリックベースデータと支出データの比較」を参照してください。

  注:
  このオプションは、クラウドコスト管理 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

管理ビュー

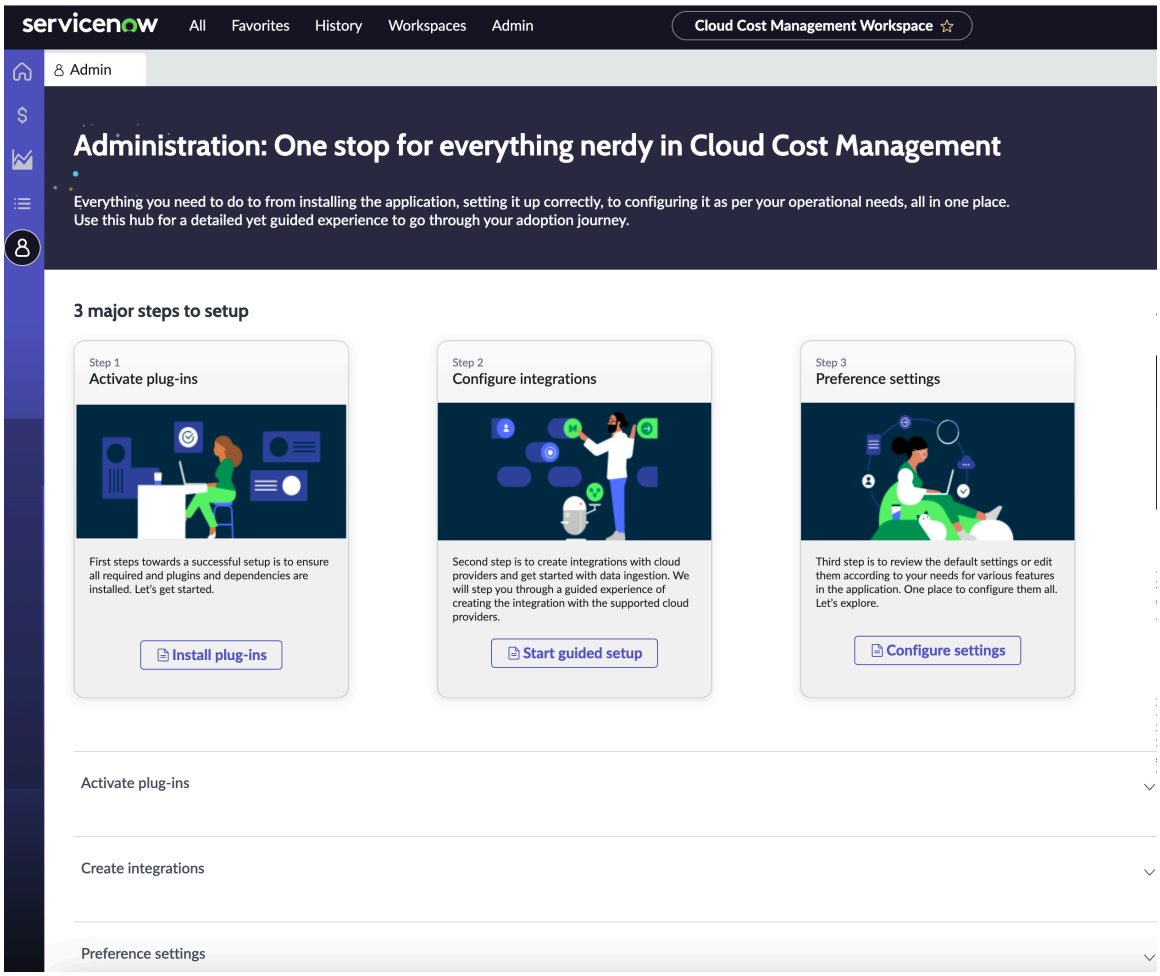
クラウドコスト管理ワークスペースのアドミンビューを使用すると、ガイド付きエクスペリエンスでアプリケーションをインストール、設定、構成できます。

アドミンビューでは、次のことができます。

- AWS、Azure、およびGCPのクラウドコスト管理構成にガイド付きセットアップを使用することで、より迅速に価値を得ることができます。ガイド付きセットアップ は、構成を完了するために実行する必要があるタスクに関する規範的なガイダンスを提供します。この ガイド付きセットアップ では、構成アクティビティを使いやすさのためにさまざまなカテゴリに整理しています。
- チュートリアルを見て、 クラウドコスト管理に慣れてください。
- 役に立つリソースと関連製品または機能を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ガイド付きセットアップ による クラウドコスト管理 の実装

ガイド付きセットアップ には一連のタスクがあり、ご利用の ServiceNow インスタンスで クラウドコスト管理 を設定するのに役立ちます。

AWS、Microsoft Azure、およびGCPのクラウドコスト管理 ガイド付きセットアップを開くには、ワークスペース > クラウドコスト管理ワークスペース > アドミン > 統合を作成 > 統合.

詳細については、「Guided Setup」を参照してください。

ガイド付きセットアップのアドミンビューで次の手順を見つけます。

- プラグインのアクティブ化:必要なすべてのプラグインと依存関係がインストールされていることを確認します。

  注:
  ガイド付きセットアップ 2.1.2 バージョンを追加する必要があります。

- 統合の構成: Amazon Web サービス AWS、 Microsoft Azure、 Google Cloud Platform (GCP) などのクラウドプロバイダーとの統合を作成します。
- 環境設定:アプリケーションのさまざまな機能のニーズに応じて、デフォルト設定を確認したり編集したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

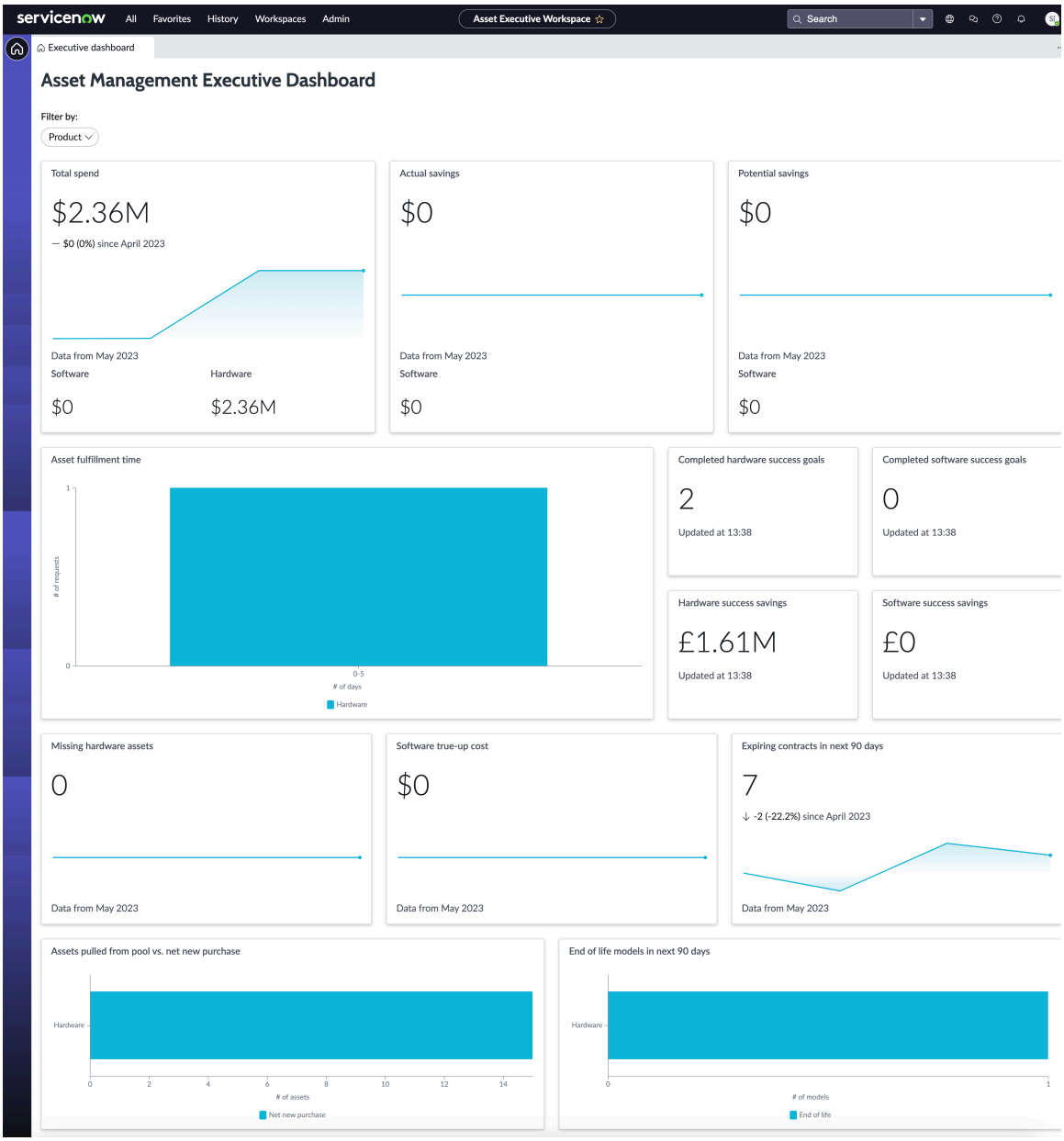
資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用したクラウドコスト管理 KPI の可視化

資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用すると、単一のダッシュボードでハードウェア資産管理、ソフトウェア資産管理、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI を可視化できます。

資産管理エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNowインスタンスにソフトウェア資産管理またはハードウェア資産管理が必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、次に移動します: 資産エグゼクティブワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

資産管理エグゼクティブダッシュボード



ダッシュボードの結果を製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターはすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、次のいずれかの数字が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン (com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

スケジュールジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table* は毎日実行され、ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]。	ステータスが「在庫あり」、「使用中」、「メンテナンス中」、または「輸送中」であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]。	すべてのクラウドリソースのアクティブなコストの合計。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
節減実績	すべての製品の年間合計節減額。この値は、クローズ済みの完了した再利用候補からの合計節減額として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。	該当なし	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic (ステータス = 完了)。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。	該当なし	クラウドのサイズの適正化、クラウドの不使用マシン、クラウド予約、およ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]。		びクラウド営業時間の月次ベースでの見込み節減の合計。 **注:** このウィジェットは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル: • クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用の推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、要求の数と、それらの要求をクローズするのにかかった日数が 0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	該当なし
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理 アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。	該当なし	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。		
ハードウェア成功目標が完了しました	該当なし	ハードウェア資産管理 アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	該当なし
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]。 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	該当なし	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
ハードウェアの成功削減	該当なし	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] **注:** このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	
行方不明のハードウェア資産	該当なし	欠落、紛失、盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル: 不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	該当なし
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品の結果 [samp_product_result]。	該当なし	該当なし
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が一緒に表示されます。	注: ソフトウェア資産管理とハードウェア資産管理の両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	
プールから取得した資産と正味新規購入	インベントリから履行されているソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、調達 (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスでアクティブ化されていることを確認します。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから履行されているハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書 (PO) の作成数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	インベントリから使用された資産の数と、発注書を介して調達される新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 正味新規資産:発注明細 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終	今後 90 日以内にサポート終了になるソ	今後 90 日以内にサポート終了になる	該当なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
了するモデル	フトウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]。	ハードウェアモデルの数。 • サポート終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	

使用するクラウドリソースの検出

検出するサービスアカウント、アカウントにアクセスするための認証情報、およびリソースをスキャンする MID サーバーを選択します。ディスカバリー アプリケーションを使用する場合、ディスカバリーマネージャーウィザードにより、クラウド属性を検出するための構成プロセスが簡素化されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、この構成操作をスキップできます。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

ホームページからの初期セットアップ

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。AWS のサービスグラフコネクタなどの別の方法を使用してリソースを検出する場合は、この構成操作をスキップします。このメソッドの詳細については、「 Service Graph Connector for AWS 」を参照してください。

初期インストール時に、ホームページで [ディスカバリーを構成して実行] セクションの [ディスカバリースケジュールの設定] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。詳細な手順については、以下を参照してください。

- Amazon AWS クラウドディスカバリー
- Azure クラウドディスカバリー
- Google Cloud Platform クラウドディスカバリー

クラウドディスカバリーについて

クラウドディスカバリー プラグインには、クラウドディスカバリーを実行するために必要なコンポーネントが クラウドプロビジョニングとガバナンス から含まれています。「クラウドディスカバリー」を参照してください。

関連情報

Discovery の基本

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予約または節減プラン

予約プラン機能または節減プラン機能は、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換することでコスト節減可能なリソースを推奨します。これらのプランは、確約利用割引、確約利用節減プラン、または予約インスタンスプランとも呼ばれます。

> **注:**
> Azure オンデマンド コストを節約するためのマネージド ディスク リザーブド インスタンスがサポートされています。

予約/節減プラン機能の仕組み

1. 請求処理データと使用状況データが更新されるたびに、プロバイダーが推奨するリソースのリストが、計画された有効期間中に予約プランでより低コストであると推奨されるリソースのリストが収集されます。
2. 予約または節減プラン機能は、節減額の概算でリソースをソートし、そのリストを [予約/節減プラン] ページに表示します。次に移動できます **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > 推奨事項 > 予約/節減プラン をクリックしてリストを表示します。

   詳細については、「予約プランによるリソースコストの削減」を参照してください。
3. [リザーブドインスタンス] ページには、[新規]、[承認済み]、[拒否] の 3 つのタブがあります。これらのタブを使用して、推奨事項をアクションのカテゴリにソートできます。気が変わったら、リソースを任意のタブから別のタブに移動できます。

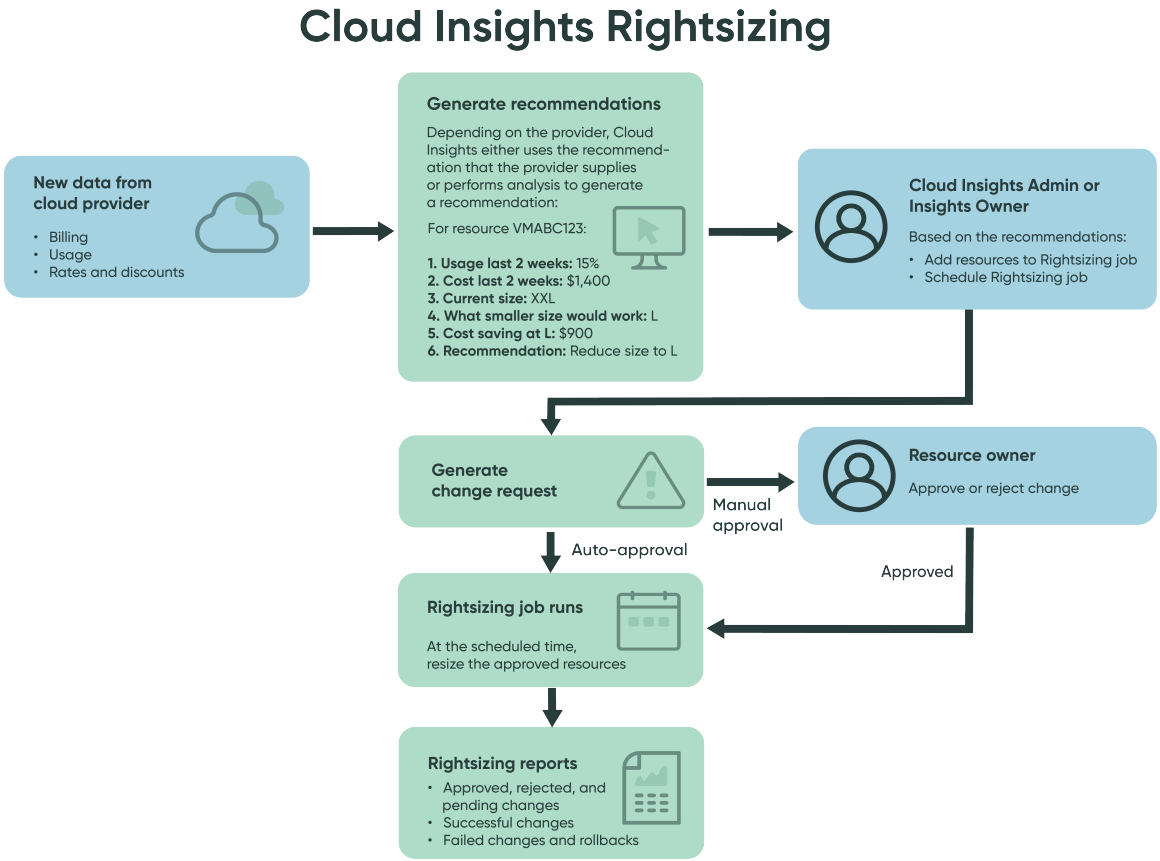
リソースのサイズの適正化

Rightsizing 機能は、リソースの使用状況を分析し、プロビジョニング過剰や利用不十分のためにコストが無駄になっているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼性評価と予測される節減額は、各推奨事項を裏付けています。指定したリソースのサイズを変更するサイズの適正化ジョブをスケジュールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズの適正化の仕組み



請求処理データと使用状況データが更新されるたびに、サイズの適正化に関する推奨事項が更新されます。

次のプロセスに従って、サイズの適正化ジョブを定義します。

1. [サイズの適正化に関する推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて、サイズを適正化するリソースを選択します。詳細については、「Rightsizing でリソースのサイズを適正化する」を参照してください。
2. サイズの適正化ジョブにリソースを追加します。ジョブは、新規または定義済みのジョブにすることができます。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. サイズの適正化アクションに必要な承認のタイプを指定します。

   サイズの適正化操作は、 ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されています。

   - 自動承認:標準的な変更要求を生成し、変更要求は自動承認されます。
   - 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。
5. ジョブを保存します。

ジョブを保存すると、すぐに変更要求が生成されます。その後、スケジュールされた時刻に、システムがジョブを実行します。このジョブは次の操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 承認された変更ごとに、リソースのサイズを変更します。オン状態のリソースの場合は、リソースを停止し、サイズを変更してから再起動します。サイズ変更に失敗した場合は、ロールバックを実行します。詳細については、「AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック」を参照してください。
- 新しい推奨事項と、承認済み、成功、処理待ち、却下済み、および失敗した変更を使用して、サイズの適正化レポートを更新します。

保留中、却下、および失敗した変更の要求については、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

注:
停止した AWS Relational Database Service (RDS) データベースでのサイズの適正化操作は、 AWS プロバイダーからはサポートされていません。停止したデータベースでサイズの適正化を実行しようとすると、サイズ変更操作は失敗し、エラー InvalidDBInstanceState - 停止した DB インスタンスを変更できません。DB インスタンスを起動し、変更します。

クラウドコスト管理 でサイズの適正化に関する推奨事項を生成する方法

クラウドコスト管理 はプロバイダーごとに最適化されたプロセスを使用します。

- のサイズ適正化分析 AWS
- のサイズ適正化分析 Microsoft Azure
- のサイズ適正化分析 Google Cloud

推奨事項

クラウドコスト管理 アプリケーションでは、仮想マシン (AWS、Azure、GCP)、SQL データベース (Azure、GCP)、RDS データベース (AWS) の推奨事項を生成できます。CPU、メモリおよびネットワーク使用率のメトリックは、データベース・リソースのデータベース・サイズの適正化の推奨事項を生成するために使用されます。

クラウドコスト管理アプリケーションは、AWSプロバイダーおよびAzureプロバイダーのストレージボリュームに関する推奨事項を生成します。

- クラウドカテゴリ:ストレージボリュームの可変ブロックストア AWS :サービスカテゴリはストレージです。
- クラウドカテゴリ:ストレージボリュームの Azure ディスク:サービスカテゴリはストレージです。

推奨事項の信頼性レベル

リソースのサイズを適正化するためにシステムが行う各推奨事項には、信頼性レベルが関連付けられています。リソースのサイズを適正化するかどうかを決定する際には、信頼性レベルを考慮します。信頼性レベルには、次の要因が反映されます。

- 高信頼性には次の条件が必要です。
  - システムには、リソースの少なくとも 10 日分の使用状況データがあります。
  - 現在のファミリ/世代と推奨されるファミリ/世代は同じです。
- 信頼性が中程度のには、次の条件が必要です。
  - システムには、リソースの使用状況データが 10 日未満あります。
  - 現在のファミリ/世代と推奨されるファミリ/世代は同じです。
- 低信頼性:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサイズ適正化分析 **AWS**

クラウドコスト管理 はプロバイダーごとに最適化されたプロセスを使用します。AWSの場合、クラウドコスト管理計算された潜在的コストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。

リソースのサイズ適正化分析の仕組み **AWS**

正確なサイズの適正化リソースの推奨事項を生成するために、請求処理データが更新されるたびに次の手順 クラウドコスト管理 に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU およびメモリ使用率データを収集します。

> **重要:**
> - Rightsizingを有効にするには、メモリ使用率データを取得するためのメモリメトリクスを定義する必要があります。詳細については、「メトリクスのしきい値の定義」を参照してください。
> - 推奨事項は、CPU 使用率データについてのみ生成されます。

- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルから割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在的なコストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。
  - CPU 使用率の平均上位 20% が 1% 未満の場合、未使用のリソースプロセスにリソースが推奨されます。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリサイズは、分析期間中のピーク使用率が推奨サイズの 80% 以下にならないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズは 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。分析期間中にリソースが 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨されるのは 8 GB です。

> **重要:**
> クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、サイズの適正化に関する推奨事項AWS正確に機能させるには、`GetCostAndUsageWithResources` API を使用して、プロバイダーから (AWS ポータルを介して) アカウントのリソースを含むコストと使用状況のメトリクスを取得する必要があります。詳細については、 AWS Billing and Cost Management ドキュメントの「GetCostAndUsageWithResources API リファレンス」トピックを参照してください。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、サイズの適正化に関する推奨事項の対象とは見なされません。

- Auto Scaling グループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされていません
- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック

AWS only:Rightsizingアクションが失敗した場合、システムは直ちにロールバックを実行してリソースを元のサイズに戻し、必要に応じてリソースを再起動し、変更要求を完全な詳細で更新し、Rightsizingレポートデータを更新します。

注:

このロールバック操作の説明は、 AWS 環境にのみ適用されます。 クラウドコスト管理 は、AWS 環境のロールバック操作を実行します。

クラウドコスト管理 は Microsoft Azure 環境に対してロールバックを実行しません。代わりに、Azure Update サービスによってロールバックが実行されます。

ロールバック操作 **(AWS** のみ)

Rightsizingジョブが正常に完了すると、承認された変更要求がある各リソースのサイズが変更されます。リソースが オン 状態の場合、プロセスはリソースを停止し、サイズを変更 (変更) してから再起動します。リソースが *OFF* ステータスの場合、プロセスはリソースのサイズを変更しますが、開始はしません。

たとえば、新しいサイズがリソースタイプまたは制約のある可用性ゾーンのクォータ制限を超える場合、リソースの再起動に失敗する可能性があります。

Rightsizingジョブは、プロバイダー/サービスアカウント/リージョン別にグループ化されたリソースのバッチで進行します。バッチ内の変更されたリソースが再起動に失敗した場合、バッチ内の各リソースは元のサイズにロールバックされてから再起動されます。その後、リソースの変更要求が更新され、Rightsizingレポートの [サイズの適正化] 推奨事項ステータスが [失敗] に設定されます。

オフステータスのバッチ内のリソースはロールバックされず、失敗としてマークされません。

のサイズ適正化分析 **Microsoft Azure**

クラウドコスト管理 では、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

サイズの適正化分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスは、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理には、Azure Advisor サービスが生成する推奨事項が表示されます。 請求処理データが更新されるたびにレポートが更新されますクラウドコスト管理。

値の生成方法の詳細については、Microsoft Learn の Azure Advisor のドキュメントを参照してください。

のサイズ適正化分析 **Google Cloud**

クラウドコスト管理 では、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

サイズの適正化分析の仕組み **Google Cloud**

Google Cloud 計算エンジンは、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。クラウドコスト管理には、Google Cloud 計算エンジンによって生成される推奨事項が表示されます。請求処理データが更新されるたびにレポートが更新されますクラウドコスト管理

値の生成方法の詳細については、 Google Cloud のドキュメント を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Google Cloudコンソールには、未使用のリソースとサイズの適正化に関する推奨事項の両方に同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示される場合、 クラウドコスト管理 は [未使用のリソース] の情報を表示し、「 推奨事項が未使用で既に存在する」という理由で、サイズの適正化に関する推奨事項から除外します。

Googleインサイトモジュールに必要なロール

Google Cloudコンソールから推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除の操作を実行するには、次のロールが必要です。

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

未使用のリソース

未使用リソース機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。未使用リソースジョブをスケジュールして、指定したリソースを電源オフまたは終了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨事項

AWSおよびGCPの場合、データベースの推奨事項はプロバイダーからフェッチされます。Azureの場合、クラウドコスト管理アイドル状態のデータベースの推奨事項が生成されます。

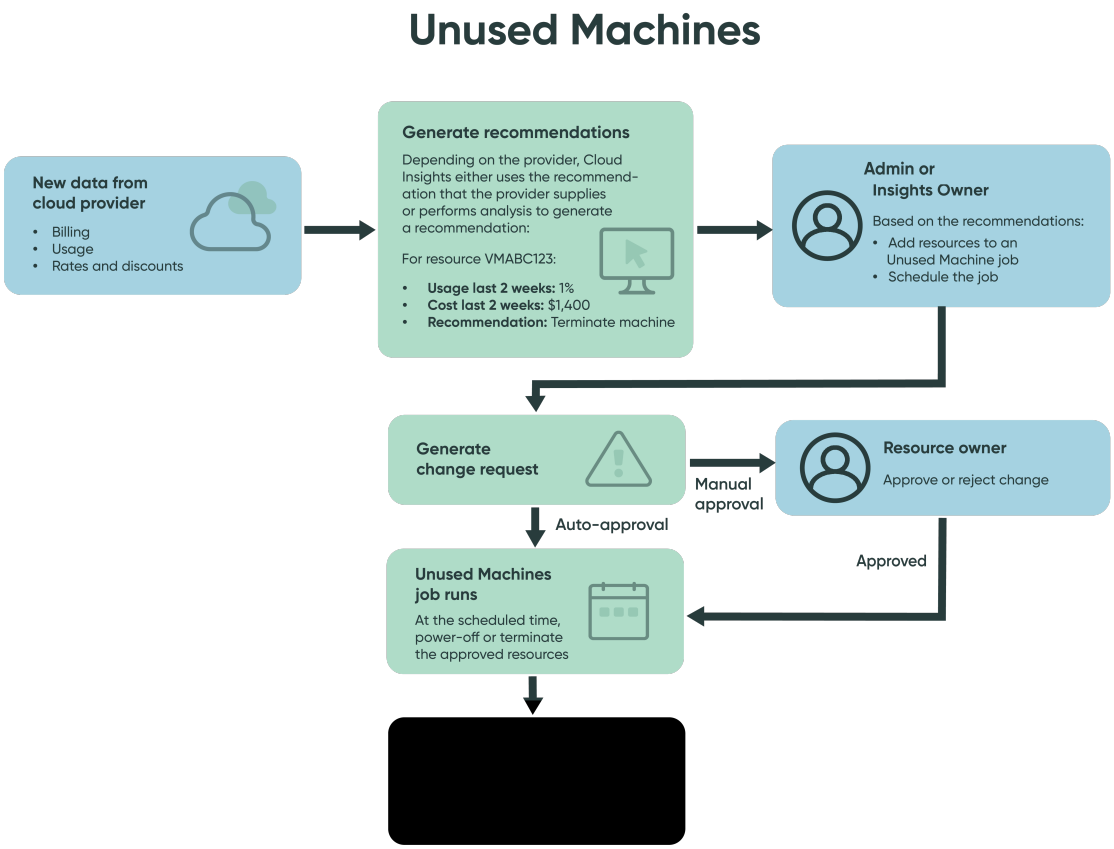
ストレージボリュームの推奨事項は、プロバイダーから AWS、 Azure、および GCP についてフェッチされます。

- AWS (ストレージボリュームの可変ブロックストアAWS)
- Azure (ストレージボリュームのAzure ディスク)
- GCP (ストレージボリューム用の永続ディスク)

クラウドコスト管理 は、次のプロバイダーに対して古いスナップショットの推奨事項を生成します。

- AWS (EBS スナップショットAmazon)
- Azure (ストレージスナップショットのAzure スナップショット)
- GCP (ストレージスナップショットのGCP スナップショット)

未使用リソース機能の仕組み



1. [未使用リソースの推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて、終了または電源オフするリソースを選択します。詳細については、「未使用のリソースの管理」を参照してください。
2. リソースを未使用のリソースジョブ (新しいジョブまたは定義済みのジョブ) に追加します。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. 選択したリソースに対して実行するアクションを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リソースの電源をオフにします。
- リソースを終了します。
- リソースを終了し、ストレージを削除します。ルートストレージまたはプライマリストレージのみが削除されます。

5. 指定したアクションに必要な承認のタイプを指定します。未使用のリソース操作は、 ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されます。
   - 自動承認:標準的な変更要求を生成し、変更要求は自動承認されます。
   - 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。
6. 変更要求の生成時に使用する変更テンプレートを指定します。
7. ジョブを保存します。

変更要求はすぐに生成されます。その後、スケジュールされた時刻に、変更が承認されたすべてのリソースを電源オフまたは終了するジョブが実行されます。インスタンスは、新しい推奨事項と、承認済み、成功、処理待ち、却下済み、および失敗した変更を使用して、未使用リソースレポートを更新します。電源オフまたは終了に失敗したリソースについては、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

クラウドコスト管理 が未使用リソースの推奨事項を生成する方法

クラウドコスト管理 はプロバイダーごとに最適化されたプロセスを使用します。

- の未使用リソース分析 AWS
- の未使用リソース分析 Microsoft Azure
- の未使用リソース分析 Google Cloud

関連情報

未使用リソースの電源オフまたは終了のスケジュール設定

Change Management (変更管理)

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

の未使用リソース分析 **AWS**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。AWSの場合、クラウドコスト管理計算された潜在的コストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。

の未使用リソース分析の仕組み **AWS**

正確な未使用リソースの推奨事項を生成するために、請求処理データが更新されるたびに クラウドコスト管理 次の手順に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU およびメモリ使用率データを収集します。
- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルから割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在的なコストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CPU 使用率の平均上位 20% が 1% 未満の場合、未使用のリソースプロセスにリソースが推奨されます。
- CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリサイズは、分析期間中のピーク使用率が推奨サイズの 80% 以下にならないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズは 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。分析期間中にリソースが 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨されるのは 8 GB です。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、未使用リソースの推奨事項の対象とは見なされません。

- Auto Scaling グループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされていません
- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

の未使用リソース分析 **Microsoft Azure**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

の未使用リソース分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスによって、未使用のリソースレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理には、Azure Advisor サービスによって生成される推奨事項が表示されます。 クラウドコスト管理 では、請求処理データが更新されるたびにレポートが更新されます。

値の生成方法の詳細については、 Microsoft Learn の Azure Advisor ドキュメントを参照してください。

の未使用リソース分析 **Google Cloud**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

の未使用リソース分析の仕組み **Google Cloud**

Google Cloud 計算エンジンは、未使用リソースレポートに表示される推奨事項を生成します。クラウドコスト管理には、Google Cloud 計算エンジンが生成する推奨事項が表示されます。請求処理データが更新されるたびにレポートが更新されますクラウドコスト管理。

> **注:**
> Google Cloudコンソールには、未使用のリソースとサイズの適正化に関する推奨事項の両方に同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示される場合、 クラウドコスト管理 は [未使用のリソース] の情報を表示し、「 推奨事項が未使用で既に存在する」という理由で、サイズの適正化に関する推奨事項から除外します。

Googleインサイトモジュールに必要なロール

Google Cloudコンソールから推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除の操作を実行するには、次のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

営業時間

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告して、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行すると、クラウド消費量を大幅に削減できます。

insights_admin ロールは、 AWS データベースと GCP データベースのポリシーを作成できます。

注:
Azure はコンピューティングのみをサポートし、データベースはサポートしません。

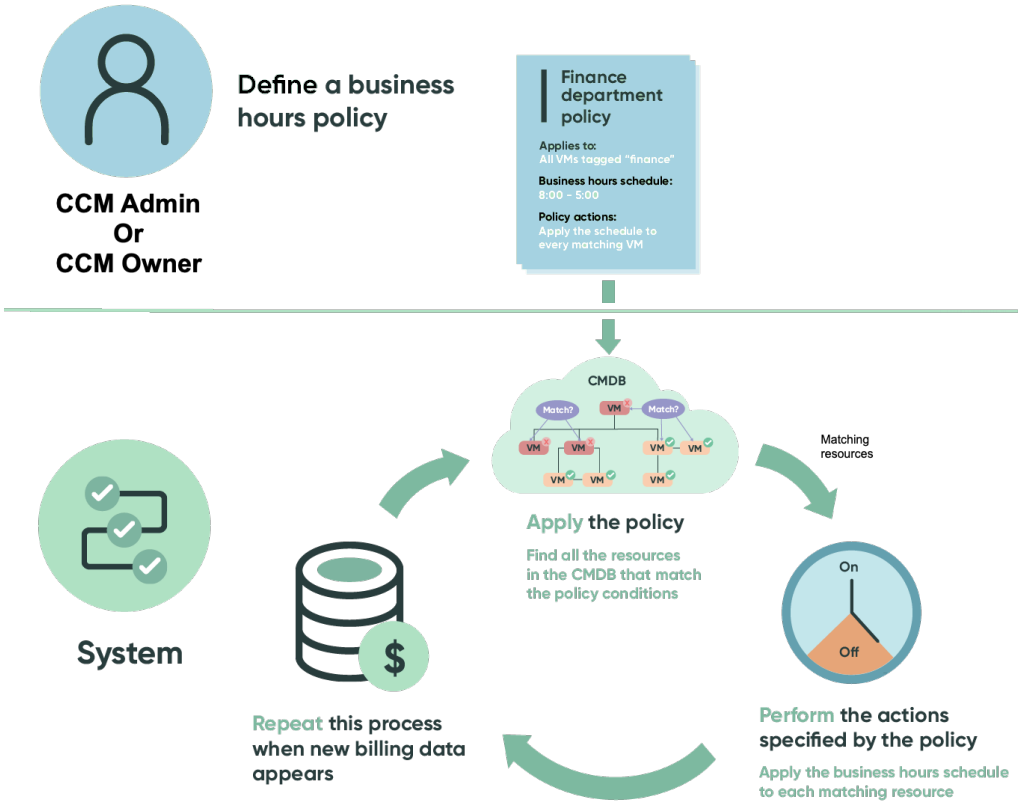
営業時間機能の仕組み

請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約プラン、サイズの適正化、および未使用リソースのジョブがトリガーされ、支出と使用状況のデータを分析し、レポート内のアクション可能な推奨事項を更新します。このプロセスに従って、営業時間ジョブが実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間機能の仕組み



1. 営業時間ポリシーごとに、CMDB を調べてポリシー基準に一致するリソースを特定します。
2. ポリシーに一致するリソースごとに、過去 30 日間の営業時間の支出と営業時間外の使用状況を示す営業時間レポートを更新します。
3. 営業時間業務は、 ServiceNow® 変更管理 機能と直接統合されています。 手動承認または自動承認ポリシータイプの場合は、変更要求を生成して、ポリシーで定義されているオン/オフスケジュールを適用します。ポリシー設定に応じて、次のいずれかになります。
   - ポリシーに一致するリソースごとに変更要求を生成します。
   - ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求を生成します。
4. 変更要求が承認されたら、ポリシーで指定されているとおりに、関連リソースのオン/オフアクションをスケジュールします。
5. 請求処理データが更新されるたびに、このプロセスを繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

AWS 唯：

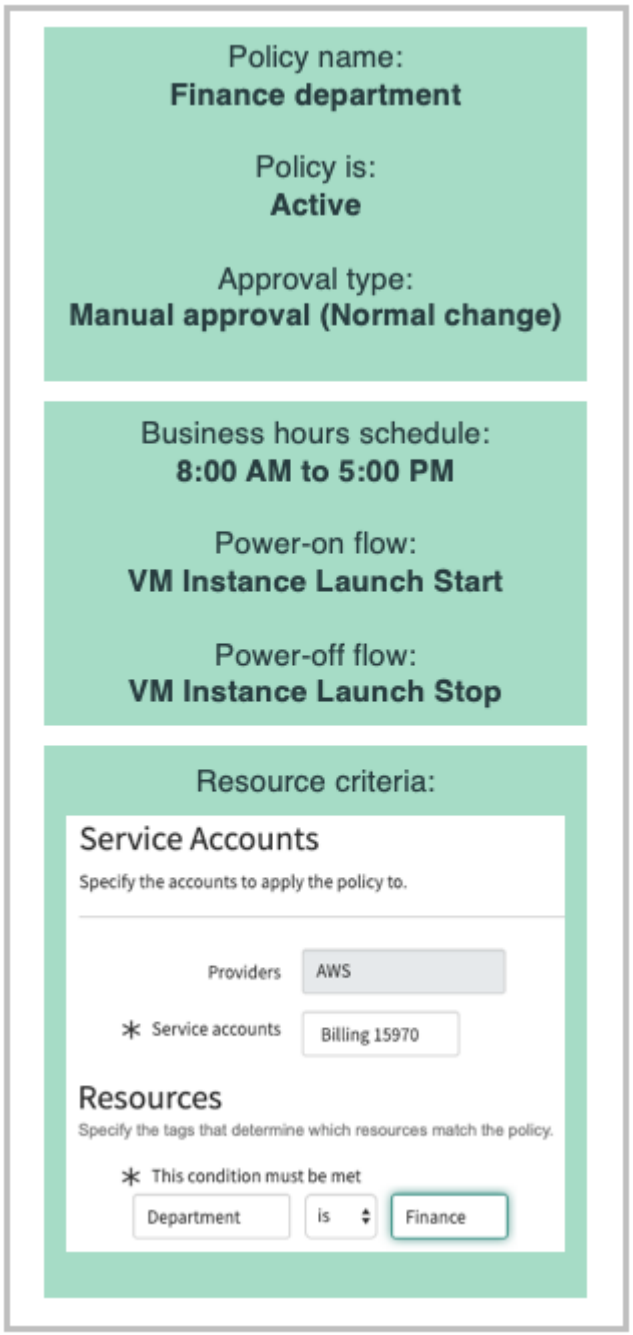
- AWS Auto Scaling グループ (ASG) オペレーションは、ASG メンバーリソースの最小容量を維持するように機能します。ASG オペレーションとの競合を回避するために、 クラウドコスト管理 アプリは、Auto Scaling グループの一部であるすべてのインスタンスを 営業時間 オペレーションから除外します。
- 営業時間の [除外されたリソース **(Excluded Resources)**] タブで ASG メンバーリソースを表示できます。

Google Cloud only:インスタンスは管理対象インスタンスグループ (MIG) として定義できます。MIG を使用すると、複数の同一の VM でアプリケーションを操作できます。自動スケーリング、自動修復、リージョン (複数ゾーン) デプロイ、自動更新などの自動 MIG サービスを利用することで、ワークロードをスケーラブルで可用性の高いものにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 営業時間ポリシー



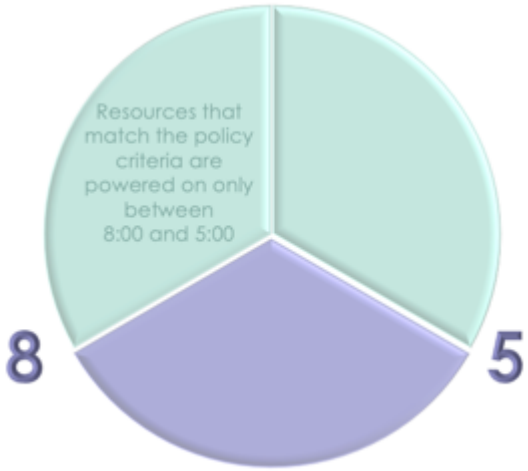
ファイナンス部門ポリシーの例には、次の設定があります。

- ポリシーはアクティブで、請求処理データと使用状況データが更新されるたびに適用されます。
- 承認タイプは手動承認 (通常の変更)です。つまり、資格のあるユーザーが変更要求を承認した後、ポリシーに一致するリソースのスケジュールが調整されます。
- 営業時間 (オン/オフ) のスケジュールは、午前 8 時から午後 5 時まで です 。
- 電源オンと電源オフのフローが指定されています。
- 次のリソース基準を満たすリソースのみがポリシーに一致します。
  - クラウドプロバイダーは AWS で、 サービスアカウント は 請求 15970 です。
  - リソースには、名前 *Department* 値が Finance のタグがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーが適用されると、ポリシーに一致し、変更要求が承認されたリソースごとに、システムはリソースを午前 8 時に開始し、午後 5 時に停止します。実際の開始時間と終了時間は、システム需要の変化とリソースの開始と停止にかかる時間によってわずかに異なります。



営業時間承認タイプ

ポリシー基準に一致する各リソースについて、ポリシーが実行するアクションは 承認タイプによって異なります。

自動承認 (標準的な変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用し、リソースを営業時間レポートに追加するための推奨事項を生成してください。
- 変更グループの変更要求を生成し、自動承認します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。
- Business hours スケジュールをリソースに適用します。

手動承認 (通常の変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用し、リソースを Business hours レポートに追加するための推奨事項を生成します。
- 変更グループのメンバーへの変更要求を生成します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。
- sn_change_write ロールを持つグループのメンバーであれば誰でも変更要求を承認できます。
- 承認された場合、Business hours スケジュールをリソースに適用します。

レポート専用 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。

関連情報

営業時間ポリシーの定義または更新

Change Management (変更管理)

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

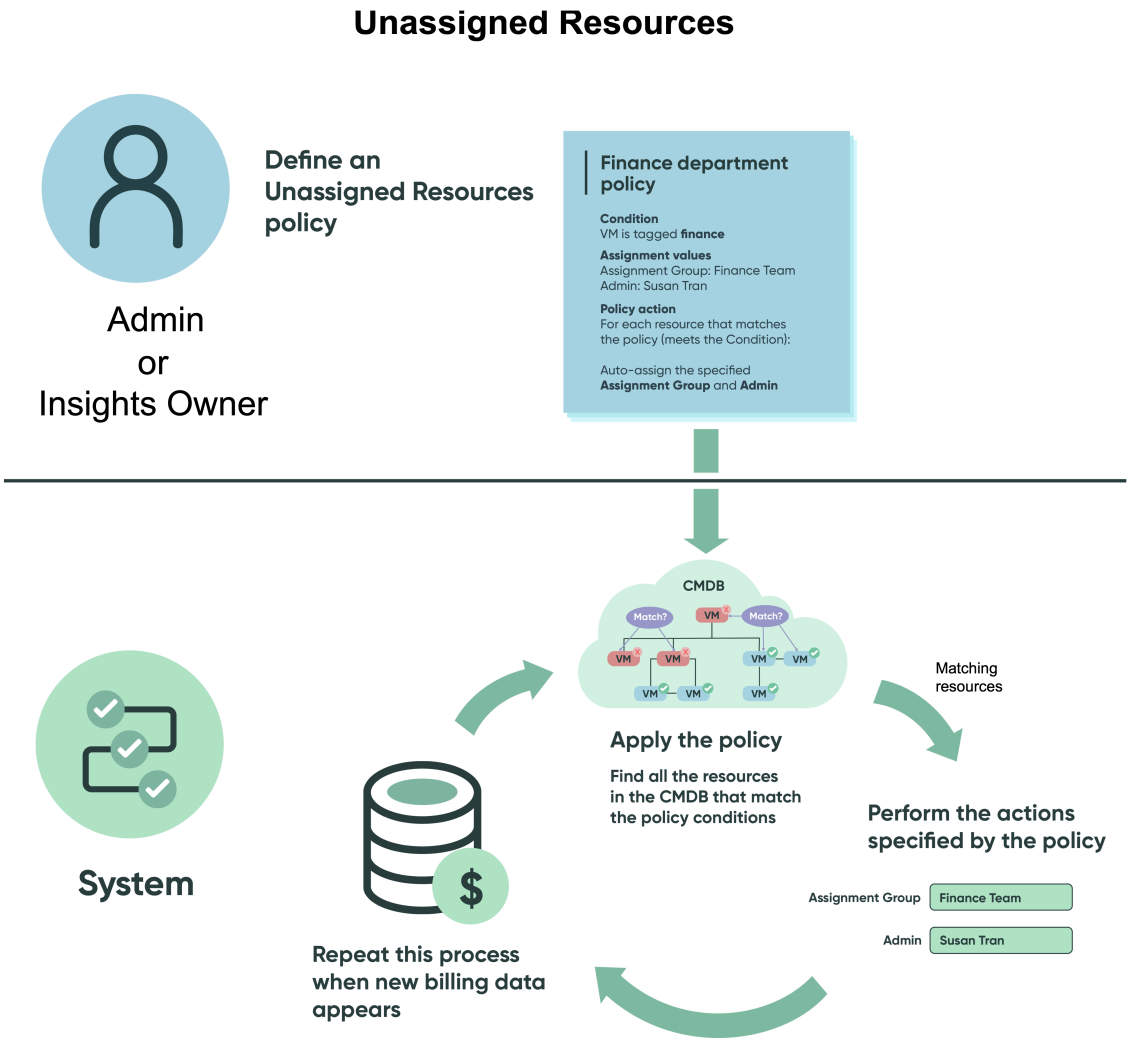
未割り当てのリソース

未アサインリソースポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが正しいグループに割り当てられている場合、パッチ適用、アップグレード、再構成などのステージを経る場合でも、リソースを適切に管理できます。

クラウドコスト管理 アプリケーションでは、AWS、Azure、GCP のコンピューティングとデータベースの推奨事項を生成できます。最新のデータは毎日深夜にフェッチされます。

未アサインリソースの処理の仕組み

クラウド請求情報が正確であるためには、管理対象のクラウドインフラストラクチャ内のすべてのリソースが含まれている必要があります。未アサインリソースポリシーは、すべてのリソースを分析して、変更グループにアサインされていないリソースを特定します。その後、ポリシーは適切な変更グループをリソースに自動アサインできます。未アサインリソースジョブは、次のプロセスに従います。 の



要件と制限事項

- ディスカバリープロセスはUnassigned Resources分析をトリガーし、レポートの推奨事項を更新します。
- AWSの場合、Unassigned Resources機能はAWSEC2インスタンスのみをサポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 終了、廃止、またはキャンセルされたリソースは考慮されません。
- データは、少なくとも 1 つのポリシーがアクティブな場合にのみレポートに表示されます。

クラウド予算

クラウドの支出を管理するために、カスタム予算計画の定義と監視が可能です。システムはプランと請求処理データを比較し、予算がどの程度達成されているかを計算してレポートします。グループごとおよびサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウドの支出を節減できます。

予算分析の仕組み

請求処理のダウンロードが成功するたびに、予算の更新が自動的にトリガーされます。新しい Budget ポリシーが作成されると、予算の更新も手動でトリガーされます。

予算予測 ジョブは、プロバイダーからのコスト予測データを使用し、次のプロセスに従います。

1. 各予算計画を請求処理データに適用します。計画の詳細については、「 予算ポリシーの作成または更新」を参照してください。
2. すべての 予算予測 レポートを更新します。
3. 請求処理データが更新されるたび、またはユーザーが予算の再分析を要求するたびに、このプロセスを繰り返します。

注:
多数のユーザーがいる場合、ユーザーは正しくロードされないか、 予算ビューへのロードに失敗する可能性があります。KB0866547 詳細については、ナレッジ記事を参照してください。

のクラウドサービスカテゴリ クラウドコスト管理

プロバイダーサービスは、 クラウドコスト管理でサービスカテゴリにグループ化されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービスに分析を絞り込むことができます。

ターゲット分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます。たとえば、 Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL は、データベースカテゴリのサービスです。

クラウドコスト管理でサポートされているクラウドサービスカテゴリは次のとおりです。

- Microsoft Azure サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ
- Amazon AWS クラウド サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ
- Google Cloud サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ

タグとタグカテゴリ

プロバイダーポータルで、コストタグを定義して、リソース使用状況を特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、 `アプリケーション`、 `テスト`、 および QA タグはコストセンターを表します。対照的に、リソース要求者は、リソースを定義するときに、実際には "Application" を意味する "App"、"AppService"、"appl" など、さまざまなタグ名を個別に作成する場合があります。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タグカテゴリを使用すると、正確なコストレポートが保証されます

システムでは、タグカテゴリを使用して、複数のタグ名で単一のエンティティに対するコストを表すことができます。たとえば、複数のユーザーが「アプリケーション」を表す「App」、「AppService」、および「appl」タグ名を個別に作成している場合があります。タグカテゴリが「アプリケーション」の場合、App、AppService、または appl とタグ付けされたアイテムのコストは、「アプリケーション」に対するコストとして正しく割り当てられます。3 つのタグはそれぞれアプリケーションカテゴリのコストに寄与すると見なされるため、コストは正確に報告されます。

請求情報の更新

コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。カテゴリへのタグ名の追加など、タグカテゴリ定義に加えた最近の更新は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、次を選択します クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ > タグカテゴリを再適用.

関連情報

タグカテゴリの作成と更新

クラウドコスト管理インフラスタック

クラウドコスト管理アプリケーションに加えてクラウドコスト管理インフラスタックアプリケーションをインストールすることで、データのダウンロード速度を向上させ、請求処理ファイルを迅速に処理およびダウンロードします。クラウドコスト管理インフラスタックアプリケーションは、大量のトランザクションもサポートしています。

クラウドコスト管理インフラスタック (sn_cld_infra_stack) プラグインは、クラウドコスト管理 バージョン 8.1 とともに ServiceNow Store からインストールできます。このプラグインをインストールすると、Glide Fenix (com.glide.fenix) プラグインも有効になります。

重要:
クラウドコスト管理インフラスタックアプリケーションのインストールはオプションです。ただし、このアプリケーションをアクティブ化した場合、後で非アクティブ化することはできません。

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、ジョブの終わりに向かって、クラウド CI と支出データ量に基づいて、大幅なデータベース更新と挿入操作が実行されます。したがって、データベースのパフォーマンスに影響を与える他のジョブは、この時間帯に クラウドコスト管理 ジョブと一緒に実行しないでください。

また、次のプロバイダー固有の認証情報エイリアスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションとともにすぐにインストールできます。

- ccm_aws_alias AWS
- ccm_azure_alias Azure
- ccm_google_alias GCP

請求処理ダウンロードジョブを正常に完了するには、クラウドプロバイダーに適用可能なエイリアスを、対応する認証情報にマッピングする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションを使用して請求処理ジョブを処理するための要件

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションでは、請求処理ジョブの処理は、Glide の外部クラウドコスト管理ServiceNowデータセンター内にある Kubernetes クラスターの新しいフレームワークで行われます。このフレームワークは、請求処理ファイルの並列処理を実行するため、大きなファイルのダウンロードが高速になります。

請求処理ジョブを処理するには、次の要件を満たす必要があります。

- 請求処理ダウンロードジョブのすべてのプロバイダー固有の認証情報を、対応する認証情報エイリアスにマッピングします。たとえば、 AWS 認証情報が 2 つある場合は、請求処理ダウンロードジョブが正常に完了するようにccm_aws_aliasにマッピングします。認証情報をエイリアスにマッピングする方法の詳細については、「 Credential aliases for Discovery 」を参照してください。

  注:
  以前のリリースから Yokohama (クラウドコスト管理 バージョン 8.1) にアップグレードし、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、認証情報とエイリアスのマッピングは、すべてのアクティブな請求処理ダウンロードジョブに対して自動的に行われます。ただし、新しいジョブの場合は、手動でマッピングを行う必要があります。

- 請求処理ダウンロードジョブが処理されるまで、一時的にロール認証が想定されたAWS請求処理ジョブの添付ファイルを保存するために、クラウドコスト管理 Glide データベースに十分なストレージがあることを確認してください。ジョブが完了すると、これらの一時添付ファイルは Glide データベースから削除されます。必要なストレージは、 AWS上のデータのサイズによって異なります。詳細については、「想定ロール認証を使用した AWS 請求処理ジョブ」を参照してください。

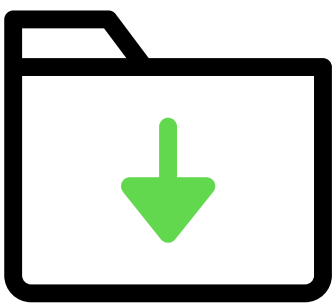
クラウドコスト管理の構成

クラウドコスト管理を計画および構成して、クラウドの総消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化します。

構成の概要

クラウドコスト管理の構成プロセスの概要は次のとおりです。

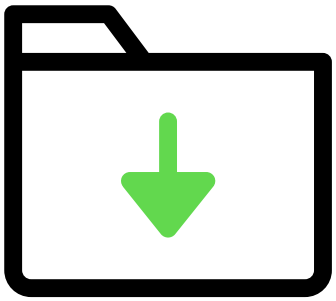
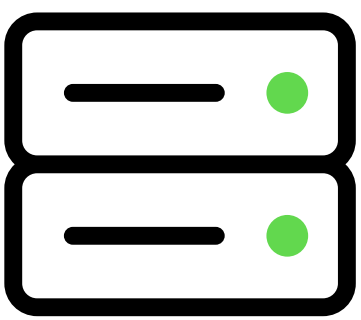
クラウドコスト管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
	ServiceNow Store から クラウドコスト管理 アプリケーションを入手します。	クラウドコスト管理 のインストール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
クラウドコスト管理 のインストール		
 クラウドコスト管理インフラスタック のインストール	ServiceNow Store から クラウドコスト管理 インフラスタックアプリケーションを入手します。 **重要:** クラウドコスト管理 インフラスタックアプリケーションは、クラウドコスト管理 バージョン 8.1 以降で使用できます。クラウドコスト管理 Infra Stack アプリケーションのインストールはオプションです。ただし、このアプリケーションをアクティブ化した後に非アクティブ化することはできません。	クラウドコスト管理インフラスタック のインストール
 ロールのアサイン	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理 ロール
 MID Server の構成	ディスカバリー がクラウドプラットフォームと通信できるように MID サーバーを設定します。	• AWS アカウントの CI データへのアクセスの設定 • Microsoft Azure アカウントの CI データへのアクセスの設定 • Google Cloud アカウントの CI データへのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

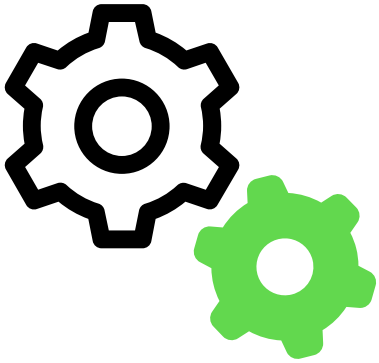
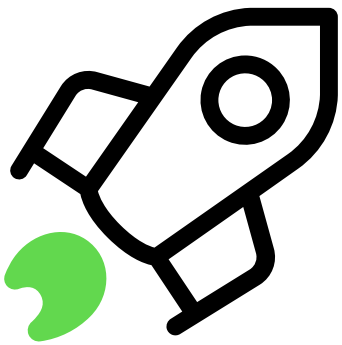
クラウドコスト管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
クラウドリソースを検出	サービスアカウント、アカウントにアクセスするための認証情報、およびリソースをスキャンする MID サーバーを検出します。	使用するクラウドリソースの検出
の請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュール設定と管理 クラウドコスト管理	使用されているクラウドプラットフォームの請求処理データと使用状況データへの クラウドコスト管理 アプリケーションアクセスを提供します。	• AWS請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する • Microsoft Azure請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する • Google Cloud 請求および使用状況データへのアクセスを設定する
の価格シートをダウンロードするジョブをスケジュールして管理する クラウドコスト管理	クラウドコスト管理 を使用して、使用されているクラウドプラットフォームの価格シートデータをダウンロードして保存できるようにします。	• AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します • Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します • Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 クラウドコスト管理機能の構成	クラウドリソースの使用状況データの適切なサイジング、識別、アサイン、管理、および分析を行うための クラウドコスト管理 機能を構成します。	• 予約または節減プラン • リソースのサイズの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース
 クラウドコスト管理 の使用	クラウドの総消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化します。	クラウドコスト管理 の使用

自動翻訳

クラウドコスト管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 クラウドコスト管理 アプリケーション (sn_clin) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow　Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeにあるクラウドコスト管理 アプリケーションリストを確認してください。
- ディスカバリー (com.snc.discovery) および ディスカバリーとサービスマッピングパターン (sn_itom_pattern) をインストールする必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

クラウドコスト管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

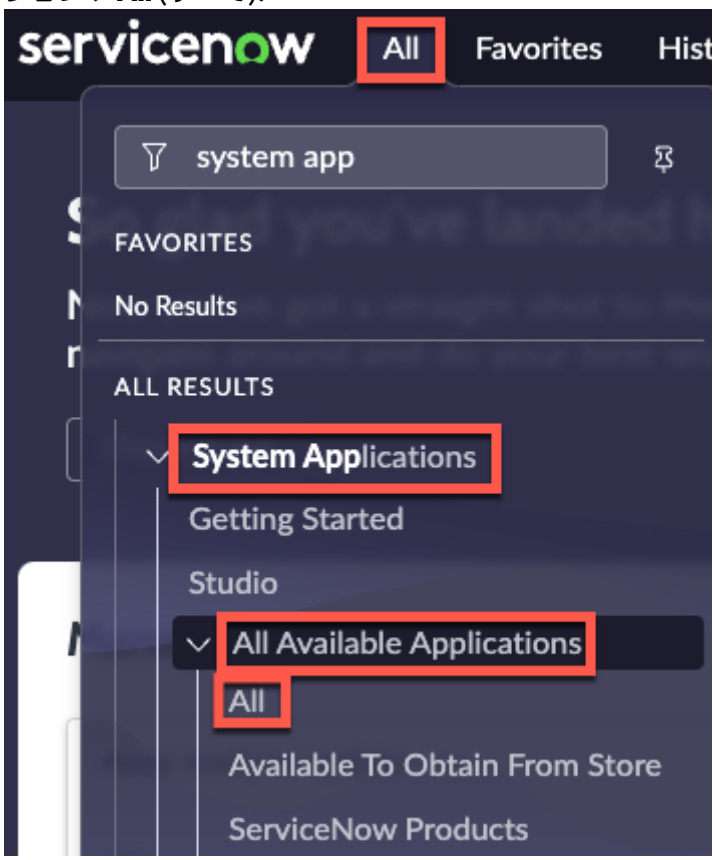
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- スケジュール済みジョブ
- テーブル

詳細については、「クラウドコスト管理とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 クラウドコスト管理 アプリケーション (sn_clin) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store への要求が必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   - インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
   - デモデータをインストールすると、 クラウドコスト管理 機能が正しく動作しない場合があります。

6. [インストール] を選択します。

クラウドコスト管理インフラスタック のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーション (sn_cld_infra_stack) をインストールできます。このアプリケーションには、インストール、関連する ServiceNow Store アプリケーション、プラグインが含まれます (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

クラウドコスト管理インフラスタック とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション

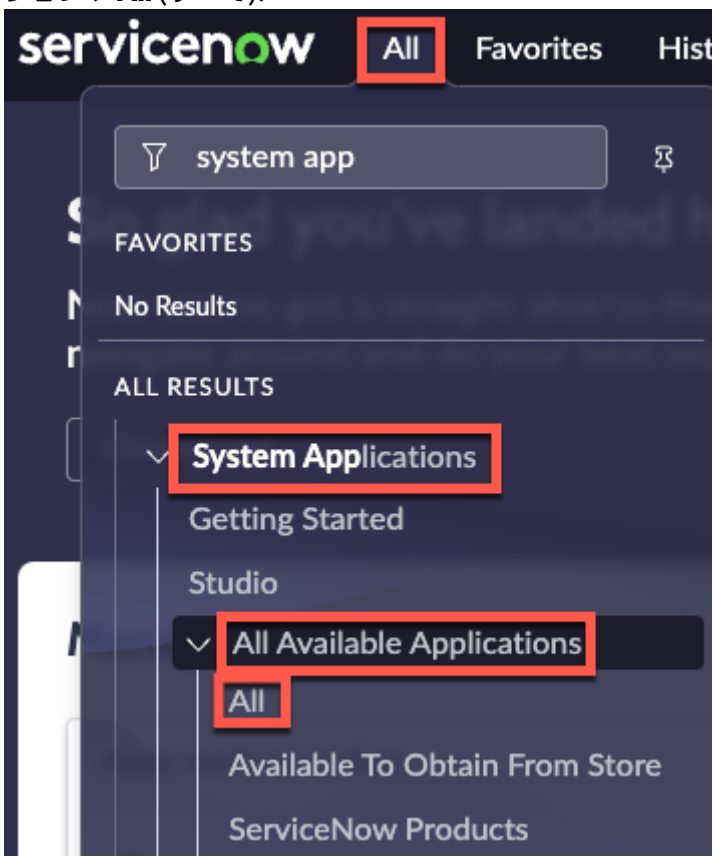
テーブル、スケジュール済みジョブ、およびシステムプロパティは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションとともにインストールされません。代わりに、 クラウドコスト管理インフラスタック に固有のコンポーネントが クラウドコスト管理 アプリケーションとともにインストールされます。詳細については、「クラウドコスト管理とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーション (sn_cld_infra_stack) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
- デモデータをインストールすると、 クラウドコスト管理 機能が正しく動作しない場合があります。

6. [インストール] を選択します。

アップグレード クラウドコスト管理

[システムアプリケーション] ページで クラウドコスト管理 をアップグレードします。

始める前に

必要なロール： sys_admin

手順

1. 次のように移動する。 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > インストール日時.
2. 検索ボックスに「 sn_clin」と入力します。
3. クラウドコスト管理アプリを見つけます。
4. 選択リストで、バージョン **8.0**の更新を選択します。
   5.0.0 以降から 8.0 バージョンに更新することもできます。
5. 更新が完了したら、ブラウザのキャッシュをクリアします。
6. サーバーキャッシュをクリアします: <instanceIP>/cache.do
7. 自動テストフレームワーク (ATF) テストを実行して、アップグレード後のデータの継続性を確認します。
   「自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行」を参照してください。

自動テストフレームワーク **(ATF)** テストの実行

クラウドコスト管理をアップグレードした後、ATF テストを実行してデータの継続性を確認します。

始める前に

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

この手順では、 クラウドコスト管理のアップグレード後に次のテストを実行します。

- ピボットキー検証テストでは クラウドコスト管理 プルされたデータを使用してピボットキーを正しく計算し、Clotho サーバー上のデータにアクセスできるかどうかを判断します。
- 月次支出検証テストでは、月次支出データが正しく繰り越されているかどうかを判定します。

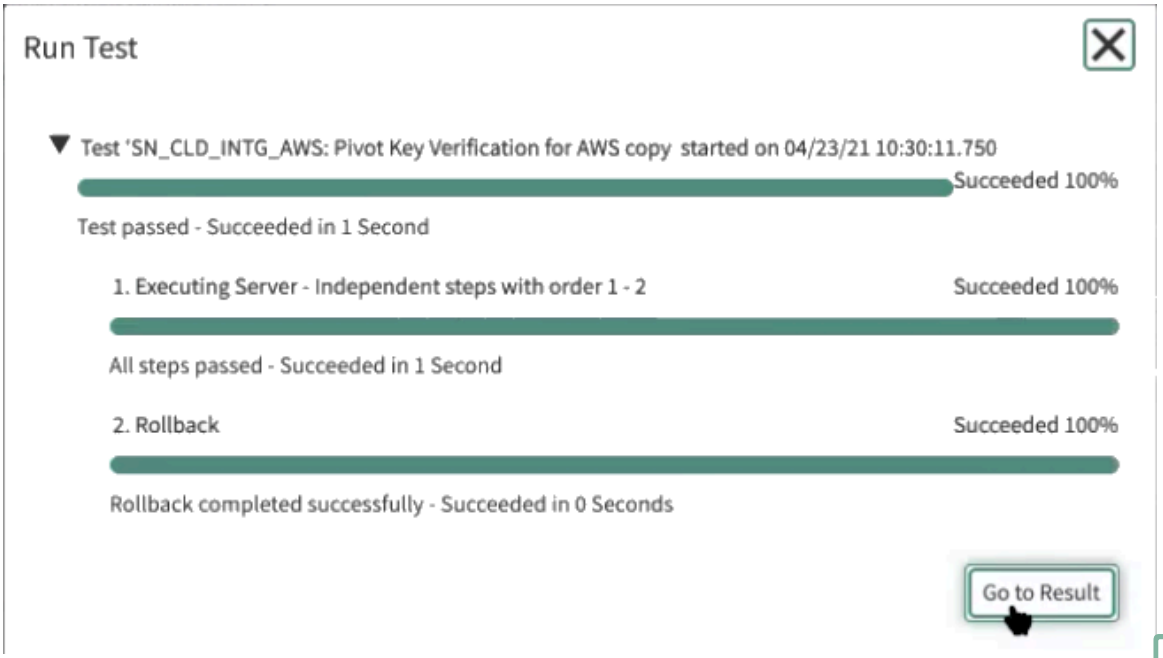
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. リストで ピボットキー検証 を検索し、プロバイダーのテストを開きます。
   テストのテンプレートがテストフォームで開きます。
3. テスト フォームで、 テストのコピー を選択し、 **OK** を選択して確定します。
   実行するテストが生成され、[テスト] フォームで開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: テストをカスタマイズするには、[テストステップ] 関連リストで [サーバー側スクリプトを実行] を選択し、スクリプトを編集します。
5. **[Run Test** (テストを実行)] をクリックします。
   [実行テストの進行状況] ダイアログボックスが表示されます。



6. テストが終了したら、[結果に移動] を選択します。
   テストフォームの [テスト結果] 関連リストには、テスト実行のログデータが一覧表示されます。
   テストに失敗した場合は、カスタマーサポートに連絡してください。
7. 「月次支出検証」テストの完全な手順を繰り返します。

AWS の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

詳細については、「クラウドコスト管理の構成」を参照してください。

一般的な要件と制限

- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限 AWS

- AWS管理コンソールで作業するにはAWSアドミニストレーター権限が必要です。
- 営業時間、未アサインリソース、未使用のリソース、およびサイズの適正化に関する推奨事項機能は、 Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 仮想マシン (VM)、ストレージ (ボリュームおよびストレージスナップショット)、およびデータベースリソースをサポートします。

AWS アカウントの CI データへのアクセスの設定

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバーを介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

要件

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

AWS: MID サーバー と AWS クラウド API エンドポイント (`*.amazonaws.com`) の間に内部ネットワーク接続が必要です。

詳細な手順

「」を参照してください。 Amazon AWS クラウド Discovery.

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	**Value** (値)
サポート対象アプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL** (すべて)] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに以下の設定を指定できます。複数のMID サーバーを指定すると、クラウドコスト管理推奨するディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、およびアクションが、いずれかのMID サーバーにランダムに割り当てられます。 オプション 1:この MID サーバー を AWSにのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • Cloud Actions • AWS オプション 2:この MID サーバー をすべてのプロバイダーで使用するには、次の値を指定します。 • Cloud Actions • AWS • Azure

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロキシサーバーの使用

クラウドコスト管理 MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

関連情報

- MID Server
- Windows への MID サーバーのインストール
- Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

クラウドコスト管理操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、実行中の ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブなどのクラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

Cloud Discovery および Cloud Provisioning and Governance に使用される MID Servers のプロキシサーバー構成

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

サポートされるプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている構成設定 (続く)

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

MID Server

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

AWSサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を保存する AWS サービスアカウントを追加します。

始める前に

必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求および価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

AWS IAM ロールの MID サーバーの構成

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
[Name (名前)]	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	12 桁のユーザーアカウント番号。AWS管理コンソールでAWSアカウント名の下のリストを展開すると、番号が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: 番号からハイフン (-) を削除します。
ディスカバリー資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。後で AWS アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。 ○ AWS認証情報をNow Platformで構成した場合は、関連するAWS認証情報の名前を選択します。 ○ 他の AWS アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。たとえば、アクセスに管理アカウントを使用する IAM ロールまたはメンバーアカウントを担うアカウントの AWS 認証情報を指定する必要はありません。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、AWS GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。例: https://ec2.us-gov-west-1.amazonaws.com/ .
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 [**AWS** データセンター] を選択します。
データセンターディスカバリーステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントである	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果

作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報

AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

の **AWS IAM** ユーザーポリシーの作成 クラウドコスト管理

IAM を使用してユーザーを管理する場合は、 AWS データへのアクセスを可能にする IAM ユーザープロファイルを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
IAM ユーザーの作成方法とユーザーポリシーの設定方法を理解している必要があります。「」を参照してください。 AWS IAM に関するドキュメント 詳しくは。

自動生成されたアクセスキーを使用します。重要な情報は、インスタンスで AWS 認証情報を設定するときに必要です。

必要なロール：

AWS マネジメントコンソール:アドミニストレーターAWS マネジメントコンソール。

クラウドコスト管理: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. AWS マネジメントコンソール にログインし、IAM でユーザーを作成します。
2. アクセスキー ID と秘密アクセスキーを保存します。
3. 次のいずれかの方法を使用して、IAM ユーザーに権限をアタッチします。
   - 管理者アクセスポリシーを添付して、ユーザーに管理者アクセス権を付与します。
   - わかりやすい名前で IAM ポリシーを作成し、請求、Cloud Watch、予測、およびアクションに次の JSON を使用します。

     請求

```
{
   "Version": "2012-10-17",
   "Statement": [
      {
         "Sid": "VisualEditor0",
         "Effect": "Allow",
         "Action": [
            "s3:GetObjectVersion",
            "s3:GetObjectTorrent",
            "s3:GetObject",
            "s3:ListBucket",
            "s3:GetObjectTagging",
            "s3:ListMultipartUploadParts",
            "s3:ListBucketMultipartUploads",
            "s3:GetObjectVersion"
         ],
         "Resource": [
            "arn:aws:s3:::<S3BucketName>/*",
            "arn:aws:s3:*:<AWS Master Account ID>:job/*",
            "arn:aws:s3:::<S3BucketName>"
         ]
      },
      {
         "Sid": "VisualEditor1",
         "Effect": "Allow",
         "Action": [
            "s3:GetAccountPublicAccessBlock",
            "s3:ListAllMyBuckets",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "s3:ListJobs"
        ],
        "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

クラウドウォッチ

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "cloudwatch:GetMetricData",
        "cloudwatch:ListMetrics"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

レポート定義の説明

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "cur:DescribeReportDefinitions",
      "Resource": "<BillingReportName>"
    }
  ]
}
```

アクション

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "ec2:DescribeInstances",
        "ec2:StartInstances",
        "ec2:ModifyInstanceAttribute",
        "ec2:StopInstances",
        "ec2:DescribeInstanceStatus"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このポリシーを使用して、サービスアカウントの請求処理データにアクセスするように設定した IAM ユーザーの AWS Cost Explorer、Forecast、および Reservation Purchase Recommendation API へのアクセス権を付与します

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "ce:GetCostAndUsage",
        "ce:GetCostForecast",
        "ce:GetReservationPurchaseRecommendation"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

このポリシーを使用して、 AWS 自動スケールインスタンスを取得します (自動スケールインスタンスは営業時間の推奨事項に含まれません)

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [{
        "Sid": "VisualEditor0",
        "Effect": "Allow",
        "Action": [
            "autoscaling:DescribeAutoScalingInstances",
            "autoscaling:DescribeAutoScalingGroups"
        ],
        "Resource": "*"
    }]
}
```

自動翻訳

AWS GovCloud サービスアカウントの追加

cloud_adminは、 AWS GovCloud サービスアカウントを追加できます。サービスアカウントの請求および価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

Create a service account for AWS GovCloud の指示に従います。

関連情報

AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AWS Gov アカウントマッピングの作成

請求処理とサポート用の関連付けられた標準 AWS アカウントを使用して、AWS GovCloud アカウントマッピングを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > *AWS* **Gov** アカウントマッピング.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS Gov アカウントマッピング

フィールド	説明
Gov アカウント	Standard AWS アカウントにマッピングする AWS Gov アカウント。
リンクされたアカウント	AWS Gov アカウントにリンクする標準 AWS アカウント。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
作成したマッピングは、Sys ID、タグなどの詳細とともに [AWS Gov アカウントマッピング] ページに表示されます。

AWS請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する

次の手順に従って、 AWS 請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定します。

1. AWS認証情報の作成
2. での AWS 認証情報のレコードの作成 クラウドコスト管理
3. Kubernetes クラスターの AWS でのコスト割り当てを有効にする
4. AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
5. 正確な請求処理データを確保するために、 AWS CI クラスタイプを追加します

関連情報

AWS請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

AWS認証情報の作成

AWS 管理コンソールで認証情報を作成して、AWS アカウントと通信する MID サーバーを構成するときにユーザーの認証情報を指定します。

始める前に
必要なロール: AWS 管理コンソールアドミン

AWSポリシーに精通している必要があります。IAM を使用する場合は、IAM ユーザーを作成し、ユーザーポリシーを設定する方法を知っている必要があります。IAM の詳細については、 AWS のドキュメント を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. AWS管理コンソールで、[AWSサービス] 検索ボックスに「IAM」と入力して、Identity and Access Managements (IAM) サービスを開きます。
2. IAM リソースポータルで、[ユーザー] を選択します。
3. [ユーザーを追加] を選択します。
4. [詳細] ページで、次のようにユーザー設定を構成し、[次へ] を選択します。

フィールド	**Value** (値)
ユーザー名	プログラムによるアクセスをするユーザーの名前です (例：servicenowcloud)。
アクセスタイプ	プログラムによるアクセス。

5. [アクセス許可] ページで、次の設定を構成し、[次へ] を選択します。

フィールド	**Value** (値)
<ユーザー名> のアクセス許可の設定	既存のポリシーを直接添付します。
1 つ以上のポリシーを添付	適切なポリシー。 **注:** [AdministratorAccess] ポリシーには最も強力なアクセス許可レベルがあり、クラウドリソースをプロビジョニングするアクセス許可も含まれます。 代わりに、ポリシーを作成するか、複数のポリシーを組み合わせて適切なアクセス許可レベルを付与することもできます。詳細については、「の AWS IAM ユーザーポリシーの作成 クラウドコスト管理」を参照してください。

6. [確認] ページで、選択内容を確認し、[ユーザーの作成] を選択します。
7. [完了] ページで、 [**.csv**のダウンロード] を選択して、ユーザー名、アクセス キー ID、および秘密アクセス キー値を含む CSV バックアップ ファイルを保存します。
これらの値を失った場合のバックアップとしてファイルを作成できます。ファイルが作成されたことを確認し、ファイルを安全に保存します。

次のタスク
クラウドコスト管理でAWS認証情報のレコードを作成します。

での **AWS** 認証情報のレコードの作成 クラウドコスト管理

クラウドコスト管理でAWS認証情報のレコードを作成します。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > アドミニストレーション > 認証情報.
2. [クラウド API 認証情報] ページで、[**AWS** 認証情報] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

AWS 認証情報

フィールド	説明
名前	AWS 認証情報の分かりやすい一意の名前。
アクティブ	認証情報を使用するオプション。
アクセスキー ID	AWS管理コンソールで生成したアクセスキーID。
秘密アクセスキー	AWS管理コンソールで生成した秘密アクセスキー。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

Kubernetes クラスターの **AWS** でのコスト割り当てを有効にする

AWS請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes消費量を表示する前に、AWS管理コンソールでKubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。

始める前に
必要なロール: AWS 管理コンソールアドミン

- AWSポリシーに精通している必要があります。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「Kubernetes discovery using patterns」を参照してください。

手順

1. AWS マネジメントコンソールにログインします。
2. [コスト割り当てタグ] を検索して選択します。
3. [ユーザー定義のコスト割り当てタグ] タブを選択します。
4. 請求処理データに表示する次の Kubernetes タグをアクティブ化します。
   - 静的タグキー
     - aws:eks:cluster-name
     - user:eks:cluster-name
     - eks:cluster-name

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 動的タグキー
  - kubernetes.io/cluster/<cluster-name>:shared/owned
  - alpha.eksctl.io/cluster-name:<cluster-name>

タスクの結果
選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、および保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更について推奨事項を作成します。

始める前に
必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。

AWS請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes消費量を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「Kubernetes クラスターの AWS でのコスト割り当てを有効にする」を参照してください。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。AWS Redshift リソースは [cmdb_ci_cloud_database] テーブルに配置されます。4.0 のアップグレード後、請求処理ダウンロードが reimport true で実行されていることを確認します。

注:
バージョン 8.1 以降 クラウドコスト管理 、請求処理ダウンロードジョブのデフォルト時間が 12:00 から 01:00 (UTC) に変更されました。また、 クラウドコスト管理 ジョブは、業務時間外と、 ServiceNow インスタンスで他の負荷の高い操作やジョブが実行されていない場合にのみスケジュールまたは実行します。

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、ジョブの終わりに向かって、クラウド CI と支出データ量に基づいて、大幅なデータベース更新と挿入操作が実行されます。したがって、データベースのパフォーマンスに影響を与える他のジョブは、この時間帯に クラウドコスト管理 ジョブと一緒に実行しないでください。

- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- クラウドプロビジョニングとガバナンスアプリケーションがインスタンスにインストールされている場合:クラウドプロビジョニングとガバナンスとクラウドコスト管理の両方で請求処理データがダウンロードされます。2 つのダウンロードジョブは別々のプロセスであり、互いに干渉することはありません。
- アカウント (登録) ごとに 1 つの 請求処理ダウンロードジョブ のみ作成できます。
- メインアカウントの AWS 請求処理ダウンロードを設定します。設定しない場合、支出は生成されません。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を提供するには、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減プラン、Rightsizing、および未使用リソースのジョブがトリガーされ、支出および使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に加えた最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリの再適用] を選択します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターのカテゴリには、 開発、 テスト、 QA のタグを含めることができます。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで意味のある結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定した場合、5 月と 6 月の両方のデータが自動的にダウンロードされ、分析用のデータが少なくとも 30 日分確保されます。
- 直近 12 か月のデータのみをダウンロードできます。

AWSのために。

- サービスアカウントごとに 1 つの請求処理ダウンロードジョブのみ作成できます。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされています。
- 請求処理ダウンロードジョブ は、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_aws_cost_usage] を更新します。
- CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況のデータを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、 正確な請求処理データを確保するために、 AWS CI クラスタイプを追加します を参照してください。

手順

1. 既存の AWS のコストと使用状況レポート (CUR) がある場合は、設定を確認して、レポートの設定がクラウドコスト管理の要件を満たしていることを確認します。
2. AWS マネジメントコンソールで、次のようにAWS CUR を定義します。

   注:
   レガシー CUR はレガシーバージョンのみをサポートしているため クラウドコスト管理 構成する必要があります。

   a. 「コストおよび使用状況レポートの作成」トピックの指示に従い、次の設定を使用します。
      - [リソース **ID** を含める] チェックボックスをオンにします。
      - [次の場合、コストと使用状況レポートを自動的に更新する] チェックボックスをオンにします。
      - レポートパスプリフィックス:オプション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 必要に応じて、[時間の粒度] を [日次] または [毎時] に設定します。[時間単位] 設定では、より大きく、より詳細なデータセットが生成されます。
- [レポートのバージョニング] を [新規レポートバージョンの作成] に設定します。
- [圧縮タイプ] を **GZIP** または **ZIP** に設定します。クラウドコスト管理 Parquet をサポートしていません。

b. 次の値はすぐに クラウドコスト管理 フォームに入力するため、追跡します。

- レポート名
- レポートプリフィックス
- AWS アカウントの日次詳細請求レコードのデータストレージ領域である S3 バケットの名前。

3. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.

4. **[AWS]** タブを選択します。

5. **[New** (新規)] を選択します。

6. フォームのフィールドに入力します。

AWS 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
[Name (名前)]	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	直近の正常な実行のタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) についてメールで通知されるユーザーまたはグループ。システムは、成功した場合に通知を送信しません。 クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成の詳細については、「 Create an email template 」を参照してください。
[Active (アクティブ)]	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ AWSの場合、請求処理ダウンロードジョブは、1 時間ごとの使用状況データを収集する場合でも、1 日に 1 回データを収集AWS。 ○ 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
AWS 設定	
サービスアカウント	AWS サービスアカウント。
バケット	AWS アカウントの詳細な時間単位の請求レコードのデータストレージ領域である Amazon S3 バケット。
レポート名	AWSコストおよび使用状況レポートに表示されるレポート名の値。
レポートプリフィックス	AWSコストおよび使用状況レポートに表示されるレポートプリフィックス値。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。
8. [請求処理ダウンロードジョブ] ページで、作成したジョブを選択します。
9. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、プロバイダーアカウントへのアクセスを試みるために構成した設定を使用します。進捗状況のポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。
10. 接続が成功した後にジョブを実行するには、[今すぐ実行] を選択します。
11. [請求処理データをダウンロード **(Download billing data**)] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 注: 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

12. [ダウンロード] を選択します。
AWS請求処理ダウンロードジョブは、ジョブの実行中に次の状況を経ます。

a. 準備完了:ジョブはキューにあります。たとえば、数か月間の請求処理データをダウンロードするジョブが作成されると、最新の月を除くすべての月のジョブが [準備完了] ステータスになります。

b. 要求済み:ジョブはすぐにフェッチされ、処理されます。たとえば、1 か月の請求処理データをダウンロードするために作成されたジョブは、[要求済み] ステータスです。また、1 か月を超える請求処理データをダウンロードするジョブが作成された場合、最新の月ジョブも [要求済み] ステータスになります。

> **注:**
> クラウドコスト管理インフラスタックアプリケーションをインストールしている場合、想定ロール認証を使用した請求処理ダウンロードジョブのジョブが [準備完了] から [要求済み] ステータスに変更されるまでAWSしばらく時間がかかります。これは、ファイルが MID サーバーにダウンロードされるまで クラウドコスト管理 時間がかかるためです。詳細については、「想定ロール認証を使用した AWS 請求処理ジョブ」を参照してください。

c. 予約済み:ジョブは、 Kubernetes クラスターによって処理対象として選択されます。また、Kubernetes クラスターはジョブ ID を クラウドコスト管理 Glide に送信して、請求処理ジョブを処理している Kubernetes ジョブを示します。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

d. 処理中:請求処理データを処理しています。

e. シンク開始: Kubernetes クラスターは、 クラウドコスト管理 Glide の支出レポート日次集計コストや支出レポート月次集計コストなどのテーブルに、処理された請求処理データの一部を送信します。これらのテーブルのレコードは [生成中] ステータスです。請求処理データ全体が クラウドコスト管理 Glide に送信されるまで、ジョブは [シンク開始] ステータスのままになります。

[シンク開始] ステータスでは、CI 配置も開始され、CI 配置ステージのステータスが [準備完了] から [対応中] に変わります。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

f. シンク完了 **(Sink Complete)**:処理されたすべての請求処理データがKubernetesクラスターからクラウドコスト管理 Glide に送信されます。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. 完了:すべての請求処理ファイルが Glide データベースに送信されたときのシンク完了後のステータス。

> **注:**
> ジョブが完了とマークされると、次の変更が行われます。
>
> - 支出レポート日次集計コストテーブルと支出レポート月次集計コストテーブルのレコードのステータスが、[生成中] から [アクティブ] に変わります。また、既存のレコードは非アクティブとマークされます。
> - 請求処理ファイルがダウンロードされた請求先アカウントは、[サービスアカウント] テーブルで自動的にマスターアカウントとして設定されます。

h. 成功:ジョブは正常に完了しました。

タスクの結果

jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、 クラウドコスト管理 は請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で更新します。CI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続のディスカバリーで、システムはプレースホルダー CI を調整します。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページの実行の各ステージのログエントリを生成します。

正確な請求処理データを確保するために、 **AWS CI** クラスタイプを追加します

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスがコストと使用状況のデータを正しくアサインできるようにします。このプロセスは 請求処理ダウンロードジョブ 実行の一部です。CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況のデータを適切な CI に関連付けます。

始める前に

必要なロール:クラウドインサイトアドミン [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

> **重要:**
> この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求処理ノードテーブルに保存します。[クラスタイプ] テーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドコスト管理 は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB 内の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルを照会します。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

> **重要:**
> クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合、新しい AWS CI クラスタイプを追加することはできません。ただし、既存の CI クラスタイプを使用できます。

AWS [sn_cld_intg_aws_ci_placement_type] の CI 配置タイプテーブルは、コア CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) から継承します。

自動翻訳

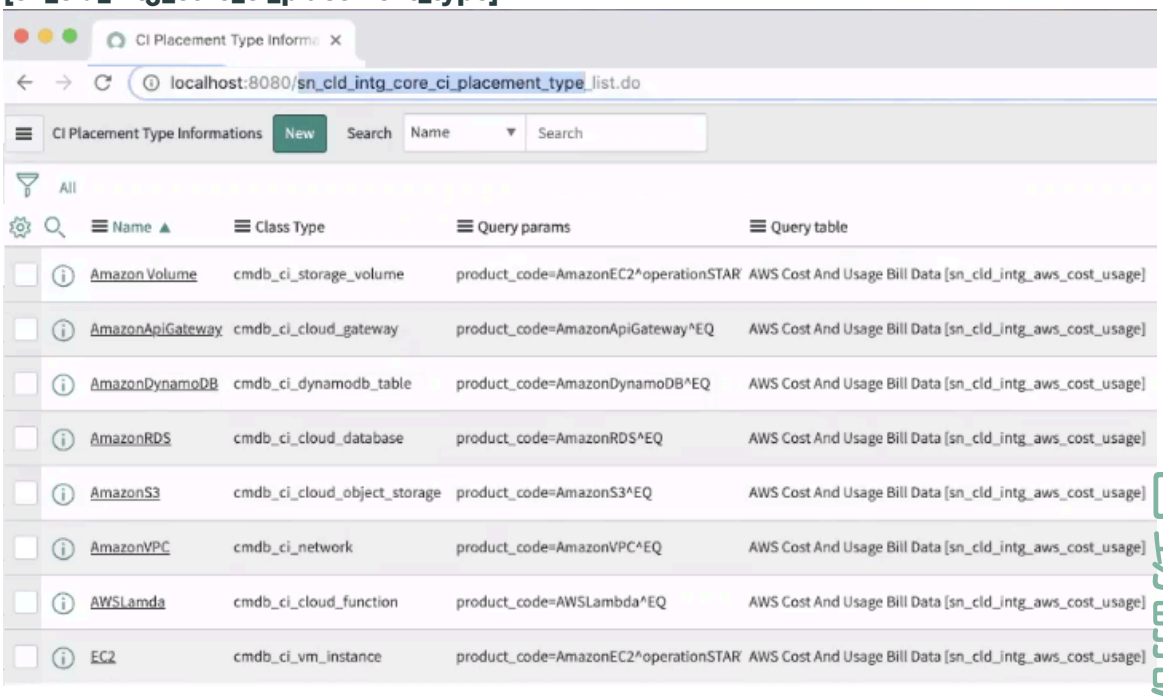
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
ディスカバリーパターンアプリケーションがインストールされていない場合、クラスタイプ (cmdb_ci_cloud_gateway、cmdb_ci_dynamodb_table、cmdb_ci_cloud_object_storage、cmdb_ci_cloud_f の CI は配置されません。

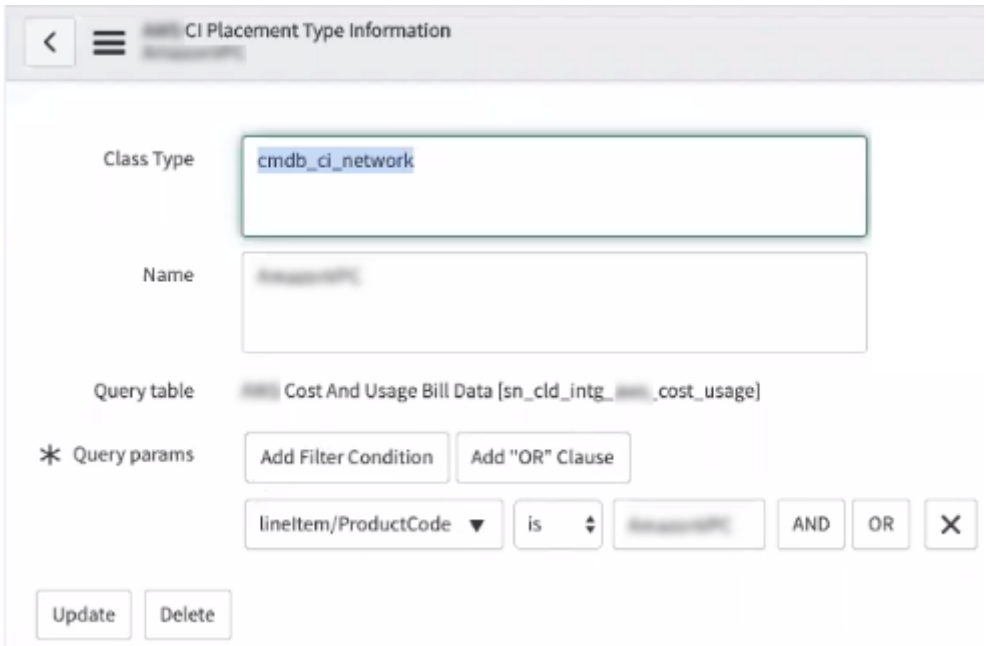
手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、[新規] を選択します。

コア **CI** 配置タイプテーブルの **AWS** クラスタイプ **[sn_cld_intg_core_ci_placement_type]**



2. フォームに入力します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が保存されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
[Name (名前)]	CI タイプの名前。
クエリ テーブル	CI 配置プロセスが CI タイプのインスタンスを検索するためにクエリする請求処理ノードテーブル。 クエリーテーブルはsn_cld_aws_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求処理ノードテーブルのパラメーター値。

3. クラスタイプを追加した後、請求処理データと使用状況データを再インポートして、CI が新しいタイプに正しく配置されるようにする必要があります。
「AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します」を参照してください。

AWS請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 AWSの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、営業時間のプロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. **[AWS]** タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [AWS 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] を選択します。

想定ロール認証を使用した **AWS** 請求処理ジョブ

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションを使用して、想定ロール認証でAWS請求ファイルを処理およびダウンロードします。

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールすると、すべての請求処理ダウンロードジョブの処理は完全にKubernetesクラスターで行われます。ただし、想定ロール認証

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用する AWS 請求処理ジョブの場合、請求処理データの処理の一部は クラウドコスト管理 MID サーバーを介して行われます。

AWS 請求処理ダウンロードジョブ (想定ロールあり) のワークフロー

1. クラウドコスト管理 MID サーバーは AWS に接続し、請求処理データファイルをダウンロードします。
2. 請求処理データファイルは添付ファイルとして クラウドコスト管理 Glide に送信されます。
3. 添付ファイルは、Glide データベースの添付ファイルテーブルに一時的に保存されます。
4. すべての添付ファイルが Glide データベースに格納された後、 Kubernetes ジョブは [要求済み] ステータスの請求処理ダウンロードジョブの詳細をフェッチします。

   注:
   一時添付ファイルは、請求処理ジョブの完了後に Glide データベースから削除されます。

5. Kubernetes ジョブは、API を介して添付ファイルを Glide データベースからフェッチし、Kubernetes クラスター上のファイルを処理します。
6. 処理された請求処理データは Glide に送信され、最終的に Glide データベースに保存されます。

AWS想定ロール請求処理ダウンロードの場合、[フローランチャージョブ構成] 設定によって、複数のダウンロードスレッドの並列処理が決定されます。これらの設定は、フローランチャージョブ構成 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config] テーブルの AWS 想定ロール請求処理ダウンロードレコードに保存されます。AWS Assume Role Billing Download レコードの [Concurrency] フィールドの値は、並列にダウンロードされる請求処理ファイルの数です。パフォーマンスは、[同時実行] フィールドがデフォルト値の 2 に設定されている場合に最適です。ただし、速度が低下した場合は、admin ロールを使用して [同時実行] フィールドを **1** に設定できます。

AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

価格シートのダウンロードジョブ価格シートデータをダウンロードして保存します。Rightsizingおよび未使用リソースのプロセスでは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブを実行するたびに、複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つのリージョンの価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を提供するには、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにします。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
[Name (名前)]	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの最新実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて) ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて)
[Active (アクティブ)]	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] を選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中、 クラウドコスト管理 はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスが停止している場合、実行は [キャンセル] としてマークされます。

関連情報

リソースのサイズの適正化

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、レート割引を指定します

での **AWS** 価格シートのダウンロードジョブのキャンセル クラウドコスト管理

AWS 価格シートのダウンロードジョブは、AWS から価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントがセットアップされていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから一度に 1 つのリージョンで価格シートデータをダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

Microsoft Azure の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

一般的な要件と制限

- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限 **Microsoft Azure**

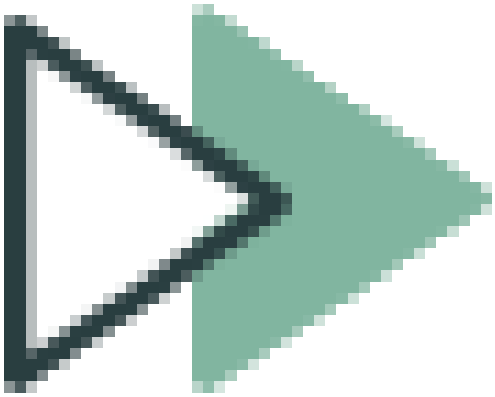
Microsoft Azureコンソールで作業するにはMicrosoft Azureコンソールの管理者権限が必要です

クラウドコスト管理 のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin。

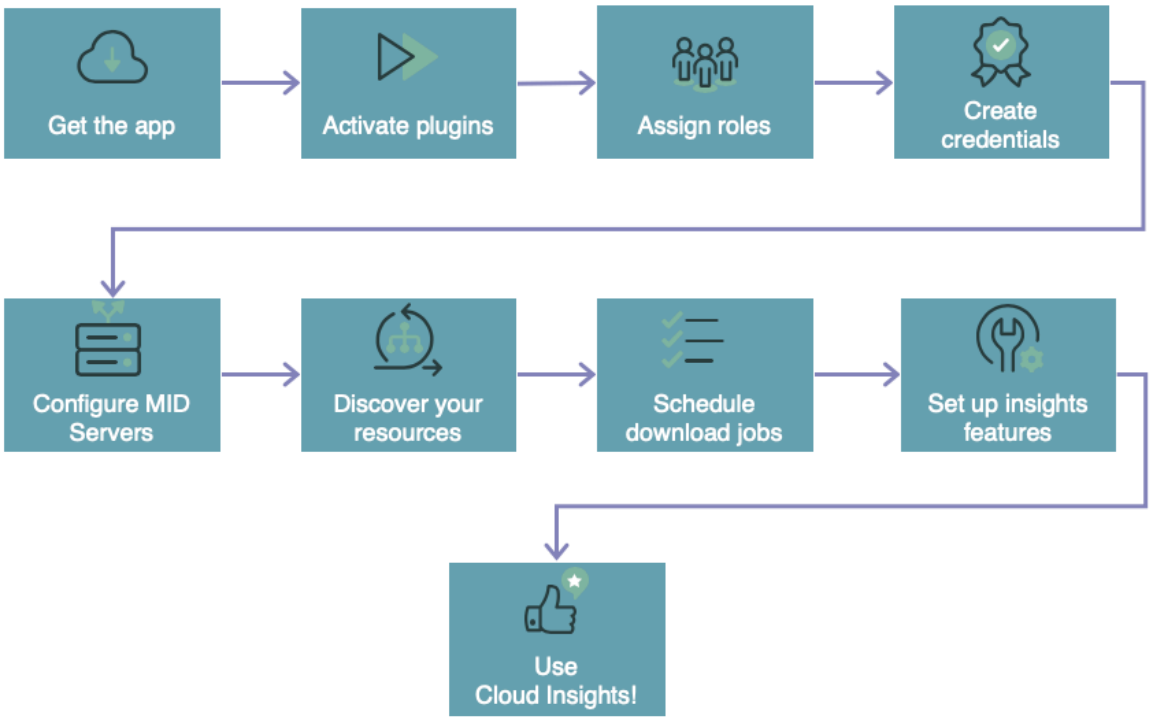
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステップ	説明	操作
アプリを取得します。	ServiceNow Storeからクラウドコスト管理アプリを取得します。	アクセスしてください ServiceNow Store クラウドコスト管理アプリとサポートアプリを取得するためのWeb サイト。
 サポートしているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	クラウドコスト管理のServiceNow Storeページにリストされているプラグインをアクティブ化します。一部のプラグインは、ServiceNow 担当者に要求する必要がある場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

概要:設定 クラウドコスト管理

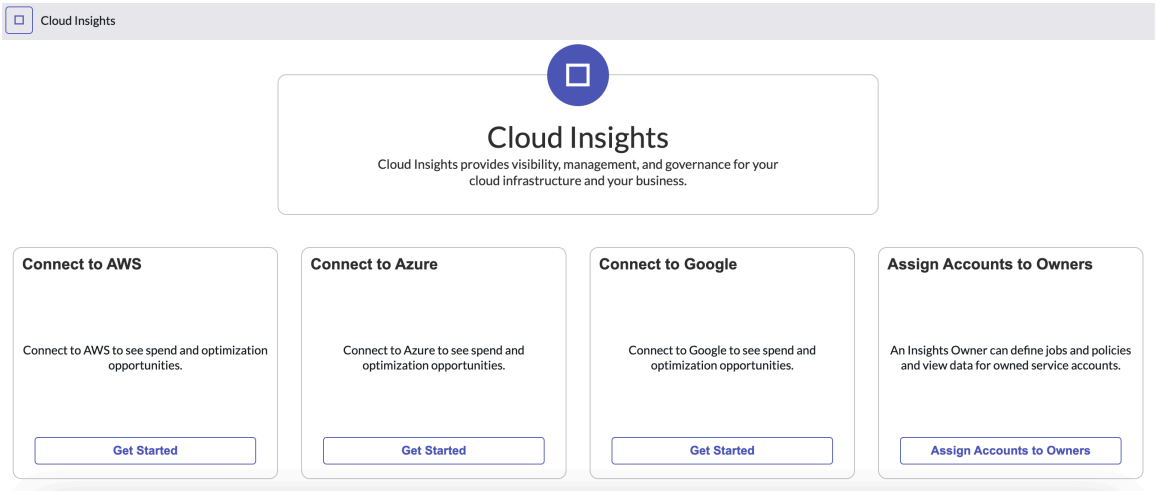
セットアッププロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。



自動翻訳

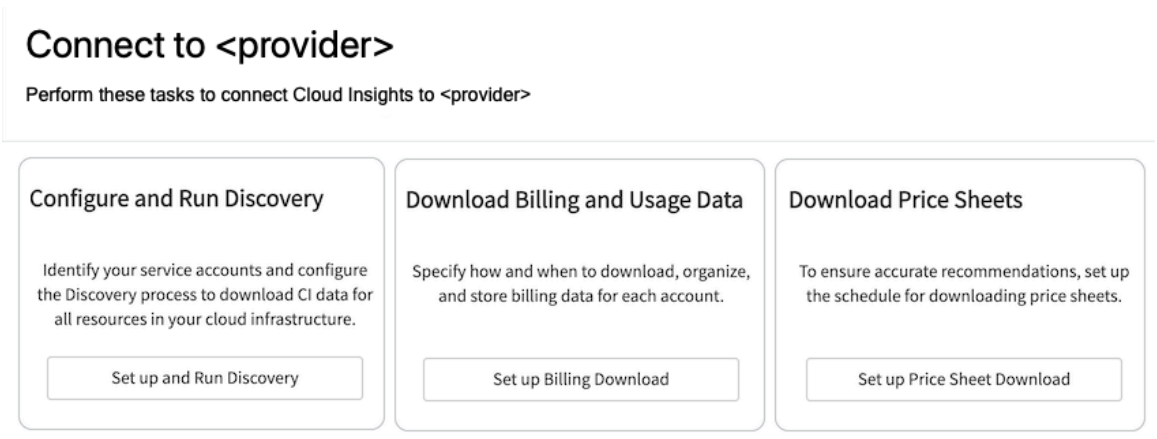
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、 insights_owner ロールを割り当てることができます。



プロバイダーを設定して insights_owner ロールをアサインすると、追加のセットアップアクティビティがページに表示されます。

注:
[ディスカバリーを構成して実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。

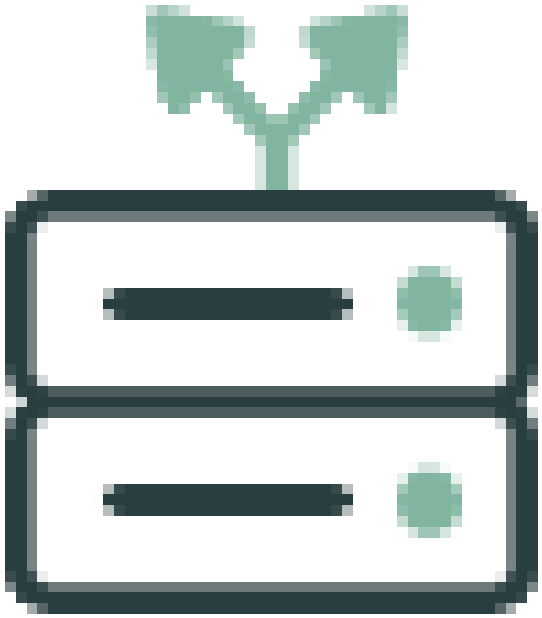


- [ディスカバリーを構成して実行] セクションで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。
- [請求処理データと使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロード の設定] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ] フォームが開きます。
- 価格 シートのダウンロード セクションの 価格シートのダウンロード の設定 ボタンを選択すると、価格シートのダウンロードジョブ フォームが開きます。

すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 を設定する

ステップ	説明	操作
 クラウドコスト管理ユーザーとグループにロールをアサインします。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理 ロール
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための MID サーバー の構成 クラウドコスト管理 .	ディスカバリーMicrosoft Azureアカウントと通信できるようにするには、Microsoft Azureアカウントと通信するMID サーバーを構成するときにサービスプリンシパル認証情報を指定します。	Microsoft Azure アカウントの CI データへのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
 クラウドリソースを検出します。	**注:** [ディスカバリーを構成して実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。 [ディスカバリーを構成して実行] カードの [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。 リソースの CMDB データが最新の状態に保たれるように、 ディスカバリー プロセスをスケジュールします。	使用するクラウドリソースの検出
 の請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します クラウドコスト管理 .	[請求処理データと使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロード の設定] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、および保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更について推奨事項を作成します。	Microsoft Azure請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
 価格シートをダウンロードする クラウドコスト管理 ジョブをスケジュールおよび管理します .	価格 シートのダウンロード セクションの 価格シートのダウンロード の設定 ボタンを選択すると、価格シートのダウンロード ジョブ フォームが開きます。 価格シートのダウンロードジョブ価格シートデータをダウンロードして保存します。Rightsizingおよび未使用リソースのプロセスでは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します
 インサイト機能を構成します。 • Rightsizing • 不使用マシン • 営業時間 • Unassigned Resources	• Rightsizing機能は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされているか十分に使用されていないためにお金を浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼性評価と予測される節減額は、各推奨事項を裏付けています。指定したリソースのサイズを変更する Rightsizing ジョブをスケジュールします。 • 不使用マシン機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースを電源オフまたは終了するように 不使用マシン ジョブをスケジュールします。 • 営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告して、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行すると、クラウド消費量を大幅に削減できます。 • Unassigned Resources ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが正しいグループに割り当てられている場合、パッチ適	• リソースのサイズの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
	用、アップグレード、再構成などのステージを経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	

Microsoft Azure アカウントの **CI** データへのアクセスの設定

ディスカバリーMicrosoft Azureアカウントと通信できるようにするには、Microsoft Azureアカウントと通信するMID サーバーを構成するときにサービスプリンシパル認証情報を指定します。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「 Azure クラウドディスカバリー 」を参照してください。

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	**Value** (値)
サポート対象アプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL** (すべて)] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに以下の設定を指定できます。複数のMID サーバーを指定すると、クラウドコスト管理推奨するディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、およびアクションが、いずれかのMID サーバーにランダムに割り当てられます。 オプション 1:この MID サーバー を Azure でのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • Cloud Actions • Azure オプション 2:この MID サーバー をすべてのプロバイダーで使用するには、次の値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Value (値)
	• Cloud Actions • AWS • Azure • Google Cloud

プロキシサーバーの使用

クラウドコスト管理 MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

関連情報

MID Server

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

クラウドコスト管理操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、実行中の ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブなどのクラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー構成 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリー AND クラウドプロビジョニングとガバナンス .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされるプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

- MID Server
- Windows への MID サーバーのインストール
- Linux への MID サーバーのインストール

Microsoft Azure行政サービスアカウントの追加

cloud_adminは、 Azure GovCloud サービスアカウントを追加できます。サービスアカウントの請求および価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

「Azure サービス アカウントを追加する」 の手順に従います。

関連情報

- 請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成
- Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

Microsoft Azureサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を保存する Azure サービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求および価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

注:
サービスアカウントには、Azure 予測データを取得するための ディスカバリー 認証情報が必要です。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
[Name (名前)]	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	Azureポータルからテキストファイルにコピーしたアカウント ID の値。 このフィールドの値は、設定したアカウントのタイプに基づいて変わります。 ○ 請求サービスアカウントの場合、アカウント ID は登録 ID です。 ○ その他のサービスアカウントの場合、アカウント ID はサブスクリプション ID です。
ディスカバリー資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。このフィールドは、後で Azure アカウントへのアクセスを構成するときに構成できます。 ○ Azure認証情報をNow Platformで構成した場合は、関連するAzure認証情報の名前を選択します。 ○ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、Azure GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。 .
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 **[Azure** データセンター] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データセンターディスカバリーステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントである	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。 このオプションは、クラウド統合 Azure スコープが使用されている場合にのみ使用できます。 既存の請求先アカウントの場合、このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。
管理グループか	ディスカバリーを実行するためにアカウントを有効にするオプション。 このオプションは、クラウド統合 Azure スコープが使用されている場合にのみ使用できます。 ディスカバリーが実行されている既存のアカウントでは、このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報

Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

Discovery for Microsoft Azure Cloud

Microsoft Azure請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定する

次の手順に従って、 Microsoft Azure 請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定します。

1. Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成する
2. 登録リーダーロールを Microsoft Azure サービスプリンシパルに追加する
3. 請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成
4. での Microsoft Azure 認証情報のレコードの作成 クラウドコスト管理
5. Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

関連情報

で Azure 請求処理ダウンロードジョブをキャンセルする クラウドコスト管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成する

Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成してMicrosoft Azure請求処理データと使用状況データへのアクセス権をクラウドコスト管理付与します。

始める前に

必要なロール:エンタープライズアドミニストレーター (読み取り専用) またはパートナー。

EA レベルのアクセス権が必要です。ロールの詳細については、「 Azure エンタープライズ契約ロールの管理 」を参照してください。

MID サーバーは、 Microsoft コスト管理 にアクセスできる必要があります。

次の権限が必要です。

- Microsoft.Compute/virtualMachines/instanceView/read
- Microsoft.Compute/virtualMachines/deallocate/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/start/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/delete
- Microsoft.Compute/virtualMachines/write
- Microsoft.Compute/virtualMachines/read
- Microsoft.Compute/locations/usages/read
- Microsoft.Advisor/recommendations/read
- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/read
- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/action
- Microsoft.Compute/disks/delete
- Microsoft.Compute/disks/read
- Microsoft.CostManagement/forecast/read
- Microsoft.Compute/locations/diskOperations/read
- Microsoft.Insights/Metrics/Read
- Microsoft.Compute/locations/operations/read

手順

1. Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成し、手順中に作成したテキストファイルを開きます。

   手順については、「Create a Microsoft Azure service principal 」を参照してください。

   Microsoft Azure アカウントのリソースおよび請求処理データに安全にアクセスするには、ディスカバリープロセスで適切なMicrosoft Azureアカウント認証情報を提供する必要があります。必要な認証情報を生成するために、特別なプログラムによるアカウント (サービスプリンシパル) を作成します。

2. 登録リーダーロールを Microsoft Azure サービスプリンシパルに追加します。

   詳細については、「登録リーダーロールを Microsoft Azure サービスプリンシパルに追加する」を参照してください。

次のタスク

請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

登録リーダーロールを **Microsoft Azure** サービスプリンシパルに追加する

請求、購入、価格設定データを取得するために、 Azure EA アプリケーションに登録リーダーロールをアサインします。このロールは、 Microsoft API を使用してアサインできます。

始める前に
必要なロール:エンタープライズアドミニストレーター (EA)

このタスクについて
登録リーダーは、登録、部門、およびアカウントのスコープでサブスクリプション料金関連データを表示できます。また、登録にリンクされている Azure 前払い残高を表示することもできます。

手順

1. Microsoft Azureドキュメントの [ロールのアサイン - 配置] ページに移動します。
2. [試す **]** ボタンを選択して API を実行します。
3. [サインイン] を選択します。
4. ログイン ページで、 Microsoft Azure アカウントの資格情報を入力してテナントにサインインします。
5. [API 要求パラメーター] フォームのフィールドに入力します。

ロールのアサイン **API** 要求パラメーター

フィールド	説明
billingAccountName	Azure EA 請求アカウント ID。 課金アカウント ID は、 Azure ポータルの Cost Management + Billing の概要ページで確認できます。
billingRoleAssignmentName	アサインするロールの名前を識別する一意の ID。 GUID ジェネレーターの Web サイトを使用して、一意の ID を生成できます。
本文	JSON コードのパラメーターを含む要求本文。本文に次の JSON コードを入力します。 `{ "properties": { "principalId": "{enterprise-application (または SPN) object-id}", "principalTenantId": "{tenant-id}", "roleDefinitionId": "/providers/Microsoft.Billing/billingAccounts/{ea-account-id}/billingRoleDefinitions/24f8edb6-1668-4659-b5e2-40bb5f3a7d7e" } }` このコードでは、principalID は EA アプリケーションのオブジェクト ID、principalTenantID は EA アプリケーションのテナント (ディレクトリ) ID、roleDefinitionId はロール定義の ID です。24f8edb6-1668-4659-b5e2-40bb5f3a7d7e は、登録リーダーロールのロール定義 ID です。オブジェクト ID とテ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ナント ID の詳細については、 Microsoft のドキュメント を参照してください。 **重要:** ea-account-id 文字列のみを実際の EA 請求アカウント ID に置き換えます。

注:
api-version フィールドと **Content-Type** フィールドの値は変更しないでください。

6. [実行] を選択して、Azure EA アプリケーションのロールの割り当てを完了します。

請求処理ダウンロード用の **Microsoft Azure** 認証情報の作成

MID サーバー を定期的に使用して請求処理データをプロバイダーからダウンロードするスケジュール済みジョブを定義します。クラウドプロビジョニングとガバナンス でデータがコストテーブルに保存され、その情報を使用してレポートが生成されます。

始める前に

重要:

Vancouver リリース移行、ServiceNow Store クラウドコスト管理アプリケーションをダウンロードしてアクティブ化した場合、請求処理ダッシュボードを利用できなくなります。次の変更が発生します。

- デフォルトで、クラウドコスト管理ホームページにリダイレクトされます。
- クラウドユーザーポータルの [ダッシュボードを表示 (View Dashboard)] ウィジェットは、[リソースの表示 (View Resources)] ウィジェットに置き換えられています。
- クラウドコスト管理がインスタンスでアクティブになっている場合は、クラウドユーザーポータルの [今月の消費量 (Current Month Spend)] ウィジェットと [予算] ウィジェットにデータが表示されません。

クラウドコスト管理アプリケーションをアクティブにすると、ドメインセパレーションインスタンスで Cloud Provisioning and Governance を使用している場合は、請求処理ダッシュボードにのみ移動できます。

請求処理情報を必要とするすべての Azure アカウントで、Microsoft エンタープライズ契約 EA の API アクセスキー認証情報が必要です。

必要なロール：sn_cmp.cloud_governor

このタスクについて

請求処理ダウンロードプロセス中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。Azure データベースは、データベース [cmdb_ci_database] テーブルに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 以前に展開したサービスプリンシパルアプリケーションの [概要] ページに移動して、クライアントシークレットを作成します。

   a. 左側のペインで、[証明書とシークレット **(Certificates & secrets)]** をクリックします。

   b. クライアントシークレットのセクションで、[新しいクライアントシークレット **(New client secret)]** を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
説明	クライアントシークレットの説明。たとえば、「Client secret for MyServicePrincipal」など。
有効期限	要件に合った有効期限。たとえば、「6 months」、「12 months」、「24 months」、「Never」など。

   d. [追加] を選択します。

   クライアントシークレットを追加すると、値が生成されて表示されます。

   > **注:**
   > この値は二度と表示されないため、すぐにコピーしてください。この値がクライアントシークレット (アクセスキー) です。

2. 後で使用するために、アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID をコピーします。
3. サービスプリンシパルにロールをアサインします。

   a. 左側のペインで、**[Azure Active Directory]** を選択します。

   b. [ロールとアドミニストレーター] を選択します。

   c. [すべてのロール] を選択し、アサインするロールを見つけます。

   d. ロールを選択し、[アサインを追加] を選択します。

   e. サービスプリンシパルを名前で検索して選択し、[追加] を選択します。
4. [サブスクリプション] を選択して、サブスクリプション ID を取得します。

   a. 使用するサブスクリプションを選択します。

   b. [サブスクリプション概要] ページからサブスクリプション ID をコピーします。

での **Microsoft Azure** 認証情報のレコードの作成 クラウドコスト管理

Microsoft Azure認証情報をNow Platform認証情報ストアに安全に保存します。クラウドコスト管理の請求処理データを受け入れるサービスアカウントを作成する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > アドミニストレーション > 認証情報.
2. [クラウド API 認証情報] ページで、[**Azure** サービスプリンシパル] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure サービスプリンシパルフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	インスタンスに登録するサービスプリンシパルの名前。例:CloudInsights-SP。
テナント ID	テナントの一意の識別子またはエイリアス。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
クライアント ID	Active Directory で作成されたアプリケーションの一意の識別子。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
認証手法	[クライアントシークレット] を選択します。 [クライアントシークレット] を選択すると、[秘密キー] フィールドが表示されます。 注: クライアントアサーションはサポートされていません。
秘密キー	Azure クライアントシークレットキー。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
[Active (アクティブ)]	使用する認証情報を有効にするオプション。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

請求処理ダウンロードジョブは、指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更について推奨事項を作成します。

始める前に
システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。

必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を提供するには、スケジュールされた実行の前に必ずディスカバリーを実行してください。
- サービスアカウントごとに 1 つの請求処理ダウンロードジョブのみ作成できます。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされます。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に加えた最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリの再適用] を選択します。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減プラン、サイズの適正化、および未使用リソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況のデータを分析し、レポート内のアクション可能な推奨事項を更新します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターのカテゴリには、開発、テスト、QA のタグが含まれる場合があります。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで意味のある結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定した場合、5 月と 6 月の両方のデータが自動的にダウンロードされ、分析用のデータが少なくとも 30 日分確保されます。
- ダウンロードできるのは直近 12 か月分のデータのみです。

- Kubernetes クラスターをプロビジョニングするたびに、1 つのデフォルトリソースグループが`MC_myResourceGroup_myAKSCluster_eastus`として作成されます。たとえば、リソースグループ名が `TestResourceGroup` の Kubernetes クラスターをプロビジョニングすると、Azureはこのリソースグループ名を使用し、別のリソースグループを`MC_<name of the resource group>_<name of the cluster>_<location of the cluster>`としてプロビジョニングします。

  Kubernetesクラスターのすべてのリソースは、Azureによって提供されるリソースグループに含まれています。請求処理ダウンロードジョブを実行すると、この命名規則 `MC_<name of the resource group>_<name of the cluster>_<location of the cluster>` でリソースグループに含まれるリソースのリストがチェックされます。

  - 請求処理ダウンロードジョブの実行中に、タグ `sn_ccm_k8_cluster_name` が Kubernetes クラスターに追加されます。
  - タグ `sn_ccm_k8_cluster_name` は、支出ジョブの実行中にリソースグループに存在する Kubernetes クラスターのリソースに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- リソースグループの資産またはリソースに独自の名前を指定した場合、 Kubernetes クラスターの消費量は表示できません。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「Kubernetes discovery using patterns」を参照してください。

- クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをバージョン 8.1 とともにインストールした場合クラウドコスト管理、請求処理は Glide の外部の Kubernetes クラスターでのみ行われ、ServiceNowデータセンター内で行われます。このフレームワークは、データのチャンク単位の並列処理をサポートしているため、請求処理ファイルのダウンロードが高速になります。

  Azure 課金データの要求を送信すると、チャンク サイズに基づいて BLOB が生成されます。システムプロパティ *sn_cld_intg_azure.billing_chunk_duration* を使用して、チャンクサイズを設定できます。詳細については、「Microsoft Azure請求処理 BLOB のチャンク サイズを構成する」を参照してください。30 日間の請求処理データをダウンロードし、チャンク サイズを 3 に設定した場合、請求処理データは 10 個の BLOB で使用できる例を考えてみましょう。すべての BLOB が生成されると、ジョブの状態が [準備完了] から [要求済み] に変わります。これらの BLOB は、 Azure ポータルの一部の BLOB ストレージに格納されます。その後、 Kubernetes フレームワークは、生成された BLOB を Azure からダウンロードして処理します。

  注:

  クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、ジョブの終わりに向かって、クラウド CI と支出データ量に基づいて、大幅なデータベース更新と挿入操作が実行されます。したがって、データベースのパフォーマンスに影響を与える他のジョブは、この時間帯に クラウドコスト管理 ジョブと一緒に実行しないでください。

- バージョン 8.1 以降 クラウドコスト管理 、請求ダウンロードジョブのデフォルト時間が午前 12 時から午前 1 時 (UTC) に変更されました。また、 クラウドコスト管理 ジョブは、業務時間外と、 ServiceNow インスタンスで他の負荷の高い操作やジョブが実行されていない場合にのみスケジュールまたは実行します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [*Azure*] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
[Name (名前)]	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	直近の正常な実行のタイムスタンプ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードエラーなど) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは、成功した場合に通知を送信しません。 クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成の詳細については、「 Create an email template 」を参照してください。
[Active (アクティブ)]	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Azure 設定	
Azure サービスアカウント	Azure サービスアカウント。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。
6. [請求処理ダウンロードジョブ] ページで、作成したジョブを選択します。
7. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、プロバイダーアカウントへのアクセスを試みるために構成した設定を使用します。進捗状況のポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。
8. 接続が成功した後にジョブを実行するには、[今すぐ実行] を選択します。
9. [請求処理データをダウンロード **(Download billing data**)] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	注: 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。 **注:** 請求処理の完了は、[データの再インポート] オプションの設定に関係なく、4 日目または前月の請求確定日に行われます。

10. [ダウンロード] を選択します。
Azure請求処理ダウンロードジョブは、ジョブの実行中に次の状況を経ます。

a. 準備完了:ジョブはキューにあります。たとえば、数か月間の請求処理データをダウンロードするジョブが作成されると、最新の月を除くすべての月のジョブが [準備完了] ステータスになります。

> **注:**
> クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、Azure BLOB URL は [準備完了] ステータスで生成されます。詳細については、「Microsoft Azure請求処理 BLOB のチャンク サイズを構成する」を参照してください。すべての BLOB が生成された場合のみ、状態が [要求済み] に変わります。

b. 要求済み:ジョブはすぐにフェッチされ、処理されます。たとえば、1 か月の請求処理データをダウンロードするために作成されたジョブは、[要求済み] ステータスです。また、1 か月を超える請求処理データをダウンロードするジョブが作成された場合、最新の月ジョブも [要求済み] ステータスになります。

c. 予約済み:ジョブは、 Kubernetes クラスターによって処理対象として選択されます。また、Kubernetes クラスターはジョブ ID を Glide 側に送信して、どの Kubernetes ジョブが請求処理ジョブを処理しているかを示します。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

d. 処理中:請求処理データを処理しています。

e. シンク開始:クラスター Kubernetes 、Spend Report Daily Aggregate Cost や Spend Report Monthly Aggregate Cost などのテーブルに、処理された請求処理データの一部を Glide で送信します。これらのテーブルのレコードは [生成中] ステータスです。請求処理データ全体が クラウドコスト管理 Glide に送信されるまで、ジョブは [シンク開始] ステータスのままになります。

[シンク開始] ステータスでは、CI 配置も開始され、CI 配置ステージのステータスが [準備完了] から [対応中] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

f. シンク完了 **(Sink Complete)**:処理されたすべての請求処理データがKubernetesクラスターからクラウドコスト管理 Glide に送信されます。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

g. 完了:すべての請求処理ファイルが Glide データベースに送信されたときのシンク完了後のステータス。

> **注:**
> ジョブが完了とマークされると、次の変更が行われます。
>
> - 支出レポート日次集計コストテーブルと支出レポート月次集計コストテーブルのレコードのステータスが、[生成中] から [アクティブ] に変わります。また、既存のレコードは非アクティブとマークされます。
> - Azure EA から SA へのマッピング実行ステージのステータスが [準備完了] から [対応中] に変わります。この実行ステージでは、エンタープライズアカウントがサービスアカウントにマッピングされます。

h. 成功:ジョブは正常に完了しました。

タスクの結果
jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、 クラウドコスト管理 は請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で更新します。CI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続のディスカバリーで、システムはプレースホルダー CI を調整します。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページの実行の各ステージのログエントリを生成します。

で **Azure** 請求処理ダウンロードジョブをキャンセルする クラウドコスト管理

請求処理ダウンロードジョブは、 Azureの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、営業時間のプロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

> **重要:**
> この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. **[Azure]** タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [Azure 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] を選択します。

Microsoft Azure請求処理 BLOB のチャンク サイズを構成する

BLOB のチャンク サイズを定義することで、 Azure 課金ファイルのダウンロードに必要な時間を短縮します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて

> **重要:**
> このタスクは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションを クラウドコスト管理 バージョン 8.1 とともにインストールした場合にのみ適用されます。

1 つの Azure 課金 BLOB は大きくなる可能性があり、ダウンロード中にパフォーマンスの問題が発生します。クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、請求処理は、Glide の外部にあるがServiceNowデータセンター内にあるKubernetesクラウドコスト管理クラスターでのみ行われます。Kubernetes クラスターを使用したこの新しいフレームワークでは、BLOB の複数のチャンクの並列処理がサポートされているため、課金ファイルのダウンロードが高速になります。システムプロパティ *sn_cld_intg_azure.billing_chunk_duration* を設定して、請求処理データを各チャンクに含める期間を日数で指定することもできます。

手順

1. アプリケーションフィルターに「sys_properties.list」と入力してシステムのプロパティテーブルを開きます。
2. リストをフィルタリングして *sn_cld_intg_azure.billing_chunk_duration* プロパティを開きます。
   既定値は 3 で、各 BLOB に 3 日間の課金データが含まれることを意味します。
3. 必要に応じて値を変更します。

   > **注:**
   > プロパティを 3 未満の値に設定すると、パフォーマンスが向上します。

4. プロパティを保存します。

Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

価格シートのダウンロードジョブ価格シートデータをダウンロードして保存します。Rightsizingおよび未使用リソースのプロセスでは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブを実行するたびに、複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つのリージョンの価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を提供するには、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにします。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
[Name (名前)]	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの最新実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて) ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて)
[Active (アクティブ)]	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
実行	ジョブを実行する頻度。 注: 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] を選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中、 クラウドコスト管理 はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスが停止している場合、実行は [キャンセル] としてマークされます。

関連情報

リソースのサイズの適正化

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、レート割引を指定します

で **Azure** 価格シートのダウンロードジョブをキャンセルする クラウドコスト管理

Azure 価格シートのダウンロードジョブは、Azure から価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントがセットアップされていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから一度に 1 つのリージョンで価格シートデータをダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Google Cloud の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

一般的な要件と制限

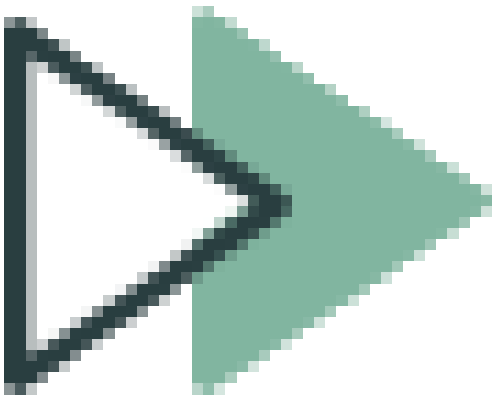
- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限 Google Cloud

で作業するには Google Cloud アドミン権限が必要です Google Cloud 慰める

クラウドコスト管理 のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin。

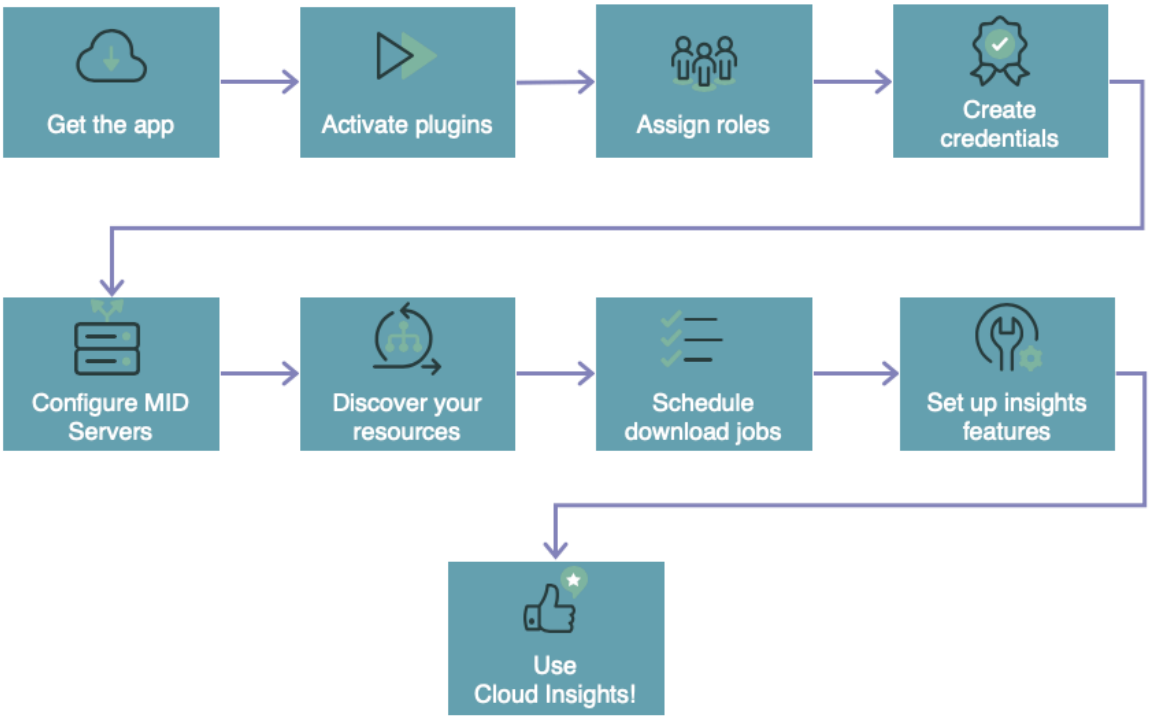
ステップ	説明	操作
アプリを取得します。	ServiceNow Storeからクラウドコスト管理アプリを取得します。	アクセスしてください ServiceNow Store クラウドコスト管理アプリとサポートアプリを取得するための Web サイト。
 サポートしているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	クラウドコスト管理のServiceNow Storeページにリストされているプラグインをアクティブ化します。一部のプラグインは、ServiceNow 担当者に要求する必要がある場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

概要:設定 クラウドコスト管理

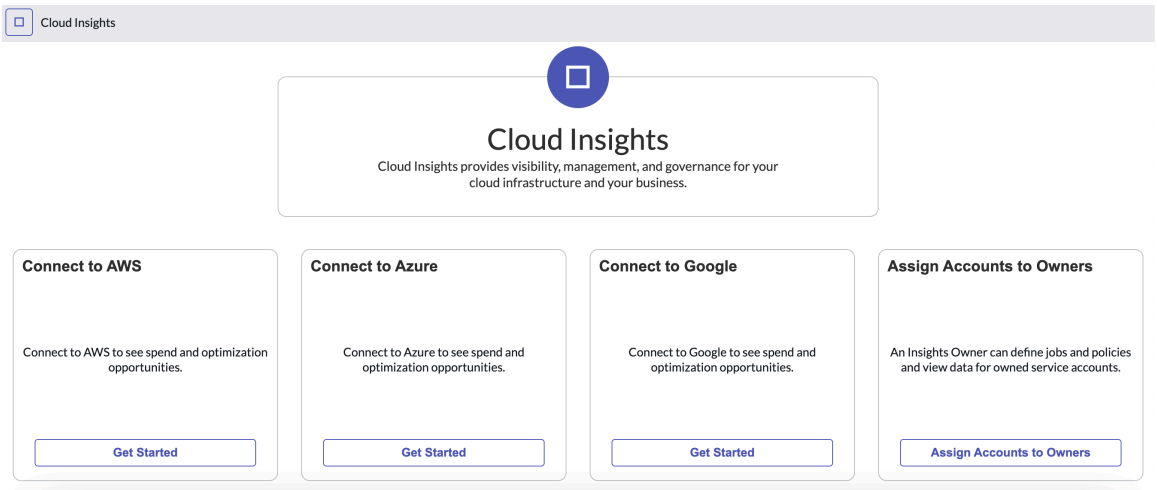
セットアッププロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



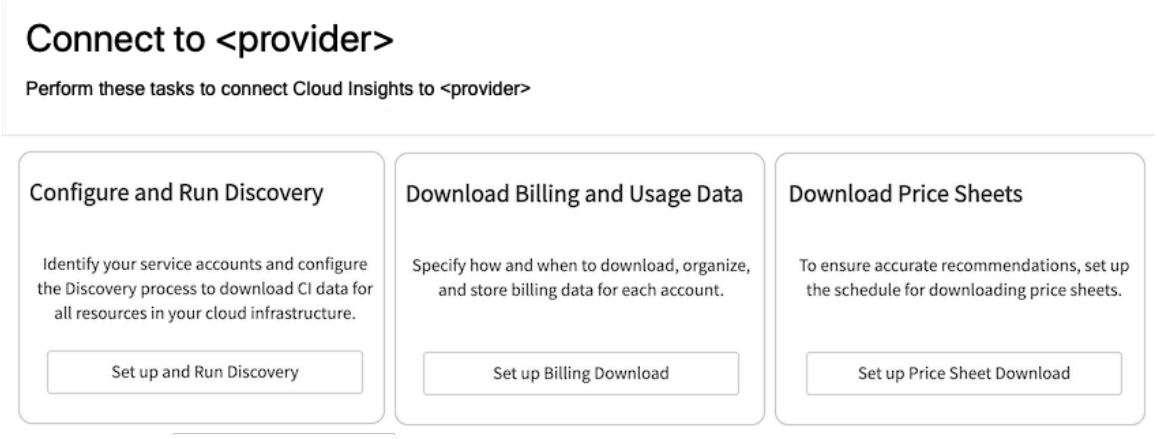
アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、 insights_owner ロールを割り当てることができます。



プロバイダーを設定して insights_owner ロールをアサインすると、追加のセットアップアクティビティがページに表示されます。

注:
[ディスカバリーを構成して実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [ディスカバリーを構成して実行] セクションで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。
- [請求処理データと使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロード の設定] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ] フォームが開きます。
- 価格 シートのダウンロード セクションの 価格シートのダウンロード の設定 ボタンを選択すると、価格シートのダウンロードジョブ フォームが開きます。

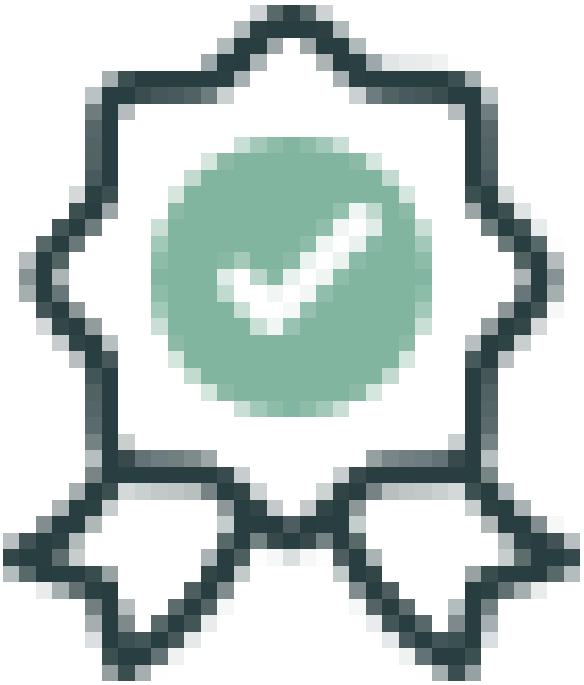
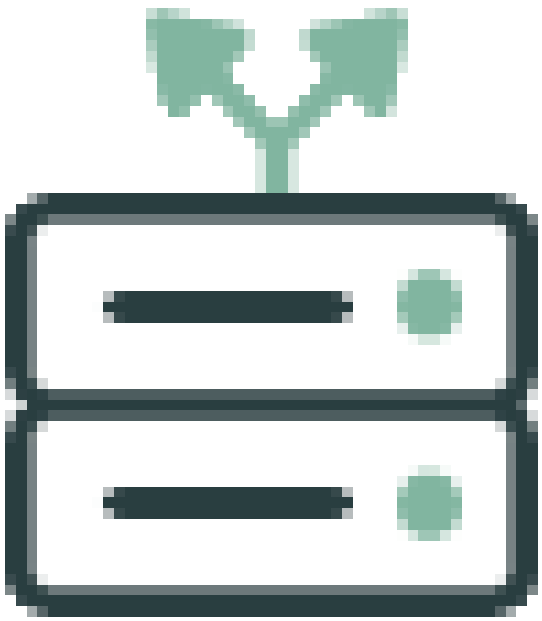
すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

タスク:設定 クラウドコスト管理

ステップ	説明	操作
 クラウドコスト管理ユーザーとグループにロールをアサインします。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理ロール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
 Google Cloudへのアクセスを設定します。	プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、ディスカバリー プロセスで適切な認証情報を提供する必要があります。認証情報をディスカバリーで利用できるようにするには、最初にGoogle Cloudポータルでを作成します。次に、インスタンスの サービスアカウント に認証情報を安全に保存します。	Google Cloud請求および使用状況データへのアクセスを設定する
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための MID サーバー の構成 クラウドコスト管理 .	安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバー を介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。	Google Cloud アカウントの CI データへのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
 クラウドリソースを検出します。	注: [ディスカバリーを構成して実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。 [ディスカバリーを構成して実行] カードの [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。 リソースの CMDB データが最新の状態に保たれるように、 ディスカバリー プロセスをスケジュールします。	使用するクラウドリソースの検出
 の請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します クラウドコスト管理 .	[請求処理データと使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロード の設定] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、および保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更について推奨事項を作成します。	Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
 価格シートをダウンロードする クラウドコスト管理 ジョブをスケジュールおよび管理します .	価格 シートのダウンロード セクションの 価格シートのダウンロード の設定 ボタンを選択すると、価格シートのダウンロード ジョブ フォームが開きます。 価格シートのダウンロードジョブ価格シートデータをダウンロードして保存します。Rightsizingおよび未使用リソースのプロセスでは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	Google Cloud 価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します
 インサイト機能を構成します。 • Rightsizing • 不使用マシン • 営業時間 • Unassigned Resources	• Rightsizing機能は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされているか十分に使用されていないためにお金を浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼性評価と予測される節減額は、各推奨事項を裏付けています。指定したリソースのサイズを変更する Rightsizing ジョブをスケジュールします。 • 不使用マシン機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースを電源オフまたは終了するように 不使用マシン ジョブをスケジュールします。 • 営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告して、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行すると、クラウド消費量を大幅に削減できます。 • Unassigned Resources ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが正しいグループに割り当てられている場合、パッチ適用、アップグ	• リソースのサイズの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	操作
	レード、再構成などのステージを経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	

Google Cloud アカウントの **CI** データへのアクセスの設定

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバーを介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

要件

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

詳細な手順

Google Cloud Platform クラウドディスカバリー

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	**Value** (値)
サポート対象アプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL** (すべて)] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに以下の設定を指定できます。複数のMID サーバーを指定すると、クラウドコスト管理推奨するディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、およびアクションが、いずれかのMID サーバーにランダムに割り当てられます。 オプション 1:この MID サーバー を Google Cloudにのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • Cloud Actions • Google Cloud

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Value (値)
	オプション 2:この MID サーバー をすべてのプロバイダーで使用するには、次の値を指定します。 • Cloud Actions • Google Cloud • AWS • Azure

プロキシサーバーの使用

クラウドコスト管理 MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

関連情報

- MID Server
- Windows への MID サーバーのインストール
- Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー構成 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

クラウドコスト管理操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、実行中の ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブなどのクラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー構成 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリー AND クラウドプロビジョニングとガバナンス .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

サポートされるプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

- MID Server
- Windows への MID サーバーのインストール
- Linux への MID サーバーのインストール

Google Cloudサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を保存する Google Cloud サービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求および価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
[Name (名前)]	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	関連付けられた JSON キーファイルからの project_ID値。
ディスカバリー資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。後で Google Cloud アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。 ○ Azure認証情報をNow Platformで構成した場合は、関連するAzure認証情報の名前を選択します。 ○ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、 Google Gov Cloud アカウントにのみ必要です。 .
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 `Google Cloud Platform` データセンターを選択します。
データセンターディスカバリーステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントである	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報
- Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
- Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

請求処理ダウンロード **Google Cloud** ロールを設定します
Google Cloudの請求処理ダウンロードを実行するには、特定の必要なロールが必要です。

始める前に
必要なロール：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Google Cloudコンソールで、次のようにGoogle Cloudします。
- クラウドコスト管理:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

このタスクについて

手順

1. Google Cloudプロバイダーコンソールで請求処理モジュールに次の必要なロールを追加します。
   - bigquery.jobs.create
   - bigquery.jobs.list
   - bigquery.tables.getData
   - cloudsql.databases.delete
   - cloudsql.databases.get
   - cloudsql.databases.list
   - cloudsql.databases.update
   - cloudsql.instances.delete
   - cloudsql.instances.get
   - cloudsql.instances.list
   - cloudsql.instances.restart
   - cloudsql.instances.update
   - compute.autoscalers.get
   - compute.autoscalers.list
   - compute.disks.delete
   - compute.disks.get
   - compute.disks.list
   - compute.disks.update
   - compute.instances.delete
   - compute.instances.get
   - compute.instances.getIamPolicy
   - compute.instances.list
   - compute.instances.setDiskAutoDelete
   - compute.instances.start
   - compute.instances.stop
   - compute.instances.update
   - compute.regions.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.get
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.update
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.get

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.list
- recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.update
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.update
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.update
- recommender.locations.get
- recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get
- resourcemanager.projects.list

2. Google Cloud組織レベルでロールを設定し、そのレベル以下のすべてのプロジェクトに適用されるようにします。
   プロジェクトごとに、 Google Cloud コンソールで次の API を有効にする必要があります。
   - Compute Engine API
   - 推奨者 API
   - BigQuery API
   - BigQuery データ転送 API
   - クラウドリソースマネージャー API
   - クラウド SQL アドミン API
   - バッチ API
3. ポリシー作成の詳細については、次を参照してください。 Google Cloud ドキュメント.

自動翻訳

Google Cloud 請求および使用状況データへのアクセスを設定する

次の手順に従って、 Google Cloud Platform (GCP) 請求処理データと使用状況データへのアクセスを設定します。

1. Google Cloud請求先アカウントの作成
2. Google API 認証情報の作成
3. Kubernetes クラスターの Google Cloud でのコスト割り当てを有効にする
4. Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
5. 請求処理データが正確になるように、 Google Cloud CI クラスタイプを追加します

関連情報

Google Cloud請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

Google Cloud請求先アカウントの作成

Google Cloud Console で請求先アカウント、プロジェクト、BigQuery データセットを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
Google Cloudポリシーに精通している必要があります。

必要なロール：Google Cloud アドミニストレーター

手順

1. Google Cloud請求先アカウントで、請求処理データを BigQuery データセットに保存できるプロジェクトを作成します。

   注:
   BigQuery の使用に関連する料金は、課金プランに基づきます。

   a. プロジェクトの下にサービスアカウントを作成し、キーを作成します。
   の「サービスアカウントの作成」セクションと「サービスアカウントの管理」セクションを参照してください。 Google Cloud ドキュメント 詳細については、を参照してください。

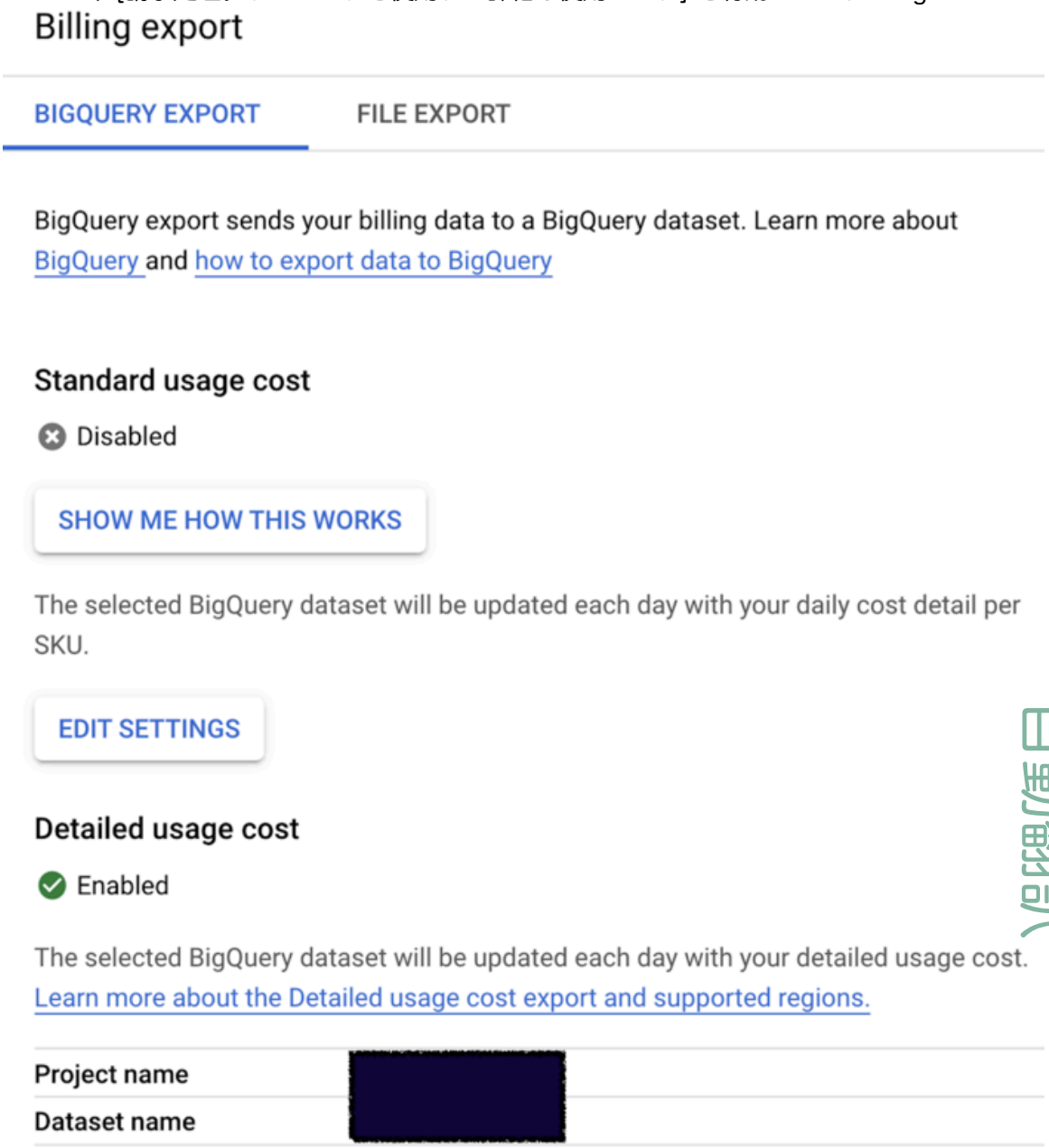
   b. すべてのプロジェクトにアクセスできるようにサービスアカウントを構成します。
   すべてのプロジェクトに対してビューアーロールが必要です。

   c. 必要な認証情報を含むキーファイル (JSON ファイル) をダウンロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. Google Cloudで、[請求処理ダウンロードを使用する詳細な使用コスト] を有効にしますGoogle Cloud。



> **注:**
> 請求処理ダウンロードの BigQuery データセットを初めて構成する場合は、Google Cloud ドキュメントの BigQuery での Cloud Billing データテーブルについてトピック の「データの可用性」セクションをお読みください。

Google API 認証情報の作成

プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、適切な認証情報を使用して ディスカバリー プロセスが存在する必要があります。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. [クラウドコスト管理] で、次に移動します。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > アドミニストレーション > 認証情報.
2. **[Google API** 認証情報] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google API 認証情報

フィールド	説明
名前	Google Cloud 認証情報の分かりやすい一意の名前。
アクティブ	認証情報を使用するオプション。
タイプ	プロバイダー名:GCP。
適用先	MID サーバーを示します。[すべて] の場合は、「すべての MID サーバー」と入力します。
メール	請求サービスアカウントメール
秘密キー	Google Cloud コンソールで生成された秘密キー。

5. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

クラウド認証情報

Kubernetes クラスターの **Google Cloud** でのコスト割り当てを有効にする

Google Cloud請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes消費量を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。

始める前に
必要なロール：Google Cloud アドミニストレーター

- Google Cloudポリシーに精通している必要があります。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「Kubernetes discovery using patterns」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- 請求処理ダウンロード中に Kubernetes クラスターのリソースを識別するために、タグ *sn_ccm_k8_cluster_name* がリソースに追加されます。リソースにはすでに **goog-k8s-cluster-name** タグがあります。
- 個々の Kubernetes クラスターごとにコスト割り当てを有効にする必要があります。

手順

1. にログインします Google Cloud コンソール.
2. ハンバーガーアイコン( )を選択します。
3. **[Kubernetes Engine]** を選択します。
4. [クラスター] を選択します。
5. [概要] セクションで、クラスター名を選択します。
6. [機能] セクションで、[コスト割り当て] を有効にします。

タスクの結果
選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、および保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更について推奨事項を作成します。

始める前に

- システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。
- 請求処理ダウンロードを実行するために必要なロールを設定する必要があります。詳細については、「請求処理ダウンロード Google Cloud ロールを設定します」を参照してください。
- Google Cloud請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes消費量を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「Kubernetes クラスターの Google Cloud でのコスト割り当てを有効にする」を参照してください。

必要なロール：

- Google Cloudコンソールで、次のようにGoogle Cloudします。
- クラウドコスト管理:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理のダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。GCP SQL データベースは [cmdb_ci] テーブルに配置されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 8.1 以降 クラウドコスト管理 、請求ダウンロードジョブのデフォルト時間が午前 12 時から午前 1 時 (UTC) に変更されました。また、 クラウドコスト管理 ジョブは、業務時間外と、 ServiceNow インスタンスで他の負荷の高い操作やジョブが実行されていない場合にのみスケジュールまたは実行します。

クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、ジョブの終わりに向かって、クラウド CI と支出データ量に基づいて、大幅なデータベース更新と挿入操作が実行されます。したがって、データベースのパフォーマンスに影響を与える他のジョブは、この時間帯に クラウドコスト管理 ジョブと一緒に実行しないでください。

- 請求処理ダウンロードジョブは、請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_gcp_cost_usage] を作成し、BigQuery データセットの請求明細で更新します。

  注:
  BigQuery の使用に関連する料金は、課金プランに基づきます。

- CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況のデータを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、「請求処理データが正確になるように、 Google Cloud CI クラスタイプを追加します」を参照してください。
- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- アカウントごとに 1 つの 請求処理ダウンロードジョブ のみ作成できます。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を提供するには、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにします。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減プラン、Rightsizing、および未使用リソースのジョブがトリガーされ、支出および使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に加えた最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリの再適用] を選択します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターのカテゴリには、 開発、 テスト、 QA のタグを含めることができます。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで意味のある結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定した場合、5 月と 6 月の両方のデータが自動的にダウンロードされ、分析用のデータが少なくとも 30 日分確保されます。
- 直近 12 か月のデータのみをダウンロードできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [*Google*] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
[Name (名前)]	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	直近の正常な実行のタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードエラーなど) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは、成功した場合に通知を送信しません。 クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成の詳細については、「 Create an email template 」を参照してください。
[Active (アクティブ)]	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Google 設定	
請求アカウント	請求処理データにアクセスするためのアカウント。[課金アカウントである] 設定が true であるすべてのアカウントが選択リストに表示されます。[課金アカウント] フィールドの詳細につ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	いては、「Google Cloudサービスアカウントの追加」を参照してください。 たとえば、請求アカウント ID は `0XX0A-AXX9-6XXXA` の形式である必要があります。
BigQuery プロジェクト ID	BigQuery データセットを含むプロジェクト ID。
BigQuery データセット名	請求処理データが保存されている BigQuery データセットの名前。

5. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、プロバイダーアカウントへのアクセスを試みるために構成した設定を使用します。進捗状況のポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。

6. 接続が成功した後にジョブを実行するには、[今すぐ実行] を選択します。
7. [請求処理データをダウンロード **(Download billing data**)] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

8. [ダウンロード] を選択します。
   Google Cloud請求処理ダウンロードジョブは、ジョブの実行中に次の状況を経ます。
   a. 準備完了:ジョブはキューにあります。たとえば、数か月間の請求処理データをダウンロードするジョブが作成されると、最新の月を除くすべての月のジョブが [準備完了] ステータスになります。
   b. 要求済み:ジョブはすぐにフェッチされ、処理されます。たとえば、1 か月の請求処理データをダウンロードするために作成されたジョブは、[要求済み] ステータスです。また、1 か月を超える請求処理データをダウンロードするジョブが作成された場合、最新の月ジョブも [要求済み] ステータスになります。
   c. 予約済み:ジョブは、 Kubernetes クラスターによって処理対象として選択されます。また、Kubernetes クラスターはジョブ ID を クラウドコスト管理 Glide に送信して、請求処理ジョブを処理している Kubernetes ジョブを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

d. 処理中:請求処理データを処理しています。

e. シンク開始:クラスター Kubernetes 、Spend Report Daily Aggregate Cost や Spend Report Monthly Aggregate Cost などのテーブルに、処理された請求処理データの一部を Glide で送信します。これらのテーブルのレコードは [生成中] ステータスです。請求処理データ全体が Glide に送信されるまで、ジョブは [シンク開始] ステータスのままになります。

[シンク開始] 状態では、CI 配置も開始され、CI 配置ステージのステータスが [準備完了] から [処理中] に変わります。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

f. シンク完了 **(Sink Complete)**:処理されたすべての請求処理データがKubernetesクラスターからクラウドコスト管理 Glide に送信されます。

> **重要:**
> このステータスは、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合にのみ適用されます。

g. 完了:すべての請求処理ファイルが Glide データベースに送信されたときのシンク完了後のステータス。

> **注:**
> ジョブが完了とマークされると、次の変更が行われます。
>
> - 支出レポート日次集計コストテーブルと支出レポート月次集計コストテーブルのレコードのステータスが、[生成中] から [アクティブ] に変わります。また、既存のレコードは非アクティブとマークされます。
> - すべてのサブアカウントが親アカウントにマッピングされます。

h. 成功:ジョブは正常に完了しました。

タスクの結果

jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、 クラウドコスト管理 は請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で更新します。CI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続のディスカバリーで、システムはプレースホルダー CI を調整します。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページの実行の各ステージのログエントリを生成します。

請求処理データが正確になるように、 **Google Cloud CI** クラスタイプを追加します

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスがコストと使用状況のデータを正しくアサインできるようにします。このプロセスは 請求処理ダウンロードジョブ 実行の一部です。CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況のデータを適切な CI に関連付けます。

始める前に

必要なロール: クラウドコスト管理 アドミン [sn_clin_core.insights_admin]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

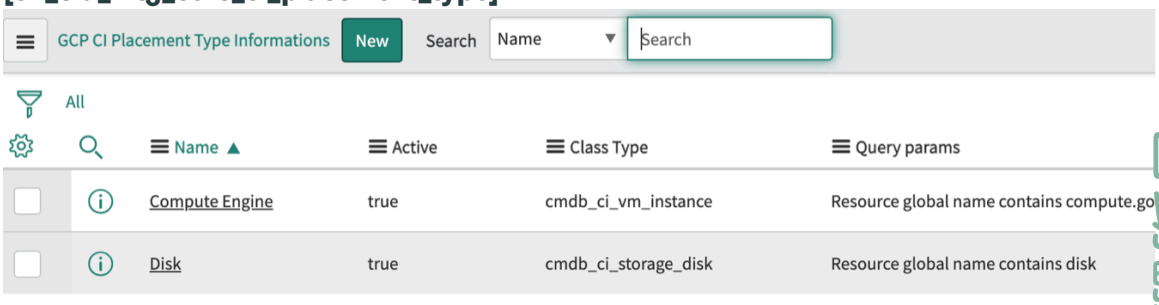
請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求処理ノードテーブルに保存します。[クラスタイプ] テーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドコスト管理 は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB 内の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルを照会します。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

Google Cloud [sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type] の CI 配置タイプテーブルは、コア CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) から継承します。

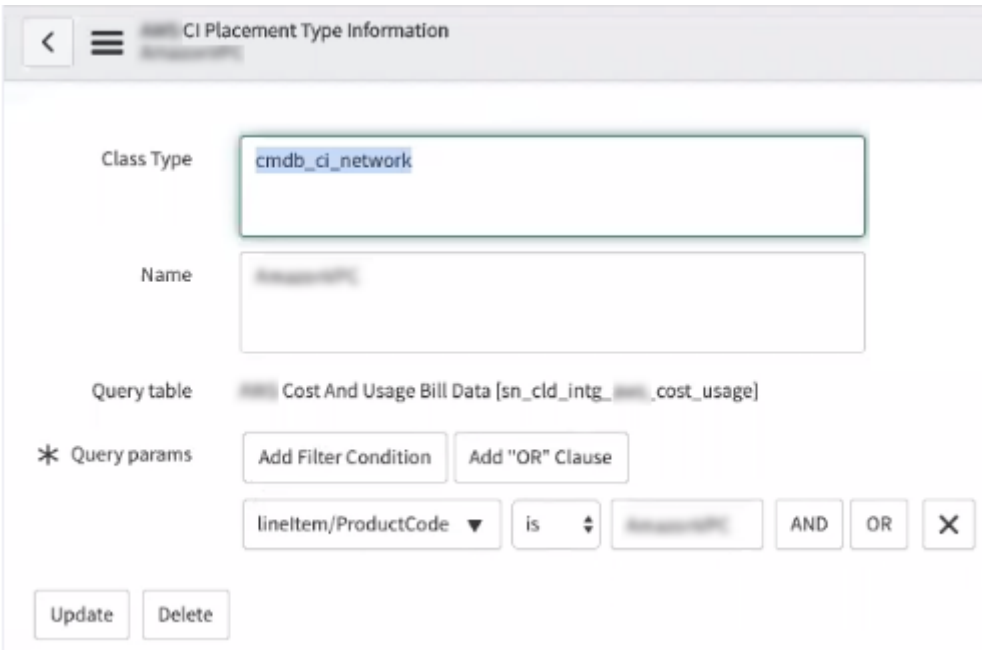
手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、[新規] を選択します。

Google Cloud コア CI 配置タイプテーブルのクラスタイプ [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]



2. フォームに入力します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が保存されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
[Name (名前)]	CI タイプの名前。
クエリ テーブル	CI 配置プロセスが CI タイプのインスタンスを検索するためにクエリする請求処理ノードテーブル。 クエリテーブルはsn_cld_gcp_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求処理ノードテーブルのパラメーター値。

Google Cloud請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 Google Cloudの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、営業時間のプロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. **[Google]** タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [Google 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] または [キャンセル] を選択します。

Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。

始める前に
適切な認証情報とサービスアカウントがセットアップされていることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 1 つの API で、すべての地域の価格シートの詳細を一度にフェッチします。
- スケジュールされた時間になると、ジョブは複数のステージで実行されます (たとえば、プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。各ステージの価格シートの実行ページにステータスと結果が記録されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
[Name (名前)]	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの最新実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて) ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ All (すべて)
[Active (アクティブ)]	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] を選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時間	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中、 クラウドコスト管理 はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスが停止している場合、実行は [キャンセル] としてマークされます。

関連情報

リソースのサイズの適正化

で GCP 価格シートのダウンロードジョブをキャンセルする クラウドコスト管理

GCP 価格シートのダウンロードジョブは、Google Cloud Platform (GCP) から価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントがセットアップされていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから一度に 1 つのリージョンで価格シートデータをダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 の使用

クラウドコスト管理を使用して、クラウドリソースの使用状況データの適正化、識別、アサイン、管理、および分析を行います。

予約プランによるリソースコストの削減

予約済みインスタンスレポートを表示し、推奨事項を実装し、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換するプロセスを構成して、リソースのコストを節減します。

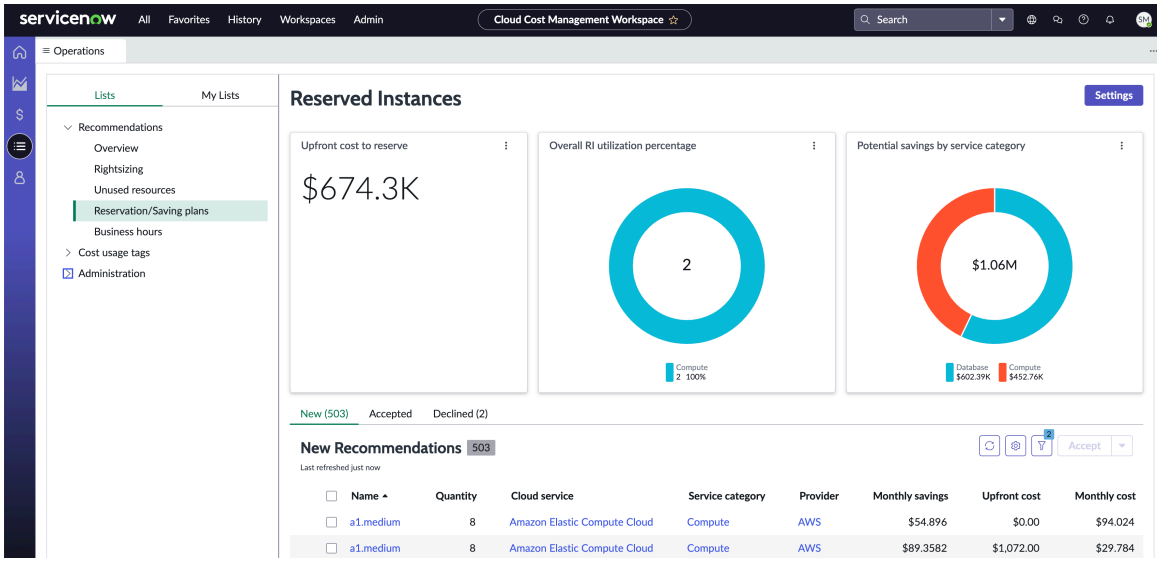


チャート	説明
予約にかかる初期費用	すべての予約/節減プランの推奨事項が適用された場合の初期費用。
[Overall RI utilization percentage (RI 全体の利用率)]	過去 30 日間に使用された予約プランのリソースと使用されなかったリソースの割合。
[Potential savings by service category (サービスカテゴリ別の潜在的節減額)]	すべての予約/節減プラン推奨事項を適用した場合に期待できる毎月の節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能な選択肢
新規	予約プランで最もメリットが得られるリソース。リストを確認し、適切なアクションを選択してリソースを他のタブのいずれかに移動することで、予約プランへの変換を決定します。	• 承認 • 拒否
承認	予約プランに変換されるリソース。リソースを **[Accepted Recommendations** (承認済み推奨事項)] タブに移動すると、**[New Recommendations** (新しい推奨事項)] タブには再表示されなくなります。	拒否

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能な選択肢
却下	予約プランに変換されていないリソース。リソースを **[Declined Recommendations** (拒否された推奨事項)] タブに移動すると、**[New Recommendations** (新しい推奨事項)] タブには再表示されなくなります。	承認

重要:
リソースを [受け入れられた推奨事項] または [拒否された推奨事項] タブに移動しても、クラウドコスト管理アプリケーションはアクションを実行しません。プロバイダー管理インターフェイスで支払いプランを変更できます。

[設定] を選択して、予約/節減プランの操作を構成することもできます。

予約/節減プラン操作を構成する

予約/節減プランのプロセスを構成し、通知をトリガーする節減見込み額を指定します。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin および insight_owner

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > 推奨事項 > 予約/節減プラン.
2. [リザーブドインスタンス] ページで、[設定] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

リザーブドインスタンスの設定

フィールド	**Value** (値)
予約済みインスタンスの有効化	予約済みインスタンスのアクティビティを有効にするオプション。チェックボックスをオフにすると、予約/節減プラン操作が無効になります。 デフォルト:有効
[Notify when potential reserved instance savings exceed (%) of total spends (潜在的な予約済みインスタンスの節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する)]	予約済み節減での潜在的節減のための全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするはずのもの。 この値は、すべての予約/節減プランの推奨事項に従った場合に節減できる金額を使用して計算されます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	デフォルト値の **15** は、見込まれるリザーブドインスタンスの節減額が総コストの 15% を超えた場合にのみ通知が送信されることを意味します。
[Do not recommend if savings are below threshold (節減分がしきい値を下回る場合は推奨しない)]	リソースにある予約/節減プランを推奨するかどうかの決定に使用する、ルックバック期間全体で計算された最小コスト。 たとえば、100 円に設定すると、アプリは、節減分が 100 円未満の予約/節減プランを無視します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	予約済みインスタンスの潜在的節減額が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。電子メールの設定方法については、「電子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。

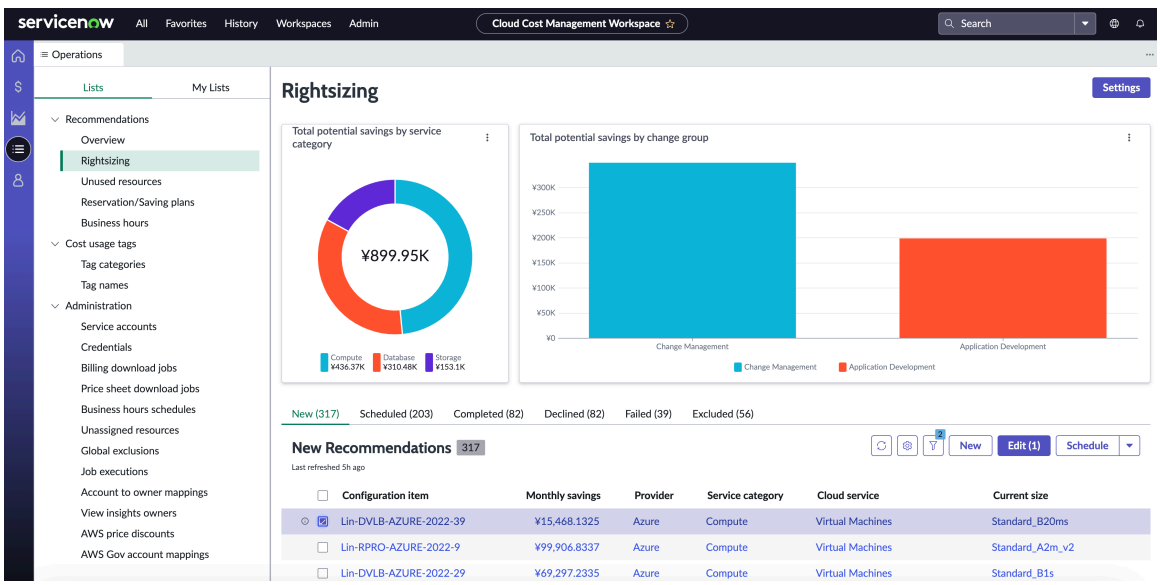
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
変更内容を表示するには、Billing Download ジョブを再実行します。

Rightsizing でリソースのサイズを適正化する

過剰にプロビジョニングされたリソースや十分に使用されていないリソースを特定し、サイズ適正化操作を構成し、サイズ適正化推奨事項を実装し、さまざまなサイズ適正化操作を実行することで、リソース使用状況の可視性を向上させます。

サイズの適正化操作を構成するには、[設定] を選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別にすべての Rightsizing 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	サイズ適正化のすべての推奨事項が変更管理 アプリケーション開発などの変更グループによって適用された場合に予想される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項に対して利用可能なアクション
新規	Rightsizing の候補となるリソース。Billing Download ジョブが正常に実行されるたびに、Rightsizing ジョブがトリガーされ、支出と使用状況のデータが分析され、レポート内の実行可能な推奨事項が更新されます。	• 除外 • スケジュール
スケジュール済み	Rightsizing ジョブでスケジュールされているリソース。	• [Reschedule (再スケジュール)] • 削除
却下	オーナーがサイズ変更を望まなかったリソース (変更要求を拒否)。	• 除外 • スケジュール変更
完了	Rightsizing ジョブによって適正サイズ設定されたリソース。	なし
失敗	Rightsizing 操作が成功しなかったリソース。試行が失敗した場合、サイズの適正化操作は AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバックで説明されているようにロールバックを実行します。	• 除外 • スケジュール変更
Excluded (除外済み)	Rightsizing の対象として考慮されないように構成されたリソース。	除外から削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム (CI)	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースのサイズを推奨サイズに変更した場合の見込み節減額。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にリストします。
クラウドサービス	名前順にソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
現在のサイズ	サイズの適正化のために分析されたリソースのサイズ (現在支払っているサイズ)。
推奨サイズ	• AWS:過去 14 日間のプロビジョニングと使用レベルの分析に基づいて、運用上およびコスト面でリソースに最も適したサイズ。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
上書きサイズ	推奨サイズの代わりに使用するサイズ。デフォルトでは、サイズの適正化時に推奨サイズが使用されます。上書きサイズを指定して、別のサイズを指定します。
根拠	システムがサイズ変更を推奨する理由。 • AWS:過去 14 日間のプロビジョニングと使用レベルのクラウドコスト管理分析に基づきます。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。 • 高信頼性には次の条件が必要です。 ○ システムには、リソースの少なくとも 10 日分の使用状況データがあります。 ○ 現在の推奨ファミリーまたは世代が同じです。 • 信頼性が中程度のには、次の条件が必要です。 ○ システムには、リソースの使用状況データが 10 日未満あります。 ○ 現在の推奨ファミリーまたは世代が同じです。 • 低信頼性:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連リージョンのグループを表します。
リージョン	プロバイダーに適している場合は、リソースをホストするサービスアカウントのリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
変更グループ	リソースの変更グループ。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure / GCP:プロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成の推奨事項
ステータス	自動承認 (標準的な変更) 承認タイプに一致するリソースの場合の変更要求のステータス。
ジョブ	リソースが含まれているサイズの適正化ジョブの名前。
予定日	ジョブの実行がスケジュールされている日付。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。

自動翻訳

サイズの適正化操作の構成

サイズの適正化プロセスを構成し、通知をトリガーするサイズの適正化の見込み節減額を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サイズの適正化設定

フィールド	**Value** (値)
[サイズ適正化の有効化 (Enable Rightsizing)]	Rightsizing アクティビティを有効にするオプション。チェックボックスをオフにすると、Rightsizing が無効になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	デフォルト:有効 このフィールドは自動的に有効になります。
[After resize, exclude resource for (days) (サイズ変更後、___日間リソースを除外する)]	サイズ変更されたリソースを [Excluded Resources (除外リソース)] リストに配置する日数。この監視期間中は、[Excluded Resources (除外リソース)] リストからリソースを削除することはできません。 クラウドコスト管理 は、指定された期間、サイズ変更されたリソースを監視して、新しいサイズが適切であることを確認します。期間が終了すると、リソースはリストから削除され、サイズ適正化分析が再開されます。 **注:** Microsoft Azure only: Azure Advisor サービスは使用状況の分析を開始し、この設定に関係なく、7 日後にサイズ変更を再度推奨する場合があります。7 日を超える値を指定すると、指定した期間の Azure Advisor の推奨事項は クラウドコスト管理 から報告されません。 最小値:7
[Do not recommend if savings are below threshold (節減分がしきい値を下回る場合は推奨しない)]	適切なサイズにするかどうかを決定する際に使用する 30 日間の最小コスト。 たとえば、100 円に設定すると クラウドコスト管理 、30 日間の節減額が 100 円未満になるサイズの適正化に関する推奨事項は無視されます。
[Notify when potential rightsizing savings exceed (%) of total spend (サイズの適正化によって見込まれる節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する)]	サイズが不正確なリソースに対する全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーする必要があるもの。 この値は、すべての適正サイズ化の推奨事項に従った場合に節減できる金額を使用して計算されます デフォルト:15% デフォルト値の **15** は、サイズが適正化されていないリソースのコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	不適切なサイズのリソースの支出が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。電子メールの設定方法については、「電

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。
詳細	変更要求を生成するためのデフォルト以外の変更テンプレートを指定するオプション。
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSStandardChangeRequestUtil:変更グループは標準的な変更テンプレートから派生したもので、上書きできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSNormalChangeRequestUtil:手動承認または通常の変更ポリシー。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、レート割引を指定します

正確なサイズ適正化の推奨事項を生成するために、システムは過去 14 日間の使用状況データを分析し、価格シートデータテーブルから価格を取得してから、適切な割引を適用します。計算を有効にするには、各サービスアカウントにプロバイダーの割引率を指定します。

始める前に
必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > **AWS** 価格割引.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS 価格割引

フィールド	説明
サービスアカウント	指定した割引が適用されるサービスアカウント。
割引 (%)	選択したサービスアカウントの割引率。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
に移動して、各サービスアカウントのプロバイダーの割引率を表示します クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > **AWS** 価格割引.

関連情報

AWS価格シートをダウンロードするクラウドコスト管理ジョブをスケジュールおよび管理します

メトリクスのしきい値の定義

サイズの適正化に関する推奨事項の生成に使用する正確なメモリ使用量データを有効にするには、まずアカウントでメモリメトリクスを定義します。次に、 クラウドコスト管理 でカスタムメモリメトリクスを定義します。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

- 各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。
- 請求処理ダウンロードと価格シートのダウンロードジョブが正常に完了したことを確認します。

このタスクについて

注:
メモリしきい値は、 AWS と Azure に対してのみ設定できます。

AWS はメモリメトリクスの統計情報を自動的に収集しません。AWS マネジメントコンソール で、データを収集して Amazon CloudWatch にプッシュするための統計を指定します。クラウドコスト管理 は CloudWatch を介してデータにアクセスし、名前空間とメトリクス名の組み合わせが正しく定義されていることを確認します。サイズの適正化のためのリソースを推奨するために、 クラウドコスト管理 はカスタムメトリクスのメモリ使用率データを分析します。データが返されない場合、分析ではリソースの最大メモリが使用されます。

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. [サービスカテゴリメトリクス] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しいメトリクス構成を作成

フィールド	説明
プロバイダー	サービスプロバイダーの名前。 ○ AWS ○ Azure
サービスカテゴリ	プロバイダーのサービスカテゴリ。 ○ CPU ○ データベース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ AWSの場合、推奨事項は CPU 使用率 (コンピューティング) に対してのみ生成されます。 ○ Azureの場合、推奨事項は CPU、メモリ、およびネットワークの使用率 (コンピューティングとデータベース) に基づいて生成されます。
サービスアカウント	選択したプロバイダーのサービスアカウント。
集計タイプ	時間間隔で受信したメトリクスの統計情報。 ○ 平均 ○ 最小 ○ 最大
メトリクスタイプ	メトリクス統計情報のタイプ。 ○ CPU ○ メモリー ○ ネットワーク
しきい値 (%)	サイズの適正化に関する推奨事項の生成時に使用されるしきい値。 注: [プロバイダー] で **[AWS]**、[サービスカテゴリ] で [データベース]、[メトリクスタイプ] で [ネットワーク] が選択されている場合、値は整数として表示されます。

6. [**Save** (保存)] をクリックする。

サイズ適正化されたスケジュール済みリソース

リソースのサイズを適正化するには、リソースを Rightsizing ジョブに追加し、ジョブを実行するタイミングを指定します。また、スケジュールされたジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりすることもできます。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download が完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、 クラウドコスト管理 次の条件をチェックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

注:
Google Cloud リソースのサイズを適正化する推奨事項が Google Cloud 管理ポータルから却下された場合、そのリソースは [サイズの適正化に関する推奨事項] に表示されません。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. 適切なタブのリストで、サイズを適正化するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - サイズの適正化の新しい候補であるリソースの Rightsizing ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 スケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされていたが、サイズが変更されなかったリソースに対して新しいジョブを作成するには: 拒否された推奨事項 タブまたは 失敗した推奨事項 タブで、リソースを選択し、再スケジュール を選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

スケジュールジョブ

フィールド	**Value** (値)
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブをスケジュール] を選択します。
[Job name (ジョブ名)]	Rightsizing ジョブを説明する一意の名前です。
[Schedule (スケジュール)]	適正化ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 ○ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブによってサイズが変更されるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ○ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	正化レポートにリソースを一覧表示し続けます。 **注:** [簡単な説明]、[説明]、[アサイン先グループ]、および [影響を受ける **CI]** フィールドは自動入力されます。詳細については、「Create a change request」を参照してください。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
Rightsizing ジョブが作成され、スケジュールされた時間に実行されます。

- 変更グループのメンバーが変更を承認または却下するまで、リソースの状態は [保留中] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。
- 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスが [承認済み] に設定され、ジョブがサイズを変更するリソースのリストにリソースが追加されます。
- 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。

関連情報

Change Management (変更管理)
標準的な変更カタログ
変更要求テンプレートの作成
すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

リソースを別のサイズの適正化ジョブに移動する

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりすることができます。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. 適切なタブのリストで、サイズを適正化するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - [新しい推奨事項] タブで、[スケジュール] を選択します。
   - [拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、[再スケジュール] を選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

スケジュールジョブ

フィールド	**Value** (値)
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	Rightsizing ジョブを説明する一意の名前です。
[Schedule (スケジュール)]	適正化ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 ○ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブによってサイズが変更されるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ○ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適正化レポートにリソースを一覧表示し続けます。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	ンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」 を参照してください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

サイズの適正化分析からのリソースの除外

特定のリソースがサイズの適正化の対象として考慮または推奨されないようにするには、リソースを [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストに追加します。コストと使用状況のデータは引き続き収集されますが、サイズの適正化ではリソースは考慮されません。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、サイズの適正化分析から除外するリソースを選択します。
3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストに追加されます。リストからリソースを削除するには、[除外 済み] タブからリソースを選択し、[除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

スケジュール済みおよび完了済みのサイズの適正化ジョブを表示または編集します

予定されているジョブと完了しているサイズの適正化ジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [スケジュール済み] または [完了] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

クラウドインサイト ジョブ

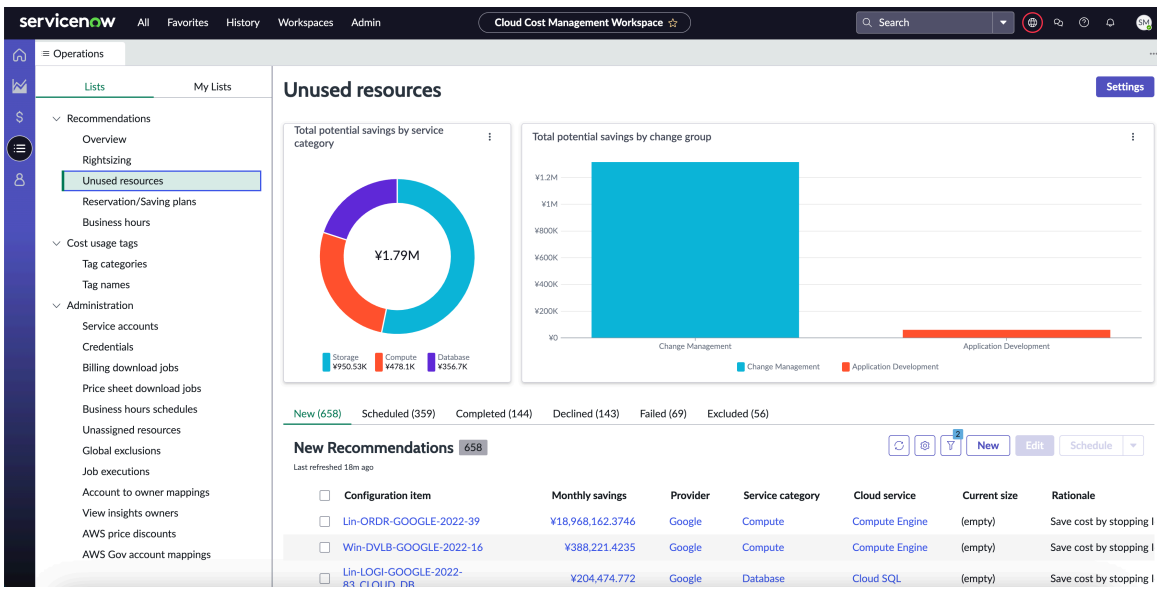
フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定された承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
[Name (名前)]	スケジュール済みジョブの名前。
ジョブアクション	サイズの適正化ジョブに指定されたアクション。
標準的な変更テンプレート	使用される変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	サイズの適正化ジョブの所有者。
アクション	リソースに対して実行されるアクション (サイズ変更など)。
予定日	ジョブが実行された時間、または実行される予定の時間。 日付は編集できます。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

未使用のリソースの管理

未使用のリソースを特定し、未使用リソースの電源をオフにするか終了するジョブをスケジュールすることでコストを削減します。

未使用リソースの操作を構成するには、 [設定] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別にすべての Unused resources 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	すべての未使用リソースの推奨事項を変更管理やアプリケーション開発などの変更グループによって適用した場合に期待される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項に対して利用可能なアクション
新規	Unused resources の候補となるリソース。Billing Download ジョブが正常に実行されるたびに、Budget Forecast、Business Hours、Reservation Plans、Rightsizing、および Unused resources の各ジョブがトリガーされ、支出とリソース使用状況のデータが分析され、レポート内の実行可能な推奨事項が更新されます。 **注:** Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスは、サイズの適正化および未使用リソースのレポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。	• スケジュール • 除外
スケジュール済み	Unused resources ジョブでスケジュール済みのリソース。	• スケジュール変更 • ジョブから削除
完了	Unused resources ジョブが終了または停止したリソース。	なし
[Declined (拒否)]	オーナーがアクションを実行しなかった、または変更要求を拒否したリソース。	• スケジュール変更 • 除外
失敗	未使用リソースの操作が成功しなかったリソース。	• スケジュール変更 • 除外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項に対して利用可能なアクション
		注: 終了または停止した仮想マシンでアクションを実行すると、推奨事項は完了しますが、[失敗した推奨事項] タブには表示されません。
除外済み	Unused resources の対象として考慮されないように構成されたリソース。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム (CI)	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースを推奨サイズに変更した場合の節減見込み。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にリストします。
クラウドサービス	名前順にソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
現在のサイズ	分析対象のリソースのサイズ。
根拠	システムが終了または停止を推奨する理由。 • AWS:過去 14 日間のプロビジョニングおよび使用レベルの分析 クラウドコスト管理 。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。 • 高信頼性には次の条件が必要です。 ○ システムには、リソースの少なくとも 10 日分の使用状況データがあります。 ○ 現在の推奨ファミリーまたは世代が同じです。 • 信頼性が中程度のには、次の条件が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
	○ システムには、リソースの使用状況データが 10 日未満あります。 ○ 現在の推奨ファミリーまたは世代が同じです。 • 低信頼性:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連リージョンのグループを表します。
リージョン	プロバイダーに適している場合は、リソースをホストするサービスアカウントのリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure / GCP:プロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成の推奨事項

自動翻訳

未使用リソース操作の構成

Unused resources 機能は、使用されていないためにコストを無駄にしているリソースの終了または電源オフを推奨します。Unused resources プロセスを構成し、通知のトリガーとなる潜在的な節減を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

注:
Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

未使用マシンの設定

フィールド	**Value** (値)
不使用マシンの有効化	Unused resources アクティビティを有効にするオプション。 このフィールドは自動的に有効になります。
詳細	デフォルト以外の変更テンプレートを指定するオプション。
[Auto pause interval (自動一時停止間隔)]	Azure SQL データベースの最小アイドル時間を分単位で示します。 デフォルト:60 分
[Maximum age for snapshots in AWS/Azure/Google (days) (AWS/Azure/Google のスナップショットの最大保存日数)]	スナップショットの経過時間。スナップショットデータは、[推奨事項] タブの [根拠] 列に表示されます。 デフォルト:90 日
[Notify when potential unused savings exceed (%) of total spend (潜在的な未使用の節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する)]	Unused resources での全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするもの。 この値は、すべての Unused resources 推奨事項を適用した場合に節減できる金額を使用して計算されます デフォルト:15% デフォルト値 15 は、未使用リソースのコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	未使用リソースの支出が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。 電子メールの設定方法については、「電子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSStandardChangeRequestUtil リソースが指定されたタイプのポリシーに一致するときに変更要求に使用するスクリプトインクルード。変更グループは Standard Change

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	(標準的な変更) テンプレートから派生しており、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSNormalChangeRequestUtil

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

Change Management (変更管理)

未使用リソースの電源オフまたは終了のスケジュール設定

未使用リソースを終了するか電源をオフにするには、そのリソースを Unused resources ジョブに追加して、終了するか電源をオフにするかを指定し、ジョブを実行するタイミングを指定します。また、あるスケジュール済みジョブから別のジョブにリソースを移動することができます。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

このタスクについて

重要:
Unused resources ジョブによってマシンの電源がオフになるか終了すると、そのマシンは営業時間の除外リソースリストに追加されます。このプロセスにより、リソースが Business hours ポリシーに一致するため、将来再び開始されないことが保証されます。[営業時間 の除外されたリソース (Business Hours Excluded Resources)] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示しています。

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、修了するリソースのチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 終了の新しい候補であるリソースの未使用リソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
- 以前にスケジュールされていたが、アクションが正常に完了しなかったリソースのジョブを作成するには: 拒否された推奨事項 タブまたは 失敗した推奨事項 タブで、リソースを選択し、 再スケジュール を選択します。

> **注:**
> Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。

3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	**Value** (値)
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブをスケジュール] を選択します。
[Job name (ジョブ名)]	Unused resources ジョブを説明する一意の名前です。
[Action (アクション)]	選択したリソースに対して実行するアクション： ○ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、割り当て解除と呼ばれるMicrosoft Azureプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) に設定されます。 ○ マシンを終了する: 終了したマシンは復旧できません。 ○ マシンを終了してストレージを削除する: VM の終了時にルート ボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルートボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
[Schedule (スケジュール)]	Unused resources ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は、ServiceNow 変更管理機能と直接統合されます。 ○ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブが終了させる

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	か停止させるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ○ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーがリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な未使用リソースレポートにリソースを一覧表示し続けます。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認/拒否するまで、リソースの状態は「処理待ち」に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスが [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。 **注:** [簡単な説明]、[説明]、[アサイン先グループ]、および [影響を受ける **CI]** フィールドは自動入力されます。詳細については、「Create a change request」を参照してください。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
未使用のリソースジョブが作成され、スケジュールされた時刻に実行されます。

関連情報
- Change Management (変更管理)
- 標準的な変更カタログ
- 変更要求テンプレートの作成
- すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リソースを別の未使用リソースジョブに移動する

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりすることができます。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、修了するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - 終了の新しい候補であるリソースの未使用リソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされていたが、サイズが変更されていないリソースのジョブを作成するには: 拒否された推奨事項 タブまたは 失敗した推奨事項 タブで、リソースを選択し、 再スケジュール を選択します。

   注:
   Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	**Value** (値)
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	Unused resources ジョブを説明する一意の名前です。
[Action (アクション)]	選択したリソースに対して実行するアクション：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	**Value** (値)
	○ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、割り当て解除と呼ばれるMicrosoft Azureプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) に設定されます。 ○ マシンを終了する: 終了したマシンは復旧できません。 ○ マシンを終了してストレージを削除する: VM の終了時にルート ボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルート ボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
[Schedule (スケジュール)]	Unused resources ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は、ServiceNow 変更管理機能と直接統合されます。 ○ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブが終了させるか停止させるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ○ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーがリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な 不使用マシン レポートにリソースを一覧表示し続けます。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認/拒否するまで、リソースの状態は「処理待ち」に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスが [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」 を参照してください。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

未使用リソースの分析からのリソースの除外

特定のリソースが未使用リソースの対象と見なされたり推奨されたりしないようにするには、リソースを [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストに追加します。コストと使用状況のデータは引き続き収集されますが、未使用リソースのプロセスのリソースは考慮されません。

始める前に

各サービスアカウントでディスカバリーを実行します。

各プロバイダーの 請求処理ダウンロードジョブ が完了していることを確認します。

各プロバイダーの 価格シートのダウンロードジョブ が完了していることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、未使用のリソース分析から除外するリソースを選択します。
3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストに追加されます。リストからリソースを削除するには、[除外 済み] タブからリソースを選択し、[除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みおよび完了済みの未使用リソースジョブの表示または編集

予定されている未使用リソースジョブおよび完了済みリソースジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [スケジュール済み] または [完了] タブを選択します。
3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

クラウドインサイト ジョブ

フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定された承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
[Name (名前)]	スケジュール済みジョブの名前。
ジョブアクション	未使用リソースジョブに指定されたアクション。
標準的な変更テンプレート	使用される変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	未使用リソースジョブの所有者。
アクション	終了など、未使用のリソースに対して実行されるアクション。
予定日	ジョブが実行された時間、または実行される予定の時間。 日付は編集できます。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

Business hours でリソースの使用率を向上

指定された営業時間内にリソースを実行することで、リソースの使用を改善し、クラウドの消費量を削減します。

Business hours 推奨事項ページを使用して、次の操作を行います：

- Business hours プロセスを管理します。
- 営業時間操作の構成 [設定] を選択します。
- 営業時間プロセスの定義または更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

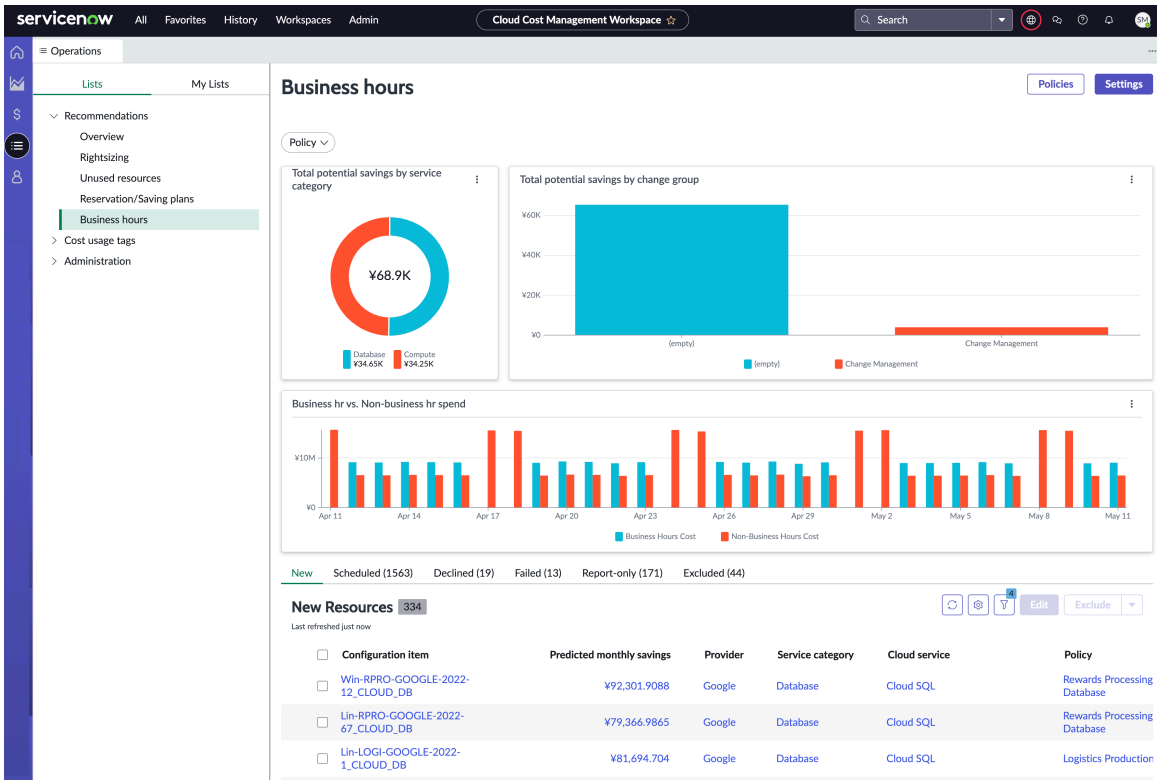


チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、ストレージ、データベース、などのサービスカテゴリ別にすべての Business hours 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	Change Management (変更管理) や Application Development (アプリケーション開発) などの変更グループによってすべての Business hours 推奨事項が適用された場合に期待される合計節減分。
ビジネスHRと営業時間外の時間支出	営業時間外のリソースの支出に対する営業時間中のリソースの支出。

タブ	説明	選択した推奨事項に対して実行可能なアクション
[New (新規)]	Business hours プロセスを適用する候補となるリソース。	除外
[Scheduled (スケジュール済み)]	営業時間を強制するようにタグ付けされたリソース。	なし
[Declined (拒否)]	オーナー (または他の承認者) が営業時間の適用を希望しなかったリソース (変更要求を拒否)。	除外
[Failed (失敗)]	営業時間の適用に失敗したリソース。	除外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明	選択した推奨事項に対して実行可能なアクション
[Report-only (レポートのみ)]	Report-only ポリシーに一致するリソース。	除外
[Excluded (除外済み)]	営業時間の対象として考慮されないように構成されたリソース。 **重要:** Unused resources ジョブによってマシンの電源がオフになると、そのマシンは営業時間の除外リソースリストに追加されます。このプロセスにより、リソースが Business hours ポリシーに一致するため、将来再び開始されないことが保証されます。[営業時間 除外 済み] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示します。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム (CI)	リソースの一意の識別子。
予測される月次節減額	営業時間の推奨事項が適用された場合の予測節減額。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にリストします。
クラウドサービス	名前順にソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
ポリシー	リソースが一致する営業時間ポリシー。
ポリシータイプ	リソースが一致する営業時間ポリシーのタイプ。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連リージョンのグループを表します。
リージョン	プロバイダーに適している場合は、リソースをホストするサービスアカウントのリージョン。
オーナー	リソースの所有者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
失敗タイプ	この列は [失敗] タブにのみ表示されます。 変更要求が生成されなかった、または指定された営業時間がリソースに適用されなかった理由。
詳細	この列は [失敗] タブにのみ表示されます。 エラータイプの詳細と、エラーを解決するために実行する必要があるアクション。

営業時間操作の構成

営業時間機能の使用または無効化を選択し、ユーザーまたはグループへの通知をトリガーする営業時間外の消費量を指定できます。不要なリソースの使用を制御することで、コストを削減できます。

始める前に
少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連付けられたデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。

必要なロール:所有サービスアカウントの場合、insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

手順

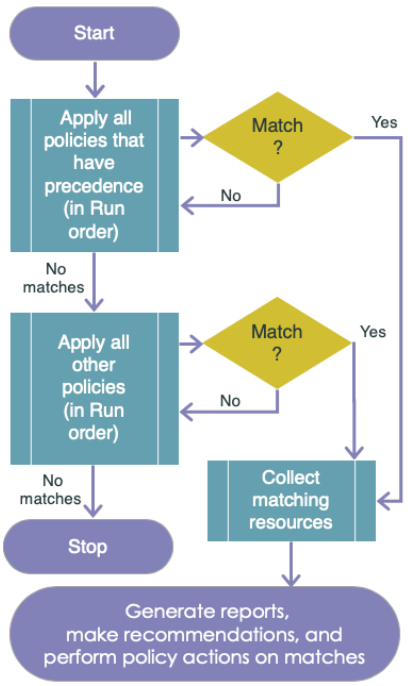
1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 営業時間.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

営業時間設定

フィールド	説明
営業時間の有効化	Business hours 機能を有効にするオプション。データが利用可能になると、すべてのアクティブなポリシーが適用されます。 Business hours 機能を無効にするには、チェックボックスをオフにします。ポリシーの [アクティブ] 設定に関係なく、ポリシーは適用されません。 **注:** Business hours 機能を無効にすると、ポリシーによって適用されたすべてのスケジュールが非アクティブ化され、リソースは元のスケジュールに戻ります。
[Precedence (優先順位)]	ポリシーが適用されるときに優先されるロール。次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [Admin Policies (アドミンポリシー)] ○ [Owner Policies (オーナーポリシー)] 優先順位によって、ポリシーのバッチが適用される順序が決まります。各バッチは、ポリシーを作成したユーザーのロール (insights_admin または insights_owner) に基づいています。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。 デフォルト: 管理ポリシー (insights_admin ロールを持つユーザーによって作成されたポリシーのセット。) 
詳細	ポリシーに一致する CI すべてに適用される単一の変更要求を生成するオプション (デフォルト設定)、または各 CI に対して個別の変更要求を生成するオプション。 変更要求テンプレートの一部の属性には、変更できない静的な値/定数値があります。一部の属性 (たとえば、risk や work_notes) には、スクリプトインクルードを使用して設定できる動的な値があります。
自動承認 (標準的な変更)	
単一の変更要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムが生成できるようにするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINBHStandardChangeRequestUtil 変更グループは Standard Change (標準的な変更) テンプレートから派生しており、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
単一の変更要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムが生成できるようにするオプション。
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINBHNormalChangeRequestUtil
営業時間外の消費量が合計消費量の (%) を超えたときに通知	営業時間中のリソースの全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするもの。 デフォルト：15 この値は、すべての Business hours 推奨事項を適用した場合に節減できる金額を使用して計算されますデフォルト値 15 は、営業時間外のコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
未アサインリソースが合計 CI 数の (%) を超えた場合に通知する	指定したユーザーまたはグループのメール通知をトリガーする、営業時間外の使用に対する全体的なクラウド消費量の割合。 デフォルト値の **15** は、営業時間外の運用コストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	営業時間外の消費量がクラウド消費量全体の指定された割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。 ユーザーまたはグループを指定しない場合、通知は送信されません。
変更あたりの最大 CI	このフィールドは、[手動承認 (通常の変更)] セクションで [単一の変更要求] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。 単一の変更要求に関連付けるリソースの最大数。最大値に達した場合、システムは新しい変更要求を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルト値：1000

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

関連情報

Change Management (変更管理)

営業時間スケジュールを作成する

オン/オフスケジュールを適用するために、営業時間スケジュールを作成してクラウドリソースに適用します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > 営業時間スケジュール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

スケジュール

フィールド	説明
名前	スケジュールの一意の名前です。
タイムゾーン	スケジュールのタイムゾーンです。 デフォルト値:浮動。タイムゾーンは、その時点でアイテムにアクセスしているプロセスに相対的であることを意味します。 スケジュールがタイムゾーンで定義されている場合、異なるタイムゾーンのユーザーには、自分のタイムゾーンが適用されたスケジュールが表示されます。
親	新しいスケジュールを制約する親スケジュール。
アプリケーション	スケジュールのアプリケーションスコープ。 デフォルト値:クラウドインサイトコア
タイプ	スケジュールの目的を説明するテキストラベル。
説明	スケジュールの説明。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間ポリシーの定義または更新

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告して、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行すると、クラウド消費量を大幅に削減できます。

始める前に

必須:少なくとも 1 つのサービスアカウントまたは関連するデータセンターを持つプロジェクトを持つクラウドアカウント (親アカウント)。

請求処理ダウンロードジョブを定義する必要があります。

必要なロール:所有サービスアカウントの場合、insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

重要:
サービスアカウントとリソースの条件セクションの全条件が満たされている場合、リソースはポリシーと一致します。

- 営業時間ポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 アプリケーションスコープのいずれかを選択する必要があります。
- 必要な数のポリシーを作成できます。
- 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
- 営業時間ポリシーを非アクティブ化すると、ポリシー基準を満たしていたリソースが別のポリシー (実行順序が最も低い一致ポリシー) と一致する可能性があるため、別のスケジュールに移動する可能性があります。この場合、システムは新しい変更要求を生成します。リソースがポリシーを満たさなくなった場合、システムは指定された 電源オンフロー 設定を使用してリソースの電源オンを試みます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > 推奨事項 > 営業時間.
2. [ポリシー] を選択します。
   ポリシーが作成または更新され、名前や説明以外の変更が行われると、タブに通知が表示されます。更新されたポリシーを適用し、報告されたデータを再計算するには、[ポリシーの適用] を選択します。
3. [新規/編集] を選択してポリシーを作成します。
   既存のポリシーを編集するには、[営業時間ポリシー] リストからポリシー名を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

営業時間ポリシーの作成フォーム

フィールド	**Value** (値)
編集する営業時間ポリシーを選択	編集する営業時間ポリシー。
[Active (アクティブ)]	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、請求処理データが更新されるたびに営業時間分析が有効になります。
ポリシー名	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
説明	ポリシーの簡潔な説明。
実行順序	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、ポリシーを低い実行順序から高い実行順序で適用し、一致する最初のポリシーに対してアクションを実行します。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。 **重要:** 指定した優先順位で、アドミンによって作成されたポリシーと Insights 所有者によって作成されたポリシーの 2 つのバッチが適用されます。営業時間操作の構成の優先順位設定を参照してください。 [未アサインリソース] ポリシーと [営業時間ポリシー] の実行順序値は互いに干渉しません。
プロバイダー	ポリシー適用対象のクラウドプロバイダー。 **注:** 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
サービスカテゴリ	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
サービスアカウント	サービスアカウント。ポリシーの適用先。 Google Cloud の場合のみ、このフィールドは「プロジェクト」と呼ばれます。
[Tag Values Condition (タグ値条件)]	
タグ名	**[Add** (追加)]を選択して追加できるタグ名のリスト。
タグ値	新しい行のタグ値のリスト。
承認タイプ	ポリシーに一致する各リソースに対して実行するアクション。営業時間業務は、 ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されています。 自動承認 (標準的な変更) : ○ 指定された営業時間を適用し、リソースを営業時間レポートに追加するための推奨事項を生成してください。 ○ 変更グループの変更要求を生成し、自動承認します。 ○ Business hours レポートにリソースを追加します。 ○ Business hours スケジュールをリソースに適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	**Value** (値)
	手動承認 (通常の変更)： ○ 指定された営業時間を適用し、リソースを Business hours レポートに追加するための推奨事項を生成します。 ○ 変更グループのメンバーへの変更要求を生成します。 ○ Business hours レポートにリソースを追加します。 ○ sn_change_write ロールを持つグループのメンバーであれば誰でも変更要求を承認できます。 ○ 承認された場合、Business hours スケジュールをリソースに適用します。 [Report-only (レポートのみ)]： ○ 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。 ○ Business hours レポートにリソースを追加します。
営業時間スケジュール	リソースの電源をオンにする曜日と時刻を指定するスケジュール。 リストからスケジュールを選択するか、次の場所に移動してスケジュールを定義します

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 作成されたポリシーが [営業時間ポリシー **(Business Hours Policies**)] タブに表示されます。
- ディスカバリーと請求処理ダウンロードジョブの実行が完了すると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、そのリソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク

ポリシーを作成または更新した後、**[Apply policies** (ポリシーの適用)] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。このアクションは、ポリシーを適用するのに十分な数の AWS、Azure、または Google の最近の請求処理データが存在しない場合にも通知します。

関連情報

営業時間

Change Management (変更管理)

標準的な変更カタログ

変更要求テンプレートの作成

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウド予算の管理

クラウドコスト管理ワークスペースの予算ビューを使用して、クラウド支出を管理するためのカスタム予算計画を定義および監視します。

予算ポリシーの作成または更新

予算ポリシーを作成して、予算金額、原価費目、リセット期間、および予算のその他の側面を指定します。さらに、予算データを表示できるユーザーと、予算額との差異を通知するユーザーを指定します

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連付けられているデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- Billing Download ジョブを定義する必要があります。

> **注:**
> Microsoft Azureについては、予算計画を定義する前に、まず請求処理ダウンロードジョブを実行する必要があります。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

予算ポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 アプリケーションスコープのいずれかを選択する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 予算.
2. **[Create budget** (予算を作成)] を選択します。
3. 予算ポリシー作成フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「予算ポリシー作成フィールドのリスト」を参照して ください。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

予算ポリシーの作成または変更を行うと、そのポリシーは予算ビューの 全予算ページに表示されます。予算超過、余剰、無効な予算などの予算の詳細を検索してください。**[Show overrun budget only** (超過予算のみを表示)] 切り替えボタンを切り替えることで、超過予算のみを表示することができます。予算を名前、オーナー、またはプロバイダーで検索します

insights_owner へのサービスアカウントのアサイン

1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。insights_owner はジョブとポリシーを定義でき、保有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に

サービスアカウントをアサインする前に、現在のinsights_ownerとその所有するアカウントのリストを表示することができます。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。

必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
insights_ownerロールは、 クラウドコスト管理 アクティビティの責任を、サービスアカウントの操作に関する十分な知識を持つユーザーに分散します。insights_owner ロールの詳細については、「クラウドコスト管理 ロール」を参照してください。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報とアクセス情報を保持するインスタンスの安全なレコードです。 ディスカバリー は、この情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得します。

ヒント:
サービスアカウントをユーザーに割り当てると、ユーザーには自動的にinsights_ownerロールが付与されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > アカウントから所有者へのマッピング.
2. [現在所有者がいないアカウントをアサイン] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
[Insights Owner (インサイトオーナー)]	サービスアカウントの割り当てが必要なユーザー。
[Service accounts (サービスアカウント)]	insight_owner に割り当てるサービスアカウント。
[Change template (変更テンプレート)]	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは Standard Change (標準的な変更) を使用して、タスクが自動承認されるように、insights_owner に変更を通知します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、次に移動します: サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [オーナー] フィールドの入力方法を指定します。

オプション	説明
オーナー無しの CI に限って insights_owners をアサイン	新しく作成された CI と、 *Owner* プロパティの値を持たないサービスアカウント内の CI の場合は、新しい insights_owner を割り当てます。 注: 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連するサービスアカウントのオーナー設定に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
全 CI に insights_owners をアサイン	指定されたサービスアカウント内のすべての CI の *Owner* プロパティに、新しい insights_ownerを割り当てます。 **注:** 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連するサービスアカウントのオーナー設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI には変更を加えません。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_owner ロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_admin ロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しい insight_owner は、影響を受けるサービスアカウントに新規ポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウントオーナーは、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含む、Rightsizing ジョブと Unused Machines ジョブのオーナーシップを取得します。

5. オプション: 配送先や特別な指示などの詳細を要求に追加します。
6. [**Submit** (送信)] を選択します。

insights_owner権限の更新または再アサイン

1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。insights_owner はジョブとポリシーを定義でき、保有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に
サービスアカウントをアサインする前に、現在のinsights_ownerとその所有するアカウントのリストを表示することができます。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。

必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > アカウントから所有者へのマッピング.
2. **[1** つ以上のアカウントのオーナーを変更する] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
元の Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の移管元の所有者。
新しい Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の転送先のユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サービスアカウント	insights_owner にアサインするサービスアカウント。
変更テンプレート	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは Standard Change (標準的な変更) を使用して、タスクが自動承認されるように、insights_owner に変更を通知します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、次に移動します: サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [オーナー] フィールドの入力方法を指定します。

オプション	説明
オーナー無しの CI に限って insights_owners をアサイン	新しく作成された CI と、 *Owner* プロパティの値を持たないサービスアカウント内の CI の場合は、新しい insights_owner を割り当てます。 **注:** 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連するサービスアカウントのオーナー設定に設定します。
全 CI に insights_owners をアサイン	指定されたサービスアカウント内のすべての CI の *Owner* プロパティに、新しい insights_ownerを割り当てます。 **注:** 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連するサービスアカウントのオーナー設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI には変更を加えません。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_owner ロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_admin ロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しい insight_owner は、影響を受けるサービスアカウントに新規ポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウントオーナーは、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含む、Rightsizing ジョブと Unused Machines ジョブのオーナーシップを取得します。

5. オプション: ポリシーを新しいオーナーに転送するかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この設定は、選択したサービスアカウントが現在別のinsights_ownerによって所有されている場合に適用されます。ポリシーを転送すると、新しいinsights_owner指定されたサービスアカウントに関連付けられているポリシーを所有 (表示、更新、または削除) できるようになります。

重要:
insights_admin ロールを持つユーザーが所有するポリシーは、変更されません。

オプション	説明
要	次のプロセスが実行されます。 **a.** インスタンスは、 インサイトオーナーが所有するすべての影響を受けるポリシーをクローンします。 **b.** インスタンスは、影響を受ける各ポリシーから適切な サービスアカウント を削除し、アカウントを新しいクローンポリシーに移動します。各クローンポリシーには、影響を受ける サービスアカウントのみが含まれます。 ▪ サービスアカウント元の保険契約に残っている場合は、元の所有者が元の保険契約の所有権を保持します。 ▪ 影響を受けるすべてのアカウントが削除された後に元のポリシーに サービスアカウント がない場合、クローンは使用されません。代わりに、新しい insights_owner が元のポリシーの所有者になります。 **c.** インスタンスは、新しいポリシーの所有権を新しい insights_ownerに割り当てます。 **d.** インスタンスは、元の所有者と新しい所有者の両方にメール通知を送信します。
いいえ	○ インスタンスは、インサイトオーナーが所有するすべてのポリシーから影響を受けるサービスアカウントを削除します。ポリシーに サービスアカウント が残っていない場合、ポリシーは [無効] ステータスに設定されます。 ○ 新しい insights_owner は、影響を受けるサービスアカウントの新しいポリシーを作成および管理する必要があります。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する

insight_owner ロールを持つユーザーと各オーナーが所有するサービスアカウントのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または sn_clin_core.insights_owner

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報とアクセス情報を保持するインスタンスの安全なレコードです。 ディスカバリー は、この情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得します。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > **Insights** 所有者を表示.
2. 任意のユーザーの名前を選択して、所有しているサービスアカウントの詳細を表示します。

すべての クラウドコスト管理 レポートからのリソースの除外

特定のリソースのコストデータがレポートに表示されないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストに追加して除外します。

始める前に
少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

- レポートからリソースを除外すると、そのリソースはレポートに表示されなくなります。この設定は、リソースのデータ分析には影響しません。
- [除外されたリソース (Excluded Resources)] リストからいつでもリソースを削除できます。
- insights_ownerは、所有しているサービスアカウントでのみ、リソースを除外し、[除外されたリソース (Excluded Resources)] リストからリソースを削除できます。
- 本番リソースは、除外できるリソースの例です。本番リソースは常にアクティブである必要があるため、たとえば、営業時間レポートから本番リソースを除外することができます。
- 単一のレポートタイプまたはすべてのレポートからリソースを除外できます。リソースを選択し、[除外] を選択して現在のレポートからリソースを除外できます。除外したリソースは、レポートの [除外されたリソース **(Excluded Resources**)] リストに追加されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理ワークスペース > 操作 > アドミニストレーション > グローバルな除外.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

除外されたリソース **(Excluded Resources)**

フィールド	**Value** (値)
リソース	除外するリソース。仮想マシンリソースのみがリストに表示されます。
説明	リソースを除外する理由。

4. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
リソースはすべてのレポートから除外されます。レコードを送信した後、そのレコードを開いて、リソースを除外するレポートを更新できます。

[除外されたリソース **(Excluded Resources)]** リストからリソースを削除します

[除外されたリソース (Excluded Resources)] リストからリソースを削除できます。

始める前に
必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
[除外されたリソース (Excluded Resources)] リストからリソースを削除すると、そのリソースは適切なレポートに表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 クラウドコスト管理 > 操作 > アドミニストレーション > グローバルな除外.
2. 削除するリソースを選択します。
3. [選択した行のアクション] リストで、[削除] を選択します。

タグカテゴリの作成と更新

単一のビジネスエンティティに対してコストを表す複数のタグ名を有効にするには、タグカテゴリを作成します。たとえば、複数のユーザーが、アプリケーションを示すために「App」、「AppService」、および「appl」というタグ名を個別に作成している場合があります。タグカテゴリが「アプリケーション」の場合、App、AppService、または appl とタグ付けされたアイテムのコストは、アプリケーションに対するコストとして正しく割り当てられます。

始める前に
必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

この手順では、ユーザーインターフェイスから実行されるプロセスについて説明します。または、プロセスを高速化するために、影響を受けるテーブルを直接編集することもできます。

- タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]
- タグ名 - カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]

注:
請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に加えた最近の更新には、コストレポートが反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、[カテゴリの再適用] を選択します。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > コスト使用タグ > タグカテゴリ.
2. [タグカテゴリ] リストで、[新規] を選択します。
   デフォルトのタグカテゴリのリストについては、「 デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

   > **注:**
   > この手順では、カテゴリに単一のタグ名を追加して、最初のカテゴリレコードを作成します。タグ名は、後からカテゴリにいくつでも追加できます。

3. フォームのフィールドに入力します。

   タグカテゴリフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	カテゴリの一意でわかりやすい 名前 。
[Active (アクティブ)]	支出レポートの タグカテゴリ フィルターリストにカテゴリを追加するオプション。
グループ化を有効にする	このカテゴリの *category:value* オプションを支出レポートの [グループ] 選択肢 のリストに追加するオプション。 **注:** [グループ] リストに表示するには、カテゴリをアクティブにする必要があります。
タグ名	カテゴリに追加できるタグ名のリスト。 **a.** ルックアップアイコン を選択して、最新の 請求処理ダウンロードジョブに付属するタグ名のリストを開きます。すべてのタグ名が [タグ名] リストに表示されます。 **b.** ドロップダウンリストからタグ名を選択します。

4. [保存] を選択してカテゴリを作成します。
   新しいカテゴリが [タグカテゴリ] リストに表示されます。
5. [タグカテゴリ] リストで、追加したカテゴリを選択します。
   [タグカテゴリ] フォームが再度開き、追加したタグ名が [タグ名] リストに表示されます。
6. オプション: [タグ名] リストで、ルックアップアイコン を選択して、複数のタグ名を追加します。

関連情報

タグとタグカテゴリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新

Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、またはGoogle Cloud Platform (GCP)に新しい AI サービスまたは既存の AI サービス内のカテゴリが導入されるたびに、タグ名を対応するタグ値に関連付けます。

始める前に

必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要:
この機能は、 クラウドコスト管理 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > コスト使用タグ.
2. [タグカテゴリ] を選択します。
3. [タグカテゴリ] ページで、 **AI** サービス タグカテゴリを選択します。
4. [AI サービス] ページで、[タグ名値] タブを選択します。
5. [タグ値の追加/更新] を選択します。
6. [**AI** サービスタグ値の追加/更新] ダイアログボックスで、[作成] タブを選択します。
7. サービスプロバイダーのタグ名を選択し、タグ値を指定します。
   - AWSの場合、AWS AI サービスタグ名**sn_ccm_aws_ai_service**に対するタグ値として lineItem/ProductCode を追加します。
   - Azureについては、Azure AI サービスタグ名**sn_ccm_azure_ai_service**に対するタグ値として測定カテゴリ名を追加します。
   - GCPの場合は、GCP AI サービスタグ名**sn_ccm_gcp_ai_service**に対するタグ値として、サービスの説明名を追加します。
8. [**Submit** (送信)] を選択します。
9. オプション: 作成した AI サービスのタグ値を更新する場合は、[タグ値の追加/更新] を選択します。

   注:
   AI サービスを管理するためのデフォルトのクラウドカテゴリのタグ値は更新できません。Machine Learning サービス カテゴリ内で AI サービスを管理するための既定のクラウド カテゴリを表示するには、「 AI サービスのデフォルトのクラウドカテゴリのリスト」を参照してください。

   a. [更新] タブを選択します。

   b. プロバイダータグ名を選択します。
   たとえば、[**sn_ccm_aws_ai_service**] を選択します。

   c. 更新するタグ値を選択します。
   たとえば、[**Amazon Test**] を選択します。

   d. 新しいタグ値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、既存のタグ値を **Amazon Test 2** に変更します。

e. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

タグ名を対応するタグ値に関連付けると、[支出アナリティクス] ページで追加した AI サービスの支出データを表示できます。詳細については、「支出分析」を参照してください。

次のタスク

AI サービスタグカテゴリのタグ値を追加した後、請求処理データを再インポートして、追加されたタグの支出を生成する必要があります。

関連情報

- タグとタグカテゴリ
- タグカテゴリの作成と更新
- AWS請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
- Azure請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します
- Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新

さまざまな割り当てタイプで共有コスト割り当てポリシーを作成し、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門に分割します。

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連付けられているデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- 請求処理ダウンロードジョブを作成し、請求処理データをプルする必要があります。
- Kubernetesの場合、請求処理ダウンロードジョブを実行する前に、各Kubernetesクラスターのプロバイダーコンソールでコスト割り当てタグを有効にする必要があります。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

- 共有コスト割り当てポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 アプリケーションスコープのいずれかを選択する必要があります。
- 必要な数のポリシーを作成できます。
- [サービス Kubernetes] が [サービスカテゴリ] として選択されている場合、ポリシーの編集中に [サービスカテゴリ]、[リソースタイプ]、 Kubernetes [クラスター] フィールドを編集することはできません。
- 共有コスト割り当てポリシーを非アクティブ化すると、割り当ては最新のポリシー一致で更新されます。

手順

1. 次のように移動する。 ワークスペース > **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > アドミニストレーション.
2. **[Shared cost allocation policies** (共有コスト割り当てポリシー)] を選択します。
3. **[New/Edit** (新規/編集)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 「共有コスト割り当てポリシー作成」フォームで、各フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト」を参照してください。
5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

共有コスト割り当てポリシーを作成または変更すると、ポリシーが [共有コスト割り当てポリシー **(Shared Cost Allocation Policies)]** ページに表示されます。名前、割り当てタイプ、事業部門、クラウドサービスなどのポリシーの詳細を確認します。

Discovery (ディスカバリー) および Billing Download のジョブを実行し終わると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、リソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新をした後、**[Reapply policies** (ポリシーの再適用)] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。

メトリックベースデータと支出データの比較

メトリックベース (Clotho) データを Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) の支出データと比較して、クラウドコスト管理の請求の問題を診断してトラブルシューティングします。

始める前に

必要なロール:クラウドインサイト アドミン [sn_clin_core.insights_admin]

メトリックベース [com.snc.clotho] プラグインを要求します。詳細については、「Requesting the MetricBase product」を参照してください。

クラウドプロバイダーの請求処理 ダウンロード ジョブが正常に完了したことを確認します。

このタスクについて

重要:
この機能は、 クラウドコスト管理 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > 操作 > ツール.
2. [メトリックベースを支出データと比較] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

メトリックベースを支出データと比較フォーム

フィールド	説明
プロバイダー	メトリックベース (Clotho) データと支出データを比較するクラウドプロバイダー。 ○ AWS ○ Azure ○ GCP
原価費目	プロバイダーとの契約上の支払い合意。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	○ 実績: 請求期間ごとに、組織は直接クラウドサービスの料金を支払います。 ○ 償却: 組織は、請求期間全体にわたる前払いおよび毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価タイプは、プロバイダーのサイトで詳細に説明されています。
請求月	選択したプロバイダーに基づく請求処理データを利用できる月。 このフィールドには、請求処理データが利用可能な月のみが入力されます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
一意の番号を持つ要求が作成され、CSV ファイルが要求アイテムに添付され、比較データがリストされます。CSV ファイルを生成するプロセスがバックグラウンドで実行され、処理が完了するとファイルが要求アイテムに添付されます。

エラーがある場合、この要求アイテムの [作業メモ] フィールドが更新され クラウドコスト管理 CSV ファイルは生成されません。

次のタスク
[要求アイテム] タブを選択し、[要求アイテム] 番号を選択して CSV ファイルに移動します。[添付ファイル] セクションで、CSV ファイルを見つけることができます。このファイルをダウンロードして、両方のソースからのコスト値の不一致を分析します。要件に応じてデータをフィルタリングすることもできます。

クラウドコスト管理の参照情報

参照トピックは、クラウドコスト管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと クラウドコスト管理

クラウドコスト管理 ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

自動翻訳

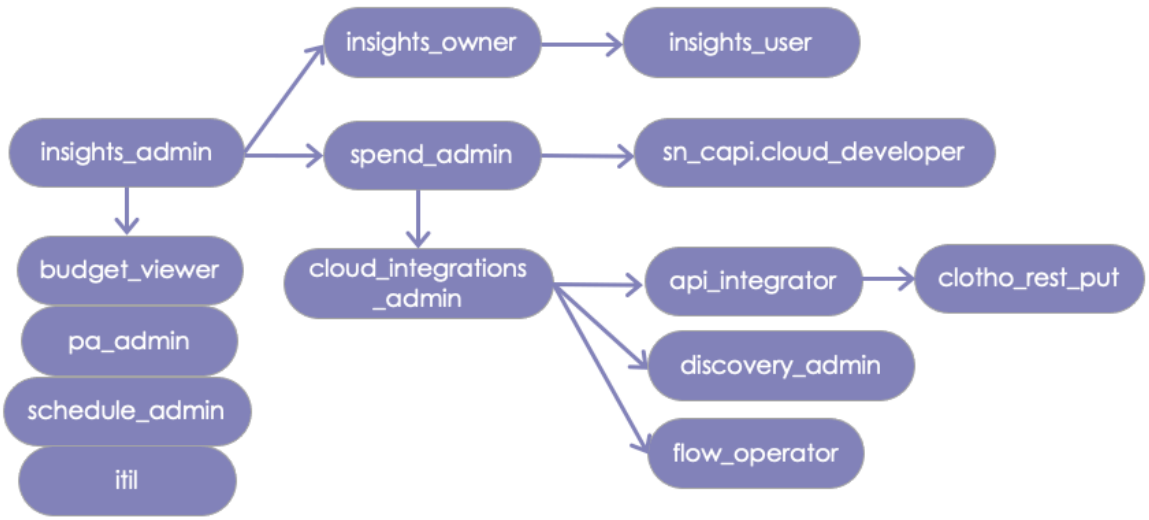
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 ロール

ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。

重要:
この情報は、 クラウドコスト管理 アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての参照はクラウドインサイト請求にも適用されます。

でのロール関係 クラウドコスト管理



プライマリロール

ロールタイトル [名前]	権限	含まれるロール
クラウドインサイトアドミン [sn_clin_core.insights_admin]	このロールは クラウドコスト管理 Core プラグインにあります。通常、このロールは財務責任者にアサインします。 • 1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。 • Business hours と Unused resources のポリシーを定義します。 • 予算計画を定義し、表示させます。 • 支出最適化レポートを閲覧します。 • レポート拡張を追加します。 • クラウドコスト管理推奨するアクションを実行します。	• insights_owner • spend_admin • cloud_integrations_admin • budget_viewer • [pa_admin] • [schedule_admin] • [itil]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含まれるロール
クラウドインサイトオーナー [sn_clin_core.insights_owner]	このロールは クラウドコスト管理 Core プラグインにあります。このロールは、 クラウドコスト管理 アプリケーションのみにまたがります。 • ジョブとポリシーを定義します。 • 所有しているサービスアカウントのデータを表示します。 詳細については、「insights_owner へのサービスアカウントのアサイン」を参照してください。	insights_user
Cloud Insights (クラウドインサイト) ユーザー [sn_clin_core.insights_user]	このロールは クラウドコスト管理 Core プラグインにあります。このロールは、 クラウドコスト管理 アプリケーションのみにまたがります。 クラウドコスト管理ワークスペース ホームページを表示します。	- なし -

セカンダリロール

このセクションのロールは、 insights_admin ロールに含まれています。これらのロールにより、プラットフォーム (パフォーマンスアナリティクス、メトリックベース/Clotho) と統合して クラウドコスト管理 フローを実行できるようになります。

ロールタイトル [名前]	権限	含まれるロール
クラウド支出アドミン [sn_cld_spend_core.spend_admin]	このロールは、Cloud Spend Reports Core プラグインにあります。 クラウド請求ダッシュボードを編集します。	• cloud_integrations_admin • [sn_capi.cloud_developer]
クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]	このロールは、Cloud Integrations Core プラグインにあります。 請求処理ダウンロードジョブと価格シート	• [api_integrator] • [discovery_admin] • [flow_operator]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含まれるロール
	のダウンロードジョブを構成します。	
API インテグレーター [sn_cld_intg_core.api_integrator]	このロールは、Cloud Integrations Core プラグインにあります。 クラウド統合、クラウド統合 AWS アプリケーション、およびクラウド統合 Azure アプリケーションに関連する REST エンドポイントにアクセスするために、MID サーバーによって使用されます。	[clotho_rest_put]
クラウド予算閲覧者 [sn_clin_core.budget_viewer]	このロールは クラウドコスト管理 Core プラグインにあります。このロールは、 クラウドコスト管理 アプリケーションのみにまたがります。 予算予測レポートとポリシーを表示します。	- なし -
PA アドミン [pa_admin]	「パフォーマンスアナリティクスのロール」を参照してください。	- なし -
Clotho Put [clotho_rest_put]	請求処理データをインスタンスに送信し、メトリックベース/Clotho にデータを保存するために MID サーバー によっ	- なし -

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含まれるロール
	て使用される ロール。	

関連情報

グループへのロールのアサイン

ユーザーへのロールのアサイン

クラウドコスト管理とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) が、 クラウドコスト管理のアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
価格シートテーブルクリーナー	AWS価格シートレコードをクリーンアップします。
リソースグループテーブルクリーナー	不要になった Azure リソースグループレコードをクリーンアップします。
CCM クリーンアップ非アクティブ集計支出レコード	非アクティブな集計消費量レコードをクリーンアップします。
クラウドインサイト履歴データ収集	GCP支出データを収集します。
クラウドインサイト日次データ収集の保存	支出の節減見込みと実現された節減額を収集します。
クラウドインサイトの支出削減データコレクション	クラウド支出の見込み節減率を収集します。
タスクの実行	請求処理ダウンロードに関連付けられたタスクを実行しますAWS
フローランチャーと階層フローランチャーのキープアライブ	古いフロージョブをキャンセルします。
GCP 価格シートテーブルクリーナー	価格シートテーブル GCP クリーンアップします
タグカテゴリベースの推奨事項	タグカテゴリベースの推奨事項を生成します。

重要:
次のスケジュール済みジョブは、クラウドコスト管理 バージョン 8.1 に加えて クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用されます。

Cumulus:スタックしたジョブのキャンセル	スケジュール設定済み請求処理ジョブを監視し、スタックしているジョブをキャンセルします。これにより、キュー内の請求処理ジョブを処理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
サポートされていない CI タイプの配置	毎日の推奨事項に使用されない CI タイプを配置します。
CCM:日次ジョブ	請求ジョブの省略された添付ファイルのクリーンアップなどの日常のメンテナンスアクティビティ AWS 実行されます (想定ロール認証を使用)。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
CI 配置拡張の進行状況の計算 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_extension_progress_calculation]	AWSの構成アイテムの配置の進捗状況。AWS拡張によって処理されるレコードの数が含まれています。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_stats]	AWSの構成アイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
AWS CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_type]	によって展開されるすべてのタイプの構成アイテム クラウドコスト管理 for AWS。
AWS のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_aws_cost_usage]	AWSのコストおよび請求処理データ。
コスト使用ブックマーク [sn_cld_intg_aws_cost_usage_bookmarks]	取り込まれた クラウドコスト管理 配置レコード用に作成されたタイムスタンプブックマーク。
CloudWatch メトリクスの関連付け [sn_cld_intg_aws_cw_metric_association]	ユーザーが作成したカスタムメトリクス。
AWS CloudWatch メトリクス定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition]	さまざまな AWS CloudWatch メトリクスの定義。
アカウントに対する CloudWatch メトリクス定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition_account_m2m]	メトリクスとサービスアカウントのマッピング情報。
EC2 バースト可能インスタンスの AWS ベースラインパフォーマンス [sn_cld_intg_aws_ec2_burstable_baseline_perf]	AWS EC2 バースト可能インスタンスのベースラインパフォーマンス率。
AWS Gov アカウントマッピング [sn_cld_intg_aws_gov_account_mapping]	AWS Gov アカウントとリンクされたアカウントの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
AWS インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_detail]	存在するさまざまな AWS インスタンスの詳細。
AWS インスタンス価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_price_detail]	AWS インスタンスの価格とレートの詳細。
AWS オファー期間 [sn_cld_intg_aws_offer_term]	AWS 製品の構成に基づくオファー期間の詳細。
AWS 価格割引 [sn_cld_intg_aws_price_discount]	AWS サービスアカウントの価格割引。
AWS 価格シート情報 [sn_cld_intg_aws_price_sheet_info]	AWS の価格シートの詳細。
AWS 製品詳細ベース [sn_cld_intg_aws_product_details]	AWS のすべての製品詳細または仕様。
AWS 製品詳細 EC2 [sn_cld_intg_aws_product_details_ec2]	AWS の EC2 製品の詳細または仕様。
AWS 製品詳細 RDS [sn_cld_intg_aws_product_details_rds]	AWS の RDS 製品の詳細または仕様。
AWS リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_aws_resource_hourly_usage_last_downloaded]	AWS リソースの時間ごとの使用状況のダウンロードステータス。
AWS リソースレート [sn_cld_intg_aws_resource_rate]	AWS 製品 SKU のリソースレート。
AWS 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_aws_schedule]	AWS の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
AWS ストレージの価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_storage_price_detail]	AWS のストレージ価格シート情報。
Azure CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_azure_ci_placement_type]	クラウドコスト管理 for Azure によって展開されるすべてのタイプの構成アイテムを定義します。
Azure のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_azure_cost_usage]	Azure のコストおよび請求処理データ。
Azure Database 価格シート [sn_cld_intg_azure_db_price_sheet]	Azure データベースの価格シートの詳細。
Azure Database の小売価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_db_retail_price]	Azure データベースの小売価格情報。
サービスアカウントマッピングへの Azure 登録 [sn_cld_intg_azure_ea_sa_mapping]	登録アカウントの情報を、 クラウドコスト管理で使用するサービスアカウントにマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Azure インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_detail]	存在するさまざまな Azure インスタンスの詳細。
Azure インスタンスの価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_price_detail]	Azure インスタンスの価格とレートの詳細。
Azure インスタンスシリーズからファミリーへのマッピング [sn_cld_intg_azure_instance_series_family_mapping]	Azure のインスタンスファミリーからインスタンスシリーズへのマッピング情報。
Azure インスタンスサイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_size_detail]	さまざまな Azure インスタンスのサイズとその機能の詳細。
Azure 正規化リージョン [sn_cld_intg_azure_normalized_region]	リソースの場所から汎用の正規化された場所へのマッピング情報。
Azure 価格シートバージョン [sn_cld_intg_azure_price_sheet_version]	Azure の価格シートのステータスとバージョン。
Azure 製品詳細 [sn_cld_intg_azure_product_details]	Azure のすべての製品の詳細または仕様。
Azure 製品詳細 VM [sn_cld_intg_azure_product_details_vm]	Azure の仮想マシン製品の詳細または仕様。
Azure 製品オファリング VM [sn_cld_intg_azure_product_offering_vm]	Azure 仮想マシンサービスのオファー期間の詳細。
Azure 製品詳細インスタンスタイプマップ [sn_cld_intg_azure_prod_dtls_inst_type_map]	Azure のさまざまなインスタンスタイプの製品詳細。
Azure Advisor サブスクリプションキュー [sn_cld_intg_azure_recommendation_subscription_queue]	Azure のプロバイダーベースの推奨事項について、生成、生成ステータスの取得、および推奨事項の一覧表示フローランチャージョブのステータスを保存します。
Azure リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_azure_resource_hourly_usage_last_downloaded]	Azure リソースの時間ごとの使用状況のダウンロードステータス。
Azure リソースレート [sn_cld_intg_azure_resource_rate]	Azure 測定 ID のリソースレート。
Azure 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_azure_schedule]	Azure の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
Azure ソフトウェアコストの詳細 [n_cld_intg_azure_software_cost_detail]	Azure ソフトウェアの 1 時間当たりのコストの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Azure Storage の価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_price_detail]	Azure のストレージ価格シート情報。
Azure ストレージサイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_size_detail]	さまざまな Azure ストレージのサイズとその機能。
クラウドアクション実行 [sn_cld_intg_core_action_exec]	さまざまなクラウドアクションの実行の詳細。
クラウドエイリアス [sn_cld_intg_core_alias]	定義されたエイリアスのリスト。
クラウドエイリアスマッピング [sn_cld_intg_core_alias_mapping]	スクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。
クラウド API 要求 [sn_cld_intg_core_api_request]	プロバイダーに送信された API 要求とパラメーター。
クラウド API 要求エラー [sn_cld_intg_core_api_request_error]	失敗した要求アイテムのエラー応答。
クラウド API 要求アイテム [sn_cld_intg_core_api_request_item]	プロバイダーに送信された API 要求アイテムの詳細。
クラウド API 応答 [sn_cld_intg_core_api_response]	プロバイダーに対して行われる API 呼び出しに対する API 応答。
クラウド可用性ゾーン [sn_cld_intg_core_availability_zone]	さまざまなプロバイダーの可用性ゾーン。
請求レポート情報 [sn_cld_intg_core_billing_report_info]	請求処理ダウンロードジョブの請求サマリーレポート。
請求インポートの進捗状況 [sn_cld_intg_core_bill_imp_progress]	請求処理ダウンロードジョブの下にあるさまざまな拡張機能の情報をインポートします。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_core_ci_placement_stats]	構成アイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
CI 配置ステータス [sn_cld_intg_core_ci_placement_status]	構成アイテム 実行された拡張の配置ステータス。
CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]	当社製品によってすべてのプロバイダーに展開される、すべてのタイプの構成アイテム。
コストタグ [sn_cld_intg_core_cost_tags]	タグカテゴリの情報をコストハッシュにマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
実行 [sn_cld_intg_core_execution]	実行中のすべてのタイプの IH フローの実行の詳細。
実行バッチ [sn_cld_intg_core_execution_batch]	フローを実行するための実行バッチ。
バッチマップへの実行 [sn_cld_intg_core_execution_batch_map]	実行ジョブの情報をそれぞれのバッチにマッピングします。
実行ログ [sn_cld_intg_core_execution_log]	すべての実行のログメッセージ。
実行メトリクス [sn_cld_intg_core_execution_metric]	実行のメトリクス。
実行モニター [sn_cld_intg_core_execution_monitor]	進行中の実行のライブステータス。
拡張 [sn_cld_intg_core_ext]	利用可能なすべての拡張機能とその詳細。
拡張タイプ [sn_cld_intg_core_ext_type]	定義された拡張のタイプ。
フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_execution]	フローランチャーのジョブ実行の詳細。
フローランチャージョブ [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job]	フローランチャージョブとそのステータスのリスト。
フローランチャージョブ構成 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config]	フローランチャージョブの構成。
フローランチャーの作業負荷 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_workload]	フローランチャー実行の作業負荷情報。
フローマップ [sn_cld_intg_core_flow_map]	入力パラメーターのフロー作業負荷へのマッピング情報。
フローリフレクション [sn_cld_intg_core_flow_reflection]	指定されたコンテキストのフローデザイナーの [フロー反映] リンク。
階層フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_hierarchical_flow_launcher_execution]	階層フローランチャーのジョブ実行の詳細。
インポートされた日付範囲 [sn_cld_intg_core_imported_date_range]	請求処理ダウンロード実行中にインポートされたデータの日付範囲。
インスタンスファミリー [sn_cld_intg_core_instance_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリー。
クラウドインスタンスタイプ [sn_cld_intg_core_instance_type]	さまざまなプロバイダーのインスタンスタイプと詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドインスタンスタイプファミリー [sn_cld_intg_core_instance_type_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリータイプ。
請求品目タイプ [sn_cld_intg_core_line_item_type]	さまざまなプロバイダーの請求料金のタイプ。
関連するフロー実行 [sn_cld_intg_core_m2m_ext_exec_flow_exec]	拡張実行のフロー実行へのマッピング情報。
多対多プロファイル実行メトリクス プロファイルテーブルのメトリクス [sn_cld_intg_core_m2m_profile_exec_metrics_profile_table_metrics]	プロファイル実行のプロファイルテーブルメトリクスへのマッピング情報。
パイプラインステージ拡張タイプマップ [sn_cld_intg_core_map_pp_stage_ext_type]	拡張タイプの情報をそれぞれのステージにマッピングします。
クラウドオペレーティングシステム [sn_cld_intg_core_os_type]	さまざまなプロバイダーのオペレーティングシステムの詳細。
パイプライン実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec]	請求処理ダウンロードのすべてのパイプライン実行が含まれます。
実行ステージ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage]	請求処理ダウンロードステージごとにすべてのパイプライン実行が含まれます。
拡張実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_ext_log]	パイプライン実行ログ。
実行ステージログ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_log]	各ステージのパイプライン実行ログ。
ステージのインポート [sn_cld_intg_core_pp_import_stage]	請求処理ダウンロードのインポートステータスの実行の詳細。
クラウド価格シートバージョン [sn_cld_intg_core_price_sheet_version]	プロバイダーの価格シートのステータスとバージョン。
sn_cld_intg_azure_storage_ps	Azure ストレージの価格シートの詳細を保存します。
クラウド製品リージョン [sn_cld_intg_core_product_region]	さまざまなプロバイダーの製品リージョンのリスト。
プロファイル実行メトリクス [sn_cld_intg_core_profile_execution_metrics]	パフォーマンスプロファイリングの実行メトリクス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
プロファイルフローランチャーのジョブメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_flow_launcher_job_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのフローランチャーの実行メトリクス。
プロファイルフローメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_flow_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのフローメトリクス。
プロファイルテーブルのメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_table_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのテーブルメトリクス。
クラウドプロバイダーサービス [sn_cld_intg_core_provider_service]	さまざまなクラウドプロバイダーとそのエンドポイントによって提供されるサービスのリスト。
クラウドプロバイダーサービスアクション [sn_cld_intg_core_provider_service_action]	提供されるクラウドサービスのスクリプトインクルードアクション。
価格シートの実行 [sn_cld_intg_core_ps_download_request]	価格シートのジョブステータスとサマリー。
実行アイテム [n_cld_intg_core_ps_download_request_items]	すべての価格シートの実行でフェッチされたアイテムのリスト。
価格シートのダウンロード実行 [sn_cld_intg_core_ps_execution]	すべてのスケジュール済みジョブの価格シートの実行とダウンロード情報。
価格シートのダウンロードジョブ [sn_cld_intg_core_ps_schedule]	作成された価格シートダウンロードジョブのリスト。
クラウド購入オプション [n_cld_intg_core_purchase_option]	プロバイダーが利用できるさまざまな購入オプション。
クラウドリージョン [sn_cld_intg_core_region]	さまざまなプロバイダーで利用可能なクラウドリージョンのリスト
リソースグループ [sn_cld_intg_core_resource_group]	リソースグループのリスト。
RS メトリクス構成 [sn_cld_intg_core_rs_metrics_configuration]	サイズの適正化のためのメトリクス構成。
クラウド請求処理スケジュール [sn_cld_intg_core_schedule]	作成された請求処理ダウンロードジョブのリスト。
請求処理ダウンロード実行 [sn_cld_intg_core_scheduled_exec]	すべてのスケジュール済みジョブの請求処理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	ダウンロードの実行とダウンロード情報。
クラウド統合アクションスケジュールジョブ [sn_cld_intg_core_schedule_job]	クラウドアクションを呼び出すためのスケジュール済みジョブ。
クラウド統合アクションスケジュールトリガー [sn_cld_intg_core_schedule_trigger]	コンテナアクションのスケジュール済みジョブを呼び出すためのトリガー
ストレージの詳細ベース [sn_cld_intg_core_storage_detail]	プロバイダーが利用できるストレージの詳細。
ストレージオプション [sn_cld_intg_core_storage_option]	プロバイダーが利用できるストレージオプション
タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]	さまざまなタグを持つタグカテゴリのリスト。
タグ名 [sn_cld_intg_core_tag_name]	請求処理データからのタグ名またはユーザーが生成した名前。
タグ名 - カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]	タグ名のカテゴリへのマッピング。
タグ名 - 値 [sn_cld_intg_core_tag_name_value]	タグ名と値のマッピング。
タグリソース [sn_cld_intg_core_tag_resource]	リソースに関連付けられたタグ値ペア。
タグ値 [sn_cld_intg_core_tag_value]	請求処理データからのタグ値またはユーザーが生成した値。
テスト接続の実行 [sn_cld_intg_core_test_connection_execution]	テスト接続の実行の詳細
変数 [sn_cld_intg_core_variable]	統合コアのローカル変数。
GCP CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type]	クラウドコスト管理 for Google Cloud Platform (GCP) によって展開されたすべてのタイプの構成アイテム。
GCP のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_gcp_cost_usage]	GCP のコストおよび請求処理データ。
GCP 製品詳細 [sn_cld_intg_gcp_product_details]	GCP のすべての製品詳細または仕様。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Google 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_gcp_schedule]	請求処理ダウンロードジョブとその GCP のステータス。
GCP サービス [sn_cld_intg_gcp_services]	GCP が提供するサービスのリスト。
AWS 支出レポートの確定情報 [sn_cld_spend_aws_report_finalization_info]	AWS の支出レポートの確定ステータス。
支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]	リソースに集計された日次支出レポート。
支出レポート日次コスト [sn_cld_spend_core_daily_cost]	日次でのリソース使用状況に関する支出レポート。
支出レポート予測コスト [n_cld_spend_core_forecast_cost]	支出予測情報。
支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]	リソース使用状況に関する月次支出レポート。 **重要:** バージョン 8.1 以降 クラウドコスト管理 、 クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションをインストールしている場合、このテーブルは入力されません。
支出レポート実行情報 [sn_cld_spend_core_report_info]	支出レポートの実行の詳細。
AWS サイズの適正化分析レポート [sn_clin_aws_rs_analytics_report]	AWS のサイズ適正化レポート。
AWS サイズの適正化がスキップされたインスタンスファミリー [sn_clin_aws_rs_skipped_instance_family]	サイズの適正化の推奨事項で考慮されない AWS インスタンスファミリー。
Azure サイズの適正化分析レポート [sn_clin_azure_rs_analytics_report]	Azure のサイズ適正化レポート。
クラウドインサイトの集計されたコスト削減スナップショット [sn_clin_core_aggregated_cost_saving_snapshot]	さまざまなサービスアカウントの集計コストのスナップショット。
クラウドインサイトの集計された見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_potential_saving_snapshot]	さまざまな推奨事項から集計された見込み節減額のスナップショット。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドインサイトの集約された実現節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_realized_saving_snapshot]	実際に実現された集計節減額のスナップショット。
営業時間コスト [sn_clin_core_bh_cost]	リソースの営業時間コストと営業時間外コストの比較。
営業時間ポリシー [sn_clin_core_bh_policy]	営業時間用に構成されたポリシーのリスト。
営業時間ポリシーの実行 [sn_clin_core_bh_policy_execution]	営業時間ポリシー実行情報。
営業時間ポリシー一致 [sn_clin_core_bh_policy_match]	営業時間コストテーブルのさまざまなリソースに対するポリシー一致。
営業時間ポリシーサマリー [sn_clin_core_bh_policy_summary]	営業時間ポリシーの情報サマリー。
クラウドインサイトの営業時間に関する推奨事項 [n_clin_core_bh_recommendation]	営業時間に関する推奨事項。
営業時間設定 [sn_clin_core_bh_settings]	[営業時間] モジュールの設定レコード。
予算 [sn_clin_core_budget_policy]	予算ポリシーと詳細のリスト。
予算レポート予測コスト [sn_clin_core_budget_report_forecast_cost]	予算の消費量計算。
予算ポリシーサマリー [sn_clin_core_budget_summary]	統計情報を含む予算ポリシーのサマリー。
クラウドインサイトの実現された節減額のスナップショット [sn_clin_core_daily_realized_saving_snapshot]	実際の実現された日次節減額のスナップショット。
除外リソースレポートマッピング [sn_clin_core_exclusion_mapping]	それが属するタイプレポートまたは推奨事項への除外されたリソースマッピング。
除外されたリソース [sn_clin_core_excl_res]	さまざまなサービスアカウントとプロバイダーの クラウドコスト管理 モジュールから除外されたリソースのリスト。
インサイトエイリアス [sn_clin_core_insights_alias]	クラウドコスト管理スコープに定義されたエイリアスのリスト。
インサイトエイリアスマッピング [sn_clin_core_insights_alias_mapping]	クラウドコスト管理スコープのスクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
インサイト実行 [sn_clin_core_insights_execution]	すべての クラウドコスト管理 実行の実行の詳細。
インサイトタイプ [sn_clin_core_insights_type]	クラウドコスト管理で利用可能なインサイトタイプのリスト。
M2M インサイト実行プロファイルのフローメトリクス [sn_clin_core_m2m_insights_exec_profile_flow_metrics]	フローメトリクスをプロファイリングするためのインサイト実行。
クラウドインサイトポリシーアクション [sn_clin_core_policy_action]	ポリシーに対して実行するアクションとフロー。
ポリシー変更要求テンプレート [sn_clin_core_policy_change_request_template]	営業時間の変更要求テンプレートと未アサインの推奨事項。
クラウドインサイトポリシー一致 [sn_clin_core_policy_match]	さまざまなリソースとモジュールのポリシー一致。
ポリシーサマリー [sn_clin_core_policy_summary]	利用可能なすべてのポリシーの概要
ポリシー [sn_clin_core_pol_policy]	さまざまなモジュールに適用されるポリシー。
クラウドインサイトの見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_potential_saving_snapshot]	実際の実現された節減額のスナップショット。
クラウドインサイトの推奨事項 [sn_clin_core_recommendation]	クラウドコスト管理モジュールの推奨事項。
推奨アクションのジョブ実行 [sn_clin_core_recommendation_action_job_execution]	推奨事項のジョブ実行ステータス。
リザーブドインスタンスの設定 [sn_clin_core_reserved_instance_settings]	リザーブドインスタンスモジュールの設定レコード。
リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]	リザーブドインスタンスモジュールの推奨事項。
サイズの適正化分析レポート [sn_clin_core_rs_analytics_report_base]	サイズの適正化に関する推奨事項のための潜在的なリソース。
クラウドインサイトジョブ [sn_clin_core_rs_job]	マシンモジュールのサイズを適正化するためのジョブまたは未使用のマシンモジュールのリスト。
クラウドインサイトのサイズの適正化に関する自動推奨事項 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]	サイズの適正化に関する推奨事項。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項 [sn_clin_core_rs_recommendation_base]	サイズの適正化または未使用の推奨事項の親テーブル。
サイズの適正化設定 [sn_clin_core_rs_settings]	サイズの適正化モジュールの設定レコード。
クラウドインサイトの未使用の推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]	未使用リソースの推奨事項。
サービスアカウントオーナー更新ポリシー [sn_clin_core_sa_owner_policy]	サービスアカウント所有者を更新するためのポリシー。
インサイト設定[sn_clin_core_settings]	さまざまな クラウドコスト管理 モジュールの設定。
タグキー [sn_clin_core_tag_key]	請求処理データから派生したタグキーとユーザーが生成したキー。
未アサインリソース数 [sn_clin_core_unassigned_count]	さまざまなサービスアカウントの未アサインリソースの数。
クラウドインサイト未アサインポリシー [sn_clin_core_unassigned_policy]	未アサインリソースで利用可能なポリシー。
ポリシー CI ビュー [sn_clin_core_unassigned_policy_ci_view_list]	未アサインリソース数を生成するために使用されます。クエリ対象のテーブル、エンコードされたクエリ、および指定されたテーブル内のクエリ対象の列に関する情報が含まれます。このテーブルのレコードは手動でハードコードされています。
未アサインポリシーサマリー [sn_clin_core_unassigned_policy_summary]	未アサインリソースで利用可能なポリシーサマリー。
未アサインの推奨事項 [sn_clin_core_unassigned_recommendation]	一致したポリシーに基づいて生成された、アサイン先グループを含む未アサインの推奨事項。
未アサインレポート [sn_clin_core_unassigned_report]	さまざまな未アサインリソースのレポートまたはポリシー一致。
未アサインリソース [sn_clin_core_unassigned_resource]	ポリシーを適用できる未アサインリソースのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
未アサインリソース設定 [sn_clin_core_unassigned_settings]	[未アサインリソース] モジュールの設定レコード。
未使用マシン設定 [sn_clin_core_unused_settings]	不使用マシンモジュールの設定レコード。
支出レポート月次集計コスト [sn_cld_spend_core_monthly_aggregated_cost]	時間範囲または原価費目におけるすべてのリソースの消費量を格納します。

重要:
次のテーブルは、クラウドコスト管理 バージョン 8.1 に加えて クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用されます。

リソース平均コスト [sn_cld_intg_core_resource_avg_cost_list]	リソースの日次平均コスト。この平均日次コストは、未使用の推奨事項の節減額を計算するために使用されます。
Google ポリシーの使用状況の最終ダウンロード日 [sn_cld_intg_gcp_resource_usage_last_downloaded]	リソースの使用量の最終ダウンロードタイムスタンプ。これは、営業時間のデルタ使用量のみをダウンロードするのに役立ちます。
AWS 請求処理ジョブファイル [sn_cld_intg_aws_billing_files]	AWS想定ロールセットアップの対応する請求処理ジョブ用にダウンロードされた請求処理 CSV ファイルの添付ファイルの参照とステータス。
Azure 請求処理ジョブチャンク BLOB の詳細 [sn_cld_intg_azure_job_chunk_blob_detail]	請求処理ジョブに対応する特定の日付範囲の Azure 請求処理 CSV データの URL を追跡およびダウンロードします。Glide で BLOB が生成され、ダウンロード URL がバックエンドに渡されます。
リソースの最新の使用状況 sn_cld_intg_core_resource_latest_usage	特定のプロバイダーでサポートされているリソース (VM、DB、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	ストレージ、スナップショットなど) の最新の使用日と対応するピボットキー。前日に使用されたリソースは、ライセンスの計算に使用されます。
支出レポート月次プロバイダー集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_provider_agg_cost	クラウドコスト管理ワークスペース ユーザーがinsights_adminロールでログインすると、これらのテーブルからデータがロードされます。これらのテーブルには、プロバイダーやリージョンなどのさまざまなカテゴリに基づいて毎月集計された支出データが含まれています。
支出レポート月次マスターアカウント集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_master_account_agg_cost	
支出レポート月次サービスアカウント集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_service_account_agg_cost	
支出レポート月次購入オプション集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_purchase_option_agg_cost	
支出レポート月次リージョン集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_region_agg_cost	
支出レポート月次クラウドカテゴリ集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_cloud_category_agg_cost	
支出レポート月次サービスカテゴリ集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_service_category_agg_cost	
支出レポート月次リソースグループ集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_resource_group_agg_cost	
支出レポート月次タグ集計コスト sn_cld_spend_core_monthly_tag_agg_cost	

クラウドコスト管理のシステムプロパティ

[システムプロパティ] フォームで一部のプロパティ値を設定しますが、その他のあまり使用されないプロパティはシステムプロパティ [sys_properties] テーブルでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_core.ci_placement_threads_number	請求処理プロセスで CI を作成するために CI 配置フローによって使用されるスレッドの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 4 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.max_unprocessed_records_for_ci_placement	CI 配置の AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 300000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.min_unprocessed_records_for_ci_placement	CI 配置の AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最小数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：100000 • 場所：システムプロパティ

支出分析のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit	1 回のメトリクスベース変換で使用する請求レコードの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_flow_launcher_chunk_size	支出フローランチャーに送信する、空でない CI チャンクの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：40 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size	支出フローランチャーの各チャンクの作業負荷 (CI 範囲とメタデータ) の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

支出分析のシステムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 500 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_aws.num_months_forecast	支出ジョブのすべての実行中に AWS 予測支出が取得される、当月より後の将来の月の数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所：システムプロパティ

営業時間のシステムプロパティ

注:
請求データまたは価格シート データの *1* 回のダウンロードに対するデータの収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_clin_core.bh_report.batch_size	営業時間レポートバッチに含めるリソースの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 5000 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size	サイズ適正化の推奨事項の作業負荷チャンクを作成するために使用されるレコードの数。glide.db.max_view_records より大きい値を設定すると、代わりに glide.db.max_view_records 値が使用されます。数値が小さいほどチャンクが多くなり、数値が大きいほどチャンクが少なくなります。 推奨事項生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値：10000 • 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間のシステムプロパティ

> **注:**
> 請求データまたは価格シート データの *1* 回のダウンロードに対するデータの収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
sn_clin_core.bh_recom_num_chunks_per_workload	作業負荷あたりのチャンクの数。この値に sn_clin_core の値を掛けたものが、サイズの適正化に関する推奨事項を生成するときの作業負荷あたりの合計レコード数です。 推奨事項生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値: 10 • 場所：システムプロパティ

Microsoft Azure のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
mid.azure_action.batch_size	停止、開始、変更 (サイズ変更)、終了、説明などのアクション呼び出しのバッチサイズを 20 未満に設定するには 、batch_size を使用します。 クラウドコスト管理 は、Azure Batch API を使用して、アクションの一括要求を行います。既定では、Azure Batch は同期呼び出しで最大 20 個をサポートします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
推奨事項の *1* つのセットのデータの収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_azure.az_rs_recommendation_queue_processing_time	Microsoft Azure 推奨オーケストレーターが 生成ステータスを確認し、 生成ステータスを取得したり、 推奨事項を一覧表示したり、推奨呼び出しを処理したりして、 次の ステージに移動して処理するためのポーリング時間。 注: サブスクリプションの数が少ない場合は、ポーリング時間が短い方が適しています。 • タイプ：整数 • デフォルト値:5000 (ミリ秒) • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.chunk_size_generate_recommendation_subscriptions	各ワークロードで処理するサブスクリプションの数。各作業負荷は、利用可能な MID サーバーワーカースレッドに基づいて、最大 5 個のスレッドを作成して 10 個のサブスクリプションを並列で処理します。 設定を小さい数値に変更すると、作成されるワークロードの数が増えます。推奨事項の生成は 、推奨事項の生成操作 ID をすばやく返す非同期 API 呼び出しです。 注: サブスクリプションが 50 未満の場合は、値を減らして並列処理を有効にすることができます。たとえば、サブスクリプションが 40 の場合、チャンク サイズを 10 に変更すると、4 つのワークロードでサブスクリプションを処理できます。既定では、最大 3 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズの適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:**
> 推奨事項の *1* つのセットのデータの収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_get_status_min_chunk_size	Get generate status API 呼び出しの作業負荷で処理するサブスクリプションの最小数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズに達すると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 **注:** 既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_list_recommendation_size	リスト推奨 API 呼び出しの作業負荷で処理するサブスクリプションの最小数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズに達すると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 **注:** サブスクリプションは順番に処理されるため、チャンクサイズを大きくすると全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズの適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:**
> 推奨事項の *1* つのセットのデータの収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：1 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_azure.advisor_process_recommendation_min_chunk_size	API 呼び出しの作業負荷で処理し、サイズの適正化または不使用マシンの推奨事項テーブルに保持する必要がある推奨事項応答の数。 この呼び出しは、指定された最小チャンクサイズが満たされたときに作業負荷を作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別の作業負荷を作成しません。 **注:** サブスクリプションは順番に処理されるため、チャンクサイズを大きくすると全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

AWS 価格シートのシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_aws.pricesheet_timeout_aws	価格シートのダウンロードフロー AWS タイムアウト期間を制御します。 • 値の形式:DD HH:MM:SS • デフォルト値:2 日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
これらのシステムプロパティは、クラウドコスト管理 バージョン *8.1* に加えて クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用されます。

システムプロパティ	説明
ready.job.files.timeout	Glide で AWS 想定ロールセットアップの請求処理ファイルまたは Azure BLOB を生成する最大時間 (分)。 ダウンロードが進行中でタイムアウト条件が満たされた場合にのみ、 AWS の AWS 請求処理ジョブファイル [sn_cld_intg_aws_billing_files] テーブルと Azure の Azure 請求処理ジョブチャンク BLOB の詳細 [sn_cld_intg_azure_job_chunk_blob_detail] テーブルを監視できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：180 • 場所：システムプロパティ
ready.job.nofiles.timeout	同じプロバイダーに対して処理中の他のジョブがない場合に、バックエンドがジョブを取得するのを待機する最大時間 (分)。 **重要:** このシステムプロパティを設定するには、サポートチームにお問い合わせください。自分で構成しないでください。 • タイプ：文字列 • デフォルト値: 10 • 場所：システムプロパティ
reserved.job.timeout	ジョブが予約済みから対応中ステータスに変わるまで待機する最大時間 (分)。 **重要:** このシステムプロパティを設定するには、サポートチームにお問い合わせください。自分で構成しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理インフラスタックのシステムプロパティ

重要:
これらのシステムプロパティは、クラウドコスト管理 バージョン *8.1* に加えて クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用されます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：文字列 • デフォルト値：5 • 場所：システムプロパティ
inprogress.job.timeout	ジョブが進行中からシンク完了ステータスに変わるまで待機する最大時間 (分)。 **重要:** このシステムプロパティを設定するには、サポートチームにお問い合わせください。自分で構成しないでください。 • タイプ：文字列 • デフォルト値: 10 • 場所：システムプロパティ
sinkcomplete.job.timeout	ジョブが [シンク開始] ステータスから [シンク完了] ステータスに変わるまで待機する最大時間 (分)。 **重要:** このシステムプロパティを設定するには、サポートチームにお問い合わせください。自分で構成しないでください。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ
billing.data.post.processing.timeout	後処理から完了フェーズまでの請求の最大待機時間 (分)。 請求処理ジョブの最終ステージには、Glide への支出データの挿入が含まれます。後処理フェーズでは、新しく挿入されたデータがアクティブ化され、既存のデータは非アクティブ化されます。タイムアウト値を大きくすると、アクティベーションフローが完了するまでの時間が長くなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> これらのシステムプロパティは、クラウドコスト管理 バージョン *8.1* に加えて クラウドコスト管理インフラスタック アプリケーションがインストールされている場合にのみ使用されます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：文字列 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ
retry.cred.failed.billing.job.timeout	認証情報の失敗により要求済みステータスになっているジョブをキャンセルするまでの最大待機時間 (分)。 認証情報を追加すると、次回の請求処理実行時にのみバックエンドに送信されるため、一時的なエラーが発生します。ただし、接続を確立するために再試行が行われます。このプロパティでは、再試行されたジョブをキャンセルするまでの待機時間を指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.billing_chunk_duration	請求処理 BLOB のチャンクサイズを日数で定義 Azure 。 既定では、各 BLOB には 3 日間の課金データが含まれます。 • タイプ：数値 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ

Amazon AWS クラウド サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ

クラウドコスト管理では、プロバイダーサービスはサービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービス カテゴリ内の特定のサービスをフィルター処理できます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベース カテゴリのサービスです)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Amazon AWS クラウド サービスの クラウドコスト管理 のサービスカテゴリ

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Alexa for business (ビジネス向け Alexa)	ビジネスの生産性
Amazon API ゲートウェイ	アプリケーションサービス
Amazon アテナ	アナリティクス
Amazon Aurora	データベース
Amazon Chime	ビジネスの生産性
Amazon クラウドディレクトリ	Security
Amazon CloudFront	ネットワーク
Amazon CloudSearch	アナリティクス
Amazon CloudWatch	管理ツール
Amazon Cognito	Security
Amazon 理解	機械学習
Amazon Connect	アプリケーションサービス
Amazon DocumentDB	データベース
Amazon DynamoDB	データベース
Amazon EC2 Auto Scaling	CPU
Amazon EC2 コンテナサービス	CPU
Amazon ElastiCache	データベース
Amazon 可変ブロックストア	ストレージ
Amazon Elastic Compute クラウド	CPU
Amazon Elastic Container Registry	CPU
Amazon Elastic ファイルシステム	ストレージ
Amazon Elasticsearch サービス	アナリティクス
Amazon 可変トランスコーダー	アプリケーションサービス
Amazon EMR	アナリティクス
Amazon FreeRTOS	IOT
Amazon GameLift	アプリケーションサービス
Amazon 氷河	ストレージ
Amazon ガードデューティ	Security
Amazon インスペクター	Security
Amazon Kinesis	アナリティクス
Amazon Kinesis ビデオストリーム	アプリケーションサービス
Amazon Lex	機械学習
Amazon Lightsail	CPU

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Amazon 機械学習	機械学習
Amazon Macie	Security
Amazon MQ	アプリケーションサービス
Amazon ネプチューン	データベース
Amazon Pinpoint	モバイル
Amazon ポリー	機械学習
Amazon クイックインサイト	アナリティクス
Amazon Redshift	データベース
Amazon Rekognition	機械学習
Amazon Relational Database Service	データベース
Amazon Route 53	ネットワーク
Amazon SageMaker	アプリケーションサービス
Amazon シンプルDB	データベース
Amazon Simple Email サービス	アプリケーションサービス
Amazon 簡易通知サービス	ツール
Amazon Simple Queue Service	アプリケーションサービス
Amazon Simple Storage サービス	ストレージ
Amazon Simple Workflow サービス	生産性
Amazon シュメール語	アプリケーションサービス
Amazon 文字起こし	機械学習
Amazon 翻訳	機械学習
Amazon 仮想プライベートクラウド	ネットワーク
Amazon WorkDoc	ビジネスの生産性
Amazon ワークメール	生産性
Amazon ワークスペース	生産性
AWS (不明な製品)	アプリケーションサービス
AWS アプリケーションディスカバリーサービス	アプリケーションサービス
AWS AppSync	モバイル
AWS 自動スケーリング	管理ツール
AWS バッチ	CPU
AWS 証明書マネージャー	Security
AWS Cloud9	開発ツール
AWS CloudFormation	CPU
AWS CloudHSM	Security
AWS クラウドマップ	ネットワーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
AWS CloudShell	開発ツール
AWS CloudTrail	ツール
AWS CloudWatch	ツール
AWS CodeBuild	開発ツール
AWS CodeCommit	開発ツール
AWS CodeDeploy	開発ツール
AWS CodePipeline	開発ツール
AWS CodeStar	開発ツール
AWS Config	ツール
AWS コストエクスプローラー	管理ツール
AWS Database Migration Service	データベース
AWS データパイプライン	アナリティクス
AWS データ同期	アプリケーションサービス
AWS デバイスファーム	モバイル
AWS ダイレクトコネクト	ネットワーク
AWS Directory Service	Security
AWS Elastic Beanstalk	CPU
AWS 可変ブロックストア	ストレージ
AWS Elastic Compute Cloud	CPU
AWS Elastic Load Balancing	ロードバランサー
AWS 要素 MediaConvert	アプリケーションサービス
AWS 要素 MediaLive	アプリケーションサービス
AWS 要素メディアパッケージ	アプリケーションサービス
AWS Elemental MEdiaStore	アプリケーションサービス
AWS Elemental MediaTailor	アプリケーションサービス
AWS Fargate	CPU
AWS グルー	アナリティクス
AWS Greengrass	IOT
AWS ID とアクセス管理	Security
AWS IoT	IOT
AWS IoT 1 クリック	IOT
AWS IoT アナリティクス	IOT
AWS IoT コア	IOT
AWS IoT デバイス管理	IOT
AWS IoT イベント	IOT

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
AWS Key Management Service	Security
AWS Lambda	CPU
AWS Lamda	CPU
AWS モバイルハブ	モバイル
AWS OpsWorks	管理ツール
AWS Relational Database Service	データベース
AWS ルート 53	ネットワーク
AWS シークレットマネージャー	Security
AWS サービスカタログ	管理ツール
AWS シールド	Security
AWS Simple Notification Service	ツール
AWS Simple Storage Service	ストレージ
AWS Snowball	ストレージ
AWS Snowball エッジ	ストレージ
AWS スノーモバイル	ストレージ
AWS ステップ関数	アプリケーションサービス
AWS ストレージゲートウェイ	ストレージ
AWS Systems Manager	管理ツール
AWS 信頼できるアドバイザー	管理ツール
AWS Virtual Private Cloud	ネットワーク
AWS WAF	Security
AWS X-Ray	開発ツール
Elastic Load Balancing	ロードバランサー

Microsoft Azure サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ

クラウドコスト管理では、プロバイダーサービスはサービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービス カテゴリ内の特定のサービスをフィルター処理できます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベース カテゴリのサービスです)。

Microsoft Azure サービスの クラウドコスト管理 のサービスカテゴリ

のサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Advanced Threat Protection	Security
API 管理	ツール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
アプリセンター	アプリケーションサービス
アプリケーションゲートウェイ	ネットワーク
Application Insights	管理ツール
自動化	管理ツール
Azure Active Directory B2C	Security
Azure Active Directory Domain Services	Security
Azure アラート	イベント
Azure Analysis Services	アナリティクス
Azure API for FHIR	アプリケーションサービス
Azure App Service	CPU
Azure ARM	CPU
Azure 要塞	ネットワーク
Azure ブロックチェーン	ブロックチェーン
Azure ボットサービス	機械学習
Azure Cosmos DB	データベース
MariaDB 用の Azure データベース	データベース
Azure Database for MySQL	データベース
Azure Database for PostgreSQL	データベース
Azure Database 移行サービス	データベース
Azure Databricks	アナリティクス
Azure Data Explorer	アナリティクス
Azure Data Factory	データベース
Azure Data Factory v2	データベース
Azure データ共有	アナリティクス
Azure DDOS 保護	ネットワーク
Azure DevOps	開発ツール
Azure DNS	ネットワーク
Azure Firewall	ネットワーク
Azure Firewall マネージャー	ネットワーク
Azure Front Door サービス	ネットワーク
Azure ラボサービス	開発ツール
Azure Machine Learning	機械学習
Azure マップ	IOT
Azure Monitor	管理ツール
Azure NetApp Files	ストレージ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Azure Remote Rendering	アプリケーションサービス
Azure 検索	機械学習
Azure Site Recovery	管理ツール
Azure Spring Cloud	アプリケーションサービス
Azure スタック	ハイブリッドクラウド
Azure Stack Edge	機械学習
Azure Synthetics	アプリケーションサービス
バックアップ	管理ツール
帯域幅	CPU
BizTalk サービス	アプリケーションサービス
クラウドサービス	CPU
Cognitive Services	機械学習
コンテナインスタンス	コンテナ
コンテナレジストリ	コンテナ
コンテンツ配信ネットワーク	ネットワーク
コスト管理	管理ツール
データボックス	ストレージ
データカタログ	アナリティクス
データセンターのキャパシティ	アプリケーションサービス
データレイクアナリティクス	アナリティクス
Data Lake ストア	アナリティクス
データ管理	アプリケーションサービス
デジタルツイン	IOT
Dynamics 365 for Customer Insights	管理ツール
イベントグリッド	管理ツール
Event Hubs	アナリティクス
ExpressRoute	ネットワーク
関数	CPU
GitHub	管理ツール
HDInsight	アナリティクス
HPCキャッシュ	ストレージ
インサイトとアナリティクス	アナリティクス
IoT セントラル	IOT
IoT Hub	IOT
Key Vault	Security

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Kusto	アプリケーションサービス
ロードバランサー	ロードバランサー
ログアナリティクス	アナリティクス
ロジック アプリ	ツール
機械学習サービス	機械学習
機械学習スタジオ	機械学習
マーケットプレイス	マーケットプレイス
メディアサービス	アプリケーションサービス
Microsoft.ApiManagement	アプリケーションサービス
Microsoft.BlockStorage	ストレージ
Microsoft.Cache	アプリケーションサービス
Microsoft.Compute	CPU
Microsoft.DocumentDB	データベース
Microsoft.Insights	ツール
Microsoft.LoadBalancer	ロードバランサー
Microsoft.Network	ネットワーク
Microsoft.Security	Security
Microsoft.ServiceBus	ツール
Microsoft.Sql	データベース
Microsoft.Storage	ストレージ
Microsoft.Web	アプリケーションサービス
Microsoft (不明な製品)	アプリケーションサービス
Microsoft Azure Internet Analyzer	ネットワーク
Microsoft Azure ピアリングサービス	ネットワーク
Microsoft ゲノミクス	アプリケーションサービス
Mixed Reality	バーチャルリアリティ
マルチファクター認証	Security
NAT ゲートウェイ	ネットワーク
Network Watcher	管理ツール
Microsoft. ApiManagement	IOT
PlayFab	アプリケーションサービス
Power BI Embedded	アナリティクス
Redis キャッシュ	データベース
スケジューラー	管理ツール
セキュリティセンター	Security

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
番兵	Security
サービスバス	管理ツール
Service Fabric	CPU
Service Fabric メッシュ	CPU
SignalR	アプリケーションサービス
空間アンカー	バーチャルリアリティ
特殊なコンピューティング	CPU
SQL Advanced Threat Protection	Security
SQL データベース	データベース
SQL データウェアハウス	データベース
SQL DB エッジ	データベース
SQL Server ストレッチ データベース	データベース
ストレージ	ストレージ
StorSimple	ストレージ
ストリーム分析	アナリティクス
時系列インサイト	IOT
トラフィックマネージャー	管理ツール
仮想マシン	CPU
仮想マシンライセンス	CPU
仮想ネットワーク	ネットワーク
仮想 WAN	Security
Visual Studio オンライン	管理ツール
Visual Studio サブスクリプション	開発ツール
VPN ゲートウェイ	ネットワーク
Windows 10 IoT Core サービス	IOT
Xamarin ユニバーシティ	アプリケーションサービス

Google Cloud サービスの クラウドコスト管理 のクラウドサービスカテゴリ

クラウドコスト管理では、プロバイダーサービスはサービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービス カテゴリ内の特定のサービスをフィルター処理できます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベース カテゴリのサービスです)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Google Cloud サービスの クラウドコスト管理 のサービスカテゴリ

のクラウドサービス Google Cloud	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Bigtable	データベース
クラウドストレージ	ストレージ
クラウド SQL	データベース
データベースの移行	データベース
データストア	データベース
データ転送	ストレージ
開発マネージャー	ツール
エンドポイント	ツール
ファイルストア	ストレージ
ファイアストア	データベース
ハイブリッド接続	ネットワーク
メモリストア	データベース
ネットワークインテリジェンス	ネットワーク
ネットワークセキュリティ	ネットワーク
ネットワークサービス	ネットワーク
サービスカタログ	ツール
VPC ネットワーク	ネットワーク

自動翻訳

予算ポリシー作成フィールドのリスト

予算ポリシー作成フォームのフィールドは、予算ポリシーを作成して、予算金額、原価費目、リセット期間、および予算のその他の側面を指定するのに役立ちます。

予算ポリシーの作成

フィールド	説明
[Budget policy (予算ポリシー)]	作成済み予算ポリシーのリスト。 予算ポリシーを更新する場合は、ドロップダウンリストから作成済み予算ポリシーを検索して選択します。予算を選択すると、関連するすべてのフィールドが自動的に入力されます。
[Active (アクティブ)]	ポリシーを適用するオプション、これで請求処理データが更新されるたびに Budget Forecast 分析を実行されます。
[Name (名前)]	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。
説明	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の記述。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
原価費目	プロバイダーとの契約上の支払い合意。 • 償却: 組織は、請求期間全体にわたる前払いおよび毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。 • 実績: 請求期間ごとに、組織は直接クラウドサービスの料金を支払います。
開始月	プランの適用が開始される月。
終了月	プランの適用が終了する月。
開始日	プランの適用が開始される日付。
終了日	プランの適用が終了する日付。
開始年	プランの適用が開始される年。
終了年	プランの適用が終了する年。
通貨	ポリシーの通貨タイプ。
金額	Granularity の値によって予算化された指定期間の総支出。 計算済み デフォルトの通貨フィールドタイプと同じように動作します。換算が実行されるたびに、システムは最新の通貨換算レートを使用します。金額は、ユーザーのセッション通貨で表示されます。 固定 金額は、金額の値の入力時に使用した通貨コードで表示されます。換算が実行されるたびに、最新の通貨換算レートが使用されます。 複数 金額ごとに異なる通貨を使用して複数の金額を入力できます。フィールド値は、ユーザーのセッション通貨で入力された値です。それ以外の場合は、最初に入力された値がユーザーのセッション通貨に換算されます。換算が実行されるたびに、最新の通貨レートが使用されます。 **注:** 表示時、最初に入力した金額が使用されます。その他の値は計算には使用されません。 インスタンスのセッション通貨によって、ユーザーが予算レポートで目にする数値が決まります。予算計画で指定した通貨がセッション通貨

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	と異なる場合、金額はレポートの 2 つのフィールドに表示されます。 • 予算金額:プランで使用される通貨で表された金額。 • 換算された予算金額:セッション通貨で表された同じ金額。
[Granularity (予算期間)]	予算の期間をリセットします。 • 年次:金額の値は 1 年間に適用されます。 • 月次:金額の値は 1 か月の期間に適用されます。
アカウントとリソースの基準	
親アカウント	サービスアカウントが関連付けられているプライマリアカウント。 **注:** ポリシーを編集しているときに、親アカウントを変更するとプロバイダーが変更される可能性があります。
サービスアカウント	計画適用対象のサービスアカウント。適切なサービスアカウントをすべて **[Selected** (選択済み)] リストに移動します。 Google Cloudの場合のみ、このフィールドはプロジェクトと呼ばれます。
タグカテゴリ条件	ドロップダウンリストからタグカテゴリを選択し、カンマで区切られたタグ値を追加して、タグカテゴリを追加します。
予算ビューアーと通知	
[Viewer (user) (閲覧者 (ユーザー))]	この予算ポリシーを閲覧できるユーザー。 **注:** この選択に関係なく、クラウド予算閲覧者 [sn_clin_core.budget_viewer] ロールも持つユーザーのみが閲覧アクセス権限を持ちます。
[Viewer (group) (閲覧者 (グループ))]	この予算ポリシーを閲覧できるユーザーグループ。
[Notification frequency (通知の頻度)]	「通知対象ユーザー」で説明されているように、ユーザーへの電子メールの繰り返し。
[User to be notified (通知対象ユーザー)]	以下の条件が発生した場合にユーザーに電子メールで通知します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	• 予算超過が予測される。 • 予算を超過している。 • 予算が無効である。

共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト

共有コスト割り当てポリシー作成フォームのフィールドは、共有コスト割り当てポリシーの作成に役立ちます。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム

フィールド	説明
編集する共有コストポリシーを選択	編集する共有コストポリシー。
[Active (アクティブ)]	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、請求処理データが更新されるたびに共有コストの割り当てが有効になります。
[Name (名前)]	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。
説明	ポリシーの簡潔な説明。
実行順序	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、ポリシーを低い実行順序から高い実行順序で適用し、一致する最初のポリシーに対してアクションを実行します。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。
開始月	月次支出レコードが処理される開始月。このフィールドは自動的に現在の月に設定されます。 **注:** 開始月は終了月よりも前でなければなりません。
終了月	月次支出レコードが処理されるまでの 1 か月間。 **注:** [終了月] は [開始月] より後である必要があります。
開始年	月次支出レコードが処理される開始年。このフィールドは自動的に現在の年に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 開始年は終了年よりも前でなければなりません。
終了年	月次支出レコードが処理されるまでの 1 年間。 **注:** 終了年は開始年より後である必要があります。
プロバイダー	ポリシー適用対象のクラウドプロバイダー。 **注:** 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
サービスカテゴリ	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
サービスアカウント	ポリシー適用対象のサービスアカウント。 Google Cloudの場合のみ、このフィールドはプロジェクトと呼ばれます。
クラウドサービス	ポリシーが適用されるクラウドサービス。 • All (すべて) • 特定
クラウドサービスを選択	ポリシーを適用するクラウドサービス。 このフィールドは、クラウドサービスから [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
リソースタイプ	Kubernetesサービスカテゴリのリソースタイプ。 • クラウドリソース • Kubernetes クラスター このフィールドは、サービスカテゴリから **Kubernetes** サービスが選択されている場合にのみ表示されます。
リージョン	ポリシーが適用されるリソースのリージョン。 • All (すべて) • 特定
地域を選択	ポリシーを適用するリソースのリージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[地域] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
購入オプション	クラウドリソースの購入オプション。 • オンデマンド • 予約済み • 節減プラン • 税 • 不明
タグを選択	
事業部門	ポリシーが適用されるリソースの事業部門。 • All (すべて) • 特定
事業部門を選択	ポリシーを適用するリソースの事業部門。 このフィールドは、[事業部門] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
Department (部門)	ポリシーを適用するリソースの部門。 • All (すべて) • 特定
部門 (department) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門。 このフィールドは、[部門] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
部門	ポリシーを適用するリソースの部門。 • All (すべて) • 特定
部門 (division) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門。 このフィールドは、[部門] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
コストセンター	ポリシーが適用されるリソースのコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• All (すべて) • 特定
コストセンターを選択	ポリシーを適用するリソースのコストセンター。 このフィールドは、コストセンターから [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
割り当てタイプ	共有コスト割り当てポリシーを定義するときに使用する割り当てタイプ。 • 固定:割り当てのパーセンテージは、各グループの [コスト配分] セクションで指定されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合は、各グループの割り当てパーセンテージを指定します。 • 均等:割り当ては割り当てグループ間で均等に分割されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合、これらのグループ間で割り当て率が自動的に均等に入力されます。 • 比例:クラウドサービスとサービスカテゴリ、またはその両方のポリシーが定義されます。これらの属性の組み合わせは、共有コストの割り当てで考慮されます。たとえば、次の組み合わせに対してポリシーが定義されている場合、この組み合わせに関連付けられているすべてのコストが共有コストと見なされます。 ○ サービスカテゴリ:データベースとクラウドサービス:Amazon DocumentDB ○ サービスカテゴリ:データベースおよびクラウドサービス:空 ここでは、すべてのデータベースカテゴリのクラウドサービスが共有コストと見なされます。 割り当てのパーセンテージは、リソースの直接コストに基づいて自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: • グループ全体の割り当てパーセンテージの合計は 100% である必要があります。 • 割り当て率を負の値にすることはできません。 • グループの組み合わせは一意である必要があります。
コスト配分	[事業部門]、[部門]、[部門]、[コストセンター]、および [割り当ての割合] を追加し、[追加] を選択して、さまざまな事業部門にリソースコストを配分します。
名前空間の配分	Kubernetes には、 [名前空間] と [割り当ての割合] を追加し、 [追加] を選択して、さまざまな事業部門にリソースコストを配分します。 このフィールドは、[サービス] カテゴリから **[Kubernetes** サービス] が選択され、[リソースタイプ] から **[Kubernetes** クラスター] が選択されている場合にのみ表示されます。 **注:** 定義できる割り当てタイプは、[固定] と [均等] のみです。
割り当てのパーセンテージ	各クラウドリソースの共有コスト割り当ての割合。

デフォルトのタグカテゴリのリスト

[タグカテゴリ] ページでデフォルトのタグカテゴリのリストを表示します。タグカテゴリを使用すると、単一のビジネスエンティティに対してコストを表す複数のタグ名を有効にすることができます。

デフォルトのタグカテゴリ
アプリケーションの機能
アプリケーションオーナー
アプリケーションチーム
AI サービス

重要:
このタグカテゴリは、 クラウドコスト管理 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのタグカテゴリ
注: 新しい AI サービスまたは既存の AI サービス内のカテゴリが Amazon Web サービス (AWS)、 Microsoft Azure、または Google Cloud Platform (GCP)に導入されるたびに、タグ名を対応するタグ値に関連付ける場合は、「 AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新」を参照してください。
ビジネスアプリケーション
ビジネスサービス
事業部門
コストセンター
Department (部門)
部門
環境
Kubernetes クラスター名

AI サービスのデフォルトのクラウドカテゴリのリスト

AI サービスを管理するための機械学習サービスカテゴリに適用されるデフォルトのクラウドカテゴリのリスト。

デフォルトのプロバイダー固有の **AI** サービス

サービスプロバイダー	AI サービス
Amazon Web サービス (AWS)	• Amazon CodeGuru • Amazon 理解する • Amazon 医療を理解する • Amazon DevOps の達人 • Amazon 予報 • Amazon 不正検出機能 • AWS ヘルスレイク • Amazon ケンドラ • Amazon Lex • Amazon 機器への注意 • Amazon メトリクスに注意 • Amazon ビジョンへの注意 • Amazon モニトロン • Amazon オミクス • Amazon パーソナライズ • Amazon ポリー • Amazon Rekognition

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのプロバイダー固有の **AI** サービス (続く)

サービスプロバイダー	**AI** サービス
	• Amazon Textract • Amazon 書き写す • Amazon 翻訳 • Amazon 拡張AI
Microsoft Azure	• Azure Cognitive Services • Azure AI 検索 • Azure AI ボットサービス
Google Cloud Platform (GCP)	• Cloud Dialogflow API • クラウドドキュメント AI API • クラウドドキュメント API • クラウド自然言語 • Cloud Speech API • クラウドテキスト読み上げ API • クラウドビデオインテリジェンス API • クラウドビジョン API • 翻訳 • Vertex AI ビジョン • Vertex AI • Vertex AI 検索

関連情報

AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新

契約管理

ServiceNow® 契約管理 アプリケーションを使用して契約を管理、追跡します。

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。ServiceNow プラットフォームでは、契約には次のような詳細情報が含まれています。

- 契約番号
- 契約の開始日と終了日
- 有効なステータス
- 契約条件
- ドキュメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リニューアル情報
- 財務条件

契約管理はデフォルトで有効となっています。コスト管理 プラグインがアクティブ化されている場合、契約管理 アプリケーションは コスト管理 プラグインと統合して契約とコストを関連付け、総所有コスト (TCO) を決定します。経費の追跡は、経費ラインで行えます。アドミニストレーターは コスト管理 プラグインを有効にすることができます。

ソフトウェア資産管理 プラグインを使用している場合は、[ソフトウェアライセンスオプション] を使用します。

関連情報

経費ラインを作成する

契約条件

ソフトウェア資産管理

資産契約の概要モジュールの使用

契約管理 概要モジュールで契約の状態に関する情報を表示できます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて

契約管理 概要モジュールは一種のホームページのため、ページ上でレポートを追加、削除、再配置することができます。

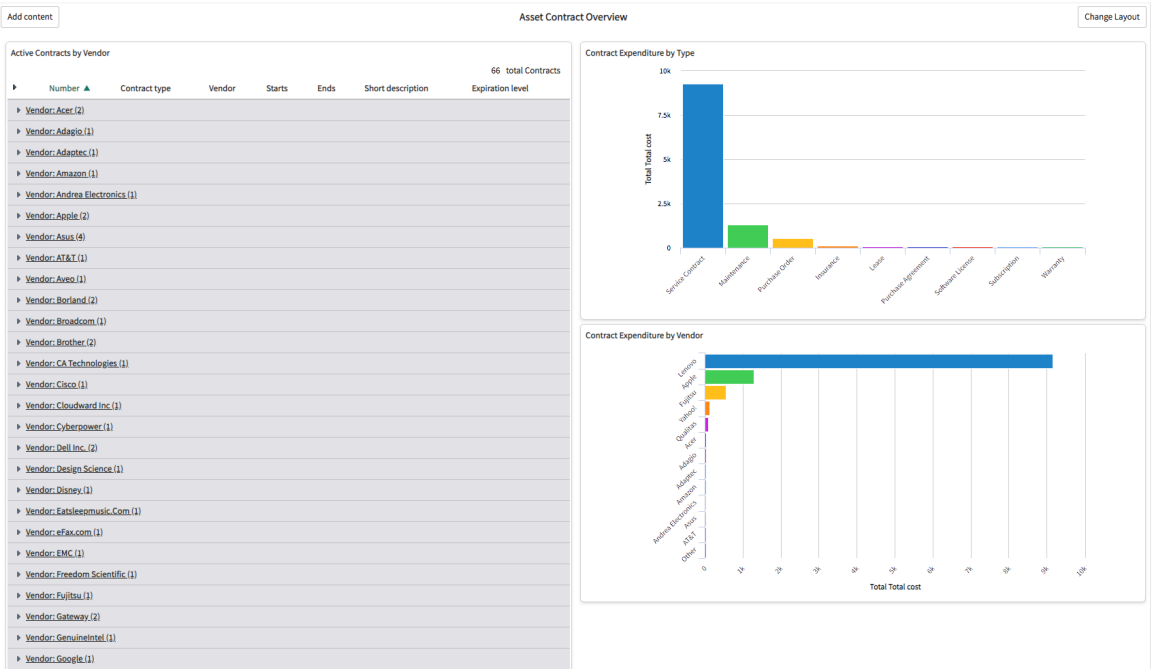
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 契約 > 概要.
2. レポート内の要素をクリックして、詳細情報を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、[タイプ別契約支出] 棒グラフのいずれかのカラーバーをクリックすると、詳細情報が表示されます。



一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理

契約管理 と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

デモ データが利用可能です。

契約管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルが、契約管理 とともに追加されます。

テーブル	説明
対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約の対象となる資産を一覧表示します。資産は複数の契約で守ることができ、契約は複数の資産を抱えることができます。 **注:** contract_manager、itil、inventory_admin、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。procurement_user ロールの場合は 調達 (com.snc.procurement) プラグインを、itil ロールと Inventory_admin ロールの場合はハードウェア資産管理 プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
対象資産 [clm_m2m_rate_card_asset]	資産に適用されるレート表を一覧表示します。
条件 [clm_condition_checker]	各条件チェッカーの条件と値を一覧表示します。
条件チェック [clm_condition_check]	指定した条件フィールドを変更する条件と値を格納します。
契約 [ast_contract]	契約情報を格納します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
契約履歴 [clm_contract_history]	開始日、終了日、契約条件のいずれかが変更されたときに契約書のコピーを保管します。
契約条件 [clm_terms_and_conditions]	契約で使用される条件を一覧表示します。
契約条件 [clm_m2m_contract_and_terms]	契約で使用できるすべての契約条件を一覧表示します。
対象ユーザー [clm_m2m_contract_user]	契約の対象となるユーザーを一覧表示します。
契約更改要求 [sn_contract_renewal_request]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求を保存します。
契約更改要求行 [sn_contract_renewal_request_line]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求行を保存します。
契約更改タスク [sn_contract_renewal_task]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求タスクを保存します。

契約管理 とともにインストールされるユーザーロール

ユーザーロールは 契約管理 とともに追加されます。

ロール	ロールを含む	説明
contract_manager	financial_mgmt_user	契約のライフ サイクルを管理します。契約の作成、編集、削除ができます。

自動翻訳

インストールされたスクリプトインクルード 契約管理

スクリプトインクルードは、契約管理 とともに追加されます。

[Name (名前)]	説明
ConditionChecks	条件チェック [clm_condition_check] テーブルで定義されている、有効契約期限切れやライセンス コンプライアンスなどの一致条件をチェックします。
ContractManagementUtils	状況移行などの契約管理アクションを管理するユーティリティ。

インストールされているクライアントスクリプト 契約管理

クライアントスクリプトは、契約管理 とともに追加されます。

[Name (名前)]	テーブル	説明
税コストの計算 - 基本コスト	契約 [ast_contract]	[支払額] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
税コストの計算 - 売上税	契約 [ast_contract]	[売上税] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	テーブル	説明
税コストの計算 - 税率	契約 [ast_contract]	[税率] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
割引が有効な割合であることを確認する	契約 [ast_contract]	[割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれないようにします。
コスト調整を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の金額を設定した場合、契約フォームの [割合] フィールドを 0 に設定します。
コスト率を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の割合を入力した場合、契約フォームの [金額] フィールドを 0 に設定します。
非課税/税率	契約 [ast_contract]	[非課税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを読み取り専用に変更します。
税率/免除	契約 [ast_contract]	[売上税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを書き込み可能に変更します。

インストールされているビジネスルール 契約管理

ビジネスルールが、契約管理 とともに追加されています。

[Name (名前)]	テーブル	説明
予測コストの計算 (レポート)	契約 [ast_contract]	コストや支払スケジュールが変更された場合、契約の月毎および年毎予測コストを計算します。
合計で税金を計算する	契約 [ast_contract]	契約が作成または更新されたとき、契約の [税コスト] と [総コスト] フィールドを計算します。
契約履歴	契約 [ast_contract]	契約の開始、終了、契約条件が変更されたときの履歴を保存します。
承認レコードを作成する	契約 [ast_contract]	契約を更新するために契約条件を更新し、契約承認ワークフローを開始します。
契約条件にフラグを立てる	契約条件 [clm_m2m_contract_and_terms]	レコードが契約から関連付けられると[契約条件] レコードの [使用] フラグを **[True]** に設定し、レコードが契約から分離されると **[False]** に設定します。
手動ライセンスのアクティベーション数	ソフトウェア ライセンス インスタンス [ast_license_software_instance]	ソフトウェア ライセンス インスタンスの作成または削除時に、特定のライセンスがインストールされているコンピューターの数を計算して更新します。
契約ライフ サイクルの管理	契約 [ast_contract]	このビジネスルールでは、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	テーブル	説明
		• 契約拡張が承認された契約の終了日を更新します。 • 契約の更新が承認され開始日が来たときに契約を更新し、開始日、終了日、基本コスト (コスト調整を適用する必要がある場合) を更新します。 • 条件チェックを実行し、契約が承認されたとき、または拡張や更新が承認されたとき、または開始日や終了日が変更されたときに日付を変更する必要があるかどうかを評価します。
ニュースを停止する	サービス [cmdb_ci_service]	機能停止時にナレッジ テーブルにニュース記事を掲載します。
資産ごとの契約コストを更新する	対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約に関連付けられた総コストと資産数に基づいて単価の値を更新します。
契約のライフタイム コストを更新する	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	契約経費ラインの合計を計算して契約のライフタイム コストを計算します。
契約日変更後の更新	契約 [ast_contract]	契約の終了日が変更された場合、契約に関連付けられているすべての資産とユーザーの [追加日] フィールドと [削除日] フィールドを更新します。
レートカードの日付変更後の更新	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	終了日が変更されると、関連契約資産とレートカードにリンクされたユーザーを更新します。
契約開始日と終了日を確認する	契約 [ast_contract]	契約開始日と終了日、契約更改開始日と終了日を検証します。
購入契約割引価格を確認する	契約 [ast_contract]	契約モデルの購買契約との契約の場合、ビジネスルールでは [割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれていないことを確認します。

契約更改ワークフロー

契約更改ワークフローを使用すると、有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約を更改することができます。このワークフローにより、簡素化され管理されたプロセスを介して契約を更改できます。

元の契約を参照する契約レコードを作成、検証、承認、有効化して契約を更改します。このワークフローを使用すると、ハードウェア資産、ソフトウェアエンタイトルメント、契約条件、レートカードなどの関連エンティティを管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 契約更改ワークフローは、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約、メンテナンス、および保証契約モデルをサポートしています。

契約を更改するには、契約更改ワークフローで次のタスクを実行します。

1. 契約更新要求：有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。
2. 契約の選択：親契約の複数の子契約を更改することができます。
3. ビルドの更新：契約更改情報を入力します。
4. 資産の選択：契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除し、新しい契約に引き継がれる資産を表示します。
5. ソフトウェア資産の選択：契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除し、新しい契約に引き継がれるエンタイトルメントを表示します。
6. 契約条件：新しい契約の契約条件を更新し、新しい契約に引き継がれる契約条件を表示します。
7. レートカード：新しい契約にレートカードの詳細を追加し、契約経費を追跡します。
8. 更新の確認：契約のすべての詳細を入力した後、更新の詳細をレビューします。
9. 更新の承認：すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。
10. 更新発注書：契約の対象となる資産の発注書を受領します。

> **注:**
> - タスクをクローズした後に編集することはできません。
> - 契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクの契約更改プロセスをキャンセルできます。詳細については、「契約更改プロセスのキャンセルの結果」を参照してください。

必須条件

契約更新ワークフローを使用する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

- ServiceNow インスタンスの ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化します。

  ハードウェアまたはエンタープライズ資産契約を管理する場合は、代わりに ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 または エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。

- *sn_contract_enable_renewal_flow* システムプロパティを有効にします。

  > **注:**
  > 既に ソフトウェア資産管理、ハードウェア資産管理、またはその両方を使用している場合、このシステムプロパティは false に設定されます。新規ユーザーの場合、このシステムプロパティは true に設定されます。

ドメインセパレーション

データ分離を使用したドメインセパレーションは、次の要件を含む契約更改ワークフローでサポートされています。

- 要求は、更改プロセスを開始した契約のドメインに作成されます。
- 要求ラインは、要求ラインの契約のドメイン内にあります。
- タスクは、更新される契約のドメインに作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

sn_contract_enable_renewal_flow システムプロパティもドメインセパレーションをサポートしています。

契約更改要求を作成する

有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

更新要求は、メンテナンス、保証、サブスクリプション、ソフトウェアライセンスに対してのみ作成できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、サブスクリプション、メンテナンス、およびソフトウェアライセンス契約を更新することができます。ハードウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。

手順

1. 更改する契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: **All** (すべて) > 契約 > 契約更新.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約とリースの管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
2. 更新する契約のタイプを [メンテナンス]、 [保証]、[サブスクリプション]、[ソフトウェアライセンス]、または [サービス] のいずれかとして選択します。
3. 選択した契約の [更新] をクリックします。
4. 契約更新要求を送信します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、**[OK]** をクリックします。

     契約更改要求には次の情報が含まれています。
     - 自動生成された一意の番号
     - 契約更改プロセスのタスクのタイプを示すステージ
     - 更改を要求した契約への参照
     - 要求が作成された日時

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合は、[契約を更新] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスのフィールドに入力し、[レビューのため送信] をクリックします。

[契約を更新] ダイアログボックス

フィールド	説明
承認者	契約更新要求を承認または却下するユーザー。
オプション	契約の更新期間。
更改開始日	契約の更新が始まる日付。
更改終了日	契約の更新が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用されたコスト調整のタイプ。オプションは、[固定]、[手動]、または **[CPI]** (消費者物価指数) です。
コスト調整率	契約価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。 **注:** 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。
コスト調整額	契約価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。 **注:** 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。

5. オプション: [契約更改要求ライン] タブを選択して、親契約の更改要求ライン、または親契約の下の既存の有効な子契約を表示します。
   更新される契約ごとに契約更改要求ラインが作成されます。
6. オプション: [タスクを開く] タブを選択して、すべてのオープン契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。
7. オプション: [すべてのタスク] タブを選択して、すべての契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。

タスクの結果
更改される契約のサブステートが [更新中] に設定されます。

次のタスク
親契約に子契約がない場合は、[更改作成タスク (Build renewal task)] を選択します。

親契約に子契約がある場合は、[契約の選択タスク (Contract selection task)] を選択します。

複数の子契約を更改する

契約の選択タスクを使用して、親契約の複数の子契約を更改することができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
このタスクは、更改する契約に有効な子契約があり、まだ未更新でドラフト状況でもない契約更改ワークフローでその子契約がサポートされている場合にのみ作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [契約] フォームで、[関連リンク] セクションの [契約更改要求] タブを選択して、契約更改要求のリストを表示します。
2. 更改要求を選択します。
3. [契約更新タスク] フォームの [更改契約] タブを選択して、選択した契約にリンクされているすべての子契約を表示します。
4. 更改する子契約を指定します。

   a. 子契約の横にあるプレビューアイコン ⓘ を選択してレコードを開きます。

   b. [更改の決定] フィールドで「はい」または「いいえ」と入力して、子契約を更改に含めるかどうかを選択します。
   各子契約の [更改の決定] フィールドに値を入力する必要があります。

5. [更新] を選択します。
   [更改契約] タブの [更改の決定] 列に決定が表示されます。
6. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
親契約と子契約の契約更改要求ラインが [契約更改要求ライン] タブに表示されます。各契約要求ラインには独自のタスクフローがあります。

次のタスク
契約更改情報を指定する

契約更改情報を指定する

更改作成タスクを実行して、契約更改情報を入力します。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
各契約更改要求ラインには独自のタスクフローがあります。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、更改作成タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新契約の詳細] タブを選択します。
3. 契約更改情報を指定します。

   タスクを閉じる前に、すべての必須フィールドに入力する必要があります。子契約を更改する場合は、親契約の開始日と終了日の範囲内で終了日と開始日を指定する必要があります。

   注:
   [契約承認者] フィールドは親契約のみで表示されます。すべての子契約に対して同一の契約承認者の値が自動的に入力されます。

4. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
新しいドラフト契約が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除します。新しい契約に引き継がれたハードウェア資産またはエンタープライズ資産を表示することもできます。

始める前に

契約更新プロセスに対してハードウェア資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを要求します。契約更新プロセスに対してエンタープライズ資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求します。

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

更新される契約のアクティブで有効な資産が新しい契約に引き継がれ、[対象資産] タブにリスト化されます。有効なハードウェア資産とエンタープライズ資産は、終了日より前に契約から削除されず、次の状況またはサブステートになっています。

- 状況
  - 在庫あり
  - 輸送中
  - メインテナンス中
  - 使用中
- サブステート
  - 利用可能
  - 予約済み
  - 転送待ち
  - なし
  - 修理待ち
  - インストール待ち

無効な資産はドラフト契約に引き継がれないため、手動で追加する必要があります。

手順

1. 資産を追加する資産選択タスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで資産選択タスク番号を選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択してから、資産に追加する契約を開きます。
2. [対象資産] タブを選択します。
3. コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[編集] をクリックします。
4. 契約のハードウェア資産またはエンタープライズ資産を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [保存] を選択します。
6. 資産の更新コストを編集します。

   注:
   このステップは、コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合のみ適用されます。

   a. 更新コストを更新する資産を選択します。
   b. [更新コスト] フィールドで、資産の更新コストを更新します。
   c. [更新] をクリックします。
7. [保存] をクリックします。
8. [契約更新要求ライン] フォームの資産選択タスクで資産を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果
ドラフト契約の [財務] タブの [支払額] フィールドには、選択したハードウェア資産またはエンタープライズ資産の合計更新コストが表示されます。

次のタスク
契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

ソフトウェア資産選択タスクを使用して、契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除します。新しい契約に引き継がれたエンタイトルメントを表示することもできます。

始める前に
ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール：sam_user、contract_manager

このタスクについて
次のライセンスタイプのエンタイトルメントは新しい契約に引き継がれます。

- 無期限およびメンテナンス
- 無期限およびソフトウェア保証
- 無期限のみ

手順
1. 契約更改要求ラインフォームで、ソフトウェア資産選択タスク番号を選択します。
2. ドラフト契約にエンタイトルメントが引き継がれていない場合は、エンタイトルメントを作成します。

   a. 契約更改タスクフォームで、[計画されたエンタイトルメント] タブの [エンタイトルメントを作成] を選択します。

   b. ソフトウェアエンタイトルメントフォームで、必須フィールドに入力します。

      詳細については、「[ソフトウェアエンタイトルメント] フィールド」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [保存] を選択します。

このエンタイトルメントは既存の更改プロセスに関連付けられているため、更改要求を完了した後に公開できます。

エンタイトルメントが [計画されたエンタイトルメント] リストに表示されます。

3. オプション: ドラフト契約の既存のエンタイトルメントを更新します。

4. [保存] を選択します。

5. [タスクをクローズ] を選択します。

次のタスク
契約条件を更新する

契約条件を更新する

新しい契約の契約条件を更新します。新しい契約に引き継がれた契約条件も表示できます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約条件を追加するタスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで契約条件タスク番号を選択します。[更新契約期間] タブを選択し、[編集] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューに移動して、[すべての契約] タブを選択します。契約条件を追加する Enterprise 資産契約を開き、[契約条件] タブを選択します。
2. 契約の契約条件を更新します。

3. [保存] を選択します。

4. [契約更新要求ライン] フォームの契約条件タスクで契約条件を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果
契約の [契約条件] タブに複数の契約条件が表示されます。

次のタスク
新しい契約にレートカードを追加する

新しい契約にレートカードを追加する

レートカードタスクを使用して契約経費を追跡し、新しい契約にレートカードの詳細を追加することができます。

始める前に
コスト管理 [con.snc.cost_management] プラグインが有効である必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
レートカードの詳細は新しい契約に引き継がれません。

レートカードの詳細を契約に追加することは必須ではありません。ドラフト契約にレートカードを追加する必要がない場合は、このタスクをクローズできます。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、レートカードタスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新レートカード] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 契約レートカードフォームで、財務の詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
6. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
レートカードはドラフト契約に添付されています。

次のタスク
契約更改の詳細をレビューする

契約更改の詳細をレビューする

更改確認タスクを使用して、契約の詳細をすべて入力した後、更改の詳細をレビューします。その後、その詳細を承認するか、さらにレビューするために詳細にマークを付けることができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
契約更改要求が承認対象になるためには、このタスクを完了する必要があります。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、更新確認タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで更改の詳細を確認します。
3. オプション: [計画されたエンタイトルメント] タブにアクセスして、ドラフト契約のエンタイトルメントのリストをレビューします。
4. このタスクをクローズするかどうかを決定します。
5. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
タスクをクローズすると、すべての契約更改タスクがクローズされるため、契約更改要求ラインの処理が完了します。契約更改要求ラインのステージが [承認待ち] に設定されます。契約更改要求のすべての契約更改要求ラインが処理されると、[契約更改要求] の下に承認タスクが作成されます。

次のタスク
契約更新要求を承認または却下する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約更新要求を承認または却下する

すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。

始める前に

[更新承認者] フィールドに値を含める必要があります。承認者を変更する必要がある場合は、親契約に移動して、そこで値を調整します。

必要なロール：asset_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約更新の詳細を確認します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[契約更新要求] フォームの [タスクを開く] タブを選択します。契約更新要求番号を選択して契約更新の詳細を表示し、[タスクをクローズ] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択し、更新するエンタープライズ資産契約を開きます。[詳細] タブの [更新] セクションで契約更新の詳細を表示します。

   承認要求がトリガーされ、ドラフト契約のサブステートが [レビュー中] に変わります。
2. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、 **All** (すべて) > 契約 > 自分の承認.
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
3. 承認待ちの契約更新要求を選択します。
4. 契約更新要求ラインと契約更新タスクを評価します。
5. 契約更新要求を承認または却下します。
6. オプション: [承認履歴] タブに移動して、契約および子契約の承認または却下の履歴を表示します。

次のタスク

契約資産の発注書を受領する

契約資産の発注書を受領する

更新発注書タスクを使用して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。このタスクは、少なくとも 1 つのハードウェア資産を追加した場合、エンタイトルメントを作成した場合、または [ビルド] ステータスの既存のエンタイトルメントを選択した場合に使用できます。

始める前に

ハードウェア資産またはエンタイトルメントを選択または追加していないか、調達プラグイン (com.snc.procurement) がアクティブでない場合、このタスクは作成されません。代わりに、財務経費を手動で追跡する必要があります。

必要なロール：procurement_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 契約更改要求フォームで、[タスクを開く] タブを選択します。
2. 契約更改要求番号を選択します。
3. [発注書 **(PO)]** タブを選択します。
4. 契約の財務トランザクションをキャプチャする発注書番号を選択します。

   契約の対象となるすべての資産レコードについて、発注明細アイテムが作成されます。各発注書 (PO) のコストは、対象となる各資産の更改コストです。

   発注明細アイテムは、[ビルド] ステータスのエンタイトルメントに対して作成されます。[計画されたエンタイトルメント] タブで追加された各エンタイトルメントは、一意の発注明細に対応します。

5. [注文] を選択します。
6. [受領] を選択して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。
   発注書 (PO) の受領では資産のみが更新され、エンタイトルメントは作成されません。

タスクの結果
ドラフトのエンタイトルメントが公開され、ステータスが [使用中] に設定されます。

発注書 (PO) の受け取りが [受領伝票] タブに表示されます。

発注書 (PO) と発注明細のステータスは、[受信済み] に変更されます。更新発注書タスクのステータスが自動的に [完了してクローズ] に変更されます。契約更改要求フローが完了します。

古い契約のサブステートは [更改済み] に設定されます。古い契約と更改された契約の開始日と終了日、更改日を表示する契約履歴レコードが作成されます。[関連リンク] セクションの [契約履歴] タブを選択すると、契約の履歴全体を表示できます。

発注書を受領すると、更改契約のステータスが [ドラフト] ではなくなり、契約が有効になります。更改された契約の開始日に達したものの、発注書 (PO) が受領されていない場合、契約更改要求のステータスは [ドラフト] に設定されたままになります。新しい契約が有効になると、古い契約は期限切れになり、対象資産に終了日が設定されます。

契約更改プロセスのキャンセルの結果

契約更改プロセスをキャンセルすると、契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクのステータスが変更されます。

契約キャンセルの結果

キャンセルされたアイテム	結果
契約更改要求	• 更改要求全体がキャンセルされます。 • 更改中の契約のサブステートがクリアされます。 • すべてのドラフト契約がキャンセルされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約キャンセルの結果 (続く)

キャンセルされたアイテム	結果
契約更改要求ライン	• 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • すべての契約更改要求ラインがキャンセルされると、契約更改要求がキャンセルされます。 • 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。

契約更改タスク	• 契約更改タスクと契約更改要求ラインがキャンセルされます。
	  ○ 契約更改要求に契約更改要求ラインが 1 つしかない場合、契約更改要求のステージは [キャンセル済み] に変わります。
	  ○ 契約更改要求に複数の契約更改要求ラインがある場合、契約更改要求のステージは変わりません。
	• 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。
	• ドラフト契約のステータスが [キャンセル済み] に変更されます。
	• 既にクローズされているタスクのステータスは変更されません。
	• オープンタスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
	• レートカードは、非アクティブになるドラフト契約に添付されます。
	• 更改中の契約のステータスが元のステータスに戻り、サブステートがクリアされます。
	• 契約更改タスクに関連付けられているエンタイトルメントが削除されます。

契約	• 契約更改要求に子契約が含まれている場合、直接の子契約の更改はキャンセルされます。 • 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • この契約によって開始された契約更改要求がキャンセルされます。 • 契約と直接の子契約の発注書 (PO) がキャンセルされます。

契約管理 の使用

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約管理 アプリケーションを使用して、リース、保証、メンテナンス、サービスなどのさまざまなタイプの契約を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の情報を契約に追加することができます。

- 契約の対象範囲である資産
- 契約の対象範囲であるユーザー
- 契約に関連する契約条件
- 契約に関連するその他の文書

契約履歴と実行レポートを表示して、契約のさまざまな段階をドラフトから終了まで追跡します。有効な契約を調整、延長、更改します。

契約ライフサイクル

作成から終了まで、契約はどのフィールドを編集できるかを決定するライフ サイクルに従います。

契約が [ドラフト] 状況の場合、契約レコードのほとんどのフィールドを編集できます。契約が [ドラフト] 状況を通過すると、特定の日付、更改、拡張、財務フィールドが読み取り専用になります。[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドは読み取り専用です。

[契約コンプライアンスチェック] スケジュール済みジョブが、契約 [ast_contract] テーブルで毎晩自動的に実行されます。スケジュール済みジョブの詳細については、「条件チェック定義の使用」を参照してください。このスケジュール済みジョブでは、次のアクションが実行されます。

- 契約が承認され指定された開始日に達すると、契約状態を [有効] にします。
- 契約の更改が承認され指定された開始日に達すると、契約を更改します。
- 契約の状態が [有効] で終了日に達すると、契約の状態を [期限切れ] に変更します。

システムプロパティ *contract_compliance_check_job.enable_override* を使用すると、契約コンプライアンスチェックジョブが階層内のチェックを上書きできるようになります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **[True]** に設定されます。親テーブルと子テーブルの同じフィールドでチェックが定義されている場合、契約コンプライアンスチェックジョブは次のことを実行します。

- 親テーブルのレコードについては、テーブルの条件チェックにより、条件で指定された値でフィールドが設定されます。
- 子テーブルのレコードの場合、子テーブルの条件チェックによって親テーブルの条件が上書きされ、それに応じて子テーブルのフィールド値が設定されます。

たとえば、契約 (親) テーブルとリース (子) テーブルの [説明] フィールドでチェックが定義されている場合、[リース] テーブルのフィールドは子テーブルの条件で指定された値に設定されます。契約コンプライアンスチェックの上書き機能を無効にするには、システムプロパティ contract_compliance_check_job.enable_override を **[False]** に設定します。

経費ラインは、有効または期限切れの契約からのみ生成されます。

契約の状況

状態	説明
ドラフト	ユーザーが契約に関する情報を追加し、承認者を指定します。
有効	契約が承認され指定された開始日に達しました。
期限切れ	契約は指定された終了日に達しました。承認待ちの更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [レビュー待ち] となります。更改は承認されたが更改日にまだ達していない、更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [承認された更改] と

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約の状況 (続く)

状態	説明
	なります。有効な更改または拡張の保留ワークフローがない有効期限切れの契約は、サブステートが空欄となります。
キャンセル	契約は中止され、有効ではなくなります。

状態に加えて契約にはサブステートが存在することもあります。

契約のサブステート

サブステート	説明
レビュー待ち	契約はレビュー準備中です。
レビュー中	承認者に契約が送信され、契約を確認しています。
承認済み	契約は承認者によって承認されました。
却下	契約は承認者によって審査されましたが承認されませんでした。
承認された更改	契約更改は承認者によって承認されました。
却下された更改	承認の更新は拒否されました。
更新中	契約更改は契約更改ワークフローを使用して処理中です。
更改済み	契約更改は契約更改ワークフローを使用して完了しました。
承認された延長	契約延長は承認者によって承認されました。
却下された延長	契約延長は承認者によって拒否されました。
なし	サブステートは指定されていません。

自動翻訳

契約

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。

Now Platformでは、契約には契約番号、開始日と終了日、有効なステータス、契約条件、文書、更新情報、財務条件などの詳細情報が含まれています。

契約の作業には、以下のタスクとプロセスが含まれます。

契約を作成する

さまざまな契約モデルを使用して契約を作成します。この契約は、2 者間の拘束力のある合意として機能します。

始める前に

必要なロール：

- コア UI および ハードウェア資産ワークスペース の場合：admin、contract_manager
- エンタープライズ資産ワークスペース の場合：sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager
- ソフトウェア資産ワークスペース の場合：sam_admin、sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
契約に、関連付けられた 1 つ以上のレートカードがある場合、契約フォームのフィールドは編集できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UIを使用している場合は、次の場所に移動します **All** (すべて) > 契約 をクリックし、 保険、 メンテナンス、 サービスなどの契約タイプを選択するか、[すべて] を選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペース を使用している場合、[契約管理] ビューに移動して、[すべての契約] タブを選択します。
   - エンタープライズ資産ワークスペース を使用している場合、[契約とリース管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、次に移動します: ライセンス操作 > 契約 > ソフトウェア契約 [新規] を選択します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   すべての契約タイプフォームにすべてのフィールドが表示されるわけではありません。

[契約] フォームまたは [新規契約を作成] フォーム

フィールド	説明
契約モデル	契約が割り当てられているモデル。 例として、[リース]、[メンテナンス]、[保証]、[サービス契約]、[ソフトウェアライセンス]、[サブスクリプション] などがあります。
ベンダー	契約を担当するベンダー。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
契約番号	ベンダーによって契約に割り当てられた番号 (必須)。
名前	契約の名前。
親契約	新しい契約の親契約 (該当する場合)。契約ルックアップリストから親契約を選択できます。
開始日	契約が発効する日付。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
終了日	契約が期限切れとなる日付。無期限の契約を作成するには、終了日を空欄のままにします。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
状況	契約の現状。 ○ ドラフト ○ 有効

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 期限切れ ○ キャンセル
サブステート	契約の現在のサブステート。 ○ レビュー待ち ○ レビュー中 ○ 承認済み ○ 却下
契約アドミン	契約の管理と、ベンダーとのやり取りに関して責任を負っている人物
承認者	契約を承認または却下するユーザー。 リストはフィルタリングされ、itil ロールを持つユーザーのみが表示されます。
事業主	事業の観点から契約を管理するユーザー。
合意タイプ	ライセンスの合意タイプ： ○ エンタープライズ ○ SaaS ○ 登録 このフィールドは、[契約モデル] で [メンテナンス] および [ソフトウェアライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。
コミットメント	契約の開始から終了まで、この期間中にこのベンダーと過ごすことを約束した金額。 このフィールドは、[契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
割引	ベンダーが提供することに同意した割引。 このフィールドは、[契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
契約のない SLA を処理	契約上と契約外の両方のサービスレベルアグリーメント (SLA) を処理するオプション。 このフィールドは、[契約モデル] で [サービス契約] が選択されている場合にのみ表示されます。
説明	契約の詳細な説明。
財務セクション	
請求書の支払条件	契約の支払い方法を説明する条項。例として、翌月支払いや **Net 30** (請求日から 30 日以内に支払う) があります。
支払いスケジュール	支払いを行うときを定義するスケジュール。例として、毎月や毎月があります。
支払額	これまでの契約で支払われた金額

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
適用可能な税	契約が非課税か消費税の対象であるかを示します。
有効税率	総コストに適用される税率 (該当する場合)。通常、課税される平均税率です。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
税コスト	税の総額。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
総額	調整適用後の契約の最終費用。契約に 1 つ以上のレートカードがある場合、このフィールドにはすべてのレートカードの合計値が表示されます。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
ベンダーアカウント	契約が関連付けられているベンダーアカウント。
発注書番号	契約に割り当てられた発注書番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。
レートカードあり	契約書に関連するレートカードがあるかどうかを示すチェックボックス。
更新セクション	
自動更新	期限が切れたときに契約を更新または延長できるかどうかを示します。
オプション	契約の更新または拡張の期間。たとえば、1 年です。
更改開始日	契約の更新または拡張が発効する日付。
更改終了日	契約の更新または拡張が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用された費用調整のタイプ ○ 固定 ○ マニュアル ○ CPI (消費者物価指数)
コスト調整額	契約の価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コスト調整率	契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。
契約条件セクション	
契約条件	契約に記載されている特定の法的情報。

4. フォームを保存します。
   - コア UI を使用している場合、フォームヘッダーを右クリックして、[保存] を選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペース、ソフトウェア資産ワークスペース、 または Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合は、[保存] を選択します。
5. 表示されている関連リストまたはタブへの情報の入力を続行します。

契約フォームの関連リストまたはタブ

関連リストまたはタブ	説明
対象資産	この契約の対象となるすべての資産の一覧表示。
対象ユーザー	この契約の対象となる全ユーザーの一覧表示。
契約使用者：	この契約で使用されているすべての構成アイテム (CI) の一覧表示。
契約条件	この契約のすべての契約条件の一覧表示。
経費ライン	この契約のすべての経費ラインの一覧表示。
契約履歴	この契約の開始日と終了日の変更および契約条件の変更を表示します。
承認履歴	この契約のすべての承認の一覧表示。
サービスオファリング	このベンダーのすべてのサービス提供の一覧表示。 この関連リストを表示するには、サービスポートフォリオ管理を有効にします。
契約のサービス コミットメント	このベンダーの製品に対するすべてのサービス コミットメントの一覧表示。 この関連リストを表示するには、サービスポートフォリオ管理を有効にします。

6. 次のアクションのいずれかを実行します。
   - 契約を保存して終了するには、[更新] を選択します。
   - 承認者に通知を送信するには、[レビューのため送信] を選択します。

関連情報

モデル

サービスポートフォリオ管理

サービスオファリングにコミットメントを追加する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約更改ワークフロー

契約

ソフトウェアメンテナンス契約の例を作成する

契約管理 アプリケーションの一般的な使用例の 1 つは、エンタープライズソフトウェアのメンテナンス支払いを追跡する契約を作成することです。この例を使用して、ソフトウェアメンテナンス契約の作成方法を知ることができます。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

このタスクについて

この例の目的は、時間の経過とともに異なるライセンスの購入とは無関係に、ソフトウェアアプリケーションに支払われなければならないメンテナンスの総額を示す契約を作成することです。この例を使用するには、ソフトウェア資産管理 プラグインを有効にする必要があります。

手順

1. モデル カテゴリに名前の入力とソフトウェア ライセンスを指定したアプリケーション モデルを作成します。
2. 名前とモデル番号を入力したソフトウェア モデルを作成し、手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。
3. 手順 2 で作成したソフトウェアモデルを選択し、新規のソフトウェアエンタイトルメントを作成します。
4. 次のように移動する。 契約 > 契約 > 中.
5. [新規]をクリックし、次の情報を入力します。

オプション	説明
合意タイプ	[エンタープライズ] を選択します。
アプリケーション モデル	手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。

6. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   多数の関連リストとセクションが表示されます。
7. [資産対象] 関連リストで、[新規] クリックし、次の情報を入力します。

オプション	説明
資産	手順 3 で作成したソフトウェア ライセンスを選択します。
追加された日付	値を入力します。

8. [送信] をクリックします。
9. 次の情報をフォームに入力して完成させます。

オプション	説明
支払いスケジュール	[毎年] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
支払額	値を入力します。

10. 必要に応じて他のフィールドに入力します。
11. [更新] をクリックします。
12. レビューのため契約を送信します。

関連情報

ソフトウェア資産管理

契約に資産を追加する

ソフトウェア ライセンスを含む特定の資産と契約を関連付けることができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
資産と契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産を追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] 関連リストで、[新規] をクリックします。
     b. [資産] フィールドで、契約の対象となる特定の資産を選択します。
     c. [追加された日付] フィールドで、資産が契約に追加された日付を選択します。

        過去、現在、未来の日付を選択できます。
     d. (オプション) [削除日] フィールドで、契約から削除された日付、または削除される予定の日付を選択します。

        [追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。
     e. [送信] をクリックします。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [対象資産] タブで、[新規] をクリックします。

b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産のチェックボックスをオンにします。

c. [追加] をクリックします。

契約にユーザーを追加する

契約は特定のユーザーを対象とすることができます。たとえば、契約を使用して臨時従業員のグループを雇うことができます。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 次のように移動する。 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
2. 契約を選択します。
3. [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [ユーザー] フィールドで、契約の対象となる特定のユーザーを選択します。
5. [追加された日付] フィールドで、ユーザーが契約に追加された日付を選択します。
   過去、現在、未来の日付を選択できます。
6. オプション: [削除された日付] フィールドで、ユーザーが契約から削除された、または削除される予定の日付を選択します。
   [追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。
7. [送信] をクリックします。

契約に構成アイテムを追加する

契約は構成アイテムに関連付けることができます。構成アイテムと契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

始める前に
必要なロール：admin または contract_manager

手順

1. 次のように移動する。 契約 > **All** (すべて).
2. 契約を選択します。
3. オプション: [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[新規] を選択して新しい構成アイテムを作成します。
4. [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[編集] をクリックします。
5. 左側の[コレクション] 構成アイテムリストで、構成アイテムの名前をダブルクリックします。
   アイテムが右側の [対象となる **CI** リスト **(CIs Covered List)]** に追加されます。
6. [保存] を選択します。

契約へのドキュメントの追加

契約はドキュメントと関連付けることができます。契約を関連ドキュメントにリンクすると、契約に関するすべての関連情報にまとめて簡単にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: **All** (すべて) > 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約にドキュメントを追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. フォームヘッダーの [添付ファイルの管理] (📎) アイコンをクリックします。
     b. [添付ファイル] ダイアログボックスで、[ファイルを選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
     a. 契約レコードのサイドバーにある添付ファイル (📎) アイコンをクリックします。
     b. [添付ファイル] ウィンドウで、[選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。

契約を調整する

契約を作成した後、契約の開始日、終了日、支払い金額などを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約を調整するには、[ステータス] が [アクティブ] となっている必要があります。契約の終了日が変更されると、関連するすべての資産の終了日がその新しい終了日と一致するように変更されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ステータスが [アクティブ] の契約を選択します。
3. [調整] をクリックします。
4. [契約を調整] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[契約を調整] のフィールド

フィールド	説明
契約開始日	契約が発効する日付。
契約終了日	契約が期限切れとなる日付。
契約支払額	契約に支払われた総額。契約に 1 種類以上のレート カードがある場合、この欄にはすべてのレート カード ベース コストの合計が表示されます。

5. **[Submit Adjustments]** をクリックします。

契約を更新する

契約を作成した後、または契約の有効期限が切れた後、契約を更新することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

- 契約が更新されても、新しい契約は作成されません。代わりに、同じ契約が更新情報で更新されます。
- 契約の開始日と終了日の変更は、[契約履歴] タブに取り込まれます。
- 契約情報が更新されると、契約情報と履歴は保持されます。契約の終了日が変更されると、関連する資産の終了日が一致するように変更されます。次の条件を満たす契約を更新することができます。
  - [状態] が [アクティブ] か [期限切れ]
  - [サブステート] が [なし] または [却下済み]
- システムプロパティ *sn_contract_enable_renewal_flow* が有効になっている場合、契約更新ワークフローをメンテナンスと保証の契約で使用できます。詳細については、「契約更改ワークフロー」を参照してください。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

または、[契約管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。

- Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

  または、[契約とリースの管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。

2. 状態が [アクティブ] または [期限超過] の契約を選択します。
3. [更新] をクリックします。
4. [契約をレビュー (Review the Contract)] フォーム (コア UI) またはダイアログボックス (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約をレビュー **(Review the Contract)]** のフィールド

フィールド	説明
承認者	契約を承認または却下するユーザー。
オプション	更新のための期間 (年)。
更改開始日	更新された契約が発効する日付。
更改終了日	更新された契約が期限切れとなる日付。
コスト調整タイプ	更新された契約に適用されるコスト調整のタイプ：[なし]、[固定]、[手動]、または **[CPI]**。
コスト調整率	更新された契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。
コスト調整額	更新された契約における価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。

5. 次のいずれかの手順を実行します。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー中] に変更するには、[レビューのため送信] をクリックします。契約は特定の承認者に送信されます。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー待ち] に変更するには、[保存] をクリックします。[更新] ボタンを押すと、更新された契約を後でレビューするために送信することができます。
6. 必要に応じて[契約] フォームの情報を変更します。
7. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
[保存] オプションを選択した場合、承認のために更新された契約を送信する準備が整ったら、必ず [更新] をクリックしてください。

契約をキャンセルする

[状態] が [アクティブ] のときに契約を取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約がキャンセルされると、以下のプロセスが発生します。

- 契約の [状態] が [キャンセル] に変わります。
- 条件チェッカーが非アクティブに変更されます。
- [更新] と [延長] ボタンが非アクティブになります。
- 契約レートカードが非アクティブになります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約をキャンセル] をクリックします。
4. 契約のキャンセルを確定するには、[はい] をクリックします。

通知を受け取る契約アドミニストレーターのアサインを確認する

契約の有効期限について契約アドミニストレーターにリマインダーを送信するイベントが自動的に毎晩実行されるので、契約の更新または再交渉を行うことができます。適切な契約アドミニストレーターが契約に割り当てられていることを確認できます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
contract.expiration イベントが 契約 [ast.contract] テーブルで毎晩実行されると、契約アドミニストレーターとして指定された人にメールメッセージが送信されます。このメールは、次の時刻に送信されます。

- 契約の有効期限の 90 日前
- 契約の有効期限の 60 日前
- 契約の有効期限の 30 日前
- 契約の有効期限当日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アドミンロールを持つユーザーは、契約通知を処理する contract.expiration 条件チェックを編集できます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約アドミン] フィールドに正しい名前が含まれていることを確認します。
   単名を指定することができます。

関連情報

条件チェック定義

メール通知/SMS 通知

承認のために契約を送信する

[ドラフト] ステータスにある契約を、承認のため送信することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. ステータスが [ドラフト] の契約とサブステートが [レビュー待ち] の契約を選択します。
3. 契約の [承認者] を選択します。
4. [レビューのため送信] をクリックします。
   選択した承認者に電子メール メッセージが送信され、契約の [サブステート] が [レビュー中] に変更されます。

契約を承認または却下する

契約責任者の場合は、契約を承認または却下できます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: **All** (すべて) > 契約 > 自分の承認.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[自分の承認] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
2. [要求済み] ステータスの契約を選択します。
3. 契約を承認または却下します。
   - 契約を承認します。
     - コア UI で契約を承認するには、[承認] をクリックします。契約の [サブステート] が [承認済み] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を承認するには、[ステータス] フィールドを [承認済み] に設定します。
   - 契約を却下します。
     - コア UI で契約を却下するには、[却下] をクリックして、[コメント] フィールドに却下の理由を入力します。契約の [サブステート] が [却下] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を却下するには、[ステータス] フィールドを [却下済み] に設定します。
4. [更新] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。
   - [ステータス] が [ドラフト] に設定されており、[開始日] が将来の日付に設定されている契約は、開始日に達するまで [ドラフト] のステータスのままとなります。契約の [サブステート] が [承認済み] の場合、システムにより [状態] が [アクティブ] に変更され、[サブステート] の値が削除されます。
   - [状態] が [ドラフト] となっており [開始日] が過去の日付に設定されている契約が承認されると、契約の [状態] が自動的に [アクティブ] に変更され [サブステート] が空欄になります。

契約の承認履歴を表示する

契約フォームの [承認履歴] 関連リストから、契約の承認履歴を表示させることができます。

始める前に

必要なロール：workflow_admin、admin、または sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

レビューのために契約が承認者に送信された後には、承認者の名前を変更できません。承認者が契約を却下した場合、承認のために再度送信される前に、同一の承認者または別の承認者を指定することができます。契約がレビューおよび承認されると、承認履歴レコードが契約フォームの [承認履歴] 関連リストに自動的にリスト化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [承認履歴] タブを選択します。
4. 承認の詳細を表示するには、レコードをクリックします。

契約条件

契約に契約条件を追加して、契約に関連するすべての文書を 1 箇所に保管することができます。

契約条件は、検索してレポートで使用することができます。1 件の契約に複数の契約条件レコードが追加されている場合は、レコードが特定の順序で表示されるようにレコードの順序を設定します。契約条件が承認のために送信された後、契約条件フィールドは読み取り専用になります。

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約履歴を読んで契約条件を追加できます。

契約に契約条件を追加する手順は 3 つあります。

契約条件レコードを作成する

契約に追加する契約条件レコードを作成することができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約の契約条件のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: **All** (すべて) > 契約 > 契約 > 契約条件.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [契約条件] フォーム (コア UI) または [新規契約条件を作成 (Create New Terms and Conditions)] フォーム (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約条件] フォームまたは [新規契約条件を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	契約条件に使用される一意の ID。このフィールドは、自動的に生成されます。
名前	契約条件の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
契約	契約にリンクします。
使用済み	契約に契約条件が関連付けられているかどうかを示すチェックボックス。
説明	契約条件の詳細。

4. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

契約に条件を追加する

契約条件レコードを作成した後、[レビュー待ち]、[却下]、[却下された更新]、または [却下された延長] サブステートにある契約にレコードを追加します。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約条件は、作成時にのみ契約に追加できます。契約が承認された後は、契約条件を変更できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に契約条件を追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [契約条件] 関連リストで、[新規行を挿入] をダブルクリックします。
     b. 参照ルックアップアイコンをクリックし、リストから契約条件レコードを選択します。
     c. (オプション) [順序] に番号を入力して、契約条件のドキュメントに表示するレコードの順序を指定します。

     > **注:**
     > 1 つの契約の重複する契約条件レコードを入力してレコードを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、新しい重複レコードは追加されません。

   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
     a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。
     b. プロンプトが表示されたら、必要な情報を入力します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。

b. ダイアログボックスで、追加する各契約条件のチェックボックスを選択します。

c. [追加] をクリックします。

契約内で契約条件を作成する

1 件以上の契約条件レコードを契約に追加した後で、契約の中で契約条件のドキュメントを作成することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

条件レコードは、[順番] フィールドで指定された順序で追加されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。

- コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
- ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
- Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

2. 契約を選択します。

3. 1 つ以上の契約条件レコードが [契約条件] タブに追加されていることを確認します。

4. [契約条件] タブで、契約の契約条件を作成します。

- コア UI を使用している場合は、[契約条件の作成] 関連リンクをクリックします。
- ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約条件の作成] をクリックします。

[契約条件] リストのすべてのレコードが、契約の [契約条件] に追加されます。

5. [更新] をクリックします。

契約レート カードを作成する

レート カードを作成して契約経費を追跡することができます。レート カードを使用すると、費用を記録して割り当てるのに便利です。

始める前に

レートカードを使用するには、コスト管理プラグインをアクティブ化する必要があります。
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて

契約レート カードは契約の詳細な価格情報を提供し、自動的に経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

次のようなケースを考えてみましょう。ある組織がデータ センター内の技術業務を監督するサードパーティの会社と契約しているとします。ニューヨークのデータセンターで特定のサーバーモデルを使用する場合の契約コストは、マドリードのデータセンターで同じサーバーモデルを使用する場合と異なります。これらの費用を個別に詳述する 2 種類のレート カードがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
2. 契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 契約レートカードフォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

関連情報

経費の割り当て

経費でビジネスサービスを使用する

契約レートカードフォーム

契約レートカードフォームを使用すると、契約の詳細な価格情報を提供することで、自動的に経費の経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

フィールド	説明
番号	契約レートカードの番号。
契約	内部契約番号。
サマリータイプ	契約レートカードタイプ。レート カードを分類するとレポート作成に便利です。ビジネスを成長、 ビジネスを運営、 ビジネスを変革から選択できます。
名前	契約レートカードのわかりやすい名前。
有効	レートカードが使用可能かどうかを示すオプション。
簡単な説明	契約レートカードの簡単な説明。
開始日	契約レートカードが有効になる日付。指定された日付以降に発生した費用について経費ラインが作成されます。財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
終了日	契約レートカードが無効になる日付。財務計算を有効にするため契約の終了日以降の日付を設定することはできません。値が入力されておらず、契約に終了日がある場合、日付は自動的に契約の終了日に設定されます。終了日以降に発生した費用の経費ラインは作成されません。
間隔	レート カードの請求期間の間隔。たとえば、[毎月]、 **[4** 半期]、[毎年] があります。
コストセンター	レートカードに対して財務的に責任を負うコストセンター。
前回処理	レート カードが請求された直近の日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
次のプロセス	次にレート カードを請求する日。
説明	レート カードの詳細情報。
売上税	合計費用に売上税を適用するかどうかを示すオプション。
税率	総コストに適用される実効税率。税率は通常、課税される平均税率です。
コストを配賦	[ベースコスト] フィールドに表示された金額を配賦して経費ラインを作成する方法。
値	[コストを配賦] フィールドで [値ごとにコストを割り当ておよび配賦] が選択されている場合に使用する値のタイプ。
ベースコスト	支払われなければならない課税前の金額。
税コスト	税の総額。
総コスト	税金などの調整を適用した後のレートカードの最終費用。

経費ラインを作成する

通常、経費ラインは資産またはユーザーに基づいて自動的に生成されますが、必要に応じて手動で新規の経費ラインを登録することができます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費ライン] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、[新規] をクリックします。
4. フォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費ラインの表

フィールド	説明
番号	経費ラインを識別する一意の番号。
日付	経費ラインが作成された日付。
レートカード	経費ラインが関連付けられているレートカードの識別番号。
レートタイプ	経費ラインの生成時に考慮されるレートタイプ。このフィールドは読み取り専用です。
ソース ID	経費ラインに関連付けられているアイテムの識別番号。このフィールドが入力されると、対応する情報がこのフォームの [ソース] フィールドに自動的に追加されます。
総計	[ソース **ID**] フィールドで指定されたアイテムの金額。貸方を指定する場合は負の値を入力します。
処理日	経費ラインが処理される日付。
継承	経費ラインが別の経費ラインにあるかどうかを示すチェックボックス。
状態	経費ラインの現在の状態 ([保留中] または [処理済み])。
サマリータイプ	経費ラインのカテゴリ：ビジネスを成長、ビジネスを運営、またはビジネスを変革。経費ラインの分類はレポート作成の際に役立つ可能性があります。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。
資産	経費ラインに関連付けられている資産の識別番号 (存在する場合)。
固定資産	この経費ラインに資産が含まれている固定資産。固定資産は、1 つ以上の個別の資産 (ハードウェア資産やソフトウェア資産など) を保持するコンテナーです。名前付きの [資産] が固定資産に含まれている場合、このフィールドには適切な固定資産が自動的に入力されます。
契約	[資産] に関連付けられている契約の識別番号 (契約番号ではない)。
ユーザー	[資産] に関連付けられているユーザーの名前 (存在する場合)。
構成アイテム	経費ラインに関連付けられている構成アイテムの名前 (存在する場合)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスクの識別番号 (存在する場合)。
コスト	[ソース **ID**] で識別されたアイテムを財務的に担当するコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
センター	

5. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

資産またはユーザーに基づいた経費ラインを生成する

経費ラインは、特定の時点での経費の金額と、経費が発生または生じた記録です。契約に割り当てられた資産またはユーザーに基づいて、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて
経費ラインを生成するには、手順が 3 つあります。

手順

契約にユーザーまたは資産を追加する

契約にユーザーまたは資産を追加して、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産またはユーザーを追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] または [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
     b. [資産] または [ユーザー] を指定します。
     c. [追加された日付] を指定します。
     d. [送信] をクリックします。
     e. (オプション) 前の手順を繰り返して、資産またはユーザーをさらに契約に追加します。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> Enterprise 資産ワークスペースの契約にユーザーを追加することはできません。

a. [対象資産] タブまたは [対象ユーザー] タブで、[新規] をクリックします。
b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産またはユーザーのチェックボックスを選択します。
c. [追加] をクリックします。

レート カードを作成し、ユーザーまたは資産を割り当てます

レート カードを作成する際にユーザーまたは資産を割り当てることができます。契約に割り当てられているユーザーまたは資産のみ割り当てることができます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順

1. 次のように移動する。 契約管理 > 契約 > **All** (すべて).
2. 割り当てられたユーザーまたは資産の契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [開始日] を指定します。
   財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
5. ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。
6. [資産対象] または [レートカードユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
7. 契約に割り当てられている[資産] または [ユーザー] を選択します。
   親契約に関連付けられている資産とユーザーのみが一覧表示されます。
8. [追加された日付] を指定します。
9. [送信] をクリックします。

レート カードの費用生成を設定する

レート カードに資産またはユーザーを追加した後には、契約の [財務] セクションにある[コストを配賦] フィールドを使用して、レート カード費用を生成することができます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順

1. 次のように移動する。 契約 > 契約 > **All** (すべて).
2. 費用を生成する契約を選択します。
3. [契約レートカード] 関連リストで、レートカードを選択します。
4. [コストを配賦] で、次のいずれかのオプションを選択して [ベースコスト] に一覧表示されている金額を配賦します。

オプション	説明
経費ラインを資産全体に均等に分割	[資産ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	たとえば、ベースコスト 100 USD と資産 2 つで、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
資産価値に基づいて資産間の経費ラインを分割	[値ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 [値] フィールドに [コスト] と [残余コスト] オプションが表示されます。コストは資産レコードの [コスト] または [残余コスト] フィールドより導出されます。レート カードに複数の資産がある場合、コストまたは残存コストは資産の価値に基づいて分配されます。 たとえば、ベースコストが 100.00 USDで 70 USD の資産 1 つ、30 USD の資産 1 つで [コスト] オプションを選択すると、1 件が 70 USD、もう 1 件が 30 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
経費ラインをユーザー間で均等に分割	[ユーザーごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 たとえば、ベースコストが 100 USD で契約上にユーザーが 2 人いると、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
個々の資産の代わりに契約にコストを割り当てる	[契約にコストを割り当て] を選択します。

5. [更新] をクリックします。
   レートカードの [開始日] と [終了日] の間に発生した費用は、スケジュール済みジョブによって自動的に生成されます。スケジュール済みジョブである *Process FM Costs* は、契約 [ast_contract] テーブルで 1 日 1 回実行されます。経費ラインは、[有効] または [期限切れ] 状態の契約からのみ生成されます。期限切れの契約で経費ラインを生成し、前回の経費を追跡することができます。

関連情報

契約ライフサイクル

契約の経費ラインを表示する

[経費ライン] 関連リストまたはタブを使用して、特定の契約に記録されたすべての経費を表示および監査します。

始める前に

必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費ライン] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) を選択します。
4. 表示する経費ラインを選択します。
   経費ライン、契約の総コスト、契約の現在価値などの情報が一覧表示されます。

契約を監視する

契約履歴を表示して契約レポートを作成することにより、契約を監視できます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約開始日、終了日、契約条件のいずれかに変更があった場合、契約のコピーが自動的に保存され、契約履歴に格納されます。これは契約の変更を追跡して監査証跡を保持するのに便利です。[契約履歴] 関連リストまたはタブを、作成や更新用の列を含めて構成すると、契約の編集者が簡単に分かるようになります。

自動翻訳

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、次の場所に移動します: 契約 > 契約 > **All** (すべて).
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約履歴] 関連リスト (コア UI) またはタブ ([ハードウェア資産ワークスペース] および [Enterprise 資産ワークスペース]) を表示し、次のいずれかのアクションを実行します。
   - 契約に以前のバージョンが存在する場合、[契約開始] 列の日付をクリックしてバージョンを表示します。
   - 契約に以前のバージョンが存在しない場合は、契約の[開始日] または [終了日] を変更します。ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。[契約履歴] 関連リストで、[契約開始] 列の日付をクリックして以前のバージョンを表示します。

契約レポートを実行する

契約の追跡と管理に役立つさまざまなレポートが用意されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > レポート > 表示/実行.
2. 実行する次のいずれかのレポートを選択します。

契約レポート

レポート	説明
ユニット当たりのコスト別アクティブな契約	ユニット当たりの平均コスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ライフタイム コスト別アクティブな契約	ライフタイム コスト別のアクティブな全契約に関連するレート カードを含んで、昇順でグループ化。総コストは、契約の開始時からレポート実行日までの間で起算されます。
月額コスト別アクティブな契約	1 か月当たりのコスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ベンダー別アクティブな契約	ベンダー別のアクティブな全契約のアルファベット順。
年間コスト別アクティブな契約	年間コスト別のアクティブな契約を、昇順にグループ化。
状態別全契約	[ドラフト]、[アクティブ]、[期限切れ] など、契約を状態別にグループ化 (棒グラフで表示)。
タイプ別全契約	アクティブな全契約をタイプ別にグループ化 (円グラフで表示)。
資産契約リスト	契約番号別の資産のアクティブな全契約。
タイプ別契約支出	リース、メンテナンス、保証などタイプ別の契約経費の合計 (棒グラフで表示)。
ベンダー別契約支出	特定のベンダーに関連する全契約の総コスト (棒グラフ形式)。
契約パイプライン レポート	状態が [ドラフト]、 [アクティブ]、[期限切れ] のいずれか、またサブステートが [レビュー待ち] または [レビュー中] の全契約 (棒グラフで表示)。
期限切れが間近の契約	今後 90 日以内に期限切れになるすべての契約。

条件チェック定義

条件チェック定義を使用すると、レコードのフィールド値を変更する時期を示す論理条件を定義できます。

で *Contract Compliance Checks* と呼ばれるスケジュール済みジョブ システムスケジューラ > スケジュール済みジョブは、条件チェッカーを実行して、これらの条件チェック定義を毎日評価します。このジョブを実行すると、条件チェック定義を実行する ConditionChecks スクリプトインクルードがトリガーされます。この条件チェッカーを使用して、開始日と終了日を確認し、契約の有効期限を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、契約の開始日を 3 月 1 日とします。条件チェッカーが 3 月 1 日に実行されると、契約の [サブステート] が [承認済み] となっているか検証され、[開始日] フィールドに基づいて契約の [ステータス] が [アクティブ] に設定されます。

日次条件チェッカーは、契約の [終了日] に基づいてアクティブな契約に適切な有効期限のレベルを設定します。有効期限のレベルは [契約] リストで確認できます。有効期限のレベルを知ることで、契約アドミニストレーターは期限が切れる前に契約を更新または延長することができます。

条件チェックを定義する

条件チェックを定義して、*Contract Compliance Checks* スケジュール済みジョブが夜間に実行されるごとに契約にある値を変更します。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 契約 > アドミニストレーション > 条件チェック定義.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。

条件チェック定義フィールド

フィールド	説明
テーブル	この条件が適用されるテーブル。契約チェック定義の場合、契約 **[ast.contract]** を選択します。
カテゴリ	条件チェックのカテゴリ。[契約] または [なし] を選択します。カテゴリは情報とレポートを整理するために使用されます。
条件フィールド	更新されるフィールド。通常、[有効期限レベル] か [状態]。
イベント名	この条件のフィールドの値が変更されたときに発生するイベントの名前。<table_name>.<condition_field> を使用して名前を作成します。 例：contract.validation
順番	条件が評価される順番。

4. ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   [条件] 関連リストが表示されます。
5. [条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームに入力します。

条件フィールド

フィールド	説明
名前	期限切れ条件が満たされている場合、フィールドに設定される値。
条件チェック	関連する条件チェック。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	条件チェックに関連付けられたテーブル。
イベント名	この条件が発動するイベントの名前。
期限切れ条件	この値 ([名前]) に設定されている[条件チェック] フィールドが True となる必要のある条件。 必要とされる数の条件を追加します。
適合状態	システムフィールド。使用しません。
順番	条件が評価される順番。[有効期限切れ条件] が True となる最初の一致条件が使用され、他の条件はチェックされません。

7. [送信] をクリックします。
   条件チェック フォームが開き、関連リストに新しい条件が一覧表示されます。
8. オプション: 上記の手順に従って、必要に応じて条件を追加します。

ドメインセパレーションと 契約管理

契約管理 ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

調達

調達マネージャーは、ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して発注書 (PO) を作成し、サービスカタログ要求を履行するためのアイテムを取得することができます。

調達 では、次の機能を実行できます。

- サービスカタログ要求の追跡
- 発注書 (PO) の作成
- 転送注文の登録、管理
- 資産の受領

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達のロール

調達アプリケーションは次のロールを使用します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 調達の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書 (PO)を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

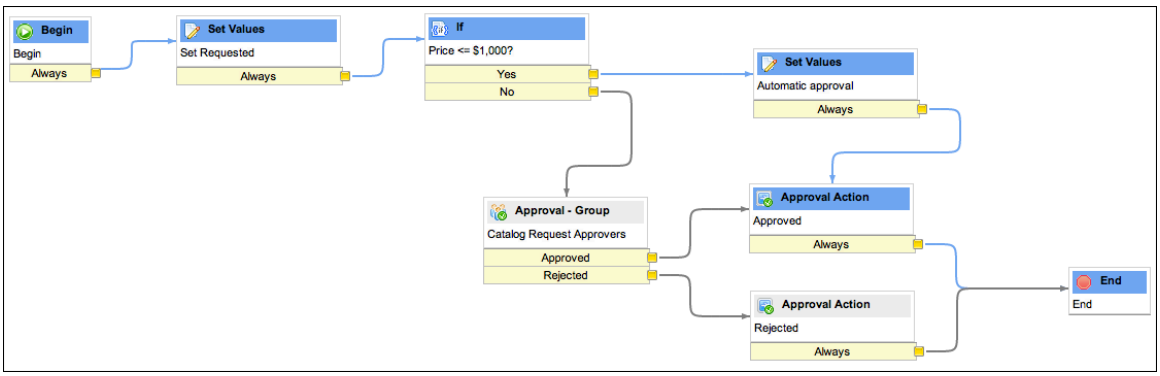
自動翻訳

Procurement のワークフロー

調達では次のワークフローが使用されます。

- サービスカタログ要求ワークフローでは、サービスカタログから注文されたアイテムが 1,000 ドルを超えると、承認が必要となります。

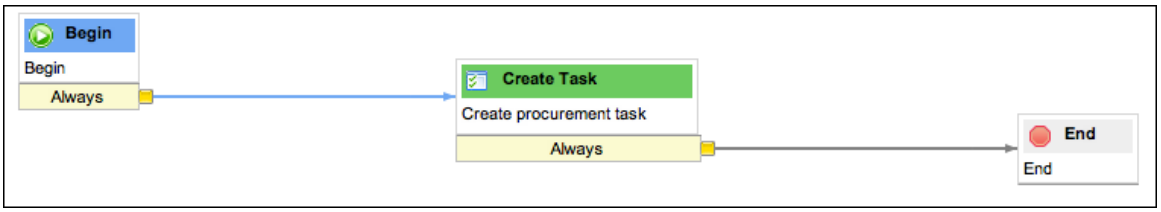
サービスカタログ要求ワークフロー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソース要求ワークフローでは、調達マネージャーが転送注文や発注書を作成してアイテムを調達できるように、カタログタスクが作成されます。

ソース要求ワークフロー



これらのワークフローはベース システムで提供されています。グラフィカルなワークフローエディターでこれらのワークフローを編集したり、組織の調達ニーズに合わせてワークフローを作成することができます。

関連情報

ワークフロー

調達概要モジュールを使用する

調達概要ホームページのゲージを使用すると、要求、発注書 (PO)、および調達プロセスのその他の重要な側面の追跡、管理に役立ちます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 概要.
2. 詳細情報を取得するには、ゲージ内の要素をクリックします。

   Example
   たとえば、要求番号をクリックすると、要求レコードが表示されます。

調達 をアクティブ化する

コアの調達機能となる 調達 プラグインをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin、procurement_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用して調達プラグイン (com.snc.procurement) を検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

調達でインストールされるコンポーネント

調達にはいくつかのタイプのコンポーネントがインストールされています。

デモ データは調達で利用可能です。デモ データには、サンプル要求、発注書、発注明細、受領伝票があります。

調達でインストールされるビジネスルール

調達プラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
残り数量を調整する	発注明細 [proc_po_item]	注文額から受領した金額を差し引くことによって、発注明細で受注したアイテムの残量を計算します。
調達要求ができる	要求 [sc_request]	要求が調達されるかどうかを確認します。
Procurement 注文を取り消す	要求 [sc_request]	要求の状態が [キャンセルしてクローズ] に変更された場合、未受信の発注書 (PO) と要求アイテムが含まれている未出荷の転送注文ラインを取り消します。
要求アイテムが調達済みになっているか確認する	要求アイテム [sc_req_item]	要求されたすべてのアイテムが調達済みになっている場合、親要求の [調達済み] フィールドを **[True]** に設定します。
要求が調達可能か確認する	要求アイテム [Sc_req_item]	要求アイテムに関連付けられた要求が調達できるかどうかを確認します (転送注文またはベンダーへの発注書を作成して取得します)。
資産を作成する	受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注明細が利用可能な場合、明細の資産を受領したときに受領明細の資産を作成します。
ロールアップ状況とアセットの削除の処理	発注明細 [proc_po_item]	発注明細がキャンセルまたは受領された場合、それらを管理します。発注明細が取り消されると、このビジネスルールは事前に作成された資産を削除します。 このビジネスルールは、同じ発注書を共有する他の発注明細のステータスも確認し、必要に応じて発注書 (PO) のステータスを更新します。たとえば、最後の発注明細が受領されると、発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
既存の転送注文 - 調達に TOL をリダイレクトする	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文が [ドラフト] ステージにあり、[配送元ストックルーム] と [配送先ストックルーム] が転送注文ラインと同じ値である場合、既存の転送注文に転送注文 ラインを添付します。
送料の変更	発注書 [proc_po]	出荷レートが変更された場合、発注書 (PO) の総コストを再計算します。
状態の変更	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	関連する転送注文 ラインのステータスが [受領済み] に変更された場合、要求アイテムも [受領済み] としてマークします。
状態の変更	発注明細 [proc_po_item]	発注明細が注文された時間を設定し、発注明細が受領された時間に元の要求アイテムを更新します。
発注書 (PO) の状態の変更	発注書 [proc_po]	関連する発注書 (PO) のステータスが変更されたときに、発注明細のステータスを変更します。
総コスト	発注明細 [proc_po_item]	個々のアイテムのコストと注文数量に基づいて総注文コストを計算します。発注明細を受領した際、このビジネスルールには次の手順も実行します。 • 別の値を入力しない限り、[表示価格] フィールドに [コスト] の値を入力します。 • [合計表示価格] と [注文数量] の値を掛けて、[合計表示価格] フィールドの値を計算します。
発注書 (PO) の納品予定日の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注書 (PO) の [納品予定日] を最新の発注明細の [納品予定日] に設定します。
発注書 (PO) の納品予定日の更新	発注書 [proc_po]	次の条件のうち少なくとも 1 つが当てはまる場合、関連する発注明細の [納品予定日] を発注書 (PO) の [納品予定日] に設定します。 • 発注明細に納品予定日がない。 • 発注明細の納品予定日は発注書 (PO) の納品予定日より遅い。 • 発注明細の納品予定日は発注書 (PO) の前納入日付と同日。
注文日の更新	発注書 [proc_po]	[注文日] フィールドを、発注書 (PO) のステータスが [注文済み] に設定されている日時に設定します。
発注書 (PO) の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注明細のコストが変更された場合、発注書を更新します。
発注明細の更新	受領明細	受領明細を受け取った際、関連する発注明細の[受領済み数量] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
	[proc_rec_slip_item]	
要求アイテム CI の更新	ハードウェア [alm_hardware]	調達プロセス中に作成された関連するハードウェア CI に、カタログ タスクと要求アイテムの [構成アイテム] フィールドを設定します。

関連情報

ビジネスルール

調達でインストールされるクライアントスクリプト

調達プラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

クライアントスクリプト	テーブル	説明
要求が空欄でない場合は要求アイテムを隠す	カタログ タスク [sc_task]	タスクが要求アイテムに関連付けられており、要求には直接関連付けられていない場合、タスクの要求アイテムと要求アイテムの要求元の値を表示します。それ以外の場合、タスクが要求に関連付けられていたらクライアントスクリプトは要求と要求元の値を表示します。
発注明細の必須	受領明細 [proc_rec_slip_item]	関連する受領伝票に一覧表示された発注書 (PO) がある場合、受領伝票フォームの [発注明細] フィールドを必須に変更します。

関連情報

クライアントスクリプト

調達でインストールされるスクリプトインクルード

調達プラグインは、次のスクリプトインクルードを追加します。

スクリプトインクルード	説明
ProcurementUtils	Procurement のユーティリティを提供します。

調達でインストールされるテーブル

調達プラグインは、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
発注書 [proc_po]	注文アイテム、注文アイテムのコスト、ベンダーに注文したアイテムを必要とするユーザーに関する情報を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	注: asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
発注明細 [proc_po_item]	発注書で注文されたアイテムや数量に関する情報を保存します。 **注:** asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
受領伝票 [proc_rec_slip]	発注書で注文されたアイテムの受領情報を保存します。複数の受領明細を参照できます。
受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注されたアイテム、発注された数量、発注者など、特定の発注明細で発注されたアイテムに関する受領情報を保存します。

調達でインストールされるユーザーロール

調達プラグインは、次のユーザーロールを追加します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 調達の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書 (PO)を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

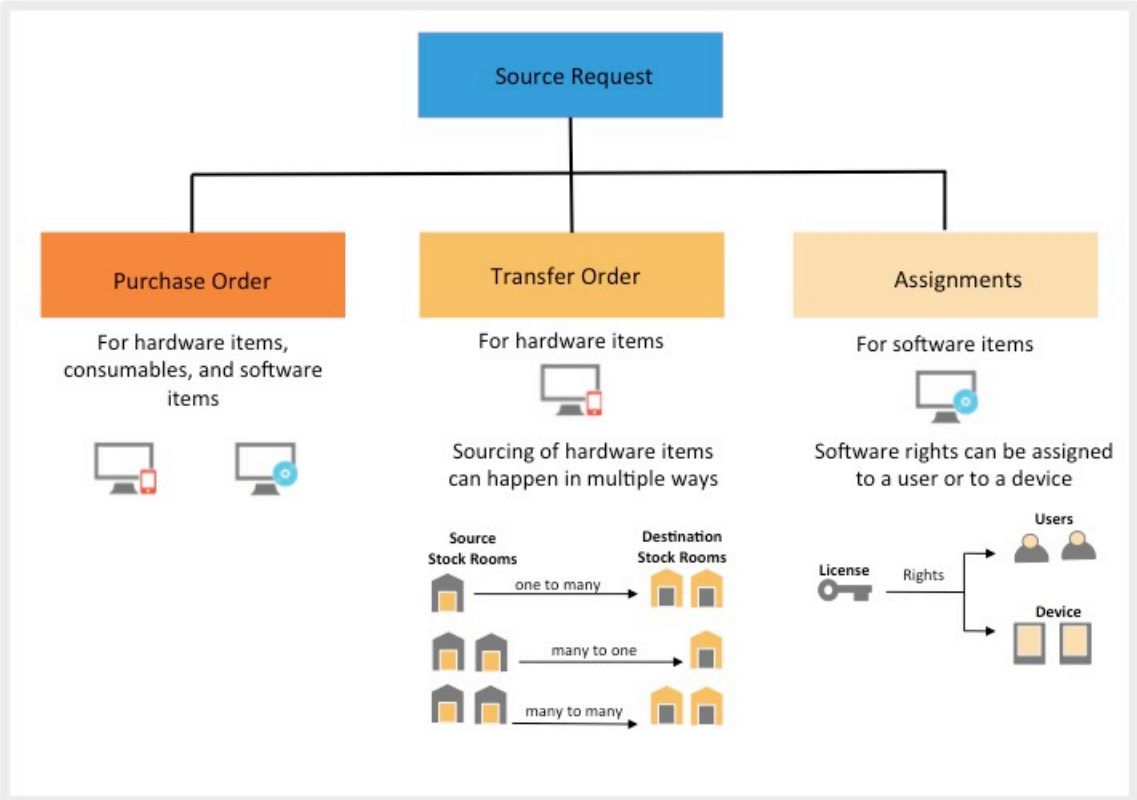
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスカタログ要求でのアイテムの調達

サービスカタログ要求には、調達する必要のある複数のアイテムが含まれていることがあります。

要求アイテムを調達する方法



注:
割り当てられたモデルを持つアイテムのみ調達可能です。バンドルを調達することはできません。

ローカルストックルームからの要求アイテムの調達

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、サービスカタログ要求を履行できます。在庫にある資産が予約され、要求を調達して履行するための履行タスクが作成されます。

その他のストックルームからの要求アイテムの調達

要求されたアイテムの在庫がない場合は、発注書を作成して、他のソースストックルームからローカルストックルームにアイテムを配送できます。1 つの発注書で複数のアイテムを要求できます。

発注書を作成した後には、要求アイテムを受け取る前または後に、ハードウェア資産を作成して要求者用に予約することができます。ソフトウェアライセンスを受け取る前に、ソフトウェアライセンスを作成したり、要求者にアサインしたりすることはできません。

要求されたハードウェアアイテムの調達

要求されたハードウェアアイテムを調達するには、転送注文を作成します。ソースストックルームから複数の宛先ストックルームにハードウェア資産を転送できます。

ソースのストックルームに十分なアイテムの在庫がない場合は、ハードウェアアイテムを宛先ストックルームに転送できるように、転送注文で複数のソースストックルームを指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションがServiceNowインスタンスでも有効化されている場合、このアプリケーションのワークフローが転送注文を処理します。詳細については、「Move an asset through the transfer process」を参照してください。

要求されたソフトウェアライセンスの調達

要求されたソフトウェアライセンスを調達するには、ソフトウェアライセンスの権限をユーザーまたはデバイスにアサインして、ソフトウェアの使用を許可する必要があります。

関連情報

- 転送注文の管理
- サービスカタログからの要求を追跡する
- モデル
- バンドルされたモデル

要求から発注書を作成する

要求から直接発注書を作成することができます。これにより、調達マネージャーはアイテムを入手してサービスカタログからの要求を満たすことができます。1 件の要求から複数の発注書を作成することができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > **Requests** (要求).
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求の [番号] を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を調べます。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達要求アイテム番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] 画面に、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. [要求アイテム] セクションで、[購入] を選択します。
6. [ベンダー] リストで、要求されたアイテムの配送元ベンダーを選択します。
7. [在庫切れ]フィールドが「**false**」に設定されていることを確認します。
   ベンダーに在庫がない場合、フィールドの値は「**true**」になります。
8. [数量] フィールドで、注文する数量を指定します。
9. [宛先ストックルーム] リストで、要求された 1 点以上のアイテムが配送される宛先を選択します。
10. オプション: **[PO** を統合] チェック ボックスを選択し、一覧表示されたアイテムを既存の発注書 (PO) と結合します。

    (Optional) [発注書 (PO) の統合] にチェックを入れると、同じ要求で同じベンダーから調達されるすべてのアイテムが同じ発注書 (PO) に掲載されます。ベンダーを選択すると、システムによって自動的に、同じ要求に対して作成された発注書 (PO) が検索され、同じベンダーが選択され、[要求済み] 状態となります。一致するアイテムが見つかると、すべてのアイテムが同じ発注書 (PO) に掲載され、一緒に注文することができます。システムで一致が見つからない場合は、新規の発注書 (PO) が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、Apple からスマートフォンを 25 台購入しようとしていて、Apple 向けの未処理の発注書 (PO) がすでに存在している場合、25 台のスマートフォンは未処理の発注書 (PO) に追加されます。選択したベンダー向けの未処理の発注書 (PO) がない場合、新規の発注書 (PO) が作成されます。同じベンダーに注文したアイテムはグループ化されます。発注書では、異なるアイテムはそれぞれ別の行に表示されます。

11. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 発注書を作成します。
- 要求では、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

要求から転送注文を作成する

ストックルームからハードウェア アイテムと消耗品を調達する要求から、直接転送注文を作成することができます。

始める前に

必要なロール：調達_admin または 調達_user

重要:
フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションがServiceNowインスタンスでも有効化されている場合、このアプリケーションのワークフローが転送注文を処理します。詳細については、「Move an asset through the transfer process」を参照してください。

手順

1. 調達要求を表示します。
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達タスクを選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] ページまたは [調達] ページに、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. 転送注文を作成します。
6. オプション: ハードウェア資産ワークスペースの [調達] ページで、[流通チャネル経由のソース] チェックボックスをオンにして、宛先の倉庫をサポートするインバウンド流通チャネルから資産を調達します。

   注:
   [転送注文] の流通チャネル経由での調達を可能にする [流通チャネル経由のソース] チェックボックスは、ハードウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このチェックボックスをオンまたはオフにする設定は保存され、[調達] ページを再度開いたときに表示されます。

   要求者の場所をサービスの場所として複数の倉庫に関連付けることで、場所の範囲をさらに確保できます。また、これらの倉庫を複数のインバウンド倉庫または流通チャネルに関連付けて、倉庫間での資産の転送を最適化することもできます。流通チャネルを使用すると、倉庫に指定したランクに基づいて、調達に適した倉庫から資産を調達できます。

   詳細については、「ストックルームとサービスの場所の関連付け」と「倉庫を流通チャネルにリンクする」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [ソース倉庫] リストで、ハードウェアアイテムの調達元にする倉庫を選択します。

   注:
   ハードウェア資産ワークスペースの [ソース倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のインバウンド流通チャネルのみが表示されます。

   a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。

   b. 要求者の場所をサポートする倉庫にインバウンド流通チャネルが追加された場合。

8. [転送数量] フィールドで、転送する数量を指定します。
   [在庫あり] 列には、選択した調達倉庫で使用可能な総在庫が表示されます。
9. [宛先倉庫] リストで、要求されたアイテムが配送される宛先を選択します。

   注:
   ハードウェア資産ワークスペースの [宛先倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のみが表示されます。

   a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。

   b. 要求者の場所が 1 つ以上の倉庫のサービス場所として追加された場合。

10. [送信] を選択します。
    調達倉庫の場所から宛先倉庫の場所にアイテムを移動させる転送注文が作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

関連情報

転送注文の管理

ローカルストックルームからのソース要求

要求の調達時に、ローカルストックルームを可視化します。

始める前に

要求者のローカルストックルームから資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームで在庫が利用可能な場合、資産は予約され、要求を調達するためのフルフィルメントタスクに従います。要求者の場所がサービス場所の一部として別のストックルームでサポートされている場合、このストックルームから資産を調達することもできます。ローカルストックルームに在庫がない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成できます。

ワークフロースタジオ アプリケーションは、ローカルストックルームから資産を使用して要求を調達するプロセスを実行する [資産ローカル在庫] サブフローを作成するために使用されます。このサブフローがさまざまなステージを進むにつれ、資産の詳細が自動的に更新されます。[資産ローカル在庫] サブフローを開いて、サブフローのステージステータスを表示できます。

注:
意思決定テーブルを使用して、[資産ローカル在庫] サブフローをカスタマイズします。詳細については、「ハードウェア資産管理フローのカスタマイズ」を参照してください。

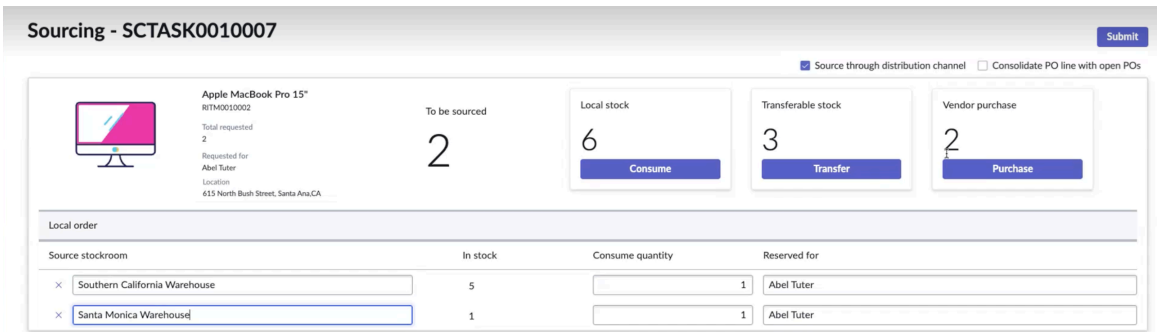
必要なロール：

- procurement_user または procurement_admin
- Inventory_user または Inventory_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. procurement_user または procurement_admin ロールの認証情報でログインします。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Service Catalog** をクリックし、[ハードウェア] を選択します。
3. 調達するハードウェアアイテムを選択し、[今すぐ注文] を選択します。
   要求が送信され、[注文ステータス] フォームレイアウトが表示されます。
4. 要求番号を選択します。
5. [要求] フォームレイアウトで、[カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
6. 調達タスクを選択し、[ソース要求] を選択します。



   [調達] フォームには、次のハードウェア調達要求の詳細が表示されます。
   - 要求合計：要求されたハードウェアの数量
   - 要求元：ハードウェアが要求されたユーザーの名前
   - 場所：ハードウェアを展開する場所
7. [消費] を選択して、ローカルストックルームと、自分の場所を担当するストックルームから利用可能な在庫を調達します。
   ローカルストックルームと自分の場所を担当するストックルームに在庫がない場合、[転送] または [購買] を選択して、転送注文または発注書 (PO) によって要求を調達します。転送注文を作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、アドミニストレーターが glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer プロパティをオンにする必要があります。
8. [ソース倉庫] を選択し、資産を調達するストックルームを選択します。
   場所がサービスの場所としてストックルームに関連付けられている場合は、ローカルストックルームとともにこのストックルームから調達できます。サービスロケーション機能により、単一のストックルームで複数のロケーションをサポートし、ローカルの在庫を効率的に消費できます。サービスロケーションの詳細については、「ストックルームとサービスの場所の関連付け」を参照してください。

   ソースストックルームで資産集荷タスクが有効になっている場合、このタスクはハードウェア資産のリフレッシュ要求フローとハードウェア資産要求フローに追加されます。
9. [消費量] フィールドで、選択したストックルームから消費する資産の数量を指定します。
10. [予約目的] を選択して、要求を調達するユーザーを指定します。
11. 複数のストックルームから調達するには、手順 7 ～ 9 を繰り返します。
12. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産消費タスクが作成されます。ストックルームから資産が選択され、[予約目的] リストで選択したユーザー用に予約されます。選択した資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [予約済み] になります。

13. Inventory_admin または Inventory_user のロールの認証情報を使用してログインします。
14. [要求されたアイテム] 関連リストで要求アイテムを表示します。
15. [資産タスク] 関連リストを選択し、タスクを選択し、資産を選択して調達タスクにアサインします。
    資産消費タスクフォームのレイアウトが [資産タスク] モジュールに表示されます。調達する資産のタイプ (ハードウェアまたは消耗品) によっては、フォームレイアウトのフィールドが異なる場合があります。[資産タスク] モジュールには、すべての資産タスクレコードがリストされます。
16. 必要な変更を行い、完了したらタスクをクローズします。
    - ハードウェア資産の場合：資産は調達タスクに自動的にアサインされますが、[資産] リストを選択して資産を変更することができます。完了したら、[タスクをクローズ] を選択します。
    - 消耗資産の場合：資産の代わりに資産のモデルがフォームレイアウトに表示されます。[タスクをクローズ] または [消費してクローズ] を選択します。[消費してクローズ] を選択すると、予約された資産が自動的に取得され、ユーザーにアサインされます。[タスクをクローズ] を選択した場合は、[消耗品] フォームレイアウトに移動して、ユーザーに資産を手動でアサインする必要があります。

要求から割り当てを追加する

ソフトウェア ライセンスから権限を調達するための要求から、直接割り当てを追加することができます。

始める前に

必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > **Requests** (要求).
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
5. 要求されたソフトウェアアイテムセクションで [割り当てを追加] を選択します。
6. [ライセンス名] リストで、ソフトウェアの権限の調達元にする必要のあるライセンスを選択します。
   [利用可能な権限] 列には、選択したライセンスで利用可能なすべての権限が表示されます。
7. [権利] フィールドで、割り当てる権限を指定します。
8. [タイプ]リストから、ユーザーまたはデバイスに権限を割り当てるかどうかを選択します。
9. [アサイン済み/割り当て済み] リストで、要求されたアイテムを割り当てるユーザーまたはデバイスを選択します。
10. [送信] を選択します。
    [ライセンス名] の場所から [アサイン済み/割り当て済み] のユーザーまたはデバイスに権限をアサインするための割り当てが作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。
11. コンピューターを実行して、コンプライアンスに準拠していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 がアクティブな場合は、ソフトウェアカウンターを実行するように求められます。

12. **[OK]** を選択します。
    監査の場合、要求フォームの [割り当て済みライセンス] 関連リストにこの要求の一部として行われたすべての割り当ての詳細が表示されます。

調達での資産の注文管理

発注書 (PO) の正確な情報は、請求書の追跡、受領、ServiceNowプラットフォームでのレポートにとって重要なものです。

調達アプリケーションを使用すると、適切な調達ロールを持つユーザーは資産の発注書情報の管理を行えます。また、サービスカタログ要求へ直接アクセスできます。発注書 (PO) や転送注文を要求から直接作成することができます。

調達アプリケーションを使用する前に、カタログ タスクのアサイン先グループを登録してください。アサイン先グループとは、場所別にフィルタリングされた一連のユーザーで、カタログ タスクを実行できるユーザーです。

関連情報

転送注文の管理

グループの作成

サービスカタログからの要求を追跡する

調達アプリケーションでは、サービスカタログから注文された要求を追跡できます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
ユーザーがサービスカタログから注文すると、要求レコードが作成されて注文を追跡します。各注文アイテムは、要求レコードに一覧表示される要求アイテムとなります。たとえば、ラップトップ 1 台、モニター 2 台、キーボード 1 台という 1 件の要求で、次のレコードが作成されます。

要求 REQ0000001：4 アイテム

- 要求アイテム RITM0000001：ラップトップ 1
- 要求アイテム RITM0000002：モニター 2
- 要求アイテム RITM0000003：キーボード 1

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > **Requests** (要求).
2. 要求の [番号] をクリックします。
   [要求アイテム] 関連リストに注文アイテムが表示されます。要求アイテムを表示したり、他の関連リストの関連する発注書 **(PO)**、転送注文、割り当てを表示することができます。要求アイテムごとにカタログタスクが自動的に生成され、購入すべきかストックルームから転送すべきかなど、アイテムの調達を識別します。

サービスカタログからの要求をキャンセルする

たとえばアイテムが不要になったり要求が承認されなかったりするなど、サービスカタログからの要求を取り消すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：catalog_admin、procurement_admin、または procurement_user

このタスクについて
サービスカタログ要求がキャンセルされると、次の処理が自動的に行われます。

- まだ受領されていない関連した発注書 (PO) がキャンセルされます。
- すべての調達タスクがキャンセルされます。
- 転送注文に関連するすべての転送注文ラインがサービスカタログ要求にも関連付けられ、転送注文ラインがすべて取り消された場合、関連する転送注文はキャンセルになります。転送注文にサービスカタログ要求と関連のない転送注文ラインが含まれていて、それらのラインが取り消されていない場合、転送注文はキャンセルとなりません。

[輸送中] または [配送済み] ステージにある関連する転送注文 ラインはキャンセルできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > **Requests** (要求).
2. 要求の [番号] をクリックします。
3. [要求をキャンセル] をクリックします。

カタログ タスクの表示と編集

カタログ タスクは、アイテムの調達と要求の実行に使用されます。要求からカタログ タスクを表示、編集できます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
要求に承認が必要な場合は、要求が承認されるとカタログ タスクが自動的に作成されます。要求に承認が必要ない場合は、要求が作成されたときにカタログ タスクが自動的に作成されます。

> **注:**
> 要求に要求アイテムが 1 点含まれており、そのアイテムにモデルが指定されていない場合、カタログ タスクは自動的に作成されません。要求に複数の要求アイテムがあり、そのうちのいくつかのアイテムだけにモデルが指定されている場合、カタログ タスクは自動的に作成されますが、モデルが指定されている要求アイテムに対してのみ作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > タスク.
2. カタログ タスクを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

カタログ タスクフィールド

フィールド	説明
番号	カタログ タスクを識別する固有の番号。
要求	カタログ タスクが関連付けられている要求の番号。このフィールドの情報は、要求フォームの [番号] フィールドから導出されています。
要求アイテム	カタログ タスクが関連付けられている要求アイテムの番号。このフィールドの情報は、要求アイテム フォームの [番号] フィールドから導出されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要求元	関連アイテムを要求した人物の名前。このフィールドの情報は、[要求] または [要求アイテム] フィールドから導出されます。
期日	カタログ タスクを完了させる必要のある日付。
構成アイテム	要求アイテムに関連付けられた構成アイテム。
承認	カタログ タスクの承認のステータス：[未要求]、[要求済み]、[承認済み]、[却下]
状態	カタログ タスクの現在の状態：[保留中]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、[スキップしてクローズ]
アサイン先グループ	カタログ タスクを完了するために個人が選択されるグループ。
担当者	アサイン先グループから選択したカタログ タスクを完了するために割り当てられた個人。
作業メモリスト	カタログ タスクの作業メモが更新されたときに電子メール通知を受け取るユーザーのリスト。
簡単な説明	カタログ タスクの簡単な説明。
説明	カタログ タスクの詳細な説明。
作業メモ	カタログ タスクの解決方法に関する情報。
追加コメント	カタログ タスクに関する有用な情報。これは顧客に見えるフィールドです。

4. [更新] をクリックします。

関連情報

モデル

発注書を作成する

発注書を作成することができます。発注書 (PO) は、単体のベンダーから注文する資産を指定します。

始める前に

必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて

たとえば、組織はラップトップ 20 台またはサーバー 10 台を購入する発注書を作成することができます。発注書 (PO) の情報は、注文された資産の物理的、財務的な追跡を可能にします。

資産がすでに組織によって所有されている場合は、転送注文を使用することもできます。転送注文は、資産を購入する代わりに、あるストックルームから別のストックルームに資産を内部転送するために使用されるものです。たとえば、ニューヨークの会社のストックルームにボストンで必要としているラップトップが 5 台あるとします。ニューヨークのストックルームからボストンのストックルームにラップトップを移動する転送注文を作成します。

発注書を作成すると、[受領伝票] 関連リストが発注書フォームに表示されます。受領伝票は、アイテムを受領したときに手動か自動で作成されます。[受領伝票] 関連リストには、発注書 (PO) に関連の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

あるすべての受領伝票が表示されます。受領伝票が発注書 (PO) に追加されると、発注書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用になります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。
ベンダー	発注書 (PO) が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書 (PO) のアイテムが配送されるストックルーム。 **注:** このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書 (PO) が作成された日付。
ステータス	発注書 (PO) のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。
アサイン先	発注書 (PO) が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書 (PO) の総コストの支払いを担当する場所。
簡単な説明	発注書 (PO) の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書 (PO) のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書 (PO) のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書 (PO) の内容の完全な説明。
詳細セクション	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
初期要求	発注書 (PO) に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。
要求元	発注書 (PO) に記載のアイテムを要求するユーザー。 **注:** 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow 調達 アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書 (PO) に記載のアイテムを要求した日付。
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。
配送予定	発注書 (PO) に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書 (PO) の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書 (PO) の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書 (PO) に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書 (PO) の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書 (PO) に関連付けられた予算番号。
ベンダーアカウント	発注書 (PO) に関連付けられているベンダーアカウント。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
発注アイテムを追加して、このベンダーから発注するものを指定します。

関連情報
転送注文の管理

発注明細を作成する

新規の発注書を保存したら、発注明細レコードを作成して注文する個別のアイテムを特定します。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. 発注書を開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [発注明細] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームに入力します。

発注明細フィールド

フィールド	説明
番号	発注明細を識別する一意の番号。
ベンダー	この製品が注文されるサプライヤー。
製品モデル	発注明細のモデル。
製品カタログ	製品モデルが割り当てられている製品カタログ カテゴリ。例：ハードウェア、ソフトウェア、消耗品
品番	製品モデルに割り当てられた識別番号。
評価指標グループ	それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。 **注:** [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。
ライセンスメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 **注:** ◦ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。 ◦ Coupa で利用できないライセンスメトリクスを選択した場合、ライセンスメトリクス値はデフォルトで「**each**」に設定されます。
要求アイテム	発注明細に関連付けられた要求アイテムレコードの識別番号。
注文済み	この発注明細が注文された日時。
配送予定	発注明細が [配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドには、発注書レコードの [配送予定] フィールドの値が自動的に入力されます。発注明細のステータスが [要求済み] である場合は、このフィールドを編集できます。 このフィールドの詳細については、発注書 (PO) の配送予定日を参照してください。
受領済み	発注明細のステータスが [受領済み] に変更された日時。
発注書	この発注明細に関連付けられた発注書レコード番号。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
ステータス	発注明細の現在のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[保留中の配送]、[受領済み]、[要求済み]。
注文数量	注文された製品モデルの数。
受領数量	出荷され受領された製品モデルの数。ベンダーが複数の荷物を配送している場合もあります。 受領数量が注文数量より多いことも少ないこともあります。たとえば、ラップトップを 5 台注文していたかもしれませんが、ベンダーは 6 台出荷して来ました。
残り数量	注文数量通りにするために未だ受領する必要がある製品モデルの数。
表示価格	アイテムの小売価格。割引は含まれません。システムによって発注書 (PO) がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムの表示価格が導出されます。ベンダーカタログアイテムに表示価格がなく、価格が入力されていない場合、このフィールドには自動的に [コスト] フィールドの値が入力されます。
コスト	割引を含む単一の製品モデルのコスト。システムによって発注書 (PO) がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムのベンダー価格のコストが導出されます。
総コスト	[数量] で指定された値を乗じた、単一の製品モデルのコスト。
カタログ以外の要求	このチェックボックスを選択して、組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムの要求を作成します。 **注:** ◦ 調達統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドはフォームに表示されません。詳細については、「外部調達アプリケーションとの統合」を参照してください。 ◦ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このチェックボックスがフォームに表示されます。 ◦ [製品カタログ] フィールドでアイテムを選択すると、このチェックボックスは自動的にオフになります。 ◦ [製品カタログ] フィールドでアイテムを選択していない場合、このチェックボックスは自動的にオンになり、カタログ以外の要求を送信することを示します。
在庫オーダー	読み込み専用で、関連する要求が一括在庫オーダーワークフローを使用している場合に選択されます。 **注:** ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールする時に、すべての発注明細に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	発注明細を説明する短い説明。

5. [送信] をクリックします。
   発注書 (PO) が再び表示され、アイテムが一覧表示されます。発注書 (PO) と明細は、[要求済み] ステータスになります。
6. オプション: 必要に応じてこのベンダーの発注明細を追加します。
7. ベンダーへの注文を開始して注文するものが準備ができたら、[注文] をクリックします。
   発注書 (PO) と発注明細のステータスは、[注文済み] に変更されます。

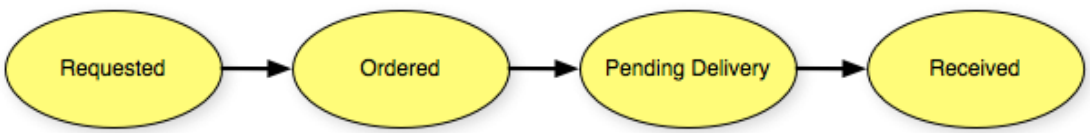
関連情報

ベンダーカタログアイテム

発注書ステータス

発注書 (PO) は特定のライフサイクルに従っています。発注書レコードの [ステータス] フィールドは、常に読み取り専用です。

発注書ステータス



ステータスのライフ サイクル

ステータス	説明
要求済み	発注書を作成すると、ステータスは [要求済み] になります。
注文済み	発注明細を追加して [注文] をクリックすると、ステータスが [注文済み] に変わります。
保留中の配送	発注明細として資産を受領する前に作成すると、発注書 (PO) と発注明細のステータスが [保留中の配送] に変更されます。
受領済み	注文済みの資産が指定したストックルームに配送されて [受領] をクリックすると、発注書 (PO) と発注明細のステータスが [受領済み] に変更されます。
キャンセル	発注書 (PO) のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] であれば、発注書を取り消すことができます。詳細については、「発注書 (PO) のキャンセル」を参照してください。

発注書 (PO) の配送予定日

発注書レコードと発注明細レコードには、どちらにも配送予定の日付フィールドが含まれています。

[配送予定] フィールドはどちらのレコードででも編集できます。片方のレコードのフィールドを編集すると、もう片方のレコードのフィールドも変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 発注書 (PO) に配送予定日を追加し、発注明細の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注書 (PO) に掲載の日付が発注明細に自動追加されます。
- 発注明細に配送予定日を追加し、発注書 (PO) の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注明細に掲載の日付が発注書 (PO) に自動追加されます。
- 発注書 (PO) と発注明細の配送予定日が同じで、発注書 (PO) に掲載の日付を変更すると、発注明細の日付も自動変更されます。
- 発注明細の日付を発注書で指定した日付より後の日付に変更すると、発注書 (PO) の日付が新しい日付に変更されます。発注明細の配送予定日は、関連する発注書 (PO) の配送予定日よりも後にすることはできません。
- 発注明細の日付を発注書で指定された日付より前の日付に変更すると、発注書 (PO) の日付は変わりません。

発注書 **(PO)** のキャンセル

発注書 (PO) のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
発注明細は、発注書からキャンセルすることもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. キャンセルするには、発注書を開きます。
3. [キャンセル] をクリックします。
   まだ受領されていない関連した発注書 (PO) がすべてキャンセルされます。発注書 (PO) に対して作成された資産はすべて削除されます。

発注明細のキャンセル

発注明細のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
発注明細をキャンセルする際は、次の点にご注意ください。

- 発注明細をキャンセルする際、他のすべての明細も同様にキャンセルすると、発注書 (PO) がキャンセルとなります。
- 発注明細のキャンセル後、関連する発注書 (PO) がキャンセルされていないか未受領の場合は再注文することができます。
- 資産が作成された発注明細がキャンセルされると、資産はシステムから削除され発注書から削除されます。
- 同じ発注明細を再注文する場合、そのラインのステータスが [保留中の配送] であれば、資産が再度作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、キャンセルするアイテムを選択します。
4. [キャンセル] をクリックします。

発注書 (PO) の再注文

キャンセルされた発注書 (PO) は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. ステータスが [キャンセル済み] の発注書を開きます。
3. [注文] をクリックします。
   発注書 (PO) と関連するすべての発注明細に対して、ステータスが [発注済] に変更されます。

発注明細の再注文

キャンセルされた発注明細は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、ステータスが [キャンセル済み] のアイテムを選択します。
4. [注文] をクリックします。
   発注明細の [ステータス] フィールドが、関連する発注書 (PO) の [ステータス] フィールドに基づいて変更されます。たとえば、発注書 (PO) のステータスが [保留中の配送] の場合、発注明細のステータスは [保留中の配送] に変更され、発注明細の資産が自動的に作成されます。

要求者のために資産を作成して予約する

配送前に資産を作成することにより、プロセスの早い段階で資産タグとシリアル番号を使用して資産レコードを作成し、要求したユーザーのために資産を予約することができます。受領者は資産が事前に作成されるため、受領する資産のみを選択することができます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
一部の要求は、要求されたアイテムが調達される前に承認されている必要があります。ベース システムでは、1,000 USD を超える要求には承認が必要となります。1,000 USD 以上の承認のしきい値や、その他のワークフローの属性を変更するには、サービスカタログ要求ワークフローを編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の状態が [在庫あり] の場合、[予約目的] フィールドは、資産が受領されストックルームに配置されているとして維持されます。資産の状態が [使用中] に変更されると、[予約目的] フィールドには [担当者] というラベルが再度付けられます。[予約目的] フィールドに名前がある場合、フィールドのラベルが再度付けられるとその名前が保持されます。資産ロールを持つユーザーは、[担当者] フィールドで名前を変更することができます。IT 技術者がラップトップを 10 台注文し、個々のユーザーに割り当てる必要がある場合などに、名前を変更すると便利です。

注:
資産が配送前に作成されていない場合、発注書 (PO) が受領されるとその資産が明細から自動的に作成されます。また、資産の詳細を入力して発注書 (PO) が受領されたときに受け取ることもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > **Requests** (要求) > タスク.
2. [状態] が [オープン] のタスクを開き、[ソース要求アイテム] の [簡単な説明] を開きます。
3. [ソース要求] をクリックします。
   - 要求がすでに満たされている場合、または要求のアイテムが調達可能でない場合、[ソース要求] ボタンは表示されません。
   - 要求されたアイテムに割り当てられたモデルがない場合、アイテムは [要求を調達] ダイアログボックスに表示されません。
   - 発注書 (PO) の残り数量が **0** のアイテムは、 ダイアログボックスに表示されません。
4. [宛先ストックルーム] を選択します。
5. 一覧表示された 1 点以上のアイテムに対し、**[PO** の作成] オプションを選択します。
6. 発注書 (PO) が必要な各アイテムに対し、ベンダーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. 次のように移動する。 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
9. 作成した発注書を開きます。
   複数のアイテムの発注書を作成した場合、複数の発注書 (PO) が作成されている可能性があります。
10. [注文] を選択します。
    アイテムが注文された後で、発注書 (PO) に他の発注明細を追加することはできません。
    すべての発注明細のステータスが [注文済み] に変更されます。
11. すべての発注明細に対してハードウェア資産を自動的に作成するには、[配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。
    ハードウェア資産は [資産] 関連リストに表示されます。リスト内の資産をクリックして資産レコードを表示します。消耗品を除き、[予約目的] フィールドには元の要求を実行したユーザーの名前が含まれています。

    個別の発注明細に対して資産を作成することもできます。発注書で、[発注明細] 関連リストに移動し、特定の発注明細番号をクリックします。その後 [配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。発注明細に含まれるハードウェア資産のみが作成されます。

関連情報

資産状況とサブステートを設定する

モデル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産の受領

資産は、ストックルームに配送された段階で受領でき、システムに追加されます。

適切な調達ロールを持つユーザーが資産を受領することができます。1 件の発注書 (PO) に複数の発注品目が含まれている場合、それらの品目を別々の時間に受領することができます。これは、アイテムが別々の出荷でストックルームに到着する場合に便利です。すべての発注明細を受領するまで、発注書 (PO) のステータスは [受領済み] に変更されません。

到着時に資産を受領する代わりに、到着前に資産を作成して、要求者用に予約することができます。

資産を受領する

資産が受領されて倉庫に配送されると、その資産はシステムに追加されます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
資産の受領時：

- ハードウェア資産をあらかじめ作成していない場合は、資産の詳細を入力してユーザー用に予約できます。
- 受領数量が注文数量よりも多い場合もありますが、そのような注文でも受領できます。
- 異なる複数の受領倉庫を指定して複数のアイテムを注文した場合、アイテムを同時に受領できます。

手順

1. 発注書 (PO) を表示します。
2. ステータスが [注文済み] または [配送保留中] の発注書を選択します。
3. [受領] を選択します。
   [発注書 (PO) の受領] 画面に、注文した製品のリストが表示されます。
4. 受領した品目の [受領済み] チェックボックスを選択します。
5. ソフトウェア資産を受領するには：
   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。
   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。
   c. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
      数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。
   d. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。
      受領した権限よりも多くの資産の詳細を入力することはできません。
   e. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。
   f. 資産タグ、シリアル番号、権限、ライセンスキーを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ハードウェア資産と消耗品を受領するには：

   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。

      注:
      資産バンドルを受領すると、ステータスが [バンドル] の資産バンドルが作成されます。資産バンドルの下に個々の資産を追加する必要があります。

   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。

   c. [予約] トグルボタンを選択して、アイテムを予約します。
   予約したアイテムが受領されると、対応する資産レコードの[状態] フィールドと [サブステート] フィールドがそれぞれ [在庫あり] と [予約済み] に自動的に設定されます。アイテムに対して [予約] ボタンが選択されていない場合、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドはそれぞれ [在庫あり] と [利用可能] に設定されます。

      注:
      消耗品は予約できません。

   d. [予約目的] リストから、資産の予約を希望するユーザーを選択します。

      発注明細フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

      [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、複数のユーザーを追加できます。

   e. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。

      受領数量以上の資産の詳細は入力できません。ユーザーの資産を予約することもできます。

      注:
      事前に資産を作成している場合は、受領する資産を選択する必要があります。

   f. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。

   g. 資産タグとシリアル番号を入力します。
   エンタープライズ資産管理 または OT 資産管理 アプリケーションをアクティブ化した場合は、[**MAC** アドレス] フィールドも表示されます。

   h. [予約目的] リストから、アイテムを注文したユーザーを選択します。
   [発注品目] フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

   i. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
   数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。

7. [送信] を選択します。
   受領した資産の詳細を示す確認メッセージが表示されます。
8. **[OK]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

受領伝票は自動的に作成され、[受領伝票] 関連リストに表示されます。発注書 (PO) に掲載のアイテムを異なる時間に受領した場合、発注書 (PO) のアイテムを受領するたびに新しい受領伝票が作成されます。たとえば、ラップトップが 30 台注文され、配送が 3 回に分かれて到着した場合、3 件の受領伝票が作成されます。

ハードウェアアイテムごとに異なる資産が作成されます。ソフトウェア資産の場合は、権限を分割しないとライセンスごとに 1 つの資産が作成されます。消耗品の場合は、資産がすでに存在する場合は更新され、そうでない場合は新規の資産が作成されます。

受領伝票を作成する

受領伝票は、資産を受領する過程で自動的に作成されます。手動で受領伝票を作成することもできます。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
発注書 (PO) に対して受領伝票が作成されると、発注書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用に変更されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 受領 > 受領伝票.
2. [**New**] をクリックします。

   [番号] は自動的に割り当てられます。現在の日付と時刻が[受領済み] フィールドに自動的に追加されます。

3. [発注書] を選択します。
   選択ウィンドウには、[注文済み]、[保留中の配送]、[要求済み] のステータスを持つ発注書 (PO) のみが一覧表示されます。[ベンダー] 列には、発注書 (PO) に指定されているベンダーが表示されます。[配送先] 列には、発注書で指定された目的の宛先ストックルームが表示されます。
4. [受領ストックルーム] を選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク
受領伝票に受領伝票ラインを追加して、受領した発注書 (PO) のアイテムを特定します。

受領伝票ラインを作成する

資産がストックルームに到着して受領すると、受領伝票が発注書 (PO) に作成されます。受領伝票ラインを作成して、受領した特定の資産や数量を識別します。

始める前に
必要なロール：調達_admin または 調達_user

このタスクについて
資産がすでに存在する場合、受領伝票ラインを保存すると資産レコードが更新されます。資産がまだ存在しない場合は、新規のハードウェア資産レコードまたは新規のソフトウェア資産レコードが作成されます。[モデル カテゴリ] と [構成アイテム] フィールドには、要求、発注書、受領伝票のいずれかの情報に基づいて、新規の資産レコードが自動的に入力されます。[資産管理番号] と [シリアル番号] の情報が存在する場合は、上書きされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 受領 > 受領伝票 をクリックし、受領伝票を開きます。
2. [受領伝票ライン] 関連リストで、[新規] を選択します。
   次のフィールドは自動的に入力されます。
   - [番号] が割り当てられます。
   - [受領済み] では、現在の日付と時刻が追加されます。
   - [受領者] には、現在ログインしているユーザーが追加されます。
3. [発注明細] で、参照ルックアップアイコンを選択してから、発注明細を選択します。
   親受領伝票に関連付けられた発注書 (PO) がある場合、[発注明細] フィールドは必須となります。
   親受領伝票にリンクされた同じ発注書 (PO) に関連付けられている発注明細のみ選択可能です。
4. [数量] に、受領したアイテムの数を入力します。
   たとえば、アイテムを 5 点注文したが、2 つだけ受領した、などです。
5. オプション: 必要に応じて [受領者]、[要求元]、[単価] の各フィールドを編集します。
6. [送信] を選択します。

タスクの結果
受領伝票レコードの [受領倉庫] フィールドは読み取り専用になります。

消耗資産

消耗資産とは、数量で購入して配布するものです。消耗品モデル カテゴリに割り当てられ、資産レコードで利用可能な数量と総コストを追跡されます。消耗資産が受領されると、既存の消耗品レコードに結合されます (利用可能な場合)。

レコードに結合するため、消耗品を有効な転送注文に登録することはできず、また、資産レコードの [モデル]、 [事業所]、 [モデル カテゴリ]、 [ストックルーム]、 [ステータス]、[サブステータス] の各フィールドが一致している必要があります。

消耗品が既存の消耗品レコードに結合される場合、受領した追加の消耗品のコストはレコード内の既存の消耗品のコストに加算されます。たとえば、コンピューターキーボードが 50 台到着し、同じモデルのキーボードが既に 20 台受領ストックルームにある場合、2 件のレコードが結合され、ストックルームにある 70 台のキーボードと合計コストが表示されます。

受領ストックルームに一致する消耗品レコードが存在しない場合、レコードが作成されます。消耗品の受領後、数量は更新されますが、個々の消耗品は調達アプリケーション内で追跡されなくなり、受領伝票ラインには表示されません。

注:
発注書 (PO) の関連リストには、消耗資産の詳細は表示されません。つまり、発注書を通じて消耗品を追跡することはできません。

消耗資産の作成の詳細については、「 消耗資産を作成する」を参照してください。

外部調達アプリケーションとの統合

外部調達アプリケーションを ソフトウェア資産管理 と統合してエンドツーエンドの調達プロセスを管理し、外部調達アプリケーションでソフトウェア要求を直接作成します。ソフトウェア資産管理はこれらの要求を追跡し、これらの要求を外部調達アプリケーションで受信した後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 と外部調達アプリケーションとの統合によって、次のことができるようになります。

- エンタイトルの作成までの購入要求全体をエンドツーエンドで可視化します。
- ソフトウェア要求の作成からエンタイトルメントの作成までのプロセス全体を自動化します。
- エンタイトルメント作成のエラーを削減します。

事前準備

- ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

  注:
  ソフトウェア資産管理プロ は、資産管理 - 調達 統合アプリケーションをインストールするために必須ではありませんが、機能全体を利用するために必要です。

- 調達 プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。
- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。

資産管理 - 調達 統合のインストール

ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store にリスト化されている資産管理 - 調達統合 アプリケーションを確認してください。

必要なロール：Now Support

資産管理 - 調達 統合の資格が付与されたら、Now Support に連絡してこのアプリケーションをインストールできます。

このタスクについて

スケジュール済みジョブとテーブルは、 資産管理 - 調達 統合とともにインストールされます。

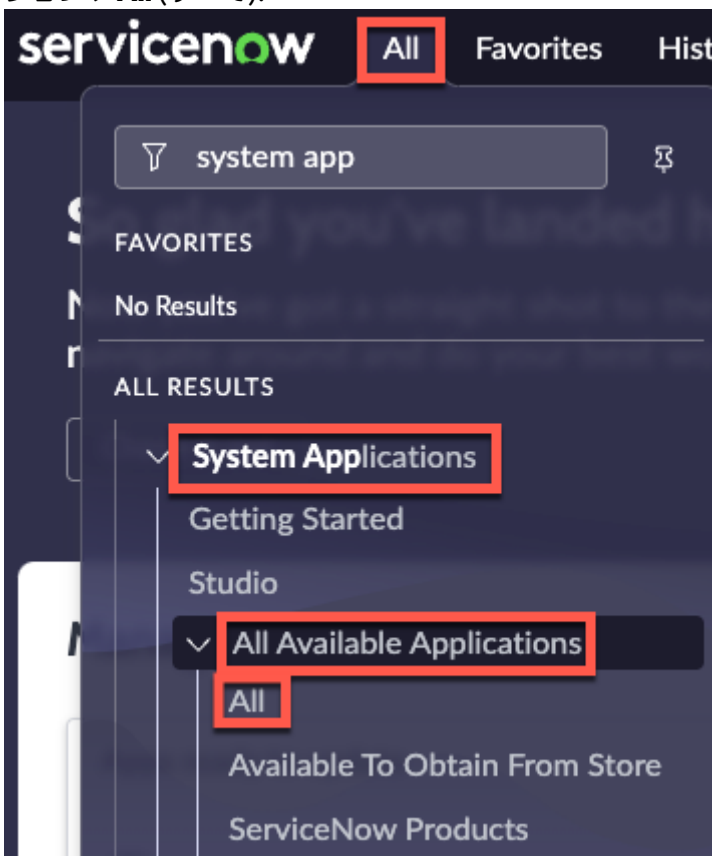
詳細については、「資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. [インストール] を選択します。

資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント

資産管理 - 調達 統合アプリケーションがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、スケジュール済みジョブなど) がインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
ITAM - 同期 <procurement_integration_profile_name> 発注書 (PO)	作成済みの要求のステータスを毎日フェッチします。 このスケジュール済みジョブは、統合プロファイルを公開すると自動的に作成されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]	ServiceNow の 調達 アプリケーションに接続されているサードパーティ調達統合の詳細が含まれます。
調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job]	調達統合プロファイルとそれに関連するスケジュール済みジョブのマッピング情報が含まれます。
統合スケジュール済みジョブの結果 [itam_procurement_integration_job_log]	スケジュール済みジョブ実行の失敗の詳細が含まれます。

ドメインセパレーションおよび 資産管理 - 調達 統合

資産管理 - 調達 統合では、ドメインセパレーションがサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクを、「ドメイン」と呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別の顧客に影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、最小実行可能製品 (MVP) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

資産管理 - 調達統合の概要

ドメインセパレーションは、資産管理 - 調達 統合アプリケーションのすべての側面に存在します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 - 調達 統合でのドメインセパレーションの仕組み

- 各ドメインに複数の調達統合プロファイルを作成できます。親ドメインを含む各ドメインには、公開されたアクティブなプロファイルが 1 つだけ必要です。
- 発注書 (PO) の場合、外部の購入アプリケーションで要求を作成するには、公開された調達統合プロファイルが発注書 (PO) のドメインに存在している必要があります。
- 作成したすべての発注書 (PO)、発注明細、受領伝票、受領伝票ライン、エンタイトルメント、エンタイトルメントインポートエラー、および経費ラインレコードには、発注書 (PO) のそれぞれのドメインがスタンプされます。

調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job] テーブルはドメインセパレーションされていません。

ただし、各調達統合ジョブは調達統合プロファイルに関連付けられています。ジョブの実行では、外部購入アプリケーションからの更新が、対応する調達統合プロファイルでスタンプされた発注書 (PO) にのみ同期されます。

ドメインセパレーションテーブル

- 調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]
- 調達統合ジョブログ [itam_procurement_integration_job_log]

必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- SAMP (com.sn_samp_master)
- 調達 (com.snc.procurement)

サポートされているその他のプラグイン

サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)

Coupa との統合

Coupa を ソフトウェア資産管理 と統合すると、Coupa でソフトウェア要求を直接作成するのに役立ちます。ソフトウェア資産管理 はこれらの要求を追跡し、Coupa でこれらの要求を受け取った後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

注:
この統合では、Coupa で作成された要求は ソフトウェア資産管理 にプルされません。

事前準備

- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理プロ をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。

注:
ソフトウェア資産管理プロ は 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションのインストールは必須ではありませんが、機能全体を利用するには必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Coupa スポークをアクティブ化します。詳細については、「Coupa Spoke」を参照してください。
- 調達プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。

参照データの同期

ServiceNow ServiceNow と Coupa の両方に、独自のテーブルセットと参照データタイプがあります。統合をスムーズかつ正常に行うには、 参照するデータを同期する必要があります。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

> ⚠ 警告:
> データを同期しないと、Coupaで要求事項を作成しているときにいくつかの問題が発生する可能性があります。

Coupa 統合プロファイルの作成

Coupa 統合プロファイルを作成して、このプロファイルによって作成された調達スケジュール済みジョブ、エンタイトルメント、およびエンタイトルメントインポートのエラーに関するステータスを確認します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成し、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。詳細については、「OAuth 2.0 Getting Started with Coupa API (OAuth 2.0 Coupa API の概要)」を参照してください。後で使用するためにクライアント ID とクライアントシークレットを安全な場所に保存します。

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成するときに、次のスコープを設定する必要があります。

- core.approval.configuration.read
- core.approval.read
- core.approval.write
- core.catalog.read
- core.common.read
- core.contract.read
- core.contract.write
- core.inventory.adjustment.read
- core.inventory.adjustment.write
- core.inventory.asn.read
- core.inventory.common.write
- core.inventory.consumption.read
- core.inventory.consumption.write
- core.inventory.receiving.read
- core.inventory.receiving.write
- core.inventory.return_to_supplier.read
- core.inventory.transfer.read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- core.inventory.transfer.write
- core.invoice.delete
- core.invoice.read
- core.invoice.write
- core.item.read
- core.item.write
- core.legal_entity.read
- core.purchase_order.read
- core.purchase_order.write
- core.requisition.read
- core.requisition.write
- core.sourcing.pending_supplier.read
- core.sourcing.pending_supplier.write
- core.sourcing.read
- core.sourcing.response.award.write
- core.sourcing.response.read
- core.sourcing.response.write
- core.sourcing.write
- core.supplier.read
- core.supplier.write
- core.user.read
- core.user.write

注:
これらのスコープがクライアント ID およびクライアントシークレットに関連付けられていない場合、OAuth トークンフローは ServiceNowで失敗します。

手順

1. 次のように移動する。 ソフトウェア資産ワークスペース > ライセンス操作 > 購入 > 調達統合.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい調達統合プロファイルを作成

フィールド	説明
表示名	調達統合プロファイルの名前。例：Coupa integration。
接続と資格情報	Coupa の接続および資格情報エイリアス。このフィールドは、自動的に **sn_coupa_spoke.Coupa_OAuth** に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 **[Coupa** 統合] を選択します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
アクティブ	このフィールドは、統合プロファイルが公開されている場合にのみ表示され、「true」に設定されます。 このフィールドを「false」に設定すると、この統合プロファイルに関連付けられた要求は作成および追跡されません。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. [接続と資格情報] フィールドの横にある ⓘ [プレビュー] アイコンを選択します。
[接続および資格情報エイリアス] フォームにリダイレクトされます。
6. [関連リンク] セクションで [新しい接続と資格情報の作成] を選択して、接続資格情報を作成します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
名前 (接続)	接続を一意に識別する名前。たとえば、Coupa OAuth connnection とします。
接続 URL	Coupa に接続するための URL。https://<coupa-instance-url> の形式を使用します。 ○ 顧客のインスタンスの場合は、https://{organization_name}.coupahost.com の形式を使用します。 ○ パートナーおよびデモインスタンスの場合は、https://{organization_name}.coupacloud.com の形式を使用します。
名前 (認証情報)	認証情報を一意に識別する名前。たとえば、Coupa OAuth credential とします。
トークン URL	OAuth トークンの生成に使用される URL。https://<coupa-instance-url>/oauth2/token の形式を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
OAuth クライアント ID	Coupa で生成された識別子 (クライアント ID)。
OAuth クライアントシークレット	Coupa で生成されたシークレット (クライアントシークレット)。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   ServiceNow インスタンスは Coupa の OAuth を作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
9. オプション: この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
   作成する最初の Coupa 統合プロファイルでは、Coupa にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Coupa 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、**Child Aliases > Parentalias=*** ** の下にあるリンクを選択して、子エイリアスを追加します。

   b. **[New** (新規)] を選択します。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

   f. ステップ 7 と 8 を繰り返します。

   g. [統合プロファイル] フォームの [接続および資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンをクリックして、作成した子エイリアスを見つけて選択します。
   子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

10. **[Publish** (公開)] を選択します。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、スケジュール済みジョブ *`ITAM - Sync Coupa purchase orders`* が毎日実行され、作成済みの要求のステータスをフェッチします。

> **注:**
> 要求を作成していない場合、スケジュール済みジョブは実行されません。

この情報を表示するには、[調達統合ジョブ] タブをクリックします。

次のタスク

[統合スケジュール済みジョブの結果] タブを選択して、スケジュール済みジョブ*`ITAM - Sync Coupa purchase orders`*が正常に実行されたかどうかを確認します。ジョブが失敗した場合は、次のステップに従ってエラーのリストを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [調達統合プロファイル] フォームで、[調達統合ジョブログ] 関連リストを選択します。
2. 表示されたステータスが [失敗] と表示されているジョブログレコードを開きます。
3. 関連リスト [資産のジョブ履歴の詳細] を選択して、ジョブの失敗の理由を確認します。

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow 調達 アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

Coupa 統合プロファイルを削除する場合は、「外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除」を参照してください。

調達 アプリケーションによる **Coupa** での要求作成

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow 調達 アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

始める前に

ServiceNow 調達 アプリケーションを使用して Coupa で要求を作成するには、次のタスクを実行する必要があります。

- Coupa 統合プロファイルを作成して公開します。詳細については、「Coupa 統合プロファイルを作成する」を参照してください。
- 作成する発注書 (PO) に少なくとも 1 つの発注明細があり、すべての発注明細がソフトウェア製品用であることを確認します。
- ServiceNow 調達 と Coupa の両方のアプリケーションで参照データタイプを同期します。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

これらの条件がすべて満たされている場合は、Coupaで要求を作成できます。

条件が満たされていない場合、Coupa で要求は作成されず、調達 アプリケーションで従来の調達フローが続行されます。

必要なロール：sam_admin および procurement_integrator

> **注:**
> Procurement_integrator ロールが sam_admin ロールに追加されます。Procurement_integrator ロールを使用すると、SAM アドミニストレーターは接続とエイリアスを表示できます。

このタスクについて

次の方法を使用して Coupa で要求を作成できます。

- ユーザーが サービスカタログ を介してソフトウェアを要求したとき。詳細については、「サービスポータルからカタログアイテムを要求する」を参照してください。
- procurement_user または sam_admin が 調達 アプリケーションで直接発注書を作成する場合。発注書 (PO) の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。
- sam_user が [修復オプション] フォームから直接発注書を作成する場合。詳細については、「ソフトウェア モデルの結果の表示」を参照してください。

要求には次のタイプがあります。

- カタログ要求：外部の購入アプリケーションに既に存在するアイテムに対して作成された要求。
- カタログ要求以外：組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムに対して作成された要求。

発注書 (PO) の作成の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 調達 > 順序 > 発注書 **(PO)**.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。
ベンダー	発注書 (PO) が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書 (PO) のアイテムが配送されるストックルーム。 **注:** このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書 (PO) が作成された日付。
ステータス	発注書 (PO) のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。
アサイン先	発注書 (PO) が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書 (PO) の総コストの支払いを担当する場所。
簡単な説明	発注書 (PO) の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書 (PO) のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書 (PO) のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書 (PO) の内容の完全な説明。
詳細セクション	
初期要求	発注書 (PO) に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要求元	発注書 (PO) に記載のアイテムを要求するユーザー。 **注:** 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow 調達 アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書 (PO) に記載のアイテムを要求した日付。
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。
配送予定	発注書 (PO) に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書 (PO) の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書 (PO) の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書 (PO) に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書 (PO) の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書 (PO) に関連付けられた予算番号。
ベンダーアカウント	発注書 (PO) に関連付けられているベンダーアカウント。

4. フォームを右クリックし、[保存] を選択します。
   発注品目を追加して、このベンダーから発注するものを指定します。発注品目の作成の詳細については、「発注明細を作成する」を参照してください。Coupa に一意の ID を持つ要求明細行が作成されます。
5. 少なくとも 1 つの発注明細を追加したら、[注文] を選択します。
   要求 ID が発注書 (PO) に表示され、対応する要求明細行 ID が発注明細に表示されます。

   注:
   しばらく待ってから、発注書フォームをリロードして、生成された ID またはエラーを表示します。

タスクの結果

Coupa で発注書 (PO) のステータスが [受領済み] になると、次のアクティビティが発生します。

- 資産と受領伝票が作成され、[発注書] フォームで発注書番号を確認できます。
- 資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、エンタイトルメントを自動的に生成します。
- 資産を受領すると、スケジュール済みジョブ *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が ServiceNow 調達 アプリケーションで受領伝票と受領伝票ラインを作成します。このジョブは、[メーカー品番]、[ステータス]、[受領数量] などの Coupa フィールドもプルします。受領トランザクションを介して Coupa から返された値は、作成されたエンタイトルメントに入力するために

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用されます。ただし、これらの値が受領伝票から利用できない場合、資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、調達 アプリケーションの発注書 (PO) に入力された値を使用します。

- 発注書 (PO) に不一致が存在する場合、資産管理 - 調達 統合によりエンタイトルメントインポートエラーが作成されます。エラーを表示するには、[発注書]、[発注品目]、および [受領伝票ライン] の下にある [エンタイトルメントインポートエラー] タブを選択します。

参照データの同期

Coupa と ソフトウェア資産管理 を正常に統合するには、ServiceNow 調達 アプリケーションと Coupa の両方で次の参照データタイプを同期する必要があります。

要求事項または発注書フォーム

Coupa 要求事項フィールド	ServiceNow 調達 発注書フィールド	説明
要求者	要求者	[要求者] レコードに関連付けられているメールアドレスは、Coupa 内の対応する参照レコードを検索するために使用されます。

要求明細行フィールドまたは発注明細フィールド

Coupa 要求明細行フィールド	ServiceNow 調達 発注明細フィールド	説明
サプライヤー	ベンダー	このソフトウェア製品が注文されるサプライヤーまたはベンダー。
単価	コスト	割引を含む単一の製品モデルのコストまたは価格。
通貨	コスト	[通貨] は Coupa の参照フィールドです。統合が正常に実行されるように、Coupa と ServiceNow の通貨コードが一致していることを確認します。
アイテム	カタログアイテム	Coupa アイテムと ServiceNow 調達 カタログアイテムは、同じ表示名を共有する必要があります。 **注:** このフィールドは、カタログ要求にのみ使用されます。
説明	製品モデル	発注明細のモデル。 **注:** このフィールドは、非カタログ要求にのみ使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除

ソフトウェア資産管理 を介してソフトウェア要求を作成するための外部調達アプリケーションの使用を停止する場合は、統合プロファイルを削除できます。

sam_admin は、統合プロファイルレコードで [削除] を選択して統合プロファイルを削除できます。

直接統合プロファイルを削除すると、プロファイルに関連付けられているすべてのスケジュール済みジョブとジョブ結果が削除されます。統合プロファイル参照は、ServiceNow の発注書レコードからも削除されます。

統合プロファイルを削除すると、ソフトウェア資産管理 は進行中の要求を考慮しません。統合プロファイルを削除する前に、進行中のすべての要求が完了していることを確認します。

ドメインセパレーションと 調達

ドメインセパレーションは、調達 処理でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

サンプルユースケース：アドミニストレーターは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

調達におけるドメインセパレーションの仕組み

ドメインを識別する発注書 (PO) や PO 明細を作成または編集するには、顧客が適切なドメインで作業している必要があります。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

製品カタログ

製品カタログは、個々のモデルに関する一連の情報です。モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。資産アドミニストレーターは、製品カタログをモデル情報の中心リポジトリとして使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細でよく管理された製品カタログは、サービスカタログ、資産、調達、要求、契約、ベンダー情報と連携が取れます。

製品カタログに公開されたモデルは、自動的にService Catalog に公開されます。サービスカタログには、商品 (モデル) やサービスに関する情報が含まれています。モデルが複数のベンダーから入手可能な場合、モデルは複数回一覧に表示されます。モデルは資産管理アプリケーションに含まれています。

製品カタログを扱うときは、次の点にご注意ください。

- 製品カタログアイテムは、複数のベンダーカタログアイテムまたは単一のモデルにリンクすることができます。
- 1 つのモデルには製品カタログアイテムは 1 点しかありません。
- ベンダーカタログアイテムには、単一の商品カタログアイテムしかありません。

関連情報

資産と構成アイテムの管理

製品カタログでインストールされるコンポーネント

次のコンポーネントは、製品カタログプラグインでインストールされます。

デモ データは製品カタログで入手できます。デモデータでは、さまざまなモデル、モデルカテゴリ、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム、ベンダーが提供されています。

製品カタログでインストールされるテーブル

製品カタログプラグインは次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
ハードウェア カタログ [pc_hardware_cat_item]	製品モデル [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのハードウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
製品カタログアイテム [pc_product_cat_item]	製品カタログのすべての情報を格納します。このテーブルは、カタログアイテム [sc_cat_item] テーブルを拡張しています。
ソフトウェア カタログ [pc_software_cat_item]	製品カタログl [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのソフトウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
ベンダーカタログアイテム [pc_vendor_cat_item]	すべてのベンダーカタログアイテム情報を格納します。

製品カタログでインストールされるロール

製品カタログプラグインは、次のロールを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	説明	含まれるロール
model_manager	CMDB モデルを作成できます。	なし
category_manager	モデルアドミニストレーターが行うことがすべて実行でき、またモデル カテゴリを管理できます。	model_manager

製品カタログでインストールされるスクリプトインクルード

製品カタログプラグインは、次のスクリプトインクルードを追加します。

テーブル	説明
ProductCatalogUtils	ベンダー カタログ アイテムとモデルから派生した製品カタログ アイテムを作成、管理するためのユーティリティ。

製品カタログでインストールされるクライアントスクリプト

製品カタログプラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

クライアントスクリプト	テーブル	スクリプトのコンテンツ
モデル フィールドを設定する	[pc_vendor_cat_item]	ベンダーカタログアイテムが製品カタログに追加されたとき、説明と価格が存在しない場合はそれらを追加します。

関連情報

クライアントスクリプト

製品カタログでインストールされるビジネスルール

製品カタログプラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
モデルをクリアーする	[pc_product_cat_item]	リンクが製品カタログから削除されたときにモデルのリンクをクリアーします。
子製品カタログエントリーを作成する	ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	バンドルされたモデルが作成されたときに、バンドルされたモデルの全アイテムの製品カタログのエントリーを作成します。
製品カタログアイテムを同期する	[pc_vendor_cat_item]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。
製品カタログアイテムを同期する	[cmdb_model]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ビジネスルール

モデル

モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。モデルは、製品カタログ、資産管理、調達などのさまざまなServiceNowプラットフォーム資産アプリケーションを通じて資産の管理や追跡をするために使用されます。

モデル定義は、ベンダー提供の基準 (たとえば、Apple MacBook Pro などのメーカー名や Graphic Designer Workstation などのカスマイズした抽象概念) に基づいています。すべてのモデル情報は、製品カタログアプリケーションにあります。

製品モデルは、1 種類以上のモデル カテゴリに分類できます。たとえば、ラップトップはコンピューターとサーバーとすることができます。モデル定義は、モデルが資産、構成アイテム、またはその両方を作成するかどうかを特定します。ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加できます。

特記がない限り、製品モデルを使用するには model_manager ロールが必要となります。このロールは、sam、category_manager、asset などの他のロールに含まれています。

モデルの作成

モデルの作成場所 製品カタログ > 製品モデル > すべてのモデル 移動します

モデルのタイプに関係なく、すべてのモデルに表示されるフィールドのリストのモデル フォーム フィールドを参照してください。

関連情報

資産管理

調達

モデル フォーム フィールド

モデルフォームには、すべてのタイプのモデルに適用されるフィールドがあります。

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルをビルドした会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
エディション	**Professional** などのソフトウェア モデルのエディション。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
モデルカテゴリ	モデルが割り当てられるカテゴリ。このフィールドは Glide リストであり、レポートの作成には使用できません。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のいずれか 1 つを選択します。 • カテゴリに残す：モデルには透明性があり、カテゴリは資産クラスを定義します。 • 消耗資産の作成：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 • 資産を作成しない：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
コスト	モデルの単一のコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。システムプロパティ *glide.cmdb.makeandmodel.use_model_number_lookup* を true に設定すると、MakeAndModelJS スクリプトを使用してハードウェアモデルのモデル番号をルックアップできます。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。
資産	このモデルから作成された資産。この作成には、資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。たとえば、単一のハードウェア モデルでは、資産はあるけど構成アイテムはなし、構成アイテムはあるけど資産はなし、両方あり、とすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
構成アイテム ID	このモデルから作成された構成アイテム。資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。
製品カタログ	製品カタログやサービスカタログに表示されるモデルに関する情報。この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。

ハードウェアモデルを作成する

ハードウェア モデルを使用して、サーバーやラックなどの装置資産を追跡します。新規のハードウェア モデルを作成することができます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。表示されるハードウェア モデルのフィールドは、フォームの情報セクションにあります。

   ハードウェア モデルのモデルフォーム フィールド

フィールド	説明
高さ (U)	ハードウェア アイテムの合計高さ (インチ)。
フロー レート (cfm)	ハードウェア モデルのフロー レート (立法フィート/分)。
音響出力 (ベル)	ノイズ測定 (ベル：1 ベル = 10 デシベル)。

4. [更新] をクリックします。

ハードウェア モデルに互換性のあるモデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加することができます。これにより、連携して動作するハードウェア資産を追跡する優れた方法が得られます。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

注:
バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、互換機能として追加することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル.
2. ハードウェア モデルの[名前] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [互換製品を追加] をクリックします。
4. 互換性のあるモデルを選択します。
5. [送信] をクリックします。
   選択されたモデルは[互換性] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報

モデル

バンドルされたモデル

ハードウェア モデルに代替モデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、代替品を追加して、別のハードウェアモデルの代わりに使用できるハードウェアモデルを追跡できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
たとえば、19 インチ モニターは 17 インチ モニターの代替品として有効です。代替品には指向性があるため、この場合、17 インチ モニターは 19 インチ モニターに代わるものではないことにご注意ください。有効な代替モデルに関する情報は、転送注文の作成時にモデルを選択する際に役立ちます。

代替モデルを選択する場合は、次の条件にご注意ください。

- 代替モデルは、作業管理転送注文で使用することができます。代替モデルは、調達部品の調達には使用されません。
- バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、代替品として追加することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル.
2. ハードウェア モデルの[名前] をクリックします。
3. [代替製品を追加] をクリックします。
4. 左の [コレクション] リストで、ハードウェア モデルをダブルクリックします。
   ハードウェア モデルが右側の [リスト] に追加されます。
5. [保存] をクリックします。
   このモデルは、[代替] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報

モデル

バンドルされたモデル

転送注文の管理

調達

消耗品モデルを作成する

消耗品は、個別にではなくグループとして追跡されるアイテムです。消耗品の例として、コンピューター キーボードが挙げられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。消耗品モデルに特定のフィールドはありません。
   作成して新しいモデルに割り当てる消耗資産は、モデル レコードの[消耗品] 関連リストに表示されます。
4. [送信] をクリックします。

バンドルされたモデル

バンドルされたモデルは、個々のモデルで構成される単一のモデルです。たとえば、ラップトップ、プリンター、キーボード、マウスを 1 つのバンドルモデルとして組み合わせることができます。バンドルされたモデルの資産 1 つを個人に割り当てると、その人物はバンドル内のすべてのコンポーネントを受け取ります。

バンドルされたモデルは、アセットバンドルの一部となる資産の種類を定義するテンプレートです。アセットバンドルとバンドルされたモデル間の整合性を維持するには、[製品モデル] フォームレイアウトの [バンドル資産] チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、バンドルされたモデルのステータスがデフォルトで [ビルド] になります。ステータスが [ビルド] の場合は、バンドルされたモデルに変更を加えることができます。ステータスを [本番稼働中] に変更すると、バンドルされたモデルは変更できなくなります。バンドルされたモデルは読み取り専用になり、このバンドルされたモデルからアセットバンドルを作成できます。バンドルされたモデルに関連付けられたアセットバンドルがない場合にのみ、バンドルされたモデルのステータスを [ビルド] に戻すことができます。

注:
[バンドル資産] チェックボックス機能は、ハードウェア資産管理 でライセンス可能なアプリケーションでのみ使用できます。ハードウェア資産管理は ServiceNow ストアで入手できます。アセットバンドル機能の詳細については、「アセットバンドル」を参照してください。

バンドルされたモデルには、抽象または具象があります。

抽象

1 つのモデルを複数のバンドルで使用できるようにします。同梱品はコンテナーとして作成されます。バンドル内の資産 1 つがメイン コンポーネントとして指定されます。モデルカテゴリは、どの資産をバンドルに含めることができるかを定義します。モデルカテゴリでは、バンドルの主要コンポーネントになるものを定義することもできます。

メイン コンポーネントを追加すると、バンドル コンポーネントの追跡が簡単になります。たとえば、コンピューターをメインコンポーネントとして追加し、マウスとキーボードを他のコンポーネントとして追加する同梱品を作成します。バンドルがユーザーに割り当てられると、コンピューターの資産レコードには、そのユーザーに割り当てられたコンピューター、マウス、キーボードがすべて表示されます。抽象バンドルは具象バンドルより頻繁に使用されます。

具象

メイン コンポーネントが資産である固定バンドルです。メイン コンポーネントと他のコンポーネントを指定して、正確なバンドルを作成します。具象バンドルは、モデルとの多対多関係を考慮していません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バンドルされたモデルを作成して使用する場合は、以下のヒントを念頭に置いてください。

- バンドルはバンドル内にネスト化することができます。
- 任意のタイプのモデルをバンドルで使用できます。
- 親リンクの定義されると、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となります。これらは、親の割り当てフィールドと状態フィールドに基づいて作成されます。
- 親バンドルに変更を加えると、バンドル内の子が影響を受けます。たとえば、バンドルを個人に割り当てる場合、すべての子資産レコードには、割り当てられた人物と同じ個人が表示されます。
- バンドルを事前に割り当てることはできません。
- バンドル内では、消耗品が消費され、資産はメインコンポーネントと同じステータスに設定されます。
- 個々のコンポーネントではなく、バンドルのみが転送注文の一部となることができます。
- モデル カテゴリを通じてバンドルに含めることができるものを制御します。たとえば、モデル カテゴリの サーバーは、バンドルに含まれているサーバーを決して許可しないように設定できます。
- ソフトウェアのコレクションを作成するには、バンドルされたモデルの代わりにスイートを作成する必要があります。
- ソフトウェアライセンスをバンドルのメインコンポーネントにすることはできません。

抽象モデルを作成するには、モデルカテゴリを [バンドル] に設定し、コンポーネントを追加します。具象モデルを作成するには、 製品カタログ > 製品モデル > バンドルされたモデル モジュールを作成し、コンポーネントを追加します。

関連情報

割当済み資産を作成する

消耗資産を消費する

モデルカテゴリ

モデル コンポーネントをバンドルに追加する

ほかの資産を含むようにバンドルをアップグレードする場合など、必要に応じてモデルにモデル コンポーネントを追加します。

始める前に

必要なロール：model_manager と asset

手順

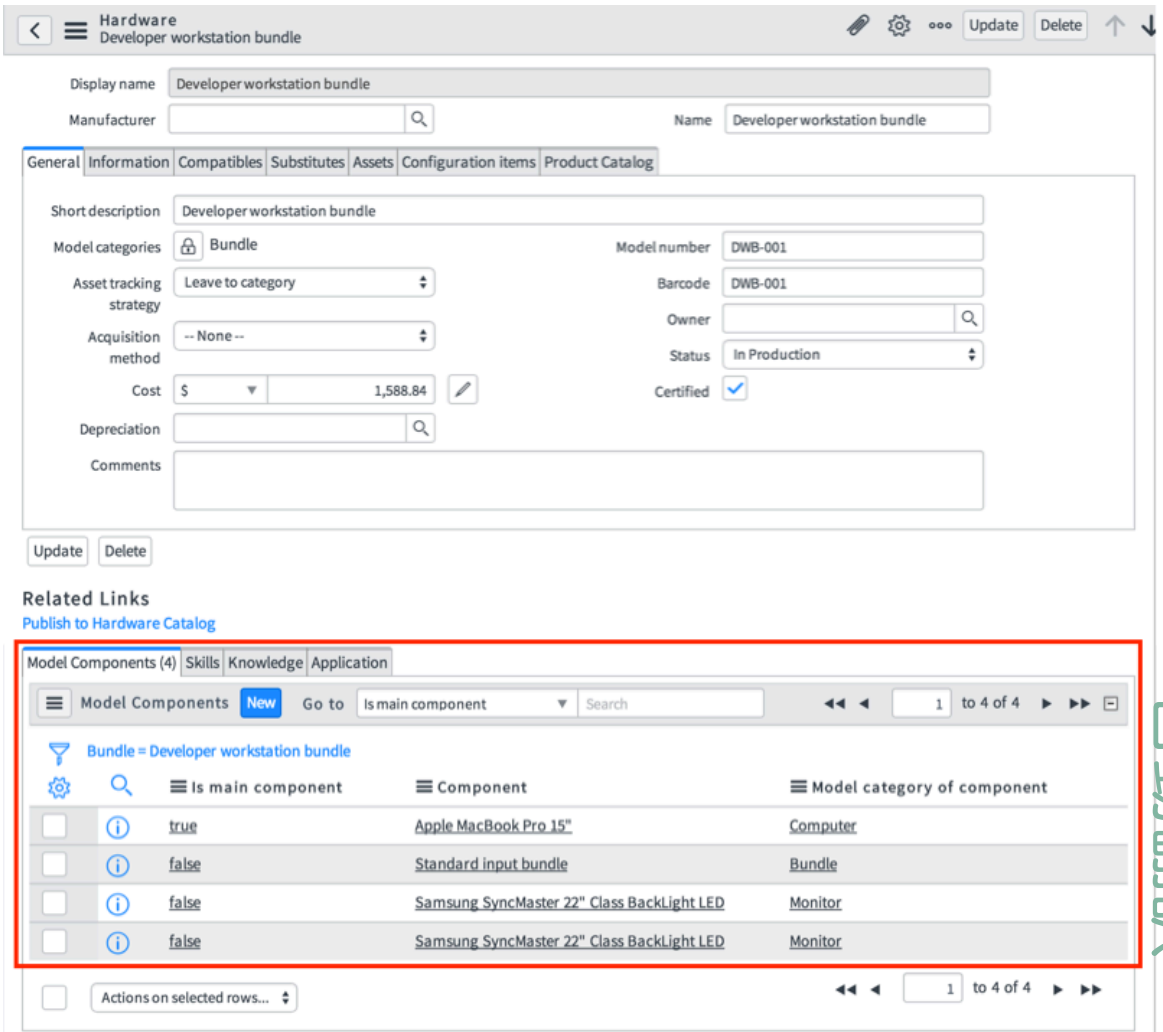
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [コンピューター] など、コンポーネントの [モデル カテゴリ] を選択します。
5. 「Apple **Computer MacBook Pro** 17」など、[コンポーネント] を選択します。
6. 他のコンポーネントを付属させるコンポーネントとする場合は、[メイン コンポーネントである] チェック ボックスを選択します。
7. [送信] をクリックします。
8. 手順 3 ～ 7 を繰り返してバンドルにコンポーネントを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

バンドルされたモデルに追加するコンポーネントは、[モデル コンポーネント] 関連リストに表示されます。

バンドルされたモデル コンポーネント



関連情報

モデル

バンドルからモデル コンポーネントを削除する

たとえば、別のコンポーネントと置き換える場合など、バンドルされたモデルからコンポーネントを削除します。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

コンポーネント履歴は保持されません。バンドルされたモデルからコンポーネントを削除すると、そのコンポーネントがバンドルに含まれていたことを示すレコードは保存されません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、削除するコンポーネントを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

バンドルされたモデルを製品カタログに公開

バンドルされたモデルを製品カタログに公開して、バンドルされたモデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または catalog_manager

このタスクについて
バンドルされたモデルは、次の条件でのみ公開できます。

- モデルは cmdb_model テーブルに作成する必要があります。
- モデルに既存のカタログアイテムを含めることはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. 製品モデルを開きます。
3. [関連リンク] で、[製品カタログに公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。

ソフトウェアモデル

ソフトウェア モデルは資産管理プロセスの一環として作成されます。製品カタログからソフトウェアの製品モデルを作成できますが、ソフトウェア モデルのすべての面を管理することはできません。

ソフトウェア モデルはソフトウェア カウンターで使用されます。ソフトウェアモデルの作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

アプリケーション モデルの作成

スクラム開発プロセス内で管理や追跡ができるアプリケーション モデルを作成できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > アプリケーションモデル.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。アプリケーション モデルに特定のフィールドはありません。
4. [送信] をクリックします。

関連情報

Agile Development

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業指示モデル

作業管理が有効になると、ServiceNowプラットフォームは作業指示モデルと作業タスクモデルモジュールを製品カタログに追加します。

wm_admin ロールを持つユーザーは、新しいモデルレコードを定義できます。テンプレートを使用して、共通プロシージャの作業指示を作成できます。

VMware サポートおよび Amazon EC2 用に作成されたモデル

VMware または Amazon EC2 の オーケストレーションを有効にすると、モデルが自動的に作成されます。

次のモデルが作成されます。

- VMware の vmware インスタンス
- Amazon の ec2 インスタンス

仮想マシンが終了すると、資産の状態が [廃止] に変更されます。

モデルにスキルを加える

どのモデルにもスキルを関連付けることができます。スキルとモデルの関連付けを作成すると、作業管理使用中に特定のモデルのスキルに基づいてエージェントにタスクを割り当てる必要がある場合に、便利になります。

始める前に

必要なロール：skill_admin または model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルを開きます。
3. [スキル] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [コレクション] リストからアイテムを [スキルリスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

モデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開する

ハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログにモデルを公開して、モデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルを開きます。
   モデルからカタログアイテムを公開すると、プロパティ *glide.model.catalog_item_currency* がカタログアイテムの通貨を決定します。このプロパティはデフォルトで false に設定され、値はユーザーセッション通貨に設定されます。このプロパティを true に設定すると、値はモデル通貨に設定されます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] または [ソフトウェア カタログに公開] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

モデルを削除する

モデルが不要になった場合は、そのモデルを使用する資産や構成アイテムがない限り削除できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] 選択リストで、[削除] を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

ベンダーカタログアイテム

ベンダー カタログは、さまざまなベンダーから入手可能な商品の一覧です。

正確で完全なベンダー カタログを使用すると、可能な限り最善の価格で在庫を保管しやすくなります。

複数のベンダーカタログアイテムを製品カタログアイテムの 1 点にリンクすることができます。これにより、個別のベンダーが持つ該当アイテムに関する情報を追跡できます。

たとえば、製品カタログアイテムが iPhone 5 として、Apple と Amazon の個別のベンダーカタログアイテムを作成できます。商品を調達する際に、最も良い価格のベンダーを選択できるようになります。ベンダーカタログアイテムを操作するには、model_manager ロールが必要です。

情報を同期する

特定の情報は、モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム間で同期することができます。

モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテムを操作する場合は、次の点にご注意ください。

- ベンダーカタログアイテムが公開されてるがリンクされていない場合にのみ、モデルレコードの変更によってベンダーカタログアイテムが自動的に更新されます。
- モデルがベンダーカタログアイテムにリンクされている場合、モデルの変更によってベンダーカタログアイテムは更新されません。
- ベンダー カタログ アイテムやモデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開した後、一部のフィールドはベンダー カタログ アイテムや製品カタログ アイテム レコードで読み取り専用になります。情報はモデル レコードでのみ更新できます。

同期フィールドのリスト：

- 説明
- 簡単な説明
- 名前
- 製品 ID

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 価格
- ベンダー
- 仕様
- 特徴
- モデル
- UPC
- モデル番号
- コスト
- メーカー

ベンダーカタログアイテムを作成する

ベンダーカタログアイテムを作成して、製品モデルをベンダーと関連付けます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. [**New**] をクリックします。
3. フォームに入力します。

ベンダーカタログアイテムフィールド

フィールド	説明
名前	アイテムの名前は、[製品モデル]、[ベンダー]、[製品**ID**] フィールドの情報から作成されます。
ベンダー	アイテムを提供するサプライヤー。
製品モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
在庫切れ	アイテムが注文不可かどうかを示すオプション。このフィールドは、要求アイテムを調達する場合に重要となります。アイテムが注文可能な場合は、このチェック ボックスをクリアーします。
製品ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
表示価格	ベンダー割引を除いたアイテムの小売価格。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	「価値あるパートナー」や「戦術的サプライヤー」など、このベンダーの製品やサービスの総合的なランキングを表示します。ランクはこのベンダーの業績に関する組織

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
「全般」セクション	
製品カタログアイテム	アイテムが製品カタログに追加されている場合の製品カタログアイテムの名前。ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログにリンクする場合は、このフィールドを空欄にします。
UPC	販売するアイテムを一意に識別して追跡するために使用されるバーコード番号。
アクティブ	チェック ボックスを選択すると、ベンダーカタログアイテムが一覧表示されます。ベンダーカタログアイテムを非表示にするには、このチェックボックスをクリアーします。
説明	アイテムの詳細な説明。
「情報」セクション	
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。

4. [送信] をクリックします。

ハードウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをハードウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたハードウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをソフトウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたソフトウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

ハードウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログにハードウェアアイテムを作成したら、ハードウェアカタログに公開して表示します。ハードウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログに公開した後は、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ハードウェアカタログ内の情報と同期されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] をクリックします。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがハードウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ソフトウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログのソフトウェアアイテムを作成したら、ソフトウェアカタログに公開して表示します。ソフトウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをソフトウェアカタログに公開した後は、[ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ソフトウェアカタログ内の情報と同期されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログに公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがソフトウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ベンダーリストを見る

製品カタログからベンダーのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
このリストには、[ベンダー] オプションがレコードで選択されているすべての会社が含まれます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ベンダー.
2. 詳細については、任意のベンダーの[名前] をクリックします。

製品カタログアイテム

製品カタログアイテムは、サービスカタログで追跡、提供できるハードウェアとソフトウェアです。

製品カタログは、利用可能なモデルのリストを含むService Catalog の拡張版です。catalog_admin ロールを持つユーザーは、製品カタログアイテムを作成、アクティブ化、非アクティブ化できます。

製品カタログアイテムの作成

製品カタログとサービスカタログに含めるハードウェアやソフトウェアの製品カタログアイテムを作成します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
アイテムが製品カタログやサービスカタログに表示される前に、アイテムを個別にアクティブ化にする必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ハードウェアとソフトウェア.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームに入力します。
一覧表示されているフィールドの一部は、製品カタログアイテムを保存するまで表示されません。

製品カタログアイテム フィールド

フィールド	説明
名前	製品カタログに表示するアイテムの名前。
カタログ	このアイテムが掲載されているカタログ。
ベンダー	アイテムを供給するベンダー。アイテムが複数のベンダーから購入されている場合は、ベンダー カタログを使用してこのフィールドを空欄にします。
ランク	選択したベンダーの製品やサービスの総合的な順位。このフィールドは、CI クラスが [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] のときに、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
価格	アイテムが製品カタログで販売されている価格。数値を入力し、適切な通貨を選択します。
繰り返し発生料金	アイテムに繰り返し発生する価格。たとえば、携帯電話の契約に 500.00 USD かかり、月額 30 USD が繰り返し発生します。
繰り返し発生料金の頻度	支払が繰り返し発生する間隔。
表示価格	アイテムの小売価格。このフィールドは、[クラス] が [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ表示されます。
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。組織がベンダーから割引を受けた場合、コストは [表示価格] より低くなる可能性があります。このフィールドは、CI クラスが [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
買い物かごの価格を省略	選択すると、アイテムがサービスカタログに表示されたときに価格が非表示になります。チェック ボックスをクリアーすると、サービスカタログに価格が表示されます。このフィールドは、CI クラスがハードウェアカタログの場合にのみ製品カタログアイテムレコードに表示されます。
Workflow	このアイテムに関連付けられたワークフロー。 [ワークフローを表示]を選択すると、ワークフローに関連付けられたアクティビティ、条件、およびステージを表示できます。
実行計画	このアイテムに関連付けられた実行計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

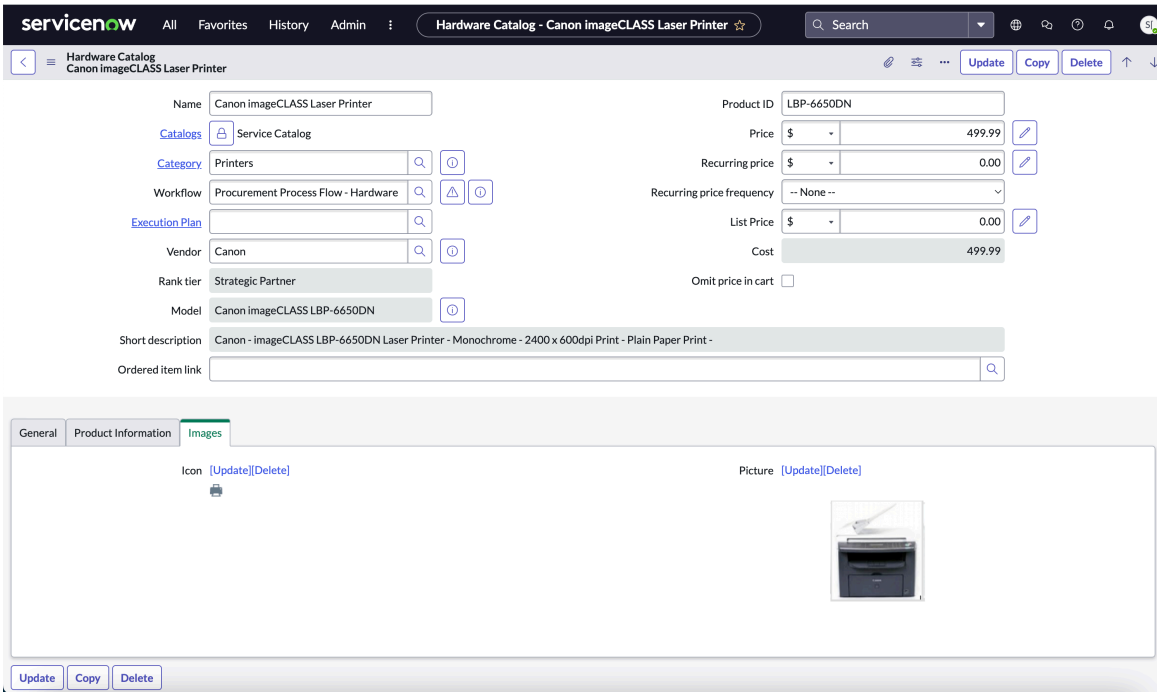
フィールド	説明
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
オーダー済みアイテムのリンク	アイテムの詳細情報を含むリンクのリスト。複数のアイテムにわたってリンクを再利用することができます。
クラス	このアイテムが属するカタログアイテムのクラス。[ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] を選択します。このフィールドはデフォルトで表示されます。ハードウェアカタログアイテムまたはソフトウェアカタログアイテムとしてレコードを保存すると、フォームはそれぞれハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログに変更されます。
「全般」セクション	
カテゴリ	アイテムが属するアイテムの名前付きグループ。
配送時間	商品の配送に要する時間 (製品カタログから注文された時点から開始)。
UPC	アイテムの識別と追跡に使用されるバーコード番号。
説明	アイテムの詳細な説明。説明が製品カタログリストに表示されます。
製品情報セクション	
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。このフィールドは、[クラス] が [ソフトウェアカタログ] の場合にのみ表示されます。
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。
画像セクション	
アイコン	アイテムがサービスカタログに表示される際に名前の横に表示される小さな画像。サポートされているファイル形式は、jpg、png、bmp、gif、jpeg です。
画像	アイテムを示すイメージ。サポートされているファイル形式は、jpg、png、bmp、gif、jpegです。
関連リスト	
含む	このアイテムとともに提供されるその他のカタログアイテム。この関連リストは情報提供のみを目的としています。
変数	このアイテムに関連付けられたサービスカタログ変数。サービスカタログ変数は、サービスカタログから製品を注文する際に顧客が選択する情報を取得、移します。
ベンダーカタログアイテム	このアイテムに関連付けられたベンダーカタログアイテム。ベンダーカタログアイテムを使用すると、各ベンダーの識別によるアイテムに関する情報を追跡できます。

Example
ハードウェアカタログアイテムは、アイテムのアイコンと画像とともに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアカタログアイテム



4. オプション: サービスカタログに表示されているアイテムをプレビューするには、[お試し] を選択します。
5. [送信] または [更新] を選択します。

関連情報

- ベンダーカタログアイテムを作成する
- 実行計画の作成
- サービスカタログ変数

製品カタログアイテムのアクティブ化

製品カタログアイテムをアクティブ化して、製品カタログやサービスカタログで使用できるようにします。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて

リスト ビューまたはレコードのいずれかからアイテムをアクティブ化することができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ハードウェア **&** ソフトウェアアイテム.
2. 次のいずれかの操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
リストビューから 1 点または複数のアイテムを有効にする	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある [アクティブ化] を選択します。
レコードからアクティブ化する	[関連リンク] で、 [アクティブ化] を選択します。

製品カタログアイテムの非アクティブ化

製品カタログアイテムを非アクティブ化して、製品カタログやサービスカタログから削除します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
リストビューまたはレコードのいずれかから項目を非アクティブ化することができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > カタログ定義 > ハードウェア **&** ソフトウェアアイテム.
2. 次のいずれかの手順を実行します。

オプション	説明
リストビューから非アクティブ化する	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある[アクティブ化] をクリックします。
レコードから非アクティブ化する	[関連リンク] で、[非アクティブ化] を選択します。

自動翻訳

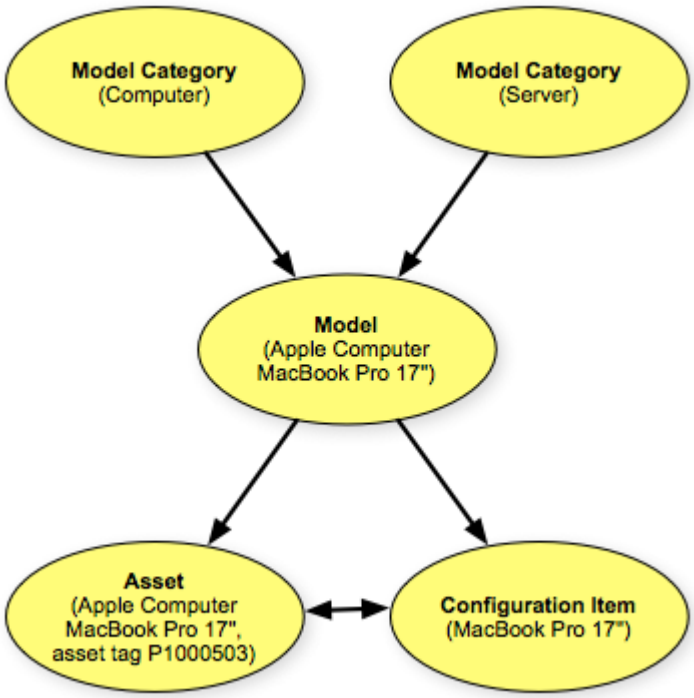
モデルカテゴリ

モデル カテゴリは、CI クラスを資産クラスに関連付けます。モデル カテゴリは製品カタログアプリケーションの一部です。

モデル カテゴリの構成は、ServiceNow プラットフォームが CI から資産を作成するかどうかを決定し、そうであれば資産のどのクラスを作成するかを決定します。ベース システムの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。モデル カテゴリを多くのモデルに、モデルを多くのモデル カテゴリに関連付けることができます。たとえば、コンピューターの特定のモデルはコンピューターとサーバーとすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル図



サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

注:
[インストールベースアイテムクラス] フィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ、[モデルカテゴリ] フォームで使用できます。現在、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみがサポートされます。詳細については、「Medical device install base item table」を参照してください。IBI クラスが作成されると、資産が存在する場合は資産に関連付けられ、それ以外の場合は資産が作成されます。

[資産クラス] と [IBI クラス] のフィールドは、次のように同期されます。

1. IBI クラスが更新されると、[アカウント]、[コンシューマー]、[場所]、および [インストール日] フィールドの変更が、資産クラスの対応するフィールドと同期されます。
2. 資産クラスが更新されると、[場所] および [インストール日] フィールドの変更が、IBI クラスの対応するフィールドと同期されます。

関連情報

CMDB 分類とクラスの依存関係

資産クラスを作成する

モデル カテゴリを表示する

デフォルトのモデル カテゴリは製品カタログに含まれています。デフォルトのカテゴリと作成されたカテゴリの一覧を表示できます。

始める前に

必要なロール：model_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデル カテゴリーを開いて、詳細を表示します。

モデル カテゴリを作成する

インスタンスのカスタム モデル カテゴリを追加できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
モデル カテゴリを作成するときは、次の点にご注意ください。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。*cmdb_ci* クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデル カテゴリで [資産クラス] を選択すると、モデル カテゴリに関連付けられたすべての構成アイテムの資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。
- [モデルカテゴリ] リスト (製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ) には、すべての CI クラスと、資産サイドで生成される資産クラスが表示されます。

手順

1. 次のように移動する。 製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ [新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

モデルカテゴリ フィールド

フィールド	説明
名前	このカテゴリのわかりやすい名前。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルトオプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスを後でモデルカテゴリに追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェアライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択すると、**[CI** クラス] フィールドが読み取り専用になります。CI クラスを指定してから [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ○ 資産：個別に追跡できるアイテム。 ○ 消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ○ ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ○ ソフトウェアライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
インストールベースアイテムクラス	資産をインストールベースアイテムとして追跡するクラス。 **注:** このフィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ利用できます。また現在のところ、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 Core アプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみを使用できます。
製品モデルクラス	モデルが保存されるクラステーブル。デフォルト値は次のとおりです。 ○ アプリケーション ○ 消耗品 ○ 契約 ○ 設備 ○ ハードウェア ○ サービス ○ ソフトウェア 値を選択すると、モデルカテゴリで作成されたモデルのテーブルコンテンツ、フォームビュー、および全体的な機能が影響を受けます。
製品インスタンスである	モデルカテゴリが、資産、CI、および IBI クラスの論理グループである製品インスタンスに関連付けられているかどうかを識別します。 **注:** このチェックボックスは読み取り専用で、医療デバイスのモデルカテゴリでのみサポートされています。このオプションを選択すると、製品インスタンス識別子 (PID)、資産、CI、および IBI クラスの一意の識別子が、そのモデルカテゴリの資産を作成するたびに生成されます。ただし、既存の資産の場合、PID は、[シリアル番号]、[モデルコンポーネント ID]、[親] などの資産フィールドのいずれかが更新されたときにのみ生成されます。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドル	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
で許可	
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前にアドミニストレーターが新しい CI をレビューおよび検証できます。

3. [送信] を選択します。

関連情報

検出

資産を手動で作成する

Now Platformは特定の条件下で自動的に資産を作成することはありません。必要に応じて手動で資産を作成することができます。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

資産が自動的に作成されない条件は、次の通りです。

- 強制 CI 検証：[モデルカテゴリ] フォームの **[CI** 検証を強制] チェック ボックスを選択すると、CI の作成時または検出時に自動的に資産が作成されません。**[CI** 検証を強制] が有効な場合、新規作成された CI は資産の自動作成を発動しません。代わりに、これらの新規作成された CI の [検証を要求] フィールドが自動的に True に設定され、CI の次の UI アクションが表示されます。
  - *`Create Asset`*：資産を作成し、*`Requires verification`* を false に設定します。
  - *`Merge CI`*：CI の重複を結合する。このアクションは、CI の資産が別の過程で作成され、関連する CI が作成された場合に便利です。すると手動またはディスカバリーソースを介して 2 番目の CI が作成されても、重複した CI が正しく統合されませんでした。
- 構成エラー：まれに、資産を自動的に作成できないことがあります。モデルとモデルカテゴリを間違った順序で CI に割り当てると、このエラーが発生する可能性があります。

手動で資産を作成するには、次の手順に従います。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. CI クラスが割り当てられていないモデルカテゴリを開きます。
3. [資産を作成] をクリックします。
   このアクションは、このモデルカテゴリで検証のために保留されたすべての CI から資産を作成します。このオプションは、admin ロールを持つユーザーのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル カテゴリを編集する

すべてのデフォルトのモデル カテゴリは、契約モデル カテゴリを除いて編集できます。作成したカスタム モデル カテゴリは、いつでも編集できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデルカテゴリレコードを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

   注:
   CI クラスが必要な場合は、モデルカテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。

4. [更新] をクリックします。

モデル カテゴリを削除する

モデル カテゴリが不要になった場合は削除することができます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
どのモデルにも参照されていないモデル カテゴリのみ削除できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 製品カタログ > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデル カテゴリの [名前] の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下の [選択した行のアクション] メニューから、[削除] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

ドメインセパレーションと製品カタログ

ドメインセパレーションは 製品カタログ でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート」を参照してください。

製品カタログにおけるドメインセパレーションの仕組み

ドメインオーナーの従業員とテナントは、作業が正しいドメインで実行されている場合、同じプロセスを使用できます。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

IT Asset Management コンテンツ要求プロセス

IT Asset Management コンテンツサービスチームは、IT Asset Management のお客様からのコンテンツ要求を管理およびサポートします。

ITAM コンテンツチームはコンテンツ要求をレビューし、定期的な週次コンテンツ更新を通じて提供します。

コンテンツ要求の例には、公開者、製品、公開者の品番、ディスカバリーマップ、およびライフサイクル日付の追加または更新が含まれますが、これらに限定されません。カスタムデータ (公開者、製品など) をインスタンスに追加することは可能ですが、ITAM ユースケースにはすぐに利用可能なコンテンツを活用することをお勧めします。コンテンツサービスを介して配信されたカスタムデータを作成する場合は、参照をすぐに使用できるコンテンツに更新し、カスタムデータを削除する必要があります。

コンテンツ要求は次のカテゴリに分類されます。

- 新しいコンテンツ:現在コンテンツライブラリにないコンテンツが必要です。新しいコンテンツを要求するには、Now Supportポータルからカタログ要求を送信します
- コンテンツ修正:以前に配信されたコンテンツを修正する必要があります。コンテンツの更新を要求するには、Now Supportポータルからカスタマーサポートケースを提出します。

コンテンツ要求の詳細については、 ServiceNow Now Support https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0790305 に関するこのナレッジベースの記事を参照してください。

IT 資産管理コンテンツ要求の作成

IT Asset Management コンテンツサービスの サービスカタログ アプリケーションを使用して、新しいコンテンツの要求を作成します。

始める前に

コンテンツ要求は、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスと ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに対して行うことができます。

必要なロール:顧客ユーザーまたはパートナーユーザー

手順

1. ServiceNow Now Supportポータルにログインします。
2. 次のように移動する。 オートメーションストア > サービスカタログ.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. カタログアイテム資産管理コンテンツ要求を検索して選択します。
   [カタログアイテム] フォームで、[カタログ要求番号 **(CR)**]、[要求者]、および [会社] フィールドが自動的に入力されます。
4. フォームに詳細を入力します。

フィールド	説明
Title (役職)	要求のサマリー。
説明	要求の詳細。
選択されたインスタンス	コンテンツを要求しているインスタンス。
ウォッチリスト	組織内の個人を追加して、この要求の進捗状況を表示します。
コンテンツカテゴリ	要求のコンテンツカテゴリ。ソフトウェア資産管理コンテンツサービスまたはハードウェア資産管理コンテンツサービスを選択できます。
添付ファイル	要求されたコンテンツについて必要な情報を含む Excel シートを添付します。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. 現在のコンテンツ要求を表示するには、次に移動します。 オートメーションストア > サービスカタログ > 自分のコンテンツ要求
   デフォルトのフィルターでは、アクティブな要求のみが表示されます。すべての要求 (クローズ済み要求を含む) を表示するには、フィルターを調整する必要があります。

IT Asset Management のライセンス

ServiceNow プラットフォームでは、新しいライセンス方法を使用しており、組織は IT Asset Management アプリケーション (ServiceNow　ソフトウェア資産管理 アプリケーションと ServiceNow　ハードウェア資産管理 アプリケーション) の使用に対して課金されます。

ライセンスの目的上、CI タイプは CI カテゴリーにアサインされています。組織の顧客契約により、各 CI カテゴリーの CI 割り当ての比率が決定します。顧客契約からの情報は ServiceNow プラットフォームと同期されます。CI カテゴリは次のとおりです。

- ネットワーク機器
- サーバー
- エンドユーザーコンピューター

注:
CI タイプは CI クラスと同じです。

組織のニーズに応じて、アプリケーションのサブスクリプションを個別に購入する (単品) か、まとめて購入する (バンドル) ことができます。サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドルの対象となるすべてのアプリケーションで同じ数のサブスクリプションを取得します。たとえば、ソフトウェア資産管理 および ハードウェア資産管理 アプリケーションを含む 500 のバンドルの場合、組織は ソフトウェア資産管理 で 500 のサブスクリプション、 ハードウェア資産管理で 500 のサブスクリプションを受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、ソフトウェア資産管理にスペアハードウェア資産管理サブスクリプションを使用することはできません。

組織で当初の見積もりよりも多くのサブスクリプションを使用している場合は、組織のニーズにより適したより大きなバンドルを購入できます。組織では、さまざまなレベルで IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションを使用できます。その場合は、必要なアプリケーションのほとんどを十分にカバーするバンドルを購入し、より多くのサブスクリプションを消費するアプリケーションの単品サブスクリプションを購入することもできます。

IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションサマリー

組織が購入および割り当てた IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション数を表示できます。

構成アイテム (CI) の割り当てと割り当てレベルを確認して、組織で IT Asset Management アプリケーションサブスクリプションをどのように使用しているかを確認し、今後のサブスクリプションのニーズを計画します。

次のように移動する。 **ITAM** ライセンス > **ITAM** サブスクリプションの概要 サブスクリプションの概要を表示します。

単品およびバンドルで購入したサブスクリプションについて、次の統計情報を表示します。

[Name (名前)]

サブスクリプションバンドルまたは IT Asset Management アプリケーションの名前 (組織がアプリケーションごとに個別に (単品) サブスクリプションを購入した場合は、その名前。

購入日

バンドルまたはアプリケーション (単品) ごとに購入したサブスクリプションの数です。

割り当て数

バンドルまたはアプリケーション (単品) で利用したサブスクリプションの数です。バンドルの場合、このフィールドには、バンドルに含まれているアプリケーションで利用したサブスクリプションの最大数が表示されます。たとえば、ソフトウェア資産管理 で 300 のサブスクリプションを利用し 、ハードウェア資産管理 で 200 のサブスクリプションを利用した場合、このフィールドには、これらのアプリケーションが含まれているバンドルに応じた「300」が表示されます。

カラーコードは、組織で利用されているサブスクリプションの割合を示します。デフォルトでは、カラーコードのしきい値は 90 % です。

- 緑 — 組織で購入したサブスクリプションの 90% 未満しか使用していません。
- 黄：組織で購入したサブスクリプションの利用率は 90 % を超え、100 % 未満です。
- 赤：組織での利用率は 100 % 以上で、購入したサブスクリプションの数を上回っています。購入したサブスクリプションが上限超過となっています。

開始日/終了日

このサブスクリプションが有効な期間です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスモジュールは、次のようにサブスクリプションの利用量を計算して表示します。

バンドルのみのサブスクリプション

サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドルの対象となるすべての IT Asset Management アプリケーションで同じ数のサブスクリプションを取得します。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルの場合、組織は、ソフトウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションと、ハードウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションを受け取ります。

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへのバンドルサブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、ソフトウェア資産管理にスペアハードウェア資産管理サブスクリプションを使用することはできません。

購入したサブスクリプションの数を超過した場合、利用したサブスクリプションの数に合わせてバンドルサイズが自動的に調整されます。このとき、ライセンスモジュールは、同じバンドルに含まれているすべてのアプリケーションの利用量レベルを再計算します。

[サブスクリプション] ウィンドウには、[割り当て数] の下に実際に利用したサブスクリプションの数が表示されます。[割り当て済み] の赤色の点は、バンドルが上限超過であることを示します。

単品のみのサブスクリプション

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへの単品サブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。[サブスクリプション] ウィンドウには、購入および割り当て済みの IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション情報が表示されます。

IT Asset Management アプリケーションで購入したサブスクリプションの数を超過した場合、未使用のサブスクリプションを別のアプリケーションに使用することはできません。

サブスクリプションの数を超過した場合、[サブスクリプション] ウィンドウには、上限超過の関連する単品サブスクリプションが表示されます。

同じアプリケーション用の、バンドルと単品の両方のサブスクリプション

IT Asset Management サブスクリプションをバンドルと単品の両方で購入した場合、ライセンスモジュールは、購入した単品サブスクリプションの数から差し引く前に、常にバンドルから消費したサブスクリプションの数を差し引きます。たとえば、ソフトウェア資産管理 および ハードウェア資産管理 が含まれている、500 のサブスクリプションのバンドルがあるとします。加えて、ソフトウェア資産管理 用の単品サブスクリプションを 250 購入しているとします。ソフトウェア資産管理 が利用する最初の 500 のサブスクリプションは、バンドル分から利用されます。ソフトウェア資産管理 が利用するサブスクリプションの数がバンドル分を超過した場合のみ、購入した単品サブスクリプションからも差し引かれ、その結果が、ソフトウェア資産管理 に割り当てられたサブスクリプションとして表示されます。

組織で購入したバンドルおよび単品のサブスクリプションの数を超過した場合は、単品サブスクリプションからの上限超過と見なされます。この場合、[サブスクリプション] ウィンドウでは、単品サブスクリプションが上限超過になっていることが示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に格納される構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関するこの情報と、組織が購入したサブスクリプションに関する情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションによるサブスクリプションの使用に関する統計を作成します。

始める前に

ライセンス目的で情報を収集および集計するプロセスは、次のインタラクションで構成されています。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

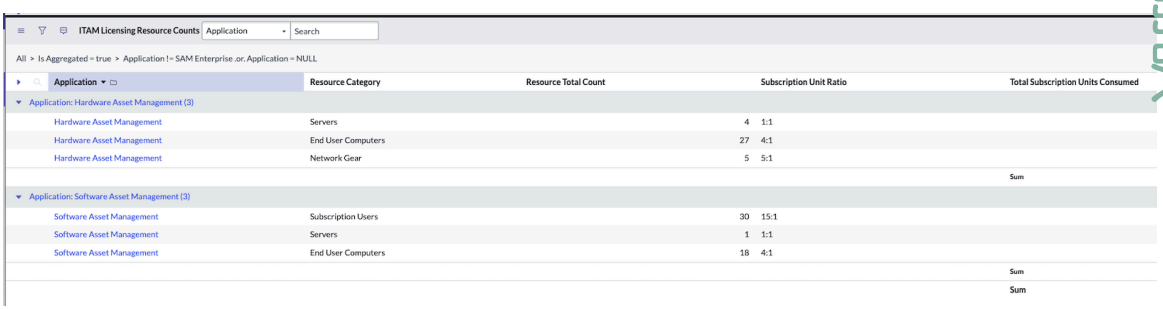
1. IT Asset Management アプリケーションは毎日 CI をカウントし、CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションの日次レポートでは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに報告します。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

- アドミン
- usage_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. アプリケーションを選択して、特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示します。



各 IT Operations Management (ITOM) アプリケーションで購入した CI 数とサブスクリプションに関する次の情報を個別に (単品) 表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、データベース (3:1)、サブスクリプションユーザー (15:1) の値が事前に定義されています。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ別のサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション率を適用して、この数を計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスの目的上、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、過去 90 日以内に検出されたソフトウェアインストールがある CI または最後に検出された CI が空である CI のみが考慮されます。さらに、cmdb_ci_hardwareテーブルに追加された列があり、その列名が *Enter the name of the true/false field added to cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management* というラベルのプロパティで参照されているすべての CI が除外されます。CI の除外の詳細については、「 CI でのソフトウェア資産の除外」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。